戸籍情報システム標準仕様書

【第 2.0 版】

令和 5 年（2023 年）8 月 31 日

法務省民事局民事第一課

凡例

実務上は、住民・職員への分かりやすさ等の観点から、法令用語でない用語が用いられることがあるが、戸籍情報システム標準仕様書（以下「本仕様書」という。）の機能・帳票要件の記載上は、原則として法令用語を用いている。

なお、機能・帳票要件の構成は、必ずしも本仕様書のとおりとしなければならないことを意味するものではなく、本仕様書に従う限り、実務上の使い勝手を考慮してメニューを再構成することも可能である。

戸籍法（昭和 22 年法律第 224 号）・・・

目次

第１章　本仕様書について..... 5
　１．背景..... 6
　２．目的..... 7
　３．対象..... 8
　４．本仕様書の内容..... 10
第２章　機能・帳票要件..... 13
　１．機能・帳票要件..... 15
　２．帳票詳細要件・レイアウト..... 149
第３章　データ要件・連携..... 150
　１．データ要件・連携要件について..... 151
第４章　非機能要件..... 152
　１．非機能要件について..... 153
第５章　用語..... 154

別紙１　業務フロー
別紙２　ツリー図
別紙３　機能・帳票要件
別紙４　帳票詳細要件・レイアウト
別紙５　戸籍情報システムの詳細仕様
別紙６　戸籍情報システムと関連事務の処理概要
別紙７　システム化に係る「詳細設計」等資料編

戸籍情報システム標準仕様書改定履歴

版数	日付	改定内容
1.0	2022.8.30	第1.0版策定
2.0	2023.3.31	法令改正に伴う改定 戸籍事務の取扱い変更等に伴う改定 戸籍事務従事職員の意見・要望を踏まえた改定 地方公共団体情報システム標準化基本方針等の改版に伴う改定
	2023.8.31	戸籍法の一部を改正する法律(令和元年法律第17号)に伴う改定 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律等の一部を改正する法律(令和5年法律48号)に伴う改定 関連システム標準仕様書作成に伴う改定

第１章　本仕様書について

1．背景

戸籍事務は、国民の身分関係を登録・公証する事務であり、全国的に統一した取扱いが要請されるものであることから、戸籍事務を電子情報処理組織により処理する場合においても、事務処理の統一性が確保されなければならない。また、電子情報処理組織により処理する場合は、戸籍情報が不可視的な磁気ディスク等に記録されたデータになることから、従前の簿冊処理によって行っていた場合以上に、データの保全・保護について、厳格に管理することが必要である。

法務省では、昭和 60 年度から戸籍事務のコンピュータ処理に関する調査研究を開始し、5 年間の成果である「平成元年度報告書」において指摘された現行戸籍事務の問題点とその対応への方途、及び「平成 2 年度報告書」における事務改善の要望事項とその解決策を踏まえて、システム化の機能要件を把握し、システム処理の方法について構想化の上、平成 6 年に戸籍情報システムの開発の統一基準（平成 6 年 7000 号通達、同 7001 号通知、同 7002 号通達ほか）を定めるとともに、その細目となる戸籍情報システム標準仕様書（以下「改定前仕様書」という。）を策定し、その後は法令改正等の内容を反映させるため、毎年改定を行ってきた。

上記のとおり、戸籍情報システムについては、既に統一的な基準が存在し、市区町村ごとに処理方式、画面やファイル等の様式、帳票等が既に統一されている状況にあったところ、令和元年 6 月 21 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2019」において、国主導の下で地方自治体等の情報システム・データ標準化を推進することとされ、令和 3 年 9 月 1 日に地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和 3 年法律第 40 号）（以下「標準化法」という。）が施行され、同法第 2 条第 1 項に基づく政令で定める事務として戸籍事務が規定されるに至った。

この規定により、本仕様書は、デジタル庁が発出した標準仕様書（地方公共団体情報システム標準化基本方針及び地方公共団体の基幹業務システムに係るデータ要件・連携要件標準仕様書【第 1.0 版】等）の内容を反映し、市区町村・ベンダ意見照会を経て令和 4 年 8 月 30 日に【第 1.0 版】が公表されたものである。

その後、今後の戸籍法令改正等による改定や地方公共団体情報システム標準化基本方針を踏まえ、【第 2.0 版】を令和 5 年 8 月 31 日に公表することにした。

2．目的

本仕様書は、標準化法第5条第1項の「地方公共団体情報システムの標準化の推進を図るための基本的な方針」を踏まえ、本仕様書の内容が、将来的に同法第6条第1項の「地方公共団体情報システムの標準化のため必要な基準」として規定されることを前提として、改定を行ったものである。

３．対象

（１）対象自治体

本仕様書の対象自治体は、全ての市区町村とする。
なお、本仕様書における「市区町村」の区とは、特別区、指定都市の区及び総合区のことである。
本仕様書においては、一般市区町村と指定都市及び中核市の区別はない。

（２）対象分野

本仕様書が規定する対象分野は、地域情報プラットフォーム標準仕様における戸籍ユニットとする。
これは概ね戸籍制度上の事務と対応しているが、必ずしも１対１で対応しているわけでない。戸籍の附票の管理は戸籍ユニットに位置付けられているが、住民基本台帳制度及び戸籍制度の共管事務であり、法令上は住基本法等に記載されている。そのため、本仕様書の対象外とする。
また、戸籍手続オンラインシステム及び戸籍副本データ管理システムに関する機能の一部については本仕様書において規定していない。

（３）対象項目

本仕様書では、以下の項目について規定する。
・機能・帳票要件（第２章）
・データ要件・連携要件（第３章）（※）
・非機能要件（第４章）
・業務フロー（別紙１）
・ツリー図（別紙２）
・機能・帳票要件（別紙３）
・帳票詳細要件・レイアウト（別紙４）
・戸籍情報システムの詳細仕様（別紙５）
・戸籍情報システムと関連事務の処理概要（別紙６）
・システム化に係わる「詳細設計」等資料編（別紙７）

以下の項目について章立てはしないが、戸籍情報システムの詳細仕様（別紙５）で規定する。
・画面要件
・ヘルプやガイドの具体的内容

※データ要件及び連携要件については、「地方自治体の業務プロセス・情報システムの標準化の作業方針の見直しについて」（旧内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室（以下「IT 総合戦略室」という。現デジタル庁）に基づき、デジタル庁を中心に検討が行われており、それを仕様とする。

また、非機能要件では、市区町村を通じて共通して規定すべきもの（例：セキュリティ）については規定し、共通して規定すべきでないもの（例：研修）については規定しないこととした。したがって、各市区町村の情報システムの調達において、本仕様書に規定されていない非機能要件を設けることを妨げるものではない。

デジタル社会を見据えた対応

本仕様書は、これからのデジタル社会においてあるべき姿（電子化・ペーパーレス化）を視野に標準を設定するとしつつも、これからのデジタル社会においてあるべき姿にそのまま即したものには必ずしもなっていない。

また、これからのデジタル社会を見据えれば、実務やシステムの前提となる制度自体を見直すべきという考え方もあり得る。しかし、そうした制度自体の検討については、一朝一夕にできるものではなく、あまりにも現在の実務から遊離した仕様書となれば、実効性が失われる。

そこで、本仕様書としては、電子化・ペーパーレス化も含め、これからのデジタル社会においてあるべき姿を視野に入れつつ、現行制度の下で、多くの自治体が支障なく対応できるものについて、できる限り盛り込むこととした。

他方、デジタル社会を見据え、様々な社会環境の変化に対応するためには、本仕様書の作成後、実務やシステムの前提となる制度を随時見直していくことが重要であり、制度の見直しとともに本仕様書を改定していくことが求められる。

４．本仕様書の内容

（１）本仕様書の構成

第１章では、本仕様書の背景、目的、対象及び内容について記載している。

第２章、第３章及び第４章では、それぞれ、戸籍情報システムが備えるべき機能・帳票要件、データ要件及び非機能要件について記載している。「（２）標準準拠の基準」にあるように、これらの章は、パッケージシステムが本仕様書に準拠するための判断基準となるものであり、言わば本仕様書の本体部分である。

第５章では、本仕様書において用いている用語について、解釈の紛れがないよう、定義している。

また、別紙１において業務フロー、別紙２においてツリー図を記載している。業務フローは、第２章で規定する機能・帳票要件が業務上どのように位置づけられ、有効に機能するのかについて市区町村及び事業者の共通理解を促すため、それらに対応したモデル的な業務フローを示している。ここで示した業務フローは、実際の各市区町村における業務フローを拘束するものではないが、現在の業務フローでは、本仕様書における機能・帳票要件どおりの内容で業務を行うことが難しいと考える市区町村は、現在の業務フローを本仕様書に示す業務フローに寄せる（BPR）ことで、本仕様書における機能・帳票要件どおりの内容で業務を行うことが期待される。ツリー図は、戸籍に係る業務における機能・帳票要件の一覧性を高め、標準化の対象となる業務を明確化するため、業務フローに紐づいた形式で記載している。

（２）標準準拠の基準

本仕様書の対象は地域情報プラットフォーム標準仕様における戸籍ユニットを基本としており、この対象範囲において定義すべき機能について、【実装必須機能】【実装不可機能】【標準オプション機能】の 3 類型に分類した。可能な限り 3 類型のいずれかに該当するか分類をした上で、定義すべき機能の範囲内で分類されていない機能は、カスタマイズ抑制、戸籍情報システムベンダ（以下「戸籍ベンダ」という。）間移行の円滑化の観点から、【実装不可機能】と同様のものとして位置付ける。

パッケージシステムが本仕様書に準拠するためには、【実装必須機能】をいずれも実装し、【実装不可機能】及び分類されていない機能をいずれも実装しないことが必要である。【標準オプション機能】は、実装しても、実装しなくても、実装した上で自治体が利用を選択できることとしても、いずれも差し支えない。3 分類のいずれにも位置付けられていない機能については、原則【実装不可機能】として扱うものとする。ただし、分類されていない機能のうち、市区町村や戸籍ベンダの創意工夫により新たな機能をシステムに試行的に実装させて機能改善の提案を行う場合は、当該試行についてあらかじめ公表し、当該試行を本仕様書に盛り込む提案となることを条件にして実装することを可能とする。

なお、【実装必須機能】のうち、法令上必ず使用しなければならない機能と必ずしも使用しなくてもよい機能があり、個別に判断する必要がある。

（３）想定する利用方法

標準化法第８条第１項では、「地方公共団体情報システムは、標準化基準に適合するものでなければならない。」とされており、本仕様書を基礎として、各所管大臣は、標準化法第６条に基づき標準化基準を策定することが想定される。したがって、本仕様書については、

・今後、整備予定の「ガバメントクラウド」上において、各ベンダが、本仕様書に準拠しているシステムを提供する

・各市区町村は、本仕様書に準拠しているパッケージシステムをカスタマイズすることなく利用することを想定している。

市区町村においては、人口減少による労働力の供給制約の中、システムについて十分な知見がなくても、負担なくシステムを調達し、利用できることが望ましい。自治体としては、標準化後にシステム更改を行う際は改めて本仕様書に示した個別の要件を一々提示して RFI（request for information）や RFP（request for proposal）、更には Fit & Gap 分析を行って調達するのではなく、単に、本仕様書に準拠しているパッケージシステムであることを要件に付するだけで、調達を行うことができ、カスタマイズをすることなく利用できることを想定している。本仕様書は、本仕様書における機能さえあればカスタマイズなしで支障なく業務が行えるようになるよう、【実装必須機能】と【実装不可機能】をその理由とともに整理したものである。そのため、自治体内での検討や自治体・戸籍ベンダ間の協議の際に、仮に本仕様書における機能と異なる機能が必要ではないかという議論があった場合、限られた人員、財源の中で、果たして当該自治体だけ特別に必要な機能なのか、本仕様書が想定する業務フローを参照し、効率的な業務運用への見直しが必要ではないか、という観点から、本仕様書における必要／不要の整理を知るための資料として参照することも想定している。

（４）本仕様書の改定

本仕様書については、制度改正時のほか、市区町村や戸籍ベンダからの創意工夫によるシステムの機能改善等の提案がある場合や、新たな技術が開発されるなどデジタル化の進展等がみられる場合にも、関係者の関与の下で改定することを想定している。とりわけ、制度改正により本仕様書を改正する必要がある場合は、制度の施行時期を勘案して改定する。改定後の本仕様書に基づいて、戸籍ベンダがクラウド上で一括してシステムを改修することにより、制度改正等のたびごとに個々の市区町村が個別に戸籍ベンダと協議して改修を行う必要がなくなると想定される。

各市区町村の調達仕様書の範囲との関係

本仕様書を用いることにより、戸籍事務を運用することは可能であり、本仕様書の対象範囲については本仕様書に記載された内容で調達する必要がある。

しかしながら、各市区町村においては、本仕様書の対象範囲外の機能や住民記録システム、戸籍の附票システムなどと併せて調達すること、また本仕様書に規定されていない非機能要件を設けること等も想定され、各市区町村の調達仕様書の範囲と標準仕様書の範囲は必ずしも一致しないと考えられる。この場合であっても、各市区町村の情報システムの調達において、本仕様書の範囲の業務について本仕様書に記載された内容で調達する限りにおいては、このような対応も許容される。

第２章　機能・帳票要件

本章の構成は、以下のとおりである。

表 2-1　機能・帳票要件の構成

構成	内容
1．機能・帳票要件	機能・帳票要件における考え方及び事務ごとに必要となる機能要件・帳票要件を定義する。
2．帳票詳細要件・レイアウト	機能・帳票要件で示した帳票について、システム印字項目等及び帳票のレイアウトを定義する。

１．機能・帳票要件

（１） 改定におけるシステム化の範囲

改定においては、改定前仕様書で規定していなかった除籍イメージに関する事務並びに戸籍手続オンラインシステムによる届出及び証明書交付（平成 16 年 928 号通達）を追加している。

また、改定前仕様書におけるシステム化の範囲には、改定前仕様書第 1.0 版以降にシステム対象とされた事務が反映されていないため、当該事務も反映している。

改定後の機能・帳票要件の具体的な要件は「(別紙３）機能・帳票要件」でまとめている。

帳票要件として定義する帳票は外部帳票（住民や他市区町村等の外部に向けた帳票）を基本としている。内部帳票（事務運用）において必要となる担当課内で使用する確認リスト等の帳票は必要とするものを帳票要件に記載している。

機能・帳票要件の要件の考え方・理由に「別紙５　5.5.2　画面設計書」、「別紙５　5.5.3　画面項目一覧表」を記載している。改定前仕様書の画面設計は、ホストコンピュータによる設計を基本としているため、1 画面 80 桁 24 行や文字罫線の使用等、現行のサーバによる設計に比べると多くの制約がある。例えば、出生届書の入力画面はその 1～その 3 とガイダンスで構成されているが、現行の設計ではその 1～その 3 をまとめて 1 画面とし、ガイダンスはヘルプ機能等による表示とする対応ができる。そのため、画面についてはレイアウトの変更及び入力者の負荷軽減を考慮した対応（不要項目の削除、補助項目の追加）を許容する。

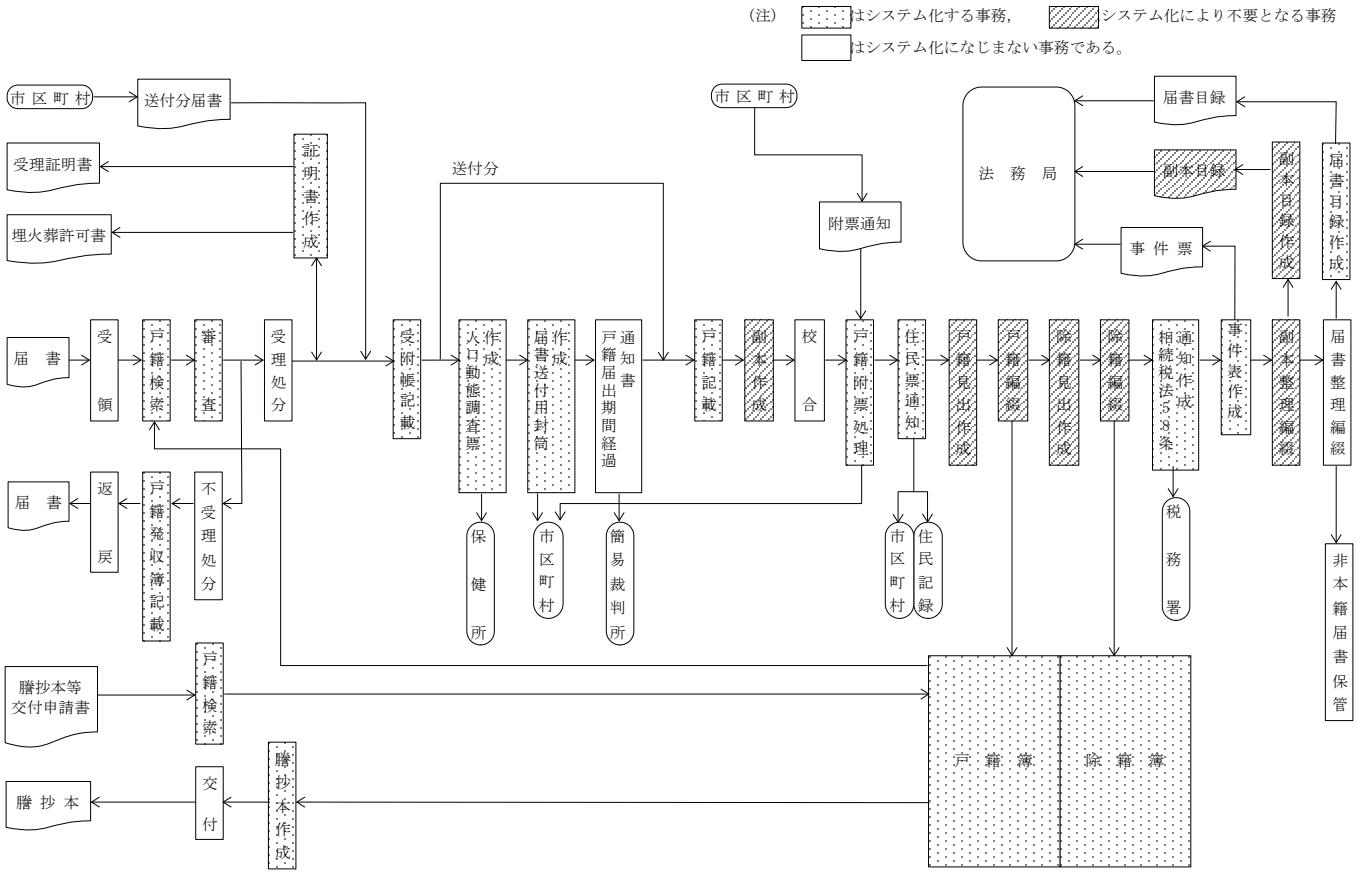
なお、改定の前後において、本仕様書の基本的な考え方に変更はないことから、次項以降において改定前仕様書に記載されていた内容を示す。

第 2.0 版では、戸籍法の一部を改正する法律(令和元年法律第 17 号)により、第５号施行日から運用を開始する戸籍情報連携システムとの連携及び、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律(令和 5 年法律第 48 号)により、第 3 号施行日から予定されている氏名の振り仮名の記録により改定前仕様書の改定を行う。

（２） 改定前仕様書におけるシステム化の範囲

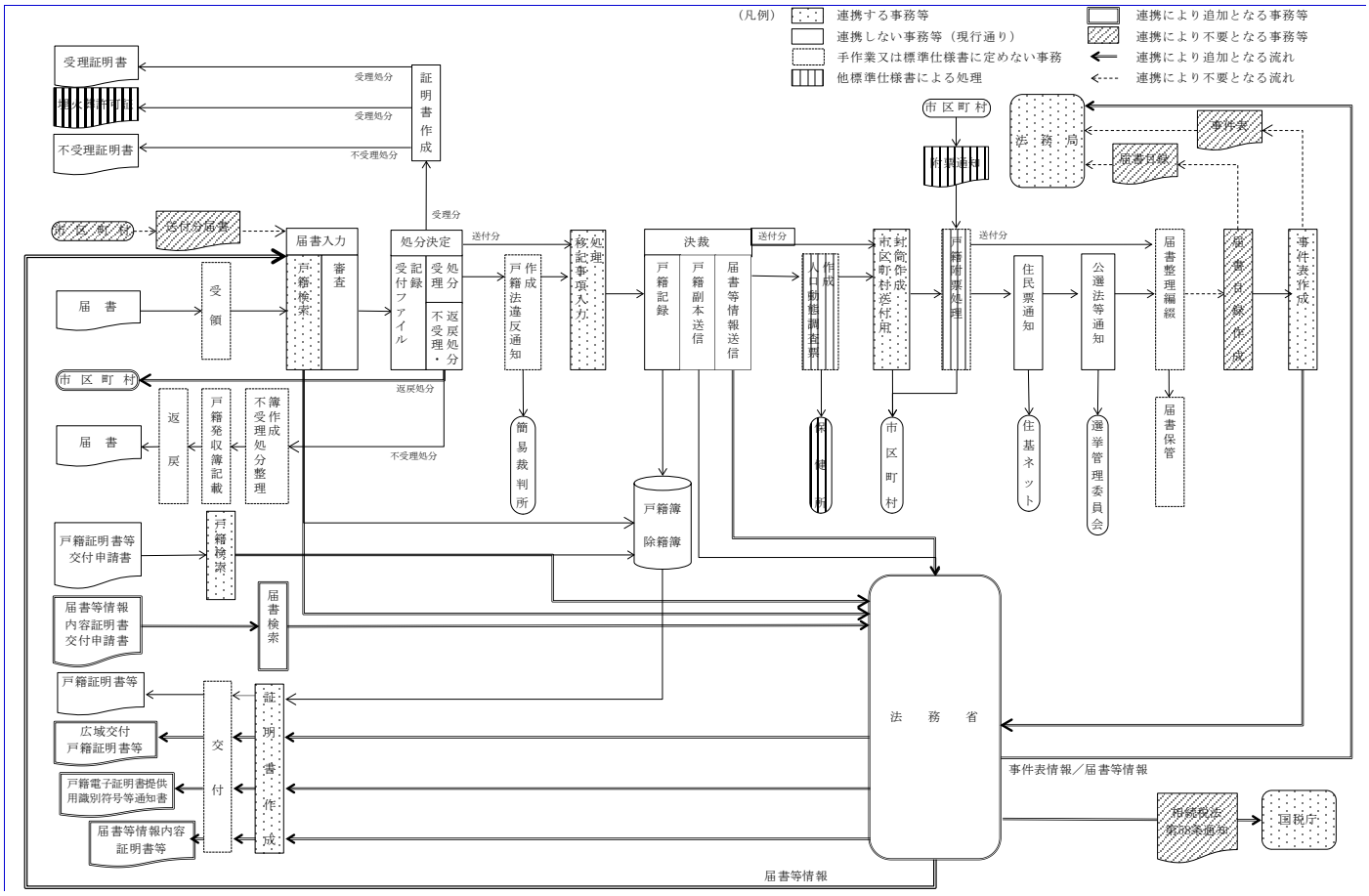
（２－１）システム化と戸籍事務の流れ（平成６年 12 月１日取扱い開始）

戸籍情報システム導入前における事務のうち、システム化に伴い取扱いが変更した事務は、次のとおりである。



（２－１－１）システム化と戸籍事務の流れ（令和５年度末(第５号施行日)開始予定）

戸籍情報システム連携システムと連携する事務は、次のとおりである。



（２－２）システム化の範囲（平成６年12月１日取扱い開始）

システム化する事務とその処理形態をオンライン、バッチ（含むオンライン・バッチ）及び手作業の区分にまとめたものである。なお、△は補助または補完のための機能である。

事務		個別事務		オンライン処理	バッチ処理	手作業
1. 戸籍事務	1. 届出	1. 届書受付（入力）		○		
		2. 届書審査	一線式	○		△
			二線式	○		△
		3. 出生届出済証明書				○
		4. 関連市町村送付用封筒（宛名シール）等作成		△	○	
		5. 戸籍届出期間経過通知書		△		○
		6. 受理（処理）照会		△		○
		7. 届書等逓送簿			△	○
		8. 届書送付目録作成			○	
		9. 不受理申出処理		○		△
		10. 家裁事件通知書処理		△		○
		11. 戸籍相談		△		○
		12. 便宜訂正通知書発行				○
		13. 便宜訂正通知書受領分処理		○		△
	2. 記載	1. 戸籍記載		○		
		2. 校合認印（決裁）		○		○
		3. 戸籍訂正		○		○
		4. 除籍の作成		○		
		5. 送付用副本目録の作成			○	
	3. 証明	1. 戸籍・除籍謄抄本の発行		○		
		2. 記載事項証明の発行		○		○
		3. 受理・不受理証明書の発行		○		○
		4. 届書預り証明書		○		
		5. 廃棄滅失証明書の発行				○
	4. その他統計	1. 戸籍事件表、その他統計			○	○
		2. 高齢者消除抽出処理			○	
		3. 土地の名称・地番の変更処理			○	△

事務		個別事務	オンライン処理	バッチ処理	手作業
2. 戸籍関連事務	1. 記載	1. 死産届書	○		△
		2. 附票処理 (住 19-1)	○		
		3. 住民票記載事項通知 (住 9-2)		○	
		4. 戸籍照合通知 (住 19-2)			○
		5. 本籍転属通知 (住 19-3)		○	
	2. 証明	1. 死体埋火葬許可証の発行	○		○
		2. 死胎埋火葬許可証の発行	○		○
		3. 死体火葬許可交付証明書の発行			○
		4. 死胎火葬許可交付証明書の発行			○
		5. 改葬許可証の発行			○
		6. 不在籍証明の発行			○
		7. 要件具備証明書の発行			○
		8. 相続税法第 58 条通知		○	
	3. 人口動態	1. 人口動態調査票の作成	△	○	
		2. 人口動態調査送付票の作成	△	○	

（２－２－１）システム化の範囲（令和５年度末(第５号施行日)開始予定）

戸籍情報連携システムとの連携後の事務処理形態をオンライン、バッチ（含むオンライン・バッチ）及び手作業の区分にまとめ（△は補助または補完のための機能)、更に戸籍情報連携システムと連携する事務を○、連携により不要となる事務を×で示す。

なお、他システム標準仕様書による事務はーで示す。

事務		個別事務		オンライン処理	バッチ処理	手作業	情報連携
1.戸籍事務	1.届出等	1.届書入力	1.受理分	○			○
			2.送付分	○			○
		2.戸籍検索		○			○
		3.審査		○		△	
		4.戸籍訂正		○		△	
		5.処分決定		○			
		6.戸籍法違反通知書		△		○	
		7.受理（処理）照会		△		○	※2
		8.不受理処分整理簿処理		○		△	
		9.戸籍発収簿処理		○		○	
		10.関連市町村送付用封筒(宛名シール)等作成		△	○		
		11.届書目録作成			○		
		12.不受理申出処理		○		△	※2
		13.家裁事件通知書処理		△		○	※2
		14.戸籍相談		△		○	○
		15.便宜訂正通知書発行				×	
		16.便宜訂正通知書受領分処理		×		×	
	2.記録	1.移記事項入力処理		○			○※1
		2.決裁	1.戸籍記録	○			○※1
			2.届書等情報送信	○			○
			3.戸籍副本データ送信	○			※2
	3.証明発行	1.戸籍証明書等	1.証明書	○			
			2.広域交付戸籍証明書等	○			○
		2.戸籍電子証明書等		○			○
		3.届書等情報内容証明書等		○			○
		4.受理・不受理証明書		○			
		5.届書預り証明書		○			

事務		個別事務	オンライン処理	バッチ処理	手作業	情報連携
	4. その他統計	1. 戸籍事件表、その他統計	○	○	△	○
		2. 高齢者消除抽出処理		○		
		3. 土地の名称・地番変更処理		○	△	※2
2. 戸籍関連事務	1. 附票・住基	1. 附票処理（住 19-1、住 19-3、住 19-4）	－			
		2. 住民票記載事項通知（住 9-2）	△	○		
		3. 戸籍照合通知（住 19-2）	－		－	
		4. 本籍転属通知（住 19-3）		－		
	2. その他	1. 人口動態調査票の作成	－			※4
		2. 人口動態調査送付票の作成	－			※4
		3. 出生届出済証明書	－		－	
		4. 死体(胎)埋火葬許可証	－		－	※4
		5. 不在籍証明書	○			
		6. 要件具備証明書	○			
		7. 相続税法第 58 条通知				※3
		8. 在外選挙人、在外投票人通知	△	○		

※1：他の事務で連携により取得した情報を活用して処理する事務

※2：戸籍副本データ管理システムへ連携する事務

※3：戸籍情報連携システムが実施する事務

※4：他の事務に情報を連携する事務

（３） 改定前仕様書における事務処理(戸籍事務)の概要

システム化による、事務処理(戸籍事務)の概要を示す。

（３－１）戸籍

戸籍情報システムは、戸籍特定ファイル・戸籍事項ファイル・氏名ファイル・個人特定ファイル・身分事項ファイルの計 5 つのファイルで構成されるデータベースである。各々ファイルに記録すべき戸籍情報の概要を以下に説明する。

(1) 戸籍特定ファイル

戸籍特定ファイルは、法第 9 条に定める「戸籍の表示」と戸籍データベースを管理するための情報を記録するファイルである。戸籍特定ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

戸籍番号	編製年月日	改製年月日	回復年月日	消除年月日	

	本籍	筆頭者	筆頭者振り仮名	記録者数	在籍者数	除籍者数	

	戸籍除区分	戸籍異動区分

「本籍」・「筆頭者」は、規則第 3 条に定める「戸籍の編綴順序」と同法第 6 条に定める「見出帳」と相まって戸籍を検索するためのキー情報となっている。そこで、システムでも戸籍データベースを検索するためのキー項目とした。「本籍」・「筆頭者」は、行政区画の変更・土地の名称変更・管内転籍届・氏の変更届などがあったときには上書きし、従前の情報は戸籍事項として戸籍事項ファイルに記録する。

現行の戸籍制度で戸籍事項に記載すべき「編製年月日」・「改製年月日」・「回復年月日」・「消除年月日」を記録しているが、これらは「戸籍番号」・「戸籍除区分」・「戸籍異動区分」と同様にシステムが戸籍データベースを管理するための情報である。戸籍事項欄に記載すべき「編製年月日」や「改製年月日」は次の(2)で述べる戸籍事項ファイルの戸籍事項項目として記録する。また、「記録者数」・「在籍者数」・「除籍者数」は戸籍データベースの情報を検索したときに画面に出力され、検索した戸籍の状況を知るうえでの補助となる情報である。

(2) 戸籍事項ファイル

規則 34 条・37 条・40 条・42 条に定める「戸籍事項欄に記載すべき事項」を記録するファイルである。戸籍事項ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

戸籍番号	事件コード	事件発生年月日	戸籍事項項目

氏の変更届や管内転籍届など現行の戸籍事項欄に記載すべき届出があるたびにそれぞれの事項を追加して記録する。戸籍の証明書および画面への出力は記録の順序による。すなわち、現行の戸籍事項欄の記載順序と同じである。

「戸籍番号」及び「事件発生年月日」はシステムが戸籍データベースを管理するためのものである。

(3) 氏名ファイル

法第 13 条に定める「戸籍の記載事項」のうちの「氏名」を記録するファイルである。現行の戸籍制度では氏は筆頭者氏名欄にのみ記載し、名欄には「名」だけを記載しているが、氏名ファイルには「氏」と「名」両方を記録する。氏名ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

個人番号	カナ氏名	振り仮名	漢字氏名

「カナ氏名」・「漢字氏名」ともに戸籍データベースを検索するためのキー項目である。カナ氏名は戸籍の検索の効率性を確保するために設けたものである。現行法令上氏名に読み仮名は戸籍の記載事項ではないため各種証明書には出力しない。また、名の変更・氏の変更があった者を旧氏名でも検索できるように変更前の「カナ氏名」・「漢字氏名」も履歴として記録する。

今後振り仮名の記録が開始されることにより、「カナ氏名」の取扱いは「振り仮名」に代わる。ただし、当面の間は「カナ氏名」による検索補完を許容する。

(4) 個人特定ファイル

法第 13 条に定める「出生の年月日」・「実父の氏名」・「実母の氏名」・「実父母との続柄」・「養父の氏名」・「養母の氏名」・「養父母との続柄」・「夫である旨」・「妻である旨」を記録するファイルである。個人特定ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

個人番号	戸籍番号	入籍年月日	除籍年月日	性別	生年月日	

	筆頭者区分	配偶者区分	父の氏名	母の氏名	父母との続柄	

	養父の氏名	養母の氏名	養父母との続柄	前個人番号	個人除区分

生年月日は氏名ファイルの「カナ氏名」と同様に戸籍を検索するときの効率性を図るために検索キー項目とした。

個人特定ファイルに記録されている情報に訂正・更正・変更などが生じたときには上書きし、それに応じた身分事項を身分事項ファイルに記録する。従前の情報はその身分事項のなかに従前の記録として記録する。

「個人番号」・「戸籍番号」・「入籍年月日」・「除籍年月日」・「性別」・「生年月日」「筆頭者区分」・「前個人番号」はシステムが戸籍データベースを管理するためのものであり、戸籍としての記録情報ではない。

(5) 身分事項ファイル

法第 13 条及び規則第 30 条・35 条・36 条・第 39 条・第 40 条に定める「身分事項に記載すべき事項」を記録するファイルである。身分事項ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

個人番号	事件コード	事件発生年月日	身分事項項目

戸籍の届出を受理したときには、その届出事件に応じた身分事項を追加して記録する。戸籍の証明および画面への出力は記録の順序による。すなわち、現行の身分事項の記載順序と同じである。

「個人番号」・「事件発生年月日」はシステムが戸籍データベースを管理するためのものであり、戸籍としての記録情報ではない。したがって各種証明書には出力しない。

(6) 戸籍の編製

法は、第 6 条に「戸籍は、市町村の区域内に本籍を定める 1 の夫婦及びこれと氏を同じくする子ごとに、これを編製する。ただし、日本人でない者(以下「外国人」という。)と婚姻した者又は配偶者がいない者について新たに戸籍を編製するときは、その者及びこれと氏を同じくする子ごとに、これを編製する。」と戸籍の編製基準を定めている。

システムにおいてもこの編製基準に基づいて戸籍を編製するものとした。

(7) 氏名の記載順序

法第 14 条は氏名の記載順序を次のように定めている。

① 氏名を記載するには次(原文は『左』)の順序による。

第 1 夫婦が、夫の氏を称するときは夫、妻の氏を称するときは妻

第 2 配偶者

第 3 子

② 子の間では、出生の前後による。

③ 戸籍を編製した後にその戸籍に入るべき原因が生じた者については、戸籍の末尾にこれを記載する。

システムでも戸籍の証明を出力したり、戸籍データベースの記録情報を画面に出力するときはこの順序にしたがう。

(8) 戸籍の記載文字

規則第 31 条は次のように定めている。

① 戸籍の記載をするには、略字又は符合を用いず、字画を明らかにしなければならない。

② 年月日を記載するには、壱、弐、参、拾の文字を用いなければならない。

また子の名に用いることのできる文字として法第 50 条は次のように定めている。

① 子の名には常用平易な文字を用いなければならない。

② 常用平易な文字の範囲は、法務省令でこれを定める。

常用平易な文字の範囲としは規則第60条で次のように定めている。

法第50条第2項の常用平易な文字は、次に掲げるものとする。

① 常用漢字表（平成22年内閣告示第2号）に掲げる漢字(括弧書きが添えられているものについては、括弧の外のものに限る。)

② 別表第2に掲げる漢字

③ 片仮名又は平仮名(変体仮名を除く。)

さらに、外国人については、本人が本国において氏名を漢字で表記する者である場合には正しい日本文字としての漢字を用いるときに限って、氏・名の順序により漢字で記載してさしつかえない(昭和56年9月14日民二5537号通達・昭和59年11月1日民二第5500号通達)。としている。

このことから、システムで戸籍の証明を出力する場合に次の2つの問題点をあげることができる。

まず第1に、戸籍法施行規則第31条の「字画の明らか」についての問題がある。コンピュータでは対応する漢字の文字フォントを作成して画面やプリンターで出力することになる。そうすると各戸籍ベンダのフォントについては戸籍の文字として使用に耐えられるか検証する必要がある。

なお、「年月日を記載するには、壱、弐、参、拾の文字をもちいなければならない。」と定めているが、規則第73条第5項に従い、戸籍の証明ではアラビア数字(算用数字)を用いて出力する。

第2は、子の名に用いることのできる文字の問題である。現在では上記の戸籍法及び戸籍法施行規則により使用できる文字の範囲が明確になっているが、昭和23年に戸籍法が制定される前は特に制限がなかった。したがって、システムで扱わなければならない戸籍の文字は制限がないというのが現状である。

コンピュータで使用することのできる文字は、戸籍ベンダにより若干の違いはあるが、概ね15,000文字程度である。コンピュータ文字は、2バイト構成文字といい、1バイトは8ビットであるから単純計算をすると2の16乗で131,072文字の種類を表すことができるはずである。しかし、実際はハード・ウェア及びソフト・ウェアの制約から15,000文字程度になっている。

現在一般的に戸籍ベンダで用意している文字は、JIS第1水準2,965文字、JIS第2水準3,390文字の合計6,355文字と戸籍ベンダ独自で調査した使用頻度の高い文字を合わせて、8,000文字程度である。残りは約7,000文字となるが、その他にアルファベットや記号、各自治体独自で既に追加しているユーザーの漢字がある。したがって、新たに文字を加えることはできないといってよい。

そこで、昭和61年度の「戸籍コンピュータ化調査研究会」では、この問題について特に重点的に調査研究が行われたところである。このときの調査研究報告書は甲市を例に実態調査を行っている。甲市の戸籍数45,540戸籍、戸籍人口138,540人であり、JIS規格以外の文字の種類は3,061文字使用されていた。このことから甲市と同程度の規模の戸籍数及び戸籍人口であれば現在のシステムでもコンピュータ化は可能であるとした。しかし、一方ではJIS規格以外の文字の使用数は戸籍数、戸籍人口、地域の特性等があるのでこの調査結果から一概に可能であるとは言うことができないと結論付けている。

平成4年度「戸籍事務コンピュータ化調査研究会」ではこの問題について具体的に解決策を講じるべくセット・アップ分科会の検討項目に設定した。その結果、参加している多数の戸籍ベンダから「フォントの作成やコンピュータへの登録に時間を要するので即時には無理であるが、戸籍の記載に必要な全ての漢字について対応することが可能である。」との回答を得た(詳細はセット・アップ分科会報告書参照)。これを受けて文字の問題は、コンピュータにない文字ができるまでの間の戸籍の取り扱いをどのようにするか、作成した文字の管理をいかにするか、という2つの問題になった。

コンピュータに用意していない漢字を使用する届出があったときは、次の処理で対応するものとする。届出の

受理、不受理の決定を行うだけで戸籍の記載はしない。戸籍を直ちに記載することができない旨を届出人に伝え、受理証明書の請求があるときは手書きで対応するものとする。その後文字を作成し、コンピュータに登録したら届書の情報を入力する。

つまり、戸籍データベースは情報が完全な状態でなければ更新してはならないということであり、便宜的に、その文字をブランクや記号に置き換えて戸籍データベースを更新して、その文字を手書きで埋めることによって証明書を交付し、後に文字を作成・登録した段階で整合性をつけるような行為はしてはならないということである。

外字の管理については外字の対応が戸籍ベンダによって異なるので、システムを導入する自治体とシステムを提供する戸籍ベンダとの間の問題となる。したがって、文字の作成経費の負担と速やかな事務処理の方法と合わせて充分協議することになる。

なお、誤字・俗字の取扱いについては「平成 2 年 10 月 20 日法務省民二第 5200 号民事局長通達」、「平成 2 年 10 月 20 日法務省民二第 5202 号民事局第二課長依命通知」及び「平成 6 年 11 月 16 日法務省民二第 7005 号民事局長通達」「平成 6 年 11 月 16 日法務省民二第 7006 号民事局第二課長依命通知」が適用される。

(8-1) 振り仮名の読み方について

法第 13 条第 2 項に「氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められているものでなければならない。」と定めている。

(9) 文末認印について

規則第 32 条第 1 項に「戸籍の記載をするごとに、市町村長は、その文の末尾に認印を押さなければならない。」と、また第 2 項では「市町村長の職務を代理する者が、戸籍の記載をするときは、その文末に代理資格を記載して、認印をおさなければならない。」と定めている。

戸籍の記載の文末に認印を押す意味は 2 つある。一つは記載への加筆防止であり、もう一つは記載した者の責任の所在を明らかにすることにある。

システムでは戸籍事項および身分事項が記録されるごとにそれぞれの事項に 4 桁の管掌者コード(規則第 77 条における「識別番号」に相当)を記録することにより文末認印にかわるものとした。コードは 4 桁で、上 2 桁がシステムを導入してからの歴代管掌者ごとの通し番号で表し、管掌者が選挙で選出されるごとに 1 を加える。下 2 桁は管掌者と代理資格を表す。01 が市区町村長、02 が副市区町村長、03 が職員とするようにした。なお、市町村によっては複数の副市区町村長をおいている場合もあるので、市町村で明確に意味付けを行ない、割り当てなければならない。

※指定都市の場合、01 が行政区長、02 が行政区長職務代理者副区長等の意味付けを行うこともある。

なお、システムでは戸籍データベースの改ざん防止策として次のような処置を講じている。

① 戸籍データベースの更新はパスワードを持った決裁(校合)担当者のみ行うことができる。

② 戸籍データベースに記録されている情報は任意に変更できない。情報を変えようとする場合は訂正事項、更正事項等の戸籍事項または身分事項を記録しなければならない。

③ 受付ファイル(詳細は受付ファイルの項参照)を作成しないで記録情報の追加・変更・訂正を行うことはできない。また受付ファイルは決裁(校合)担当者が戸籍データベースを更新するときに必ず見なければならない。

(10) 記載すべき欄と記載方法(記載例の項目化)

規則第 33 条は戸籍の記載すべき欄及び記載方法について定めている。記載すべき欄については戸籍データベースを構成する各ファイルの項で既に述べた。ここでは記載方法に対する記録方法、さらに戸籍の証明書と画面への出力について述べる。なお説明の内容を具体的にするために父母婚姻中の嫡出子の出生届出を例にとって述べる。

届書の記載事項については法第 29 条(届書の記載事項通則)・法第 30 条(特別の記載事項)で定めている。これによると出生届書記載事項は次のようになる。

出生届出書記載事項

届出書記載項目	具体的記載事項例
①届出事件名	出生届
②届出年月日	平成 4 年 1 月 14 日
③子の氏名	甲野啓太郎
④父母との続柄	長男
⑤生まれたとき	平成 4 年 1 月 10 日
⑥生まれたところ	東京都千代田区平河町一丁目 1 番地
⑦住所	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑧父の氏名	甲野義太郎
⑨父の生年月日	昭和 40 年 6 月 21 日
⑩母の氏名	甲野梅子
⑪母の生年月日	昭和 41 年 1 月 8 日
⑫本籍	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑬筆頭者の氏名	甲野義太郎
⑭届出人の資格	父
⑮届出人の生年月日	昭和 40 年 6 月 21 日
⑯届出人の住所	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑰届出人の本籍	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑱届出人の筆頭者の氏名	甲野義太郎

現行の戸籍制度では、出生届書に基づいて戸籍を記載する場合には、規則第 33 条に定める附録第 7 号記載例に従い文章の形式に引き直して記載している。しかし、戸籍情報システムでは届書の記載事項をそのままデータ項目として記録することにした。それは、システムによる届書の審査と戸籍の自動記録をできる限り実現しようとしたところにある。以下現行の戸籍と戸籍データベースとを比較しながら説明する。なお丸番号は上記の届書記載項目の番号を表す。

ア　入籍すべき戸籍の特定

「⑫本籍」と「⑬筆頭者の氏名」は出生子が入籍する戸籍の表示である。戸籍を検索して入籍戸籍を特定するうえで必要な届書記載事項である。

現行の戸籍でも戸籍データベースでもこの情報の取扱いは同じである。

イ　子の氏名等の記載または記録

現行の戸籍では「①子の氏名」は名欄に、「⑧父の氏名」は父欄に、「⑩母の氏名」は母欄に、「④父母との続柄」は父母との続柄欄にそれぞれ記載する。

戸籍データベースでは「①子の氏名」は氏名ファイルに、「⑧父の氏名」・「⑩母の氏名」・「④父母との続柄」は個人特定ファイルの当該記録域に記録する。

ウ　身分事項の記載または記録(附録第7号の記載例1に該当する届出とする)

現行の戸籍での身分事項の記載は次のとおりである。

「⑤平成四年壱月拾日⑥東京都千代田区で①出生②同月拾四日⑭父届出入籍㊞」

戸籍データベースでは身分事項ファイルに記録する。身分事項ファイルの定められた記録域に次のように記録される。

①事件名	⑤出生年月日	⑥出生地	②届出年月日	
出生	平成4年1月10日	東京都千代田区	平成4年1月14日	

	管掌者コード
	管掌者コード

エ　戸籍データベースの記録情報の出力

戸籍データベースの記録情報を戸籍の証明書(画面)に出力する場合には次のようになる。

【出生日】平成4年1月10日
【出生地】東京都千代田区
【届出日】平成4年1月14日
【届出人】父

(11) 戸籍の証明のひな形

戸籍データベースに記録した情報の出力方法を規則に定める戸籍の記載のひな形を例に示せば次のとおりである。

附録第六号様式　戸籍の記載のひな形(第33条関係)

(6の1)　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製 転　　籍	【編製日】平成４年１月１０日 【転籍日】平成５年３月６日 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目４番地
戸籍に記録されている者	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日【配偶者区分】夫 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男
身分事項 出　　生	【出生日】昭和４０年６月２１日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】昭和４０年６月２５日 【届出人】父
婚　　姻	【婚姻日】平成４年１月１０日 【配偶者氏名】乙野梅子 【従前戸籍】東京都千代田区平河町一丁目４番地　甲野幸雄
養子縁組	【縁組日】平成３３年１月１７日 【共同縁組者】妻 【養子氏名】乙川英助 【送付を受けた日】平成３３年１月２０日 【受理者】大阪市北区長
認　　知	【認知日】平成３５年１月７日 【認知した子の氏名】丙山信夫 【認知した子の戸籍】千葉市千葉町５番地　丙山竹子
戸籍に記録されている者	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日【配偶者区分】妻 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女
出　　生	【出生日】昭和４１年１月８日 【出生地】京都市上京区 【届出日】昭和４１年１月１０日 【届出人】父

以下次頁

附録第六号様式　戸籍の記載のひな形(第33条関係)

(6の2)　全部事項証明

婚　姻	【婚姻日】平成4年1月10日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町18番地　乙野梅子
養子縁組	【縁組日】平成33年1月17日 【共同縁組者】夫 【養子氏名】乙川英助 【送付を受けた日】平成33年1月20日 【受理者】大阪市北区長
戸籍に記録されている者 除籍	【名】啓太郎 【生年月日】平成4年11月2日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長男
出　生	【出生日】平成4年11月2日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成4年11月10日 【届出人】父
推定相続人廃除	【推定相続人廃除の裁判確定日】平成32年3月16日 【被相続人】父　甲野義太郎 【届出日】平成32年3月20日 【届出人】父 【送付を受けた日】平成32年3月23日 【受理者】大阪市北区長
婚　姻	【婚姻日】平成33年3月6日 【配偶者氏名】丙野松子 【送付を受けた日】平成33年3月10日 【受理者】横浜市中区長 【新本籍】横浜市中区昭和町18番地 【称する氏】夫の氏
戸籍に記録されている者 除籍	【名】ゆり 【生年月日】平成6年2月15日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長女
出　生	【出生日】平成6年2月15日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成6年2月19日 【届出人】父

以下次頁

(6の3)　全部事項証明

特別養子縁組	【特別養子縁組の裁判確定日】平成１１年１０月7日 【届出日】平成１１年１０月１２日 【届出人】養父母 【送付を受けた日】平成１１年１０月１６日 【受理者】大阪市北区長 【新本籍】東京都千代田区平河町一丁目１０番地 【縁組後の氏】丙山
特別養子離縁	【特別養子離縁の裁判確定日】平成１８年１２月9日 【届出日】平成１８年１２月１５日 【届出人】父母 【新本籍】大阪市北区老松町二丁目６番地 【離縁後の氏】甲野
戸籍に記録されている者 除籍	【名】みち 【生年月日】平成9年7月9日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】二女
出　生	【出生日】平成9年7月9日 【出生地】千葉市 【届出日】平成9年7月１３日 【届出人】父 【送付を受けた日】平成9年7月１５日 【受理者】千葉市長
婚　姻	【婚姻日】平成２８年１０月3日 【配偶者氏名】乙原信吉 【入籍戸籍】東京都千代田区平河町一丁目８番地　乙原信吉
戸籍に記録されている者 除籍	【名】英子 【生年月日】昭和６２年3月１７日 【父】 【母】甲野梅子 【続柄】女
出　生	【出生日】昭和６２年3月１７日 【出生地】横浜市中区 【届出日】昭和６２年3月１８日 【届出人】母 【送付を受けた日】昭和６２年3月２０日 【受理者】横浜市中区長

以下次頁

附録第六号様式　戸籍の記載のひな形(第33条関係)

(6の4)　全部事項証明

入　籍	【届出日】平成１４年３月２０日 【入籍事由】母の氏を称する入籍 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町１８番地　乙野梅子
養子縁組	【縁組日】平成１６年４月１２日 【養父氏名】乙野忠治 【養母氏名】乙野春子 【送付を受けた日】平成１６年４月１６日 【受理者】京都市上京区長 【入籍戸籍】京都市上京区小山初音町１８番地　乙野忠治
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】芳次郎 【生年月日】平成１６年１月６日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】二男
出　生	【出生日】平成１６年１月６日 【出生地】千葉市 【届出日】平成１６年１月１７日 【届出人】母 【送付を受けた日】平成１６年１月２０日 【受理者】千葉市長
死　亡	【死亡日】平成２４年１２月１３日 【死亡時分】午後８時３０分 【死亡地】東京都千代田区 【届出日】平成２４年１２月１５日 【届出人】親族　甲野義太郎
戸籍に記録されている者	【名】英助 【生年月日】平成２４年５月１日 【父】乙川孝助 【母】乙川冬子 【続柄】二男 【養父】甲野義太郎 【養母】甲野梅子 【続柄】養子
出　生	【出生日】平成２４年５月１日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成２４年５月６日 【届出人】父

以下次頁

(6の5)　全部事項証明

養子縁組	【縁組日】平成３３年１月１７日 【養父氏名】甲野義太郎 【養母氏名】甲野梅子 【代諾者】親権者父母 【送付を受けた日】平成３３年１月２０日 【受理者】大阪市北区長 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町２０番地　乙川孝助
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】みち 【生年月日】平成9年7月9日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】二女
離　婚	【離婚日】平成３３年7月5日 【配偶者氏名】乙原信吉 【送付を受けた日】平成３３年7月7日 【受理者】横浜市中区長 【従前本籍】横浜市中区本町一丁目８番地　乙原信吉
分　籍	【分籍日】平成３３年８月2日 【新本籍】東京都中央区日本橋室町一丁目１番地
戸籍に記録されている者	【名】信夫 【生年月日】平成３４年6月1日 【父】甲野義太郎 【母】丙山竹子 【続柄】男
出　生	【出生日】平成３４年6月1日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成３４年6月3日 【届出人】母 【送付を受けた日】平成３４年6月１０日 【受理者】東京都千代田区長
認　知	【認知日】平成３５年１月7日 【認知者氏名】甲野義太郎 【送付を受けた日】平成３５年１月１０日 【受理者】東京都千代田区長
入　籍	【届出日】平成３５年１月１５日 【入籍事由】父の氏を称する入籍 【届出人】親権者母 【従前戸籍】千葉市千葉町５番地　丙山竹子

以下次頁

附録第六号様式　戸籍の記載のひな形(第 33 条関係)

(6の6)　全部事項証明

親　権	【親権を定めた日】平成３５年１月２０日 【親権者】父 【届出人】父母
戸籍に記録されている者	【名】啓二郎 【生年月日】平成３０年４月３日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】三男
出　生	【出生日】平成３０年４月３日 【出生地】名古屋市中区 【届出日】平成３０年４月７日 【届出人】母
民法８１７条の２	【民法８１７条の２による裁判確定日】平成３５年２月１２日 【届出日】平成３５年２月１５日 【届出人】父母 【従前戸籍】名古屋市中区三の丸四丁目３番　甲野啓二郎
	以下余白

附録第八号様式　戸籍の消除(第 42 条関係)　第一　全部の消除

除　　籍	(1の1)　全部事項証明
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町二丁目１０番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製	略
戸籍消除	【消除日】平成４６年5月１１日
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年6月２１日 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男
	略
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年1月8日 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女
	略
死　　亡	【死亡日】平成４６年5月9日 【死亡時分】午後8時３０分 【死亡地】東京都千代田区 【届出日】平成４６年5月１１日 【届出人】親族　甲野英助
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】ゆり 【生年月日】平成6年2月１５日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長女
	略
	以下余白

附録第八号様式　戸籍の消除(第42条関係)　第二　一部の消除

(2の1)　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町二丁目１０番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製	略
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男
死　　亡	略 【死亡日】平成１６年５月３日 【死亡時分】午前５時 【死亡地】東京都千代田区 【届出日】平成１６年５月５日 【届出人】同居者　丙原正作
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女
配偶者の死亡 復　　氏	略 【配偶者の死亡日】平成１６年５月３日 【婚姻前の氏に復した日】平成１７年５月８日 【送付を受けた日】平成１７年５月１２日 【受理者】京都市上京区長 【入籍戸籍】京都市上京区小山初音町１８番地　乙野忠治
戸籍に記録されている者	【名】ゆり 【生年月日】平成６年２月１５日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長女

以下次頁

(2の2)　全部事項証明

親　　権	略 【親権喪失宣告取消の裁判確定日】平成１４年５月３日 【親権喪失取消者】父 【届出日】平成１４年５月９日 【届出人】親族　乙原清吉 【従前の記録】 【親権喪失宣告の裁判確定日】平成１２年９月１２日 【親権喪失者】父 【届出日】平成１２年９月１７日 【届出人】親権者母
	以下余白

附録第九号様式　戸籍の訂正(第44条関係)　第一　全部の訂正

除　　籍	(2の1)　全部事項証明
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目3番地 甲原　義太郎
戸籍事項欄 戸籍編製	略
戸籍消除	【消除日】平成１０年１２月８日
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日【配偶者区分】夫 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男 【養父】甲原忠太郎 【養母】甲原杉子 【続柄】養子
消　　除	略
	【消除日】平成１０年１２月８日 【消除事項】縁組事項 【消除事由】養父甲原忠太郎養母甲原杉子との養子縁組無効の裁判確定 【裁判確定日】平成１０年１２月４日 【申請日】平成１０年１２月８日 【申請人】養父　甲原忠太郎 養母　甲原杉子 【従前の記録】 【縁組日】・・・・・・・ 【養父氏名】・・・・・ 【養母氏名】・・・・ 【従前戸籍】・・・・・・・・・・・・・・・・
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日【配偶者区分】妻 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女 【養父】甲原忠太郎 【養母】甲原杉子 【続柄】養女
	略

以下次頁

附録第九号様式　戸籍の訂正(第44条関係)　第一　全部の訂正

除　　籍	(2の2)　全部事項証明
消　　除	【消除日】平成１０年１２月８日 【消除事項】縁組事項 【消除事由】養父甲原忠太郎養母甲原杉子との養子縁組無効の裁判確定 【裁判確定日】平成１０年１２月４日 【申請日】平成１０年１２月８日 【申請人】養父　甲原忠太郎 養母　甲原杉子 【従前の記録】 【縁組日】・・・・・・・ 【養父氏名】・・・・・ 【養母氏名】・・・・ 【従前戸籍】・・・・・・・・・・・・・・・・
	以下余白

附録第九号様式　戸籍の訂正(第44条関係)　第二　一部の訂正

(2の1)　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都中央区日本橋室町一丁目１番地 若佐　鉄吉
戸籍事項 戸籍編製	略
氏の変更	【氏変更日】平成９年１０月１７日 【氏変更の種別】戸籍法１０７条１項の届出 【従前の記録】 【氏】我謝
戸籍に記録されている者	【名】鉄吉 【生年月日】昭和４０年６月２１日 【父】我謝幸雄 【母】我謝松子 【続柄】長男
消　　除	略
	【消除日】平成９年９月１０日 【消除事項】婚姻事項 【消除事由】妻桃子との婚姻無効の裁判確定 【裁判確定日】平成９年９月４日 【申請日】平成９年９月１０日 【申請人】妻 【従前の記録】 【婚姻日】平成９年３月８日 【配偶者氏名】丙原桃子
名の変更	【名の変更日】平成１０年１１月４日 【従前の記録】 【名】錂吉
戸籍に記録されている者	【名】啓太郎 【生年月日】平成４年１１月２日 【父】我謝錂吉 【母】我謝梅子 【続柄】長男
	略

以下次頁

(2の2)　全部事項証明

訂　　正	【訂正日】平成5年2月26日 【訂正事項】名 【訂正事由】戸籍訂正許可の裁判確定 【裁判確定日】平成5年2月20日 【申請日】平成5年2月26日 【申請人】父 【従前の記録】 【名】敬太
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】桃子 【生年月日】昭和47年4月9日 【父】丙原信吉 【母】丙原夏子 【続柄】三女
消　　除	略
	【消除日】平成9年9月10日 【消除事項】婚姻事項 【消除事由】夫銕吉との婚姻無効の裁判確定 【裁判確定日】平成9年9月4日 【申請日】平成9年9月10日 【従前の記録】 【婚姻日】平成9年3月8日 【配偶者氏名】我謝銕吉 【従前戸籍】東京都千代田区神保町二丁目10番地　丙原信吉
	以下余白

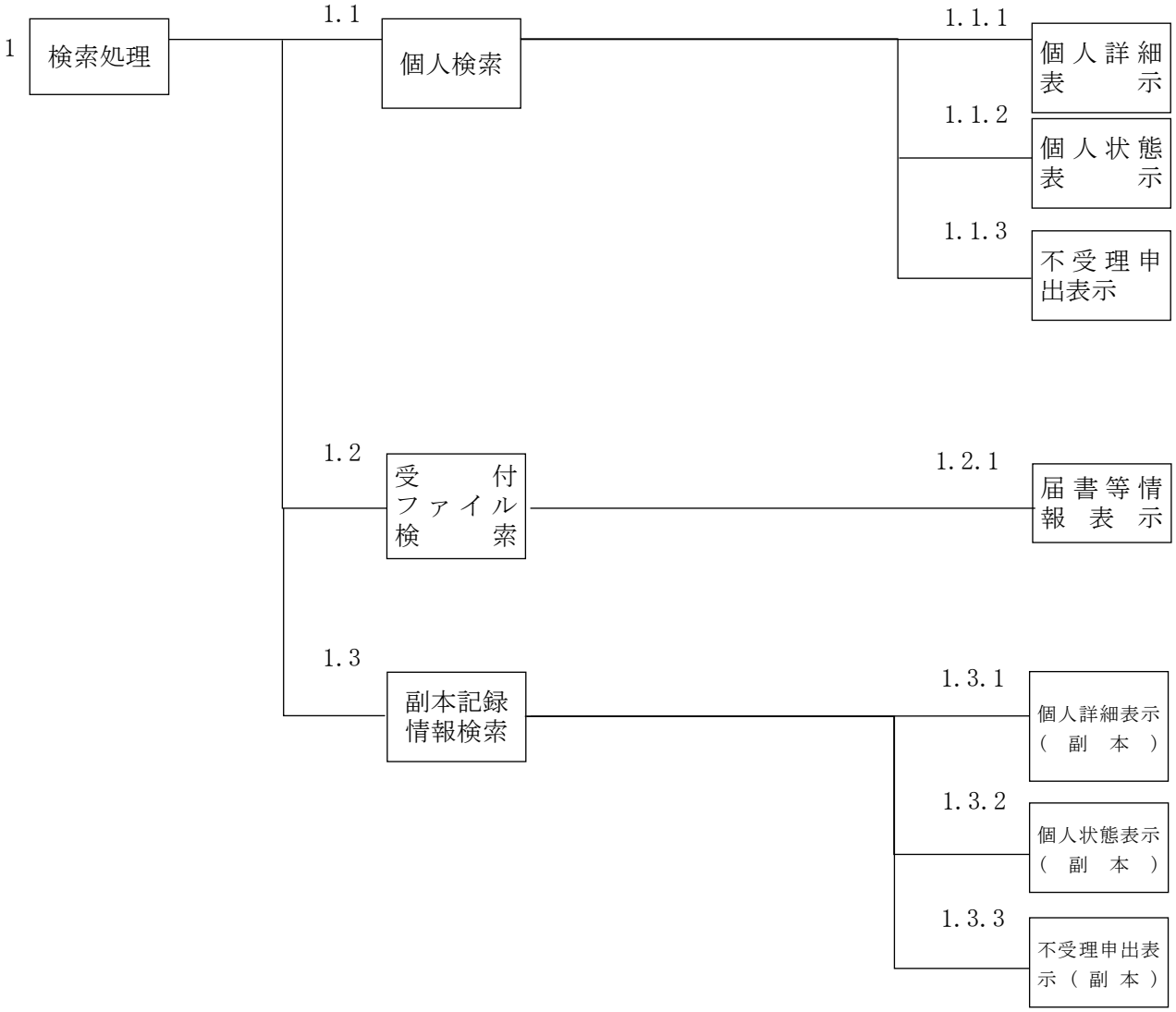
附録第十号様式　本籍の更正(第46条関係)

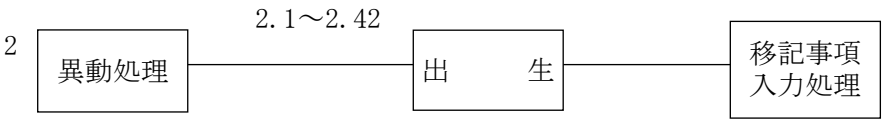
（1の1）　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 甲野　廣造
戸籍事項欄 戸籍編製	略
更　　正	【更正日】平成　年　月　日 【更正事由】平成　年　月　日地番号変更 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目４番地
戸籍に記録されている者	【名】廣造 【生年月日】大正１０年６月２１日 【父】甲野義太郎 【母】乙野梅子 【続柄】男
	略
	以下余白

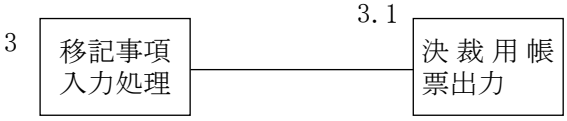
（３－２）事務処理の体系

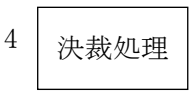
戸籍システムには次の図に示す事務処理機能がある。

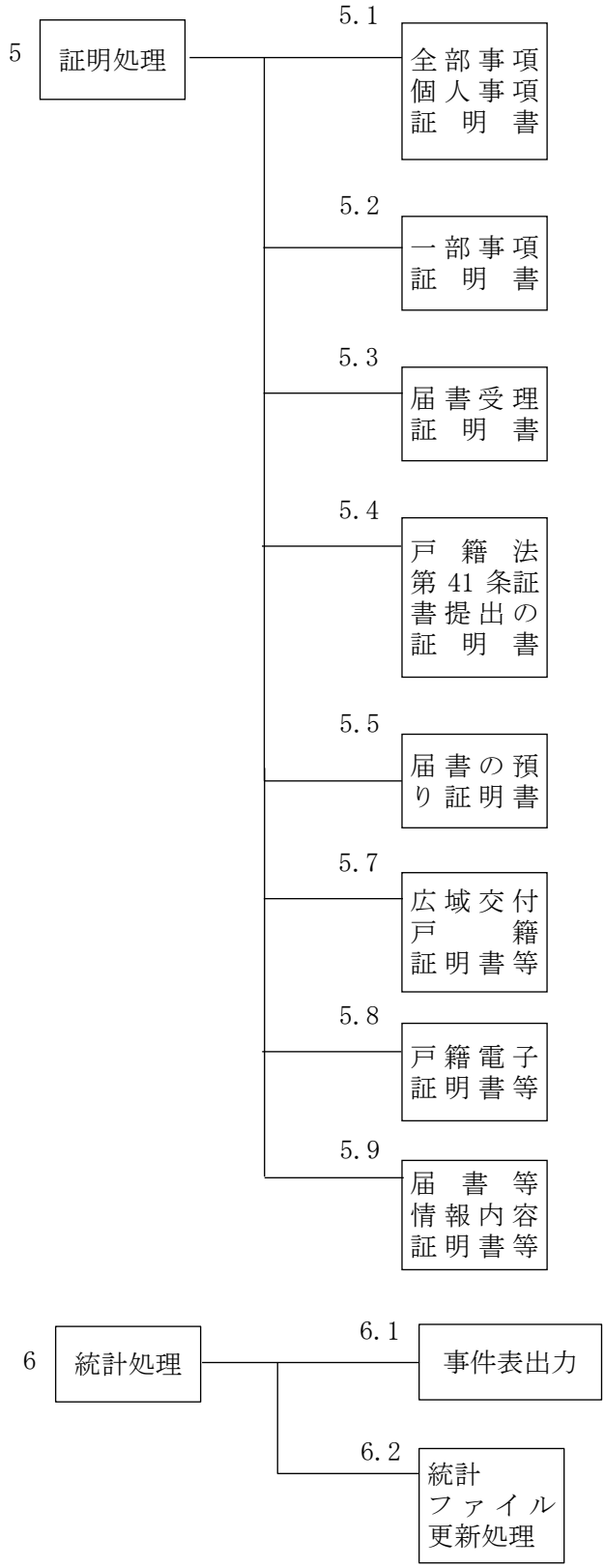


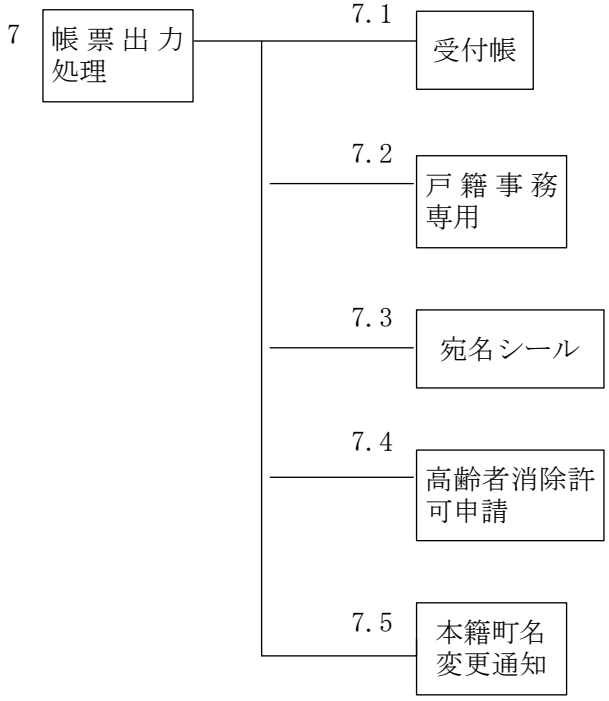


＊ 各届出事件ごとに処理






5
証明処理
5.1
全部事項個人事項証明書
5.2
一部事項証明書
5.3
届書受理証明書
5.4
戸籍法第41条証書提出の証明書
5.5
届書の預り証明書
5.7
広域交付戸籍証明書等
5.8
戸籍電子証明書等
5.9
届書等情報内容証明書等
6
統計処理
6.1
事件表出力
6.2
統計ファイル更新処理


7
帳票出力処理
7.1
受付帳
7.2
戸籍事務専用
7.3
宛名シール
7.4
高齢者消除許可申請
7.5
本籍町名変更通知

（３－３）戸籍の検索

(1) 戸籍簿の検索

戸籍簿の検索方法は、規則第 3 条に定める「戸籍の編綴順序」により戸籍を綴り、規則第 6 条に定める見出帳を調製することによって確立している。

規則第 3 条(戸籍の編綴順序)

「戸籍は、市町村長が定める区域ごとに、本籍を表示する地番号もしくは街区符合の番号の順序に又はその区域に本籍を有する者の戸籍の筆頭に記載した者の氏の(あ)(い)(う)(え)(お)の順序に従ってつづるものとする。」

規則第 6 条(見出帳・見出票)

「市町村長は、附録第 3 号様式によって、戸籍簿及び除籍簿について各別に見出帳を調製し、これに戸籍の筆頭に記載した者の氏の(い)(ろ)(は)順又は(あ)(い)(う)(え)(お)順に従い、その者の氏名、本籍その他の事項を記載しなければならない。②市町村長は、相当と認めるときは、附録第 4 号様式による見出票に前項の事項を記載し、これを同項に規定する順序に整序して、見出帳に代えることができる。」

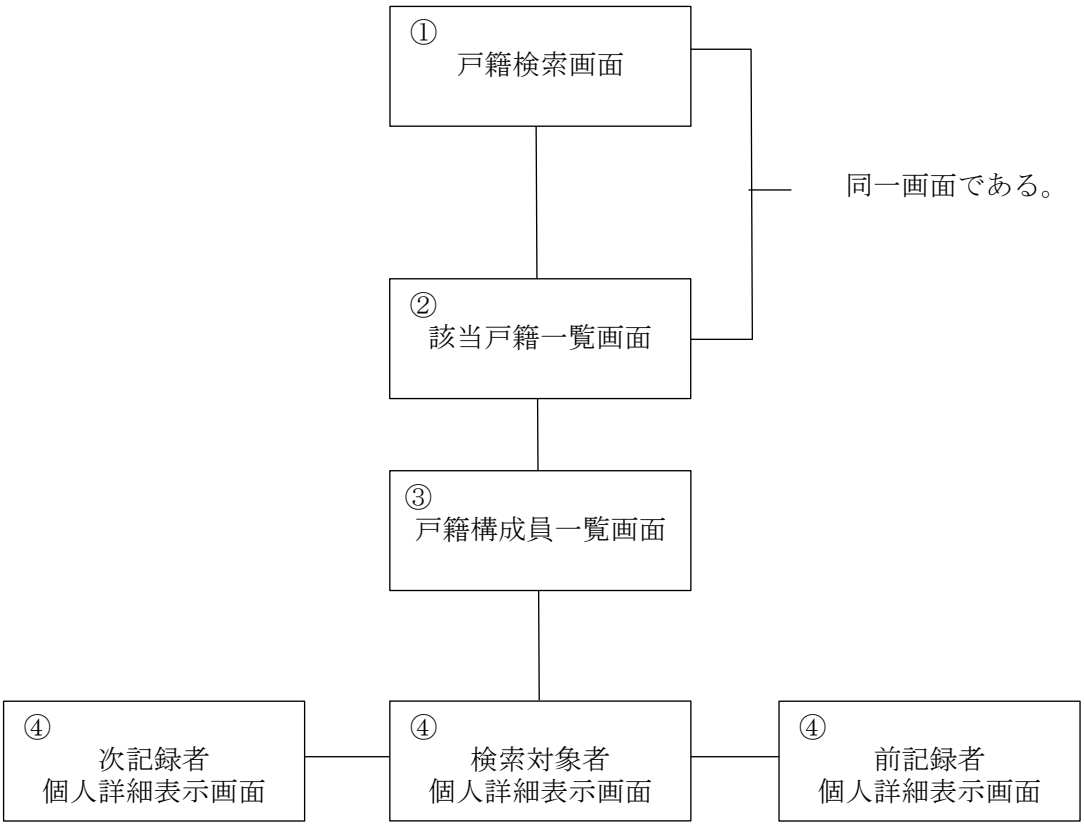
(2) 戸籍データベースの検索

戸籍又は除籍の検索項目は、本籍、氏名、カナ氏名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍又は除籍の別とし、かつ、これに限るものとする。(平成 6 年 7002 号通達)

なお、今後振り仮名の記録が開始されることにより、カナ氏名の取扱いは振り仮名に代わる。

本書では、本籍、漢字氏名、振り仮名、生年月日、筆頭者(の漢字氏名)として、(3)に画面展開等の説明を述べる。

(3) 戸籍検索の画面展開



個人詳細表示画面では検索対象者から同一戸籍構成員内で記録順位が、前の記録者の個人詳細表示、また次の記録者の個人詳細表示を検索できることにより戸籍への入籍順序がわかる(法第 14 条)。

検索対象から次の記録者の個人詳細を表示すれば、検索対象者が前の記録者になる。

同様に検索対象者から前の記録者の個人詳細を表示すれば、検索対象者が次の記録者になる。

(4) 戸籍検索画面

検索キーを入力する画面と、入力したキーに該当する者を表示する画面である。

画面ＩＤ	該当戸籍一覧	X99.99.99	99/99

検索	振り仮名	K----------K(30)----------K
	漢字氏名	K----------K(30)----------K
	本　　籍	K----------K(30)----------K
	生年月日	X99.99.99
	筆頭者	K----------K(30)----------K

No	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	消除日	除籍日
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----『本籍地』-K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			

該当番号 | 99 |

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

(5) 該当戸籍一覧画面(検索画面と同じ画面)

検索キーを入力して実行キーを押すと検索キーに該当する次の事項が表示される。

① 本人氏名
検索キーに該当する者の「氏名」を表示する(氏名ファイルから)。

② 筆頭者
検索キーに該当する者の「筆頭者」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

③ 本籍
検索キーに該当する者の「本籍」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 生年月日
検索キーに該当する者の「生年月日」を表示する(個人特定ファイルから)。

⑤ 編製日
検索キーに該当する者が在籍する戸籍の「編製年月日」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥ 戸籍消除年月日
検索キーに該当する者が在籍する戸籍の「消除年月日」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑦ 除籍年月日
検索キーに該当する者が「除籍された年月日」を表示する(個人特定ファイルから)。

(6) 戸籍構成員一覧画面

```
画面ＩＤ                    戸籍構成員一覧                    X99.99.99      99/99

（編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99 99.99 （記録数）  99 （在籍数）  99
本　籍     K-------------------------K(30)-------------------------K
筆頭者     K-------------------------K(30)-------------------------K
戸籍事項   K-----------------------------K(33)-----------------------------K
           K-----------------------------K(33)-----------------------------K
           K-----------------------------K(33)-----------------------------K
           K-----------------------------K(33)-----------------------------K
           K-----------------------------K(33)-----------------------------K
           K-----------------------------K(33)-----------------------------K
No      氏                名          生年月日    除籍日    続柄  配偶 家照保胎注メ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ  ＫＫ ＫＫＫＫＫＫ
                                                  詳細選択番号 | 99 |

                    Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス

K---------------------------------K(39)---------------------------------K
```

① 編製日

戸籍の編製年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

② 消除日

戸籍の消除年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

③ 記載数

在籍者と除籍者の合計人数を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 在籍数

在籍者の人数を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑤ 本籍

本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥ 筆頭者

筆頭者の氏名を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑦ 戸籍事項

戸籍事項を入力年月日順に表示する(戸籍事項ファイルから)。

⑧ 氏名

除籍者も含めて法第 14 条に定める順番で氏名を表示する(氏名ファイルから)。

⑨ 生年月日

戸籍構成員のそれぞれの生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑩ 除籍日

その者が戸籍から除籍された年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑪ 続柄

父母との続柄を表示する(個人特定ファイルから)。

⑫ 配偶

夫であること、妻であること、生存配偶者であることを表示する(個人特定ファイルから)。

⑬ 家・照・保・胎・注・メ

個人状態ファイルに記録されている内容を表示する。詳細は個人状態ファイルを参照されたい。

(7) 個人詳細表示画面

画面ＩＤ　　個人詳細表示　　X99.99.99　　99/99

（編製日）X.99.99.99（消除日）X.99.99.99 家 K 照 K 保 K 胎 K 注 K メ K

本　籍　K----------K(30)----------K

筆頭者　K----------K(30)----------K

振り仮名　K----------K(30)----------K

漢字氏名　K----------K(30)----------K

（生年月日）X.99.99.99　（除籍日）X.99.99.99　ＫＫＫ　ＫＫＫＫＫ

父　K----------K(14)---------K　母　K----------K(14)---------K　ＫＫＫ

養父　K----------K(14)---------K　養母　K----------K(14)---------K　ＫＫＫ

No	事件名称	身分事項記録項目
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

① 編製日

戸籍の編製年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

② 消除日

戸籍の消除年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

③ 家・照・保・胎・注・メ

個人状態ファイルに記録されている内容を表示する。詳細は個人状態ファイルの項を参照されたい。

④ 本籍

本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑤ 筆頭者

筆頭者の氏名を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥ 振り仮名

該当者の振り仮名を表示する(氏名ファイルから)。

⑦ 漢字氏名

該当者の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

⑧ 生年月日

該当者の生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑨ 除籍日

該当者が戸籍から除籍された年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑩ 父

父の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑪ 母

母の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑫ 父母との続柄

父母との続柄を母の氏名のあとに表示する(個人特定ファイルから)。

⑬ 養父

養父の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑭ 養母

養母の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑮ 養父母との続柄

養父母との続柄を養母の氏名のあとに表示する(個人特定ファイルから)。

⑯ 事件名称

規則第 23 条に定める事件の種類を表示する(コード一覧のタイトル・コードを参照)。事件が多く、表示しきれないときは画面がスクロールする(身分事項ファイルから)。

⑰ 身分事項記載項目

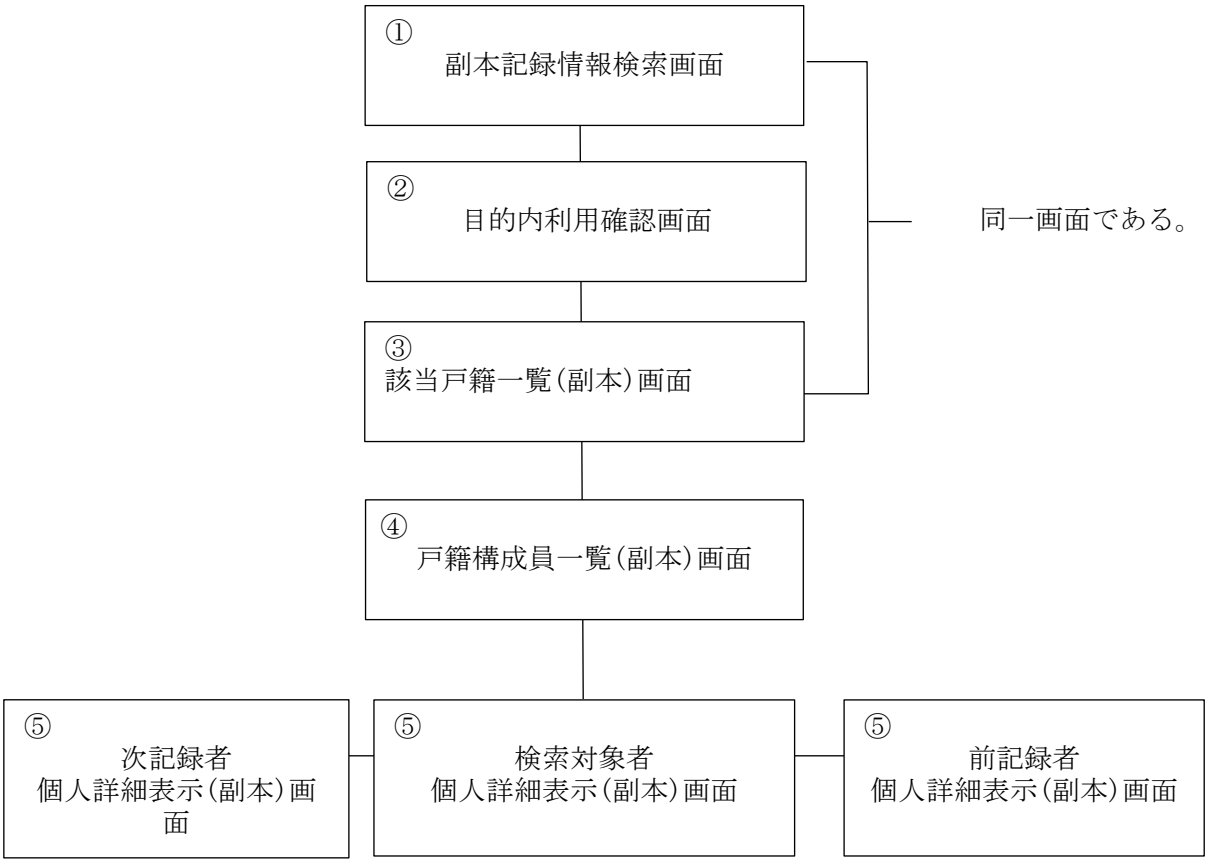
項目で身分事項を表示する(身分事項ファイルから)。1 身分事項に限り続けて表示することも可。

(8) 副本記録情報の検索

非本籍人の情報については、法務大臣の管理する副本記録情報を参照することができる。

副本記録情報の検索項目は、検索対象市区町村、本籍、漢字氏名、振り仮名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍種別とする。ここで「検索対象市区町村」とは、検索する副本記録情報の本籍地を管轄する市区町村を選択する項目である。

(9) 副本記録情報検索の画面展開



副本記録情報の検索においては、当該検索行為が戸籍法、戸籍法施行規則及びこれに準ずる法令等で定められた戸籍事務のための検索であることを検索行為ごとに確認する目的内利用確認画面を表示する。該当戸籍一覧(副本)、戸籍構成員一覧(副本)及び個人詳細表示(副本)の画面展開については、戸籍検索と同様である。

(9) 副本記録情報検索画面

検索キーを入力する画面と、入力したキーに該当する者を表示する画面である。

画面ＩＤ　　該当戸籍一覧（副本）　　X99.99.99　　99/99

検索	検索対象市区町村	99999	K----------K(20)----------K					
	振り仮名	K----------K(30)----------K						
	漢字氏名	K----------K(30)----------K						
	本籍	K----------K(30)----------K						
	生年月日	X99.99.99						
	筆頭者	K----------K(30)----------K						
	編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	入籍日	X99.99.99	除籍日	X99.99.99
	戸籍種別	9戸籍	9除籍	9再製原戸籍	9除籍（電算化前）	9司法大臣原戸籍		
		9昭和改製原戸籍	9平成改製原戸籍	9再製原除籍	9再製原新改			
	検索補完	9記載字検索	9遡り検索	9構成員を含む検索				

No	戸籍種別	不適	遡構	本人氏名／筆頭者	生年月日	編製日	消除日	除籍日
99	KKKKK	KK	KK	K------K(10)-----K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	KKKKK	KK	KK	K------K(10)-----K	K----------K(20)----『本籍』------K			
99	KKKKK	KK	KK	K------K(10)-----K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	KKKKK	KK	KK	K------K(10)-----K	K----------K(20)----『本籍』------K			
99	KKKKK	KK	KK	K------K(10)-----K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	KKKKK	KK	KK	K------K(10)-----K	K----------K(20)----『本籍』------K			

該当番号 99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

※検索補完

戸籍副本の検索において、必要とする情報を補完する項目である。詳細は戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書別紙２－２電文設計書（Ｗｅｂサービス連携）を参照されたい。

(10) 目的内利用確認画面

当該検索行為が戸籍事務のためのものであることを確認し、検索する目的を選択する画面である。選択された情報は戸籍情報連携システムに記録される。

画面ＩＤ　　目的内利用確認　　X99.99.99

戸籍法、戸籍法施行規則及びこれに準ずる法令等で定められた
戸籍事務のための検索ですか？
[9] 1: はい　　2: いいえ

検索する目的を選択してください。
その他の戸籍事務を選択した場合は、業務の内容を記載してください。
1: 戸籍証明書等の交付請求に関する業務のため
2: 戸籍の届出に関する業務のため
3: 戸籍の訂正に関する業務のため
4: 戸籍に関する相談業務のため
5: その他戸籍に関する業務のため（以下に業務の内容を記入してください。）
[9]
K----------K(30)----------K

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

(11) 該当戸籍一覧(副本)画面(副本記録情報検索画面と同じ画面)

検索キーを入力して実行キーを押すと検索キーに該当する次の事項が表示される。

「①本人氏名」から「⑦除籍年月日」は、本籍人の該当戸籍一覧画面の同項目に同じである。

⑧　戸籍種別

検索キーに該当する者が在籍する戸籍の「戸籍種別」を表示する。

⑨　改製不適合区分

検索キーに該当する戸籍が正本を紙で管理する改製不適合戸籍である場合に「不適紙」、正本を磁気ディスクで管理する改製不適合戸籍である場合に「不適磁気」を表示する。

⑩　旧氏名検索表示

旧氏名が検索キーに該当した場合に「旧」を表示する。

(12) 戸籍構成員一覧(副本)画面

画面ＩＤ　　戸籍構成員一覧（副本）　　X99.99.99　　99/99
（戸籍種別）　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫ　　（不適）ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ　　99/99
（編製日）X99.99.99（消除日）X99.99.99（記録数）99（在籍数）99
本籍　　K----------K(30)----------K
筆頭者　K----------K(30)----------K
戸籍事項 K----------K(33)----------K
K----------K(33)----------K
K----------K(33)----------K
K----------K(33)----------K
K----------K(33)----------K

No	氏名	生年月日	除籍日	続柄	配偶	家	照	胎	不	注
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K
99	K----------K(14)----------K	X99.99.99	X99.99.99	ＫＫＫ	ＫＫ	K	K	K	K	K

詳細選択番号 99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

「①編製日」から「⑫配偶」は、本籍人の戸籍構成員一覧画面の同項目に同じである。

⑬　家・照・胎・注

個人状態ファイルに記録されている内容を表示する。詳細は個人状態ファイルを参照されたい。

⑭　不

不受理申出の有無を表示する。

⑮　戸籍種別

戸籍の種別を表示する。

⑯　改製不適合区分

戸籍が正本を紙で管理する改製不適合戸籍である場合に「改製不適合戸籍（紙)」、正本を磁気ディスクで管理する改製不適合戸籍である場合に「改製不適合戸籍（磁気)」を表示する。

イメージ表示の指示により全部事項イメージ又は電算化前の除籍等イメージを表示する。

(13) 個人詳細表示(副本)画面

画面ＩＤ　　個人詳細表示（副本）　　X99.99.99　　99/99

（戸籍種別）　ＫＫＫＫＫＫＫＫ

（編製日）X99.99.99　（消除日）X99.99.99　　家　Ｋ　照　Ｋ　胎　Ｋ　不　Ｋ　注　Ｋ

本籍　　K----------K(30)----------K

筆頭者　K----------K(30)----------K

振り仮名K----------K(30)----------K

漢字氏名K----------K(30)----------K

（生年月日）X99.99.99　（除籍日）X99.99.99　　ＫＫＫ　ＫＫＫＫＫ

父　　K----------K(14)---------K　母　　K----------K(14)---------K　ＫＫＫ

養父　K----------K(14)---------K　養母　K----------K(14)---------K　ＫＫＫ

No	事　件　名　称	身　分　事　項　記　録　項　目
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K

Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス

K----------K(39)----------K

「①編製日」から「⑰身分事項記録項目」(「③家・照・保・胎・注・メ」を除く。)は、本籍人の個人詳細画面の同項目に同じである。

⑱　戸籍種別

戸籍の種別を表示する。

⑲　不

不受理申出の有無を表示する。

（３－４）戸籍の証明

(1) 戸籍の謄抄本・記載事項証明

戸籍簿の取扱いにおける戸籍と除籍の証明は「謄本」・「抄本」・「記載事項証明書」（法第 10 条・第 12 条の 2）の 3 種類である。「謄本」とは文書の原本に記載された内容を原本と同一様式の書面に一字一句完全に写し取った書面であり、「抄本」とは原本に記載された内容の一部を原本と同一様式の書面に抜粋（原則として一事項単位）して写し取った書面である（規則第 12 条）。また記載事項証明書は戸籍に記載した事項の証明書である（規則第 14 条）。

(2) 記録事項証明（戸籍情報システムの戸籍証明）

システムでは戸籍情報をデータとしてデジタル信号化して磁気媒体（戸籍データベース）に記録することになり可視台帳は存在しない。また戸籍の記録情報を証明書として交付するためにはシステムの機能を使用してプリント・アウトをしなければ人が認識できる情報とはならない。したがって戸籍の謄本・抄本と表現するのは適当でなく、記録されたものを証明するという範疇になる。

システムで作成する戸籍証明の種類（規則第 73 条 1 項）を戸籍・除籍の区別なく次項以降で説明する。なお、当然に認証文（規則第 73 条 3 項で定める附録第 23 号書式）は付記することとなる。

(3) 全部事項証明

「戸籍の謄本」に相当する証明である。戸籍情報として戸籍データベースに記録されているすべての事項を証明するものである。

なお、市区町村長限りの職権訂正は記録としてはあるが証明書に出力しないことにした。それは市区町村長限りの職権訂正は先例により認められたものに限られること、またその誤りのために国民としばしばトラブルが生じることにある。市区町村長限りの職権訂正の証明の交付請求があったときには一部事項証明で対応する。

(4) 個人事項証明

「戸籍の抄本」に相当する証明である。証明する事項は個人の全ての記録事項である。複数人の記録事項をひとつの個人事項証明で証明することもできる。

戸籍に同一人がいる場合（婚姻で除籍となった者が離婚により復籍した場合等）は、同一人全ての証明であり、同一人一部の証明は一部事項証明となる。

なお、市区町村長限りの職権訂正は全部事項証明と同様に出力しない。

(5) 一部事項証明

「戸籍の記載事項証明」に相当する証明である。基本事項は、「本籍」・「筆頭者の氏名」・「証明すべき者の氏名」である。記録事項証明書はこれらの基本項目に一つ又は複数の記録事項を付加して作成する。

また、市区町村長限りの職権訂正も証明事項とする。

付加する記録事項の単位は次による。

戸籍事項ファイルに記録された情報

ひとつの戸籍事項を単位とする。例えば「転籍事項」・「氏の変更事項」がそれぞれ単位である。ひとつの戸

籍事項の中のひとつの記録項目だけでは証明することはしない。たとえば転籍事項の中の「【届出日】」・「【従前の記録】」だけでは記録事項の証明単位にしない。

個人特定ファイルに記録された情報

単独で単位となる情報は「【生年月日】」・「【父】」・「【母】」・「【養父】」・「【養母】」である。

「父母との【続柄】」は単独では証明事項の対象にならず、「【父】」か「【母】」あるいは「【父】と【母】」の選択が必要となる。(「養父母との【続柄】」も同様である。)

身分事項ファイルに記録された情報

ひとつの身分事項を単位とする。例えば「出生事項」・「婚姻事項」がそれぞれ単位である。ひとつの身分事項の中の一つの記録項目だけでは証明することはしない。たとえば出生事項の中の「【出生地】」だけでは一部事項の証明単位とはしない。

(6) 戸籍事務専用

「全部事項証明」・「個人事項証明」には市区町村長限りの職権訂正を出力しない。しかし、裁判所・法務局・市区町村等の官公庁で戸籍事務を処理するうえで必要となる場合にはこの書面を出力することによって対応する。

(7) 戸籍副本証明(戸籍情報連携システムから受信した戸籍副本の戸籍証明)

非本籍人の戸籍証明を交付するため、戸籍情報連携システムから戸籍副本データを受信して作成する。

システムで作成する戸籍証明の種類を戸籍・除籍の区別なく次項以降で説明する。なお、当然に認証文は付記することとなる。

(8) 戸籍広域交付証明書等

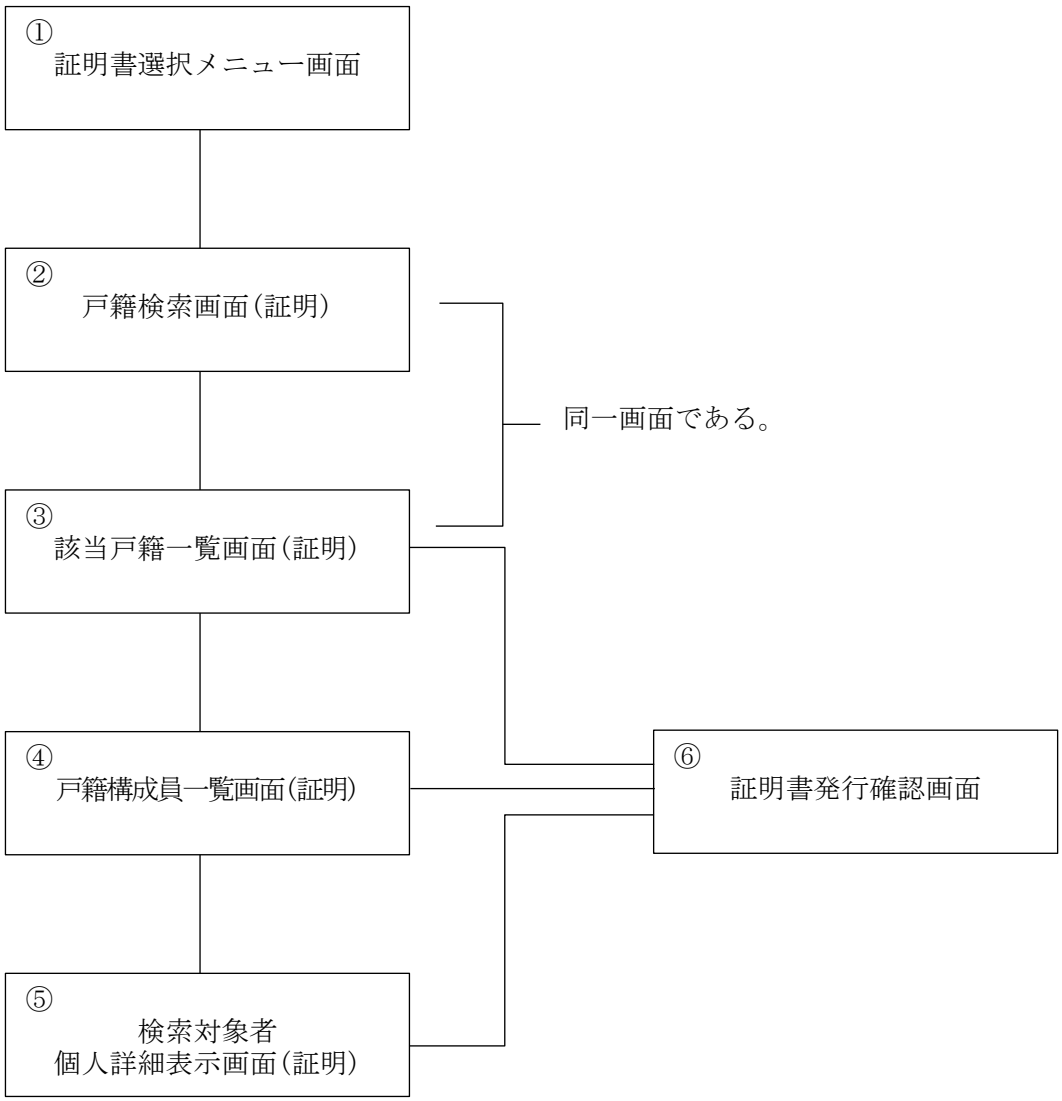
「謄本」、「全部事項証明書」に相当する証明である。戸籍情報連携システムから受信するイメージデータにより作成する。

(9) 戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書

「謄本」、「全部事項証明書」に相当する証明である。戸籍電子証明書の交付請求(法第 120 条の 3 第 2 項)により、戸籍電子証明書を識別する符号を通知する証明書である。本通知書は本籍人も対象となる。

なお、戸籍電子証明書の提供を依頼した関係機関に、戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書を提出することにより、関係機関が戸籍情報連携システムに識別符号を照会して戸籍電子証明書を受信する。

(7) 全部事項証明・個人事項証明発行における画面展開



(8) 証明書選択メニュー画面

出力する証明書を選択する。

画面ＩＤ　　証明書選択メニュー　　X99.99.99

１．全部事項・個人事項証明
２．一部事項証明
３．届書受理証明
４．戸籍法４１条証書提出の証明
５．届書預り証明
６．一部証明（戸籍法１２６条）
７．広域交付戸籍証明書等
８．戸籍電子証明書等
９．届書等情報内容証明書等

選択番号 [99]

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

(9) 戸籍検索画面(証明)

戸籍を検索するときの画面と同じである。

(10) 該当戸籍一覧画面(証明)

検索キーに合致する戸籍が表示される。戸籍を検索するときの「該当戸籍一覧画面」と同じである。この画面で全部事項証明の作成を指示することができる。全部事項証明を作成する戸籍の選択番号を選択してから作成指示すると発行確認画面へ展開する。戸籍を確認してから全部事項証明を作成するときあるいは個人事項証明を作成するときには「戸籍構成員一覧画面」への展開を指示する。

(11) 戸籍構成員一覧画面(証明)

戸籍を検索するときの「戸籍構成員一覧画面」と同じである。この画面では全部事項証明または個人事項証明の作成を指示することができる。全部事項証明のときは単にその作成を、個人事項証明のときは作成する者の選択番号を選択して指示すると発行確認画面へ展開する。

(12) 個人詳細表示画面(証明)

戸籍を検索するときの「個人詳細画面」と同じである。この画面では全部事項証明または個人事項証明の作成を指示することができる。全部事項証明のときは単にその作成を、個人事項証明のときは作成する者の選択番号を選択して指示すると発行確認画面へ展開する。

なお、個人事項証明において戸籍内に同一人が存在する者が証明の対象であり、同一人全員が選択されていない場合は一部事項証明書で発行するメッセージを表示し、選択誤り等を防止する。

(13) 発行確認画面

画面ＩＤ　　証明書発行確認　　X99.99.99

管掌者　9999　K------K(10)-----K　K----------K(17)----------K

認証日　X 99 年 99 月 99 日

証明書種別　ＫＫＫＫＫＫＫＫ

発行する戸籍の内容					
編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	個人除区分	ＫＫ
本　籍	K----------K(30)----------K				
筆頭者	K----------K(30)----------K				
振り仮名	K----------K(30)----------K				
漢字氏名	K----------K(30)----------K				

選択事項名

99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K

99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K

99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K

99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K

99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K　99　K------K(10)-----K

発行部数　99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

① 管掌者

証明書を発行する市区町村の戸籍事務管掌者を表示する。戸籍事務管掌者は「市区町村長」・「市区町村長職務代理者副市区町村長」・「市区町村長職務代理者職員」に逐次変更することができる。

ただし、指定都市の場合、戸籍事務管掌者は「行政区長」・「行政区長職務代理者副区長」に逐次変更することができることとする。

② 認証日

作成時の年月日を表示する。当然のことながら作成年月日を変更することはできない。

③ 証明書種別

「全部事項証明」・「個人事項証明」・「一部事項証明」の区別を表示する。「該当戸籍一覧画面」・「戸籍構成員一覧画面」・「個人詳細表示画面」で作成を指示した証明書の種別が表示される。

④ 編製日

戸籍の編製の年月日を表示する。

⑤ 消除日

戸籍の消除年月日を表示する。

⑥ 個人除区分

個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときには「在籍」を、除籍されているときには「除籍」を表示する。

⑦ 本籍

戸籍の本籍を表示する。

⑧ 筆頭者

戸籍の筆頭者を表示する。

⑨ 振り仮名

個人事項証明を作成するときに個人の振り仮名を表示する。

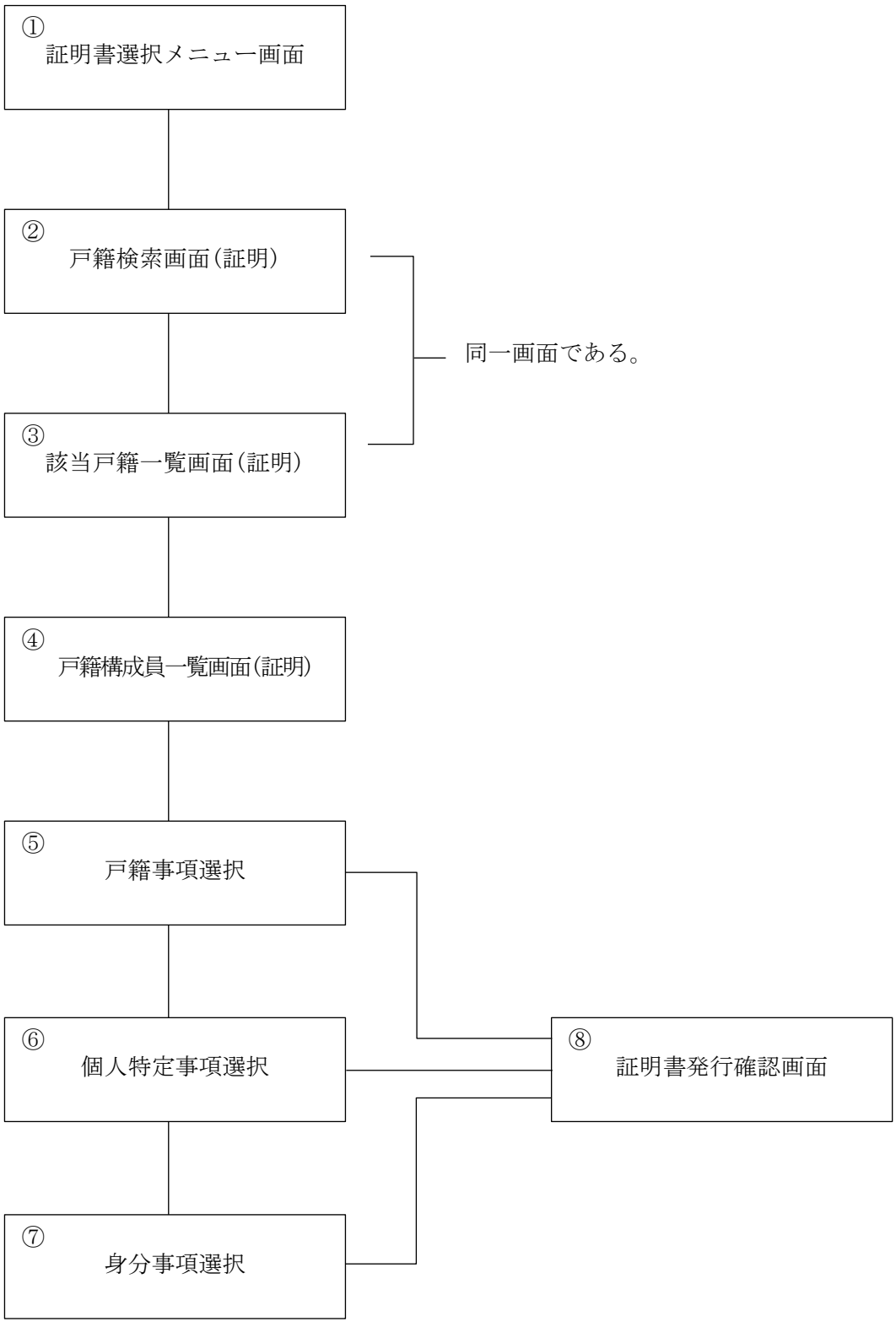
⑩ 漢字氏名

個人事項証明を作成するときに個人の漢字氏名を表示する。

⑪ 選択事項名(一部事項証明のみ)

一部事項証明を参照。

(14) 一部事項証明


①
証明書選択メニュー画面
②
戸籍検索画面(証明)
同一画面である。
③
該当戸籍一覧画面(証明)
④
戸籍構成員一覧画面(証明)
⑤
戸籍事項選択
⑥
個人特定事項選択
⑧
証明書発行確認画面
⑦
身分事項選択

(15) 戸籍事項選択

画面ＩＤ　　戸籍事項選択　　X99.99.99　　99/99

（編製日）X.99.99.99（消除日）X.99.99.99（個人除区分）ＫＫ

本　籍　　K----------K(34)----------K

筆頭者　　K----------K(30)----------K

振り仮名　K----------K(30)----------K

漢字氏名　K----------K(30)----------K

No	戸籍事項名	戸籍事項記録項目
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K

選択番号：99 99 99 99 99 99 99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

① 編製日
戸籍の編製の年月日を表示する。
② 消除日
戸籍の消除年月日を表示する。
③ 個人除区分
個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときは「在籍」、除籍されているときは「除籍」を表示する。
④ 本籍
証明する戸籍の本籍を表示する。
⑤ 筆頭者
証明する戸籍の筆頭者を表示する。
⑥ 振り仮名
個人事項証明を発行するとき個人の振り仮名を表示する。
⑦ 漢字氏名
個人事項証明を発行するとき個人の漢字氏名を表示する。
⑧ 番号
証明する事項を選択する。
⑨ 戸籍事項名
戸籍事項の事件名を表示する。
⑩ 戸籍事項記載項目
事件名に対応する戸籍事項を表示する。

(16) 個人特定事項選択

画面ＩＤ　　個人特定事項選択　　X99.99.99　　99/99

（編製日）X.99.99.99（消除日）X.99.99.99（個人除区分）ＫＫ

本　籍　　K----------K(34)----------K

筆頭者　　K----------K(30)----------K

振り仮名　K----------K(30)----------K

漢字氏名　K----------K(30)----------K

配偶者　　K

'S'	項目名	個人特定事項記録項目
X	生年月日	X.99.99.99
X	配偶者区分	9　K
X	父	K----------K(29)----------K
X	母	K----------K(29)----------K
X	父母続柄	ＫＫＫ
X	養　父	K----------K(29)----------K
X	養　母	K----------K(29)----------K
X	養父母続柄	ＫＫＫ

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

① 編製日
戸籍の編製の年月日を表示する。
② 消除日
戸籍の消除年月日を表示する。
③ 個人除区分
個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときは「在籍」、除籍されているときは「除籍」を表示する。
④ 本籍
証明する戸籍の本籍を表示する。
⑤ 筆頭者
証明する戸籍の筆頭者を表示する。
⑥ 振り仮名
個人事項証明を発行するとき個人の振り仮名を表示する。
⑦ 漢字氏名
個人事項証明を発行するとき個人の漢字氏名を表示する。
⑧ 配偶者
夫または妻である旨を表示する。
⑨ 項目名
証明する事項を選択する。
⑩ 個人特定事項記載項目
事項名を表示する。
⑪ 生年月日
証明対象者の生年月日を表示する。
⑫ 父
証明対象者の父の氏名を表示する。
⑬ 母
証明対象者の母の氏名を表示する。
⑭ 父母続柄
証明対象者の父母との続柄を表示する。
⑮ 養父
証明対象者の養父の氏名を表示する。
⑯ 養母
証明対象者の養母の氏名を表示する。
⑰ 養父母続柄
証明対象者の養父母との続柄を表示する。

なお、個人特定ファイルの「養父の氏名」・「養母の氏名」・「養父母との続柄」は、養子が転縁組をしているときは最後の縁組の状況を表示する。その前の縁組は身分事項で対応することになる。

(17)身分事項選択

画面ＩＤ　　身分事項選択　　X99.99.99

（編製日）X.99.99.99（消除日）X.99.99.99（個人除区分）ＫＫ

本　籍　　K----------K(34)----------K

筆頭者　　K----------K(30)----------K

振り仮名　K----------K(30)----------K

漢字氏名　K----------K(30)----------K

No	身分事項名	身分事項記録項目
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
99	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
	K---K(08)----K	K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K
		K----------K(27)----------K

選択番号：99 99 99 99 99 99 99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

① 編製日
戸籍の編製の年月日を表示する。
② 消除日
戸籍の消除年月日を表示する。
③ 個人除区分
個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときは「在籍」、除籍されているときは「除籍」を表示する。
④ 本籍
証明する戸籍の本籍を表示する。
⑤ 筆頭者
証明する戸籍の筆頭者を表示する。
⑥ 振り仮名
個人事項証明を発行するとき個人の振り仮名を表示する。
⑦ 漢字氏名
個人事項証明を発行するとき個人の漢字氏名を表示する。
⑧ 番号
証明対象身分事項を選択する。
⑨ 身分事項名
身分事項の事件名を表示する。
⑩ 身分事項記載項目
事件名に対応する身分事項を表示する。

(18)発行確認画面
全部事項証明・個人事項証明を出力するときと同じ画面である。

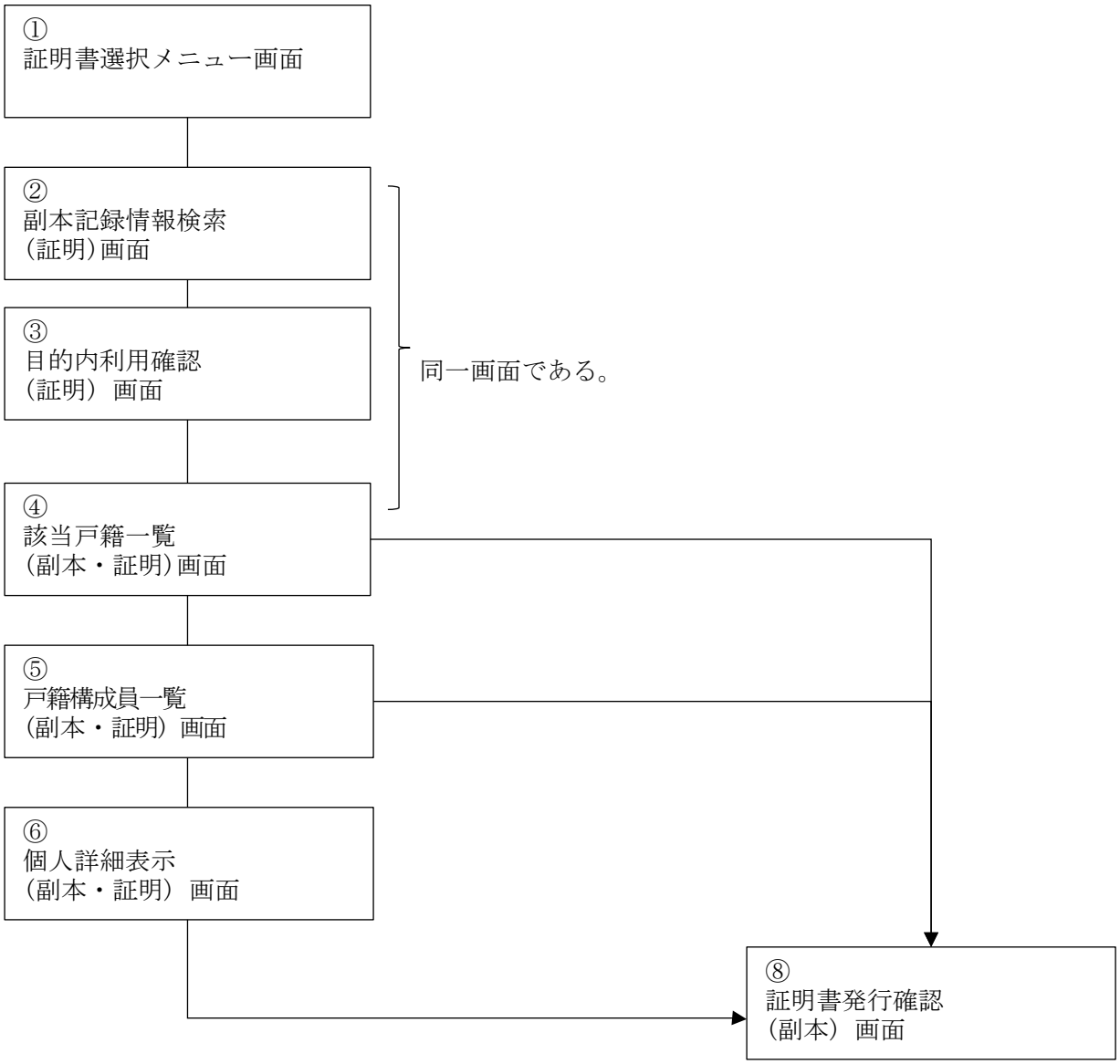
(19)広域交付戸籍証明書等
令和元年 5 月 31 日に公布された戸籍法の一部を改正する法律において、磁気ディスクで調製されている戸籍又は除かれた戸籍の証明書は、本人等からの請求により本籍地以外の指定市区町村長が交付できるとされた(戸籍法第 120 条の 2)。
本籍地以外の指定市区町村長が交付する証明書は、戸籍副本データに記録された情報を証明するものであり、戸籍に係る証明書を「広域交付戸籍証明書」、除かれた戸籍に対する証明書を「広域交付除籍証明書」という。なお、電子情報処理組織による取扱いに適合しない戸籍等は、広域交付戸籍証明書等の対象外とする。

(20) 戸籍電子証明書等

令和元年 5 月 31 日に公布された戸籍法の一部を改正する法律において、磁気ディスクで調製されている戸籍又は除かれた戸籍の記録事項に係る電子証明書について、本人等からの請求により全国の指定市区町村長が交付できるとされた(戸籍法第 120 条の 3 第 1 項)。戸籍電子証明書等は、行政機関等からの求めに応じて提供する電磁的記録であり、その際に必要な電子証明書提供用識別符号を、指定市区町村が請求者に書面で交付する。

なお、戸籍に係る証明書を「戸籍電子証明書」といい、その提供を受けるために必要な符号を「戸籍電子証明書提供用識別符号」、除かれた戸籍に対する証明書を「除籍電子証明書」といい、その提供を受けるために必要な符号を「除籍電子証明書提供用識別符号」という。

(21)広域交付戸籍証明書等及び戸籍電子証明書等における画面展開



証明書選択メニュー画面にて広域交付戸籍証明書等又は戸籍電子証明書等を選択した場合には、副本記録情報を参照する際と同じ画面展開で、証明書を作成する戸籍を特定して作成指示すると、証明書発行確認(副本)画面へ展開する。なお、副本記録情報の内容を確認してから証明書を作成するときは、それぞれの画面へ展開してから作成指示をする。

(22) 証明書発行確認(副本)画面

画面ＩＤ　　証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）　　X99.99.99

管掌者　　9999　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ　　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

認証日　　X99年99月99日

発行する戸籍の内容					
編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	戸籍種別	K---K(08)----K
本　籍	K----------K(30)----------K				
筆頭者	K----------K(30)----------K				
生年月日	X99.99.99				

発行部数　99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

① 管掌者

証明書を発行する市区町村の戸籍事務管掌者を表示する。戸籍事務管掌者は、市区町村長、市区町村長職務代理者副市区町村長、その他市区町村長が指定する職務代理者に逐次変更することができる。

ただし、指定都市の場合、戸籍事務管掌者は「行政区長」・「行政区長職務代理者副区長」に逐次変更することができることとする。

② 認証日

証明書作成時の年月日を表示する。作成年月日を変更することはできない

③ 証明書種別

「広域交付戸籍証明書」・「広域交付除籍証明書」・「戸籍電子証明書」・「除籍電子証明書」の区別を表示する。

証明書選択メニュー画面で選択した証明書と該当戸籍一覧画面で選択した戸籍の情報に応じた証明書の種別を表示する。

④ 編製日

戸籍又は除籍の編製の年月日を表示する。

⑤ 消除日

除籍の消除年月日を表示する。

⑥ 戸籍種別

「戸籍」・「除籍」・「除籍(電算化前)」・「平成改製原戸籍」・「昭和改製原戸籍」・「司法大臣原戸籍」の区別を表示する。

⑦ 本籍

戸籍又は除籍の本籍を表示する。

⑧ 筆頭

戸籍又は除籍の筆頭者を表示する。

⑨ 生年月日

筆頭者の生年月日を表示する。

（３－５）受付ファイル

受付ファイルとは受附帳と戸籍発収簿の機能を兼ね備え、このふたつの帳簿の情報を記録するファイルである。受付ファイルに受附帳と戸籍発収簿の機能を付与することにした理由は、「システムによる届書の一元管理」を図ったことによる。

(1) 届書の一元管理

受附帳について規則第 21 条は「市町村長は、附録第 5 号様式によって毎年受附帳を調製し、これにその年度内に受理し又は送付を受けた事件について受附の順序に従い、次の事項を記載しなければならない。但し、第 3 号、第 6 号及び第 7 号の事項は、受理した事件についてのみ記載すれば足りる。(以下省略)」と定めている。

また、戸籍発収簿については準則第 34 条に「届出、申請等の不受理の処分をしたときは、戸籍発収簿に発収年月日、事件の内容及び不受理の理由を記載し、届書、申請書を届出人に返戻しなければならない。」と、また同第 33 条で「届出、申請等について即日に受理の決定のできないときは、届書、申請書等に受領の年月日を記載し、戸籍発収簿にその旨を記載しなければならない。2　前項の届出、申請等について、受理又は不受理の処分をしたときは、その旨を戸籍発収簿の備考欄に記載しなければならない。」と定めている。

このことから、戸籍簿の取扱いにおいて戸籍事務担当職員は届書を受領したならば、戸籍や添付の書類と届書の記載内容を照合し、その内容を関係法令に照らして適法であるかそうでないかの審査を行い、その結果から受理とした届書については受附帳に登載し、不受理とした届書については戸籍発収簿に登載する。また関係法令に照らして疑義のある届書については戸籍発収簿に搭載したうえで法務局に指示を仰ぐ。このとから、受領した届書の処理あるいはその処理経過はこの二つの帳簿により明確に管理されている。そこで、戸籍情報システムではこの受附帳の情報と戸籍発収簿の情報を一つの受付ファイルに記録し、届書を一元的に管理することにした。(規則第 76 条、準則第 68 条)

(2) 受附帳の記載項目と戸籍発収簿の記載項目

先に述べたように受付ファイルには受領した届書の管理をおこなう機能を持たせることにしたので、受附帳の記載項目と戸籍発収簿の記載項目を合わせて記録できるようにした。また、その記載内容が一致している項目は記録情報の重複を避けるために一つにまとめた。

受附帳に記載すべき事項は規則第 21 条(附録第 5 号様式)と準則第 30 条に定めている。一方、戸籍発収簿に記載すべき事項は準則第 56 条(附録第 37 号)に定めている。これらの定めをもとに受付ファイルに記録する項目をあげれば次のとおりである。ただし、ここにあげた情報は主なものである。詳細は「ファイル設計書」を参照されたい。

受付ファイルの記録情報	意味
①受領番号	受附帳の「受附の番号」と発収簿の「進行番号」を兼ねた番号
②事件名	受附帳の「件名］と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
③事件本人氏名	受附帳の「届出事件本人の氏名」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
③－１事件本人振り仮名	今後振り仮名の記録が開始されることによる「事件本人の振り仮名」項目
④事件本人本籍	受附帳の「届出事件本人の本籍」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑤届出後本籍	受附帳の備考欄の記載 ＊ 法第 30 条(届書の特別の記載事項)
⑥事件本人の国籍	受附帳の「届出事件本人の国籍」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑦事件本人の生年月日	受理証明書で使う項目
⑧届出人の資格	受附帳の「届出人の資格」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑨届出人の氏名	受附帳の「届出人の氏名」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑩受付日	受附帳の「受附の年月日」と発収簿の「発収の日」を兼ねた項目 *届書・申請書等を受領した年月日である。
⑪受理・送付の別	受附帳の「受理し又は送付を受けたことの別」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目 ※送付には、送付と通知がある。 送付：届書の送付によるもの 通知：届書等情報の通知によるもの
⑫事件発生年月日	受附帳の「出生の年月日」・「死亡の年月日」・「死亡とみなされる年月日」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
⑬事件発生時分	受附帳の「死亡の時分」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
⑭本籍・非本籍の別	受附帳の「本籍人に関する届出と非本籍人に関する届出の区別」
⑮発送日	受附帳の「発送の年月日」 *戸籍事務取扱準則制定標準第 38 条
⑯郵送日	受附帳の「郵送年月日」 ＊ 戸籍事務取扱準則制定標準第 30 条
⑰発日	発収簿の「発収の日」 ＊ 法務局に受理照会・処理照会を申請した年月日
⑱収日	発収簿の「発収の日」 ＊ 法務局からの指示書・許可書が到達した年月日
⑲指示日	発収簿の「書面の要旨」 ＊ 法務局が指示を決定した日で戸籍にも記載される。

⑳許可日	発収簿の「書面の要旨」 ＊ 法務局が許可を決定した日で戸籍にも記載される。
受付ファイルの記録情報	意味
㉑関連受領番号	戸籍事務取級準則制定標準第 35 条に規定する受附帳の整理のときに使用する項目 ＊ 詳細は追完届出等を受理した場合の受附帳の整理の項を参照
㉒処分区分	受理・不受理等の処分行為を入力する区分 ＊ この区分の記録により受附帳あるいは発収簿との区別をつける。(詳細は届出の受理・不受理の項を参照)
㉓決裁区分	届出に係わる戸籍の事務処理がすべて完了したときに入力する項目 ＊ 決裁(校合)処理で入力され、これ以降はいかなる理由があっても処分区分を変更することはできない。(詳細は決裁の項参照)

(3) 受附帳の「備考欄」について

受附帳の備考欄に記載する事項は受付ファイルには記録しないことにした。受附帳の備考欄に記載する事項を受付ファイルに記録しないことにした主な理由は次のとおりである。

ア　備考欄の記載内容は届出に応じてケース・バイ・ケースであるため情報の類型化が図れないこと。

イ　本籍人については戸籍データベースの記録内容と同じになってしまい、データの二重化となってしまうこと。

ウ　現行の受附帳は戸籍が滅失したときの再製資料となるが、受付ファイルは戸籍データベースのバック・アップ・データとはなりえないこと。受付ファイルは戸籍データベースと同じ磁気ディスク内に記録することになるので壊れるときは戸籍データベースと一緒である。(データ保護については別項により示される。)

エ　備考欄の活用として、受理市区町村で非本籍人の届書廃棄後、本籍市区町村で届書の未着を発見したときに受附帳の備考欄の記載項目は戸籍記載の申出書の参考資料となることがあげられるが、システムでは送達確認ハガキを出力することによって未着防止を図っていること。

ただし、事件本人の戸籍の表示が届出前と届出後で異なるときの備考欄に記載している「入籍戸籍の表示」または「新戸籍の表示」は記録することにした。これは届書の特別の記載事項として法第 30 条に定められていることによる。

(4) 受付ファイルの構成

受付ファイルは「受付項目ファイル」と「事件本人項目ファイル」とで構成するものとした。「受付項目ファイル」には受附帳および発収簿に記載する一般的事項を「事件本人項目ファイル」には事件本人固有の事項を記録する。ファイルをふたつに分けた理由は共同養子縁組のように事件本人が複数人いる届出でも対応できるようにしたことによる。今後、受付ファイルという場合は「受付項目ファイル」と「事件本人項目ファイル」を表す。

(5) 受付項目ファイル

「受付項目ファイル」に記録する項目の概要は次のとおりである。番号は前述の受付ファイルに記録する事項で示した表の番号を表す。

① 受領番号	出張所番号	② 受付事件コード	⑩ 受付日	⑫ 事件発生日	⑬ 事件発生時分	

	⑪ 受理送付区分	⑭ 本非区分	⑥ 渉外区分	⑮ 発送日	⑯ 郵送日	⑰ 発日	⑱ 収日	⑲ 指示日	⑳ 許可日	

	㉑ 関連受領番号	⑧ 届出人資格区分 1	⑧ 届出人資格名称 1	⑨ 届出人氏名 1	

	⑧ 届出人資格区分 2	⑧ 届出人資格名称 2	⑨ 届出人氏名 2	⑤ 届出後本籍区分	

	⑤ 届出後本籍コード	⑤ 届出後本籍	⑤ 届出後戸籍の筆頭者	送達確認	㉒ 処分区分	

	㉓ 決裁区分	予備

(6) 事件本人項目ファイル

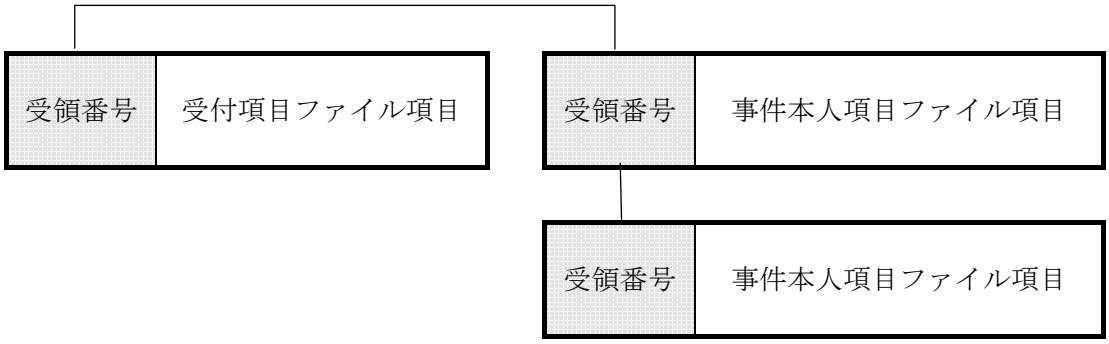
「事件本人項目ファイル」に記録する項目の概要は次のとおりである。番号は前述の受付ファイルに記録する事項で示した表の番号を表す。

① 受領番号	行番号	③ 事件本人区分	③ カナ氏名	③ 振り仮名	③ 漢字氏名	⑥ 生年月日	

	④ 本籍コード	④ 本籍	送達確認 2	予備

(7) 「受付項目ファイル」と「事件本人項目ファイル」の関係

受付項目ファイルに記録した届書情報と事件項目ファイルに記録した届書情報は受領番号で連絡している。



(8) 受領番号と処分区分

規則で次のように定めている。

第 20 条第 1 項：市町村長は、届書、申請書その他の書類を受理し、又はその送付を受けたときは、その書類に受附の番号及び年月日を記載しなければならない。

第 21 条第 4 項：受附帳に受附番号を記載する。

第 22 条：受附番号は、毎年これを更新しなければならない。また、標準準則で次のように定めている。

第 28 条第 1 項：文書を発送又は収受したときは、戸籍発収簿に所要の事項を記載しなければならない。

同第 2 項：文書を収受したときは、その文書に付録第 22 号ひな形の印判を押し、その各欄に所要の記載をするとともに戸籍発収簿に所要の事項を記載しなければならない。

また、第 56 条で戸籍発収簿の様式を規定して、文書のそれぞれに発収番号(進行番号)を記載することとしている。

「届書の一元管理」の項で述べたように、システムでは受付ファイルに受附帳と戸籍発収簿の一部の機能を持たせてることによって届書や申請書等をシステムで一元管理することにした。このことにより、受付ファイルに記録される番号は規則第 20 条第 1 項で定める「受附の番号」と受理決定をしていない届書を記載する戸籍発収簿の「進行番号」も兼ねる、「届書受領番号」として記録することにした。

この番号は届書を受領し、システムに届書のデータを入力して受付ファイル画面で「受理」・「不受理」等の処分区分(処分区分の種類と意味については処分決定を参照)を入力することにより自動的に付番される(届書処理を参照)。「受理照会」あるいは「処理照会」等もこのとき一時的に処分区分として入力できるが最終的に届書を処理したときに入力する処分区分は「受理」・「不受理」・「返戻」・「取下げ」・「受理処分の撤回」・「誤入力」の６つである。このうち「受理」と入力した受付ファイルが現行の受附帳に該当するものであり、その「受領番号」が現行の受附番号に相当するものである。その他の処分区分を入力した受付ファイルは戸籍発収簿に該当するものであり、その「受領番号」は発収番号(進行番号)に相当する番号である。したがって、この「受領番号」と「受理」・「不受理」等の処分区分により、記録した届書の取扱い方を知ることになる。

受付ファイルに記録した情報は戸籍を記録した後には原則として変更削除等の異動はないデータである。長い間システムに保管しておく必要性に乏しく、いずれかの段階でシステムから帳票として出力する必要がある。そのときにはこの処分区分にしたがって「受附帳」と「発収簿」とに分けて、それぞれ別に出力することも可能である

(9) 処分決定(届出の受理・不受理)

市区町村長は届書を受領したときは、その届出の内容を民法・戸籍法等の関係法令に照らし合わせて違反をしていないことを認めたうえでなければ、これを受理することができないとされている(民法第 740 条、民法第 765 条、民法第 800 条、民法第 813 条、法第 34 条等)。また、届書を受領し届出の内容を審査するにあたって、添付の書類についての事実の認定や民法・戸籍法等の関係法令の適用に疑義を生じたときは、管轄法務局長に指示を求めることができるとされている(規則第 71 条)。さらにこれを受けて準則には、届出・申請等について即日に受理の決定ができないときは、届書・申請書等に受領の年月日を記載し戸籍発収簿にその旨を記載することとしている。

このことによりシステムでは届書の審査の結果を判別するために区分を入力するものとした。設けた区分は次の九つである。今後はこれらの区分を総称して「処分区分」と言い、入力すべき区分を決めることを「処分決定」と言う。

受　　理	不　受　理	受理照会	処理照会	返　　戻
取下げ	受理処分の撤回	保　　留	誤　処　理	誤　入　力

これらの処分区分のうちシステムの審査機能を活用した場合に自動付設される処分区分は上段部に記載された区分である(システムの審査機能については届書審査処理を参照)。しかし、システムの審査機能を利用した場合であっても最終的な受理・不受理の決定は戸籍担当者が自ら行なわなければならない。戸籍の届出は日本国民の身分関係を形成しそれを戸籍に登録公証するものであるから、その受理・不受理の処分は戸籍担当者により慎重に行われるべきである。そこで、システムでは、市区町村の窓口での届出処理の実務実態に合わせて、システム審査機能によって表示される処分区分に対して定められた条件の基に戸籍担当者が変更入力をすることができるようにした。

なお、送付された届書についても同様に処分区分を入力することにした。受理した届書と送付された届書との区別は受付ファイルのデータの「受理・送付区分」で判別することになる。

では、次にそれぞれの処分区分についての意義を述べる。

ア　受　理

届書を受領しその届出の内容を関係法令等に照らし合わせて適法であると判断し、受理としたときに設定する区分である。

イ　不受理

届書を受領しその届出の内容を関係法令等に照らし合わせて不適法であると判断し不受理としたときに設定する区分である。

ウ　受理照会

届書を受領しその届出の内容を関係法令等に照らし合わせて受理するのに疑義があり、監督法務局長に受理照会する必要があると判断したときに設定する区分である。

エ　処理照会

受理した届書について処理方法が不明であるため監督法務局長に処理照会するときに設定する区分である。他の市区町村長から送付された届書に対して、不受理申出が提出されていたときや受理した届書について記載方法がわからないので監督法務局長に処理照会するときなどがその例である。

オ　返戻

他の市区町村長から送付された届書を受理市区町村長に返戻する場合に設定する。たとえば、他の市区町村長から送付を受けた届書について不受理申出があり、管轄法務局長に処理照会したところ受理しないのが相当である旨の指示を受け、受理市区町村長に届書を返戻する場合や送付された届書に不備があり戸籍の記載ができないため追完の届出を必要とするときに受理市区町村に届書を返戻する場合などである。

カ　取下げ

届書を受領後、受理・不受理の決定をする前に届出の取下げがなされたときに設定する区分である。

キ　受理処分の撤回

受領した届書等につき受理決定した後に当該受理処分に瑕疵があることを発見したため、その受理処分の効力を否定した上で不受理処分をしなければならない場合に設定する区分である。例えば、受理した届書等を本籍地へ送付後、本籍地に当該届出について不受理申出が提出されていることが明らかになった場合等がある。

この区分は、あくまで例外的な処分区分の変更であるので、受付ファイルに履歴としてその経緯を記録する。また、この処分区分の設定行為に対する責任は市区町村長が負わなければならないことは言うまでもない。

ク　保留

準則第 33 条にあるように即日に受理の決定ができない届出に対して、受付ファイルを戸籍発収簿の機能として活用する場合に入力する。しかし、この区分は一時的なものであるので、戸籍制度の趣旨からしてできるだけ速やかに管轄法務局長への受理照会等をなし、その届出の受理・不受理の決定を行わなければならない。

ケ　誤処理

誤認識・誤操作(選択違い等)によりいったん誤った処分決定処理を行った場合において、当該処分決定処理をはじめから処理されなかったものと扱って正しい処分決定処理を新たな処理として行う場合に設定する区分である。

この区分における履歴の記録及び設定行為に対する責任等は、「受理処分の撤回」と同様である。

又、この区分の設定及び履歴の記録は、処分決定処理ではなく決裁(校合)処理にて行われる。

コ　誤入力

誤認識等により処理済の届書を再度処理し本来不要な処理を行った場合等において、処分区分で入力した処分を取り消し、届書処理を無かったことにする場合に設定する区分である。

(10) 受付ファイルの具体的な作成例

受付ファイルの具体的な作成例は次に示すとおりである。例に示した受付ファイルの情報は受付ファイルの作成例を理解するためだけのものであり、全てを示すものではない。また、番号は下記の情報を意味する。

① 受領番号
② 受領番号の枝番
③ 事件名
④ 受理、不受理処分(太い枠で表示)
⑤ 本籍人の届書、非本籍人の届書の別
⑥ 受理、送付の別(太い枠で表示)

⑦　事件本人の氏名（振り仮名を含む）
⑧　事件本人の本籍
⑨　法務局へ受理、処理の照会書をあげた日
⑩　法務局から指示、許可のあった日
⑪　法務局が許可した日
⑫　法務局が指示した日
⑬　決裁担当者が決裁したことを表す。（太い枠で表示）
⑭　入力データに誤りがあるので修正するように決裁担当者が入力者に対して指示したことを表す。
⑮　事件本人の選択にあやまりがあるので再処理をするように決裁担当者が入力者に対して指示したことを表す。
‥‥‥　その他の記録事項を表す。

ア　受付帳としての受付ファイル
（ア）　受理した本籍人の届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

（イ）　受理した非本籍人の届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑫
100	0	婚姻	受　理	非本籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

（ウ）　他の市区町村長から送付された本籍人の届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	送付	氏名	本籍	……	決　裁

送付された届書については受理・不受理の判断をしないが、受理市区町村長に返戻した届書と区別するために処分区分「受理」を付設する。

イ　発収簿としての受付ファイル
（ア）　不受理処分した本籍人の届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	不受理	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

（イ）　不受理処分した非本籍人の届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥		⑧		⑭
100	0	婚姻	不受理	非本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

（ウ） 送付された届書を受理市区町村へ返戻したことを記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	返戻	本籍	送付	氏名	本籍	……	決裁

（エ） 受理・不受理の処分を行う前に届出人が取り下げた届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	取下げ	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

ウ　一時的に発収簿として、最終的に受付帳として届書を記録する受付ファイル

（ア） 保留から受理となった届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保留	本籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

破線で示した受付ファイルは発収簿として一時的に作成するものである。（以下破線で表した受付ファイルは一時的なものを表す。）

保留の届書は取り下げがない限り最終的には受理・不受理の処分をしなければならない。受理すると従前の発収簿としての受付ファイルは受付帳としての受付ファイルになる。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受理	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

（イ） 他の市区町村長から送付された届書をいったん保留としたのちに戸籍の記録をする届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保留	本籍	送付	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受理	本籍	送付	氏名	本籍	……	決裁

エ　一時的に発収簿として、最終的にも発収簿として届書を記録する受付ファイル

（ア） 保留から不受理となった届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保留	本籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	不受理	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

（イ） 保留から取り下げとなった届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保留	本籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	取下げ	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

（ウ） 他の市区町村長から送付された届書をいったん保留とし、最終的に受理市区町村長に届書を返戻したことを記録する

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保留	本籍	送付	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	返戻	本籍	送付	氏名	本籍	……	決裁

オ　受附帳と発収簿とを兼ねる受付ファイル

（ア） 受理照会をしたのち受理した届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受理照会	本籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

受理照会書を法務局長宛に発送した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑬
100	0	婚姻	受理照会	本籍	受理	氏名	本籍	発日	……	未決裁

法務局長の許可年月日と許可書を収受した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑬
100	0	婚姻	受理	本籍	受理	氏名	本籍	発日	収日	許可日	……	決裁

（イ） 受理した後、処理照会した届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受理照会	本籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

処理照会書を法務局長宛に発送した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑬
100	0	婚姻	処理照会	本籍	受理	氏名	本籍	発日	……	未決裁

法務局長の指示年月日と処理照会書を収受した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑫	……	⑬
100	0	婚姻	受理	本籍	受理	氏名	本籍	発日	収日	指示日	……	決裁

（ウ） 他の市区町村から送付され、処理照会した届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	0	婚姻	処理照会	本　　籍	送付	氏名	本籍	……	未 決 裁

処理照会書を法務局長宛に発送した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	……	⑬
100	0	婚姻	処理照会	本籍	送付	氏名	本籍	発日	……	未決裁

法務局長の指示年月日と処理照会書を収受した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑫	……	⑬
100	0	婚姻	受理	本籍	送付	氏名	本籍	発日	収日	指示日	……	決裁

カ　受理処分後に無効要件が発見された場合で、届書の経過を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	0	婚姻	受理	本籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	1	婚姻	受理処分の撤回	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

履歴の関係は受領番号の枝番号で確保される。

キ　誤操作(選択誤り)により人違いで処理した場合で、決裁処理にて操作者が「誤処理」指示を行い、正当な対象者の処理を行った時の届書の経過を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	0	婚姻	不受理	本籍	受理	氏名 A	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	1	婚姻	誤処理	本籍	受理	氏名 A	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	2	婚姻	受理	本籍	受理	氏名 B	本籍	……	決裁

履歴の関係は受領番号の枝番号で確保される。

ク　誤認識等により処理済の届書を再度処理した場合で、届書処理を無かったことにすることを記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	……	⑬
100	0	婚姻	誤入力	本籍	受理	氏名	本籍	……	決裁

（３－６）受付ファイルの検索

(1) 受付ファイルの検索キー

受付事件(受領事件を含む。)の検索項目は、受付(受領)番号、氏名、カナ氏名、届書等の受領年月日、届出事件の種別、渉外事件であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分とする。(平成 6 年 7002 号通達)

① 受領番号
届書に記載した受領番号で検索する。

② 受領年月日
受領年月日での検索は、何年何月何日の届書と日で指定する方法と何年何月何日から何年何月何日までの間に受領した届書と範囲を指定する方法とがある。

③ 処分区分
「受理」・「不受理」・「受理照会」・「処理照会」・「返戻」・「取下げ」・「受理処分の撤回」・「保留」・「誤処理」の 9 つの処分区分で検索することができる。いずれもコード入力する。

④ 振り仮名
事件本人の振り仮名で検索する。
※今後振り仮名の記録が開始されることにより、「カナ氏名」の取扱いは「振り仮名」に代わる。ただし、当面の間は「カナ氏名」による検索補完を許容する。

⑤ 漢字氏名
事件本人の漢字氏名で検索する。

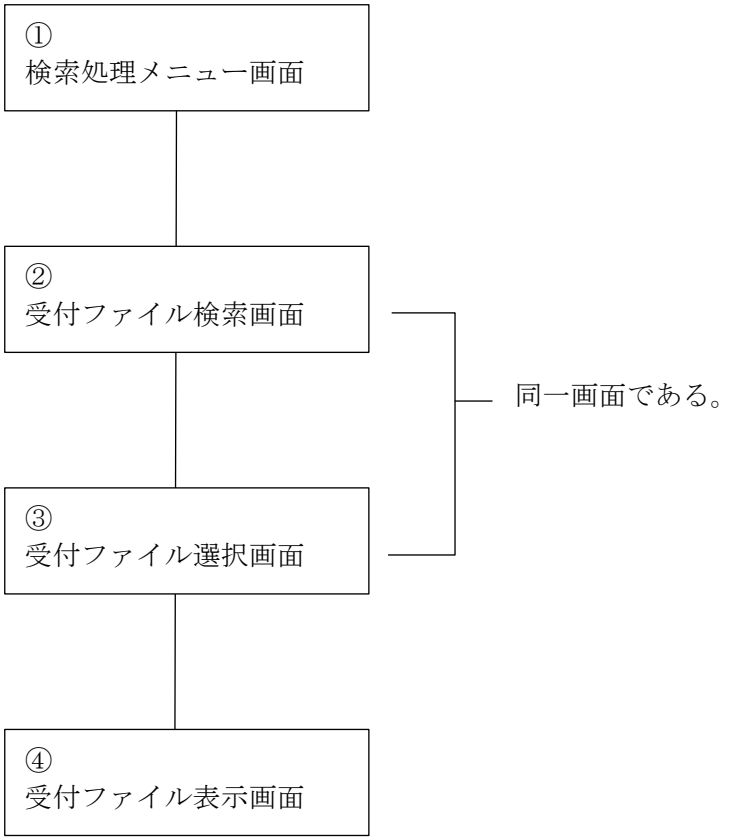
⑥ 事件コード
「出生」・「婚姻」・「死亡」等の事件コードを入力することによってメインキーの検索条件をさらに絞り込む。

⑦ 渉外区分
「日本人」・「渉外」・「外国人」のコードを入力することによってメインキーの検索条件をさらに絞り込む。

⑧ 生年月日
事件本人の生年月日で検索する。

⑨ 受理送付区分
「受理」・「送付」のコードを入力することによってメインキーの検索条件をさらに絞り込む。

(2) 受付ファイル検索の画面展開



(3) 検索処理メニュー画面

戸籍検索のときの検索処理メニュー画面と同じである。

(4) 受付ファイル検索画面

検索キーを入力する画面と、入力したキーに該当する受付ファイルを表示する画面である。

画面ＩＤ		受付ファイル選択					X99.99.99	99/99
検索	受付番号	9999999	受付日	X 99 99 99 ～ X 99 99 99		処分	X ＫＫＫ	
	振り仮名	K----------K(30)----------K						
	漢字氏名	K----------K(30)----------K						
	受付事件	99 ＫＫＫＫＫ	生年月日	9999 99 99	受送	X	渉外	X ＫＫＫ

No	受付番号	事件名 / 事件本人	受送	本非	渉外	受付日	決裁
	ＫＫＫ	K------K(10)-----K	ＫＫ	ＫＫ	ＫＫＫ	X 99 99 99	ＫＫＫ
99	9999999	K----------K(30)----------K					
	ＫＫＫ	K------K(10)-----K	ＫＫ	ＫＫ	ＫＫＫ	X 99 99 99	ＫＫＫ
99	9999999	K----------K(30)----------K					
	ＫＫＫ	K------K(10)-----K	ＫＫ	ＫＫ	ＫＫＫ	X 99 99 99	ＫＫＫ
99	9999999	K----------K(30)----------K					
	ＫＫＫ	K------K(10)-----K	ＫＫ	ＫＫ	ＫＫＫ	X 99 99 99	ＫＫＫ
99	9999999	K----------K(30)----------K					
	ＫＫＫ	K------K(10)-----K	ＫＫ	ＫＫ	ＫＫＫ	X 99 99 99	ＫＫＫ
99	9999999	K----------K(30)----------K					
	ＫＫＫ	K------K(10)-----K	ＫＫ	ＫＫ	ＫＫＫ	X 99 99 99	ＫＫＫ
99	9999999	K----------K(30)----------K					

選択番号 | 99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

(5) 受付ファイル選択画面

受付ファイル検索画面と同じ画面に表示される。

① 受付番号

検索キーに該当する受付ファイルの「受領番号」を出力する。受領番号で検索したときには表示されるのは1件である。

② 事件名

「出生」・「婚姻」・「死亡」等の受付事件名が表示される。

③ 受送

「受理」・「送付」・「通知」の区別が表示される。

④ 本非

「本籍」・「非本籍」の区別が表示される。

⑤ 渉外

「渉外」・「外国人」が表示される。事件本人が「日本人」だけの届書については表示されない。

⑥ 受付日

届書の「受領年月日」が表示される。

⑦ 決裁

「決裁」・「未決裁」・「修正」の決裁区分を表示する(決裁を参照)。

⑧ 事件本人

届書の事件本人の「漢字氏名」が表示される。

該当する受付ファイルのNo.を入力すると受付ファイル(検索)画面に展開する。

(6) 受付ファイル(検索)画面

画面ＩＤ	受付ファイル検索	X99.99.99	99/99
受領№：9999999-9	受送：ＫＫ	受付日：X 99 99 99	処分：ＫＫＫ 決裁：ＫＫＫ
事件名：ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		事件日：X 99 99 99	時分：99:99
出張所：999	ＫＫＫ：X 99 99 99	郵送日：X 99 99 99	本非：ＫＫＫ
発　日：X 99 99 99	収　日：X 99 99 99	許可日：X 99 99 99	渉外：ＫＫＫ
指示日：X 99 99 99	関連№：9999999 9999999 9999999 9999999 9999999		

事件本人区分	氏　名　（振り仮名 ／ 漢字）	生年月日		
（届出人）	本　籍			
	K----------K(24)----------K	XXXX.99.99		
ＫＫＫＫＫＫ	K----------K(24)----------K	送達	X	X
ＫＫＫ	K----------K(30)----------K			
	K----------K(24)----------K	XXXX.99.99		
ＫＫＫＫＫＫ	K----------K(24)----------K	送達		X
ＫＫＫ	K----------K(30)----------K			
届 ＫＫＫＫＫ	K----------K(30)----------K			
出 ＫＫＫＫＫ	K----------K(30)----------K			
届後本籍	K----------K(30)----------K			
筆頭者	K----------K(30)----------K			

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

(7) 受付ファイル(検索)画面

① 受付№
「受領番号」を表示する。

② 受送
「受理」・「送付」・「通知」の区別を表示する。

③ 受付日
「受領年月日」を表示する。

④ 処分
「受理」・「不受理」・「受理照会」・「処理照会」・「返戻」・「取下げ」「受理処分の撤回」・「保留」・「誤処理」・「誤入力」の 10 の処分区分を表示する。

⑤ 決裁
「決裁」・「未決裁」・「修正」の決裁区分を表示する(決裁を参照)。

⑥ 事件名
「出生」・「婚姻」・「死亡」等の受付事件名を表示する。

⑦ 事件日
「事件発生年月日」を表示する。

⑧ 時分
死亡の「事件発生時分」を表示する。

⑨ 出張所
支所・出張所で戸籍事務を行う場合、届書を処理した支所・出張所の番号を表示する。支所・出張所番号は市区町村で割り当てることになる。

⑩ 発送日又は送信日
戸籍の記載をする必要のある市区町村へ届書を発送した年月日又は、届書等情報を戸籍情報連携システムに送信した年月日を表示する。

⑪ 郵送日
戸籍事務取扱準則制定標準第 30 条に定める通信日付印中の年月日を表示する。

⑫ 本非
「本籍」・「非本籍」の区別を表示する。

⑬ 発日
監督法務局長へ「受理照会」または「処理照会」をした年月日を表示する。

⑭ 収日
監督法務局長からの「許可書」または「指示書」を受領した年月日を表示する。

⑮ 許可日
監督法務局長が受理許可をした年月日を表示する。

⑯ 渉外
事件本人として「日本人」・「渉外」・「外国人」のいずれかの者がある事を表示する。

⑰ 指示日
監督法務局長が受理照会または処理照会に対して指示した年月日を表示する。

⑱ 関連№

戸籍事務取扱準則制定標準第 30 条に定める関連受付ファイルの受領番号を表示する。

⑲ 事件本人区分

出生届書であれば「出生子」、婚姻届書であれば「夫」・「妻」、死亡届書であれば「死亡者」の表示をする。

⑳ 振り仮名

事件本人の振り仮名を表示する。

㉑ 漢字氏名

事件本人の漢字氏名を表示する。

㉒ 生年月日

事件本人の生年月日を表示する。

㉓ 送達

事件本人について戸籍の記載の必要のある市区町村長から届書が届いた旨の確認通知が返送されてきたこと又は届書等情報の送信を受信したことを表示する。

㉔ 届出資格

届出人の資格を表示する。

㉕ 届出人氏名

届出人の漢字氏名を表示する。

㉖ 届出後本籍

届出前と届出後で事件本人の本籍が異なるとき届出後の本籍を表示する。

（３－７）不受理申出ファイル

不受理申出については平成 20 年４月７日民一第 1000 号民事局長通達及び平成 20 年４月７日民一第 1001 号民事局民事第一課長依命通知においてその取扱いが定められている。上記通達第６において、「不受理申出がされたことを的確に把握するため・・・戸籍の直前に着色用紙をとじ込む等の方法を講ずるものとする。ただし、当該戸籍が磁気ディスクをもって調製されているときは、当該戸籍のコンピュータの画面上に不受理申出がされていることが明らかとなる方法を講ずるものとする。」とされている。

上記を踏まえ、システムでは上記「不受理申出がされていることが明らかとなる方法」として不受理申出ファイルを作成することとし、戸籍データベースに直接不受理申出データを記録してはならないこととしている。

(1) 不受理申出ファイルに記録する情報

不受理申出ファイルに記録する情報は次のとおりである。

① 不受理処分をする届出の種別
② 相手方氏名(一つの不受理申出について最大２名まで記録)
③ 不受理申出期間の開始年月日
④ 不受理申出期間の失効する年月日
⑤ 失効の種別
　終了=不受理申出期間が終了した。
　取り下げ=不受理申出の取り下げがあった。
　失効=不受理申出の相手方以外の者との間の届出があり、申出の効力がなくなった。
⑥ 不受理申出ファイルを作成した年月日

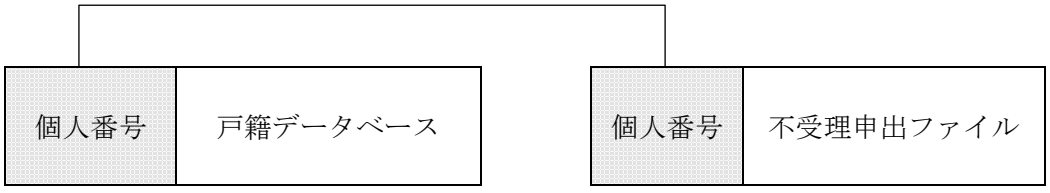
(2) 不受理申出ファイルの概要

個人番号	行番号	出張所番号	不受理申出事件コード	開始日(届出日)	

	送付日	失効日	失効区分	作成日(処理日)	相手方氏名１	相手方氏名２

(3) 不受理申出ファイルと戸籍データベースとの関連

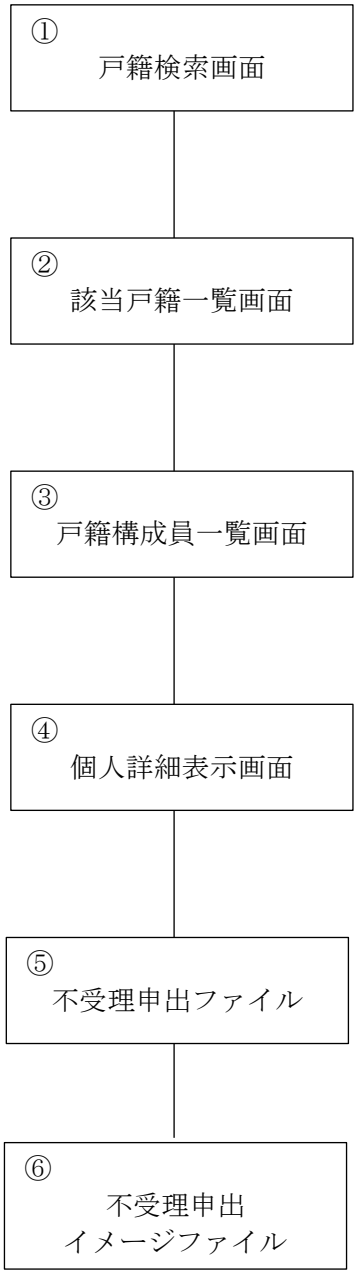
不受理申出ファイルに記録した情報は個人番号により戸籍データベースに記録した個人と関連付けられている。



(4) 不受理申出ファイルの表示

届出事件本人について不受理申出ファイルに記録があるときには、届書入力処理で事件本人を特定したときに記録した内容を表示する画面が自動的に出力される。入力者は不受理申出ファイルの内容を確認して届出の受理・不受理の判断を行う。

(5) 不受理申出の検索・更新における画面展開



(6) 不受理申出ファイルの検索

① 検索画面
戸籍検索における検索画面に同じである。

② 該当戸籍一覧画面
戸籍検索における該当戸籍一覧画面に同じである。

③ 戸籍構成員一覧画面
戸籍検索における該当戸籍一覧画面に同じである。

④ 個人詳細表示画面
戸籍検索における個人詳細表示画面と同じである。

(7) 不受理申出ファイル更新画面

```
画面ＩＤ                    不受理申出ファイル更新          X99.99.99      99/99
（振り仮名）  K----------------------------K(30)----------------------------K
（漢字氏名）  K----------------------------K(30)----------------------------K
（本　　籍）  K----------------------------K(30)----------------------------K
（筆頭者）    K---------K(14)----------K  （生年月日）  X 99 99 99
項番    出張所   受・送     開始日          送付日          失効日      失効区分
99        999       9     X99 99 99       X99 99 99   X99 99 99      9   ＫＫ
    不受理申出事件 99 K----------------K(20)----------------K
    相手氏名１  K----------------------------K(30)----------------------------K
    相手氏名２  K----------------------------K(30)----------------------------K
99        999       9     X99 99 99       X99 99 99   X99 99 99      9   ＫＫ
    不受理申出事件 99 K----------------K(20)----------------K
    相手氏名１  K----------------------------K(30)----------------------------K
    相手氏名２  K----------------------------K(30)----------------------------K

      処理選択番号 [9] （１：追加　２：変更　３：削除      処理項番 [99]
                        ４：補正更新・イメージ表示）
(01) 出生    (02) 認知    (03) 縁組    (04) 離縁    (07) 73-2    (08) 69-2
(09) 婚姻    (10) 離婚    (11) 77-2    (12) 75-2    (13) 親権    (18) 復氏
(19) 姻族関係終了         (22) 入籍    (23) 分籍    (26) 国籍選択
(28) 氏変更  (29) 107-2   (30) 107-3   (31) 107-4   (32) 名の変更 (33) 転籍
                        ＰＦガイダンス

K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
```

① 振り仮名

申出人の振り仮名を表示する(氏名ファイルから)。

② 漢字氏名

申出人の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

③ 本籍

申出人の本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 筆頭者の氏名

申出人の筆頭者の氏名を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑤ 筆頭者の生年月日

申出人の筆頭者の生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑥ 項番

申出事件順に項番号を表示する。

⑦ 出張所

処理する支所・出張所番号を表示する。

⑧ 受・送

申出書を受理したのか、他の市区町村から送付又は送信されてきたのかの区別を入力する。

⑨ 開始日

申出期間の開始年月日を入力する。

⑩ 送付日

他の市区町村で受領した申出書が送付又は送信された年月日を入力する。

⑪ 失効日

申出期間の失効年月日を入力する。

⑫ 失効区分

申出が失効した理由を入力する。

終　　了　1　=　不受理申出期間が終了した。

取り下げ　2　=　不受理申出の取り下げがあった。

失　　効　3　=　不受理申出の相手方以外の者との間の届出があり、申出の効力がなくなった。
申出人が死亡した等。

⑬ 不受理申出事件

不受理処分する事件名コードを画面下の表示にしたがい入力する。

⑭ 相手方氏名 1

不受理処分する事件の相手方の氏名を入力する。相手方を特定していないときは入力しない。

⑮ 相手方氏名 2

不受理処分する事件の相手方がふたりいるときに氏名を入力する。

⑯ 処理選択番号

処理する番号を入力する。

追加　1=　新たに申出られた不受理申出書を入力するときに入力する。

変更　2=　すでに入力されている不受理申出の内容を変更するときに入力する。

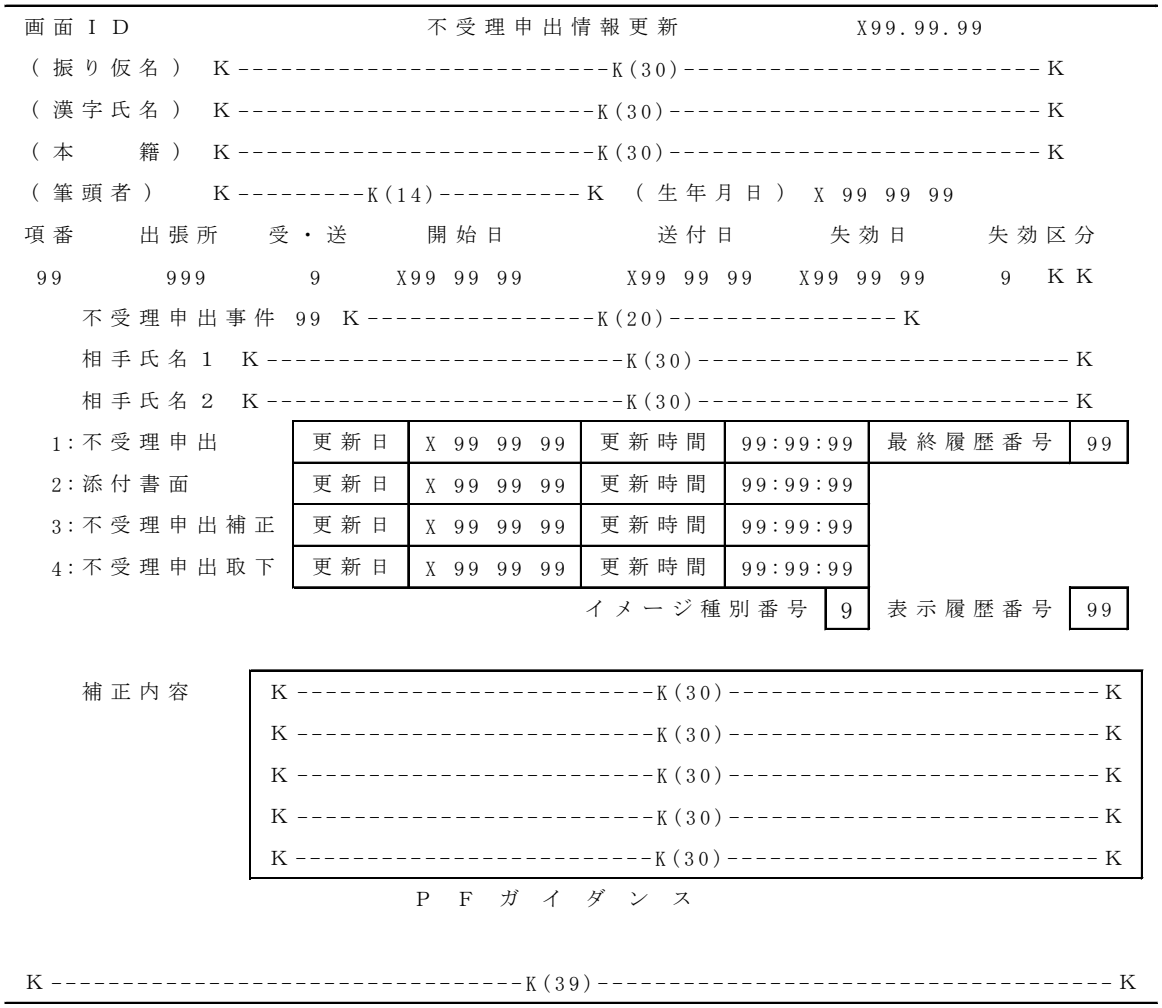
削除　3=　すでに入力されている不受理申出を削除するときに入力する。

補正更新・イメージ表示　4=　すでに入力されている不受理申出に補正処理が必要な場合、又は不受理申出イメージを表示するときに入力する。

⑰ 処理項番

処理する不受理申出の項番を入力する。新規に入力するときはすでに入力さている不受理申出の次の項番を入力する。変更・削除するときは当該不受理申出の画面に表示される項番を入力する。

(8) 不受理申出情報更新画面



「①振り仮名」から「⑮相手氏名 2」までは、不受理申出ファイル更新画面の同項目に同じである。

⑯ 不受理申出更新日

不受理申出情報の更新日を表示する。

⑰ 不受理申出更新時間

不受理申出情報の更新時間を表示する。

⑱ 不受理申出最終履歴番号

不受理申出情報の保有数を表示する。

⑲ 添付書面更新日

添付書面情報の更新日を表示する。

⑳ 添付書面更新時間

添付書面情報の更新時間を表示する。

㉑ 不受理申出補正情報更新日

不受理申出補正情報の更新日を表示する。

㉒ 不受理申出補正情報更新時間

不受理申出補正情報の更新時間を表示する。

㉓ 不受理申出取下更新日

不受理申出取下情報の更新日を表示する。

㉔ 不受理申出取下更新時間

不受理申出取下情報の更新時間を表示する。

㉕ イメージ種別番号

表示するイメージ種別(1:不受理申出、2:添付書面、3:不受理申出補正、4:不受理申出取下)を入力する。

㉖ 表示履歴番号

表示する不受理申出イメージの履歴番号を入力する。

㉗ 補正内容

不受理申出情報の補正内容を入力する。

(9) 不受理申出ファイル表示画面

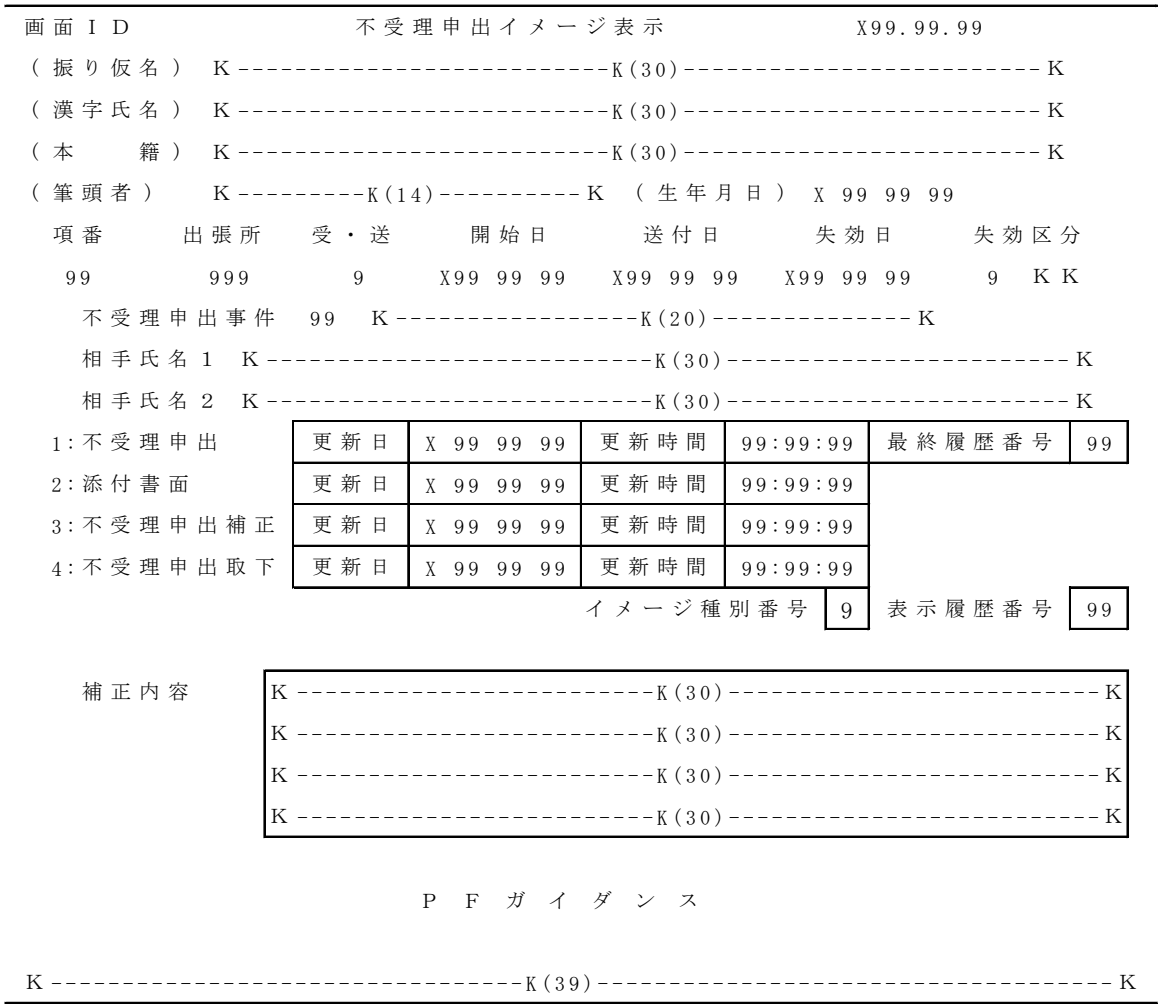
```
画面ＩＤ                  不受理申出ファイル表示                  X99.99.99      99/99
（振り仮名）  K----------------------------K(30)----------------------------K
（漢字氏名）  K----------------------------K(30)----------------------------K
（本　　籍）  K----------------------------K(30)----------------------------K
（筆頭者）    K---------K(14)----------K （生年月日） X 99 99 99
  項番      出張所    受・送      開始日       送付日       失効日      失効区分
   99         999        9     X99 99 99    X99 99 99    X99 99 99      9   ＫＫ
    不受理申出事件  99  K-----------------K(20)--------------K
    相手氏名１  K----------------------------K(30)----------------------------K
    相手氏名２  K----------------------------K(30)----------------------------K
   99         999        9     X99 99 99    X99 99 99    X99 99 99      9   ＫＫ
    不受理申出事件  99  K-----------------K(20)--------------K
    相手氏名１  K----------------------------K(30)----------------------------K
    相手氏名２  K----------------------------K(30)----------------------------K

                                                    選択番号 [ 99 ]

(01) 出生    (02) 認知     (03) 縁組     (04) 離縁     (07) 73-2     (08) 69-2
(09) 婚姻    (10) 離婚     (11) 77-2     (12) 75-2     (13) 親権     (18) 復氏
(19) 姻族関係終了          (21) 入籍     (22) 分籍     (26) 国籍選択
(28) 氏変更 (29) 107-2    (30) 107-3    (31) 107-4    (32) 名の変更 (33) 転籍
                        ＰＦガイダンス

K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
```

「①振り仮名」から「⑮相手氏名 2」までは、不受理申出情報更新画面の同項目に同じである。

⑯ 選択番号

処理する不受理申出の項番を入力する。

(10) 不受理申出イメージ表示画面



「①振り仮名」から「㉖表示履歴番号」までは、不受理申出ファイル更新画面の同項目に同じである。

㉗ 補正内容

不受理申出情報の補正内容を表示する。

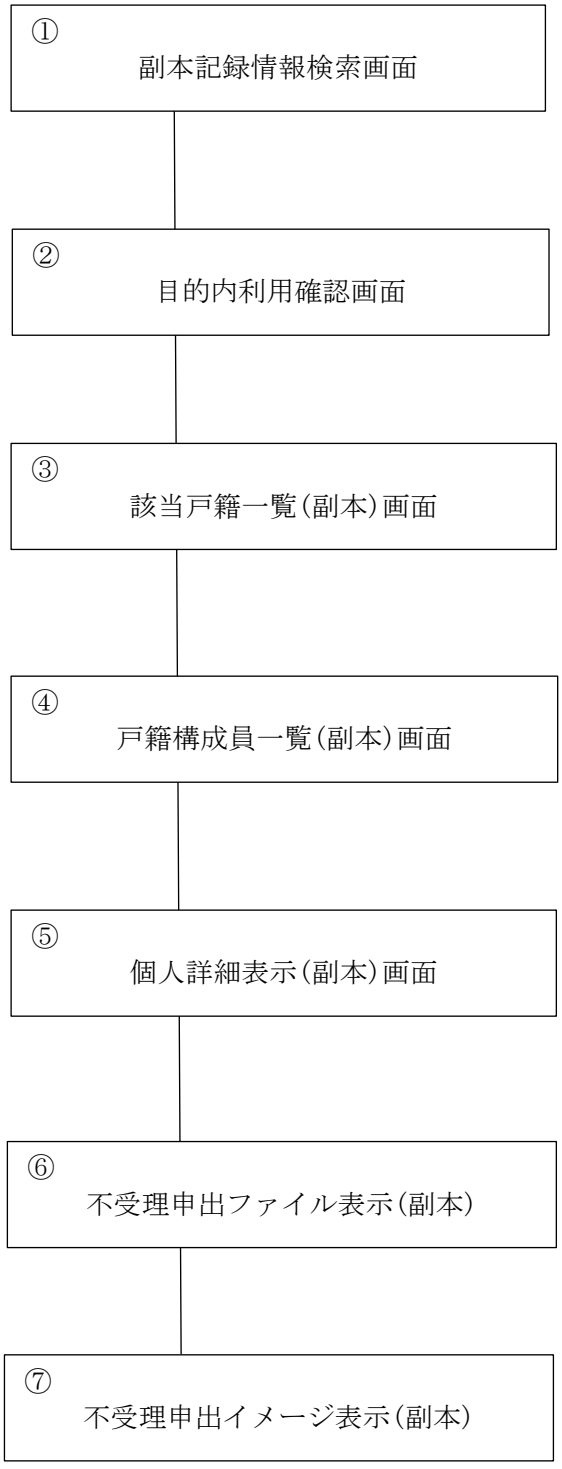
(11) 非本籍人の不受理申出ファイルの検索と表示

非本籍人の不受理申出ファイルについては、法務大臣の管理する情報を参照することができる。なお、本籍地から法務大臣に送信される不受理申出ファイルの項目は、本籍地で管理する項目の一部であるため、法務大臣の管理する不受理申出ファイルの情報は、(13)以降に示す画面において本籍人の場合とは表示項目が異なる点に留意されたい。

(12) 非本籍人の不受理申出ファイルの表示

届出事件本人について不受理申出ファイルに記録があるときには、当該事件本人が非本籍人である場合にも、届書入力処理で事件本人を特定したときに、記録した内容を表示する画面が自動的に出力される。入力者は不受理申出ファイルの内容を確認して届出の受理・不受理の判断を行う。

(13) 非本籍人の不受理申出の検索における画面展開



(14) 非本籍人の不受理申出ファイルの検索

① 検索画面

副本記録情報検索における検索画面に同じである。

② 目的内利用確認画面

副本記録情報検索における目的内利用確認画面に同じである。

③ 該当戸籍一覧(副本)画面

副本記録情報検索における該当戸籍一覧(副本)画面に同じである。

④ 戸籍構成員一覧(副本)画面

副本記録情報検索における戸籍構成員一覧(副本)画面に同じである。

⑤ 個人詳細表示(副本)画面

戸籍検索における個人詳細表示(副本)画面に同じである。

(15) 非本籍人の不受理申出ファイル表示画面

```
画面ＩＤ                  不受理申出ファイル表示（副本）          X99.99.99      99/99
（戸籍種別）  ＫＫＫＫＫＫＫＫ
（振り仮名）  K----------K(30)----------K
（漢字氏名）  K----------K(30)----------K
（本　　籍）  K----------K(30)----------K
（筆頭者）    K----------K(15)----------K   （生年月日）X99.99.99
 項番                    開始日          送付日     失効日      失効区分
 99                    X99.99.99       X99.99.99  X99.99.99   99  ＫＫ
 不受理申出事件  99  K----------K(20)----------K
 相手氏名１ K----------K(30)----------K
 相手氏名２ K----------K(30)----------K
 99      999           X99.99.99       X99.99.99  X99.99.99   99  ＫＫ
 不受理申出事件  99  K----------K(20)----------K
 相手氏名１ K----------K(30)----------K
 相手氏名２ K----------K(30)----------K

                                                  選択番号 [99]

                        ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K
```

「①振り仮名」から「⑮相手方氏名 2」(「⑧受・送」を除く。）は、本籍人の不受理申出ファイル表示画面の同項目に同じである。

⑯戸籍種別

申出人が記録されている戸籍の種別を表示する。

(16) 非本籍人の不受理申出イメージ表示画面

画面ＩＤ　　不受理申出イメージ表示（副本）　　X99.99.99

（戸籍種別）　ＫＫＫＫＫＫＫＫ

（振り仮名）　K----------K(30)----------K

（漢字氏名）　K----------K(30)----------K

（本　　籍）　K----------K(30)----------K

（筆頭者）　K----------K(15)----------K　（生年月日）X99.99.99

項番	開始日	送付日	失効日	失効区分
99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	99　ＫＫ

不受理申出事件　99　K----------K(20)----------K

相手氏名１K----------K(30)----------K

相手氏名２K----------K(30)----------K

1:不受理申出	更新日	X 99 99 99	更新時間	99:99:99	最終履歴番号	99
2:添付書面	更新日	X 99 99 99	更新時間	99:99:99		
3:不受理申出補正	更新日	X 99 99 99	更新時間	99:99:99		
4:不受理申出取下	更新日	X 99 99 99	更新時間	99:99:99		

イメージ種別番号 9　表示履歴番号 99

補正内容

K----------K(30)----------K

K----------K(30)----------K

K----------K(30)----------K

K----------K(30)----------K

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

「①振り仮名」から「㉗補正内容」までは、不受理申出イメージ表示画面の同項目に同じである。

（３－８）個人状態ファイル

(1) 個人状態ファイルに記録する情報

個人状態ファイルは本籍人について個人単位で注意事項を記録するファイルである。

注意事項とは次の事項である。

① 「受理照会」・「処理照会」・「保留」中の届書がある。
② 母について胎児認知届書がある(法第 61 条)。
③ 家庭裁判所から通知がある。
④ 禁治産者又は成年被後見人に該当している。
⑤ 準禁治産者に該当している。
⑥ ＤＶ支援措置対象者又はその他注意喚起対象者に該当している。
⑦ 氏の振り仮名が職権記録である。
⑧ 名の振り仮名が職権記録である。
⑨ そのほかの注意事項を文章で記録する。
戸籍訂正許可申請中である等。

(2) 個人状態ファイルのファイル構成

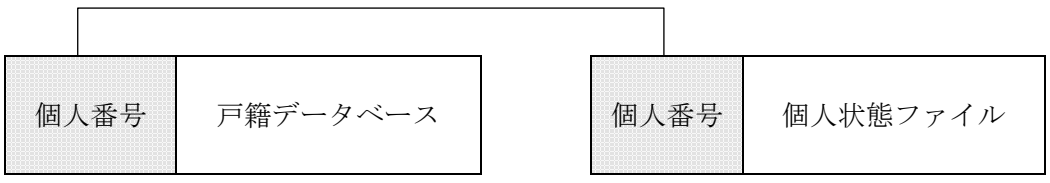
個人番号	禁治産者区分	準禁治産者区分	裁判所通知区分	胎児認知区分	

	受理照会区分	保留区分	注意喚起区分	氏の振り仮名職権記録区分	

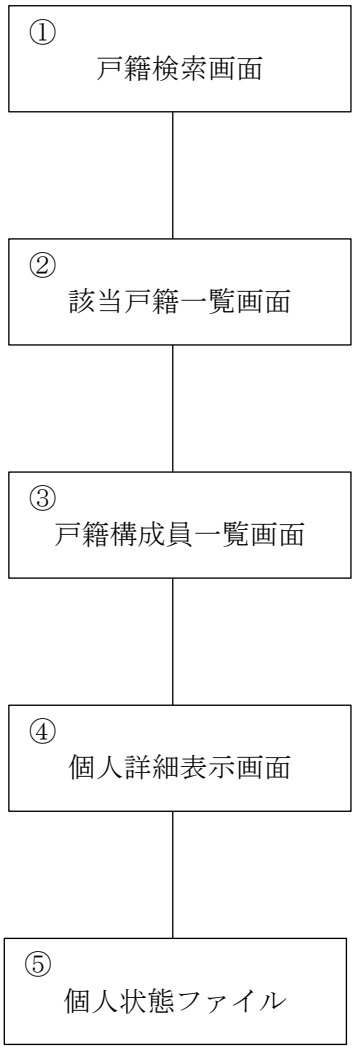
	名の振り仮名職権記録区分	メモ

(3) 個人状態ファイルと戸籍データベースとの関連

個人状態ファイルに記録した情報は個人番号により戸籍データベースに記録した個人と関連付けられている。



(4) 個人状態ファイルの検索・更新における画面展開



(5) 個人状態ファイルの更新

① 検索画面
戸籍検索における検索画面と同じである。
② 該当戸籍一覧画面
戸籍検索における該当戸籍一覧画面と同じである。
③ 戸籍構成員一覧画面
戸籍検索における戸籍構成員一覧画面と同じである。
④ 個人詳細表示画面
戸籍検索における個人詳細表示画面と同じである。

(6) 個人状態ファイル更新画面

```
画面ＩＤ                    個人状態ファイル更新          X99.99.99

（振り仮名）  K----------K(30)----------K
（漢字氏名）  K----------K(30)----------K
（本　　籍）  K----------K(30)----------K
（生年月日）  X 99 99 99
（筆頭者）    K----------K(30)----------K
        禁治産者区分  －－－－－ [9]      準禁治産者区分  －－－－ [9]

        裁判所通知区分  －－－－ [9]      胎児認知区分  －－－－－ [9]

        受理・処理照会  －－－－ [9]      保留  －－－－－－－－－－ [9]

        注意喚起区分  －－－－－ [9]  ※注意喚起区分の内容をメモに記載して下さい

        振り仮名職権記録区分  氏  －－－－ [9]  名  －－－－ [9]
        メモ（K----------K(30)----------K）
             （K----------K(30)----------K）
             （K----------K(30)----------K）
             （K----------K(30)----------K）
             （K----------K(30)----------K）
                        ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K
```

① 振り仮名

個人状態ファイル処理対象者の振り仮名を表示する(氏名ファイルから)。

② 漢字氏名

個人状態ファイル処理対象者の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

③ 本籍

個人状態ファイル処理対象者の本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 生年月日

個人状態ファイル処理対象者の本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑤ 筆頭者

個人状態ファイル処理対象者の筆頭者の氏名を表示する。

⑥ 禁治産者区分

成年被後見人であることが判明した場合、この画面を開いて区分を入力する。

禁治産者区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

成年被後見人の取り消しがあったときに区分を削除する場合もこの画面で行う。

⑦ 準禁治産者区分

準禁治産宣告の取り消しがあったときに区分を削除する場合はこの画面で行う。

⑧ 裁判所通知区分

離婚・離縁等の調停が成立もしくは審判が確定した旨の家庭裁判所から通知があったときに区分を入力する。ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

当該通知に係わる届出があったときにこの画面で裁判所通知区分を削除する。

⑨ 胎児認知区分

胎児認知届出があったときに届書入力処理の処分決定で処分区分を「受理」と入力したときに本籍人の母について個人状態ファイルが自動更新される。この区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

胎児認知届書に対応する出生届書または死産届書を入力したときは、後にこの画面を開いて区分を消除する。

⑩ 受理・処理照会区分

届書入力処理の処分決定で処分区分を「受理照会」又は「処理照会」と入力したときに自動的に付設される。また、この画面を開いて入力することもできる。

ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面及び個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

法務局からの許可または指示を受けて届書を処理したときはこの画面を開いて区分を削除する。区分の削除は自動的には行なわない。それは、当該人について複数の受理照会中の届出書がある場合でも受理照会中の届出がある旨しか対応していないからである。

⑪ 保留区分

届書入力処理の処分決定で処分区分を「保留」と入力したときに自動的に付設される。またこの画面を開いて入力することもできる。

ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

届書を処理をしたときはこの画面を開いて区分を削除する。

⑫ 注意喚起区分

ＤＶ支援措置対象者の通知等があった場合、又はその他の注意喚起を促す者であった場合に入力する。

⑬ 氏の振り仮名職権記録区分

氏の振り仮名が職権で記録されたときに自動的に付設され、氏の振り仮名の届等により自動的に更新される。また、この画面を開いて入力することもできる。

⑭ 名の振り仮名職権記録区分

名の振り仮名が職権で記録されたときに自動的に付設され、名の振り仮名の届等により自動的に更新される。また、この画面を開いて入力することもできる。

⑮ メモ

法第 24 条による戸籍訂正許可申請中である等の戸籍に対する注意事項を入力する。

ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄にメモがある旨を反映することができる。

(7) 個人状態ファイル検索画面

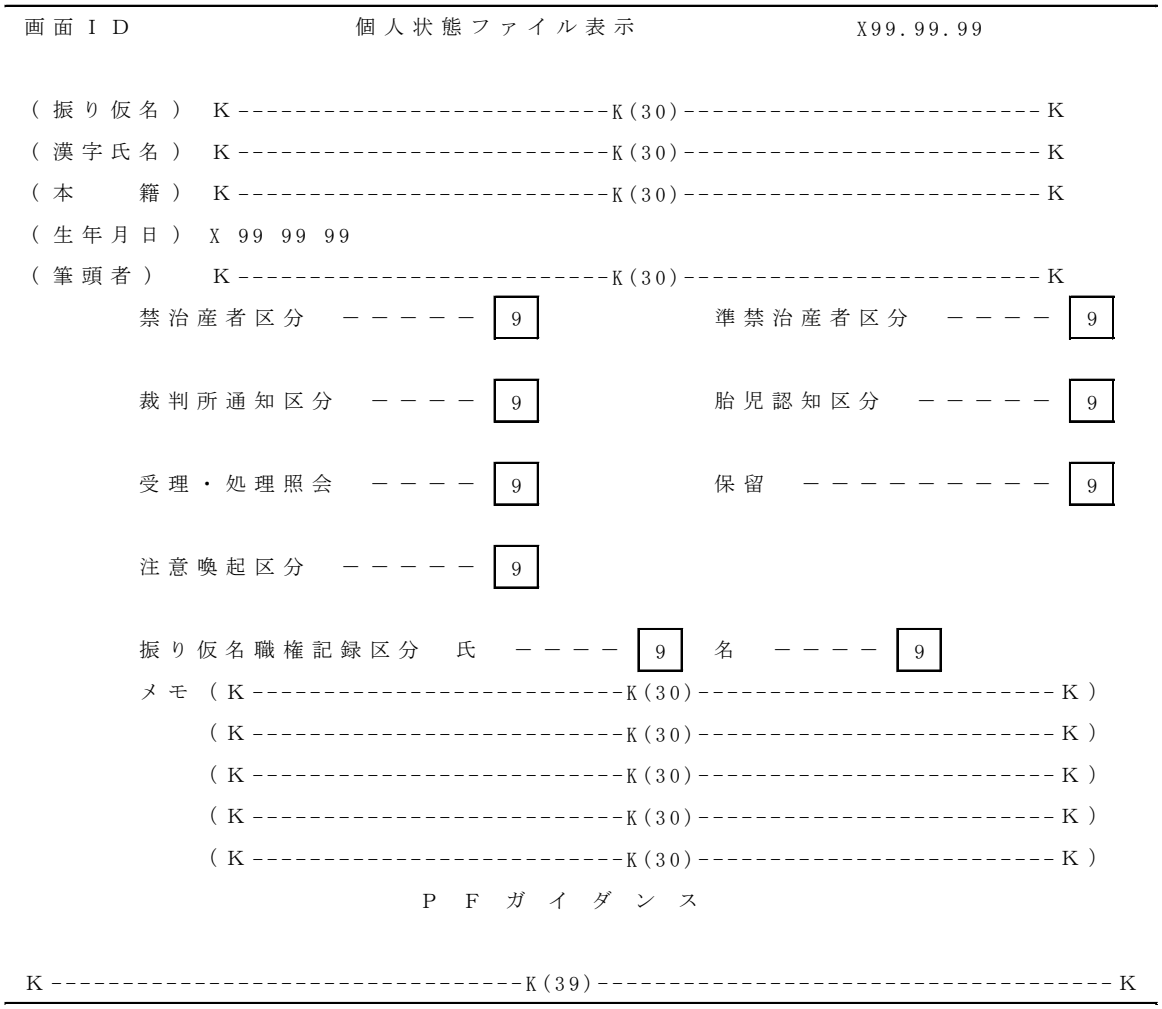
① 検索画面

戸籍検索における検索画面に同じである。

② 該当戸籍一覧画面

戸籍検索における該当戸籍一覧画面に同じである。

(8) 個人状態ファイル表示画面

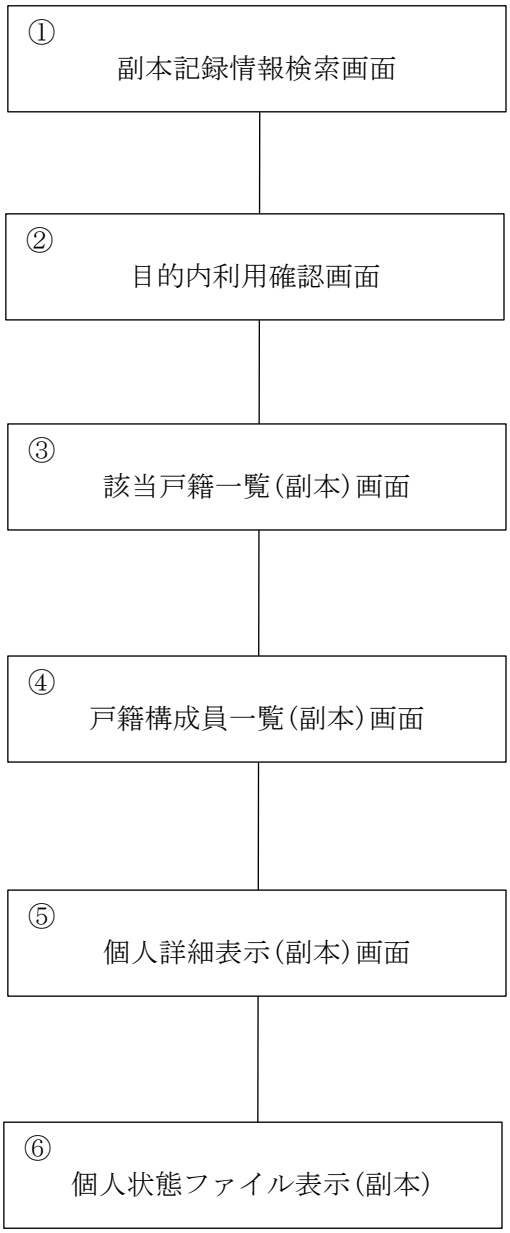


「①振り仮名」から「⑮メモ」までは、個人状態ファイル更新画面の同項目に同じであるが、「⑥禁治産者区分」から「⑮メモ」は該当の場合に表示する。

(9) 非本籍人の個人状態ファイルの検索と表示

非本籍人の個人状態ファイルについては、法務大臣の管理する情報を参照することができる。なお、本籍地から法務大臣に送信される個人状態ファイルの項目は、本籍地で管理する項目の一部であるため、法務大臣の管理する個人状態ファイルの情報は、以下に示す画面において本籍人の場合とは表示項目が異なる点留意されたい。

(10) 非本籍人の個人状態ファイルの検索における画面展開



(11) 非本籍人の個人状態ファイル検索画面

① 検索画面

副本記録情報検索における検索画面に同じである。

② 目的内利用確認画面

副本記録情報検索における目的内利用確認画面に同じである。

③ 該当戸籍一覧(副本)画面

副本記録情報検索における該当戸籍一覧(副本)画面に同じである。

(12)個人状態ファイル表示(副本)画面

画面ＩＤ　　個人状態ファイル表示（副本）　　X99.99.99

（戸籍種別）ＫＫＫＫＫＫＫＫ

（振り仮名）K----------K(30)----------K

（漢字氏名）K----------K(30)----------K

（本　　籍）K----------K(30)----------K

（生年月日）X99.99.99

（筆頭者）　K----------K(30)----------K

禁治産者区分 [9]　　裁判所通知区分 [9]

胎児認知区分 [9]　　受理・処理照会区分 [9]

注意喚起区分 [9]

氏の振り仮名職権記録区分 [9]

名の振り仮名職権記録区分 [9]

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

「①振り仮名」から「⑭名の振り仮名職権記録区分」(「⑦準禁治産者区分」を除く。)は、本籍人の個人状態ファイル表示画面の同項目に同じである。

⑮ 戸籍種別

検索対象者が記録されている戸籍の種別を表示する。

（３－９）届書の処理

届書の処理とは届書に記載された事項を入力して戸籍データベースや受付ファイルなどシステムの各ファイルに必要事項を記録することをいう。

届書の処理方法はシステムの審査機能を活用することによって関係法令を原則的に適用する「届書審査処理」と、関係法令を原則的に適用したのでは処理することができない、あるいは関係法令の他にさらに先例･通達等を適用しなければ処理することができない場合の「届書審査結果入力処理」、戸籍訂正及び追完に関する届書(申請書)を処理する場合の「戸籍訂正･追完処理」の 3 つである。

これら 3 つの処理方法を設けた理由は、市区町村の戸籍事務担当職員から事務改善事項として要望の高かった「システムによる届書の審査と戸籍の記載」による(平成元年度戸籍事務コンピュータ化調査研究会報告書)。

(1) 届書審査処理

届書審査処理は、届書の審査から戸籍の記載までを画面との対話形式で処理する方法である。この処理には届書の審査機能と戸籍記載機能を組み込み、届書審査機能により複雑多岐に渡る関係法令の適用漏れや適用誤りを防ぎ、戸籍の自動記載機能によって戸籍作成の迅速性と正確性を向上させた。

(2) 届書審査結果入力処理

届書審査結果入力処理は届書の審査から戸籍の記載までの全ての処理の判断を人手で行ない、その結果を入力する方法である。この処理は届書審査処理でシステムとの対話処理により原則的に処理ができないと判断されたもの、又は先例･通達等を適用する必要があり戸籍の専門的知識が無ければ処理ができないと予め了解できる届書を処理する。

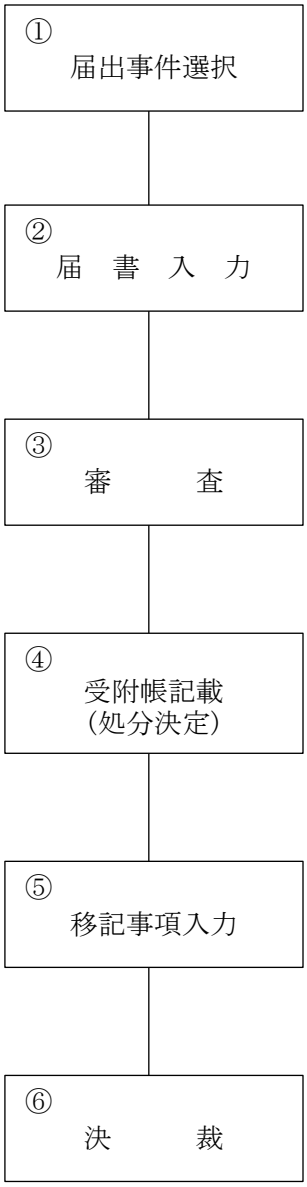
(3) 戸籍訂正･追完処理

戸籍訂正･追完処理は「法第 24 条」･「第 113 条」･「第 114 条］ ･「第 116 条」･「市区町村長限り職権訂正」の戸籍訂正と追完届専用の処理方法である。戸籍の訂正は処理の内容がさまざまであるためシステムで自動的に行うことはできない。したがって、審査結果処理入力と同様に人手により判断した結果を入力することになる。

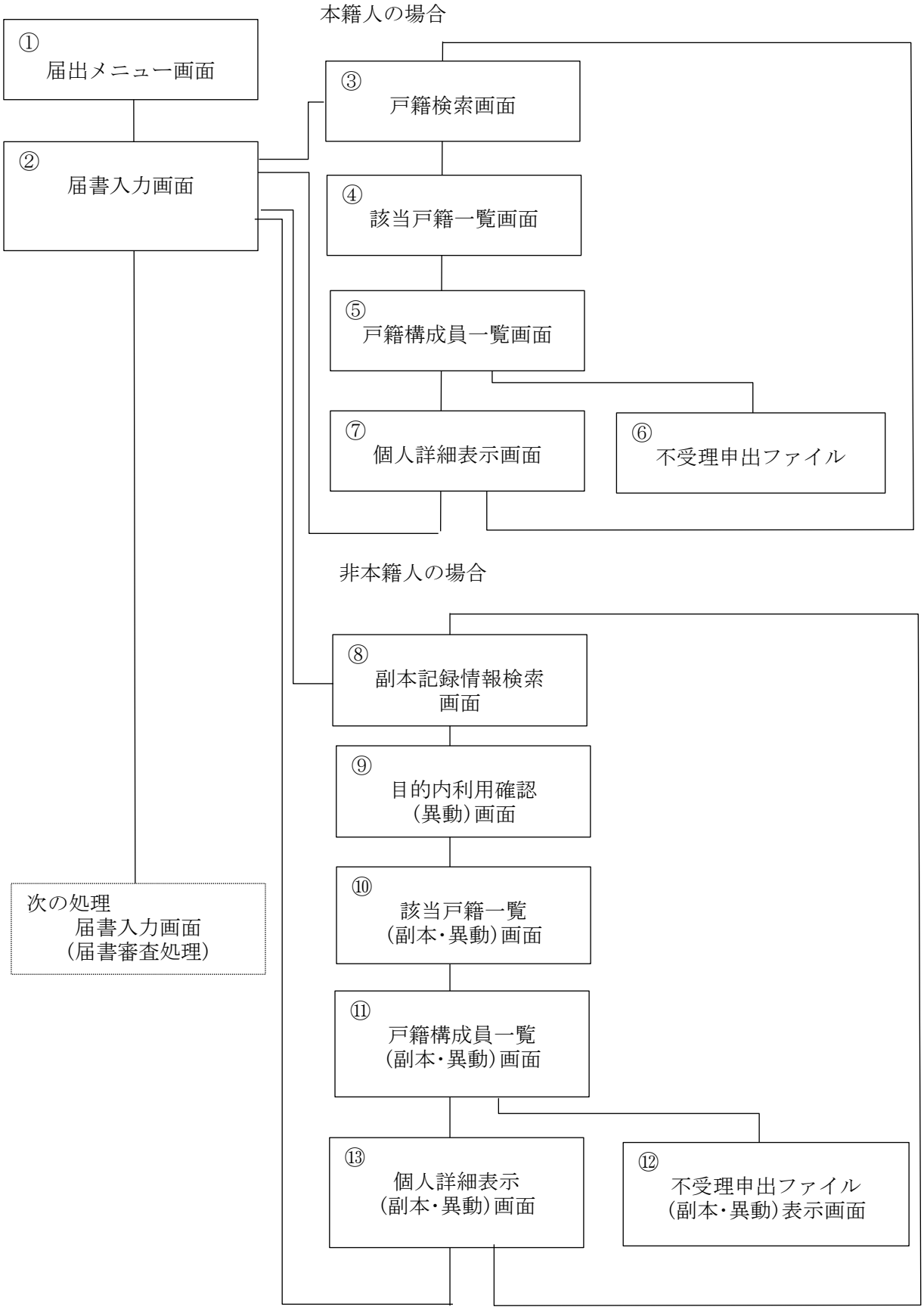
なお、データ保護の観点から戸籍の訂正は必ず訂正事項を記録しなければ処理できないようにした。つまり、戸籍訂正は必ず訂正事項入力を介してから所要の処理とすることにした。

(4) 届書審査処理の概念図

システムの審査機能を活用した届書の処理の概要を示すと次のようになる。以下各処理ごとの画面展開を順次説明することにする。



(5) 届出事件の選択と届書入力の画面



① 届出メニュー画面

届出事件の一覧から受領した届書の事件を選択する。届出事件を選択して実行キーを押すと届書入力画面に展開する。

② 届書入力画面

事件本人が本籍人のときは戸籍データベースを検索するために戸籍検索画面へ画面を展開する。

事件本人が非本籍人のときは戸籍副本情報を検索するために副本記録情報検索画面へ画面を展開する。

事件本人の検索の方法は戸籍の検索のときと同じ方法である。

③ 戸籍検索画面

事件本人の戸籍を検索するためのキーを入力する。画面と検索キーは戸籍検索(戸籍検索を参照)と同じである。

④ 該当戸籍一覧画面

検索キーに該当する戸籍が出力されるので、事件本人の戸籍を選択する。画面は戸籍検索と同じである。

⑤ 構成員一覧画面

戸籍の内容が表示されるので、事件本人を選択する。

ここで検索した事件本人が何に該当するか指示入力をする。婚姻届を例にとれば、検索した者が「夫」である場合は「夫」の指示入力を行う。

⑥ 不受理申出ファイル画面

事件本人について不受理申出ファイル(不受理申出ファイル参照)があるときには、不受理申出ファイルが強制的に表示される。不受理申出の内容と届書の内容を照合して不受理申出事項の該当しないときはこの画面で「受理」の区分を、該当するときは「不受理」の区分を入力する。

「不受理」の区分を入力しても届書入力は行うことになる。なぜなら受付ファイルは戸籍発収簿の機能(受付ファイル参照)を持つからである。

もし、届出と同時に不受理申出の取り下げがあるときは、届書入力を中止して各種ファイル更新処理から不受理申出のファイルの更新画面を開いて「取り下げ」の処理をしてから届書入力を行う。

⑦ 個人詳細表示画面

事件本人の身分事項と届書の内容を確認する。画面は戸籍検索の個人詳細表示画面と同じである。

事件本人が複数人いるときは検索画面に戻り次の人を検索する。

⑧ 副本記録情報検索画面

非本籍人の事件本人の副本記録情報を検索するためのキーを入力する。画面と検索キーは副本記録情報検索(副本記録情報検索を参照)と同じである。

⑨ 目的内利用確認(異動)画面

副本記録情報を検索するための目的を選択する。画面は副本記録情報検索のときと同じである。

⑩ 該当戸籍一覧(副本・異動)画面

検索キーに該当する副本記録情報が出力されるので、事件本人の副本記録情報を選択する。画面は副本記録情報検索と同じである。

⑪ 戸籍構成員一覧(副本・異動)画面

選択した戸籍の構成員の情報を確認する。ここで検索した事件本人が何に該当するか指示入力をする。

⑫　不受理申出ファイル(副本･異動)画面

事件本人について不受理申出ファイル(不受理申出ファイル参照)があるときには、不受理申出ファイルが強制的に表示される。不受理申出の内容と届書の内容を照合して不受理申出事項に該当しないときはこの画面で「受理」の区分を、該当するときは「不受理」の区分を入力する。

「不受理」の区分を入力しても届書入力は行うことになる。

⑬　個人詳細表示(副本･異動)画面

事件本人の身分事項と届書の内容を確認する。画面は副本記録情報検索の個人詳細表示画面と同じである。

事件本人が複数人いるときは検索画面に戻り次の人を検索する。

②　届書入力画面

事件本人の戸籍を特定して届書入力画面に戻ると戸籍データベース若しくは戸籍副本情報が保有している情報が該当する画面項目に出力される。

戸籍データベース若しくは戸籍副本情報から出力されない届書画面項目は届書と添付書類から入力する。

受理地から届書等情報が送信されたときは、添付の届書記載事項ファイルから画面項目を設定し、本籍人は本籍人検索を実施する。

届書画面の入力が終了して実行キーを押すと事件本人が本籍人であるときは検索した戸籍がロックされる。戸籍のロックとは、届書入力画面で事件本人の戸籍データベースを検索したときに、その戸籍について他の届書入力処理ができない、あるいは戸籍の証明が出力されないようにするために、システム的に戸籍データベースに処理の排他をかけることである。

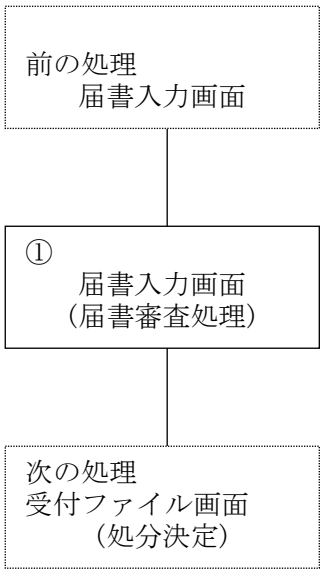
戸籍のロックは届出事件本人個人にかけるのではなく、戸籍全体にかける。これは届書の処理は事件本人だけでなく関連して別の人も処理されることがあるからである。例えば、転籍や氏の変更では届出人は筆頭者と配偶者であるが届出に基づく処理の対象は在籍者全員である。また婚姻している筆頭者が縁組する場合は配偶者も随従入籍するし、父母の婚姻により嫡出の身分を取得する準正子は父母との続柄が関連訂正対象である。転籍や氏の変更のときは届出の種別を判別して戸籍全体にロックをかけることは可能であるが、養子縁組や婚姻では届書の種類ではなくその届出の内容によって在籍者に影響をあたえるか判別する必要がある。これをシステムでロックするようにすると届書入力画面での入力項目が煩雑になってかえって処理効率が悪くなる。したがって、どの届書処理においても戸籍全体にロックをかけることにした。

戸籍にロックがかかると届書入力画面で事件本人の戸籍を検索するとロックされている旨が表示され、処理ができないようになる。また戸籍の証明を出力しようとするとやはりロックされている旨が表示される。ただし端末操作者の判断により個人証明を出力することができる。

戸籍のロックの解除は戸籍の選択を誤った場合等の例外を除いて原則的に決裁担当者(決裁参照)が仮戸籍(仮戸籍を参照)の記録が正しくなされるか確認して戸籍データベースの更新をしたときに解除される。

(6) 届書の審査

届書審査の処理画面



届書入力画面の入力項目が全て入力されたら実行キーを押すと本籍人の戸籍がロックされると同時に入力項目の審査が開始する。審査は届書入力画面上で行なわれる。審査の内容は次のとおりである。

① 単体チェック

入力項目の個々について矛盾がないかチェックする。たとえば年月日はありうる年月日であることなど。

入力項目に矛盾があるとその項目が強調表示される。

② 関連チェック

入力項目の相互に矛盾がないかチェックする。たとえば事件本人が外国人であるときは生年月日が西暦で本籍が国名であることなど。

入力項目の相互に矛盾があると関連する項目が強調表示される。

③ 法令審査

それぞれの届出事件によって民法･戸籍法等の関係法令の審査を行う。審査内容に対応したメッセージが画面上に出力される。表示されるメッセージの意味は次のとおりである。

エラー･メッセージ

システム審査により不受理要件があるとき表示される。

婚姻届を例にとり主なエラー･メッセージをあげれば次のようなものがある。

「重婚です。婚姻届は受理できません。」

「新本籍を入力してください。」

「新本籍には入力できません。」

確認メッセージ

システム審査により確認が必要なとき表示される。Y またはN で指示する。

「(確)婚姻要件具備証明書等が添付されていますか。」

＊　事件本人に外国人がいるとき。

「(確)婚姻を証する書面が添付されていますか。」

＊　外国の方式で婚姻が成立したとき。

ガイダンス･メッセージ

システムで審査できない法令審査はヘルプ画面等を開くことにより、表示される。

「近親婚ではありませんね。」

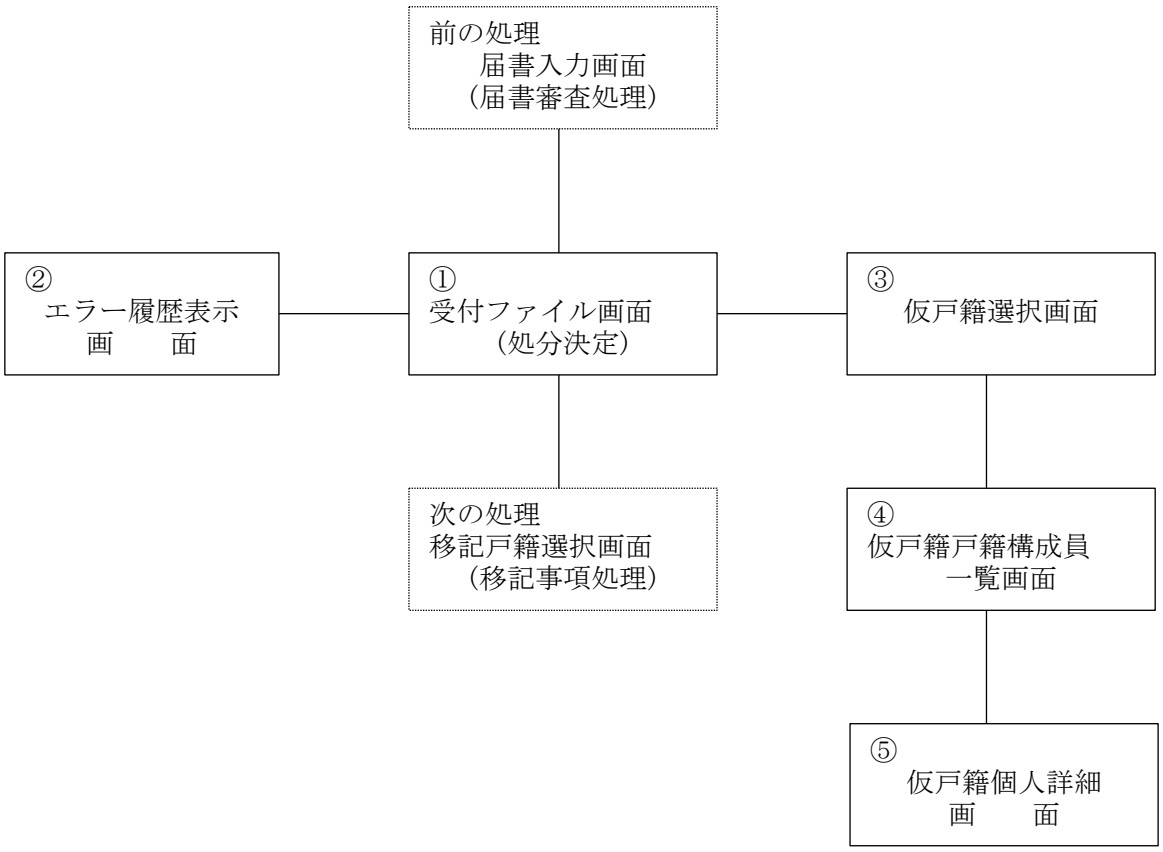
「証人の記載はありますか。」

エラー･メッセージと確認メッセージは出力されても審査を続けることができる。

それは次の受付ファイル(処分決定)画面で処分区分を入力して届出の処分を行ない、届書の記録を受付ファイルに残さなければならないからである。

審査が終了すると受付ファイル画面に展開する。

(7) 受付ファイル画面(処分決定)



① 受付ファイル(処分決定画面)

届書入力画面の入力項目にしたがい受付ファイルが作成される。受付ファイル画面が出力されるので処分区分を入力する(受付ファイルと処分区分については受付ファイル参照)

② エラー履歴表示画面

届書審査を行なった際に表示された「エラー・メッセージ」と「確認メッセージ」を一覧で表示する画面である。端末操作者はこの画面を参照しながら処分区分を入力する。

③ 仮戸籍選択画面

現行制度の仮戸籍は、関東大震災など天災より戸籍が大量に滅失してしまったときや(大正 14 年 2 月 27 日民事 537 回答)、終戦直後、本籍を沖縄県に有しており本土に在住している者の身分登録簿(昭和 20 年 8 月 28 日民事特甲 350 通達)としてなど、応急処置の方法として通達や回答で示されている。

ところで、ここでいう仮戸籍とは、システムでの仮戸籍であり、現行制度における仮戸籍とは異なる。システムの仮戸籍は、届出により戸籍データベースに戸籍情報を記録するとき、入力情報を確認するために作成する仮の戸籍データベースである。作成は、戸籍単位で行われ、その方法は、届書審査処理とそのほかの処理では異なり、届書審査処理とそのほかの処理でも新戸籍編製、個人の入・除籍など戸籍の処理方法によって異なる。

システム処理(システムの審査機能を活用する方法)では、次のとおりである。届出により事件本人について新戸籍を編製する場合は、システムが入力情報に基づいて受理と判定した時に自動的に作成する。届出により事件本人の戸籍内容を変更する(入籍・除籍・単なる記載)場合は、検索して戸籍を特定した時にその戸籍と同一内容で作成される。さらに、入力情報により届出を受理と判定した時、その届出の事項が仮戸籍に加

えられる。非本籍人については、作成しない。また、受理以外のシステム判定では、作成された仮戸籍は、削除される。

審査結果入力処理と戸籍訂正･追完処理(届出の審査を人手で行い、その結果を入力する方法)では、次のとおりである。新たに戸籍を作成するときは、まず第 1 に戸籍特定情報を入力し、次に戸籍事項情報、さらに、氏名情報、個人特定情報、身分事項情報と順次データベースのファイル構成(戸籍データベースの項参照)情報を入力するたびに対応する当該ファイルが作成される。最後に、これらのファイル情報にデータベースとして矛盾が無いかチェックされることによって仮戸籍となる。届出により事件本人の戸籍内容を変更する(入籍･除籍･単なる記載)場合は、検索して該当戸籍を特定したときに作成する。その後は、この仮戸籍を対象に戸籍情報の入力を行う。レアケース処理では、現行のタイプ･ライターと同じ感覚で戸籍の記載処理を行うことになる。当然のことではあるが、非本籍人および受理処分をしない届出については、この処理はない。

仮戸籍を消す時期は、いずれの処理の場合でも、戸籍データベースを仮戸籍と同じ内容で更新したときである。

(8) 移記事項入力処理

移記事項入力は法規則第 37 条(管外転籍の場合の記載事項)と同規則第 39 条(身分事項の移記)に定める事項を戸籍に記録するための入力処理である。

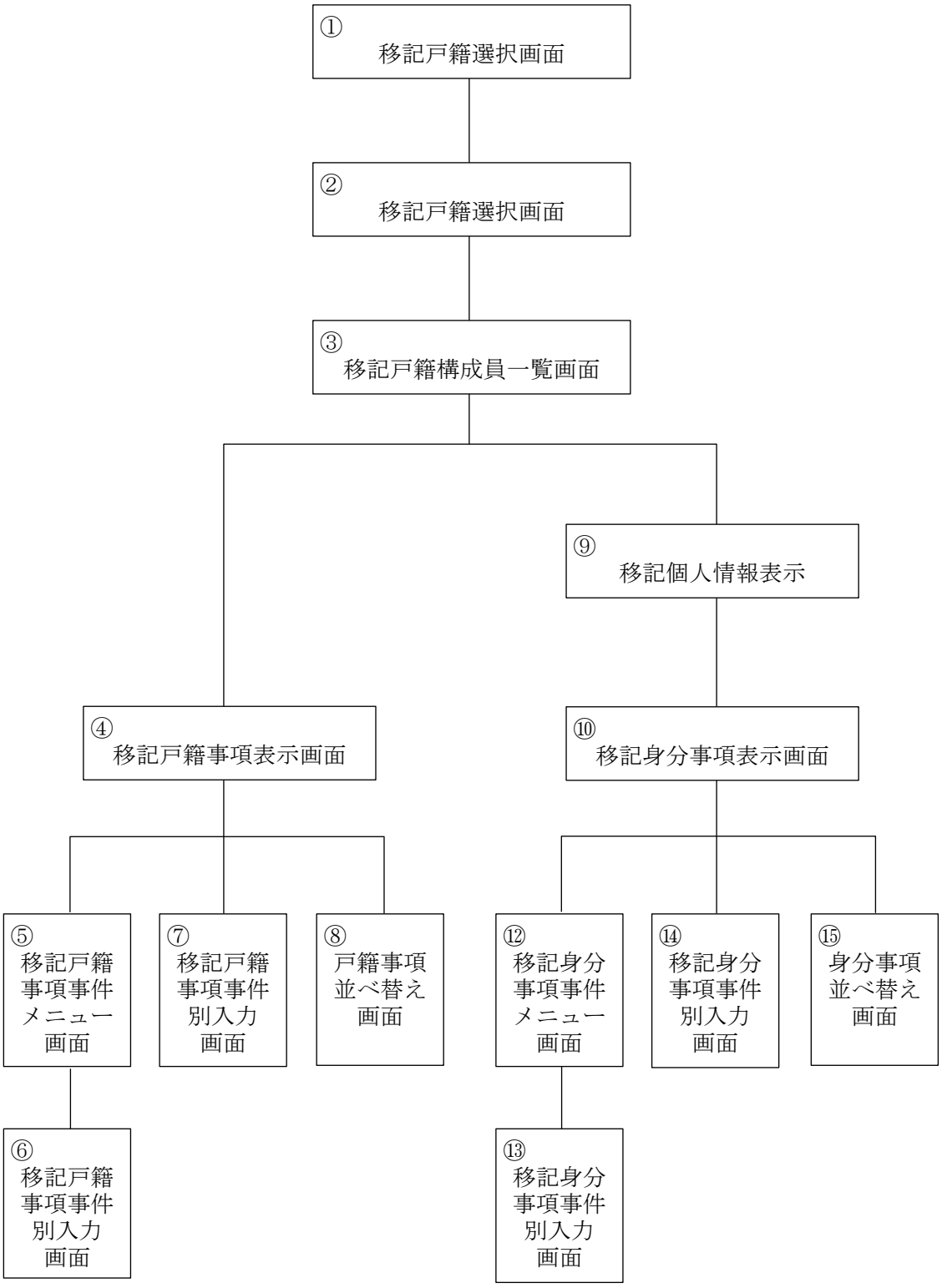
処分決定の項で述べたように「移記戸籍選択画面」は処分決定から引き続き画面を展開することもできるし、処分決定以降の処理をいったん中断した場合は、戸籍メニュー画面から移記事項処理を選ぶことにより画面を開くこともできる。つまり、移記事項の入力は窓口の担当者が処分決定からの一連の作業として行うこともできるし、また窓口担当者は届書の入力と処分決定だけを行い移記事項の入力は別の者がすることもできる。

戸籍メニュー画面から画面を開くときには、移記事項処理を選択する。「移記戸籍選択画面」に展開するので、受付ファイル画面(処分決定)で届書に記載した「受領番号」を入力してキーを押す。「受領番号」に関係した仮戸籍の一覧(従前戸籍の仮戸籍も表示される。)が表示されるので、移記事項を入力する仮戸籍を選択する。処分決定から引き続き処理する場合は「移記戸籍選択画面」に展開することによりそれまでに処理した仮戸籍が表示されるので、移記事項を入力する戸籍を選択する。

移記戸籍選択画面には従前戸籍の仮戸籍も表示される。しかし、データ保護の観点から従前戸籍の仮戸籍に記録した情報はいっさい処理することはできない。従前戸籍の仮戸籍は移記事項を確認するために表示のみする。

また、届書から入力した事項に基づき記録した事項(戸籍事項･身分事項等)も変更することができない。届書により記録した事項は受付ファイルにも同様の内容で記録されている。したがって、届書入力により記録した仮戸籍の事項を修正するときは再入力となる。

(9) 移記事項入力処理の画面展開



① 移記戸籍選択画面

処分決定で届書に記載した「受領番号」を入力する。

処分決定から引き続き処理している場合はそのまま実行キーを押す。

② 移記戸籍選択画面

移記事項を入力する仮戸籍を選択する。

事件本人が本籍人であるときには従前戸籍も含めて表示される。この場合入籍戸籍または新戸籍の仮戸籍を選択する。

③ 移記戸籍構成員一覧画面

戸籍検索のときの戸籍構成員一覧画面と同じ構成の画面である。

戸籍事項へ移記すべき事件があるときには「移記戸籍事項事件表示画面」に画面を展開する。戸籍事項へ移記すべき事件がないときには、事件本人を選択して「個人情報表示画面」に画面を展開して身分事項の移記をする。

④ 移記戸籍事項表示画面

選択した仮戸籍の戸籍事項の一覧を表示する。この画面で処理を選択する。処理は「記録」・「修正」・「削除」・「並べ替え」の 4 つである。「記録」を選択すると「移記事件メニュー画面」に、「修正」を選択すると「戸籍事件別入力画面」に、「並べ替え」を選択すると「戸籍事並べ替え画面」に展開する。「削除」は当該事件をこの画面で削除することができる。

⑤ 移記戸籍事項事件メニュー画面

戸籍事項に移記する事件名を選択する画面である。事件名を選択すると次の画面で入力する項目が表示されるので、それにしたがって入力する。記録すべき事件が複数あるときは一つの事件を入力し終わるたびにこの画面に戻り次に移記する事件名を選択する。

選択する事件名は次のとおりである。

(ア)氏の変更
(イ)戸籍法 107 条 2 項
(ウ)戸籍法 107 条 3 項
(エ)戸籍法 107 条 4 項
(オ)戸籍法 73 条の 2
(カ)戸籍法 69 条の 2
(キ)戸籍法 77 条の 2
(ク)戸籍法 75 条の 2
(ケ)氏の振り仮名の記録(届出)
(コ)氏の振り仮名の変更

⑥ 移記戸籍事項事件別入力画面(記録)

⑤移記戸籍事項事件メニュー画面で選択した事件に対応する項目が表示されるので、項目にしたがって入力する。

移記入力する戸籍事項が複数あるときには、⑤移記戸籍事項事件メニュー画面に戻り再度事件を選択する。

⑦　移記戸籍事項事件別入力画面(修正)

「移記戸籍事項表示画面」で修正する事件を選択して「修正」を指示するとこの画面に展開する。戸籍事項の修正は決裁処理で入力の誤りを発見したときに活用する。ただし、ここで修正できるのは移記した事件だけである。「戸籍の編製年月日」・「戸籍の消除年月日」など受付ファイルにも影響する事項は処理できない。届書入力画面からの再入力となる。

⑧　戸籍事項並べ替え画面

戸籍事項として移記した事件の順番を替えるときに使う。移記事項の並べ替えは「移記事件メニュー画面」で入力順を誤ったときや決裁で順番の誤りが発見され「修正指示」があったときに利用する。

⑨　移記個人情報表示

個人特定情報を入力する。通常個人特定情報は届書入力画面で入力するのでここでの入力はあまりない。転籍届出での父の氏名・母の氏名・父母との続柄は届書入力画面から入力しないのでここで入力する。また個人特定情報へ養父の氏名・養母の氏名・養父母との続柄を移記する場合もこの画面から入力する。

⑩　移記身分事項表示画面

事件本人の身分事項の一覧が表示される。この画面で処理を選択する。処理は「記録」・「修正」・「削除」・「並べ替え」の 4 つである。「記録」を選択すると「移記事件メニュー画面」に、「修正」を選択すると「事件別入力画面」に、「並べ替え」を選択すると「身分事項並べ替え画面」に展開する。「削除」は身分事項を削除するときに選択する。「削除」はこの画面で行う。なお届書入力により記録された身分事項についてはいっさい処理をすることができない。届書から入力した情報は受付ファイルにも同様の内容で記録されている。したがって届書入力により記録された身分事項を修正するときには届書入力画面からの再入力となる。

身分事項の移記入力は次の 2 つに大別することができる。

ア　従前戸籍が管内であるとき

入籍戸籍・新戸籍の仮戸籍に従前戸籍から移記すべき身分事項を自動的に複写する。従前の戸籍に記録されたものをそのまま複写するので、移記をする際に引き直しを必要とする場合には「移記事件別入力画面」へ画面展開指示をする。また、婚姻・養子縁組などの身分形成事項と離婚・養子離縁などの解消事項が複数あるときには、システムでは対応が判別できないので全てを移記してしまう。この場合には移記不要な身分事項を消除する。

イ　　従前戸籍が管外であり届書入力時に異動検索(非本籍人)で事件本人を選択したとき

異動検索(非本籍人)で選択した非本籍人の副本記録情報を基に、入籍戸籍・新戸籍の仮戸籍に従前戸籍から移記すべき身分事項を自動的に複写する。従前の戸籍に記録されたものを戸籍情報連携システムから取得して複写するので、移記をする際に引き直しを必要とする場合には「移記事件別入力画面」へ画面展開指示をする。戸籍情報連携システムから副本記録情報を取得する際に文字変換を行うため、文字が正しく表示されていない可能性がある。このため身分事項の内容を確認し修正が必要な身分事項を修正する。また、婚姻・養子縁組などの身分形成事項と離婚・養子離縁などの解消事項が複数あるときには、システムでは対応が判別できないので全てを移記してしまう。この場合には移記不要な身分事項を消除する。

ウ　従前の戸籍が管外であり届書入力時に異動検索(非本籍人)で事件本人を選択せずに入力したとき

副本記録情報から出力した全部事項イメージを基に移記事項を入力する。入力は「移記事件メニュー画面」を開いて行なう。

エ　受理地から届書等情報の送信があった場合、従前戸籍が管内の場合はアと同じであり、従前戸籍が管外の場合は添付の戸籍副本情報から複写する。なお、この場合文字に関する注意点はイと同じである。

⑫　移記身分事項事件メニュー画面

規則第 39 条に定める移記すべき身分事項をこの画面で選択する。事件名を選択すると次の画面で選択した事件に対応する入力項目が表示されるので、それにしたがって入力する。記録すべき事件が複数あるときには一つの事件を入力し終わるたびにこの画面に戻り次に移記する事件名を選択する。

選択する事件名は次のとおりである。

(ア)出生
(イ)認知(被認知者の記録)・(認知した親に対する記録)
(ウ)養子縁組
(エ)特別養子縁組(養子の新戸籍の記録)・(養子の入籍戸籍の記録)
(オ)婚姻
(カ)親権(管理権)
(キ)後見
(ク)保佐
(ケ)推定相続人排除
(コ)国籍選択
(サ)配偶者の国籍喪失
(シ)外国国籍喪失
(ス)名の変更
(セ)外国人配偶者の国籍変更
(ソ)外国人配偶者の氏名変更
(タ)名の振り仮名の記録(届出)
(チ)名の振り仮名の変更

⑬　移記身分事項事件別入力画面(記録)

⑫移記身分事項事件メニュー画面で選択した事件に対応する項目が表示されるので、項目にしたがって入力する。

移記入力する身分事項が複数あるときには、⑫移記身分事項事件メニュー画面に戻り再度事件を選択する。

⑭　移記身分事項事件別入力画面(修正)

「移記身分事項表示画面」で事件を選択して「修正」を指示するとこの画面に展開する。システムが従前戸籍から複写した身分事項を引き直す必要があるとき、移記身分事項事件メニュー画面から入力した身分事項を訂正するとき、決裁処理で入力の誤りを発見して「修正」指示があったときなどの場合にこの画面で処理する。

⑮　身分事項並べ替え画面

移記した身分事項の順番を替えるときに使う。移記事項の並べ替えは「移記身分事項事件メニュー画面」で入力順を誤ったときや決裁で順番の誤りが発見され「修正」指示があったときに利用する。

(10)　決裁処理(校合)

決裁処理とは現行の戸籍事務のなかの「校合」に相当する事務である。校合とは規則第 32 条に定める「文末認印」の押印とそれに先行して行われる戸籍の記載確認である。校合担当者は届書とそれに基づいて記載した戸籍を綿密に照合して記載に過誤がないことを確認した後でなければ文末認印を押印してはならないとされている。これは戸籍の記載の責任が事務管掌者である市区町村長に帰属するからである。戸籍の記載の確認は本籍・氏名・生年月日等の入力データの確認はもちろんのこと事件本人の入籍・除籍・新戸籍の編製から移記事項の確認まで戸籍の記載処理すべてを含む。またこのことから記載の正確性を確保するために市区町村では校合する者と戸籍を記載する者とをそれぞれ個別に配置して相互牽制の制度を確立しているのが一般的である。

システムによる戸籍への記録方法は「審査処理」・「審査結果入力処理」・「戸籍訂正追完処理」と 3 つある。「審査処理」は届書入力画面で届書からデータを入力すれば事件本人の入籍・除籍・新戸籍の編製から戸籍の記録までシステムが自動的に行う。ただし移記事項は別途入力する。「審査結果入力処理」・「戸籍訂正追完処理」は届書に基づく事件本人の入籍・除籍・新戸籍の編製から戸籍の記録まで全て入力する。いずれの記録方法であっても決裁を行うのは言うまでもない。またシステムにおいてもデータ入力者と決裁者の相互牽制作用を確保するために決裁処理は異動処理および移記事項入力処理から切り離した。決裁するにはメニュー画面から「決裁処理」を選択して決裁の権限を与えられた者のパスワードを入力することにより画面を開くことときできる。

システムによる決裁処理で入力することのできる決裁区分は「決裁」・「修正」・「誤処理」の 3 つである。以下これらの意味について説明する。但し、例外的に処分区分の「誤処理」は、この決裁処理で設定する(受付ファイルを参照)。

ア　決裁

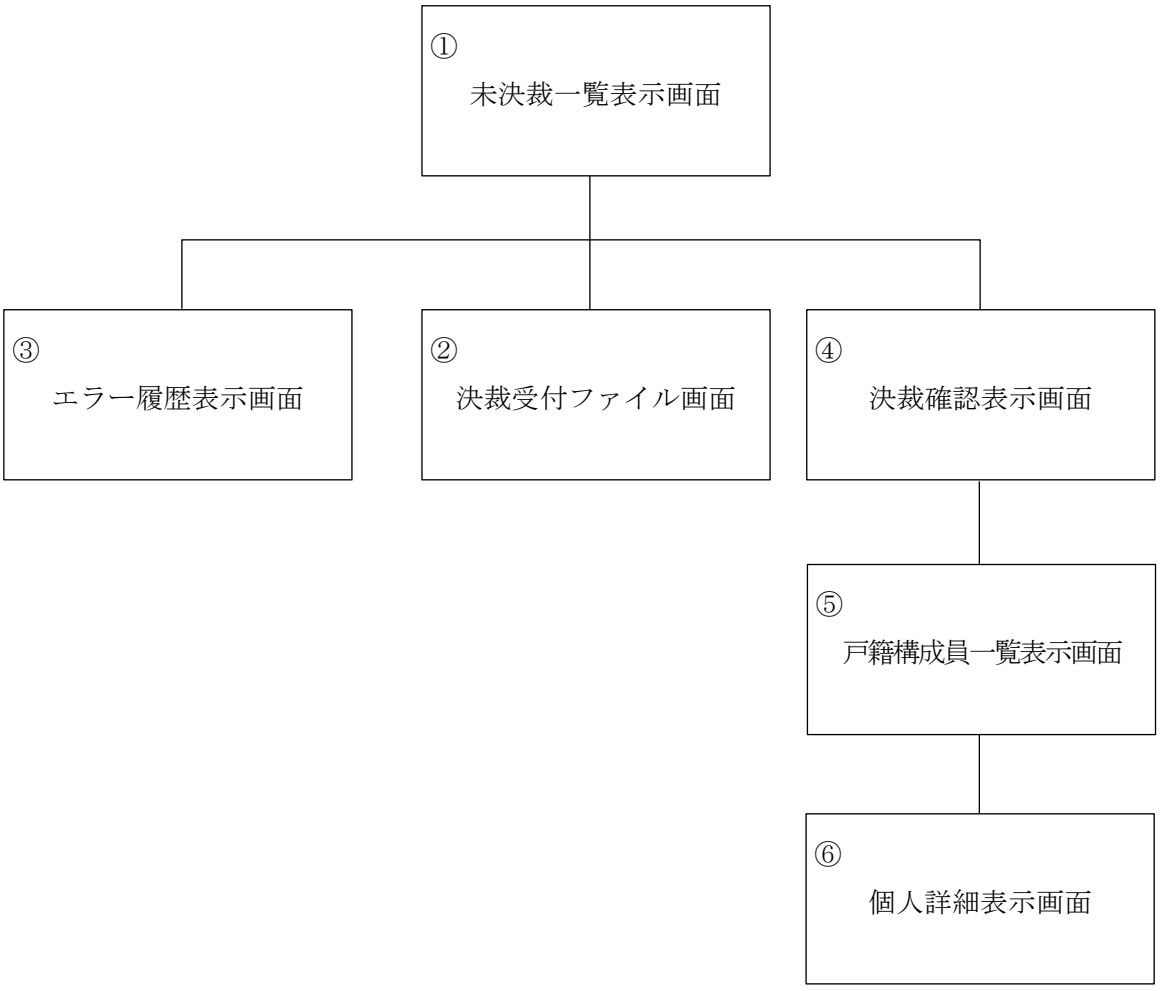
決裁担当者が届書と戸籍を照合して戸籍の記載に過誤がないことを認めたときに入力する。決裁担当者が「決裁」を入力するとシステムは「文末認印」に替わる「管掌者コード(「戸籍データベースの文末認印について」の項参照)を仮戸籍に入力し、仮戸籍と同じ内容で戸籍データベースを更新する。また同時に受付ファイルにも「決裁」が済んでいる旨を記録する。

イ　修正

決裁担当者が届書と戸籍を照合して戸籍の記載に過誤を発見したときに入力する。決裁担当者は「修正」を入力したときにはデータを入力した者に届書と添付書類を返戻してその旨を伝える。この場合届書データ入力者と移記事項データ入力者を別に設けてシステム運用をしているときには修正すべきデータに応じてその担当者に返戻することになる。

届書データに入力の誤りがあったときには担当者は届書に記載されている受領番号を入力して届書画面を開いて入力データの修正する。なおデータを修正して再度審査機能を活用した結果が不受理となったとしても、届書と添付書類に形式的無効原因がないかぎり届書を届出人に返戻してはいけない。修正後のデータでそのまま戸籍に記録する。訂正するのには関係者からの申立てによる家庭裁判所の審判の確定を待つことになる。これは戸籍制度上当然のことである。

(11)　決裁の画面展開



① 未決裁一覧表示画面

決裁処理は戸籍データ保護の観点から他の処理から独立しており、この画面は戸籍メニュー画面から「決裁処理」を選択して決裁者の資格を持った者のパスワードを入力することによってしか開くことができない。

この画面で実行キーを押すと決裁がなされていない受付ファイルの一覧が受領番号順に表示される。支所でも戸籍事務を行っている市区町村については支所番号を入力すると、その支所で記録した決裁がなされていない受付ファイルの一覧が表示される。また届出事件を特定して受付ファイルを表示したいときには受領番号を入力する。

② 決裁受付ファイル画面

画面は受付ファイル画面と同じである。届書および添付書類と仮戸籍(決裁用仮戸籍帳票あるいは画面)を綿密に照合する。届書および添付書類と仮戸籍を綿密に照合した結果、戸籍の記録に誤りがなければ「決裁」を入力する。決裁を入力することにより戸籍データベースが仮戸籍と同じ内容で更新され、受付ファイルにも決裁済みである旨のコードが入力される。

戸籍の記録に誤りがあれば「修正」を入力する。「修正」を入力したときには、その修正個所が届書入力に係わる事項であれば届書入力者に、移記事項入力に係わる事項であれば移記事項入力者に届書を返戻して、その旨を伝える。

事件本人の指定誤りや形式的に判断して無効な届出である等、処理に根本的な誤りを発見したときには「誤処理」を入力して、届書入力者に届書を返戻のうえその旨を伝える。

③ エラー履歴表示画面

届書入力で表示された「エラーメッセージ」と「確認メッセージ」の一覧が表示される。確認メッセージ」については届書入力者の応答内容も表示される。この画面を参照して決裁区分を入力するうえでの判断の一助とする。

④ 決裁確認表示画面

従前戸籍･入籍戸籍･新戸籍など一つの受領番号に係わる全ての仮戸籍一覧が表示される。参照したい仮戸籍を選択する。

⑤ 戸籍構成員一覧表示画面

決裁確認表示画面で選択した仮戸籍の構成員一覧画面が表示される。戸籍検索での戸籍構成員一覧画面と同じである。この画面で戸籍事項および構成員を確認する。身分事項を確認するのには事件本人を選択して個人詳細画面へ展開する。

⑥ 個人詳細表示画面

選択した事件本人の身分事項が表示される。画面は戸籍検索のときの個人詳細表示画面と同じである。届出により記録された身分事項、移記入力された身分事項を確認する。

（３－１０）審査結果入力処理

1　「審査結果入力処理」とは、「審査処理」において自動的に処理できない事件で、「訂正・更正・追完処理」によって処理するものではない事件についての処理である。

したがって、「審査結果入力処理」によって処理する事件は、「審査処理」において自動的に処理できない通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)及び通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件となり、次のようなものとなる。

①　「審査処理」によっては、自動的に審査ができない届出事件

②　「審査処理」によっては、自動的に戸籍の編製ができない届出事件

③　市区町村長が職権で記録する事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)

④　通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍に記録前の追完事件

なお、戸籍訂正・更正・追完事件(通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件を除く。)は、「訂正・更正・追完処理」によって処理するものである。

2　「審査結果入力処理」においては、現在のブックシステムにおける戸籍と届書による審査⇒受理決定⇒記載の処理⇒文末認印の手順と同様にして、システムにおいても、職員が届書と画面で検索した戸籍から審査し、その結果により受理決定して受付帳を作成し、戸籍の記録処理を行い、この後に決裁処理を行うこととなる。そして、この戸籍の記録処理においては、戸籍の変動(編製、消除、回復等)、戸籍における個人の変動(入籍、除籍等)、戸籍事項、身分事項の記録内容などを画面上指示し、該当事件に関係するすべての仮戸籍を手作業により作成することとなる。

つまり、審査結果入力処理においては、処分決定後、手作業により受付帳を作成し、必要に応じ手作業により仮戸籍を作成し、それから決裁処理を行うという処理手順となる。

3　「審査処理」とのシステム上の相違点は、別表のとおりである。

4　「審査結果入力処理」における戸籍の記録処理においては、通常の「審査処理」において予定する各戸籍の記録処理を手作業により可能とするほか、通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍に記録前の追完事件についての戸籍の記録処理を可能とする。

さらに、通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)による戸籍の処理が、戸籍の訂正事件の系統での処理となる場合に、その必要とされる戸籍の記録処理をも可能とすべきものであるが、これ以外の戸籍の訂正・更正・追完事件処理に可能とされるべき戸籍の記録処理はできないものとすべきである。つまり、戸籍の訂正・更正・追完事件の処理は、既に記録されている事項についての修正(置き換え)、追加、削除となるため、それらの処理は、「訂正・更正・追完処理」において、必ず、当該訂正・更正・追完処理についての処理事項を記録し、この処理をしたことを明示した上でなければできないとするものである。

5　この「審査結果入力処理」において可能とされるべき戸籍の訂正・更正・追完事件の系統での処理の例としては、次のようなものがある。

① 個人回復

失踪宣告取消届出事件

② 戸籍回復

ア．失踪宣告により除籍となっている後に失踪宣告取消届出事件がだされた場合

イ．離婚後 300 日以内の嫡出子の出生届出事件で両親の婚姻中の戸籍が子の出生後届出までの間に除籍となっている場合

③ 父母との続柄の訂正

ア．準正の場合の婚姻届出事件、認知届出事件に必要

イ．年少である嫡出子が戸籍にある場合の年長である嫡出子の遅れた出生届出事件

6　「審査結果入力処理」における受付帳の事件名については、通常の「審査処理」において予定する各処理の事件名と同様に『出生』『認知』等・・の届出事件名を記録する必要がある。また、「審査結果入力処理」において通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍の記録前の追完事件に関しては、当該市区町村に追完届出がなされた場合、受付帳に事件名『追完』として記録する必要がある。

なお、「審査結果入力処理」における戸籍の記録処理においては、届書に基づいて処理するのが原則であり、事件名『訂正(市区町村長職権)』等、或いは『更正』となる処理は通常行うことができず、受付帳にも記録されることはない。

別表

	個別事務	審査処理	審査結果入力 訂正・更正・追完
戸籍事務	受付帳の作成	○	○
	戸籍処理(編製・記録・消除等)	○	○
	個人状態情報の更新	○	×
	不受理申出情報の更新	○	×
	宛名の作成	○	×
	事件表(統計)の作成	○	○

なお、戸籍関連事務(戸籍の附票処理(住基法通知含む)、火葬等事務、人口動態調査事務、他)は各システムの標準仕様書に従う。

また、相続税法第 58 条通知は戸籍情報連携システムから国税庁にデータ連携される。

（３－１１）訂正・更正・追完処理

1　概説

(1)　訂正・更正・追完処理は、法第 59 条、第 113 条、第 114 条、第 116 条による戸籍の訂正の申請、同法第 24 条第 2 項、同条第 3 項、規則第 41 条、第 43 条、第 45 条による市区町村長による職権訂正・更正及び法第 45 条による追完届についての処理である。

訂正・更正・追完処理は、その処理の内容がさまざまであるため、システムで自動的に行うことはできない。したがって、「審査結果入力処理」と同様に、戸籍と申請書等により審査、判断した結果を、手作業により入力して処理することとなる。

(2) 訂正・更正・追完処理においては、受付帳の作成及び戸籍の記録の処理は手作業となり、記録処理においては、戸籍の変動(編製、消除、回復等)、戸籍における個人の変動(入籍、除籍等)、戸籍事項、身分事項等の記録内容などを画面上指示し、該当事件に関係する全ての仮戸籍を手作業により作成し、この後に決裁処理を行うこととなるが、決裁処理の段階では、必ず、受付帳と仮戸籍が作成されていなければならないものである(非本の訂正を除く)。

(3) 訂正・更正・追完処理においては、既に記録されている事項の修正(置き換え)、追加、削除を行うことから、この処理をしたことを明らかとするため、必ず、訂正・更正・追完処理事項を入力して記録しなければならないものとする(タイトルによる明示)。

(4) 訂正・更正・追完処理による事件の内容等を、タイトルを付して大別すれば、別表 1 のとおりとなる。

2　訂正・更正・追完処理による修正(置き換え)、追加、消除の具体的処理方法

(1) 総則

訂正・更正・追完処理においては、この処理をしたことを明らかとするため、必ず訂正・更正・追完処理事項を記録し、タイトルにより明示しなければならない。

(2) 記録の修正(置き換え)

既に記録されている事項を修正(置き換え)するときは、当該記録を置き換え、従前の記録は、消除することなく、必ず、訂正・更正・追完処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする。現行のブックシステムにおける朱線抹消に類する作業、表示は行わない。

①　本籍又は筆頭者の記録を修正(置き換え)するときは、戸籍事項に、訂正・更正・追完処理事項を、「訂正」、「文字訂正」、「更正」、「文字更正」、「追完」などのタイトルを付した上で記録する。従前の記録は、この戸籍事項の訂正・更正・追完処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例 1 を参照。)。

②　「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)を修正(置き換え)するときは、身分事項に、訂正処理事項を、当該訂正処理事項のタイトルを、「訂正」、「文字訂正」と付した上で記録する。従前の記録は、この身分事項の訂正・更正・追完処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例 2 を参照。)。

③　戸籍事項又は身分事項の既応の記録を修正(置き換え)するときは、当該修正に係る戸籍事項又は身分事項の次に続けて、訂正・更正・追完事項を、「訂正」、「文字関連訂正」、「更正」、「文字関連更正」、「追完」などの段落ちによるタイトルを付した上で記録する。従前の記録は、この訂正・更正・追完処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例3を参照。)。

(3) 追加記録

既に記録されている事項に、記録を一部追加するときは、追加する記録を所要の場所に追加記録した上、必ず、訂正・更正・追完処理事項の記録中に、当該追加した記録の内容を【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録するものとする。

①　「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)を追加記録する場合は、追加する記録を所要の場所に追加記録した上、身分事項に、訂正・追完処理事項を、「記録」又は「追完」のタイトルを付した上で記録する。追加した記録の内容は、この身分事項の訂正・追完処理事項の記録中に、【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録するものとする。

②　一戸籍事項又は一身分事項の全部を追加記録するときは(記録処理として、当該記録についてのタイトル(段落ちでないもの)を付して、一戸籍事項又は一身分事項全体を記録するときは、それは、当該事件についての記録処理そのものであって、追加記録処理には当たらない。したがって、ここで、一戸籍事項又は一身分事項の全部を追加記録するときとは、当該戸籍事項又は身分事項の記録すべてを過誤により遺漏した場合などにする追加「記録」そのものと、他の戸籍の戸籍事項又は身分事項の記録を、当該記録が本来記録されるべき戸籍の所要の箇所に「移記」して記録する場合である。)、当該追加記録する戸籍事項又は身分事項のタイトルを付して追加記録を行った上、当該追加記録に係る戸籍事項又は身分事項の次に続けて、当該訂正処理事項を、段落ちによる「記録」又は「移記」のタイトルを付した上で記録する。この場合には、追加した記録の内容を【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録する必要はない(事例4を参照。)。

③　戸籍事項又は身分事項の記録に、一部追加記録するときは、追加する記録を所要の場所に追加記録した上、当該追加記録に係る戸籍事項又は身分事項に続けて、訂正・追完事項を、当該訂正・追完処理の区分に応じて、「訂正」、「追完」の段落ちによるタイトルを付した上で記録する。追加した記録の内容は、この訂正・追完処理事項の記録中に、【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録するものとする(事例5を参照。)。

この場合のタイトルを、訂正処理の場合は「訂正」、追完処理の場合は「追完」とするのは、例えば、一訂正申請において、修正(置き換え)と一部追加記録の二つの処理を要する場合に、この二つの処理を各個の訂正処理により行うとすることが煩瑣であるため、「訂正」の一つのタイトルの下に、一度により処理することとすることによるものである。

なお、訂正処理と追完処理とを一度により行うことはできないものとする。

(4) 記録の消除

既に記録されている事項を消除するときは、当該消除する記録を、記録上消除することなく、必ず【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする。現行のブックシステムにおける朱線抹消及び朱線交叉に類する作業、表示は行わない。また、現行における朱線抹消及び朱線交叉の区別は行わない。

① 「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)を消除するときは、身分事項に、訂正処理事項を、「消除」のタイトルを付した上で記録する。消除する記録は、記録上消除することなく、必ず、この身分事項の訂正処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする。

② 一戸籍事項又は一身分事項の全部を消除するときは、訂正処理事項を、「消除」又は「移記」のタイトルを付した上で記録する。消除する記録がある場合は、記録上消除することなく、必ず、この訂正処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとするが、当該消除された戸籍事項又は身分事項のタイトルは、表示させないものとする(事例7を参照。)。

③ 戸籍事項又は身分事項の記録を一部消除するときは、当該一部消除に係る戸籍事項又は身分事項に続けて、訂正・追完事項を、当該訂正・追完処理の区分に応じて、「訂正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付した上で記録する。一部消除する記録は、記録上消除することなく、必ず、この訂正・追完処理事項の記録中に、【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例8を参照。)。

この場合のタイトルを、訂正処理の場合は「訂正」、追完処理の場合は「追完」と限るのは、例えば、一訂正申請において、修正(置き換え)と一部消除の二つの処理を要する場合に、この二つの処理を各個の訂正処理により行うとすることが煩さであるため、「訂正」の一つのタイトルの下に、一度により処理することとすることによるものである。

なお、訂正処理と追完処理とを一度に行うことはできないものとする。

④ 現行のブックシステムにおいて、個人が除籍されるときは、システムにおいては「戸籍に記録されている者」の欄に、除　籍マークを付すことにより表示するものとし、現行のブックシステムにおいて、個人が消除されるときは、システムにおいては「戸籍に記録されている者」の欄に、消　除マークを付すことにより表示するものとする。したがって、除籍者が消除されるときは、消　除マーク及び除　籍マークの両方のマークを併記して表示するものとする。現行のブックシステムにおける朱線交叉に類する作業、表示は行わないものとする(事例9を参照。)。

(5) 補則

① 同一の戸籍事項又は身分事項の既に記録されている事項に対して、修正(置き換え)、一部追加記録、一部消除の処理をすべき訂正・更正・追完処理を重ねて行う場合には、当該訂正・更正・追完処理事項の記録は、当該各処理の時系列により記録するものとする。

② 戸籍事項又は身分事項の既に記録されている事項に対して、一事件により、二つ以上の修正(置き換え)、一部追加記録又は一部消除の処理をする場合は、当該訂正・更正・追完処理事項の記録は、当該訂正・更正・追完処理の区分に応じて、「訂正」、「更正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付した上で一件の記録により記録するものとする。

これは、例えば、一訂正申請において、修正(置き換え)と一部消除の二つの処理を要する場合に、この二つの処理を各個の訂正処理により行うとすることが煩瑣であるため、「訂正」の一つのタイトルの下に、一度に処理することとすることによるものである。

③　現行のブックシステムにおいては、一文の記載により複数箇所の訂正を記述し、訂正される事項については、必ずしも各別に当該訂正に係る記載を表記しない処理を行っている。しかしながら、システムにおいては、データ保護の観点から、各修正、追加、消除を行う場合には、必ず、各修正、追加、消除ごとにそれぞれ所要の各処理を要するものとする。このため、例えば、父に当たる者の名の文字訂正を行った場合は、子に当たる者の父欄の名等を関連して文字訂正する必要があるが、この文字訂正は、基本となる文字訂正に関連するものとして、基本となる文字訂正と区別し、この関連する文字訂正については、全部事項証明書及び個人事項証明書には出力しないものとする。

(6) 次に具体的な処理事例を示す。

事例1　本籍の記録の一部の更正(置き換え)
事例2　戸籍に記録されている者に係る記録の修正(置き換え)
事例3　一身分事項の記録の一部の修正(置き換え)
事例4　一身分事項の全ての追加記録
事例5　一身分事項の一部の追加記録
事例6　一個人の全ての記録の追加記録
事例7　一身分事項の記録の全部消除
事例8　一身分事項の記録の一部消除
事例9　一個人の全ての記録の消除

3　訂正・更正・追完処理におけるタイトルの付し方等についての概略説明

(1) 訂正事件処理

①　訂正

「訂正」のタイトルを付すのは、本籍、筆頭者の記録又は「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)を修正(置き換え)する場合である。

「(段落ち)訂正」のタイトルを付すのは、戸籍事項又は身分事項に記録されている事項について、修正(置き換え)、一部追加記録及び一部消除する場合である。

②　文字訂正

「文字訂正」のタイトルを付すのは、筆頭者欄の氏及び各戸籍に記録されている者の名欄の名の文字訂正をする場合である(筆頭者についての氏は筆頭者欄の氏を文字訂正するが、筆頭者についての名は「戸籍に記録されている者」の名欄の名の文字訂正を行うものとする。)。

③　「文字関連訂正」

「文字関連訂正」のタイトルを付すのは、筆頭者の名の文字訂正を行った場合において、筆頭者欄の筆頭者の名を関連して文字訂正する場合又は父の名の文字訂正を行った場合において、子の父欄の父の名を関連して文字訂正する場合などである。

「(段落ち)文字関連訂正」のタイトルを付すのは、夫の名の文字訂正を行った場合において、妻の婚姻事項における配偶者氏名の夫の名を関連して文字訂正する場合などである。

④　「記録」

「記録」のタイトルを付すのは、「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)を過誤により記録漏れとしている場合に、これに追加記録する場合である。

「(段落ち)記録」のタイトルを付すのは、戸籍事項又は身分事項に記録すべき事項を、過誤により、一事項全てが記録漏れとなっている場合に、当該記録事項のタイトルをも付した上で、これを追加記録する場合である。

また、一個人全てを遺漏したときは、一個人全てを追加記録したうえ、身分事項の末尾に「記録」のタイトルを付した訂正事項を記録すれば足り、一身分事項ごとに「(段落ち)記録」のタイトルを付す必要はない。

なお、戸籍事項又は身分事項の記録に、一部追加記録するときは、当該一部追加記録となる訂正・追完処理の区分に応じて、「訂正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付すものとする。

⑤　「消除」

「消除」のタイトルを付すのは、戸籍事項の記録、「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)又は身分事項の記録の各一記録の全部を消除する場合である。

なお、戸籍事項又は身分事項の記録を一部消除するときは、当該一部消除となる訂正・追完処理の区分に応じて、「訂正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付すものとするので、「(段落ち)消除」のタイトルを付す必要はない。

⑥　「移記」

「移記」のタイトルを付すのは、戸籍事項又は身分事項の有効な記録を当該記録が本来記録されるべき戸籍の所要の欄に移記することにより、当初の記録を消除する場合、例えば、親子関係の不存在により、新たな出生届をもって他の戸籍に入籍した者について、従前の戸籍からその者についての婚姻事項を移記する場合において、当該婚姻事項を消除するときなどである。

「(段落ち)移記」のタイトルを付すのは、戸籍事項又は身分事項の記録を、当該記録が本来記録されるべき他の戸籍の所要の箇所に移記して記録する場合である。

⑦　「入籍」

「入籍」のタイトルを付すのは、誤った戸籍にある者を本来あるべき戸籍に入籍させる場合、例えば、離婚後 300 日以内に出生した子について、嫡出否認とされ、離婚後の母の戸籍に入籍させる場合に、当該入籍させる旨の身分事項を記録する場合などである。

なお、この場合には、当該入籍させる者の他の身分事項については、訂正・更正・追完処理事項を記録することなく記録する必要が生じる(上記の例における出生事項など。)ことがあるので注意されたい。

⑧　「子の入籍」

「子の入籍」のタイトルを付すのは、例えば、離婚後 300 日以内に出生した子について、嫡出否認とされ、離婚後の母の戸籍に入籍させる場合において、子を入籍させれば三代戸籍となるため、母について新戸籍を編製すべきときにする当該母の従前の戸籍において母を除籍させる身分事項の記録をする場合及び当該母の新戸籍において母を入籍させる身分事項の記録をする場合である。

⑨　「除籍」

「除籍」のタイトルを付すのは、誤った戸籍にある者を本来あるべき戸籍に入籍させる場合、例えば、離婚後 300 日以内に出生した子について、嫡出否認とされ、離婚後の母の戸籍に入籍させる場合に、婚姻中の父母の戸籍において、当該子について除籍させる旨の身分事項を記録するときなどである。

⑩　「戸籍回復」

「戸籍回復」のタイトルを付すのは、戸籍消除の記録を消除して戸籍を回復する場合における、その回復後の戸籍の戸籍事項欄に戸籍回復の記録をする場合である。

⑪　「引取り」

「引取り」のタイトルを付すのは、父母が棄児について出生届をした後、当該棄児の戸籍の身分事項に引取りにより消除の旨を記録する場合である。

⑫　「子の復籍」

「子の復籍」のタイトルを付すのは、例えば子が離婚等により母の戸籍に復籍する場合において、子を復籍させれば三代戸籍となるため、母について新戸籍を編製すべきときにする当該母の従前の戸籍において母を除籍させる旨の身分事項を記録する場合及び当該母の新戸籍において母を入籍させる身分事項を記録する場合などである。

(2) 更正事件処理

①　「更正」

「更正」のタイトルを付すのは、本籍、筆頭者の記録又は「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名、父母(養父母)との続柄、名、出生年月日)について、例えば「行政区画の名称変更」により本籍の表示を修正(置き換え)するなどの更正をする場合である。

「(段落ち)更正」のタイトルを付すのは、戸籍事項又は身分事項に記録されている事項について、例えば、出生届の届出人「同居者男」を同人の認知により「父」に修正(置き換え)するなど、更正により当該記録の修正(置き換え)をする場合である。

②　「文字更正」

「文字更正」のタイトルを付すのは、筆頭者欄の氏及び各戸籍に記録されている者の名欄の名の文字更正をする場合である(筆頭者についての氏は筆頭者欄の氏を文字更正するが、筆頭者についての名は「戸籍に記録されている者」の名欄名の文字更正を行うものとする。)。

③　「文字関連更正」

「文字関連更正」のタイトルを付すのは、筆頭者の名の文字更正を行った場合において、筆頭者欄の名を関連して文字更正する場合あるいは父の名の文字更正を行った場合において、子の父欄の父の名を関連して文字更正する場合などである。

「(段落ち)文字関連更正」のタイトルを付すのは、夫の名の文字更正を行った場合において、妻の婚姻事項における配偶者氏名の夫の名を関連して文字更正する場合などである。

(3) 追完事件処理

① 「追完」

「追完」のタイトルを付すのは、本籍、筆頭者の記録又は「戸籍に記録されている者」に係る記録（父母（養父母）氏名、父母（養父母）との続柄、名、出生年月日）を追完により記録する場合である。

「(段落ち)追完」のタイトルを付すのは、戸籍事項又は身分事項に記録されている事項について、追完により当該記録の修正(置き換え)、一部追加記録又は一部消除する場合である。

(4) 変更事件処理

① 「配偶者の国籍変更」

「配偶者の国籍変更」のタイトルを付すのは、外国人と婚姻している者について、その身分事項に当該外国人配偶者の国籍変更の記録をする場合である。

② 「配偶者の氏名変更」

「配偶者の氏名変更」のタイトルを付すのは、外国人と婚姻している者について、その身分事項に当該外国人配偶者の氏名変更の記録をする場合である。

4 訂正・更正・追完処理における受付帳の事件名について

『訂正(市区町村長職権)』等、『更正』、または『追完』が記録される。「審査処理」において記録される届出の『出生』『認知』・・等の事件名は通常記録されない。

5 証明書に出力されない訂正事項についての概略説明

既に記録してある事項の訂正は従来の朱線交叉又は朱線抹消の方法によらず、訂正事項とともに【従前の記録】として必ず記録を残すこととしている。

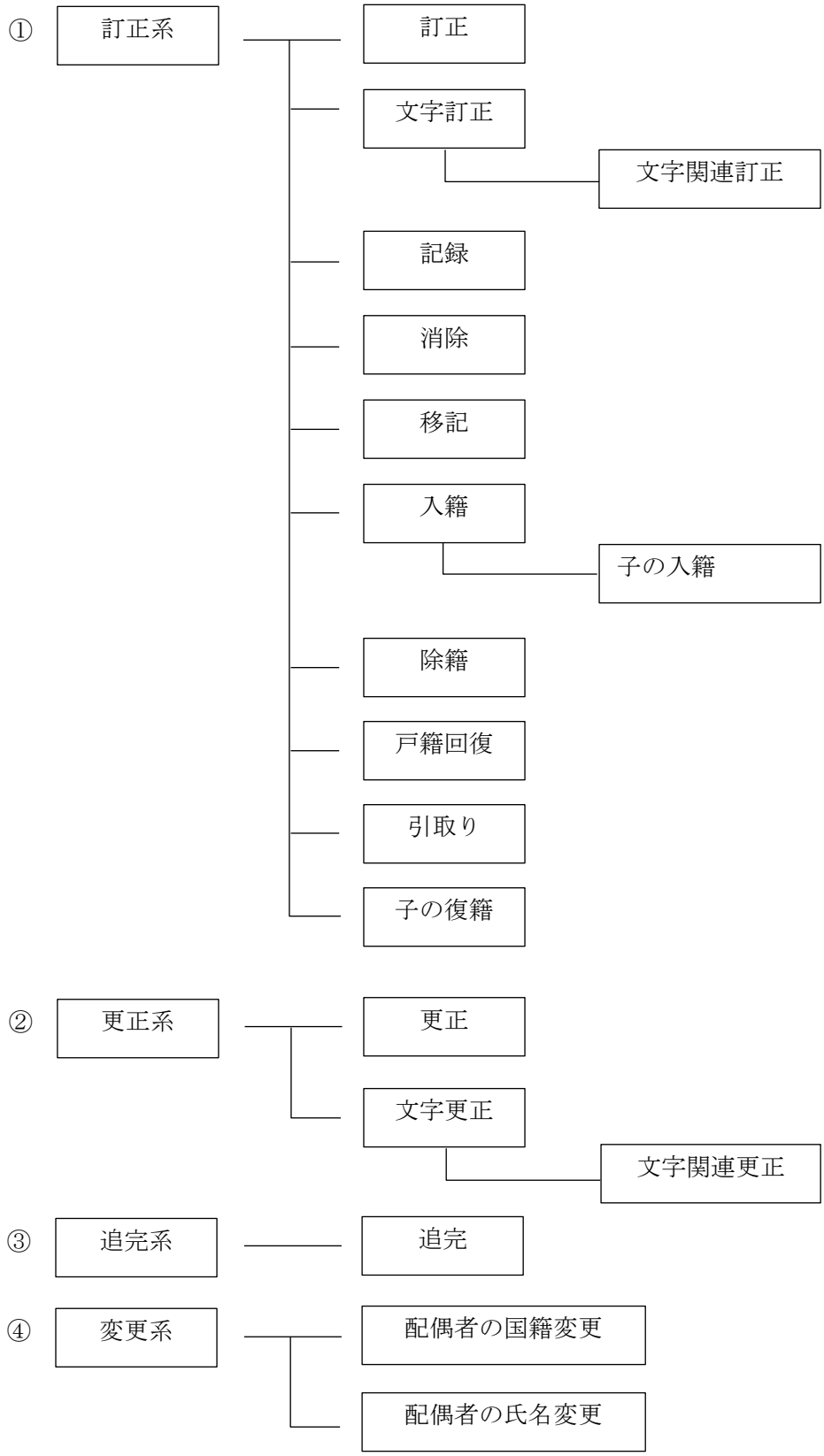
しかし、氏の文字訂正のような戸籍事項には訂正事項を記載し、子の父母欄等の文字訂正については格別に訂正事項は記載していない例に対しても、システム化により変更された事項が全て表示されることとなる。これらを踏まえてシステム上訂正事項を必ず記録するが、全部事項証明書等には特に表示しない特殊な場合をいくつか設ける。

(1) 文字訂正、文字更正にともない訂正又は更正された際の訂正(更正)事項は証明書には出力しない。具体的にはタイトルが「文字関連訂正」「(段落ち)文字関連訂正」「文字関連更正」「(段落ち)文字関連更正」については出力しない。なお、これらの関連訂正(更正)は先に氏又は名の文字訂正・文字更正後、一連の流れで処理をすべきもので、単独で関連訂正(更正)の処理をしてはならない。

(2) 市区町村長限りの誤記、遺漏を事由とする職権訂正についての事項は証明書に出力しない。具体的にはタイトルが「訂正」「(段落ち)訂正」「記録」「(段落ち)記録」で【裁判確定日】【許可日】【申請日】の各インデックスに記録がなく、かつ事由が誤記、遺漏の場合に出力しない。(タイトル「消除」「更正」は必ず出力すべき事項である。)

(3) 戸籍事務専用の帳票にはこれら特殊な訂正(更正)事項を含め、システムで保有している「戸籍に記録すべき事項」をすべて出力する必要がある。

別表 1



但し、④変更系は訂正系の記載事由等の無い身分事項記録として扱う。

事例１　本籍の記録の一部の更正(書き換え)

本　　籍 氏　　名 氏の振り仮名	東京都千代田区平河町一丁目４番地 甲野　義太郎 コウノ
戸籍事項 戸籍編製 更　　正	【編製日】昭和 56 年１月１日 【更正日】平成２年１月５日 【更正事項】本籍の表示 【更正事由】平成２年１月１日行政区画変更 【従前の記録】 　　【本籍】東京都千代田区平河町二丁目３番地

事例２　戸籍に記録されている者に係る記録の修正(書き換え)

戸籍に記録～	【名】義太郎 【名の振り仮名】ヨシタロウ 【生年月日】昭和 60 年１月１日 【父】甲野太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長男
出　　生	【出生日】昭和 60 年１月１日 ： 【訂正日】平成２年５月５日 【訂正事項】父母との続柄 【訂正事由】平成２年５月１日父が兄幸蔵を認知届出 【従前の記録】 　　【続柄】二男
訂　　正	

事例３　一身分事項の記録の一部の修正(書き換え)

出　　生	【出生日】平成２年１月２日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成２年１月 10 日 【届出人】父
訂　　正	【訂正日】平成２年５月５日 【訂正事由】誤記 【従前の記録】 　　【出生日】平成２年１月１日

※　上記、訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例４　一身分事項の全ての追加記録

出　　生	【出生日】昭和 38 年 1 月 2 日 ： 【婚姻日】平成 2 年 5 月 5 日 【配偶者氏名】乙野梅子
婚　　姻	
記　　録	【記録日】平成 3 年 10 月 10 日 【記録事由】記録遺漏 【許可日】平成 3 年 10 月 4 日

※　上記、記録事項は証明書に出力されない事項となります(項番 5 参照。)。

事例５　一身分事項の一部の追加記録

縁　　組	【縁組日】平成 2 年 1 月 2 日 【養父氏名】甲野義太郎 【養母氏名】甲野梅子　【代諾者】親権者父母 【入籍戸籍】東京都千代田区・・・・・・・ 乙川忠二郎
訂　　正	【訂正日】平成 2 年 5 月 5 日 【訂正事由】記録遺漏 【許可日】平成 2 年 4 月 28 日 【記録の内容】 【代諾者】親権者父母

※　上記、訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番 5 参照。)。

事例６　一個人の全ての記録の追加記録

戸籍に記録～	【名】花子 【名の振り仮名】ハナコ 【生年月日】昭和３年５月 10 日 ： ：

出　　生	【出生日】昭和３年５月 10 日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】昭和３年５月 15 日 【届出人】父
婚　　姻	【婚姻日】昭和 33 年１月１日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】東京都千代田区平河町一丁目 18 番 地　乙野忠治
記　　録	【記録日】平成５年５月 17 日 【記録事由】転籍による記録遺漏 【許可日】平成５年５月 10 日

※　上記、訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例７　一身分事項の記録の全部消除

出　　生	【出生日】平成２年１月２日 ： ：
縁　　組	【縁組日】平成２年１月２日 【養子氏名】甲野義太郎

⇩

出　　生	【出生日】平成２年１月２日 ： ：
消　　除	【消除日】平成６年４月４日 【消除事項】縁組事項 【消除事由】養子縁組無効 【裁判確定日】平成６年３月 24 日 【申請日】平成６年４月４日 【従前の記録】 【縁組日】平成２年１月２日 【養子氏名】甲野義太郎

事例８　一身分事項の記録の一部消除

縁　　組	【縁組日】平成２年１月２日 【養父氏名】甲野義太郎 【養母氏名】甲野梅子 【入籍戸籍】東京都千代田区・・・・・・・ 乙川忠二郎
訂　　正	【訂正日】平成２年５月５日 【訂正事由】誤記 【従前の記録】 【代諾者】親権者父母

※　上記、訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例９　一個人の全ての記録の消除

戸籍に記録～	【名】花子 【名の振り仮名】ハナコ 【生年月日】昭和 30 年 1 月 1 日 ： ：
婚　　姻	【婚姻日】平成 2 年 1 月 2 日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町 18 番地 乙野忠治

⇩

戸籍に記録～ 消　　除	【名】花子 【名の振り仮名】ハナコ 【生年月日】昭和 30 年 1 月 1 日 【父】乙野忠治 【母】乙野冬子 【続柄】長女
消　　除	【消除日】平成 2 年 5 月 2 日 【消除事項】婚姻事項 【消除事由】婚姻無効 【裁判確定日】平成 2 年 4 月 28 日 【申請日】平成 2 年 5 月 2 日 【申請者】夫 【従前の記録】 【婚姻日】平成 2 年 1 月 2 日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町 18 番地　乙野忠治

２．帳票詳細要件・レイアウト

帳票詳細要件・レイアウトでは、機能・帳票要件で定義した帳票におけるシステムからの印字項目及びレイアウト等を「(別紙４）帳票詳細要件・レイアウト」でまとめている。なお、システムからの印字項目（以下「システム印字項目」という。）とは、業務システムにて対象情報により編集し印字する項目のことをいい、固定文言等の帳票レイアウトに直接設定されている項目は含まない。

① 帳票詳細要件・レイアウトには、機能・帳票要件にて定義した帳票のシステム印字項目及びレイアウト等をまとめている。

② 帳票詳細要件・レイアウトに定義されたシステム印字項目は項目単位の類型に従うこととし、編集条件等は定義すべき内容のみを記載している。

③ 帳票詳細要件・レイアウトのシステム印字項目で項目単位における類型の取扱いは次のとおりである。

表 2-2　帳票詳細要件・レイアウトにおける類型の取扱い

システム印字項目の類型	項目の取扱い
実装必須	システムからの印字ができるように実装する必要がある。
標準オプション	システムからの印字は実装してもしなくてもよい。

④ 窓空宛名部分の場所や大きさ、窓空宛名を含む帳票に対応した封筒レイアウトは、全庁的に統一した方がよいため、住民記録システム標準仕様書に準拠する。

⑤ システムから印字する各項目の文字数は、デジタル庁で定めるデータ要件やデータ項目の桁数が最大となるが、印字枠に収まらない場合は、別紙を用意して印字すること。なお、視認性に問題ない範囲での文字サイズの縮小は行っても構わない。

第３章　データ要件・連携

１．データ要件・連携要件について

戸籍情報システムにおいて管理するデータについて、「データ要件・連携要件標準仕様書」に定めるデータを任意で出力できること。他システムとの連携時及びシステム更改時には、「データ要件・連携要件標準仕様書」に従って最新のデータを送受信できること。

なお、連携要件として定義が必要な情報については機能・帳票要件として定義を行う。

文字要件は、「データ要件・連携要件標準仕様書」で規定する文字要件とする。

第４章　非機能要件

１．非機能要件について

「新経済・財政再生計画改革工程表 2019」（令和元年 12 月 19 日）及び「デジタル・ガバメント実行計画」（令和元年 12 月 20 日閣議決定）において、市町村の 17 業務に係るシステムが地方公共団体の業務プロセス・情報システムの標準化の検討の対象とされ、これらのシステムに共通する非機能要件の標準については、IT 総合戦略室（現デジタル庁）及び総務省において検討することとされた。

このことを受けて、令和 2 年 9 月に旧内閣官房 IT 室が(1)「非機能要求グレード（地方公共団体版）」（平成 26 年 3 月・JLIS 作成）において(2)「グループ②」として示された要求グレードのうち、(3)クラウド調達時の扱いが「○：クラウド対象と成り得る項目」とされている項目の「選択レベル」を基準として、(4)最新の状況等を鑑み修正をしたものとして示している。

各業務システムの標準仕様書において、標準よりもレベルの高い非機能要件を定める場合には、当該標準仕様書の非機能要件部分が優先され、また、標準仕様書を策定する過程において、他のシステムに影響が出ないように、標準の非機能要件のレベルと調整を行う必要がある。

本仕様書における非機能要件については、デジタル庁及び総務省が定めた標準に従うものとするが、一部の非機能要件については、「第２章　機能・帳票要件」に盛り込まれている。

なお、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（令和 3 年 12 月 24 日 閣議決定）において、「標準非機能要件（セキュリティを含む。）については、先行事業での検証を踏まえて、令和 4 年（2022 年）夏までに、必要に応じて拡充する。このうちセキュリティについては、地方公共団体の業務システムの統一・標準化の取組を踏まえ、ガバメントクラウドの活用を前提とした新たなセキュリティ対策の在り方について検討を行う。具体的には、デジタル庁及び総務省は、令和 4 年（2022 年）の夏を目途に、標準化基準の作成と併せて、地方公共団体のガバメントクラウド活用に関するセキュリティ対策の方針においては、国・地方公共団体・クラウド事業者・アプリケーション提供事業者等の責任分担等について、先行事業での検証を踏まえて、具体化を進める」こととされた。

第５章　用語

以下では、本仕様書についての解釈に紛れが生じないよう、用いられている用語の定義を示した。ここで示す定義はあくまで本仕様書における定義であり、用語によっては、本仕様書以外では別の意味で用いられていることもある。

あ

RFI【あーるえふあい】……情報提供依頼書（request for information）。情報システムの導入や業務委託を行うに当たり、発注先候補の業者に情報提供を依頼すること。調達条件などを決定するために必要な情報を集めるために発行するもので、一般的にはこれを基に RFP（提案依頼書）を作成し、具体的な機能要件の提案業者に求めて発注先の選定に移る。総務省自治行政局地域情報政策室「自治体クラウド導入時の情報システム調達におけるカスタマイズ抑制のためのガイドライン」（平成 31 年 3 月 29 日）より。

RFP【あーるえふぴー】……提案依頼書（request for proposal）。情報システムの導入や業務委託を行うに当たり、発注先候補の業者に具体的な提案を依頼する文書。必要なシステムの概要や構成要件、調達条件が記述されている。総務省自治行政局地域情報政策室「自治体クラウド導入時の情報システム調達におけるカスタマイズ抑制のためのガイドライン」（平成 31 年 3 月 29 日）より。

IaaS【あいあーす】……Infrastructure as a service の略。戸籍情報システム等の稼動に必要な仮想サーバ、機材やネットワーク等のインフラをクラウド上のサービスとして提供する形態のこと。自治体クラウドを含むクラウドコンピューティングの利用形態は、「SaaS（software as a service）」、「PaaS（platform as a service）」、「IaaS（infrastructure as a service）」の 3 つに分類できる。戸籍情報システムが提供する機能については、クラウド上のサービス等として遠隔利用できる。

ID【あいでぃー】……システムの利用時に個人を特定するための番号や文字列等のこと。
「操作者 ID」も参照のこと。

あいまい検索【あいまいけんさく】……検索条件が完全に一致しないものの、対象を一定のルールに基づき抽出する検索方法のこと。

アクセス……ソフトウェアやシステム、アプリケーションに格納されている情報へ到達（接続）すること。また、通信回線やネットワークを介して別のコンピュータや機器の操作、格納されている情報を取得、閲覧、編集できるようにすること。

アクセスログ……戸籍情報システムや端末、ソフトウェアに対して、人間や外部のシステムからの操作や要求などを一定の形式で時系列に記録したもの。

アラート……論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもののこと。論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定（本登録）できないエラーとは区別される。

い

EUC【いーゆーしー】……End user computing の略。非定型業務（戸籍情報システム標準仕様で当該機能が提供されていない業務）に対して利活用できる機能。

戸籍情報システムが保有するデータ（戸籍の情報、その他戸籍情報システム内で管理する情報等）の二次利用を可能とするデータの抽出・分析・加工及びこれらのファイルやリストへの出力・印刷等の機能を有する。

一括メンテナンス【いっかつめんてなんす】……複数ユーザの登録及び権限の変更等の処理を、（１件ごとに登録するのではなく、登録・変更内容を記載したCSVファイル等を読み込むことで）１回の操作で完了させること。

異動検索【いどうけんさく】……届書入力画面から戸籍DBを検索して本籍人を事件本人として選択する機能。

イベント……戸籍情報システムを構成するサーバ内で発生する事態のこと。

イベントログ……戸籍情報システムのシステムイベント（戸籍情報システムを構成するサーバ内で何らかの事態が発生した場合のシステム管理者等へのメッセージ通知）の履歴、情報を記録したもの。

システムイベントに関わる日時、システムイベントの内容及び関わるデータの中身などが記録される。

インフラ……プログラムを稼働させるハードウェアやネットワークのこと。

ディスク装置の容量、メモリ容量、計算速度、ネットワーク速度等の制約のために一括処理の件数に制限が設けられることがある。

う

Webアプリケーション【うぇぶあぷりけーしょん】……Webサーバのうち、ソフトウェアの実行環境や連携機能などを持つもの。

Webサーバ【うぇぶさーば】……Webシステム上で、利用者側のコンピュータに対しネットワークを通じて情報や機能を提供するコンピュータ及びソフトウェアのこと。

え

XML【えっくすえむえる】……Extensible Markup Languageの略。インターネット上で使用される各種技術の標準化推進団体であるW3C（World Wide Web Consortium）から勧告が出された言語の仕様であり、文書やデータの意味や構造を記述するために拡張可能なマークアップ言語である。利用者が自由にタグを定義でき、文書中の文字列に意味付けができる言語構造を持ち、文書処理から電子商取引にいたるまでネットワーク上のデータ処理において広く活用されている。

一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）が策定した地域情報プラットフォーム標準仕様書においては、プラットフォーム通信標準のメッセージ定義仕様に採用されている。

エラー……論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定（本登録）できないもののこと。論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるアラートとは区別される。

エラーは、当該内容で本登録することを抑止することが目的であり、本仕様書においては、その実装方法として、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えないこととしている。また、仮登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、本登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、いずれもエラーの実装方法として許容している。

エラーコード……プログラムの起動又は実行が不可能である場合、その内容や原因を表示するためのコード。

お

OS【おーえす】……Operating system の略。基本ソフトウェアともいわれ、コンピュータを作動させるために不可欠なシステムの入出力や同時並行処理などを管理する複数のプログラムの集合体こと。制御プログラム、言語プロセッサ、ユーティリティーから構成される、基本的な操作環境を提供するソフトウェアの総称。
オペレーション……操作者による操作、処理のこと。

か

改製不適合戸籍【かいせいふてきごうこせき】……戸籍情報システムの電算化において、「誤字を使用することができず、本人が文字の変更を認めない場合や確認が取れない場合」等により、戸籍においてテキストデータにされずに紙やイメージデータのまま管理がされている戸籍を指す。
外字【がいじ】……各ベンダが提供する文字セット等において、標準では収録されておらず、市区町村が個別に追加した文字のこと。
　JIS 等の標準規格にない文字をベンダがパッケージ標準に追加している場合も「外字」と呼ぶことがあるが、パッケージ標準にある場合は、当該文字セット等において標準で収録されているため、本仕様書上は「内字」として扱う。
　「内字」も参照のこと。
カスタマイズ……市区町村の業務に合わせて、ベンダがパッケージの機能への追加・変更・削除を行うこと。
ガバメントクラウド……政府情報システムについて、クラウドサービスの利点を最大限に活用することで迅速、柔軟、セキュアかつコスト効率の高いシステムを構築し、利用者にとって利便性の高いサービスを提供するため、デジタル庁が共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービス（IaaS、PaaS、SaaS）の利用環境を指す。

き

く

クラウド……市区町村が情報システムを外部のデータセンターで保有・管理し、通信回線を経由して利用すること。
　「自治体クラウド」及び「広域クラウド」も参照のこと。
グループ利用【ぐるーぷりよう】……利用者個人ではなく、所属部署や担当業務など複数の職員で同一 ID、パスワードを使用すること。

け

検索【けんさく】……個人や戸籍等を選択するため、画面から検索用項目を画面入力して、マッチするものを探す操作のこと。
　「照会」も参照のこと。

こ

広域交付戸籍証明書等【こういきこうふこせきしょうめいしょとう】……法第１２０条の２第１項の請求により戸籍又は除籍又はイメージ除籍のデータを戸籍情報連携システムから受信して作成する証明書。
更改【こうかい】……既存システムを再構築すること。バージョンアップともいう。

公選法等通知【こうせんほうとうつうち】……戸籍の異動により、選挙人名簿の在外選挙人又は在外投票人の修正若しくは訂正が発生する場合に選挙人名簿登録地に送付する通知。
公用請求【こうようせいきゅう】……法第 10 条の第 2 項に基づき、国又は地方公共団体の機関が、法令で定める事務の遂行のために必要である場合に行う戸籍謄本等の請求のこと。
戸籍情報連携システム【こせきじょうほうれんけいしすてむ】……法務省が設置及び管理するシステム。戸籍副本データ管理システムも当該システムに包含される。主に戸籍関係情報提供等機能、戸籍事務内連携機能、戸籍副本管理機能が存在する。

戸籍届出【こせきとどけで】……法（昭和 22 年法律第 224 号）に基づく届出（例：出生届、死亡届）のこと。「申出」も参照のこと。
戸籍の表示【こせきのひょうじ】……本籍及び筆頭者の情報のこと。法第 9 条に規定された戸籍項目の 1 つ。
戸籍附票システム【こせきふひょうしすてむ】……戸籍の附票事務を扱うためのシステムである。

さ

在外選挙制度【ざいがいせんきょせいど】……海外居住者が、外国にいながら国政選挙に投票できる制度であり、日本国籍を持つ 18 歳以上の者が公職選挙法第 30 条の 5 及び 6 に基づき申請及び登録されることで在外選挙人名簿に登録される。
在外投票人制度【ざいがいとうひょうにんせいど】……海外居住者が、外国にいながら国民投票に投票できる制度であり、日本国籍を持つ 18 歳以上の者が日本国憲法の改正手続に関する法律第 36 条及び第 37 条に基づき申請・登録されることで在外投票人名簿に登録される。
参照【さんしょう】……データが入力されたテーブルへ必要なデータを問い合わせる操作。

し

CS【しーえす】……Communication server（コミュニケーションサーバ）の略。各市区町村の住民記録システムと住基ネット又は戸籍情報システムと各市区町村の戸籍情報システムをネットワーク化したシステムを接続するためのサーバのこと。
CSV【しーえすぶい】……Comma-separated values の略。テキストデータにおいて各項目のデータをカンマで区切ったファイル形式のこと。
支援措置対象者【しえんそちたいしょうしゃ】……配偶者からの暴力（DV）、ストーカー行為等、児童虐待及びこれらに準ずる行為の被害者で、市区町村に対して住民基本台帳事務における DV 等支援措置を申し出た者。加害者からの「住民基本台帳の一部の写しの閲覧」、「住民票（除票を含む）の写し等の交付」、「戸籍の附票（除票を含む）の写しの交付」の請求・申出があっても、これを制限する（拒否する）措置が講じられる。
J-LIS【じぇいりす】……地方公共団体情報システム機構のこと。地方公共団体情報システム機構法（平成 25 年法律第 29 号）に規定された地方共同法人である。出資金は地方公共団体から出資され、法の規定による事務を地方公共団体に代わって行うとともに、情報システムの開発及び運用、教育及び研修、調査研究等の業務を行う。
磁気ディスク【じきでぃすく】……金属やガラスなどの薄い円盤型のディスクの表面に磁性体を均等に塗布した記憶媒体。本仕様書においては、これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができる物を含む。HDD や SSD などの外部記憶装置がこれに当たる。
市区町村【しくちょうそん】……市町村、特別区及び指定都市の区のこと。

JIS X 0213【じすえっくすぜろにいちさん】……日本語用の文字セット等を規定する日本産業規格（JIS 規格）のうち、「7 ビット及び 8 ビットの 2 バイト情報交換用符号化拡張漢字集合」のこと。JIS X 0208 を拡張したもの。

システムログ……システムが記録する動作履歴であり、OS の稼働中に発生したイベントなどを時系列で記録したもの。

自治体クラウド【じちたいくらうど】……市区町村が情報システムのハードウェア、ソフトウェア、データなどを自庁舎で管理・運用することに代えて、外部のデータセンターにおいて管理・運用し、ネットワーク経由で利用することができるようにする取組（いわゆる「クラウド化」）であって、かつ、複数の市区町村の情報システムの集約と共同利用を行っているものをいう。

住基ネット【じゅうきねっと】……住民基本台帳ネットワークシステムの略。

住民の基本情報を市区町村共同の本人認証基盤で管理する方式に整備して、住民基本台帳業務を全国共通で行うために、各市区町村のシステムをネットワーク化したもの。

住基ネット全国サーバ、都道府県サーバ、住基ネット CS（市町村 CS）から構成される。

住民票記載事項通知【じゅうきみんひょうきさいじこうつうち】……戸籍の異動により、住民票の修正若しくは訂正が発生する場合に住所地に送信する通知。

受理地【じゅりち】……届書等を受理した市区町村又は在外公館から直接届書の送付を受けた市区町村。

照会【しょうかい】……既に特定した個人や戸籍等の詳細な情報について、データベースに問い合わせる操作のこと。「検索」も参照のこと。

す

スケジューラ……ある処理を、条件が成立したタイミング（特定時刻の到来・他の処理の終了等）で自動的に実行させる仕組み。

せ

生体認証【せいたいにんしょう】……あらかじめ登録された指紋・掌紋、虹彩、眼球、顔、声紋など、固有の身体的又は行動的情報と照合して認証すること。

制御【せいぎょ】……データの演算処理を行う以外の処理をコントロールすること。メモリやディスプレイ・画面媒体との入出力やデータの入出力、キーボードやマウスからの操作、ディスプレイやプリンタへの出力を正常に作動させる目的のための操作。

全部事項イメージ【ぜんぶじこういめーじ】……戸籍情報システムにおいて作成する全部事項証明書を画像化した PDF データ。なお、この PDF データには認証文、管掌者、職印、発行日、発行番号等は含まれていない。

そ

操作権限ポリシー【そうさけんげんぽりしー】……操作者等を単位とした利用権限を設定する際の方針のこと。

操作者 ID【そうさしゃあいでぃー】……戸籍情報システム利用者の特定に用いられる一意の識別子（利用者、登録者を識別するユーザ名やアカウント名）。

また、当該利用者に対するシステム利用を管理・制約するための識別子でもある。

なお、「個人番号カードアプリケーション搭載システム」では、ID・パスワード方式によるオペレーター認証時の識別子のこと。

操作ログ【そうさろぐ】……戸籍情報システムの利用状況や利用者操作の履歴、情報を記録したもの。

操作が行われた日時と、行われた操作の内容や操作に関わるデータの中身などが記録される。

送付地【そうふち】……受理地から届書の送付を受けた市区町村。

た

単純連番【たんじゅんれんばん】……戸籍情報システムが取り扱う各種番号（履歴番号等）に付番する際、順番に当該番号に 1 を加える操作（インクリメント）により、機械的に（単純に）新たな番号を付番すること。又は、既に付番された当該番号のこと。

つ

通信ログ【つうしんろぐ】……戸籍情報システムの通信状況や通信の履歴、情報を記録したもの。
　通信が行われた日時、行われた通信の内容や通信に関わるデータの中身などが記録される。

て

テキストデータ……文字コードで表現できる文字だけで構成されるファイルのこと。文字を編集する機能のみを持つテキストエディタアプリケーションにより、ファイルの読み込み、文字の入力、挿入、消去、異動、複写等が可能である。

デジタル手続法【でじたるてつづきほう】……情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律（令和元年法律第 16 号）のこと。

と

届書等情報【とどけしょとうじょうほう】……指定市区町村の受理した届出等に係る届書類（添付書面も含む。）の画像情報及び当該届書類の記載事項を記録したもの。当該届書類を補正した場合は、届書補正情報として当該届書等情報に逐次に記録される。

届書等情報内容証明書等【とどけしょとうじょうほうないようしょうめいしょとう】……法第 120 条の 4 第 1 項の請求により届書等情報のデータ(届書画像、添付書面画像、届書補正画像)を戸籍情報連携システムから受信して作成する証明書。

な

内字【ないじ】……各ベンダが提供する文字セット等において、標準で収録されている文字のこと。
　JIS 等の標準規格にない文字をベンダがパッケージ標準に追加している場合も、パッケージ標準にある場合は、当該文字セット等において標準で収録されているため、本仕様書上は「内字」として扱う。
　「外字」も参照のこと。

に

二要素認証【にようそにんしょう】……正規の利用者を認証する手段のうち、知識、所有、生体のうち２つの異なる属性を併用する認証方法（２つ以上を併用する認証は、多要素認証という。）。

具体的な認証方式としては、パスワードと USB トークン、指紋と暗証番号等、２つの異なる原理の認証手段を組み合わせて用いることで、精度と安全性を高める等がある。

「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」では、「情報システム全体の強靭性の向上」として、「マイナンバー利用事務系においては、原則として、他の領域との通信をできないようにした上で、端末からの情報持ち出し不可設定や端末への多要素認証の導入等により、住民情報の流出を防ぐ。」とある。

認証ログ【にんしょうろぐ】……戸籍情報システムにおける利用者認証の履歴、処理内容を記録したもの。

認証が行われた日時と、行われた認証の内容や認証に関わるデータの中身などが記録される。

は

バージョン……製品等の改定、更新を識別するための番号や符号のこと。通常、番号（数字）が大きいほど新しい製品であることを意味する。

ハードコピー……画面表示された情報を（画像データなどの形式で）そのまま記録すること。

パッケージ……特定の市区町村の業務内容、運用を対象に開発したものではなく、業務に共通して必要な機能を汎用品（既製品）として販売しているシステム（戸籍情報システム等）のこと。

バッチ処理【ばっちしょり】……一括処理を行う処理方式のこと。複数の手順からなる処理において、あらかじめ一連の手順を登録しておき、自動的に連続処理を行う処理方式等、複数のパターンがある。

パラメータ……戸籍情報システムの挙動に影響を与える、各種静的・動的な設定のこと。

ひ

BMP 形式【びーえむぴーけいしき】……Windows の標準的な画像ファイル形式で、ビットマップ画像を保存するための形式。BMP は、「bitmap」を略したもの。色はモノクロ、16 色、256 色、1677 万色までをサポートしている。この形式のファイルには「.BMP」という拡張子が付く。

BPMN【びーぴーえむえぬ】……Business Process Model and Notation の略。国際標準化機構（ISO）と国際電気標準会議（IEC）の合同委員会による、業務プロセスをワークフローとして視覚的に表記する方法の国際標準の１つである ISO/IEC 19510:2013（Object Management Group Business Process Model and Notation）のこと。

非機能要件【ひきのうようけん】……情報システムやソフトウェアの開発時に定義される要件のうち、機能面以外の要件全般をいう。システムの性能や機能の信頼性、拡張性、運用性、セキュリティなどに関する要件のこと。

ふ

Fit&Gap 分析【ふぃっとあんどぎゃっぷぶんせき】……事業者の提供するパッケージソフトの機能が、利用者として求める要件に適合（fit）している点と乖離（gap）している点を明らかにし、事業者の提供するパッケージソフトと利用者として求める要件との適合性を判断する分析手法。総務省自治行政局地域情報政策室「自治体クラウド導入時の情報システム調達におけるカスタマイズ抑制のためのガイドライン」（平成 31 年３月 29 日）より。

フォント……JIS 規格（JIS X 0213 等）のようにコンピュータ（情報システム）に表示や印字される文字セット等の図形について、同じ特徴・様式で一揃いの文字の形状をデザインしたもの。また、コンピュータなどで文字を表示・印刷できるように、文字形状をデータとして表したもの。

　本仕様書は、文字セット・文字コード・文字符号化方式については規定しているが、特定のフォントを用いることは規定していないため、本仕様書で規定する文字セットが扱えるフォントであれば、IPAmj 明朝フォントと異なるフォントを用いることも差し支えない。

プログラム……電子計算機（コンピュータ）に動作をさせるために、順序手順を記載した一連の命令語の集合のこと。

へ

ベンダ……ハードウェアやソフトウェア等の製品やサービスに責任を持つ事業者のこと。

ベンダロックイン……特定ベンダ独自の技術・仕様等に依存することで、他ベンダの提供する同種のシステム、サービス、製品等への乗り換えが困難になること。

ほ

本登録【ほんとうろく】……異動情報がシステムに入力され、決裁を経てその内容がシステム上に保存されており、法上、戸籍の正本に記載されている状態。異動処理が確定され、異動履歴となる。また、確定情報となるため、団体内統合宛名、証明書、他業務連携等に反映される。「仮登録」も参照のこと。

本人通知制度【ほんにんつうちせいど】……本人通知を希望する者に対し、本籍のある市区町村に登録し、代理人や第三者からの戸籍謄本等の交付を行った場合、本人に交付したことを通知する制度のこと。

　法令に基づくものではなく、各市区町村が独自に要領等を定めて実施している業務である。

ま

マイナポータル……子育てや介護をはじめとする行政手続の検索やオンライン申請がワンストップで実施でき、行政からのお知らせを受け取ることのできるサイト。

み

ミドルウェア…アプリケーションと OS の中間的な処理を行うソフトウェアのことをいう。

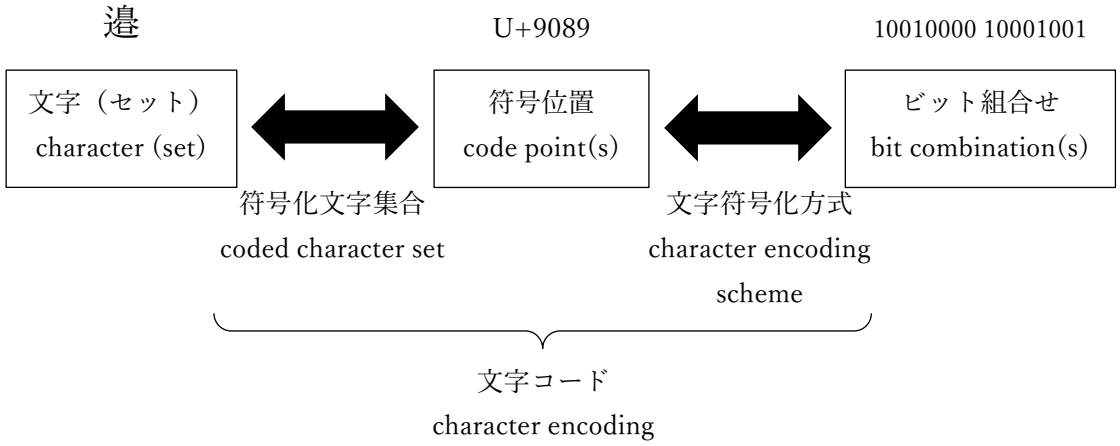
も

文字溢れ【もじあふれ】……入力した文字がテキストエリアに表示できる文字数を上回った時に、対象エリアからはみ出している状態のこと。

文字コード【もじこーど】……コンピュータプログラムは、0 と 1 の列（「ビット組合せ」（bit combination）という。）から成り立っている。そのため、コンピュータプログラムが文字（character）を扱う場合、そのプログラムが扱える文字の範囲と、文字とビット組合せの対応関係が決まっている必要がある。このうち、文字の範囲のことを「文字セット」（character set）といい、文字とビット組合せの対応関係を示したものを「文字コード」（character encoding）という（「文字コード」を、文字セットをも含めた概念として用いることがあるが、本仕様書では、文字セットとは

別のものとして定義する。また、個々の文字に振られた値やビット組合せのことを「文字コード」と呼ぶこともあるが、これとも区別する。)。

文字コードの決め方は、ISO/IEC 10646 では、文字に直接ビット組合せを割り当てるのでなく、文字に一意の値（「符号位置」（code point）という。）を振った上で、その値とビット組合せを結び付ける方法を別途定義している。文字集合と符号位置の対応関係を示したものを「符号化文字集合」（coded character set）といい、符号位置とビット組合せの対応関係を示したものを「文字符号化方式」（character encoding scheme）という。上記の「文字コード」の定義に従えば、「文字コード」は、「符号化文字集合」と「文字符号化方式」を結び付けたものとなる。「文字符号化方式」には、UTF-8、UTF-16 等がある。



以上について具体例で説明すると、例えば、「J」、「邉」の文字は、ISO/IEC 10646 では、符号位置としてそれぞれ、U+004A、U+9089（いずれも 16 進数）が振られている。これが、文字符号化方式の 1 つである UTF-8 ではそれぞれ、01001010、11101001 10000010 10001001（16 進数ではそれぞれ、4A、E9 82 89)、UTF-16 ではそれぞれ、00000000 01001010、10010000 10001001（16 進数ではそれぞれ、00 4A、90 89）のビット組合せが割り当てられている。この例で示したように、一般に、UTF-8 では、英数字が 1 バイト（8 ビット)、仮名や漢字が 3 バイト（24 ビット）となり、UTF-16 では、英数字・漢字とも 2 バイト（16 ビット）となることが通常であることから、仮名や漢字を扱うことが多い住民記録システムについては、データサイズを抑制するため、通信インタフェースの文字符号化方式を UTF-16 とすることとした。

UTF-16 では、通常用いられる漢字は 2 バイトであるが、2 バイトの組合せを 2 つ用いて（すなわち 4 バイトで）表される文字もあり、この表現を「サロゲートペア」という。例えば、「邉」の文字は、ISO/IEC 10646 では、符号位置として U+2B7EA（16 進数）が振られており、UTF-16 では 11011000 01101101 11011111 11101010（16 進数では D8 6D DF EA）のビット組合せが割り当てられている。なお、UTF-8 では 11110000 10101011 10011111 10101010（16 進数では F0 AB 9F AA）のビット組合せが割り当てられている。

上の例において、「邉」（符号位置：U+9089）と「𨗪」（符号位置：U+2B7EA）は別の文字として扱われているが、「邉」と「𨗪」は字形がわずかに異なるものの、単なるデザインの差であるとして区別されていない。しかし、氏名を扱う場合等、実務上、区別する必要がある場合がある。そこで、文字としては同一視される漢字の、細かな字形の差異を特別に使い分けるための仕組みとして IVS（ideographic variation sequence/selector。字形選択子／漢字字形指示列）があり、「邉」でいうと、「邉」（符号位置：U+9089）の後に、符号位置が U+E011B である IVS を付加することで、「邉」とは異なる「邉」の字形を指し示すこととしている。この場合、UTF-16 によるビット組合せ（16 進数）は、「邉」が 90 89、上記 IVS が DB 40 DD 1B であることから、「邉」は 90 89 DB 40 DD 1B となる。

文字情報基盤【もじじょうほうきばん】……文字情報基盤推進委員会による、人名等を正確に表記する必要のある行政業務で用いられる漢字約 6 万文字を整備して国際標準化を行う事業、また、同事業により整備された一連の成果物をいう。同委員会は、平成 22 年度に、内閣官房情報通信技術（IT）担当室（現 デジタル庁)、総務省、法務省、経済産業省、文化庁などの関係府省や専門家、産業界関係者が参加し、独立行政法人情報処理推進機構を事務局とし

て設置されたものである。行政機関や行政機関内のシステムごとに外字を作成していた文字の相互参照を可能とすることによって、行政事務の効率を向上し、外字管理コストを削減することを目的としている。

文字情報基盤では、国際規格化を進めることを目的に作成が開始された「IPAmj 明朝フォント」、MJ 文字集合（約６万文字）の文字に関する各種データを集めた「MJ 文字情報一覧表」、MJ 文字集合と JIS X 0213 の範囲にある漢字（約１万文字）との結びつきを整理した「MJ 文字縮退変換マップ」、MJ 文字情報一覧表の文字を様々な条件で検索できる「検索システム」、MJ 文字情報一覧表等の文字情報をより活用しやすい形にデータベース化した「文字情報基盤ＤＢ」、その他、「文字情報基盤導入ガイド」、「文字情報基盤導入テクニカルスタディ」、「参考：変体仮名一覧」、「導入事例」、「調達仕様書記載例」等が提供されている。

文字セット【もじせっと】……文字の集合のこと。コンピュータに密接に関係する文字集合としては、JIS 規格等がある。コンピュータに密接に関係しない文字集合としては、『常用漢字（常用漢字表)』（平成 22 年内閣告示第２号)、常用漢字に含まれない文字からなる『人名用漢字』（規則（昭和 22 年司法省令第 94 号）別表第２）等がある。

「文字コード」も参照のこと。

文字セット等【もじせっととう】……文字セット・文字コード・文字符号化方式のこと。

文字符号化方式【もじふごうかほうしき】……文字の集合をコンピュータで扱うために、文字に割り当てた番号とコンピュータで扱うための符号へ変換する対応表の方式のこと。「文字コード」を参照のこと。

ゆ

UTF-16【ゆーてぃーえふじゅうろく】……ISO/IEC 10646 で規定された文字符号化方式の１つ。一般に、UTF-16 では、英数字・漢字とも２バイト（16 ビット）となることが通常である。

「文字コード」も参照のこと。

UTF-8【ゆーてぃーえふえいと】……ISO/IEC 10646 で規定された文字符号化方式の１つ。一般に、UTF-8 では、英数字が１バイト（８ビット)、仮名や漢字が３バイト（24 ビット）となることが通常である。

「文字コード」も参照のこと。

ユニーク……重複がなく、一意であること。

り

リカバリ……不具合が発生したシステム、サーバ、アプリケーションなどを復旧、修復、復元すること。外部記憶装置においては、媒体の破損等でデータが正常に取り出せなくなった場合、可能な限りデータを取り出して保全したり、残りの装置からデータを復元したりする。ソフトウェアにおいては、正常に作動しなくなった OS などを消去し、再インストールして初期状態に戻す。

利用権限【りようけんげん】……システムの利用において業務区分、職位等に基づき付与された権限のこと。

ろ

ログ……戸籍情報システムの利用状況やデータ通信等の履歴、情報の記録を取ること。またその記録そのものを指す。

操作やデータの送受信が行われた日時と、行われた操作の内容や送受信されたデータの中身などが記録される。

データ通信の履歴等については、自治体クラウド等によりデータセンターを利用している場合、データセンター事業者によって情報が記録されている。このような場合、SLA とセットでログの運用・管理を実施する等が求められる。

「アクセスログ」、「イベントログ」、「操作ログ」、「通信ログ」、「認証ログ」も参照のこと。

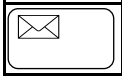
ログイン……コンピュータやネットワーク、オンライン処理で業務を行う際に、操作者の識別情報を入力し、あらかじめ登録された情報との照会を行い利用を開始すること。

別紙１

戸籍情報システム

業務フロー(第2.0版)

BPMN凡例

記号	意味
	開始イベント (業務フローの開始)
	終了イベント (業務フローの終了)
	結合子 (ページが跨る場合の前ページ記号)
	結合子 (ページが跨る場合の次ページ記号)
	タスク (書類の受領)
	タスク (書類の送付)
	タスク (手作業)
	タスク (システム操作)
	書類(システム出力帳票・システム出力外帳票)、電子データファイル

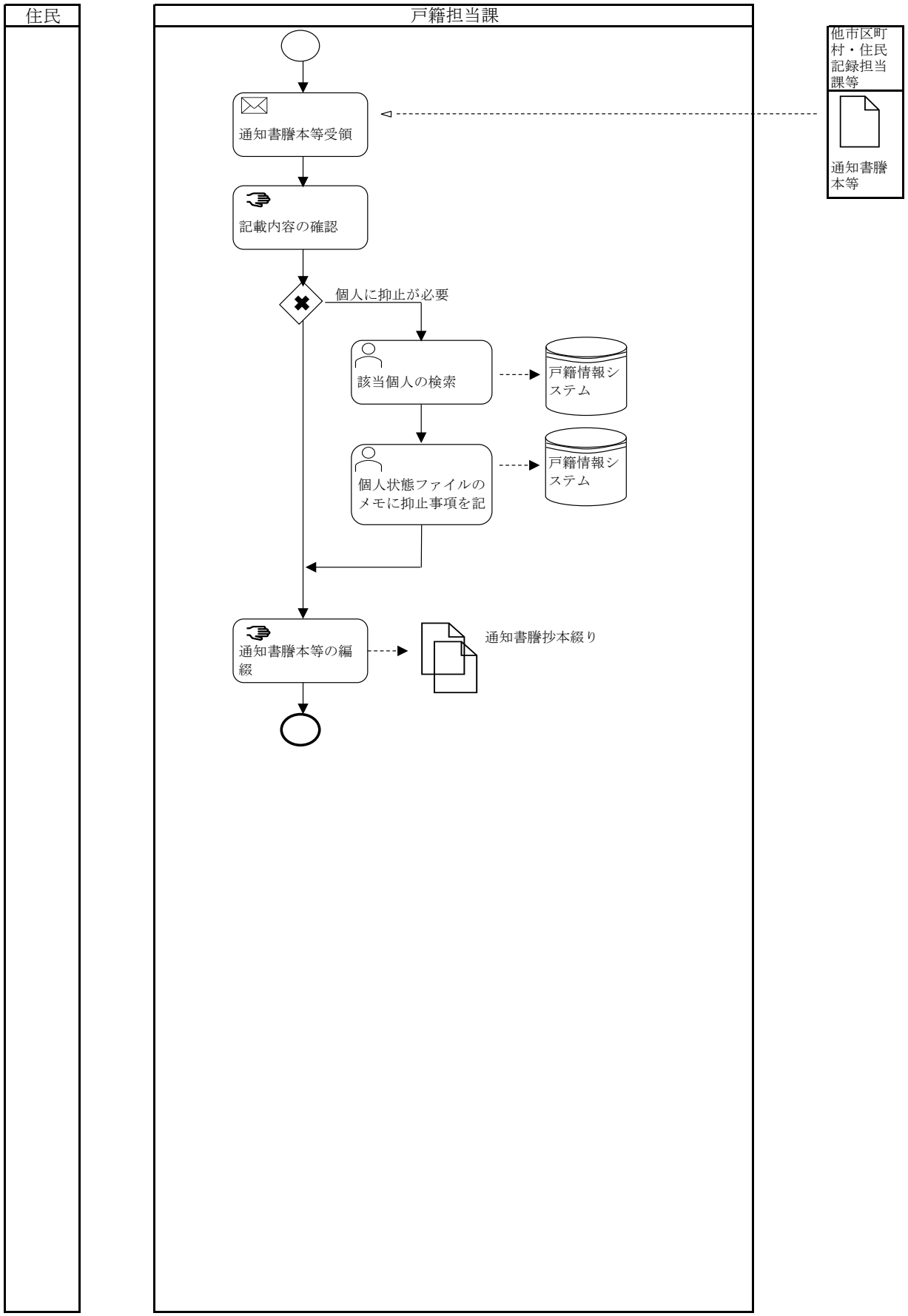
記号	意味
	システムデータベース
	条件分岐
	並列処理
	正常運用の流れ
	部門等を跨ぐ流れ
	補足説明

業務フローの大項目、中項目の名称は「別紙３　戸籍情報システム　機能・帳票要件」の大項目、中項目と同じ。

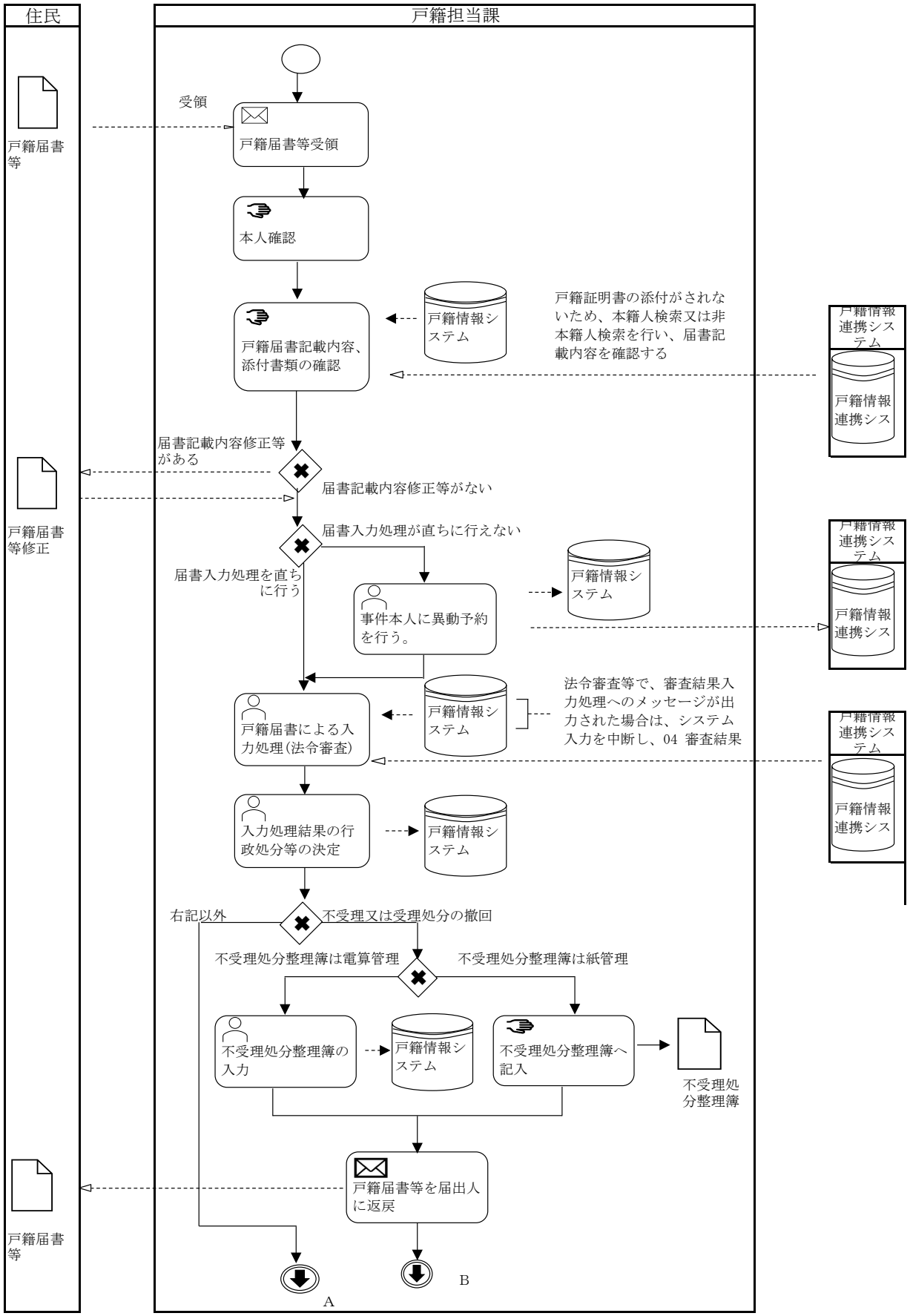
戸籍情報システム標準仕様書　別紙1業務フロー　変更履歴

項番	変更元ver	変更先ver	変更日	変更者	修正対象	変更内容
1	1.0版	2.0版	2023/3/31	法務省	表紙	戸籍情報システム業務フローに版数を追加
2	1.0版	2.0版	2023/3/31	法務省	04 異動_07決裁処理	欄外の税務署に送信の「住民票記載事項通知」は「相続税法58条通知」の誤り
3	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_'01 届書入力処理～ 03 移記事項入力処理	戸籍届書記載内容、添付書類の確認に、本籍人検索と非本籍人検索によるデータ取得を追加
4	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_'01 届書入力処理～ 03 移記事項入力処理	届書記載内容修正等がない場合の処理の後に、届書入力処理が直ちに行えるか行えないかの判断を追加し、行えない場合に異動予約処理を追加
5	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_'01 届書入力処理～ 03 移記事項入力処理	処分決定で受理の場合、死亡届で死体(埋)火葬許可証等の作成を戸籍情報システムで行っているが、厚生労働省の「火葬等許可事務システム標準仕様書」によるため死亡届のデータを連携する仕様に変更
6	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_'04 審査結果入力処理	戸籍届書記載内容、添付書類の確認に、本籍人検索と非本籍人検索によるデータ取得を追加
7	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_'04 審査結果入力処理	戸籍記載内容を調査し、記載内容資料を作成を、添付書類からの処理ではなく、本籍人検索と非本籍人検索によるデータ取得による処理に変更
8	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_'04 審査結果入力処理	行政処分が受理の場合、死亡届で死体(埋)火葬許可証等の作成を戸籍情報システムで行っているが、厚生労働省の「火葬等許可事務システム標準仕様書」によるため火葬等許可事務システムで作成する仕様を参考記載
9	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_07決裁処理	届書送付の要・不要の判断を削除し、戸籍情報連携システムに送信する各種ファイル、関係団体への通知書作成を追加
10	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_07決裁処理	本籍市区町村宛て届書謄本送付を、戸籍情報連携システムへのデータ送信に変更
11	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_07決裁処理	住所地選挙管理委員会宛ての在外選挙人名簿異動通知を、在外選挙人・投票人名簿異動通知に変更
12	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 異動_07決裁処理	税務署への相続税法58条通知は戸籍情報連携システムからの連携になるため削除
13	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 証明	表題「01戸籍事項記録証明書」を「01戸籍記録事項証明書(広域交付証明書等含む)」に変更
14	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	04 証明_01戸籍記録事項証明書(広域交付証明書等含む)	戸籍証明書を住民に渡す書類名「戸籍証明申請書」を「戸籍記録事項証明書等(広域交付証明書等)」に変更
15	1.0版	2.0版	2023/8/31	法務省	04 証明_01戸籍記録事項証明書(広域交付証明書等含む)	支援措置対象者で本人以外請求の場合に一律申請書に申請書を返戻するのではなく、戸籍証明書の場合は発行可否を判断し、広域交付証明書の場合は申請書を返戻する審査を追加 また、戸籍証明書の交付において支援措置対象者で本人以外請求の場合に、マスキング等の措置を講ずる注意
16						

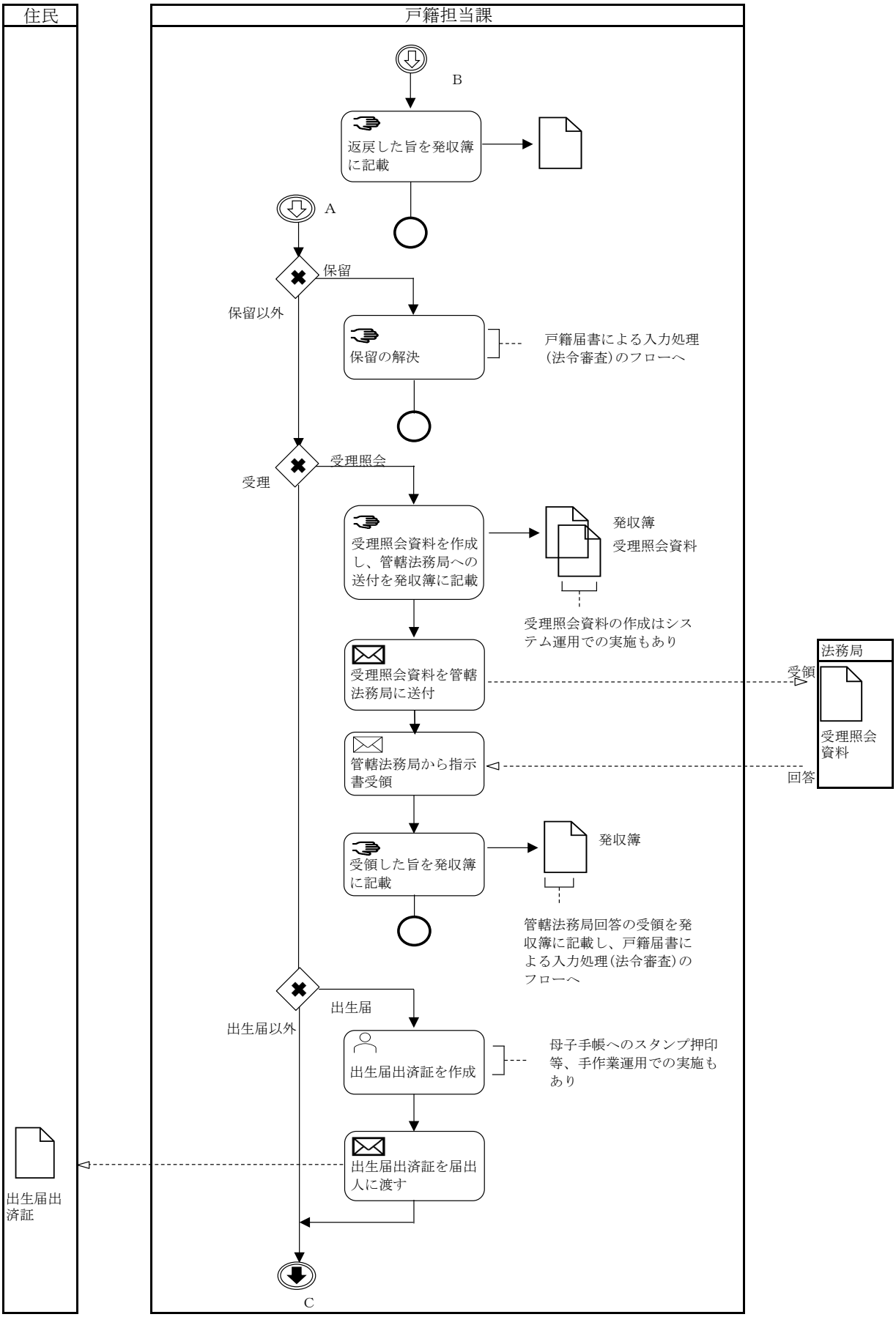
区分	戸籍	大項目	03 抑止設定	中項目	01 異動・発行・照会抑止



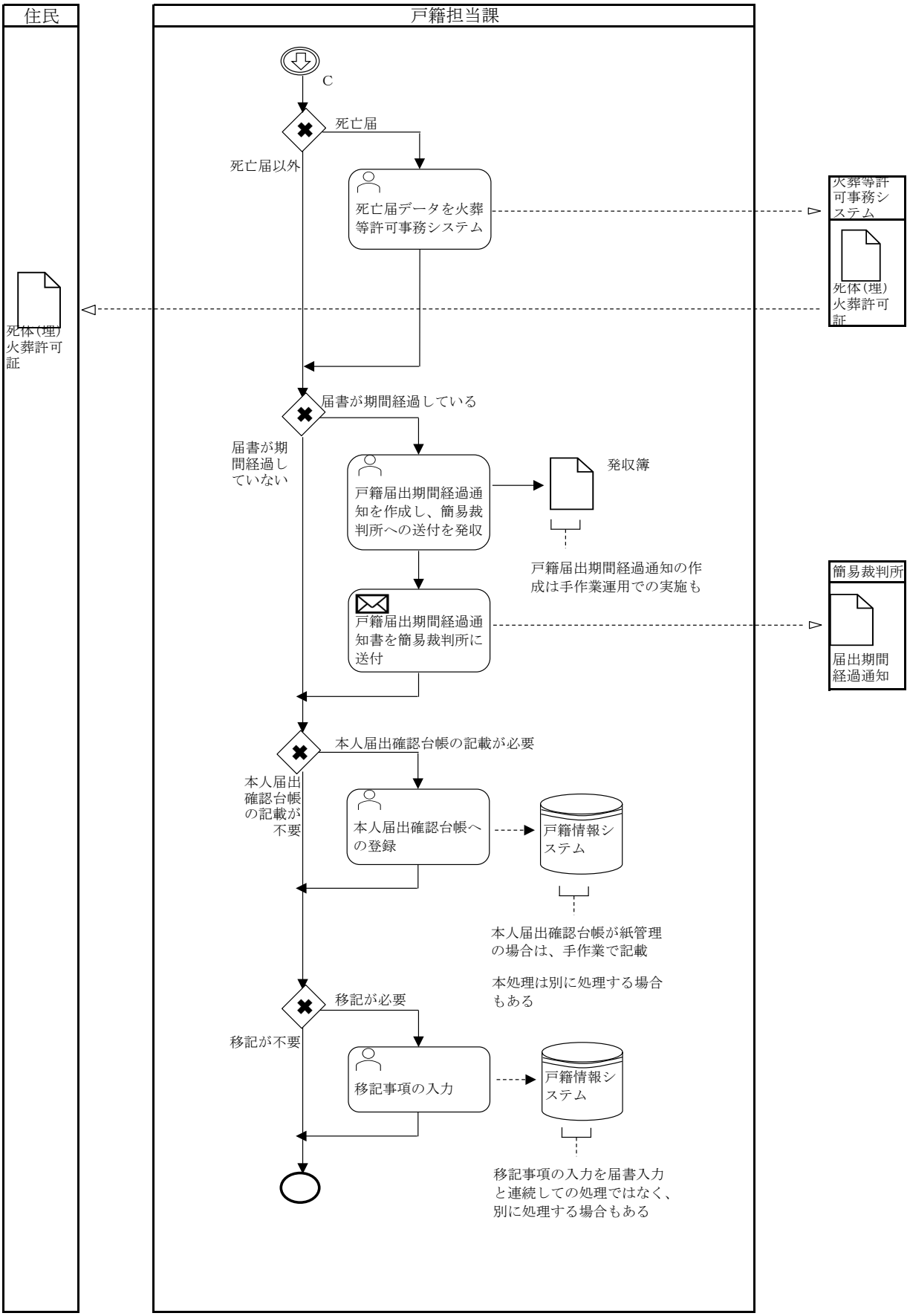
区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	01 届書入力処理 ～ 03 移記事項入力処理



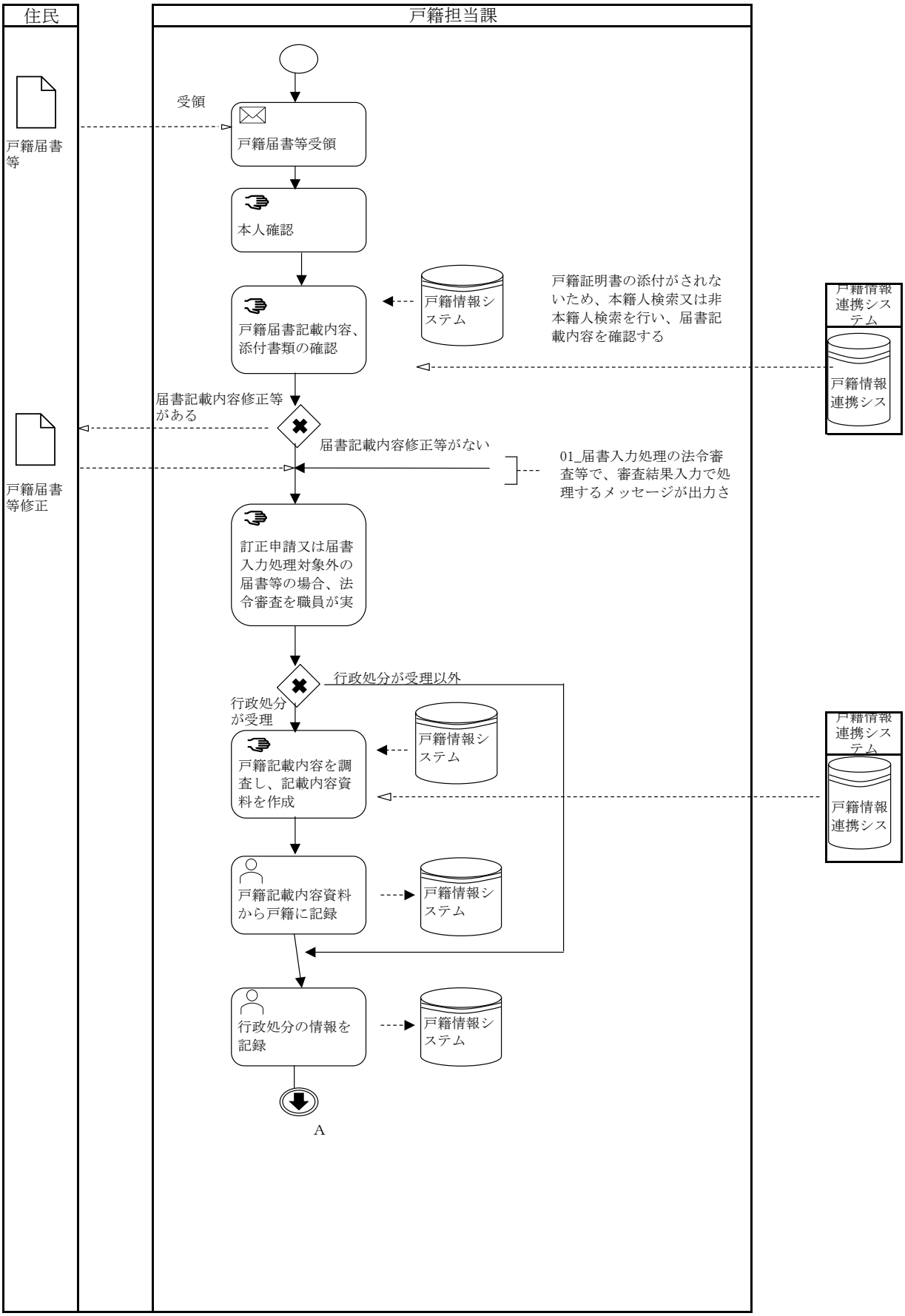
区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	01 届書入力処理 ～ 03 移記事項入力処理



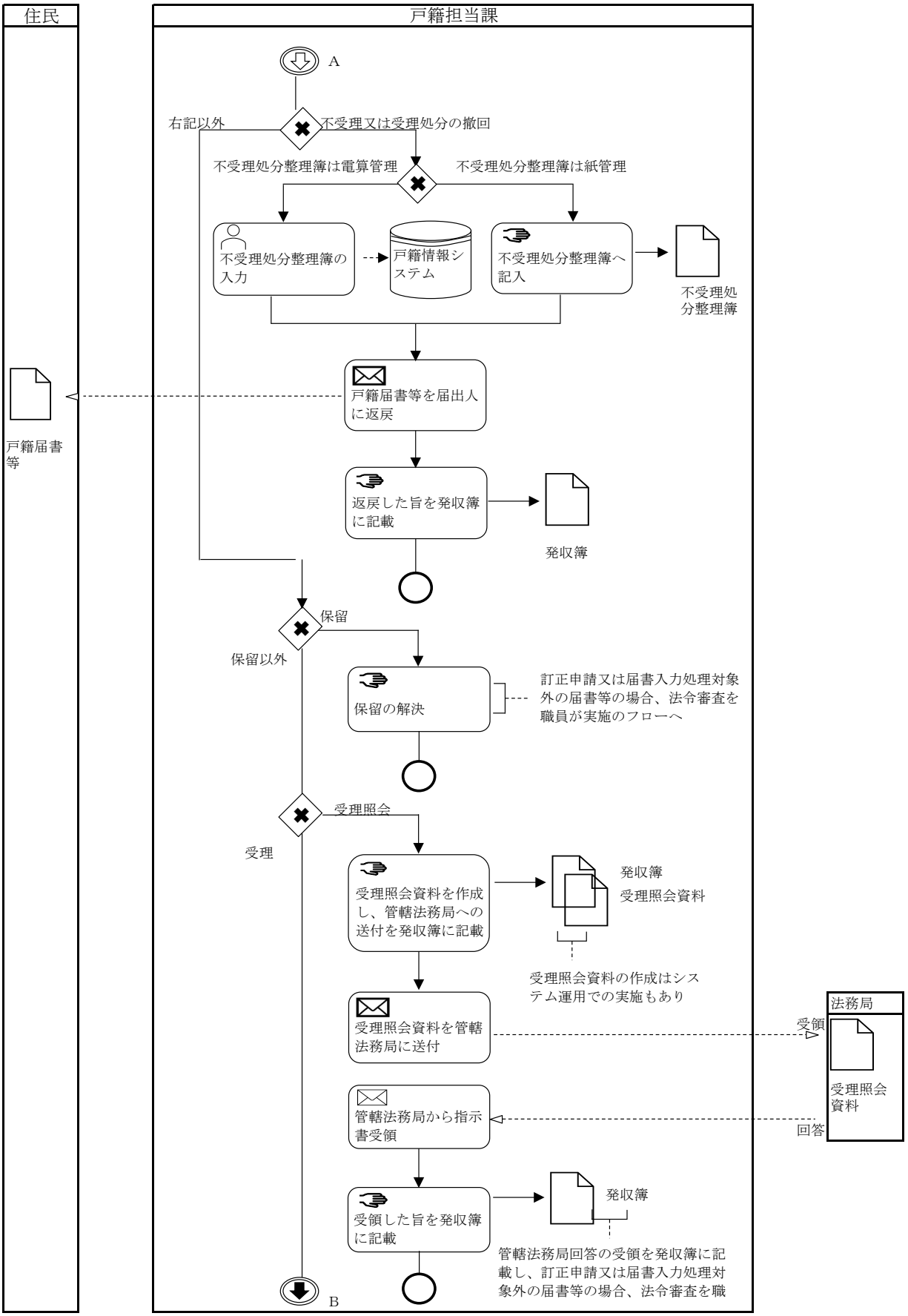
区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	01 届書入力処理 ～ 03 移記事項入力処理



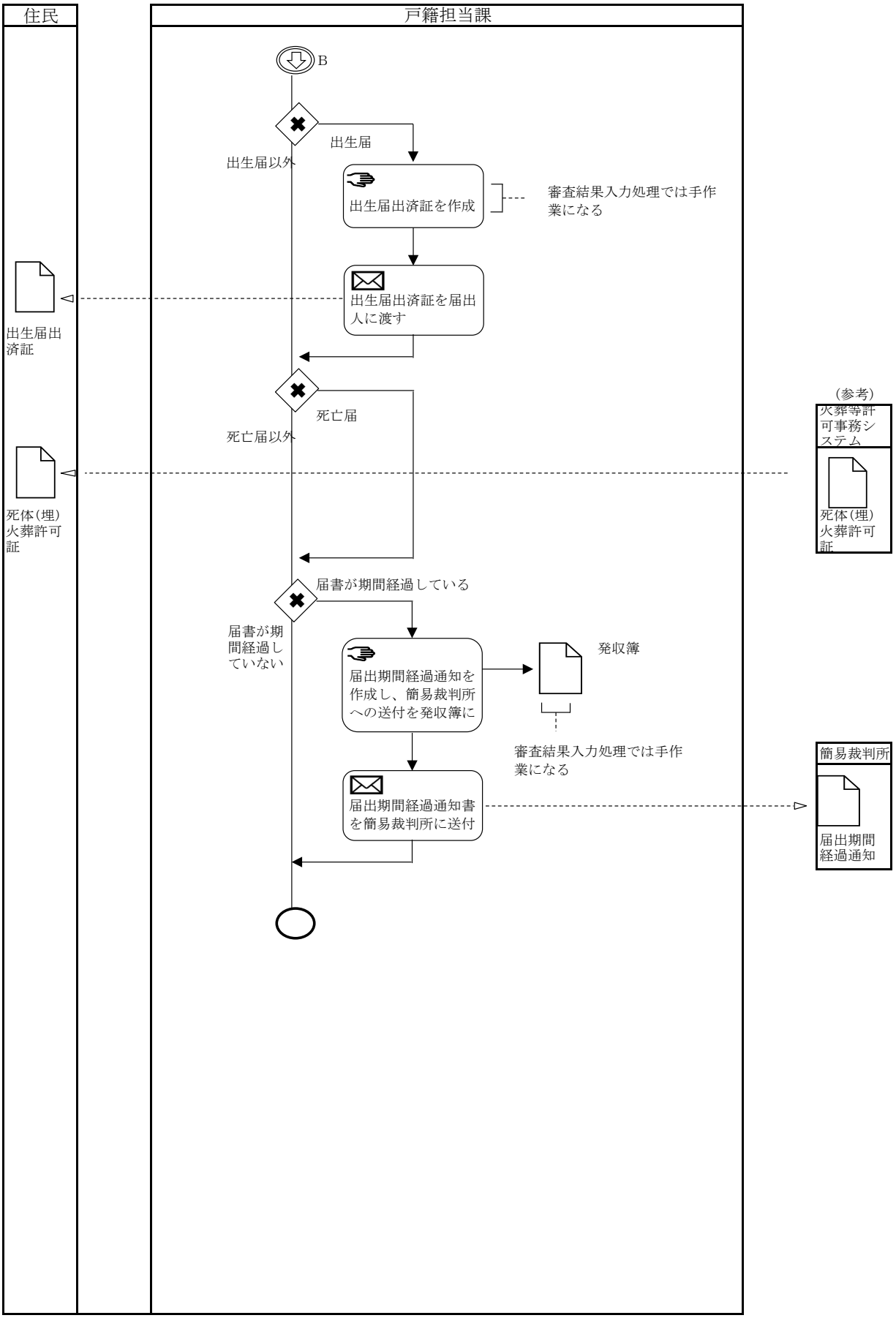
区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	04 審査結果入力処理



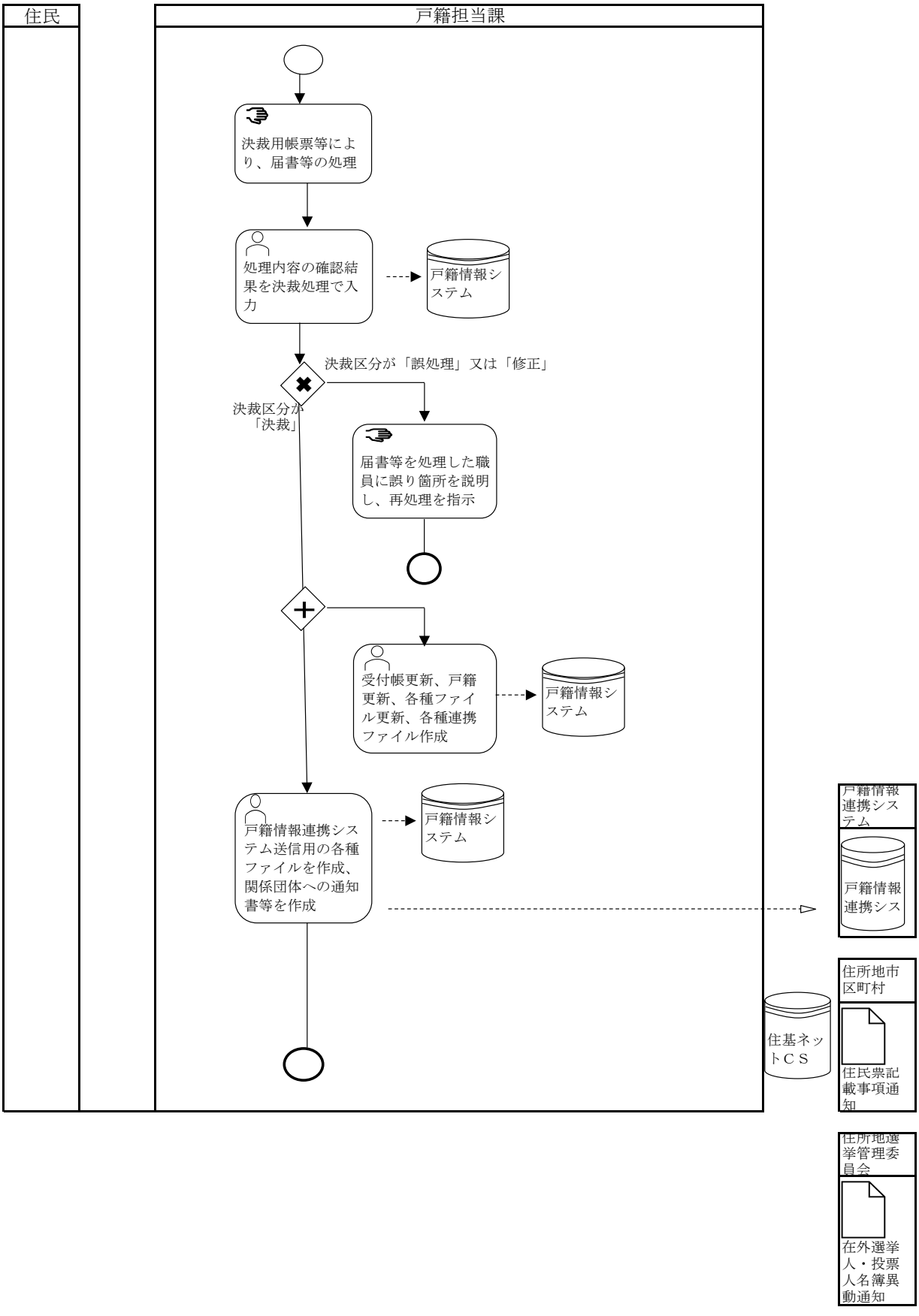
区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	04 審査結果入力処理



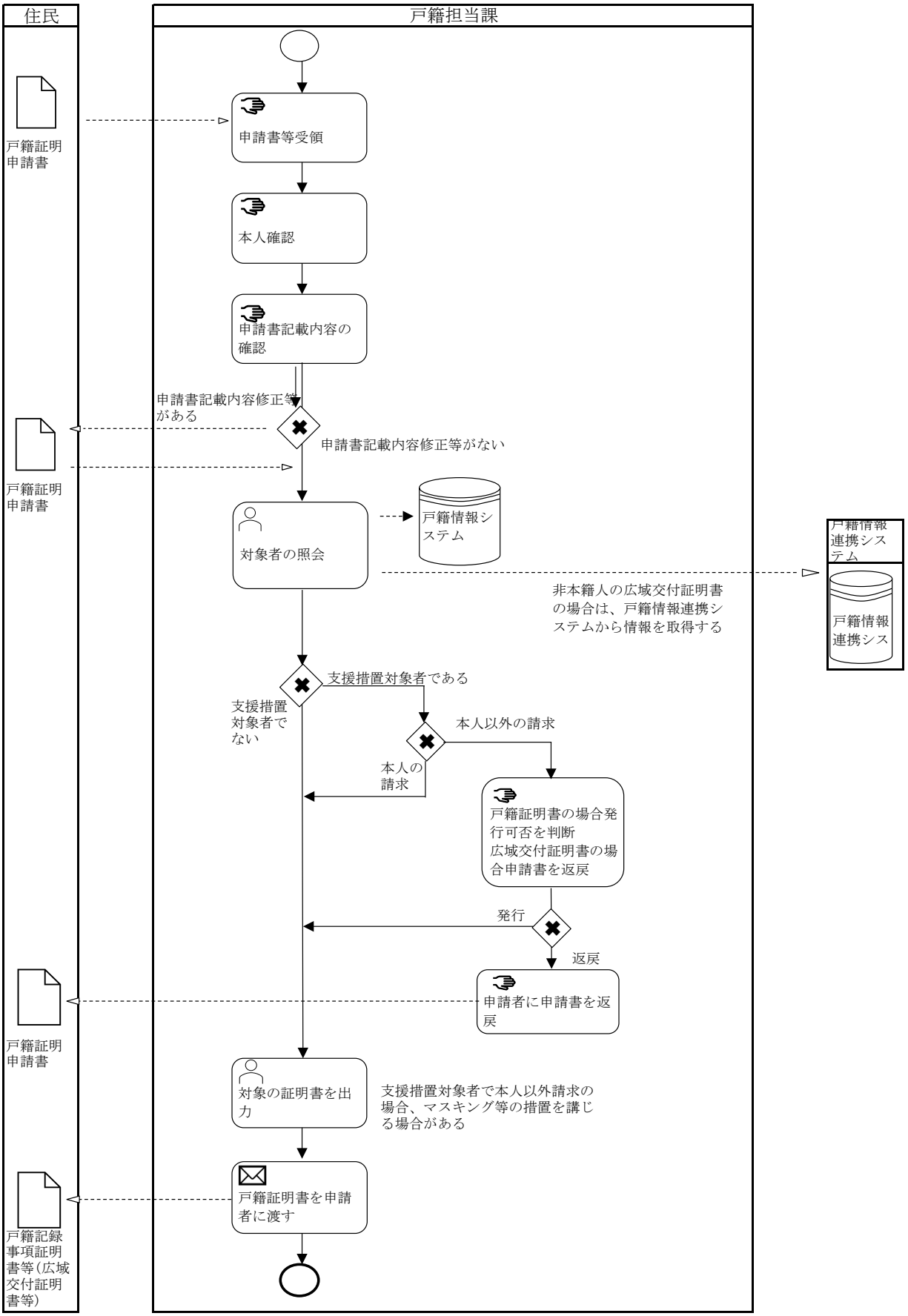
区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	04 審査結果入力処理



区分	戸籍	大項目	04 異動	中項目	07 決裁処理



区分	戸籍	大項目	05 証明	中項目	01 戸籍記録事項証明書(広域交付証明書等含む)



戸籍情報システム標準仕様書　別紙2ツリー図　変更履歴

項番	変更元ver	変更先ver	変更日	変更者	修正対象	変更内容
1	1.0版	2.0版	2023/3/31	法務省	表題	戸籍情報システムツリー図に版数を追加
2	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(4)異動_ア 届書入力処理	(ｳ) 戸籍届書記載内容添付書類の確認に a 届書等記載内容確認 本籍人検索及び b 届書等記載内容確認 非本籍人検索を追加
3	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(4)異動_ア 届書入力処理	(ｴ) 戸籍届書による入力処理に a-1 届書入力処理 異動者検索(非本籍人)及びa-2 届書入力処理 異動予約検索
4	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(4)異動_イ 審査結果入力処理	(ｳ) 戸籍届書記載内容添付書類の確認に a 届書等記載内容確認 本籍人検索及び b 届書等記載内容確認 非本籍人検索を追加
5	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(4)異動_イ 審査結果入力処理	(ｵ) 行政処分が受理のに a 戸籍記録 本籍人検索及びb 戸籍記録 非本籍人検索を追加
6	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(4)異動_ウ　決裁処理	(ｲ-3) 決裁区分 決裁 ・g「公選法30条の13第1項通知ファイル作成」を「公選法通知ファイル作成」に変更 ・h「住基法9条2項通知ファイル作成」を「住民票通知ファイル作成」に変更 ・i「相続税法58条通知データ作成」を削除 ・j「人口動態連携データ作成」をi「人口動態連携データ作成」に変更 ・j「届書等情報データ作成」を追加
7	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(5) 証明	ア「戸籍記録事項証明書」を「戸籍記録事項証明書等(交付証明書等含む)」に変更
8	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(5) 証明_ア　戸籍記録事項証明書等(交付証明書等含む)	(ｴ) 対象者の照会に「 e 副本戸籍検索」を追加
9	1.0版	2.0版	2023/7/31	法務省	(5) 証明_ア　戸籍記録事項証明書等(交付証明書等含む)	(ｶ) (ｵ)以外の場合証明書発行処理 ・「g 広域交付戸籍証明書等選択発行」を追加 ・「h 証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面表示」を追加 ・「i 戸籍電子証明書等提供用識別符号等通知書選択発行」を追加 ・「j 証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面表示」を追加
10						

別紙２
戸籍情報システム
　ツリー図(第2.0版)

凡例

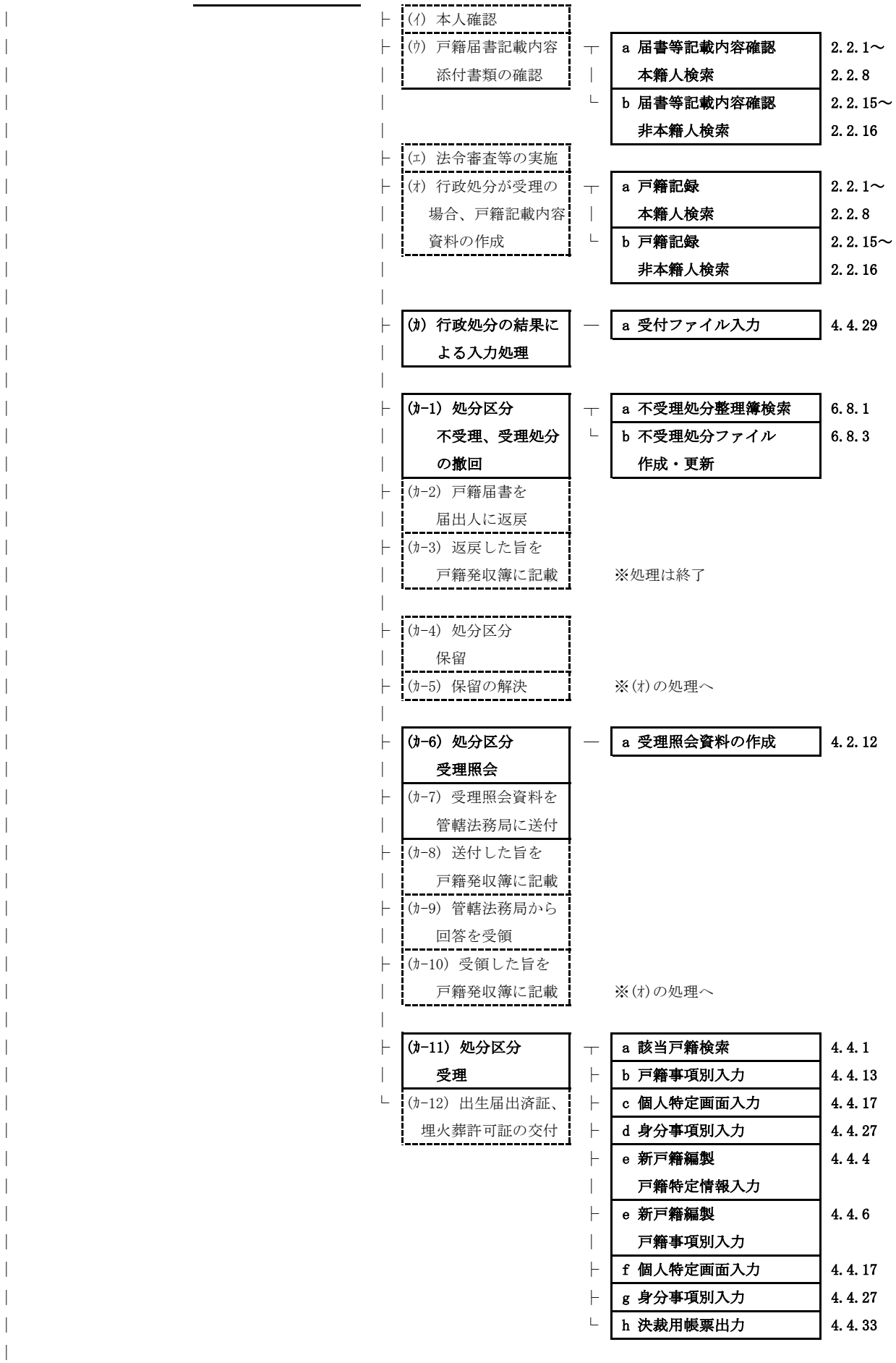
細文字	人が行う作業
太文字	**システムが行う作業**

・大項目、中項目の名称は「別紙３　戸籍情報システム　機能・帳票要件」の大項目、中項目と同じ。
・システムが行う作業のアルファベット文字の名称は「別紙３　戸籍情報システム　機能・帳票要件」の機能名称、数字は小項目と同じ。

大項目	中項目				
1 戸籍情報システム	(3) 抑止設定	ア 異動・発行・照会抑止	(ｱ) 通知書謄本等受領		
			(ｲ) 記載内容の確認		
			(ｳ) 該当個人の検索	**a 検索文字入力**	2.1.2
				b 旧氏名検索	2.2.2
				c 該当戸籍一覧	2.2.4
				d 戸籍構成員一覧	2.2.6
				e 個人詳細表示	2.2.7
			(ｴ) 個人状態ファイルのメモ記録	**a 個人状態ファイル更新**	6.3.2
			(ｵ) 通知書謄本の編綴		
	(4) 異動	ア 届書入力処理	(ｱ) 戸籍届書等受領		
			(ｲ) 本人確認		
			(ｳ) 戸籍届書記載内容添付書類の確認	**a 届書等記載内容確認 本籍人検索**	2.2.1～2.2.8
				b 届書等記載内容確認 非本籍人検索	2.2.15～2.2.16
			(ｴ) 戸籍届書による入力処理	**a 届書入力処理 異動者検索**	4.0.1
				b 届書入力処理 異動者検索時チェック	4.0.2
				c 届書入力処理 入籍先戸籍検索	4.0.3
				a-1 届書入力処理 異動者検索(非本籍人)	4.0.4
				a-2 届書入力処理 異動予約検索	4.0.5
				d 届書入力	4.1.1
				e 届書入力審査	4.1.2
			(ｵ) 入力処理結果の行政処分等の決定 処分区分：共通	**a 処分決定入力**	4.2.2
				b エラー履歴表示	4.2.7
				c 受領番号付番	4.2.4

(ｵ-1) 処分区分不受理、受理処分の撤回	―	a 不受理処分整理簿検索	6.8.1
		b 不受理処分ファイル作成・更新	6.8.3
(ｵ-2) 戸籍届書を届出人に返戻			
(ｵ-3) 返戻した旨を戸籍発収簿に記載		※処理は終了	
(ｵ-4) 処分区分保留			
(ｵ-5) 保留の解決		※(ｴ)の処理へ	
(ｵ-6) 処分区分受理照会	―	a 受理照会資料の作成	4.2.12
(ｵ-7) 受理照会資料を管轄法務局に送付			
(ｵ-8) 送付した旨を戸籍発収簿に記載			
(ｵ-9) 管轄法務局から回答を受領			
(ｵ-10) 受領した旨を戸籍発収簿に記載		※(ｴ)の処理へ	
(ｵ-11) 処分区分受理	―	a 仮戸籍表示	4.2.8
		b 処分決定入力各種ファイル作成	4.2.5
(ｵ-12) 出生届出済証、埋火葬許可証の交付		c 出生届出済証の発行	4.2.9
※2線式処理の場合は終了		d 埋火葬許可証の発行	4.2.10
		e 戸籍届出期間経過通知書の出力	4.2.11
		f 決裁用帳票出力	4.2.16
(ｶ) 移記事項の入力	―	a 移記戸籍検索※2線式の場合	4.3.1
		b 移記戸籍事項事件別入力	4.3.14
		c 移記個人情報表示画面入力	4.3.21
		d 移記身分事項事件別入力	4.3.28
		e 決裁用帳票出力	4.3.5

(4) 異動	―	イ 審査結果入力処理	(ｱ) 戸籍届書等受領


(ｲ) 本人確認
(ﾛ) 戸籍届書記載内容添付書類の確認
a 届書等記載内容確認 本籍人検索 2.2.1～2.2.8
b 届書等記載内容確認 非本籍人検索 2.2.15～2.2.16
(ｴ) 法令審査等の実施
(ｵ) 行政処分が受理の場合、戸籍記載内容資料の作成
a 戸籍記録 本籍人検索 2.2.1～2.2.8
b 戸籍記録 非本籍人検索 2.2.15～2.2.16
(ｶ) 行政処分の結果による入力処理
a 受付ファイル入力 4.4.29
(ｶ-1) 処分区分 不受理、受理処分の撤回
a 不受理処分整理簿検索 6.8.1
b 不受理処分ファイル作成・更新 6.8.3
(ｶ-2) 戸籍届書を届出人に返戻
(ｶ-3) 返戻した旨を戸籍発収簿に記載
※処理は終了
(ｶ-4) 処分区分保留
(ｶ-5) 保留の解決
※(ｵ)の処理へ
(ｶ-6) 処分区分 受理照会
a 受理照会資料の作成 4.2.12
(ｶ-7) 受理照会資料を管轄法務局に送付
(ｶ-8) 送付した旨を戸籍発収簿に記載
(ｶ-9) 管轄法務局から回答を受領
(ｶ-10) 受領した旨を戸籍発収簿に記載
※(ｵ)の処理へ
(ｶ-11) 処分区分 受理
(ｶ-12) 出生届出済証、埋火葬許可証の交付
a 該当戸籍検索 4.4.1
b 戸籍事項別入力 4.4.13
c 個人特定画面入力 4.4.17
d 身分事項別入力 4.4.27
e 新戸籍編製 戸籍特定情報入力 4.4.4
e 新戸籍編製 戸籍事項別入力 4.4.6
f 個人特定画面入力 4.4.17
g 身分事項別入力 4.4.27
h 決裁用帳票出力 4.4.33
(4) 異動
ウ 決裁処理
(ｱ) 届書等処理内容確認
(ｲ) 行政処分の結果に
a 未決裁一覧画面 4.7.3

	よる入力処理	選択番号入力		
		b エラー履歴表示		4.7.29
		c 仮戸籍表示		4.7.30
		d 決裁受付画面選択		4.7.7
	(ｲ-1) 決裁区分修正、誤処理			
	(ｲ-2) 入力者への修正指示	※ア届書入力処理又はイ審査結果入力処理へ		
	(ｲ-3) 決裁区分決裁	a 受付ファイル更新		4.7.8
		b 戸籍データベース更新		4.7.12
		c 個人状態ファイル更新		4.7.14
		d 不受理申出ファイル更新		4.7.15
		e 不受理申出ファイル通知		4.7.16
		f 戸籍附票連携データ作成		4.7.17
		g 公選法通知ファイル作成		4.7.19
		h 住民票通知ファイル作成		4.7.21
		i 人口動態連携データ作成		4.7.23
		j 届書等情報データ作成		4.7.31
		k 発送ファイル作成		4.7.24
		l 統計ファイル更新		4.7.25
(5) 証明	ア 戸籍記録事項証明書等(交付証明書等含む)	(ｱ) 申請書等受領		
		(ｲ) 本人確認		
		(ｳ) 申請書記載内容の確認		
		(ｴ) 対象者の照会	a 戸籍検索	5.1.1

		b 戸籍構成員一覧	2.2.6
		c 個人詳細表示	2.2.7
		d 個人状態ファイル表示	2.2.10
		e 副本戸籍検索	5.1.18
(オ) 証明対象者が支援措置対象者で申請者が対象者以外の場合は申請者に申請書を返戻	※証明発行せず処理は終了		
(カ) (オ)以外の場合 証明書発行処理		a 戸籍全部事項証明書 選択発行	5.1.3
		b 戸籍個人事項証明書 選択発行	5.1.4
		c 戸籍一部事項証明書 戸籍事項選択	5.1.8
		d 戸籍一部事項証明書 個人特定事項選択	5.1.9
		e 戸籍一部事項証明書 身分事項選択	5.1.10
		f 証明書発行確認 画面表示	5.1.16
		g 広域交付戸籍証明書等 選択発行	5.8.1
		h 証明書発行確認 (広域交付戸籍証明書等) 画面表示	5.8.2
		i 戸籍電子証明書等提供用 識別符号等通知書選択発行	5.9.1
		j 証明書発行確認 (戸籍電子証明書等) 画面表示	5.9.2
(キ) 申請者に証明書を交付			

戸籍情報システム標準仕様書

機能・帳票要件【改定履歴】

版数	改定日	主な改定理由	機能ID	機能IDの変更状況（削除／新規付番／変更なし）	適合基準日
第1.0版	令和4年8月30日	初版公開	―	―	―
第2.0版	令和5年7月31日	デジタル庁標準仕様書等の変更に伴う修正 戸籍情報システム運用変更に伴う修正 戸籍情報連携システムの運用開始に伴う修正 振り仮名の法制化に伴う修正	0030007	変更なし	
			0030008	変更なし	
			0030011	削除	
			0030014 0030015	削除	
			0030021	変更なし	
			0030034	変更なし	
			0030035 ～ 0030037	削除	
			0030039	変更なし	
			0030049	変更なし	
			0030050	削除	
			0030058	削除	

0030059	変更なし	
0030066	変更なし	
0030069	変更なし	
0030072	変更なし	
0030073	削除	
0030074	変更なし	
0030075	削除	
0030077	変更なし	
0030079	変更なし	
0030081	削除	
0030084	削除	
0030085	変更なし	
0030089	削除	
0030092	変更なし	
0030093	削除	

0030096 ～ 0030099	変更なし	
0030129	変更なし	
0030139	削除	
0030141	変更なし	
0030152	削除	
0030163	変更なし	
0030174	削除	
0030189	削除	
0030192 0030193	変更なし	
0030195	変更なし	
0030204	変更なし	
0030206	変更なし	
0030208	変更なし	
0030210	変更なし	
0030213 0030214	変更なし	

0030219 0030220	変更なし	
0030221	削除	
0030222 ～ 0030224	変更なし	
0030225	削除	
0030226 ～ 0030228	変更なし	
0030229 ～ 0030231	削除	
0030234	変更なし	
0030245 ～ 0030247	変更なし	
0030249 0030250	変更なし	
0030252	変更なし	
0030254 ～ 0030256	変更なし	
0030257	削除	
0030262 ～ 0030270	変更なし	
0030272	変更なし	
0030276 0030277	変更なし	

0030282 ～ 0030284	変更なし	
0030286	変更なし	
0030289 ～ 0030293	変更なし	
0030296	変更なし	
0030298	変更なし	
0030300	変更なし	
0030303 0030304	変更なし	
0030306 0030307	変更なし	
0030308	削除	
0030309 0030310	変更なし	
0030323	変更なし	
0030329 0030330	削除	
0030332	削除	
0030342 ～ 0030346	変更なし	
0030347 ～ 0030349	削除	

0030350 ～ 0030353	変更なし	
0030354	変更なし	
0030363	削除	
0030365 0030366	削除	
0030369	削除	
0030371	削除	
0030372	変更なし	
0030374 0030375	変更なし	
0030376	変更なし	令和8年4月1日
0030377	変更なし	
0030382	削除	
0030386	削除	
0030389 0030390	削除	
0030395 ～ 0030398	変更なし	
0030399	削除	

0030400	変更なし	
0030465	削除	
0030467	削除	
0030404 ～ 0030415	新規付番	
0030416 0030417	新規付番	令和8年4月1日
0030418	新規付番	
0030419 ～ 0030422	新規付番	令和8年4月1日
0030423 ～ 0030428	新規付番	
0030429 ～ 0030432	新規付番	令和8年4月1日
0030433	新規付番	
0030434	新規付番	令和8年4月1日
0030435	新規付番	
0030436	新規付番	令和8年4月1日
0030437	新規付番	
0030438	新規付番	令和8年4月1日

0030439	新規付番	
0030440	新規付番	令和8年4月1日
0030441	新規付番	
0030442 ～ 0030444	新規付番	令和8年4月1日
0030445	新規付番	
0030446 ～ 0030464	新規付番	令和8年4月1日
0030466	新規付番	令和8年4月1日
0030468 ～ 0030497	新規付番	令和8年4月1日
0030498 0030499	新規付番	
0030500	新規付番	令和8年4月1日
0030501	新規付番	
0030502 ～ 0030507	新規付番	令和8年4月1日
0030508 0030509	新規付番	
0030510 ～ 0030551	新規付番	令和8年4月1日
0030552	新規付番	

0030553 ～ 0030555	新規付番	令和8年4月1日
0030556	新規付番	
0030557 ～ 0030560	新規付番	令和8年4月1日
0030561	新規付番	
0030562 0030563	新規付番	令和8年4月1日
0030564	新規付番	
0030565	新規付番	令和8年4月1日
0030566 ～ 0030573	新規付番	
0030574	新規付番	令和8年4月1日
0030575 ～ 0030580	新規付番	
0030581 ～ 0030583	新規付番	令和8年4月1日
0030584	新規付番	
0030585 0030586	新規付番	令和8年4月1日
0030587	新規付番	
0030588 ～ 0030590	新規付番	令和8年4月1日

			0030591 ～ 0030594	新規付番	
			0030595 ～ 0030603	新規付番	令和8年4月1日
			0030604	新規付番	
			0030605 ～ 0030608	新規付番	令和8年4月1日
			0030609	新規付番	
			0030610 ～ 0030612	新規付番	令和8年4月1日
			0030613	新規付番	
			0030614 0030615	新規付番	令和8年4月1日
			0030616 ～ 0030618	新規付番	
			0030619	新規付番	令和8年4月1日
			0030620	新規付番	
			0030621 ～ 0030632	新規付番	令和8年4月1日

別紙3 戸籍情報システム

機能・帳票要件(第2.0版)

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目										
1 管理項目	1.1 戸籍データ	1.1.1	戸籍の管理		0030001	戸籍について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 戸籍特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目のうち、消除日を除く項目 ※1項目以上の入力がある (2) 戸籍事項ファイル ・戸籍事項_戸籍消除を除く項目 ※戸籍事項_共通以外は必須ではない	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1 管理項目	1.1 戸籍データ	1.1.2	除籍の管理		0030002	除籍について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 戸籍特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※1項目以上の入力がある (2) 戸籍事項ファイル ・全ての項目 ※戸籍事項_共通以外は必須ではない	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1 管理項目	1.1 戸籍データ	1.1.3	在籍者個人の管理		0030003	在籍者について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目のうち、除籍日を除く項目 (2) 身分事項ファイル ・全ての項目 ※身分事項_共通以外は必須ではない (3) 個人状態ファイル ・禁治産者区分～注意喚起区分のうち1項目以上に(1:有)が設定されている、又はメモが空欄でない場合、ファイルを保持する (4) 不受理申出ファイル ・不受理申出が申出されている場合、ファイルを保持する	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1 管理項目	1.1 戸籍データ	1.1.4	除籍者個人の管理		0030004	除籍者について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※除籍日は必須 (2) 身分事項ファイル ・全ての項目 ※身分事項_共通以外は必須ではない (3) 個人状態ファイル ・禁治産者区分～注意喚起区分のうち1項目以上に(1:有)が設定されている、又はメモが空欄でない場合、ファイルを保持する (4) 不受理申出ファイル ・不受理申出が申出されている場合、ファイルを保持する	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1 管理項目	1.2 受付データ	1.2.1	受付帳の管理		0030005	受付帳について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 受付ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 (2) 事件本人ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ・行番号01のデータがあること	実装必須機能	法及び規則による。		
1 管理項目	1.2 受付データ	1.2.2	受付事件本人の登録数		0030006	(2) 事件本人ファイル ・行番号05以上のデータ作成すること	標準オプション機能	受付事件本人は4人までの登録は実装必須機能であるが、5人以上の事例があるためデータを保持することを認める。		
1 管理項目	1.2 受付データ	1.2.3	届書処理通番の管理	新規追加	0030452	届書処理通番について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ・行番号01のデータがあること	実装必須機能	法及び規則による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.1	除籍見出しの管理	訂正	0030007	除籍見出しについて、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 除籍見出しファイル ・データ出力条件が必須の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する ・データ出力条件が任意の項目 (2) 除籍個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する	実装必須機能	法、規則及び準則による。 除籍見出しは、その規定がないなかで登録され、今後再登録する必要性がないことから、戸籍データリストで必須としているデータがないことを許容するものである。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.2	除籍見出しの再登録	訂正	0030008	除籍見出しについて、戸籍基本データリストが規定している項目に合わせて再登録を行うこと。	実装必須機能	市区町村の判断により再登録することを妨げない。また、再登録の方法についても規定はしない。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.3	除籍イメージの管理		0030009	除籍イメージデータの解像度は400dpiとするが、標準準拠システム移行前に当該解像度以外で読み取ったイメージデータについては、そのままの解像度で差し支えない取扱いとする。	実装必須機能	除籍イメージデータは、その規定がないなかで登録され、今後再登録する必要性がないことから、現在登録されている仕様を許容するものである。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.4	除籍イメージの再登録		0030010	除籍イメージデータの解像度に合わせて再登録を行うこと。	実装必須機能	市区町村の判断により再登録することを妨げない。また、再登録の方法についても規定はしない。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.5	除籍イメージの変換	新規追加	0030415	除籍イメージデータはPDF形式、BMP形式等用途に合わせて変換ができること。	標準オプション機能	除籍イメージデータの変換機能を追加する。 【第2.0版】既存の形式をバッチで一括変換する等の機能を追加		
1 管理項目	1.4 改製不適合戸籍イメージデータ	1.4.1	改製不適合戸籍イメージの管理	修正	0030416	改製不適合戸籍は紙管理であるが、平成26年7月4日付け法務省民一第740号民事局第一課長回答にて、「電子情報処理組織の取り扱いに適合しない戸籍の画像情報処理方式による磁気ディスク化について、差支えないとされた事例」のとおり、イメージによる管理も認められた(イメージの登録は任意)。 改製不適合戸籍見出し情報について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 改製不適合戸籍_戸籍特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する ・データ出力条件が任意の項目 (2) 改製不適合戸籍_個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する	実装必須機能	改製不適合戸籍は不適合状態がなくなると、直ちに電算化戸籍に改製する必要があることから、見出しは戸籍とイメージは除籍イメージと同じ機能要件を採用する。 なお、イメージの登録は任意である。 【第2.0版】戸籍基本データリストに、戸籍副本管理システムに送信するための改製不適合戸籍の見出し情報の追加を依頼したことによる修正 データリストに追加されることから、実装類型を標準オプション機能から変更	【第2.0版】機能ID 0030011から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 管理項目	1.4 改製不適合戸籍イメージデータ	1.4.2	改製不適合戸籍の電算化戸籍管理		0030012	改製不適合戸籍を電算化戸籍データ(テキスト)で管理すること。 筆頭者が除籍者の場合は必須登録であるが、身分事項の登録は任意とする。 筆頭者以外が除籍者の場合は、全員登録する又は全員登録しないのいずれかとし、身分事項の登録は任意とする。	標準オプション機能	改製不適合戸籍を改製し電算化戸籍とする場合、本データを使用して改製することになるため、筆頭者が除籍者の場合は必須登録とする。 ただし、本データは見出しデータとしての活用も見込めることから、筆頭者以外の除籍者の登録も認めることとする。 除籍者の身分事項は電算化戸籍では不要であるため、その登録は任意とする。		
1 管理項目	1.4 改製不適合戸籍イメージデータ	1.4.3	改製不適合戸籍イメージデータ	新規追加	0030417	改製不適合戸籍をイメージで管理する場合は、1.3.2除籍見出しの再登録～1.3.5除籍イメージの変換に準ずる。	実装必須機能	改製不適合戸籍イメージは除籍イメージと同じである。 なお、改製不適合戸籍イメージの変換は実装オプション機能である。 【第2.0版】戸籍基本データリストに、戸籍副本管理システムに送信するための改製不適合戸籍の見出し情報の追加を依頼したことによる修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 管理項目	1.5 管掌者データ	1.5.1	管掌者の管理		0030013	規則第77条に、「戸籍事務を電子情報処理組織によって取り扱う場合には、戸籍の記録するごとに、市町村長又はその職務を代理する者は、その識別番号を記録しなければならない。」とあり、この識別番号を管掌者データとして登録する。 管掌者コードは数字4桁で管理する。コードの付番方法は市区町村の任意であるが、上2桁を世代、下2桁を管掌者又はそれに準ずる者としての管理を推奨する。	実装必須機能	規則第77条による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.1	空欄	修正	0030581	戸籍基本データリストの各項目において、空欄を許容する項目は以下のとおりである。その他の項目は、空欄を許容しないこと。なお、ここでいう項目とは、戸籍基本データリストの出力条件が必須である項目とする。 ・戸籍特定ファイルの筆頭者振り仮名 ・氏名ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名 ・受付事件本人ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名	実装必須機能	名未定の出生届について、「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)」で処理した場合は、氏名ファイル、受付事件本人ファイルとも氏だけが記録される仕様であるため空欄にはならないが、「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」で処理した場合に空欄を許容する。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030014から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目	1.6 その他	1.6.2	漢字空白1文字	修正	0030582	戸籍基本データリストの各項目において、項目の区切り文字として漢字空白１文字を許容する項目は以下のとおりである。その他の項目は、漢字空白１文字を許容しないこと。なお、ここでいう項目とは、戸籍基本データリストのデータ型がNである項目とする。 ・戸籍特定ファイルの筆頭者、筆頭者振り仮名 ・個人特定ファイルの父、母、養父、養母 ・氏名ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名 ・不受理申出ファイルの相手方氏名 ・受付ファイルの届後戸籍の筆頭者 ・受付事件本人ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名、筆頭者 ・管掌者ファイルの管掌者氏名 ・除籍見出しファイルの筆頭者、筆頭者仮名、前筆頭者、前筆頭者仮名 ・除籍個人特定ファイルの氏名、氏名仮名	実装必須機能	許容する項目であるため、左記項目全てにおいて項目の区切り文字として漢字空白１文字を必ず入れるものではない。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID　0030015から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
1 管理項目	1.6 その他	1.6.3	年月日の管理		0030016	年月日は、暦上日で管理すること。ただし、暦上日以外の年月日（例：うるう年でない年における2月29日）も許容するとともに、不詳日も許容すること。 なお、年月日の仕様は平成6年7002号通達別添1の戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書_別紙2_入力ファイル項目の形式_2　留意事項 (2)日付項目のとおりとする。	実装必須機能	平成6年7002号通達別添1による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.4	年月日の表示		0030017	年月日は、戸籍に関する各種証明書及び画面表示において、和暦で記載・表示すること。ただし、外国人の生年月日は西暦で記載・表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書」による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.5	続柄		0030018	父母との続柄又は養父母との続柄は、戸籍データリストのコード一覧（個別）の続柄[続柄区分]で示すコードとすること。	実装必須機能	規則附録第6号及び昭和22年10月14日付け民事甲第1263号通達による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.6	本籍・筆頭者		0030019	本籍・筆頭者欄は、「なし」又は「不明」と記載できること。	実装不可機能	法第9条で「戸籍は、その筆頭に記載した者の氏名及び本籍でこれを表示する。その者が戸籍から除かれた後も、同様である。」としていることから、本籍・筆頭者は必ず存在するため、いずれの項目においても「なし」又は「不明」の取り扱いにはなり得ない。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.7	番号の自動付番		0030020	戸籍番号、個人番号、受領番号は、自動付番できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(6)　「処分決定」処理」による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.8	戸籍番号・個人番号の意味付け	訂正	0030021	戸籍番号、個人番号の付番は単純連番方式を基本とするが、番号の意味付け(先頭1桁で戸籍種別を区分等)は市区町村の任意とする。	実装必須機能	除籍見出しの登録はその規定がないため、除籍番号、除籍個人番号を戸籍番号、個人番号と合わせて管理する場合に、戸籍と除籍イメージの区分は市区町村の任意とする。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.9	受領番号の意味付け		0030022	受領番号の付番は以下のとおりとする。 1桁目～4桁目：西暦年4桁 5桁目～9桁目：暦年内の連番 10桁目：履歴番号(0～9で昇順付番)	実装必須機能	戸籍基本データリストの受付ファイルによる。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.10	支援措置対象者管理		0030023	支援措置の実施に当たっては、支援措置対象者の戸籍、除籍、除籍イメージ等(改製原戸籍等を含む)に支援措置対象者等である旨の表示ができること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.11	支援措置対象者のデータ管理		0030024	戸籍附票システムから連携された支援措置対象者情報の項目を登録すること。 支援措置対象者の画面表示から支援措置責任者の了承を得て又は支援措置責任者のみが画面確認できること。	実装必須機能	支援措置対象者の情報は住民記録システム、戸籍の附票システムで管理すべき事項となっており、このデータは戸籍附票システムからの連携で情報が渡されるため、その情報を登録する。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.12	入力場所・入力端末		0030025	システムログや証明書発行管理に使用するため、戸籍情報システムを使用する場所として、本庁、支所、出張所、戸籍情報システム利用課等の入力場所及び入力端末等の登録管理ができること。	実装必須機能	システムログや証明書発行管理に使用するための戸籍情報システムを使用する場所（本庁・支所・出張所・戸籍利用課等の入力場所）及び入力端末等を管理する機能が必要。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.13	発行端末		0030026	平成18年2月20日民一第440号民事一課長通知で、契印を不要とする際は、毎葉に発行年月日、市町村名、発行端末番号、任意の発行番号ページ番号及び総ページ数を印刷することとされている。そのため発行端末の登録管理ができること。	標準オプション機能	平成18年2月20日民一第440号民事一課長通知及び「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　項番26」による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.14	住所辞書管理		0030027	住民記録システムから提供を受ける場合を除き、本籍又は住所が必要な場合には、API連携によりアドレス・ベース・レジストリを参照すること、又は、アドレス・ベース・レジストリからファイル連携により取得した住所マスタを参照すること。	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.15	住所辞書にない住所		0030028	旧本籍がアドレス・ベース・レジストリに規定されていない場合は、それに関してコード化できること。	標準オプション機能	アドレス・ベース・レジストリに規定されていない旧本籍があった場合、職員負荷軽減のためコード化の対応を認める。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.16	国籍		0030029	国籍はJIS X 0304の「国名コード」で規定されたコード値を設定するこ	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.17	国名コードにない外国名		0030030	身分事項等の移記において「国名コード」にない外国名を使用する場合は、それに関してコード化できること。	標準オプション機能	国名コードに規定されていない国名があった場合、職員負荷軽減のためコード化の対応を認める。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.18	国名コードの変換		0030031	「国名コード」はアルファベット3文字（日本ならば「JPN」）で規定されているが、戸籍情報システムでは数字で管理される。そのため、連携において「国名コード」を送る必要がある場合は、その変換表を登録できること。	標準オプション機能	受付事件本人の本籍コードは数字15桁での管理であり、戸籍情報システムでは「別紙5 5.8.(2)　コード一覧表　国籍・国名（数字3桁）」でサンプル提示されており、市区町村の任意で設定可能としている。戸籍情報システム内では国名コードは必須ではないためアルファベット3文字で管理する必要はないが、各基幹業務の連携データとなる場合は変換が必要になる。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.19	公印管理		0030032	市区町村長及び職務代理者の公印が管理できること。	実装必須機能	戸籍情報システムから出力する各種証明書は、イメージ登録した公印での発行が認められているため。 なお、朱印による押印も認められている。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目	1.6 その他	1.6.21	他市区町村の公印管理	新規追加	0030418	指定都市の場合、他区の区長及び職務代理者の公印が管理できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村長及び職務代理者の公印が管理できること。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答(指定都市)及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答(認容された市区町村間)による。 【第2.0版】他市区町村の公印管理を追加		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.20	交付履歴の管理		0030033	戸籍、除籍、除籍イメージ及び受付帳から交付される証明書に関する交付履歴は、市区町村が定める期間、以下の項目を管理すること。 ・交付年月日時 ・交付場所 ・交付対象者 ・証明書の種別 ・交付区分（本人等請求、公用請求、第三者請求） ・記載事項 ・枚数 ・発行番号 ・端末名、操作者ID ・処分情報（誤って発行した証明書を処分した場合にはその旨の記録。）	標準オプション機能	交付履歴を含む証明書の発行状況は情報開示請求の際等に必要となるが、従来どおりの証明書交付申請書による確認でも構わない。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 検索・操作										
2 検索・操作	2.1 検索	2.1.1	検索機能	修正	0030034	システム利用者ID 単位）ごとに、一度検索ダイアログ等で設定した値（検索履歴）については、自動的にその設定値が、一定の件数保存されること。 また、それら検索履歴を選択することにより、同じ条件による再検索及び検索履歴を活用 した新たな検索にも対応できること 。	標準オプション機能	業務効率化の観点から、検索パラメータの履歴保持は有効である。 また、業務効率化の観点からはすべての履歴を保持する必要はなく直近の履歴で足りると考えられるが、適当な件数については各市区町村の処理数によって異なることから、一定の件数とした。 なお、権限及び情報セキュリティ等の観点から、履歴保持は、システム利用者ごと（ID単位）で実施できなければならない。	【第2.0版】実装類型を実装必須機能から変更	
2 検索・操作	2.1 検索	2.1.2	検索文字入力	修正	0030583	氏名漢字、振り仮名検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030035から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.1 検索	2.2.17	文字コード照会等	新規追加	0030584	漢字文字の入力・照会については、拡大して入力・照会ができるとともに、文字コードの照会ができること。	標準オプション機能	戸籍附票システムに準ずる。 【第2.0版】指摘に伴う追加		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.1	戸籍検索キー	修正	0030585	戸籍及び個人の検索キーは、本籍、氏名、振り仮名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり、これに限ること。	実装必須機能	平成6年7002号通達による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030036から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.2	旧氏名検索	修正	0030586	振り仮名及び漢字氏名は、旧氏名（氏の変更届又は名の変更届等により、個人に異動がなく氏又は名が変更された場合の変更前氏名）でも検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030037から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.18	旧カナ氏名検索	新規追加	0030587	2.2.2旧氏名検索において、カナ氏名による検索ができること。	標準オプション機能	振り仮名の施行後しばらくは、氏名の履歴が発生しないことから、保持しているカナ氏名での旧氏名検索が必要になる。 「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.3	前方一致検索		0030038	本籍及び生年月日は、前方一致検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.4	該当戸籍一覧	補記	0030039	戸籍又は個人の検索入力は該当戸籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 該当戸籍一覧で選択された戸籍で戸籍構成員一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。 画面については、レイアウトの変更及び入力者の負荷軽減を考慮した対応（不要項目の削除、補助項目の追加）を許容することから、画面遷移はベンダ任意とする。 ※画面遷移については以降も同様である。	【第2.0版】本文の1．機能・帳票要件（1）改定におけるシステム化の範囲に記載の、画面設計書は任意で変更できることを追加	
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.5	該当戸籍一覧1件		0030040	戸籍又は個人の検索結果が1件であった場合、戸籍構成員一覧画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.6	戸籍構成員一覧		0030041	該当戸籍一覧画面で選択された戸籍又は検索結果が1件であった場合、戸籍構成員一覧画面を表示すること。 戸籍構成員一覧画面で選択された個人で個人詳細画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍構成員一覧」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 戸籍構成員一覧表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.7	個人詳細表示		0030042	戸籍構成員一覧画面で選択された個人について、個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人詳細表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人詳細表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人詳細表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.8	前個人詳細表示		0030043	個人に前個人番号がある場合、前個人を検索して個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人詳細表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人詳細表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人詳細表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.9	不受理申出ファイル表示		0030044	個人に不受理申出ファイルがある場合、不受理申出ファイル表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 不受理申出ファイル表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 不受理申出ファイル表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 不受理申出ファイル表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.15	不受理申出イメージ表示	新規追加	0030502	2.2.9不受理申出ファイル表示で選択された不受理申出情報について、イメージ情報及び補正情報がある場合はその情報を画面表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 不受理申出イメージ表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 不受理申出イメージ表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 不受理申出イメージ表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.10	個人状態ファイル表示		0030045	個人に個人状態ファイルがある場合、個人状態ファイル表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人状態ファイル表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人状態ファイル表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人状態ファイル表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.16	胎児認知届イメージ表示	新規追加	0030503	2.2.10個人情報ファイル表示で胎児認知区分が「有」の場合、胎児認知届イメージを画面表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人状態ファイル表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人状態ファイル表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人状態ファイル表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.11	遡り検索		0030046	遡り検索ができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.12	検索結果並べ替え		0030047	検索結果の並べ替えができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.13	改製不適合戸籍の表示		0030048	改製不適合戸籍がテキストデータ化されている場合は、戸籍構成員一覧画面及び個人詳細表示画面が表示できること。 改製不適合戸籍がイメージデータ化されている場合は、イメージを表示できること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.14	他市区町村戸籍検索	訂正	0030049	指定都市の場合、他区の戸籍を検索できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の戸籍を検索できること。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答（指定都市）及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答（認容された市区町村間）による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.1	受付ファイル検索キー	修正	0030588	受付ファイルの検索キーは、受付(受領)番号、氏名、振り仮名、生年月日、届書等の受領年月日、届出事件の種別、渉外事件であるかどうかの別、受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分である。	実装必須機能	平成6年7002号通達による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030050から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.2	範囲指定検索		0030051	届書等の受領年月日は、範囲指定による検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.3	受付ファイル選択		0030052	受付ファイルの検索入力は該受付ファイル選択画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 受付ファイル選択画面で選択された受付ファイルで受付ファイル検索画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル選択」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.3.4	該当受付ファイル1件		0030053	受付ファイルの検索結果が1件であった場合、受付ファイル検索画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.5	受付ファイル検索	修正	0030404	受付ファイル選択画面で選択された受付帳又は検索結果が1件であった場合、受付ファイル検索画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル検索」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル検索」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030053から変更	
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.6	受付ファイル履歴表示		0030054	受付ファイルに履歴がある場合は、履歴表示ができること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル検索」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル検索」による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.7	検索結果並べ替え		0030055	検索結果の並べ替えができること。 ・関連番号がある場合は、その受付内容(受付検索)表示ができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.8	関連受領番号表示		0030056	関連受領番号がある場合は、その受付ファイルを受付ファイル検索画面で表示できること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.9	受付ファイル検索キーの追加		0030057	受付ファイルの検索キーを追加すること。	実装不可能	受付ファイル検索キーの追加が必要な場合は、「第1章 本仕様書について 4. 本仕様書の内容 (5)本仕様書の改定」による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.10	届書等情報表示	新規追加	0030504	受付ファイル検索画面から届書等情報表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 届書等情報表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 届書等情報表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 届書等情報表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.11	届書等情報イメージ表示	新規追加	0030505	届書等情報表示画面から選択されたイメージ表示(届書、添付書面、補正情報、申入書)ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 届書等情報表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 届書等情報表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 届書等情報表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.1	除籍イメージ検索キー	修正	0030419	除籍イメージの検索キーは、戸籍除区分、筆頭者、本籍、編製日、消除日、氏名、生年月日から選択する。	実装必須機能	除籍見出しの登録データは市区町村により異なることから、検索キーは機能要件で指定した項目から選択する。 【第2.0版】除籍見出しの検索キーを特定する	【第2.0版】機能ID 0030058から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.2	除籍イメージ検索キーの仕様	修正	0030059	除籍イメージの検索キーの仕様は、2.2.2旧氏名検索、2.2.3前方一致検索に準じる。	実装必須機能	検索キーの仕様は、仕様統一の観点から他の検索と同様とする。	【第2.0版】機能要件の2.3.2範囲指定検索の準ずることの誤りを修正	
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.3	該当除籍一覧		0030060	除籍又は除籍個人の検索入力は該当除籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。該当除籍一覧で選択された戸籍で除籍構成員一覧画面に遷移すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.4該当戸籍一覧に準ずる。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.4	該当除籍一覧1件		0030061	除籍又は除籍個人の検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.5	除籍構成員一覧		0030062	該当戸籍除籍画面で選択された除籍又は検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面を表示すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍構成員一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.6戸籍構成員一覧に準ずる。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.6	除籍イメージ表示		0030063	除籍イメージが表示できること。	実装必須機能	2.2.7個人詳細表示と同様、除籍イメージを確認する必要がある。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.7	遡り検索	修正	0030405	遡り検索ができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。	【第2.0版】機能ID重複により0030063から変更	
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.8	検索結果並べ替え	修正	0030406	検索結果の並べ替えができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。	【第2.0版】機能ID重複により0030063から変更	
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.9	他市区町村除籍イメージ検索		0030064	指定都市の場合、他区の除籍イメージを検索できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の除籍イメージを検索できること。	標準オプション機能	2.1.14他市区町村戸籍検索に準ずる。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.10	番号による検索		0030065	・除籍番号及び除籍個人番号で検索すること。	実装不可能	除籍番号及び除籍個人番号は管理項目であるため、番号による検索は認めない。		
2 検索・操作	2.5 操作	2.5.1	キーボードのみの画面操作	修正	0030066	・端末のセキュリティを確保しながら、キーボードのみでも画面操作が可能であること。	標準オプション機能	キーボードのみの画面操作は、操作に成熟した職員の処理速度向上や職員の疲労度軽減による。近年ではRPAで自動化する際、キーボード操作のコマンドを直接アプリケーションに送信することで、バックグラウンド処理で自動化が可能となるメリットもある。 本項目は全体的には画面・操作性に関するものとして削除することも考えられるが、市区町村によって業務に大きな影響を及ぼしかねない部分については標準として整理することで、これ以上のカスタマイズを抑制する。ただし、キーボードのみでの画面操作が可能な機能を実装していれば、他の操作を否定するものではない。	【第2.0版】実装類型を実装必須機能から変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
3 抑止設定										
3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止	3.1.1	異動・発行・照会抑止		0030067	支援措置対象者に対する抑止、排他制御（4.01及び4.02参照）、その他の抑止を管理できること。 各抑止機能について、異動入力、証明書発行、照会などの処理ごとに、戸籍、除籍イメージ及びそれらの構成員単位で、抑止（エラー、アラートは表示されるが、処理可又は処理可（抑止なし））の開始日及び終了日設定が可能であること。抑止が終了していない者について、抑止の一時解除ができること。また、抑止の一時解除については、庁内各システムで誤って本解除として扱われないように、コンビニ交付システムを含む庁内各システムへのデータ連携は不要とすること。 一時解除後、必要な処理が完了したら手動で一時解除を元に戻し、失念していた場合は一定時間経過後に自動で抑止状態に戻ること。 抑止状態に戻るまでの時間を設定できること。 抑止・解除、又は一時解除できる権限は個別に設定できること。 なお、抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。 戸籍附票システムから情報を連携させている場合は、戸籍附票システムにおいて通知等による記載や修正等の処理を実施している際、異動中であるといった情報が連携され、抑止が実施されること。 検索結果の表示の際、抑止対象であることが明らかとなること。 抑止事由（支援措置、外字作成中、戸籍異動中等）を選択できること。 抑止については複数設定することができ、設定ごとに、抑止する処理・抑止レベル（エラー・アラート）の設定ができること。 証明書発行の抑止設定及び解除情報については、コンビニ交付に対しても自動連携されること。	実装必須機能	支援措置の他、戸籍附票システムにおいて異動処理を実施している（戸籍附票異動中）等の事由の際、戸籍情報システムにおいても対となる戸籍への抑止機能が必要となることから、個別に書き込むのではなく、まとめて整理した。 抑止設定及び解除については、戸籍単位又は構成員単位いずれにも対応できることとし、市区町村が選べるようにすることとした。		
3 抑止設定	3.2 不受理申出抑止	3.2.1	不受理申出抑止		0030068	不受理申出による抑止設定ができること。 ・届書入力処理による異動処理の場合は、異動者を戸籍検索により選択した時点で不受理申出情報を表示し、不受理申出に係る届の有無を選択する。 「別紙7　7.2.(4)「異動検索」処理　システム処理の概要説明」参照。 ・審査結果入力処理による異動処理の場合は、異動者を戸籍検索により選択した際に、不受理申出を表示させそれを確認して、職員が受付帳作成で処分区分を決定する。	実装必須機能	法及び規則による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動										
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.1	届書入力処理異動者検索	修正	0030069	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動前に本籍人である異動処理（例：婚姻、死亡、転籍等）については、対象者を戸籍データから選択できること。 対象者の検索は、2.1.2検索文字入力～2.2.10個人状態ファイル表示及び2.2.18旧カナ氏名検索に準ずる。 このとき、選択した戸籍に排他制御をかけること。	実装必須機能	届書入力処理においては、異動者の選択は全て個人であり、戸籍が対象になることはない。転籍は戸籍の在籍者全員が対象になるが、異動者選択は筆頭者及び配偶者に限られる。 選択した戸籍は他で異動処理が行われないよう、排他制御を行う必要がある。 「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧(異動)、戸籍構成員一覧(異動)、個人詳細表示(異動)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧(異動)、戸籍構成員一覧(異動)、個人詳細表示(異動)」及び「別紙7 7.2.(4) 「異動検索」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.2	届書入力処理異動者検索時チェック		0030070	異動処理において対象者を選択した場合、チェックを行い届書入力処理で処理が可能か判断すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(4) 「異動検索」処理」による。		
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.3	届書入力処理入籍先戸籍検索		0030071	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動後に本籍人となる又は引き続き本籍人である異動処理（例：離婚、入籍等）については、入籍先戸籍の対象者(筆頭者、父、母等)を戸籍データから選択できること。 このとき、選択した戸籍に排他制御をかけること。	実装必須機能	4.0.1届書入力処理異動者検索と同様、入籍先戸籍の対象者の選択も全て個人である。 「別紙7 7.2.(4) 「異動検索」処理」による。		
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.4	他市区町村異動者検索	訂正	0030072	4.01及び4.03において、指定都市の場合、他区の戸籍を検索できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の戸籍を検索できること。 このとき、選択した戸籍に排他制御はかけないこと。	標準オプション機能	2.2.14他市区町村戸籍検索に準ずる。 他市区町村の戸籍は参照できるが更新できないため、選択した他市区町村の戸籍には排他制御を行うことはできない。		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.1	届書入力	修正	0030420	出生届(含国籍留保)～氏の振り仮名の変更届の異動処理について、出生届画面～氏の振り仮名の変更届画面から届書入力処理が行えること。 ただし、保佐届に関してはこの限りではない。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙7 7.1 「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」による。 【第2.0版】保佐届の処理を届書入力処理から外すことを任意とする、及び振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030073から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.8	届書入力参照届書表示	新規追加	0030506	出生届(含国籍留保)～氏の振り仮名の変更届(保佐届を除く)の異動処理について参照届書ファイルがある場合は、参照届書ファイルの内容を画面表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙7 7.1 「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」による。 保佐届は過去の改定により対象とする届が限定されたことにより処理件数が少ないこと、審査結果入力処理で実施しても審査漏れ等のおそれがないことから、届書入力処理での実装必須機能を外す。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加、振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.2	届書入力審査	修正	0030074	入力された項目により、単体チェック、関連チェック及び法律等による審査を行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→法律等による審査完了の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙7 7.1 「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.3	届書入力各種ファイル作成	修正	0030421	法律等による審査完了の結果を受け、下記ファイルを作成すること。 中間ファイル(届書)、中間ファイル(仮受付)、中間ファイル(仮戸籍)、中間ファイル(仮個人状態)、中間ファイル(住民票記載事項通知)、中間ファイル(公選法通知)、中間ファイル(エラー履歴)。	実装必須機能	「別紙7 7.1 「システム処理」の要件定義について」、「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」及び「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」による。 【第2.0版】中間ファイル(公選法通知)を追加、住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更、及び名の振り仮名の法制に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030075から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.4	他市区町村届書参照		0030076	届書入力処理において、指定都市の場合、他区の届書ファイルを参照できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の届書ファイルを参照できること。 このとき、4.01～4.03の処理を行うこと。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答(指定都市)及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答(認容された市区町村間)による。		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.5	従前戸籍ファイルの複写	修正	0030077	新戸籍を本籍地に編製する又は本籍地の戸籍に入籍する場合の中間ファイル(仮戸籍)の作成において、異動前の戸籍が本籍地にある場合は、その情報を中間ファイル(仮戸籍)に複写すること。 異動前の戸籍が4.0.4他市区町村異動者検索で検索した場合も同様とする。	実装必須機能	「別紙7 7.1 「システム処理」の要件定義について」、「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」及び「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.6	入力処理の中断		0030078	入力途中で届書入力処理を終了する場合、入力した内容を仮届書ファイルとして登録できること。 仮届書ファイルは再入力処理時に参照して入力途中までの項目を画面表示する。	標準オプション機能	職員の負荷軽減による。		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.7	再入力処理	訂正	0030079	4.1.6入力処理の中断、4.2.1処分決定で処分区分が受理照会、処理照会、保留の届、4.6.1決裁で決裁区分が修正、誤処理の届又は7.1受領番号確保で空の受付ファイルが登録されている場合、受領番号を指定して届書入力処理の再入力処理ができること。 このとき、7.1受領番号確保処理以外の場合は、届書ファイル又は仮届書ファイルを参照してその内容を届書入力画面に表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 届出メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 届出メニュー」、「別紙7 7.2.(3) 「届出選択」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.1	処分決定画面表示		0030080	届書入力処理の結果から、処分決定・仮受付画面を表示すること。 複数の受付ファイルが仮登録されている場合、全ての受付ファイルの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 処分決定・仮受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 処分決定・仮受付」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.2	処分決定入力	分割	0030442	処分区分の入力が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。	【第2.0版】機能ID 0030081から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.2	処分決定入力	分割	0030443	受付ファイルの処分区分が(3:受理照会)又は(4:処理照会)の場合、発日の入力が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。	【第2.0版】機能ID 0030081から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.2	処分決定入力	分割	0030444	「届出選択番号が受理指示、不受理指示の場合、収日、指示日の入力が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。	【第2.0版】機能ID 0030081から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.3	処分決定入力審査		0030082	入力内容が妥当か審査を行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.4	受領番号付番		0030083	中間ファイル(仮受付)の状態のとき、受付件数から受領番号を自動付番すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.21	届書処理通番付番	新規追加	0030507	中間ファイル(届書処理通番)が無い場合、届書処理通番を自動付番すること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムとの送受信ができない状況等において、届書処理通番の取得ができない場合は、戸籍情報システムで届書処理通番を付番する。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別冊(異常処理編)」による。 「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.5	処分決定入力各種ファイル作成	修正	0030422	処分区分により、下記ファイルを作成又は更新すること。 届書ファイル、受付データベース、戸籍データベース、個人状態ファイル、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル、仮公選法通知ファイル、エラー履歴ファイル、参照戸籍ファイル、届書処理通番ファイル、送付先市区町村情報ファイル。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」、「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】仮公選法通知ファイルを追加、住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更、戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加及び名の振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030084から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.6	処分決定排他制御	訂正	0030085	処分区分が受理照会、処理照会の場合、戸籍特定ファイルの戸籍異動区分を(0:処理中でない)に更新し、個人状態ファイルの受理処理照会区分を(1:有)に更新すること。 処分区分が保留の場合、戸籍特定ファイルの戸籍異動区分を(0:処理中でない)に更新し、個人状態ファイルの保留区分を(1:有)に更新すること。 処分区分が取下げの場合、戸籍特定ファイルの戸籍異動区分を(0:処理中でない)に更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.7	エラー履歴表示		0030086	届書入力処理の法律等による審査で表示された各種メッセージ及びその応答内容を表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 エラー履歴一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 エラー履歴一覧」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.8	仮戸籍表示		0030087	届書入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、処分決定確認表示画面、戸籍構成員一覧(処分決定)画面、個人詳細表示(処分決定)画面の順に遷移して確認できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 処分決定確認表示、戸籍構成員一覧(処分決定)、個人詳細表示(処分決定)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 処分決定確認表示、戸籍構成員一覧(処分決定)、個人詳細表示(処分決定)」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.9	出生届出済証の発行		0030088	出生届を受理した場合、出生届出済証の発行ができること。	標準オプション機能	持参した母子手帳に出生届出済のスタンプを押下する等事務処理の簡素化を行っているが、母子手帳を忘れた場合は出生届出済証を発行することで、届出人及び職員の負荷軽減になる。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.10	埋火葬許可証の発行	修正	0030616	死亡届を受理した場合、火葬等許可証情報連携データを作成すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】火葬許可事務システムの標準仕様書提示による修正		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.11	戸籍届出期間経過通知書の出力		0030090	届書入力処理の審査で届出期間経過のメッセージが表示された場合、戸籍届出期間経過通知書の作成及び出力ができること。	標準オプション機能	準則第41条第1項及び同付録第33号様式による。 通知忘れ等の防止になる。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.12	受理照会資料の作成		0030091	処分区分が受理照会又は処理照会の場合、管轄法務局への照会資料の作成及び出力ができること。	標準オプション機能	準則第23条第2項及び同付録第20号様式による。 職員の負荷軽減による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.13	仮本人届出確認台帳ファイル登録	修正	0030092	本人届出確認台帳をファイルで管理する場合は、処分区分により仮本人届出確認台帳ファイルが作成できること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。 【第2.0版】「本人確認台帳ファイルの使用は市区町村の任意とするが、」は機能要件でないため削除		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.15	処分決定後の確認画面表示		0030094	処分決定後に処分決定・受付画面を表示すること。 複数の受付ファイルが登録されている場合、全ての受付ファイルの表示ができること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、処分決定後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 処分決定・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 処分決定・受付」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.16	決裁用帳票出力		0030095	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	処分決定で異動処理が完了する場合、決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7 7.2.(10) 「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.17	仮本人届出確認台帳ファイル表示	訂正	0030096	仮本人届出確認台帳ファイルがある場合は、本人届出確認台帳表示・更新画面を表示できること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.18	仮本人届出確認台帳ファイル入力	訂正	0030097	本人届出確認台帳表示・更新画面から各項目を入力できること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.19	仮本人届出確認台帳ファイル審査	訂正	0030098	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了の順で実施すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.20	本人届出確認台帳ファイル登録	訂正	0030099	入力された項目により、本人届出確認台帳ファイル、本人届出確認通知ファイルが及び発送ファイルが登録できること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.1	移記戸籍検索	修正	0030407	移記戸籍選択画面から受領番号を入力し、仮戸籍ファイルが検索できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍選択」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030099から変更	
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.2	移記戸籍選択画面表示		0030100	4.3.1移記戸籍検索で検索した仮戸籍ファイルから移記戸籍選択画面を表示すること。 又は4.2.15処分決定後の確認画面表示から遷移した場合、仮戸籍ファイルから移記戸籍選択画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍選択」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.3	中間ファイル(仮戸籍)作成		0030101	仮戸籍ファイルで中間ファイル(仮戸籍)を作成すること。	実装必須機能	移記処理の前に、処理対象の仮戸籍ファイルを中間ファイル(仮戸籍)に複写して、作業ファイル上で処理を行う。 「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.4	仮戸籍ファイル更新		0030102	中間ファイル(仮戸籍)の内容で仮戸籍ファイルを更新すること。	実装必須機能	以降の移記処理で更新された中間ファイル(仮戸籍)は、移記事項入力処理の終了により仮戸籍ファイルに登録される。 「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.5	決裁用帳票出力		0030103	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」及び「別紙7 7.2.(10) 「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.6	排他制御		0030104	他の端末から、届書の再入力処理、移記事項入力処理、決裁処理が行われないよう、届書ファイルに排他制御を行うこと。 移記事項入力処理を終了する場合、届書ファイルの排他制御を解除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.7	移記戸籍構成員一覧画面表示	修正	0030408	4.3.2移記戸籍選択画面表示で選択された戸籍から移記戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍構成員一覧」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030104から変更	
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.8	移記戸籍構成員一覧画面選択		0030105	移記戸籍構成員一覧画面で処理内容を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍構成員一覧」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.9	中間ファイル(仮戸籍)審査		0030106	更新された中間ファイル(仮戸籍)の妥当性チェックを行うこと。	実装必須機能	以降の移記処理で更新された中間ファイル(仮戸籍)は、移記戸籍構成員一覧処理の終了により妥当性チェックがされる。 「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.10	移記戸籍事項表示画面表示		0030107	4.3.7移記戸籍構成員一覧画面表で戸籍事項移記が選択された場合、移記戸籍事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項表示」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.11	移記戸籍事項処理選択		0030108	戸籍事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.12	移記戸籍事項事件メニュー表示		0030109	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(1:記録)が選択された場合、移記戸籍事項事件メニュー画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件メニュー」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.13	移記戸籍事項事件メニュー選択		0030110	移記戸籍事項事件メニュー画面から記録する戸籍事項が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.14	移記戸籍事項事件別入力		0030111	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(2:修正)が選択された場合及び4.3.13移記事項事件別メニュー選択で、選択された戸籍事項事件別入力画面を表示し、入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.15	移記戸籍事項事件別審査		0030112	入力された戸籍事項の単体チェックを行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.16	移記戸籍事項事件別表示		0030113	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(3:消除)が選択された場合、選択された戸籍事項事件別入力画面を表示し、入力ができないこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.17	移記戸籍事項並べ替え		0030114	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(4:並べ替え)が選択された場合、戸籍事項並べ替え画面を表示し、戸籍事項の順番を変更できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.18	移記戸籍事項登録		0030115	更新された戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.19	移記個人情報表示画面表示	修正	0030409	4.3.7移記戸籍構成員一覧画面表示で身分事項移記が選択された場合、選択個人の移記個人情報表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記個人情報表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記個人情報表示」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030115から変更	
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.20	移記個人情報表示画面入力プロテクト		0030116	移記個人情報表示画面において、更新できない項目については入力不可とすること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.21	移記個人情報表示画面入力		0030117	移記個人情報表示画面において、入力ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.22	移記個人情報表示審査		0030118	入力された個人情報の単体チェック、入力審査を行うこと。 単体チェック完了→入力審査完了の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.23	個人特定情報更新		0030119	入力された個人情報で中間ファイル(仮戸籍)の個人特定ファイルを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.24	移記身分事項表示画面表示		0030120	4.3.19移記個人情報表示画面表示で身分事項処理が選択された場合、移記身分事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項表示」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.25	移記身分事項処理選択		0030121	身分事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.26	移記身分事項事件メニュー表示		0030122	4.3.25移記身分事項処理選択で(1:記録)が選択された場合、移記身分事項事件メニュー画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項事件メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項事件メニュー」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.27	移記身分事項事件メニュー選択		0030123	移記身分事項事件メニューから該当の身分事項が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.28	移記身分事項事件別入力		0030124	4.3.25移記身分事項処理選択で(2:修正)が選択された場合及び4.3.27移記身分事件別メニュー選択で、選択された身分事項事件別入力画面を表示し、入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.28	移記身分事項事件別審査		0030125	入力された身分事項の単体チェックを行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.29	移記身分事項事件別表示		0030126	4.3.25移記身分事項処理選択で(3:消除)が選択された場合、選択された身分事項事件別入力画面を表示し、入力ができないこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.30	移記身分事項並べ替え		0030127	4.3.25移記身分事項処理選択で(4:並べ替え)が選択された場合、身分事項並べ替え画面を表示し、身分事項の順番を変更できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.31	移記身分事項登録		0030128	更新された身分事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.32	仮戸籍表示	新規追加	0030423	移記事項入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、移記戸籍構成員一覧画面、移記個人詳細表示画面、移記戸籍事項表示画面、移記身分事項表示画面の順に遷移して確認できること。	標準オプション機能	仮戸籍表示機能は「別紙7 7.2.(9)「移記事項入力」処理」に明に記載されていないが、処分決定処理、決裁処理と同様に確認が必要である。 明に記載されていないため、標準オプション機能とする。 【第2.0版】移記事項入力処理で仮戸籍表示を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.1	該当戸籍検索	修正	0030129	異動対象戸籍の場合、異動対象の戸籍を検索すること。 戸籍回復の場合、戸籍回復元の戸籍を検索すること。 新戸籍編製の場合、検索しないこと。 検索は2.1.2検索文字入力～2.2.3前方一致検索、2.2.17文字コード照会等及び2.2.18旧カナ氏名検索に準じる。	実装必須機能	届書入力処理で処理できない届書、届書入力処理の範囲外で訂正・更正・追完によらないもの審査結果入力処理の対象となる。この場合、届書等の審査は職員が行い、その結果で仮戸籍ファイル、受付ファイルを作成する。 そのため、異動対象の戸籍を検索する必要がある。 「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.2	該当戸籍一覧画面表示		0030130	異動対象戸籍又は戸籍回復元の戸籍の検索入力は該当戸籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 該当戸籍一覧で選択された中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 該当戸籍一覧(訂正)」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.3	該当戸籍一覧1件		0030131	戸籍の検索結果が1件であった場合中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面を表示すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.4	新戸籍編製戸籍特定情報入力		0030132	4.4.2該当戸籍一覧画面表示で新戸籍編製が選択された場合、戸籍特定情報画面を表示して入力を行うこと。 戸籍事項事件別メニュー画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍特定情報」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.5	新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示		0030133	戸籍事項メニュー画面を表示し、選択された戸籍事項別入力画面を表示して入力を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.6	新戸籍編製戸籍事項別入力		0030134	選択された戸籍事項別入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.7	回復戸籍複写		0030135	4.4.2該当戸籍一覧画面表示で戸籍回復が選択された場合、選択戸籍(回復元)の情報を複写して中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 複写結果を回復戸籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 回復戸籍一覧」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.8	戸籍回復事項登録		0030136	複写した戸籍に戸籍事項(戸籍回復)画面を表示して入力を行い、中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.9	対象戸籍一覧画面表示		0030137	4.4.2該当戸籍一覧画面表示で選択された戸籍、4.4.6新戸籍編製戸籍事項別入力で登録された戸籍、4.4.8戸籍回復事項登録で登録された戸籍で、対象戸籍一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 対象戸籍一覧」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.10	戸籍事項表示画面表示		0030138	4.4.9対象戸籍一覧画面表示で戸籍事項変更が選択された場合、戸籍事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項表示」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.11	戸籍事項表示画面選択	修正	0030434	戸籍事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、4:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030139から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.12	戸籍事項メニュー画面表示		0030140	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、戸籍事項メニュー画面を表示し、作成する戸籍事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.13	戸籍事項別入力	訂正	0030141	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(2:修正)が選択された場合及び4.4.12戸籍事項メニュー画面表示で、選択された戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができること。 更新された戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.14	戸籍事項別表示		0030142	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 該当の戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.36	戸籍事項並べ替え	新規追加	0030435	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(4:並べ替え)が選択された場合、戸籍事項並べ替え画面を表示し、戸籍事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.15	戸籍構成員一覧画面表示		0030143	4.4.9対象戸籍一覧画面表示で戸籍が選択された場合、戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.16	戸籍構成員一覧画面選択		0030144	個人に対する処理(1:個人記録、2:個人訂正、3:個人消除、4:個人回復)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.17	個人特定画面入力		0030145	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で(1:個人記録)及び(2:個人訂正)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.18	個人特定画面表示		0030146	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で(3:個人消除)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができないこと。 中間ファイル(仮戸籍)から該当個人を消除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.19	個人回復複写		0030147	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で(4:個人回復)が選択された場合、選択個人を複写すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.20	個人回復身分事項メニュー画面表示		0030148	身分事項メニュー画面を表示し、回復個人に記録する回復原因の身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.21	個人回復事件詳細メニュー画面表示		0030149	選択した身分事項に複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.22	個人回復身分事項別入力		0030150	身分事項別入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.23	個人詳細表示画面表示		0030151	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で個人が選択された場合、選択個人で個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人詳細表示」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.24	個人詳細表示画面選択	修正	0030436	身分事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、4:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030152から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.25	身分事項メニュー画面表示		0030153	4.4.24個人詳細表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、身分事項メニュー画面を表示し、作成する身分事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.26	事件詳細メニュー画面表示		0030154	選択した身分事項に複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.27	身分事項別入力		0030155	4.4.24個人詳細表示画面選択で(2:変更)が選択された場合及び4.4.26事件詳細メニュー画面表示で、選択された身分事項別入力画面を表示し、入力ができること。 更新された身分事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.28	身分事項別表示		0030156	4.4.24個人詳細表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、身分事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 該当の身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.37	身分事項並べ替え	新規追加	0030437	4.4.24個人詳細表示画面選択で(4:並べ替え)が選択された場合、身分事項並べ替え画面を表示し、身分事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.29	受付ファイル入力		0030157	4.4.9対象戸籍一覧画面表示で受付帳記録が選択された場合、受付帳記録画面を表示し、入力すること。 受付帳が複数件ある場合は、複数件の入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 受付帳記録」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.30	受付ファイル審査		0030158	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.31	受付ファイル登録		0030159	受付件数から受領番号を自動付番し、受付ファイルを登録すること。 付番結果を受付帳記録画面に表示すること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、登録後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.32	仮戸籍ファイル登録		0030160	中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルの更新を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.33	決裁用帳票出力		0030161	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7　7.2.(10)「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.34	処理内容の順番変更等		0030162	4.4.1該当戸籍検索～4.4.32仮戸籍ファイル登録の要件を満たせば、その処理順番の変更及び処理の統廃合を行うこと。	標準オプション機能	審査結果入力処理は、職員が審査した結果を戸籍に反映する処理であるため、機能要件を満たせば、処理内容はベンダ任意とする。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.35	仮戸籍表示	新規追加	0030424	審査結果入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、画面で確認できること。	標準オプション機能	作成した仮戸籍を確認するため仮戸籍の内容を画面表示する必要がある。 明に記載されていないため、標準オプション機能とする。 【第2.0版】審査結果入力処理で仮戸籍表示を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.38	届書処理通番ファイル更新	新規追加	0030508	在外送付区分、追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の設定が必要な場合は、届書処理通番ファイルの更新ができること。	標準オプション機能	「別紙5　5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.39	受付事件コード補助	新規追加	0030590	氏の振り仮名の変更届及び名の振り仮名の変更届における受付事件コードは、家庭裁判所の許可を得て振り仮名を変更する届(4701、4801)と、家庭裁判所の許可を得ずに職権記録された振り仮名を変更する届(4702、4802)で異なる仕様である。受付事件名称は同じであることから、受付帳作成の受付事件コード選択において、双方の区別ができるようにすること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.40	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030591	入籍者に対して仮個人状態ファイルを作成し、氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分を作成できること。	標準オプション機能	「別紙5　5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.41	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030592	入籍者以外に対して個人状態ファイルの氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分に変更がある場合、仮個人状態ファイルを作成できること。	標準オプション機能	「別紙5　5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.1	該当戸籍検索	修正	0030163	異動対象戸籍の場合、異動対象の戸籍を検索すること。 戸籍回復の場合、戸籍回復元の戸籍を検索すること。 新戸籍編製の場合、検索しないこと。 検索は2.1.2検索文字入力～2.2.3前方一致検索、2.2.17文字コード照会等及び2.2.18旧カナ氏名検索に準じる。	実装必須機能	訂正・更正・追完場合は届書等の審査は職員が行い、その結果で仮戸籍ファイル、受付ファイルを作成する。 そのため、異動対象の戸籍を検索する必要がある。 「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.2	該当戸籍一覧画面表示		0030164	異動対象戸籍又は戸籍回復元の戸籍の検索入力は該当戸籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 該当戸籍一覧で選択された中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　該当戸籍一覧(訂正)」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.3	該当戸籍一覧1件		0030165	戸籍の検索結果が1件であった場合中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面を表示すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.4	新戸籍編製戸籍特定情報入力		0030166	4.5.2該当戸籍一覧画面表示で新戸籍編製が選択された場合、戸籍特定情報画面を表示して入力を行うこと。 戸籍事項事件別メニュー画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍特定情報」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.5	新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示		0030167	戸籍事項メニュー画面を表示し、選択された戸籍事項別入力画面を表示して入力を行うこと。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍事項メニュー」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.6	新戸籍編製戸籍事項別入力		0030168	選択された戸籍事項別入力画面を表示し、項目入力すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍事項別入力」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.7	新戸籍編製事由入力		0030169	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　事由入力」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.8	回復戸籍複写		0030170	4.5.2該当戸籍一覧画面表示で戸籍回復が選択された場合、選択戸籍(回復元)の情報を複写して中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 複写結果を回復戸籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　回復戸籍一覧」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.9	戸籍回復事項登録		0030171	複写した戸籍に戸籍事項(戸籍回復)画面を表示して入力を行い、中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.10	対象戸籍一覧画面表示		0030172	4.5.2該当戸籍一覧画面表示で選択された戸籍、4.5.6新戸籍編製戸籍事項別入力で登録された戸籍、4.5.9戸籍回復事項登録で登録された戸籍で、対象戸籍一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　対象戸籍一覧」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.11	戸籍事項表示画面表示		0030173	4.5.10対象戸籍一覧画面表示で戸籍事項変更が選択された場合、戸籍事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍事項表示」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.12	戸籍事項表示画面選択	修正	0030438	身分事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、4:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID　0030174から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.13	戸籍事項メニュー画面表示		0030175	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、戸籍事項メニュー画面を表示し、作成する戸籍事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍事項メニュー」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.14	戸籍事項別入力		0030176	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(2:修正)が選択された場合及び4.5.13戸籍事項事件メニュー画面表示で、選択された戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができること。 4.5.16事由入力画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍事項別入力」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.15	戸籍事項別表示		0030177	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 4.5.16事由入力画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.41	戸籍事項並べ替え	新規追加	0030439	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(4:並べ替え)が選択された場合、戸籍事項並べ替え画面を表示し、戸籍事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.16	事由入力		0030178	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.17	戸籍構成員一覧画面表示		0030179	4.5.10対象戸籍一覧画面表示で戸籍が選択された場合、戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.18	戸籍構成員一覧画面選択		0030180	個人に対する処理(1:個人記録、2:個人訂正、3:個人消除、4:個人回復)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.19	個人特定画面入力		0030181	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で(1:個人記録)及び(2:個人訂正)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができること。 4.5.21事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.20	個人特定画面表示		0030182	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で(3:個人消除)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができないこと。 4.5.21事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.21	事由入力		0030183	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.22	個人回復複写		0030184	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で(4:個人回復)が選択された場合、選択個人を複写すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.23	個人回復身分事項別メニュー画面表示		0030185	身分事項別メニュー画面を表示し、回復個人に記録する回復原因の身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.24	個人回復事件詳細メニュー画面表示		0030186	選択した身分事項メニューに複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.25	個人回復身分事項別入力		0030187	身分事項別入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.26	個人詳細表示画面表示		0030188	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で個人が選択された場合、選択個人で個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人詳細表示」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.27	個人詳細表示画面選択	修正	0030440	身分事項に対する処理(1:追加、2変更、3:消除、4:削除、5:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、5:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030189から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.28	身分事項メニュー画面表示		0030190	4.5.27個人詳細表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、身分事項メニュー画面を表示し、作成する身分事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.29	事件詳細メニュー画面表示		0030191	選択した身分事項に複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.30	身分事項別入力	訂正	0030192	4.5.27個人詳細表示画面選択で(2:変更)が選択された場合及び4.5.29事項詳細メニュー画面表示で、選択された身分事項別入力画面を表示し、入力ができること。 4.5.32事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.31	身分事項別表示	訂正	0030193	4.5.27個人詳細表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、身分事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 4.5.32事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.32	事由入力		0030194	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.33	身分事項別表示	訂正	0030195	4.5.27個人詳細表示画面選択で(4:削除)が選択された場合、身分事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 該当の身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.42	身分事項並べ替え	新規追加	0030441	4.5.27個人詳細表示画面選択で(5:並べ替え)が選択された場合、身分事項並べ替え画面を表示し、身分事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.34	受付ファイル入力		0030196	4.5.10対象戸籍一覧画面表示で受付帳記録が選択された場合、受付帳記録画面を表示し、入力すること。 受付帳が複数件ある場合は、複数件の入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 受付帳記録」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.35	受付ファイル審査		0030197	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.36	受付ファイル登録		0030198	受付件数から受領番号を自動付番し、受付ファイルを登録すること。 付番結果を受付帳記録画面に表示すること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、登録後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.37	仮戸籍ファイル登録		0030199	中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルの更新を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.38	決裁用帳票出力		0030200	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7 7.2.(10) 「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.39	処理内容の順番変更等		0030201	4.5.1該当戸籍検索～4.5.37仮戸籍ファイル登録の要件を満たせば、その処理順番の変更及び処理の統廃合を行うこと。	標準オプション機能	訂正・更正・追完処理は、職員が審査した結果を戸籍に反映する処理であるため、機能要件を満たせば、処理内容はベンダ任意とする。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.40	仮戸籍表示	新規追加	0030425	訂正・更正・追完処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、画面で確認できること。	標準オプション機能	作成した仮戸籍を確認するため仮戸籍の内容を画面表示する必要がある。 明に記載されていないため、標準オプション機能とする。 【第2.0版】訂正・更正・追完処理で仮戸籍表示を追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.41	届書処理通番ファイル更新	新規追加	0030509	在外送付区分、追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の設定が必要な場合は、届書処理通番ファイルの更新ができること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.42	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030593	入籍者に対して仮個人状態ファイルを作成し、氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分を作成できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.43	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030594	入籍者以外に対して個人状態ファイルの氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分に変更がある場合、仮個人状態ファイルを作成できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.1	届出等情報受領		0030202	戸籍手続オンラインシステムから届出等の情報を受領できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。 本来【実装必須機能】ではあるが、戸籍手続オンラインシステムの導入が決まってから構築しても構わないため、【標準オプション機能】とする。※以下同様。		
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.2	届出等情報設定		0030203	戸籍手続オンラインシステムから取得した届出等の情報を、4.1.1届書入力の項目に設定できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.3	届出等情報による処理	修正	0030204	処理は4.1.1届書入力～4.5.43仮個人状態ファイル登録及び、4.7.1未決裁一覧画面受領番号入力～4.7.36仮の振り仮名ファイル作成表示を行うこと。	標準オプション機能	処理内容は、窓口に届出された届書等と同じである。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.4	審査結果情報送信		0030205	4.7決裁処理完了後に、審査結果情報を戸籍手続オンラインシステムに送信できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.1	未決裁一覧画面受領番号入力	訂正	0030206	未決裁一覧画面で受領番号が入力された場合、受領番号で届書ファイルを検索し、4.7.5決裁・受付画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 未決裁一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 未決裁一覧」及び「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.2	未決裁一覧画面支所番号入力		0030207	未決裁一覧画面で支所番号が入力された場合、支所番号で届書ファイルを検索し、未決裁一覧画面を表示すること。 本庁及び全支所を対象とした検索ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 未決裁一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 未決裁一覧」及び「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.3	未決裁一覧画面選択番号入力	訂正	0030208	未決裁一覧画面で選択番号が入力された場合、4.7.5決裁・受付画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 未決裁一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 未決裁一覧」及び「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.4	排他制御		0030209	他の端末から、届書の再入力処理、移記事項入力処理、決裁処理が行われないよう、該当の届書ファイルに排他制御を行うこと。 決裁処理を終了する場合、届書ファイルの排他制御の解除又は届書ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.5	決裁・受付画面表示	訂正	0030210	4.7.1未決裁一覧画面受領番号入力及び4.7.3未決裁一覧画面選択番号入力で選択された受領番号から受付ファイルを検索して、決裁・受付画面を表示すること。 複数の受付ファイルがある場合、全ての受付ファイルの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁・受付」及び「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.6	決裁・受付画面管掌者変更		0030211	決裁・受付画面で管掌者コードが入力された場合、入力された管掌者を決裁・受付画面に表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁・受付」及び「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.7	決裁・受付画面選択		0030212	決裁区分(1:決裁、2:誤処理、3:修正)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁・受付」及び「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.8	受付ファイル更新	訂正	0030213	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁、3:修正)が選択された場合、決裁区分を受付ファイルの決裁区分に記録すること。 4.7.7決裁・受付画面選択で(2:誤処理)が選択された場合、従前の受付ファイルを履歴とし、決裁区分を新しい受付ファイルの処分区分に記録すること。 届書ファイルの事件別入力に関連受領番号がある場合、受付ファイルの関連受領番号(1)～(5)が0である項目に関連受領番号を記録すること。 複数の受付ファイルがある場合、同様の処理を行うこと。 受付ファイルの更新を行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.9	戸籍データベース処理	訂正	0030214	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、戸籍データベース処理を行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.10	戸籍データベース更新管掌者コード付番		0030215	仮戸籍ファイルの戸籍事項及び身分事項が新規に作成された場合、各事項に管掌者コードを記録する。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.11	戸籍データベース更新戸籍・個人番号付番		0030216	仮戸籍ファイルで新戸籍が編製された場合、戸籍番号を自動付番すること。 仮戸籍ファイルで個人が追加された場合、個人番号を自動付番すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.12	戸籍データベース更新		0030217	仮戸籍ファイルの内容で戸籍データベースを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.13	排他制御		0030218	異動処理で排他制御を行った戸籍の排他を解除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.14	個人状態ファイル更新	修正	0030219	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、個人状態ファイルを更新すること。 ・準禁治産者区分(1:有)の者に準禁治産宣告取消の裁判確定による保佐届があった場合、準禁治産者区分(0:無)とすること。 ・胎児認知届の場合、母の胎児認知区分(1:有)とすること。 ・胎児認知区分(1:有)の者に出生届があった場合、胎児認知区分(0:無)とすること。 ただし、この更新は届書入力処理で実施した場合に限り、審査結果入力処理で実施した場合は、各種ファイル更新の個人状態ファイル更新で手動により更新を行う。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】本機能は届書入力処理に限られることから、機能要件に「ただし、～」以降を追加		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.35	個人状態ファイル更新	新規追加	0030595	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、仮個人状態ファイルがあれば個人状態ファイルを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.15	不受理申出ファイル更新	訂正	0030220	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、不受理申出ファイルを更新すること。 ・本籍地内異動の場合、異動前に保有していた不受理申出ファイルを異動後の個人に複写すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.17	戸籍附票連携データ作成	訂正	0030222	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、戸籍の異動情報で戸籍附票連携データを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.18	戸籍附票データ取得	訂正	0030223	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、異動前の異動者が本籍人の場合、戸籍の附票に照会し在外選挙人情報及び在外投票人情報が取得できること。 ・異動前と異動後で、氏名、生年月日、性別、本籍、筆頭者に変更があった場合、又は除籍だけで異動後の入籍がない場合に情報を取得すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.19	公選法通知ファイル作成	修正	0030410	4.7.18戸籍附票データ取得で、連携により取得した戸籍の附票に在外選挙人情報又は在外投票人情報があった場合、公選法通知ファイルを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030223から変更 公選法30条の13第1項通知を公選法通知に名称変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.31	公選法通知異動者リストファイル作成	新規追加	0030510	4.7.18戸籍附票データ取得で、連携により取得した戸籍の附票に在外選挙人情報又は在外投票人情報があった場合、公選法通知異動者リストファイルを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.20	住民票記載事項通知連携データ作成	修正	0030224	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、仮住民票記載事項通知ファイルで住民票記載事項通知連携データを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.22	人口動態連携データ作成	修正	0030226	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、届書ファイルから人口動態連携データを作成すること。 ・出生届、婚姻届、離婚届、死亡届の場合に作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは、9.5人口動態システム連携により連携される。 【第2.0版】人口動態調査事務システム標準仕様書提示による修正		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.23	発送ファイル作成	訂正	0030227	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、中間ファイル(発送)ファイルから発送ファイルを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.24	統計ファイル更新	訂正	0030228	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、統計ファイルを更新すること。 ・本籍数の増減、本籍人口の増減、届出事件のカウント、新戸籍編製のカウント、全部除籍のカウント、照会数のカウントを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.32	送信用届書等情報ファイル作成	新規追加	0030511	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、送信用届書等情報ファイル作成を作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.33	作業ファイル削除	修正	0030512	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、エラー履歴ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル、仮公選法通知ファイル、届書ファイル、参照戸籍ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う修正、振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030229から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.34	誤処理作業ファイル削除	修正	0030513	4.7.7決裁・受付画面選択で(2:誤処理)が選択された場合、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、エラー履歴ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル、仮公選法通知ファイル、参照戸籍ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う修正、振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030230から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.28	エラー履歴表示		0030232	届書入力処理の法律等による審査で表示された各種メッセージ及びその応答内容を表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 エラー履歴一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 エラー履歴一覧」、「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙7 7.2.(8)「エラー履歴表示」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.29	仮戸籍表示		0030233	届書入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、決裁確認表示画面、戸籍構成員一覧(決裁)画面、個人詳細表示(決裁)画面の順に遷移して確認できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁確認表示、戸籍構成員一覧(決裁)、個人詳細表示(決裁)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁確認表示、戸籍構成員一覧(決裁)、個人詳細表示(決裁)」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.30	住民票記載事項通知表示	修正	0030234	処分決定処理で登録された仮住民票記載事項通知の内容を、住民票記載事項通知一覧画面、住民票記載事項通知内容画面の順に遷移して確認できること。	実装必須機能	「別紙7 7.7.(17)「関連業務」処理 画面設計書 住民票記載事項通知一覧、住民票記載事項通知内容」、「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.36	仮の振り仮名ファイル作成	新規追加	0030622	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、入籍者又は氏名の変更があった者について仮の振り仮名ファイルの作成、更新ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.1	該当除籍一覧		0030235	除籍又は除籍個人の検索入力は該当除籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。該当除籍一覧で選択された戸籍で除籍構成員一覧画面に遷移すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.4該当戸籍一覧に準ずる。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.2	該当除籍一覧1件		0030236	除籍又は除籍個人の検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.3	除籍構成員一覧		0030237	該当戸籍除籍画面で選択された除籍又は検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面を表示すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍構成員一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.6戸籍構成員一覧に準ずる。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.4	除籍見出し修正		0030238	除籍構成員一覧画面に表示の項目が修正できること。 又は、修正画面から見出しを修正できること。	実装必須機能	除籍見出しは除籍構成員一覧から修正を行った方が、画面展開の観点からメリットがあるが、除籍対象項目を限定する等のりゆうにより、修正画面を別途設けても構わない。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.5	除籍イメージ出力		0030239	除籍イメージを紙出力できること。	実装必須機能	イメージの訂正を紙で行う場合、若しくは訂正後のイメージを確認する目的で紙出力を行う。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.6	除籍イメージ読み込み		0030240	紙で訂正した除籍をスキャナ等でシステムに取り込みができること。 このときの登録情報は、1.3.3除籍イメージの管理に従う。	実装必須機能	紙で訂正した除籍はシステムにイメージで登録する。この場合、登録情報は標準仕様書で定められたもので登録する。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.7	除籍イメージ訂正		0030241	除籍イメージをシステムから直接訂正ができること。	標準オプション機能	イメージ管理の除籍は、システムで画像処理を実施しても構わない。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.8	受付ファイル入力		0030242	受付帳記録画面を表示し、入力すること。 受付帳が複数件ある場合は、複数件の入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 受付帳記録」及び「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」と同じである。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.9	受付ファイル審査		0030243	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」と同じである。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.10	受付ファイル登録		0030244	受付件数から受領番号を自動付番し、受付ファイルを登録すること。 付番結果を受付帳記録画面に表示すること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、登録後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」と同じである。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.11	除籍イメージ登録	訂正	0030245	更新した除籍見出しファイル、除籍イメージデータを登録できること。 4.8.12除籍イメージ登録決裁処理を行わない場合、番号を自動付番すること。番号を自動付番すること。 除籍が新規に作成された場合、戸籍番号を自動付番すること。 除籍で個人が追加された場合、個人番号を自動付番すること。	実装必須機能	訂正後の除籍は訂正内容を確認し文末認印を押印する校合(規則第32条)する。校合によりデータを更新することができる。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.12	除籍イメージ登録決裁処理	訂正	0030246	更新した除籍見出しファイル、除籍イメージデータを登録は、4.7決裁処理での対象にできること。	標準オプション機能	電算化戸籍と同様に、除籍イメージの更新を決裁で実施しても構わない。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.13	除籍イメージ出力サイズの変更	新規追加	0030426	除籍イメージを紙出力する場合は、出力サイズの拡縮又は用紙サイズの変更が行えること。	標準オプション機能	イメージを紙出力する際の見易さ等を考慮する。 職員の利便性向上による。 【第2.0版】除籍イメージ訂正処理で印刷時のサイズ変更を追加		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.1	該当戸籍検索	修正	0030247	再製対象の戸籍を検索すること。 検索は2.1.2検索文字入力～2.2.3前方一致、2.2.17文字コード照会等及び2.2.18旧カナ氏名検索に準じる。	実装必須機能	再製の審査は職員が行い、その結果で再製前、再製後の戸籍ファイルを作成する。 そのため、再製対象の戸籍を検索する必要がある。 「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 再製処理は仕様が詳細に記載されていないため、要件を満たせばベンダ任意とする。 ※以降の4.9戸籍再製処理も同様である。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正 再製処理全般の内容について要件の考え方・理由に「再製処理は～」以降を追加	
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.2	該当戸籍一覧画面表示		0030248	検索結果を同画面に表示すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 該当戸籍一覧(訂正)」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.3	再製戸籍一覧画面表示	訂正	0030249	4.9.2該当戸籍一覧画面表示で選択された戸籍を複写して、再製前と後の中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 結果を再製戸籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 回復戸籍一覧」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.4	再製原戸籍特定ファイル更新	訂正	0030250	4.9.3再製戸籍一覧表示から、再製元の戸籍(再製原戸籍)を選択して、戸籍特定情報画面を表示し、戸籍除区分の変更及び戸籍除区分(0:戸籍)の場合消除日を変更すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍特定情報」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.5	再製原個人特定ファイル更新		0030251	再製元の戸籍(再製原戸籍)の個人の個人除区分(0:在籍者)を(2:戸籍消除者)に変更し、中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 この更新は個人特定画面による入力、システムによる自動更新のどちらで行っても構わない。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.6	再製戸籍構成員一覧画面表示	訂正	0030252	4.9.3再製戸籍一覧表示から、再製後の戸籍(再製戸籍)を選択して、再製戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.7	戸籍構成員一覧画面選択		0030253	処理(1:戸籍事項修正、2:身分事項修正)が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.8	再製戸籍戸籍事項更新	訂正	0030254	4.9.7戸籍構成員一覧画面選択で(1:戸籍事項修正)が選択された場合、選択された戸籍事項の戸籍事項別入力画面を表示し、修正できること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.9	再製戸籍個人詳細表示画面表示	訂正	0030255	4.9.7戸籍構成員一覧画面選択で(2:身分事項修正)が選択された場合、該当個人で個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.10	再製戸籍身分事項別入力	訂正	0030256	4.9.9再製戸籍個人詳細表示画面表示で選択された場合、選択された身分事項の身分事項別入力画面を表示し、修正できること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 画面は「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.11	再製戸籍一括作成	修正	0030589	再製元の戸籍が滅失した場合は、4.9.2該当戸籍一覧画面表示の空画面で再製戸籍作成を選択する。 この場合、以下の手順で再製戸籍(中間ファイル(仮戸籍))を作成すること。 ・戸籍特定情報の作成→「4.5.4新戸籍編製戸籍特定情報入力」に準ずる。 ・戸籍事項の作成→「4.5.5新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示」及び「4.5.6新戸籍編製戸籍事項別入力」に準ずる。 ・個人の作成→「4.5.18戸籍構成員一覧画面選択」及び「4.5.19個人特定画面入力」に準ずる。 なお、カナ氏名、振り仮名、漢字氏名は旧氏名の登録ができること。 ・身分事項の作成→「4.5.28身分事項メニュー画面表示」、「4.5.29事件詳細メニュー画面表示」及び「4.5.30身分事項別入力」に準ずる。	実装必須機能	戸籍が滅失した場合は複写元の戸籍がないことから、再製後の戸籍を一から作成する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030257から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.12	戸籍出力		0030258	再製原戸籍、再製戸籍を紙出力できること。 紙出力は戸籍事務専用として出力すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(21) 「再製」処理」による。 再製処理の戸籍を確認する目的で紙出力を行う。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.13	管掌者コード付番		0030259	中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項及び身分事項が新規に作成された場合、各事項に管掌者コードを記録する。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.14	戸籍・個人番号付番		0030260	中間ファイル(仮戸籍)で再製戸籍が作成された場合、戸籍番号を自動付番すること。 中間ファイル(仮戸籍)で個人が追加された場合、個人番号を自動付番すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11) 「決裁」処理」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.15	戸籍データベース登録		0030261	中間ファイル(仮戸籍)から戸籍データベースの更新を行うこと。 この処理を画面を分けて実施しても構わない。	実装必須機能	戸籍再製処理は受付ファイルを作成しないため、決裁処理で処理することはできない。		
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.1	該当除籍一覧	補記	0030262	除籍又は除籍個人の検索入力は該当除籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	標準オプション機能	4.8.1該当戸籍一覧に準ずる。 再製処理は仕様が詳細に記載されていないため、要件を満たせばベンダ任意とする。 ※以降の4.10戸籍イメージ再製処理も同様である。	【第2.0版】再製処理全般の内容について要件の考え方・理由に「再製処理は～」以降を追加し、実装類型を「実装必須機能」から修正	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.2	再製除籍一覧画面表示	修正	0030263	4.10.1該当除籍一覧画面表示で選択された除籍見出しを複写して、再製前と後の中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 除籍イメージをシステムで処理する場合は、除籍イメージを複写して、再製前と後のイメージデータを登録すること。 除籍見出しで再製除籍一覧画面で表示すること。	標準オプション機能	4.9.3再製戸籍一覧画面表示に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.3	再製除籍構成員一覧画面表示	修正	0030264	4.10.2再製除籍一覧表示から、再製後の除籍(再製除籍)を選択して、再製除籍構成員一覧画面を表示すること。	標準オプション機能	4.9.6再製戸籍構成員一覧画面表示に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.4	除籍見出し修正	修正	0030265	再製除籍構成員一覧画面に表示の項目が修正できること。 又は、修正画面から見出しを修正できること。	標準オプション機能	4.8.4除籍見出し修正に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.5	再製除籍イメージ出力	修正	0030266	再製原除籍イメージを紙出力できること。 このとき、出力サイズを任意で変更できること。	標準オプション機能	4.8.5除籍イメージ出力に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.6	再製除籍イメージ読み込み	修正	0030267	紙で訂正した再製原除籍及び作成した再製除籍をスキャナ等でシステムに取り込みができること。 このときの登録情報は、1.3.3除籍イメージの管理に従う。	標準オプション機能	4.8.6除籍イメージ読み込みに準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.7	再製除籍イメージ訂正	訂正	0030268	再製原除籍イメージ、再製除籍イメージをシステムから直接処理ができること。	標準オプション機能	4.8.7除籍イメージ訂正に準ずる。		
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.8	再製除籍一括作成	修正	0030269	再製元の除籍が滅失した場合は、4.10.2再製除籍一覧画面表示の空画面で再製除籍見出し作成を選択する。 この場合、以下の手順で再製除籍見出しを作成すること。 ・再製除籍見出し作成→「4.8.4除籍見出し修正」と同様。 ・再製除籍イメージ作成→「4.10.6再製除籍イメージ読み込み」又は「4.10.7再製除籍イメージ訂正」に準ずる。	標準オプション機能	戸籍が滅失した場合は複写元の戸籍がないことから、再製後の戸籍を一から作成する必要がある。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.9	除籍イメージ登録	修正	0030270	更新した再製除籍見出しファイル、再製原除籍イメージ、再製除籍イメージを登録できること。 再製除籍見出しが新規に作成された場合、除籍番号を自動付番すること。 再製除籍見出しで個人が追加された場合、除籍個人番号を自動付番すること。	標準オプション機能	4.8.11除籍イメージ登録に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.10	除籍イメージ出力サイズの変更	新規追加	0030427	除籍イメージを紙出力する場合は、出力サイズの拡縮又は用紙サイズの変更が行えること。	標準オプション機能	イメージを紙出力する際の見易さ等を考慮する。 職員の利便性向上による。 【第2.0版】戸籍イメージ再製処理で印刷時のサイズ変更を追加		
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.1	送付分届書等一覧ファイル作成	新規追加	0030514	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報から、送付分届書等一覧ファイルの作成ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.2	送付分届書等参考情報作成	新規追加	0030515	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報に添付の情報から、各種参考情報ファイルの作成ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.3	送付分届書等参考情報更新	新規追加	0030516	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報に添付の再送信情報から、各種参考情報ファイルの更新ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.4	送付分届書等一覧表示	新規追加	0030517	送付分届書等一覧ファイルの処理状況=1(未処理)について、送付分届書等一覧画面表示ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.5	送付分届書等一覧表示参考送付胎児認知届	新規追加	0030518	胎児認知届が父の本籍地に参考送信された場合、胎児認知届イメージを登録し、父の個人状態ファイル更新に関するメッセージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.6	送付分届書等一覧表示参考送付死産届	新規追加	0030519	胎児認知届のある父の本籍地に死産届が参考送信された場合、父の個人状態ファイル更新に関するメッセージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.7	送付分届書等一覧表示参考送付出生届	新規追加	0030520	胎児認知届のある父の本籍地に出生届が参考送信された場合、父の戸籍処理に関するメッセージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.8	送付分届書等一覧イメージ表示	新規追加	0030521	送付分届書等一覧画面から選択された届書等情報に添付のイメージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.9	送付分届書等一覧誤送付処理	新規追加	0030522	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報が誤送信であった場合、その旨の情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.10	送付分届書等一覧同一届書処理通番検索	新規追加	0030523	送付分届書等一覧画面において、届書処理通番が同一の情報の表示ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.11	送付分届書等一覧追完届処理不要	新規追加	0030524	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報が追完届で、追完届を基本の届と一緒に処理する場合、送信された追完届を単独で処理しない情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.12	送付分届書等一覧処理振分け	新規追加	0030525	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報を、選択された届書入力処理又は審査結果入力処理又は訂正・更正・追完処理に振分けできること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.13	送付分届書等ファイル削除	新規追加	0030526	送付分届書等一覧ファイルの処理状況=3(処理完了：決裁済)について削除ができること。	実装必須機能	9.8.2不正利用防止機能による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明										
5 証明	5.0 共通	5.0.1	証明書選択メニュー画面表示		0030271	証明書の発行は、証明書選択メニュー画面から、対象の証明書を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書選択メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書選択メニュー」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.0 共通	5.0.2	証明書マスキング機能	新規追加	0030428	各種証明書(戸籍記録事項証明書、受理証明書、除籍イメージ証明書等)の発行において、申入書等の情報を確認し、必要に応じて該当箇所をマスキングする機能を有すること。	標準オプション機能	マスキングは手作業においても実施できることから、標準オプション機能とする。 【第2.0版】証明機能に証明書マスキング機能を追加		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.1	戸籍検索	修正	0030272	5.0.1証明書選択メニュー画面で(1:全部事項・個人事項証明、2:一部事項証明、7:一部証明)が選択された場合、戸籍検索を行い対象の戸籍を検索すること。 戸籍検索は2.2.1検索機能～2.2.18旧カナ氏名検索を利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.2	戸籍全部事項証明書発行指定		0030273	戸籍構成員一覧画面(証明)、個人詳細表示画面(証明)から戸籍全部事項証明書の発行指定ができること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	戸籍が特定できる画面から、戸籍全部事項証明書の発行指定が行われる。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.3	戸籍全部事項証明書選択発行		0030274	該当戸籍一覧(証明)で戸籍を選択し、戸籍全部事項証明書の発行指定ができること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	標準オプション機能	構成員一覧及び個人詳細を確認して戸籍全部事項証明書の発行指定を行うことが通常であるが、その情報が確認済みであったりした場合は該当戸籍一覧で選択した戸籍から全部事項証明書の発行指定を行うことができる。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.4	戸籍個人事項証明書選択発行		0030275	戸籍構成員一覧画面(証明)、個人詳細表示画面(証明)から戸籍個人事項証明書の発行指定ができること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	戸籍の個人が特定できる画面から、戸籍個人事項証明書の発行指定が行われる。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.5	戸籍個人事項証明書複数人選択	訂正	0030276	戸籍構成員一覧画面(証明)で複数の個人を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.6	戸籍個人事項証明書全部選択	訂正	0030277	戸籍構成員一覧画面(証明)で個人全員が選択された場合、アラートを表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.7	戸籍個人事項証明書全部選択		0030278	戸籍構成員一覧画面(証明)で個人全員が選択された場合アラートを表示し、戸籍全部事項証明書に変えて証明書発行選択画面に遷移すること。	標準オプション機能	戸籍個人事項証明書として発行できないが、再処理の時間制約を考慮し戸籍全部事項証明書として発行できることを許容する。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.18	戸籍個人事項証明書同一人対応	新規追加	0030618	戸籍内に同一人が存在する場合、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)において、該当者に対して色付けや記号表示等により同一人が存在していることが分かるようにすること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による追加		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.19	戸籍個人事項証明書同一人対応	新規追加	0030619	個人事項証明書で、戸籍内に同一人が存在する者が証明の対象であり同一人全員が選択されていない場合はメッセージを表示し、一部事項証明書に種別を変更すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.8	戸籍一部事項証明書戸籍事項選択		0030279	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍事項選択画面を表示し戸籍事項を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.9	戸籍一部事項証明書個人特定事項選択		0030280	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍構成員一覧画面(証明)で選択された個人の個人特定事項選択画面を表示し、個人特定事項を選択できること。 身分事項選択画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人特定事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人特定事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.10	戸籍一部事項証明書身分事項選択		0030281	戸籍一部事項証明書が選択された場合、身分事項選択画面を表示し身分事項を選択できること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 身分事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 身分事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.11	戸籍一部事項証明書全部選択	訂正	0030282	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍事項が全て選択され、該当個人の個人特定及び身分事項が全て選択された場合、アラートを表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.12	戸籍一部事項証明書全部選択	修正	0030411	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍事項が全て選択され、該当個人の個人特定及び身分事項が全て選択された場合アラートを表示し、戸籍全部事項証明書又は戸籍個人全部事項証明書に変えて証明書発行選択画面に遷移すること。	標準オプション機能	戸籍一部事項証明書として発行できないが、再処理の時間制約を考慮し戸籍全部事項証明書又は戸籍個人事項証明書として発行できることを許容する。	【第2.0版】機能ID重複により0030282から変更	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.13	戸籍一部証明書個人特定事項選択	修正	0030412	戸籍一部証明書が選択された場合、戸籍構成員一覧画面(証明)で選択された個人の個人特定事項選択画面を表示し、個人特定事項を選択できること。 身分事項選択画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人特定事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人特定事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030282から変更 機能要件の証明書名称が誤っていたため修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.14	戸籍一部証明書身分事項選択	修正	0030283	戸籍一部証明書が選択された場合、身分事項選択画面を表示し身分事項を選択できること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 身分事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 身分事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】機能要件の証明書名称が誤っていたため修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.15	戸籍一部証明書全部選択	修正	0030284	戸籍一部証明書が選択された場合、該当個人の個人特定及び身分事項が全て選択された場合、アラートを表示すること。 ただし、問題ない場合は証明書発行選択画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】機能要件の証明書名称が誤っていたため修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.16	証明書発行確認画面表示		0030285	証明書発行確認画面で選択された証明書に関する情報を表示し、証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.17	他市区町村戸籍証明書	修正	0030413	指定都市の場合、他区の戸籍を検索でき、戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書を発行できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の戸籍を検索でき、戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書を発行できること。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答(指定都市)及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答(認容された市区町村間)による。	【第2.0版】機能ID 0030285から変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.20	記録事項証明書発行抑止	新規追加	0030629	証明発行対象者の個人状態ファイルの注意喚起区分=1又2の場合は、選択した戸籍等を確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】証明書の発行に関する区分追加による追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.2 受付証明書	5.2.1	受付ファイル検索	修正	0030286	5.0.1証明書選択メニュー画面で(4:届書受理証明書、5:戸籍法41条証書提出の証明書、6:届書預り証明書)が選択された場合、受付ファイル検索を行い対象の受付帳を検索すること。 受付ファイル検索は2.3.1受付ファイル検索キー～2.3.7検索結果並べ替えを利用して行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書選択メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書選択メニュー」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】「3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。」について、戸籍が対象であり受付帳は対象外であるため、この仕様を削除		
5 証明	5.2 受付証明書	5.2.2	受付ファイル選択表示		0030287	検索結果を受付ファイル選択画面に表示し、選択した受付帳で証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.2 受付証明書	5.2.3	受付ファイル検索表示		0030288	受付ファイル選択画面で選択した受付帳で受付ファイル検索画面を表示し、証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル検索」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.1	証明書交付請求情報受領	訂正	0030289	戸籍手続オンラインシステムから証明書交付請求の情報を受領できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。 本来【実装必須機能】ではあるが、戸籍手続オンラインシステムの導入が決まってから構築しても構わないため、【標準オプション機能】とする。※以下同様。		
5 証明	5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.2	戸籍記録事項証明書	訂正	0030290	戸籍手続オンラインシステムから取得した証明書交付請求の情報で、5.2.1受付ファイル検索～5.2.3受付ファイル検索表示を実施して受付証明書の出力ができること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
5 証明	5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.3	記録事項証明書の電子戸籍証明書	訂正	0030291	5.3.2戸籍記録事項証明書を電子戸籍証明書として作成し、戸籍手続オンラインシステムに送信できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
5 証明	5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.4	受付証明書	訂正	0030292	戸籍手続オンラインシステムから取得した証明書交付請求の情報で、5.1.1戸籍検索～5.1.16証明書発行確認画面表示を実施して戸籍記録事項証明書の出力ができること。	標準オプション機能	処理内容は、窓口に届出された届書等と同じである。		
5 証明	5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.5	受付証明書の電子戸籍証明書	訂正	0030293	5.3.4受付証明書を電子戸籍証明書として作成し、戸籍手続オンラインシステムに送信できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.1	除籍イメージ検索		0030294	除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書が選択された場合、除籍見出し検索を行い対象の戸籍を検索すること。 戸籍検索は2.4.1除籍イメージ検索キー～2.4.8検索結果並べ替えを利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	5.1.1戸籍検索に準ずる。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.2	該当除籍一覧画面表示		0030295	検索結果を該当除籍一覧画面で選択した除籍又は、除籍構成員一覧画面から除籍謄本(認証文有り)又は除籍(認証文無し)が印刷できること。	実装必須機能	認証文有りはそのまま除籍謄本となり、認証文無しは朱印等を押印して除籍謄本にして交付する。 また、認証文無しを切り貼り等することで除籍抄本、除籍記載事項証明書として交付できる。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.11	該当除籍一覧画面同一人対応	新規追加	0030620	戸籍内に同一人が存在する場合、除籍構成員一覧画面において、該当者に対して色付けや記号表示等により同一人が存在していることが分かるようにすること。	標準オプション機能	5.1.18戸籍個人事項証明書同一人対応に準ずる。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による追加		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.3	除籍イメージ表示	訂正	0030296	該当除籍一覧画面で選択された戸籍又は、除籍構成員一覧画面から除籍イメージを表示し、イメージを加工して除籍抄本(認証文有り)又は除籍記載事項証明書(認証文有り)を印刷できること。	標準オプション機能	システムでイメージの加工を行い、抄本及び記載事項証明書を発行しても構わない。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.4	他市区町村除籍謄抄本		0030297	指定都市の場合、他区の除籍見出しを検索でき、除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書を発行できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の除籍見出しを検索でき、除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書を発行できること。	標準オプション機能	5.1.17他市区町村戸籍証明書に準ずる。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.6	除籍謄抄本発行抑止	新規追加	0030630	証明発行対象者の除籍特定ファイルに発行抑止区分が設定されている場合、アラートを表示して証明書発行を不可とすること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】証明書の発行に関する区分追加による追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.7	除籍謄抄本発行確認	新規追加	0030631	証明発行対象者の除籍特定ファイルに発行確認区分が設定されている場合、アラートを表示して証明書発行に関する確認を促すこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】証明書の発行に関する区分追加による追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.5	除籍イメージ証明書発行確認	新規追加	0030600	該当除籍一覧画面で選択した情報を、証明書発行確認（除籍イメージ）画面に表示し、除籍等イメージの証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」に準ずる。 【第2.0版】5.1.16の仕様に準じて追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.6	除籍イメージメッセージ表示	新規追加	0030601	除籍見出しの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、除籍を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	発行確認区分の設定により除籍を確認する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.7	除籍イメージ発行抑止	新規追加	0030602	除籍見出しの発行抑止区分=1又2の場合は、除籍を確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	発行抑止区分の設定により謄抄本の発行を抑止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.8	除籍イメージ認証文設定	新規追加	0030603	選択された除籍等により、認証文をシステムが設定できること。	実装必須機能	除籍、改製原戸籍等、除籍の種別又は、謄本抄本等により認証文をシステムが設定することで誤った認証文の設定を防止する必要がある。 【第2.0版】認証文設定の仕様を明記	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.9	除籍イメージ認証文変更	新規追加	0030604	システムが設定した認証文を、職員が変更できること。	標準オプション機能	システムが認証文の設定を判断できない場合は、メッセージを表示し認証文を職員が選択する場合がある。 【第2.0版】認証文変更の仕様を明記		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.10	除籍イメージ認証文確認	新規追加	0030605	除籍見出しの発行確認区分=A又はBの場合は、認証文を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	福岡戸籍は対象が少なくまた認証文が異なるため、認証文を確認するメッセージを表示する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.5 改製不適合戸籍謄抄本	5.5.1	改製不適合戸籍検索	修正	0030298	改製不適合戸籍の謄本、抄本、記載事項証明書は、5.4.1除籍イメージ検索～5.4.3除籍イメージ表示に準ずる。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。 【第2.0版】改製不適合には除籍は存在しないため、機能要件の除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書から「除籍」を削除		
5 証明	5.6 証明書統計	5.6.1	証明書統計処理		0030299	発行した証明書について、統計ファイルを更新できること。	標準オプション機能	証明書の出力と交付が一致しない場合もあるため標準オプション機能とする。一致しない場合だけ統計処理で更新することで、職員負荷の軽減につながる。		
5 証明	5.7 証明書共通	5.7.1	文字溢れ対応	修正	0030300	システムから出力される証明書等の出力項目に文字溢れが発生した場合は、文字の大きさの調整や別紙等するなどして、全ての文字が出力されること。	実装必須機能	戸籍記録事項証明書には文字溢れは発生しないが、文字溢れが発生する証明書には対応が必要である。	【第2.0版】要件の考え方・理由に、受付証明書の要旨に文字溢れが発生するとしていたが、要旨は手書き対応であることから、その記載を削除	
5 証明	5.7 証明書共通	5.7.2	公用表示		0030301	証明書に「公用」の表示（印字）ができること。	実装必須機能	公用請求若しくは内部調査等において、証明書を印刷する場合に公用の表示が必要になる。なお、戸籍記録事項証明書の場合は戸籍事務専用帳票を用いることができる。		
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.1	副本戸籍検索	新規追加	0030550	5.0.1証明書選択メニュー画面で(7:広域交付戸籍証明書等)が選択された場合、副本戸籍検索を行い対象の副本を検索すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.2	広域交付戸籍証明書等発行確認	新規追加	0030551	該当戸籍一覧(副本・証明)で戸籍副本を選択した情報を、証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）画面に表示し、広域交付戸籍証明書（電算化戸籍、電算化除籍、イメージ除籍、イメージ改製原戸籍）の証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行」処理_証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.3	広域交付戸籍証明書等交付履歴の管理	新規追加	0030552	交付した広域交付戸籍証明書等の発行履歴を管理できること。	標準オプション機能	1.6.20交付履歴の管理に準ずる。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.4	広域交付戸籍証明書等メッセージ表示	新規追加	0030606	副本の除籍見出しの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	発行確認区分の設定内容について、本籍地市区町村に確認する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.5	広域交付戸籍証明書等発行抑止	新規追加	0030607	副本の除籍見出しの発行抑止区分=1又2の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	発行抑止区分の設定内容について本籍地市区町村への確認、及び謄抄本の発行を抑止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.6	広域交付戸籍証明書等認証文設定	新規追加	0030608	選択された副本等により、認証文をシステムが設定できること。	実装必須機能	除籍、改製原戸籍等、除籍の種別又は、謄本抄本等により認証文をシステムが設定することで誤った認証文の設定を防止する必要がある。 【第2.0版】認証文設定の仕様を明記	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.7	広域交付戸籍証明書等認証文変更	新規追加	0030609	システムが設定した認証文を、職員が変更できること。	標準オプション機能	システムが認証文の設定を判断できない場合は、メッセージを表示し認証文を職員が選択する場合がある。 【第2.0版】認証文変更の仕様を明記		
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.8	広域交付戸籍証明書等認証文確認	新規追加	0030610	副本の除籍見出しの発行確認区分=A又はBの場合は、認証文を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	福岡戸籍は対象が少なくまた認証文が異なるため、認証文を確認するメッセージを表示する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.1	副本戸籍検索	新規追加	0030554	5.0.1証明書選択メニュー画面で(8:戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書)が選択された場合、副本戸籍検索を行い対象の副本(非本籍人又は本籍人)を検索すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行」処理」による。 ※本籍人の戸籍電子証明書等の作成は戸籍副本検索で該当者を特定する。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.2	戸籍電子証明書等発行確認	新規追加	0030555	該当戸籍一覧(副本・証明)で戸籍副本を選択した情報を、証明書発行確認(戸籍電子証明書等）画面に表示し、戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（戸籍電子証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（戸籍電子証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行_証明書発行確認(戸籍電子証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.3	戸籍電子証明書等交付履歴の管理	新規追加	0030556	交付した戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の発行履歴を管理できること。	標準オプション機能	1.6.20交付履歴の管理に準ずる。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.4	戸籍電子証明書等メッセージ表示	新規追加	0030610	副本の除籍見出しの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	発行確認区分の設定内容について、本籍地市区町村に確認する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.5	戸籍電子証明書等発行抑止	新規追加	0030611	副本の除籍見出しの発行抑止区分=1又2の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	発行抑止区分の設定内容について本籍地市区町村への確認、及び謄抄本の発行を抑止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.6	戸籍電子証明書等認証文設定	新規追加	0030612	選択された副本等により、認証文をシステムが設定できること。	実装必須機能	除籍、改製原戸籍等、除籍の種別又は、謄本抄本等により認証文をシステムが設定することで誤った認証文の設定を防止する必要がある。 【第2.0版】認証文設定の仕様を明記	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.7	戸籍電子証明書等認証文変更	新規追加	0030613	システムが設定した認証文を、職員が変更できること。	標準オプション機能	システムが認証文の設定を判断できない場合は、メッセージを表示し認証文を職員が選択する場合がある。 【第2.0版】認証文変更の仕様を明記		
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.8	戸籍電子証明書等認証文確認	新規追加	0030614	副本の除籍見出しの発行確認区分=A又はBの場合は、認証文を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	福岡戸籍は対象が少なくまた認証文が異なるため、認証文を確認するメッセージを表示する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.1	受付検索	新規追加	0030558	5.0.1証明書選択メニュー画面で(9:届書等情報内容証明書等)が選択された場合、受付検索を行い対象の受付ファイルを検索すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付検索」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.2	届書イメージ等表示	新規追加	0030559	5.10.1受付検索から証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に遷移し、届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.3	申入書イメージ表示	新規追加	0030560	該当の受付ファイルに申入書がある場合、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に申入書イメージの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.4	届書等情報内容証明書等発行確認	新規追加	0030561	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に表示された、届書等情報内容証明書等の発行対象を取捨選択できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書_届書等情報内容証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.5	届書等情報内容証明書等発行確認	新規追加	0030562	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に表示された、届書等情報内容証明書等について証明書の印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.6	届書等情報内容証明書等発行確認	新規追加	0030563	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に表示された、届書等情報内容証明書等について閲覧用帳票の印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.7	届書等情報内容証明書等交付履歴の管理	新規追加	0030564	交付した届書等情報内容証明書若しくは、届書等情報内容閲覧用帳票の発行履歴を管理できること。	標準オプション機能	1.6.20交付履歴の管理に準ずる。 7.2.(29) 「証明書発行履歴通知」処理に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新										
6 ファイル更新	6.0 共通	6.0.1	戸籍検索		0030302	戸籍検索を行い対象の戸籍を検索すること。 戸籍検索は2.2.1検索機能～2.2.12検索結果並べ替えを利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。		
6 ファイル更新	6.0 共通	6.0.2	受付帳検索	修正	0030303	受付帳検索を行い対象の受付帳を検索すること。 受付帳検索は2.3.1受付検索キー～2.3.8関連受領番号表示を利用すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル選択、受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル選択、受付ファイル検索」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。 【第2.0版】機能要件から不要である「3.1.1異動・発行・照会抑止の対応をすること」を削除		
6 ファイル更新	6.0 共通	6.0.3	除籍イメージ検索	訂正	0030304	除籍見出し検索を行い対象の除籍イメージを検索すること。 除籍イメージ検索は2.4.1除籍イメージ検索キー～2.4.8検索結果並べ替えを利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	6.0.1戸籍検索に準ずる。		
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.1	操作者限定		0030305	戸籍データベース更新は、操作者のパスワード入力を行うなど、処理資格者であることを確認すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.2	戸籍特定項目修正	補記	0030306	戸籍特定ファイルの編製日、改製日、回復日、消除日、戸籍除区分、戸籍異動区分の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.3	戸籍事項事件発生日修正	補記	0030307	戸籍事項ファイルの事件発生日の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.4	個人特定項目修正	修正	0030621	個人特定ファイルの編製日、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、個人除区分、同一戸籍内前個人番号、同一戸籍内後個人番号、審査不可区分の修正が行えること。 なお、配偶者区分は(3:生存配偶者)から(0:未)への修正だけとすること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による修正	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.5	カナ氏名修正	補記	0030309	氏名ファイルのカナ氏名の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.6	身分事項事件発生日修正	補記	0030310	身分事項ファイルの事件発生日の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.7	変更履歴ファイル作成		0030311	戸籍データベース更新で更新した項目について、戸籍データベース変更履歴ファイルに登録すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.1	不受理申出ファイル更新画面入力		0030312	不受理申出ファイル更新画面を表示し、新規入力、登録済項目修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.2	複数処理		0030313	不受理申出ファイルを複数保持している場合は、その全てを更新対象にできること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.3	不受理申出ファイル更新		0030314	不受理申出ファイルの追加、変更、削除が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.4	不受理申出情報更新イメージ作成	新規追加	0030527	不受理申出ファイルのイメージ登録ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.5	不受理申出情報更新イメージ取得	新規追加	0030528	他市区町村から異動した場合、不受理申出イメージを副本戸籍検索で異動前戸籍から取得できること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムの運用において、不受理申出イメージを異動前戸籍から取得する運用になる。 「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.6	不受理申出情報更新イメージ更新	新規追加	0030529	不受理申出ファイルの修正があった場合は、イメージ更新ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.7	不受理申出情報更新イメージ更新	新規追加	0030530	不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達 第6-1-(9)-ウ 別紙7の3の様式を作成し、これをイメージデータとして不受理申出イメージ情報に頁追加できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.8	不受理申出情報更新イメージ更新	新規追加	0030531	不受理申出に対して申入書が出された場合、これをイメージデータとして不受理申出イメージ情報の先頭頁に追加できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.9	不受理申出情報更新表示	新規追加	0030532	不受理申出にイメージ情報、補正情報が登録されている場合、その情報が表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.10	不受理申出情報更新補正情報作成	新規追加	0030533	不受理申出情報に補正が必要な場合、補正情報を作成・更新できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.11	不受理申出情報更新補正イメージ作成	新規追加	0030534	6.2.4不受理申出情報更新補正情報作成で作成・更新した補正情報のイメージ登録ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.12	不受理申出情報更新イメージ表示	新規追加	0030535	不受理申出にイメージ情報が登録されている場合、イメージ表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.1	個人状態ファイル更新画面入力		0030315	個人状態ファイル更新画面を表示し、各項目及びメモの入力及び修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.2	個人状態ファイル更新		0030316	個人状態ファイルの登録、変更が行えること。 個人状態ファイルの各項目が全て(0:無)及びメモが空欄の場合、個人状態ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.3	胎児認知届イメージ取得	新規追加	0030536	他市区町村から異動において胎児認知区分=1(有)の場合、胎児認知届イメージを副本戸籍検索で異動前戸籍から取得できること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムの運用において、胎児認知届イメージを異動前戸籍から取得する運用になる。 「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.4	胎児認知届イメージ表示	新規追加	0030537	胎児認知区分=1(有)の場合、胎児認知届イメージの表示ができること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムの運用において、胎児認知届イメージを異動前戸籍から取得する運用になる。 「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.1	便宜訂正更新		0030317	処分及び戸籍の記録内容の変わらない軽微些細な受付ファイルの記録誤りの修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.2	受理処分の撤回更新		0030318	送付先から不受理が相当と判断され、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの処分を「受理」から「受理処分の撤回」に修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.3	本籍不分明更新		0030319	送付先において該当者が確定できずに本籍不明とされ、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの本籍欄を「不詳」に修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.4	発日、発送日更新		0030320	照会をする場合における発日、届書送付をする場合における発送日の入力、修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.5	関連受領番号更新		0030321	特定の受付ファイルに対して、関連する受付ファイルの受領番号(関連受領番号)の入力、修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.6	受理後の処理照会更新		0030322	受理処分を行ったが、戸籍の記録方法等が不明確で処理照会を行う場合、処分区分を「受理」から「処理照会」に変更し、発日入力ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.7	送達確認区分更新	訂正	0030323	届書等の送達が確認できた場合で、受付ファイルの送達確認を「未到着」から「到着済」に修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.8	受付ファイル更新		0030324	受付帳の記載項目ではなく、システムで使用される項目の修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.9	本籍地変更後の届出更新		0030325	届書等の受理後に本籍地の変更が明らかになった場合、受付ファイルで修正を必要とする項目が修正できること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.10	本非区分更新		0030326	胎児認知届後の出生届により、胎児認知届の受付ファイルの本非区分が変更となる場合に、本非区分が修正できること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.11	決裁前受付ファイル欠番処理		0030327	決裁前の受付ファイルを欠番にすることができること。 処分決定前は履歴を作成せず、処分決定後は履歴を作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(20) 「受付ファイル欠番」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.12	決裁後受付ファイル欠番処理		0030328	決裁後の受付ファイルを欠番にすることができること。 戸籍記録がされた受付ファイルは欠番処理ができないため、本非区分が本籍の場合はアラートを表示するなどの選択回避機能を設ける	実装必須機能	「別紙7 7.2.(20) 「受付ファイル欠番」処理」による。		
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.1	除籍見出し更新	修正	0030429	訂正等によらない除籍見出しを登録又は更新できること。	実装必須機能	編製日等の登録誤り等により修正する場合がある。 【第2.0版】画像劣化が発生しないことから、機能要件から「画像劣化等に伴う再登録等、」を削除	【第2.0版】機能ID 0030329から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.3	除籍見出し更新	新規追加	0030597	イメージ除籍等の証明発行時において、注意を促す区分の設定ができること。	実装必須機能	イメージ除籍等の謄抄本発行において、発行時に除籍を確認して発行の審査を行う場合や、福岡戸籍に対して認証文の変更を行う必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.4	除籍見出し更新	新規追加	0030598	イメージ除籍等の証明発行時において、発行を抑止する区分の設定ができること。	実装必須機能	イメージ除籍等の謄抄本発行において、発行抑止を行う場合がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.5	除籍見出し更新	新規追加	0030599	イメージ除籍等を戸籍副本管理システムに送信しない区分の設定ができること。	実装必須機能	イメージ除籍等でイメージ登録の申請未了等、副本管理システムに送信できない場合がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.6	除籍見出し更新	新規追加	0030632	除籍(改製原除籍等を含む)内の個人に同一人がいる場合は、戸籍内同一人区分を設定すること。	実装必須機能	除籍等の抄本出力において、同一人の選択漏れを防止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.2	除籍イメージ更新	修正	0030430	訂正等によらない除籍イメージを登録又は更新できること。	実装必須機能	イメージの確認等により、再登録する場合がある。 【第2.0版】画像劣化が発生しないことから、機能要件から「画像劣化等に伴う再登録等、」を削除	【第2.0版】機能ID 0030330から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.6 受領番号確保	6.6.1	受付ファイル作成		0030331	作成する受付ファイルの件数を指定し、番号取得ファイルから最新の受領番号を取得して受付ファイルを新規作成できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(14) 「受領番号確保」処理」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.1	本人届出確認台帳検索キー		0030333	本人届出確認台帳ファイルの検索キーは受領番号、受付事件コード、受付日、処分区分、台帳対象区分である。 受付日は範囲指定ができること。	標準オプション機能	本人届出確認台帳をシステムで管理せず台帳で管理する場合もあることから、標準オプション機能とする。※以降も同様。 「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.2	本人届出確認台帳検索		0030334	本人届出確認台帳検索画面から検索を行い、検索結果は同画面に表示すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理 補足説明書」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.3	本人届出確認台帳更新		0030335	本人届出確認台帳検索画面で選択した本人届出確認台帳を本人届出確認台帳表示・更新画面に表示し、情報の更新ができること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理 補足説明書」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.4	本人届出確認通知作成	修正	0030414	更新した本人届出確認台帳から、本人届出確認通知書が出力できること。 帳票レイアウトは、平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知の別紙を参照して作成すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030335から変更	
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.1	不受理処分整理簿検索		0030337	不受理処分整理簿の検索は、6.0.2受付帳検索に準ずる。	標準オプション機能	不受理処分整理簿をシステムで管理せず台帳で管理する場合もあることから、標準オプション機能とする。※以降も同様。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.2	不受理処分ファイル		0030338	不受理処分ファイルで管理する項目は以下のとおりである。 受領番号、返戻年月日、不受理処分決定日、不受理の理由。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.3	不受理処分ファイル作成・更新		0030339	不受理処分ファイルの作成、更新ができること。 なお、不受理処分ファイルの作成は、受付ファイルの処分区分が「不受理」又は「受理処分の撤回」に限ること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.4	不受理処分整理簿出力		0030340	不受理処分整理簿の出力ができること。 不受理処分整理簿の出力範囲は1年を超えない範囲で任意指定ができること。	標準オプション機能	不受理処分整理簿として台帳保管するため、不受理処分ファイルから不受理処分整理簿の出力が必要となる。 暦年管理の台帳であるため、1年を超えない範囲で月、年単位等での出力を行うが、出力はバッチによる一括出力での対応も可とする。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.5	不受理証明書		0030341	不受理証明書の出力ができること。	標準オプション機能	不受理証明書は規則第66条及び規則附録第20号書式による。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.1	戸籍検索	修正	0030342	6.0.1戸籍検索に準ずること。	標準オプション機能	行政区画・土地名称変更は受付ファイルを作成せず、戸籍事項を作成するところが6.1戸籍データベース更新と異なる。 「別紙7 7.2.(19) 「行政区画土地の名称変更」処理」による。	【第2.0版】オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.2	戸籍データベース更新	修正	0030343	新本籍、更正日、更正事由を入力して、戸籍データベース更新を行うことができること。 更正事由のコード化は任意とする。	標準オプション機能	行政区画・土地名称変更は受付ファイルを作成せず、戸籍事項を作成するところが6.1戸籍データベース更新と異なる。 「別紙7 7.2.(19) 「行政区画土地の名称変更」処理 補足説明書」による。	【第2.0版】オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.3	戸籍附票連携データ作成	修正	0030344	6.9.2戸籍データベース更新の異動情報で戸籍附票連携データを作成すること。	標準オプション機能	4.7決裁処理に準ずる。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。	【第2.0版】オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.4	公選法通知ファイル作成	修正	0030345	4.7.18戸籍附票データ取得～4.7.19公選法通知ファイル作成に準じて、公選法通知ファイルを作成すること。	標準オプション機能	4.7決裁処理に準ずる。	【第2.0版】公選法30条の13第1項通知を公選法通知に名称変更 オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.5	住民票記載事項通知連携データ作成	修正	0030346	4.7.20住民票記載事項通知連携データ作成に準じて、住民票記載事項通知連携データを作成すること。	標準オプション機能	4.7決裁処理に準ずる。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更 オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.9	改製不適合戸籍更新	修正	0030350	改製不適合戸籍がテキストデータで管理されている場合は、6.9.1戸籍検索～6.9.5住民票記載事項通知連携データ作成に準じて更新すること。 改製不適合戸籍がイメージで管理されている場合は、2.4 除籍イメージ検索、6.5.1除籍見出し更新、6.5.2除籍イメージ更新に準じて更新すること。	標準オプション機能	改製不適合戸籍の更新も戸籍又は除籍イメージに準じて更新する。	【第2.0版】参照機能の削除により修正	
6 ファイル更新	6.10 住民票記載事項通知ﾌｧｲﾙ変更	6.10.1	住民票記載事項通知ファイル作成	修正	0030351	4.4審査結果入力処理、4.5訂正・更正・追完処理、6.9行政区画・土地の名称変更等において、住民票記載事項通知ファイルが作成されない処理に対して、住民票記載事項通知ファイルの作成ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(17)「関連業務」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
6 ファイル更新	6.10 住民票記載事項通知ﾌｧｲﾙ変更	6.10.2	住民票記載事項通知ファイル検索	修正	0030352	作成済みの住民票記載事項通知ファイルの検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(17)「関連業務」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
6 ファイル更新	6.10 住民票記載事項通知ﾌｧｲﾙ変更	6.10.3	住民票記載事項通知ファイル更新	修正	0030353	6.10.2_住民票記載事項通知ファイル検索から該当のデータを表示し、9条2項ファイルを更新できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(17)「関連業務」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
6 ファイル更新	6.11 公選法通知ﾌｧｲﾙ変更	6.11.1	公選法通知ファイル作成	新規追加	0030449	4.4審査結果入力処理、4.5訂正・更正・追完処理、6.9行政区画・土地の名称変更等において、公選法通知ファイルが作成されない処理に対して、公選法通知ファイルの作成ができること。	実装必須機能	6.10 住民票記載事項通知ﾌｧｲﾙ変更に準ずる。 【第2.0版】在外選挙人名簿及び在外投票人名簿に変更があった場合の通知が必須となったため追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.11 公選法通知ﾌｧｲﾙ変更	6.11.2	公選法通知ファイル検索	新規追加	0030450	作成済みの公選法通知検索ができること。	実装必須機能	6.10 住民票記載事項通知ﾌｧｲﾙ変更に準ずる。 【第2.0版】在外選挙人名簿及び在外投票人名簿に変更があった場合の通知が必須となったため追加		
6 ファイル更新	6.11 公選法通知ﾌｧｲﾙ変更	6.11.3	公選法通知ファイル更新	新規追加	0030451	6.11.2公選法通知_ファイル検索から該当のデータを表示し、公選法通知ファイルを更新できること。	実装必須機能	6.10 住民票記載事項通知ﾌｧｲﾙ変更に準ずる。 【第2.0版】在外選挙人名簿及び在外投票人名簿に変更があった場合の通知が必須となったため追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.1	届書等情報表示	新規追加	0030540	2.3受付検索を行い、届書等情報更新画面が表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.2	届書等情報イメージ表示	新規追加	0030541	届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージの表示ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.3	届書等情報更新	新規追加	0030542	届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正情報、届書補正イメージの更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.4	届書処理通番情報更新	新規追加	0030543	届書処理通番ファイルの追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.13.1	送付先市区町村情報表示	新規追加	0030544	2.3受付検索を行い、送付先市区町村情報更新が表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_送付先市区町村情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.13.2	送付先市区町村情報更新	新規追加	0030545	送付先情報の追加、更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_送付先市区町村情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.14 申入書ファイル更新	6.14.1	申入書情報選択表示	新規追加	0030546	2.3受付検索を行い、申入書情報選択画面が表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報選択」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.14 申入書ファイル更新	6.14.2	申入書情報更新情報作成・更新	新規追加	0030547	6.12.1申入書情報選択表示の選択情報により、申入書情報の登録、更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.14 申入書ファイル更新	6.14.3	申入書情報更新イメージ作成・更新	新規追加	0030548	申入書情報のイメージ登録、更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.15 振り仮名のお知らせファイル	6.15.1	情報更新	新規追加	0030625	8.3振り仮名のお知らせで抽出したデータの更新、削除が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、国民に仮の振り仮名を通知する必要がある。 通知の日までに抽出者に異動等があった場合にデータ更新する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
7 統計										
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.1	統計ファイル検索	訂正	0030354	統計ファイルは、年、月、日等の単位で検索できること。	実装必須機能	戸籍届書の統計は4.7決裁で更新され、証明書の統計は5.6証明書統計で更新される。 上記で更新される項目も含め、事件表として出力する項目について更新が必要になる。 「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書 事件表」及び「別紙7 7.2.(16) 「統計」処理」による。		
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.2	統計ファイル更新		0030355	統計ファイルは日単位での更新ができること。 累積データ(週計、月計等)での更新も可とする。	実装必須機能	「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書 事件表」及び「別紙7 7.2.(16) 「統計」処理」による。		
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.3	事件表出力		0030356	年単位の事件表の出力ができること。	実装必須機能	標準準則第21条第2項のとおり、管轄法務局への事件数の報告は、付録第18号様式による。 「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書 事件表」及び「別紙7 7.2.(16) 「統計」処理」による。		
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.4	事件表出力内部帳票		0030357	週単位、月単位等、期間を任意に指定して事件表の出力ができること。	標準オプション機能	内部帳票として事件表出力が必要な場合は、期間を任意に指定して出力できるものとする。 「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書 事件表」及び「別紙7 7.2.(16) 「統計」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
8 一括処理										
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.1	高齢者消除抽出		0030358	基準日を設けて、高齢者消除対象者を抽出できること。 なお、高齢者消除対象者の住所については、戸籍附票システムから取得すること。	実装必須機能	高齢者消除対象者について、管轄法務局に申請するための対象者抽出を行う。 「別紙7 7.2.(18) 「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.2	高齢者消除該当一覧出力		0030359	高齢者消除対象者の該当一覧表を出力できること。	実装必須機能	内部調査のため、該当一覧の出力が必要になる。 「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書 高齢者消除」及び「別紙7 7.2.(18) 「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.3	高齢者消除申請書出力		0030360	高齢者消除に対する戸籍記載許可申請書を出力できること。	実装必須機能	管轄法務局に申請する戸籍記載許可申請書の出力が必要になる。 「別紙5 5.6.(2) 帳票設計書 高齢者消除」及び「別紙7 7.2.(18) 「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.4	高齢者消除処理		0030361	高齢者消除が許可された者について、4.4審査結果入力処理及び4.7決裁処理で処理が行えること。	実装必須機能	管轄法務局から許可された者について、戸籍処理が必要になる。 「別紙7 7.2.(18) 「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.5	高齢者消除バッチ処理		0030362	8.1.4高齢者消除処理をバッチ処理で行えること。	標準オプション機能	管轄法務局から許可された者について、戸籍処理をバッチで実行しても構わない。 「別紙7 7.2.(18) 「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.2 行政区画土地名称変更	8.2.1	行政区画土地名称変更バッチ処理	修正	0030431	6.9行政区画・土地の名称変更の処理をバッチ処理で行えること。 ただし、改製不適合戸籍イメージのバッチ処理は任意とする。	実装必須機能	行政区画・土地の名称変更処理は、件数が多い場合オンライン更新よりもバッチ更新が適している。 イメージの更新はファイル名で一括更新が可能であるが、1件1件確認しながら登録する運用もあるため、イメージのバッチ処理は任意とする。 【第2.0版】行政区画・土地の名称変更は除籍イメージには影響しないため、機能要件から削除	【第2.0版】機能ID 0030363から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.3 振り仮名のお知らせ	8.3.1	データ抽出	新規追加	0030623	市区町村が指定する日で、振り仮名のお知らせ対象のデータを抽出できること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、国民に仮の振り仮名を通知する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.3 振り仮名のお知らせ	8.3.2	仮の振り仮名追加	新規追加	0030624	8.3.1データ抽出において抽出したデータに、仮の振り仮名を住基ネットから取得して設定できること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、国民に仮の振り仮名を通知する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.4 振り仮名の職権記録	8.4.1	職権記録対象者一覧	新規追加	0030626	振り仮名の届をしていない者について、市区町村が指定する日で対象者一覧の作成が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、振り仮名の届をしていない者について振り仮名を職権記録する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.4 振り仮名の職権記録	8.4.2	戸籍記載書作成	新規追加	0030627	8.4.1職権記録対象者一覧の対象者で、市区町村が指定した対象者で戸籍記載書の作成が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、振り仮名の届をしていない者について振り仮名を職権記録する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.4 振り仮名の職権記録	8.4.3	職権記録処理	新規追加	0030628	8.4.1職権記録対象者一覧の対象者で、市区町村が指定した対象者で受付ファイルの作成、戸籍の記録、戸籍副本管理システム送信用データの作成、戸籍情報連携システム送信用データの作成が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、振り仮名の届をしていない者について振り仮名を職権記録する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携										
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.1	戸籍ファイル送信		0030364	戸籍データベースが更新された場合、更新された戸籍データ及び全部事項イメージを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.9	戸籍ファイル仮の振り仮名ファイル送信	新規追加	0030596	9.1.1副本ファイル送信において、仮の振り仮名ファイルの送信が行えること。 なお、本機能は振り仮名の戸籍記載が開始される第3号施行日から振り仮名が職権記載されるまでの間の機能となる。	実装必須機能	「7002号通達別添1」による。 令和5年法律第48号附則第9条第4項に準ずる。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.4	個人状態ファイル送信		0030367	個人状態ファイルが更新された場合、更新された個人状態データを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.5	除籍イメージ送信		0030368	除籍見出しファイルが更新された場合又は除籍イメージが更新された場合、更新された除籍見出しデータと除籍イメージを送信すること。 一方が更新された場合でも双方のデータを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.10	除籍イメージ送信抑止	新規追加	0030615	副本の除籍見出しの副本への送信抑止区分=1の場合は、除籍見出しデータ及び除籍イメージの送信を行わないこと。	実装必須機能	イメージ除籍等でイメージ登録の申請未了等、副本管理システムに送信できない場合がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.6	改製不適合戸籍イメージ送信	分割	0030445	改製不適合戸籍がイメージ管理されている場合は、改製不適合戸籍見出しファイル又は改製不適合戸籍イメージが更新された場合、改製不適合戸籍見出しデータと改製不適合戸籍イメージの双方を送信すること。	標準オプション機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。	【第2.0版】機能ID　0030369から変更	
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.6	改製不適合戸籍イメージ送信	分割	0030446	改製不適合戸籍がイメージ管理されていない場合、改製不適合戸籍見出しファイルの更新により、改製不適合戸籍見出しデータを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。	【第2.0版】機能ID　0030369から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.7	副本データ受信		0030370	市区町村が戸籍の再製を要する事態となったとき、法務大臣が管理する当該市区町村の副本データを当該市区町村へ送信するデータを受信できること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.8	受信データ処理	修正	0030447	受信したデータから戸籍情報システムのデータ作成が行えること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。 【第2.0版】再製する機能要件が誤っていたため修正	【第2.0版】機能ID　0030371から変更	
9 連携	9.2 CS連携	9.2.1	住民票記載事項通知データ提供	修正	0030372	住民票記載事項通知ファイルのデータをCS連携すること。	実装必須機能	住民票記載事項通知データをCSから住所地に送信するため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
9 連携	9.3 戸籍附票システム連携	9.3.1	戸籍異動情報提供		0030373	4.7決裁、6.9行政区画・土地の名称変更、8.2行政区画・土地の名称変更等により戸籍項目に変更があった場合は、戸籍異動情報を戸籍附票システムに提供すること。	実装必須機能	戸籍の異動情報を戸籍附票システムに反映させるため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。		
9 連携	9.3 戸籍附票システム連携	9.3.2	在外選挙人情報照会	修正	0030374	4.7決裁、6.9行政区画・土地の名称変更、8.2行政区画・土地の名称変更等により戸籍項目に変更があった場合は、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録市区町村名情報を戸籍附票システムに照会すること。	実装必須機能	公職選挙法第30条の13第1項及び日本国憲法の改正手続に関する法律第43条による通知書作成のため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】在外投票人名簿に関する法律を追加		
9 連携	9.4 住民記録システム連携	9.4.1	住所情報照会	訂正	0030375	戸籍届書の処理において、事件本人の住所情報(住所、方書、世帯主氏名、世帯主との続柄、住定日、住民日)を住民記録システムに照会できること。	標準オプション機能	事件本人の住所情報の入力誤りを無くすため、住民記録システムから住所情報を取得できた方が良い。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。		
9 連携	9.5 人口動態システム連携	9.5.1	人口動態情報提供	修正	0030376	戸籍届書の処理において、出生届、婚姻届、離婚届、死亡届の情報を人口動態調査事務システムに提供できること。	実装必須機能	人口動態調査データ作成のため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】人口動態調査事務システムの標準仕様書提示による修正	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.5 人口動態システム連携	9.5.2	死産人口動態情報提供	修正	0030377	死産届によって受付ファイルを作成した場合は、死産届の情報を人口動態調査事務システムに提供できること。	標準オプション機能	人口動態調査データ作成のため。 受付ファイルを作成しない死産届はデータの提供ができない。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】人口動態調査事務システムの標準仕様書提示による修正		
9 連携	9.6 コンビニ交付システム連携	9.6.1	戸籍証明書コンビニ交付		0030378	コンビニ交付システムからデータを受信し、申請された証明書を作成して送信できること。	実装必須機能	コンビニ交付の対象証明書について、証明書の交付が必要になる。		
9 連携	9.7 オンライン申請システム連携	9.7.1	戸籍証明書オンライン申請		0030379	オンライン申請システムからデータを受信し、申請された証明書等の作成ができること。	標準オプション機能	データを連携することで、該当証明の検索が容易になる。		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.1	目的外利用抑止機能	新規追加	0030453	戸籍情報システムから戸籍情報連携システムへの連携においては、業務利用目的を送信すること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.2	不正利用防止機能	新規追加	0030454	戸籍情報連携システムから授受したデータは、目的を達成した以降は遅滞なく当該戸籍情報システムより削除する措置を講じること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」等による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.3	アクセス・利用制限機能	新規追加	0030455	戸籍情報システムから本籍地以外の副本記録情報も参照可能となることは、個人情報に関する関心の高まりなどからより厳格な利用者管理が求められる。そのため戸籍情報連携システムに接続する端末においては、指紋など本人自身の特性で認証する生体認証を必須要件とし、それに加えて本人だけが知っているID+パスワード等の知識認証又はICカードなど本人だけが所有している物で認証する所有物認証等、別の1つ以上の要素による認証も必須条件とする。すなわち、生体認証を含む2つの要素以上で認証されていない端末は、戸籍情報連携システムに接続出来ない措置を講じる。 　なお、端末起動時や戸籍情報システムへのログイン時等戸籍情報連携システムに接続する前に生体認証を含む2つの要素以上で認証を受けている場合、戸籍情報連携システムに接続する際の再度の認証は市区町村の運用に委ねる。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別冊(運用編)」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.4	なりすまし防止機能	新規追加	0030456	9.8.3アクセス・利用制限機能の二要素認証後に他人が利用することを防止するため、ICカードによる常時認証チェック機能（本人のICカードを挿入している間のみ認証が有効となる機能）又は離席機能（離席ボタン押下により、利用時に再度認証を必要とする機能）など離席時等に本人以外が利用することを防止する措置を講じること。	実装必須機能	利用者以外の者がアクセスできない対応をとる必要がある。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.5	監査対応機能	新規追加	0030457	戸籍情報システムと戸籍情報連携システム間の連携処理は、不正行為の検知及び原因追及等を可能とするため、各市区町村から行う副本記録情報の検索については、戸籍情報連携システム側でログを蓄積し、管理する。また、特定した副本記録情報を参照する際には該当の副本記録データは戸籍情報システムに送付されているため、戸籍情報システム側でログを蓄積し、管理すること。	実装必須機能	不正利用防止のためにログの蓄積が必要である。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.6	利用者ID記録簿	新規追加	0030458	戸籍情報システムで使用される利用者ID及び利用者IDを利用している利用者氏名等は、市区町村において別途定める様式により5年間記録し、保存すること。 様式は市区町村とベンダの協議により定めても構わない。	実装必須機能	利用者の管理が必要であり、その管理方法は市区町村が定めるものとするが、ベンダと協議して定めても構わないものとする。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.7	機能ID説明簿	新規追加	0030459	戸籍情報システムから戸籍情報連携システムにWebAPIのパラメータとして送信される機能ID、機能IDに付した機能名称及び機能IDがパッケージのどの機能のどの画面に該当するのか該当画面レイアウトも含めて監査可能な説明資料と共に5年間記録し、保存すること。なお、様式はベンダー任意で作成すること。	実装必須機能	監査資料の管理方法はベンダが定めるものとし、市区町村等の要請により監査資料の作成を速やかに行う必要がある。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.8	副本戸籍検索キー	新規追加	0030460	副本である電算化戸除籍、電算化再製原戸籍、イメージ除籍、イメージ改製原戸籍及びイメージ再製原除籍の検索キーは、検索対象市区町村コード、振り仮名、漢字氏名、本籍、生年月日、筆頭者氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍種別の11項目であり、これに限ること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加、振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.9	副本戸籍検索補助キー	新規追加	0030461	副本戸籍検索を補助するために、記載字検索フラグ、遡り検索フラグ及び構成員等取得フラグによる検索が行えること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.10	副本戸籍検索キーの組合せ	新規追加	0030462	副本戸籍等の検索において、検索キーを組合せた検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】1.指定する検索条件の組合せ」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.11	副本戸籍ワイルドカード検索	新規追加	0030463	副本戸籍等の検索において、ワイルドカード検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（1）ワイルドカード検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.12	副本戸籍記載字検索	新規追加	0030464	副本戸籍等の検索において、記載字検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（2）記載字検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.14	副本戸籍遡り検索	新規追加	0030466	副本戸籍等の検索において、遡り検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（3）遡り検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.15	副本戸籍清音化検索	新規追加	0030468	副本戸籍等の検索において、清音化検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（4）清音化検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.16	副本戸籍構成員等取得検索	新規追加	0030469	副本戸籍等の検索において、構成員等取得検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（5）構成員等取得検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.17	副本戸籍仮の振り仮名取得検索	新規追加	0030470	副本戸籍等の検索において、仮の振り仮名取得検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（6）仮の振り仮名取得検索」に従うこと。 なお、本機能は振り仮名の戸籍記載が開始される第3号施行日から振り仮名が職権記載されるまでの間の機能となる。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 令和5年法律第48号附則第9条第4項に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加、振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.18	副本戸籍該当表示	新規追加	0030471	副本戸籍等の検索結果の表示は、2.2.4該当戸籍一覧～2.2.10個人状態ファイル表示(但し2.2.8前個人詳細表示を除く)及び、2.4.3該当除籍一覧～2.4.6除籍イメージ表示に準ずる。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本) ～個人状態ファイル表示(副本)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本) ～個人状態ファイル表示(副本)」及び「別紙7　7.2.(2)　検索処理　該当戸籍一覧表示(副本)表示～個人状態ファイル表示(副本)」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.19	副本戸籍画像等情報取得	新規追加	0030472	検索した副本戸籍に該当する胎児認知届書イメージ及び不受理申出イメージの取得ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0301」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.20	異動処理異動者副本戸籍検索	新規追加	0030473	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動前に非本籍人である異動処理（例：婚姻、死亡、転籍等）については、対象者を副本戸籍データから選択できること。 対象者の検索は、9.8.8副本戸籍検索キー～9.8.18副本戸籍該当表示に準ずる。	実装必須機能	4.0.1届書入力処理異動者検索に準ずる。 「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・異動) ～個人状態ファイル表示(副本・異動)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・異動) ～個人状態ファイル表示(副本・異動)」及び「別紙7　7.2.(4)　異動検索処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.21	異動処理入籍先副本戸籍検索	新規追加	0030474	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動後に非本籍人となる異動処理（例：離婚、入籍等）については、入籍先戸籍の対象者(筆頭者、父、母等)を副本戸籍データから選択できること。 対象者の検索は、9.8.8副本戸籍検索キー～9.8.18副本戸籍該当表示に準ずる。	実装必須機能	4.0.2届書入力処理入籍先戸籍検索に準ずる。 「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・異動) ～個人状態ファイル表示(副本・異動)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・異動) ～個人状態ファイル表示(副本・異動)」及び「別紙7　7.2.(4)　異動検索処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.22	異動処理異動予約選択	新規追加	0030475	異動処理において、当該異動処理の対象者及び異動後の入籍先戸籍の対象者を異動予約データから選択できること。 なお、異動予約一覧から異動処理等に遷移する機能も同機能とみなす。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0304」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.23	異動処理解除通知	新規追加	0030476	異動処理において、処理を完結せずに終了する場合は、異動処理中の解除通知を行うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0304」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.24	届書等情報作成・更新届書記載事項	新規追加	0030477	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村又は障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、処分区分が受理の場合に届書入力処理で作成した届書ファイルを届書記載事項ファイルとして登録すること。 なお、外国人のみの届書等は対象外とする。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.25	届書等情報作成・更新届書画像	新規追加	0030478	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、処分区分が受理の場合に異動処理において届出等された届書等を決裁処理後に画像登録できること。 なお、外国人のみの届書等は対象外とする。 戸籍情報システム内で保持する画像形式はベンダ任意であるが、戸籍情報連携システムに送信する形式は、「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第5_電文仕様_5 PDF仕様」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.26	届書等情報作成・更新届書画像	新規追加	0030479	障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、異動処理において届出等された届書等を決裁処理後に画像登録できること。 戸籍情報システム内で保持する画像形式はベンダ任意であるが、戸籍情報連携システムに送信する形式は、「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第5_電文仕様_5 PDF仕様」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.27	届書等情報作成・更新届書添付書面画像	新規追加	0030480	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、処分区分が受理の場合に異動処理において届出等された届書等に添付された書面を決裁処理後に画像登録できること。 なお、外国人のみの届書等は対象外とする。 戸籍情報システム内で保持する画像形式はベンダ任意であるが、戸籍情報連携システムに送信する形式は、「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第5_電文仕様_5 PDF仕様」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.28	届書等情報作成・更新送付先情報	新規追加	0030481	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、届書等情報を送信する市区町村情報の作成ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.29	届書等情報作成・更新届書補正情報	新規追加	0030482	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、届書等情報の送信を受けた市区町村からの連絡等により、受付帳の単位で届書補正情報の作成ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.30	届書等情報作成・更新届書補正画像	新規追加	0030483	9.8.29届書等情報作成・更新届書補正情報で作成した届書補正情報を画像登録できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.31	届書等情報作成・更新届書補正画像	新規追加	0030484	障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、届書に補正すべき事項がある場合は届書補正画像を登録できること。 この場合の画像内容は市区町村の任意とする。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.32	届書等情報送信	新規追加	0030485	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、9.8.24届書等情報作成・更新届書記載事項～9.8.28届書等情報作成・更新送付先情報で作成した情報及び受付帳情報を、届書処理通番単位で戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.33	届書等情報更新	新規追加	0030486	9.8.32届書等情報送信で送信したデータを更新した場合は、更新情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.34	届書等情報送付地決裁	新規追加	0030487	受理地から届書等情報の送信を受けた市区町村又は障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、9.8.24届書等情報作成・更新届書記載事項、9.8.26届書等情報作成・更新届書画像、9.8.31届書等情報作成・更新届書補正画像で作成した情報及び受付帳情報を、届書処理通番単位で戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.35	届書等情報補正情報送信	新規追加	0030488	9.8.29届書等情報作成・更新届書補正情報及び9.8.30届書等情報作成・更新届書補正画像で作成した情報は、届書処理通番単位で各々1ファイルに結合し戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.36	届書等情報誤送付取消	新規追加	0030489	受理地から届書等情報の送信を受けた市区町村は、届書等情報が誤って送信された場合、その旨の情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.37	完了済届書等情報送信	新規追加	0030490	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、受理地及び送付地の戸籍の記録が完了した届書に対して新たな送付地の追加が必要となった場合、9.8.28届書等情報作成・更新送付先情報で新たな送付地を追加し、戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.38	郵送届書等処理済	新規追加	0030491	受理地から届書等情報の送信を受けた市区町村は、障害等により受理地から郵送された届書の送付により処理が完了している場合、処分決定前はその旨の情報だけを、処分決定後はその旨の情報と受付帳情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.39	異動予約情報送信	新規追加	0030492	届書等及び不受理申出が届出等された場合、事件本人及び処理により異動対象となる者について、個人又は戸籍単位での異動予約情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0302」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.40	異動予約情報作成	新規追加	0030493	9.8.39異動予約情報送信で送信した情報を戸籍情報システムで登録できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0302」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.41	異動予約情報解除	新規追加	0030494	9.8.39異動予約情報送信で送信した情報の解除情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0303」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.42	異動予約情報更新	新規追加	0030495	異動処理の実施9.8.41異動予約情報解除又は又は戸籍副本情報の異動処理状況種別コード等の確認により、異動予約情報の更新ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.43	異動予約情報削除	新規追加	0030496	職員判断により、不要となった異動予約情報を削除できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0303」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.44	届書処理状況通知決裁状況表示	新規追加	0030497	戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況通知情報を、画面で確認できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0404」による。 「別紙7　7.2.(2)　検索処理　受付ファイル検索」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.45	届書処理状況通知決裁状況印刷	新規追加	0030498	戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況通知情報を、印刷できること。	標準オプション機能	画面確認以外の確認手法である。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.45	届書処理状況通知送付先市区町村情報ファイル更新	新規追加	0030499	戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況通知情報で、送付先市区町村情報ファイルの送信区分を更新できること。	標準オプション機能	送付先市区町村情報ファイルの送信区分の修正漏れの対応が行える。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.46	異動処理状況情報表示	新規追加	0030500	戸籍情報連携システムから送信された異動処理状況通知情報を、画面で確認できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0405」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.47	異動処理状況情報印刷	新規追加	0030501	戸籍情報連携システムから送信された異動処理状況通知情報を、印刷できること。	標準オプション機能	画面確認以外の確認手法である。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.48	不受理申出情報送信	新規追加	0030538	6.2不受理申出ファイル更新で作成、更新された情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0407」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.49	申入書情報選択注意喚起情報送信	新規追加	0030539	届出済の届書等の受理地に申入書が出された場合、若しくは申入書の受領地から届出済の届書等の受理地に連絡がされた場合、届書等の注意喚起情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0408」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.50	申入書情報送信	新規追加	0030549	6.12申入書ファイル更新で作成、更新された情報を戸籍情報連携システムに送信できること。 但し、受付ファイルの渉外区分=2(外国人)の場合は送信しない。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0408」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.51	広域交付戸籍証明書等発行情報送信	新規追加	0030553	5.8広域交付戸籍証明書等で印刷した証明書情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0101」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）I0040-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.52	戸籍電子証明書等発行情報送信	新規追加	0030557	5.9戸籍電子証明書等で印刷した証明書情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0201」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）I0090-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.53	届書等情報内容証明書等発行情報送信	新規追加	0030565	5.10届書等情報内容証明書等で印刷した証明書情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0601」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）I0090-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.54	広域交付戸籍証明書等交付履歴情報更新	新規追加	0030566	他市区町村で交付した広域交付発行履歴の通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を、5.8.3広域交付戸籍証明書等発行履歴管理で管理する情報と一緒に管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0102」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0010-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.55	戸籍電子証明書等交付履歴情報更新	新規追加	0030567	他市区町村で交付した戸籍電子証明書等発行履歴の通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を、5.9.3戸籍電子証明書等発行履歴管理で管理する情報と一緒に管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0202」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0020-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.56	戸籍電子証明書等交付履歴情報管理	新規追加	0030568	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の提出により、提出先行政機関等に定期用した証明書提供履歴の通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0203」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0030-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.57	届書等情報内容証明書等交付履歴情報更新	新規追加	0030569	他市区町村で交付若しくは閲覧した届書等情報内容証明書等の発行履歴通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を、5.10.7届書等情報内容証明書等発行履歴管理で管理する情報と一緒に管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B202」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0120-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.58	広域交付証明書等交付履歴情報の統合	新規追加	0030570	9.8.54広域交付戸籍証明書等交付履歴情報更新～9.8.57届書等情報内容証明書等交付履歴情報更新の情報を統合して管理できること。	標準オプション機能	発行情報を統合が行える必要がある。 統合する情報はベンダの任意とする。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.59	広域交付証明書等交付履歴情報の検索	新規追加	0030571	広域交付証明書等交付履歴情報を検索することができること。	標準オプション機能	7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.60	広域交付証明書等発行情報の帳票印刷	新規追加	0030572	広域交付証明書等交付履歴情報を帳票印刷することができること。	標準オプション機能	7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.61	広域交付証明書等発行情報削除	新規追加	0030573	保存期間が経過した広域交付証明書等発行情報データの削除ができること。	標準オプション機能	7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.62	事件表統計情報送信	新規追加	0030574	事件表統計情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0701」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙２－３_電文設計書（ファイル連携）F0130-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.63	全国事件表統計情報管理	新規追加	0030575	全国事件表統計情報が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報の管理ができること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0702」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙２－３_電文設計書（ファイル連携）F0140-S01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.64	全国事件表統計情報確認	新規追加	0030576	全国事件表統計情報の画面表示又は帳票印刷等で確認することができること。	標準オプション機能	5.6.(2)「帳票設計書_事件表」に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.65	全国事件表統計情報削除	新規追加	0030577	保存期間が経過した全国事件表統計情報データの削除ができること。	標準オプション機能	5.6.(2)「帳票設計書_事件表」に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.66	オンライン利用者利用状況管理	新規追加	0030578	マイナポータル利用者による戸籍情報連携システムのオンライン利用の開始及びマイナポータル利用者の削除に伴うオンライン利用停止についての情報が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報の管理ができること。	標準オプション機能	7.2.(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.67	オンライン利用者情報確認	新規追加	0030579	オンライン利用者情報の画面表示又は帳票印刷等で確認することができること。	標準オプション機能	7.2.(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.68	オンライン利用者情報削除	新規追加	0030580	保存期間が経過したオンライン利用者情報データの削除ができること。	標準オプション機能	7.2.(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.9 火葬等許可事務システム連携	9.9.1	火葬等許可証情報提供	新規追加	0030617	戸籍届書の処分決定または決裁時に、死亡届の情報を火葬等許可事務システムに提供できること。	標準オプション機能	火葬等許可事務システムの連携データ作成のため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】火葬許可事務システムの標準仕様書提示による追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
10 共通										
10 共通	10.1 EUC機能	10.1.1	データソース		0030380	データソースは、「地方公共団体の基幹業務システムに係るデータ要件・連携要件の標準仕様書」の「基本データリスト（戸籍システム）」に規定するデータ項目とする。	実装不可機能	戸籍情報システムにおいては、日本国民の身分関係を中心として極めて機微な情報を扱っていることから、本仕様書により個別に抽出機能について規定したものを除き、EUC機能は設けないこととする。		
10 共通	10.1 EUC機能	10.1.2	データ利用		0030381	EUC機能（「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」に規定するEUC機能をいう。）を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。	実装不可機能	戸籍情報システムにおいては、日本国民の身分関係を中心として極めて機微な情報を扱っていることから、本仕様書により個別に抽出機能について規定したものを除き、EUC機能は設けないこととする。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.1	操作ログ	修正	0030630	ア. 取得機会： 戸籍情報システムが管理するデータに対してアクセスが発生した場合に取得する。 イ. 記録内容： 操作者ID、日時、ファイル名、端末名、オンラインの場合は対象となったレコード（処理対象者等）・機能名・画面名、バッチについては処理名、処理・交付場所。	実装必須機能	戸籍情報システムが管理するデータに対してアクセスが発生した場合に、操作ログを取得する必要がある。 記録内容は戸籍附票システムに準ずる。	【第2.0版】機能ID 0030382から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.2	認証ログ		0030383	ログイン及びログインのエラー回数等。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.3	イベントログ		0030384	戸籍情報システム内で起こった特定の現象・動作の記録。異常イベントやデータベースへのアクセス等のセキュリティに関わる情報。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.4	通信ログ		0030385	Webサーバや Web アプリケーションサーバ、データベースサーバ等との通信エラー等 。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.5	印刷ログ	修正	0030631	印刷者ID、印刷日時、対象ファイル名、印刷プリンタ（又は印刷端末名、タイトル、枚数、公印出力の有無、出力形式（プレビュー、印刷、ファイル出力等）、証明書の場合には発行番号等の情報 。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。	【第2.0版】機能ID 0030386から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.6	設定変更ログ		0030387	管理者による設定変更時の情報・エラーログ。 管理者による設定変更時の情報取得したログは、市区町村が定める期間保管するとともに 、オンラインでの検索・抽出・照会、EUC機能を用いた後日分析が簡単にできること。 なお、システム利用者や第三者によるログの改ざんがされないよう、書き込み禁止等の改ざん防止措置がされること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.7	ログの分析		0030388	システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.3 操作権限設定・管理	10.3.1	操作権限設定・管理	修正	0030432	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でＩＤ及び パスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。 職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。 アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。 アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラ―に設定する等、事前に準備ができること。 また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。 他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。 ID パスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	実装必須機能	認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】機能ID 0030389から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.3 操作権限設定・管理	10.3.2	操作権限設定	修正	0030433	組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。 操作権限一覧表で操作権限が設定できること。 シングル・サイン・オンが使用できること。	標準オプション機能	標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】機能ID 0030390から変更	
10 共通	10.4 ヘルプ機能	10.4.1	オンラインマニュアル		0030391	システムの操作方法や運用方法等について、マニュアルを有していること。 また、ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.4 ヘルプ機能	10.4.2	冊子マニュアル		0030392	システムの操作方法や運用方法等について、冊子のマニュアルを有していること。	実装不可機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.5 データ要件・連携要件標準仕様書に基づく出力	10.5.1	共通		0030393	「データ要件・連携要件標準仕様書」におけるデータ要件の標準、に従って、基本データリストに規定するグループを単位にして、任意のタイミングで出力する機能が提供されること。 なお、その際には「データ要件・連携要件標準仕様書」にて規定されている文字要件に準ずること。また、データ要件の標準以外で保有するデータがある場合は、同様に提供されること。 なお、システム契約期間の終了時には、その時点でのデータ要件の標準に従って任意でデータ提供ができること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
10 共通	10.6 印刷	10.6.1	共通		0030394	証明書を発行する際にプリンタやトレー（ホッパ）の指定ができること。 出力部数を設定できること。 帳票発行時にプレビュー機能を保有すること。 帳票発行時にPDFか紙出力が指定でき、プリンタが指定できること。 なお、デフォルトでPDFか紙出力かを設定できることとしても可能とする。 戸籍情報システム内部でアクセスログの取得が可能な形で、表示画面のハードコピー機能及びハードコピーの印刷機能を有すること。 氏名や住所等の印刷域桁数を超過したものについては、帳票発行時に超過内容を記載したリストを出力できること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.6 印刷	10.6.2	印刷不可	修正	0030395	アクセスログが取得できないOS独自の印刷ができること。	実装不可機能	戸籍附票システムに準ずる。	【第2.0版】実装類型「実装必須機能」は誤り	
10 共通	10.7 大量印刷	10.7.1	共通	補記	0030396	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。 二次元コード（カスタマーバーコードを含む。）については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	実装必須機能	標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	
10 共通	10.7 大量印刷	10.7.2	外字イメージ印刷	補記	0030397	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータ（外字情報を含む。）について印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	標準オプション機能	標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	
10 共通	10.8 バッチ処理	10.8.1	共通	補記	0030398	バッチ処理の実行（起動）方法として、直接起動だけでなく、年月日及び時分、毎日、毎週〇曜日、毎月XX日、毎月末を指定した方法（スケジュール管理による起動）が提供されること。 また、バッチ処理の実行時は、前回処理時に設定したパラメータが参照されること。 前回設定のパラメータは、一部修正ができること。 修正パラメータ個所については、修正した旨が判別し易くなっていること。 全てのバッチ処理の実行結果（処理内容や処理結果、処理時間、処理端末名称、正常又は異常の旨、異常終了した際はOSやミドルウェア等から出力されるエラーコード等）が出力されること。 バッチの実行結果から一連の作業で最終的な提出物をXLSX形式等で作成する場合等には、自動実行する仕組みを用意すること。	標準オプション機能	標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	
10 共通	10.9 マイナポータルぴったりサービス連携	10.9.1	共通	修正	0030448	マイナポータルぴったりサービスより受け付けた申請データのうち管理が必要な項目を、申請管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同じ。）を経由して取得できること。 なお、経過措置として、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日　総務省）」に規定される連携方式3、4により申請管理機能を経由して取得することも許容される。また、管理が必要な項目とは、標準仕様書における管理項目を想定しているが、標準仕様書における管理項目が不足する場合には必要に応じて管理項目以外の項目を取得してもよい。 申請管理機能がマイナポータルぴったりサービスに対して申請処理状況（処理中、要再申請、完了、却下、取下げのステータス）を送信する場合に用いるため、取得した項目等を表示、出力等できること。	実装必須機能	「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」において、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日総務省）」により構築された申請管理機能を有するシステムの継続利用が経過措置として認められている。連携方式3，4に基づく連携は本経過措置に基づき認められるものであることに留意すること。 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】機能ID　0030399から変更 システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.10 文字	10.10.1	文字要件	補記	0030400	文字要件については、「地方公共団体の基幹業務システムに係るデータ要件・連携要件標準仕様書」の規定に準ずる。	実装必須機能	標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
11 エラー・アラート項目										
11 エラー・アラート項目	11.1 エラー・アラート項目	11.1.1	共通		0030401	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等（少なくとも「エラー項目一覧」に記載のもの）は、エラー（※）として抑止すること。 エラーは、当該内容で本登録することを抑止することが目的であり、その実装方法として、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えない。また、仮登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、本登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、いずれもエラーの実装方法として許容される。 論理的には成立するが特に注意を要する入力等（少なくとも「アラート項目一覧」に記載のもの）は、アラート（※）として注意喚起すること。 ※エラー：論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定（本登録）できないもの。 ※アラート：論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの。 エラー・アラートとする場合は、原因となったエラー・アラート項目と理由・対応方法を入力者に適切に伝えること。 エラー・アラートは、「別紙5　5.8.3　メッセージ一覧表」のとおりとし、その表示等については、「別紙7　7.1.1 「業務選択」処理」～「別紙7　7.2.24　戸籍副本データ管理システム」のとおりとする。	実装必須機能	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等を抑止するためのものをエラー、論理的には成立するが特に注意を要する入力等に注意喚起するものをアラートとして表示等を行う必要がある。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
12 帳票要件										
12 帳票要件	12.1 帳票要件	12.1.1	様式・帳票全般		0030402	様式・帳票について、別紙4帳票詳細要件・レイアウトに従い、直接印刷により出力できること。 仮登録内容の確認用帳票等の内部帳票については、可能な限りペーパーレスで対応するが、必要に応じて画面を直接印刷できること	実装必須機能	帳票については、別紙4帳票詳細要件・レイアウトで提示した内容で印刷する。 仮登録内容についても、別紙4帳票詳細要件・レイアウトで提示するが、提示できないものについては、画面印刷も可能とする。		

別紙3　戸籍情報システム

機能・帳票要件(第2.0版)

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1　管理項目										
1　管理項目	1.1　戸籍データ	1.1.1	戸籍の管理		0030001	戸籍について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 戸籍特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目のうち、消除日を除く項目 ※1項目以上の入力がある (2) 戸籍事項ファイル ・戸籍事項_戸籍消除を除く項目 ※戸籍事項_共通以外は必須ではない	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1　管理項目	1.1　戸籍データ	1.1.2	除籍の管理		0030002	除籍について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 戸籍特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※1項目以上の入力がある (2) 戸籍事項ファイル ・全ての項目 ※戸籍事項_共通以外は必須ではない	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1　管理項目	1.1　戸籍データ	1.1.3	在籍者個人の管理		0030003	在籍者について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目のうち、除籍日を除く項目 (2) 身分事項ファイル ・全ての項目 ※身分事項_共通以外は必須ではない (3) 個人状態ファイル ・禁治産者区分～注意喚起区分のうち1項目以上に(1:有)が設定されている、又はメモが空欄でない場合、ファイルを保持する (4) 不受理申出ファイル ・不受理申出が申出されている場合、ファイルを保持する	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1　管理項目	1.1　戸籍データ	1.1.4	除籍者個人の管理		0030004	除籍者について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※除籍日は必須 (2) 身分事項ファイル ・全ての項目 ※身分事項_共通以外は必須ではない (3) 個人状態ファイル ・禁治産者区分～注意喚起区分のうち1項目以上に(1:有)が設定されている、又はメモが空欄でない場合、ファイルを保持する (4) 不受理申出ファイル ・不受理申出が申出されている場合、ファイルを保持する	実装必須機能	法及び規則による。 戸籍事項ファイルは、戸籍法定記載例(規則附録第7号)及び戸籍参考記載例(平成2年民二第600号通達)に従う。		
1　管理項目	1.2　受付データ	1.2.1	受付帳の管理		0030005	受付帳について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 受付ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 (2) 事件本人ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ・行番号01のデータがあること	実装必須機能	法及び規則による。		
1　管理項目	1.2　受付データ	1.2.2	受付事件本人の登録数		0030006	(2) 事件本人ファイル ・行番号05以上のデータ作成すること	標準オプション機能	受付事件本人は4人までの登録は実装必須機能であるが、5人以上の事例があるためデータを保持することを認める。		
1　管理項目	1.2　受付データ	1.2.3	届書処理通番の管理	新規追加	0030452	届書処理通番について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ・行番号01のデータがあること	実装必須機能	法及び規則による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.1	除籍見出しの管理	訂正	0030007	除籍~~イメージ~~見出しについて、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 除籍見出しファイル ・データ出力条件が必須の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する ・データ出力条件が任意の項目 (2) 除籍個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する	実装必須機能	法、規則及び準則による。 除籍見出しは、その規定がないなかで登録され、今後再登録する必要性がないことから、戸籍データリストで必須としているデータがないことを許容するものである。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.2	除籍見出しの再登録	訂正	0030008	除籍~~イメージ~~見出しについて、戸籍基本データリストが規定している項目に合わせて再登録を行うこと。	実装必須機能	市区町村の判断により再登録することを妨げない。また、再登録の方法についても規定はしない。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.3	除籍イメージの管理		0030009	除籍イメージデータの解像度は400dpiとするが、標準準拠システム移行前に当該解像度以外で読み取ったイメージデータについては、そのままの解像度で差し支えない取扱いとする。	実装必須機能	除籍イメージデータは、その規定がないなかで登録され、今後再登録する必要性がないことから、現在登録されている仕様を許容するものである。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.4	除籍イメージの再登録		0030010	除籍イメージデータの解像度に合わせて再登録を行うこと。	実装必須機能	市区町村の判断により再登録することを妨げない。また、再登録の方法についても規定はしない。		
1 管理項目	1.3 除籍イメージデータ	1.3.5	除籍イメージの変換	新規追加	0030415	除籍イメージデータはPDF形式、BMP形式等用途に合わせて変換ができること。	標準オプション機能	除籍イメージデータの変換機能を追加する。 【第2.0版】既存の形式をバッチで一括変換する等の機能を追加		
~~1 管理項目~~	~~1.4 改製不適合戸籍イメージデータ~~	~~1.4.1~~	~~改製不適合戸籍イメージの管理~~	削除	~~0030011~~	~~改製不適合戸籍は紙管理であるが、平成26年7月4日付け法務省民一第740号民事局第一課長回答にて、「電子情報処理組織の取り扱いに適合しない戸籍の画像情報処理方式による磁気ディスク化について、差支えないとされた事例」のとおり、イメージによる管理も認められた。 なお、イメージで管理する改製不適合戸籍の見出しは1.1.1戸籍の管理～1.1.4除籍者個人の管理、イメージデータは1.3.3除籍イメージの管理と同じとする。~~	~~標準オプション機能~~	~~改製不適合戸籍は不適合状態がなくなると、直ちに電算化戸籍に改製する必要があることから、見出しは戸籍とイメージは除籍イメージと同じ機能要件を採用する。~~	~~【第2.0版】機能ID 0030416に変更~~	
1 管理項目	1.4 改製不適合戸籍イメージデータ	1.4.1	改製不適合戸籍イメージの管理	修正	0030416	改製不適合戸籍は紙管理であるが、平成26年7月4日付け法務省民一第740号民事局第一課長回答にて、「電子情報処理組織の取り扱いに適合しない戸籍の画像情報処理方式による磁気ディスク化について、差支えないとされた事例」のとおり、イメージによる管理も認められた(イメージの登録は任意)。 改製不適合戸籍見出し情報について、戸籍基本データリストが規定している以下の項目を管理すること。 (1) 改製不適合戸籍_戸籍特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する ・データ出力条件が任意の項目 (2) 改製不適合戸籍_個人特定ファイル ・データ出力条件が必須の項目 ・データ出力条件が任意の項目 ※必須項目でもデータがないことを許容する	実装必須機能	改製不適合戸籍は不適合状態がなくなると、直ちに電算化戸籍に改製する必要があることから、見出しは戸籍とイメージは除籍イメージと同じ機能要件を採用する。 【第2.0版】戸籍基本データリストに、戸籍副本管理システムに送信するための改製不適合戸籍の見出し情報の追加を依頼したことによる修正 データリストに追加されることから、実装類型を標準オプション機能から変更	【第2.0版】機能ID 0030011から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 管理項目	1.4 改製不適合戸籍イメージデータ	1.4.2	改製不適合戸籍の電算化戸籍管理		0030012	改製不適合戸籍を電算化戸籍データ(テキスト)で管理すること。 筆頭者が除籍者の場合は必須登録であるが、身分事項の登録は任意とする。 筆頭者以外が除籍者の場合は、全員登録する又は全員登録しないのいずれかとし、身分事項の登録は任意とする。	標準オプション機能	改製不適合戸籍を改製し電算化戸籍とする場合、本データを使用して改製することになるため、筆頭者が除籍者の場合は必須登録とする。 ただし、本データは見出しデータとしての活用も見込めることから、筆頭者以外の除籍者の登録も認めることとする。 除籍者の身分事項は電算化戸籍では不要であるため、その登録は任意とする。		
1 管理項目	1.4 改製不適合戸籍イメージデータ	1.4.3	改製不適合戸籍イメージデータ	新規追加	0030417	改製不適合戸籍をイメージで管理する場合は、1.3.2除籍見出しの再登録～1.3.5除籍イメージの変換に準ずる。	実装必須機能	改製不適合戸籍イメージは除籍イメージと同じである。 なお、改製不適合戸籍イメージの変換は実装オプション機能である。 【第2.0版】戸籍基本データリストに、戸籍副本管理システムに送信するための改製不適合戸籍の見出し情報の追加を依頼したことによる修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 管理項目	1.5 管掌者データ	1.5.1	管掌者の管理		0030013	規則第77条に、「戸籍事務を電子情報処理組織によって取り扱う場合には、戸籍の記録するごとに、市町村長又はその職務を代理する者は、その識別番号を記録しなければならない。」とあり、この識別番号を管掌者データとして登録する。 管掌者コードは数字4桁で管理する。コードの付番方法は市区町村の任意であるが、上2桁を世代、下2桁を管掌者又はそれに準ずる者としての管理を推奨する。	実装必須機能	規則第77条による。		
~~1 管理項目~~	~~1.6 その他~~	~~1.6.1~~	空欄	削除	~~0030014~~	~~戸籍基本データリストの各項目において、空欄を許容する項目は以下のとおりである。その他の項目は、空欄を許容しないこと。なお、ここでいう項目とは、戸籍基本データリストの出力条件が必須である項目とする。 ・氏名ファイルのカナ氏名、漢字氏名 ・受付事件本人ファイルのカナ氏名、漢字氏名~~	~~実装必須機能~~	~~名未定の出生届について、「別紙7 7.2.(5)「異動」処理 1.出生届(含国籍留保)」で処理した場合は、氏名ファイル、受付事件本人ファイルとも氏だけが記録される仕様であるため空欄にはならないが、「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」で処理した場合に空欄を許容する。~~	~~【第2.0版】機能ID 0030581に変更~~	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目	1.6 その他	1.6.1	空欄	修正	0030581	戸籍基本データリストの各項目において、空欄を許容する項目は以下のとおりである。その他の項目は、空欄を許容しないこと。なお、ここでいう項目とは、戸籍基本データリストの出力条件が必須である項目とする。 ・戸籍特定ファイルの筆頭者振り仮名 ・氏名ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名 ・受付事件本人ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名	実装必須機能	名未定の出生届について、「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)」で処理した場合は、氏名ファイル、受付事件本人ファイルとも氏だけが記録される仕様であるため空欄にはならないが、「別紙5　5.10.(10)　「審査結果入力」処理」で処理した場合に空欄を許容する。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID　0030014から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
~~1 管理項目~~	~~1.6 その他~~	~~1.6.2~~	~~漢字空白1文字~~	削除	0030015	~~戸籍基本データリストの各項目において、項目の区切り文字として漢字空白1文字を許容する項目は以下のとおりである。その他の項目は、漢字空白1文字を許容しないこと。なお、ここでいう項目とは、戸籍基本データリストのデータ型がNである項目とする。~~ ~~・戸籍特定ファイルの筆頭者~~ ~~・個人特定ファイルの父、母、養父、養母~~ ~~・氏名ファイルのカナ氏名、漢字氏名~~ ~~・不受理申出ファイルの相手方氏名~~ ~~・受付ファイルの届後戸籍の筆頭者~~ ~~・受付事件本人ファイルのカナ氏名、漢字氏名、筆頭者~~ ~~・管掌者ファイルの管掌者氏名~~ ~~・除籍見出しファイルの筆頭者、筆頭者仮名、前筆頭者、前筆頭者仮名~~ ~~・除籍個人特定ファイルの氏名、氏名仮名~~	実装必須機能	~~許容する項目であるため、左記項目全てにおいて項目の区切り文字として漢字空白1文字を必ず入れるものではない。~~	【第2.0版】機能ID　0030582に変更	
1 管理項目	1.6 その他	1.6.2	漢字空白1文字	修正	0030582	戸籍基本データリストの各項目において、項目の区切り文字として漢字空白１文字を許容する項目は以下のとおりである。その他の項目は、漢字空白１文字を許容しないこと。なお、ここでいう項目とは、戸籍基本データリストのデータ型がNである項目とする。 ・戸籍特定ファイルの筆頭者、筆頭者振り仮名 ・個人特定ファイルの父、母、養父、養母 ・氏名ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名 ・不受理申出ファイルの相手方氏名 ・受付ファイルの届後戸籍の筆頭者 ・受付事件本人ファイルのカナ氏名、振り仮名、漢字氏名、筆頭者 ・管掌者ファイルの管掌者氏名 ・除籍見出しファイルの筆頭者、筆頭者仮名、前筆頭者、前筆頭者仮名 ・除籍個人特定ファイルの氏名、氏名仮名	実装必須機能	許容する項目であるため、左記項目全てにおいて項目の区切り文字として漢字空白１文字を必ず入れるものではない。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID　0030015から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
1 管理項目	1.6 その他	1.6.3	年月日の管理		0030016	年月日は、暦上日で管理すること。ただし、暦上日以外の年月日（例：うるう年でない年における2月29日）も許容するとともに、不詳日も許容すること。 なお、年月日の仕様は平成6年7002号通達別添1の戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書_別紙2_入力ファイル項目の形式_2　留意事項 (2)日付項目のとおりとする。	実装必須機能	平成6年7002号通達別添1による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6,4	年月日の表示		0030017	年月日は、戸籍に関する各種証明書及び画面表示において、和暦で記載・表示すること。ただし、外国人の生年月日は西暦で記載・表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書」による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.5	続柄		0030018	父母との続柄又は養父母との続柄は、戸籍データリストのコード一覧(個別)の続柄[続柄区分]で示すコードとすること。	実装必須機能	規則附録第6号及び昭和22年10月14日付け民事甲第1263号通達による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.6	本籍・筆頭者		0030019	本籍・筆頭者欄は、「なし」又は「不明」と記載できること。	実装不可機能	法第9条で「戸籍は、その筆頭に記載した者の氏名及び本籍でこれを表示する。その者が戸籍から除かれた後も、同様である。」としていることから、本籍・筆頭者は必ず存在するため、いずれの項目においても「なし」又は「不明」の取り扱いにはなり得ない。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.7	番号の自動付番		0030020	戸籍番号、個人番号、受領番号は、自動付番できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(6)　「処分決定」処理」による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.8	戸籍番号・個人番号の意味付け	訂正	0030021	戸籍番号、個人番号の付番は単純連番方式を基本とするが、番号の意味付け(先頭1桁で戸籍種別を区分等)は市区町村の任意とする。	実装必須機能	除籍~~イメージ~~見出しの登録はその規定がないため、除籍番号、除籍個人番号を戸籍番号、個人番号と合わせて管理する場合に、戸籍と除籍イメージの区分は市区町村の任意とする。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.9	受領番号の意味付け		0030022	受領番号の付番は以下のとおりとする。 1桁目～4桁目：西暦年4桁 5桁目～9桁目：暦年内の連番 10桁目：履歴番号(0～9で昇順付番)	実装必須機能	戸籍基本データリストの受付ファイルによる。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.10	支援措置対象者管理		0030023	支援措置の実施に当たっては、支援措置対象者の戸籍、除籍、除籍イメージ等(改製原戸籍等を含む)に支援措置対象者等である旨の表示ができること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.11	支援措置対象者のデータ管理		0030024	戸籍附票システムから連携された支援措置対象者情報の項目を登録すること。 支援措置対象者の画面表示から支援措置責任者の了承を得て又は支援措置責任者のみが画面確認できること。	実装必須機能	支援措置対象者の情報は住民記録システム、戸籍の附票システムで管理すべき事項となっており、このデータは戸籍附票システムからの連携で情報が渡されるため、その情報を登録する。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.12	入力場所・入力端末		0030025	システムログや証明書発行管理に使用するため、戸籍情報システムを使用する場所として、本庁、支所、出張所、戸籍情報システム利用課等の入力場所及び入力端末等の登録管理ができること。	実装必須機能	システムログや証明書発行管理に使用するための戸籍情報システムを使用する場所（本庁・支所・出張所・戸籍利用課等の入力場所）及び入力端末等を管理する機能が必要。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 管理項目	1.6 その他	1.6.13	発行端末		0030026	平成18年2月20日民一第440号民事一課長通知で、契印を不要とする際は、毎葉に発行年月日、市町村名、発行端末番号、任意の発行番号ページ番号及び総ページ数を印刷することとされている。そのため発行端末の登録管理ができること。	標準オプション機能	平成18年2月20日民一第440号民事一課長通知及び「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　項番26」による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.14	住所辞書管理		0030027	住民記録システムから提供を受ける場合を除き、本籍又は住所が必要な場合には、API連携によりアドレス・ベース・レジストリを参照すること、又は、アドレス・ベース・レジストリからファイル連携により取得した住所マスタを参照すること。	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.15	住所辞書にない住所		0030028	旧本籍がアドレス・ベース・レジストリに規定されていない場合は、それに関してコード化できること。	標準オプション機能	アドレス・ベース・レジストリに規定されていない旧本籍があった場合、職員負荷軽減のためコード化の対応を認める。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.16	国籍		0030029	国籍はJIS X 0304の「国名コード」で規定されたコード値を設定するこ	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.17	国名コードにない外国名		0030030	身分事項等の移記において「国名コード」にない外国名を使用する場合は、それに関してコード化できること。	標準オプション機能	国名コードに規定されていない国名があった場合、職員負荷軽減のためコード化の対応を認める。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.18	国名コードの変換		0030031	「国名コード」はアルファベット3文字（日本ならば「JPN」）で規定されているが、戸籍情報システムでは数字で管理される。そのため、連携において「国名コード」を送る必要がある場合は、その変換表を登録できること。	標準オプション機能	受付事件本人の本籍コードは数字15桁での管理であり、戸籍情報システムでは「別紙5 5.8.(2)　コード一覧表　国籍・国名（数字3桁）」でサンプル提示されており、市区町村の任意で設定可能としている。戸籍情報システム内では国名コードは必須ではないためアルファベット3文字で管理する必要はないが、各基幹業務の連携データとなる場合は変換が必要になる。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.19	公印管理		0030032	市区町村長及び職務代理者の公印が管理できること。	実装必須機能	戸籍情報システムから出力する各種証明書は、イメージ登録した公印での発行が認められているため。 なお、朱印による押印も認められている。		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.21	他市区町村の公印管理	新規追加	0030418	指定都市の場合、他区の区長及び職務代理者の公印が管理できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村長及び職務代理者の公印が管理できること。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答（指定都市）及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答（認容された市区町村間）による。 【第2.0版】他市区町村の公印管理を追加		
1 管理項目	1.6 その他	1.6.20	交付履歴の管理		0030033	戸籍、除籍、除籍イメージ及び受付帳から交付される証明書に関する交付履歴は、市区町村が定める期間、以下の項目を管理すること。 ・交付年月日時 ・交付場所 ・交付対象者 ・証明書の種別 ・交付区分（本人等請求、公用請求、第三者請求） ・記載事項 ・枚数 ・発行番号 ・端末名、操作者ID ・処分情報（誤って発行した証明書を処分した場合にはその旨の記録。）	標準オプション機能	交付履歴を含む証明書の発行状況は情報開示請求の際等に必要となるが、従来どおりの証明書交付申請書による確認でも構わない。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 検索・操作										
2 検索・操作	2.1 検索	2.1.1	検索機能	修正	0030034	システム利用者ID 単位）ごとに、一度検索ダイアログ等で設定した値（検索履歴）については、自動的にその設定値が、一定の件数保存されること。 また、それら検索履歴を選択することにより、同じ条件による再検索及び検索履歴を活用 した新たな検索にも対応できること 。	標準オプション機能	業務効率化の観点から、検索パラメータの履歴保持は有効である。 また、業務効率化の観点からはすべての履歴を保持する必要はなく直近の履歴で足りると考えられるが、適当な件数については各市区町村の処理数によって異なることから、一定の件数とした。 なお、権限及び情報セキュリティ等の観点から、履歴保持は、システム利用者ごと（ID単位）で実施できなければならない。	【第2.0版】実装類型を実装必須機能から変更	
~~2 検索・操作~~	~~2.1 検索~~	~~2.1.2~~	~~検索文字入力~~	~~削除~~	~~0030035~~	~~氏名漢字、氏名カナ検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。~~	~~実装必須機能~~	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~	【第2.0版】機能ID 0030583に変更	
2 検索・操作	2.1 検索	2.1.2	検索文字入力	修正	0030583	氏名漢字、振り仮名検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。	実装必須機能	各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030035から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.1 検索	2.2.17	文字コード照会等	新規追加	0030584	漢字文字の入力・照会については、拡大して入力・照会ができるとともに、文字コードの照会ができること。	標準オプション機能	戸籍附票システムに準ずる。 【第2.0版】指摘に伴う追加		
~~2 検索・操作~~	~~2.2 戸籍検索~~	~~2.2.1~~	~~戸籍検索キー~~	~~削除~~	~~0030036~~	~~戸籍及び個人の検索キーは、本籍、氏名、仮名氏名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり、これに限ること。~~	~~実装必須機能~~	~~平成6年7002号通達による。~~	【第2.0版】機能ID 0030585に変更	
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.1	戸籍検索キー	修正	0030585	戸籍及び個人の検索キーは、本籍、氏名、振り仮名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり、これに限ること。	実装必須機能	平成6年7002号通達による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030036から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
~~2 検索・操作~~	~~2.2 戸籍検索~~	~~2.2.2~~	~~旧氏名検索~~	~~削除~~	~~0030037~~	~~・カナ氏名及び漢字氏名は、旧氏名（氏の変更届又は名の変更届等により、個人に異動がなく氏又は名が変更された場合の変更前氏名）でも検索ができること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030586に変更	
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.2	旧氏名検索	修正	0030586	振り仮名及び漢字氏名は、旧氏名（氏の変更届又は名の変更届等により、個人に異動がなく氏又は名が変更された場合の変更前氏名）でも検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030037から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.18	旧カナ氏名検索	新規追加	0030587	2.2.2旧氏名検索において、カナ氏名による検索ができること。	標準オプション機能	振り仮名の施行後しばらくは、氏名の履歴が発生しないことから、保持しているカナ氏名での旧氏名検索が必要になる。 「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.3	前方一致検索		0030038	本籍及び生年月日は、前方一致検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.4	該当戸籍一覧	補記	0030039	戸籍又は個人の検索入力は該当戸籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 該当戸籍一覧で選択された戸籍で戸籍構成員一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 該当戸籍一覧表示」による。 画面については、レイアウトの変更及び入力者の負荷軽減を考慮した対応（不要項目の削除、補助項目の追加）を許容することから、画面遷移はベンダ任意とする。 ※画面遷移については以降も同様である。	【第2.0版】本文の1．機能・帳票要件（1）改定におけるシステム化の範囲に記載の、画面設計書は任意で変更できることを追加	
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.5	該当戸籍一覧1件		0030040	戸籍又は個人の検索結果が1件であった場合、戸籍構成員一覧画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.6	戸籍構成員一覧		0030041	該当戸籍一覧画面で選択された戸籍又は検索結果が1件であった場合、戸籍構成員一覧画面を表示すること。 戸籍構成員一覧画面で選択された個人で個人詳細画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍構成員一覧」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 戸籍構成員一覧表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.7	個人詳細表示		0030042	戸籍構成員一覧画面で選択された個人について、個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人詳細表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人詳細表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人詳細表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.8	前個人詳細表示		0030043	個人に前個人番号がある場合、前個人を検索して個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人詳細表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人詳細表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人詳細表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.9	不受理申出ファイル表示		0030044	個人に不受理申出ファイルがある場合、不受理申出ファイル表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 不受理申出ファイル表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 不受理申出ファイル表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 不受理申出ファイル表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.15	不受理申出イメージ表示	新規追加	0030502	2.2.9不受理申出ファイル表示で選択された不受理申出情報について、イメージ情報及び補正情報がある場合はその情報を画面表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 不受理申出イメージ表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 不受理申出イメージ表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 不受理申出イメージ表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.10	個人状態ファイル表示		0030045	個人に個人状態ファイルがある場合、個人状態ファイル表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人状態ファイル表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人状態ファイル表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人状態ファイル表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.16	胎児認知届イメージ表示	新規追加	0030503	2.2.10個人情報ファイル表示で胎児認知区分が「有」の場合、胎児認知届イメージを画面表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人状態ファイル表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人状態ファイル表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 個人状態ファイル表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.11	遡り検索		0030046	遡り検索ができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.12	検索結果並べ替え		0030047	検索結果の並べ替えができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.2.13	改製不適合戸籍の表示		0030048	改製不適合戸籍がテキストデータ化されている場合は、戸籍構成員一覧画面及び個人詳細表示画面が表示できること。 改製不適合戸籍がイメージデータ化されている場合は、イメージを表示できること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	~~2.1.14~~ 2.2.14	他市区町村戸籍検索	訂正	0030049	指定都市の場合、他区の戸籍を検索できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の戸籍を検索できること。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答(指定都市)及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答(認容された市区町村間)による。		
~~2 検索・操作~~	~~2.3 受付検索~~	~~2.3.1~~	~~受付ファイル検索キー~~	削除	~~0030050~~	~~受付ファイルの検索キーは、受付(受領)番号、氏名、カナ氏名、生年月日、届書等の受領年月日、届出事件の種別、渉外事件であるかどうかの別、受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分である。~~	実装必須機能	~~平成6年7002号通達による。~~	【第2.0版】機能ID 0030588に変更	
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.1	受付ファイル検索キー	修正	0030588	受付ファイルの検索キーは、受付(受領)番号、氏名、振り仮名、生年月日、届書等の受領年月日、届出事件の種別、渉外事件であるかどうかの別、受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分である。	実装必須機能	平成6年7002号通達による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030050から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.2	範囲指定検索		0030051	届書等の受領年月日は、範囲指定による検索ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.3	受付ファイル選択		0030052	受付ファイルの検索入力は該受付ファイル選択画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 受付ファイル選択画面で選択された受付ファイルで受付ファイル検索画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル選択」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。		
2 検索・操作	2.2 戸籍検索	2.3.4	該当受付ファイル1件		0030053	受付ファイルの検索結果が1件であった場合、受付ファイル検索画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.5	受付ファイル検索	修正	~~0030053~~ 0030404	受付ファイル選択画面で選択された受付帳又は検索結果が1件であった場合、受付ファイル検索画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル検索」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル検索」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030053から変更	
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.6	受付ファイル履歴表示		0030054	受付ファイルに履歴がある場合は、履歴表示ができること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル検索」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル検索」による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.7	検索結果並べ替え		0030055	検索結果の並べ替えができること。 ・関連番号がある場合は、その受付内容(受付検索)表示ができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.8	関連受領番号表示		0030056	関連受領番号がある場合は、その受付ファイルを受付ファイル検索画面で表示できること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.9	受付ファイル検索キーの追加		0030057	受付ファイルの検索キーを追加すること。	実装不可機能	受付ファイル検索キーの追加が必要な場合は、「第1章 本仕様書について 4. 本仕様書の内容 (5)本仕様書の改定」による。		
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.10	届書等情報表示	新規追加	0030504	受付ファイル検索画面から届書等情報表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 届書等情報表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 届書等情報表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 届書等情報表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.3 受付検索	2.3.11	届書等情報イメージ表示	新規追加	0030505	届書等情報表示画面から選択されたイメージ表示(届書、添付書面、補正情報、申入書)ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 届書等情報表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 届書等情報表示」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 届書等情報表示」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~2 検索・操作~~	~~2.4 除籍イメージ検索~~	~~2.4.1~~	~~除籍イメージ検索キー~~	削除	~~0030058~~	~~除籍イメージの検索キーは、戸籍基本データリストの除籍見出し及び除籍個人特定の項目から任意に選択できること。~~	実装必須機能	~~除籍見出しの登録データは市区町村により異なることから、検索キーは戸籍基本データリスト内の項目から市区町村が自由に選択できることとする。~~	【第2.0版】機能ID 0030419に変更	
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.1	除籍イメージ検索キー	修正	0030419	除籍イメージの検索キーは、戸籍除区分、筆頭者、本籍、編製日、消除日、氏名、生年月日から選択する。	実装必須機能	除籍見出しの登録データは市区町村により異なることから、検索キーは機能要件で指定した項目から選択する。 【第2.0版】除籍見出しの検索キーを特定する	【第2.0版】機能ID 0030058から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.2	除籍イメージ検索キーの仕様	修正	0030059	除籍イメージの検索キーの仕様は、2.2.2旧氏名検索、2.2.3前方一致検索、~~2.3.2範囲~~指定検索に準じる。	実装必須機能	検索キーの仕様は、仕様統一の観点から他の検索と同様とする。	【第2.0版】機能要件の2.3.2範囲指定検索の準ずることの誤りを修正	
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.3	該当除籍一覧		0030060	除籍又は除籍個人の検索入力は該当除籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。該当除籍一覧で選択された戸籍で除籍構成員一覧画面に遷移すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.4該当戸籍一覧に準ずる。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.4	該当除籍一覧1件		0030061	除籍又は除籍個人の検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.5	除籍構成員一覧		0030062	該当戸籍除籍画面で選択された除籍又は検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面を表示すること。 画面構成は「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍構成員一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍構成員一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.6戸籍構成員一覧に準ずる。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.6	除籍イメージ表示		0030063	除籍イメージが表示できること。	実装必須機能	2.2.7個人詳細表示と同様、除籍イメージを確認する必要がある。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.7	遡り検索	修正	~~0030063~~ 0030405	遡り検索ができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。	【第2.0版】機能ID重複により0030063から変更	
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.8	検索結果並べ替え	修正	~~0030063~~ 0030406	検索結果の並べ替えができること。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。	【第2.0版】機能ID重複により0030063から変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.9	他市区町村除籍イメージ検索		0030064	指定都市の場合、他区の除籍イメージを検索できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の除籍イメージを検索できること。	標準オプション機能	2.1.14他市区町村戸籍検索に準ずる。		
2 検索・操作	2.4 除籍イメージ検索	2.4.10	番号による検索		0030065	・除籍番号及び除籍個人番号で検索すること。	実装不可機能	除籍番号及び除籍個人番号は管理項目であるため、番号による検索は認めない。		
2 検索・操作	2.5 操作	2.5.1	キーボードのみの画面操作	修正	0030066	・端末のセキュリティを確保しながら、キーボードのみでも画面操作が可能であること。	標準オプション機能	キーボードのみの画面操作は、操作に成熟した職員の処理速度向上や職員の疲労度軽減による。近年ではRPAで自動化する際、キーボード操作のコマンドを直接アプリケーションに送信することで、バックグラウンド処理で自動化が可能となるメリットもある。 本項目は全体的には画面・操作性に関するものとして削除することも考えられるが、市区町村によって業務に大きな影響を及ぼしかねない部分については標準として整理することで、これ以上のカスタマイズを抑制する。ただし、キーボードのみでの画面操作が可能な機能を実装していれば、他の操作を否定するものではない。	【第2.0版】実装類型を実装必須機能から変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
3 抑止設定										
3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止	3.1.1	異動・発行・照会抑止		0030067	支援措置対象者に対する抑止、排他制御（4.01及び4.02参照）、その他の抑止を管理できること。 各抑止機能について、異動入力、証明書発行、照会などの処理ごとに、戸籍、除籍イメージ及びそれらの構成員単位で、抑止（エラー、アラートは表示されるが、処理可又は処理可（抑止なし））の開始日及び終了日設定が可能であること。抑止が終了していない者について、抑止の一時解除ができること。また、抑止の一時解除については、庁内各システムで誤って本解除として扱われないように、コンビニ交付システムを含む庁内各システムへのデータ連携は不要とすること。 一時解除後、必要な処理が完了したら手動で一時解除を元に戻し、失念していた場合は一定時間経過後に自動で抑止状態に戻ること。 抑止状態に戻るまでの時間を設定できること。 抑止・解除、又は一時解除できる権限は個別に設定できること。 なお、抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。 戸籍附票システムから情報を連携させている場合は、戸籍附票システムにおいて通知等による記載や修正等の処理を実施している際、異動中であるといった情報が連携され、抑止が実施されること。 検索結果の表示の際、抑止対象であることが明らかとなること。 抑止事由（支援措置、外字作成中、戸籍異動中等）を選択できること。 抑止については複数設定することができ、設定ごとに、抑止する処理・抑止レベル（エラー・アラート）の設定ができること。 証明書発行の抑止設定及び解除情報については、コンビニ交付に対しても自動連携されること。	実装必須機能	支援措置の他、戸籍附票システムにおいて異動処理を実施している（戸籍附票異動中）等の事由の際、戸籍情報システムにおいても対となる戸籍への抑止機能が必要となることから、個別に書き込むのではなく、まとめて整理した。 抑止設定及び解除については、戸籍単位又は構成員単位いずれにも対応できることとし、市区町村が選べるようにすることとした。		
3 抑止設定	3.2 不受理申出抑止	3.2.1	不受理申出抑止		0030068	不受理申出による抑止設定ができること。 ・届書入力処理による異動処理の場合は、異動者を戸籍検索により選択した時点で不受理申出情報を表示し、不受理申出に係る届の有無を選択する。 「別紙7　7.2.(4)「異動検索」処理　システム処理の概要説明」参照。 ・審査結果入力処理による異動処理の場合は、異動者を戸籍検索により選択した際に、不受理申出を表示させそれを確認して、職員が受付帳作成で処分区分を決定する。	実装必須機能	法及び規則による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動										
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.1	届書入力処理異動者検索	修正	0030069	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動前に本籍人である異動処理（例：婚姻、死亡、転籍等）については、対象者を戸籍データから選択できること。 対象者の検索は、2.1.2検索文字入力～2.2.10個人状態ファイル表示及び~~2.2.12~~2.2.18~~検索結果並べ替え~~旧カナ氏名検索に準ずる。 このとき、選択した戸籍に排他制御をかけること。	実装必須機能	届書入力処理においては、異動者の選択は全て個人であり、戸籍が対象になることはない。転籍は戸籍の在籍者全員が対象になるが、異動者選択は筆頭者及び配偶者に限られる。 選択した戸籍は他で異動処理が行われないよう、排他制御を行う必要がある。 「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(異動)、戸籍構成員一覧(異動)、個人詳細表示(異動)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(異動)、戸籍構成員一覧(異動)、個人詳細表示(異動)」及び「別紙7　7.2.(4)　「異動検索」処理」による。		
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.2	届書入力処理異動者検索時チェック		0030070	異動処理において対象者を選択した場合、チェックを行い届書入力処理で処理が可能か判断すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(4)　「異動検索」処理」による。		
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.3	届書入力処理入籍先戸籍検索		0030071	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動後に本籍人となる又は引き続き本籍人である異動処理（例：離婚、入籍等）については、入籍先戸籍の対象者（筆頭者、父、母等）を戸籍データから選択できること。 このとき、選択した戸籍に排他制御をかけること。	実装必須機能	4.0.1届書入力処理異動者検索と同様、入籍先戸籍の対象者の選択も全て個人である。 「別紙7　7.2.(4)　「異動検索」処理」による。		
4 異動	4.0 異動者検索	4.0.4	他市区町村異動者検索	訂正	0030072	4.01及び4.03において、指定都市の場合、他区の戸籍を検索できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の戸籍を検索できること。 このとき、選択した戸籍に排他制御はかけないこと。	標準オプション機能	~~2.1.14~~2.2.14他市区町村戸籍検索に準ずる。 他市区町村の戸籍は参照できるが更新できないため、選択した他市区町村の戸籍には排他制御を行うことはできない。		
~~4 異動~~	~~4.1 届書入力処理~~	~~4.1.1~~	~~届書入力~~	削除	~~0030073~~	~~出生届(含国籍留保)～就籍届の異動処理について、出生届画面～就籍届画面から届書入力処理が行えること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　出生届～就籍届」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　出生届～就籍届」、「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～33.就籍届」による。~~	~~【第2.0版】機能ID　0030420に変更~~	
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.1	届書入力	修正	0030420	出生届(含国籍留保)～氏の振り仮名の変更届の異動処理について、出生届画面～氏の振り仮名の変更届画面から届書入力処理が行えること。 ただし、保佐届に関してはこの限りではない。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」による。 【第2.0版】保佐届の処理を届書入力処理から外すことを任意とする、及び振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID　0030073から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.8	届書入力参照届書表示	新規追加	0030506	出生届(含国籍留保)～氏の振り仮名の変更届(保佐届を除く)の異動処理について参照届書ファイルがある場合は、参照届書ファイルの内容を画面表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　出生届～氏の振り仮名の変更届」、「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」による。 保佐届は過去の改定により対象とする届が限定されたことにより処理件数が少ないこと、審査結果入力処理で実施しても審査漏れ等のおそれがないことから、届書入力処理での実装必須機能を外す。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加、振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.2	届書入力審査	修正	0030074	入力された項目により、単体チェック、関連チェック及び法律等による審査を行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→法律等による審査完了の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」及び「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～33.就籍届 37.氏の振り仮名の変更届」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正		
4 異動	~~4.1 届書入力処理~~	~~4.1.3~~	~~届書入力各種ファイル作成~~	削除	~~0030075~~	~~法律等による審査完了の結果を受け、下記ファイルを作成すること。 中間ファイル(届書)、中間ファイル(仮受付)、中間ファイル(仮戸籍)、中間ファイル(住基法9条2項)、中間ファイル(エラー履歴)。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」、「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～33.就籍届」及び「別紙7　7.2.(8)　「エラー履歴表示」処理」による。~~	~~【第2.0版】機能ID　0030421に変更~~	
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.3	届書入力各種ファイル作成	修正	0030421	法律等による審査完了の結果を受け、下記ファイルを作成すること。 中間ファイル(届書)、中間ファイル(仮受付)、中間ファイル(仮戸籍)、中間ファイル(仮個人状態)、中間ファイル(住民票記載事項通知)、中間ファイル(公選法通知)、中間ファイル(エラー履歴)。	実装必須機能	「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」、「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～37.氏の振り仮名の変更届」及び「別紙7　7.2.(8)　「エラー履歴表示」処理」による。 【第2.0版】中間ファイル(公選法通知)を追加、住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更、及び名の振り仮名の法制に伴う修正	【第2.0版】機能ID　0030075から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.4	他市区町村届書参照		0030076	届書入力処理において、指定都市の場合、他区の届書ファイルを参照できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の届書ファイルを参照できること。 このとき、4.01～4.03の処理を行うこと。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答(指定都市)及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答(認容された市区町村間)による。		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.5	従前戸籍ファイルの複写	修正	0030077	新戸籍を本籍地に編製する又は本籍地の戸籍に入籍する場合の中間ファイル(仮戸籍)の作成において、異動前の戸籍が本籍地にある場合は、その情報を中間ファイル(仮戸籍)に複写すること。 異動前の戸籍が4.0.4他市区町村異動者検索で検索した場合も同様とする。	実装必須機能	「別紙7　7.1　「システム処理」の要件定義について」、「別紙7　7.2.(5)「異動」処理　1.出生届(含国籍留保)～33.就籍届 37.氏の振り仮名の変更届」及び「別紙7　7.2.(8)　「エラー履歴表示」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正		
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.6	入力処理の中断		0030078	入力途中で届書入力処理を終了する場合、入力した内容を仮届書ファイルとして登録できること。 仮届書ファイルは再入力処理時に参照して入力途中までの項目を画面表示する。	標準オプション機能	職員の負荷軽減による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.1 届書入力処理	4.1.7	再入力処理	訂正	0030079	~~4.1.5~~4.1.6入力処理の中断、4.2.1処分決定で処分区分が受理照会、処理照会、保留の届、4.6.1決裁で決裁区分が修正、誤処理の届又は7.1受領番号確保で空の受付ファイルが登録されている場合、受領番号を指定して届書入力処理の再入力処理ができること。 このとき、7.1受領番号確保処理以外の場合は、届書ファイル又は仮届書ファイルを参照してその内容を届書入力画面に表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 届出メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 届出メニュー」、「別紙7 7.2.(3) 「届出選択」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.1	処分決定画面表示		0030080	届書入力処理の結果から、処分決定・仮受付画面を表示すること。 複数の受付ファイルが仮登録されている場合、全ての受付ファイルの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 処分決定・仮受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 処分決定・仮受付」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
~~4 異動~~	~~4.2 処分決定処理~~	~~4.2.2~~	~~処分決定入力~~	~~分割~~	~~0030081~~	~~処分区分の入力が行えること。 中間ファイル(届書)の在外送付区分が(0:受理分)又は(2:在外公館の直接送付)の場合、発日の入力が行えること。 受付ファイルの処分区分が(3:受理照会)又は(4:処理照会)の場合、収日、指示日の入力が行えること。 入力内容が妥当か審査を行うこと。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。~~	~~【第2.0版】にて、機能ID 0030442と0030443と0030444に分割~~	
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.2	処分決定入力	分割	0030442	処分区分の入力が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。	【第2.0版】機能ID 0030081から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.2	処分決定入力	分割	0030443	受付ファイルの処分区分が(3:受理照会)又は(4:処理照会)の場合、発日の入力が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。	【第2.0版】機能ID 0030081から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.2	処分決定入力	分割	0030444	「届出選択番号が受理指示、不受理指示の場合、収日、指示日の入力が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。	【第2.0版】機能ID 0030081から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.3	処分決定入力審査		0030082	入力内容が妥当か審査を行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.4	受領番号付番		0030083	中間ファイル(仮受付)の状態のとき、受付件数から受領番号を自動付番すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.21	届書処理通番付番	新規追加	0030507	中間ファイル(届書処理通番)が無い場合、届書処理通番を自動付番すること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムとの送受信ができない状況等において、届書処理通番の取得ができない場合は、戸籍情報システムで届書処理通番を付番する。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別冊(異常処理編)」による。 「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~4 異動~~	~~4.2 処分決定処理~~	~~4.2.5~~	~~処分決定入力各種ファイル作成~~	~~削除~~	~~0030084~~	~~処分区分により、下記ファイルを作成又は更新すること。 届書ファイル、受付データベース、戸籍データベース、個人状態ファイル、仮戸籍ファイル、仮住基法9条2項ファイル、エラー履歴ファイル。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」、「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030422に変更	
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.5	処分決定入力各種ファイル作成	修正	0030422	処分区分により、下記ファイルを作成又は更新すること。 届書ファイル、受付データベース、戸籍データベース、個人状態ファイル、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル、仮公選法通知ファイル、エラー履歴ファイル、参照戸籍ファイル、届書処理通番ファイル、送付先市区町村情報ファイル。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」、「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】仮公選法通知ファイルを追加、住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更、戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加及び名の振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030084から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.6	処分決定排他制御	訂正	0030085	処分区分が受理照会、処理照会の場合、戸籍特定ファイルの戸籍異動区分を(0:処理中でない)に更新し、個人状態ファイルの受理処理照会区分を(1:有)に更新すること。 処分区分が保留の場合、戸籍特定ファイルの戸籍異動区分を(0:処理中でない)に更新し、個人状態ファイルの保留区分を(1:有)に更新すること。 処分区分が取下げの場合、戸籍特定ファイルの戸籍異動区分を(0:処理中でない)に更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.7	エラー履歴表示		0030086	届書入力処理の法律等による審査で表示された各種メッセージ及びその応答内容を表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 エラー履歴一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 エラー履歴一覧」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙7 7.2.(8) 「エラー履歴表示」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.8	仮戸籍表示		0030087	届書入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、処分決定確認表示画面、戸籍構成員一覧(処分決定)画面、個人詳細表示(処分決定)画面の順に遷移して確認できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 処分決定確認表示、戸籍構成員一覧(処分決定)、個人詳細表示(処分決定)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 処分決定確認表示、戸籍構成員一覧(処分決定)、個人詳細表示(処分決定)」、「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.9	出生届出済証の発行		0030088	出生届を受理した場合、出生届出済証の発行ができること。	標準オプション機能	持参した母子手帳に出生届出済のスタンプを押下する等事務処理の簡素化を行っているが、母子手帳を忘れた場合は出生届出済証を発行することで、届出人及び職員の負荷軽減になる。		
~~4 異動~~	~~4.2 処分決定処理~~	~~4.2.10~~	~~埋火葬許可証の発行~~	~~削除~~	~~0030089~~	~~死亡届を受理した場合、埋葬許可証又は火葬許可証の発行ができること。 ※墓地埋法による発行であるため、別紙4帳票詳細要件には示さない。~~	~~標準オプション機能~~	~~「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】火葬許可事務システムの標準仕様書提示による修正~~		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.10	埋火葬許可証の発行	修正	0030616	死亡届を受理した場合、火葬等許可証情報連携データを作成すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(6) 「処分決定」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】火葬許可事務システムの標準仕様書提示による修正		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.11	戸籍届出期間経過通知書の出力		0030090	届書入力処理の審査で届出期間経過のメッセージが表示された場合、戸籍届出期間経過通知書の作成及び出力ができること。	標準オプション機能	準則第41条第1項及び同付録第33号様式による。 通知忘れ等の防止になる。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.12	受理照会資料の作成		0030091	処分区分が受理照会又は処理照会の場合、管轄法務局への照会資料の作成及び出力ができること。	標準オプション機能	準則第23条第2項及び同付録第20号様式による。 職員の負荷軽減による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.13	仮本人届出確認台帳ファイル登録	修正	0030092	~~本人確認台帳ファイルの使用は市区町村の任意とするが、~~本人届出確認台帳をファイルで管理する場合は、処分区分により仮本人届出確認台帳ファイルが作成できること。	標準オプション機能	「別紙7　7.2.(6)「処分決定」処理」による。 【第2.0版】「本人確認台帳ファイルの使用は市区町村の任意とするが、」は機能要件でないため削除		
~~4 異動~~	~~4.2 処分決定処理~~	~~4.2.14~~	~~発送ファイル作成~~	削除	~~0030093~~	~~処分区分が受理の場合、届書及び住基法9条2項の発送ファイルが作成できること。~~	実装必須機能	~~通常は決裁後に各種書類を発送するが、処分決定処理終了後に決裁処理まで時間を要する場合、決裁を待たずに書類の発送ができるものは、発送により送付先市区町村での処理遅延の防止につながる。~~ 【第2.0版】住民票記載事項通知はファイル連携で送信されるため、通知情報を削除		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.15	処分決定後の確認画面表示		0030094	処分決定後に処分決定・受付画面を表示すること。 複数の受付ファイルが登録されている場合、全ての受付ファイルの表示ができること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、処分決定後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　処分決定・受付」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　処分決定・受付」、「別紙7　7.2.(6)「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.16	決裁用帳票出力		0030095	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	処分決定で異動処理が完了する場合、決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7　7.2.(10)「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.17	仮本人届出確認台帳ファイル登録	訂正	0030096	仮本人届出確認台帳ファイルがある場合は、本人届出確認台帳表示・更新画面を表示できること。	標準オプション機能	「別紙7　7.2.(6)「処分決定」処理」及び「別紙7　7.2.(22)　本人届出確認台帳管理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.18	仮本人届出確認台帳ファイル登録	訂正	0030097	本人届出確認台帳表示・更新画面から各項目を入力できること。	標準オプション機能	「別紙7　7.2.(6)「処分決定」処理」及び「別紙7　7.2.(22)　本人届出確認台帳管理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.19	仮本人届出確認台帳ファイル登録	訂正	0030098	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了の順で実施すること。	標準オプション機能	「別紙7　7.2.(6)「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.2 処分決定処理	4.2.20	本人届出確認台帳ファイル登録	訂正	0030099	入力された項目により、本人届出確認台帳ファイル、本人届出確認通知ファイルが及び発送ファイルが登録できること。	標準オプション機能	「別紙7　7.2.(6)「処分決定」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.1	移記戸籍検索	修正	~~0030099~~ 0030407	移記戸籍選択画面から受領番号を入力し、仮戸籍ファイルが検索できること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　移記戸籍選択」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　移記戸籍選択」、「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030099から変更	
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.2	移記戸籍選択画面表示		0030100	4.3.1移記戸籍検索で検索した仮戸籍ファイルから移記戸籍選択画面を表示すること。 又は4.2.15処分決定後の確認画面表示から遷移した場合、仮戸籍ファイルから移記戸籍選択画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　移記戸籍選択」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　移記戸籍選択」、「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.3	中間ファイル(仮戸籍)作成		0030101	仮戸籍ファイルで中間ファイル(仮戸籍)を作成すること。	実装必須機能	移記処理の前に、処理対象の仮戸籍ファイルを中間ファイル(仮戸籍)に複写して、作業ファイル上で処理を行う。 「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.4	仮戸籍ファイル更新		0030102	中間ファイル(仮戸籍)の内容で仮戸籍ファイルを更新すること。	実装必須機能	以降の移記処理で更新された中間ファイル(仮戸籍)は、移記事項入力処理の終了により仮戸籍ファイルに登録される。 「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.5	決裁用帳票出力		0030103	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」及び「別紙7　7.2.(10)「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.6	排他制御		0030104	他の端末から、届書の再入力処理、移記事項入力処理、決裁処理が行われないよう、届書ファイルに排他制御を行うこと。 移記事項入力処理を終了する場合、届書ファイルの排他制御を解除すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.7	移記戸籍構成員一覧画面表示	修正	~~0030104~~ 0030408	4.3.2移記戸籍選択画面表示で選択された戸籍から移記戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　移記戸籍構成員一覧」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　移記戸籍構成員一覧」、「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030104から変更	
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.8	移記戸籍構成員一覧画面選択		0030105	移記戸籍構成員一覧画面で処理内容を選択できること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　移記戸籍構成員一覧」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　移記戸籍構成員一覧」、「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.9	中間ファイル(仮戸籍)審査		0030106	更新された中間ファイル(仮戸籍)の妥当性チェックを行うこと。	実装必須機能	以降の移記処理で更新された中間ファイル(仮戸籍)は、移記戸籍構成員一覧処理の終了により妥当性チェックがされる。 「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.10	移記戸籍事項表示画面表示		0030107	4.3.7移記戸籍構成員一覧画面表で戸籍事項移記が選択された場合、移記戸籍事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　移記戸籍事項表示」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　移記戸籍事項表示」、「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.11	移記戸籍事項処理選択		0030108	戸籍事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(9)「移記事項入力」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.12	移記戸籍事項事件メニュー表示		0030109	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(1:記録)が選択された場合、移記戸籍事項事件メニュー画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件メニュー」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.13	移記戸籍事項事件メニュー選択		0030110	移記戸籍事項事件メニュー画面から記録する戸籍事項が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.14	移記戸籍事項事件別入力		0030111	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(2:修正)が選択された場合及び4.3.13移記事項事件別メニュー選択で、選択された戸籍事項事件別入力画面を表示し、入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.15	移記戸籍事項事件別審査		0030112	入力された戸籍事項の単体チェックを行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.16	移記戸籍事項事件別表示		0030113	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(3:消除)が選択された場合、選択された戸籍事項事件別入力画面を表示し、入力ができないこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.17	移記戸籍事項並べ替え		0030114	4.3.11移記戸籍事項処理選択で(4:並べ替え)が選択された場合、戸籍事項並べ替え画面を表示し、戸籍事項の順番を変更できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.18	移記戸籍事項登録		0030115	更新された戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.19	移記個人情報表示画面表示	修正	~~0030115~~ 0030409	4.3.7移記戸籍構成員一覧画面表示で身分事項移記が選択された場合、選択個人の移記個人情報表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記個人情報表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記個人情報表示」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030115から変更	
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.20	移記個人情報表示画面入力プロテクト		0030116	移記個人情報表示画面において、更新できない項目については入力不可とすること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.21	移記個人情報表示画面入力		0030117	移記個人情報表示画面において、入力ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.22	移記個人情報表示審査		0030118	入力された個人情報の単体チェック、入力審査を行うこと。 単体チェック完了→入力審査完了の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.23	個人特定情報更新		0030119	入力された個人情報で中間ファイル(仮戸籍)の個人特定ファイルを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.24	移記身分事項表示画面表示		0030120	4.3.19移記個人情報表示画面表示で身分事項処理が選択された場合、移記身分事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項表示」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項表示」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.25	移記身分事項処理選択		0030121	身分事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.26	移記身分事項事件メニュー表示		0030122	4.3.25移記身分事項処理選択で(1:記録)が選択された場合、移記身分事項事件メニュー画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項事件メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項事件メニュー」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.27	移記身分事項事件メニュー選択		0030123	移記身分事項事件メニューから該当の身分事項が選択できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.28	移記身分事項事件別入力		0030124	4.3.25移記身分事項処理選択で(2:修正)が選択された場合及び4.3.27移記身分事件別メニュー選択で、選択された身分事項事件別入力画面を表示し、入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.28	移記身分事項事件別審査		0030125	入力された身分事項の単体チェックを行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.29	移記身分事項事件別表示		0030126	4.3.25移記身分事項処理選択で(3:消除)が選択された場合、選択された身分事項事件別入力画面を表示し、入力ができないこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項事件別入力」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.30	移記身分事項並べ替え		0030127	4.3.25移記身分事項処理選択で(4:並べ替え)が選択された場合、身分事項並べ替え画面を表示し、身分事項の順番を変更できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.31	移記身分事項登録		0030128	更新された身分事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」による。		
4 異動	4.3 移記事項入力処理	4.3.32	仮戸籍表示	新規追加	0030423	移記事項入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、移記戸籍構成員一覧画面、移記個人詳細表示画面、移記戸籍事項表示画面、移記身分事項表示画面の順に遷移して確認できること。	標準オプション機能	仮戸籍表示機能は「別紙7 7.2.(9)「移記事項入力」処理」に明に記載されていないが、処分決定処理、決裁処理と同様に確認が必要である。 明に記載されていないため、標準オプション機能とする。 【第2.0版】移記事項入力処理で仮戸籍表示を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.1	該当戸籍検索	修正	0030129	異動対象戸籍の場合、異動対象の戸籍を検索すること。 戸籍回復の場合、戸籍回復元の戸籍を検索すること。 新戸籍編製の場合、検索しないこと。 検索は2.1.2検索文字入力～2.2.3前方一致検索、2.2.17文字コード照会等及び2.2.18旧カナ氏名検索に準じる。	実装必須機能	届書入力処理で処理できない届書、届書入力処理の範囲外で訂正・更正・追完によらないもの審査結果入力処理の対象となる。この場合、届書等の審査は職員が行い、その結果で仮戸籍ファイル、受付ファイルを作成する。 そのため、異動対象の戸籍を検索する必要がある。 「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.2	該当戸籍一覧画面表示		0030130	異動対象戸籍又は戸籍回復元の戸籍の検索入力は該当戸籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 該当戸籍一覧で選択された中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 該当戸籍一覧(訂正)」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.3	該当戸籍一覧1件		0030131	戸籍の検索結果が1件であった場合中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面を表示すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.4	新戸籍編製戸籍特定情報入力		0030132	4.4.2該当戸籍一覧画面表示で新戸籍編製が選択された場合、戸籍特定情報画面を表示して入力を行うこと。 戸籍事項事件別メニュー画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍特定情報」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.5	新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示		0030133	戸籍事項メニュー画面を表示し、選択された戸籍事項別入力画面を表示して入力を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項メニュー」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.6	新戸籍編製戸籍事項別入力		0030134	選択された戸籍事項別入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.7	回復戸籍複写		0030135	4.4.2該当戸籍一覧画面表示で戸籍回復が選択された場合、選択戸籍(回復元)の情報を複写して中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 複写結果を回復戸籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 回復戸籍一覧」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.8	戸籍回復事項登録		0030136	複写した戸籍に戸籍事項(戸籍回復)画面を表示して入力を行い、中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.9	対象戸籍一覧画面表示		0030137	4.4.2該当戸籍一覧画面表示で選択された戸籍、4.4.6新戸籍編製戸籍事項別入力で登録された戸籍、4.4.8戸籍回復事項登録で登録された戸籍で、対象戸籍一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 対象戸籍一覧」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.10	戸籍事項表示画面表示		0030138	4.4.9対象戸籍一覧画面表示で戸籍事項変更が選択された場合、戸籍事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項表示」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
~~4 異動~~	~~4.4 審査結果入力処理~~	~~4.4.11~~	~~戸籍事項表示画面選択~~	~~削除~~	~~0030139~~	~~戸籍事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除)が選択できること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030434に変更	
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.11	戸籍事項表示画面選択	修正	0030434	戸籍事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、4:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030139から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.12	戸籍事項メニュー画面表示		0030140	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、戸籍事項メニュー画面を表示し、作成する戸籍事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項メニュー」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.13	戸籍事項別入力	訂正	0030141	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(2:修正)が選択された場合及び~~4.4.11~~4.4.12戸籍事項メニュー画面表示で、選択された戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができること。 更新された戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.14	戸籍事項別表示		0030142	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 該当の戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.36	戸籍事項並べ替え	新規追加	0030435	4.4.11戸籍事項表示画面選択で(4:並べ替え)が選択された場合、戸籍事項並べ替え画面を表示し、戸籍事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9)「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.15	戸籍構成員一覧画面表示		0030143	4.4.9対象戸籍一覧画面表示で戸籍が選択された場合、戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.16	戸籍構成員一覧画面選択		0030144	個人に対する処理(1:個人記録、2:個人訂正、3:個人消除、4:個人回復)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.17	個人特定画面入力		0030145	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で(1:個人記録)及び(2:個人訂正)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.18	個人特定画面表示		0030146	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で(3:個人消除)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができないこと。 中間ファイル(仮戸籍)から該当個人を消除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.19	個人回復複写		0030147	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で(4:個人回復)が選択された場合、選択個人を複写すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.20	個人回復身分事項メニュー画面表示		0030148	身分事項メニュー画面を表示し、回復個人に記録する回復原因の身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.21	個人回復事件詳細メニュー画面表示		0030149	選択した身分事項に複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.22	個人回復身分事項別入力		0030150	身分事項別入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.23	個人詳細表示画面表示		0030151	4.4.16戸籍構成員一覧画面選択で個人が選択された場合、選択個人で個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人詳細表示」及び「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。		
~~4 異動~~	~~4.4 審査結果入力処理~~	~~4.4.24~~	~~個人詳細表示画面選択~~	~~削除~~	~~0030152~~	~~身分事項に対する処理(1:追加、2:変更、3:消除)が選択できること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙5 5.10.(10)「審査結果入力」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030436に変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.24	個人詳細表示画面選択	修正	0030436	身分事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、4:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030152から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.25	身分事項メニュー画面表示		0030153	4.4.24個人詳細表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、身分事項メニュー画面を表示し、作成する身分事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.26	事件詳細メニュー画面表示		0030154	選択した身分事項に複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.27	身分事項別入力		0030155	4.4.24個人詳細表示画面選択で(2:変更)が選択された場合及び4.4.26事件詳細メニュー画面表示で、選択された身分事項別入力画面を表示し、入力ができること。 更新された身分事項を中間ファイル(仮戸籍)に登録すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.28	身分事項別表示		0030156	4.4.24個人詳細表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、身分事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 該当の身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.37	身分事項並べ替え	新規追加	0030437	4.4.24個人詳細表示画面選択で(4:並べ替え)が選択された場合、身分事項並べ替え画面を表示し、身分事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.29	受付ファイル入力		0030157	4.4.9対象戸籍一覧画面表示で受付帳記録が選択された場合、受付帳記録画面を表示し、入力すること。 受付帳が複数件ある場合は、複数件の入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 受付帳記録」及び「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.30	受付ファイル審査		0030158	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.31	受付ファイル登録		0030159	受付件数から受領番号を自動付番し、受付ファイルを登録すること。 付番結果を受付帳記録画面に表示すること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、登録後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.32	仮戸籍ファイル登録		0030160	中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルの更新を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.33	決裁用帳票出力		0030161	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7 7.2.(10) 「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.34	処理内容の順番変更等		0030162	4.4.1該当戸籍検索～4.4.32仮戸籍ファイル登録の要件を満たせば、その処理順番の変更及び処理の統廃合を行うこと。	標準オプション機能	審査結果入力処理は、職員が審査した結果を戸籍に反映する処理であるため、機能要件を満たせば、処理内容はベンダ任意とする。		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.35	仮戸籍表示	新規追加	0030424	審査結果入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、画面で確認できること。	標準オプション機能	作成した仮戸籍を確認するため仮戸籍の内容を画面表示する必要がある。 明に記載されていないため、標準オプション機能とする。 【第2.0版】審査結果入力処理で仮戸籍表示を追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.38	届書処理通番ファイル更新	新規追加	0030508	在外送付区分、追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の設定が必要な場合は、届書処理通番ファイルの更新ができること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.39	受付事件コード補助	新規追加	0030590	氏の振り仮名の変更届及び名の振り仮名の変更届における受付事件コードは、家庭裁判所の許可を得て振り仮名を変更する届(4701、4801)と、家庭裁判所の許可を得ずに職権記録された振り仮名を変更する届(4702、4802)で異なる仕様である。受付事件名称は同じであることから、受付帳作成の受付事件コード選択において、双方の区別ができるようにすること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.40	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030591	入籍者に対して仮個人状態ファイルを作成し、氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分を作成できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.4 審査結果入力処理	4.4.41	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030592	入籍者以外に対して個人状態ファイルの氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分に変更がある場合、仮個人状態ファイルを作成できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(10) 「審査結果入力」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.1	該当戸籍検索	修正	0030163	異動対象戸籍の場合、異動対象の戸籍を検索すること。 戸籍回復の場合、戸籍回復元の戸籍を検索すること。 新戸籍編製の場合、検索しないこと。 検索は2.1.2検索文字入力～2.2.3前方一致検索、2.2.17文字コード照会等及び2.2.18旧カナ氏名検索に準じる。	実装必須機能	訂正・更正・追完場合は届書等の審査は職員が行い、その結果で仮戸籍ファイル、受付ファイルを作成する。 そのため、異動対象の戸籍を検索する必要がある。 「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.2	該当戸籍一覧画面表示		0030164	異動対象戸籍又は戸籍回復元の戸籍の検索入力は該当戸籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 該当戸籍一覧で選択された中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 該当戸籍一覧(訂正)」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.3	該当戸籍一覧1件		0030165	戸籍の検索結果が1件であった場合中間ファイル(仮戸籍)を登録し、対象戸籍一覧画面を表示すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.4	新戸籍編製戸籍特定情報入力		0030166	4.5.2該当戸籍一覧画面表示で新戸籍編製が選択された場合、戸籍特定情報画面を表示して入力を行うこと。 戸籍事項事件別メニュー画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍特定情報」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.5	新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示		0030167	戸籍事項メニュー画面を表示し、選択された戸籍事項別入力画面を表示して入力を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.6	新戸籍編製戸籍事項別入力		0030168	選択された戸籍事項別入力画面を表示し、項目入力すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.7	新戸籍編製事由入力		0030169	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.8	回復戸籍複写		0030170	4.5.2該当戸籍一覧画面表示で戸籍回復が選択された場合、選択戸籍(回復元)の情報を複写して中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 複写結果を回復戸籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 回復戸籍一覧」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.9	戸籍回復事項登録		0030171	複写した戸籍に戸籍事項(戸籍回復)画面を表示して入力を行い、中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.10	対象戸籍一覧画面表示		0030172	4.5.2該当戸籍一覧画面表示で選択された戸籍、4.5.6新戸籍編製戸籍事項別入力で登録された戸籍、4.5.9戸籍回復事項登録で登録された戸籍で、対象戸籍一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 対象戸籍一覧」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.11	戸籍事項表示画面表示		0030173	4.5.10対象戸籍一覧画面表示で戸籍事項変更が選択された場合、戸籍事項表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項表示」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
~~4 異動~~	~~4.5 訂正・更正・追完処理~~	~~4.5.12~~	~~戸籍事項表示画面選択~~	~~削除~~	~~0030174~~	~~戸籍事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除)が選択できること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030438に変更	
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.12	戸籍事項表示画面選択	修正	0030438	身分事項に対する処理(1:記録、2:修正、3:削除、4:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、4:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030174から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.13	戸籍事項メニュー画面表示		0030175	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、戸籍事項メニュー画面を表示し、作成する戸籍事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.14	戸籍事項別入力		0030176	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(2:修正)が選択された場合及び4.5.13戸籍事項事件メニュー画面表示で、選択された戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができること。 4.5.16事由入力画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.15	戸籍事項別表示		0030177	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、戸籍事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 4.5.16事由入力画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍事項別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.41	戸籍事項並べ替え	新規追加	0030439	4.5.12戸籍事項表示画面選択で(4:並べ替え)が選択された場合、戸籍事項並べ替え画面を表示し、戸籍事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記戸籍事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.16	事由入力		0030178	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.17	戸籍構成員一覧画面表示		0030179	4.5.10対象戸籍一覧画面表示で戸籍が選択された場合、戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.18	戸籍構成員一覧画面選択		0030180	個人に対する処理(1:個人記録、2:個人訂正、3:個人消除、4:個人回復)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 戸籍構成員一覧」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.19	個人特定画面入力		0030181	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で(1:個人記録)及び(2:個人訂正)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができること。 4.5.21事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.20	個人特定画面表示		0030182	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で(3:個人消除)が選択された場合、選択個人の個人特定画面を表示し、項目入力ができないこと。 4.5.21事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人特定」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.21	事由入力		0030183	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.22	個人回復複写		0030184	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で(4:個人回復)が選択された場合、選択個人を複写すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.23	個人回復身分事項別メニュー画面表示		0030185	身分事項別メニュー画面を表示し、回復個人に記録する回復原因の身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.24	個人回復事件詳細メニュー画面表示		0030186	選択した身分事項メニューに複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.25	個人回復身分事項別入力		0030187	身分事項別入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.26	個人詳細表示画面表示		0030188	4.5.18戸籍構成員一覧画面選択で個人が選択された場合、選択個人で個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 個人詳細表示」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
~~4 異動~~	~~4.5 訂正・更正・追完処理~~	~~4.5.27~~	~~個人詳細表示画面選択~~	削除	~~0030189~~	~~身分事項に対する処理(1:追加、2変更、3:消除、4:削除)が選択できること。~~	実装必須機能	~~「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030440に変更	
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.27	個人詳細表示画面選択	修正	0030440	身分事項に対する処理(1:追加、2変更、3:消除、4:削除、5:並べ替え)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加 なお、5:並べ替えの追加は標準オプション機能の位置付け	【第2.0版】機能ID 0030189から変更 システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.28	身分事項メニュー画面表示		0030190	4.5.27個人詳細表示画面選択で(1:記録)が選択された場合、身分事項メニュー画面を表示し、作成する身分事項を選択すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.29	事件詳細メニュー画面表示		0030191	選択した身分事項に複数の身分事項がある場合は、事件詳細メニュー画面を表示し、身分事項を選択する。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件詳細メニュー」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.30	身分事項別入力	訂正	0030192	~~4.4.27~~4.5.27個人詳細表示画面選択で(2:変更)が選択された場合及び~~4.4.29~~4.5.29事項詳細メニュー画面表示で、選択された身分事項別入力画面を表示し、入力ができること。 4.5.32事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.31	身分事項別表示	訂正	0030193	~~4.4.24~~4.5.27個人詳細表示画面選択で(3:消除)が選択された場合、身分事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 4.5.32事由入力に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.32	事由入力		0030194	事由入力画面を表示し、項目入力すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 対象戸籍一覧画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事由入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.33	身分事項別表示	訂正	0030195	~~4.4.24~~4.5.27個人詳細表示画面選択で(4:削除)が選択された場合、身分事項別入力画面を表示し、入力ができないこと。 該当の身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 事件別入力」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.42	身分事項並べ替え	新規追加	0030441	4.5.27個人詳細表示画面選択で(5:並べ替え)が選択された場合、身分事項並べ替え画面を表示し、身分事項の順番を変更できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 移記身分事項並べ替え」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 移記身分事項並べ替え」、「別紙7 7.2.(9) 「移記事項入力」処理」に準ずる。 【第2.0版】要望により、機能要件に「並べ替え」を追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.34	受付ファイル入力		0030196	4.5.10対象戸籍一覧画面表示で受付帳記録が選択された場合、受付帳記録画面を表示し、入力すること。 受付帳が複数件ある場合は、複数件の入力ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理 画面設計書 受付帳記録」及び「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.35	受付ファイル審査		0030197	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.36	受付ファイル登録		0030198	受付件数から受領番号を自動付番し、受付ファイルを登録すること。 付番結果を受付帳記録画面に表示すること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、登録後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.37	仮戸籍ファイル登録		0030199	中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルの更新を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.38	決裁用帳票出力		0030200	仮戸籍ファイルから決裁用帳票を出力することができること。	実装必須機能	決裁処理に向けた内部確認を実施するため決裁用帳票を出力する必要がある。 「別紙7 7.2.(10) 「決裁用帳票出力」処理」による。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.39	処理内容の順番変更等		0030201	4.5.1該当戸籍検索～4.5.37仮戸籍ファイル登録の要件を満たせば、その処理順番の変更及び処理の統廃合を行うこと。	標準オプション機能	訂正・更正・追完処理は、職員が審査した結果を戸籍に反映する処理であるため、機能要件を満たせば、処理内容はベンダ任意とする。		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.40	仮戸籍表示	新規追加	0030425	訂正・更正・追完処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、画面で確認できること。	標準オプション機能	作成した仮戸籍を確認するため仮戸籍の内容を画面表示する必要がある。 明に記載されていないため、標準オプション機能とする。 【第2.0版】訂正・更正・追完処理で仮戸籍表示を追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.41	届書処理通番ファイル更新	新規追加	0030509	在外送付区分、追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の設定が必要な場合は、届書処理通番ファイルの更新ができること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.42	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030593	入籍者に対して仮個人状態ファイルを作成し、氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分を作成できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.5 訂正・更正・追完処理	4.5.43	仮個人状態ファイルファイル登録	新規追加	0030594	入籍者以外に対して個人状態ファイルの氏の振り仮名職権記録区分、名の振り仮名職権記録区分に変更がある場合、仮個人状態ファイルを作成できること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(11) 「訂正・更正・追完」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加		
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.1	届出等情報受領		0030202	戸籍手続オンラインシステムから届出等の情報を受領できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。 本来【実装必須機能】ではあるが、戸籍手続オンラインシステムの導入が決まってから構築しても構わないため、【標準オプション機能】とする。※以下同様。		
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.2	届出等情報設定		0030203	戸籍手続オンラインシステムから取得した届出等の情報を、4.1.1届書入力の項目に設定できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.3	届出等情報による処理	修正	0030204	処理は4.1.1届書入力～~~4.5.38処理内容の順番変更等~~4.5.43仮個人状態ファイル登録及び、4.7.1未決裁一覧画面受領番号入力～~~4.7.29~~4.7.36~~住基法9条27項~~仮の振り仮名ファイル作成表示を行うこと。	標準オプション機能	処理内容は、窓口に届出された届書等と同じである。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
4 異動	4.6 戸籍手続オンラインシステム	4.6.4	審査結果情報送信		0030205	4.7決裁処理完了後に、審査結果情報を戸籍手続オンラインシステムに送信できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.1	未決裁一覧画面受領番号入力	訂正	0030206	未決裁一覧画面で受領番号が入力された場合、受領番号で届書ファイルを検索し、~~4.6.5~~4.7.5決裁・受付画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 未決裁一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 未決裁一覧」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.2	未決裁一覧画面支所番号入力		0030207	未決裁一覧画面で支所番号が入力された場合、支所番号で届書ファイルを検索し、未決裁一覧画面を表示すること。 本庁及び全支所を対象とした検索ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 未決裁一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 未決裁一覧」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.3	未決裁一覧画面選択番号入力	訂正	0030208	未決裁一覧画面で選択番号が入力された場合、~~4.6.5~~4.7.5決裁・受付画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 未決裁一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 未決裁一覧」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.4	排他制御		0030209	他の端末から、届書の再入力処理、移記事項入力処理、決裁処理が行われないよう、該当の届書ファイルに排他制御を行うこと。 決裁処理を終了する場合、届書ファイルの排他制御の解除又は届書ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.5	決裁・受付画面表示	訂正	0030210	~~4.6.1~~4.7.1未決裁一覧画面受領番号入力及び~~4.6.3~~4.7.3未決裁一覧画面選択番号入力で選択された受領番号から受付ファイルを検索して、決裁・受付画面を表示すること。 複数の受付ファイルがある場合、全ての受付ファイルの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁・受付」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.6	決裁・受付画面管掌者変更		0030211	決裁・受付画面で管掌者コードが入力された場合、入力された管掌者を決裁・受付画面に表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁・受付」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.7	決裁・受付画面選択		0030212	決裁区分(1:決裁、2:誤処理、3:修正)が選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁・受付」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁・受付」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.8	受付ファイル更新	訂正	0030213	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁、3:修正)が選択された場合、決裁区分を受付ファイルの決裁区分に記録すること。 ~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(2:誤処理)が選択された場合、従前の受付ファイルを履歴とし、決裁区分を新しい受付ファイルの処分区分に記録すること。 届書ファイルの事件別入力に関連受領番号がある場合、受付ファイルの関連受領番号(1)～(5)が0である項目に関連受領番号を記録すること。 複数の受付ファイルがある場合、同様の処理を行うこと。 受付ファイルの更新を行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.9	戸籍データベース処理	訂正	0030214	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、戸籍データベース処理を行うこと。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.10	戸籍データベース更新管掌者コード付番		0030215	仮戸籍ファイルの戸籍事項及び身分事項が新規に作成された場合、各事項に管掌者コードを記録する。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.11	戸籍データベース更新戸籍・個人番号付番		0030216	仮戸籍ファイルで新戸籍が編製された場合、戸籍番号を自動付番すること。 仮戸籍ファイルで個人が追加された場合、個人番号を自動付番すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.12	戸籍データベース更新		0030217	仮戸籍ファイルの内容で戸籍データベースを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.13	排他制御		0030218	異動処理で排他制御を行った戸籍の排他を解除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.14	個人状態ファイル更新	修正	0030219	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、個人状態ファイルを更新すること。 ・準禁治産者区分(1:有)の者に準禁治産宣告取消の裁判確定による保佐届があった場合、準禁治産者区分(0:無)とすること。 ・胎児認知届の場合、母の胎児認知区分(1:有)とすること。 ・胎児認知区分(1:有)の者に出生届があった場合、胎児認知区分(0:無)とすること。 ただし、この更新は届書入力処理で実施した場合に限り、審査結果入力処理で実施した場合は、各種ファイル更新の個人状態ファイル更新で手動により更新を行う。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】本機能は届書入力処理に限られることから、機能要件に「ただし、～」以降を追加		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.35	個人状態ファイル更新	新規追加	0030595	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、仮個人状態ファイルがあれば個人状態ファイルを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.15	不受理申出ファイル更新	訂正	0030220	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、不受理申出ファイルを更新すること。 ・本籍地内異動の場合、異動前に保有していた不受理申出ファイルを異動後の個人に複写すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
~~4 異動~~	~~4.7 決裁処理~~	~~4.7.16~~	~~不受理申出ファイル通知~~	削除	~~0030221~~	~~4.6.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、不受理申出ファイルを通知を作成すること。 ・本籍地から非本籍地に異動の場合、異動前に保有していた不受理申出ファイルの情報を異動後本籍地に通知すること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用後は、入籍先市区町村で異動前戸籍を戸籍副本検索し、不受理申出情報を取得して登録する運用になるため、通知を削除する。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.17	戸籍附票連携データ作成	訂正	0030222	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、戸籍の異動情報で戸籍附票連携データを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.18	戸籍附票データ取得	訂正	0030223	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、異動前の異動者が本籍人の場合、戸籍の附票に照会し在外選挙人情報及び在外投票人情報が取得できること。 ・異動前と異動後で、氏名、生年月日、性別、本籍、筆頭者に変更があった場合、又は除籍だけで異動後の入籍がない場合に情報を取得すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.19	公選法~~30条の13~~第1項通知ファイル作成	修正	~~0030223~~ 0030410	~~4.6.18~~4.7.18戸籍附票データ取得で、連携により取得した戸籍の附票に在外選挙人情報又は在外投票人情報があった場合、公職選挙法~~第30条の13~~第1項通知ファイルを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030223から変更 公選法30条の13第1項通知を公選法通知に名称変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.31	公選法通知異動者リストファイル作成	新規追加	0030510	4.7.18戸籍附票データ取得で、連携により取得した戸籍の附票に在外選挙人情報又は在外投票人情報があった場合、公選法通知異動者リストファイルを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.20	~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知連携データ作成	修正	0030224	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、~~仮住基法9条2項~~住民票記載事項通知ファイルで~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知連携データを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
~~4 異動~~	~~4.7 決裁処理~~	~~4.7.21~~	~~相続税法58条通知データ作成~~	削除	~~0030225~~	~~4.6.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、届書ファイルから相続税法58条通知データを作成すること。 ・死亡届、失踪宣告届の場合に作成すること。~~	~~標準オプション機能~~	~~「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータにより、相続税法58条通知が作成される。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.22	人口動態連携データ作成	修正	0030226	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、届書ファイルから人口動態連携データを作成すること。 ・出生届、婚姻届、離婚届、死亡届の場合に作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 作成されたデータは独自施策システム等への連携により連携される。 作成されたデータは、9.5人口動態システム連携により連携される。 【第2.0版】人口動態調査事務システム標準仕様書提示による修正		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.23	発送ファイル作成	訂正	0030227	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、中間ファイル(発送)ファイルから発送ファイルを作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.24	統計ファイル更新	訂正	0030228	~~4.6.7~~4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、統計ファイルを更新すること。 ・本籍数の増減、本籍人口の増減、届出事件のカウント、新戸籍編製のカウント、全部除籍のカウント、照会数のカウントを更新すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.32	送信用届書等情報ファイル作成	新規追加	0030511	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、送信用届書等情報ファイル作成を作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~4 異動~~	~~4.7 決裁処理~~	~~4.7.25~~	~~作業ファイル削除~~	削除	~~0030229~~	~~4.6.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮住基法住基法9条2項ファイル、届書ファイルを削除すること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030512に変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.33	作業ファイル削除	修正	0030512	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、エラー履歴ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル、仮公選法通知ファイル、届書ファイル、参照戸籍ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う修正、振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030229から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~4 異動~~	~~4.7 決裁処理~~	~~4.7.26~~	~~誤処理作業ファイル削除~~	削除	~~0030230~~	~~4.6.7決裁・受付画面選択で(2:誤処理)が選択された場合、仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮住基法住基法9条2項ファイルを削除すること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030513に変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.34	誤処理作業ファイル削除	修正	0030513	4.7.7決裁・受付画面選択で(2:誤処理)が選択された場合、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、エラー履歴ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル、仮公選法通知ファイル、参照戸籍ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う修正、振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID 0030230から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~4 異動~~	~~4.7 決裁処理~~	~~4.7.27~~	~~誤処理作業ファイル削除~~	削除	~~0030231~~	~~4.6.7決裁・受付画面選択で(2:誤処理)が選択された場合、仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮住基法住基法9条2項ファイルを削除すること。~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030230と重複のため削除	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.28	エラー履歴表示		0030232	届書入力処理の法律等による審査で表示された各種メッセージ及びその応答内容を表示できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 エラー履歴一覧」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 エラー履歴一覧」、「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙7 7.2.(8)「エラー履歴表示」処理」による。		
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.29	仮戸籍表示		0030233	届書入力処理で登録された中間ファイル(仮戸籍)の内容を、決裁確認表示画面、戸籍構成員一覧(決裁)画面、個人詳細表示(決裁)画面の順に遷移して確認できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 決裁確認表示、戸籍構成員一覧(決裁)、個人詳細表示(決裁)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 決裁確認表示、戸籍構成員一覧(決裁)、個人詳細表示(決裁)」及び「別紙7 7.2.(11)「決裁」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.30	~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知表示	修正	0030234	処分決定処理で登録された仮~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知の内容を、~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知一覧画面、~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知内容画面の順に遷移して確認できること。	実装必須機能	「別紙7　7.7.(17)「関連業務」処理　画面設計書　~~9条2項~~住民票記載事項通知一覧、~~9条2項~~住民票記載事項通知内容」、「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」及び「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
4 異動	4.7 決裁処理	4.7.36	仮の振り仮名ファイル作成	新規追加	0030622	4.7.7決裁・受付画面選択で(1:決裁)が選択された場合、入籍者又は氏名の変更があった者について仮の振り仮名ファイルの作成、更新ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.1	該当除籍一覧		0030235	除籍又は除籍個人の検索入力は該当除籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。該当除籍一覧で選択された戸籍で除籍構成員一覧画面に遷移すること。 画面構成は「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.4該当戸籍一覧に準ずる。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.2	該当除籍一覧1件		0030236	除籍又は除籍個人の検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面に遷移すること。	標準オプション機能	職員の利便性による。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.3	除籍構成員一覧		0030237	該当戸籍除籍画面で選択された除籍又は検索結果が1件であった場合、除籍構成員一覧画面を表示すること。 画面構成は「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　戸籍構成員一覧」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　戸籍構成員一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能	2.2.6戸籍構成員一覧に準ずる。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.4	除籍見出し修正		0030238	除籍構成員一覧画面に表示の項目が修正できること。 又は、修正画面から見出しを修正できること。	実装必須機能	除籍見出しは除籍構成員一覧から修正を行った方が、画面展開の観点からメリットがあるが、除籍対象項目を限定する等のりゆうにより、修正画面を別途設けても構わない。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.5	除籍イメージ出力		0030239	除籍イメージを紙出力できること。	実装必須機能	イメージの訂正を紙で行う場合、若しくは訂正後のイメージを確認する目的で紙出力を行う。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.6	除籍イメージ読み込み		0030240	紙で訂正した除籍をスキャナ等でシステムに取り込みができること。 このときの登録情報は、1.3.3除籍イメージの管理に従う。	実装必須機能	紙で訂正した除籍はシステムにイメージで登録する。この場合、登録情報は標準仕様書で定められたもので登録する。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.7	除籍イメージ訂正		0030241	除籍イメージをシステムから直接訂正ができること。	標準オプション機能	イメージ管理の除籍は、システムで画像処理を実施しても構わない。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.8	受付ファイル入力		0030242	受付帳記録画面を表示し、入力すること。 受付帳が複数件ある場合は、複数件の入力ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　受付帳記録」及び「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」と同じである。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.9	受付ファイル審査		0030243	入力された項目により、単体チェック及び関連チェックを行うこと。 単体チェック完了→関連チェック完了→の順で実施すること。	実装必須機能	「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」と同じである。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.10	受付ファイル登録		0030244	受付件数から受領番号を自動付番し、受付ファイルを登録すること。 付番結果を受付帳記録画面に表示すること。	実装必須機能	付番された受領番号を届書等に記入するため、登録後に受付ファイルを表示する必要がある。 「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理」と同じである。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.11	除籍イメージ登録	訂正	0030245	更新した除籍見出しファイル、除籍イメージデータを登録できること。 ~~4.7.12~~4.8.12除籍イメージ登録決裁処理を行わない場合、番号を自動付番すること。番号を自動付番すること。 除籍が新規に作成された場合、戸籍番号を自動付番すること。 除籍で個人が追加された場合、個人番号を自動付番すること。	実装必須機能	訂正後の除籍は訂正内容を確認し文末認印を押印する校合(規則第32条)する。校合によりデータを更新することができる。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.12	除籍イメージ登録決裁処理	訂正	0030246	更新した除籍見出しファイル、除籍イメージデータを登録は、~~4.6~~4.7決裁処理での対象にできること。	標準オプション機能	電算化戸籍と同様に、除籍イメージの更新を決裁で実施しても構わない。		
4 異動	4.8 除籍イメージ訂正処理	4.8.13	除籍イメージ出力サイズの変更	新規追加	0030426	除籍イメージを紙出力する場合は、出力サイズの拡縮又は用紙サイズの変更が行えること。	標準オプション機能	イメージを紙出力する際の見易さ等を考慮する。 職員の利便性向上による。 【第2.0版】除籍イメージ訂正処理で印刷時のサイズ変更を追加		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.1	該当戸籍検索	修正	0030247	再製対象の戸籍を検索すること。 検索は2.1.2検索文字入力～2.2.3前方一致、2.2.17文字コード照会等及び2.2.18旧カナ氏名検索に準じる。	実装必須機能	再製の審査は職員が行い、その結果で再製前、再製後の戸籍ファイルを作成する。 そのため、再製対象の戸籍を検索する必要がある。 「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 再製処理は仕様が詳細に記載されていないため、要件を満たせばベンダ任意とする。 ※以降の4.9戸籍再製処理も同様である。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正 再製処理全般の内容について要件の考え方・理由に「再製処理は～」以降を追加	
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.2	該当戸籍一覧画面表示		0030248	検索結果を同画面に表示すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　該当戸籍一覧(訂正)」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.3	再製戸籍一覧画面表示	訂正	0030249	~~4.8.2~~4.9.2該当戸籍一覧画面表示で選択された戸籍を複写して、再製前と後の中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 結果を再製戸籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　回復戸籍一覧」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.4	再製原戸籍特定ファイル更新	訂正	0030250	~~4.8.3~~4.9.3再製戸籍一覧表示から、再製元の戸籍(再製原戸籍)を選択して、戸籍特定情報画面を表示し、除籍戸籍除区分の変更及び戸籍除区分(0:戸籍)の場合消除日を変更すること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍特定情報」に準ずる。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.5	再製原個人特定ファイル更新		0030251	再製元の戸籍(再製原戸籍)の個人の個人除区分(0:在籍者)を(2:戸籍消除者)に変更し、中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。 この更新は個人特定画面による入力、システムによる自動更新のどちらで行っても構わない。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　個人特定」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.6	再製戸籍構成員一覧画面表示	訂正	0030252	~~4.8.3~~4.9.3再製戸籍一覧表示から、再製後の戸籍(再製戸籍)を選択して、再製戸籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍構成員一覧」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.7	戸籍構成員一覧画面選択		0030253	処理(1:戸籍事項修正、2:身分事項修正)が選択できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.8	再製戸籍戸籍事項更新	訂正	0030254	~~4.8.7~~4.9.7戸籍構成員一覧画面選択で(1:戸籍事項修正)が選択された場合、選択された戸籍事項の戸籍事項別入力画面を表示し、修正できること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　戸籍事項別入力」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.9	再製戸籍個人詳細表示画面表示	訂正	0030255	~~4.8.7~~4.9.7戸籍構成員一覧画面選択で(2:身分事項修正)が選択された場合、該当個人で個人詳細表示画面を表示すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.10	再製戸籍身分事項別入力	訂正	0030256	~~4.8.9~~4.9.9再製戸籍個人詳細表示画面表示で選択された場合~~された場合~~、選択された身分事項の身分事項別入力画面を表示し、修正できること。 中間ファイル(仮戸籍)を更新すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 画面は「別紙5　5.10.(11)「訂正・更正・追完」処理　画面設計書　事件別入力」に準ずる。		
~~4 異動~~	~~4.9 戸籍再製処理~~	~~4.9.11~~	~~再製戸籍一括作成~~	~~削除~~	~~0030257~~	~~再製元の戸籍が滅失した場合は、4.8.2該当戸籍一覧画面表示の空画面で再製戸籍作成を選択する。 この場合、以下の手順で再製戸籍(中間ファイル(仮戸籍))を作成すること。 ・戸籍特定情報の作成→「4.5.4新戸籍編製戸籍特定情報入力」に準ずる。 ・戸籍事項の作成→「4.5.5新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示」及び「4.5.6新戸籍編製戸籍事項別入力」に準ずる。 ・個人の作成→「4.5.18戸籍構成員一覧画面選択」及び「4.5.19個人特定画面入力」に準ずる。 なお、カナ氏名、漢字氏名は旧氏名の登録ができること。 ・身分事項の作成→「4.5.28身分事項メニュー画面表示」、「4.5.29事件詳細メニュー画面表示」及び「4.5.30身分事項別入力」に準ずる。~~	~~実装必須機能~~	~~戸籍が滅失した場合は複写元の戸籍がないことから、再製後の戸籍を一から作成する必要がある。~~	~~【第2.0版】機能ID　0030589に変更~~	
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.11	再製戸籍一括作成	修正	0030589	再製元の戸籍が滅失した場合は、4.9.2該当戸籍一覧画面表示の空画面で再製戸籍作成を選択する。 この場合、以下の手順で再製戸籍(中間ファイル(仮戸籍))を作成すること。 ・戸籍特定情報の作成→「4.5.4新戸籍編製戸籍特定情報入力」に準ずる。 ・戸籍事項の作成→「4.5.5新戸籍編製戸籍事項メニュー画面表示」及び「4.5.6新戸籍編製戸籍事項別入力」に準ずる。 ・個人の作成→「4.5.18戸籍構成員一覧画面選択」及び「4.5.19個人特定画面入力」に準ずる。 なお、カナ氏名、振り仮名、漢字氏名は旧氏名の登録ができること。 ・身分事項の作成→「4.5.28身分事項メニュー画面表示」、「4.5.29事件詳細メニュー画面表示」及び「4.5.30身分事項別入力」に準ずる。	実装必須機能	戸籍が滅失した場合は複写元の戸籍がないことから、再製後の戸籍を一から作成する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	【第2.0版】機能ID　0030257から変更 システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.12	戸籍出力		0030258	再製原戸籍、再製戸籍を紙出力できること。 紙出力は戸籍事務専用として出力すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(21)「再製」処理」による。 再製処理の戸籍を確認する目的で紙出力を行う。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.13	管掌者コード付番		0030259	中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項及び身分事項が新規に作成された場合、各事項に管掌者コードを記録する。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.14	戸籍・個人番号付番		0030260	中間ファイル(仮戸籍)で再製戸籍が作成された場合、戸籍番号を自動付番すること。 中間ファイル(仮戸籍)で個人が追加された場合、個人番号を自動付番すること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」に準ずる。		
4 異動	4.9 戸籍再製処理	4.9.15	戸籍データベース登録		0030261	中間ファイル(仮戸籍)から戸籍データベースの更新を行うこと。 この処理を画面を分けて実施しても構わない。	実装必須機能	戸籍再製処理は受付ファイルを作成しないため、決裁処理で処理することはできない。		
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.1	該当除籍一覧	補記	0030262	除籍又は除籍個人の検索入力は該当除籍一覧画面から行い、検索結果は同画面に表示すること。 画面構成は「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧」を参考に、登録されているデータ項目で作成すること。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.7.1~~4.8.1該当戸籍一覧に準ずる。 再製処理は仕様が詳細に記載されていないため、要件を満たせばベンダ任意とする。 ※以降の4.10戸籍イメージ再製処理も同様である。	【第2.0版】再製処理全般の内容について要件の考え方・理由に「再製処理は～」以降を追加し、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.2	再製除籍一覧画面表示	修正	0030263	~~4.9.1~~4.10.1該当除籍一覧画面表示で選択された除籍見出しを複写して、再製前と後の中間ファイル(仮戸籍)を登録すること。 除籍イメージをシステムで処理する場合は、除籍イメージを複写して、再製前と後のイメージデータを登録すること。 除籍見出しで再製除籍一覧画面で表示すること。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.8.3~~4.9.3再製戸籍一覧画面表示に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.3	再製除籍構成員一覧画面表示	修正	0030264	~~4.9.2~~4.10.2再製除籍一覧表示から、再製後の除籍(再製除籍)を選択して、再製除籍構成員一覧画面を表示すること。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.8.6~~4.9.6再製戸籍構成員一覧画面表示に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.4	除籍見出し修正	修正	0030265	再製除籍構成員一覧画面に表示の項目が修正できること。 又は、修正画面から見出しを修正できること。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.7.4~~4.8.4除籍見出し修正に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.5	再製除籍イメージ出力	修正	0030266	再製原除籍イメージを紙出力できること。 このとき、出力サイズを任意で変更できること。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.8.5~~4.8.5除籍イメージ出力に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.6	再製除籍イメージ読み込み	修正	0030267	紙で訂正した再製原除籍及び作成した再製除籍をスキャナ等でシステムに取り込みができること。 このときの登録情報は、1.3.3除籍イメージの管理に従う。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.7.6~~4.8.6除籍イメージ読み込みに準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.7	再製除籍イメージ訂正	訂正	0030268	再製原除籍イメージ、再製除籍イメージをシステムから直接処理ができること。	標準オプション機能	~~4.7.7~~4.8.7除籍イメージ訂正に準ずる。		
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.8	再製除籍一括作成	修正	0030269	再製元の除籍が滅失した場合は、~~4.9.2~~4.10.2再製除籍一覧画面表示の空画面で再製除籍見出し作成を選択する。 この場合、以下の手順で再製除籍見出しを作成すること。 ・再製除籍見出し作成→「~~4.9.4~~4.8.4除籍見出し修正」と同様。 ・再製除籍イメージ作成→「~~4.9.6~~4.10.6再製除籍イメージ読み込み」又は「~~4.9.7~~4.10.7再製除籍イメージ訂正」に準ずる。	実装必須機能 標準オプション機能	戸籍が滅失した場合は複写元の戸籍がないことから、再製後の戸籍を一から作成する必要がある。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.9	除籍イメージ登録	修正	0030270	更新した再製除籍見出しファイル、再製原除籍イメージ、再製除籍イメージを登録できること。 再製除籍見出しが新規に作成された場合、除籍番号を自動付番すること。 再製除籍見出しで個人が追加された場合、除籍個人番号を自動付番すること。	実装必須機能 標準オプション機能	~~4.7.11~~4.8.11除籍イメージ登録に準ずる。	【第2.0版】、実装類型を「実装必須機能」から修正	
4 異動	4.10 戸籍イメージ再製処理	4.10.10	除籍イメージ出力サイズの変更	新規追加	0030427	除籍イメージを紙出力する場合は、出力サイズの拡縮又は用紙サイズの変更が行えること。	標準オプション機能	イメージを紙出力する際の見易さ等を考慮する。 職員の利便性向上による。 【第2.0版】戸籍イメージ再製処理で印刷時のサイズ変更を追加		
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.1	送付分届書等一覧ファイル作成	新規追加	0030514	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報から、送付分届書等一覧ファイルの作成ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.2	送付分届書等参考情報作成	新規追加	0030515	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報に添付の情報から、各種参考情報ファイルの作成ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.3	送付分届書等参考情報更新	新規追加	0030516	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報に添付の再送信情報から、各種参考情報ファイルの更新ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.4	送付分届書等一覧表示	新規追加	0030517	送付分届書等一覧ファイルの処理状況=1(未処理)について、送付分届書等一覧画面表示ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.5	送付分届書等一覧表示参考送付胎児認知届	新規追加	0030518	胎児認知届が父の本籍地に参考送信された場合、胎児認知届イメージを登録し、父の個人状態ファイル更新に関するメッセージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.6	送付分届書等一覧表示参考送付死産届	新規追加	0030519	胎児認知届のある父の本籍地に死産届が参考送信された場合、父の個人状態ファイル更新に関するメッセージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.7	送付分届書等一覧表示参考送付出生届	新規追加	0030520	胎児認知届のある父の本籍地に出生届が参考送信された場合、父の戸籍処理に関するメッセージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.8	送付分届書等一覧イメージ表示	新規追加	0030521	送付分届書等一覧画面から選択された届書等情報に添付のイメージを表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.9	送付分届書等一覧誤送付処理	新規追加	0030522	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報が誤送信であった場合、その旨の情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.10	送付分届書等一覧同一届書処理通番検索	新規追加	0030523	送付分届書等一覧画面において、届書処理通番が同一の情報の表示ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.11	送付分届書等一覧追完届処理不要	新規追加	0030524	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報が追完届で、追完届を基本の届と一緒に処理する場合、送信された追完届を単独で処理しない情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.12	送付分届書等一覧処理振分け	新規追加	0030525	戸籍情報連携システムから送信された届書等情報を、選択された届書入力処理又は審査結果入力処理又は訂正・更正・追完処理に振分けできること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 異動	4.11 送付分届書等振分け処理	4.11.13	送付分届書等ファイル削除	新規追加	0030526	送付分届書等一覧ファイルの処理状況=3(処理完了：決裁済)について削除ができること。	実装必須機能	9.8.2不正利用防止機能による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明										
5 証明	5.0 共通	5.0.1	証明書選択メニュー画面表示		0030271	証明書の発行は、証明書選択メニュー画面から、対象の証明書を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書選択メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書選択メニュー」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.0 共通	5.0.2	証明書マスキング機能	新規追加	0030428	各種証明書(戸籍記録事項証明書、受理証明書、除籍イメージ証明書等)の発行において、申入書等の情報を確認し、必要に応じて該当箇所をマスキングする機能を有すること。	標準オプション機能	マスキングは手作業においても実施できることから、標準オプション機能とする。 【第2.0版】証明機能に証明書マスキング機能を追加		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.1	戸籍検索	修正	0030272	5.0.1証明書選択メニュー画面で(1:全部事項・個人事項証明、2:一部事項証明、7:一部証明)が選択された場合、戸籍検索を行い対象の戸籍を検索すること。 戸籍検索は2.2.1検索機能～~~2.2.12~~2.2.18~~検索結果並べ替え~~旧カナ氏名検索を利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】第2.0版の機能追加により、機能要件の範囲を修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.2	戸籍全部事項証明書発行指定		0030273	戸籍構成員一覧画面(証明)、個人詳細表示画面(証明)から戸籍全部事項証明書の発行指定ができること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	戸籍が特定できる画面から、戸籍全部事項証明書の発行指定が行われる。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.3	戸籍全部事項証明書選択発行		0030274	該当戸籍一覧(証明)で戸籍を選択し、戸籍全部事項証明書の発行指定ができること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	標準オプション機能	構成員一覧及び個人詳細を確認して戸籍全部事項証明書の発行指定を行うことが通常であるが、その情報が確認済みであったりした場合は該当戸籍一覧で選択した戸籍から全部事項証明書の発行指定を行うことができる。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.4	戸籍個人事項証明書選択発行		0030275	戸籍構成員一覧画面(証明)、個人詳細表示画面(証明)から戸籍個人事項証明書の発行指定ができること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	戸籍の個人が特定できる画面から、戸籍個人事項証明書の発行指定が行われる。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.5	戸籍個人事項証明書複数人選択	訂正	0030276	戸籍構成員一覧画面(証明)で複数の個人を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.~~.~~10.(14) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.6	戸籍個人事項証明書全部選択	訂正	0030277	戸籍構成員一覧画面(証明)で個人全員が選択された場合、アラートを表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.~~.~~10.(14) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.7	戸籍個人事項証明書全部選択		0030278	戸籍構成員一覧画面(証明)で個人全員が選択された場合アラートを表示し、戸籍全部事項証明書に変えて証明書発行選択画面に遷移すること。	標準オプション機能	戸籍個人事項証明書として発行できないが、再処理の時間制約を考慮し戸籍全部事項証明書として発行できることを許容する。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.18	戸籍個人事項証明書同一人対応	新規追加	0030618	戸籍内に同一人が存在する場合、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)において、該当者に対して色付けや記号表示等により同一人が存在していることが分かるようにすること。	標準オプション機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による追加		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.19	戸籍個人事項証明書同一人対応	新規追加	0030619	個人事項証明書で、戸籍内に同一人が存在する者が証明の対象であり同一人全員が選択されていない場合はメッセージを表示し、一部事項証明書に種別を変更すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14) 「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.8	戸籍一部事項証明書戸籍事項選択		0030279	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍事項選択画面を表示し戸籍事項を選択できること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 戸籍事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 戸籍事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.9	戸籍一部事項証明書個人特定事項選択		0030280	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍構成員一覧画面(証明)で選択された個人の個人特定事項選択画面を表示し、個人特定事項を選択できること。 身分事項選択画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人特定事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人特定事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.10	戸籍一部事項証明書身分事項選択		0030281	戸籍一部事項証明書が選択された場合、身分事項選択画面を表示し身分事項を選択できること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 身分事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 身分事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.11	戸籍一部事項証明書全部選択	訂正	0030282	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍事項が全て選択され、該当個人の個人特定及び身分事項が全て選択された場合、アラートを表示すること。	実装必須機能	「別紙5 5.~~.~~10.(14) 「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.12	戸籍一部事項証明書全部選択	修正	~~0030282~~ 0030411	戸籍一部事項証明書が選択された場合、戸籍事項が全て選択され、該当個人の個人特定及び身分事項が全て選択された場合アラートを表示し、戸籍全部事項証明書又は戸籍個人全部事項証明書に変えて証明書発行選択画面に遷移すること。	標準オプション機能	戸籍一部事項証明書として発行できないが、再処理の時間制約を考慮し戸籍全部事項証明書又は戸籍個人事項証明書として発行できることを許容する。	【第2.0版】機能ID重複により0030282から変更	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.13	戸籍一部証明書個人特定事項選択	修正	~~0030282~~ 0030412	~~戸籍事項証明書~~戸籍一部証明書が選択された場合、戸籍構成員一覧画面(証明)で選択された個人の個人特定事項選択画面を表示し、個人特定事項を選択できること。 身分事項選択画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 個人特定事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 個人特定事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030282から変更 機能要件の証明書名称が誤っていたため修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.14	戸籍一部証明書身分事項選択	修正	0030283	~~戸籍事項証明書~~戸籍一部証明書が選択された場合、身分事項選択画面を表示し身分事項を選択できること。 証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 身分事項選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 身分事項選択」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】機能要件の証明書名称が誤っていたため修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.15	戸籍一部証明書全部選択	修正	0030284	~~戸籍事項証明書~~戸籍一部証明書が選択された場合、該当個人の個人特定及び身分事項が全て選択された場合、アラートを表示すること。 ただし、問題ない場合は証明書発行選択画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.~~.~~10.(14) 「証明書発行」処理」による。	【第2.0版】機能要件の証明書名称が誤っていたため修正	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.16	証明書発行確認画面表示		0030285	証明書発行確認画面で選択された証明書に関する情報を表示し、証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認」、「別紙7 7.2.(12) 「証明書発行」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.17	他市区町村戸籍証明書	修正	~~0030285~~ 0030413	指定都市の場合、他区の戸籍を検索でき、戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書を発行できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の戸籍を検索でき、戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書を発行できること。	標準オプション機能	平成11年1月12日民二第55号民事局長回答(指定都市)及び平成16年5月14日民一第1424号民事局長回答(認容された市区町村間)による。	【第2.0版】機能ID重複により0030285から変更	
5 証明	5.1 戸籍記録事項証明書	5.1.20	記録事項証明書発行抑止	新規追加	0030629	証明発行対象者の個人状態ファイルの注意喚起区分=1又2の場合は、選択した戸籍等を確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	「別紙5 5.10.(14)「証明書発行」処理」、「別紙7 7.2.(12)「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】証明書の発行に関する区分追加による追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.2 受付証明書	5.2.1	受付ファイル検索	修正	0030286	5.0.1証明書選択メニュー画面で(4:届書受理証明書、5:戸籍法41条証書提出の証明書、6:届書預り証明書)が選択された場合、受付ファイル検索を行い対象の受付帳を検索すること。 受付ファイル検索は2.3.1受付ファイル検索キー～~~2.3.12~~2.3.7検索結果並べ替えを利用して~~、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応~~を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書選択メニュー」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書選択メニュー」、「別紙7 7.2.(12)「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】「3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。」について、戸籍が対象であり受付帳は対象外であるため、この仕様を削除		
5 証明	5.2 受付証明書	5.2.2	受付ファイル選択表示		0030287	検索結果を受付ファイル選択画面に表示し、選択した受付帳で証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル選択」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル選択」、「別紙7 7.2.(12)「証明書発行」処理」による。		
5 証明	5.2 受付証明書	5.2.3	受付ファイル検索表示		0030288	受付ファイル選択画面で選択した受付帳で受付ファイル検索画面を表示し、証明書発行確認画面に遷移すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル検索」、「別紙7 7.2.(12)「証明書発行」処理」による。		
5 証明	~~4.6~~5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.1	証明書交付請求情報受領	訂正	0030289	戸籍手続オンラインシステムから証明書交付請求の情報を受領できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。 本来【実装必須機能】ではあるが、戸籍手続オンラインシステムの導入が決まってから構築しても構わないため、【標準オプション機能】とする。※以下同様。		
5 証明	~~4.6~~5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.2	戸籍記録事項証明書	訂正	0030290	戸籍手続オンラインシステムから取得した証明書交付請求の情報で、~~5.1.1~~5.2.1受付ファイル検索～5.2.3受付ファイル検索表示を実施して受付証明書の出力ができること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
5 証明	~~4.6~~5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.3	記録事項証明書の電子戸籍証明書	訂正	0030291	5.3.2戸籍記録事項証明書を電子戸籍証明書として作成し、戸籍手続オンラインシステムに送信できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
5 証明	~~4.6~~5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.4	受付証明書	訂正	0030292	戸籍手続オンラインシステムから取得した証明書交付請求の情報で、~~5.2.1~~5.1.1戸籍検索～5.1.16証明書発行確認画面表示を実施して戸籍記録事項証明書の出力ができること。	標準オプション機能	処理内容は、窓口に届出された届書等と同じである。		
5 証明	~~4.6~~5.3 戸籍手続オンラインシステム	5.3.5	受付証明書の電子戸籍証明書	訂正	0030293	5.3.4受付証明書を電子戸籍証明書として作成し、戸籍手続オンラインシステムに送信できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.1	除籍イメージ検索		0030294	除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書が選択された場合、除籍見出し検索を行い対象の戸籍を検索すること。 戸籍検索は2.4.1除籍イメージ検索キー～2.4.8検索結果並べ替えを利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	5.1.1戸籍検索に準ずる。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.2	該当除籍一覧画面表示		0030295	検索結果を該当除籍一覧画面で選択した除籍又は、除籍構成員一覧画面から除籍謄本(認証文有り)又は除籍(認証文無し)が印刷できること。	実装必須機能	認証文有りはそのまま除籍謄本となり、認証文無しは朱印等を押印して除籍謄本にして交付する。 また、認証文無しを切り貼り等することで除籍抄本、除籍記載事項証明書として交付できる。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.11	該当除籍一覧画面同一人対応	新規追加	0030620	戸籍内に同一人が存在する場合、除籍構成員一覧画面において、該当者に対して色付けや記号表示等により同一人が存在していることが分かるようにすること。	標準オプション機能	5.1.18戸籍個人事項証明書同一人対応に準ずる。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による追加		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.3	除籍イメージ表示	訂正	0030296	該当除籍一覧画面で選択された戸籍又は、除籍構成員一覧画面から除籍イメージを表示し、イメージを加工して除籍抄本(認証文有り)又は除籍~~一部~~記載事項証明書(認証文有り)を印刷できること。	標準オプション機能	システムでイメージの加工を行い、抄本及び記載事項証明書を発行しても構わない。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.4	他市区町村除籍謄抄本		0030297	指定都市の場合、他区の除籍見出しを検索でき、除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書を発行できること。 認容された市区町村間の場合、認容された他市区町村の除籍見出しを検索でき、除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書を発行できること。	標準オプション機能	5.1.17他市区町村戸籍証明書に準ずる。		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.5	除籍イメージ証明書発行確認	新規追加	0030600	該当除籍一覧画面で選択した情報を、証明書発行確認（除籍イメージ）画面に表示し、除籍等イメージの証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 証明書発行確認」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 証明書発行確認」、「別紙7 7.2.(12)「証明書発行」処理」に準ずる。 【第2.0版】5.1.16の仕様に準じて追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.6	除籍イメージメッセージ表示	新規追加	0030601	除籍見出しの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、除籍を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	発行確認区分の設定により除籍を確認する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.7	除籍イメージ発行抑止	新規追加	0030602	除籍見出しの発行抑止区分=1又2の場合は、除籍を確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	発行抑止区分の設定により謄抄本の発行を抑止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.8	除籍イメージ認証文設定	新規追加	0030603	選択された除籍等により、認証文をシステムが設定できること。	実装必須機能	除籍、改製原戸籍等、除籍の種別又は、謄本抄本等により認証文をシステムが設定することで誤った認証文の設定を防止する必要がある。 【第2.0版】認証文設定の仕様を明記	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.9	除籍イメージ認証文変更	新規追加	0030604	システムが設定した認証文を、職員が変更できること。	標準オプション機能	システムが認証文の設定を判断できない場合は、メッセージを表示し認証文を職員が選択する場合がある。 【第2.0版】認証文変更の仕様を明記		
5 証明	5.4 除籍謄抄本	5.4.10	除籍イメージ認証文確認	新規追加	0030605	除籍見出しの発行確認区分=A又はBの場合は、認証文を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	福岡戸籍は対象が少なくまた認証文が異なるため、認証文を確認するメッセージを表示する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.5 改製不適合戸籍謄抄本	5.5.1	改製不適合戸籍検索	修正	0030298	改製不適合戸籍の除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書は、~~5.3.1~~5.4.1除籍イメージ検索～~~5.3.3~~5.4.3除籍イメージ表示に準ずる。	標準オプション機能	職員の利便性向上による。 【第2.0版】改製不適合には除籍は存在しないため、機能要件の除籍謄本、除籍抄本、除籍記載事項証明書から「除籍」を削除		
5 証明	5.6 証明書統計	5.6.1	証明書統計処理		0030299	発行した証明書について、統計ファイルを更新できること。	標準オプション機能	証明書の出力と交付が一致しない場合もあるため標準オプション機能とする。一致しない場合だけ統計処理で更新することで、職員負荷の軽減につながる。		
5 証明	5.7 証明書共通	5.7.1	文字溢れ対応	修正	0030300	システムから出力される証明書等の出力項目に文字溢れが発生した場合は、文字の大きさの調整や別紙等するなどして、全ての文字が出力されること。	実装必須機能	~~戸籍関係証明書~~戸籍記録事項証明書には文字溢れは発生しないが、~~受理証明書等受付証明書は要旨において~~文字溢れが発生する~~場合がある~~証明書には対応が必要である。	【第2.0版】要件の考え方・理由に、受付証明書の要旨に文字溢れが発生するとしていたが、要旨は手書き対応であることから、その記載を削除	
5 証明	5.7 証明書共通	5.7.2	公用表示		0030301	証明書に「公用」の表示（印字）ができること。	実装必須機能	公用請求若しくは内部調査等において、証明書を印刷する場合に公用の表示が必要になる。なお、戸籍記録事項証明書の場合は戸籍事務専用帳票を用いることができる。		
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.1	副本戸籍検索	新規追加	0030550	5.0.1証明書選択メニュー画面で(7:広域交付戸籍証明書等)が選択された場合、副本戸籍検索を行い対象の副本を検索すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.2	広域交付戸籍証明書等発行確認	新規追加	0030551	該当戸籍一覧(副本・証明)で戸籍副本を選択した情報を、証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）画面に表示し、広域交付戸籍証明書（電算化戸籍、電算化除籍、イメージ除籍、イメージ改製原戸籍）の証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行」処理_証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.3	広域交付戸籍証明書等交付履歴の管理	新規追加	0030552	交付した広域交付戸籍証明書等の発行履歴を管理できること。	標準オプション機能	I.6.20交付履歴の管理に準ずる。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.4	広域交付戸籍証明書等メッセージ表示	新規追加	0030606	副本の除籍見出しの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	発行確認区分の設定内容について、本籍地市区町村に確認する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.5	広域交付戸籍証明書等発行抑止	新規追加	0030607	副本の除籍見出しの発行抑止区分=1又2の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	発行抑止区分の設定内容について本籍地市区町村への確認、及び謄抄本の発行を抑止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.6	広域交付戸籍証明書等認証文設定	新規追加	0030608	選択された副本等により、認証文をシステムが設定できること。	実装必須機能	除籍、改製原戸籍等、除籍の種別又は、謄本抄本等により認証文をシステムが設定することで誤った認証文の設定を防止する必要がある。 【第2.0版】認証文設定の仕様を明記	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.7	広域交付戸籍証明書等認証文変更	新規追加	0030609	システムが設定した認証文を、職員が変更できること。	標準オプション機能	システムが認証文の設定を判断できない場合は、メッセージを表示し認証文を職員が選択する場合がある。 【第2.0版】認証文変更の仕様を明記		
5 証明	5.8 広域交付戸籍証明書等	5.8.8	広域交付戸籍証明書等認証文確認	新規追加	0030610	副本の除籍見出しの発行確認区分=A又はBの場合は、認証文を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	福岡戸籍は対象が少なくまた認証文が異なるため、認証文を確認するメッセージを表示する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.1	副本戸籍検索	新規追加	0030554	5.0.1証明書選択メニュー画面で(8:戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書)が選択された場合、副本戸籍検索を行い対象の副本(非本籍人又は本籍人)を検索すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・証明)」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行」処理」による。 ※本籍人の戸籍電子証明書等の作成は戸籍副本検索で該当者を特定する。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.2	戸籍電子証明書等発行確認	新規追加	0030555	該当戸籍一覧(副本・証明)で戸籍副本を選択した情報を、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面に表示し、戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の証明書印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（戸籍電子証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（戸籍電子証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)　「証明書発行_証明書発行確認(戸籍電子証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.3	戸籍電子証明書等交付履歴の管理	新規追加	0030556	交付した戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の発行履歴を管理できること。	標準オプション機能	1.6.20交付履歴の管理に準ずる。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.4	戸籍電子証明書等メッセージ表示	新規追加	0030610	副本の除籍見出しの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	発行確認区分の設定内容について、本籍地市区町村に確認する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.5	戸籍電子証明書等発行抑止	新規追加	0030611	副本の除籍見出しの発行抑止区分=1又2の場合は、本籍地市区町村に確認するメッセージを表示し、発行を抑止すること。	実装必須機能	発行抑止区分の設定内容について本籍地市区町村への確認、及び謄抄本の発行を抑止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.6	戸籍電子証明書等認証文設定	新規追加	0030612	選択された副本等により、認証文をシステムが設定できること。	実装必須機能	除籍、改製原戸籍等、除籍の種別又は、謄本抄本等により認証文をシステムが設定することで誤った認証文の設定を防止する必要がある。 【第2.0版】認証文設定の仕様を明記	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.7	戸籍電子証明書等認証文変更	新規追加	0030613	システムが設定した認証文を、職員が変更できること。	標準オプション機能	システムが認証文の設定を判断できない場合は、メッセージを表示し認証文を職員が選択する場合がある。 【第2.0版】認証文変更の仕様を明記		
5 証明	5.9 戸籍電子証明書等	5.9.8	戸籍電子証明書等認証文確認	新規追加	0030614	副本の除籍見出しの発行確認区分=A又はBの場合は、認証文を確認するメッセージを表示すること。	実装必須機能	福岡戸籍は対象が少なくまた認証文が異なるため、認証文を確認するメッセージを表示する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.1	受付検索	新規追加	0030558	5.0.1証明書選択メニュー画面で(9:届書等情報内容証明書等)が選択された場合、受付検索を行い対象の受付ファイルを検索すること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　受付検索」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　受付検索」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.2	届書イメージ等表示	新規追加	0030559	5.10.1受付検索から証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に遷移し、届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.3	申入書イメージ表示	新規追加	0030560	該当の受付ファイルに申入書がある場合、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に申入書イメージの表示ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.4	届書等情報内容証明書等発行確認	新規追加	0030561	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に表示された、届書等情報内容証明書等の発行対象を取捨選択できること。	標準オプション機能	「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書_届書等情報内容証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.5	届書等情報内容証明書等発行確認	新規追加	0030562	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に表示された、届書等情報内容証明書等について証明書の印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.6	届書等情報内容証明書等発行確認	新規追加	0030563	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面に表示された、届書等情報内容証明書等について閲覧用帳票の印刷ができること。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）」、「別紙7　7.2.(12)「証明書発行_証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
5 証明	5.10 届書等情報内容証明書等	5.10.7	届書等情報内容証明書等交付履歴の管理	新規追加	0030564	交付した届書等情報内容証明書若しくは、届書等情報内容閲覧用帳票の発行履歴を管理できること。	標準オプション機能	1.6.20交付履歴の管理に準ずる。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新										
6 ファイル更新	6.0 共通	6.0.1	戸籍検索		0030302	戸籍検索を行い対象の戸籍を検索すること。 戸籍検索は2.2.1検索機能～2.2.12検索結果並べ替えを利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 該当戸籍一覧(証明)、戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。		
6 ファイル更新	6.0 共通	6.0.2	受付帳検索	修正	0030303	受付帳検索を行い対象の受付帳を検索すること。 受付帳検索は2.3.1受付検索キー～2.3.8関連受領番号表示を利用~~し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行う~~すること。	実装必須機能	「別紙5 5.5.(2) 画面設計書 受付ファイル選択、受付ファイル検索」、「別紙5 5.5.(3) 画面項目一覧表 受付ファイル選択、受付ファイル検索」及び「別紙7 7.2.(2) 検索処理 受付ファイル選択表示」による。 【第2.0版】機能要件から不要である「3.1.1異動・発行・照会抑止の対応をすること」を削除		
6 ファイル更新	6.0 共通	6.0.3	除籍イメージ検索	訂正	0030304	除籍見出し検索を行い対象の除籍イメージを検索すること。 ~~受付帳~~除籍イメージ検索は2.4.1除籍イメージ検索キー～2.4.8検索結果並べ替えを利用し、及び3.1.1異動・発行・照会抑止の対応を行うこと。	実装必須機能	6.0.1戸籍検索に準ずる。		
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.1	操作者限定		0030305	戸籍データベース更新は、操作者のパスワード入力を行うなど、処理資格者であることを確認すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.2	戸籍特定項目修正	補記	0030306	戸籍特定ファイルの編製日、改製日、回復日、消除日、戸籍除区分、戸籍異動区分の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.3	戸籍事項事件発生日修正	補記	0030307	戸籍事項ファイルの事件発生日の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
~~6 ファイル更新~~	~~6.1 戸籍データベース更新~~	~~6.1.4~~	~~個人特定項目修正~~	~~削除~~	~~0030308~~	~~個人特定ファイルの編製日、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、個人除区分、審査不可区分の修正が行えること。 なお、配偶者区分は(3:生存配偶者)から(0:未)への修正だけとすること~~	~~実装必須機能~~	~~「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030621に変更	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.4	個人特定項目修正	修正	0030621	個人特定ファイルの編製日、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、個人除区分、同一戸籍内前個人番号、同一戸籍内後個人番号、審査不可区分の修正が行えること。 なお、配偶者区分は(3:生存配偶者)から(0:未)への修正だけとすること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。 【第2.0版】個人事項証明書の仕様変更による修正	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.5	カナ氏名修正	補記	0030309	氏名ファイルのカナ氏名の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.6	身分事項事件発生日修正	補記	0030310	身分事項ファイルの事件発生日の修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象となる。	【第2.0版】で要件の考え方・理由に「戸籍原簿としての～」以降を追加	
6 ファイル更新	6.1 戸籍データベース更新	6.1.7	変更履歴ファイル作成		0030311	戸籍データベース更新で更新した項目について、戸籍データベース変更履歴ファイルに登録すること。	実装必須機能 標準オプション機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】変更履歴ファイルが任意であることから実装類型を「実装必須機能」から変更		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.1	不受理申出ファイル更新画面入力		0030312	不受理申出ファイル更新画面を表示し、新規入力、登録済項目修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.2	複数処理		0030313	不受理申出ファイルを複数保持している場合は、その全てを更新対象にできること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.3	不受理申出ファイル更新		0030314	不受理申出ファイルの追加、変更、削除が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.4	不受理申出情報更新イメージ作成	新規追加	0030527	不受理申出ファイルのイメージ登録ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.5	不受理申出情報更新イメージ取得	新規追加	0030528	他市区町村から異動した場合、不受理申出イメージを副本戸籍検索で異動前戸籍から取得できること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムの運用において、不受理申出イメージを異動前戸籍から取得する運用になる。 「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.6	不受理申出情報更新イメージ更新	新規追加	0030529	不受理申出ファイルの修正があった場合は、イメージ更新ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.7	不受理申出情報更新イメージ更新	新規追加	0030530	不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達 第6-1-(9)-ウ 別紙7の3の様式を作成し、これをイメージデータとして不受理申出イメージ情報に貢追加できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.8	不受理申出情報更新イメージ更新	新規追加	0030531	不受理申出に対して申入書が出された場合、これをイメージデータとして不受理申出イメージ情報の先頭頁に追加できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.9	不受理申出情報更新表示	新規追加	0030532	不受理申出にイメージ情報、補正情報が登録されている場合、その情報が表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13) 「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.10	不受理申出情報更新補正情報作成	新規追加	0030533	不受理申出情報に補正が必要な場合、補正情報を作成・更新できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.11	不受理申出情報更新補正イメージ作成	新規追加	0030534	6.2.4不受理申出情報更新補正情報作成で作成・更新した補正情報のイメージ登録ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.2 不受理申出ファイル更新	6.2.12	不受理申出情報更新イメージ表示	新規追加	0030535	不受理申出にイメージ情報が登録されている場合、イメージ表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.1	個人状態ファイル更新画面入力		0030315	個人状態ファイル更新画面を表示し、各項目及びメモの入力及び修正が行えること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.2	個人状態ファイル更新		0030316	個人状態ファイルの登録、変更が行えること。 個人状態ファイルの各項目が全て(0:無)及びメモが空欄の場合、個人状態ファイルを削除すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.3	胎児認知届イメージ取得	新規追加	0030536	他市区町村から異動において胎児認知区分=1(有)の場合、胎児認知届イメージを副本戸籍検索で異動前戸籍から取得できること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムの運用において、胎児認知届イメージを異動前戸籍から取得する運用になる。 「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.3 個人状態ファイル更新	6.3.4	胎児認知届イメージ表示	新規追加	0030537	胎児認知区分=1(有)の場合、胎児認知届イメージの表示ができること。	実装必須機能	戸籍情報連携システムの運用において、胎児認知届イメージを異動前戸籍から取得する運用になる。 「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.1	便宜訂正更新		0030317	処分及び戸籍の記録内容の変わらない軽微些細な受付ファイルの記録誤りの修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.2	受理処分の撤回更新		0030318	送付先から不受理が相当と判断され、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの処分を「受理」から「受理処分の撤回」に修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.3	本籍不分明更新		0030319	送付先において該当者が確定できずに本籍不明とされ、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの本籍欄を「不詳」に修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.4	発日、発送日更新		0030320	照会をする場合における発日、届書送付をする場合における発送日の入力、修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.5	関連受領番号更新		0030321	特定の受付ファイルに対して、関連する受付ファイルの受領番号(関連受領番号)の入力、修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.6	受理後の処理照会更新		0030322	受理処分を行ったが、戸籍の記録方法等が不明確で処理照会を行う場合、処分区分を「受理」から「処理照会」に変更し、発日入力ができること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.7	送達確認区分更新	訂正	0030323	届書等の送達が確認できた場合で、受付ファイルの~~送達区分~~送達確認を「未到着」から「到着済」に修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.8	受付ファイル更新		0030324	受付帳の記載項目ではなく、システムで使用される項目の修正ができること。 この場合、修正前の記録を履歴とせず上書き保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.9	本籍地変更後の届出更新		0030325	届書等の受理後に本籍地の変更が明らかになった場合、受付ファイルで修正を必要とする項目が修正できること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.10	本非区分更新		0030326	胎児認知届後の出生届により、胎児認知届の受付ファイルの本非区分が変更となる場合に、本非区分が修正できること。 この場合、修正前の記録を履歴として保存すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.11	決裁前受付ファイル欠番処理		0030327	決裁前の受付ファイルを欠番にすることができること。 処分決定前は履歴を作成せず、処分決定後は履歴を作成すること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(20)「受付ファイル欠番」処理」による。		
6 ファイル更新	6.4 受付ファイル更新	6.4.12	決裁後受付ファイル欠番処理		0030328	決裁後の受付ファイルを欠番にすることができること。 戸籍記録がされた受付ファイルは欠番処理ができないため、本非区分が本籍の場合はアラートを表示するなどの選択回避機能を設ける	実装必須機能	「別紙7 7.2.(20)「受付ファイル欠番」処理」による。		
~~6 ファイル更新~~	~~6.5 除籍更新~~	~~6.5.1~~	~~除籍見出し更新~~	削除	~~0030329~~	~~画像劣化等に伴う再登録等、訂正等によらない除籍イメージを登録又は更新できること。~~	実装すべき機能	~~該当イメージファイルの置き換えだけでも対応ができるが、戸籍情報システムで修正前、修正後のイメージを確認して置き換える機能が必要である。~~	【第2.0版】機能ID 0030429に変更	
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.1	除籍見出し更新	修正	0030429	訂正等によらない除籍見出しを登録又は更新できること。	実装必須機能	編製日等の登録誤り等により修正する場合がある。 【第2.0版】画像劣化が発生しないことから、機能要件から「画像劣化等に伴う再登録等、」を削除	【第2.0版】機能ID 0030329から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.3	除籍見出し更新	新規追加	0030597	イメージ除籍等の証明発行時において、注意を促す区分の設定ができること。	実装必須機能	イメージ除籍等の謄抄本発行において、発行時に除籍を確認して発行の審査を行う場合や、福岡戸籍に対して認証文の変更を行う必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.4	除籍見出し更新	新規追加	0030598	イメージ除籍等の証明発行時において、発行を抑止する区分の設定ができること。	実装必須機能	イメージ除籍等の謄抄本発行において、発行抑止を行う場合がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.5	除籍見出し更新	新規追加	0030599	イメージ除籍等を戸籍副本管理システムに送信しない区分の設定ができること。	実装必須機能	イメージ除籍等でイメージ登録の申請未了等、副本管理システムに送信できない場合がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.6	除籍見出し更新	新規追加	0030632	除籍(改製原除籍等を含む)内の個人に同一人がいる場合は、戸籍内同一人区分を設定すること。	実装必須機能	除籍等の抄本出力において、同一人の選択漏れを防止する必要がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~6 ファイル更新~~	~~6.5 除籍更新~~	~~6.5.2~~	~~除籍イメージ更新~~	削除	~~0030330~~	~~画像劣化等に伴う再登録等、訂正等によらない除籍イメージを登録又は更新できること。~~	~~実装すべき機能~~	~~該当イメージファイルの置き換えだけでも対応ができるが、戸籍情報システムで修正前、修正後のイメージを確認して置き換える機能が必要である。~~	【第2.0版】機能ID 0030430に変更	
6 ファイル更新	6.5 除籍更新	6.5.2	除籍イメージ更新	修正	0030430	訂正等によらない除籍イメージを登録又は更新できること。	実装必須機能	イメージの確認等により、再登録する場合がある。 【第2.0版】画像劣化が発生しないことから、機能要件から「画像劣化等に伴う再登録等、」を削除	【第2.0版】機能ID 0030330から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.6 受領番号確保	6.6.1	受付ファイル作成		0030331	作成する受付ファイルの件数を指定し、番号取得ファイルから最新の受領番号を取得して受付ファイルを新規作成できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(14)「受領番号確保」処理」による。		
~~6 ファイル更新~~	~~6.6 受領番号確保~~	~~6.6.2~~	~~受付ファイル作成~~	削除	~~0030332~~	~~受領番号を取得して受付ファイルを新規作成する場合、任意の受領番号を指定して作成すること。~~	~~実装しない機能~~	~~「別紙7 7.2.(14)「受領番号確保」処理」による。~~	【第2.0版】003331の機能要件に反することにより削除	
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.1	本人届出確認台帳検索キー		0030333	本人届出確認台帳ファイルの検索キーは受領番号、受付事件コード、受付日、処分区分、台帳対象区分である。 受付日は範囲指定ができること。	標準オプション機能	本人届出確認台帳をシステムで管理せず台帳で管理する場合もあることから、標準オプション機能とする。※以降も同様。 「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.2	本人届出確認台帳検索		0030334	本人届出確認台帳検索画面から検索を行い、検索結果は同画面に表示すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理 補足説明書」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.3	本人届出確認台帳更新		0030335	本人届出確認台帳検索画面で選択した本人届出確認台帳を本人届出確認台帳表示・更新画面に表示し、情報の更新ができること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理 補足説明書」による。		
6 ファイル更新	6.7 本人届出確認台帳ファイル管理	6.7.4	本人届出確認通知作成	修正	~~0030335~~ 0030414	更新した本人届出確認台帳から、本人届出確認通知書が出力できること。 帳票レイアウトは、平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知の別紙を参照して作成すること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(22) 本人届出確認台帳管理」による。	【第2.0版】機能ID重複により0030335から変更	
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.1	不受理処分整理簿検索		0030337	不受理処分整理簿の検索は、6.0.2受付帳検索に準ずる。	標準オプション機能	不受理処分整理簿をシステムで管理せず台帳で管理する場合もあることから、標準オプション機能とする。※以降も同様。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.2	不受理処分ファイル		0030338	不受理処分ファイルで管理する項目は以下のとおりである。 受領番号、返戻年月日、不受理処分決定日、不受理の理由。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.3	不受理処分ファイル作成・更新		0030339	不受理処分ファイルの作成、更新ができること。 なお、不受理処分ファイルの作成は、受付ファイルの処分区分が「不受理」又は「受理処分の撤回」に限ること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.4	不受理処分整理簿出力		0030340	不受理処分整理簿の出力ができること。 不受理処分整理簿の出力範囲は1年を超えない範囲で任意指定ができること。	標準オプション機能	不受理処分整理簿として台帳保管するため、不受理処分ファイルから不受理処分整理簿の出力が必要となる。 暦年管理の台帳であるため、1年を超えない範囲で月、年単位等での出力を行うが、出力はバッチによる一括出力での対応も可とする。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.8 不受理処分整理簿ファイル管理	6.8.5	不受理証明書		0030341	不受理証明書の出力ができること。	標準オプション機能	不受理証明書は規則第66条及び規則附録第20号書式による。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.1	戸籍検索	修正	0030342	6.0.1戸籍検索に準ずること。	実装必須機能 標準オプション機能	行政区画・土地名称変更は受付ファイルを作成せず、戸籍事項を作成するところが6.1戸籍データベース更新と異なる。 「別紙7 7.2.(19)「行政区画土地の名称変更」処理」による。	【第2.0版】オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.2	戸籍データベース更新	修正	0030343	新本籍、更正日、更正事由を入力して、戸籍データベース更新を行うことができること。 更正事由のコード化は任意とする。	実装必須機能 標準オプション機能	行政区画・土地名称変更は受付ファイルを作成せず、戸籍事項を作成するところが6.1戸籍データベース更新と異なる。 「別紙7 7.2.(19)「行政区画土地の名称変更」処理 補足説明書」による。	【第2.0版】オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.3	戸籍附票連携データ作成	修正	0030344	6.9.2戸籍データベース更新の異動情報で戸籍附票連携データを作成すること。	実装必須機能 標準オプション機能	4.7決裁処理に準ずる。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。	【第2.0版】オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.4	公選法~~30条の13第1項~~通知ファイル作成	修正	0030345	4.7.18戸籍附票データ取得～4.7.19公選法~~30条の13第1項~~通知ファイル作成に準じて、公職選挙法第~~30条の13第1項~~通知ファイルを作成すること。	実装必須機能 標準オプション機能	4.7決裁処理に準ずる。	【第2.0版】公選法30条の13第1項通知を公選法通知に名称変更 オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.5	~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知連携データ作成	修正	0030346	~~4.7.21~~4.7.20~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知連携データ作成に準じて、~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知連携データを作成すること。	実装必須機能 標準オプション機能	4.7決裁処理に準ずる。 作成されたデータは他の標準準拠システム等への連携により連携される。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更 オンラインによる更新は必須でないため実装類型を「実装必須機能」から修正	
~~6 ファイル更新~~	~~6.9 行政区画・土地の名称変更~~	~~6.9.6~~	~~除籍イメージ検索~~	削除	~~0030347~~	~~6.0.3除籍イメージ検索に準ずること。~~	実装すべき機能	~~行政区画・土地名称変更は受付ファイルを作成せず、除籍見出し及び除籍イメージを更新する。~~	【第2.0版】行政区画・土地の名称変更は除籍イメージには影響しないため、本要件を削除	
~~6 ファイル更新~~	~~6.9 行政区画・土地の名称変更~~	~~6.9.7~~	~~除籍見出し更新~~	削除	~~0030348~~	~~除籍見出しデータを修正し更新できること。~~	実装すべき機能	~~行政区画・土地名称変更は受付ファイルを作成せず、除籍見出し及び除籍イメージを更新する。~~	【第2.0版】行政区画・土地の名称変更は除籍イメージには影響しないため、本要件を削除	
~~6 ファイル更新~~	~~6.9 行政区画・土地の名称変更~~	~~6.9.8~~	~~除籍イメージ更新~~	削除	~~0030349~~	~~4.8.5除籍イメージ出力～4.8.7除籍イメージ訂正に準じて、除籍イメージの更新が行えること。~~	実装すべき機能	~~除籍イメージの更新は、システムから直接訂正する処理と紙戸籍を訂正して読み込んだファイルを置き換える方法がある。~~	【第2.0版】行政区画・土地の名称変更は除籍イメージには影響しないため、本要件を削除	
6 ファイル更新	6.9 行政区画・土地の名称変更	6.9.9	改製不適合戸籍更新	修正	0030350	改製不適合戸籍がテキストデータで管理されている場合は、6.9.1戸籍検索～~6.9.8~~6.9.5~~住基法9条2項連携データ作成~~住民票記載事項通知連携データ作成に準じて更新すること。 改製不適合戸籍がイメージで管理されている場合は、~~6.9.7除籍イメージ検索～6.9.9~~8除籍イメージ更新2.4　除籍イメージ検索、6.5.1除籍見出し更新、6.5.2除籍イメージ更新に準じて更新すること。	標準オプション機能	改製不適合戸籍の更新も戸籍又は除籍イメージに準じて更新する。	【第2.0版】参照機能の削除により修正	
6 ファイル更新	6.10 ~~住基法第9条第2項~~住民票記載事項通知ファイル変更	6.~~1~~0.1	~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイル作成	修正	0030351	4.4審査結果入力処理、4.5訂正・更正・追完処理、6.9行政区画・土地の名称変更等において、~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイルが作成されない処理に対して、~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイルの作成ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(17)「関連業務」処理」及び「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
6 ファイル更新	6.10 ~~住基法第9条第2項~~住民票記載事項通知ファイル変更	6.~~1~~0.2	~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイル検索	修正	0030352	作成済みの~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイルの検索ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(17)「関連業務」処理」及び「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
6 ファイル更新	6.10 ~~住基法第9条第2項~~住民票記載事項通知ファイル変更	6.~~1~~0.3	~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイル更新	修正	0030353	6.10.2_~~9条2項~~住民票記載事項通知ファイル検索から該当のデータを表示し、9条2項ファイルを更新できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(17)「関連業務」処理」及び「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
6 ファイル更新	6.11 公選法通知ファイル変更	6.11.1	公選法通知ファイル作成	新規追加	0030449	4.4審査結果入力処理、4.5訂正・更正・追完処理、6.9行政区画・土地の名称変更等において、公選法通知ファイルが作成されない処理に対して、公選法通知ファイルの作成ができること。	実装必須機能	6.10　住民票記載事項通知ファイル変更に準ずる。 【第2.0版】在外選挙人名簿及び在外投票人名簿に変更があった場合の通知が必須となったため追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.11 公選法通知ファイル変更	6.11.2	公選法通知ファイル検索	新規追加	0030450	作成済みの公選法通知検索ができること。	実装必須機能	6.10　住民票記載事項通知ファイル変更に準ずる。 【第2.0版】在外選挙人名簿及び在外投票人名簿に変更があった場合の通知が必須となったため追加		
6 ファイル更新	6.11 公選法通知ファイル変更	6.11.3	公選法通知ファイル更新	新規追加	0030451	6.11.2公選法通知_ファイル検索から該当のデータを表示し、公選法通知ファイルを更新できること。	実装必須機能	6.10　住民票記載事項通知ファイル変更に準ずる。 【第2.0版】在外選挙人名簿及び在外投票人名簿に変更があった場合の通知が必須となったため追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.1	届書等情報表示	新規追加	0030540	2.3受付検索を行い、届書等情報更新画面が表示できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.2	届書等情報イメージ表示	新規追加	0030541	届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージの表示ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.3	届書等情報更新	新規追加	0030542	届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正情報、届書補正イメージの更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.12.4	届書処理通番情報更新	新規追加	0030543	届書処理通番ファイルの追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.13.1	送付先市区町村情報表示	新規追加	0030544	2.3受付検索を行い、送付先市区町村情報更新が表示できること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_送付先市区町村情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.12 届書等情報ファイル更新	6.13.2	送付先市区町村情報更新	新規追加	0030545	送付先情報の追加、更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_送付先市区町村情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 ファイル更新	6.14 申入書ファイル更新	6.14.1	申入書情報選択表示	新規追加	0030546	2.3受付検索を行い、申入書情報選択画面が表示できること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報選択」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.14 申入書ファイル更新	6.14.2	申入書情報更新情報作成・更新	新規追加	0030547	6.12.1申入書情報選択表示の選択情報により、申入書情報の登録、更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.14 申入書ファイル更新	6.14.3	申入書情報更新イメージ作成・更新	新規追加	0030548	申入書情報のイメージ登録、更新、削除ができること。	実装必須機能	「別紙7 7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
6 ファイル更新	6.15 振り仮名のお知らせファイル	6.15.1	情報更新	新規追加	0030625	8.3振り仮名のお知らせで抽出したデータの更新、削除が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、国民に仮の振り仮名を通知する必要がある。 通知の日までに抽出者に異動等があった場合にデータ更新する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
7 統計										
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.1	統計ファイル検索	訂正	0030354	統計ファイルは、年、月、日等の単位で検索できること。	実装必須機能	戸籍届書の統計は~~5.7~~4.7決裁で更新され、証明書の統計は5.6証明書統計で更新される。 上記で更新される項目も含め、事件表として出力する項目について更新が必要になる。 「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　事件表」及び「別紙7　7.2.(16)「統計」処理」による。		
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.2	統計ファイル更新		0030355	統計ファイルは日単位での更新ができること。 累積データ(週計、月計等)での更新も可とする。	実装必須機能	「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　事件表」及び「別紙7　7.2.(16)「統計」処理」による。		
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.3	事件表出力		0030356	年単位の事件表の出力ができること。	実装必須機能	標準準則第21条第2項のとおり、管轄法務局への事件数の報告は、付録第18号様式による。 「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　事件表」及び「別紙7　7.2.(16)「統計」処理」による。		
7 統計	7.1 統計ファイル作成	7.1.4	事件表出力内部帳票		0030357	週単位、月単位等、期間を任意に指定して事件表の出力ができること。	標準オプション機能	内部帳票として事件表出力が必要な場合は、期間を任意に指定して出力できるものとする。 「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　事件表」及び「別紙7　7.2.(16)「統計」処理」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
8 一括処理										
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.1	高齢者消除抽出		0030358	基準日を設けて、高齢者消除対象者を抽出できること。 なお、高齢者消除対象者の住所については、戸籍附票システムから取得すること。	実装必須機能	高齢者消除対象者について、管轄法務局に申請するための対象者抽出を行う。 「別紙7　7.2.(18)「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.2	高齢者消除該当一覧出力		0030359	高齢者消除対象者の該当一覧表を出力できること。	実装必須機能	内部調査のため、該当一覧の出力が必要になる。 「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　高齢者消除」及び「別紙7　7.2.(18)「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.3	高齢者消除申請書出力		0030360	高齢者消除に対する戸籍記載許可申請書を出力できること。	実装必須機能	管轄法務局に申請する戸籍記載許可申請書の出力が必要になる。 「別紙5　5.6.(2)　帳票設計書　高齢者消除」及び「別紙7　7.2.(18)「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.4	高齢者消除処理		0030361	高齢者消除が許可された者について、4.4審査結果入力処理及び4.7決裁処理で処理が行えること。	実装必須機能	管轄法務局から許可された者について、戸籍処理が必要になる。 「別紙7　7.2.(18)「一括」処理」による。		
8 一括処理	8.1 高齢者消除	8.1.5	高齢者消除バッチ処理		0030362	8.1.4高齢者消除処理をバッチ処理で行えること。	標準オプション機能	管轄法務局から許可された者について、戸籍処理をバッチで実行しても構わない。 「別紙7　7.2.(18)「一括」処理」による。		
~~8 一括処理~~	~~8.2 行政区画土地名称変更~~	~~8.2.1~~	~~行政区画土地名称変更バッチ処理~~	削除	~~0030363~~	~~6.9行政区画・土地の名称変更の処理をバッチ処理で行えること。 ただし、除籍イメージ及び改製不適合戸籍イメージのバッチ処理は任意とする。~~	実装すべき機能	~~行政区画・土地の名称変更処理は、件数が多い場合オンライン更新よりもバッチ更新が適している。 イメージの更新はファイル名で一括更新が可能であるが、1件1件確認しながら登録する運用もあるため、イメージのバッチ処理は任意とする。~~	【第2.0版】機能ID　0030431に変更	
8 一括処理	8.2 行政区画土地名称変更	8.2.1	行政区画土地名称変更バッチ処理	修正	0030431	6.9行政区画・土地の名称変更の処理をバッチ処理で行えること。 ただし、改製不適合戸籍イメージのバッチ処理は任意とする。	実装必須機能	行政区画・土地の名称変更処理は、件数が多い場合オンライン更新よりもバッチ更新が適している。 イメージの更新はファイル名で一括更新が可能であるが、1件1件確認しながら登録する運用もあるため、イメージのバッチ処理は任意とする。 【第2.0版】行政区画・土地の名称変更は除籍イメージには影響しないため、機能要件から削除	【第2.0版】機能ID　0030363から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.3 振り仮名のお知らせ	8.3.1	データ抽出	新規追加	0030623	市区町村が指定する日で、振り仮名のお知らせ対象のデータを抽出できること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、国民に仮の振り仮名を通知する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.3 振り仮名のお知らせ	8.3.2	仮の振り仮名追加	新規追加	0030624	8.3.1データ抽出において抽出したデータに、仮の振り仮名を住基ネットから取得して設定できること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、国民に仮の振り仮名を通知する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.4 振り仮名の職権記録	8.4.1	職権記録対象者一覧	新規追加	0030626	振り仮名の届をしていない者について、市区町村が指定する日で対象者一覧の作成が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、振り仮名の届をしていない者について振り仮名を職権記録する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.4 振り仮名の職権記録	8.4.2	戸籍記載書作成	新規追加	0030627	8.4.1職権記録対象者一覧の対象者で、市区町村が指定した対象者で戸籍記載書の作成が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、振り仮名の届をしていない者について振り仮名を職権記録する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
8 一括処理	8.4 振り仮名の職権記録	8.4.3	職権記録処理	新規追加	0030628	8.4.1職権記録対象者一覧の対象者で、市区町村が指定した対象者で受付ファイルの作成、戸籍の記録、戸籍副本管理システム送信用データの作成、戸籍情報連携システム送信用データの作成が行えること。	実装必須機能	振り仮名の法制化により、振り仮名の届をしていない者について振り仮名を職権記録する必要がある。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携										
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.1	戸籍ファイル送信		0030364	戸籍データベースが更新された場合、更新された戸籍データ及び全部事項イメージを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.9	戸籍ファイル仮の振り仮名ファイル送信	新規追加	0030596	9.1.1副本ファイル送信において、仮の振り仮名ファイルの送信が行えること。 なお、本機能は振り仮名の戸籍記載が開始される第3号施行日から振り仮名が職権記載されるまでの間の機能となる。	実装必須機能	「7002号通達別添1」による。 令和5年法律第48号附則第9条第4項に準ずる。 【第2.0版】振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和7年3月31日	令和8年4月1日
~~9 連携~~	~~9.1 戸籍副本データ管理システム連携~~	~~9.1.2~~	~~受付ファイル送信~~	削除	~~0030365~~	~~受付ファイルが更新された場合、更新された受付データを送信すること。~~	実装必須機能	~~「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~9 連携~~	~~9.1 戸籍副本データ管理システム連携~~	~~9.1.3~~	~~不受理申出ファイル送信~~	削除	~~0030366~~	~~不受理申出ファイルが更新された場合、更新された不受理申出データを送信すること。~~	実装必須機能	~~「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.4	個人状態ファイル送信		0030367	個人状態ファイルが更新された場合、更新された個人状態データを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.5	除籍イメージ送信		0030368	除籍見出しファイルが更新された場合又は除籍イメージが更新された場合、更新された除籍見出しデータと除籍イメージを送信すること。 一方が更新された場合でも双方のデータを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.10	除籍イメージ送信抑止	新規追加	0030615	副本の除籍見出しの副本への送信抑止区分=1の場合は、除籍見出しデータ及び除籍イメージの送信を行わないこと。	実装必須機能	イメージ除籍等でイメージ登録の申請未了等、副本管理システムに送信できない場合がある。 【第2.0版】区分追加に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~9 連携~~	~~9.1 戸籍副本データ管理システム連携~~	~~9.1.6~~	~~改製不適合戸籍イメージ送信~~	分割	~~0030369~~	~~改製不適合戸籍がイメージ管理されている場合は、改製不適合戸籍見出しファイルが更新された場合又は改製不適合戸籍イメージが更新された場合、更新された改製不適合戸籍見出しデータと改製不適合戸籍イメージを送信すること。 一方が更新された場合でも双方のデータを送信すること。~~	実装必須機能	~~「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。~~	【第2.0版】にて、機能ID　0030445と0030446に分割	
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.6	改製不適合戸籍イメージ送信	分割	0030445	改製不適合戸籍がイメージ管理されている場合は、改製不適合戸籍見出しファイル又は改製不適合戸籍イメージが更新された場合、改製不適合戸籍見出しデータと改製不適合戸籍イメージの双方を送信すること。	標準オプション機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。	【第2.0版】機能ID　0030369から変更	
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.6	改製不適合戸籍イメージ送信	分割	0030446	改製不適合戸籍がイメージ管理されていない場合、改製不適合戸籍見出しファイルの更新により、改製不適合戸籍見出しデータを送信すること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。	【第2.0版】機能ID　0030369から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.7	副本データ受信		0030370	市区町村が戸籍の再製を要する事態となったとき、法務大臣が管理する当該市区町村の副本データを当該市区町村へ送信するデータを受信できること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。		
~~9 連携~~	~~9.1 戸籍副本データ管理システム連携~~	~~9.1.8~~	~~受信データ処理~~	削除	0030371	~~受信したデータから4.9戸籍再製処理、4.10戸籍イメージ再製処理が行えること。~~	実装必須機能	~~「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。~~	【第2.0版】機能ID　0030447に変更	
9 連携	9.1 戸籍副本データ管理システム連携	9.1.8	受信データ処理	修正	0030447	受信したデータから戸籍情報システムのデータ作成が行えること。	実装必須機能	「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」による。 【第2.0版】再製する機能要件が誤っていたため修正	【第2.0版】機能ID　0030371から変更	
9 連携	9.2 CS連携	9.2.1	~~住基法9条2項~~住民票記載事項通知データ提供	修正	0030372	~~住基法第9条第2項~~住民票記載事項通知ファイルのデータをCS連携すること。	実装必須機能	~~住基法第9条第2項~~住民票記載事項通知データをCSから住所地に送信するため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。	【第2.0版】住基法9条2項を住民票記載事項通知に名称変更	
9 連携	9.3 戸籍附票システム連携	9.3.1	戸籍異動情報提供		0030373	4.7決裁、6.9行政区画・土地の名称変更、8.2行政区画・土地の名称変更等により戸籍項目に変更があった場合は、戸籍異動情報を戸籍附票システムに提供すること。	実装必須機能	戸籍の異動情報を戸籍附票システムに反映させるため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。		
9 連携	9.3 戸籍附票システム連携	9.3.2	在外選挙人情報照会	修正	0030374	4.7決裁、6.9行政区画・土地の名称変更、8.2行政区画・土地の名称変更等により戸籍項目に変更があった場合は、在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録市区町村名情報を戸籍附票システムに照会すること。	実装必須機能	公職選挙法第30条の13第1項及び日本国憲法の改正手続に関する法律第43条による通知書作成のため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】在外投票人名簿に関する法律を追加		
9 連携	9.4 住民記録システム連携	9.4.1	住所情報照会	訂正	0030375	戸籍届書の処理において、事件本人の住所情報(住所、片書方書、世帯主氏名、世帯主との続柄、住定日、住民日)を住民記録システムに照会できること。	標準オプション機能	事件本人の住所情報の入力誤りを無くすため、住民記録システムから住所情報を取得できた方が良い。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.5 人口動態システム連携	9.5.1	人口動態情報提供	修正	0030376	戸籍届書の処理において、出生届、婚姻届、離婚届、死亡届の情報を人口動態調査事務システムに提供できること。	実装必須機能	人口動態調査データ作成のため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】人口動態調査事務システムの標準仕様書提示による修正	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.5 人口動態システム連携	9.5.2	死産人口動態情報提供	修正	0030377	死産届によって受付ファイルを作成した場合は、死産届の情報を人口動態調査事務システムに提供できること。	標準オプション機能	人口動態調査データ作成のため。 受付ファイルを作成しない死産届はデータの提供ができない。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】人口動態調査事務システムの標準仕様書提示による修正		
9 連携	9.6 コンビニ交付システム連携	9.6.1	戸籍証明書コンビニ交付		0030378	コンビニ交付システムからデータを受信し、申請された証明書を作成して送信できること。	実装必須機能	コンビニ交付の対象証明書について、証明書の交付が必要になる。		
9 連携	9.7 オンライン申請システム連携	9.7.1	戸籍証明書オンライン申請		0030379	オンライン申請システムからデータを受信し、申請された証明書等の作成ができること。	標準オプション機能	データを連携することで、該当証明の検索が容易になる。		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.1	目的外利用抑止機能	新規追加	0030453	戸籍情報システムから戸籍情報連携システムへの連携においては、業務利用目的を送信すること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.2	不正利用防止機能	新規追加	0030454	戸籍情報連携システムから授受したデータは、目的を達成した以降は遅滞なく当該戸籍情報システムより削除する措置を講じること。	実装必須機能	「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」等による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.3	アクセス・利用制限機能	新規追加	0030455	戸籍情報システムから本籍地以外の副本記録情報も参照可能となることは、個人情報に関する関心の高まりなどからより厳格な利用者管理が求められる。そのため戸籍情報連携システムに接続する端末においては、指紋など本人自身の特性で認証する生体認証を必須要件とし、それに加えて本人だけが知っているID+パスワード等の知識認証又はICカードなど本人だけが所有している物で認証する所有物認証等、別の1つ以上の要素による認証も必須条件とする。すなわち、生体認証を含む2つの要素以上で認証されていない端末は、戸籍情報連携システムに接続出来ない措置を講じる。 　なお、端末起動時や戸籍情報システムへのログイン時等戸籍情報連携システムに接続する前に生体認証を含む2つの要素以上で認証を受けている場合、戸籍情報連携システムに接続する際の再度の認証は市区町村の運用に委ねる。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別冊(運用編)」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.4	なりすまし防止機能	新規追加	0030456	9.8.3アクセス・利用制限機能の二要素認証後に他人が利用することを防止するため、ICカードによる常時認証チェック機能（本人のICカードを挿入している間のみ認証が有効となる機能）又は離席機能（離席ボタン押下により、利用時に再度認証を必要とする機能）など離席時等に本人以外が利用することを防止する措置を講じること。	実装必須機能	利用者以外の者がアクセスできない対応をとる必要がある。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.5	監査対応機能	新規追加	0030457	戸籍情報システムと戸籍情報連携システム間の連携処理は、不正行為の検知及び原因追及等を可能とするため、各市区町村から行う副本記録情報の検索については、戸籍情報連携システム側でログを蓄積し、管理する。また、特定した副本記録情報を参照する際には該当の副本記録データは戸籍情報システムに送付されているため、戸籍情報システム側でログを蓄積し、管理すること。	実装必須機能	不正利用防止のためにログの蓄積が必要である。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.6	利用者ID記録簿	新規追加	0030458	戸籍情報システムで使用される利用者ID及び利用者IDを利用している利用者氏名等は、市区町村において別途定める様式により5年間記録し、保存すること。 様式は市区町村とベンダの協議により定めても構わない。	実装必須機能	利用者の管理が必要であり、その管理方法は市区町村が定めるものとするが、ベンダと協議して定めても構わないものとする。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.7	機能ID説明簿	新規追加	0030459	戸籍情報システムから戸籍情報連携システムにWebAPIのパラメータとして送信される機能ID、機能IDに付した機能名称及び機能IDがパッケージのどの機能のどの画面に該当するのか該当画面レイアウトも含めて監査可能な説明資料と共に5年間記録し、保存すること。なお、様式はベンダー任意で作成すること。	実装必須機能	監査資料の管理方法はベンダが定めるものとし、市区町村等の要請により監査資料の作成を速やかに行う必要がある。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.8	副本戸籍検索キー	新規追加	0030460	副本である電算化戸除籍、電算化再製原戸籍、イメージ除籍、イメージ改製原戸籍及びイメージ再製原除籍の検索キーは、検索対象市区町村コード、振り仮名、漢字氏名、本籍、生年月日、筆頭者氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍種別の11項目であり、これに限ること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加、振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.9	副本戸籍検索補助キー	新規追加	0030461	副本戸籍検索を補助するために、記載字検索フラグ、遡り検索フラグ及び構成員等取得フラグによる検索が行えること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.10	副本戸籍検索キーの組合せ	新規追加	0030462	副本戸籍等の検索において、検索キーを組合せた検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】1.指定する検索条件の組合せ」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.11	副本戸籍ワイルドカード検索	新規追加	0030463	副本戸籍等の検索において、ワイルドカード検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（1）ワイルドカード検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.12	副本戸籍記載字検索	新規追加	0030464	副本戸籍等の検索において、記載字検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（2）記載字検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~9 連携~~	~~9.8 戸籍情報連携システム連携~~	~~9.8.13~~	~~副本戸籍記載字検索~~	~~新規追加~~	~~0030465~~	~~副本戸籍等の検索において、記載字検索が行えること。~~ ~~なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（2）記載字検索」に従うこと。~~	~~実装必須機能~~	~~「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。~~ ~~【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加~~		~~令和6年3月1日~~
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.14	副本戸籍遡り検索	新規追加	0030466	副本戸籍等の検索において、遡り検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（3）遡り検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~9 連携~~	~~9.8 戸籍情報連携システム連携~~	~~9.8.14~~	~~副本戸籍遡り検索~~	~~新規追加~~	~~0030467~~	~~副本戸籍等の検索において、遡り検索が行えること。~~ ~~なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（3）遡り検索」に従うこと。~~	~~実装必須機能~~	~~「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。~~ ~~【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加~~		~~令和6年3月1日~~
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.15	副本戸籍清音化検索	新規追加	0030468	副本戸籍等の検索において、清音化検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（4）清音化検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.16	副本戸籍構成員等取得検索	新規追加	0030469	副本戸籍等の検索において、構成員等取得検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（5）構成員等取得検索」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.17	副本戸籍仮の振り仮名取得検索	新規追加	0030470	副本戸籍等の検索において、仮の振り仮名取得検索が行えること。 なお、仕様は「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】2.検索仕様（6）仮の振り仮名取得検索」に従うこと。 なお、本機能は振り仮名の戸籍記載が開始される第3号施行日から振り仮名が職権記載されるまでの間の機能となる。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）_I0020-R01【補足説明】」による。 令和5年法律第48号附則第9条第4項に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加、振り仮名の法制化に伴う修正	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.18	副本戸籍該当表示	新規追加	0030471	副本戸籍等の検索結果の表示は、2.2.4該当戸籍一覧～2.2.10個人状態ファイル表示(但し2.2.8前個人詳細表示を除く)及び、2.4.3該当除籍一覧～2.4.6除籍イメージ表示に準ずる。	実装必須機能	「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本）～個人状態ファイル表示(副本)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本）～個人状態ファイル表示(副本)」及び「別紙7　7.2.(2)　検索処理　該当戸籍一覧表示(副本)表示～個人状態ファイル表示(副本)」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.19	副本戸籍画像等情報取得	新規追加	0030472	検索した副本戸籍に該当する胎児認知届書イメージ及び不受理申出イメージの取得ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0301」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.20	異動処理異動者副本戸籍検索	新規追加	0030473	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動前に非本籍人である異動処理（例：婚姻、死亡、転籍等）については、対象者を副本戸籍データから選択できること。 対象者の検索は、9.8.8副本戸籍検索キー～9.8.18副本戸籍該当表示に準ずる。	実装必須機能	4.0.1届書入力処理異動者検索に準ずる。 「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・異動）～個人状態ファイル表示(副本・異動)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・異動）～個人状態ファイル表示(副本・異動)」及び「別紙7　7.2.(4)　異動検索処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.21	異動処理入籍先副本戸籍検索	新規追加	0030474	異動処理において、当該異動処理の対象者が異動後に非本籍人となる異動処理（例：離婚、入籍等）については、入籍先戸籍の対象者(筆頭者、父、母等)を副本戸籍データから選択できること。 対象者の検索は、9.8.8副本戸籍検索キー～9.8.18副本戸籍該当表示に準ずる。	実装必須機能	4.0.2届書入力処理入籍先戸籍検索に準ずる。 「別紙5　5.5.(2)　画面設計書　該当戸籍一覧(副本・異動）～個人状態ファイル表示(副本・異動)」、「別紙5　5.5.(3)　画面項目一覧表　該当戸籍一覧(副本・異動）～個人状態ファイル表示(副本・異動)」及び「別紙7　7.2.(4)　異動検索処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.22	異動処理異動予約選択	新規追加	0030475	異動処理において、当該異動処理の対象者及び異動後の入籍先戸籍の対象者を異動予約データから選択できること。 なお、異動予約一覧から異動処理等に遷移する機能も同機能とみなす。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0304」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.23	異動処理解除通知	新規追加	0030476	異動処理において、処理を完結せずに終了する場合は、異動処理中の解除通知を行うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0304」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.24	届書等情報作成・更新届書記載事項	新規追加	0030477	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村又は障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、処分区分が受理の場合に届書入力処理で作成した届書ファイルを届書記載事項ファイルとして登録すること。 なお、外国人のみの届書等は対象外とする。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(11)「決裁」処理」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.25	届書等情報作成・更新届書画像	新規追加	0030478	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、処分区分が受理の場合に異動処理において届出等された届書等を決裁処理後に画像登録できること。 なお、外国人のみの届書等は対象外とする。 戸籍情報システム内で保持する画像形式はベンダ任意であるが、戸籍情報連携システムに送信する形式は、「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第5_電文仕様_5 PDF仕様」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.26	届書等情報作成・更新届書画像	新規追加	0030479	障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、異動処理において届出等された届書等を決裁処理後に画像登録できること。 戸籍情報システム内で保持する画像形式はベンダ任意であるが、戸籍情報連携システムに送信する形式は、「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第5_電文仕様_5 PDF仕様」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.27	届書等情報作成・更新届書添付書面画像	新規追加	0030480	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、処分区分が受理の場合に異動処理において届出等された届書等に添付された書面を決裁処理後に画像登録できること。 なお、外国人のみの届書等は対象外とする。 戸籍情報システム内で保持する画像形式はベンダ任意であるが、戸籍情報連携システムに送信する形式は、「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第5_電文仕様_5 PDF仕様」に従うこと。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.28	届書等情報作成・更新送付先情報	新規追加	0030481	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、届書等情報を送信する市区町村情報の作成ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.29	届書等情報作成・更新届書補正情報	新規追加	0030482	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、届書等情報の送信を受けた市区町村からの連絡等により、受付帳の単位で届書補正情報の作成ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.30	届書等情報作成・更新届書補正画像	新規追加	0030483	9.8.29届書等情報作成・更新届書補正情報で作成した届書補正情報を画像登録できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.31	届書等情報作成・更新届書補正画像	新規追加	0030484	障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、届書に補正すべき事項がある場合は届書補正画像を登録できること。 この場合の画像内容は市区町村の任意とする。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.32	届書等情報送信	新規追加	0030485	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、9.8.24届書等情報作成・更新届書記載事項～9.8.28届書等情報作成・更新送付先情報で作成した情報及び受付帳情報を、届書処理通番単位で戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.33	届書等情報更新	新規追加	0030486	9.8.32届書等情報送信で送信したデータを更新した場合は、更新情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.34	届書等情報送付地決裁	新規追加	0030487	受理地から届書等情報の送信を受けた市区町村又は障害等により受理地から郵送された届書の送付を受けた市区町村は、9.8.24届書等情報作成・更新届書記載事項、9.8.26届書等情報作成・更新届書画像、9.8.31届書等情報作成・更新届書補正画像で作成した情報及び受付帳情報を、届書処理通番単位で戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.35	届書等情報補正情報送信	新規追加	0030488	9.8.29届書等情報作成・更新届書補正情報及び9.8.30届書等情報作成・更新届書補正画像で作成した情報は、届書処理通番単位で各々1ファイルに結合し戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_届書等情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.36	届書等情報誤送付取消	新規追加	0030489	受理地から届書等情報の送信を受けた市区町村は、届書等情報が誤って送信された場合、その旨の情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.37	完了済届書等情報送信	新規追加	0030490	届書等の受理市区町村又は在外公館の届書等を外務省から送付を受けた市区町村は、受理地及び送付地の戸籍の記録が完了した届書に対して新たな送付地の追加が必要となった場合、9.8.28届書等情報作成・更新送付先情報で新たな送付地を追加し、戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.38	郵送届書等処理済	新規追加	0030491	受理地から届書等情報の送信を受けた市区町村は、障害等により受理地から郵送された届書の送付により処理が完了している場合、処分決定前はその旨の情報だけを、処分決定後はその旨の情報と受付帳情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0050-C02」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.39	異動予約情報送信	新規追加	0030492	届書等及び不受理申出が届出等された場合、事件本人及び処理により異動対象となる者について、個人又は戸籍単位での異動予約情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0302」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.40	異動予約情報作成	新規追加	0030493	9.8.39異動予約情報送信で送信した情報を戸籍情報システムで登録できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0302」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.41	異動予約情報解除	新規追加	0030494	9.8.39異動予約情報送信で送信した情報の解除情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0303」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.42	異動予約情報更新	新規追加	0030495	異動処理の実施9.8.41異動予約情報解除又は又は戸籍副本情報の異動処理状況種別コード等の確認により、異動予約情報の更新ができること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.43	異動予約情報削除	新規追加	0030496	職員判断により、不要となった異動予約情報を削除できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0303」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.44	届書処理状況通知決裁状況表示	新規追加	0030497	戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況通知情報を、画面で確認できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0404」による。 「別紙7　7.2.(2)　検索処理　受付ファイル検索」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.45	届書処理状況通知決裁状況印刷	新規追加	0030498	戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況通知情報を、印刷できること。	標準オプション機能	画面確認以外の確認手法である。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.45	届書処理状況通知送付先市区町村情報ファイル更新	新規追加	0030499	戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況通知情報で、送付先市区町村情報ファイルの送信区分を更新できること。	標準オプション機能	送付先市区町村情報ファイルの送信区分の修正漏れの対応が行える。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.46	異動処理状況情報表示	新規追加	0030500	戸籍情報連携システムから送信された異動処理状況通知情報を、画面で確認できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0405」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.47	異動処理状況情報印刷	新規追加	0030501	戸籍情報連携システムから送信された異動処理状況通知情報を、印刷できること。	標準オプション機能	画面確認以外の確認手法である。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.48	不受理申出情報送信	新規追加	0030538	6.2不受理申出ファイル更新で作成、更新された情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0407」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.49	申入書情報選択注意喚起情報送信	新規追加	0030539	届出済の届書等の受理地に申入書が出された場合、若しくは申入書の受領地から届出済の届書等の受理地に連絡がされた場合、届書等の注意喚起情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0408」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.50	申入書情報送信	新規追加	0030549	6.12申入書ファイル更新で作成、更新された情報を戸籍情報連携システムに送信できること。 但し、受付ファイルの渉外区分=2(外国人)の場合は送信しない。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0408」による。 「別紙7　7.2.(13)「各種ファイル更新」処理_申入書情報更新」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.51	広域交付戸籍証明書等発行情報送信	新規追加	0030553	5.8広域交付戸籍証明書等で印刷した証明書情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0101」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）I0040-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.52	戸籍電子証明書等発行情報送信	新規追加	0030557	5.9戸籍電子証明書等で印刷した証明書情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0201」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）I0090-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.53	届書等情報内容証明書等発行情報送信	新規追加	0030565	5.10届書等情報内容証明書等で印刷した証明書情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0601」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－2_電文設計書（Webサービス連携）I0090-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.54	広域交付戸籍証明書等交付履歴情報更新	新規追加	0030566	他市区町村で交付した広域交付発行履歴の通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を、5.8.3広域交付戸籍証明書等発行履歴管理で管理する情報と一緒に管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0102」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0010-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.55	戸籍電子証明書等交付履歴情報更新	新規追加	0030567	他市区町村で交付した戸籍電子証明書等発行履歴の通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を、5.9.3戸籍電子証明書等発行履歴管理で管理する情報と一緒に管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0202」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0020-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.56	戸籍電子証明書等交付履歴情報管理	新規追加	0030568	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の提出により、提出先行政機関等に定期用した証明書提供履歴の通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0203」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0030-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.57	届書等情報内容証明書等交付履歴情報更新	新規追加	0030569	他市区町村で交付若しくは閲覧した届書等情報内容証明書等の発行履歴通知が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報を、5.10.7届書等情報内容証明書等発行履歴管理で管理する情報と一緒に管理できること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B202」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0120-S01」による。 7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.58	広域交付証明書等交付履歴情報の統合	新規追加	0030570	9.8.54広域交付戸籍証明書等交付履歴情報更新～9.8.57届書等情報内容証明書等交付履歴情報更新の情報を統合して管理できること。	標準オプション機能	発行情報を統合が行える必要がある。 統合する情報はベンダの任意とする。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.59	広域交付証明書等交付履歴情報の検索	新規追加	0030571	広域交付証明書等交付履歴情報を検索することができること。	標準オプション機能	7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.60	広域交付証明書等発行情報の帳票印刷	新規追加	0030572	広域交付証明書等交付履歴情報を帳票印刷することができること。	標準オプション機能	7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.61	広域交付証明書等発行情報削除	新規追加	0030573	保存期間が経過した広域交付証明書等発行情報データの削除ができること。	標準オプション機能	7.2.(29)「証明書発行履歴通知」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.62	事件表統計情報送信	新規追加	0030574	事件表統計情報を戸籍情報連携システムに送信できること。	実装必須機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0701」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0130-R01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.63	全国事件表統計情報管理	新規追加	0030575	全国事件表統計情報が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報の管理ができること。	標準オプション機能	「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_第4_業務仕様_B0702」による。 「戸籍情報連携システム外部インターフェース仕様書_別紙2－3_電文設計書（ファイル連携）F0140-S01」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.64	全国事件表統計情報確認	新規追加	0030576	全国事件表統計情報の画面表示又は帳票印刷等で確認することができること。	標準オプション機能	5.6.(2)「帳票設計書_事件表」に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.65	全国事件表統計情報削除	新規追加	0030577	保存期間が経過した全国事件表統計情報データの削除ができること。	標準オプション機能	5.6.(2)「帳票設計書_事件表」に準ずる。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.66	オンライン利用者利用状況管理	新規追加	0030578	マイナポータル利用者による戸籍情報連携システムのオンライン利用の開始及びマイナポータル利用者の削除に伴うオンライン利用停止についての情報が、戸籍情報連携システムから送信される。 この情報の管理ができること。	標準オプション機能	7.2.(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.67	オンライン利用者情報確認	新規追加	0030579	オンライン利用者情報の画面表示又は帳票印刷等で確認することができること。	標準オプション機能	7.2.(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.8 戸籍情報連携システム連携	9.8.68	オンライン利用者情報削除	新規追加	0030580	保存期間が経過したオンライン利用者情報データの削除ができること。	標準オプション機能	7.2.(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
9 連携	9.9 火葬等許可事務システム連携	9.9.1	火葬等許可証情報提供	新規追加	0030617	戸籍届書の処分決定または決裁時に、死亡届の情報を火葬等許可事務システムに提供できること。	標準オプション機能	火葬等許可事務システムの連携データ作成のため。 「別紙6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。 【第2.0版】火葬許可事務システムの標準仕様書提示による追加		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
10 共通										
10 共通	10.1 EUC機能	10.1.1	データソース		0030380	データソースは、「地方公共団体の基幹業務システムに係るデータ要件・連携要件の標準仕様書」の「基本データリスト（戸籍システム）」に規定するデータ項目とする。	実装不可機能	戸籍情報システムにおいては、日本国民の身分関係を中心として極めて機微な情報を扱っていることから、本仕様書により個別に抽出機能について規定したものを除き、EUC機能は設けないこととする。		
10 共通	10.1 EUC機能	10.1.2	データ利用		0030381	EUC機能（「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」に規定するEUC機能をいう。）を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。	実装不可機能	戸籍情報システムにおいては、日本国民の身分関係を中心として極めて機微な情報を扱っていることから、本仕様書により個別に抽出機能について規定したものを除き、EUC機能は設けないこととする。		
~~10 共通~~	~~10.2 アクセスログ管理~~	~~10.2.1~~	~~操作ログ~~	削除	~~0030382~~	~~ア. 取得対象：~~ ~~(a)照会、(b)帳票発行、(c)異動入力（履歴追加）、(d)異動入力（履歴修正）、(e)異動入力（履歴削除）、(f)バッチ処理（帳票作成）、(g)バッチ処理（データ更新）~~ ~~※(c)から(e)までについては、仮登録及び本登録両方の操作ログを取得できること。~~ ~~イ. 記録対象：~~ ~~操作者ID、日時、ファイル名、端末名、オンラインの場合は対象となったレコード（処理対象者等）・機能名・画面名、バッチについては処理名、処理・交付場所、個人番号へのアクセス有無。~~	~~実装必須機能~~	~~戸籍附票システムに準ずる。~~	【第2.0版】機能ID 0030630に変更	
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.1	操作ログ	修正	0030630	ア. 取得機会： 戸籍情報システムが管理するデータに対してアクセスが発生した場合に取得する。 イ. 記録内容： 操作者ID、日時、ファイル名、端末名、オンラインの場合は対象となったレコード（処理対象者等）・機能名・画面名、バッチについては処理名、処理・交付場所。	実装必須機能	戸籍情報システムが管理するデータに対してアクセスが発生した場合に、操作ログを取得する必要がある。 記録内容は戸籍附票システムに準ずる。	【第2.0版】機能ID 0030382から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.2	認証ログ		0030383	ログイン及びログインのエラー回数等。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.3	イベントログ		0030384	戸籍情報システム内で起こった特定の現象・動作の記録。異常イベントやデータベースへのアクセス等のセキュリティに関わる情報。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.4	通信ログ		0030385	Webサーバや Web アプリケーションサーバ、データベースサーバ等との通信エラー等 。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
~~10 共通~~	~~10.2 アクセスログ管理~~	~~10.2.5~~	~~印刷ログ~~	削除	~~0030386~~	~~印刷者ID、印刷日時、対象ファイル名、印刷プリンタ（又は印刷端末名、タイトル、枚数、公印出力の有無、個人番号の出力の有無、出力形式（プレビュー、印刷、ファイル出力等）、証明書の場合には発行番号等の情報 。~~	~~実装必須機能~~	~~戸籍附票システムに準ずる。~~	【第2.0版】機能ID 0030631に変更	
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.5	印刷ログ	修正	0030631	印刷者ID、印刷日時、対象ファイル名、印刷プリンタ（又は印刷端末名、タイトル、枚数、公印出力の有無、出力形式（プレビュー、印刷、ファイル出力等）、証明書の場合には発行番号等の情報 。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。	【第2.0版】機能ID 0030386から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.6	設定変更ログ		0030387	管理者による設定変更時の情報・エラーログ。 管理者による設定変更時の情報取得したログは、市区町村が定める期間保管するとともに 、オンラインでの検索・抽出・照会、EUC機能を用いた後日分析が簡単にできること。 なお、システム利用者や第三者によるログの改ざんがされないよう、書き込み禁止等の改ざん防止措置がされること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.2 アクセスログ管理	10.2.7	ログの分析		0030388	システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
~~10 共通~~	~~10.3 操作権限設定・管理~~	~~10.3.1~~	~~操作権限設定・管理~~	削除	~~0030389~~	~~発注者のシステム操作権限ポリシーに基づき、システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。~~ ~~職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。~~ ~~操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。認証に当たっては、シングル・サイン・オンが使用できること。~~ ~~アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。~~ ~~アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。~~ ~~アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。~~ ~~また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。~~ ~~他の職員が異動処理を行っている間は、同一戸籍の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。~~ ~~なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。~~ ~~ID・パスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。~~ ~~複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。~~	~~実装すべき機能~~	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~	【第2.0版】機能ID 0030432に変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	機能ID（新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
10 共通	10.3 操作権限設定・管理	10.3.1	操作権限設定・管理	修正	0030432	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でＩＤ及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。 職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。 アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。 アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。 また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。 他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。 ID パスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	実装必須機能	認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】機能ID 0030389から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~10 共通~~	~~10.3 操作権限設定・管理~~	~~10.3.2~~	操作権限設定	削除	~~0030390~~	~~組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。 操作権限一覧表で操作権限が設定できること。~~	標準オプション機能	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~	【第2.0版】機能ID 0030433に変更	
10 共通	10.3 操作権限設定・管理	10.3.2	操作権限設定	修正	0030433	組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。 操作権限一覧表で操作権限が設定できること。 シングル・サイン・オンが使用できること。	標準オプション機能	標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】機能ID 0030390から変更	
10 共通	10.4 ヘルプ機能	10.4.1	オンラインマニュアル		0030391	システムの操作方法や運用方法等について、マニュアルを有していること。 また、ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.4 ヘルプ機能	10.4.2	冊子マニュアル		0030392	システムの操作方法や運用方法等について、冊子のマニュアルを有していること。	実装不可機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.5 データ要件・連携要件標準仕様書に基づく出力	10.5.1	共通		0030393	「データ要件・連携要件標準仕様書」におけるデータ要件の標準、に従って、基本データリストに規定するグループを単位にして、任意のタイミングで出力する機能が提供されること。 なお、その際には「データ要件・連携要件標準仕様書」にて規定されている文字要件に準ずること。また、データ要件の標準以外で保有するデータがある場合は、同様に提供されること。 なお、システム契約期間の終了時には、その時点でのデータ要件の標準に従って任意でデータ提供ができること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.6 印刷	10.6.1	共通		0030394	証明書を発行する際にプリンタやトレー（ホッパ）の指定ができること。 出力部数を設定できること。 帳票発行時にプレビュー機能を保有すること。 帳票発行時にPDFか紙出力が指定でき、プリンタが指定できること。 なお、デフォルトでPDFか紙出力かを設定できることとしても可能とする。 戸籍情報システム内部でアクセスログの取得が可能な形で、表示画面のハードコピー機能及びハードコピーの印刷機能を有すること。 氏名や住所等の印刷域桁数を超過したものについては、帳票発行時に超過内容を記載したリストを出力できること。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。		
10 共通	10.6 印刷	10.6.2	印刷不可	修正	0030395	アクセスログが取得できないOS独自の印刷ができること。	~~実装必須機能~~ 実装不可機能	戸籍附票システムに準ずる。	【第2.0版】実装類型「実装必須機能」は誤り	
10 共通	10.7 大量印刷	10.7.1	共通	補記	0030396	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。 二次元コード（カスタマーバーコードを含む。）については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	実装必須機能	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~ 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	
10 共通	10.7 大量印刷	10.7.2	外字イメージ印刷	補記	0030397	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータ（外字情報を含む。）について印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	標準オプション機能	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~ 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
10 共通	10.8 バッチ処理	10.8.1	共通	補記	0030398	バッチ処理の実行（起動）方法として、直接起動だけでなく、年月日及び時分、毎日、毎週〇曜日、毎月XX日、毎月末を指定した方法（スケジュール管理による起動）が提供されること。 また、バッチ処理の実行時は、前回処理時に設定したパラメータが参照されること。 前回設定のパラメータは、一部修正ができること。 修正パラメータ個所については、修正した旨が判別し易くなっていること。 全てのバッチ処理の実行結果（処理内容や処理結果、処理時間、処理端末名称、正常又は異常の旨、異常終了した際はOSやミドルウェア等から出力されるエラーコード等）が出力されること。 バッチの実行結果から一連の作業で最終的な提出物をXLSX形式等で作成する場合等には、自動実行する仕組みを用意すること。	標準オプション機能	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~ 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	
~~10 共通~~	~~10.9 マイナポータルぴったりサービス連携~~	~~10.9.1~~	~~共通~~	削除	~~0030399~~	~~オンライン申請の申請データを、申請管理機能（「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同じ。）を経由して取得できること。 取得した申請データについて、申請処理できること。 当該申請データに係る申請処理状況（処理中、要再申請、完了、却下、取り下げのステータス）を管理し、申請処理状況やお知らせをマイナポータルぴったりサービス等に送信するために、申請管理機能に申請データをキーとして提供できること。~~	~~実装必須機能~~	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~	【第2.0版】機能ID 0030448に変更	
10 共通	10.9 マイナポータルぴったりサービス連携	10.9.1	共通	修正	0030448	マイナポータルぴったりサービスより受け付けた申請データのうち管理が必要な項目を、申請管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同じ。）を経由して取得できること。 なお、経過措置として、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日 総務省）」に規定される連携方式3、4により申請管理機能を経由して取得することも許容される。また、管理が必要な項目とは、標準仕様書における管理項目を想定しているが、標準仕様書における管理項目が不足する場合には必要に応じて管理項目以外の項目を取得してもよい。 申請管理機能がマイナポータルぴったりサービスに対して申請処理状況（処理中、要再申請、完了、却下、取下げのステータス）を送信する場合に用いるため、取得した項目等を表示、出力等できること。	実装必須機能	「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」において、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日 総務省）」により構築された申請管理機能を有するシステムの継続利用が経過措置として認められている。連携方式3，4に基づく連携は本経過措置に基づき認められるものであることに留意すること。 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】機能ID 0030399から変更 システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
10 共通	10.10 文字	10.10.1	文字要件	補記	0030400	文字要件については、「地方公共団体の基幹業務システムに係るデータ要件・連携要件標準仕様書」の規定に準ずる。	実装必須機能	~~各基幹業務システム標準仕様書の統一基準による。~~ 標準仕様書間の横並び調整方針による。	【第2.0版】で要件の考え方・理由の参考資料名称を変更	

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
11 エラー・アラート項目										
11 エラー・アラート項目	11.1 エラー・アラート項目	11.1.1	共通		0030401	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等（少なくとも「エラー項目一覧」に記載のもの）は、エラー（※）として抑止すること。 エラーは、当該内容で本登録することを抑止することが目的であり、その実装方法として、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えない。また、仮登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、本登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、いずれもエラーの実装方法として許容される。 論理的には成立するが特に注意を要する入力等（少なくとも「アラート項目一覧」に記載のもの）は、アラート（※）として注意喚起すること。 ※エラー：論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定（本登録）できないもの。 ※アラート：論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの。 エラー・アラートとする場合は、原因となったエラー・アラート項目と理由・対応方法を入力者に適切に伝えること。 エラー・アラートは、「別紙5　5.8.3　メッセージ一覧表」のとおりとし、その表示等については、「別紙7　7.1.1 「業務選択」処理」～「別紙7　7.2.24　戸籍副本データ管理システム」のとおりとする。	実装必須機能	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等を抑止するためのものをエラー、論理的には成立するが特に注意を要する入力等に注意喚起するものをアラートとして表示等を行う必要がある。		

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 （直前の版から改定した項目の種別）	機能ID （新）	機能要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
12 帳票要件										
12 帳票要件	12.1 帳票要件	12.1.1	様式・帳票全般		0030402	様式・帳票について、別紙4帳票詳細要件・レイアウトに従い、直接印刷により出力できること。 仮登録内容の確認用帳票等の内部帳票については、可能な限りペーパーレスで対応するが、必要に応じて画面を直接印刷できること	実装必須機能	帳票については、別紙4帳票詳細要件・レイアウトで提示した内容で印刷する。 仮登録内容についても、別紙4帳票詳細要件・レイアウトで提示するが、提示できないものについては、画面印刷も可能とする。		

戸籍情報システム標準仕様書

帳票詳細要件・レイアウト【改定履歴】

版数	改定日	主な改定理由	機能ID	機能IDの変更状況（削除／新規付番／変更なし）	新規付番の場合の適合基準日
第1.0版	令和4年8月30日	初版公開	―	―	―
第2.0版	令和5年7月31日	戸籍情報システム運用変更に伴う修正 戸籍情報連携システムの運用開始に伴う修正 振り仮名の法制化に伴う修正	0030001～ 0030018	変更なし	
			0030019～ 0030033	削除	
			0030034～ 0030039	変更なし	
			0030040～ 0030042	削除	
			0030043～ 0030045	変更なし	
			0030046～ 0030051	削除	
			0030052	変更なし	
			0030053 0030054	削除	
			0030055～ 0030064	変更なし	
			0030065	新規付番	
			0030066～ 0030074	新規付番	令和8年4月1日

0030075～ 0030083	新規付番	
0030084	新規付番	令和8年4月1日
0030085 0030086	新規付番	
0030087	新規付番	令和8年4月1日
0030088	新規付番	令和8年4月1日
0030089	新規付番	

別紙4　戸籍情報システム
帳票詳細要件・レイアウト(第2.0版)

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 証明書										
1 証明書	1.1 戸籍記録事項証明書	1.1.1	項目	訂正	0030001	戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書、戸籍一部証明書の項目は、戸籍基本データリストの戸籍特定～身分事項_配偶者の氏名変更とし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
1 証明書	1.1 戸籍記録事項証明書	1.1.2	レイアウト	訂正	0030002	戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書、戸籍一部証明書のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
1 証明書	1.1 戸籍記録事項証明書	1.1.3	規格等	訂正	0030003	戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書、戸籍一部証明書の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 証明書概要説明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 証明等に係わる業務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
1 証明書	1.2 受付証明書	1.2.1	項目	訂正	0030004	受理証明書、戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書の項目は、戸籍基本データリストの受付及び受付_事件本人とし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書 戸籍法41条証書提出の証明 届書預り証明書」及び「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受理証明書 戸籍法41条証書提出の証明 届書預り証明書」による。		
1 証明書	1.2 受付証明書	1.2.5	項目	新規追加	0030065	1.2.1項目について、各証明書の要旨は手書き対応としているが、要旨をデータで保持している場合はその内容を印字できること。	標準オプション機能	要旨を手書き対応する場合は届書等の確認が必要であることから、時間が経過した証明書作成ではその対応にかなりの時間を要する。 要旨をデータで保持することにより、証明書発行に係る時間削減ができる。 【第2.0版】要望により標準オプション機能として追加		
1 証明書	1.2 受付証明書	1.2.2	レイアウト	訂正	0030005	受理証明書、戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書 戸籍法41条証書提出の証明書 届書預り証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書 戸籍法41条証書提出の証明 届書預り証明書」による。		
1 証明書	1.2 受付証明書	1.2.3	規格等	訂正	0030006	受理証明書は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 証明等に係わる業務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書」による。		
1 証明書	1.2 受付証明書	1.2.4	規格等の例外	訂正	0030007	戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書の規格は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍法41条証書提出の証明 届書預り証明書」によるものとするが、規格については独自に定めても構わない	標準オプション機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 証明等に係わる業務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書」による。		
1 証明書	1.3 除籍謄抄本	1.3.1	規格等	修正	0030008	除籍イメージ、改製原戸籍、改製不適合戸籍等、イメージで管理している除籍謄本及び抄本はA4サイズでの出力を基本とするが、文字潰れ等を考慮しそれ以外のサイズでの出力ができること。	標準オプション機能	法及び規則による。 【第2.0版】別紙3機能・帳票要件において、イメージのサイズ変更機能は標準オプション機能であることから、それに合わせて実装類型を実装必須機能から修正		
1 証明書	1.3 除籍謄抄本	1.3.2	掛紙対応	訂正	0030009	イメージで管理している除籍に掛紙がある場合は、平成15年10月24日民一第3178号通知の対応ができること。 それによらない場合は、掛紙を切り貼りして謄抄本を作成すること。	標準オプション機能	平成15年10月24日民一第3178号通知による。		
1 証明書	1.4 電子戸籍証明書	1.4.1	スキーマ定義	訂正	0030010	戸籍手続オンラインシステムから申請された戸籍記録事項証明書で、電子戸籍証明書が指定された場合は、「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書 附録1.1スキーマ定義 第3 記録事項証明書のスキーマ仕様及び第4 その他戸籍証明書」、「同 附録1.2スキーマ定義書 第3 電子戸籍証明書のスキーマ定義」によって作成できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。 本来【実装必須】ではあるが、戸籍手続オンラインシステムの導入が決まってから構築しても構わないため、標準オプションとする。※以下同様。		
1 証明書	1.5 広域交付戸籍証明書等	1.5.1	項目	新規追加	0030066	広域交付戸籍証明書、広域交付除籍証明書の項目は、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータとし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 広域交付戸籍証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.5 広域交付戸籍証明書等	1.5.2	レイアウト	新規追加	0030067	広域交付戸籍証明書、広域交付除籍証明書のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 広域交付戸籍証明書等」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 広域交付戸籍証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.5 広域交付戸籍証明書等	1.5.3	規格等	新規追加	0030068	広域交付戸籍証明書、広域交付除籍証明書の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 広域交付戸籍証明書等」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 広域交付戸籍証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.6 戸籍電子証明書等	1.6.1	項目	新規追加	0030069	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、除籍電子証明書提供用識別符号等通知書の項目は、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータとし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.6 戸籍電子証明書等	1.6.2	レイアウト	新規追加	0030070	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、除籍電子証明書提供用識別符号等通知書のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.6 戸籍電子証明書等	1.6.3	規格等	新規追加	0030071	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、除籍電子証明書提供用識別符号等通知書の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 証明書	1.7 届書等情報内容証明書等	1.7.1	項目	新規追加	0030072	届書等情報内容証明書、届書等情報内容閲覧帳票の項目は、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータとし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.7 届書等情報内容証明書等	1.7.2	レイアウト	新規追加	0030073	届書等情報内容証明書、届書等情報内容閲覧帳票のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.7 届書等情報内容証明書等	1.7.3	規格等	新規追加	0030074	届書等情報内容証明書、届書等情報内容閲覧帳票の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 台帳										
2 台帳	2.1 戸籍受付帳	2.1.1	項目	訂正	0030011	受付ファイルを削除して戸籍受付帳として保存する場合の項目は、戸籍基本データリストの受付及び受付_事件本人とし、それ以外の項目は対象にならない。	標準オプション機能	法及び規則による。 台帳として出力する戸籍受付帳は、戸籍情報システムの受付ファイルを削除し、出力した紙台帳を原本とするものであるため、現行運用としてはほぼ使用されないものであるため、標準オプションとした。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」及び「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 戸籍受付帳」による。		
2 台帳	2.1 戸籍受付帳	2.1.2	レイアウト	訂正	0030012	戸籍受付帳のレイアウトは規則第21条及び同附録第5号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」によるものとすること。	標準オプション機能	法、規則及び規則附録第5号様式による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」による。		
2 台帳	2.1 戸籍受付帳	2.1.3	規格等	訂正	0030013	戸籍受付帳の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」によるものとすること。	標準オプション機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」による。		
2 台帳	2.2 本人届出確認台帳	2.2.1	項目	訂正	0030014	本人届出確認台帳ファイルを印刷して本人届出確認台帳として出力する場合の項目は、「別紙7 7.2.22 本人届出確認台帳管理」の本人届出確認台帳ファイルの項目であること。 本人確認及び通知の有無等（届書を持参した者が使者であるときは、掲示された証明書に記載された住所及び氏名を含む。）を記録するものとする。	標準オプション機能	本人届出確認台帳をシステムで処理しない場合もあることから、標準オプションとする。 ※以降も同様。 平成15年3月18日付け法務省民一第748号民事局長通達 第七 確認台帳及び平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知 第五 確認台帳（通達第7関係）による。		
2 台帳	2.2 本人届出確認台帳	2.2.2	レイアウト	訂正	0030015	本人届出確認台帳のレイアウトは、2.2.1項目の範囲で適宜の様式により出力できること。	標準オプション機能	平成15年3月18日付け法務省民一第748号民事局長通達による。		
2 台帳	2.3 不受理処分整理簿	2.3.1	項目	訂正	0030016	不受理処分整理簿ファイルを印刷して不受理処分整理簿として出力する場合の項目は、「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 ファイル仕様書」の項目であること。	標準オプション機能	標準準則付録第46号様式による。 不受理処分整理簿をシステムで処理しない場合もあることから、標準オプションとする。 ※以降も同様。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
2 台帳	2.3 不受理処分整理簿	2.3.2	レイアウト	訂正	0030017	不受理処分整理簿のレイアウトは標準準則附録第46号様式により、「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」によるものとすること。	標準オプション機能	標準準則付録第46号様式による。 「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」による。		
2 台帳	2.3 不受理処分整理簿	2.3.3	規格等	訂正	0030018	不受理処分整理簿の規格等は、「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」によるものとすること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」による。		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
3 目録										
3 目録	3.5 届書目録	3.5.1	項目	新規追加	0030075	届書目録、届書目録(完全渉外分)の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書目録」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	届書目録は庁内保存用の目録であることから、受付帳又は種類番号帳の代用が可能である。そのため、それらの一つを出力すれば十分であるため、標準オプションとする。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書目録」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.2	レイアウト	新規追加	0030076	届書目録、届書目録(完全渉外分)のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.3	規格等	新規追加	0030077	届書目録、届書目録(完全渉外分)の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.4	受付帳代用項目	新規追加	0030078	受付帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.5	受付帳代用レイアウト	新規追加	0030079	受付帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受付帳」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.6	受付帳代用規格等	新規追加	0030080	受付帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受付帳」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.7	種類番号帳代用項目	新規追加	0030081	種類番号帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.8	種類番号帳代用レイアウト	新規追加	0030082	種類番号帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 種類番号帳」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.9	種類番号帳代用規格等	新規追加	0030083	種類番号帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 種類番号帳」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 通知等送付書類										
4 通知等送付書類	4.1 高齢者消除戸籍記載許可申請書	4.1.1	項目	訂正	0030034	高齢者消除戸籍記載許可申請書の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 戸籍記載許可申請」の項目とする。	標準オプション機能	戸籍記載許可申請書は手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 戸籍記載許可申請」による。		
4 通知等送付書類	4.1 高齢者消除戸籍記載許可申請書	4.1.2	レイアウト	訂正	0030035	高齢者消除戸籍記載許可申請書のレイアウトは標準準則第22条及び同付録第19号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除戸籍記載許可申請」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除戸籍記載許可申請」による。		
4 通知等送付書類	4.1 高齢者消除戸籍記載許可申請書	4.1.3	規格等	訂正	0030036	高齢者消除戸籍記載許可申請書の規格等は、A4版による出力としそれ以外は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除戸籍記載許可申請」に準ずるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除戸籍記載許可申請」に準ずる。		
4 通知等送付書類	4.2 届書送達確認書	4.2.1	項目	訂正	0030037	届書送達確認書の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書送達確認書」の項目とするが、項目の変更を許容する。	実装必須機能	平成7年12月26日付け法務省民二第4491号民事局長通達による。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書送達確認書」による。		
4 通知等送付書類	4.2 届書送達確認書	4.2.2	レイアウト	訂正	0030038	届書送達確認書のレイアウトは「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」による。		
4 通知等送付書類	4.2 届書送達確認書	4.2.3	規格等	訂正	0030039	届書送達確認書の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」に準ずるものとするが、同一市区町村に複数の届書を送付する場合はA4版用紙にまとめて印刷する等があるため、変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」による。		
4 通知等送付書類	4.4 町名変更のお知らせ	4.4.1	項目	訂正	0030043	行政区画・土地名称等の変更に伴う町名変更のお知らせの項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 町名変更のお知らせ」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	町名変更のお知らせについては、市区町村で運用が異なるため、標準オプションとする。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 町名変更のお知らせ」		
4 通知等送付書類	4.4 町名変更のお知らせ	4.4.2	レイアウト	訂正	0030044	町名変更のレイアウトは「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更の」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更のお知らせ」による。		
4 通知等送付書類	4.4 町名変更のお知らせ	4.4.3	規格等	訂正	0030045	町名変更のお知らせの規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更のお知らせ」に準ずるものとするが、個人情報保護の観点から封書に封入して送付する等があるため、変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更のお知らせ」による。		
4 通知等送付書類	4.6 公選法通知	4.6.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030084	公選法通知書の項目は、「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 公選法通知作成処理」を参考にすること。 レイアウト及び規格等は任意とするが、戸籍附票システム標準仕様書の別紙帳票一覧・レイアウト要件で定められている「在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書」(0040004)を流用してもよい。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。 【第2.0版】同じ帳票のレイアウトが戸籍附票システム標準仕様書で定められていることから、それと同じ仕様としても良い	【第2.0版】機能ID 0030049から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
4 通知等送付書類	4.7 本人確認通知	4.7.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030085	本人確認通知の項目は、「別紙7 7.2.22 本人届出確認台帳管理」を参考にすること。 レイアウトは、平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知の別紙を参照して作成すること。 規格等は任意とする。	標準オプション機能	手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。 【第2.0版】市区町村の運用に合わせた変更	【第2.0版】機能ID 0030050から変更	
4 通知等送付書類	4.8 届出期間経過通知	4.8.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030086	届出期間経過通知の項目は、標準準則付録第31号書式を参考にすること。 レイアウト及び規格等は任意とする。	標準オプション機能	手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。 【第2.0版】市区町村の運用に合わせた変更	【第2.0版】機能ID 0030051から変更	
4 通知等送付書類	4.9 出生届出済証	4.9.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030052	出生届出済証の項目、レイアウト及び規格は任意とする。	標準オプション機能	スタンプによる押印や手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。		
4 通知等送付書類	4.11 振り仮名のお知らせ	4.11.1	項目、レイアウト、規格等	新規追加	0030087	振り仮名のお知らせの項目、レイアウト及び規格は任意とする。	実装必須機能	本機能は任意設計機能とする。 【第2.0版】振り仮名の法制化等に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
4 通知等送付書類	4.12 振り仮名の職権記載書	4.12.1	項目、レイアウト、規格等	新規追加	0030088	振り仮名の職権記載書の項目、レイアウト及び規格は任意とする。	実装必須機能	職権記載書は市区町村で通常使用している仕様で作成する。本機能は任意設計機能とする。 【第2.0版】振り仮名の法制化等に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 統計										
5 統計	5.1 戸籍事件表	5.1.1	項目	訂正	0030055	事件表の項目は、「別紙5 5.7.2 ファイル仕様書 統計」において、5.1.2レイアウトで出力する項目とする。	実装必須機能	標準準則第21条及び同付録第18号様式による。		
5 統計	5.1 戸籍事件表	5.1.2	レイアウト	訂正	0030056	戸籍事件表のレイアウトは標準準則第21条及び同付録第18号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」によるものとする。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」による。		
5 統計	5.1 戸籍事件表	5.1.3	規格等	訂正	0030057	戸籍事件表の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」によるものとする。	実装必須機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 統計事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」に準ずる。		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 内部帳票										
6 内部帳票	6.1 戸籍事務専用帳票	6.1.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030058	戸籍事務専用帳票は1.1戸籍記録事項証明書に準ずる。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
6 内部帳票	6.2 決裁用帳票	6.2.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030059	決裁用帳票は1.1戸籍記録事項証明書の戸籍全部事項証明書に準じ、「別紙7 7.2.10 「決裁用帳票出力」処理」による。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」及び「別紙7 7.2.10 「決裁用帳票出力」処理」による。		
6 内部帳票	6.3 高齢者消除該当者一覧	6.3.1	項目	訂正	0030060	高齢者消除該当者一覧の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 高齢者消除該当者一覧」の項目とするが、項目の変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 高齢者消除該当者一覧」による。		
6 内部帳票	6.3 高齢者消除該当者一覧	6.3.2	レイアウト	訂正	0030061	高齢者消除該当者一覧のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」による。		
6 内部帳票	6.3 高齢者消除該当者一覧	6.3.3	規格等	訂正	0030062	高齢者消除該当者一覧の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」によるものとすること。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」による。		
6 内部帳票	6.4 公選法通知異動者リスト	6.4.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030063	公選法通知異動者リストは、「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 公選法通知異動者リストファイル」を参考にすること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 公選法通知異動者リストファイル」による。 【第2.0版】市区町村の運用に合わせ、実装類型を実装必須機能から変更	【第2.0版】在外選挙人を公選法通知に名称変更	
6 内部帳票	6.5 抽出該当一覧	6.5.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030064	その他戸籍事務の処理において、条件を元に対象の抽出を行った場合、その一覧の出力は任意とする。	標準オプション機能	行政区画・土地名称変更等、処理の該当一覧を印刷して、それに基づき内部調査を行う場合が存在する。		
6 内部帳票	6.6 振り仮名の職権記録対象者一覧	6.6.1	項目、レイアウト、規格等	新規追加	0030089	振り仮名の職権記録対象者一覧の項目、レイアウト及び規格は任意とする。	標準オプション機能	本機能は任意設計機能とする。 【第2.0版】振り仮名の法制化等に伴う追加		

別紙4　戸籍情報システム

帳票詳細要件・レイアウト(第2.0版)

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1　証明書										
1　証明書	1.1　戸籍記録事項証明書	1.1.1	項目	訂正	0030001	戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書、戸籍一部証明書の項目は、戸籍基本データリストの戸籍特定～身分事項_配偶者の氏名変更とし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
1　証明書	1.1　戸籍記録事項証明書	1.1.2	レイアウト	訂正	0030002	戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書、戸籍一部証明書のレイアウトは、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
1　証明書	1.1　戸籍記録事項証明書	1.1.3	規格等	訂正	0030003	戸籍全部事項証明書、戸籍個人事項証明書、戸籍一部事項証明書、戸籍一部証明書の規格等は、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　証明書概要説明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.1　新帳票一覧表　証明等に係わる業務」及び「別紙5　5.6.2　帳票設計書　全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
1　証明書	1.2　受付証明書	1.2.1	項目	訂正	0030004	受理証明書、戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書の項目は、戸籍基本データリストの受付及び受付_事件本人とし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　受理証明書　戸籍法41条証書提出の証明　届書預り証明書」及び「別紙5　5.6.3　帳票項目一覧表　受理証明書　戸籍法41条証書提出の証明　届書預り証明書」による。		
1　証明書	1.2　受付証明書	1.2.5	項目	新規追加	0030065	1.2.1項目について、各証明書の要旨は手書き対応としているが、要旨をデータで保持している場合はその内容を印字できること。	標準オプション機能	要旨を手書き対応する場合は届書等の確認が必要であることから、時間が経過した証明書作成ではその対応にかなりの時間を要する。 要旨をデータで保持することにより、証明書発行に係る時間削減ができる。 【第2.0版】要望により標準オプション機能として追加		
1　証明書	1.2　受付証明書	1.2.2	レイアウト	訂正	0030005	受理証明書、戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書のレイアウトは、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　受理証明書　戸籍法41条証書提出の証明書　届書預り証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　受理証明書　戸籍法41条証書提出の証明　届書預り証明書」による。		
1　証明書	1.2　受付証明書	1.2.3	規格等	訂正	0030006	受理証明書は、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　受理証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.1　新帳票一覧表　証明等に係わる業務」及び「別紙5　5.6.2　帳票設計書　受理証明書」による。		
1　証明書	1.2　受付証明書	1.2.4	規格等の例外	訂正	0030007	戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書の規格は、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　戸籍法41条証書提出の証明　届書預り証明書」によるものとするが、規格については独自に定めても構わない	標準オプション機能	「別紙5　5.6.1　新帳票一覧表　証明等に係わる業務」及び「別紙5　5.6.2　帳票設計書　受理証明書」による。		
1　証明書	1.3　除籍謄抄本	1.3.1	規格等	修正	0030008	除籍イメージ、改製原戸籍、改製不適合戸籍等、イメージで管理している除籍謄本及び抄本はA4サイズでの出力を基本とするが、文字潰れ等を考慮しそれ以外のサイズでの出力ができること。	実装必須 標準オプション機能	法及び規則による。 【第2.0版】別紙3機能・帳票要件において、イメージのサイズ変更機能は標準オプション機能であることから、それに合わせて実装類型を実装必須機能から修正		
1　証明書	1.3　除籍謄抄本	1.3.2	掛紙対応	訂正	0030009	イメージで管理している除籍に掛紙がある場合は、平成15年10月24日民一第3178号通知の対応ができること。 それによらない場合は、掛紙を切り貼りして謄抄本を作成すること。	標準オプション機能	平成15年10月24日民一第3178号通知による。		
1　証明書	1.4　電子戸籍証明書	1.4.1	スキーマ定義	訂正	0030010	戸籍手続オンラインシステムから申請された戸籍記録事項証明書で、電子戸籍証明書が指定された場合は、「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書　附録1.1スキーマ定義　第3　記録事項証明書のスキーマ仕様及び第4　その他戸籍証明書」、「同　附録1.2スキーマ定義書　第3　電子戸籍証明書のスキーマ定義」によって作成できること。	標準オプション機能	「戸籍手続オンラインシステム構築のための標準仕様書」による。 本来【実装必須】ではあるが、戸籍手続オンラインシステムの導入が決まってから構築しても構わないため、標準オプションとする。※以下同様。		
1　証明書	1.5　広域交付戸籍証明書等	1.5.1	項目	新規追加	0030066	広域交付戸籍証明書、広域交付除籍証明書の項目は、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータとし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　広域交付戸籍証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1　証明書	1.5　広域交付戸籍証明書等	1.5.2	レイアウト	新規追加	0030067	広域交付戸籍証明書、広域交付除籍証明書のレイアウトは、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　広域交付戸籍証明書等」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　広域交付戸籍証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1　証明書	1.5　広域交付戸籍証明書等	1.5.3	規格等	新規追加	0030068	広域交付戸籍証明書、広域交付除籍証明書の規格等は、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　広域交付戸籍証明書等」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　広域交付戸籍証明書等」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1　証明書	1.6　戸籍電子証明書等	1.6.1	項目	新規追加	0030069	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、除籍電子証明書提供用識別符号等通知書の項目は、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータとし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1　証明書	1.6　戸籍電子証明書等	1.6.2	レイアウト	新規追加	0030070	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、除籍電子証明書提供用識別符号等通知書のレイアウトは、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1　証明書	1.6　戸籍電子証明書等	1.6.3	規格等	新規追加	0030071	戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、除籍電子証明書提供用識別符号等通知書の規格等は、「別紙5　5.6.2　帳票設計書　戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5　5.6.2　帳票設計書　戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
1 証明書	1.7 届書等情報内容証明書等	1.7.1	項目	新規追加	0030072	届書等情報内容証明書、届書等情報内容閲覧帳票の項目は、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータとし、それ以外の項目は対象にならない。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.7 届書等情報内容証明書等	1.7.2	レイアウト	新規追加	0030073	届書等情報内容証明書、届書等情報内容閲覧帳票のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
1 証明書	1.7 届書等情報内容証明書等	1.7.3	規格等	新規追加	0030074	届書等情報内容証明書、届書等情報内容閲覧帳票の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」によるものとすること。	実装必須機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書等情報内容証明書」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加	システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
2 台帳										
2 台帳	2.1 戸籍受付帳	2.1.1	項目	訂正	0030011	受付ファイルを削除して戸籍受付帳として保存する場合の項目は、戸籍基本データリストの受付及び受付_事件本人とし、それ以外の項目は対象にならない。	標準オプション機能	法及び規則による。 台帳として出力する戸籍受付帳は、戸籍情報システムの受付ファイルを削除し、出力した紙台帳を原本とするものであるため、現行運用としてはほぼ使用されないものであるため、標準オプションとした。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」及び「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 戸籍受付帳」による。		
2 台帳	2.1 戸籍受付帳	2.1.2	レイアウト	訂正	0030012	戸籍受付帳のレイアウトは規則第21条及び同附録第5号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」によるものとすること。	標準オプション機能	法、規則及び規則附録第5号様式による。 「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」による。		
2 台帳	2.1 戸籍受付帳	2.1.3	規格等	訂正	0030013	戸籍受付帳の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」によるものとすること。	標準オプション機能	法及び規則による。 「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 戸籍受付帳」による。		
2 台帳	2.2 本人届出確認台帳	2.2.1	項目	訂正	0030014	本人届出確認台帳ファイルを印刷して本人届出確認台帳として出力する場合の項目は、「別紙7 7.2.22 本人届出確認台帳管理」の本人届出確認台帳ファイルの項目であること。 本人確認及び通知の有無等（届書を持参した者が使者であるときは、掲示された証明書に記載された住所及び氏名を含む。）を記録するものとする。	標準オプション機能	本人届出確認台帳をシステムで処理しない場合もあることから、標準オプションとする。 ※以降も同様。 平成15年3月18日付け法務省民一第748号民事局長通達 第七 確認台帳及び平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知 第五 確認台帳（通達第7関係）による。		
2 台帳	2.2 本人届出確認台帳	2.2.2	レイアウト	訂正	0030015	本人届出確認台帳のレイアウトは、2.2.1項目の範囲で適宜の様式により出力できること。	標準オプション機能	平成15年3月18日付け法務省民一第748号民事局長通達による。		
2 台帳	2.3 不受理処分整理簿	2.3.1	項目	訂正	0030016	不受理処分整理簿ファイルを印刷して不受理処分整理簿として出力する場合の項目は、「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 ファイル仕様書」の項目であること。	標準オプション機能	標準準則付録第46号様式による。 不受理処分整理簿をシステムで処理しない場合もあることから、標準オプションとする。 ※以降も同様。 「別紙7 7.2.(23) 不受理処分整理簿管理」による。		
2 台帳	2.3 不受理処分整理簿	2.3.2	レイアウト	訂正	0030017	不受理処分整理簿のレイアウトは標準準則附録第46号様式により、「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」によるものとすること。	標準オプション機能	標準準則付録第46号様式による。 「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」による。		
2 台帳	2.3 不受理処分整理簿	2.3.3	規格等	訂正	0030018	不受理処分整理簿の規格等は、「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」によるものとすること。	標準オプション機能	「別紙7 7.2.23 不受理処分整理簿管理 不受理処分整理簿」による。		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
3 目録										
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.1~~	~~項目~~	~~削除~~	~~0030019~~	~~本籍人届書送付目録の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 本籍人届書送付目録」の項目とするが、項目の変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~本籍人届書送付目録は必須であるが、受付帳又は種類番号帳の代用が可能であるため、それらの一つを出力すれば十分であるため、標準オプションとする。「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 本籍人届書送付目録」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.2~~	~~レイアウト~~	~~削除~~	~~0030020~~	~~本籍人届書送付目録のレイアウトは標準準則第36条及び同付録第27号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 本籍人届書送付目録」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.2 帳票設計書 本籍人届書送付目録」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.3~~	~~規格等~~	~~削除~~	~~0030021~~	~~本籍人届書送付目録の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 本籍人届書送付目録」によるものとする。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受理証明書」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.4~~	~~受付帳代用項目~~	~~削除~~	~~0030022~~	~~受付帳を代用して本籍人届書送付目録とする場合の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」の項目とするが、項目の変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.5~~	~~受付帳代用レイアウト~~	~~削除~~	~~0030023~~	~~受付帳を代用して本籍人届書送付目録とする場合のレイアウトは標準準則第36条及び同付録第27号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受付帳」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.6~~	~~受付帳代用規格等~~	~~削除~~	~~0030024~~	~~受付帳を代用して本籍人届書送付目録とする場合の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受付帳」によるものとする。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.7~~	~~種類番号帳代用項目~~	~~削除~~	~~0030025~~	~~種類番号帳を代用して本籍人届書送付目録とする場合の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」の項目とするが、項目の変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.8~~	~~種類番号帳代用レイアウト~~	~~削除~~	~~0030026~~	~~種類番号帳を代用して本籍人届書送付目録とする場合のレイアウトは標準準則第36条及び同付録第27号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 種類番号帳」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.1 本籍人届書送付目録~~	~~3.1.9~~	~~種類番号帳代用規格等~~	~~削除~~	~~0030027~~	~~種類番号帳を代用して本籍人届書送付目録とする場合の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 種類番号帳」によるものとする。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.2 渉外関係届書写し送付目録~~	~~3.2.1~~	~~項目~~	~~削除~~	~~0030028~~	~~渉外関係届書写し送付目録の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 渉外関係届書写し送付目録」の項目とするが、項目の変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~渉外関係届書写し送付目録は必須であるが、受付帳又は種類番号帳の代用が可能であるため、それらの一つを出力すれば十分であるため、標準オプションとする。「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 渉外関係届書写し送付目録」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.2 渉外関係届書写し送付目録~~	~~3.2.2~~	~~レイアウト~~	~~削除~~	~~0030029~~	~~渉外関係届書写し送付目録のレイアウトは標準準則第36条及び同付録第27号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 渉外関係届書写し送付目録」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.2 帳票設計書 渉外関係届書写し送付目録」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.2 渉外関係届書写し送付目録~~	~~3.2.3~~	~~規格等~~	~~削除~~	~~0030030~~	~~渉外関係届書写し送付目録の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 渉外関係届書写し送付目録」によるものとする。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.2 帳票設計書 渉外関係届書写し送付目録」による。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.2 渉外関係届書写し送付目録~~	~~3.2.4~~	~~受付帳代用又は種類番号帳代用~~	~~削除~~	~~0030031~~	~~種類番号帳又は種類番号帳を代用して渉外関係届書写し送付目録とする場合は、3.1.4受付帳代用項目～3.1.9種類番号帳代用規格等に準ずる。~~	~~標準オプション~~	~~3.1.4受付帳代用項目～3.1.9種類番号帳代用規格等に準ずる。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.3 非本籍人届書目録~~	~~3.3.1~~	~~項目、レイアウト、規格等~~	~~削除~~	~~0030032~~	~~非本籍人届書目録は、非本籍分の届書に対して、3.1.1項目～3.1.9種類番号帳代用規格等に準じて作成すること。~~	~~標準オプション~~	~~3.1.1項目～3.1.9種類番号帳代用規格等に準ずる。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
~~3 目録~~	~~3.4 外国人届書目録~~	~~3.4.1~~	~~項目、レイアウト、規格等~~	~~削除~~	~~0030033~~	~~外国人届書目録は、全員が外国人の届書に対して、3.1.1項目～3.1.9種類番号帳代用規格等に準じて作成すること。~~	~~標準オプション~~	~~3.1.1項目～3.1.9種類番号帳代用規格等に準ずる。~~ 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.1	項目	新規追加	0030075	届書目録、届書目録(完全渉外分)の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書目録」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	届書目録は庁内保存用の目録であることから、受付帳又は種類番号帳の代用が可能である。そのため、それらの一つを出力すれば十分であるため、標準オプションとする。「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書目録」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.2	レイアウト	新規追加	0030076	届書目録、届書目録(完全渉外分)のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.3	規格等	新規追加	0030077	届書目録、届書目録(完全渉外分)の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書目録」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.4	受付帳代用項目	新規追加	0030078	受付帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.5	受付帳代用レイアウト	新規追加	0030079	受付帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受付帳」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
3 目録	3.5 届書目録	3.5.6	受付帳代用規格等	新規追加	0030080	受付帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 受付帳」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 受付帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.7	種類番号帳代用項目	新規追加	0030081	種類番号帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.8	種類番号帳代用レイアウト	新規追加	0030082	種類番号帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 種類番号帳」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		
3 目録	3.5 届書目録	3.5.9	種類番号帳代用規格等	新規追加	0030083	種類番号帳を代用して届書目録、届書目録(完全渉外分)とする場合の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 種類番号帳」によるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 種類番号帳」による。 【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う追加		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 通知等送付書類										
4 通知等送付書類	4.1 高齢者消除戸籍記載許可申請書	4.1.1	項目	訂正	0030034	高齢者消除戸籍記載許可申請書の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 戸籍記載許可申請」の項目とする。	標準オプション機能	戸籍記載許可申請書は手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 戸籍記載許可申請」による。		
4 通知等送付書類	4.1 高齢者消除戸籍記載許可申請書	4.1.2	レイアウト	訂正	0030035	高齢者消除戸籍記載許可申請書のレイアウトは標準準則第22条及び同付録第19号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除戸籍記載許可申請」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除戸籍記載許可申請」による。		
4 通知等送付書類	4.1 高齢者消除戸籍記載許可申請書	4.1.3	規格等	訂正	0030036	高齢者消除戸籍記載許可申請書の規格等は、A4版による出力としそれ以外は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」に準ずるものとする。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 ~~高齢者消除該当一覧~~高齢者消除戸籍記載許可申請」に準ずる。		
4 通知等送付書類	4.2 届書送達確認書	4.2.1	項目	訂正	0030037	届書送達確認書の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書送達確認書」の項目とするが、項目の変更を許容する。	実装必須機能	平成7年12月26日付け法務省民二第4491号民事局長通達による。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 届書送達確認書」による。		
4 通知等送付書類	4.2 届書送達確認書	4.2.2	レイアウト	訂正	0030038	届書送達確認書のレイアウトは「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」による。		
4 通知等送付書類	4.2 届書送達確認書	4.2.3	規格等	訂正	0030039	届書送達確認書の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」に準ずるものとするが、同一市区町村に複数の届書を送付する場合はA4版用紙にまとめて印刷する等があるため、変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 届書送達確認書」による。		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.3 相続税法58条通知~~	~~4.3.1~~	~~項目~~	削除	~~0030040~~	~~相続税法58条通知の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 相続税法58条通知書」の項目とするが、項目の変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 相続税法58条通知書」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~ ~~【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除~~		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.3 相続税法58条通知~~	~~4.3.2~~	~~レイアウト~~	削除	~~0030041~~	~~相続税法58条通知のレイアウトは「別紙5 5.6.2 帳票設計書 相続税法58条通知」によるものとするが、税務署の指定レイアウトに合わせて変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.2 帳票設計書 相続税法58条通知」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~ ~~【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除~~		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.3 相続税法58条通知~~	~~4.3.3~~	~~規格等~~	削除	~~0030042~~	~~相続税法58条通知の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 相続税法58条通知」によるものとするが、税務署の指定レイアウトに合わせて変更を許容する。~~	~~標準オプション~~	~~「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 相続税法58条通知」及び「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~ ~~【第2.0版】戸籍情報連携システム運用開始に伴う削除~~		
4 通知等送付書類	4.4 町名変更のお知らせ	4.4.1	項目	訂正	0030043	行政区画・土地名称等の変更に伴う町名変更のお知らせの項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 町名変更のお知らせ」の項目とするが、項目の変更を許容する。	標準オプション機能	町名変更のお知らせについては、市区町村で運用が異なるため、標準オプションとする。 「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 町名変更のお知らせ」		
4 通知等送付書類	4.4 町名変更のお知らせ	4.4.2	レイアウト	訂正	0030044	町名変更のレイアウトは「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更の」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更のお知らせ」による。		
4 通知等送付書類	4.4 町名変更のお知らせ	4.4.3	規格等	訂正	0030045	町名変更のお知らせの規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更のお知らせ」に準ずるものとするが、個人情報保護の観点から封書に封入して送付する等があるため、変更を許容する。	標準オプション機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 戸籍事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 町名変更のお知らせ」による。		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.5 住基法第9条第2項通知~~	~~4.5.1~~	~~項目~~	削除	~~0030046~~	~~住基法第9条第2項通知の項目は、デジタル庁「データ要件・連携要件標準仕様書」の戸籍機能別連携仕様の「戸籍異動に伴う住基ネットへの住民票記載事項情報提供のための連携インターフェース」の項目とするが、項目詳細が無い場合は「別紙5 5.7.2 ファイル仕様書 住民票通知」を参考にすること。~~	~~実装必須~~	~~戸籍の異動に伴う住民票の異動はCS連携により住所地市区町村に送信されるが、送信が不可等の場合に帳票出力が必要になる。~~ ~~「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~ ~~【第2.0版】住民票記載事項通知(住基法第9条2項通知)はCS連携による送信になるため削除~~		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.5 住基法第9条第2項通知~~	~~4.5.2~~	~~レイアウト~~	削除	~~0030047~~	~~住基法第9条第2項通知のレイアウトは、4.5.1項目を範囲として任意とする。~~	~~実装必須~~	~~項目の範囲内であれば、レイアウトは問わない。~~ ~~【第2.0版】住民票記載事項通知(住基法第9条2項通知)はCS連携による送信になるため削除~~		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.5 住基法第9条第2項通知~~	~~4.5.3~~	~~規格等~~	削除	~~0030048~~	~~住基法第9条第2項通知の規格等は、4.5.2レイアウトに準じて任意とする。~~	~~実装必須~~	~~ハガキや封書封入用紙等、市区町村の運用により異なるため、規格等も任意とする。~~ ~~【第2.0版】住民票記載事項通知(住基法第9条2項通知)はCS連携による送信になるため削除~~		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.6 公選法第30条の13第1項通知~~	~~4.6.1~~	~~項目、レイアウト、規格等~~	削除	~~0030049~~	~~公選法第30条の13第1項通知の項目は、「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 公選法通知作成処理」を参考にすること。~~ ~~レイアウト及び規格等は、4.4.2レイアウト及び4.4.3規格等に準ずる。~~	~~実装必須~~	~~将来的に連携等情報送信での対応が実現するかもしれないが、現時点ではその対応ができないため実装必須とする。~~ ~~「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~	【第2.0版】機能ID 0030084に変更	
4 通知等送付書類	4.6 公選法通知	4.6.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030084	公選法通知書の項目は、「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 公選法通知作成処理」を参考にすること。 レイアウト及び規格等は任意とするが、戸籍附票システム標準仕様書の別紙帳票一覧・レイアウト要件で定められている「在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書」(0040004)を流用してもよい。	実装必須機能	戸籍附票システムに準ずる。 【第2.0版】同じ帳票のレイアウトが戸籍附票システム標準仕様書で定められていることから、それと同じ仕様としても良い	【第2.0版】機能ID 0030049から変更 システム改修期限：令和6年3月1日	令和8年4月1日
~~4 通知等送付書類~~	~~4.7 本人確認通知~~	~~4.7.1~~	~~項目、レイアウト、規格等~~	削除	~~0030050~~	~~本人確認通知の項目は、「別紙7 7.2.22 本人届出確認台帳管理」を参考にすること。~~ ~~レイアウトは、平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知の別紙を参照して作成すること。~~ ~~規格等は、4.4.3規格等に準ずる。~~	~~標準オプション~~	~~手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。~~	~~【第2.0版】機能ID 0030085に変更~~	

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
4 通知等送付書類	4.7 本人確認通知	4.7.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030085	本人確認通知の項目は、「別紙7 7.2.22 本人届出確認台帳管理」を参考にすること。 レイアウトは、平成15年3月18日付け法務省民一第749号民事第一課長依命通知の別紙を参照して作成すること。 規格等は任意とする。	標準オプション機能	手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。 【第2.0版】市区町村の運用に合わせた変更	【第2.0版】機能ID 0030050から変更	
~~4 通知等送付書類~~	~~4.8 届出期間経過通知~~	~~4.8.1~~	~~項目、レイアウト、規格等~~	~~削除~~	~~0030051~~	~~届出期間経過通知の項目は、標準準則付録第31号書式を参考にすること。 レイアウト及び規格等は、4.4.2レイアウト及び4.4.3規格等に準ずる。~~	~~標準オプション~~	~~手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。~~	~~【第2.0版】機能ID 0030086に変更~~	
4 通知等送付書類	4.8 届出期間経過通知	4.8.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030086	届出期間経過通知の項目は、標準準則付録第31号書式を参考にすること。 レイアウト及び規格等は任意とする。	標準オプション機能	手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。 【第2.0版】市区町村の運用に合わせた変更	【第2.0版】機能ID 0030051から変更	
4 通知等送付書類	4.9 出生届出済証	4.9.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030052	出生届出済証の項目、レイアウト及び規格は任意とする。	標準オプション機能	スタンプによる押印や手書きでの対応もできるため、標準オプションとする。		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.10 埋火葬許可証~~	~~4.10.1~~	~~項目、レイアウト、規格等~~	~~削除~~	~~0030053~~	~~埋火葬許可証は墓地埋法での規定であるため、項目、レイアウト及び規格は任意とする。~~	~~標準オプション~~	~~墓地埋法での規定であるため、標準オプションとする。 「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~ ~~【第2.0版】火葬許可事務システム標準仕様書提示により削除~~		
~~4 通知等送付書類~~	~~4.10 埋火葬許可証~~	~~4.10.2~~	~~その他帳票~~	~~削除~~	~~0030054~~	~~墓地埋法に関するその他帳票の作成は任意とする。~~	~~標準オプション~~	~~墓地埋法での規定であるため、標準オプションとする。 「別紙6 戸籍情報システムと関連事務の処理概要」による。~~ ~~【第2.0版】火葬許可事務システム標準仕様書提示により削除~~		
4 通知等送付書類	4.11 振り仮名のお知らせ	4.11.1	項目、レイアウト、規格等	新規追加	0030087	振り仮名のお知らせの項目、レイアウト及び規格は任意とする。	実装必須機能	~~市区町村と印刷する項目を検討して対応する。~~本機能は任意設計機能とする。 【第2.0版】振り仮名の法制化等に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日
4 通知等送付書類	4.12 振り仮名の職権記載書	4.12.1	項目、レイアウト、規格等	新規追加	0030088	振り仮名の職権記載書の項目、レイアウト及び規格は任意とする。	実装必須機能	職権記載書は市区町村で通常使用している仕様で作成する。本機能は任意設計機能とする。 【第2.0版】振り仮名の法制化等に伴う追加	システム改修期限：令和8年4月1日	令和8年4月1日

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
5 統計										
5 統計	5.1 戸籍事件表	5.1.1	項目	訂正	0030055	事件表の項目は、「別紙5 5.7.2 ファイル仕様書 統計」において、5.1.2レイアウトで出力する項目とする。	実装必須機能	標準準則第21条及び同付録第18号様式による。		
5 統計	5.1 戸籍事件表	5.1.2	レイアウト	訂正	0030056	戸籍事件表のレイアウトは標準準則第21条及び同付録第18号様式により、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」によるものとする。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」による。		
5 統計	5.1 戸籍事件表	5.1.3	規格等	訂正	0030057	戸籍事件表の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」によるものとする。	実装必須機能	「別紙5 5.6.1 新帳票一覧表 統計事務」及び「別紙5 5.6.2 帳票設計書 事件表」に準ずる。		

大項目	中項目	小項目	帳票要件名称	改定種別（直前の版から改定した項目の種別）	帳票ID（新）	帳票要件	実装類型	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
6 内部帳票										
6 内部帳票	6.1 戸籍事務専用帳票	6.1.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030058	戸籍事務専用帳票は1.1戸籍記録事項証明書に準ずる。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」による。		
6 内部帳票	6.2 決裁用帳票	6.2.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030059	決裁用帳票は1.1戸籍記録事項証明書の戸籍全部事項証明書に準じ、「別紙7 7.2.10 「決裁用帳票出力」処理」による。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)」及び「別紙7 7.2.10 「決裁用帳票出力」処理」による。		
6 内部帳票	6.3 高齢者消除該当者一覧	6.3.1	項目	訂正	0030060	高齢者消除該当者一覧の項目は、「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 高齢者消除該当者一覧」の項目とするが、項目の変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.3 帳票項目一覧表 高齢者消除該当者一覧」による。		
6 内部帳票	6.3 高齢者消除該当者一覧	6.3.2	レイアウト	訂正	0030061	高齢者消除該当者一覧のレイアウトは、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」によるものとするが、レイアウトの変更を許容する。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」による。		
6 内部帳票	6.3 高齢者消除該当者一覧	6.3.3	規格等	訂正	0030062	高齢者消除該当者一覧の規格等は、「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」によるものとすること。	実装必須機能	「別紙5 5.6.2 帳票設計書 高齢者消除該当一覧」による。		
6 内部帳票	6.4 ~~在外選挙人~~公選法通知異動者リスト	6.4.1	項目、レイアウト、規格等	修正	0030063	~~在外選挙人~~公選法通知異動者リストは、「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 ~~在外選挙人~~公選法通知異動者リストファイル」を参考にすること。	実装必須 標準オプション機能	「別紙7 7.2.11 「決裁」処理 在外選挙人公選法通知異動者リストファイル」による。 【第2.0版】市区町村の運用に合わせ、実装類型を実装必須機能から変更	【第2.0版】在外選挙人を公選法通知に名称変更	
6 内部帳票	6.5 抽出該当一覧	6.5.1	項目、レイアウト、規格等	訂正	0030064	その他戸籍事務の処理において、条件を元に対象の抽出を行った場合、その一覧の出力は任意とする。	標準オプション機能	行政区画・土地名称変更等、処理の該当一覧を印刷して、それに基づき内部調査を行う場合が存在する。		
6 内部帳票	6.6 振り仮名の職権記録対象者一覧	6.6.1	項目、レイアウト、規格等	新規追加	0030089	振り仮名の職権記録対象者一覧の項目、レイアウト及び規格は任意とする。	標準オプション機能	~~市区町村と印刷する項目を検討して対応する。~~本機能は任意設計機能とする。 【第2.0版】振り仮名の法制化等に伴う追加		

別紙５　戸籍情報システムの詳細仕様　（第 2.0 版）

（目　次）

1　新業務処理手順図

2　システムの機能体系図

3　オンライン処理の流れ図(詳細)

4　バッチ処理の流れ図(詳細)

5　「画面」関係仕様

6　「帳票」関係仕様

7　「ファイル」関係仕様

8　「コード」関係仕様

9　現行記載例/項目化後記載例一覧

10「システム処理」の概要説明

第5.1

新業務処理手順図

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	新業務処理手順図	「非本籍人の確認」を手作業からオンラインに変更
2	R3	－	新業務処理手順図	戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書0096版までの変更に伴う修正
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正及び「条文等を現在の正しい内容に見直す」により「受理伺い」等を「受理照会」等に修正する

第5.1　新業務処理手順図

(1) 作成の目的と要領

新業務処理手順図は、実態調査及びその分析結果に基づき、開発するシステムの処理手順を明確にすることを目的としており、現行業務処理手順の調査分析段階の各作業ステップを参考にしながら、次の点を考慮して作成作業を行った。

ア　システム開発方針に沿っているか。
イ　事務改善要望事項の方針に沿っているか。
ウ　技術的に対処できるか。

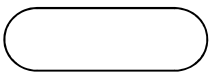
特に、この処理手順図の作成に当たっては、戸籍情報システムのうちメインとなる異動業務について、現行業務処理手順の調査･分析に基づき、システム化した場合の処理手順を明確にした。

異動業務は、届出事件の内容により処理手順が異なることとなるが、ここでは、全ての届出事件に共通する異動処理全般、本籍人と非本籍人、人口動態統計を作成するものとしないものに分類し、次に示す6パターンについて検討した。

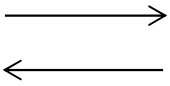
ア　異動処理全般　受理(本籍分)･人口動態有
イ　異動処理全般　受理(本籍分)･人口動態無
ウ　異動処理全般　受理(非本籍分)･人口動態有
エ　異動処理全般　送付･人口動態無
オ　異動処理全般　送付(在外公館からの送付)･人口動態有
カ　異動処理全般　受理(時間外受付分)

なお、使用した主な記号は、次のとおりである。

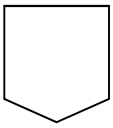
ア．きっかけ



イ．作業の流れ



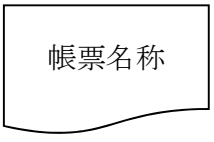
ウ．(作業の流れ)の結合子



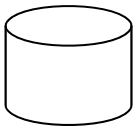
エ．作業

作業方法は、手作業、オンライン及びバッチ処理に分けている。

オ．帳票

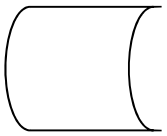


カ．データベース(DB)



台帳イメージで、磁気ディスクに記録･格納した関連するデータの集合体をいう。

キ．ファイル



入力データやDBから中間的にデータを記録活用する場合などに用いる。

(2) 作業手順

前項の各パターンについて、業務開始(きっかけ)から終了(結果)までの処理手順を記号を用いて示した。
各作業手順の決定に当たっては、戸籍情報システム開発方針で示されたとおり、届出審査をシステムで行うため、先に届出内容を入力することとし、システムで審査ができない事項については問答審査あるいは審査結果処理とした。

また、コンピュータ処理する部分については、オンラインまたはバッチを区別し、それぞれの作業概要を「備考」欄で明らかにした。
さらに、一線式処理における処理手順と二線式処理における処理手順を区分して示した。

(3) 新業務処理手順図

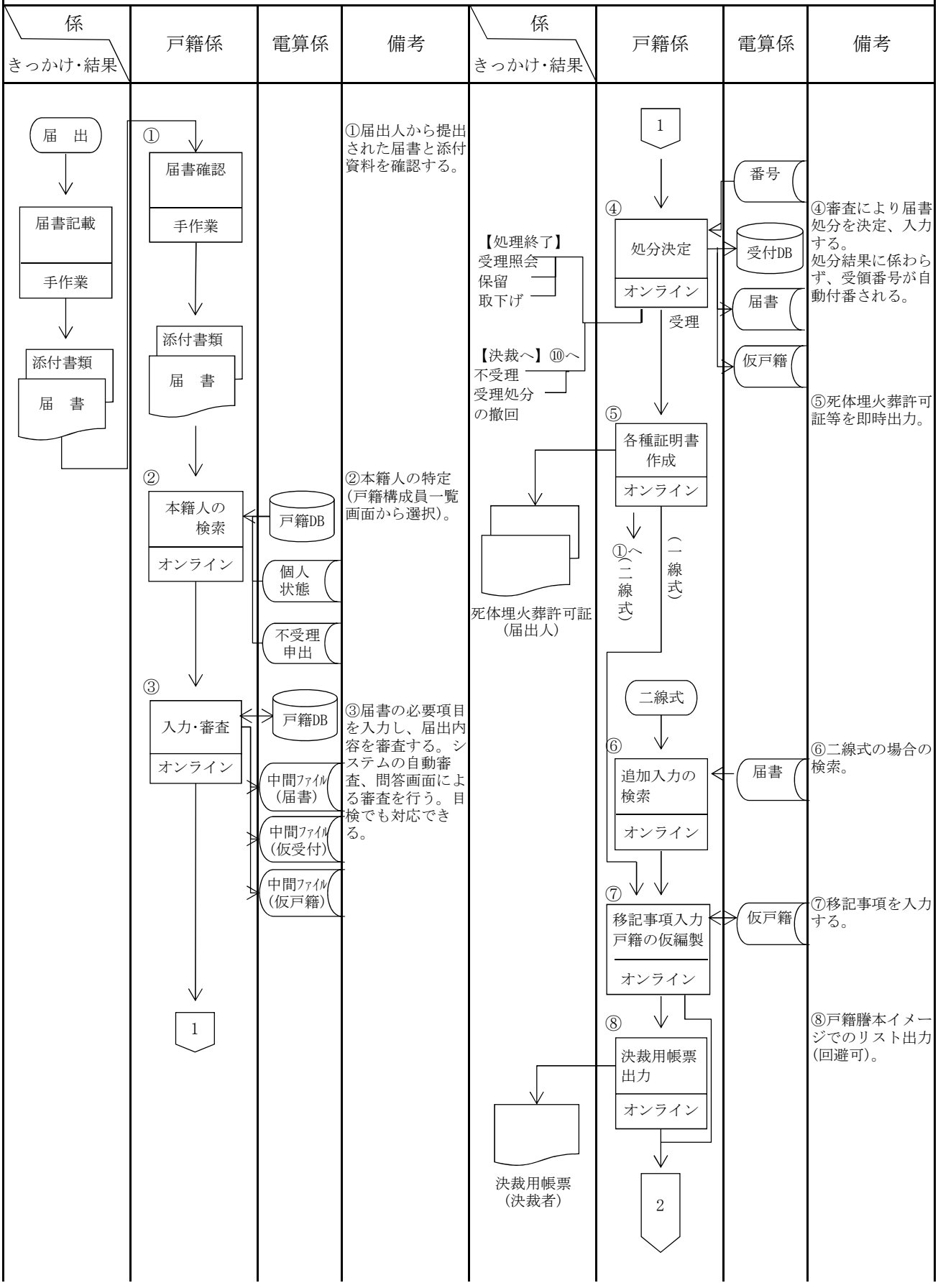
上記の検討を経て作成した各パターンごとの新業務処理手順図は、以下のとおりである。

第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態有

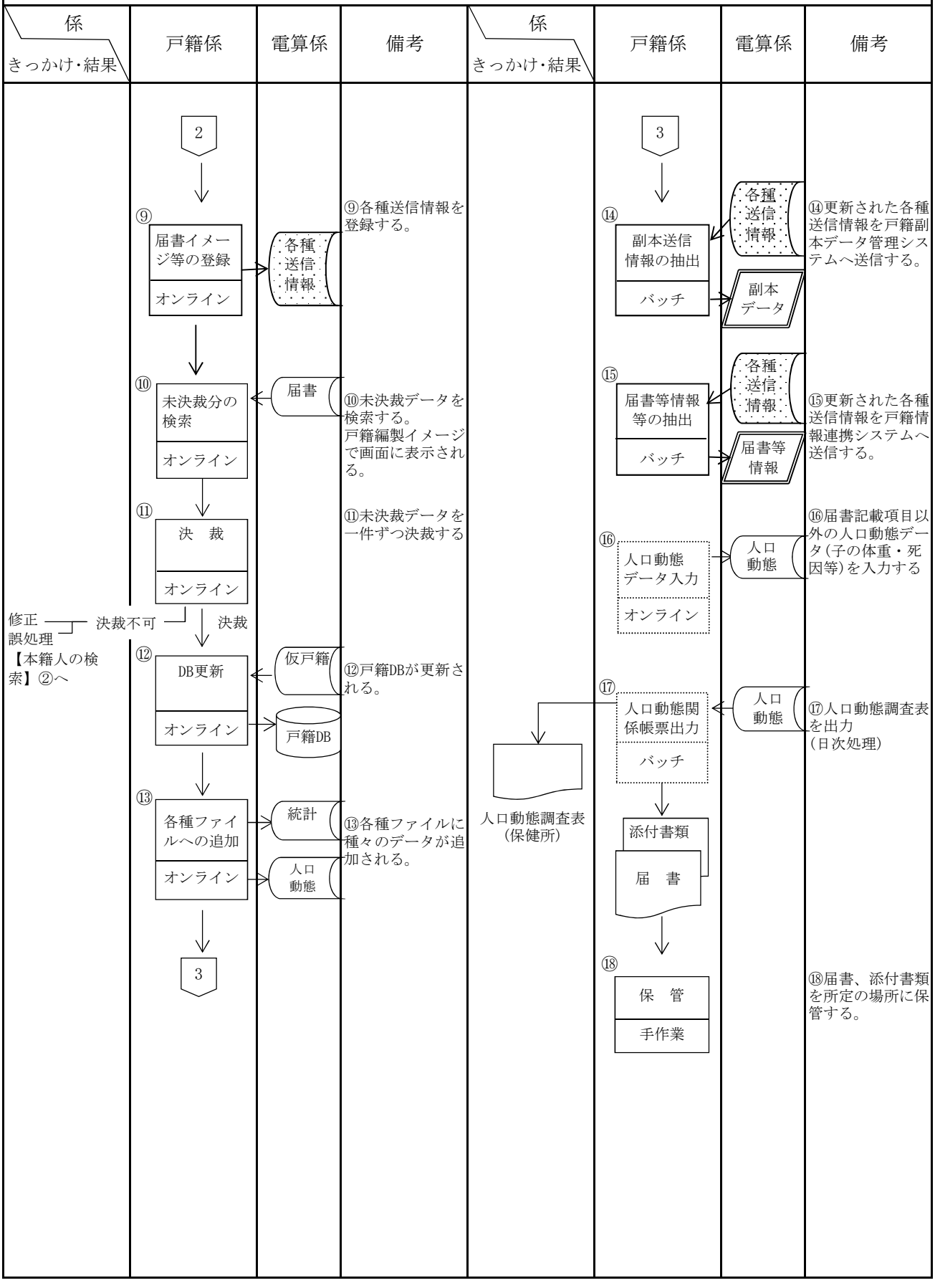


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態有

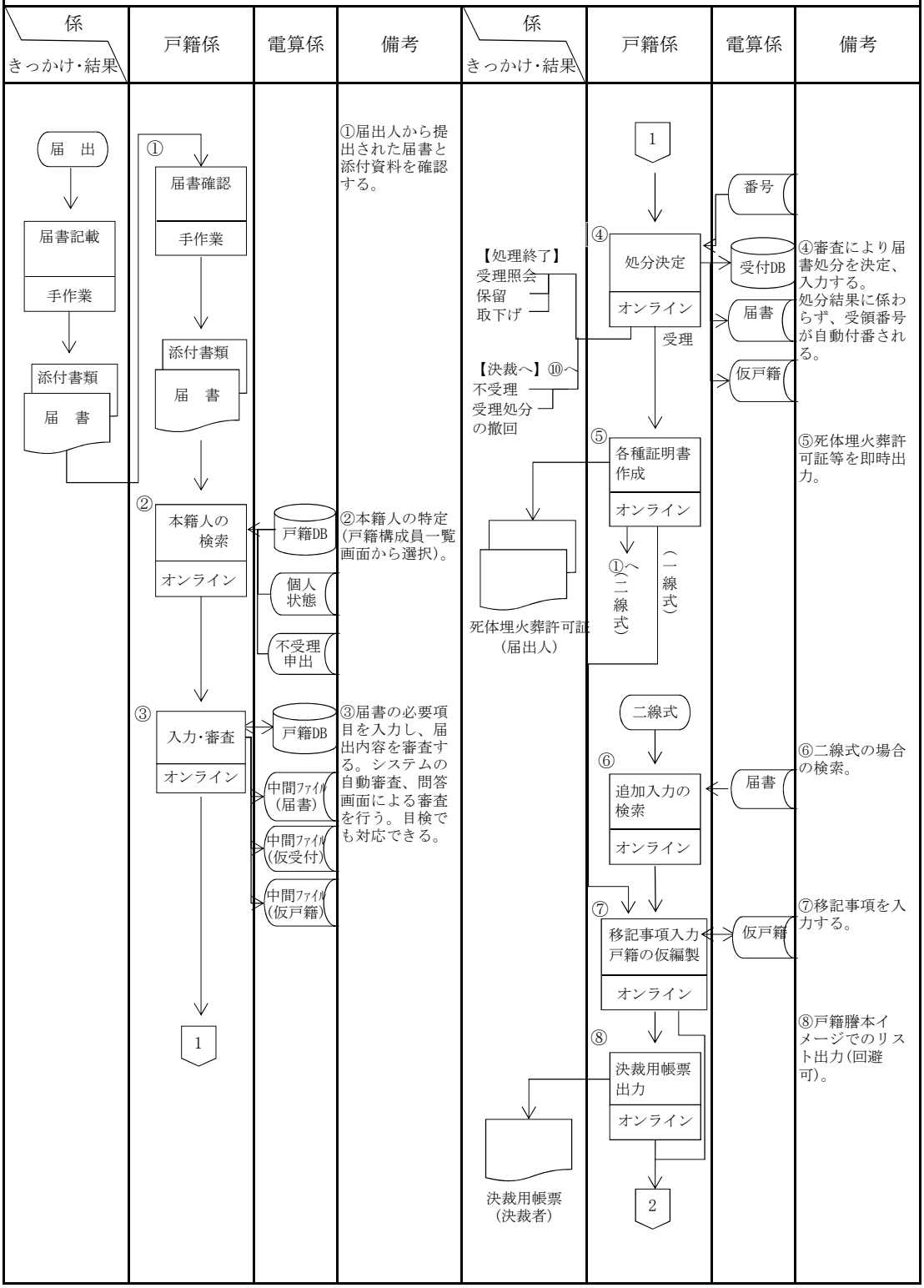


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態無

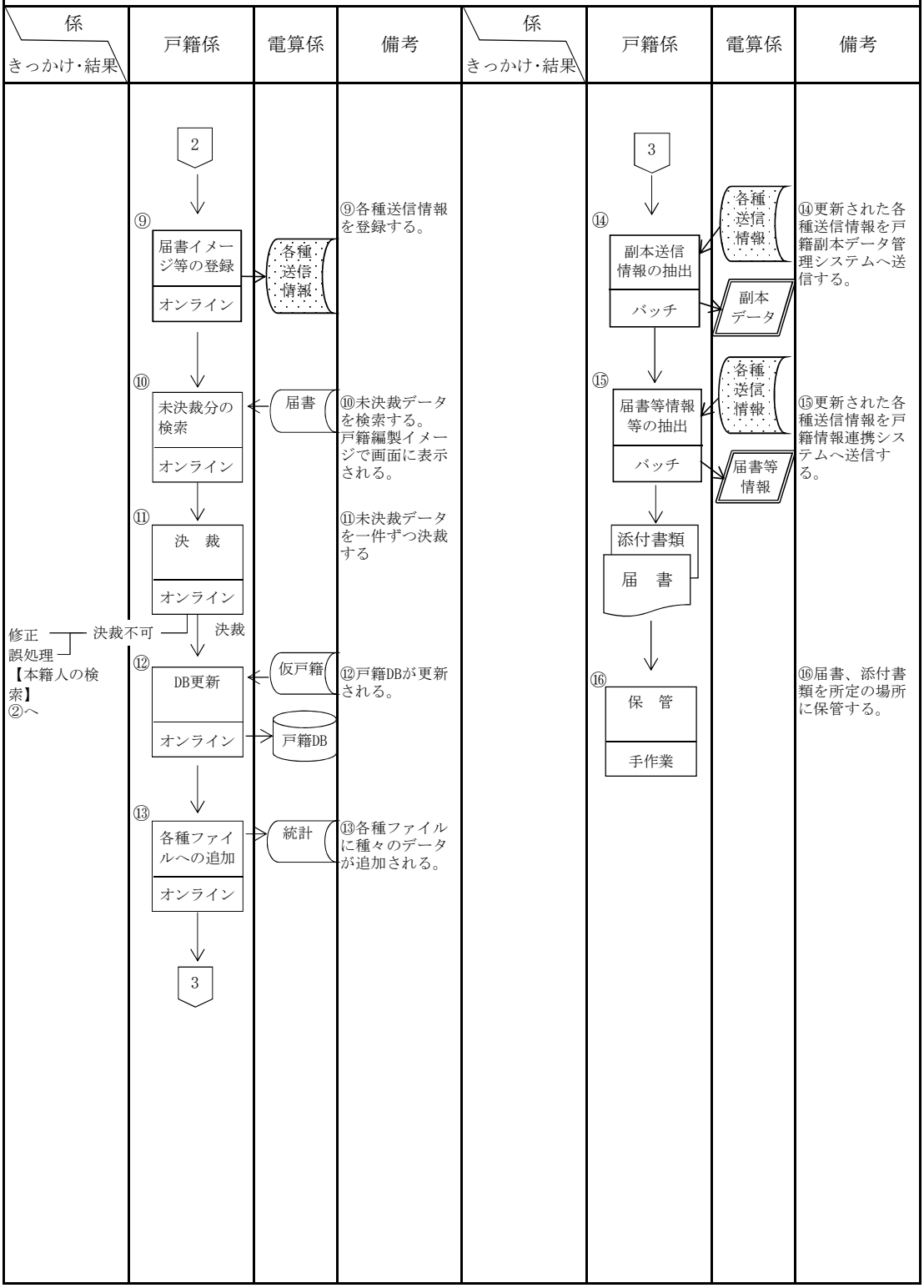


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態無

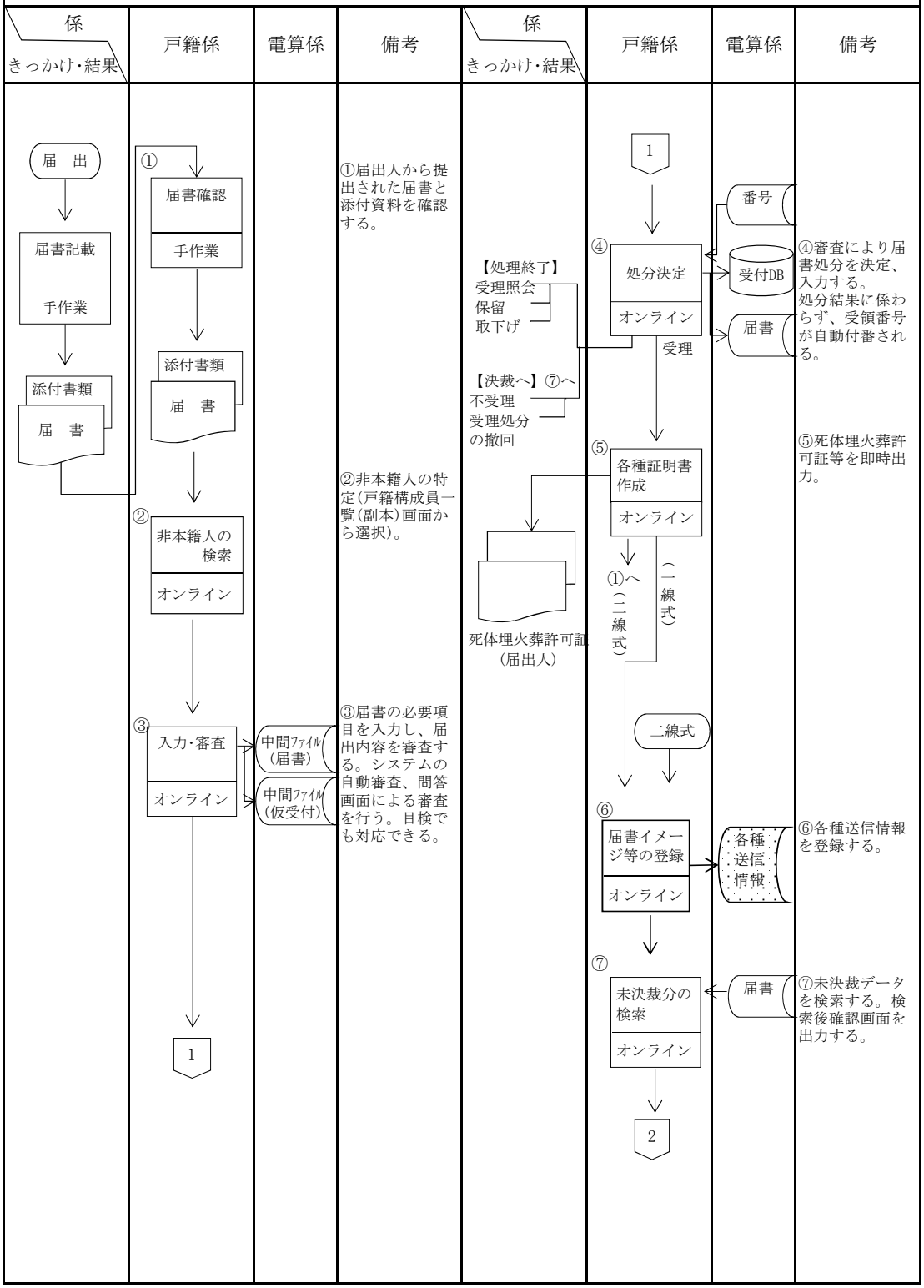


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　受理(非本籍分)・人口動態有

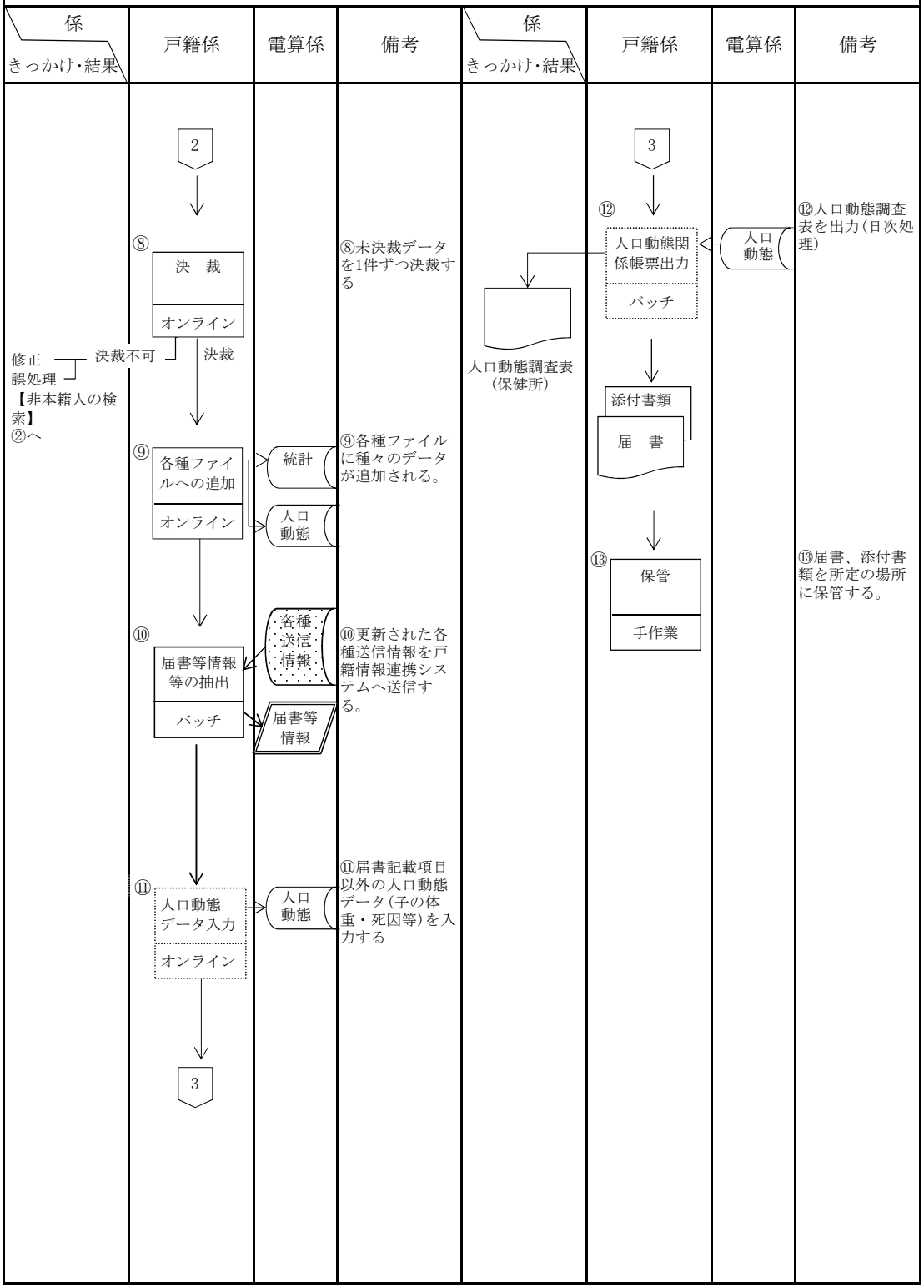


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

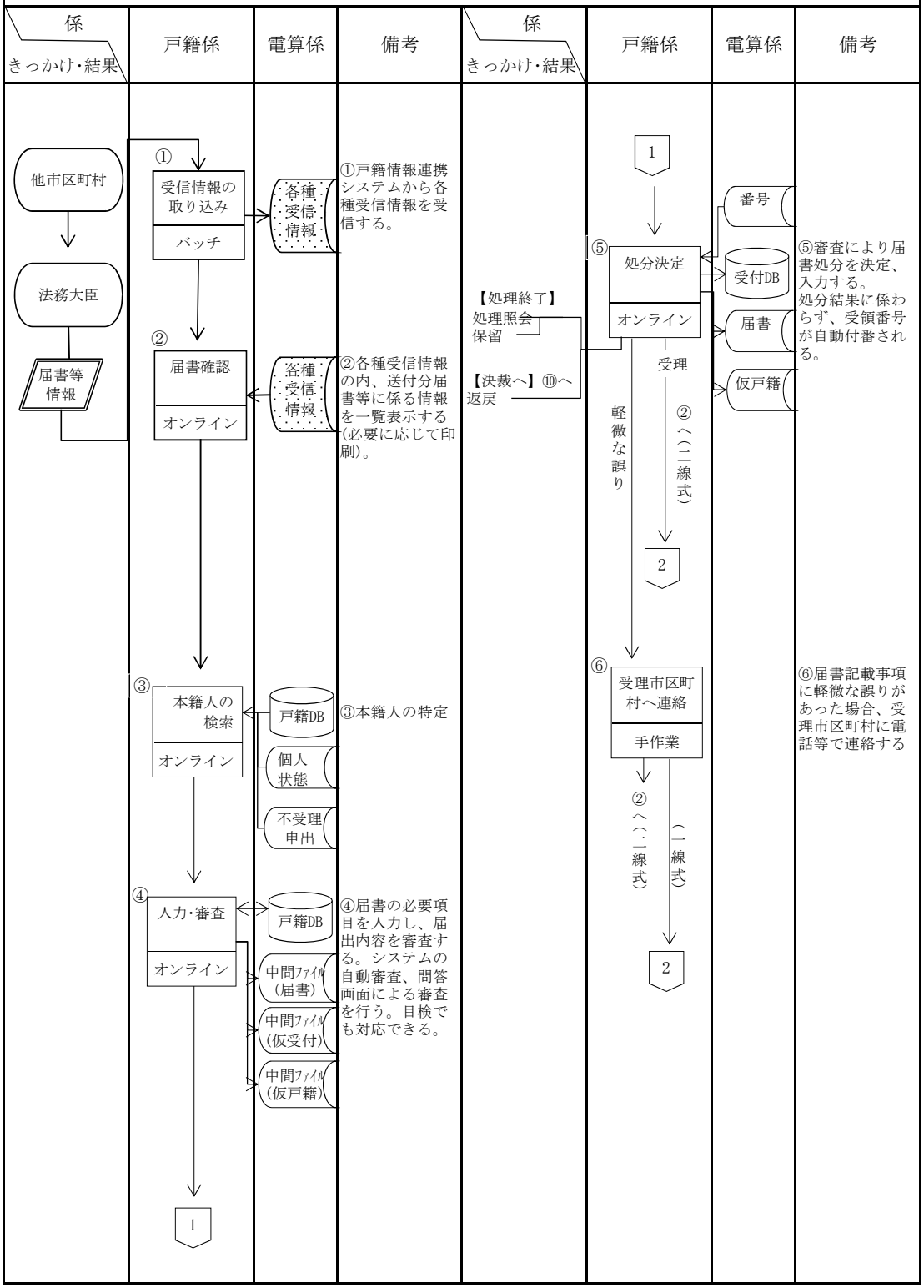
適用業務名

異動処理　全般　受理(非本籍分)・人口動態有



第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
異動処理　全般　送付・人口動態無			

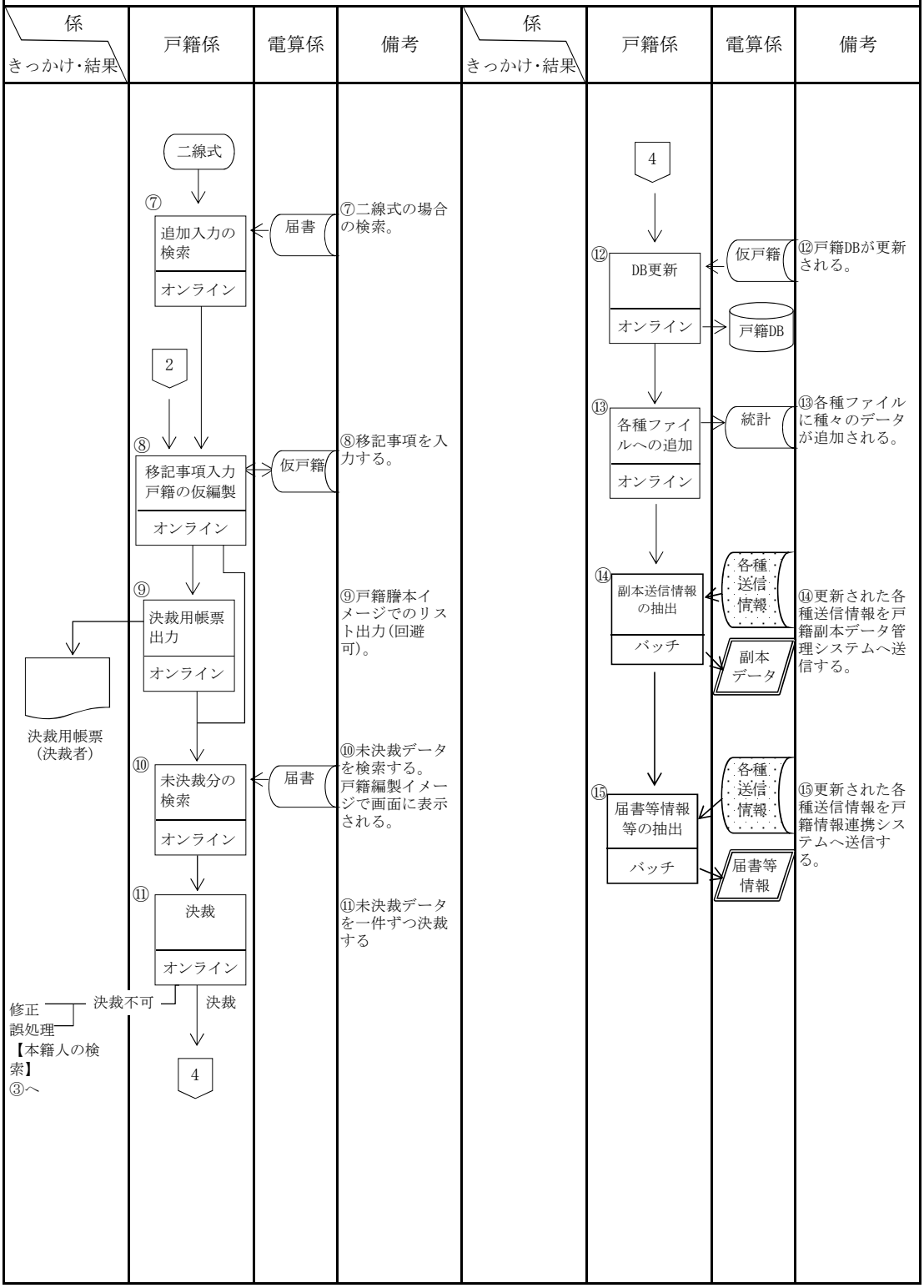


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　送付・人口動態無

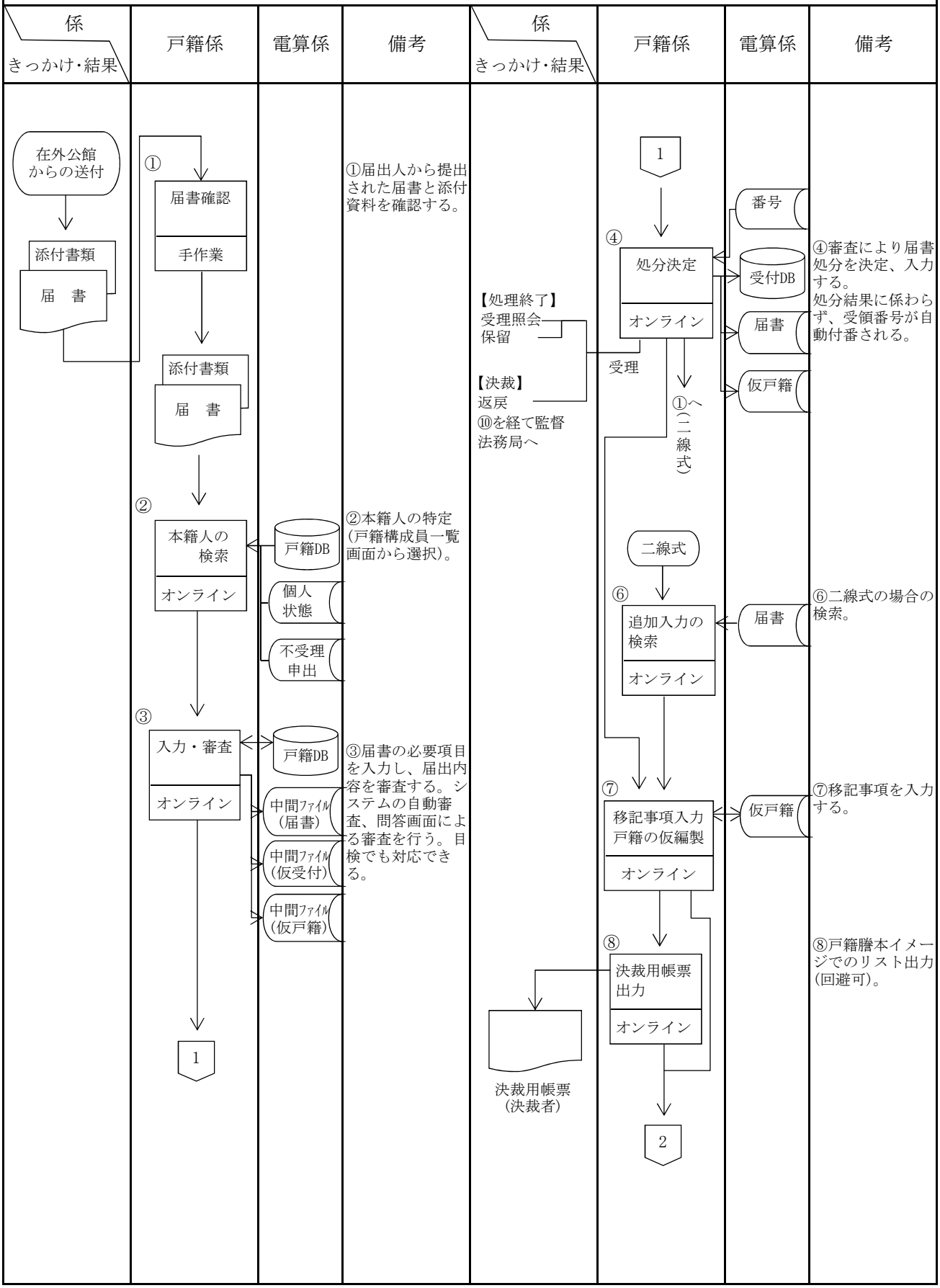


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　送付(在外公館からの送付)・人口動態有

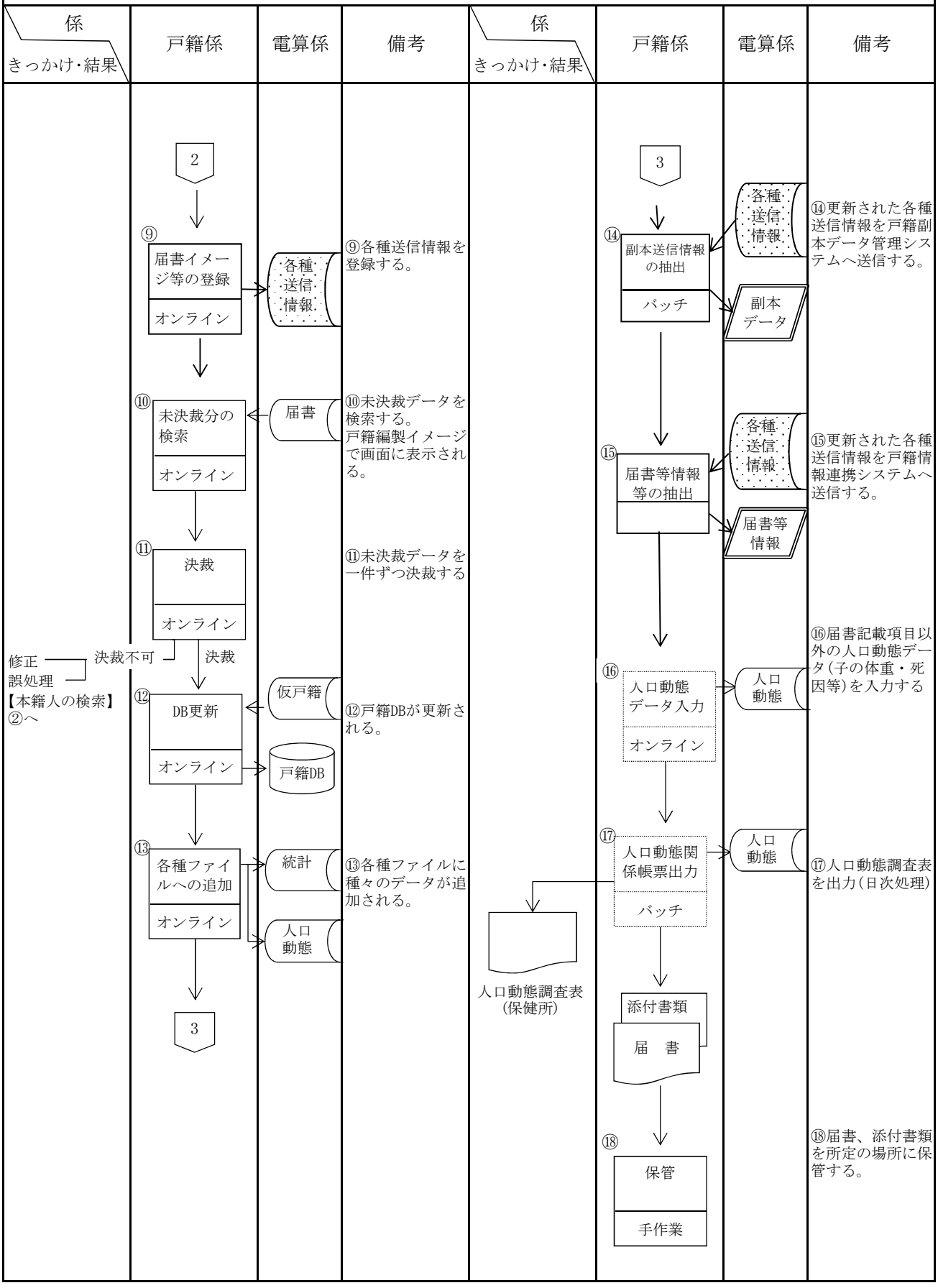


第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　送付(在外公館からの送付)・人口動態有



第5-1 新業務処理手順図

新業務処理手順図	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

異動処理　全般　受理(時間外受付)

係 / きっかけ・結果	戸籍係	電算係	備考	係 / きっかけ・結果	戸籍係	電算係	備考
時間外届出 ↓ 添付書類 届　書 ↓ ①			①届出人からの提出により受付簿に記入する。				
時間外受付簿記入 手作業 ↓ 受付簿							
	② 休祝日・夜間分受領番号取得 オンライン ↓ 添付書類 届　書	受付DB	②時間外受領届出件数分の受領番号を一括確保する。この後届出業務開始。				

第5.2

システムの機能体系図

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	システムの機能体系図	7.帳票出力機処理 ・「種類帳」を削除 ・「届書送付目録」を削除 ・「渉外関係届書送付目録」を削除 ・「届書送達確認書」を削除
2		3		1.検索処理 ・「副本記録情報検索」を追加 11.各種ファイル更新処理 ・「管掌者親族情報更新」を追加 12.連携情報処理 ・「本籍人副本記録情報検索」を追加
3		4、5、6		5.証明処理 ・「広域交付戸籍証明書等」を追加 ・「戸籍電子証明書等」を追加 ・「届書等情報内容証明書等」を追加
5	R3	B04	システムの機能体系図	4.決裁処理 ・「届書等イメージ表示」を追加 8.各種ファイル更新処理 ・「届書等イメージ更新」を追加 ・「届書補正情報更新」を追加 ・「送付先市区町村情報更新」を追加 12.連携情報処理 ・「送付分届書等入力」を追加

第5.2　システムの機能体系図

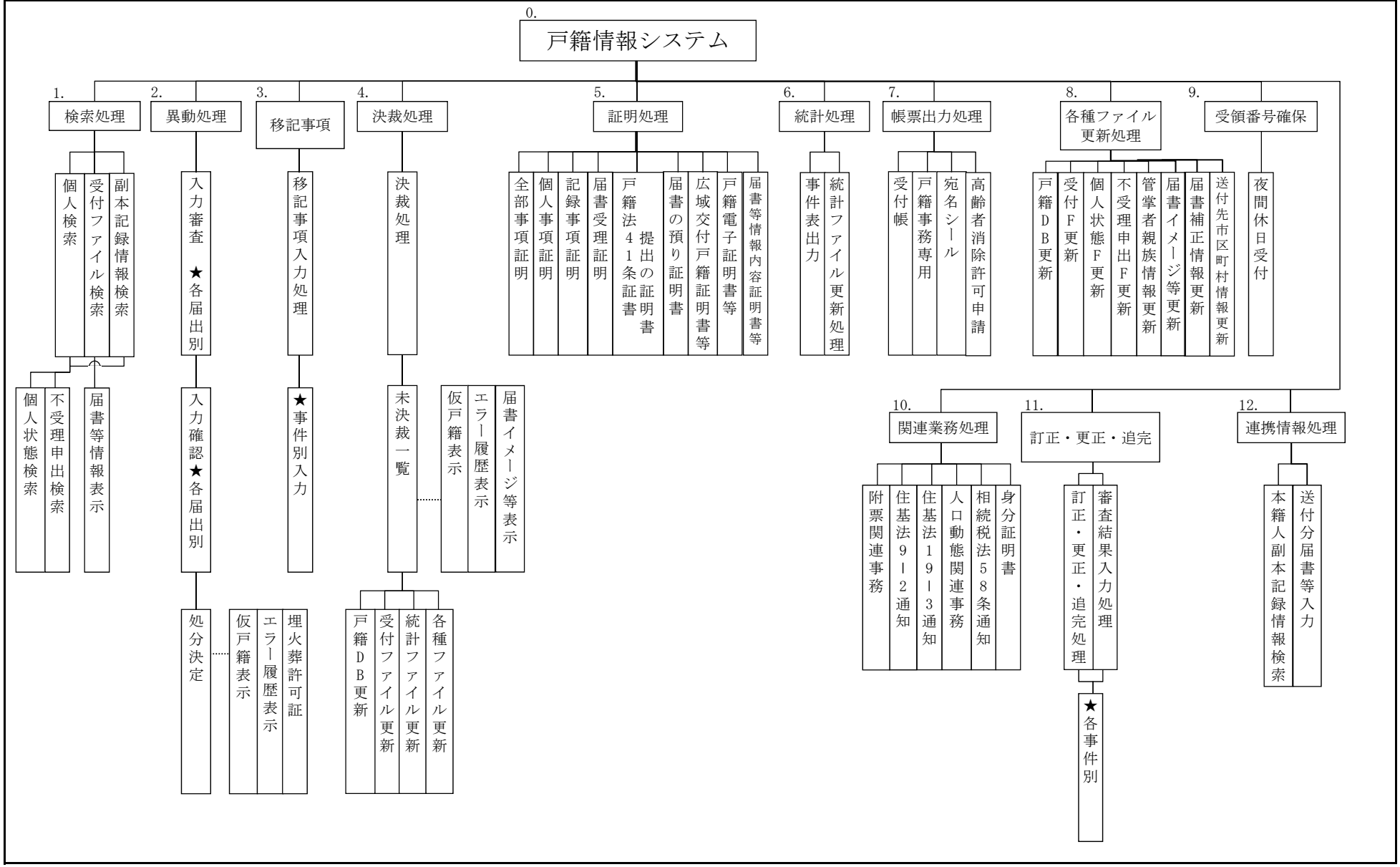
(1) 作成の目的
　システム化対象事務には、どのような機能があるかを把握するとともに、どのような処理体系であるかを整理する。

(2) 作成方法
　第一の「システム化の範囲」及び第五の「新業務処理手順図」よりシステム処理を洗い出し、一致する処理機能をまとめ、階層のレベルが細分化しないように配慮しつつ、システムの全体像が把握できる一覧を作成した。

(3) システムの機能体系図
　上記の検討を経て作成した体系図は、以下のとおりである。

第5-2 システムの機能体系図

システムの機能体系図	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3



第5.3

オンライン処理の流れ図(詳細)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

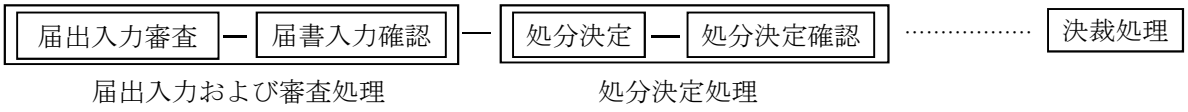
項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	オンライン処理の流れ図(詳細)	1.検索処理　1.2受付ファイル検索 ・「届書等情報表示」を追加
2		3		1.検索処理 ・「1.3副本記録情報検索」を追加 2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理 ・非本籍人の副本記録情報検索を追加 ・処分決定の際の参照戸籍ファイル作成を追加 4.決裁　4.1 届書決裁処理 ・参照戸籍ファイル削除を追加 4.決裁　4.2 届書誤処理 ・参照戸籍ファイル削除を追加 8.各種ファイル更新処理 ・「管掌者親族情報更新」を追加 12.連携情報処理を追加 12.連携情報処理 12.1本籍人副本記録情報確認を追加
3		4、5、6		5.証明処理 ・選択メニューに以下の選択肢を追加 「7.広域交付戸籍証明書等」 「8.戸籍電子証明書等」 「9.届書等情報内容証明書等」 ・以下の画面を追加 「証明書発行確認(副本)」 「届書等情報表示」 「証明書発行確認(届書等情報内容証明)」 5.証明処理　5.3 届書受理証明書他 ・届書等情報表示に必要な中間ファイル出力を追加 5.証明処理　5.4 広域交付戸籍証明書等他」を追加
4	R3	B01、B02	オンライン処理の流れ図(詳細)	・証明処理 I0050、I0100、I0210を削除 ・連携情報処理 メニューを画面設計書に合わせて修正
5		B03		・個人検索 不受理申出イメージ表示と胎児認知届イメージ表示を追加 ・受付検索 備考③(2)にｲﾒｰｼﾞ情報を追加　(3)ｲﾒｰｼﾞ履歴表示を追加 ・副本記録情報検索 検索キーに検索補完項目を追加 不受理申出イメージ表示と胎児認知届イメージ表示を追加 ・届書入力･審査及び処分決定処理 不受理申出イメージ表示と胎児認知届イメージ表示を追加 ・決裁処理 届書等イメージ表示を追加 ・本籍人副本記録情報確認 検索キーに検索補完項目を追加 不受理申出イメージ表示と胎児認知届イメージ表示を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
6		B04		・個人検索 構成員一覧及び個人詳細表示から異動処理状況表示への分岐を追加 ・受付検索 受付ファイル検索から決裁状況表示の分岐を追加 ・届書入力･審査及び処分決定処理 構成員一覧及び個人詳細表示から異動処理状況表示への分岐を追加 I0140、I0150、I0160を追加 ・届書決裁処理 不受理申出ファイル、個人状態ファイルから発送ファイルを削除 送付先市区町村情報ファイル処理を追加 ・各種ファイル更新処理 更新処理メニューの追加及び既存メニューの配置を画面設計書に合わせて修正 ・受付ファイル更新処理 更新した情報を戸籍情報連携システムに送信する情報を追加 ・届書イメージ等更新処理、送付分届書等入力 新規作成
7		－		・「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正 ・証明処理に6:一部証明を追加 ・関連業務処理の備考欄の人口動態に関する記載を削除

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
ドキュメント名称			
オンライン処理の流れ図(詳細)			

〔順守事項〕

(1)　異動処理における機能の流れは順守とする。



(2)　処理選択毎に機密保護対策としてのパスワードチェック等の照合を行うこと。

〔留意点〕

(1)　システム動作環境により流れは多少異なるため、ここで示す「オンラインの流れ」はサンプル提示とする。

(2)　「第5-5(1)　画面設計書」で示されている画面名称と一部表現が異なっているものがあるが、該当画面に置きかえて読み取ること。

(3)　関連業務処理、帳票出力処理など、自治体の運用に合わせて設計(開発)する画面については、「第5-5(1)　画面設計書」を作成していない。オンラインの流れ図では仮名称としているので個別に作成のこと。

(4)　流れ図中に対象となる入出力ファイル(DB)を説明しているが、あくまで参考的なもので中間ファイル、仮戸籍ファイル、戸籍ファイル(DB)の位置づけを明確にし、更新のタイミングを考慮する事。

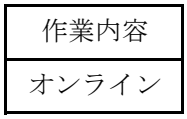
(5)　便宜上、PFxxの表現があるが実現するための手法については任意とする。

第5.3　オンライン処理の流れ図(詳細)

(1)　作成の目的

この流れ図は、新業務処理手順図で示されたオンライン処理部分を、さらに詳細な処理手順の流れに明確化するとともに、新システムのオンライン処理全体を把握する資料とするものである。

具体的には、新業務処理手順図の

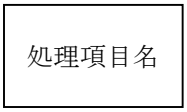


を、コンピュータ処理の手順に沿って分割し、オンライン画面の展開図を作成する。

(2)　作成方法

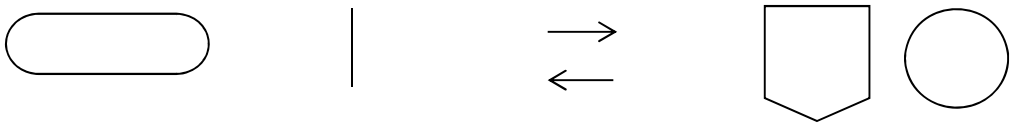
ここでは、端末を操作する者にとって分かりやすい入力及び検索の画面を考慮した結果、届書入力を基本とした。
各処理･作業内容は機能単位で作成し、プログラム規模の統一化や機能の単純化、パターン化を図った。
使用する記号は、次のとおりである。

ア.処理項目(プロセス)

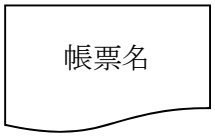


イ.画面

ウ．きっかけ　　エ．処理の流れ　　オ．データの流れ　　カ．結合子

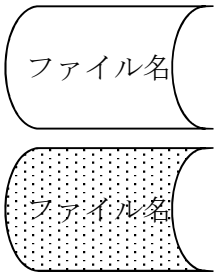


キ．帳票



ク．データベース(DB)

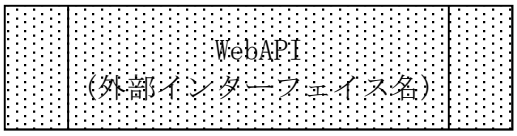
ケ．ファイル



入力データやDBから中間的にデータを記録活用する場合などに用いる。
上段の記号は戸籍情報システム内で処理されるデータの集合体をいう。
下段の記号は戸籍情報連携システムからインターフェイスを介して受信するデータを基にして戸籍情報システムで処理するためのデータの集合体又は戸籍情報連携システムへインターフェイスを介して送信するデータの基となる戸籍情報システムで処理するためのデータの集合体をいう。

コ.サブルーチン

サ．WebAPIインターフェイス及びファイル



戸籍情報連携システムが提供するWebAPI機能を用いた処理及びその処理で送受信するデータの集合体をいう。

なお、各画面の処理概要については、その説明を備考欄に示した。

(3)　オンラインの処理の流れ図(詳細)

上記の検討を経て作成した流れ図は、以下のとおりである。

第5 3	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2

提示の範囲は以下のものです。

1. 業務選択

2. 検索処理

3. 異動処理(処分決定含む)

4. 移記処理

5. 決裁処理

6. 証明処理

7. 統計処理

8. 帳票出力処理

9. 各種ファイル更新処理

10. 受領番号確保

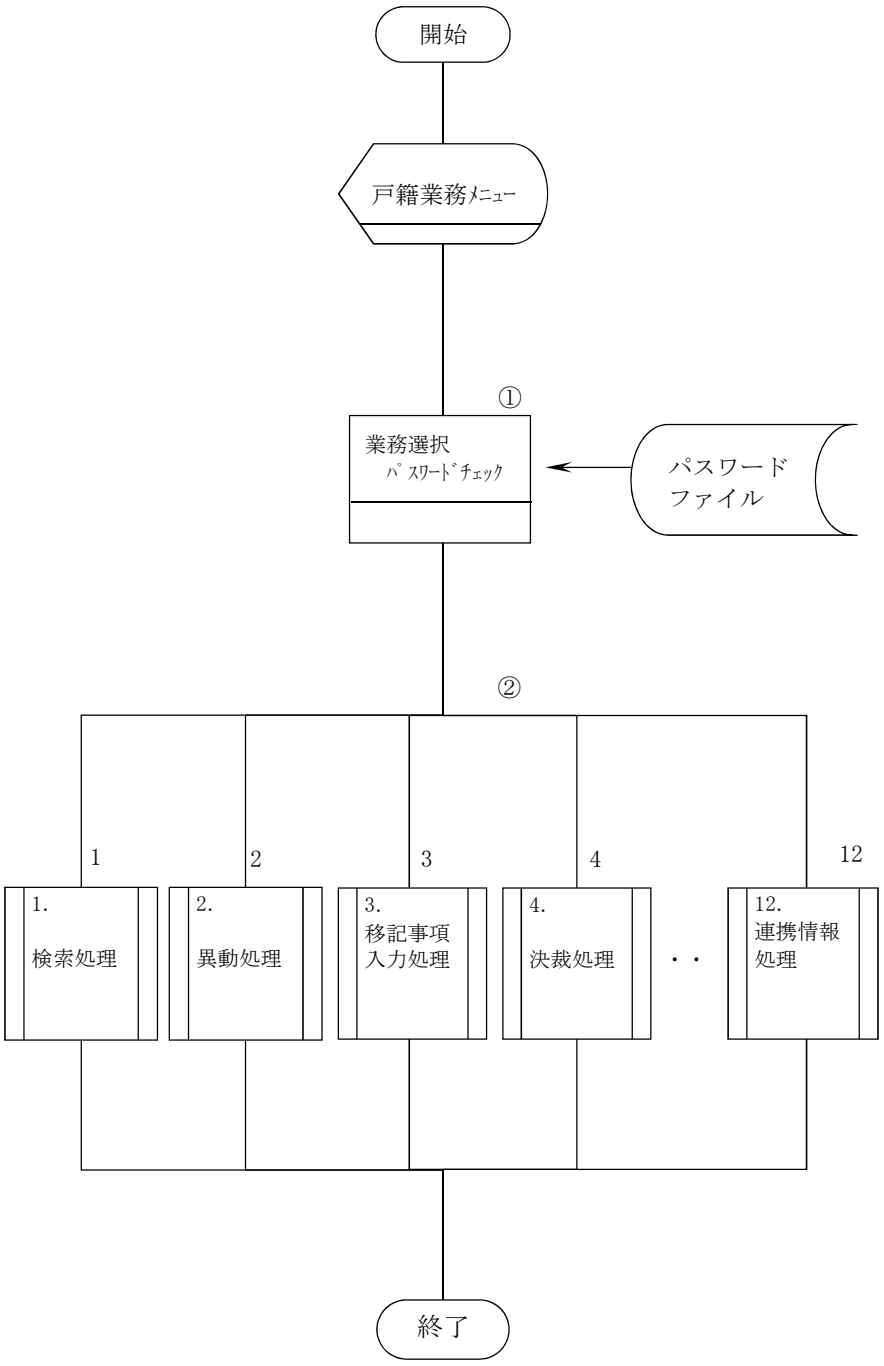
11. 関連業務処理

12. 連携情報処理

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2

適用業務名

0.業務選択



備考

①
(1) 業務選択番号及びパスワードの入力
(2) 業務選択番号及びパスワードのチェック
※ エラー時はメニュー画面へ戻る

判定条件
(1) 業務選択番号の誤入力
(2) 検索資格なし
※ 4回連続エラー時は、次入力が出来ない

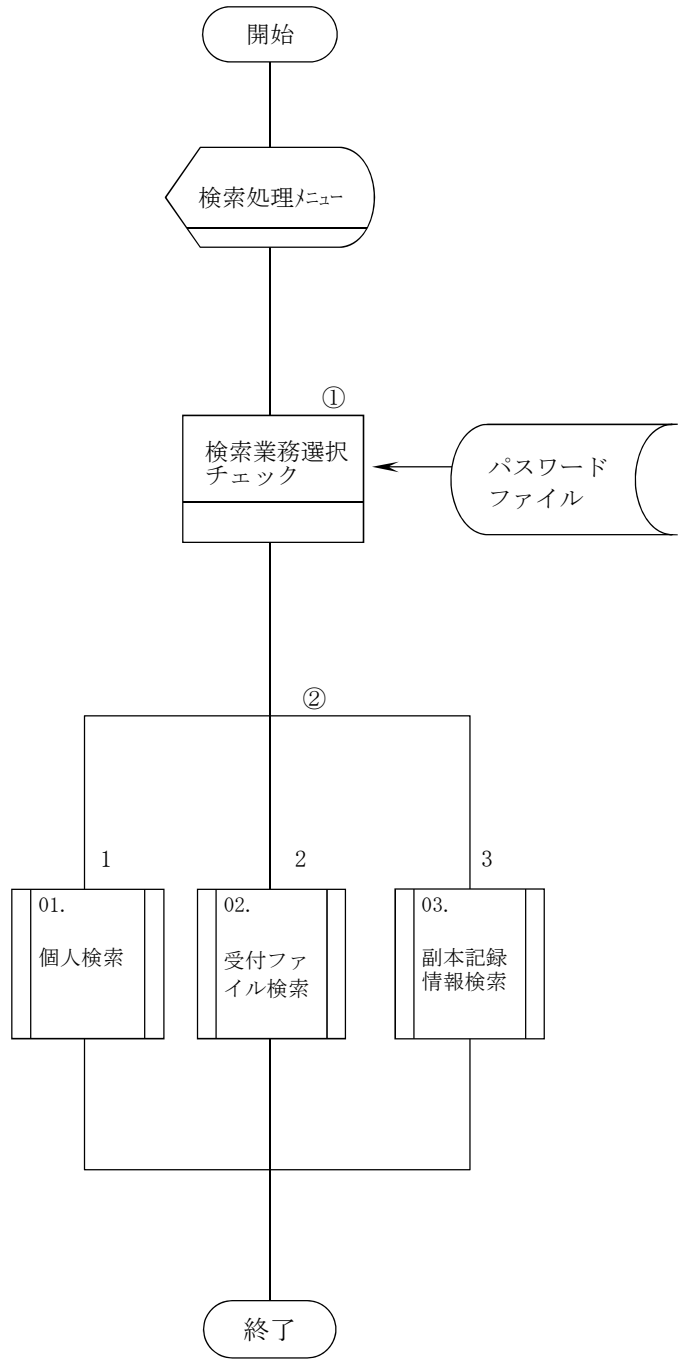
② 以下の業務に制御を渡す。

1.検索処理
2.異動処理
3.移記事項入力処理
4.決裁処理
5.証明処理
6.統計処理
7.帳票出力処理
8.各種ファイル更新処理
9.受領番号確保処理
10.関連業務処理
11.訂正･追完･更正･審査結果入力処理
12.連携情報処理

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2

適用業務名

1.検索処理



備考

①
(1) 選択番号の入力
(2) 選択番号及び検索資格のチェック
※エラー時はメニュー画面へ戻る
判定条件
(1) 選択番号の誤入力
(2) 検索資格なし

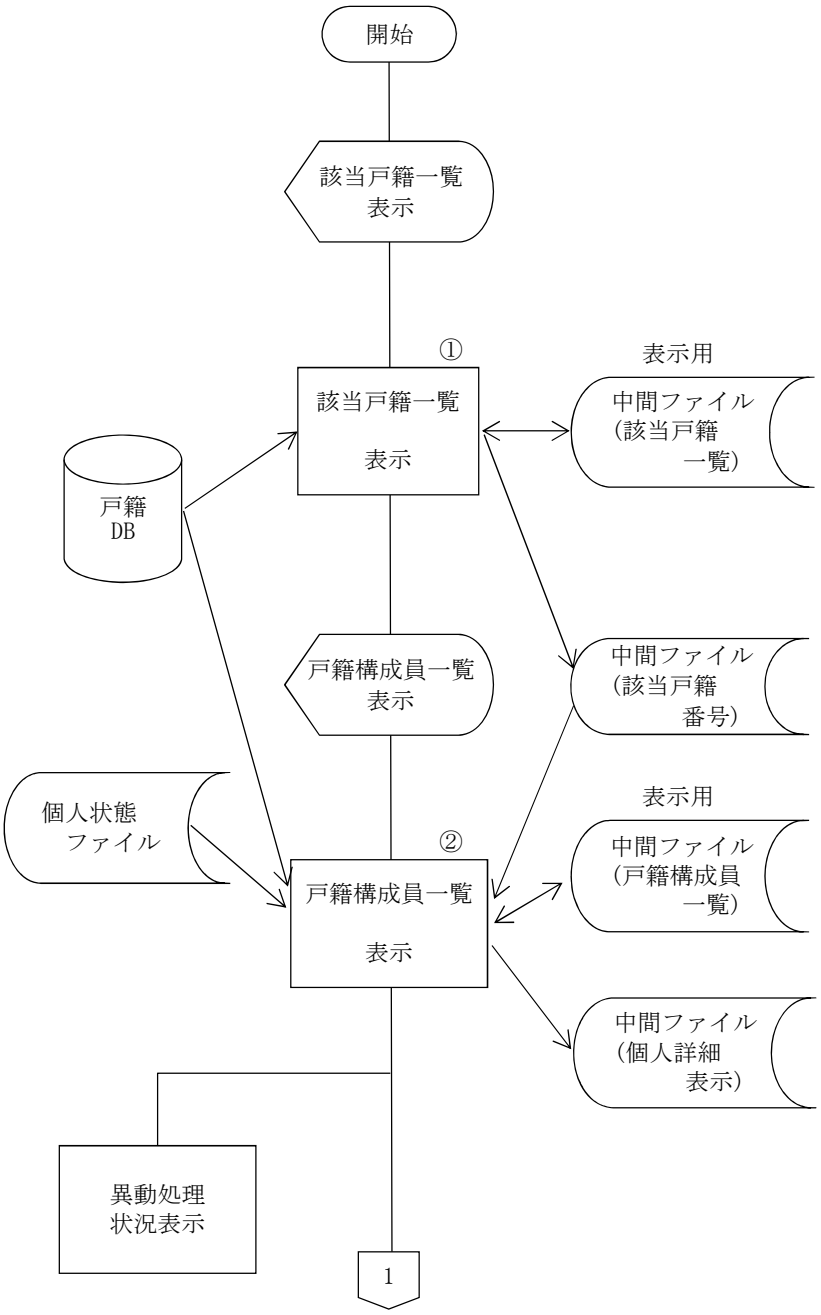
② 以下の業務に制御を渡す.

1.01 個人検索
a.個人詳細表示
b.不受理申出表示
c.個人状態表示
1.02 受付ファイル検索
a.届書等情報表示
1.03 副本記録情報検索
a.個人詳細表示(副本)
b.不受理申出表示(副本)
c.個人状態表示(副本)

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索



備考

①該当戸籍選択

(1) 検索キー(補助キー)の入力

a.カナ氏名(氏、氏名)
b.漢字氏名(氏、氏名)
c.本籍(前方一致)
d.生年月日(前方一致)
e.筆頭者(氏名)
［各自治体の判断により異なる］
※複合検索も可

(2) 戸籍DBを検索し、検索キーに該当する戸籍の一覧を表示する。

(3) 該当番号を入力

(4) 該当戸籍を選択する。

(5) 戸籍構成員一覧へ制御を渡す。

②戸籍構成員一覧

(1) 個人詳細番号の入力

(2) 中間ファイル(該当番号)の戸籍番号をキーに戸籍DB、個人状態ファイルを検索し、戸籍事項･身分事項等を編集する。

(3) 戸籍構成員の個人番号をキーに個人状態ファイルを読み込み編集する。

(4) 戸籍構成員一覧の表示及び個人詳細表示の選択

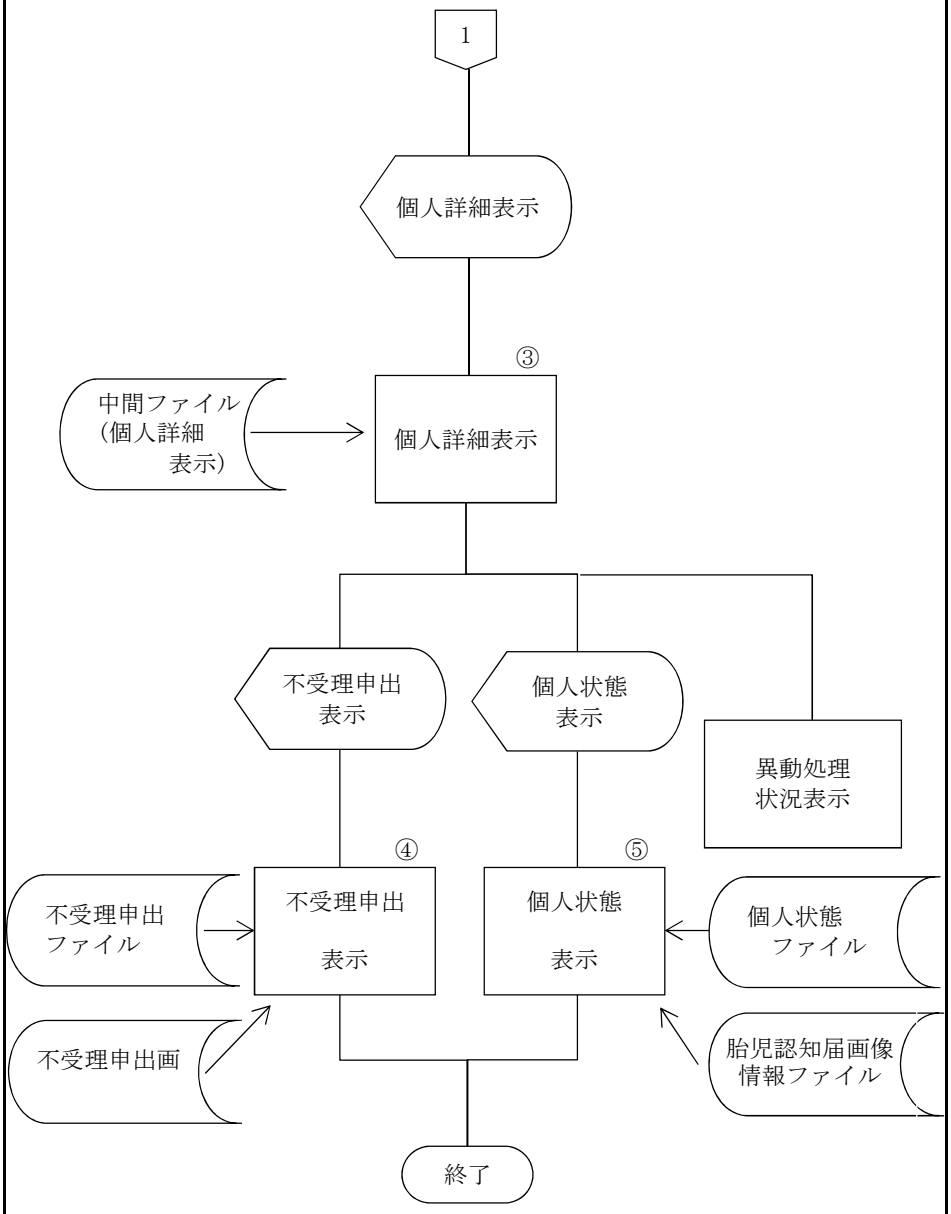
(5) 選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する。

(6) 個人詳細表示又は異動処理状況表示へ制御を渡す。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索



備考

③　個人詳細表示

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を読み込み個人事項等を編集する。

(2) 個人詳細表示

(3) 不受理申出･個人状態を表示するためのパスワードチェック及びPFキー選択

a.PF10-不受理申出表示
PF11-個人状態表示

④　不受理申出表示

(1) 不受理申出がある場合のみ、表示する。

a.PFキー選択による他画面の選択
PF6-不受理申出ｲﾒｰｼﾞ表示
PF9-個人詳細表示
PF11-個人状態表示

⑤　個人詳細表示

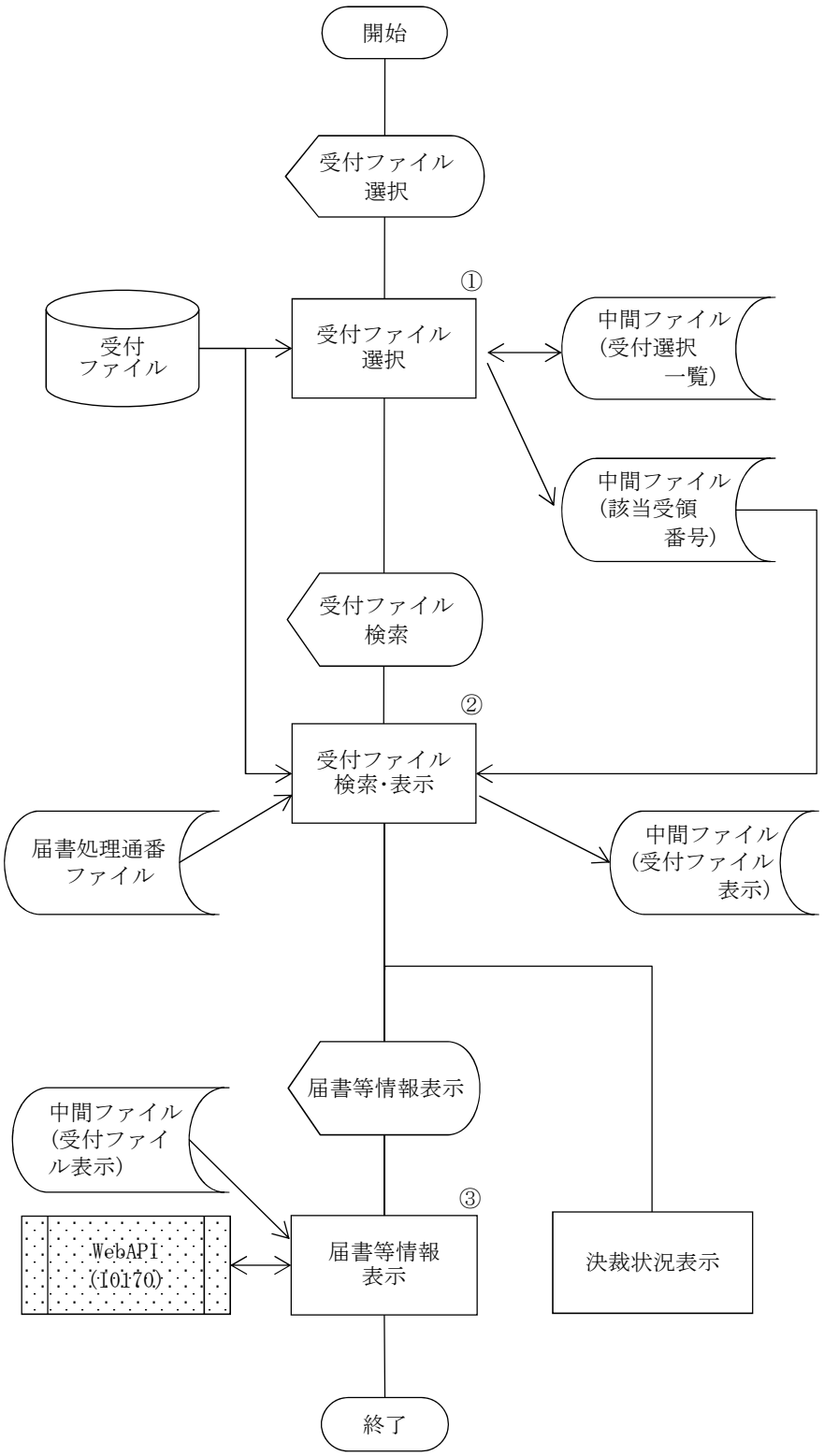
(1) 個人状態がある場合のみ表示する。

a.PFキー選択による他画面の選択
PF6-胎児認知届ｲﾒｰｼﾞ表示
PF9-個人詳細表示
PF10-不受理申出表示

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.2受付ファイル検索



備考

①受付ファイル選択

(1) 検索キーの入力

a.受領番号
b.受領日
c.処分区分
d.カナ氏名(氏、氏名)
e.漢字氏名(氏、氏名)
f.事件コード
g.渉外区分
h.生年月日
i.受理送付区分
［自治体の判断により異なる］
※複合検索も可

(2) 検索キーにより受付ファイルを検索し、受付ファイル選択を表示する。
　但し、検索件数が多すぎる場合はエラーとする。
(打切り件数は任意)

(3) 該当番号を入力する。

(4) 受付ファイル検索に制御を渡す。

②受付ファイル表示

(1) 該当番号の受領番号をキーとして受付ファイルを検索し受付ファイル検索を表示する。

(2) 届書等情報を表示するためのPFキーを選択する。

a.PFキー選択による他画面の選択
　PF9-決裁状況表示
　PF10-届書等情報表示

③届書等情報表示

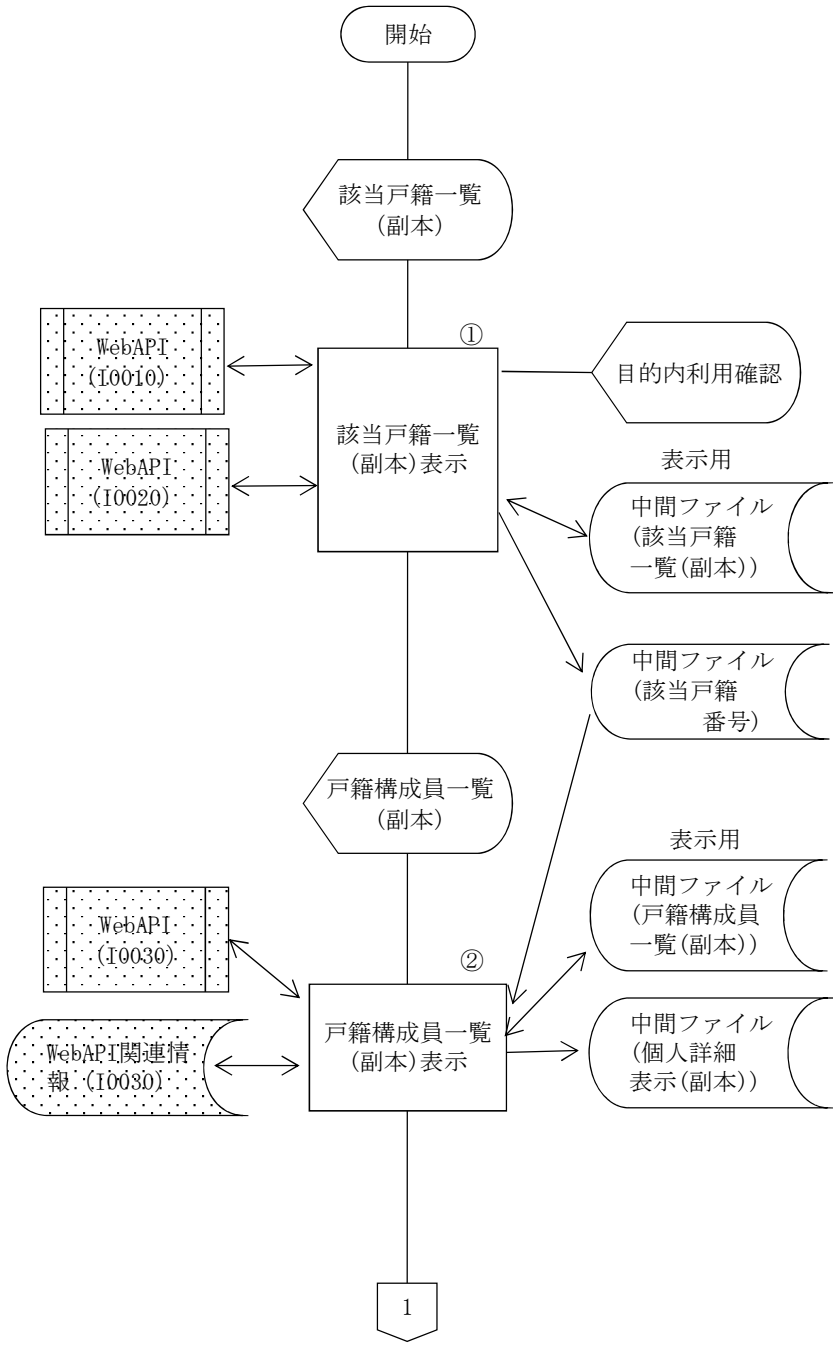
(1) 受付ファイル選択で選択した受付ファイルに紐付く届書等情報の登録状況を戸籍情報連携システムから取得し、表示する。

(2) PF10
　届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージ、申入書イメージを表示する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索



備考

①該当戸籍一覧(副本)表示

(1) 検索キーの入力

a.カナ氏名
b.漢字氏名
c.本籍
d.生年月日
e.筆頭者
f.戸籍の編製日
g.戸籍の消除日
h.入籍日
i.除籍日
j.検索対象市区町村
k.戸籍種別
※複合検索も可
[検索補完項目]
l.記載字検索フラグ
m.遡り検索フラグ
n.構成員等取得フラグ

(2) 目的内の利用であることを確認し、目的を選択する。
※目的内利用であることを確認できない場合は検索不可とする。

(3) 検索キーに該当する副本記録情報の索引情報を戸籍情報連携システムから取得し、該当する戸籍の一覧を表示する。

(4) 該当番号を入力する。

(5) 戸籍構成員一覧(副本)表示へ制御を渡す。

②戸籍構成員一覧(副本)表示

(1) 該当戸籍一覧(副本)画面で選択した該当戸籍に対応する副本記録情報を戸籍情報連携システムから取得し、構成員の一覧を表示する。

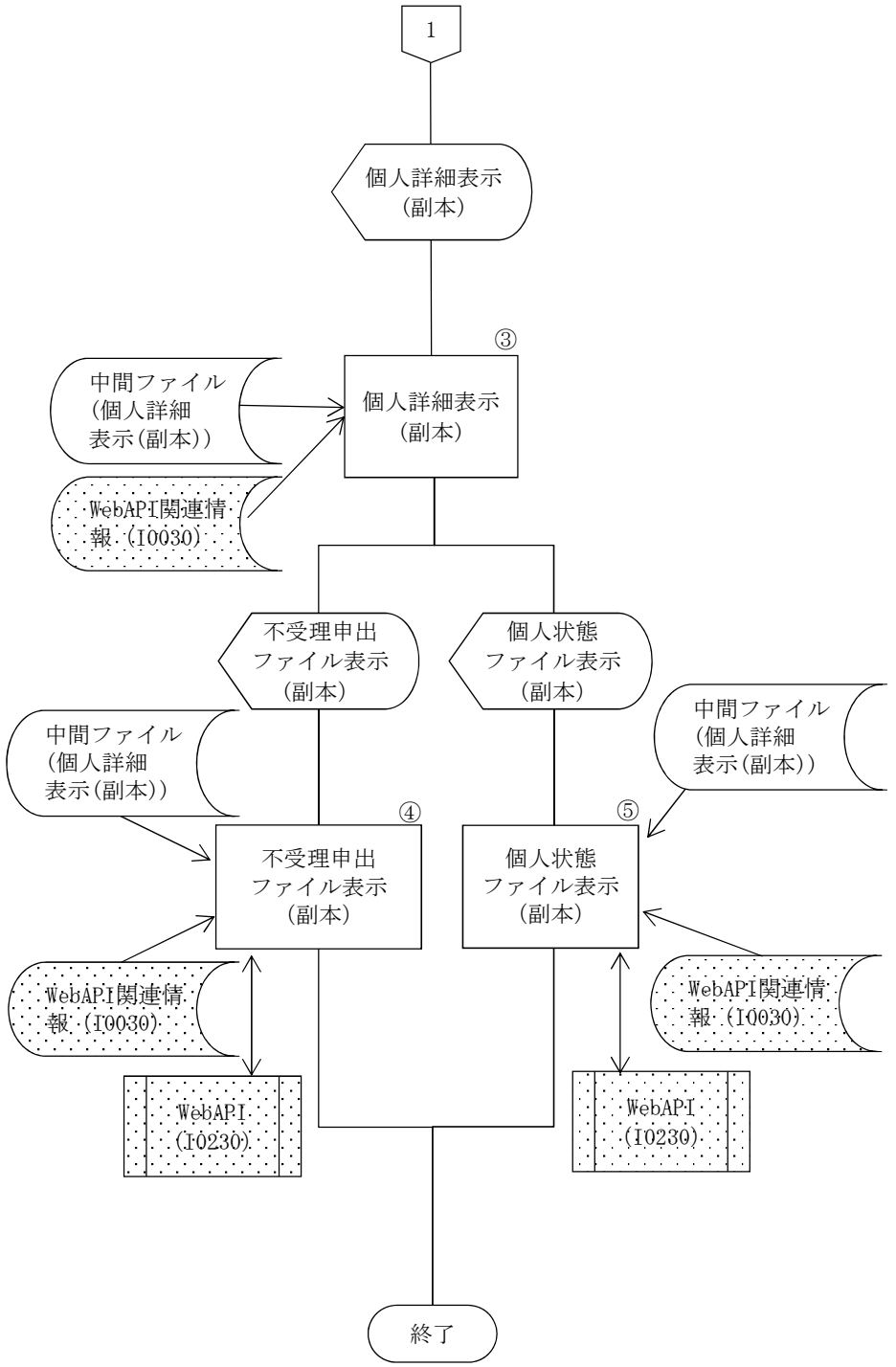
(2) 個人詳細番号を入力する。
(3) 個人詳細表示(副本)へ制御を渡す。

(4) PF9
全部事項イメージまたは電算化前の除籍等イメージを表示する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索



備考

③　個人詳細表示(副本)

(1) 戸籍構成員一覧(副本)表示画面で選択された構成員の中間ファイル(個人詳細表示(副本))を読み込み個人事項等を編集する。

(2) 個人詳細表示(副本)を表示する。

④　不受理申出ファイル表示(副本)

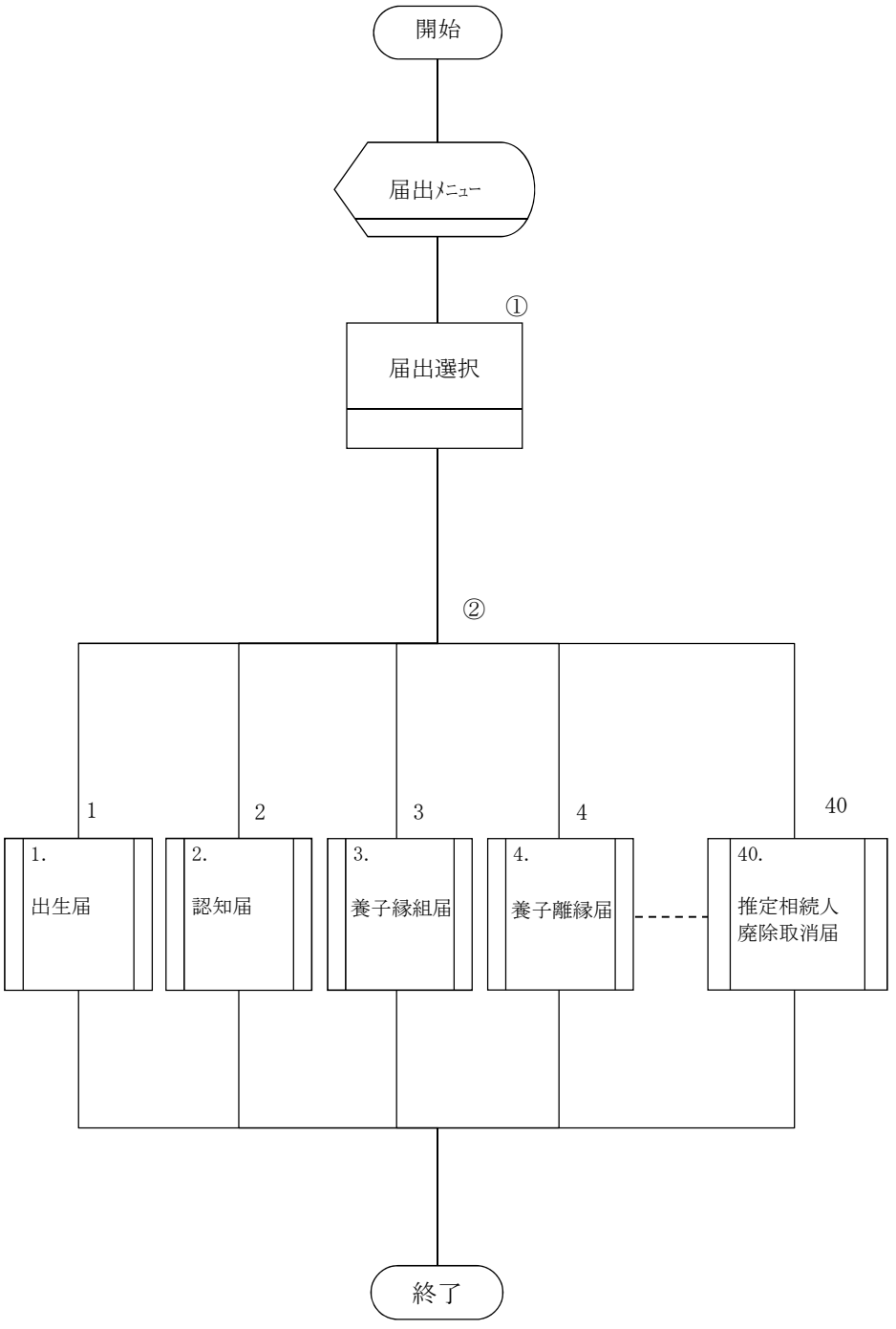
(1) 戸籍構成員一覧(副本)表示画面で選択された構成員の不受理申出ファイルの情報がある場合のみ表示する。
(2) 不受理申出画像情報を戸籍情報連携システムから取得し、イメージを表示する。

⑤　個人状態ファイル表示(副本)
(1) 戸籍構成員一覧(副本)表示画面で選択された構成員の個人状態ファイルの情報がある場合のみ表示する。
(2) 胎児認知区分保有者は、胎児認知届画像情報を戸籍情報連携システムから取得し、イメージを表示する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

2.異動処理　2.0届出選択



備考

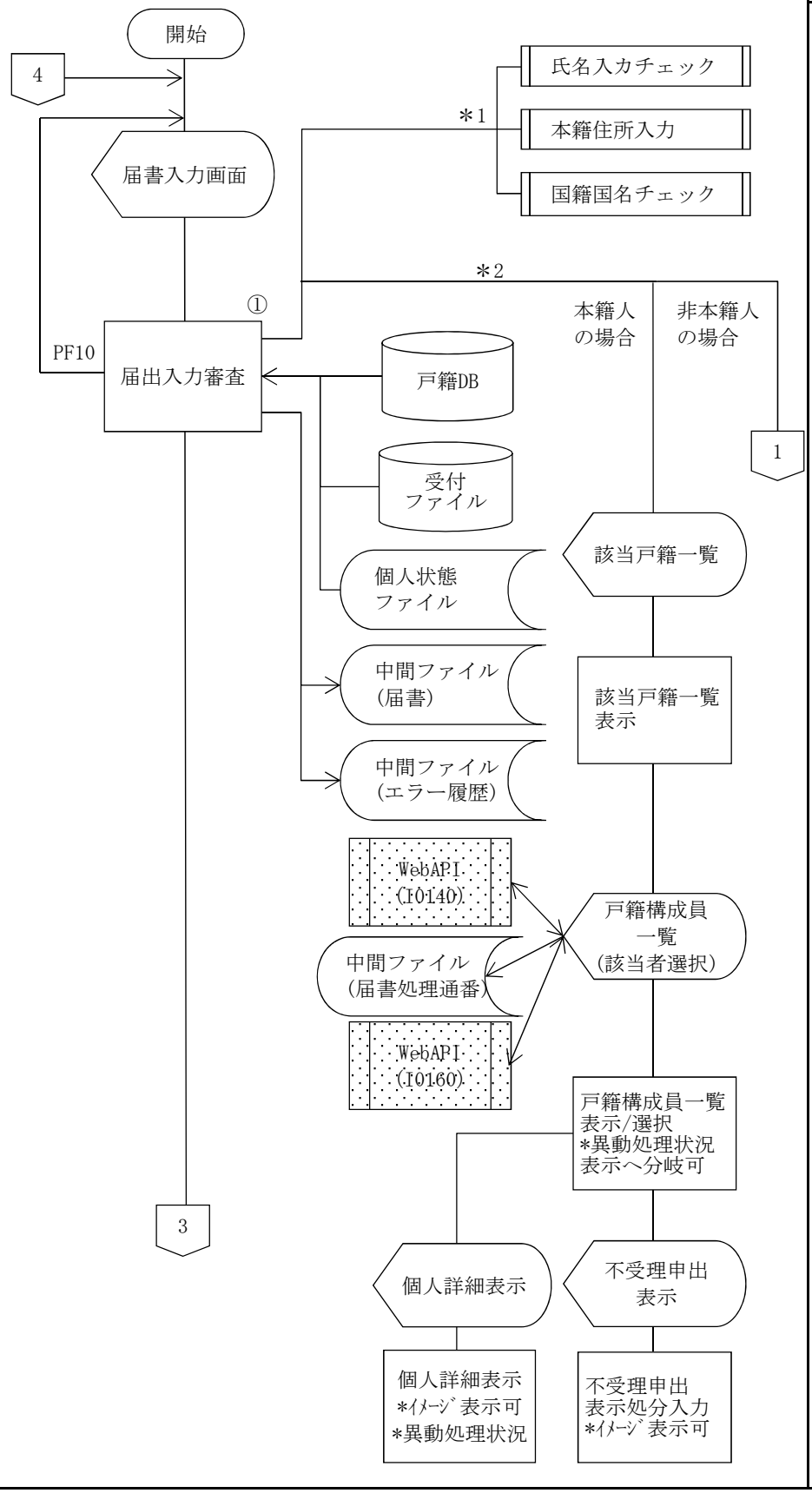
①届出選択
(1) 事件コードの入力
(2) 事件コードのチェック

②　以下の業務に制御を渡す。
1. 出生届
2. 認知届
3. 養子縁組届
4. 養子離縁届
5. 特別養子縁組届
6. 特別養子離縁届
7. 73条の2届
8. 養子離縁届同時73条の2届
9. 婚姻届
10. 離婚届
11. 77条の2届
12. 離婚届同時77条の2届
13. 親権(管理権)届
14. 後見届
15. 保佐届
16. 死亡届
17. 失踪届
18. 復氏届
19. 姻族関係終了届
20. 推定相続人廃除届
21. 入籍届
22. 分籍届
23. 国籍取得届
24. 帰化届
25. 国籍喪失届
26. 国籍選択届
27. 外国国籍喪失届
28. 氏の変更届
29. 107条の2届
30. 107条の3届
31. 107条の4届
32. 名の変更届
33. 転籍届
34. 就籍届
35. 緑組取消届
36. 離縁取消届
37. 婚姻取消届
38. 離婚取消届
39. 失踪宣告取消届
40. 推定相続人廃除取消届

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理



備考

①届書入力審査

(1)届書の内容を画面入力する。

*1.入力の時、以下の補助入力サブルーチンが使用可
･氏名入力チェック
･本籍住所入力
･国籍国名入力
*2.異動検索にて戸籍DB又は副本記録情報を検索し、該当者を選択する。
･異動予約又は本籍人検索で事件本人等を選択ではI0140、I0160を送信する。
･本籍人の場合は戸籍DBの該当データをロックする。
･不受理申出がある場合その旨画面に表示する。
本籍人は不受理申出画像情報ファイルから、非本籍人はI0230で取得したデータでイメージ表示を行う。
･胎児認知区分保有者は、本籍人は胎児認知届画像情報ファイルから、非本籍人はI0230で取得したデータでイメージ表示を行う。
･本籍人は戸籍構成員一覧、個人詳細表示から異動処理状況が確認できる。
･戸籍情報連携システムから届書処理通番を取得し中間ファイル(届書処理通番)を作成する(I0140)。

(2)入力された項目の単体･関連チェックを行う。
但し、エラー(単体･関連･法令)がある場合、届書入力画面に戻る。

(3)届出審査でのメッセージを中間ファイル(エラー履歴)へ出力する。

(4)関連事件の確認を行う。

(5)入力された内容をもとに中間ファイル(届書)の作成を行う。

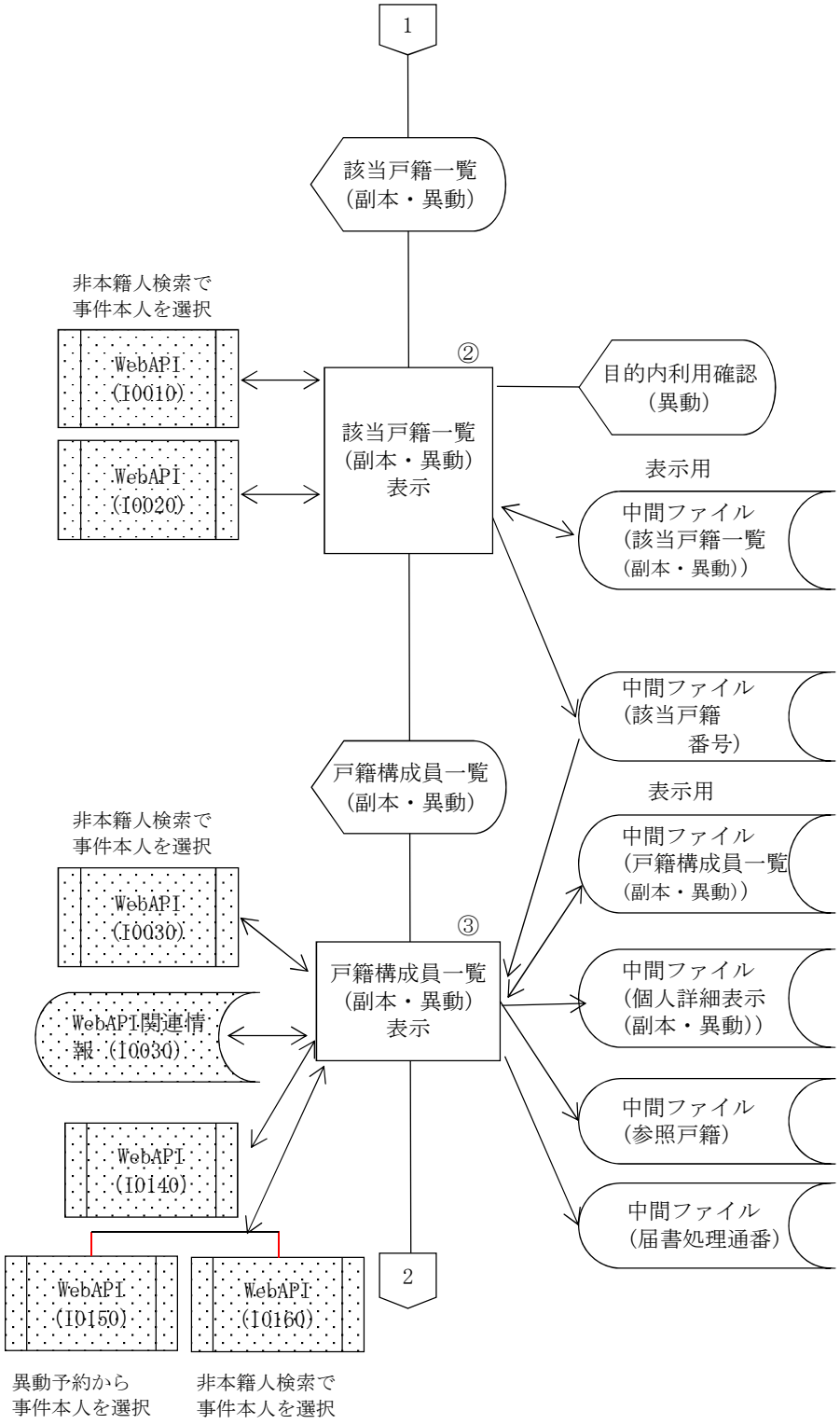
(6)入力確認に制御を渡す。

(7)PF10
画面入力項目の入力禁止を解除する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理



備考

②該当戸籍一覧(副本・異動)表示
「1.検索処理 1.3 副本記録情報検索 ①該当戸籍一覧(副本)表示」と同様である。

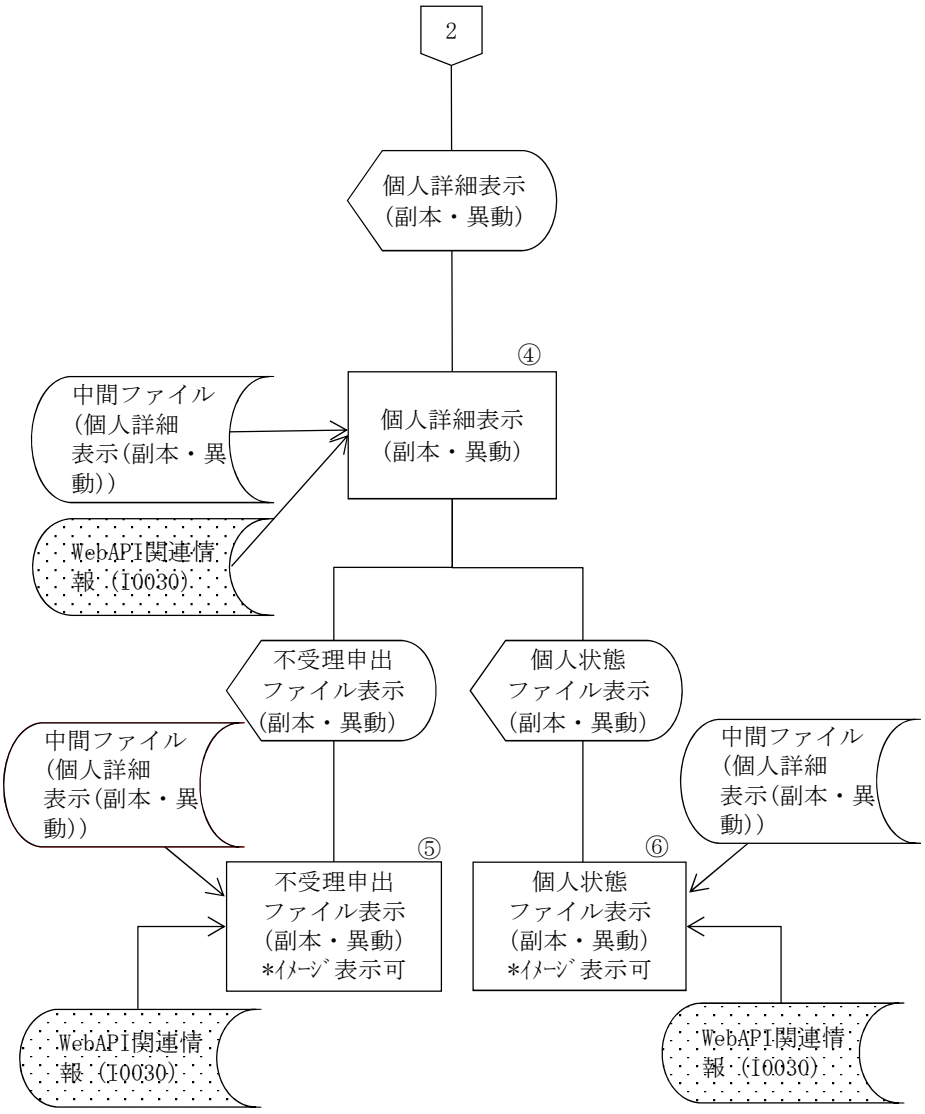
･異動予約から事件本人等を選択する場合は、I0140に引き続きI0150を送信し受信した情報から中間ファイル(参照戸籍)を作成する。
･非本籍人検索から事件本人等を選択する場合は、I0010、I0020、I0030を送信し受信した情報から中間ファイル(参照戸籍)を作成する。
事件本人等を選択した時点でI0140、I0160を送信する。

③戸籍構成員一覧(副本・異動)表示
「1.検索処理 1.3 副本記録情報検索 ②戸籍構成員一覧(副本)表示」と同様である。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理



備考

④個人詳細表示(副本・異動)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　④個人詳細表示(副本)」と同様である。

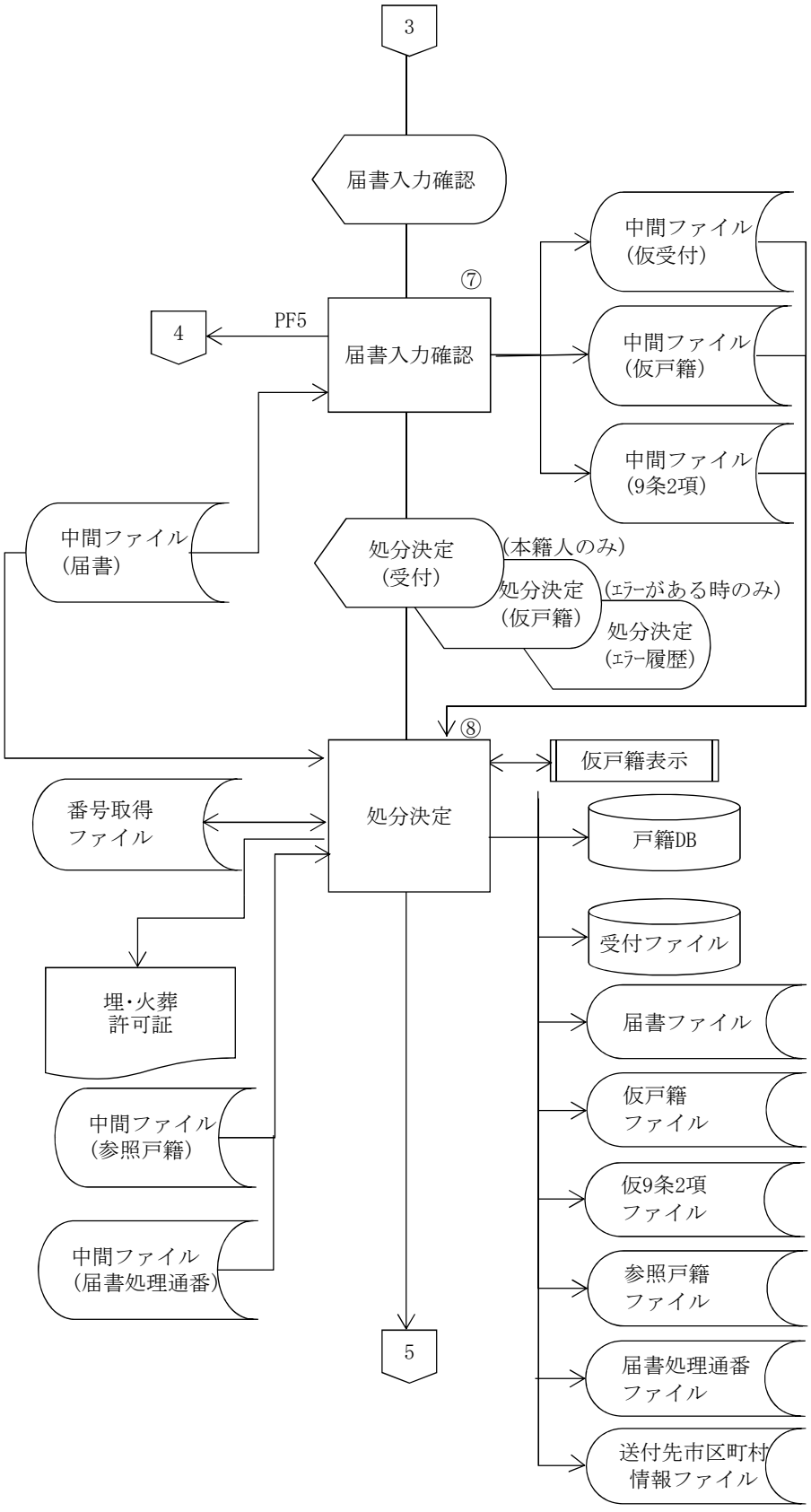
⑤不受理申出ファイル表示(副本・異動)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　⑤不受理申出ファイル表示(副本)」と同様である。

⑥個人状態ファイル表示(副本・異動)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　⑥個人状態ファイル表示(副本)」と同様である。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理



備考

⑦届書入力確認

(1) 審査後の入力内容の確認を行う。

(2) 入力された内容をもとに中間ファイル(届書)の更新及び中間ファイル(仮受付、仮戸籍、9条2項)の作成を行う。

(3) 処分決定に制御を渡す。

(4) PF5
届書入力画面に制御を渡す。

⑧処分決定

(1) 処分区分を決定する。

(2) 番号取得ファイルから受領番号を取得し、更新を行う。(末番管理)

(3) 中間ファイル(届書)
中間ファイル(仮受付)
中間ファイル(仮戸籍)
中間ファイル(9条2項)
中間ファイル(参照戸籍)
中間ファイル(届書処理通番)
をもとに受付ファイルの更新、戸籍DB、届書ファイル、仮戸籍ファイル、仮9条2項ファイル、参照戸籍ファイル、届書処理通番ファイル、送付先市区町村情報ファイルの作成を行う。

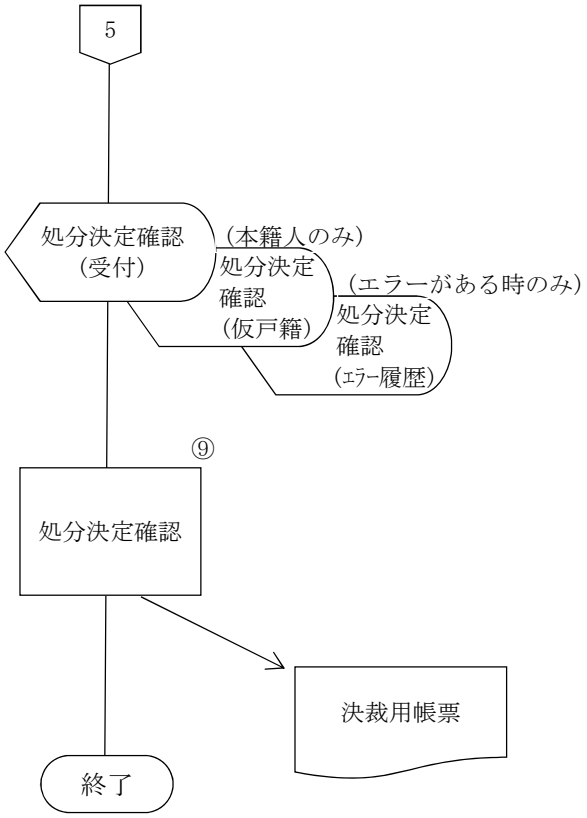
(4) 埋･火葬許可証の出力を行う。(死亡届のみ)

(5) 処分決定確認に制御を渡す。
(6) 仮戸籍表示はPFキーで制御を渡す。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理



備考

⑨処分決定確認

(1) 取得した受領番号の確認を行う。

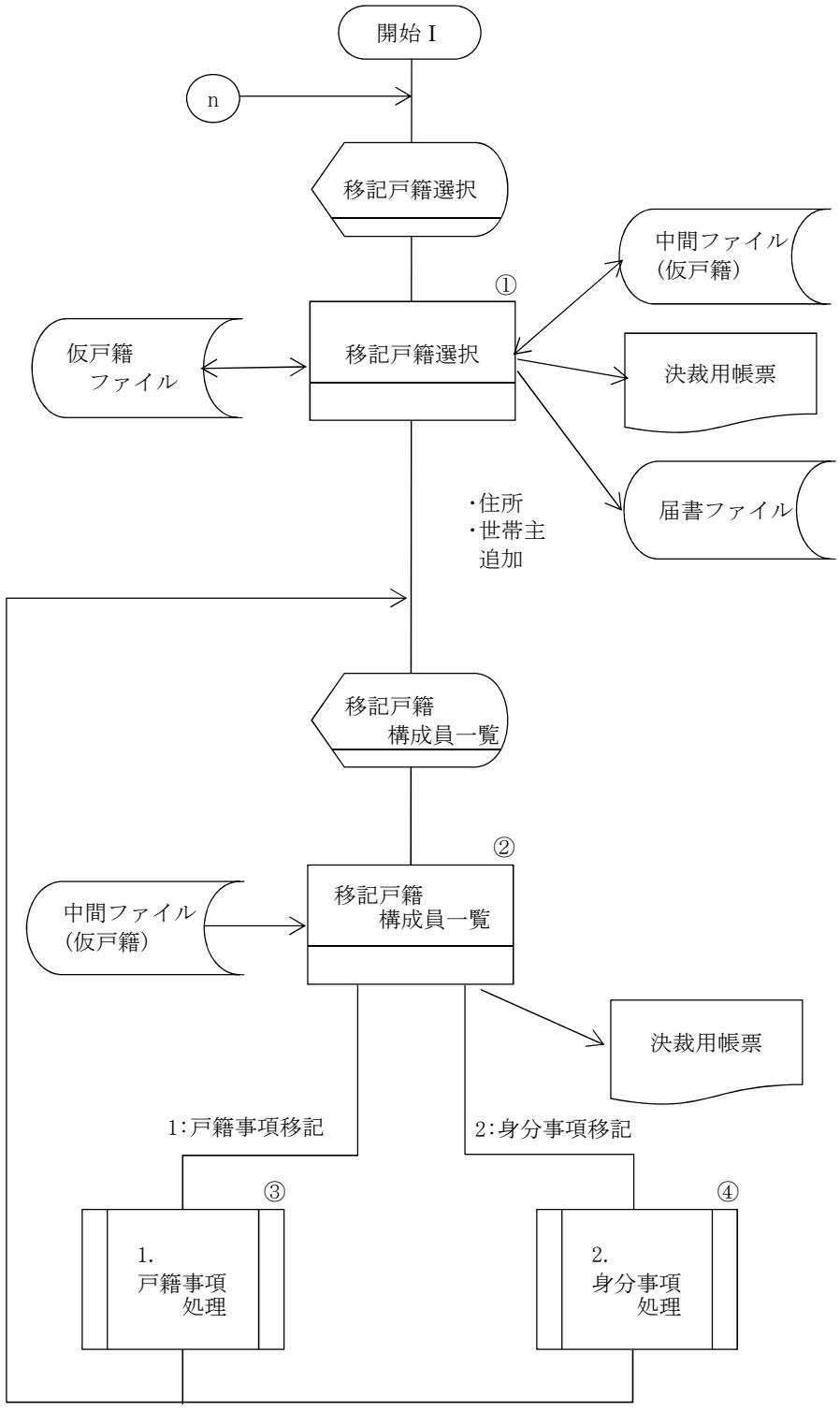
(2) PFキー操作により各業務に制御を渡す。
・移記事項入力(一線式)
・届出メニュー(二線式)

(3) 決裁用帳票の出力を行う。(必要時に出力指示)

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

3.移記事項処理



備考

①Ⅰ-1.戸籍業務選択から制御
①-1. 移記戸籍選択番号を入力する
②-2. 入力された受領番号で仮戸籍ファイルを検索し、存在しなければエラー表示を行い、存在すれば画面編集を行い中間ファイル(仮戸籍)を作成する

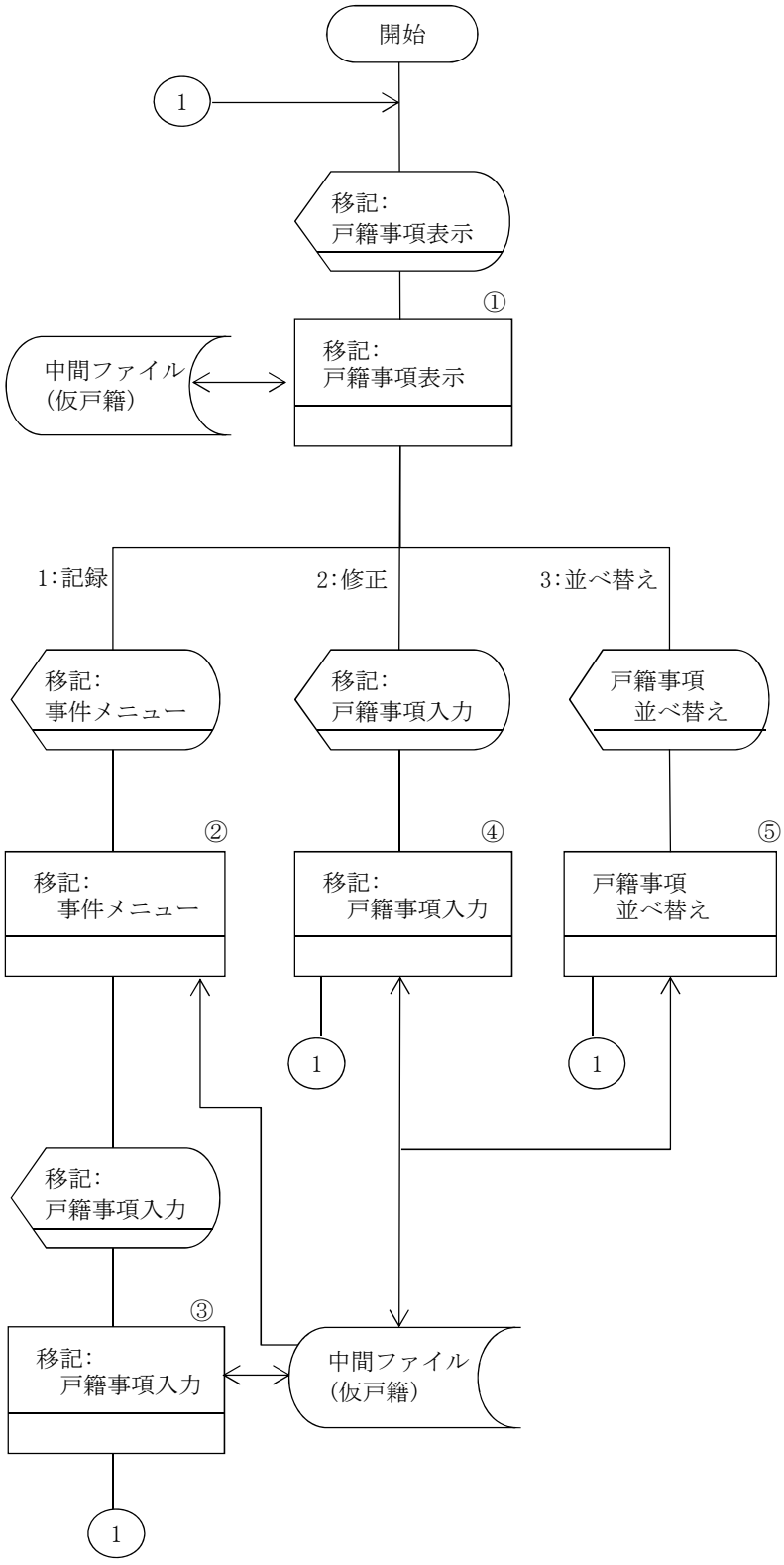
・該当戸籍番号の入力
　→②に制御を渡す
・処理中止のPFキー
　→中間ファイル(仮戸籍)の削除

Ⅰ-2.処分決定処理から制御
(1線式の処理)
　①-1. 渡された受領番号で仮戸籍ファイルを検索し、存在しなければエラー表示を行い、存在すれば画面編集を行い中間ファイル(仮戸籍)を作成する]

・該当戸籍番号の入力
　→②に制御を渡す
・処理中止のPFキー
　→中間ファイル(仮戸籍)の削除

n.移記戸籍構成員一覧から制御
①-1. ガイダンスメッセージを表示する
-PFXX:移記処理終了
-区分=1:帳票要、0:不要
・該当戸籍番号の入力
　→②に制御を渡す
・PFXXの押下
　→・中間ファイル(仮戸籍)を基に仮戸籍ファイルを更新後、仮戸籍ファイルを削除する
・区分が1なら決裁用帳票を出力する
・戸籍業務選択に制御を渡す
・処理中止のPFキー
　→中間ファイル(仮戸籍)の削除
②入力された選択番号の戸籍を中間ファイル(仮戸籍)から編集、表示する
・戸籍事項の移記選択
　→③に制御を渡す
・身分事項の移記選択
　→④に制御を渡す
　決裁用帳票の出力を行う。
③戸籍事項の移記処理を行う
④身分事項の移記処理を行う

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理			



備考

①前プロセスで入力された選択番号で中間ファイル(移記戸籍)を検索し、編集、表示する
・記録を選択
　→②に制御を渡す
・修正を選択
　→審査で記載された戸籍事項は選択不可
・④に制御を渡す
・並べ替えを選択
　→⑤に制御を渡す

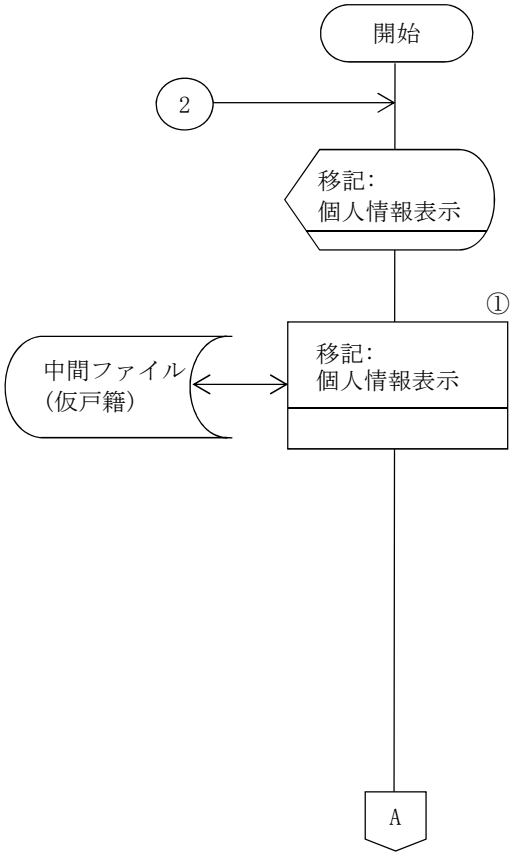
②移記:事件メニューを表示する
選択番号の入力
　→③に制御を渡す

③移記:戸籍事項入力画面を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)に追加する

④前プロセスで入力された選択番号の戸籍事項を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

⑤タイトルの一覧を表示する
・並べ替え処理を行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

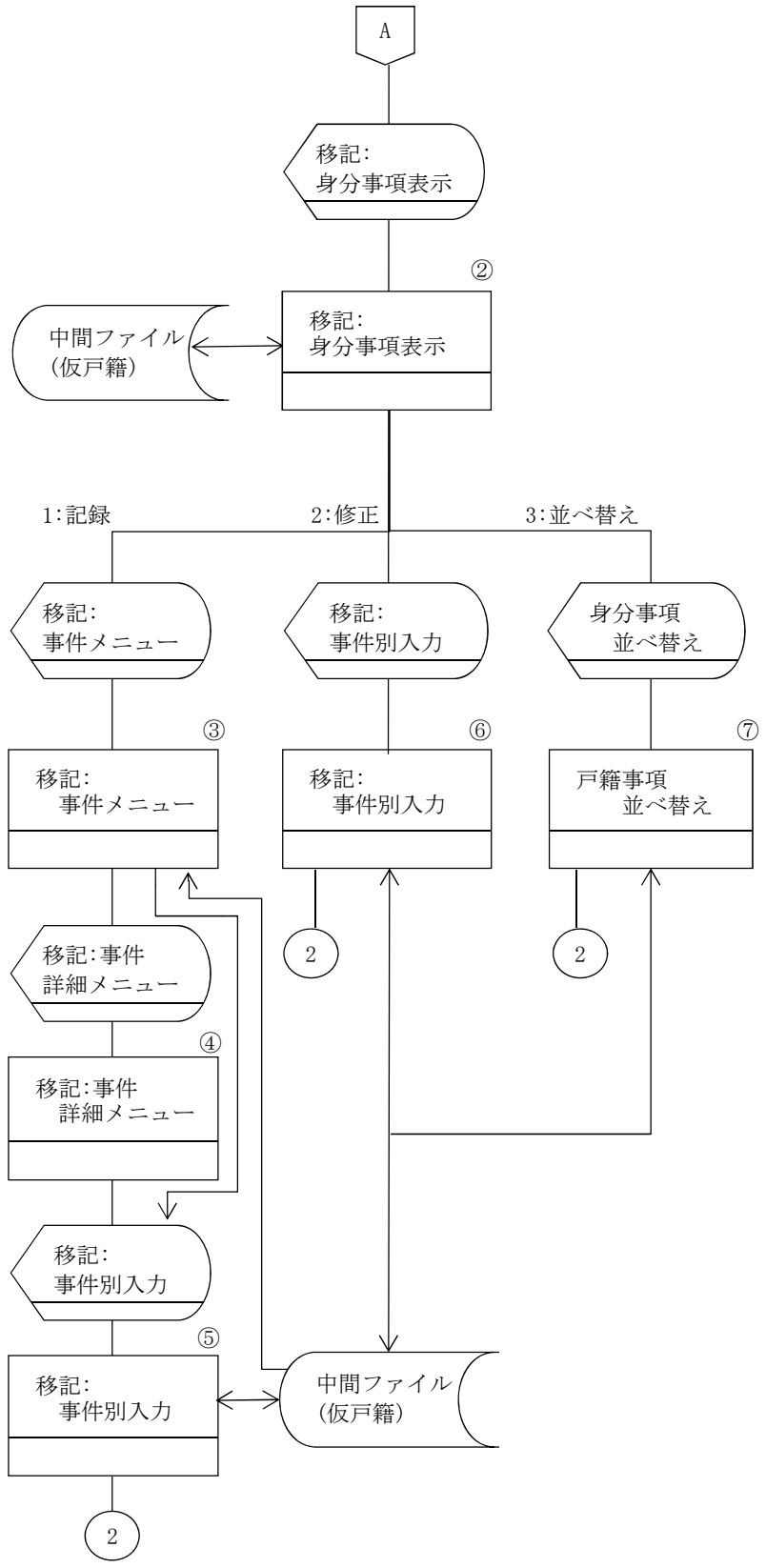
オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			



備考

①前プロセスで入力された選択番号で中間ファイル(仮戸籍)を検索し、編集･表示する
･入力処理(父母欄等)
　→確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する
･②に制御を渡す

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			



備考

②中間ファイル(仮戸籍)を検索し、編集、表示する
・記録を選択
　→③に制御を渡す
・修正を選択(*2)
　→審査で記載された身分事項は選択不可
・⑥に制御を渡す
・並べ替えを選択(*2)
　→⑦に制御を渡す

③移記:事件メニューを表示する
選択番号の入力
　→④に制御を渡す

④前プロセスで入力された選択番号の移記:事件詳細メニューを表示する

⑤移記:身分事項入力画面を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)に追加する

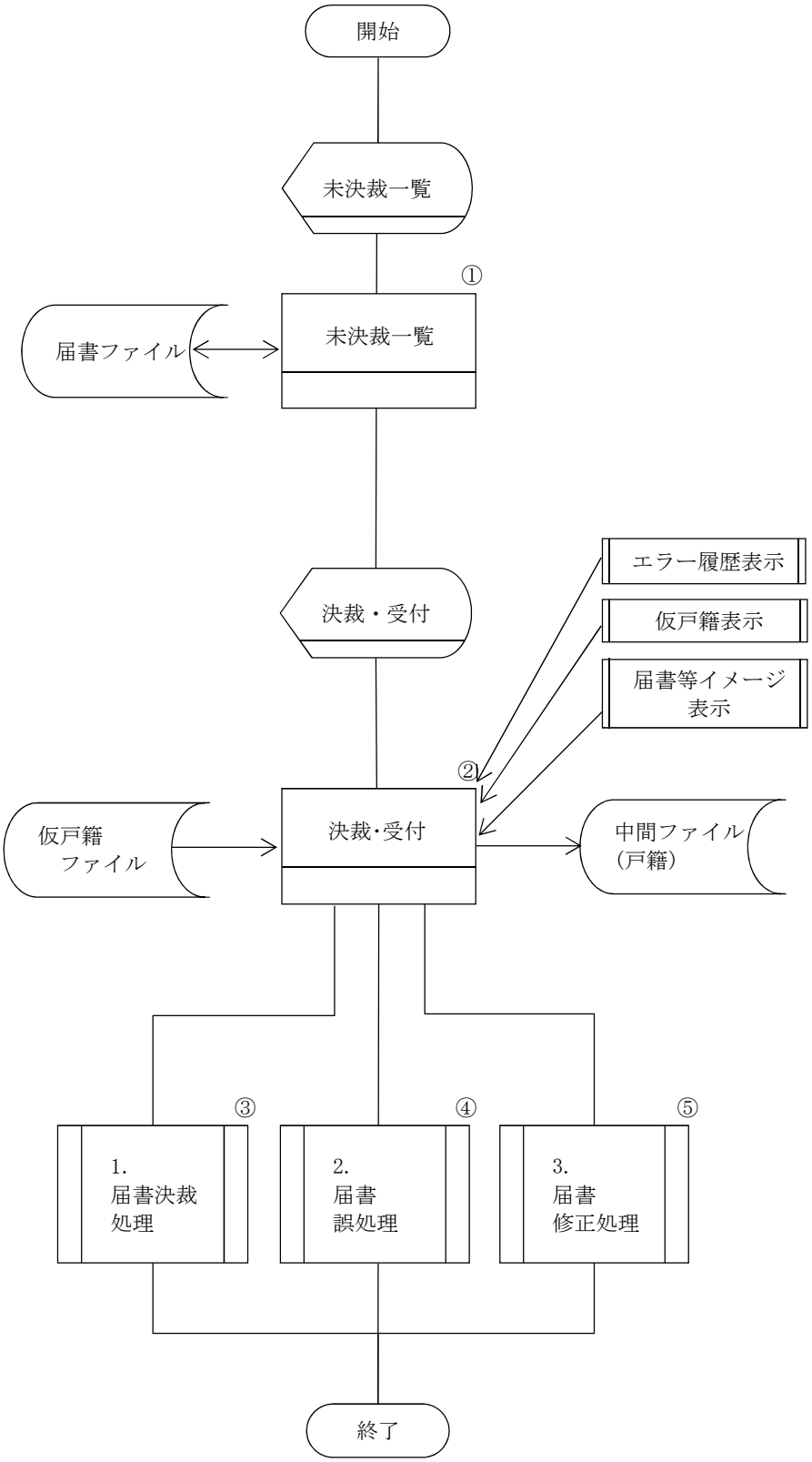
⑥前プロセスで入力された選択番号の身分事項を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

⑦タイトルの一覧を表示する
・並べ替え処理を行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

4.決裁処理



備考

①「一覧表示のための入力キー
または受領番号を入力して下さい。」を表示する

①-1未決裁の届書の一覧表示
ア.本庁分の一覧表示
支所No未入力
→届書ファイルの支所NoがZEROのレコードを抽出し一覧表示する
イ.支所分の一覧表示
支所Noに支所コード入力
→届書ファイルの支所Noと一致するレコードを抽出し一覧表示する
ウ.全件の一覧表示
支所Noに'99'を入力
→届書ファイルをすべて抽出し一覧表示する
選択番号の入力
→②に制御を渡す

※受理窓口が本庁のみの自治体においては「届書入力処理」で『支所No』は未使用のためアもウも抽出用件は同じでイは無効である

①-2未決裁の届書の直接指定受領番号の入力
→②に制御を渡す

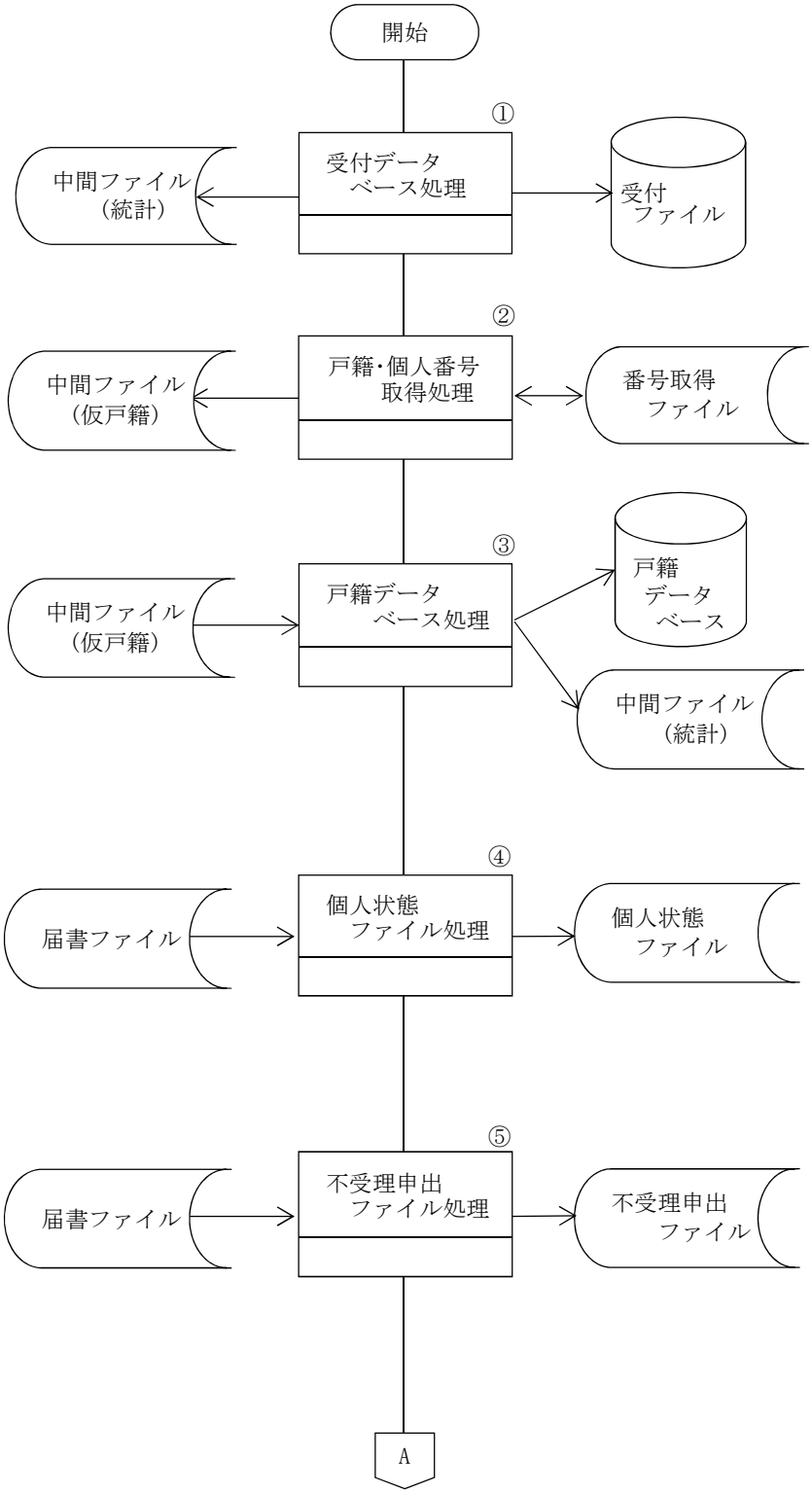
選択された届書レコードに排他をかける

②前プロセスで入力された選択番号(①-1)または入力された受領番号(②-2)の受付の内容を表示する
･決裁処理
仮戸籍ファイルから該当の戸籍を抽出する
→③に制御を渡す
･誤処理
→④に制御を渡す
･修正処理
→⑤に制御を渡す

※決裁戸籍、エラー履歴、9条2項ファイル、届書イメージ等は各PFキーで表示される

届書レコードが削除されないで処理を終了する場合は、届書レコードの排他を解除する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
4.決裁処理　4.1 届書決裁処理			



備考

①(本処理で作成された全部の受付帳に対して処理する)
受付ファイルの決裁区分を決裁とする
統計の中間ファイルを作成する

②(本籍人の場合に処理する)
「戸籍番号」は新戸籍編製の場合に戸籍に対して採番する
「個人番号」は入籍の場合に個人に対して採番する

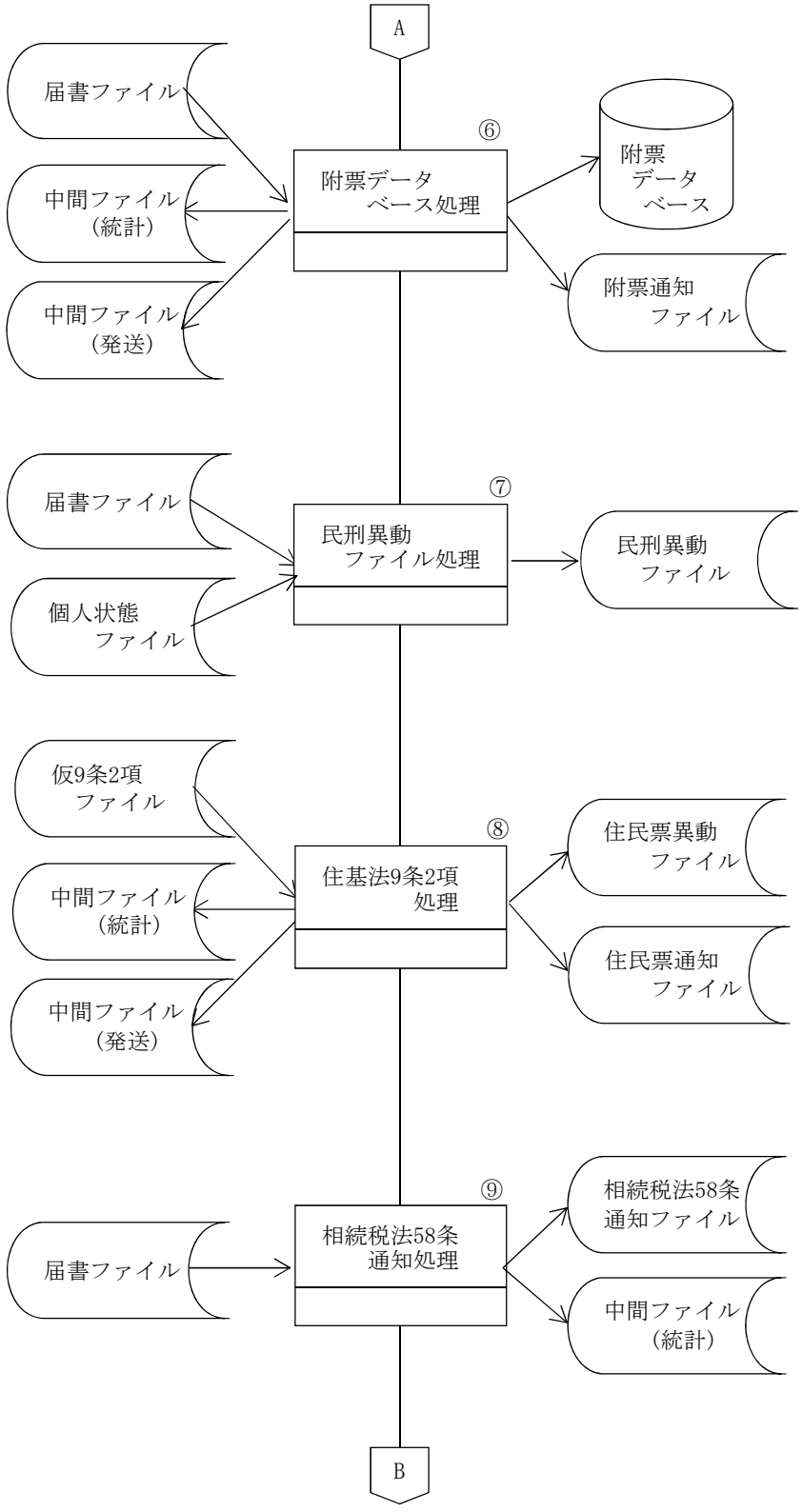
③(本籍人の場合に処理する)
『受理』の場合
戸籍に変動があった場合、更新(作成)を行う
戸籍の異動者数、編製状態等の統計を取得する
戸籍のロックを解除する

『不受理』の場合
戸籍のロックを解除する

④(本籍人の場合に処理する)
禁治産者区分、準禁治産者区分、胎児認知区分に変更がある場合に更新する
管内→管内異動の場合にその内容を移記する
※胎児認知区分を有している者が管内に入籍した場合、戸籍情報連携システムから胎児認知届画像情報を取得して登録する
(本処理は各種ファイル更新処理で行う)

⑤(本籍人の場合に処理する)
管内→管内異動の場合にその内容を移記する
不受理申出を有している者が管内に入籍した場合、戸籍情報連携システムから不受理申出画像情報を取得して有効な情報のみを登録する
(本処理は各種ファイル更新処理で行う)

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
4.決裁処理　4.1 届書決裁処理			



備考

⑥(本籍人の場合に処理する)
管内→管内異動の場合に最終住所、住定日を移記する
管外→管内異動の場合に附票枠だけ作成する(19-3通知を待って処理する)
管内→管外異動の場合に附票通知ファイル(19-3通知)を作成し、この場合中間ファイル(統計)と中間ファイル(発送)も作成する

⑦(本籍人の場合に処理する)
民刑対象者(禁治産者、準禁治産者、破産者、犯罪者)に戸籍の変動及び表示の変更(本籍、筆頭者、氏名、生年月日)があった場合、民刑異動ファイルを作成する

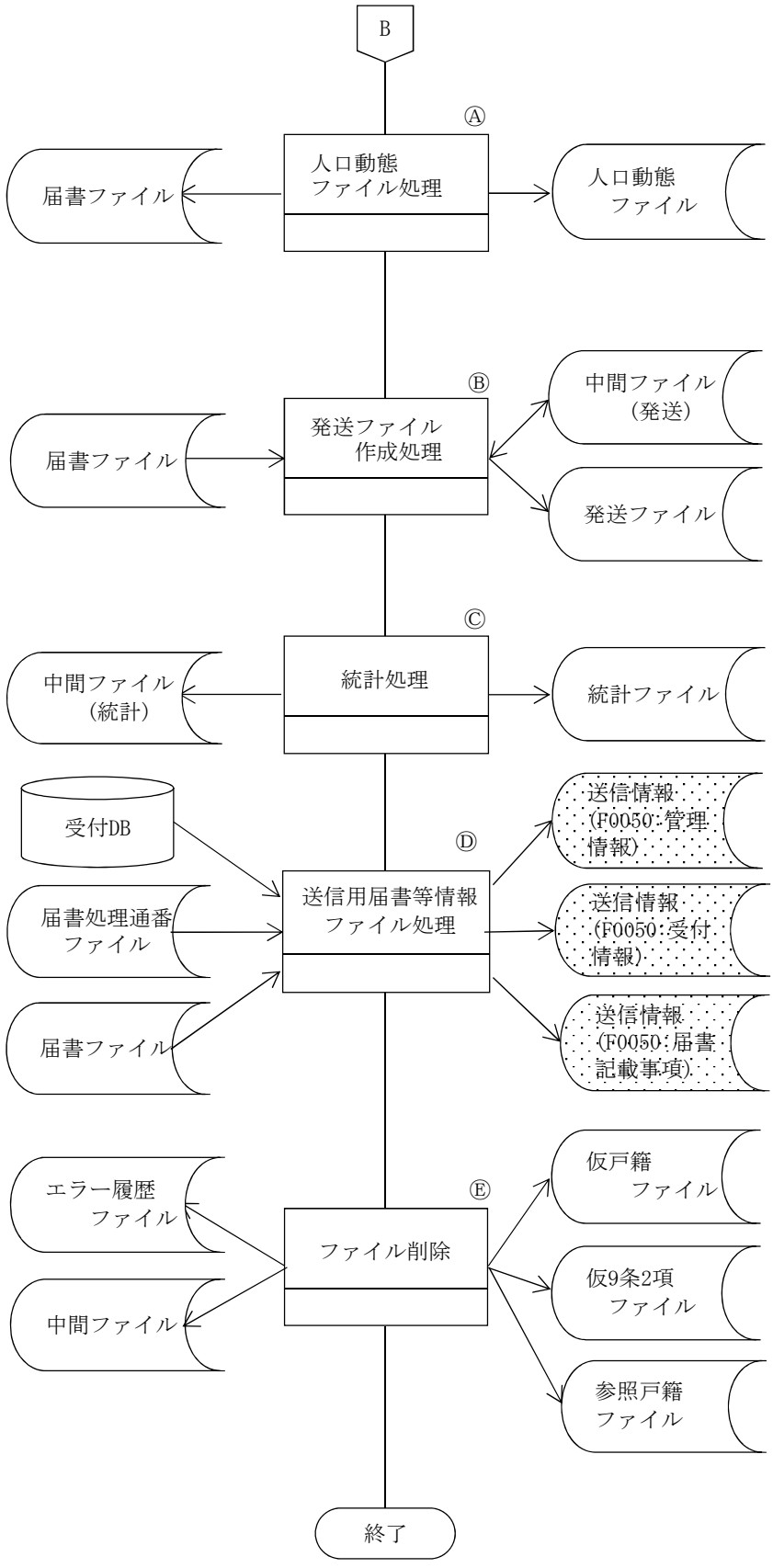
⑧(受理地の場合に処理する)
戸籍の届出によって住民票の記載に変更がある場合、本処理を行う
受理地=住所地:住民票異動ファイルの作成
住民票異動数の統計を取得する
受理地≠住所地：住民票通知ファイルの作成
住民票通知数の統計を取得する
異動先の中間ファイル(発送)を作成する

⑨(受理地の場合に処理する)
死亡の届出があった場合に相続税法58条通知ファイルを作成する
相続税法58条通知の統計を取得する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

4.決裁処理　4.1 届書決裁処理



備考

Ⓐ(受理地の場合に処理する)
出生、婚姻、離婚、死亡の各届出があった場合に人口動態ファイルを作成する

Ⓑ(他自治体に発送がある場合)
届後本籍地に附票通知を送付する場合
住所地(住民票記載に関する書類)に送付する場合
複数の送付先が存在するが、同一の発送先があるものは一つにまとめる

Ⓒ(全ての場合)
中間ファイル(統計)の内容を統計ファイルに反映させる

※事件表の統計
附票の統計
通知書発行の統計

Ⓓ送信用届書等情報ファイルを作成する

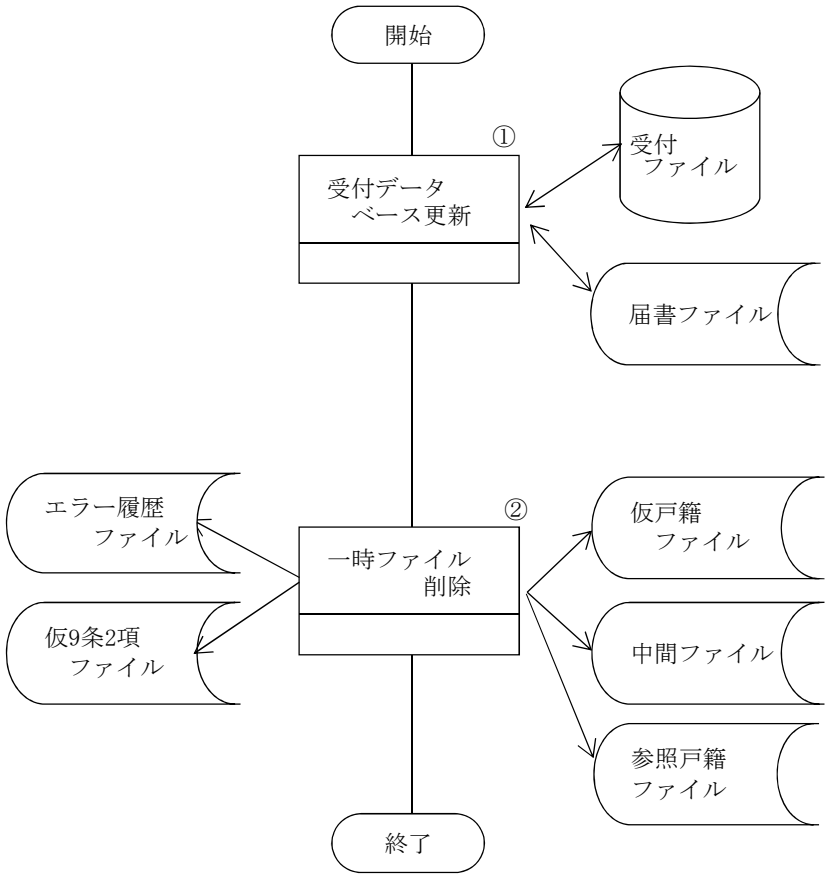
Ⓔ本処理での受領番号に該当する仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮9条2項ファイル、参照戸籍ファイルを削除する

本処理で作成した中間ファイル(各種)を削除する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2

適用業務名

4.決裁処理　4.2 届書誤処理



備考

①受付ファイル、届書ファイルとも決裁区分を誤処理とする

該当の届書レコードの排他を解除する

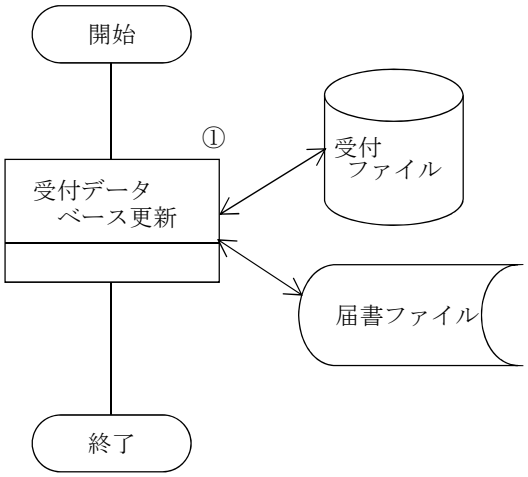
②本処理での受領番号に該当する仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮9条2項ファイル、参照戸籍ファイルを削除する

届書入力審査処理で作成した中間ファイル(各種)を削除する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

4.決裁処理　4.3届書修正処理



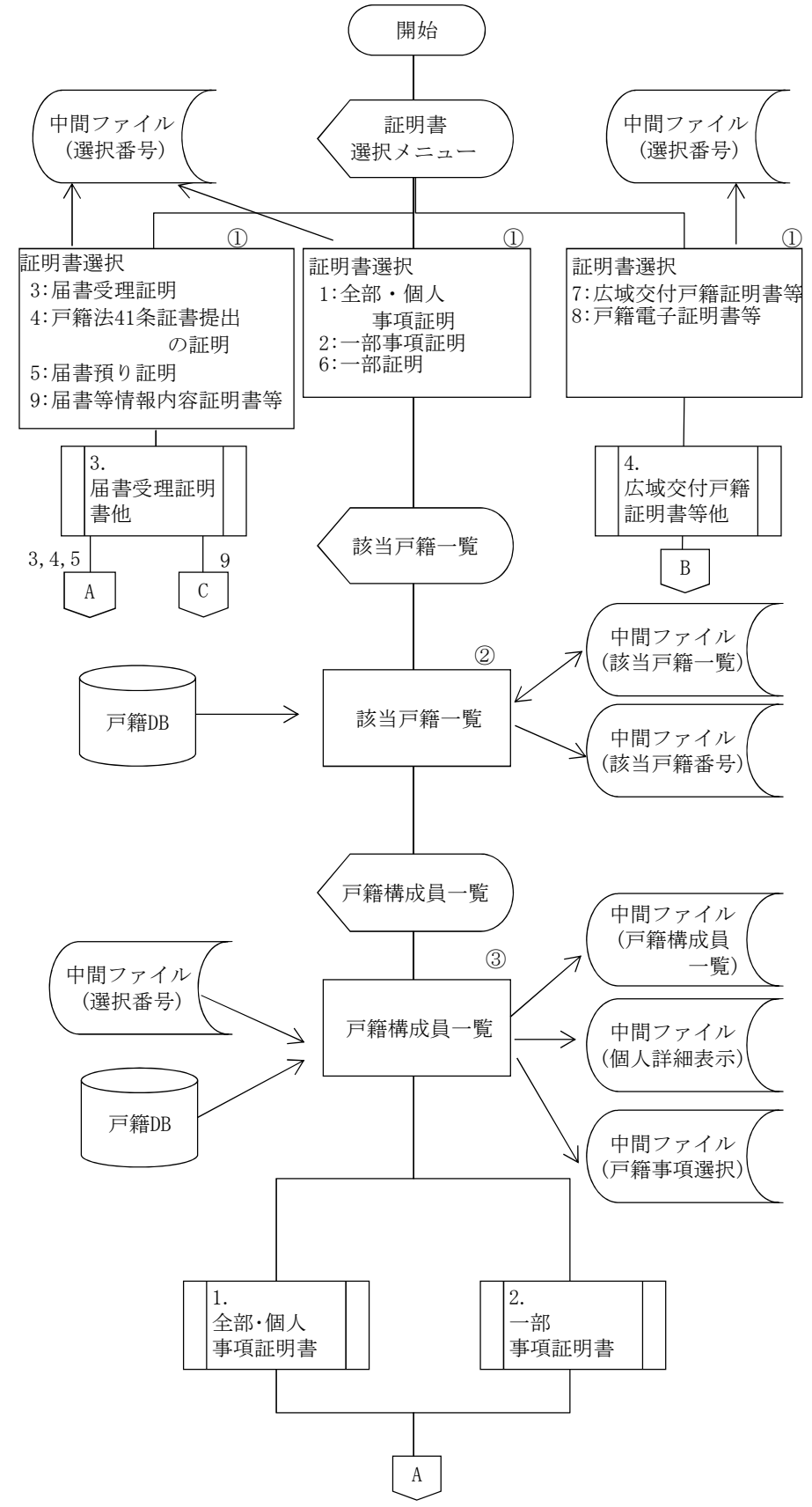
備考

①受付ファイル、届書ファイルとも決裁区分を修正とする。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

5.証明処理



備考

①証明書選択メニュー

(1) 選択番号を入力する

・選択番号
1:全部・個人事項証明
2:一部事項証明
6:一部証明
該当戸籍一覧に制御を渡す

・選択番号
3:届書受理証明書
4:戸籍法41条証書提出の証明
5:届書預り証明
9:届書等情報内容証明書等
受付ファイル選択に制御を渡す

・選択番号
7:広域交付戸籍証明書等
8:戸籍電子証明書等
該当戸籍一覧(副本・証明)に制御を渡す

②該当戸籍一覧

(1) 検索キーの入力
a.カナ氏名
b.漢字氏名
c.本籍
d.生年月日
e.筆頭者　等
※複合検索も可
※検索は1.1個人検索、1.3副本記録情報検索と同じ

(2) 検索キーにより戸籍DBを検索し、該当戸籍一覧を表示する

(3) 該当番号を入力し、戸籍を決定する

(4) 戸籍構成員一覧に制御を渡す

③戸籍構成員一覧

(1) ②で選択された戸籍番号より戸籍DBを検索し、戸籍事項及び構成員を表示する

(2) 詳細選択番号を入力し、個人を決定する

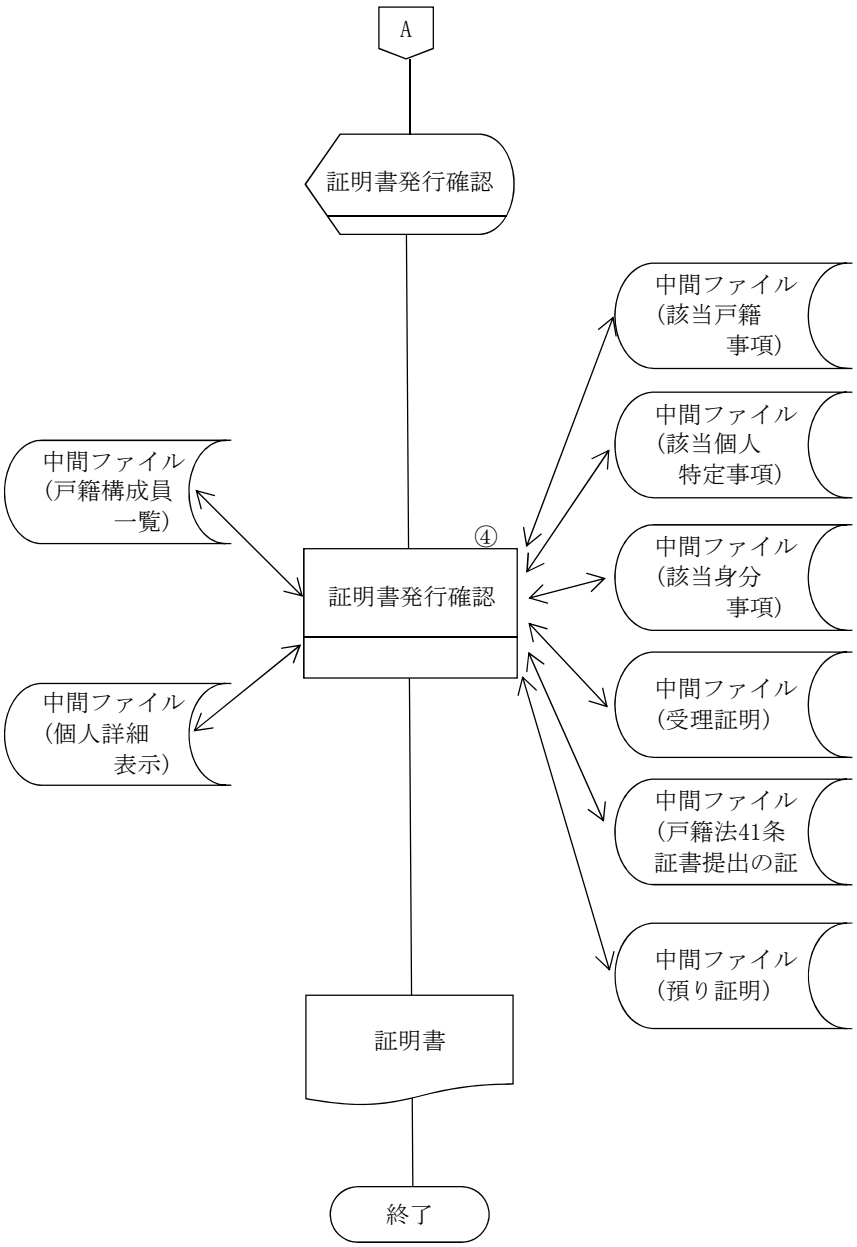
(3) ①で入力した選択番号により、それぞれの処理に制御を渡す

・選択番号=1:
全部・個人事項証明書
・選択番号=2:
一部事項証明書

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

5.証明処理



備考

④証明書発行確認

(1) 証明書種別及び戸籍の基本内容を表示する

(2) 発行部数を入力する

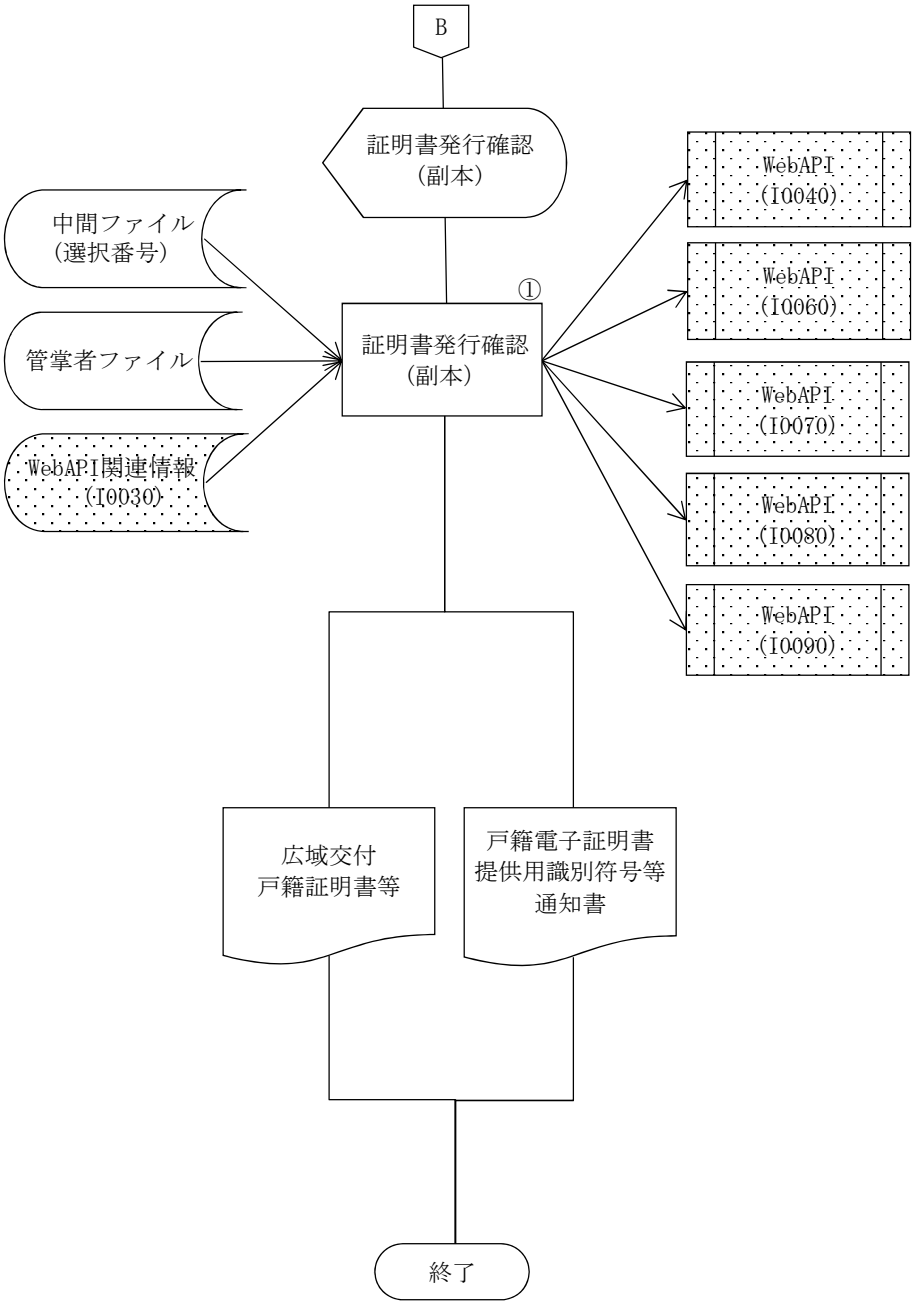
(3) 各中間ファイルより証明書を出力する

(4) 各中間ファイルを削除する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

5.証明処理



備考

①証明書発行確認(副本)

(1) WebAPI関連情報より証明書種別及び戸籍の基本情報を表示する

(2) 発行部数を入力する

(3) 証明書種別=戸籍電子証明書等の場合、WebAPIにて戸籍電子証明書等提供用識別符号等を取得し、戸籍電子証明書等の交付要求を行う

(4) 証明書種別に応じた証明書又は通知書を出力する

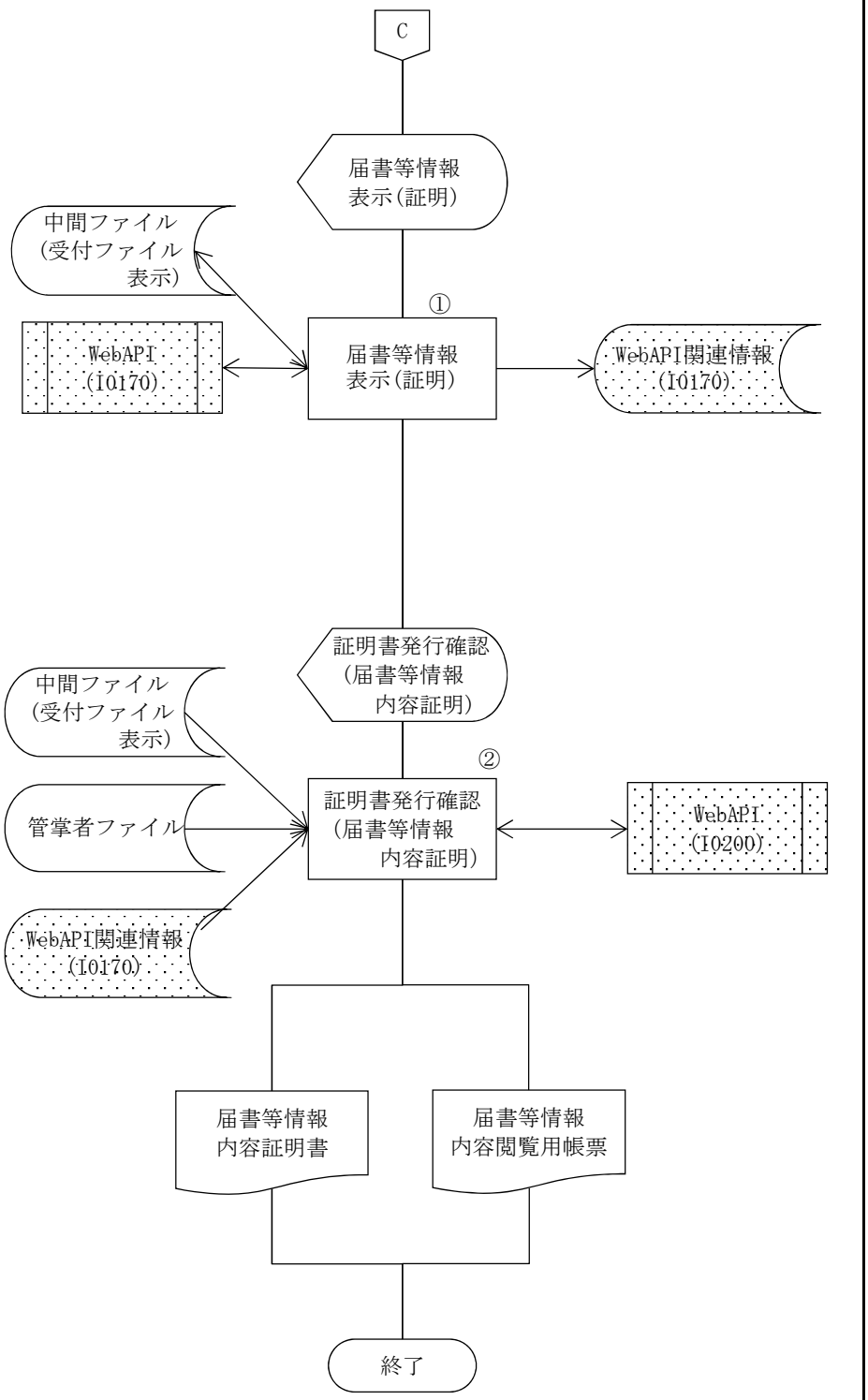
(5)WebAPIにて発行履歴を通知する

(6)各中間ファイルを削除する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

5.証明処理



備考

①届書等情報表示(証明)

(1) 受付ファイル選択で選択した受付ファイルに紐付く届書等情報を戸籍情報連携システムから取得し、表示する

②証明書発行確認(届書等情報内容証明)

(1) WebAPI関連情報より発行区分及び届書の基本情報を表示する

(2) 発行部数を入力する

(3) 発行区分に応じた証明書又は帳票を出力する

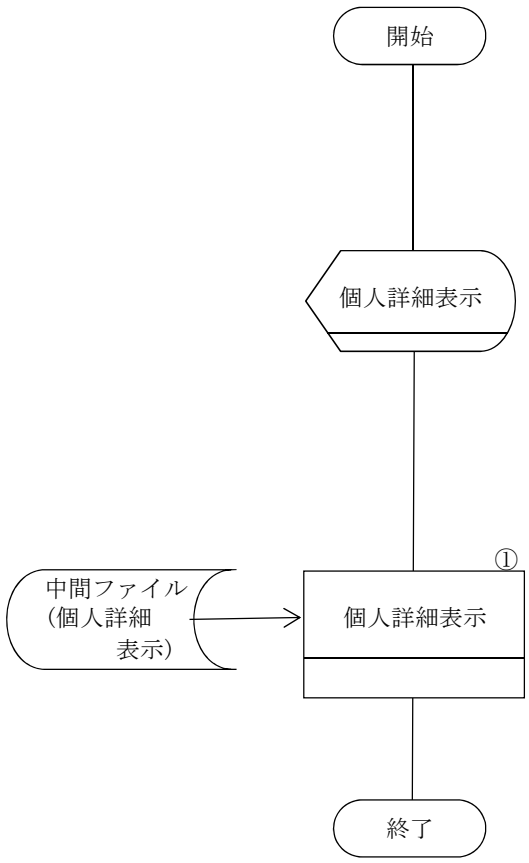
(4)WebAPIにて発行履歴を通知する

(5)各中間ファイルを削除する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

5.証明処理　5.1全部･個人事項証明書



備考

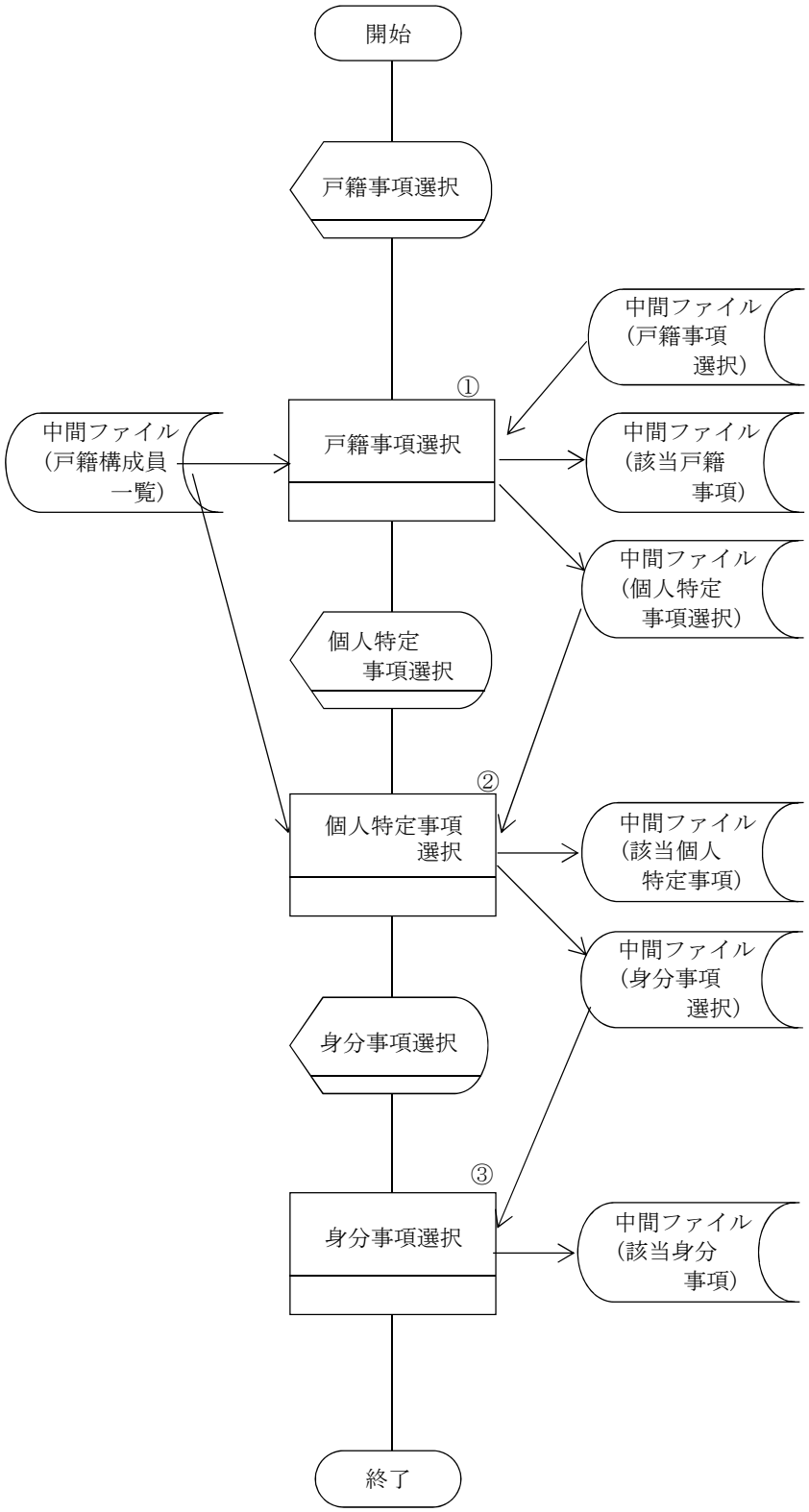
①個人詳細表示

(1) 中間ファイルより個人の戸籍内容を表示する

(2) 身分事項は全て照会可能とする

(3) PFキー操作により全部事項証明書、個人事項証明書を決定し、証明書発行確認に制御を渡す

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
5.証明処理　5.2 一部事項証明書			



備考

①戸籍事項選択

(1) 中間ファイルより戸籍事項一覧を表示する

(2) 戸籍事項を出力する場合、選択番号を入力する(複数指定可)

(3) 選択番号が入力された場合、該当戸籍事項を中間ファイルに出力する

(4) 個人特定事項選択に制御を渡す

②個人特定事項選択

(1) 中間ファイルより個人特定事項一覧を表示する

(2) 個人特定事項を出力する場合、記録事項を選択する(複数指定可)

(3) 記録事項が選択された場合、該当個人特定事項を中間ファイルに出力する

(4) 身分事項選択に制御を渡す

③身分事項選択

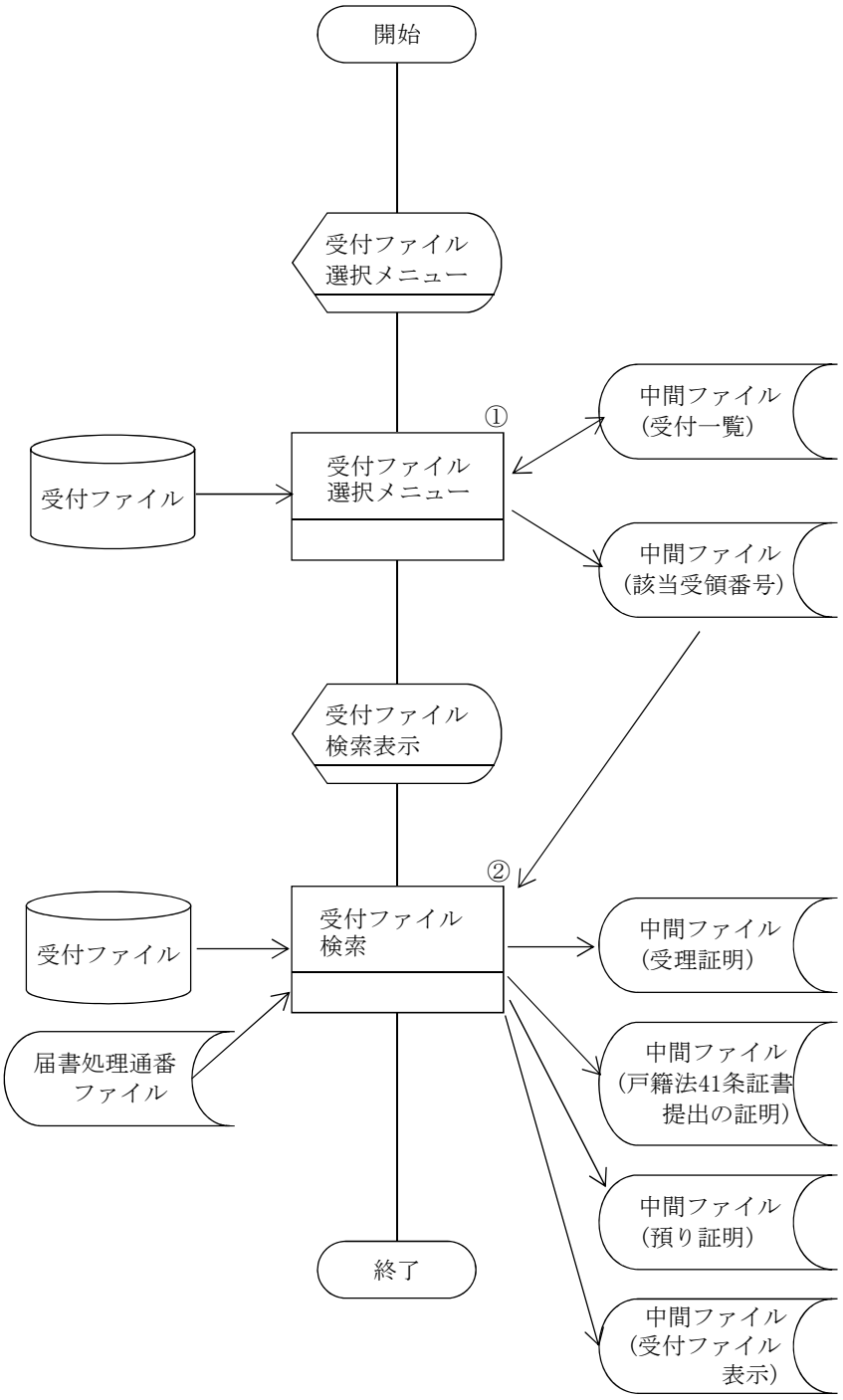
(1) 中間ファイルより身分事項一覧を表示する

(2) 身分事項を出力する場合、選択番号を入力する(複数指定可)

(3) 選択番号が入力された場合、該当身分事項を中間ファイルに出力する

(4) 証明書発行確認に制御を渡す

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2
適用業務名			
5.証明処理　5.3 届書受理証明書他			



備考

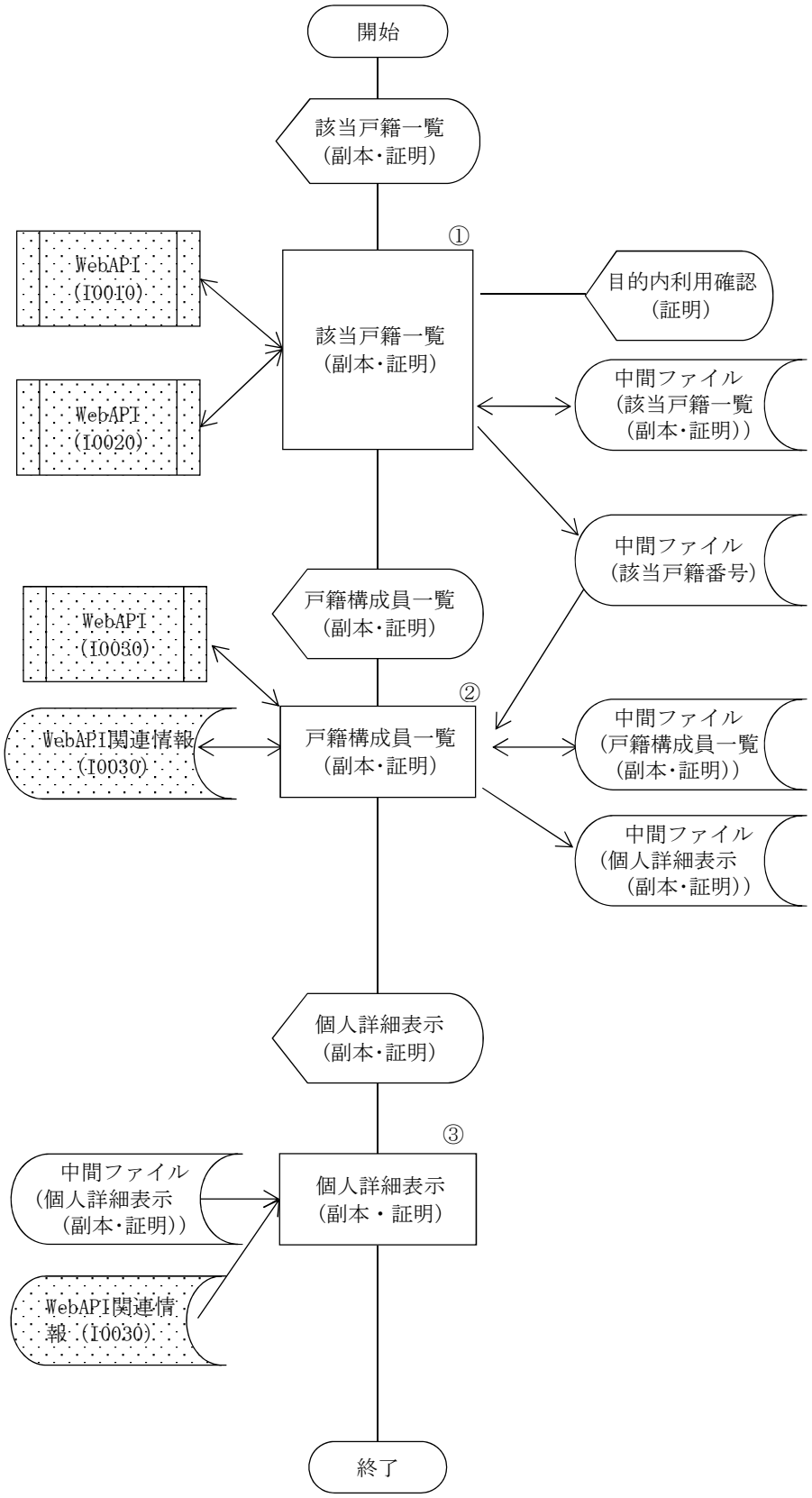
①受付ファイル選択メニュー
(1) 検索しようとするキーを入力する。
(2) 入力されたキーを基に受付ファイルを検索し該当データを表示する。
(3) 一覧画面より、証明書出力する該当者(事件)を選択し番号を入力する。
(4) 選択された受付データと証明書選択番号(種別)の妥当性チェックを行う。
(5) 正しければ受付ファイル検索へ制御を渡す。

②受付ファイル検索
(1) 選択した受付ファイルの内容を確認する。
・選択番号
3:届書受理証明書
4:戸籍法41条証書提出の証明書
5:届書預り証明書
証明書発行確認画面へ制御を渡す。
・選択番号
9:届書等情報内容証明書等
届書処理通番を取得し届書等情報表示(証明)へ制御を渡す。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2

適用業務名

5.証明処理　5.4 広域交付戸籍証明書等他



備考

①該当戸籍一覧(副本・証明)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　①該当戸籍一覧(副本)」と同様である

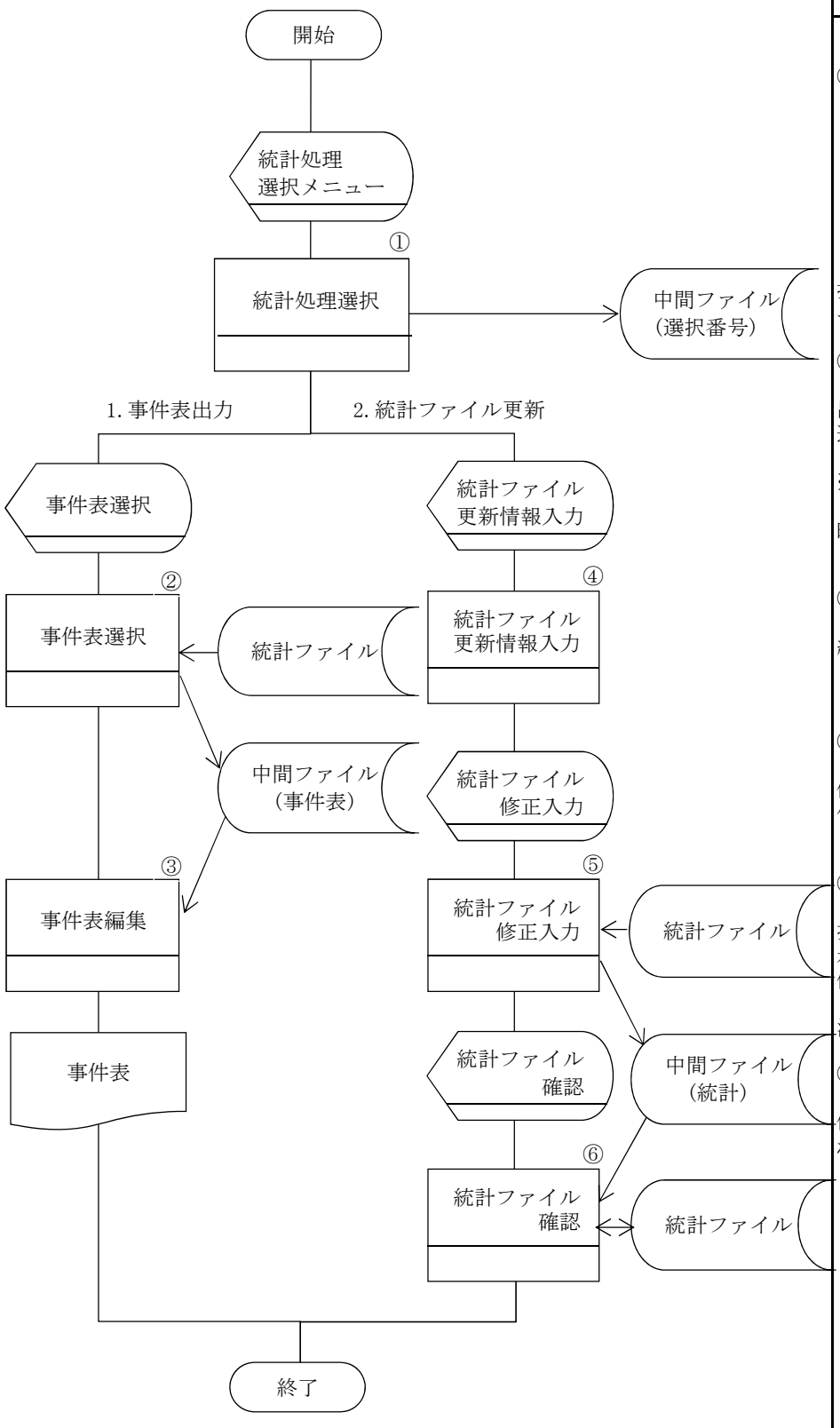
②戸籍構成員一覧(副本・証明)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　②戸籍構成員一覧(副本)」と同様である

③個人詳細表示(副本・証明)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　③個人詳細表示(副本)」と同様である

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

6. 統計処理



※統計ファイル更新処理については、自治体の運用に合わせて作成する。

備考

①統計処理選択メニュー

(1) 選択番号を入力する。
1:事件表出力
2:統計ファイル更新

(2) 選択番号により事件表選択、統計ファイル更新情報入力へそれぞれ制御を渡す。

②事件表選択

出力しようとする事件表種別を選択する。

※日計表、月計表等は自治体により運用が異なるため詳細省略。

③事件表編集出力

統計ファイルから各項目を集計し、事件表を出力する

④統計ファイル更新情報入力

修正しようとする統計情報の日付を指定する。

⑤統計ファイル修正入力

指定された統計情報を検索し表示する。
修正した内容を中間ファイル(統計)に出力し、確認へ制御を渡す。

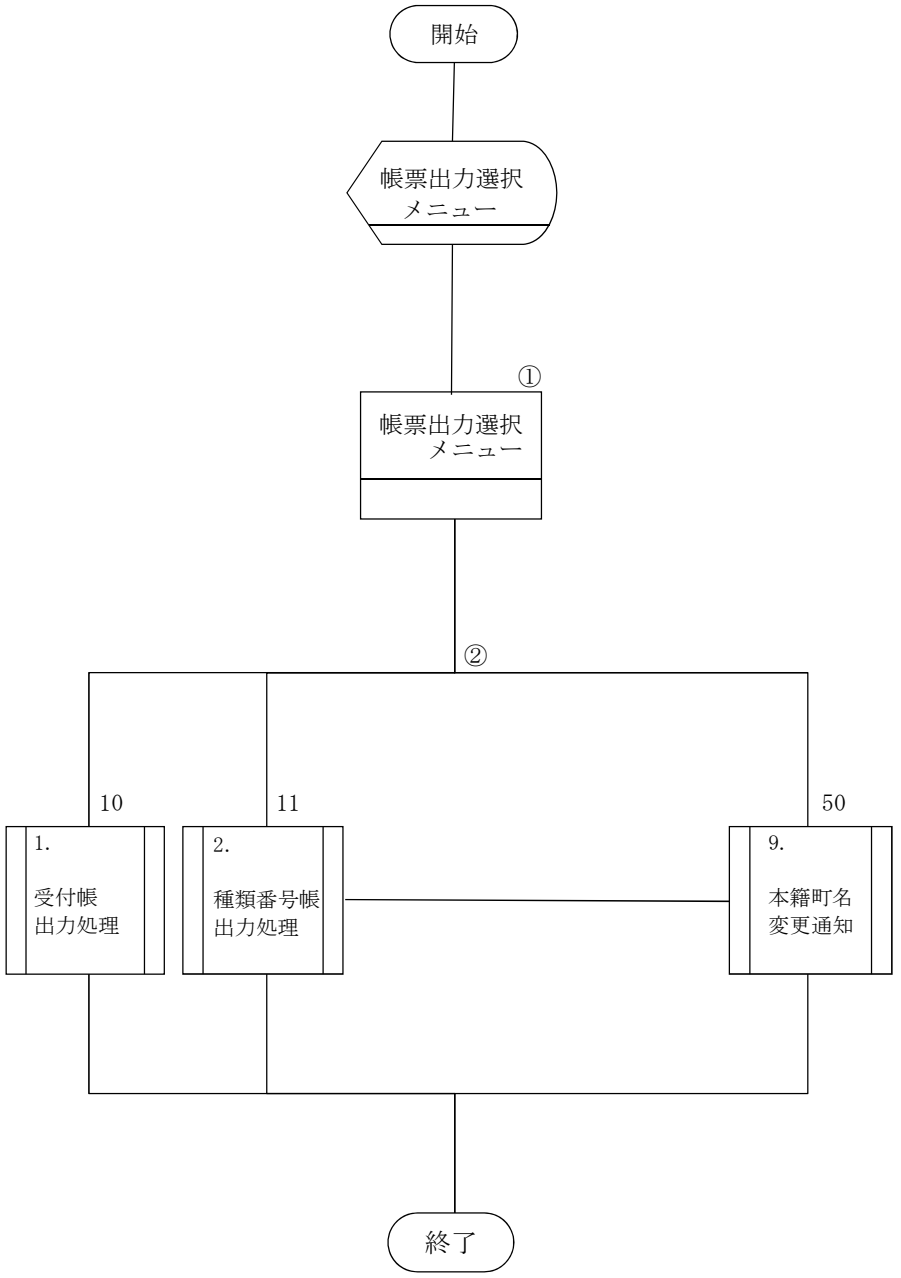
⑥統計ファイル確認

修正した内容を確認し、正しければ更新する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

7.帳票出力処理



備考

①帳票出力選択メニュー

出力する帳票の選択番号を入力する。
- 10:受付帳
- 11:種類番号帳
- 12:届書送付目録
- 13:渉外関係届書送付目録
- 14:届書送達確認書
- 20:戸籍事務専用
- 30:宛名シール
- 40:高齢者消除許可申請書
- 50:本籍町名変更通知

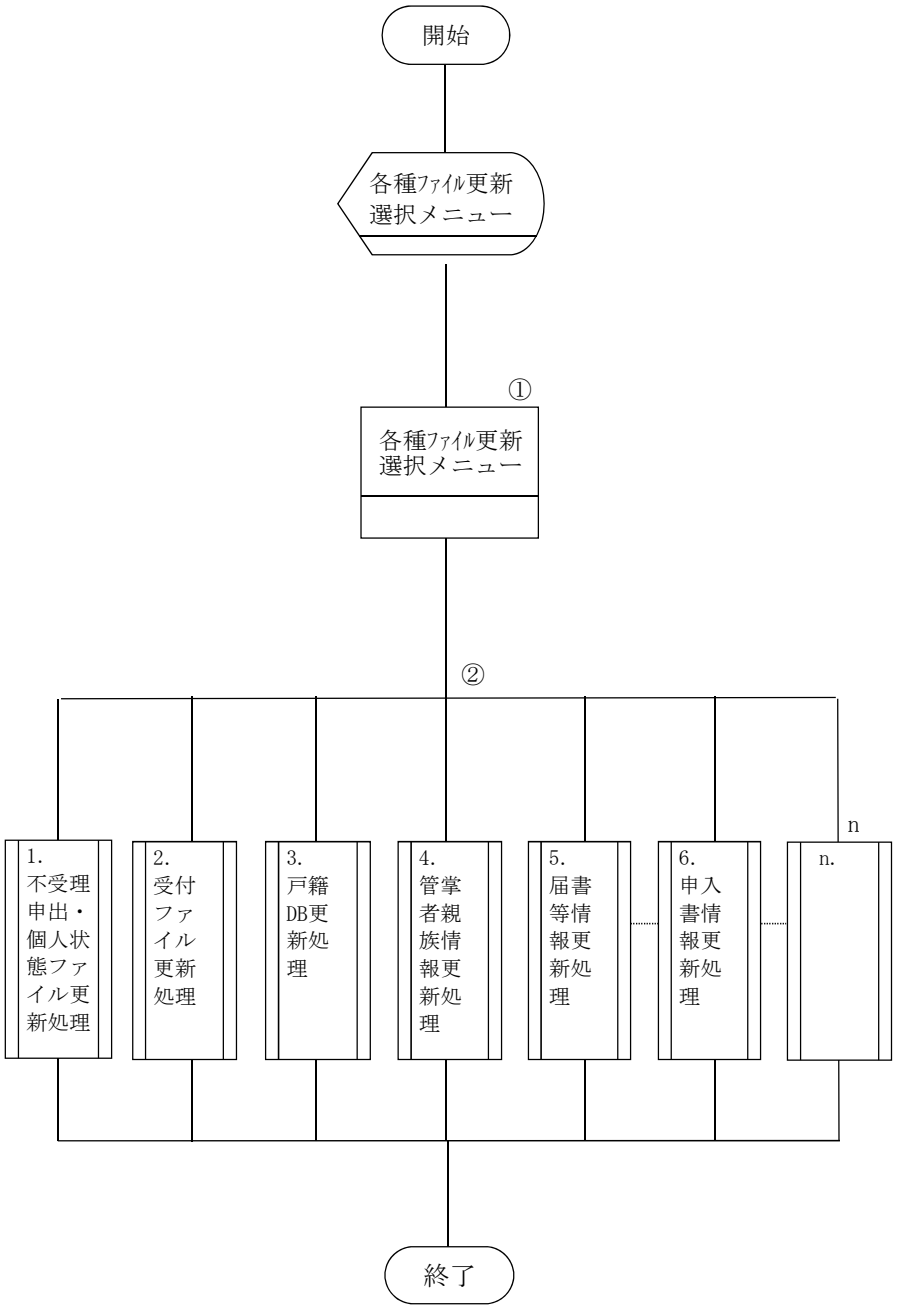
②選択番号に従い、各帳票の出力処理へ制御を渡す。

各帳票の出力処理では、出力条件を入力し該当ファイルを検索、抽出、編集した後、出力する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

8.各種ファイル更新処理



備考

①各種ファイル更新選択メニュー

(1) 選択番号の入力
(2) 選択番号及び更新資格のチェック

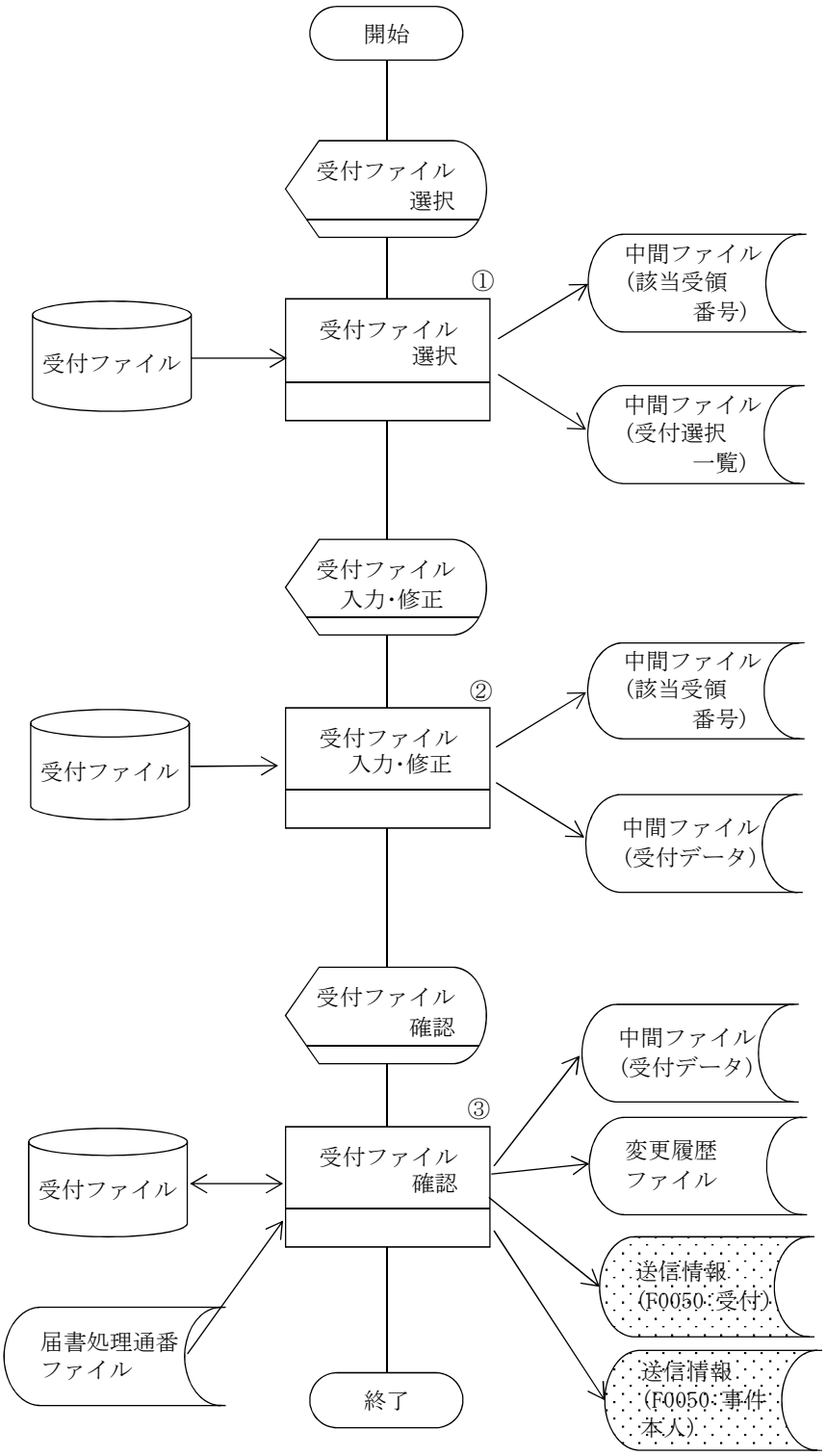
②各々のサブ業務へ制御を渡す。
1:不受理申出・個人状態
　ファイル更新処理
2:受付ファイル更新処理
3:戸籍DB更新処理
4:管掌者親族情報更新処理
5:届書等情報更新処理
6:申入書情報更新処理
7:送付先市区町村情報更新処理
n:その他、自治体において運用に関連するファイル更新処理

※4:管掌者親族情報更新処理は任意設計であるため、以降の流れ図は省略する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成　年　月　日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.2 受付ファイル更新処理



備考

①受付ファイル選択

(1) 検索キーの入力
(2) 受付ファイルの該当データの検索を行い、一覧画面を表示する。
(3) 修正しようとする受付データの選択番号を入力する。

②受付ファイル入力･修正

(1) 選択された受領番号をキーとして受付ファイルを検索し、画面に表示する。
(2) 項目の入力及びチェック。
(3) エラーがなければ、確認画面へ制御を渡す。

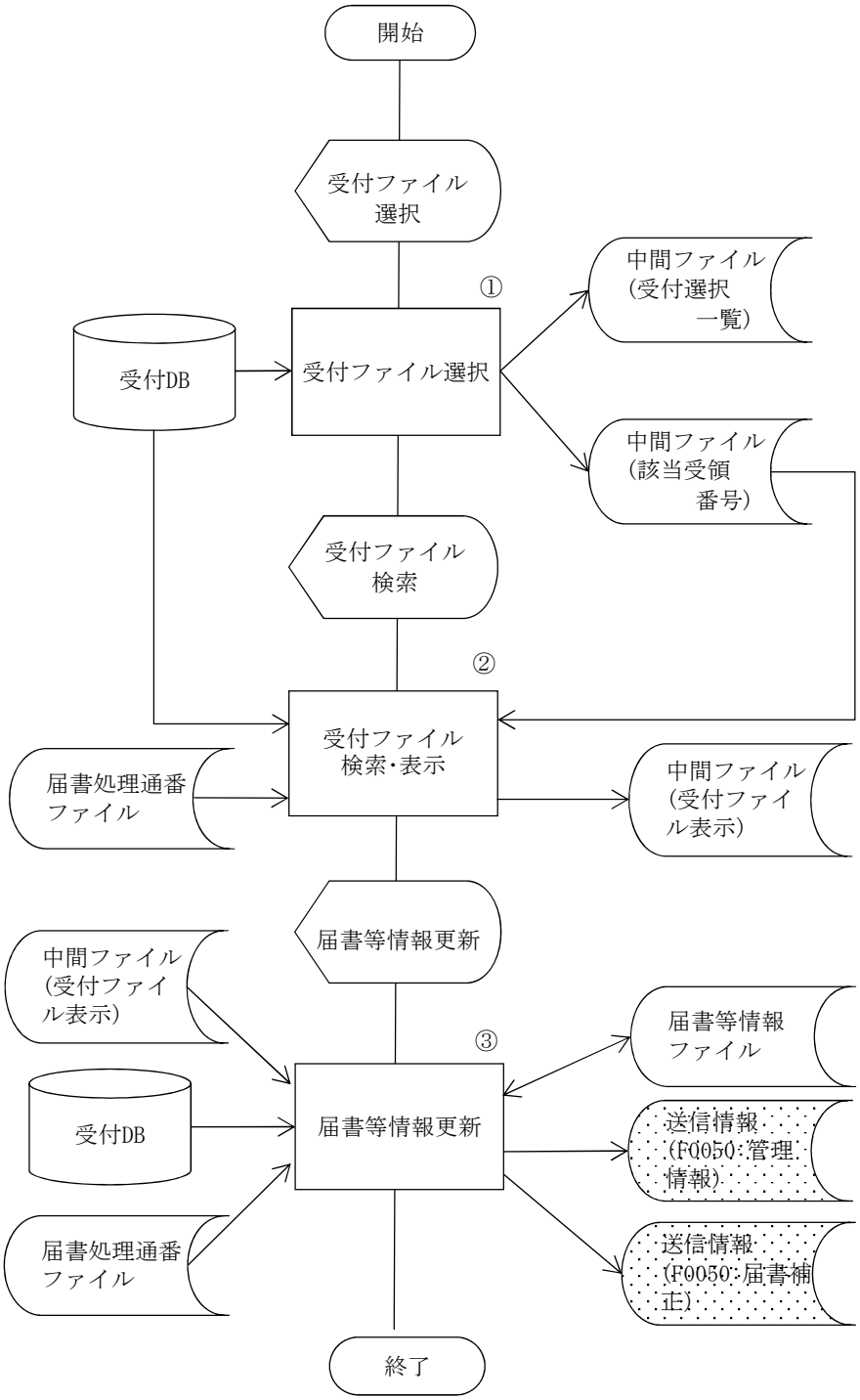
③受付ファイル確認

(1) 修正後の内容を画面表示する。
(2) 内容を確認し、受付ファイルを更新する。
(3) 更新前、更新後の受付ファイルの内容を変更履歴ファイルに出力する。
(4) 戸籍情報連携システムへ送信済みの受付ファイルを更新した場合は、ファイルにて更新結果を送信する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和　年　月　日	R3

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.5届書等情報更新処理



備考

①受付ファイル選択

「1.2受付ファイル検索　①受付ファイル選択」と同様である。

②受付ファイル検索

(1) 該当番号の受領番号をキーとして受付ファイルを検索し、受付ファイル検索を表示する。

(2) 届書等情報更新に制御を渡す。

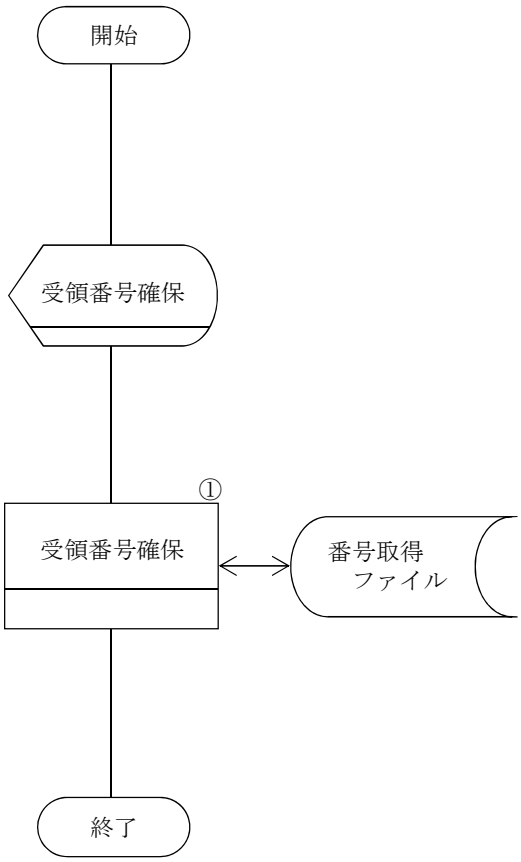
③届書等情報更新

(1) PF6
　入力されたイメージ種別のイメージを表示する。

(2) PF12
　入力された届書補正内容で届書補正イメージを作成し補正情報と画像情報を登録する。
　届書等情報ファイルを更新し送信情報を作成する。

※届書画像、添付書面画像はスキャナー等により紙から画像ファイルとして登録する時に元の届書に紐づくファイル名で登録される前提である。
届書等情報更新では画像情報の表示の有無で画像ファイルの有無を判断する。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
9.受領番号確保			



備考

①受領番号確保

(1) 項目の入力
a.受領日
b.届書枚数

(2) 受領日の年度をキーとし、番号取得ファイルを入力する

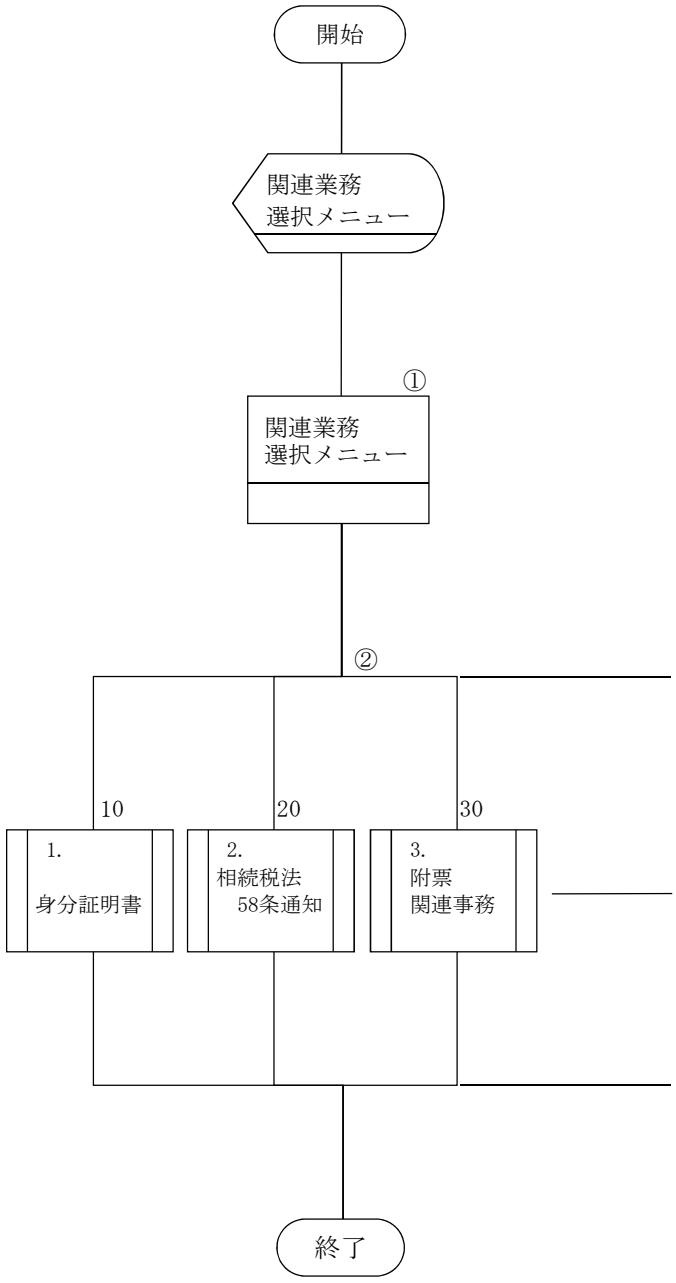
(3) 今回取得する開始番号と終了番号を表示する

(4) 届書枚数を受領番号に加算し、番号取得ファイルを更新する

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

10.関連業務処理



備考

①関連業務選択メニュー

(1) 選択番号を入力

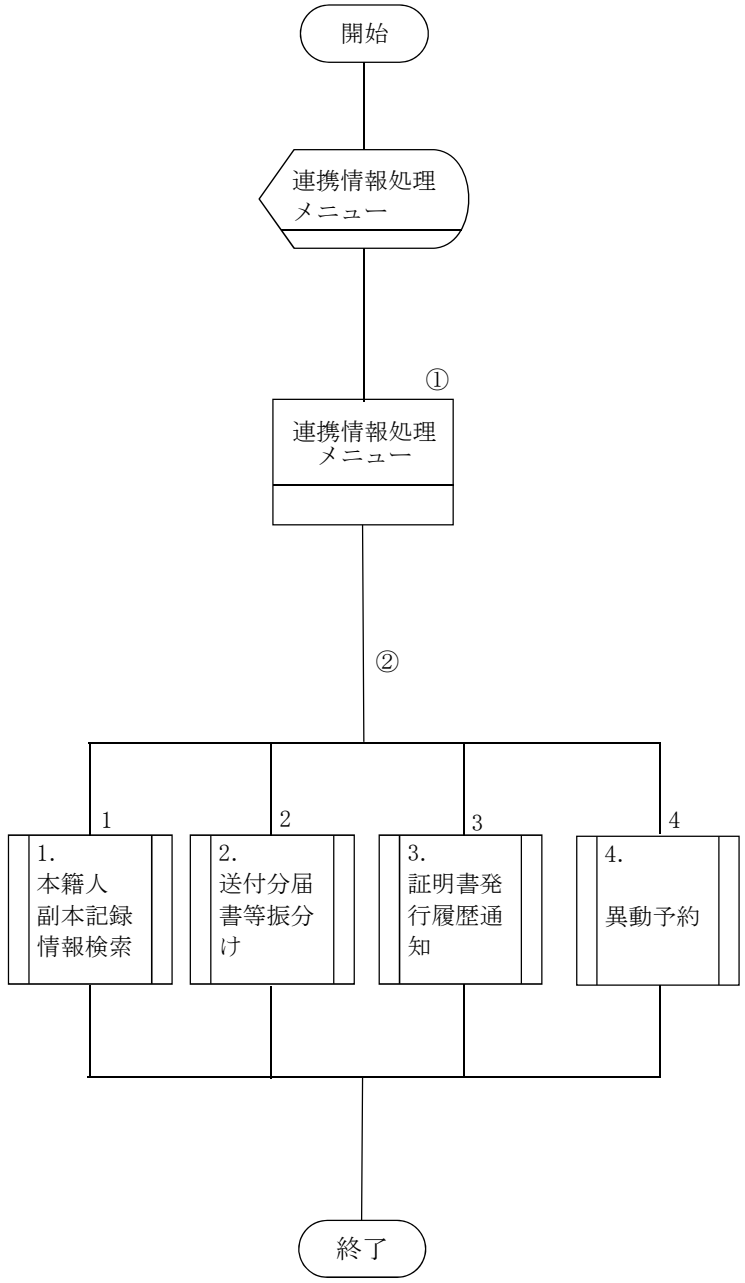
②各サブ業務へ制御を渡す。

各サブ業務では必要に応じメニュー画面を設け関連処理をグループ化し、機能分割する。
10:身分証明書
20:相続税法58条通知
30:附票関連事務

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

12.連携情報処理



備考

①連携情報処理選択メニュー

(1) 選択番号を入力する。
(2) 選択番号及び更新資格をチェックする。

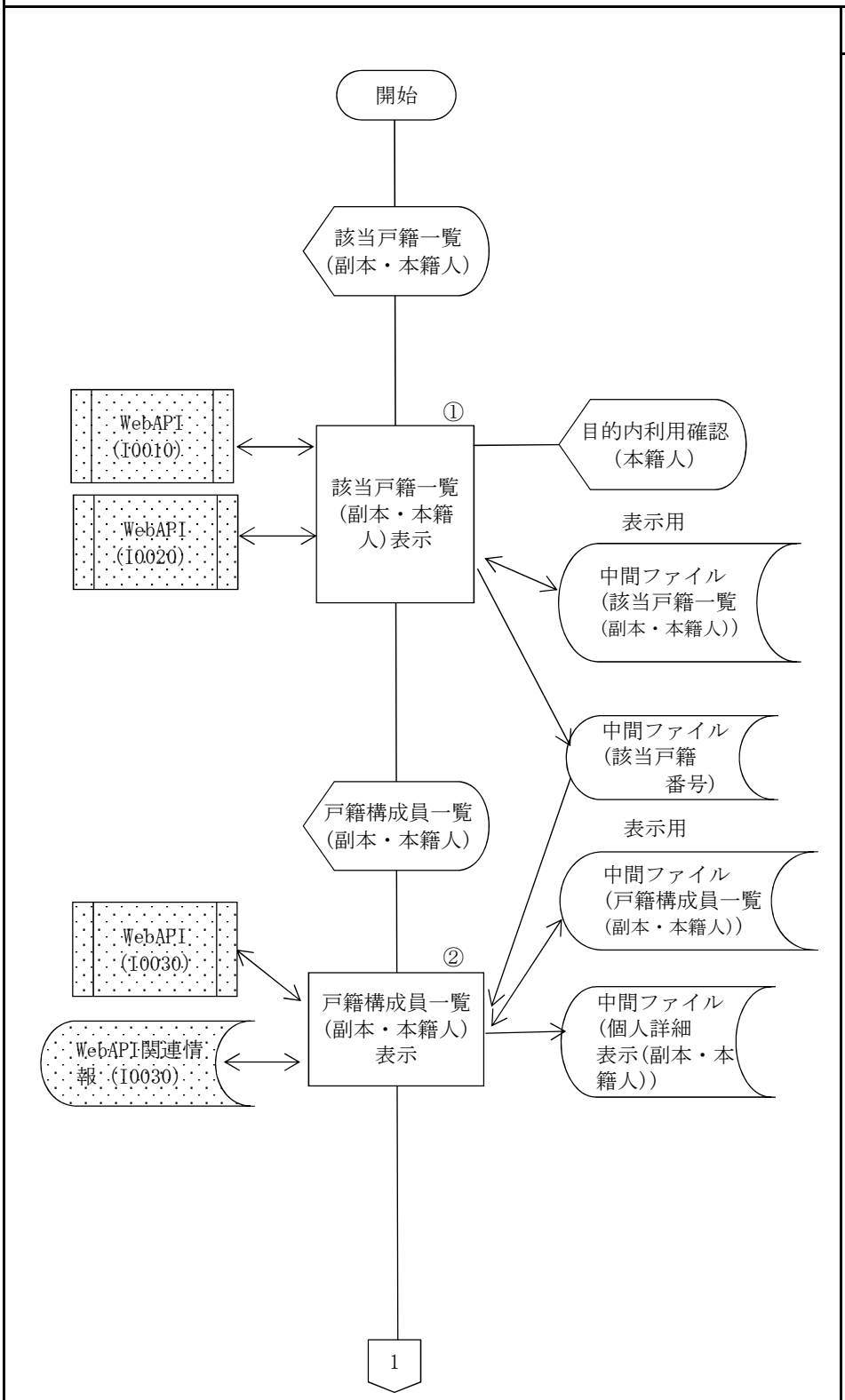
②各々のサブ業務へ制御を渡す。

1:本籍人副本記録情報検索
2:送付分届書等振分け
3:証明書発行履歴通知
4:異動予約

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

12.連携情報処理 12.1本籍人副本記録情報確認



備考

①該当戸籍一覧(副本・本籍人)表示
(1) 検索キー(補助キー)等の入力
a.カナ氏名
b.漢字氏名
c.本籍
d.生年月日
e.筆頭者
f.戸籍の編製日
g.戸籍の消除日
h.入籍日
i.除籍日
j.戸籍種別
※複合検索も可
[検索補完項目]
l.記載字検索フラグ
m.遡り検索フラグ
n.構成員等取得フラグ

(2) 目的内の利用であることを確認し、目的を選択する。
※目的内利用であることを確認できない場合は検索不可とする。

(3) 検索キーに該当する副本記録情報の索引情報を戸籍情報連携システムから取得し、該当する戸籍の一覧を表示する。

(4) 該当番号を入力する。

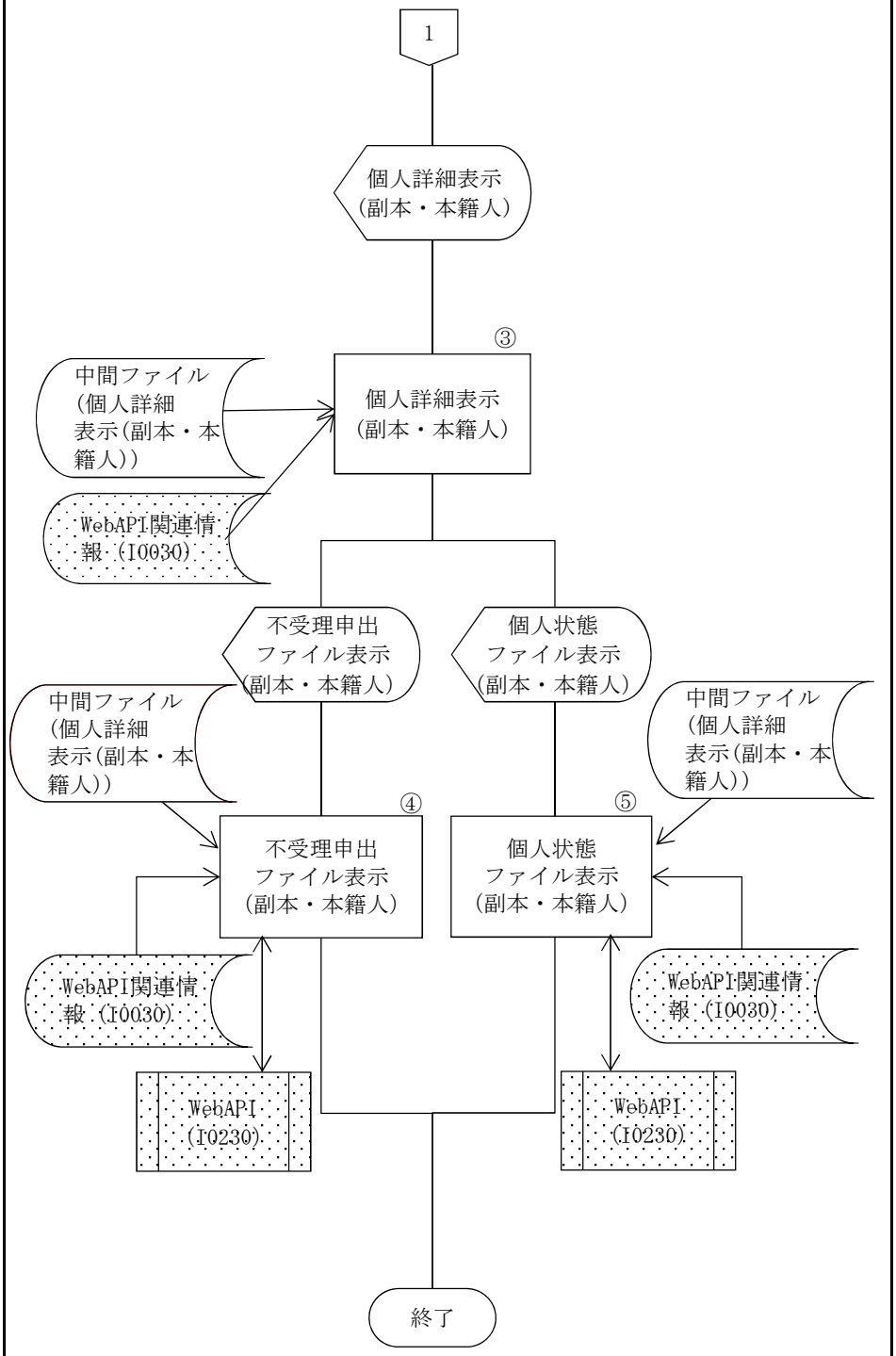
(5) 戸籍構成員一覧(副本・本籍人)表示へ制御を渡す。

②戸籍構成員一覧(副本・本籍人)表示
「1.検索処理 1.3 副本記録情報検索 ②戸籍構成員一覧(副本)表示」と同様である。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

12.連携情報処理 12.1本籍人副本記録情報確認



備考

③　個人詳細表示(副本・本籍人)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　③個人詳細表示(副本)」と同様である。

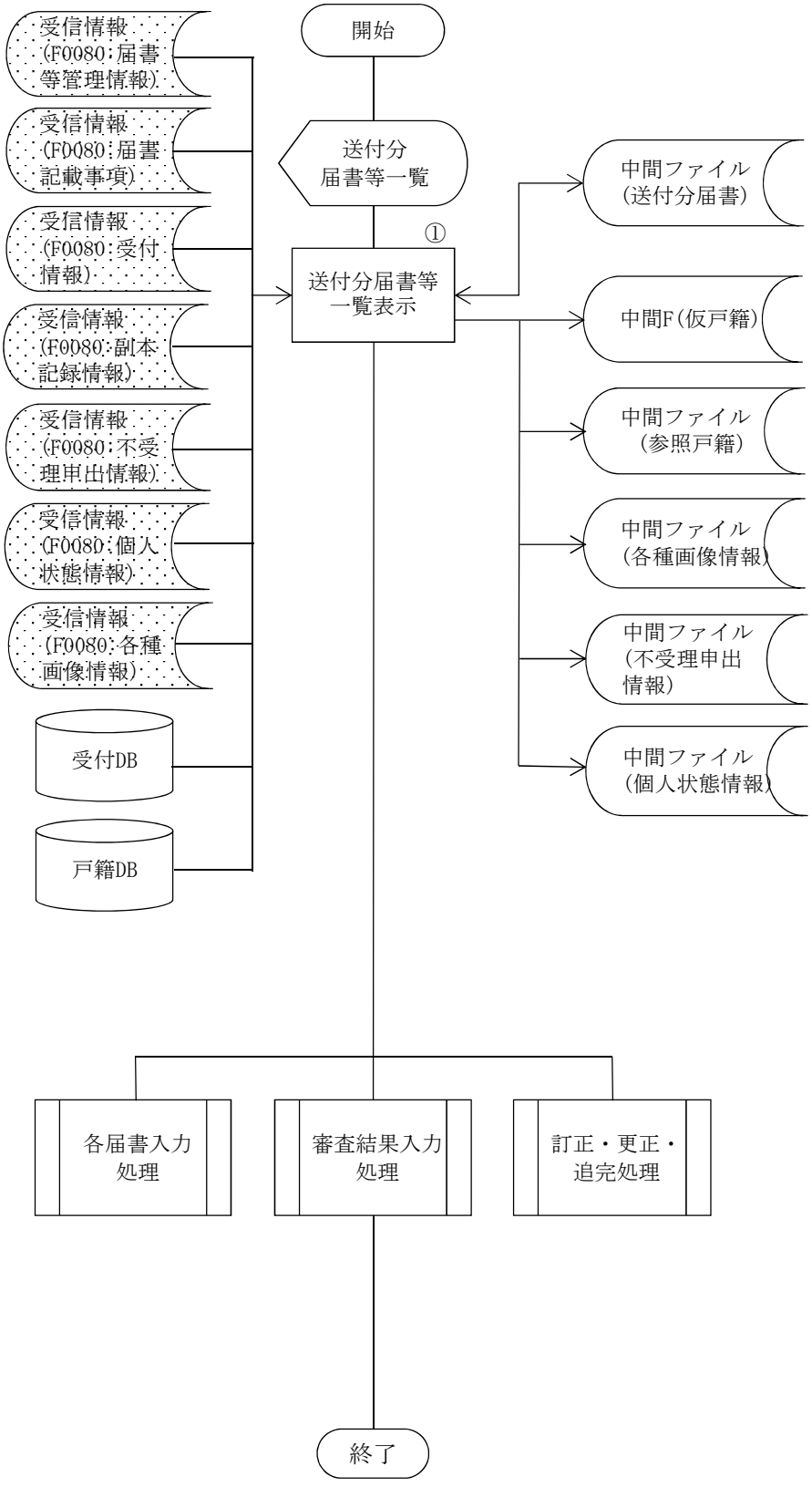
④　不受理申出ファイル表示(副本・本籍人)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　④不受理申出ファイル表示(副本)」と同様である。

⑤　個人状態ファイル表示(副本・本籍人)
「1.検索処理　1.3 副本記録情報検索　⑤個人状態ファイル表示(副本)」と同様である。

オンライン処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和　年　月　日	R3

適用業務名

12.連携情報処理 12.2送付分届書等振分け



備考

①送付分届書等一覧表示
(1) 送付分の届書等を一覧表示する。

(2) 処理対象を選択後、選択された処理(届書入力処理、審査結果入力処理又は訂正・更正・追完処理)へ制御を渡す。

(3) PF9
　全部事項イメージを表示する。

(4) PF10
　届書イメージを表示する。

(5) PF11
　添付書面イメージを表示する。

(6) PF12
　届書補正イメージを表示する。

※受理地での入力情報等を活用するため、異動検索処理にて出力する情報と同等のものを当該処理にて出力する。なお、「中間F」とは、届書入力情報及び本籍人分の仮戸籍情報を一時的に記録し、届書入力画面等で利用する情報である。

※胎児認知届の送信による、個人状態ファイル更新及び画像登録処理、死産届の送信による胎児認知情報の解除もある。

第5.4

バッチ処理の流れ図(詳細)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

詳細仕様説明書	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
ドキュメント名称			
バッチ処理の流れ図(詳細)			

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1) 一例の処理を示したものである。

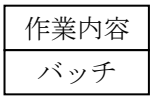
(2) 純然バッチ処理または、オンラインバッチ処理など運用にあわせた方式を取っても構わない。
[オンラインバッチ処理]:オンライン画面で処理起動し、バッチ処理をする。

(3) 個人データ保護(プライバシー)の観点から、業務目的以外に個人のデータを抽出することは許されない。

第5.4　バッチ処理の流れ図

(1) 作成の目的

この流れ図は、新業務処理手順図で示されたバッチ処理の部分を、さらに詳細な処理手順を明らかにするとともに、オンライン処理との重複や組込みの要、不要等についての判断資料とするものである。

新業務処理手順図の 

を、コンピュータ処理の手順に沿って分割し作成する。

(2) 作成方法

作業の内容から、コンピュータ処理に必要な機能を把握した。

つぎに、コンピュータ処理機能を処理の手順に置き換えた。主なコンピュータの処理機能は、次のとおりである。

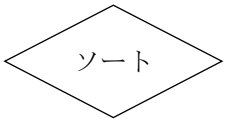
①データチェック　②抽出　③分類・並び替え(ソート)　④計算　⑤印刷等々

各処理のファイル、帳票などの入出力と処理内容の名称を記入し、また、処理内容については、その説明を備考欄に示した。

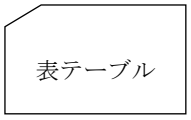
なお、追加使用した記号は次のとおりである。

ア.

イ.



ウ.



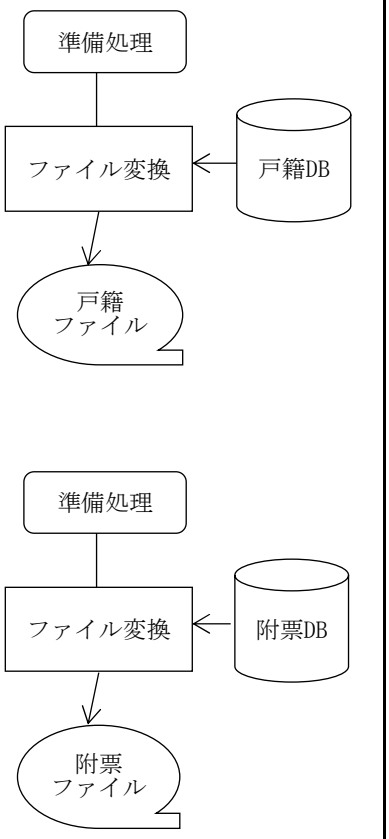
(3) バッチシステムの流れ図(詳細)

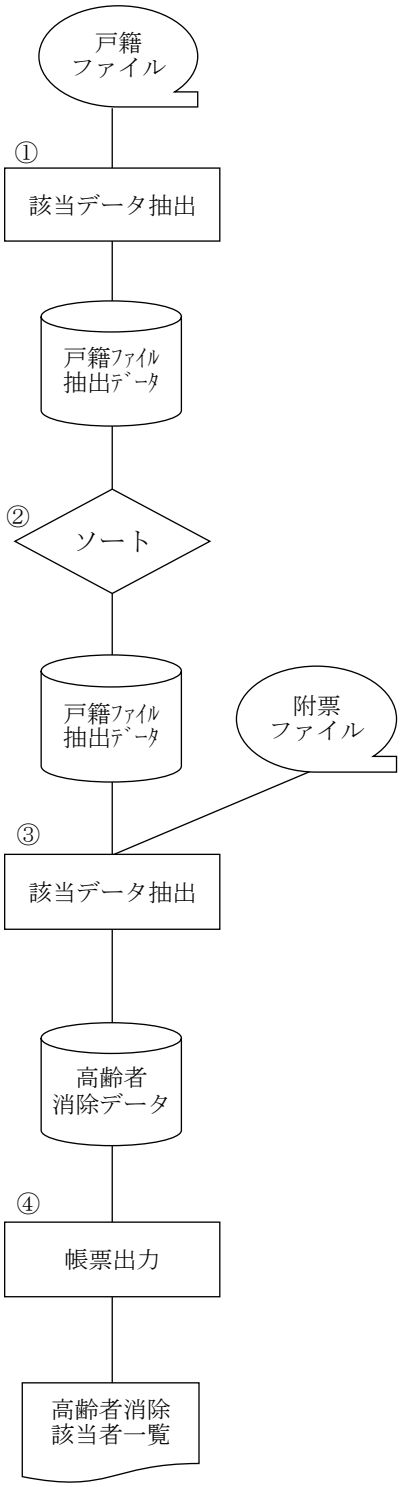
上記の検討を経て作成した流れ図は、以下のとおりである。

バッチ処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成23 年 3月 1日	14

適用業務名

1.高齢者消除抽出





備　　考

【準備処理】
　全件検索を対象とするDBを順ファイルに変換する。
(1)戸籍DB → 戸籍ファイル
(2)附票DB → 附票ファイル

<u>高齢者消除抽出(一覧表作成)</u>
①該当データ抽出(戸籍ファイル)
　戸籍ファイルを順次読み込み、以下の条件に該当するデータのみを戸籍ファイル抽出データに出力する。
(ア)満100歳～満119歳の生存者
・現在戸籍
・100歳未満の在籍者がいない
(イ)満120歳以上の生存者
・現在戸籍
・在籍者の判断は不要

②並び替え(ソート)
　附票ファイルと突合せするために、個人番号で昇順に並び替え(ソート)する。

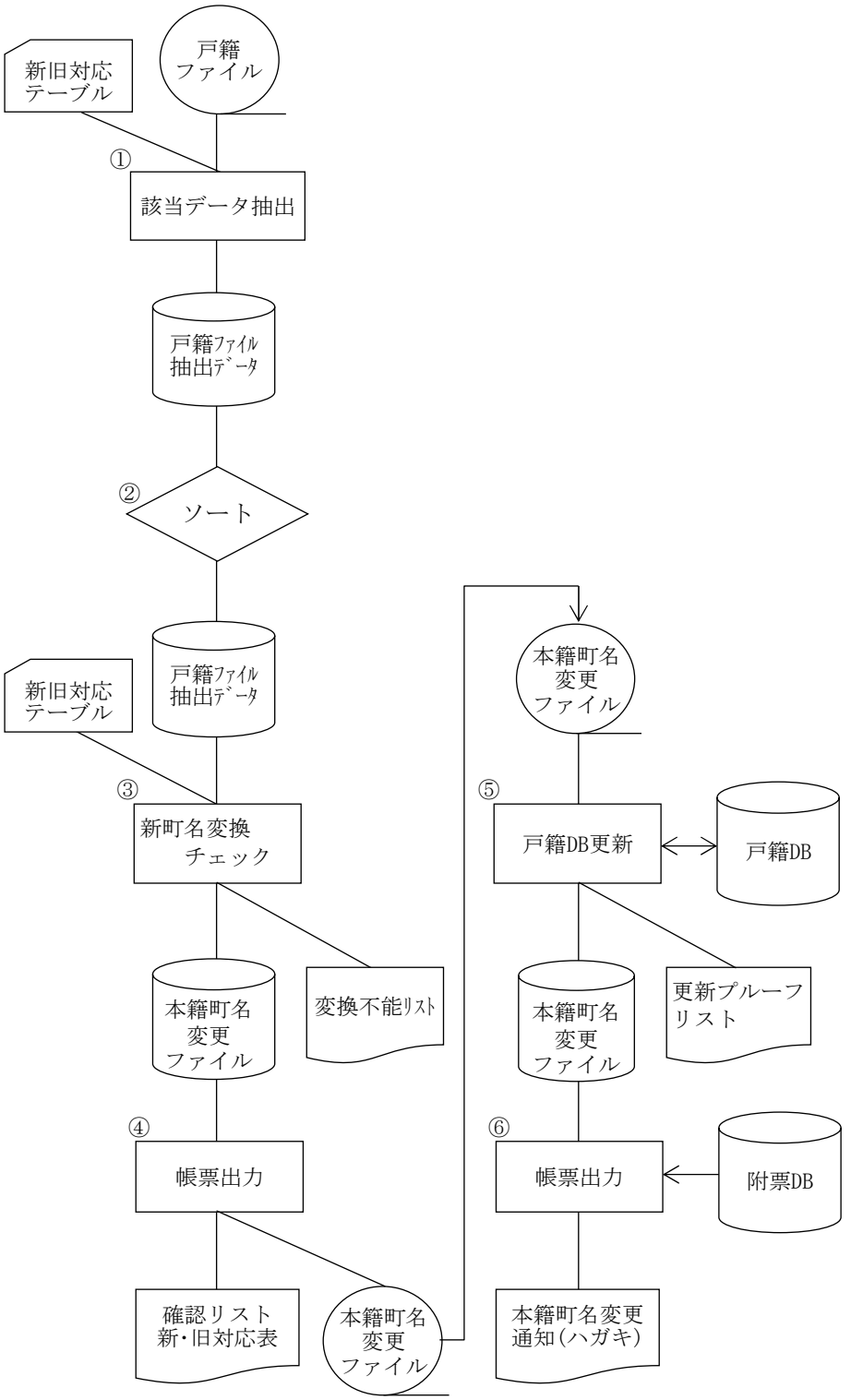
③該当データ抽出(附票ファイル)
　戸籍ファイル抽出データと附票ファイルにより個人番号で突合せを行う。
　附票の記載がないデータ(住所がスペースまたは消除されているデータのみ)を高齢者消除データとして出力する。

④帳票出力
　高齢者消除データファイルをもとに編集し、高齢者消除一覧表を出力する。

バッチ処理の流れ図(詳細)	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

2.行政区画変更



備　　考

【事前準備】
　行政区画変更に対する、新旧テーブルを作成する
･本籍コードと町名称
･分割する場合は地番まで

※事前に戸籍DB→戸籍ファイルに変換する。

①該当データ抽出(戸籍ファイル)
　戸籍特定の本籍コードと、対応テーブルとを突き合わせ、該当データを戸籍ファイル抽出データへ出力する。

②並び替え(ソート)
　本籍コードで昇順に並び替えを行う。

③新町名変更チェック
　戸籍ファイルより抽出されたデータを、新旧対応テーブルによって、変換できるかチェックを行う。
　変換不能データは、変換不能リストに出力し、原因調査。変換可能なデータは、新情報(本籍コード、町名称)を付加し本籍町名変更ファイルへ出力する。

④帳票出力(確認リスト)
　本籍町名変更ファイルから確認リストを編集出力する。

　内容確認後、正しければ、戸籍DBへ反映させるため、更新処理を行う。

⑤戸籍DB更新
　本籍町名変更ファイルをもとに、戸籍DBを検索し、戸籍事項の情報を付加(更新事項)すると同時に、本籍情報を更新する。
　また、更新プルーフリストも出力し、検証に活用する。

⑥帳票出力(本籍町名変更通知)
　本籍の変更を行った戸籍に対し、その旨を通知する。
　宛名を取り込むため、附票DBより、筆頭者(在籍者)の住所を取得する。

第 5.5 「画面」関係仕様

（目次）

(1) 画面一覧表

(2) 画面設計書

(3) 画面項目一覧表

第5.5.(1)

画面一覧表

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	画面一覧表	以下画面を追加 ・「届書等情報表示」
2		3		以下画面を追加 ・「該当戸籍一覧(副本)」 ・「目的内利用確認」 ・「戸籍構成員一覧(副本)」 ・「個人詳細表示(副本)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本)」 ・「個人状態ファイル表示(副本)」 ・「該当戸籍一覧(副本・異動)」 ・「目的内利用確認(異動)」 ・「戸籍構成員一覧(副本・異動)」 ・「個人詳細表示(副本・異動)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本・異動)」 ・「個人状態ファイル表示(副本・異動)」 ・連携情報処理メニュー ・「該当戸籍一覧(副本・本籍人)」 ・「目的内利用確認画面(本籍人)」 ・「戸籍構成員一覧(副本・本籍人)」 ・「個人詳細表示(副本・本籍人)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本・本籍人)」 ・「個人状態ファイル表示(副本・本籍人)」
3		4、5、6		以下画面を追加 ・「該当戸籍一覧(副本・証明)」 ・「目的内利用確認(証明)」 ・「戸籍構成員一覧(副本・証明)」 ・「個人詳細表示(副本・証明)」 ・「証明書発行確認(副本)」 ・「受付ファイル選択(証明)」 ・「受付ファイル検索(証明)」 ・「届書等情報表示(証明)」 ・「証明書発行確認(届書等情報内容証明)」
4	R3	B03	画面一覧表	不受理申出情報イメージ表示により下記画面を追加した。 ①不受理申出イメージ表示 ②不受理申出イメージ表示(副本) ③不受理申出イメージ表示(副本･異動)
5		B04		以下画面を追加した。 ①「決裁･届書イメージ等表示」 ②「届書等イメージ更新選択」 ③「届書等イメージ処理選択」 ④「届書等イメージ更新」 ⑤「申入書情報選択」 ⑥「申入書情報更新」 ⑦「送付分届書等一覧」
6		B05		以下画面を追加した。 ①「届書補正情報処理選択」 ②「届書補正情報更新」
7	2.0 (2023.3.31版)	―	画面一覧表	届書のスキャンは決裁後に実施することにより決裁でイメージ表示はできないことから、「決裁･届書等イメージ表示」画面を「届書等イメージ表示」画面に変更する
8	2.0 (2023.7.31版)	―	画面一覧表	以下画面を追加した。(振り仮名の法制化に対する修正) ①「氏の振り仮名の届」 ②「名の振り仮名の届」 ③「氏の振り仮名の変更届」 ④「名の振り仮名の変更届」

第5.5.(1)　画面一覧表

(1) 作成の目的

後続の画面設計書、画面項目一覧表及び詳細設計の検討に資するため、オンライン処理の流れ図に沿って画面一覧表を作成する。

(2) 作成方法

一覧表の記入内容は、以下のとおりである。

ア　画面名　　画面名を記入する。

イ　備考　　画面設計が他画面と同様である画面について、画面設計を参照すべき画面名と共にその旨を示す。

(3) 画面一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

画面一覧表		作成日付	改訂日付	版
		令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
NO.	画面名	備考		
1	戸籍業務メニュー			
2	検索処理メニュー			
3	該当戸籍一覧			
4	戸籍構成員一覧			
5	個人詳細表示			
6	不受理申出ファイル表示			
7	不受理申出イメージ表示			
8	個人状態ファイル表示			
9	受付ファイル選択			
10	受付ファイル検索			
11	届書等情報表示			
12	該当戸籍一覧(副本)			
13	目的内利用確認			
14	戸籍構成員一覧(副本)			
15	個人詳細表示(副本)			
16	不受理申出ファイル表示(副本)			
17	不受理申出イメージ表示(副本)			
18	個人状態ファイル表示(副本)			
19	届出メニュー			
20	該当戸籍一覧(異動)			
21	戸籍構成員一覧(異動)			
22	個人詳細表示(異動)			
23	該当戸籍一覧(副本・異動)			
24	目的内利用確認(異動)	画面設計については目的内利用確認の画面設計書を参照のこと。		
25	戸籍構成員一覧(副本・異動)			
26	個人詳細表示(副本・異動)			
27	不受理申出ファイル表示(副本・異動)			
28	不受理申出イメージ表示(副本･異動)			
29	個人状態ファイル表示(副本・異動)			
30	出生届(その１)			
31	出生届(その２)			
32	出生届(その３)			
33	出生届(ガイダンス)			
34	認知届(その１)			
35	認知届(その２)			
36	認知届(その３)			

画面一覧表		作成日付	改訂日付	版
		令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
NO.	画面名	備考		
37	認知届ガイダンス			
38	養子縁組　縁組形態入力			
39	養子縁組(その１)			
40	養子縁組(その２)			
41	養子縁組(その３)			
42	養子縁組(その４)			
43	養子縁組　ガイダンス			
44	養子離縁届　離縁形態入力　他			
45	養子離縁届(その１)・入力			
46	養子離縁届(その２)・入力			
47	養子離縁届(その３)・入力			
48	養子離縁届(その４)・入力			
49	養子離縁届(その５)・入力			
50	特別養子縁組　縁組形態入力			
51	特別養子縁組(その１)			
52	特別養子縁組(その２)			
53	特別養子縁組(その３)			
54	戸籍法73条の2届(その１)			
55	戸籍法73条の2届(その２)			
56	養子離縁同時73条の2　離縁形態入力　他			
57	養子離縁同時73条の2(その１)・入力			
58	養子離縁同時73条の2(その２)・入力			
59	養子離縁同時73条の2(その３)・入力			
60	養子離縁同時73条の2(その４)・入力			
61	養子離縁同時73条の2(その５)・入力			
62	婚姻届(その１)			
63	婚姻届(その２)			
64	離婚届(その１)			
65	離婚届(その２)			
66	離婚届(その３)			
67	77条の2届			
68	離婚同時77条の2届(その１)			
69	離婚同時77条の2(その２)　入力			
70	離婚同時77条の2届(その３)　確認			
71	親権・管理権(その１)			
72	親権・管理権(その２)			

画面一覧表		作成日付	改訂日付	版
		令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
NO.	画面名	備考		
73	親権・管理権ガイダンス画面			
74	未成年後見届(その１)			
75	未成年後見届(その２)			
76	未成年後見届(ガイダンス)			
77	保佐届(その１)			
78	保佐届(その２)			
79	保佐届ガイダンス			
80	死亡届			
81	死亡届(ガイダンス)			
82	失踪届			
83	失踪届(ガイダンス)			
84	復氏届(その１)			
85	復氏届(その２)			
86	復氏届(その３)			
87	婚姻関係終了届			
88	推定相続人廃除届			
89	入籍届種別入力			
90	入籍届(その１)			
91	入籍届(その２)			
92	入籍届(その３)			
93	分籍届			
94	国籍取得(その１)・入力			
95	国籍取得(その２)・入力			
96	帰化　帰化種別入力　他			
97	帰化(その１)・入力			
98	帰化(その２)・入力			
99	帰化(その３)・入力			
100	帰化(その４)・入力			
101	帰化(その５)・入力			
102	国籍喪失届			
103	国籍選択届			
104	外国国籍喪失届			
105	氏の変更届(その１)			
106	氏の変更届(その２)			
107	107条2項届			
108	107条3項届			

画面一覧表		作成日付	改訂日付	版
		令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
NO.	画面名	備考		
109	107条4項届			
110	名の変更届(その１)			
111	名の変更届(その２)			
112	転籍届(その１)			
113	転籍届(その２)			
114	並び変え(転籍届)			
115	就籍届			
115-1	氏の振り仮名の届(その１)			
115-2	氏の振り仮名の届(その２)			
115-3	名の振り仮名の届(その１)			
115-4	名の振り仮名の届(その２)			
115-5	氏の振り仮名の変更届(その１)			
115-6	氏の振り仮名の変更届(その２)			
115-7	名の振り仮名の変更届			
123	処分決定・仮受付			
124	処分決定・受付			
125	エラー履歴一覧			
126	処分決定　確認表示			
127	処分決定　戸籍構成員一覧(処分決定)			
128	処分決定　個人詳細表示(処分決定)			
129	移記戸籍選択			
130	移記戸籍構成員一覧			
131	個人情報表示			
132	移記：戸籍事項表示			
133	移記：戸籍事項事件メニュー			
134	移記：戸籍事項事件別入力　氏の変更1/2			
135	移記：戸籍事項事件別入力　氏の変更2/2			
136	戸籍事項並べ替え			
137	移記：身分事項表示			
138	身分事項並べ替え			
139	移記：身分事項事件メニュー			
140	事件別入力(出生)子の記録(その１)			
141	事件別入力(出生)子の記録(その２)			
142	事件別入力(出生)子の記録(その３)			
143	事件別入力(出生)子の記録(その４)			
144	未決裁一覧			

画面一覧表		作成日付	改訂日付	版
		令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
NO.	画面名	備考		
145	決裁・受付			
146	決裁確認表示			
147	戸籍構成員一覧(決裁)			
148	個人詳細表示(決裁)			
149	届書等イメージ表示			
150	証明書選択メニュー			
151	該当戸籍一覧(証明)			
152	戸籍構成員一覧(証明)			
153	個人詳細表示(証明)			
154	戸籍事項選択			
155	個人特定事項選択			
156	身分事項選択			
157	証明書発行確認			
158	該当戸籍一覧(副本・証明)	画面設計については該当戸籍一覧(副本)の画面設計書を参照のこと。		
159	目的内利用確認(証明)	画面設計については目的内利用確認の画面設計書を参照のこと。		
160	戸籍構成員一覧(副本・証明)	画面設計については戸籍構成員一覧(副本)の画面設計書を参照のこと。		
161	個人詳細表示(副本・証明)	画面設計については個人詳細表示(副本)の画面設計書を参照のこと。		
162	証明書発行確認(副本)			
163	受付ファイル選択(証明)	画面設計については受付ファイル選択の画面設計書を参照のこと。		
164	受付ファイル検索(証明)	画面設計については受付ファイル検索の画面設計書を参照のこと。		
165	届書等情報表示(証明)	画面設計については届書等情報表示の画面設計書を参照のこと。		
166	証明書発行確認(届書等情報内容証明)			
167	統計処理選択メニュー			
168	帳票出力選択メニュー			
169	関連業務選択メニュー			
170	ファイル更新処理メニュー			
171	不受理申出ファイル更新			
172	不受理申出情報更新			
173	個人状態ファイル更新			
174	届書等情報更新			
175	送付先市区町村情報更新			
176	申入書情報選択			
177	申入書情報更新			
178	休日・夜間分　受領番号確保			
179	連携情報処理メニュー			
180	該当戸籍一覧(副本・本籍人)			

第5-5-(1) 画面一覧表

画面一覧表		作成日付	改訂日付	版
		令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
NO.	画面名	備考		
181	目的内利用確認(本籍人)	画面設計については目的内利用確認の画面設計書を参照のこと。		
182	戸籍構成員一覧(副本・本籍人)	画面設計については戸籍構成員一覧(副本)の画面設計書を参照のこと。		
183	個人詳細表示(副本・本籍人)	画面設計については個人詳細表示(副本)の画面設計書を参照のこと。		
184	不受理申出ファイル表示(副本・本籍人)	画面設計については不受理申出ファイル表示(副本)の画面設計書を参照のこと。		
185	個人状態ファイル表示(副本・本籍人)	画面設計については個人状態ファイル表示(副本)の画面設計書を参照のこと。		
186	送付分届書等一覧			

第5.5.(2)

画面設計書

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	画面設計書	以下画面を追加 ・「届書等情報表示」
2		3		以下画面を追加 ・「該当戸籍一覧(副本)」 ・「目的内利用確認」 ・「戸籍構成員一覧(副本)」 ・「個人詳細表示(副本)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本)」 ・「個人状態ファイル表示(副本)」 ・「該当戸籍一覧(副本・異動)」 ・「戸籍構成員一覧(副本・異動)」 ・「個人詳細表示(副本・異動)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本・異動)」 ・「個人状態ファイル表示(副本・異動)」 ・「連携情報処理メニュー」 ・「該当戸籍一覧(副本・本籍人)」 以下画面を変更 ・「業務処理メニュー」 ・「検索処理メニュー」 ・「ファイル更新処理メニュー」
3		4、5、6		以下画面を変更 ・「証明書選択メニュー」 以下画面を追加 ・「証明書発行確認(副本・証明)」 ・「証明書発行確認(届書等情報内容証明)」
4	R3	B01、 B02、 B03	画面設計書	非本籍人検索の検索補完キーの追加、不受理申出情報の追加により下記画面を修正した。 ①該当戸籍一覧表示(副本) ②戸籍構成員一覧表示(副本) ③個人詳細表示(副本) 目的内利用確認の「その他」の理由を送信しないことにより下記画面を修正した。 ①目的内利用確認 胎児認知イメージ表示の追加により下記画面を修正した。 ①個人状態ファイル表示 ②個人状態ファイル表示(副本) ③個人状態ファイル表示(副本･異動)
5		B01、B02		要望により以下画面を修正した。 ①「証明書発行確認(副本)」の表示項目に生年月日を追加
6		B03		不受理申出情報イメージ表示により下記画面を追加、修正した。 ①不受理申出ファイル表示 ②不受理申出イメージ表示：追加 ③不受理申出ファイル表示(副本) ④不受理申出イメージ表示(副本)：追加 ⑤不受理申出ファイル表示(副本･異動) ⑥不受理申出イメージ表示(副本･異動)：追加 届書等情報イメージ表示により下記画面を修正した。 ①届書等情報表示
7		B04		届書イメージ更新について以下画面を変更 ・「ファイル更新処理メニュー」に処理(5.)を追加 ・「決裁･届書イメージ等表示」を追加 ・「届書イメージ等更新選択」を追加 ・「届書イメージ処理選択」を追加 ・「届書イメージ更新」を追加 不受理申出イメージ更新について以下の画面を修正 ・「不受理申出ファイル更新」の欄外に留意点を追加
8				不受理申出イメージ更新について以下画面を変更 ・「不受理申出ファイル更新」の処理選択番号の区分を修正 ・「不受理申出補正・イメージ表示」画面を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
9				送付先市区町村情報管理について以下画面を変更 ・「ファイル更新処理メニュー」に処理(6.)を追加 ・「送付先市区町村更新」を追加
10				申入書情報更新について以下画面を追加 ・「申入書情報選択」 ・「申入書情報更新」
11				送付分届書等処理について以下画面を変更 ・「連携情報処理メニュー」に処理(2.)を追加 ・「送付分届書等一覧」
12		B05		届書補正情報更新について以下画面を追加 ・「ファイル更新処理メニュー」に処理(5.)を追加 ・「届書補正情報処理選択」 ・「届書補正情報更新」
13		-		適用業務名が詳細仕様説明書の「第5-3　オンライン処理の流れ図(詳細)」に合致していないため修正する。修正対象は下記のとおり。 ・該当戸籍一覧～個人状態ファイル表示(副本) ・届出メニュー ～処分決定　個人詳細表示(処分決定) ・移記戸籍選択～事件別入力(出生)子の記録(その4) ・未決裁一覧～決裁･届書イメージ等表示 ・証明書選択メニュー～証明書発行確認（届書等情報内容証明） ・ファイル更新処理メニュー～送付分届書等一覧
14		-		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
15	R4	B01、 B02、 B03	画面設計書	処理が異なるため「証明書発行確認(副本)」を下記２画面に分割 ・「証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)」 ・「証明書発行確認(戸籍電子証明書等)」
16		B04		送達確認書の郵送事務が残るため修正 ・「送付先市区町村情報更新」
17		B06		B01、B02の仕様に合わせるため修正 ・「証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」
18		B01、 指摘事項管理表 №95		個人状態ファイルに注意喚起区分を追加したことによる修正 ・「戸籍構成員一覧」 ・「個人詳細表示」 ・「個人状態ファイル表示」 ・「戸籍構成員一覧(副本)」 ・「個人詳細表示(副本)」 ・「個人状態ファイル表示(副本)」 ・「戸籍構成員一覧(副本･異動)」 ・「個人詳細表示(副本･異動)」 ・「個人状態ファイル表示(副本･異動)」 ・「戸籍構成員一覧(証明)」 ・「個人詳細表示(証明)」 ・「個人状態ファイル更新」
19		申し送り事項一覧 №9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ・「受付ファイル検索」 ・「届書等情報表示」 ・「処分決定･仮受付」 ・「処分決定･受付」 ・「決裁･受付」 ・「決裁･届書等イメージ表示」 ・「届書等情報更新」 ・「申入書情報選択」 ・「申入書情報更新」
20		指摘事項管理表 №24		過去の修正が反映されていないことによる修正 ※欄外に記載 ・養子離縁届(離縁形態入力)画面 ・養子離縁同時73条の2届(離縁形態入力)画面 ・未成年後見届(その2)画面

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
21		指摘事項管理表 №92②		戸籍情報連携システムから受領する不受理申出情報の出張所に関する項目は日本語名称であるため、出張所コードを削除 ・「不受理申出ファイル表示（副本）」 ・「不受理申出イメージ表示（副本）」 ・「不受理申出ファイル表示（副本･異動）」 ・「不受理申出イメージ表示（副本･異動）」
22		－		検索種別が異なるため新規作成 ・「該当戸籍一覧(副本・証明)」
23	2.0 (2023.3.31版)	指摘事項管理表 (1)(2) №1～3	画面設計書	処分区分に「誤入力」を追加 ・処分決定･仮受付及び処分決定･受付の処分区分の入力を「9」→「X」に変更
24		同 № 198,199,290		申入書情報の処理について、外部インターフェース仕様書との差異を修正 ・申入書情報選択で選択する処理区分の表示内容を修正
25		指摘事項管理表 (3)_連携システム_外部IF仕様書 No.275,316		追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分の設定に関する修正 ・処分決定･仮受付、処分決定･受付、決裁･受付及び届書等情報更新に追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分の入力項目を追加
26		同 №324		「電子証明書提供用識別符号等通知書」に発行部数を追加 ・証明書発行確認（戸籍電子証明書等）の各項目欄に発行部数を追加
27		―		スキャンそた届書は決裁後に紐づけすることにより決裁でイメージ表示はできないことから、「決裁･届書等イメージ表示」画面を「届書等イメージ表示」画面に変更する ※決裁処理での画面の位置付けから、ファイル更新処理での画面の位置付けとする
28		―		誤り修正 ・送付分届書等一覧の選択番号を一連番号に合わせて「2」→「3」に変更 軽微な修正 ・送付先市区町村情報更新処理の「送付先」を「送付先区分」に修正
29		2022/6/17標準仕様書に対する意見・要望・確認 FBSS①		「届出メニュー」の14.後見届を削除し、41.未成年者の後見届を追加 「身分事項事件メニュー」の7.後見を7.未成年後見に修正

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
30	2.0 (2023.7.31版)	―	画面設計書	振り仮名の法制化による修正 ①画面の追加 　氏の振り仮名の届、名の振り仮名の届、氏の振り仮名の変更届、名の振り仮名の変更届 ②画面の修正 　該当戸籍一覧、個人詳細表示、不受理申出ファイル表示、不受理申出イメージ表示、個人状態ファイル表示、受付ファイル選択、受付ファイル検索、該当戸籍一覧（副本）、個人詳細表示（副本）、不受理申出ファイル表示（副本）、不受理申出イメージ表示（副本）、個人状態ファイル表示（副本）、届出メニュー、該当戸籍一覧(異動)、個人詳細表示(異動)、該当戸籍一覧（副本・異動）、個人詳細表示（副本・異動）、不受理申出ファイル表示（副本・異動）、不受理申出イメージ表示（副本･異動）、個人状態ファイル表示（副本・異動）、氏の変更届、名の変更届、【★出生届～就籍届は「カナ」を「仮名」にN(XX)をK(XX)に変更】、処分決定･仮受付、処分決定･仮付、処分決定　個人詳細表示(処分決定)、個人情報表示、移記:戸籍事項事件メニュー、移記:身分事項事件メニュー、決裁･受付、個人詳細表示(決裁)、該当戸籍一覧(証明)、個人詳細表示（証明)、戸籍事項選択、個人特定事項選択、身分事項選択、証明書発行確認、該当戸籍一覧（副本・証明）、不受理申出ファイル更新、不受理申出情報更新、個人状態ファイル更新、該当戸籍一覧(副本・本籍人)
31		―		振り仮名の法制化に合わせて修正 ・戸籍構成員一覧(異動)
32		―		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ①個人状態ファイルから「破産宣告人区分」「犯歴区分」が削除されたことの対応 →個人詳細表示、個人状態ファイル表示、個人詳細表示(異動)、個人詳細表示(処分決定)、個人詳細表示(決裁)、個人詳細表示（証明)、個人状態ファイル更新 ②不要となる帳票、追加される帳票による対応 ・帳票出力選択メニュー ③不要となる業務、追加される業務による対応 関連業務選択メニュー
33		―		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・移記／個人情報表示に「同一戸籍内前個人番号」を追加
34		―		「国籍」を「国籍・地域」に変更する修正 ・移記:身分事項事件メニューに「外国人配偶者の国籍・地域変更」を追加
35		―		火葬許可事務システム標準化に伴う修正 ・処分決定・仮受付、処分決定・受付を修正
36		―		指摘による修正 ①№19「受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正」で「処分決定･仮受付」、「処分決定･受付」、「決裁･受付」は「送信日」固定名称とする ②「決裁･受付」画面の処分区分のコードがコード一覧と異なることから、コード一覧のとおりに修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
ドキュメント名称			
「画面」関係仕様			

〔順守事項〕

(1) 画面の流れは「第5-1 新業務処理手順図」および「第5-3 オンライン処理の流れ図(詳細)」の通りとする。その他は「第7-2 要件定義書」を熟読すること。

(2) 入出力項目は「第5-5(1) 画面設計書」および「第5-5(2) 画面項目一覧表」の通りとする。

〔留意点〕

(1) 画面設計書はサンプルであり、入出力項目の長さは任意である。ただし氏名、本籍等全部を入出力できる方策を講じなければいけない(桁数の設定は任意)。

(2) 画面の項目名は画面設計書の制約から省略形を多く用いているが、省略する場合は意味が理解できる文言を使用すること。入力項目については順守しなければいけないが、表示項目(コード内容・説明項目等)は任意である。

(3) 画面設計書の制約から内容によっては複数に画面を分割して提示してあるが、単一画面(論理大画面方式等)を採用しても構わない。項目の順番も任意とする。

(4) 画面設計書にあるガイダンス行はファンクションキー等を使用する場合に用いる。

第5.5.(2)　画面設計書

(1) 作成の目的

画面に入出力する項目、位置を明確にするとともに、その後の詳細設計の検討に資するため、オンラインの流れ図に沿って画面設計書を作成する。

(2) 作成方法

画面のレイアウトは、参考までに一般的パターンである24行/80桁のイメージで作成したものである。
画面の1行目は画面ID(識別番号)、画面名称、コンピュータの処理年月日を出力し、22～23行目はPFキーガイダンス、24行目はエラーメッセージの出力欄とした。また、画面上の入出力項目の属性、タイプについては、次のとおりである。
K:漢字(全角)
N:カナ(以下、半角)
X:英数字カナ
9:数字

(3) 画面設計書

上記の検討を経て作成した画面設計書は、以下のとおりである。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

0.業務選択

画面番号		画面名	戸籍業務メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    戸籍業務メニュー                    X99.99.99
 2
 3
 4
 5          １．検　索　処　理                  ７．帳票出力処理
 6
 7          ２．異　動　処　理                  ８．各種ファイル更新処理
 8
 9          ３．移記事項入力処理                ９．受領番号確保処理
10
11          ４．決　裁　処　理                  １０．関連業務処理
12
13          ５．証　明　処　理                  １１．訂正・更正・追完
14                                                  審査結果入力処理
15          ６．統　計　処　理                  １２．連携情報処理
16
17
18
19                ＊業務選択番号 [ 99 ]      パスワード [ 999999999999999 ]
20
21                                                  選択番号 [ 99 ]
22                      ＰＦガイダンス
23
24  K----------------------------------K(39)----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和2年3月25日	R2.2

適用業務名

1.検索処理

画面番号		画面名	検索処理メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画 面 Ｉ Ｄ          検 索 処 理 メ ニ ュ ー          X99.99.99
 2
 3
 4
 5
 6                    １．個 人 検 索
 7                    ２．受 付 フ ァ イ ル 検 索
 8                    ３．副 本 記 録 情 報 検 索
 9
10
11
12
13
14
15
16
17                    選 択 番 号 [9]
18
19
20
21
22                    Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24  K----------------------------------K(39)----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                    該当戸籍一覧                    X99.99.99      99/99
2
3  検索  振り仮名   K----------K(30)----------K
4        漢字氏名   K----------K(30)----------K
5        本　　籍   K----------K(30)----------K
6        生年月日   X99.99.99
7        筆頭者     K----------K(30)----------K
8
9  No  本人氏名 ／ 筆頭者          生年月日    編製日      消除日      除籍日
10 99  K----------K(14)---------K  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
11 K   K----------K(14)---------K  K----------K(21)----『本籍地』-K
12 99  K----------K(14)---------K  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
13 K   K----------K(14)---------K  K----------K(21)----------K
14 99  K----------K(14)---------K  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
15 K   K----------K(14)---------K  K----------K(21)----------K
16 99  K----------K(14)---------K  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
17 K   K----------K(14)---------K  K----------K(21)----------K
18 99  K----------K(14)---------K  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
19 K   K----------K(14)---------K  K----------K(21)----------K
20                                                  該当番号 99
21
22                 ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

本籍：管内の町丁名以降
Noの下:旧氏名で検索した場合「旧」を表示

*検索件数:MAX99件

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                    戸籍構成員一覧                    X99.99.99      99/99

（編製日）X.99.99.99（消除日）X.99 99.99（記録数）  99（在籍数）  99
本　籍    K----------K(30)----------K
筆頭者    K----------K(30)----------K
戸籍事項  K----------K(33)----------K
          K----------K(33)----------K
          K----------K(33)----------K
          K----------K(33)----------K
          K----------K(33)----------K
          K----------K(33)----------K
No    氏          名          生年月日    除籍日    続柄  配偶 家照保胎注メ
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
                                              詳細選択番号 99

                    ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

配偶:夫、妻、生配(生存配偶者)
家:家裁からの通知の有無を表す
照:受理照会または処理照会の届出の有無を表す
保:保留の届出の有無を表す
胎:胎児認知の有無を表す
注:注意喚起の有無を表す
メ:メモの有無を表す

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索

画面番号		画面名	個人詳細表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    個人詳細表示                        X99.99.99      99/99
 2
 3 （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 家 K 照 K 保 K 胎 K 注 K メ K
 4 本　籍     K----------K(30)----------K
 5 筆頭者     K----------K(30)----------K
 6 振り仮名   K----------K(30)----------K
 7 漢字氏名   K----------K(30)----------K
 8 （生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
 9 父     K----------K(14)----------K 母     K----------K(14)----------K ＫＫＫ
10 養父   K----------K(14)----------K 養母   K----------K(14)----------K ＫＫＫ
11 No 事　件　名　称          身　分　事　項　記　録　項　目
12 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
13 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
14 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
15 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
16 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
17 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
18 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
19 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
20 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
21 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
22                    Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

家	家裁通知の有無を表す
照	受理照会または処理照会の届出の有無を表す
保	保留の届出の有無を表す
胎	胎児認知の有無を表す
注	注意喚起の有無を表す
メ	メモの届出の有無を表す
8行49桁目	筆頭者の場合「筆頭者」
8行57桁目	配偶者区分により「夫」「妻」「生存配偶者」

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                  不受理申出ファイル表示                X99.99.99      99/99
 2 （振り仮名）  K-------------------------K(30)-------------------------K
 3 （漢字氏名）  K-------------------------K(30)-------------------------K
 4 （本　　籍）  K-------------------------K(30)-------------------------K
 5 （筆頭者）    K---------K(14)----------K （生年月日） X 99 99 99
 6   項番     出張所   受・送     開始日       送付日       失効日      失効区分
 7    99        999       9     X99 99 99   X99 99 99   X99 99 99      9   K K
 8      不受理申出事件  99  K-----------------K(20)--------------K
 9      相手氏名１  K-------------------------K(30)-------------------------K
10      相手氏名２  K-------------------------K(30)-------------------------K
11    99        999       9     X99 99 99   X99 99 99   X99 99 99      9   K K
12      不受理申出事件  99  K-----------------K(20)--------------K
13      相手氏名１  K-------------------------K(30)-------------------------K
14      相手氏名２  K-------------------------K(30)-------------------------K
15
16                                                    選択番号 [ 99 ]
17
18  (01) 出生   (02) 認知    (03) 縁組    (04) 離縁    (07) 73-2    (08) 69-2
19  (09) 婚姻   (10) 離婚    (11) 77-2    (12) 75-2    (13) 親権    (18) 復氏
20  (19) 姻族関係終了        (21) 入籍    (22) 分籍    (26) 国籍選択
21  (28) 氏変更 (29) 107-2   (30) 107-3   (31) 107-4   (32) 名の変更 (33) 転籍
22                        ＰＦガイダンス
23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

失効区分:終了、取り下げ、失効を区分する

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                  不受理申出イメージ表示                  X99.99.99                          1
 2 （振り仮名）  K-------------------------K(30)-------------------------K                            2
 3 （漢字氏名）  K-------------------------K(30)-------------------------K                            3
 4 （本　　籍）  K-------------------------K(30)-------------------------K                            4
 5 （筆頭者）    K---------K(14)----------K （生年月日） X 99 99 99                                   5
 6   項番     出張所   受・送     開始日       送付日       失効日       失効区分                     6
 7   99       999        9     X99 99 99    X99 99 99    X99 99 99      9   K K                     7
 8     不受理申出事件  99  K----------------K(20)--------------K                                      8
 9     相手氏名１  K-------------------------K(30)-------------------------K                          9
10     相手氏名２  K-------------------------K(30)-------------------------K                          10
11   1:不受理申出   更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99                            11
12   2:添付書面     更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                            12
13   3:不受理申出補正 更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                          13
14   4:不受理申出取下 更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                          14
15                                  イメージ種別番号 9  表示履歴番号 99                             15
16                                                                                                  16
17     補正内容   K-------------------------K(30)-------------------------K                          17
18                K-------------------------K(30)-------------------------K                          18
19                K-------------------------K(30)-------------------------K                          19
20                K-------------------------K(30)-------------------------K                          20
21                                                                                                  21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                     22
23                                                                                                  23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K                      24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

不受理申出書が複数ある場合があるため、前の申出書、次の申出書の表示をできるようにすること
補正内容が全て表示されない場合の対応を考慮すること(イメージ表示による確認で代行も可)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1個人検索

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                個人状態ファイル表示                X99.99.99                                1
 2                                                                                                    2
 3 （振り仮名）  K----------------------------K(30)----------------------------K                       3
 4 （漢字氏名）  K----------------------------K(30)----------------------------K                       4
 5 （本　　籍）  K----------------------------K(30)----------------------------K                       5
 6 （生年月日）  X 99 99 99                                                                           6
 7 （筆頭者）    K----------------------------K(30)----------------------------K                       7
 8       禁治産者区分  －－－－－ 9          準禁治産者区分  －－－－ 9                               8
 9                                                                                                    9
10       裁判所通知区分  －－－－ 9          胎児認知区分  －－－－－ 9                              10
11                                                                                                   11
12       受理・処理照会  －－－－ 9          保留  －－－－－－－－－ 9                              12
13                                                                                                   13
14       注意喚起区分  －－－－－ 9                                                                  14
15                                                                                                   15
16       氏振り仮名職権区分  －－ 9          名振り仮名職権区分  －－ 9                            16
17       メモ（K----------------------------K(30)----------------------------K）                     17
18            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                     18
19            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                     19
20            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                     20
21            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                     21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                      22
23                                                                                                   23
24 K----------------------------------K(39)----------------------------------K                      24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

胎児認知区分がある者は、PF6で胎児認知届書のイメージを戸籍情報連携システムから取得して本画面に表示する

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	受付ファイル選択

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                受付ファイル選択                        X99.99.99      99/99

        受付番号  9999999    受付日  X 99 99 99 ～ X 99 99 99    処分  X  ＫＫＫ
検索    振り仮名  K----------K(30)----------K
        漢字氏名  K----------K(30)----------K
        受付事件  99 ＫＫＫＫＫ  生年月日  9999 99 99  受送  X  渉外  X  ＫＫＫ

 No  受付番号   事件名/事件本人   受送  本非  渉外  受付日      決裁
 99  ＫＫＫ     K------K(10)-----K  ＫＫ  ＫＫ  ＫＫＫ  X 99 99 99  ＫＫＫ
     9999999   K----------K(30)----------K
 99  ＫＫＫ     K------K(10)-----K  ＫＫ  ＫＫ  ＫＫＫ  X 99 99 99  ＫＫＫ
     9999999   K----------K(30)----------K
 99  ＫＫＫ     K------K(10)-----K  ＫＫ  ＫＫ  ＫＫＫ  X 99 99 99  ＫＫＫ
     9999999   K----------K(30)----------K
 99  ＫＫＫ     K------K(10)-----K  ＫＫ  ＫＫ  ＫＫＫ  X 99 99 99  ＫＫＫ
     9999999   K----------K(30)----------K
 99  ＫＫＫ     K------K(10)-----K  ＫＫ  ＫＫ  ＫＫＫ  X 99 99 99  ＫＫＫ
     9999999   K----------K(30)----------K
 99  ＫＫＫ     K------K(10)-----K  ＫＫ  ＫＫ  ＫＫＫ  X 99 99 99  ＫＫＫ
     9999999   K----------K(30)----------K
                                                  選択番号  99

                ＰＦガイダンス

K---------------------------------K(39)---------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

検索キー、カナ氏名:事件本人1～4のカナ氏名を検索する
(但し、氏のみ又は、氏名両方入力の場合は、完全一致)
検索キー、漢字氏名:事件本人1～4の漢字氏名を検索する
(但し、氏のみ又は、氏名両方入力の場合は、完全一致)
検索キー、処分区分:1=受理、2=不受理、3=受理照、4=処理照、5=返戻、6=取下げ、7=保留、
8=受撤回、9=誤処理

*補助キー･･･事件コード、渉外区分(SPACE=全事件、1=日本人、2=渉外、3=外国人)、
生年月日、受理送付区分(1=受理、2=送付、SPACE=両方)

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	受付ファイル検索

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                受付ファイル検索                          X99.99.99      99/99
2  受領№：  9999999-9 受送：  ＫＫ 受付日：Ｘ 99 99 99 処分：  ＫＫＫ 決裁：  ＫＫＫ
3  事件名：  ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ      事件日：Ｘ 99 99 99 時分：  99:99
4  出張所：  999          ＫＫＫ：Ｘ 99 99 99  郵送日：Ｘ 99 99 99 本非：  ＫＫＫ
5  発　日：Ｘ 99 99 99  収　日：Ｘ 99 99 99  許可日：Ｘ 99 99 99 渉外：  ＫＫＫ
6  指示日：Ｘ 99 99 99  関連№：  9999999  9999999  9999999  9999999  9999999
7
8  事件本人区分 | 氏　名（振り仮名／漢字） | 生年月日
9  （届出人）   | K----------K(24)----------K |
10                | K----------K(24)----------K | XXXX.99.99
11 ＫＫＫＫＫＫ   | K----------K(24)----------K | 送達 | Ｘ | Ｘ
12 ＫＫＫ         | K----------K(30)----------K |
13                | K----------K(24)----------K | XXXX.99.99
14 ＫＫＫＫＫＫ   | K----------K(24)----------K | 送達 |  | Ｘ
15 ＫＫＫ         | K----------K(30)----------K |
16 届 ＫＫＫＫＫ   | K----------K(30)----------K |
17 出 ＫＫＫＫＫ   | K----------K(30)----------K |
18 届後本籍       | K----------K(30)----------K |
19   筆頭者       | K----------K(30)----------K |
20
21
22                Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

出張所の右横のＫＫＫ
　受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
　届書等情報送信区分が1の場合:「送信日」
　それ以外又は届書処理通番ファイルが無い場合:「発送日」と表示
事件本人1～2:事件本人区分
　exp.被認知者、認知者　等
　事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
　事件本人の氏名(カナ、漢字)
　事件本人の生年月日
　事件本人の本籍地/筆頭者
　事件本人の送達確認1:従前本籍分
　〃　2:新本籍分
　*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2:　届出人の資格
　exp.父、母　等
　届出人の氏名
　*事件本人=届出人の場合は表示せず
届後本箱･筆頭者
　*死亡の場合は"死亡日時"項目となり、タイトルも『死亡日時』となる
　但し、受付DB上は届後本籍の項目欄と共用

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理　1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	届書等情報表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    届書等情報表示                              X99.99.99                    1
 2 受領№ :9999999    受送 :ＫＫ  受付日 :X 99 99 99  処分 :ＫＫＫ  決裁 :ＫＫＫ                    2
 3 事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ  事件日 :X 99 99 99  時分 :99:99                    3
 4 出張所 :999          ＫＫＫ :X 99 99 99  郵送日 :X 99 99 99  本非 :ＫＫＫ                    4
 5  発日  :X 99 99 99    収日  :X 99 99 99  許可日 :X 99 99 99  渉外 :ＫＫＫ                    5
 6 指示日 :X 99 99 99    関連№ :9999999 9999999 9999999 9999999 9999999                        6
 7                                                                                              7
 8 1:届書      更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99                             8
 9 2:添付書面  更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                             9
10 3:届書補正  更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99        申入書表示番号/総数                  10
11 4:申入書    更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99  99/99                    11
12                          イメージ種別番号 9  表示履歴番号 99                                  12
13                                                                                              13
14  補正内容 K----------K(30)----------K                                                        14
15           K----------K(30)----------K                                                        15
16           K----------K(30)----------K                                                        16
17           K----------K(30)----------K                                                        17
18           K----------K(30)----------K                                                        18
19           K----------K(30)----------K                                                        19
20           K----------K(30)----------K                                                        20
21                                                                                              21
22                        Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                   22
23                                                                                              23
24 K----------K(39)----------K                                                                  24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

出張所の右横のＫＫＫの編集は受付ファイル検索を参照
申入書が複数ある場合があるため、前の申入書、次の申入書の表示をできるようにすること
申入書イメージ表示を専用画面として対応しても可
補正内容が全て表示されない場合の対応を考慮すること(イメージ表示による確認で代行も可)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧（副本）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    該当戸籍一覧（副本）                X99.99.99      99/99
 2
 3 検索 検索対象市区町村 99999 K----------K(20)----------K
 4      振り仮名 K----------K(30)----------K
 5      漢字氏名 K----------K(30)----------K
 6      本籍 K----------K(30)----------K
 7      生年月日 X99.99.99
 8      筆頭者 K----------K(30)----------K
 9      編製日 X99.99.99 消除日 X99.99.99 入籍日 X99.99.99 除籍日 X99.99.99
10      戸籍種別 9戸籍 9除籍 9再製原戸籍 9除籍（電算化前） 9司法大臣原戸籍
11               9昭和改製原戸籍 9平成改製原戸籍 9再製原除籍 9再製原新改
12      検索補完 9記載字検索 9遡り検索 9構成員を含む検索
13
14 No 戸籍種別 不適 遡 構 本人氏名／筆頭者 生年月日 編製日 消除日 除籍日
15 99 K K K K K K K K K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
16  K K K K K K K K K K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
17 99 K K K K K K K K K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
18  K K K K K K K K K K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
19 99 K K K K K K K K K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
20  K K K K K K K K K K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
21                                                    該当番号 99
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

本籍：都道府県以降

Noの下:本人氏名が旧氏名の場合「旧」を表示

不適：改製不適合(紙)の場合「不適紙」、改製不適合(磁気)の場合「不適磁気」を表示

遡：遡り検索指定で遡り対象戸籍の場合「遡り」を表示

構：構成員を含む検索で構成員場合「構成」を表示

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	目的内利用確認

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                        目的内利用確認              X99.99.99
 2
 3
 4
 5    戸籍法、戸籍法施行規則及びこれに準ずる法令等で定められた
 6    戸籍事務のための検索ですか？
 7      9  1: はい        2: いいえ
 8
 9
10    検索する目的を選択してください。
11    その他の戸籍事務を選択した場合は、業務の内容を記載してください。
12      1: 戸籍証明書等の交付請求に関する業務のため
13      2: 戸籍の届出に関する業務のため
14      3: 戸籍の訂正に関する業務のため
15      4: 戸籍に関する相談業務のため
16      5: その他戸籍に関する業務のため（以下に業務の内容を記入してください。）
17      9
18      K----------------------K(30)----------------------K
19
20
21
22                  ＰＦガイダンス
23
24  K----------------------------------K(39)----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

5を選択しその検索目的を入力する画面仕様であるが、検索目的を戸籍情報連携システムには送信しないため、検索目的欄への入力可否、入力欄を採用した場合の理由内容の保持はベンダー任意とする。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧（副本）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    戸籍構成員一覧（副本）              X99.99.99      99/99
 2 （戸籍種別）ＫＫＫＫＫＫＫＫＫ          （不適）ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ   99/99
 3 （編製日）X99.99.99 （消除日）X99.99.99 （記録数）99 （在籍数）99
 4   本籍      K----------K(30)----------K
 5   筆頭者    K----------K(30)----------K
 6   戸籍事項  K----------K(33)----------K
 7             K----------K(33)----------K
 8             K----------K(33)----------K
 9             K----------K(33)----------K
10             K----------K(33)----------K
11
12 No 氏名                 生年月日   除籍日     続柄   配偶 家 照 胎 不 注
13 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
14 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
15 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
16 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
17 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
18 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
19 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
20 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
21                                                  詳細選択番号 99
22                 ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

配偶:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

家:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

照:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

胎:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

不:不受理申出書の有無を表す。

注:注意喚起区分の有無を表す。

戸籍種別が除籍(電算化前)、司法大臣原戸、昭和改製原戸籍、平成改製原戸籍、再製原戸籍、再製原除籍、再製原新改(平成改製原)である場合及び戸籍種別が戸籍で改製不適合戸籍の場合には、記録数、在籍数、戸籍事項、続柄、配偶、家、照、胎、不、注の項目は表示しない。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	個人詳細表示（副本）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                    個人詳細表示（副本）              X99.99.99      99/99
2  （戸籍種別）ＫＫＫＫＫＫＫＫ
3  （編製日）X99.99.99 （消除日）X99.99.99     家 K 照 K 胎 K 不 K 注 K
4  本籍     K----------K(30)----------K
5  筆頭者   K----------K(30)----------K
6  振り仮名 K----------K(30)----------K
7  漢字氏名 K----------K(30)----------K
8  （生年月日）X99.99.99 （除籍日）X99.99.99     ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
9  父       K----------K(14)---------K 母     K----------K(14)---------K ＫＫＫ
10 養父     K----------K(14)---------K 養母   K----------K(14)---------K ＫＫＫ
11 ┌──┬──────┬──────────────────────────────────────┐
12 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
13 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
14 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
15 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
16 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
17 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
18 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
19 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
20 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
21 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
   └──┴──────┴──────────────────────────────────────┘
22          ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

家:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
照:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
胎:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
不:不受理申出書の有無を表す。
注:注意喚起区分の有無を表す。
8行目49桁目:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
8行目57桁目:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示（副本）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                不受理申出ファイル表示（副本）          X99.99.99       99/99
 2 （戸籍種別）　ＫＫＫＫＫＫＫＫ
 3 （振り仮名）　K--------------------------K(30)--------------------------K
 4 （漢字氏名）　K--------------------------K(30)--------------------------K
 5 （本　　籍）　K--------------------------K(30)--------------------------K
 6 （筆頭者）　　K----------K(15)----------K　（生年月日）X99.99.99
 7   項番                        開始日          送付日      失効日      失効区分
 8    99                       X99.99.99       X99.99.99  X99.99.99    99   ＫＫ
 9    不受理申出事件　99　K----------------K(20)--------------K
10    相手氏名１K--------------------------K(30)--------------------------K
11    相手氏名２K--------------------------K(30)--------------------------K
12    99       999             X99.99.99       X99.99.99  X99.99.99    99   ＫＫ
13    不受理申出事件　99　K----------------K(20)--------------K
14    相手氏名１K--------------------------K(30)--------------------------K
15    相手氏名２K--------------------------K(30)--------------------------K
16
17                                                    選択番号 [ 99 ]
18
19
20
21
22                          ＰＦガイダンス
23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示（副本）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                不受理申出イメージ表示（副本）        X99.99.99                          1
 2 （戸籍種別）  ＫＫＫＫＫＫＫＫ                                                                  2
 3 （振り仮名）  K----------K(30)----------K                                                       3
 4 （漢字氏名）  K----------K(30)----------K                                                       4
 5 （本　　籍）  K----------K(30)----------K                                                       5
 6 （筆頭者）    K----------K(15)----------K  （生年月日）X99.99.99                                6
 7   項番                開始日        送付日      失効日      失効区分                          7
 8    99               X99.99.99     X99.99.99  X99.99.99   99   ＫＫ                          8
 9    不受理申出事件 99 K----------K(20)----------K                                               9
10    相手氏名１ K----------K(30)----------K                                                     10
11    相手氏名２ K----------K(30)----------K                                                     11
12  1:不受理申出  更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99                          12
13  2:添付書面    更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                          13
14  3:不受理申出補正 更新日 X 99 99 99 更新時間 99:99:99                                        14
15  4:不受理申出取下 更新日 X 99 99 99 更新時間 99:99:99                                        15
16                              イメージ種別番号 9  表示履歴番号 99                             16
17                                                                                              17
18    補正内容  K----------K(30)----------K                                                     18
19              K----------K(30)----------K                                                     19
20              K----------K(30)----------K                                                     20
21              K----------K(30)----------K                                                     21
22                    ＰＦガイダンス                                                            22
23                                                                                              23
24 K----------K(39)----------K                                                                 24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

不受理申出書が複数ある場合があるため、前の申出書、次の申出書の表示をできるようにすること
補正内容が全て表示されない場合の対応を考慮すること(イメージ表示による確認で代行も可)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示（副本）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                  個人状態ファイル表示（副本）          X99.99.99                          1
 2 （戸籍種別）  ＫＫＫＫＫＫＫＫＫ                                                                  2
 3 （振り仮名）  K--------------------------K(30)--------------------------K                         3
 4 （漢字氏名）  K--------------------------K(30)--------------------------K                         4
 5 （本　　籍）  K--------------------------K(30)--------------------------K                         5
 6 （生年月日）X99.99.99                                                                            6
 7 （筆頭者）    K--------------------------K(30)--------------------------K                         7
 8                                                                                                  8
 9       禁治産者区分  9                        裁判所通知区分  9                                  9
10                                                                                                 10
11       胎児認知区分  9                        受理・処理照会区分  9                              11
12                                                                                                 12
13       注意喚起区分  9                        氏振り仮名職権区分  9                              13
14                                                                                                 14
15                                              名振り仮名職権区分  9                              15
16                                                                                                 16
17                                                                                                 17
18                                                                                                 18
19                                                                                                 19
20                                                                                                 20
21                                                                                                 21
22                          ＰＦガイダンス                                                         22
23                                                                                                 23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K                    24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

胎児認知区分がある者は、PF6で胎児認知届書のイメージを戸籍情報連携システムから取得して本画面に表示する

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.0届出選択

画面番号		画面名	届出メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                    届　出　メ　ニ　ュ　ー                    X99.99.99

   １．出生届                １６．死亡届              ３２．名の変更届
   ２．認知届                １７．失踪届              ３３．転籍届
   ３．養子縁組届            １８．復氏届              ３４．就籍届
   ４．養子離縁届            １９．姻族関係終了届      ３５．縁組取消届
   ５．特別養子縁組届        ２０．推定相続人廃除届    ３６．離縁取消届
   ６．特別養子離縁届        ２１．入籍届              ３７．婚姻取消届
   ７．７３条の２届          ２２．分籍届              ３８．離婚取消届
   ８．養子離縁届            ２３．国籍取得届          ３９．失踪宣告取消届
       同時　７３条の２届    ２４．帰化届              ４０．推定相続人廃除取消届
   ９．婚姻届                ２５．国籍喪失届          ４１．未成年者の後見届
  １０．離婚届               ２６．国籍選択届          ４５．氏の振り仮名の届
  １１．７７条の２届         ２７．外国国籍喪失届      ４６．名の振り仮名の届
  １２．離婚届               ２８．氏の変更届          ４７．氏の振り仮名の変更届
       同時　７７条の２届    ２９．１０７条２項届      ４８．名の振り仮名の変更届
  １３．親権（管理権）届     ３０．１０７条３項届      ５０．受理指示
  １５．保佐届               ３１．１０７条４項届      ５１．不受理指示

                該当事件コード [ 99 ]      受領No. [ 9999999 ]

                ＰＦガイダンス

K----------------------------------K(39)----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(異動)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                  該当戸籍一覧（異動）                X99.99.99      99/99
 2  事件名  K----------K(14)----------K
 3        振り仮名  K----------K(30)----------K
 4  検    漢字氏名  K----------K(30)----------K
 5        本　　籍  K----------K(30)----------K
 6  索    生年月日  X99.99.99
 7        筆頭者    K----------K(30)----------K
 8
 9  No  本人氏名　／　筆頭者          生年月日    編製日      消除日      除籍日
10  99  K----------K(14)---------K   X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
11  K   K----------K(14)---------K   K----------K(21)----『本籍地』-K
12  99  K----------K(14)---------K   X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
13  K   K----------K(14)---------K   K----------K(21)----------K
14  99  K----------K(14)---------K   X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
15  K   K----------K(14)---------K   K----------K(21)----------K
16  99  K----------K(14)---------K   X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
17  K   K----------K(14)---------K   K----------K(21)----------K
18  99  K----------K(14)---------K   X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99  X99.99.99
19  K   K----------K(14)---------K   K----------K(21)----------K
20                                                  該当番号  99
21
22                    Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス
23
24  K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

本籍：管内の町丁名以降
Noの下:旧氏名で検索した場合「旧」を表示

*検索件数:MAX99件

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(異動)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                戸籍構成員一覧（異動）                X99.99.99      99/99
 2  事件名  K----------K(14)----------K
 3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99 99.99 （記録数） 99 （在籍数） 99
 4  本　籍    K-------------------------K(30)-------------------------K
 5  筆頭者    K-------------------------K(30)-------------------------K
 6  戸籍事項  K-----------------------------K(33)-----------------------------K
 7            K-----------------------------K(33)-----------------------------K
 8            K-----------------------------K(33)-----------------------------K
 9            K-----------------------------K(33)-----------------------------K
10            K-----------------------------K(33)-----------------------------K
11            K-----------------------------K(33)-----------------------------K
12  No    氏                名          生年月日   除籍日   続柄  配偶 家照保胎注メ
13  99  K----------K(14)---------K  X99.99.99 X99.99.99 K K K  K K  K K K K K K
14  99  K----------K(14)---------K  X99.99.99 X99.99.99 K K K  K K  K K K K K K
15  99  K----------K(14)---------K  X99.99.99 X99.99.99 K K K  K K  K K K K K K
16  99  K----------K(14)---------K  X99.99.99 X99.99.99 K K K  K K  K K K K K K
17  99  K----------K(14)---------K  X99.99.99 X99.99.99 K K K  K K  K K K K K K
18                                                        詳細選択番号 99
19    K------K(11)-------K 99      K------K(11)-------K 99
20    K------K(11)-------K 99      K------K(11)-------K 99
21    K------K(11)-------K 99      K------K(11)-------K 99
22              P F ガ イ ダ ン ス
23
24  K---------------------------------K(39)---------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

配偶:夫、妻、生配(生存配偶者)
家:家裁からの通知の有無を表す
照:受理照会または処理照会の届出の有無を表す
保:保留の届出の有無を表す
胎:胎児認知の有無を表す
注:注意喚起の有無を表す
メ:メモの有無を表す

19行目～20行目:各届出毎の検索し、個人特定する項目を表示/入力する。

EXP.出生届

父□　母□

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人詳細表示(異動)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                個人詳細表示（異動）                X99.99.99      99/99
 2
 3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 家 K 照 K 保 K 胎 K 注 K メ K
 4  本　籍     K----------K(30)----------K
 5  筆頭者     K----------K(30)----------K
 6  振り仮名   K----------K(30)----------K
 7  漢字氏名   K----------K(30)----------K
 8  （生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
 9  父     K----------K(14)---------K 母     K----------K(14)---------K ＫＫＫ
10  養父   K----------K(14)---------K 養母   K----------K(14)---------K ＫＫＫ
11  No 事　件　名　称          身　分　事　項　記　録　項　目
12  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
13  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
14  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
15  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
16  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
17  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
18  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
19  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
20  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
21  99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
22                  Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24  K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

家	家裁通知の有無を表す
照	受理照会または処理照会の届出の有無を表す
保	保留の届出の有無を表す
胎	胎児認知の有無を表す
注	注意喚起の有無を表す
メ	メモの届出の有無を表す
8行49桁目	筆頭者の場合「筆頭者」
8行57桁目	配偶者区分により「夫」「妻」「生存配偶者」

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧（副本・異動）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    該当戸籍一覧（副本・異動）          X99.99.99      99/99
 2 事件名 K---------K(15)---------K
 3 検索 検索対象市区町村 99999 K---------------K(20)----------------K
 4 検索 振り仮名 K----------K(30)----------K
 5 検索 漢字氏名 K----------K(30)----------K
 6 検索 本籍 K----------K(30)----------K
 7 検索 生年月日 X99.99.99
 8 検索 筆頭者 K----------K(30)----------K
 9 検索 編製日 X99.99.99 消除日 X99.99.99 入籍日 X99.99.99 除籍日 X99.99.99
10 検索 戸籍種別 9戸籍 9除籍
11 検索 検索補完 9記載字検索 9遡り検索 9構成員を含む検索
12
13 No 戸籍種別 不適 遡構 本人氏名／筆頭者 生年月日 編製日 消除日 除籍日
14 99 K K K K K K K K K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
15 K K K K K K K K K K K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
16 99 K K K K K K K K K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
17 K K K K K K K K K K K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
18 99 K K K K K K K K K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
19 K K K K K K K K K K K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
20 該当番号 99
21
22 ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

本籍：都道府県以降

該当戸籍一覧の表示は「1.検索処理　1.3副本記録情報検索　該当戸籍一覧(副本)」の同項目と同様である。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧（副本・異動）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    戸籍構成員一覧（副本・異動）          X99.99.99      99/99
 2 事件名 K---------K(15)------------K                                            99/99
 3 （戸籍種別） ＫＫＫＫＫＫＫＫ          （不適）ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ
 4 （編製日）X99.99.99 （消除日）X99.99.99 （記録数）99 （在籍数）99
 5   本籍     K----------------------------K(30)------------------------K
 6   筆頭者   K----------------------------K(30)------------------------K
 7   戸籍事項 K--------------------------K(33)----------------------------------K
 8            K--------------------------K(33)----------------------------------K
 9            K--------------------------K(33)----------------------------------K
10            K--------------------------K(33)----------------------------------K
11            K--------------------------K(33)----------------------------------K
12 No 氏名                  生年月日   除籍日     続柄   配偶 家 照 胎 不 注
13 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
14 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
15 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
16 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
17 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 ＫＫＫ ＫＫ K K K K K
18                                                    詳細選択番号 999
19   K-------K(11)------K 999    K-------K(11)------K 999
20   K-------K(11)------K 999    K-------K(11)------K 999
21   K-------K(11)------K 999    K-------K(11)------K 999
22                  ＰＦガイダンス
23
24 K----------------------------------K(39)-------------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

配偶:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

家:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

照:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

胎:「1.検索処理　1.1個人検索　戸籍構成員一覧」の同項目と同様である。

不:不受理申出書の有無を表す。

注:注意喚起区分の有無を表す。

19～21行目：各届出における事件本人区分名称及び届後戸籍名称等を表示し、それに該当する者の番号を入力する。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人詳細表示（副本・異動）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1 画面ＩＤ                    個人詳細表示（副本・異動）          X99.99.99      99/99
2 事件名 K---------K(15)----------K （戸籍種別） ＫＫＫＫＫＫＫＫ
3 （編製日）X99.99.99 （消除日）X99.99.99     家 K 照 K 胎 K 不 K 注 K
4 本籍     K----------K(30)----------K
5 筆頭者   K----------K(30)----------K
6 振り仮名 K----------K(30)----------K
7 漢字氏名 K----------K(30)----------K
8 （生年月日）X99.99.99 （除籍日）X99.99.99     ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
9 父       K----------K(14)---------K 母     K----------K(14)---------K ＫＫＫ
10 養父    K----------K(14)---------K 養母   K----------K(14)---------K ＫＫＫ
11 ┌──┬──────┬──────────────────────┐
12 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
13 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
14 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
15 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
16 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
17 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
18 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
19 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
20 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
21 │99│K---K(08)----K│K----------K(27)----------K│
   └──┴──────┴──────────────────────┘
   No  事件名称      身分事項記録項目
22 ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

家:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
照:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
胎:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
不:不受理申出書の有無を表す。
注:注意喚起区分の有無を表す。
8行目49桁目:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。
8行目57桁目:「1.検索処理　1.1個人検索　個人詳細表示」の同項目と同様である。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示（副本・異動）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ              不受理申出ファイル表示（副本・異動）    X99.99.99       99/99
2  事件名 K----------K(15)----------K  （戸籍種別） ＫＫＫＫＫＫＫＫ
3  （振り仮名） K--------------------------K(30)--------------------------K
4  （漢字氏名） K--------------------------K(30)--------------------------K
5  （本　　籍） K--------------------------K(30)--------------------------K
6  （筆頭者）   K----------K(15)----------K  （生年月日）X99.99.99
7    項番                  開始日          送付日     失効日      失効区分
8    99                  X99.99.99       X99.99.99  X99.99.99   99  ＫＫ
9    不受理申出事件 99 K----------------K(20)--------------K
10   相手氏名１K--------------------------K(30)--------------------------K
11   相手氏名２K--------------------------K(30)--------------------------K
12   99      999         X99.99.99       X99.99.99  X99.99.99   99  ＫＫ
13   不受理申出事件 99 K----------------K(20)--------------K
14   相手氏名１K--------------------------K(30)--------------------------K
15   相手氏名２K--------------------------K(30)--------------------------K
16
17                                          選択番号 99
18
19
20
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K--------------------------------K(39)--------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示（副本･異動）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ              不受理申出イメージ表示（副本・異動）     X99.99.99
 2  事件名 K----------K(15)----------K  （戸籍種別） ＫＫＫＫＫＫＫＫ
 3  （振り仮名） K----------K(30)----------K
 4  （漢字氏名） K----------K(30)----------K
 5  （本　　籍） K----------K(30)----------K
 6  （筆頭者）   K----------K(15)----------K  （生年月日）X99.99.99
 7    項番                開始日        送付日     失効日     失効区分
 8     99               X99.99.99     X99.99.99  X99.99.99   99   ＫＫ
 9     不受理申出事件 99 K----------K(20)----------K
10     相手氏名１ K----------K(30)----------K
11     相手氏名２ K----------K(30)----------K
12   1:不受理申出  更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99
13   2:添付書面    更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99
14   3:不受理申出補正 更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99
15   4:不受理申出取下 更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99
16                          イメージ種別番号 9  表示履歴番号 99
17
18     補正内容  K----------K(30)----------K
19               K----------K(30)----------K
20               K----------K(30)----------K
21               K----------K(30)----------K
22                  ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

不受理申出書が複数ある場合があるため、前の申出書、次の申出書の表示をできるようにすること
補正内容が全て表示されない場合の対応を考慮すること(イメージ表示による確認で代行も可)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示（副本・異動）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                個人状態ファイル表示（副本・異動）     X99.99.99                          1
2  事件名 K---------K(15)---------K  （戸籍種別）  ＫＫＫＫＫＫＫＫＫ                              2
3  （振り仮名）  K--------------------------K(30)--------------------------K                       3
4  （漢字氏名）K--------------------------K(30)--------------------------K                       4
5  （本籍）      K--------------------------K(30)--------------------------K                       5
6  （生年月日）X99.99.99                                                                          6
7  （筆頭者）    K--------------------------K(30)--------------------------K                       7
8                                                                                                 8
9        禁治産者区分 9                    裁判所通知区分 9                                       9
10                                                                                                10
11       胎児認知区分 9                    受理・処理照会区分 9                                   11
12                                                                                                12
13       注意喚起区分 9                    氏振り仮名職権区分 9                                   13
14                                                                                                14
15                                         名振り仮名職権区分 9                                   15
16                                                                                                16
17                                                                                                17
18                                                                                                18
19                                                                                                19
20                                                                                                20
21                                                                                                21
22                       ＰＦガイダンス                                                           22
23                                                                                                23
24 K---------------------------------K(39)---------------------------------K                     24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

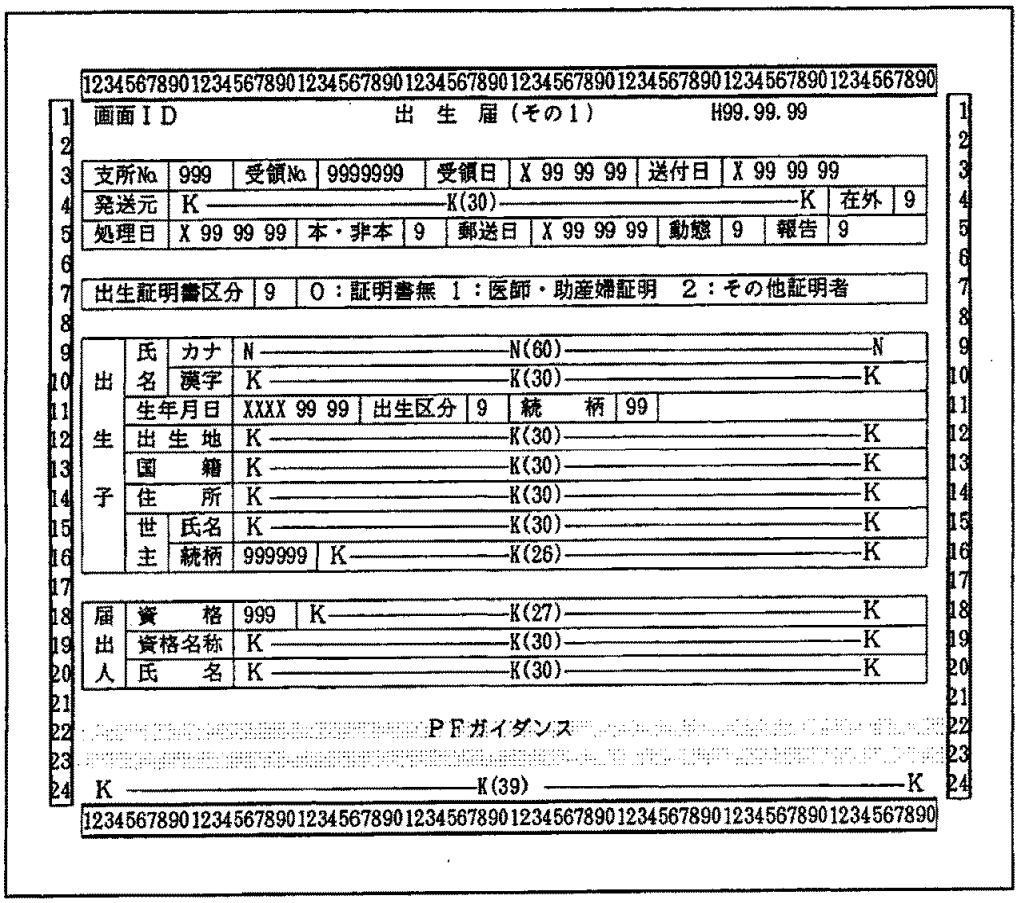
胎児認知区分がある者は、PF6で胎児認知届書のイメージを戸籍情報連携システムから取得して本画面に表示する

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生届(その1)



※出生届(その１)～就籍届の「カナ氏名 N(XX)」は「振り仮名 K(XX)」に読み替える

出生子項目

出生区分　　1:嫡出子、2:準正嫡出子、3:非嫡出子、4:棄児
出生地　　国内出生の場合、行政区迄の入力。行政区迄の入力かどうかの審査項目はない。
　　国外出生の場合も上記同様。
国籍　　出生子が外国人である場合に入力する。但し、任意入力項目であるが、日本人父･外国人母の戸籍法62条に基づく出生届の場合は、必須入力となる。

届出人項目

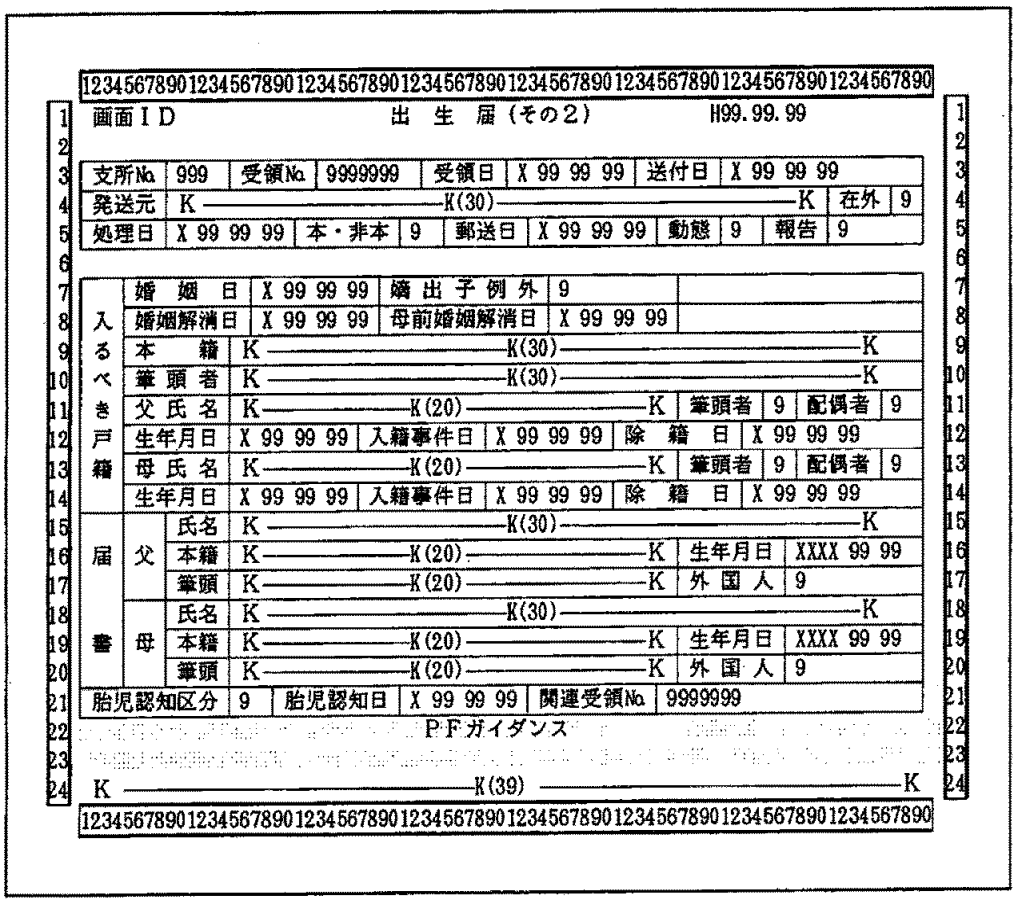
資格名称　　届出人資格が、法定代理人又は、市区町村長の場合に実際の名称を入力する。
　例:法定代理人→母の親権者　等
　　出生区分=4(棄児)の場合
　　届出人資格コード　→097　← 操作員入力
　　届出人資格コード名称→市区町村長　← システムがコードより編集･表示
　　届出人資格名称　→△△△県□□□市　← 操作員入力
　　届出人氏名　→ ---　← 未入力

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生届(その2)



入るべき戸籍項目

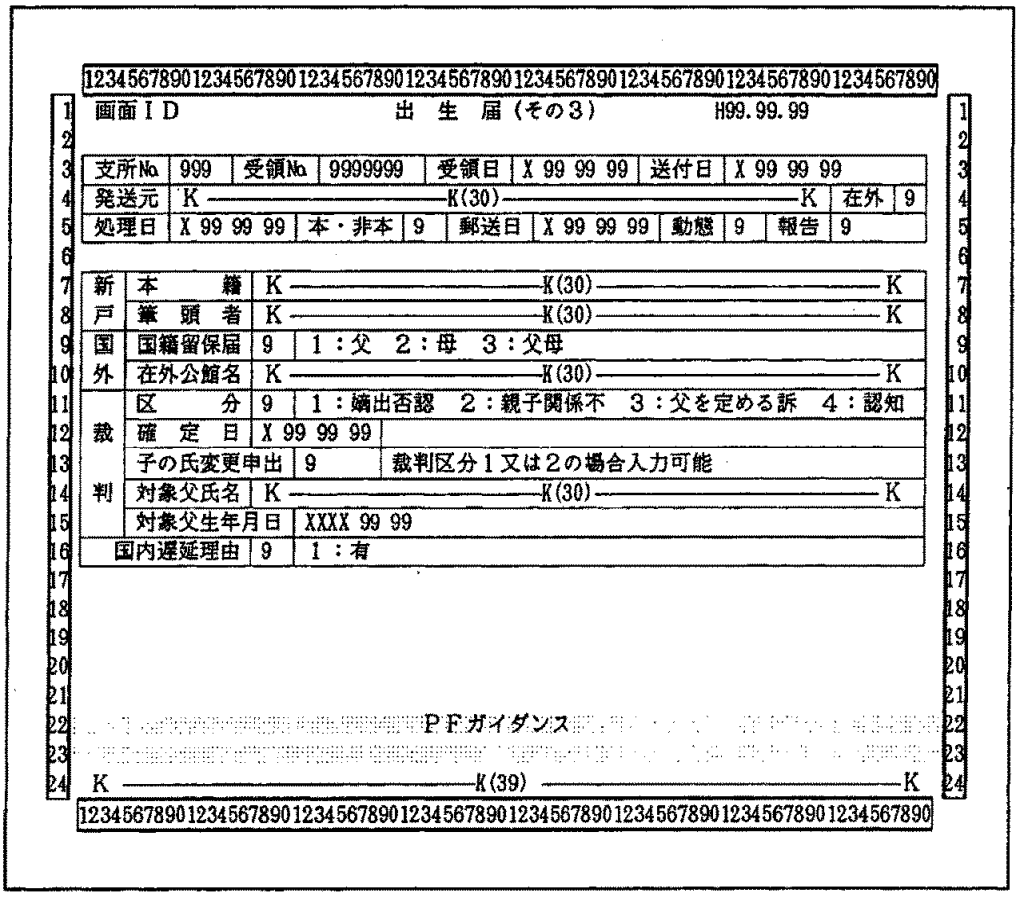
嫡出子例外　　民法772条の規定により嫡出の推定を受ける子につき、例外的な取扱いを指す。
　例:昭和39年2月6日　民事甲第276号回答　等
婚姻解消日　　父母の離婚日又は、婚姻の取消し日。
母前婚姻解消日　父母離婚後、母につき新戸籍を編製した戸籍を入力した場合の離婚日(婚姻解消日)
　(上記パターンを婚姻解消日に入力すると、関連チェックで婚姻日とのチェックを行っているので、母の戸籍には婚姻に関する身分事項はないから入力出来ない。)
　又は、母が筆頭者で婚姻･離婚を繰り返した場合の、直近の婚姻･離婚日より一つ前の離婚日を指す。
入籍事件日　　入籍事由の事件発生日を指す。
　例:婚姻した場合、婚姻日、養子縁組をした場合、縁組日　等

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生届(その3)



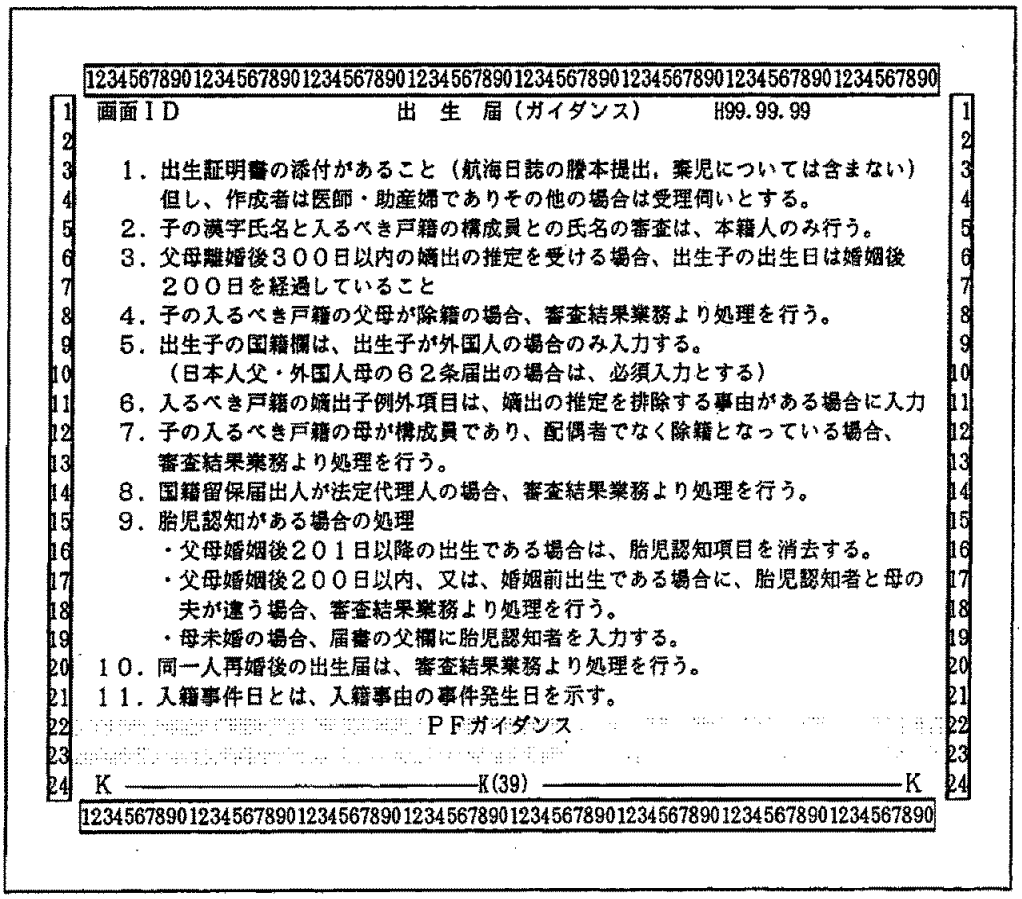
裁判項目

子の氏変更申出　　嫡出否認･親子関係不存在確認の裁判確定･審判書の添付とともに、子の氏を母の氏とする申出があった場合に入力。
対象父氏名　　裁判の対象となった父の入力。
(生年月日)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生届(ガイダンス)

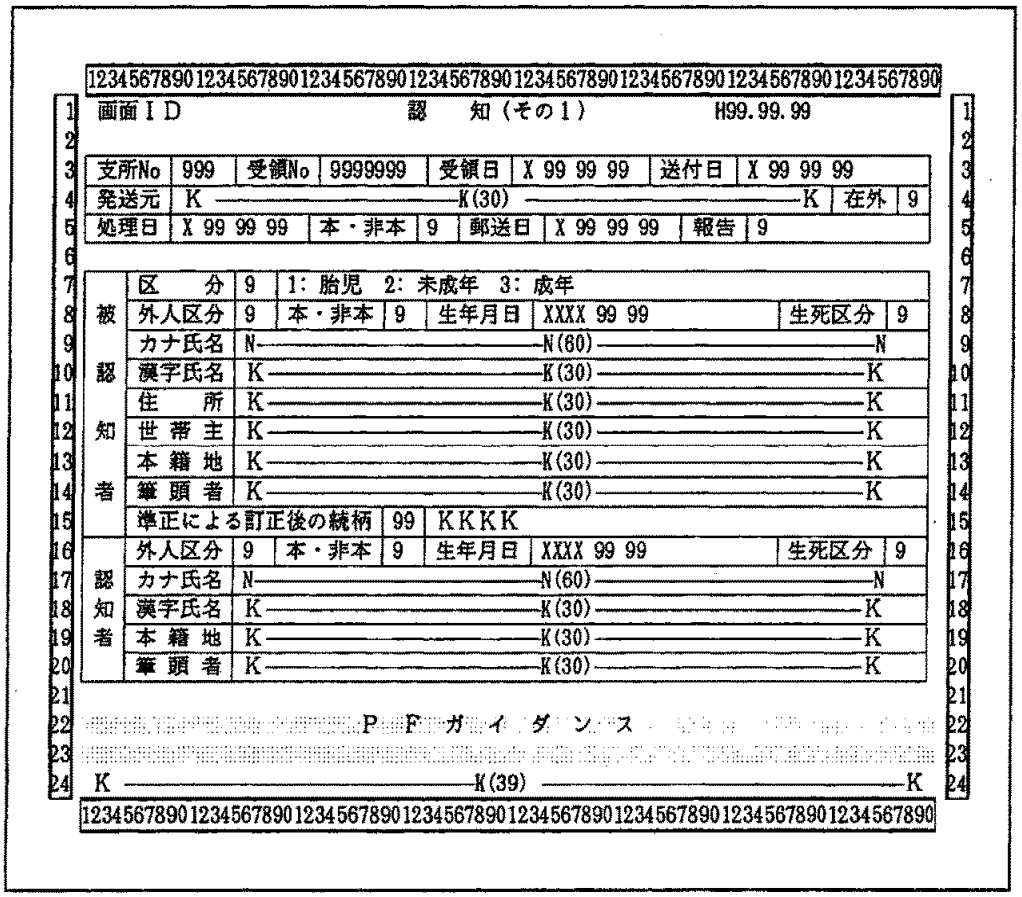


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その1)

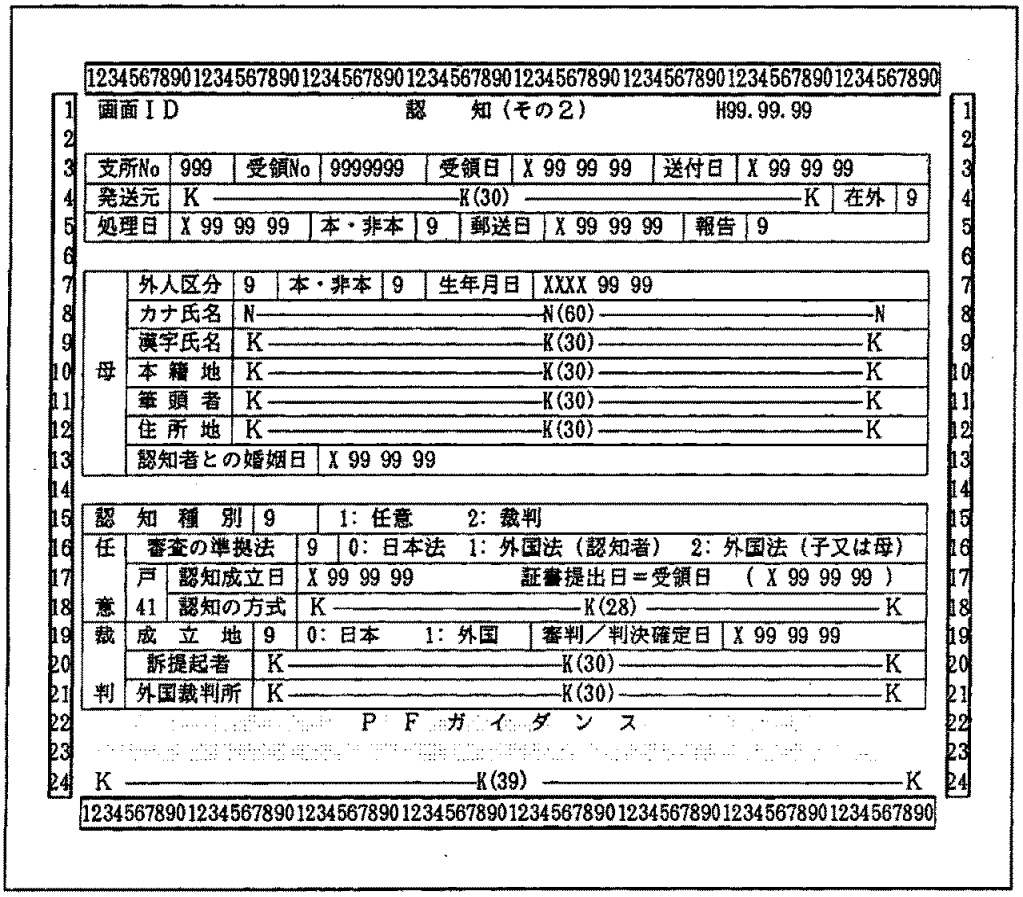


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その2)

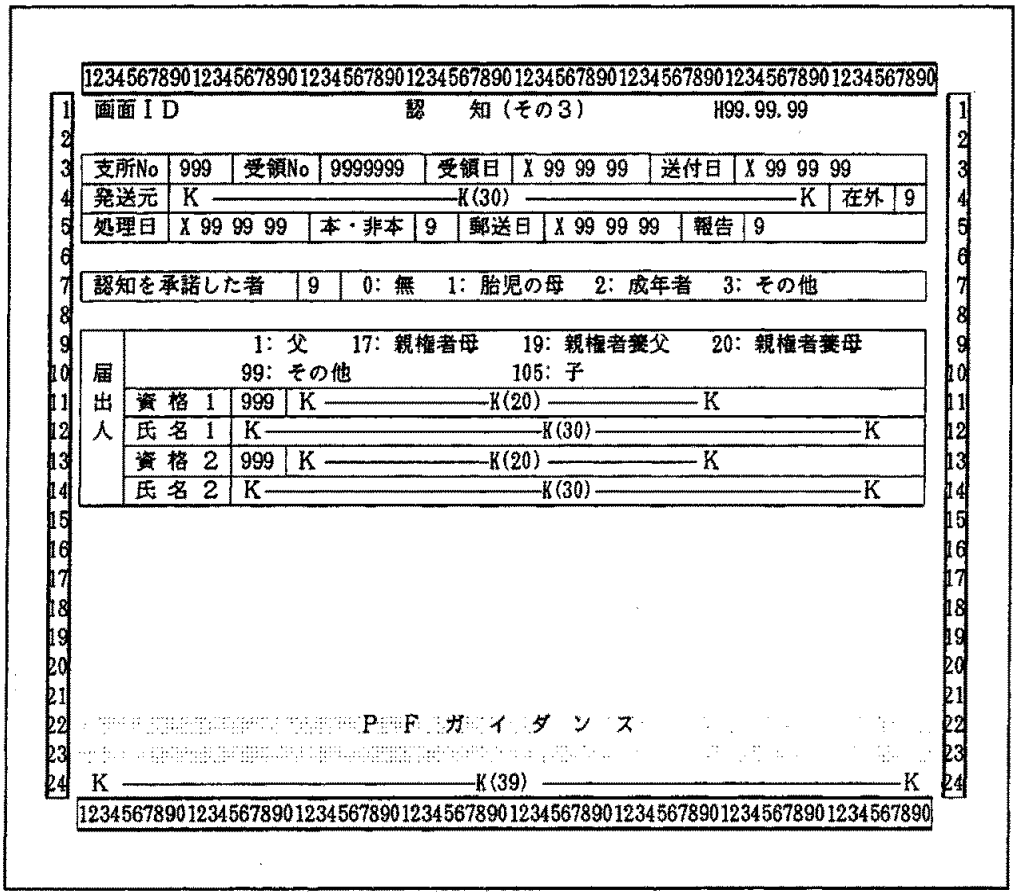


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

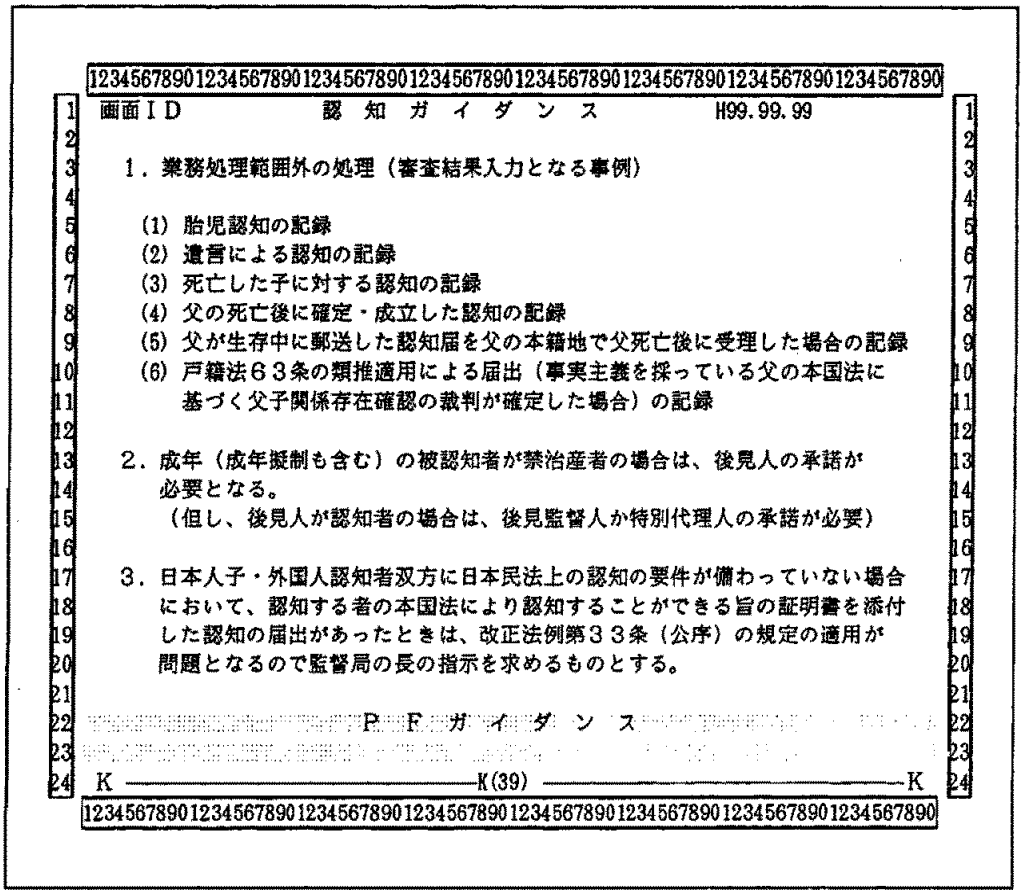
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その3)



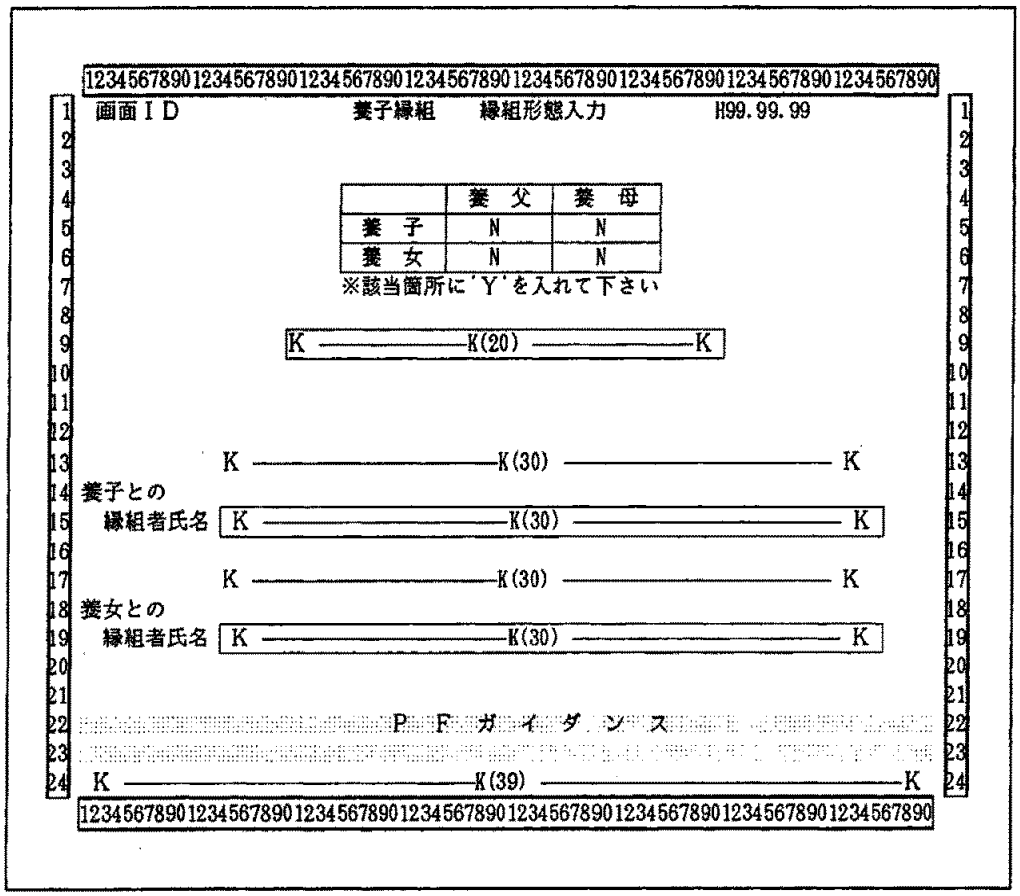
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			

画面番号		画面名	認知届ガイダンス



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			

画面番号		画面名	養子縁組　縁組形態入力

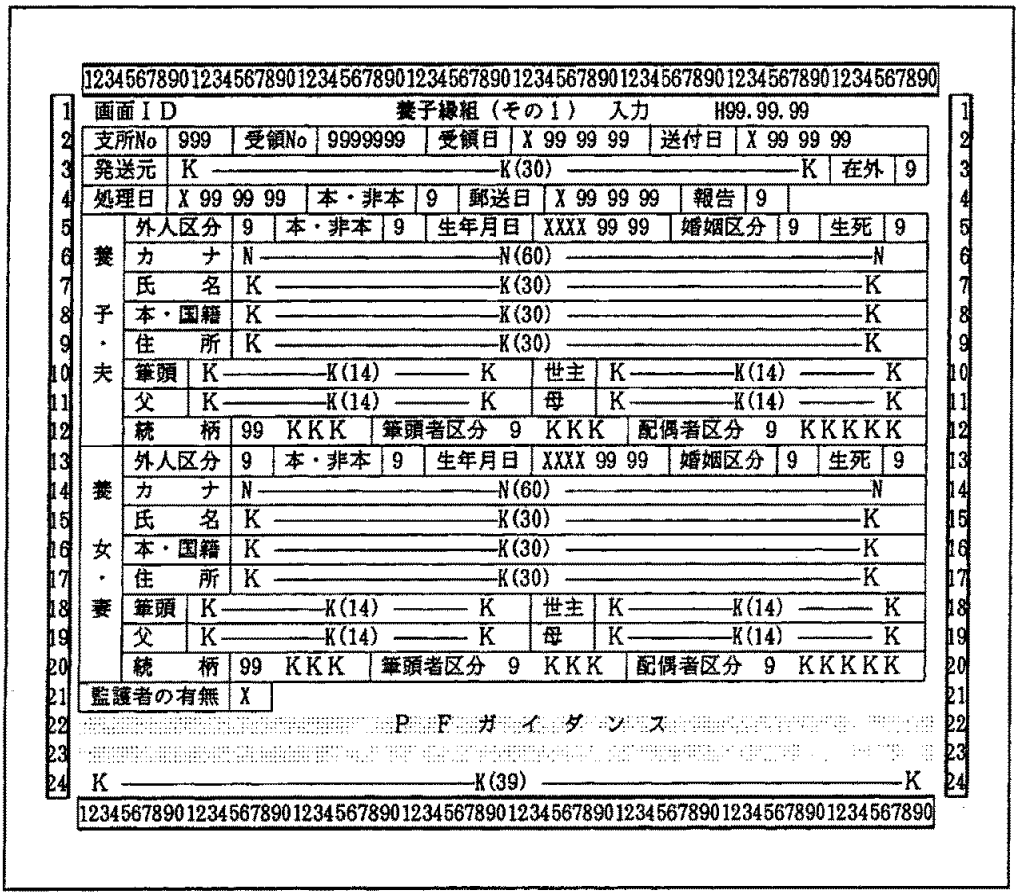


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その1)

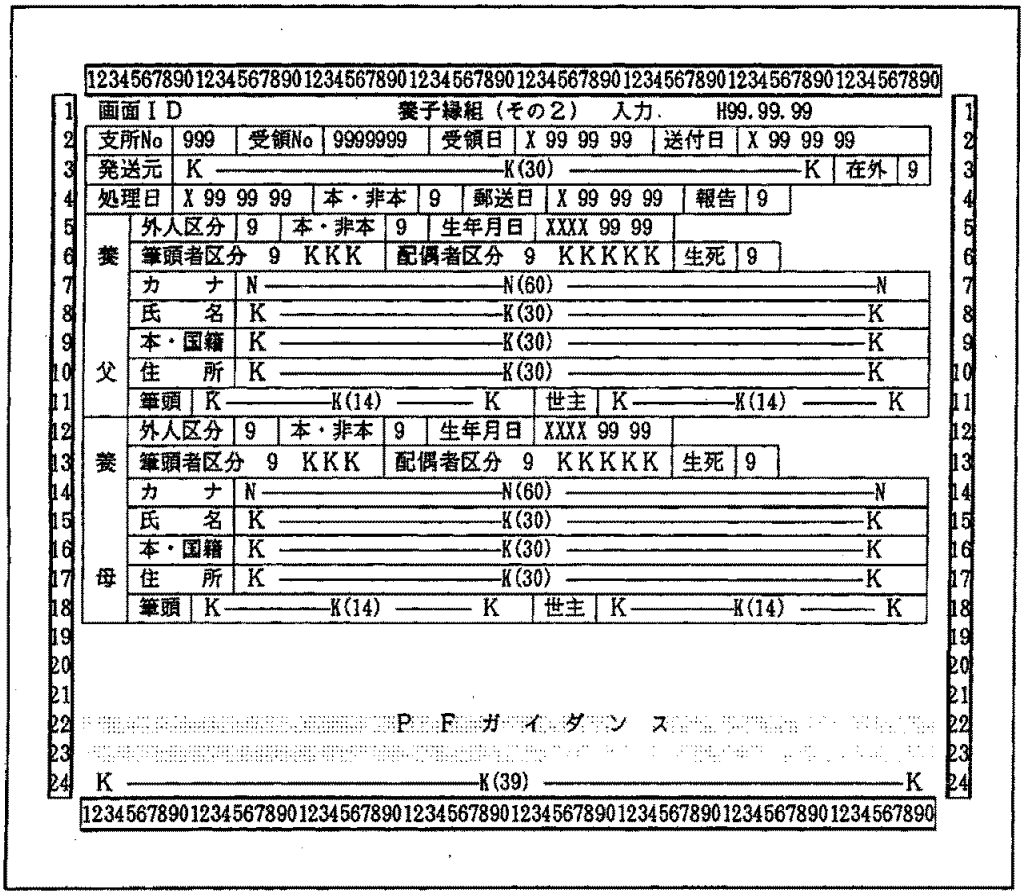


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

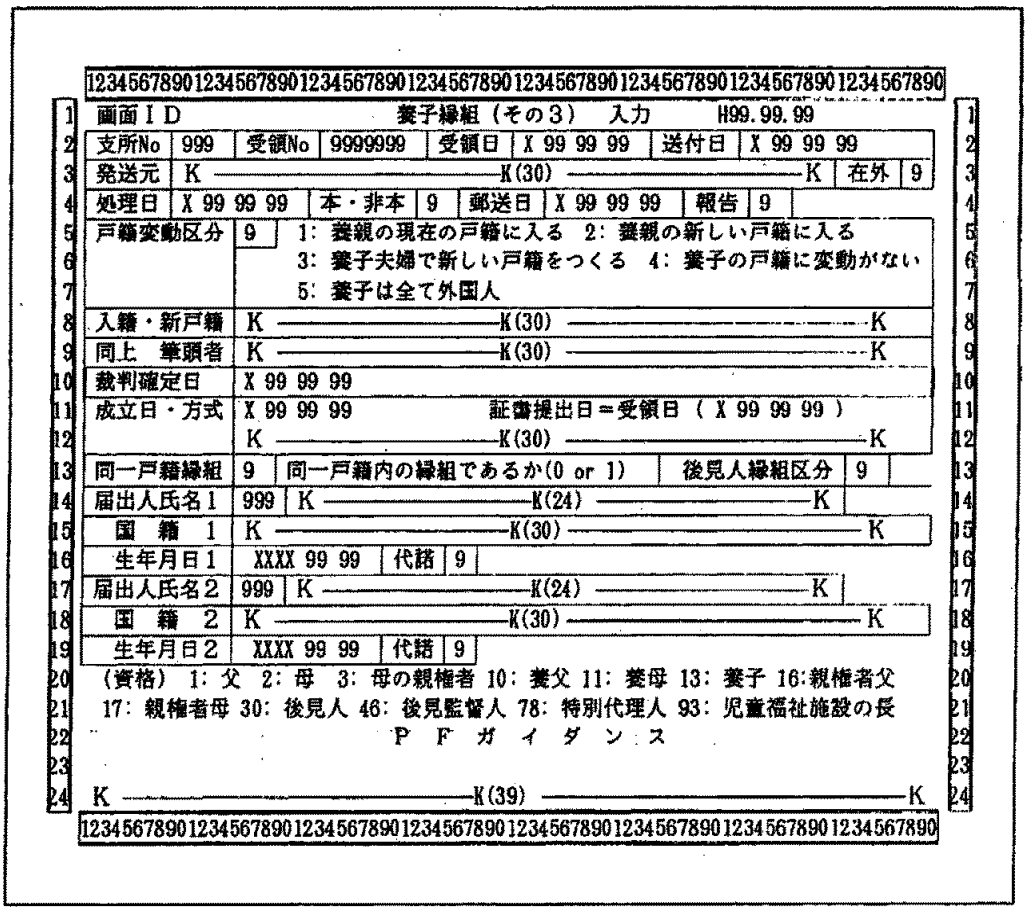
適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

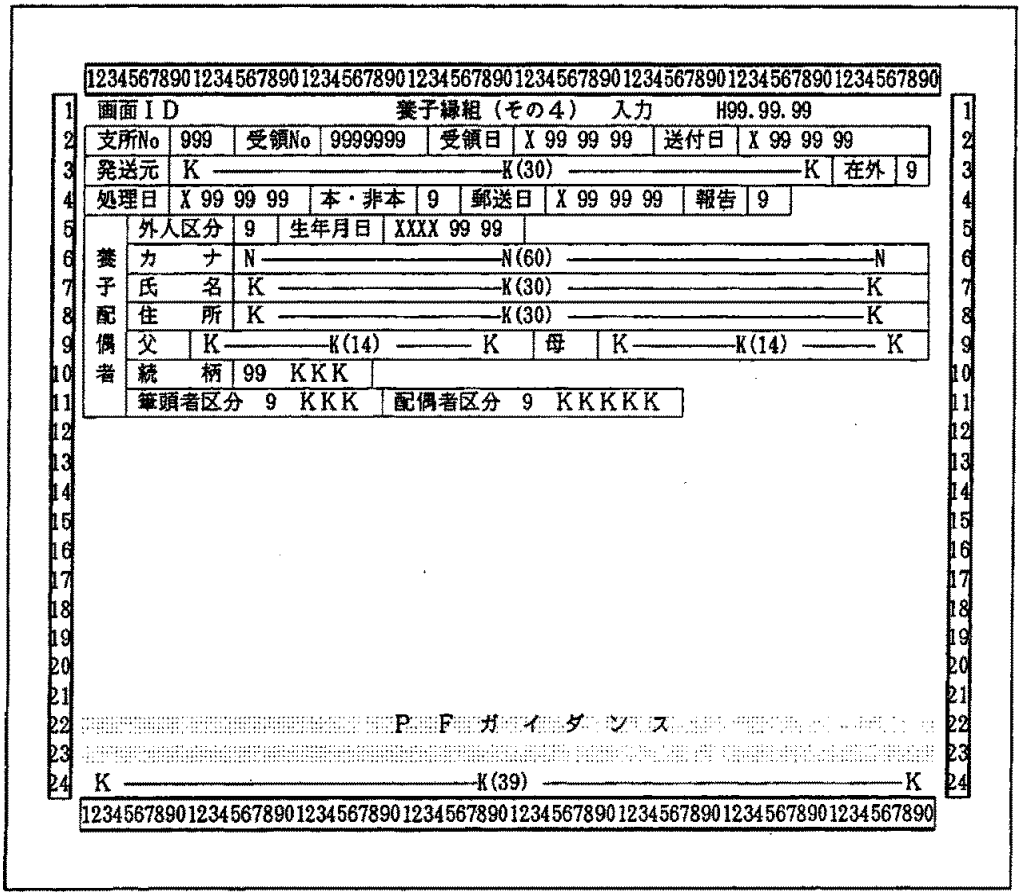
画面番号		画面名	養子縁組(その2)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			
画面番号		画面名	養子縁組(その3)



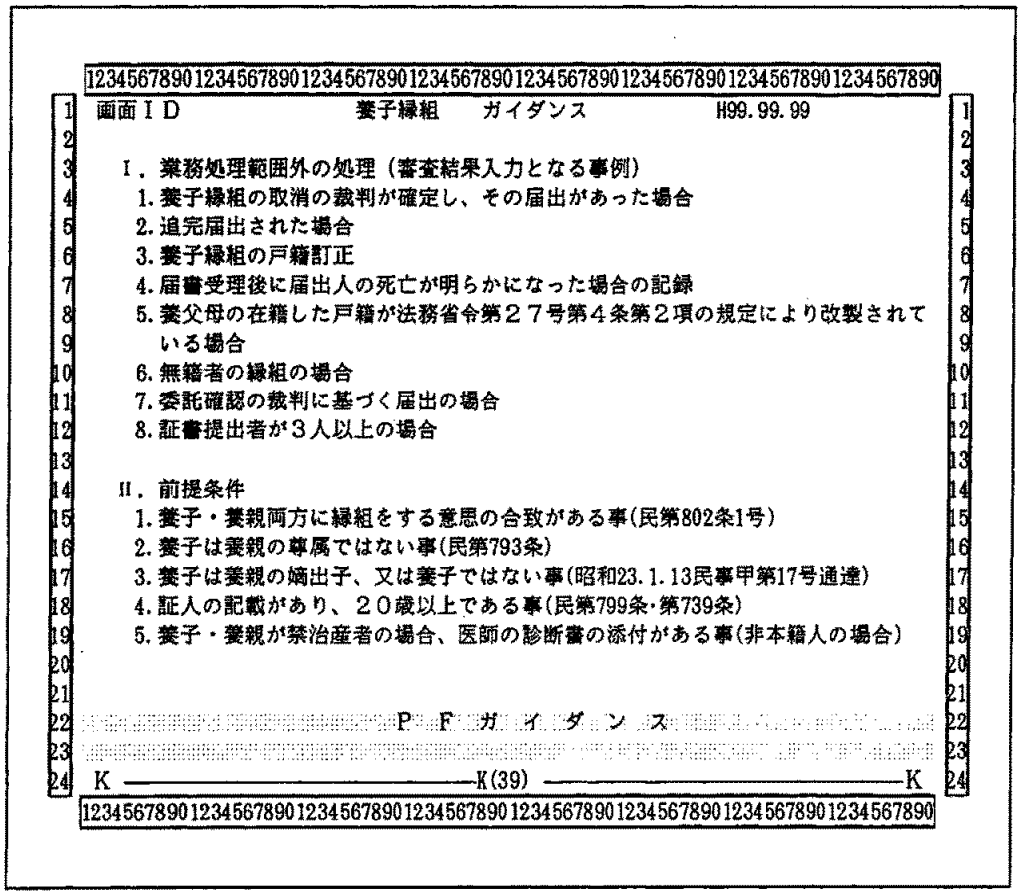
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			
画面番号		画面名	養子縁組(その4)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組　ガイダンス



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届 離縁形態入力 他

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890

画面ＩＤ　　養子離縁　離縁形態入力　他　　X99.99.99

	養　父	養　母
養　子	X	X
養　女	X	X

※該当箇所に’Ｙ’を入れて下さい

離縁形態名称	K----------K(20)----------K

15歳未満の養子離縁届の同時届書		9	0:無 1:親権者指定届 2:未成年後見開始届		
親権者 未成年後見人	本非区分	9	生年月日	XXXX 99 99	
	振り仮名	K----------K(30)----------K			
	氏　名	K----------K(30)----------K			
	本　籍	K----------K(30)----------K			
	筆頭者	K----------K(30)----------K			
親権の種別		9	1:協議 2:調停 3:審判		
親権者指定届の場合の親権者資格		999	001:父 002:母 010:養父 011:養母		
協議者	資　格	999	本非区分	9	生年月日 XXXX 99 99
	振り仮名	K----------K(30)----------K			
	氏　名	K----------K(30)----------K			
	筆頭者	K----------K(30)----------K			

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

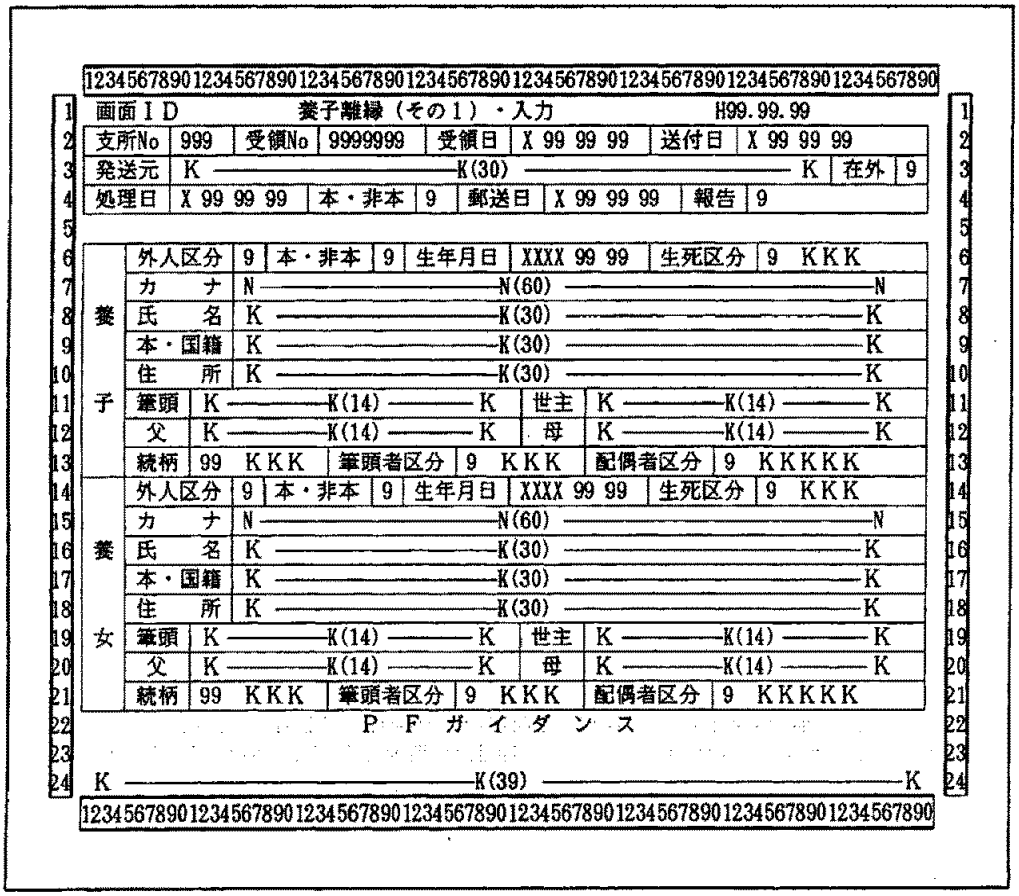
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その1)・入力

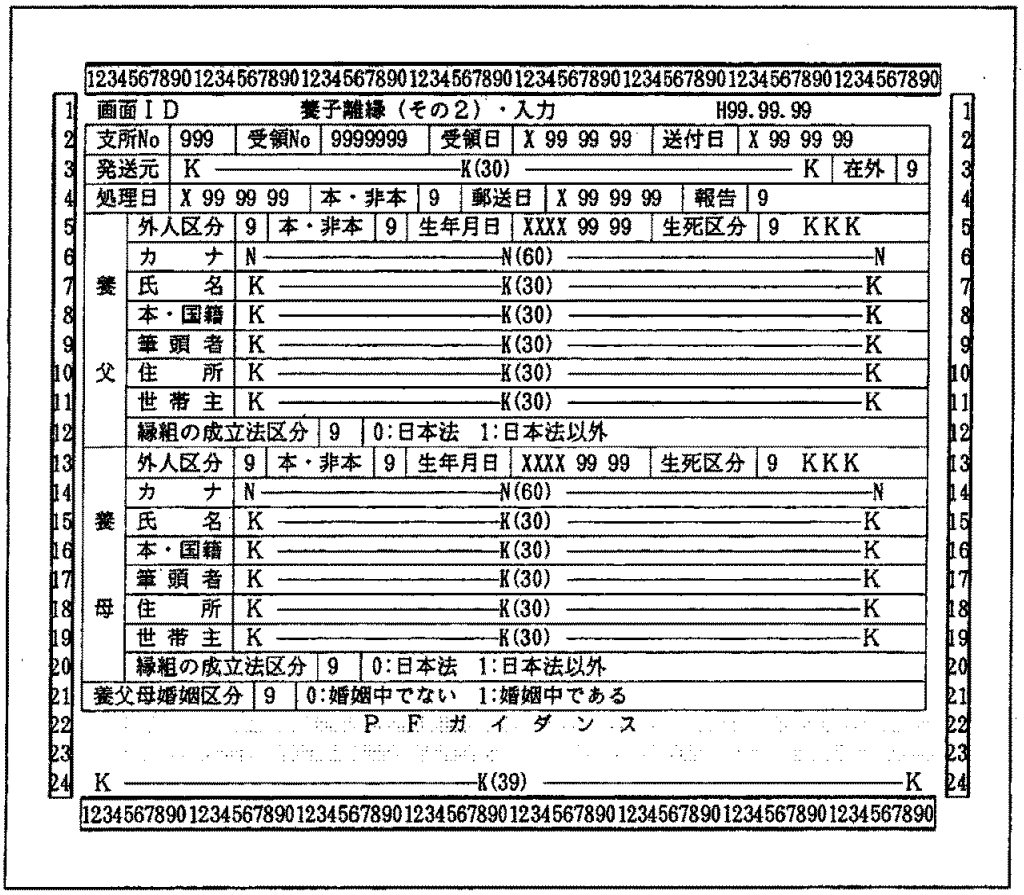


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その2)･入力

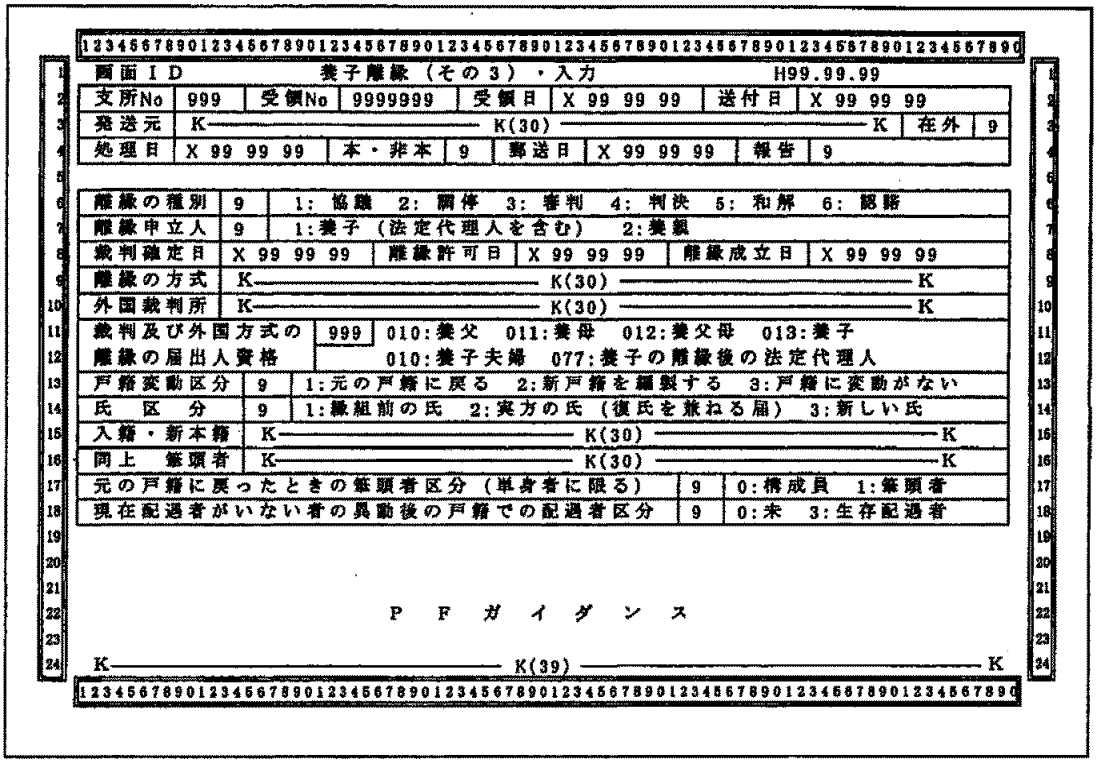


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その3)･入力

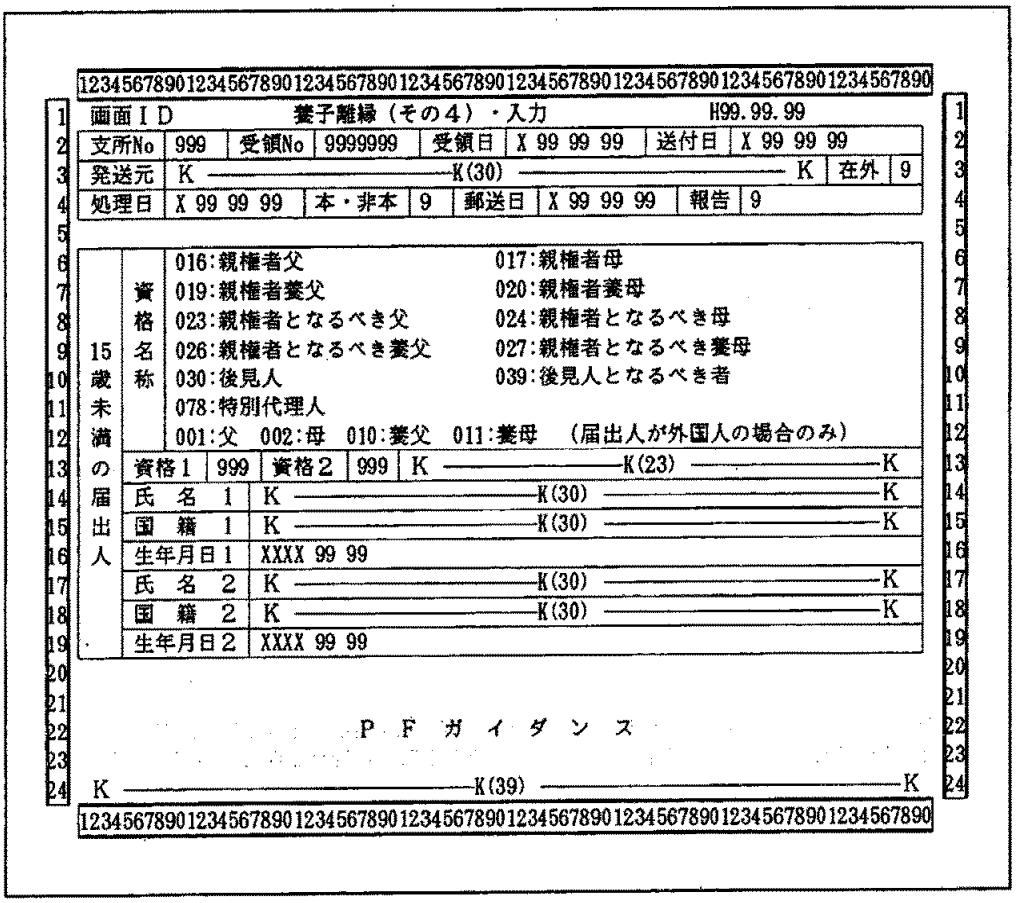


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その4)･入力

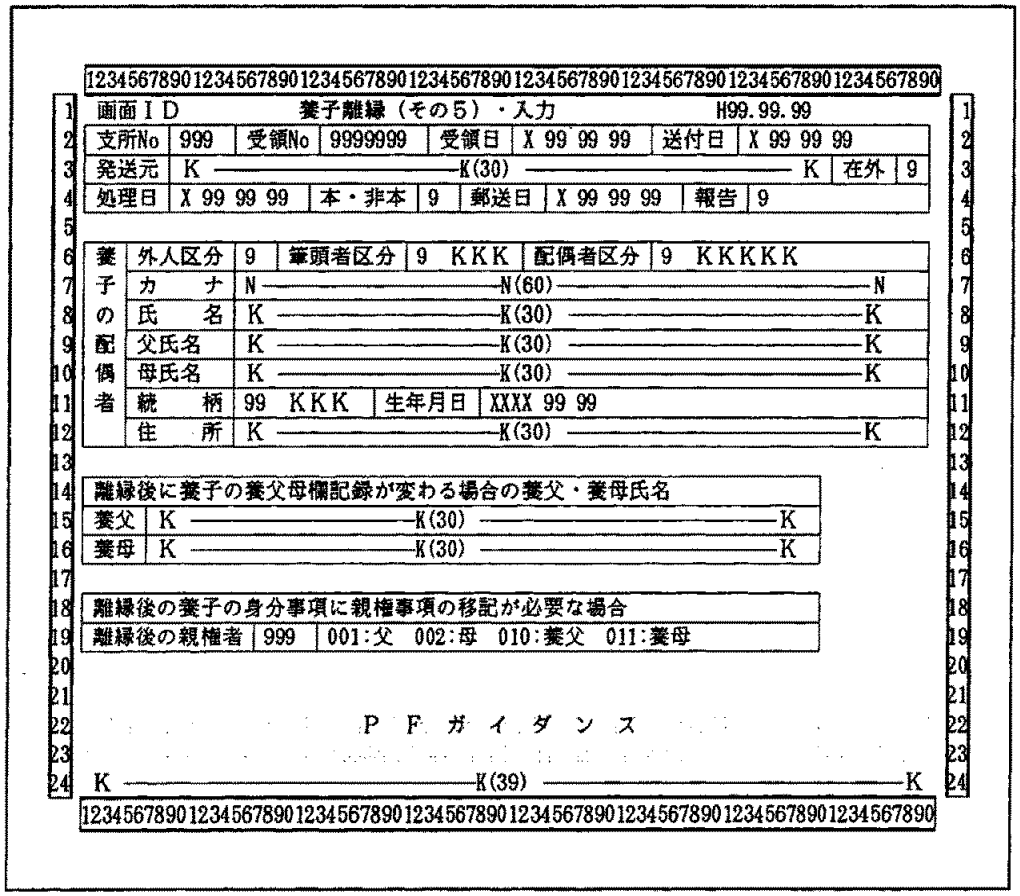


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その5)･入力

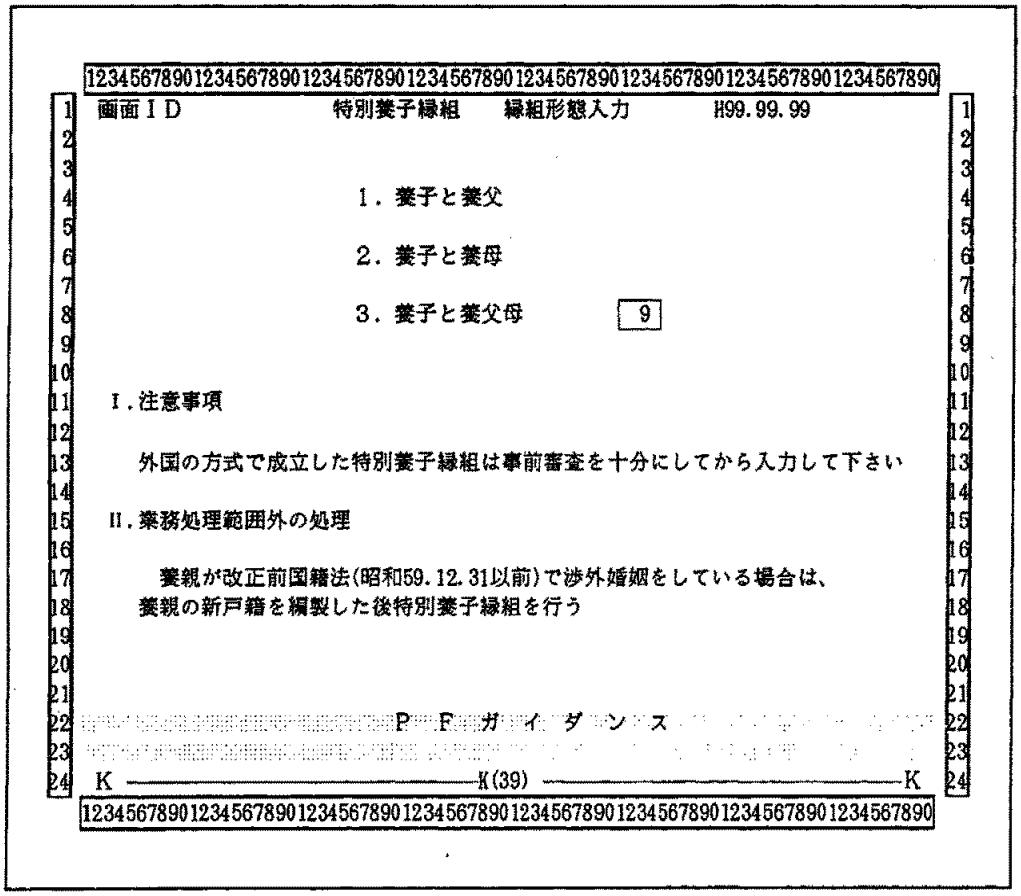


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組　縁組形態入力

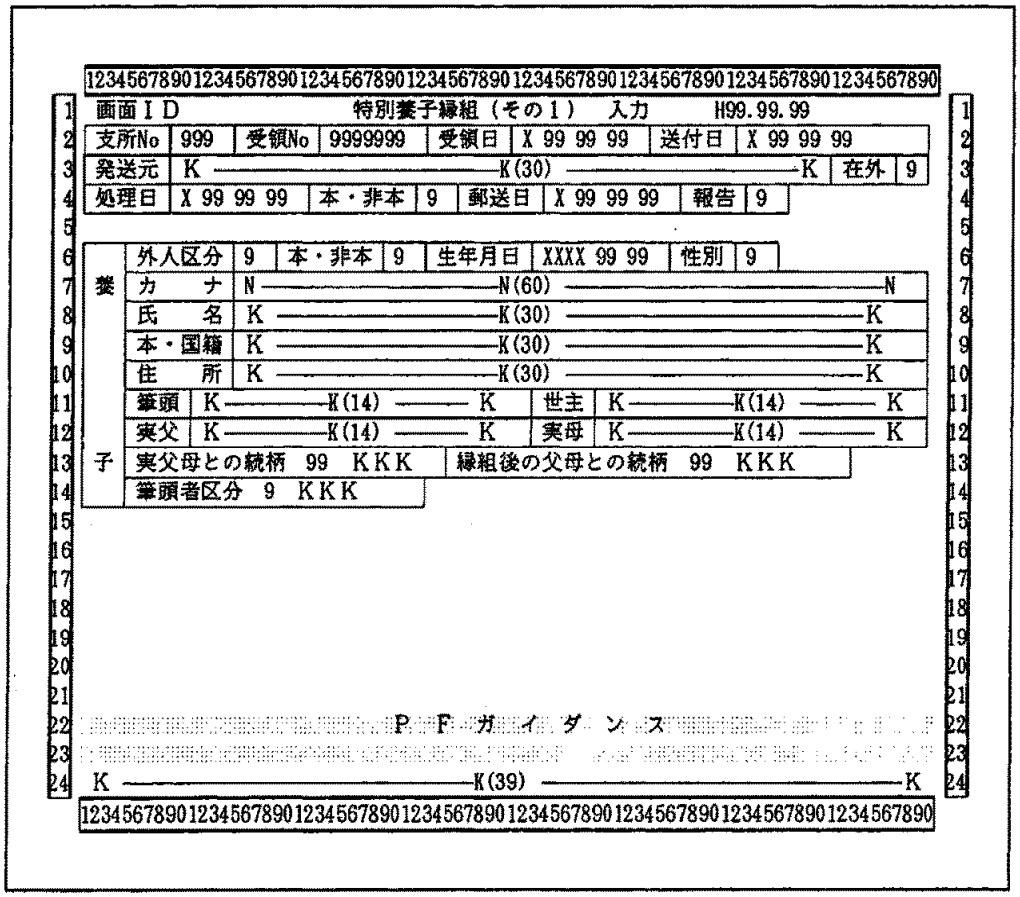


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その1)

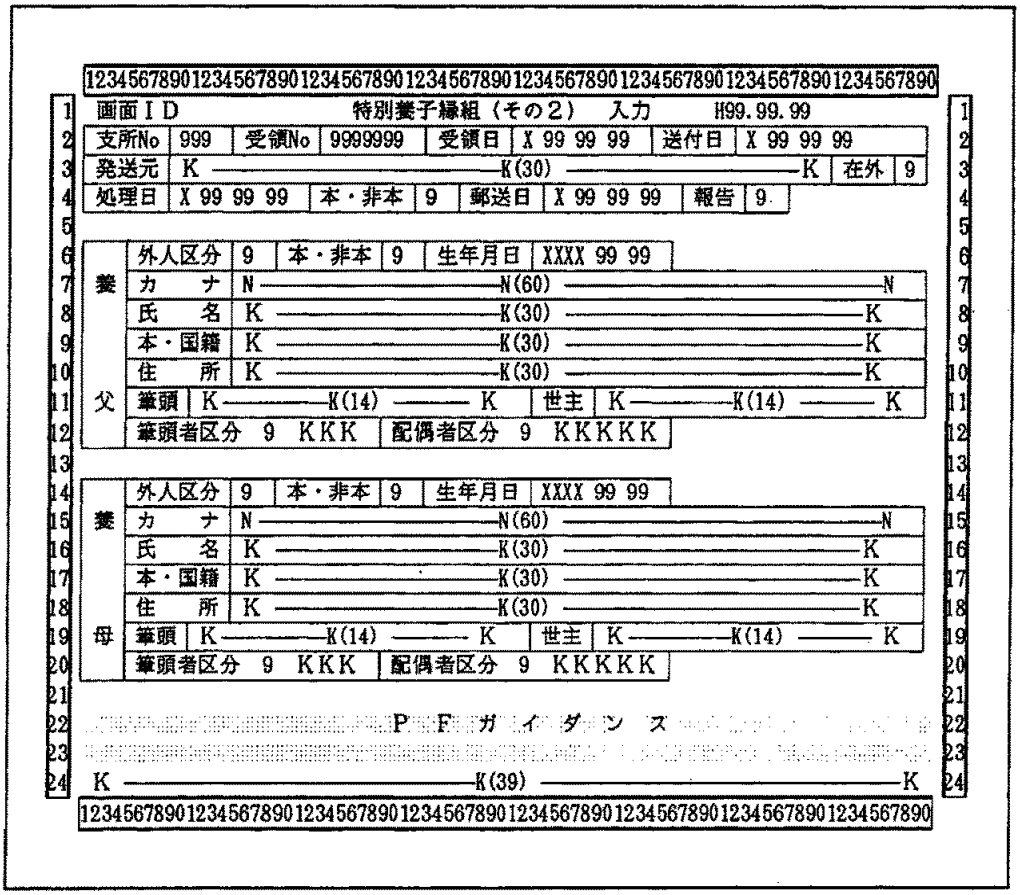


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その2)

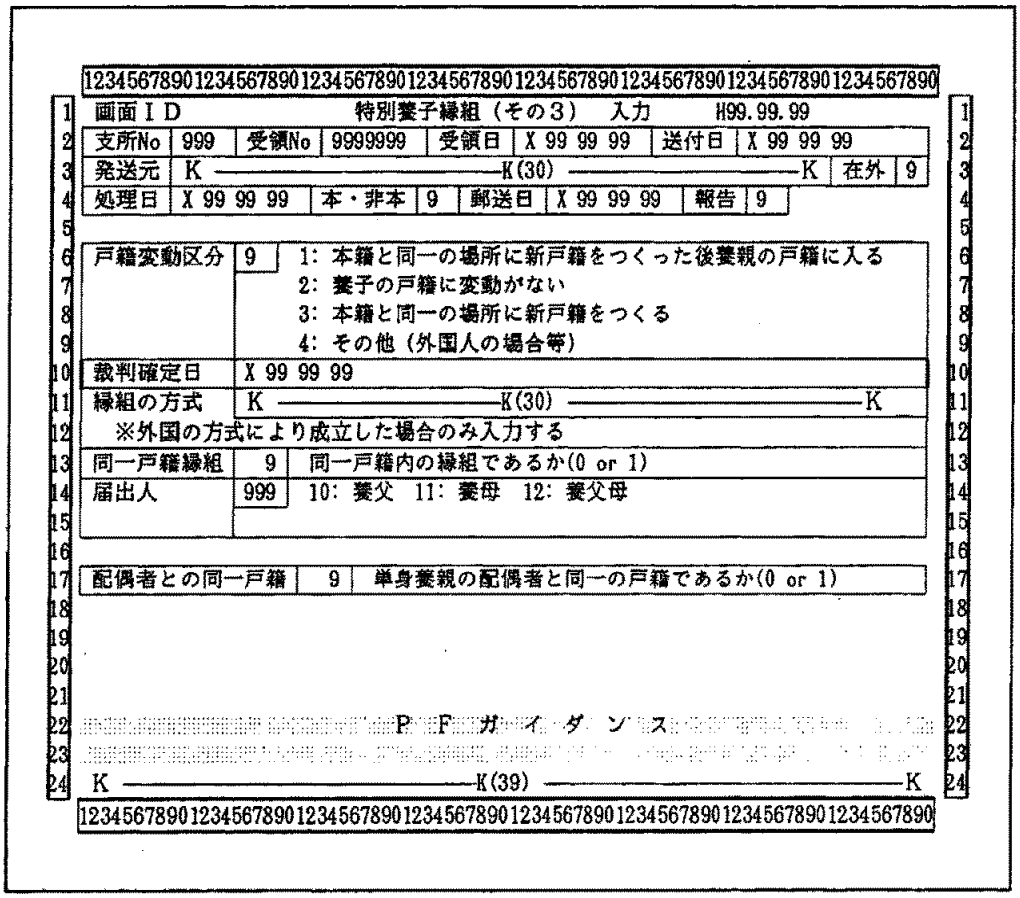


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その3)

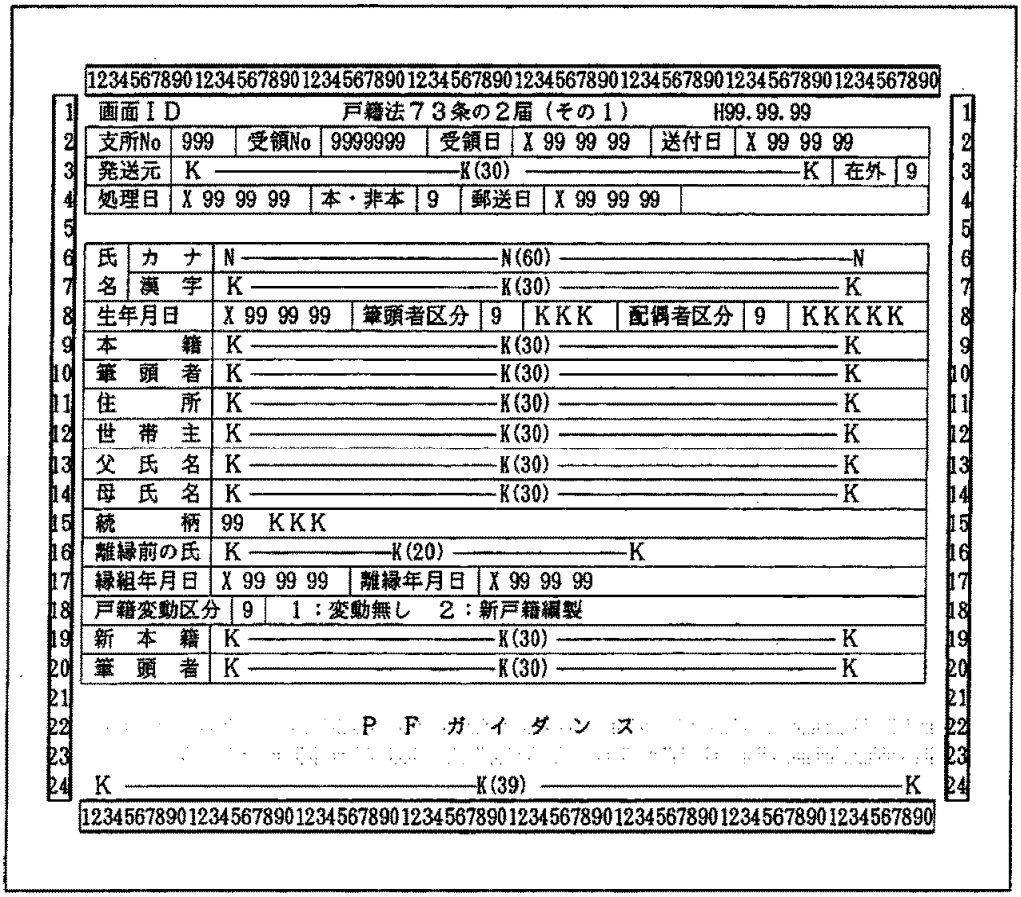


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍法73条の2届(その1)

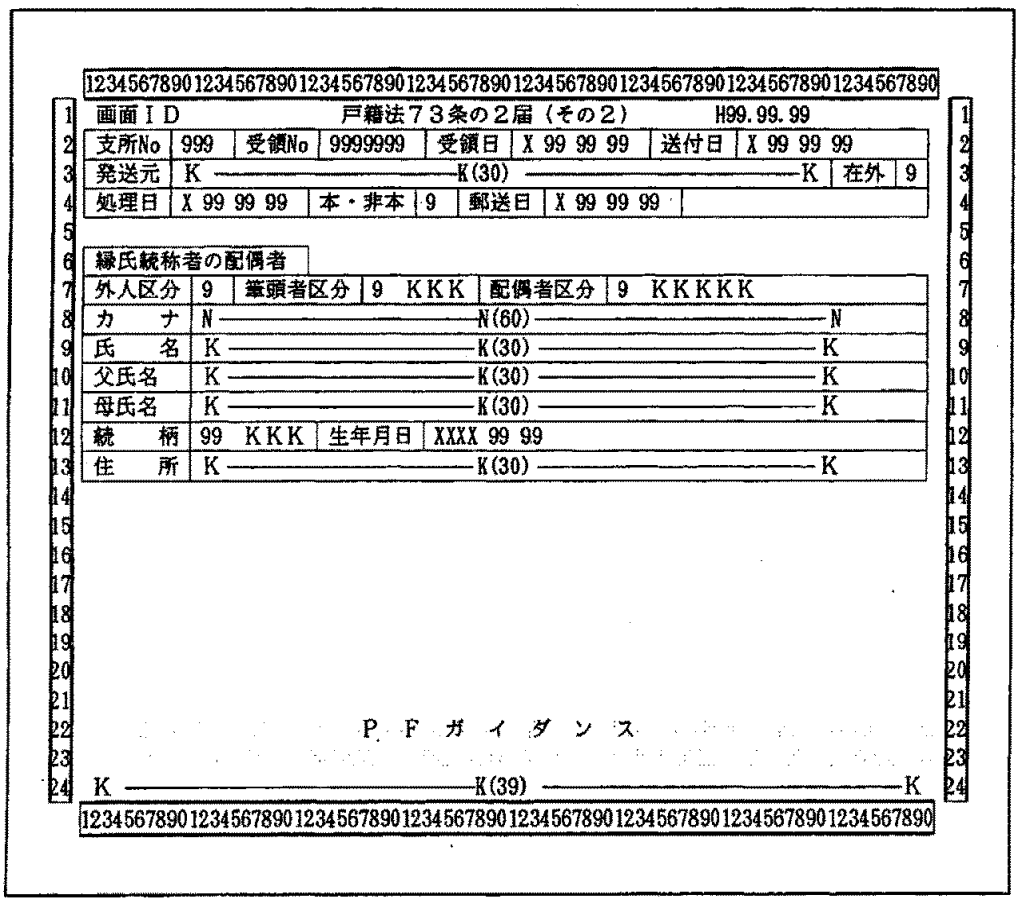


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍法73条の2届(その2)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2　離縁形態入力　他

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890

画面ＩＤ　　養子離縁同時７３条の２　離縁形態入力　他　　X99.99.99

	養　父	養　母
養　子	X	X
養　女	X	X

※該当箇所に’Ｙ’を入れて下さい

離縁形態名称	K----------K(20)----------K

15歳未満の養子離縁届の同時届書		9	0:無 1:親権者指定届 2:未成年後見開始届		
親権者 未成年後見人	本非区分	9	生年月日	XXXX 99 99	
	振り仮名	K----------K(30)----------K			
	氏　名	K----------K(30)----------K			
	本　籍	K----------K(30)----------K			
	筆頭者	K----------K(30)----------K			
親権の種別		9	1:協議 2:調停 3:審判		
親権者指定届の場合の親権者資格		999	001:父 002:母 010:養父 011:養母		
協議者	資　格	999	本非区分	9	生年月日 XXXX 99 99
	振り仮名	K----------K(30)----------K			
	氏　名	K----------K(30)----------K			
	筆頭者	K----------K(30)----------K			

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

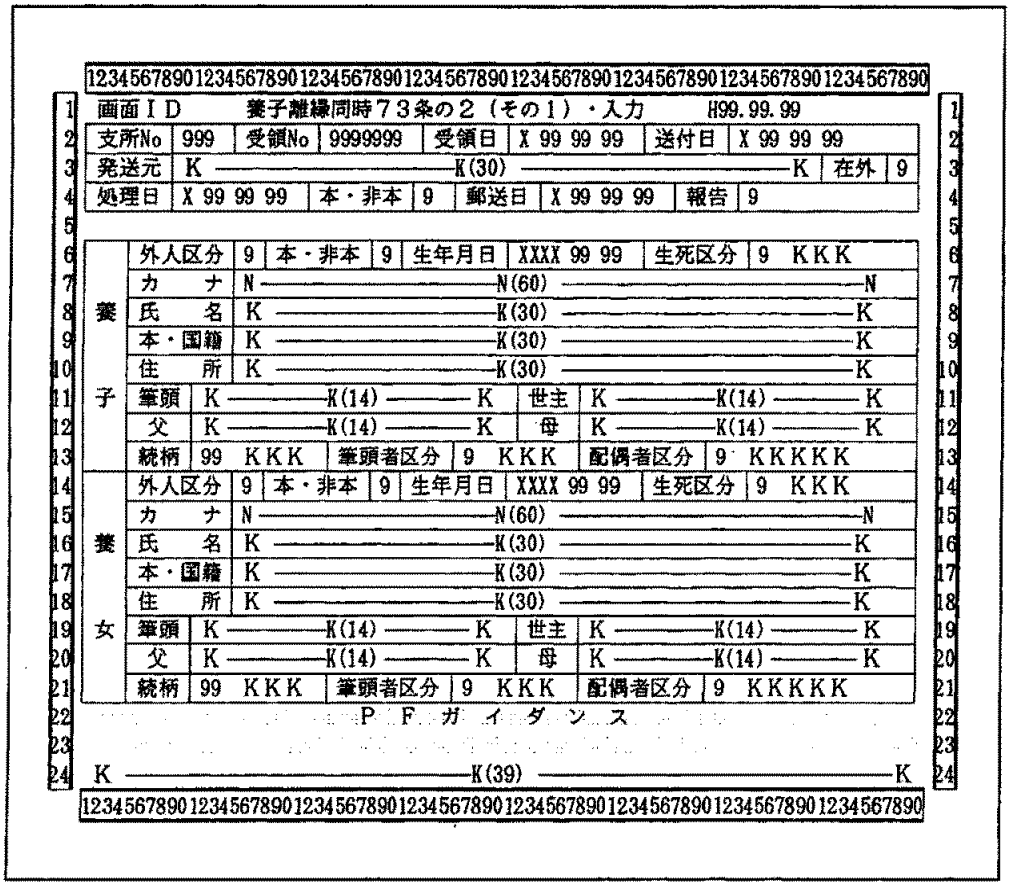
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その1)･入力

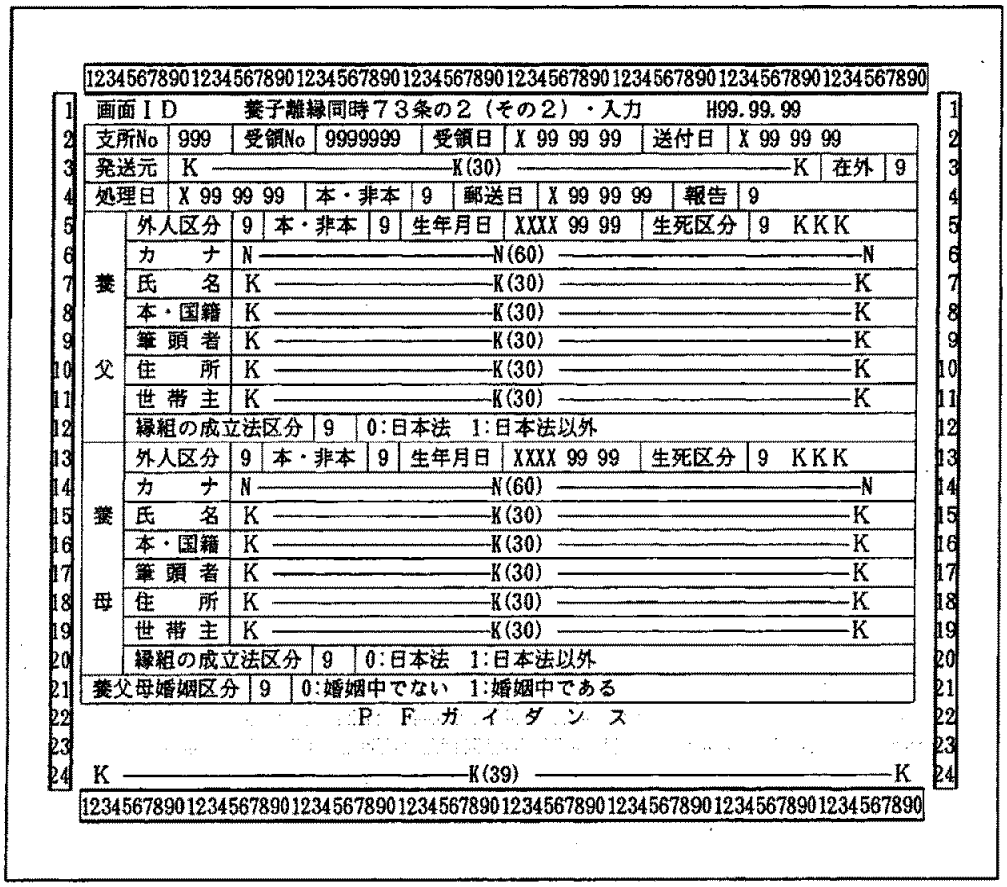


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その2)･入力

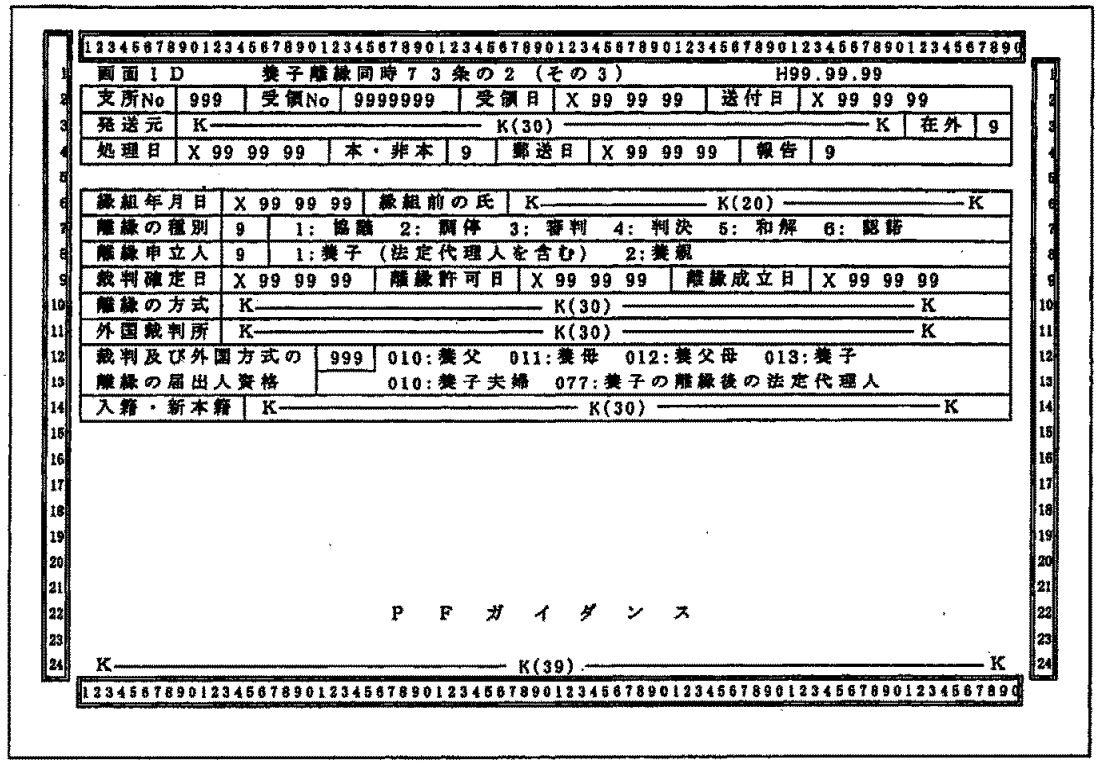


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その3)･入力



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

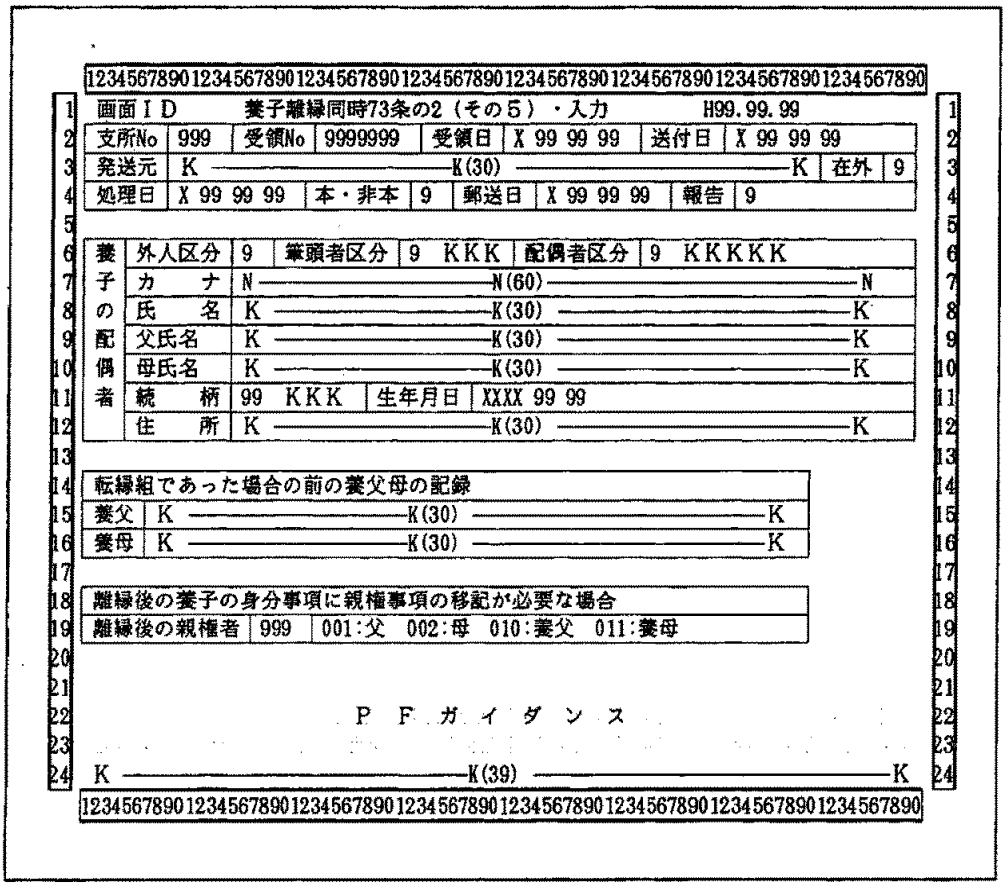
画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その4)･入力

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その5)･入力

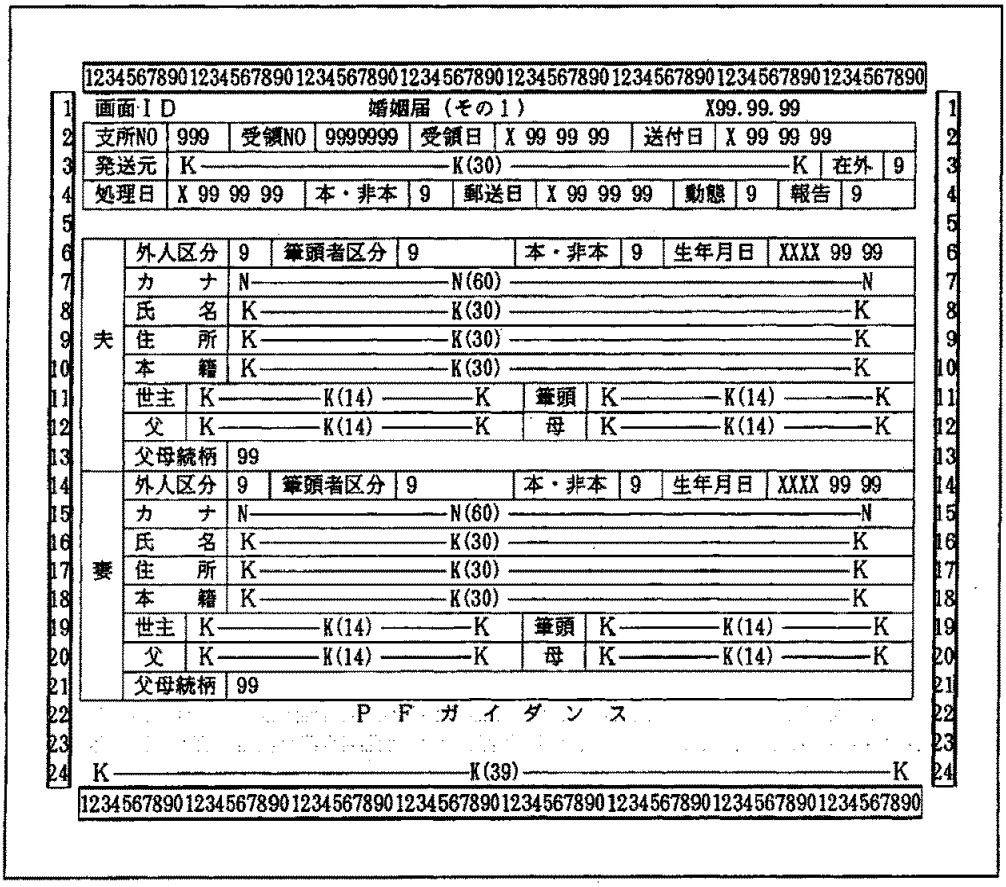


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	婚姻届(その1)

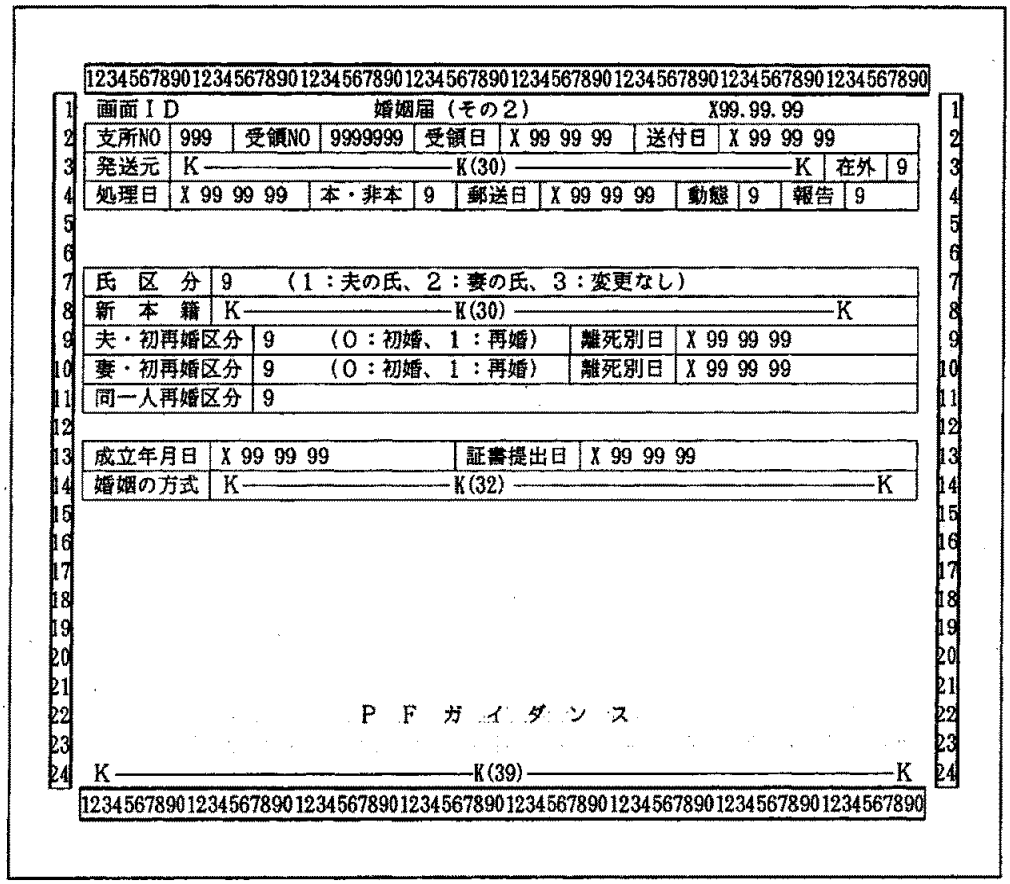


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	婚姻届(その2)

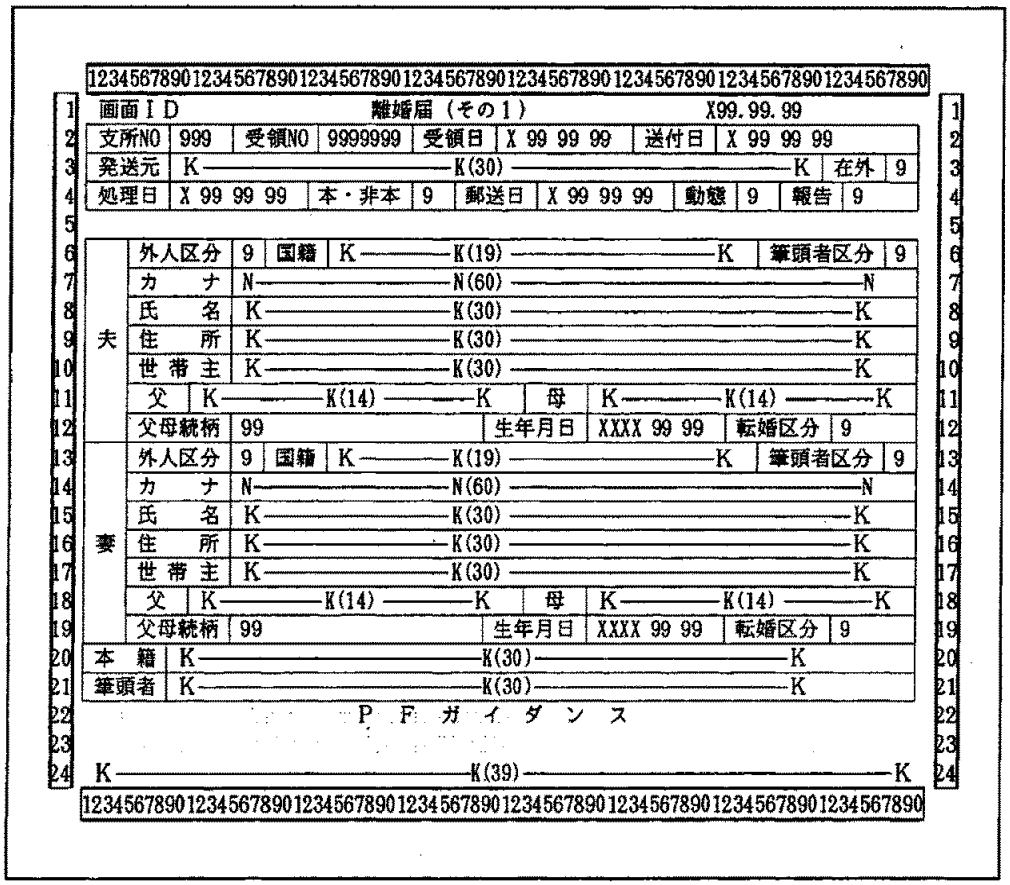


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その1)

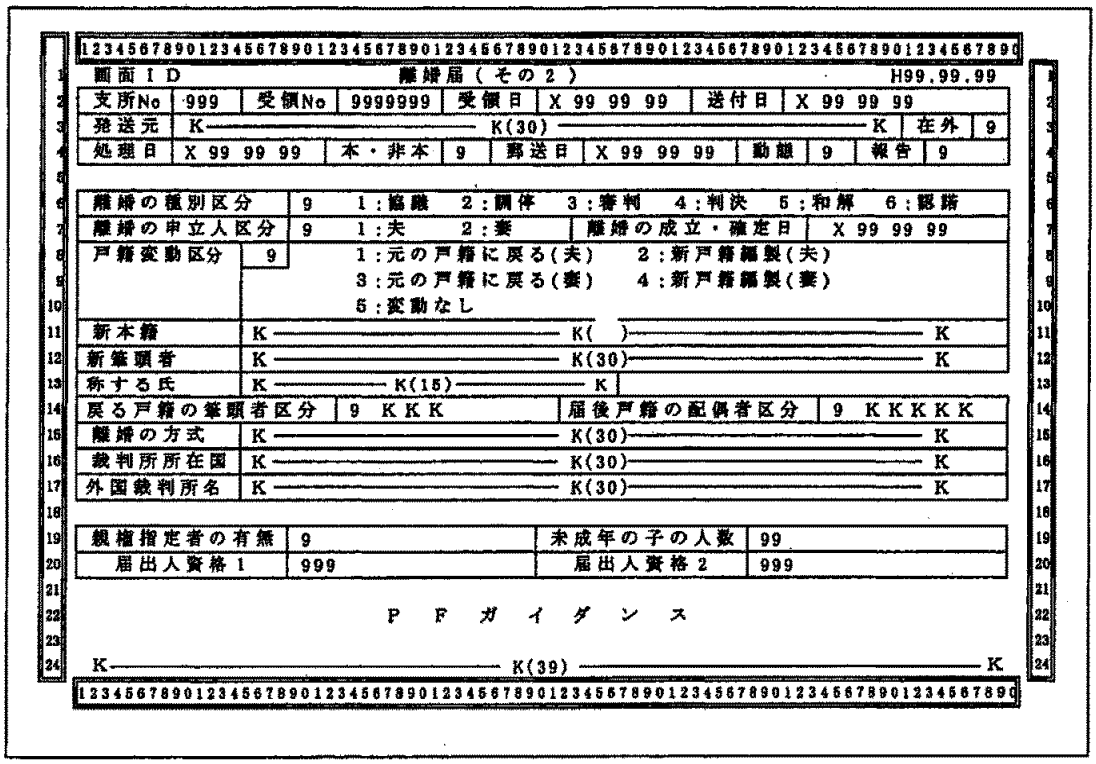


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その2)

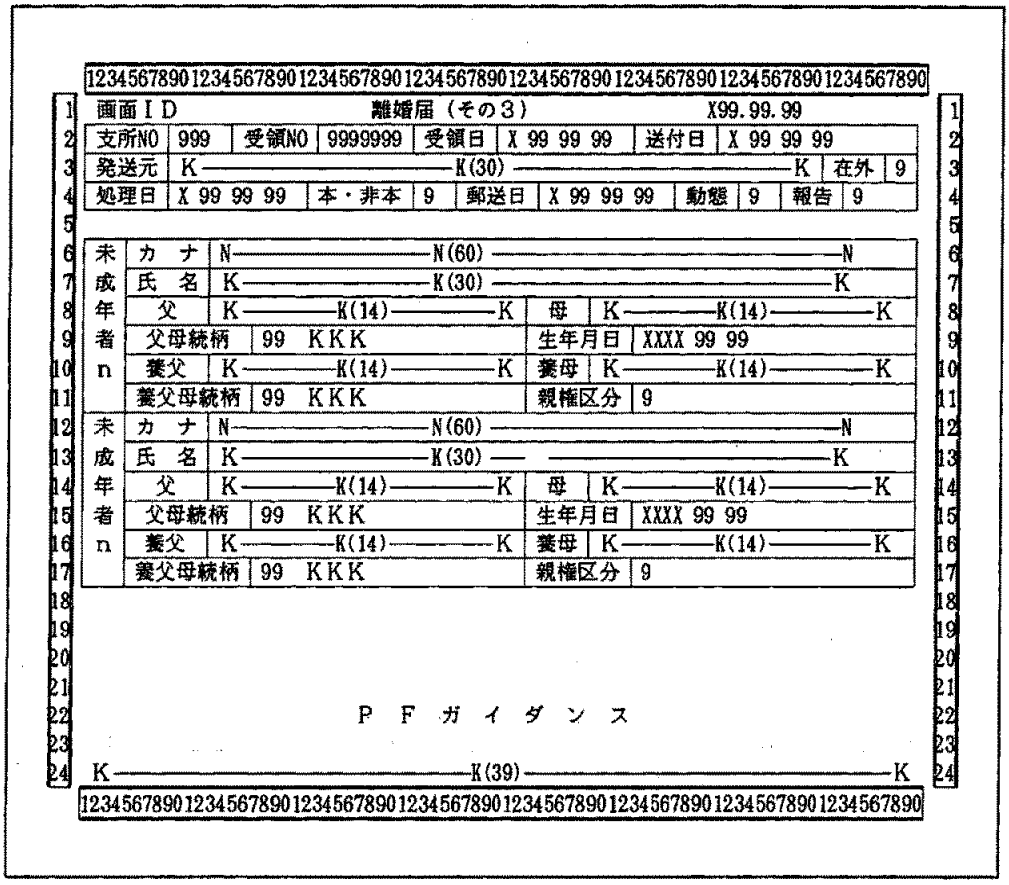


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その3)

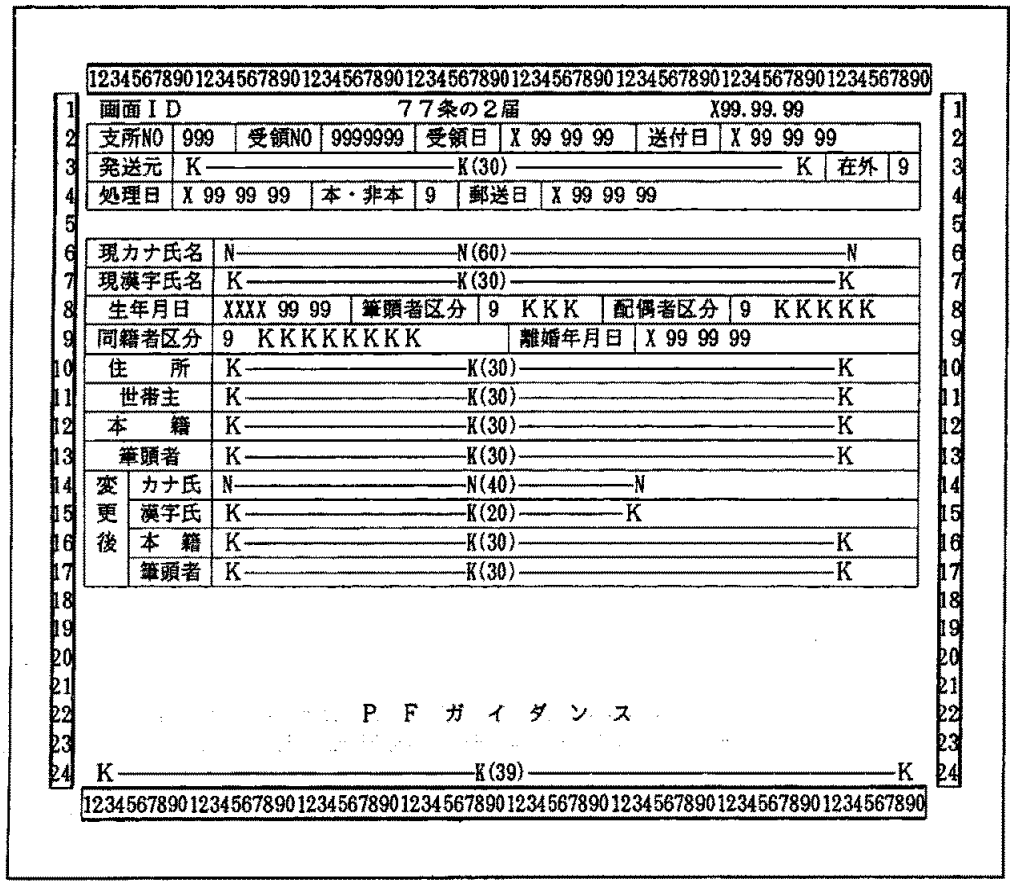


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	77条の2届

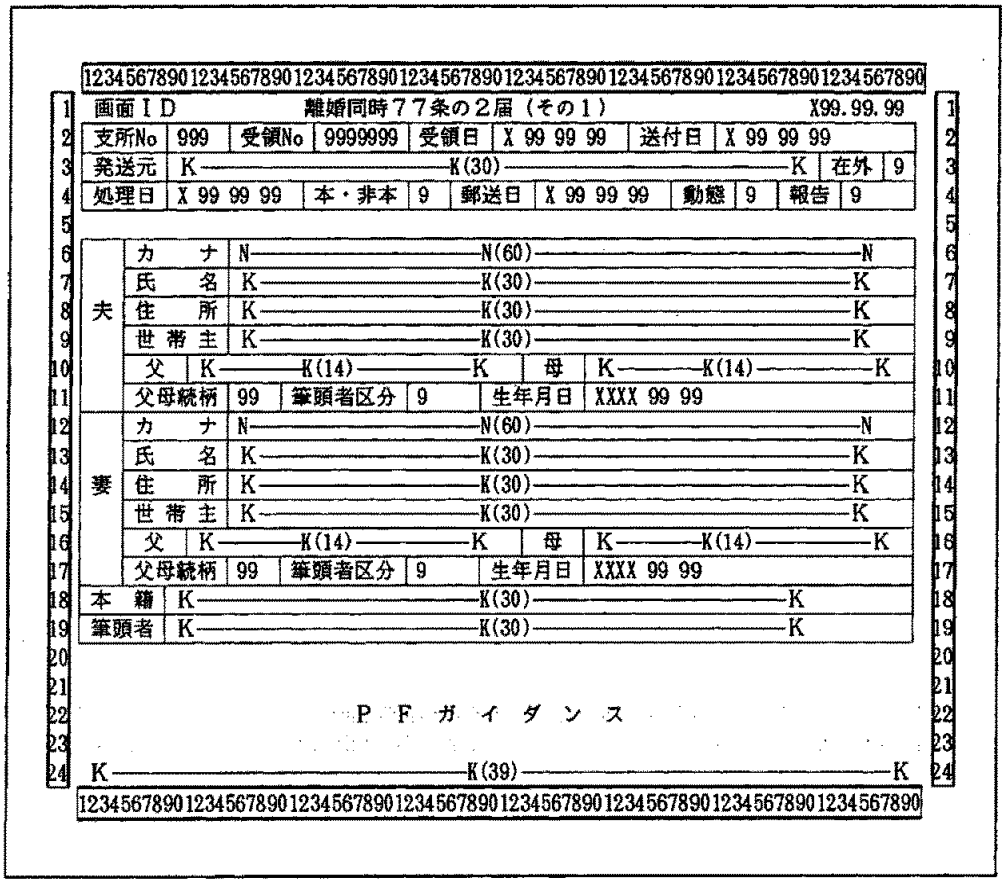


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その1)

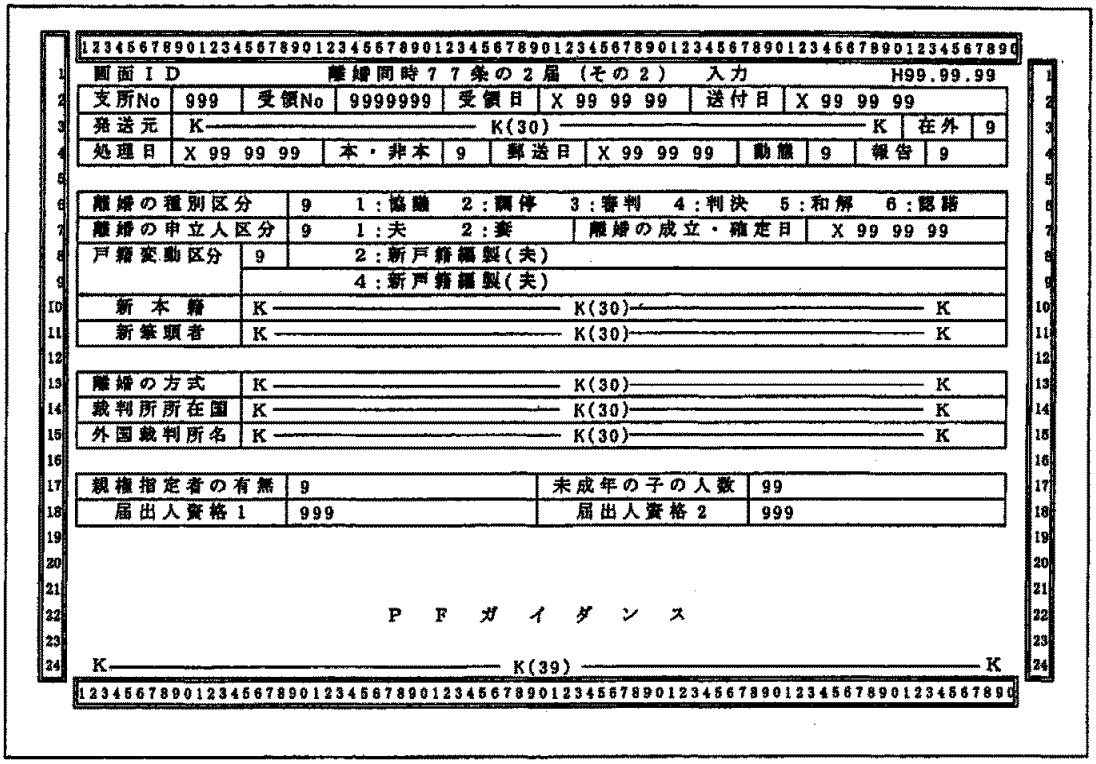


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2(その2) 入力

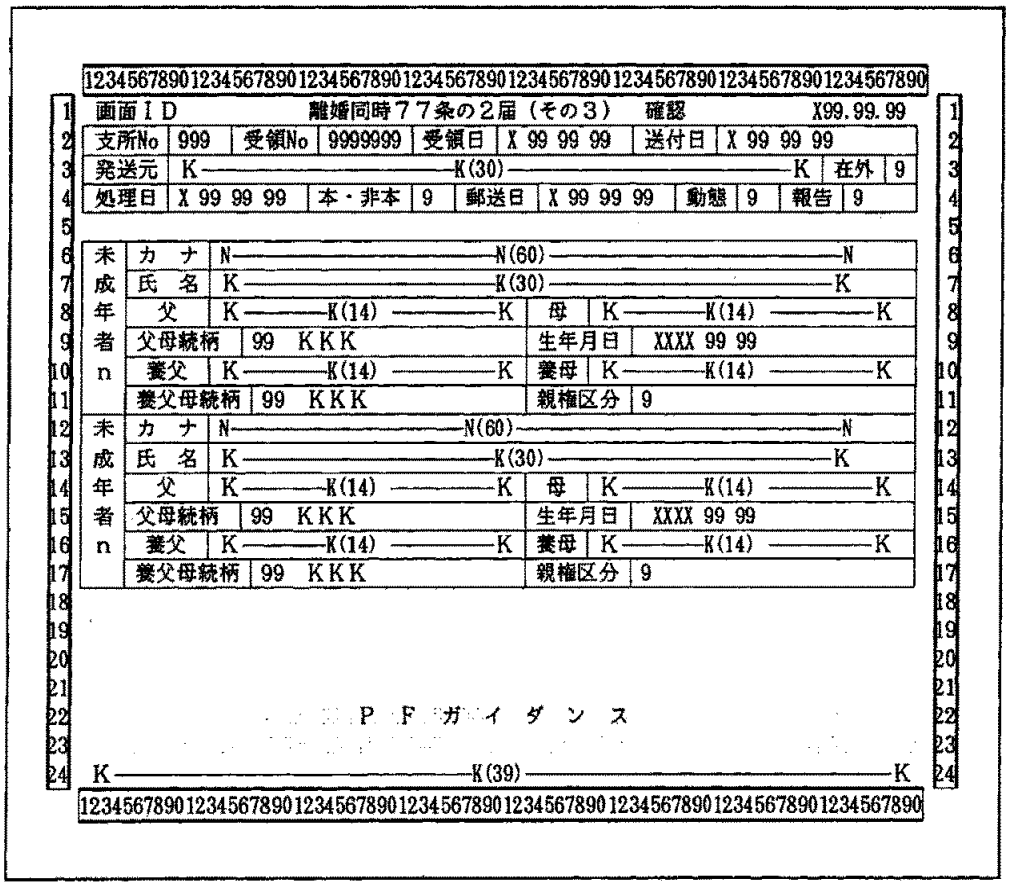


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その3) 確認

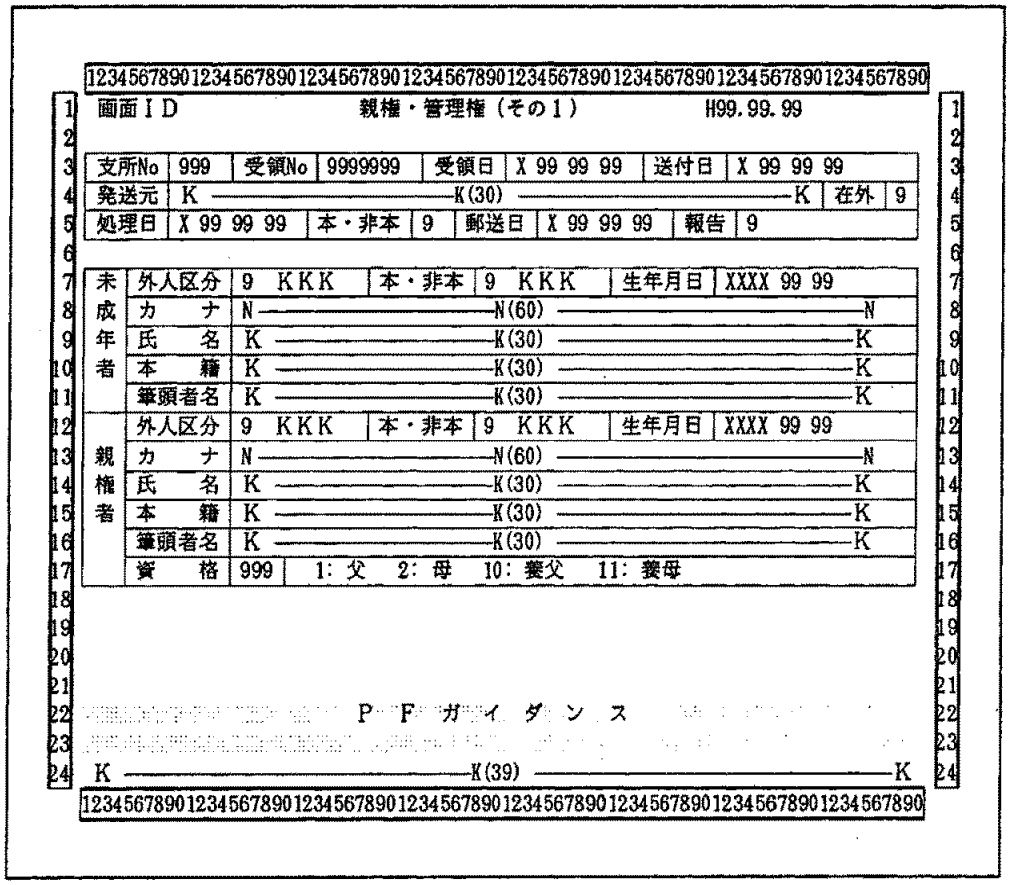


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権(その1)

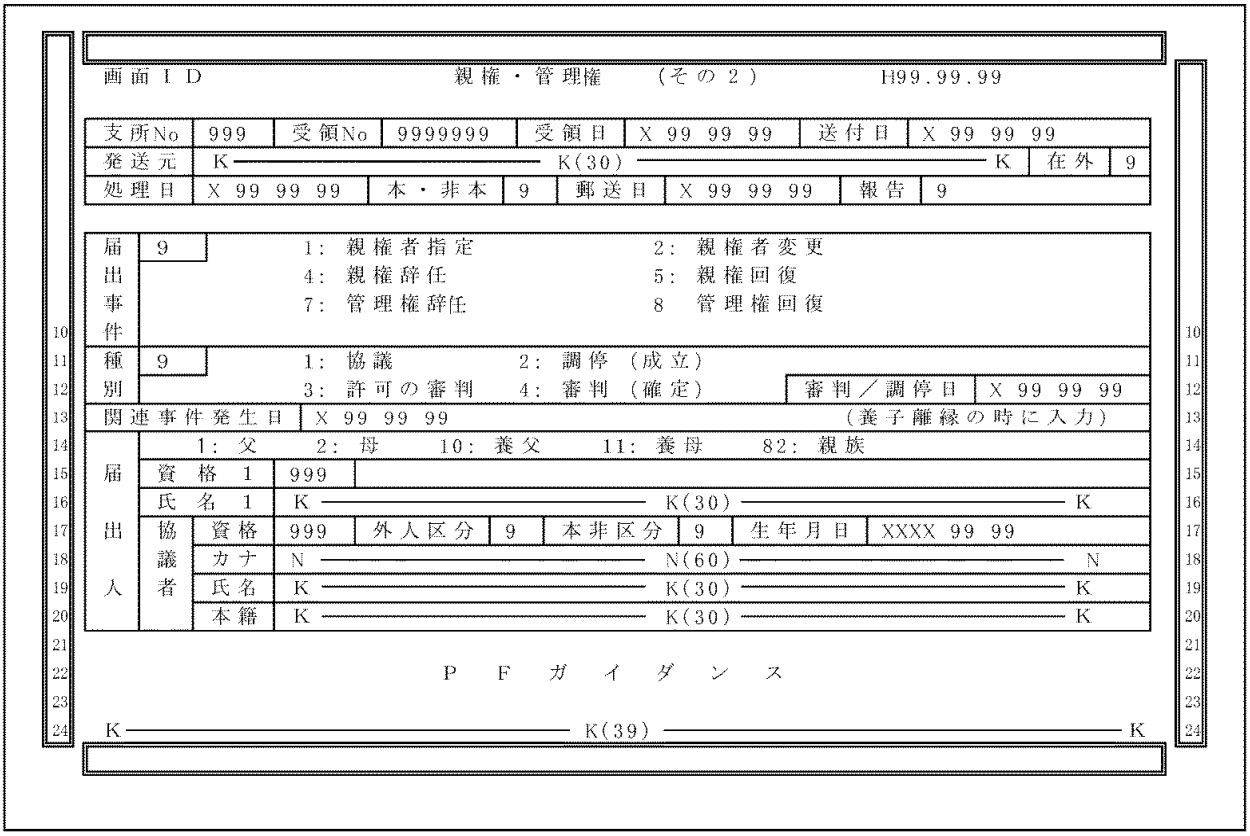


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権(その2)

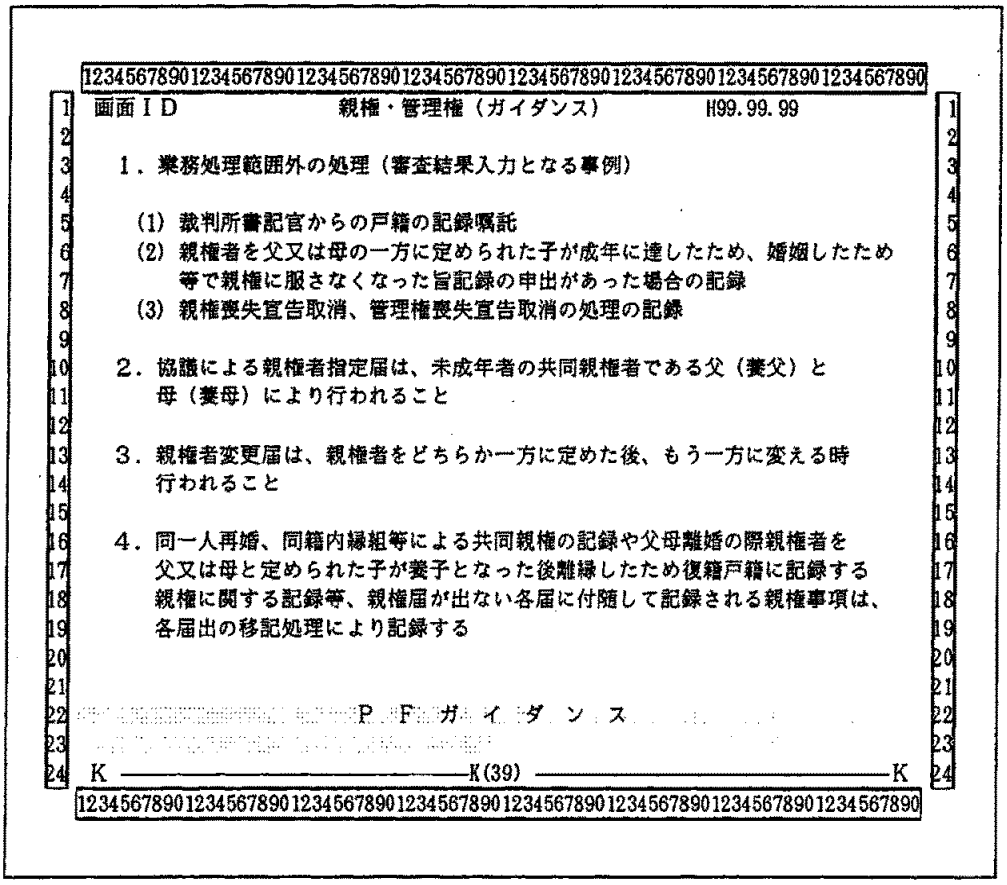


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権ガイダンス画面

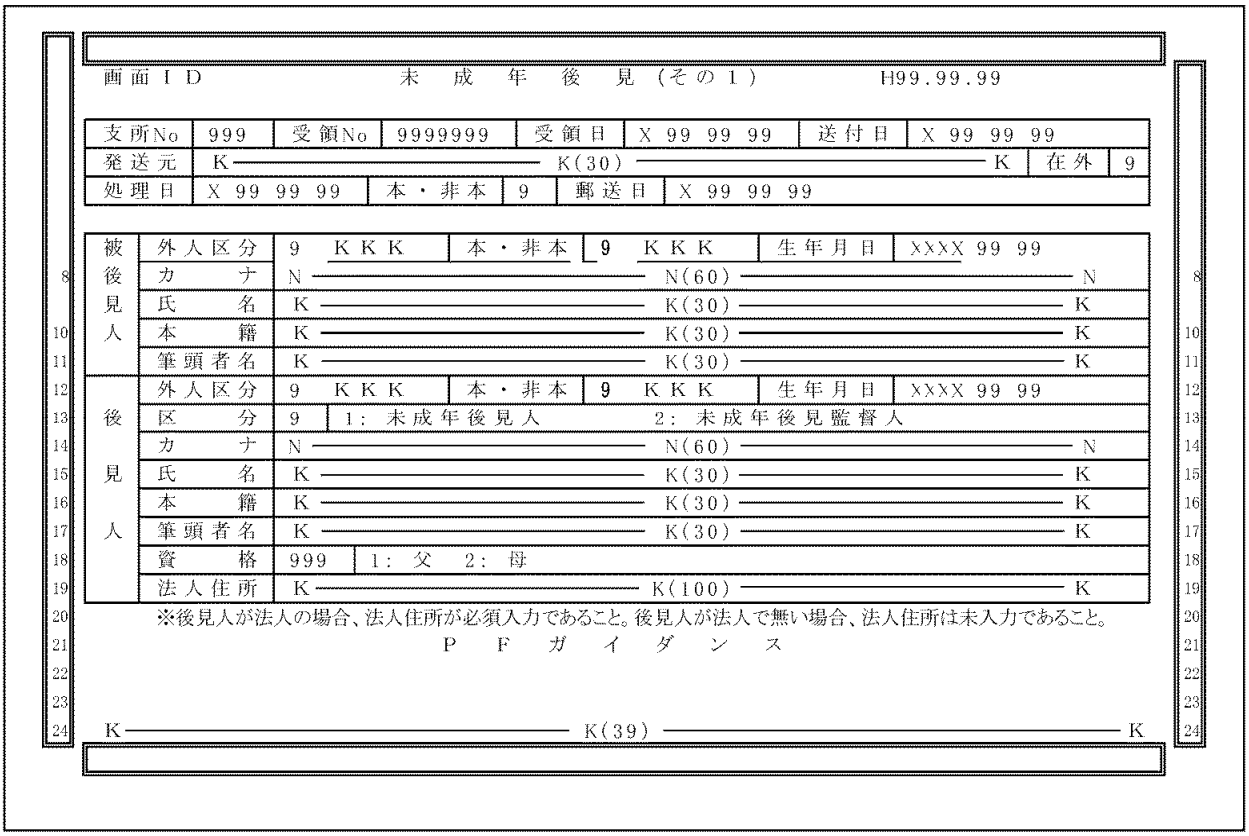


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届(その1)



画面ＩＤ　　未　成　年　後　見（その１）　　H99.99.99

支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K — K(30) — K					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99		

被後見人	外人区分	9 ＫＫＫ	本・非本	9 ＫＫＫ	生年月日	XXXX 99 99
	カナ	N — N(60) — N				
	氏名	K — K(30) — K				
	本籍	K — K(30) — K				
	筆頭者名	K — K(30) — K				
後見人	外人区分	9 ＫＫＫ	本・非本	9 ＫＫＫ	生年月日	XXXX 99 99
	区分	9	1：未成年後見人　2：未成年後見監督人			
	カナ	N — N(60) — N				
	氏名	K — K(30) — K				
	本籍	K — K(30) — K				
	筆頭者名	K — K(30) — K				
	資格	999	1：父　2：母			
	法人住所	K — K(100) — K				

※後見人が法人の場合、法人住所が必須入力であること。後見人が法人で無い場合、法人住所は未入力であること。

ＰＦガイダンス

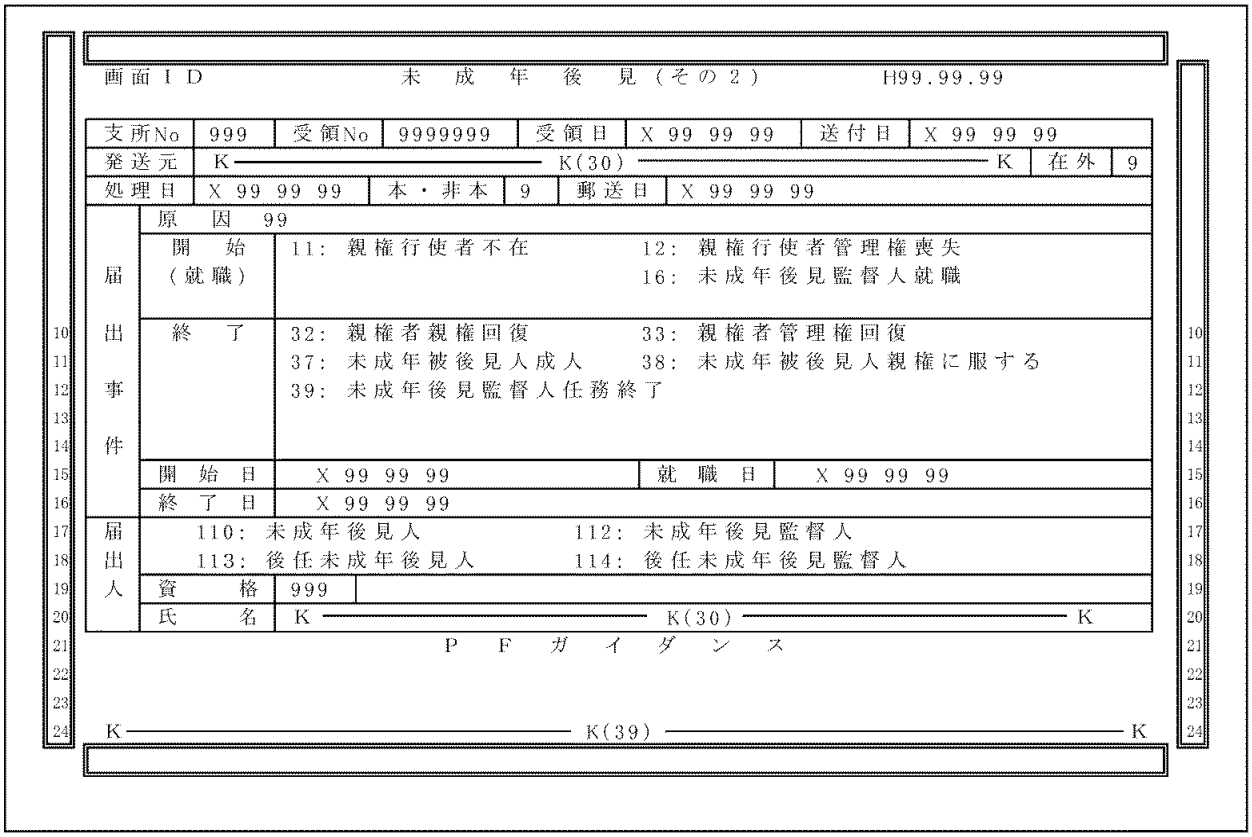
K — K(39) — K

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届(その2)



画面ＩＤ　　未　成　年　後　見（その２）　　H99.99.99

支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K ―― K(30) ―― K					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99		

届出事件	原因 99		
	開始（就職）	11: 親権行使者不在	12: 親権行使者管理権喪失 16: 未成年後見監督人就職
	終了	32: 親権者親権回復 37: 未成年被後見人成人 39: 未成年後見監督人任務終了	33: 親権者管理権回復 38: 未成年被後見人親権に服する
	開始日	X 99 99 99	就職日 X 99 99 99
	終了日	X 99 99 99	
届出人	110: 未成年後見人 113: 後任未成年後見人		112: 未成年後見監督人 114: 後任未成年後見監督人
	資格	999	
	氏名	K ―― K(30) ―― K	

ＰＦガイダンス

K ―― K(39) ―― K

届出事件の「終了」欄の下に「開始（嘱託）」欄を追加し、下記項目を追加する。
51:未成年後見人選任　52:未成年後見人選任親権者不在　53:未成年後見人選任管理権喪失
54:未成年後見監督人選任

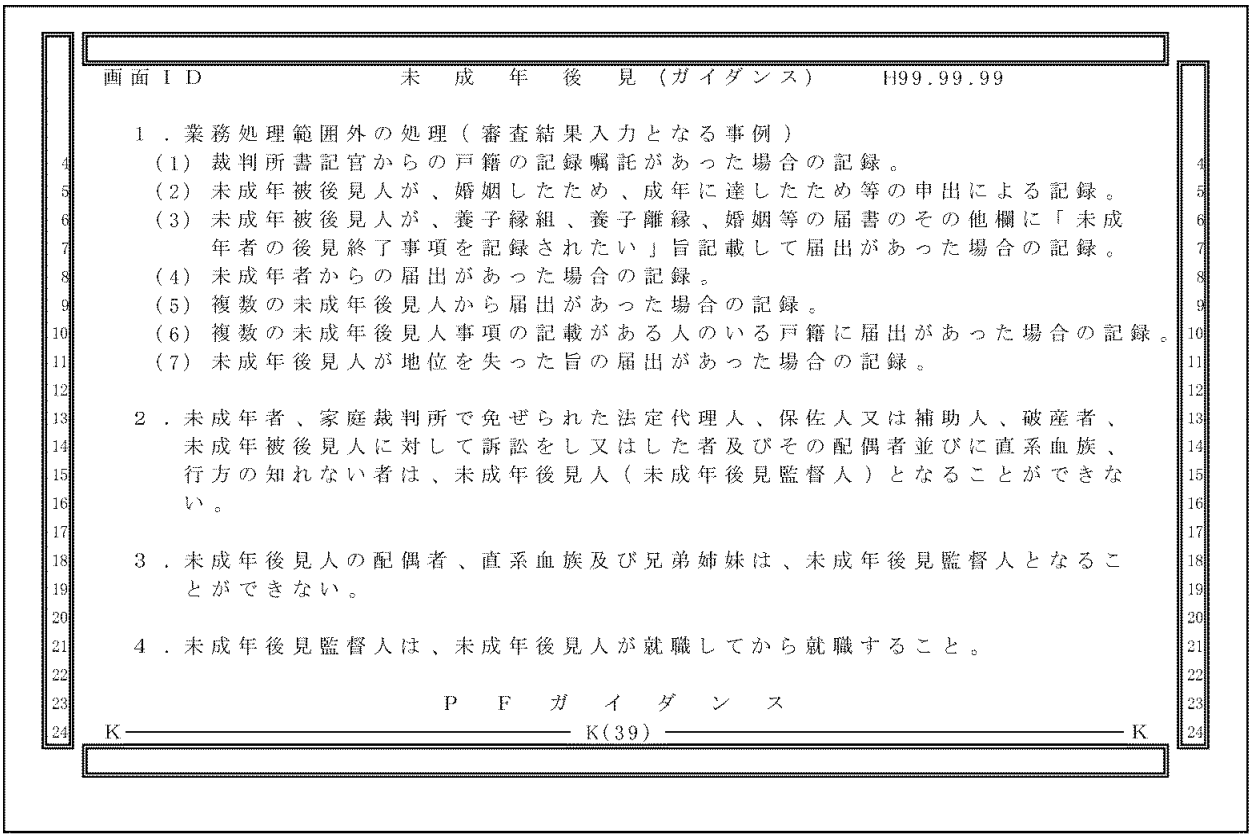
届出事件の「終了日」の右横に下記項目を追加する。
裁判確定日:X 99 99 99　記録嘱託日:X 99 99 99

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届(ガイダンス)



画面ＩＤ　　未　成　年　後　見（ガイダンス）　　H99.99.99

１．業務処理範囲外の処理（審査結果入力となる事例）
（1）裁判所書記官からの戸籍の記録嘱託があった場合の記録。
（2）未成年被後見人が、婚姻したため、成年に達したため等の申出による記録。
（3）未成年被後見人が、養子縁組、養子離縁、婚姻等の届書のその他欄に「未成年者の後見終了事項を記録されたい」旨記載して届出があった場合の記録。
（4）未成年者からの届出があった場合の記録。
（5）複数の未成年後見人から届出があった場合の記録。
（6）複数の未成年後見人事項の記載がある人のいる戸籍に届出があった場合の記録。
（7）未成年後見人が地位を失った旨の届出があった場合の記録。

２．未成年者、家庭裁判所で免ぜられた法定代理人、保佐人又は補助人、破産者、未成年被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族、行方の知れない者は、未成年後見人（未成年後見監督人）となることができない。

３．未成年後見人の配偶者、直系血族及び兄弟姉妹は、未成年後見監督人となることができない。

４．未成年後見監督人は、未成年後見人が就職してから就職すること。

Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス

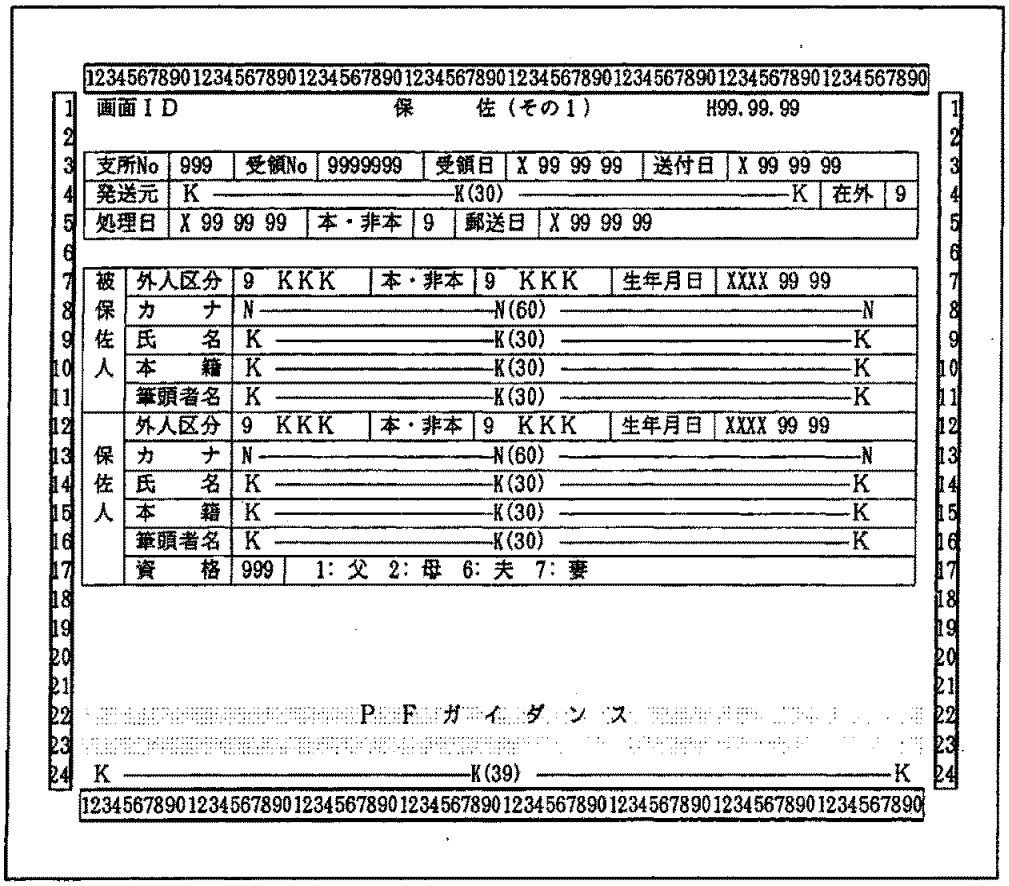
K ―― K(39) ―― K

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	保佐届(その1)

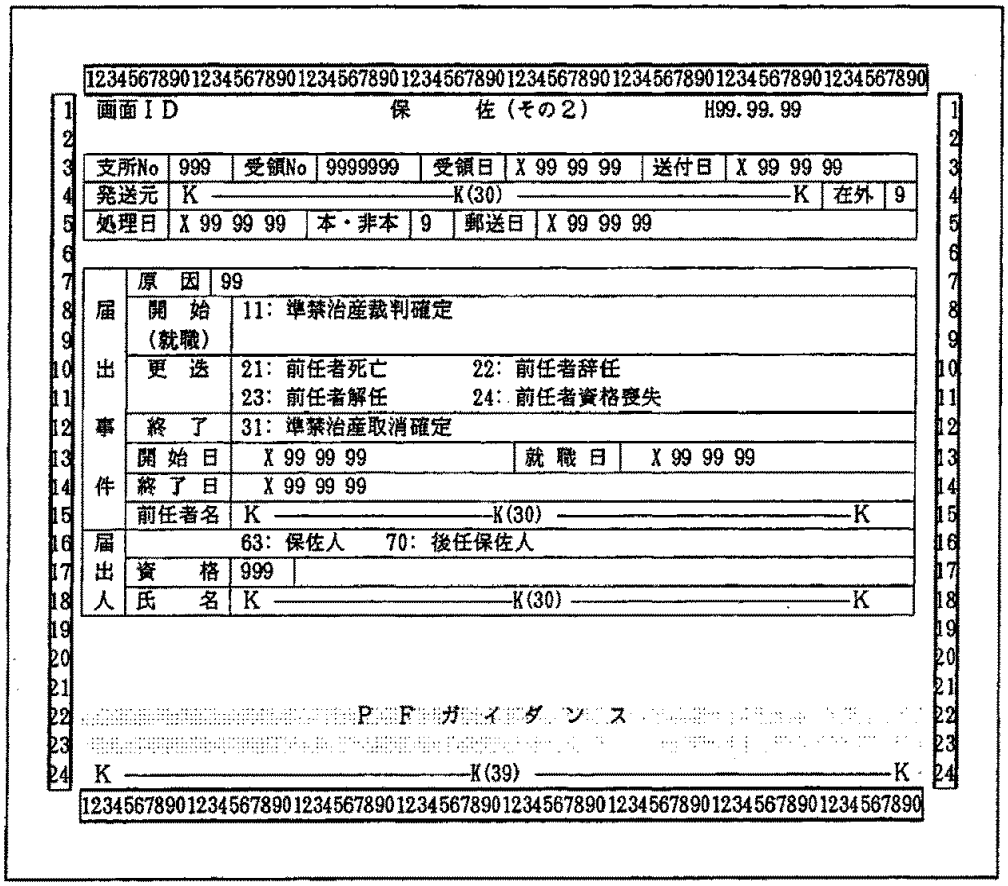


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

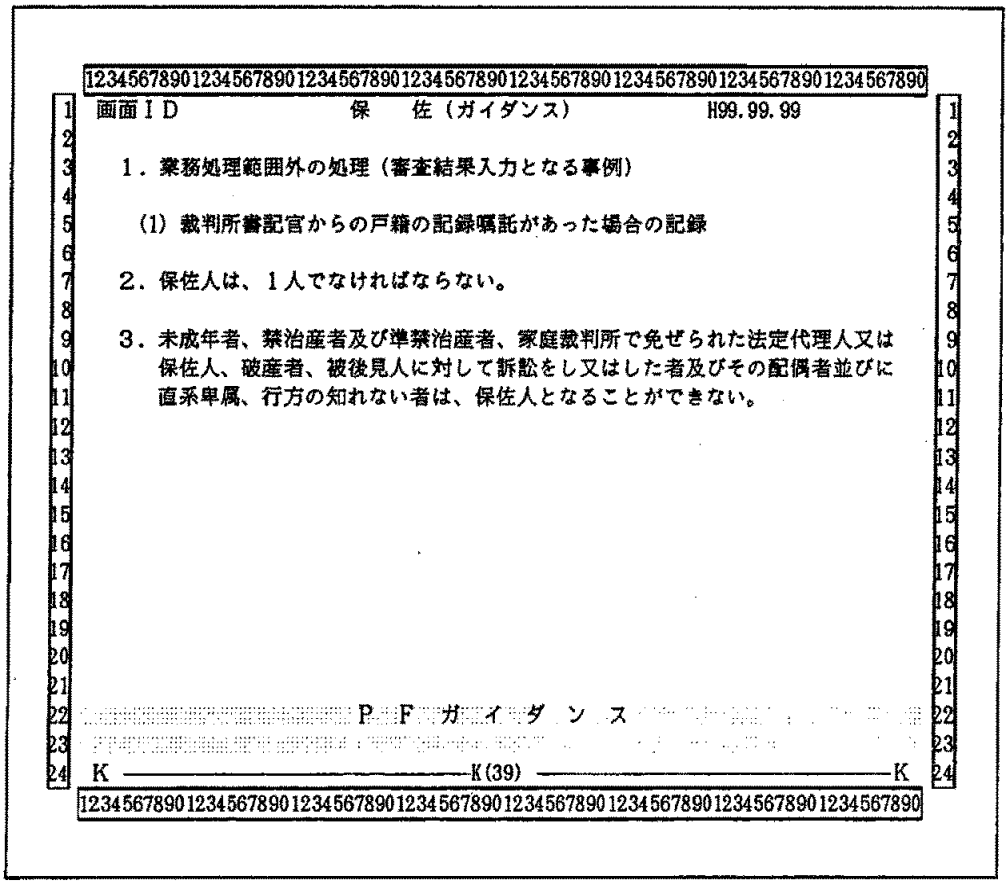
画面番号		画面名	保佐届(その2)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	保佐届ガイダンス

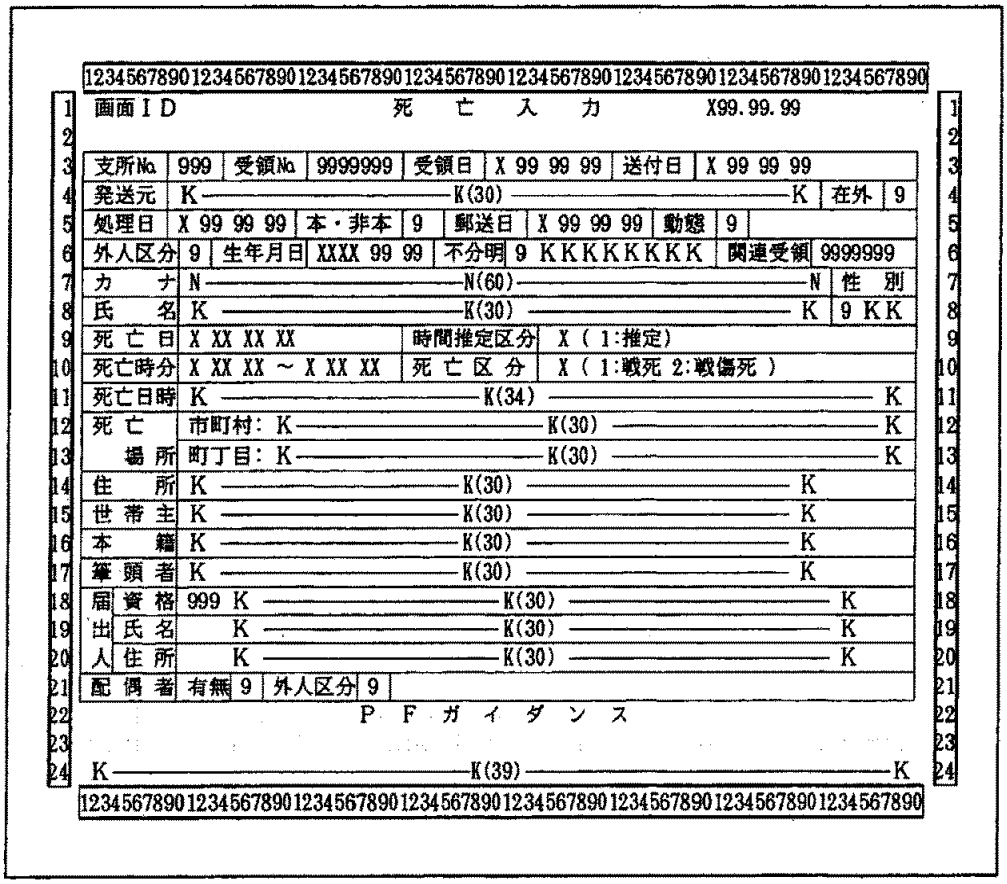


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	死亡届



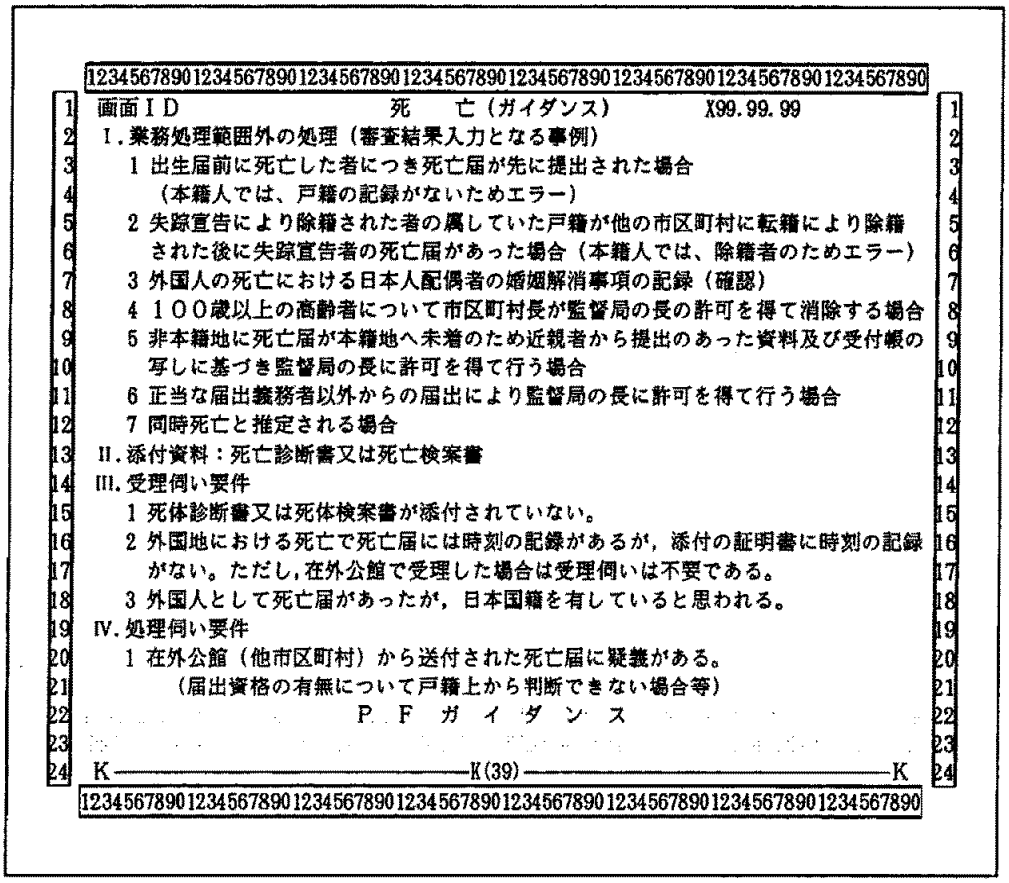
[本籍不分明区分]
0:死亡届
1:92条Ⅰの報告
2:92条Ⅱの報告
3:92条Ⅲの届出
4:身元不明の死亡届
5:本籍分明(本籍分明届、追完届)

[届出人資格]
83:同居の親族
84:同居していない親族
85:同居者
86:家主
87:地主
88:家屋管理人
89:土地管理人
92:船長からの航海日誌の謄本提出[法93条(55条)]
93:公設所の長の届出[法93条(56条)] ○○所長/院長
94:公設所の長の報告[法90条] ○○刑務所長/拘置所長
95:取調官庁及び公署の報告[法89条] ○○署長/○○知事
96:警察官の報告[法92条1項、2項] ○○署長
99:その他(公路死亡等)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	死亡届(ガイダンス)

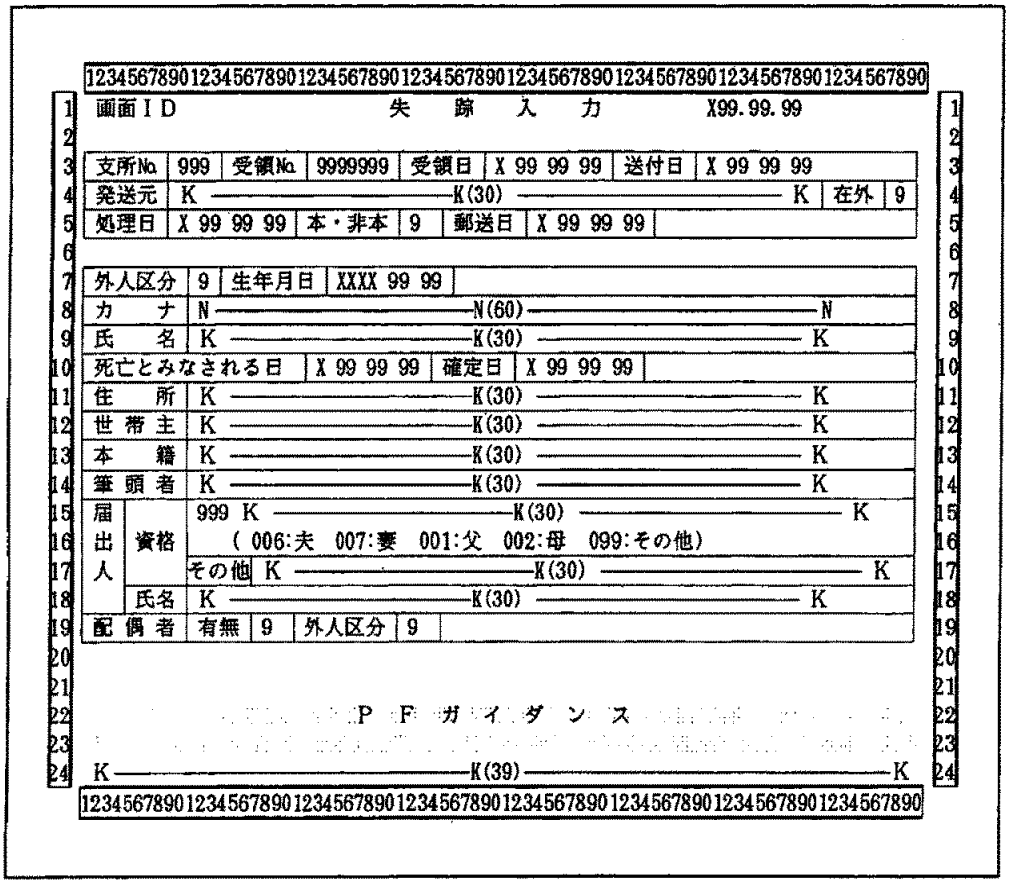


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	失踪届



(参考)
『利害関係者』
- ･推定相続人
- ･配偶者
- ･財産管理者
- ･受遺者
- ･保険金受取人

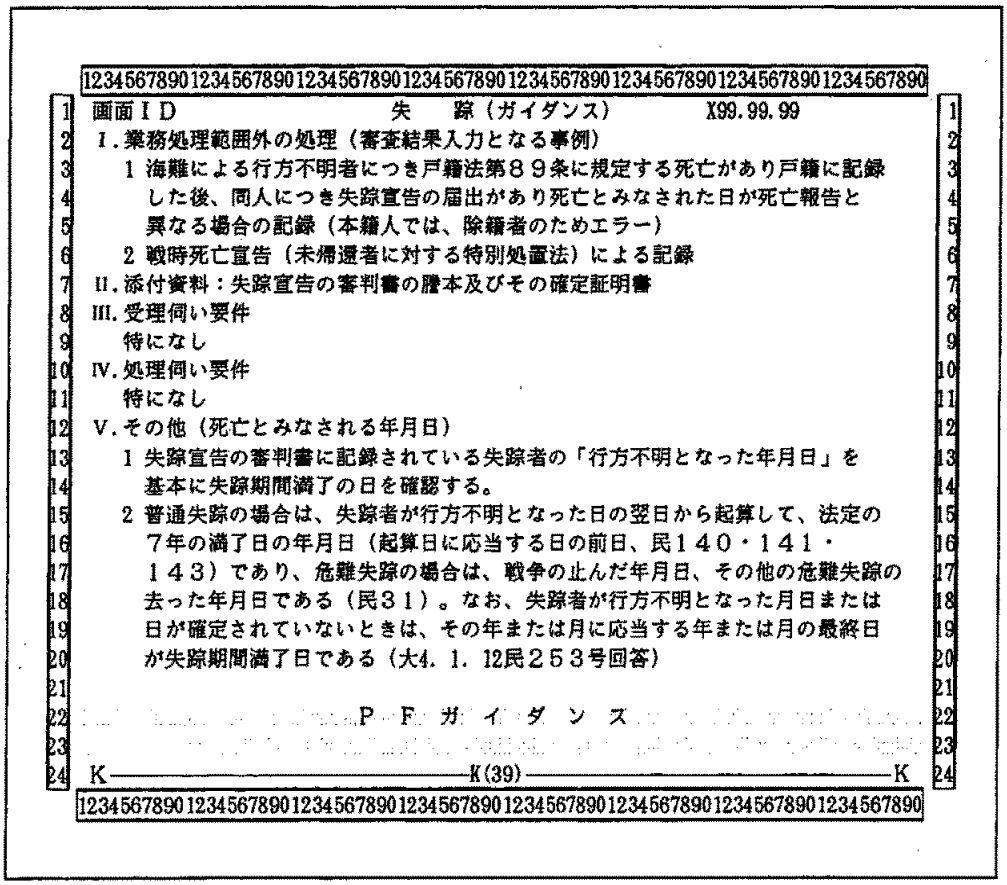
［届出資格］ 099:その他　何何企業代表理事

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	失踪届(ガイダンス)

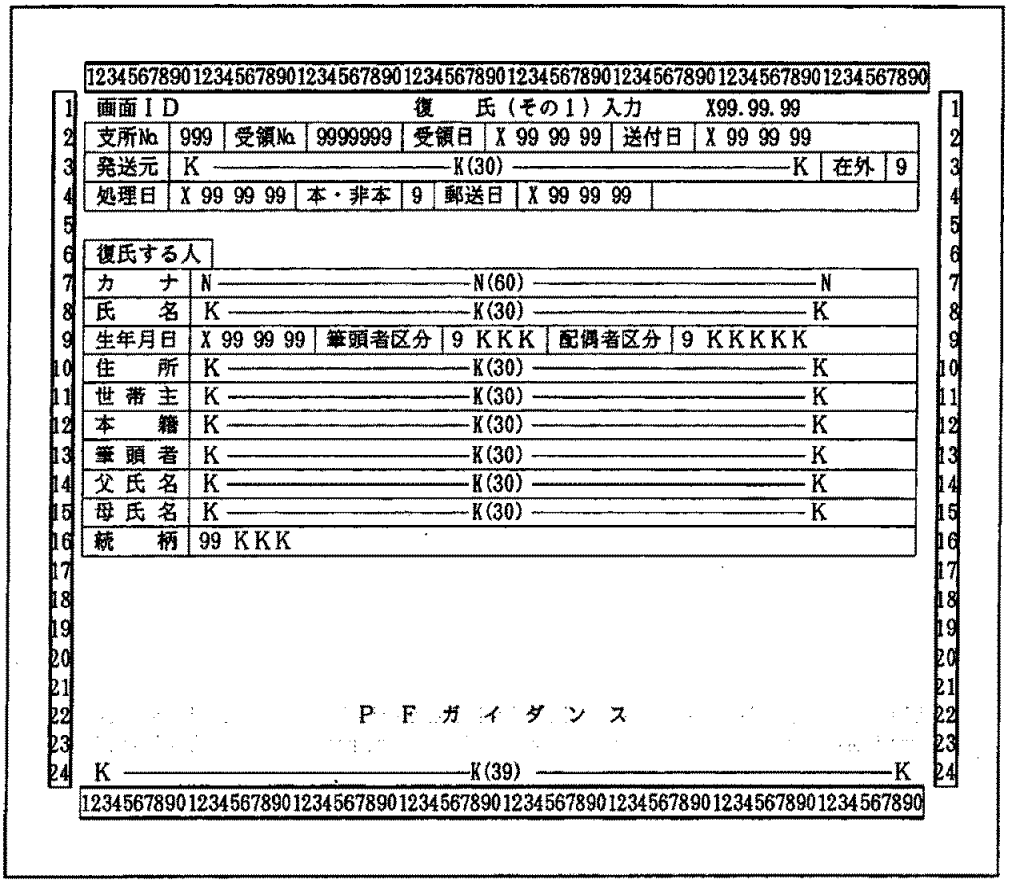


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	復氏届(その1)

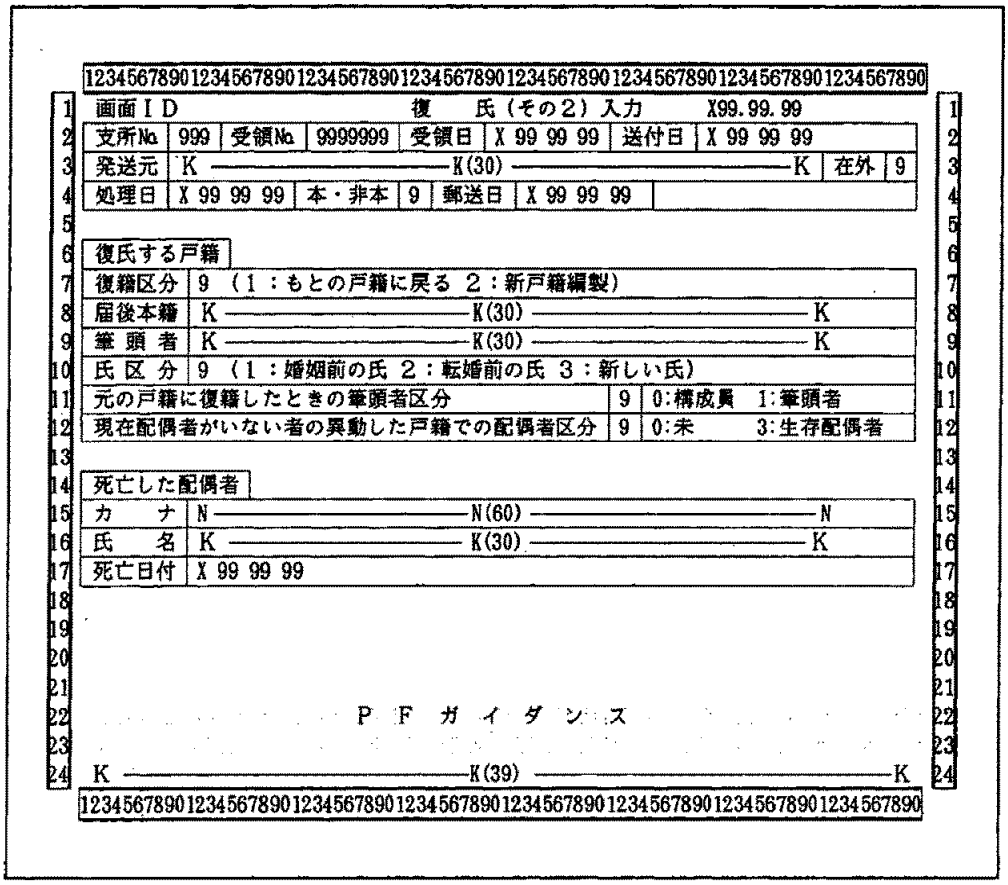


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	復氏届(その2)

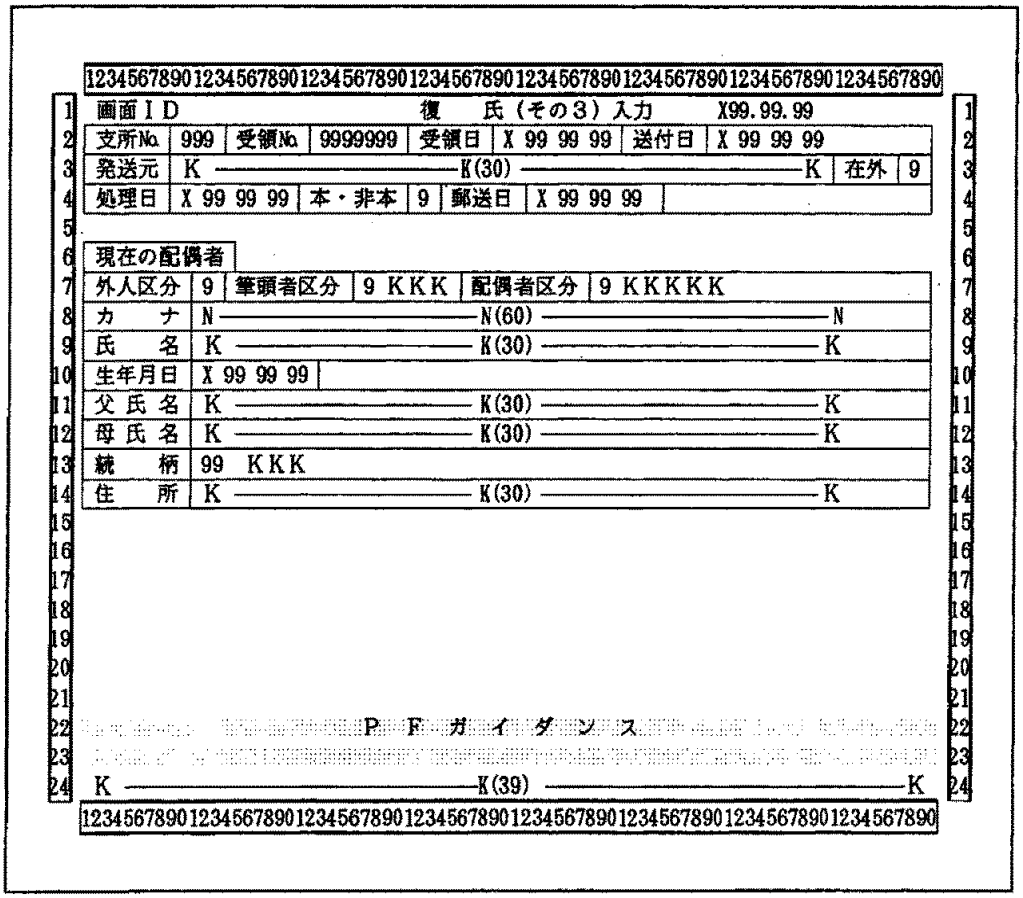


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	復氏届(その3)

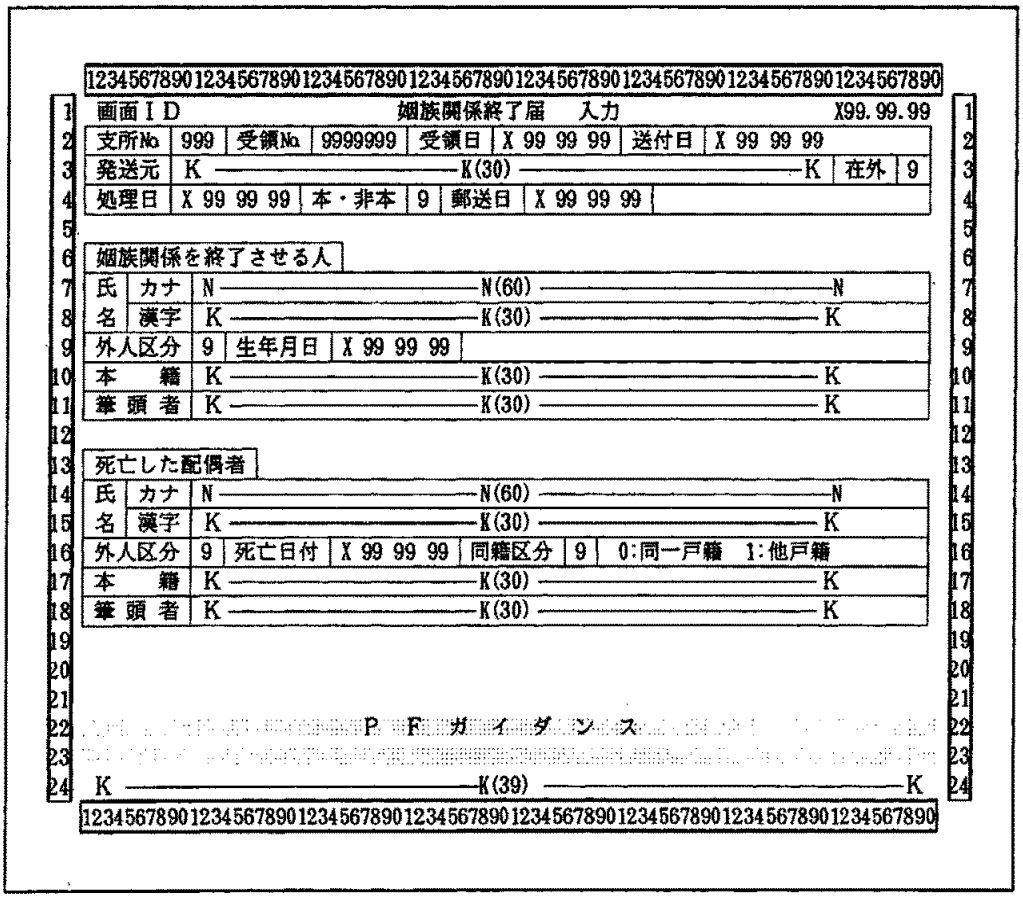


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	姻族関係終了届

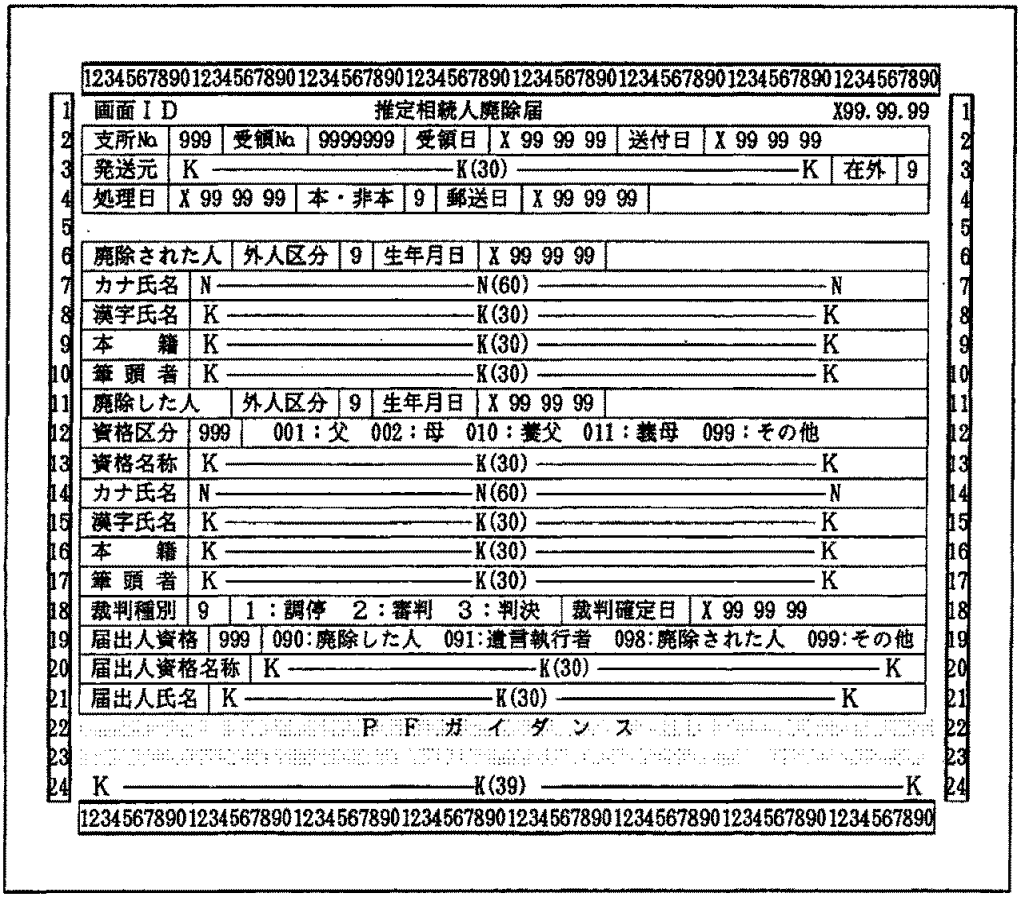


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

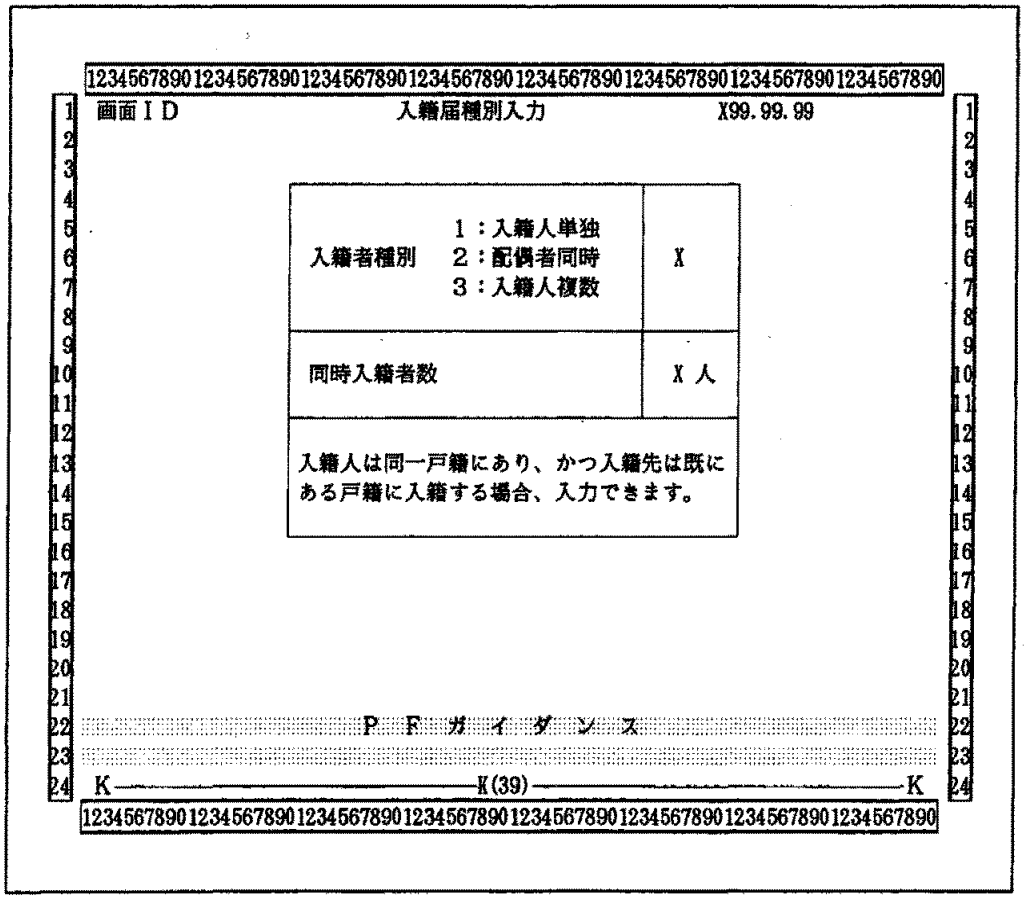
画面番号		画面名	推定相続人廃除届



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届種別入力

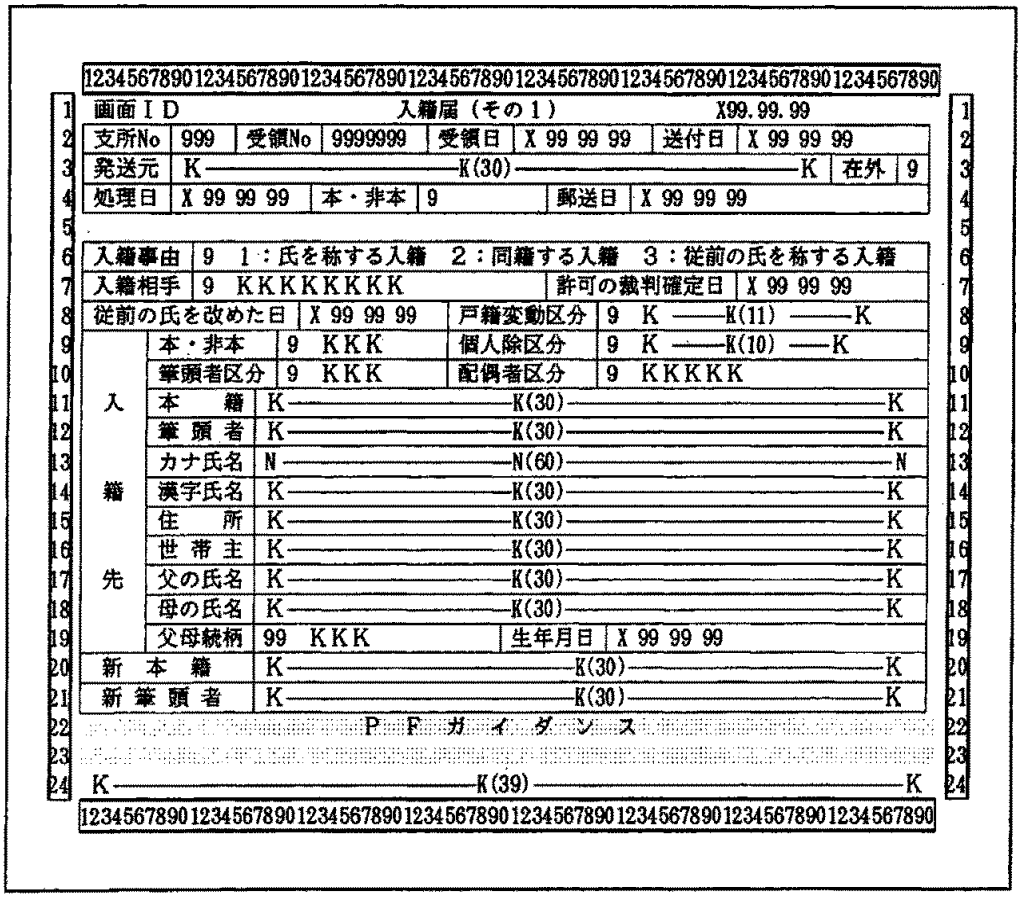


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その1)



入籍事由　　1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍

入籍相手　　1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:母及び養父

戸籍変動区分　　1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる

入籍先本･非区分　1:本籍、2:非本籍

入籍先個人除区分　0:在籍者、1=除籍者、2:戸籍消除者、3:消除者、4:消除及び除籍者

入籍先筆頭者区分　0:構成員、1:筆頭者

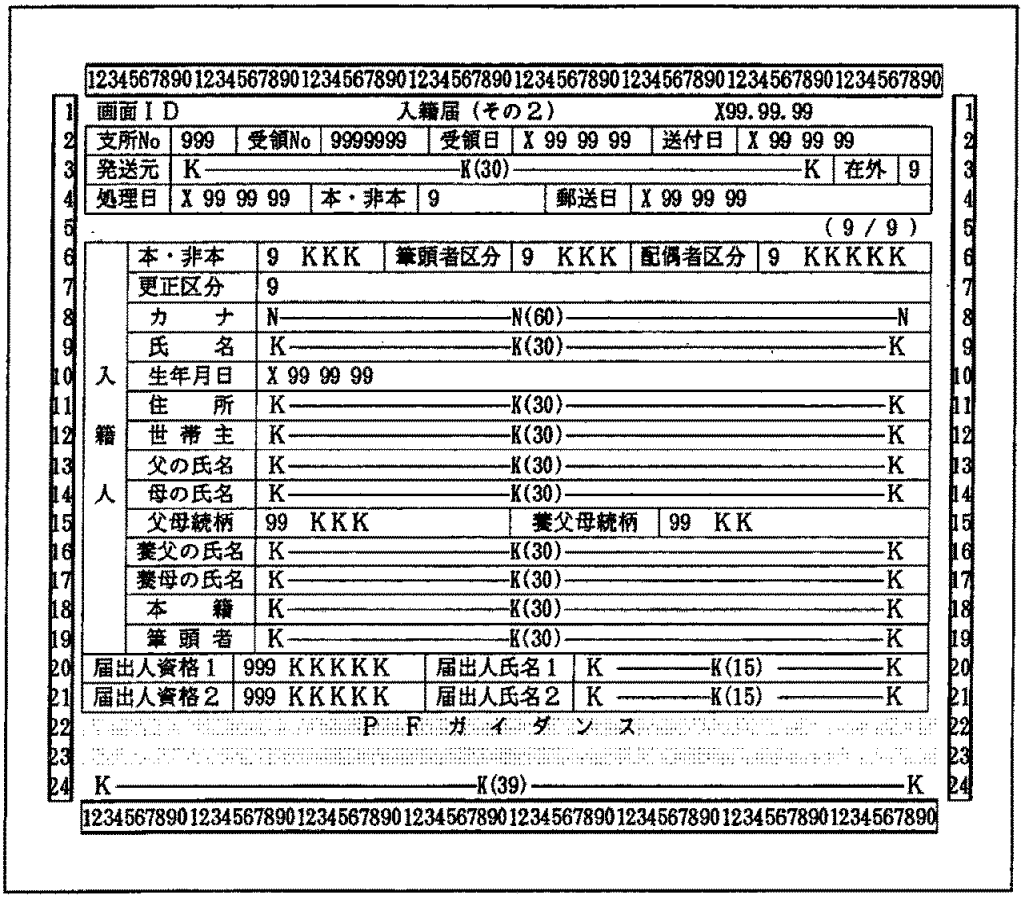
入籍先配偶者区分　スペース:未入力、0:未婚、1:夫、2:妻、3:生存配偶者

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その2)



入籍人本･非区分　1:本籍、2:非本籍

入籍人筆頭者区分　0:構成員、1:筆頭者

入籍人配偶者区分　0:未婚、1:夫、2:妻、3:生存配偶者

更正区分　1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:母及び養父

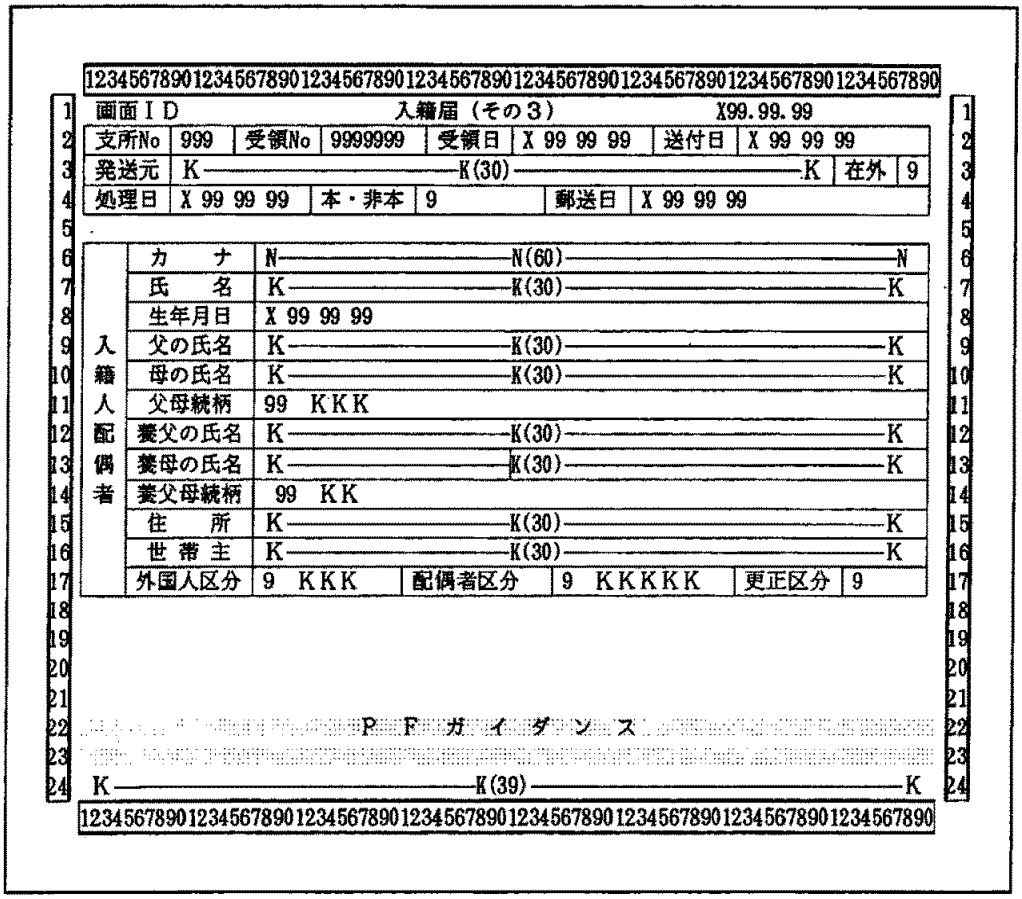
届出人資格　009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、030:後見人、098:事件本人、000:未入力

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その3)



外国人区分　　0:日本人、1:外国人

配偶者区分　　1:夫、2:妻

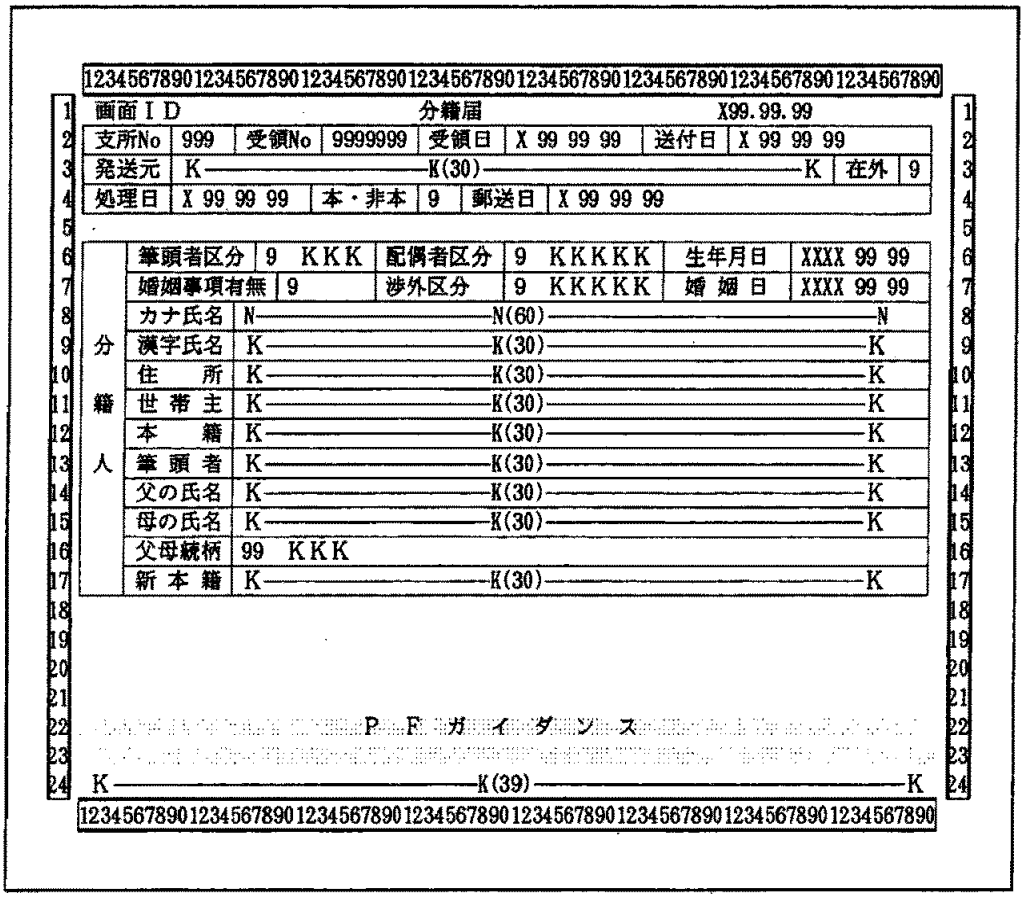
更正区分　　1:無、5:養父、6:養母、7:養父母

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	分籍届

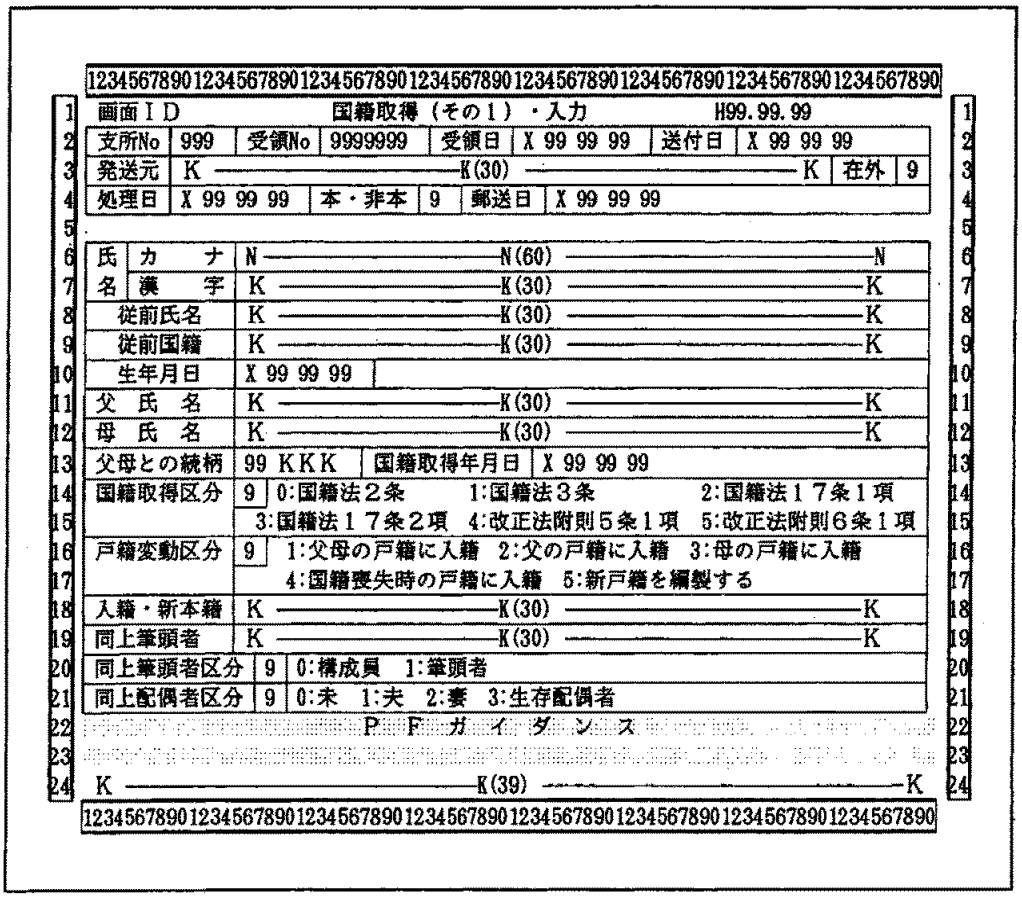


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍取得(その1)･入力

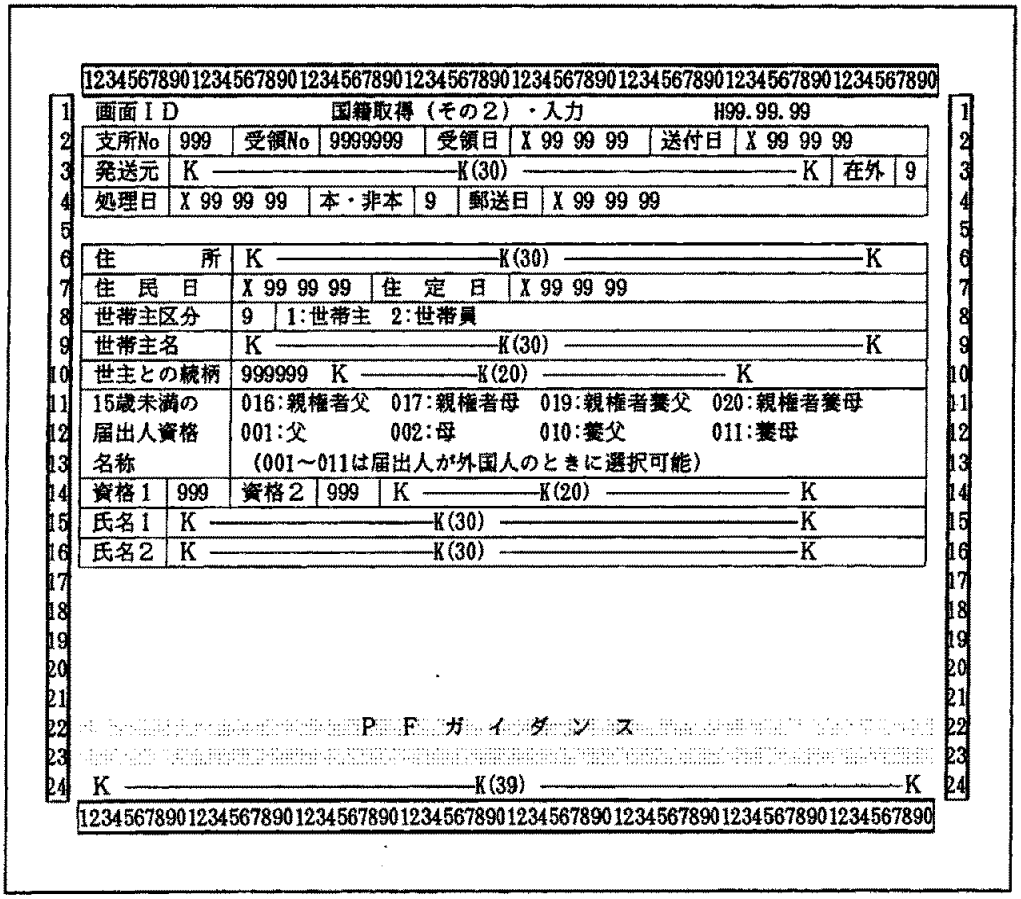


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍取得(その2)･入力

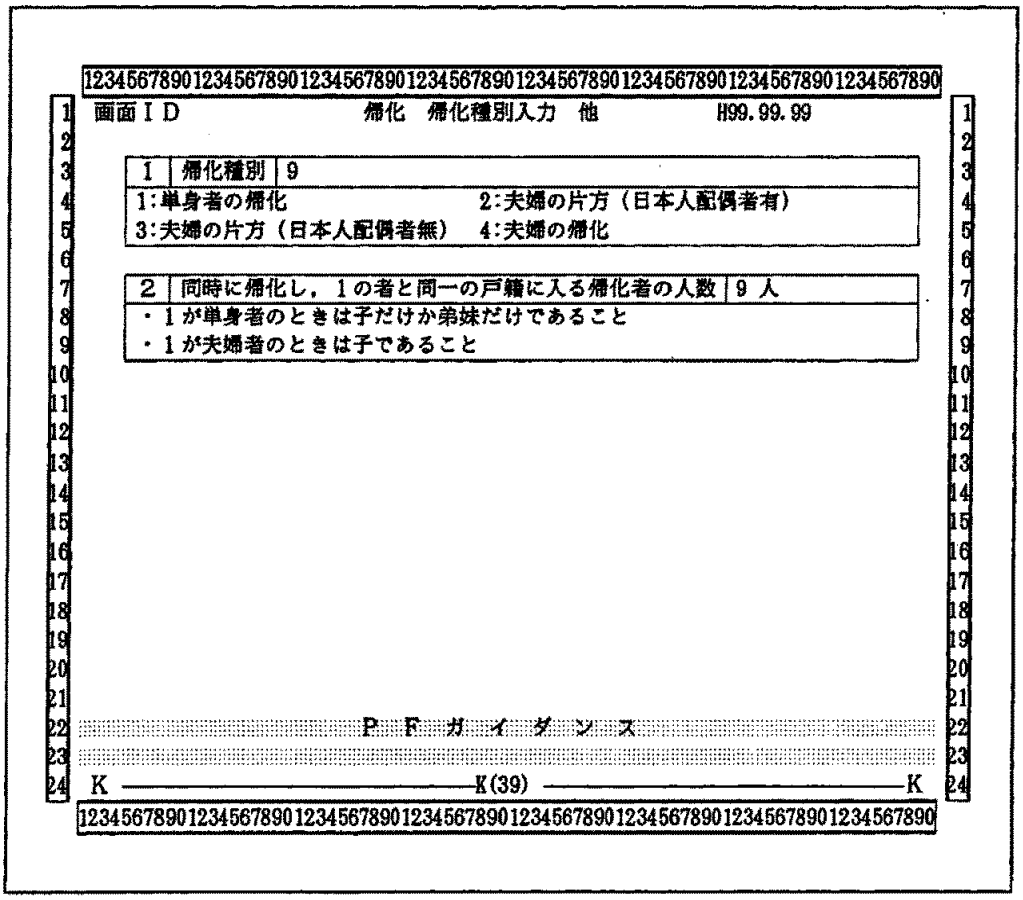


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化　帰化種別入力　他

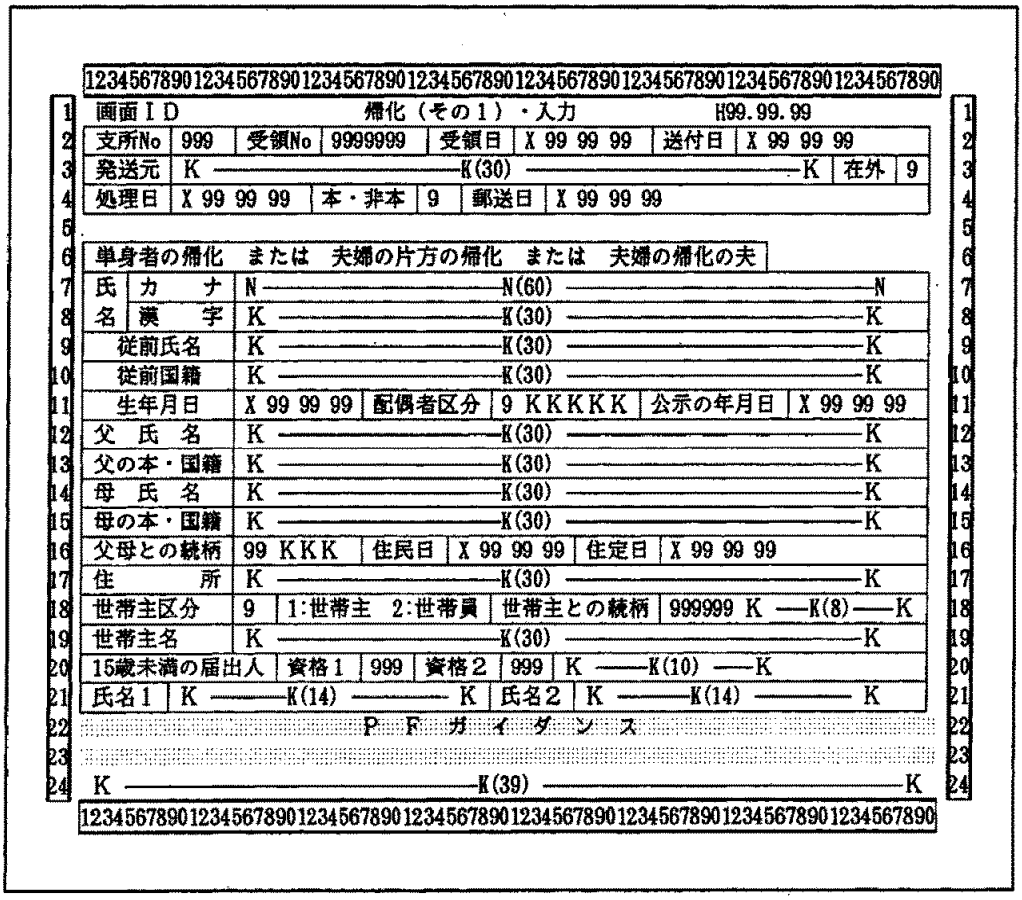


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化(その1)･入力

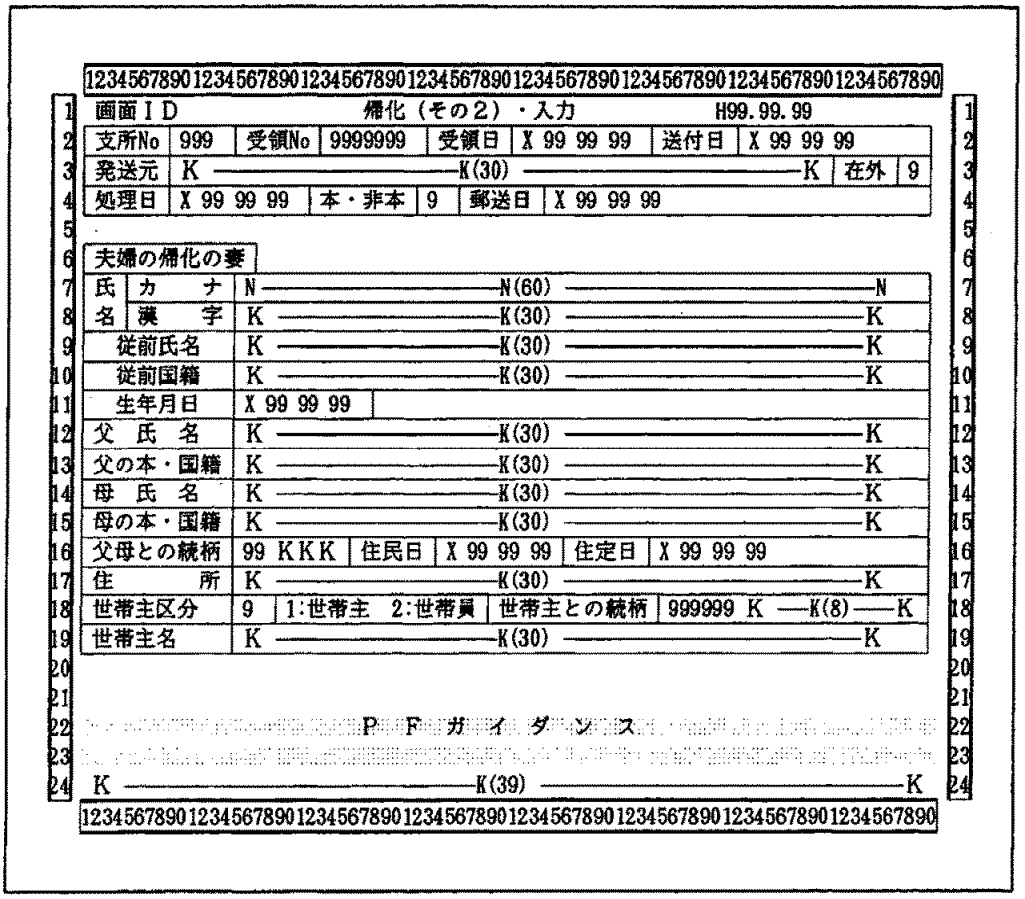


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化(その2)･入力

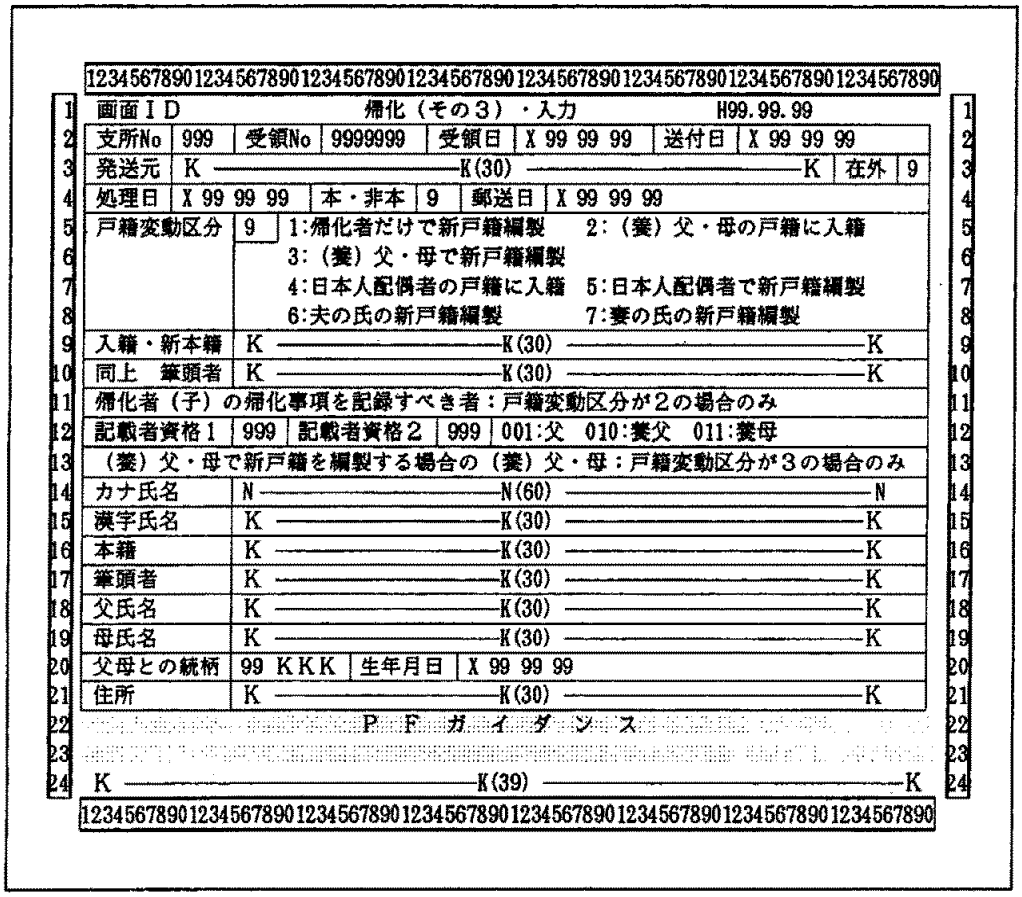


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化(その3)･入力

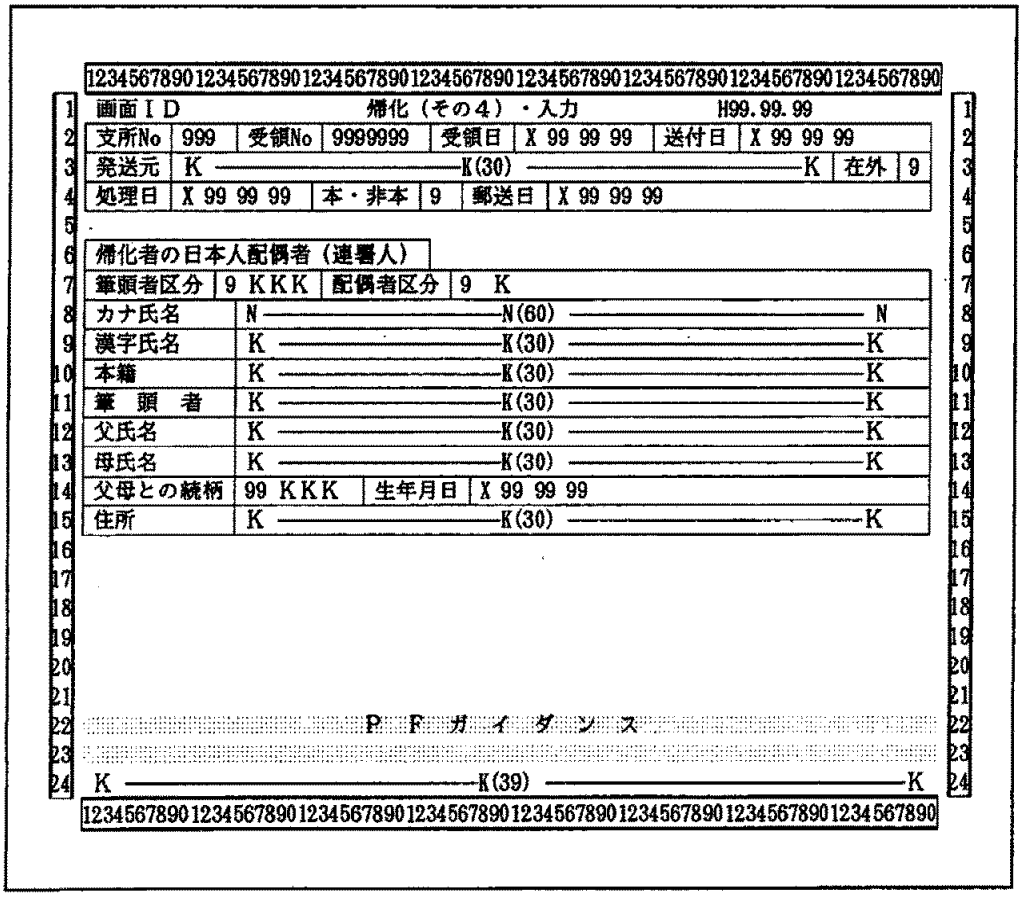


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化(その4)･入力

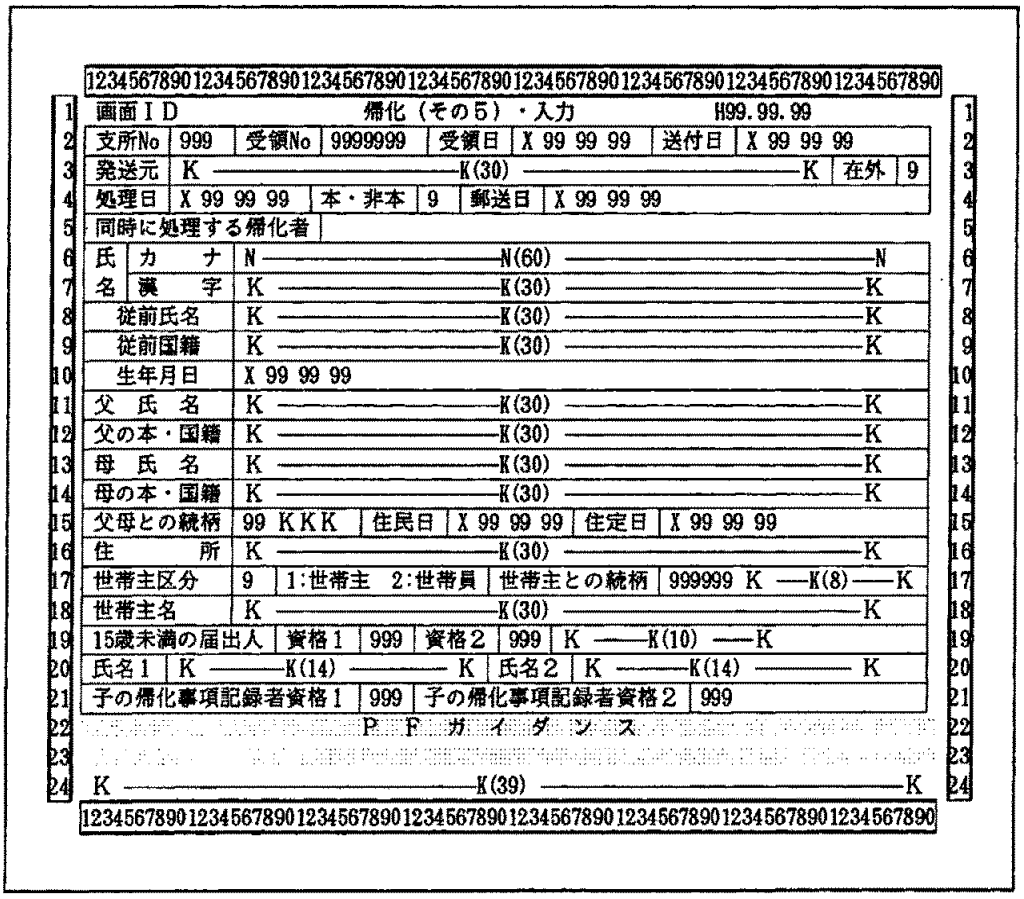


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化(その5)･入力

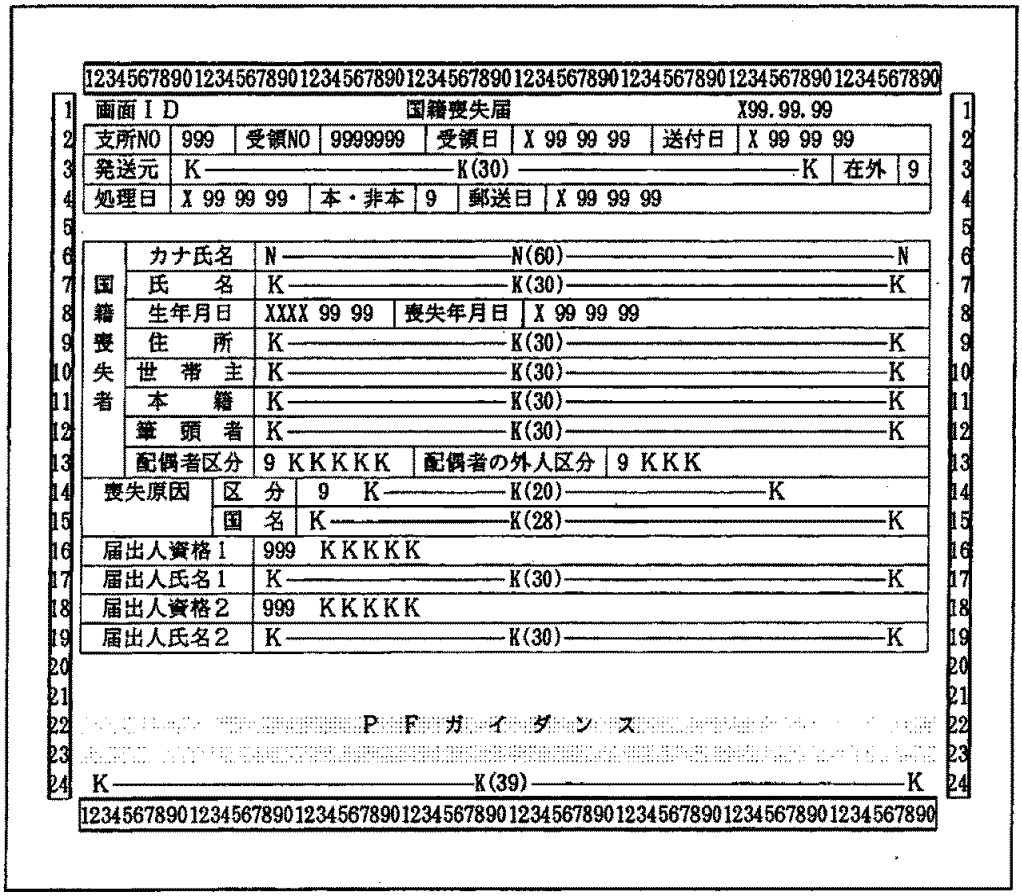


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍喪失届



入力項目の説明

･喪失年月日…帰化事実証明書などの添付書類に記録されている国籍喪失年月日

･喪失原因(区分)…該当する喪失原因(区分)を入力
(1)志望により外国国籍を取得した(国11)
(2)重国籍者による国籍離脱(国13、憲法22)
(3)重国籍者の国籍選択(国11-Ⅱ)
(4)国籍選択の催告を受けて選択をしなかった(国15-Ⅲ)
(5)国籍喪失の宣告を受けた(国16-Ⅱ、Ⅳ)

･喪失原因(国名)…喪失原因(区分)が(1)、(2)、(3)の時、取得･選択した国の国名コードを入力

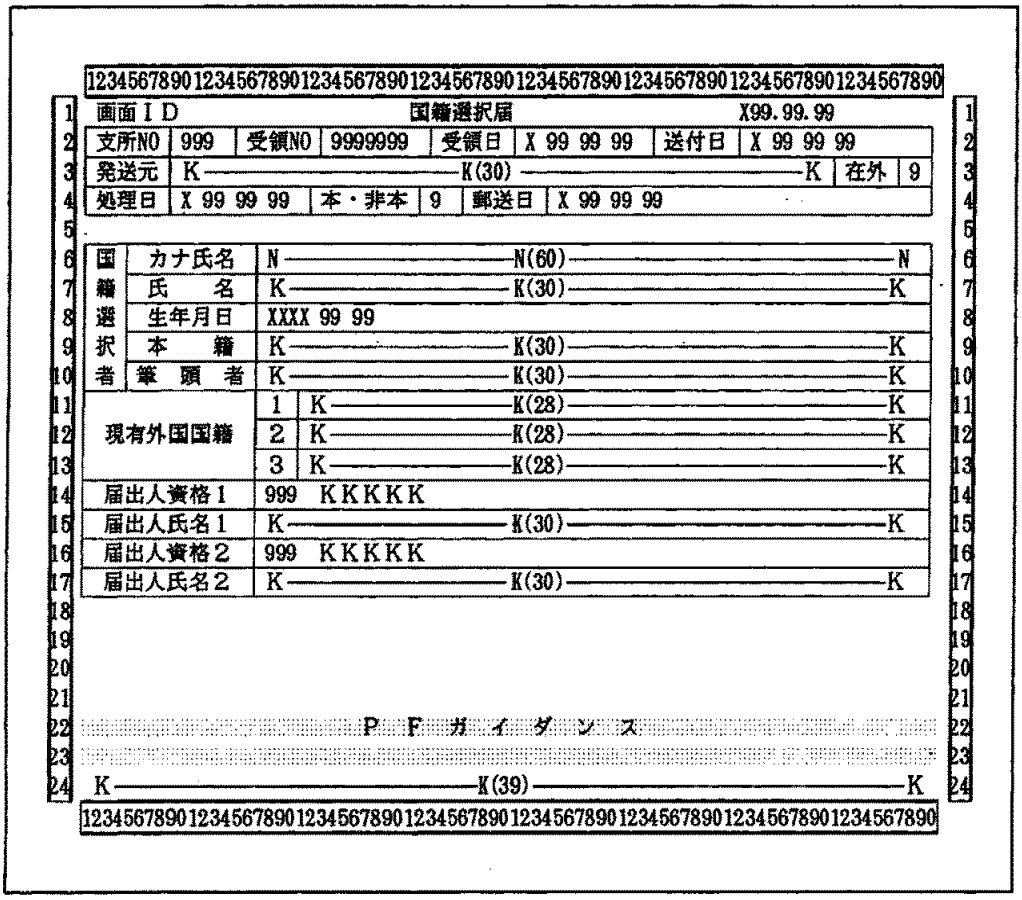
･届出人資格…事件本人、配偶者又は四親等内の親族が届出人資格を有する(戸103-Ⅰ)
また、官公署が職務上国籍を喪失した者があることを知ったときは、本籍地の
市区町村長に報告しなければならない(戸105)
この場合の報告者は居出人資格を｢099:その他｣で対応して、届出人資格名称は
届出人氏名欄に入力する
届出人資格(006:夫、007:妻、001:父、002:母、098:事件本人、082:親族、099:その他)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍選択届



入力項目の説明

･現有外国国籍区分…国籍を選択するものが有しているすべての外国国籍を国名コードにより入力
［同時に有する外国国籍が通常最大3重国籍と考えられるため、その入力項目を3項目設定する］
（戸104の2-Ⅱ）

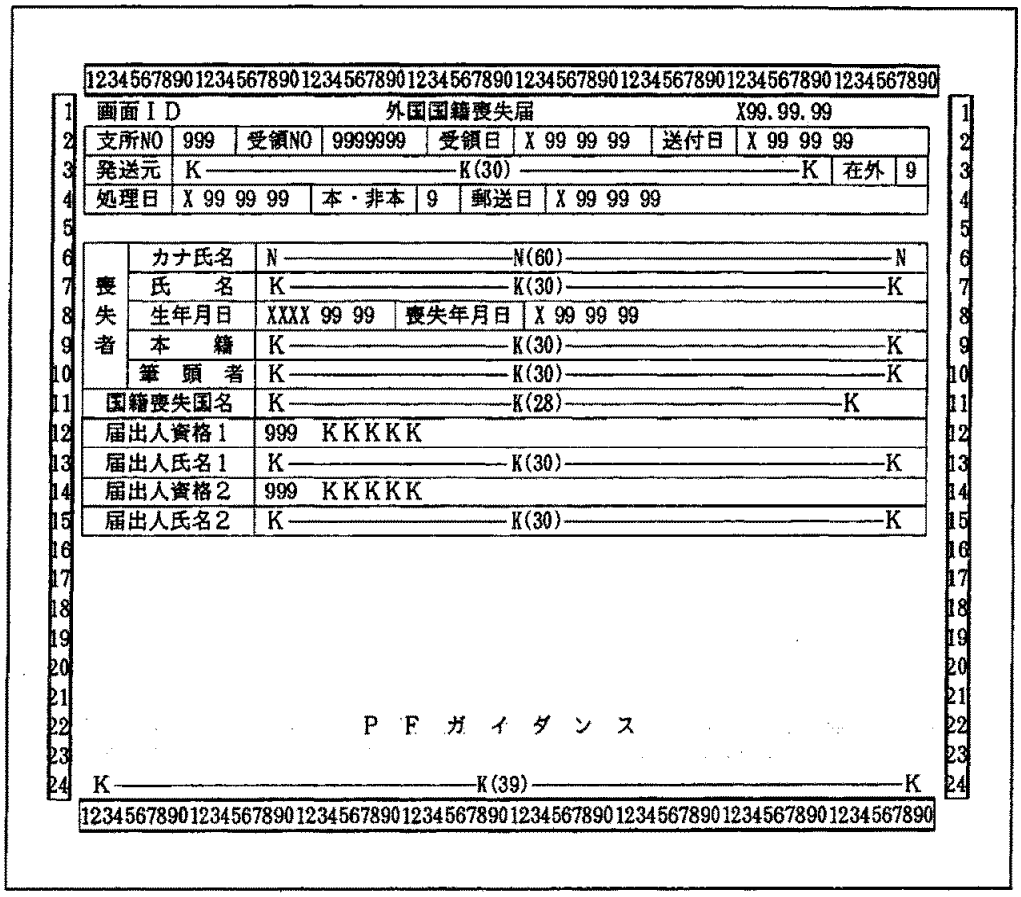
･届出人資格1･2…国籍を選択しようとする者又は、その者が15才未満のときは、その法定代理人の届出人資格を入力(国18)
法定代理人が外国に在る外国人であっても届出をすることができる
(昭59.11.1民二5500号通達第3の5の(2))
(1)届出人資格1（016:親権者父、019:親権者養父、030:後見人、017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人）
(2)届出人資格2（016:親権者父、019:親権者養父、030:後見人、017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人）

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	外国国籍喪失届



入力項目の説明

･喪失年月日…外国官公署の発行する国籍離脱証明書などの添付書類に記録されている外国国籍喪失年月日

･国籍喪失国名…国籍を喪失した国の国名コードを入力

･届出人資格1･2…外国の国籍を喪失した本人又は、その者が15才未満のときは、その法定代理人の届出人資格を入力
(1)届出人資格1(016:親権者父、019:親権者養父、030:後見人、017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人)
(2)届出人資格2(016:親権者父、019:親権者養父、030:後見人、017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人)

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の変更届（その１）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1	画面ＩＤ		氏の変更届（その１）			X99.99.99	
2	支所№	999	受領№	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
3	発送元	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					在外	9
4	処理日	X 99 99 99	本・非本	9 ＫＫＫ	郵送日	X 99 99 99		
5	筆頭者	振り仮名	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
6		氏　名	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
7		生年月日	X 99 99 99	個人除区分	9 ＫＫ	配偶者区分	9 ＫＫＫＫＫ	
8		本　籍	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
9		住　所	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
10		世帯主	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
11	配偶者	振り仮名	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
12		氏　名	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
13		外人区分	9 ＫＫＫ	配偶者区分	9 ＫＫＫＫＫ			
14		住　所	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
15		世帯主	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					
16	変更前の仮名	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ						
17	変更後の仮名	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ						
18	変更前の氏	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ						
19	変更後の氏	Ｋ－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－Ｋ						
20	届出人資格１	999 ＫＫＫＫＫ	届出人氏名１	Ｋ－－－－－K(15)－－－－－Ｋ				
21	届出人資格２	999 ＫＫＫＫＫ	届出人氏名１	Ｋ－－－－－K(15)－－－－－Ｋ				
22	ＰＦガイダンス							
23								
24	Ｋ----------K(39)----------Ｋ							

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の変更届（その２）

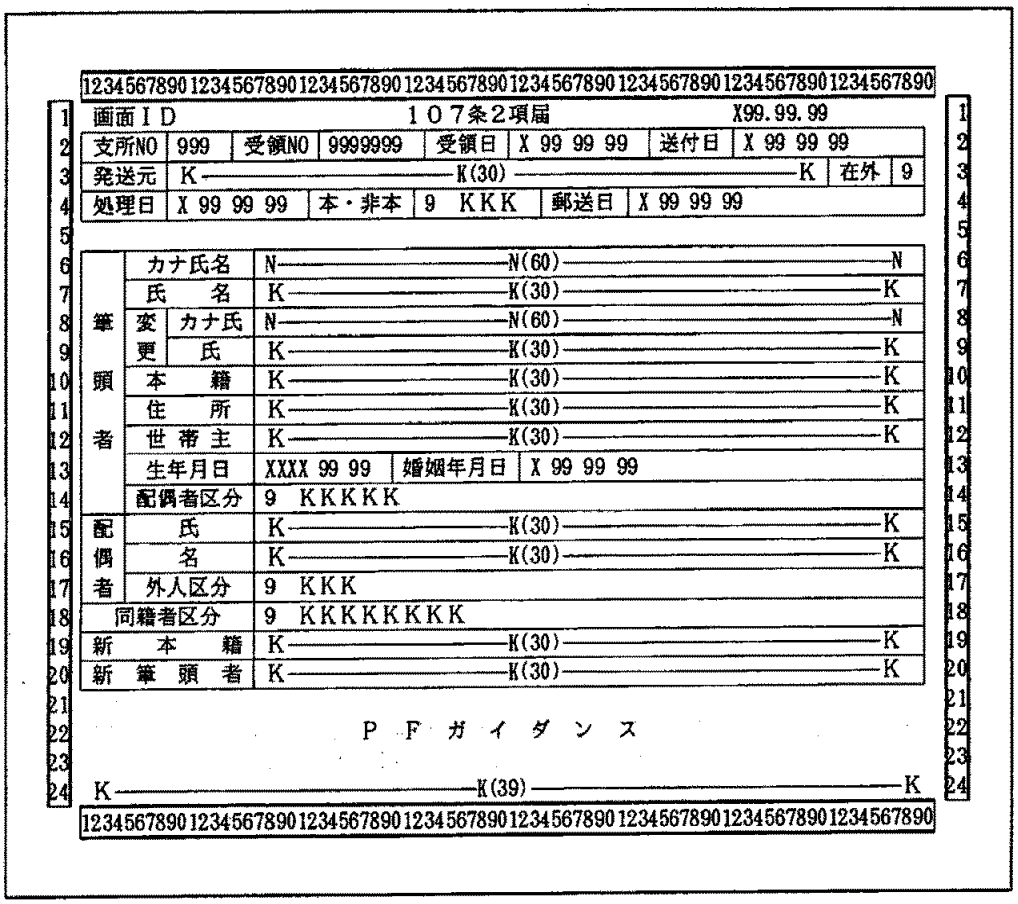
```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    氏の変更届（その２）                    X99.99.99
 2  支所№  999   受領№  9999999   受領日  X 99 99 99   送付日  X 99 99 99
 3  発送元  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K   在外  9
 4  処理日  X 99 99 99   本・非本  9  ＫＫＫ   郵送日  X 99 99 99
 5
 6  審判確定日  X 99 99 99   名義使用区分  9  ＫＫＫ   構成員人数  99
 7        仮名  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
 8  構    氏名  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
 9  成    父    K－－－－－K(14)－－－－K   母    K－－－－－K(14)－－－－K
10  員    養父  K－－－－－K(14)－－－－K   養母  K－－－－－K(14)－－－－K
11  99    住所  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
12        世主  K－－－－－K(14)－－－－K   更正区分  9  ＫＫＫＫ
13        仮名  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
14  構    氏名  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
15  成    父    K－－－－－K(14)－－－－K   母    K－－－－－K(14)－－－－K
16  員    養父  K－－－－－K(14)－－－－K   養母  K－－－－－K(14)－－－－K
17  99    住所  K－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
18        世主  K－－－－－K(14)－－－－K   更正区分  9  ＫＫＫＫ
19
20
21
22                    Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24  K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	107条2項届

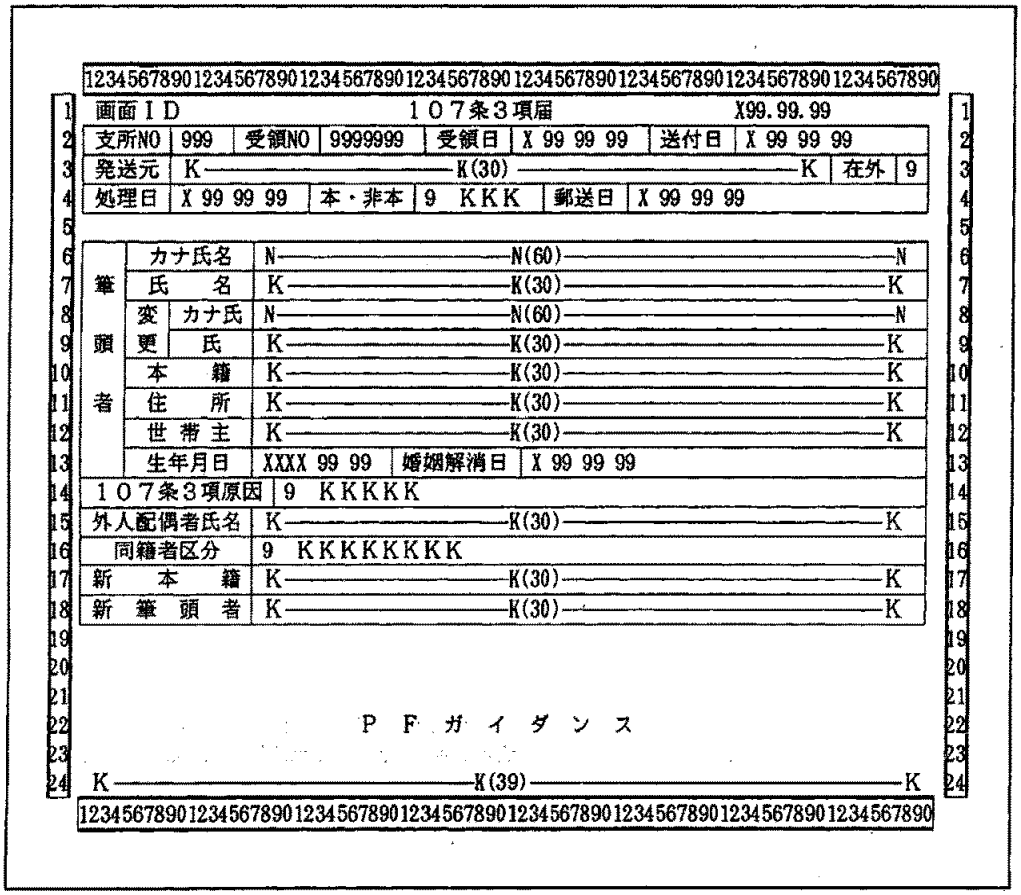


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	107条3項届

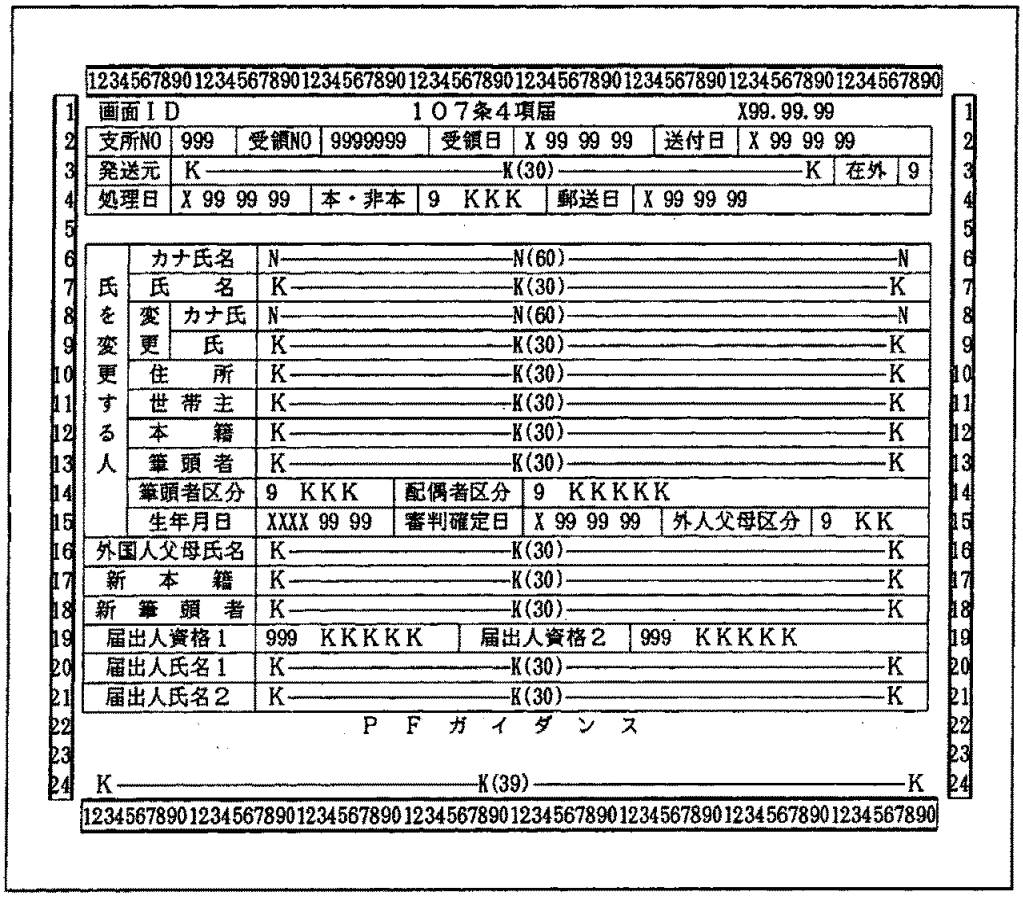


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	107条4項届



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の変更届(その１)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                    名の変更届（その１）                    X99.99.99
支所№. 999  受領№. 9999999  受領日 X 99 99 99  送付日 X 99 99 99
発送元 K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K  在外 9
処理日 X 99 99 99  本・非本 9  ＫＫＫ  郵送日 X 99 99 99

名の変更者
  振り仮名   K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  氏　名     K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  変更後名仮名 K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  変更後名漢字 K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  住　所     K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  世帯主     K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  本　籍     K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  筆頭者     K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
  生年月日   XXXX 99 99  審判日 X 99 99 99
届出人資格１ 999 ＫＫＫＫＫ
届出人氏名１ K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K
届出人資格２ 999 ＫＫＫＫＫ
届出人氏名２ K－－－－－－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－－－－－－K

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の変更届（その２）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面ＩＤ　　名の変更届（その２）　　X99.99.99

支所№	999	受領№	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99		
発送元	K－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K							在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	ＫＫＫ	郵送日	X 99 99 99			

構成員99	氏名	K－－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K		
	父	K－－－－－K(14) －－－－K	母	K－－－－－K(14) －－－－K
	養父	K－－－－－K(14) －－－－K	養母	K－－－－－K(14) －－－－K
	住所	K－－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K		
	世主	K－－－－－K(14) －－－－K	更正区分	9　ＫＫ
構成員99	氏名	K－－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K		
	父	K－－－－－K(14) －－－－K	母	K－－－－－K(14) －－－－K
	養父	K－－－－－K(14) －－－－K	養母	K－－－－－K(14) －－－－K
	住所	K－－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K		
	世主	K－－－－－K(14) －－－－K	更正区分	9　ＫＫ
構成員99	氏名	K－－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K		
	父	K－－－－－K(14) －－－－K	母	K－－－－－K(14) －－－－K
	養父	K－－－－－K(14) －－－－K	養母	K－－－－－K(14) －－－－K
	住所	K－－－－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－K		
	世主	K－－－－－K(14) －－－－K	更正区分	9　ＫＫ

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

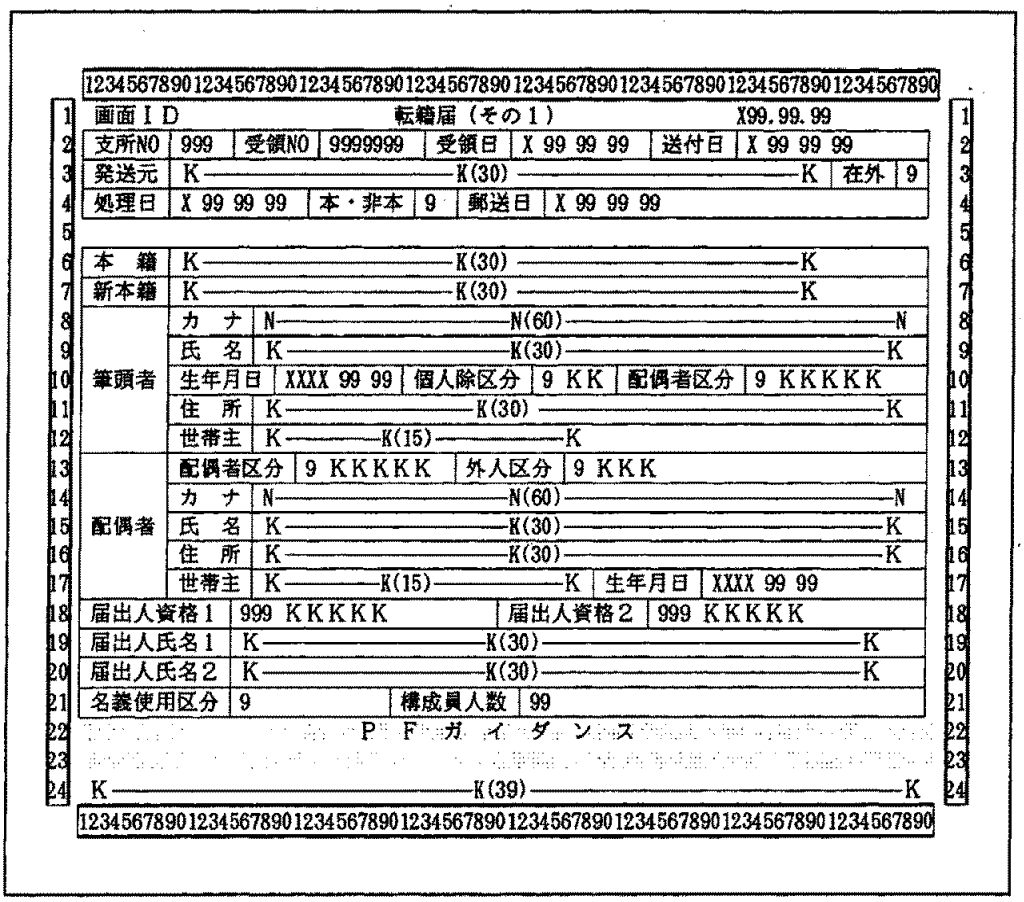
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(その1)

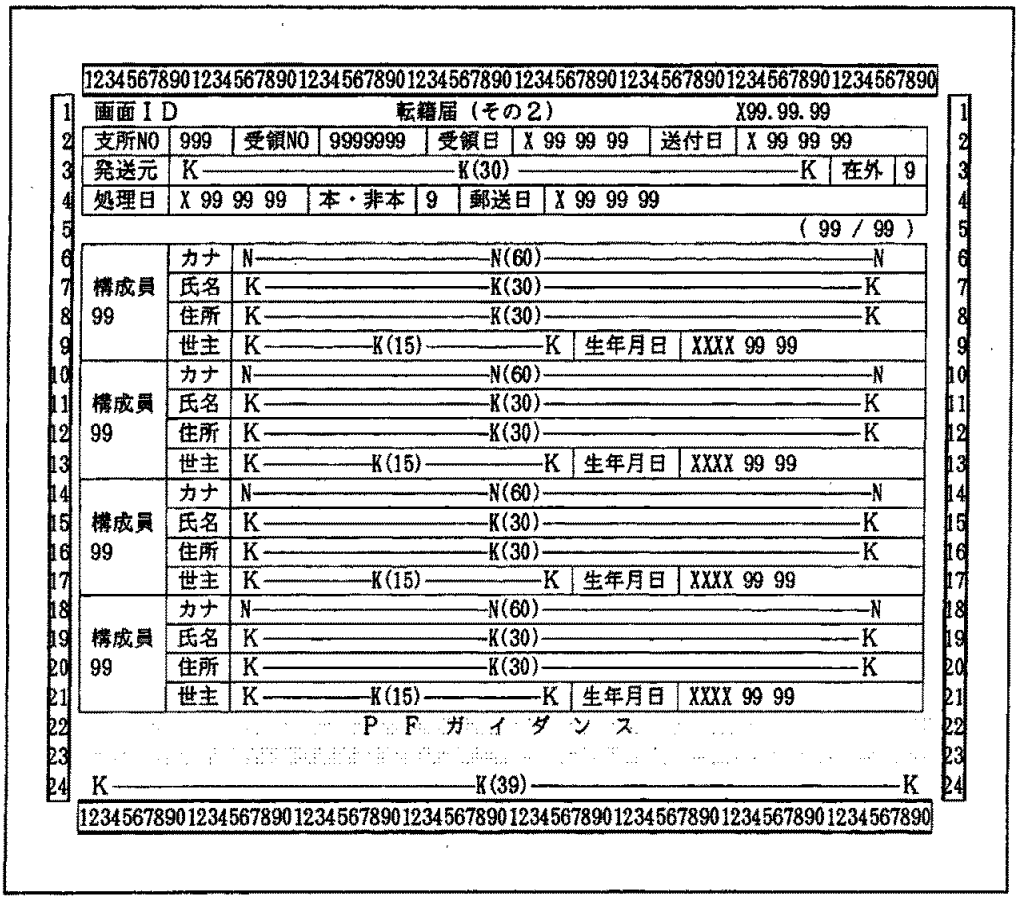


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(その2)

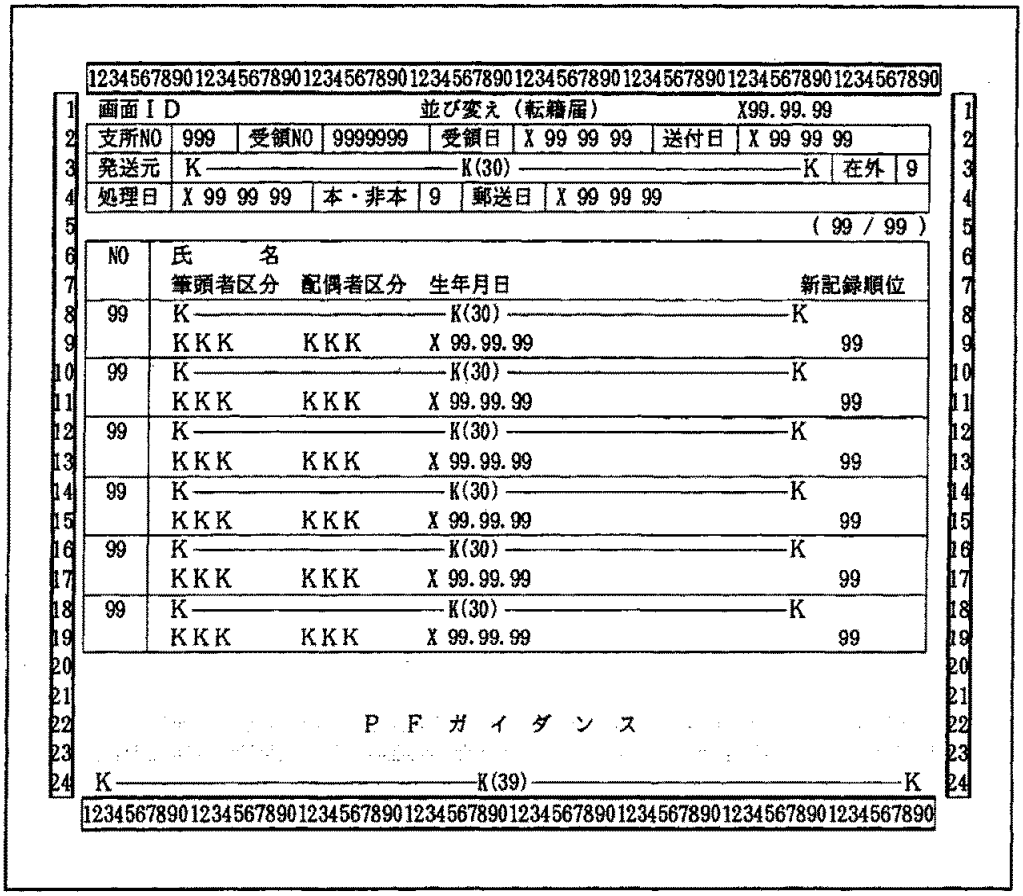


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	並び変え(転籍届)

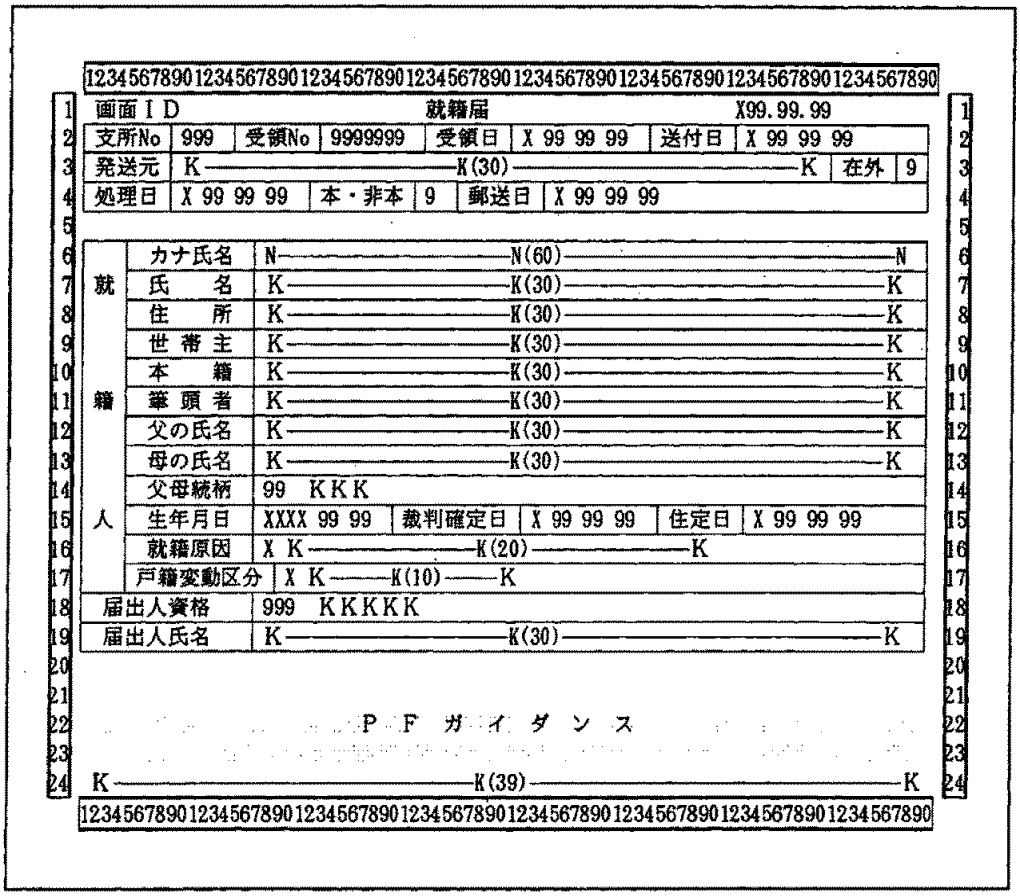


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	就籍届



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の届（その１）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    氏の振り仮名の届（その１）          X99.99.99
 2  支所№ 999  受領№ 9999999  受領日 X 99 99 99  送付日 X 99 99 99
 3  発送元 Ｋ－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ  在外 9
 4  処理日 X 99 99 99  本・非本 9 ＫＫＫ  郵送日 X 99 99 99
 5
 6  本　籍　　Ｋ－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
 7  筆頭者　　Ｋ－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
 8  氏の振り仮名　Ｋ－－－－－－－－－－－－K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
 9
10  筆頭者 氏　名　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
11  筆頭者 生年月日 X 99 99 99  個人除区分 9 ＫＫＫ  配偶者区分 9 ＫＫＫＫＫ
12  筆頭者 住　所　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
13  配偶者 外人区分 9 ＫＫＫ  生年月日 X 99 99 99  配偶者区分 9 ＫＫＫＫＫ
14  配偶者 氏　名　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
15  配偶者 住　所　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
16  届出人資格１　999 ＫＫＫＫＫＫ
17  届出人氏名１　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
18  届出人資格２　999 ＫＫＫＫＫＫ
19  届出人氏名２　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
20  在籍者人数　999
21
22                ＰＦガイダンス
23
24  Ｋ----------K(39)----------Ｋ
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の届（その２）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    氏の振り仮名の届（その２）          X99.99.99
 2  支所№.  999   受領№.  9999999   受領日  X 99 99 99   送付日  X 99 99 99
 3  発送元  K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K   在外  9
 4  処理日  X 99 99 99   本・非本  9   ＫＫＫ   郵送日  X 99 99 99
 5
 6  在  氏　名  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
 7  籍  生年月日  X 99 99 99   本人届出  9 ＫＫＫＫＫ
 8  99  住　所  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
 9  在  氏　名  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
10  籍  生年月日  X 99 99 99   本人届出  9 ＫＫＫＫＫ
11  99  住　所  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
12  在  氏　名  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
13  籍  生年月日  X 99 99 99   本人届出  9 ＫＫＫＫＫ
14  99  住　所  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
15  在  氏　名  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
16  籍  生年月日  X 99 99 99   本人届出  9 ＫＫＫＫＫ
17  99  住　所  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
18  在  氏　名  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
19  籍  生年月日  X 99 99 99   本人届出  9 ＫＫＫＫＫ
20  99  住　所  K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－K
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24  K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の届（その１）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    名の振り仮名の届（その１）          X99.99.99
 2  支所№  999   受領№  9999999   受領日  X 99 99 99   送付日  X 99 99 99
 3  発送元  K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K   在外  9
 4  処理日  X 99 99 99   本・非本  9  ＫＫＫ   郵送日  X 99 99 99
 5
 6  本　籍          K－－－－－－－－－－－－K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
 7  筆頭者          K－－－－－－－－－－－－K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
 8  氏の振り仮名    K－－－－－－－－－－－－K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
 9  記録者数        9 最大５人
10
11  記  名          K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
12  録  振り仮名    K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
13  者  生年月日    X 99 99 99   筆頭者区分  9 ＫＫＫ   本人届出  9 ＫＫＫＫＫＫ
14  9   住　所      K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
15  記  名          K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
16  録  振り仮名    K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
17  者  生年月日    X 99 99 99   筆頭者区分  9 ＫＫＫ   本人届出  9 ＫＫＫＫＫＫ
18  9   住　所      K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
19
20
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24  K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の届（その２）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                    名の振り仮名の届（その２）          X99.99.99
支所№.  999   受領№.  9999999   受領日  X 99 99 99   送付日  X 99 99 99
発送元  K－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K   在外  9
処理日  X 99 99 99   本・非本  9  ＫＫＫ   郵送日  X 99 99 99

記 名          K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
録 振り仮名    K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
者 生年月日    X 99 99 99   筆頭者区分  9 ＫＫＫ   本人届出  9 ＫＫＫＫＫＫ
9  住　所      K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
記 名          K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
録 振り仮名    K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
者 生年月日    X 99 99 99   筆頭者区分  9 ＫＫＫ   本人届出  9 ＫＫＫＫＫＫ
9  住　所      K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
記 名          K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
録 振り仮名    K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
者 生年月日    X 99 99 99   筆頭者区分  9 ＫＫＫ   本人届出  9 ＫＫＫＫＫＫ
9  住　所      K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
届出人資格１   999 ＫＫＫＫＫＫ
届出人氏名１   K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
届出人資格２   999 ＫＫＫＫＫＫ
届出人氏名２   K－－－－－－－－－－－－－－  K(30)  －－－－－－－－－－－－－－－K
                    ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の変更届（その１）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面ＩＤ　氏の振り仮名の変更届（その１）　X99.99.99

支所№	999	受領№	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	ＫＫＫ	郵送日	X 99 99 99	

本籍		K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
筆頭者	振り仮名	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
	氏名	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
	生年月日	X 99 99 99	個人除区分	9 ＫＫ	配偶者区分	9 ＫＫＫＫＫ	
	住所	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
配偶者	外人区分	9 ＫＫＫ	生年月日	X 99 99 99	配偶者区分	9 ＫＫＫＫＫ	
	振り仮名	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
	氏名	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
	住所	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
変更後の氏仮名		K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
届出人資格１		999 ＫＫＫＫＫＫＫ					
届出人氏名１		K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
届出人資格２		999 ＫＫＫＫＫＫＫ					
届出人氏名２		K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					
審判確定日		X 99 99 99	名義使用区分	9 ＫＫＫ	氏職権区分	9 ＫＫＫＫ	

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の変更届（その２）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面ＩＤ　　氏の振り仮名の変更届（その２）　　X99.99.99

支所№	999	受領№	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	ＫＫＫ	郵送日	X 99 99 99	

在籍者人数		999		
在	振り仮名	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
籍	氏　名	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
者	生年月日	X 99 99 99	本人届出	9 ＫＫＫＫＫ
99	住　所	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
在	振り仮名	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
籍	氏　名	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
者	生年月日	X 99 99 99	本人届出	9 ＫＫＫＫＫ
99	住　所	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
在	振り仮名	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
籍	氏　名	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		
者	生年月日	X 99 99 99	本人届出	9 ＫＫＫＫＫ
99	住　所	K－－－－－－－－－－－－－－ K(30) －－－－－－－－－－－－－－K		

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の変更届

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面ＩＤ　名の振り仮名の変更届　X99.99.99

支所№	999	受領№	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99		
発送元	Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	ＫＫＫ	郵送日	X 99 99 99			

変更者	振り仮名	Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
	氏　名	Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
	生年月日	X 99 99 99	筆頭者区分	9 ＫＫＫ	
	本　籍	Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
	筆頭者	Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
	住　所	Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
変更後の名仮名		Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
審判確定日		X 99 99 99	名職権記録区分	9 ＫＫＫＫ	
届出人資格１		999 ＫＫＫＫＫＫＫ			
届出人氏名１		Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	
届出人資格２		999 ＫＫＫＫＫＫＫ			
届出人氏名２		Ｋ－－－－－－－－－－－－	K(30)	－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ	

ＰＦガイダンス

Ｋ----------K(39)----------Ｋ

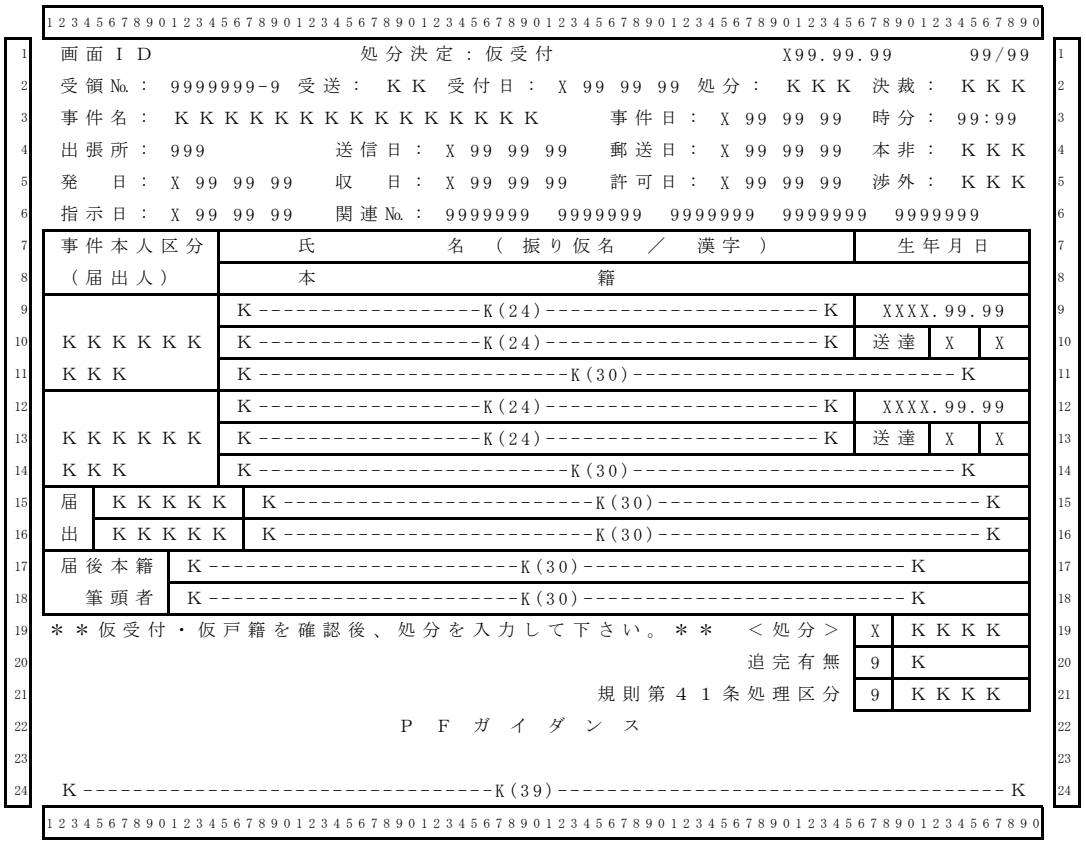
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	処分決定･仮受付



事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ、漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の本籍地
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃 2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2: 届出人の資格
exp.父、母 等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	処分決定･受付

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
画面ＩＤ                処分決定：受付                        X99.99.99      99/99
受領№：  9999999-9 受送：  ＫＫ 受付日：  X 99 99 99 処分：  ＫＫＫ 決裁：  ＫＫＫ
事件名：  ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ    事件日：  X 99 99 99  時分：  99:99
出張所：  999          送信日：  X 99 99 99  郵送日：  X 99 99 99  本非：  ＫＫＫ
発　日：  X 99 99 99   収　日：  X 99 99 99  許可日：  X 99 99 99  渉外：  ＫＫＫ
指示日：  X 99 99 99   関連№：  9999999  9999999  9999999  9999999  9999999
```

事件本人区分 / (届出人)	氏名(振り仮名／漢字) / 本籍	生年月日 / 送達
	K----------K(24)----------K	XXXX.99.99
ＫＫＫＫＫＫ	K----------K(24)----------K	送達 X X
ＫＫＫ	K----------K(30)----------K	
	K----------K(24)----------K	XXXX.99.99
ＫＫＫＫＫＫ	K----------K(24)----------K	送達 X X
ＫＫＫ	K----------K(30)----------K	
届出 ＫＫＫＫＫ	K----------K(30)----------K	
届出 ＫＫＫＫＫ	K----------K(30)----------K	
届後本籍	K----------K(30)----------K	
筆頭者	K----------K(30)----------K	

＊＊受付番号を確認をして下さい。＊＊

＜処分＞	X	ＫＫＫＫ
追完有無	9	K
規則第４１条処理区分	9	ＫＫＫＫ

ＰＦガイダンス

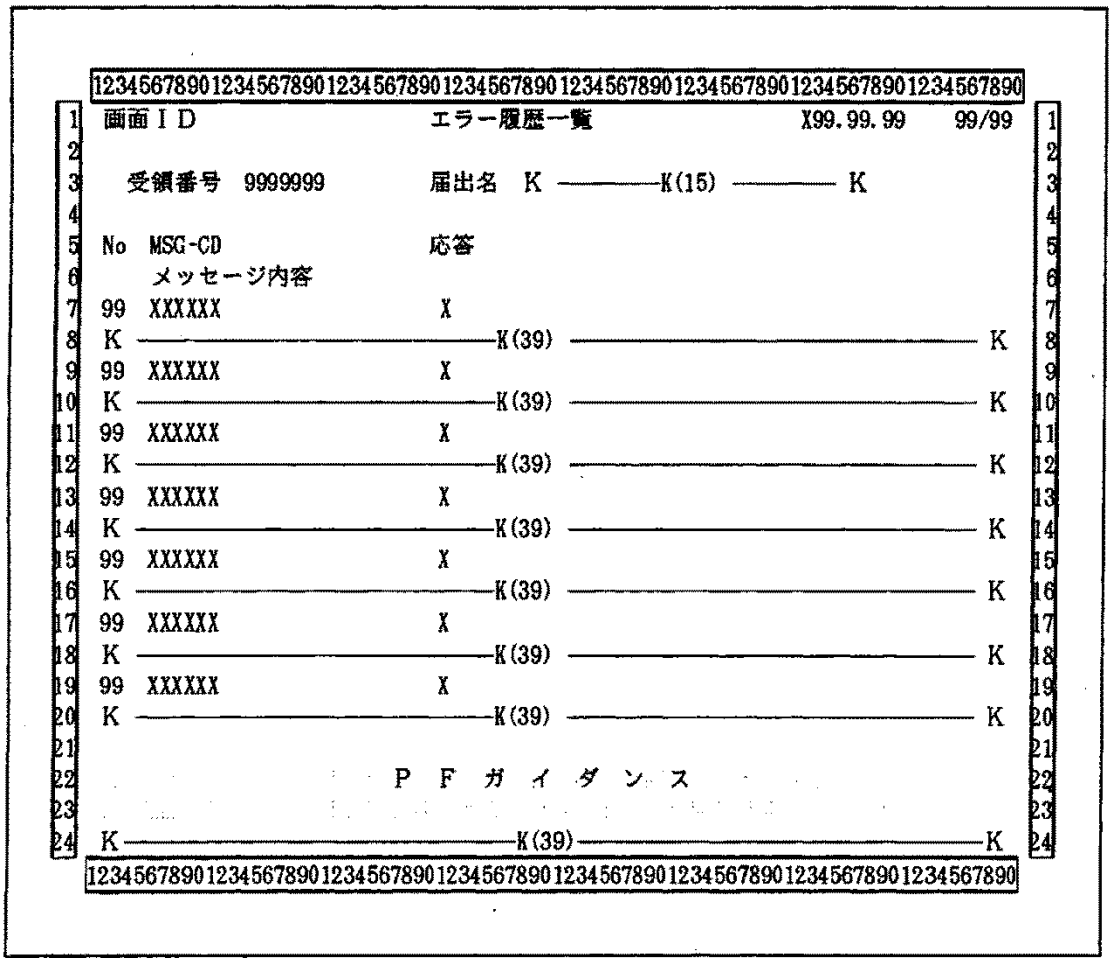
K----------K(39)----------K

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ、漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の本籍地
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃 2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2: 届出人の資格
exp.父、母 等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず

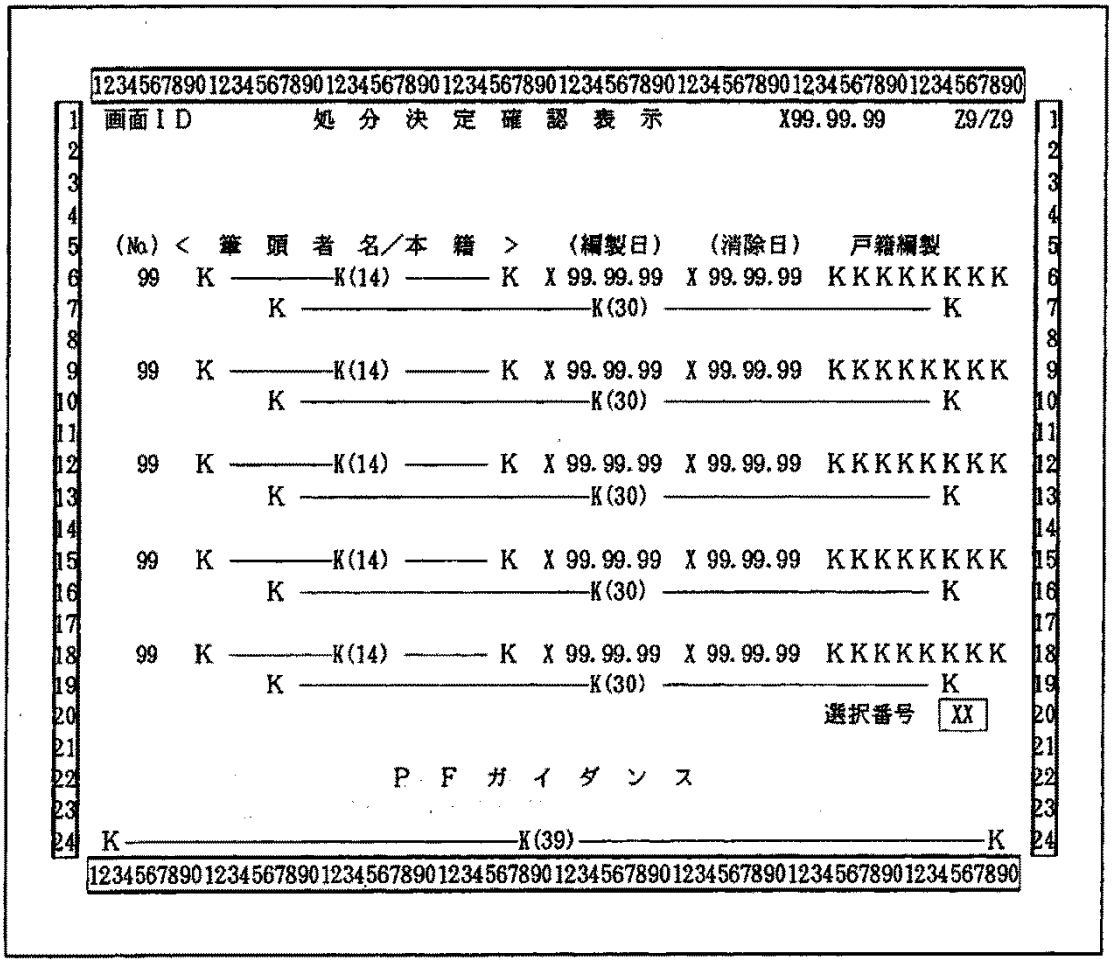
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			

画面番号		画面名	エラー履歴一覧



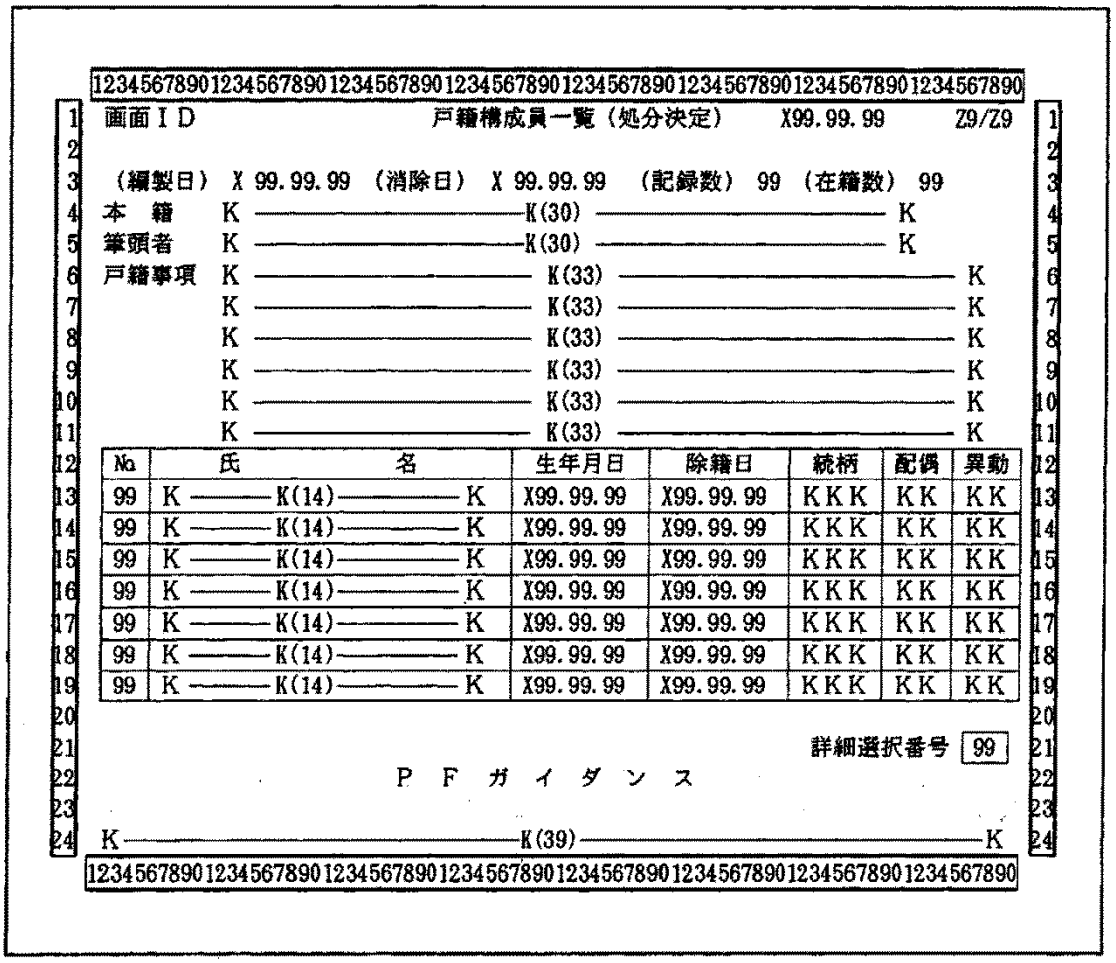
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			

画面番号		画面名	処分決定　確認表示



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理			

画面番号		画面名	処分決定　戸籍構成員一覧(処分決定)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	処分決定　個人詳細表示(処分決定)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                  個人詳細表示（処分決定）          X99.99.99       99/99
 2
 3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99
 4  本　籍     K----------------------------K(30)-----------------------K
 5  筆頭者     K----------------------------K(30)-----------------------K
 6  振り仮名   K----------------------------K(30)-----------------------K
 7  漢字氏名   K----------------------------K(30)-----------------------K
 8  （生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
 9  父     K----------K(14)---------K 母     K----------K(14)---------K ＫＫＫ
10  養父   K----------K(14)---------K 養母   K----------K(14)---------K ＫＫＫ
11  No 事　件　名　称          身　分　事　項　記　録　項　目
12  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
13  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
14  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
15  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
16  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
17  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
18  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
19  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
20  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
21  99 K---K(08)----K K----------------------K(27)----------------------K
22                  ＰＦガイダンス
23
24  K--------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

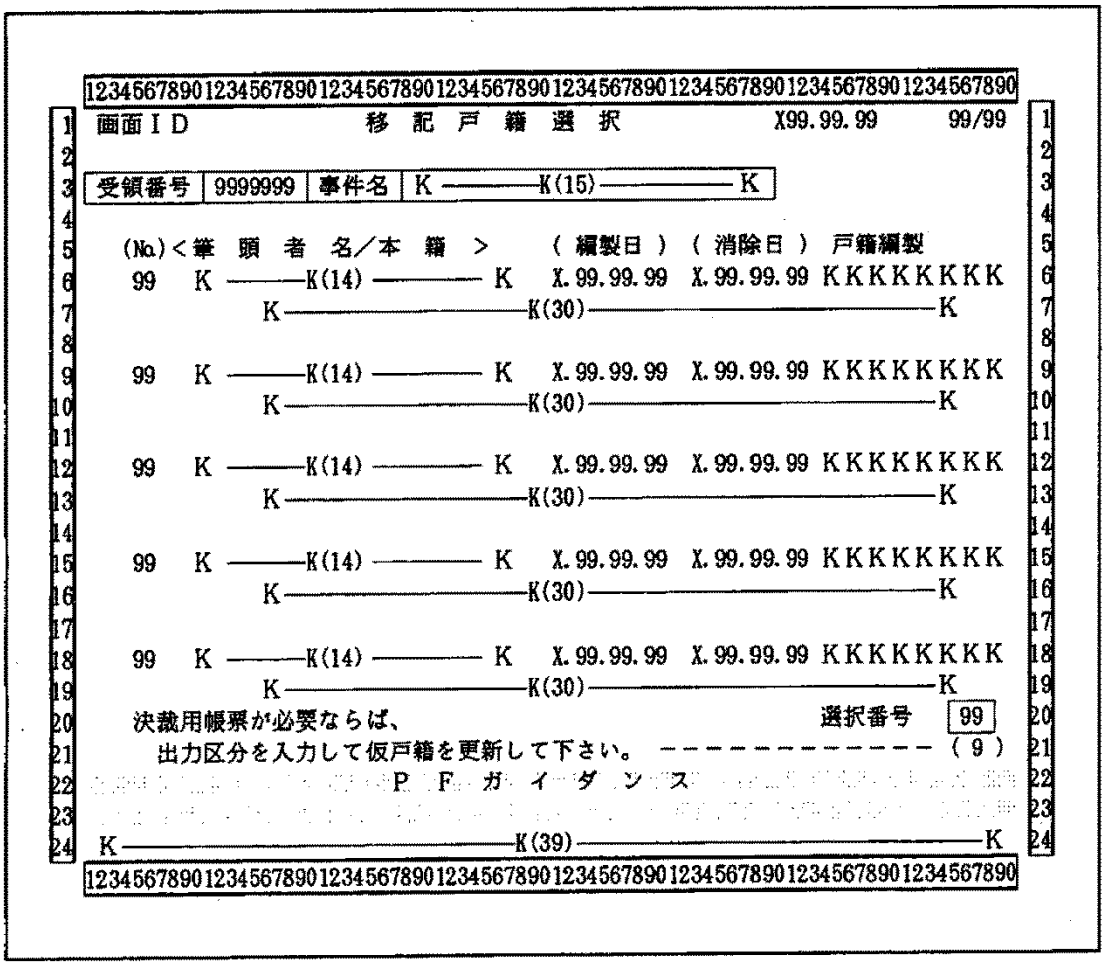
8行49桁目　筆頭者の場合「筆頭者」
8行57桁目　配偶者区分により「夫」「妻」「生存配偶者」

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理

画面番号		画面名	移記戸籍選択

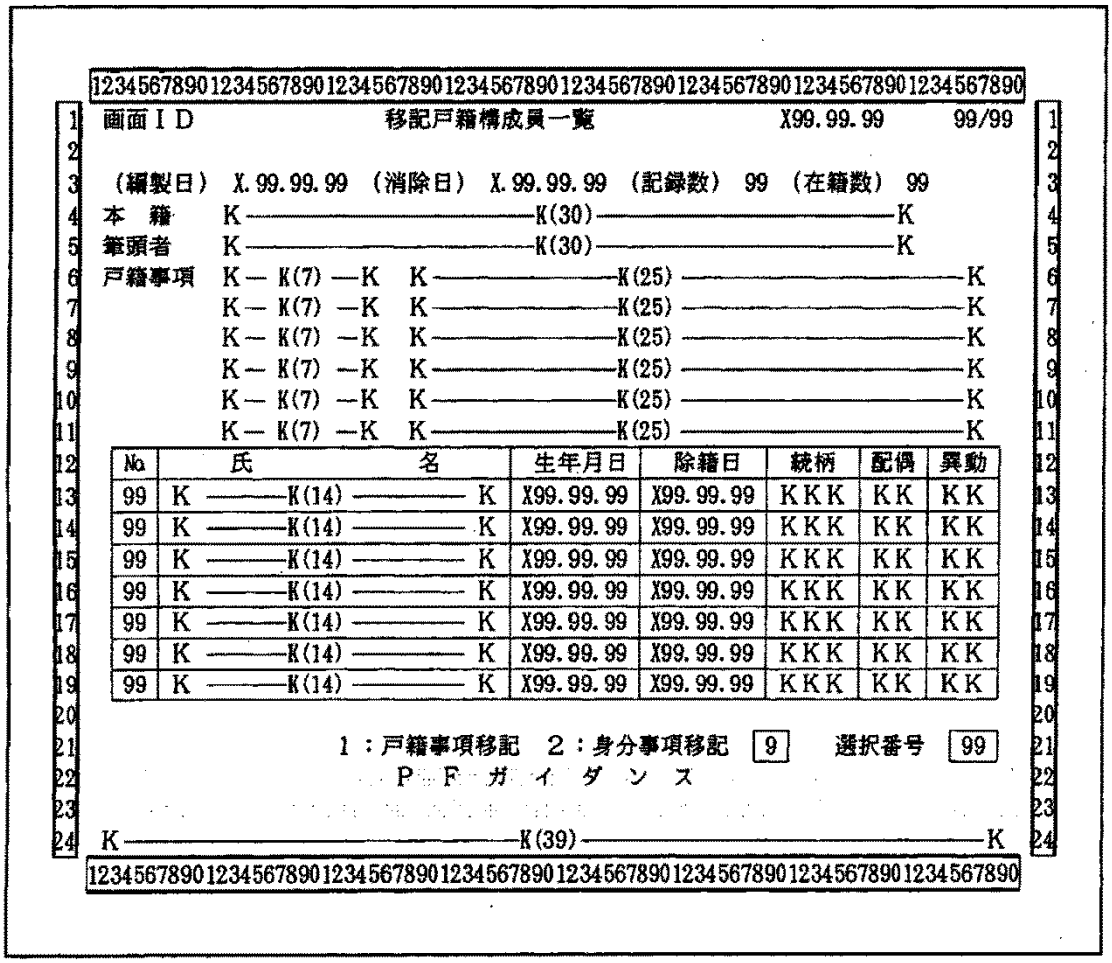


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理

画面番号		画面名	移記戸籍構成員一覧



画面設計書	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

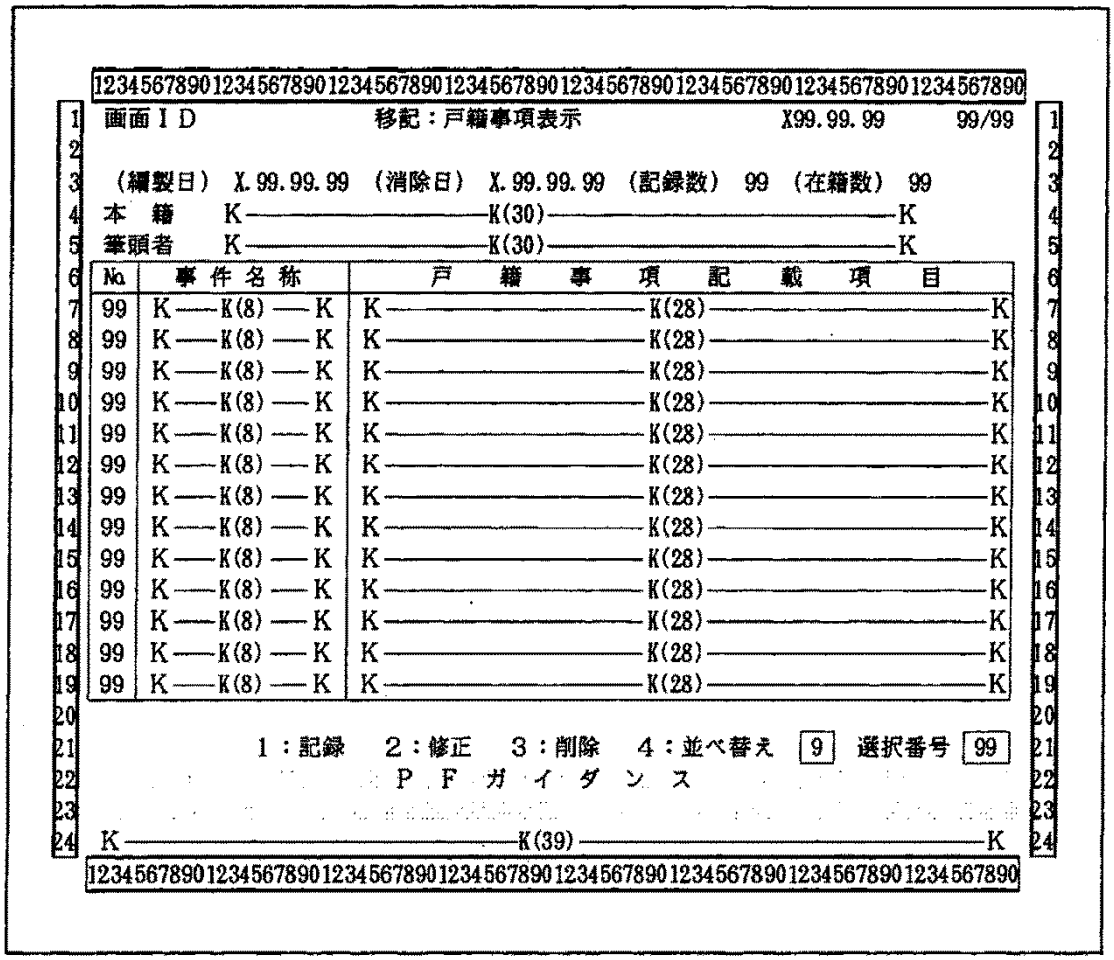
適用業務名

3.移記事項処理

画面番号		画面名	個人情報表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    個人情報表示                        X99.99.99
 2
 3 振り仮名      K----------K(30)----------K
 4 漢字氏名      K----------K(30)----------K
 5 生年月日      X 99 年 99 月 99 日        性別      9 K
 6 個 入籍日     X 99 年 99 月 99 日  除籍日  X 99 年 99 月 99 日
 7 個 筆頭者区分 9 KKK               配偶者区分 9 KKKKK
 8 人 父氏名     K----------K(30)----------K
 9 人 母氏名     K----------K(30)----------K
10 人 続柄       99 KKKKK
11 特 養父氏名   K----------K(30)----------K
12 特 養母氏名   K----------K(30)----------K
13 定 続柄       99 KKKKK
14 個人除区分    9 KKK
15 同一戸籍内前個人番号  9999999999
16
17
18
19
20
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理			
画面番号		画面名	移記:戸籍事項表示



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                  移記：戸籍事項事件メニュー          X99.99.99                          1
 2                                                                                                 2
 3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99 99.99 （記録数）  99 （在籍数）  99                      3
 4  本　籍     K-------------------------K(30)-------------------------K                           4
 5  筆頭者     K-------------------------K(30)-------------------------K                           5
 6                                                                                                 6
 7                                                                                                 7
 8                          １：氏の変更                                                           8
 9                          ２：１０７条２項                                                       9
10                          ３：１０７条３項                                                      10
11                          ４：１０７条４項                                                      11
12                          ５：７３条の２                                                        12
13                          ６：６９条の２                                                        13
14                          ７：７７条の２                                                        14
15                          ８：７５条の２                                                        15
16                          ９：氏の振り仮名の記録                                                16
17                        １０：氏の振り仮名の変更                                                17
18                                                                                                18
19                                                                                                19
20                                                          選択番号 [ 99 ]                       20
21                                                                                                21
22                          ＰＦガイダンス                                                        22
23                                                                                                23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K                    24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件別入力　氏の変更 1/2

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ          移記：戸籍事項事件別入力（氏の変更）        X99.99.99      Z9/Z9
 2
 3  （編製日）X.99.99.99（消除日）X.99 99.99（記録数）  99（在籍数）  99
 4  本　籍      K-------------------------K(30)-------------------------K
 5  筆頭者      K-------------------------K(30)-------------------------K
 6
 7  氏の変更１／２
 8  氏変更日          X 99 年 99 月 99 日
 9  氏変更の種別      X （1：氏の変更、2：１０７条２項、3：１０７条３項、
10                        4：１０７条４項、5：７３条の２、6：６９条の２、
11                        7：７７条の２、8：７５条の２）
12
13
14  届出人１資格 999 K-------------------------K(30)-------------------------K
15          氏名      K-------------------------K(30)-------------------------K
16  届出人２資格 999 K-------------------------K(30)-------------------------K
17          氏名      K-------------------------K(30)-------------------------K
18  送付を受けた日    X 99 年 99 月 99 日
19  受理者            K-------------------------K(30)-------------------------K
20                    K-------------------------K(20)------K
21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24  K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

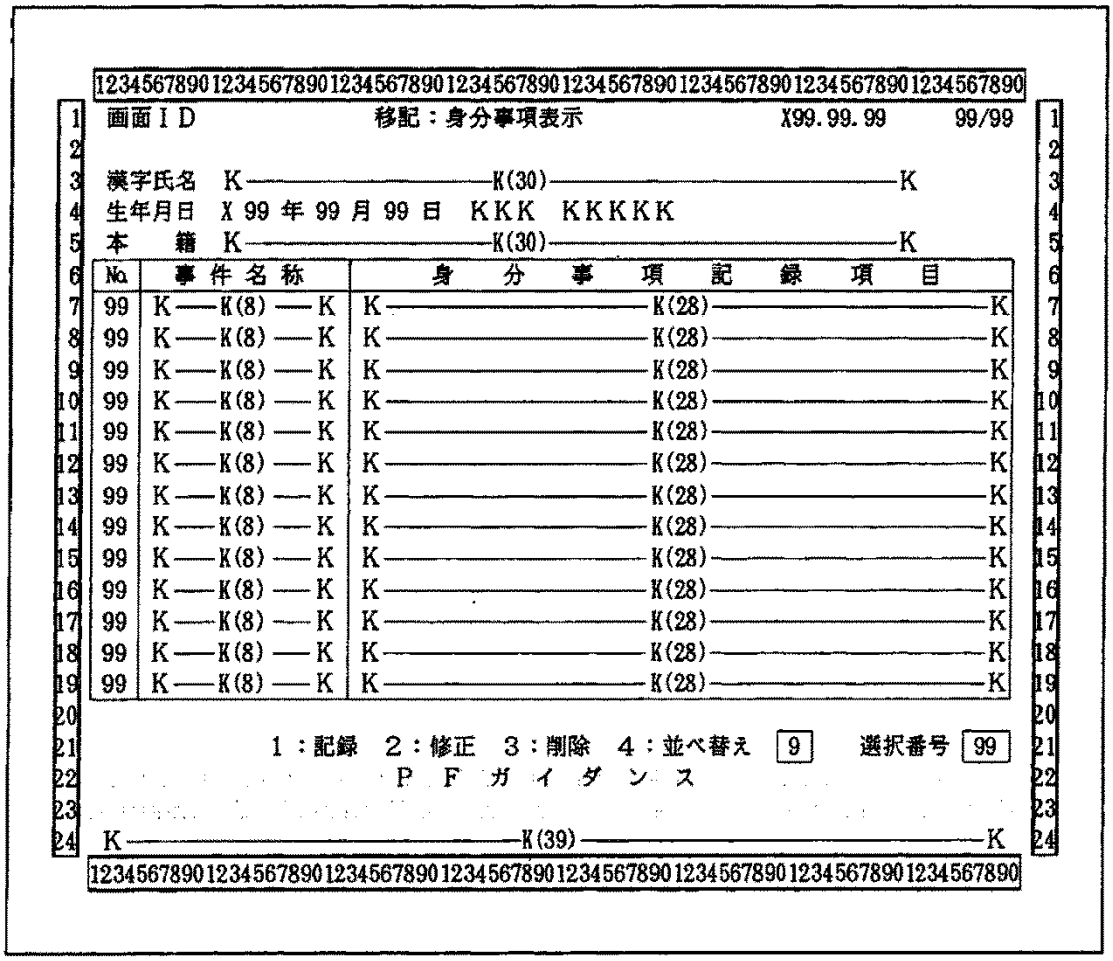
画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件別入力　氏の変更 2/2

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ          移記：戸籍事項事件別入力（氏の変更）        X99.99.99      Z9/Z9
2
3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99 99.99 （記録数）  99 （在籍数）  99
4  本　籍      K-------------------------K(30)-------------------------K
5  筆頭者      K-------------------------K(30)-------------------------K
6
7  氏の変更２／２
8  許可日              X 99 年 99 月 99 日
9  許可書謄本の送付を受けた日     X 99 年 99 月 99 日
10                     K-------------------------K(30)-------------------------K
11                     K-------------------------K(20)------K
12 従前の記録
13           氏        K-------------------------K(30)-------------------------K
14 記録日              X 99 年 99 月 99 日
15 特記事項            K-------------------------K(30)-------------------------K
16                     K-------------------------K(20)------K
17
18
19
20
21
22                        Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理			
画面番号		画面名	戸籍事項並べ替え

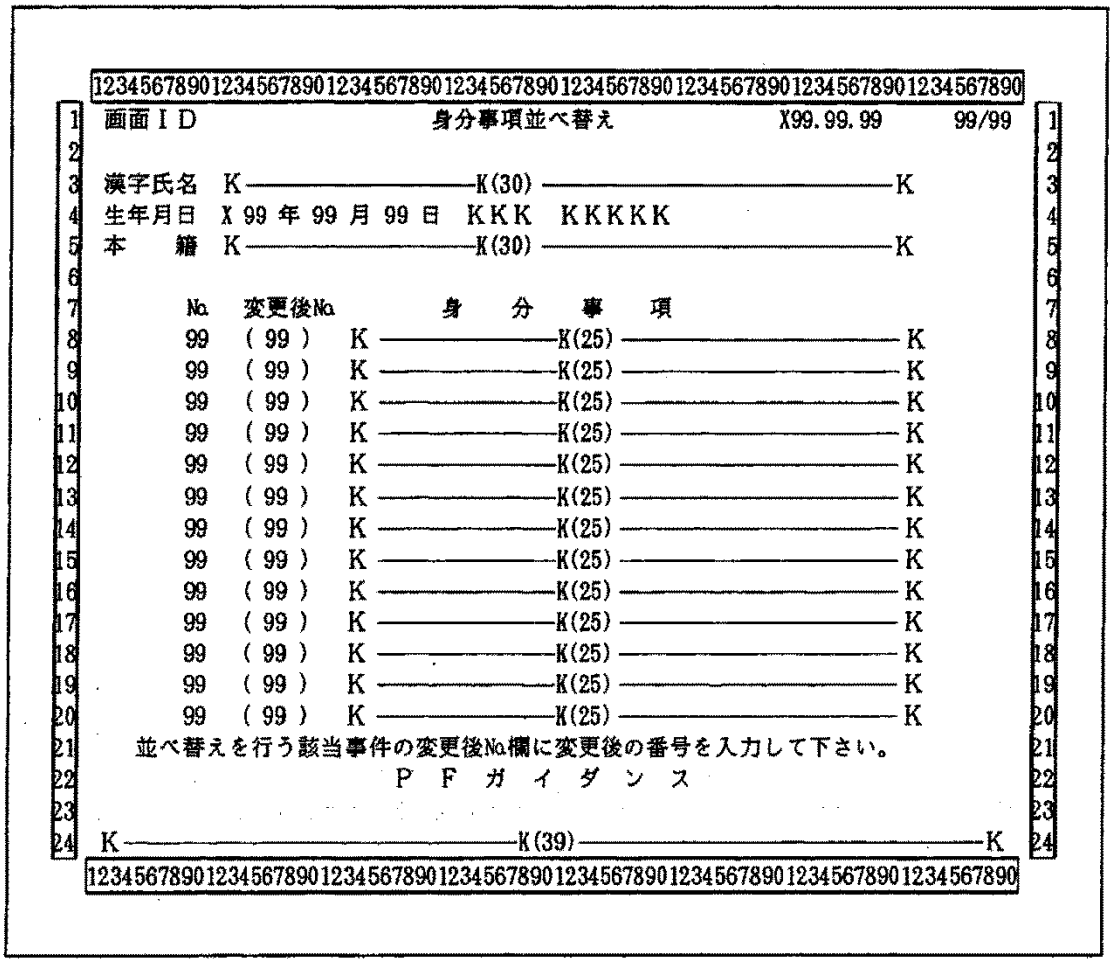
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			

画面番号		画面名	移記:身分事項表示



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			

画面番号		画面名	身分事項並べ替え



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

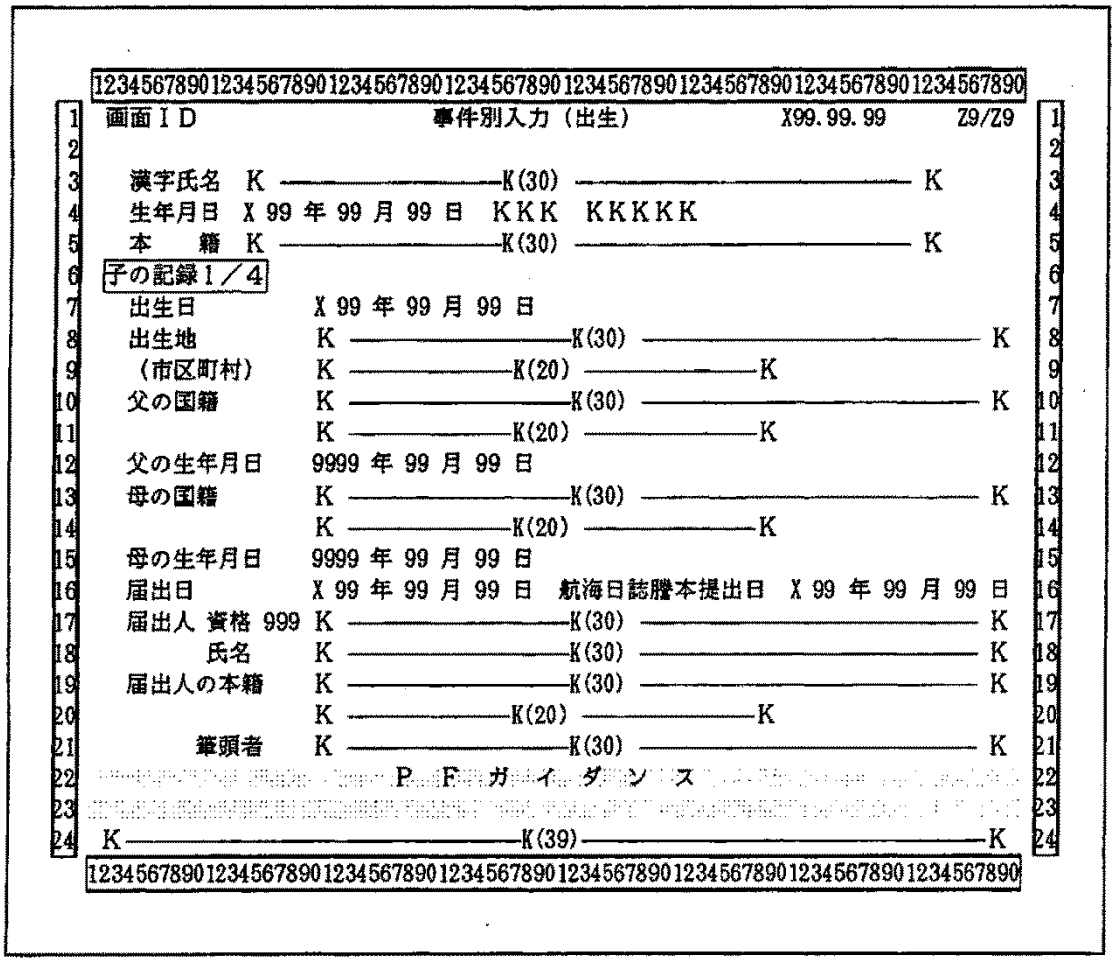
画面番号		画面名	移記:身分事項事件メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                移記：身分事項事件メニュー          X99.99.99
 2
 3  漢字氏名   K--------------------------K(30)-----------------------K
 4  生年月日   X 99 年 99 月 99 日  ＫＫＫ  ＫＫＫＫＫ
 5  本　　籍   K--------------------------K(30)-----------------------K
 6
 7            １．出生                    ８．保佐
 8            ２．認知                    ９．推定相続人廃除
 9              ２０．被認知者の記録      １０．国籍選択
10              ２１．親に対する認知の記録  １１．配偶者の国籍喪失
11            ３．養子縁組                １２．外国国籍喪失
12            ４．特別養子縁組            １３．名の変更
13              ４０．養子の新戸籍の記録  １４．名の振り仮名の記録
14              ４１．養子の入籍戸籍の記録  １５．名の振り仮名の変更
15            ５．婚姻                    ９０．外国人配偶者の国籍変更
16            ６．親権（管理権）          ９１．外国人配偶者の氏名変更
17            ７．未成年後見              ９２．平成１５年法律第１１１号３条
18              ７０．後見                ９３．外国人配偶者の国籍・地域変更
19              ７１．未成年後見
20                                        選択番号 99
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K---------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

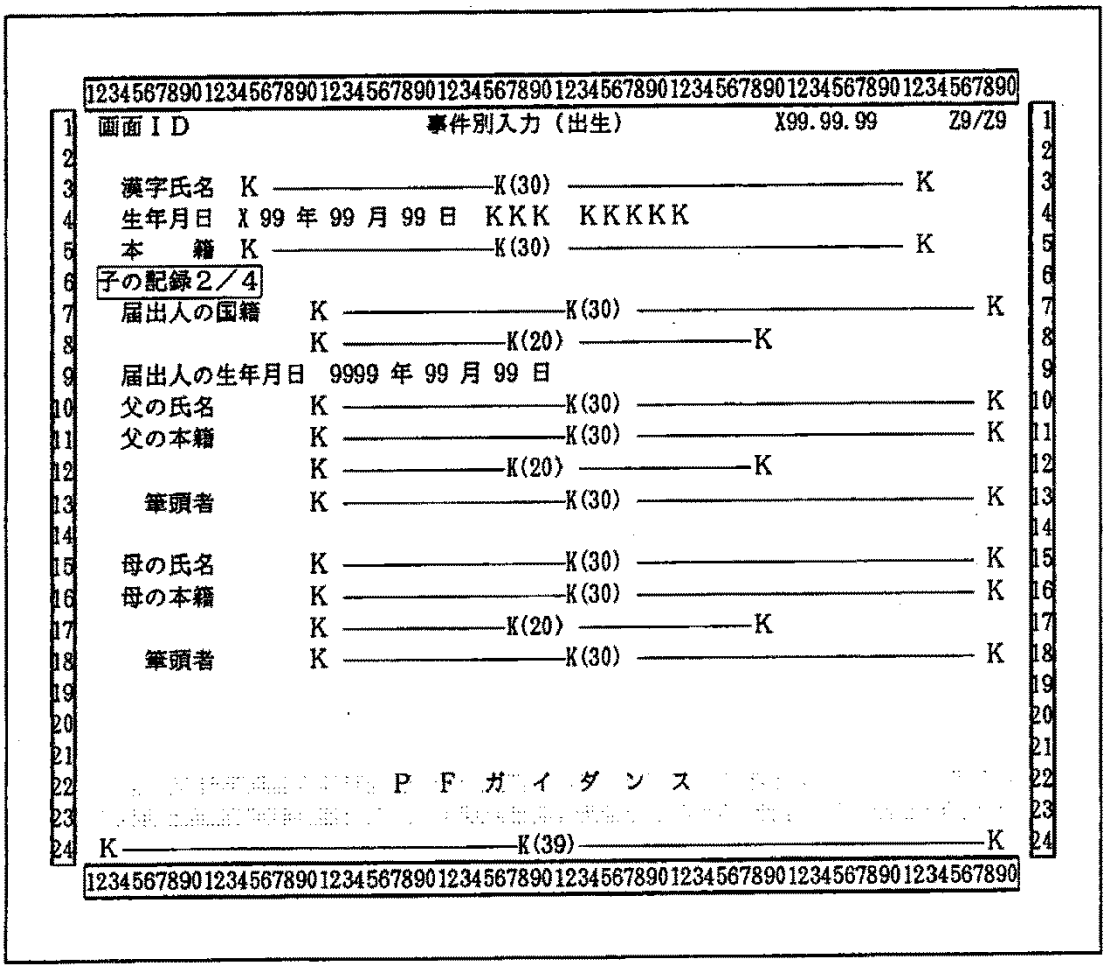
4行33桁目　筆頭者の場合「筆頭者」
4行41桁目　配偶者区分により「夫」「妻」「生存配偶者」

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			

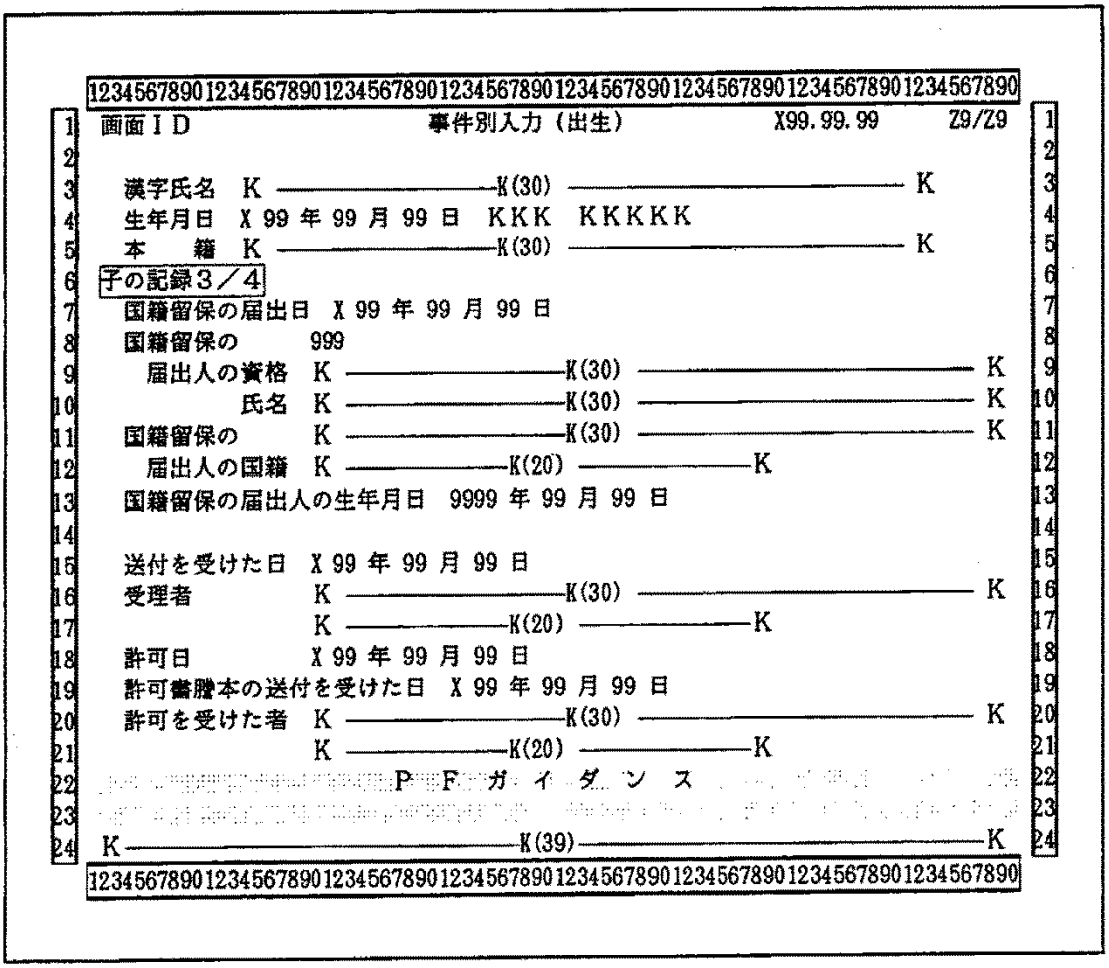
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 1/4



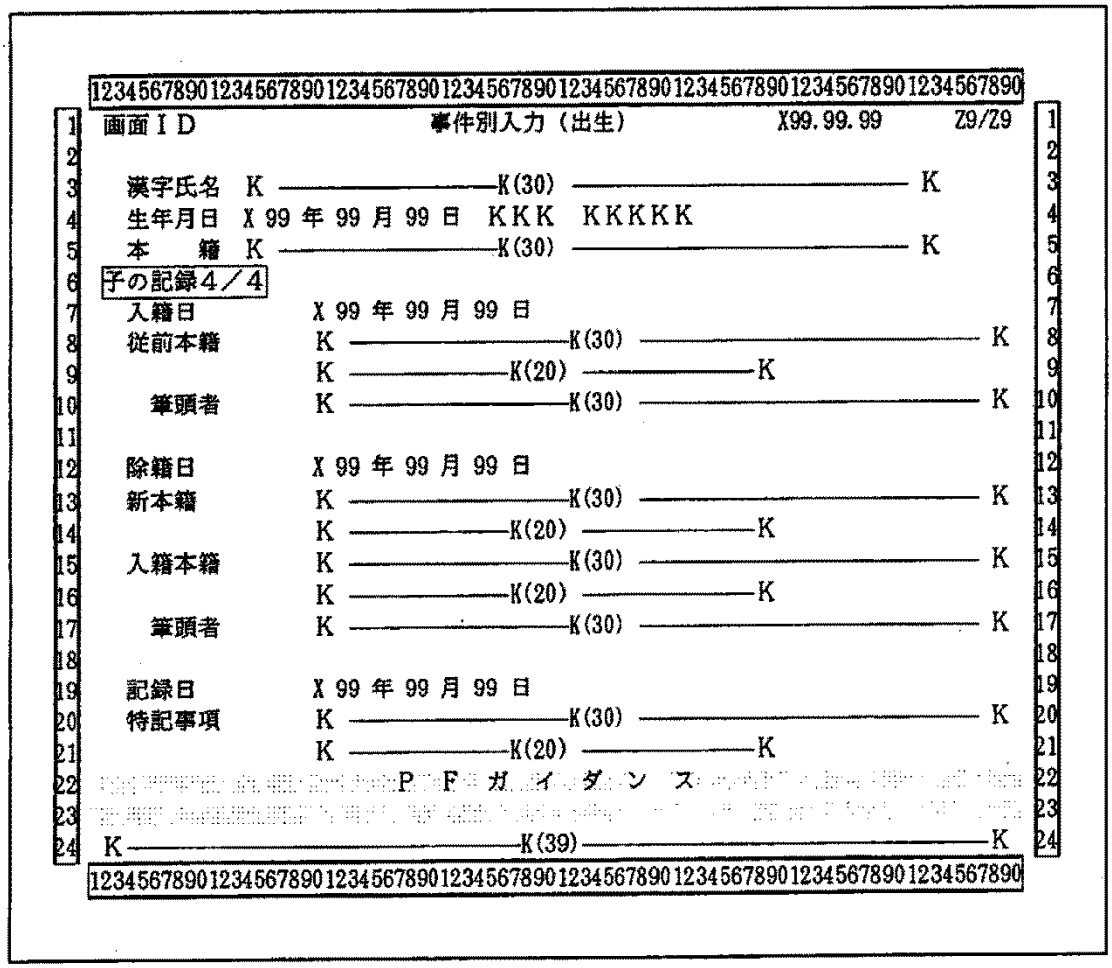
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 2/4



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 3/4



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
3.移記事項処理　3.2身分事項処理			
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 4/4

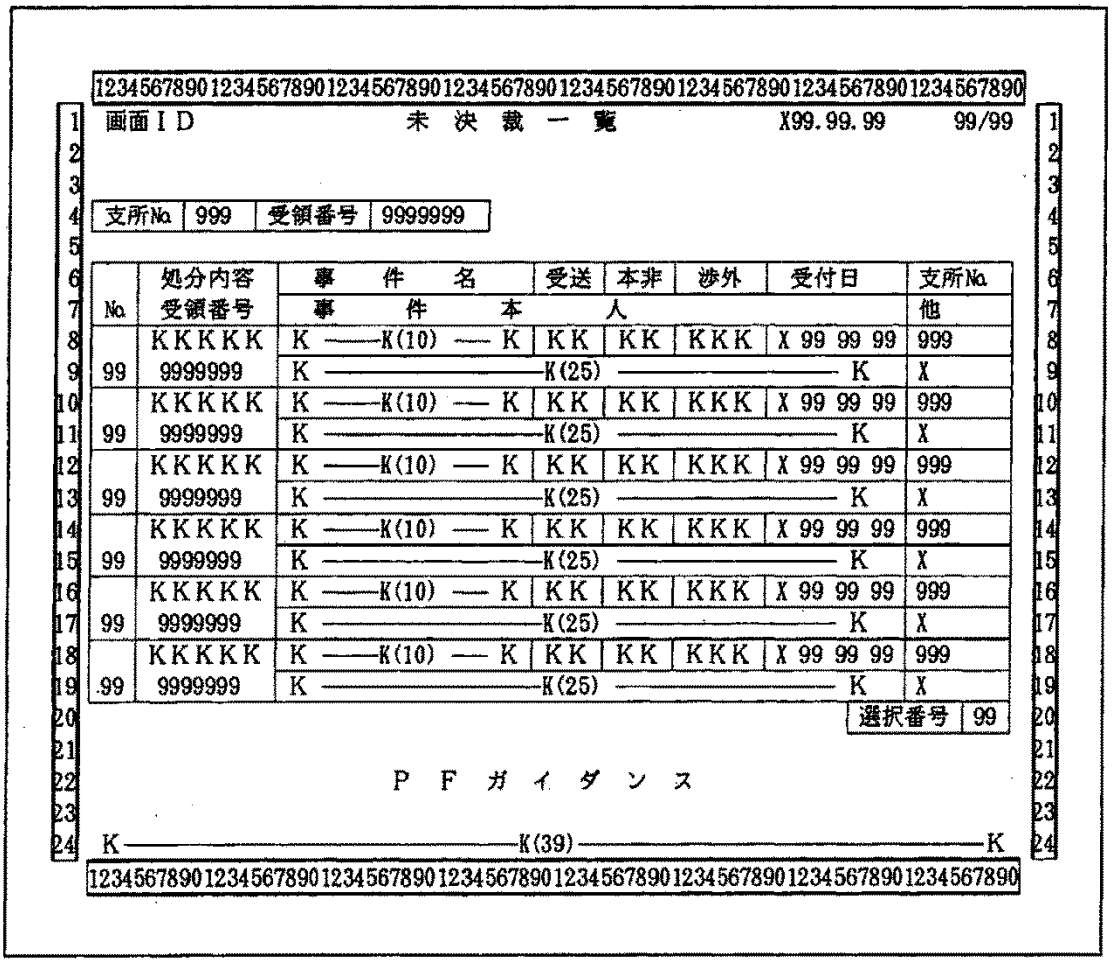


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	未決裁一覧



処理方法:1)一覧表の表示後選択番号の入力
2)受領番号の直接入力

受領番号の上:処分を表示する
exp.受理、不受理、返戻、受理の撤回
事件本人の隣:受付帳が複数ある場合に「*」を表示する
(同時決裁受領番号を参照)

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

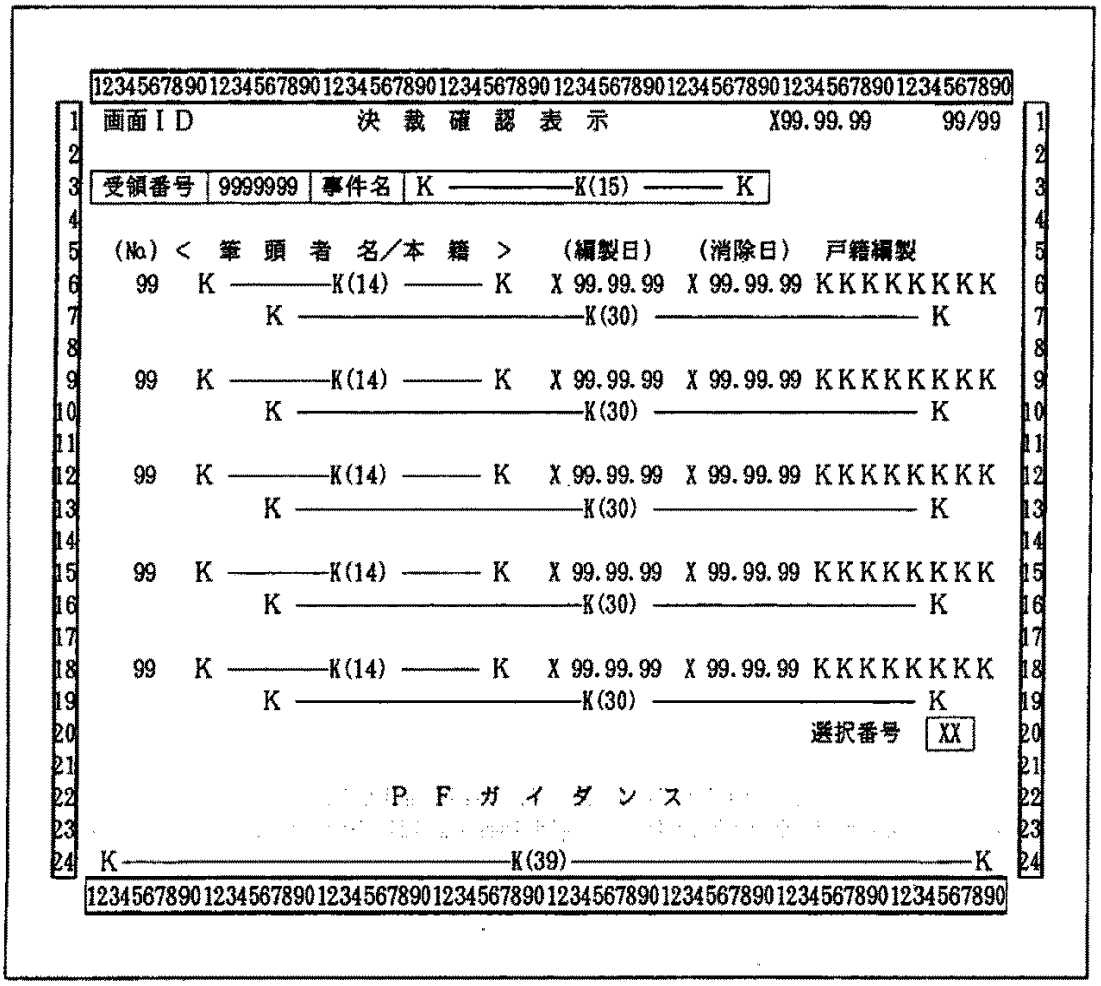
4.決裁処理

画面番号		画面名	決裁･受付

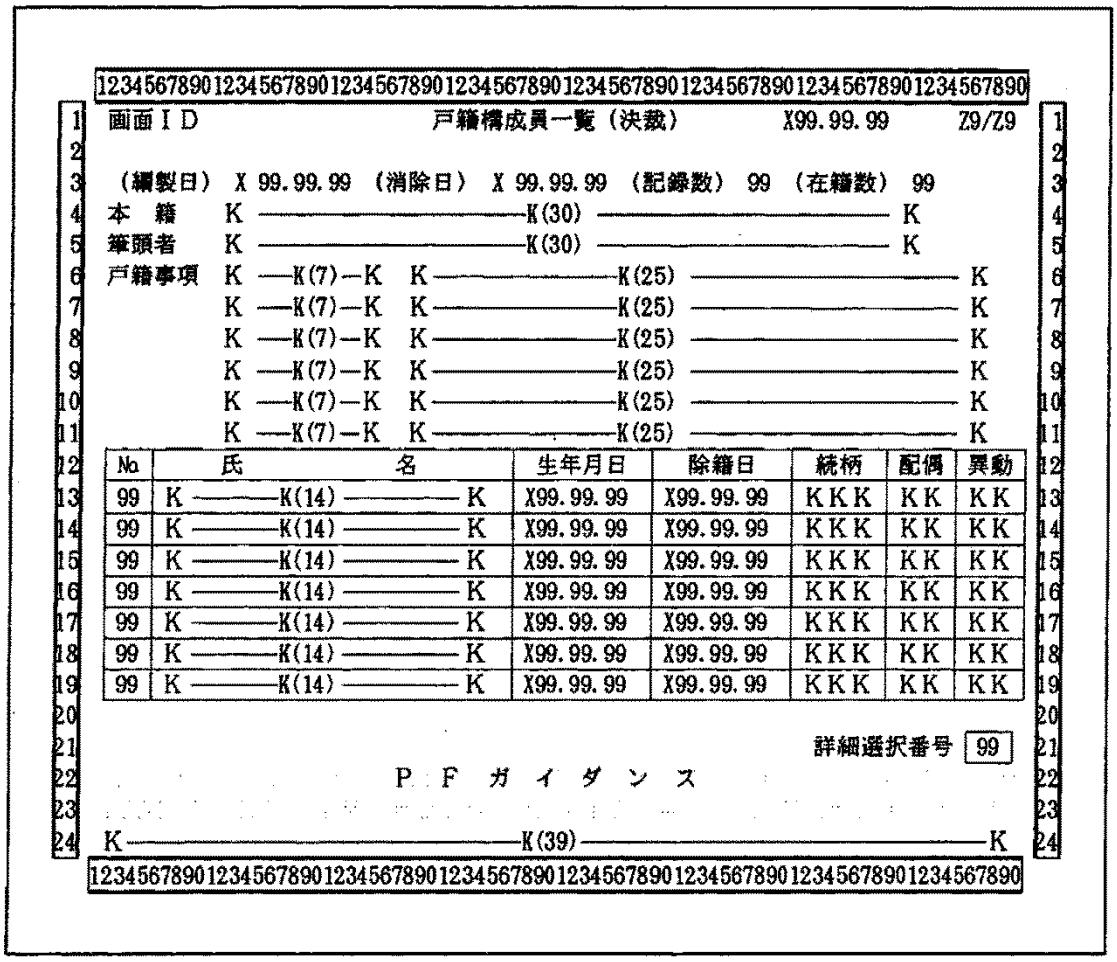
```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                        決裁：受付                          X99.99.99       99/99
 2 受領№：  9999999-9 受送：  ＫＫ 受付日：Ｘ 99 99 99 処分：  ＫＫＫ 決裁：  ＫＫＫ
 3 事件名：  ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ     事件日：Ｘ 99 99 99 時分：  99:99
 4 出張所：  999          送信日：Ｘ 99 99 99 郵送日：Ｘ 99 99 99 本非：  ＫＫＫ
 5 発　日：Ｘ 99 99 99  収　日：Ｘ 99 99 99 許可日：Ｘ 99 99 99 渉外：  ＫＫＫ
 6 指示日：Ｘ 99 99 99  関連№：  9999999  9999999  9999999  9999999  9999999
 7 事件本人区分 | 氏　　名（振り仮名／漢字） | 生年月日
 8 （届出人）   | 本　　籍
 9          | K----------K(24)----------K | XXXX.99.99
10 ＫＫＫＫＫＫ | K----------K(24)----------K | 送達 X X
11 ＫＫＫ       | K----------K(30)----------K
12          | K----------K(24)----------K | XXXX.99.99
13 ＫＫＫＫＫＫ | K----------K(24)----------K | 送達 X X
14 ＫＫＫ       | K----------K(30)----------K
15 届 ＫＫＫＫＫ | K----------K(30)----------K
16 出 ＫＫＫＫＫ | K----------K(30)----------K
17 届後本籍 K----------K(30)----------K
18 筆頭者   K----------K(30)----------K
19 管掌者 9999 K----------K(20)----------K 決裁区分 9 ＫＫＫ
20 ＊＊　決裁の区分を入力して下さい。（１：決裁、２：誤処理、３：修正）　＊＊
21 ＊＊　必要なら管掌者を変更して下さい。　＊＊追完有無 9 K 規則41条 9 ＫＫＫ
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ、漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の本籍地
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃　2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2:　届出人の資格
exp.父、母　等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
4.決裁処理			
画面番号		画面名	決裁確認表示



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
4.決裁処理			
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(決裁)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	個人詳細表示(決裁)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    個人詳細表示（決裁）              X99.99.99      Z9/Z9
 2
 3 （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99                  家裁通知 K
 4 本　籍     K----------------------------K(30)-----------------------K
 5 筆頭者     K----------------------------K(30)-----------------------K
 6 振り仮名   K----------------------------K(30)-----------------------K
 7 漢字氏名   K----------------------------K(30)-----------------------K
 8 （生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
 9 父     K----------K(14)---------K 母     K----------K(14)---------K ＫＫＫ
10 養父   K----------K(14)---------K 養母   K----------K(14)---------K ＫＫＫ
11 ┌──┬──────────┬──────────────────────────────────┐
12 │No│事　件　名　称│身　分　事　項　記　録　項　目　　　
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	証明書選択メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ              証明書選択メニュー                  X99.99.99                                  1
 2                                                                                                     2
 3                                                                                                     3
 4                        １．全部事項・個人事項証明                                                   4
 5                        ２．一部事項証明                                                             5
 6                        ３．届書受理証明                                                             6
 7                        ４．戸籍法４１条証書提出の証明                                               7
 8                        ５．届書預り証明                                                             8
 9                        ６．一部証明（戸籍法１２６条）                                               9
10                        ７．広域交付戸籍証明書等                                                    10
11                        ８．戸籍電子証明書等                                                        11
12                        ９．届書等情報内容証明書等                                                  12
13                                                                                                    13
14                                                                                                    14
15                                                                                                    15
16                                                                                                    16
17                                                                                                    17
18                                                                                                    18
19                                                                                                    19
20                                                                                                    20
21                                                          選択番号 [ 99 ]                           21
22                              ＰＦガイダンス                                                        22
23                                                                                                    23
24  K----------------------------------K(39)-----------------------------------K                     24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(証明)

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890

画面ＩＤ　　該当戸籍一覧（証明）　　X99.99.99　　99/99

検索		
	振り仮名	K----------K(30)----------K
	漢字氏名	K----------K(30)----------K
	本　　籍	K----------K(30)----------K
	生年月日	X99.99.99
	筆頭者	K----------K(30)----------K

No	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	消除日	除籍日
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----『本籍地』-K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			
99	K----------K(14)---------K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K----------K(14)---------K	K----------K(21)----------K			

該当番号 99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890

本籍：管内の町丁名以降
Noの下:旧氏名で検索した場合「旧」を表示

*検索件数:MAX99件

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧（証明）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                  戸籍構成員一覧（証明）                X99.99.99      99/99
 2
 3 （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99 99.99 （記録数）  99 （在籍数）  99
 4 本　籍     K----------K(30)----------K
 5 筆頭者     K----------K(30)----------K
 6 戸籍事項   K----------K(33)----------K
 7            K----------K(33)----------K
 8            K----------K(33)----------K
 9            K----------K(33)----------K
10            K----------K(33)----------K
11            K----------K(33)----------K
12 No    氏          名          生年月日    除籍日    続柄  配偶 家照保胎注メ
13 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
14 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
15 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
16 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
17 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
18 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
19 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
20 99 K----------K(14)---------K X99.99.99 X99.99.99 KKK  KK  KKKKKKK
21                                                  詳細選択番号 99
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

配偶:夫、妻、生配(生存配偶者)
家:家裁からの通知の有無を表す
照:受理照会または処理照会の届出の有無を表す
保:保留の届出の有無を表す
胎:胎児認知の有無を表す
注:注意喚起の有無を表す
メ:メモの有無を表す

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	個人詳細表示（証明）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                個人詳細表示（証明）                X99.99.99      99/99
2
3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 家 K 照 K 保 K 胎 K 注 K メ K
4  本　籍     K----------K(30)----------K
5  筆頭者     K----------K(30)----------K
6  振り仮名   K----------K(30)----------K
7  漢字氏名   K----------K(30)----------K
8  （生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 ＫＫＫ ＫＫＫＫＫ
9  父     K----------K(14)----------K 母     K----------K(14)----------K ＫＫＫ
10 養父   K----------K(14)----------K 養母   K----------K(14)----------K ＫＫＫ
11 No 事　件　名　称          身　分　事　項　記　録　項　目
12 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
13 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
14 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
15 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
16 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
17 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
18 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
19 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
20 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
21 99 K---K(08)----K K----------K(27)----------K
22                 Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

家　　家裁通知の有無を表す
照　　受理照会または処理照会の届出の有無を表す
保　　保留の届出の有無を表す
胎　　胎児認知の有無を表す
注　　注意喚起の有無を表す
メ　　メモの届出の有無を表す
8行49桁目　筆頭者の場合「筆頭者」
8行57桁目　配偶者区分により「夫」「妻」「生存配偶者」

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	戸籍事項選択

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                    戸籍事項選択                    X99.99.99      99/99
2
3  （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 （個人除区分） ＫＫ
4  本　籍     K----------K(34)----------K
5  筆頭者     K----------K(30)----------K
6  振り仮名   K----------K(30)----------K
7  漢字氏名   K----------K(30)----------K
8  No  戸籍事項名          戸籍事項記録項目
9  99  K---K(08)----K      K----------K(27)----------K
10     K---K(08)----K      K----------K(27)----------K
11                         K----------K(27)----------K
12                         K----------K(27)----------K
13 99  K---K(08)----K      K----------K(27)----------K
14     K---K(08)----K      K----------K(27)----------K
15                         K----------K(27)----------K
16                         K----------K(27)----------K
17 99  K---K(08)----K      K----------K(27)----------K
18     K---K(08)----K      K----------K(27)----------K
19                         K----------K(27)----------K
20                         K----------K(27)----------K
21                                 選択番号： 99 99 99 99 99 99 99
22                              ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	個人特定事項選択

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    個人特定事項選択                X99.99.99      99/99  1
 2                                                                                  2
 3 （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 （個人除区分） ＫＫ                  3
 4 本　籍      K----------------------------K(34)------------------------------K    4
 5 筆頭者      K----------------------------K(30)----------------------------K      5
 6 振り仮名    K----------------------------K(30)----------------------------K      6
 7 漢字氏名    K----------------------------K(30)----------------------------K      7
 8 配偶者      K                                                                    8
 9                                                                                  9
10 ’S’ 項　目　名      個　人　特　定　事　項　記　録　項　目                      10
11  X  生年月日         X.99.99.99                                                 11
12  X  配偶者区分       9　K                                                       12
13  X  父               K----------------------K(29)--------------------------K    13
14  X  母               K----------------------K(29)--------------------------K    14
15  X  父母続柄         ＫＫＫ                                                     15
16  X  養　父           K----------------------K(29)--------------------------K    16
17  X  養　母           K----------------------K(29)--------------------------K    17
18  X  養父母続柄       ＫＫＫ                                                     18
19                                                                                 19
20                                                                                 20
21                                                                                 21
22                    Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス                                  22
23                                                                                 23
24 K--------------------------------K(39)-----------------------------------K     24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	身分事項選択

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                        身分事項選択                    X99.99.99                          1
 2                                                                                                    2
 3 （編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 （個人除区分） ＫＫ                                    3
 4 本　籍     K----------K(34)----------K                                                            4
 5 筆頭者     K----------K(30)----------K                                                            5
 6 振り仮名   K----------K(30)----------K                                                            6
 7 漢字氏名   K----------K(30)----------K                                                            7
 8 No  身分事項名          身分事項記録項目                                                           8
 9 99  K---K(08)----K  K----------K(27)----------K                                                   9
10     K---K(08)----K  K----------K(27)----------K                                                  10
11                     K----------K(27)----------K                                                  11
12                     K----------K(27)----------K                                                  12
13 99  K---K(08)----K  K----------K(27)----------K                                                  13
14     K---K(08)----K  K----------K(27)----------K                                                  14
15                     K----------K(27)----------K                                                  15
16                     K----------K(27)----------K                                                  16
17 99  K---K(08)----K  K----------K(27)----------K                                                  17
18     K---K(08)----K  K----------K(27)----------K                                                  18
19                     K----------K(27)----------K                                                  19
20                     K----------K(27)----------K                                                  20
21                                  選択番号： 99 99 99 99 99 99 99                                  21
22                                  ＰＦガイダンス                                                   22
23                                                                                                   23
24 K----------K(39)----------K                                                                       24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	証明書発行確認

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    証明書発行確認                  X99.99.99                                 1
 2                                                                                                     2
 3   管掌者  9999  K------K(10)-----K   K-----------K(17)--------------K                               3
 4   認証日  X 99 年 99 月 99 日                                                                       4
 5                                                                                                     5
 6   証明書種別 ＫＫＫＫＫＫＫＫ                                                                      6
 7                        発行する戸籍の内容                                                           7
 8   編製日  X99.99.99  消除日  X99.99.99  個人除区分  ＫＫ                                            8
 9   本　籍  K----------K(32)----------K                                                               9
10   筆頭者  K----------K(30)----------K                                                              10
11   振り仮名 K----------K(30)----------K                                                             11
12   漢字氏名 K----------K(30)----------K                                                             12
13                                                                                                    13
14   選択事項名                                                                                       14
15     99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K                        15
16     99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K                        16
17     99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K                        17
18     99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K                        18
19     99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K  99  K------K(10)-----K                        19
20                                                                                                    20
21                                                    発行部数 [ 99 ]                                 21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                       22
23                                                                                                    23
24 K-----------------------------------K(39)-----------------------------------K                     24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧（副本・証明）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                該当戸籍一覧（副本・証明）          X99.99.99      99/99
2
3  検索 検索対象市区町村 99999 K----------K(20)----------K
4       振り仮名 K----------K(30)----------K
5       漢字氏名 K----------K(30)----------K
6       本籍 K----------K(30)----------K
7       生年月日 X99.99.99
8       筆頭者 K----------K(30)----------K
9       編製日 X99.99.99 消除日 X99.99.99 入籍日 X99.99.99 除籍日 X99.99.99
10      戸籍種別 9戸籍 9除籍 9除籍（電算化前）
11               9司法大臣原戸籍 9昭和改製原戸籍 9平成改製原戸籍
12      検索補完 9記載字検索 9遡り検索 9構成員を含む検索
13
14 No 戸籍種別 不適 遡 構 本人氏名／筆頭者 生年月日 編製日 消除日 除籍日
15 99 KKKK KK KK K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
16 K  KKKK KK KK K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
17 99 KKKK KK KK K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
18 K  KKKK KK KK K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
19 99 KKKK KK KK K------K(10)-----K X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
20 K  KKKK KK KK K------K(10)-----K K----------K(20)----『本籍』------K
21                                                    該当番号 99
22                  ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

本籍：都道府県以降

Noの下:本人氏名が旧氏名の場合「旧」を表示

不適：改製不適合(紙)の場合「不適紙」、改製不適合(磁気)の場合「不適磁気」を表示

遡：遡り検索指定で遡り対象戸籍の場合「遡り」を表示

構：構成員を含む検索で構成員場合「構成」を表示

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1 画面ＩＤ　証明書発行確認（広域交付戸籍証明書等）　X99.99.99

2

3 管掌者　9999　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

4 認証日　X99年99月99日

5

6

発行する戸籍の内容					
7 編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	戸籍種別	K---K(08)----K
8 本　籍	K----------K(30)----------K				
9 筆頭者	K----------K(30)----------K				
10 生年月日	X99.99.99				
11 発行部数	99				

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22 ＰＦガイダンス

23

24 K----------K(39)----------K

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	証明書発行確認（戸籍電子証明書等）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ          証明書発行確認（戸籍電子証明書等）      X99.99.99     Z9/Z9
2
3  認証日      X99年99月99日
4
```

NO	発行する戸籍の内容					
Z9	編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	戸籍種別	K---K(08)----K
	本　籍	K----------K(30)----------K				
部	筆頭者	K----------K(20)----------K			生年月日	X99.99.99
数	管掌者	9999 ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		
99	発行可否	9（1:可 0:否）	発行選択	9（1:発行 0:不発行）	結果	XXXXXXXX:XX
Z9	編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	戸籍種別	K---K(08)----K
	本　籍	K----------K(30)----------K				
部	筆頭者	K----------K(20)----------K			生年月日	X99.99.99
数	管掌者	9999 ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		
99	発行可否	9（1:可 0:否）	発行選択	9（1:発行 0:不発行）	結果	XXXXXXXX:XX
Z9	編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	戸籍種別	K---K(08)----K
	本　籍	K----------K(30)----------K				
部	筆頭者	K----------K(20)----------K			生年月日	X99.99.99
数	管掌者	9999 ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		
99	発行可否	9（1:可 0:否）	発行選択	9（1:発行 0:不発行）	結果	XXXXXXXX:XX

```
21
22                 ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ        証明書発行確認（届書等情報内容証明書等）      X99.99.99                          1
 2                                                                                                  2
 3  管掌者        9999  ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ      ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ                 3
 4  認証日        X99年99月99日                                                                    4
 5  発行区分      K--------K(12)-------K                                                           5
 6                                                                                                  6
 7                                                                                                  7
 8  受付No.:9999999-9  受送 :ＫＫ  受付日 :X 99 99 99  処分 :ＫＫＫ  決裁 :ＫＫＫ                  8
 9  事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ  事件日 :X 99 99 99  時分 :99:99                      9
10  出張所 :999          発送日 :X 99 99 99  郵送日 :X 99 99 99  本非 :ＫＫＫ                      10
11   発日  :X 99 99 99    収日  :X 99 99 99  許可日 :X 99 99 99  渉外 :ＫＫＫ                      11
12  指示日 :X 99 99 99   関連No.:9999999 9999999 9999999 9999999 9999999                          12
13                                                                                                 13
14                                                          発行部数  99                           14
15                                                          発行総部数  999                        15
16                                                                                                 16
17                                                                                                 17
18                                                                                                 18
19                                                                                                 19
20                                                                                                 20
21                                                                                                 21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                    22
23                                                                                                 23
24  K----------------------------------K(39)-----------------------------------K                  24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

6.統計処理

画面番号		画面名	統計処理選択メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画 面 Ｉ Ｄ                統 計 処 理 選 択 メ ニ ュ ー          X99.99.99
 2
 3
 4
 5
 6                    １．事 件 表 出 力
 7
 8
 9                    ２．統 計 フ ァ イ ル 更 新 処 理
10
11
12
13
14
15
16
17
18                                        選 択 番 号  9
19
20
21
22                          Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス
23
24  K----------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

7.帳票出力処理

画面番号		画面名	帳票出力選択メニュー

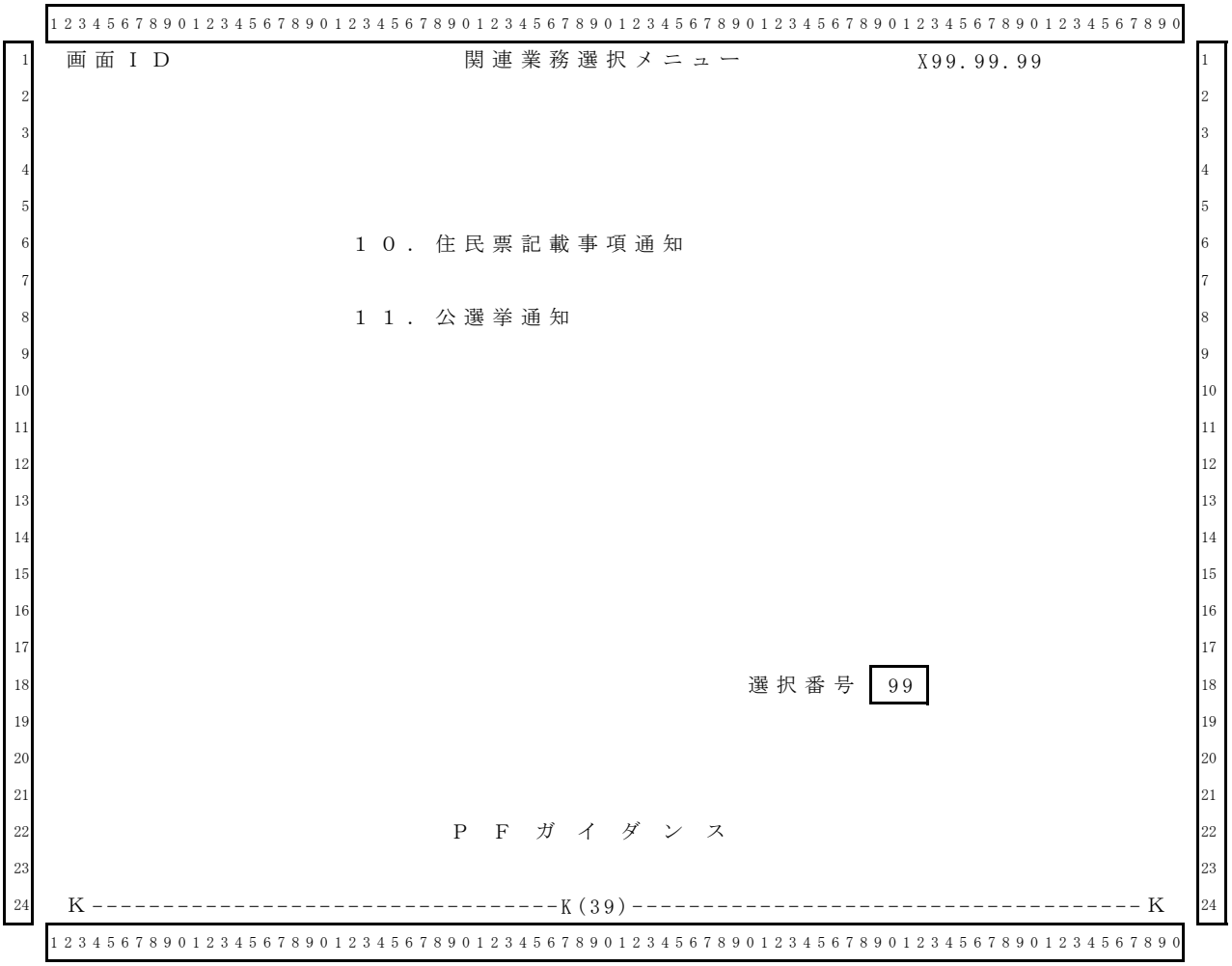
```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                帳票選択メニュー                X99.99.99
 2
 3
 4
 5
 6          １０．受付帳                    ２０．戸籍事務専用
 7
 8          １１．種類番号帳                ３０．宛名シール
 9
10          １２．届書目録（受理分）        ４０．高齢者消除許可申請書
11
12          １３．届書目録（受理分以外）    ５０．本籍町名変更通知
13
14          １４．届書目録（完全渉外・受理分）６０．公選挙通知
15
16          １５．届書目録（完全渉外・受理分以外）
17
18          １６．届書送達確認書                    選択番号 99
19
20
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24  K----------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

10.関連業務処理

画面番号		画面名	関連業務選択メニュー



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

8.各種ファイル更新処理

画面番号		画面名	ファイル更新処理メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                ファイル更新メニュー              X99.99.99                                  1
 2                                                                                                    2
 3                                                                                                    3
 4                                                                                                    4
 5                                                                                                    5
 6                                                                                                    6
 7                    １．不受理申出・個人状態ファイル更新処理                                        7
 8                    ２．受付ファイル更新処理                                                        8
 9                    ３．戸籍ＤＢ更新処理                                                            9
10                    ４．管掌者親続情報更新処理                                                      10
11                    ５．届書等情報更新処理                                                          11
12                    ６．申入書情報更新処理                                                          12
13                    ７．送付先市区町村情報更新処理                                                  13
14                                                                                                   14
15                                                                                                   15
16                                                                                                   16
17                  選択番号 [9]        パスワード [999999999999999]                                 17
18                                                                                                   18
19                                                                                                   19
20                                                                                                   20
21                                                                                                   21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                      22
23                                                                                                   23
24 K----------------------------------K(39)-----------------------------------K                    24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	不受理申出ファイル更新

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                    不受理申出ファイル更新          X99.99.99       99/99
 2 （振り仮名）  K-------------------------K(30)-------------------------K
 3 （漢字氏名）  K-------------------------K(30)-------------------------K
 4 （本　　籍）  K-------------------------K(30)-------------------------K
 5 （筆頭者）    K---------K(14)----------K （生年月日） X 99 99 99
 6 項番    出張所    受・送     開始日          送付日          失効日        失効区分
 7  99       999        9     X99 99 99       X99 99 99   X99 99 99       9   K K
 8     不受理申出事件 99 K----------------K(20)----------------K
 9     相手氏名１  K-------------------------K(30)-------------------------K
10     相手氏名２  K-------------------------K(30)-------------------------K
11  99       999        9     X99 99 99       X99 99 99   X99 99 99       9   K K
12     不受理申出事件 99 K----------------K(20)----------------K
13     相手氏名１  K-------------------------K(30)-------------------------K
14     相手氏名２  K-------------------------K(30)-------------------------K
15
16        処理選択番号 [9] （１：追加　２：変更　３：削除      処理項番 [99]
17                          ４：補正更新・イメージ表示）
18  (01) 出生    (02) 認知    (03) 縁組    (04) 離縁    (07) 73-2    (08) 69-2
19  (09) 婚姻    (10) 離婚    (11) 77-2    (12) 75-2    (13) 親権    (18) 復氏
20  (19) 姻族関係終了         (22) 入籍    (23) 分籍    (26) 国籍選択
21  (28) 氏変更  (29) 107-2   (30) 107-3   (31) 107-4   (32) 名の変更 (33) 転籍
22                      ＰＦガイダンス
23
24 K--------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

失効区分:終了、取り下げ、失効を区分する

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	不受理申出情報更新

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    不受理申出情報更新                X99.99.99                          1
 2  （振り仮名）  K----------------------K(30)----------------------K                               2
 3  （漢字氏名）  K----------------------K(30)----------------------K                               3
 4  （本　　籍）  K----------------------K(30)----------------------K                               4
 5  （筆頭者）    K---------K(14)----------K  （生年月日）  X 99 99 99                            5
 6  項番    出張所   受・送    開始日        送付日        失効日      失効区分                    6
 7  99      999      9     X99 99 99     X99 99 99   X99 99 99     9   K K                       7
 8      不受理申出事件 99 K----------------K(20)----------------K                                  8
 9      相手氏名１  K----------------------K(30)----------------------K                           9
10      相手氏名２  K----------------------K(30)----------------------K                           10
11   1:不受理申出   更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99                        11
12   2:添付書面     更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                         12
13   3:不受理申出補正 更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                       13
14   4:不受理申出取下 更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                       14
15                                  イメージ種別番号 9  表示履歴番号 99                          15
16                                                                                              16
17      補正内容   K----------------------K(30)----------------------K                           17
18                 K----------------------K(30)----------------------K                           18
19                 K----------------------K(30)----------------------K                           19
20                 K----------------------K(30)----------------------K                           20
21                 K----------------------K(30)----------------------K                           21
22                      ＰＦガイダンス                                                          22
23                                                                                              23
24  K----------------------------------K(39)----------------------------------K                  24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

失効区分:終了、取り下げ、失効を区分する
入力領域で補正内容が全て入力できない場合の対応を考慮すること(スクロール、次画面、専用入力画面等)。

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	個人状態ファイル更新

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                    個人状態ファイル更新              X99.99.99                              1
2                                                                                                     2
3  （振り仮名）  K----------------------------K(30)----------------------------K                      3
4  （漢字氏名）  K----------------------------K(30)----------------------------K                      4
5  （本　　籍）  K----------------------------K(30)----------------------------K                      5
6  （生年月日）  X 99 99 99                                                                           6
7  （筆頭者）    K----------------------------K(30)----------------------------K                      7
8        禁治産者区分  －－－－－ [9]          準禁治産者区分  －－－－ [9]                          8
9                                                                                                     9
10       裁判所通知区分  －－－－ [9]          胎児認知区分  －－－－－ [9]                          10
11                                                                                                    11
12       受理・処理照会  －－－－ [9]          保留  －－－－－－－－－ [9]                           12
13                                                                                                    13
14       注意喚起区分  －－－－－ [9]  ※注意喚起区分の内容をメモに記載して下さい                      14
15                                                                                                    15
16       氏振り仮名職権区分  －－ [9]          名振り仮名職権区分  －－ [9]                          16
17       メモ（K----------------------------K(30)----------------------------K）                      17
18            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                      18
19            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                      19
20            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                      20
21            （K----------------------------K(30)----------------------------K）                      21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                       22
23                                                                                                    23
24  K----------------------------------K(39)------------------------------------K                     24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

胎児認知区分がある者は、PF6で胎児認知届書のイメージを戸籍情報連携システムから取得して本画面に表示・登録する

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.5届書等情報更新処理

画面番号		画面名	届書等情報更新

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                        届書等情報更新                          X99.99.99                    1
 2 受領№ :9999999    受送 :ＫＫ  受付日 :X 99 99 99  処分 :ＫＫＫ  決裁 :ＫＫＫ                        2
 3 事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ  事件日 :X 99 99 99  時分 :99:99                  3
 4 出張所 :999          ＫＫＫ :X 99 99 99  郵送日 :X 99 99 99  本非 :ＫＫＫ                           4
 5  発日  :X 99 99 99    収日  :X 99 99 99  許可日 :X 99 99 99  渉外 :ＫＫＫ                           5
 6 指示日 :X 99 99 99    関連№ :9999999 9999999 9999999 9999999 9999999                              6
 7 追完有無 [9][K]  規則第４１条処理区分 [9][ＫＫＫＫ]                                               7
 8 1:届書      [更新日][X 99 99 99][更新時間][99:99:99][最終履歴番号][99]                             8
 9 2:添付書面  [更新日][X 99 99 99][更新時間][99:99:99]                                               9
10 3:届書補正  [更新日][X 99 99 99][更新時間][99:99:99]                                              10
11                                  イメージ種別番号 [9]  表示履歴番号 [99]                          11
12                                                                                                   12
13   補正内容  K----------K(30)----------K                                                           13
14             K----------K(30)----------K                                                           14
15             K----------K(30)----------K                                                           15
16             K----------K(30)----------K                                                           16
17             K----------K(30)----------K                                                           17
18             K----------K(30)----------K                                                           18
19             K----------K(30)----------K                                                           19
20             K----------K(30)----------K                                                           20
21                                                                                                   21
22                          ＰＦガイダンス                                                           22
23                                                                                                   23
24 K----------K(39)----------K                                                                       24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

出張所の右横のＫＫＫの編集は受付ファイル検索を参照
入力領域で補正内容が全て入力できない場合の対応を考慮すること(スクロール、次画面、専用入力画面等)。

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理等(汎用画面)

画面番号		画面名	届書等イメージ表示

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    届書等イメージ表示                    X99.99.99                        1
 2  受領№ :9999999    受送 :ＫＫ   受付日 :X 99 99 99   処分 :ＫＫＫ   決裁 :ＫＫＫ                    2
 3  事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ   事件日 :X 99 99 99   時分 :99:99              3
 4  出張所 :999          送信日 :X 99 99 99   郵送日 :X 99 99 99   本非 :ＫＫＫ                    4
 5   発日  :X 99 99 99     収日  :X 99 99 99   許可日 :X 99 99 99   渉外 :ＫＫＫ                    5
 6  指示日 :X 99 99 99    関連№ :9999999 9999999 9999999 9999999 9999999                          6
 7                                                                                                  7
 8  1:届書       更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99  最終履歴番号 99                               8
 9  2:添付書面   更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                               9
10  3:届書補正   更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                              10
11  4:申入書     更新日 X 99 99 99  更新時間 99:99:99                                              11
12                                  イメージ種別番号 9  表示履歴番号 99                            12
13                                                                                                 13
14    補正内容  K----------K(30)----------K                                                        14
15              K----------K(30)----------K                                                        15
16              K----------K(30)----------K                                                        16
17              K----------K(30)----------K                                                        17
18              K----------K(30)----------K                                                        18
19              K----------K(30)----------K                                                        19
20              K----------K(30)----------K                                                        20
21                                                                                                 21
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                                    22
23                                                                                                 23
24  K----------K(39)----------K                                                                    24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

届書等情報のイメージを確認する場合に本画面を使用する
補正内容が全て表示されない場合の対応を考慮すること(イメージ表示による確認で代行も可)

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.6送付先市区町村情報更新処理

画面番号		画面名	送付先市区町村情報更新

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                送付先市区町村情報更新                    X99.99.99      99/99
 2 受領№ :9999999    受送 :ＫＫ  受付日 :X 99 99 99  処分 :ＫＫＫ  決裁 :ＫＫＫ
 3 事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ  事件日 :X 99 99 99  時分 :99:99
 4 出張所 :999          郵送日 :X 99 99 99                        本非 :ＫＫＫ
 5  発日  :X 99 99 99    収日  :X 99 99 99  許可日 :X 99 99 99  渉外 :ＫＫＫ
 6 指示日 :X 99 99 99    関連№ :9999999 9999999 9999999 9999999 9999999
 7 発送日 :X 99 99 99
 8 送付先市区町村情報
```

9	NO	送付先市区町村	事件対象	送付先区分	送信状況	処理	9
10	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	10
11	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	11
12	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	12
13	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	13
14	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	14
15	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	15
16	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	16
17	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	17
18	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	18
19	99	99999 K----------K(14)---------K	9 ＫＫＫ	9 ＫＫＫＫ	9 ＫＫＫ	9 ＫＫ	19

```
20                    処理 (0:無 1:追加 2:更新 3:削除 4:遺漏追加)
21
22                         ＰＦガイダンス
23
24 K--------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.7申入書情報更新処理

画面番号		画面名	申入書情報選択

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                        申入書情報選択                    X99.99.99      99/99
2  受領№ :9999999    受送 :ＫＫ  受付日 :X 99 99 99  処分 :ＫＫＫ  決裁 :ＫＫＫ
3  事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ  事件日 :X 99 99 99  時分 :99:99
4  出張所 :999          ＫＫＫ :X 99 99 99  郵送日 :X 99 99 99  本非 :ＫＫＫ
5   発日  :X 99 99 99     収日  :X 99 99 99  許可日 :X 99 99 99  渉外 :ＫＫＫ
6  指示日 :X 99 99 99    関連№ :9999999 9999999 9999999 9999999 9999999
7  申入書情報 :総数 99
8  項番 99 届出日 X99.99.99 満了日 X99.99.99 取下日 X99.99.99 状態 ＫＫ
9  申 氏名 K----------K(30)----------K
10 入 生年月日 X99.99.99
11 者 本籍 K----------K(30)----------K
12    筆頭者 K----------K(30)----------K
13 申入書イメージ 更新日 X99.99.99 更新時間 99:99:99 最終履歴番号 99
14 項番 99 届出日 X99.99.99 満了日 X99.99.99 取下日 X99.99.99 状態 ＫＫ
15 申 氏名 K----------K(30)----------K
16 入 生年月日 X99.99.99
17 者 本籍 K----------K(30)----------K
18    筆頭者 K----------K(30)----------K
19 申入書イメージ 更新日 X99.99.99 更新時間 99:99:99 最終履歴番号 99
20 1:追加 2 期間満了による追加 3:データ更新 4:画像更新 5:取下げ 6:削除  9
21                                   選択項番(1以外入力)  99
22                 ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

出張所の右横のＫＫＫの編集は受付ファイル検索を参照

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

8.各種ファイル更新処理　8.7申入書情報更新処理

画面番号		画面名	申入書情報更新

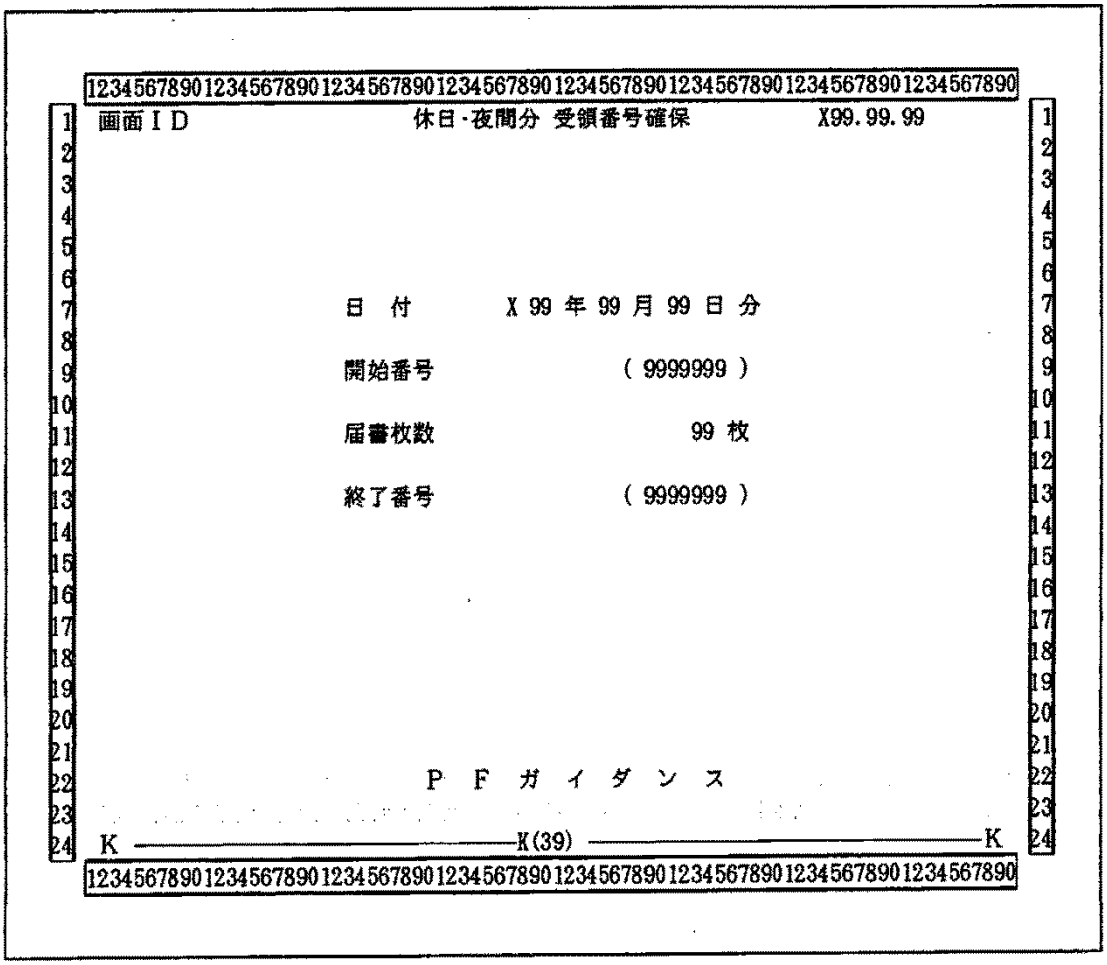
```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1 画面ＩＤ                          申入書情報更新                    X99.99.99
 2 受領№ :9999999    受送 :ＫＫ  受付日 :X 99 99 99  処分 :ＫＫＫ  決裁 :ＫＫＫ
 3 事件名 :ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ  事件日 :X 99 99 99  時分 :99:99
 4 出張所 :999          ＫＫＫ :X 99 99 99  郵送日 :X 99 99 99  本非 :ＫＫＫ
 5  発日  :X 99 99 99    収日  :X 99 99 99  許可日 :X 99 99 99  渉外 :ＫＫＫ
 6 指示日 :X 99 99 99    関連№ :9999999 9999999 9999999 9999999 9999999
 7 申入書情報
 8 項番 | 99 | 届出日 | X99.99.99 | 満了日 | X99.99.99 | 取下日 | X99.99.99 | 状態 | ＫＫ
 9 申   | 氏　名 | K----------K(30)----------K
10 入   | 生年月日 | X99.99.99
11 者   | 本　籍 | K----------K(30)----------K
12      | 筆頭者 | K----------K(30)----------K
13 申入書イメージ | 更新日 | X99.99.99 | 更新時間 | 99:99:99 | 最終履歴番号 | 99 |
14 申入書情報（期間満了前）
15 項番 | 99 | 届出日 | X99.99.99 | 満了日 | X99.99.99 | 取下日 | X99.99.99 | 状態 | ＫＫ
16 申   | 氏　名 | K----------K(30)----------K
17 入   | 生年月日 | X99.99.99
18 者   | 本　籍 | K----------K(30)----------K
19      | 筆頭者 | K----------K(30)----------K
20 申入書イメージ | 更新日 | X99.99.99 | 更新時間 | 99:99:99 | 最終履歴番号 | 99 |
21
22                    ＰＦガイダンス
23
24 K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

出張所の右横のＫＫＫの編集は受付ファイル検索を参照

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名
9.受領番号確保

画面番号		画面名	休日・夜間分　受理番号確保



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

12.連携情報処理

画面番号		画面名	連携情報処理メニュー

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画 面 Ｉ Ｄ              連 携 情 報 処 理 メ ニ ュ ー          X99.99.99
 2
 3
 4
 5
 6                    １．本 籍 人 副 本 記 録 情 報 検 索
 7                    ２．送 付 分 届 書 等 振 分 け
 8                    ３．証 明 書 発 行 履 歴 通 知
 9                    ４．異 動 予 約
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21                                          選 択 番 号  99
22                          Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス
23
24  K----------------------------------K(39)-----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

12.連携情報処理　12.1本籍人副本記録情報検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本・本籍人)

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ                該当戸籍一覧（副本・本籍人）          X99.99.99      99/99
2
3
4   検索  振り仮名      K----------K(30)----------K
5         漢字氏名      K----------K(30)----------K
6         本籍          K----------K(30)----------K
7         生年月日      X99.99.99
8         筆頭者        K----------K(30)----------K
9         編製日        X99.99.99  消除日 X99.99.99  入籍日 X99.99.99  除籍日 X99.99.99
10        戸籍種別      9戸籍  9除籍  9再製原戸籍  9除籍（電算化前）  9司法大臣原戸籍
11                      9昭和改製原戸籍  9平成改製原戸籍  9再製原除籍  9再製原新改
12        検索補完      9記載字検索  9遡り検索  9構成員を含む検索
13
14  No 戸籍種別 不適 遡構  本人氏名／筆頭者          生年月日   編製日     消除日     除籍日
15  99 KKKKK KK KK KK K------K(10)-----K  X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
16  K  KKKKK KK KK KK K------K(10)-----K  K----------K(20)----『本籍』------K
17  99 KKKKK KK KK KK K------K(10)-----K  X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
18  K  KKKKK KK KK KK K------K(10)-----K  K----------K(20)----『本籍』------K
19  99 KKKKK KK KK KK K------K(10)-----K  X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99 X99.99.99
20  K  KKKKK KK KK KK K------K(10)-----K  K----------K(20)----『本籍』------K
21                                                    該当番号 99
22                  ＰＦガイダンス
23
24  K--------------------------------K(39)----------------------------------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

本籍：都道府県以降

該当戸籍一覧の表示は「1.検索処理　1.3副本記録情報検索　該当戸籍一覧(副本)」の同項目と同様である。

画面設計書	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

12.連携情報処理　12.2送付分届書等振分け

画面番号		画面名	送付分届書等一覧

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面ＩＤ　　送付分届書等一覧　　X99.99.99　　99/99

No.	受理地			届書番号	届出選択事件名
	受付日	受信日	受信時間	受付番号	受付事件名
	（事件本人区分）		事件本人氏名		
	同時決裁受領番号				データ状態
999	K----------K(15)---------K			9999999	K----------K(15)---------K
	X99.99.99	X99.99.99	99:99:99	9999999	K----------K(15)---------K
	（ＫＫＫＫＫＫＫＫ）		K----------K(24)----------K		
	9999999 9999999 9999999 9999999 9999999				K----------K(15)---------K
999	K----------K(15)---------K			9999999	K----------K(15)---------K
	X99.99.99	X99.99.99	99:99:99	9999999	K----------K(15)---------K
	（ＫＫＫＫＫＫＫＫ）		K----------K(24)----------K		
	9999999 9999999 9999999 9999999 9999999				K----------K(15)---------K
999	K----------K(15)---------K			9999999	K----------K(15)---------K
	X99.99.99	X99.99.99	99:99:99	9999999	K----------K(15)---------K
	（ＫＫＫＫＫＫＫＫ）		K----------K(24)----------K		
	9999999 9999999 9999999 9999999 9999999				K----------K(15)---------K

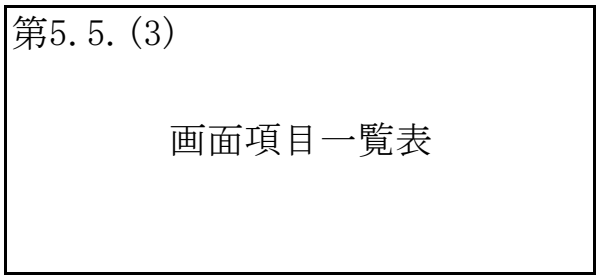
選択番号　999　　取得済受領番号　9999999

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

第5.5.(3) 画面項目一覧表



戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	画面項目一覧表	以下画面の画面項目を追加 ・「届書等情報表示」
2		3		以下画面を追加 ・「該当戸籍一覧(副本)」 ・「目的内利用確認」 ・「戸籍構成員一覧(副本)」 ・「個人詳細表示(副本)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本)」 ・「個人状態ファイル表示(副本)」 ・「該当戸籍一覧(副本・異動)」 ・「戸籍構成員一覧(副本・異動)」 ・「個人詳細表示(副本・異動)」 ・「不受理申出ファイル表示(副本・異動)」 ・「個人状態ファイル表示(副本・異動)」 ・「連携情報処理メニュー」 ・「該当戸籍一覧(副本・本籍人)」
3		4、5、6		以下画面の画面項目を追加 ・「証明書選択メニュー」 ・「証明書発行確認(副本・証明)」 ・「証明書発行確認(届書等情報内容証明)」
4	R3	B01、 B02、 B03	画面項目一覧表	非本籍人検索の検索補完キーの追加、不受理申出情報の追加により下記画面項目を修正した。 ①該当戸籍一覧表示(副本) ②戸籍構成員一覧表示(副本) ③個人詳細表示(副本)
5		B01、B02		要望により以下画面項目を修正した。 ①「証明書発行確認(副本)」の表示項目に生年月日を追加
6		B03		不受理申出情報イメージ表示により下記画面項目を追加、修正した。 ①不受理申出ファイル表示 ②不受理申出イメージ表示：追加 ③不受理申出ファイル表示(副本) ④不受理申出イメージ表示(副本)：追加 ⑤不受理申出ファイル表示(副本･異動) ⑥不受理申出イメージ表示(副本･異動)：追加 届書等情報イメージ表示により下記画面項目を修正した。 ①届書等情報表示
7		B04		届書イメージ表示及び登録について以下画面を追加 ・「決裁･届書イメージ等表示」 ・「届書イメージ等更新選択」 ・「届書イメージ処理選択」 ・「届書イメージ更新」 ・「送付先市区町村更新」 不受理申出ファイル更新について以下画面を追加 ・「不受理申出補正・イメージ表示」 申入書情報更新について以下の画面を追加 ・「申入書情報選択」 ・「申入書情報更新」 送付分届書等一覧について以下の画面を追加 ・「送付分届書等一覧」 届書等情報表示について以下画面の画面項目を追加 ・「届書等情報表示」に申入書イメージ更新日・更新時間を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
8		B05		届書補正情報更新について以下画面を追加 ・「届書補正情報処理選択」 ・「届書補正情報更新」
9		－		以下画面の誤植を修正 ・「決裁・受付」 適用業務名が詳細仕様説明書の「第5-3　オンライン処理の流れ図(詳細)」に合致していないため修正する。修正対象は下記のとおり。 ・該当戸籍一覧～個人状態ファイル表示(副本) ・届出メニュー ～処分決定　個人詳細表示(処分決定) ・移記戸籍選択～事件別入力(出生)子の記録(その4) ・未決裁一覧～決裁･届書イメージ等表示 ・証明書選択メニュー～証明書発行確認（届書等情報内容証明） ・ファイル更新処理メニュー～送付分届書等一覧
10		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
11	R4	B01、B02、B03	画面項目一覧表	処理が異なるため「証明書発行確認(副本)」を下記２画面に分割 ・「証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)」 ・「証明書発行確認(戸籍電子証明書等)」
12		B04		送達確認書の郵送事務が残るため修正 ・「送付先市区町村情報更新」
13		B06		B01、B02の仕様に合わせるため修正 ・「証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)」
14		B01、指摘事項管理表No.95		個人状態ファイルに注意喚起区分を追加したことによる修正 ・「戸籍構成員一覧」 ・「個人詳細表示」 ・「個人状態ファイル表示」 ・「戸籍構成員一覧(副本)」 ・「個人詳細表示(副本)」 ・「個人状態ファイル表示(副本)」 ・「戸籍構成員一覧(副本･異動)」 ・「個人詳細表示(副本･異動)」 ・「個人状態ファイル表示(副本･異動)」 ・「戸籍構成員一覧(証明)」 ・「個人詳細表示(証明)」 ・「個人状態ファイル更新」
15		申し送り事項一覧No.9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ・「受付ファイル検索」 ・「届書等情報表示」 ・「処分決定･仮受付」 ・「処分決定･受付」 ・「決裁･受付」 ・「決裁･届書等イメージ表示」 ・「届書等情報更新」 ・「申入書情報選択」 ・「申入書情報更新」
16		申し送り事項一覧No.18		届書等情報及び不受理申出情報の補正情報の桁数を1000に修正 ・「不受理申出情報更新」 ・「届書等情報更新」
17		指摘事項管理表No.24		過去の修正が反映されていないことによる修正 ※欄外に記載 ・出生届(その２)画面、(その３)画面 ・養子離縁届(離縁形態入力)画面 ・養子離縁同時73条の2届(離縁形態入力)画面 ・婚姻届(その１)画面、(その２)画面 ・離婚届(その２)画面 ・未成年後見(その２)画面 ・転籍届(その１)画面
18		指摘事項管理表No.92②		戸籍情報連携システムから受領する不受理申出情報の出張所に関する項目は日本語名称であるため、出張所コードを削除 ・「不受理申出ファイル表示（副本）」 ・「不受理申出イメージ表示（副本）」 ・「不受理申出ファイル表示（副本･異動）」 ・「不受理申出イメージ表示（副本･異動）」

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
19		－		検索種別が異なるため新規作成 ・「該当戸籍一覧(副本・証明)」
20	2.0 (2023.3.31版)	指摘事項管理表 (1)(2) №1～3	画面項目一覧表	処分区分に「誤入力」を追加 ・処分決定･仮受付及び処分決定･受付の変更処分区分のタイプを「数字」→「英数字」に変更
21		同 № 198,199,290		申入書情報の処理について、外部インターフェース仕様書との差異を修正 ・申入書情報選択で選択する処理区分の表示内容を修正
22		指摘事項管理表 (3)_連携システム_外部IF仕様書 No.275,316		追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分の設定に関する修正 ・処分決定･仮受付、処分決定･受付、決裁･受付及び届書等情報更新に追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分に入力項目を追加
23		同 №324		「電子証明書提供用識別符号等通知書」に発行部数を追加 ・証明書発行確認（戸籍電子証明書等）に発行部数を追加
24		－		届書のスキャンは決裁後に紐づけすることにより決裁でイメージ表示はできないことから、「決裁･届書等イメージ表示」画面を「届書等イメージ表示」画面に変更する ※決裁処理での画面の位置付けから、ファイル更新処理での画面の位置付けとする
25		－		誤り修正 ・画面設計書に合わせて処分決定･仮受付及び処分決定･受付の変更処分名称の桁数を「3」→「4」に変更 ・誤りにより申入書情報更新の「申入書届書イメージ更新時間」及び「申入書届書イメージ更新時間(期間満了前)」の届書を削除 ・画面設計書の修正により、送付分届書等一覧の選択番号を「2」→「3」に変更 ・送付先市区町村情報更新の№34-2処理区分名称の桁数、タイプ、入出力、備考を修正
26	2.0 (2023.7.31版)	－	画面項目一覧表	振り仮名の法制化による修正 ①画面の追加 　氏の振り仮名の届、名の振り仮名の届、氏の振り仮名の変更届、名の振り仮名の変更届 ②画面の修正 　該当戸籍一覧、個人詳細表示、不受理申出ファイル表示、不受理申出イメージ表示、個人状態ファイル表示、受付ファイル選択、受付ファイル検索、該当戸籍一覧（副本）、個人詳細表示（副本）、不受理申出ファイル表示（副本）、不受理申出イメージ表示（副本）、個人状態ファイル表示（副本）、該当戸籍一覧(異動)、個人詳細表示(異動)、該当戸籍一覧（副本・異動）、個人詳細表示（副本・異動）、不受理申出ファイル表示（副本・異動）、不受理申出イメージ表示（副本･異動）、個人状態ファイル表示（副本・異動）、氏の変更届、名の変更届、【★出生届～就籍届は「～カナ氏名」を「～振り仮名」にN(XX)をK(XX)に変更】、処分決定･仮受付、処分決定･仮付、処分決定　個人詳細表示(処分決定)、個人情報表示、決裁･受付、個人詳細表示(決裁)、、該当戸籍一覧（副本・証明）、不受理申出ファイル更新、不受理申出情報更新、個人状態ファイル更新、該当戸籍一覧(副本・本籍人)
27		－		振り仮名の法制化に合わせて修正 ・戸籍構成員一覧(異動)、移記:戸籍事項事件別入力（氏の変更1/2)
28		－		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ・個人状態ファイルから「破産宣告人区分」「犯歴区分」が削除されたことの対応 →個人詳細表示、個人状態ファイル表示、個人詳細表示(異動)、個人詳細表示(処分決定)、個人詳細表示(決裁)、個人状態ファイル更新
29		－		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・移記／個人情報表示に「同一戸籍内前個人番号」を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
30		―		火葬許可事務システム標準化に伴う修正 ・処分決定・仮受付、処分決定・受付を修正
31		―		指摘による修正 ・各届(事件別)の在外送付区分の備考にコード内容の記載があるものと無いものが混在していたため、記載を削除して統一

第5.5.(3) 画面項目一覧表

(1) 作成の目的

入出力項目、ファイル項目を把握する資料とするため、オンラインシステムの流れ図届書及び画面設計書を参考にして、画面項目を検討し作成する。

(2) 作成方法

画面設計書で示した各項目の洗い出しを行った。
なお、各欄の記入内容は、次のとおりである。

ア　画面名　　画面の名称を記入する。

イ　項目名　　項目の名称を記入する。

ウ　桁数　　項目の桁数(長さ)を記入する。

エ　タイプ　　項目の属性(漢字･数字･カナ)を記入する。

オ　入出力　　入力項目なら「入」、出力項目なら「出」と記入する。

(3) 画面項目一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

0.業務選択

画面番号		画面名	戸籍業務メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	業務選択番号	2	数字	入	
4	パスワード	15	英数字	入	*自治体固有チェック
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

1.検索処理

画面番号		画面名	検索処理メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	選択番号	2	数字	入	
4	PFガイダンス1	39	漢字	出	
5	PFガイダンス2	39	漢字	出	
6	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	振り仮名	30	漢字	入	
5	漢字氏名	30	漢字	入	
6	本籍	30	漢字	出	
7	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
8	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
9	一連番号	2	数字	出	
10	本人氏名	14	漢字	出	
11	生年月日	7	英数字	出	
12	編製日	7	英数字	出	
13	消除日	7	英数字	出	
14	除籍日	7	英数字	出	
15	旧氏名検索表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
16	筆頭者	14	漢字	出	
17	本籍地	21	漢字	出	
*上記9～17を一画面MAX5人表示する　(複数ページ有り)					
18	該当番号	2	数字	入	
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項(1～6)	33	漢字	出	
*上記10を一画面MAX6行表示する　(複数ページ有り)					
11	構成員SEQ番号	2	数字	出	
12	構成員漢字氏名	14	漢字	出	
13	構成員生年月日	7	英数字	出	
14	構成員除籍日	7	英数字	出	
15	構成員続柄	3	漢字	出	
16	構成員配偶者区分	2	漢字	出	
17	構成員裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知区分:1の時「*」
18	構成員照会届出有無	1	漢字	出	受理･処理照会区分:1の時「*」
19	構成員保留届出有無	1	漢字	出	保留区分:1の時「*」
20	構成員胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知区分:1の時「*」
20-1	構成員注意喚起有無	1	漢字	出	注意喚起区分:1、2の時「*」
21	構成員メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「*」
*上記11～20を一画面MAX8人表示する　(複数ページ有り)					
22	詳細選択番号	2	数字	入	
23	PFガイダンス1	39	漢字	出	
24	PFガイダンス2	39	漢字	出	
25	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	個人詳細表示		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知区分:1の時「有」
7	照会届出有無	1	漢字	出	受理･処理照会区分:1の時「有」
8	保留届出有無	1	漢字	出	保留区分:1の時「有」
9	胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知区分:1の時「有」
9-1	注意喚起有無	1	漢字	出	注意喚起区分:1、2の時「*」
10	メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「有」
11	本籍	30	漢字	出	
12	筆頭者	30	漢字	出	
13	振り仮名	30	漢字	出	
14	漢字氏名	30	漢字	出	
15	生年月日	7	英数字	出	
16	除籍日	7	英数字	出	
17	筆頭者表示	3	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
18	配偶者区分表示	5	漢字	出	
19					2.0版で削除
20	父氏名	14	漢字	出	
21	母氏名	14	漢字	出	
22	父母との続柄	3	漢字	出	
23	養父氏名	14	漢字	出	
24	養母氏名	14	漢字	出	
25	養父母との続柄	3	漢字	出	
26	身分事項事件項番	2	数字	出	
27	身分事項事件名	8	漢字	出	
28	身分事項記録項目	27	漢字	出	
*上記25～27を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	

画面項目一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名				
1.検索処理　1.1戸籍検索				
画面番号		画面名	個人詳細表示	

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	振り仮名	30	漢字	出	
5	漢字氏名	30	漢字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	14	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	出	
9	項番	2	数字	出	
10	出張所番号	3	数字	出	
11	受理･送付別	1	数字	出	受理分:1、送付分:2
12	開始日	7	英数字	出	
13	送付日	7	英数字	出	
14	失効日	7	英数字	出	
15	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
16	失効区分表示	3	漢字	出	(上記の内容を表示)
17	不受理申出事件コード	2	数字	出	
18	不受理申出事件名称	20	漢字	出	
19	不受理申出相手氏名1	30	漢字	出	
20	不受理申出相手氏名2	30	漢字	出	
*上記　9～20を一画面MAX2件分示する　(複数ページ有り)					
20-1	不受理申出選択番号	2	数字	入	イメージを表示する申出番号を入力
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	振り仮名	30	漢字	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	本籍	30	漢字	出	
6	筆頭者	14	漢字	出	
7	生年月日	7	英数字	出	
8	項番	2	数字	出	
9	出張所番号	3	数字	出	
10	受理･送付別	1	数字	出	受理分:1、送付分:2
11	開始日	7	英数字	出	
12	送付日	7	英数字	出	
13	失効日	7	英数字	出	
14	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
15	失効区分表示	3	漢字	出	(上記の内容を表示)
16	不受理申出事件コード	2	数字	出	
17	不受理申出事件名称	20	漢字	出	
18	不受理申出相手氏名1	30	漢字	出	
19	不受理申出相手氏名2	30	漢字	出	
20	不受理申出イメージ更新日	7	英数字	出	
21	不受理申出イメージ更新時間	6	英数字	出	
22	不受理申出イメージ最終履歴番号	2	数字	出	
23	不受理申出添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
24	不受理申出添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
25	不受理申出補正イメージ更新日	7	英数字	出	
26	不受理申出補正イメージ更新時間	6	英数字	出	
27	不受理申出取下イメージ更新日	7	英数字	出	
28	不受理申出取下イメージ更新時間	6	英数字	出	
29	イメージ種別番号	1	数字	入	イメージ表示する種別を入力
30	表示履歴番号	2	数字	入	
31	不受理申出補正内容	-	漢字	出	１行30文字で複数行表示する
32	PFガイダンス1	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
34	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.1戸籍検索

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	振り仮名	30	漢字	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	本籍	30	漢字	出	
6	生年月日	7	英数字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	禁治産者区分	1	数字	出	禁治産者の場合:1
9	準禁治産者区分	1	数字	出	準禁治産者の場合:1
10					2.0版で削除
11	裁判所通知区分	1	数字	出	裁判所からの通知があった場合:1
12					2.0版で削除
13	胎児認知区分	1	数字	出	胎児認知がある場合:1
14	受理･処理照会区分	1	数字	出	受理･処理照会がある場合:1
15	保留区分	1	数字	出	保留がある場合:1
15-1	注意喚起区分	1	数字	出	注意喚起がある場合:1又は2
15-2	氏の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	職権記録の場合:1
15-3	名の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	職権記録の場合:1
16	メモ1	30	漢字	出	
17	メモ2	30	漢字	出	
18	メモ3	30	漢字	出	
19	メモ4	30	漢字	出	
20	メモ5	30	漢字	出	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理 1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	受付ファイル選択		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	入	
5	受付日1　　『範囲指定の場合、開始日』	7	英数字	入	元号コード入力有
6	受付日2　　『範囲指定の場合、終了日』	7	英数字	入	元号コード入力有
7	処分区分	1	数字	入	
8	処分名称	3	漢字	出	
9	振り仮名	30	漢字	入	
10	漢字氏名	30	漢字	入	
11	届出事件コード	2	数字	入	
12	届出事件名称	5	漢字	出	
13	生年月日	7	数字	入	元号コード/西暦入力有
13-1	受理送付区分	1	数字	入	
13-2	渉外区分	1	数字	入	
14	渉外区分名	3	漢字	出	
15	一連番号	2	数字	出	
16	処分区分表示	3	漢字	出	
17	事件名	10	漢字	出	
18	受理･送付区分	2	漢字	出	
19	本籍･非本籍区分	2	漢字	出	
20	渉外区分名称	3	漢字	出	
21	受付日	7	英数字	出	
22	決裁区分	3	漢字	出	
23	受付番号	7	数字	出	
24	事件本人漢字氏名	30	漢字	出	事件本人1を表示
*上記15～24を一画面MAX6件分示する　(複数ページ有り)					
25	選択番号	2	数字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理 1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	受付ファイル検索		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	9	英数字	出	「9999999-9」で編集
5	受理･送付区分	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	
7	処分区分表示	3	漢字	出	
8	決裁区分	3	漢字	出	
9	事件名	15	漢字	出	
10	事件日	7	英数字	出	
10-1	事件発生時分	4	英数字	出	「99:99」で編集
11	出張所番号	3	数字	出	
11-1	発送日名称	3	漢字	出	「発送日」又は「送信日」
12	発送日	7	英数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本籍･非本籍区分	~~2~~3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外区分	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連事件番号1	7	数字	出	
21	関連事件番号2	7	数字	出	
22	関連事件番号3	7	数字	出	
23	関連事件番号4	7	数字	出	
24	関連事件番号5	7	数字	出	
25	事件本人区分	6	漢字	出	
26	事件本人振り仮名	24	漢字	出	
27	事件本人生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年　月　日」 外国人の場合「西暦年　月　日」
28	事件本人漢字氏名	24	漢字	出	
29	事件本人送達確認区分1	1	数字	出	注：1画面中2人目にはなし

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理 1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	受付ファイル検索		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	事件本人送達確認区分2	1	数字	出	
31	事件本人届出人同一表示	3	漢字	出	
32	事件本人本籍/筆頭者	30	漢字	出	K-本籍-K　K - 筆頭者-K で編集表示する
*上記24～32を一画面MAX2人分示する （複数ページ有り）					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後本籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	PFガイダンス1	39	漢字	出	
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理 1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	届書等情報表示		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	受領番号	7	数字	出	
4	受理送付区分	2	漢字	出	
5	受付日	7	英数字	出	
6	処分区分	3	漢字	出	
7	決裁区分	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件日	7	英数字	出	
10	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
11	出張所番号	3	数字	出	
11-1	発送日名称	3	漢字	出	「発送日」又は「送信日」
12	発送日	7	英数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本非区分	3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外区分	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連受領番号1	7	数字	出	
21	関連受領番号2	7	数字	出	
22	関連受領番号3	7	数字	出	
23	関連受領番号4	7	数字	出	
24	関連受領番号5	7	数字	出	
25	届書イメージ更新日	7	英数字	出	
26	届書イメージ更新時間	6	英数字	出	
26-1	届書イメージ最終履歴番号	2	英数字	出	
26-2	添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
26-3	添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
27	届書補正イメージ更新日	7	英数字	出	
28	届書補正イメージ更新時間	6	英数字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理 1.2受付ファイル検索

画面番号		画面名	届書等情報表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
28-1	申入書イメージ更新日	7	英数字	出	
28-2	申入書イメージ更新時間	6	英数字	出	
28-3	申入書イメージ最終履歴番号	2	英数字	出	
28-4	申入書情報表示番号	2	数字	出	
28-5	申入書情報総数	2	数字	出	
28-6	イメージ種別番号	1	数字	入	イメージ表示する種別を入力
28-7	表示履歴番号	2	数字	入	
28-8	届書補正内容	-	漢字	出	
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	検索対象市区町村コード	5	数字	入	
5	検索対象市区町村	20	漢字	出	
6	振り仮名	30	漢字	入	
7	漢字氏名	30	漢字	入	
8	本籍	30	漢字	入	
9	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
11	戸籍の編製日	7	英数字	入	
12	戸籍の消除日	7	英数字	入	
13	入籍日	7	英数字	入	
14	除籍日	7	英数字	入	
15	戸籍種別1	1	英数字	入	戸籍種別=1(戸籍)
16	戸籍種別2	1	英数字	入	戸籍種別=2(除籍(電算化後))
17	戸籍種別3	1	英数字	入	戸籍種別=4(再製原戸籍)
18	戸籍種別4	1	英数字	入	戸籍種別=5(除籍(電算化前))
19	戸籍種別5	1	英数字	入	戸籍種別=6(司法大臣原戸籍)
20	戸籍種別6	1	英数字	入	戸籍種別=7(昭和改製原戸籍)
21	戸籍種別7	1	英数字	入	戸籍種別=8(平成改製原戸籍)
22	戸籍種別8	1	英数字	入	戸籍種別=9(再製原除籍)
23	戸籍種別9	1	英数字	入	戸籍種別=10(再製原平成改製原戸籍)
23-1	記載字検索フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
23-2	遡り検索フラグ	1	英数字	入	
23-3	構成員等取得フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
24	一連番号	2	数字	出	
25	戸籍種別	8	漢字	出	
26	改製不適合区分	4	漢字	出	正本が紙で管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適紙」、イメージ管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適磁気」を表示する。
26-1	遡り該当フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「遡り」を表示する。
27	本人氏名	~~12~~10	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
28	生年月日	7	英数字	出	
29	編製日	7	英数字	出	
30	消除日	7	英数字	出	
31	除籍日	7	英数字	出	
32	旧氏名表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
32-1	構成員等該当者フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「構成」を表示する。
33	筆頭者	10	漢字	出	
34	本籍	20	漢字	出	
*上記24～34を一画面MAX3人表示する　(複数ページ有り)					
35	該当番号	2	数字	入	
36	PFガイダンス1	39	漢字	出	
37	PFガイダンス2	39	漢字	出	
38	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	目的内利用確認

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	検索目的確認	1	数字	入	
4	検索目的区分	1	数字	入	
5	検索目的(その他)	30	漢字	入	
6	PFガイダンス1	39	漢字	出	
7	PFガイダンス2	39	漢字	出	
8	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(副本)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ1	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	ページ2	5	英数字	出	「99/99」で編集
5	戸籍種別	8	漢字	出	
6	改製不適合区分	11	漢字	出	
7	編製日	7	英数字	出	
8	消除日	7	英数字	出	
9	記録数	2	数字	出	
10	在籍数	2	数字	出	
11	本籍	30	漢字	出	
12	筆頭者	30	漢字	出	
13	戸籍事項(1～5)	33	漢字	出	
*上記13を一画面MAX5行表示する　(複数ページ有り)					
14	構成員 構成員SEQ番号	2	数字	出	
15	構成員 漢字氏名	14	漢字	出	
16	構成員 生年月日	7	英数字	出	
17	構成員 除籍日	7	英数字	出	
18	構成員 続柄	3	漢字	出	
19	構成員 配偶者区分	2	漢字	出	
20	構成員 裁判所通知区分	1	漢字	出	裁判所通知区分:1の時「*」
21	構成員 受理処理照会区分	1	漢字	出	受理処理照会区分:1の時「*」
22	構成員 胎児認知届区分	1	漢字	出	胎児認知区分:1の時「*」
22-1	構成員 不受理申出区分	1	漢字	出	不受理申出区分:1の時「*」
22-2	構成員 注意喚起区分	1	漢字	出	注意喚起区分:1の時「*」
*上記14～22-2を一画面MAX8人表示する　(複数ページ有り)					
23	詳細選択番号	2	数字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	個人詳細表示（副本）

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	戸籍種別	8	漢字	出	
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	裁判所通知区分	1	漢字	出	裁判所通知区分:1の時「有」
8	受理処理照会区分	1	漢字	出	受理処理照会区分:1の時「有」
9	胎児認知区分	1	漢字	出	胎児認知区分:1の時「有」
9-1	不受理申出区分	1	漢字	出	不受理申出区分:1の時「有」
9-2	注意喚起区分	1	漢字	出	注意喚起区分:1、2の時「有」
11	筆頭者	30	漢字	出	
12	振り仮名	30	漢字	出	
13	漢字氏名	30	漢字	出	
14	生年月日	7	英数字	出	
15	除籍日	7	英数字	出	
16	筆頭者区分	3	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
17	配偶者区分	5	漢字	出	
18	父氏名	14	漢字	出	
19	母氏名	14	漢字	出	
20	父母との続柄	3	漢字	出	
21	養父氏名	14	漢字	出	
22	養母氏名	14	漢字	出	
23	養父母との続柄	3	漢字	出	
24	身分事項事件項番	2	数字	出	
25	身分事項事件名	8	漢字	出	
26	身分事項記録項目	27	漢字	出	
*上記24～26を一画面MAX10行表示する　（複数ページ有り）					
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示(副本)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	戸籍種別	8	漢字	出	
5	振り仮名	30	漢字	出	
6	漢字氏名	30	漢字	出	
7	本籍	30	漢字	出	
8	筆頭者	15	漢字	出	
9	生年月日	7	英数字	出	
10	項番	2	数字	出	
11					R4版で削除
12	開始日	7	英数字	出	
13	送付日	7	英数字	出	
14	失効日	7	英数字	出	
15	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
16	失効区分表示	2	漢字	出	(上記の内容を表示)
17	不受理申出　事件コード	2	数字	出	
18	不受理申出　事件名	20	漢字	出	
19	不受理申出　相手氏名1	30	漢字	出	
20	不受理申出　相手氏名2	30	漢字	出	
*上記　10～20を一画面MAX2件分示する　(複数ページ有り)					
20-1	不受理申出選択番号	2	数字	入	イメージを表示する申出番号を入力
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示(副本)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	戸籍種別	8	漢字	出	
4	振り仮名	30	漢字	出	
5	漢字氏名	30	漢字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	15	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	出	
9	項番	2	数字	出	
10					R4版で削除
11	開始日	7	英数字	出	
12	送付日	7	英数字	出	
13	失効日	7	英数字	出	
14	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
15	失効区分表示	2	漢字	出	(上記の内容を表示)
16	不受理申出　事件コード	2	数字	出	
17	不受理申出　事件名	20	漢字	出	
18	不受理申出　相手氏名1	30	漢字	出	
19	不受理申出　相手氏名2	30	漢字	出	
20	不受理申出イメージ更新日	7	英数字	出	
21	不受理申出イメージ更新時間	6	英数字	出	
22	不受理申出イメージ最終履歴番号	2	数字	出	
23	不受理申出添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
24	不受理申出添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
25	不受理申出補正イメージ更新日	7	英数字	出	
26	不受理申出補正イメージ更新時間	6	英数字	出	
27	不受理申出取下イメージ更新日	7	英数字	出	
28	不受理申出取下イメージ更新時間	6	英数字	出	
29	不受理申出取下イメージ更新時間	6	英数字	出	
30	イメージ種別番号	1	数字	入	イメージ表示する種別を入力
31	表示履歴番号	2	数字	入	
32	不受理申出補正内容	-	漢字	出	１行30文字で複数行表示する

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示(副本)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス1	39	漢字	出	
34	PFガイダンス2	39	漢字	出	
35	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

1.検索処理　1.3副本記録情報検索

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示(副本)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	戸籍種別	8	漢字	出	
4	振り仮名	30	漢字	出	
5	漢字氏名	30	漢字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	生年月日	7	英数字	出	
8	筆頭者	30	漢字	出	
9	禁治産者区分	1	数字	出	
10	裁判所通知区分	1	数字	出	
11	胎児認知区分	1	数字	出	
12	受理処理照会区分	1	数字	出	
12-1	注意喚起区分	1	数字	出	
12-2	氏の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	
12-3	名の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	
13	PFガイダンス1	39	漢字	出	
14	PFガイダンス2	39	漢字	出	
15	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.0届出選択

画面番号		画面名	届出メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	該当事件コード	2	数字	入	
4	受領番号	7	数字	入	
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	振り仮名	30	漢字	入	
6	漢字氏名	30	漢字	入	
7	本籍	30	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
9	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
10	一連番号	2	数字	出	
11	本人氏名	14	漢字	出	
12	生年月日	7	英数字	出	
13	編製日	7	英数字	出	
14	消除日	7	英数字	出	
15	除籍日	7	英数字	出	
16	旧氏名検索表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
17	筆頭者	14	漢字	出	
18	本籍地	21	漢字	出	
*上記10～18を一画面MAX5人表示する　(複数ページ有り)					
19	該当番号	2	数字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	記録数	2	数字	出	
8	在籍数	2	数字	出	
9	本籍	30	漢字	出	
10	筆頭者	30	漢字	出	
11	戸籍事項(1～6)	33	漢字	出	
*上記11を一画面MAX6行表示する　(複数ページ有り)					
12	構成員SEQ番号	2	数字	出	
13	構成員漢字氏名	14	漢字	出	
14	構成員生年月日	7	英数字	出	
15	構成員除籍日	7	英数字	出	
16	構成員続柄	3	漢字	出	
17	構成員配偶者区分	2	漢字	出	
18	構成員裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知:1の時「*」
19	構成員照会届出有無	1	漢字	出	受理･処理照会:1の時「*」
20	構成員保留届出有無	1	漢字	出	保留1:の時「*」
21	構成員胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知:1の時「*」
21-1	構成員注意喚起区分有無	1	漢字	出	注意喚起区分:1、2の時「*」
22	構成員メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「*」
*上記12～22を一画面MAX6人表示する　(複数ページ有り)					

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
23	詳細選択番号	2	数字	入	
23-1	届書該当者1 *1	11	漢字	出	*1 届出により届書該当者の名称及び入力項目数を変える 届書該当者は7.2.(4) 「異動検索」処理の「システム処理の概要説明書」「1.0 異動検索の届書別該当者一覧」を参考にすること
24	事件本人1選択番号	2	数字	入	
24-1	届書該当者2 *1	11	漢字	出	
25	事件本人2選択番号	2	数字	入	
25-1	届書該当者3 *1	11	漢字	出	
26	事件本人3選択番号	2	数字	入	
26-1	届書該当者4 *1	11	漢字	出	
27	事件本人4選択番号	2	数字	入	
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人詳細表示(異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	
3	ページ	5	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
4	事件名	15	漢字	出	「99/99」で編集
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知:1の時「*」
8	照会届出有無	1	漢字	出	受理･処理照会:1の時「*」
9	保留届出有無	1	漢字	出	保留1:の時「*」
10	胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知:1の時「*」
10-1	注意喚起区分有無	1	漢字	出	注意喚起区分:1、2の時「*」
11	メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「*」
12	本籍	30	漢字	出	
13	筆頭者	30	漢字	出	
14	振り仮名	30	漢字	出	
15	漢字氏名	30	漢字	出	
16	生年月日	7	英数字	出	
17	除籍日	7	英数字	出	
18	筆頭者表示	3	漢字	出	
19	配偶者区分表示	5	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
20					2.0版で削除
21	父氏名	14	漢字	出	
22	母氏名	14	漢字	出	
23	父母との続柄	3	漢字	出	
24	養父氏名	14	漢字	出	
25	養母氏名	14	漢字	出	
26	養父母との続柄	3	漢字	出	
27	身分事項事件項番	2	数字	出	
28	身分事項事件名	8	漢字	出	
29	身分事項記録項目	27	漢字	出	
*上記27～29を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人詳細表示(異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	
32	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本・異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	検索対象市区町村コード	5	数字	入	
6	検索対象市区町村	20	漢字	出	
7	振り仮名	30	漢字	入	
8	漢字氏名	30	漢字	入	
9	本籍	30	漢字	出	
10	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
11	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
12	戸籍の編製日	7	英数字	入	
13	戸籍の消除日	7	英数字	入	
14	入籍日	7	英数字	入	
15	除籍日	7	英数字	入	
16	戸籍種別1	1	英数字	入	戸籍種別=1(戸籍)
17	戸籍種別2	1	英数字	入	戸籍種別=2(除籍(電算化後))
17-1	記載字検索フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
17-2	遡り検索フラグ	1	英数字	入	
17-3	構成員等取得フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
18	一連番号	2	数字	出	
19	戸籍種別	8	漢字	出	
20	改製不適合区分	4	漢字	出	正本が紙で管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適紙」、イメージ管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適磁気」を表示する。
20-1	遡り該当フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「遡り」を表示する。
21	本人氏名	~~12~~10	漢字	出	
22	生年月日	7	英数字	出	
23	編製日	7	英数字	出	
24	消除日	7	英数字	出	
25	除籍日	7	英数字	出	
26	旧氏名検索表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
26-1	構成員等該当者フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「構成」を表示する。

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名					
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名		該当戸籍一覧(副本・異動)	
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	筆頭者	12	漢字	出	
28	本籍	20	漢字	出	
*上記18～28を一画面MAX3人表示する （複数ページ有り）					
29	該当番号	2	数字	入	
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(副本・異動)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ1	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	ページ2	5	英数字	出	「99/99」で編集
5	事件名	15	漢字	出	
6	戸籍種別	8	漢字	出	
7	改製不適合区分	11	漢字	出	
8	編製日	7	英数字	出	
9	消除日	7	英数字	出	
10	記録数	2	数字	出	
11	在籍数	2	数字	出	
12	本籍	30	漢字	出	
13	筆頭者	30	漢字	出	
14	戸籍事項(1～5)	33	漢字	出	
*上記14を一画面MAX5行表示する　(複数ページ有り)					
15	構成員 構成員SEQ番号	2	数字	出	
16	構成員 漢字氏名	14	漢字	出	
17	構成員 生年月日	7	英数字	出	
18	構成員 除籍日	7	英数字	出	
19	構成員 続柄	3	漢字	出	
20	構成員 配偶者区分	2	漢字	出	
21	構成員 裁判所通知区分	1	漢字	出	裁判所通知区分:1の時「*」
22	構成員 受理処理照会区分	1	漢字	出	受理処理照会区分:1の時「*」
23	構成員 胎児認知届区分	1	漢字	出	胎児認知区分:1の時「*」
23-1	構成員 不受理申出区分	1	漢字	出	不受理申出区分:1の時「*」
23-2	構成員 注意喚起区分	1	漢字	出	注意喚起区分:1の時「*」
*上記15～23-2を一画面MAX5人表示する　(複数ページ有り)					
24	詳細選択番号	2	数字	入	
25	事件本人名称1～6	11	漢字	出	届出により事件本人名称及び該当者の入力項目数を変える
26	事件本人選択番号1～6	2	数字	入	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4
適用業務名					
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(副本・異動)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人詳細表示（副本・異動）

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	戸籍種別	8	漢字	出	
6	編製日	7	英数字	出	
7	消除日	7	英数字	出	
8	裁判所通知区分	1	漢字	出	裁判所通知区分:1の時「有」
9	受理処理照会区分	1	漢字	出	受理処理照会区分:1の時「有」
10	胎児認知区分	1	漢字	出	胎児認知区分:1の時「有」
10-1	不受理申出区分	1	漢字	出	不受理申出区分:1の時「有」
10-2	注意喚起区分	1	漢字	出	注意喚起区分:1、2の時「有」
11	本籍	30	漢字	出	
12	筆頭者	30	漢字	出	
13	振り仮名	30	漢字	出	
14	漢字氏名	30	漢字	出	
15	生年月日	7	英数字	出	
16	除籍日	7	英数字	出	
17	筆頭者表示	3	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
18	配偶者区分表示	5	漢字	出	
19	父氏名	14	漢字	出	
20	母氏名	14	漢字	出	
21	父母との続柄	3	漢字	出	
22	養父氏名	14	漢字	出	
23	養母氏名	14	漢字	出	
24	養父母との続柄	3	漢字	出	
25	身分事項事件項番	2	数字	出	
26	身分事項事件名	8	漢字	出	
27	身分事項記録項目	27	漢字	出	
*上記25～27を一画面MAX10行表示する　（複数ページ有り）					
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名					
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	個人詳細表示（副本・異動）		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示(副本・異動)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	戸籍種別	8	漢字	出	
6	振り仮名	30	漢字	出	
7	漢字氏名	30	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	15	漢字	出	
10	生年月日	7	英数字	出	
11	項番	2	数字	出	
12					R4版で削除
13	開始日	7	英数字	出	
14	送付日	7	英数字	出	
15	失効日	7	英数字	出	
16	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
17	失効区分表示	2	漢字	出	(上記の内容を表示)
18	不受理申出　事件コード	2	数字	出	
19	不受理申出　事件名称	20	漢字	出	
20	不受理申出　相手氏名1	30	漢字	出	
21	不受理申出　相手氏名2	30	漢字	出	
*上記　11～21を一画面MAX2件分示する　(複数ページ有り)					
21-1	不受理申出選択番号	2	数字	入	イメージを表示する申出番号を入力
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示(副本・異動)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	事件名	15	漢字	出	
4	戸籍種別	8	漢字	出	
5	振り仮名	30	漢字	出	
6	漢字氏名	30	漢字	出	
7	本籍	30	漢字	出	
8	筆頭者	15	漢字	出	
9	生年月日	7	英数字	出	
10	項番	2	数字	出	
11					R4版で削除
12	開始日	7	英数字	出	
13	送付日	7	英数字	出	
14	失効日	7	英数字	出	
15	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
16	失効区分表示	2	漢字	出	(上記の内容を表示)
17	不受理申出　事件コード	2	数字	出	
18	不受理申出　事件名称	20	漢字	出	
19	不受理申出　相手氏名1	30	漢字	出	
20	不受理申出　相手氏名2	30	漢字	出	
21	不受理申出イメージ更新日	7	英数字	出	
22	不受理申出イメージ更新時間	6	英数字	出	
23	不受理申出イメージ最終履歴番号	2	数字	出	
24	不受理申出添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
25	不受理申出添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
26	不受理申出補正イメージ更新日	7	英数字	出	
27	不受理申出補正イメージ更新時間	6	英数字	出	
28	不受理申出取下イメージ更新日	7	英数字	出	
29	不受理申出取下イメージ更新時間	6	英数字	出	
30	不受理申出取下イメージ更新時間	6	英数字	出	
31	イメージ種別番号	1	数字	入	イメージ表示する種別を入力
32	表示履歴番号	2	数字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	不受理申出イメージ表示(副本・異動)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	不受理申出補正内容	-	漢字	出	1行30文字で複数行表示する
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示(副本・異動)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	事件名	15	漢字	出	
4	戸籍種別	8	漢字	出	
5	振り仮名	30	漢字	出	
6	漢字氏名	30	漢字	出	
7	本籍	30	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	禁治産者区分	1	数字	出	
11	裁判所通知区分	1	数字	出	
12	胎児認知区分	1	数字	出	
13	受理処理照会区分	1	数字	出	
13-1	注意喚起区分	1	数字	出	
13-2	氏の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	
13-3	名の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	
14	PFガイダンス1	39	漢字	出	
15	PFガイダンス2	39	漢字	出	
16	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード.年.月.日」で編集
3	支所No.	3	数字	入	*
4	受領No.	7	数字	出	*
5	受領日	7	英数字	入	
6	送付日	7	英数字	入	
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	*
10	本･非本	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	*
12	動態	1	数字	入	*
13	報告	1	数字	入	*
14	出生証明書区分	1	数字	入	
15	出生子の振り仮名	30	漢字	入	
16	出生子の漢字氏名	30	漢字	入	
17	出生子の生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
18	出生子の出生区分	1	数字	入	
19	出生子の続柄コード	2	数字	入	
20	出生子の出生地	30	漢字	入	
21	出生子の国籍	30	漢字	入	*
22	出生子の住所	30	漢字	入	
23	出生子の世帯主氏名	30	漢字	入	
24	出生子の世帯主との続柄コード	6	数字	入	
25	届出人の資格コード	3	数字	入	
26	届出人の資格コード名称	27	漢字	出	
27	届出人の資格名称	30	漢字	入	
28	届出人の氏名	30	漢字	入	
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*届書にない項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード.年.月.日」で編集
3	支所No.	3	数字	入	*
4	受領No.	7	数字	出	*
5	受領日	7	英数字	入	
6	送付日	7	英数字	入	
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	*
10	本･非本	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	*
12	動態	1	数字	入	*
13	報告	1	数字	入	*
14	入るべき戸籍の婚姻日	7	英数字	入	*
15					
16	入るべき戸籍の嫡出子例外区分	1	数字	入	*
17	入るべき戸籍の離婚日	7	英数字	入	*
18	入るべき戸籍の母前離婚日	7	英数字	入	*
19	入るべき戸籍の本籍	30	漢字	入	
20	入るべき戸籍の筆頭者氏名	30	漢字	入	
21	入るべき戸籍の父氏名	23	漢字	入	
22	入るべき戸籍の父筆頭者区分	1	数字	入	*
23	入るべき戸籍の父生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
24	入るべき戸籍の父入籍日	7	英数字	入	*
25	入るべき戸籍の父除籍日	7	英数字	入	*
26	入るべき戸籍の父配偶者区分	1	数字	入	*
27	入るべき戸籍の母氏名	23	漢字	入	
28	入るべき戸籍の母筆頭者区分	1	数字	入	*
29	入るべき戸籍の母生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
30	入るべき戸籍の母入籍日	7	英数字	入	*
31	入るべき戸籍の母除籍日	7	英数字	入	*
32	入るべき戸籍の母配偶者区分	1	数字	入	*

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	届書の父氏名	30	漢字	入	
34	届書の父本籍	18	漢字	入	
35	届書の父生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
36	届書の父筆頭者氏名	18	漢字	入	
37	届書の父外国人区分	1	数字	入	*
38	届書の母氏名	30	漢字	入	
39	届書の母本籍	18	漢字	入	
40	届書の母生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
41	届書の母筆頭者氏名	18	漢字	入	
42	届書の母外国人区分	1	数字	入	*
43	胎児認知区分	1	数字	出	*
44	胎児認知日	7	英数字	入	*
45	関連受領番号	7	数字	入	*
46	PFガイダンス1	39	漢字	出	
47	PFガイダンス2	39	漢字	出	
48	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*届書にない項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	出生(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード.年.月.日」で編集
3	支所No.	3	数字	入	*
4	受領No.	7	数字	出	*
5	受領日	7	英数字	入	
6	送付日	7	英数字	入	
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	*
10	本･非本	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	*
12	動態	1	数字	入	*
13	報告	1	数字	入	*
14	新戸籍の本籍	30	漢字	入	*
15	新戸籍の筆頭者氏名	30	漢字	入	*
16	国外出生の国籍留保届出人資格	1	数字	入	*
17	国外出生の在外公館名	30	漢字	入	*
18	裁判の区分	1	数字	入	*
19	裁判の確定日	7	英数字	入	*
20	裁判の子の氏変更申出区分	1	数字	入	*
21	裁判の対象夫氏名	18	漢字	入	*
22	裁判の対象夫生年月日	8	英数字	入	*
23	親権の区分	1	数字	入	*
24	親権の確定日	7	英数字	入	*
25	国内遅延理由区分	1	数字	入	*
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*届書にない項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード 年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告的届出区分	1	数字	入	*
13	被認知者の区分	1	数字	入	
14	被認知者の外国人区分	1	数字	入	*
15	被認知者の本非区分	1	漢字	入	*
16	被認知者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
17	被認知者の生死区分	1	数字	入	*
18	被認知者の振り仮名	30	漢字	入	*
19	被認知者の漢字氏名	30	漢字	入	
20	被認知者の住所	30	漢字	入	
21	被認知者の世帯主	30	数字	入	
22	被認知者の本籍地	30	漢字	入	
23	被認知者の筆頭者	30	数字	入	
24	被認知者の準正による訂正後の続柄	2	数字	入	*
25	被認知者の準正による訂正後の続柄名称	4	漢字	出	
26	認知者の外国人区分	1	数字	入	*
27	認知者の本非区分	1	数字	入	*
28	認知者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外人は西暦)
29	認知者の生死区分	1	数字	入	*
30	認知者の振り仮名	30	漢字	入	*
31	認知者の漢字氏名	30	漢字	入	
32	認知者の本籍地	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	認知者の筆頭者	30	漢字	入	
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード 年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	報告的届出区分	1	数字	出	
13	母の外国人区分	1	数字	入	*
14	母の本非区分	1	数字	入	*
15	母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
16	母の振り仮名	30	漢字	入	*
17	母の漢字氏名	30	漢字	入	
18	母の本籍地	30	漢字	入	
19	母の筆頭者	30	漢字	入	
20	母の住所地	30	漢字	入	*
21	母の認知者との婚姻日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
22	認知種別	1	数字	入	
23	審査の準拠法	1	数字	入	*
24	認知成立日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
25	証書提出日	7	英数字	出	元号コード有
26	認知の方式	28	漢字	入	*
27	裁判成立地	1	数字	入	*
28	審判/判決確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
29	裁判訴提起者	30	漢字	入	*
30	外国の裁判所名	30	漢字	入	*
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	報告的届出区分	1	数字	出	
13	認知を承諾した者	1	数字	入	*
14	届出人資格1	3	数字	入	
15	届出人資格1名称	20	漢字	入	
16	届出人氏名1	30	漢字	入	
17	届出人資格2	3	数字	入	*
18	届出人資格2名称	20	漢字	入	*
19	届出人氏名2	30	漢字	入	*
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	認知届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組･縁組形態入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	養子と養父区分	1	英字	入	*
4	養子と養母区分	1	英字	入	*
5	養女と養父区分	1	英字	入	*
6	養女と養母区分	1	英字	入	*
7	縁組形態名称	20	漢字	出	
8	表示1	30	漢字	出	
9	養親配偶者氏名1	30	漢字	入	*
10	表示2	30	漢字	出	
11	養親配偶者氏名2	30	漢字	入	*
12	PFガイダンス1	39	漢字	出	
13	PFガイダンス2	39	漢字	出	
14	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	＊
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	＊
13	養子の外国人区分	1	数字	入	＊
14	養子の本非区分	1	数字	入	＊
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養子の婚姻区分	1	数字	入	＊
17	養子の生死区分	1	数字	入	＊
18	養子の振り仮名	30	漢字	入	＊
19	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養子の本･国籍	30	漢字	入	
21	養子の住所	30	漢字	入	
22	養子の筆頭者氏名	14	漢字	入	
23	養子の世帯主氏名	14	漢字	入	
24	養子の父氏名	14	漢字	入	
25	養子の母氏名	14	漢字	入	
26	養子の続柄コード	2	数字	入	＊
27	養子の続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
28	養子の筆頭者区分	1	数字	入	＊
29	養子の筆頭者	3	漢字	出	
30	養子の配偶者区分	1	数字	入	＊
31	養子の配偶者	5	漢字	出	
32	養女の外国人区分	1	数字	入	＊

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養女の本非区分	1	数字	入	*
34	養女の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
35	養女の婚姻区分	1	数字	入	*
36	養女の生死区分	1	数字	入	*
37	養女の振り仮名	30	漢字	入	*
38	養女の漢字氏名	30	漢字	入	
39	養女の本･国籍	30	漢字	入	
40	養女の住所	30	漢字	入	
41	養女の筆頭者氏名	14	漢字	入	
42	養女の世帯主氏名	14	漢字	入	
43	養女の父氏名	14	漢字	入	
44	養女の母氏名	14	漢字	入	
45	養女の続柄コード	2	数字	入	*
46	養女の続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
47	養女の筆頭者区分	1	数字	入	*
48	養女の筆頭者	3	漢字	出	
49	養女の配偶者区分	1	数字	入	*
50	養女の配偶者	5	漢字	出	
51	監護者の有無	1	英字	入	
52	PFガイダンス1	39	漢字	出	
53	PFガイダンス2	39	漢字	出	
54	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養父の外国人区分	1	数字	入	*
14	養父の本非区分	1	数字	入	*
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養父の筆頭者区分	1	数字	入	*
17	養父の筆頭者	3	漢字	出	
18	養父の配偶者区分	1	数字	入	*
19	養父の配偶者	5	漢字	出	
20	養父の生死区分	1	数字	入	*
21	養父の振り仮名	30	漢字	入	*
22	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
23	養父の本･国籍	30	漢字	入	
24	養父の住所	30	漢字	入	
25	養父の筆頭者氏名	14	漢字	入	
26	養父の世帯主氏名	14	漢字	入	
27	養母の外国人区分	1	数字	入	*
28	養母の本非区分	1	数字	入	*
29	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
30	養母の筆頭者区分	1	数字	入	*
31	養母の筆頭者	3	漢字	出	
32	養母の配偶者区分	1	数字	入	*

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養母の配偶者	5	漢字	出	
34	養母の生死区分	1	数字	入	*
35	養母の振り仮名	30	漢字	入	*
36	養母の漢字氏名	30	漢字	入	
37	養母の本･国籍	30	漢字	入	
38	養母の住所	30	漢字	入	
39	養母の筆頭者氏名	14	漢字	入	
40	養母の世帯主氏名	14	漢字	入	
41	PFガイダンス1	39	漢字	出	
42	PFガイダンス2	39	漢字	出	
43	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告区分	1	数字	入	*
13	戸籍変動区分	1	数字	入	
14	入籍する戸籍または新しい戸籍	30	漢字	入	
15	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
16	裁判確定日	7	英数字	入	*
17	縁組成立日	7	英数字	入	*
18	縁組方式	30	漢字	入	*
19	証書提出日	7	英数字	出	
20	同一戸籍縁組	1	数字	入	*
21	後見人縁組区分	1	数字	入	*
22	届出人資格コード1	3	数字	入	
23	届出人氏名1	24	漢字	入	
24	代諾者コード1	1	数字	入	*
25	届出人国籍1	30	漢字	入	
26	届出人生年月日1	8	数字	入	
27	届出人資格コード2	3	数字	入	
28	届出人氏名2	24	漢字	入	
29	代諾者コード2	1	数字	入	*
30	届出人国籍2	30	漢字	入	
31	届出人生年月日2	8	数字	入	
32	PFガイダンス1	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その3)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その3)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
34	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子縁組(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告区分	1	数字	入	*
13	配偶者外国人区分	1	数字	入	*
14	配偶者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西歴入力)
15	配偶者振り仮名	30	漢字	入	*
16	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	*
17	配偶者住所	30	漢字	入	*
18	配偶者父氏名	14	漢字	入	*
19	配偶者母氏名	14	漢字	入	*
20	配偶者続柄コード	2	数字	入	*
21	配偶者続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
22	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	*
23	配偶者筆頭者	3	漢字	出	
24	配偶者配偶者区分	1	数字	入	*
25	配偶者配偶者	5	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(離縁形態入力)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	養子と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
4	養子と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
5	養女と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
6	養女と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
7	養子離縁形態名称	20	漢字	出	＊
8	同時届区分	1	数字	入	0:無　1:親権届 2:未成年後見届　＊
8-1	親権･未成年後見人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
8-2	親権･未成年後見人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
8-3	親権･未成年後見人振り仮名	30	漢字	入	
9	親権･未成年後見人氏名	30	漢字	入	
10	親権･未成年後見人本籍	30	漢字	入	
11	親権･未成年後見人筆頭者	30	漢字	入	
12	同時親権届の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判
13	同時親権者資格	3	数字	入	
14	同時親権届出人資格	3	数字	入	
15					
15-1	同時親権届出人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15-2	同時親権届出人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15-3	同時親権届出人振り仮名	30	漢字	入	
16	同時親権届出人氏名	30	漢字	入	
16-1	同時親権届出人本籍	30	漢字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届 2:非本籍分届 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届 2:報告的届 ＊
13	養子の外国人区分	1	数字	入	0:日本人 1:外国人 ＊
14	養子の本非区分	1	数字	入	1:本籍人 2:非本籍人 ＊
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養子の生死区分	1	数字	入	0:生存者 2:死亡者 ＊
17	養子の生死区分名称	3	漢字	出	＊
18	養子の振り仮名	30	漢字	入	
19	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養子の本･国籍	30	漢字	入	
21	養子の住所	30	漢字	入	
22	養子の筆頭者	14	漢字	入	
23	養子の世帯主	14	漢字	入	
24	養子の父氏名	14	漢字	入	
25	養子の母氏名	14	漢字	入	
26	養子の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
27	養子の父母との続柄名称	3	漢字	出	
28	養子の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者 ＊
29	養子の筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
30	養子の配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　3:生存配偶者 ＊
31	養子の配偶者区分名称	5	漢字	出	＊
32	養女の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養女の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
34	養女の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
35	養女の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
36	養女の生死区分名称	3	漢字	出	＊
37	養女の振り仮名	30	漢字	入	
38	養女の漢字氏名	30	漢字	入	
39	養女の本･国籍	30	漢字	入	
40	養女の住所	30	漢字	入	
41	養女の筆頭者	14	漢字	入	
42	養女の世帯主	14	漢字	入	
43	養女の父氏名	14	漢字	入	
44	養女の母氏名	14	漢字	入	
45	養女の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
46	養女の父母との続柄名称	3	漢字	出	
47	養女の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
48	養女の筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
49	養女の配偶者区分	1	数字	入	0:未　2:妻　3:生存配偶者　＊
50	養女の配偶者区分名称	5	漢字	出	＊
51	PFガイダンス1	39	漢字	出	
52	PFガイダンス2	39	漢字	出	
53	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届 ＊
13	養父の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
14	養父の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人 ＊
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養父の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者 ＊
17	養父の生死区分名称	3	漢字	出	＊
18	養父の振り仮名	30	漢字	入	
19	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養父の本･国籍	30	漢字	入	
21	養父の筆頭者	30	漢字	入	
22	養父の住所	30	漢字	入	
23	養父の世帯主	30	漢字	入	
24	養父の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外 ＊
25	養母の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
26	養母の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人 ＊
27	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
28	養母の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者 ＊
29	養母の生死区分名称	3	漢字	出	＊
30	養母の振り仮名	30	漢字	入	
31	養母の漢字氏名	30	漢字	入	
32	養母の本･国籍	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養母の筆頭者	30	漢字	入	
34	養母の住所	30	漢字	入	
35	養母の世帯主	30	漢字	入	
36	養母の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外　*
37	養父母婚姻区分	1	数字	入	0:婚姻中でない 1:婚姻中である　*
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	~~図~~画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	離縁の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判　4:判決　5:和解　6:認諾
14	離縁の申立人区分	1	数字	入	1:養子　2:養親　＊
15	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	離縁許可日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	離縁成立日	7	英数字	入	元号コード入力有
18	離縁の方式	30	漢字	入	＊
19	外国裁判所名	30	漢字	入	＊
20	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	3	数字	入	
21	戸籍変動区分	1	数字	入	
22	氏区分	1	数字	入	＊
23	届後本籍	30	漢字	入	
24	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
25	戻る戸籍での筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
26	届後戸籍での配偶者区分	1	数字	入	0:未　3:生存配偶者　＊
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
14	15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
15	15歳未満の届出人資格名称	23	漢字	出	
16	15歳未満の届出人氏名1	30	漢字	入	
17	15歳未満の届出人国籍1	30	漢字	入	
18	15歳未満の届出人生年月日1	8	英数字	入	
19	15歳未満の届出人氏名2	30	漢字	入	
20	15歳未満の届出人国籍2	30	漢字	入	
21	15歳未満の届出人生年月日2	8	英数字	入	
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁届(その5)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届 ＊
13	配偶者外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
14	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者 ＊
15	配偶者筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
16	配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者 ＊
17	配偶者配偶者区分名称	5	漢字	出	＊
18	配偶者振り仮名	30	漢字	入	＊
19	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
20	配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
21	配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
22	配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	＊
23	配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	＊
24	配偶者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有 ＊
25	配偶者住所	30	漢字	入	＊
26	離縁後変更養父氏名	30	漢字	入	＊
27	離縁後変更養母氏名	30	漢字	入	＊
28	親権移記親権者区分	3	数字	入	＊
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組･縁組形態入力		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	縁組形態区分	1	数字	入	*
4	PFガイダンス1	39	漢字	出	
5	PFガイダンス2	39	漢字	出	
6	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養子の外国人区分	1	数字	入	*
14	養子の本非区分	1	数字	入	*
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養子の性別	1	数字	入	*
17	養子の振り仮名	30	漢字	入	*
18	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
19	養子の本･国籍	30	漢字	入	
20	養子の住所	30	漢字	入	
21	養子の筆頭者氏名	14	漢字	入	
22	養子の世帯主氏名	14	漢字	入	
23	養子の父氏名	14	漢字	入	
24	養子の母氏名	14	漢字	入	
25	父母との続柄コード	2	数字	入	*
26	父母との続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
27	養父母との続柄コード	2	数字	入	*
28	養父母との続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
29	養子の筆頭者区分	1	数字	入	*
30	養子の筆頭者	3	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養父の外国人区分	1	数字	入	*
14	養父の本非区分	1	数字	入	*
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養父の振り仮名	30	漢字	入	*
17	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
18	養父の本･国籍	30	漢字	入	
19	養父の住所	30	漢字	入	
20	養父の筆頭者氏名	14	漢字	入	
21	養父の世帯主氏名	14	漢字	入	
22	養父の筆頭者区分	1	数字	入	*
23	養父の筆頭者	3	漢字	出	
24	養父の配偶者区分	1	数字	入	*
25	養父の配偶者	5	漢字	出	
26	養母の外国人区分	1	数字	入	*
27	養母の本非区分	1	数字	入	*
28	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
29	養母の振り仮名	30	漢字	入	*
30	養母の漢字氏名	30	漢字	入	
31	養母の本･国籍	30	漢字	入	
32	養母の住所	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養母の筆頭者氏名	14	漢字	入	
34	養母の世帯主氏名	14	漢字	入	
35	養母の筆頭者区分	1	数字	入	*
36	養母の筆頭者	3	漢字	出	
37	養母の配偶者区分	1	数字	入	*
38	養母の配偶者	5	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	特別養子縁組(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告区分	1	数字	入	*
13	戸籍変動区分	1	数字	入	
14	裁判確定日	7	英数字	入	
15	縁組方式	30	漢字	入	*
16	同一戸籍縁組	1	数字	入	*
17	届出人資格コード	3	数字	入	*
18	配偶者同一戸籍	1	数字	入	*
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	73条の2届入力(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有り
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有り
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有り　＊
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有り　＊
12	振り仮名	30	漢字	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有り
15	筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
16	筆頭者名称	3	漢字	出	
17	配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
18	配偶者名称	5	漢字	出	
19	本籍	30	漢字	入	コード入力有り
20	筆頭者	30	漢字	入	
21	住所	30	漢字	入	コード入力有り
22	世帯主	30	漢字	入	
23	父氏名	30	漢字	入	
24	母氏名	30	漢字	入	
25	父母との続柄コード	2	数字	入	
26	父母との続柄名称	3	漢字	出	
26-1	離縁前の氏の振り仮名	20	漢字	入	
27	離縁前の氏	20	漢字	入	
28	縁組年月日	7	英数字	入	元号コード入力有り
29	離縁年月日	7	英数字	入	元号コード入力有り
30	戸籍変動区分	1	数字	入	1:変動無し　2:新戸籍編製　＊
31	新本籍	30	漢字	入	コード入力有り

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	73条の2届入力(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	新戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
33	PFガイダンス1	39	漢字	出	
34	PFガイダンス2	39	漢字	出	
35	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	73条の2届入力(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有り
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有り
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有り *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有り *
12	配偶者外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 *
13	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者 *
14	配偶者筆頭者区分名称	3	漢字	出	*
15	配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者 *
16	配偶者配偶者区分名称	5	漢字	出	*
17	配偶者振り仮名	30	漢字	入	*
18	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	*
19	配偶者父氏名	30	漢字	入	*
20	配偶者母氏名	30	漢字	入	*
21	配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	*
22	配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	*
23	配偶者生年月日	8	漢数字	入	元号コード入力有
24	配偶者住所	30	漢字	入	
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(離縁形態入力)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	養子と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
4	養子と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
5	養女と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
6	養女と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
7	養子離縁形態名称	20	漢字	出	
8	同時届区分	1	数字	入	0:無　1:親権届 2:未成年後見届　＊
8-1	親権･未成年後見人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
8-2	親権･未成年後見人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
8-3	親権･未成年後見人振り仮名	30	漢字	入	
9	親権･未成年後見人氏名	30	漢字	入	
10	親権･未成年後見人本籍	30	漢字	入	
11	親権･未成年後見人筆頭者	30	漢字	入	
12	同時親権届の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判
13	同時親権者資格	3	数字	入	
14	同時親権届出人資格	3	数字	入	
15					
15-1	同時親権届出人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15-2	同時親権届出人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15-3	同時親権届出人振り仮名	30	漢字	入	
16	同時親権届出人氏名	30	漢字	入	
16-1	同時親権届出人本籍	30	漢字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その1)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届 ＊
13	養子の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
14	養子の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人 ＊
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養子の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者 ＊
17	養子の生死区分名称	3	漢字	出	
18	養子の振り仮名	30	漢字	入	
19	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養子の本･国籍	30	漢字	入	
21	養子の住所	30	漢字	入	
22	養子の筆頭者	14	漢字	入	
23	養子の世帯主	14	漢字	入	
24	養子の父氏名	14	漢字	入	
25	養子の母氏名	14	漢字	入	
26	養子の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
27	養子の父母との続柄名称	3	漢字	出	
28	養子の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者 ＊
29	養子の筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
30	養子の配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:生存配偶者 ＊
31	養子の配偶者区分名称	5	漢字	出	
32	養女の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養女の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
34	養女の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
35	養女の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
36	養女の生死区分名称	3	漢字	出	
37	養女の振り仮名	30	漢字	入	
38	養女の漢字氏名	30	漢字	入	
39	養女の本･国籍	30	漢字	入	
40	養女の住所	30	漢字	入	
41	養女の筆頭者	14	漢字	入	
42	養女の世帯主	14	漢字	入	
43	養女の父氏名	14	漢字	入	
44	養女の母氏名	14	漢字	入	
45	養女の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
46	養女の父母との続柄名称	3	漢字	出	
47	養女の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
48	養女の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
49	養女の配偶者区分	1	数字	入	0:未　2:妻　3:生存配偶者　＊
50	養女の配偶者区分名称	5	漢字	出	
51	PFガイダンス1	39	漢字	出	
52	PFガイダンス2	39	漢字	出	
53	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その2)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2：報告的届 ＊
13	養父の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
14	養父の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人 ＊
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養父の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者 ＊
17	養父の生死区分名称	3	漢字	出	
18	養父の振り仮名	30	漢字	入	
19	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養父の本･国籍	30	漢字	入	
21	養父の筆頭者	30	漢字	入	
22	養父の住所	30	漢字	入	
23	養父の世帯主	30	漢字	入	
24	養父の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外 ＊
25	養母の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
26	養母の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人 ＊
27	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
28	養母の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者 ＊
29	養母の生死区分名称	3	漢字	出	
30	養母の振り仮名	30	漢字	入	
31	養母の漢字氏名	30	漢字	入	
32	養母の本･国籍	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	養母の筆頭者	30	漢字	入	
34	養母の住所	30	漢字	入	
35	養母の世帯主	30	漢字	入	
36	養母の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外　*
37	養父母婚姻区分	1	数字	入	0:婚姻中でない 1:婚姻中である　*
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	縁組年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	縁組前の氏	20	漢字	入	
15	離縁の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判　4:判決　5:和解　6:認諾
16	離縁の申立人区分	1	数字	入	1:養子　2:養親　＊
17	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
18	離縁許可日	7	英数字	入	元号コード入力有
19	離縁成立日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	離縁の方式	30	漢字	入	＊
21	外国裁判所名	30	漢字	入	＊
22	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	3	数字	入	
23	新本籍	30	漢字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
14	15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
15	15歳未満の届出人資格名称	23	漢字	出	
16	15歳未満の届出人氏名1	30	漢字	入	
17	15歳未満の届出人国籍1	30	漢字	入	
18	15歳未満の届出人生年月日1	8	英数字	入	
19	15歳未満の届出人氏名2	30	漢字	入	
20	15歳未満の届出人国籍2	30	漢字	入	
21	15歳未満の届出人生年月日2	8	英数字	入	
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その5)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届 ＊
13	配偶者外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人 ＊
14	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者 ＊
15	配偶者筆頭者区分名称	3	漢字	出	
16	配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未 1:夫 2:妻 3:生存配偶者 ＊
17	配偶者配偶者区分名称	5	漢字	出	
18	配偶者振り仮名	30	漢字	入	＊
19	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
20	配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
21	配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
22	配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	＊
23	配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	
24	配偶者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有 ＊
25	配偶者住所	30	漢字	入	＊
26	離縁後変更養父氏名	30	漢字	入	＊
27	離縁後変更養母氏名	30	漢字	入	＊
28	親権移記親権者区分	3	数字	入	＊
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	婚姻届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本･非本	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	動態	1	数字	入	
13	報告	1	数字	入	
14	夫の外人区分	1	数字	入	＊
15	夫の筆頭者区分	1	数字	入	＊
16	夫の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
17	夫の本･非本	1	数字	入	＊
18	夫の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有 (外国人は西暦入力)
19	夫の振り仮名	30	漢字	入	
20	夫の漢字氏名	30	漢字	入	コード入力有
21	夫の住所	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
22	夫の本籍	30	漢字	入	
23	夫の世帯主	14	漢字	入	
24	夫の戸籍の筆頭者	14	漢字	入	
25	夫の父の氏名	14	漢字	入	
26	夫の母の氏名	14	漢字	入	
27	夫の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
28	夫の父母との続柄名称	3	漢字	出	
29	妻の外人区分	1	数字	入	＊
30	妻の筆頭者区分	1	数字	入	＊
31	妻の筆頭者区分名称	3	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	婚姻届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	妻の本･非区分	1	数字	入	*
33	妻の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有 (外国人は西暦入力)
34	妻の振り仮名	30	漢字	入	
35	妻の漢字氏名	30	漢字	入	コード入力有
36	妻の住所	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
37	妻の本籍	30	漢字	入	
38	妻の世帯主	14	漢字	入	
39	妻の戸籍の筆頭者	14	漢字	入	
40	妻の父の氏名	14	漢字	入	
41	妻の母の氏名	14	漢字	入	
42	妻の父母との続柄コード	2	数字	入	*
43	妻の父母との続柄名称	3	漢字	出	
44	PFガイダンス1	39	漢字	出	
45	PFガイダンス2	39	漢字	出	
46	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	婚姻届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本･非本	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	動態	1	数字	出	
13	報告	1	数字	出	
14	氏区分	1	数字	入	
15	氏区分名称	4	漢字	出	
16	新本籍	30	数字	入	コード入力有
17	夫の初･再婚区分	1	数字	入	
18	夫の初･再婚区分名称	2	漢字	出	
19	夫の離死別日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	妻の初･再婚区分	1	数字	入	
21	妻の初･再婚区分名称	2	漢字	出	
22	妻の離死別日	7	漢字	入	元号コード入力有
23	同一人再婚区分	1	数字	入	
24	同一人再婚区分名称	4	漢字	出	
25	成立年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
26	婚姻の方式	32	漢字	入	外国名はコード入力有
27	証書提出日	7	英数字	入	元号コード入力有
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	動態	1	数字	入	
13	報告	1	数字	入	
14	夫の外国人区分	1	数字	入	
15	夫の国籍	19	漢字	入	
16	夫の筆頭者区分	1	数字	入	
17	夫の振り仮名	30	漢字	入	
18	夫の漢字氏名	30	漢字	入	
19	夫の住所	30	漢字	入	
20	夫の世帯主	30	漢字	入	
21	夫の父の氏名	14	漢字	入	
22	夫の母の氏名	14	漢字	入	
23	夫の父母との続柄	2	数字	入	
24	夫の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
25	夫の転婚区分	1	数字	入	
26	妻の外国人区分	1	数字	入	
27	妻の国籍	19	漢字	入	
28	妻の筆頭者区分	1	数字	入	
29	妻の振り仮名	30	漢字	入	
30	妻の漢字氏名	30	漢字	入	
31	妻の住所	30	漢字	入	
32	妻の世帯主	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	妻の父の氏名	14	漢字	入	
34	妻の母の氏名	14	漢字	入	
35	妻の父母との続柄	2	数字	入	
36	妻の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
37	妻の転婚区分	1	数字	入	
38	本籍	30	漢字	入	
39	筆頭者	30	漢字	入	
40	PFガイダンス1	39	漢字	出	
41	PFガイダンス2	39	漢字	出	
42	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	動態	1	数字	出	
13	報告	1	数字	出	
14	離婚の種別区分	1	数字	入	1:協議 2:調停 3:審判 4:判決 5:和解 6:認諾
15	離婚の申立人区分	1	数字	入	
16	離婚の成立･確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	戸籍変動区分	1	数字	入	
18	新本籍	30	漢字	入	
18-1	新筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
19	新筆頭者	30	漢字	入	
20	戻る戸籍の筆頭者区分	1	数字	入	
21	届後の戸籍の配偶者区分	1	数字	入	
22	称する氏	15	漢字	入	
23	外国離婚方式	30	漢字	入	
24	裁判所所在国	30	漢字	入	
25	外国裁判所名	30	漢字	入	
26	親権指定者の有無	1	数字	入	
27	未成年の子の人数	2	数字	入	
28	届出人資格1	3	数字	入	
29	届出人資格2	3	数字	入	
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名					
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	離婚届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚届(その3)

No.	項目名		桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID		8	英数字	出	
2	システム日付		7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO		3	数字	出	
4	受領NO		7	数字	出	
5	受領日		7	英数字	出	
6	送付日		7	英数字	出	
7	発送元		30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分		1	数字	出	*
9	処理日		7	英数字	出	
10	本非区分		1	数字	出	
11	郵送日		7	英数字	出	
12	動態		1	数字	出	
13	報告		1	数字	出	
14	未成年者項目　複数件	未成年者nの振り仮名	30	漢字	入	未成年者項目は複数件入力可能
15		未成年者nの漢字氏名	30	漢字	入	便宜上n件で表現する。
16		未成年者nの父の氏名	14	漢字	入	
17		未成年者nの母の氏名	14	漢字	入	
18		未成年者nの父母との続柄	2	数字	入	
19		未成年者nの父母との続柄名称	3	漢字	出	
20		未成年者nの生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21		未成年者nの養父の氏名	14	漢字	入	
22		未成年者nの養母の氏名	14	漢字	入	
23		未成年者nの養父母との続柄	2	数字	入	
24		未成年者nの養父母との続柄名称	3	漢字	出	
25		未成年者nの親権者区分	1	数字	入	
26	PFガイダンス1		39	漢字	出	
27	PFガイダンス2		39	漢字	出	
28	エラーメッセージ		39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	77条の2届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	出張所Noと同意
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	現振り仮名	30	漢字	入	
13	現漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者
		3	漢字	出	
16	配偶者区分	1	数字	入	0:未、1:夫、2:妻、
		5	漢字	出	3:生存配偶者
17	同籍者区分	1	数字	入	0:無、1:配偶者のみ、 2:配偶者+他構成員、 3:他構成員のみ
		8	漢字	出	
18	離婚年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
19	住所	30	漢字	入	
20	世帯主	30	漢字	入	
21	本籍	30	漢字	入	
22	筆頭者	30	漢字	入	
23	変更後氏の振り仮名	20	漢字	入	
24	変更後漢字氏	20	漢字	入	
25	変更後本籍	30	漢字	入	
26	変更後筆頭者	30	漢字	入	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	動態	1	数字	入	
13	報告	1	数字	入	
14	夫の振り仮名	30	漢字	入	
15	夫の漢字氏名	30	漢字	入	
16	夫の住所	30	漢字	入	
17	夫の世帯主	30	漢字	入	
18	夫の父の氏名	14	漢字	入	
19	夫の母の氏名	14	漢字	入	
20	夫の父母との続柄	2	数字	入	
21	夫の筆頭者区分	1	数字	入	
22	夫の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
23	妻の振り仮名	30	漢字	入	
24	妻の漢字氏名	30	漢字	入	
25	妻の住所	30	漢字	入	
26	妻の世帯主	30	漢字	入	
27	妻の父の氏名	14	漢字	入	
28	妻の母の氏名	14	漢字	入	
29	妻の父母との続柄	2	数字	入	
30	妻の筆頭者区分	1	数字	入	
31	妻の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
32	本籍	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	筆頭者	30	漢字	入	
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その2)入力		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	
12	動態	1	数字	出	
13	報告	1	数字	出	
14	離婚の種別区分	1	数字	入	1:協議 2:調停 3:審判 4:判決 5:和解 6:認諾
15	離婚の申立人区分	1	数字	入	
16	離婚の成立･確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	戸籍変動区分	1	数字	入	
18	新本籍	30	漢字	入	
19	新筆頭者	30	漢字	入	
20	外国離婚方式	30	漢字	入	
21	裁判所所在国	30	漢字	入	
22	外国裁判所名	30	漢字	入	
23	親権指定者の有無	1	数字	入	
24	未成年の子の人数	2	数字	入	
25	届出人資格1	3	数字	入	
26	届出人資格2	3	数字	入	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その3)

No.	項目名		桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID		8	英数字	出	
2	システム日付		7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO		3	数字	出	
4	受領NO		7	数字	出	
5	受領日		7	英数字	出	
6	送付日		7	英数字	出	
7	発送元		30	漢字	出	
8	在外送付区分		1	数字	出	*
9	処理日		7	英数字	出	
10	本非区分		1	数字	出	
11	郵送日		7	英数字	出	
12	動態		1	数字	出	
13	報告		1	数字	出	
14	未成年者項目　複数件	未成年者nの振り仮名	30	漢字	入	未成年者項目は複数件入力可能
15		未成年者nの漢字氏名	30	漢字	入	便宜上n件で表現する。
16		未成年者nの父の氏名	14	漢字	入	
17		未成年者nの母の氏名	14	漢字	入	
18		未成年者nの父母との続柄	2	数字	入	
19		未成年者nの父母との続柄名称	3	漢字	出	
20		未成年者nの生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21		未成年者nの養父の氏名	14	漢字	入	
22		未成年者nの養母の氏名	14	漢字	入	
23		未成年者nの養父母との続柄	2	数字	入	
24		未成年者nの養父母との続柄名称	3	漢字	出	
25		未成年者nの親権者区分	1	数字	入	
26	PFガイダンス1		39	漢字	出	
27	PFガイダンス2		39	漢字	出	
28	エラーメッセージ		39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	＊
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告的届出区分	1	数字	入	＊
13	未成年者の外国人区分	1	数字	入	＊
14	未成年者の外国人区分名称	3	漢字	出	
15	未成年者の本非区分	1	数字	入	＊
16	未成年者の本非区分名称	3	漢字	出	
17	未成年者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
18	未成年者の振り仮名	30	漢字	入	＊
19	未成年者の漢字氏名	30	漢字	入	
20	未成年者の本籍	30	漢字	入	
21	未成年者の筆頭者名	30	漢字	入	
22	親権者の外国人区分	1	数字	入	＊
23	親権者の外国人区分名称	3	漢字	出	
24	親権者の本非区分	1	数字	入	＊
25	親権者の本非区分名称	3	漢字	出	
26	親権者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
27	親権者の振り仮名	30	漢字	入	＊
28	親権者の漢字氏名	30	漢字	入	
29	親権者の本籍	30	漢字	入	
30	親権者の筆頭者名	30	漢字	入	
31	親権者資格	3	数字	入	＊
32	PFガイダンス1	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
34	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	報告的届出区分	1	数字	出	
13	届出事件	1	数字	入	
14	種別区分	1	数字	入	
15	審判/調停日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	関連事件発生日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
17	届出人資格1	3	数字	入	
18	届出人氏名1	30	漢字	入	
19	届出人･協議者資格	3	数字	入	
20	届出人･協議者の外国人区分	1	数字	入	*
21	届出人･協議者の本非区分	1	数字	入	*
22	届出人･協議者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
23	届出人･協議者の振り仮名	30	漢字	入	*
24	届出人･協議者の漢字氏名	30	漢字	入	
25	届出人･協議者の本籍	30	漢字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	親権･管理権届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	未成年被後見人の外国人区分	1	数字	入	*
13	未成年被後見人の外国人区分名称	3	漢字	出	
14	未成年被後見人の本非区分	1	数字	入	*
15	未成年被後見人の本非区分名称	3	漢字	出	
16	未成年被後見人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
17	未成年被後見人の振り仮名	30	漢字	入	*
18	未成年被後見人の漢字氏名	30	漢字	入	
19	未成年被後見人の本籍	30	漢字	入	
20	未成年被後見人の筆頭者名	30	漢字	入	
21	未成年後見人の外国人区分	1	数字	入	*
22	未成年後見人の外国人区分名称	3	漢字	出	
23	未成年後見人の本非区分	1	数字	入	*
24	未成年後見人の本非区分名称	3	数字	出	
25	未成年後見人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
26	未成年後見人区分	1	数字	入	
27	未成年後見人の振り仮名	30	漢字	入	*
28	未成年後見人の漢字氏名	30	漢字	入	
29	未成年後見人の本籍	30	漢字	入	
30	未成年後見人の筆頭者名	30	漢字	入	
31	未成年後見人の資格	3	漢字	入	*
32	未成年後見人の住所	100	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス1	39	漢字	出	
34	PFガイダンス2	39	漢字	出	
35	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	届出原因区分	2	数字	入	
13	開始日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	就職日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	終了日	7	英数字	入	元号コード入力有
15-1	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
15-2	記録嘱託日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	届出人資格	1	数字	入	*
17	届出人氏名	30	漢字	入	
18	PFガイダンス1	39	漢字	出	
19	PFガイダンス2	39	漢字	出	
20	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	未成年後見届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	保佐届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	被保佐人の外国人区分	1	数字	入	*
13	被保佐人の外国人区分名称	3	漢字	出	
14	被保佐人の本非区分	1	数字	入	*
15	被保佐人の本非区分名称	3	漢字	出	
16	被保佐人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
17	被保佐人のカナ氏名	60	カナ	入	*
18	被保佐人の漢字氏名	30	漢字	入	
19	被保佐人の本籍	30	漢字	入	
20	被保佐人の筆頭者名	30	漢字	入	
21	保佐人の外国人区分	1	数字	入	*
22	保佐人の外国人区分名称	3	漢字	出	
23	保佐人の本非区分	1	数字	入	*
24	保佐人の本非区分名称	3	漢字	出	
25	保佐人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
26	保佐人のカナ氏名	60	カナ	入	*
27	保佐人の漢字氏名	30	漢字	入	
28	保佐人の本籍	30	漢字	入	
29	保佐人の筆頭者名	30	漢字	入	
30	保佐人資格	3	数字	入	*
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	保佐届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	保佐届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	届出原因区分	2	数字	入	
13	開始日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	就職日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	終了日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	前任者氏名	30	漢字	入	
17	届出人資格	2	数字	入	*
18	届出人氏名	30	漢字	入	
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	保佐届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	死亡届		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	(支所番号)
9	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊ 死亡の場合、「除籍日」となる
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	動態区分	1	数字	入	＊
13	外人区分	1	数字	入	＊
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力
15	本籍不分明区分	1	数字	入	＊
16	本籍不分明区分名称	8	漢字	出	
17	関連受領番号	7	数字	入	＊
18	振り仮名	30	漢字	入	
19	漢字氏名	30	漢字	入	
20	性別	1	数字	入	
21	性別名称	2	漢字	出	
22	死亡の年	3	英数字	入	元号コード入力有
23	〃　月	2	英数字	入	
24	〃　日	2	英数字	入	
25	死亡時間推定区分	1	英数字	入	＊
26	死亡の午前午後区分	1	英数字	入	
27	〃　時分	4	英数字	入	
28	終期の死亡の午前午後区分	1	英数字	入	＊
29	〃　時分	4	英数字	入	＊
30	死亡区分	1	英数字	入	＊
31	死亡日時	34	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	死亡届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	死亡場所市町村	30	漢字	入	コード入力有(外国は国名等入力)
33	死亡場所町丁目	30	漢字	入	コード入力有(外国は国名等入力)
34	住所	30	漢字	入	コード入力有
35	世帯主	30	漢字	入	
36	本籍	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
37	筆頭者	30	漢字	入	
38	届出人資格	3	数字	入	
39	届出人資格名称	30	漢字	出	
40	届出人の氏名	30	漢字	入	
41	届出人の住所	30	漢字	入	
42	配偶者有無区分	1	数字	入	*
43	配偶者外人区分	1	数字	入	*
44	PFガイダンス1	39	漢字	出	
45	PFガイダンス2	39	漢字	出	
46	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	失踪宣告届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	入	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	34	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	漢字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	外人区分	1	数字	入	＊
13	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力
14	振り仮名	30	漢字	入	
15	漢字氏名	30	漢字	入	
16	死亡とみなされる日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
18	住所	30	漢字	入	コード入力有
19	世帯主	14	漢字	入	あふれ記号有
20	本籍	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
21	筆頭者	14	漢字	入	あふれ記号有
22	届出人資格	3	数字	入	
23	届出人資格名称	30	漢字	出	
24	その他の届出人資格名称	30	漢字	入	
25	届出人の氏名	30	漢字	入	
26	配偶者有無区分	1	数字	入	＊
27	配偶者外人区分	1	数字	入	＊
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	復氏届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	0:本籍分届　1:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	振り仮名	30	漢字	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
16	筆頭者名称	3	漢字	出	
17	配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
18	配偶者名称	5	漢字	出	
19	住所	30	漢字	入	コード入力有
20	世帯主	30	漢字	入	
21	本籍	30	漢字	入	コード入力有
22	筆頭者	30	漢字	入	
23	父氏名	30	漢字	入	
24	母氏名	30	漢字	入	
25	父母との続柄コード	2	数字	入	＊
26	父母との続柄名称	3	漢字	出	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	復氏届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	送付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
12	復籍区分	1	数字	入	1:もとの戸籍　2:新戸籍編製
13	届後本籍	30	漢字	入	コード入力有
13-1	届後戸籍の筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
14	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
15	氏区分	1	数字	入	1:婚姻前の氏　＊ 2:転婚前の氏 3:新しい氏
15-1	復籍戸籍での筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者
15-2	異動後戸籍での配偶者区分	1	数字	入	0:未　3:生存配偶者
16	死亡配偶者振り仮名	30	漢字	入	
17	死亡配偶者漢字氏名	30	漢字	入	
18	死亡配偶者死亡日	7	英数字	入	元号コード入力有
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	復氏届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	送付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
12	現在配偶者振り仮名	30	漢字	入	＊
13	現在配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
14	現在配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
15	現在配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
16	現在配偶者筆頭者名称	3	漢字	出	
17	現在配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
18	現在配偶者配偶者名称	5	漢字	出	
19	現在配偶者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
20	現在配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
21	現在配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
22	現在配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力　＊
23	現在配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	
24	現在配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有　＊
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	姻族関係終了届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届 *
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	振り仮名	30	漢字	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
15	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	本籍	30	漢字	入	コード入力有り
17	筆頭者	30	漢字	入	
18	死亡配偶者振り仮名	30	漢字	入	
19	死亡配偶者漢字氏名	30	漢字	入	
20	死亡配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
21	死亡年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	同籍区分	1	数字	入	0:同一戸籍　1:他戸籍
23	死亡配偶者本籍	30	漢字	入	コード入力有り
24	死亡配偶者筆頭者	30	漢字	入	
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	推定相続人廃除届		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	被廃除者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
13	被廃除者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	被廃除者振り仮名	30	漢字	入	
15	被廃除者漢字氏名	30	漢字	入	
16	被廃除者本籍	30	漢字	入	コード入力有り
17	被廃除者筆頭者	30	漢字	入	
18	廃除者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
19	廃除者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	廃除者資格区分	3	数字	入	001:父　002:母　010:養父 011:養母　099:その他
21	廃除者資格名称	30	漢字	入	
22	廃除者振り仮名	30	漢字	入	
23	廃除者漢字氏名	30	漢字	入	
24	廃除者本籍	30	漢字	入	コード入力有り
25	廃除者筆頭者	30	漢字	入	
26	裁判種別	1	数字	入	1:調停　2:審判　3:判決
27	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
28	届出人資格	3	数字	入	090:廃除した人　091:遺言執行者 098:事件本人　099:その他
29	届出人資格名称	30	漢字	入	
30	届出人氏名	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	推定相続人廃除届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届種別入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	入籍者種別	1	数字	入	1:入籍人単独　＊ 2:配偶者同時 3:入籍人複数
4	同時入籍者数	1	数字	入	＊
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ	39	数字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	入籍事由	1	数字	入	1:氏を称する入籍 2:同籍する入籍 3:従前の氏を称する入籍
13	入籍相手	1	数字	入	1:無、2:父、3:母、4:父母 5:養父、6:養母、7:養父母 8:父及び養母、9:母及び養父、
14	入籍相手名称	8	漢字	出	
15	許可の審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
16	従前の氏を改めた日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	戸籍変動区分	1	数字	入	1:既にある戸籍に入る 2:父又は母の新戸籍に入る 3:新しい戸籍をつくる
18	戸籍変動区分名称	11	漢字	出	
19	入籍先の本･非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
20	入籍先の本･非区分名称	3	漢字	出	
21	入籍先の個人除区分	1	数字	入	0:在籍者、1:除籍者、　＊ 2:戸籍消除者、3:消除者、 4:消除及び除籍者
22	入籍先の個人除区分名称	10	漢字	出	
23	入籍先の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
24	入籍先の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
25	入籍先の配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力、0:未婚　＊ 1:夫、2:妻 3:生存配偶者
26	入籍先の配偶者区分名称	5	漢字	出	
27	入籍先の本籍	30	漢字	入	コード入力有
28	入籍先の筆頭者	30	漢字	入	
29	入籍先の振り仮名	30	漢字	入	＊
30	入籍先の漢字氏名	30	漢字	入	＊
31	入籍先の住所	30	漢字	入	コード入力有　＊

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	入籍先の世帯主	30	漢字	入	*
33	入籍先の父の氏名	30	漢字	入	*
34	入籍先の母の氏名	30	漢字	入	*
35	入籍先の父母続柄	2	数字	入	10:男～49:十九女 *
36	入籍先の父母続柄名称	3	漢字	出	
37	入籍先の生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
38	新本籍	30	漢字	入	コード入力有 *
39	新筆頭者	30	漢字	入	*
40	PFガイダンス1	39	漢字	出	
41	PFガイダンス2	39	漢字	出	
42	エラーメッセージ	39	数字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	現在頁	1	数字	出	＊
13	最大頁	1	数字	出	＊
14	入籍人の本･非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
15	入籍人の本･非区分名称	3	漢字	入	
16	入籍人の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
17	入籍人の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
18	入籍人の配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力、0:未婚　＊ 1:夫、2:妻 3:生存配偶者
19	入籍人の配偶者区分名称	5	漢字	出	
20	入籍人の更正区分	1	数字	入	＊
21	入籍人の振り仮名	30	漢字	入	＊
22	入籍人の漢字氏名	30	漢字	入	
23	入籍人の生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	入籍人の住所	30	漢字	入	コード入力有
25	入籍人の世帯主	30	漢字	入	
26	入籍人の父の氏名	30	漢字	入	
27	入籍人の母の氏名	30	漢字	入	
28	入籍人の父母続柄	2	数字	入	10:男～49:十九女
29	入籍人の父母続柄名称	3	漢字	出	
30	入籍人の養父母続柄	2	数字	入	51:養子、52:養女　＊
31	入籍人の養父母続柄名称	2	漢字	出	
32	入籍人の養父の氏名	30	漢字	入	＊

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	入籍人の養母の氏名	30	漢字	入	*
34	入籍人の本籍	30	漢字	入	コード入力有
35	入籍人の筆頭者	30	漢字	入	
36	届出人資格1	3	数字	入	009:配偶者、 016:親権者父 017:親権者母、 019:親権者養父、 020:親権者養母、030:後見人、 098:事件本人
		5	漢字	出	
37	届出人氏名1	15	漢字	入	
38	届出人資格2	3	数字	入	009:配偶者、 016:親権者父 017:親権者母、 019:親権者養父、 020:親権者養母、030:後見人、 098:事件本人
		5	漢字	出	
39	届出人氏名2	15	漢字	入	
40	PFガイダンス1	39	漢字	出	
41	PFガイダンス2	39	漢字	出	
42	エラーメッセージ	39	数字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その3)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	入籍人配偶者の振り仮名	30	漢字	入	＊
13	入籍人配偶者の漢字氏名	30	漢字	入	＊
14	入籍人配偶者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有　＊
15	入籍人配偶者の父の氏名	30	漢字	入	＊
16	入籍人配偶者の母の氏名	30	漢字	入	＊
17	入籍人配偶者の父母続柄	2	数字	入	10:男～49:十九女　＊
18	入籍人配偶者の父母続柄名称	3	漢字	出	
19	入籍人配偶者の養父の氏名	30	漢字	入	＊
20	入籍人配偶者の養母の氏名	30	漢字	入	＊
21	入籍人配偶者の養父母続柄	2	数字	入	51:養子、52:養女　＊
22	入籍人配偶者の養父母続柄名称	2	漢字	出	
23	入籍人配偶者の住所	30	漢字	入	コード入力有　＊
24	入籍人配偶者の世帯主	30	漢字	入	
25	入籍人配偶者の外国人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人　＊
26	入籍人配偶者の外国人区分名称	3	漢字	出	
27	入籍人配偶者の配偶者区分	1	数字	入	1:夫、2:妻　＊
28	入籍人配偶者の配偶者区分名称	5	漢字	出	
29	入籍人配偶者の更正区分	1	数字	入	＊
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	入籍届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	分籍届		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	分籍人の筆頭者区分	1	数字	入	*
		3	漢字	出	
13	分籍人の配偶者区分	1	数字	入	*
		5	漢字	出	
14	分籍人の生年月日	8	漢字	入	元号コード入力有
15	分籍人の婚姻事項の有無	1	漢字	入	*
16	分籍人の渉外区分	1	数字	入	*
		5	漢字	出	
17	分籍人の婚姻日	8	英数字	入	元号コード入力有
18	分籍人の振り仮名	30	漢字	入	
19	分籍人の漢字氏名	30	漢字	入	
20	分籍人の住所	30	漢字	入	コード入力有
21	分籍人の世帯主	30	漢字	入	
22	分籍人の本籍	30	漢字	入	コード入力有
23	分籍人の筆頭者	30	漢字	入	
24	分籍人の父の氏名	30	漢字	入	
25	分籍人の母の氏名	30	漢字	入	
26	分籍人の父母との続柄	2	数字	入	
		3	漢字	出	
27	分籍人の新本籍	30	漢字	入	コード入力有
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	分籍届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍取得届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	振り仮名	30	漢字	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	従前氏名	30	漢字	入	
15	従前国籍	30	漢字	入	
16	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	父氏名	30	漢字	入	
18	母氏名	30	漢字	入	
19	父母との続柄コード	2	数字	入	
20	父母との続柄名称	3	漢字	出	
21	国籍取得年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	国籍取得区分	1	数字	入	0:国籍法2条　＊ 1:国籍法3条 2:国籍法17条1項 3:国籍法17条2項 4:改正法附則5条1項 5:改正法附則6条1項
23	戸籍変動区分	1	数字	入	1:父母の戸籍に入籍する 2:父の戸籍に入籍する 3:母の戸籍に入籍する 4:国籍喪失時の戸籍に入籍する 5:新戸籍を編製する
24	届後本籍	30	漢字	入	
25	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
26	届後戸籍での筆頭者区分	1	数字	入	＊
27	届後戸籍での配偶者区分	1	数字	入	＊

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍取得届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍取得届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	住所	30	漢字	入	
13	住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
16	世帯主名	30	漢字	入	
17	世帯主との続柄コード	6	数字	入	
18	世帯主との続柄名称	20	漢字	出	
19	15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
20	15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
21	15歳未満の届出人資格名称	20	漢字	出	
22	15歳未満の届出人氏名1	30	漢字	入	
23	15歳未満の届出人氏名2	30	漢字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(帰化種別入力)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	帰化種別	1	数字	入	1:単身者の帰化 2:夫婦の片方(日本人配偶者有) 3:夫婦の片方(日本人配偶者無) 4:夫婦の帰化 *
4	同時帰化者数	1	数字	入	*
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	帰化者振り仮名	30	漢字	入	
13	帰化者漢字氏名	30	漢字	入	
14	帰化者従前氏名	30	漢字	入	
15	帰化者従前国籍	30	漢字	入	
16	帰化者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	帰化者配偶者区分	1	数字	入	＊
18	帰化者配偶者区分名称	5	漢字	出	
19	公示年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	帰化者父氏名	30	漢字	入	
21	帰化者父の本･国籍	30	漢字	入	
22	帰化者母氏名	30	漢字	入	
23	帰化者母の本･国籍	30	漢字	入	
24	帰化者父母との続柄コード	2	数字	入	
25	帰化者父母との続柄名称	3	漢字	出	
26	帰化者住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
27	帰化者住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
28	帰化者住所	30	漢字	入	
29	帰化者世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
30	帰化者世帯主との続柄コード	6	数字	入	
31	帰化者世帯主との続柄名称	8	漢字	出	
32	帰化者世帯主名	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	帰化者15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
34	帰化者15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
35	帰化者15歳未満の届出人資格名称	10	漢字	出	
36	帰化者15歳未満の届出人氏名1	14	漢字	入	
37	帰化者15歳未満の届出人氏名2	14	漢字	入	
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	帰化者妻振り仮名	30	漢字	入	
13	帰化者妻漢字氏名	30	漢字	入	
14	帰化者妻従前氏名	30	漢字	入	
15	帰化者妻従前国籍	30	漢字	入	
16	帰化者妻生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	帰化者妻父氏名	30	漢字	入	
18	帰化者妻父の本･国籍	30	漢字	入	
19	帰化者妻母氏名	30	漢字	入	
20	帰化者妻母の本･国籍	30	漢字	入	
21	帰化者妻父母との続柄コード	2	数字	入	
22	帰化者妻父母との続柄名称	3	漢字	出	
23	帰化者妻住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	帰化者妻定住日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	帰化者妻住所	30	漢字	入	
26	帰化者妻世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
27	帰化者妻世帯主との続柄コード	6	数字	入	
28	帰化者妻世帯主との続柄名称	8	漢字	出	
29	帰化者妻世帯主名	30	漢字	入	
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	
32	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	戸籍変動区分	1	数字	入	＊
13	届後本籍	30	漢字	入	
13-1	届後戸籍の筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
14	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
15	帰化記載者資格1	3	数字	入	＊
16	帰化記載者資格2	3	数字	入	＊
17	養/父母振り仮名	30	漢字	入	＊
18	養/父母漢字氏名	30	漢字	入	＊
19	養/父母本籍	30	漢字	入	＊
20	養/父母筆頭者	30	漢字	入	＊
21	養/父母父氏名	30	漢字	入	＊
22	養/父母母氏名	30	漢字	入	＊
23	養/父母父母との続柄コード	2	数字	入	＊
24	養/父母父母との続柄名称	3	漢字	出	
25	養/父母生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
26	養/父母住所	30	漢字	入	＊
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2：非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	連署人筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
13	連署人筆頭者名称	3	漢字	出	
14	連署人配偶者区分	1	数字	入	1:夫　2:妻
15	連署人配偶者名称	1	漢字	出	
16	連署人振り仮名	30	漢字	入	＊
17	連署人漢字氏名	30	漢字	入	
18	連署人本籍	30	漢字	入	
19	連署人筆頭者	30	漢字	入	
20	連署人父氏名	30	漢字	入	＊
21	連署人母氏名	30	漢字	入	＊
22	連署人父母との続柄コード	2	数字	入	＊
23	連署人父母との続柄名称	3	漢字	出	
24	連署人生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	連署人住所	30	漢字	人	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その5)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	同時帰化者n振り仮名	30	漢字	入	
13	同時帰化者n漢字氏名	30	漢字	入	
14	同時帰化者n従前氏名	30	漢字	入	
15	同時帰化者n従前国籍	30	漢字	入	
16	同時帰化者n生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	同時帰化者n父氏名	30	漢字	入	
18	同時帰化者n父の本･国籍	30	漢字	入	
19	同時帰化者n母氏名	30	漢字	入	
20	同時帰化者n母の本･国籍	30	漢字	入	
21	同時帰化者n父母との続柄コード	2	数字	入	
22	同時帰化者n父母との続柄名称	3	漢字	出	
23	同時帰化者n住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	同時帰化者n住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	同時帰化者n住所	30	漢字	入	
26	同時帰化者n世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
27	同時帰化者n世帯主との続柄コード	6	数字	入	
28	同時帰化者n世帯主との続柄名称	8	漢字	出	
29	同時帰化者n世帯主名	30	漢字	入	
30	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
31	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
32	同時帰化者n15歳未満の届出人資格名称	10	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	帰化届(その5)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1	14	漢字	入	
34	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2	14	漢字	入	
35	同時帰化者n帰化記載者資格1	3	数字	入	*
36	同時帰化者n帰化記載者資格2	3	数字	入	*
上記項目　No.12　～　No.36　をMAX　9回繰り返す (nには1～9の数字のいずれかを代入する)					
37	PFガイダンス1	39	漢字	出	
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
39	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍喪失届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	国籍喪失者振り仮名	30	漢字	入	
13	国籍喪失者氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	喪失年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	住所	30	漢字	入	コード入力有
17	世帯主	30	漢字	入	
18	本籍	30	漢字	入	コード入力有
19	筆頭者	30	漢字	入	
20	配偶者区分	1	数字	入	0:未、1:夫、2:妻　＊
		5	漢字	出	3:生存配偶者
21	配偶者の外人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人　＊
		3	漢字	出	
22	喪失原因(区分)	1	数字	入	1:志望により外国国籍を取得したため 2:日本国籍の離脱 3:外国国籍の選択 4:国籍選択の催告を受けて選択をしなかったため 5:国籍喪失の宣告を受けたため
		26	漢字	出	
23	喪失原因(国名)	28	漢字	入	国名コード入力有

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍喪失届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
24	届出人資格1	3	数字	入	000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族(四親等内)、099:その他、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、030:後見人
		28	漢字	出	
25	届出人氏名1	30	漢字	入	
26	届出人資格2	3	数字	入	000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族(四親等内)、099:その他、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、030:後見人
		28	漢字	出	
27	届出人氏名2	30	漢字	入	
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	国籍選択届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	国籍選択者振り仮名	30	漢字	入	
13	国籍選択者漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	本籍	30	漢字	入	コード入力有
16	筆頭者	30	漢字	入	
17	現有外国国籍1	28	漢字	入	国名コード入力有 ＊
18	現有外国国籍2	28	漢字	入	国名コード入力有 ＊
19	現有外国国籍3	28	漢字	入	国名コード入力有 ＊
20	届出人資格1	3	数字	入	000:未入力、016:親権者父、 019:親権者養父、030:後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、 098:事件本人
		5	漢字	出	
21	届出人氏名1	30	漢字	入	
22	届出人資格2	3	数字	入	000:未入力、016:親権者父、 019:親権者養父、030:後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、 098:事件本人
		5	漢字	出	
23	届出人氏名2	30	漢字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	外国国籍喪失届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	外国国籍喪失者振り仮名	30	漢字	入	
13	外国国籍喪失者漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	喪失年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者	30	漢字	入	
18	国籍喪失国名	28	漢字	入	国名コード入力有　＊
19	届出人資格1	3	数字	入	000:未入力、016:親権者父、 019:親権者養父、030:後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、 098:事件本人
		5	漢字	出	
20	届出人氏名1	30	漢字	入	
21	届出人資格2	3	数字	入	000:未入力、016:親権者父、 019:親権者養父、030:後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、 098:事件本人
		5	漢字	出	
22	届出人氏名2	30	漢字	入	
23	PFガイダンス1	39	漢字	出	
24	PFガイダンス2	39	漢字	出	
25	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の変更届(その1)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	筆頭者り仮名	30	漢字	入	
13	筆頭者氏名	30	漢字	入	
14	筆頭者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	筆頭者-個人除区分	1	数字	入	0:在籍者、1:除籍者　＊
		3	漢字	出	
16	筆頭者-配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力、0:未婚、　＊
		5	漢字	出	1:夫、2:妻、3:生存配偶者
17	筆頭者本籍	30	漢字	入	コード入力有
18	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
19	筆頭者世帯主	30	漢字	入	
19-1	配偶者振り仮名	30	漢字	入	
20	配偶者氏名	30	漢字	入	
21	配偶者-外人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人　＊
		3	漢字	出	
22	配偶者-配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力、0:未婚、　＊
		5	漢字	出	1:夫、2:妻、3:生存配偶者
23	配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有
24	配偶者世帯主	30	漢字	入	
25	変更前氏の振り仮名	30	漢字	出	
26	変更後氏の振り仮名	30	漢字	出	
27	変更前氏	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の変更届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
28	変更後氏	30	漢字	入	
29					2.0版で削除
30	届出人資格1	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、 * 016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、030:後見人、000:未入力
		5	漢字	出	
31	届出人氏名1	15	漢字	入	
32	届出人資格2	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、 * 016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、030:後見人、000:未入力
		5	漢字	出	
33	届出人氏名2	15	漢字	入	
34					2.0版でその２画面に移設
35					2.0版でその２画面に移設
36	PFガイダンス1	39	漢字	出	
37	PFガイダンス2	39	漢字	出	
38	エラーメッセージ	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の変更届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	出	
11-1	審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有 →2.0版でその１画面から移設
11-2	名義使用区分	1	数字	入	0:未使用、1:夫、2:妻　＊
		3	漢字	出	→2.0版でその１画面から移設
11-3	構成員人数	2	数字	入	→2.0版でその１画面から移設　＊
12	構成員番号(その1)	2	数字	出	
12-1	構成員振り仮名(その1)	30	漢字	入	
13	構成員氏名(その1)	30	漢字	入	
14	構成員の父の氏名(その1)	14	漢字	入	
15	構成員の母の氏名(その1)	14	漢字	入	
16	構成員の養父の氏名(その1)	14	漢字	入	
17	構成員の養母の氏名(その1)	14	漢字	入	
18	構成員住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
19	構成員の世帯主(その1)	30	漢字	入	
20	構成員更正区分(その1)	1	数字	入	1:無、2:父、3:母、4:父母、 5:養父、6:養母、7:養父母、 8:父+養母、9:母+養父
		4	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の変更届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
21	構成員番号(その2)	2	数字	出	
22-1	構成員振り仮名(その2)	30	漢字	入	
22	構成員氏名(その2)	30	漢字	入	
23	構成員の父の氏名(その2)	14	漢字	入	
24	構成員の母の氏名(その2)	14	漢字	入	
25	構成員の養父の氏名(その2)	14	漢字	入	
26	構成員の養母の氏名(その2)	14	漢字	入	
27	構成員住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有
28	構成員の世帯主(その2)	30	漢字	入	
29	構成員更正区分(その2)	1	数字	入	1:無、2:父、3:母、4:父母、 * 5:養父、6:養母、7:養父母、 8:父+養母、9:母+養父
		4	漢字	出	
30					2.0版でNo.30～38削除
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	107条2項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	＊
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍 ＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
13	筆頭者漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後氏の振り仮名	30	漢字	入	
15	変更後漢字氏	30	漢字	入	
16	筆頭者本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
18	筆頭者世帯主	30	漢字	入	
19	筆頭者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
20	筆頭者婚姻年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21	筆頭者-配偶者区分	1	数字	入	0:未、1:夫、2:妻 ＊
		5	漢字	出	3:生存配偶者
22	配偶者氏	30	漢字	入	
23	配偶者名	30	漢字	入	
24	配偶者-外人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人 ＊
		3	漢字	出	
25	同籍者区分	1	数字	入	0:無、1:配偶者のみ ＊ 2:配偶者+他構成員 3:他構成員のみ
		8	漢字	出	
26	新本籍	30	数字	入	コード入力有 ＊
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	

画面項目一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名				
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理				
画面番号		画面名	107条2項届	

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
29	エラーメッセージ	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	107条3項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
13	筆頭者漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後氏の振り仮名	30	漢字	入	
15	変更後漢字氏	30	漢字	入	
16	筆頭者本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
18	筆頭者世帯主	30	漢字	入	
19	筆頭者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
20	筆頭者婚姻解消日	7	英数字	入	元号コード入力有
21	107条3項原因	1	数字	入	1:離婚、2:婚姻解消
		5	漢字	出	3:配偶者死亡
22	外人配偶者氏名	30	漢字	入	
23	同籍者区分	1	数字	入	0:無、1:配偶者のみ　＊ 2:配偶者+他構成員 3:他構成員のみ
		8	漢字	出	
24	新本籍	30	漢字	入	コード入力有
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名					
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	107条4項届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	氏変更人振り仮名	30	漢字	入	
13	氏変更人漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後氏の振り仮名	30	漢字	入	
15	変更後漢字氏	30	漢字	入	
16	氏変更人住所	50	漢字	入	コード入力有
17	氏変更人世帯主	30	漢字	入	
18	氏変更人本籍	30	漢字	入	コード入力有
19	氏変更人筆頭者	30	英数字	入	元号コード入力有
20	氏変更人筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者
		3	漢字	出	
21	氏変更人配偶者区分	1	数字	入	0:未婚、1:夫、2:妻、
		5	漢字	出	3:生存配偶者
22	氏変更人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
23	審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	外国人父母区分	1	数字	入	0:父、1:母
		2	漢字	出	2:養父、3:養母
25	外国人父母氏名	30	漢字	入	
26	新本籍	30	漢字	入	コード入力有

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	107条4項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	届出人資格1	1	数字	入	000:未入力、016:親権者父、 017:親権者母、019:親権者養父、 020:親権者養母、030:後見人、 098:事件本人
		5	漢字	出	
28	届出人資格2	1	数字	入	000:未入力、016:親権者父、 017:親権者母、019:親権者養父、 020:親権者養母、030:後見人、 098:事件本人
		5	漢字	出	
29	届出人氏名1	30	漢字	入	
30	届出人氏名2	30	漢字	入	
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の変更届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	英数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 ＊
12	名の変更者振り仮名	30	漢字	入	
13	名の変更者漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後の名の振り仮名	30	漢字	入	
15	変更後の漢字名	30	漢字	入	
16	名の変更者の住所	30	漢字	入	コード入力有
17	名の変更者の世帯主	30	漢字	入	
18	名の変更者の本籍	30	漢字	入	コード入力有
19	名の変更者の筆頭者	30	英数字	入	
20	名の変更者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21	審判日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	届出人資格1	3	数字	入	016:親権者父　017:親権者母 019:親権者養父　020:親権者養母 030:後見人　098:事件本人
		5	漢字	出	
23	届出人氏名1	30	漢字	入	
24	届出人資格2	3	数字	入	016:親権者父　017:親権者母 019:親権者養父　020:親権者養母 030:後見人　098:事件本人
		5	漢字	出	
25	届出人氏名2	30	漢字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の変更届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
6	送付日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	英数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
12	構成員番号　(その1)	2	数字	出	
13	構成員氏名　(その1)	30	漢字	入	
14	構成員の父の氏名　(その1)	14	漢字	入	
15	構成員の母の氏名　(その1)	14	漢字	入	
16	構成員の養父の氏名(その1)	14	漢字	入	
17	構成員の養母の氏名(その1)	14	漢字	入	
18	構成員住所　(その1)	30	漢字	入	
19	構成員の世帯主　(その1)	14	漢字	入	
20	構成員更正区分　(その1)	1	数字	入	1:無、2:父、3:母、 5:養父、6:養母
		2	漢字	出	
21	構成員番号　(その2)	2	数字	出	
22	構成員氏名　(その2)	30	漢字	入	
23	構成員の父の氏名　(その2)	14	漢字	入	
24	構成員の母の氏名　(その2)	14	漢字	入	
25	構成員の養父の氏名(その2)	14	漢字	入	
26	構成員の養母の氏名(その2)	14	漢字	入	
27	構成員住所　(その2)	30	漢字	入	
28	構成員の世帯主　(その2)	14	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の変更届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
29	構成員更正区分　(その2)	1	数字	入	1:無、2:父、3:母、 5:養父、6:養母
		2	漢字	出	
30	構成員番号　(その3)	2	数字	出	
31	構成員氏名　(その3)	30	漢字	入	
32	構成員の父の氏名　(その3)	14	漢字	入	
33	構成員の母の氏名　(その3)	14	漢字	入	
34	構成員の養父の氏名(その3)	14	漢字	入	
35	構成員の養母の氏名(その3)	14	漢字	入	
36	構成員住所　(その3)	30	漢字	入	
37	構成員の世帯主　(その3)	14	漢字	入	
38	構成員更正区分　(その3)	1	数字	入	1:無、2:父、3:母、 5:養父、6:養母
		2	漢字	出	
39	PFガイダンス1	39	漢字	出	
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(その1)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	34	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍 ＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	本籍	30	漢字	入	コード入力有
13	新本籍	30	漢字	入	コード入力有
14	筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
15	筆頭者氏名	30	漢字	入	
16	筆頭者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	筆頭者個人除区分	1	数字	入	0:在籍者、1:除籍者 ＊
18	筆頭者個人除区分名称	3	漢字	出	＊
19	筆頭者-配偶者区分	1	数字	入	0:未 ＊ 1:夫、2:妻 3:生存配偶者
20	筆頭者-配偶者区分名称	5	漢字	出	
21	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
22	筆頭者世帯主	15	漢字	入	
23	配偶者-配偶者区分	1	数字	入	0:未 ＊ 1:夫、2:妻 3:生存配偶者
24	配偶者-配偶者区分名称	5	漢字	出	
25	配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人 ＊
26	配偶者外人区分名称	3	漢字	出	
27	配偶者振り仮名	30	漢字	入	
28	配偶者氏名	30	漢字	入	
29	配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有
30	配偶者世帯主	30	漢字	入	
31	配偶者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	届出人資格1コード	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019：親権者養父、020:親権者養母、030:後見人 ＊
33	届出人資格1名称	5	漢字	出	
34	届出人資格2コード	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019：親権者養父、020:親権者養母、030:後見人 ＊
35	届出人資格2名称	5	漢字	出	
36	届出人氏名1	30	漢字	入	
37	届出人氏名2	30	漢字	入	
38	名義使用区分	1	数字	入	0:未使用、1:夫、2:妻 ＊
39	名義使用区分名称	3	漢字	出	
40	構成員人数	2	数字	入	＊
41	PFガイダンス1	39	漢字	出	
42	PFガイダンス2	39	漢字	出	
43	エラーメッセージ	39	数字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	34	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	構成員番号(その1)	2	数字	出	
13	構成員振り仮名(その1)	30	漢字	入	
14	構成員氏名(その1)	30	漢字	入	
15	構成員住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
16	構成員の世帯主(その1)	30	漢字	入	
17	構成員生年月日(その1)	7	英数字	入	
18	構成員番号(その2)	2	数字	出	
19	構成員振り仮名(その2)	30	漢字	入	
20	構成員氏名(その2)	30	漢字	入	
21	構成員住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有
22	構成員の世帯主(その2)	30	漢字	入	
23	構成員生年月日(その2)	7	英数字	入	
24	構成員番号(その3)	2	数字	出	
25	構成員振り仮名(その3)	30	漢字	入	
26	構成員氏名(その3)	30	漢字	入	
27	構成員住所(その3)	30	漢字	入	コード入力有
28	構成員の世帯主(その3)	30	漢字	入	
29	構成員生年月日(その3)	7	英数字	入	
30	構成員番号(その4)	2	数字	出	
31	構成員振り仮名(その4)	30	漢字	入	
32	構成員氏名(その4)	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(その2)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	構成員住所(その4)	30	漢字	入	コード入力有
34	構成員の世帯主(その4)	30	漢字	入	
35	構成員生年月日(その4)	7	英数字	入	
36	現在頁	2	数字	出	
37	最大頁	2	数字	出	
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(並び換え)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	34	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	出	
12	構成員番号(その1)	2	数字	出	
13	構成員氏名(その1)	60	漢字	出	
14	構成員筆頭者区分名称(その1)	3	漢字	出	
15	構成員配偶者区分名称(その1)	3	漢字	出	
16	構成員生年月日(その1)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
17	構成員新記載順位(その1)	2	数字	入	
18	構成員番号(その2)	2	数字	出	
19	構成員氏名(その2)	60	漢字	出	
20	構成員筆頭者区分名称(その2)	3	漢字	出	
21	構成員配偶者区分名称(その2)	3	漢字	出	
22	構成員生年月日(その2)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
23	構成員新記載順位(その2)	2	数字	入	
24	構成員番号(その3)	2	数字	出	
25	構成員氏名(その3)	60	漢字	出	
26	構成員筆頭者区分名称(その3)	3	漢字	出	
27	構成員配偶者区分名称(その3)	3	漢字	出	
28	構成員生年月日(その3)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
29	構成員新記載順位(その3)	2	数字	入	
30	構成員番号(その4)	2	数字	出	
31	構成員氏名(その4)	60	漢字	出	
32	構成員筆頭者区分名称(その4)	3	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	転籍届(並び換え)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	構成員配偶者区分名称(その4)	3	漢字	出	
34	構成員生年月日(その4)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
35	構成員新記載順位(その4)	2	数字	入	
36	構成員番号(その5)	2	数字	出	
37	構成員氏名(その5)	60	漢字	出	
38	構成員筆頭者区分名称(その5)	3	漢字	出	
39	構成員配偶者区分名称(その5)	3	漢字	出	
40	構成員生年月日(その5)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
41	構成員新記載順位(その5)	2	数字	入	
42	構成員番号(その6)	2	数字	出	
43	構成員氏名(その6)	60	漢字	出	
44	構成員筆頭者区分名称(その6)	3	漢字	出	
45	構成員配偶者区分名称(その6)	3	漢字	出	
46	構成員生年月日(その6)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
47	構成員新記載順位(その6)	2	数字	入	
48	現在頁	2	数字	出	
49	最大頁	2	数字	出	
50	PFガイダンス1	39	漢字	出	
51	PFガイダンス2	39	漢字	出	
52	エラーメッセージ	39	数字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	就籍届		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	英数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	就籍人振り仮名	30	漢字	入	
13	就籍人漢字氏名	30	漢字	入	
14	就籍人住所	30	漢字	入	コード入力有
15	就籍人世帯主	30	漢字	入	
16	就籍人本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	就籍人筆頭者	30	漢字	入	
18	就籍人父の氏名	30	漢字	入	
19	就籍人母の氏名	30	漢字	入	
20	就籍人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21	就籍人父母続柄	2	数字	入	
		3	漢字	出	
22	就籍人裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
23	就籍人住定日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
24	就籍人就籍原因	1	英数	入	スペース:家庭裁判所の許可　＊ 1:国籍の存在確認の審判 2:親子関係存在確認の審判
		20	漢字	出	
25	就籍人戸籍変動区分	1	数字	入	1:新戸籍編製　＊ 2:父母の現在戸籍に入る 3:配偶者の戸籍に入る
		10	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	就籍届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
26	届出人資格	3	数字	入	098:事件本人　016:親権者父 030:後見人　017:親権者母 029:親権代行者
		5	漢字	出	
27	届出人氏名	30	漢字	入	
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	本籍	30	漢字	入	
13	筆頭者	30	漢字	入	
14	氏の振り仮名	30	漢字	入	
15	筆頭者氏名	30	漢字	入	
16	筆頭者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	筆頭者個人除区分	1	数字	入	＊
		3	漢字	出	0:在籍者、0以外:除籍者を表示
18	筆頭者配偶者区分	1	数字	入	0:未、1:夫、2:妻、　＊
		5	漢字	出	3:生存配偶者
19	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
20	配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人　＊
		3	漢字	出	
21	配偶者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	配偶者配偶者区分	1	数字	入	1:夫、2:妻、3:生存配偶者　＊
		5	漢字	出	
23	配偶者氏名	30	漢字	入	
24	配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有
25	届出人資格1	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、 016:親権者父、017:親権者母、　＊
		6	漢字	出	019:親権者養父、020:親権者養母、 110:未成年後見人
26	届出人氏名1	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	届出人資格2	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、　＊ 016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母
		6	漢字	出	
28	届出人氏名2	30	漢字	入	
29	在籍者人数	3	数字	入	＊
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	
32	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	
12	在籍者番号(その1)	2	数字	出	
13	在籍者氏名(その1)	30	漢字	入	
14	在籍者生年月日(その1)	7	英数字	入	
15	在籍者本人届出区分(その1)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、2:法定代理人　＊
		5	漢字	出	
16	在籍者住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
17	在籍者番号(その2)	2	数字	出	
18	在籍者氏名(その2)	30	漢字	入	
19	在籍者生年月日(その2)	7	英数字	入	
20	在籍者本人届出区分(その2)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、2:法定代理人　＊
		5	漢字	出	
21	在籍者住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有
22	在籍者番号(その3)	2	数字	出	
23	在籍者氏名(その3)	30	漢字	入	
24	在籍者生年月日(その3)	7	英数字	入	
25	在籍者本人届出区分(その3)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、2:法定代理人　＊
		5	漢字	出	
26	在籍者住所(その3)	30	漢字	入	コード入力有
27	在籍者番号(その4)	2	数字	出	
28	在籍者氏名(その4)	30	漢字	入	
29	在籍者生年月日(その4)	7	英数字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	在籍者本人届出区分(その4)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、　＊ 2:法定代理人
		5	漢字	出	
31	在籍者住所(その4)	30	漢字	入	コード入力有
32	在籍者番号(その5)	2	数字	出	
33	在籍者氏名(その5)	30	漢字	入	
34	在籍者生年月日(その5)	7	英数字	入	
35	在籍者本人届出区分(その5)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、　＊ 2:法定代理人
		5	漢字	出	
36	在籍者住所(その5)	30	漢字	入	コード入力有
37	PFガイダンス2	39	漢字	出	
38	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	本籍	30	漢字	入	
13	筆頭者	30	漢字	入	
14	氏の振り仮名	30	漢字	入	
15	記録者数	1	数字	入	＊
16	記録者番号(その1)	1	数字	出	＊
17	記録者漢字名(その1)	30	漢字	入	
18	記録者名の振り仮名(その1)	30	漢字	入	
19	記録者生年月日(その1)	7	英数字	入	元号コード入力有
20	記録者筆頭者区分(その1)	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
		3	漢字	出	
21	記録者本人届出区分(その1)	1	数字	入	1:本人届出、2:法定代理人
		5	漢字	出	
22	記録者住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
23	記録者番号(その2)	1	数字	出	＊
24	記録者漢字名(その2)	30	漢字	入	
25	記録者名の振り仮名(その2)	30	漢字	入	
26	記録者生年月日(その2)	7	英数字	入	元号コード入力有

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の届　その1		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	記録者筆頭者区分(その2)	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
		3	漢字	出	
28	記録者本人届出区分(その2)	1	数字	入	1:本人届出、2:法定代理人
		5	漢字	出	
29	記録者住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	
32	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	＊
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有　＊
12	記録者番号(その3)	1	数字	出	＊
13	記録者漢字名(その3)	30	漢字	入	
14	記録者名の振り仮名(その3)	30	漢字	入	
15	記録者生年月日(その3)	7	英数字	入	元号コード入力有
16	記録者筆頭者区分(その3)	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
		3	漢字	出	
17	記録者本人届出区分(その3)	1	数字	入	1:本人届出、2:法定代理人
		5	漢字	出	
18	記録者住所(その3)	30	漢字	入	コード入力有
19	記録者番号(その4)	1	数字	出	＊
20	記録者漢字名(その4)	30	漢字	入	
21	記録者名の振り仮名(その4)	30	漢字	入	
22	記録者生年月日(その4)	7	英数字	入	元号コード入力有
23	記録者筆頭者区分(その4)	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
		3	漢字	出	
24	記録者本人届出区分(その4)	1	数字	入	1:本人届出、2:法定代理人
		5	漢字	出	
25	記録者住所(その4)	30	漢字	入	コード入力有
26	記録者番号(その5)	1	数字	出	＊
27	記録者漢字名(その5)	30	漢字	入	
28	記録者名の振り仮名(その5)	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の届　その2		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
29	記録者生年月日(その5)	7	英数字	入	元号コード入力有
30	記録者筆頭者区分(その5)	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
		3	漢字	出	
31	記録者本人届出区分(その5)	1	数字	入	1:本人届出、2:法定代理人
		5	漢字	出	
32	記録者住所(その5)	30	漢字	入	コード入力有
33	届出人資格1	3	数字	入	016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母、 110:未成年後見人
		6	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	入	
35	届出人資格2	3	数字	入	016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母
		6	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	入	
37	PFガイダンス1	39	漢字	出	
38	PFガイダンス2	39	漢字	出	
39	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の変更届　その1		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	本籍	30	漢字	入	
13	筆頭者振り仮名	30	漢字	入	
14	筆頭者氏名	30	漢字	入	
15	筆頭者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	筆頭者個人除区分	1	数字	入	＊
		3	漢字	出	0:在籍者、0以外:除籍者を表示
17	筆頭者配偶者区分	1	数字	入	0:未、1:夫、2:妻、　＊
		5	漢字	出	3:生存配偶者
18	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
19	配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人、1:外国人　＊
		3	漢字	出	
20	配偶者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
21	配偶者配偶者区分	1	数字	入	1:夫、2:妻、3:生存配偶者　＊
		5	漢字	出	
22	配偶者振り仮名	30	漢字	入	
23	配偶者氏名	30	漢字	入	
24	配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有
25	変更後氏の振り仮名	30	漢字	入	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の変更届　その1		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
26	届出人資格1	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、 016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母、 110:未成年後見人
		~~5~~ 6	漢字	出	
27	届出人氏名1	15	漢字	入	
28	届出人資格2	3	数字	入	008:筆頭者、009:配偶者、 016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母
		~~5~~ 6	漢字	出	
29	届出人氏名2	15	漢字	入	
30	審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
31	名義使用区分	1	数字	入	0:未使用、1:夫、2:妻　＊
		3	漢字	出	
32	氏職権記録区分	1	数字	入	0:無、1:職権記録　＊
		4	漢字	出	
33	PFガイダンス1	39	漢字	出	
34	PFガイダンス2	39	漢字	出	
35	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の変更届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	*
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	*
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍、2:非本籍　*
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	
12	在籍者人数	3	数字	入	*
13	在籍者番号(その1)	2	数字	出	
14	在籍者振り仮名(その1)	30	漢字	入	
15	在籍者氏名(その1)	30	漢字	入	
16	在籍者生年月日(その1)	7	英数字	入	
17	在籍者本人届出区分(その1)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、 2:法定代理人
		5	漢字	出	
18	在籍者住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
19	在籍者番号(その2)	2	数字	出	
20	在籍者振り仮名(その2)	30	漢字	入	
21	在籍者氏名(その2)	30	漢字	入	
22	在籍者生年月日(その2)	7	英数字	入	
23	在籍者本人届出区分(その2)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、 2:法定代理人
		5	漢字	出	
24	在籍者住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	氏の振り仮名の変更届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
25	在籍者番号(その3)	2	数字	出	
26	在籍者振り仮名(その3)	30	漢字	入	
27	在籍者氏名(その3)	30	漢字	入	
28	在籍者生年月日(その3)	7	英数字	入	
29	在籍者本人届出区分(その3)	1	数字	入	0:届出人以外、1:本人届出、 2:法定代理人
		5	漢字	出	
30	在籍者住所(その3)	30	漢字	入	コード入力有
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	名の振り仮名の変更届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	英数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍、2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	変更者振り仮名	30	漢字	入	
13	変更者氏名	30	漢字	入	
14	変更者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	変更者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員、1:筆頭者　＊
		3	漢字	出	
16	本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者	30	英数字	入	
18	住所	30	漢字	入	コード入力有
19	変更後名の振り仮名	30	漢字	入	
20	審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
21	名職権記録区分	1	数字	入	0:無、1:職権記録　＊
		4	漢字	出	
22	届出人資格1	3	数字	入	016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母、 110:未成年後見人
		~~5~~ 6	漢字	出	
23	届出人氏名1	30	漢字	入	
24	届出人資格2	3	数字	入	016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母
		~~5~~ 6	漢字	出	
25	届出人氏名2	30	漢字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0
適用業務名					
2.異動処理　2.1届書入力・審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	名の振り仮名の変更届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考

*:届書にない入力項目

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	処分決定･仮受付		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	処分名称	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件発生日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	決裁内容	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
13	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
14	本籍非本籍の別	2	漢字	出	
15	発日	7	英数字	入	
16	収日	7	英数字	入	
17	指示日	7	英数字	入	
18	許可日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	関連受領番号1	9	数字	出	
21	関連受領番号2	9	数字	出	
22	関連受領番号3	9	数字	出	
23	関連受領番号4	9	数字	出	
24	関連受領番号5	9	数字	出	
25	事件本人区分内容	6	漢字	出	
26	届出人表示	3	漢字	出	
27	振り仮名	24	漢字	出	
28	漢字氏名	24	漢字	出	
29	生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年.月.日 外国人の場合「西暦年　月　日」
30	送達確認1	1	数字	出	
31	送達確認2	1	数字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名					
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	処分決定･仮受付		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	本籍	30	漢字	出	
＊　上記25～32を一画面MAX2人分表示する　(複数ページ有り)　MAX:4人					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	変更処分区分	1	英数字	入	
40	変更処分名称	4	漢字	出	
40-1	追完届有無フラグ	1	数字	入出	0:無　1:有
40-2	追完届有無フラグ名称	1	漢字	出	
40-3	規則第四十一条処理区分	1	数字	入出	0:該当無し　1:処理中　2:完了
40-4	規則第四十一条処理区分名称	4	漢字	出	
41					2.0版で削除
42					
43	PFガイダンス1	39	漢字	出	
44	PFガイダンス2	39	漢字	出	
45	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	処分決定･受付		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	処分名称	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件発生日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	決裁内容	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
13	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
14	本籍非本籍の別	2	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	収日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
17	指示日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
18	許可日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	関連受領番号1	9	数字	出	
21	関連受領番号2	9	数字	出	
22	関連受領番号3	9	数字	出	
23	関連受領番号4	9	数字	出	
24	関連受領番号5	9	数字	出	
25	事件本人区分内容	6	漢字	出	
26	届出人表示	3	漢字	出	
27	振り仮名	24	漢字	出	
28	漢字氏名	24	漢字	出	
29	生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年.月.日 外国人の場合「西暦年　月　日」
30	送達確認1	1	数字	出	
31	送達確認2	1	数字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改訂日付	版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名					
2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理					
画面番号		画面名	処分決定･受付		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	本籍	30	漢字	出	
＊　上記25～32を一画面MAX2人分表示する　(複数ページ有り)　MAX:4人					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	変更処分区分	1	英数字	出	
40	変更処分名称	4	漢字	出	
40-1	追完届有無フラグ	1	数字	出	0:無　1:有
40-2	追完届有無フラグ名称	1	漢字	出	
40-3	規則第四十一条処理区分	1	数字	出	0:該当無し　1:処理中　2:完了
40-4	規則第四十一条処理区分名称	4	漢字	出	
41					2.0版で削除
42					
43	PFガイダンス1	39	漢字	出	
44	PFガイダンス2	39	漢字	出	
45	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	エラー履歴一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	届出名	15	漢字	出	
6	メッセージ項番	2	数字	出	
7	メッセージコード	5	英数字	出	
8	応答区分	1	英字	出	
9	メッセージ内容	39	数字	出	
*上記6～9を一画面MAX7件表示する　(複数ページ有り)					
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	処分決定確認表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	筆頭者	14	漢字	出	
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	戸籍編製区分	8	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
*上記4～8を一画面MAX5件表示する　(複数ページ有り)					
9	選択番号	2	英数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(処分決定)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項(1～6)	33	漢字	出	
*上記10を一画面MAX6行表示する　(複数ページ有り)					
11	構成員SEQ番号	2	数字	出	
12	構成員漢字氏名	14	漢字	出	
13	構成員生年月日	7	英数字	出	
14	構成員除籍日	7	英数字	出	
15	構成員続柄	3	漢字	出	
16	構成員配偶者区分	2	漢字	出	
17	構成員異動区分	2	漢字	出	
*上記11～17を一画面MAX7人表示する　(複数ページ有り)					
18	詳細選択番号	2	数字	入	
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

2.異動処理　2.1届書入力･審査及び処分決定処理

画面番号		画面名	個人詳細表示(処分決定)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	振り仮名	30	漢字	出	
9	漢字氏名	30	漢字	出	
10	生年月日	7	英数字	出	
11	除籍日	7	英数字	出	
12	筆頭者表示	3	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
13	配偶者区分表示	5	漢字	出	
14					2.0版で削除
15	父氏名	14	漢字	出	
16	母氏名	14	漢字	出	
17	父母との続柄	3	漢字	出	
18	養父氏名	14	漢字	出	
19	養母氏名	14	漢字	出	
20	養父母との続柄	3	漢字	出	
21	身分事項事件項番	2	数字	出	
22	身分事項事件名	8	漢字	出	
23	身分事項記載項目	27	漢字	出	
*上記21～23を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理

画面番号		画面名	移記戸籍選択		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	入	
5	事件名	15	漢字	出	
6	明細番号	2	数字	出	
7	筆頭者	14	漢字	出	
8	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	戸籍編製区分名称	8	漢字	出	
11	本籍	30	漢字	出	
＊　上記6～11を一画面MAX5件分表示する　（複数ページ有り）					
12	選択番号	2	数字	入	
13	決裁用帳票出力区分	1	数字	入	
14	PFガイダンス1	39	漢字	出	
15	PFガイダンス2	39	漢字	出	
16	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理

画面番号		画面名	移記戸籍構成員一覧		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項タイトル	7	漢字	出	
11	戸籍事項	25	漢字	出	
＊　上記10～11を一画面MAX6件分表示する　（複数ページ有り）					
12	明細番号	2	数字	出	
13	漢字氏名	14	漢字	出	
14	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
15	除籍日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	父母との続柄	3	漢字	出	
17	配偶者区分	2	漢字	出	
18	異動区分	2	漢字	出	
＊　上記12～18を一画面MAX7件分表示する　（複数ページ有り）					
19	移記処理区分	1	数字	入	
20	選択番号	2	数字	入	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	個人情報表示		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	振り仮名	30	漢字	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	性別	1	数字	出	
7	性別名称	1	漢字	出	
8	入籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	除籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	筆頭者区分	1	数字	出	
11	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
12	配偶者区分	1	数字	出	
13	配偶者区分名称	5	漢字	出	
14	父氏名	30	漢字	入	
15	母氏名	30	漢字	入	
16	父母との続柄	2	数字	入	
17	父母との続柄名称	5	漢字	出	
18	養父氏名	30	漢字	入	
19	養母氏名	30	漢字	入	
20	養父母との続柄	2	数字	入	
21	養父母との続柄名称	5	漢字	出	
22	個人除区分	1	数字	出	
23	個人除区分名称	3	漢字	出	
23-1	同一戸籍内前個人番号	10	数字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項表示		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	明細番号	2	数字	出	
11	戸籍事項タイトル	8	漢字	出	
12	戸籍事項	28	漢字	出	
＊　上記10～12を一画面MAX13件分表示する　(複数ページ有り)					
13	処理区分	1	数字	入	
14	選択番号	2	数字	入	
15	PFガイダンス1	39	漢字	出	
16	PFガイダンス2	39	漢字	出	
17	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	選択番号	2	数字	入	
11	PFガイダンス1	39	漢字	出	
12	PFガイダンス2	39	漢字	出	
13	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件別入力(氏変更1/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	氏変更日	7	英数字	入	
11	氏変更の種別	1	英数字	入	
12	届出人1資格区分	3	数字	入	
13	届出人1資格名称	10	漢字	出	
14	届出人1氏名	30	漢字	入	
15	届出人2資格区分	3	数字	入	
16	届出人2資格名称	10	漢字	出	
17	届出人2氏名	30	漢字	入	
18	送付を受けた日	7	英数字	入	
19	受理者	50	漢字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件別入力(氏変更2/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	許可日	7	英数字	入	
11	許可書謄本の送付を受けた日	7	英数字	入	
12	許可を受けた者	50	漢字	入	
13	従前の記載(氏)	30	漢字	入	
14	記録日	7	英数字	入	
15	特記事項	30	漢字	入	
16	PFガイダンス1	39	漢字	出	
17	PFガイダンス2	39	漢字	出	
18	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理

画面番号		画面名	移記:戸籍事項並べ替え

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	明細番号	2	数字	出	
11	新明細番号	2	数字	入	
12	戸籍事項	25	漢字	出	
＊　上記10～12を一画面MAX13件分表示する　(複数ページ有り)					
13	PFガイダンス1	39	漢字	出	
14	PFガイダンス2	39	漢字	出	
15	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	移記:身分事項表示		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	明細番号	2	数字	出	
10	身分事項タイトル	8	漢字	出	
11	身分事項	28	漢字	出	
＊　上記9～11を一画面MAX13件分表示する　（複数ページ有り）					
12	処理区分	1	数字	入	
13	選択番号	2	数字	入	
14	PFガイダンス1	39	漢字	出	
15	PFガイダンス2	39	漢字	出	
16	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	移記:身分事項並べ替え

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	明細番号	2	数字	出	
10	新明細番号	2	数字	入	
11	身分事項	25	漢字	出	
＊　上記9～11を一画面MAX13件分表示する　（複数ページ有り）					
12	PFガイダンス1	39	漢字	出	
13	PFガイダンス2	39	漢字	出	
14	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	移記:身分事項事件メニュー		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	選択番号	2	数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子1/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	出生日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	出生地	50	漢字	入	(市区町村)まで
11	父の国籍	50	漢字	入	
12	父の生年月日	8	数字	入	
13	母の国籍	50	漢字	入	
14	母の生年月日	8	数字	入	
15	届出日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	航海日誌謄本提出日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	届出人資格区分	3	数字	入	コード入力有
18	届出人資格名称	10	漢字	出	
19	届出人氏名	30	漢字	入	
20	届出人の戸籍の本籍	50	漢字	入	
21	届出人の戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子2/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	届出人の国籍	50	漢字	入	
10	届出人の生年月日	8	数字	入	
11	父の氏名	30	漢字	入	
12	父の戸籍の本籍	50	漢字	入	
13	父の戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
14	母の氏名	30	漢字	入	
15	母の戸籍の本籍	50	漢字	入	
16	母の戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子3/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	国籍留保の届出日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	国籍留保の届出人資格区分	3	数字	入	コード入力有
11	国籍留保の届出人資格名称	10	漢字	出	
12	国籍留保の届出人氏名	30	漢字	入	
13	国籍留保の届出人の国籍	50	漢字	入	
14	国籍留保の届出人の生年月日	8	数字	入	
15	送付を受けた日	7	数字	入	
16	受理者	50	漢字	入	
17	許可日	7	数字	入	
18	許可書謄本の送付を受けた日	7	数字	入	
19	許可を受けた者	50	漢字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

3.移記事項処理　3.2身分事項処理

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子4/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	入籍日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	従前戸籍の本籍	50	漢字	入	
11	従前戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
12	除籍日	7	英数字	入	元号コード入力有
13	新本籍	50	漢字	入	
14	入籍戸籍の本籍	50	漢字	入	
15	入籍戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
16	記録日	7	数字	入	
17	特記事項	50	漢字	入	
18	PFガイダンス1	39	漢字	出	
19	PFガイダンス2	39	漢字	出	
20	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	未決裁一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	入力支所番号	3	数字	入	
5	入力受領番号	7	数字	入	
6	一連番号	2	数字	出	
7	受領番号	7	数字	出	
8	処分区分名称	5	漢字	出	
9	事件名	10	漢字	出	
10	受理送付区分名称	2	漢字	出	
11	本非区分名称	2	漢字	出	
12	渉外区分名称	3	漢字	出	
13	受付日	7	数字	出	
14	支所番号	3	数字	出	
15	事件本人	25	漢字	出	
16	他受領番号	1	英字	出	他受領番号があるとき「*」
＊　上記6～16を一画面MAX6件分表示する　（複数ページ有り）					
17	選択番号	2	数字	入	
18	PFガイダンス1	39	漢字	出	
19	PFガイダンス2	39	漢字	出	
20	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	決裁・受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	処分内容	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件発生日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9-1	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
10	決裁内容	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
13	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
14	本籍非本籍の別	~~2~~3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	収日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
17	指示日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
18	許可日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	関連受領番号1	9	数字	出	
21	関連受領番号2	9	数字	出	
22	関連受領番号3	9	数字	出	
23	関連受領番号4	9	数字	出	
24	関連受領番号5	9	数字	出	
25	事件本人区分内容	6	漢字	出	
26	届出人表示	3	漢字	出	
27	振り仮名	24	漢字	出	
28	漢字氏名	24	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	決裁･受付		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
29	生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年.月.日 外国人の場合「西暦年　月　日」
30	送達確認1	1	数字	出	
31	送達確認2	1	数字	出	
32	本籍	30	漢字	出	
＊　上記25～32を一画面MAX2人分表示する　（複数ページ有り）　MAX:4人					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	管掌者コード	4	数字	入	
40	管掌者	20	漢字	出	
41	決裁区分	1	数字	入	
42	決裁内容	3	漢字	出	
42-1	追完届有無フラグ	1	数字	入出	0:無　1:有
42-2	追完届有無フラグ名称	1	漢字	出	
42-3	規則第四十一条処理区分	1	数字	入出	0:該当無　1:処理中　2:完了
42-4	規則第四十一条処理区分名称	3	漢字	出	
43	PFガイダンス1	39	漢字	出	
44	PFガイダンス2	39	漢字	出	
45	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	決裁確認表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	事件名	15	漢字	出	
6	一連番号	2	数字	出	
7	筆頭者氏名	14	漢字	出	
8	編製日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	消除日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	戸籍編製区分名称	8	漢字	出	
11	本籍	30	漢字	出	
＊　上記6～11を一画面MAX5件分表示する　（複数ページ有り）					
12	選択番号	2	数字	入	
13	PFガイダンス1	39	漢字	出	
14	PFガイダンス2	39	漢字	出	
15	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(決裁)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記載数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項タイトル	7	漢字	出	
11	戸籍事項	25	漢字	出	
＊　上記10～11を一画面MAX6行分表示する　(複数ページ有り)					
12	明細番号	2	数字	出	
13	氏名	14	漢字	出	
14	生年月日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
15	除籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	父母との続柄	3	漢字	出	
17	配偶者区分	2	漢字	出	
18	異動区分	2	漢字	出	
＊　上記12～18を一画面MAX7件分表示する　(複数ページ有り)					
19	詳細選択番号	2	数字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

4.決裁処理

画面番号		画面名	個人詳細表示(決裁)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	振り仮名	30	漢字	出	
9	漢字氏名	30	漢字	出	
10	生年月日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
11	除籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
12	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
13	配偶者区分名称	5	漢字	出	
14					2.0版で削除
15	父氏名	14	漢字	出	
16	母氏名	14	漢字	出	
17	父母との続柄	3	漢字	出	
18	養父氏名	14	漢字	出	
19	養母氏名	14	漢字	出	
20	養父母との続柄	3	漢字	出	
21	一連番号	2	数字	出	
22	事件名称	8	漢字	出	
23	身分事項記載項目	27	漢字	出	
＊　上記21～23を一画面MAX10件分表示する　(複数ページ有り)					
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和　年　月　日	R2.2

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	証明書選択メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	選択番号	2	数字	入	
4	PFガイダンス1	39	漢字	出	
5	PFガイダンス2	39	漢字	出	
6	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本・証明)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	検索対象市区町村コード	5	数字	入	
5	検索対象市区町村	20	漢字	出	
6	振り仮名	30	漢字	入	
7	漢字氏名	30	漢字	入	
8	本籍	30	漢字	入	
9	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
11	戸籍の編製日	7	英数字	入	
12	戸籍の消除日	7	英数字	入	
13	入籍日	7	英数字	入	
14	除籍日	7	英数字	入	
15	戸籍種別1	1	英数字	入	戸籍種別=1(戸籍)
16	戸籍種別2	1	英数字	入	戸籍種別=2(除籍(電算化後))
17	戸籍種別3	1	英数字	入	戸籍種別=5(除籍(電算化前))
18	戸籍種別4	1	英数字	入	戸籍種別=6(司法大臣原戸籍)
19	戸籍種別5	1	英数字	入	戸籍種別=7(昭和改製原戸籍)
20	戸籍種別6	1	英数字	入	戸籍種別=8(平成改製原戸籍)
21	記載字検索フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
22	遡り検索フラグ	1	英数字	入	
23	構成員等取得フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
24	一連番号	2	数字	出	
25	戸籍種別	8	漢字	出	
26	改製不適合区分	4	漢字	出	正本が紙で管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適紙」、イメージ管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適磁気」を表示する。
27	遡り該当フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「遡り」を表示する。
28	本人氏名	~~12~~10	漢字	出	
29	生年月日	7	英数字	出	
30	編製日	7	英数字	出	
31	消除日	7	英数字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

5.証明発行処理

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本・証明)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	除籍日	7	英数字	出	
33	旧氏名表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
34	構成員等該当者フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「構成」を表示する。
35	筆頭者	10	漢字	出	
36	本籍	20	漢字	出	
*上記23～36を一画面MAX3人表示する （複数ページ有り）					
37	該当番号	2	数字	入	
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

5.証明処理

画面番号		画面名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	管掌者コード	4	数字	入	
4	管掌者資格	10	漢字	出	
5	管掌者氏名	17	漢字	出	
6	認証日（元号）	1	英数字	出	
7	認証日（年）	2	英数字	出	
8	認証日（月）	2	英数字	出	
9	認証日（日）	2	英数字	出	
					R4版で削除
11	編製日	7	英数字	出	
12	消除日	7	英数字	出	
13	戸籍種別	8	漢字	出	
14	本籍	30	漢字	出	
15	筆頭者	30	漢字	出	
15-1	筆頭者の生年月日	7	英数字	出	
16	発行部数	2	数字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

5.証明処理

画面番号		画面名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「Z9/Z9」で編集
4	認証日（元号）	1	英数字	出	
5	認証日（年）	2	英数字	出	
6	認証日（月）	2	英数字	出	
7	認証日（日）	2	英数字	出	
8	編製日	7	英数字	出	
9	消除日	7	英数字	出	
10	戸籍種別	8	漢字	出	
11	本籍	30	漢字	出	
12	筆頭者	20	漢字	出	
13	筆頭者の生年月日	7	英数字	出	
14	管掌者コード	4	数字	入	
15	管掌者資格	10	漢字	出	
16	管掌者氏名	17	漢字	出	
16-1	発行部数	2	数字	入	
17	発行可否	1	数字	出	
18	発行選択	1	数字	入	
19	結果コード	8	英数字	出	I0080-S01の結果コードを表示
20	結果状況	2	英数字	出	I0080-S01の結果コード 正常:OK エラー:NG を表示
＊　上記8～20を一画面MAX3行分表示する　（複数ページ有り）					
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

5.証明処理

画面番号		画面名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	管掌者コード	4	数字	入	
4	管掌者資格	10	漢字	出	
5	管掌者氏名	17	漢字	出	
6	認証日（元号）	1	英数字	出	
7	認証日（年）	2	英数字	出	
8	認証日（月）	2	英数字	出	
9	認証日（日）	2	英数字	出	
10	発行区分	12	漢字	出	
11	受領番号	9	英数字	出	「9999999-9」で編集
12	受理送付区分	2	漢字	出	
13	受付日	7	英数字	出	
14	処分区分	3	漢字	出	
15	決裁区分	3	漢字	出	
16	事件名	15	漢字	出	
17	事件日	7	英数字	出	
18	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
19	出張所番号	3	数字	出	
20	発送日	7	英数字	出	
21	郵送日	7	英数字	出	
22	本非区分	2	漢字	出	
23	発日	7	英数字	出	
24	収日	7	英数字	出	
25	許可日	7	英数字	出	
26	渉外区分	3	漢字	出	
27	指示日	7	英数字	出	
28	関連事件番号1	7	数字	出	
29	関連事件番号2	7	数字	出	
30	関連事件番号3	7	数字	出	
31	関連事件番号4	7	数字	出	
32	関連事件番号5	7	数字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

5.証明処理

画面番号		画面名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	発行部数	2	数字	入	
33-1	発行総部数	3	数字	出	
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

8.ファイル更新処理

画面番号		画面名	ファイル更新処理メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	選択番号	1	数字	入	
4	パスワード	15	数字	入	
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	不受理申出ファイル更新		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	振り仮名	30	漢字	出	
5	漢字氏名	30	漢字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	14	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	出	
9	項番	2	数字	出	
10	出張所番号	3	数字	入出	
11	受理･送付別	1	数字	入出	受理分:1、送付分:2
12	開始日	7	英数字	入出	
13	送付日	7	英数字	入出	
14	失効日	7	英数字	入出	
15	失効区分(コード)	1	数字	入出	終了:1、取下:2、失効:3
16	失効区分(漢字)	3	漢字	出	(上記の内容を表示)
17	不受理申出事件(コード)	2	数字	入出	
18	不受理申出事件(名称)	20	漢字	出	
19	不受理申出相手氏名1	30	漢字	入出	
20	不受理申出相手氏名2	30	漢字	入出	
*上記　9～20を一画面MAX2件分示する　(複数ページ有り)					
21	処理選択番号	1	数字	入	
22	処理項番	2	数字	入	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	不受理申出情報更新		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	振り仮名	30	漢字	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	本籍	30	漢字	出	
6	筆頭者	14	漢字	出	
7	生年月日	7	英数字	出	
8	項番	2	数字	出	
9	出張所番号	3	数字	出	
10	受理･送付別	1	数字	出	受理分:1、送付分:2
11	開始日	7	英数字	出	
12	送付日	7	英数字	出	
13	失効日	7	英数字	出	
14	失効区分	1	数字	出	終了:1、取下:2、失効:3
15	失効区分表示	3	漢字	出	(上記の内容を表示)
16	不受理申出事件コード	2	数字	出	
17	不受理申出事件名称	20	漢字	出	
18	不受理申出相手氏名1	30	漢字	出	
19	不受理申出相手氏名2	30	漢字	出	
20	不受理申出イメージ更新日	7	英数字	出	
21	不受理申出イメージ更新時間	6	英数字	出	
22	不受理申出イメージ最終履歴番号	2	数字	出	
23	不受理申出添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
24	不受理申出添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
25	不受理申出補正イメージ更新日	7	英数字	出	
26	不受理申出補正イメージ更新時間	6	英数字	出	
27	不受理申出取下イメージ更新日	7	英数字	出	
28	不受理申出取下イメージ更新時間	6	英数字	出	
29	イメージ種別番号	1	数字	入	
30	表示履歴番号	2	数字	入	
31	不受理申出補正内容	1000	漢字	入出	1行30文字で複数行表示する
32	PFガイダンス1	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	不受理申出情報更新		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
34	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.1 不受理申出・個人状態ファイル更新処理

画面番号		画面名	個人状態ファイル更新		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	振り仮名	30	漢字	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	本籍	30	漢字	出	
6	生年月日	7	英数字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	禁治産者区分	1	数字	入出	禁治産者の場合:1
9	準禁治産者区分	1	数字	入出	準禁治産者の場合:1
10					2.0版で削除
11	裁判所通知区分	1	数字	入出	裁判所からの通知があった場合:1
12					2.0版で削除
13	胎児認知区分	1	数字	入出	胎児認知がある場合:1
14	受理･処理照会区分	1	数字	入出	受理･処理照会がある場合:1
15	保留区分	1	数字	入出	保留がある場合:1
15-1	注意喚起区分	1	数字	入出	注意喚起がある場合:1又は2
15-2	氏の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	職権記録の場合:1
15-3	名の振り仮名職権記録区分	1	数字	出	職権記録の場合:1
16	メモ1	30	漢字	入出	
17	メモ2	30	漢字	入出	
18	メモ3	30	漢字	入出	
19	メモ4	30	漢字	入出	
20	メモ5	30	漢字	入出	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.5届書等情報更新処理

画面番号		画面名	届書等情報更新		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	受領番号	7	数字	出	
4	受理送付の別	2	漢字	出	
5	受付日	7	英数字	出	
6	処分内容	3	漢字	出	
7	決裁内容	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件日	7	英数字	出	
10	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
11	出張所番号	3	数字	出	
11-1	発送日名称	3	漢字	出	「発送日」又は「送信日」
12	発送日	7	英数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本籍非本籍の別	3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外内容	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連受領番号1	7	数字	出	
21	関連受領番号2	7	数字	出	
22	関連受領番号3	7	数字	出	
23	関連受領番号4	7	数字	出	
24	関連受領番号5	7	数字	出	
24-1	追完届有無フラグ	1	数字	入出	0:無　1:有
24-2	追完届有無フラグ名称	1	漢字	出	
24-3	規則第四十一条処理区分	1	数字	入出	0:該当無し　1:処理中　2:完了
24-4	規則第四十一条処理区分名称	4	漢字	出	
25	届書イメージ更新日	7	英数字	出	
26	届書イメージ更新時間	6	英数字	出	
27	届書イメージ最終履歴番号	2	数字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改定日付	版
			令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名					
8.ファイル更新処理　8.5届書等情報更新処理					
28	添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
29	添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
30	届書補正情報更新日	7	英数字	出	
31	届書補正情報更新時間	6	英数字	出	
32	イメージ種別番号	1	数字	入	
33	表示履歴番号	2	数字	入	
34	届書補正内容	1000	漢字	入出	1行30文字で複数行表示する
35	PFガイダンス1	39	漢字	出	
36	PFガイダンス2	39	漢字	出	
37	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理等(汎用画面)

画面番号		画面名	届書等イメージ表示		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	受領番号	7	数字	出	
4	受理送付の別	2	漢字	出	
5	受付日	7	英数字	出	
6	処分内容	3	漢字	出	
7	決裁内容	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件日	7	英数字	出	
10	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本籍非本籍の別	3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外内容	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連受領番号1	7	数字	出	
21	関連受領番号2	7	数字	出	
22	関連受領番号3	7	数字	出	
23	関連受領番号4	7	数字	出	
24	関連受領番号5	7	数字	出	
25	届書イメージ更新日	7	英数字	出	
26	届書イメージ更新時間	6	英数字	出	
27	届書イメージ最終履歴番号	2	英数字	出	
28	添付書面イメージ更新日	7	英数字	出	
29	添付書面イメージ更新時間	6	英数字	出	
30	届書補正イメージ更新日	7	英数字	出	
31	届書補正イメージ更新時間	6	英数字	出	
32	申入書イメージ更新日	7	英数字	出	

画面項目一覧表			作成日付	改定日付	版
			令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名					
8.ファイル更新処理等(汎用画面)					
33	申入書イメージ更新時間	6	英数字	出	
34	イメージ種別番号	1	数字	入	イメージ表示する種別を入力
35	表示履歴番号	2	数字	入	
36	届書補正内容	-	漢字	出	
37	PFガイダンス1	39	漢字	出	
38	PFガイダンス2	39	漢字	出	
39	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.6送付先市区町村情報更新処理

画面番号		画面名	送付先市区町村情報更新

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	
7	処分内容	3	漢字	出	
8	決裁内容	3	漢字	出	
9	事件名	15	漢字	出	
10	事件日	7	英数字	出	
11	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
12	出張所番号	3	数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本籍非本籍の別	3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外内容	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連受領番号1	7	数字	出	
21	関連受領番号2	7	数字	出	
22	関連受領番号3	7	数字	出	
23	関連受領番号4	7	数字	出	
24	関連受領番号5	7	数字	出	
25	発送日	7	英数字	入出	
26	送付先市区町村情報管理番号	2	数字	出	連番
27	送付先市区町村コード	5	数字	入出	
28	送付先市区町村名称	14	漢字	出	
29	事件対象区分	1	数字	入出	
30	事件対象区分名称	3	漢字	出	1:対象、2:対象外で表示
31	送付先区分	1	数字	入出	
32	送付先区分名称	4	漢字	出	1:送付先、2:参考送付で表示

画面項目一覧表			作成日付	改定日付	版
			令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名					
8.ファイル更新処理　8.6送付先市区町村情報更新処理					
33	送信区分	1	数字	入出	
34	送信区分名称	3	漢字	出	1:未送信、2:送信済、3:送付紙、 4:到着紙で表示
34-1	処理区分	1	数字	入	
34-2	処理区分名称	2	漢字	出	0:無、1:追加、2:更新、3:削除、 4:遺漏で表示
*上記26～34-2を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
35	PFガイダンス1	39	漢字	出	
36	PFガイダンス2	39	漢字	出	
37	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.7申入書情報更新処理

画面番号		画面名	申入書情報選択		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	
7	処分内容	3	漢字	出	
8	決裁内容	3	漢字	出	
9	事件名	15	漢字	出	
10	事件日	7	英数字	出	
11	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
12	出張所番号	3	数字	出	
12-1	発送日名称	3	漢字	出	「発送日」又は「送信日」
13	発送日	7	英数字	出	
14	郵送日	7	英数字	出	
15	本籍非本籍の別	3	漢字	出	
16	発日	7	英数字	出	
17	収日	7	英数字	出	
18	許可日	7	英数字	出	
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	指示日	7	英数字	出	
21	関連受領番号1	7	数字	出	
22	関連受領番号2	7	数字	出	
23	関連受領番号3	7	数字	出	
24	関連受領番号4	7	数字	出	
25	関連受領番号5	7	数字	出	
26	申入書情報総数	2	数字	出	
27	申入書情報管理番号	2	数字	出	
28	申入書届出日	7	英数字	出	
29	申入書期間満了日	7	英数字	出	
30	申入書取下日	7	英数字	出	
31	申入書状態	2	漢字	出	有効、無効

画面項目一覧表			作成日付	改定日付	版
			令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名					
8.ファイル更新処理　8.7申入書情報更新処理					
32	申入人氏名	30	漢字	出	
33	申入人生年月日	7	英数字	出	
34	申入人本籍	30	漢字	出	
35	申入人筆頭者	30	漢字	出	
36	申入書イメージ更新日	7	英数字	出	
37	申入書イメージ更新時間	6	英数字	出	
38	申入書イメージ最終履歴番号	2	数字	出	
*上記27～38を一画面MAX2行表示する　(複数ページ有り)					
39	処理区分	1	数字	入	1:追加、2:期間満了による追加、 3:データ更新、4:画像更新、 5:取下げ、6:削除
40	申入書情報選択項番	2	数字	入	
41	PFガイダンス1	39	漢字	出	
42	PFガイダンス2	39	漢字	出	
43	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

8.ファイル更新処理　8.7申入書情報更新処理

画面番号		画面名	申入書情報更新		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	受領番号	7	数字	出	
4	受理送付の別	2	漢字	出	
5	受付日	7	英数字	出	
6	処分内容	3	漢字	出	
7	決裁内容	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件日	7	英数字	出	
10	事件発生時分	4	数字	出	「24時表記」で編集
11	出張所番号	3	数字	出	
11-1	発送日名称	3	漢字	出	「発送日」又は「送信日」
12	発送日	7	英数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本籍非本籍の別	3	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外内容	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連受領番号1	7	数字	出	
21	関連受領番号2	7	数字	出	
22	関連受領番号3	7	数字	出	
23	関連受領番号4	7	数字	出	
24	関連受領番号5	7	数字	出	
25	申入書情報管理番号	2	数字	出	
26	申入書届出日	7	英数字	入出	
27	申入書期間満了日	7	英数字	入出	
28	申入書取下日	7	英数字	入出	
29	申入書状態	2	漢字	出	有効、無効
30	申入人氏名	30	漢字	入出	
31	申入人生年月日	7	英数字	入出	

画面項目一覧表			作成日付	改定日付	版
			令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名					
8.ファイル更新処理　8.7申入書情報更新処理					
32	申入人本籍	30	漢字	入出	
33	申入人筆頭者	30	漢字	入出	
34	申入書イメージ更新日	7	英数字	出	
35	申入書イメージ更新時間	6	英数字	出	
36	申入書情報管理番号(期間満了前)	2	数字	出	
37	申入書届出日(期間満了前)	7	英数字	出	
38	申入書期間満了日(期間満了前)	7	英数字	出	
39	申入書取下日(期間満了前)	7	英数字	入出	
40	申入書状態(期間満了前)	2	漢字	出	有効、無効
41	申入人氏名(期間満了前)	30	漢字	出	
42	申入人生年月日(期間満了前)	7	英数字	出	
43	申入人本籍(期間満了前)	30	漢字	出	
44	申入人筆頭者(期間満了前)	30	漢字	出	
45	申入書イメージ更新日(期間満了前)	7	英数字	出	
46	申入書イメージ更新時間(期間満了前)	6	英数字	出	
47	PFガイダンス1	39	漢字	出	
48	PFガイダンス2	39	漢字	出	
49	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

9.受領番号確保

画面番号		画面名	休日・夜間分受領番号確保

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	受領日	7	英数字	入	「元号コード　年.月.日」で編集
4	開始番号	7	数字	出	
5	届書枚数	2	数字	入	
6	終了番号	7	数字	出	
7	PFガイダンス1	39	漢字	出	
8	PFガイダンス2	39	漢字	出	
9	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5-5-(3) 画面項目一覧表

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和　年　月　日	R2.2

適用業務名

12.連携情報処理

画面番号		画面名	連携情報処理メニュー		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	選択番号	2	数字	入	
4	PFガイダンス1	39	漢字	出	
5	PFガイダンス2	39	漢字	出	
6	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

12.連携情報処理　12.1本籍人副本記録情報検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本・本籍人)		

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	振り仮名	30	漢字	入	
5	漢字氏名	30	漢字	入	
6	本籍	30	漢字	入	
7	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
8	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
9	戸籍の編製日	7	英数字	入	
10	戸籍の消除日	7	英数字	入	
11	入籍日	7	英数字	入	
12	除籍日	7	英数字	入	
13	戸籍種別1	1	英数字	入	戸籍種別=1(戸籍)
14	戸籍種別2	1	英数字	入	戸籍種別=2(除籍(電算化後))
15	戸籍種別3	1	英数字	入	戸籍種別=4(再製原戸籍)
16	戸籍種別4	1	英数字	入	戸籍種別=5(除籍(電算化前))
17	戸籍種別5	1	英数字	入	戸籍種別=6(司法大臣原戸籍)
18	戸籍種別6	1	英数字	入	戸籍種別=7(昭和改製原戸籍)
19	戸籍種別7	1	英数字	入	戸籍種別=8(平成改製原戸籍)
20	戸籍種別8	1	英数字	入	戸籍種別=9(再製原除籍)
21	戸籍種別9	1	英数字	入	戸籍種別=10(再製原平成改製原戸籍)
21-1	記載字検索フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
21-2	遡り検索フラグ	1	英数字	入	
21-3	構成員等取得フラグ	1	数字	入	必須項目のため「数字」とする
22	一連番号	2	数字	出	
23	戸籍種別	8	漢字	出	
24	改製不適合区分	4	漢字	出	正本が紙で管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適紙」、イメージ管理されている改製不適合戸籍の場合は「不適磁気」を表示する。
24-1	遡り該当フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「遡り」を表示する。
25	本人氏名	12	漢字	出	
26	生年月日	7	英数字	出	
27	編製日	7	英数字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

12.連携情報処理　12.1本籍人副本記録情報検索

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(副本・本籍人)		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
28	消除日	7	英数字	出	
29	除籍日	7	英数字	出	
30	旧氏名検索表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
30-1	構成員等該当者フラグ	2	漢字	出	該当者の場合「構成」を表示する。
31	筆頭者	12	漢字	出	
32	本籍	20	漢字	出	
*上記22～32を一画面MAX3人表示する　(複数ページ有り)					
33	該当番号	2	数字	入	
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改定日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

12.連携情報処理　12.2送付分届書等振分け

画面番号		画面名	送付分届書等一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	一連番号	3	数字	出	
5	受理地	15	漢字	出	
6	届書番号	7	数字	出	
7	届出選択事件名	15	漢字	出	
8	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	受信日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	受信時間	6	数字	出	「時:分:秒」で編集
11	受付番号	7	数字	出	
12	受付事件名	15	漢字	出	
13	事件本人区分名称	8	漢字	出	
14	事件本人氏名	24	漢字	出	
15	同時決裁受領番号1	7	数字	出	
16	同時決裁受領番号2	7	数字	出	
17	同時決裁受領番号3	7	数字	出	
18	同時決裁受領番号4	7	数字	出	
19	同時決裁受領番号5	7	数字	出	
20	データ状態	15	漢字	出	
*上記4～20を一画面MAX3件分表示する　(複数ページ有り)					
21	選択番号	3	数字	入	
22	取得済受領番号	7	数字	入	
23	PFガイダンス1	39	漢字	出	
24	PFガイダンス2	39	漢字	出	
25	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第 5.6 「帳票」関係仕様

（目次）

(1) 新帳票一覧表

(2) 帳票設計書

(3) 帳票項目一覧表

第 5 6	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「帳票」関係仕様		平成 6 年 12 月 1 日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1) 「第 5-6(2) 帳票設計書」に各帳票の順守範囲を示す。

(2) 但し、法令等で定められる帳票(「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」など)は全て順守。

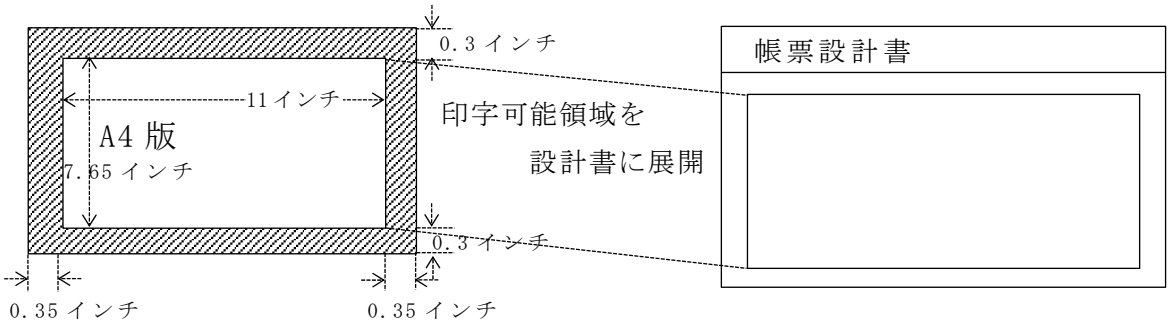
〔留意点〕

(1) 新帳票一覧表に掲げた種類は、規則、準則等で最低必要となる帳票及び戸籍関連事務に関するものである。その他、自治体で運用上必要となる帳票を出力することはかまわない。

(2) 一部の帳票においては、関係省庁との事前調整が必要なものもあるため、様式等決定する上では、注意を要する。

(3) 証明書関係及び外部へ提出する帳票に関しては、用紙サイズを A4 判に統一している。内部帳票に関しては、自治体の運用に合わせて設計すること。

(4) 「帳票設計書(レイアウト)」ワークシートは、印刷不能領域をある程度意識している。(但し、原寸大のサイズで表せないため、参考とすること)システム環境により、合致しない場合の微調整は構わない。



(5) 行ピッチ、文字ピッチ

行ピッチ　：　6LPI
文字ピッチ：　5CPI 又は 10CPI(7 ポ相当、9 ポ相当)

上記のピッチで設計している。

第5.6.(1)

新帳票一覧表

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	4、5、6	新帳票一覧表	以下帳票を追加 ・「広域交付戸籍証明書等」 ・「戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」 ・「届書等情報内容証明書等」
2	R3	－	新帳票一覧表	最新の法令等に合わせて正しい記載に修正する。 ・戸籍事務 1-1戸籍受付帳 1-2戸籍事務取扱準則38条2項用紙 1-5(高齢者消除)戸籍記載許可申請書 ・証明等に係わる業務 2-6届書預り証明書 ・ 3-1戸籍事件表
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
4	R4	B04	新帳票一覧表	送達確認書の郵送事務が残るため「1-4 届書送達確認書」の帳票名に注意事項を記載する。
5				届書等の法務局への送付がなくなることから「1-2 本籍人送付目録」の帳票名に廃止の旨を記載する。 届書等の保存により届書目録を追加する。 ・戸籍事務 1-8　届書目録(受理分) 1-9　届書目録(受理以外分) 1-10 届書目録(完全渉外・受理分) 1-11 届書目録(完全渉外・受理以外分) 届書目録を「1-3 種類番号帳」で対応する場合を考慮し、出力サイクルに「年次」を追加する。
6	2.0 (2023.7.31版)	ー	新帳票一覧表	戸籍情報連携システムの運用開始に伴う修正 ①戸籍事務 本籍人届書送付目録、相続税法58条通知の削除 ②証明等に係わる業務 身分証明書の削除
7		ー		「火葬等許可事務システム」標準化に伴う修正 ・証明等に係わる業務から「死体埋火葬許可証」を削除

第5.6.(1)　新帳票一覧表

(1) 作成の目的

この一覧表は、新システムで使用する帳票を明確にするとともに、現行事務帳票の調査分析･整理統合と「システム化の範囲」とを考慮してまとめたものである。

(2) 作成方法

業務の処理手順に沿って、各システムの流れ図から帳票を抽出する。さらに、抽出した帳票は統合整理を行い、新システム帳票一覧表に記入する。

なお、記入方法は次のとおりである。

ア　項番	帳票番号。新システムで使用する帳票を、概ね業務の処理手順に沿って、番号を記入する。
イ　帳票名	現在使用されている帳票の場合はその名称を、新規に作成する帳票の場合は適宜名称を定めて記入する。
ウ　旧番号	(旧帳票番号の略で、現行帳票分析時に用いた一連番号)
エ　規格の有無	法規等で様式が定められている場合は、「有」と記入する。
オ　根拠法令	上記で定める法規等の名称及び条項を記入する。
カ　保存期間	上記で定める保存期間を記入する。
キ　処理区分	オンライン処理･バッチ処理の別を記入する。
ク　出力サイクル	出力のタイミング(日次、月次、年次、随時等)を記入する。
ケ　備考	補足説明を要する場合に記入する。

(3) 新帳票一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

新帳票一覧表			作成日付	改訂日付	版	
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0	
適用業務名						
戸籍事務						
項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンラインバッチ区分	出力サイクル
1-1	戸籍受付帳 ※根拠法令下段は受付ファイルが発収簿であるもの	有	戸規21条	150	バッチ	月次
		有	準則28条	3		
1-2						
1-3	種類番号帳	無	戸規48条		バッチ	月次 又は年次
1-4	届書等送達確認書 ※戸籍情報連携システムの運用開始に伴い、届書等情報が送信できなかった場合に出力する運用に変更する	無	昭59.6.15 特別区主管課長会		バッチ	日次
1-5	(高齢者消除)戸籍記載許可申請書	有	準則22条	27	バッチ	随時
1-6						
1-7	宛名シール	無			バッチ	日次
1-8	届書目録(受理分) ※戸籍情報連携システムの運用開始に伴い追加	無	?		バッチ	月次 又は年次
1-9	届書目録(受理以外分) ※戸籍情報連携システムの運用開始に伴い追加	無	?		バッチ	月次 又は年次
1-10	届書目録(完全渉外・受理分) ※戸籍情報連携システムの運用開始に伴い追加	無	?		バッチ	月次 又は年次
1-11	届書目録(完全渉外・受理以外分) ※戸籍情報連携システムの運用開始に伴い追加	無	?		バッチ	月次 又は年次

新帳票一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

証明等に係わる業務

項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンラインバッチ区分	出力サイクル
2-1	全部事項証明(戸籍謄本)	有	戸規12条		オンライン	随時
2-2	一部事項証明(戸籍抄本)	有	戸規1、2条		オンライン	随時
2-3	記録事項証明(戸籍記載事項証明)	有	戸規14条		オンライン	随時
2-3-1	一部証明書	有	戸規79条の12		オンライン	随時
2-4	届書受理証明 (出生、縁組、離縁、婚姻、離婚、死亡、他)	有	戸規66条		オンライン	随時
2-5	戸籍法41条証書提出の証明	無			オンライン	随時
2-6	届書預り証明書(婚姻届受理照会中、婚姻届以外の受理照会中である旨の通知書も含む)	無			オンライン	随時
2-7						
2-8						
2-9	本籍の町名変更についてのお知らせ(ハガキ)	無			バッチ	不確定
2-10	本籍の町名変更についてのお知らせ(証明書)	無			オンライン	不確定
2-11	広域交付戸籍証明書等	有	戸籍法第120条の2		オンライン	随時
2-12	戸籍電子証明書等	有	戸籍法第120条の3		オンライン	随時
2-13	届書等情報内容証明書等	有	戸籍法第120条の6		オンライン	随時

第5-6-(1) 新帳票一覧表

新帳票一覧表			作成日付	改訂日付	版
			平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名					
統計事務					
項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンラインバッチ区分	出力サイクル
3-1	戸籍事件表	有	準則21条	10	バッチ	年次

第5.6.(2)

帳票設計書

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	4、5、6	帳票設計書	以下帳票を追加 ・「広域交付戸籍証明書等」 ・「戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書」 ・「届書等情報内容証明書等」
2		7		以下帳票を変更 ・「事件表(その2)」
3	R3	B06	帳票設計書	・届書等情報内容証明書等 3.運用関係に留意点を追加
4		－		法令等の見直しによる修正 ・事件表_概要説明 ・事件表(その1)
5				誤植による修正 ・広域交付戸籍証明書等の証明書イメージの「発行番号」「以下次頁」を削除
6				「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
7	R4 標準仕様書修正	帳票設計書 25	帳票設計書	現行の準則と異なる部分を修正 ・事件表(その1)の10親権・未成年者の後見・後見監督②嘱託の「甲類審判」を「別表第一審判の確定」に修正
8		－		広域交付戸籍証明書(電算化前)に発行番号を追加し、発行日を修正 ・発行番号を追加 ・年月日を算用数字から漢数字に修正
9	R4 連携システムに係る修正	B04		送達確認書の郵送事務が残るため届書送達確認書を修正 ・現在の仕様を「Ⅰ　戸籍情報連携システム運用前」と規定 ・「Ⅱ　戸籍情報連携システム運用後」の仕様を追加
10				届書等の法務局への送付がなくなることによる修正 ・本籍人届書送付目録 3.運用関係に廃止の旨を記載 ・渉外関係届書写し送付目録 3.運用関係に廃止の旨を記載
11				届書等の保存により届書目録を追加 ・届書目録及び届書目録(完全渉外分)を追加 ・届書目録様式を追加
12				届書目録を「種類番号帳」で対応する場合の修正 ・2. 編集条件を修正
13		B06		届書等情報内容証明書等の発行において申入書がなく、注意喚起情報があった場合による修正 ・3.運用関係に注意喚起情報が登録されている場合の処理を追加
14		B07		事件表を戸籍情報連携システム運用前と運用後で異なる場合の様式を切り分ける修正 ・4.その他に運用変更による様式の切り分けを記載 ・事件表(その２)を現行様式に修正 ・事件表(その２)戸籍情報連携システム運用後の様式を追加 ・事件表(その４)を追加
15		B06 指摘事項管理表№30		届書等情報内容証明書等の発行において、届書等情報には添付書面画像がないことによる修正 ・3.運用関係に添付書面の削除及び複数の届書が含まれている場合の対応を記載
16		申し送り事項一覧 №4		戸籍情報連携システム運用後の戸籍事件表(その2)の第3表に注記を追加することによる修正 ・(5)に広域交付証明書、戸籍電子証明書提供用識別符号、電子証明書の「除籍１」「除籍２」について注記を追加
17		申し送り事項一覧 №9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ・戸籍受付帳に4.留意点を記載 ・戸籍受付帳様式の「発送」を「ＫＫ」に変更 ・種類番号帳に4.留意点を記載 ・種類番号帳様式の受理・送付欄に「（ＫＫ）」を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
18		申し送り事項一覧 №12		広域交付戸籍証明書等がイメージの場合の用紙サイズ変更による修正 ・1.様式 (3)広域交付除籍証明書(電算化前)に用紙サイズの変更ができる旨の記載を追加
19	2.0 (2023.3.31版)	帳票設計書 26	帳票設計書	通達等による修正　事件表(その1) ・№20「国籍取得」を「国籍喪失」に修正(誤記) ・№27「②法24条2項」を「②法24条2項等」に修正(通達) ・欄外注釈(2)を通達に合わせて修正(通達)
20		申し送り事項一覧 №1		下記帳票の認証域の認証文の文字数を変更 ・広域交付戸籍証明書等(電算化後) ・広域交付戸籍証明書等(電算化前) ・届書等情報内容証明書
21		申し送り事項一覧 №2		①戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書 ・本籍、筆頭者の文字数を変更 ・タイトルの「戸籍」部分を「戸籍」「除籍」に場合分けして印字するよう変更 ・識別符号を4分割して印字することの変更 ②届書等情報内容証明書 ・2.編集条件(2)編集内容に認証域の可変印字を追加 ・3.運用関係に届書等資料の一部分を選択できる機能を追加 ・(2)届書補正情報に認証域を追加　(3)白紙認証域を追加 ・届書補正イメージを7-2-(13)_「各種ファイル更新」処理のイメージに合わせて修正
22	2.0 (2023.7.31版)	―	帳票設計書	振り仮名の法制化による修正 ・証明書概要説明での呼称のレイアウトを修正 ・証明書概要説明書を修正 ・証明書発行_タイトル文字の表示を修正 ・戸籍受付帳を修正 ・受理証明書_様式を修正 ・戸籍法41条証書提出の証明_様式を修正 ・届書預り証明書_様式を修正 ・広域交付証明書等を修正 ・事件表(その1)を修正、(その2)を削除、(その2)(戸籍情報連携システム運用後)を(その2)に変更
23		―		戸籍情報連携システムの運用開始に伴う修正 ・本籍人届書送付目録、渉外関係届書写し送付目録、相続税法58条通知、身分証明書の削除 事件表の4.その他の※を削除し、事件表その２は事件表その２(連携後)に差し替える ・届書送達確認書を届書等送達確認書に変更し、届書以外の送付書類に対応 ・届書等情報内容証明書2.編集条件(2)編集内容の認証域に、証明書が複数枚になった場合の散逸防止等の目的で、発行番号を付すことについて追加
24		―		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・証明書概要説明書に個人事項証明書の仕様変更を記載
25		―		国籍・地域変更による修正 ・証明書発行_タイトル文字の表示を修正
26		―		「火葬等許可事務システム」標準化に伴う修正 ・死体(埋)火葬許可書(申請書)、死体埋火葬許可証を削除

第5.6.(2)　帳票設計書

(1) 作成の目的

法令等で定められている様式のほか参考提示できる様式についても、そのレイアウトを作成し、帳票の大きさ、出力する項目及び位置を明確にするものである。

(2) 作成方法

帳票の見出し部分と出力部分を記入する。

出力部分の属性、タイプについては、次のとおりである。

K:漢字(全角)

N:カナ(以下、半角)

X:英数字カナ

9:数字

なお、数字･英字･カナの項目であっても2バイト文字で出力したい場合は、「K」で記入する。

(3) 帳票設計書

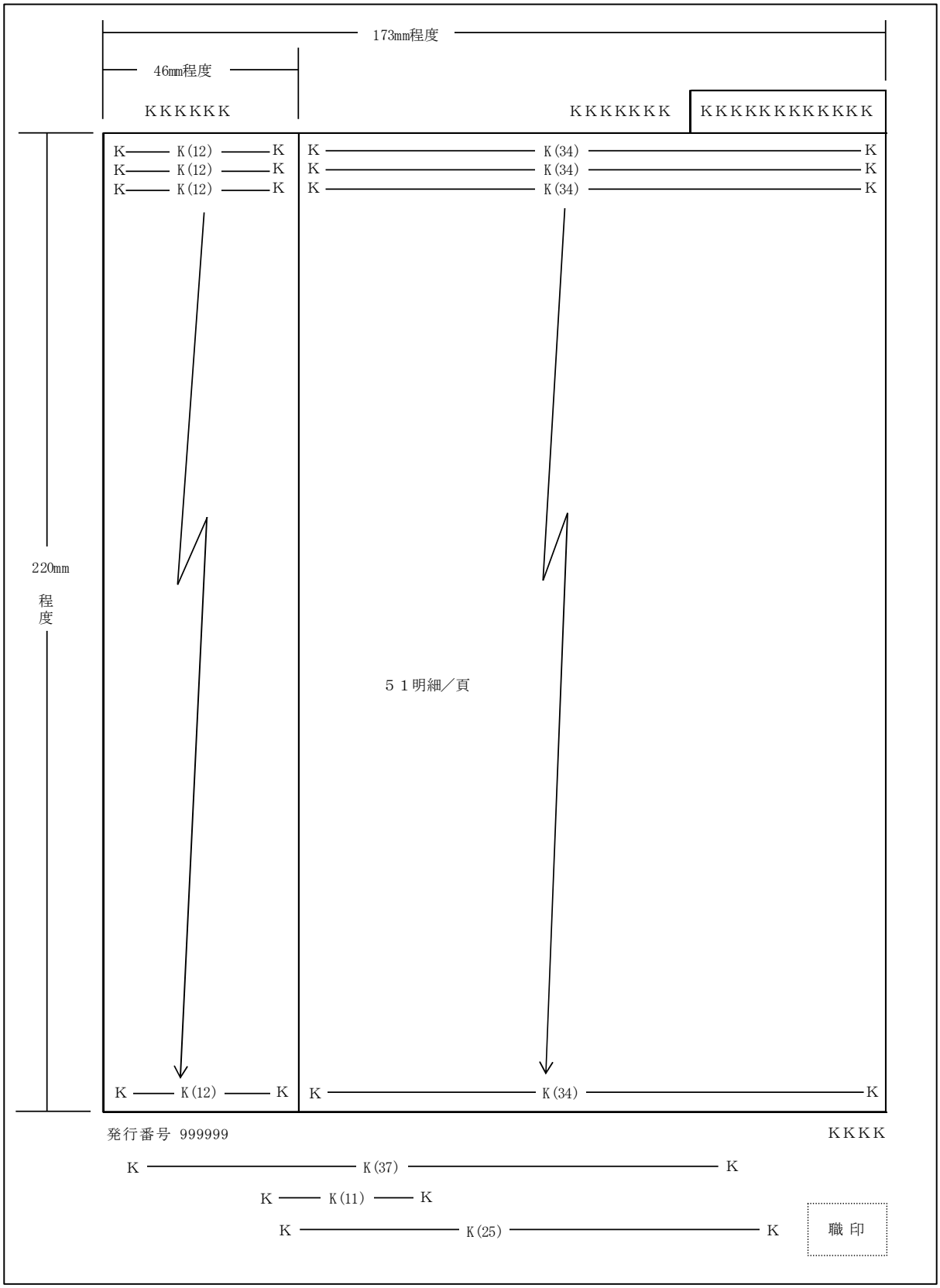
上記の検討を経て作成した帳票設計書は、以下のとおりである。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

証明書発行

記録事項証明書の規格(民二第7002号通達　別紙6)	帳票名	全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)



帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

証明書発行

証明書概要説明での呼称	帳票名	全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)

	見出し欄（タイトル表示欄）	項目欄
		(1の1) 全 部 事 項 証 明
戸籍の表示欄	本　　籍 氏　　名	△東京都千代田区霞ヶ関～ △△△～　　←　空　　行　→ △河野　義太郎
氏の振り仮名欄	氏の振り仮名	△コウノ △△△～　　←　空　　行　→
戸籍事項欄	戸籍事項 戸籍編製 氏の変更	△△△～　　←　空　　行　→ 【編製日】平成6年12月1日 【氏変更日】平成7年2月21日 【氏変更の事由】戸籍法107条～ 【従前の記録】 △△【氏】甲野
個人特定欄	戸籍に記録されている者	△△△～　　←　空　　行　→ 【名】義太郎 【名の振り仮名】ヨシタロウ △△△～　　←　空　　行　→ 【生年月日】昭和36年4月19日△△【配偶者区分】夫 【父】甲野太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長男
(個人欄) 身分事項欄	身分事項 △△出　　生	△△△～　　←　空　　行　→ 【出生日】昭和36年4月19日 【出生地】広島県広島市 【届出日】昭和36年4月25日 【届出人】父
	△△婚　　姻	【婚姻日】平成元年1月28日 ・ ・ ・ 【従前戸籍】京都府～　　～町 △△20番地△甲野太郎
	戸籍に記録されている者	△△△～　　←　空　　行　→
	身分事項	△△△～　　←　空　　行　→
		以下余白

△発行番号　999999

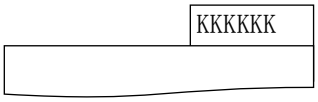
△:ブランク(空白文字)を示す

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

証明書概要説明書

証明書の様式、出力条件について以下に示す。証明書の出力条件については、全国統一様式を図るため詳細項目にわたり基準を定めている。

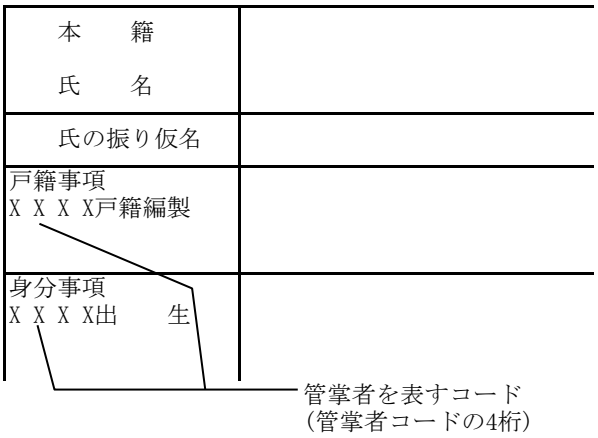
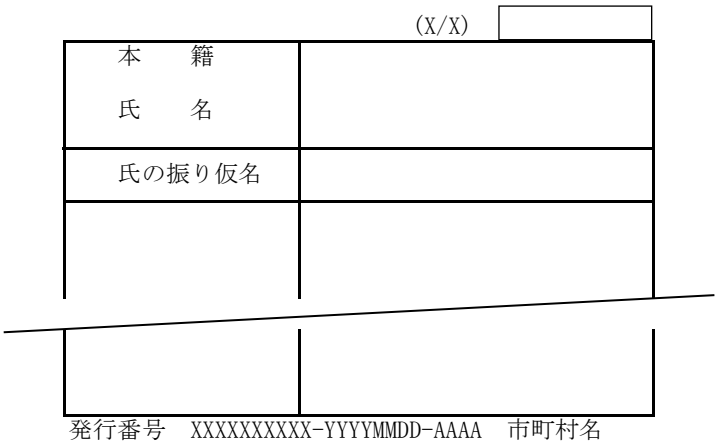
項番	項目	内容
1	様式	戸籍法施行規則第73条、79条の12を遵守する
2	証明書の種類	1. 全部事項証明書(戸籍謄本) 一戸籍に記録している全部の事項を証明したもの 2. 個人事項証明書(戸籍抄本) 一戸籍内の特定個人の記録についての全部を証明したもの ※戸籍内に同一人が複数存在する場合、同一人全員が証明書の対象であること 3. 一部事項証明書(記載事項証明書) 一戸籍内の特定個人の記録中、特定事項について証明したもの 又は、戸籍内に同一人が複数存在する場合、同一人一部の個人について証明したもの 4. 戸籍事務専用 市区町村間の連絡(届書添付)、法務局の問い合わせ、訂正通知等の用途で使用する。 管掌者番号および市区町村長限りの職権訂正事項を含めて、記録されているすべての事項を出力する。 5. 一部証明書 戸籍法第126条に基づき、一戸籍内の特定個人の記録中、特定事項について証明したもの 証明書の種類を表すため、様式の右側上部欄外に表示する。  「全部事項証明」 「戸籍事務専用」 「個人事項証明」 「一部証明」 「一部事項証明」
3	用紙サイズ	日本産業規格A列4番縦
4	行間隔	6行/インチ(6LPI)
5	行数	外枠内で区切り罫線も含めて51行(明細)/頁
6	文字サイズ	標準10ポ(ポイント)程度 但し 1. 個人の名……14ポ程度 ・2行表示の場合に文字が認識できる程度であり、6行/インチでの最大文字程度 ・全角文字の縦横を等倍にしたもの。縦倍のみ、横倍のみとすることは、著しく字形が変わるため不可とする 2. 認証文～認証者…12ポ程度 ・特に規定しないが、極力上記に示すサイズで出力する。
7	文字間隔	特に規定はしない。但し、判読しやすいものとする。
8	文字数	文字サイズに依存
9	線の種類	外枠、証明書の種類枠及び罫線は固定とする。(戸籍の除籍表示枠は、除籍の場合のみ表示)他は、罫線(文字の一種として文字分のスペースをとる線)を用いる 1.実線罫線 ・個人の除籍及び消除の表示を囲む線 ・戸籍の表示、氏の振り仮名、戸籍事項及び戸籍に記載されている者の区分け ・最終行の区切り 2.破線罫線 ・戸籍に記載されている者の名欄と身分事項の区分け ・身分事項の事件毎の区分け

10	戸籍の除籍の表示	右記のように外枠の左上に表示する。 1葉目のみに表示し、2葉目以降表示しない。 除籍 本籍
11	丁数の表示	証明書が複数となる場合は、総数(N)と該当頁(n)を「(Nのn)」の様式で表示する。 証明書が2枚の場合は、「(2の1)」「(2の2)」となる。 出力位置は、証明の種類表示の左側に次のように表示する。 (2の1) 全 部 事 項 証 明　　(10の1) 全 部 事 項 証 明
12	空白行の取扱い	1.見出し欄及び項目欄ともに空白のもの(縦罫線は除く) ・戸籍表示欄の「本籍」の次行 ・氏の振り仮名欄の「氏の振り仮名」の次行 ・戸籍に記録されている者の「名の振り仮名」の次行 ・「以下余白」の表示以降の行 2.項目欄のみ空白のもの(縦罫線は除く) ・見出し欄に次のタイトル表示のある行 「戸籍事項」「戸籍に記録されている者」「身分事項」
13	個人の除籍・消除	個人の除籍・消除に該当する場合は、次の位置に表示する。 戸籍に記録されている者 消　除　　【名】 【名の振り仮名】 除　籍　　【生年月日】 【父】 【母】 【続柄】 罫線の囲みを含めて、除籍マーク、消除マークと呼ぶ。 これらのマークは、一部事項証明書では表示しない。
14	項目欄の表示	1.戸籍の表示欄、氏の振り仮名欄 ・本籍、氏名、氏の振り仮名は、2桁目より表示する。 2.その他の項目欄 ・記録の要素項目は、要素項目名を「【」と「】」で挟んで表示する。 ・基本的に、要素項目名を1桁目より表示し続けてデータを表示する。
15	配偶者区分の表示	1.「夫」「妻」の場合のみ表示する。「生存配偶者」は表示しない。 2.出力表示位置 【生年月日】の後に次のように表示する。(固定位置) (項目欄カラム)‥‥+‥‥10‥‥+‥‥20‥‥+‥ 【生年月日】昭和36年10月30日△【配偶者区分】夫 【生年月日】平成6年1月4日△△△△【配偶者区分】妻

<table>
<tr><td>16</td><td>折返しの表示</td><td>要素項目名の表示及びその内容項目が、対象枠欄の1行に収まらない場合は、項目欄内の次の行へ折り返して表示する。
その場合の2行目以降の表示を以下に規定する。

1.項目の1行目の先頭表示位置と同位置より表示する項目
・戸籍表示欄の「本籍」「氏名」、氏の振り仮名欄の「氏の振り仮名」
［例］
<table><tr><td>本　　籍</td><td>△京都府～　　～町
△20番地
△△△～　　← 空　　行 →</td></tr><tr><td>氏　　名</td><td>△河野　義太郎</td></tr><tr><td>氏の振り仮名</td><td>△コウノ
△△△～　　← 空　　行 →</td></tr></table>
2.「【」の位置から3桁目(2桁空白)より表示する項目
・戸籍事項欄及び身分事項欄
・【名】【名の振り仮名】を除く個人特定欄
［例］【従前戸籍】XXX県XXXXXX郡大字XXXX字123
△△4番地XXX△甲野義太郎</td></tr>
<tr><td>17</td><td>空白文字の取扱い</td><td>要素項目名の表示及びその内容項目表示には、基本的に空白文字は使用しない。
氏名など氏と名が区分けされていても空白文字は詰めて表示する。
但し、以下に示す場合は除外する。
《例外》
a.戸籍の表示欄の「本籍」「氏名」、
氏の振り仮名欄の「氏の振り仮名」の先頭文字
b.戸籍の表示欄の「氏名」の氏と名の区分け
c.身分事項中の要素項目で、本籍と筆頭者氏名および資格と氏名等との区分け
［例］
【届出人】親族　甲野啓二朗</td></tr>
<tr><td>18</td><td>空欄の取扱い</td><td>データが空欄でも表示する項目は、以下のとおりである。
【名】、【父】、【母】
これ以外の項目は表示しない。
なお、戸籍特定ファイルの「筆頭者振り仮名」に名の振り仮名だけが記録されている場合、及び氏名ファイルの「振り仮名」に氏の振り仮名だけが記録されている場合は、データが空欄の取扱いとする。</td></tr>
<tr><td>19</td><td>(養)父母欄の表示</td><td>父母欄に関しては、固定表示とするが、養父母欄は内容が設定されている場合のみ表示する。
［例］
【父】甲野太郎　【父】甲野太郎　【養父】乙川次郎　【養父】乙川次郎
【母】甲野梅子　【母】　【養母】乙川花子　【続柄】養女
【続柄】長男　【続柄】男　【続柄】養女</td></tr>
</table>

20	一頁内の出力条件 (改頁)	①氏名の記載順序は、戸籍法14条の規定に従い戸籍に記載された順に出力する。 ②一用紙に複数人を出力する場合は、各個人の記録の間に罫線(実線)を引き、区切りを明らかにする ③同一ページ内に収まらない場合は、改頁しその続きを冒頭から出力する。 ④様式の枠内下部に余白が生じる場合には、罫線(実線)を引いた上「以下余白」の旨を表示する。 　また、証明が複数ページにわたる場合は、右下枠外に「以下次頁」と表示する。 「例1」 (2の1) 全部事項証明 本　籍 氏　名 氏の振り・ 戸籍事項 戸籍に記録・ 【名】太郎 【名の振り仮名】タロウ 身分事項 (1) (2) (3) (4) 以下次頁 (2の2) 全部事項証明 (4)の続き 戸籍に記録・ 【名】花子 【名の振り仮名】ハナコ 身分事項 (1) (2) 戸籍に記録・ 【名】次郎 【名の振り仮名】ジロウ 身分事項 (1) (2) 以下余白 〔説明〕 ・[例1]の(2の1)に太郎の情報が全て収まらないため、改頁し(2の2)の冒頭から太郎(4)の続きを表示する。 続けて花子の情報を表示する。
21	発行番号	1証明書に対しての固有の管理番号を付設する。(桁数、内容を任意)
22	認証者の表記	職務代理者が認証する場合は、次に示すように資格敬称を付加して表示する。 [市区町村長の場合] 何々市区町村長　何某　職印 [職務代理者の場合] 何々市区町村長　職務代理者　助役　何某　職印 ↓ 資格名称(助役、吏員)
23	認証文	戸籍施行規則第73条、79条の12を遵守する
24	認証印	電子印か朱印を用いる。 電子印(印鑑証明等に用いることの出来る性能を有するハード)を用いる場合は、地紋入りの用紙を用いること。

25	戸籍事務専用	記録された事項単位に管掌者が判別できるようレコード中の管掌者コード等を出力表示すること。出力位置は、タイトルの左横とする。 [例]  戸籍事務専用帳票は内部資料の位置付けであり法定の帳票ではない。このため全部事項証明等の法定の帳票とは性質的に異なるため、認証文から認証印までの出力項目を下記に示す内容に規定し遵守するものとする。 [出力項目] ・認証文 「これは、戸籍に記録されている全ての事項を出力したものである。」 ・作成日 ・市区町村名 ※管掌者、認証印は出力しない
26	再製した戸籍の証明	申出再製により再製した戸籍を全部事項証明書、個人事項証明書で出力する場合、再製に関する事項は出力しない。 ただし、一部事項証明で再製に関する事項の証明請求があった場合には出力する。 (平成14年12月18日民一第3000号民事局長通達　第6)
27	法務省民一第440号の対応 (契印不要の際の仕様)	 契印を不要とする際は、毎葉に発行年月日、市町村名、発行端末番号、任意の発行番号ページ番号及び総ページ数を印刷することとされている ・ページ番号、総ページ数は項番11の「丁数の表示」とする ・発行番号、発行年月日、端末番号はハイフンでつなげる ・発行番号、発行年月日、端末番号、市町村名の印刷位置は上記箇所とする ・表示順は発行番号、発行年月日、端末番号、市町村名の順とする ・発行番号の桁数はメーカー任意とする ・端末番号の桁数はメーカー任意とする ・市町村名を()で囲むことはメーカ任意とする
28	個人事項証明	1.改製前に個人除籍となった筆頭者の個人事項証明について 発行の抑制について、機能としては警告メッセージとし、仕組みについてはメーカー任意とする 2.同籍内に同一人が存在する場合の個人事項証明について 該当個人を選択した場合に、同一人が存在するメッセージを出力し、同一人全員が選択されない場合は、一部事項証明での発行となるメッセージを出力する。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名			
証明書発行			
帳票番号		帳票名	

タイトル文字の表示
　戸籍事項･身分事項のタイトル文字出力について、以下に示す文字数(文字列)により表示する。

本　　籍 氏　　名 氏の振り仮名	本　　籍 氏　　名 氏の振り仮名	本　　籍 氏　　名 氏の振り仮名	本　　籍 氏　　名 氏の振り仮名
戸籍事項 転　　籍 戸籍編製 戸籍消除 戸籍回復 戸籍改製 戸籍再製 氏の変更	戸籍事項 訂　　正 訂　　正 文字訂正 文字関連訂正 文字関連訂正 消　　除 回　　復 記　　録	戸籍事項 更　　正 更　　正 文字更正 文字関連更正 文字関連更正	戸籍事項 追　　完 追　完 記　録
戸籍に記録されている者 ←　12文字分　→			
身分事項 出　　生 子の出生 認　　知 親に対する認知 養子縁組 配偶者の縁組 婿養子縁組 養子離縁 配偶者の離縁 特別養子縁組 民法817条の2 特別養子離縁 婚　　姻 婿養子縁組婚姻 入夫婚姻 離　　婚 親　　権 後　　見 保　　佐 死　　亡 配偶者の死亡 高齢者消除 失踪宣告 配偶者の失踪宣告 復　　氏 配偶者の復氏 姻族関係終了 推定相続人廃除 入　　籍 子の入籍 配偶者の入籍 分　　籍 国籍取得 子の国籍取得 養子の国籍取得	身分事項 配偶者の国籍取得 親の国籍取得 養親の国籍取得 帰　　化 子の帰化 養子の帰化 配偶者の帰化 親の帰化 養親の帰化 後見人の帰化 保佐人の帰化 国籍喪失 配偶者の国籍喪失 国籍選択 外国国籍喪失 氏の変更 配偶者の氏の変更 名の変更 就　　籍 養子縁組取消し 配偶者の縁組取消し 養子離縁取消し 配偶者の離縁取消し 婚姻取消し 離婚取消し 失踪宣告取消し 配偶者の失踪宣告取消し 推定相続人廃除取消し	身分事項 訂　　正 訂　　正 文字訂正 文字関連訂正 文字関連訂正 記　　録 記　　録 消　　除 回　　復 追　　完 追　　完 配偶者の国籍変更 配偶者の国籍・地域変更 配偶者の氏名変更 移　　記 移　　記 除　　籍 引取り 子の復籍 更　　正 更　　正 文字更正 文字関連更正 文字関連更正	身分事項

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
帳票名称			
戸籍受付帳			

1.様式

(1)A4版横

(2)様式については規定しないが、極力提示した様式に準じること。
(届書送付目録と兼用する場合も考えられるため、提出先となる法務局の事務作業を考慮し、準じた様式で作成すること)

(3)出力項目は、受付ファイルに記録されている内容を全て対象とする。

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時出力(特に定めない)
但し、受付ファイルの過年度レコードを削除する際に、受付レコードの内容を受付帳として同時出力し保管するものとする。

(2)抽出条件
①受付ファイルから、過年度レコードを削除するものを対象とする。
(削除範囲指定方法は、特に規定しない)
②同一受領番号が存在する場合には、最新レコード(枝番の大きいもの)。

(3)明細出力順位
①[受付年月日]……昇順
②[受領番号]……昇順

(4)その他
事件本人等の振り仮名の追加は任意設計とする

3.運用関係

(1)発収簿も兼ねるため、内部資料として処分区分による並べ変え、抽出条件を行っても構わない。
(出張所別でも可)

(2)届書送付目録などと兼用する場合の、編集条件は該当帳票の項を参照のこと。

(3)システム導入自治体の運用に合わせて、各種条件を取り決めること。

4.留意点

(1)戸籍受付帳の様式の「決裁」の横の「ＫＫ」は受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
届書等情報送信区分が1又は届書処理通番ファイルが無いの場合:「送信」
それ以外の場合:「発送」と印字する。
※戸籍情報連携システム運用開始後に変更する。

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍受付帳					

KK９９年９９月９９日　９９９９ページ

戸　　籍　　受　　付　　帳

KK９９年９９月分

受領番号	受送	本非	件名：K　（１２）　K	受付：X．９９．９９．９９	発生：X．９９．９９．９９	指：X．９９．９９．９９	発：X．９９．９９．９９	処分：ＫＫＫ	決裁：ＫＫＫ	発送：X．９９．９９．９９
999999999	ＫＫ	ＫＫ	渉外：ＫＫ	出張所：９９９	郵送：X．９９．９９．９９	発生時分：９９：９９	許：X．９９．９９．９９	収：X．９９．９９．９９	関連：9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9	
届出後本籍／筆頭者　K―(50)―K／K―(30)―K									送達確認：ＫＫＫ	
届出人（資格）　K―(30)―K（K―(11)―K）　K―(30)―K（K―(11)―K）										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										

受領番号	受送	本非	件名：K　（１２）　K	受付：X．９９．９９．９９	発生：X．９９．９９．９９	指：X．９９．９９．９９	発：X．９９．９９．９９	処分：ＫＫＫ	決裁：ＫＫＫ	発送：X．９９．９９．９９
999999999	ＫＫ	ＫＫ	渉外：ＫＫ	出張所：９９９	郵送：X．９９．９９．９９	発生時分：９９：９９	許：X．９９．９９．９９	収：X．９９．９９．９９	関連：9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9	
届出後本籍／筆頭者　K―(50)―K／K―(30)―K									送達確認：ＫＫＫ	
届出人（資格）　K―(30)―K（K―(11)―K）　K―(30)―K（K―(11)―K）										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										

受領番号	受送	本非	件名：K　（１２）　K	受付：X．９９．９９．９９	発生：X．９９．９９．９９	指：X．９９．９９．９９	発：X．９９．９９．９９	処分：ＫＫＫ	決裁：ＫＫＫ	発送：X．９９．９９．９９
999999999	ＫＫ	ＫＫ	渉外：ＫＫ	出張所：９９９	郵送：X．９９．９９．９９	発生時分：９９：９９	許：X．９９．９９．９９	収：X．９９．９９．９９	関連：9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9	
届出後本籍／筆頭者　K―(50)―K／K―(30)―K									送達確認：ＫＫＫ	
届出人（資格）　K―(30)―K（K―(11)―K）　K―(30)―K（K―(11)―K）										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										

受領番号	受送	本非	件名：K　（１２）　K	受付：X．９９．９９．９９	発生：X．９９．９９．９９	指：X．９９．９９．９９	発：X．９９．９９．９９	処分：ＫＫＫ	決裁：ＫＫＫ	発送：X．９９．９９．９９
999999999	ＫＫ	ＫＫ	渉外：ＫＫ	出張所：９９９	郵送：X．９９．９９．９９	発生時分：９９：９９	許：X．９９．９９．９９	収：X．９９．９９．９９	関連：9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9.9－(9)－9	
届出後本籍／筆頭者　K―(50)―K／K―(30)―K									送達確認：ＫＫＫ	
届出人（資格）　K―(30)―K（K―(11)―K）　K―(30)―K（K―(11)―K）										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										
K―(20)―ＫＫ―(30)―K（K―(11)―K）ＸＸ９９．９９．９９Ｋ　K―(30)―K　K										

ＫＫ９９９．９９９Ｋ

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍受付帳					

平成　６年　２月　１日　　５９ページ

戸　　籍　　受　　付　　帳

平成　６年　１月分

受領番号	受送	本非	件名：出生		受付：４．　６．　１．１２	発生：４．　６．　１．　７	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：
199400001	受理	本籍	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者							／			送達確認：不要	
届出人（資格）　甲野　花子						(母 |)		(	)	
甲野　啓太郎				コウノ　ケイタロウ			(　　)	平成　６．１．７生	千代田区平河町１丁目４番地		
							(　　)				
							(　　)				
							(　　)				

受領番号	受送	本非	件名：婚姻		受付：４．　６．　１．１２	発生：４．　６．　１．１２	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：
199400002	受理	本籍	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者　千代田区平河町３丁目１５番地							／乙川　忠司			送達確認：不要	
届出人（資格）						(	)		(	)	
乙川　忠司				オツノ　チュウジ			(夫　)	昭和３５．　４．１９生	千代田区平河町３丁目１５番地		
春野　梅子				オツノ　ウメコ			(妻　)	昭和４０．１２．２４生	千代田区有楽町１丁目６番地		
							(　　)				
							(　　)				

受領番号	受送	本非	件名：婚姻		受付：４．　６．　１．１３	発生：４．　６．　１．　２	指：４．　６．　１．１８	発：４．　６．　１．１３	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：４．　６．　１．２１
199400003	受理	非本	渉外：渉外	出張所：００２	郵送：	発生時分：	許：	収：４．　６．　１．２０	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者　広島市南区西旭町５番							／小泉　今日子			送達確認：到達済	
届出人（資格）						(	)		(	)	
フォンデンボッシュ．ウェイン							(夫　)	１９５５．１０．　３生	アメリカ合衆国		
小泉　今日子				コイズミ　キョウコ			(妻　)	平成３９．　３．　３生	広島市南区西旭町５番		到
							(　　)				
							(　　)				

受領番号	受送	本非	件名：養子縁組		受付：４．　６．　１．１３	発生：４．　６．　１．１３	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：４．　６．　１．１３
199400004	受理	本籍	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者							／			送達確認：到達済	
届出人（資格）乙川　幸助						(親権者父	) 乙川　明美		(親権者母	)	
甲野　義太郎				コウノ　ヨシタロウ			(義父　)	昭和１０．　６．１８生	千代田区永田町４丁目５番地		
甲野　ももこ				コウノ　モモコ			(義母　)	昭和１４．　８．　６生	千代田区永田町４丁目５番地		到
乙川　英助				オツカワ　エイスケ			(養子　)	昭和４５．１１．２２生	群馬県前橋市千代田町１丁目２７番地		
							(　　)				

受領番号	受送	本非	件名：死亡		受付：４．　６．　１．１４	発生：４．　６．　１．１３	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：
199400005	受理	非本	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：　７：３０	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者							／			送達確認：不要	
届出人（資格）　小田原　庄助						(親族 |)		(	)	
小田原　長十郎				オダワラ　チョウジュウロウ			(　　)	大正　２．　８．　８生	千代田区平河町１丁目４番地		
							(　　)				
							(　　)				
							(　　)				

合計　　２９６件

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和4年3月31日	R4
帳票名称			
種類番号帳			

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定しないが、極力提示した様式に準じること。

2.編集条件

(1)出力サイクル
＜戸籍情報連携システム運用前＞
月次処理とし、1ヶ月分(1日から末日)を編集する。
＜戸籍情報連携システム運用後：届書目録として使用する場合＞
月次処理又は年次処理とするが運用に任せる。
様式の右上の報告年月「ＫＫ年ＫＫ月分」は「ＫＫ年分」への変更も可。

(2)抽出条件
＜戸籍情報連携システム運用前＞
受付ファイルのレコード中
「処理区分」=1(受理)かつ
「届書送付目録区分」=1(有)のレコードを抽出する。
※同一受領番号がある場合には、最新のレコードを対象とする。
＜戸籍情報連携システム運用後：届書目録及び届書目録(完全渉外分)として使用する場合＞
届書処理通番ファイル中
「在外送付区分」=0(受理分)または=2(在外公館の直接送付)の「受領番号」で受付ファイルを検索
検索対象の受付ファイルのレコード中
届書目録(受理分)
「処分区分」=1(受理)かつ「渉外区分」≠2(外国人)以外のレコードを抽出する。
届書目録(受理以外分)
「処分区分」≠1(受理)以外かつ「渉外区分」≠2(外国人)以外のレコードを抽出する。
届書目録(完全渉外・受理分)
「処分区分」=1(受理)かつ「渉外区分」=2(外国人)のレコードを抽出する。
届書目録(完全渉外・受理以外分)
「処分区分」≠1(受理)以外かつ「渉外区分」=2(外国人)のレコードを抽出する。
※同一受領番号がある場合には、最新のレコードを対象とする。
※抽出条件満たせば、抽出条件の仕様変更はベンダーに一任する。

(3)明細出力順位
①[事件]・・・・・・・・・・・・・・・事件表第2表届出事件表の順
②[受付年月日]・・・・・・・・・・・昇順
③[受領番号]・・・・・・・・・・・・・昇順

3.運用関係

(1)オプション項目(準則に対して)
[受領番号]、[発送年月日]、[受理・送付]、[出張所名]の項目については任意

4.留意点

(1)種類番号帳の様式の「発送年月日」の横の「（ＫＫ）」は受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
届書等情報送信区分が1又は届書処理通番ファイルが無い場合:「（送信）」
それ以外の場合:「（発送）」と印字する。
※戸籍情報連携システム運用開始後に変更する。

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	種類番号帳					

種　類　番　号　帳

ＫＫ９９年９９月９９日　９９９９ページ

事件名：K————(12)————K

K————(20)————K

ＫＫ９９年９９月分

種類番号	受領番号	受付年月日 / 発送年月日	受理・送付	事件本人の氏名	出張所名 / 備考
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	————　————
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	
９９９９９	９９９９９９９	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫＫＫ	K————(３０)————K　K————(３０)————K	K————(15)————K
		ＫＫ９９年９９月９９日	(ＫＫ)	K————(３０)————K　K————(３０)————K	

ＫＫ９９．９９９Ｋ

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和　年　月　日	R4
適用業務名			
届書目録及び届書目録(完全渉外分)			

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定しないが、提示した様式を参考にすること。

2.編集条件

(1)出力サイクル
月次処理又は年次処理とするが運用に任せる。

(2)抽出条件
届書処理通番ファイル中
「在外送付区分」=0(受理分)または=2(在外公館の直接送付)の「受領番号」で受付ファイルを検索
検索対象の受付ファイルのレコード中
届書目録(受理分)
「処分区分」=1(受理)かつ「渉外区分」≠2(外国人)以外のレコードを抽出する。
届書目録(受理以外分)
「処分区分」≠1(受理)以外かつ「渉外区分」≠2(外国人)以外のレコードを抽出する。
届書目録(完全渉外・受理分)
「処分区分」=1(受理)かつ「渉外区分」=2(外国人)のレコードを抽出する。
届書目録(完全渉外・受理以外分)
「処分区分」≠1(受理)以外かつ「渉外区分」=2(外国人)のレコードを抽出する。
※同一受領番号がある場合には、最新のレコードを対象とする。
※抽出条件満たせば、抽出条件の仕様変更はベンダーに一任する。

(3)明細出力順位
①[受領番号]……昇順

3.運用関係

戸籍情報連携システムの運用開始において作成
※戸籍情報連携システムの運用開始に伴い種類番号帳を届書目録として使用する場合は作成不要

帳票設計書	作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	届書目録及び届書目録(完全渉外分)					

KK９９年９９月９９日　９９９９ページ

届　書　目　録　（　受　理　分　）

ＫＫ９９年分

受領番号	区分	受付年月日	処理年月日	事件名	事件本人氏名	他人数
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9
9(9)9	K	ＫＫ９９年９９月９９日	ＫＫ９９年９９月９９日	K(15)K	K(30)K	9

ＫＫ９９．　９９９Ｋ

※届書目録の抽出条件に応じて表題「届書目録(受理分)」を変更する

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
帳票名称			
届書等送達確認書			

Ⅰ 戸籍情報連携システム運用前

1.様式

(1)ハガキ
表(送達確認):送付する届書内容、不受理申出書内容等、送達確認を要する書類を出力
裏(宛名) :送付元市区町村名の宛名・・・・・・プレプリントでも可

(2)サンプル様式(届書の事例)である。

2.編集条件

(1)出力サイクル
日次処理

(2)抽出条件
発送ファイルから(全件)抽出する
抽出範囲については、運用に合わせて指定する

(3)出力条件
特になし

3.運用関係

(1)届書送達確認書と届書を送付した場合には、受付ファイルメンテナンス処理等により、[発送年月日]を入力する必要がある。

(2)事件本人を基本として届書送達確認書の要・不要を判定しているため、下記の事案においては届書送達確認書は出力されない。このような場合においては手書きの運用で対応することとする。また、この際に受付ファイルの送達確認区分の消し込み確認ができないためこの点も運用で対応する。

届出種別	事案
出生届	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村以外が届出を受理した場合
入籍届	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村以外が届出を受理した場合
国籍収得届	事件本人が一時的に記録される、養子縁組・婚姻前の実方戸籍を管理する市町村以外が届出を受理した場合
	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村以外が届出を受理した場合
	事件本人の日本人配偶者につき新戸籍編製又は日本人配偶者が事件本人の新戸籍に入籍するとき、事件本人の日本人配偶者の除籍の記録を行う市町村以外が届出を受理した場合
帰化届	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村以外が届出を受理した場合
	事件本人の日本人配偶者につき新戸籍編製又は日本人配偶者が事件本人の新戸籍に入籍するとき、事件本人の日本人配偶者の除籍の記録を行う市町村以外が届出を受理した場合

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
帳票名称			
届書等送達確認書			

Ⅱ　戸籍情報連携システム運用後

1.様式

(1)ハガキ
表(送達確認):送付する届書内容、不受理申出書内容等、送達確認を要する書類を出力
届書について事件対象区分=2(事件対象外)、送付先区分=2(参考送付先)の場合、
その印字も可
裏(宛名)　:送付元市区町村名の宛名・・・・・・プレプリントでも可

(2)サンプル様式(届書の事例)である。

2.編集条件

(1)出力サイクル
日次処理

(2)抽出条件(届書の事例)
送付先市区町村情報ファイル中
「送信区分」=3:送達中(紙送付)を抽出する
①届書処理通番から該当の受付ファイルを検索し、受付ファイルの情報から編集する
(戸籍情報連携システム運用前と同様)
②送付先市区町村情報ファイルの送付先市区町村コードが①の市区町村と異なる場合は、
送付先市区町村情報ファイルの情報から編集する
この場合、データが無いため事件本人氏名は印字できない

(3)出力条件
特になし

3.運用関係

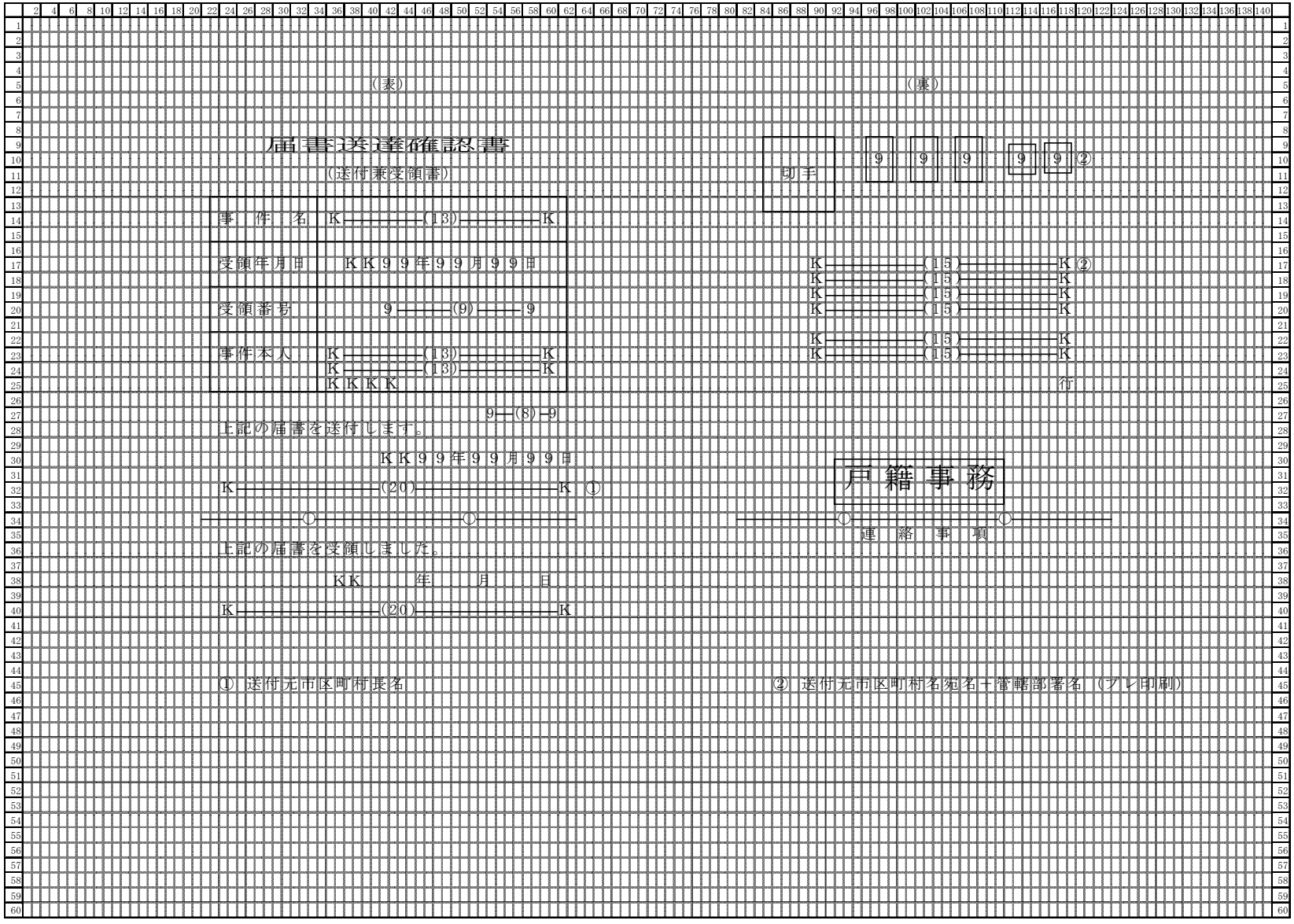
(1)届書送達確認書と届書を送付した場合には、送付先市区町村情報更新処理等により、
[発信(発送)年月日]を入力する必要がある。

(2)送達確認書の返送が無い場合に、その情報を抽出して帳票出力する機能は任意設計であるが、この情報は
送付先市区町村情報ファイルから実施すること。

(3)不受理申出書等、届書以外については任意設計機能とする。

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	届書送達確認書					

原寸サイズ:B4
文字ピッチ:5CPI
行ピッチ　:6LPI



帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21
適用業務名			
高齢者消除該当一覧			

1.様式

(1)A4版横

(2)サンプル提示
（提示した帳票設計は、東京法務局の確認済み）

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時(数回/年)

(2)抽出条件
100歳以上の年齢を任意で入力できることとする。
但し、抽出は下記条件を満たすこととする。
①120歳以上(個人特定の出生日)
・住所不明(戸籍の附票に記載がない、附票ファイルの住所がスペース、消除されたデータのみ)
（平成22年9月6日　法務省民一第2191号）
・戸籍の附票に外国住所が記載されたもの(平成29年9月19日　法務省民一第1132号)

②100歳以上119歳以下(個人特定の出生日)
・住所不明(戸籍の附票に記載がない、附票ファイルの住所がスペース、消除されたデータのみ)
・該当戸籍内に100歳未満の在籍者がいない

※基準日を設けての抽出については、任意の機能とする。

(3)明細出力条件
特になし
但し、同一戸籍内に複数人該当する場合は、連続して出力すること

3.運用関係

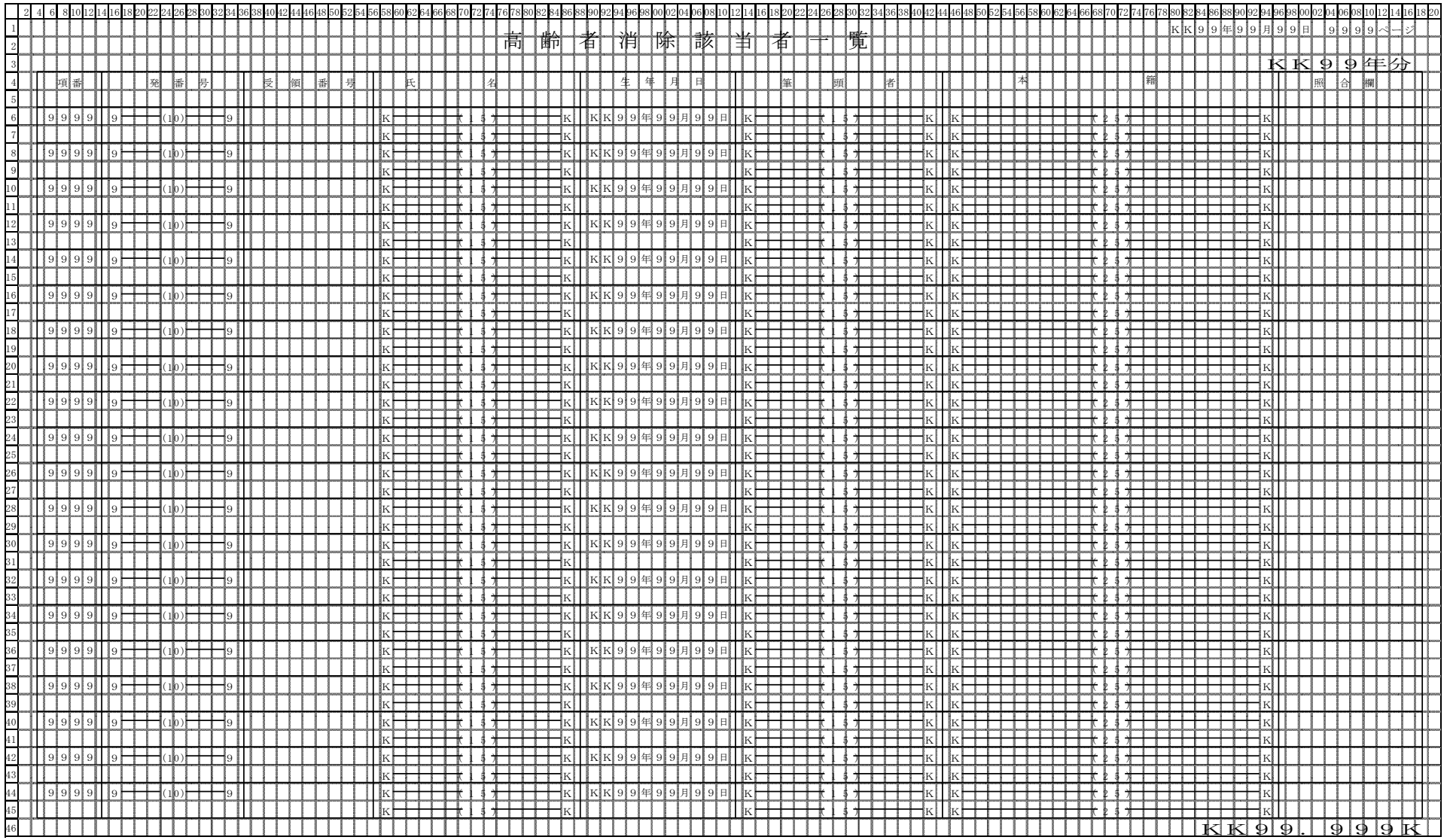
(1)システムで上記条件に合致する該当者を抽出し一覧表を出力する。
その後、高齢者消除の要件に満たしているか職員による調査を行い、法務局に提出する申請書を作成する。
申請書作成以降に関しては、運用に合わせてシステム化を行う。
[第7-2(18) 一括処理]を参考

(2)高齢者消除該当一覧で許可申請を行う場合は、事前に法務局との確認が必要。

4.その他

高齢者消除で使用する戸籍記載許可申請の訂正･記載の事由及び趣旨の記述内容は、参考記載例171を参考にしている。参考記載例171が見直された場合には、内容に基づいて修正を行う。

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	高齢者消除該当一覧					



帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	高齢者消除該当一覧					

平成　5年　8月　1日　　3ページ

高 齢 者 消 除 該 当 者 一 覧

平成　5年分

項番	発番号	受領番号	氏名	生年月日	筆頭者	本籍	照合欄
41	12345		青木源三郎	明治25年10月10日	青木源三郎	千代田区有楽町2丁目3番地	
42	12346		青山忠五郎	明治25年 3月14日	青山忠次	千代田区霞ケ関1丁目1番地	
43	12347		井上政志	明治24年 9月 7日	井上政志	千代田区神田錦町2丁目34番地	
44	12348		上田トラ	明治26年12月25日	上田正吉	千代田区永田町6丁目11番地	
45	12349		金井善吉	明治25年11月19日	金井善吉	千代田区丸の内2丁目1番地	
46	12350		田之畑勇次郎	明治23年 4月14日	田之畑勇次郎	千代田区麹町1丁目1番地	
47	12351		中村ウメ	明治21年 8月 6日	中村正一郎	千代田区大手町3丁目6番地	
48	12352		橋本サク	明治25年10月 3日	橋本寅吉	千代田区有楽町3丁目15番地	
49	12353		三浦文	明治24年 5月 5日	三浦文	千代田区一番町1丁目1番地	
50	12354		村上康雄	明治25年12月31日	村上康雄	千代田区九段下2丁目9番地	
51	12355		安田歌江門	明治24年 5月17日	安田孝三	千代田区神田錦町4丁目22番地	
52	12356		和歌山竜之助	明治24年 1月11日	和歌山竜之助	千代田区竹橋6丁目1番地	

合計　52件

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

作業名

高齢者消除

帳票番号		帳票名	戸籍記載許可申請

受付年月日　ＫＫ９９年９９月９９日
受領番号

書類調査	戸籍記載	記載調査	附票	住民票	通知

戸　籍　記　載　許　可　申　請

Ｋ――――（　）――――Ｋ殿

ＫＫＫ発第９――――（　）――――９　号
ＫＫ９９年９９月９９日申請
Ｋ　　（　）　　Ｋ
Ｋ――――（　）――――Ｋ

事件本人

氏　　名　Ｋ――――――――――――（　）――――――――――――Ｋ

生年月日　ＫＫ９９年９９月９９日

本　　籍　Ｋ――――――――――――（　）――――――――――――Ｋ
Ｋ――――――――――（　）――――――――――Ｋ

筆頭者　Ｋ――――――――――――（　）――――――――――――Ｋ

訂正・記載の事由　上記事件本人は、９(3)９歳以上でその所在が明らかでなく、すでに死亡したものと認められるので、職権をもって死亡の記載をする。
なお、１２０歳以上は、戸籍の附票が空欄であること、もしくは外国住所であること、１２０歳未満は、戸籍の附票が空欄であることを確認した。

訂正・記載の趣旨　上記事件本人について、死亡の記載をして除籍する。
－記載例－
【高齢者消除の許可日】ＫＫ９９年９９月９９日
【除籍日】ＫＫ９９年９９月９９日

添付資料
全部事項証明、戸籍の附票（写し）

上記申請を許可する。

第　　号
ＫＫ９９年９９月９９日

※年齢は、抽出条件で入力した内容を反映する

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
帳票名称			
宛名シール			

1.様式

(1)サンプル提示

2.編集条件

(1)出力サイクル
特になし

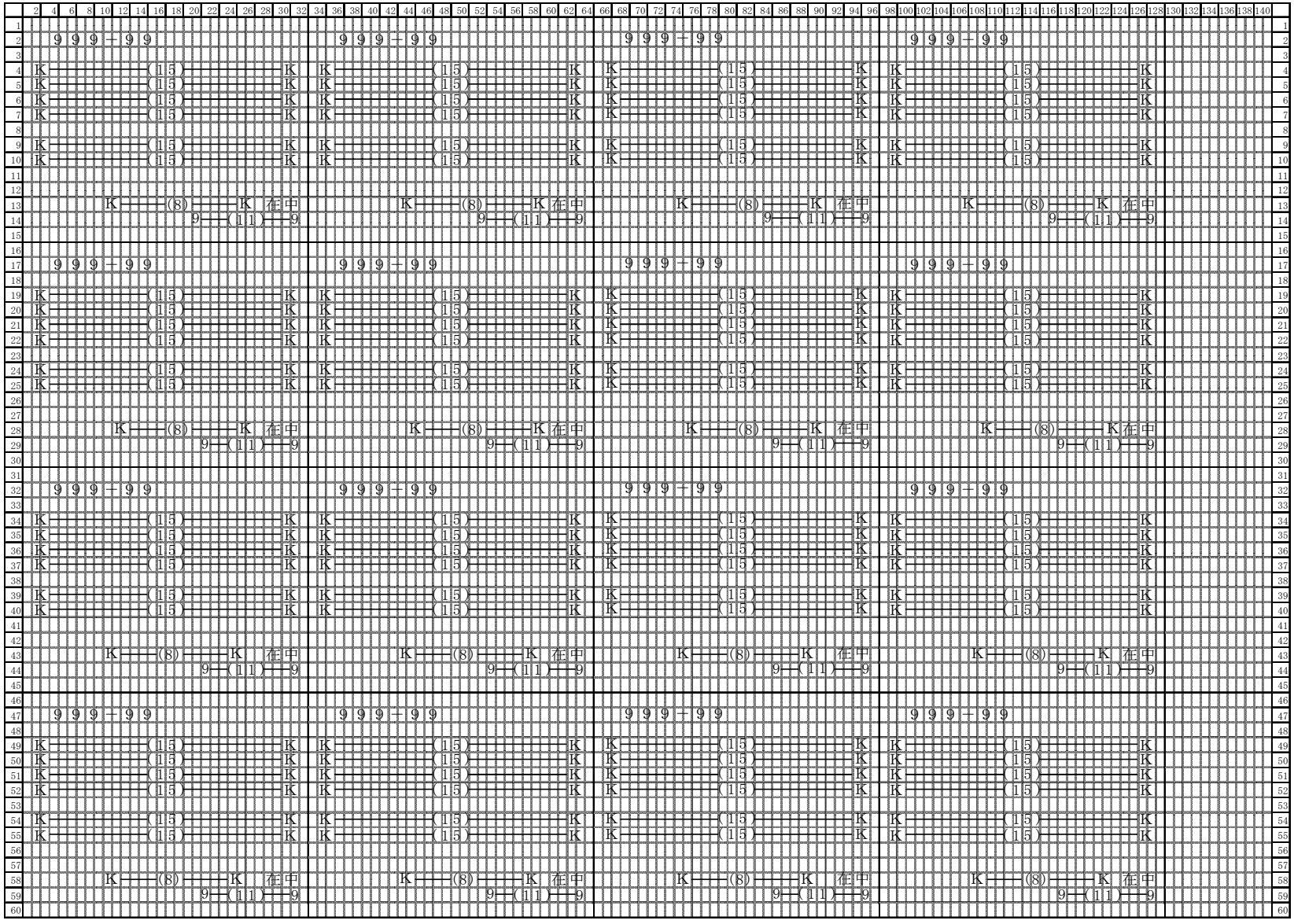
(2)抽出条件
特になし

(3)出力条件
特になし

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	宛名シール					



原寸ｻｲｽﾞ　:11×15
文字ピッチ:5CPI
行ピッチ　:6LPI

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成　6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11
適用業務名			
受理証明書			

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時

(2)編集内容
帳票項目一覧を参照
届出人欄の筆頭者氏名、本籍の実装方法はメーカー任意とする

3.編集条件

特になし

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受理証明書					

受　　理　　証　　明　　書

届　出	K ——— (15) ——— K	届 出 日	ＫＫ９９年９９月９９日

届出人

K ——— (30) ——— K (K ——— (11) ——— K)
ＫＫ　K ——— (40) ——— K
K ——— (10) ——— K

K ——— (30) ——— K (K ——— (11) ——— K)
ＫＫ　K ——— (40) ——— K
K ——— (10) ——— K

事件本人

K ——— (30) ——— K
K ——— (30) ——— K (K ——— (11) ——— K)
ＫＫ　K ——— (40) ——— K
K ——— (10) ——— K　　生年月日　ＫＫ９９年９９月９９日

K ——— (30) ——— K
K ——— (30) ——— K (K ——— (11) ——— K)
ＫＫ　K ——— (40) ——— K
K ——— (10) ——— K　　生年月日　ＫＫ９９年９９月９９日

K ——— (30) ——— K
K ——— (30) ——— K (K ——— (11) ——— K)
ＫＫ　K ——— (40) ——— K
K ——— (10) ——— K　　生年月日　ＫＫ９９年９９月９９日

K ——— (30) ——— K
K ——— (30) ——— K (K ——— (11) ——— K)
ＫＫ　K ——— (40) ——— K
K ——— (10) ——— K　　生年月日　ＫＫ９９年９９月９９日

届出の要旨

上記の届出はＫＫ９９年９９月９９日受理したことを証明する。

ＫＫ９９年９９月９９日　　K ——— (25) ——— K
K ——— (15) ——— K　　職 印

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1
帳票名称			
戸籍法41条証書提出の証明			

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時

(2)編集内容
帳票項目一覧を参照
・「証書」:受付事件コードを翻訳
・「提出日」:受付日
・「成立日」:事件発生日　　を出力

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍法41条証書提出の証明					

証　　明　　書

証書	K ——(15)—— K	提出日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日

届出人	K ——(30)—— K (K ——(11)—— K)
	K ——(30)—— K (K ——(11)—— K)
事件本人	K ——(30)—— K K ——(30)—— K (K ——(11)—— K) K K K ——(40)—— K K ——(10)—— K 生年月日 K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
	K ——(30)—— K K ——(30)—— K (K ——(11)—— K) K K K ——(40)—— K K ——(10)—— K 生年月日 K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
	K ——(30)—— K K ——(30)—— K (K ——(11)—— K) K K K ——(40)—— K K ——(10)—— K 生年月日 K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
	K ——(30)—— K K ——(30)—— K (K ——(11)—— K) K K K ——(40)—— K K ——(10)—— K 生年月日 K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日

届出の要旨	成立日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日	成立方式

上記の証書の提出があったことを証明する。

K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日　　K ——(25)—— K

K ——(15)—— K　　職　印

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1
帳票名称			
届書預り証明書			

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時

(2)編集内容
帳票項目一覧表を参照

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	届書預り証明書					

届　書　預　り　証　明　書

届出	K ——（15）—— K	届出日	KK99年99月99日
届出人	K ——（30）—— K（K ——（11）—— K） K ——（30）—— K（K ——（11）—— K）		
事件本人	K ——（30）—— K K ——（30）—— K（K ——（11）—— K） KK K ——（40）—— K K ——（10）—— K　生年月日 KK99年99月99日		
届出の要旨			

上記届書の提出があったことを証明する。ただし、KKKKK法務局長の決定があるまで受否についての証明はできない。

KK99年99月99日　K ——（25）—— K
K ——（15）—— K

職　印

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1
帳票名称			
町名変更のお知らせ			

1.様式

(1)ハガキ

(2)サンプル提示

2.編集条件

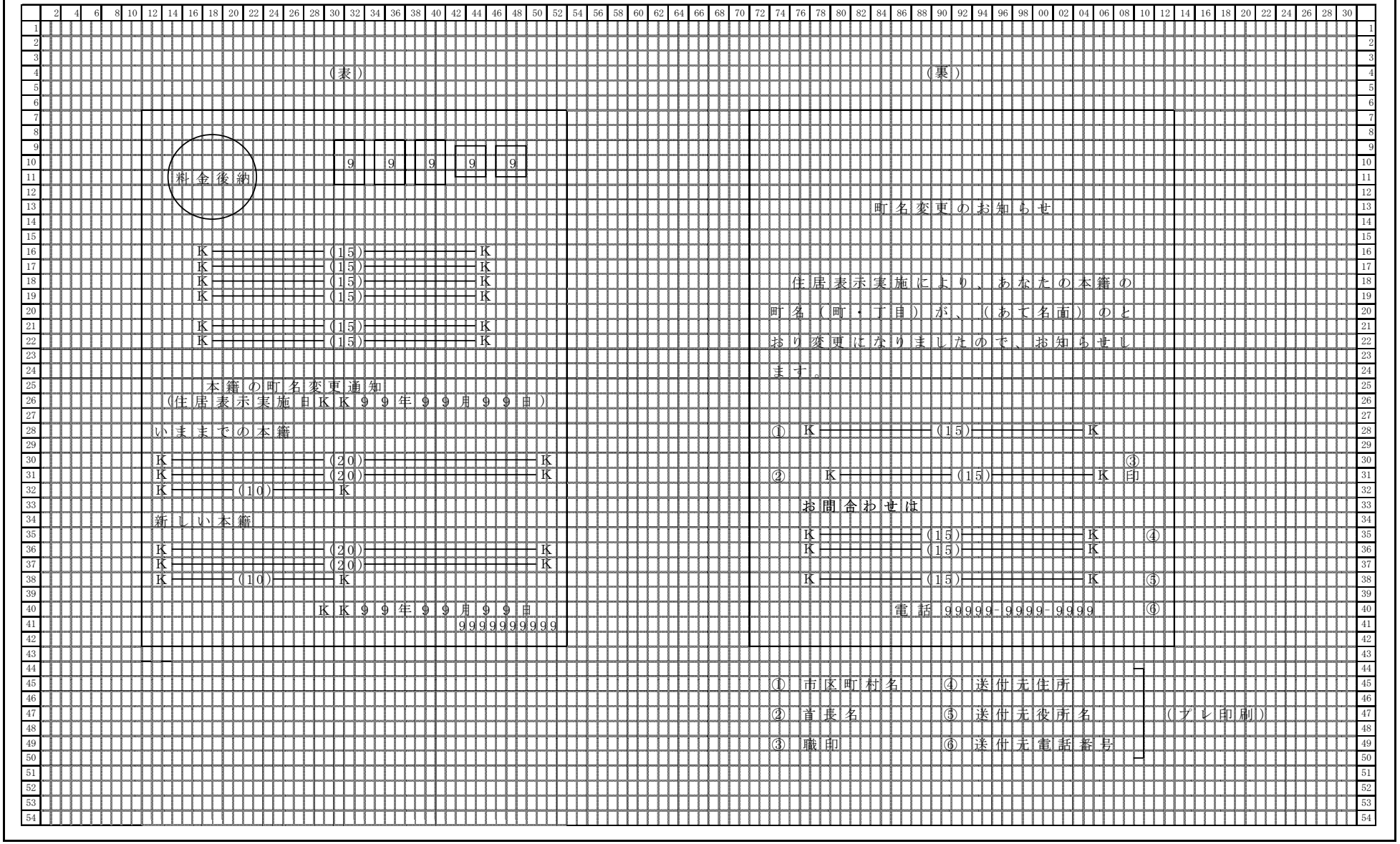
(1)出力サイクル
　随時

(2)編集内容
　帳票項目一覧を参照

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	町名変更のお知らせ					



帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
広域交付戸籍証明書等			

1.様式

(1)広域交付戸籍証明書　・・・　A4版縦

(2)広域交付除籍証明書(電算化後)・・・　A4版縦　　※帳票設計は「(1)広域交付戸籍証明書」と同じ

(3)広域交付除籍証明書(電算化前)・・・　A4版横　　※市区町村が証明書としての効力を担保するために必要と判断した際に用紙サイズを変更できる

(4)法令等で示された様式に準ずること。(サンプル提示)

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時

(2)編集内容
帳票項目一覧を参照
戸籍又は除籍の情報については、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータより編集する。
認証者の表記については、画面で指定した管掌者情報を用いて編集する。
広域交付除籍証明書(電算化前の除籍等)において、原則として最終葉に認証を編集することとするが、最終葉に認証を付記することで証明書としての機能を損なう場合には、白紙頁を追加して差し支えない。
最終葉に認証をしないケースも想定されることから、認証頁の指定ができること。
届書余白又は白紙頁に付記する場合は、任意の位置に認証文を付記できること。

3.運用関係

広域交付除籍証明書(電算化前の除籍等)に掛紙がある場合、掛紙に応じた認証文に切り替えて出力するか、出力後に掛紙の切り貼りを行う。
なお、掛紙がある場合の認証文は平成15年10月24日民一第3178号通知に準ずること。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
広域交付戸籍証明書等			

イメージ出力域

10mm程度

(2の1)

本　　籍 氏　　名	
氏の振り仮名	
戸籍事項	
戸籍に記録されている者	【名】 【名の振り仮名】 【生年月日】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項	
戸籍に記録されている者	【名】 【名の振り仮名】 【生年月日】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項	

以下次頁

発行番号　999999

K－－－－－－－－－－－－－－－－－－K（40）－－－－－－－－－－－－－－－－－－K

K－－－－－－－－－－－－－－－－－－K（40）－－－－－－－－－－－－－－－－－－K

ＫＫ９９年９９月９９日

認証域　K－－－－－－－－－－－－－K（30）－－－－－－－－－－－－－K

職印

40mm程度

10mm程度

帳票設計書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年3月25日	版	2.0
作業名						

認証域

発行番号 XXXXXXXXX

K(15)K

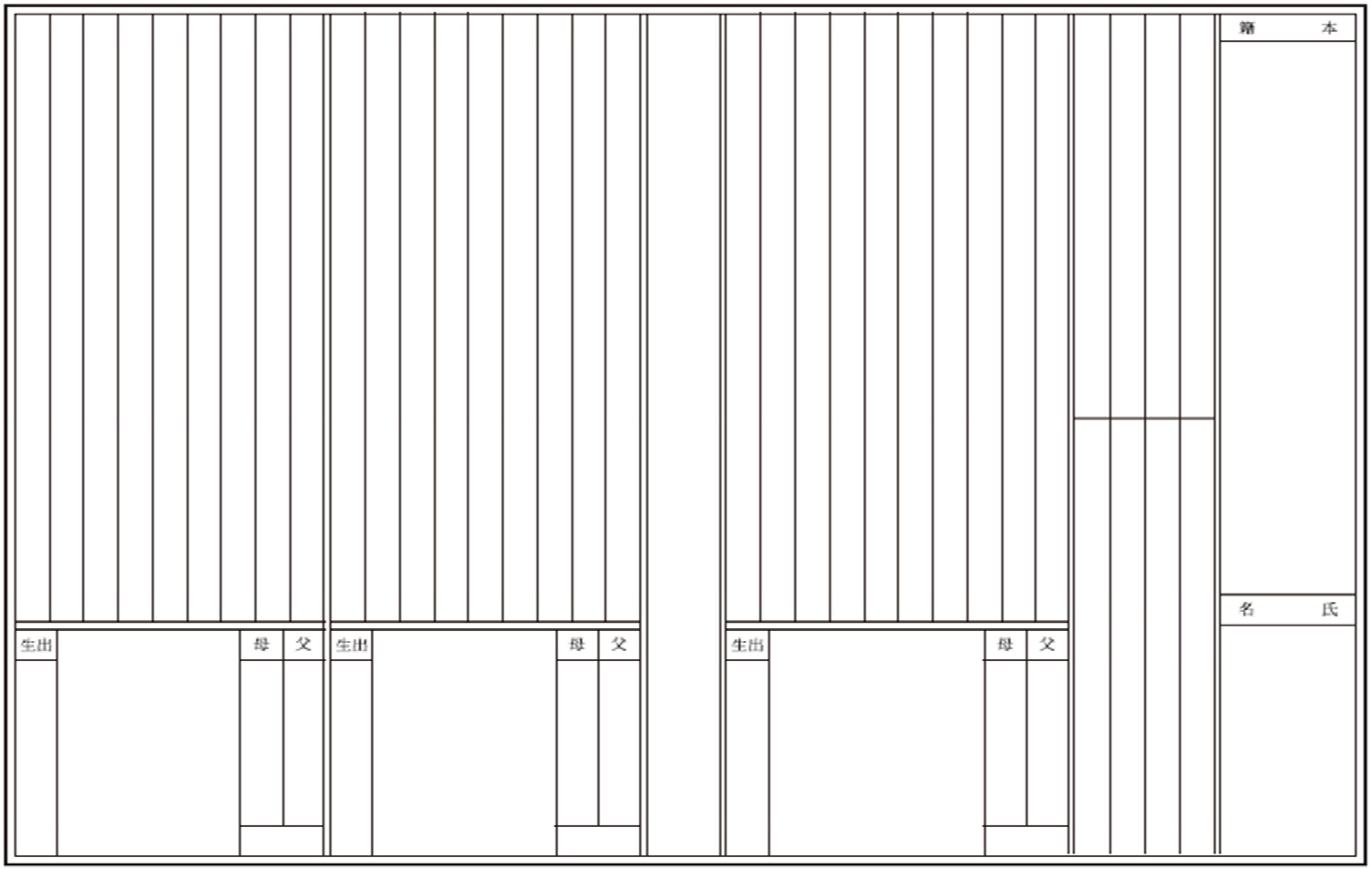
K(48)K

K(48)K

K(30)K

職印

イメージ出力域



帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名			
戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書			

1.様式

(1)A4版縦

(2)法令等で示された様式に準ずること。（サンプル提示）

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時

(2)編集内容
帳票項目一覧を参照
戸籍又は除籍の情報については、戸籍情報連携システムより副本記録情報を取得して出力する。
戸籍電子証明書提供用識別符号等は、戸籍情報連携システムより取得して出力する。
認証者の表記については、画面で指定した管掌者情報を用いて編集する。

3.運用関係

戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書に示す戸籍の表示等が、請求対象の戸籍と合致していることを請求者に確認する措置を講じること。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名			
戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書			

ＫＫ電子証明書提供用識別符号等通知書

本籍　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（20）－－Ｋ

筆頭者　Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－－－Ｋ

ＫＫ電子証明書提供用識別符号

NNNN-NNNN-NNNN-NNNN

Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（40）－－－－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ
Ｋ－－－－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ（40）－－－－－－－－－－－－－－－－－－Ｋ

ＫＫ９９年９９月９９日

Ｋ－－－－－－－－－－－－Ｋ（30）－－－－－－－－－－－－Ｋ　職印

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
届書等情報内容証明書等			

1.様式

(1)届書部分　　・・・　A3版横又はA4版縦

(2)届書補正部分　・・・　A4版縦

(3)法令等で示された様式に準ずること。（サンプル提示）

2.編集条件

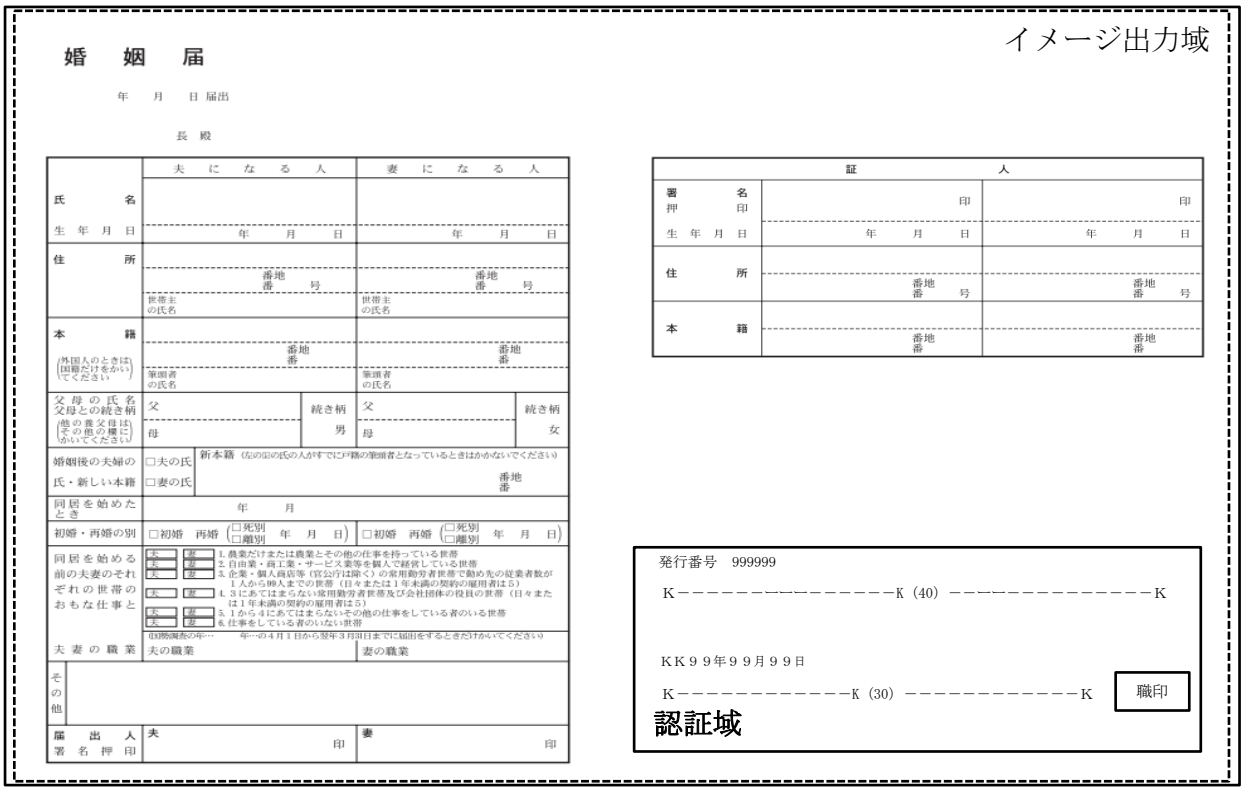
(1)出力サイクル
随時
(2)編集内容
帳票項目一覧を参照
届書イメージ、届書補正イメージ及び添付書面イメージについては、戸籍情報連携システムより取得して編集する。
認証者の表記については、画面で指定した管掌者情報を用いて編集する。
認証については、①届書余白に認証文を付記する方法、②認証文を記載した白紙を追加し届書等と一緒に契印して発行する方法のいずれかで行う。
届書余白に付記する場合は、任意の位置に認証文を付記できること。
また、証明書の最終頁に付記する場合も同様とする。
閲覧用帳票として発行する場合は、認証部分は編集せず閲覧用帳票である旨の表示を施して出力する。
証明書が複数枚に及ぶ場合の散逸防止等のため、戸籍記録事項証明書等と同様に発行番号を印字することが望ましいと考える。印字する場合の発行番号の桁数は、ベンダの任意設計機能とする。

3.運用関係

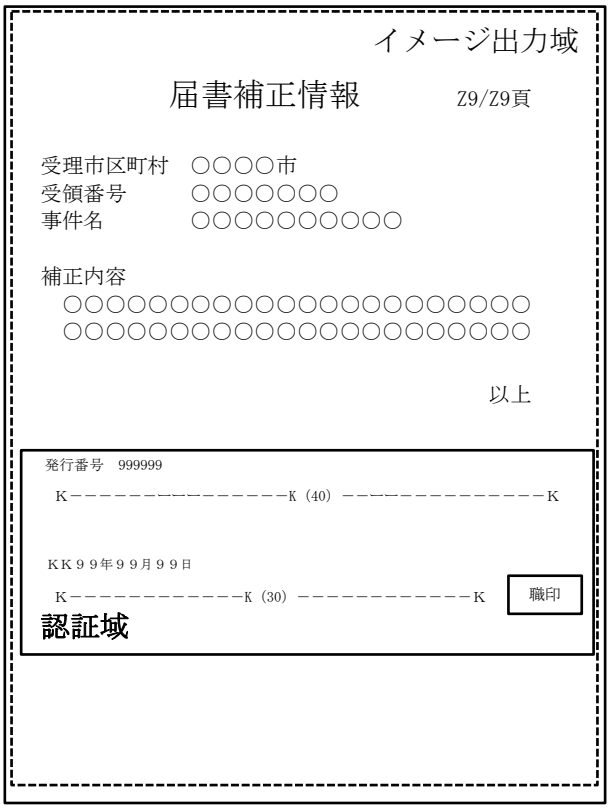
・届書等情報には添付書面等複数の届書が含まれることもあるため、操作者が証明書として発行する箇所を選択して出力する。
※添付書面のみなど一部の証明書としても交付ができるため、一部分の選択(頁単位)を可能とすること。
・閲覧用として利用する場合は、届書等情報内容証明書を出力せずに閲覧用帳票を出力する。
・届書等情報内容証明書等(閲覧用帳票を含む)の検索において、申入書がある場合は注意喚起を促すメッセージを出力すること(※申入書画像情報PDFファイルの登録前に注意喚起情報が登録されている場合も同様)。
・該当する申入書がある場合、イメージにマスキングする機能等の搭載は任意実装とする。
・届書等情報内容証明書等は届書処理通番単位で情報が戸籍情報連携システムから送信される。離婚同時戸籍法第77条の2届のように複数の届を1回で決裁した場合、双方の届書情報が送信されるため、証明書の作成においては画像情報を選択する機能を考慮すること。
・上記届において離婚2件、戸籍法第77条の2届1件が申請された場合は、発行部数3として戸籍情報連携システムに送信する。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
届書等情報内容証明書等			

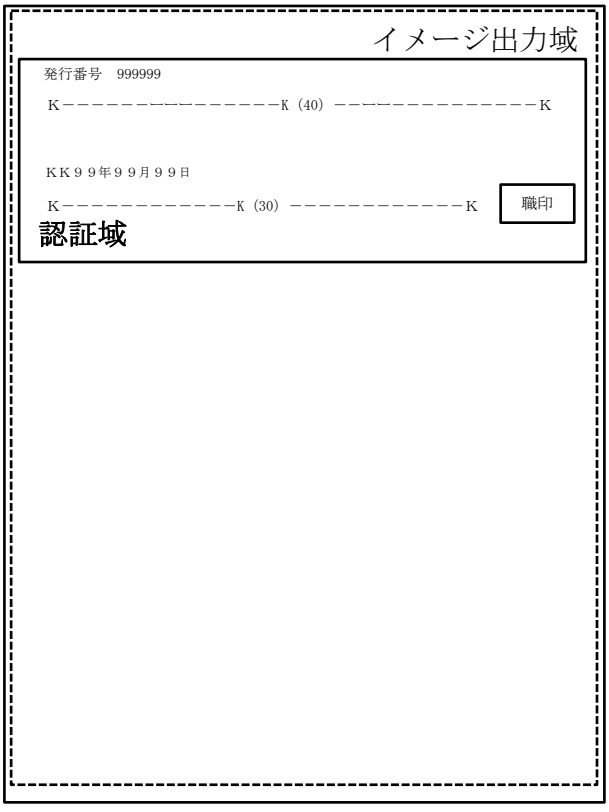
(1)届書部分（サンプル提示）



(2)届書補正部分（サンプル提示）



(3)白紙認証域（サンプル提示）



帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成　6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
帳票名称			
事件表			

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定　　戸籍事務取扱準則第21条第2項付録第18号様式に示す様式

2.編集条件

(1)出力サイクル
　年次

(2)編集内容
　[第7-2(16)統計処理]を参照

3.運用関係

(1)日計、週計、月計、等の集計資料を出力することは構わない

(2)出力起動方法は特に規定しない。

4.その他

(1)次頁以降の事件表レイアウトでは、印字桁数等を表したものなので注意のこと。

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	事件表(その1)					

戸 籍 事 件 表　　(その１)

日記　第　　号　ＺＺＺＺ年ＺＺ月ＺＺ日

(自ＺＺＺＺ年ＺＺ月ＺＺ日)

(至ＺＺＺＺ年ＺＺ月ＺＺ日)

庁名　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

第１表　届出事件数

	事件の種類	総数	届出 計	届出 本籍人届出	届出 非本籍人届出	他市町村から送付
1	出生	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
2	国籍留保	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
3	認知	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
4	養子縁組	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)
5	養子離縁	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)
6	法73条の2,69条の2	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
7	婚姻	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)
8	離婚	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)
9	法77条の2,75条の2	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
10	親権・未成年者の後見・後見監督 ①届出	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	親権・未成年者の後見・後見監督 ②嘱託 別表第一審判の確定	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9		
	親権・未成年者の後見・後見監督 ②嘱託 保全処分	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9		
	親権・未成年者の後見・後見監督 ③計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
11	死亡	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
12	失踪	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)
13	復氏	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
14	姻族関係終了	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
15	相続人廃除	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)	(ZZZ,ZZ9)
16	入籍	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
17	分籍	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
18	国籍取得	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
19	帰化	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
20	国籍喪失	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
21	国籍選択	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
22	外国国籍喪失	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
23	氏の変更 ①法107条1項	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	氏の変更 ②法107条2項	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	氏の変更 ③法107条3項	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	氏の変更 ④法107条4項	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	氏の変更 ⑤法107条の3	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	氏の変更 ⑥附則10条1項等	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	氏の変更 ⑦計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
24	名の変更 ①法107条の2	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	名の変更 ②法107条の4	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	名の変更 ③附則12条1項等	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	名の変更 ④計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
25	転籍	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
26	就籍	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
27	訂正・更正 ①市町村長職権	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	訂正・更正 ②法24条2項等	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	訂正・更正 ③法113条等	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	訂正・更正 ④法116条	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	訂正・更正 ⑤続柄の記載更正(嘱託)	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	訂正・更正 ⑥続柄の記載更正(申出)	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
	訂正・更正 ⑦計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
28	追完	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
29	その他	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
30	不受理申出	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
40	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9
	(取消事件の内数)	(Z,ZZZ,ZZ9)	(Z,ZZZ,ZZ9)	(Z,ZZZ,ZZ9)	(Z,ZZZ,ZZ9)	(Z,ZZZ,ZZ9)

(注)

(1)10欄「別表第一審判の確定」は、別表第一審判の確定件数、「保全処分」は、審判前の保全処分件数である。

(2)27欄「市町村長職権」は、戸籍法24条2項(3項)又は44条3項により、管轄法務局等の長の許可を得ることなく職権訂正・記載した件数であり「法24条2項等」は、戸籍法24条2項又44条3項により、管轄法務局等の長の許可を得て職権訂正・記載した件数である。「法113条等」は、戸籍法113条及び114条の申請件数である。

(3)２３欄⑥「附則１０条１項等」は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律（令和５年法律第48号）附則第１０条第１項から４項まで又は第１１条により、家庭裁判所の許可を得ることなく氏の振り仮名の変更届出がされた件数であり、２４欄③「附則１２条１項等」は、同附則第１２条第１項から第４項までの規定により、家庭裁判所の許可を得ることなく名の振り仮名の変更届出がされた件数である。

(3 4)電子情報処理組織を用いた届出又は申請等を処理する市区町村については、届出総数の事件表のほか、同様式により、オンライン届出事件数の事件表を併せて報告するものとする。

帳票設計書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	事件表(その2)					

戸 籍 事 件 表　　(その２)

庁名　KKKKKKKKKKKKKKK

第２表　処理事件表

1	新 戸 籍 編 製	Z,ZZZ,ZZ9
2	戸 籍 全 部 消 除	Z,ZZZ,ZZ9
3	違 反 通 知	Z,ZZZ,ZZ9
4	戸籍の再製・補完	Z,ZZZ,ZZ9
5	そ の 他	Z,ZZZ,ZZ9
6	計	Z,ZZZ,ZZ9

(注)　5欄「その他」は、届出の催告、戸籍の記載の錯誤遺漏通知、管轄局に対する許可の申請である。

第３表　諸証明件表

種類＼件数		件数 有料	件数 無料	金額
1 全部事項証明書(コンピニ交付除く)	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
2 個人事項証明書(コンピニ交付除く)	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
3 一部事項証明書	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
4 コンビニ交付戸籍証明書	全部	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	個人	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
5 ①小計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9

(注)　(1)　9欄「受理証明等」の(内数)は、戸籍法施行規則66条2項で定める上質紙を用いる場合の証明の件数である。
(2)　10欄「届書に基づく証明」は、届書の記載事項証明の件数である。
(3)　1欄から3欄までの「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」は、磁気化されたデータファイルを電子情報処理組織により出力した証明書の件数である。なお、「一部事項証明書」には、戸籍法施行規則第79条の12第2項及び第4項の書面を含むものとする。
(4)　電子情報処理組織を用いた届出又は申請等を処理する市区町村については、届出総数の事件表のほか、同様式により、オンライン届出事件数の事件表を併せて報告するものとする。
(5)　13欄から15欄までの「除籍１」は、磁気化されたデータファイルを電子情報処理組織により出力した証明書(電算化後の除籍)の件数であり、「除籍２」は、磁気化されたイメージファイルを電子情報処理組織により出力した証明書(電算化前の除籍)の件数である。

種類＼件数		件数 有料	件数 無料	金額
6 謄本	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
7 抄本	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
8 記載事項証明	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
9 受理証明等		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
(内数)		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
10 届書に基づく証明		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
11 閲覧		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
12 ②小計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
内数計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
13 広域交付証明書	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍１	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍２	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
14 電子証明書提供用識別符号	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍１	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	除籍２	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
15 電子証明書	戸籍		Z,ZZZ,ZZ9	
	除籍１		Z,ZZZ,ZZ9	
	除籍２		Z,ZZZ,ZZ9	
	計		Z,ZZZ,ZZ9	
16 届書等情報内容証明書		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
17 届書等情報内容閲覧		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
18 ③小計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
19 合計 (①+②+③)		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
内数合計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9

帳票設計書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	事件表(その3)					

戸 籍 事 件 表　　(その３)

第４表　本籍数・本籍人口数（ＫＫＫＫ年４月１日現在）

庁名　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

本　　籍　　数	Z,ZZZ,ZZ9
本 籍 人 口 数	ZZ,ZZZ,ZZ9

第５表　戸籍事務を取り扱う市区町村数及び事務所数（ＫＫＫＫ年４月１日現在）

	市区町村数		事務所数											
	総数	コンピュータ化庁	本庁			支所			出張所			計		
			総数	実数	コンピュータ	総数	実数	コンピュータ	総数	実数	コンピュータ	総数	実数	コンピュータ
市	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
区	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
町	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
村	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
計	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9

(注)　(1)　「市区町村数」欄の「総数」は、総市区町村数であり、「コンピュータ化庁」は、総市区町村のうち電子情報処理情報を用いて戸籍事務を処理する市区町村数である。
(2)　「事務所数」欄の「総数」は、事務所数であり、「実数」は、総事務所数のうち戸籍事務を扱う事務所数であり、「コンピュータ」は、戸籍事務を扱う事務所を数のうち電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する事務所数である。

第６表　職員数（ＫＫＫＫ年４月１日現在）

	3年未満		3年以上		10年以上		計	
	総数	兼任者	総数	兼任者	総数	兼任者	総数	兼任者
市	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
区	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
町	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
村	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
計	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9

(注)　「兼任者」欄は、兼任者数の内数である。
(注)　電子情報処理組織を用いた届出又は申請等を処理する市区町村については、本様式に代えて、本表（その４）による報告を行うものとする。

帳票設計書		作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	事件表(その４)						

戸 籍 事 件 表　　(その４)

第４表　本籍数・本籍人口数（ＫＫＫＫ年４月１日現在）

庁名　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

本　　籍　　数	Z,ZZZ,ZZ9
本 籍 人 口 数	ZZ,ZZZ,ZZ9

第５表　戸籍事務を取り扱う市区町村数及び事務所数（ＫＫＫＫ年４月１日現在）

	市区町村数			事務所数																
				本庁				支所				出張所				計				
	総数	コンピュータ化庁	オンライン化庁	総数	実数	コンピュータ	オンライン	総数	実数	コンピュータ	オンライン	総数	実数	コンピュータ	オンライン	総数	実数	コンピュータ	オンライン
市	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
区	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
町	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
村	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
計	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9

(注)　(1)　「市区町村数」欄の「総数」は、総市区町村数であり、「コンピュータ化庁」は、総市区町村のうち電子情報処理情報を用いて戸籍事務を処理する市区町村数であり、「オンライン化庁」は、総市区町村のうち電子情報処理情報を用いた届出又は申請等を処理する市区町村数である。

(2)　「事務所数」欄の「総数」は、事務所数であり、「実数」は、総事務所数のうち戸籍事務を扱う事務所数であり、「コンピュータ」は、戸籍事務を扱う事務所数のうち電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する事務所数であり、「オンライン化庁」は、戸籍事務を扱う事務所数のうち電子情報処理情報を用いた届出又は申請等を処理する事務所数である。

第６表　職員数（ＫＫＫＫ年４月１日現在）

	３年未満		３年以上		10年以上		計	
	総数	兼任者	総数	兼任者	総数	兼任者	総数	兼任者
市	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
区	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
町	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
村	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
計	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9

(注)　「兼任者」欄は、兼任者数の内数である。

第5.6.(3)

帳票項目一覧表

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	4、5、6	帳票項目一覧表	以下帳票の帳票項目を追加 ・「広域交付戸籍証明書等」 ・「電子証明書提供用識別符号通知書」 ・「届書等情報内容証明書等」
2	R3	－	帳票項目一覧表	「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
3	R4 標準仕様書修正	－	帳票項目一覧表	広域交付戸籍証明書(電算化前)に発行番号を追加し、発行日を修正 ・発行番号を追加 ・年月日を算用数字から漢数字に修正
4	R4 連携システムに係る修正	B04	帳票項目一覧表	送達確認書の郵送事務が残るため届書送達確認書を修正 ・「4 事件本人氏名」の備考に注意事項を追加
5				届書等の保存により届書目録を追加 ・届書目録及び届書目録(完全渉外分)を追加
6		申し送り事項一覧№9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ・戸籍受付帳に「19-1 発送日名称」を追加 ・種類番号帳に「9-1 発送日名称」を追加
7	2.0 (2023.3.31版)	申し送り事項一覧№1	帳票項目一覧表	下記帳票の認証域の認証文の文字数を変更 ・広域交付戸籍証明書等(電算化後) ・広域交付戸籍証明書等(電算化前) ・届書等情報内容証明書
8		申し送り事項一覧№2		戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書 ・タイトル種別を追加 ・本籍、筆頭者の文字数を変更 ・種別を識別符号種別に名称変更 ・識別符号の桁数を変更 ・識別符号の備考に、識別符号の印字内容を追加
9	2.0 (2023.7.31版)	―	帳票項目一覧表	振り仮名の法制化による修正 ・戸籍受付帳、戸籍法41条証書提出の証明、届書預り証明書を修正
10		―		戸籍情報連携システムの運用開始に伴う修正 ・本籍人届書送付目録、渉外関係届書写し送付目録、相続税法58条通知、身分証明書、死体埋火葬許可交付申請書、死体埋火葬許可証の削除 ・届書送達確認書を届書等送達確認書に変更し、届書以外の送付書類に対応 ・届書等情報内容証明書2.編集条件(2)編集内容の認証域に、証明書が複数枚になった場合の散逸防止等の目的で、発行番号を付すことについて追加

第5.6.(3)　帳票項目一覧表

(1) 作成の目的

入出力項目及びファイル項目を把握する資料とするため、帳票の整理統合を踏まえ、　帳票設計書等を参考に各項目を検討し作成する。

(2) 作成方法

帳票設計書で示した各項目の洗い出しを行った。

なお、各欄の記入内容は、次のとおりである。

ア　帳票名　　帳票の名称を記入する。

イ　定･汎区分　　規定用紙は「定型」、汎用用紙は「汎用」と記入する。

ウ　単･連区分　　単票ならば、「単票」、連続用紙は「連続」と記入する。

エ　寸法　　用紙のサイズ(ハガキ、B4版、A4版等)を記入する。

オ　複写枚数　　複写用紙の場合、複写枚数を記入する。

カ　項目名　　項目の名称を記入する。

キ　桁数　　項目の桁数(長さ)を記入する。

ク　編集方法　　漢字または数字等を記入する。

さらに、備考欄に数値等の場合の編集方法(前0を消す「Z制御」)を記入する。

(3) 帳票項目一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
戸籍受付帳	汎用	連票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	報告年月	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分 横倍角
4	受領番号	9	数字	
5	受理・送付区分	2	漢字	'受理'、'送付'
6	本非区分	2	漢字	'本籍'、'非本'
7	事件名	12	漢字	
8	渉外区分	2	漢字	渉外関係のみ'渉外'の出力
9	出張所番号	3	数字	
10	受付日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
11	郵送日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
12	発生日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
13	発生区分	(5)	漢字	Z9:Z9
14	指示日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
15	許可日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
16	発日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
17	収日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
18	処分区分	3	漢字	'受理'、'不受理'、 '受理照'、'処理照' '取下'、'返戻'
19	決裁区分	3	漢字	
19-1	発送日名称	2	漢字	'送信'、'発送'
20	発送日	(10)	漢字	X.Z9.Z9.Z9
21	関連受領番号	9	数字	最大5つまで
22	届出後本籍	50	漢字	
23	届出後筆頭者氏名	30	漢字	
24	送達確認1区分	3	漢字	'未到着'、'到着済'、'不要'
25	届出人氏名	30	漢字	最大2
26	届出人資格	11	漢字	最大2
27	事件本人氏名	20	漢字	最大4
27-1	事件本人振り仮名	30	漢字	最大4

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
戸籍受付帳	汎用	連票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
28	事件本人資格	11	漢字	最大4
29	事件本人生年月日	(10)	漢字	最大4 外国人の場合、西暦 日本人の場合、和暦
30	生年月日表示	1	漢字	最大4 ’生’
31	事件本人本籍	(30)	漢字	最大4
32	送達確認2区分	1	漢字	最大4 ’未’、’到’、’不’

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
種類番号帳	汎用	連票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	市区町村名	20	漢字	
4	事件名	12	漢字	
5	報告年月	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分 横倍角
6	種類番号	5	漢字	前ゼロサプレス(シーケンス)
7	受領番号	7	漢字	
8	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
9	発送年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
9-1	発送日名称	2	漢字	'送信'、'発送'
10	受理確認	2	漢字	'受理'
11	送付確認	2	漢字	'送付'
12	事件本人氏名	30	漢字	最大4人
13	出張所名	15	漢字	
14	備考		手書き	
15	合計	2	漢字	最終頁にのみ'合計'を出力 横倍角
16	合計件数	6	漢字	最終頁にのみ出力 横倍角
17	件	1	漢字	最終頁にのみ'件'を出力 横倍角

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和　年　月　日	R4

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
届書目録及び届書目録(完全渉外分)	汎用	－	－	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ	4	漢字	
3	作成年分	(6)	漢字	元号Z9年分 横倍角 ※作成月分の場合は 元号Z9年Z9月分
4	受領番号	9	漢字	
5	受理・送付区分	2	漢字	’受理’ OR ’送付’
6	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
7	処理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	事件名	15	漢字	
9	事件本人氏名	30	漢字	
10	他事件本人数	1	漢字	
11	合計	2	漢字	最終頁にのみ’合計’を出力 横倍角
12	合計件数	6	漢字	最終頁にのみ出力 横倍角
13	件	1	漢字	最終頁にのみ’件’を出力 横倍角

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
届書等送達確認書(届書の事例)	定型	連票	ハガキ	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	事件名	13	漢字	
2	受領年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	受領番号	9	漢字	
4	事件本人氏名	30	漢字	3段編集 送付先市区町村情報ファイルからの編集において、事件本人氏名が未記載の場合がある
5	整理番号	8	数字	
6	発送日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
7	送付元市区町村長名	20	漢字	
8	年号	2	漢字	
9	送付先市区町村長名	20	漢字	

※不受理申出書等、届書以外については任意設計機能とする。

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
高齢者消除該当者一覧	汎用	単票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	作成年分	(6)	漢字	元号Z9年分　横倍角
4	項番	4	漢字	
5	発番号	10	数字	
6	受領番号		手書き	
7	氏名	30	漢字(2段編集)	
8	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
9	筆頭者氏名	30	漢字(2段編集)	
10	本籍	50	漢字(2段編集)	
11	照合欄		手書き	
12	合計	2	漢字	最終頁にのみ'合計'を出力 横倍角
13	合計件数	6	漢字	最終頁に出力 横倍角
14	件	1	漢字	最終頁に'件'を出力 横倍角

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
戸籍記載許可申請	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	管轄法務局長	10	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	発行部署	3	漢字	
4	発行番号	10	漢字	
5	申請日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
6	市区町村名+役職名	15	漢字	
7	首長氏名	10	漢字	
8	氏名	30		
9	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
10	筆頭者	30	漢字	
11	本籍	50	手書き	2段編集
12	高齢者消除の許可日		手書き	
13	除籍日		手書き	
14	許可日	2	漢字	元号のみ
15	年齢	3	数字	抽出条件で入力した年齢

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
宛名シール	定型	連票	15×11	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	郵便番号	(6)	漢字	999-99
2	住所	60	漢字	4段編集
3	宛先	30	漢字	2段編集
4	書類名	8	漢字	
5	整理番号	11	数字	2ケタ(番号種別)+9ケタ (受領番号)

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
受理証明書		汎用	単票	A4横

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	No.3～4は最大2件			
4-1	事件本人振り仮名	30	漢字	
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合、'本籍' 外国人の場合、'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	No.5～9は最大4件			
10	届出の要旨		手書き	
11	受理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	
16	届出人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合、'本籍' 外国人の場合、'国籍'
17	届出人本籍	50	漢字	
18	届出人の筆頭者	10	漢字	
	No.16～18は最大2件			
19	事件本人の筆頭者	10	漢字	
	No.19は最大4件			

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
戸籍法第41条証書提出の証明	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	証書名	15	漢字	
2	提出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
4-1	事件本人振り仮名	30	漢字	
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO5～9は最大4件			
10	届出の要旨		手書き	
11	成立年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	成立方式		手書き	
13	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
14	市区町村名+役職名	25	漢字	
15	首長氏名	15	漢字	横倍角
16	職印	-	電子印	

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
届書預り証明書	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
4-1	事件本人振り仮名	30	漢字	
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO5～9は最大4件			
10	届出の要旨		手書き	
11	監督法務局	5	漢字	
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
町名変更のお知らせ	定型	連票	ハガキ	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	郵便番号	5	数字	
2	宛先	60	漢字	4段編集
3	受取人	30	漢字	2段編集 受取人のあとに'殿'を出力
4	住居表示実施日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	いままでの本籍	50	漢字	3段編集
6	新しい本籍	50	漢字	3段編集
7	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	整理番号	10	数字	

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

広域交付戸籍証明書等

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
広域交付戸籍証明書等(電算化後)	定型	連票	A4縦/A4横	

No.	項目名		桁数	編集方法	備考
1	イメージ出力域		-	イメージ貼り付け	
2	認証域	発行番号	-	-	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる
3		認証文	80	漢字	戸籍法施行規則に準ずる
4		発行年月日	11	漢字	元号Ｚ９年Ｚ９月Ｚ９日
5		認証者の表記	30	漢字	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる
6		認証印	-	電子印又は朱印	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

広域交付戸籍証明書等

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
広域交付除籍証明書等(電算化前)	定型	連票	A4縦/A4横	

No.	項目名		桁数	編集方法	備考
1	イメージ出力域		-	イメージ貼り付け	
1-1	認証域	発行番号	-	-	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる 項番26の「法務省民一第440号の対応」を行う場合は必須、行わない場合の印字は任意
2		認証文	48	漢字	戸籍法施行規則に準ずる
3		追加認証文	48	漢字	法務省民一第3178号通知に準ずる
4		発行年月日	15	漢字	日付は漢数字とする
5		認証者の表記	30	漢字	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる
6		認証印	-	電子印又は朱印	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書	汎用	単票	A4縦	

No.	項目名		桁数	編集方法	備考
1	タイトル種別		2	漢字	「戸籍」「除籍」の別
2	本籍		100	漢字	
3	筆頭者		210	漢字	
4	識別符号種別		2	漢字	「戸籍」「除籍」の別
5	認証域	戸籍電子証明書等提供用識別符号等	16	英数	16桁を4桁ずつハイフンで区切って印字する 文字は太文字とし12ポイント程度の大文字で印字する
6		認証文1	40	漢字	戸籍法施行規則に準ずる
7		認証文2	40	漢字	戸籍法施行規則に準ずる
8		発行年月日	11	漢字	元号Ｚ９年Ｚ９月Ｚ９日
9		認証者の表記	30	漢字	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる
10		認証印	－	電子印又は朱印	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる

第5-6-(3) 帳票項目一覧表

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

届書等情報内容証明書等

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
届書等情報内容証明書等	定型	連票	A3横/A4縦	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
(1)届書部分				
1	イメージ出力域	-	イメージ貼り付け	実寸で貼り付け
(2)届書補正部分				
1	イメージ出力域	-	イメージ貼り付け	実寸で貼り付け
(3)認証部分				
1-1	発行番号	-	-	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる 発行番号の桁数はベンダの任意設計機能
1	認証文	80	漢字	戸籍法施行規則に準ずる
2	発行年月日	11	漢字	元号Ｚ９年Ｚ９月Ｚ９日
3	認証者の表記	30	漢字	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる
4	認証印	-	電子印又は朱印	第5.6.(2)帳票設計書の証明書概要説明書に準ずる

第 5.7 「ファイル」関係仕様

（目次）

(1) ファイル一覧表

(2) ファイル仕様書

第5.7.(1)

ファイル一覧表

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	ファイル一覧表	以下ファイルを追加 ・「届書処理通番」
2		3		以下ファイルを追加 ・「参照戸籍ファイル」
3	R3	B04	ファイル一覧表 (ファイル関連図)	以下ファイルを追加 ・「送付先市区町村情報ファイル」
4		B03	ファイル一覧表 (概要説明)	以下ファイルを追加 ・「異動予約ファイル」
5		B04	ファイル一覧表 (概要説明)	以下ファイルを追加 ・「送付先市区町村情報ファイル」 ・「申入書情報ファイル」 ・「送付分届書等一覧ファイル」
6	2.0 (2023.7.31版)	ー	ファイル一覧表	戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ①ファイル関連図 「仮9条2項ファイル」を「仮住民票記載事項通知ファイル」に変更 「住民票通知ファイル」を「住民票記載事項通知ファイル」に変更 「住民票異動ファイル」を「住民票記載事項通知ファイル」に変更 「人口動態ファイル」を「届書連携ファイル」に変更 「附票データベース」、「附票通知ファイル」、「民刑異動ファイル」、「相続税法58条ファイル」を削除 ②概要説明 「住民票通知ファイル」をを「住民票記載事項通知ファイル」に変更 人口動態ファイル」を「届書連携ファイル」に変更 「仮9条2項ファイル」を「仮住民票記載事項通知ファイル」に変更 「住民票異動ファイル」、「附票データベース」、「附票通知ファイル」、「民刑異動ファイル」、「相続税法58条ファイル」を削除

第5.7.(1)　ファイル一覧表

(1) 作成の目的
　この一覧表は、基本ファイルのそれぞれの関連とその用途を表すものとして作成した。

(2) 作成方法
　使用するファイルを関連するファイルに分類し、データの流れに着目しながら作成したものが「ファイル関連図」である。
　なお、基本ファイルの分類方法は、次のとおりである。
　ア　一般ファイル(市区町村固有、システム内の使用、発送関連)
　イ　一時ファイル
　ウ　データベース(受附帳、戸籍簿、附票)
　エ　他業務との連絡ファイル
　また、各ファイルの作成目的及び使用の概要を表したものが「概要説明」である。

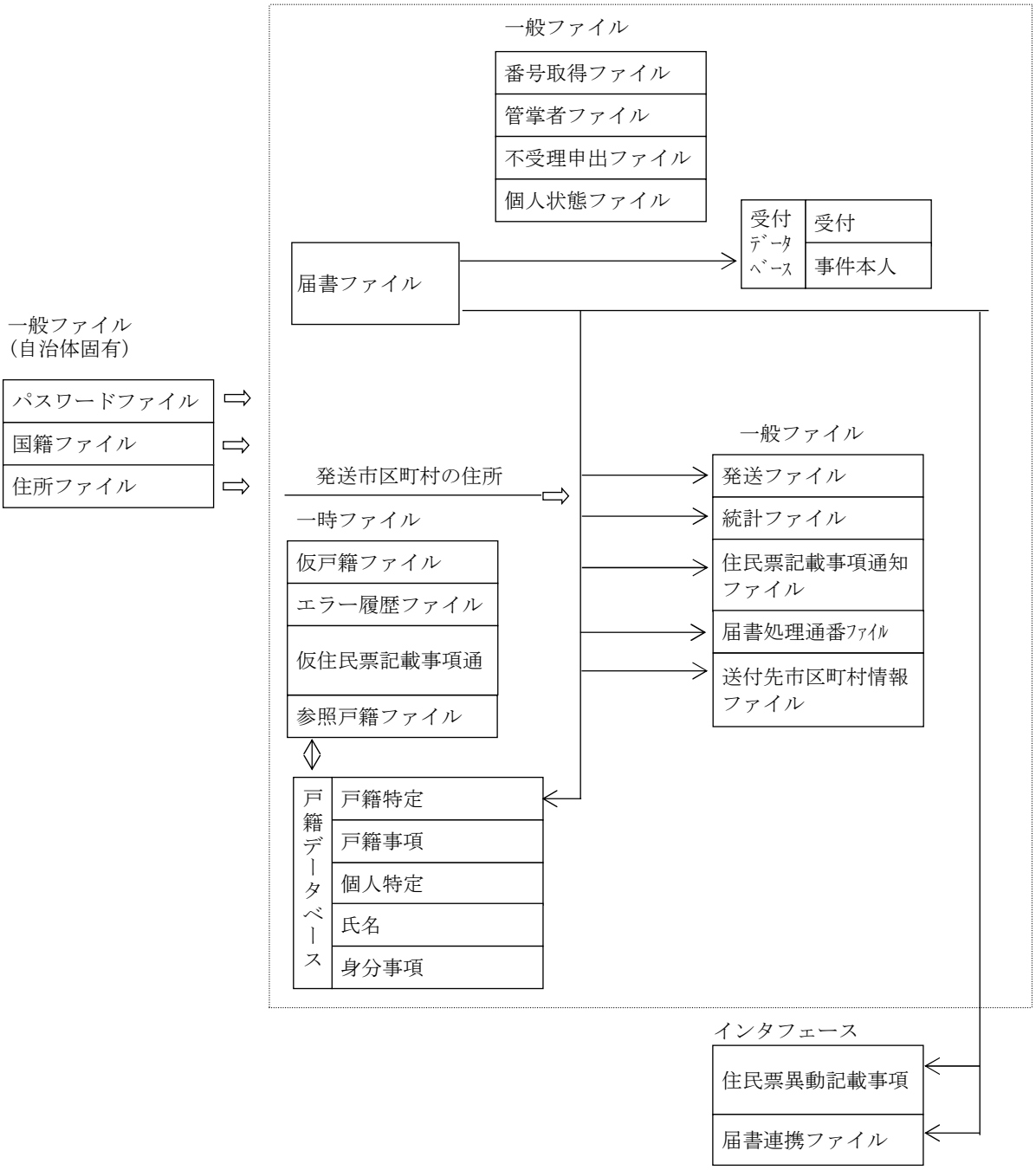
(3) 留意点
　原則として、受信情報、送信情報及びWebAPI関連情報については「第7-2-(25) 戸籍情報連携システム」のインターフェイスを基に任意設計とする。

(4) ファイル一覧表
　上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

ファイル一覧表 （ファイル関連図）	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

共通



第5-7-(1) ファイル一覧表

ファイル一覧表 （概要説明）			作成日付	改訂日付	版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

NO.	ファイル名		概要説明	備考
1	パスワードファイル		機密保護のために使用する. 操作員と使用許可業務を限定する.	各自治体独自
2	住所ファイル		住所、本籍地のコード及び名称を定義する. 住所変換サブルーチンの辞書として使用する.	
3	国籍ファイル		国籍のコード及び名称を定義する.	未提示
4	番号取得ファイル		自動付番される以下の項目の識別番号を管理する. ･戸籍番号 ･個人番号 ･受領番号	
5	管掌者ファイル		管掌者の変遷を表す.	
6	戸籍 データ ベース	戸籍特定	戸籍を特定するための最新の情報を格納管理する.	
		戸籍事項	戸籍事項を格納管理する. 戸籍の編製事項の他、種々の記録されるべき事項を時系列に記録する.	事件毎に項目が異なる
		個人特定	個人を特定するための最新の情報を格納管理する.	
		氏名	個人の氏名を格納管理する. 氏名の履歴を時系列に記録する.	
		身分事項	個人毎の身分事項を格納管理する. 出生事項の他、種々の記録されるべき事項を時系列に記録する.	事件毎に項目が異なる
7	受付 データ ベース	受付	届書入力審査の後、処分決定された届書について、受領した情報を格納する.	発収簿の一部を兼ねる
		事件本人	受付帳の事件本人情報を格納管理する.	
8	個人状態ファイル		本籍人の特記事項(禁治産者、準禁治産者、破産宣告人等8項目及びメモ)を格納する.これにより処理の限定を行い、注意を促す.	
9	不受理申出ファイル		本籍人の不受理申出情報を格納管理する.	
10	届書ファイル		入力された届書の情報をすべて格納する.	事件毎にレイアウトが異なる
11				2.0版で削除
12	住民票記載事項通知ファイル (住基法9条2項通知)		住民票記載事項通知の情報を格納する.	
13				2.0版で削除
14				2.0版で削除
15				2.0版で削除
16				2.0版で削除
17	発送ファイル		他自治体の宛名情報を格納する.	
18	統計ファイル		戸籍事務の種々の統計情報を格納する.	戸籍事件表をこのファイルから作成する

ファイル一覧表 (概要説明)		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

NO.	ファイル名	概要説明	備考
19	届書連携ファイル	人口動態システム及び火葬等通知システム連携情報(出生、死亡、婚姻、離婚)を格納する	※厚生労働省の「標準仕様書」を参照のこと
20	仮戸籍ファイル	決裁で戸籍データベースを更新するための戸籍の異動情報を一時的に格納する.	
21	エラー履歴ファイル	届書入力審査で発生したエラー内容とその応答を格納する.	
22	仮住民票記載事項通知ファイル	届書入力審査で作成した仮住民票記載事項通知情報を格納する.	
23	参照戸籍ファイル	仮戸籍に自動移記するための非本籍人の副本記録情報を一時的に格納する。	
24	届書処理通番ファイル	戸籍情報連携システムで管理する届書等に係る情報を特定するための番号(届書単位に割り振られた番号(届書処理通番))を受付ファイル(受領番号)と紐付けて格納する。	
25	異動予約ファイル	届書等入力処理、訂正・更正・追完・審査結果入力及び不受理申出処理等において、システム処理前に事件本人及び事件に関係する戸籍(戸籍の筆頭者)等に異動予約をするための情報を格納する。	任意設計のためファイル仕様書は作成しない
26	送付先市区町村情報ファイル	受理又は在外公館からの直接送付において、他の市区町村に届書等の送信が必要な場合、その情報を受付ファイル(受領番号)と紐付けて格納する。	
27	申入書情報ファイル	申入書の届出により、当該届書を受理又は在外公館からの直接送付において処理した市区町村がその情報を格納する。	任意設計のためファイル仕様書は作成しない
28	送付分届書等一覧ファイル	届書等情報の受信により作成し、送付分届書等一覧処理で情報を振り分ける情報を格納する。	

第5.7.(2)

ファイル仕様書

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	ファイル仕様書	以下ファイルを追加 ・「届書処理通番」
2		7		・「統計ファイル」に新規証明書に係る項目を追加 ・「統計ファイル」の事項証明書についてコンビニ交付に係る項目を追加
3	R3	B04	ファイル仕様書	届書処理通番が受付帳単位から決裁単位で1件となったこと等により、以下の情報を修正 ・届書処理通番ファイル ・送付先市区町村情報ファイルを追加 送付分届書振分け処理の追加により以下のファイルを追加 ・送付分届書等一覧ファイル
4		-		・「戸籍」概要説明書 参照戸籍ファイルについて追記
5		-		・詳細仕様説明書 不要な項目を削除 ・「統計」 誤り箇所の修正
6		-		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正及び「条文等を現在の正しい内容に見直す」により修正する
7	R4	B01	ファイル仕様書	個人状態ファイルに注意喚起区分を追加する修正 ・個人状態ファイルの説明に「注意喚起区分」を追加 使用目的に注意喚起区分があった場合の処置を記載 ・個人状態ファイルに「9-1 注意喚起区分」を追加
8		B04		F0050に[TR02]～[TR05]に規則第四一条処理区分が追加されたことによる修正 ・届書処理通番ファイルに「6 規則第四十一条処理区分」を追加
9				送達確認書の郵送事務が残ることによる修正 ・送付先市区町村情報の説明に「送信区分」「発信(発送)日」を追加 ・送付先市区町村情報ファイルの「7 送信区分」の備考に追加したコードを記載、「7-1 発信(発送)日」を追加
10		B07		事件表を戸籍情報連携システム運用前と運用後で異なる場合の様式を切り分ける修正 ・統計ファイルを現行用と戸籍情報連携システム運用後に分けて提示
11		申し送り事項一覧No.9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ・受付ファイルの説明に「発送日」を追加 ・届書処理通番ファイルに「7 届書等情報送信区分」を追加
12		申し送り事項一覧No.10		戸籍事項及び身分事項の【送付日】が５号施行日以降に【送付又は通知を受けた日】となる案に対するサンプルを提示 ・戸籍事項欄項目･戸籍回復ファイルの「9 送付日」の備考に追記
13		指摘事項管理表No.127		7-2-(5)-XX_各種届書審査処理の項目名との不整合を修正 ・届書(出生)No.49「母胎児認知区分」→「胎児認知区分」 ・届書(認知)No.37「認知者は母との婚姻日」→「母の認知者との婚姻日」 ・届書(養子縁組)No.4「養子個人番号」→「養子の個人番号」 ・届書(養子離縁)No.5-1「親権･後見人の個人番号」～No.9「親権･後見人筆頭者」の”後見人″→″未成年後見人 ・届書(養子離縁同時73の2)※養子離縁と同じ ・届書(入籍)No.24「入籍人の生年月日」→「入籍先の生年月日」 ・届書(国籍喪失)No.11「筆頭者」とNo.12「喪失原因区分」の間に「配偶者区分」と「配偶者の外人区分」を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
14	2.0 (2023.3.31版)	令和3年度申し送り事項一覧 No.4	ファイル仕様書	【送付を受けた日】がある戸籍事項、身分事項に【通知を受けた日】を追加 ・各戸籍事項、身分事項及び戸籍／身分事項 　併せて、タイトルに誤りがあるものを修正 届書等情報の送信(通知)があった場合の在外送付区分、受理送付区分の区分追加による備考欄の修正 ・受付(受付) ・届書(戸籍共通)
15		異常処理編_障害時の届書処理通番の採番		障害等により戸籍情報連携システムと通信ができなくなった場合、届書処理通番を戸籍情報システムが採番することの対応 ・番号取得ファイルに届書処理通番の採番を追加
16		令和4年度調査研究事項 No.4		除籍イメージの仕様を追加 ・除籍イメージ(共通)の概要説明を、戸籍(身分事項欄項目･配偶者の氏名変更)の後に追加
17		令和4年度調査研究事項 No.7		改製不適合戸籍の仕様を追加 ・改製不適合戸籍(共通)の概要説明、改製不適合戸籍(戸籍特定)及び改製不適合戸籍(個人特定)を、除籍イメージ(共通)の概要説明の後に追加
18		指摘事項管理表 (1)(2) No.1～3		処分区分に「誤入力」を追加 ・受付(受付)の処分区分のタイプ（桁数）を「9(1)」→「X(1)」に変更
19		指摘事項管理表 (1)(2) No.11		身分事項のインデックスに「及び」記載があるものを分割して追加する。 ・親権No.19、20 ・保佐No.10 ・未成年者の後見No.22、23
20		－		送付分届書一覧にデータ状態区分を追加 ・送付分届書一覧(説明)にデータ状態区分及び留意点を追加 ・送付分届書一覧のメインキーを修正、データ状態区分を追加
21		－		筆頭者除籍後に氏名変更があった場合の対応を追加 ・ファイル仕様書（戸籍)_説明の筆頭者、カナ氏名及び漢字氏名に追記 　併せて、性別の説明が空欄であったため説明を追記
22		－		・戸籍事項〔タイトル/記録コード対応表〕の記録コードをコード一覧に合わせて修正 併せて、法定記載例、参考記載例番号を削除 ・身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕の記録コードをコード一覧に合わせて修正 併せて、法定記載例、参考記載例番号を削除 ・身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕 氏の変更系の記録コードをコード一覧に合わせて修正 併せて、法定記載例、参考記載例番号を削除 ・身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕 取消系の法定記載例、参考記載例番号を削除
23		－		身分事項欄項目「1002:養子の離婚」の欄外に「大きな法改正等により第7002号基準書通達を変更した時点で、本身分事項のシステム対応を行う。」とあるが、今回の改訂で基準書通達に追加されるため欄外の記載を削除し、正式に登録する。
24		－		ファイル仕様に変更が発生したもの、戸籍ファイル全て及び受付事件本人ファイルについて、レコード長と予備を削除

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
25	2.0 (2023.7.31版)	－	ファイル仕様書	振り仮名の法制化による修正 ①ファイルの追加 　戸籍事項_氏の振り仮名の記録、戸籍事項_氏の振り仮名の変更、身分事項_名の振り仮名の記録、身分事項_名の振り仮名の変更、届書_氏の振り仮名の届、届書_氏の振り仮名の変更届、届書_名の振り仮名の届、届書_名の振り仮名の変更届 ②ファイルの修正 　戸籍(説明)、戸籍特定、戸籍事項_タイトル/記録コード、戸籍事項_氏の変更、戸籍事項_107条2項、戸籍事項_107条3項、戸籍事項_107条4項、氏名ファイル、身分事項_タイトル/記録コード、身分事項_107条2項、身分事項_107条3項、身分事項_107条4項、身分事項_名の変更、戸籍身分事項_記録、受付_説明、受付事件本人ファイル、個人状態_説明、個人状態ファイル、【届書_事件別★出生届～就籍届は「～カナ氏名」を「～振り仮名」にN(XX)をK(XX)に変更】、届書_戸籍法107条1項届、届書_名の変更届、民刑異動ファイル、民刑通知ファイル、統計ファイル、公選法通知ファイル
26		－		振り仮名の法制化に合わせて修正 ・届書_事件別_後見届を削除
27		－		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ①個人状態ファイルから「破産宣告人区分」「犯歴区分」を削除 それに伴い、使用目的：身分証明書の発行を削除
28		－		個人事項証明書の仕様変更による修正 ①個人事項特定ファイルに「同一戸籍内前個人番号」と「同一戸籍内後個人番号」を追加
29		－		「国籍」を「国籍・地域」に変更する修正 ①身分事項項目の該当インデックスに変更後インデックスを追加 ②戸籍身分事項欄項目･更正に「記録の内容」を追加 ③身分事項欄項目・配偶者の国籍・地域変更を追加 ④補足説明書（戸籍)身分事項_変更系に9002:配偶者の国籍・地域変更を追加
30		－		各システム標準化に伴う修正 ・住民票異動ファイル、附票ファイル、附票通知ファイル、民刑異動ファイル、相続税法58条ファイル、人口動態ファイルを削除 ・上記ファイル削除に伴い発送ファイルを修正 ・在外選挙人通知ファイルを公選法通知ファイルに修正し、説明の目的、その他を修正

第5.7.(2) ファイル仕様書

(1) 作成の目的

マスターファイルの項目、レコード長等の諸条件を明確にするために作成した。
なお、中間ファイル(作業ファイル)は、各プロセス間のデータ受渡しのファイルであるため、仕様書は作成しない。また、一時ファイルについても仕様書は作成しない。

(2) 作成方法

ファイルの作成方式、編製方法、レコード長、キー項目等については、戸籍業務の処理方式を考慮して作成した。
参考までに、様々なプロセスでファイルを多く必要とするリレーショナル型データベースで設計したので、他のデータベースを利用する市区町村は、不要なデータを削除して作成されたい。
なお、記入内容は次のとおりである。

ア	ファイル名	ファイルの名称を記入する。
イ	メインキー項目	単独で抽出ができる項目名を記入する。
ウ	副次キー項目	単独で抽出ができないが、メインキーと合わせると抽出が可能な項目名を記入する。
エ	媒体	ファイルが作られる媒体を記入する。
オ	編成	ファイルの編成方法を記入する。
カ	レコード長	ファイルの1レコードの長さを記入する。
キ	項目名	ファイルの中の項目名を記入する。
ク	項目のバイト数	当該項目の属性及び桁数を記入する。
ケ	コード化の有無	当該項目のデータがコード化されている場合は、「有」と記入する。
コ	繰り返し個数	当該項目の繰り返し個数を記入する。

(3) ファイル仕様書
上記の検討を経て作成した仕様書は、以下のとおりである。

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
ドキュメント名称			
ファイル仕様書			

〔遵守事項〕

(1) 戸籍DB、受付DB、仮戸籍ファイル、個人状態ファイル、不受理申出ファイル、統計ファイル、番号取得ファイル、管掌者ファイル、エラー履歴ファイルは戸籍システム上必要なファイルである。これらのファイルは関係しない処理で変更が加えられないよう独立した形で構築されなければいけない。ただし、ファイルの詳細については「留意点」を参照のこと。

(2) 附票システムでのメインファイル(ここでは附票DB)、人口動態システムでのメインファイル(ここでは人口動態ファイル)は、戸籍システムで規定することはできないので、ここで提示したものはサンプルに過ぎない。附票については「第7-3(2)　附票部会検討結果報告書」を参照のこと。

(3) 戸籍に関する事務(住基法関連通知、相続税58条通知　他)をシステム化する際のファイルは任意とするが、メーカでシステム化しない事務(手処理)に関するファイルを構築することは許さない。

(4) その他、プライバシーに係わるファイル、便利機能だけを目途としたファイル等、いわゆる戸籍として不適切なファイル(未婚者一覧、民刑者一覧等)を作成してはいけない。

〔留意点〕

(1) ファイル一覧表で示したファイルのうち、他システムと共用できるファイル(パスワードファイル、住所ファイル等)はそれを使用して構わない。

(2) ファイル仕様書全般においての留意点を下記に示す。
　①一のファイルの構築方法(1ファイルまたは複数ファイル)、編成方法(DB(DB種別)、索引ファイル、順編成ファイル等)は任意である。この場合、管理するために必要な項目の追加、削除は認められる。
　②項目のコード化の有無は任意であるが、コード化した場合は「第5-8　コード関係仕様」を参照のこと。
　③項目名、項目順番、レコード長、項目長、キー項目(メイン、副次)は任意とする。項目長はその項目の最大限の長さを設定すること。
　　また、検索業務での検索キーはファイルのキーとは異なる。検索キーについては「第5-10(2)　検索処理」を参照のこと。
　④各事項の事件発生日を設定する場合は、備考欄に「事件発生日」が記載されている日付の内、表記上の数値の小さいものから優先して事件発生日とする。

(3) 戸籍DBにおいての留意点を下記に示す。
　①戸籍事項、身分事項での項目名および項目順番は遵守とする(証明書、画面表示等においてのインデックス名称印刷(表示)順番と同じであるため)。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　パスワード

目的：　戸籍業務使用資格者のチェックを行う。

概要：　パスワードファイルの項目及び使用方法等は各メーカ(自治体の現状により)の自由とする。
資格についても自治体の運用形態が異なることから、設定する資格の内容は自由とする。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
パスワード	職員番号		ディスク	索引	100

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	職員番号	9(10)	無	無	
2	氏名(カナ)	N(30)	無	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	パスワード	9(15)	無	無	
5	操作員資格区分				
	異動業務	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	証明業務	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	決裁	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	民刑業務	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	システムメンテナンス	9(1)	有	無	0:適　1:不適
6	予備	X(32)	――	――	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年 3月 1日	令和　年　月　日	11

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理処分	受領番号		ディスク	DB	400

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	
2	返戻年月日	9(8)	無	無	
3	不受理処分決定日	9(8)	無	無	
4	不受理の理由	K(123)	無	無	
5	予備	X(129)	-	-	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　住所

目的：　住所コードから対応する本籍、住所および国籍を検索する。

概要：　自治体ごとに使用している住所ファイルが異なるので、その住所ファイルを使用する。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
住所	住所コード		ディスク	索引	250

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍･住所コード				
	都道府県コード	9(2)	有	無	
	市区町村コード	9(3)	有	無	
	丁目コード	9(3)	有	無	
	字コード	9(3)	有	無	
	予備	9(4)	有	無	
2	漢字住所	K(50)	無	無	
3	カナ住所	N(100)	無	無	
4	郵便番号	X(6)	無	無	
5	予備	X(29)	—	—	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名： 番号取得

目的： ファイルの一連番号を取得するための番号格納ファイルである。
戸籍番号(戸籍)、個人番号(戸籍)、受領番号(受付)、国内市区町村から郵送された届書に対する
届書処理通番の連番(戸籍情報連携システム運用後)、の各々の番号を格納している。

戸籍番号： 管内に戸籍が新しく編製されるときに取得する。管内転籍では従来どおり本籍の変更だけにとどめ、
新戸籍は編製しない。項目長は市区町村により変動可。

個人番号： 管内にある戸籍(新戸籍も含む)に個人が入籍したときに取得する。管内の一の戸籍から他の戸籍への
異動によっても新しい個人番号を取得する。項目長は市区町村により変動可。

受領番号： 上4桁 ⇒ 西暦年、下5桁 ⇒ 一連番号(項目長は市区町村により変動可)
受理しまたは送付を受けた事件について、その審査の結果の如何にかかわらず取得する。
暦年が変わるごとに受領番号は更新する(1から開始)。

届書処理通番の連番： 国内市区町村から郵送された届書の処理においておいて取得する。
日が変わるごとに届書処理通番の連番は更新する(1から開始)。

その他： 上記の4ファイルの一連番号が他の方法で取得可能であれば、番号取得ファイルを作成する必要は無い。
また各々4つの取得ファイルに分別しても可。

※ 1版では不受理申出ファイルの整理番号を取得する役割も持たせていたが、非本籍地に届出られた不受理申出の処理がシステム外となったため、整理番号は現行の運用通り職員が取得することとなった(本籍地に届出られた不受理申出も同様)。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
番号取得			ディスク	順	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	番号種別	9(1)	有	無	1:戸籍番号
2	予備	9(4)	無	無	『0000』
3	戸籍番号	9(10)	無	無	
1	番号種別	9(1)	有	無	2:個人番号
2	予備	9(4)	無	無	『0000』
3	個人番号	9(10)	無	無	
1	番号種別	9(1)	有	無	3:受領番号
2	西暦年	9(4)	無	無	
3	受領番号	9(5)	無	無	
1	番号種別	9(1)	有	無	4:届書処理通番の連番
2	西暦年月日	9(8)	無	無	
3	連番	9(5)	無	無	初期値は『0』

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　管掌者ファイル

目的：　処理する日の管掌者が誰かを表すファイルである。
　　管掌者が変更になった場合、従前の管掌者は履歴として保存される。

管掌者コード：　管掌者を表すコード。

管掌者名称：　管掌者の資格名称

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
管掌者			ディスク	順	200

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	管掌者コード	9(4)	有	無	
2	管掌者資格	K(30)	無	無	
3	管掌者氏名	K(30)	無	無	
4	予備	X(76)	―	―	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名： 戸籍

目的： 戸籍情報を格納するファイルである。
管内に新戸籍が編製される時に作成する。戸籍の在籍者が全員除籍となりその戸籍が除籍となるときは、戸籍除区分を1(除籍)にするだけで、レコードを削除することはしない。

検索キー： 本籍および個人氏名である。ただし、戸籍番号と個人番号も検索キーとなり得るが普通の検索には使用しない。

検索補助キー： 筆頭者および個人の生年月日である。

戸籍番号： 1つの戸籍に1つの戸籍番号を付加する。
本籍： 最新の本籍を格納する。管内転籍等での従前本籍の扱いについては、戸籍事項で管理することとし、本籍の履歴を持つことはしない。
本籍の持ち方は自由(コードと地番で分割、漢字のみ、市区町村名省略 等)。
筆頭者： 最新の筆頭者を格納する。※筆頭者除籍後に変更があった場合も変更後の情報を格納する。
氏変等での従前筆頭者の扱いについては、戸籍事項で管理することとし、筆頭者の履歴を持つことはしない。
筆頭者振り仮名： 最新の筆頭者振り仮名「氏の振り仮名△(全角空白)名の振り仮名」をカタカナで格納する。
筆頭者振り仮名の履歴を持つことはしない。
氏の振り仮名が未記録で名の振り仮名の届がされた場合は、「△(全角空白)名の振り仮名」で記録する。
戸籍異動区分： 事件の該当者が、戸籍に記載されている個人である場合に、その個人が特定された段階で戸籍をロック(他の事件で処理できない状態)する。当該事件の決裁が完了した時点または受理、不受理以外の処分決定のときに戸籍ロックを外す。
戸籍事項欄項目： 戸籍事項を格納する。1戸籍事項1レコードする。
戸籍事項は文章ではなく、複数の項目で表す。
本籍および筆頭者の履歴管理を行うため、今までの戸籍事項とは項目が異なる場合がある。

個人番号： 1人の在籍者に1つの個人番号を付加する。
管内の一の戸籍から他の戸籍に異動する場合は、新しい個人番号を付加する。また、他の戸籍から従前の戸籍に戻ったときも新しい個人番号を付加する。
性別： 父母との続柄から性別を設定する。
前個人番号： 直前の他の戸籍(同一管内)での個人番号。
直前の戸籍が即座に確定、検索できるために設けた項目。
審査不可区分： 異動審査が不可能の者を識別する区分。
1:改正国籍法前の渉外婚姻で父母(養父母)の戸籍に在籍している者(配偶者区分無し)
2:昭和32年法務省令による改製作業における申出により夫が筆頭者となっている者
(夫、妻とも審査不可区分は2となる)
上記の場合にのみ区分を設定し、それ以外は0を設定する。設定は基準書で示される条件に従う
カナ氏名： 個人の氏と名をカナで格納する(氏と名に分割して格納も可)。
氏および名の変更があったときは、従前のカナ氏名を履歴として格納する(旧氏名でも検索を可能とするため)。なお、除籍となった以降は氏及び名の変更は及ばない。
振り仮名： 振り仮名「氏の振り仮名△(全角空白)名の振り仮名」をカタカナで格納する。
(氏と名に分割して格納も可)。
氏および名の振り仮名の変更があったときは、従前の振り仮名を履歴として格納する
(旧氏名でも検索を可能とするため)。
なお、除籍となった以降は氏及び名の変更は及ばない。
名の振り仮名が未記録で氏の振り仮名の届がされた場合は、「氏の振り仮名」で記録する。
漢字氏名： 個人の氏と名を漢字で格納する(氏と名に分割して格納も可)。
氏および名の変更があったときは、従前の漢字氏名を履歴として格納する(旧氏名でも検索を可能とするため)。なお、除籍となった以降は氏及び名の変更は及ばない。
身分事項欄項目： 身分事項を格納する。1身分事項1レコードする。
身分事項は文章ではなく、複数の項目で表す。
その他 ：提示した項目を満足すればファイルの編成方式、分割等はメーカの任意である。
戸籍事項、身分事項は必要項目しか示さないが、管理等(システム実現)のため必要となる項目はメーカ任意で追加してもらいたい。
項目長は市区町村で任意であるが、ファイル仕様書で示した項目長が入出力の基本となる。
戸籍で除籍となったものを別ファイルで保存しても構わない。

※参照戸籍ファイルは戸籍ファイルと基本同様式であり、場合により管理項目等を有する。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍特定)	戸籍番号、本籍コード	筆頭者	ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	戸籍番号	9(10)	無	無	
2	編製日	9(8)	無	無	
3	改製日	9(8)	無	無	
4	回復日	9(8)	無	無	
5	消除日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	9(20)	有	無	
7	本籍	K(100)	無	無	
8	筆頭者	K(210)	無	無	
8-1	筆頭者振り仮名	K(200)	無	無	
9	記録者数	9(3)	無	無	戸籍の全人数
10	在籍者数	9(3)	無	無	在籍している人数
11	除籍者数	9(3)	無	無	除籍された人数
12	戸籍除区分	9(1)	有	無	0:戸籍 1:除籍
13	戸籍異動区分	9(1)	有	無	0:―― 1:ロック

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項)	戸籍番号	行番号	ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	戸籍番号	9(10)	無	無	
2	行番号	9(2)	無	無	
3	出力区分	9(1)	有	無	0:可 1:不可
4	戸籍事項タイトルコード	9(4)	有	無	上2桁:事件コード
5	戸籍事項記録コード	9(4)	有	無	上2桁:事件コード
6	管掌者コード	9(4)	有	無	
7	事件発生日	9(8)	無	無	
8	戸籍事項欄項目	X(3200)	無	無	詳細は別紙のファイル仕様書(戸籍事項欄項目)参照

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍事項〔タイトル/記録コード対応表〕

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
00	(戸籍事項) 受付事件名は「備考」参照	0001	戸籍編製	0001	戸籍編製事項の記録	×	戸籍編製・改製・消除の理由となる各届の事件名が「受付事件名」となる。 (例) 『出生』 ～ 『訂正(116条)』
		0002	戸籍消除	0002	戸籍消除事項の記録	×	
		0003	戸籍回復	0003	戸籍回復事項の記録	×	
		0004	戸籍改製	0004	戸籍改製事項の記録	×	
		0005	戸籍再製	0005	戸籍再製事項の記録	×	
07	73条の2 受付事件名は『戸籍法73条の2』	0701	氏の変更	0701	戸籍法73条の2の氏変更の記録	○	
08	69条の2 受付事件名は『戸籍法69条の2』	0801	氏の変更	0801	戸籍法69条の2の氏変更の記録	○	
11	77条の2 受付事件名は『戸籍法77条の2』	1101	氏の変更	1101	戸籍法77条の2の氏変更の記録	○	
12	75条の2 受付事件名は『戸籍法75条の2』	1201	氏の変更	1201	戸籍法75条の2の氏変更の記録	○	
28	氏の変更 (107条の1項) 受付事件名は『戸籍法107条1項』	2801	氏の変更	2801	戸籍法107条1項の氏の変更の記録	○	
29	107条2項 受付事件名は『戸籍法107条2項』	2901	氏の変更	2901	戸籍法107条2項の氏の変更の記録	○	
30	107条3項 受付事件名『戸籍法107条3項』	3001	氏の変更	3001	戸籍法107条3項の氏の変更の記録	○	
31	107条4項 受付事件名『戸籍法107条4項』	3101	氏の変更	3101	戸籍法107条4項の氏の変更の記録	○	
33	転籍	3301	転籍	3301	転籍事項の記録	×	

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍事項〔タイトル/記録コード対応表〕

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
45	氏の振り仮名の記録	4501	氏の変更	4501	氏の振り仮名の記録	○	202X年XX月XX日の戸籍法改正により新設
47	氏の振り仮名の変更	4701	氏の変更	4701	氏の振り仮名の変更の記録	○	202X年XX月XX日の戸籍法改正により新設

・(受付)事件コード:当欄に記載されている事件名が、そのまま『受付事件名』となる。
(『受付事件名』と同じとならない場合、別途、当欄に『受付事件名』を記載する。)
・移記:戸籍法施行規則第37条による移記 (転籍の際に ⇒ ○:移記必要、×:移記不要)

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･戸籍編製）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	許可	許可日	9(8)	無	無	
2	編製	編製日	9(8)	無	無	
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･戸籍消除）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0002					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	消除	消除日	9(8)	無	無	
2	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･戸籍回復）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0003					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	回復	回復日	9(8)	無	無	事件発生日
2		回復事項	K(30)	無	無	
3		回復事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･戸籍改製）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0004					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	改製	改製日	9(8)	無	無	
2		改製事由	K(50)	無	無	
3	入戸籍	従前戸籍				使用せず
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･戸籍再製）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0005					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	再製	再製日	9(8)	無	無	
2		再製事由	K(50)	無	無	使用せず
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･73条の2)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0701					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法73条の2の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録				
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(30)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･69条の2）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:0801					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法69条の2の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(30)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･77条の2)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:1101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法77条の2の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(30)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･75条の2)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:1201					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法75条の2の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(30)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･氏の変更）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:2801					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法107条1項の届出’
3	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某…… 必須. 【氏の振り仮名】某…… 氏の振り仮名変更が氏と同時にされた場合に記録. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(200)	無	無	
		氏の振り仮名	K(200)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･107条2項）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:2901					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法107条2項の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		氏	K(200)	無	無	
		氏の振り仮名	K(200)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
【氏】某…… 必須.
【氏の振り仮名】某…… 氏の振り仮名が登録済の場合に記録.

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･107条3項）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:3001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法107条3項の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某…… 必須. 【氏の振り仮名】某…… 氏の振り仮名が登録済の場合に記録. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(200)	無	無	
		氏の振り仮名	K(200)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･107条4項）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:3101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	’戸籍法107条4項の届出’
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某…… 必須. 【氏の振り仮名】某…… 氏の振り仮名が登録済の場合に記録. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(200)	無	無	
		氏の振り仮名	K(200)	無	無	
7	記録	記録日	9(8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍事項欄項目･転籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇒戸籍事項記録コード:3301					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	転籍	転籍日	9(8)	無	無	
2	入戸籍	従前本籍	K(50)	無	無	管外転籍の場合に記録
3	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
4	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	従前記録	従前の記録	――――――	―――――	―――――	
		管内転籍の場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【本籍】東京都････････････････････管内転籍の【従前の記録】は【本籍】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		本籍	K(50)	無	無	
12	記録	記録日	9(8)	無	無	
13	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(戸籍事項欄項目・氏の振り仮名の記録)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:4501					

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	届出日	9(　8)	無	無	
2	届出	届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
4	送付	通知を受けた日	9(　8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(　8)	無	無	
6		受理者	K(　50)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(戸籍事項欄項目・氏の振り仮名の変更)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:4701					

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏の振り仮名変更日	9(　8)	無	無	
		氏の振り仮名変更の事由	K(　30)	無	無	家裁の許可あり →'戸籍法107条の3の届出' 家裁の許可なし →'令和５年法律第〇号附則第１０条（第１１条）の届出'
2	届出	届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
4	送付	通知を受けた日	9(　8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(　8)	無	無	
6		受理者	K(　50)	無	無	
7	許可	許可日	9(　8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
10	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【氏の振り仮名】某…… 氏の振り仮名変更の【従前の記録】は【氏の振り仮名】のみ。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏の振り仮名	K(　200)	無	無	
11	記録	記録日	9(　8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(　100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(個人特定)	個人番号、戸籍番号	生年月日	ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	戸籍番号	9(10)	無	無	
3	戸籍記録順位番号	9(2)	無	無	戸籍内の個人記録順序
4	入籍日	9(8)	無	無	戸籍に記載された日
5	除籍日	9(8)	無	無	戸籍から除かれた日
6	性別	9(1)	有	無	
7	生年月日	9(8)	無	無	
8	筆頭者区分	9(1)	有	無	0:構成員　1:筆頭者
9	配偶者区分	9(1)	有	無	0:未 1:夫 2:妻 3:生存配偶者
10	父	K(30)	無	無	
11	母	K(30)	無	無	
12	父母との続柄	9(2)	有	無	
13	養父	K(30)	無	無	
14	養母	K(30)	無	無	
15	養父母との続柄	9(2)	有	無	
16	前個人番号	9(10)	無	無	管内異動の場合に記録
16-1	同一戸籍内前個人番号	9(10)	無	無	同一戸籍で直前の同一人の個人番号を記録
16-2	同一戸籍内後個人番号	9(10)	無	無	同一戸籍で直後の同一人の個人番号を記録
17	個人除区分	9(1)	有	無	
	0:在籍者、1:除籍者、2:戸籍消除者、3:消除者、4:除籍及び消除者				
18	審査不可区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(氏名)	個人番号、カナ氏名、振り仮名、漢字氏名		ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	行番号	9(3)	無	無	履歴番号
3	カナ氏名	N(200)	無	無	
3-1	振り仮名	K(200)	無	無	
4	漢字氏名	K(210)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	個人番号	行番号	ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	行番号	9(2)	無	無	
3	出力区分	9(1)	有	無	0:可 1:不可
4	身分事項タイトルコード	9(4)	有	無	上2桁:事件コード
5	身分事項記載コード	9(4)	有	無	上2桁:事件コード
6	管掌者コード	9(4)	有	無	
7	事件発生日	9(8)	無	無	
8	身分事項項目	X(3200)	無	無	詳細は別紙のファイル仕様書(身分事項欄項目)参照

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
01	出生	0101	出生	0101	子の記録	○	
		0102	子の出生	0102	父母の記録	×	
02	認知	0201	認知	0201	被認知者の記録	○	
				0202	認知者の記録	×	
		0203	親に対する認知	0203	被認知者の直系卑属の記録	○	
03	養子縁組	0301	養子縁組	0301	養子の記録	○	従前戸籍の記録は婿養子婚姻事項に記録され、婿養子縁組には記録しない。
				0302	養親の記録	×	
		0302	配偶者の縁組	0303	養子の配偶者の記録	×	
		0303	婿養子縁組	(0301)	養子の記録	○	
				(0302)	養親の記録	×	
04	養子離縁	0401	養子離縁	0401	養子の記録	×	
				0402	養親の記録	×	
		0402	配偶者の離縁	0403	養子の配偶者の記録	×	
05	特別養子縁組	0501	特別養子縁組	0501	養子の従前戸籍の記録	×	
				0502	養子の新戸籍の記録	○	養父母が外国人の場合、第39条による移記を要する。
		0502	民法817条の2	0503	養子の入籍戸籍の記録	○	
				0504	養親の記録	×	養子が外国人の場合の記録
				0505	養親の新戸籍の記録	×	昭和60.1.1の改正法施行前に外国人と婚姻し、父母の戸籍に未だに在籍している者が養親となる際の新戸籍の記録
06	特別養子離縁	0601	特別養子離縁	0601	養子の記録	×	
				0602	養親の記録	×	養子が外国人の場合の記録
09	婚姻	0901	婚姻	0901	夫又は妻の記録	○	
		0902	婿養子縁組婚姻	(0901)	夫又は妻の記録	○	
		0903	入夫婚姻	(0901)	夫又は妻の記録	○	

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
10	離婚	1001	離婚	1001	夫又は妻の記録	×	
		1002	養子の離婚	1002	夫又は妻の養父母の記録	×	
13	親権(管理権)	1301	親権	1301	親権に服する者の記録	○	
14	後見	1401	後見	1401	被後見人の記録	○	
41	未成年者の後見	4101	未成年者の後見	4101	被未成年後見人の記録	○	
15	保佐	1501	保佐	1501	準禁治産者の記録	○	
16	死亡	1601	死亡	1601	死亡者の記録	×	
		1602	配偶者の死亡	1602	死亡者の生存配偶者の記録	×	
		1603	高齢者消除	1603	高齢者消除の記録	×	
17	失踪宣告	1701	失踪宣告	1701	失踪者の記録	×	
		1702	配偶者の失踪宣告	1702	失踪者の生存配偶者の記録	×	
18	復氏	1801	復氏	1801	復氏者の記録	×	
		1802	配偶者の復氏	1802	復氏者の配偶者の記録	×	
19	姻族関係終了	1901	姻族関係終了	1901	姻族関係を終了した生存配偶者の記録	×	
20	推定相続人廃除	2001	推定相続人廃除	2001	推定相続人廃除をされた者の記録	○	
21	入籍	2101	入籍	2101	入籍する者の記録	×	
		2102	子の入籍	2102	子の入籍~~の~~による父又は母の記録	×	
		2103	配偶者の入籍	2103	入籍する者の配偶者の記録	×	
22	分籍	2201	分籍	2201	分籍者の記録	×	
23	国籍取得	2301	国籍取得	2301	国籍取得者の記録	×	
		2302	子の国籍取得	2302	国籍取得者の父母の記録	×	
		2303	養子の国籍取得	2303	国籍取得者の養父母の記録	×	
		2304	配偶者の国籍取得	2304	国籍取得者の配偶者の記録	×	
		2305	親の国籍取得	2305	国籍取得者の子の記録	×	
		2306	養親の国籍取得	2306	国籍取得者の養子の記録	×	
		2309	未成年後見人の国籍取得	2309	未成年後見人の国籍取得の記録	×	
24	帰化	2401	帰化	2401	帰化者の記録	×	
		2402	子の帰化	2402	帰化者の父母の記録	×	
		2403	養子の帰化	2403	帰化者の養父母の記録	×	
		2404	配偶者の帰化	2404	帰化者の配偶者の配録	×	
		2405	親の帰化	2405	帰化者の子の記録	×	
		2406	養親の帰化	2406	帰化者の養子の記録	×	
		2407	後見人の帰化	2407	後見人の帰化の記録	×	

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
		2408	保佐人の帰化	2408	保佐人の帰化の記録	×	
		2409	未成年後見人の帰化	2409	未成年後見人の帰化の記録	×	
25	国籍喪失	2501	国籍喪失	2501	国籍喪失者の記録	×	
		2502	配偶者の国籍喪失	2502	国籍喪失者の配偶者の記録	○	
26	国籍選択	2601	国籍選択	2601	国籍選択者の記録	○	
27	外国国籍喪失	2701	外国国籍喪失	2701	外国国籍喪失者の記録	○	
32	名の変更	3201	名の変更	3201	名の変更者の記録	○	
34	就籍	3401	就籍	3401	就籍者の記録	×	
46	名の振り仮名の記録	4601	名の変更	4601	名の振り仮名の記録	○	202X年XX月XX日の戸籍法改正により新設
48	名の振り仮名の変更	4801	名の変更	4801	名の振り仮名の変更者の記録	○	202X年XX月XX日の戸籍法改正により新設

・(受付)事件コード:当欄に記載されている事件名が、そのまま『受付事件名』となる。
(『受付事件名』と同じとならない場合、別途、当欄に『受付事件名』を記載する。)
・移記:戸籍法施行規則第39条による移記 (新戸籍または他の戸籍に入籍する際に ⇒ ○:移記必要、×:移記不要)

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕 氏の変更系

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
07	73条の2 受付事件名は『戸籍法73条の2』	0701	氏の変更	0701	縁氏続称者の記録	×	
		0702	配偶者の氏の変更	0702	縁氏続称者の配偶者の記録	×	
08	69条の2 受付事件名は『戸籍法69条の2』	0801	氏の変更	0801	縁氏続称者の記録	×	
		0802	配偶者の氏の変更	0802	縁氏続称者の配偶者の記録	×	
11	77条の2 受付事件名は『戸籍法77条の2』	1101	氏の変更	1101	婚氏続称者の記録	×	
		1102	配偶者の氏の変更	1102	婚氏続称者の配偶者の記録	×	
12	75条の2 受付事件名は『戸籍法75条の2』	1201	氏の変更	1201	婚氏続称者の記録	×	
		1202	配偶者の氏の変更	1202	婚氏続称者の配偶者の記録	×	
29	107条2項 受付事件名は『戸籍法107条2項』	2901	氏の変更	2901	戸籍法107条2項の氏変更の変更者の記録	×	
30	107条3項 受付事件名は『戸籍法107条3項』	3001	氏の変更	3001	戸籍法107条3項の氏変更の変更者の記録	×	
		3002	配偶者の氏の変更	3002	戸籍法107条3項の氏変更の変更者の配偶者の記録	×	
31	107条4項 受付事件名は『戸籍法107条4項』	3101	氏の変更	3101	戸籍法107条4項の氏変更の変更者の記録	×	

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕 取消系

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
35	養子縁組取消し	3501	養子縁組取消し	3501	養子の記録	×	
				3502	養親の記録	×	
		3502	配偶者の養子縁組取消し	3503	養子の配偶者の記録	×	
36	養子離縁取消し	3601	養子離縁取消し	3601	養子の記録	×	
				3602	養親の記録	×	
		3602	配偶者の養子離縁取消し	3603	養子の配偶者の記録	×	
37	婚姻取消し	3701	婚姻取消し	3701	夫または妻の記録	×	
38	離婚取消し	3801	離婚取消し	3801	夫または妻の記録	×	
39	失踪宣告取消し	3901	失踪宣告取消し	3901	失踪宣告取消者の記録	×	
		3902	配偶者の失踪宣告取消し	3902	失踪宣告取消者の配偶者の記録	×	
40	推定相続人廃除取消し	4001	推定相続人廃除取消し	4001	推定相続人廃除取消者の記録	×	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・出生/子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0101					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	出生	出生日	9(8)	無	無	事件発生日
2		出生地	K(50)	無	無	
3	外国人父母	父の国籍	K(50)	無	無	
3-1		父の国籍・地域	K(50)	無	無	
		①無国籍者の場合、「無国籍」と記録する。 ②帰化の際に記録する出生事項:認知の届出の効力のある出生届がされている場合で、父が外国人であるときに記録(準正嫡出子を除く)する。 ③帰化の際に記録する出生事項:事実主義の法制に基づき親子関係が成立している場合(出生地が国内・国外に係わらず)で、父が外国人であるときに記録(嫡出子を除く)する。				
4		父の生年月日	9(8)	無	無	項番3と同様。
5		母の国籍	K(50)	無	無	
5-1		母の国籍・地域	K(50)	無	無	
		①無国籍者の場合、「無国籍」と記録する。 ②日本人男から認知されている外国人女の胎児が出生し、その届出により新戸籍を編製する場合に記録する。				
6		母の生年月日	9(8)	無	無	項番5と同様。
7	届出	届出日	9(8)	無	無	
8		航海日誌謄本提出日	9(8)	無	無	
9		届出人				
		資格	9(3)	有	無	旧法:「祖父」「父の後見人」等の場合もあり。
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
10		届出人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
11		届出人の国籍	K(50)	無	無	未成年母の法定代理人の届出で、その者が外国人の場合に記録する。
11-1		届出人の国籍・地域	K(50)	無	無	
12		届出人の生年月日	9(8)	無	無	
13	日本人父母	父の氏名	K(30)	無	無	
		①旧法の記録:庶子が父の戸籍に入籍できなかった場合に記録する。 ただし、その後、父と同一戸籍となった場合は記録しない。				

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・出生/子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0101					

No.		項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
14		父の戸籍 ①旧法の記録:庶子が父の戸籍に入籍できなかった場合に記録する。 ただし、その後、父と同一戸籍となった場合は記録しない。 ②帰化の際に記録する出生事項:認知の届出の効力のある出生届がされている場合で、父が既に帰化しているときに記録(準正嫡出子を除く)する。ただし、父と同籍する場合は記録しない。 ③帰化の際に記録する出生事項:事実主義の法制に基づき親子関係が成立している場合で、父が既に帰化しているときに記録(嫡出子を除く)する。ただし、父と同籍する場合は記録しない。 ④父母の婚姻前の出生子について嫡出子とする出生届が誤って受理された後、父から非嫡出子出生の届出に訂正する追完の届出があった場合に記録する。(62条:認知の効力を有する)				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15		母の氏名 ①旧法の記録:庶子が母の戸籍に入籍しなかった場合に記録する。 ただし、その後、母と同一戸籍となった場合は記録しない。 ②旧法の記録:父の認知のない嫡出でない子が母の戸籍に入籍できないため、一家創立した場合に記録する。	K(30)	無	無	
16		母の戸籍				項番15と同様。
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
17	国籍留保	国籍留保の届出日	9(8)	無	無	
18		国籍留保の届出人				項番9の届出人と同一人でない場合記録する。
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
19		国籍留保の届出人の国籍	K(50)	無	無	国籍留保の届出人が、外国人の場合記録する。
19-1		国籍留保の届出人の国籍・地域	K(50)	無	無	
20		国籍留保の届出人の生年月日	9(8)	無	無	
20-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
21		送付を受けた日	9(8)	無	無	
22		受理者	K(50)	無	無	
23	許可	許可日	9(8)	無	無	
24		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
25		許可を受けた者	K(50)	無	無	
26	入籍	入籍日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・出生/子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0101					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
27	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
28	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
29	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
30		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
31	記録	記録日	9(8)	無	無	
32	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・出生/親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0102					

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		航海日誌の謄本提出日	9(8)	無	無	
5		除籍日	9(8)	無	無	
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延等の際の記録は項番13の【除籍日】を使用する。〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番13の【除籍日】≠空白であること。 ・項番5の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
6		除籍事由	K(50)	無	無	
6-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	通知又は送付がある場合に記録する。除籍には記録し新戸籍には記録しない。
7		送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番5の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番13の【除籍日】=空白であること。				
14	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
15	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・認知/被認知者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0201					

No.		項目名	タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	認知	認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 1/4
2		胎児認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 2/4
3		認知の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日① 3/4
		認知の裁判等が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
4		親子関係存在確認の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日① 4/4
		子の出生当時に父の本国法が事実主義を採用している場合において、父子関係存在確認の裁判が確定したときの報告的届出の場合に記録する。 (子または父からの戸籍法第63条の類推適用による届出)				
5		認知届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
6		認知者氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
7		認知者死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②
		認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
8		認知者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9		認知者の国籍	K(50)	無	無	認知者が外国人の場合に記録する。
9-1		認知者の国籍・地域	K(50)	無	無	
10		認知者の生年月日	9(8)	無	無	
11		認知の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で認知が成立した場合に記録する。				
12		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で認知が成立した場合に記録する。				
13	出届	届出日	9(8)	無	無	遺言のよる認知、裁判による認知の場合に記録する。
14		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･認知/被認知者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0201					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
15	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
16	証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で認知が成立した場合に記録する。
17	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
18	届書提出日	9(8)	無	無	認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
19	届書提出者				
	資格	9(3)	無	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
20	届書提出者				
	資格	9(3)	無	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
20-1	付送 通知を受けた日	9(8)	無	無	
21	送付を受けた日	9(8)	無	無	
22	受理者	K(50)	無	無	
23	可許 許可日	9(8)	無	無	
24	許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
25	許可を受けた者	K(50)	無	無	
26	入籍 入籍日	9(8)	無	無	
27	入戸籍 従前戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･認知/被認知者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0201					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
28	直系卑属	直系卑属氏名	K(30)	無	無	民783条2項 死亡した者の認知で、その者の直系卑属の氏名を記録する。 ただし、以下の者のみ記録する。 ①未成年者 ②認知の承諾のあった成年者 (10名分保有する)
29		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
30		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
31		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
32		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
33		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
34		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
35		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
36		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
37		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
38	連関	関連訂正事項	K(30)	無	無	'父母との続柄'
		被認知者が嫡出子の身分を取得し、【父母との続柄】を訂正する場合に記録する。項番36も記録する。				
39	従前記録	従前の記録	――――――	――――――	――――――	
		被認知者が嫡出子の身分を取得し、続柄を訂正する場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父母との続柄】男(女)……認知の【従前の記録】は【父母との続柄】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		父母との続柄	K(5)	無	無	'男'または'女'
40	記録	記録日	9(8)	無	無	
41	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・認知/認知者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0202					

No.		項目名	タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	認知	認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 1/4
2		届出日	9(8)	無	無	事件発生日① 2/4
		認知届出の効力を有する出生届が届出され、認知の記載を要する場合に記録する。				
3		届出の性質	K(30)	無	無	
		項番2と同様。‘認知届出の効力を有する出生届出’				
4		胎児認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 3/4
5		認知の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日① 4/4
		認知の裁判等が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
6		認知届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
7		認知した子の氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	’亡’
		氏名	K(30)	無	無	
8		認知した子の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②
		認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
9		認知した子の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10		認知した子の国籍	K(50)	無	無	認知した子が外国人の場合に記録する。
10-1		認知した子の国籍・地域	K(50)	無	無	
11		認知した子の生年月日	9(8)	無	無	
12		認知した子の母の氏名	K(30)	無	無	
13		認知の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で認知が成立した場合に記録する。				
14		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で認知が成立した場合に記録する。				
15	届出	届出日	9(8)	無	無	遺言による認知、裁判による認知の場合に記録する。
16		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・認知/認知者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:0202				

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
18		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で認知が成立した場合に記録する。
19		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
20		届書提出日	9(8)	無	無	認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
21		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
23		送付を受けた日	9(8)	無	無	
24		受理者	K(50)	無	無	
25	許可	許可日	9(8)	無	無	
26		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
27		許可を受けた者	K(50)	無	無	
28	記録	記録日	9(8)	無	無	
29	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･認知/親に対する)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0203				

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	認知 認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 1/2
2	認知の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日① 2/2
	認知の裁判等が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
3	認知届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
	認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
4	認知された親の氏名				
	亡区分	K(1)	無	無	'亡'
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
5	認知された親の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
	認知届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に、認知された親が死亡している場合に記録する。(認知された親の死亡日を記録する。)				
6	認知された親の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
7	認知者氏名				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
8	認知者死亡日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
	認知届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に、認知者が死亡している場合に記録する。(認知者の死亡日を記録する。)				
9	認知者の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
10	認知者の国籍	K(50)	無	無	認知者が外国人の場合に記録する。
10-1	認知者の国籍・地域	K(50)	無	無	
11	認知者の生年月日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･認知/親に対する)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0203				

No.		項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
12		認知の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で認知が成立した場合に記録する。				
13		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で認知が成立した場合に記録する。				
14	届出	届出日	9(8)	無	無	遺言により認知、裁判による認知の場合に記録する。
15		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
16		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で認知が成立した場合に記録する。
17		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
18		届書提出日	9(8)	無	無	認知届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
19		届書提出者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
20		届書提出者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
20-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
21		送付を受けた日	9(8)	無	無	
22		受理者	K(50)	無	無	
23	許可	許可日	9(8)	無	無	
24		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
25		許可を受けた者	K(50)	無	無	
26	記録	記録日	9(8)	無	無	
27	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0301					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組 縁組日	9(8)	無	無	事件発生日① 1/2
2	縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日① 2/2
	養子縁組の裁判等が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
3	縁組届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
4	共同縁組者				夫婦がともに縁組をする場合に記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
5	養父氏名	K(30)	無	無	
6	養父の国籍	K(50)	無	無	養父が外国人の場合に記録する。
6-1	養父の国籍・地域	K(50)	無	無	
7	養父の生年月日	9(8)	無	無	
8	養父死亡日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2 *1
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に、養父が死亡している場合に記録する。(養父の死亡日を記録する。)				
9	養母氏名	K(30)	無	無	
10	養母の国籍	K(50)	無	無	養母が外国人の場合に記録する。
10-1	養母の国籍・地域	K(50)	無	無	
11	養母の生年月日	9(8)	無	無	
12	養母死亡日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2 *1
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に、養母が死亡している場合に記録する。(養母の死亡日を記録する。)				
13	養親の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
14	縁組の方式	K(50)	無	無	
	外国の方式で養子縁組が成立した場合に記録する。				
15	裁判所	K(50)	無	無	
	外国の裁判所で養子縁組が成立した場合に記録する。				
16	代諾(1) 代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	

ファイル仕様書				作成日付	改訂日付	版	
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0	
適用業務名							
戸籍(身分事項欄項目･養子縁組/養子)							
		氏名		K(30)	無	無	
		代諾者が特定できない場合に記録する。(例)後見人　XX、母の親権者　XX					
17		代諾者の国籍		K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
17-1		代諾者の国籍・地域		K(50)	無	無	
18		代諾者の生年月日		9(8)	無	無	
19	代諾(2)	代諾者					養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
		資格		9(3)	有	無	
		資格名称		K(30)	無	無	
		氏名		K(30)	無	無	
		代諾者が特定できない場合に記録する。(例)後見人　XX、母の親権者　XX					
20		代諾者の国籍		K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
20-1		代諾者の国籍・地域		K(50)	無	無	
21		代諾者の生年月日		9(8)	無	無	
22	届出	届出日		9(8)	無	無	養子縁組の裁判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
23		届出人					
		資格		9(3)	有	無	
		資格名称		K(30)	無	無	
		氏名		K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。					
24		届出人					
		資格		9(3)	有	無	
		資格名称		K(30)	無	無	
		氏名		K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。					
25		証書提出日		9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で養子縁組が成立した場合に記録する。
26		証書提出者					
		資格		9(3)	有	無	
		資格名称		K(30)	無	無	
		氏名		K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX					
27		証書提出者					
		資格		9(3)	有	無	
		資格名称		K(30)	無	無	

ファイル仕様書			作成日付	改訂日付	版	
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0	
適用業務名						
戸籍(身分事項欄項目･養子縁組/養子)						
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
28		届書提出日	9(8)	無	無	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
29		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
30		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
30-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
31		送付を受けた日	9(8)	無	無	
32		受理者	K(50)	無	無	
33	許可	許可日	9(8)	無	無	
34		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
35		許可を受けた者	K(50)	無	無	
36	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
37	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
38	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
39	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
40		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
41	縁組追完	縁組追完日	9(8)	無	無	
42		追完届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
43		追完届の送付を受けた日	9(8)	無	無	
44		追完届の受理者	K(50)	無	無	
45	記録	記録日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書				作成日付	改訂日付	版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名						
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養子)						
46	特記	特記事項	K(100)	無	無	

*1:届書委託で養子が死亡している場合、養子の縁組事項の「事件発生日」は未設定となる。(養子の死亡日が事件発生日)

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･養子縁組/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0302					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組 縁組日	9(8)	無	無	事件発生日① 1/2
2	縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
	養子縁組の裁判等が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
3	縁組届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
4	共同縁組者				夫婦がともに縁組をする場合に記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
5	養子氏名	K(30)	無	無	
6	養子の国籍	K(50)	無	無	養子が外国人の場合に記録する。
6-1	養子の国籍・地域	K(50)	無	無	
7	養子の生年月日	9(8)	無	無	
8	養子死亡日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2 *1
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に、養子が死亡している場合に記録する。(養子の死亡日を記録する。)				
9	養子氏名	K(30)	無	無	
10	養子の国籍	K(50)	無	無	養子が外国人の場合に記録する。
10-1	養子の国籍・地域	K(50)	無	無	
11	養子の生年月日	9(8)	無	無	
12	養子死亡日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2 *1
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に、養子が死亡している場合に記録する。(養子の死亡日を記録する。)				
13	養子の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
14	養子の従前戸籍				夫婦の筆頭者が養子となる場合に戸籍に変動があるが、その際に記録する。
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
15	養子の新本籍	K(50)	無	無	
16	縁組の方式	K(50)	無	無	
	外国の方式で養子縁組が成立した場合に記録する。				

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0302					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	裁判所	K(50)	無	無	
	外国の裁判所で養子縁組が成立した場合に記録する。				
18	代諾者(1) 代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	代諾者が特定できない場合に記録する。(例)後見人 XX、母の親権者 XX				
19	代諾者の国籍	K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
19-1	代諾者の国籍・地域	K(50)	無	無	
20	代諾者の生年月日	9(8)	無	無	
21	代諾者(2) 代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	代諾者が特定できない場合に記録する。				
22	代諾者の国籍	K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
22-1	代諾者の国籍・地域	K(50)	無	無	
23	代諾者の生年月日	9(8)	無	無	
24	届出 届出日	9(8)	無	無	養子縁組の裁判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
25	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父 XX				
26	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母 XX				

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0302					

No.		項目名	タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
27		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で養子縁組が成立した場合に記録する。
28		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父 XX				
29		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母 XX				
30		届書提出日	9(8)	無	無	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
31		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
32		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
32-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
33		送付を受けた日	9(8)	無	無	
34		受理者	K(50)	無	無	
35	許可	許可日	9(8)	無	無	
36		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
37		許可を受けた者	K(50)	無	無	
38	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
39	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
40	除籍	除籍日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･養子縁組/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:0302				

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
41	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
42	記録	記録日	9(8)	無	無	
43	特記	特記事項	K(100)	無	無	

*1:届書委託で養親が死亡している場合、養親の縁組事項の「事件発生日」は未設定となる。(養親の死亡日が事件発生日)

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/配偶者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0303					

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0401				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子離縁	離縁日	9(8)	無	無	事件発生日 1/6
2		離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/6
3		離縁の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 3/6
4		離縁の和解成立日	9(8)	無	無	事件発生日 4/6
5		離縁の請求認諾日	9(8)	無	無	事件発生日 5/6
6		離縁除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 6/6
		本籍不明のまま縁組し、養親戸籍に入籍した者が離縁する場合に記録する。 (縁組前無籍と認められた場合) 〔通常、【入籍戸籍】等で除籍を表すが、復籍する戸籍がないため【離縁除籍日】で除籍を表す。〕				
7		共同離縁者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	'夫'又は'妻'
8		養父氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
9		養父の国籍	K(50)	無	無	
9-1		養父の国籍・地域	K(50)	無	無	
10		養母氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
11		養母の国籍	K(50)	無	無	
11-1		養母の国籍・地域	K(50)	無	無	
12		離縁の方式	K(50)	無	無	
13		裁判所	K(50)	無	無	
14	協議者(1)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
15		協議者の国籍	K(50)	無	無	
15-1		協議者の国籍・地域	K(50)	無	無	
16		協議者の生年月日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0401				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	協議者(2)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
18		協議者の国籍	K(50)	無	無	
18-1		協議者の国籍・地域	K(50)	無	無	
19		協議者の生年月日	9(8)	無	無	
20	届出	届出日	9(8)	無	無	
21		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
23		証書提出日	9(8)	無	無	
24		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
25		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
26		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し、裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
26-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
27		送付を受けた日	9(8)	無	無	
28		受理者	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養子)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0401				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	許可	許可日	9(8)	無	無	
30		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
31		許可を受けた者	K(50)	無	無	
32	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
33	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
34	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
35	除戸	新本籍	K(50)	無	無	
36		称する氏	K(30)	無	無	
37		復する氏	K(30)	無	無	
38		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
39	記録	記録日	9(8)	無	無	
40	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0402				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	離縁	離縁日	9(8)	無	無	事件発生日 1/5
2		離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/5
3		離縁の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 3/5
4		離縁の和解成立日	9(8)	無	無	事件発生日 4/5
5		離縁の請求認諾日	9(8)	無	無	事件発生日 5/5
6		共同離縁者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	'夫'又は'妻'
7		養子氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
8		養子の国籍	K(50)	無	無	
8-1		養子の国籍・地域	K(50)	無	無	
9		養子氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
10		養子の国籍	K(50)	無	無	
10-1		養子の国籍・地域	K(50)	無	無	
11		離縁の方式	K(50)	無	無	
12		裁判所	K(50)	無	無	
13	協議者(1)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
14		協議者の国籍	K(50)	無	無	
14-1		協議者の国籍・地域	K(50)	無	無	
15		協議者の生年月日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0402				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
16	協議者(2)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
17		協議者の国籍	K(50)	無	無	
17-1		協議者の国籍・地域	K(50)	無	無	
18		協議者の生年月日	9(8)	無	無	
19	届出	届出日	9(8)	無	無	
20		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
21		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22		証書提出日	9(8)	無	無	
23		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
24		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
25		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し、裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
25-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
26		送付を受けた日	9(8)	無	無	
27		受理者	K(50)	無	無	
28	許可	許可日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養親)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0402				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
30		許可を受けた者	K(50)	無	無	
31	記録	記録日	9(8)	無	無	
32	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/配偶者)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0403					

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の従前戸籍)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0501					

No.	項目名	タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子縁組 特別養子縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2	養父氏名	K(30)	無	無	
3	養父の国籍	K(50)	無	無	
3-1	養父の国籍・地域	K(50)	無	無	
4	養父の生年月日	9(8)	無	無	
5	養母氏名	K(30)	無	無	
6	養母の国籍	K(50)	無	無	
6-1	養母の国籍・地域	K(50)	無	無	
7	養母の生年月日	9(8)	無	無	
8	縁組の方式	K(50)	無	無	
	外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
9	裁判所	K(50)	無	無	
	外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
10	届出 届出日	9(8)	無	無	
11	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
12	証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
13	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父 XX				
14	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母 XX				

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の従前戸籍)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0501					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
14-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
15		送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		受理者	K(50)	無	無	
17	許可	許可日	9(8)	無	無	
18		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
19		許可を受けた者	K(50)	無	無	
20	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
21	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
22		縁組後の氏	K(30)	無	無	
23	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の新戸籍)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0502					

No.	項目名	タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子縁組 特別養子縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2	養父氏名	K(30)	無	無	
3	養父の国籍	K(50)	無	無	
3-1	養父の国籍・地域	K(50)	無	無	
4	養父の生年月日	9(8)	無	無	
5	養母氏名	K(30)	無	無	
6	養母の国籍	K(50)	無	無	
6-1	養母の国籍・地域	K(50)	無	無	
7	養母の生年月日	9(8)	無	無	
8	縁組の方式	K(50)	無	無	
	外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
9	裁判所	K(50)	無	無	
	外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
10	届出 届出日	9(8)	無	無	
11	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
12	証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
13	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父 XX				
14	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母 XX				

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の新戸籍)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0502					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
14-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
15		送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		受理者	K(50)	無	無	
17	許可	許可日	9(8)	無	無	
18		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
19		許可を受けた者	K(50)	無	無	
20	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
21	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
22	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
23	除戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
24	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の入籍戸籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0503					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	民法817条の2	民法817条の2による裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
3		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
6		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
7		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父 XX				
8		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母 XX				
8-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
15	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

45138

戸籍（身分事項欄項目･特別養子縁組/養親の記録）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0504					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	民法817条の2	民法817条の2による裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		共同縁組者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
3		養子氏名	K(30)	無	無	
4		養子の国籍	K(50)	無	無	
4-1		養子の国籍・地域	K(50)	無	無	
5		養子の生年月日	9(8)	無	無	
6		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
7		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
8	届出	届出日	9(8)	無	無	
9		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所、方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
10		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父 XX				
11		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母 XX				
11-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
12		送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		受理者	K(50)	無	無	
14	許可	許可日	9(8)	無	無	
15		許可書の謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		許可を受けた者	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

45138

戸籍（身分事項欄項目･特別養子縁組/養親の記録）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:0504				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･特別養子縁組/養親の新戸籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒ 身分事項記録コード:0505					

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
4		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延等の際の記録は項番10の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ・項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
5		除籍事由	K(50)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	送付がある場合に記録する。除籍には記録し新戸籍には記載しない。
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番4【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。					
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・特別養子離縁/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:0601				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子離縁	特別養子離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し、裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
12	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
14	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
		離縁後の氏	K(30)	無	無	
15		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	記録	記録日	9(8)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･特別養子離縁/養親）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:0602				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子離縁	特別養子離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		特別養子の氏名	K(30)	無	無	
3		特別養子の国籍	K(50)	無	無	
3-1		特別養子の国籍・地域	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し、裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･婚姻）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0901					

No.		項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚姻	婚姻日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		婚姻届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		婚姻届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。				
3		配偶者氏名	K(30)	無	無	
4		配偶者の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②
		婚姻届出の委託確認の審判が確定した報告的届出の場合に記録する。(配偶者の死亡日を記録する。)				
5		配偶者の戸籍				配偶者が無籍者の場合に記録する。
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
6		配偶者の国籍	K(50)	無	無	配偶者が外国人の場合に記録する。
6-1		配偶者の国籍・地域	K(50)	無	無	
7		配偶者の生年月日	9(8)	無	無	
8		婚姻の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で婚姻が成立した場合に記録する。				
9		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で婚姻が成立した場合に記録する。				
10	届出	証書提出日	9(8)	無	無	
		外国の裁判所、方式で婚姻が成立した場合に記録する。				
11		届書提出日	9(8)	無	無	婚姻届出の委託確認の審判が確定し、報告的届として届出された場合に記録する。
12		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
13		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
13-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
14		送付を受けた日	9(8)	無	無	
15		受理者	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･婚姻）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:0901				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
16	許可	許可日	9(8)	無	無	
17		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
18		許可を受けた者	K(50)	無	無	
19	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
20	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
21	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
22	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
23		称する氏	K(3)	無	無	
24		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
25	記録	記録日	9(8)	無	無	
26	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･離婚）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1001				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	離婚	離婚日	9(8)	無	無	事件発生日 1/6
2		離婚の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 2/6
3		離婚の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 3/6
4		離婚の和解成立日	9(8)	無	無	事件発生日 4/6
5		離婚の請求認諾日	9(8)	無	無	事件発生日 5/6
6		離婚除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 6/6
		本籍不明のまま婚姻し、相手の氏を称し、入籍した者が離婚する場合に記録する。 (婚姻前無籍と認められた場合) 〔通常、【入籍戸籍】等で除籍を表すが、復籍する戸籍がないため【離婚除籍日】で除籍を表す。〕				
7		配偶者氏名	K(30)	無	無	
8		配偶者の国籍	K(50)	無	無	
8-1		配偶者の国籍・地域	K(50)	無	無	
9		離婚の方式	K(50)	無	無	
10		裁判所	K(50)	無	無	
11	届出	届出日	9(8)	無	無	
12		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
13		証書提出日	9(8)	無	無	
14		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
14-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
15		送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		受理者	K(50)	無	無	
17	許可	許可日	9(8)	無	無	
18		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
19		許可を受けた者	K(50)	無	無	
20	入籍	入籍日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･離婚）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1001				

21	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
22	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
23	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
24		称する氏	K(30)	無	無	
25		離婚後の氏	K(30)	無	無	
26		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
27	記録	記録日	9(8)	無	無	
28	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成18年3月1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･離婚/養父又は養母）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒　身分事項記録コード:1002				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(　8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(　50)	無	無	'養子の離婚届出'
3	届出	届出日	9(　8)	無	無	事件発生日 2/2①
4		除籍日	9(　8)	無	無	事件発生日 2/2②
		許可記載の際に記録する。〔受理照会、記載遅延の際の記録は項番12の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ･項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
5		除籍事由	K(　50)	無	無	'養子の離婚届出'
5-1	送付	通知を受けた日	9(　8)	無	無	通知又は送付がある場合に記録する。除籍には記録し新戸籍には記録しない。
6		送付を受けた日	9(　8)	無	無	
7		受理者	K(　50)	無	無	
8	許可	許可日	9(　8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(　50)	無	無	
		筆頭者	K(　30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(　8)	無	無	
		受理照会、記載遅延の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番4の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番12の【除籍日】=空白であること。				
13	除戸籍	新本籍	K(　50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･親権）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1301				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	親権	親権者を定めた日	9(8)	無	無	事件発生日 1/30
2		親権者を定められた日	9(8)	無	無	事件発生日 2/30
3		親権者となった日	9(8)	無	無	事件発生日 3/30
6		親権者を定める裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/30
4		親権者を定める調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 5/30
5		親権者変更の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 6/30
7		親権者変更の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 7/30
8		共同親権に服した日	9(8)	無	無	事件発生日 8/30
9		親権に服した日	9(8)	無	無	事件発生日 9/30
10		親権に服さなくなった日	9(8)	無	無	事件発生日 10/30
11		親権喪失宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 11/30
12		管理権喪失宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 12/30
13		親権喪失宣告取消しの裁判確定	9(8)	無	無	事件発生日 13/30
14		管理権喪失宣告取消しの裁判確	9(8)	無	無	事件発生日 14/30
15		親権辞任日	9(8)	無	無	事件発生日 15/30
16		管理権辞任日	9(8)	無	無	事件発生日 16/30
17		親権回復日	9(8)	無	無	事件発生日 17/30
18		管理権回復日	9(8)	無	無	事件発生日 18/30
19		親権者職務執行停止 及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19/30
19-1		親権者職務執行停止の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19-1/30
19-2		親権代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19-2/30
20		管理権執行停止 及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 20/30
20-1		管理権執行停止の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 20-1/30
20-2		管理権代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 20-2/30
21		親権者職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 21/30
22		管理権執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 22/30
23		親権代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 23/30
24		管理権代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 24/30
25		親権喪失の審判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 25/30
26		管理権喪失の審判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 26/30
27		親権喪失の審判取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 27/30

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･親権）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1301				

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
28	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 28/30
29	親権停止の審判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 29/30
30	親権停止の審判取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 30/30
31	親権者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
32	失親権喪 親権喪失者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
33	管理権喪失 管理権喪失者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
34	親権喪失取消 親権喪失取消者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
35	管理権喪失取消 管理権喪失取消者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
36	任親権辞 親権辞任者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
37	管理権辞任 管理権辞任者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
38	復親権回 親権回復者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･親権）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1301				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
39	管理権回復	管理権回復者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
40	職務執行停止	職務執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
41	管理権執行停止	管理権執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
42	親権代行	親権代行者	K(30)	無	無	
43		親権代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
44		親権代行者の国籍	K(50)	無	無	
44-1		親権代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	
45		親権代行者の生年月日	9(8)	無	無	
46	管理権代行	管理権代行者	K(30)	無	無	
47		管理権代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
48		管理権代行者の国籍	K(50)	無	無	
48-1		管理権代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	
49		管理権代行者の生年月日	9(8)	無	無	
50	親権停止	親権停止者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
51		親権停止期間	K(30)	無	無	
52	親権停止取消	親権停止取消者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･親権）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1301				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53	届出	届出日	9(8)	無	無	
54		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
55		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
56		記録嘱託日	9(8)	無	無	
56-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
57		送付を受けた日	9(8)	無	無	
58		受理者	K(50)	無	無	
59	許可	許可日	9(8)	無	無	
60		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
61		許可を受けた者	K(50)	無	無	
62	従前記録	従前の記録	K(500)	無	無	親権(管理権)喪失宣告取消において先の親権(管理権)喪失宣告の記録を消除する際に記録する。 (例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【親権喪失宣告の裁判確定日】平成7年・・ 【親権喪失取消者】父 【届出日】平成7年・・ 【届出人】親権者母 〈 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。
63	記録	記録日	9(8)	無	無	
64	特記	特記事項	K(100)	無	無	

事件発生日がない場合もある。
「親権者　母」

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	後見 禁治産宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	*1
2	後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 1/19
3	後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 2/19
4	後見開始事由	K(50)	無	無	
5	後見人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	＊2
6	後見監督人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	＊3
7	更迭事由	K(50)	無	無	
8	前任の後見人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
9	前任の後見監督人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
10	後任の後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 3/19
11	後任の後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 4/19
12	後見終了日	9(8)	無	無	事件発生日 5/19
13	後見監督終了日	9(8)	無	無	事件発生日 6/19
14	後見人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 7/19
15	後見監督人辞任許可の裁判確定	9(8)	無	無	事件発生日 8/19
16	後見人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 9/19
17	後見監督人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 10/19
18	後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 11/19
19	後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 12/19
20	財産管理者による後見命令発効日	9(8)	無	無	事件発生日 13/19
21	財産管理者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 14/19
22	財産管理者による後見命令失効日	9(8)	無	無	事件発生日 15/19
23	後見人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 16/19
24	後見監督人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 17/19
25	後見代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 18/19

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
26	後見監督代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19/19
27	後見人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
28	後見人の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
29	後見人の国籍	K(50)	無	無	
29-1	後見人の国籍・地域	K(50)	無	無	
30	後見人の生年月日	9(8)	無	無	
31	職務執行停止を受けた者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
32	後見監督人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
33	後見監督人の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
34	後見監督人の国籍	K(50)	無	無	
34-1	後見監督人の国籍・地域	K(50)	無	無	
35	後見監督人の生年月日	9(8)	無	無	
36	後見代行者	K(30)	無	無	
37	後見代行者の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
38	後見代行者の国籍	K(50)	無	無	
38-1	後見代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
39		後見代行者の生年月日	9(8)	無	無	
40	後見監督代行	後見監督代行者	K(30)	無	無	
41		後見監督代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
42		後見監督代行者の国籍	K(50)	無	無	
42-1		後見監督代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	
43		後見監督代行者の生年月日	9(8)	無	無	
44	財産管理	財産管理者	K(30)	無	無	
45		財産管理者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
46		財産管理者の国籍	K(50)	無	無	
46-1		財産管理者の国籍・地域	K(50)	無	無	
47		財産管理者の生年月日	9(8)	無	無	
48	届出	届出日	9(8)	無	無	
49		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
50		記録嘱託日	9(8)	無	無	
51	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
52		受理者	K(50)	無	無	
53	許可	許可日	9(8)	無	無	
54		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
55		許可を受けた者	K(50)	無	無	
56	記録	記録日	9(8)	無	無	
57	特記	特記事項	K(100)	無	無	

*1 項番1「禁治産宣告の裁判確定日」が記録された場合、事件発生日は項番2「後見人就職日」となり、項番2は必ず記録される.

*2 項番5「後見人更迭事由の発生日」が記録された場合、事件発生日は項番10「後任の後見人就職日」となり、項番10は必ず記録される.

*3 項番6「後見監督人更迭事由の発生日」が記録された場合、事件発生日は項番11「後任の後見監督人就職日」となり、項番11は必ず記録される.

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･保佐）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1501					

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	保佐 準禁治産宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	*1
2	保佐人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 1/11
3	保佐人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	*2
4	更迭事由	K(50)	無	無	
5	前任の保佐人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
6	後任の保佐人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 2/11
7	保佐終了日	9(8)	無	無	事件発生日 3/11
8	保佐人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/11
9	保佐人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 5/11
10	保佐人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 6/11
10-1	保佐人職務執行停止の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 6-1/11
10-2	保佐代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 6-2/11
11	財産管理者による保佐命令発効日	9(8)	無	無	事件発生日 7/11
12	財産管理者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 8/11
13	財産管理者による保佐命令失効日	9(8)	無	無	事件発生日 9/11
14	保佐人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 10/11
15	保佐代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 11/11
16	保佐人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
17	保佐人の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
18	保佐人の国籍	K(50)	無	無	
18-1	保佐人の国籍・地域	K(50)	無	無	
19	保佐人の生年月日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･保佐）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1501					

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
20	職務執行停止	職務執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
21	保佐代行	保佐代行者	K(30)	無	無	
22		保佐代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
23		保佐代行者の国籍	K(50)	無	無	
23-1		保佐代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	
24		保佐代行者の生年月日	9(8)	無	無	
25	財産管理	財産管理者	K(30)	無	無	
26		財産管理者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
27		財産管理者の国籍	K(50)	無	無	
27-1		財産管理者の国籍・地域	K(50)	無	無	
28		財産管理者の生年月日	9(8)	無	無	
29	届出	届出日	9(8)	無	無	
30		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
31		記録嘱託日	9(8)	無	無	
31-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
32		送付を受けた日	9(8)	無	無	
33		受理者	K(50)	無	無	
34	許可	許可日	9(8)	無	無	
35		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
36		許可を受けた者	K(50)	無	無	
37	記録	記録日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名
戸籍（身分事項欄項目･保佐）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1501					

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
38	特記	特記事項	K(100)	無	無	

*1 項番1「準禁治産宣告の裁判確定日」が記録された場合、事件発生日は項番2「保佐人就職日」となり、項番2は必ず記録される.

*2 項番3「保佐人更迭事由の発生日」が記録された場合、事件発生日は項番6「後任の保佐人就職日」となり、項番6は必ず記録される.

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・死亡/死亡者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1601				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	死亡	死亡日	9(8)	無	無	(事件発生日)
2		死亡時分				
		推定区分	K(2)	無	無	"推定"のみ
		午前午後区分	X(1)	無	無	
		死亡時分	9(4)	無	無	
		午前午後区分(終期)	X(1)	無	無	
		死亡時分(終期)	9(4)	無	無	
3		死亡日時	K(50)	無	無	
4		死亡地	K(30)	無	無	
5		死亡区分	K(3)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	
7		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8		航海日誌謄本提出日	9(8)	無	無	
9		報告日	9(8)	無	無	
10		報告者	K(50)	無	無	
10-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
11		送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		受理者	K(50)	無	無	
13	許可	許可日	9(8)	無	無	
14		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
15		許可を受けた者	K(50)	無	無	
16	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

事件発生日
「死亡日」から設定する

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･死亡/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1602				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の死亡	配偶者の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日
2	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	記録	記録日	9(8)	無	無	
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･死亡/高齢者消除）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1603				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	高齢者消除	高齢者消除の許可日	9(8)	無	無	事件発生日
2	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・失踪宣告/失踪者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1701				

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失踪宣告	死亡とみなされる日	9(8)	無	無	
2		失踪宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・失踪宣告/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1702				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の失踪宣告	配偶者の死亡とみなされる日	9(8)	無	無	事件発生日
2	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	記録	記録日	9(8)	無	無	
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･復氏/復氏者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1801				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	復氏	婚姻前の氏に復した日	9(8)	無	無	事件発生日
1-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
2		送付を受けた日	9(8)	無	無	
3		受理者	K(50)	無	無	
4	許可	許可日	9(8)	無	無	
5		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		許可を受けた者	K(50)	無	無	
7	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
8	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
10	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
11		復する氏	K(30)	無	無	
12		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･復氏/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1802					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･姻族関係終了）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:1901					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	姻族関係終了	死亡配偶者の親族との姻族関係終了日	9(8)	無	無	事件発生日
2		死亡配偶者氏名	K(30)	無	無	
3		死亡配偶者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4		死亡配偶者の国籍	K(50)	無	無	
4-1		死亡配偶者の国籍・地域	K(50)	無	無	
4-2	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･推定相続人廃除）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	推定相続人廃除	推定相続人廃除の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		推定相続人廃除の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
3		被相続人				
		続柄	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・入籍/入籍者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	届出日	9(8)	無	無	事件発生日
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3		除籍事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
6-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
7		送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16		称する氏	K(30)	無	無	
17		復する氏	K(30)	無	無	
18		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名
戸籍（身分事項欄項目・入籍/入籍者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・入籍/父又は母）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2102					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
4		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番12の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ・項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
5		除籍事由	K(50)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番4の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番12の【除籍日】=空白であること。					
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・入籍/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2103					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	届出による入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	届出による除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10		称する氏	K(30)	無	無	
11		復する氏	K(30)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目・分籍)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2201					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	分籍	分籍日	9(8)	無	無	事件発生日
1-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
2		送付を受けた日	9(8)	無	無	
3		受理者	K(50)	無	無	
4	許可	許可日	9(8)	無	無	
5		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		許可を受けた者	K(50)	無	無	
7	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
8	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
10	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・国籍取得/取得者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2301					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍取得	国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3	届出	届出人				
	届出	資格	9(3)	有	無	
	届出	資格名称	K(30)	無	無	
	届出	氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出人				
	届出	資格	9(3)	有	無	
	届出	資格名称	K(30)	無	無	
	届出	氏名	K(30)	無	無	
5	従前記録	取得の際の国籍	K(50)	無	無	
5-1	従前記録	取得の際の国籍・地域	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の氏名	K(30)	無	無	
6-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
7	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
8	送付	受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10	許可	許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11	許可	許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
	入籍戸籍	本籍	K(50)	無	無	
	入籍戸籍	筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
15	除籍	除籍事由	K(50)	無	無	
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	除戸籍	称する氏	K(30)	無	無	
18	除戸籍	入籍戸籍				
	除戸籍	本籍	K(50)	無	無	
	除戸籍	筆頭者	K(30)	無	無	
19	記録	記録日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・国籍取得/取得者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2301					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
20	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･国籍取得/父母）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2302					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	子の国籍取得	子の国籍取得日	9(8)	無	無	
2		子の氏名				
		続柄	9(3)	有	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3		子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	
7		除籍日	9(8)	無	無	
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ・項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
8-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特配事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･国籍取得/養父母）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2303					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子の国籍取得	養子の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
7		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ・項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
8-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･国籍取得/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2304					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の国籍取得	配偶者の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日①
2	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
3		入籍事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
5		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番14の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番5の【除籍日】≠空白であること。 ･項番5の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
6		除籍事由	K(50)	無	無	
7	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番5の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番14の【除籍日】=空白であること。					
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16		称する氏	K(30)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・国籍取得/子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2305					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	親の国籍取得	父の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		母の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		父の新本籍	K(50)	無	無	
4		母の新本籍	K(50)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・国籍取得/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2306					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養親の国籍取得	養父の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		養母の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		養父の新本籍	K(50)	無	無	
4		養母の新本籍	K(50)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/帰化者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2401					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	帰化	帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5	従前記録	帰化の際の国籍	K(50)	無	無	
5-1		帰化の際の国籍・地域	K(50)	無	無	
6		従前の氏名	K(30)	無	無	
6-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
7		送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	記録	記録日	9(8)	無	無	
13	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/父母）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2402					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	子の帰化	子の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		子の氏名				
		続柄	9(3)	有	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3		子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
7		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ・項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
8-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/養父母）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2403					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子の帰化	養子の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
7		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ・項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
8-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2404					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の帰化	配偶者の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日①
2	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
3		入籍事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
5		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番14の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番5の【除籍日】≠空白であること。 ･項番5の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
6		除籍事由	K(50)	無	無	
7	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番5の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番14の【除籍日】=空白であること。					
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16		称する氏	K(30)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2405					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	親の帰化	父の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		母の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		父の新本籍	K(50)	無	無	
4		母の新本籍	K(50)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2406					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養親の帰化	養父の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		養母の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		養父の新本籍	K(50)	無	無	
4		養母の新本籍	K(50)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/後見人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2407					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	後見人の帰化	後見人の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2		後見人				
		氏名	K(30)	無	無	
3		後見人の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
3-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
4		送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･帰化/保佐人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2408					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	保佐人の帰化	保佐人の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2		保佐人				
		氏名	K(30)	無	無	
3		保佐人の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・国籍喪失/喪失者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2501					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍喪失	国籍喪失日	9(8)	無	無	事件発生日
2		喪失時の外国籍	K(50)	無	無	
2-1		喪失時の外国籍・地域	K(50)	無	無	
3		喪失事由	K(50)	無	無	
4	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
5	届出	届出日	9(8)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8		報告日	9(8)	無	無	
9		報告者	K(50)	無	無	
9-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
10		送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		受理者	K(50)	無	無	
12	許可	許可日	9(8)	無	無	
13		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
14		許可を受けた者	K(50)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･国籍喪失/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2502					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の国籍喪失	配偶者の国籍	K(50)	無	無	
1-1		配偶者の国籍・地域	K(50)	無	無	
2	許可	許可日	9(8)	無	無	
3		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		許可を受けた者	K(50)	無	無	
5	記録	記録日	9(8)	無	無	
6	特記	特記事項	K(100)	無	無	

事件発生日なし

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・国籍選択）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2601					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍選択	国籍選択の宣言日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･外国国籍喪失）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2701					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失外国国籍喪	外国籍喪失日	9(8)	無	無	事件発生日
2		喪失した外国籍	K(50)	無	無	
2-1		喪失した外国籍・地域	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(8)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･名の変更）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3201					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	名の変更	名の変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	従前記録	従前の記録	――――――	――――――	――――――	
		【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【名】~~XX~~ 某…… 必須. 【名の振り仮名】某……名の振り仮名変更が名と同時にされた場合に記録. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		名	K(200)	無	無	
		名の振り仮名	K(200)	無	無	
9-1	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･就籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3401					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	就籍	就籍許可の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 1/4
2		就籍許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/4
3		国籍存在確認の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 3/4
4		親子関係存在確認の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/4
5	届出	届出日	9(8)	無	無	
6		就籍届出日	9(8)	無	無	
7		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･名の振り仮名の記録)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:4601					

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	名の変更	届出日	9(　8)	無	無	
2	届出	届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
4	送付	通知を受けた日	9(　8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(　8)	無	無	
6		受理者	K(　50)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･名の振り仮名の変更)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:4801					

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	名の変更	名の振り仮名変更日	9(　8)	無	無	
		名の振り仮名変更の事由	K(　30)	無	無	家裁の許可あり →’戸籍法107条の4の届出’ 家裁の許可なし →’令和５年法律第○号附則第１２条の届出’
2	届出	届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　210)	無	無	
4	送付	通知を受けた日	9(　8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(　8)	無	無	
6		受理者	K(　50)	無	無	
7	許可	許可日	9(　8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
10	従前記録	従前の記録	――――――	――――	――――	
		【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【名の振り仮名】某…… 名の振り仮名変更の【従前の記録】は【名の振り仮名】のみ。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		名の振り仮名	K(　200)	無	無	
11	記録	記録日	9(　8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(　100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸73条の2/事件本人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0701					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法73条の2の届出'
2-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
3		送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸73条の2/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0702					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸69条の2/事件本人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0801					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法69条の2の届出'
2-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
3		送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸69条の2/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0802					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸77条の2/事件本人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法77条の2の届出'
2-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
3		送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸77条の2/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1102					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸75条の2/事件本人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1201					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法75条の2の届出'
2-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
3		送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸75条の2/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1202					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸107条2項）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2901					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法107条2項の届出'
2-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
3		送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		変更後の氏	K(30)	無	無	
12-1		変更後の氏の振り仮名	K(200)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸107条3項）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法107条3項の届出'
2-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
3		送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		変更後の氏	K(30)	無	無	
12-1		変更後の氏の振り仮名	K(200)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸107条3項/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:3002				

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・戸107条4項）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法107条4項の届出'
3	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
11	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14		変更後の氏	K(30)	無	無	
14-1		変更後の氏の振り仮名	K(200)	無	無	
15	記録	記録日	9(8)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･養子縁組取消し/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3501					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組取消し	縁組取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養父氏名	K(30)	無	無	
3		養母氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
14	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
18	記録	記録日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名
戸籍（身分事項欄項目･養子縁組取消し/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3501					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･養子縁組取消し/養親）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3502					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組取消し	縁組取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･養子縁組取消し/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3503					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・養子離縁取消し/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3601					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子離縁取消し	離縁取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養父氏名	K(30)	無	無	
3		養母氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
14	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
18	記録	記録日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名
戸籍（身分事項欄項目･養子離縁取消し/養子）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3601					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･養子離縁取消し/養親）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3602					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子離縁取消し	離縁取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
7-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
8		送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･養子離縁取消し/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3603					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･婚姻取消し）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3701					

No.		項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚姻取消し	婚姻取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸75条2項により検察官が婚姻取消の訴を提起し、裁判確定後に婚姻取消の記載請求をした場合に記録する				
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
12	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
14	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
15		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	記録	記録日	9(8)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･離婚取消し）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3801					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	離婚取消し	離婚取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
4-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
5		送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
11	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
13	除戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	記録	記録日	9(8)	無	無	
15	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･失踪宣告取消し/取消者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3901					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失踪宣告取消し	失踪宣告取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
4		送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	消除	消除日	9(8)	無	無	
10		消除事項	K(30)	無	無	'失踪事項'
11	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	

先の失踪宣告の記録を消除する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表示する際には段落ちで表示.
【死亡とみなされる日】平成7年‥
【失踪宣告の裁判確定日】平成7年‥
【届出日】平成7年‥
【届出人】親族‥

〵 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･失踪宣告取消し/配偶者）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3902					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の失踪宣告	消除日	9(8)	無	無	事件発生日
2	許可	許可日	9(8)	無	無	
3		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		許可を受けた者	K(50)	無	無	
5	消除	消除事項	K(30)	無	無	'配偶者失踪の事項'
6	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	

先の配偶者失踪宣告の記録を消除する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表示する際には段落ちで表示.
【配偶者の死亡とみなされる日】平成7年‥
〳
【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

7	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目･推定相続人廃除取消し）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:4001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	推定相続人廃除取消し	推定相続人廃除取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		推定相続人廃除取消しの調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
3		被相続人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	消除	消除事項	K(30)	無	無	’推定相続人廃除事項’
13	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

先の推定相続人廃除の記録を消除する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表示する際には段落ちで表示.
【推定相続人廃除の裁判確定日】平成7年‥
【被相続人】父‥
【届出日】平成7年‥
【届出人】父
〉
【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目･未成年者の後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:4101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年者の後見	未成年後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 1/32
2		未成年後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 2/32
3		未成年後見人選任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 3/32
4		未成年後見監督人選任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/32
5		未成年者の後見開始事由	K(50)	無	無	
6		未成年後見人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	*1
7		未成年後見監督人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	*2
8		更迭事由	K(50)	無	無	
9		前任の未成年後見人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
10		前任の未成年後見監督人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
11		後任の未成年後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 5/32
12		後任の未成年後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 6/32
13		未成年後見人地位喪失事由の発生日	9(8)	無	無	事件発生日 7/32
14		未成年後見監督人地位喪失事由の発生日	9(8)	無	無	事件発生日 8/32
15		地位喪失事由	K(50)	無	無	
16		未成年者の後見終了日	9(8)	無	無	事件発生日 9/32
17		未成年者の後見監督終了日	9(8)	無	無	事件発生日 10/32
18		未成年後見人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 11/32
19		未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 12/32
20		未成年後見人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 13/32
21		未成年後見監督人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 14/32
22		未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 15/32
22-1		未成年後見人職務執行停止の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 15-1/32
22-2		未成年後見代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 15-2/32
23		未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 16/32

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目･未成年者の後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:4101					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
23-1	未成年後見監督人職務執行停止の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 16-1/32
23-2	未成年後見監督代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 16-2/32
24	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 17/32
25	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 18/32
26	未成年後見代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19/32
27	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 20/32
28	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 21/32
29	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 22/32
30	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 23/32
31	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 24/32
32	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 25/32
33	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 26/32
34	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 27/32
35	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 28/32
36	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 29/32
37	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 30/32
38	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 31/32
39	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 32/32

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目･未成年者の後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:4101					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
40	未成年後見人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
41	未成年後見人の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
42	未成年後見人の国籍	K(50)	無	無	
42-1	未成年後見人の国籍・地域	K(50)	無	無	
43	未成年後見人の生年月日	9(8)	無	無	
44	未成年後見人の住所				
	住所	K(50)	無	無	
45	辞任した未成年後見人				
	資格	9(3)	無	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
46	解任された未成年後見人				
	資格	9(3)	無	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
47	職務執行停止 職務執行停止を受けた者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目･未成年者の後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:4101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
48	未成年者の後見監督	未成年後見監督人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
49		未成年後見監督人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
50		未成年後見監督人の国籍	K(50)	無	無	
50-1		未成年後見監督人の国籍・地域	K(50)	無	無	
51		未成年後見監督人の生年月日	9(8)	無	無	
52		未成年後見監督人の住所				
		住所	K(50)	無	無	
53		辞任した未成年後見監督人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
54		解任された未成年後見監督人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
55	未成年者の後見代行	未成年後見代行者	K(30)	無	無	
56		未成年後見代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
57		未成年後見代行者の国籍	K(50)	無	無	
57-1		未成年後見代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	
58		未成年後見代行者の生年月日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目･未成年者の後見）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:4101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
59	未成年者の後見監督代行	未成年後見監督代行者	K(30)	無	無	
60		未成年後見監督代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
61		未成年後見監督代行者の国籍	K(50)	無	無	
61-1		未成年後見監督代行者の国籍・地域	K(50)	無	無	
62		未成年後見監督代行者の生年月日	9(8)	無	無	
63	届出	届出日	9(8)	無	無	
64		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
65		記録嘱託日	9(8)	無	無	
65-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
66		送付を受けた日	9(8)	無	無	
67		受理者	K(50)	無	無	
68	許可	許可日	9(8)	無	無	
69		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
70		許可を受けた者	K(50)	無	無	
71	従前記録	従前の記録	K(500)	無	無	
72	記録	記録日	9(8)	無	無	
73	特記	特記事項	K(100)	無	無	

未成年後見(監督)人の財産に関する権限が取消され、先の財産の権限に関する記録を消除する際に記録する。
(例)
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
【未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日】平成24年‥
【未成年後見人】‥
【記録嘱託日】平成24年‥
〉
【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

*1 項番6「未成年後見人更迭事由の発生日」が記録された場合、事件発生日は項番11「後任の未成年後見人就職日」となり、項番11は必ず記録される。
*2 項番7「未成年後見監督人更迭事由の発生日」が記録された場合、事件発生日は項番12「後任の未成年後見監督人就職日」となり、項番12は必ず記録される。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成12年 3月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目・国籍取得/未成年後見人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2309					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年後見人の国籍取得	未成年後見人の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日
2		未成年後見人				
		氏名	K(30)	無	無	
3		未成年後見人の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
3-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
4		送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成12年 3月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項項目･帰化/未成年後見人）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2409					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年後見人の帰化	未成年後見人の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2		未成年後見人				
		氏名	K(30)	無	無	
3		未成年後見人の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
3-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
4		送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕訂正系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
50	訂正	5001	訂正	5001	基本事項の訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の訂正の記録 ・本籍、筆頭者
							身	個人特定事項の訂正の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の訂正
		5002	②訂正	(5001)	基本事項の訂正の記録 ⇒訂正事項は記録しない	×	戸	戸籍事項の訂正の記録
							身	身分事項の訂正の記録 (インデックスの追加、削除、訂正)
		5011	文字訂正	5011	基本事項の文字訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字訂正の記録　※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字訂正の記録 ・戸籍事項中、氏及び名(筆頭者)
							身	身分事項の文字訂正の記録　※2 ・身分事項中、氏及び名
		5012	文字関連訂正	(5011)	文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字訂正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の訂正の記録　※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1、※2の文字訂正による個人特定事項の訂正の記録　※4 ・(養)父母氏名の訂正事項
		5013	②文字関連訂正	(5011)	文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1、※2の文字訂正による基本事項中、氏名の訂正の記録　※5
		5014	②文字訂正	(5011)	基本事項の文字訂正の記録	×	身	身分事項の文字訂正の記録　※2 ・身分事項中、氏及び名
51	記録	5101	記録	5101	基本事項の記録	×	身	個人特定事項の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄
		5102	②記録	(5101)	基本事項の記録	×	戸	戸籍事項の記録
							身	身分事項の記録
52	消除	5201	消除	5201	基本事項の消除の記録	×	戸	戸籍事項の消除の記録
							身	個人特定事項の消除の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄身分事項の消除の記録
53	移記	5301	移記	5301	移記による基本事項の消除の記録	×	身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記前の戸籍の記録)
		5302	②移記	(5301)	移記による基本事項の記録	×	身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の記録 (移記後の戸籍の記録)

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕訂正系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
54	入籍	5401	入籍	5401	入籍の記録	×	身	嫡出否認等による入籍の記録 ※ 皇室典範11条･13条による入籍の記録
		5402	子の入籍	5402	子の入籍による(養)父母の入除籍の記録	×	身	※の際に、子の入籍となる(養)父母の入除籍の記録
55	除籍	5501	除籍	5501	除籍の記録	×	身	嫡出否認等による除籍の記録
56	回復	5601	回復	5601	回復の記録	×	身	除籍事項の回復の記録 転籍により除籍となっている場合の回復の記録
57	引取り	5701	引取り	5701	棄児引取りによる出生事項の消除の記録	×	身	棄児の引取りによる戸籍訂正の申請があった場合の記録　(18)
58	子の復籍	5801	子の復籍	5801	子の復籍による父母の入除籍の記録	×	身	子の復籍により3代戸籍となる場合の父母の入除籍の記録

*1：‘戸’→　戸籍事項への記録　‘身’→　身分事項への記録
②：タイトルの表示の際に、2段(2カラム)右に下げて表示する。

※1：氏の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・氏の文字訂正した者の(養)子：(養)父母の氏の訂正 ……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者：婚姻事項中、配偶者の氏の訂正 ……※5
・氏の文字訂正した者の養子：養子縁組中、養親の氏の訂正 ……※5
　他に、認知事項等もあり。
・同一呼称上の氏：(養)父母の氏の訂正 ……※4
・同一呼称上の氏：身分事項中の氏の訂正 ……※5

※2：名の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示：筆頭者の名の訂正 ……※3
　⇨　名の文字を訂正した者が筆頭者の場合
・名の文字訂正した者の(養)子：(養)父母の名の訂正 ……※4
・配偶者：婚姻事項中、配偶者の名の訂正 ……※5
・名の文字訂正した者の養子：養子縁組中、養親の名の訂正 ……※5
　他に、認知事項等もあり。

事件コード ： 50～57の「受付事件コード」は通常訂正系の「受付事件コード」となる。
訂正(市区町村長職権)
訂正(24条2項)
訂正(113条)
訂正(114条)
訂正(116条)
ただし、54、55、56の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる場合もある。

事件コード ： 58の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる。

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成16年7月16日	8.2

適用業務名

身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕　　更正系

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
70	更正	7001	更正	7001	基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 →行政区画変更 →行政区画の名称変更等
							身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の更正
		7002	②更正	(7001)	更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中、届出人資格の更正の記録
		7003	性同一性障害	7003	性別変更の記録	○	身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母との続柄の更正
		7011	文字更正	7011	基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録　※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中、氏及び名(筆頭者)
							身	個人特定事項の文字更正の記録　※2 ・名
		7012	文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記録　※3 ・筆頭者の名
							身	※1、※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録　※4 ・(養)父母氏名の更正事項
		7013	②文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1.※2の文字更正による基本事項中、氏名の更正の記録　※5
		7014	②文字更正	(7011)	基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録　※2 ・身分事項中、氏及び名

※1 :氏の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・氏の文字更正した者の(養)子:(養)父母の氏の更正 ……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中、配偶者の氏の更正 ……※5
・氏の文字更正した者の養子:養子縁組中、養親の氏の更正 ……※5
他に、認知事項等もあり。
〔著しく差異のない字体の更正〕
・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の更正 ……※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の更正 ……※5

※2 :名の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示:筆頭者の名の更正 ……※3
⇒ 名の文字を更正した者が筆頭者の場合
・名の文字更正した者の(養)子:(養)父母の名の更正 ……※4
・配偶者:婚姻事項中、配偶者の名の更正 ……※5
・名の文字更正した者の養子:養子縁組中、養親の名の更正 ……※5
他に、認知事項等もあり。

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕追完系

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
80	追完	8001	追完	8001	基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍特定事項の追完訂正の記録 ・本籍、筆頭者
							身	個人特定事項の追完の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の追完
		8002	②追完	(8001)	基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍事項の追完の記録
							身	身分事項の追完の記録 (インデックスの追加、削除、訂正)

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕変更系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
90	外国人配偶者の国籍変更	9001	配偶者の国籍変更	9001	国籍変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中、外国人配偶者の国籍(【配偶者の国籍】)の変更事項
90	外国人配偶者の国籍・地域変更	9002	配偶者の国籍・地域変更	9002	国籍・地域変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中、外国人配偶者の国籍・地域(【配偶者の国籍・地域】)の変更事項
91	外国人配偶者の氏名変更	9101	配偶者の氏名変更	9101	氏名変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中、外国人配偶者の氏名(【配偶者氏名】)の変更事項

事件名は訂正(市区町村長)となる.

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･訂正）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	訂正	訂正日	9(8)	無	無	事件発生日
2		訂正事項	K(30)	無	無	
3		訂正事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 戸籍(身分)事項中のインデックスを訂正、消除する場合に使用する。 個人特定事項中のタイトルを訂正、消除する場合に使用する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
15	記録内容	記録の内容	X(500)	無	無	
		(例) 戸籍(身分)事項中のインデックスを記録する場合に使用する。 個人特定事項中のタイトルを記録する場合に使用する。 【記録の内容】……【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･文字訂正/文字関連訂正）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5011					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	訂正	訂正日	9(8)	無	無	事件発生日
2	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
	(例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父】甲野 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。					
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･記録）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2		記録事項	K(30)	無	無	
3		記録事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	関連	関連訂正事項	K(30)	無	無	’父母との続柄’
		父欄を記録の際に【父母との続柄】を訂正する場合に記録する。項番15も記録する。				
15	従前記録	従前の記録	-	-	-	
		(例) 父母欄を記録する際に、続柄を訂正する場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父母との続柄】男(女)……父欄を記録する際の【従前の記録】は【父母との続柄】のみ。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		父母との続柄	K(5)	無	無	’男’または’女’

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･記録）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5101					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
16	記録内容	記録の内容	-	-	-	
		(例) 父母欄を記録する際に、続柄を訂正する場合に記録する。 個人特定事項を訂正、消除する場合に記録する。 【記録の内容】……【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父】何某 (例) 氏の振り仮名の職権記録、名の振り仮名の職権記録を記録する。 【記録の内容】……【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏の振り仮名】何某 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		父	K(210)	無	無	
		母	K(210)	無	無	
		養父	K(210)	無	無	
		養母	K(210)	無	無	
		養父母との続柄	K(5)	無	無	'養子'または'養女'
		氏の振り仮名	K(200)	無	無	
		名の振り仮名	K(200)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･消除）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5201					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	消除	消除日	9(8)	無	無	事件発生日
2		消除事項	K(30)	無	無	
3		消除事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	消除戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	回復戸籍	回復後の戸籍				第10版にて修正
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	関連	関連訂正事項	K(30)	無	無	’父母との続柄’
		父欄を消除の際に【父母との続柄】を訂正する場合に記録する。項番17も記録する。				

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･消除）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5201					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･移記）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5301					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	移記	移記日	9(8)	無	無	事件発生日
2		移記事項	K(30)	無	無	
3		移記事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	移記戸籍	移記前の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15		移記後の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 移記により基本事項を消除する場合に使用する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目・入籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5401					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日
2		入籍事項	K(30)	無	無	
3		入籍事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目・子の入籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5402					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･除籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5501					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日
2		除籍事項	K(30)	無	無	
3		除籍事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	除戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15		新本籍	K(50)	無	無	
16	従前記録	従前の記録	K(500)	無	無	
		(例) 基本事項を消除し、除籍となる場合に使用する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･回復）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5601					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	回復	回復日	9(8)	無	無	事件発生日
2		回復事項	K(30)	無	無	
3		回復事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･引取り）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5701					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	引取り	引取日	9(8)	無	無	事件発生日
2		引取人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
3		引取人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4		引取人氏名	K(30)	無	無	
5		申請日	9(8)	無	無	
6		消除事由	K(30)	無	無	'引取り'
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･子の復籍）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:5801					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
4		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
	許可記載の際に記載〔受理指示、記載遅延等の際の記載は項番12の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ･項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
5		除籍事由	K(50)	無	無	
5-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	通知又は送付がある場合に記載する。除籍には記載し新戸籍には記載しない。
6		送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記載〔許可記載の際の記載は項番4の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番12の【除籍日】=空白であること。					
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･更正）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:7001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	更正	更正日	9(8)	無	無	
2		更正事項	K(30)	無	無	
3		更正事由	K(50)	無	無	
4	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
	(例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父】甲野義太郎 ～ 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。					
5	記録内容	記録の内容	X(500)	無	無	
	(例) 戸籍(身分)事項中のインデックスを記録する場合に使用する。 個人特定事項中のタイトルを記録する場合に使用する。 【記録の内容】……【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。					
5	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成16年 7月16日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（身分事項欄項目・平成15年法律第111号3条）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:7003					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	更正	平成15年法律第111号3条による裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		平成15年法律第111号3条による裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
3	届出	記録嘱託日	9(8)	無	無	
4	入籍戸籍	従前戸籍	——	——	——	
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
5	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	——	——	——	
		(例) 続柄を訂正する場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父母との続柄】長男(長女) 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		父母との続柄	K(5)	無	無	'長男'・'長女'等
		養父母との続柄	K(5)	無	無	'養子'または'養女'
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･文字更正/文字関連更正）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:7011					

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	更正	更正日	9(8)	無	無	
2	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】甲野 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目・追完）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:8001					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	追完	追完日	9(8)	無	無	
2		追完の内容	K(30)	無	無	
3		追完事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6-1	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
7		送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
13	入籍戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14		新本籍	K(50)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	除戸籍	除籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍（戸籍/身分事項欄項目･追完）

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇒戸籍/身分事項記録コード:8001					

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	従前記録 従前の記録	X(500)	無	無	
	(例) 基本事項中のインデックスを訂正、消除する場合に使用する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
18	記録内容 記録の内容	X(500)	無	無	
	(例) 基本事項中のインデックスを記録する場合に使用する。 【記録の内容】……【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【出生日】平成7年‥ ～ 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
19	特記 特記事項	K(100)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･配偶者の国籍変更)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:9001					

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2	変更	変更事由	K(50)	無	無	
3		変更後の国籍	K(50)	無	無	
4	特記	特記事項	K(100)	無	無	

「記録日」は移記されないので、事件発生日がない場合もある。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日		2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･配偶者の国籍・地域変更)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:9002					

No.	項目名		タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2	変更	変更事由	K(50)	無	無	
3		変更後の国籍・地域	K(50)	無	無	
4	特記	特記事項	K(100)	無	無	

「記録日」は移記されないので、事件発生日がない場合もある。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(身分事項欄項目･配偶者の氏名変更)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:9101				

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2	変更	変更後の氏名	K(30)	無	無	
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	

「記録日」は移記されないので、事件発生日がない場合もある。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年3月31日		2.0
適用業務名			
除籍イメージ(共通)			

ファイル名：　除籍イメージ
目的：　電算化前の除籍等をイメージで登録したファイルである。

平成7年から各市区町村においてイメージ登録が実施されており、イメージの各種規定はイメージ登録の時期やベンダにより異なっている。登録済のイメージに関しては各市区町村で運用されていることから、登録済の規定はそのままとする。
しかし、今後画像の登録及び再登録を実施する場合は、次に定める規定で登録することとする。

ファイル形式：TIFF形式又はPDF形式とする。シングルページ、マルチページは任意とする。
PDF形式の場合は戸籍副本データ管理システムの規定を基本とする。（以降の規定は参考とする。）
※この形式が戸籍情報システムで取り扱えない場合は、システムで取り扱う独自形式を認めるが、戸籍情報システムでこの形式を取り扱う仕様変更に努めること。
用紙サイズ　：A4サイズを基本とするが、文字潰れ等の問題がある場合はA3サイズを認める。
解像度　　：400dpi以上
色深度　　：白と黒のモノクロ2値
圧縮形式　　：G4 FAX形式（MMR圧縮）

なお、技術等の変化又は標準化等により、上記規定が見直される場合がある。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年3月31日		2.0
適用業務名			
改製不適合戸籍(共通)			

ファイル名：　改製不適合戸籍

目的：　改製不適合戸籍の見出し情報を格納するファイルである。
※改製不適合戸籍は紙又はイメージで管理されている。

検索キー：　本籍および漢字氏名である。ただし、改製不適合戸籍番号と改製不適合戸籍個人番号も検索キーとなり得るが普通の検索には使用しない。

検索補助キー：　筆頭者および生年月日である。

改製不適合戸籍番号：　1つの改製不適合戸籍に1つの改製不適合戸籍番号を付加する。
筆頭者：　最新の筆頭者を格納し、履歴は管理しない。
本籍：　最新の本籍を格納し、履歴は管理しない。
本籍の持ち方は自由(コードと地番で分割、漢字のみ、市区町村名省略　等)。
前筆頭者：　筆頭者の直前の他の戸籍(同一管内)での筆頭者。

改製不適合戸籍個人番号：　1人の在籍者に1つの改製不適合戸籍個人番号を付加する。
カナ氏名：　最新の個人の氏と名をカナで格納する(氏と名に分割して格納も可)。履歴は管理しない。
漢字氏名：　最新の個人の氏と名を漢字で格納する(氏と名に分割して格納も可)。履歴は管理しない。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年3月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
改製不適合戸籍 (戸籍特定)	改製不適合戸籍番号、本籍コード	筆頭者	ディスク	DB	－

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	戸籍除区分	9(1)	有	無	9:改製不適合戸籍
2	改製不適合戸籍番号	9(10)	無	無	
3	筆頭者	K(210)	無	無	
4	筆頭者カナ氏名	K(100)	無	無	[任意]
5	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	X(20)	有	無	[任意]
7	本籍	K(100)	無	無	
8	記録人数	9(3)	無	無	改製不適合戸籍の全人数
9	前筆頭者	K(100)	無	無	
10	前筆頭者カナ氏名	K(100)	無	無	[任意]
11	編製日	9(8)	無	無	
12	消除日	9(8)	無	無	空白
13	廃棄年月日	9(8)	無	無	空白
14	焼失事由区分	9(1)	有	無	0：焼失無し
15	訂正区分	9(1)	有	無	[任意] 0：訂正無し 1：訂正有り
16	訂正年月日	9(8)	無	無	[任意]
17	更新日	9(8)	無	無	YYYYMMDD（西暦）形式で設定
18	更新時間	9(8)	無	無	HHMMSS（２４時間）形式で設定＋「00」

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年3月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
改製不適合戸籍 (個人特定)	改製不適合戸籍個人番号、漢字氏名	生年月日	ディスク	DB	－

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	改製不適合戸籍個人番号	9(10)	無	無	
2	戸籍除区分	9(1)	有	無	9:改製不適合戸籍
3	改製不適合戸籍番号	9(10)	無	無	
4	行番号	9(3)	無	無	履歴番号
5	戸籍記録順位番号	9(3)	無	無	改製不適合戸籍内の個人記録順序
6	漢字氏名	K(210)	無	無	
7	カナ氏名	K(100)	無	無	[任意]
8	生年月日	9(8)	無	無	
9	父母との続柄	9(2)	無	無	父母との続柄。養子の場合は，養父母との続柄。
10	除籍日	9(8)	無	無	
11	更新日	9(8)	無	無	YYYYMMDD（西暦）形式で設定
12	更新時間	9(8)	無	無	HHMMSS（２４時間）形式で設定＋「00」

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル： 受付

目的： 受付帳と発収簿の一部(管轄法務局へ照会をするもの)の情報を格納するファイルである。
届出事件で受領したものすべてについてレコードを作成する(不受理、受理照会、処理照会、返戻、取下げ、保留、受領処分の撤回の事件についても作成する)。

検索キー： 受領番号、振り仮名、漢字氏名、生年月日、受付日、処分区分である。
検索補助キー： 事件コード、受理送付区分および渉外区分である。

受領番号： 1つの受付事件に1つの受領番号を付加する。
受領番号の内訳は番号取得ファイルで説明したとおりであるが、履歴が発生する場合があるので、その管理として最終1桁を枝番として付加する。
受付事件コード： 受付帳での事件コード(離婚の場合、「協議離婚」「調停離婚」「裁判離婚」を区別するため)。
受付日： 自庁に届出された日(受領日)または他市町村(在外公館)から届書が送られてきた日(送付日)。
事件発生日： 報告的届出の場合に記録し、創設的届出の場合は記録しない。
①出生、死亡はその事件が発生した日
②日本及び外国での裁判が確定した日(裁判確定日、調停成立日)
③外国の方式又は外国の裁判により成立した事件で証書の提出があった場合(証書提出日 etc.)
事件発生時分： 規則21条に規定されている、死亡した時分(死亡時分が明確な場合)。
発送日： 受理した届書を他市区町村に送付した日(発送日の設定方法は任意設計)。
戸籍情報連携システムへの送信も同様であり、この場合発送日を送信日とみなす。
※受付ファイルの画面表示や帳票出力において名称(発送日、送信日)を分けること。
発日： 管轄法務局に照会書を送付した日。
収日： 管轄法務局から指示書が到達した日。
指示日： 受理照会、処理照会に対する回答を管轄法務局が指示した日。
許可日： 管轄法務局に職権記載の許可を求め、その許可がおりた日。
関連受領番号： 追完、訂正等、既に受領済みの他の届出事件に関連する届が出されたとき、その関連する受領番号を設定する項目。
(ex.)既に受領済みの他の届出事件(受領番号100)に対する追完届(今回の受領番号200)が受領されたとき、受領番号100の関連受領番号に200を、受領番号200の関連受領番号に100を各々設定する。

届出人資格区分： 事件本人以外が届出人となった場合にその届出人の資格を格納する。
届出人氏名： 上記の届出人氏名を格納する。
処分区分： 届出の審査結果を格納する。
決裁区分： 決裁内容を格納する。
事件本人区分： 事件における事件本人の名称(養子であるか養父であるか 等)を格納する。
渉外区分： 渉外事件(昭和59年11月1日民二5500通達を含む)か外国人の事件かを区別する。
本籍： 事件本人の現本籍を格納する。
筆頭者： 事件本人の現本籍の筆頭者を格納する。
届後本籍： 事件本人が現本籍から異動する場合の届出後本籍(新戸籍、戻る戸籍 等)を格納する。
※死亡で日または時分が明確でない場合(推定の死亡日、死亡時分)に死亡日時を格納する。
送達確認1： 届後本籍地に送付する送達確認区分である。
送達確認2： 現本籍地に送付する送達確認区分である。
証書提出区分： 戸籍法41条に係わる届か、通常の届出かを区別する。
外国の方式又は外国の裁判により成立した事件で証書の提出があった場合に1(法41条証書提出)、それ以外は0(届出)を設定する。
送付目録区分： 管轄法務局に届書の送付が必要か否かを区別する。
①本籍分の届出(本非区分=1)の場合は1(送付要)を設定する。
ただし、本籍分の届出であっても自庁内の戸籍への記録がない場合は0(送付不要)を設定する。
②非本籍分の届出(本非区分=2)であっても自庁内の戸籍に記録する場合は1(送付要)を設定する。
③非本籍分の届出(本非区分=2)であり、自庁内の戸籍への記録もない場合は0(送付不要)を設定する。
審査不可区分： 改正国籍法前に外国人と婚姻し、(養)父母の戸籍にとどまっている者に1を設定する。
昭和32年法務省令による改製作業における筆頭者の申出をした者に2を設定する。

履歴発生要因： 受付帳作成後に項目を修正(便宜訂正通知による 等)する場合：「受付ファイル更新」参照
処分決定後、処分区分に変更があった場合。
決裁で『誤処理』とされた場合に再作成された受付帳。「処分決定」参照

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
受付(受付)	受領番号、受付日、処分区分	事件コード、 渉外区分	ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(10)	無	無	西暦年4バイト+受領番号5バイト+枝番1バイト
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	受付事件コード	9(4)	有	無	受付帳での事件コード
4	受付日	9(8)	無	無	
5	事件発生日	9(8)	無	無	
6	事件発生時分	9(4)	無	無	
7	事件発生日時	K(50)	無	無	未使用項目
8	受理送付区分	9(1)	有	無	1:受理 2:送付 3:通知
9	本非区分	9(1)	有	無	1:本籍分届 2:非本籍分届
10	渉外区分	9(1)	有	無	0:- 1:渉外 2:外国
11	発送日	9(8)	無	無	
12	郵送日	9(8)	無	無	
13	発日	9(8)	無	無	
14	収日	9(8)	無	無	
15	指示日	9(8)	無	無	
16	許可日	9(8)	無	無	
17	関連受領番号	9(9)	無	5	受領番号上9バイト
18	届出人資格区分1	9(3)	有	無	届出人が本人の場合は入力無し
19	届出人資格名称1	K(30)	無	無	
20	届出人氏名1	K(30)	無	無	
21	届出人資格区分2	9(3)	有	無	
22	届出人資格名称2	K(30)	無	無	
23	届出人氏名2	K(30)	無	無	
24	届後本籍区分	9(1)	有	無	1:入籍 2:新戸籍編製
25	届後本籍コード	9(15)	有	無	
26	届後本籍	K(50)	無	無	
27	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
28	送達確認1	9(1)	有	無	届後本籍が非本なら1を設定(受理分のみ)
29	証書提出区分	9(1)	有	無	0:届出 1:証書提出
30	届書送付目録区分	9(1)	有	無	0:送付不要 1:送付要

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
受付(受付)	受領番号、受付日、処分区分	事件コード、 渉外区分	ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	処分区分	X(1)	有	無	
32	決裁区分	9(1)	有	無	0:未決裁 1:決裁 2:―― 3:修正 4:欠番

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
受付(事件本人)	受領番号、漢字氏名、振り仮名		ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ（桁数）	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(10)	無	無	西暦年4バイト+受領番号5バイト+枝番1バイト
2	行番号	9(1)	無	無	
3	事件本人区分	9(2)	有	無	
4	届出人区分	9(1)	有	無	0:事件本人が届出人でない 1:事件本人が届出人
5	カナ氏名	N(60)	無	無	
5-1	振り仮名	K(30)	無	無	
6	漢字氏名	K(30)	無	無	
7	生年月日	9(8)	無	無	
8	本籍コード	9(15)	有	無	
9	本籍	K(50)	無	無	
10	筆頭者	K(30)	無	無	
11	送達確認2	9(1)	有	無	現本籍が非本なら1を設定(受理分のみ) 但し外国の場合を除く

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　個人状態

目的：　指定された9区分に該当する個人に対してレコードを作成する。該当する区分が無くなったっときに
　　レコードを削除する。

個人番号：　該当する本責任の個人番号。

禁治産者区分：　禁治産者(成年被後見人も含む)であれば項目に1を設定する。

準禁治産者区分：　準禁治産者であれば項目に1を設定する。

裁判所通知区分：　裁判所からの確定通知があり、該当者がその届を未届の場合は項目に1を設定する。

胎児認知区分：　胎児認知の事件本人(日本人女または外国人女が相手の日本人男)であれば項目に1を設定する。

受理処理照会区分：　届が受理照会または処理照会となった事件の事件本人であれば項目に1を設定する。

保留区分：　届が保留となった事件の事件本人であれば項目に1を設定する。

注意喚起区分：　証明書発行抑止等の目的で設定する。
　　ＤＶ等支援措置の対象者は1を、その他の対象者は2を設定する。
　　注意喚起の情報はメモに記載する等の措置をとる。

氏の振り仮名職権記録区分：　氏の振り仮名が職権で記録された場合に在籍者全員に設定する。
　　1回に限り家庭裁判所の許可なく変更できる。

名の振り仮名職権記録区分：　名の振り仮名が職権で記録された場合に設定する。
　　1回に限り家庭裁判所の許可なく変更できる。

メモ：　個人に対するメモが必要な場合に記載する。

使用目的：　戸籍等記録事項証明書、広域交付、戸籍電子証明書の発行　⇒　注意喚起区分の情報を確認して
　　発行可否、マスキング等の対応を判断する。※副本検索の場合は、本籍地に確認する。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
個人状態	個人番号		ディスク	DB	

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	禁治産者区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
3	準禁治産者区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
4					2.0版で削除
5	裁判所通知区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
6					2.0版で削除
7	胎児認知区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
8	受理処理照会区分	9(1)	有	無	0:無 1:照会中
9	保留区分	9(1)	有	無	0:無 1:保留中
9-1	注意喚起区分	9(1)	有	無	0:無 1:ＤＶ支援措置対象者 2:その他注意喚起対象者
9-2	氏の振り仮名職権記録区分	9(1)	有	無	0:無 1:職権記録
9-3	名の振り仮名職権記録区分	9(1)	有	無	0:無 1:職権記録
10	メモ	K(150)	無	無	

禁治産者区分には、
成年被後見人も含む

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　不受理申出

目的：　不受理申出情報を格納するファイルである。
　　不受理申出が届出られたときにレコードを作成するが、申出が失効したときは直ちに削除することはできない(不受理申出期間内の該当届書が遅れて送付される可能性があるため)。

検索キー：　個人番号、整理番号

個人番号：　不受理申出を届出た本籍人の個人番号。
出張所番号：　出張所に届出られた場合に、その出張所番号を格納する項目(出張所に関係の無い市区町村は項目不要)。
不受理申出：　不受理の対象となる事件コードを格納する。
事件コード
失効区分：　1(終了)⇨　不受理の期間が経過した。
　　2(取下)⇨　不受理申出に対して取下書が提出された。
　　3(失効)⇨　不受理申出者が死亡(失踪)した。不受理該当事件が裁判等で確定した。等
相手方氏名：　不受理申出の対象となる人の氏名を格納する(最大2名)。
　　不受理申出の対象者が不特定多数の場合は、空白のまま。

※　1版では整理番号を持っていたが非本籍分の不受理申出処理をシステム外としたため、整理番号は無くした(番号取得ファイルの説明部分参照)。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理申出	個人番号、整理番号		ディスク	索引	200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	行番号	9(2)	無	無	
3	出張所番号	9(3)	有	無	
4	不受理申出事件コード	9(2)	有	無	
5	開始日(届出日)	9(8)	無	無	
6	送付日	9(8)	無	無	
7	失効日	9(8)	無	無	
8	失効区分	9(1)	有	無	1:終了 2:取下 3:失効
9	作成日(処理日)	9(8)	無	無	
10	相手方氏名1	K(30)	無	無	
11	相手方氏名2	K(30)	無	無	
12	予備	X(30)	——	——	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　届書

目的：　届書の入力内容を決裁終了まで保持する一時ファイルである。届書の再入力時には当ファイルから届書内容を読み込むことにより入力の軽減をはかる。
未決済一覧の出力および決裁でのバッチ処理にも使用する。

検索キー：　受領番号である。

受領番号：　1つの届書に1つの受領番号を付加する。
在外送付区分：　戸籍の届でを受けたもの(受理)であるか、送付されたものかを区別する区分である。
送付の届でもそれが日本国内の自治体で受理されたものか、在外公館で受理されたものか、在外公館で受理したものの国内の他自治体経由で送付されたものかを区別する。
渉外区分：　日本人のみの事件か、外国人を含む事件か、外国人のみの事件かを区別する項目である。
同時決裁受領番号：　1つの届書処理で受付帳が2件以上作成される場合に、2件目以降の受領番号を格納する。
ロック戸籍番号：　届書入力審査処理でロックした戸籍の番号を格納する。
不受理申出
処分区分：　当該届に対して不受理申出が届出られていた場合に、1(不受理)を設定する。
事件別内容：　各々の届独自の項目群である。
処分区分：　届出の審査結果を格納する。
決裁区分：　決裁内容を格納する。
届書排他区分：　届書ファイルを使用する場合に、処理が終了するまでそのレコードを使用中である旨の区分を設定する(システム排他が可能であれば本区分は不要)。

※　項目長についてはファイル仕様書と同じ長さにした。届書入力画面とは長さが異なるが、実際に画面を作成した長さと同じにしても構わない。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書	受領番号		ディスク	索引	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	選択事件コード	9(2)	有	無	
3	出張所番号	9(3)	有	無	
4	受領日	9(8)	無	無	
5	送付日	9(8)	無	無	
6	発送元	K(50)	無	無	
7	在外送付区分	9(1)	有	無	0:受理分の届 1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由 4:連携情報の通知
8	処理日	9(8)	無	無	
9	指示日	9(8)	無	無	
10	許可日	9(8)	無	無	
11	受理送付区分	9(1)	有	無	1:受理 2:送付 3:通知
12	本非区分	9(1)	有	無	1:本籍人 2･:非本籍人
13	郵送日	9(8)	無	無	
14	動態区分	9(1)	有	無	0:不要 1:要
15	届区分	9(1)	有	無	1:創設 2:報告
16	渉外区分	9(1)	有	無	0:- 1:渉外 2:外国
17	同時決裁受領番号	9(9)	無	5	
18	ロック戸籍番号	9(10)	無	5	
19	事件別内容	X(4000)	無	無	各事件ごとのファイル仕様書(別紙)参照
20	不受理申出処分区分	9(1)	有	無	
21	処分区分	9(1)	有	無	
22	決裁区分	9(1)	有	無	
23	届書排他区分	9(1)	有	無	0:未 1:排他

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(出生･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	出生証明書区分	9(1)	有	無	
2	出生子の振り仮名	K(30)	無	無	
3	出生子の漢字氏名	K(30)	無	無	
4	出生子の生年月日	9(8)	無	無	
5	出生子の出生区分	9(1)	有	無	
6	出生子の続柄コード	9(2)	有	無	
7	出生子の出生地コード	9(15)	有	無	
8	出生子の出生地	K(50)	無	無	
9	出生子の国籍	K(50)	無	無	
10	出生子の住所コード	9(15)	有	無	
11	出生子の住所	K(50)	無	無	
12	出生子の世帯主氏名	K(30)	無	無	
13	出生子の世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
14	届出人の資格コード	9(3)	有	無	
15	届出人の資格名称	K(30)	無	無	
16	届出人の氏名	K(30)	無	無	
17	入るべき戸籍の婚姻日	9(8)	無	無	
18					
19	入るべき戸籍の嫡出子例外区分	9(1)	有	無	
20	入るべき戸籍の婚姻解消日	9(8)	無	無	
21	入るべき戸籍の母前婚姻解消日	9(8)	無	無	
22	入るべき戸籍の本籍コード	9(15)	有	無	
23	入るべき戸籍の本籍	K(50)	無	無	
23-1	入るべき戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
24	入るべき戸籍の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
24-1	入るべき戸籍の父個人番号	9(10)	無	無	
24-2	入るべき戸籍の父振り仮名	K(30)	無	無	
25	入るべき戸籍の父漢字氏名	K(30)	無	無	
26	入るべき戸籍の父筆頭者区分	9(1)	有	無	
27	入るべき戸籍の父生年月日	9(8)	無	無	
28	入るべき戸籍の父入籍事件日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(出生･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	入るべき戸籍の父除籍日	9(8)	無	無	
30	入るべき戸籍の父配偶者区分	9(1)	有	無	
31	入るべき戸籍の母個人番号	9(10)	無	無	
32	入るべき戸籍の母振り仮名	K(30)	無	無	
31	入るべき戸籍の母漢字氏名	K(30)	無	無	
32	入るべき戸籍の母筆頭者区分	9(1)	有	無	
33	入るべき戸籍の母生年月日	9(8)	無	無	
34	入るべき戸籍の母入籍事件日	9(8)	無	無	
35	入るべき戸籍の母除籍日	9(8)	無	無	
36	入るべき戸籍の母配偶者区分	9(1)	有	無	
36-1	届書の父個人番号	9(10)	無	無	
36-2	届書の父振り仮名	K(30)	無	無	
37	届書の父漢字氏名	K(30)	無	無	
38	届書の父本籍コード	9(15)	有	無	
39	届書の父本籍	K(50)	無	無	
40	届書の父生年月日	9(8)	無	無	
41	届書の父筆頭者氏名	K(30)	無	無	
42	届書の父外国人区分	9(1)	有	無	
42-1	届書の母個人番号	9(10)	無	無	
42-2	届書の母振り仮名	K(30)	無	無	
43	届書の母漢字氏名	K(30)	無	無	
44	届書の母本籍コード	9(15)	有	無	
45	届書の母本籍	K(50)	無	無	
46	届書の母生年月日	9(8)	無	無	
47	届書の母筆頭者氏名	K(30)	無	無	
48	届書の母外国人区分	9(1)	有	無	
49	胎児認知区分	9(1)	有	無	
50	胎児認知日	9(8)	無	無	
51	関連受領番号	9(9)	無	無	
52	新戸籍の本籍コード	9(15)	有	無	
53	新戸籍の本籍	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(出生･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53-1	新戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
54	新戸籍の筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
55	国外の国籍留保届出人資格	9(1)	有	無	
56	国外の在外公館名称	K(50)	無	無	
57	裁判の区分	9(1)	有	無	
58	裁判の確定日	9(8)	無	無	
59	裁判の子の氏変更申出区分	9(1)	有	無	
60	裁判の対象父氏名	K(30)	無	無	
61	裁判の対象父生年月日	9(8)	無	無	
62					
63					
64	国内遅延理由区分	9(1)	有	無	
64-1	大使館職員区分	9(1)	有	無	
64-2	国外遅延理由区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(認知・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被認知者の個人番号	9(10)	無	無	
2	被認知者の区分	9(1)	有	無	
3	被認知者の外国人区分	9(1)	有		
4	被認知者の本非区分	9(1)	有	無	
5	被認知者の生年月日	9(8)	無	無	
6	被認知者の生死区分	9(1)	有	無	
7	被認知者の振り仮名	K(30)	無	無	
8	被認知者の漢字氏名	K(30)	無	無	
9	被認知者の住所コード	9(15)	有	無	
10	被認知者の住所	K(50)	無	無	
11	被認知者の世帯主	K(30)	無	無	
12	被認知者の本籍コード	9(15)	有	無	
13	被認知者の本籍地	K(50)	無	無	
14	被認知者の筆頭者	K(30)	無	無	
15	被認知者の準正による訂正後の続柄	9(2)	有	無	
16	認知者の個人番号	9(10)	無	無	
17	認知者の外国人区分	9(1)	有	無	
18	認知者の本非区分	9(1)	有	無	
19	認知者の生年月日	9(8)	無	無	
20	認知者の生死区分	9(1)	有	無	
21	認知者の振り仮名	K(30)	無	無	
22	認知者の漢字氏名	K(30)	無	無	
23	認知者の本籍コード	9(15)	有	無	
24	認知者の本籍地	K(50)	無	無	
25	認知者の筆頭者名	K(30)	無	無	
26	母の個人番号	9(10)	無	無	
27	母の外国人区分	9(1)	有	無	
28	母の本非区分	9(1)	有	無	
29	母の生年月日	9(8)	無	無	
30	母の振り仮名	K(30)	無	無	
31	母の漢字氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(認知･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	母の本籍コード	9(15)	無	無	
33	母の本籍地	K(50)	無	無	
34	母の筆頭者	K(30)	無	無	
35	母の住所コード	9(15)	有	無	
36	母の住所地	K(50)	無	無	
37	母の認知者との婚姻日	9(8)	無	無	
38	認知種別	9(1)	有	無	
39	審査の準拠法	9(1)	有	無	
40	認知成立日	9(8)	無	無	
41	証書提出日	9(8)	無	無	
42	認知の方式	K(50)	無	無	
43	裁判成立地	9(1)	有	無	
44	審判/判決確定日	9(8)	無	無	
45	裁判申立人	K(30)	無	無	
46	外国の裁判所名	K(30)	無	無	
47	認知を承諾した者	9(1)	有	無	
48	届出人資格1	9(3)	有	無	
49	届出人資格1名称	K(30)	無	無	
50	届出人氏名1	K(30)	無	無	
51	届出人資格2	9(3)	有	無	
52	届出人資格2名称	K(30)	無	無	
53	届出人氏名2	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子縁組･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	縁組形態区分	9(2)	無	無	
2	養親配偶者氏名1	K(30)	無	無	
3	養親配偶者氏名2	K(30)	無	無	
4	養子の個人番号	9(10)	無	無	
5	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
6	養子の本非区分	9(1)	有	無	
7	養子の生年月日	9(8)	無	無	
8	養子の婚姻区分	9(1)	有	無	
9	養子の生死区分	9(1)	有	無	
10	養子の振り仮名	K(30)	無	無	
11	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
12	養子の本籍コード	9(15)	有	無	
13	養子の本籍	K(50)	無	無	
14	養子の住所コード	9(15)	有	無	
15	養子の住所	K(50)	無	無	
16	養子の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
17	養子の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
18	養子の世帯主氏名	K(30)	無	無	
19	養子の父氏名	K(30)	無	無	
20	養子の母氏名	K(30)	無	無	
21	養子の続柄コード	9(2)	有	無	
22	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
23	養子の配偶者区分	9(1)	有	無	
24	養女の個人番号	9(10)	無	無	
25	養女の外国人区分	9(1)	有	無	
26	養女の本非区分	9(1)	有	無	
27	養女の生年月日	9(8)	無	無	
28	養女の婚姻区分	9(1)	有	無	
29	養女の生死区分	9(1)	有	無	
30	養女の振り仮名	K(30)	無	無	
31	養女の漢字氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子縁組･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	養女の本籍コード	9(15)	有	無	
33	養女の本籍	K(50)	無	無	
34	養女の住所コード	9(15)	有	無	
35	養女の住所	K(50)	無	無	
36	養女の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
37	養女の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
38	養女の世帯主氏名	K(30)	無	無	
39	養女の父氏名	K(30)	無	無	
40	養女の母氏名	K(30)	無	無	
41	養女の続柄コード	9(2)	有	無	
42	養女の筆頭者区分	9(1)	有	無	
43	養女の配偶者区分	9(1)	有	無	
44	監護者の有無	X(1)	有	無	
45	養父の個人番号	9(10)	無	無	
46	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
47	養父の本非区分	9(1)	有	無	
48	養父の生年月日	9(8)	無	無	
49	養父の筆頭者区分	9(1)	有	無	
50	養父の配偶者区分	9(1)	有	無	
51	養父の生死区分	9(1)	有	無	
52	養父の振り仮名	K(30)	無	無	
53	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
54	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
55	養父の本籍	K(50)	無	無	
56	養父の住所コード	9(15)	有	無	
57	養父の住所	K(50)	無	無	
58	養父の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
59	養父の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
60	養父の世帯主氏名	K(30)	無	無	
61	養母の個人番号	9(10)	無	無	
62	養母の外国人区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子縁組・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
63	養母の本非区分	9(1)	有	無	
64	養母の生年月日	9(8)	無	無	
65	養母の筆頭者区分	9(1)	有	無	
66	養母の配偶者区分	9(1)	有	無	
67	養母の生死区分	9(1)	有	無	
68	養母の振り仮名	K(30)	無	無	
69	養母の漢字氏名	K(30)	無	無	
70	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
71	養母の本籍	K(50)	無	無	
72	養母の住所コード	9(15)	有	無	
73	養母の住所	K(50)	無	無	
74	養母の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
75	養母の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
76	養母の世帯主氏名	K(30)	無	無	
77	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
78	入籍する戸籍または新しい戸籍コード	9(15)	有	無	
79	入籍する戸籍または新しい戸籍	K(50)	無	無	
80	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
81	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
82	裁判確定日	9(8)	無	無	
83	縁組成立日	9(8)	無	無	
84	縁組方式	K(50)	無	無	
85	同一戸籍縁組区分	9(1)	有	無	
86	後見人縁組区分	9(1)	有	無	
87	届出人資格コード1	9(3)	有	無	
88	届出人氏名1	K(30)	無	無	
89	届出人資格コード2	9(3)	有	無	
90	届出人氏名2	K(30)	無	無	
91	代諾者資格1	9(3)	有	無	
92	代諾者氏名1	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子縁組･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
93	代諾者コード1	9(1)	無	無	
94	代諾者国籍1	K(50)	無	無	
95	代諾者生年月日1	9(8)	無	無	
96	代諾者資格2	9(3)	有	無	
97	代諾者氏名2	K(30)	無	無	
98	代諾者コード2	9(1)	無	無	
99	代諾者国籍2	K(50)	無	無	
100	代諾者生年月日2	9(8)	無	無	
101	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
102	配偶者外国人区分	9(1)	有	無	
103	配偶者生年月日	9(8)	無	無	
104	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
105	配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
106	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
107	配偶者住所	K(50)	無	無	
108	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
109	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
110	配偶者続柄コード	9(2)	有	無	
110	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子と養父区分	X(1)	無	無	
2	養子と養母区分	X(1)	無	無	
3	養女と養父区分	X(1)	無	無	
4	養女と養母区分	X(1)	無	無	
5	同時届区分	9(1)	有	無	
5-1	親権・未成年後見人の個人番号	9(10)	無	無	
5-2	親権・未成年後見人の本非区分	9(1)	有	無	
5-3	親権・未成年後見人生年月日	X(8)	無	無	
5-4	親権・未成年後見人振り仮名	K(30)	無	無	
6	親権・未成年後見人氏名	K(30)	無	無	
7	親権・未成年後見人本籍コード	9(15)	有	無	
8	親権・未成年後見人本籍	K(50)	無	無	
9	親権・未成年後見人筆頭者	K(30)	無	無	
10	同時親権届の種別	9(1)	有	無	
11	同時親権者資格	9(3)	有	無	
12	同時親権届出人資格	9(3)	有	無	
12-1	同時親権届出人の個人番号	9(10)	無	無	
12-2	同時親権届出人の本非区分	9(1)	有	無	
12-3	同時親権届出人生年月日	X(8)	無	無	
12-4	同時親権届出人振り仮名	K(30)	無	無	
13	同時親権届出人氏名	K(30)	無	無	
13-1	同時親権届出人本籍コード	9(15)	有	無	
13-2	同時親権届出人本籍	K(50)	無	無	
14	養子の個人番号	9(10)	無	無	
15	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
16	養子の本非区分	9(1)	有	無	
17	養子の生年月日	X(8)	無	無	
18	養子の生死区分	9(1)	有	無	
19	養子の振り仮名	K(30)	無	無	
20	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
21	養子の本籍コード	9(15)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
22	養子の本・国籍	K(50)	無	無	
23	養子の住所コード	9(15)	有	無	
24	養子の住所	K(50)	無	無	
25	養子の筆頭者	K(30)	無	無	
26	養子の世帯主	K(30)	無	無	
27	養子の父氏名	K(30)	無	無	
28	養子の母氏名	K(30)	無	無	
29	養子の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
30	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
31	養子の配偶者区分	9(1)	有	無	
32	養女の個人番号	9(10)	無	無	
33	養女の外国人区分	9(1)	有	無	
34	養女の本非区分	9(1)	有	無	
35	養女の生年月日	X(8)	無	無	
36	養女の生死区分	9(1)	有	無	
37	養女の振り仮名	K(30)	無	無	
38	養女の漢字氏名	K(30)	無	無	
39	養女の本籍コード	9(15)	有	無	
40	養女の本・国籍	K(50)	無	無	
41	養女の住所コード	9(15)	有	無	
42	養女の住所	K(50)	無	無	
43	養女の筆頭者	K(30)	無	無	
44	養女の世帯主	K(30)	無	無	
45	養女の父氏名	K(30)	無	無	
46	養女の母氏名	K(30)	無	無	
47	養女の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
48	養女の筆頭者区分	9(1)	有	無	
49	養女の配偶者区分	9(1)	有	無	
50	養父の個人番号	9(10)	無	無	
51	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
52	養父の本非区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53	養父の生年月日	X(8)	無	無	
54	養父の生死区分	9(1)	有	無	
55	養父の振り仮名	K(30)	無	無	
56	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
57	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
58	養父の本・国籍	K(50)	無	無	
59	養父の筆頭者	K(30)	無	無	
60	養父の住所コード	9(15)	有	無	
61	養父の住所	K(50)	無	無	
62	養父の世帯主	K(30)	無	無	
63	養父の縁組成立法区分	9(1)	有	無	
64	養母の個人番号	9(10)	無	無	
65	養母の外国人区分	9(1)	有	無	
66	養母の本非区分	9(1)	有	無	
67	養母の生年月日	X(8)	無	無	
68	養母の生死区分	9(1)	有	無	
69	養母の振り仮名	K(30)	無	無	
70	養母の漢字氏名	K(50)	無	無	
71	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
72	養母の本・国籍	K(50)	無	無	
73	養母の筆頭者	K(30)	無	無	
74	養母の住所コード	9(15)	有	無	
75	養母の住所	K(50)	無	無	
76	養母の世帯主	K(30)	無	無	
77	養母の縁組成立法区分	9(1)	有	無	
78	養父母婚姻区分	9(1)	有	無	
79	離縁の種別	9(1)	有	無	
80	離縁の申立人区分	9(1)	有	無	
81	裁判確定日	X(7)	無	無	
82	離縁許可日	X(7)	無	無	
83	離縁成立日	X(7)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
84	離縁の方式	K(30)	無	無	
85	外国裁判所名	K(30)	無	無	
86	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	9(3)	有	無	
87	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
88	氏区分	9(1)	有	無	
89	届後本籍コード	K(15)	有	無	
90	届後本籍	K(50)	無	無	
90-1	届後戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
91	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
92	戻る戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
93	届後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
94	15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
95	15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
96	15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
97	15歳未満の届出人国籍1	K(50)	無	無	
98	15歳未満の届出人生年月日1	X(8)	無	無	
99	15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
100	15歳未満の届出人国籍2	K(50)	無	無	
101	15歳未満の届出人生年月日2	X(8)	無	無	
102	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
103	配偶者外国人区分	9(1)	有	無	
104	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
105	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
106	配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
107	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
108	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
109	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
110	配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
111	配偶者生年月日	X(8)	無	無	
112	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
113	配偶者住所	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁届･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
114	離縁後変更養父氏名	K(30)	無	無	
115	離縁後変更養母氏名	K(30)	無	無	
116	親権移記親権者区分	9(3)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(特別養子縁組・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	縁組形態区分	9(2)	有	無	
2	養子の個人番号	9(10)	無	無	
3	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
4	養子の本非区分	9(1)	有	無	
5	養子の生年月日	9(8)	無	無	
6	養子の性別区分	9(1)	有	無	
7	養子の振り仮名	K(30)	無	無	
8	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
9	養子の本籍コード	9(15)	有	無	
10	養子の本籍	K(50)	無	無	
11	養子の住所コード	9(15)	有	無	
12	養子の住所	K(50)	無	無	
13	養子の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
14	養子の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
15	養子の世帯主氏名	K(30)	無	無	
16	養子の父氏名	K(30)	無	無	
17	養子の母氏名	K(30)	無	無	
18	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
19	養父母との続柄コード	9(2)	有	無	
20	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
21	養父の個人番号分	9(10)	無	無	
22	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
23	養父の本非区分	9(1)	有	無	
24	養父の生年月日	9(8)	無	無	
25	養父の振り仮名	K(30)	無	無	
26	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
27	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
28	養父の本籍	K(50)	無	無	
29	養父の住所コード	9(15)	有	無	
30	養父の住所	K(50)	無	無	
31	養父の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(特別養子縁組・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	養父の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
33	養父の世帯主氏名	K(30)	無	無	
34	養父の筆頭者区分	9(1)	有	無	
35	養父の配偶者区分	9(1)	有	無	
36	養母の個人番号	9(10)	無	無	
37	養母の外国人区分	9(1)	有	無	
38	養母の本非区分	9(1)	有	無	
39	養母の生年月日	9(8)	無	無	
40	養母の振り仮名	K(30)	無	無	
41	養母の漢字氏名	K(30)	無	無	
42	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
43	養母の本籍	K(50)	無	無	
44	養母の住所コード	9(15)	有	無	
45	養母の住所	K(50)	無	無	
46	養母の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
47	養母の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
48	養母の世帯主氏名	K(30)	無	無	
49	養母の筆頭者区分	9(1)	有	無	
50	養母の配偶者区分	9(1)	有	無	
51	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
52	裁判確定日	9(8)	無	無	
53	縁組方式	K(50)	無	無	
54	同一戸籍縁組区分	9(1)	有	無	
55	届出人資格コード	9(3)	有	無	
56	配偶者同一戸籍	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(73条の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	縁氏続称者個人番号	9(10)	無	無	
2	振り仮名	K(30)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	X(7)	無	無	
5	筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	配偶者区分	9(1)	有	無	
7	本籍コード	9(15)	有	無	
8	本籍	K(50)	無	無	
9	筆頭者	K(30)	無	無	
10	住所コード	9(15)	有	無	
11	住所	K(50)	無	無	
12	世帯主	K(30)	無	無	
13	父氏名	K(30)	無	無	
14	母氏名	K(30)	無	無	
15	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
15-1	離縁前の氏の振り仮名	K(20)	無	無	
16	離縁前の氏	K(20)	無	無	
17	縁組年月日	X(7)	無	無	
18	離縁年月日	X(7)	無	無	
19	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
20	新本籍コード	9(15)	有	無	
21	新本籍	K(50)	無	無	
21-1	新戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
22	新戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
23	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
24	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
25	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
26	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
27	配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
28	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
29	配偶者父氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(73条の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
30	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
31	配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
32	配偶者生年月日	X(8)	無	無	
33	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
34	配偶者住所	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子と養父区分	X(1)	無	無	
2	養子と養母区分	X(1)	無	無	
3	養女と養父区分	X(1)	無	無	
4	養女と養母区分	X(1)	無	無	
5	同時届区分	9(1)	有	無	
5-1	親権・未成年後見人の個人番号	9(10)	無	無	
5-2	親権・未成年後見人の本非区分	9(1)	有	無	
5-3	親権・未成年後見人の生年月日	X(8)	無	無	
5-4	親権・未成年後見人振り仮名	K(30)	無	無	
6	親権・未成年後見人氏名	K(30)	無	無	
7	親権・未成年後見人本籍コード	9(15)	有	無	
8	親権・未成年後見人本籍	K(50)	無	無	
9	親権・未成年後見人筆頭者	K(30)	無	無	
10	同時親権届の種別	9(1)	有	無	
11	同時親権者資格	9(3)	有	無	
12	同時親権届出人資格	9(3)	有	無	
12-1	同時親権届出人の個人番号	9(10)	無	無	
12-2	同時親権届出人の本非区分	9(1)	有	無	
12-3	同時親権届出人の生年月日	X(8)	無	無	
12-4	同時親権届出人振り仮名	K(30)	無	無	
13	同時親権届出人氏名	K(30)	無	無	
13-1	同時親権届出人本籍コード	9(15)	有	無	
13-2	同時親権届出人本籍	K(50)	無	無	
14	養子の個人番号	9(10)	無	無	
15	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
16	養子の本非区分	9(1)	有	無	
17	養子の生年月日	X(8)	無	無	
18	養子の生死区分	9(1)	有	無	
19	養子の振り仮名	K(30)	無	無	
20	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
21	養子の本籍コード	9(15)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
22	養子の本・国籍	K(50)	無	無	
23	養子の住所コード	9(15)	有	無	
24	養子の住所	K(50)	無	無	
25	養子の筆頭者	K(30)	無	無	
26	養子の世帯主	K(30)	無	無	
27	養子の父氏名	K(30)	無	無	
28	養子の母氏名	K(30)	無	無	
29	養子の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
30	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
31	養子の配偶者区分	9(1)	有	無	
32	養女の個人番号	9(10)	無	無	
33	養女の外国人区分	9(1)	有	無	
34	養女の本非区分	9(1)	有	無	
35	養女の生年月日	X(8)	無	無	
36	養女の生死区分	9(1)	有	無	
37	養女の振り仮名	K(30)	無	無	
38	養女の漢字氏名	K(30)	無	無	
39	養女の本籍コード	9(15)	有	無	
40	養女の本・国籍	K(50)	無	無	
41	養女の住所コード	9(15)	有	無	
42	養女の住所	K(50)	無	無	
43	養女の筆頭者	K(30)	無	無	
44	養女の世帯主	K(30)	無	無	
45	養女の父氏名	K(30)	無	無	
46	養女の母氏名	K(30)	無	無	
47	養女の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
48	養女の筆頭者区分	9(1)	有	無	
49	養女の配偶者区分	9(1)	有	無	
50	養父の個人番号	9(10)	無	無	
51	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
52	養父の本非区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53	養父の生年月日	X(8)	無	無	
54	養父の生死区分	9(1)	有	無	
55	養父の振り仮名	K(30)	無	無	
56	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
57	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
58	養父の本・国籍	K(50)	無	無	
59	養父の筆頭者	K(30)	無	無	
60	養父の住所コード	9(15)	有	無	
61	養父の住所	K(50)	無	無	
62	養父の世帯主	K(30)	無	無	
63	養父の縁組成立法区分	9(1)	有	無	
64	養母の個人番号	9(10)	無	無	
65	養母の外国人区分	9(1)	有	無	
66	養母の本非区分	9(1)	有	無	
67	養母の生年月日	X(8)	無	無	
68	養母の生死区分	9(1)	有	無	
69	養母の振り仮名	K(30)	無	無	
70	養母の漢字氏名	K(30)	無	無	
71	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
72	養母の本・国籍	K(50)	無	無	
73	養母の筆頭者	K(30)	無	無	
74	養母の住所コード	9(15)	有	無	
75	養母の住所	K(50)	無	無	
76	養母の世帯主	K(30)	無	無	
77	養母の縁組成立法区分	9(1)	有	無	
78	養父母婚姻区分	9(1)	有	無	
79	縁組年月日	X(7)	無	無	
80	縁組前の氏	K(20)	無	無	
81	離縁の種別	9(1)	有	無	
82	離縁の申立人区分	9(1)	有	無	
83	裁判確定日	X(7)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
84	離縁許可日	X(7)	無	無	
85	離縁成立日	X(7)	無	無	
86	離縁の方式	K(30)	無	無	
87	外国裁判所名	K(30)	無	無	
88	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	9(3)	有	無	
89	新本籍コード	9(15)	有	無	
90	新本籍	K(50)	無	無	
91	15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
92	15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
93	15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
94	15歳未満の届出人国籍1	K(50)	無	無	
95	15歳未満の届出人生年月日1	X(8)	無	無	
96	15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
97	15歳未満の届出人国籍2	K(50)	無	無	
98	15歳未満の届出人生年月日2	X(8)	無	無	
99	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
100	配偶者外国人区分	9(1)	有	無	
101	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
102	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
103	配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
104	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
105	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
106	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
107	配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
108	配偶者生年月日	X(8)	無	無	
109	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
110	配偶者住所	K(50)	無	無	
111	離縁後変更養父氏名	K(30)	無	無	
112	離縁後変更養母氏名	K(30)	無	無	
113	親権移記親権者区分	9(3)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(婚姻･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	夫の個人番号	9(10)	無	無	
2	夫の外人区分	9(1)	有	無	
3	夫の筆頭者区分	9(1)	有	無	
4	夫の本非区分	9(1)	有	無	
4-1	夫の生年月日	9(8)	無	無	
5	夫の振り仮名	K(30)	無	無	
6	夫の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	夫の本籍コード	9(15)	有	無	
8	夫の本籍地番	K(50)	無	無	
9	夫の筆頭者	K(30)	無	無	
10	夫の父の氏名	K(30)	無	無	
11	夫の母の氏名	K(30)	無	無	
12	夫の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
13	夫の住所コード	9(15)	有	無	
14	夫の住所地番	K(50)	無	無	
15	夫の世帯主	K(30)	無	無	
16	妻の個人番号	9(10)	無	無	
17	妻の外人区分	9(1)	有	無	
18	妻の筆頭者区分	9(1)	有	無	
19	妻の本非区分	9(1)	有	無	
19-1	妻の生年月日	9(8)	無	無	
20	妻の振り仮名	K(30)	無	無	
21	妻の漢字氏名	K(30)	無	無	
22	妻の本籍コード	9(15)	有	無	
23	妻の本籍地番	K(50)	無	無	
24	妻の戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
25	妻の父の氏名	K(30)	無	無	
26	妻の母の氏名	K(30)	無	無	
27	妻の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
28	妻の住所コード	9(15)	有	無	
29	妻の住所地番	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(婚姻･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
30	妻の世帯主	K(30)	無	無	
31	氏区分	9(1)	有	無	
32	新本籍コード	9(15)	有	無	
33	新本籍地番	K(50)	無	無	
34	夫の初再婚区分	9(1)	有	無	
35	夫の離死別日	9(8)	無	無	
36	妻の初再婚区分	9(1)	有	無	
37	妻の離死別日	9(8)	無	無	
38	同一人再婚区分	9(1)	有	無	
39	婚姻成立年月日	9(8)	無	無	
40	証書提出日	9(8)	無	無	
41	婚姻の方式	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(離婚･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	夫の個人番号	9(10)	無	無	
2	レコード番号	9(10)	無	無	
3	夫の外国人区分	9(1)	有	無	
4	夫の国籍	K(50)	無	無	
5	夫の筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	夫の振り仮名	K(30)	無	無	
7	夫の漢字氏名	K(30)	無	無	
8	夫の住所コード	9(15)	有	無	
9	夫の住所地番	K(50)	無	無	
10	夫の世帯主	K(30)	無	無	
11	夫の父の氏名	K(30)	無	無	
12	夫の母の氏名	K(30)	無	無	
13	夫の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
14	夫の生年月日	9(8)	無	無	
15	夫の転婚区分	9(1)	有	無	
16	妻の個人番号	9(10)	無	無	
17	妻の外国人区分	9(1)	有	無	
18	妻の国籍	K(50)	無	無	
19	妻の筆頭者区分	9(1)	有	無	
20	妻の振り仮名	K(30)	無	無	
21	妻の漢字氏名	K(30)	無	無	
22	妻の住所コード	9(15)	有	無	
23	妻の住所地番	K(50)	無	無	
24	妻の世帯主	K(30)	無	無	
25	妻の父の氏名	K(30)	無	無	
26	妻の母の氏名	K(30)	無	無	
27	妻の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
28	妻の生年月日	9(8)	無	無	
29	妻の転婚区分	9(1)	有	無	
30	本籍コード	9(15)	有	無	
31	本籍地番	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(離婚･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	筆頭者	K(30)	無	無	
33	離婚の種別区分	9(1)	有	無	
34	離婚の申立人区分	9(1)	有	無	
35	離婚の成立確定日	9(8)	無	無	
36	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
37	新本籍コード	9(15)	有	無	
38	新本籍地番	K(50)	無	無	
39	新筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
40	新筆頭者	K(30)	無	無	
40-1	戻る戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
40-2	届後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
41	称する氏	K(15)	無	無	
42	外国離婚方式	K(50)	無	無	
43	裁判所所在国	K(50)	無	無	
44	外国裁判所名	K(30)	無	無	
45	親権指定者の有無	9(1)	有	無	
46	未成年の子の人数	9(2)	無	無	
47	届出人資格1	9(3)	有	無	
48	届出人資格2	9(3)	有	無	
49	未成年者の振り仮名	K(30)	無	n	繰り返しの数は未成年の子の人数 No.89～No.58までのバイト数は373バイト
50	未成年者の漢字氏名	K(30)	無	n	
51	未成年者の父の氏名	K(30)	無	n	
52	未成年者の母の氏名	K(30)	無	n	
53	未成年者の父母との続柄コード	9(2)	有	n	
54	未成年者の生年月日	9(8)	無	n	
55	未成年者の養父の氏名	K(30)	無	n	
56	未成年者の養母の氏名	K(30)	無	n	
57	未成年者の養父母との続柄コード	9(2)	有	n	
58	未成年者の親権者区分	9(1)	有	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(戸籍法77条の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚氏続称者個人番号	9(10)	無	無	
2	現振り仮名	K(30)	無	無	
3	現漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	配偶者区分	9(1)	有	無	
7	同籍者区分	9(1)	有	無	
8	離婚年月日	9(8)	無	無	
9	住所コード	9(15)	有	無	
10	住所地番	K(50)	無	無	
11	世帯主	K(30)	無	無	
12	本籍コード	9(15)	有	無	
13	本籍地番	K(50)	無	無	
14	筆頭者	K(30)	無	無	
15	変更後氏の振り仮名	K(20)	無	無	
16	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
17	変更後本籍コード	9(15)	有	無	
18	変更後本籍地番	K(50)	無	無	
19	変更後筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
20	変更後筆頭者	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(離婚同時77条の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	夫の個人番号	9(10)	無	無	
2	夫の筆頭者区分	9(1)	有	無	
3	夫の振り仮名	K(30)	無	無	
4	夫の漢字氏名	K(30)	無	無	
5	夫の住所コード	9(15)	有	無	
6	夫の住所地番	K(50)	無	無	
7	夫の世帯主	K(30)	無	無	
8	夫の父氏名	K(30)	無	無	
9	夫の母氏名	K(30)	無	無	
10	夫の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
11	夫の生年月日	9(8)	無	無	
12	妻の筆頭者区分	9(1)	有	無	
13	妻の個人番号	9(10)	無	無	
14	妻の振り仮名	K(30)	無	無	
15	妻の漢字氏名	K(30)	無	無	
16	妻の住所コード	9(15)	有	無	
17	妻の住所地番	K(50)	無	無	
18	妻の世帯主	K(30)	無	無	
19	妻の父氏名	K(30)	無	無	
20	妻の母氏名	K(30)	無	無	
21	妻の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
22	妻の生年月日	9(8)	無	無	
23	本籍コード	9(15)	有	無	
24	本籍地番	K(50)	無	無	
25	筆頭者	K(30)	無	無	
26	離婚の種別区分	9(1)	有	無	
27	離婚の申立人区分	9(1)	有	無	
28	離婚の成立・確定日	9(7)	無	無	
29	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
30	新本籍コード	8(15)	無	無	
31	新本籍地番	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(離婚同時77条の2届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	新筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
33	新筆頭者	K(30)	無	無	
34	外国離婚方式	K(50)	無	無	
35	裁判所所在国	K(50)	無	無	
36	外国裁判所名	K(30)	無	無	
37	親権指定者の有無	9(1)	有	無	
38	未成年の子の人数	9(2)	無	無	
39	届出人資格1	9(3)	有	無	
40	届出人資格2	9(3)	有	無	
41	未成年者n振り仮名	K(30)	無	n	繰り返しの数は未成年の子の人数 No.41～No.50までのバイト数は373バイト
42	未成年者n漢字氏名	K(30)	無	n	
43	未成年者n父の氏名	K(30)	無	n	
44	未成年者n母の氏名	K(30)	無	n	
45	未成年者n父母との続柄コード	9(2)	有	n	
46	未成年者n生年月日	9(8)	無	n	
47	未成年者n養父の氏名	K(30)	無	n	
48	未成年者n養母の氏名	K(30)	無	n	
49	未成年者n養父母との続柄コード	9(2)	有	n	
50	未成年者n親権者区分	9(1)	有	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(親権(管理権)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年者の個人番号	9(10)	無	無	
2	未成年者の外国人区分	9(1)	有	無	
3	未成年者の本非区分	9(1)	有	無	
4	未成年者の生年月日	9(8)	無	無	
5	未成年者の振り仮名	K(30)	無	無	
6	未成年者の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	未成年者の本籍コード	9(15)	有	無	
8	未成年者の本籍	K(50)	無	無	
9	未成年者の筆頭者	K(30)	無	無	
10	親権者の個人番号	9(10)	無	無	
11	親権者の外国人区分	9(1)	有	無	
12	親権者の本非区分	9(1)	有	無	
13	親権者の生年月日	9(8)	無	無	
14	親権者の振り仮名	K(30)	無	無	
15	親権者の漢字氏名	K(30)	無	無	
16	親権者の本籍コード	9(15)	有	無	
17	親権者の本籍	K(50)	無	無	
18	親権者の筆頭者名	K(30)	無	無	
19	親権者資格	9(3)	有	無	
20	届出事件コード	9(1)	有	無	
21	届出事件種別区分	9(1)	有	無	
22	審判/調停日	9(8)	無	無	
23	関連事件発生日	9(8)	無	無	
24	届出人資格1	9(3)	有	無	
25	届出人氏名1	K(30)	無	無	
26	届出人・協議者資格	9(3)	有	無	
27	届出人・協議者の個人番号	9(10)	無	無	
28	届出人・協議者の外国人区分	9(1)	有	無	
29	届出人・協議者の本非区分	9(1)	有	無	
30	届出人・協議者の生年月日	9(8)	無	無	
31	届出人・協議者の振り仮名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(親権(管理権)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	届出人・協議者の漢字氏名	K(30)	無	無	
33	届出人・協議者の本籍コード	9(15)	有	無	
34	届出人・協議者の本籍	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍(保佐･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被保佐人の個人番号	9(10)	無	無	
2	被保佐人の外国人区分	9(1)	有	無	
3	被保佐人の本非区分	9(1)	有	無	
4	被保佐人の生年月日	9(8)	無	無	
5	被保佐人のカナ氏名	N(60)	無	無	
6	被保佐人の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	被保佐人の本籍コード	9(15)	有	無	
8	被保佐人の本籍	K(50)	無	無	
9	被保佐人の筆頭者	K(30)	無	無	
10	保佐人の個人番号	9(10)	無	無	
11	保佐人の外国人区分	9(1)	有	無	
12	保佐人の本非区分	9(1)	有	無	
13	保佐人の生年月日	9(8)	無	無	
14	保佐人のカナ氏名	N(60)	無	無	
15	保佐人の漢字氏名	K(30)	無	無	
16	保佐人の本籍コード	9(15)	有	無	
17	保佐人の本籍	K(50)	無	無	
18	保佐人の筆頭者名	K(30)	無	無	
19	保佐人資格	9(3)	有	無	
20	届出原因区分	9(2)	有	無	
21	開始日	9(8)	無	無	
22	就職日	9(8)	無	無	
23	終了日	9(8)	無	無	
24	前任者氏名	K(30)	無	無	
25	届出人資格	9(3)	有	無	
26	届出人氏名	K(30)	無	無	
27	予備	X(3218)	——	——	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(死亡・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	死亡者個人番号	9(10)	無	無	
2	外人区分	9(1)	有	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	本籍不分明区分	9(1)	有	無	
5	関連受領番号	9(7)	無	無	
6	振り仮名	K(30)	無	無	
7	漢字氏名	K(30)	無	無	
8	性別	9(1)	有	無	
9	死亡日	9(8)	無	無	
10	推定区分	9(1)	有	無	
11	死亡の午前午後区分	9(1)	有	無	
12	死亡の時分	9(4)	無	無	
13	終期の死亡の午前午後区分	9(1)	有	無	
14	終期の死亡の時分	9(4)	無	無	
15	死亡区分	9(1)	有	無	
16	死亡日時	K(50)	無	無	
17	死亡場所市町村	K(50)	無	無	
18	死亡場所町丁目	K(50)	無	無	
19	住所コード	9(15)	有	無	
20	住所	K(50)	無	無	
21	世帯主	K(30)	無	無	
22	本籍コード	9(15)	有	無	
23	本籍	K(50)	無	無	
24	筆頭者	K(30)	無	無	
25	届出人資格	9(3)	有	無	
25-1	届出人資格名称	K(30)	無	無	
26	届出人氏名	K(30)	無	無	
27	届出人住所コード	9(15)	有	無	
28	届出人住所	K(50)	無	無	
29	配偶者有無区分	9(1)	有	無	
30	配偶者外人区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(失踪・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失踪者個人番号	9(10)	無	無	
2	外人区分	9(1)	有	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	振り仮名	K(30)	無	無	
5	漢字氏名	K(30)	無	無	
6	死亡日	9(8)	無	無	
7	審判確定日	9(8)	無	無	
8	住所コード	9(15)	有	無	
9	住所	K(50)	無	無	
10	世帯主	K(30)	無	無	
11	本籍コード	9(15)	有	無	
12	本籍	K(50)	無	無	
13	筆頭者	K(30)	無	無	
14	届出人資格	9(3)	有	無	
15	その他の届出人資格名称	K(30)	無	無	
16	届出人氏名	K(30)	無	無	
17	配偶者有無区分	9(1)	有	無	
18	配偶者外人区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(復氏･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	復氏者個人番号	9(10)	無	無	
2	振り仮名	K(30)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	配偶者区分	9(1)	有	無	
7	住所コード	9(15)	有	無	
8	住所	K(50)	無	無	
9	世帯主	K(30)	無	無	
10	本籍コード	9(15)	有	無	
11	本籍	K(50)	無	無	
12	筆頭者	K(30)	無	無	
13	父氏名	K(30)	無	無	
14	母氏名	K(30)	無	無	
15	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
16	復籍区分	9(1)	有	無	
17	届後本籍コード	9(15)	有	無	
18	届後本籍	K(50)	無	無	
19	届後戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
20	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
21	氏区分	9(1)	有	無	
21-1	復籍戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
21-2	異動後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
22	死亡配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
23	死亡配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
24	死亡配偶者死亡日	9(8)	無	無	
25	現在配偶者個人番号	9(10)	無	無	
26	現在配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
27	現在配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
28	現在配偶者外人区分	9(1)	有	無	
29	現在配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(復氏･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
30	現在配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
31	現在配偶者生年月日	9(8)	無	無	
32	現在配偶者父氏名	K(30)	無	無	
33	現在配偶者母氏名	K(30)	無	無	
34	現在配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
35	現在配偶者住所コード	9(15)	有	無	
36	現在配偶者住所	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(姻族関係終了・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	振り仮名	K(30)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	外人区分	9(1)	有	無	
5	生年月日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	9(15)	有	無	
7	本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者	K(30)	無	無	
9	死亡配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
10	死亡配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
11	死亡配偶者外人区分	9(1)	有	無	
12	死亡年月日	9(8)	無	無	
13	同籍区分	9(1)	有	無	
14	死亡配偶者本籍コード	9(15)	有	無	
15	死亡配偶者本籍	K(50)	無	無	
16	死亡配偶者筆頭者	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(推定相続人廃除届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被廃除者個人番号	9(10)	無	無	
2	被廃除者外人区分	9(1)	有	無	
3	被廃除者生年月日	9(8)	無	無	
4	被廃除者振り仮名	K(30)	無	無	
5	被廃除者漢字氏名	K(30)	無	無	
6	被廃除者本籍コード	9(15)	有	無	
7	被廃除者本籍	K(50)	無	無	
8	被廃除者筆頭者	K(30)	無	無	
9	廃除者個人番号	9(10)	無	無	
10	廃除者外人区分	9(1)	有	無	
11	廃除者生年月日	9(8)	無	無	
12	廃除者資格区分	9(3)	有	無	
13	廃除者資格名称	K(30)	無	無	
14	廃除者振り仮名	K(30)	無	無	
15	廃除者漢字氏名	K(30)	無	無	
16	廃除者本籍コード	9(15)	有	無	
17	廃除者本籍	K(50)	無	無	
18	廃除者筆頭者	K(30)	無	無	
19	裁判種別	9(1)	有	無	
20	裁判確定日	9(8)	無	無	
21	届出人資格	9(3)	有	無	
22	届出人資格名称	K(30)	無	無	
23	届出人氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(入籍･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍者種別	9(1)	有	無	
2	同時入籍者数	9(1)	無	無	
3	入籍事由	9(1)	有	無	
4	入籍相手	9(1)	有	無	
5	従前の氏を改めた日	9(8)	無	無	
6	許可の審判確定日	9(8)	無	無	
7	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
8	入籍先の本非区分	9(1)	有	無	
9	入籍先の個人除区分	9(1)	有	無	
10	入籍先の筆頭者区分	9(1)	有	無	
11	入籍先の配偶者区分	9(1)	有	無	
12	入籍先の本籍コード	9(15)	有	無	
13	入籍先の本籍	K(50)	無	無	
14	入籍先の筆頭者	K(30)	無	無	
15	入籍先の個人番号	9(10)	無	無	
16	入籍先の振り仮名	K(30)	無	無	
17	入籍先の漢字氏名	K(30)	無	無	
18	入籍先の住所コード	9(15)	有	無	
19	入籍先の住所	K(50)	無	無	
20	入籍先の世帯主	K(30)	無	無	
21	入籍先の父の氏名	K(30)	無	無	
22	入籍先の母の氏名	K(30)	無	無	
23	入籍先の父母との続柄	9(2)	有	無	
24	入籍先の生年月日	9(8)	無	無	
25	新本籍コード	9(15)	有	無	
26	新本籍	K(50)	無	無	
26-1	新筆頭者の振り仮名	K(30)	無	無	
27	新筆頭者	K(30)	無	無	
28	入籍人の本非区分	9(1)	有	無	
29	入籍人の本籍コード	9(15)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(入籍･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
30	入籍人の本籍	K(50)	無	無	
31	入籍人の筆頭者	K(30)	無	無	
32	入籍人nの筆頭者区分	9(1)	有	n	繰り返しの数は入籍人の人数 No.32～No.47までのバイト数は560バイト
33	入籍人nの配偶者区分	9(1)	有	n	
34	入籍人nの更正区分	9(1)	有	n	
35	入籍人nの個人番号	9(10)	無	n	
36	入籍人nの振り仮名	K(30)	無	n	
37	入籍人nの漢字氏名	K(30)	無	n	
38	入籍人nの生年月日	9(8)	無	n	
39	入籍人nの住所コード	9(15)	有	n	
40	入籍人nの住所	K(50)	無	n	
41	入籍人nの世帯主	K(30)	無	n	
42	入籍人nの父の氏名	K(30)	無	n	
43	入籍人nの母の氏名	K(30)	無	n	
44	入籍人nの父母続柄	9(2)	有	n	
45	入籍人nの養父の氏名	K(30)	無	n	
46	入籍人nの養母の氏名	K(30)	無	n	
47	入籍人nの養父母続柄	9(2)	有	n	
48	届出人資格1	9(3)	有	無	
49	届出人氏名1	K(30)	無	無	
50	届出人資格2	9(3)	有	無	
51	届出人氏名2	K(30)	無	無	
52	入籍人配偶者の振り仮名	K(30)	無	無	
53	入籍人配偶者の漢字氏名	K(30)	無	無	
54	入籍人配偶者の生年月日	9(8)	無	無	
55	入籍人配偶者の父氏名	K(30)	無	無	
56	入籍人配偶者の母氏名	K(30)	無	無	
57	入籍人配偶者の父母との続柄	9(2)	有	無	
58	入籍人配偶者の養父氏名	K(30)	無	無	
59	入籍人配偶者の養母氏名	K(30)	無	無	
60	入籍人配偶者の養父母との続柄	9(2)	有	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(入籍･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
61	入籍人配偶者の住所コード	9(15)	有	無	
62	入籍人配偶者の住所	K(50)	無	無	
63	入籍人配偶者の世帯主	K(30)	無	無	
64	入籍人配偶者の外国人区分	9(1)	有	無	
65	入籍人配偶者の配偶者区分	9(1)	有	無	
66	入籍人配偶者の更正区分	9(1)	有	無	
67	入籍人配偶者の個人番号	9(10)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(分籍･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	筆頭者区分	9(1)	有	無	
2	配偶者区分	9(1)	有	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	婚姻事項の有無	9(1)	有	無	
5	渉外区分	9(1)	有	無	
6	婚姻日	9(8)	無	無	
7	個人番号	9(10)	無	無	
8	振り仮名	K(30)	無	無	
9	漢字氏名	K(30)	無	無	
10	住所コード	9(15)	有	無	
11	住所地番	K(50)	無	無	
12	世帯主	K(30)	無	無	
13	本籍コード	9(15)	有	無	
14	本籍地番	K(50)	無	無	
14-1	筆頭者の振り仮名が必要	K(30)	無	無	
15	筆頭者	K(30)	無	無	
16	父の氏名	K(30)	無	無	
17	母の氏名	K(30)	無	無	
18	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
19	新本籍コード	9(15)	有	無	
20	新本籍地番	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(国籍取得･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	振り仮名	K(30)	無	無	
2	漢字氏名	K(30)	無	無	
3	従前氏名	K(30)	無	無	
4	従前国籍	K(50)	無	無	
5	生年月日	X(7)	無	無	
6	父個人番号	9(10)	無	無	
7	父氏名	K(30)	無	無	
8	母個人番号	9(10)	無	無	
9	母氏名	K(30)	無	無	
10	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
11	国籍取得年月日	X(7)	無	無	
12	国籍取得区分	9(1)	有	無	
13	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
14	届後本籍コード	9(15)	有	無	
15	届後本籍	K(50)	無	無	
15-1	届後戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
16	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
17	届後戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
18	届後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
19	住所コード	9(15)	有	無	
20	住所	K(50)	無	無	
21	住民日	X(7)	無	無	
22	住定日	X(7)	無	無	
23	世帯主区分	9(1)	有	無	
24	世帯主名	K(30)	無	無	
25	世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
26	15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
27	15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
28	15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
29	15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(帰化･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	帰化種別	9(1)	有	無	
2	同時帰化者数	9(1)	無	無	
3	帰化者振り仮名	K(30)	無	無	
4	帰化者漢字氏名	K(30)	無	無	
5	帰化者従前氏名	K(30)	無	無	
6	帰化者従前国籍	K(50)	無	無	
7	帰化者生年月日	X(7)	無	無	
8	帰化者配偶者区分	9(1)	有	無	
9	公示年月日	X(7)	無	無	
10	帰化者父氏名	K(30)	無	無	
11	帰化者父の本籍コード	9(15)	有	無	
12	帰化者父の本･国籍	K(50)	無	無	
13	帰化者母氏名	K(30)	無	無	
14	帰化者母の本籍コード	9(15)	有	無	
15	帰化者母の本･国籍	K(50)	無	無	
16	帰化者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
17	帰化者住民日	X(7)	無	無	
18	帰化者住定日	X(7)	無	無	
19	帰化者住所コード	9(15)	有	無	
20	帰化者住所	K(50)	無	無	
21	帰化者世帯主区分	9(1)	有	無	
22	帰化者世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
23	帰化者世帯主名	K(30)	無	無	
24	帰化者15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
25	帰化者15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
26	帰化者15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
27	帰化者15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
28	帰化者妻振り仮名	K(30)	無	無	
29	帰化者妻漢字氏名	K(30)	無	無	
30	帰化者妻従前氏名	K(30)	無	無	
31	帰化者妻従前国籍	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(帰化･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	帰化者妻生年月日	X(7)	無	無	
33	帰化者妻父氏名	K(30)	無	無	
34	帰化者妻父の本籍コード	9(15)	有	無	
35	帰化者妻父の本･国籍	K(50)	無	無	
36	帰化者妻母氏名	K(30)	無	無	
37	帰化者妻母の本籍コード	9(15)	有	無	
38	帰化者妻母の本･国籍	K(50)	無	無	
39	帰化者妻父母との続柄コード	9(2)	有	無	
40	帰化者妻住民日	X(7)	無	無	
41	帰化者妻住定日	X(7)	無	無	
42	帰化者妻住所コード	9(15)	有	無	
43	帰化者妻住所	K(50)	無	無	
44	帰化者妻世帯主区分	9(1)	有	無	
45	帰化者妻世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
46	帰化者妻世帯主名	K(30)	無	無	
47	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
48	届後本籍コード	9(15)	有	無	
49	届後本籍	K(50)	無	無	
49-1	届後戸籍の筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
50	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
51	帰化記載者資格1	9(3)	無	無	
52	帰化記載者資格2	9(3)	無	無	
53	養/父母振り仮名	K(30)	無	無	
54	養/父母漢字氏名	K(30)	無	無	
55	養/父母本籍コード	9(15)	有	無	
56	養/父母本籍	K(50)	無	無	
57	養/父母筆頭者	K(30)	無	無	
58	養/父母父氏名	K(30)	無	無	
59	養/父母母氏名	K(30)	無	無	
60	養/父母父母との続柄コード	9(2)	有	無	
61	養/父母生年月日	X(7)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(帰化･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
62	養/父母住所コード	9(15)	無	無	
63	養/父母住所	K(50)	無	無	
64	連署人筆頭者区分	9(1)	無	無	
65	連署人配偶者区分	9(1)	無	無	
66	連署人振り仮名	K(30)	無	無	
67	連署人漢字氏名	K(30)	無	無	
68	連署人本籍コード	9(15)	有	無	
69	連署人本籍	K(30)	無	無	
70	連署人筆頭者	K(30)	無	無	
71	連署人父氏名	K(30)	無	無	
72	連署人母氏名	K(30)	無	無	
73	連署人父母との続柄コード	9(2)	有	無	
74	連署人生年月日	X(7)	無	無	
75	連署人住所コード	9(15)	有	無	
76	連署人住所	K(50)	無	無	
77	同時帰化者n振り仮名	K(30)	無	n	繰り返し数は同時帰化者数 No.77～No.101までのバイト数は967バイト
78	同時帰化者n漢字氏名	K(30)	無	n	
79	同席帰化者n従前氏名	K(30)	無	n	
80	同時帰化者n従前国籍	K(50)	無	n	
81	同時帰化者n生年月日	X(7)	無	n	
82	同時帰化者n父氏名	K(30)	無	n	
83	同時帰化者n父の本籍コード	9(15)	有	n	
84	同時帰化者n父の本･国籍	K(50)	無	n	
85	同時帰化者n母氏名	K(30)	無	n	
86	同時帰化者n母の本籍コード	9(15)	有	n	
87	同時帰化者n母の本･国籍	K(50)	無	n	
88	同時帰化者n父母との続柄コード	9(2)	有	n	
89	同時帰化者n住民日	X(7)	無	n	
90	同時帰化者n住定日	X(7)	無	n	
91	同時帰化者n住所コード	9(15)	有	n	
92	同時帰化者n住所	K(50)	無	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(帰化･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
93	同時帰化者n世帯主区分	9(1)	有	n	
94	同時帰化者n世帯主との続柄コード	9(6)	有	n	
95	同時帰化者n世帯主名	K(30)	無	n	
96	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	n	
97	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	n	
98	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	n	
99	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	n	
100	同時帰化者n帰化記載者資格1	9(3)	無	n	
101	同時帰化者n帰化記載者資格2	9(3)	無	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(国籍喪失･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍喪失者個人番号	9(10)	無	無	
2	振り仮名	K(30)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	喪失年月日	9(8)	無	無	
6	住所コード	9(15)	有	無	
7	住所	K(50)	無	無	
8	世帯主	K(30)	無	無	
9	本籍コード	9(15)	有	無	
10	本籍	K(50)	無	無	
11	筆頭者	K(30)	無	無	
11-1	配偶者区分	9(1)	有	無	
11-2	配偶者の外人区分	9(1)	有	無	
12	喪失原因区分	9(1)	有	無	
13	国名コード	9(15)	有	無	
14	喪失原因国名	K(50)	無	無	
15	届出人資格1	9(3)	有	無	
16	届出人氏名1	K(30)	無	無	
17	届出人資格2	9(3)	有	無	
18	届出人氏名2	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(国籍選択･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍選択者個人番号	9(10)	無	無	
2	振り仮名	K(30)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	本籍コード	9(15)	有	無	
5	本籍	K(50)	無	無	
6	筆頭者	K(30)	無	無	
7	生年月日	9(8)	無	無	
8	国名コード1	9(15)	有	無	
9	現有外国国籍1	K(50)	無	無	
10	国名コード2	9(15)	有	無	
11	現有外国国籍2	K(50)	無	無	
12	国名コード3	9(15)	有	無	
13	現有外国国籍3	K(50)	無	無	
14	届出人資格1	9(3)	有	無	
15	届出人氏名1	K(30)	無	無	
16	届出人資格2	9(3)	有	無	
17	届出人氏名2	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(外国国籍喪失･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	外国国籍喪失者個人番号	9(10)	無	無	
2	振り仮名	K(30)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	喪失年月日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	9(15)	有	無	
7	本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者	K(30)	無	無	
9	国名コード	9(15)	有	無	
10	国籍喪失国名	K(50)	無	無	
11	届出人資格1	9(3)	有	無	
12	届出人氏名1	K(30)	無	無	
13	届出人資格2	9(3)	有	無	
14	届出人氏名2	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の変更(107条1項)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	筆頭者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者振り仮名	K(200)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
5	筆頭者個人除区分	9(1)	有	無	
6	筆頭者配偶者区分	9(1)	有	無	
7	筆頭者本籍コード	9(15)	有	無	
8	筆頭者本籍	K(50)	無	無	
9	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
10	筆頭者住所	K(50)	無	無	
11	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
12	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
12-1	配偶者振り仮名	K(200)	無	無	
13	配偶者氏名	K(30)	無	無	
14	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
15	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
16	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
17	配偶者住所	K(50)	無	無	
18	配偶者世帯主	K(30)	無	無	
19	変更前氏の振り仮名	K(200)	無	無	
20	変更後氏の振り仮名	K(200)	無	無	
21	変更前漢字氏	K(210)	無	無	
22	変更後漢字氏	K(210)	無	無	
23	審判確定日	9(8)	無	無	
24	届出人資格1	9(3)	有	無	
25	届出人氏名1	K(30)	無	無	
26	届出人資格2	9(3)	有	無	
27	届出人氏名2	K(30)	無	無	
28	名義使用区分	9(1)	有	無	
29	構成員人数	9(2)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の変更(107条1項)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
30	構成員nの個人番号	9(10)	無	n	繰り返しの数は構成員人数 No.30～No.39までのバイト数は486バイト
30-1	構成員nの振り仮名	K(200)	無	n	
31	構成員nの漢字氏名	K(30)	無	n	
32	構成員nの父の氏名	K(30)	無	n	
33	構成員nの母の氏名	K(30)	無	n	
34	構成員nの養父の氏名	K(30)	無	n	
35	構成員nの養母の氏名	K(30)	無	n	
36	構成員n住所コード	9(15)	有	n	
37	構成員n住所	K(50)	無	n	
38	構成員nの世帯主	K(30)	無	n	
39	構成員n更正区分	9(1)	有	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の変更(107条2項)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後氏の振り仮名	K(20)	無	無	
5	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
6	筆頭者本籍コード	9(15)	有	無	
7	筆頭者本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
9	筆頭者住所	K(50)	無	無	
10	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
11	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
12	筆頭者婚姻年月日	9(8)	無	無	
13	配偶者区分	9(1)	有	無	
14	配偶者氏	K(20)	無	無	
15	配偶者名	K(20)	無	無	
16	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
17	同籍者区分	9(1)	有	無	
18	届後戸籍筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
19	届後戸籍筆頭者氏名	K(30)	無	無	
20	新本籍コード	9(15)	有	無	
21	新本籍	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の変更(107条3項)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後氏の振り仮名	K(20)	無	無	
5	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
6	筆頭者本籍コード	9(15)	有	無	
7	筆頭者本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
9	筆頭者住所	K(50)	無	無	
10	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
11	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
12	筆頭者婚姻解消日	9(8)	無	無	
13	107条3項原因	9(1)	有	無	
14	配偶者氏名	K(30)	無	無	
15	同籍者区分	9(1)	有	無	
16	届後戸籍筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
17	届後戸籍筆頭者氏名	K(30)	無	無	
18	新本籍コード	9(15)	有	無	
19	新本籍	K(50)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の変更(107条4項)・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後氏の振り仮名	K(20)	無	無	
5	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
6	氏変更者住所コード	9(15)	有	無	
7	氏変更者住所	K(50)	無	無	
8	世帯主	K(30)	無	無	
9	氏変更者本籍コード	9(15)	有	無	
10	氏変更者本籍	K(50)	無	無	
11	筆頭者	K(30)	無	無	
12	筆頭者区分	9(1)	有	無	
13	配偶者区分	9(1)	有	無	
14	生年月日	9(8)	無	無	
15	審判確定日	9(8)	無	無	
16	外国人父母区分	9(1)	有	無	
17	外国人父母氏名	K(30)	無	無	
18	届後戸籍筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
19	届後戸籍筆頭者氏名	K(30)	無	無	
20	新本籍コード	9(15)	有	無	
21	氏変更者新本籍	K(50)	無	無	
22	届出人資格1	9(3)	有	無	
23	届出人資格2	9(3)	有	無	
24	届出人氏名1	K(30)	無	無	
25	届出人氏名2	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(名の変更・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	名の変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	名の変更者の振り仮名	K(200)	無	無	
3	名の変更者の漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後名の振り仮名	K(200)	無	無	
5	変更後漢字名	K(210)	無	無	
6	住所コード	9(15)	有	無	
7	住所	K(50)	無	無	
8	世帯主	K(30)	無	無	
9	本籍コード	9(15)	有	無	
10	本籍	K(50)	無	無	
11	筆頭者	K(30)	無	無	
12	生年月日	9(8)	無	無	
13	審判日	9(8)	無	無	
14	届出人資格1	9(3)	有	無	
15	届出人氏名1	K(30)	無	無	
16	届出人資格2	9(3)	有	無	
17	届出人氏名2	K(30)	無	無	
18	筆頭者区分	9(1)	有	無	
19	構成員n漢字氏名	K(30)	無	n	繰り返しの数は構成員人数 No.19～No.27までのバイト数は476バイト
20	構成員n父氏名	K(30)	無	n	
21	構成員n母氏名	K(30)	無	n	
22	構成員n養父氏名	K(30)	無	n	
23	構成員n養母氏名	K(30)	無	n	
24	構成員n住所コード	9(15)	有	n	
25	構成員n住所	K(50)	無	n	
26	構成員n世帯主	K(30)	無	n	
27	構成員n更正区分	9(1)	有	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(転籍・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍コード	9(15)	有	無	
2	本籍	K(50)	無	無	
3	新本籍コード	9(15)	有	無	
4	新本籍	K(50)	無	無	
5	筆頭者個人番号	9(10)	無	無	
6	筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
7	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
8	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
9	筆頭者個人除区分	9(1)	有	無	
10	筆頭者配偶者入力区分	9(1)	有	無	
11	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
12	筆頭者住所	K(50)	無	無	
13	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
14	配偶者配偶者入力区分	9(1)	有	無	
15	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
16	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
17	配偶者振り仮名	K(30)	無	無	
18	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
19	配偶者生年月日	9(8)	無	無	
20	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
21	配偶者住所	K(50)	無	無	
22	配偶者世帯主	K(30)	無	無	
23	届出人資格1	9(3)	有	無	
24	届出人資格2	9(3)	有	無	
25	届出人氏名1	K(30)	無	無	
26	届出人氏名2	K(30)	無	無	
27	名義使用区分	9(1)	有	無	
28	構成員人数	9(2)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(転籍･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	構成員n個人番号	9(10)	無	n	繰り返しの数は構成員人数
30	構成員n振り仮名	K(30)	無	n	
31	構成員n漢字氏名	K(30)	無	n	No.29～No.35までのバイト数は313バイト
32	構成員n住所コード	9(15)	有	n	
33	構成員n住所	K(50)	無	n	
34	構成員n世帯主	K(30)	無	n	
35	構成員n生年月日	9(8)	無	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(就籍･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	振り仮名	K(30)	無	無	
2	漢字氏名	K(30)	無	無	
3	住所コード	9(15)	有	無	
4	住所	K(50)	無	無	
5	生年月日	9(8)	無	無	
6	世帯主	K(30)	無	無	
7	本籍コード	9(15)	有	無	
8	本籍	K(50)	無	無	
9	筆頭者振り仮名	K(30)	無	無	
10	筆頭者	K(30)	無	無	
11	父の氏名	K(30)	無	無	
12	母の氏名	K(30)	無	無	
13	父母続柄コード	9(2)	有	無	
14	父母続柄	K(3)	有	無	
15	審判日	9(8)	無	無	
16	住定日	9(8)	無	無	
17	戸籍変動区分コード	9(1)	有	無	
18	就籍原因コード	9(1)	有	無	
19	届出人資格コード	9(3)	有	無	
20	届出人氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成31年 3月31日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(未成年者の後見・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年被後見人の個人番号	9(10)	無	無	
2	未成年被後見人の外国人区分	9(1)	有	無	
3	未成年被後見人の本非区分	9(1)	有	無	
4	未成年被後見人の生年月日	9(8)	無	無	
5	未成年被後見人の振り仮名	K(30)	無	無	
6	未成年被後見人の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	未成年被後見人の本籍コード	9(15)	有	無	
8	未成年被後見人の本籍	K(50)	無	無	
9	未成年被後見人の筆頭者	K(30)	無	無	
10	未成年後見人の個人番号	9(10)	無	無	
11	未成年後見人の外国人区分	9(1)	有	無	
12	未成年後見人の本非区分	9(1)	有	無	
13	未成年後見人の生年月日	9(8)	無	無	
14	未成年後見人の区分	9(1)	有	無	
15	未成年後見人の振り仮名	K(30)	無	無	
16	未成年後見人の漢字氏名	K(30)	無	無	
17	未成年後見人の本籍コード	9(15)	有	無	
18	未成年後見人の本籍	K(50)	無	無	
19	未成年後見人の筆頭者	K(30)	無	無	
20	未成年後見人資格	9(3)	有	無	
21	未成年後見人の法人住所コード	9(15)	有	無	
22	未成年後見人の法人住所	K(50)	無	無	
23	届出事件種別区分	9(2)	有	無	
24	開始日	9(8)	無	無	
25	就職日	9(8)	無	無	
26	終了日	9(8)	無	無	
27	裁判確定日	9(8)	無	無	
28	記録嘱託日	9(8)	無	無	
29	前任者氏名	K(30)	無	無	
30	届出人資格	9(3)	有	無	
31	届出人氏名	K(30)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の振り仮名の届・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍コード	9(20)	有	無	
2	本籍	K(100)	無	無	
3	筆頭者	K(210)	無	無	
4	氏の振り仮名	K(200)	無	無	
5	筆頭者個人番号	9(10)	無	無	
6	筆頭者氏名	K(210)	無	無	
7	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
8	筆頭者個人除区分	9(1)	有	無	
9	筆頭者配偶者区分	9(1)	有	無	
10	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
11	筆頭者住所	K(110)	無	無	
12	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
13	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
14	配偶者生年月日	9(8)	無	無	
15	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
16	配偶者氏名	K(210)	無	無	
17	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
18	配偶者住所	K(110)	無	無	
19	届出人資格1	9(3)	有	無	
20	届出人氏名1	K(210)	無	無	
21	届出人資格2	9(3)	有	無	
22	届出人氏名2	K(210)	無	無	
23	在籍者人数	9(3)	無	無	
24	在籍者n個人番号	9(10)	有	n	繰り返しの数は在籍者人数
25	在籍者n氏名	K(210)	無	n	
26	在籍者n生年月日	9(8)	無	n	
27	在籍者n本人届出区分	9(1)	無	n	
28	在籍者n住所コード	9(15)	有	n	
29	在籍者n住所	K(110)	無	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(名の振り仮名の届･事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍コード	9(20)	有	無	
2	本籍	K(100)	無	無	
3	筆頭者	K(210)	無	無	
4	氏の振り仮名	K(200)	無	無	
5	記録者数	9(1)	無	無	
6	記録者n個人番号	9(10)	無	n	繰り返しの数は記録者数で最大5人
7	記録者n名	K(210)	無	n	
8	記録者n名の振り仮名	K(200)	無	n	
9	記録者n生年月日	9(8)	無	n	
10	記録者n筆頭者区分	9(1)	有	n	
11	記録者n本人届出区分	9(1)	有	n	
12	記録者n住所コード	9(15)	有	n	
13	記録者n住所	K(110)	無	n	
14	届出人資格1	9(3)	有	無	
15	届出人氏名1	K(210)	無	無	
16	届出人資格2	9(3)	有	無	
17	届出人氏名2	K(210)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の振り仮名の変更・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍コード	9(20)	有	無	
2	本籍	K(100)	無	無	
3	筆頭者個人番号	9(10)	無	無	
4	筆頭者振り仮名	K(200)	無	無	
5	筆頭者氏名	K(210)	無	無	
6	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
7	筆頭者個人除区分	9(1)	有	無	
8	筆頭者配偶者区分	9(1)	有	無	
9	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
10	筆頭者住所	K(110)	無	無	
11	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
12	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
13	配偶者生年月日	9(8)	無	無	
14	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
15	配偶者振り仮名	K(200)	無	無	
16	配偶者氏名	K(210)	無	無	
17	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
18	配偶者住所	K(110)	無	無	
19	変更後氏の振り仮名	K(200)	無	無	
20	届出人資格1	9(3)	有	無	
21	届出人氏名1	K(210)	無	無	
22	届出人資格2	9(3)	有	無	
23	届出人氏名2	K(210)	無	無	
24	審判確定日	9(8)	無	無	
25	名義使用区分	9(1)	有	無	
26	氏職権記録区分	9(1)	有	無	
27	在籍者人数	9(2)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(氏の振り仮名の変更・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
28	在籍者n個人番号	9(10)	無	n	繰り返しの数は在籍者人数
29	在籍者n振り仮名	K(200)	無	n	
30	在籍者n氏名	K(210)	無	n	
31	在籍者n生年月日	9(8)	無	n	
32	在籍者n本人届出区分	9(1)	有	n	
33	在籍者n住所コード	9(15)	有	n	
34	在籍者n住所	K(110)	無	n	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和5年7月31日	令和　年　月　日	2.0

適用業務名

戸籍(名の振り仮名の変更・事件別内容)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	変更者振り仮名	K(200)	無	無	
3	変更者氏名	K(210)	無	無	
4	変更者生年月日	9(8)	無	無	
5	変更者筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	本籍コード	9(20)	有	無	
7	本籍	K(100)	無	無	
8	筆頭者	K(210)	無	無	
9	住所コード	9(15)	有	無	
10	住所	K(110)	無	無	
11	変更後名の振り仮名	K(200)	無	無	
12	審判確定日	9(8)	無	無	
13	名職権記録区分	9(1)	有	無	
14	届出人資格1	9(3)	有	無	
15	届出人氏名1	K(210)	無	無	
16	届出人資格2	9(3)	有	無	
17	届出人氏名2	K(210)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
住民票記載事項通知			ディスク	順	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	自治体毎に使用コードが異なる
4	宛名	K(20)	無	無	
5	事件コード	9(2)	有	無	
6	受理日	9(8)	無	無	
6-1	新振り仮名	K(30)	無	無	
6-2	旧振り仮名	K(30)	無	無	
7	新氏名	K(30)	無	無	
8	旧氏名	K(30)	無	無	
9	新生年月日	9(8)	無	無	
10	旧生年月日	9(8)	無	無	
11	新父母との続柄	9(2)	有	無	
12	旧父母との続柄	9(2)	有	無	
13	新本籍	K(50)	無	無	
14	旧本籍	K(50)	無	無	
15	新筆頭者	K(30)	無	無	
16	旧筆頭者	K(30)	無	無	
17	住所	K(50)	無	無	
18	方書	K(50)	無	無	
19	住定日	9(8)	無	無	
20	住民日	9(8)	無	無	
21	世帯主	K(30)	無	無	
22	世帯主との続柄	K(10)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　発送

目的：　届出により他市区町村に書類を送付する場合に、他市区町村の宛名を蓄積するファイルである。

出張所番号：　出張所(支所)別に宛名を出力する場合に使用する。
市区町村コード：　市区町村ごとに並びかえて(ソート)出力する場合に使用する。
送付書類区分：　届書
　　公選法通知

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
発送			ディスク	順	

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	自治体毎で使用コードが異なる
4	郵便番号	X(8)	無	無	
5	住所	K(50)	無	無	
6	宛名	K(20)	無	無	
7	送付書類区分				
	届書	9(1)	有	無	0:無 1:有
	公選法通知	9(1)	有	無	0:無 1:有

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名： 統計

目的： 種々の統計票を作成するためのファイル。

概要： 事件表を作成するために必要な項目はすべて網羅した。
その他、必要と思われる附票関係、各帳票の通知数等の項目を追加した。

※ 統計を取る項目はすべて本ファイルに項目を設定する。したがって、今後項目が追加される可能性がある。
自治体毎に不要と思われる項目については削除しても構わない。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	日付	9(8)	無	無	西暦日付
2	出張所番号	9(10)	有	無	
3	本籍数	9(7)	無	無	
4	本籍数の増減	9(5)	無	無	
5	本籍人口数	9(7)	無	無	
6	本籍人口数の増減	9(5)	無	無	
7	出生				
	本籍人届出数	9(5)	無	無	
	非本籍人届出数	9(5)	無	無	
	送付数	9(5)	無	無	
8	国籍留保	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
9	認知	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
10	養子縁組	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
11	養子縁組取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
12	養子離縁	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
13	養子離縁取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
14	特別養子縁組	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
15	特別養子離縁	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
16	戸籍法73条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
17	戸籍法69条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
18	婚姻	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
19	婚姻取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
20	離婚	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
21	離婚取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
22	戸籍法77条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
23	戸籍法75条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
24	親権(届出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
25	親権(嘱託・別表第一審判の確定)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
26	親権(嘱託・保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
27	未成年者の後見(届出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
28	未成年者の後見(嘱託・別表第一審判の確定)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	未成年者の後見(嘱託・保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
30	後見監督(届出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
31	後見監督(嘱託・別表第一審判の確定)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
32	後見監督(嘱託・保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
33	死亡	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
34	失踪	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
35	失踪取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
36	復氏	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
37	姻族関係終了	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
38	相続人廃除	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
39	相続人廃除取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
40	入籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
41	分籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
42	国籍取得	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
43	帰化	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
44	国籍喪失	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
45	国籍選択	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
46	外国国籍喪失	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
47	戸籍法107条1項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
48	戸籍法107条2項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
49	戸籍法107条3項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
50	戸籍法107条4項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
51	名の変更	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
52	転籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
53	就籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
53-1	氏の振り仮名の届	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ ※事件表の対象外
53-2	氏の振り仮名の変更(家裁許可有)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
53-3	氏の振り仮名の変更(家裁許可無)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
53-4	名の振り仮名の届	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ ※事件表の対象外
53-5	名の振り仮名の変更(家裁許可有)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
53-6	名の振り仮名の変更(家裁許可無)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
54	訂正(市区町村長職権)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
55	訂正(戸籍法24条2項)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
56	訂正(戸籍法113条)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
57	訂正(戸籍法114条)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
58	訂正(戸籍法116条)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
59	続柄の記載更正(嘱託)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
60	続柄の記載更正(申出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
61	追完	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
62	その他	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
63	不受理申出	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
64	新戸籍編製数	9(5)	無	無	
65	戸籍全部消除数	9(5)	無	無	
66	違反通知数	9(5)	無	無	
67	戸籍の再製･補完数	9(5)	無	無	
68	その他(届出の催告･錯誤遺漏通知)	9(5)	無	無	
69	戸籍全部証明書(有料)	9(6)	無	無	コンビニ交付を除く
70	戸籍全部証明書(無料)	9(6)	無	無	コンビニ交付を除く
71	戸籍全部証明書(金額)	9(12)	無	無	コンビニ交付を除く
72	除籍全部証明書(有料)	9(6)	無	無	
73	除籍全部証明書(無料)	9(6)	無	無	
74	除籍全部証明書(金額)	9(12)	無	無	
75	戸籍個人証明書(有料)	9(6)	無	無	コンビニ交付を除く
76	戸籍個人証明書(無料)	9(6)	無	無	コンビニ交付を除く
77	戸籍個人証明書(金額)	9(12)	無	無	コンビニ交付を除く
78	除籍個人証明書(有料)	9(6)	無	無	
79	除籍個人証明書(無料)	9(6)	無	無	
80	除籍個人証明書(金額)	9(12)	無	無	
81	戸籍一部証明書(有料)	9(6)	無	無	
82	戸籍一部証明書(無料)	9(6)	無	無	
83	戸籍一部証明書(金額)	9(12)	無	無	
84	除籍一部証明書(有料)	9(6)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
85	除籍一部証明書(無料)	9(6)	無	無	
86	除籍一部証明書(金額)	9(12)	無	無	
87	コンビニ交付・全部事項証明書(有料)	9(6)	無	無	
88	コンビニ交付・全部事項証明書(無料)	9(6)	無	無	
89	コンビニ交付・全部事項証明書(金額)	9(12)	無	無	
90	コンビニ交付・個人事項証明書(有料)	9(6)	無	無	
91	コンビニ交付・個人事項証明書(無料)	9(6)	無	無	
92	コンビニ交付・個人事項証明書(金額)	9(12)	無	無	
93	戸籍記載事項証明書(有料)	9(6)	無	無	
94	戸籍記載事項証明書(無料)	9(6)	無	無	
95	戸籍記載事項証明書(金額)	9(12)	無	無	
96	除籍記載事項証明書(有料)	9(6)	無	無	
97	除籍記載事項証明書(無料)	9(6)	無	無	
98	除籍記載事項証明書(金額)	9(12)	無	無	
99	受理証明書(有料)	9(6)	無	無	
100	受理証明書(無料)	9(6)	無	無	
101	受理証明書(金額)	9(12)	無	無	
102	特別の受理証明書	9(6)	無	無	
103	特別の受理証明書(金額)	9(12)	無	無	
104	届書に基づく証明(有料)	9(6)	無	無	
105	届書に基づく証明(無料)	9(6)	無	無	
106	届書に基づく証明(金額)	9(12)	無	無	
107	閲覧(有料)	9(6)	無	無	
108	閲覧(無料)	9(6)	無	無	
109	閲覧(金額)	9(12)	無	無	
110	広域交付戸籍証明書 (有料)	9(6)	無	無	
111	広域交付戸籍証明書 (無料)	9(6)	無	無	
112	広域交付戸籍証明書 (金額)	9(12)	無	無	
113	広域交付除籍証明書1 (有料)	9(6)	無	無	
114	広域交付除籍証明書1 (無料)	9(6)	無	無	
115	広域交付除籍証明書1 (金額)	9(12)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
116	広域交付除籍証明書2（有料）	9(6)	無	無	
117	広域交付除籍証明書2（無料）	9(6)	無	無	
118	広域交付除籍証明書2（金額）	9(12)	無	無	
119	戸籍電子証明書提供用識別符号（有料）	9(6)	無	無	
120	戸籍電子証明書提供用識別符号（無料）	9(6)	無	無	
121	戸籍電子証明書提供用識別符号（金額）	9(12)	無	無	
122	除籍電子証明書提供用識別符号1（有料）	9(6)	無	無	
123	除籍電子証明書提供用識別符号1（無料）	9(6)	無	無	
124	除籍電子証明書提供用識別符号1（金額）	9(12)	無	無	
125	除籍電子証明書提供用識別符号2（有料）	9(6)	無	無	
126	除籍電子証明書提供用識別符号2（無料）	9(6)	無	無	
127	除籍電子証明書提供用識別符号2（金額）	9(12)	無	無	
128	戸籍電子証明書	9(6)	無	無	戸籍情報連携システムより提供履歴を取得して集計する。
129	除籍電子証明書1	9(6)	無	無	
130	除籍電子証明書2	9(6)	無	無	
131	届書等情報内容証明書（有料）	9(6)	無	無	
132	届書等情報内容証明書（無料）	9(6)	無	無	
133	届書等情報内容証明書（金額）	9(12)	無	無	
134	届書等情報内容閲覧（有料）	9(6)	無	無	
135	届書等情報内容閲覧（無料）	9(6)	無	無	
136	届書等情報内容閲覧（金額）	9(12)	無	無	
153	住民票記載事項通知作成数	9(6)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成11年3月1日	令和5年7月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　公選法通知

目的：　届出により、在外選挙人又は在外投票人に対して戸籍の異動(氏変更・転籍等も含む)がある場合の
　　公選法通知を格納するファイルである。

出張所番号：　出張所(支所)別に宛名を出力する場合に使用する。
市区町村コード：　市区町村ごとに並びかえて(ソート)出力する場合に使用する。
事件コード：　公選法通知を作成する原因となった事件を格納する。
受理日：　公選法通知を作成する原因となった事件を受理した日を格納する。

※ファイル仕様はサンプルとして示すが、戸籍附票システム標準仕様書「諸元表（第2.0版）_在外選挙人名簿及び在外投票人名簿登録者の戸籍又は戸籍の附票の変更通知書」を参考にして、ベンダ任意で変更しても構わない(任意設計機能)。

その他：　事件本人以外の対象者については、該当者一覧リストを出力して手書き対応とする。
　　また、公選法通知データのメンテナンス機能を設けて該当者を追加できるようにすることは
　　ベンダに一任する(任意設計機能)。

※　戸籍戸籍附票連携データがないと当通知は出力できない。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成11年3月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
公選法通知			ディスク	順	

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	在外選挙人名簿(又は在外投票人名簿)登録市区町村コード 自治体毎に使用コードが異なる
4	宛名	K(20)	無	無	市区町村コードを宛名に変換する
5	事件コード	9(2)	有	無	
6	受理日	9(8)	無	無	
7	個人番号	9(10)	無	無	
7-1	新振り仮名	K(30)	無	無	
7-2	旧振り仮名	K(30)	無	無	
8	新氏名	K(30)	無	無	
9	旧氏名	K(30)	無	無	
10	新生年月日	9(8)	無	無	
11	旧生年月日	9(8)	無	無	
12	新性別	9(1)	有	無	1:男 2:女 3:不詳
13	旧性別	9(1)	有	無	1:男 2:女 3:不詳
14	新本籍コード	9(5)	無	無	自治体毎に使用コードが異なる
15	新本籍	K(50)	無	無	
16	旧本籍コード	9(5)	無	無	自治体毎に使用コードが異なる
17	旧本籍	K(50)	無	無	
18	新筆頭者	K(30)	無	無	
19	旧筆頭者	K(30)	無	無	
20	住所コード	9(5)	無	無	自治体毎に使用コードが異なる
21	住所	K(50)	無	無	
22	方書	K(50)	無	無	
23	転入届出日	9(8)	無	無	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和3年3月31日	R3
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　届書処理通番
目的：　戸籍情報連携システムから割り当てられた届書処理通番に紐づいた受領番号を管理するファイルである。

受領番号：　1つの受付事件に1つの受領番号を付加する。
届書処理通番：　戸籍情報連携システムから割り当てられた番号。
決裁単位で届書処理通番が1つ割り当てられる。
そのため、届書処理通番と受領番号は1：nの関係になる。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和4年3月31日	R4

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書処理通番	届書処理通番、受領番号		ディスク	DB	

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	届書処理通番	9(18)	無	無	届書処理通番をキーとして受付帳単位の情報を登録する
2	行番号	9(2)	無	無	
3	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
4	在外送付区分	9(1)	有	無	届書等情報を作成するために保持する ※「受理と在外公館直接送付」、「国内送付と在外公館国内経由」で送信する情報が変わるため ※届書等情報作成のための情報をここではなく、他で保持しても構わない
5	追完届有無フラグ	X(1)	無	無	コードは戸籍情報連携システムを参照。
6	規則第四十一条処理区分	X(1)	無	無	コードは戸籍情報連携システムを参照。
7	届書等情報送信区分	X(1)	有	無	届書等情報を戸籍情報連携システムに送信したか、郵送したかを判断する
8	予備		―	―	

※№4以降の項目は任意設計とし、設定可否及び追加・修正を可能とする。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和4年3月31日	R4
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　送付先市区町村情報
目的：　受理又は在外公館からの直接送付において、他の市区町村に届書等の送信が必要な場合、その情報を受付ファイル(受領番号)と紐付けて格納するファイルである。

届書処理通番：　戸籍情報連携システムから割り当てられた番号。
決裁単位で届書処理通番が1つ割り当てられる。
市区町村内送付先情報連番：　同一届書処理通番内での連番。
事件対象区分：　送信する届書等情報の処理が送付地において同じ事件か、異なる事件かを設定する。
送付先区分：　胎児認知届を父の本籍地に送付する場合「2：参考送付先」を設定する。
遺漏追加区分：　全ての関係市区町村で届書等情報に関する処理が完了した後で、送付先に漏れがあった場合に「1：遺漏追加分」を設定する。
送信区分：　戸籍情報連携システムに届書等情報を送信した場合は、「1：未送信」を「2：送信済」に更新する。
紙の届書を送付する場合は送付先市区町村情報更新処理で「3：送達中(紙送付)」を設定し、
書送達確認書が送付先市区町村から返送されたときに同処理で「4：到着済(紙送付)」を設定する。
発信(発送)日：　送信区分「3：送達中(紙送付)」の設定と同時に設定する。
「1：未送信」の場合の設定は任意設計とする。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和4年3月31日	R4

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
送付先市区町村情報	届書処理通番、送付先市区町村コード		ディスク	DB	

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	届書処理通番	9(18)	無	無	届書処理通番単の送付先市区町村単位で情報を登録する
2	送付先市区町村コード	9(5)	有	無	
3	市区町村内送付先情報連番	9(3)	無	無	001からの連番
4	事件対象区分	9(1)	有	無	1:事件対象 2:事件対象以外
5	送付先区分	9(1)	有	無	1:送付先 2:参考送付先
6	遺漏追加区分	9(1)	有	無	0:通常分 1:遺漏追加分
7	送信区分	9(1)	有	無	1:未送信 2:送信済 3:送達中(紙送付) 4:到着済(紙送付)
7-1	発信日(発送日)	9(8)	無	有	送信区分=3の場合は更新処理で入力
8	予備		―	―	

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
適用業務名			
戸籍(共通)			

ファイル名：　送付分届書等一覧
目的：　送信された届書等情報の処理を選択するために作成する。
　　処理状況を管理する目的としても使用する。

届書処理通番：　戸籍情報連携システムから割り当てられた番号。
　　決裁単位で届書処理通番が1つ割り当てられる。
届書番号：　F0080：届書記載事項の受領番号。
届出選択事件コード：　F0080：届書記載事項の届出選択事件コード。
受付番号：　F0080：受付の受領番号。
受付事件コード：　F0080受付の受領番号。
事件本人区分：　F0080事件本人の1人目の事件本人区分。
事件本人氏名：　F0080事件本人の1人目の事件本人氏名。
届書種別コード：　F0080届書等管理情報の届書種別コード。
データ状態区分：　送付分届書等振分け処理で設定される区分。
処理状況：　送信された届書等情報の処理状況を管理するコード。

留意点
(1) 届書等送信情報の受付ファイル、届書種別コードごとに作成する仕様である。
　従って、離婚同時77条の2の場合、離婚と法77条の2のファイルが作成され、さらに届書等情報の更新(TS02)や届書補正情報(TS03)によってもファイルが作成される。
　そこで行番号を追加して1件のファイルで管理することも可である。
　※管理する方法は任意設計機能である。
(2) 届書等情報の更新が複数回送信される場合の考慮が必要となる。

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
送付分届書等一覧	届書処理通番、受付番号、届書種別コード		ディスク	DB	

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	届書処理通番	9(18)	無	無	届書処理通番単の送付先市区町村単位で情報を登録する
2	受理地市区町村コード	9(5)	無	無	
3	届書番号	9(11)	無	無	届書記載事項の受領番号
4	届出選択事件コード	9(2)	無	無	
5	受信日	9(8)	無	無	管理情報の処理日
6	受信時間	9(6)	無	無	管理情報の処理時間
7	受付番号	9(11)	無	無	受付情報の受領番号
8	受付事件コード	9(2)	無	無	
9	事件本人区分	9(2)	無	無	事件本人情報の1人目
10	事件本人氏名	K(210)	無	無	
11	同時決裁受領番号	9(11)	無	有	1～5
12	届書種別コード	X(4)	無	無	TS01～TS04
13	事件対象区分	9(1)	無	無	1:事件対象 2:事件対象以外
14	参考送付区分	9(1)	無	無	0:参考送付以外 1:参考送付
15	追完届有無フラグ	9(1)	無	無	0:追完届なし 1:追完届あり
16	不受理申出区分	9(1)	無	無	0:不受理申出なし 1:不受理申出あり
17	胎児認知届書区分	9(1)	無	無	0:胎児認知届書なし 1:胎児認知届書あり
17-1	データ状態区分	9(2)	無	無	
18	処理状況	9(1)	無	無	1:未処理 2:処理中(未決裁) 3:処理完了(決裁済) 等

第 5.8 「コード」関係仕様

（目次）

(1) コード設計書

(2) コード一覧表

(3) メッセージ一覧表

第5.8.(1)

コード設計書

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	コード設計書	以下コードを追加 ・「改製不適合区分」 ・「検索目的区分」 ・「戸籍種別」
2	R3	B01、B02、B03	コード設計書	以下コードを追加 ・「不受理申出区分」
3		-		・「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正 ・「伺い」→「照会」に修正
4	2.0 (2023.7.31版)	-	コード設計書	以下コードを追加 ・「氏の振り仮名職権記録区分」 ・「戸籍内同一人区分」 ・「名の振り仮名職権記録区分」 ・「発行確認区分」 ・「発行抑止区分」 ・「副本への送信抑止区分」 ・「本人届出区分」 以下のコードを削除 ・「破産宣告人区分」 ・「犯歴区分」

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
ドキュメント名称			
「コード」関係仕様			

[順守事項]

(1)コード一覧に記載されているコードはすべて順守とする。ただし、備考欄等において、「自治体およびメーカ独自」の記述されているものはこの限りではない。

(2)各付設対象内のコードの種類および桁数とも順守とする。

[留意点]

(1)個人番号、戸籍番号は戸籍システムでの順次番号とし、特別の意味を持たせるようなコード付けを行ってはいけない。

(2)画面上の選択番号は番号により選択入力する場合に使用される。他の方法(マウス、GUI等)で選択する場合は選択番号を使用する必要はない。コード化しないで対応できる項目はコード化しなくても構わない。

(3)メッセージに関する留意点は「第5.8.(3)メッセージ一覧表」を参照のこと。

第5.8.(1) コード設計書

(1) 作成の目的

新システムで使用するデータの記録方法を明確にし、共通項目のコード付設を統一するために作成した。

(2) 作成方法

コード化対象データを50音順に並べ、下記のとおり記入した。

ア　付設対象　　コード化の対象となる項目名を記入する。

イ　方式　　コード付設の方式を記入する。

ウ　一覧頁　　「コード一覧表」に対応する頁数を記入する。

エ　目的　　コード化する目的を記入する。

オ　付設区分具体例　コード化される具体的項目例を記入する。

(3) コード設計書

上記の検討を経て作成した設計書は、以下のとおりである。

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

索引	付設対象	方式	目的	付設区分具体例
あ				
	インデックス	順番	戸籍、身分事項記載の項目の識別	「【出生日】」「【出生地】」
	受付事件コード	区分	受付ファイル上での事件種別の識別	「出生」「出生(国籍留保)」
	氏区分	区分	氏の形態の識別	「婚姻前の氏」
	氏の振り仮名職権記録区分	区分	氏の振り仮名が届出によるものか職権記録によるものかを識別	「無」「職権記録」
	縁組離縁形態区分	区分	縁組、離縁の形態の識別	「養子と養父」
	縁組成立法区分	区分	縁組成立法の識別	「日本法」「日本法以外」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

索引	付設対象	方式	一覧頁	付設区分具体例
か				
	外国人父母区分	区分	戸籍法107条の4　該当外国人の識別	「父」「母」「養父」「養母」
	外人区分	区分	外国人と日本人の識別	「日本人」「外国人」
	改製不適合区分	区分	戸籍情報連携システムから取得する副本記録情報が改製不適合戸籍であるかの別	「改製不適合戸籍でない」
	確認区分	区分	メッセージ確認の識別	「Yes」「No」
	監護者の有無	区分	監護者の有無の識別	「有」「無」
	管掌者コード	合成	戸籍法施行規則77条該当の識別番号	1～2桁:世代、3～4桁:資格
	関連受領番号	合成	該当届出に関連する受領番号	西暦下2桁+順番号+枝
	帰化種別	区分	帰化の識別	「単身者の帰化」
	記録区分	区分	記録の識別	「既存の記録」
	共同親権有無区分	区分	共同親権の有無	「無」「有」
	業務選択番号	順番	処理業務の選択	「検索処理」「異動処理」
	禁治産者区分	区分	禁治産者の該当有無	「無」「有」
	決裁区分	区分	戸籍異動の決裁状況	「未決裁」「決裁」
	元号	区分	和暦の元号の識別	「明治」「大正」「昭和」
	検索目的区分	区分	副本記録情報を検索する目的の識別	「戸籍の届出に関する業務」
	後見人区分	区分	後見人、後見監督人の区分	「後見人」「後見監督人」
	後見届出原因	区分	後見届出原因の識別	「開始:親権行使者不在」
	後見人縁組区分	区分	養親が後見人かの識別	「無」「有」
	更正区分	区分	更正者の識別	「無」「父」「母」「父母」
	国籍･国名	順番	国籍･国名の識別	「アフガニスタン」
	国籍取得区分	区分	国籍取得の識別	「国籍法3条」
	国籍喪失原因	区分	日本国籍喪失の原因の識別	「外国籍取得」「国籍離脱」
	国籍留保区分	区分	国籍留保の有無及びその届出人の識別	「無」「父」「母」
	個人異動区分	区分	個人の記載状況の識別	「記載」「入籍」「除籍」
	個人異動形態区分	区分	個人の異動形態の識別	「本→本の異動」
	個人除区分	区分	戸籍の個人の状態	「在籍者」「除籍者」
	個人番号	順番	個人識別の固有番号	
	戸籍異動区分	区分	戸籍の状況(データ･ロック)	「処理中」
	戸籍事項記録コード	区分	戸籍事項DBの戸籍事項記載種別の識別	「戸籍編製事項の記載」
	戸籍事項タイトルコード	区分	戸籍事項のタイトルの識別	「編製」「氏の変更」
	戸籍種別	区分	戸籍情報連携システムから取得する副本記録情報の種別	「戸籍」「除籍」
	戸籍除区分	区分	戸籍の状況	「戸籍」「除籍」
	戸籍内同一人区分	区分	戸籍内に同一人がいるかいないかを識別	「存在しない」「存在する」
	戸籍番号	順番	戸籍識別の固有番号	
	戸籍編製区分	区分	戸籍編製の種別	「新戸籍編製」「全部除籍」
	戸籍変動区分	区分	戸籍変動状況の識別	「元の戸籍に戻る」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

索引	付設対象	方式	一覧頁	付設区分具体例
	戸籍法107条3項の原因区分	区分	戸籍法107条3項の原因区分	「離婚」
	午前午後区分	区分	時間の午前、午後の識別	「午前」「午後」
	婚姻区分	区分	婚姻中かどうかの判定	「未婚」「婚姻中」
	婚姻事項有無	区分	婚姻事項の有無	「無」「有」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

索引	付設対象	方式	目的	付設区分具体例
さ				
	在外送付区分	区分	送付の種別	「国内からの送付」
	裁判所通知区分	区分	裁判所からの通知の有無	「無」「有」
	裁判成立地	区分	裁判成立地の識別	「日本」「外国」
	資格区分	区分	届出人の資格種別	「父」「母」「母の親権者」
	事件コード	区分	事件の種別	「出生」「認知」
	事件本人区分	区分	事件本人の識別	「出生子」「棄児」「父」
	失効区分	区分	不受理申出の失効理由	「終了」「取下」「失効」
	死亡区分	区分	戦死、戦傷死の識別	「戦死」「戦傷死」
	就籍原因	区分	就籍の原因の識別	「家庭裁判所の許可」
	出生子区分	区分	出生子の嫡、非嫡等の識別	「嫡出子」「準正嫡出子」
	出生証明書区分	区分	出生証明書の有無及び証明者の識別	「無」「医師」「助産婦」
	出生裁判区分	区分	出生の裁判の種別	「嫡出否認」
	出生親権区分	区分		「調停」「裁判」
	出張所番号	区分	支所、出張所等の識別番号	「数字」
	出力区分	区分	戸籍、身分事項の出力表示の可不可	「可」「不可」
	種別(裁判)区分	区分	種別(裁判)の識別	「協議」「調停成立」
	受理処理照会区分	区分	受理処理照会の識別	「無」「照会中」
	受理送付区分	区分	受理と送付の識別	「受理」「送付」
	受領番号	合成	受付、受領識別の固有番号	西暦下2桁+順番号+枝
	準禁治産者区分	区分	準禁治産者の該当有無	「無」「有」
	渉外区分	区分	民二5500号通達第4.4の識別	「渉外」「外国人」
	証書提出区分	区分	届出と証書提出の区分	「届出」
	称する氏区分	区分	婚姻後の夫婦の氏	「夫の氏」「妻の氏」
	初再婚区分	区分	初婚と再婚の識別	「初婚」「再婚」
	除籍事由	区分	縁組での除籍事由	「夫の縁組」「妻の縁組」
	処分区分	区分	届出、申請書等の処分結果	「受理」「不受理」「保留」
	親権指定者の有無	区分	親権指定者の有無	「無」「有」
	親権者区分	区分	親権者となりうる者の資格	「父」「母」「養父」「養母」
	親権届出区分	区分	親権届の種別	「親権者指定」「親権喪失」
	審査完了区分	区分	審査完了の識別	「未」「完了」
	審査の準拠法	区分	認知での審査要件準拠法の識別	「日本法」
	審査不可区分	区分	異動審査対象外とする区分	
	推定区分	区分	推定、不詳の識別	「推定」
	生死区分	区分	生死の識別	「生存者」「死亡者」
	成年区分	区分	成年、未成年の識別	「未成年」「成年」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

索引	付設対象	方式	目的	付設区分具体例
	性別	区分	性別の識別	「男」「女」「不詳」
	世帯員区分	区分	世帯主、構成員の識別	「世帯主」「構成員」
	世帯主との続柄	区分	住民票上の(世帯主との)続柄	「世帯主」「妻」「夫」
	操作員資格区分	区分	~~捜査~~操作員の資格区分	「適」「不適」
	喪失原因区分	区分	喪失原因の識別	「重国籍者の国籍選択」
	送達確認区分	区分	送達確認ハガキの返信(到着)の識別	「到着済」「未到着」
	送付書類区分	区分	送付必要書類の有無	「無」「有」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

索引	付設対象	方式	目的	付設区分具体例
た				
	胎児認知区分	区分	胎児認知の有無	「無」「有」
	代諾者有無区分	区分	縁組での代諾者の有無	「無」「有」
	遅延理由区分	区分	遅延理由の有無、場所の識別	「無」「国内有」「国外有」
	嫡出子例外区分	区分	嫡出子判定の審査例外の有無	「無」「有」
	続柄	区分	父母との続柄、養父母との続柄	「長男」「長女」「養子」
	転婚区分	区分	転婚の有無	「無」「有」
	同一戸籍縁組	区分	同一戸籍内の縁組かどうかの判定	「同一戸籍内縁組」
	同一人再婚区分	区分	同一人同士の再婚	「同一人以外」「同一人」
	同時届区分	区分	同時届の識別	「無」「親権者指定届」
	同籍区分	区分	同一戸籍かどうかの識別	「同一戸籍」「他戸籍」
	同籍者有無区分	区分	氏変更等での同籍者の有無	「無」「有」
	同籍者区分	区分	配偶者や構成員などの識別	「無」「配偶者のみ」
	動態区分	区分	人口動態処理の要不要	「要」「不要」
	届書送付目録区分	区分	届書送付目録の有無	「無」「有」
	届書排他区分	区分	届書の状況(データ・ロック)	「未」「排他(使用中)」
	届区分	区分	届出の種類	「創設」「報告」
	届後戸籍での配偶者区分	区分	届後戸籍での配偶者の識別	「未」「生存配偶者」
	届後本籍区分	区分	届後本籍の識別	「入籍」「新本籍編製」
	届出選択番号	区分	届出選択番号の識別	「出生届」「認知届」
	届出人区分	区分	届出人の識別	「届出人」
な				
	名の振り仮名職権記録区分	区分	名の振り仮名が届出によるものか職権記録によるものかを識別	「無」「職権記録」
	入籍相手区分	区分	入籍相手の識別	「無」「父」「母」「父母」
	入籍者種別	区分	入籍の種別	「入籍人単独」「配偶者同時」
	入籍事由区分	区分	入籍事由の種別	「氏を称する入籍」
	認知種別区分	区分	認知の種類の識別	「任意認知」「遺言認知」
	認知承諾者	区分	認知の承諾者の有無、種別	「無」「胎児の母」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

索引	付設対象	方式	目的	付設区分具体例
は				
	配偶者有無区分	区分	配偶者の有無	「無」「有」
	配偶者区分	区分	配偶者の識別と種別	「夫」「妻」「生存配偶者」
	配偶者同一戸籍	区分		「配偶者と同一戸籍」
	廃除した人の資格区分	区分	廃除した人の資格の識別	続柄に同じ
	発行確認区分	区分	除籍等イメージ証明書交付において発行確認の内容を識別	「無」「再製・改製過誤」「重複戸籍」
	発行抑止区分	区分	除籍等イメージ証明書交付においてＤＶ支援措置対象者を識別	「無」「ＤＶ支援措置対象者」「その他注意喚起対象者」
	番号種別	区分	番号の識別	「戸籍番号」「個人番号」
	被後見人区分	区分	被後見人の種別	「未成年者」「禁治産者」
	筆頭者区分	区分	筆頭者と構成員の識別	「筆頭者」「構成員」
	被認知者区分	区分	被認知者の識別	「胎児」「未成年」「成年」
	復する氏区分	区分	復氏届の復する氏の識別	「婚姻直前の氏」
	副本への送信抑止区分	区分	戸籍情報を戸籍副本管理システムへの送信有無を識別	「抑止しない」「抑止する」
	不受理申出区分	区分	不受理申出書の有無	「無」「有」
	不受理申出処分区分	区分	不受理申出対象の届出の処理判定	「可」「不可」
	保佐届出原因	区分	保佐届の原因の識別	「開始:準禁治裁判確定」
	保留区分	区分	保留の有無	「無」「保留」
	本籍・住所コード	桁別	本籍、住所の識別	「北海道…」
	本籍不分明区分	区分	本籍不明者、認識不能者等の届出報告の識別	「死亡届」「92条1の報告」
	本人届出区分	区分	本人届出の有無を識別	「届出人以外」「本人届出」「法定代理人」
	本非区分	区分	本籍と非本籍の識別	「本籍」「非本籍」

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	目的	付設区分具体例
ま				
	埋火葬許可証発行区分	区分	埋葬･火葬許可証の識別	「不要」「火葬許可証」 「埋葬許可証」
	身分事項記録コード	区分	身分事項DBの身分事項記載種別の識別	「子の記載」「母の記載」
	身分事項タイトルコード	区分	身分事項のタイトルの識別	「出生」「子の出生」
	名義使用区分	区分	転籍での夫婦双方の名義使用の識別	「夫」「妻」「未使用」
	メッセージ	合成	確認及びエラー･メッセージの識別	「項目エラーが…」
	戻る戸籍での筆頭者区分	区分	戻る戸籍での筆頭者の識別	「構成員」「筆頭者」
ら				
	離縁申立人区分	区分	離縁申立人の識別	「養子」「養親」
	離婚申立人区分	区分	離婚申立人の識別	「夫」「妻」

第5.8.(2)

コード一覧表

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	コード一覧表	以下コードを追加 ・「改製不適合区分」 ・「検索目的区分」 ・「戸籍種別」
2	R3 連携システムに係る修正	B01、 B02、 B03	コード一覧表	以下コードを追加 ・「不受理申出区分」
3	R3 標準仕様書修正	－		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正 「伺い」を「照会」に変更
4		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
5	R4	B01、 指摘事項管理表№.95	コード一覧表	個人状態ファイルに注意喚起区分を追加したことによる修正 ・注意喚起区分をコードに追加
6		B04		送達確認書の郵送事務が残ることによる修正 ・送達確認区分に「4 送信済」を追加
7		申し送り事項一覧 №.9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ・届書等情報送信区分をコードに追加
8		－		受付事件コードは受付ファイルの構成項目であることから、削除したコードの復活による修正(基準書も同様) ・「4103 未成年後見人更迭」「4112 未成年後見監督人更迭」を復活 後見原因区分の抹消線記載コードを他の処置と合わせて削除する ・「21 更迭:前任者死亡」「22 前任者辞任」「23 前任者改任」「24 前任者資格喪失」
9	2.0 (2023.3.31版)	令和3年度 申し送り事項一覧 №.4	コード一覧表	届書等情報の送信(通知)があった場合のコードを追加 ・在外送付区分に「4:連携情報の通知」を追加 ・受理送付区分に「3:通知」を追加
10		異常処理編_障害時の届書処理通番の採番		障害等により受理地から郵送された届書の処理を、送付地では戸籍情報連携システムと連携ができることにより届書等情報を送信した場合のコードを追加 ・届書等情報送信区分に「2:送付分届書」を追加 障害等により戸籍情報連携システムと通信ができなくなった場合、届書処理通番を戸籍情報システムが採番することの対応 ・番号種別に「4:届書処理通番の連番」を追加
11		令和4年度 調査研究事項 №.7		改製不適合戸籍の仕様を追加 ・戸籍種別に「90 改製不適合戸籍」を追加 ・戸籍除区分に「9 改製不適合戸籍」を追加
12		指摘事項管理表 (1)(2) №.1～3		処分区分に「誤入力」を追加 ・処分区分に「A 誤入力」を追加
13		－		誤記修正 ・身分事項記録コード0505「養子の新戸籍の記録」を「養親の新戸籍の記録」に修正

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
14	2.0 (2023.7.31版)	-	コード一覧表	振り仮名の法制化による修正 ・受付事件コードに「45 氏の振り仮名の届」「46 名の振り仮名の届」「47 氏の振り仮名の変更届」「48 名の振り仮名の変更届」を追加 ・戸籍事項記録コード及び戸籍事項タイトルコードに「45 氏の振り仮名の記録」「47 氏の振り仮名の変更」を追加 ・戸籍事項タイトルコードの「5001 記録」の「*」を削除し、戸籍事項タイトルとして使用する修正 ・事件コードに「45 氏の振り仮名記録」「46 名の振り仮名の記録」「47 氏の振り仮名の変更」「48 名の振り仮名の変更」を追加 ・事件本人区分の「44 筆頭者」「45 配偶者」の備考に「氏の振り仮名の届、氏の振り仮名の変更」を追加 ・事件本人区分に「62 子」「63 名の振り仮名の記録者」「64 名の振り仮名の変更者」を追加 ・届出選択番号に「45 氏の振り仮名の届」「46 名の振り仮名の届」「47 氏の振り仮名の変更届」「48 名の振り仮名の変更届」を追加 ・身分事項記録コード及び身分事項タイトルコードに「46 名の振り仮名の記録」「48 名の振り仮名の変更」を追加 ・身分事項記録コード及び身分事項タイトルコードから「28 氏の変更(107条1項)」「33 転籍」を削除 ・氏の職権記録区分、名の職権記録区分、本人届出区分を追加
15		ー		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ・「破産宣告人区分」「犯歴区分」を削除
16		指摘事項管理表(3)_連携システム_外部IF仕様書 №397		・事件コードに44「胎児死産届」を追加
17		ー		「国籍」を「国籍・地域」に変更する修正 ・身分事項記録コード、身分事項タイトルコードに「外国人配偶者の国籍・地域変更：9002」を追加
18		ー		令和4年度調査研究報告書の対応 ・イメージ除籍に同一人が存在する場合の対応として、「戸籍内同一人区分」を追加 ・イメージ除籍整理の対応として、「発行確認区分」「副本への送信抑止区分」「発行抑止区分」を追加

コード一覧表			作成日付		改訂日付	版
			平成6年12月 1日		令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	インデックス　＊1	出生日		4		表示時は、項目の前後に「【」、「】」を付ける exp. 【出生日】 【出生地】 コード付けはメーカー独自 但し、出力順等の規則有り。ファイル仕様に委ねる。
		出生地				
		届出日				
		届出人				
		↓				
	受付事件コード	出生届	(01)	4		【養子縁組(実方との親族関係終了)】
		出生	0101			
		出生(国籍留保)	0102			
		出生(認知)	0103			
		出生(棄児発見)	0104			
		出生(認知･国籍留保)	0105			
		認知届	(02)			
		認知	0201			
		認知(胎児)	0202			
		認知(遺言)	0203			
		認知(裁判)	0204			
		養子縁組届	(03)			
		養子縁組	0301			
		養子縁組 (実方と親族関係終了)	0302			
		養子離縁届	(04)			
		養子離縁	0401			
		養子離縁(調停)	0402			
		養子離縁(裁判)	0403			
		特別養子縁組届	(05)			
		特別養子縁組	0501			
		特別養子離縁届	(06)			
		特別養子離縁	0601			
		戸籍法73条の2の届	(07)			
		戸籍法73条の2の氏変更	0701			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		戸籍法69条の2の届	(08)			
		戸籍法69条の2の氏変更	0801			
		婚姻届	(09)			
		婚姻	0901			
		離婚届	(10)			
		離婚	1001			
		離婚(調停)	1002			
		離婚(裁判)	1003			
		戸籍法77条の2の届	(11)			
		戸籍法77条の2の氏変更	1101			
		戸籍法75条の2の届	(12)			
		戸籍法75条の2の氏変更	1201			
		親権届	(13)			
		親権者指定	1301			
		親権者指定(調停)	1302			
		親権者指定(裁判)	1303			
		親権者変更(調停)	1304			
		親権者変更(裁判)	1305			
		親権喪失(裁判)	1306			
		管理権喪失(裁判)	1307			
		親権喪失取消し	1308			
		管理権喪失取消し	1309			
		親権者辞任	1310			
		管理権者辞任	1311			
		親権回復	1312			
		管理権回復	1313			
		親権喪失　(嘱託)	1314			
		管理権喪失(嘱託)	1315			
		親権停止代行選任(嘱託)	1316			【親権停止代行者選任(嘱託)】
		親権停止代行改任(嘱託)	1317			【親権停止代行者改任(嘱託)】
		管理権停止代行選任(嘱託)	1318			【管理権停止代行者選任(嘱託)】
		管理権停止代行改任(嘱託)	1319			【管理権停止代行者改任(嘱託)】
		親権停止(嘱託)	1320			2011年6月3日の民法改正により

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		親権停止取消し	1321			新設 2011年6月3日の民法改正により新設
		後見届	(14)			
		後見開始	1401			
		後見終了	1402			
		後見人更迭	1403			
		後見人辞任(嘱託)	1404			
		後見人改任(嘱託)	1405			
		後見命令(嘱託)	1406			
		後見停止代行選任(嘱託)	1407			【後見停止代行者選任(嘱託)】
		後見停止代行改任(嘱託)	1408			【後見停止代行者改任(嘱託)】
		財産管理者改任(嘱託)	1409			
		後見監督開始	1410			
		後見監督終了	1411			
		後見監督人更迭	1412			
		後見監督人辞任(嘱託)	1413			
		後見監督人解任(嘱託)	1414			
		後見監督停止代行選任(嘱託)	1415			【後見監督停止代行者選任(嘱託)】
		財産管理者改任代行改任(嘱託)	1416			【後見監督停止代行者改任(嘱託)】
		後見職務代行改任(嘱託)	1417 *2			
		保佐届	(15)			
		保佐開始	1501			
		保佐終了	1502			
		保佐人更迭	1503			
		保佐人辞任(嘱託)	1504			
		保佐人改任(嘱託)	1505			
		保佐命令(嘱託)	1506			
		保佐停止代行選任(嘱託)	1507			
		保佐停止代行改人(嘱託)	1508			【保佐停止代行者選任(嘱託)】
		財産管理者改任(嘱託)	1509			【保佐停止代行者改任(嘱託)】
		死亡届	(16)			
		死亡	1601			

コード一覧表				作成日付		改訂日付		版
				平成6年12月 1日		令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考	
			死亡(高齢者消除)	1602 *2				
		失踪届		(17)				
			失踪宣告	1701				
		復氏届		(18)				
			復氏	1801				
		姻族関係終了届		(19)				
			姻族関係終了	1901				
		推定相続人廃除届		(20)				
			推定相続人廃除(調停)	2001				
			推定相続人廃除(裁判)	2002				
		入籍届		(21)				
			入籍	2101				
		分籍届		(22)				
			分籍	2201				
		国籍取得届		(23)				
			国籍取得	2301				
		帰化届		(24)				
			帰化	2401				
		国籍喪失届		(25)				
			国籍喪失	2501				
			国籍喪失(国籍離脱)	2502				
		国籍選択届		(26)				
			国籍選択	2601				
		外国国籍喪失届		(27)				
			外国国籍喪失	2701				
		氏の変更届		(28)				
			戸籍法107条1項の氏変更	2801				
		戸籍法107条2項の届		(29)				
			戸籍法107条2項の氏変更	2901				
		戸籍法107条3項の届		(30)				
			戸籍法107条3項の氏変更	3001				
		戸籍107条4項の届		(31)				
			戸籍法107条4項の氏変更	3101				

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		名の変更届	(32)			
		名の変更	3201			
		転籍届	(33)			
		転籍	3301			
		就籍届	(34)			
		就籍	3401			
		縁組取消届	(35)			
		縁組取消し	3501			
		離縁取消届	(36)			
		離縁取消し	3601			
		婚姻取消届	(37)			
		婚姻取消し	3701			
		離婚取消届	(38)			
		離婚取消し	3801			
		失踪宣告取消届	(39)			
		失踪宣告取消し	3901			
		推定相続人廃除取消届	(40)			
		推定相続人廃除取消し(調停)	4001			
		推定相続人廃除取消し(裁判)	4002			
		その他	(44)			
		その他	4401			
		その他(本籍分明)	4402			
		その他(胎児死産)	4403			
		その他(死亡)	4404			
		戸籍訂正	(50)			
		訂正(市区町村長の職権)	5001			
		訂正(戸籍法24条2項)	5002			
		訂正(戸籍法113条)	5003			
		訂正(戸籍法114条)	5004			
		訂正(戸籍法116条)	5005			
		更正	(70)			
		更正	7001			
		続柄の記載更正(嘱託)	7003			平成15年法律第111号3条対応
		続柄の記載更正(申出)	7004			第8.3版にて追加
		追完	(80)			
		追完	8001			
		戸籍再製	(95)			【再製】

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			戸籍再製	9501			
		未成年者の後見届		(41)			
			未成年者の後見開始	4101			
			未成年者の後見終了	4102			
			未成年後見人更迭	4103			
			未成年後見人辞任(嘱託)	4104			
			未成年後見人解任(嘱託)	4105			
			未成年者の後見停止代行者選任(嘱託)	4107			
			未成年者の後見停止代行者改任(嘱託)	4108			
			未成年者の後見監督開始	4110			
			未成年者の後見監督終了	4111			
			未成年後見監督人更迭	4112			
			未成年後見監督人辞任(嘱託)	4113			
			未成年後見監督人解任(嘱託)	4114			
			未成年者の後見監督停止代行者選任(嘱託)	4115			
			未成年者の後見監督停止代行者改任(嘱託)	4116			
			未成年後見人選任(嘱託)	4117			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見人地位喪失	4118			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人選任(嘱託)	4119			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人地位喪失	4120			2011年6月3日の民法改正により新設(民法に明文化されていない)
		未成年者の後見届		(41)			
			未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)	4121			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)	4122			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定め(嘱託)	4123			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)	4124			211年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)	4125			2011年6月3日の民法改正により新設

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消し(嘱託)	4126			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)	4127			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)	4128			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定め(嘱託)	4129			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)	4130			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年者の後見届		(41)			
			未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)	4131			2011年6月3日の民法改正により新設
			未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消し(嘱託)	4132			2011年6月3日の民法改正により新設
		氏の振り仮名の届		(45)			令和5年法律第48号により新設
			氏の振り仮名の記録	4501			
		名の振り仮名の届		(46)			令和5年法律第48号により新設
			名の振り仮名の記録	4601			
		氏の振り仮名の変更届		(47)			統計用にコードを分ける 4701:家裁許可有 4702:家裁許可無
			氏の振り仮名の変更	4701			
			氏の振り仮名の変更	4702			
		名の振り仮名の変更届		(48)			統計用にコードを分ける 4801:家裁許可有 4802:家裁許可無
			名の振り仮名の変更	4801			
			名の振り仮名の変更	4802			
	氏区分	婚姻前の氏		1	1		離縁(同時73の2も含) 離婚(同時77の2も含) 復氏の各届で使い分ける
		転婚前の氏		2			
		新しい氏		3			
	氏の振り仮名職権記録区分	無		0	1		
		職権記録		1			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	縁組離縁形態区分 [縁組･離縁形態区分]	養子と養父	01	2		
		養子と養母	02			
		養子と養父母	03			
		養女と養父	04			
		養女と養母	05			
		養女と養父母	06			
		養子夫婦と養父	07			
		養子夫婦と養母	08			
		養子と養父･養女と養母	09			
		養子と養父･養女と養父母	10			
		養子と養母･養女と養父	11			
		養子と養母･養女と養父母	12			
		養子と養父母･養女と養父	13			
		養子と養父母･養女と養母	14			
		養子と養父母･養女と養父母	15			
	縁組成立法区分 [縁組の準拠法区分]	日本法	0	1		離縁、同時73の2で使用
		日本法以外	1			
	外国人父母区分	父	0	1		
		母	1			
		養父	2			
		養母	3			
	外人区分 [外国人区分]	日本人	0	1		
		外国人	1			
	改製不適合区分	改製不適合戸籍でない	0	1		
		改製不適合戸籍（紙）	1			
		改製不適合戸籍（磁気）	2			
	確認区分	Yes	1	1		
		No	2			
	監護者の有無 [監護者の有無区分]	有	Y	1		面面入力の場合は任意
		無	N			
	管掌者コード*1		数字	4		1～2桁　世代 3～4桁　資格該当者
	関連受領番号*1		数字	7		「受領番号」を参照

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	帰化種別 [帰化の種別区分]	単身者の帰化	1	1		
		夫婦の片方 (日本人配偶者有)	2			[夫婦の片方(日本人配偶者有)]
		夫婦の片方 (日本人配偶者無)	3			[夫婦の片方(日本人配偶者無)]
		夫婦の帰化	4			
	記録区分	戸籍事項記録区分		1		
		既存の記録	0			
		審査結果で記録	1			
		移記処理で記録	2			
		身分事項記録区分				
		既存の記録	0			
		審査結果で記録	1			
		移記処理(事件別)で記録	2			
		移記処理(個人情報)で記録	3			
	共同親権有無区分 [共同親権の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	業務選択番号*1	検索処理	01	2		
		異動処理	02			
		移記事項入力処理	03			
		決裁処理	04			
		証明処理	05			
		統計処理	06			
		帳票出力処理	07			
		各種ファイル更新処理	08			
		受領番号確保処理	09			
		関連業務処理	10			
		訂正・更正・追完、審査結果入力処理	11			
	禁治産者区分	無	0	1		システム自動、手入力個人状態ファイル使用
		有	1			
	決裁区分	未決裁	0	1		『2』は、未使用
		決裁	1			
		修正	3			
		欠番	4			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	元号 [元号区分]	元治	Y	1	慶応以前は、アルファベットを逆順 明治以降は、数字を昇順で使用する	改元の日 (1865)元2.4.7
		慶応	Z			(1865)慶4.9.8
		明治	1			(1912)明45.7.30
		大正	2			(1926)大15.12.25
		昭和	3			(1989)昭64.1.7翌日
		平成	4			(2019)平31.4.30翌日
		令和	5			
	検索目的区分	証明書等の交付業務	1	1		
		戸籍の届出業務	2			
		戸籍の訂正等業務	3			
		戸籍の相談業務	4			
		その他戸籍業務	5			
	後見人区分	後見人	1	1		
		後見監督人	2			
		未成年後見人	3			
		未成年後見監督人	4			
	後見原因区分 [後見届出の原因区分]	開始:親権行使者不在	11	2	1桁:種別 2桁:原因	
		親権行使者管理権喪失	12			
						削除
						削除
						22版削除
		未成年後見監督人就職	16			
						2011年6月3日の民法改正により削除
						削除
		終了:親権者親権回復	32			
		親権者管理権回復	33			
						[被後見人に対する親権回復]削除
		未成年被後見人成年	37			
		未成年被後見人親権に服する	38			
		未成年後見人監督人任務終了	39			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
						22版削除
						22版削除
		嘱託:未成年後見人選任	51			嘱託記載の届書対応により新設(22版)
		未成年後見人選任親権者不在	52			
		未成年後見人選任管理権喪失	53			
		未成年後見監督人選任	54			
	後見人縁組区分	無	0	1		
		有	1			
	更正区分 (父母欄)	無	1	1		
		父	2			
		母	3			
		父母	4			
		養父	5			
		養母	6			
		養父母	7			
		父・養母	8			
		母・養父	9			
	国籍・国名 *1	アイスランド	001	3		各自治体独自で可 (サンプル提示)
		アイルランド	002			
		アゼルバイジャン	003			
		アフガニスタン	004			
		アメリカ合衆国	005			
		アラブ首長国連邦	006			
			:			
			:			
		エジプト	030			
		エストニア	031			
		エティオピア	032			
			:			
			:			
		ケニア	060			
		コスタリカ	061			
		コモロ	062			
			:			
			:			
		セネガル	090			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		セントヴィンセント	091			
			:			
			:			
		ニカラグァ	120			
		ニジェール	121			
			:			
			:			
		ペルー	150			
		ベルギー	151			
			:			
		(国籍未特定)	999	……画面表示の際は、「***」or「---」等で表示		
	国籍取得区分	国籍法3条	1	1		
		国籍法17条1項	2			
		国籍法17条2項	3			
		国籍法附則5条1項	4			
		国籍法附則6条1項	5			
	国籍喪失原因 [国籍喪失の原因区分]	外国籍取得	1	1		
		国籍離脱	2			
		外国籍選択	3			
		国籍選択催告・不選択	4			(国籍喪失で使用)
		国籍喪失宣告	5			
	国籍留保区分	無	0	1		
		父	1			
		母	2			
		父母	3			
		法定代理人	4			
	個人異動区分	(記録なし)	0	1		
		記録	1			
		入籍	2			
		除籍	3			
		入籍除籍	4 *2			表示“入除”

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	個人異動形態区分	異動なし	0	1		
		本→本の異動	1		[本籍地から本籍地への異動]	
		非→本の異動	2		[非本籍地から本籍地への異動]	
		本→非の異動	3		[本籍地から非本籍地への異動]	
	個人除区分 [個人の除籍区分]	在籍者	0	1		
		除籍者	1			
		戸籍消除者	2			
		消除者	3			
		除籍者及び消除者	4			
	個人番号 *1		数字	10		個人単位に自動付番
	戸籍異動区分		0	1		[処理中でない戸籍]
		処理中(データ・ロック)	1			[処理中]
	戸籍事項記録コード		(00)	4		
		戸籍編製事項の記録	0001			
		戸籍消除事項の記録	0002			
		戸籍回復事項の記録	0003			
		戸籍改製事項の記録	0004			
		戸籍再製事項の記録	0005			
		戸籍法73条の2の氏変更	(07)			
		戸籍法73条の2の氏変更の記録	0701			
		戸籍法69条の2の氏変更	(08)			
		戸籍法69条の2の氏変更の記録	0801			
		戸籍法77条の2の氏変更	(11)			
		戸籍法77条の2の氏変更の記録	1101			
		戸籍法75条の2の氏変更	(12)			
		戸籍法75条の2の氏変更の記録	1201			
		戸籍法107条1項の氏変更	(28)			
		戸籍法107条1項の氏変更の記録	2801			
		戸籍法107条2項の氏変更	(29)			
		戸籍法107条2項の氏変更の記録	2901			
		戸籍法107条3項の氏変更	(30)			
		戸籍法107条3項の氏変更の記録	3001			
		戸籍法107条4項の氏変更	(31)			
		戸籍法107条4項の氏変更の記録	3101			
		転籍	(33)			
		転籍の記録	3301			
		氏の振り仮名の記録	(45)			令和5年法律第48号により新

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			氏の振り仮名の記録	4501			設
		氏の振り仮名の変更		(47)			
			氏の振り仮名の変更の記録	4701			
		訂正		(50)			
			基本事項の訂正の記録	5001			
			基本事項の文字訂正の記録	5011			
		記録		(51)			
			基本事項の記録	5101			5101の「*」を削除
		消除		(52)			
			基本事項の消除の記録	5201			
		移記		(53)			
			移記による基本事項の消除	5301			
		入籍		(54)			
			入籍の記録 *	5401			
			父母の入除籍の記録 *	5402			
		除籍		(55)			
			除籍の記録 *	5501			
		回復		(56)			
			回復の記録 *	5601			5601に「*」を追加
		引取り		(57)			
			消除の記録 *	5701			
		子の復籍		(58)			
			父母の入除籍の記録 *	5801			
		更正		(70)			
			基本事項の更正の記録	7001			
			基本事項の文字更正の記録	7011			
		追究		(80)			
			追究の記録	8001			
		外国人配偶者の国籍変更		(90)			
			日本人配偶者の記録 *	9001			
		外国人配偶者の氏名変更		(91)			
			日本人配偶者の記録 *	9101			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項タイトルコード		(00)			
		戸籍編製	0001	4		
		戸籍消除	0002			
		戸籍回復	0003			
		戸籍改製	0004			
		戸籍再製	0005			
		戸籍法73条の2の氏変更	(07)			
		氏の変更	0701			
		戸籍法69条の2の氏変更	(08)			
		氏の変更	0801			
		戸籍法77条の2の氏変更	(11)			
		氏の変更	1101			
		戸籍法75条の2の氏変更	(12)			
		氏の変更	1201			
		戸籍法107条1項の氏変更	(28)			
		氏の変更	2801			
		戸籍法107条2項の氏変更	(29)			
		氏の変更	2901			
		戸籍法107条3項の氏変更	(30)			
		氏の変更	3001			
		戸籍法107条4項の氏変更	(31)			
		氏の変更	3101			
		転籍	(33)			
		転籍	3301			
		氏の振り仮名の記録	(45)			令和5年法律第48号により新設
		氏の変更	4501			
		氏の振り仮名の変更	(47)			令和5年法律第48号により新設
		氏の変更	4701			
		訂正	(50)			
		訂正	5001			
		訂正	5002			段落ちして表示
		文字訂正	5011			
		文字関連訂正	5012			
		文字関連訂正 ＊	5013			段落ちして表示
		文字訂正 ＊	5014			

コード一覧表				作成日付	改訂日付	版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		記録	(51)			
		記録	5101			5101の「*」を削除
		記録	5102			段落ちして表示
		消除	(52)			
		消除	5201			
		移記	(53)			
		移記	5301			
		移記	5302			段落ちして表示
		入籍	(54)			
		入籍 ＊	5401			
		子の入籍 ＊	5402			
		除籍	(55)			
		除籍 ＊	5501			
		回復	(56)			
		回復 ＊	5601			5601に「*」を追加
		引取り	(57)			
		引取り ＊	5701			
		子の復籍	(58)			
		子の復籍 ＊	5801			
		更正	(70)			
		更正	7001			
		更正 ＊	7002			7002に「*」を追加 段落ちして表示
		文字更正	7011			
		文字関連更正	7012			
		文字関連更正 ＊	7013			7013、7014に「*」を追加
		文字更正 ＊	7014			段落ちして表示
		追完	(80)			
		追完	8001			
		追完	8002			段落ちして表示
		外国人配偶者の国籍変更	(90)			
		配偶者の国籍変更 ＊	9001			
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		配偶者の氏名変更 ＊	9101			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍種別	戸籍	1	2		
		除籍	2			
		改製原戸籍	3			
		再製原戸籍	4			
		除籍（電算化前）	5			
		司法大臣原戸	6			
		昭和改製原戸籍	7			
		平成改製原戸籍	8			
		再製原除籍	9			
		再製原新改（平成改製原）	10			
		改製不適合戸籍	90			
	戸籍除区分 [戸籍･除籍区分]	戸籍	0	1		
		除籍	1			
		改製原戸籍	2			
		再製原戸籍	3			
		改製不適合戸籍	9			
	戸籍内同一人区分	存在しない	0	1		手入力 除籍特定ファイル使用
		存在する	1			
	戸籍番号 *1		数字	10		戸籍単位に自動付番
	戸籍編製区分	新戸籍編製	1	1		
		全部除籍	2			
		変動なし	3			
		新戸･全除	4			[新戸籍編製･全部除籍]
	戸籍変動区分	離婚･離婚同時77条の2		1	[離婚のみ]	(画面)
		夫は元の戸籍に戻る	1			
		夫は新戸籍編製	2		[夫は新戸籍を編製する]	婚姻前に戻る者の戸籍区分を入力
		妻は元の戸籍に戻る	3			
		妻は新戸籍編製	4		[妻は新戸籍を編製する]	
		変動なし	5			
		養子縁組				
		養親の現在の戸籍に入る	1			
		養親の新戸籍に入る	2			
		養子夫婦で新しい戸籍をつくる	3			[養子夫婦で新戸籍を編製する]
		養子の戸籍に変動がない	4			
		養子はすべて外国人	5			
		養子離縁				

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			元の戸籍に戻る	1			
			新戸籍を編製する	2			
			戸籍に変動がない	3			
		特別養子縁組					
			本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後養親の戸籍に入る	1			⌊同一本籍地に新戸籍を編製した後養親の戸籍に入る]
			養子の戸籍に変動がない	2			
			本籍と同一の場所に新戸籍をつくる	3			[同一本籍地に新戸籍を編製する]
			その他(外国人の場合等)	4			
		復氏					
			元の戸籍に戻る	1			
			新戸籍編製	2			[新戸籍を編製する]
		入籍					
			既にある戸籍に入る	1			
			父又は母の新戸籍に入る	2			
			新しい戸籍をつくる	3			[新戸籍を編製する]
		国籍取得					
			父母の戸籍に入る	1			
			父の戸籍に入籍	2			[父の戸籍に入る]
			母の戸籍に入籍	3			[母の戸籍に入る]
			国籍喪失時の戸籍に入籍	4			[国籍喪失時の戸籍に入る]
			新戸籍を編製する	5			
		帰化					
			新戸籍編製	1			[新戸籍を編製する]
			父・母(養父・養母)の戸籍に入る	2			
			父・母(養父・養母)で新戸籍編製	3			[父・母(養父・養母)で新戸籍を編製する]
			日本人配偶者の戸籍に入籍	4			[日本人配偶者の戸籍に入る]
			日本人配偶者で新戸籍編製	5			[日本人配偶者の新戸籍を編製する]
			夫の氏の新戸籍編製	6			[夫の氏の新戸籍を編製する]
			妻の氏の新戸籍編製	7			[妻の氏の新戸籍を編製する]

コード一覧表				作成日付	改訂日付	版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		就籍				
		新戸籍編製	1			[新戸籍を編製する]
		父母の現在戸籍に入る	2			[父母の現在の戸籍に入る]
		配偶者の戸籍に入る	3			
	戸籍法107条3項の原因区分	離婚	1	1		
		婚姻取消し	2			
		配偶者死亡	3			
	午前午後区分 [午前･午後区分]	午前	1	1		
		午後	2			
	婚姻区分	未婚	0	1		
		婚姻中	1			
	婚姻事項有無 [婚姻事項の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	在外送付区分 [在外公館からの送付区分]	受理分	0	1		
		国内からの送付	1			
		在外公館の直接送付	2			[在外公館からの直接送付]
		在外公館の間接送付	3			[在外公館から国内を経由]
		連携情報の通知	4			
	裁判所通知区分 [裁判所からの通知区分]	無	0	1		手入力 個人状態ファイル使用
		有	1			
	裁判成立地 [裁判の成立地区分]	日本	0	1		
		外国	1			
	資格区分	[未入力]	000	3		
		父	001			
		母	002			
		母の親権者	003			
		母の後見人	004			
		父母	005			
		夫	006			
		妻	007			
		筆頭者	008			
		配偶者	009			
		養父	010			
		養母	011			
		養父母	012			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		養子	013			
		養子夫婦	014			
		養子の離縁協議者	015			
		親権者父	016			
		親権者母	017			
		親権者父母	018			
		親権者養父	019			
		親権者養母	020			
		親権者養父母	021			
		親権を行なう	022			
		親権者となるべき父	023			
		親権者となるべき母	024			
		親権者となるべき父母	025			
		親権者となるべき養父	026			
		親権者となるべき養母	027			
		親権者となるべき養父母	028			
		親権代行者	029			
		後見人	030			
		後見人父	031			
		後見人母	032			
		後見人夫	033			
		後見人妻	034			
		後見人父母	035			
		後見人養父	036			
		後見人養母	037			
		後見人養父母	038			
		後見人となるべき者	039			
		後見人となるべき父	040			
		後見人となるべき母	041			
		後見人となるべき父母	042			
		後見人となるべき養父	043			
		後見人となるべき養母	044			
		後見人となるべき養父母	045			
		後見監督人	046			
		後見監督人父	047			
		後見監督人母	048			
		後見監督人養父	049			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		後見監督人養母	050			
		後任後見人	051			
		後任後見人父	052			
		後任後見人母	053			
		後任後見人養父	054			
		後任後見人養母	055			
		後任後見監督人	056			
		後任後見監督人父	057			
		後任後見監督人母	058			
		後任後見監督人夫	059			
		後任後見監督人妻	060			
		後任後見監督人養父	061			
		後任後見監督人養母	062			
		保佐人	063			
		保佐人父	064			
		保佐人母	065			
		保佐人夫	066			
		保佐人妻	067			
		保佐人養父	068			
		保佐人養母	069			
		後任保佐人	070			[後任の保佐人]
		後任保佐人父	071			[後任の保佐人父]
		後任保佐人母	072			[後任の保佐人母]
		後任保佐人夫	073			[後任の保佐人夫]
		後任保佐人妻	074			[後任の保佐人妻]
		後任保佐人養父	075			[後任の保佐人養父]
		後任保佐人養母	076			[後任の保佐人養母]
		法定代理人	077			
		特別代理人	078			
		医師	079			
		助産婦	080			
		その他の立会人	081			
		親族	082			
		同居の親族※	083		※両面入力のみ	
		同居していない親族※	084		(死亡)	
		同居者	085			
		家主	086			

コード一覧表			作成日付 平成6年12月 1日	改訂日付 令和5年7月31日		版 2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		地主	087			
		家屋管理人	088			
		土地管理人	089			
		廃除した人	090			
		遺言執行者	091			
		船長	092			
		公設所の長の届出	093 ※1		※病院の長/管理人/監獄の長等 ※2監獄の長等 ※1～3については区分入力し、名称が翻訳された後、具体的な「役職名」を入力する(修正入力)	[公設所の長(届出)]
		公設所の長の報告	094 ※2			[公設所の長(報告)]
		取調官庁又は公署の報告	095 ※3			[取調官庁又は公署(報告)]
		警察官の報告	096 ※2			[警察官(報告)]
		市区町村長	097 ※3			
		事件本人	098			
		その他	099			
		申立人	100			
		相手方	101			
		訴提起者	102		[訴えの提起者]	
		父及び養母	103			
		養父及び母	104			
		子	105			※3:出生届の届出資格
		母の親権者	106			
		成年後見人	107			
		成年後見監督人	108			
		母の未成年後見人	109			
		未成年後見人	110			
		未成年後見人となるべき者	111			
		未成年後見監督人	112			
		後任未成年後見人	113			
		後任未成年後見監督人	114			
		助産師	115			
		補助人	116			
		任意後見人	117			
		任意後見受任者	118			R2.1(令和元年5月法律第17号)
	事件コード	出生	01	2		
		認知	02			
		養子縁組	03			
		養子離縁	04			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		特別養子縁組	05			
		特別養子離縁	06			
		戸籍法73条の2	07			離縁の際に称していた氏を称する届
		戸籍法69条の2	08			
		婚姻	09			
		離婚	10			
		戸籍法77条の2	11			離婚の際に称していた氏を称する届
		戸籍法75条の2	12			
		親権(管理権)	13			
		後見	14			
		保佐	15			
		死亡	16			
		失踪	17			
		復氏	18			
		姻族関係終了	19			
		推定相続人廃除	20			
		入籍	21			
		分籍	22			
		国籍取得	23			
		帰化	24			
		国籍喪失	25			
		国籍選択	26			
		外国国籍喪失	27			
		氏の変更 (戸籍法107条1項)	28			
		戸籍法107条2項	29			[外国人との婚姻による氏の変更届]
		戸籍法107条3項	30			[外国人との離婚による氏の変更届]
		戸籍法107条4項	31			[外国人父母の氏への氏の変更届]
		名の変更	32			
		転籍	33			
		就籍	34			
		縁組取消し	35			
		離縁取消し	36			
		婚姻取消し	37			
		離婚取消し	38			
		失踪宣告取消し	39			
		推定相続人廃除取消し	40			
		未成年者の後見	41			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		胎児死産	44			
		氏の振り仮名の届	45			令和5年法律第48号により新設
		名の振り仮名の届	46			
		氏の振り仮名の変更	47			
		名の振り仮名の変更	48			
		訂正	50 *2			
		記録	51 *2			
		消除	52 *2			
		移記	53 *2			
		入籍	54 *2			
		除籍	55 *2			
		回復	56 *2			
		引取り	57 *2			
		子の復籍	58 *2			
		更正	70 *2			
		追完	80 *2			
		外国人配偶者の国籍変更	90			民二7002号通達では「50」となっている
		外国人配偶者の氏名変更	91 *2			
	事件本人区分	出生子	01	2		出生
		棄児	02			出生
		父	03			出生・親権
		母	04			出生・親権
		被認知者	05			認知
		認知者	06			認知・胎児認知
		胎児の母	07			胎児認知
		養父	08			養子縁組・養子離縁
		養母	09			養子縁組・養子離縁
		養子	10			養子縁組・養子離縁
		養女	11			養子縁組・養子離縁
		夫	12			婚姻・離婚
		妻	13			婚姻・離婚
		氏続称者	14		[従前の氏を称する者]	77の2・73の2
		未成年者	15			親権(管理権)
		親権者	16			親権(管理権)

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		親権喪失者	17			親権(管理権)
		親権喪失取消者	18			親権(管理権)
		親権辞任者	19			親権(管理権)
		親権回復者	20			親権(管理権)
		管理権者	21			親権(管理権)
		管理権喪失者	22			親権(管理権)
		管理権喪失取消者	23			親権(管理権)
		管理権辞任者	24			親権(管理権)
		管理権回復者	25			親権(管理権)
		被後見人	26			後見
		後見人	27			後見
		後見監督人	28			後見
		被保佐人	29			保佐
		保佐人	30			保佐
		死亡者	31			死亡
		失踪者	32			失踪
		失踪取消者	33		[失踪宣告取消者]	失踪
		生存配偶者	34			復氏
		推定相続人	35			推定相続人廃除
		入籍者	36			入籍
		分籍者	37			分籍
		国籍取得者	38			国籍取得
		帰化者	39			帰化
		国籍喪失者	40			国籍喪失
		国籍選択者	41			国籍選択
		外国国籍喪失者	42			外国国籍喪失
		名の変更者	43			名の変更
		筆頭者	44		[戸籍の筆頭者]	転籍、氏の変更、氏の振り仮名の届、氏の振り仮名の変更

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		配偶者	45			転籍、氏の変更、氏の振り仮名の届、氏の振り仮名の変更
		就籍者	46			就籍
			47			欠番
		姻族関係終了者	48			姻族関係終了
		親権協議者	49			親権
		前任後見人	50		[前任の後見人]	後見
		前任後見監督人	51		[前任の後見監督人]	後見
		前任保佐人	52		[前任の保佐人]	保佐
		氏変更者	53		[氏の変更者]	107-2、3、4
		胎児	54			胎児(胎児認知)
		未成年被後見人	55			未成年者の後見
		未成年後見人	56			未成年者の後見
		未成年後見監督人	57			未成年者の後見
		前任の未成年後見人	58			未成年者の後見
		前任の未成年後見監督人	59			未成年者の後見
		親権停止者	60			2011年6月3日の民法改正により新設
		親権停止取消者	61			
		子	62			氏の振り仮名の届、氏の振り仮名の変更届
		名の振り仮名の記録者	63			名の振り仮名の届
		名の振り仮名の変更者	64			名の振り仮名の変更届
		事件本人	99			
	失効区分	(有効)	0	1		不受理ファイルにて使用
		終了	1			
		取下	2			[取下げ]
		失効	3			
	死亡区分	戦死	1	1		
		戦傷死	2			
	就籍原因 [就籍の原因区分]	家庭裁判所の許可	スペース	1		
		国籍の存在確認の審判	1			
		親子関係不存在確認の審判	2			
	出生子区分	嫡出子	1	1		
		準正嫡出子	2			
		非嫡出子	3			
		棄児	4			
	出生証明書区分	無	0	1		

コード一覧表				作成日付	改訂日付	版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		医師･助産婦	1			
		その他	2			
	出生裁判区分 [出生子の裁判区分]	無	0	1		
		嫡出否認	1			
		親子関係不存在	2			
		父を定める訴え	3			
		強制認知	4			[認知]
	出生親権区分 [出生子の親権区分]	無	0	1		
		調停	1			
		裁判	2			
	出張所番号 *1		数字	3		
	出力区分	可	0又は空文字	1		
		不可	0以外の数字			
	種別(裁判)区分	親権		1		
		協議	1			
		調停成立	2			
		許可の審判	3			
		審判確定	4			
		推定相続人廃除				
		調停成立	1			
		審判確定	2			第13版で修正
		判決	3			
		養子離縁				
		協議離縁	1			
		裁判離縁(調停)	2			
		裁判離縁(審判)	3			
		裁判離縁(判決)	4			
		死亡者との離縁	5			
		協議+死亡者	6			
		外国方式の離縁	7			[外国の方式による離縁] 人事訴訟法制定に伴い追加
		裁判離縁(和解)	8			
		裁判離縁(認諾)	9			

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
		離婚					
			協議離婚	1			
			裁判離婚(調停)	2			
			裁判離婚(審判)	3			
			裁判離婚(判決)	4			
			裁判離婚(和解)	5			
			裁判離婚(認諾)	6			人事訴訟法制定に伴い追加
	受理処理照会区分 [受理照会・処理照会区分]	無		0	1		個人状態ファイル
		照会中		1			
	受理送付区分 [受理・送付区分]	受理		1	1		
		送付		2			
		通知		3			
	受領番号			数字	10 (8)	1～2桁: 西暦上2桁 3～4桁: 西暦下2桁 5～9桁: 順番号 10桁: 枝番(初期0)	受付単位に自動付番 西暦上2桁は昇順キーとしてのみ使用し表示しない
	準禁治産者区分	無		0	1		システム自動、手入力 個人状態ファイル使用
		有		1			
	渉外区分	(日本人)		0	1		検索入力時のみスペースで全検索 "0"は一覧表示の時は空欄表示
		渉外		1			
		外国人		2			
	証書提出区分	届出		0	1		
		戸籍法41条証書提出		1			
	称する氏区分	夫の氏		1	1		
		妻の氏		2			
		変更なし		3			(渉外の場合)
	初再婚区分 [初婚・再婚区分]	初婚		0	1		
		再婚(死別)		1			
		再婚(離別)		2			
	除籍事由 [除籍事由区分]	夫の縁組		1	1		
		妻の縁組		2			
	処分区分	受理		1	1		受理は一覧表示の時は空欄表示 表示用:"受理照" 表示用:"処理照"
		不受理		2			
		受理照会		3			
		処理照会		4			
		返戻		5			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		取下げ	6			
		保留	7			
		受理処分の撤回	8			表示用:"受撤回"
		誤処理	9			
		誤入力	A			
	親権指定者の有無 [親権指定者の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	親権者区分	父	1	1		
		母	2			
		養父	3			
		養母	4			
	親権届出区分	親権者指定	01	2		
		親権者変更	02			
		親権喪失	03			
		親権辞任	04			
		親権回復	05			
		管理権喪失	06			
		管理権辞任	07			[管理権者辞任]
		管理権回復	08			
	審査完了区分	未	0	1		
		完了	1			[未了]
	審査の準拠法 [審査の準拠法区分]	日本法	0	1		
		外国法(認知者)	1			
		外国法(子又は母)	2			
	審査不可区分	(なし)	0	1		
		国籍法改正前の渉外婚姻で父母(養父母)の戸籍に在籍する者	1			
		昭和32年法務省令による改製作業における筆頭者の申出	2			
	推定区分	(なし)	0	1		
		推定	1			
	生死区分	生存者	0	1		
		死亡者	1			
	成年区分	未成年	1	1		
		成年	2			
		成年擬制	3			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	性別 [性別区分]	男	1	1		
		女	2			
		不詳	3			(不詳表示は、空欄)
	世帯員区分 *1	世帯主	1	1		
		構成員	2			
	世帯主との続柄 *1	世帯主	01	6	1～2桁 第一世代 3～4桁 第二世代 5～6桁 第三世代	(サンプル提示) 住民基本台帳事務処理要領に準拠する
		妻	02			
		夫	03			
		妻　未届	04			
		夫　未届	05			
		長男	11			
		二男	12			
		↓	↓			
		九男	19			
		十男	20			
		↓	↓			
		十九男	29			
		長女	31			
		二女	32			
		↓	↓			
		九女	39			
		十女	40			
		↓	↓			
		十九女	49			
		子	50			
		養子	51			
		養女	52			
		養父	53			
		養母	54			
		父	61			
		母	62			
		兄	63			
		弟	64			
		姉	65			
		妹	66			
		縁故者	70			
		同居人	80			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	操作員資格区分	適	0	1		各業務単位に、適・不適の区分を付設 パスワードファイルで使用
		不適	1			
	喪失原因区分	外国国籍の取得	1	1		
		重国籍者の国籍離脱	2			
		重国籍者の国籍選択	3			
		国籍選択の催告後の国籍喪失	4			
		国籍喪失の宣言	5			
	送達確認区分	不要	0	1		
		未到着	1			
		到着済	2			
		送達中	3			
		送信済	4			
	送付書類区分	無	0	1		次の送付書類単位に有無の区分を付設 届書 不受理申出 胎児認知 9条2項通知 19条2項通知
		有	1			
	胎児認知区分	無	0	1		不受理ファイル使用
		有	1			
	代諾者有無区分 [代諾者の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	遅延理由区分	無	0	1		
		国内有	1			
		国外有	2			
	嫡出子例外区分	無	0	1		
		有	1			
	注意喚起区分	無	0	1		手入力 個人状態ファイル使用
		ＤＶ支援措置対象者	1			
		その他注意喚起対象者	2			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	続柄 [続柄区分]	男	10	2		(父母との続柄)
		長男	11			
		二男	12			
		↓	↓			
		九男	19			
		十男	20			
		↓	↓			
		十九男	29			
		女	30			
		長女	31			
		二女	32			
		↓	↓			
		九女	39			
		十女	40			
		↓	↓			
		十九女	49			
		養子	51			(養父母との続柄)
		養女	52			
		[空欄]	99			
	転婚区分	無	0	1		
		有	1			
	同一戸籍縁組 [同一戸籍での縁組区分]	その他	0	1		[同一戸籍外の縁組] [同一戸籍内での縁組]
		同一戸籍内縁組	1			
	同一人再婚区分	同一人同士以外の再婚	0	1		共同親権用区分 (女性のみ)
		同一人同士の再婚	1			
	同時届区分 [同時届出区分]	無	0	1		離縁、同時73の2で使用
		親権者指定届	1			
		未成年後見開始届	2			
	同籍区分	同一戸籍	0	1		
		他戸籍	1			
	同籍者有無区分	有	0	1		
		無	1			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	同籍者区分	無	0	1		
		配偶者のみ	1			
		配偶者+他構成員	2			[同籍者+他構成員]
		他構成員のみ	3			[他の構成員のみ]
	動態区分 *1	不要	0	1		
		要	1			
	届書送付目録区分	不要	0	1		市町村内に届書あり
		要	1			法務局に届書あり
		目録送付済	2			
	届書等情報送信区分	届書郵送	0又は空白	1		処理通番ファイルで使用
		届書送信	1			
		送付分届書	2			
	届書排他区分 [届書の使用区分]	未	0	1		
		排他(使用中)	1			[使用中]
	届区分 [届出区分]	創設	1	1		[創設的届出]
		報告	2			[報告的届出]
	届後戸籍での配偶者区分 [届出後の戸籍における配偶者区分]	未	0	1		配偶者区分の一部
		生存配偶者	3			
	届後本籍区分 [届出後の本籍区分]	入籍	1	1		受付(共通)
		新戸籍編製	2			
	届出選択番号 [届出番号区分]	出生届	1	2		
		認知届	2			
		養子縁組届	3			(1:[離縁の際に称していた氏を称する届(戸籍法73条の2の届)]
		養子離縁届	4			
		特別養子縁組届	5			
		特別養子離縁届	6			(2:[養子離縁届と同時の離縁の際に称していた氏を称する届(戸籍法73条の2の届)]
		戸籍法73条の2届 (1	7			
		養子離縁届 同時戸籍法 (2 73条の2届	8			
		婚姻届	9			(3:[離婚の際に称していた氏を称する届(戸籍法77条2の届)]
		離婚届	10			
		戸籍法77条の2届 (3	11			(4:[離婚届と同時の離婚の際に称していた氏を称する届(戸籍法77条の2の届)]
		離婚届 同時戸籍法77条 (4 の2届	12			
		親権(管理権)届	13			
		後見届	14			
		保佐届	15			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		死亡届	16			
		失踪届	17			
		復氏届	18			
		姻族関係終了届	19			
		推定相続人廃除届	20			
		入籍届	21			
		分籍届	22			
		国籍取得届	23			
		帰化届	24			
		国籍喪失届	25			
		国籍選択届	26			
		外国国籍喪失届	27			
		氏の変更届 (5	28			(5: [氏の変更届(戸籍法107条1項の届)] (6: 外国人との婚姻による氏の変更届(戸籍法107条2項の届)] (7: [外国人との離婚による氏の変更届(戸籍法107条3項の届)] (8: [外国人父母の氏への氏の変更届(戸籍法107条4項の届)]
		戸籍法107条2項届 (6	29			
		戸籍法107条3項届 (7	30			
		戸籍法107条4項届 (8	31			
		名の変更届	32			
		転籍届	33			
		就籍届	34			
		縁組取消届	35 *3			
		離縁取消届	36 *3			
		婚姻取消届	37 *3			
		離婚取消届	38 *3			
		失踪宣告取消届	39 *3			
		推定相続人廃除取消届	40 *3			
		氏の振り仮名の届	45			令和5年法律第48号により新設
		名の振り仮名の届	46			
		氏の振り仮名の変更届	47			
		名の振り仮名の変更届	48			
		受理指示	50			
		不受理指示	51 *3			
	届出人区分	届出人以外	0	1		
		届出人	1			
	名の振り仮名職権記録区分	無	0	1		
		職権記録	1			
	入籍相手区分	無	1	1		
		父	2			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		母	3			
		父母	4			
		養父	5			
		養母	6			
		養父母	7			
		父及び養母	8			
		母及び養父	9			
	入籍者種別 [入籍者の種別区分]	入籍人単独	1	1		[単独入籍]
		配偶者同時	2			[配偶者と同時入籍]
		入籍人複数	3			[複数人の入籍]
	入籍事由区分	氏を称する入籍	1	1		
		同籍する入籍	2			
		従前の氏を称する入籍	3			
	認知種別区分 [認知の種別区分]	任意認知	1	1		
		裁判認知	2			
	認知承諾者 [認知の承諾者区分]	無	0	1		
		胎児の母	1			
		成年者	2			
		その他	3			
	配偶者有無区分	無	0	1		
		有	1			
	配偶者区分	未	0	1		
		夫	1			
		妻	2			
		生存配偶者	3			
	配偶者同一戸籍 [配偶者との同一戸籍区分]	その他	0	1		
		配偶者と同一戸籍	1			
	廃除した人の資格区分 [推定相続人を廃除した人の資格区分]	父	001	3		
		母	002			
		養父	010			
		養母	011			
		その他	099			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	発行確認区分	無	0	1		手入力 除籍特定ファイル使用
		再製・改製過誤	1			
		戸籍回復前戸籍	2			
		その他要確認	3			
		重複戸籍	A			
		○本戸籍	B			
	発行抑止区分	無	0	1		手入力 除籍特定ファイル使用
		ＤＶ支援措置対象者	1			
		その他注意喚起対象者	2			
	番号種別 [番号の種別区分]	戸籍番号	1	1		番号取得ファイルでの種別
		個人番号	2			
		受領番号	3			
		届書処理通番の連番	4			
	被後見人区分	未成年者	1	1		
		禁治産者	2			
	筆頭者区分	筆頭者以外	0	1		筆頭者も構成員であるが"0"を構成員として表示可
		筆頭者	1			
	被認知者区分	胎児	1	1		
		未成年	2			
		成年	3			
	復する氏区分 [復する氏の区分]	婚姻直前の氏	1	1		[婚姻直前の氏以外の氏]
		婚姻直前以外の氏	2			
		新しい氏	3			
	副本への送信抑止区分	抑止しない	0	1		手入力 除籍特定ファイル使用
		抑止する	1			
	不受理申出区分	無	0	1		
		有	1			
	不受理申出処分区分 [不受理申出の処分区分]	可	0	1		
		不可	1			
	保佐届出原因 [保佐届の原因区分]			2	1桁：種別 2桁：原因	削除
		更迭:前任者死亡	21			[更迭:前任者の死亡]
		前任者辞任	22			[　　:前任者の辞任]
		前任者解任	23			[　　:前任者の解任]
		前任者資格喪失	24			[　　:前任者の資格喪失]
		終了:準禁治取消確定	31			[終了:準禁治産宣告の取消し確定]
	保留区分	無	0	1		個人状態ファイル

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		保留中	1			
	本籍・住所コード ＊1	北海道……	01……	15 (11)	1～2桁 都道府県 (JISコード) 01～47 都道府県名 3～5桁 市区町村 (JISコード) 101～199 指定都市名・区名及び特別区名 201～299 市名 301～799 郡名及び町村名 6～8桁 大字・通称 001～999 大字・通称名 9～11桁 字・丁目 001～099 丁目 101～999 字名・小字名・通称名	(サンプル表示)
		↓	↓			
		↓	↓			
		青森県……	02……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		福島県……	07……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		東京都千代田区…	1310102……			
		東京都千代田区一番町	13101002000			
		↓	↓			
		↓	↓			
		静岡県浜松市幸3丁目	22202077003			
		静岡県浜松市幸4丁目	22202077004			
		静岡県浜松市幸5丁目	22202077005			
		↓	↓			
		↓	↓			
		大阪府……	27……			
		大阪府東大阪市……	2722707……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		広島県……	34……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		佐賀県……	41……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		鹿児島県……	46……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		沖縄県……	47……			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	本籍不分明区分	死亡届	0	1		
		戸籍法92条1項の報告	1			
		戸籍法92条2項の報告	2			
		戸籍法92条3項の届出	3			
		身元不明者の死亡届	4			
		本籍分明	5			
	本人届出区分	届出人以外	0	1		
		本人届出	1			
		法定代理人	2			
	本非区分 [本籍・非本籍区分]	本籍	1	1		届書の本非区分 個人(又は戸籍)の本非区分を兼ねる 届書の本非区分 1:本籍分届 2：非本籍分届 個人(又は戸籍)の本非区分 1:本籍人 2：非本籍人とみなす
	埋火葬許可証発行区分 [埋火葬許可証の発行区分]	不要	0	1		
		火葬許可証	1			
		埋葬許可証	2			
	身分事項記録コード	出生	(01)	4		昭和45年3月31日法務省令85号による改正前の記載例
		子の記録	0101			
		父母の記録	0102			
		認知	(02)			
		被認知者の記録	0201			
		認知者の記録	0202			
		被認知者の直系卑属の記録	0203			
		養子縁組	(03)			
		養子の記録	0301			
		養親の記録	0302			
		養子の配偶者の記録	0303			
		養子離縁	(04)			
		養子の記録	0401			
		養親の記録	0402			
		養子の配偶者の記録	0403			
		特別養子縁組	(05)			

コード一覧表				作成日付		改訂日付		版
				平成6年12月 1日		令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考	
			養子の従前の戸籍の記録	0501				
			養子の新戸籍の記録	0502				
			養子の入籍戸籍の記録	0503				
			養親の記録	0504			養子が外国人の場合の記録	
			養親の新戸籍の記録	0505				
		特別養子離縁		(06)				
			養子の記録	0601				
			養親の記録	0602			養子が外国人の場合の記録	
		戸籍法73条の2		(07)				
			縁氏続称者の記録	0701			[縁氏を称する者の記録]	
			縁氏続称者の配偶者の記録	0702			[縁氏を称する者の配偶者の記録]	
		戸籍法69条の2		(08)				
			縁氏続称者の記録	0801			[縁氏を称する者の記録]	
			縁氏続称者の配偶者の記録	0802			[縁氏を称する者の配偶者の記録]	
		婚姻		(09)				
			夫又は妻の記録	0901				
		離婚		(10)				
			夫又は妻の記録	1001				
			夫又は妻の養父母の記録	1002				
		戸籍法77条の2		(11)				
			婚氏続称者の記録	1101			[婚氏を称する者の記録]	
			婚氏続称者の配偶者の記録	1102			[婚氏を称する者の配偶者の記録]	
		戸籍法75条の2		(12)				
			婚氏続称者の記録	1201			[婚氏を称する者の記録]	
			婚氏続称者の配偶者の記録	1202			[婚氏を称する者の(配偶者)の記録]	
		親権(管理権)		(13)				
			親権に服する者の記録	1301				
		後見		(14)				
			被後見人の記録	1401				
		保佐		(15)				
			準禁治産者の記録	1501				
		死亡		(16)				
			死亡者の記録	1601				

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			死亡者の生存配偶者の記録	1602			
			高齢者消除の記録	1603			
		失踪		(17)			
			失踪者の記録	1701			
			失踪者の生存配偶者の記録	1702			
		復氏		(18)			
			復氏者の記録	1801			
			復氏者の配偶者の記録	1802			
		姻族関係終了		(19)			
			姻族関係を終了した生存配偶者の記録	1901			
		推定相続人廃除		(20)			
			推定相続人廃除をされた者の記録	2001			
		入籍		(21)			
			入籍する者の記録	2101			
			子の入籍による父又は母の記録	2102			
			入籍する者の配偶者の記録	2103			
		分籍		(22)			
			分籍者の記録	2201			
		国籍取得		(23)			
			国籍取得者の記録	2301			
			国籍取得者の父母の記録	2302			
			国籍取得者の養父母の記録	2303			
			国籍取得者の配偶者の記録	2304			
			国籍取得者の子の記録	2305			
			国籍取得者の養子の記録	2306			
			未成年後見人の国籍取得の記録	2309			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		帰化	(24)			
		帰化者の記録	2401			
		帰化者の父母の記録	2402			
		帰化者の養父母の記録	2403			
		帰化者の配偶者の記録	2404			
		帰化者の子の記録	2405			
		帰化者の養子の記録	2406			
		後見人の帰化の記録	2407			
		保佐人の帰化の記録	2408			
		未成年後見人の帰化の記録	2409			
		国籍喪失	(25)			
		国籍喪失者の記録	2501			
		国籍喪失者の配偶者の記録	2502			
		国籍選択	(26)			
		国籍選択者の記録	2601			
		外国国籍喪失	(27)			
		外国国籍喪失者の記録	2701			
		戸籍法107条2項	(29)			
		戸籍法107条2項の氏変更の変更者の記録	2901			
		戸籍法107条3項	(30)			
		戸籍法107条3項の氏変更の変更者の記録	3001			
		戸籍法107条3項の氏変更の変更者の配偶者の記録	3002			
		戸籍法107条4項	(31)			
		戸籍法107条4項の氏変更の変更者の記録	3101			
		名の変更	(32)			
		名の変更者の記録	3201			
		就籍	(34)			
		就籍者の記録	3401			
		縁組取消	(35)			
		養子の記録	3501			
		養親の記録	3502			
		養子の配偶者の記録	3503			
		離縁取消	(36)			
		養子の記録	3601			
		養親の記録	3602			
		養子の配偶者の記録	3603			
		婚姻取消し	(37)			

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			夫又は妻の記録	3701			
		離婚取消し		(38)			
			夫又は妻の記録	3801			
		失踪宣告取消し		(39)			
			失踪宣告を取り消された者の記録	3901			
			失踪宣告を取り消された者の配偶者の記録	3902			
		推定相続人廃除取消し		(40)			
			推定相続人廃除を取り消された者の記録	4001			
		未成年者の後見		(41)			
			未成年後見を受ける者の記録	4101			
		名の振り仮名の記録		(46)			
			名の振り仮名の記録	4601			
		名の振り仮名の変更		(48)			
			名の振り仮名の変更者の記録	4801			
		訂正		(50)			
			基本事項の訂正の記録	5001			
			基本事項の文字訂正の記録	5011			
		記録		(51)			
			基本事項の記録	5101			
		消除		(52)			
			基本事項の消除の記録	5201			
		移記		(53)			
			移記による基本事項の消除の記録	5301			
		入籍		(54)			
			入籍の記録	5401			
			父母の入除籍の記録	5402			
		除籍		(55)			
			除籍の記録	5501			
		回復		(56)			
			回復の記録	5601			
		引取り		(57)			
			消除の記録	5701			
		子の復籍		(58)			
			父母の入除籍の記録	5801			

コード一覧表				作成日付	改訂日付	版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		更正	(70)			
		基本事項の更正の記録	7001			
		性別変更の記録	7003			平成１５年法律第１１１号３条対応
		基本事項の文字更正の記録	7011			
		追完	(80)			
		追完の記録	8001			
		外国人配偶者の国籍変更	(90)			
		日本人配偶者の記録	9001			
		外国人配偶者の国籍・地域変更	(90)			
		日本人配偶者の記録	9002			
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		日本人配偶者の記録	9101			
	身分事項タイトルコード	出生	(01)	4		
		出生	0101			
		子の出生	0102			
		認知	(02)			
		認知	0201			0202は欠番
		親に対する認知	0203			[死亡した子の認知]
		養子縁組	(03)			
		養子縁組	0301			
		配偶者の縁組	0302			
		婿養子縁組	0303			
		養子離縁	(04)			
		養子離縁	0401			
		配偶者の離縁	0402			
		特別養子縁組	(05)			
		特別養子縁組	0501			
		民法817条の2	0502			[特別養子縁組の審判]
		特別養子離縁	(06)			
		特別養子離縁	0601			
		戸籍法73条の2の氏変更	(07)			
		氏の変更	0701			
		配偶者の氏の変更	0702			

コード一覧表				作成日付		改訂日付	版
				平成6年12月 1日		令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
		戸籍法69条の2の氏変更		(08)			
			氏の変更	0801			
			配偶者の氏の変更	0802			
		婚姻		(09)			
			婚姻	0901			
			婿養子縁組婚姻	0902			
			入夫婚姻	0903			
		離婚		(10)			
			離婚	1001			
			養子の離婚	1002			
		戸籍法77条の2の氏変更		(11)			
			氏の変更	1101			
			配偶者の氏の変更	1102			
		戸籍法75条の2の氏変更		(12)			
			氏の変更	1201			
			配偶者の氏の変更	1202			
		親権(管理権)		(13)			
			親権	1301			
		後見		(14)			
			後見	1401			
		保佐		(15)			
			保佐	1501			
		死亡		(16)			
			死亡	1601			
			配偶者の死亡	1602			
			高齢者消除	1603			
		失踪宣告		(17)			
			失踪宣告	1701			
			配偶者の失踪宣告	1702			
		復氏		(18)			
			復氏	1801			
			配偶者の復氏	1802			
		姻族関係終了		(19)			
			姻族関係終了	1901			
		推定相続人廃除		(20)			
			推定相続人廃除	2001			
		入籍		(21)			

コード一覧表				作成日付	改訂日付		版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
			入籍	2101			
			子の入籍	2102			
			配偶者の入籍	2103			
		分籍		(22)			
			分籍	2201			
		国籍取得		(23)			
			国籍取得	2301			
			子の国籍取得	2302			
			養子の国籍取得	2303			
			配偶者の国籍取得	2304			
			親の国籍取得	2305			
			養親の国籍取得	2306			
			未成年後見人の国籍取得	2309			
		帰化		(24)			
			帰化	2401			
			子の帰化	2402			
			養子の帰化	2403			
			配偶者の帰化	2404			
			親の帰化	2405			
			養親の帰化	2406			
			後見人の帰化	2407			
			保佐人の帰化	2408			
			未成年後見人の帰化	2409			
		国籍喪失		(25)			
			国籍喪失	2501			
			配偶者の国籍喪失	2502			
		国籍選択		(26)			
			国籍選択	2601			
		外国国籍喪失		(27)			
			外国国籍喪失	2701			
		戸籍法107条2項の氏変更		(29)			
			氏の変更	2901			
		戸籍法107条3項の氏変更		(30)			
			氏の変更	3001			
			配偶者の氏の変更	3002			
		戸籍法107条4項の氏変更		(31)			
			氏の変更	3101			

コード一覧表				作成日付	改訂日付	版
				平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		名の変更	(32)			
		名の変更	3201			
		就籍	(34)			
		就籍	3401			
		縁組取消し	(35)			
		養子縁組取消し	3501			
		配偶者の養子縁組取消し	3502			
		離縁取消し	(36)			
		養子離縁取消し	3601			
		配偶者の養子離縁取消し	3602			
		婚姻取消し	(37)			
		婚姻取消し	3701			
		離婚取消し	(38)			
		離婚取消し	3801			
		失踪宣告取消し	(39)			
		失踪宣告取消し	3901			
		配偶者の失踪宣告取消し	3902			
		推定相続人廃除取消し	(40)			
		推定相続人廃除取消し	4001			
		未成年者の後見	(41)			
		未成年者の後見	4101			
		名の振り仮名の記録	(46)			
		名の変更	4601			
		名の振り仮名の変更	(48)			
		名の変更	4801			
		訂正	(50)			
		訂正	5001			
		訂正	5002			段落ちして表示
		文字訂正	5011			
		文字関連訂正	5012			
		文字関連訂正	5013			段落ちして表示
		文字訂正	5014			段落ちして表示

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		記録	(51)			
		記録	5101			
		記録	5102			段落ちして表示
		消除	(52)			
		消除	5201			
		移記	(53)			
		移記	5301			
		移記	5302			段落ちして表示
		入籍	(54)			
		入籍	5401			
		子の入籍	5402			
		除籍	(55)			
		除籍	5501			
		回復	(56)			
		回復	5601			
		引取り	(57)			
		引取り	5701			
		子の復籍	(58)			
		子の復籍	5801			
		更正	(70)			
		更正	7001			
		更正	7002			段落ちして表示
		平成１５年法律第１１１号３条	7003			平成１５年法律第１１１号３条対応
		文字更正	7011			
		文字関連更正	7012			
		文字関連更正	7013			
		文字更正	7014			段落ちして表示
		追完	(80)			
		追完	8001			
		追完	8002			
		外国人配偶者の国籍変更	(90)			
		配偶者の国籍変更	9001			
		外国人配偶者の国籍・地域変更	(90)			
		配偶者の国籍・地域変更	9002			

コード一覧表			作成日付	改訂日付		版
			平成6年12月 1日	令和5年7月31日		2.0
No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		配偶者の氏名変更	9101			
	名義使用区分 [夫婦名義の使用区分]	未使用	0	1		(夫婦双方の名義使用)
		夫	1			
		妻	2			
	メッセージ *1			6		メッセージ一覧を参照
	戻る戸籍での筆頭者区分 [戻る戸籍における筆頭者区分]	構成員	0	1		筆頭者区分と同じ
		筆頭者	1			
	離縁申立人区分	養子(法定代理人含む)	1	1		
		養親	2			
	離婚申立人区分	無	0	1		
		夫	1			
		妻	2			

「段落ちして表示」は、右へ2桁ずらして表示

[ ]及び【 】内は、民二7002号通達での名称

＊ … 身分事項のみ使用

*1 民二7002号通達にない付設対象

*2 民二7002号通達にないコード

*3 民二7002号通達と異なるコード

第5.8.(3)

メッセージ一覧表

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	メッセージ一覧表	・副本記録情報検索処理に係るメッセージを追加
2	R2.1		メッセージ一覧表	以下のメッセージを追加 C02043、C02044、C02045、C03042、C06034、C06035、C06036、 C06037、C07007、C07008、C08071、C08072、C08073、C11063、 E11025、M10011、S06019、S08011、S09021、S09022、S09023、S11013
3	R3 情報連携システムに係る修正	B01、 B02、 B03	メッセージ一覧表	・該当の胎児認知届がないことのメッセージをM05に追加
4		B04		・表示する画像情報がないことのメッセージをM03に追加 ・情報を登録した、情報を削除した、情報がない、情報を送信した、 ことのメッセージをM04に追加 ・送付先市区町村情報更新の追加で以下のメッセージを追加 C03043、C03044、C01020 ・申入書情報更新の追加で以下のメッセージを追加 C04049、M05007 ・送付分届書等振分け処理の追加で以下のメッセージを追加 M08005、C02046
5		－		「届書入力処理以外の誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
6	R3 標準仕様書修正	ﾒｯｾｰｼﾞ123		・在外公館から送付された胎児認知届に係るメッセージを追加
7		－		・実際のメッセージとメッセージ一覧表の差異を修正
8	2.0 (2023.3.31版)	ﾒｯｾｰｼﾞ132	メッセージ一覧表	戸籍法第107条4項の届出による追加 ・C11064
9		ﾒｯｾｰｼﾞ134		誤記修正 ・C05028
10				標準仕様書の修正に伴う修正 ・C03008、C03009
11	2.0 (2023.7.31版)	―	メッセージ一覧表	誤記修正 ・C11037

第5.8.(3)メッセージ一覧表

(1) 作成の目的

新システムのオンライン画面で使用する各種「メッセージ」をコードと対応して、一覧できるようにするために作成した。

(2) 作成方法

一覧表の記入内容は、次のとおりである。

ア コード　　コードを記入する。

コードの上1桁の意味は、以下のとおりである。

「C」:確認メッセージ

「S」:審査メッセージ

「E」:エラーメッセージ

「M」:メッセージ

イ　メッセージ　　コードに置き換えられる「メッセージ」項目名を記入する。

(3) メッセージ一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	コード一覧表					

戸籍システムにおけるメッセージは、コード体系上、以下のように4つに区分けしている。
但し、基準書においては、「確認メッセージ」「エラーメッセージ」で示してある。

(1)確認メッセージ
入力審査の場合で、入力項目だけでは審査できないもの(exp.添付資料等の有無及び内容確認、審査に例外がある場合の対応等)の判断を操作員に促すものである。この確認メッセージには、常に応答入力が必要であり、通常、「Yes」の場合は処理を続行し、「No」入力の場合は処理停止となる。処理停止の場合でも審査続行の特別な処理(exp.特殊キーを押下)をした時のみ、基準書(要件定義書の根拠法令欄)で示してある「不受理」「照会」等をシステム審査の処分値として処理を続行できる。但し、例外的に審査ロジック分岐の判断を、操作員に確認してもらう為に使用する場合もある。この時は、処分に影響はない。

(2)審査メッセージ
入力審査を行い審査不可となった状況を操作員に知らせるものであり、応答入力を必要としないメッセージとして表示され、処理は停止状態となる。処理を続行させるには、審査続行の特別な処理をするが、システム審査の処分値として常に「不受理」である。

(3)エラーメッセージ
応答入力を必要としないメッセージで、処理の続行が不可(処理停止)の場合に表示されるものである。

(4)メッセージ
応答入力を必要としないメッセージで、処理に影響を与えず、操作員に注意及び操作指示等を促すものである。

△:特別な処理により審査続行可能

NO	基準書上でのメッセージ表記	コード体系上でのメッセージ表記	コード	届書入力―審査(××届)						届書入力以外				メッセージ例
					応答入力		処分	審査継続	エラー履歴		応答入力		処理継続	
1	確認メッセージ	確認メッセージ	C	○	○	Yes	―	○	○	○	○	Yes	○	医師の診断書があり、内容を確認しましたか?
						No	不受理 照会等	△				No		
2	エラーメッセージ	審査ﾒｯｾｰｼﾞ	S	○	×	―	不受理	△	○					強制認知による胎児認知はできません。
		エラーﾒｯｾｰｼﾞ	E	○	×	―	―	×	×	○	×	―	×	審査結果入力で入力して下さい。
		メッセージ	M	○	×	―	―	○	×	○	×	―	○	

[注意] 1.届出入力―審査(××届)における、応答入力に対する処分や分岐等は、基準書要件定義書の備考欄に記述されているものをチェック―優先―する。
2.メッセージについては、今後、若干の変更を伴う可能性があります。随時、変更修正できるように配慮して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
C01001	相手方から10日以内の届出です。受理してもいいですか?
C01002	医師の診断書があり、内容を確認しましたか?
C01003	医師の診断書の内容を確認して下さい。
C01004	医師の診断書の内容を確認しましたか?
C01005	姻族関係終了を認めたその国の証明書が添付されていますか?
C01006	縁氏続称者の他には在籍者はいませんね。
C01007	縁氏続称者は、離縁復氏から現在まで氏を変更していませんね。
C01008	縁組の保護要件等は養子の本国法によります。保護要件等は審査済みですか?
C01009	縁組の保護要件等は養女の本国法によります。保護要件等は審査済みですか?
C01010	縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C01011	縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C01012	縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C01013	夫の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?
C01014	夫の国籍を証明するものがありますか?
C01015	夫の住民票の写が添付されていますか?
C01016	夫は国籍を証明するものがありますか?
C01017	縁組継続中ですが、よろしいですか?
C01018	夫は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?
C01019	夫は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?
C01020	遺漏追加以外の情報がありません。間違いありませんね。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
C02001	改正法附則5条1項の届出で間違いはありませんね。
C02002	家庭裁判所の許可書謄本が添付され、届書の証人欄に記載がありますね。
C02003	家庭裁判所の許可書の謄本がありますか?
C02004	監護者の同意書が添付されていますか?
C02005	監護者は養子の父又は母ですか?
C02006	監護者は養女の父又は母ですか?
C02007	外国人出生子として処理を続行しますか?
C02008	外国人の非嫡出子として処理を続行しますか?
C02009	外国人母に前婚の履歴がありますか?
C02010	外国の方式により認知が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?
C02011	該当の受領番号は照会ですが、法務省の指示なしで修正しても構いませんか?
C02012	帰化者同士婚姻していますね。
C02013	帰化者の配偶者は同時に帰化しませんね。
C02014	帰化等により、復籍すべき戸籍がないですね。
C02015	棄児の処理として続行しますか?
C02016	共同親権ですか?
C02017	許可審判書の謄本の添付がありますか?
C02018	後見人･被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか?
C02019	後見人(後見監督人･特別代理人)の承諾がありますか?
C02020	後見人(後見監督人)は20歳未満ですが、よろしいですか?
C02021	後見人選任を証する書面が添付されていますか?
C02022	国籍取得時の年齢が20歳を越えていますが、問題ありませんね。
C02023	国籍取得者は国籍喪失時の戸籍に戻れない理由がありますね。
C02024	戸籍取得者は戸籍を喪失した者ですね。
C02025	戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。
C02026	戸籍法73条の2は養子夫婦の筆頭者が届出人ですね。
C02027	子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか?
C02028	子の母は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C02029	子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか?
C02030	子の本国法により認知することが出来る旨の証明書はありますか?
C02031	子は成年者(成年擬制も含む)ですか?
C02032	婚姻要件具備証明等が添付されていますか?
C02033	婚姻を証明する書類が添付されていますか?
C02034	改正法附則6条1項の届出で間違いはありませんね?
C02035	戸籍法107条2項届で氏の変更をしていますか?

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ	
C02036	外国国籍を取得していませんね。	
C02037	外国人母に婚姻解消の履歴がありますか?	
C02038	現夫の出生子として処理を続行しますか?	
C02039	後見人の就職日は、被後見人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか?	
C02040	後見人は、入籍相手と同一人ですか?	
C02041	外国の方式により縁組が成立した旨の証明又は証明書の添付がありますか?	
C02042	外国人のみからの証書提出ですか?	
C02043	後見人（後見監督人）は18歳未満ですが、よろしいですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C02044	国籍取得時の年齢が18歳を越えていますが、問題ありませんね。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C02045	子は成年者ですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C02046	画像情報を印刷（確認）しましたか？	

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

コード	メッセージ	
C03001	在外公館職員は父として処理を続行しますか?	
C03002	裁判の対象夫は母の前夫と同一と判断して処理を続行しますか?	
C03003	裁判の謄本の添付がありますか?	
C03004	事件発生日が不明の身分事項があります。よろしいですか?	
C03005	事件本人の本籍地又は所在地ですか?	
C03006	事件本人の本籍地又は届出人の所在地ですか?	
C03007	事件本人は復氏出来ますか?	
C03008	失踪の記録前に失踪宣告の審判確定により死亡とみなされる日の後に発生した身分事項が記録されています。	2.0(ﾒｯｾｰｼﾞ135)
C03009	失踪の記録前に失踪宣告の審判確定により死亡とみなされる日当日に発生した身分事項が記録されています。	2.0(ﾒｯｾｰｼﾞ135)
C03010	死亡(失踪)した配偶者と婚姻していたことを確認しましたか?	
C03011	死亡の記録前に死亡日後発生した身分事項が記録されています。	
C03012	死亡の記録前に死亡日当日に発生した身分事項が記録されています。	
C03013	従前に称していた氏ですか?	
C03014	出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか?	
C03015	出生子は死亡していますか?	
C03016	出生子は名未定として処理を続行しますか?	
C03017	出生子は日本で出生したものとして処理を続行しますか?	
C03018	出生地での国籍を未取得として処理を続行しますか?	
C03019	出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか?	
C03020	証書の謄本が認知を証明するものかどうか審査は済みましたか?	
C03021	親権者は未成年ですがよろしいですか?	
C03022	親権者名は正しいですか?	
C03023	新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか?	
C03024	審判書及び確定証明書がありますか?	
C03025	審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか?	
C03026	審判又は判決の謄本及び確定証明書の添付がありますか?	
C03027	新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。	
C03028	既に養子離縁は成立しており、事件発生日と養子離縁届出日は同じですか?	
C03029	成年擬制ですか?	
C03030	前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか?	
C03031	前夫の離婚は前夫との婚姻後201日以降ですか?	
C03032	前夫の嫡出の推定を排除する事由(裁判除)がありますか?	
C03033	前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか?	
C03034	住所を日本に有していませんが、問題ありませんね。	
C03035	出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですか?	

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

コード	メッセージ	
C03036	出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。	
C03037	出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか?	
C03038	出生日は、母と前夫の婚姻の翌日より201日以降ですか?	
C03039	前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか?	
C03040	出生の届出が出生日から14日を過ぎています。	
C03041	新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか?	
C03042	事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか？	R2.1(名未定)
C03043	送付先市区町村と事件対象区分が同じデータがあります。間違いありませんね。	
C03044	送付先区分が「参考送付先」のデータがあります。間違いありませんね。	

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
C04001	待婚期間が6箇月以内ですがよろしいですか?
C04002	胎児認知区分が有りますが、胎児認知日無として処理を続行しますか?
C04003	胎児認知者と届書の父を同一人として処理を続行しますか?
C04004	単独親権ですか?
C04005	遅延理由書の添付があるものとして処理を続行しますか?
C04006	父の認知があるものとして処理を続行しますか?
C04007	父の配偶者は国籍取得者の母と同じですね。
C04008	父は帰化者の認知者ですね(準正でない)。
C04009	父は事実主義国の外国人として処理を続行しますか?
C04010	父は事実主義に関する証明書が添付されているものとして処理を続行しますか?
C04011	嫡出子・特別養子・既に認知されている子では、ありませんね?
C04012	調停調書の謄本がありますか?
C04013	調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?
C04014	直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか?
C04015	直系卑属は成年に達していますか?
C04016	通常、廃除者か、遺言執行者しか届出人になれません。よろしいですか?
C04017	妻の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?
C04018	妻の国籍を証明するものがありますか?
C04019	妻の住民票の写が添付されていますか?
C04020	妻は国籍を証明するものがありますか?
C04021	当時の外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出せますか?
C04022	特別代理人を証する書面が添付されていますか?
C04023	都道府県知事の許可書が添付されていますか?
C04024	届出期間を経過していますがよろしいですか?
C04025	届出期間を過ぎていますがよろしいですか?
C04026	届出期間を超過しています。よろしいですか?
C04027	届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか?
C04028	届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。
C04029	届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?
C04030	届出人資格が後見人ですがよろしいですか?
C04031	届出人の所在地での届出ですか?
C04032	届出人は、後見人(後見監督人)ではありませんがよろしいですか?
C04033	届出人は、喪失宣告を受けないもう一方の親権者ですか?
C04034	届出人は、保佐人ではありませんがよろしいですか?
C04035	届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
C04036	届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね。
C04037	届出人は裁判の申立人もしくは裁判の相手方ですか?
C04038	届出人は正しいですか?
C04039	届出人は認知者ではありませんがよろしいですか?
C04040	届出人は未成年者の父(養父)、母(養母)の双方ですか?
C04041	届出人を市区町村長として処理を続行しますか?
C04042	父の事実主義に関する証明書の添付があるものとして処理を続行しますか?
C04043	現夫の出生子として処理を続行しますか?
C04044	同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか?
C04045	届出人が父・父母以外のため、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか?
C04046	妻は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?
C04047	妻は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?
C04048	同時に帰化する者は帰化者と(養)親子関係にありますね?
C04049	注意喚起情報を送信してもいいですか。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

コード	メッセージ	
C05001	内容を確認して下さい。	
C05002	日本国内で行われた裁判離婚ですか?	
C05003	日本人生存配偶者に対する婚姻解消事項の記録の手続きが必要です。	
C05004	日本人配偶者に対する婚姻解消事項の記録の手続きが必要です。	
C05005	日本法上の子の保護要件の審査は済みましたか?	
C05006	入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?	
C05007	入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?	
C05008	入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?	
C05009	入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?	
C05010	入籍人の父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05011	入籍人の母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05012	入籍人の父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05013	入籍人の養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05014	入籍人の養父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05015	入籍人の養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05016	認知者及び子の生年月日は正しいですか?	
C05017	認知者と胎児の母との婚姻解消後300日以内の届出ではありませんね。	
C05018	認知者の国籍証明書の添付がありますか?	
C05019	認知者の生年月日は正しいですか?	
C05020	認知者の本国法により認知することが出来る旨の証明書はありますか?	
C05021	認知者は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?	
C05022	認知者は父欄に記載されている父で本国法は事実主義ですか?	
C05023	認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか?	
C05024	入籍人の父の名又は養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05025	入籍人の母の名又は養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?	
C05026	入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?	
C05027	入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?	
C05028	名のみの届出ですか?	2.0(ﾒｯｾｰｼﾞ134)
C05029	入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?	
C05030	入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?	
C05031	入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?	
C05032	入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?	
C05033	入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?	
C05034	入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?	
C05035	入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?	

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

コード	メッセージ
C05036	入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?
C05037	入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?
C05038	入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?
C05039	入籍日から100日を超えていませんが、離死別日に間違いはありませんね?

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C06001	配偶者からの認知ではなく、婚姻成立後200日を経過していないですね。	
C06002	廃除者氏名と被廃除者の戸籍の記載の氏名が異なりますがよろしいですか?	
C06003	入るべき戸籍に在籍者が存在するものとして処理を続行しますか?	
C06004	入るべき戸籍の父と届書の母は婚姻しているものとして処理を続行しますか?	
C06005	母に前離婚の履歴がないものとして処理を続行しますか?	
C06006	母の国籍証明書の添付がありますか?	
C06007	母の配偶者は国籍取得の父と同じですね。	
C06008	母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか?	
C06009	母の本国法により認知することが出来る旨の証明書はありますか?	
C06010	判決の謄本･確定証明書(調停･和解･認諾調書の謄本)が添付されていますね。	
C06011	判決の謄本及び確定証明書がありますか?	
C06012	被認知者は成年者(成年擬制も含む)ですか?	
C06013	表示された戸籍事項を削除してよろしいですか?	
C06014	表示された身分事項を削除してよろしいですか?	
C06015	夫婦の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?	
C06016	復氏届を兼ねることが出来る届出に間違いありませんね。	
C06017	復籍する戸籍に間違いはありませんか?	
C06018	父母の婚姻後の出生届ですか?	
C06019	父母の嫡出子であり、父母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか?	
C06020	父母の離婚後の出生届ですか?	
C06021	父母又は母が無国籍人であることの証明書があるものとして処理を続行しますか?	
C06022	平和条約発効に該当する国ですか?	
C06023	保佐人は20歳未満ですが、よろしいですか?	
C06024	本来、廃除される者が届出人になることは出来ません。よろしいですか?	
C06025	変更後の氏は、当該届書で変更可能な氏ですか?	
C06026	保佐人の就職日は被保佐人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか?	
C06027	母に婚姻の履歴はありませんね。	
C06028	母に前婚姻解消の履歴がないものとして処理を続行しますか?	
C06029	母の非嫡出子であり、母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか?	
C06030	父母の婚姻後の出生ですか?	
C06031	父母は婚姻しているものとして処理を続行しますか?	
C06032	父母又は母が無国籍人であるものとして処理を続行しますか?	
C06033	被認知者は禁治産者ですか?	
C06034	保佐人は18歳未満ですが、よろしいですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C06035	被認知者は成年者ですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

メッセージ一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1
コード	メッセージ			
C06036	変更後の氏と配偶者の氏が異なりますが、よろしいですか?			R2.1(107条2項25)
C06037	変更後の氏と外国人父母の氏が異なりますが、よろしいですか?			R2.1(107条4項28)

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C07001	埋葬許可書をプリントしますか?	
C07002	未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?	
C07003	未成年者がいますが、成年擬制又は他の親権を受けていますか?	
C07004	未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?	
C07005	民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか?	
C07006	民法上の氏は同じですか?	
C07007	未成年者がいますが、他の親権を受けていますか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C07008	未成年者の婚姻ですが同意はありますか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ
C08001	養親の現在の国籍と縁組成立時の国籍が異なりますが構いませんね。
C08002	養親の配偶者とは縁組していませんね。
C08003	養子が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか?
C08004	養子が養父より年上ですがよろしいですか?
C08005	養子が養母より年上ですがよろしいですか?
C08006	養子となる者は6歳以上ですが、審判申立日現在は6歳未満ですか?
C08007	養子となる者は6歳に達する前から養親となる者に監護されていますか?
C08008	養子となる者は審判申立日現在は8歳未満ですか?
C08009	養子となる者は養母の配偶者の嫡出子又は特別養子ですか?
C08010	養子と養女は婚姻していましたか?
C08011	養子の配偶者が同意出来ない正当な理由の記載がありますか?
C08012	養子の配偶者の同意書がありますか?
C08013	養子の本国法に養子制度がありませんか?
C08014	養子は異動後の戸籍で、生存配偶者に間違いありませんね。
C08015	養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。
C08016	養子は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08017	養子は禁治産者ですか?
C08018	養子は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08019	養子は婚姻したことがありませんね。
C08020	養子は従前の戸籍には戻れませんね。
C08021	養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。
C08022	養子は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね。
C08023	養子は養父の直系卑属ですか?
C08024	養子は養父の配偶者の嫡出子ですか?
C08025	養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか?
C08026	養子は養父又は養母の直系卑属ですか?
C08027	養子は養母の直系卑属ですか?
C08028	養子は養母の配偶者の嫡出子ですか?
C08029	養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか?
C08030	養女が本国法上の保護要件を備えている旨の書面がありますか?
C08031	養女が養父より年上ですがよろしいですか?
C08032	養女が養母より年上ですがよろしいですか?
C08033	養女の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか?
C08034	養女の配偶者の同意書がありますか?
C08035	養女の本国法に養子制度がありませんか?

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ
C08036	養女は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08037	養女は禁治産者ですか?
C08038	養女は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08039	養女は婚姻したことがありませんね。
C08040	養女は養父の直系卑属ですか?
C08041	養女は養父の配偶者の嫡出子ですか?
C08042	養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか?
C08043	養女は養父又は養母の直系卑属ですか?
C08044	養女は養母の直系卑属ですか?
C08045	養女は養母の配偶者の嫡出子ですか?
C08046	養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか?
C08047	養父及び養母の要件具備証明書等がありますか?
C08048	養父と養子は縁組していますね。
C08049	養父の配偶者が縁組出来ない正当な理由が記載されていますか?
C08050	養父の配偶者が同意出来ない正当な理由が記載がありますか?
C08051	養父の配偶者の同意書がありますか?
C08052	養父の要件具備証明書等がありますか?
C08053	養父は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08054	養父は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08055	養父は婚姻したことがありますか?
C08056	養父は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか?
C08057	養父母と共同で離縁出来ない正当な理由がありますか?
C08058	養父母は審判日に25歳(一方20歳以上で可)未満ですがよろしいですか?
C08059	養父母は夫婦ですか?又は、養子と縁組中夫婦でしたか?
C08060	養母と養子は縁組していますね。
C08061	養母の配偶者が縁組出来ない正当な理由が記載されていますか?
C08062	養母の配偶者が同意出来ない正当な理由の記載がありますか?
C08063	養母の配偶者の同意書がありますか?
C08064	養母の要件具備証明書等がありますか?
C08065	養母は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08066	養母は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08067	養母は婚姻したことがありますか?
C08068	養母は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか?
C08069	養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。
C08070	養子は、後見を受けていますね。

メッセージ一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1
コード	メッセージ			
C08071	15歳に達する前から養親に監護されており、申立ができなかった理由がありますか。			R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)
C08072	養子となる者は15歳以上ですが、審判申立日現在は15歳未満ですか。			R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)
C08073	養子となる者の同意はありますか。			R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
C09001	離縁の証書が添付されていますか?
C09002	離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C09003	離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C09004	離縁復氏したことを別戸籍で確認して下さい。
C09005	連署人は帰化者と婚姻していますね。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3

コード	メッセージ
C10001	外国人だけからの証書提出ではないですね。
C10002	養父(母)と離縁協議者は同一人ですか?
C10003	協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか?
C10004	死亡養親との離縁で届出人が後見人ではありませんがよろしいですね？
C10005	証書提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか？

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

コード	メッセージ
C11001	未成年後見人(未成年後見監督人)は20歳未満ですが、よろしいですか?
C11002	届出人は、未成年後見人(未成年後見監督人)ではありませんがよろしいですか?
C11003	成年後見人からの届出ですが、成年後見登記の登記事項証明書のチェックは行いましたか?
C11004	事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?
C11005	未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか?
C11006	被認知者は成年被後見人ですか?
C11007	成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?
C11008	未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか?
C11009	特別代理人が届出人になれるケースですか?
C11010	養子は未成年後見を受けていますね?
C11011	外国の方式により離婚が成立した旨の証書または証明書の添付がありますか?
C11012	親権区分nの親権指定は必要ですか?
C11013	届書の届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?
C11014	構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか?
C11015	未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか?
C11016	死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんがよろしいですね?
C11017	外国人からだけの証書提出ではないですね?
C11018	性同一性障害の記録があります。元の戸籍に戻れますか?
C11019	父に性同一性障害の記録があります。父に間違いありませんね?
C11020	母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね?
C11021	性同一性障害の記録があります。入力した戸籍に入籍できますか?
C11022	父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?
C11023	父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?
C11024	復する氏に間違いはありませんか?
C11025	父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね?
C11026	母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね?
C11027	受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?
C11028	養親の配偶者が養子の親権者ですか?
C11029	妻から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。
C11030	妻は従前の戸籍に戻れませんね。
C11031	新本籍は妻の従前の本籍と同一の場所ですね。
C11032	夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。
C11033	夫は従前の戸籍に戻れませんね。
C11034	新本籍は夫の従前の本籍と同一の場所ですね。
C11035	死亡日から届出日まで1ヶ月を経過しています。処理をしてよろしいですか?

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

コード	メッセージ	
C11036	届出人資格名称が親族以外です。よろしいですか?	
C11037	後見人等の資格を証明する登記事項証明書または裁判書の謄本が添付されていますか?	
C11038	日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。	
C11039	子は準正嫡出子(父母が婚姻している)ですね。	
C11040	子は非嫡出子(父母が婚姻していない)ですね。	
C11041	養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね。	
C11042	養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね。	
C11043	告示日から1箇月を経過していますが、交付日から1箇月は経過していませんね?	
C11044	養子に単独親権の記録がありますか。	
C11045	養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?	
C11046	養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?	
C11047	同一戸籍内縁組ではありませんね?	
C11048	夫婦の本国法により協議離婚を日本法に従って行えますか?	
C11049	夫婦の住所の登録が明らかになる書類が添付され、常居所が日本ですか?	
C11050	届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11051	届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11052	届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11053	届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11054	戸籍法第92条2項の報告は、戸籍法第92条1項と同時に報告されていますか?	
C11055	許可の審判確定日に入力がありますがよろしいですか?	
C11056	許可の審判確定日に入力がありませんがよろしいですか?	
C11057	出生時、母年齢が50歳以上です。出生施設は医療法上の病院ですか?	
C11058	出生子の年齢が学齢を越えています。受理してよろしいですか?	
C11059	処理照会要件は、法務局に照会済ですね。	
C11060	待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?	
C11061	民法第733条第2項に該当する再婚ですか?	
C11062	未成年被後見人は婚姻していますか。	
C11063	未成年後見人（未成年後見監督人）は18歳未満ですが、よろしいですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C11064	変更前と変更後の氏が同じですが、よろしいですか？	2.0(ﾒｯｾｰｼﾞ132)

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E01001	9条2項データが1件もありません。
E01002	9条2項データは存在しません。
E01003	15歳未満で養子養女双方の入力があります。審査結果入力で処理して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E02001	移記不要の身分事項があります。不要な記録を削除して下さい。
E02002	移記不要の婚姻事項があります。不要な記録を削除して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
E03001	改正前国籍法下での渉外婚姻です。父の新戸籍編製後出生処理を行って下さい。
E03002	改正前国籍法下での渉外婚姻です。母の新戸籍編製後出生処理を行って下さい。
E03003	該当の受領番号で未決裁の届はありません。
E03004	該当の受領番号の届書は現在処理中です。決裁は行えません。
E03005	該当の受領番号の届と選択された事件が異なります。
E03006	該当の受領番号の届は、照会ではありません。
E03007	該当のデータはありません。
E03008	仮戸籍がありませんので移記事項処理は行えません。
E03009	この届出による新戸籍編製では移記の処理はできません。
E03010	管掌者コードが間違っています。
E03011	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。
E03012	関連受領番号の受付帳は『死亡』以外ですので、処理出来ません。
E03013	関連受領番号の受付帳は削除済ですので、手処理で記載して下さい。
E03014	基本となる届の受領番号を入力して下さい。
E03015	決裁する届の番号を選択して下さい。
E03016	決裁用帳票が必要ならば出力区分を入力し仮戸籍を更新して下さい。
E03017	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。
E03018	改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果入力で処理して下さい。
E03019	戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
E03020	改正前国籍法以前の国外出生の出生届は審査結果入力で処理して下さい。
E03021	帰化記録者資格に父を入力する必要はありません。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
E04001	作成された受付帳は1件だけです。
E04002	指定した該当者に対して移記の処理はできません。
E04003	指定日は入力できません。
E04004	指定日を入力して下さい。
E04005	収日は入力できません。
E04006	出生又は認知の記録が2件以上あります。不要な記録を削除して下さい。
E04007	処理選択番号が違います。再度、入力して下さい。
E04008	処理番号を入力して下さい。
E04009	新記録順位が重複しています。
E04010	新記録順位は設定可能範囲を超えています。
E04011	審査結果入力で処理して下さい。
E04012	審査処理で記録した転籍事項ですので、修正･削除はできません。
E04013	審査で記録した事項ですので削除できません。
E04014	審査で記録した事項ですので修正できません。
E04015	処理を続行して入力項目チェックを行って下さい。
E04016	実行キーを押下しないと決裁処理はできません。
E04017	実行キーを押さないと処分決定は処理できません。
E04018	従前からある記録事項ですので削除できません。
E04019	従前からある記録事項ですので修正できません。
E04020	除籍者に対して移記の処理はできません。
E04021	選択した届書ファイルは他で処理中です。決裁処理することはできません。
E04022	選択に該当するデータはありません。
E04023	選択番号に誤っています。正しく入力して下さい。
E04024	選択番号が誤りです。正しく入力して下さい。
E04025	前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています。
E04026	前回の届書審査で作成された受付帳の数と今回の受付帳の数が異なります。
E04027	出生日が新国籍法施行前の出生処理は、審査結果入力で処理して下さい。
E04028	収日を入力して下さい。
E04029	受理･処理照会です。発日を入力して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
E05001	続柄が入力してあるにも係わらず養父又は養母氏名が記録されていません。
E05002	同生年月日者同士の記録順位の変更しか出来ません。
E05003	届書が存在しません。受領番号を確認して下さい。
E05004	届書が正当なら、審査結果入力で処理して下さい。
E05005	特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい。
E05006	届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
E05007	胎児認知者と母の夫が違います。審査結果入力で処理して下さい。
E05008	在外公館から送付された胎児認知届は審査結果入力で処理して下さい。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E06001	入力された関連受領No.は、胎児認知の受付帳ではありません。
E06002	入力された受領番号で受付DBはありません。
E06003	入力された受領番号の受付DBは処理済みです.
E06004	入力された受領番号の届書は他の業務で処理中となっています。
E06005	入力された明細番号が身分事項件数を超えています。
E06006	入力された明細番号の事項は既存の記録ですので、並べ替えできません。
E06007	入力された明細番号の事項は転籍事項ですので、並べ替えできません。
E06008	入力された明細番号は事項は戸籍事項件数を超えています。
E06009	入力された明細番号は重複して入力されています。
E06010	入力されている明細番号が重複しています。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E07001	配偶者区分が夫又は妻以外にも係わらず、婚姻事項があります。
E07002	配偶者区分が夫又は妻となっているにも係わらず、婚姻事項がありません。
E07003	パスワード･エラー
E07004	発日は入力出来ません。
E07005	表示する移記戸籍がありません。
E07006	入るべき戸籍に父母が在籍していないため、審査結果業務より処理して下さい。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1
コード	メッセージ			
E08001	未決裁の届は存在しません。(全て決裁済みです。)			

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E09001	養父又は養母氏名が記録されていないにも係わらず、縁組事項があります。
E09002	養父又は養母氏名が入力されているにも係わらず、縁組事項がありません。
E09003	養父又は養母氏名が入力してあるにも係わらず続柄が記録されていません。
E09004	養子･養女が婚姻関係にありません。正当なら審査結果入力で処理して下さい。
E09005	養子･養女が同一戸籍にいません。正当なら審査結果入力で処理して下さい。
E09006	養子養親の片方同士が死亡の離縁届の1通処理は審査結果入力で処理願います。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E10001	連続して受付帳を確保することができません。
E10002	連署人が構成員なら審査結果入力で処理して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
E11001	新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。	
E11002	事件本人は20歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。	
E11003	事件本人は成年擬制者です。未成年後見人は届出人になれません。	
E11004	事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人になれません。	
E11005	未成年後見人･未成年被後見人の縁組はできません。	
E11006	外国人同士が国外で協議離婚した旨の届出は受理できません。	
E11007	親権区分nは入力不要です。削除して下さい。	
E11008	養子には未成年後見人がいません。	
E11009	新本籍と従前の本籍は同一でなければなりません。	
E11010	入るべき戸籍に母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。	
E11011	死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。離縁許可日の入力が必要です。	
E11012	出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。	
E11013	入るべき戸籍に父母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。	
E11014	関連受領番号の入力がないため、報告日の確認がとれません。審査結果業務より処理してください。	
E11015	日本法の方式に従って協議離婚はできません。	
E11016	外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。	
E11017	外国方式の協議離縁届と未成年後見届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。	
E11018	父の名が違います。入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。	
E11019	母の名が違います。入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。	
E11020	養父の名が違います。入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。	
E11021	養母の名が違います。入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。	
E11022	同一人でないため、父母欄更正できません。	
E11023	家庭裁判所の許可が必要な入籍です。	
E11024	関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。審査結果業務より処理して下さい。	
E11025	事件本人は18歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	令和 2年 3月25日	令和　年　月　日	R2.2

コード	メッセージ
E50001	戸籍事務以外での利用はできません。
E50002	検索結果を表示できません。
E50003	ワイルドカードは、一度以上検索を実行してから使用して下さい。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
M01001	「処理照会」には変更できません。
M01002	「受理」には変更できません。
M01003	「受理照会」には変更できません。
M01004	「受理処分の撤回」には変更できません。
M01005	「取り下げ」には変更できません。
M01006	「不受理」には変更できません。
M01007	「返戻」には変更できません。
M01008	PF3キーでデータが削除されます。
M01009	「保留」には変更できません。

メッセージ一覧表		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1
コード	メッセージ			
M02001	エラー履歴情報が存在しません。			

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
M03001	該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。
M03002	該当者が多すぎます。再度、検索キーを入力して下さい。
M03003	個人状態はありません。
M03004	個人状態ファイルがありません。
M03005	個人状態ファイルが更新されました。
M03006	この後の履歴はありません。
M03007	この前の履歴はありません。
M03008	画像情報はありません。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
M04001	最終ページです。
M04002	最終ページを表示中です。
M04003	削除してもよろしいですね。確認してくだ下さい。
M04004	審査の結果、前の処分区分と異なりました。注意して下さい。
M04005	先頭ページです。
M04006	先頭ページを表示中です。
M04007	審査不可区分が設定されています。(渉外婚姻)
M04008	審査不可区分が設定されています。(婿養子縁組婚姻･入夫婚姻)
M04009	情報が登録されました。
M04010	情報が削除されました。
M04011	情報がありません。
M04012	情報を送信しました。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
M05001	チェックOKです。個人状態ファイルを更新して下さい。
M05002	チェックOKです。不受理申出ファイルを更新して下さい。
M05003	チェックOKです。不受理申出ファイルを削除して下さい。
M05004	チェックOKです。不受理申出ファイルを追加して下さい。
M05005	父の情報が特定出来ないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。
M05006	胎児認知届はありません。
M05007	チェックOKです。情報を更新して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M06001	入力項目を確認し、よければ処理を続行して下さい。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M07001	不受理申出はありません。
M07002	不受理申出ファイルがありません。
M07003	不受理申出ファイルが更新されました。
M07004	不受理申出ファイルが削除されました。
M07005	不受理申出ファイルが追加されました。
M07006	母の情報が特定出来ないため、移記処理で母欄の更正を行って下さい。

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
M08001	無効なキーが押下されました。
M08002	無効なキーが押されました。
M08003	無効なキーが入力されました。
M08004	無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。
M08005	未処理の送付分届書はありません。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M09001	養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。
M09002	養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を行って下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
M10001	外国人同士の外国における婚姻届は受理出来ません。	
M10002	養子に共同親権の記録をして下さい。	
M10003	養子に共同親権の記録が必要か確認してください。	
M10004	子(養子)に共同親権の記録が必要か確認してください。	
M10005	養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理で入力して下さい。	
M10006	届出期間を経過していますので注意して下さい。	
M10007	父に子の国籍取得事項の記録が必要です。父が本籍人であれば、審査結果入力処理で記録して下さい。	
M10008	父に性同一性障害の記録があります。よろしければ処理を続行してください。	
M10009	届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。	
M10010	法務局に照会して下さい。	
M10011	届出期間を経過しています。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ118)

第5-8-(3) メッセージ一覧表

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
S01001	15歳未満であるのに、養子養女の双方の入力があります。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。
S01002	15歳未満の人は届出ることができません。
S01003	15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
S02001	新しい本籍は作れません。
S02002	姻族関係終了する配偶者は死亡(失踪)していません。
S02003	氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。
S02004	縁氏続称の資格がないので受理できません。
S02005	縁組日から3箇月以上経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S02006	縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S02007	縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S02008	夫に婚姻事項がありません。
S02009	親子関係不存在の裁判が確定しているため、離婚前の戸籍へは入籍できません。
S02010	親子関係不存在の裁判の対象父を確認して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S03001	外国人出生子が国外で出生した出生届は受理できません。
S03002	外国人出生子の場合、入るべき戸籍には入力できません。
S03003	外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。
S03004	外国人同士の証書提出は受理できません。
S03005	外国人同士の国外で行われた裁判離婚届は受理できません。
S03006	外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。
S03007	外国人は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S03008	外国人配偶者が死亡しています。
S03009	外国で成立した外国人同士の裁判認知届は受理できません。
S03010	改正国籍法以前の国外出生の届出人が父母以外です。
S03011	改正戸籍法施行前の出生子は外国人です。入るべき戸籍へは入力できません。
S03012	改正前国籍法下での出生子は外国人です。入るべき戸籍へは入力できません。
S03013	改正前法例前における事実主義にもとづく父欄の入力はできません。
S03014	該当者は氏を称する入籍はできません。
S03015	該当者は従前の氏を称する入籍はできません。
S03016	該当者は既にある戸籍に入る入籍はできません。
S03017	該当者は同籍する入籍はできません。
S03018	帰化種別が間違っています。
S03019	帰化種別か連署人指定に間違いがあります。
S03020	強制認知による胎児認知はできません。
S03021	後見人･被後見人の縁組はできません。
S03022	後見人(後見監督人)は禁治産宣告を受けています。
S03023	後見人(後見監督人)は準禁治産宣告を受けています。
S03024	後見人(後見監督人)は破産宣告を受けています。
S03025	構成員の更正区分に誤りがあります。
S03026	構成員の生存配偶者の離縁では、縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません。
S03027	構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません。
S03028	更正区分にも誤りがあります。
S03029	国外で出生した出生子の出生届は受理できません。
S03030	国外での出生の場合、出生届は受理できません。
S03031	国籍法17条2項は国籍喪失者の国籍取得です。再度内容を確認して下さい。
S03032	戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S03033	戸籍編製区分が正しくありません。再入力して下さい。
S03034	戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。
S03035	戸籍変動区分が間違っています。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S03036	戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
S03037	戸籍変動に係わる情報が正しくありません。
S03038	子につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。
S03039	この事件本人は届出の資格がありません。
S03040	婚姻適齢に達していません。
S03041	後見人の就職日は、被後見人との婚姻日でなければなりません。
S03042	強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。
S03043	現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。
S03044	現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。
S03045	現夫の嫡出子です。胎児認知欄は入力出来ません。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
S04001	裁判確定日より10日以内に届け出られるのは申出人のみです。
S04002	事件発生日が不明の身分事項があります。
S04003	死亡者がいるので縁組はできません。
S04004	死亡者は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S04005	氏名と筆頭者が一致していません。
S04006	氏名と筆頭者の氏が一致していません。
S04007	重婚です。婚姻届は受理できません。
S04008	従前の氏を改めた日の入力をして下さい。
S04009	従前の氏を改めた日を再度入力をして下さい。
S04010	従前の氏を称する入籍はできません。
S04011	出生後に胎児認知があります。胎児認知日は無効ですから消去して下さい。
S04012	出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。
S04013	出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。
S04014	出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。
S04015	出生子の出生区分は4(棄児)でなければなりません。
S04016	出生子の新戸籍を新戸籍欄へ入力して下さい。
S04017	出生子の続柄に誤りがあります。
S04018	出生子の年齢が学齢を越えています。
S04019	出生子は外国人です。届書の父欄･入るべき戸籍には入力出来ません。
S04020	出生子は外国人です。届書の父欄には入力出来ません。
S04021	出生子は外国人です。入るべき戸籍欄には入力出来ません。
S04022	出生子は非嫡出子です。届書の父欄には入力出来ません。
S04023	出生証明書が医師･助産師以外です。
S04024	出生子欄に未入力の部分があります。
S04025	出生当時の母の年齢が50歳を越えています。
S04026	出生の届出が出生日から14日を過ぎています。
S04027	出生日が新国籍法施行前の出生処理は出来ません。
S04028	準拠法が異なります。
S04029	準拠法が不明です。
S04030	準禁治産者ではありません。
S04031	準正嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。
S04032	準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。
S04033	親権区分nに誤りがあります。(未成年者でない)
S04034	親権指定者の有無に誤りがあります。
S04035	親権指定者の有無に誤りがあります。(親権指定なし)

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和3年3月31日	R3

コード	メッセージ
S04036	親権者は禁治産者です。
S04037	新戸籍の本籍は管内へ作成して下さい。
S04038	新戸籍は作成出来ません。
S04039	新戸籍欄へ入力して下さい。
S04040	新戸籍を作成しなければいけません。
S04041	新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。
S04042	新本籍には入力出来ません。
S04043	新本籍又は筆頭者に入力があります。
S04044	新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。
S04045	新本籍を入力して下さい。
S04046	既に準禁治産宣告を受けています。
S04047	既に胎児認知届がだされています。
S04048	既に認知されている子を認知することはできません。
S04049	生存配偶者は届出できません。
S04050	成年者の承諾がなければ認知できません。
S04051	成年に達してから1年を経過しています。
S04052	前夫の嫡出子です。入力した戸籍には入籍できません。
S04053	送付分の届書としては処理できません。
S04054	出生後に胎児認知があります。胎児認知無効の処理を行って下さい。
S04055	出生子の国籍を入力して下さい。
S04056	出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。
S04057	出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。
S04058	出生子は外国人です。出生子の生年月日を西暦で入力して下さい。
S04059	出生子は、母の現在戸籍への入籍です。母の現在戸籍を入力して下さい。
S04060	準正嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S04061	前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S05001	胎児認知届は母の住所地に届け出て下さい。
S05002	胎児認知届は母の本籍地に届け出て下さい。
S05003	父の判断が出来ないため、親子関係不存在対象夫の判断ができません。
S05004	父の判断ができないため、嫡出否認対象夫の判断ができません。
S05005	父は既に存在します。
S05006	父又は母が届出人でないため新本籍、新筆頭者の入力はできません。
S05007	父未定の子です。届書の父欄へは入力できません。
S05008	父を定める裁判の対象夫と届書の父が違います。
S05009	父を定める裁判の対象夫と入るべき戸籍の父が違います。
S05010	父を定める訴の裁判は有りえません。
S05011	嫡出子出生処理のため、新戸籍欄には入力できません。
S05012	嫡出子を認知することはできません。
S05013	嫡出否認の裁判が確定しているため、離婚前の戸籍へは入籍できません。
S05014	妻に婚姻事項がありません。
S05015	同一人でないため、父母欄更正はできません。
S05016	当該届書は受理できません。
S05017	同時入籍の入籍先は既にある戸籍でなければなりません。
S05018	同時入籍での入籍者は構成員でなければなりません。
S05019	同時入籍での入籍者は未婚でなければなりません。
S05020	同時入籍での入籍元戸籍は同一戸籍内でなければなりません。
S05021	特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい。
S05022	特別養子を認知することはできません。
S05023	届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
S05024	届書の失踪宣告者は既に除籍となっています。
S05025	届書の死亡者は既に除籍となっています。
S05026	届書の父と入るべき戸籍の父が違います。入るべき戸籍欄には入力できません。
S05027	届書の父欄に入力があり母欄に入力がありません。母欄を入力して下さい。
S05028	届書の父欄には裁判の対象夫を入力して下さい。
S05029	届書の父母は婚姻していません。
S05030	届出期間を経過しているので受理できません。
S05031	届出期間を超過しています。
S05032	届出資格を有していません。
S05033	届出人資格1と届出人資格2が重複しています。
S05034	届出人資格1の入力に誤りがあります。
S05035	届出人資格1を正しく入力して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S05036	届出人資格2の入力に誤りがあります。
S05037	届出人資格2を正しく入力して下さい。
S05038	届出人資格がその他です。
S05039	届出人資格に誤りがあります。
S05040	届出人資格を正しく入力して下さい。
S05041	届出人資格を父又は父母として届け出ることはできません。
S05042	届出人資格を有していません。
S05043	届出人は法定代理人でなければなりません。
S05044	届出人は本人でなければなりません。
S05045	届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。
S05046	届出有効期聞(6箇月以内)を経過しています。
S05047	胎児認知者と入るべき戸籍の父又は届書の父が違います。
S05048	届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。
S05049	父欄を入力することは出来ません。
S05050	父を定める裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。
S05051	父を定める訴の裁判は入力出来ません。
S05052	嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。
S05053	嫡出でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S06001	日本法上子の保護要件の審査は済みましたか?	
S06002	入籍相手区分を正しく入力して下さい。	
S06003	入籍戸籍には筆頭者が在籍しています。	
S06004	入籍先の本籍に入力がありません。	
S06005	入籍事由に誤りがあります。	
S06006	入籍事由を正しく入力して下さい。	
S06007	入籍届は受理出来ません。	
S06008	入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力で処理して下さい)。	
S06009	入力された本籍不分明区分では、死亡区分の入力はできません。	
S06010	入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。	
S06011	入力された本籍不分明区分の場合、関連受領番号は入力できません。	
S06012	認知の裁判の対象夫と届書の父が違います。	
S06013	認知以外の裁判区分を入力することはできません。	
S06014	認知業務より処理して下さい。	
S06015	入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。	
S06016	入籍先の養父との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。	
S06017	入籍先の養母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。	
S06018	入籍相手に誤りがあります。	
S06019	入籍人は未成年です。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S07001	配偶者-配偶者区分には誤りがあります。
S07002	配偶者とともに届出が必要です。
S07003	配偶者の有無区分を'有'にして下さい。
S07004	配偶者は届出できません。
S07005	廃除者は死亡(失踪)していないので、遺言執行者は届出人になれません。
S07006	入るべき戸籍に在籍者がいないので出生業務からは処理できません。
S07007	入るべき戸籍には裁判の対象夫を入力して下さい。
S07008	入るべき戸籍の構成員と出生子の名(漢字)が同じです。
S07009	入るべき戸籍の父と出生子の氏(漢字)が違います。
S07010	入るべき戸籍の父と出生子の名(漢字)が同じです。
S07011	入るべき戸籍の父は胎児認知者となることは出来ません。
S07012	入るべき戸籍の母と出生子の氏(漢字)が違います。
S07013	入るべき戸籍の母と出生子の名(漢字)が同じです。
S07014	発収簿処理をして下さい。
S07015	母構成員、除籍の場合、出生処理からは処理できません。
S07016	母前離婚前出生の場合、入るべき戸籍は母の前離婚当時の戸籍です。
S07017	母との戸籍上の続柄は男･女又は空欄でなければなりません。
S07018	母に婚姻の履歴がないため、親子関係不存在対象夫の判断ができません。
S07019	母に婚姻の履歴がないため、嫡出否認対象夫の判断ができません。
S07020	母につき新戸籍ですが、新戸籍欄への入力がありません。
S07021	母の夫=届書の夫、且つ、届出人が父の場合、胎児認知日には入力できません。
S07022	母の現在の戸籍へ入籍です。新戸籍欄への入力はできません。
S07023	母の承諾がなければ胎児認知できません。
S07024	母は無籍者です。受理照会となります。
S07025	被後見人は禁治産宣告を受けています。
S07026	被後見人は禁治産宣告を受けていません。
S07027	被後見人は婚姻しています。
S07028	被後見人は未成年者です。
S07029	被後見人は未成年者ではありません。
S07030	非嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S07031	非嫡出子のため、届書の父欄への入力はできません。
S07032	筆頭者が外国人配偶者と婚姻中ではありません。
S07033	筆頭者は届出できません。
S07034	夫婦の帰化を選択して下さい。
S07035	夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S07036	夫婦の構成員の離縁において戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。
S07037	夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。
S07038	復氏することができません。
S07039	父母が婚姻中でないため、氏を称する入籍はできません。
S07040	父母が婚姻中でないため、同籍する入籍はできません。
S07041	父母婚姻200日以内の子の認知は嫡出子としての戸籍訂正となります。
S07042	父母婚姻中･嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S07043	父母の嫡出子です。胎児認知日には入力できません。
S07044	父母離婚後･嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S07045	父母離婚前出生の場合、入るべき戸籍は父母離婚当時の戸籍です。
S07046	分籍届は受理できません。
S07047	分籍人は婚姻中です。分籍届は受理できません。
S07048	分籍人は配偶者(生存配偶者)です。
S07049	分籍人は筆頭者です。
S07050	分籍人は筆頭者です。分籍届は受理できません。
S07051	分籍人は未成年者です。
S07052	変更後の氏に誤りがあります。再入力して下さい。
S07053	変更後の本籍を入力して下さい。
S07054	保佐人は禁治産宣告を受けています。
S07055	保佐人は準禁治産宣告を受けています。
S07056	保佐人は破産宣告を受けています。
S07057	本人以外の承諾が必要です。
S07058	保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日でなければなりません。
S07069	本･非本区分は1(本籍)でなければなりません。
S07060	本･非本区分は2(非本籍)でなければなりません。
S07061	報告区分は1(創設的届出)でなければなりません。
S07062	報告区分は2(報告的届出)でなければなりません。
S07063	入るべき戸籍を確認して下さい。

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S08001	未成年者の年齢は20歳以上です。	
S08002	未成年者は禁治産者です。	
S08003	身分事項に後見人事項がありません。	
S08004	民法上の氏が異なるため、同籍する入籍はできません。	
S08005	無国籍人の出生子の場合、入るべき戸籍欄には入力できません。	
S08006	名義使用区分は入力できません。	
S08007	もとの戸籍が除籍になっています。	
S08008	戻る戸籍が除籍です。	
S08009	戻る戸籍には筆頭者が既にいます。	
S08010	戻る戸籍には夫･妻又は生存配偶者が既にいます。	
S08011	未成年者の年齢は18歳以上です。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S09001	養子･養親双方生存配偶者なので、離縁許可日の入力は不要です。	
S09002	養子･養女が婚姻関係にありません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。	
S09003	養子･養女が同一戸籍にいません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。	
S09004	養子及び養親の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は審査結果入力で処理して下さい。	
S09005	養子が外国人なので戸籍の異動はありません。	
S09006	養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。	
S09007	養子か養親かに死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。	
S09008	養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09009	養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09010	養子には後見人がいません。	
S09011	養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。	
S09012	養子の身分事項に縁組事項がありません。	
S09013	養子夫婦の離縁では元の戸籍には戻れません。	
S09014	養子、養親とも外国人で報告的届出を受理することはできません。	
S09015	養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09016	養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09017	養女の身分事項に縁組事項がありません。	
S09018	養父は成年者ではありません。	
S09019	養父又は養母氏名が記録されているにも係わらず、縁組事項がありません。	
S09020	養母は成年者ではありません。	
S09021	養父は20歳以上ではありません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
S09022	養母は20歳以上ではありません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
S09023	養子となる者は成立時に18歳に達しています。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S11001	未成年被後見人は未成年者です。	
S11002	未成年被後見人は未成年者ではありません。	
S11003	未成年被後見人は婚姻しています。	
S11004	未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。	
S11005	性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。	
S11006		
S11007		
S11008		
S11009		
S11010	入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理してください。	
S11011	未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。	
S11012	終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。	
S11013	未成年被後見人は婚姻していますか。	
S11001	未成年被後見人は未成年者です。	
S11002	未成年被後見人は未成年者ではありません。	
S11003	未成年被後見人は婚姻しています。	
S11004	未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。	
S11005	性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。	
S11006		
S11007		
S11008		
S11009		
S11010	入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理してください。	
S11011	未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。	
S11012	終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。	
S11013	終了日は18歳の誕生日の前日でなければなりません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5.9

現行記載例/項目化後記載例一覧

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	-	詳細仕様説明書	「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
2	R4	-	詳細仕様説明書	〔戸籍記載例〕の条文がコンピュータシステムによる記録事項証明書記載例ではないため正しい条文に修正し、既存の戸籍記載例の条文を参考記載とする

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4
ドキュメント名称			
現行記載例/項目化後記載例一覧			

〔順守事項〕

(1) 現行記載例は戸籍システム化後に項目化記載例となる。

(2) タイトル名称、インデックス名称、インデックスの並び(順番)は順守事項である。タイトル名称、インデックス名称インデックスの並び(順番)は「第5-7 ファイル関係仕様」を参照のこと。

〔留意点〕

(1) 項目化記載例の作成は、各事件の要件定義書「第7-2(5) 1.出生届(含国籍留保届)～33.就籍届」をよく理解し、周知徹底すること。
審査結果入力及び訂正・更正・追完に関しては「第5-10(10) 審査結果入力処理」、「第5-10(11) 訂正・更正・追完処理」を熟読し、その考えを十分理解した上でシステム作成に当たること。

(2) 証明書への出力については「第5-6(2) 帳票設計書」を参照のこと。

〔戸籍記載例〕

項目化記載例は以下の戸籍法施行規則及び通達で示されたため、当基準書では提示しない。
なお、下段に戸籍記載例の戸籍法施行規則及び通達を参考で示す。

〔法定記載例〕戸籍法施行規則付録第25号 第73条第1項の書面の記載例(第73条第6項関係)
戸籍法施行規則附録第7号 戸籍記載例(第33条関係)

〔参考記載例〕平成6年11月16日付け法務省民二第7000号民事局長通達 別紙第2号 戸籍証明書等の記載例
平成2年3月1日付け法務省民二第600号民事局長通達 別紙 戸籍記載例

第 5.10 「システム処理」の概要説明

（目次）

(1)「業務選択」処理
(2)「検索」処理
(3)「届出選択」処理
(4)「異動検索」処理
(5)「審査」処理
(6)「処分決定」処理
(7)「仮戸籍表示」処理
(8)「エラー履歴表示」処理
(9)「移記事項入力」処理
(10)「審査結果入力」処理
(11)「訂正・更正・追完」処理
(12)「決裁用帳票出力」処理
(13)「決裁」処理
(14)「証明書発行」処理
(15)「各種ファイル更新」処理
(16)「受領番号確保」処理
(17)「帳票出力」処理
(18)「統計」処理
(19)「関連業務」処理
(20)「一括」処理（高齢者消除、行政区画変更）
(21)「連携情報」処理
(22)「本籍人副本記録情報検索」処理
(23)「送付分届書等振分け」処理
(24)「証明書発行履歴通知」処理
(25)「異動予約」処理

(26)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理

第5.10.(1)

「業務選択」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「業務選択」処理	〔処理概要〕 ・⑫連携情報処理を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2
ドキュメント名称			
「業務選択」処理			

〔処理概要〕

(1) 戸籍システムとしては下記の12処理を選択することができる。
①検索処理
　現行の戸籍簿の検索にあたる「個人検索」と、現行の受附帳の検索にあたる「受付ファイル検索」ができる。
②異動処理
　届出事件の異動処理を行う。届書内容の入力、審査、仮戸籍ファイルおよび受付ファイルの作成や行政処分にあたる「受理」「不受理」等の処分区分の入力を行う。
③移記事項入力処理
　異動処理で作成された仮戸籍に対して従前の戸籍から移記が必要な場合の処理を行う。異動処理から業務選択に戻らず、続けて処理することも可能である。
④決裁処理
　現行の校合にあたる処理で、審査、移記の内容を確認して戸籍DBや関連ファイルを作成する。
⑤証明処理
　現行の戸籍謄抄本にあたる「全部事項証明」「個人事項証明」等の証明書を出力する。
⑥統計処理
　統計ファイルの修正や事件表の出力等、統計関係の処理を行う。
⑦帳票出力処理
　受附帳、届書送付目録等の帳票を出力する。
⑧各種ファイル更新処理
　受付ファイル等システムで使用するファイルのメンテナンスを行う。
⑨受領番号確保処理
　閉庁時(夜間、休日等)の届出に対し受領番号(受付ファイル)を事前確保する。
⑩関連業務処理
　身分証明書出力、相続税法58条通知出力、附票等の戸籍に関連する事務の処理を行う。
⑪訂正・更正・追完・審査結果入力処理
　訂正、更正、追完および異動処理において処理できなかった届を処理する審査結果入力処理を行う。
⑫連携情報処理
　戸籍情報連携システムに関連する処理を中心に、既存の機能体系に合致しない処理を行う。

〔順守事項〕

　なし

〔留意点〕

(1) データ保護、プライバシー保護の観点から、「処理概要」で述べた処理を行えるかどうかは入力されたパスワードで判断する。基準書では業務選択でパスワード入力を行わせているが、これ以前にパスワードを入力させても構わない。

(2) 業務選択のメニュー(項番、内容等)内容についてはメーカに一任する。

第5.10.(2)

「検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	「検索」処理	[処理概要] ・(1)②受付ファイル検索に「届書等情報表示」に係る説明を追加 [遵守事項] ・(6)戸籍情報連携システムから取得した届書等情報を表示することを追加 [留意点] イメージ印刷時の留意点を追加
		3	「検索」処理	[処理概要] ・(1)③副本記録情報検索を追加 [遵守事項] ・副本記録情報検索の遵守事項を追加 [留意点] ・副本記録情報検索の留意点を追加
2	R3	B01、B02、B03	「検索」処理	[遵守事項] ・(7)副本記録情報検索の補完目的で記載字検索、遡り検索構成員等取得フラグを追加 ・(9)にワイルドカード仕様の確認場所を追加
3		B04		[処理概要] ・(1)に異動処理状況の画面表示を追加 ・(2)に届書処理状況の画面表示を追加 ・(2)の届書等表示画面に添付書面、申入書イメージを追加 [遵守事項] ・(7)に異動処理状況及び届書処理状況の事項を追加
4		－		[処理概要] ・(1)②の文言「処理伺い」を「処理照会」に修正
5	R4	B01	「検索」処理	[留意点] ・(4)に検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を追加
6	2.0 (2023.7.31版)	－	「検索」処理	振り仮名の法制化に伴う修正 ［遵守事項］ ・(1)①のカナ氏名を振り仮名に変更 ・(3)①の事件本人カナ氏名を事件本人振り仮名に変更 ・(8)のカナ氏名を振り仮名に変更 [留意点] ・(1)のカナ氏名を振り仮名に変更

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「検索」処理			

〔処理概要〕

(1) 検索は現行の戸籍簿の検索にあたる「個人検索」と、現行の受附帳の検索にあたる「受付ファイル検索」及び他市区町村の副本記録情報の検索にあたる「副本記録情報検索」を行うことができる。

①個人検索
対象はシステム稼働後の現在戸籍およびシステム稼働後に発生した除籍である。
現行の戸籍簿の検索との違いは、該当個人検索時に同時に個人状態ファイル及び不受理申出ファイルを検索表示できることにある。
流れとしては検索キーを入力し、該当者が複数存在すれば該当する戸籍の一覧を表示(該当戸籍一覧画面)し、その中から該当戸籍を選択する。該当戸籍の選択後(キー入力で個人が確定できた場合は直接)、戸籍の構成員一覧を表示(戸籍構成員一覧画面)する。この画面で本籍、筆頭者、戸籍事項欄、構成員の名欄の一部及び個人状態の有無が表示される。さらに構成員を選択することにより、その個人の名欄および身分事項が表示される(個人詳細画面)。個人状態、および不受理申出の表示もこの画面から展開することができる。
要件定義書には記述されていないが戸籍DBに前個人番号をセットすることにより、個人詳細画面より前歴として前戸籍の個人詳細を表示することができる(管内異動に限られる)。
戸籍情報連携システムから通知される受信情報(F0070:異動処理状況)のデータから、戸籍又は個人に対しての異動処理状況を表示することができる。

②受付ファイル検索
対象は現行の受附帳および発収簿の一部(受理・処理伺い照会等)である。
流れとしては個人検索同様にキー入力を行い、対象が複数あればその該当一覧を表示し、選択後に受付画面が表示される。
また、戸籍情報連携システムから取得した情報として、受付ファイルに紐付く届書等情報を表示することができる。届書等情報表示画面においては、届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージ、申入書イメージの登録状況と、それぞれのイメージを表示することができる。
戸籍情報連携システムから通知される受信情報(F0060:届書処理状況)のデータから、該当の受付ファイルに対する他市区町村の決裁状況を表示することができる。

③副本記録情報検索
対象は他市区町村の副本記録情報である。
①個人検索との違いは検索対象市区町村を指定して他市区町村の副本記録情報を検索できることにある。また、流れとしては検索キーを入力し、戸籍事務のための検索であることを確認する画面を表示（目的内利用確認画面）し、検索する目的を選択する点及び戸籍構成員一覧(副本)画面から全部事項イメージ又は電算化前の除籍等イメージを表示する点も①個人検索と異なる点である。
該当戸籍一覧(副本)画面では異体字に置き換えた漢字項目を検索対象とする異体字検索を行うことができる。
検索した個人に不受理申出書又は胎児認知届書がある場合は、WebAPI「IO230(画像等情報取得)」で画像情報を取得し表示することができる。

〔遵守事項〕

(1) 個人検索における順守事項を下記に示す。

①検索キーは次の10項目を限度とする(要件定義書上では全部を記述していない)。メインキーとサブキーの切り分けはメーカに一任する。
・本籍
・振り仮名　※振り仮名が未登録の場合カナ氏名での検索を可とする
・漢字氏名
・生年月日
・筆頭者(漢字)
・戸籍編製日
・戸籍消除日
・入籍日
・除籍日
・現除区分

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「検索」処理			

(2) 戸籍構成員一覧の個人の記載順位(表示順位)は法令、通達等に基づく。

(3) 受付ファイル検索における順守事項を下記に示す。

①検索キーは次の項目とする。メインキーとサブキーの切り分けはメーカに一任する。
・受領番号
・事件本人振り仮名　※振り仮名が未登録の場合カナ氏名での検索を可とする
・事件本人漢字氏名
・事件本人生年月日
・受領日の範囲
・届出事件コード
・受理送付区分
・渉外区分
・処分区分

(4) 受付ファイルに関しては履歴表示も行えるようにする。

(5) 個人検索、受付ファイル検索における検索キー項目以外を検索キーとすることは認めない。また、すべてを検索キーとする必要はない。

(6) 届書等情報表示において、検索処理で表示する届書等情報は戸籍情報連携システムから取得した情報とすること。

(7) 戸籍及び個人の異動処理状況及び送付した届書等の決裁状況の表示は、戸籍情報連携システムから取得した情報とすること。
※通知されたデータは、1項目で該当の戸籍が一意に定まる情報がないため、戸籍情報システムに保存する場合は、一意に定まる情報での紐づけを検討すること。
送信情報を全て保持し、必要に応じて表示すること。

(8) 副本記録情報検索の検索キーは次の11項目とする。
・検索対象市区町村
・本籍
・振り仮名
・漢字氏名
・生年月日
・筆頭者の氏名(漢字)
・戸籍の編製日
・戸籍の消除日
・入籍日
・除籍日
・戸籍種別

検索を補完する目的で以下の指定をすることができる。
・記載字検索
・遡り検索
・構成員等取得フラグ
仕様に関しては、WebAPI「IO020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に従うこと。

(9) 副本記録情報検索においては、検索キーを入力し、該当する戸籍の一覧を表示する前に、当該検索行為が戸籍法、戸籍法施行規則及びこれに準ずる法令等で定められた戸籍事務のための検索であることを確認し、検索する目的を選択すること。確認と目的の選択は、複数回検索を行う場合でも、検索の都度行うこと。目的が確認できない場合には検索できないような措置を講じること。

(10) 副本記録情報検索においてワイルドカードを使用する際には、ワイルドカードを使用せずに一度以上検索してから使用するような措置を講じること。
ワイルドカードの仕様に関しては、WebAPI「IO020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に従うこと。

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「検索」処理			

(11) 副本記録情報検索において、検索結果の一覧を表示した後の処理については、該当戸籍を選択する操作によって副本記録情報を取得した後、取得した副本記録情報を基に行うこと。検索結果として取得した索引情報は該当戸籍を選択する判断をするための表示情報としてのみ利用すること。

〔留意点〕

(1) 個人検索において、振り仮名、漢字氏名の検索は旧氏名でも検索可能としている。

(2) 戸籍事項、身分事項の表示は証明書と同様にするのが基本であるが、一事項をベタ打ち(連続表示)しても構わない。

(3) 個人検索において、個人状態の破産者、犯歴区分の表示の有無は自治体の運用(判断)に委ねる。

(4) ロックがかかっている戸籍を検索した場合は、メッセージにてその旨を表示する(「第4-10(4) 異動検索処理」を参照のこと)。
副本記録情報検索においても同様であり、戸籍情報連携システムから渡される異動処理状況情報で判断する。
なお、メッセージ表示ではなく画面項目を追加して表示しても構わない。

(5) 戸籍DBを表示する操作であるのか、副本記録情報を表示する操作であるのかを判別できるようにすること。

(6) 戸籍情報連携システムから取得した各イメージを印刷する場合は、内部用帳票である旨の表示を施して出力すること。

(7) 副本記録情報検索において、電算化前の除籍等を検索対象とする場合や検索結果が改製不適合戸籍の場合には、戸籍情報連携システムから取得する索引情報及び副本記録情報の項目によって情報が設定されていない可能性があるが、この場合でも問題なく表示できること。

第5.10.(3)

「届出選択」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	新業務処理手順図	戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書0096版までの変更に伴う修正 [留意点]に送付分届書の処理を追記
2		－		「伺い」を「照会」に修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
ドキュメント名称			
「届出選択」処理			

〔処理概要〕

(1) 基本的に届出された事件に該当する事件を選択し、それぞれ該当する届書入力画面を表示する。届出メニュー項目は届書の区分けとして、40種および照会に対する法務局からの指示を2種設ける。

届書で、養子離縁届と同時に出された戸籍法73条の2届および離婚届と同時に出された戸籍法77条の2届に関しては独立した異動処理とした。また、特別養子離縁届および届書様式(昭59.11.1 民二5502号通達)にない取消届は審査結果入力で処理する。

受理指示は照会を上げた届書の受領番号とともに選択番号(届出選択画面では50:受理指示)を入力し、受領番号に該当する届書入力画面を表示する。不受理指示は受理指示と同様の処理を行うが(届出選択画面では60:不受理指示)、流れとしては直接処分決定・仮受付画面を表示する。

通常は該当事件を選択し該当処理へと進むが、受領番号を入力する場合として上記に示した照会に対する指示入力のような再入力処理がある。指示入力以外としては処分決定で「保留」としたものや、決裁がされていない届で簡易な入力ミスがあったものの修正等がある(決裁後は訂正による他は修正の術がない)。

「入籍」「帰化」等のように一回の異動処理で受付ファイルが複数件発生した場合の再入力処理では、付設された受領番号の最小値を入力しなければいけない。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1) 送付分の届書等の処理は、第7-2(28)「送付分届書等入力」処理を参考にすること。

第5.10.(4)

「異動検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「異動検索」処理	[処理概要] ・非本籍人については副本記録情報から選択するよう変更 [遵守事項] ・検索処理の遵守事項を順守するよう追加
2	R3	B03	「異動検索」処理	[処理概要] ・異動予約情報一覧から選択する機能を追加
3	R4	B01	「異動検索」処理	[処理概要] ・検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を追加
4	2.0 (2023.7.31版)	連携システム_別冊(運用編) №23,28	「異動検索」処理	[処理概要] ・検索を(1)本籍人の検索と(2)非本籍人の検索に分割 ・(2)非本籍人の検索において、検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「異動検索」処理			

〔処理概要〕

(1)本籍人の検索

異動処理における検索であり、異動事件の該当戸籍又は個人を検索することにより、該当する届書入力画面へのデータの反映を行うためのサブシステムにあたる。

ここで述べる要件を満たしていれば方法等は制約しない。

基本は個人を検索選択するものであるが、場合によっては戸籍を検索選択することもある。

流れおよび画面は通常の「検索処理」に準じ該当個人に不受理申出がされていれば事件に関係なく、選択時に確認の意味で強制的に不受理申出画面を表示させる。

異動に関する検索はすべてこのサブシステムを用い、選択された場合はデータの整合性のために戸籍のロック処理を行う。戸籍のロック処理は本籍人が選択された場合にフラグを利用して戸籍全体にかける。すでにロックのかかっている戸籍を選択しようとした場合には、選択不可とする処理を行う。

操作の誤り等により再選択する場合には、前に選択された戸籍のロック解除および再選択された戸籍のロック設定を行う(ロックの解除は「第5-10(6) 処分決定」「第5-10(13) 決裁」を参照のこと)。

(2)非本籍人の検索

非本籍人が選択された場合、届書入力画面へのデータの反映については職員の手入力を補助する位置づけで戸籍情報連携システムから取得した副本記録情報を利用する。

副本記録情報の異動処理状況情報から、「異動処理中」又は「異動予約中」の場合は異動予約内容を確認して処理継続が可能か判断すること。

なお、異動予約情報の一覧から異動事件の該当戸籍又は個人を選択することができる。

受理分の届書入力(再入力を除く。)については、戸籍情報連携システムから届書処理通番を取得する。

〔順守事項〕

(1) 「検索」処理の順守事項を順守すること。

〔留意点〕

なし

第5.10.(5)

「審査」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1	R3		コード設計書	以下コードを追加 ・「不受理申出区分」

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「審査」処理			

〔処理概要〕

(1) 各異動届の入力、審査、仮戸籍ファイルの作成等を行う。

〔順守事項〕

(1) 基本的にすべてを順守すること(処理の流れ、チェック・審査内容、戸籍編製内容等)。

〔留意点〕

(1) より深く審査するための画面項目の追加、審査項目の追加は構わない。

(2) 他の仕様を変更することによる処理の変更は認める(関連事務のファイルを作成する等)。

(3) 画面への入力方式は任意とする。

〔その他〕

(1) 審査処理で処理できないもの(審査結果入力処理)を以下に示す。

①通常のカレンダーにはない日付を持っている者の処理(日付には生年月日の他に、戸籍事項および身分事項にも複数存在する)
・元号が変わった境目の日付(大正15年12月25日と昭和元年12月25日等)
・実際にカレンダー上にはない日付(大正16年、2月30日等)

②改正国籍法(昭和60年1月1日施行)前に外国人と婚姻してシステム化後も(養)父母の戸籍にいる者の処理
その者については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し、審査ではじくことにする。

③旧法において婿養子縁組婚姻または入夫婚姻した夫が昭和32年法務省令による改製作業の際に申出を行い筆頭者となった夫及び妻については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し、審査ではじくことにする。

④不受理とされた創設的届出に対して、受理を命ずる裁判が確定した場合の処理

⑤事件本人が既に死亡している者の創設的届出があったときの処理(死亡後受理)
上記以外については各事件の要件定義書「システム処理の概要説明」を参照のこと。

(2) 審査処理で注意が必要な事項を以下に示す。

①北方地域(色丹、国後および択捉島)に本籍を有することができること。また、この場合の送付先は根室市であることに注意が必要である。

②再入力処理での入力仕様、異動検索との関わり等

第5.10.(6)

「処分決定」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「処分決定」処理	[留意点] 参照戸籍ファイル作成は順守とすることを追加
2	R3	B04	「処分決定」処理	[留意点] 届書処理通番ファイル、送付先市区町村情報ファイルの作成は順守とすることを追加
3	R4	B04	「処分決定」処理	[留意点] (5)処分区分が「取下げ」であった場合の処理を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和4年3月31日	R4
ドキュメント名称			
「処分決定」処理			

(1) 異動処理で審査した結果を基に処分内容を決定する(処分区分の入力)。再入力処理以外のときは、処分区分を入力した後に受領番号が取得される。

〔順守事項〕

(1) 基本的にすべてを順守すること(処理の流れ、処分区分のチェック等)。

〔留意点〕

(1) 死亡での埋火葬許可証の出力は任意とする。

(2) 受付DB、届書処理通番ファイル、送付先市区町村情報ファイル、仮戸籍ファイル、参照戸籍ファイルの作成および個人状態ファイルへの処理は順守とするが、それ以外のファイルについては任意とする。

(3) 再入力処理における処分区分の入力は法制上非常に重要な問題であるので、システム上十分注意して作成すること(「第2 新事務処理(戸籍事務)の概要」を参照のこと)。

(4) 移記入力が不要な場合には、処分決定後すぐに決裁処理がなされるため、処分決定処理で決裁用帳票を出力させても構わない。処理の流れは「第5-3 オンライン処理の流れ図」を、帳票出力については「第5-10(12) 決裁用帳票出力」を参照のこと。

(5) 受理地での届書等の処理(取下げ)に伴い、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)を戸籍情報連携システムに送信すること。

第5.10.(7)

「仮戸籍表示」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「仮戸籍表示」処理			

〔処理概要〕

(1) 仮戸籍の内容を画面表示する。表示内容は戸籍検索と同様である(「第7-2(2) 検索処理」を参照のこと)。

〔順守事項〕

(1) 処分決定、決裁で仮戸籍の表示ができること。

〔留意点〕

(1) 仮戸籍の内容は処理が進むごとに変更されるので、表示する処理によって内容は異なる。決裁処理で表示される内容がそのまま戸籍DBに反映される。

第5.10.(8)

「エラー履歴表示」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「エラー履歴表示」処理			

〔処理概要〕

(1) 審査で発生したエラー一覧を画面表示する。

〔順守事項〕

(1) 処分決定、移記、決裁でエラー履歴の表示ができること。

(2) 表示内容は順守すること(「第7-2(8)エラー履歴表示」を参照のこと)。

〔留意点〕

なし

第5.10.(9)

「移記事項入力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「移記事項入力」処理	[処理概要] ・副本記録情報より選択した非本籍人の情報も移記対象とすることを追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和2年3月25日	R2.2
ドキュメント名称			
「移記事項入力」処理			

〔処理概要〕

(1) 異動処理で審査した結果を基に編製された仮の戸籍に対し、戸籍法施行規則第37条(管外転籍の場合の記録)と同法第39条(重要な身分事項の移記)による事項の記録するための入力処理である。

(2) 管外からの転籍で従前に氏の変更があった場合、戸籍事項一覧(移記対象届出)から移記すべき戸籍事項を選択し各事項の入力が可能である。

(3) 入籍する者(新戸籍編製による入籍者も含む)が、従前本籍人の場合及び従前非本籍人であり副本記録情報から事件本人として選択した場合、自動的に従前の戸籍から身分事項がすべて移記(複写)される。複写された身分事項の引き直し(修正)及び移記不要の身分事項の削除が可能である。また、従前非本籍人について副本記録情報から事件本人として選択していない場合、身分事項一覧(移記対象届出)から移記すべき身分事項を選択し各事項の入力が可能である。

(4) 管外への転籍等、除籍のみの記録の場合、「移記事項入力」処理を行うことなく「決裁」処理をすることが可能である。

〔順守事項〕

(1) 既に戸籍に記録されている事項、及び「審査入力」により作成された事項を訂正することはできない。

①既に戸籍に記録されている事項に対する訂正は、戸籍訂正に手続きによる。

②「審査入力」により作成された事項に対する訂正は、「審査入力」処理を再度行い各事項を再作成する。

(2) 事項の並べ替えについては、「移記事項入力」処理で記録した事項のみを対象とし、既に戸籍に記録されている事項の並べ替えを行うことはできない。

〔留意点〕

(1) 移記に対する処理に不備があった場合でも、「決裁」処理で『決裁済』にしていなければ、再度「移記事項入力」処理をすることができる。

第5.10.(10)

「審査結果入力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	「審査結果入力」処理	・詳細使用説明書に〔留意点〕を追加 ・オンライン処理の流れ図に送付分届書等一覧からの流れを追加 ・決裁処理に渡すデータとして、⑨受付帳記録に⑨-1届書処理通番ファイル及び送付先市区町村情報ファイルを追加
2	2.0 2023.3.31 版	－	「審査結果入力」処理	届書処理通番ファイルは、送付分届書においても作成する修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(4)を修正 ・オンライン処理の流れ図⑨-1の修正、⑨-2を追加
3	2.0 2023.7.31 版	－	「審査結果入力」処理	振り仮名の法制化に伴う修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(6)(7)を追加
4		－		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(8)を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「審査結果入力」処理			

〔処理概要〕

「審査結果入力処理」は、「審査処理」において自動的に処理できない事件で、「訂正・更正・追完処理」以外の事件についての処理、又は通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件であり、次のようなものとなる。

1.「審査処理」によっては、自動的に審査ができない届出事件

2.「審査処理」によっては、自動的に戸籍の編製/記録ができない届出事件

3.市区町村長が職権で記録する事件(訂正・更正・追完事件でないもの)

4.通常の届出事件(訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍に記録前の追完事件

処理の概要は、現在の戸籍処理と同様に職員が届書と検索した戸籍から審査を行い、その結果により受理処分をして、必ず、受付帳を作成し、検索/選択した仮戸籍に対して操作員の指示に基づき処理し、戸籍を処理(記録の追加が原則)するものである。その後、「決裁処理」を行うこととなる。

非本籍の届出事件に対する、処理が審査結果となることも考慮されるため、上記処理にて、受付帳のみの作成も可能とすべきである。

〔添付資料〕

次頁以降に、以下の資料を添付するが、あくまでも参考資料であり、内容等に関して検討していない。参考とする場合はこの点を前提として参考にされたい。

1.オンラインの流れ図(概要)のサンプル

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「審査結果入力」処理			

〔留意点〕

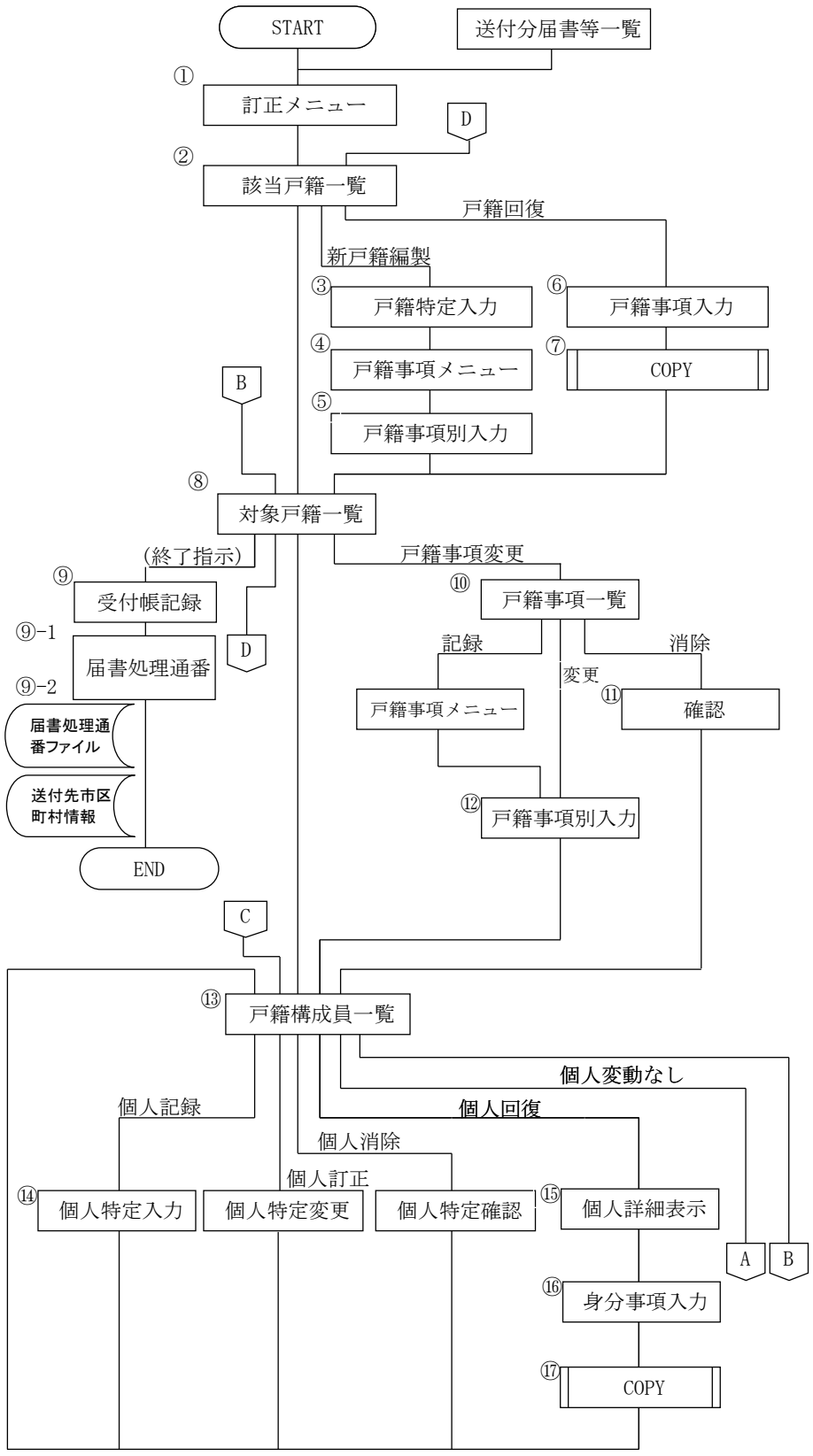
(1) 送付分において、送付分届書等一覧にて審査結果入力処理での入力が指示された場合は、送付分届書等一覧から訂正メニューに遷移する(第7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理参照。)ため、審査結果入力処理のみが選択できるよう制御すること。また、送付分届書等一覧で選択した届書の届書処理通番を利用して処理を行うこと。
(2) 非本籍人の情報確認は非本籍人検索で行うこと。
但し、審査結果入力処理で非本籍人検索機能を設けた場合は、第7.2.(2)「検索」処理と同様の仕様とすること。
(3) 受付ファイル作成において、送付先市区町村情報ファイルを作成する場合は、第7.2.(13)「各種ファイル更新」処理「送付先市区町村情報更新」処理と同様の仕様とすること。
(4) 届書処理通番ファイルを作成すること。
在外送付区分、追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の設定が必要な場合は、届書処理通番ファイルを更新すること。
※届書処理通番は7-2-(4)_「異動検索」処理及び7-2-(28)_ 「送付分届書等振分け」処理を、受付帳との紐づけ、届書郵送による届書処理通番の採番は7-2-(6)_「処分決定」処理を参照。
(5) 受理分又は在外公館の直接送付の場合、決裁処理において戸籍情報連携システムに送信する送信用届書等情報ファイル作成の切り分けのために、届書入力処理における在外送付区分が必要になる。この情報を届書処理通番ファイルに設定すること。
(6) 事件本人が戸籍に入籍(新戸籍編製及び同一戸籍の末尾入籍を含む)する場合、入籍先において個人状態ファイルの「氏の振り仮名職権記録区分」及び「名の振り仮名職権記録区分」の状態を仮個人状態ファイルとして作成しても構わない。但し、作成しない場合は処理終了前に、「決裁後に個人状態ファイルの振り仮名職権記録区分の記録が必要な場合は、ファイル更新処理で記録して下さい。」等のメッセージを表示する等、振り仮名職権記録区分の登録漏れ防止策を施すこと。
　なお、事件本人が異動しない場合について、現行の振り仮名職権記録区分の変更がある場合も同様の処置を行うこと。
　仮個人状態ファイルの仕様は、7-2-(5)-34氏の振り仮名の届_入力確認4.0仮個人状態を参照のこと。

(7) 氏の振り仮名の変更届及び名の振り仮名の変更届における受付事件コードは、家庭裁判所の許可を得て振り仮名を変更する届(4701、4801)と、家庭裁判所の許可を得ずに職権記録された振り仮名を変更する届(4702、4802)で異なる仕様である。受付事件名称は同じであることから、受付帳作成の受付事件コード選択において、双方の区別ができるようにすること。
(8) 入籍者が入籍する戸籍に同一人が存在する場合、入籍者の個人特定ファイルの「同一戸籍内前個人番号」に同一人の戸籍番号を入力できるようにすること。なお、同一人を選択することで入籍者の「同一戸籍内前個人番号」を設定する仕様でも構わない。
入力された場合のチェックは、7-2-(9)_「移記事項入力」処理_個人情報表示_4.0別紙1〔入力審査〕を参考にすること。
　本機能は任意設計機能とする。

オンライン処理の流れ図(概要)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

11.審査結果入力



処理概要

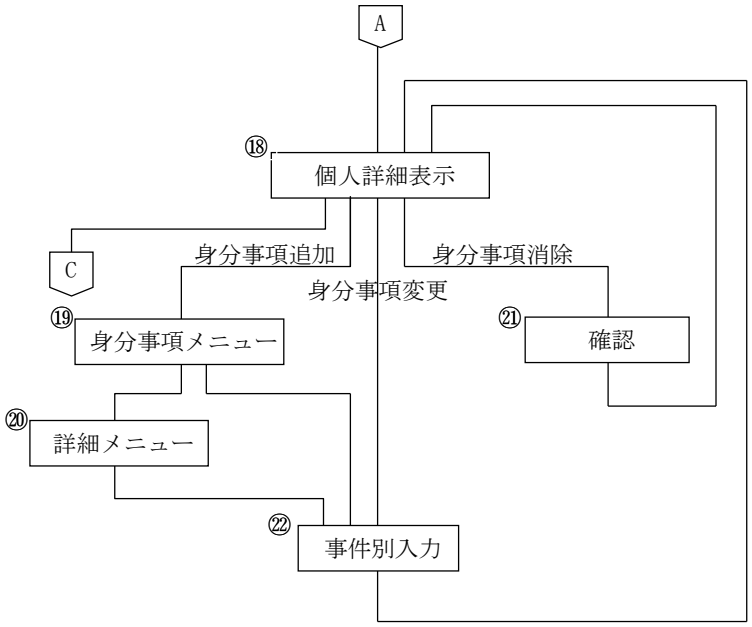
①メニューより処理を選択する
・審査結果入力
②対象となる戸籍を検索・選択する
・新戸籍編製及び戸籍回復をする場合は各々指示入力をする
③戸籍特定情報を入力する
・編製日　等
・本籍、筆頭者、戸籍除区分
④戸籍事項メニューより選択する
⑤選択された戸籍事項別入力画面に必要項目を入力する
⑥回復元の戸籍消除事項に対する回復に関する日付、事由等を入力する
⑦回復元戸籍を元に回復戸籍を作成する為に複写する
・複写の際に戸籍除区分等は変更する
⑧対象戸籍一覧より選択する
・処理終了:処理した戸籍が1件以上の場合
→受付帳作成へ
・戸籍事項変更指示
→戸籍事項変更処理

⑨受付帳作成画面より入力・作成
・事件、事件本人、届出人等
⑨-1必要に応じて各区分の更新を行う。
⑨-2届書処理通番ファイルの作成及び受理分又は在外公館の直接送付の場合届送付先市区町村情報ファイル(任意)を作成する。
⑩戸籍事項表示し、対象事項を選択後に処理を選択する
⑪消除対象事項を再度確認する
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ
⑫選択された戸籍事項別入力画面に必要項目を入力/変更する
・変更できるのは上記⑪と同様
⑬構成員一覧より対象者を選択し処理を選ぶ
⑭個人特定画面にて入力/修正/確認をする
・氏名、生年月日、性別、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、父母氏名、続柄、養父母氏名、養父母との続柄、個人除区分、個人異動区分
⑮回復原因となる身分事項を選択
⑯回復元の身分事項消除に対する日付、事由等を入力する
⑰回復元者を元に回復先者を作成する為に複写する
・複写の際に個人除区分等は変更する

オンライン処理の流れ図(概要)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

11.審査結果入力



処理概要

⑱個人詳細表示より処理を選択する
・身分事項の変更、消除、追加
⑲事件メニューより記録追加する事件を選択する
・取消し関係の中でも親権喪失取消、推定相続人廃除取消、失踪宣告取消については消除対象事項を選択する
⑳詳細メニューのある事件はさらに記録に従い選択する
㉑事件別画面により確認する
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ
㉒事件別画面に入力/変更をする
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ

*回復後の者の身分事項を改製方式に従って変更する為、回復後の者の修正はオールマイティとなる

第5.10.(11)

「訂正・更正・追完」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	「訂正・更正・追完」処理	・詳細使用説明書に〔留意点〕を追加 ・オンライン処理の流れ図に送付分届書等一覧からの流れを追加 ・決裁処理に渡すデータとして、⑨受付帳記録に⑨-1届書処理通番ファイル及び送付先市区町村情報ファイルを追加
2	2.0	指摘事項管理表(3)_連携システム_外部IF仕様書 №275 №316	「訂正・更正・追完」処理	届書処理通番ファイルは、送付分届書においても作成する修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(4)を修正 ・オンライン処理の流れ図⑩-1の修正、⑩-2を追加 追完届有無フラグの設定は決裁処理で行うことの修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(6)を削除
3	2.0 (2023.7.31版)	―	「訂正・更正・追完」処理	振り仮名の法制化に伴う修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(6)を追加 ・補足説明書(訂正系)の「5101 記録」に戸籍事項(氏の振り仮名の職権記録)を追加、身分事項に(名の振り仮名の職権記録)を追加
4		―		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・詳細使用説明書に〔留意点〕(7)を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「訂正･更正･追完」処理			

〔処理概要〕

「訂正･更正･追完」は、戸籍法第59条、第113条、第114条、第116条による戸籍の訂正の申請、同法第24条第2項、戸籍法施行規則第41条、第43条、第45条による市区町村長による職権訂正･更正及び戸籍法第45条による追完届による処理である。
しかし、その処理内容が多岐にわたるため、システムで自動的に行うことはできない。そのため、戸籍と申請書等により審査を行った後に、操作員の指示に基づき処理し、戸籍を処理するものである。
処理は、通常の審査と同様に戸籍検索を行い、対象戸籍または個人を選択して仮戸籍に対して、各々の処理を行い既に記録されている事項、又は戸籍/個人/戸籍事項/身分事項の修正･追加･削除を行うことから、この処理をしたことを明らかとするため、必ず、訂正･更正･追完事項を記録(タイトルによる明示)を行い、処理中において、必ず、受付帳を作成するものとする。その後に、「決裁処理」を行うこととなる。
また、通常審査とは異なり、一部機能がないものがある(新事務処理の概要/審査結果入力の別表参照)。

処理を大別すると以下のようになり、その概要を示す。

1. 修正(置き換え)
当該記録を修正する場合は、従前の記録を消除することなく、必ず、処理事項の記録中に、修正前の記録として、【従前の記録】のインデックスの下に当該項目を記録する。

2. 追加
既に記録されている事項に、一部追加するときは、追加すべき箇所に追加記録した上、必ず、処理事項の記録中に、追加の記録として、【記録の内容】のインデックスの下に当該項目を重ねて記録する。
但し、記録されている事項の一部追加ではなく、戸籍/個人/戸籍事項/身分事項の追加を行う場合は、追加記録した上、当該事項全てのために、【記録の内容】の記録はせずに処理事項を記録する。

3. 消除
既に記録されている事項を消除するときは、当該消除する記録を消除後、必ず、処理事項中の【従前の記録】のインデックスの下に当該項目を記録する。

4. 上記の修正と追加と消除の3つの処理を同じにする場合も同様である。

なお、詳細な記載方法に関しては、新事務処理の概要を参照されたい。

〔添付資料〕

次頁以降に、以下の資料を添付するが、あくまでも参考資料であり、内容等に関して検討していない。参考とすす場合はこの点を前提として参考にされたい。

1. オンラインの流れ図(概要)のサンプル

2. 画面設計書のサンプル

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「訂正･更正･追完」処理			

〔留意点〕

(1) 送付分において、送付分届書等一覧にて訂正･更正･追完処理での入力が指示された場合は、送付分届書等一覧から訂正メニューに遷移する(第7.2.(28)「送付分届書等振分け」処理参照。)ため、訂正(文字訂正等を含む。)、更正(文字更正等を含む。)及び追完処理のみが選択できるよう制御すること。また、送付分届書等一覧で選択した届書の届書処理通番を利用して処理を行うこと。
(2) 非本籍人の情報確認は非本籍人検索で行うこと。
但し、訂正･更正･追完処理で非本籍人検索機能を設けた場合は、第7.2.(2)「検索」処理と同様の仕様とすること。
(3) 受付ファイル作成において、送付先市区町村情報ファイルを作成する場合は、第7.2.(13)「各種ファイル更新」処理「送付先市区町村情報更新」処理と同様の仕様とすること。
(4) 届書処理通番ファイルを作成すること。
在外送付区分、追完届有無フラグ、規則第四十一条処理区分の設定が必要な場合は、届書処理通番ファイルを更新すること。
※届書処理通番は7-2-(4)_「異動検索」処理及び7-2-(28)_ 「送付分届書等振分け」処理を、受付帳との紐づけ、届書郵送による届書処理通番の採番は7-2-(6)_「処分決定」処理を参照。
(5) 受理分又は在外公館の直接送付の場合、決裁処理において戸籍情報連携システムに送信する送信用届書等情報ファイル作成の切り分けのために、届書入力処理における在外送付区分が必要になる。この情報を届書処理通番ファイルに設定すること。
(6) 事件本人が戸籍に入籍(新戸籍編製及び同一戸籍の末尾入籍を含む)する場合、入籍先において個人状態ファイルの「氏の振り仮名職権記録区分」及び「名の振り仮名職権記録区分」の状態を中間ファイル(仮個人状態)として作成しても構わない。但し、作成しない場合は処理終了前に、「決裁後に個人状態ファイルの振り仮名職権記録区分の記録が必要な場合は、ファイル更新処理で記録して下さい。」等のメッセージを表示する等、振り仮名職権記録区分の登録漏れ防止策を施すこと。
　なお、事件本人が異動しない場合について、現行の振り仮名職権記録区分の変更がある場合も同様の処置を行うこと。
　仮個人状態ファイルの仕様は、7-2-(5)-34氏の振り仮名の届_入力確認4.0仮個人状態を参照のこと。
(7) 入籍者が入籍する戸籍に同一人が存在する場合、入籍者の個人特定ファイルの「同一戸籍内前個人番号」に同一人の戸籍番号を入力できるようにすること。なお、同一人を選択することで入籍者の「同一戸籍内前個人番号」を設定する仕様でも構わない。
入力された場合のチェックは、7-2-(9)_「移記事項入力」処理_個人情報表示_4.0別紙1〔入力審査〕を参考にすること。
　本機能は任意設計機能とする。

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍/身分事項(ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表)訂正系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
50	訂正	5001	訂正	5001	基本事項の訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の訂正の記録 ・本籍、筆頭者
							身	個人特定事項の訂正の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の訂正
		5002	②訂正	(5001)	基本事項の訂正の記録 ⇒訂正事項は記録しない	×	戸	戸籍事項の訂正の記録
							身	身分事項の訂正の記録 (インデックスの追加、削除、訂正)
		5011	文字訂正	5011	基本事項の文字訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字訂正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字訂正の記録 ・戸籍事項中、氏及び名(筆頭者)
							身	身分事項の文字訂正の記録 ※2 ・身分事項中、氏及び名
		5012	文字関連訂正	(5011)	文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字訂正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の訂正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1、※2の文字訂正による個人特定事項の訂正の記録 ※4 ・(養)父母氏名の訂正事項
		5013	②文字関連訂正	(5011)	文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1、※2の文字訂正による基本事項中、氏名の訂正の記録 ※5
		5014	②文字訂正	(5011)	基本事項の文字訂正の記録	×	身	身分事項の文字訂正の記録 ※2 ・身分事項中、氏及び名
51	記録	5101	記録	5101	基本事項の記録	×	戸	氏の振り仮名の職権記録の記録
							身	個人特定事項の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄 名の振り仮名の職権記録の記録
		5102	②記録	(5101)	基本事項の記録	×	戸	戸籍事項の記録
							身	身分事項の記録
52	消除	5201	消除	5201	基本事項の消除の記録	×	戸	戸籍事項の消除の記録
							身	個人特定事項の消除の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄 身分事項の消除の記録
53	移記	5301	移記	5301	移記による基本事項の消除の記録	×	戸	訂正による戸籍事項移記の記録
							身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記前の戸籍の記録)

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

戸籍/身分事項(ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表)訂正系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
		5302	②移記	(5301)	移記による基本事項の記録	×	戸	訂正による戸籍事項移記の記録
							身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記後の戸籍の記録)
54	入籍	5401	入籍	5401	入籍	×	身	嫡出否認等による入籍の記録 皇室典範11条･13条による入籍の記録
		5402	子の入籍	5402	子の入籍による(養)父母の入籍後の記録	×	身	上記の際に、子の入籍となる(養)父母の入籍後の記録
55	除籍	5501	除籍	5501	除籍の記録	×	身	嫡出否認等による除籍の記録
56	回復	5601	回復	5601	回復の記録	×	身	除籍事項の回復の記録 転籍により除籍となっている場合の回復の記録
57	引取り	5701	引取り	5701	棄児の引取りによる出生事項の消除の記録	×	身	棄児の引取りによる戸籍訂正の申請があった場合の記録 (18)
58	子の復籍	5801	子の復籍	5801	子の復籍による父母の入除籍の記録	×	身	子の復籍により3代戸籍となる場合の父母の入除籍の記録

*1;'戸'⇒戸籍事項への記録'身'⇒身分事項への記録
②:タイトルの表示の際に、2段(2カラム)右に下げて表示する。

※1:氏の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・氏の文字訂正した者の(養)子:(養)父母の氏の訂正 ……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中、配偶者の氏の訂正 ……※5
・氏の文字訂正した者の養子:養子縁組中、養親の氏の訂正 ……※5
↳ 他に、認知事項等もあり。
・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の訂正 ……※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の訂正 ……※5

※2:名の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示:筆頭者の名の訂正 ……※3
⇒名の文字を訂正した者が筆頭者の場合
・名の文字訂正した者の(養)子:(養)父母の名の訂正 ……※4
・配偶者:婚姻事項中、配偶者の名の訂正 ……※5
・名の文字訂正した者の養子:養子縁組中、養親の名の訂正 ……※5
↳ 他に、認知事項等もあり。

事件コード:50～57の「受付事件コード」は通常訂正系の「受付事件コード」となる。
訂正(市区町村長職権)
訂正(24条2項)
訂正(113条)
訂正(114条)
訂正(116条)
ただし、54、55、56の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる場合もある。

事件コード:58の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる。

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

適用業務名

戸籍/身分事項(ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表)更正系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
70	更正	7001	更正	7001	基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 → 行政区画変更 → 行政区画の名称変更 等
							身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の更正
		7002	②更正	(7001)	更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中、届出人資格の更正の記録
		7011	文字更正	7011	基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中、氏及び名(筆頭者)
							身	個人特定事項の文字更正の記録 ※2 ・名
		7012	文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記載 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1、※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録 ※4 ・(養)父母氏名の更正事項
		7013	②文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1、※2の文字更正による基本事項中、氏名の更正の記録 ※5
		7014	②文字更正	(7011)	基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録 ※2 ・身分事項中、氏及び名
70	更正	7001	更正	7001	基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 → 行政区画変更 → 行政区画の名称変更 等
							身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の更正
		7002	②更正	(7001)	更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中、届出人資格の更正の記録

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

適用業務名

戸籍/身分事項(ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表)更正系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
		7011	文字更正	7011	基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中、氏及び名(筆頭者)
							身	個人特定事項の文字更正の記録 ※2 ・名
		7012	文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1、※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録 ※4 ・(養)父母氏名の更正事項
		7013	②文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1、※2の文字更正による基本事項中、氏名の更正の記録 ※5
		7014	②文字更正	(7011)	基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録 ※2 ・身分事項中、氏及び名
		7003	平成15年法律第111号3条	7003	性別変更の記録	○	身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母との続柄の更正

※1:氏の文字更正
[更正の及ぶ範囲]
・氏の文字更正した者の(養)子:(養)父母の氏の更正 ……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中、配偶者の氏の更正 ……※5
・氏の文字更正した者の養子:養子縁組中、養親の氏の更正 ……※5
↳ 他に、認知事項等もあり。
[著しく差異のない字体の更正]
・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の更正 ……※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の更正 ……※5

※2:名の文字更正
[更正の及ぶ範囲]
・戸籍の表示:筆頭者の名の更正 ……※3
⇒ 名の文字を更正した者が筆頭者の場合
・名の文字更正した者の(養)子:(養)父母の名の更正 ……※4
・配偶者:婚姻事項中、配偶者の名の更正 ……※5
・名の文字更正した者の養子:養子縁組中、養親の名の更正 ……※5
↳ 他に、認知事項等もあり。

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕追完系

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
80	追完	8001	追完	8001	基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍特定事項の追完訂正の記録 ・本籍、筆頭者
							身	個人特定事項の追完の記録 ・(養)父母氏名、(養)父母との続柄、名、出生年月日の追完
		8002	②追完	(8001)	基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍事項の追完の記録
							身	身分事項の追完の記録 (インデックスの追加、削除、訂正)

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕変更系

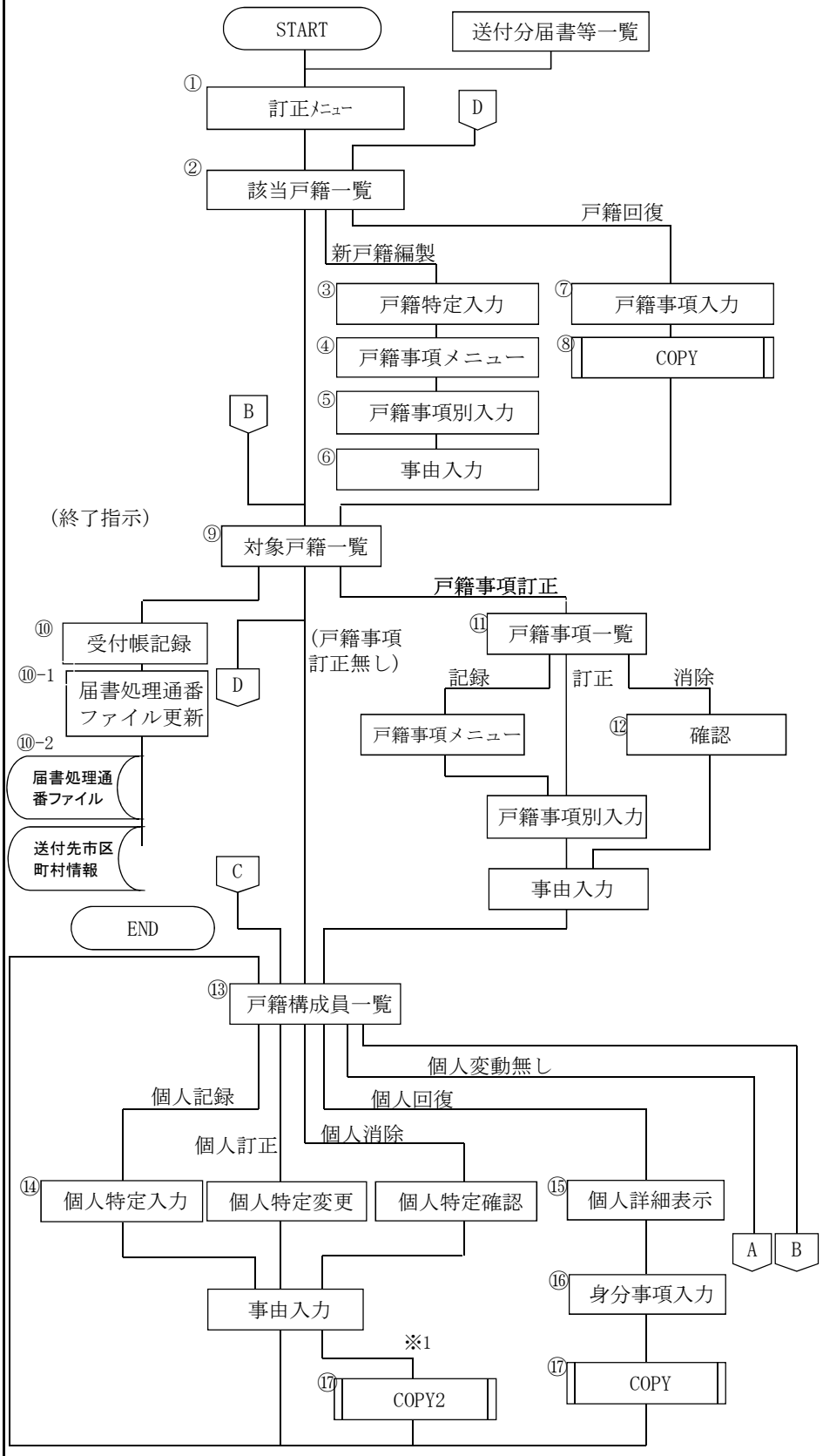
事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
90	外国人配偶者の国籍変更	9001	配偶者の国籍変更	9001	国籍変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中、外国人配偶者の国籍(【配偶者の国籍】)の変更事項
91	外国人配偶者の氏名変更	9101	配偶者の氏名変更	9101	氏名変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中、外国人配偶者の氏名(【配偶者氏名】)の変更事項

事件名は訂正(市区町村長)となる。

オンライン処理の流れ図(概要)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

(11.訂正･追完･更正)



※1　平成15年法律111号3条による新戸籍編製が必要な場合

処理概要

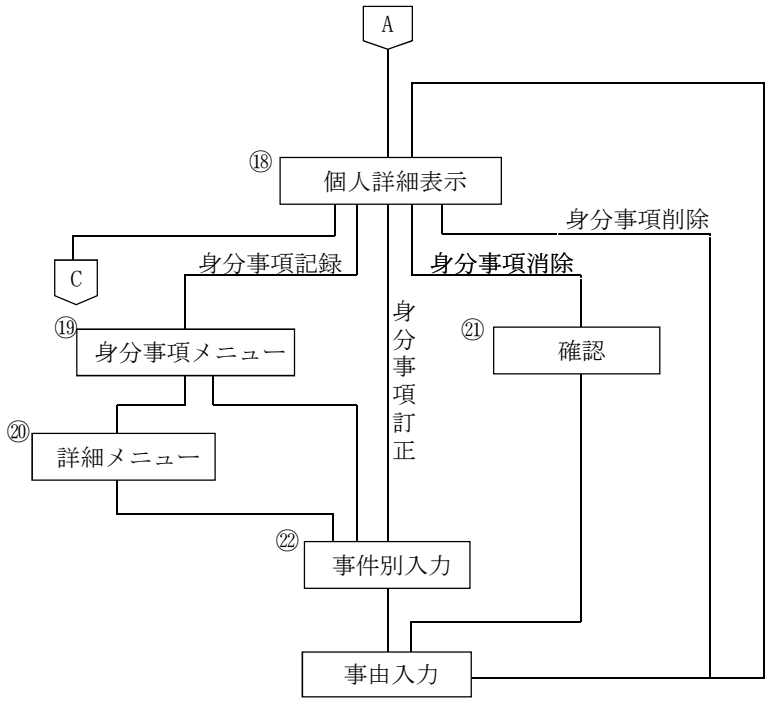
①メニューより処理を選択する
･訂正、追完、更正等
②対象となる戸籍を検索･選択する
･新戸籍編製及び戸籍回復をする場合は各々指示入力をする
③戸籍特定情報を入力する
･編製日　等
･本籍、筆頭者、戸籍除区分
④戸籍事項メニューより選択する
⑤選択された戸籍事項入力面面に必要項目を入力する
⑥事由入力画面に日付、事由等を入力する
･裁判確定日、許可日、申請届出関連がない場合に市区町村限りの職権訂正とする
⑦回復元の戸籍消除事項に対する回復に関する日付、事由等を入力する
⑧回復元戸籍を元に回復戸籍を作成する為に複写する
･複写の際に戸籍除区分等は変更する
⑨対象戸籍一覧より選択する
･処理終了:処理した戸籍が1件以上の場合
　→受付帳作成へ
･戸籍事項訂正指示
　→戸籍事項訂正処理

⑩受付帳作成画面より入力･作成
･事件、事件本人、届出人等
⑩-1必要に応じて各区分の更新を行う。
⑩-2書処理通番ファイルの作成及び受理分又は在外公館の直接送付の場合届送付先市区町村情報ファイル(任意)を作成する。
⑪戸籍事項表示し対象事項を選択後に処理を選択する
⑫消除対象事項を再度確認する
⑬構成員一覧より対象者を選択し処理を選ぶ
⑭個人特定画面にて入力/修正/確認をする
･氏名、生年月日、性別、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、父母氏名、続柄、養父母氏名、養父母との続柄、個人除区分、個人異動区分
⑮回復原因となる身分事項を選択
⑯回復元の身分事項消除に対する日付、事由等を入力する
⑰回復元者を元に回復先者を作成する為に複写する
･複写の際に個人除区分等は変更する
⑰対象者の新戸籍編製用の複写処理
･新戸籍情報(戸籍特定、戸籍事項、個人特定、身分事項、氏名)用に現在の状態をそのまま複写
･複写の際に個人除区分等は変更する

オンライン処理の流れ図(概要)	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0

適用業務名

(11.訂正･追完･更正)



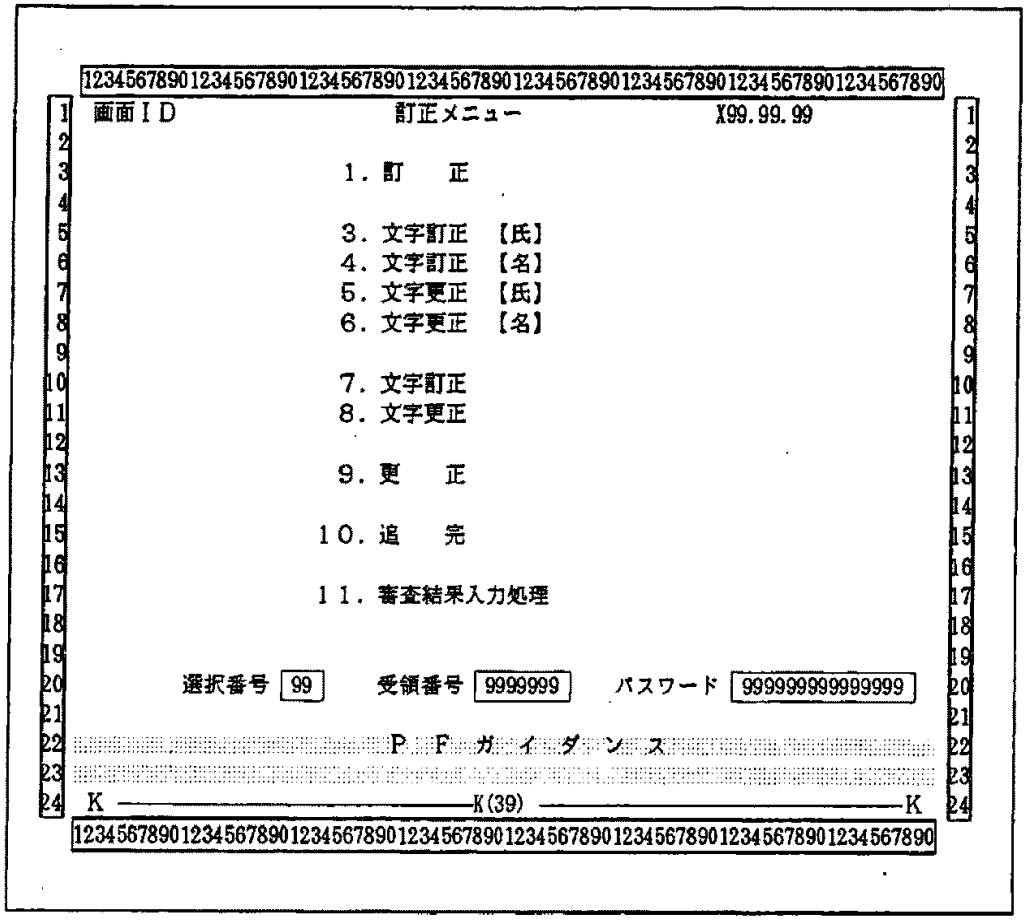
処理概要

⑱個人詳細表示より処理を選択する
　･身分事項の変更、消除、追加
⑲事件メニューより記録追加する事件を選択する
⑳詳細メニューのある事件はさらに記録に従い選択する
㉑事件別画面により確認する
㉒事件別画面により入力/変更をする

※回復後の者の身分事項を改製方式に従って変更する為、回復後の者の修正はオールマイティとなる

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 訂正メニュー (01)			

画面番号		画面名	訂正メニュー



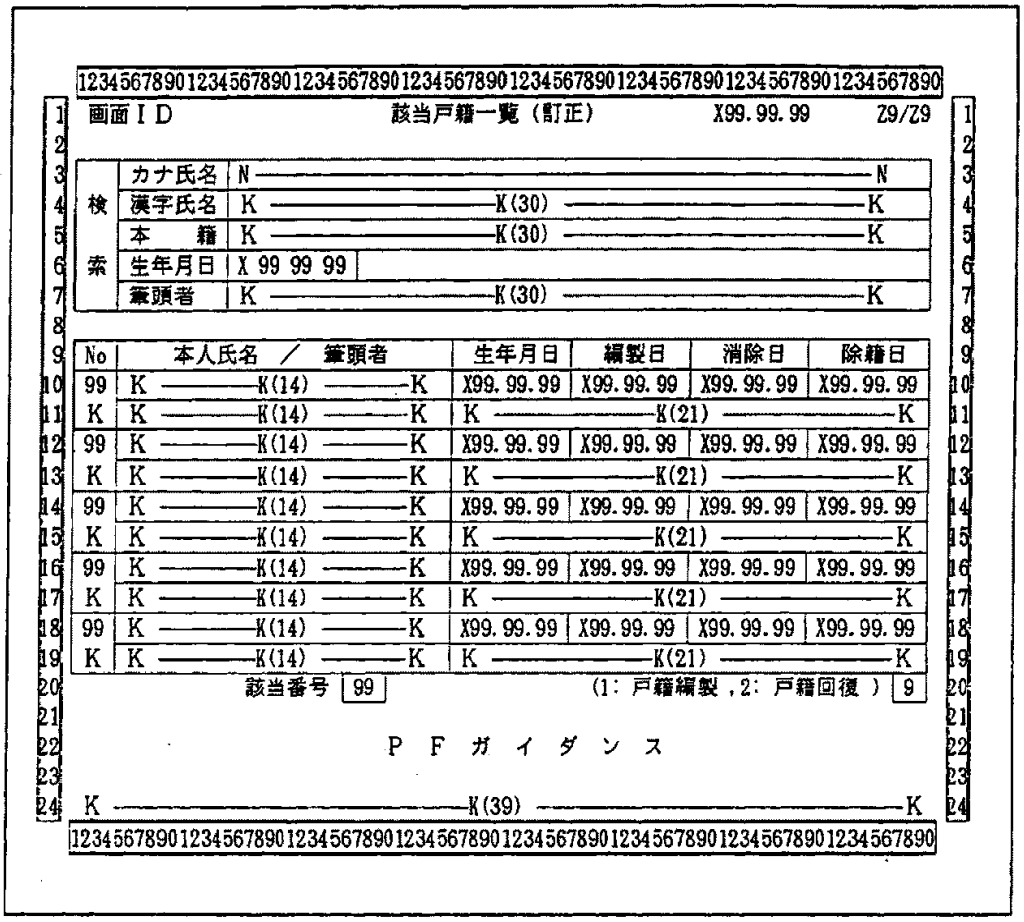
・処理を選択する
・決裁前に再度処理する場合は、受領番号を入力する
・パスワードによる厳密な使用制限をする

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

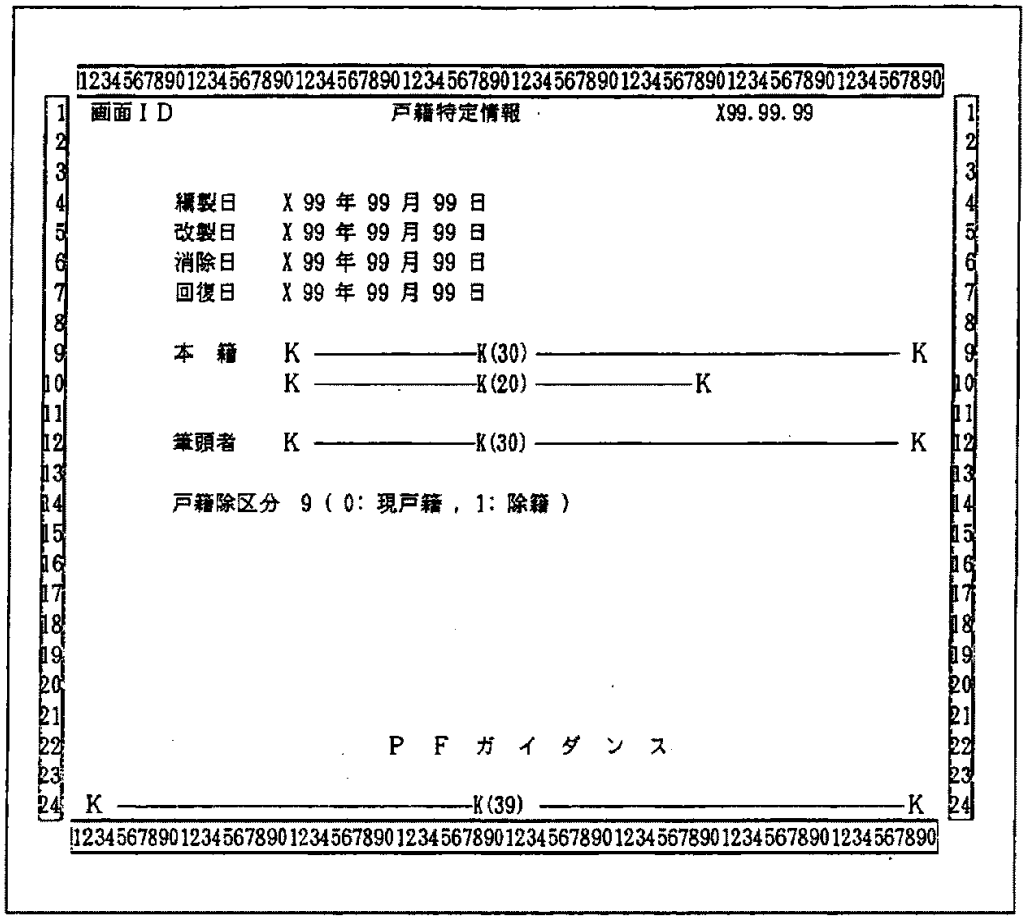
適用業務名

11.訂正処理　該当戸籍一覧　(02)

画面番号		画面名	該当戸籍一覧

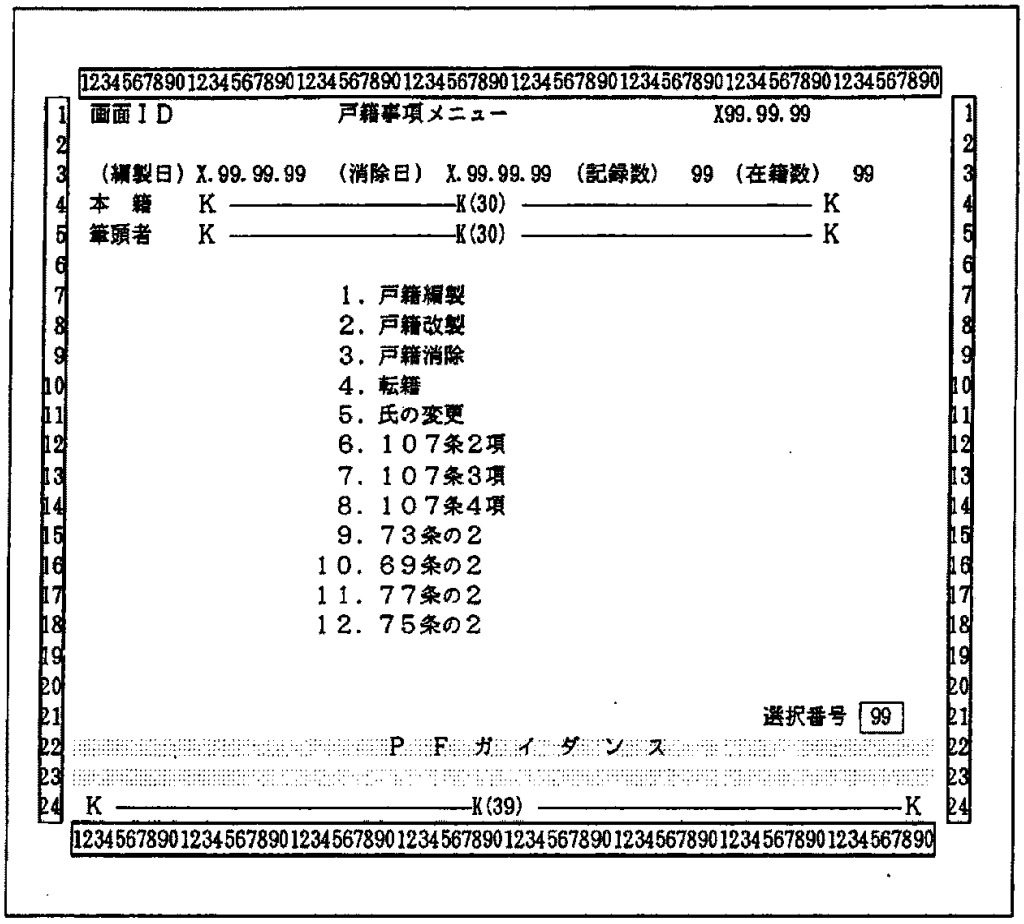


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 戸籍特定情報 (03)			
画面番号		画面名	戸籍特定情報



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 戸籍事項メニュー (04)			

画面番号		画面名	戸籍事項メニュー

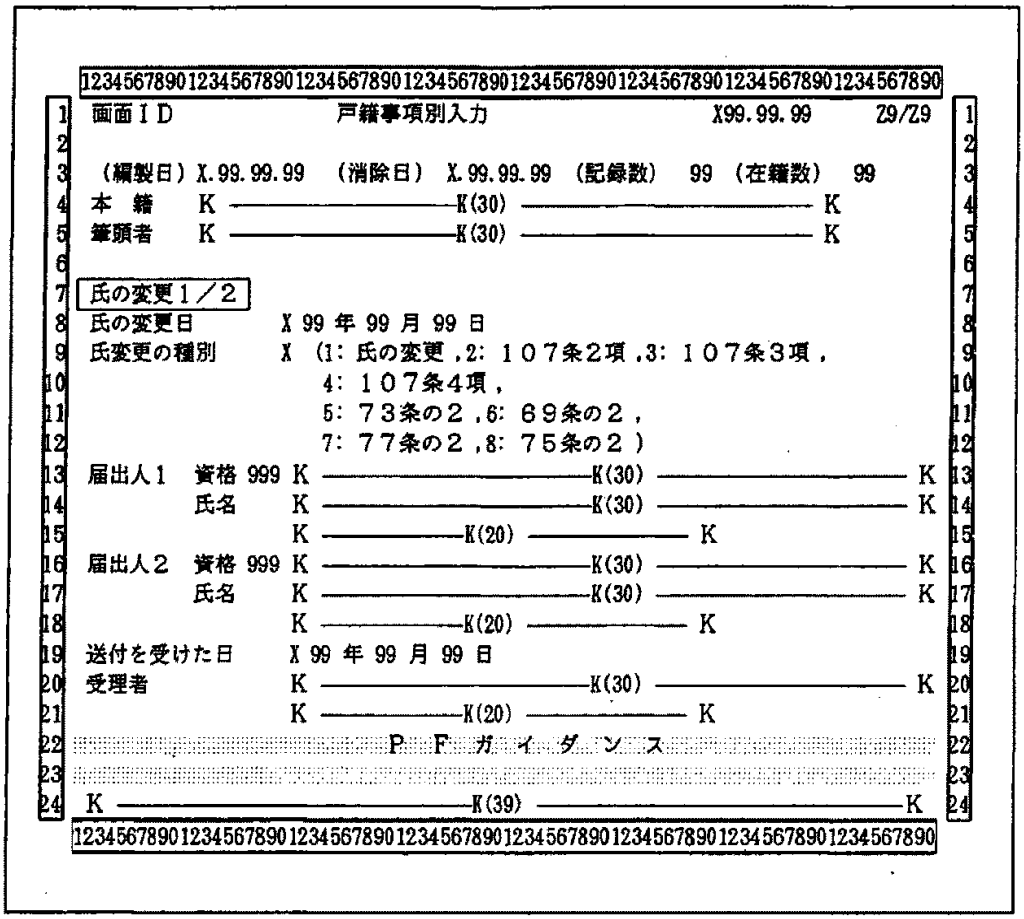


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

適用業務名

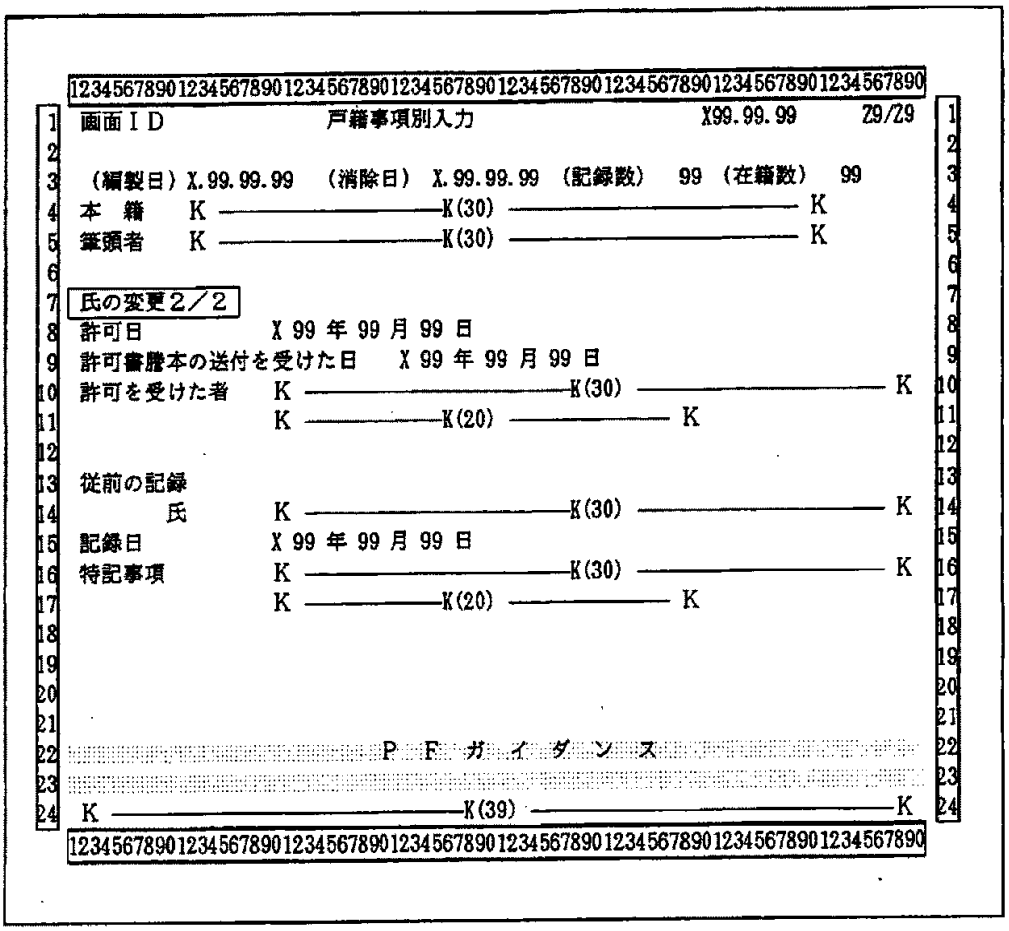
11.訂正処理　戸籍事項別入力　氏の変更　(05)

画面番号		画面名	戸籍事項別入力　氏の変更(1/2)

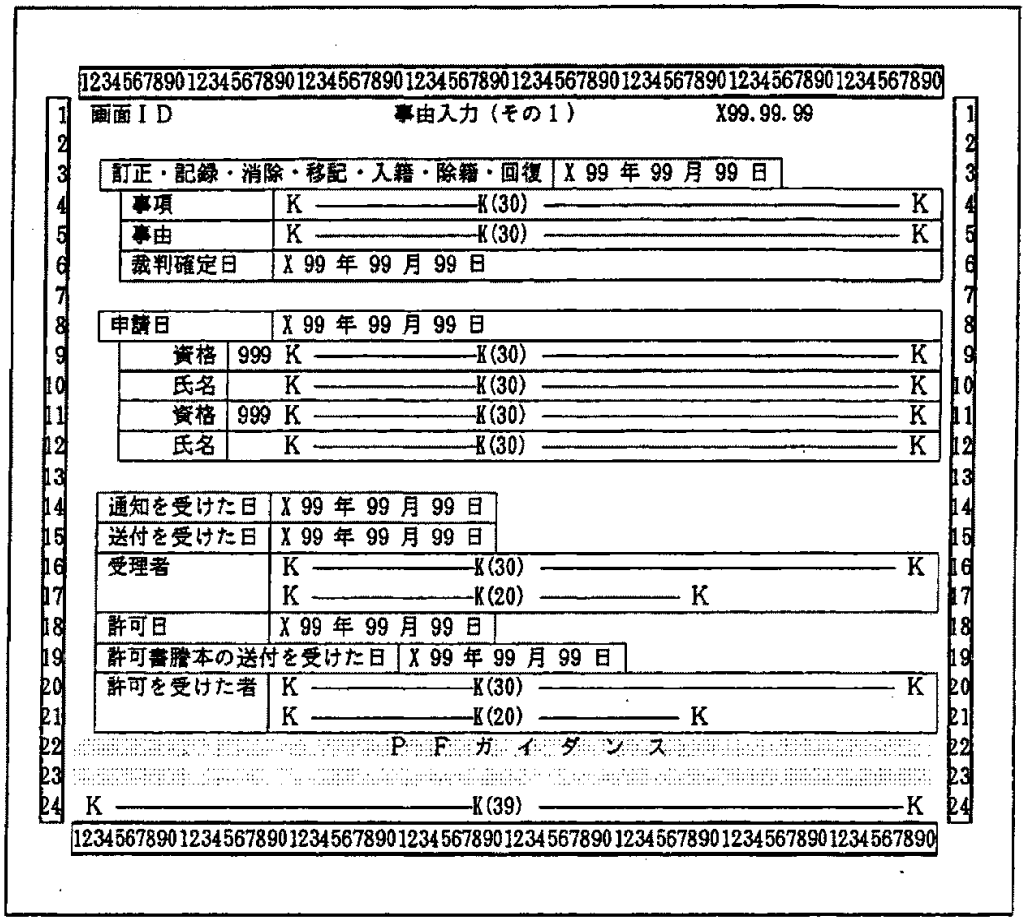


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理　戸籍事項別入力　氏の変更　(05)			

画面番号		画面名	戸籍事項別入力　氏の変更(2/2)

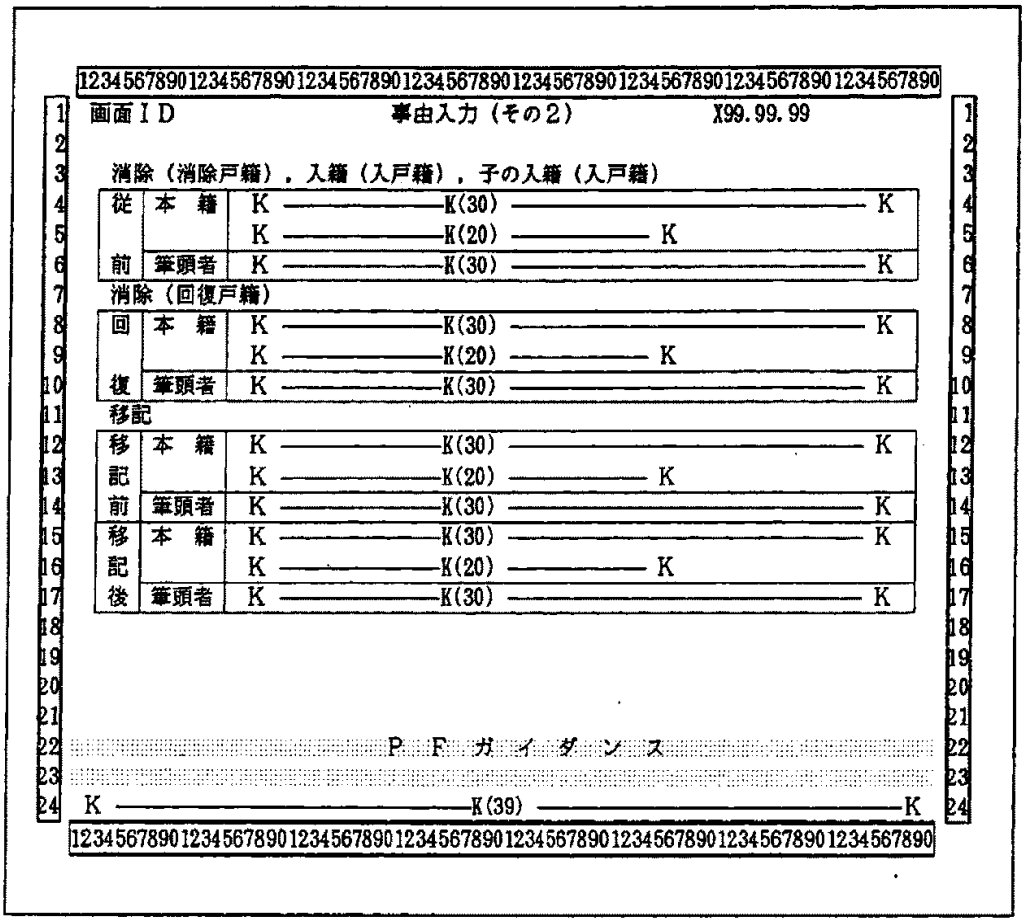


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事由入力画面 ⑥			
画面番号		画面名	事由入力画面(1/3)

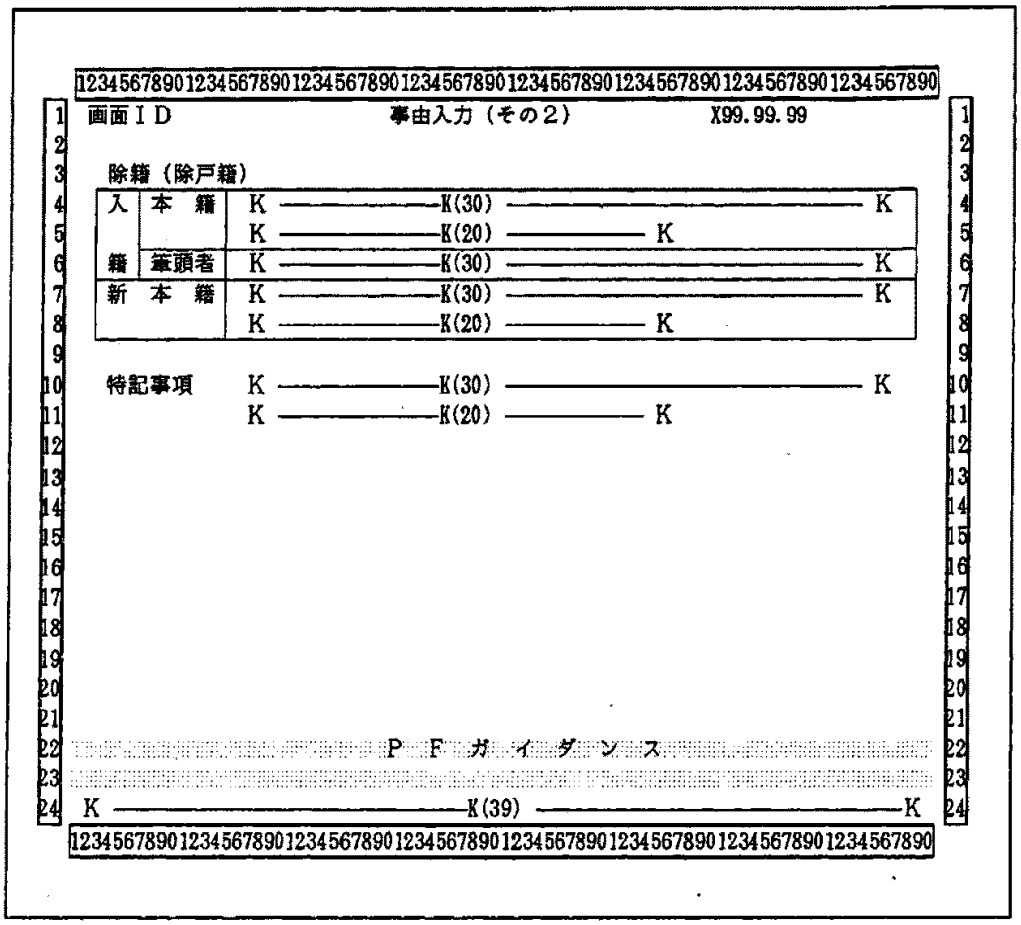


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事由入力画面 ⑥			

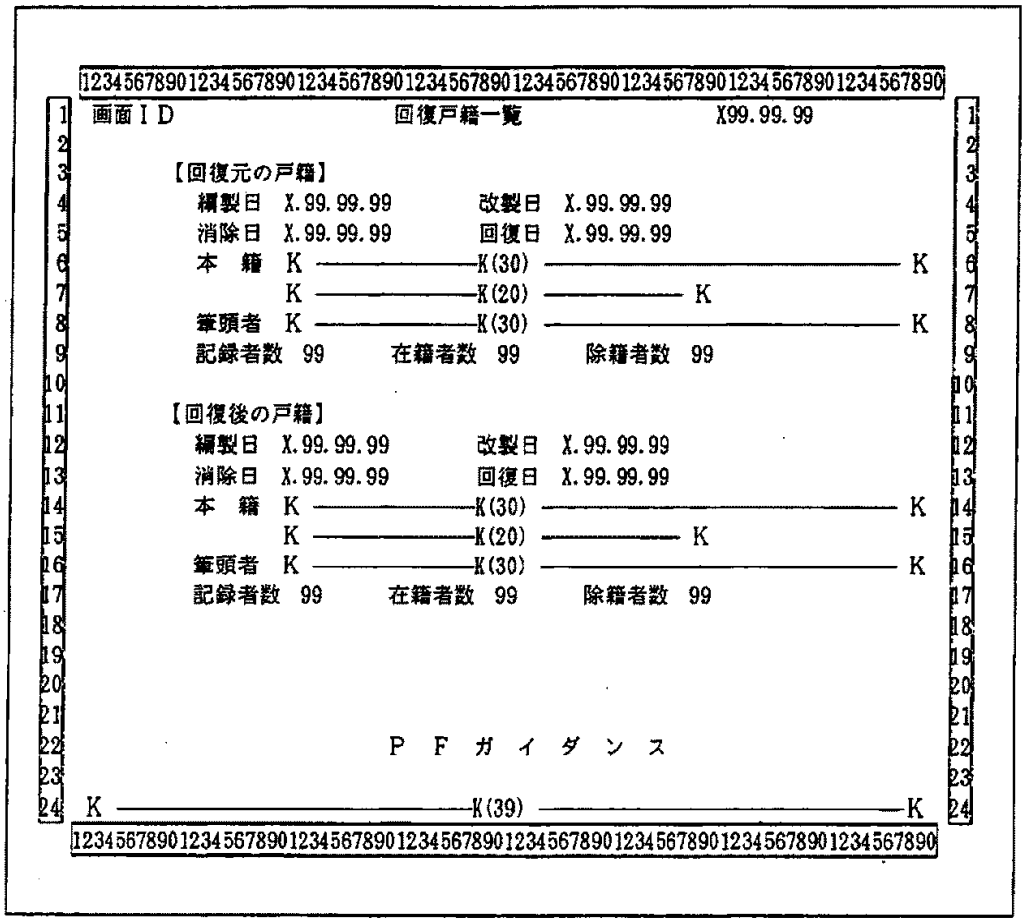
画面番号		画面名	事由入力画面(2/3)



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事由入力画面 ⑥			
画面番号		画面名	事由入力画面(3/3)

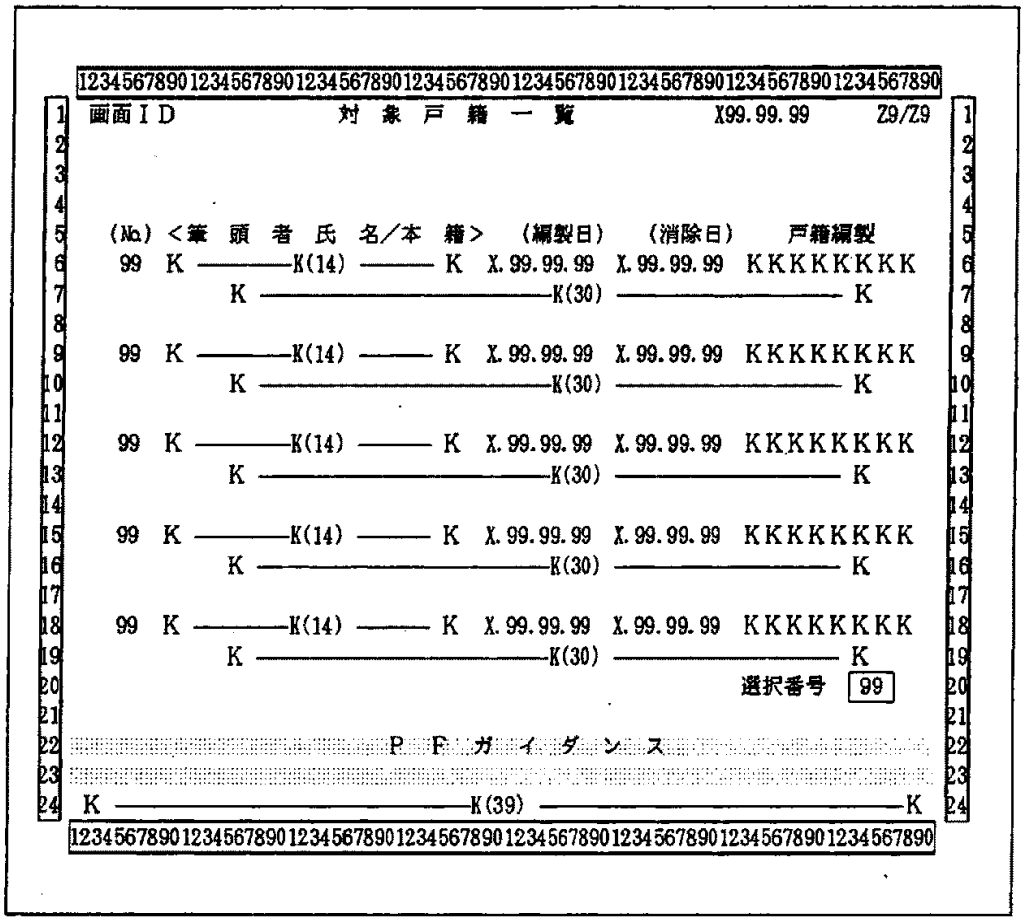


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 回復戸籍一覧 ⑧			
画面番号		画面名	回復戸籍一覧



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 対象戸籍一覧 ⑨			

画面番号		画面名	対象戸籍一覧

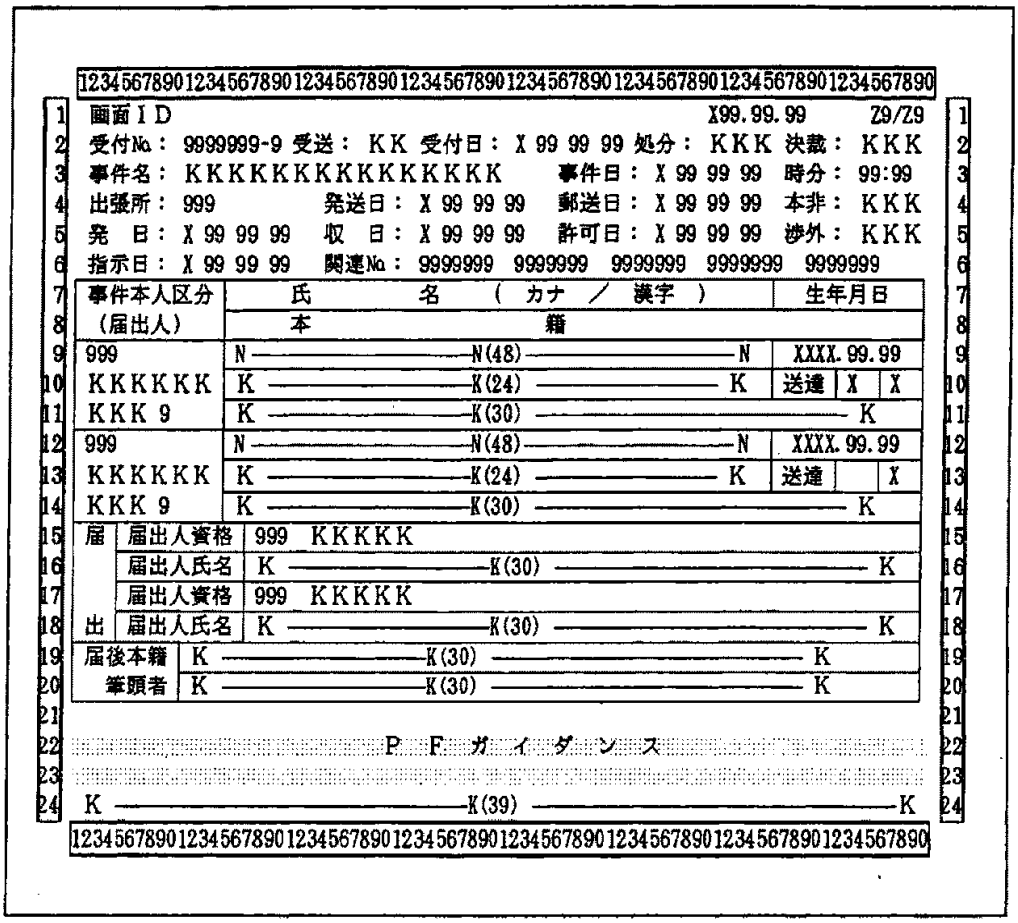


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

適用業務名

11.訂正処理　受付帳記録　⑩

画面番号		画面名	受付帳記録

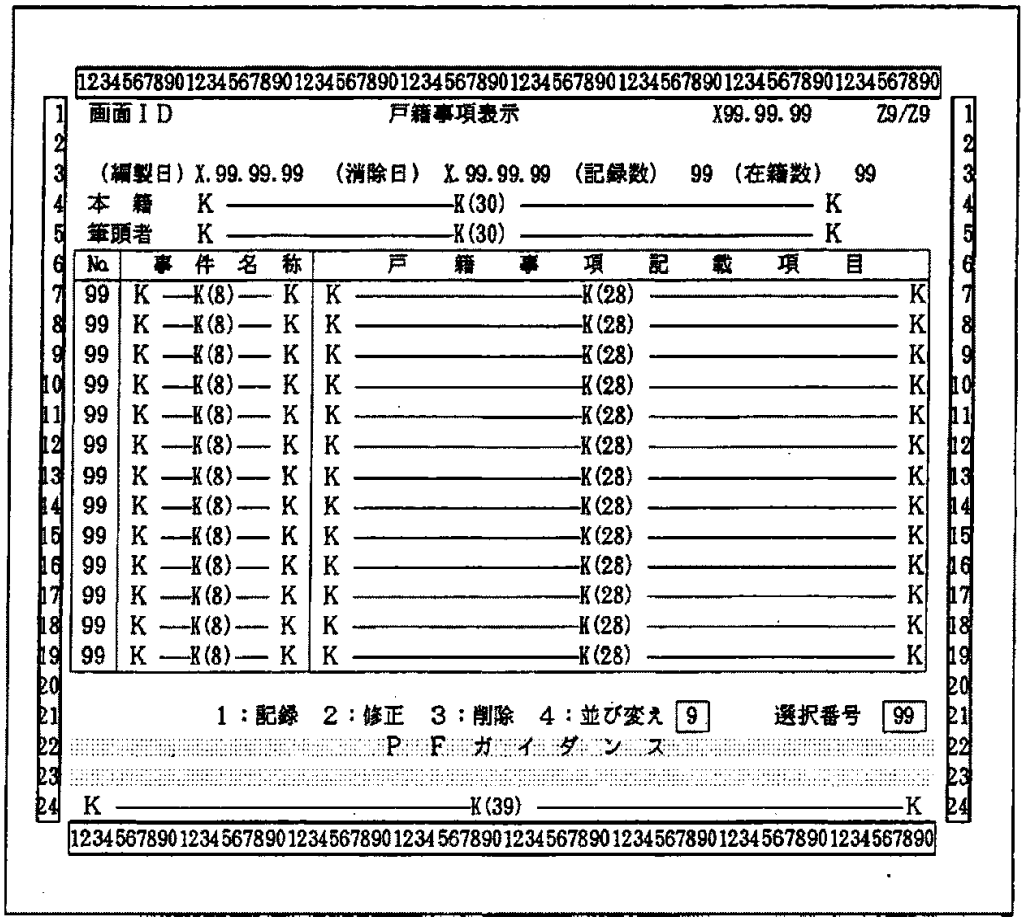


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

適用業務名

11.訂正処理　戸籍事項表示　⑪

画面番号		画面名	戸籍事項表示

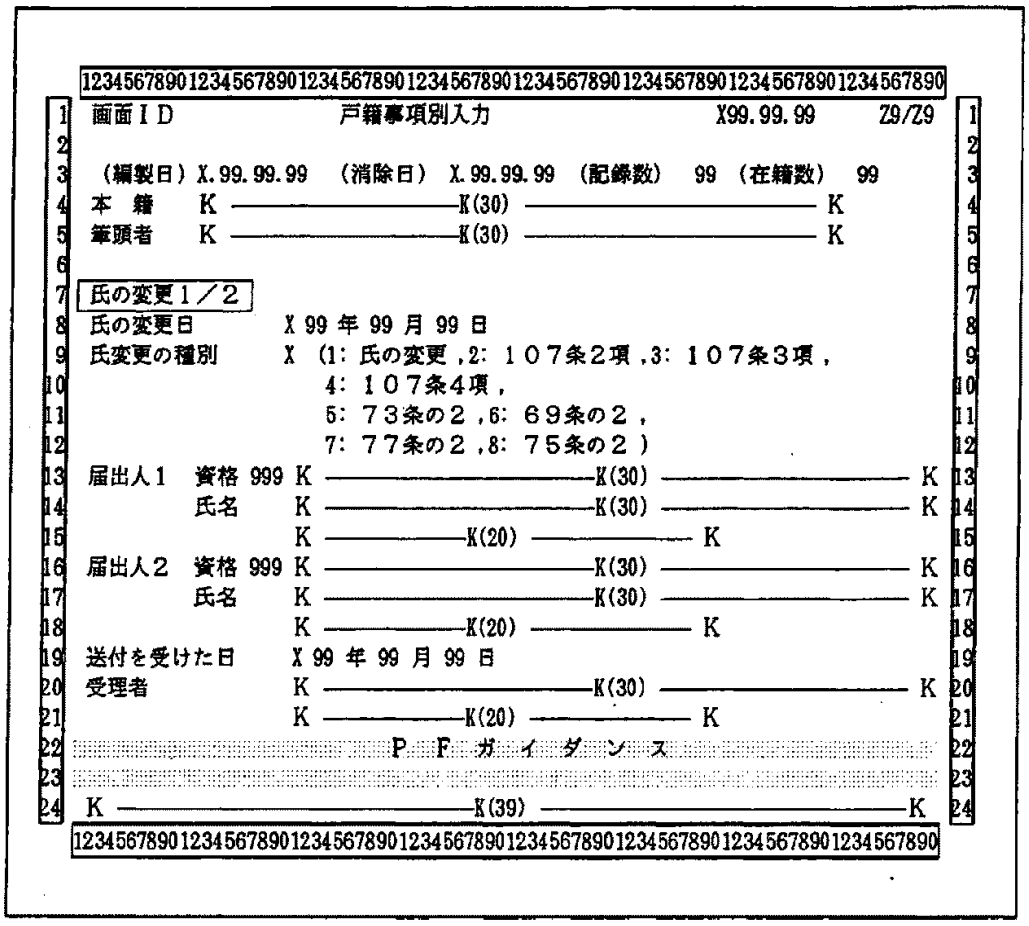


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

適用業務名

11.訂正処理　戸籍事項確認　氏の変更　⑫

画面番号		画面名	戸籍事項確認　氏の変更(1/2)

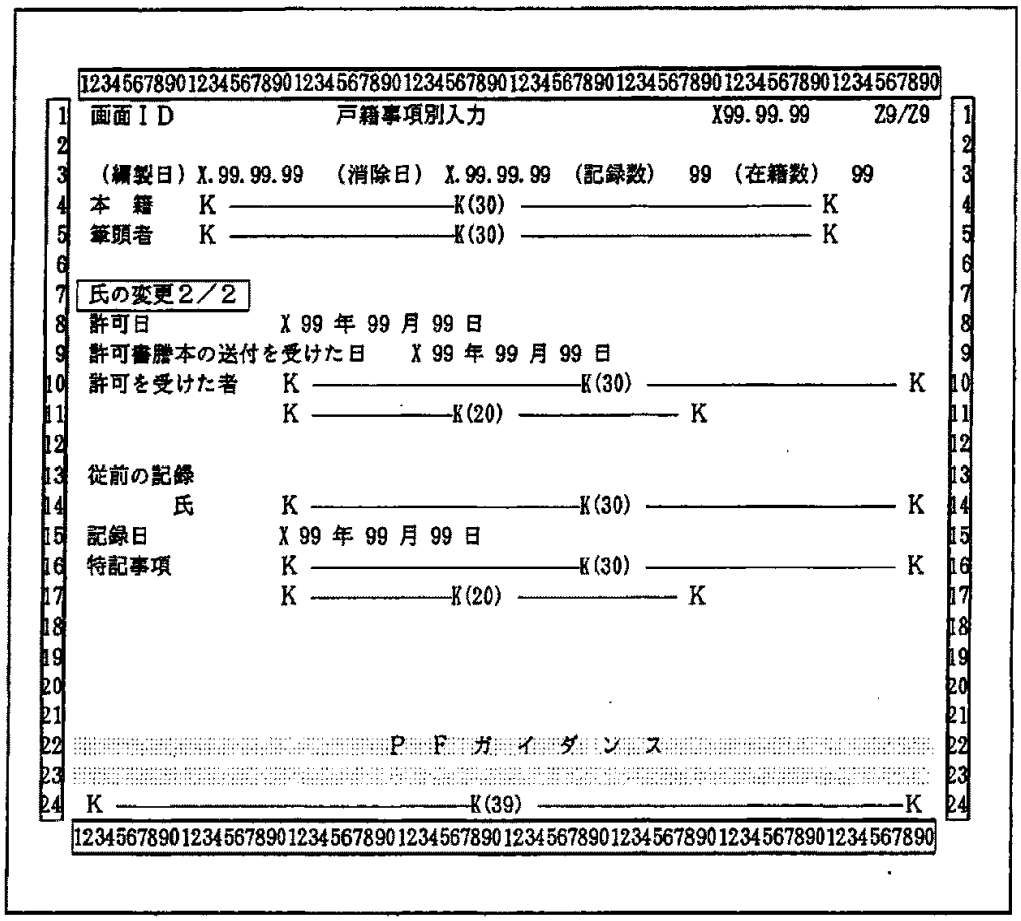


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

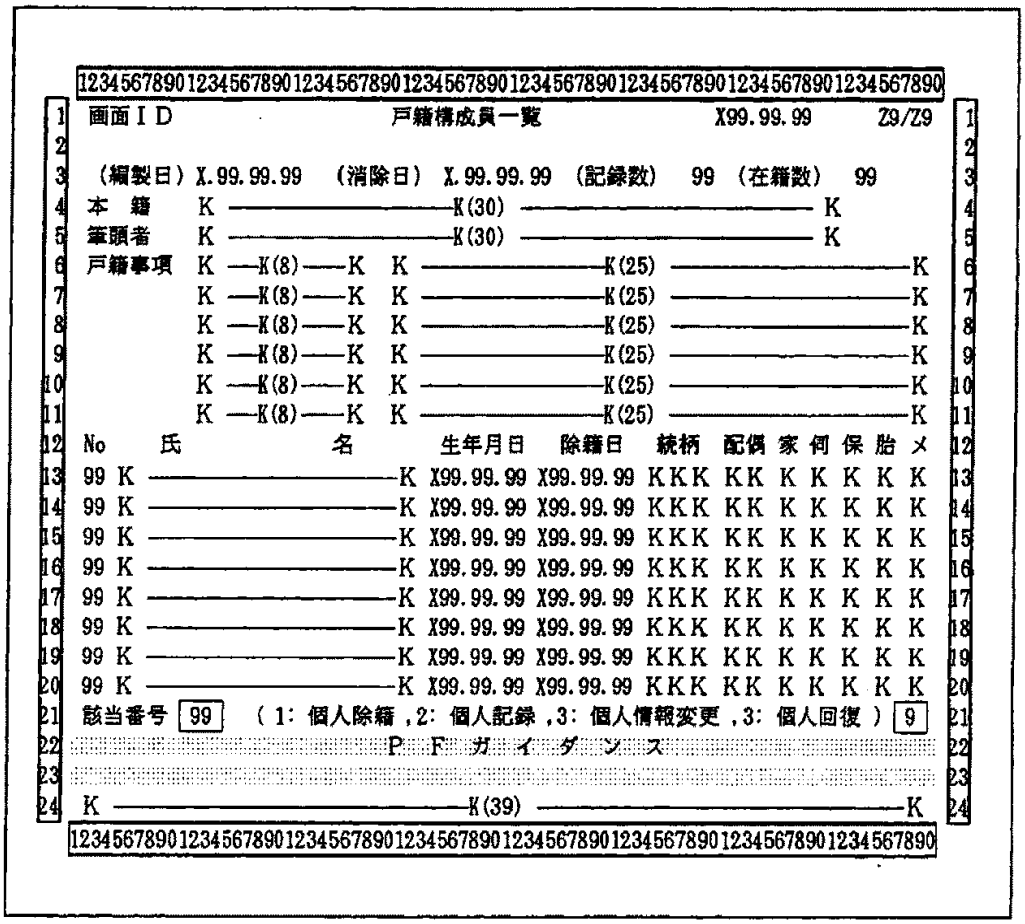
適用業務名

11.訂正処理　戸籍事項確認　氏の変更　⑫

画面番号		画面名	戸籍事項確認　氏の変更(2/2)

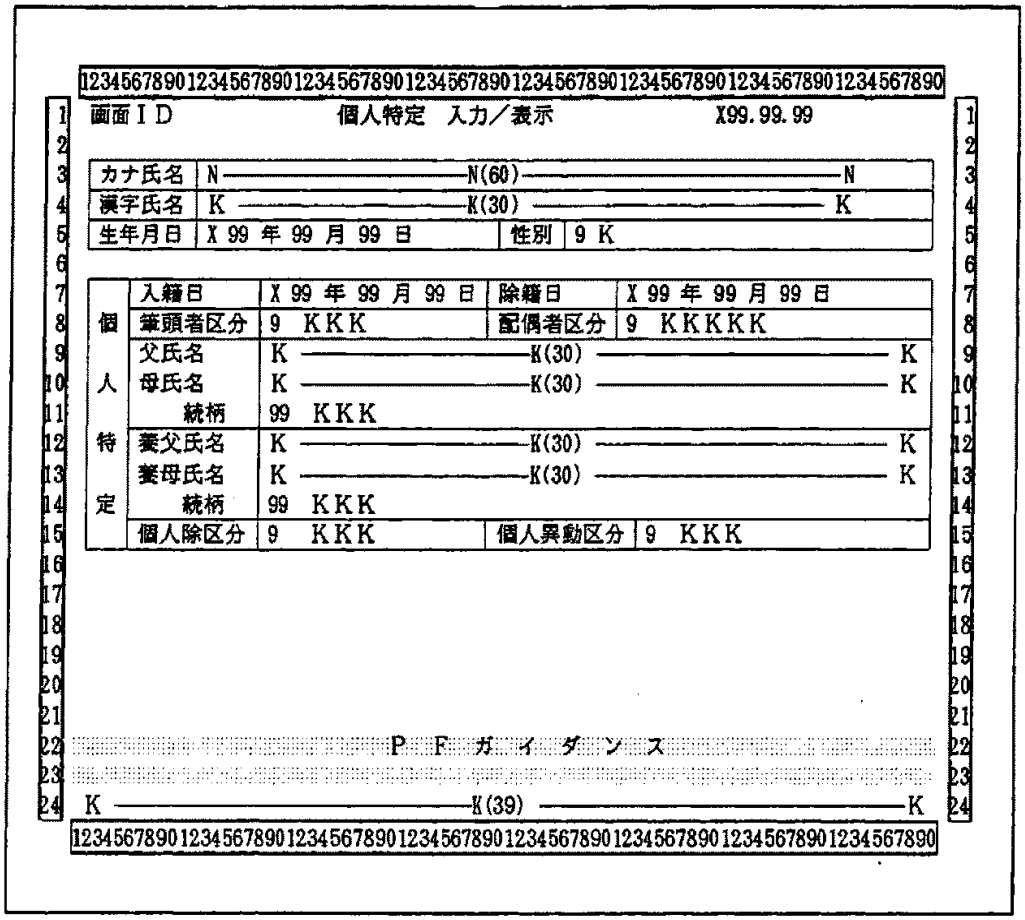


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理　戸籍構成員一覧　⑬			
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧

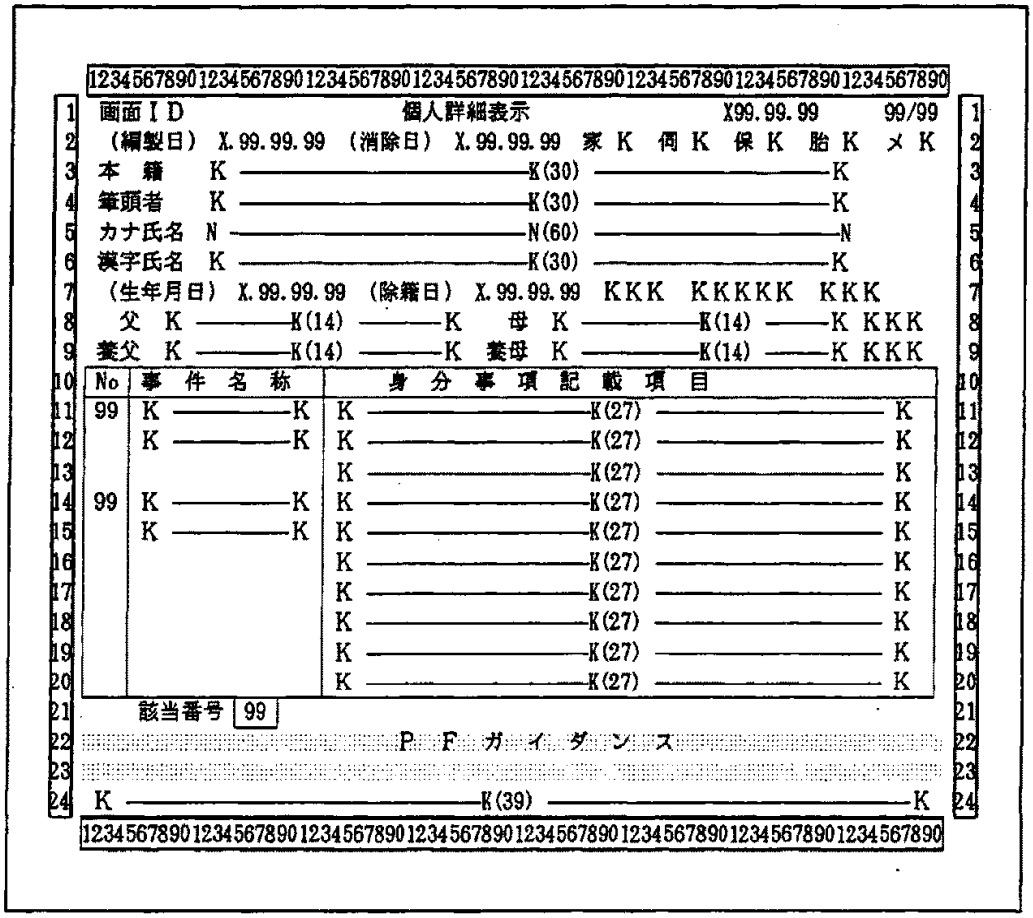


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 個人特定画面 ⑭			

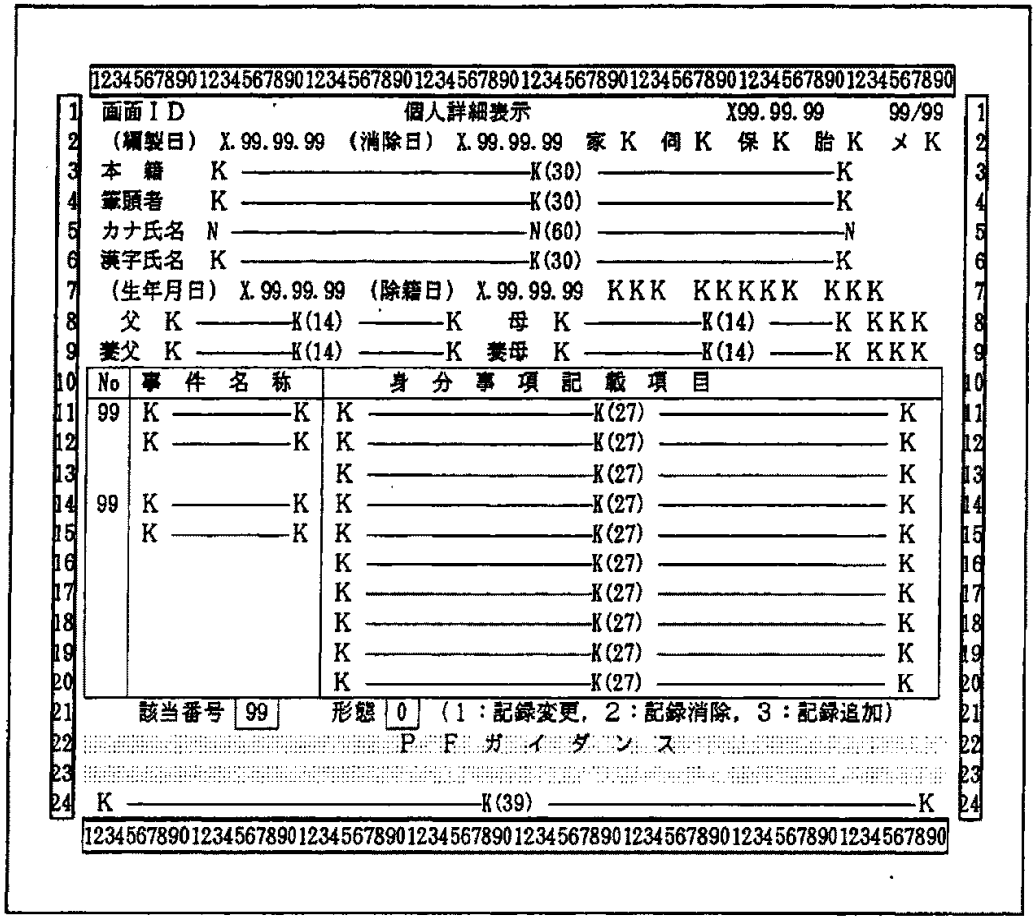
画面番号		画面名	個人特定画面



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 個人詳細表示 ⑮			
画面番号		画面名	個人詳細表示

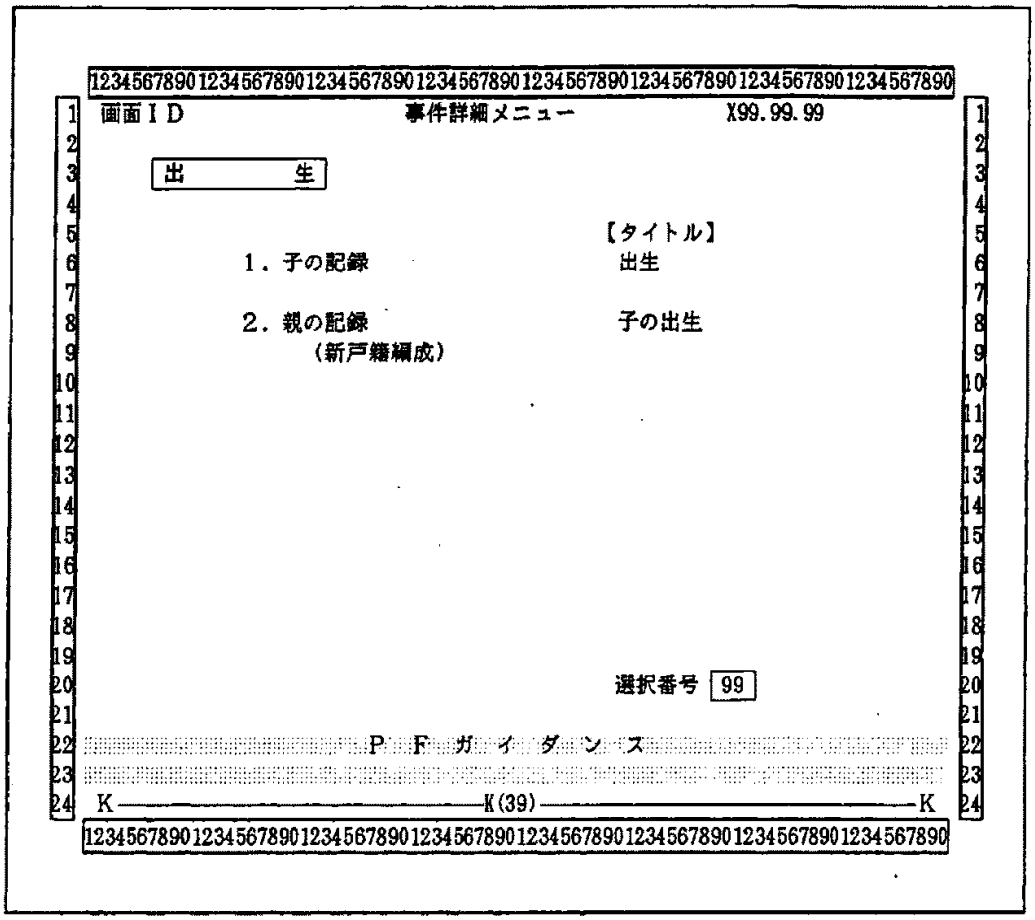


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 個人詳細表示 ⑱			
画面番号		画面名	個人詳細表示



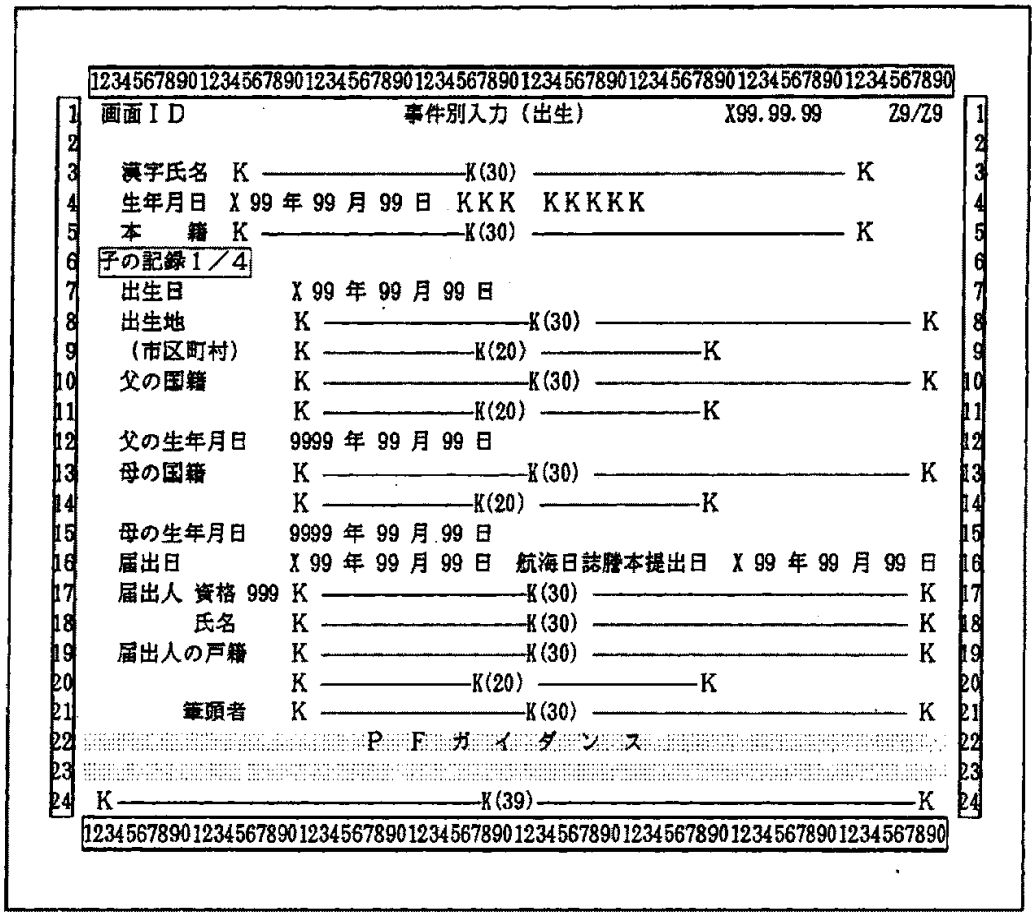
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事件メニュー ⑲			
画面番号		画面名	事件メニュー

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事件詳細メニュー(出生) ⑳			
画面番号		画面名	事件詳細メニュー(出生)



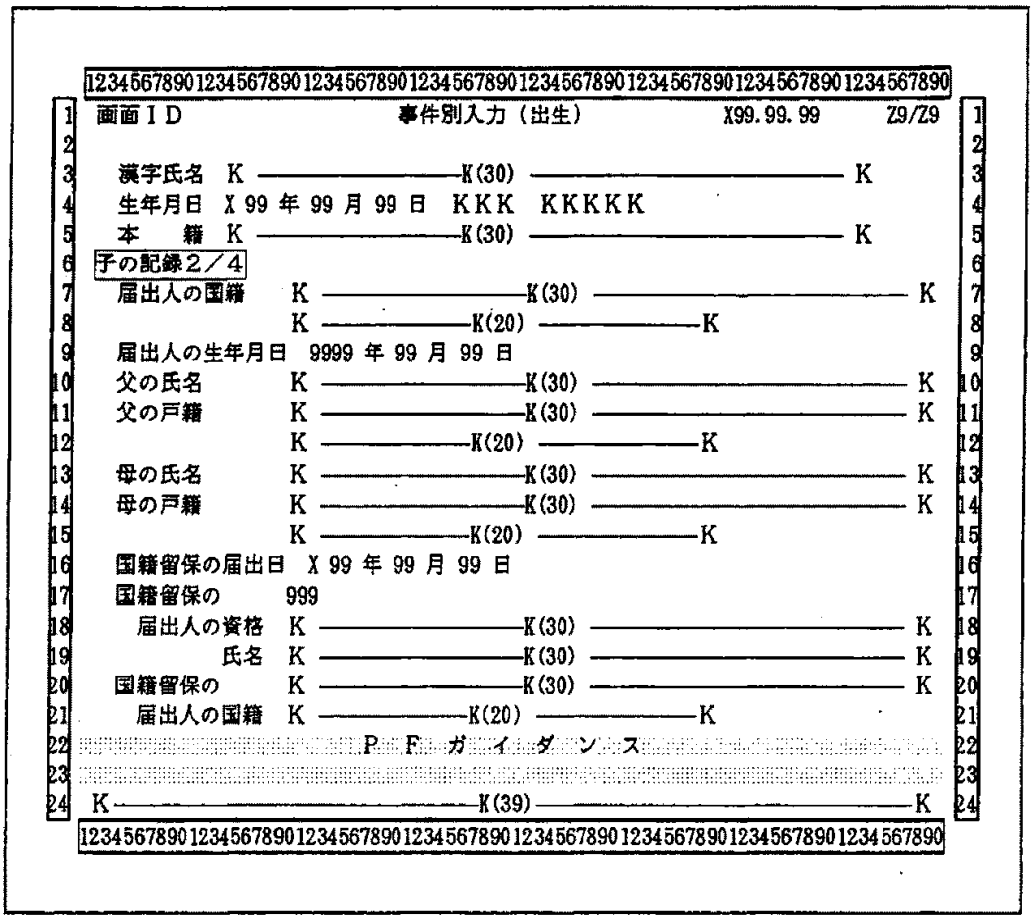
画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事件別入力(出生)子の記録 ㉑㉒			

画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 1/4

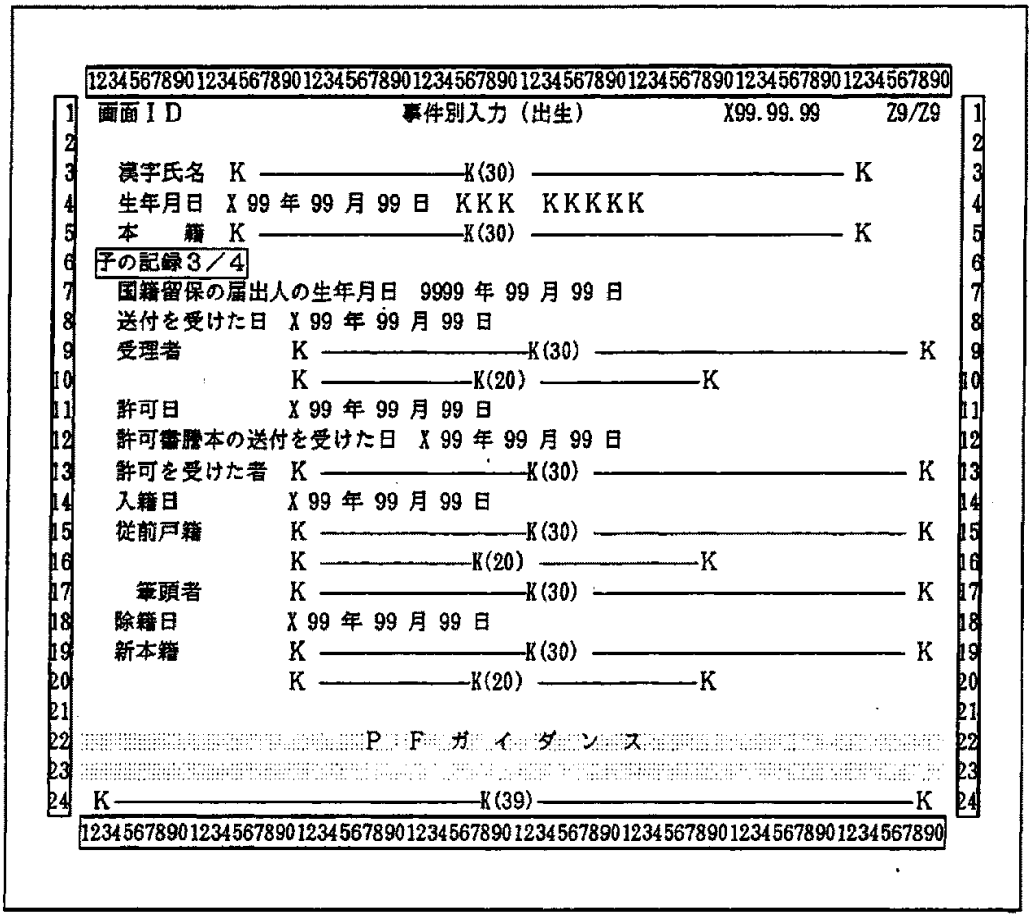


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事件別入力(出生)子の記録 ㉑㉒			

画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 2/4

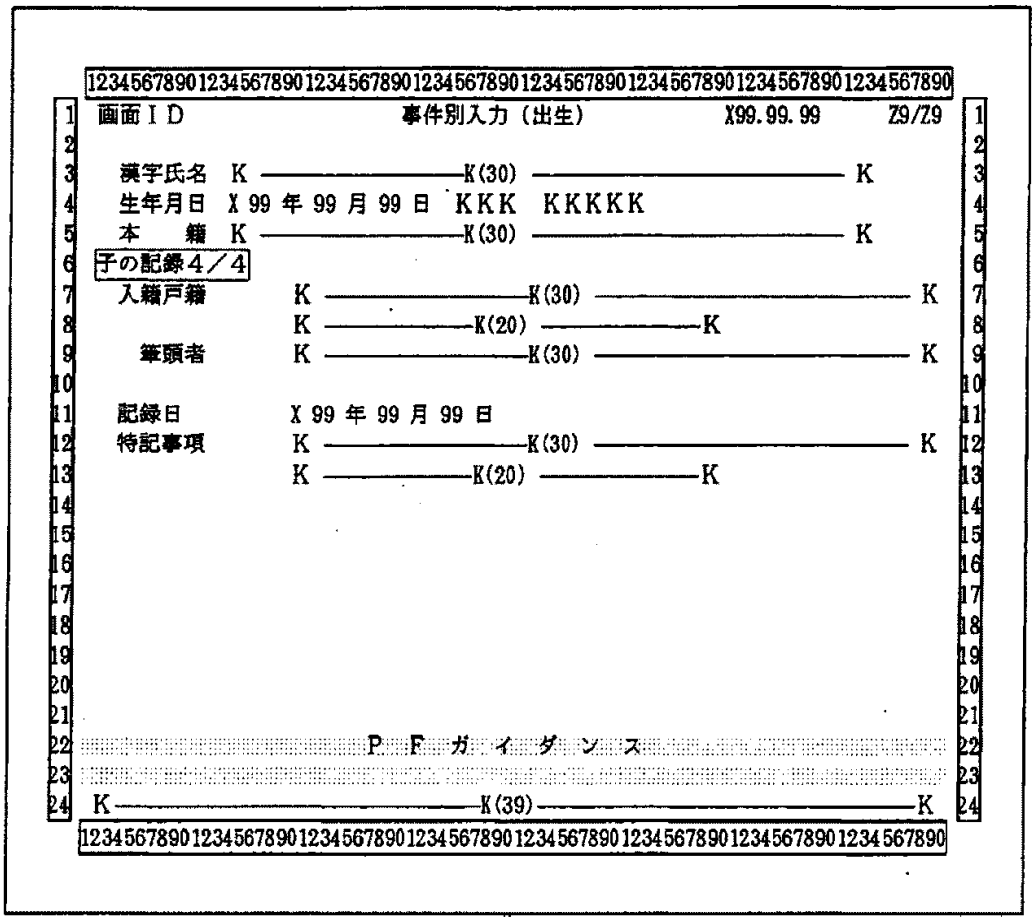


画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事件別入力(出生)子の記録 ㉑㉒			
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 3/4



画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
適用業務名			
11.訂正処理 事件別入力(出生)子の記録 ㉑㉒			

画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録 4/4



第5.10.(12)

「決裁用帳票出力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「決裁用帳票出力」処理			

〔処理概要〕

(1) 決裁における判断資料として、仮戸籍の内容を全部事項証明書イメージ(「第5-6(2) 帳票設計書」を参照のこと)で出力することができる。

〔順守事項〕

(1) 移記で決裁用帳票の出力ができること。

(2) 出力する仮戸籍の選択ができること。

〔留意点〕

(1) 処分決定および決裁でも出力させて構わない。

第5.10.(13)

「決裁」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「決裁」処理	[順守事項] ・管掌者親族に係る事件であるかを確認することを追加
2	R3	B04	「決裁」処理	[順守事項] ・届書画像情報を確認できる機能を追加 [留意点] ・F0050:届書等情報送信における留意点を追加
3	R4	B04	「決裁」処理	[留意点] ・(4)に完全渉外事件であった場合の対処を追加 ・(6)に届書等情報の送信漏れ防止や送信状況を管理するファイルの作成は任意実装であることを追加
4	2.0 (2023.3.31版)	－	「決裁」処理	スキャンした届書は決裁後に紐づけすることが決定されたことにより、[留意点]の(4)、(6)を修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年3月31日	2.0
ドキュメント名称			
「決裁」処理			

〔処理概要〕

(1) 審査、処分決定、移記が正しくなされているか最終的にチェックする。決裁がなされれば届における異動処理は完結する。

〔順守事項〕

(1) 未決裁一覧から決裁への処理の流れは順守する。

(2) 決裁で処理されるファイルで順守すべき処理を下記に示す。
①受付DBに係わる処理
②戸籍DBに係わる処理
③個人状態ファイルに係わる処理
④不受理申出ファイルに係わる処理
⑤仮戸籍ファイルに係わる処理
⑥エラー履歴ファイルに係わる処理

(3) 決裁しようとする事件が管掌者又はその親族に関する事件であるかを確認し、管掌者が本人又はその親族に関する事件を誤って取り扱わないようにする措置を講じること。なお、この要件の実現方法については任意設計とする。

(4) 当該届書等に係る戸籍情報システムに登録した届書、添付書面、補正、申入書のイメージ及び届書補正情報を確認できるようにすること。

〔留意点〕

(1) 基準書では一つの異動処理(届)ですべての処理を完結させる仕様としたため、全処理をオンラインイメージで記述しているが、内容によってはバッチとして処理しても構わない。

(2) メーカでシステム外処理(手処理)としたものは決裁処理から削除すること。

(3) 附票、人口動態の連動を考えない戸籍システムを採用した場合は、連動の処理を決裁から削除すること。

(4) 受理地(在外公館からの直接送付を含む)での届書等の処理(受理、不受理、受理処分の撤回)に伴い、送信情報(F0050-R01:届書記載事項)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)、送信情報(F0050-R04:送付先情報)、送信情報(F0050-R05:届書補正情報)、届書画像情報、添付書面画像情報及び届書補正画像情報を戸籍情報連携システムに送信すること。
但し、完全渉外事件(受付ファイルの渉外区分=2(外国人))の場合は、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)だけを送信すること。
届書補正が届書等情報送信(TR01)前に登録された場合、届書補正画像情報は他の画像と一緒に送信できないため、届書補正情報、届書補正画像情報は届書等情報送信(TR01)後に送信すること。
また、届書等の画像情報は決裁後でないと登録できないため、決裁処理後に画像登録へ遷移する処理は任意実装機能とする。

(5) 送付地(在外公館からの直接送付を含まない)での届書等の処理に伴い、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)を戸籍情報連携システムに送信すること。

(6) 決裁後に届書画像情報が未登録のため届書等情報を戸籍情報連携システムへ送信していないものを抽出し、未送信状況を把握できるようにすること。なお、この要件の実装方法については任意設計とする。
この対応のため、届書等情報データを管理するファイルの作成は任意実装機能とする。

第5.10.(14)

「証明書発行」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「証明書発行」処理	[遵守事項] ・管掌者親族情報の確認について遵守事項を追加
2		4、5、6		[遵守事項] ・管掌者が本人又は親族の証明を発行しないよう追加 ･副本記録情報を利用する証明における発行対象を追加 ・広域交付戸籍証明書については、イメージ(PDF)を用いて編集する説明を追加 ・発行履歴を本籍地または受理地及び送付地に通知する説明を追加 ・証明書等を発行せずに処理を中止する場合の説明を追加 [留意点] ・戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書の内容を確認するために帳票を出力する場合の説明を追加 ・届書等情報内容閲覧用帳票を出力する場合の説明を追加
3	R3	ー	「証明書発行」処理	[留意点] ・(5)2行目の「戸籍情報情報連携システム」を「戸籍情報連携システム」に修正
4		B01、 B02、 B06		[順守事項] ・(10)を削除：1通も証明書を出力しなかった場合に情報を送信する ・(10)を追加：申入書がある場合は注意喚起のメッセージを表示する [留意点] ・(7)に「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)で渡される届書等情報についての留意点を追加
5	R4	B06	「証明書発行」処理	[順守事項] ・(9)に届書等情報内容証明書等の発行において申入書がなく、注意喚起情報があった場合の対処を追加 ・(10)検索した副本の個人状態ファイルに注意喚起区分があった場合の対処を追加
6	2.0 (2023.7.31版)	ー	「証明書発行」処理	個人事項証明書の仕様変更による修正 ・〔順守事項〕の(4)に仕様変更事項を追記 ・〔留意点〕に(8)を追加
7		ー		証明書発行抑止の仕様変更による修正 ・〔順守事項〕の(11)に個人状態ファイルの注意喚起区分の設定、除籍特定ファイルの発行抑止区分の設定がある場合は発行不可とすることに修正 ・〔順守事項〕の(12)に除籍特定ファイルの発行確認止区分の設定がある場合はメッセージ出力することを追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「証明書発行」処理			

〔順守事項〕

(1) 様式については、「第5.6(2) 帳票設計」を参照。
(2) 検索キーは、「第5.10(2) 検索処理」に準ずること。
(3) 各証明書の認証日は、処理日(システム日付)とする。
(4) 1証明書に対して複数人証明できること。(留意点に補足)
「個人事項証明書」「一部事項証明書」が対象。
同一人が複数存在する戸籍等で、同一人全員が選択された場合「個人事項証明書」となり、一部が選択された場合は「一部事項証明書」となる。
(5) 発行する証明書に記載されている者が、管掌者又はその親族であるかを確認し、管掌者が本人又はその親族に関する証明書を誤って認証しないような措置を講じること。なお、この要件の実現方法については任意設計とする。
(6) 「広域交付戸籍証明書等」は非本籍人のみ、「戸籍電子証明書等」は本籍人及び非本籍人を発行対象とすること。
(7) 電算化後の戸籍又は除籍の広域交付戸籍証明書等については、戸籍情報連携システムから取得した全部事項イメージ(PDFデータ)を用いて編集すること。
(8) 証明書を発行した事実を、本籍地へ通知すること。
「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書識別符号等通知書」が対象。
(9) 証明書を発行した事実を、受理地及び送付地へ通知すること。
「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)が対象。
(10) 「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の検索において、申入書がある場合は注意喚起を促すメッセージを出力すること。
※申入書画像情報PDFファイルの登録前に注意喚起情報が登録されている場合も同様である。
(11) 「記録事項証明書」「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書識別符号等通知書」の検索において、個人状態ファイルに注意喚起区分が設定されている場合又は除籍特定ファイルに発行抑止区分が設定されている場合は、証明書の発行を不可とすること。
(12)除籍イメージの証明書発行の検索において、除籍特定ファイルに発行確認区分が設定されている場合は、区分に応じたメッセージを出力すること。

〔留意点〕

(1) 「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」の編集仕様は「第5.6(2) 帳票設計書」を熟読すること。
(2) 「証明書発行」として、基準書では、9つの選択番号を設定しているが、総合窓口による運用も考慮し特に限定しない。また、パスワードによる発行種別を限定させる機能を講じること。
(3) 画面遷移、画面レイアウトに関しては、サンプル的に示す。
(4) 今回[第7.2(12) 証明書発行]の要件定義書では、1証明書1人を前提に作成しているが、1証明書当り複数人を選択出力(証明)できるようにすること。また、「個人事項証明書」で全員を選択された場合や「一部事項証明書」で全事項選択された場合は、エラーメッセージを出力すること。
(5) 戸籍電子証明書等において、戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書に示す戸籍の表示等が請求対象の戸籍と合致していることを確認するために、戸籍情報連携システムより取得したPDFデータに戸籍電子証明書提供用識別符号等を付して出力する場合等は、確認用帳票である旨の表示を施して出力すること。
(6) 届書等情報の内容を閲覧用として出力する場合は、閲覧用帳票である旨の表示を施して出力すること。
(7) 「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の届書等情報は、戸籍情報連携システムから届書処理通番単位で渡される。届書処理通番は1決裁単位の番号であるため、2通以上の届書処理においては全ての届書等の画像が1ファイルとして送信される。したがって、「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の作成においては、画像の範囲を職員が判断する機能を有すること。
(8)「個人事項証明書」で同一人が複数いる個人(同一戸籍内前・後個人番号がある)を選択した場合、同一人が存在する旨のメッセージを表示する。同一人が全員選択されていない場合は、証明書種別を変更するメッセージを出力すること。
戸籍構成員一覧(証明)、個人詳細表示(証明)において、該当者の色付けや記号表示等により分かるような対応も考慮すること。(8)は任意設計機能とする。

第5.10.(15)

「各種ファイル更新」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「各種ファイル更新」処理	[処理概要] ・「⑤管掌者親族情報更新」を追加 [順守事項] ・管掌者親族情報更新の遵守事項を追加 [留意点] ・管掌者親族情報更新の留意点を追加
2	R3	B04、B05	「各種ファイル更新」処理	届書等情報、不受理申出及び申入書の画像情報、届書補正情報、送付先市区町村情報の変更により下記内容を修正した。 [処理概要] ・(1)②の送信ファイル名を修正 ・(1)③に紐づける画像情報を追加井 ・(2)を追加 [順守事項] ・(2)～(5)を追加((1)の記載内容を(2)～(5)に合わせて修正) [留意点] ・(3)～(6)を追加
3		－		[処理概要] ・(1)①の参考仕様書の名称番号を正しい番号に修正 同、「通り」を「とおり」に修正 ・(1)②の文言「受理後の処理伺い」を「受理後の処理照会」に修正
4	R4	B01	「各種ファイル更新」処理	[処理概要] ・(1)③に個人状態ファイルに注意喚起区分を追加する場合の対処を追加
5		B04		[処理概要] ・(2)③に不受理申出情報を送信するのは本籍市区町村である旨を追加 ・(2)⑤に申入書が届出された場合は必ず注意喚起情報を送信することへの変更による修正 [留意点] ・(7)届書等情報の送信漏れ防止や送信状況を管理するファイルの作成は任意実装であることを追加
6	2.0(2023.3.31版)	ー	「各種ファイル更新」処理	届書のスキャンは決裁後に実施することが決定されたことにより、[順守事項]②に追記及び[留意点](3)を修正
7		R4版の対応		[留意点](4) ・届書補正情報の桁数が1000桁に決まったこと(R4版)で、桁数がベンダ任意である記載を削除
6	2.0(2023.7.31版)	ー	「各種ファイル更新」処理	届書のスキャンは決裁前でも実施でき、決裁後に紐づけする仕様に変更されたことにより、[順守事項]②を修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

ドキュメント名称

「各種ファイル更新」処理

〔処理概要〕

(1) システムにおいて使用するファイルの更新を行う処理であり、操作者の限定を行う必要がある。
戸籍DB、受付ファイル、不受理申出ファイル、個人状態ファイルの4つのファイルの更新処理については「第7-.2.(13) 各種ファイル更新処理」のとおりとすること。
受付ファイル更新以外は、基本的に個人の検索を行いそれぞれの処理へ流れる。以下に各々のファイル更新について説明する。

①戸籍DB更新
戸籍簿にあたる項目の更新は認めない(必ず訂正処理で行うこと)。戸籍簿にない項目で修正が可能な項目のみ更新可能とする。

②受付ファイル更新
便宜訂正、届書の返戻、発日・発送日更新、関連受領番号更新、受理後の処理照会、送達確認取り込みの各処理を行う。条件により受付ファイルの直接更新とレコードを追加(履歴処理)するものに分かれる。上記以外の理由によるファイル更新は行えない。なお、戸籍情報連携システムに送信済みの情報を更新した場合は、更新後の情報を(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに通知する。

③個人状態ファイル更新
各項目に対しての更新処理を行う。ただし犯歴区分の更新は民刑者担当に限られるべきであり、単純にファイル更新の操作権限があるだけでは不可とする。異動処理で自動的に付設される項目(禁治産者区分、準禁治産者区分、照会区分、保留区分)もあるが、付設・解除ともに操作者が行うことが基本となる。
胎児認知区分の保有者は、胎児認知区分に胎児認知届書画像を紐づける。
注意喚起区分が設定された場合、その内容をメモに記載することを促す措置をとること。

④不受理申出ファイル更新
不受理申出ファイルの作成、更新、削除を行う。失効区分等は期限を過ぎても送付分の届出の審査があるために、自動で更新は行わない。

⑤管掌者親族情報更新
この機能の実現方法については任意設計とする。
戸籍法第2条及びそれに準ずる法令等に基づき管掌者除斥の実現を補助するため、管掌者及びその親族の情報を管理する。この機能において更新及び管理する情報は、他機能から参照し、管掌者が、本人又はその親族に関する事件等を誤って取り扱わないようにする。

(2) 戸籍情報連携システムとの送受信による情報の更新を行う処理である。情報の更新処理については「第7.2.(13) 各種ファイル更新処理」を参考にすること。

①不受理申出書及び胎児認知届書画像情報取得
戸籍の処理により、他の市区町村から新たに入籍した者に不受理申出書又は胎児認知届がある場合、WebAPI(IO230:画像等情報取得)により戸籍情報連携システムから画像情報を取得し、システムに保存する。
有効な不受理申出画像等を取得し、不受理申出ファイルを作成する。
胎児認知届の該当者は戸籍の処理により個人状態ファイルをコピーするが、コピーできない場合は個人状態ファイルで胎児認知区分を更新する。

②届書等情報更新
届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村は、該当の受付ファイルに紐づけて届書画像(添付書面があれば添付書面画像)を作成する。届書に補正が必要な場合、届書補正情報及び届書補正画像を作成する。

③不受理申出情報更新
不受理申出書の申請において作成した不受理申出ファイルに紐づけて、不受理申出画像(添付書面があれば不受理申出添付書面画像)を作成する。
不受理申出に補正が必要な場合、不受理申出補正情報及び不受理申出補正画像を作成する。
不受理申出取下げ書の申請があった場合は、不受理申出取下画像を作成する。
なお、不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、市区町村長は不受理申出変更履歴を作成するが（平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達　第6-1-(9)-ｳ　別紙７の３の様式）、これを画像データに変換し不受理申出画像に頁追加する。
これら作成した画像は、不受理申出情報と共に戸籍情報連携システムに送信する。
送信は本籍市区町村が実施し、不受理申出書等を受領した非本籍市区町村は当該不受理申出書を本籍市区町村に送付する。

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

ドキュメント名称

「各種ファイル更新」処理

④送付先市区町村情報更新
　届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村は、届書入力処理における処分決定処理(又は審査結果入力処理、訂正・更正・追完処理における受付ファイル作成処理)で作成された送付先市区町村情報ファイルに登録された者以外で、他市区町村で戸籍の記載が必要な者がある場合その情報を作成する。

⑤申入書情報更新(サンプル)
　申請された申入書は、申入書に該当する届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村で、該当の受付ファイルに紐づけて申入書画像を作成する。
申入書取下げの申請があった場合は、申入書取下画像は作成しない。
　申入書の申請があった場合、申入書を直ちに登録できる場合でも、画像登録等処理に時間を要することが想定され、また、副本記録情報として参照できるようになるまでも一定の時間を要するため、DV関係は社会的重要性が高いことを踏まえ、常にWebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定)を戸籍情報連携システムに送信する。申請された市区町村の届書の受付市区町村が異なる場合は、申請地からの連絡により受付地が戸籍情報連携システムに送信する。

〔順守事項〕

(1)管掌者親族情報更新
①管掌者及びその親族の戸籍または副本記録情報を特定し、登録・管理できること。
　なお、この要件の実現方法については任意設計とする。

(2)届書等情報更新
①1通の届書等の処理で複数の受付ファイルが作成される場合(生存養親と死亡養親との離縁等)、
　受領番号の小さい受付ファイルに届書等情報を登録し、それ以外の受付ファイルには登録しない。
②届書等受領した書面は実寸大でスキャンを行い、各々イメージファイルを作成すること。
　なお、スキャンした届書等は決裁後でないと紐づけできない仕様とし、このチェックは任意設計機能とする。
③届書補正画像は届書補正情報からイメージファイルを作成すること。
④戸籍情報システムで保持するイメージはPDFファイルでなくても構わないが、戸籍情報連携システムへはPDFファイルで送信すること。
⑤戸籍情報連携システムへ送信する前の情報であれば更新及び削除を可能とする。
　戸籍情報連携システムへ送信した後に更新した届書画像情報は、履歴として管理する。
　それ以外の添付書面及び届書補正情報は、上書き更新とし履歴とはしない。
⑥登録した情報を戸籍情報連携システムに送信する送信情報は、インターフェイス仕様書(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を参照して作成すること。
⑦保存期間を経過した届書等情報は本処理ではなく、バッチにより一括削除すること。

(3)不受理申出情報更新
①(2)②～⑤は、不受理申出において準用する。
②登録した情報を戸籍情報連携システムに送信する送信情報は、インターフェイス仕様書(F0150:不受理申出情報送信)を参照して作成すること。
　失効等により一定期間経過後、不受理申出情報を削除した場合も同様である。

(4)申入書情報更新
①(2)②、④は、申入書において準用する。
②申入書に変更があった場合、戸籍情報連携システムに送信した申入書画像情報は履歴管理される。
③登録した情報を戸籍情報連携システムに送信する送信情報は、インターフェイス仕様書(F0160:申入書情報送信)を参照して作成すること。
　情報の失効等により一定期間経過後申入書情報を削除した場合は、送信しない。

(5)送付先市区町村情報更新
①同一市区町村で同一決裁のデータ(届書処理通番)単位で作成し送信する。
②登録した情報を戸籍情報連携システムに送信する送信情報は、インターフェイス仕様書(F0050-R04:送付先情報)を参照して作成すること。
③送付先市区町村情報を更新した場合は、送信済の情報を含む全ての情報を再送信すること。
④送信済のデータは更新、削除ができないこと。

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

ドキュメント名称

「各種ファイル更新」処理

〔留意点〕

(1)戸籍の記録をする処理や証明書を認証する処理等の戸籍法第2条及びそれに準ずる法令等で管掌者の除斥が必要な処理において、管掌者及びその親族の情報を参照し、該当する者が関連する場合に誤って取り扱わないようにする措置を講じること。

(2)管掌者及びその親族に関する副本記録情報に異動があった場合には登録情報の更新が必要となる。

(3)受理地が届書等の決裁に伴い戸籍情報連携システムに送信する届書等情報は、原則として決裁処理後に送信することとしているため、各種ファイル更新処理においては送信後に変更があった際の処理概要を上記に記載している。ただし、決裁処理後に届書画像情報が登録されていない場合は、戸籍情報連携システムへの送信対象としないため、各種ファイル更新処理等で届書画像情報を登録した後に送信対象とする制御を行うこと。また、送付地においても受理地から届書等が郵送で送付された場合は決裁後に届書等の画像情報を登録するため、この場合は同様の制御を行うこと。

(4)新規登録された届書及び添付書面の画像はF0050-C02の届書等種別コード[TR01]で、更新された届書及び添付書面の画像は[TR02]で、届書補正情報(新規登録、更新とも)はF0050-R05で、届書補正画像は[TR04]で送信する。
しかし、F0050の送信においてF0050-C02の届書処理通番は重複しての設定が不可であるため、届書画像[TR01]と届書補正画像[TR04]は同時に送信できない。この場合は、[TR01]を先に送信してその後別のF0050ファイルで[TR04]を送信することになる。
届書画像(更新)[TR02]と届書補正画像[TR04]も同様である。
届書補正画像[TR04]と届書補正情報F0050-R05は同じファイルで送信する。

(5)戸籍情報連携システムへの送信情報は、再送信等で再度設定する場合があることから、それらの情報を基本のファイルに紐づけて保持することを検討すること。
戸籍副本データ管理システムに送信する情報に、戸籍情報システム内で保持しないデータを補記して送信するファイルと同等である。

(6)各種ファイル更新処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。
また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

(7)届書等情報の送信漏れ防止や作成状況等の確認を行う等の目的で、作成、更新した届書等情報データを管理するファイルの作成は任意実装機能とする。

第5.10.(16)

「受領番号確保」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「受領番号確保」処理			

〔処理概要〕

(1) 閉庁日(休日および夜間)に届出られた届書を処理する場合に、前もって受領番号を確保する処理(受付ファイルの作成)であり、通常の異動処理を開始する以前に行う処理である。あくまで受領番号が付設された受付ファイルを作成するだけであるので戸籍のロック等の処理は行われない。その後の処理としては、届出選択で届出事件と受領番号を入力することにより以降通常の処理と同様になる。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(17)

「帳票出力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「帳票出力」処理			

〔処理概要〕

(1) 戸籍システムで管理するファイルから出力する帳票をグループ化し「帳票出力」処理としている。事件表も考えられるが、「統計処理」から出力するようにした。

〔順守事項〕

特になし

〔留意点〕

(1) [第5-3 オンラインの流れ図]で示しているように、各帳票を画面指示により起動(オンライン・バッチ処理)しているが、純然バッチ処理でも構わない。

(2) 月次処理、日次処理による出力帳票が存在するが、出力する際の範囲指定方法については任意とする。
(画面から指示、外部パラメタによる指示等)

第5.10.(18)

「統計」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	7	「統計」処理	［留意点］ ・電子証明書の件数は、戸籍情報連携システムより提供履歴を取得して集計することを追記 ・集計結果の事件表情報を戸籍情報連携システムに送信することを追記
2	R3	B07	「統計」処理	［処理概要］ ・戸籍情報連携システムより通知される全国、管区及び法務局・地方法務局単位の事件表データの取扱いについて追記

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和3年3月31日	R3
ドキュメント名称			
「統計」処理			

〔処理概要〕

(1) 「統計」処理では、事件表を正確に作成するための処理を行う。

(2) 基本的には、[第5-7(2) ファイル仕様書]で示されている統計ファイルをシステムで集計できない項目を更新する。また、統計状況を参照する機能や事件表を出力指示する画面で構成する。

(3) 受信情報(F0140:事件表提供)により、全国、管区及び法務局・地方法務局単位の事件表データを帳票等により確認することができる。

〔順守事項〕

(1) 事件表の様式は[第5-6(2) 帳票設計書]に従うこと。

〔留意点〕

(1) 最終的な機能としては、[第5-6(2) 帳票設計書]で示す事件表が正確に出力されればよい。

(2) 自治体の運用によっては、日計、週計、月計のサイクルで統計情報を取得している場合あるため、更新する手順については任意とする。

(3) 日計、週計、月計等による更新を行う場合には、ファイル仕様書(年計)で示すレコード以外に設けてもよい。
（ただし、サブレコードとして位置づけること）

(4) 統計ファイル更新処理を使用するケース。

・第2表　届出事件件数　:「不受理申出」の件数
※万一システムで処理できない事件が発生した場合、統計ファイルに反映させるため届出事件数を
個別に更新する必要がある。
・第3表　処理事件数　　:「違反通知」「戸籍の再製・補完」「その他」
・第4表　謄抄本等件数　:全て
・第5表　戸籍事務を～　:全て
・第6表　職員数　　:全て

(5) 戸籍電子証明書等の件数については、戸籍情報連携システムより通知される提供履歴情報を基に集計すること。なお、提供履歴情報の取得方法については[第7-2(25) 戸籍情報連携システム]を参照のこと。

(6) 市区町村全体の年度計として確定した事件表の情報は、[第7-2(25) 戸籍情報連携システム]に示すバッチ処理にて戸籍情報連携システムへ通知する。なお、別途事務連絡は必要となるが、法令等で定められた報告期間外でも戸籍情報連携システムへのデータ送信は可能とする。

※　事件表の様式について、現在検討中のため変更となる可能性あり。

第5.10.(19)

「関連業務」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	－	「関連業務」処理	標準化法により、〔留意点〕(1)(2)の記載内容を修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0
ドキュメント名称			
「関連業務」処理			

〔順守事項〕

〔留意点〕

(1) 戸籍関連業務メニューには、関連業務が今後追加される可能性がある。

(2) 法改正等によるシステム仕様変更が行われたとしても、戸籍システム及び関連業務システムに対して影響が相互に及ばぬよう独立させることが望ましい。

標準化法により、戸籍附票システム、人口動態システム、火葬等許可事務システムの標準仕様書が提示されたことにより、これらのシステムは各々の標準仕様書にしたがってシステム構築がされることになる。

第5.10.(20)

「一括」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1
ドキュメント名称			
「一括」処理			

〔処理概要〕

(1) 一括処理では、年次処理又は、行政区画変更などの処理を対象に、大量データを扱うものをグループ化した。

(2) 戸籍データを全件読み込み、該当データを抽出するものや行政区画変更などある特定のデータを全件処理する場合など。

(3) 下記の2例について[第5-4バッチ処理の流れ図]で示す。

・「高齢者消除該当一覧」作成

・「行政区画変更(町名の変更)」処理による戸籍DBへの記録および通知ハガキの作成

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1) 高齢者消除該当一覧を許可申請書として兼用する場合は、事前に法務局の承認を得ること。

(2) 高齢者消除を一括バッチ処理する場合は、戸籍事務(システム)の運用を十分理解のうえ方式を決定すること。
バッチ処理であっても、戸籍DBに記録するため「処分決定」「決裁処理」の位置づけを明確にし正確性を確保すること。

第5.10.(21)

「連携情報」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	詳細仕様説明書	・作成 「連携情報」処理を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和　年　月　日	R2.2
ドキュメント名称			
「連携情報」処理			

〔処理概要〕

連携情報処理では、戸籍情報連携システムに関連する処理を中心に、既存の機能体系に合致しない処理をまとめている。各処理については各処理の詳細仕様説明書を参照のこと。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(22)

「本籍人副本記録情報検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	詳細仕様説明書	・作成 「本籍人副本記録情報検索」処理を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	令和2年3月25日	令和　年　月　日	R2.2
ドキュメント名称			
「本籍人副本記録情報検索」処理			

〔処理概要〕

(1)他市区町村からの問い合わせ対応等のため、本籍人の副本記録情報を確認する。

(2)処理については「検索」処理の「副本記録情報検索」処理を参照すること。

〔順守事項〕

(1) 「検索」処理の「副本記録情報検索」処理の順守事項を順守すること。
ただし、検索キーに検索対象市区町村は含まない。

(2) 「検索」処理の「個人検索」処理と「副本記録情報検索」処理とを区別できること。通常事務とは異なり、運用上必要な場合に本籍人の副本記録情報を参照する操作であることが分かること。

〔留意点〕

なし

第5.10.(23)

「送付分届書等振分け」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	詳細仕様説明書	新規作成
2	R4	B04	詳細仕様説明書	[処理概要] (5)届書等情報の再送信に対する処理に利便性を持たせるため、送付分届書等一覧画面で選択されたデータの届書処理通番で検索する機能を追加

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和4年3月31日	R4
ドキュメント名称			
「送付分届書等振分け」処理（サンプル提示）			

〔処理概要〕

(1) 送付分の届書等情報を一覧形式で表示する。その際、全部事項証明イメージ、届書イメージ、添付書面イメージ及び届書補正イメージの表示を可能とする。

(2) 処理対象とする届書等情報の処理方法を選択し、届書入力処理、審査結果入力処理又は訂正･更正･追完処理のいずれかの処理に制御を渡す。なお、必要に応じて制御先の処理で必要な中間ファイル(届書、仮戸籍、参照戸籍、届書処理通番等)を作成する。

(3) 父の本籍地に胎児認知届又は死産届(胎児認知届がある場合のみ)が送信された場合は、そのイメージを参照して該当個人の個人状態ファイルを更新する。
※胎児認知届の画像情報は戸籍情報システムで保持する。

(4) 届書入力処理を選択した場合、受信情報(F0080:副本記録情報)を基に本籍人の戸籍DBを検索し、その結果を編集する。ただし、届書入力画面の住所、世帯主については原則受理地にて作成された受信情報(F0080:届書記載事項)を編集する。

(5)基本届書に届書補正情報等の再送信があった場合、基本の届書と再送信データを個別に確認する煩雑さをなくすため、選択した送付分届書等一覧の届書処理通番と同じ届書処理通番のデータを一覧表示する。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1) 戸籍情報連携システムから送信される届書画像、添付書面及び届書補正画像は、送信後に修正されることもあるため、修正されたデータを受信した場合は元のデータと組み合わせて処理を継続すること。

(2) 送付地においては、受理地での処理方法と異なる方法で処理する場合があることを考慮すること。

(3) 受信した情報が誤送付の場合は、F0050-C02の届書等種別コード[TR05]情報を送信する。

第5.10.(24)

「証明書発行履歴通知」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B01、B02、B06	詳細仕様説明書	新規作成

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和　年　月　日	R3
ドキュメント名称			
「証明書発行履歴通知」処理(サンプル提示)			

〔処理概要〕

(1)戸籍情報連携システムから通知される証明書発行履歴通知データを管理する。

F0010-S01:広域交付発行履歴の通知ファイル

F0020-S01:戸籍電子証明書等発行履歴の通知ファイル

F0030-S01:証明書提供行履歴の通知ファイル

F0120-S01:届書等情報内容証明書等発行履歴の通知ファイル

(2)利害関係者からの問い合わせの対応のため、証明書発行履歴を検索する。

(3)日別・月別・年別帳票等により証明書発行状況を確認する。

〔留意点〕

(1) 証明書発行履歴通知ファイル項目は、戸籍情報連携システムから通知される項目で構成すること。
他の項目を追加する場合は、情報を補助する程度の項目とし秘匿性の高い項目の追加はしないこと。

(2) 通知されたデータは、1項目で該当の戸籍が一意に定まる情報がないため、戸籍情報システムに保存する場合は、一意に定まる情報での紐づけを検討すること。
送信情報を全て保持し、必要に応じて表示すること。

第5.10.(25)

「異動予約」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B03	詳細仕様説明書	新規作成
2	R4	B03	詳細仕様説明書	[留意点] (4)イメージで管理している除籍等は異動予約の対象外であること及び、対象が除籍(者)であった場合の対処を追加
3	2.0 (2023.3.31版)	指摘事項管理表_外部IF仕様書 №222	詳細仕様説明書	[留意点] (4)異動予約の対象は改製不適合戸籍以外であることに修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	令和3年3月31日	令和5年3月31日	2.0
ドキュメント名称			
「異動予約」処理(サンプル提示)			

〔処理概要〕

(1)届書等入力処理、審査結果入力処理、訂正・更正・追完処理及び不受理申出処理において、システム処理前に事件本人及び事件に関係する戸籍(戸籍の筆頭者)等に異動予約をするための情報を異動予約ファイルに格納し、戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。
(2)登録した異動予約を解除する場合は、その情報を異動予約ファイルから削除した後で、戸籍情報連携システムに予約解除情報を送信する。

〔順守事項〕

(1)異動予約及び解除における副本記録情報検索の目的IDは、外部インターフェイス仕様書別紙２－１電文設計書の■電文設計書(項目説明)5目的IDの入力仕様を参照のこと。

〔留意点〕

(1)異動予約を行う対象が増える可能性があるため、拡張性を考慮したファイル設計とすること。

(2)異動予約情報が登録されている事件本人等に対する戸籍の処理を開始した場合、戸籍情報連携システムから異動予約番号が渡される。この情報を元に異動予約ファイルで管理している情報と突合し、異動予約ファイル情報を更新する等の機能を備えること。

(3)上記(2)の機能を備えても戸籍処理済みの異動予約登録情報が残る可能性がある。
例えば非本籍の受理市区町村が受領した不受理申出の異動予約をした場合、本籍地で不受理申出書の登録を行ってもその情報が渡されないため、情報による異動予約情報の解除ができない。
このため、異動予約情報を定期的に確認して不要な情報を削除すること。削除した場合は必ず戸籍情報連携システムに予約解除情報を送信すること。

(4)異動予約で除籍及び除籍者が選択された場合は、選択者が正しいか確認メッセージ等で注意を促す対応を考慮すること。

第5.10.(26)

「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R4	B08	詳細仕様説明書	新規作成
2	2.0（2023.7.31版）	－	「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理	戸籍情報連携システム_外部インターフェイス仕様書0102版のB08処理内容の変更に伴い、処理名称を含めた全面修正

詳細仕様説明書	作成日付	改訂日付	版
	令和4年3月31日	令和5年7月31日	2.0

ドキュメント名称

「戸籍電子証明書利用申請履歴表示」処理(サンプル提示)

〔処理概要〕

(1) 戸籍情報連携システムから通知されるオンライン利用者に係る利用状況履歴通知データを管理する。

(2) 本籍人に係るオンライン利用者に係る利用状況がどの程度利用されているのかを確認するため、オンライン利用者に係る利用状況履歴を表示する。

(3) 月別・年別帳票等によりオンライン利用者の申請状況(登録申請、利用停止申請)を帳票出力して確認する。

〔留意点〕

(1) 本処理は任意実装とする。

(2) オンライン利用者に係る利用状況履歴通知データを管理するファイル項目は、戸籍情報連携システムから通知される項目で構成するが、通知された基本4情報から本籍人を特定し、戸籍の個人番号で管理しても構わない。

別紙６　戸籍情報システムと関連事務の処理概要

（第 2.0 版）

（目次）

１　はじめに

２　記載事務

３　証明事務

４　人口動態調査事務

第6　戸籍情報システムと関連事務の処理概要

1　はじめに

戸籍関連事務は、記載事務、証明事務及び人口動態調査事務とに大別され、市区町村の所管事務の大半を占める記載、転記及び照合･点検作業からなっている。

これらのシステム化は、事務処理の省力化、効率化及び正確性がより一層促進されることにあり、また、市区町村の長年の強い要望でもあることから、戸籍事務と合わせてパッケージ化(以下、戸籍情報システムと区別するために関連事務システムという。)を図ることとした。

ただし、関連事務システム各々の採用の有無については、各自治体のそれぞれの事情に基づく判断に委ねられることとなる。

ところで、関連事務システムにとって、リアルタイムに戸籍情報システムとの連動、リンケージが大きなメリットになるが、戸籍情報システム本体に直接影響なく、開発、運用されることが前提条件となる。将来、関連事務システムの追加･修正があった場合に、戸籍情報システムが無修正であることを担保とすることにある。

そこで、第２章の「機能・帳票要件」における「（１）改定前仕様書におけるシステム化の範囲」で示された事務の中で、記載事務、人口動態調査事務への連動のタイミングを検討したところ、戸籍情報システムの「決裁処理」以降の処理(連動ための「各種ファイル更新」等)に、その大半が位置づけられることとなった。

また、その他の証明事務については、戸籍データベースや戸籍関連ファイル(届書ファイル、個人状態ファイル等)の直接的な活用の必要性から、業務フローに組み込むこととし、一部にデータの追加入力作業により事務処理を補完することになる。

なお、「各種ファイル更新」処理おいて作成･更新されるファイルは、戸籍附票連携データ、公選法通知データ、人口動態連携データ、発送(他市区町村等送付用)等の各ファイルである。

したがって、これらのファイルを即時的に活用し、主にオンライン処理もしくはバッチ処理にて、引き続き関連事務処理を行うこととする。

2　記載事務

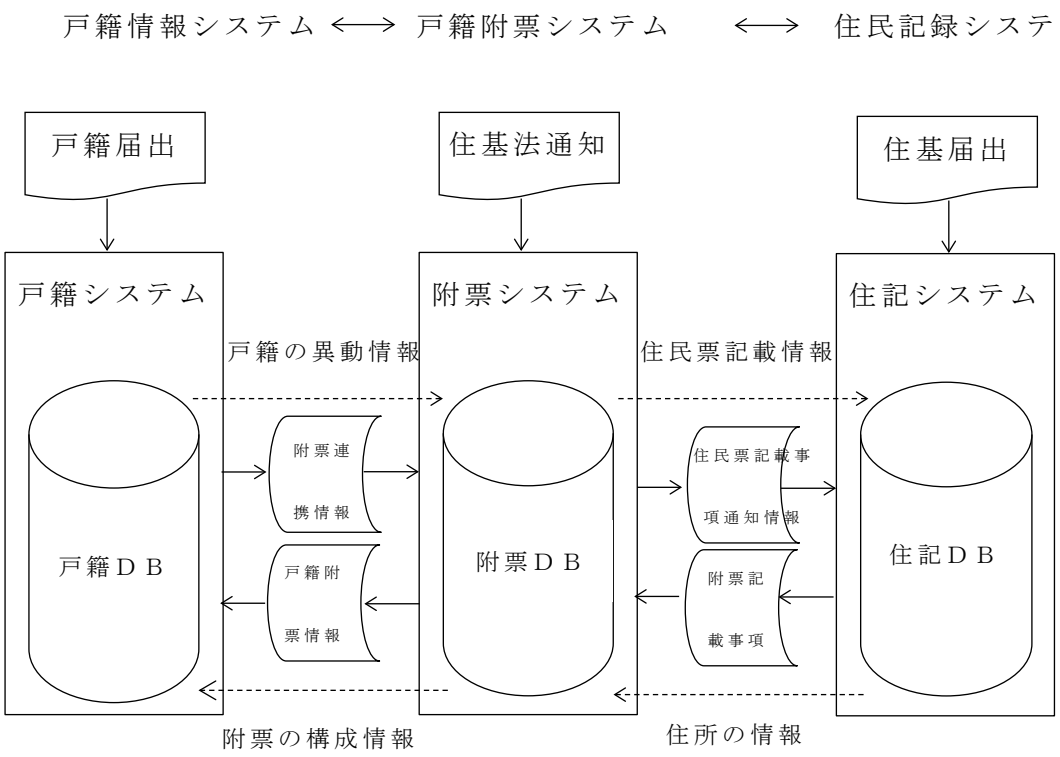
(1) 死産届書

厚生労働省で作成する人口動態調査事務システム標準仕様書に基づき、システム化することとする。

(2) 戸籍附票事務及び住民票通知関係

戸籍情報システム及び住民記録システムと連携した戸籍附票システムは、戸籍附票システム標準仕様書により構築される。これらの関連性については、次の「戸籍・附票・住民記録システムの関連図」を参照されたい。

「戸籍・附票・住民記録システムの関連図」



戸籍情報システムは戸籍届出等による異動情報を戸籍附票システムに渡し、戸籍附票システムはその情報から住民票記載事項通知連携データを作成し、CSを介して住所地市区町村に送信する。

また、戸籍附票情報に在外選挙人（在外投票人を含む）情報がある場合は、公選法通知データを作成し、通知書作成を行い通知する。

なお、戸籍附票システムは戸籍附票システム標準仕様書を参考にされたい。

3　証明事務

(1) 埋火葬許可証

戸籍情報システムで作成された届書情報を提供することとし、システム化は、厚生労働省で作成する火葬等許可事務システム標準仕様書に基づくものとする。

4　人口動態調査事務

市区町村は、厚生労働省の人口動態調査令、及び同令施行細則に基づき調査票及び送付票を作成し当該保健所長に送付しており、その作成に当たっては、国の主要な指定統計として完全性、正確性、迅速性が求められている。

そこで、戸籍情報システムで作成された届書情報を提供することとし、システム化は、厚生労働省で作成する人口動態調査事務システム標準仕様書に基づくものとする。戸籍情報システムの「決裁処理」後、届書ファイルから作成された「人口動態ファイル」を活用し、引き続き、オンライン処理において人口動態調査票等に必要なデータを付加入力することとなる。また、調査票及び送付票は、オンライン･バッチもしくはバッチ処理により作成する。

別紙７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

（第 2.0 版）

（目次）

1　「システム処理」の要件定義について

2　要件定義書

第 7.1　「システム処理」の要件定義について

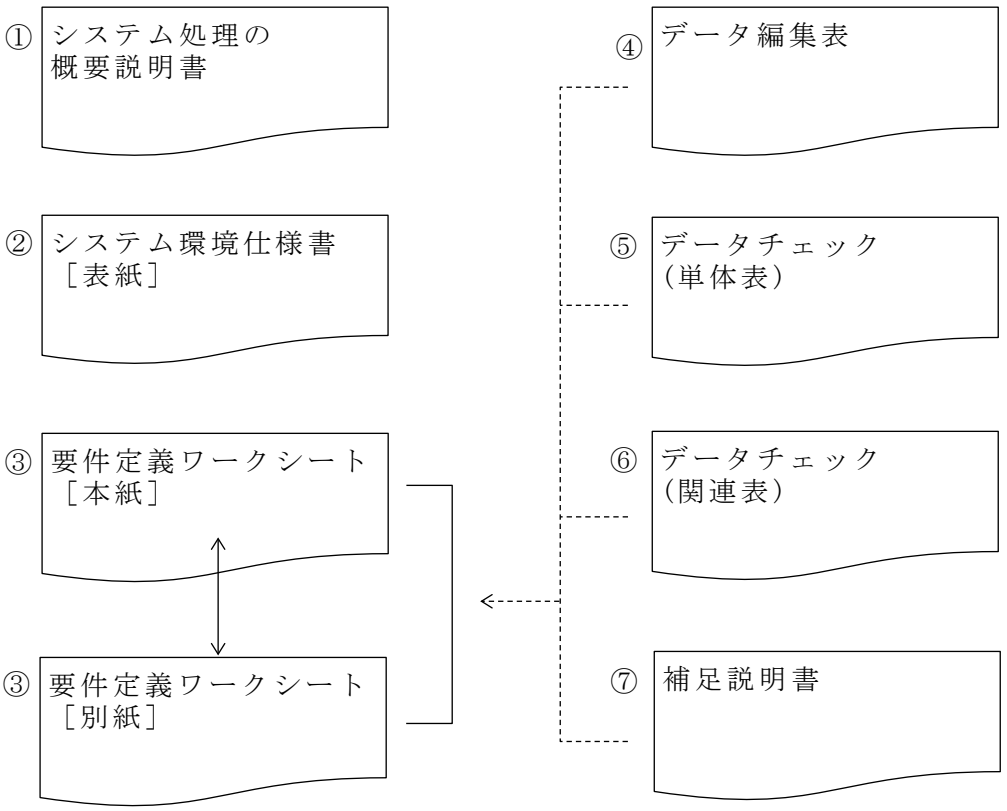
第7-1 「システム処理」の要件定義について

第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

1　「システム処理」の要件定義について

(1) 要件定義書の作成方法

ア　要件定義書の構成



イ　要件定義書の各ドキュメントの内容

①　システム処理の概要説明書

プロセス単位又はいくつかプロセスをまとめて、それらのシステム処理の概要及びシステム処理しない部分を説明する。

②　システム環境仕様書

基本的に要件定義書の表紙となるもので、詳細フロー、使用 DB・ファイル一覧処理の概要、機能体系(又は、要件定義書の構成)、及び特記事項等を記述する。

③　要件定義ワークシート

本紙においては、処理のメーン・ロジックを自己完結型に記述し、各詳細については、別紙でトップダウン方式で展開する。

別紙においては、第三レベルまでに止どめ、本紙のロジックを補強する。また、各々自己完結型に詳細記述し、本紙に戻る。

④　データ編集表

DB・各ファイル間や、画面と各ファイル間などで、データの受渡しを行う場合に、それらの項目をこの一覧表に記述する。

⑤　データチェック(単体表)

データの単体チェックの内容、エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑥　データチェック(関連表)

データの関連チェックの内容、エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑦　補足説明書

必要に応じて、項目関連図(マトリックス)等を作成し、追加説明する。

ウ　要件定義ワークシート記載方法の基本パターン

ワークシートについては、次の点を考慮した。

①トップダウン方式や「基本パターン」でロジックを整理できること。

②プログラムの処理概要の全体を視覚的に把握、理解できること。

③入力部及び出力部を限定し、エラー処理が明確化できること。

④ワープロ作成ができること。(追加、修正に容易に対応できる)

「基本パターン」は、次のとおりである。

①順次処理

データを上から下へ、無条件で順番に処理するケース

(1)　処理　A
(2)　処理　B
(3)　処理　C

②条件処理

一定の条件に基づいて、処理が 2 つに別れるケース

(1)条件が YES か、NO か？	
YES	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
NO	(4)　処理　C
	(5)　処理　D

③繰り返し処理

一定の条件を満たすまで繰り返し処理するケース

(1)一定の条件を満たすまで(2)～(5)を繰り返す	
	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
	(4)　処理　C
	(5)　処理　D

④複合条件処理

複数の条件があり、それぞれの条件に対する処理があるケース

(1)条件が、「>」、「=」、「<」、「その他」か？	
>の場合	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
=	(4)　処理　C
	(5)　処理　D
<	(6)　処理　E
	(7)　処理　F
その他	(8)　処理　G

オ　要件定義ワークシート記載方法の基本的ルール

（ア）　規定用語について

①プロセスから画面に展開する場合は

「画面を編集(出力)する」

②プロセスからプロセスに展開する場合は

「制御を渡す」

③DB を読むときは

「(検索)キーとして DB を読む」

④ファイルを読むときは

「(キーとして)ファイルを読む」

⑤DB・ファイルの更新は

「追加、更新、削除する」

⑥条件(ケース)の処理は

「比較する、判定する、チェックする、選択する」

AND 条件は、「かつ」

OR 条件は、「または」

このほか、比較記号等を用いる(例、=、≠、<、>等)

⑦エラーの表現は

「エラーメッセージ表示、確認メッセージ表示、」

⑧その他

「抽出する、(初期)設定する、処理する、作成する、実行する、変換する、計算する、転送する、(キーとして昇順/降順)にソートする」

(イ)「PF キー」について

次のとおり、参考までに主な機能を割り当てた、下記以外は各プロセスで定める。

①PF1　　戸籍業務メニューへ

②PF2　　届出選択メニューへ

③PF5　　前画面へ

④PF7　　前頁へ

⑤PF8　　後頁へ

⑥実行キー　実行処理

(2) 要件定義書の共通仕様について

ア　戸籍DBの編集(戸籍編製マトリックス)

要件定義書(入力確認)においては、仮の戸籍DBを編集する場合に、データ編集表と戸籍編製マトリックスを使用して記述されており、戸籍編製マトリックスは、次のような手順・要領に従っている。

【戸籍編製マトリックス】(サンプル)

├…… 条件項目 ……┤　├…… 戸籍編製パターン ……┤

項番	グループ1			グループ2			条件		戸籍A		戸籍B	新戸籍編製
	条件1	条件2	条件3	条件4	条件5	条件6	7		一部除籍 A.2 6.3	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 A.2 C.1 D.1	A.1 B.1 C.1 D.1
1	○			○							子(5.1)	
2	○				○						子(5.1)	母(7.1)
3	○			－	－	－	○				子(5.1)	

(ア)マトリックスは、「条件項目」と「戸籍編製パターン」に分けて記述する。

「条件項目」等が、多い場合は複数頁になる。

(イ)『項番』は、「条件項目」の種類別を順番号で区別する。

(ウ)「条件項目」中の記号は、次の 4 種である。

・『○』(マル)　　:条件に該当する内容。

・『－』(ハイフン)　:条件対象外(何であろうと無関係)。

・『　』(ブランク)　:入力なし。

・『×』(バツ)　　:条件に該当しない内容。

(エ)「戸籍編製パターン」は、各事件の該当する戸籍単位の戸籍の編製を示す。

・『一部除籍』　　:除籍後に他の在籍者あり。

・『全部除籍』　　:除籍後に他の在籍者なし。

・『変動なし』　　:戸籍事項/身分事項の記録のみ。

・『一部記載』　　:該当戸籍に入籍。

・『新戸籍編製』　:新しい戸籍の編製。

(オ)「戸籍編製パターン」欄にあらわれる『X.X』の数字は、戸籍編製を行う場合に、使用されるデータ編集表の処理名の番号である。

また、英字で記述されているものは全届に対して共通なデータ編集表であり、中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型として使用している。

中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型については、後述の補足説明書を参照のこと。

(カ)「条件項目」に該当した場合の処理を行うべき対象(者)を、「戸籍編製パターン」の該当する欄へ「子」「養子」「夫」等で記述するとともに、戸籍編製を行う場合に、使用されるデータ編集表の処理名の番号を記述する。

※(例)【戸籍編製マトリックス】(サンプル)の項番 1 の場合

・条件として、『条件 1』『条件 4』に該当して、他の「条件項目」に入力がない

・『戸籍 B』『一部記載』の欄に、『子(5.1)』の記入があるので、戸籍 B へ子をデータ編集表の 5.1 及び中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型 A.2、C.1、D.1 を使用して記録処理を行う。

イ　メッセージ表示後の対応

要件定義書(入力審査)において、メッセージ表示後の対応は、エラーメッセージも確認メーッセージも、本紙もしくは要件定義書の前の処理へ戻るような記述をしているが、メッセージに対する流れは、メッセージの種類に影響されるので、「第 5-8(3)メッセージ一覧表」の補足説明書及び後述の「審査の流れについて(エラー処理)」を参照のこと。

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	ー	「システム処理」の要件定義について	振り仮名の法制化に伴う修正 ・中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型A.2、B---、D.2を修正 ・データ編集表A.1、D.1、D.2を修正
2		ー		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・入力確認(ひな型)の戸籍特定ファイルに「同一戸籍内前個人番号」と「同一戸籍内後個人番号」を追加

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)					
処理名	中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型					

中間ファイル(仮戸籍)

分類	中間ファイル(仮戸籍)で管理する情報の名称	ひな型	ひな型の名称	ひな型の説明	中間ファイル(仮戸籍への更新内容)
A	戸籍特定情報 戸籍DBのうち、戸籍特定DBの内容に関して管理する	A.1	戸籍特定(編製)	・管内に新戸籍を編製または管外から管内への転籍で新しく戸籍を編製する場合に使用	戸籍特定レコードの追加
		A.2	戸籍特定(記録)	・本籍・筆頭者が変更となる場合に使用 (管内転籍または筆頭者の氏及び名の変更または筆頭者振り仮名の氏及び名の変更) ・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用 ・その他戸籍の変動により戸籍の記録者数等の戸籍情報に変更がある場合に使用	戸籍特定レコードの更新
B	戸籍事項情報 戸籍DBのうち、戸籍事項DBの内容に関して管理する	B.1	戸籍特定(編製)	・管内に新戸籍を編製する場合に使用(管外から管内への転籍は転籍の審査で対応)	戸籍事項レコードの追加
		B.2	戸籍特定(消除)	・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用	戸籍事項レコードの追加
		―――	――――――――	・B.1及びB.2以外の記録は各審査で対応(氏の変更、管内転籍、氏の振り仮名の変更等)	戸籍事項レコードの追加
C	個人特定情報 戸籍DBのうち、個人特定DBの内容に関して管理する	C.1	個人特定(入籍)	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	個人特定レコードの追加
		C.2	個人特定(記録)	・配偶者区分・父母名・養父母名が変更となる場合に使用する (婚姻、養子縁組した養子等) ・戸籍の変動により除籍者となる場合に使用	個人特定レコードの更新
D	氏名情報 戸籍DBのうち、氏名DBの内容に関して管理する	D.1	氏名(入籍)	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	氏名レコードの追加
		D.2	氏名(記録)	・現在の振り仮名及び氏名に変更があった場合に使用 〔今までの氏名を旧氏名として履歴に残す〕 (戸籍の変動がない氏の変更、名の変更、氏の振り仮名の変更、名の振り仮名の変更)	氏名レコードの追加 (履歴作成)
E	身分事項情報 戸籍DBのうち、身分事項DBの内容に関して管理する	―――	――――――――	・身分事項情報の記録は各届出によりすべて異なるため、各審査で対応	身分事項レコードの追加

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	A.1　戸籍特定(編製)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定
	編製日		中間ファイル(届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	筆頭者振り仮名			届後戸籍の筆頭者振り仮名				
	記録者数		戸籍編製処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数=在籍者数
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	A.2　戸籍特定(記録)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号								
	編製日			中間ファイル(届書)					
	改製日								
	消除日				処理日 (または送付日 または受領日)				【全部除籍のとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日								
	本籍コード				新本籍コード				【管内転籍のとき設定】
	本籍				新本籍				同上
	筆頭者				変更後の筆頭者氏名				【筆頭者の氏及び名の変更のとき設定】
	筆頭者振り仮名				変更後の筆頭者振り仮名				
	記録者数			戸籍編製処理					【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍に記録されている人数を設定 記録者数=在籍者数+除籍者数
	在籍者数								【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数								【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍から除籍になっている人数を設定
	戸籍除区分								全部除籍のとき1:除籍を設定
	戸籍異動区分								0:解除を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	B.1　戸籍事項(編製)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード		戸籍編製処理					0001:編製を設定
	記録コード							0001:戸籍編製事項の記録を設定
	事件発生日		中間ファイル(届書)					
	戸籍事項項目							【編製】の戸籍事項項目を使用
	編製日			処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	特記事項							

第7-1 「システム処理」の要件定義について

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	B.2　戸籍事項(消除)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード		戸籍編製処理					0002:消除を設定
	記録コード							0002:戸籍消除事項の記録を設定
	事件発生日		中間ファイル(届書)					
	戸籍事項項目							【消除】の戸籍事項項目を使用
	消除日			処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	C.1 個人特定(入籍)編集・出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定	
	戸籍番号							決裁処理で設定	
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	除籍日								
	性別			父母との続柄		有			
	生年月日			生年月日					
	筆頭者区分			筆頭者区分					
	配偶者区分			配偶者区分					
	父			父氏名					
	母			母氏名					
	父母の続柄			父母との続柄					
	養父			養父氏名					
	養母			養母氏名					
	養父母の続柄			養父母との続柄					
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定	
	同一戸籍内前個人番号							未設定	
	同一戸籍内後個人番号							未設定	
	個人除区分							0:在籍者を設定	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	C.2　個人特定(記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)					
	除籍日			処理日 (または送付日 または受領日)				【個人が除籍になるとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分			配偶者区分				【個人情報に変更があるとき設定】
	父			父氏名				同上
	母			母氏名				同上
	父母の続柄							
	養父			養父氏名				同上
	養母			養母氏名				同上
	養父母の続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					
	同一戸籍内前個人番号							未設定
	同一戸籍内後個人番号							未設定
	個人除区分							【個人が除籍になるとき設定】 1:除籍者を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	D.1　氏名(入籍)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							1を設定(RDBのみ)
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	振り仮名(入籍者の振り仮名)				
	振り仮名			振り仮名(入籍者の振り仮名)				
	漢字氏名			漢字氏名(入籍者の漢字氏名)				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	D.2　氏名(記録)編集･出力							

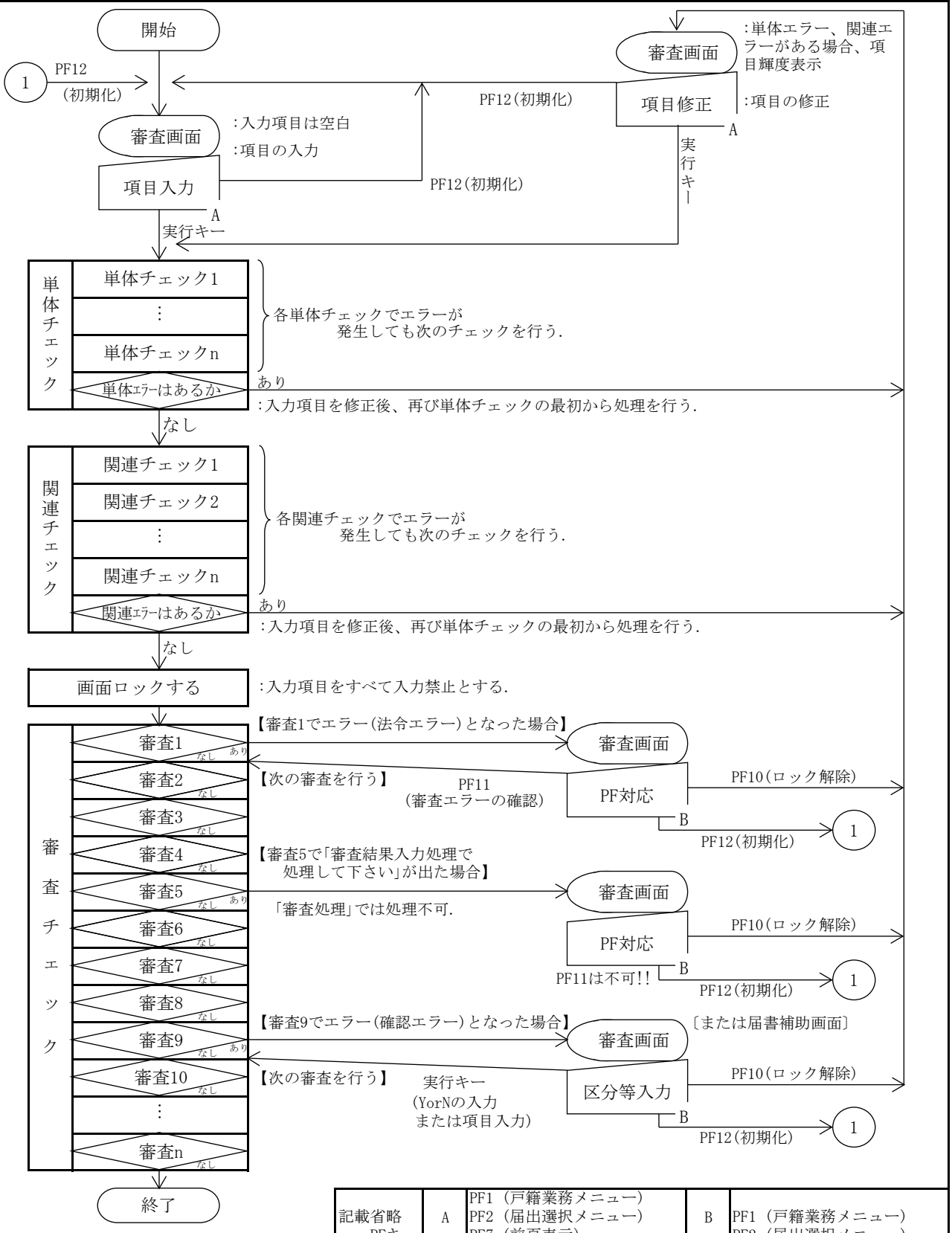
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	振り仮名(事件本人の振り仮名)				
	振り仮名			振り仮名(事件本人の振り仮名)				
	漢字氏名			漢字氏名(事件本人の漢字氏名)				

※　現在の氏名に変更があった場合に、今までの氏名を旧氏名として履歴に残す。変更の要件としては下記のものがある。
- ･戸籍の異動が無い氏の変更届(73条の2、77条の2関係も含む)　＊除籍者は変更の対象にはならない
- ･名の変更届
- ･氏名の訂正
- ･氏の振り仮名の変更届
- ･名の振り仮名の変更届

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

審査の流れについて(エラー処理)



記載省略 PFキー	A	PF1 (戸籍業務メニュー) PF2 (届出選択メニュー) PF7 (前頁表示) PF8 (次頁表示)	B	PF1 (戸籍業務メニュー) PF2 (届出選択メニュー)

第 7.2　要件定義書

（目次）

(1)「業務選択」処理
(2)「検索」処理
(3)「届出選択」処理
(4)「異動検索」処理
(5)「審査」処理
(6)「処分決定」処理
(7)「仮戸籍表示」処理
(8)「エラー履歴表示」処理
(9)「移記事項入力」処理
(10)「決裁用帳票出力」処理
(11)「決裁」処理
(12)「証明書発行」処理
(13)「各種ファイル更新」処理
(14)「受領番号確保」処理
(15)「帳票出力」処理
(16)「統計」処理
(17)「関連業務」処理(帳票系、9 条 2 項通知ファイル更新)
(18)「一括」処理(高齢者消除、行政区画変更)
(19)「行政区画土地の名称」変更
(20)「受付ファイル欠番」処理
(21)「再製」処理
(22)本人届出確認台帳管理
(23)不受理処分整理簿管理
(24)戸籍副本データ管理システム
(25)戸籍情報連携システム
(26)「連携情報」処理
(27)「本籍人副本記録情報検索」処理
(28)「送付分届書等振分け」処理

(29)「証明書発行履歴通知」処理
(30)「異動予約」処理
(31)「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理
(32)「届書処理状況取り込み」処理

第7.2.(1)

「業務選択」処理

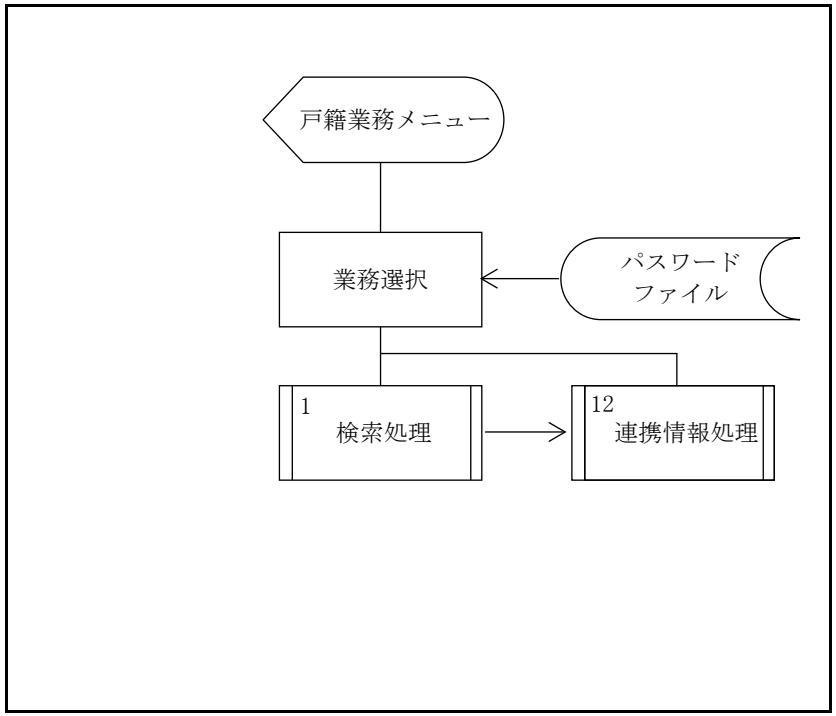
戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「業務選択」処理	業務選択 ・戸籍業務メニューに「12.連携情報処理]を追加

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	業務選択

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
パスワードファイル	入力		

3.処理概要
(1)業務選択番号の入力チェック
(2)入力パスワードの入力チェック
(3)検索処理～連携情報処理作業に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 別紙1(パスワード･チェック)
　　　 └ 2.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)
(1)パスワードチェック　サブルーチン

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	業務選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)戸籍業務メニュー画面を出力する						/			
(2)キー選択(実行キー、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/			
	YES	(4)パスワードのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
		YES	(5)業務選択番号(1～12)			/			
			1	(6)検索処理			(7)検索処理に制御を渡す		
			2	(8)異動処理			(9)異動処理に制御を渡す		
			3	(10)移記事項入力処理			(11)移記事項入力処理に制御を渡す		
			4	(12)決裁処理			(13)決裁処理に制御を渡す		
			5	(14)証明処理			(15)証明処理に制御を渡す		
			6	(16)統計処理			(17)統計処理に制御を渡す		
			7	(18)帳票出力処理			(19)帳票出力処理に制御を渡す		
			8	(20)各種ファイル更新処理			(21)各種ファイル更新処理に制御を渡す		
			9	(22)受領番号確保処理			(23)受領番号確保処理に制御を渡す		
			10	(24)関連業務処理			(25)関連業務処理に制御を渡す		
			11	(26)訂正･追完･更正･審査結果入力処理			(27)訂正･追完･更正･審査結果入力処理に制御を渡す		
			12	(28)連携情報処理			(29)連携情報処理に制御を渡す		
		NO	(30)エラーメッセージ 「パスワード･エラー」を表示する				(31)同画面を編集する		
	NO	(32)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示							
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する								

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	業務選択							
処理名	1.0 別紙1(パスワード･チェック)						備考	
(1)入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む(ある:YES,なし:NO)					/			
YES	(2)内容をチェックする(OK:YES,NG:NO) <<自治体、メーカー独自>>				/		パスワードチェック･サブルーチン	
	YES	(3)操作員資格区分を参照する			/			
	NO	(4)エラー			/			
NO	(5)エラー				/			

第7-2-(1) 「業務選択」処理

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	業務選択								
処理名				画面名		画面ID			
2.0 入力項目チェック				業務選択メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
01	業務選択番号	○	数字	01～12であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	パスワード	○	数字	数字であること					

第7.2.(2)

「検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	「検索」処理	システム処理の概要説明 ・「1. 検索処理の概要」に届書等情報表示処理を追加 ・「2.留意点」にイメージ印刷時の留意点を追加 ・「3.各検索画面でのPFキー」に届書等情報表示画面のキーを追加 受付ファイル検索 ・届書処理通番の読み込み中間ファイル(受付ファイル表示)を作成し、届書等情報表示への制御を追加 (新規)「届書等情報表示」を追加
2		3		システム処理の概要説明 ・「1. 検索処理の概要」「3.各検索画面でのPFキー」に「C.副本記録情報検索」を追加 ・「2. 留意点」を追加 ・「4. 副本記録情報検索の検索キー」を追加 検索選択 ・「3.副本記録情報検索」を追加 「該当戸籍一覧(副本)表示」を追加 「戸籍構成員一覧(副本)表示」を追加 「個人詳細表示(副本)」を追加 「不受理申出ファイル表示(副本)」を追加 「個人状態表示ファイル(副本)」を追加 「副本記録情報検索処理」補足説明を追加
3	R3	B01、 B02、 B03	「検索」処理	システム処理の概要説明 1. 検索処理の概要 ・A.個人検索に不受理申出イメージ表示、胎児認知届イメージ表示、異動処理状況表示を追加 ・B.受付検索に届書等情報イメージ履歴表示、決裁状況表示を追加 ・C.副本記録情報検索に記載字検索フラグ、遡り検索フラグ、構成員等取得検索及び仕様について追加 ・C.副本記録情報検索のワイルドカードの説明に仕様について追加 3. 各検索画面でのPFキー ・A.個人検索の戸籍構成員一覧及び個人詳細表示のPF9に異動処理状況表示を割り当て ・B.受付検索の受付ファイル検索のPF9に決裁状況表示を割り当て 同届書等情報表示のPF10にイメージ表示を割り当て ・C.副本記録情報検索の該当戸籍一覧（副本）のPF9を削除 ・A.個人検索及びC.副本記録情報検索の不受理申出表示(副本)と個人状態表示(副本)のPF6にイメージ表示を割り当て 4. 副本記録情報検索の検索キー ・副本検索情報キーに記載字検索フラグ、遡り検索フラグ及び構成員等取得フラグを追加 ・検索の指定条件をWebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に合わせた ・検索情報キーの仕様場所を追加
4				非本籍人検索の検索補完キーの追加、不受理申出情報の追加により下記仕様書を修正した。 ①該当戸籍一覧表示(副本) ②戸籍構成員一覧表示(副本) ③個人詳細表示(副本)
5		B03		不受理申出情報イメージ表示により下記仕様書を追加、修正した。 ①不受理申出ファイル表示 ②不受理申出イメージ表示：追加 届書等情報イメージ表示により下記仕様書を修正した。 ①届書等情報表示：追加
6		B04		異動処理状況表示、決裁状況表示について下記仕様書を修正した。 ①検索処理 ②戸籍構成員一覧表示 ③個人詳細表示 ④受付ファイル検索

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
7		－		副本記録情報検索処理・補足説明書 訂正・更正・追完・審査結果入力処理に「*1」を付記し、注意点を欄外に記載
8		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
9	R4	B01	「検索」処理	検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を追加 ①システム処理の概要説明 2.留意点
10				個人状態ファイルに注意喚起区分が追加されたことによる修正 ①戸籍構成員一覧表示 1.0 中間ファイル(構成員一覧)作成、2.0 戸籍構成員一覧編集処理、3.0 中間ファイル(個人詳細)作成 ②個人詳細表示 1.0 個人詳細表示編集処理 ③個人状態ファイル表示 1.0 個人状態ファイル表示画面編集 ④戸籍構成員一覧(副本)表示 1.0 中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成、2.0 戸籍構成員一覧(副本)編集、5.0 中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成 ⑤個人詳細表示(副本) 1.0 個人詳細表示(副本)編集 ⑥個人状態ファイル表示(副本) 0.0 本紙、1.0 個人状態ファイル表示(副本)画面編集
11		B06		注意喚起区分があった場合の対処を追加 ①該当戸籍一覧表示(副本)表示 0.0 本紙 ②戸籍構成員一覧(副本)表示 0.0 本紙 ③個人詳細表示(副本) 0.0 本紙
12		申し送り事項一覧No.9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ①受付ファイル検索 システム環境仕様書 5.備考(特記事項含む)、1.0 受付ファイル検索画面編集 ②届書等情報表示 システム環境仕様書 5.備考(特記事項含む)、1.0 受付ファイル検索画面編集、2.0 届書等情報表示画面編集
13		指摘事項管理表No.87		戸籍種別の誤り：戸籍種別=4(再製原戸籍)を追加 ①戸籍構成員一覧(副本)表示 4.0 戸籍種別チェック
14		指摘事項管理表No.89		戸籍種別が電算化前と電算化後のチェック要件を修正 ①システム処理の概要説明 4. 副本記録情報検索の検索キー
15		指摘事項管理表No.91		戸籍種別を全て選択しない（全ての戸籍種別を検索対象とする）場合のチェック要件を記載 ①該当戸籍一覧表示(副本)表示 2.0 入力検索キーのチェック
16		指摘事項管理表No.92②		戸籍情報連携システムから受領する不受理申出情報の出張所に関する項目は日本語名称であるため、出張所コードを削除 ①不受理申出ファイル表示(副本) 1.0 不受理申出ファイル表示(副本)画面編集 ②不受理申出イメージ表示(副本) 2.0 不受理申出イメージ表示(副本)画面編集
17		指摘事項管理表No.93		不受理申出情報の画像情報取得の情報を修正 ①戸籍構成員一覧(副本)表示 1.0 中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成、5.0 中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成 ②不受理申出ファイル表示(副本) 0.0 本紙 ③不受理申出イメージ表示(副本) 1.0 WebAPI(IO230:画像等情報取得) ④個人状態ファイル表示(副本) 2.0 画像等情報取得
18				全ての画像情報を最初に取得して表示する仕様を、順次取得しても可とする修正 ①届書等情報表示 0.0 本紙、1.0 WebAPI(IO220:届書関連画像取得)、2.0 届書等情報表示画面編集 ②不受理申出イメージ表示(副本) 0.0 本紙、1.0 WebAPI(IO230:画像等情報取得)、2.0 不受理申出イメージ表示(副本)画面編集
19		－		指摘事項管理表No.24により名称が画面項目一覧表、ファイル仕様書等と合っていないものの修正 ①該当戸籍一覧表示(副本)表示 6.0 中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))作成、7.0 該当戸籍一覧(副本)編集 ②戸籍構成員一覧(副本)表示 1.0 中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成、2.0 戸籍構成員一覧(副本)編集

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
20				戸籍情報連携システム運用前は届書処理通番ファイルが存在しないことによる修正 ①受付ファイル検索 0.0_本紙
21	2.0 (2023.3.31版)	令和3年度申し送り事項一覧№4	「検索」処理	受理送付区分に「3:通知」が追加されたことに伴う修正 ①受付ファイル選択表示_5.0　入力検索キーのチェック
22		令和4年度研究事№7改製不適合戸籍追加		改製不適合戸籍の通知に伴う修正 ①システム処理の概要説明 A.個人検索　C.副本記録情報検索
23		外部インターフェイス仕様書の変更		外部インターフェイス仕様書の別紙２－２_電文設計書（Ｗｅｂサービス連携）の変更(0104版)に伴う修正 ①システム処理の概要説明 4. 副本記録情報検索の検索キーの遡り検索フラグの指定条件を修正
24	2.0 (2023.7.31版)	－	「検索」処理	振り仮名の法制化に伴う修正 ・システム処理の概要説明を修正 ・該当戸籍一覧表示_システム環境仕様書、0.0本紙、1.0別紙1 （検索処理）、3.0該当戸籍一覧編集処理、5.0入力検索キーのチェック、7.0入力検索キーのチェックを修正 ・戸籍構成員一覧表示_1.0中間ファイル(構成員一覧)作成、3.0中間ファイル(個人詳細)作成を修正 ・個人詳細表示_1.0個人詳細表示編集処理を修正 ・不受理申出ファイル表示_1.0不受理申出ファイル表示画面編集を修正 ・不受理イメージ申出表示_1.0不受理申出イメージ表示を修正 ・個人状態ファイル表示_1.0個人状態ファイル表示画面編集を修正 ・受付ファイル選択表示_システム環境仕様書、1.0別紙1(検索処理)、3.0受付ファイル選択画面表示、5.0入力検索キーのチェック、7.0入力検索キーのチェックを修正 ・受付ファイル検索_1.0受付ファイル検索画面編集を修正 ・該当戸籍一覧(副本)表示_システム環境仕様書、1.0入力検索キーのチェック、2.0入力検索キー、5.2副本記録情報検索、7.0該当戸籍一覧(副本)編集のチェックを修正 ・戸籍構成員一覧(副本)表示_1.0中間ファイル(構成員一覧)、5.0中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成を修正 ・個人詳細表示(副本)_1.0個人詳細表示編集処理を修正 ・不理申出ファイル表示(副本)_1.0不受理申出F表示編集を修正 ・不受理申出イメージ表示(副本)_2.0表示選択画面編集を修正 ・個人状態ファイル表示(副本)_1.0個人状態F表示編集を修正
32		ー		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ①個人状態ファイルから「破産宣告人区分」「犯歴区分」が削除されたことの対応 →個人詳細表示、個人状態ファイル表示

第7.2.(2)

「検索」処理

作業名

1. 検索処理
2. 検索選択
3. 該当戸籍一覧表示
4. 戸籍構成員一覧表示
5. 個人詳細表示
6. 不受理申出ファイル表示
7. 個人状態ファイル表示
8. 受付ファイル選択表示
9. 受付ファイル検索
10. 届書等情報表示
11. 該当戸籍一覧表示(副本)
12. 戸籍構成員一覧表示(副本)
13. 個人詳細表示(副本)
14. 不受理申出ファイル表示(副本)
15. 個人状態ファイル表示(副本)

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	検索処理					

1. 検索処理の概要

A.個人検索

・個人検索処理には、該当戸籍一覧表示、戸籍構成員一覧表示、個人詳細表示、個人状態表示、不受理申出表示がある
・該当戸籍一覧表示では、該当戸籍を表示選択し、戸籍構成員一覧表示では、該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する
・個人詳細表示及び個人状態ファイル表示、不受理申出ファイル表示では、選択された個人の各ファイルを検索して表示する
・該当戸籍一覧表示での検索項目は、本籍、氏名、振り仮名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり、当説明では、本籍、漢字氏名振り仮名、生年月日、筆頭者と称して5検索キーのみの説明を記す。
・不受理申出表示で不受理申出イメージを表示することができる。
・個人状態表示で胎児認知区分がある者は胎児認知届イメージを表示することができる。
・戸籍情報連携システムから通知される受信情報(F0070:異動処理状況)データから、該当の戸籍又は個人に対して異動処理状況を表示することができる。
本対応は任意設計とし、個人検索の仕様としてはPFキーによる処理遷移までを記載する。
・改製不適合戸籍の検索は、基本的に個人検索の対象とするが、それも含めた仕様は任意設計とする。
なお、「検索」処理以外の改製不適合戸籍の取扱いは、任意設計とする。

B. 受付検索

・受付検索には、受付ファイル選択、受付ファイル検索、届書等情報表示があり、受付ファイル選択で選択された受付ファイルの内容を受付ファイル検索で表示する
・受付ファイル選択での検索項目は、受付(受領)番号、氏名、振り仮名、生年月日、届書等の受領年月日、届出事件の種別、渉外事件であるかどうかの別、受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分であり、当説明では、受領番号、漢字氏名、振り仮名、生年月日、受領日、届出事件コード、渉外区分、受理送付区分、処分区分と称して説明を記す。
・届書等情報表示では、当該受付ファイルに紐付いた届書等情報をWebAPI(IO170:届書等情報取得)を利用して取得し、表示する。
本情報の届書画像処理履歴有無が有の場合、WebAPI(IO220:届書画像情報履歴取得)にて届書画像情報の履歴を取得し、イメージを表示することができる。
なお、検索処理で表示する届書等情報は戸籍情報連携システムから取得した情報とすること。
・戸籍情報連携システムから通知される受信情報(F0060:届書処理状況)データから、該当の受付ファイルに対する他市区町村の決裁状況を表示することができる。
本対応は任意設計とし、受付検索の仕様としてはPFキーによる処理遷移までを記載する。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	検索処理						

C.副本記録情報検索

・副本記録情報検索処理には、該当戸籍一覧(副本)、目的内利用確認、戸籍構成員一覧(副本)、個人詳細表示(副本)、個人状態表示(副本)、不受理申出表示(副本)がある。
・該当戸籍一覧(副本)では、該当戸籍の副本記録情報をWebAPI(I0020:副本記録情報検索)を利用して検索結果の一覧を取得し、表示して、戸籍を選択する。
・目的内利用確認では、該当戸籍一覧(副本)で行う検索行為が戸籍事務のための検索であることを確認し、検索の目的を選択する。選択した情報はWebAPI(I0010:業務利用目的送信(副本参照処理通番))への送信項目となる。副本記録情報検索の目的内利用確認は検索の都度行うこと。目的を確認できない場合には検索できないよう検索キー入力画面に戻る等の処理を行うこと。
・戸籍構成員一覧(副本)では、選択した戸籍の副本記録情報をWebAPI(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を利用して取得し、戸籍の構成員の情報を表示して、個人を選択する。また、全部事項イメージ又は電算化前の除籍等イメージのPDFファイルを表示する。WebAPI(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))は、WebAPI(I0020:副本記録情報検索)を用い取得した検索結果を表示し、ユーザーによって該当戸籍を選択する操作によって呼び出すこと。該当戸籍を選択した後の処理については、WebAPI(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))で取得した情報を基に行うこと。
・個人詳細表示(副本)、個人状態表示(副本)及び不受理申出表示(副本)では、戸籍構成員一覧(副本)で取得した副本記録情報から各情報を表示する。
・個人状態表示(副本)の胎児認知及び不受理申出表示(副本)の画像情報は、(I0230:画像等情報取得)を利用して取得する。
・該当戸籍一覧(副本)での検索項目は、検索対象市区町村、本籍、氏名、振り仮名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍種別の11項目である。詳細については本概要説明「4. 副本記録情報検索の検索キー」を参照のこと。
・検索を補完する項目として、記載字検索、遡り検索及び構成員等情報取得検索を行うことができる。仕様に関しては、WebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に従うこと。
・該当戸籍一覧(副本)では、異体字検索を行うことができる。また、通常検索及び異体字検索において、検索キーにワイルドカードを用いることができる。ただしワイルドカードについては、ワイルドカードを用いない検索を一度以上行った後に行うよう制御すること。
ワイルドカードの仕様に関しては、WebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に従うこと。
・戸籍構成員一覧(副本)において、戸籍種別が5～10である場合には、記録数、在籍数、戸籍事項、続柄、配偶、家、照、胎、不、注の項目は表示しない。
また、個人詳細表示(副本)に遷移しない。
・戸籍構成員一覧(副本)において、改製不適合区分が0以外の場合には、記録数、在籍数、戸籍事項、続柄、配偶、家、照、胎、不、注の項目は表示しない。
また、個人詳細表示(副本)に遷移しない。
なお、検索対象の改製不適合戸籍は戸籍種別=1(戸籍)で改製不適合戸籍区分=1(改製不適合戸籍(紙))又は2(改製不適合戸籍(磁気))であり、戸籍種別=90(改製不適合戸籍)は検索対象にはならない。

2. 留意点

・ロックがかかっている戸籍を検索した場合は、メッセージにてその旨を表示する(「第4-10(4) 異動検索処理」を参照のこと)。
副本記録情報検索においても同様であり、戸籍情報連携システムから渡される異動処理状況情報で判断する。なお、メッセージ表示ではなく画面項目を追加して表示しても構わない。
・戸籍DBを表示する操作であるのか、副本記録情報を表示する操作であるのかを判別できるよう画面表示等で工夫すること。
・戸籍情報連携システムから取得した各イメージを印刷する場合は、内部用帳票である旨の表示を施して出力すること。
・副本記録情報検索において、電算化前の除籍等を検索対象とする場合や検索結果が改製不適合戸籍の場合には、戸籍情報連携システムから取得する索引情報の項目によっては情報が設定されていない可能性があるが、この場合でもブランク表示とする等問題なく表示できること。
・検索処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	検索処理					

3. 各検索画面でのPFキー

共通処理

画面 / PFキー	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	
PF3	
PF4	
PF5	
PF6	
PF7	
PF8	
PF9	
PF10	
PF11	
PF12	
実行キー	該当戸籍一覧 受付ﾌｧｲﾙ選択 副本記録情報検索

A.個人検索

画面 / PFキー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出表示	個人状態表示
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3			前頁構成員		
PF4			次頁構成員		
PF5		該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧
PF6			前戸籍個人表示	不受理申出 イメージ表示	胎児認知届 イメージ表示
PF7	前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次頁表示	
PF9		異動処理状況	異動処理状況	個人詳細表示	個人詳細表示
PF10		戸籍項目前頁	不受理申出表示		不受理申出表示
PF11		戸籍項目次頁	個人状態表示	個人状態表示	
PF12	入力画面初期化				
実行キー	戸籍構成員一覧	個人詳細表示			

※PFキーは拡張して任意に設定が変更できる

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	検索処理

B. 受付検索

画面 / PFキー	受付ﾌｧｲﾙ選択	受付ﾌｧｲﾙ検索	届書等情報表示
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3		前履歴表示	
PF4		次履歴表示	
PF5		受付ﾌｧｲﾙ選択	受付ﾌｧｲﾙ検索
PF6			
PF7	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	次頁表示	
PF9		決裁状況表示	
PF10		届書等情報表示	各種イメージ表示
PF11			
PF12	入力画面初期化		
実行キー	受付ﾌｧｲﾙ検索		

※PFキーは拡張して任意に設定が変更できる

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	検索処理					

C.副本記録情報検索

画面 / PFキー	該当戸籍一覧(副本)	目的内利用確認	戸籍構成員一覧(副本)	個人詳細表示(副本)	不受理申出表示(副本)	個人状態表示(副本)
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3				前頁構成員		
PF4				次頁構成員		
PF5		該当戸籍一覧(副本)	該当戸籍一覧(副本)	戸籍構成員一覧(副本)	戸籍構成員一覧(副本)	戸籍構成員一覧(副本)
PF6					不受理申出イメージ表示	胎児認知届イメージ表示
PF7	前頁表示		構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示		構成員項目次頁	次頁表示	次頁表示	
PF9			全部事項イメージ/電算化前の除籍等イメージ表示 ※2		個人詳細表示(副本)	個人詳細表示(副本)
PF10			戸籍項目前頁 ※1 ※2	不受理申出表示(副本)		不受理申出表示(副本)
PF11			戸籍項目次頁 ※1 ※2	個人状態表示(副本)	個人状態表示(副本)	
PF12	入力画面初期化	入力画面初期化				
実行キー	戸籍構成員一覧(副本)	該当戸籍一覧(副本)	個人詳細表示(副本) ※1 ※2			

※1:戸籍種別コードが(5(除籍(電算化前))～10(再製原新改(平成改製原)):電算化前)の場合には無効とする。

※2:改製不適合区分が0以外の場合には無効とする。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	検索処理						

4. 副本記録情報検索の検索キー

副本記録情報検索における検索キーは、検索対象とする戸籍種別によりその必須の指定が異なる。以下に、選択する戸籍種別と当該戸籍種別を選択した時に指定が必須となる検索キー又は指定することができない検索キーの対応を示す。

凡例：◎必須指定、○1項目以上指定、●2項目以上指定、△任意指定、×指定不可

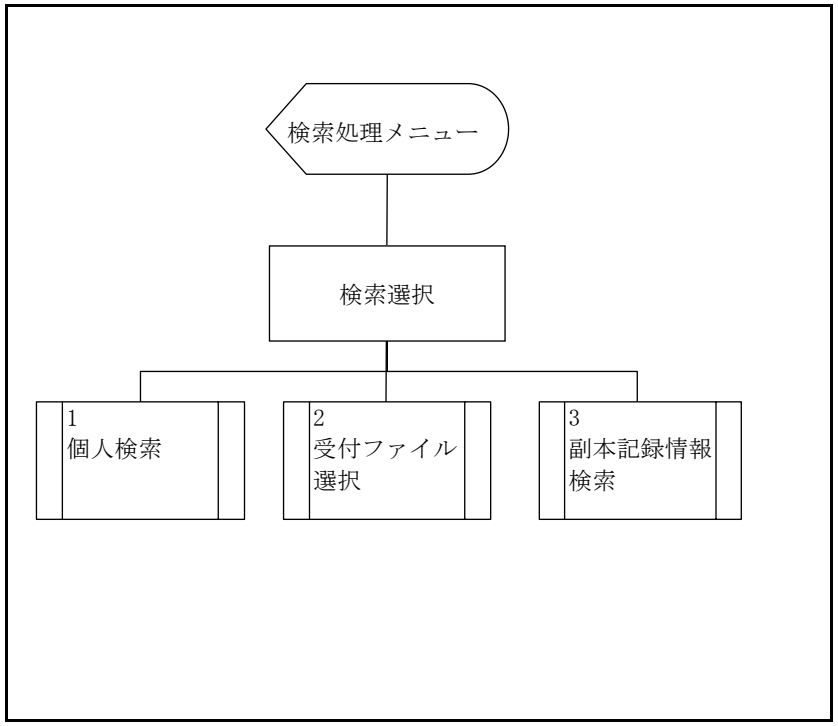
検索キー項目 ＼ 戸籍種別		検索対象市区町村	振り仮名	漢字氏名	本籍	生年月日	筆頭者	戸籍の編製日	戸籍の消除日	入籍日	除籍日	戸籍種別	記載字検索フラグ	遡り検索フラグ	構成員等取得フラグ
電算化後	戸籍	◎	○	○	△	◎	△	△	×	△	△	△	◎	△	◎
	除籍	◎	○	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	◎	△	◎
	改製原戸籍	◎	○	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	◎	△	◎
	再製原戸籍	◎	○	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	◎	△	◎
電算化前	除籍（電算化前）	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	△	◎
	司法大臣原戸籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	△	◎
	昭和改製原戸籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	△	◎
	平成改製原戸籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	△	◎
	再製原除籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	△	◎
	再製原新改	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	△	◎

なお、振り仮名、漢字氏名、本籍、筆頭者については前方一致で検索することができる。
また、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日については日付を指定せずに年月の一致で検索することができる。
戸籍種別については複数を選択可能であり、複数の「戸籍種別」を同時に選択した場合は、各々の入力要件とする。
※仕様の詳細はWebAPI「IO020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】を参照のこと。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	検索選択

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)検索処理選択番号の入力チェック
(2)個人検索、受付ファイル選択、副本記録情報検索に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データチェック(単体表)

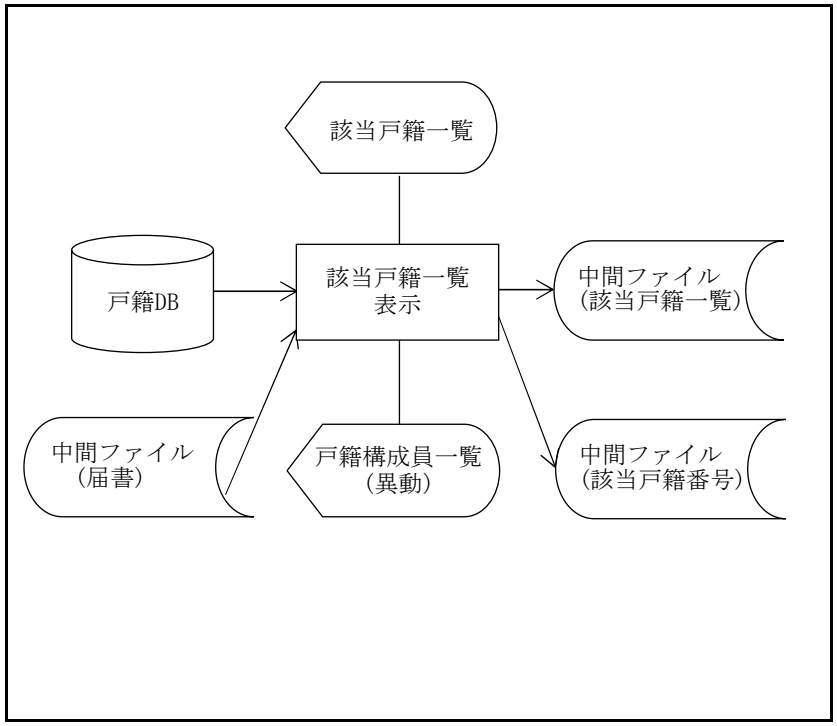
5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	検索選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)検索処理メニュー画面を出力する						/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)						/			
実行キー	(3)選択番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO)			[1.0]		/			
	YES	(4)選択番号(1～3)				/			
		1	(5)個人検索				(6)該当戸籍一覧表示に制御を渡す		
		2	(7)受付ファイル検索				(8)受付ファイル選択表示に制御を渡す		
		3	(9)副本記録情報検索				(10)該当戸籍一覧表示(副本)に制御を渡す		
	NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する					(12)同画面を編集する		
PF1	→						(13)業務選択に制御を渡す		
その他	(14)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する						(15)同画面を編集する		

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	検索選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 検索処理選択番号のチェック				検索処理メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～3であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル (該当戸籍一覧)	入出力		
中間ファイル (該当戸籍番号)	出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる戸籍DBの検索
- a.振り仮名(氏、氏名) ※従前の振り仮名含む
- b.漢字氏名(氏、氏名) ※従前の漢字氏名含む
- c.本籍地 (前方一致):各自治体の判断により異なる
- d.生年月日(前方一致)
- e.筆頭者 (氏名)

(2)該当戸籍の表示及び該当戸籍選択

(3)戸籍構成員一覧へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(検索)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当戸籍一覧))
- 3.0 データ編集表(該当戸籍一覧画面作成)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当戸籍番号))
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データチェック(単体表)
- 7.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

・振り仮名が未登録や履歴検索においてカナ氏名による検索は任意設計機能とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	該当戸籍一覧表示

処理名	0.0 本紙	備考

(1)該当戸籍一覧画面を出力する										/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF12、その他)										/			
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [5.0] [7.0]									/			
	YES	(4)振り仮名～筆頭者で検索する [1.0]								/			
		(5)0<検索人数<100か? (YES,NO)								/			MAX件数は任意
		YES	(6)該当戸籍一覧画面編集･出力する [3.0]							/			
			(7)キー選択(該当番号の入力 (実行キー)、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)							/			
			実行キー	(8)該当番号のチェック (OK:YES,NG:NO) [6.0]						/			
				YES	(9)中間ファイル (該当戸籍番号)を編集･出力する [4.0]						(10)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す		
				NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する						(12)同画面を編集する		
			PF1	→							(13)業務選択に制御を渡す		
			PF2	→							(14)検索選択に制御を渡す		
			PF7	(15)前ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)						/	(17)同画面を編集する		
				YES	(16)前ページ分の該当戸籍一覧画面編集								
				NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する								
			PF8	(19)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)						/			
				YES	(20)次ページ分の該当戸籍一覧画面編集								
				NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する								
			PF12	(22)入力画面を初期化する									
			その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する									
		NO	(24)検索人数＝0	エラーメッセージ 「該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する									
			(25)検索人数>99	エラーメッセージ 「該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する									
	NO	(26)エラーメッセージ 入力検索キーチェックにて編集したメッセージを表示する											
PF1	→										(27)業務選択に制御を渡す		
PF2	→										(28)検索選択に制御を渡す		
PF12	(29)入力画面を初期化する										(30)同画面を編集する		
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する												

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	該当戸籍一覧表示
処理名	1.0 別紙1 (検索処理)

					備考
(1)検索キー(振り仮名)の入力あるか			/		
YES	(2)振り仮名の名の入力あるか		/		
	YES	(3)振り仮名を検索キーとする	/		
	NO	(4)振り仮名の氏のみを検索キーとする	/		
NO	(5)振り仮名は検索キーとしない		/		
(6)検索キー(漢字氏名)の入力あるか			/		
YES	(7)漢字名の入力あるか		/		
	YES	(8)漢字氏名を検索キーとする	/		
	NO	(9)漢字氏のみを検索キーとする	/		
NO	(10)漢字氏名は検索キーとしない		/		
(11)検索キー(本籍地)の入力あるか			/		
YES	(12)本籍地を検索キーとする		/		
NO	(13)本籍地は検索キーとしない		/		
(14)検索キー(生年月日)の入力あるか			/		
YES	(15)生年月日は検索キーとする		/		
NO	(16)生年月日は検索キーとしない		/		
(17)検索キー(筆頭者)の入力あるか			/		
YES	(18)筆頭者を検索キーとする		/		
NO	(19)筆頭者は検索キーとしない		/		
(20)上記で指定した検索キーで戸籍DBを全件読み込む (振り仮名・漢字氏名は、旧氏名の場合もあるため、個人の氏名履歴全て対象とする)			/		履歴の検索においてカナ氏名の利用は任意設計機能
	(21)中間ファイル(該当戸籍一覧)に編集・出力する [2.0]		/		
(22)検索終了				(23)本紙へ	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示							
処理名	2.0 中間ファイル(該当戸籍一覧)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍一覧)	戸籍番号		戸籍DB戸籍特定	戸籍番号				
	本人氏名		戸籍DB氏名	漢字氏名				※最新の戸籍DB氏名よりセット
	筆頭者		戸籍DB戸籍特定	筆頭者				
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日				
	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日				
	消除日			消除日				
	除籍日		戸籍DB個人特定	除籍日				個人除区分が「2」(戸籍消除者)の場合のみall「-」(ハイフン)をセット
	本籍･住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	旧氏名表示		戸籍DB氏名					※検索した氏名が戸籍DB氏名の最新でない場合「1」をセット

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示							
処理名	3.0 該当戸籍一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
該当戸籍一覧画面	現ページ、総ページ							
	振り仮名		該当戸籍一覧画面	(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	本籍			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	筆頭者			(同項目)				
(本人氏名～本籍地) 最大1画面　5人	本人氏名　1～5		中間ファイル (該当戸籍一覧)	本人氏名				
	旧氏名表示1～5			旧氏名表示				1の場合「旧」をセット
	筆頭者　　1～5			筆頭者				
	生年月日　1～5			生年月日		有		
	編製日　　1～5			編製日		有		
	消除日　　1～5			消除日		有		
	除籍日　　1～5			除籍日		有		
	本籍地　　1～5			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	該当番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示							
処理名	4.0 中間ファイル(該当戸籍番号)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍番号)	戸籍番号		中間ファイル (該当戸籍一覧)	戸籍番号				

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示								
処理名				画面名		画面ID			
5.0 入力検索キーのチェック				該当戸籍一覧					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	振り仮名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	漢字氏名		漢字				
03	本籍		漢字	「管内本籍住所変換サブルーチン」			
04	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
05	筆頭者		漢字	氏、名共に入力があること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示						
処理名		画面名	画面ID				
6.0　該当番号のチェック		該当戸籍一覧					

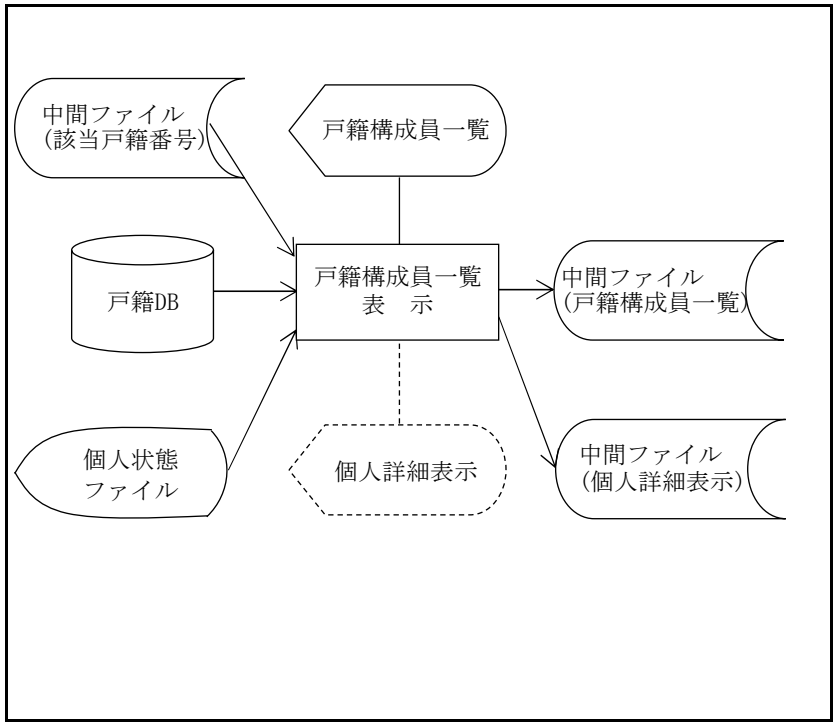
No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している該当戸籍のNo(MAX05)	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示						
処理名		画面名	画面ID				
7.0 入力検索キーのチェック		該当戸籍一覧					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1) 振り仮名、(NO.2) 漢字氏名、(NO.3) 本籍、(NO.4) 生年月日、(NO.5) 筆頭者のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	戸籍構成員一覧表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	中間ファイル (個人詳細表示)	出力
中間ファイル (該当戸籍番号)	入力		
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入出力		
個人状態ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当戸籍番号)の戸籍番号をキーに戸籍DB、個人状態ファイルを検索し、戸籍事項、個人事項等を編集する
(2)戸籍構成員の個人番号をキーに個人状態ファイルを読み込み編集する
(3)戸籍構成員一覧の表示及び個人詳細番号の選択
(4)選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する
(5)個人詳細表示へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(中間ファイル作成(戸籍構成員一覧))
- 2.0 データ編集表(戸籍構成員一覧画面作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル作成(個人詳細表示))
- 4.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	戸籍構成員一覧表示
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(該当戸籍番号)を読む			/		
(2)中間ファイル(該当戸籍番号)の戸籍番号をキーとして戸籍DBをよむ			/		
(3)戸籍DBの個人特定を全件読む			/		
	(4)戸籍DB.個人特定の個人番号をキーとして個人状態ファイルを読む		/		
	(5)中間ファイル(戸籍構成員一覧)に編集･出力する	[1.0]	/		
	(6)戸籍構成員一覧画面を編集する	[2.0]	/	(7)同画面を編集する	
(8)キー選択(詳細選択番号の入力(実行キー)、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF9、 PF10、 PF11、 その他)			/		
実行キー	(9)詳細選択番号のチェックをする(OK:YES, NG:NO)	[4.0]	/		
	YES (10)中間ファイル(戸籍構成員一覧)を全件読む		/		
		(11)中間ファイル(戸籍構成員一覧)を中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する [3.0]		(12)個人詳細表示に制御を渡す	
	NO (13)単体チェックにて編集したメッセージを表示する			(14)同画面を編集する	
PF1	→			(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(16)検索選択に制御を渡す	
PF5	→			(17)該当戸籍一覧表示に制御を渡す	
PF7	(18)戸籍構成員の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES (19)前ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			(20)同画面を編集する	
	NO (21)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(22)戸籍構成員の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES (23)次ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する				
	NO (24)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する				
PF9	→			(24-1)異動処理状況表示に制御を渡す	異動処理状況表示に関しては任意設計とし仕様は提示しない
PF10	(25)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES (26)前ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			(26-1)同画面を編集する	
	NO (27)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する				
PF11	(28)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES (29)次ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する				
	NO (30)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する				
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	13.0								
処理名	1.0　中間ファイル(構成員一覧)作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日					
	消除日			消除日					
	記録数		戸籍DB個人特定					個人特定の数	
	在籍数							個人特定中、在籍者の数	
	本籍･住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍･住所コード					
	本籍地番			本籍地番					
	筆頭者			筆頭者					
	戸籍事項コード		戸籍DB戸籍事項	戸籍事項コード				複数有り	
	戸籍事項			戸籍事項項目					
	個人番号		戸籍DB個人特定	個人番号					
	振り仮名		戸籍DB氏名	振り仮名				最新のもの	
	漢字氏名			漢字氏名					
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日					
	除籍日			除籍日				個人除区分が「2」(戸籍消除者)の場合のみall「-」(ハイフン)をセット	
	筆頭者区分			筆頭者区分					
	配偶者区分			配偶者区分					
	父			父					
	母			母					
	父母との続柄			父母との続柄					
	養父			養父					
	養母			養母					
	養父母との続柄			養父母との続柄					
	前個人番号			前個人番号					
	タイトルコード		戸籍DB身分事項	タイトルコード				複数有り	
	記載コード			記載コード					
	身分事項			身分事項				複数有り	
	家裁		個人状態	裁判所通知区分					

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	13.0							
処理名	1.0　中間ファイル(構成員一覧)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				証明業務での身分証明書発行検索でのみセット
	受理照会区分			受理照会区分				
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	メモ区分			メモ				メモにデータがあれば「1」をセット

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	2.0 戸籍構成員一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍構成員一覧画面	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項 1～6			戸籍事項				複数有り
	構成員SEQ番号 1～8							
	構成員漢字氏名 1～8		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	漢字氏名				
	構成員生年月日 1～8			生年月日		有		
	構成員除籍日 1～8			除籍日		有		
	構成員続柄 1～8			父母との続柄		有		
	構成員配偶者区分 1～8			配偶者区分		有		
	構成員裁判所通知有無 1～8			家裁				1の場合「*」
	構成員照会届出有無 1～8			受理照会区分				1の場合「*」
	構成員保留届出有無 1～8			保留区分				1の場合「*」
	構成員胎児認知有無 1～8			胎児認知区分				1の場合「*」
	構成員注意喚起有無 1～8			注意喚起区分				1、2の場合「*」
	構成員メモ有無 1～8			メモ区分				1の場合「*」
	詳細選択番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	3.0 中間ファイル(個人詳細)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (個人詳細表示)	選択区分							選択されたものに『1』セット
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録数				
	在籍数			在籍数				
	本籍･住所コード			本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	個人番号			個人番号				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	事件名			事件名				複数有り
	身分事項			身分事項				
	家裁			家裁				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	受理照会区分			受理照会区分				
	保留区分			保留区分				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	3.0 中間ファイル(個人詳細)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	メモ区分			メモ区分				

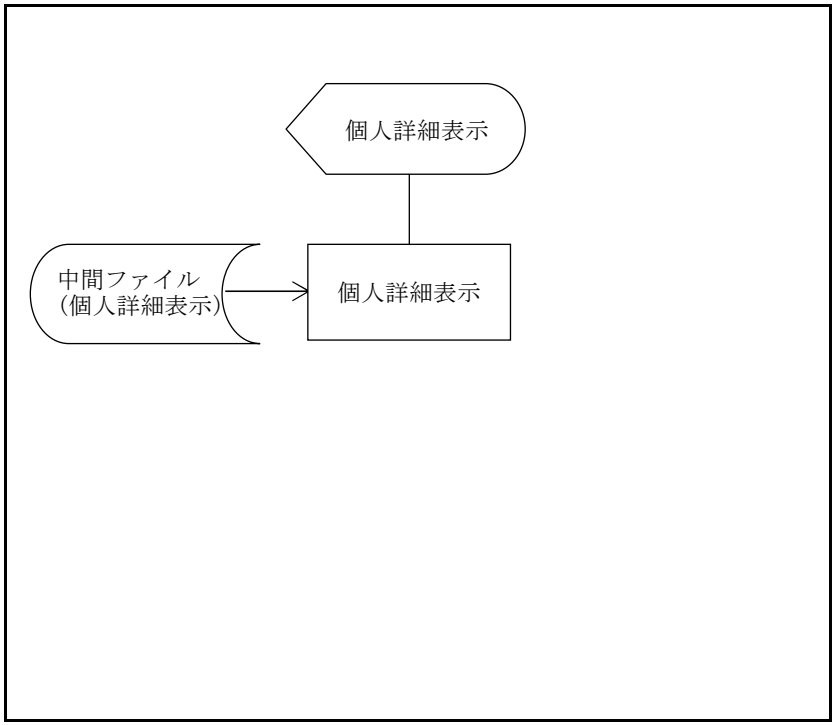
データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	戸籍構成員一覧表示						
処理名		画面名	画面ID				
4.0　詳細選択番号のチェック		戸籍構成員一覧					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号	○	数字	表示している構成員のNo(MAX08)	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	個人詳細表示

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)を読み込み、個人事項等を編集する
(2)個人詳細表示画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0 データ編集表(個人詳細表示画面作成)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人詳細表示						
処理名	0.0 本紙					備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む			/				
(2)個人詳細表示画面を編集･表示する [1.0]			/				
(3)キー選択 (PF1、PF2、PF3、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、その他)			/				
PF1	→			(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→			(5)検索選択に制御を渡す			
PF3	(6)一件前の中間ファイル(個人詳細表示)があるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(7)該当する中間ファイル(個人詳細表示)を読み(2)へ	/				
	NO	(8)エラーメッセージ 「この前には構成員がありません。」を表示する		(9)同画面を編集する			
PF4	(10)一件後の中間ファイル(個人詳細表示)があるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(11)該当する中間ファイル(個人詳細表示)を読み(2)へ	/				
	NO	(12)エラーメッセージ 「この後には構成員がありません。」を表示する					
PF6	(13)中間ファイル(個人詳細表示)の前個人番号にデータがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/			前戸籍個人表示(要件定義書省略)からの戻りは、頭初の個人詳細表示へ制御を渡す	
	YES	(14)前個人番号により前戸籍個人を検索し編集する					
	NO	(15)エラーメッセージ 「該当する戸籍はありません。」を表示する					
PF7	(16)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(17)前ページ分の個人詳細表示を編集する					
	NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(20)次ページ分の個人詳細表示を編集する					
	NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF9	→			(21-1)異動処理状況表示に制御を渡す		異動処理状況表示に関しては任意設計とし仕様は提示しない	
PF10	→			(22)不受理申出表示に制御を渡す			
PF11	→			(23)個人状態表示に制御を渡す			
その他	(24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(25)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人詳細表示							
処理名	1.0 個人詳細表示編集処理							

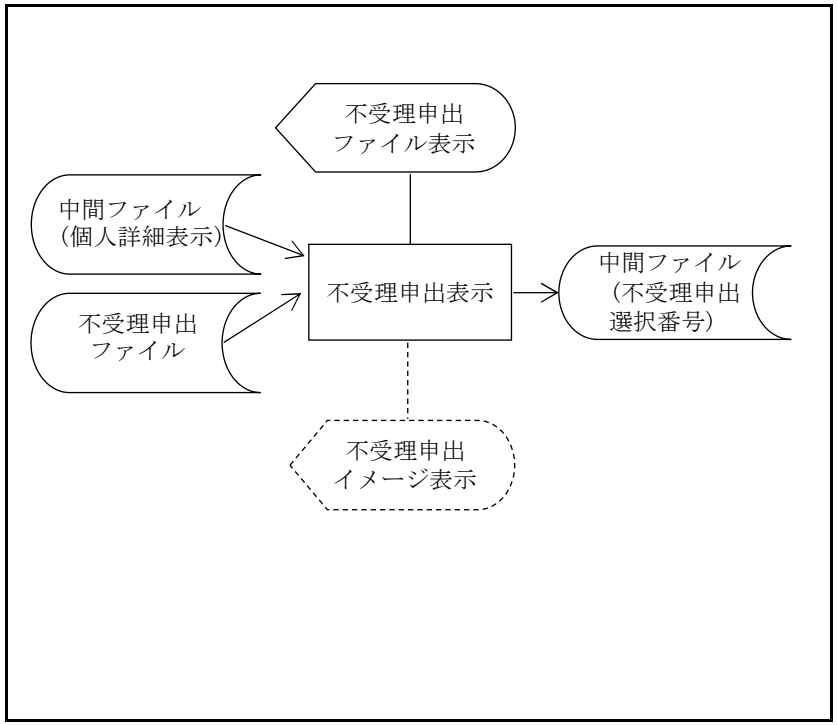
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人詳細表示画面	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (個人詳細表示)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	裁判所通知有無			家裁				1の場合「有」
	照会届出有無			受理照会区分				1の場合「有」
	保留届出有無			保留区分				1の場合「有」
	胎児届出有無			胎児認知区分				1の場合「有」
	注意喚起有無			注意喚起区分				1、2の場合「有」
	メモ有無			メモ区分				1の場合「有」
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	筆頭者表示			筆頭者区分				1の場合「筆頭者」
	配偶者区分表示			配偶者区分		有		
	父氏名			父				
	母氏名			母				
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父				
	養母氏名			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄		有		
	身分事項事件項番							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人詳細表示							
処理名	1.0 個人詳細表示編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	身分事項事件名		中間ファイル (個人詳細表示)	事件名		有		複数有り 事項証明書と同形式が基本であるが画面表示する場合で1身分事項内に限り、ベタ打ちを可とする
	身分事項記録項目			身分事項				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
不受理申出ファイル	入力		
中間ファイル (不受理申出選択番号)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し、
ファイルの内容等を編集する
(2)不受理申出ファイル表示画面の表示
(3)指定により不受理申出イメージ表示画面へ遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

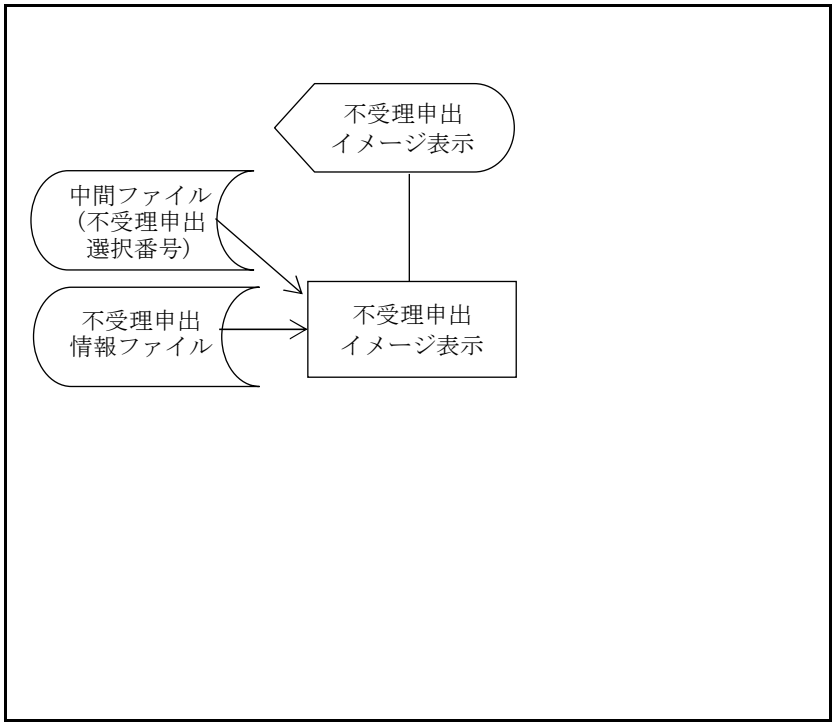
要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する (OK:YES,NG:NO) ※整理番号違いで複数件有り			/					
YES	(3)不受理申出ファイル表示画面を編集・表示する [1.0]		/					
NO	(4)エラーメッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する			(5)同画面を編集する				
(6)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF11、その他)			/					
PF1	→			(7)業務選択に制御を渡す				
PF2	→			(8)検索選択に制御を渡す				
PF5	→			(9)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す				
PF6	(9-1)選択番号に入力がない 又は 番号が範囲外である(YES,NO)		/					
	YES	(9-2)エラーメッセージ 「選択番号が誤りです。正しく入力して下さい。」を表示する		(9-3)同画面を編集する				
	NO	→		(9-4)不受理申出イメージ表示に制御を渡す				
PF7	(10)不受理申出の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/					
	YES	(11)前ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する		(12)同画面を編集する				
	NO	(13)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(14)不受理申出の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/					
	YES	(15)次ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する						
	NO	(16)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF9	→			(17)個人詳細表示に制御を渡す				
PF11	→			(18)個人状態表示に制御を渡す				
その他	(19)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(20)同画面を編集する				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出ファイル表示							
処理名	1.0 不受理申出ファイル表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出 ファイル表示画面	現ページ、総ページ		－	－				
	振り仮名		中間ファイル (個人詳細表示)	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
(整理番号～ 相手氏名2) 最大1画面 2件	項番 1～2		－	－				01から件数分表示する
	出張所番号 1～2		不受理申出ファイル	出張所番号				
	受理送付区分 1～2			受理送付区分				
	開始日 1～2			開始日		有		
	送付日 1～2			送付日		有		
	失効日 1～2			失効日		有		
	失効区分 1～2			失効区分		有		
	事件コード 1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ				
	事件名 1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ		有		
	相手氏名1 1～2			相手方氏名1				
	相手氏名2 1～2			相手方氏名2				
	不受理申出選択番号		－	－				

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(不受理申出選択番号)	入力		
不受理申出情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)不受理申出情報ファイルから該当の不受理申出情報を検索する
(2)指定により不受理申出イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(不受理申出イメージ表示画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(不受理申出選択番号)に該当するデータ　又は　前情報　又は　後情報を 不受理申出情報ファイルから読み込む				/			本籍人の場合は戸籍情報システムで保持している情報を表示する	
(2)不受理申出イメージ表示画面を編集･表示する [1.0]				/				
(3)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、その他)				/				
PF1	→				(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(5)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(6)不受理申出ファイル表示に制御を渡す			
PF6	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(8)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する			(9)同画面を編集する			
	NO	(10)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF7	(11)一件前の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(12)→(1)へ		/				
	NO	(13)エラーメッセージ　「不受理申出はありません。」を表示する			(14)同画面を編集する			
PF8	(15)一件後の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)→(1)へ		/				
	NO	(17)エラーメッセージ　「不受理申出はありません。」を表示する			(18)同画面を編集する			
その他	(19)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名	1.0　不受理申出イメージ表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出イメージ表示画面	振り仮名		不受理申出ファイル表示画面	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	項番			項番				
	出張所番号			出張所番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	事件コード			事件コード				
	事件名			事件名				
	相手氏名1			相手氏名1				
	相手氏名2			相手氏名2				
	不受理申出イメージ更新日		不受理申出情報ファイル	不受理申出イメージ更新日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可
	不受理申出イメージ 更新時間			不受理申出イメージ 更新時間				
	不受理申出イメージ 最終履歴番号			不受理申出イメージ 登録番号				
	不受理申出添付書面 イメージ更新日			不受理申出添付書面 イメージ更新日		有		
	不受理申出添付書面 イメージ更新時間			不受理申出添付書面 イメージ更新時間				
	不受理申出補正 イメージ更新日			不受理申出補正 イメージ更新日		有		
	不受理申出補正 イメージ更新時間			不受理申出補正 イメージ更新時間				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名	1.0　不受理申出イメージ表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	ｲﾒｰｼﾞ更新時間			ｲﾒｰｼﾞ更新時間				
	不受理申出取下 イメージ更新日			不受理申出取下 イメージ更新日		有		
	不受理申出取下 イメージ更新時間			不受理申出取下 イメージ更新時間				
	不受理申出補正内容			不受理申出補正情報				
	イメージ種別番号							
	表示履歴番号							

データチェック(単体表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目のチェック	不受理申出イメージ表示		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				

データチェック(関連表)	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3

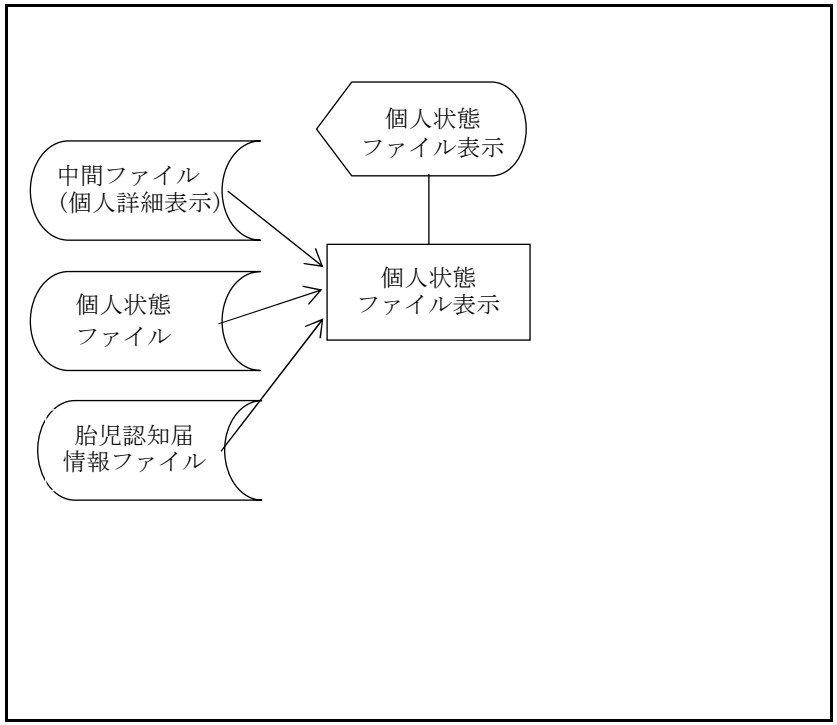
作業名	不受理申出イメージ表示

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	不受理申出イメージ表示		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(不受理申出)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦不受理申出イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面) 又は　3(不受理申出補正)　又は　4(不受理申出取下)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
個人状態ファイル	入力		
胎児認知届情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し、
ファイルの内容等を編集する
(2)個人状態ファイル表示画面の表示
(3)胎児認知区分がある場合該当の胎児認知届イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(個人状態ファイル表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

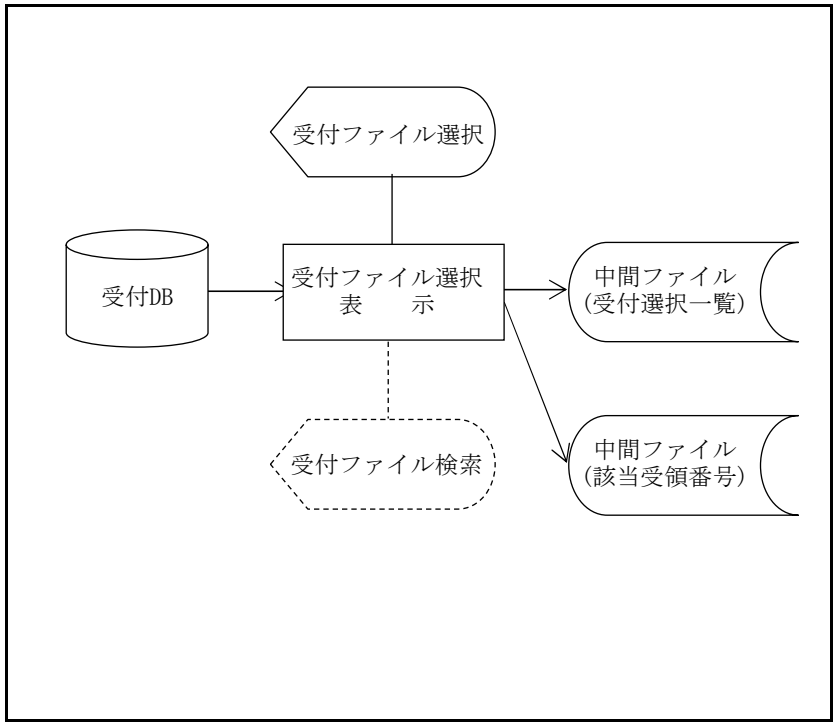
要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する(OK:YES,NG:NO)				/				
YES	(3)個人状態ファイル表示画面を編集･表示する [1.0]			/	(5)同画面を編集する			
NO	(4)エラーメッセージ 「個人状態はありません。」を表示する							
(6)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF9、PF10、その他)				/				
PF1	→				(7)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(8)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(9)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す			
PF6	(9-1)胎児認知区分=1(有)である(YES,NO)			/				
	YES	(9-2)該当の胎児認知届イメージを表示する			(9-3)同画面を編集する			
	NO	(9-4)メッセージ 「胎児認知届はありません。」を表示する						
PF9	→				(10)個人詳細表示に制御を渡す			
PF10	→				(11)不受理申出表示に制御を渡す			
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(13)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル表示							
処理名	1.0 個人状態ファイル表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人状態ファイル表示画面	振り仮名		中間ファイル (個人詳細表示)	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合 全ての項目へ0(ゼロ)をセット
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理･処理照会区分			受理処理照会区分				
	保留区分			保留区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	氏の振り仮名職権記録区分			氏の振り仮名職権記録区分				
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				
	メモ			メモ				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル選択表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力		
中間ファイル (受付選択一覧)	入出力		
中間ファイル (該当受領番号)	出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる受付DBの検索
- a.受領番号(7桁):受付DBの受付番号の3～9桁
- b.受付日　　※範囲指定の検索も可能
- c.処分区分
- d.振り仮名(氏、氏名)
- e.漢字氏名(氏、氏名}
- f.受付事件
- g.渉外区分
- h.生年月日
- i.受理･送付区分

(2)受付ファイル選択の表示及び事件番号選択
(3)受付ファイル検索へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(検索)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(受付選択一覧))
- 3.0 データ編集表(受付ファイル選択画面作成)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当受領番号))
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データチェック(単体表)
- 7.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	受付ファイル選択表示

処理名	0.0 本紙														備考
(1)受付ファイル選択画面を出力する														/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF12、その他)														/	
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [5.0] [7.0]													/	
	YES	(4)受領番号～渉外区分で受付DBを検索する [1.0]												/	
		(5)0<検索人数<100か?(YES,NO)												/	
		YES	(6)受付ファイル選択面面を編集･表示する [3.0]											/	
			(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー)、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)											/	
			実行キー	(8)該当番号のチェック(OK:YES,NG:NO) [6.0]										/	
				YES	(9)中間ファイル(該当受領番号)を編集･出力する [4.0]										(10)受付ファイル検索に制御を渡す
				NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する										(12)同画面を編集する
			PF1	→											(13)業務選択に制御を渡す
			PF2	→											(14)検索選択に制御を渡す
			PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)										/	
				YES	(16)前ページ分の受付ファイル選択画面編集										(17)同画面を編集する
				NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する										
			PF8	(19)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)										/	
				YES	(20)次ページ分の受付ファイル選択面面編集										
				NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する										
			PF12	(22)入力画面を初期化する											
			その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する											
		NO	(24)検索人数=0	エラーメッセージ 「該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する										
			(25)検索人数>99	エラーメッセージ 「該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する											
	NO	(26)エラーメッセージ 入力検索キーのチェックにて編集したメッセージを表示する													
PF1	→														(27)業務選択に制御を渡す
PF2	→														(28)検索選択に制御を渡す
PF12	(29)入力画面を初期化する														(30)同画面を編集する
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する														

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	受付ファイル選択表示
処理名	1.0 別紙1 (検索処理)

					備考
(1)検索キー(受領番号)の入力があるか			/		
YES	(2)受領番号を検索キーとする		/		
NO	(3)受領番号は検索キーとしない		/		
(4)検索キー(受付日)の入力があるか			/		
YES	(5)受付日を検索キーとする		/		
NO	(6)受付日を検索キーとしない		/		
(7)検索キー(処分区分)の入力があるか			/		
YES	(8)処分区分を検索キーとする		/		
NO	(9)処分区分を検索キーとしない		/		
(10)検索キー(振り仮名)の入力があるか			/		
YES	(11)振り仮名の名の入力があるか		/		
	YES	(12)振り仮名を検索キーとする	/		
	NO	(13)振り仮名の名のみを検索キーとする	/		
NO	(14)振り仮名を検索キーとしない		/		
(15)検索キー(漢字氏名)の入力があるか			/		
YES	(16)漢字名の入力があるか		/		
	YES	(17)漢字氏名を検索キーとする	/		
	NO	(18)漢字氏のみを検索キーとする	/		
NO	(19)漢字氏名を検索キーとしない		/		
(20)検索キー(受付事件)の入力があるか			/		
YES	(21)受付事件を検索キーとする		/		
NO	(22)受付事件を検索キーとしない		/		
(23)検索キー(渉外区分)の入力があるか			/		
YES	(24)渉外区分を検索キーとする		/		
NO	(25)渉外区分を検索キーとしない		/		
(25-1)検索キー(生年月日)の入力があるか			/		
YES	(25-2)生年月日を検索キーとする		/		
NO	(25-3)生年月日を検索キーとしない		/		
(25-4)検索キー(受理･送付区分)の入力があるか			/		
YES	(25-5)受理･送付区分を検索キーとする		/		
NO	(25-6)受理･送付区分を検索キーとしない		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	受付ファイル選択表示			
処理名	1.0 別紙1 (検索処理)			備考
(26)上記で指定した検索キーで受付DBを全件読み込む 但し、検索キー(受領番号)以外では、決裁区分:欠番は対象外とする		/		
(27)中間ファイル(受付選択一覧)に編集・出力する [2.0]		/		
(28)検索終了			(29)本紙へ	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付ファイル選択表示							
処理名	2.0 中間ファイル(受付選択一覧)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (受付選択一覧)	受領番号		受付DB	受領番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	処分区分			処分区分				「受理」の時はブランク
	決裁区分			決裁区分				「決裁」の時はブランク
	受付日			受付日				
	事件コード			受付事件コード				
	渉外区分			渉外区分				
	事件本人漢字氏名		受付DB事件本人	事件本人漢字氏名				

注)受付DBの受領番号は枝番で履歴管理しているため、最新のデータを対象とし、該当するデータを移す。

但し、処分区分「誤処理」での検索の場合のみ、すべてのデータを対象とし、該当するデータをそのまま移す。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル選択表示							
処理名	3.0 受付ファイル選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付ファイル 選択画面	現ページ、総ページ							
	受領番号		受付ファイル 選択画面	(同項目)				
	受付日1			(同項目)				
	受付日2			(同項目)				
	処分区分			(同項目)				
	処分名称			処分区分		有		
	振り仮名			(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	届出事件コード			(同項目)				
	届出事件名称			届出事件コード		有		
	生年月日			(同項目)				
	受理送付区分			(同項目)				
	渉外区分			(同項目)				
	渉外区分名							渉外区分より変換 0:(日本人)、2:渉外、3:外国人
(処分区分表示 ～ 事件本人漢字氏名) 最大1画面 6人	処分区分表示 1～6		中間ファイル (受付選択一覧)	処分区分		有		
	事件名 1～6			事件コード		有		
	受理送付区分 1～6			受理送付区分		有		
	本籍非本籍区分1～6			本非区分		有		
	渉外区分名称 1～6			渉外区分		有		
	受付日 1～6			受付日		有		
	決裁区分 1～6			決裁区分		有		
	受付番号 1～6			受領番号				3桁目以降を表示する
	事件本人漢字氏名1～6			事件本人漢字氏名				
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付ファイル選択表示							
処理名	4.0 中間ファイル(該当受領番号)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当受領番号)	受領番号		中間ファイル (受付選択一覧)	受領番号				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル選択表示						
処理名		画面名	画面ID				
5.0 入力検索キーのチェック		受付ファイル選択画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	受領番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	受付日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
03	受付日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			
04	処分区分		数字	1(受理)～ 9(誤処理)であること			
05	振り仮名		漢字				
06	漢字氏名		漢字				
07	届出事件コード		数字	受付事件コードの頭2桁であること			
07-1	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
07-2	受理送付区分		数字	ブランク、1(受理)、2(送付)、3(通知)であること			
08	渉外区分		数字	0(日本人のみ)～ 2(外国人のみ)であること			

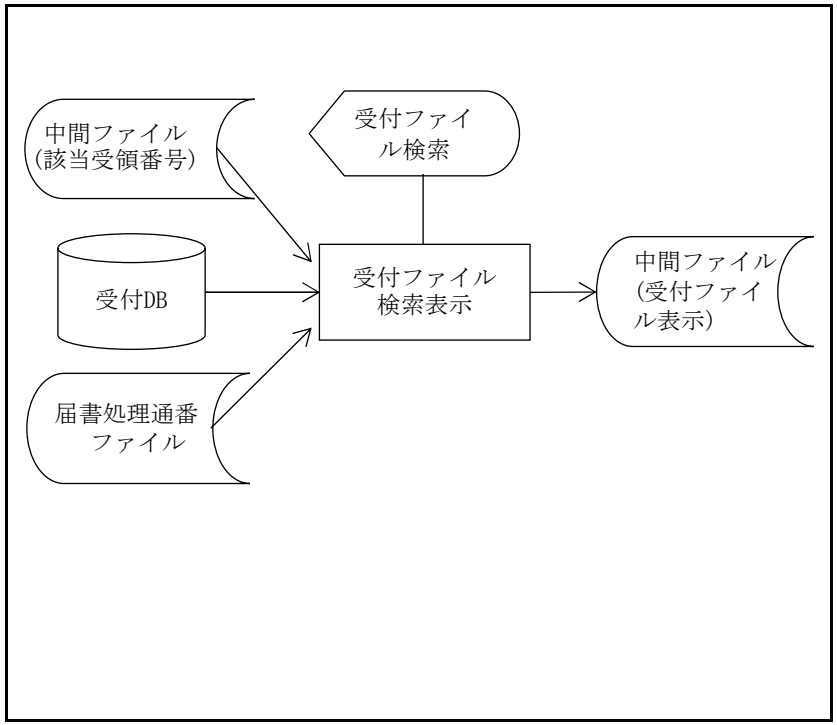
データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル選択表示								
処理名				画面名	画面ID				
6.0　該当番号のチェック				受付ファイル選択画面					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している事件のNo(MAX06)		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル選択表示						
処理名		画面名	画面ID				
7.0 入力検索キーのチェック		受付ファイル選択画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(No.1)受領番号、(No.2)受付日1、(No.4)処分区分、(No.5)振り仮名、(No.6)漢字氏名、(No.7-1)生年月日のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル検索					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (該当受領番号)	入力	中間ファイル (受付ファイル表示)	出力
受付DB	入力		
届書処理通番ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーに受付DBを検索し、DBの内容等を編集する

(2)受付ファイル検索画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(受付ファイル検索画面の編集)
　　└ 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(受付ファイル表示))

5.備考(特記事項含む)

受付ファイル検索画面の「発送日」の名称は、受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
届書等情報送信区分が1の場合:「送信日」
それ以外又は届書処理通番ファイルが無い場合:「発送日」と表示する。

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル検索							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(該当受領番号)を読む				/				
(2)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーとして受付ファイルを検索する				/				
(3)受付ファイル検索画面を編集･表示する [1.0]				/				
(4)キー選択(PF1、PF2、PF3、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、PF10、その他)				/				
PF1	→				(5)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(6)検索選択に制御を渡す			
PF3	(7)前履歴分の受付ファイルはあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(8)該当する受付ファイルを検索し、(3)へ		/				
	NO	(10)エラーメッセージ 「この前の履歴はありません。」を表示する。			(9)同画面を編集する			
PF4	(11)次履歴分の受付ファイルはあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(12)該当する受付ファイルを検索し、(3)へ		/				
	NO	(13)エラーメッセージ 「この後の履歴はありません。」を表示する。						
PF5	→				(14)受付ファイル選択表示に制御を渡す			
PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)前ページ分の受付ファイル検索画面編集		/				
	NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する			(17)同画面を編集する			
PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(20)次ページ分の受付ファイル検索画面編集		/				
	NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF9	→				(21-1)決裁状況表示に制御を渡す		決裁状況(F0060-S01)表示に関しては任意設計とし仕様は提示しない	
PF10	(22)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーとして届書処理通番ファイルを検索する			/			戸籍情報連携システム運用前はファイルが存在しない	
	(22-1)届書処理通番ファイルがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(23)中間ファイル(受付ファイル表示)を作成する [2.0]		/				
		→			(24)届書等情報表示に制御を渡す			
	NO	(24-1)エラーメッセージ 「該当のデータはありません」を表示する			(24-2)同画面を編集する			
その他	(25)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(26)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル検索							
処理名	1.0 受付ファイル検索画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付ファイル 検索画面	現ページ、総ページ							
	受領番号		受付DB	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	時分			事件発生時分				
	決裁区分			決裁区分		有		
	出張所			出張所番号				
	発送日名称						受領番号で届書処理通番ファイルを検索 届書等情報送信区分=1:「送信日」を表示 それ以外又は届書処理通番ファイルが無い: 「発送日」を表示	
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		但し、1:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
	関連受領番号 1～5			関連受領番号				
(事件本人区分 ～ 本籍) 最大1画面 2人	事件本人区分 1～2		受付DB事件本人	事件本人区分		有		
	届出人区分 1～2							事件本人=届出人の場合 「届出人」を表示
	振り仮名 1～2			事件本人振り仮名				
	漢字氏名 1～2			事件本人漢字氏名				
	生年月日 1～2			生年月日		有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル検索							
処理名	1.0 受付ファイル検索画面編集							

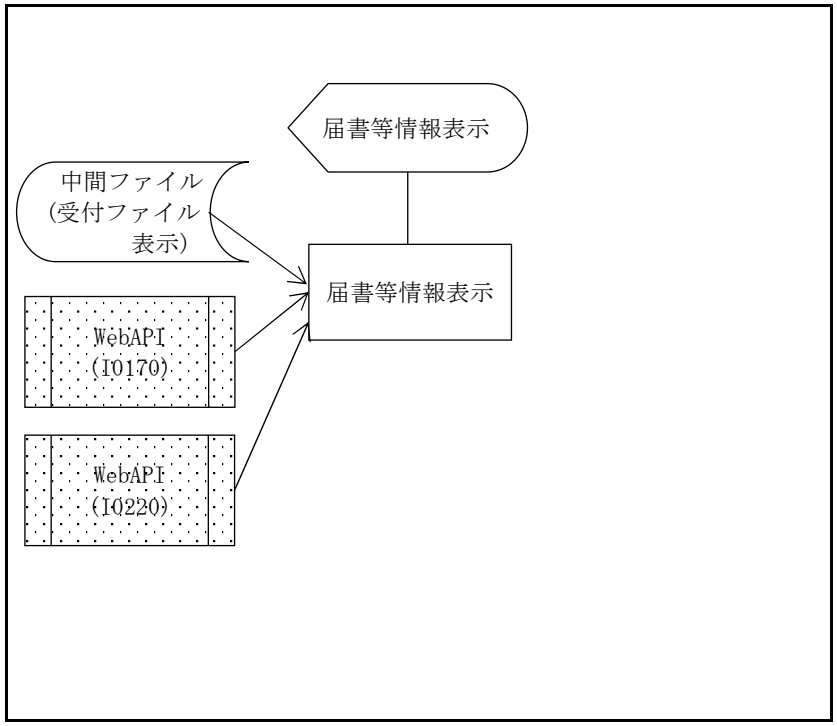
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達1	1		受付DB	送達確認1				最初の事件本人に移送する
	送達2	1～2		受付DB事件本人	送達確認2				
	本籍	1～2		受付DB	事件本人本籍地				'本籍地△筆頭者'で編集
	筆頭者	1～2			事件本人筆頭者				
	届出人1資格				届出人資格区分1		有		
	届出人1氏名				届出人氏名1				
	届出人2資格				届出人資格区分2		有		
	届出人2氏名				届出人氏名2				
	届後本籍	(*1)			届後本籍地(死亡の場合、内容は'死亡日時')				(*1)死亡の場合、受付DBの届後本籍地に'死亡日時'がセットされているため、画面タイトルを「死亡日時」とする。
	筆頭者				届後戸籍の筆頭者				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	受付ファイル検索							
処理名	2.0 中間ファイル(受付ファイル表示)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (受付ファイル表示)	受領番号		受付DB	受領番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
	事件コード			事件コード				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	本非区分			本非区分				
	発日			発日				
	収日			収日				
	許可日			許可日				
	渉外区分			渉外区分				
	指示日			指示日				
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				
	届書処理通番		届書処理通番	届書処理通番				

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(受付ファイル表示)	入力		
WebAPI(I0170)	入力		
WebAPI(I0220)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番をキーにWebAPI(I0170:届書等情報取得)、(I0220:届書関連画像取得)を呼び出す
(2)届書等情報表示画面を編集し、表示する
(3)指定により届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージ、申入書イメージの各イメージデータを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(WebAPI(I0220:届書関連画像取得))
- 2.0 データ編集表(届書等情報表示画面編集)
- 3.0 データチェック(単体表)
- 4.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

届書等情報表示画面の「発送日」の名称は、受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
届書等情報送信区分が1の場合:「送信日」
それ以外又は届書処理通番ファイルが無い場合:「発送日」と表示する。

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	届書等情報表示			
処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番をキーとして WebAPI(IO170:届書等情報取得)を呼び出す		/		
(2)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番をキーとして WebAPI(IO220:届書関連画像取得)を呼び出す(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	/		届書(履歴)、申入書画像(失効分)、申入書画像(履歴)を全て入手する ※関連画像については初期取得せず、操作者の指示に従い(PFキー等)取得・表示しても良い
YES (3)届書等情報表示画面を編集・表示する	[2.0]		(5)同画面を編集する	
NO (4)エラーメッセージ 「該当のデータはありません」を表示する				
(6)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF10、その他)		/		
PF1 →			(7)業務選択に制御を渡す	
PF2 →			(8)検索選択に制御を渡す	
PF5 →			(9)受付ファイル検索に制御を渡す	
PF7 (10)1件前の申入書があるか?(ある:YES,なし:NO)		/		
YES (11)1件前の申入書情報を画面に表示する→(3)		/		
NO (12)メッセージ 「情報はありません。」を表示する			(13)同画面を編集する	
PF8 (14)1件後の申入書があるか?(ある:YES,なし:NO)		/		
YES (15)1件後の申入書情報を画面に表示する→(3)		/		
NO (16)メッセージ 「情報はありません。」を表示する			(17)同画面を編集する	
PF10 (18)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO)	[3.0][4.0]	/		
YES (19)イメージ種別番号＝1(届書) 又は 4(申入書)である(YES,NO)		/		
YES (19-1)イメージ種別番号＝1(届書)の時、届書イメージ更新日≠スペース 又はメージ種別番号＝4(届書)の時、申入書イメージ更新日≠スペースである(YES,NO)		/		
YES (19-2)イメージ種別番号、表示履歴番号の画像を表示する			(20)同画面を編集する	
NO (19-3)メッセージ 「画像情報はありません。」を表示する				
NO (19-4)イメージ種別番号の画像を表示する				
NO (21)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する				
その他 (22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示							
処理名	1.0 WebAPI(IO220:届書関連画像取得)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO220-R01: 届書等関連画像情報の照会要求)	届書処理通番		中間ファイル (受付ファイル表示)	届書処理通番				
	届書等関連画像情報取得区分							下記区分を順に設定して全ての画像情報を取得する 「00:届書画像(履歴)」 「10:申入書画像(失効分)」 「12:申入書画像(履歴)」 ※操作者の指示(PFキー等)に従い、個別に取得しても良い

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示							
処理名	2.0　届書等情報表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書等情報表示画面	受領番号		中間ファイル (受付ファイル表示)	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付区分			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	決裁区分			決裁区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	発送日名称						受領番号で届書処理通番ファイルを検索 届書等情報送信区分=1:「送信日」を表示 それ以外又は届書処理通番ファイルが無い: 「発送日」を表示	
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		但し、0:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				
	届書イメージ更新日		WebAPI(I0220-S01: 届書等関連画像情報 の照会要求結果)	届書PDF更新年月日		有		最新の情報を表示する ※関連画像を初期取得しない場合 は、WebAPI(I0170-S01:届書等情報の 照会要求結果)の情報で編集する
	届書イメージ更新時間			届書PDF更新時分秒				
	届書イメージ最終履歴番号			届書画像情報履歴番号				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示								
処理名	2.0　届書等情報表示画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届書添付書面イメージ更新日			届書添付書面PDF更新年月日		有			
	届書添付書面イメージ時間			届書添付書面PDF更新時分秒					
	届書補正イメージ更新日			届書補正PDF更新年月日		有			
	届書補正イメージ更新時間			届書補正PDF更新時分秒					
	申入書イメージ更新日			申入書PDF更新年月日		有			
	申入書イメージ更新時間			申入書PDF更新時分秒					
	申入書イメージ最終履歴番号			申入書画像情報履歴番号					
	申入書情報表示番号			申入書情報連番					
	申入書情報総数			申入書情報連番(最後)				最後のデータの申入書情報連番	
	届書補正内容		WebAPI(I0170-S01:届書等情報の照会要求結果)	届書補正情報					
	イメージ種別番号								
	表示履歴番号								

データチェック(単体表)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報表示							
処理名			画面名		画面ID			
3.0　入力項目のチェック			届書等情報表示					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字					

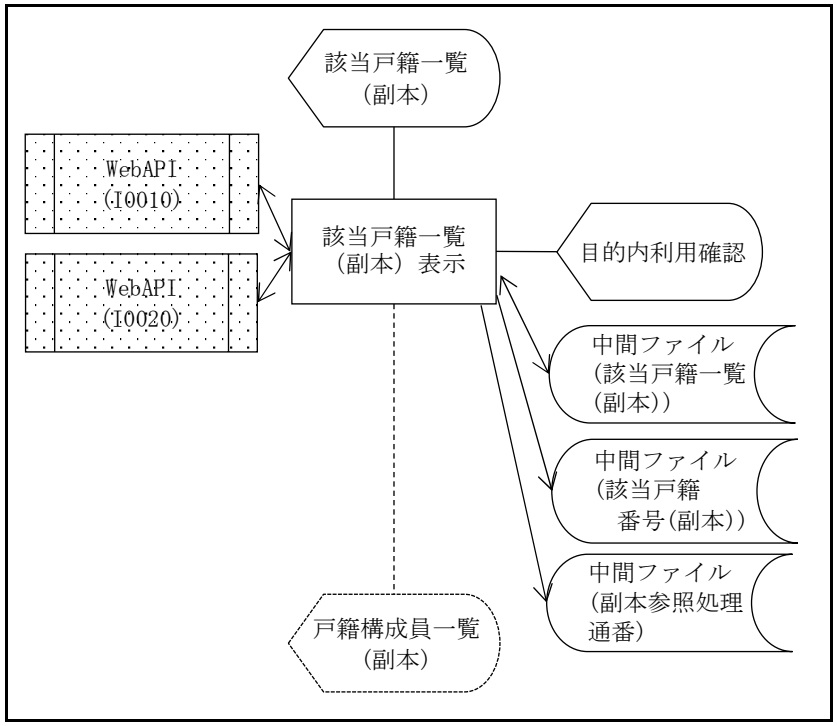
データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報表示						

処理名	画面名	画面ID	
4.0　入力項目のチェック	届書等情報表示		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号＝1(届書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦届書イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号＝4(申入書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦申入書イメージ最終履歴番号であること			
03	(NO.1)イメージ種別番号＝2(添付書面)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペース　かつ　添付書面イメージ更新日≠スペースであること			
04	(NO.1)イメージ種別番号＝3(届書補正)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペース　かつ　届書補正イメージ更新日≠スペースであること			

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
WebAPI(I0010)	入力	中間ファイル(副本参照処理通番)	出力
WebAPI(I0020)	入力		
中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))	入出力		
中間ファイル(該当戸籍番号(副本))	出力		

3.処理概要

(1)検索キー入力後、目的内利用確認画面を表示する
(2)目的内利用であることを確認し、入力した検索キーでWebAPI(I0020:副本記録情報検索)を呼び出す
a.振り仮名
b.漢字氏名
c.本籍
d.生年月日
e.筆頭者
f.戸籍の編製日
g.戸籍の消除日
h.入籍日
i.除籍日
j.検索対象市区町村
k.戸籍種別
l.記載字検索フラグ
m.遡り検索フラグ
n.構成員等取得フラグ
(3)該当戸籍一覧を表示し、該当戸籍を選択する
(4)戸籍構成員一覧(副本)へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表：入力検索キー)
- 2.0 データチェック(関連表：入力検索キー)
- 3.0 データチェック(単体表：検索目的)
- 4.0 データチェック(関連表：検索目的)
- 5.0 データ編集表(業務利用目的送信(副本参照処理通番))
- 5.1 データ編集表(中間ファイル(副本参照処理通番))
- 5.2 データ編集表(副本記録情報検索)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル作成/該当戸籍一覧(副本))
- 7.0 データ編集表(該当戸籍一覧(副本)画面)
- 8.0 データチェック(単体表：該当番号)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル作成/該当戸籍番号(副本))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)該当戸籍一覧(副本)画面(検索キー入力)を出力する						/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF12、その他)						/	
実行キー	(3)ワイルドカードを使用していない　又は　ワイルドカードを使用せず一度以上検索してからワイルドカードを使用しているか？(YES,NO)					/	
	YES	(4)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0][2.0]				/	
		YES	(5)目的内利用確認画面を表示する			/	目的IDの設定については、「外部インターフェイス仕様書_別紙２－１　5 目的IDの入力仕様」を参照のこと
			(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)			/	
			実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]		/	
				YES	(8)検索目的確認=1(はい)である(YES,NO)	/	
					YES (9)→(22)へ	/	
					NO (10)エラーメッセージ「戸籍事務以外での利用はできません。」を表示する		(11)目的内利用確認画面を表示する
				NO	(12)単体チェック・関連チェックにて編集したメッセージを表示する		
			PF1	→			(13)業務選択に制御を渡す
			PF2	→			(14)検索選択に制御を渡す
			PF5	(15)→(2)へ		/	
			PF12	(16)入力画面を初期化する			(17)目的内利用確認画面を編集する
			その他	(18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
		NO	(19)単体チェック・関連チェックにて編集したメッセージを表示する				(20)同画面を編集する
	NO	(21)エラーメッセージ「ワイルドカードは、ワイルドカードを使用せずに一度以上検索を実行してから使用してください。」を表示する。					
	(22)WebAPI(I0010:業務利用目的送信(副本参照処理通番))を呼び出す [5.0]					/	
	(22-1)WebAPI(I0010:業務利用目的送信(副本参照処理通番))結果 (OK:YES,NG:NO)					/	
	YES	(22-2)中間ファイル(副本参照処理通番)を編集・出力する [5.1]				/	
	NO	(22-3)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する					(22-4)同画面を編集する
	(23)中間ファイル(副本参照処理通番)で検索対象市区町村コード～遡り検索フラグをキーにWebAPI(I0020:副本記録情報検索)を呼び出す [5.2]					/	
	(24)WebAPI(I0020:副本記録情報検索)結果 (OK:YES,NG:NO)					/	
	YES	(25)中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))を編集・出力する [6.0]				/	

要件定義ワークシート				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示								
処理名	0.0 本紙							備考	
		(26)該当戸籍一覧(副本)画面を編集・出力する [7.0]			/			異動処理状況情報に該当する場合はメッセージ表示等の対応を行う	
		(27)キー選択 (該当番号の入力 (実行キー)、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)			/				
		実行キー	(28)該当番号のチェック (OK:YES,NG:NO) [8.0]		/				
			YES	(29)中間ファイル (該当戸籍番号(副本))を編集・出力する [9.0]		(30)戸籍構成員一覧表示(副本)に制御を渡す			
			NO	(31)単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(32)同画面を編集する			
		PF1	→			(33)業務選択に制御を渡す			
		PF2	→			(34)検索選択に制御を渡す			
		PF7	(35)前ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		/				
			YES	(36)前ページ分の該当戸籍一覧(副本)画面を編集する		(37)同画面を編集する			
			NO	(38)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
		PF8	(39)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		/				
			YES	(40)次ページ分の該当戸籍一覧(副本)画面を編集する					
			NO	(41)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
		PF12	(42)入力画面を初期化する			(43)同画面を編集する			
		その他	(44)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(45)同画面を編集する			
	NO	(46)WebAPI(I0020:副本記録情報検索)の結果			/				
			0件	(48)エラーメッセージ 「該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する				(47)(49)(51)削除(R3版)	
			上限値	(50)エラーメッセージ 「該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する					
			不正利用	(52)エラーメッセージ 「検索結果を表示できません (結果コード) 。」を表示する					
PF1	→					(53)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(54)検索選択に制御を渡す			
								PF9(異体字検索)を記載字検索フラグとして画面入力仕様(実行キー対応)に変更したため、PF9の処理(55)～(105)を削除する(R3版)	
PF12	(106)入力画面を初期化する					(106-1)同画面を編集する			
その他	(107)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								

データチェック(単体表)	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	検索対象市区町村コード	○	数字	「住所(市区町村)チェックサブルーチン」 管外の市区町村コードであること。	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	振り仮名		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
03	漢字氏名		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
04	本籍		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
05	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」 年月日の省略がないこと			情報連携システムへは和暦形式で渡す
06	筆頭者		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
07	戸籍の編製日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			情報連携システムへは和暦形式で渡す 仕様は外部インターフェイス仕様書別紙2-1「3 日付項目の入力仕様」参照
08	戸籍の消除日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			
09	入籍日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			
10	除籍日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			
11	戸籍種別　1～9		英数	(0:無、1:有、空白)であること			コード一覧の戸籍種別「3:改製原戸籍」は検索対象外 戸籍種別3以降がコード一覧の4以降になる
12	記載字検索フラグ	○	数字	(0:無、1:有)であること			
13	遡り検索フラグ		英数	(0:無、1:有、空白)であること			
14	構成員等取得フラグ	○	数字	(0:無、1:有)であること			

データチェック(関連表)	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		01削除(R3版) 戸籍種別が全て空白の場合は、全ての種別を選択したとみなすため、この場合は全ての関連チェックを実施すること。
02	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別2(除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別3(再製原戸籍)=1の場合、 (NO.5)生年月日に入力があること			
03	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別2(除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別3(再製原戸籍)=1の場合、 (NO.2)振り仮名、(NO.3)漢字氏名のいずれかに入力があること			
04	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1の場合、(NO.8)戸籍の消除日=空白であること			
05	(NO.11)戸籍種別4(除籍(電算化前))=1 又は (NO.11)戸籍種別5(司法大臣原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別6(昭和改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別7(平成改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別8(再製原除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別9(再製原新改)=1の場合、 (NO.9)入籍日=空白であること			
06	(NO.11)戸籍種別4(除籍(電算化前))=1 又は (NO.11)戸籍種別5(司法大臣原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別6(昭和改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別7(平成改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別8(再製原除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別9(再製原新改)=1の場合、 (NO.2)振り仮名、(NO.3)漢字氏名(NO.4) 本籍、(NO.5) 生年月日、(NO.6) 筆頭者のいずれか2項目以上に入力があること			
07	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別2(除籍)=1の場合、 (NO.13)遡り検索フラグに入力があること			
08	(NO.11)戸籍種別3(再製原戸籍)=1 又は 戸籍種別4(除籍(電算化前))=1 又は (NO.11)戸籍種別5(司法大臣原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別6(昭和改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別7(平成改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別8(再製原除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別9(再製原新改)=1の場合、 (NO.13)遡り検索フラグ=空白であること			

データチェック(単体表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　検索目的のチェック	目的内利用確認		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	検索目的確認	○	数字	1　又は　2であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	検索目的区分	○	数字	1～5であること			
03	検索目的(その他)		漢字				本項目は情報連携システムに渡さないため、本項目の設定可否、設定した場合の項目の保持はベンダー任意とする

データチェック(関連表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
4.0　検索目的のチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.2)検索目的区分=5(その他)の場合、(NO.3)検索目的(その他)に入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.2)検索目的区分≠5(その他)の場合、(NO.3)検索目的(その他)に入力がないこと			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	5.0　業務利用目的送信(副本参照処理通番)							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO010-R01:業務利用目的の送信)	目的ID		該当戸籍一覧(副本)画面	検索目的区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	5.1　中間ファイル(副本参照処理通番)作成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (副本参照処理通番)	副本参照処理通番		WebAPI(I0010-S01: 業務利用目的の確認結果)	副本参照処理通番				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	5.2　副本記録情報検索							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
WebAPI(IO020-R01:副本記録情報検索要求)	副本参照処理通番		中間ファイル(副本参照処理通番)	副本参照処理通番				
	本籍地市区町村コード		該当戸籍一覧(副本)画面	検索対象市区町村コード				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者			筆頭者				
	編製日			編製日				
	消除日			消除日				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	戸籍種別			戸籍種別1～9				選択した戸籍種別のコード値を全て設定
	記録字検索フラグ			記録字検索フラグ				
	遡り検索フラグ			遡り検索フラグ				
	構成員等取得フラグ			構成員等取得フラグ				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	6.0　中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍一覧(副本))	副本参照処理通番		WebAPI (I0020-S01:副本記録情報検索結果)	副本参照処理通番				
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)				
	戸籍種別			戸籍種別				
	本人氏名			本人氏名				
	生年月日			生年月日				
	編製日			編製日				
	消除日			消除日				
	除籍日			除籍日				
	旧氏名検索区分			旧氏名検索区分				
	筆頭者			筆頭者				
	本籍			本籍				
	異動対象区分			異動対象区分				
	異動処理状況種別コード			異動処理状況種別コード				
	異動処理日時			異動処理日時				
	届書受領日			届書受領日				
	処理地市区町村コード			処理地市区町村コード				
	対象事件コード			対象事件コード				
	異動予約目的区分			異動予約目的区分				
	改製不適合戸籍区分			改製不適合戸籍区分				
	遡り該当フラグ			遡り該当フラグ				
	遡り選択番号			遡り選択番号(行番号)				
	構成員等該当フラグ			構成員等該当フラグ				
	構成員等抽出元選択番号			構成員等抽出元選択番号(行番号)				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	不受理申出区分			不受理申出区分				
	胎児認知届書区分			胎児認知届書区分				
	名寄せ未完了フラグ			名寄せ未完了フラグ				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	7.0　該当戸籍一覧(副本)編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
該当戸籍一覧(副本)画面	現ページ、総ページ		WebAPI(I0020-S01:副本記録情報検索結果)	該当件数				該当件数より総ページを算出し、表示頁を編集
	振り仮名		該当戸籍一覧(副本)画面	(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	本籍			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	筆頭者			(同項目)				
	戸籍の編製日			(同項目)				
	戸籍の消除日			(同項目)				
	入籍日			(同項目)				
	除籍日			(同項目)				
	検索対象市区町村コード			(同項目)				
	検索対象市区町村			(同項目)				
	戸籍種別1			(同項目)				
	戸籍種別2			(同項目)				
	戸籍種別3			(同項目)				
	戸籍種別4			(同項目)				
	戸籍種別5			(同項目)				
	戸籍種別6			(同項目)				
	戸籍種別7			(同項目)				
	戸籍種別8			(同項目)				
	戸籍種別9			(同項目)				
該当戸籍一覧(副本)画面 (NO.～本籍) 最大1画面　3人	NO.　　1～3		中間ファイル (該当戸籍一覧)	選択番号(行番号)				
	戸籍種別　1～3			戸籍種別		有		
	改製不適合区分　1～3			改製不適合区分				1の場合「不適紙」 2の場合「不適磁気」
	遡り該当フラグ　1～3			遡り該当フラグ				1の場合「遡り」
	本人氏名　1～3			本人氏名				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示								
処理名	7.0　該当戸籍一覧(副本)編集								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	生年月日　1～3			生年月日				
	編製日　1～3			編製日				
	消除日　1～3			消除日				
	除籍日　1～3			除籍日				
	旧氏名表示1～3			旧氏名表示区分				1の場合「旧」
	構成員等該当者フラグ　1～3			構成員等該当フラグ				1の場合「構成」
	筆頭者　1～3			筆頭者				
	本籍　1～3			本籍				
該当戸籍一覧(副本) 画面	該当番号							

データチェック(単体表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示						

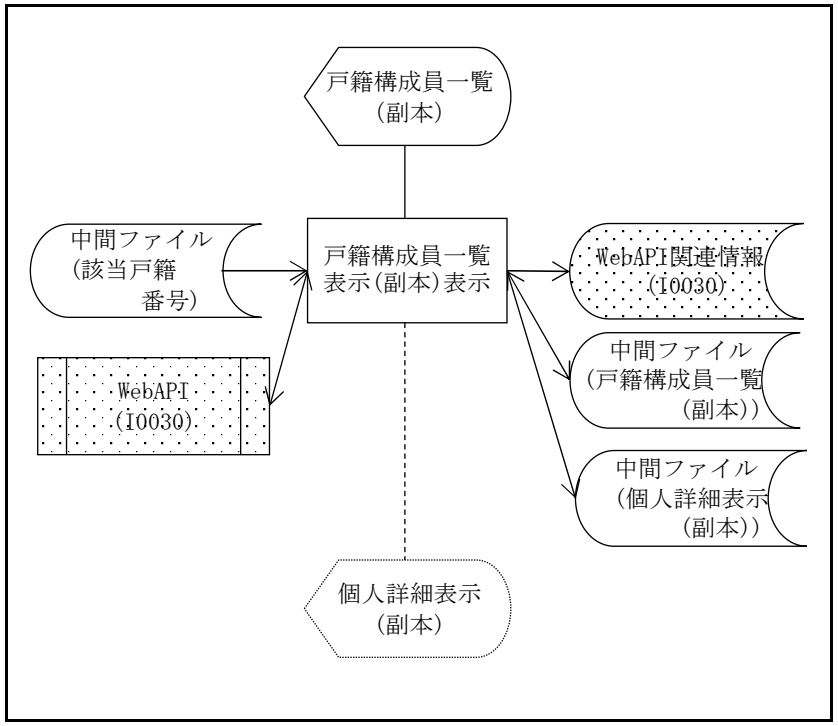
処理名	画面名	画面ID	
8.0　該当番号のチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している該当戸籍のNO.	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	9.0　中間ファイル(該当戸籍番号(副本))作成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (該当戸籍番号(副本))	副本参照処理通番		中間ファイル (該当戸籍一覧)	副本参照処理通番				
	行番号			選択番号(行番号)				
	改製不適合区分			改製不適合区分				

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (該当戸籍番号)	入力	中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	入出力
WebAPI (I0030)	入力	中間ファイル (個人詳細表示(副本))	出力
WebAPI関連情報 (I0030)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当戸籍番号)の副本参照処理通番及び行番号をキーにWebAPI(I0030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))を呼び出し、中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本)を編集･出力する
(2)戸籍構成員一覧(副本)の表示及び個人詳細番号を選択する
(3)全部事項イメージ及び除籍イメージを表示する
(4)選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する
(5)個人詳細表示へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 0.1 データ編集表(副本記録情報取得(副本参照処理通番))
- 1.0 データ編集表(中間ファイル作成/戸籍構成員一覧(副本))
- 2.0 データ編集表(戸籍構成員一覧(副本)画面作成)
- 3.0 データチェック(単体表：詳細選択番号)
- 4.0 データチェック(関連表：戸籍種別)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル作成/個人詳細表示(副本))
- 6.0 データ編集表(WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(該当戸籍番号)を読む					/			
(2)中間ファイル(該当戸籍番号)の副本参照処理通番と行番号をキーに、WebAPI(IO030:副本 記録情報取得(副本参照処理通番))を呼び出す [0.1]					/			
(2-1)WebAPI(IO030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))結果 (OK:YES,NG:NO)					/			
YES (2-2)→(3)へ					/			
NO (2-3)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						(2-4)同画面を編集する		
(3)中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))に編集・出力する [1.0]					/			
(4)戸籍構成員一覧(副本)画面を編集・出力する [2.0]					/		異動処理状況情報に該当する場合はメッセージ表示等の対応を行う	
(5)キー選択(詳細選択番号の入力) (実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF9、 PF10、 PF11、その他)					/			
実行キー	(6)詳細選択番号のチェック(OK:YES, NG:NO) [3.0][4.0]				/			
	YES	(7)中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))を全件読む			/			
			(8)中間ファイル(個人詳細表示(副本))へ編集・出力する [5.0]		/			
		(9)WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)を編集・出力する [6.0]				(10)個人詳細表示 (副本)に制御を渡す		
	NO	(11)単体チェック・関連チェックにて編集したメッセージを表示する				(12)同画面を編集する		
PF1	→					(13)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(14)検索選択に制御を渡す		
PF5	→					(15)該当戸籍一覧表示(副本)に制御を渡す		
PF7	(16)戸籍構成員の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/			
	YES	(17)前ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する				(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭のページです。」を表示する						
PF8	(20)戸籍構成員の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/			
	YES	(21)次ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する						
	NO	(22)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
PF9	(23)改製不適合戸籍か(YES,NO)				/			
	YES	(24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(25)同画面を編集する		
	NO	(26)全部事項イメージ 又は 除籍イメージを表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF10	(27)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(28)前ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する			(29)同画面を編集する			
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭のページです。」を表示する						
PF11	(31)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(32)次ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する						
	NO	(33)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
その他	(34)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	0.1　副本記録情報取得(副本参照処理通番)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO030-R01:副本記録情報照会要求)	副本参照処理通番		中間ファイル (該当戸籍番号)	副本参照処理通番				
	選択番号(行番号)			行番号				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	1.0　中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	戸籍種別		WebAPI (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	戸籍種別				
	改製不適合戸籍区分		中間ファイル (該当戸籍番号)	改製不適合戸籍区分				
	編製日		WebAPI (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録者数				個人特定情報の件数
	在籍数			在籍者数				個人特定ファイルの在籍者の数
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項タイトルコード			戸籍事項タイトルコード				複数有り
	戸籍事項記録コード			戸籍事項記録コード				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				
	個人番号			個人番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	振り仮名			振り仮名				最新のものを編集
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	1.0　中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	前個人番号			前個人番号				
	身分事項タイトルコード			身分事項タイトルコード				複数有り
	身分事項記録コード			身分事項記録コード				
	身分事項項目			身分事項項目				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	受理処理照会区分			受理処理照会区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	不受理申出区分			不受理申出情報の件数				件数≧1の時「1」、件数=0の時「0」
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	不受理申出ファイル			不受理申出ファイル				中間ファイル項目の細分化も可
	除籍特定ファイル			除籍特定ファイル				中間ファイル項目の細分化も可
	除籍個人特定ファイル			除籍個人特定ファイル				中間ファイル項目の細分化も可
	全部証明書PDF更新年月日			全部証明書PDF更新年月日				
	全部証明書PDF更新時分秒			全部証明書PDF更新時分秒				
	全部証明書PDFファイル			全部証明書PDFファイル				
	除籍イメージPDFファイル			除籍イメージPDFファイル				
	異動処理状況情報			異動処理状況情報				各項目は省略する

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示								
処理名	2.0　戸籍構成員一覧(副本)編集								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
戸籍構成員一覧 (副本)画面	ページ1								戸籍事項の総ページを算出し、表示頁を編集
	ページ2								構成員の総ページを算出し、表示頁を編集
	戸籍種別			中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	戸籍種別		有		
	改製不適合区分				改製不適合戸籍区分		有		0以外の場合に編集する
	編製日				編製日		有		
	消除日				消除日		有		
	記録数				記録数			Z9	
	在籍数				在籍数			Z9	
	本籍				本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	戸籍事項　1～5				戸籍事項タイトルコード				中間ファイルの項目を編集して表示 複数有り
					戸籍事項記録コード				
					戸籍事項項目				
	NO.　1～8								
	漢字氏名　1～8				漢字氏名				
	生年月日　1～8				生年月日		有		
	除籍日　1～8				除籍日		有		
	続柄　1～8				父母との続柄		有		
	配偶者区分　1～8				配偶者区分		有		
	裁判所通知区分　1～8				裁判所通知区分				1の場合「*」
	受理処理照会区分　1～8				受理処理照会区分				1の場合「*」
	胎児認知届区分　1～8				胎児認知区分				1の場合「*」
	不受理申出区分　1～8				不受理申出区分				1の場合「*」
	注意喚起区分　1～8				注意喚起区分				1、2の場合「*」
	詳細選択番号								

データチェック(単体表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　詳細選択番号のチェック	戸籍構成員一覧(副本)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号	○	数字	表示している構成員のNO.	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データチェック(単体表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
4.0　戸籍種別チェック	戸籍構成員一覧(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号が入力されたとき、戸籍種別=1(戸籍)　又は　戸籍種別=2(除籍(電算化後))　又は戸籍種別=4(再製原戸籍)であること。	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	詳細選択番号が入力されたとき、改製不適合戸籍区分=0であること。			

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	5.0　中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成							

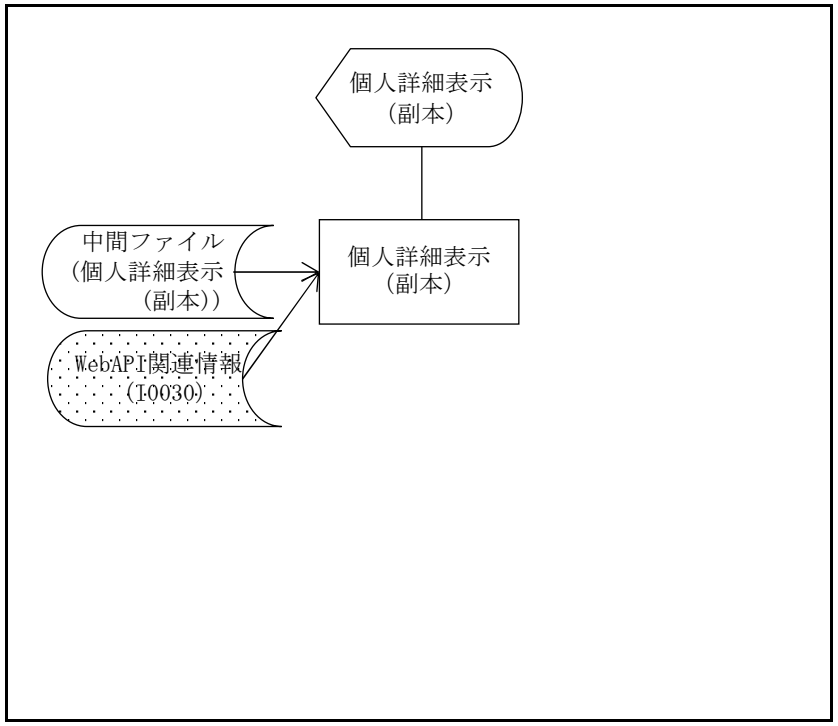
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (個人詳細表示(副本))	選択区分		戸籍構成員一覧(副本)画面					選択されたものに「1」セット
	詳細選択番号			詳細選択番号				
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録数				
	在籍数			在籍数				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	個人番号			個人番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父氏名			父				
	母氏名			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父氏名			養父				
	養母氏名			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	身分事項タイトルコード			身分事項タイトルコード				複数有り
	身分事項記録コード			身分事項記録コード				
	身分事項項目			身分事項項目				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	受理処理照会区分			受理処理照会区分				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	5.0　中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	不受理申出区分			不受理申出区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	6.0 WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	(全項目)		WebAPI(I0030-S01:副本記録情報照会結果)	(全項目)				

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人詳細表示(副本)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(個人詳細表示(副本))	入力		
WebAPI関連情報(I0030)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))を読み込み、個人事項等を編集する
(2)個人詳細表示(副本)画面を表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(個人詳細表示(副本)画面作成)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人詳細表示(副本)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む				/				
(2)中間ファイル(個人詳細表示(副本)) 及び WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得) [1.0] より、個人詳細表示(副本)画面を編集・表示する				/			異動処理状況情報に該当する場合はメッセージ表示等の対応を行う	
(3)キー選択 (PF1、PF2、PF3、PF4、PF5、PF7、PF8、PF10、PF11、その他)				/				
PF1	→				(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(5)検索選択に制御を渡す			
PF3	(6)1件前の中間ファイル(個人詳細表示(副本))があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(7)該当する中間ファイル(個人詳細表示(副本))を読み選択区分を設定する			(9)同画面を編集する			
	NO	(8)エラーメッセージ 「この前には構成員がありません。」を表示する						
PF4	(10)1件後の中間ファイル(個人詳細表示(副本))があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(11)該当する中間ファイル(個人詳細表示(副本))を読み選択区分を設定する						
	NO	(12)エラーメッセージ 「この後には構成員がありません。」を表示する						
PF5	→				(13)戸籍構成員一覧(副本)に制御を渡す			
PF7	(14)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(15)前ページ分の個人詳細表示(副本)を編集する			(17)同画面を編集する			
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭のページです。」を表示する						
PF8	(18)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(19)次ページ分の個人詳細表示(副本)を編集する						
	NO	(20)エラーメッセージ 「最後のページです。」を表示する						
PF10	→				(21)不受理申出表示(副本)に制御を渡す			
PF11	→				(22)個人状態表示(副本)に制御を渡す			
その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(24)同画面を編集する			

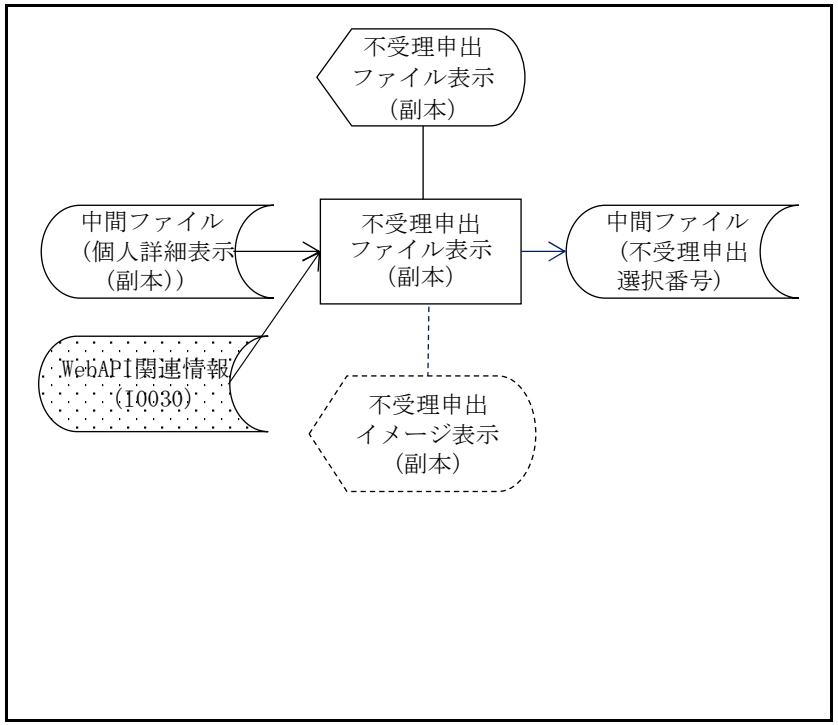
データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人詳細表示(副本)							
処理名	1.0　個人詳細表示(副本)編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人詳細表示(副本) 画面	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	戸籍種別		WebAPI関連情報 (I0030:副本記録情報取得)	戸籍種別		有		
	編製日		中間ファイル (個人詳細表示(副本))	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				1の場合「有」
	受理処理照会区分			受理処理照会区分				1の場合「有」
	胎児認知区分			胎児認知区分				1の場合「有」
	不受理申出区分			不受理申出区分				1の場合「有」
	注意喚起区分			注意喚起区分				1、2の場合「有」
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				1の場合「筆頭者」
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父氏名				
	養母氏名			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄		有		
	身分事項事件項番1～10							

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人詳細表示(副本)							
処理名	1.0　個人詳細表示(副本)編集							
受取側			引渡側			コード変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	身分事項事件名1～10			身分事項タイトルコード		有		複数有り 事項証明書と同形式が基本であるが画面表示する場合で1身分事項内に限り、ベタ打ちを可とする
	身分事項記録項目1～10			身分事項項目				

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル表示(副本)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(個人詳細表示(副本))	入力		
WebAPI関連情報(I0030)	入力		
中間ファイル(不受理申出選択番号)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))より、不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集する
(2)不受理申出ファイル表示(副本)画面を表示する
(3)指定により不受理申出イメージ表示(副本)画面へ遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル表示(副本)画面編集)

5.備考(特記事項含む)

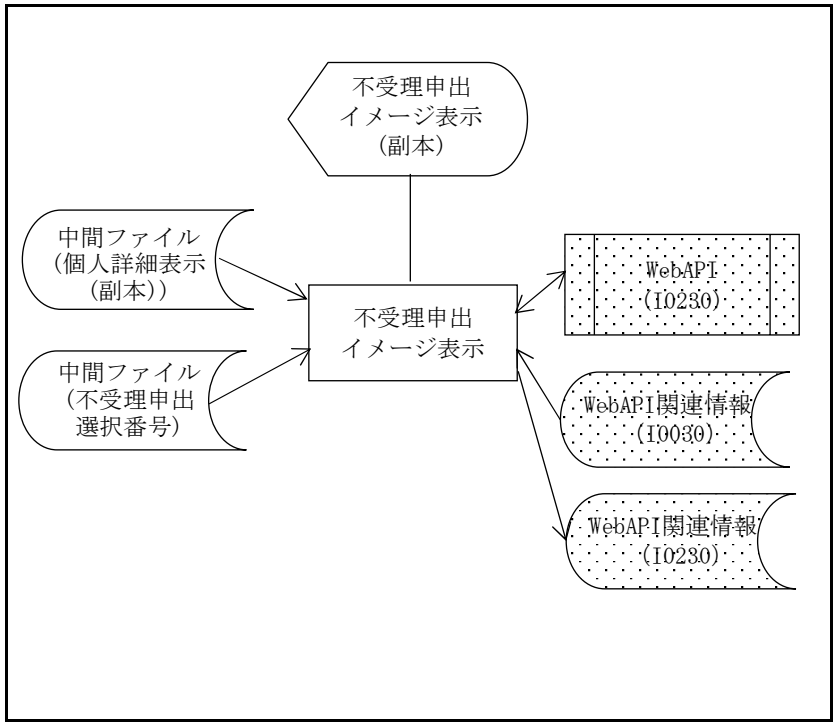
要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル表示(副本)							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示)に該当する不受理申出情報をWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)から読み込む検索する				/			中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))から編集しても構わない	
(3)不受理申出情報がある (OK:YES,NG:NO)				/				
YES	(4)不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集・表示する [1.0]			/				
NO	(5)エラーメッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する				(6)同画面を編集する			
(7)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF11、その他)				/				
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)戸籍構成員一覧表示(副本)に制御を渡す			
PF6	(10-1)選択番号に入力がない 又は 番号が範囲外である(YES,NO)			/				
	YES	(10-2)エラーメッセージ 「選択番号が誤りです。正しく入力して下さい。」を表示する			(10-3)同画面を編集する			
	NO	→			(10-4)不受理申出イメージ表示(副本)に制御を渡す			
PF7	(11)不受理申出の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(12)前ページ分の不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集する			(13)同画面を編集する			
	NO	(14)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
PF8	(15)不受理申出の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)次ページ分の不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集する						
	NO	(17)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
PF9	→				(18)個人詳細表示(副本)に制御を渡す			
PF11	→				(19)個人状態表示(副本)に制御を渡す			
その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(21)同画面を編集する			

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出ファイル表示(副本)								
処理名	1.0　不受理申出ファイル表示(副本)画面編集								

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出 ファイル表示(副本) 画面	現ページ、総ページ							
	戸籍種別		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報取得)	戸籍種別		有		
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
(項番～ 相手氏名2) 最大1画面　2件	項番　1～2							01から件数分表示する
	開始日　1～2		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報取得)	開始日		有		
	送付日　1～2			送付日		有		
	失効日　1～2			失効日		有		
	失効区分　1～2			失効区分		有		
	失効区分表示　1～2							
	事件コード　1～2			不受理申出事件コード		有		
	事件名　1～2							
	相手氏名1　1～2			相手方氏名1				
	相手氏名2　1～2			相手方氏名2				
	不受理申出選択番号							

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示選択(副本)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示 (副本))	入力	WebAPI関連情報 (IO230)	出力
中間ファイル (不受理申出 選択番号)	入力		
WebAPI(IO230)	入力		
WebAPI関連情報 (IO030)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(不受理申出選択番号)の情報でWebAPI(IO230)を呼び出す
(2)不受理申出イメージ表示選択(副本)画面を表示する
(3)指定により不受理申出イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(WebAPI(IO230:画像等情報取得))
- 2.0 データ編集表(不受理申出イメージ表示(副本)画面編集)
- 3.0 データチェック(単体表)
- 4.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))の情報をキーとしてWebAPI(IO230:画像等情報取得)を呼び出し、全項目をWebAPI関連情報(IO230:画像等情報取得)に保存する [1.0]				/			非本籍人の場合は戸籍情報連携システムで保持している画像情報(履歴を含む全て)を取得する ※有効分の画像だけを取得して初期表示し、関連画像は操作者の指示に従い(PFキー等)取得・表示しても良い	
							(2)～(3)を削除(R4版)	
				/				
	(4)不受理申出イメージ表示画面を編集･表示する [2.0]			/				
							(5)～(6)を削除(R4版)	
(7)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、その他)				/				
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)不受理申出ファイル表示(副本)に制御を渡す			
PF6	(11)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]			/				
	YES	(12)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する			(13)同画面を編集する			
	NO	(14)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF7	(15)一件前の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)→(2)へ		/				
	NO	(17)メッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する			(18)同画面を編集する			
PF8	(19)一件後の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(20)→(2)へ		/				
	NO	(21)メッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する			(22)同画面を編集する			
その他	(19)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名	1.0 WebAPI(IO230:画像等情報取得)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO230-R01: 画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報 (IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番				中間ファイル(不受理申出選択番号)で選択した情報に該当するWebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)の項目を設定して呼び出す
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)				
	戸籍記録順位番号		中間ファイル (個人詳細表示(副本))	戸籍記録順位番号				
	取得対象区分							下記区分を順に設定して全ての画像情報を取得する 「20:不受理申出情報(有効分)」 「21:不受理申出情報(失効分)」 「22:不受理申出情報(有効分の履歴)」 「23:不受理申出情報(失効分の履歴)」 ※有効分の画像だけを取得し、関連画像は操作者の指示に従い(PFキー等)取得・表示しても良い

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名	2.0　不受理申出イメージ表示(副本)画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出イメージ表示(副本)画面	戸籍種別		不受理申出ファイル表示(副本)画面	戸籍種別				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	項番			項番				
	受理送付区分			受理送付区分				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	事件コード			事件コード				
	事件名			事件名				
	相手氏名1			相手氏名1				
	相手氏名2			相手氏名2				
	不受理申出イメージ更新日		WebAPI関連情報(I0230:画像等情報取得)	不受理申出イメージ更新日		有		不受理申出情報登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)を表示する
	不受理申出イメージ更新時間			不受理申出イメージ更新時分秒				
	不受理申出イメージ最終履歴番号			不受理申出情報登録番号				
	不受理申出添付書面イメージ更新日			不受理申出添付書面イメージ更新日		有		
	不受理申出添付書面イメージ更新時間			不受理申出添付書面イメージ更新時分秒				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名	2.0　不受理申出イメージ表示(副本)画面編集							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	不受理申出補正 イメージ更新日			不受理申出補正 イメージ更新日		有		
	不受理申出補正 イメージ更新時間			不受理申出補正 イメージ更新時分秒				
	不受理申出取下 イメージ更新日			不受理申出取下 イメージ更新日		有		
	不受理申出取下 イメージ更新時間			不受理申出取下 イメージ更新時分秒				
	不受理申出補正内容		WebAPI関連情報 (I0030:副本記録情報取得)	不受理申出補正情報				
	イメージ種別番号							
	表示履歴番号							

データチェック(単体表)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名			画面名		画面ID			
2.0　入力項目のチェック			不受理申出イメージ表示(副本)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				

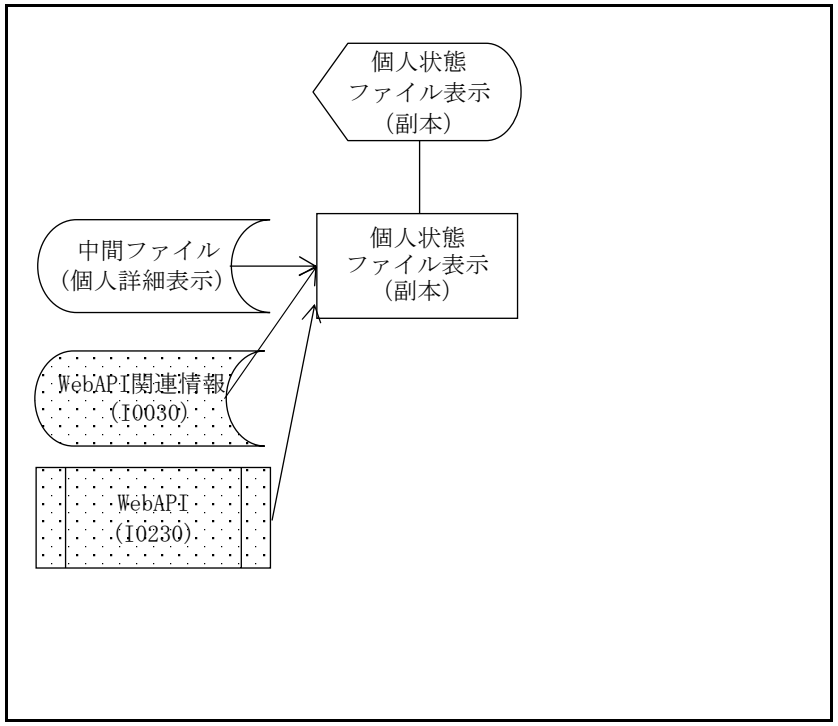
データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	不受理申出イメージ表示(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(不受理申出)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦不受理申出イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面) 又は　3(不受理申出補正)　又は　4(不受理申出取下)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル表示(副本)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(個人詳細表示(副本))	入力		
WebAPI関連情報(I0030)	入力		
WebAPI(I0230)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み、個人状態ファイル表示(副本)画面を編集する
(2)個人状態ファイル表示画面を表示する
(3)胎児認知区分があれば指定によりWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出し、胎児認知
届イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(個人状態ファイル表示(副本)画面編集)
　　└ 2.0 データ編集表(画像等情報取得)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート					作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル表示(副本)									
処理名	0.0 本紙								備考	
									(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示(副本))に該当する個人状態情報をWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)から読み込む検索する						/			中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))から編集しても構わない	
(3)個人状態情報がある (OK:YES,NG:NO)						/				
YES	(4)個人状態ファイル表示(副本)画面を編集･表示する [1.0]					/				
NO	(5)エラーメッセージ 「個人状態はありません。」を表示する						(6)同画面を編集する			
(7)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF9、PF10、その他)						/				
PF1	→						(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→						(9)検索選択に制御を渡す			
PF5	→						(10)戸籍構成員一覧表示(副本)に制御を渡す			
PF6	(10-1)胎児認知区分=1である(YES,NO)					/				
	YES	(10-2)WebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出す [2.0]				/				
		(10-3)WebAPI(I0230:画像等情報取得)結果 (OK:YES,NG:NO)				/				
		YES	(10-4)胎児認知届書イメージを表示する				(10-5)同画面を編集する			
		NO	(10-6)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する							
	NO	(10-7)エラーメッセージ 「胎児認知届はありません。」を表示する								
PF9	→						(11)個人詳細表示(副本)に制御を渡す			
PF10	→						(12)不受理申出表示(副本)に制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(14)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル表示(副本)							
処理名	1.0　個人状態ファイル表示(副本)画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人状態ファイル表示(副本)画面	戸籍種別		WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	戸籍種別		有		
	振り仮名		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	禁治産者区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	受理処理照会区分			受理処理照会区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	氏の振り仮名職権記録区分			氏の振り仮名職権記録区分				
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル表示(副本)							
処理名	2.0 画像等情報取得							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO230-R01: 画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報 (IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番				
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)				
	戸籍記録順位番号		中間ファイル (個人詳細表示(副本))	戸籍記録順位番号				
	取得対象区分							「10:胎児認知情報」を設定

補足説明書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	検索処理
処理名	副本記録情報検索処理

「副本記録情報検索」処理は戸籍情報連携システムのWebAPI機能を利用して副本記録情報を検索し、その内容を表示する処理である。

戸籍情報システムの他の処理において副本記録情報を検索し、証明や異動等の各処理を行う上ではおおむね「副本記録情報検索」処理の仕様と同様に実装することとなるが、ここで各処理において含むべきプロセスと、各処理において戸籍情報連携システムのWebAPI機能を用いて参照することができる副本記録情報の制限を一覧で示す。「検索」処理と各処理との相違点の詳細については各処理の要件定義書を参照のこと。

1.副本記録情報を検索する処理と利用可能なプロセス

副本記録情報を検索する処理の一覧及び当該処理で利用可能なプロセスについて、対応表を右表に示す。

凡例　○ 標準仕様書で利用可能としているプロセス

△ 標準仕様書では明記していないプロセス
(戸籍を特定した操作以降であれば任意実装可能)

			システムの機能体系図												
			1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12
			検索処理	異動処理	移記事項入力処理	決裁処理	証明処理		統計処理	帳票出力処理	各種ファイル更新処理	受領番号確保処理	関連業務処理	訂正・更正・追完・審査結果入力処理＊1	連携情報処理
			副本記録情報検索	異動検索			広域交付戸籍証明書等	戸籍電子証明書等							本籍人副本記録情報検索
副本記録情報検索処理のプロセス	1	該当戸籍一覧（副本）	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	2	目的内利用確認	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	3	異体字検索	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	4	戸籍構成員一覧（副本）	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	5	全部事項イメージ／除籍イメージ表示	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	6	個人詳細表示（副本）	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	7	不受理申出ファイル表示（副本）	○	○	—	—	△	△	—	—	—	—	—	—	○
	8	個人状態ファイル表示（副本）	○	○	—	—	△	△	—	—	—	—	—	—	○

*1：訂正・更正・追完・審査結果入力処理は、副本記録情報検索処理の対象とはしていないが、非本籍戸籍を参照する機能をベンダーの戸籍情報システムに組み込んだ場合は、副本記録情報検索処理のプロセスに従うこと。

補足説明書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	検索処理						
処理名	副本記録情報検索処理						

2.「副本記録情報検索」処理で参照することができる副本記録情報の制限

2-1. 各処理において参照できる戸籍種別の制限

各処理において参照することができる戸籍種別については右表のとおりである。本仕様については検索時に選択された項目が正しいか、各処理においてチェックを行うこと。

*2改製不適合戸籍については、戸籍種別「戸籍」を選択することによって検索対象となる。検索結果に改製不適合戸籍があれば、改製不適合区分によって判別することができる。

2-2. 本籍人の副本記録情報を参照することができる処理

戸籍DB又は副本記録情報を検索する処理において、原則として本籍人の情報は戸籍DBを参照し、非本籍人の情報については副本記録情報を参照する。例外として、「戸籍電子証明書等」処理及び「本籍人副本記録情報検索」処理については本籍人の副本記録情報を参照することができる。

		システムの機能体系図												
		1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12
		検索処理	異動処理	移記事項入力処理	決裁処理	証明処理		統計処理	帳票出力処理	各種ファイル更新処理	受領番号確保処理	関連業務処理	訂正・更正・追完・審査結果入力処理＊1	連携情報処理
		副本記録情報検索	異動検索			広域交付戸籍証明書等	戸籍電子証明書等							本籍人副本記録情報検索
電算化	戸籍 ＊2	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	除籍	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	改製原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	再製原戸籍	○	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	○
電算化前	除籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	司法大臣原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	昭和改製原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	平成改製原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	再製原除籍	○	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	○
	再製原新改(平成改製原)	○	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	○

*1：訂正・更正・追完・審査結果入力処理は、副本記録情報検索処理の対象とはしていないが、非本籍戸籍を参照する機能をベンダーの戸籍情報システムに組み込んだ場合は、全ての戸籍を検索対象とすることができる。

第7.2.(3)

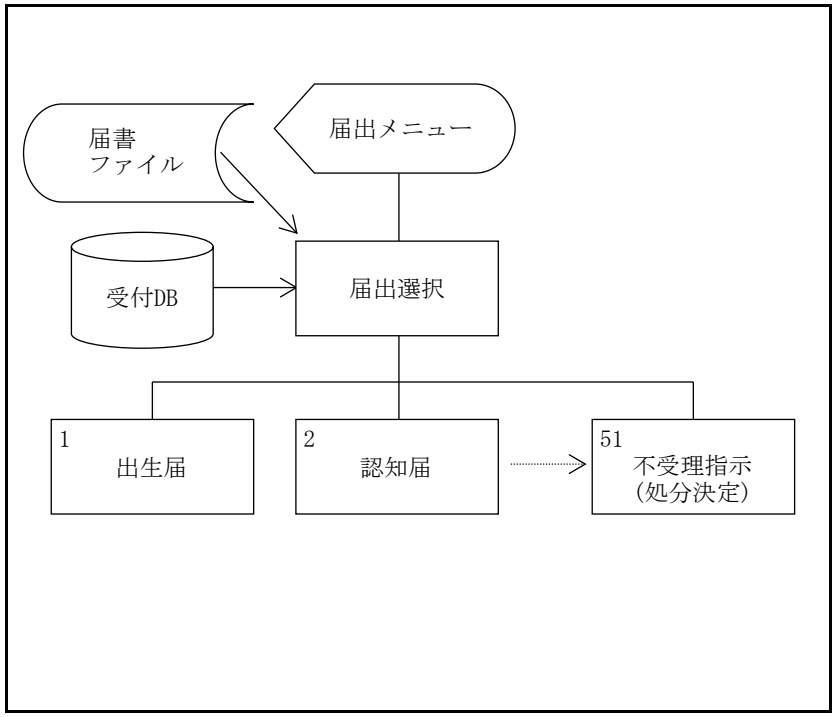
「届出選択」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107の2の26	届出選択処理	0.0_本紙 ・107条2項届、同3項届、同4項届の名称が誤っているため、画面設計書の名称に合わせる修正
2		－		システム環境仕様書、0.0_本紙、4.0_仮受付ファイル作成 ・仮受付ファイル作成不要により各仕様書から削除 3.0_別紙 受理指示と不受理指示の番号が誤っているため修正
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
4	2.0 (2023.7.31版)	－	届出選択処理	振り仮名の法制化に伴う修正 ・0.0_本紙に新規の届書を追加 ・1.0該当事件コードのチェックに追加した届書の選択番号を追加

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力		
届書ファイル	入力		

3.処理概要

(1)届出選択(事件コード)の入力チェック
(2)受領番号入力時の届書F項目及び受付DB項目とのチェック
(3)出生届～不受理指示に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データチェック(単体表)
├ 2.0 データチェック(関連表)
└ 3.0 届書ファイル及び受付DBとのチェック

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	届出選択

処理名	0.0 本紙			備考
(1)届出メニュー画面を出力する		/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)		/		
実行キー	(3)該当事件コード、受領番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4)該当事件コード、受領番号の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5)届書F及び受付DBとのチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(6) → (10)	/		
NO	(7) →		(8)同画面を編集する	
NO	(9) →			
	(10)該当事件コード(1～40、45～48、50、51)	/		再入力時点で届書ファイルの排他区分を設定する
1	(11)出生届		(12)出生届に制御を渡す	
2	(13)認知届		(14)認知届に制御を渡す	
3	(15)養子縁組届		(16)養子縁組届に制卸を渡す	
4	(17)養子離縁届		(18)養子離縁届に制御を渡す	
5	(19)特別養子縁組届		(20)特別養子縁組届に制御を渡す	
6	(21)特別養子離縁届		(22)特別養子離縁届に制御を渡す	審査結果入力
7	(23)73条の2届		(24)73条の2届に制御を渡す	
8	(25)養子離縁届同時73条の2届		(26)養子離縁届同時73条の2届に制御を渡す	
9	(27)婚姻届		(28)婚姻届に制御を渡す	
10	(29)離婚届		(30)離婚届に制御を渡す	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	届出選択			
処理名	0.0 本紙			備考
11	(31)77条の2届		(32)77条の2届に制御を渡す	
12	(33)離婚届同時77条の2届		(34)離婚届同時77条の2届に制御を渡す	
13	(35)親権(管理権)届		(36)親権(管理権)届に制御を渡す	
14				(37)～(38)第22版で削除
15	(39)保佐届		(40)保佐届に制御を渡す	
16	(41)死亡届		(42)死亡届に制御を渡す	
17	(43)失踪届		(44)失踪届に制御を渡す	
18	(45)復氏届		(46)復氏届に制御を渡す	
19	(47)姻族関係終了届		(48)姻族関係終了届に制御を渡す	
20	(49)推定相続人廃除届		(50)推定相続人廃除届に制御を渡す	
21	(51)入籍届		(52)入籍届に制御を渡す	
22	(53)分籍届		(54)分籍届に制御を渡す	
23	(55)国籍取得届		(56)国籍取得届に制御を渡す	
24	(57)帰化届		(58)帰化届に制御を渡す	
25	(59)国籍喪失届		(60)国籍喪失届に制御を渡す	
26	(61)国籍選択届		(62)国籍選択届に制御を渡す	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	届出選択

処理名	0.0 本紙			備考
27	(63)外国国籍喪失届		(64)外国国籍喪失届に制御を渡す	
28	(65)氏の変更届		(66)氏の変更届に制御を渡す	
29	(67)107条2項届		(68)107条2項届に制御を渡す	
30	(69)107条3項届		(70)107条3項届に制御を渡す	
31	(71)107条4項届		(72)107条4項届に制御を渡す	
32	(73)名の変更届		(74)名の変更届に制御を渡す	
33	(75)転籍届		(76)転籍届に制御を渡す	
34	(77)就籍届		(78)就籍届に制御を渡す	
35	(79)縁組取消届		(80)縁組取消届に制御を渡す	審査結果入力
36	(81)離縁取消届		(82)離縁取消届に制御を渡す	審査結果入力
37	(83)婚姻取消届		(84)婚姻取消届に制御を渡す	審査結果入力
38	(85)離婚取消届		(86)離婚取消届に制御を渡す	審査結果入力
39	(87)失踪宣告取消届		(88)失踪宣告取消届に制御を渡す	審査結果入力
40	(89)推定相続人廃除取消届		(90)推定相続人廃除取消届に制御を渡す	審査結果入力
41	(90-1)未成年者の後見届		(90-2)未成年者の後見届に制御を渡す	
45	(90-3)氏の振り仮名の届		(90-4)氏の振り仮名の届に制御を渡す	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名			届出選択						
処理名			0.0 本紙					備考	
		46	(90-5)名の振り仮名の届			(90-6)名の振り仮名の届に制御を渡す			
		47	(90-7)氏の振り仮名の変更届			(90-8)氏の振り仮名の変更届に制御を渡す			
		48	(90-9)名の振り仮名の変更届			(90-10)名の振り仮名の変更届に制御を渡す			
		50	(91)受理指示 受理指示事件コードにより届出事件を判別する			(92)各処理に制御を渡す			
		51	(93)不受理指示			(94)処分決定処理に制御を渡す			
	NO		(95)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する			(96)同画面を編集する			
PF1	→					(97)業務選択に制御を渡す			
その他	(98)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(99)同画面を編集する			

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	届出選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　該当事件コードのチェック				届出メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
01	該当事件コード	○	数字	1～41、45～48、50～51であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	受領番号		数字						

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	届出選択						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	届出メニュー		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)該当事件コードが50～51の場合、(NO.2)受領番号に入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3

作業名	届出選択
処理名	3.0 別紙

					備考
(1)入力された受領番号をキーに届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
YES	(2)届書排他区分=1:「排他」である(YES,NO)		/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は現在処理中です。移動処理は行えません。」を表示		(4)本紙へ	
	NO	(5)→(6)へ	/		
NO					
(6)入力された受領番号をキーに受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
YES	(7)決裁区分は1:「決裁」 又は 4:「欠番」である(YES,NO)		/		
	YES	(8)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は、再処理は行えません。」を表示		(9)本紙へ	
	NO	(10)→(13)へ	/		
NO	(11)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届はありません。」を表示			(12)本紙へ	
(13)画面入力された該当事件コードは50:「受理指示」 又は 51:「不受理指示」である(YES,NO)			/		
YES	(14)処分区分は3:「受理照会」 又は 4:「処理照会」である(YES,NO)				
	YES	(15)→(19)へ			
	NO	(16)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は、照会ではありません。」を表示		(17)本紙へ	
NO	(18)→(19)へ		/		
(19)受付DB.関連受領番号1～5まで繰り返す			/		
	(20)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		/		
	YES	(21)入力された受領番号<受付DB.関連受領番号である(YES,NO)	/		
		YES (22)→	/		
		NO (23)エラーメッセージ 「関連する届があります。基本となる届の受領番号を入力してください。」を表示		(24)本紙へ	
	NO	(25)→	/		
(26)受理指示事件コードを初期化する					
(27)該当事件コード(4、8、10、12、50、51、その他)					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択							
処理名	3.0 別紙						備考	
4 (離縁)	(28)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/				
	YES	(29)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示			(30)本紙へ			
	NO	(31)受付事件コード=「離縁」である(YES,NO)		/				
		YES	(32)→		(33)本紙へ			
		NO	(34)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示					
8 (離縁同時 73条の2)	(35)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/				
	YES	(36)受付事件コード=「離縁」である(YES,NO)		/				
		YES	(37)→		(38)本紙へ			
		NO	(39)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示					
	NO	(40)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示						
10 (離婚)	(41)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/				
	YES	(42)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示			(43)本紙へ			
	NO	(44)受付事件コード=「離婚」である(YES,NO)		/				
		YES	(45)→		(46)本紙へ			
		NO	(47)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示					
12 (離婚同時 77条の2)	(48)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/				
	YES	(49)受付事件コード=「離婚」である(YES,NO)		/				
		YES	(50)→		(51)本紙へ			
		NO	(52)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示					
	NO	(53)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示						

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択							
処理名	3.0 別紙						備考	
50 (受理指示)	(54)受理指示事件コードに、選択事件コードを、受付事件コードで判別してセットする				/			
	(55)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)				/			
	YES	(56)受付事件コード=「離縁」である(YES,NO)			/			
		YES	(57)受付指示事件コードに選択事件コード:離縁同時73条の2をセットする		/			
		NO	(58) → (59)へ		/			
		(59)受付事件コード=「離婚」である(YES,NO)			/			
		YES	(60)受付指示事件コードに選択事件コード:離婚同時77条の2をセットする			(61)本紙へ		
		NO	(62) →					
	NO							
51	(63) →					(64)本紙へ		
その他	(65)選択事件コードと受付事件コードのチェックをする(OK:YES,NG:NO)				/			
	YES	(66) →				(67)本紙へ		
	NO	(68)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示						

第7.2.(4)

「異動検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「異動検索」処理	システム処理の概要説明書 ・「前提」に必須とする事項を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」を変更直下のフロー図にサブタイトル「1-1.異動検索(本籍人)処理業務の概要図」を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」に「1-2.異動検索(非本籍)) 処理業務の概要図」を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要」を「2.異動検索処理業務の概要」に変更 ・「2.異動検索処理業務の概要　B.該当戸籍一覧～個人詳細表示」に異動検索(非本籍人)の処理概要を追加
2	R3	B03	「異動検索」処理	システム処理の概要説明書 ・「前提」に異動予約情報一覧から事件本人等を選択できる機能を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」「1-1.異動検索(本籍人)処理業務の概要図」の戸籍DBロック中間F作成に戸籍情報連携システムとの連携に関する事項を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」「1-2.異動検索(非本籍)) 処理業務の概要図」の中間F作成に戸籍情報連携システムとの連携に関する事項を追加 ・「2.異動検索処理業務の概要」 　不受理申出イメージ表示、胎児認知届イメージ表示を記載 　予約情報一覧から事件本人等を選択した場合を記載 ・I0140送信回数の変更 　この変更を補記するため「2.0 事件本人の選択における戸籍情報連携システムとの送受信」を追加
3	R4	B01	「異動検索」処理	検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を追加 ①「前提」に(10)を追加
4	2.0	連携システム_外部I/F仕様書№277、他	「異動検索」処理	1-2.異動検索（非本籍人）の修正 ①戸籍構成員一覧(副本・異動)から戸籍中間F作成に伸びる点線の下に記載の「個人番号、戸籍番号、市区町村コード」を削除 ②WebAPI(I0150)から戸籍中間F作成に伸びる線の矢印を逆に修正(誤り修正)
5		連携システム_別冊(運用編)№23,28		検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を修正 ①「前提」の(10)を修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	異動検索

★前提★

ここに記述するものは、基本的な例であり、処理機能･画面等は、各自治体･メーカー一任とする。

但し、次に掲げる事項は、必須とする。

1).該当者選択時における審査不可区分のチェック

区分	新メッセージ内容
1	審査不可区分が設定されています。(渉外婚姻)
2	審査不可区分が設定されています。(婿養子縁組婚姻、入夫婚姻)

2).不受理申出がある場合の、不受理申出画面の強制表示

3).出生子の名に使える文字のチェック

4).本籍、住所等選択入力の場合のコードの設定

5).戸籍DBの排他制御(ロック)処理(エラーメッセージ表示含む)

6).その他、処理に必要なコード等の設定

7).除籍者が選択された場合は、注意喚起のメッセージ等を表示

8).検索処理において順守すべきとされている事項

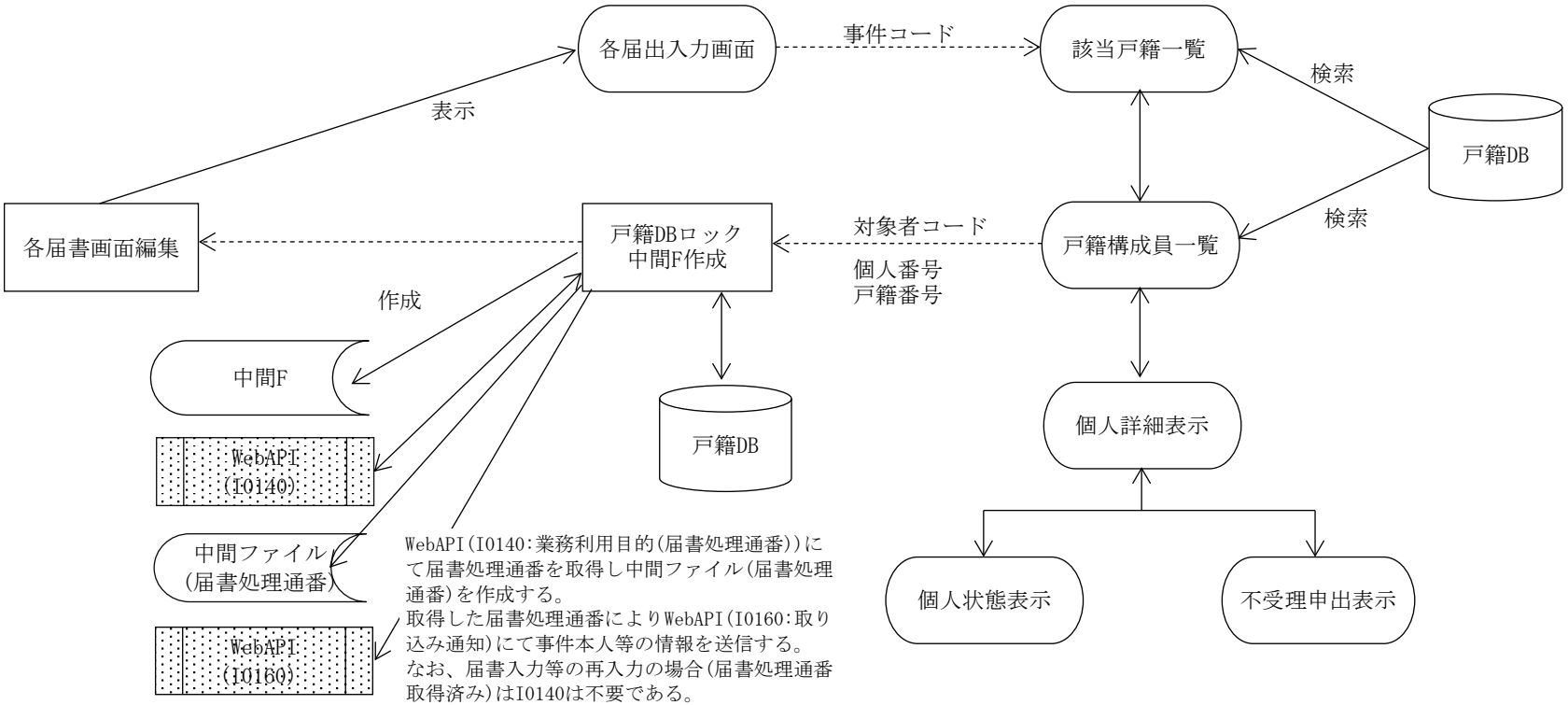
9).異動予約情報の一覧から異動事件の該当戸籍又は個人を選択する機能を備えること

10).非本籍人検索において事件本人に異動処理状況情報を確認し、「異動処理中」又は「異動予約中」の場合は異動予約内容の表示等により処理継続が可能か判断する処理を行うこと

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	異動検索					

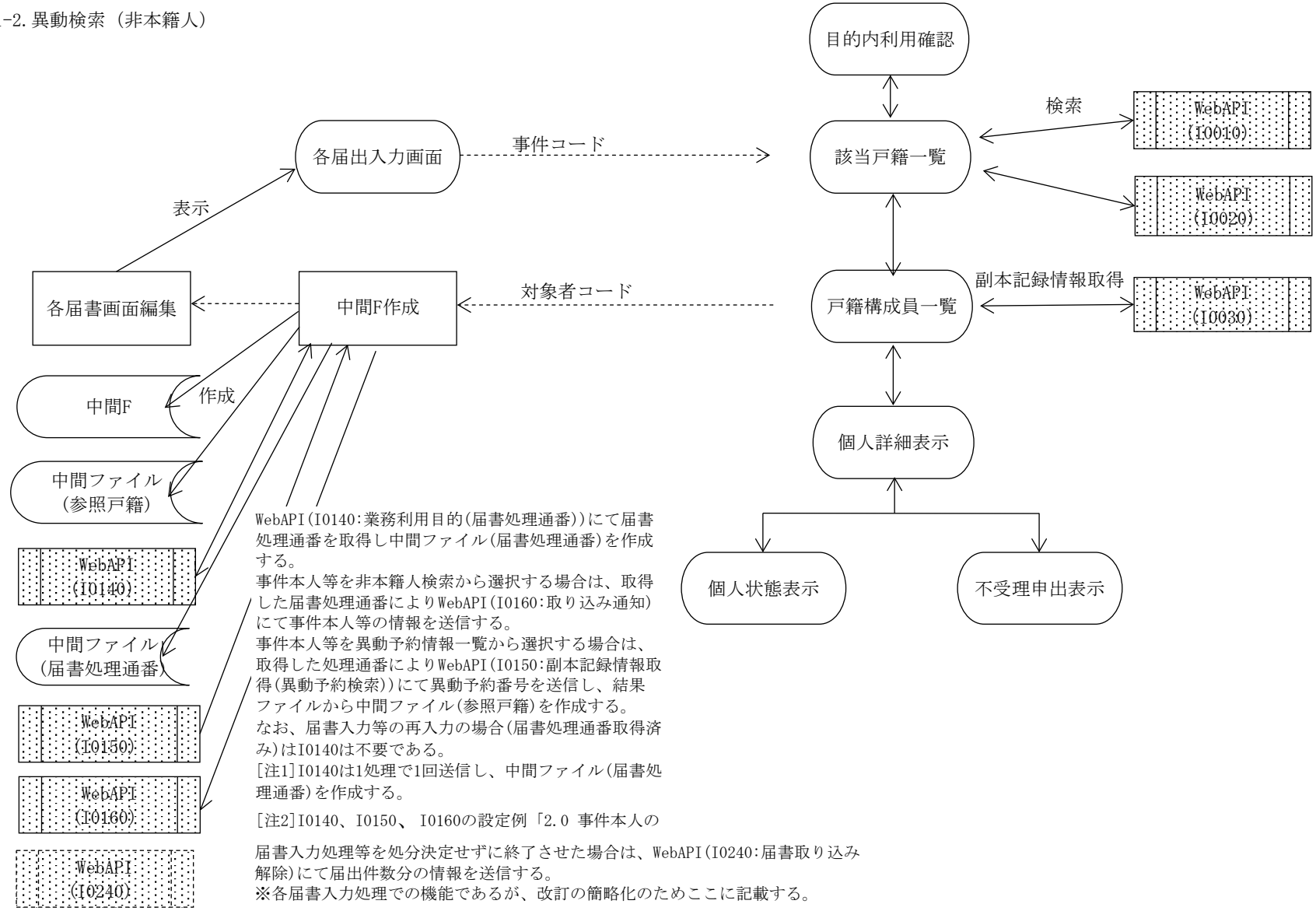
1.異動検索処理業務の概要図

1-1.異動検索（本籍人）



システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	異動検索					

1-2.異動検索（非本籍人）



WebAPI(I0140:業務利用目的(届書処理通番))にて届書処理通番を取得し中間ファイル(届書処理通番)を作成する。
事件本人等を非本籍人検索から選択する場合は、取得した届書処理通番によりWebAPI(I0160:取り込み通知)にて事件本人等の情報を送信する。
事件本人等を異動予約情報一覧から選択する場合は、取得した処理通番によりWebAPI(I0150:副本記録情報取得(異動予約検索))にて異動予約番号を送信し、結果ファイルから中間ファイル(参照戸籍)を作成する。
なお、届書入力等の再入力の場合(届書処理通番取得済み)はI0140は不要である。
[注1]I0140は1処理で1回送信し、中間ファイル(届書処理通番)を作成する。

[注2]I0140、I0150、 I0160の設定例「2.0 事件本人の

届書入力処理等を処分決定せずに終了させた場合は、WebAPI(I0240:届書取り込み解除)にて届出件数分の情報を送信する。
※各届書入力処理での機能であるが、改訂の簡略化のためここに記載する。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	異動検索						

2.異動検索処理業務の概要

A.各届書入力画面からの制御

・各届書入力画面から、事件コードを受け取る。

B.該当戸籍一覧～個人詳細表示又は該当戸籍一覧(副本・異動)～個人詳細表示(副本・異動)
選択したい該当者が本籍人の場合は、異動検索(本籍人)処理として戸籍DBを検索し該当戸籍一覧～個人詳細表示を表示する。非本籍人の場合には、異動検索(非本籍人)処理として戸籍情報連携システムのWebAPI機能を利用して副本記録情報を検索し、該当戸籍一覧(副本・異動)～個人詳細表示(副本・異動)を表示する。

・該当戸籍選択又は該当戸籍一覧(副本・異動):検索処理と同様
該当戸籍一覧(副本･異動)画面の検索キー(戸籍種別)について、改製原戸籍、再製原戸籍、除籍(電算化前)、司法大臣原戸、昭和改製原戸籍、平成改製原戸籍、再製原除籍及び再製原新改(平成改製原)の指定は不可とする。
・戸籍構成員一覧又は戸籍構成員一覧(副本・異動):与えられた事件コードに対する該当者及び該当戸籍を選択する。【次頁参照】
改製不適合戸籍又は改製不適合戸籍に在籍する個人は、該当者/該当戸籍として選択することができない。
・個人詳細表示又は個人詳細表示(副本・異動):検索処理と同様(個人状態ファイルに胎児認知区分がある者は、胎児認知届イメージを表示する)
・不受理申出表示又は不受理申出ファイル表示(副本・異動):検索処理と同様(不受理申出がある者は、不受理申出イメージを表示する)

該当者/該当戸籍 分繰り返す

C.異動予約情報一覧　※「異動予約」処理はサンプル提示のため画面設計書は作成しない

・本籍人、非本籍人とも予約情報一覧から事件本人等を選択する。この場合、A.～B.の画面による処理は行わない。

D.該当者選択終了後

・該当者に不受理申出Fが存在すれば、不受理申出に該当するかどうかの判断入力ができる不受理申出の画面を強制的に出力させる。
判断結果は、異動入力へと引き継ぐ。
・該当者が本籍人の場合、該当する戸籍に対して、ロックをかける。
・該当者が本籍人の場合、WebAPI(I0140:業務利用目的(届書処理通番))にて届書処理通番を取得して中間ファイル(届書処理通番)を作成し、WebAPI(I0160:取り込み通知)にて事件本人等の情報を送信する。
・該当者が非本籍人の場合、WebAPI(I0140:業務利用目的(届書処理通番))にて届書処理通番を取得して中間ファイル(届書処理通番)を作成する。
該当者を非本籍人検索から選択した場合はWebAPI(I0030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))から中間ファイル(参照戸籍)を作成し、WebAPI(I0160:取り込み通知)にて事件本人等の情報を送信する。
該当者を異動予約から選択した場合はWebAPI(I0150:副本記録情報取得(異動予約検索))にて事件本人等の情報を送信し、送信結果から中間ファイル(参照戸籍)を作成する。
・届書画面に対応する中間Fを作成する。

E.届書画面編集

・作成した中間Fより画面へ編集する。

3.留意点

・異動検索処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。又、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。
・I0140は1処理で1回送信し、中間ファイル(届書処理通番)を作成する。再処理(届書処理通番取得済)の場合はI0140は不要。
・届書入力処理等を処分決定せずに終了させた場合は、WebAPI(I0240:届書取り込み解除)にて届出件数分の情報を送信する。
※届書入力処理の改訂の簡略化のためここに記載する。
・I0140、I0150、I0160の設定情報は後の処理で使用する場合も考えられることから、設定情報を中間ファイル(届書処理通番)と連携して保持することを検討すること。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	異動検索
処理名	1.0 異動検索の届書別該当者一覧

届書名	該当者	該当戸籍	備考
出生届	父 母 届出人	入るべき戸籍	新本籍の入力
認知届	被認知者(子) 認知者(父) 被認知者の母 (子の母)		
養子縁組届	養子・養女 養父 養母		新本籍の入力
養子離縁届	養子・養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
特別養子縁組届	養子・養女 養父 養母		
特別養子離縁届	養子・養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
法73条の2届(法69条の2届)	縁氏続称者		新本籍の入力
養子離縁届同時73条の2届	養子・養女 養父 養母		新本籍の入力
婚姻届	夫 妻		新本籍の入力
離婚届	夫 妻	戻る戸籍	新本籍の入力
77条の2届	婚氏続称者		新本籍の入力
離婚届同時77条の2届	夫 妻		新本籍の入力
親権(管理権)届	未成年者 親権者(管理権者)		
未成年後見届	未成年被後見人 未成年後見人		
保佐届	被保佐人 保佐人		

届書名	該当者	該当戸籍	備考
死亡届	死亡者 死亡者の生存配偶者		
失踪宣告届	失踪者 失踪者の生存配偶者		
復氏届	復氏届	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
姻族関係終了届	姻族関係終了者		
推定相続人廃除届	被廃除者 廃除者		
入籍届	入籍者 入籍者の配偶者	入籍戸籍	
分籍届	分籍者		
国籍取得届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
帰化届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
国籍喪失届	国籍喪失者 国籍喪失者の配偶者		
国籍選択届	国籍選択者		
外国国籍喪失届	外国国籍選択者		
107条1項届	氏変更者 氏変更の筆頭者		
107条2項届	氏変更者		新本籍の入力
107条3項届	氏変更者		新本籍の入力
107条4項届	氏変更者		新本籍の入力
名の変更届	名変更者		
転籍届	転籍者 転籍の筆頭者		新本籍の入力
就籍届		入籍戸籍	新本籍の入力

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	異動検索						
処理名	2.0 事件本人等の選択における戸籍情報連携システムとの送受信						

項番	届出事件	事件本人等	I/F	I/F送信情報(主な設定情報)及びI/F受信情報(主な受信項目)	備考
1	婚姻 (届書入力)	夫(本)異動予約	IO140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード「09:婚姻」届書処理方法区分「0:届書審査処理」	最初の事件本人設定で実施
			IO140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
			IO160-R01	選択種別「1:異動予約から事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「001」異動対象区分「－：設定不要」事件本人区分「12」事件対象戸籍区分「－：設定不要」	事件本人「夫」の選択 設定項目を中間ファイル(届書処理通番)への設定を検討する
			IO160-S01	特になし	
		妻(非本)異動予約	IO150-R01	入力識別番号「002」事件本人区分「13」副本参照処理区分、事件対象戸籍区分は夫と同じ	事件本人「妻」の選択
			IO150-S01	取得した事件本人の副本記録情報を中間ファイル(参照戸籍)として登録	
2	婚姻 (届書入力)	夫(非本)副本記録情報検索	IO140	項番1と同じ	最初の事件本人設定で実施
			IO160-R01	選択種別「2:副本記録情報を検索して事件本人を選択」異動対象区分「1:事件本人単位」他は項番1の夫と同じ	事件本人「夫」の選択
			IO160-S01	取得した異動予約番号で異動予約ファイルの更新が可能	
		妻(本)本籍人検索	IO160-R01 IO160-S01	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」異動対象区分「1:事件本人単位」他は項番1の妻と同じ S01の用途は夫と同じ	事件本人「妻」の選択
3	項番2の婚姻(届書入力)で事件本人(夫)の選択誤りがあった場合	夫(非本)副本記録情報**【再検索】** 選択誤りの事件本人	IO140	**取得済みのため送信不要**	
			IO160-R01	選択種別「1:異動予約から事件本人を選択」副本参照処理区分「**2:届書取り込み解除**」入力識別番号「001」異動対象区分「1:事件本人単位」事件本人区分「12」事件対象戸籍区分「－：設定不要」	事件本人「夫」の**再選択** 誤った事件本人の届書取り込み解除を行う 再選択した事件本人の届書取り込みを行う
		選択し直した事件本人	IO160-R01	項番2の夫と同じ	
4	離婚 (届書入力)	夫(非本)異動予約	IO140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード「10:離婚」届書処理方法区分「0:届書審査処理」	最初の事件本人設定で実施
			IO140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
			IO150-R01	副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「001」事件本人区分「12」事件対象戸籍区分「－：設定不要」	事件本人「夫」の選択
			IO150-S01	取得した事件本人の副本記録情報を中間ファイル(参照戸籍)として登録	
		妻(非本)異動予約	IO150-R01	入力識別番号「002」事件本人区分「13」他は夫と同じ	事件本人「妻」の選択
			IO150-S01	夫と同じ情報のため何もしない	
		戻る戸籍(本)異動予約	IO160-R01	選択種別「1:異動予約から事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「900」異動対象区分「－：設定不要」事件本人区分「－：設定不要」事件対象戸籍区分「02：戻る戸籍」	事件本人「戻る戸籍」の選択

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	異動検索			
5 離縁同時73条の2の届 (届書入力)	養子(本)本籍人検索	I0140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード**「08:戸籍法69条の2」**届書処理方法区分「0:届書審査処理」	最初の事件本人設定で実施 I0140は1処理で1回だけ送信 ※届出事件コードは欄外参照
		I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
		I0160-R01 S01省略	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「003」異動対象区分「1:事件本人単位」事件本人区分「10」事件対象戸籍区分「－：設定なし」	事件本人「養子」の選択
	養父(本)本籍人検索	I0160-R01	入力識別番号「001」事件本人区分「08」他は養子と同じ	事件本人「養父」の選択
	養母(本)本籍人検索	I0160-R01	入力識別番号「002」事件本人区分「09」他は養子と同じ	事件本人「養母」の選択
6 入籍(3名) (審査結果入力)	入籍者①②③(本)該当戸籍検索 入籍戸籍(非本)	I0140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード「21:入籍」届書処理方法区分「1:審査結果入力処理」	**戸籍を検索した時点では設定項目が不明 従って受付ファイル作成で作成した受付ファイルごとに実施**
		I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
		I0160-R01 S01省略	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「900」異動対象区分「2:戸籍単位」事件本人区分「－：設定なし」事件対象戸籍区分「04：該当戸籍」	1件目の受付ファイル作成**本籍分**の事件本人の数及び届後戸籍で実施
	入籍者②、③	I0160-R01 S01省略	②：入力識別番号「901」他は入籍者①と同じ ③：入力識別番号「902」他は入籍者①と同じ	2、3件目の受付ファイル1人目で取得した届書処理通番を使用
7 離婚無効 (訂正・更正・追完)	夫婦の戸籍(本)該当戸籍検索 妻・復籍戸籍(本)該当戸籍検索	I0140-R01	目的ID「3:戸籍の訂正等業務」届出事件コード「50:訂正」届書処理方法区分「2:訂正・更正・追完処理」	**戸籍を検索した時点では設定項目が不明 従って受付ファイル作成で作成した受付ファイルごとに実施**
		I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
	夫	I0160-R01 S01省略	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「900」異動対象区分「2:戸籍単位」事件本人区分「－：設定なし」事件対象戸籍区分「04：該当戸籍」	1件目の受付ファイル作成**本籍分**の事件本人の数及び届後戸籍で実施
	妻(戻る戸籍)	I0160-R01	入力識別番号「901」他は夫と同じ	

[注]1処理で複数届がある場合の届出事件コード
離縁同時73条の2届「08(戸籍法69条の2)」、離婚同時77条の2届「12(戸籍法75条の2)」、それ以外は基本の届の届出事件コードを設定する(養子離縁届と親権届を同時に処理する場合は「04(養子離縁)」)。

[参照]
・別紙2-1電文設計書(項目説明) 表8～表12(事件別)異動処理中とする対象者
・別紙2-2電文設計書(Webサービス連携) I0160-R01「表1：要求キー情報指定条件」

第7.2.(5)

「審査」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	ー	「審査」処理	新規作成 ・5.10.(5)_「審査」処理の内容を記載
2		B03		4. 戸籍情報連携システムとの連携を追加 ・各届書入力処理での共通事項を追加

システム処理の概要説明	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	審査処理					

1. 処理概要
   (1) 各異動届の入力、審査、仮戸籍ファイルの作成等を行う。
   基本的にすべてを順守すること(処理の流れ、チェック・審査内容、戸籍編製内容等)。

2. 留意点
   (1) より深く審査するための画面項目の追加、審査項目の追加は構わない。
   (2) 他の仕様を変更することによる処理の変更は認める(関連事務のファイルを作成する等)。
   (3) 画面への入力方式は任意とする。

3. その他
   (1) 審査処理で処理できないもの(審査結果入力処理)を以下に示す。
   ①通常のカレンダーにはない日付を持っている者の処理(日付には生年月日の他に、戸籍事項および身分事項にも複数存在する)
   ・元号が変わった境目の日付(大正15年12月25日と昭和元年12月25日等)
   ・実際にカレンダー上にはない日付(大正16年、2月30日等)
   ②改正国籍法(昭和60年1月1日施行)前に外国人と婚姻してシステム化後も(養)父母の戸籍にいる者の処理
   その者については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し、審査ではじくことにする。
   ③旧法において婿養子縁組婚姻または入夫婚姻した夫が昭和32年法務省令による改製作業の際に申出を行い筆頭者となった夫及び妻については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し、審査ではじくことにする。
   ④不受理とされた創設的届出に対して、受理を命ずる裁判が確定した場合の処理
   ⑤事件本人が既に死亡している者の創設的届出があったときの処理(死亡後受理)
   上記以外については各事件の要件定義書「システム処理の概要説明」を参照のこと。
   (2) 審査処理で注意が必要な事項を以下に示す。
   ①北方地域(色丹、国後および択捉島)に本籍を有することができること。また、この場合の送付先は根室市であることに注意が必要である。
   ②再入力処理での入力仕様、異動検索との関わり等

4. 戸籍情報連携システムとの連携
   (1) 各届書入力処理での共通事項
   ①事件本人等を確定した後処分決定に進まずに処理を中断した場合、WebAPI(IO240:届書取り込み解除)を送信すること。

第7.2.(5)「異動」処理

1.出生届(含国籍留保)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	出生152	「出生届」	・誤記を訂正 3.0　審査(レアケース、不受理、以降の処理制御) (164-39)の飛び先の不要な罫線を削除、(214)、(219) 3.23 審査（母日本人未婚･婚姻解消後出生)(42) ・タイトル誤記を訂正 3.6 審査（父母日本人婚姻後200日以内出生) 3.23 審査（母日本人未婚･婚姻解消後出生)
2		出生153		・誤記を修正 入力確認_3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 事件本人区分の備考欄
3		－		・条文等の見直しによる修正 4.0 中間ファイル(届書) 処分区分の備考「3:受理伺い」を「3:受理照会」に修正
4		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
5	2.0	出生154	「出生届」	誤記により「届出人の資格コード名称」を「届出人の資格名称」に修正 ・審査_1.0 単体チェック表 ・審査_4.0 中間ファイル(届書) ・入力確認_確認画面(出生届)表示
6		メッセージ134		メッセージ一覧表とメッセージ内容が異なっているため、メッセージ一覧に合わせて修正 ・3.18 審査（受理照会等)
7		令和3年度申し送り事項一覧№4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)、入力確認_3.0 中間ファイル(仮受付)、入力確認_4.0 中間ファイル(仮受付)、入力確認_身分事項5.1、5.2、6.1、6.2、8.1、8.3、8.4

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15

作業名	出生届

1.出生業務範囲外の処理

(1)国外の出生地主義、条件付出生地主義、血統主義に関する審査
(2)裁判以外の嫡出の推定を排除する例外事由の内容についての審査
(3)新国籍法施行前(昭和25年6月30日以前)の出生届(審査結果業務)
(4)改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に外国人と婚姻し、現在も(養)父母の戸籍にいる者の出生届(審査結果業務)
(5)入るべき戸籍の父母双方が除籍である場合(審査結果業務)
(6)母重婚中に出生した出生届(審査結果業務)
(7)親子関係存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(8)父母又は母の親子関係不存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(9)国籍留保届出人が法定代理人である場合の出生届(審査結果業務)
(10)非嫡出子を出生した母(構成員、配偶者区分 ＝ 未)が、出生当時の戸籍より除籍となっている場合の出生届(審査結果業務)
(11)父母婚姻前出生、又は婚姻後200日以内出生の時、胎児認知があり、胎児認知者が母の夫以外である場合の出生届(審査結果業務)
(12)嫡出子出生届により、既に入籍している子の弟妹につき父母との続柄を訂正する場合の訂正処理(訂正業務)
(13)出生子の名のみの届出の場合(審査結果業務)
(14)胎児認知がある場合、胎児認知を届け出た市区町村以外への出生の届出(審査結果業務)
　及び、送付分による父のみの胎児認知の記録の出生届
(15)同一人との再婚後に出生した場合の出生届(審査結果業務)
(16)入るべき戸籍の本籍が管外であり、入籍事件日への入力がない場合は、入るべき戸籍、出生区分等の審査(審査3.5～3.12)については審査しない。
　但し、入籍事件日への入力がある場合は、通常の審査を行う。
(17)改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に国外で出生した場合の出生届(審査結果業務)
(18)父又母が性同一性障害者で、性同一性障害による性別変更以前に出生した出生届(審査結果業務)
(19)日本人男と外国人母が婚姻し、離婚後300日以内に出生、別の日本人男が胎児認知届を行い、前夫との嫡出否認の裁判の出生届
(20)国籍喪失者(筆頭者)とその配偶者の嫡出子出生届(外国人と日本人の嫡出子出生届)(審査結果入力)
　→戸籍編製マトリックスで判断項目が不足しているため、審査結果入力対象とする。
(21)胎児認知届が証書提出の場合→出生届に証書関連の入力項目が存在しないため、審査結果入力対象とする。
(22)入るべき戸籍の母が除籍者の場合は、審査結果入力対象とする。

2.出生届出入力画面の意義

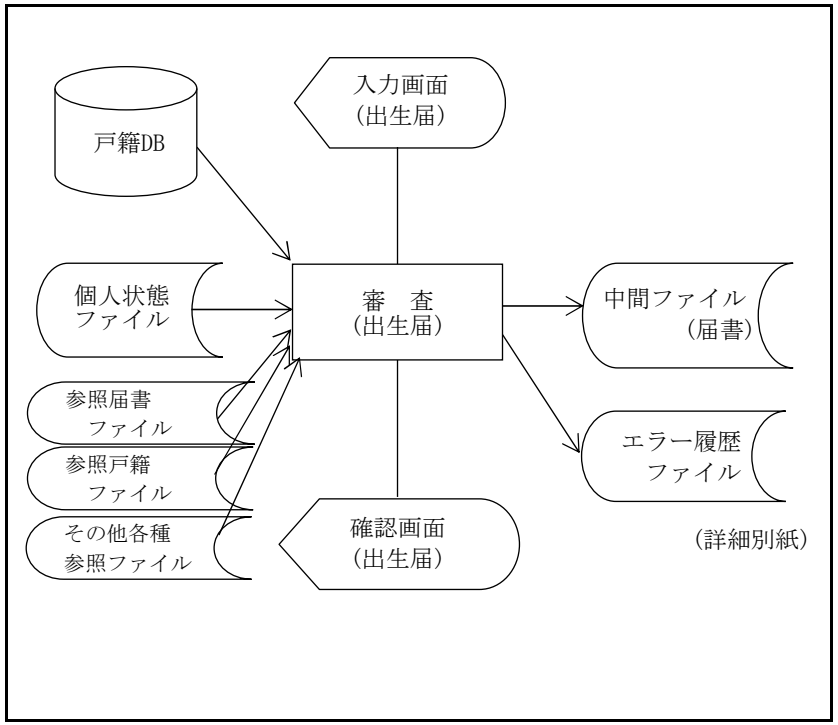
(1)その1画面:出生子･届出人の各項目を入力する。
(2)その2画面:入るべき戸籍･父母の各項目を入力する。
(3)その3画面:上記入力以外の身分事項記載用データを入力する。

3.その他

(1)対象父(現夫、前後夫、届書の父)について
・審査で使用している対象父の考えは、画面上に入力された父を現夫として取り扱っている。
　従って、審査のパターンによっては、母の実際の夫が後夫として取り扱われる場合もある。
(2)離婚後300日以内の出生子への「親権」事項の記載について
・昭和36年12月5日民事甲第3061号において、記載不要との先例があるが、コンピュータ化後の記載としては省略せずに記載するものとする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1) 出生届の内容を画面入力する
(2) 出生届で入力された項目の単体チェックを行う
(3) 出生届で入力された項目の関連チェックを行う
(4) 審査を行う
(5) 出生届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6) 入力確認(出生届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)
  - 3.1 審査(嫡出否認の裁判)
  - 3.2 審査(親子関係不存在確認の裁判)
  - 3.3 審査(父を定める訴の裁判)
  - 3.4 審査(強制認知の裁判)
  - 3.5 審査(父母日本人婚姻後201日以降出生)
  - 3.6 審査(父母日本人婚姻後200日以内出生)
  - 3.7 審査(父母日本人婚姻前出生)
  - 3.8 審査(父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)
  - 3.9 審査(父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生)
  - 3.10 審査(父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生)
  - 3.11 審査(父日本人、母外国人婚姻前出生)
  - 3.12 審査(父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生)
  - 3.13 審査(父母外国人･無国籍人出生)
  - 3.14 審査(棄児)
  - 3.15 審査(嫡出子)
  - 3.16 審査(準正嫡出子)
  - 3.17 審査(非嫡出子)
  - 3.18 審査(受理照会)
  - 3.19 審査(母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)
  - 3.20 審査(母日本人、父外国人婚姻後200日以内出生)
  - 3.21 審査(母日本人、父外国人婚姻前出生)
  - 3.22 審査(母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)
  - 3.23 審査(母日本人未婚･婚姻解消後出生)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(出生届)
処理名	0.0 本紙

									備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する							/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)						/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(出生届)を編集する						(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)						/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(出生届)を編集する						(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する						(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する								入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本・非本区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:要、1:不要)であること			
10	報告区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
11	出生証明書区分	○	数字	(0:無、1:医師・助産師、2:その他)であること			
12	出生子のカナ氏名	○	カナ	(氏△名　又は　氏)であること			
13	出生子の漢字氏名	○	漢字	(氏△名　又は　氏)であること			
14	出生子の生年月日	○	英数	「日付ﾁｪｯｸｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ」「年齢算出ﾁｪｯｸｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ」			
15	出生子の出生区分	○	数字	(1:嫡出子、2:準正嫡出子、3:非嫡出子、4:棄児)であること			
16	出生子の続柄コード	○	数字	(11～29、31～49、99)であること			
17	出生子の出生地		漢字				
18	出生子の国籍		漢字				
19	出生子の住所	○	漢字				
20	出生子の世帯主氏名	○	漢字				
21	出生子の世帯主との続柄コード	○	数字				
22	届出人の資格コード	○	数字	(001:父、002:母、005:父母、077:法定代理人、079:医師、115:助産師、081:その他立会人、082:親族、085:同居者、			
23	届出人の資格名称		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	届出人の氏名		漢字	届出人の資格 ＝ 005の097の場合未入力 届出人の資格 ≠ 005、097の場合入力必須			
25	入るべき戸籍の婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	入るべき戸籍の嫡出子例外区分		数字	(0:無、1:有)であること			
28	入るべき戸籍の離婚日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	入るべき戸籍の母前離婚日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	入るべき戸籍の本籍		漢字				
31	入るべき戸籍の筆頭者氏名		漢字				
32	入るべき戸籍の父氏名		漢字				
33	入るべき戸籍の父筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
37	入るべき戸籍の父配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
34	入るべき戸籍の父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	入るべき戸籍の父入籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	入るべき戸籍の父除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
38	入るべき戸籍の母氏名		漢字				
39	入るべき戸籍の母筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
43	入るべき戸籍の母配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
40	入るべき戸籍の母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	入るべき戸籍の母入籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	入るべき戸籍の母除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	届書の父氏名		漢字				
45	届書の父本籍		漢字				
46	届書の父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	届書の父筆頭者氏名		漢字				
48	届書の父外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
49	届書の母氏名		漢字				
50	届書の母本籍		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
51	届書の母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
52	届書の母筆頭者氏名		漢字				
53	届書の母外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
54	胎児認知区分		数字	(0:無、1:有)であること			
55	胎児認知日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
56	関連受領番号		数字				
57	新戸籍の本籍		漢字				
58	新戸籍の筆頭者氏名		漢字				
59	国外出生の国籍留保届出人資格		数字	(0:無、1:父、2:母、3:父母)であること			
60	国外出生の在外公館名		漢字				
61	裁判の区分		数字	(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)であること			
62	裁判の確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
63	裁判の子の氏変更申出区分		数字	(0:無、1:有)であること			
64	裁判の対象夫氏名		漢字				
65	裁判の対象夫生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
68	国内遅延理由区分		数字	(0:無、1:国内有)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペース　かつ　(No.15)出生子の出生区分 ≠ 4の時、 (No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付の時、 (No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は　＝ 4(連携情報の通知)の時、 (No.9)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日>(No.2)受領日であること			第20版変更
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
15	(No.15)出生子の出生区分 ＝ 4の時、(No.9)動態区分 ＝ 0であること			
16	(No.32～37)入るべき戸籍の父欄のいずれか　又は (No.38～43)入るべき戸籍の母欄のいずれかに入力がある場合、 (No.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース、 (No.31)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペースであること			
17	(No.28)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペースの時、 (No.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース、 (No.28)入るべき戸籍の離婚日 ≧ (No.25)入るべき戸籍の婚姻日であること			
18	(No.32～37)入るべき戸籍の父欄のいずれかに入力がある場合、 (No.32)入るべき戸籍の父氏名、(No.33)入るべき戸籍の父筆頭者区分、 (No.34)入るべき戸籍の父生年月日、(No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(出生届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(出生届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.38～43)入るべき戸籍の母欄のいずれかに入力がある場合、 (No.38)入るべき戸籍の母氏名、(No.39)入るべき戸籍の母筆頭者区分、 (No.40)入るべき戸籍の母生年月日、(No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ スペースであること			
20	(No.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース　又は　(No.31)入るべき戸籍の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース、 (No.31)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペース　であること (No.32～37)入るべき戸籍の父欄(関連No.18項目) (No.38～43)入るべき戸籍の母欄(同No.19項目)の双方又は一方に入力があること			
21	(No.44～47)届書の父氏名、届書の父本籍、届書の父生年月日、 届書の父筆頭者氏名のいずれかに入力がある時、 (No.48)届書の父外国人区分 ＝ 0の場合、 (No.44)届書の父氏名 ≠ スペース、(No.45届書の)父本籍 ≠ 本籍、 (No.46)届書の父生年月日 ＝ 和暦、(No.47)届書の父筆頭者氏名 ≠ スペースであること (No.48)届書の父外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.44)届書の父氏名 ≠ スペース、(No.45)届書の父本籍 ＝ 国籍、 (No.46)届書の父生年月日 ＝ 西暦、(No.47)届書の父筆頭者氏名 ＝ スペースであること			
22	(No.49～52)届書の母氏名、届書の母本籍、届書の母生年月日、 届書の母筆頭者氏名のいずれかに入力がある時、 (No.53)届書の母外国人区分 ＝ 0の場合、 (No.49)届書の母氏名 ≠ スペース、(No.50)届書の母本籍 ＝ 本籍、 (No.51)届書の母生年月日 ＝ 和暦、(No.52)届書の母筆頭者氏名 ≠ スペースであること (No.53)届書の母外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.49)届書の母氏名 ≠ スペース、(No.50)届書の母本籍 ＝ 国籍、 (No.51)届書の母生年月日 ＝ 西暦、(NO.52)届書の母筆頭者氏名 ＝ スペースであること			
23	(NO.57)新戸籍の本籍 ≠ スペース　又は　(NO.58)新戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペースの時、 (NO.57)新戸籍の本籍 ≠ スペースかつ　(NO.58)新戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペースであること			
24	(NO.59)国外出生の国籍留保届出人資格 ≠ スペースの時、 (NO.60)国外出生の在外公館名 ＝ スペースであること			
25	(NO.60)国外出生の在外公館名 ≠ スペースの時、 (NO.59)国外出生の国籍留保届出人資格 ＝ スペースであること			
26	(NO.61)裁判の区分 ＝ 1、2の時、 (NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	(NO.61)裁判の区分 ＝ 3、4の時、 (NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、(NO.63)裁判の子の氏変更申出区分 ＝ スペース、 (NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、(NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
28	(NO.62)裁判の確定日 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ≠ スペース、(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
29	(NO.63)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ＝ 1 又は 2、 (NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
30	(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ≠ スペース、(NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
31	(NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ≠ スペース、(NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、 (NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペースであること			
32				22版(出生142)
33				22版(出生142)
34	(NO.68)国内遅延理由区分 ≠ スペースの時、 (NO.5)在外送付区分 ＝ 1、かつ、(NO.4)発送元 ≠ スペースであること			
35	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 077(法定代理人)、093(公設所の長)の時、 (NO.23)届出人のコード名称 ≠ スペースであること			
36	(NO.22)届出人の資格コード ≠ 077(法定代理人)、093(公設所の長)、097(市区町村長)の時、 (NO.23)届出人のコード名称 ＝ スペースであること			
37	(NO.11)出生証明書区分 ＝ 1　又は　(NO.22)届出人の資格コード ＝ 092(船長)の時、 (NO.17)出生子の出生地 ≠ スペースであること			
39	(NO.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース　かつ　(NO.38)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペースの時、 (NO.32)入るべき戸籍の父氏名(氏) ＝ (NO.38)入るべき戸籍の母氏名(氏)であること			
40	(NO.48)届書の父外国人区分 ＝ 1　かつ　(NO.53)届書の母外国人区分 ＝ 1の時、 (NO.25～43)入るべき戸籍欄 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(出生届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(出生届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
41	(NO.55)胎児認知日 ＝ スペースの時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 又は (NO.44～48)届書の父欄の一方には入力があること			
42	(NO.12)出生子のカナ氏名 ＝ 氏のみの時、 (NO.13)出生子の漢字氏名 ＝ 氏のみであること			
43	(NO.12)出生子のカナ氏名 ＝ 氏△名の時、 (NO.13)出生子の漢字氏名 ＝ 氏△名であること			
44	(NO.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペースの時、 (NO.44～48)届書の父欄 ＝ スペースであること			
45	(NO.38)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペースの時、 (NO.49～53)届書の母欄 ＝ スペースであること			
46	(NO.44)届書の父氏名 ≠ スペース、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペースであること			
47	(NO.49)届書の母氏名 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースであること			
48	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 001(父)の時、 (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.32)入るべき戸籍の父氏名 又は (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.44)届書の父氏名であること			
49	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 002(母)の時、 (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.38)入るべき戸籍の母氏名 又は (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.49)届書の母氏名であること			
50	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 005(父母)の時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は (NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであるこ			
51	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)離婚日 ＝ スペース かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであるこ			
52	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)離婚日 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は (NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースであるこ			
53	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.49～53)届書の母欄 ＝ スペース かつ (NO.44～48)届書の父欄 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(出生届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(出生届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
54	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースの時、 (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペース かつ (NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースであること			
55	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース かつ (NO.43～53)届書の母欄 ＝ スペースであること			
56	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ＝ スペース かつ (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースであること			
57	(NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			
58	(NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペースであること			
59	(NO.15)出生子の出生区分 ＝ 4の時、 (NO.17)出生子の出生地 ＝ スペースであること			
60	(NO.11)出生証明書区分 ＝ 1の時、 (NO.15)出生子の出生区分 ≠ 4であること			
61	(NO.15)入るべき戸籍の出生区分 ≠ 4の時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			
62	(NO.54)胎児認知区分、 (NO.55)胎児認知日、 (NO.56)関連受領番号のいずれかに入力がある時、 (NO.54～56)全てに入力があること			
63	(NO.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 本籍 ＝ 管内の時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄のいずれかに入力がある場合、 (NO.35)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペースであること (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄のいずれかに入力がある場合、 (NO.41)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペースであること			
64	(NO.36)入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペースの時、 (NO.35)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペースであること			
65	(NO.42)入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペースの時、 (NO.41)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
66	入るべき戸籍の父、入るべき戸籍の母 ≠ スペース かつ 父母の一方が本籍人の時、 入るべき戸籍の父.戸籍番号 ＝ 入るべき戸籍の母.戸籍番号であること			
67	(NO.14)出生子の生年月日 ＝ 和暦の時、 (NO.18)出生子の国籍 ＝ スペースであること			
68	(No.33)入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース かつ (No.42)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペースの時、 (No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ 2であること			12版追加
69	(No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ (No.39)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.42)入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペースの時、 (No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ 1であること			12版追加
70	(No.33)入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ (No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ＝ 1の時、 (No.49)届書の母氏名～(No.53)届書の母外国人区分 ＝ (未入力)であること			
71	(No.39)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.42)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ (No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2の時、 (No.44)届書の父氏名～(No.48)届書の父外国人区分 ＝ (未入力)であること			
72	(No.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース かつ (No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ (No.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (No.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (No.38)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペースの時、 (No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ＝ 1 であること			20版追加
73	(No.37)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース かつ (No.39)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ (No.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (No.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (No.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペースの時、 (No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2 であること			20版追加

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
(1)関連受領番号 ≠ スペース(YES,NO)				/		
YES	(2)受けF.受付事件コード ≠ 0202(YES,NO)			/		
	YES	(3) エラーメッセージ 「入力された関連受領No.は、胎児認知の受付帳ではありません。」を表示する			(4) 本紙へ	不受理
	NO	(5)受けF.受理送付区分 ＝ 1 かつ 在外送付区分 ＝ 0(YES,NO)		/		※出生:受理、胎児認知:受理だけ審査対象それ以外は審査結果入力
		YES	(5-1)→(6)へ	/		
		NO	(5-2) エラーメッセージ 「出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。」を表示する		(5-3) 本紙へ	審査結果入力
NO	(5-4)→(6)へ					
(6) 出生子の生年月日 < 昭和25年7月1日(YES,NO)				/		新国籍法(昭和25. 7. 1施行)
YES	(7)エラーメッセージ 「出生日が新国籍法施行前の出生処理は審査結果業務で処理して下さい。」を表示する				(8)本紙へ	審査結果入力
NO	(9)→(10)へ			/		
(10)入るべき戸籍の母前離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)				/		
YES	(10-1)確認メッセージ(YES,NO) 「同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか。」を表示する				(10-2)本紙へ	
	YES	(10-3)→(10-7)へ		/		
	NO	(10-4)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(10-5)本紙へ	審査結果入力
NO	(10-6)→(10-7)へ			/		
(10-7)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)				/		
YES	(11)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(13)父母渉外婚姻区分に1を移送		/		父母渉外婚姻区分は審査処理上の区分
		(14)→(17)へ				
	NO	(15)父母渉外婚姻区分に3を移送		/		
		(16)→(17)へ		/		
NO						
(17)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1(YES,NO)				/		
YES	(18)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(20)父母渉外婚姻区分に2を移送		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)					
処理名	3.0　審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)				備考	

		(21)→(24)へ		/			
	NO	(22)父母渉外婚姻区分に4を移送		/			
		(23)→(24)へ		/			
NO				/			
(24)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の婚姻日 < 昭和60年1月1日(YES,NO)				/		改正国籍法(昭和60.1.1施行)	
YES	(25)父母渉外婚姻区分 ＝ 1(YES,NO)			/			
	YES	(26)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ 入るべき戸籍の父氏名(YES,NO)		/			
		YES	(27)エラーメッセージ 「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」 を表示する		(28)本紙へ	審査結果入力	
		NO	(29)→(35)へ	/			
	NO	(30)父母渉外婚姻区分 ＝ 2(YES,NO)		/			
		YES	(31)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ 入るべき戸籍の母氏名(YES,NO)	/			
			YES	(32)エラーメッセージ 「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」	(33)本紙へ	審査結果入力	
			NO	(34)→(35)へ	/		
		NO					
NO							
(35)出生子の生年月日<昭和60年1月1日(YES,NO)				/		改正国籍法(昭和60.1.1施行)	
YES	(36)父母渉外婚姻区分 ＝ 2(YES,NO)			/			
	YES	(37)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/			
		YES	(38)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。出生子の生年月日を西暦で入力して下さい。」を表示する		(39)本紙へ	不受理	
		NO	(40)→(46)へ	/			
	NO						
NO							
(46)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース　かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペース(YES,NO)				/			
YES	(47)エラーメッセージ 「入るべき戸籍に父母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。」を表示する				(48)本紙へ	審査結果入力	
NO	(49)→(49-1)へ			/		第20版変更	

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)					備考	
(49-1)入るべき戸籍の父氏名～入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ 届書の父氏名～届書の父外国人区分のいずれかに入力があり かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペース(YES,NO)			/			第13版変更	
YES	(49-2)エラーメッセージ 「入るべき戸籍に母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。」を表示する			(49-3)本紙へ		審査結果入力	
NO	(49-4)→(60)へ		/				
						(50)～(59)は欠番	
(60)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＞ 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(61)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理して下さい。」を表示する			(62)本紙へ		不受理 若しくは 一時的に3代戸籍となる場合は審査結果入力	
NO	(63)→(64)へ		/				
(64)胎児認知区分 ＝ 1(YES,NO)			/				
YES	(65)出生子の生年月日 ≦ 胎児認知日(YES,NO)		/				
YES	(66)エラーメッセージ 「出生後に胎児認知があります。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する			(67)本紙へ		不受理	
NO	(68)→(69)へ		/				
(69)関連受領番号に対応する受付F.事件本人漢字氏名・生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父 又は届書の父(YES,NO)			/				
YES	(70)→(98)へ		/				
NO	(71)エラーメッセージ 「胎児認知者と入るべき戸籍の父又は届書の父が違います。」を表示する			(72)本紙へ		審査結果入力	
NO	(73)→(74)へ		/				
(74)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース かつ 届書.母外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)			/				
YES	(75)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父母が在籍していない為、審査結果入力より処理して下さい。」を表示する			(76)本紙へ		審査結果入力	
NO	(77)→(98)へ		/				
(98)入るべき戸籍の母入籍日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(99)入るべき戸籍の母入籍日>出生子の生年月日(YES,NO)		/				
YES	(100)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する			(101)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

								備考
		YES	(102)→(112)へ		/			
		NO	(103)→			(104)本紙へ		不受理
	NO		(104-1)入るべき戸籍の母の婚姻日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/			
		YES	(105)入るべき戸籍の母前離婚日 ＝ スペース(YES,NO)		/			
			YES	(106)確認メッセージ(YES,NO) 「母に前婚姻解消の履歴がないものとして処理を続行しますか。」を表示する		(107)本紙へ		
			YES	(108)→(112)へ	/			
			NO	(109)→		(110)本紙へ		不受理
			NO	(111)→(112)へ	/			
		NO						
NO			(111-1)入るべき戸籍の父入籍日+300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/			
	YES		(111-2)入るべき戸籍の父入籍日 > 出生子の生年月日(YES,NO)		/			
		YES	(111-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する			(111-4)表紙へ		
			YES	(111-5)→(112)へ	/			
			NO	(111-6)→		(111-7)本誌へ		不受理
		NO		(111-8)→(112)へ				
	NO							
(112)出生子の出生地 ＝ 国外 かつ 出生子の生年月日 ≧ 昭和60年1月1日 かつ 出生子の国籍 ＝ スペース(YES,NO)					/			
YES			(113)国外出生の国籍留保届出人資格 ＝ スペース(YES,NO)		/			戸104I、昭和23.6.24 民事甲1989号
	YES		(114)国外出生の在外公館名 ＝ スペース(YES,NO)		/			昭和32.9.21 民事甲1833号
		YES	(115)確認メッセージ(YES,NO) 「外国国籍を取得していませんね。」を表示する			(116)本紙へ		
			YES	(117)→(123-1)へ	/			
			NO	(118)→		(119)本紙へ		不受理
		NO		(120)確認メッセージ(YES,NO) 「在外公館職員は父として処理を続行しますか。」を表示する				
			YES	(121)中間F(届書).大使館職員区分に1を移送	/			
			NO	(122)中間F(届書).大使館職員区分に2を移送	/			
				(123)→(123-1)へ	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

							備考
		(123-1)受領日 ≦ 出生子の生年月日 + 3ヶ月(YES,NO)		/			戸104I
		YES	(123-2)→(133)へ		/		
		NO	(123-3)メッセージ 「届出期間を経過していますので注意して下さい。」を表示する			(113-4)本紙へ	戸104III
			(123-4-1) →(133)へ		/		
					/		(123-4-2)から(123-7)まで、削除
	NO	(124)受領日 ≦ 出生子の生年月日 + 3ケ月(YES,NO)			/		戸104I
		YES	(125)→(133)へ		/		
		NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「遅延理由書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示する			(127)本紙へ	戸104III
			YES	(127-1)			(15版修正)
				(127-2)			(15版修正)
				(128)中間F(届書).国外遅延理由区分に1を移送	/		誤植(15版修正)
				(129)→(133)へ	/		
			NO	(130)→		(131)本紙へ	不受理、大正13.11.14民事11606号回答
	NO	(132)出生子の出生地 ＝ 国外 かつ 出生子の生年月日 < 昭和60年1月1日(YES,NO)			/		
		YES	(132-1)エラーメッセージ 「改正国籍法以前の国外出生の出生届は審査結果で行って下さい。」を表示する			(132-2)本紙へ	審査結果入力
		NO	(132-3)→(133)へ		/		
(133)出生子の漢字氏名(名) ＝ スペース(YES,NO)					/		
	YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は名未定として処理を続行しますか。」を表示する				(135)本紙へ	
		YES	(136)→(140)へ		/		
		NO	(137)確認メッセージ(YES,NO) 「名のみの届出ですか。」を表示する			(138)本紙へ	
			YES	(138-1)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			審査結果入力
			NO	(138-2)→			不受理
	NO	(139)→(140)へ			/		
(140)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)					/		昭和39.8.5-6島根県戸住協決 12版改修
	YES	(140-1)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)			/		第20版変更

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

							備考
	YES	(141)入るべき戸籍の父氏名(氏) ＝ 出生子の漢字氏名(氏)(YES,NO)					民790I本文、民790II 第20版変更
		YES	(142)→(145)へ		/		第20版変更
		NO	(143)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の氏(漢字)が違います。」を表示する			(144)本紙へ	不受理 第20版変更
			(145)入るべき戸籍の父氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)		/		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
		YES	(146)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示する			(147)本紙へ	不受理 第20版変更
		NO	(148)→(149)へ		/		第20版変更
	NO						
NO							
(149)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)					/		昭和39.8.5～6 島根県戸住協決 12版改修
YES	(149-1)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)				/		第20版変更
	YES	(150)入るべき戸籍の母氏名(氏) ＝ 出生子の漢字氏名(氏)(YES,NO)					民790I本文、民790II 第20版変更
		YES	(151)→(154)へ		/		第20版変更
		NO	(152)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の氏(漢字)が違います。」を表示する			(153)本紙へ	不受理 第20版変更
			(154)入るべき戸籍の母氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)		/		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
		YES	(155)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示する			(156)本紙へ	不受理 第20版変更
		NO	(157)→(158)へ		/		第20版変更
	NO						
NO							
(158)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内 かつ 出生子の漢字氏名(名) ≠ スペース かつ (入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2 又は 3 又は 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 1)(YES,NO)					/		
YES	(159)入るべき戸籍の構成員数分繰り返す(構成員の個人特定DB.個人除区分 ＝ 0の者のみ)				/		
		(160)入るべき戸籍の構成員n番の氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)			/		
		YES	(161)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の構成員と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示する			(162)本紙へ	不受理
		NO	(163)→(164-1)へ		/		
NO	(164)→(164-1)へ				/		
(164-1)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内(YES,NO)					/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

							備考
YES	(164-2)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)			/			
	YES	(164-3)父の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)		/			平成15年法律第111号3条
		YES	(164-4)確認メッセージ(YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。よろしければ処理を続行してください。」を表示する		(164-5)本紙へ		第19版変更
			YES	(164-6)→(164-10)へ	/		第19版変更
			NO	(164-8)→			不受理 第20版変更
		NO	(164-9)→(164-10)へ		/		
	NO						
	(164-10)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)			/			
	YES	(164-11)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)		/			平成15年法律第111号3条
		YES	(164-12)確認メッセージ(YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね?」を表示する		(164-13)本紙へ		
			YES	(164-14)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(164-15)本紙へ	審査結果入力
			NO	(164-16)→			不受理 第20版変更
		NO	(164-17)→(164-18)へ		/		
	NO						
NO							
(164-18)届書の父本籍 ＝ 管内(YES,NO)				/			
YES	(164-19)父の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)			/			平成15年法律第111号3条
	YES	(164-19)確認メッセージ(YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。父に間違いありませんね?」を表示する			(164-21)本紙へ		
		YES	(164-22)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(164-23)本紙へ		審査結果入力
		NO	(164-24)→				不受理 第20版変更
	NO	(164-25)→(164-26)へ			/		
NO							
(164-26)届書の母本籍 ＝ 管内(YES,NO)				/			
YES	(164-27)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)			/			平成15年法律第111号
	YES	(164-28)確認メッセージ(YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね。」を表示する			(164-29)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
		YES	(164-30)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(164-31)本紙へ	審査結果入力
		NO	(164-32)→			画面項目修正(審査完了しない)
	NO		(164-33)→(164-34)へ	/		
NO						
(164-34)出生子の出生区分 ＝ 1(嫡出子)(YES,NO)				/		
YES	(164-35)入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 0:構成員 かつ 入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ 0:未 かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1:外国人 又は 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0:構成員 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ 0:未 かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1:外国人 (YES,NO)			/		
	YES		(164-36)審査メッセージ(YES,NO) 「日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。」を表示する	/		
		YES	(164-37)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理してください。」を表示する		(164-38)本紙へ	
		NO		/		R3.0(出生152)
	NO		(164-39)→(164-40)へ	/		21版(出生139)
NO				/		R3.0(出生152)
(164-40)受領日 ＝ 送付日の場合 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する				/		
YES	(164-41)→(165)へ			/		
NO	(164-42)→				(164-43)本紙へ	
(165)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/		
0	(166)→(187)へ			/		
1	(167)嫡出否認の裁判審査処理へ [3.1]			/		
	(171)→(187)へ			/		
2	(172)親子関係不存在確認の裁判審査処理へ [3.2]			/		
	(176)→(187)へ			/		
3	(177)父を定める訴の裁判審査処理へ [3.3]			/		
	(178)3.3審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)			/		
	YES	(179)→			(180)本紙へ	
	NO	(181)→(187)へ		/		
4	(182)強制認知の裁判審査処理へ [3.4]			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
	(186)→(187)へ			/		
(187)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は 届書の母欄 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 ＝ 0(YES,NO)				/		
YES	(188)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は 届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 0(YES,NO)			/		
	YES	(189)(入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日+300日 ≧ 出生子の生年月日)(YES,NO)		/		
		YES	(190)父母日本人、婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.5]	/		
			(191)3.5審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
		YES	(192)→		(193)本紙へ	
		NO	(194)→(250)へ	/		
	NO		(195)(入出る生べき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
		YES	(196)父母日本人、婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.6]	/		
			(197)3.6審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
		YES	(198)→		(199)本紙へ	
		NO	(200)→(250)へ	/		
		NO	(201)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
			YES (201-1)父母日本人、婚姻前出生審査処理へ [3.7]	/		
			(202)3.7審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
			YES (203)→		(204)本紙へ	
			NO (205)→(250)へ	/		
			NO (206)父母日本人、未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.8]	/		
			(207)3.8審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
			YES (208)→		(209)本紙へ	
			NO (210)→(250)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
NO	(210-1)届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1(YES,NO)			/		
YES	(210-2)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 又は 入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)			/		
	YES	(210-3)母日本人・父外国人、婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.19]		/		
		(210-4)3.19審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		/		
		YES	(210-5)→		(210-6)本紙へ	
		NO	(210-7)→(250)へ	/		
	NO	(210-8)(入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日<出生子の生年月日)(YES,NO)			/		
		YES	(210-9)母日本人・父外国人、婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.20]		/		
			(210-10)3.20審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES,NO)		/		
			YES	(210-11)→		(210-12)本紙へ	
			NO	(210-13)→(250)へ	/		
		NO	(210-14)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

										備考
					YES	(210-15)母日本人・父外国人、婚姻前出生審査処理へ [3.21]	/			
						(210-16)3.21審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES,NO)	/			
						YES (210-17)→	/	(210-18)本紙へ		
						NO (210-19)→(250)へ	/			
					NO	(210-20)母日本人・父外国人、未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.22]	/			
						(210-21)3.22審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある (YES,NO)	/			
						YES (210-22)→		(210-23)本紙へ		
						NO (210-24)→(250)へ	/			
			NO		(210-25)母日本人、未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.23]		/			
					(210-36)3.23審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		/			
					YES (210-37)→			(210-38)本紙へ		
					NO (210-39)→(250)へ		/			
NO	(211)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は 届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 0(YES,NO)						/			
	YES	(213) (入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日)(YES,NO)						/			
		YES	(214)父日本人、母外国人、婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.9]					/			R3.0(出生152)
			(215)3.9審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)					/			
			YES (216)→						(217)本紙へ		
			NO (218)→(250)へ					/			
		NO	(219) (入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日)(YES,NO)					/			R3.0(出生152)
		YES	(220)父日本人、母外国人、婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.10]					/			
			(221)3.10審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)					/			
			YES (222)→						(223)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

									備考
				NO	(224)→(250)へ		/		
			NO		(225)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
				YES	(225-1)父日本人、母外国人、婚姻前出生審査処理へ [3.11]		/		
					(226)3.11審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		/		
					YES	(227)→			(228)本紙へ
					NO	(229)→(250)へ		/	
				NO	(230)父日本人、母外国人、未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.12]		/		
					(231)3.12審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)				
					YES	(232)→			(233)本紙へ
					NO	(234)→(250)へ		/	
		NO	(235)届書の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)				/		
		YES	(236)父母外国人・無国籍の出生審査処理へ [3.13]				/		
			(237)3.13審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)				/		
			YES	(238)→					(239)本紙へ
			NO	(240)→(269)へ			/		
		NO	(241)確認メッセージ(YES,NO) 「棄児の処理として続行しますか。」を表示する						(242)本紙へ
			YES	(243)棄児の審査処理へ [3.14]			/		
				(244)3.14審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)			/		
				YES	(245)→				(246)本紙へ
				NO	(247)→(250)へ		/		
			NO	(248)→					(249)本紙へ 受理照会
(250)出生子の生年月日 ＝ 西暦 かつ 出生子の出生区分 ≠ 2(YES,NO)							/		
YES	(251)→(269)へ						/		
NO	(252)→(253)へ						/		
(253)出生子の出生区分(1:嫡出子、2:準正嫡出子、3:非嫡出子)							/		
1	(254)嫡出子の審査処理へ [3.15]						/		
	(255)3.15審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)						/		
	YES	(256)→							(257)本紙へ
	NO	(258)→(269)へ					/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.0　審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)						備考	
2	(259)準正嫡出子の審査処理へ		[3.16]	/				
	(260)3.16審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)			/				
	YES	(261)→			(262)本紙へ			
	NO	(263)→(269)へ		/				
3	(264)非嫡出子の審査処理へ		[3.17]	/				
	(265)3.17審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)			/				
	YES	(266)→			(267)本紙へ			
	NO	(268)→(269)へ		/				
(269)受理照会の審査処理へ			[3.18]	/				
(270)→					(271)本紙へ			

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.1　審査(嫡出否認の裁判)				備考		
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日　又は 裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送			(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分		
NO	(4)対象父区分に2(前後夫)を移送						

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.2　審査(親子関係不存在確認の裁判)				備考		
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日　又は 裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送			(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分		
NO	(4)対象父区分に2(前後夫)を移送						

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.3　審査(父を定める訴の裁判)				備考		
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日　又は 裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)		/					
YES	(2)→		(3)3.0審査へ				
NO	(4)エラーメッセージ 「父を定める裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する				不受理		

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.4　審査(強制認知の裁判)				備考		
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日(YES,NO)			/				
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送			(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分		
NO	(4)→(5)へ		/				
(5)裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(6)対象父区分に3(届書の父)を移送			(7)3.0審査へ			
NO	(7)対象父区分に2(前後夫)を移送						

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.5 審査 (父母日本人婚姻後201日以降出生)

| | | |

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.5 審査 (父母日本人婚姻後201日以降出生)

						備考
1,2	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775
	1	(44) → (78)		/		
	2	(50) → (63)		/		
3	(54) → (63)へ			/		民773
4	(55)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		民787
	1,3	(56) → (63)へ		/		
	2	(57)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(58)3.0審査へ	不受理
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)				/		
0	(64)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/		戸49II1
	YES	(65)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
		YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
			YES (67) →		(68)3.0審査へ	
			NO (69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO	(70)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する			不受理
	NO		(71)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
1	(72) → (78)へ			/		
(78)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/		
YES	(79)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)			/		21版(出生112)
	YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/		21版(出生112)
		YES	(79-2) → (88)へ	/		21版(出生112)
		NO	(79-3) → (80)へ	/		21版(出生112)
			(80)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
		YES	(81) → (88)へ	/		
		NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(83)3.0審査へ	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.5 審査（父母日本人婚姻後201日以降出生）							備考	
			「出生子の戻るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する						
			YES (84) → (88)へ		/				
			NO (85) →			(86)3.0審査へ		不受理	
	NO (87) → (88)へ				/				
	(88)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
	YES (89)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)				/				
		YES (90) →				(91)3.0審査へ			
		NO (92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する						不受理	
	NO (93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する							不受理	
NO (107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する								不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.6 審査 (父母日本人婚姻後200日以内出生)

							備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)					/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する					(3)3.0審査へ	民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査	
			YES	(14) → (52)へ	/		
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES (20-1) → (52)へ	/		
				NO (20-2) →		(20-3)3.0審査へ	不受理
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES (20-8) → (52)へ	/		
				NO (20-9) →		(20-10)3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				不受理 民773
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787
			1,3	(23) → (52)へ	/		
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(25)3.0審査へ	不受理
	NO	(30) →(32)へ			/		
NO					/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.6 審査 (父母日本人婚姻後200日以内出生)						備考	
(32)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/				
0	(33) → (52)へ			/				
1	(34)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/			民775	
	1	(35)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(36)3.0審査へ		不受理	
	2	(37) → (52)へ		/				
2	(38)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/			民775	
	1	(39)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/				
		YES	(40) → (59)へ	/				
		NO	(41)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する		(41-1)3.0審査へ		不受理	
	2	(41-2) → (52)へ		/				
3	(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(42-1)3.0審査へ		不受理	
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/			民787	
	1,3	(44) → (52)へ		/				
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(46)3.0審査へ		不受理	
(52)届出人のコード名称 ＝ 母 かつ 出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			昭和26. 6.27 民事甲 1332号回答	
YES	(53) → (59)へ			/				
NO	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(55)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(56)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/				
			YES (57)→		(57-1)3.0審査へ			
			NO (57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO	(58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する				不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.6 審査 (父母日本人婚姻後200日以内出生)						備考	
	NO	(58-1)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(74)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＜ 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
	YES	(74-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/			21版(出生112)	
	YES	(74-2)→(83)へ		/			21版(出生112)	
	NO	(74-3)→(75)へ		/			21版(出生112)	
	(75)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)			/				
	YES	(76)→(83)へ		/				
	NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する			(78)3.0審査へ			
		YES	(79)→(83)へ	/				
		NO	(80)→		(81)3.0審査へ		不受理	
	NO	(82)→(83)へ		/				
	(83)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(84)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
		YES	(85)→		(86)3.0審査へ			
		NO	(87)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
	NO	(88)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(89)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)							備考	
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)				/					
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する				(3) 3.0審査へ			民772	
	YSE	(11)裁判の区分(0:無、 1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)		/					
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する		(13)3.0審査へ				
			YES	(14)→(59)へ	/				
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(16)3.0審査へ		不受理	
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/			民775	
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ		不受理	
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する					
			YES	(20-1)→(59)へ	/				
			NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査		不受理	
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/			民775	
			1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(20-6)3.0審査へ		不受理	
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する					
			YES	(20-8)→(59)へ	/				
			NO	(20-9)		(20-10)3.0審査へ		不受理	
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する					不受理 民773	
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/			民787.昭和41.3.14 民事甲 655号回答	
			1,3	(23)→(59)へ	/				
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(25)3.0審査へ		不受理	
	NO	(38)→(39)へ			/				
NO					/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)

						備考
(39)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)					/	
0	(40)→(59)へ				/	
1,2,3	(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区外を入力することは出来ません。」を表示する			(42)3.0審査へ		不受理
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)				/	民787
	1,3	(44)→(59)へ			/	戸49II1
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する		(46)3.0審査へ		不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)					/	
YES	(59-1)裁判の区分 ＝ 4 かつ 対象父区分 ＝ 1 又は 3(YES,NO)				/	
	YES	(59-2)→(112)へ			/	
	NO	(59-3)→(60)へ			/	
	(60)届出人の資格コード ＝ 001 又は 005(YES,NO)				/	戸62、大正8.9.13 民 3686号回答
	YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示する		(62)3.0審査へ		民783II前段 大正6.3.6 民 197号回答
		YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示する			民783II前段
			YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示する		民3、783II後段
				YES	(65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示する	
					YES (66)→(112)へ	/
					NO (70)→	(71)3.0審査へ 不受理
				NO	(72)→(112)へ	/
			NO	(75)→		不受理
		NO	(75-1)受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)		/	R2.1(出生150)
		YES	(75-2)出生子の生年月日 + 18年 ≦ 受領日(YES,NO)		/	民3、782 R2.1(出生150)
			YES	(75-3)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示する	(75-4)3.0審査へ	大正7.5.30民1159号回答 R2.1(出生150) 昭和43.4.5民事甲689号回答 R2.1(出生150)
				YES (75-5)→(112)へ	/	R2.1(出生150)
				NO (75-6)→	(75-7)3.0審査へ	不受理 R2.1(出生150)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)

										備考
				NO	(75-8)→(112)へ		/			R2.1(出生150)
			NO		(76)出生子の生年月日 + 20年 ≦ 受領日(YES,NO)		/			民3、782 21版(出生138)
				YES	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」 を表示する			(78)3.0審査へ		大正7.5.30民1159号回答 昭和43.4.5民事甲689号回答
					YES	(79)→(112)へ	/			
					NO	(82)→		(83)3.0審査へ		不受理
				NO		(84)→(112)へ	/			
		NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父･父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示する					(89)3.0審査へ		
		YES	(88-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)				/			21版(出生112) 21版(出生112)
			YES	(88-2)→(118)へ			/			21版(出生112)
			NO	(88-3)→(90)へ			/			21版(出生112)
			(90)入るべき戸籍の母入籍日 < 出生子の生年月日(YES,NO)				/			
			YES	(91)→(118)へ			/			
			NO	(94)入るべき戸籍の母入籍日 > 出生子の生年月日(YES,NO)			/			
				YES	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する			(96)3.0審査へ		
					YES	(97)→(118)へ	/			
					NO	(98)→		(99)3.0審査へ		不受理
				NO		(100)→				受理照会
		NO	(101)→							不受理
NO	(111)→(112)へ						/			
(112)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)							/			
YES	(113)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)						/			
	YES	(114)→						(115)3.0審査へ		
	NO	(116)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する								
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する									不受理
(118)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)							/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)						備考	
YES	(119)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(120)→			(121)3.0審査へ			
	NO	(122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.8 審査（父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生）

															備考
(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)														/	
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示する													(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ													/	
(5)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)														/	
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する													(7)3.0審査へ	民772
	YES	(8)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)												/	
		0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する											(10)3.0審査へ	
			YES	(11)→(42)へ										/	
			NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する										(13)3.0審査へ	不受理
		1	(14)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)											/	民775
			1	(14-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する										(14-2)3.0審査へ	不受理
			2	(15)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)										/	
				YES	(16)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)									/	
					YES	(17)→(42)へ								/	
					NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する								(19)3.0審査へ	不受理
						YES	(19-1)→(42)へ							/	
						NO	(19-2)→							(19-3)3.0審査へ	不受理
				NO	(20)→(42)へ									/	
		2	(21)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)											/	民775
			1	(22)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する										(22-1)3.0審査へ	不受理
			2	(22-2)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)										/	
				YES	(22-3)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)									/	
					YES	(22-4)→(42)へ								/	
					NO	(22-5)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」								(22-6)3.0審査へ	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.8 審査（父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生）							備考	
					「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する				
				YES	(22-7)→(42)へ	/			
				NO	(22-8)→		(22-9)3.0審査へ	不受理	
			NO		(22-10)→(42)へ	/			
		3	(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する					不受理	
								民773	
		4	(24)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		民787	
			1,3	(25)→(65)へ		/			
			2	(28)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する			(29)3.0審査へ	不受理	
	NO	(30)→(31)へ				/			
NO									
(31)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)						/			
0	(32)→(42)へ					/			
1	(33)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)					/		民775	
	1	(33-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する					(33-2)3.0審査へ	不受理	
	2	(33-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する							
		YES	(33-4)→(42)へ			/			
		NO	(33-5)→				(33-6)3.0審査へ	不受理	
2	(33-7)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)					/		民775	
	1	(33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する					(33-9)3.0審査へ	不受理	
	2	(33-10)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する							
		YES	(33-11)→(42)へ			/			
		NO	(33-12)→				(33-13)3.0審査へ	不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.8 審査 (父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)						備考	
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する						不受理	
4	(35)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/			民787	
	1,3	(36)→(65)へ		/				
	2	(40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(41)3.0審査へ		不受理	
(42)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(43)エラーメッセージ 「父欄を入力することは出来ません。」を表示する				(44)3.0審査へ		不受理	
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示する							
	YES	(62)→(65)へ		/				
	NO	(63)→			(64)3.0審査へ		不受理	
(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(67)→			(68)3.0審査へ			
	NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.9 審査（父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生）

															備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する														(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前央の嫡出の推定を受けますか。」を表示する														民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)											/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する											(13)3.0審査へ	昭28.7.20　民事甲　1238号回答
			YES	(14)→(52)へ									/		
			NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)									/		
				0	(19)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)								/		戸49II1
					YES	(20)中間F(届書)、父未定区分に2を移送							/		戸54、戸規50
						(21)→(60)へ							/		
					NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」 を表示する								(23)3.0審査へ	不受理　昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
				1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する										不受理
		1,2	(25)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)											/		民775
			1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する										(27)3.0審査へ	不受理
			2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する											
				YES	(29)→(52)へ								/		
				NO	(30)→									(31)3.0審査へ	不受理
		3	(32)→(52)へ											/		民773
		4	(36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)											/		
			1,3	(37)→(52)へ										/		
			2	(38)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する										(39)3.0審査へ	不受理
	NO	(40)→(41)へ												/		
NO																
(41)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)														/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.9 審査（父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生）

						備考
0	(42)→(52)へ			/		
1,2	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775
	1	(44)→(60)へ		/		
	2	(45)→(52)へ		/		
3	(47)→(52)へ			/		
4	(48)対象父区分(1;現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		
	1,3	(49)→(52)へ		/		
	2	(50)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(51)3.0審査へ	不受理
(52)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)				/		
0	(53)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/		戸49II1
	YES	(54)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
		YES	(55)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
			YES (56)→		(56-1)3.0審査へ	
			NO (56-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和歴でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO	(57)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する			不受理
	NO	(58)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理
1	(59)→(60)へ			/		
(60)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/		
YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示する				(62)3.0審査へ	
	YES	(69)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄以外の項目		/		
		YES	(70)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
			YES (71)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
			YES (72)→		(72-1)3.0審査へ	
			NO (72-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)									
処理名	3.9 審査（父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生）								備考	
			NO	(73)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
		NO		(74)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する					不受理	
	NO	(75)→							不受理	
NO	(76)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する								不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.10 審査 (父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生)

							備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する							
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示する						民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/	
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査へ	
			YES	(14)→(51)へ		/	
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/	民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES	(20-1)→(51)へ	/	
				NO	(20-2)→	(20-3)3.0審査へ	不受理
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/	民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES	(20-8)→(51)へ	/	
				NO	(20-9)→	(20-10)3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				不受理
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/	民787
			1,3	(23)→(51)へ		/	
			2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(28)3.0審査へ	不受理
	NO	(32)→(33)へ				/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.10 審査（父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生）

					備考
NO					
(33)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
0	(34)→(51)へ		/		
1	(35)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		
	1	(36)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(36-1)3.0審査へ	不受理
	2	(36-2)→(51)へ	/		
2	(37)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		
	1	(38)→(60)へ	/		
	2	(38-6)→(51)へ	/		
3	(41)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する			(41-1)3.0審査へ	不受理
4	(42)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		
	1,3	(43)→(51)へ	/		
	2	(47)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する		(48)3.0審査へ	不受理
(51)届出人のコード名称 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/		
YES	(52)→(60)へ		/		
NO	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)		/		
	YES	(55)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
		YES	(561出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
			YES	(57)→		(57-1)3.0審査へ	
			NO	(57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する		不受理
		NO	(58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する		不受理
	NO	(59)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する		不受理
(60)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/		
YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示する			(62)3.0審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.10 審査（父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生）

														備考
	YES	(63)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目										/		
		YES	(64)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)									/		
			YES	(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)								/		
				YES	(66)→								(67)3.0審査へ	
				NO	(68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する									不受理
			NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する										不受理
		NO	(70)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する											不受理
	NO	(71)→												不受理
NO	(72)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する													不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生）

														備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する														
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示する													民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)											/	
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する											
			YES	(13)→(76)へ									/	
			NO	(14)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する											不受理
		1	(16)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)										/	民775
			1	(17)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する										不受理
			2	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する										
				YES	(19-1)→(76)へ								/	
				NO	(19-2)→									(19-3)3.0審査へ	不受理
		2	(19-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)										/	民775
			1	(19-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する										不受理
			2	(19-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する										
				YES	(19-8)→(76)へ								/	
				NO	(19-9)									(19-10)3.0審査へ	不受理
		3	(20)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する											不受理
														民773
		4	(21)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)										/	民787
			1、3	(23)→(76)へ									/	戸49II1
			2	(41)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する										不受理
	NO	(46)→(47)へ											/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生）

						備考
NO						
(47)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)					/	
0	(48)→(76)へ				/	
1,2,3	(49)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示する					(50)3.0審査へ	不受理
4	(51)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)				/		民787
	1,3	(53)→(76)へ			/		
	2	(71)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する				(72)3.0審査へ	不受理
(76)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)					/		
YES	(76-1)裁判の区分 ＝ 4　かつ　対象父区分　1　又は　3(YES,NO)				/		
	YES	(76-2)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)			/		
		YES	(76-3)届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)		/		
			YES	(76-4)出生の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
				YES	(76-5)→		(76-6)3.0審査へ	
				NO	(76-7)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する		不受理
			NO	(76-8)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
				YES	(76-9)→		(76-10) 3.0審査へ	
				NO	(76-11)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する		不受理
		NO	(76-12) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理
	NO	(76-13)→(77)へ			/		
(77)届出人の資格コード ＝ 001　又は　005(YES,NO)					/		戸62、大正8.9.13民　3686号回答
YES	(78)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)				/		戸49II1
	YES	(78-1)届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)			/		
		YES	(79)在外送付区分 ＝ 0　又は　1(YES,NO)		/		
			YES	(80)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
				YES	(81)出生子の国籍 ≠ スペース(YES,NO)	/		
					YES	(82)→		(83)3.0審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生）

										備考
					NO	(84)エラーメッセージ 「出生子の国籍を入力して下さい。」を表示する				不受理
				NO		(85)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する				不受理
			NO			(86)エラーメッセージ 「認知業務より処理して下さい。」を表示する				認知業務処理
		NO	(86-1)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)				/			
			YES	(86-2)→				(86-3)3.0審査へ		
			NO	(86-4)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する						不受理
	NO	(87)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する								不受理
NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示する									
	YES	(89)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目					/			
		YES	(93)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)				/			
			YES	(94)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/			
				YES	(95)→			(95-1)3.0審査へ		
				NO	(96-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」 を表示する					不受理
			NO	(96)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する						不受理
		NO	(97)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する							不受理
	NO	(98)→								不受理
NO	(99)父母渉外婚姻区分 ＝ 1(YES,NO)						/			
	YES	(100)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)					/			戸49II1
		YES	(101)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)				/			
			YES	(102)→				(102-1) 3.0審査へ		
			NO	(102-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する						不受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生）						備考	
			「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					
	NO	(103)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
	NO	(104)エラーメッセージ 「胎児認知者と母の夫が違います。審査結果業務で処理した下さい。」を表示する					審査結果入力	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.12 審査（父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生）

										備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する										
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示する									民772
	YES	(4)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)							/	
		0	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する							
			YES	(7)→(37)へ					/	
			NO	(8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する						不受理
		1	(10)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)						/	民775
			1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する						不受理
			2	(12)→(37)へ					/	
		2	(13)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)						/	
			1	(13-1)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する						不受理
			2	(13-3)→(37)へ					/	
		3	(14)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する							不受理 民773
		4	(15)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)						/	民787
			1,3	(16)→(37)へ					/	
			2	(22)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する						不受理
	NO	(23)→(24)へ							/	
NO										
(24)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4;強制認知)									/	
0	(25)→(37)へ								/	
1	(26)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)								/	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.12 審査（父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生）						備考	
	1	(27)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(28)3.0審査へ		不受理	
	2	(29)→(37)へ		/				
2	(30)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(31)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(32)3.0審査へ		不受理	
	2	(33)→(37)へ		/				
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(35)3.0審査へ		不受理	
4	(36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/				
	1,3	(36-1)→(37)へ		/				
	2	(36-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(36-3)3.0審査へ		不受理	
(37)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(38)入るべき戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)			/				
	YES	(39)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示する			(40)3.0審査へ		不受理	
	NO	(41)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/				
		YES	(42)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/			戸49II1	
			YES	(43)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/			
				YES	(44)→		(44-1)3.0審査へ	
				NO	(44-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
			NO	(45)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理	
		NO	(46)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する				不受理	
NO	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示する							
	YES	(48)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名			審査(出生届)						
処理名			3.12 審査（父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生）					備考	
		YES	(49)出生の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
			YES	(50)→			(51)3.0審査へ		
			NO	(52)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO		(53)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理	
	NO			(54)→				不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.13 審査 (父母外国人･無国籍人出生)

							備考
(1)届書の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)					/		
YES					/		
	(3)届書の父本籍 ＝ 無国籍、かつ、届書の母本籍 ＝ 無国籍(YES,NO)				/		
	YES	(4)→(30)へ			/		
	NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「父母の嫡出子であり、父母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示する				(6)3.0審査へ	
		YES	(7)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書父母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/		
			YES	(8)→(11)へ	/		
			NO	(9)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理
				(11)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
			YES	(12)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
				YES	(13)→		(13-1)3.0審査へ	
				NO	(13-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する		不受理
			NO	(14)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO	(15)→				不受理
NO	(17)届書の母本籍 ＝ 無国籍人(YES,NO)				/		
	YES	(18)→(30)へ			/		
	NO	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「母の非嫡出子であり、母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示する				(20)3.0審査へ	
		YES	(21)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/		
			YES	(22)→(25)へ	/		
			NO	(23)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する		(24)3.0審査へ	不受理
				(25)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
			YES	(26)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
				YES	(27)→		(27-1)3.0審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.13 審査 (父母外国人･無国籍人出生)

								備考
				NO	(27-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
			NO		(28)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO			(29)→			不受理
					(30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母又は母が無国籍人であるものとして処理を続行しますか。」を表示する			
	YES				(31)→(34)へ	/		
	NO				(32)→		(33)3.0審査へ	不受理
					(34)出生証明書区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
	YES				(35)出生子の出生地 ＝ 日本国内(YES,NO)	/		国2
		YES			(36)→(43)へ	/		
		NO			(37)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示する		(38)3.0審査へ	不受理
	NO				(39)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は日本で出生したものとして処理を続行しますか。」を表示する			
		YES			(40)→(43)へ	/		
		NO			(41)→		(42)3.0審査へ	不受理
					(43)新戸籍欄 ＝ スペース(YES,NO)	/		国2
	YES				(44)エラーメッセージ 「出生子の新戸籍を新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示する		(45)3.0審査へ	不受理
	NO				(46)→(47)へ	/		
					(47)入るべき戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)	/		
	YES				(48)エラーメッセージ 「無国籍人の出生子の場合、入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示する		(49)3.0審査へ	不受理
	NO				(50)→(51)へ	/		
					(51)届書の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)	/		
	YES				(52)確認メッセージ(YES,NO) 「父母の婚姻後の出生ですか。」を表示する		(53)3.0審査へ	
		YES			(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1、昭和57.7.6民二　265号通達
			YES		(55)→(63)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.13 審査 (父母外国人･無国籍人出生)

								備考
		NO	(56)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する			(57)3.0審査へ		不受理
	NO		(58)確認メッセージ(YES,NO) 「父母は婚姻しているものとして処理を続行しますか。」を表示する					
		YES	(58-1)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)		/			
			YES	(58-2)→(63)へ		/		
			NO	(58-3)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する			(58-4)3.0審査へ	不受理
		NO		(58-5)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
			YES	(58-6)→(63)へ		/		
			NO	(58-7)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する			(58-7)3.0審査へ	不受理
NO	(58-9)→(59)へ					/		
(59)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)						/		戸49II1、昭和57.7.6民二　　265号通達
YES	(60)→(63)へ					/		
NO	(61)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						(62)3.0審査へ	不受理
(63)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)						/		
YES	(64)→						(65)3.0審査へ	受理照会
NO	(66)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する							不受理

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.14 審査(出生区分 ＝ 棄児)					備考	
(1)出生子の出生地 ＝ 国外(YES,NO)			/				
YES	(2)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示する			(3)3.0審査へ		不受理	
NO	(4)→(5)		/				
(5)出生子の出生区分 ≠ 4(YES,NO)			/			戸4II1	
YES	(6)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は4(棄児)でなければなりません。」を表示する			(7)3.0審査へ		不受理	
NO	(8)→(9)		/				
(9)届出人のコード名称 ≠ 市区町村長(YES,NO)			/			戸57	
YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人を市区町村長として処理を続行しますか。」を表示する			(11)3.0審査へ			
	YES	(12)中間F(届書)、届出人資格、コード名称に市区町村コード、市区町村名を移送	/				
	NO	(13)→		(14)3.0審査へ		不受理	
NO	(15)→(20)へ		/				
(20)新戸籍欄 ＝ スペース(YES,NO)			/			戸57II	
YES	(21)エラーメッセージ 「新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示する			(22)3.0審査へ		不受理	
NO	(23)新戸籍の本籍 ≠ 管内(YES,NO)		/			昭和25.4.10　民事甲　932号回答	
	YES	(24)エラーメッセージ 「新戸籍の本籍は管内に作成して下さい。」を表示する		(25)3.0審査へ		不受理	
	NO	(26)→		(26-1)3.0審査へ			
(27)削除			/			(27)～(30)を削除(続柄更正申出対応8.3版)	
YES	(28)削除			(29)削除			
NO	(30)削除						

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	8.3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.15 審査(出生区分 ＝ 嫡出子)						備考	
(1)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)				/				
YES	(2)届書の父本籍 ≠ 無国籍　かつ　届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)			/				
	YES	(3)エラーメッセージ 「嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示する			(4)3.0審査へ		不受理	
	NO	(5)→(6)へ		/				
NO								
(6)中間F(届書).父未定区分 ＝ 1　又は　2(YES,NO)				/				
YES	(7)届出人のコード名称 ＝ 母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、公設署の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)			/			戸52	
	YES	(8)→			(8-1)3.0審査へ			
	NO	(9)エラーメッセージ 「父母離婚後(父未定)･嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する			(10)3.0審査へ		不受理	
NO	(11)届出人のコード名称 ＝ 父、母、父母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、公設署の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)			/			戸52 昭和36.7.18～19第20回福島県下戸連合協決	
	YES	(12)→			(12-1)3.0審査へ			
	NO	(13)エラーメッセージ 「父母婚姻中･嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する			(14)3.0審査へ		不受理	
(15)削除				/			(15)～(23)を削除(続柄更正申出対応8.3版)	
YES	(16)削除			/				
	YES	(17)削除			(18)削除			
	NO	(19)削除						
NO	(20)削除			/				
	YES	(21)削除			(22)削除			
	NO	(23)削除						

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 11月 1日	版	8.3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.16 審査(出生区分 ＝ 準正嫡出子)						備考	
(1)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)			/					
YES	(2)届書の父本籍 ≠ 無国籍　かつ　届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)		/					
	YES	(3)エラーメッセージ 「準正嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示する		(4)3.0審査へ			不受理	
	NO	(5)→(6)へ	/					
NO								
(6)届出人のコード名称 ＝ 父　又は　父母(YES,NO)			/				戸62、大正11.11.30民事　4297回答	
YES	(7)→(14)へ		/					
NO	(8)胎児認知区分 ＝ 1　又は　裁判の区分 ＝ 4(YES,NO)		/					
	YES	(9)届出人のコード名称 ＝ 母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、 公設署の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)	/					
		YES (9-1)→(14)へ	/					
		NO (9-2)エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する		(9-3)3.0審査へ			不受理	
	NO	(9-4)エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出入資格に間違いがあります。」を表示する					不受理	
(10)削除			/				(10)～(13)を削除(続柄更正申出対応8.3版)	
YES	(11)削除		/					
NO	(12)削除			(13)削除				
(14)届書の母の本籍 ＝ 無国籍　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4　かつ 父の本籍 ≠ 国籍(YES,NO)								
YES	(15)→			(16)3.0審査へ			受理照会	
NO	(17)→							

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(出生届)
処理名	3.17 審査(出生区分 ＝ 非嫡出子)

					備考
(1)入るべき戸籍欄 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0　かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 0　又は 届書の父外国人区分 ＝ 0　かつ　届書の母外国人区分 ＝ 1　かつ　胎児認知日 ≠ スペース　又は [illegible]			/		
YES	(2)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)		/		
	YES	(3)→(9)へ	/		
	NO	(4)届書の母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
		YES (5)エラーメッセージ 「子につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」を表示する		(6)3.0審査へ	不受理
		NO (7)エラーメッセージ 「母につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」を表示する			不受理
NO	(8)新戸籍の本籍 ≠ スペース(YES,NO)		/		
	YES	(8-1)エラーメッセージ 「母の現在戸籍への入籍です。新戸籍欄への入力は出来ません。」を表示する		(8-2)3.0審査へ	不受理
	NO	(8-3)→(9)へ	/		
(9)届出人のコード名称 ＝ 母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、公設所の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)			/		戸52
YES	(10)→			(10-1)3.0審査へ	
NO	(11)エラーメッセージ 「非嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する			(12)3.0審査へ	不受理
(13)削除			/		(13)～(16)を削除
YES	(14)削除			(15)削除	
NO	(16)削除				
(17)届出人のコード名称 ≠ 母　かつ　新戸籍の本籍 ≠ 入るべき戸籍の本籍　かつ 新戸籍の本籍 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース(YES,NO)			/		16版改修　第20版誤植変更
YES	(18)エラーメッセージ 「新本籍と従前の本籍は同一でなければなりません。」を表示する			(19)3.0審査へ	戸籍法30-3 不受理　第19版変更
NO	(20)→			(21)3.0審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(出生届)
処理名	3.18 審査 (受理照会等)

					備考
					↑
					↑
					第18版削除
(1)出生子の生年月日 ＝ 西暦 かつ 出生証明書区分 ＝ 1(YES,NO)			/		昭和36.5.17民事甲1196号回答
YES	(2)→(10-1)へ		/		第19版変更
NO	(3)出生子の生年月日 + 6年(6歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)		/		昭和34.8.27民事甲1545号 21版(出生138)
	YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の年齢が学齢を越えています。受理してよろしいですか?」を表示する	/		第18版変更 ↓
		YES (4-1)→(7)へ	/		↓
		NO (4-2)→		(5)3.0審査へ	受理照会 ↓ 昭和36.5.12～13佐賀県戸協決 ↓
	NO	(6)→(7)へ	/		↓
	(7)母の生年月日 + 50年(50歳以上) ≦ 子の出生日(YES,NO)		/		平成26.7.3民一737号 21版(出生138)
	YES	(7-1)確認メッセージ(YES,NO) 「出生時、母年齢が50歳以上です。出生施設は医療法上の病院ですか?」を表示する			第18版変更 ↓
		YES (7-2)→(10-1)へ	/		第19版変更
		NO (8)エラーメッセージ 「出生当時の母の年齢が50歳を越えています。」を表示する		(9)3.0審査へ	受理照会 第18版変更 昭和36.9.5民事甲2008号 ↓
	NO	(10)→(10-1)へ	/		↓
(10-1)在外送付区分 ＝ 0:受理分(YES,NO)			/		送付分の届書は受理照会の対象外とする。
YES	(10-2)→(11)へ		/		↓
NO	(10-3)→(21)へ		/		↓
(11)出生証明書区分 ≠ 1 かつ 届出人のコード名称 ≠ 船長 かつ 出生子の出生区分 ≠ 4 (YES,NO)			/		戸49III
YES	(12)エラーメッセージ 「出生証明書が医師・助産師以外です。」を表示する			(13)3.0審査へ	受理照会、昭和23.12.1民事甲1998号回答 昭和54.9.27～28高知県連協決
NO	(14)→(15)へ		/		
(15)出生子の出生場所 ＝ 国内である(YES,NO)			/		
YES	(16)出生子の生年月日+14日(14日未満) > 受領日(YES,NO)		/		戸49I 21版(出生138)
	YES	(17)→(21)へ	/		
	NO	(18)エラーメッセージ 「出生の届出が出生日から14日を過ぎています。」を表示する		(19)3.0審査へ	受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.18 審査 (受理照会等)						備考	
		「出生の届出が出生日から14日を過ぎています。」を表示する		/			(失期通知を裁判所へ提出)	
NO	(20)→(21)へ			/				
(21)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/				
YES	(22)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内　かつ　新戸籍の本籍 ＝ 管外(YES,NO)			/				
	YES	(22-1)在外送付区分 ＝ 0:受理　又は　2:在外公館の直接送付(YES,NO)		/				
		YES	(23)本・非本区分 ＝ 2(YES,NO)	/				
			YES	(24)→(37)へ	/			
			NO	(26)エラーメッセージ 「本・非本区分け2(非本籍)でなければなりません。」を表示する		(25)3.0審査へ	不受理	
		NO		(26-1)本・非本区分 ＝ 1(YES,NO)	/			
			YES	(26-2)→(37)へ	/			
			NO	(26-3)エラーメッセージ 「本・非本区分け1(本籍)でなければなりません。」を表示する		(26-4)3.0審査へ	不受理	
	NO	(27)→(28)へ			/			
NO								
(28)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内　又は　新戸籍の本籍 ＝ 管内(YES,NO)					/			
YES	(29)本・非本区分 ＝ 1(YES,NO)				/			
	YES	(30)→(37)へ			/			
	NO	(31)エラーメッセージ 「本・非本区分は1(本籍)でなければなりません。」を表示する				(32)3.0審査へ	不受理	
NO	(33)本・非本区分 ＝ 2(YES,NO)				/			
	YES	(34)→(37)へ			/			
	NO	(35)エラーメッセージ 「本・非本区分は2(非本籍)でなければなりません。」を表示する				(36)3.0審査へ	不受理	
(37)出生子の出生区分 ＝ 2　かつ　入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース　かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　在外送付区分 ＝ 1(YES,NO)					/			
YES	(38)報告区分 ＝ 1(YES,NO)				/			
	YES	(39)→				(40)3.0審査へ		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.18 審査 (受理照会等)						備考	
	NO	(41)エラーメッセージ 「報告区分は1(創設的届出)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(42)報告区分 ＝ 2(YES,NO)			/				
	YES	(43)→			(44)3.0審査へ			
	NO	(45)エラーメッセージ 「報告区分は2(報告的届出)でなければなりません。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.19 審査 (母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)

| | | |

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.19 審査 (母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)

						備考
1,2	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775
	1	(44)→(78)へ		/		
	2	(53)→(63)へ		/		
3	(54)→(63)へ			/		民773
4	(62)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		
	1,3	(62-1)→(63)へ		/		
	2	(62-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(62-3)3.0審査へ	不受理
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)				/		
0	(64)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/		戸49II1
	YES	(65)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
		YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
			YES	(67)→		(68)3.0審査へ
			NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する		不受理
		NO		(70)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する		不受理
	NO			(71)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する		不受理
1	(72)→(78)へ			/		
(78)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/		
YES	(79)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)			/		
	YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/		21版(出生211)
		YES	(79-2)→(88)へ	/		21版(出生211)
		NO	(79-3)→(80)へ	/		21版(出生211)
		(80)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
		YES	(81)→(88)へ	/		
		NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(83)3.0審査へ	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.19 審査（母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生）							備考	
			「出生子の戻るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する						
			YES (84)→(88)へ		/				
			NO (85)→			(86)3.0審査へ		不受理	
	NO (87)→(88)へ				/				
	(88)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/				
	YES (89)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)				/				
		YES (90)→				(91)3.0審査へ			
		NO (92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する						不受理	
	NO (93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する							不受理	
NO	(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する							不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.20 審査 (母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)

											備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)									/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する									(3)3.0審査へ	民772
	YES	(4)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)							/		
		0	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する							(6)3.0審査へ	
			YES	(7)→(47)へ					/		
			NO	(8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(9)3.0審査へ	不受理
		1	(10)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)						/		民775
			1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する						(12)3.0審査へ	不受理
			2	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する							
				YES	(14)→(47)へ				/		
				NO	(15)→					(16)3.0審査へ	不受理
		2	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)						/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する							
				YES	(21)→(47)へ				/		
				NO	(22)→					(23)3.0審査へ	不受理
		3	(24)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する								不受理 民773
		4	(25)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)						/		民787
			1,3	(26)→(47)へ					/		
			2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(28)3.0審査へ	不受理
	NO	(29)→(30)へ							/		
NO											

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.20 審査 (母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)						備考	
(30)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/				
0	(31)→(47)へ			/				
1	(32)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(33)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(34)3.0審査へ		不受理	
	2	(35)→(47)へ		/				
2	(36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(37)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/				
		YES	(38)→(53)へ	/				
		NO	(39)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する		(40)3.0審査へ		不受理	
	2	(41)→(47)へ		/				
3	(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(42-1)3.0審査へ		不受理	
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(44)→(47)へ		/				
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(46)3.0審査へ		不受理	
(47)届出人のコード名称 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			昭和26.6.27 民事甲　1332号回答	
YES	(48)→(53)へ			/				
NO	(49)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(50)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(51)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/				
			YES (51-1)→		(51-2)3.0審査へ			
			NO (51-3)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO	(51-4)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する				不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.20 審査 (母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)

						備考
	NO	(52)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理
(53)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/		
YES	(54)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＜ 出生子の生年月日(YES,NO)			/		
	YES	(54-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/		21版(出生211)
		YES	(54-2)→(63)へ	/		21版(出生211)
		NO	(54-3)→(55)へ	/		21版(出生211)
		(55)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
		YES	(56)→(63)へ	/		
		NO	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(58)3.0審査へ	
			YES (59)→(63)へ	/		
			NO (60)→		(61)3.0審査へ	不受理
	NO	(62)→(63)へ		/		
	(63)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/		
	YES	(64)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/		
		YES	(65)→		(66)3.0審査へ	
		NO	(67)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する			不受理
	NO	(68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理
NO	(69)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する					不受理

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)							備考	
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)					/				
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する					(3)3.0審査へ		民772	
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/				
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査へ			
			YES	(14)→(59)へ		/			
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(16)3.0審査へ		不受理	
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775	
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ		不受理	
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する					
				YES	(20-1)→(59)へ	/			
				NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査へ	不受理	
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775	
			1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(20-6)3.0審査へ		不受理	
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する					
				YES	(20-8)→(59)へ	/			
				NO	(20-9)→		(20-10)3.0審査へ	不受理	
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する					不受理 民773	
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		民787.昭和41.3.14 民事甲 655号回答	
			1,3	(23)→(59)へ		/			
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(25)3.0審査へ		不受理	
	NO	(38)→(39)へ				/			
NO									

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)

						備考
(39)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)					/	
0	(40)→(59)へ				/	
1,2,3	(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示する			(42)3.0審査へ		不受理
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)				/	民787
	1,3	(44)→(59)へ			/	戸49II1
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」 を表示する		(46)3.0審査へ		不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)					/	
YES	(59-1)裁判の区分 ＝ 4 かつ 対象父区分 ＝ 1 又は 3(YES,NO)				/	
	YES	(59-2)→(112)へ			/	
	NO	(59-3)→(60)へ			/	
	(60)届出人の資格コード ＝ 001 又は 005(YES,NO)				/	戸62、大正8.9.13民 3686号回答
	YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示する		(62)3.0審査へ		民783II前段 大正6.3.6民 197号回答
		YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示する			民783II前段
			YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示する		民3、783II後段
				YES	(65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示する	
					YES (66)→(112)へ	/
					NO (70)→	(71)3.0審査へ 不受理
				NO	(72)→(112)へ	/
			NO	(75)→		不受理
		NO	(75-1)受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)		/	R2.1(出生150)
		YES	(75-2)子の生年月日 + 18年(18歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)		/	民3、782 R2.1(出生150)
			YES	(75-3)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」 を表示する		(75-4)3.0審査へ 大正7.5.30民1159号回答 R2.1(出生150) 昭和43.4.5民事甲689号回答 R2.1(出生150)
				YES	(75-5)→(112)へ	/ R2.1(出生150)
				NO	(75-6)→	(75-7)3.0審査へ 不受理 R2.1(出生150)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)

									備考
				NO	(75-8)→(112)へ		/		R2.1(出生150)
			NO		(76)子の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)		/		民3、782 21版(出生138)
				YES	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」 を表示する			(78)3.0審査へ	大正7.5.30 民 1159号回答 昭和43.4.5 民事甲 689号回答
					YES	(79)→(112)へ	/		
					NO	(82)→		(83)3.0審査へ	不受理
				NO	(84)→(112)へ		/		
		NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父･父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示する					(89)3.0審査へ	
		YES	(88-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)				/		21版(出生211) 21版(出生211)
			YES	(88-2)→(118)へ			/		21版(出生211)
			NO	(88-3)→(90)へ			/		21版(出生211)
			(90)入るべき戸籍の母入籍日<出生子の生年月日(YES,NO)				/		
			YES	(91)→(118)へ			/		
			NO						22版(出生143) 22版(出生143) 22版(出生143)
			(94)入るべき戸籍の母入籍日>出生子の生年月日(YES,NO)				/		
			YES	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する				(96)3.0審査へ	
				YES	(97)→(118)へ		/		
				NO	(98)→			(99)3.0審査へ	不受理
			NO	(100)→					受理照会
		NO	(101)→						不受理
NO	(111)→(112)へ						/		
(112)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)							/		
YES	(113)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)						/		
	YES	(114)→						(115)3.0審査へ	
	NO	(116)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する							不受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)						備考	
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	
(118)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/				
YES	(119)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(120)→			(121)3.0審査へ			
	NO	(122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.22 審査 (母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)

| | | |

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.22 審査（母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)							備考	
					「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する				
				YES	(22-7)→(42)へ	/			
				NO	(22-8)→		(22-9)3.0審査へ	不受理	
			NO		(22-10)→(42)へ	/			
		3			(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する			不受理	
								民773	
		4			(24)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)	/		民787	
			1,3		(25)→(65)へ	/			
			2		(28)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(29)3.0審査へ	不受理	
	NO				(30)→(31)へ	/			
NO									
(31)裁判の区分(0:無、1:摘出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)						/			
0	(32)→(42)へ					/			
1	(33)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)					/		民775	
	1				(33-1)エラーメッセージ 「摘出否認裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(33-2)3.0審査へ	不受理	
	2				(33-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する				
		YES			(33-4)→(42)へ	/			
		NO			(33-5)→		(33-6)3.0審査へ	不受理	
2	(33-7)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)					/		民775	
	1				(33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(33-9)3.0審査へ	不受理	
	2				(33-10)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する				
		YES			(33-11)→(42)へ	/			
		NO			(33-12)→		(33-13)3.0審査へ	不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.22 審査 (母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)						備考	
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する						不受理	
4	(35)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/			民787	
	1,3	(36)→(65)へ		/				
	2	(40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(41)3.0審査へ		不受理	
(42)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(43)出生子の生年月日 ≧ 平成2年1月1日(YES,NO)			/			改正法例(平成2年1月1日施行)	
	YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「父は事実主義国の外国人として処理を続行しますか。」を表示する			(45)3.0審査へ		法18I	
		YES	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「父の事実主義に関する証明書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示する				平成元年.10.2 民二3900号 第3の2(2)ア	
			YES	(47)→(65)へ	/			
			NO	(48)→		(49)3.0審査へ	不受理	
		NO						
	NO	(50)エラーメッセージ 「改正法例前における事実主義にもとずく父欄の入力は出来ません。」を表示する					不受理	
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示する							
	YES	(62)→(65)へ		/				
	NO	(63)→			(64)3.0審査へ		不受理	
(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(67)→			(68)3.0審査へ			
	NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.23 審査 (母日本人未婚･婚姻解消後出生)

| | | |

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.23 審査 (母日本人未婚･婚姻解消後出生)						備考	
1,2	(29)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
	YES	(29-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/			21版(出生211)	21版(出生211)
		YES	(29-2)→(38)へ	/			21版(出生211)	
		NO	(29-3)→(30)へ	/			21版(出生211)	
		(30)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(31)→(38)へ	/				
		NO	(32)エラーメッセージ 「出生子は、母の現在戸籍への入籍です。母の現在戸籍を入力して下さい。」 を表示する		(33)3.0審査へ		不受理	
	NO	(34)→(38)へ		/				
3	(35)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(36)3.0審査へ		不受理	
4	(37)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			/			不受理	
(38)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
YES	(39)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(40)→			(41)3.0審査へ		R3.0(出生152)	
	NO	(42)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理 R3.0(出生152)	
NO	(43)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		出生届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							01(出生届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本･非本区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			報告区分				
	渉外区分			外国人区分(届書父) 外国人区分(届書母) 国籍留保届出人区分				父母双方に入力がある場合 　父母双方日本人　　:0 　父母の一方が日本人:1 　父母双方外国人　　:2 父母の一方に入力がある場合 　入力がある者は日本人:0 　入力がある者は外国人:2 但し、上記区分 ＝ 0であるとき 　国籍留保届出人 ≠ 0の場合:1
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人サブシステム インターフェイス	戸籍番号				入るべき戸籍、届書の父、届書の母が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	事件別内容		出生届入力画面					中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理　又は　3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							受領No. ＝ スペース:0を移送
	届書排他区分							再入力の場合:1
中間ファイル(届書) 事件別内容								
	出生証明書区分			出生証明書区分				
	出生子のカナ氏名			出生子のカナ氏名				
	出生子の漢字氏名			出生子の漢字氏名				
	出生子の生年月日			出生子の生年月日				
	出生子の出生区分			出生子の出生区分				
	出生子の続柄コード			出生子の続柄コード				
	出生子の出生地コード			出生子の出生地		有		
	出生子の出生地							
	出生子の国籍			出生子の国籍				
	出生子の住所コード			出生子の住所		有		
	出生子の住所							
	出生子の世帯主氏名			出生子の世帯主氏名				
	出生子の世帯主との続柄コード			出生子の世帯主との続柄コード				
	届出人の資格コード			届出人の資格コード				
	届出人の資格名称			届出人の資格名称				
	届出人の氏名			届出人の氏名				
	入るべき戸籍の婚姻日			入るべき戸籍の婚姻日				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	入るべき戸籍の嫡出子例外区分			入るべき戸籍の嫡出子例外区分					
	入るべき戸籍の婚姻解消日			入るべき戸籍の離婚日					
	入るべき戸籍の母前婚姻解消日			入るべき戸籍の母前離婚日					
	入るべき戸籍の本籍コード			入るべき戸籍の本籍		有			
	入るべき戸籍の本籍								
	入るべき戸籍の筆頭者氏名			入るべき戸籍の筆頭者氏名					
	入るべき戸籍の父個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の父の個人番号を移送	
	入るべき戸籍の父カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム	
	入るべき戸籍の父漢字氏名		出生届入力画面	入るべき戸籍の父氏名					
	入るべき戸籍の父筆頭者区分			入るべき戸籍の父筆頭者区分					
	入るべき戸籍の父生年月日			入るべき戸籍の父生年月日					
	入るべき戸籍の父入籍事件日			入るべき戸籍の父入籍日					
	入るべき戸籍の父除籍日			入るべき戸籍の父除籍日					
	入るべき戸籍の父配偶者区分			入るべき戸籍の父配偶者区分					
	入るべき戸籍の母個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の母の個人番号を移送	
	入るべき戸籍の母カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム	
	入るべき戸籍の母漢字氏名		出生届入力画面	入るべき戸籍の母氏名					
	入るべき戸籍の母筆頭者区分			入るべき戸籍の母筆頭者区分					

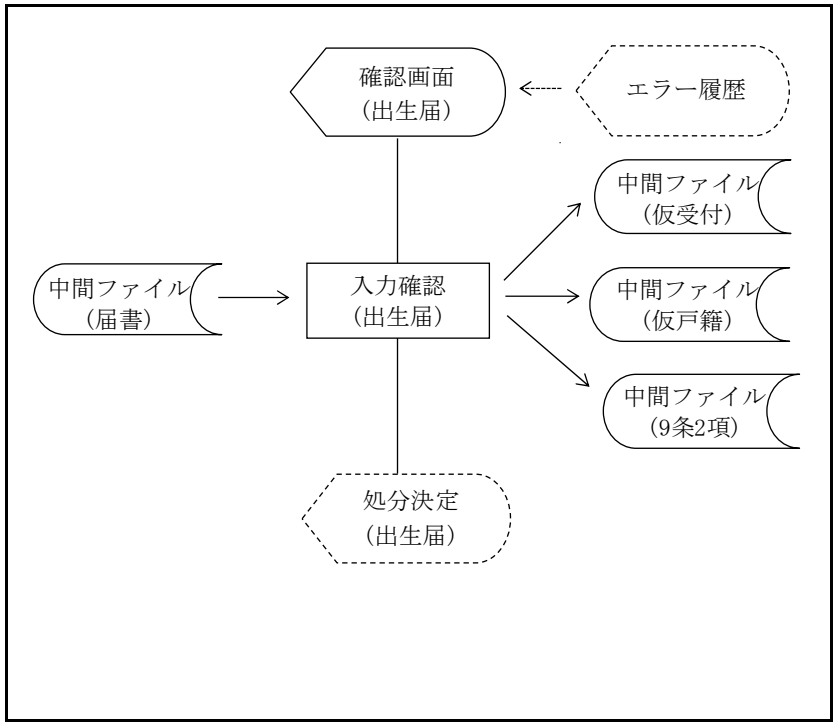
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入るべき戸籍の母生年月日			入るべき戸籍の母生年月日				
	入るべき戸籍の母入籍事件日			入るべき戸籍の母入籍日				
	入るべき戸籍の母除籍日			入るべき戸籍の母除籍日				
	入るべき戸籍の母配偶者区分			入るべき戸籍の母配偶者区分				
	届書の父個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、届書の父の個人番号を移送
	届書の父カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	届書の父漢字氏名		出生届入力画面	届書の父氏名				
	届書の父本籍コード			届書の父本籍		有		
	届書の父本籍							
	届書の父生年月日			届書の父生年月日				
	届書の父筆頭者氏名			届書の父筆頭者氏名				
	届書の父外国人区分			届書の父外国人区分				
	届書の母個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、届書の母の個人番号を移送
	届書の母カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	届書の母漢字氏名		出生届入力画面	届書の母氏名				
	届書の母本籍コード			届書の母本籍		有		
	届書の母本籍							
	届書の母生年月日			届書の母生年月日				
	届書の母筆頭者氏名			届書の母筆頭者氏名				
	届書の母外国人区分			届書の母外国人区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(出生届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	関連受領番号				関連受領番号				西暦の頭2桁 + 関連受領番号を移送
	新戸籍の本籍コード				新戸籍の本籍				
	新戸籍の本籍								
	新戸籍の筆頭者カナ氏名			サブシステム インターフェイス					
	新戸籍の筆頭者漢字氏名			出生届入力画面	新戸籍の筆頭者氏名				
	国外の国籍留保届出人資格				国外出生の国籍留保届出人資格				
	国外の在外公館名称				国外出生の在外公館名				
	裁判の区分				裁判の区分				
	裁判の確定日				裁判の確定日				
	裁判の子の氏変更申出区分				裁判の子の氏変更申出区分				
	裁判の対象父氏名				裁判の対象夫氏名				
	裁判の対象父生年月日				裁判の対象夫生年月日				
	国内遅延理由区分				国内遅延理由区分				
	大使館職員区分			審査処理					
	国外遅延理由区分								

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0　本紙
- 1.0　データ編集表(確認画面)
- 2.0　戸籍編成マトリックス表
- 3.0　データ編集表(中間ファイル/仮受付)　┐出生
  - 3.1　事件本人(子)　┘
  - 3.2　事件本人(父)　－認知(62条)
- 4.0　データ編集表(中間ファイル/仮受付)　┐認知(62条)
  - 4.1　事件本人　┘
- 5.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1　父(変動なし)/62条
  - 5.2　父(変動なし)/胎児認知
- 6.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1　母(除籍)
  - 6.2　母(入籍)
- 7.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 7.1　出生子(入籍)
- 8.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1　出生子(入籍)
  - 8.2　出生子(記録[親権])/協議
  - 8.3　出生子(入籍[棄児])
  - 8.4　出生子(記録[胎児認知])
- 9.0　データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 9.1　出生子
  - 9.2　母

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(出生届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する			[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する		[2.0]	/			
	(4)出生子の出生区分 ＝ 2　かつ　在外送付区分 ＝ 1　かつ 胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4　かつ 入るべき戸籍の父漢字氏名 ≠ スペース　かつ　届書の母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)			/			
	YES	(5)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[4.0]	/			認知(62条)受付作成
		(6)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する	[4.1]	/			
	NO	(7)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[3.0]	/			出生受付作成
		(8)中間ファイル(仮受付[事件本人(出生子)])を編集・出力する	[3.1]	/			
		(9)出生区分 ＝ 2 かつ 胎児認知日 ＝ スペース かつ 裁判の区分 ≠ 4(YES,NO)		/			
		YES (10)中間ファイル(仮受付[事件本人(父)])を編集・出力する	[3.2]	/			
		NO (11)→(12)へ		/			
	(12)父 ＝ 本籍人(YES,NO)			/			
	YES	(13)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/			
		父の変動なし(身分事項) (14)父の記録事項の編集(62条)	[5.1]	/			
		父の変動なし(身分事項) (15)父の記録事項の編集(胎児認知)	[5.2]	/			
	NO	(16)→(17)へ		/			
	(17)母 ＝ 本籍入(YES,NO))			/			
	YES	(18)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/			
		母の除籍(身分事項) (19)母の除籍事項の編集	[6.1]	/			
		母の入籍(身分事項) (20)母の入籍事項の編集	[6.2]	/			
	NO	(21)→(22)へ		/			
	(22)出生子 ＝ 本籍人 かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦 かつ 父未定区分 ≠ 2(YES,NO)			/			
	YES	(23)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/			
		子の入籍(個人特定) (24)出生子の記録事項の編集	[7.1]	/			
		子の入籍(身分事項) (25)出生子の記録事項の編集	[8.1]	/			
		子の入籍(身分事項) (26)出生子の記録事項の編集	[8.3]	/			
		子の記録(身分事項) (27)出生子の記録事項の編集	[8.4]	/			
	(28)出生子の出生区分 ＝ 1　かつ　入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース　かつ 父未定区分 ＝ 0　かつ			/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	0.0　本紙						備考	
		父未定区分 ＝ 0　かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日+301日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)						
	YES	子の記録(身分事項)　(29)出生子の記録事項の編集　[8.2]		/				
	NO	(30)→(31)へ		/				
NO				/				
(31)在外送付区分 ＝ 0　又は　2　かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦　かつ　父未定区分 ≠ 2(YES,NO)				/				
YES	(32)戸籍変動状況をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			/				
	(33)出生子の編集　[9.1]			/				
	(34)→(35-1)へ			/				
NO	(35)→(35-1)へ			/				
(35-1)在外送付区分 ＝ 0　又は　2　かつ　出生子の出生区分 ≠ 4　かつ (入るべき戸籍の母漢字氏名 ≠ スペース　又　は届書の母外国人区分 ＝ 0)(YES,NO)				/				
YES	(35-2)戸籍変動状況(母につき新戸籍編製)をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			/				
	(35-3)母の編集　[9.2]				(35-4)処分決定に制御を渡す			
NO	(35-5)→							
PF1	→				(36)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(37)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(38)届書入力(出生届)に制御を渡す			
PF7	(39)前ページがあるか(YES,NO)			/				
YES	(40)前ページ分の確認画面(出生届)を編集する				(41)同画面を編集する			
NO	(42)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(43)次ページあるか(YES,NO)			/				
YES	(44)次ページ分の確認画面(出生届)を編集する				(45)同画面を編集する			
NO	(46)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する							
PF11	→				(47)エラー履歴画面に制御を渡す			
その他	(48)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する				(49)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	1.0　確認画面(出生届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
出生届確認画面	画面ID			画面ID				画面ID
	システム日付			システム日付				システム日付
	支所No.		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領No.			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元		有		
	在外			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非本区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態			動態区分				
	報告			報告区分				
	出生証明書区分		中間ファイル(届書)事件別内容	出生証明書区分				
	出生子のカナ氏名			出生子のカナ氏名				
	出生子の漢字氏名			出生子の漢字氏名				
	出生子の生年月日			出生子の生年月日		有		
	出生子の出生区分			出生子の出生区分				
	出生子の続柄コード			出生子の続柄コード				
	出生子の出生地			出生子の出生地コード		有		
				出生子の出生地				
	出生子の国籍			出生子の国籍				
	出生子の住所			出生子の住所コード		有		
				出生子の住所				
	出生子の世帯主氏名			出生子の世帯主氏名				
	出生子の世帯主との続柄コード			出生子の世帯主との続柄コード				
	届出人の資格コード			届出人の資格コード				

画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サンプルデータ)	29.,	
	届出人の資格名称			届出人の資格名称				
	届出人の氏名			届出人の氏名				
	入るべき戸籍の婚姻日			入るべき戸籍の婚姻日		有		
	入るべき戸籍の嫡出子例外区分			入るべき戸籍の嫡出子例外区分				
	入るべき戸籍の離婚日			入るべき戸籍の婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍の母前離婚日			入るべき戸籍の母前婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍の本籍			入るべき戸籍の本籍コード		有		
				入るべき戸籍の本籍				
	入るべき戸籍の筆頭者氏名			入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	入るべき戸籍の父氏名			入るべき戸籍の父漢字氏名				
	入るべき戸籍の父筆頭者区分			入るべき戸籍の父筆頭者区分				
	入るべき戸籍の父生年月日			入るべき戸籍の父生年月日		有		
	入るべき戸籍の父入籍日			入るべき戸籍の父入籍事件日		有		
	入るべき戸籍の父除籍日			入るべき戸籍の父除籍日		有		
	入るべき戸籍の父配偶者区分			入るべき戸籍の父配偶者区分				
	入るべき戸籍の母氏名			入るべき戸籍の母漢字氏名				
	入るべき戸籍の母筆頭者区分			入るべき戸籍の母筆頭者区分				
	入るべき戸籍の母生年月日			入るべき戸籍の母生年月日		有		
	入るべき戸籍の母入籍日			入るべき戸籍の母入籍事件日		有		
	入るべき戸籍の母除籍日			入るべき戸籍の母除籍日		有		
	入るべき戸籍の母配偶者区分			入るべき戸籍の母配偶者区分				
	届書の父氏名			届書の父漢字氏名				

画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
	届書の父本籍			届書の父本籍コード		有		
				届書の父本籍				
	届書の父生年月日			届書の父生年月日		有		
	届書の父筆頭者氏名			届書の父筆頭者氏名				
	届書の父外国人区分			届書の父外国人区分				
	届書の母氏名			届書の母漢字氏名				
	届書の母本籍			届書の母本籍コード		有		
				届書の母本籍				
	届書の母生年月日			届書の母生年月日		有		
	届書の母筆頭者氏名			届書の母筆頭者氏名				
	届書の母外国人区分			届書の母外国人区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日		有		
	関連受領番号			関連受領番号				3桁目より7桁を表示
	新戸籍の本籍			新戸籍の本籍コード		有		
				新戸籍の本籍				
	新戸籍の筆頭者氏名			新戸籍の筆頭者漢字氏名				
	国外出生の国籍留保届出人資格			国外の国籍留保届出人資格				
	国外出生の在外公館名			国外の在外公館名称				
	裁判の区分			裁判の区分				
	裁判の確定日			裁判の確定日		有		
	裁判の子の氏変更申出区分			裁判の子の氏変更申出区分		有		
	裁判の対象夫氏名			裁判の対象父氏名				
	裁判の対象夫生年月日			裁判の対象父生年月日		有		
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
1	○				○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							
2	○				○		○										－	－						子(7.1) 子(8.1)				
3	○								－	－	○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)		
4	○									○								○		○								子(7.1) 子(8.1)
5		○			○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							
6		○			○		－	－			○		－	－	－	－			○			子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)						
7		○			○		○										○								父(5.1)			
8		○			○		○										－	－	○					子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)				
9		○							－	－	○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)		
10		○							－	－	○		○		－	－			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)		
11		○								○								○		○								子(7.1) 子(8.1)
12			○								○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)		

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
13			○			○	－	－			○		○		－	－			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
14			○		○		－	－			○		○		－	－			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
15			○								○			○	○					○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
16			○			○	－	－			○			○	○				○	○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
17			○		○		－	－			○			○	○				○	○					父(5.2)		母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
18			○								○			○		○				○								母(6.1)	母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
19			○			○	－	－			○			○		○			○	○								母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
20			○		○		－	－			○			○		○			○	○					父(5.2)			母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
21			○								○			○	○						○						母(6.1)		
22			○		○		－	－			○			○	○				○		○				父(5.2)		母(6.1)		
23			○								○			○		○					○							母(6.1)	
24			○		○		－	－			○			○		○			○		○				父(5.2)			母(6.1)	

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
25			○									○		○	-	-				○									母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
28			○			○	-	-									○		○	○									子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
29			○		○		-	-									○		○	○				父(5.2)					子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
30			○															○		○									子(7.1) 子(8.1)
31			○			○	-	-										○	○	○									子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
32			○		○		-	-										○	○	○				父(5.2)					子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
33				○																○									子(7.1) 子(8.3)
34			○		○		-	-									○		○		○			父(5.2)					
35			○		○		-	-										○	○		○			父(5.2)					
36			○						○		○		○		-	-										子(7.1) 子(8.1)			
37			○						○		○			○	○					○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
38			○						○		○			○		○				○								母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
39			○						○		○			○	○						○						母(6.1)		
40			○						○		○			○		○					○							母(6.1)	

補足説明書					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)									
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表									

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
41			○						○			○		○	-	-				○									母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
42		○			○		○											○						子(7.1) 子(8.1)					
43 *3	○				○		○				-	-	-	-	-	-	-	-						子(7.1) 子(8.1)					
44 *3	○				-	-	-	-	-	-	○		○		-	-										子(7.1) 子(8.1)			
45			○						-	-	○		○		-	-			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
46			○						-	-	○			○	○				○	○						母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
47			○						-	-	○			○	○				○		○					母(6.1)			
48			○						-	-	○			○		○			○	○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
49			○						-	-	○			○		○			○		○						母(6.1)		
50 *4			○								○			○	-	-										子(7.1) 子(8.1)			
51 *4			○		○		-	-			○			○	-	-			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
52 *4			○			-	-	-	-	-	○			○	-	-			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
53 *5			○		○		-	-			○		-	-	-	-						子(7.1) 子(8.1)							

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)					
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表					

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録	変動なし	一部記録	変動なし	一部記録	一部除籍	全部除籍	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
																						A.2 D.1		A.2 D.1		A.2 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2	A.1 B.1 C.1*1 D.1

＊1：母につき新戸籍編製時の母の個人特定についての編集を指す。
＊2：届書の父母欄より判断する。
＊3：項番43～44：父母の婚姻解消日 ≠ スペース かつ　入るべき戸籍に入力のある父又は母の場合を指す。
＊4：項番50～52：母の配偶者区分 ≠ 0の条件が成り立つ時に処理する。
＊5：項番51：父母婚姻中の場合に処理する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付			
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)共通　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			出生子の出生区分 国外出生の国籍留保届出人資格 胎児認知日 裁判の区分	･出生子の出生区分 ＝ 3(非嫡) かつ 入るべき戸籍の母 ＝ 本籍人 かつ 新戸籍の本籍 ＝ 非本籍 かつ 在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) 又は 2(在外公館の直接送付) 又は 3(在外公館の国内経由):4401(その他) ･国外出生の国籍留保届出人資格 ≠ スペース:0102(出生:国籍留保) ･出生子の出生区分 ＝ 2(準嫡) かつ 以下のどちらか (胎児認知日 ＝ スペース ＆ 裁判の区分 ≠ 4):0103(出生･認知) (胎児認知日 ≠ スペース or 裁判の区分 ＝ 4):0101(出生) ･出生子の出生区分 ＝ 4(棄児):0104(出生･棄児発見) ･国外出生の国籍留保届出人資格 ≠ スペース かつ 出生子の出生区分 ＝ 2 かつ 以下のどちらか (胎児認知日 ＝ スペース かつ 裁判の区分 ≠ 4) :0105(出生･認知、国籍留保) (胎児認知日 ≠ スペース 又は 裁判の区分 ＝ 4) :0102(出生･国籍留保) ･上記以外:0101(出生)			
	受付日			送付日 受領日			送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移送	
	事件発生日			出生子の生年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付			
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)共通　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	関連受領番号							
	届出人資格コード1 届出人資格名称1 届出人氏名1 届出人資格コード2 届出人資格名称2 届出人氏名2			届出人の資格コード 届出人の資格名称 届出人の氏名 入るべき戸籍欄 届書欄	届出人の資格コード ＝ 005(父母)の場合 　届出人資格コード1 ＝ ″001″(父) 　届出人資格名称1 ＝ ″父″ 　届出人氏名1　＝ 入るべき戸籍又は届書の父欄 　届出人資格コード2 ＝ ″002″(母) 　届出人資格名称2 ＝ ″母″ 　届出人氏名2　＝ 入るべき戸籍又は届書の母欄 届出人の資格コード ＝ 081(その他の立会人)の場合 　届出人資格コード1 ＝ スペース 　届出人資格名称1 ＝ スペース 　届出人氏名1　＝ 届出人の氏名 届出人の資格コード ＝ 077(法定代理人)、093(公設所の長)の場合 　届出人資格コード1 ＝ 届出人の資格 　届出人資格名称1 ＝ 届出人の資格名称 　届出人氏名1　＝ 届出人の氏名 届出人の資格コード ＝ 097(市区町村長)の場合 　届出人資格コード1 ＝ スペース 　届出人資格名称1 ＝ スペース 　届出人氏名1　＝ スペース 　上記以外の場合(届出人が事件本人の場合スペース処理) 　届出人資格コード1 ＝ 届出人の資格コード 　届出人資格名称1 ＝ 届出人の資格名称 　届出人氏名1　＝ 届出人の氏名				
	届後本籍区分							出生子が入籍:1 出生子 又は 母につき新戸籍編製:2
	届後本籍コード			新戸籍の本籍コード				受付事件コード:4401(その他)の場合のみ移送する
	届後本籍			新戸籍の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者漢字氏名				
	送達確認区分1							在外送付区分 ＝ 0　かつ 届後本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送
	証書提出区分							0 を移送
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)事件本人　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							･受付事件コード ＝ 4401:04 ･上記以外 出生子の出生区分 ≠ 4:01 出生子の出生区分 ＝ 4:02
	届出人区分							･事件本人区分 ＝ 04　かつ 届出人の資格コード ＝ 002:1 ･上記以外:0(ZERO)
	カナ氏名			カナ氏名				･事件本人区分 ＝ 04: 入るべき戸籍の母を移送 ･上記以外 出生子を移送
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				在外送付区分 ＝ 0　かつ 事件本人の本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

※出生子の本籍(コード)編集の条件
出生子の国籍 ≠ スペース　：　出生子の国籍を移送
新戸籍の本籍 ≠ スペース　：　新戸籍の本籍を移送
入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース　：　入るべき戸籍の本籍を移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成 18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付)事件本人　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							03を移送
	届出人区分							1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース: 入るべき戸籍の父欄を編集 入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース: 届書の父欄を編集
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			筆頭者氏名				
	送達確認2							在外送付区分 ＝ 0　かつ 事件本人の本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力　※4.1(事件本人)含む							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0201を移送
	受付日			送付日 受領日			送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移送	
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力　※4.1(事件本人)含む							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認区分1							
	証書提出区分							0　を移送
	届書送付目録区分							1　を移送
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							事件本人 ＝ 出生子:01 事件本人 ＝ 父:03
	届出人区分							事件本人 ＝ 父:1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				事件本人区分に対するデータを移送する 事件本人区分 ＝ 01:出生子 事件本人区分 ＝ 03:入るべき戸籍の父
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			筆頭者氏名				
	送達確認2							0を移送

仮受付(事件本人)の出力順位
1. 出生子
2. 父

注:出生子の本籍コード、本籍の編集元は、出生子、国籍コード、国籍とする。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	5.1　身分事項(父・変動なし)62条							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	父個人番号				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	届出日			受領日				
	届出の性質							″認知届出の効力を有する出生届出″を移送
	胎児認知日							未使用
	認知の裁判確定日							未使用
	認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知した子の氏名(亡区分)							未使用
	認知した子の氏名(氏名)			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知した子の死亡日							未使用
	認知した子の戸籍(本籍)			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍 ＝ スペース:下記条件で移送 新戸籍欄 ≠ スペース:新戸籍欄 新戸籍欄 ＝ スペース:入るべき戸籍欄
	認知した子の戸籍(筆頭者)			新戸籍の筆頭者漢字氏名 入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	認知した子の国籍			出生子の国籍				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送
	認知した子の生年月日			出生子の生年月日				
	認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				
	認知の方式							未使用

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	5.1　身分事項(父・変動なし)62条								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	5.2　身分事項(父・変動なし)胎児認知							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	父個人番号				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	認知 届出日							未使用
	認知 届出の性質							未使用
								未使用
	認知 胎児認知日			胎児認知日				
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知した子の氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知した子の氏名(氏名)			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知 認知した子の死亡日							未使用
	認知 認知した子の戸籍(本籍)			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍 ＝ スペース:下記条件で移送 新戸籍欄 ≠ スペース:新戸籍欄 新戸籍欄 ＝ スペース:入るべき戸籍欄
	認知 認知した子の戸籍(筆頭者)			新戸籍の筆頭者漢字氏名 入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	認知 認知した子の国籍			出生子の国籍				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送
	認知 認知した子の生年月日			出生子の生年月日				
	認知 認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	5.2　身分事項(父･変動なし)胎児認知						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		認知の方式							未使用
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	6.1　身分事項(母・除籍)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	母個人番号				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0102を移送
	記録コード							0102を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	届出 届出日			受領日				届出人の資格名称 ＝ 船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格名称 ≠ 船長:届出日に受領日を移送
	届出 航海日誌謄本提出日							
	除籍Ⅰ 除籍事由							届出人の資格名称 ＝ 船長:"子の出生の航海日誌謄本提出" 届出人の資格名称 ≠ 船長:"子の出生届出"
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				項目がある場合移送
	入籍 入籍日							除籍では不使用
	入籍 入籍事由							除籍では不使用
	入籍 従前戸籍							除籍では不使用
	除籍Ⅱ 除籍日			処理日				項目がある場合移送
	除籍Ⅱ 新本籍			新戸籍の本籍				項目がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	6.2　身分事項(母・入籍)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	母個人番号				必須移送項目
	行番号								
	出力区分								0(ZERO)を移送
	タイトルコード								0102を移送
	記録コード								0102を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				出生子の生年月日				
	届出	届出日							新戸籍編製では不使用
		航海日誌謄本提出日							新戸籍編製では不使用
	除籍Ⅰ	除籍事由							新戸籍編製では不使用
	送付	通知を受けた日							新戸籍編製では不使用
		送付を受けた日							新戸籍編製では不使用
		受理者							新戸籍編製では不使用
	入籍	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
		入籍事由							届出人の資格名称 ＝ 船長:"子の出生の航海日誌謄本提出" 届出人の資格名称 ≠ 船長:"子の出生届出"
		従前戸籍			入るべき戸籍の本籍 入るべき戸籍の筆頭者				項目がある場合移送
	除籍Ⅱ	除籍日							新戸籍編製では不使用
		新本籍							新戸籍編製では不使用

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成27年 3月 1日	版	18
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	7.1　個人特定(出生子･入籍)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
	除籍日							
	性別			出生子の続柄コード		有		
	筆頭者区分							新戸籍の筆頭者漢字氏名 ≠ スペース　かつ　新戸籍の筆頭者漢字氏名 ＝ 出生子の氏名:1を移送 上記以外:0を移送
	配偶者区分							0を移送
	父			入るべき戸籍の父漢字氏名 届書の父漢字氏名	出生子の出生区分 ＝ 1　又は　2　又は 出生子の出生区分 ＝ 3　かつ　(裁判の区分 ＝ 4　又は 胎児認知日 ≠ スペース又は事実主義を含む出生)の時、 入るべき戸籍の父漢字氏名 ≠ スペース: 入るべき戸籍の父漢字氏名を移送 届書の父漢字氏名 ≠ スペース:届書の父漢字氏名を移送 ※父未定区分 ＝ 1　又は　2の場合:スペースを移送			
	母			入るべき戸籍の母漢字氏名 届書の母漢字氏名	入るべき戸籍の母漢字氏名 ≠ スペース: 入るべき戸籍の母氏名を移送 届書の母漢字氏名 ≠ スペース:届書の母氏名を移送			
	父母との続柄			出生子の続柄コード		有		
	養父							スペースを移送
	養母							スペースを移送
	養父母との続柄							00を移送
	生年月日			出生子の生年月日				
	前個人番号							スペースを移送
	個人除区分							0:在籍者を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.1 身分事項(出生子･入籍)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0101を移送
	記録コード							0101を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
出生	出生日			出生子の生年月日				必須移送項目
出生	出生地			出生子の出生地				必須移送項目
父母	父の国籍			届書の父本籍				編集仕様に関しては次の補足説明書を参照
父母	父の生年月日			届書の父生年月日				
父母	母の国籍			届書の母本籍				
父母	母の生年月日			届書の母生年月日				
届出	届出日			受領日		届出人の資格 ＝ 船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格 ≠ 船長:届出日に受領日を移送		
届出	航海日誌謄本提出日							
届出	届出人資格			届出人の資格名称		資格名称 ＝ 父、母、父母、医師、助産師、同居者、親族の時移送 ※但し、法定代理人の場合は届出人資格名称を移送		
届出	届出人氏名			届出人の氏名		資格名称 ＝ 父、母、父母、船長の場合、スペースを移送 資格 ＝ 市区町村長の場合、市区町村名 +「長」を移送 上記以外で届出人の氏名 ≠ スペースの場合移送		
国籍留保	国籍留保の届出日			受領日		国外の国籍留保届出人資格 ≠ スペースの時移送		
国籍留保	国籍留保届出人資格			国外の国籍留保届出人資格		国外の国籍留保届出人資格 ≠ スペース かつ 届出人の資格名称 ≠ 国外の国籍留保届出人資格(名称)の場合移送		
送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
送付	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
送付	受理者			発送元				項目がある場合移送

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	8.1　身分事項(出生子･入籍)						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
	入籍日	入籍日			処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							入籍では不使用
		従前の筆頭者							
	特記	特記事項			裁判の確定日 裁判の対象父氏名 入るべき戸籍の本籍		項目がある場合以下の編集後移送 裁判の区分 ＝ 1:裁判確定日 + 裁判の対象父氏名 + ″の嫡出子否認の裁判確定″ 裁判の区分 ＝ 2:裁判確定日 + 裁判の対象父氏名 + ″との親子関係不存在確認の裁判確定″ 裁判の区分 ＝ 3:″父を″ + 裁判の対象父氏名 + ″と定める裁判確定″ 裁判の区分 ＝ 4:裁判確定日 + 入るべき戸籍の本籍 + 裁判の対象父氏名 + ″認知の裁判確定″		
					裁判の子の氏変更申出区分		裁判の子の氏変更申出区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 受領日 + ″母の氏を称する入籍届″		
					国内遅延理由区分		国内遅延理由区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 発送元 + ″からの届書送付未着につき再送付″		
					国外遅延理由区分		国外遅延理由区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 ″責めに帰することのできない事由のため期間経過″		
					大使館職員区分 国外の在外公館名称		項目がある場合以下の編集後移送 大使館職員区分 ＝ 1: ″父″ + 国外の在外公館名称 + ″職員″ 大使館職員区分 ＝ 2: ″母″ + 国外の在外公館名称 + ″職員″		
					出生子の漢字氏名		出生子の漢字氏名がない場合、″名未定″を移送		
					父未定区分		父未定区分 ＝ 1の場合、″父未定″を移送		

補足説明書	作成日付	平成18年 3月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	10
作業名	入力確認(出生届)					
処理名						

No	出生区分				父			母			胎児認知有	出生子日本人	出生子の身分事項	
	棄児	嫡出	準嫡	非嫡	日本	外国	無籍	日本	外国	無籍			父の国籍・生年月日	母の国籍・生年月日
1	○											○	×	×
2		○					○			○	−	○	○	○
3		○			No2以外							○	×	×
4			○		○			○				○	×	×
5			○		○			○			○	○	×	×
6			○		○				○			×		
7			○		○				○		○	○	×	×
8			○		○					○		×		
9			○		○					○	○	○	×	×
10			○			○		○				○	○	×
11			○			○		○			○	○	×	×
12			○			○			○			×		
13			○			○			○		○	×		
14			○			○				○		×		
15			○			○				○	○	×		
16			○				○	○				○	○	×
17			○				○	○			○	○	×	×
18			○				○		○			×		
19			○				○		○		○	×		
20			○				○			○		○	○	○
21			○				○			○	○	○	○	○
22				○				○				○	×	×
23				○					○			×		
24				○						○		○	×	○
25				○	○			○			○	○	×	×
26				○	○				○		○	○	×	○
27				○	○					○	○	○	×	○
28				○		○		○			○	○	○	×

〈8.1子の入籍　出生事項中の父母国籍・生年月日記録仕様〉

○出生区分 ＝ 嫡出子
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍以外:移送不要
○出生区分 ＝ 準正嫡出子
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍以外
　　胎児認知有:移送不要
　　胎児認知無:届書の父　又は　母の外国人区分 ＝ 1の場合、
　　外国人を移送
○出生区分 ＝ 非嫡出子
　届書の父　又は　母の外国人区分 ＝ 1の場合、外国人を移送

補足説明書	作成日付	平成18年 3月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	10

作業名	入力確認(出生届)
処理名	

No	出生区分				父			母			胎児認知有	出生子日本人	出生子の身分事項	
	棄児	嫡出	準嫡	非嫡	日本	外国	無籍	日本	外国	無籍			父の国籍・生年月日	母の国籍・生年月日
29				○		○			○		○	×		
30				○		○				○	○	×		
31				○			○	○			○	○	○	×
32				○			○		○		○	×		
33				○			○			○	○	○	○	○
34				○		○		○				○	○	×
35				○		○			○			×		
36				○		○				○		×		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.2　身分事項(出生子･一部記録)親権							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号								
	出力区分								0(ZERO)を移送
	タイトルコード								1301を移送
	記録コード								1301を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				出生子の生年月日				
	親権者	資格							002を移送
		資格名称							″母″を移送
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.2 身分事項(出生子･入籍)棄児							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号								
	出力区分								0(ZERO)を移送
	タイトルコード								0101を移送
	記録コード								0101を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				出生子の生年月日				
	出生	出生日			出生子の生年月日				
		出生地							
	父母	父の国籍							
		父の生年月日							
		母の国籍							
		母の生年月日							
	届出	届出日			受領日				
		航海日誌謄本提出日							
		届出人資格							
		届出人氏名							市区町村名 +「長」を移送
	国籍留保	国籍留保の届出日							
		国籍留保届出人資格							
	送付	通知を受けた日							
		送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
	入籍	入籍日			処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							
		従前の筆頭者							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.4　身分事項(出生子･一部記録)胎児認知							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			胎児認知日				
	認知 認知日							未使用
	認知 胎児認知日			胎児認知日				項目がある場合移送
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 親子関係不存在確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知者氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知者氏名(氏名)			入るべき戸籍の父漢字氏名 届書の父漢字氏名		届書の父漢字氏名 ＝ スペース:入るべき戸籍の父漢字氏名 届書の父漢字氏名 ≠ スペース:届書の父漢字氏名		
	認知 認知者死亡日							未使用
	認知 認知者の戸籍(本籍)			入るべき戸籍の父本籍 届書の父本籍		届書の父外国人区分 ＝ 0の時編集 届書の父本籍 ＝ スペース:入るべき戸籍の父本籍 届書の父本籍 ≠ スペース:届書の父本籍		
	認知 認知者の戸籍(筆頭者)							
	認知 認知者の国籍			届書の父本籍				届書の父外国人区分 ＝ 1の時編集
	認知 認知者の生年月日							
	認知 認知の方式							未使用
	認知 裁判所							未使用

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	8.4　身分事項(出生子･一部記録)胎児認知						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日							未使用
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	入籍	入籍日							未使用

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	8.4　身分事項(出生子･一部記録)胎児認知								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属民名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
	関連	関連訂正事項							未使用
	従前の記録	従前の記録							未使用
		父母との続柄							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合、移送
	特記	特記事項							未使用

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	9.1　9条2項(出生子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 出生子	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			出生子の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							01(出生届)
	受理日			送付日 又は 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			出生子の漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			出生子の生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			出生子の続柄コード				
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍の本籍コード 入るべき戸籍の本籍コード				新戸籍の本籍コード ＝ スペース: 入るべき戸籍の本籍コード 新戸籍の本籍コード ≠ スペース: 新戸籍の本籍コード
	新本籍			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				新戸籍の本籍 ＝ スペース: 入るべき戸籍の本籍 新戸籍の本籍 ≠ スペース: 新戸籍の本籍
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者氏名 入るべき戸籍の筆頭者氏名				新戸籍の筆頭者氏名 ＝ スペース: 入るべき戸籍の筆頭者氏名 新戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペース: 新戸籍の筆頭者氏名
	旧筆頭者							
	住所コード			出生子の住所コード				
	住所			出生子の住所				
	方書			出生子の住所				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	9.1 9条2項(出生子) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日			出生子の生年月日				
	住民日			出生子の生年月日				
	世帯主			出生子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄			出生子の世帯主との続柄コード		有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	9.2 9条2項(母) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 母	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							
	宛名							
	事件コード							01(出生届)
	受理日			送付日 又は 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			母個人番号				本籍人の場合移送
	新氏名							
	旧氏名			母の氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍の本籍コード				
	新本籍			新戸籍の本籍				
	旧本籍コード			入るべき戸籍の本籍コード				
	旧本籍			入るべき戸籍の本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	住所コード							注意:新戸籍が編製された場合、届書入力には住所入力欄がないため、処分決定後、別途、9条2項ファイルを修正する必要がある。
	住所							
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

補足説明書	作成日付	平成 5年12月18日	改訂日付	平成14年 3月 1日	版	5.1
作業名	入力確認(出生届)					
処理名	届出人コード一覧					

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力				受付帳			身分事項DB		項目化記載例	備考
		資格区分		実体名	氏名	資格	資格名称	氏名	資格名称	氏名		
嫡出子出生届	父、母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は父母以外の法定代理人	001	父	×	○	○	父	○	父	―	【届出人】父	
		002	母	×	○	○	母	○	母	―	【届出人】母	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	―	【届出人】父母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】後見人 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	―	○	―	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
準正嫡出子出生届	父及び母又は父のみ	001	父	×	○	○	父	○	父	―	【届出人】父	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	―	【届出人】父母	
	胎児認知又は強制認知があり、認知者が母の夫である場合に有効	002	母	×	○	○	母	○	母	―	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】母の親権者 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	―	○	―	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
非嫡出子出生届(胎児認知含む)	母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は母以外の法定代理人	002	母	×	○	○	母	○	母	―	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】後見人 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	―	○	―	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
航海中の出生につき航海日誌の謄本送付	船長	092	船長	×	○	○	船長	○	―	×	【航海日誌の謄本提出日】［受領日］	

補足説明書	作成日付	平成 5年12月18日	改訂日付	平成14年 3月 1日	版	5.1

作業名	入力確認(出生届)
処理名	届出人コード一覧

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力				受付帳			身分事項DB		項目化記載例	備考
		資格区分		実体名	氏名	資格	資格名称	氏名	資格名称	氏名		
病院、刑務所その他公設所において出生した場合	父母ともに届出不能の時は公設所の長又は管理人	093	公設所の長	○	○	○	実体名	○	－	○	【届出人】 ［氏名］	
棄児発見の申出	発見者又は発見の申告を受けた警察官	097	市区町村長	△	×	×	－	×	実体名	×	【届出人】 ［市区町村］+長	届書入力、実体名はメーカーオプション

※届書入力での実体名入力例 ()内は画面上の名称

資格コード(資格)	→	097	:操作員入力
資格コードの名称(-)	→	市区町村長	:システム対応
実体名(資格名称)	→	△△△県□□□市	:操作員入力
氏名(氏名)	→	－－－－	:未入力

第7.2.(5)「異動」処理

2.認知届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	116	「認知届」	審査3.2（15-3） 「2004年4月2日(17歳)≦被認知者の生年月日≦2006年4月1日(16歳)」に修正。
2		115		条文等の見直しによる修正
3		117		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「認知届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_5.2、6.1

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	認知届					

1.認知業務処理範囲外の処理

(1)胎児認知の記録

(2)遺言による認知の記録

(3)認知者の死後に確定した認知の記録

(4)死亡した子に対する認知の記録

(5)父が生存中に郵送した認知届を父の本籍地で父死亡後に受理した場合の記録

(6)戸籍法63条の類推適用による届出(事実主義を採っている父の本国法に基づく父子関係存在確認の裁判が確定した場合)の記録

(7)性同一性障害による性別変更者からの認知の記録

2.認知届入力画面の意義

(1)その1画面:認知される子及び認知する者の入力

(2)その2画面:認知される子の母及び認知の方法等の入力

(3)その3画面:届出人等の入力

3.その他

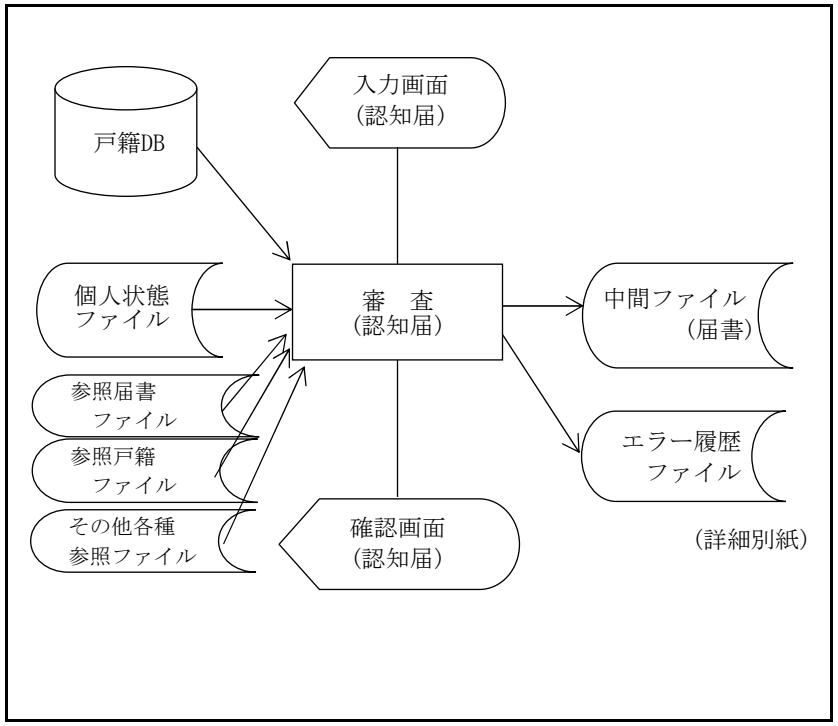
(1)成年(成年擬制も含む)の被認知者が成年被後見人の場合は、成年後見人の承諾が必要となる。
(但し、成年後見人が認知者の場合は、成年後見監督人か特別代理人の承諾が必要)

(2)日本人子・外国人認知者双方に日本民法上の認知の要件が備わっていない場合において、認知をする者の本国法により認知することができる旨の
証明書を添付した認知の届出があったときは、通則法第42条(公序)の規定の適用が問題となるので、管轄局の長の指示を求めるものとする。

(3)届出人となる母、養父、養母が外国人で親権規定がない場合は、審査結果入力で処理する。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)認知届の内容を入力する
(2)認知届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)認知届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)認知届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(認知届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査
    - 3.2 審査
    - 3.3 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(認知届)
処理名	0.0　本紙

										備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(認知届)を編集する							(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する								
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(認知届)を編集する							(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する								
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する							(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する									
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(認知届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	(1:創設、2:報告)であること			
11	被認知者の区分	○	数字	(1:胎児、2:未成年、3:成年)であること			
12	被認知者の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	被認知者の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
14	被認知者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	被認知者の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
16	被認知者のカナ氏名		カナ				
17	被認知者の漢字氏名		漢字				
18	被認知者の住所		漢字				
19	被認知者の世帯主		漢字				
20	被認知者の本籍地		漢字				
21	被認知者の筆頭者		漢字				
22	被認知者の準正による訂正後の続柄		数字	(11:長男～29:十九男　又は　31:長女～49:十九女)であること			
23	認知者の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
24	認知者の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
25	認知者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(認知届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	認知者の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
27	認知者のカナ氏名	○	カナ				
28	認知者の漢字氏名	○	漢字				
29	認知者の本籍地	○	漢字				
30	認知者の筆頭者		漢字				
31	母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
32	母の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
33	母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	母のカナ氏名		カナ				
35	母の漢字氏名		漢字				
36	母の本籍地		漢字				
37	母の筆頭者		漢字				
38	母の住所地		漢字				
39	認知者との婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
40	認知種別	○	数字	(1:任意、2:裁判)であること			
41	審査の準拠法		数字	(0:日本法、1:外国法(認知者)、2:外国法(子又は母))であること			
42	認知成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
43	認知の方式		漢字				
44	裁判成立地		数字	(0:日本、1:外国)であること			
45	審判/判決確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	裁判訴提起者		漢字				
47	外国の裁判所名		漢字				
48	認知を承諾した者		数字	(0:無、1:胎児の母、2:成年者、3:その他)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(認知届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
49	届出人資格1	○	数字	(1:父、17:親権者母、19:親権者養父、20:親権者養母、99:その他、105:子)であること			
50	届出人資格1名称		漢字				
51	届出人氏名1		漢字				
52	届出人資格2		数字	(17:親権者母、19:親権者養父、20:親権者養母、99:その他)であること			
53	届出人資格2名称		漢字				
54	届出人氏名2		漢字				

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(認知届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
11	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.12)被認知者の外国人区分～(No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄は、未入力であること			
12	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)～3(成年)の時、 (No.12)被認知者の外国人区分～(No.17)被認知者の漢字氏名および (No.20)被認知者の本籍地は、必須入力であること			
13	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日<2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日+20年(20歳未満)＞受領日であること			R2.1(認知111)
13-0-1	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日≧2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋18年(18歳未満)＞受領日であること			R2.1(認知111)
13-1	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日<2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)
13-1-1	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日≧2022年4月1日　かつ　(2004年4月2日>(No.14)被認知者の生年月日　又は 2006年4月1日<(No.14)被認知者の生年月日)の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋18年(18歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(認知届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
13-1-2	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日≧2022年4月1日　かつ (2004年4月2日≦(No.14)被認知者の生年月日≦2006年4月1日)の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋16年(16歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)
14	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、 (No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)であること			
15	(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.14)被認知者の生年月日＝和暦であること			
16	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.14)被認知者の生年月日＝西暦であること			
17	(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝本籍であること			
18	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝国籍であること			
19	(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.21)被認知者の筆頭者は必須入力であること			
20	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.21)被認知者の筆頭者は未入力であること			
21	(No.13)被認知者の本非区分＝1(本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝管内であること			
22	(No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝管外であること			
23	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)、3(成年)で、 (No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (No.39)母の認知者との婚姻日は、入力必須であること			
23-1	(No.18)被認知者の住所≠スペースの時、(No.19)被認知者の世帯主≠スペースであること			
23-2	(No.18)被認知者の住所＝スペースの時、(No.19)被認知者の世帯主＝スペースであること			
23-1-1	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)～3(成年)　かつ (No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.17)被認知者の漢字氏名の氏＝(No.21)被認知者の筆頭者の氏であること			
25	(No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (訂正前の父母との続柄＝10(男)～29(十九男))ならば (No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄＝11(長男)～29(十九男)であること			※被認知者が本籍人の時、チェックする
26	(No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (訂正前の父母との続柄＝30(女)～49(十九女))ならば (No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄＝31(長女)～49(十九女)であること			
27	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)であること			
28	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.25)認知者の生年月日＝和暦であること			
29	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.25)認知者の生年月日＝西暦であること			
30	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.29)認知者の本籍地＝本籍であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(認知届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.29)認知者の本籍地＝国籍であること			
32	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は入力必須であること			
33	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は未入力であること			
34	(No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地＝管内であること			
35	(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地＝管外であること			
35-1	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.28)認知者の漢字氏名の氏＝(No.30)認知者の筆頭者の氏であること			
36	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.32)母の本非区分＝2(非本籍)であること			
37	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.33)母の生年月日＝和暦であること			
38	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.33)母の生年月日＝西暦であること			
39	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.36)母の本籍地＝本籍であること			
40	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.36)母の本籍地＝国籍であること			
41	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.37)母の筆頭者は入力必須であること			
42	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.37)母の筆頭者は未入力であること			
43	(No.32)母の本非区分＝1(本籍)の時、(No.36)母の本籍地＝管内であること			
44	(No.32)母の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.36)母の本籍地＝管外であること			
44-1	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.35)母の漢字氏名の氏＝(No.37)母の筆頭者の氏			
45	(No.40)認知種別＝1(任意)で、(No.42)認知成立日＝0(日本の方式)の時、 (No.10)報告区分＝1(創設)であること			
46	(No.40)認知種別＝1(任意)で、(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の時、 (No.10)報告区分＝2(報告)であること			
47	(No.40)認知種別＝2(裁判)の時、(No.10)報告区分＝2(報告)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(認知届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	(No.40)認知種別＝2(裁判)の時、 (No.45)審判/判決確定日、(No.46)裁判訴提起者は必須入力であること			
48-1	(No.45)審判/判決確定日≠スペースの場合、 (No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.45)審判/判決確定日であり、 (No.9)郵送日＝スペースの時、(No.3)受領日≧(No.45)審判/判決確定日であること			
49	(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の時、(No.40)認知種別＝1(任意)であること			
50	(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の時、(No.43)認知の方式は必須入力であること			
51	(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の場合、 (No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.42)認知成立日であり、 (No.9)郵送日＝スペースの時、(No.3)受領日≧(No.42)認知成立日であること			
52	(No.44)裁判成立地＝1(外国で成立)の時、(No.40)認知種別＝2(裁判)であること			
53	(No.44)裁判成立地＝1(外国で成立)の時、(No.47)外国の裁判所名は必須入力であること			
54	(No.44)裁判成立地＝0(日本で成立)の時、(No.47)外国の裁判所名は未入力であること			
55	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.48)認知を承諾した者＝0(無)、1(胎児の母)であること			
56	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)の時、 (No.48)認知を承諾した者＝0(無)、2(成年)、3(その他)であること			
57	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)　かつ　(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、 (No.38)母の住所地は必須入力であること			
58	(No.49)届出人資格1≠99の時、 (No.50)届出人資格1名称＝スペースであること			
59	(No.49)届出人資格1＝1(父)　かつ　(No.51)届出人氏名1≠スペースの時、 (No.51)届出人氏名1＝(No.28)認知者の漢字氏名であること			
60	(No.49)届出人資格1＝17(親権者母)　かつ　(No.35)母の漢字氏名≠スペース　かつ (No.51)届出人氏名1≠スペースの時、 (No.51)届出人氏名1＝(No.35)母の漢字氏名であること			
61	(No.49)届出人資格1＝99(その他)の時、(No.50)届出人資格1名称＝必須入力であること			
62	(No.49)届出人資格1≠1、17(父、親権者母)の時、(No.51)届出人氏名1＝必須入力であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(認知届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
62-1	(No.49)届出人資格1＝17(親権者母)　かつ　(No.35)母の漢字氏名＝スペースの時、 (No.51)届出人氏名1＝必須入力であること			
63	(No.40)認知種別＝1(任意)の時、 (No.52)届出人資格2、(No.53)届出人資格2名称、(No.54)届出人氏名2＝未入力であること			
64	(No.52)届出人資格2＝99(その他)の時、(No.53)届出人資格2名称＝必須入力であること			
64-1	(No.52)届出人資格2≠スペース、17(未入力、親権者母)の時、 (No.54)届出人氏名2＝必須入力であること			
64-2	(No.52)届出人資格2＝17(親権者母)　かつ　(No.35)母の漢字氏名＝スペースの時、 (No.54)届出人氏名2＝必須入力であること			
64-3	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時　又は (No.11)被認知者の区分＝2、3(未成年、成年)　かつ　(No.12)被認知者の外人区分＝1(外国人)の時、 (No.31)母の外国人区分～(No.36)母の本籍地は必須入力あること			
65	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)　又は　(No.32)母の本非区分＝1(本籍)ならば (No.8)本非区分＝1(本籍)であること			
66	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)　かつ　(No32)母の本非区分＝2(非本籍)ならば (No.8)本非区分＝2(非本籍)であること			
67	(No.11)被認知者の区分＝2、3(未成年、成年)の時、 (No.13)被認知者の本非区分＝1(本籍)　又は(No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)ならば (No.8)本非区分＝1(本籍)であること			
68	(No.11)被認知者の区分＝2、3(未成年、成年)の時、 (No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)　かつ　(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)ならば (No.8)本非区分＝2(非本籍)であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0　審査

					備考
(0-1)受領日=送付日である(YES,NO)		/			
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する				
	YES	(0-3)→(0-7)へ	/		R2.1(認知114)
	NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ		/		R2.1(認知114)
(0-7)(被認知者の外国人区分=0:日本人　かつ　被認知者の漢字氏名の名が未入力)　又は (認知者の外国人区分=0:日本人　かつ　認知者の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)			/		R2.1(認知114)
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示する			(0-9)本紙へ	R2.1(認知114)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-12)本紙へ	不受理　R2.1(認知114)
	NO	(0-11)→			画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(認知114)
NO	(0-13)→(1)へ		/		R2.1(認知114)
(1)審判/判決確定日≠スペースである。(YES,NO)			/		
YES	(2)審判/判決確定日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(4)本紙へ	
	NO	(5)審判/判決確定日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
		YES (6)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示する		(7)本紙へ	
		YES (8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			
		NO (9)→(19)へ	/		
		NO			
NO	(10)認知成立日≠スペースである(YES,NO)		/		
	YES	(11)認知成立日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
		YES (12)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(13)本紙へ	
		NO (14)認知成立日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
		YES (15)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示		(16)本紙へ	

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し、現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0 審査

								備考
				「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示				
			YES	(17)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				
			NO	(18)→(19)へ		/		
		NO						
	NO							
(19)認知者の生死区分(0:生存、1:死亡)						/		
0	(20)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)					/		
	1	(21)→(26-1)へ				/		R2.1
	2,3	(22)被認知者の生死区分(0:生存、1:死亡)				/		
		0	(23)→(26-1)へ			/		R2.1
		1	(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(25)本紙へ	
1	(26)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する							
(26-1)認知者の本籍地=管内(YES,NO)						/		
YES	(26-2)認知者の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)					/		平成15年法律第111号3条
	YES	(26-3)エラーメッセージ 「性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					(26-4)本紙へ	
	NO	(26-5)→(26-6)へ				/		R2.1(認知112)
NO								
(26-6)在外送付区分=2(在外公館の直接送付)　又は　3(在外公館の国内経由)(YES,NO)						/		R2.1(認知112)
YES	(26-7)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)					/		R2.1(認知112)
	1	(26-8)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		R2.1(認知112)
		0	(26-9)→(27)へ			/		R2.1(認知112)
		1	(26-10)エラーメッセージ 「在外公館から送付された胎児認知届は審査結果入力で処理して下さい。」 を表示する				(26-11)本紙へ	R2.1(認知112)
	2,3	(26-12)→(27)へ				/		R2.1(認知112)
NO								R2.1(認知112)
(27)認知種別(1:任意、2:裁判)						/		
1	(28)外国の方式により成立した届出(戸籍法41条)であるか					/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0 審査

								備考
YES	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により認知が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示する							(30)本紙へ
	YES	(31)→(34)へ						/
								R2.1(認知112) (31-1)～(31-7)を削除
	NO	(32)→						(33)本紙へ 不受理 R2.1(認知112)
	(34)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)							/
	0	(35)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)						/
		1	(36)子の母の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/
			0	(37)→(63)へ				/
			1	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「母の国籍証明書の添付がありますか?」を表示する				(39)本紙へ
				YES	(40)→(63)へ			/
				NO	(41)→			(42)本紙へ 不受理
		2,3	(43)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/
			0	(44)→(63)へ				/
			1	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか?」を表示する				(46)本紙へ
				YES	(47)→(63)へ			/
				NO	(48)→			(49)本紙へ 不受理
	1	(50)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の国籍証明書の添付がありますか?」を表示する						
		YES	(51)→(54)					/
		NO	(52)→					(53)本紙へ 不受理
		(54)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年〉						/
		1	(55)子の母の外国入区分(0:日本人、1:外国人)					/
			0	(56)→(63)				/
			1	(57)エラーメッセージ 「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示する				(58〉 本紙へ 不受理
		2,3	(59)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/
			0	(60)→(63)				/
			1	(61)エラーメッセージ 「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示する				(62〉 本紙へ 不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0 審査

						備考
			「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示する			
		(63)確認メッセージ(YES,NO) 「証書の謄本が認知を証明するものかどうか審査は済みましたか?」を表示する				
		YES	(64)→			受理
		NO	(65)→			不受理
	NO	(66)3.1審査へ進む [3.1]		/		
		(67)→			(68)本紙へ	
2	(69)被認知者区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)			/		
	1	(70)エラーメッセージ 「強制認知による胎児認知はできません。」を表示する			(71)本紙へ	不受理、昭和25.1.7民事甲22号回答
	2,3	(72)確認メッセージ(YES,NO) 「審判又は判決の謄本及び確定証明書の添付がありますか?」を表示する				戸63
		YES	(73)→(76)	/		
		NO	(74)→		(75)本紙へ	不受理
		(76)裁判成立地(日本、外国)		/		
		日本	(77)審判/判決確定日より10日以内の届出であるか	/		戸63
			YES (78)届出人は裁判の申立人であるか(YES,NO)	/		戸63
			YES (79)→		(80)本紙へ	受理
			NO (81)エラーメッセージ 「裁判確定日より10日以内に届け出られるのは申立人のみです。」 を表示する			不受理
			NO (82)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は裁判の申立人もしくは裁判の相手方ですか?」を表示する		(82-1)本紙へ	戸63Ⅱ
			YES (83)→			受理
			NO (84)→			不受理
		外国	(85)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
			0 (86)→(91)	/		
			1 (87)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
			0 (88)→(91)	/		
			1 (89)エラーメッセージ 「外国で成立した外国人同士の裁判認知届は受理できません。」 を表示する		(90)本紙へ	不受理
			(91)確認メッセージ(YES,NO) 「民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか?」を表示する			

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(認知届)								
処理名	3.0 審査							備考	
			「民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか?」を表示する					民訴118	
			YES	(92)→				受理	
			NO	(93)→				不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.1 審査			備考
(1)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/			
0 (2)→(15)	/			(3)～(9)削除
1 (10)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の国籍証明書の添付がありますか」を表示する		(11)3.0審査へ		
YES (12)→(15)	/			
NO (13)→		(14)3.0審査へ		不受理
(15)被認知者区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)	/			
1 (16)子の母の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/			
0 (17)子の母の本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/			戸61
1 (18)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/			
0 (19)審査の準拠法(0:日本法)	/			
0 (20)→(31)	/			
その他 (21)エラーメッセージ 「準拠法が異なります」を表示する		(22)3.0審査へ		
1 (23)審査の準拠法(0:日本法、1:外国法(認知者の本国法))	/			
0 (24)→(31)	/			
1 (25)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の本国法により認知できる旨の証明書はありますか」を表示する		(26)3.0審査へ		
YES (27)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示する				
YES (28)→				受理
NO (29)→				不受理
NO (30)→				不受理
(31)母は現在婚姻していますか	/			
YES (32)確認メッセージ(YES,NO) 「配偶者からの認知ではなく、婚姻成立後200日を経過していないですね」を表示する		(33)3.0審査へ		民772 民779
YES (34)→(41)	/			
NO (35)→		(36)3.0審査へ		不受理
NO (37)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者と胎児の母との婚姻解消後300日以内の届出ではありませんね」を表示する				民779
YES (38)→(41)	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名							3.1 審査			備考
				NO	(39)→			(40)3.0審査へ		不受理
			(41)既に胎児認知届が出されているか				/			大正5.11.2 民事 1331号回答
			YES	(42)エラーメッセージ 「既に胎児認知届がだされています」を表示する				(43)3.0審査へ		不受理
			NO	(44)→(87)			/			
		2	(45)母は無籍者であるか				/			
			YES	(46)エラーメッセージ 「母は無籍者です。受理照会となります」を表示する				(47)3.0審査へ		受理照会
			NO	(48)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の本籍地に届け出て下さい」を表示する						不受理
	1	(49)確認メッセージ(YES,NO) 「母の国籍証明書の添付がありますか」を表示する								
		YES	(50)→(53)				/			
		NO	(51)→					(52)3.0審査へ		不受理
		(53)認知者の外国入区分(0:日本人、1:外国人)					/			
		0	(54)母の住所地(管内、管外、国外)				/			昭和29.3.6 民事甲 509号回答
			管内	(55)→(63)			/			
			管外	(56)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の住所地に届け出て下さい」を表示する				(57)3.0審査へ		不受理
			国外	(58)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の本籍地又は届出人の所在地ですか」を表示する				(59)3.0審査へ		
				YES	(60)→(63)		/			
				NO	(61)→			(62)3.0審査へ		受理照会
			(63)審査の準拠法(0:日本法、2:外国法(子 又は 母の本国法))				/			
			0	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示する				(65)3.0審査へ		
				YES	(66)→(87)		/			
				NO	(67)→			(68)3.0審査へ		不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

								処理名	3.1 審査			備考
			2					(69)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する				
				YES				(70) →				受理
				NO				(71) →				不受理
		1						(72)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人の所在地での届出ですか」を表示する				
			YES					(73)→(76)	/			
			NO					(74)→		(75)3.0審査へ		
								(76)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法)、2:外国法(子又は母の本国法))	/			
			1					(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」 を表示する		(78)3.0審査へ		
				YES				(79)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」 を表示する				
					YES			(80)→				受理
					NO			(81)→				不受理
				NO				(82)→		(83)3.0審査へ		不受理
			2					(84)確認メッセージ(YSE、NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する				
				YES				(85)→				受理
				NO				(86)→				不受理
	(87)認知者の生年月日 + 12年(12歳以上) ≦ 受領日か								/			昭和39.7.8～9　釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40.3.6　民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39.9.16～17　香川県連合戸住協決 昭和40.4.14　民事(2)発第146号民事局変更指示
	YES	(88)→(94)							/			
	NO	(89)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者の生年月日は正しいですか」を表示する								(90)3.0審査へ		
		YES	(91)→(94)						/			
		NO	(92)→							(93)3.0審査へ		
	(94)3.2　審査へ進行 [3.2]								/			
	(95)審査の結果、確認･エラーメッセージがない(YSE、NO)								/			
	YES	(96)→(166)							/			
	NO	(97)→								(98)3.0審査へ		
2,3	(99)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)								/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名						3.1 審査			備考
0						(100)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
	0					(101)審査の準拠法(0:日本法)	/		
		0				(102) → (118)	/		
		その他				(103)エラーメッセージ 「準拠法が異なります」を表示する		(104)3.0審査へ	
	1					(105)在外送付区分は、2(在外公館の直接送付)であるか(YSE、NO)	/		戸40、通則法29Ⅰ・Ⅱ、34
		YES				(106)エラーメッセージ 「送付分の届書としては処理できません」を表示する		(107)3.0審査へ	
		NO				(108)→(109)	/		
						(109)審査の準拠法(0:日本法、1:外国法(認知者の本国法))	/		
			0			(110) → (118)	/		
			1			(111)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」 を表示する		(112)3.0審査へ	
				YES		(113)確認メッセージ(YES,NO) 「日本法上の子の保護要件の審査は済みましたか」を表示する		(114)3.0審査へ	
					YES	(115)→			受理
					NO	(116)→			不受理
				NO		(117)→			不受理
						(118)3.3 審査へ進む [3.3]	/		
						(119)審査結果、確認･エラーメッセージがない(YES,NO)	/		
		YES				(120) → (149)	/		
		NO				(121) →		(122)3.0審査へ	
	1					(123)確認メッセージ(YES,NO) 「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか」を表示する			
		YES				(124)→(127)	/		
		NO				(125)→		(126)3.0審査へ	
						(127)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
		0				(128)審査の準拠法(0:日本法、2:外国法(子の本国法))	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)
処理名	3.1 審査

							備考
		0	(129)確認メッセージ(YES,NO) 「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」 を表示する			(130)3.0審査へ	
			YES	(131)確認メッセージ(YES,NO) 「嫡出子・特別養子・既に認知されている子では、ありませんか」 を表示する			
				YES	(132)→(149)	/		
				NO	(133)→		(134)3.0審査へ	不受理
			NO		(135)→			不受理
		2	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する				
			YES		(137)→		(138)3.0審査へ	受理
			NO		(139)→			不受理
	1		(140)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法)、2:外国法(子又は母の本国法))		/		
		1	(141)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」 を表示する			(142)3.0審査へ	
			YES	(143)確認メッセージ(YSE、NO) 「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」 を表示する			
				YES	(144)→			受理
				NO	(145)→			不受理
			NO		(145-1)→			不受理
		2	(146)確認メッセージ(YSE、NO) 「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する				
			YES		(147)→			受理
			NO		(148)→			不受理
	(149)認知者と母との婚姻日 ≠ スペースであるか(YSE、NO)				/			
	YES	(150)被認知者は認知者と母の婚姻200日以内の出生子であるか(YSE、NO)			/			昭和34.8.28 民事甲 1827号通達
		YES	(151)エラーメッセージ 「父母婚姻200日以内の子の認知は嫡出子としての戸籍訂正となります」を表示する			(152)3.0審査へ		
		NO	(153) → (154)		/			
	NO							
	(154)認知者の生年月日 + 12年(12歳以上) ≦ 被認知者の生年月日か(YSE、NO)				/			昭和39.7.8～9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40.3.6 民事(2)発第87号民事局変更指示
	YES	(155)→(161)			/			昭和39.9.16～17 香川県連合戸住協決

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)							
処理名	3.1 審査						備考	
NO	(156)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者及び子の生年月日は正しいですか」を表示する				(157)3.0審査へ		昭和40.4.14 民事(2)発第146号民事局変更指示	
	YES	(158)→(161)		/				
	NO	(159)→			(160)3.0審査へ			
	(161)3.2 審査へ進む [3.2]			/				
	(162)審査結果、確認・エラーメッセージがない(YES,NO)			/				
	YES	(163)→(166)		/				
	NO	(164)→			(165)3.0審査へ			
(166)届出人は認知者本人であるか(YES,NO)				/				
YES	(167)→(172)			/	(168)		(168)を削除	
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、認知者でありがせんがよろしいですか」を表示する				(169-1)3.0審査へ			
	YES	(170)→					受理	
	NO	(171)→					不受理	
(172)認知者の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)				/				
YES	(173)メッセージ 「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示する						受理照会 昭和49.7.25～26 徳島地方法務局管内連合戸協決議	
NO	(174)→				(175)3.0審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)
処理名	3.2 審査

															備考
(1)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)													/		
1															(2)～(10)削除
	(11)認知の承諾者(0:無、1:胎児の母)												/		
	0	(12)エラーメッセージ 「母の承諾がなければ胎児認知できません。」を表示する												(13)3.1審査へ	不受理
	1	(14)→													
2,3	(15)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)												/		
	0	(15-1)認知成立日≠スペース　かつ　認知成立日≧2022年4月1日　又は 審判/判決確定日≠スペース　かつ　審判/判決確定日≧2022年4月1日　又は 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペース の場合、 受領日≧2022年4月1日(YES,NO)												/		民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける R2.1(認知111)
		YES	(15-2)認知成立日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>審判/判決確定日 認知成立日=スペース かつ 審判/判決確定日=スペースの場合、 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)											/		民法改正(2022年4月1日)後の審査 民731(改正後)　R2.1(認知111)
			YES	(15-3)2004年4月2日(17歳)≦被認知者の生年月日≦2006年4月1(16歳)日 (YES,NO)										/		民法改正(2022年4月1日)附則第3条第2項 →改正日に16歳以上18歳未満の女性は経過措置として改正前の民731が適用される ※被認知者の性別が分かる項目がないため、男女に関係なく16歳以上として審査を行う。 R2.1(認知
				YES	(15-4)確認メッセージ(YES,NO) 成年擬制ですか?」を表示する									(15-5)3.1審査へ	民753　R2.1(認知111)
					YES	(15-6)→(24)へ								/	R2.1(認知111)
					NO	(15-7)→								(15-8)3.1審査へ	R2.1(認知111)
				NO											
			NO	(15-9)→(24)へ										/	R2.1(認知111)
		NO	(16)認知成立日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>審判/判決確定日 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペースの場合、 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>受領日											/		民法改正(2022年4月1日)前の審査

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.2 審査				備考
	YES	(17)認知成立日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦審判/判決確定日 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペースの場合、 被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日	/		民731(改正前) ※被認知者の性別が分かる項目がないため、男女に関係なく16歳以上として審査を行う。 本籍人の年齢条件を削除(第13版)
		YES (18)確認メッセージ(YES,NO) 「成年擬制ですか?」を表示する		(19)3.1審査へ	民753
		YES (20)→(24)へ	/		
		NO (21)→		(22)3.1審査へ	
		NO			
	NO	(23)→(24)へ	/		
	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年被後見人ですか?」を表示する				
	YES	(25)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)	/		民782、昭和18.12.3 民事甲 943回答
	0,2	(26)エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です。」を表示する		(27)3.1審査へ	不受理
	3	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」を表示する			昭和45.1.31 民事甲 464回答
		YES (29)→		(30)3.1審査へ	
		NO (31)→			不受理
	NO	(32)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)	/		民782
	0,3	(33)エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません。」を表示する		(34)3.1審査へ	不受理
	2	(35)→			(36)～(47)削除
1	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年者(成年擬制も含む)ですか?」を表示する				
	YES	(49)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年被後見人ですか?」を表示する			
	YES	(50)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)	/		民782、昭和18.12.3 民事甲 943回答
		0,2 (51)エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です。」を表示する		(52)3.1審査へ	
		3 (53)確認メッセージ(YES,NO) 「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」			昭和45.1.31 民事甲 464回答

要件定義ワークシート						作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(認知届)							
処理名				3.2 審査						備考	
					「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」を表示する						
					YES (54)→						
					NO (55)→					不受理	
			NO	(56)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)			/			戸782	
				0,3	(57)エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません。」を表示する			(58)3.1審査へ		不受理	
				2	(59)→						
		NO	(60)→								

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3

作業名	審査(認知届)
処理名	3.3　審査

															備考
(1)被認知者の本非区分(1:本籍、2:非本籍)													/		
1	(2)												/		(2)～(4)第8.3版により削除
		(3)												(4)	
		(5)被認知者は特別養子であるか(YES,NO)											/		戸817の9 等により嫡出子に準ずる
		YES	(6)エラーメッセージ 「特別養子を認知することはできません」を表示する											(7)3.1審査へ	不受理
		NO	(8)被認知者は既に認知されているか(YES,NO)										/		大正5.11.2　民事　1331回答
			YES	(9)エラーメッセージ 「既に認知されている子を認知することはできません」を表示する										(10)3.1審査へ	不受理
			NO	(11)被認知者の戸籍に父の氏名が記録されているか(YES,NO)									/		
				YES	(12)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)								/		
					0	(13)エラーメッセージ 「父は既に存在します」を表示する								(14)3.1審査へ	不受理
					1	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者は父欄に記載されている父で本国法は事実主義ですか」を表示する									平成1.10.2　民事二　3900号通達3･2(2)
						YES	(16)→								
						NO	(17)→								不受理
				NO	(18)→										
2	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「嫡出子･特別養子･既に認知されている子ではありませんか」を表示する														戸779、明治32.3.24　民刑　2180号回答 大正5.11.2　民事　1331回答
	YES	(20)→													
	NO	(21)→													不受理

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		認知届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定	
	選択事件コード							2(認知)を移送する	
	出張所番号			支所番号					
	受領日			受領日					
	送付日			送付日					
	発送元			発送元					
	在外送付区分			在外送付区分					
	処理日			処理日					
	許可日								
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3	
	本非区分			本非区分					
	郵送日			郵送日					
	動態区分								
	届区分			報告区分					
	渉外区分						被認知者の区分 ＝ 胎児の時 認知者･子の母が日本人 ＝ 0 認知者が日本人･子の母が外国人 ＝ 0 認知者が外国人･子の母が日本人 ＝ 1 認知者･子の母が外国人 ＝ 2 被認知者の区分 ≠ 胎児の時 認知者･被認知者のが日本人 ＝ 0 認知者･被認知者のいずれかが日本人 ＝ 1 認知者･被認知者のが外国人 ＝ 2 を移送する	
	同時決裁受領番号								
	ロック戸籍番号		本籍人検索 サブシステム　インターフェース					認知者･被認知者(子の母)が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送	
	事件別内容		認知届入力画面					中間ファイル(届書)事件別内容参照	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理　又は　3 ＝ 受理照会 をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							受領番号 ＝ スペースの時、 0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル (届書) 事件別内容	被認知者の区分		認知届入力画面	被認知者の区分				
	被認知者の外国人区分			被認知者の外国人区分				
	被認知者の本非区分			被認知者の本非区分				
	被認知者の生年月日			被認知者の生年月日				
	被認知者の生死区分			被認知者の生死区分				
	被認知者のカナ氏名			被認知者のカナ氏名				
	被認知者の漢字氏名			被認知者の漢字氏名				
	被認知者の住所コード			被認知者の住所				
	被認知者の住所							
	被認知者の世帯主			被認知者の世帯主				
	被認知者の本籍コード			被認知者の本籍地				
	被認知者の本籍地							
	被認知者の筆頭者			被認知者の筆頭者				
	被認知者の準正による訂正後の続柄			被認知者の準正による訂正後の続柄				
	認知者の外国人区分			認知者の外国人区分				
	認知者の本非区分			認知者の本非区分				
	認知者の生年月日			認知者の生年月日				
	認知者の生死区分			認知者の生死区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

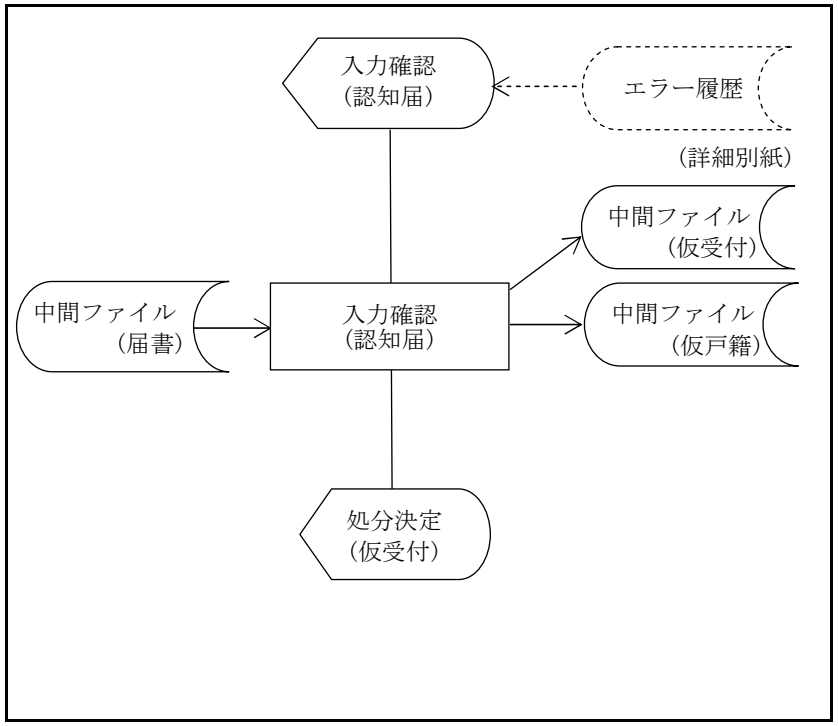
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	認知者のカナ氏名			認知者のカナ氏名				
	認知者の漢字氏名			認知者の漢字氏名				
	認知者の本籍コード			認知者の本籍				
	認知者の本籍地							
	認知者の筆頭者名			認知者の筆頭者				
	母の外国人区分			母の外国人区分				
	母の本非区分			母の本非区分				
	母の生年月日			母の生年月日				
	母のカナ氏名			母のカナ氏名				
	母の漢字氏名			母の漢字氏名				
	母の本籍コード			母の本籍地				
	母の本籍地							
	母の筆頭者			母の筆頭者				
	母の住所コード			母の住所地				
	母の住所地							
	母の認知者との婚姻日			母の認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			受領日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判/判決確定日			審判/判決確定日				
	裁判申立人			裁判訴提起者				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				
	認知を承諾した者			認知を承諾した者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 4年 9月30日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	入力確認(認知届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(認知届確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 戸籍編製マトリックス表
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 5.1 個人特定(変動なし)
  - 5.2 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 6.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(認知届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]					/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)胎児認知であるか				/		
	YES	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [2.0]				(6)処分決定に制御を渡す	
							(5)削除 (R3版)
	NO	(7)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [3.0]			/		
		(8)中間ファイル(仮受付[受付])を編集･出力する [4.0]			/		
							(9)削除 (R3版)
		(10)事件本人(被認知者)が本籍人である(YES,NO)			/		
		YES	(11)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/		
			個人特定(変動なし)	(12)個人特定(被認知者)の編集 [5.1]	/		
			身分事項(変動なし)	(13)身分事項(被認知者)の編集 [5.2]	/		
		NO	(14)→(15)		/		
		(15)事件本人(認知者)が本籍人である(YES,NO)			/		
		YES	(16)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/		
			身分事項(変動なし)	(17)身分事項(認知者)の編集 [6.1]		(22)処分決定に制御を渡す	
		NO	(18)　→				
PF1	→					(24)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(25)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(26)審査に制御を渡す	
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/	(29)同画面を編集する	
	YES	(28)前ページ分の確認画面(認知届)を編集する					
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/		
	YES	(32)次ページ分の確認画面(認知届)を編集する					
	NO	(33)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF11	→					(34)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(35)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(36)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	1.0　確認画面(認知届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
認知届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			支所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	被認知者の区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	被認知者の区分				
	被認知者の外国人区分			被認知者の外国人区分				
	被認知者の本非区分			被認知者の本非区分				
	被認知者の生年月日			被認知者の生年月日				
	被認知者の生死区分			被認知者の生死区分				
	被認知者のカナ氏名			被認知者のカナ氏名				
	被認知者の漢字氏名			被認知者の漢字氏名				
	被認知者の住所			被認知者の住所コード		有		
				被認知者の住所				
	被認知者の世帯主			被認知者の世帯主				
	被認知者の本籍地			被認知者の本籍コード		有		
				被認知者の本籍地				
	被認知者の筆頭者			被認知者の筆頭者				
	被認知者の準正による訂正後の続柄			被認知者の準正による訂正後の続柄				
	認知者の外国人区分			認知者の外国人区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)						
処理名	1.0　確認画面(認知届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	認知者の本非区分			認知者の本非区分				
	認知者の生年月日			認知者の生年月日				
	認知者の生死区分			認知者の生死区分				
	認知者のカナ氏名			認知者のカナ氏名				
	認知者の漢字氏名			認知者の漢字氏名				
	認知者の本籍			認知者の本籍コード		有		
				認知者の本籍地				
	認知者の筆頭者			認知者の筆頭者名				
	母の外国人区分			母の外国人区分				
	母の本非区分			母の本非区分				
	母の生年月日			母の生年月日				
	母のカナ氏名			母のカナ氏名				
	母の漢字氏名			母の漢字氏名				
	母の本籍地			母の本籍コード		有		
				母の本籍地				
	母の筆頭者			母の筆頭者				
	母の住所地			母の住所コード		有		
				母の住所地				
	母の認知者との婚姻日			母の認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			証書提出日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判/判決確定日			審判/判決確定日				
	裁判訴提起者			裁判申立人				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	1.0　確認画面(認知届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	認知を承諾した者			認知を承諾した者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0202(認知(胎児))を移送
	受付日			受領日				送付日≠空白の時、移送
				送付日				送付日=空白の時、移送
	事件発生日			認知成立日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		
				届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				届出人資格1 ≠ 1、17の時に移送 届出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格1名称を移送
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日 ≠ 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							0を移送
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							胎児の時、54(胎児) 認知者の時、6(認知者)
	届出人区分							届出人が父　又は　母の時、1設定
	カナ氏名			カナ氏名				胎児の時、母のカナ氏名 認知者の時、認知者のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				胎児の時、母の漢字氏名 +〝の胎児〟 認知者の時、認知者の漢字氏名
	生年月日			生年月日				胎児の時、移送しない 認知者の時、認知者の生年月日
	本籍コード			本籍コード				胎児の時、母の本籍コード 認知者の時、認知者の本籍コード
	本籍			本籍地				胎児の時、母の本籍地 認知者の時、認知者の本籍地
	筆頭者			筆頭者				胎児の時、母の筆頭者 認知者の時、認知者の筆頭者
	送達確認2							0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
1.胎児 2.認知者								

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(認知届)
処理名	3.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件								戸籍の変動	
	被認知者				認知者				被認知者現戸籍	認知者現戸籍
	外国人区分		本非区分		外国人区分		本非区分			
	日本人	外国人	本籍	非本籍	日本人	外国人	本籍	非本籍	変動なし 5.1 5.2	変動なし 6.1
1	○		○		○		○		子	認知者
2	○		○		○			○	子	
3	○		○			○	－	－	子	
4	○			○	○		○			認知者
5	○			○	○			○		
6	○			○		○	－	－		
7		○	－	－	○		○			認知者
8		○	－	－	○			○		
9		○	－	－		○	－	－		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							認知種別 = 1の時、0201 認知種別 = 2の時、0204を移送
	受付日			受領日				送付日≠空白の時、移送
				送付日				送付日=空白の時、移送
	事件発生日			認知成立日 審判/判決確定日				認知種別 = 1　かつ 認知成立日 ≠ 0の時、認知成立日 認知種別 = 2の時、審判/判決日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格1				認知種別 = 1の場合、 　届出人資格1 = 1、105以外ならば移送 認知種別 = 2の場合、 　届出人資格1 = 1、105 かつ 　届出人氏名1 = 裁判申立人ならば102を移送 　届出人氏名1 ≠ 裁判申立人ならば101を移送 (届出人資格1 = 1 かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、漢字氏名(認知者)で処理) 　届出人資格1 ≠ 1、105 かつ 　届出人氏名1 = 裁判申立人ならば102を移送 　届出人氏名1 ≠ 裁判申立人ならば 　　届出人資格1を移送 (届出人資格1 = 17 かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、 漢字氏名(母)で処理)
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		上記、届出人資格区分1に移送したコード変換して移送する
				届出人資格1名称				届出人資格1 = 99の時、移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				(認知種別 = 1 かつ 届出人資格1 = 1、105) 以外の時、移送する 認知種別 = 2 かつ 届出人氏名1 = スペース かつ 届出人資格1 = 1の時、 漢字氏名(認知者)を移送 認知種別 = 2 かつ 届出人資格1 = 105の時、 漢字氏名(被認知者)を移送 届出人氏名1 = スペース かつ 届出人資格1 = 17の時、漢字氏名(母)を移送する(届出人氏名1は必須ではない為)
				認知者の漢字氏名				
				被認知者の漢字氏名				
				母の漢字氏名				
	届出人資格区分2			届出人資格2				認知種別 = 2 かつ 届出人資格2 ≠ スペース の場合に、移送する (届出人資格1に102を移送した場合は、 届出人資格2･名称2にも102を移送する) 届出人資格2 = 99の時、届出人資格名称2を移送 届出人氏名2 = スペース かつ 届出人資格名称2 = 17の時は漢字氏名(母)を移送
	届出人資格名称2			届出人資格2		有		
				届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
				母の漢字氏名				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日 ≠ 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	受領日			受領日				
	事件本人区分							被認知者の時、5(被認知者) 認知者の時、6(認知者)
	届出人区分							届出人が父　又は　子の時、1設定
	カナ氏名			カナ氏名				被認知者の時、被認知者のカナ氏名 認知者の時、認知者のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				被認知者の時、被認知者の漢字氏名 認知者の時、認知者の漢字氏名
	生年月日			先年月日				被認知者の時、被認知者の生年月日 認知者の時、認知者の生年月日
	本籍コード			本籍コード				被認知者の時、被認知者の本籍コード 認知者の時、認知者の本籍コード
	本籍			本籍地				被認知者の時、被認知者の本籍地 認知者の時、認知者の本籍地

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			筆頭者				被認知者の時、被認知者の筆頭者 認知者の時、認知者の筆頭者
	送達確認2							本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 = 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.被認知者
2.認知者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	5.1　個人特定(被認知者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			漢字氏名(認知者)				
	母							
	父母との続柄			被認知者の準正による訂正後の続柄		有		被認知者の準正による訂正後の続柄 ≠ 0の時、移送
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	5.2　身分事項(被認知者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	被認知者の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ≠ 0の時、移送		
				審判/判決確定日		認知種別 ＝ 2の時、移送		
	認知 認知日			受領日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ≠ 0の時、移送		
	認知の裁判確定日			審判/判決確定日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知者氏名			認知者の漢字氏名				
	認知者の戸籍(本籍)			認知者の本籍地				認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知者の戸籍(筆頭者)			認知者の筆頭者				認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知者の国籍			認知者の本籍				認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知者の生年月日			認知者の生年月日				認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	裁判所			外国の裁判所名				裁判成立地 ＝ 1の時、移送
	届出 届出日			受領日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	証書提出日			証書提出日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	届出人(資格1)			届出人資格1				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ≠ 105の時、移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ≠ 105の時、移送
				届出人資格1名称				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ＝ 99の時、移送
	届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ＝ 19、20、99の時、移

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(認知届)								
処理名	5.2　身分事項(被認知者)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
									届出人資格1 ＝ 19、20、99の時、移送
		届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別 ＝ 2の時、移送
		届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別 ＝ 2の時、移送
					届出人資格2名称				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格2 ＝ 99の時、移送
		届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格2 ＝ 19、20、99の時、移送
		証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日 ≠ 0の時、移送
		証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 99、105の時、届出人資格1を移送
					届出人資格1名称				認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格名称1を移送
		証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ＝ 19、20、99の時、移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	関連事項訂正	関連事項訂正							被認知者の準正による訂正後の続柄 ≠ 0の時、 ‘父母との続柄’と編集し移送
	従前の記録	父母との続柄							被認知者の準正による訂正後の続柄 ≠ 0の時、移送 訂正前の続柄を移送する
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	6.1　身分事項(認知者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	認知者の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ≠ 0の時、移送		
				審判/判決確定日		認知種別 ＝ 2の時、移送		
	認知 認知日			受領日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ≠ 0の時、移送		
	認知の裁判確定日			審判/判決確定日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知した子の氏名			被認知者の漢字氏名				
	認知した子の戸籍			被認知者の本籍地				被認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知した子の筆頭者			被認知者の筆頭者				被認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知した子の国籍			被認知者の本籍地				被認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知した子の生年月日			被認知者の生年月日				被認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知した子の母の氏名			母の漢字氏名				被認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	届出 裁判所			外国の裁判所名				裁判成立地 ＝ 1の時、移送
	届出日			受領日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	証書提出日			証書提出日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	届出人(資格1)			届出人資格1				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ≠ 1、105の時、移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ≠ 1、105の時、移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	6.1　身分事項(認知者)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
					届出人資格1名称				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ＝ 99の時、移送
		届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ＝ 19、20、99、105の時、移送
		届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別 ＝ 2の時、移送
		届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別 ＝ 2の時、移送
					届出人資格2名称				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格2 ＝ 99の時、移送
		届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格2 ＝ 19、20、99の時、移送
		証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 1の時、移送
		証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 1、99の時、届出人資格1を移送
					届出人資格1名称				認知成立日 ≠ 0　かつ 屈出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格1名称を移送
		証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 1の時、移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送

※データ編集表(5.2、6.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍.身分事項は、ノーマル時の項目のみを記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

3.養子縁組届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	117	「養子縁組届」	2020/8/28研究会指摘事項(FXSS)の指摘対応 №3:審査_3.3の審査(2)5、7行目の「縁組成立日」は「裁判確定日」の誤り。審査_3.4も同様。 →該当箇所を修正 2020/9/18研究会指摘事項(FXSS)の指摘対応 №1:審査_3.4.1.1の審査(197)(198)が記載されていない →該当箇所を修正 №1:審査_3.4の審査(207)の「18歳未満>」は「18歳以上≦」の誤り。審査3.4.1の審査(211)も同様 →該当箇所を修正
2		-		・法令を通則法に変更 審査_3.2、審査3.2.1を修正 ・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
3		-		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	120	「養子縁組届」	システム処理の概要 3.その他の4点目の「20歳以上」を「成年」に修正
5		121		・審査_3.4 養子養親判定ルーチン_民法改正後 (203)の後に養父が20歳以上であるかの審査及び養母が20歳以上であるかの審査を追加 ・審査_3.4.1 養女養親判定ルーチン_民法改正後 (207)の後に上記と同じ審査を追加
6	2.0	令和3年度申し送り事項一覧№4	「養子縁組届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1～5.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	養子縁組届

1.養子縁組業務処理範囲外の処理
・養子縁組取り消しの裁判が確定し、その届出があった場合
・追完届出された場合
・養子縁組の戸籍訂正
・届書受理後に届出人の死亡が明らかになった場合の記録
・養父母の在籍した戸籍が法務省令第27号第4条第2項の規定により改製されている場合
・無籍者の縁組の場合
・委託確認の裁判に基づく届出の場合
・配偶者(筆頭者)の死亡後に婚氏を称する婚姻で筆頭者となった者が養子となる縁組の場合
※養子の戸籍は変動なし(婚氏のまま)であるが、システムは新戸籍編製でなければ通らない(筆頭者がする夫婦縁組)。
・成年被後見人(又は禁治産者)と成年後見人(又は後見人)の縁組届の場合
・特別代理人、児童福祉施設の長、未成年後見人、未成年後見監督人が複数人の届出(代諾)は審査結果
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
※標準仕様書では養子が該当する場合関連チェック(NO.14)で、養親が該当する場合関連チェック(NO.17、18)でエラーとなる。

2.養子縁組入力画面の意義
・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する
・その4画面　養子となる者の配偶者の現在の状況の各項目を入力する
・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

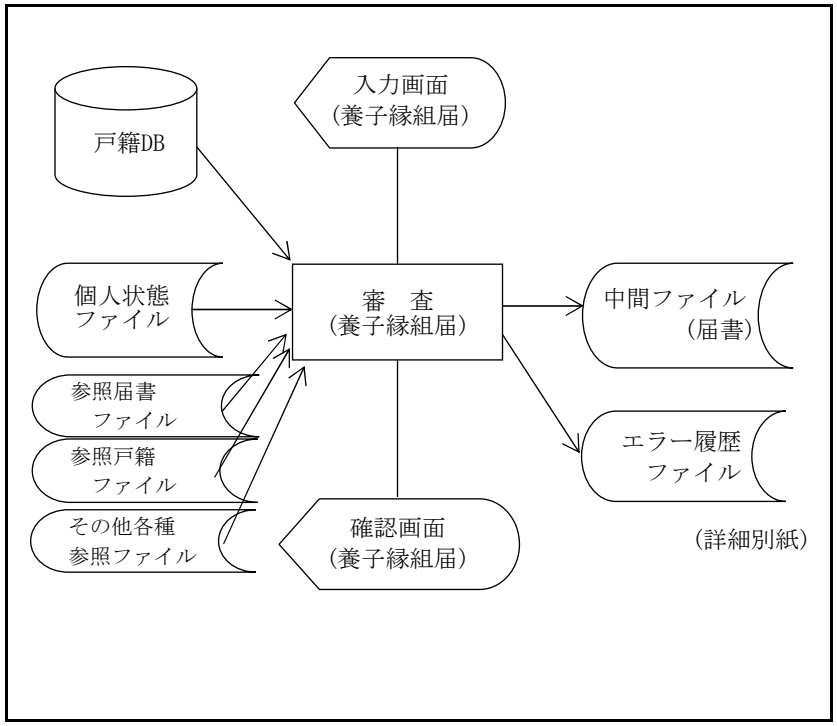
3.その他
・養子・養親両方に縁組をする意思の合致がある事(民第802条1号)
・養子は養親の尊属ではない事(民第793条)
・養子は養親の嫡出子、又は養子ではない事(昭和23.1.13民事甲第17号通達)
・証人の記録があり、成年である事(民第799条・第739条)
・証書提出者が3人以上の場合は審査結果入力で処理する
・養子縁組により、養子に共同親権に服する記録を要する場合は、移記処理で行う
・届出前の本籍が管内にあり、かつ、管内に新戸籍編製及び入籍する事件本人の父母欄及び養父母欄の氏名に変更がある場合は、移記処理で修正する
・養子(養女)が15歳未満の時、代諾者となる父母が外国人でその国に親権規定がない場合は、審査結果入力で処理する。
(注)日本人父母同様に届出人資格等を入力すると、代諾者が親権者父母となるので注意すること

その他:審査内部で使用している[縁組形態区分]は、前提入力画面の【縁組の形態】を数字で表したものである

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)養子縁組届の内容を入力する。
(2)養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(養子縁組届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 国籍処理ルーチン(養子)
  - 3.1 要件具備証明書ルーチン(養子)
  - 3.2 保護要件ルーチン(養子)
  - 3.3 養子審査ルーチン
    - 3.4 養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン(養子)
    - 3.4.0.1 養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン(養子)
    - 3.5 同意書ルーチン(養子)
    - 3.6 届出人ルーチン(養子)
- 3.0.1 国籍処理ルーチン(養女)
  - 3.1.1 要件具備証明書ルーチン(養女)
  - 3.2.1 保護要件ルーチン(養女)
  - 3.3.1 養女審査ルーチン
    - 3.4.1 養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン(養女)
    - 3.4.1.1 養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン(養女)
    - 3.5.1 同意書ルーチン(養女)
    - 3.6.1 届出人ルーチン(養女)
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	0.0 本紙

															備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する														/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)														/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]													/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]												/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする											/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]											/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]											(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)										/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する										(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する											メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する													
	NO															
PF1	→														(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→														(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)													/	
	YES	(17)前ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集する													(18)同画面を編集する
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する													
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)													/	
	YES	(21)次ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集する													(22)同画面を編集する
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する													
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)													/	送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する													(22-3)同画面を編集する
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する													
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する														入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する														審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する														
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する														

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ	英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること			
5	養親配偶者氏名1		漢字				今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養子の養親の氏名
6	養親配偶者氏名2		漢字				今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養女の養親の氏名
7	出張所番号		数字				
8	受領番号		数字				
9	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
11	発送元		漢字				
12	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
13	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
15	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	届出区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
17	養子の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
18	養子の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
19	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
20	養子の婚姻区分		数字	(0:未婚、1:婚姻中)であること			
21	養子の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
22	養子のカナ氏名		カナ				
23	養子の漢字氏名		漢字				
24	養子の本･国籍		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	養子の住所		漢字				
26	養子の筆頭者氏名		漢字				
27	養子の世帯主氏名		漢字				
28	養子の父氏名		漢字				
29	養子の母氏名		漢字				
30	養子の続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること。			
31	養子の筆頭者区分		数字				
32	養子の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
33	養女の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
34	養女の本非区分		数字	(1:本籍2:非本籍)であること			
35	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
36	養女の婚姻区分		数字	(0:未婚、1:婚姻中)であること			
37	養女の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
38	養女のカナ氏名		カナ				
39	養女の漢字氏名		漢字				
40	養女の本･国籍		漢字				
41	養女の住所		漢字				
42	養女の筆頭者氏名		漢字				
43	養女の世帯主氏名		漢字				
44	養女の父氏名		漢字				
45	養女の母氏名		漢字				
46	養女の続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること。			
47	養女の筆頭者区分		数字				
48	養女の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
49	監護者の有無		英字	(Y:有、N:無)であること			
50	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
51	養父の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
52	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
53	養父の筆頭者区分		数字				
54	養父の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本･国籍		漢字				
59	養父の住所		漢字				
60	養父の筆頭者氏名		漢字				
61	養父の世帯主氏名		漢字				
62	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
63	養母の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
64	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
65	養母の筆頭者区分		数字				
66	養母の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本･国籍		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の筆頭者氏名		漢字				
73	養母の世帯主氏名		漢字				
74	戸籍変動区分	○	数字	(1:養親の現在の戸籍に入る、2:養親の新しい戸籍に入る、3:養子夫婦で新しい戸籍を作る、4:養子の戸籍に変動がない、5:養子は全て外国人)であること			
75	入籍する戸籍または新しい戸籍		漢字	戸籍変動区分 ＝ 1、2、3の場合、必須 戸籍変動区分 ＝ 4、5の場合、入力不可			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
76	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者		漢字	戸籍変動区分 ＝ 1、2、3の場合、必須 戸籍変動区分 ＝ 4、5の場合、入力不可			
77	裁判確定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
79	縁組成立日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
79	縁組方式		漢字				
80	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組、0:その他)であること			
81	後見人縁組区分		数字	(0:無、1:有)であること			
82	届出人資格コード1		数字	(01:父、02:母、03:母の親権者、10:養父、11:養母、13:養子、16:親権者父、17:親権者母、78:特別代理人、93:児童福祉施設の長、109:母の未成年後見人、110:未成年後見人、112:未成年後見監督人)であること			
83	届出人氏名1		漢字				
84	代諾者コード1		数字	(0:無、1:有)であること			
85	届出人国籍1		漢字				
86	届出人生年月日1		数字	「日付チェックサブルーチン」			
87	届出人資格コード2		数字	(01:父、02:母、03:母の親権者、10:養父、11:養母、13:養子、16:親権者父、17:親権者母、78:特別代理人、93:児童福祉施設の長、109:母の未成年後見人、110:未成年後見人、112:未成年後見監督人)であること			
88	届出人氏名2		漢字				
89	代諾者コード2		数字	(0:無、1:有)であること			
90	届出人国籍2		漢字				
91	届出人生年月日2		数字	「日付チェックサブルーチン」			
92	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
93	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
94	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
95	配偶者カナ氏名		カナ				
96	配偶者漢字氏名		漢字				
97	配偶者住所		漢字				
98	配偶者父氏名		漢字				

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表				入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
99	配偶者母氏名		漢字				
100	配偶者続柄コード		数字	「続柄変換サブルーチン」			
101	配偶者筆頭者区分		数字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.1 条件設定		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する縁組形態区分の設定について記述する ・(No.1)[養子と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 1とする ・(No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 2とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 3とする ・(No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 4とする ・(No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 5とする ・(No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 6とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 7とする ・(No.2)[養子と養母区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 8とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 9とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 10とする ・(No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 11とする ・(No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 12とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 13とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 14とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]に入力がある時、縁組形態区分 ＝ 15とする	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	1.1　入力画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組画面	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	表示1							縁組形態区分 ＝ 1、4、7の時、 　養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の時、 　養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 9、10の時、 　養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 11、12の時、 　養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示
	表示2							縁組形態区分 ＝ 11、13の時、 　養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 9、14の時、 　養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分 ＝ 1:養子と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	縁組形態区分 ＝ 2:養子と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
3	縁組形態区分 ＝ 3:養子と養父母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　は入力が無いこと			
4	縁組形態区分 ＝ 4:養女と養父の場合、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと			
5	縁組形態区分 ＝ 5:養女と養母の場舎、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
6	縁組形態区分 ＝ 6:養女と養父母の場合、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　は入力が無いこと			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
7	縁組形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと			
8	縁組形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
9	縁組形態区分 ＝ 9:養子と養父&養女と養母　又は　10:養子と養父&養女と養父母　又は 11:養子と養母&養女と養父　又は　12:養子と養母&養女と養父母　又は 13:養子と養父母&養女と養父　又は　14:養子と養父母&養女と養母　又は 15:養子と養父母&養女と養父母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有ること			
10	縁組形態区分 ＝ 1～3、6、10、12、15の時、(No.06)養親配偶者氏名2 ＝ スペースであり 縁組形態区分 ＝ 3～6、13～15の時、(No.05)養親配偶者氏名1 ＝ スペースであること			
11	縁組形態区分 ＝ 9、10でかつ　(No.05)養親配偶者氏名1　≠　スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1 ＝ (No.69)の養母の漢字氏名であり 縁組形態区分 ＝ 11、12でかつ　(No.05)養親配偶者氏名1 ≠ スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1 ＝ (No.57)の養父の漢字氏名であり 縁組形態区分 ＝ 9、14でかつ　(No.06)養親配偶者氏名2 ≠ スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2 ＝ (No.57)の養父の漢字氏名であり 縁組形態区分 ＝ 11、13でかつ　(No.06)養親配偶者氏名2 ≠ スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2 ＝ (No.69)の養母の漢字氏名であること			
12	縁組形態区分 ＝ 7～15の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中、(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中、 (No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1:夫、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2:妻であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
13	縁組形態区分 ＝ 7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.24)養子の本･国籍 ＝ (No.40)養女の本･国籍　かつ (No.26)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名であり　かつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1ならば、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であり　又は (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0ならば、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1であること			
14	縁組形態区分 ＝ 7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること　又は (No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人　かつ　(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
15	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 1:夫　でかつ　(No.66)養母の配偶者区分 ＝ 2:妻　であり (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.58)養父の本･国籍 ＝ (No.70)養母の本･国籍　かつ (No.60)養父の筆頭者氏名 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること			
16	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者ならば (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であること　又は (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員ならば (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
17	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
18	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
19	(No.10)送付日 ＝ スペースの時、(No.11)発送元 ＝ スペースであること			
20	(No.10)送付日 ≠ スペースの時、(No.11)発送元 ≠ スペースであること			
21	(No.10)送付日 ≠ スペースの時、(No.10)送付日 ≧ (No.09)受領日であること			
22	(No.10)送付日 ＝ スペースの時、(No.12)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
23	(No.11)発送元 ≠ スペースの時、(No.12)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
24	(No.11)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.11)発送元の最終文字が｢市｣｢区｣｢町｣｢村｣｢長｣の時、 (No.12)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
25	(No.11)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.11)発送元の最終文字が｢市｣｢区｣｢町｣｢村｣｢長｣以外の時、 (No.12)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(No.13)処理日 ≠ スペースの時、(No.13)処理日 ＞ (No.09)受領日であること			
27	(No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.10)送付日 ＝ スペースであること			
28	(No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)郵送日 ≦ (No.09)受領日であること			
29	(No.14)本非区分 ＝ 1の場合、 (No.18)養子の本非区分･(No.34)養女の本非区分･(No.51)養父の本非区分･(No.63)養母の本非区分 のいずれか ＝ 1であるか (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (本籍地)であること			
30	(No.78)縁組成立日 ≠ スペース かつ (No.79)縁組方式 ≠ スペースの場合 あるいは (No.77)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.16)届出区分 ＝ 2:報告的届出であること			
30-1	(No.78)縁組成立日 ＝ スペース かつ (No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.16)届出区分 ＝ 1:創設的届出であること			
31	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の生年月日 ＝ (和暦)、(No.24)養子の本･国籍 ≠ スペース、 (No.26)養子の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.31)養子の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
32	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.19)養子の生年月日 ＝ (西暦)、(No.24)養子の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.26)養子の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
33	(No.19)養子の生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
34	(No.19)養子の生年月日+15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ (No.81)後見人縁組区分 ＝ 0:無の場合 又は (No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2 ＝ スペースであること			※裁判による縁組の場合、養子の年齢に関係なく養親が届出人となる
35	(No.19)養子の生年月日 ≧ (No.52)養父の生年月日 かつ (No.19)養子の生年月日 ≧ (No.64)養母の生年月日であること			
36	(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1の場合、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1であること			
37	(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 0の場合、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 0又は3であること			
38	(No.25)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.27)養子の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
39	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ (No.25)養子の住所 ＝ 日本の場合、 (No.27)養子の世帯主氏名 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
40	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
41	(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.23)養子の漢字氏名 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名であること			
--				
43	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.35)養女の生年月日 ＝ (和暦)、(No.40)養女の本･国籍 ≠ スペース、 (No.42)養女の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.47)養女の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
44	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.35)養女の生年月日 ＝ (西暦)、(No.40)養女の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.42)養女の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
45	(No.35)養女の生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
46	(No.35)養女の生年月日+15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ (No.81)後見人縁組区分 ＝ 0:無の場合　又は　(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2 ＝ スペースであること			※裁判による縁組の場合、養女の年齢に関係なく養親が届出人となる
47	(No.35)養女の生年月日 ≧ (No.52)養父の生年月日　かつ (No.35)養女の生年月日 ≧ (No.64)養母の生年月日であること			
48	(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1の場合、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2であること			
49	(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 0の場合、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 0又は3であること			
50	(No.41)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.43)養女の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
51	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ　(No.41)養女の住所 ＝ 日本の場合、 (No.43)養女の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
52	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
53	(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.39)養女の漢字氏名 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名であること			
--				
55	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.52)養父の生年月日 ＝ (和暦)、(No.58)養父の本･国籍 ≠ スペース、 (No.60)養父の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.53)養父の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
56	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.52)養父の生年月日 ＝ (西暦)、(No.58)養父の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.60)養父の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
57	(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.57)養父の漢字氏名 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名であること			
--				
59	(No.59)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.61)養父の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
60	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ (No.59)養父の住所 ＝ 日本の場合、 (No.61)養父の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
61	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.64)養母の生年月日 ＝ (和暦)、(No.70)養母の本･国籍 ≠ スペース、 (No.72)養母の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.65)養母の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
62	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.64)養母の生年月日 ＝ (西暦)、(No.70)養母の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.72)養母の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
63	(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.69)養母の漢字氏名 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること			
--				
65	(No.71)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.73)養母の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
66	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ (No.71)養母の住所 ＝ 日本の場合、 (No.73)養母の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
67	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1又は2の場合、 入力のある養父又は養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 入力のある養子かつ養女の婚姻区分 ＝ 0:未であること			
67-1	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1又は2の場合、 入力のある養子又は養女の筆頭者区分 ＝ 0:構成員 かつ 配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者以外であること			13版で69-1を移した
67-2	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1の場合、 入力のある養父又は養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者 又は 配偶者区分 ≠ 0:未以外であること			13版で68-1を移した

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
68	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1の時で、 縁組形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4又は 6でかつ (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍でかつ (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名であり、 縁組形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6でかつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (No、70)養母の本・国籍でかつ (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること 縁組形態区分 ≠ 7～15であること			
69	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 2の時で、 縁組形態区分 ＝ 1 又は 4の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.57)養父の漢字氏名、 (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 0:未、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であり、 縁組形態区分 ＝ 2 又は 5の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.69)養母の漢字氏名、 (No.66)養母の配偶者区分 ＝ 0:未、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であること 縁組形態区分 ≠ 3、6～15であること			
70	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3の時で、 縁組形態区分 ＝ 1、4、7の場合、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の場合、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の場合、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　又は (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であること			
71	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3でかつ 縁組形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3の時、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ　(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること 縁組形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6の時、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ　(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
72	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 4でかつ　同一戸籍縁組 ≠ 1の場合、 縁組形態区分 ＝ 1、4、7の時、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であること　又は 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の時、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること　又は 縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人　かつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること　又は 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1又は3でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0であること　又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2又は3でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
73	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3の時、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者に入る筆頭者氏名は、 縁組形態区分 ＝ 1、2、4、5の時、 養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子(女)の漢字氏名の名であること 又は 縁組形態区分 ＝ 3、6の時、 養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏 + 養子(女)の漢字氏名の名であること 又は 縁組形態区分 ＝ 7、8の時、 養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること 又は 縁組形態区分 ＝ 9～15の時、 養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏 + 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること			
74	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 5でかつ 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人であること 又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人であること 又は 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人 かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人であること			
74-1	縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人 又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人 又は 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人 かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.74)戸籍変動区分 ＝ 5であること			
75	(No.77)裁判確定日又は、(No.78)縁組成立日に入力がある時、 (No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)郵送日 ≧ (No.77)裁判確定日 又は (No.78)縁組成立日で (No.15)郵送日 ＝ スペースの時、(No.09)受領日 ≧ (No.77)裁判確定日 又は (No.78)縁組成立日であること			
76	(No.77)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人 又は (No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人でかつ (No.78)縁組成立日 ＝ スペース かつ (No.79)縁組方式 ＝ スペース かつ (No.82)届出人資格コード1のみ入力がある時、 10 又は 11 又は 13でかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0であり (No.82)届出人資格コード1 かつ 2に入力がある時、 10 かつ 11 又は 13でかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0 かつ (No.89)代諾者コード2 ＝ 0であること			※裁判による縁組の場合、養親が届出人となる
77	(No.78)縁組成立日 ≠ スペースの時、 (No.77)裁判確定日 ＝ スペース かつ (No.79)縁組方式 ≠ スペースでかつ (No.82)届出人資格コード1 ≠ 03、78、93、109、110、112であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
78	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1の場合、(No.24)養子の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 2の場合、(No.24)養子の本・国籍 ＝ (No.70)養母の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 3の場合、(No.24)養子の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍 又は (No.70)養母の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 4の場合、(No.40)養女の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 5の場合、(No.40)養女の本・国籍 ＝ (No.70)養母の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 6の場合、(No.40)養女の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍 又は (No.70)養母の本・国籍であること			
79	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の場合、 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 0でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0であること あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 0でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であること あるいは 縁組形態区分 ≠ 7～15であること			
80	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1又は4でかつ (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 0 かつ (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 2又は5でかつ (No.66)養母の配偶者区分 ＝ 0 かつ (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0の場合、(No.74)戸籍変動区分 ＝ 2であること 縁組形態区分 ＝ 1又は4でかつ (No.54)養父の配偶者区分 ≠ 0 又は (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 2又は5でかつ (No.66)養母の配偶者区分 ≠ 0 又は (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 3又は6の場合、(No.74)戸籍変動区分 ＝ 4であること			
81	(No.81)後見人縁組区分 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3 かつ (No.19)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6 かつ (No.35)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ＝ 112:未成年後見監督人又は、78:特別代理人であること			民第851条4号 昭和23.12.22 民事甲 第3914号回答
82	(No.87)届出人資格コード2 ≠ スペースの時、(No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
83	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1、2、10、11、16、17の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ (No.87)届出人資格コード2であること			
84	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 78、93、110、112の場合、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1でかつ 届出人氏名1 ≠ スペースでかつ (No.87)届出人資格コード2～(No.91)届出人生年月日2 に入力がないこと			未成年後見監督人複数人の届出は審査結果
85	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 03、109の場合、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1でかつ (No.83)届出人氏名1 ≠ スペースであること			※資格人コード03で2人いる場合、氏名が同一の時には審査でメッセージを出力する
85-1	(No.87)届出人資格コード2 ＝ 03、109の場合、 (No.89)代諾者コード2 ＝ 1でかつ (No.88)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
86	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1、2、16又は17の場合、 (No.83)届出人氏名1 ≠ スペースでかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 1であること			※届出人が外国人父母の場合 届出人氏名 ≠ スペース 日本人父母の場合も 届出人氏名 ≠ スペースとする。(16版対応)
86-1	(No.87)届出人資格コード2 ＝ 1、2、16又は17の場合、 (No.88)届出人氏名2 ≠ スペースでかつ (No.89)代諾者コード2 ＝ 1であること			
87				15版で審査に移行
88				15版で審査に移行
89	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1 又は 16の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3 かつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6 かつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 個人特定Fの養父氏名 ＝ スペースであること (No.82)届出人資格コード1 ＝ 2 又は 17の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3 かつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6 かつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 個人特定Fの養母氏名 ＝ スペースであること ※届出人2も1と同じ様にチェックする。			※本籍人の場合のチェック
90	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 10 又は 11でかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 1の場合、(No.83)届出人氏名1 ≠ スペースであり (No.77)裁判確定日 ≠ スペース 又は (No.79)縁組の方式 ≠ スペースであること (No.87)届出人資格コード2 ＝ 10 又は 11でかつ (No.89)代諾者コード2 ＝ 1の場合、(No.88)届出人氏名2 ≠ スペースであり (No.89)代諾者コード2 ＝ 0の場合、(No.88)届出人氏名2 ＝ スペースでかつ (No.77)裁判確定日 ≠ スペース 又は (No.79)縁組の方式 ≠ スペースであること			※転縁組の場合前養親が届出人となり、届出人氏名に入力がなければならない※養親が届出人(代諾者ではない)となるには、裁判か外国の方式による場合
91				15版で審査に移行
91-1	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 13の場合、 (No.77)裁判確定日 ≠ スペース かつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0 かつ (No.83)届出人氏名1 ＝ スペースであること ※届出人2も1と同じ様にチェックする。			
91-2	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 13の場合、 縁組形態区分 ＝ 1～6の時、届出人資格2 ＝ スペースであり、 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、届出人資格2 ＝ 13、スペースであること			
92	(No.85)届出人国籍1 ≠ スペースの時、 (No.85)届出人国籍1 ＝ 国籍であり (No.86)届出人生年月日1 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
93	(No.90)届出人国籍2 ≠ スペースの時、 (No.90)届出人国籍2 ＝ 国籍であり (No.91)届出人生年月日2 ≠ スペースであること			
94	(No.86)届出人生年月日1 ≠ スペースの時、 (No.85)届出人国籍1 ≠ スペース かつ (No.86)届出人生年月日1 ＝ (西暦)であること (No.91)届出人生年月日2 ≠ スペースの時、 (No.90)届出人国籍2 ≠ スペース かつ (No.91)届出人生年月日2 ＝ (西暦)であること			
95	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、 (No.92)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、 (No.92)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
96	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 2:非本籍でかつ (No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0である時、 (No.100)配偶者続柄コード、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 2:非本籍でかつ (No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0である時、 (No.100)配偶者続柄コード、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること			
97	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合 (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 2:妻の時、 (No.100)配偶者続柄コード ＝ 30:女～49:十九女であること			
97-1	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
98	縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 1:夫の時、 (No.100)配偶者続柄コード ＝ 10:男～29:十九男であること			
98-1	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
99	縁組形態区分 ＝ 7～15の場合、 (No.92)配偶者の外国人区分～(No.101)配偶者筆頭者区分け、未入力であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
100	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名の「氏」であること			
101	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
102	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.39)養女の漢字氏名の「氏」であること			
103	(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」であること			
104	(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」であること			
105	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の「氏」であること			
106	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.69)養母の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名の「氏」であること			
107	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の「氏」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

				備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する			(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ		/		R2.1(縁組116)
NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	
(0-6)(養子の外国人区分=0:日本人 かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養女の外国人区分=0:日本人 かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分=0:日本人 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分=0:日本人 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)			/		R2.1(縁組116)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-8)本紙へ	
	YES (0-9)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-11)本紙へ	不受理
	NO (0-10)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ		/		
(1)裁判確定日≠スペースである(YES,NO)			/		
YES	(2)裁判確定日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/		
	YES (3)→(24)へ		/		
	NO (4)裁判確定日<昭和27年4月28日である(YES,NO)		/		
	YES (5)→(26)へ		/		
	NO (6)→(30)へ		/		
NO	(7)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)		/		
	YES (8)縁組成立日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/		
	YES (9)→(24)へ		/		
	NO (10)縁組成立日<昭和27年4月28日である(YES,NO)		/		
	YES (11)→(26)へ		/		
	NO (12)→(30)へ		/		
	NO (13)送付日≠スペースである(YES,NO)		/		
	YES (14)送付日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/		
	YES (15)→(24)へ		/		
	NO (16)送付日<昭和27年4月28日である(YES,NO)		/		
	YES (17)→(26)へ		/		
	NO (18)→(30)へ		/		
	NO (19)受領日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/		

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し、現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)			備考
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン			
YES	(20)→(24)へ	/		
NO	(21)受領日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
YES	(22)→(26)へ	/		
NO	(23)→(30)へ	/		
(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(25)本紙へ	
(26)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示する			(27)本紙へ	
YES	(28)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			
NO	(29)→(30)へ	/		
(30)養親かつ養子の生死区分が0:生存である(YES,NO)		/		
YES	(31)→(33-1)へ	/		
NO	(32)エラーメッセージ 「死亡者がいるので縁組はできません。」を表示する		(33)本紙へ	
(33-1)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)		/		戸41
YES	(33-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により縁組が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか」を表示する		(33-3)本紙へ	
YES	(33-4)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人のみからの証書提出ですか」を表示する			
YES	(33-4-1)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			
NO	(33-4-2)→(33-8)へ	/		R2.1(縁組115)
				(33-4-3)～(33-4-8)を削除
NO	(33-5)→		(33-6)本紙へ	不受理
NO	(33-7)→(33-8)へ	/		
(33-8)同一縁組区分=0(その他) かつ 養子縁組区分=1～6 である(YES,NO)		/		
YES	(33-9)縁組形態区分=1～3である(YES,NO)	/		
YES	(33-10)養子は日本人である(YES,NO)	/		
YES	(33-11)(養子の本・国籍=養父の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名=養父の筆頭者氏名) 又は (養子の本・国籍=養母の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名=養母の筆頭者氏名) である(YES,NO)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

								備考
			YES	(33-12)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね?」を表示する		(33-13)本紙へ		
			YES	(33-14)→(34)へ		/		
			NO	(33-15)→			(33-16)本紙へ	
			NO	(33-17) → (34)へ		/		
		NO						
	NO		(33-18)養女は日本人である(YES,NO)					
		YES	(33-19)(養女の本・国籍=養父の本・国籍　かつ 養女の筆頭者氏名=養父の筆頭者氏名)　又は (養女の本・国籍=養母の本・国籍　かつ 養女の筆頭者氏名=養母の筆頭者氏名)　である(YES,NO)		/		
			YES	(33-20)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね?」を表示する		(33-21)本紙へ		
			YES	(33-22)→(34)へ		/		
			NO	(33-23)→			(33-24)本紙へ	
			NO	(33-25) → (34)へ		/		
		NO						
NO	(33-26)→(34)へ					/		
(34)養子に入力がある(YES,NO)						/		
YES	(35)→(37-1)へ					/		
NO	(36)→						(37)3.0.1養女国籍処理へ	
(37-1)養子の本・国籍＝本籍(日本人) である(YES,NO)						/		
YES	(37-2)養子の父氏名=スペース　又は　養子の母氏名=スペース(YES,NO)					/		
	YES	(37-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					(37-4)本紙へ	
		YES	(37-5)→(38)へ			/		
		NO	(37-6)→				(37-7)本紙へ	不受理
	NO	(37-8)養子の続柄コード=10(男)である(YES,NO)				/		
		YES	(37-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する				(37-10)本紙へ	
		YES	(37-11)→(38)へ			/		
		NO	(37-12)→				(37-13)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

								備考
		NO	(37-14)→(38)へ		/			
NO			(37-15)→(38)へ		/			
(38)縁組形態区分=1 又は 7 又は 9 又は 10である(YES,NO)					/			
YES	(39)養子は外国人である(YES,NO)				/			
	YES	(40)養父は外国人である(YES,NO)			/			
		YES	(41)養子要件具備へ	[3.1]	/			
			(42)養子保護要件へ	[3.2]	/			
			(43)縁組形態区分 ＝ 1である(YES,NO)		/			
			YES	(44)→		(45)本紙へ		
			NO	(46)→		(47)3.0.1養女国籍処理へ		
		NO	(48)養子保護要件へ	[3.2]	/			
			(49)→			(50)3.3養子審査へ		
	NO	(51)養父は外国人である(YES,NO)			/			
		YES	(52)養子要件具備へ	[3.1]	/			
			(53)→			(54)3.3養子審査へ		
		NO	(55)→			(56)3.3養子審査へ		
NO	(57)縁組形態区分=2 又は 8 又は 11 又は 12である(YES,NO)				/			
	YES	(58)養子は外国人である(YES,NO)			/			
		YES	(59)養母は外国人である(YES,NO)		/			
			YES	(60)養子要件具備へ	[3.1]	/		
				(61)養子保護要件へ	[3.2]	/		
				(62)縁組形態区分=2である(YES,NO)		/		
				YES	(63)→		(64)本紙へ	
				NO	(65)→		(66)3.0.1養女国籍処理へ	
			NO	(67)養子保護要件へ	[3.2]	/		
				(68)→			(69)3.3養子審査へ	
		NO	(70)養母は外国人である(YES,NO)		/			
			YES	(71)養子要件具備へ	[3.1]	/		
				(72)→			(73)3.3養子審査へ	
			NO	(73)→			(75)3.3養子審査へ	
	NO	(76)縁組形態区分=3 又は 13 又は 14 又は 15である(YES,NO)			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

									備考
YES	(77)→(80)へ						/		
NO	(78)→							(79)本紙へ	
(80)養子は外国人である(YES,NO)							/		
YES	(81)養父は外国人である(YES,NO)						/		
	YES	(82)養子要件具備へ	[3.1]				/		
		(83)養子保護要件へ	[3.2]				/		
		(84)養母は外国人である(YES,NO)					/		
		YES	(85)縁組形態区分=3である(YES,NO)				/		
			YES	(86)→				(87)本紙へ	
			NO	(88)→				(89)3.0.1養女国籍処理へ	
		NO	(90)→					(91)3.3養子審査へ	
	NO	(92)養母は外国人である(YES,NO)					/		
		YES	(93)養子要件具備へ	[3.1]			/		
			(94)養子保護要件へ	[3.2]			/		
			(95)→					(96)3.3養子審査へ	
		NO	(97)養子保護要件へ	[3.2]			/		
			(98)→					(99)3.3養子審査へ	
NO	(100)養父又は養母は外国人である(YES,NO)						/		
	YES	(101)養子要件具備へ	[3.1]				/		
		(102)→						(103)3.3養子審査へ	
	NO	(104)→						(105)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.0.1 養女国籍処理ルーチン						備考	
(0-1)養女の本・国籍=本籍(日本人)である(YES,NO)				/				
YES	(0-2)養女の父氏名=スペース　又は　養女の母氏名=スペース(YES,NO)			/				
	YES	(0-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(0-4)本紙へ			
		YES	(0-5)→(1)へ	/				
		NO	(0-6)→		(0-7)本紙へ		不受理	
	NO	(0-8)養女の続柄コード=30(女)である(YES,NO)		/				
		YES	(0-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する		(0-10)本紙へ			
			YES	(0-11)→(1)へ	/			
			NO	(0-12)→		(0-13)本紙へ	不受理	
		NO	(0-14)→(1)へ	/				
NO	(0-15)→(1)へ			/				
(1)縁組形態区分=4　又は　7　又は　11　又は　13である(YES,NO)				/				
YES	(2)養女は外国人である(YES,NO)			/				
	YES	(3)養父は外国人である(YES,NO)		/				
		(4)養女要件具備へ	[3.1.1]	/				
		(5)養女保護要件へ	[3.2.1]	/				
		(6)→			(7)本紙へ			
		(8)養女保護要件へ	[3.2.1]	/				
		(9)→			(10)3.3.1養女審査へ			
	NO	(11)養父は外国人である(YES,NO)		/				
		YES	(12)養女要件具備へ	[3.1.1]	/			
			(13)→		(14)3.3.1養女審査へ			
		NO	(15)→		(16)3.3.1養女審査へ			
NO	(17)縁組形態区分=5　又は　8　又は　9　又は　14である(YES,NO)			/				
	YES	(18)養女は外国人である(YES,NO)		/				
		YES	(19)養母は外国人である(YES,NO)	/				
			YES	(20)養女要件具備へ	[3.1.1]	/		
				(21)養女保護要件へ	[3.2.1]	/		
				(22)→			(23)本紙へ	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名				審査(養子縁組届)						
処理名				3.0.1 養女国籍処理ルーチン					備考	
			NO	(24)養女保護要件へ [3.2.1]		/				
				(25)→				(26)3.3.1養女審査へ		
		NO		(27)養母は外国人である(YES,NO)		/				
			YES	(28)養女要件具備へ [3.1.1]		/				
				(29)→				(30)3.3.1養女審査へ		
			NO	(31)→				(32)3.3.1養女審査へ		
	NO			(33)縁組形態区分=6 又は 10 又は 12 又は 15である(YES,NO)		/				
		YES		(34)→(37)へ		/				
		NO		(35)→				(36)本紙へ		
				(37)養女は外国人である(YES,NO)		/				
		YES		(38)養父は外国人である(YES,NO)		/				
			YES	(39)養女要件具備へ [3.1.1]		/				
				(40)養女保護要件へ [3.2.1]		/				
				(41)養母は外国人である(YES,NO)		/				
				YES (42)→				(43)本紙へ		
				NO (44)→				(45)3.3.1養女審査へ		
			NO	(46)養母は外国人である(YES,NO)		/				
				YES (47)養女要件具備へ [3.1.1]		/				
				(48)養女保護要件へ [3.2.1]		/				
				(49)→				(50)3.3.1養女審査へ		
				NO (51)養女保護要件へ [3.2.1]		/				
				(52)→				(53)3.3.1養女審査へ		
		NO		(54)養父又は養母は外国人である(YES,NO)		/				
			YES	(55)養女要件具備へ [3.1.1]		/				
				(56)→				(57)3.3.1養女審査へ		
			NO	(58)→				(59)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.1 養子要件具備証明書ルーチン

						備考
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分=3、13～15)　かつ　養父と養母は外国人である(YES,NO)			/			
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(3)本紙へ		
	YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する		(3)本紙へ		
		YES (5)→		(6)3.0養子国籍処理へ		
		NO (7)→		(8)本紙へ		不受理
	NO					
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分=1、3、7、9、10、13～15)　かつ　外国人である(YES,NO)		/			
	YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示する		(11)本紙へ		
		YES (12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する		(11)本紙へ		
		YES (13)→		(14)3.0養子国籍処理へ		
		NO (15)→		(16)本紙へ		不受理
		NO				
	NO	(17)→(18)へ	/			
	(18)養母に入力があり(縁組形態区分=2、3、8、11～15)　かつ　外国人である(YES,NO)		/			
	YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する		(20)本紙へ		
		YES (21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する		(20)本紙へ		
		YES (22) →		(23)3.0養子国籍処理へ		
		NO (24) →		(25)本紙へ		不受理
		NO				
	NO	(26) →		(27)3.0養子国籍処理		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.1.1 養女要件具備証明書ルーチン

						備考
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分=6)　かつ　養父と養母は外国人である(YES,NO)			/			
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(3)本紙へ		
YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					
YES	(5)→			(6)3.0.1養女国籍処理へ		
NO	(7)→			(8)本紙へ		不受理
NO						
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分=4、6、11、12)　かつ　外国人である(YES,NO)		/			
YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(11)本紙へ		
YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					
YES	(13)→			(14)3.0.1養女国籍処理へ		
NO	(15)→			(16)本紙へ		不受理
NO						
NO	(17)→(18)へ		/			
(18)養母に入力があり(縁組形態区分=5、6、9、10)　かつ　外国人である(YES,NO)			/			
YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(20)本紙へ		
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					
YES	(22)→			(23)3.0.1養女国籍処理へ		
NO	(24)→			(25)本紙へ		不受理
NO						
NO	(26)→			(27)3.0.1養女国籍処理へ		

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	3.2 養子保護要件ルーチン					備考	
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示する				(2)本紙へ		通則法31I	
YES	(3)→(9)へ		/				
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の本国法に養子制度がありませんか。」を表示する			(5)本紙へ			
	YES (6)→(9)へ		/				
	NO (7)→			(8)本紙へ		不受理	
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養子の本国法によります。保護要件等は審査済みですか。」を表示する							
YES	(10)→			(11)3.0養子国籍処理へ			
NO	(12)→			(13)本紙へ		不受理	

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	3.2.1 養女保護要件ルーチン					備考	
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示する				(2)本紙へ		通則法31I	
YES	(3)→(9)へ		/				
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の本国法に養子制度がありませんか。」を表示する			(5)本紙へ			
	YES (6)→(9)へ		/				
	NO (7)→			(8)本紙へ		不受理	
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養女の本国法によります。保護要件等は審査済みですか。」を表示する							
YES	(10)→			(11)3.0.1養女国籍処理へ			
NO	(12)→			(13)本紙へ		不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.3 養子審査ルーチン

							備考	
(1)縁組形態区分=1　又は　2である(養親1人との縁組)						/		
YES	(2)縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/	民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満 で共同親権記録の要・不要を判定する 平成19年3月1日 成年後見法対応で削除した(1)～(9)を、第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。	R2.1(縁組108)
	YES	(3)同一戸籍内縁組である(YES,NO)				/		
		YES	(4)養子は本籍人である(YES,NO)			/		
			YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか?」を表示する		(6)本紙へ		
				YES	(7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示する	(8)本紙へ		
				NO	(9)→(10)へ	/		
			NO					
		NO						
	NO							
NO								
(10)養子は婚姻している(YES,NO)						/		
YES	(10-1)配偶者外国人区分=0:日本人(YES,NO)					/		
	YES	(10-2)配偶者父氏名=スペース 又は 配偶者母氏名=スペース(YES,NO)				/		
		YES	(10-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(10-4)本紙へ		
			(10-5)→(11)へ			/		
			(10-6)→			(10-7)本紙へ	不受理	
		NO	(10-8)配偶者続柄コード=30(女)である(YES,NO)			/		
			YES	(10-89確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する		(10-10)本紙へ		
				YES	(10-11)→(11)へ	/		

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名					審査(養子縁組届)						
処理名					3.3 養子審査ルーチン					備考	
				NO	(10-12)→			(10-13)本紙へ		不受理	
			NO		(10-14)→(11)へ	/					
	NO				(10-15)→(11)へ	/					
					(11)縁組形態区分=13でかつ　養子と養母は外国人である　又は 縁組形態区分=14でかつ　養子と養父は外国人である(YES,NO)	/				縁組形態区分=14の審査漏れ対応(22版)	
	YES				(11-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)	/				縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES			(12)養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ [3.4]	/					
		NO			(12-1)養子養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ [3.4.0.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
	NO				(13)養子同意書審査へ [3.5]	/					
					(13-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)	/				縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES			(14)養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ [3.4]	/					
		NO			(14-1)養子養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ [3.4.0.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
					(15)養女に入力があるか(YES,NO)	/					
	YES				(16)→			(17)3.0.1養女国籍処理へ			
	NO				(18)→			(19)3.6養子届出人審査へ			
NO					(19-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)	/				縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
	YES				(20)養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ [3.4]	/					
	NO				(20-1)養子養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ [3.4.0.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
					(21)→			(22)3.6養子届出人審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.3.1 養女審査ルーチン

						備考	
(1)縁組形態区分=4　又は　5である(養親1人との縁組)					/		
YES	(2)縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/	民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満 で共同親権記録の要・不要を判定する 平成19年3月1日 成年後見法対応で削除した(1)～(9)を、第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。	R2.1(縁組108)
	YES	(3)同一戸籍内縁組である(YES,NO)			/		
		YES	(4)養女は本籍人である(YES,NO)		/		
			YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか?」を表示する		(6)本紙へ	
				YES	(7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示する	(8)本紙へ	
				NO	(9)→(10)へ	/	
			NO				
		NO					
	NO						
NO							
(10)養女は婚姻している(YES,NO)					/		
YES	(10-1)配偶者外国人区分=0:日本人(YES,NO)				/		
	YES	(10-2)配偶者父氏名=スペース　又は　配偶者母氏名=スペース(YES,NO)			/		
		YES	(10-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(10-4)本紙へ	
			(10-5)→(11)へ			/	
			(10-6)→			(10-7)本紙へ	不受理
		NO	(10-8)配偶者続柄コード=10(男)である(YES,NO)			/	
			YES	(10-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する		(10-10)本紙へ	
				YES	(10-11)→(11)へ	/	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子縁組届)					
処理名				3.3.1 養女審査ルーチン				備考	
			NO	(10-12)→			(10-13)本紙へ	不受理	
		NO		(10-14)→(11)へ		/			
	NO			(10-15)→(11)へ		/			
				(11)縁組形態区分=10でかつ　養女と養母は外国人である　又は 縁組形態区分=12でかつ　養女と養父は外国人である(YES,NO)		/		(13)の審査を(11)と統合(22版) ※(11)～(14)を養子審査ﾙｰﾁﾝと同様に修正する(22版)	
	YES			(11-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES		(12)養女養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ	[3.4.1]	/			
		NO		(12-1)養女養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ	[3.4.1.1]	/	2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
	NO			(13)		/		養子の審査と同様、(11)で一緒に審査する(22版	
				(14)		/		(13)の変更に伴い削除(22版)	
				(15)養女同意書審査へ	[3.5.1]	/			
				(15-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES		(16)養女養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ	[3.4.1]	/			
		NO		(16-1)養女養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ	[3.4.1.1]	/	2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
				(17)→			(18)3.6.1養女届出人審査へ		
NO				(18-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
	YES			(19)養女養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ	[3.4.1]	/			
	NO			(19-1)養女養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ	[3.4.1.1]	/	2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
				(20)→			(21)3.6.1養女届出人審査へ		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン					備考		
(1)～(18)			/		(1)～(18)までを削除			
(19)縁組形態区分=1、7、9、10である(YES,NO)			/					
YES	(20)→(22)へ		/					
NO	(21)→(111)へ		/					
(22)養父は日本人である(YES,NO)			/					
YES	(22-1)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)		R2.1(縁組108)	
	YES	(22-2)→(23)へ	/					
	NO	(23-3) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する		(23-4)本紙へ	不受理			
	(23)養父は婚姻している(YES,NO)		/					
			/		民法改正により(24)(25)削除		R2.1(縁組109)	
			/					
	YES	(26)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)	
					民法改正により(27)(28)削除		R2.1(縁組109)	
	YES	(29)→(31)へ	/					
	NO	(30)→(101)へ	/					
	(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(32)本紙へ	民第795条			
	YES	(33)→(101)へ	/					
	NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する		(35)本紙へ	民第795条			
		YES (36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条			
		YES (37)→(101)へ	/					
		NO (38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(39)本紙へ				
		YES (40)→(101)へ	/					

要件定義ワークシート								作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(養子縁組届)									
処理名				3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン								備考	
					NO	(41)→				(42)本紙へ		不受理	
			NO	(43)→						(44)本紙へ		不受理	
	NO	(45)→(87)へ						/				民法改正により(46)～(54)削除	R2.1(縁組109)
NO	(55)縁組形態区分=9、10である(YES,NO)							/					
	YES	(56)養母は日本人である(YES,NO)						/					
		YES	(57)→(101)へ					/					
		NO	(58)→(59)へ					/					
	NO												
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)							/					
	YES							/				民法改正により(60)(61)(62)削除	R2.1(縁組109)
		(63)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)							/				民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
												民法改正により(64)(65)削除	R2.1(縁組109)
		YES	(66)→ (69)へ					/					
		NO	(67)→							(68)3.3養子審査へ			
		(63)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)							/				民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
												民法改正により(64)(65)削除	R2.1(縁組109)
		YES	(66)→ (69)へ					/					
		NO	(67)→							(68)3.3養子審査へ			
		(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する								(70)本紙へ		民第798条	
		YES	(71)→							(72)3.3養子審査へ			
		NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する							(74)本紙へ			
			YES	(75)→						(76)3.3養子審査へ			
			NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する						(78)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		
YES	(79)→		(80)3.3養子審査へ			
NO	(81)→		(82)本紙へ	不受理		
NO	(83)→(87)へ	/		民法改正により(84)(85)(86)削除	R2.1(縁組109)	
		/				
(87)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)	
				民法改正により(88)削除	R2.1(縁組109)	
YES	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(90)本紙へ	民第798条		
YES	(91)→		(92)3.3養子審査へ			
NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示する		(94)本紙へ			
YES	(95)→		(96)3.3養子審査へ			
NO	(97)→		(98)本紙へ	不受理		
NO	(99)→		(100)3.3養子審査へ		R2.1(縁組109)	
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する			(102)本紙へ	民第796条		
YES	(103)→		(104)3.3養子審査へ			
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する		(106)本紙へ			
YES	(107)→		(108)3.3養子審査へ			
NO	(109)→		(110)本紙へ	不受理		
(111)縁組形態区分=2、8、11、12である(YES,NO)		/				
YES	(112)→(114)へ	/				
NO	(113)→(203)へ	/				
(114)養母は日本人である(YES,NO)		/				
YES	(114-1)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)	
YES	(114-2)→(115)へ	/				
NO	(114-3) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する		(114-4)本紙へ	不受理		
(115)養母は婚姻している(YES,NO)		/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		

						民法改正により(116)(117)削除	R2.1(縁組109)	
	YES	(118)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ裁　判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)	
						民法改正により(119)(120)削除	R2.1(縁組109)	
	YES	(121) → (123)へ		/				
	NO	(122) → (193)へ		/				
	(123)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(124)本紙へ	民第795条		
	YES	(125)→(193)へ		/				
	NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(127)本紙へ	民第795条		
		YES	(128)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条		
			YES	(129)→(193)へ	/			
			NO	(130)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(131)本紙へ		
				YES	(132)→(193)へ	/		
				NO	(133)→		(134)本紙へ	不受理
		NO	(135)→			(136)本紙へ	不受理	
	NO	(137)→(179)へ			/		民法改正により(138)～(146)削除	R2.1(縁組109)
NO	(147)縁組形態区分=11、12である(YES,NO)				/			
	YES	(148)養父は日本人である(YES,NO)			/			
		YES	(149)→(193)へ		/			
		NO	(150)→(151)へ		/			
	NO							
	(151)養母は婚姻している(YES,NO)				/			
						民法改正により (152)(153)(154)削除	R2.1(縁組109)	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン					備考		
YES	(155)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)	
						民法改正により(156)(157)削除	R2.1(縁組109)	
YES	(158)→(161)へ			/				
NO	(159)→				(160)3.3養子審査へ			
	(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				(162)本紙へ	民第798条		
YES	(163)→				(164)3.3養子審査へ			
NO	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(166)本紙へ			
YES	(167)→				(168)3.3養子審査へ			
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する				(170)本紙へ			
YES	(171)→				(172)3.3養子審査へ			
NO	(173)→				(174)本紙へ	不受理		
NO	(175)→(179)へ			/		民法改正により (176)(177)(178)削除	R2.1(縁組109)	
(179)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/			R2.1(縁組108)	
						民法改正により(180)削除	R2.1(縁組109)	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		

YES	(181)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(182)本紙へ	民第798条		
	YES	(183)→		(184)3.3養子審査へ		
	NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示する		(186)本紙へ		
		YES	(187)→		(188)3.3養子審査へ	
		NO	(189)→		(190)本紙へ	不受理
NO	(191)→			(192)3.3養子審査へ		R2.1(縁組109)
(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する				(194)本紙へ	民第796条	
YES	(195)→			(196)3.3養子審査へ		
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する			(198)本紙へ		
	YES	(199)→		(200)3.3養子審査へ		
	NO	(201)→		(202)本紙へ	不受理	
(203)縁組形態区分=3である(YES,NO)			/			
YES	(203-1)養父は日本人である(YES,NO)		/			
	YES	(203-2)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R4(縁組121)
		YES	(203-3)→(203-6)へ	/		
		NO	(203-4) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する		(203-5)本紙へ	不受理
	(203-6)養母は日本人である(YES,NO)			/		
	YES	(203-7)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R4(縁組121)
		YES	(203-8)→(207)へ	/		
		NO	(203-9) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する		(203-10)本紙へ	不受理
					民法改正により (204)(205)(206)削除	R2.1(縁組109)
	(207)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)			/	民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(養子縁組届)						
処理名			3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン				備考		
	YES	(208)→			(209)3.3養子審査へ				
	NO						民法改正により(210)削除	R2.1(縁組109)	
		(211)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			(212)本紙へ		民第798条		
		YES	(213)→		(214)3.3養子審査へ				
		NO	(215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する		(216)本紙へ				
			YES (217)→		(218)3.3養子審査へ				
			NO (219)→		(220)本紙へ		不受理		
NO	(221)→				(222)3.3養子審査へ			R2.1(縁組109)	

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン				備考	

(1)～(18)							/		(1)～(18)までを削除
(19)縁組形態区分=1、7、9、10である(YES,NO)							/		
YES	(20)→(22)へ						/		
NO	(21)→(111)へ						/		
(22)養父は日本人である(YES,NO)							/		
YES	(23)養父は婚姻している(YES,NO)						/		
	YES	(24)養子は婚姻している(YES,NO)					/		
		YES	(25)→(101)へ				/		
		NO	(26)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)				/		
			YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(28)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(29)→(31)へ		/		
				NO	(30)→(101)へ		/		
			NO						
			(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する					(32)本紙へ	民第795条
			YES	(33)→(101)へ			/		
			NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する				(35)本紙へ	民第795条
				YES	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条
					YES	(37)→(101)へ	/		
					NO	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(39)本紙へ	
						YES	(40)→(101)へ	/	
						NO	(41)→		(42)本紙へ	不受理
			NO	(43)→				(44)本紙へ	不受理

R2.1(縁組108)
※22版(平成31年3月31日) までの
3.4養子養親判定ルーチン
をそのままコピーした。

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

							備考
	NO	(45)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/			民第792条
		YES	(46)→(84)へ		/		
		NO	(47)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		
			YES	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示する		(49)本紙へ	民第753条
				YES	(50)→(84)へ	/	
				NO	(51)→		(52)本紙へ	不受理
			NO	(53)エラーメッセージ　「養父は成年者ではありません。」を表示する		(54)本紙へ	不受理
NO	(55)縁組形態区分=9、10である(YES,NO)				/		
	YES	(56)養母は日本人である(YES,NO)			/		
		YES	(57)→(101)へ		/		
		NO	(58)→(59)へ		/		
	NO						
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)				/		
	YES	(60)養子は婚姻している(YES,NO)			/		
		YES	(61)→			(62)3.3養子審査へ	
		NO	(63)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
			YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(65)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(66)→ (69)へ	/	
				NO	(67)→		(68)3.3養子審査へ	
			NO					
			(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			(70)本紙へ	民第798条
			YES	(71)→			(72)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

								備考
			NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する		(74)本紙へ		
			YES	(75)→		(76)3.3養子審査へ		
			NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(78)本紙へ		
				YES (79)→		(80)3.3養子審査へ		
				NO (81)→		(82)本紙へ		不受理
	NO	(83)→(84)へ			/			
(84)養子は婚姻している(YES,NO)					/			
YES	(85)→					(86)3.3養子審査へ		
NO	(87)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)				/			
	YES	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(89)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(90)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					民第798条
			YES	(91)→		(92)3.3養子審査へ		
			NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示する		(94)本紙へ		
				YES (95)→		(96)3.3養子審査へ		
				NO (97)→		(98)本紙へ		不受理
		NO	(99)→			(100)3.3養子審査へ		
	NO							
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する						(102)本紙へ		民第796条
YES	(103)→					(104)3.3養子審査へ		
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する					(106)本紙へ		
	YES	(107)→				(108)3.3養子審査へ		
	NO	(109)→				(110)本紙へ		不受理

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

						備考
(111)縁組形態区分=2、8、11、12である(YES,NO)					/	
YES	(112)→(114)へ				/	
NO	(113)→(203)へ				/	
(114)養母は日本人である(YES,NO)					/	
YES	(115)養母は婚姻している(YES,NO)				/	
	YES	(116)養子は婚姻している(YES,NO)			/	
		YES	(117)→(193)へ		/	
		NO	(118)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/	
			YES	(119)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(120)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(121) → (123)へ	/	
				NO	(122) → (193)へ	/	
			NO			/	
			(123)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(124)本紙へ	民第795条
			YES	(125)→(193)へ		/	
			NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(127)本紙へ	民第795条
				YES	(128)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条
					YES	(129)→(193)へ	/	
					NO	(130)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(131)本紙へ	
						YES	(132)→(193)へ	/	
						NO	(133)→		(134)本紙へ	不受理
				NO	(135)→			(136)本紙へ	不受理
	NO	(137)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)				/		民第792条

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

								備考
		YES	(138)→(176)へ		/			
		NO	(139)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		
			YES	(140)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は婚姻したことがありますか。」を表示する			(141)本紙へ	民第753条
				YES	(142)→(176)へ		/	
				NO	(143)→			(144)本紙へ	不受理
			NO	(145)エラーメッセージ　「養母は成年者ではありません。」を表示する			(146)本紙へ	不受理
NO			(147)縁組形態区分=11、12である(YES,NO)			/		
	YES		(148)養父は日本人である(YES,NO)			/		
		YES	(149)→(193)へ			/		
		NO	(150)→(151)へ			/		
	NO					/		
			(151)養母は婚姻している(YES,NO)			/		
	YES		(152)養子は婚姻している(YES,NO)			/		
		YES	(153)→				(154)3.3養子審査へ	
		NO	(155)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)			/		
			YES	(156)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(157)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(158)→(161)へ		/	
				NO	(159)→			(160)3.3養子審査へ	
			NO						
			(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				(162)本紙へ	民第798条
			YES	(163)→				(164)3.3養子審査へ	
			NO	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(166)本紙へ	
				YES	(167)→			(168)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

									備考
				NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(170)本紙へ		
				YES	(171)→		(172)3.3養子審査へ		
				NO	(173)→		(174)本紙へ		不受理
	NO	(175)→(176)へ				/			
(176)養子は婚姻している(YES,NO)						/			
YES	(177)→						(178)3.3養子審査へ		
NO	(179)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)					/			
	YES	(180)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する					(181)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(182)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						民第798条
			YES	(183)→			(184)3.3養子審査へ		
			NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示する			(186)本紙へ		
				YES	(187)→		(188)3.3養子審査へ		
				NO	(189)→		(190)本紙へ		不受理
		NO	(191)→				(192)3.3養子審査へ		
	NO								
(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する							(194)本紙へ		民第796条
YES	(195)→						(196)3.3養子審査へ		
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する						(198)本紙へ		
	YES	(199)→					(200)3.3養子審査へ		
	NO	(201)→					(202)本紙へ		不受理
(203)縁組形態区分=3である(YES,NO)						/			
YES	(204)養子は婚姻している(YES,NO)					/			
	YES	(205)→					(206)3.3養子審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

								備考
	NO	(207)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			/			
		YES	(208)→				(209)3.3養子審査へ	
		NO	(210)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(211)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
			YES	(212)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条
				YES	(213)→		(214)3.3養子審査へ	
				NO	(215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する		(216)本紙へ	
					YES	(217)→		(218)3.3養子審査へ	
					NO	(219)→		(220)本紙へ	不受理
			NO	(221)→				(222)3.3養子審査へ	
	NO								

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		

(1)～(26)					/		(1)～(26)までを削除	
(27)縁組形態区分=4、7、11、13である(YES,NO)					/			
YES	(28)→(30)へ				/			
NO	(29)→(117)へ				/			
(30)養父は日本人である(YES,NO)					/			
YES	(30-1)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)				/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
	YES	(30-2)→(31)へ			/			
	NO	(30-3) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する				(30-4)本紙へ	不受理	
	(31)養父は婚姻している(YES,NO)				/			
							民法改正により(32)(33)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
		YES	(34-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項	R2.1(縁組109)
			YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(36)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
				YES　(37)→(39)へ	/			
				NO　(38)→(107)へ	/			
			NO	(38-1)→(39)へ	/			
		NO	(38-2)→(107)へ		/			
		(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(40)本紙へ	民第795条	
		YES	(41)→(107)へ		/			
		NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(43)本紙へ	民第795条	
			YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条	
				YES　(45)→(107)へ	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)		
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン		備考
	NO (46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(47)本紙へ	
	YES (48)→(107)へ	/		
	NO (49)→		(50)本紙へ	不受理
	NO (51)→		(52)本紙へ	不受理
NO	(53)→(93)へ	/		民法改正により(54)～(61)削除 R2.1(縁組109)
NO	(62)縁組形態区分=11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)	/		
YES	(63)→(107)へ	/		
NO	(64)→(65)へ	/		
	(65)養父は婚姻している(YES,NO)	/		
				民法改正により(66)(67)(68)削除 R2.1(縁組109)
YES	(69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された R2.1(縁組108)
YES	(69-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項	R2.1(縁組109)
YES	(70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(71)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
YES	(72)→ (75)へ	/		
NO	(73)→		(74)3.3.1養女審査へ	
NO	(74-1)→(75)へ	/		R2.1(縁組109)
NO	(74-2)→		(74-3)3.3.1養女審査へ	
	(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(76)本紙へ	民第798条
YES	(77)→		(78)3.3養子審査へ	
NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する		(80)本紙へ	
YES	(81)→		(82)3.3.1養女審査へ	
NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(84)本紙へ	
YES	(85)→		(86)3.3.1養女審査へ	
NO	(87)→		(88)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		

	NO	(89)→(93)へ	/				R2.1(縁組109)
					民法改正により(90)(91)(92)削		
(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
YES	(93-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
	YES	(94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(95)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
		YES (95-1)→ (96)へ	/				
		NO (95-2)→		(95-3)3.3.1養女審査			
	NO	(95-4)→(96)へ	/				
		(96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(96-1)本紙へ	民第798条		
	YES	(97)→		(98)3.3.1養女審査へ			
	NO	(99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示する		(100)本紙へ			
		YES (101)→		(102)3.3.1養女審査			
		NO (103)→		(104)本紙へ	不受理		
NO	(105)→			(106)3.3.1養女審査			
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する				(108)本紙へ	民第796条		
YES	(109)→			(110)3.3.1養女審査			
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する			(112)本紙へ			
	YES	(113)→		(114)3.3.1養女審査			
	NO	(115)→		(116)本紙へ	不受理		
(117)縁組形態区分=5、8、9、14である(YES,NO)			/				
YES	(118)→(120)へ		/				
NO	(119)→(207)へ		/				
(120)養母は日本人である(YES,NO)			/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

							備考	
YES	(120-1)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)				/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
	YES	(120-2)→(121)へ			/			
	NO	(120-3) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する				(120-4)本紙へ	不受理	
	(121)養母は婚姻している(YES,NO)				/			
							民法改正により(122)(123)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
		YES	(124-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項	R2.1(縁組109)
			YES	(125)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(126)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
				YES	(127)→(129)へ	/		
				NO	(128)→(197)へ	/		
			NO	(128-1)→(129)へ		/		
		NO	(128-2)→(197)へ			/		
		(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する					(130)本紙へ	民第795条
		YES	(131)→(197)へ			/		
		NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する				(133)本紙へ	民第795条
			YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条
				YES	(135)→(197)へ	/		
				NO	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(137)本紙へ	
					YES	(138)→(197)へ	/	
					NO	(139)→		(140)本紙へ	不受理
		NO	(141)→				(142)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		

	NO	(143)→(183)へ	/				民法改正により(144)～(151)削除		R2.1(縁組109)
NO	(152)縁組形態区分=9、14で かつ 、養父は日本人である(YES,NO)		/						
	YES	(153)→(197)へ	/						
	NO	(154)→(155)へ	/						
	(155)養母は婚姻している(YES,NO)		/						
							民法改正により (156)(157)(158)削除		R2.1(縁組109)
	YES	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/				民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
		YES	(159-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項			R2.1(縁組109)
			YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(161)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
			YES	(162)→(165)へ	/				
			NO	(163)→		(164)3.3.1養女審査へ			
			NO	(164-1)→(165)へ	/				
		NO	(164-2)→		(164-3)3.3.1養女審査へ				
		(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			(166)本紙へ	民第798条			
		YES	(167)→		(168)3.3.1養女審査へ				
		NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する		(170)本紙へ				
			YES	(171)→		(172)3.3.1養女審査へ			
			NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(174)本紙へ			
			YES	(175)→		(176)3.3.1養女審査へ			
			NO	(177)→		(178)本紙へ	不受理		
	NO	(179)→(183)へ	/				民法改正により (180)(181)(182)削除		R2.1(縁組109)
(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、			/				民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上で		R2.1(縁組108)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

							備考	
養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)							あることに変更された	
YES	(183-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項	R2.1(縁組109)
	YES	(184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(185)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
		YES	(185-1)→ (186)へ		/			
		NO	(185-2)→			(185-3)3.3.1養女審査へ		
	NO	(185-4)→(186)へ			/			
	(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					(186-1)本紙へ	民第798条	
	YES	(187)→				(188)3.3.1養女審査へ		
	NO	(189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示する				(190)本紙へ		
		YES	(191)→			(192)3.3.1養女審査へ		
		NO	(193)→			(194)本紙へ	不受理	
NO	(195)→					(196)3.3.1養女審査へ		
(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する						(198)本紙へ	民第796条	
YES	(199)→					(200)3.3.1養女審査へ		
NO	(201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する					(202)本紙へ		
	YES	(203)→				(204)3.3.1養女審査へ		
	NO	(205)→				(206)本紙へ	不受理	
(207)縁組形態区分=6である(YES,NO)					/			
YES	(207-1)養父は日本人である(YES,NO)				/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン					備考		
YES	(207-2)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)					民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)		R4(縁組121)
YES	(207-3)→(207-6)へ		/					
NO	(207-4) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する			(207-5)本紙へ		不受理		
(207-6)養母は日本人である(YES,NO)			/					
YES	(207-7)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)					民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)		R4(縁組121)
YES	(207-8)→(211)へ		/					
NO	(207-9) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する			(207-10)本紙へ		不受理		
						民法改正により (208)(209)(210)削除		R2.1(縁組109)
(211)縁組成立日≠スペースの場合　養女の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養女の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養女の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)			/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
YES	(212)→			(213)3.3.1養女審査へ				
NO	(213-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項			R2.1(縁組109)
YES	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(215)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
YES	(215-1)→(216)へ		/					
NO	(215-2)→			(215-3)3.3.1養女審査へ				
NO	(215-4)→(216)へ		/					
(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						民第798条		
YES	(217)→			(218)3.3.1養女審査へ				
NO	(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する			(220)本紙へ				
YES	(221)→			(222)3.3.1養女審査へ				
NO	(223)→			(224)本紙へ		不受理		
								R2.1(縁組109)

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン				備考		
NO	(225)→			(226)3.3.1養女審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

							備考
(1)～(26)					/		(1)～(26)までを削除
(27)縁組形態区分=4、7、11、13である(YES,NO)					/		
YES	(28)→(30)へ				/		
NO	(29)→(117)へ				/		
(30)養父は日本人である(YES,NO)					/		
YES	(31)養父は婚姻している(YES,NO)				/		
	YES	(32)養女は婚姻している(YES,NO)			/		
		YES	(33)→(107)へ		/		
		NO	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
			YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(36)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(37)→(39)へ	/	
				NO	(38)→(107)へ	/	
			NO				
			(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(40)本紙へ	民第795条
			YES	(41)→(107)へ		/	
			NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する		(43)本紙へ	民第795条
				YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		民第798条
					YES	(45)→(107)へ	/
					NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する	(47)本紙へ
						YES	(48)→(107)へ
						NO	(49)→
				NO	(51)→		(52)本紙へ

R2.1(縁組108)
※22版(平成31年3月31日)までの
3.4.1養女養親判定ルーチンをそのままコピーした。

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

						備考
	NO	(53)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		民第792条
	YES	(54)→(90)へ	/		
	NO	(55)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		
		YES (56)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示する		(57)本紙へ	民第753条
		YES (58)→(90)へ	/		
		NO (59)→		(60)本紙へ	不受理
		NO (61)エラーメッセージ　「養父は成年者ではありません。」を表示する			不受理
NO	(62)縁組形態区分=11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)		/		
	YES	(63)→(107)へ	/		
	NO	(64)→(65)へ	/		
	(65)養父は婚姻している(YES,NO)		/		
	YES	(66)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
		YES (67)→		(68)3.3.1養女審査へ	
		NO (69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
		YES (70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(71)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES (72)→ (75)へ	/		
		NO (73)→		(74)3.3.1養女審査へ	
		NO			
		(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(76)本紙へ	民第798条
		YES (77)→		(78)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

									備考
			NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(80)本紙へ		
			YES	(81)→			(82)3.3.1養女審査へ		
			NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(84)本紙へ		
				YES	(85)→		(86)3.3.1養女審査へ		
				NO	(87)→		(88)本紙へ		不受理
	NO	(89)→(90)へ				/			
(90)養女は婚姻している(YES,NO)						/			
YES	(91)→						(92)3.3.1養女審査へ		
NO	(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)					/			
	YES	(94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する					(95)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						民第798条
			YES	(97)→			(98)3.3.1養女審査へ		
			NO	(99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示する			(100)本紙へ		
				YES	(101)→		(102)3.3.1養女審査へ		
				NO	(103)→		(104)本紙へ		不受理
		NO	(105)→				(106)3.3.1養女審査へ		
	NO								
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する							(108)本紙へ		民第796条
YES	(109)→						(110)3.3.1養女審査へ		
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する						(112)本紙へ		
	YES	(113)→					(114)3.3.1養女審査へ		
	NO	(115)→					(116)本紙へ		不受理

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

							備考
(117)縁組形態区分=5、8、9、14である(YES,NO)					/		
YES	(118)→(120)へ				/		
NO	(119)→(207)へ				/		
(120)養母は日本人である(YES,NO)					/		
YES	(121)養母は婚姻している(YES,NO)				/		
	YES	(122)養女は婚姻している(YES,NO)			/		
		YES	(123)→(197)へ		/		
		NO	(124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
			YES	(125)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(126)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(127) → (129)へ	/	
				NO	(128) → (197)へ	/	
			NO				
			(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(130)本紙へ	民第795条
			YES	(131)→(197)へ		/	
			NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する		(133)本紙へ	民第795条
				YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する		民第798条
					YES	(135)→(197)へ	/
					NO	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する	(137)本紙へ
						YES	(138)→(197)へ
						NO	(139)→
				NO	(141)→		(142)本紙へ

要件定義ワークシート				作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン							備考	
	NO	(143)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)				/				
		YES	(144)→(180)へ		/				
		NO	(145)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日(YES,NO)		/				
			YES	(146)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は婚姻したことがありますか。」を表示する			(147)本紙へ	民第753条	
				YES	(148)→(180)へ	/			
				NO	(149)→		(150)本紙へ	不受理	
			NO	(151)エラーメッセージ　「養母は成年者ではありません。」を表示する				不受理	
NO	(152)縁組形態区分=9、14で かつ 、養父は日本人である(YES,NO)				/				
	YES	(153)→(197)へ			/				
	NO	(154)→(155)へ			/				
	(155)養母は婚姻している(YES,NO)				/				
	YES	(156)養女は婚姻している(YES,NO)			/				
		YES	(157)→			(158)3.3.1養女審査へ			
		NO	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/				
			YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(161)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
				YES	(162)→(165)へ	/			
				NO	(163) →		(164)3.3.1養女審査へ		
			NO						
			(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				(166)本紙へ	民第798条	
			YES	(167)→			(168)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン				備考	

			NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する		(174)本紙へ		
			YES	(171)→		(172)3.3.1養女審査へ		
			NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(174)本紙へ		
				YES (175)→		(176)3.3.1養女審査へ		
				NO (177)→		(178)本紙へ	不受理	
	NO	(179)→(180)へ			/			
(180)養女は婚姻している(YES,NO)					/			
YES	(181)→					(182)3.3.1養女審査へ		
NO	(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)				/			
	YES	(184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(185)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
		YES	(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条	
			YES	(187)→		(188)3.3.1養女審査へ		
			NO	(189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の直系卑属ですか。」を表示する		(190)本紙へ		
				YES (191)→		(192)3.3.1養女審査へ		
				NO (193)→		(194)本紙へ	不受理	
		NO	(195)→			(196)3.3.1養女審査へ		
	NO							
(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」						(198)本紙へ	民第796条	
YES	(199)→					(200)3.3.1養女審査へ		
NO	(201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する					(202)本紙へ		
	YES	(203)→				(204)3.3.1養女審査へ		
	NO	(205)→				(206)本紙へ	不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(養子縁組届)					
処理名			3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン				備考	
(207)縁組形態区分=6である(YES,NO)				/				
YES	(208)養女は婚姻している(YES,NO)			/				
	YES	(209)→			(210)3.3.1養女審査へ			
	NO	(211)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/				
		YES	(212)→		(213)3.3.1養女審査へ			
		NO	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(215)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
		YES	(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条	
			YES	(217)→		(218)3.3.1養女審査へ		
			NO	(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する		(220)本紙へ		
				YES	(221)→		(222)3.3.1養女審査へ	
				NO	(223)→		(224)本紙へ	不受理
		NO	(225)→		(226)3.3.1養女審査へ			
NO								

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	3.5 養子同意書ルーチン							備考	
(1)縁組形態区分=1～3、9、11、13、14である(YES,NO)					/				
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者の同意書がありますか。」を表示する					(3)本紙へ		民第796条	
	YES	(4)→				(5)3.3養子審査へ			
	NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する				(7)本紙へ			
		YES	(8)→			(9)3.3養子審査へ			
		NO	(10)→			(11)本紙へ		不受理	
NO	(12)→					(13)3.3養子審査へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.5.1 養女同意書ルーチン						備考	
(1)縁組形態区分=4～6、9～12である(YES,NO)					/			
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者の同意書がありますか。」を表示する					(3)本紙へ	民第796条	
	YES	(4)→				(5)3.3.1養女審査へ		
	NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する				(7)本紙へ		
		YES	(8)→			(9)3.3.1養女審査へ		
		NO	(10)→			(11)本紙へ	不受理	
NO	(12)→					(13)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.6 養子届出人ルーチン				備考	

(1)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+15年(15歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+15年(15歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+15年(15歳未満)>受領日(YES,NO)				/		
YES	(1-1)裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(1-2)→(2)へ		/		
	NO	(1-3)→(26-1)へ		/		
	(2)後見人縁組区分=1である(YES,NO)			/		
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示する			(4)本紙へ	民第794条
		YES	(5)→(20)へ	/		
		NO	(6)→		(7)本紙へ	不受理
	NO	(8)→(9)へ		/		
	(9)縁組形態区分=1　かつ　養子の父氏名の名=養父の名　又は 縁組形態区分=2　かつ　養子の母氏名の名=養母の名　である(YES,NO)			/		【22版の修正】 養子の父の名と養父の名が同じ 又は 養子の母の名と養母の名が同じ場合、(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 養子の父の名と養父の名が異なるが養父が本籍人である 又は 養子の母の名と養母の名が異なるが養母が本籍人である場合、身分事項に名の変更、文字訂正、文字更正があれば(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 それ以外は(9-8)の審査を行う。
	YES	(9-0-1)→(9-1)へ		/		
	NO	(9-0-2)縁組形態区分=1　かつ　養父が本籍人である　又は 縁組形態区分=2　かつ　養母が本籍人である(YES,NO)		/		
		YES	(9-0-3)養父　又は　養母の身分事項に、 名の変更(3201)　又は　文字訂正(5011)　又は　文字更正(7011)がある。(YES,NO)	/		
			YES	(9-0-4)→(9-1)へ	/	
			NO	(9-0-5)→(9-8)へ	/	
		NO				
	(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示する				(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答
	YES	(9-3)届出人資格1=78:特別代理人である(YES,NO)		/		
		YES	(9-4)→(36)へ	/		
		NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示する		(9-6)本紙へ	不受理
	NO	(9-7)→(9-8)へ		/		
	(9-8)届出人に入力があり　かつ　特別代理人以外である(YES,NO)			/		民第797条
	YES	(10)→(13)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

					備考
NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示する			(11-1)本紙へ	
YES	(11-2)→(36)へ		/		
NO	(11-3)→			(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1=届出人氏名2である(YES,NO)			/		
YES	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する			(15)本紙へ	
YES	(16)→(20)へ		/		
NO	(17)→			(18)本紙へ	不受理
NO	(19)→(20)へ		/		
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)			/		昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示する			(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(23)→(27)へ		/		
NO	(24)→			(25)本紙へ	不受理
NO	(26)→(26-1)へ		/		
(26-1)届出人資格1=1　又は　16である(YES,NO)			/		
YES	(26-2)養子の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
YES	(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-4)本紙へ	
YES	(26-5)→(26-9)へ		/		
NO	(26-6)→			(26-7)本紙へ	不受理
NO	(26-8)→(26-9)へ		/		
NO					
(26-9)届出人資格2=1　又は　16である(YES,NO)			/		
YES	(26-10)養子の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
YES	(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-12)本紙へ	
YES	(26-13)→(26-17)へ		/		
NO	(26-14)→			(26-15)本紙へ	不受理
NO	(26-16)→(26-17)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

					備考
NO					
(26-17)届出人資格1=2　又は　17である(YES,NO)			/		
YES	(26-18)養子の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
	YES	(26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-20)本紙へ	
		YES (26-21)→(26-25)へ	/		
		NO (26-22)→		(26-23)本紙へ	不受理
	NO	(26-24)→(26-25)へ	/		
NO					
(26-25)届出人資格2=2　又は　17である(YES,NO)			/		
YES	(26-26)養子の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
	YES	(26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-28)本紙へ	
		YES (26-29)→(26-33)へ	/		
		NO (26-30)→		(26-31)本紙へ	不受理
	NO	(26-32)→(26-33)へ	/		
NO					
(26-33)養子は本籍人でかつ　届出人資格1=10　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
	YES	(26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-36)本紙へ	
		YES (26-37)→(26-41)へ	/		
		NO (26-38)→		(26-39)本紙へ	不受理
	NO	(26-40)→(26-41)へ	/		
NO					
(26-41)養子は本籍人でかつ　届出人資格2=10　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

						備考
	YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する			(26-44)本紙へ	
		YES (26-45)→(26-49)へ		/		
		NO (26-46)→			(26-47)本紙へ	不受理
	NO	(26-48)→(26-49)へ		/		
NO						
(26-49)養子は本籍人でかつ　届出人資格1=11　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する			(26-52)本紙へ	
		YES (26-53)→(26-57)へ		/		
		NO (26-54)→			(26-55)本紙へ	不受理
	NO	(26-56)→(26-57)へ		/		
NO						
(26-57)養子は本籍人でかつ　届出人資格2=11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		
	YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する			(26-60)本紙へ	
		YES (26-61)→(27)へ		/		
		NO (26-62)→			(26-63)本紙へ	不受理
	NO	(26-64)→(27)へ		/		
NO						
(27)養子は非本籍人でかつ、 届出人資格1=10　又は　11　かつ　代諾者コード1=1であるか　又は 届出人資格2=10　又は　11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)				/		
YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、 養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)			/		
	YES	(29)→(36)へ		/		
	NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する			(31)本紙へ	
		YES (32)→(36)へ		/		
		NO (33)→			(34)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

						備考
	NO	(35)→(36)へ		/		
	(36)養子を監護する者がいる(YES,NO)			/		
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示する			(38)本紙へ	
		YES	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示する			民第797条2項
			YES (40)→		(41)3.3養子審査へ	
			NO (42)→		(43)本紙へ	不受理
		NO	(44)→		(45)3.3養子審査へ	
	NO					
NO	(46)後見人縁組区分=1　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペース　である(YES,NO)			/		
	YES	(47)→(53)へ		/		
	NO	(47-1)裁判確定日≠スペース　又は　縁組成立日≠スペースである		/		
		YES	(47-2)→		(47-3)3.3養子審査へ	
		NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)	/		
			YES (49)→		(50)3.3養子審査へ	
			NO (51)エラーメッセージ　「届出人は本人でなければなりません。」を表示する		(52)本紙へ	
	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示する					
	YES	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人･未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示する				民第794条
		YES	(55)→		(56)3.3養子審査へ	
		NO	(57)→		(58)本紙へ	不受理
	NO	(59)エラーメッセージ　「未成年後見人･未成年被後見人の縁組はできません。」を表示する				不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン				備考	

(1)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+15年(15歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+15年(15歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+15年(15歳未満)>受領日(YES,NO)				/			
YES	(1-1)裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペースである(YES,NO)			/			
	YES	(1-2)→(2)へ		/			
	NO	(1-3)→(26-1)へ		/			
	(2)後見人縁組区分=1である(YES,NO)			/			
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示する			(4)本紙へ	民第794条	
		YES	(5)→(20)へ	/			
		NO	(6)→		(7)本紙へ	不受理	
	NO	(8)→(9)へ		/			
	(9)縁組形態区分=4　かつ　養女の父氏名の名=養父の名　又は 縁組形態区分=5　かつ　養女の母氏名の名=養母の名　である(YES,NO)			/		【22版の修正】 養女の父の名と養父の名が同じ 又は養女の母の名と養母の名が同じ場合、(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 養女の父の名と養父の名が異なるが養父が本籍人である 又は 養女の母の名と養母の名が異なるが養母が本籍人である場合、身分事項に名の変更、文字訂正、文字更正があれば(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 それ以外は(9-8)の審査を行う。	R2.1 (誤修正)
	YES	(9-0-1)→(9-1)へ		/			
	NO	(9-0-2)縁組形態区分=4　かつ　養父が本籍人である　又は 縁組形態区分=5　かつ　養母が本籍人である(YES,NO)		/			
		YES	(9-0-3)養父　又は　養母の身分事項に、 名の変更(3201)　又は　文字訂正(5011)　又は　文字更正(7011)がある。(YES,NO)	/			
			YES	(9-0-4)→(9-1)へ	/		
			NO	(9-0-5)→(9-8)へ	/		
		NO					
	(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示する				(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答	
	YES	(9-3)届出人資格1=78:特別代理人である(YES,NO)		/			
		YES	(9-4)→(36)へ	/			
		NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示する		(9-6)本紙へ	不受理	
	NO	(9-7)→(9-8)へ		/			
	(9-8)届出人に入力があり　かつ　特別代理人以外である(YES,NO)			/		民第797条	
	YES	(10)→(13)へ		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

					備考
NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示する			(11-1)本紙へ	
YES	(11-2)→(36)へ		/		
NO	(11-3)→			(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1=届出人氏名2である(YES,NO)			/		
YES	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する			(15)本紙へ	
YES	(16)→(20)へ		/		
NO	(17)→			(18)本紙へ	不受理
NO	(19)→(20)へ		/		
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)			/		昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示する			(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(23)→(27)へ		/		
NO	(24)→			(25)本紙へ	不受理
NO	(26)→(26-1)へ		/		
(26-1)届出人資格1=1　又は　16　である(YES,NO)			/		
YES	(26-2)養女の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
YES	(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-4)本紙へ	
YES	(26-5)→(26-9)へ		/		
NO	(26-6)→			(26-7)本紙へ	不受理
NO	(26-8)→(26-9)へ		/		
NO					
(26-9)届出人資格2=1　又は　16である(YES,NO)			/		
YES	(26-10)養女の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
YES	(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-12)本紙へ	
YES	(26-13)→(26-17)へ		/		
NO	(26-14)→			(26-15)本紙へ	不受理
NO	(26-16)→(26-17)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

					備考
NO					
(26-17)届出人資格1=2　又は　17である(YES,NO)			/		
YES	(26-18)養女の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
	YES	(26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-20)本紙へ	
		YES (26-21)→(26-25)へ	/		
		NO (26-22)→		(26-23)本紙へ	不受理
	NO	(26-24)→(26-25)へ	/		
NO					
(26-25)届出人資格2=2　又は　17である(YES,NO)			/		
YES	(26-26)養女の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
	YES	(26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-28)本紙へ	
		YES (26-29)→(26-33)へ	/		
		NO (26-30)→		(26-31)本紙へ	不受理
	NO	(26-32)→(26-33)へ	/		
NO					
(26-33)養女は本籍人でかつ　届出人資格1=10　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
	YES	(26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-36)本紙へ	
		YES (26-37)→(26-41)へ	/		
		NO (26-38)→		(26-39)本紙へ	不受理
	NO	(26-40)→(26-41)へ	/		
NO					
(26-41)養女は本籍人でかつ　届出人資格2=10　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

						備考
	YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する			(26-44)本紙へ	
		YES	(26-45)→(26-49)へ		/	
		NO	(26-46)→			(26-47)本紙へ	不受理
	NO	(26-48)→(26-49)へ			/	
NO						
(26-49)養女は本籍人でかつ　届出人資格1=11　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)					/	
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)				/	
	YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する			(26-52)本紙へ	
		YES	(26-53)→(26-57)へ		/	
		NO	(26-54)→			(26-55)本紙へ	不受理
	NO	(26-56)→(26-57)へ			/	
NO						
(26-57)養女は本籍人でかつ　届出人資格2=11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)					/	
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)				/	
	YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する			(26-60)本紙へ	
		YES	(26-61)→(27)へ		/	
		NO	(26-62)→			(26-63)本紙へ	不受理
	NO	(26-64)→(27)へ			/	
NO						
(27)養女は非本籍人でかつ、 届出人資格1=10　又は　11　かつ　代諾者コード1=1であるか　又は 届出人資格2=10　又は　11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)					/	
YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、 養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)				/	
	YES	(29)→(36)へ			/	
	NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する			(31)本紙へ	
		YES	(32)→(36)へ		/	
		NO	(33)→			(34)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

						備考
	NO	(35)→(36)へ		/		
	(36)養女を監護する者がいる(YES,NO)			/		
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示する			(38)本紙へ	
		YES	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示する			民第797条2項
			YES (40)→		(41)3.3養子審査へ	
			NO (42)→		(43)本紙へ	不受理
		NO	(44)→		(45)3.3養子審査へ	
	NO					
NO	(46)後見人縁組区分=1　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペース　である(YES,NO)			/		
	YES	(47)→(53)へ		/		
	NO	(47-1)裁判確定日≠スペース　又は　縁組成立日≠スペースである		/		
		YES	(47-2)→		(47-3)3.3養子審査へ	
		NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)	/		
			YES (49)→		(50)3.3養子審査へ	
			NO (51)エラーメッセージ　「届出人は本人でなければなりません。」を表示する		(52)本紙へ	
	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示する					
	YES	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示する				民第794条
		YES	(55)→		(56)3.3養子審査へ	
		NO	(57)→		(58)本紙へ	不受理
	NO	(59)エラーメッセージ「未成年後見人・未成年被後見人の縁組はできません。」を表示する				不受理

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		養子縁組届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							03(養子縁組届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0:不要
	届区分			届出区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人の場合は0 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1 事件本人全員が外国人の場合は2を移送
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索サブシステムインターフェース					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	事件別内容		養子縁組入力画面					中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、'1'を移送する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							0:未決裁
	届書排他区分							再入力の場合1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	縁組形態区分		養子縁組入力画面	養子と養父区分				1.1 条件設定を参照
				養子と養母区分				
				養女と養父区分				
				養女と養母区分				
	養親配偶者氏名1			養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2				
	養子の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分			養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者カナ氏名							
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本籍コード			養女の本･国籍		有		
	養女の本籍							
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者カナ氏名							
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	監護者の有無			監護者の有無				
	養父の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養母の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍する戸籍または新しい戸籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍		有		
	入籍する戸籍または新しい戸籍							
	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者カナ氏名							
	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				代諾者コード1 ＝ 0の場合移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				代諾者コード2 ＝ 0の場合移送
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	代諾者資格1			届出人資格コード1				代諾者コード1 ＝ 1の場合移送
	代諾者氏名1			届出人氏名1				
	代諾者コード1			代諾者コード1				
	代諾者国籍1			届出人国籍1				
	代諾者生年月日1			届出人生年月日1				

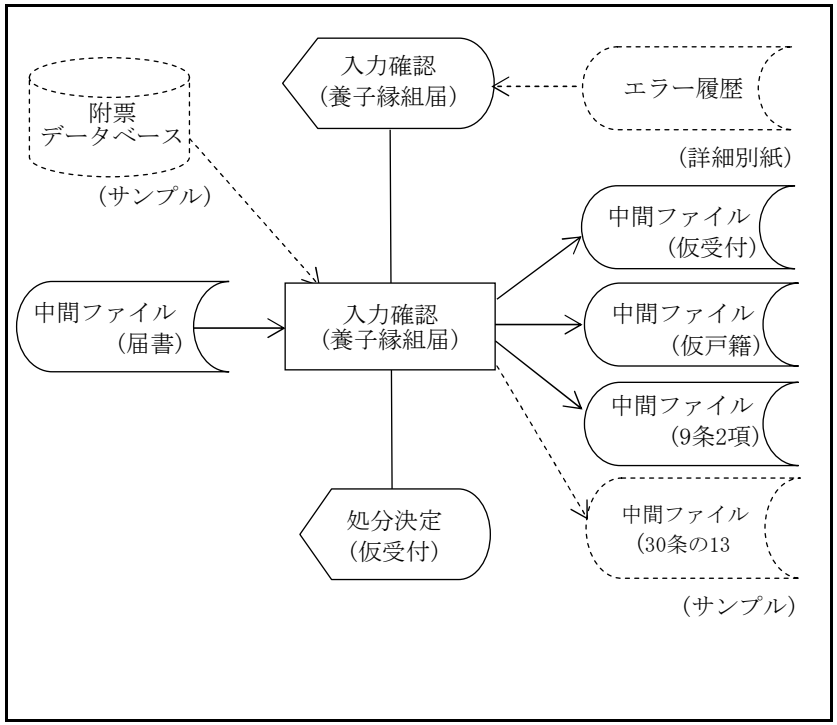
データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	代諾者資格2			届出人資格コード2				代諾者コード2 ＝ 1の場合移送
	代諾者氏名2			届出人氏名2				
	代諾者コード2			代諾者コード2				
	代諾者国籍2			代諾者国籍2				
	代諾者生年月日2			届出人生年月日2				
	配偶者個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 養親(入籍)
  - 4.2 養親(除籍)
  - 4.3 養親(記録)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1 養子(入籍)
  - 5.2 養子(除籍)
  - 5.3 養子(記録)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 養子(女)の配偶者(入籍)
  - 6.2 養子(女)の配偶者(除籍)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 養父
  - 7.2 養母
  - 7.3 養子
  - 7.4 養女
  - 7.5 養子(女)の配偶者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 8.1 養子
  - 8.1.1養子(戸籍の変動無し)
  - 8.2 養親&養子(女)の配偶者
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 9.1 養父
  - 9.2 養母
  - 9.3 養子
  - 9.4 養女
  - 9.5 養子(女)の配偶者

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/		
	(5)養父に入力がある(YES,NO)				/		
	YES	(6)養父の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		(7)養父は事件本人である(YES,NO)			/		
		YES	(7-1)養父は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(7-1)(7-2)(7-3)(7-4)
			YES	(7-2)養父について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [9.1]	/		
				(7-3)→(8)へ	/		
			NO	(7-4)→(8)へ	/		
		(8)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/		
			YES	(9)身分事項:養親(除籍)の編集をする [4.2]	/		
				(10)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)	/		
				YES	(11)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	/	
				NO	(12)→(18)へ	/	
			NO	(13)身分事項:養親(記録)の編集をする [4.3]	/		
		NO	(14)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)		/		
			YES	(15)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)	/		
				YES	(16)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	/	
				NO	(17)→(18)へ	/	
			NO				
	NO						
	(18)養母に入力がある(YES,NO)				/		
	YES	(19)養母の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		(20)養母は事件本人である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)
処理名	0.0　本紙

								備考
		YES	(20-1)養母は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(20-1)(20-2)(20-3)(20-4)
			YES	(20-2)養母について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [9.2]		/		
				(20-3)→(21)へ		/		
			NO	(20-4)→(21)へ		/		
			YES	(21)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)		/		
				(22)身分事項:養親(除籍)の編集をする [4.2]		/		
				(23)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
				YES	(24)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	/		
				NO	(25)→(31)へ	/		
			NO	(26)身分事項:養親(記録)の編集をする [4.3]		/		
		NO	(27)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/		
			YES	(28)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
				YES	(29)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	/		
				NO	(30)→(31)へ	/		
			NO					
	NO							
	(31)養子に入籍がある(YES,NO)					/		
	YES	(32)養子の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/		
		(33)養子は本籍人である(YES,NO)				/		
		YES	(33-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(33-1)(33-2)(33-3)(33-4)
			YES	(33-2)養子について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [9.3]		/		
				(33-3)→(34)へ		/		
			NO	(33-4)→(34)へ		/		
			(34)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/		
			YES	(35)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]		/		
				(36)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
				YES	(37)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	/		
					(38)→(48)へ	/		
				NO	(39)→(48)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)
処理名	0.0　本紙

									備考
			NO	(40)→(41)へ		/			
				(41)届書ファイルの戸籍変動区分が4である(YES,NO)		/			
			YES	(42)身分事項:養子(記録)の編集をする	[5.3]	/			
			NO	(43)→(48)へ		/			
		NO		(44)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)		/			
			YES	(45)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/			
				YES	(46)身分事項:養子(入籍)の編集をする	[5.1]	/		
				NO	(47)→(48)へ		/		
			NO						
		NO							
		(48)養女に入力がある(YES,NO)					/		
		YES	(49)養女の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/		
			(50)養女は本籍人である(YES,NO)				/		
			YES	(50-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(50-1)(50-2)(50-3)(50-4)
				YES	(50-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[9.4]	/		
					(50-3)→(51)へ		/		
				NO	(50-4)→(51)へ		/		
				(51)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/		
				YES	(52)身分事項:養子(除籍)の編集をする	[5.2]	/		
					(53)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
					YES	(54)身分事項:養子(入籍)の編集をする	[5.1]	/	
					NO	(55)→(64)へ		/	
				NO	(56)→(57)へ		/		
				(57)届書ファイルの戸籍変動区分が4である(YES,NO)			/		
				YES	(58)身分事項:養子(記録)の編集をする	[5.3]	/		
				NO	(59)→(64)へ		/		
			NO	(60)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/		
				YES	(61)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
					YES	(62)身分事項:養子(入籍)の編集をする。	[5.1]	/	
					NO	(63)→(64)へ		/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)
処理名	0.0　本紙

							備考
		NO					
NO							
(64)単独縁組でかつ　筆頭者である養子(女)には配偶者がいる(YES,NO)					/		
YES	(65)配偶者の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/		
	(66)養子(女)の配偶者は本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(66-1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合の処理(66-1)(66-2)(66-3)(66-4)
		YES	(66-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条13第1項)を編集･出力する [9.5]		/		
			(66-3)→(67)へ		/		
		NO	(66-4)→(67)へ		/		
		(67)戸籍変動区分 ＝ 4(養子の戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
		YES	(67-1)→(68)へ		/		
		NO	(67-2)身分事項:配偶者(除籍)の編集をする。 [6.2]		/		
		(68)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/		
		YES	(69)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1]		/		
		NO	(70)→(77)へ		/		
	NO	(71)養子(女)の配偶者は日本人である(YES,NO)			/		
		YES	(72)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
			YES	(73)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1]	/		
			NO	(74)→(77)へ	/		
		NO	(75)→(77)へ		/		
NO	(76)→(77)へ				/		
(77)在外送付区分 ＝ 0　又は　2である(YES,NO)					/		
YES	(78)				/		
	(79)養父に入力があり　かつ　養父の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)				/		
	YES	(80)養父の編集 [7.1]			/		
	NO	(81)→(82)へ			/		
	(82)養母に入力があり　かつ　養母の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)				/		
	YES	(83)養母の編集			/		
	NO	(84)→(85)へ			/		
	(85)養子に入力があり　かつ　養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)				/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(養子縁組届)					
処理名			0.0 本紙				備考	
		YES	(86)養子の編集 [7.3]	/				
		NO	(87) → (88)へ	/				
			(88)養女に入力があり かつ 養女の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/				
		YES	(89)養女の編集 [7.4]	/				
		NO	(90) → (91)へ	/				
			(91)養子(女)の配偶者に入力があり かつ 配偶者外国人区分 ＝ 0:日本人である (YES,NO)	/				
		YES	(92)配偶者の編集 [7.5]		(93)処分決定に制御を渡す			
		NO	(94) →					
	NO							
PF1	→				(95)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(96)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(97)審査(養子縁組)に制御を渡す			
PF7	(98)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(99)前ページ分の確認画面(養子縁組届)を編集する			(100)同画面を編集する			
	NO	(101)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(102)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(103)次ページ分の確認画面(養子縁組届)を編集する			(104)同画面を編集する			
	NO	(105)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→				(106)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(107)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(108)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
養子縁組届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	縁組形態区分			1、3、7、9、10、13、14、15の時'Y'移送	
	養子と養母区分						2、3、8、11、12、13、14、15の時'Y'移送	
	養女と養父区分						4、6、7、10、11、12、13、15の時'Y'移送	
	養女と養母区分						5、6、8、9、10、12、14、15の時'Y'移送	
	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	養親配偶者氏名1			養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2				
	表示1						縁組形態区分 ＝ 1、4、7の時、'養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の時、'養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 9、10の時、'養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 11、12の時、'養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示	
	表示2						縁組形態区分 ＝ 11、13の時、'養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 9、14の時、'養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示	
	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の続柄					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者					有		
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の続柄					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆頭者					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者					有		
	監護者の有無			監護者の有無				
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の筆頭者					有		
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の配偶者					有		
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍する戸籍または新しい戸籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				
	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
	同一戸籍縁組			同一戸籍縁組区分				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			届出人氏名1				〃
	代諾者コード1							届出人資格コード1に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名2			届出人氏名2				〃
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード1			代諾者資格1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			代諾者氏名1				〃
	代諾者コード1							代諾者資格1に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍1			代諾者国籍1				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日1			代諾者生年月日1				〃
	届出人資格コード2			代諾者資格2				〃
	届出人氏名2			代諾者氏名2				項目に入力がある場合移送する

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時 '1'をセットする
	届出人国籍2			代諾者国籍2				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日2			代諾者生年月日2				〃
	配偶者の外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者の生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者の配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者の配偶者					有		
	配偶者のカナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者の漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者の住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者続柄					有		
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者					有		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親										同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人						一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成															
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員													
1	○		○		－	－				○				－	－	○		○							養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
2	○		○		－	－				○				○		○			○							養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
3	○		○		－	－				○				○			○		○											養子 5.2		養親4.1 養子5.1
4	○		○		－	－				○				－	－					○											養子 5.3	
5	○		○		－	－				○				－	－		○	○		－											養子 5.2		
6	○		○		－	－				○					○	○		○		○					養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
7	○		○		－	－			○					－	－	○		○							養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
8	○		○		－	－			○					○		○			○							養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
8-1	○		○			○			○					○		○			○		○					養親 4.2 ※			養親 5.2 ※			養親4.1 養子5.1
																									※養子・養親は、同籍なので二人の他に在籍者無しの場合、全除							
9	○		○		－	－			○					○			○		○										養子 5.2			養親4.1 養子5.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親									同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人					一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成															
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員													
10	○		○		－	－			○					－	－					○										養子 5.3		
11	○		○		－	－			○					－	－		○	○		－									養子 5.2			
12	○		○		－	－			○						○	○		○		○				養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
13	○		○			○			○					－	－	○		○			○						養親 4.3			養子 5.3	
13-1	○		○			○			○					－	－	○		○		○	○					養親 4.3			養子 5.3	
14	○		○			○		○	－	－				－	－	○		○								養親 4.3			養子 5.3	
15	○		○			○		○	－	－				○		○			○							養親 4.3			養子 5.3	
16	○		○			○		○	－	－				○			○	－	－									養子 5.3		
17	○		○			○		○	－	－				－	－					○									養子 5.3		
18	○		○			○		○	－	－					○		○	○		－									養子 5.3		
19	○		○			○		○	－	－					○	○		○		○						養親 4.3			養子 5.3	
20	○		○		○			○	○					－	－	○		○						養子		養親	養子			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
20																							5.1			4.3	5.2			
21	○		○		○			○	○					○		○			○					養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
22	○		○		○			○	○					○			○		○								養子 5.2			養親4.1 養子5.1
23	○		○		○			○	○					－	－					○									養子 5.3	
24	○		○		○			○	○					－	－		○	○		－							養子 5.2			
25	○		○		○			○	○						○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
26	○		○		○			○		○				－	－	○		○					養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
27	○		○		○			○		○				○		○			○					養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
28	○		○		○			○		○				○			○		○								養子 5.2			養親4.1 養子5.1
29	○		○		○			○		○				－	－					○									養子 5.3	
30	○		○		○			○		○				－	－		○	○		－								養子 5.2		
31	○		○		○			○		○					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親										同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人						一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成															
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員													
32	○		○		○		○		○				○	－	－	○		○										養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
33	○		○		○		○		○				○	○		○			○									養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
34	○		○		○		○		○				○	○			○	－	－										養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
35	○		○		○		○		○				○	－	－					○											養子 5.3	
36	○		○		○		○		○				○		○		○	○		－									養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
37	○		○		○		○		○				○		○	○		○		○								養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
38	○		○		○		○			○			○	－	－	○		○										養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
39	○		○		○		○			○			○	○		○			○									養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
40	○		○		○		○			○			○	○			○	－	－											養子 5.2		養子 5.1
41	○		○		○		○			○			○	－	－					○											養子 5.3	
42	○		○		○		○			○			○		○		○	○		－										養子 5.2		養子 5.1
43	○		○		○		○			○			○		○	○		○		○								養親		養子		養子

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
43																										4.3		5.2		5.1
44	○		○			○	○		○				○	－	－		○	－	－	－						養親 4.3			養子 5.3	
45	○		○			○	○		○				○	－	－	○		－	－	－									養子 5.3	
46	○										－	－	－	－	－	○		○								養親 4.3				
47	○										－	－	－	○		○			○								養親 4.3				
48	○										－	－	－		○	○		○		○							養親 4.3				
49	○			○	－	－			－	－				－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3				
50	○			○	－	－			－	－				○		○			○						養親 4.2				養親4.1 養子5.1	
51	○			○	－	－			－	－					○	○		○		○				養子 5.1			養親 4.3				
52	○			○		○	○		○				○	－	－	○		－	－	－						養親 4.3				
53	○			○	○		○		○				○	－	－	○		○								養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
54	○			○	○		○		○				○	○		○			○							養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
55	○			○	○		○		○				○		○	○		○		○							養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
56	○			○		○		○	－	－				－	－	○		○									養親 4.3				
57	○			○		○		○	－	－				○		○			○								養親 4.3				
58	○			○		○		○	－	－					○	○		○		○							養親 4.3				
59	○			○	○			○	－	－				－	－	○		○					養子 5.1				養親 4.3				
60	○			○	○			○	－	－				○		○			○					養親 4.3							養親4.1 養子5.1
61	○			○	○			○	－	－					○	○		○		○			養子 5.1				養親 4.3				
62		○	○		○	○	○			○			○	－	－	○		○									養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
63		○	○		○	○	○			○			○	○		○			○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
64		○	○		○	○	○			○			○	○				○	－	－									養子 5.2		養子 5.1
65		○	○		○	○	○			○			○	－	－						○									養子 5.3	
66		○	○		○	○	○			○			○		○		○	○		－									養子		養子

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人				一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
		※1													※1									A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		※2	※2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
66																											5.2		5.1
67		○	○		○	○	○			○			○		○	○		○		○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
68		○	○		○	○	○		○				○	－	－	○		○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
69		○	○		○	○	○		○				○	○		○			○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
70		○	○		○	○	○		○				○	○			○	－	－								養子 5.2			養子 5.1
71		○	○		○	○	○		○				○	－	－					○									養子 5.3	
72		○	○		○	○	○		○				○		○		○	○		－							養子 5.2			養子 5.1
73		○	○		○	○	○		○				○		○	○		○		○						養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
74		○	○		○		○			○	○		○	－	－	○		○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
75		○	○		○		○			○	○		○	○		○			○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
76		○	○		○		○			○	○		○	○			○	－	－									養子 5.2		養子 5.1
77		○	○		○		○			○	○		○	－	－					○									養子 5.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子												養親							同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成												
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
78		○	○		○		○			○	○		○		○		○	○		-									養子 5.2		養子 5.1
79		○	○		○		○			○	○		○		○	○		○		○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
80		○	○		○		○		○		○		○	-	-	○		○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
81		○	○		○		○		○		○		○	○		○			○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
82		○	○		○		○		○		○		○	○			○	-	-								養子 5.2			養子 5.1
83		○	○		○		○		○		○		○	-	-					○									養子 5.3	
84		○	○		○		○		○		○		○		○		○	○		-							養子 5.2			養子 5.1
85		○	○		○		○		○		○		○		○	○		○		○						養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
86		○		○	○	○	○		-	-			○	-	-	○		○								養親 4.3				養子 5.1
87		○		○	○	○	○		-	-			○	○		○			○							養親 4.3				養子 5.1
88		○		○	○	○	○		-	-			○		○	○		○		○						養親 4.3				養子 5.1
89		○		○	○		○		-	-	○		○	-	-	○		○								養親				養子

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人				一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
		※1													※1									A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1. 1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
89																											4.3				5.1
90		○		○	○		○		－	－	○		○	○		○			○								養親 4.3				養子 5.1
91		○		○	○		○		－	－	○		○		○	○		○		○							養親 4.3				養子 5.1
92		○									－	－	○	－	－	○		○									養親 4.3				
93		○									－	－	○	○		○			○								養親 4.3				
94		○									－	－	○		○	○		○		○							養親 4.3				

※1 夫婦縁組の場合、該当する戸籍編製に対応するデータ編集をおのおの夫と妻の2人分行う。
※2 配偶者はC.2のみ
※3 新戸籍編製の場所が管内の場合のみ新戸籍編製の処理を行う。又、配偶者は8.0、D.1のみ。
※4 養子が非本籍人の場合、入籍する戸籍又は新戸籍の編製場所が管外の場合は養子の戸籍編製を省き、なおかつ養親も非本籍人の場合は、養親の戸籍編製も省く。
※A.1、A.2、B.1、B.2、C.2、D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4.機能体系のデータ編集を参照(8.0は養子と養親で8.1と8.2に分かれる)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0301’
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日 送付日 ＝ スペースの時、受領日
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							移送項目なし
	届出人資格区分1			届出人資格コード1				①代諾者コード1 又は 2に入力がある場合
	届出人資格名称1			届出人資格コード1		有		届出人資格コード1、2の編集方法 〈 代諾者国籍に入力が無い場合 〉 1→16、2→17、10→19、11→20、93→22に変換して移送する 〈 代諾者国籍に入力がある場合 〉 そのまま移送する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人氏名1			届出人氏名1(備考欄参照)				届出人氏名1、2の編集方法 ①代諾者コード1 又は 2に入力がある場合 データ編集表の通り、それぞれ届出人氏名1、2を移送する。(代諾者国籍の有無に関係しない) ②代諾者コード1 かつ 2に入力がない場合 届出人資格コード1が10、11、13の場合、 届出人資格コードをそのまま移送する。 届出人資格コード1 ＝ 10の場合｢養父氏名｣ 届出人資格コード1 ＝ 11の場合｢養母氏名｣ 届出人資格コード1 ＝ 13の場合｢養子氏名｣ 又は｢養女氏名｣を移送する
	届出人資格区分2			届出人資格コード2				
	届出人資格名称2			届出人資格コード2		有		
	届出人氏名2			届出人氏名2(備考欄参照)				
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1の場合'1'を移送 戸籍変動区分 ＝ 2　又は　3の場合、'2'を移送
	届後本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				
	届後本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				項目に入力がある場合移送
	届後戸籍の筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				〃
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組成立日 ≠ スペースの時、1を移送 上記以外のとき、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10 養女:11
	届出人区分							養父、養母の場合 縁組方式 ≠ スペース　かつ 外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する 養子、養女の場合 代諾者資格1、2に入力がある場合は'0'を移送する 代諾者資格1、2に入力がない場合 縁組方式 ≠ スペース　かつ 外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する
	カナ氏名			カナ氏名				養父のカナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名 養女のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名 養女の漢字氏名
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日 養女の生年月日
	本籍コード			本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍 養女の本籍

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			筆頭者氏名				養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名 養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時1を移送、 それ以外は0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.養親の後に養子
2.夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ養父、養母、養子、養女の順に出力する

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	4.1　身分事項(養親・入籍)　編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父の個人番号 養母の個人番号				養父の時、養父の個人番号 養母の時、養母の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							入籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子の国籍							入籍では不使用
	養子の生年月日							〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子の国籍							入籍では不使用
	養子の生年月日							〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式							〃
	証書提出日							〃

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	4.1　身分事項(養親・入籍)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	代諾者2	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目に入力がある場合移送
	入籍日				処理日				〃
	入戸籍	従前戸籍(本籍)			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 1　又は　4の場合、養父の本籍と養父の筆頭氏名を移送
		従前戸籍(筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				縁組形態区分 ＝ 2　又は　5の場合、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
	養子の従前戸籍								入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							〃
	養子の新本籍								〃
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	4.2　身分事項(養親･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父の個人番号 養母の個人番号				養父の時、養父の個人番号 養母の時、養母の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							除籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子 養子の国籍							除籍では不使用
	養子 養子の生年月日							〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養女 養子の国籍							除籍では不使用
	養女 養子の生年月日							〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式							〃
	外国の方式 証書提出日							〃

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	4.2　身分事項(養親･除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	代諾者2	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目に入力がある場合移送
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用
	養子の従前戸籍								〃
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				
	養子の新本籍								除籍では不使用
	除籍日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	4.3　身分事項(養親･記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父の個人番号 養母の個人番号				養父の時、養父の個人番号 養母の時、養母の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				裁判確定日 ≠ スペースの時移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースの場合、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格 共同縁組者資格名称							縁組形態区分 ＝ 3、6、10、12～15の場合かつ、 養父の時、7:'妻'を移送 養母の時、6:'夫'を移送
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が、3、7、9、10、13～15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送
	養子の国籍			養子の本籍				〃　でかつ、 養子が外国人の場合移送
	養子の生年月日			養子の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	4.3　身分事項(養親・記録)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	養女	養子氏名			養女の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が4、6、7、10～13、15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養子の国籍			養女の本籍				〃　でかつ、 養女が外国人の場合移送
		養子の生年月日			養女の生年月日				
	養子の戸籍	本籍			養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分 ＝ 4の時で かつ、 同一戸籍縁組区分 ≠ 1で かつ、 養子に入力がある時 　養子の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、養女に入力がある時、 　養女の本籍と筆頭者氏名を移送
		筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送 (養子が外国人の時のみ設定)
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送 (養子が外国人の時のみ設定)
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1		有		養子が外国人の時のみ移送 養子が外国人で戸籍に記録されないため、代諾者情報は日本人養父母に記録する。 代諾者が帰化して日本人となっている場合でも「親権者父母」と統合せずに、そのまま代諾者1と2を移送する。(国籍が日本の場合、国籍欄と生年月日欄は空欄で構わない)。 代諾者氏名1、2の編集内容。 〈代諾者国籍に入力が無い場合〉 代諾者氏名は移送しない(記録不要)。 〈代諾者国籍に入力がある場合〉 データ編集表の通り、それぞれ代諾者氏名1と2を移送する。
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名1(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2		有		
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名2(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日							
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	4.3　身分事項(養親・記録)　編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1		有		裁判確定日に入力がある場合移送 届出人資格コード1が13　又は 届出人資格コード1、2が13の時のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目に入力がある場合移送
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用
	養子の従前戸籍	本籍			養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送、あるいは、 養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送
		筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	除戸籍	新本籍							記録では不使用
	養子の新本籍				入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	記録日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	5.1　身分事項(養子・入籍)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子の個人番号 養女の個人番号				養子の時、養子の個人番号 養女の時、養女の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格 共同縁組者資格名称							縁組形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、 養父が外国人の場合移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.1　身分事項(養子・入籍)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		養母氏名			養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　でかつ、 養母が外国人の場合移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 本籍			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養父に入力がある時、 養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 筆頭者			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1、2と、証書提出者氏名1、2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1、2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1、2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1			証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1			届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2			証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2			届出人氏名2 代諾者氏名2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.1　身分事項(養子・入籍)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する 代諾者資格1、2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16、2の時17、10の時19、11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)、2(母)、16(親権者父)、17(親権者母)のとき、代諾者氏名1、2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者資格名称			代諾者1 代諾者資格		有		
		代諾者氏名			代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称			代諾者2 代諾者資格		有		
		代諾者氏名			代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 + 届出人資格コード2		有		裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目に入力がある場合移送
	入籍日				処理日				〃

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	5.1　身分事項(養子･入籍)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
	入戸籍	従前戸籍	本籍			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 7～15でかつ、 養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
			筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	除戸籍	新本籍								入籍では不使用
		入籍戸籍								〃
	特記事項									

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子の個人番号 養女の個人番号				養子の時、養子の個人番号 養女の時、養女の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、 養父が外国人の場合移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		養母氏名			養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　でかつ、 養母が外国人の時移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 本籍			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養父に入力がある時、 　養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 　養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 筆頭者			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1、2と、証書提出者氏名1、2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1、2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1、2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1			証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1			届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2			証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2			届出人氏名2 代諾者氏名2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する 代諾者資格1、2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16、2の時17、10の時19、11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)、2(母)、16(親権者父)、17(親権者母)のとき、代諾者氏名1、2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者資格名称			代諾者1 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称			代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 + 届出人資格コード2		有		裁判確定日に入力がある場合移送(養子が届け出た場合は移送しない) 届出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目に入力がある場合移送
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍 新本籍				入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	除戸籍 入籍戸籍 本籍				入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1又は2の時移送
	除戸籍 入籍戸籍 筆頭者				入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1又は2の時移送
	除籍日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	5.3　身分事項(養子･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子の個人番号 養女の個人番号				養子の時、養子の個人番号 養女の時、養女の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、 養父が外国人の場合移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.3　身分事項(養子・記録)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		養母氏名			養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　　でかつ、 養母が外国人の時移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 本籍			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 1、3、4、6、7、9～15 かつ 養父の外国人区分 ＝ 0の場合、 養父の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、 縁組形態区分 ＝ 2、3、5、6、8～15 かつ 養母の外国人区分 ＝ 0の場合、 養母の本籍と筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 筆頭者			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1、2と、証書提出者氏名1、2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1、2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1、2に氏名は移送しない
		証書提出者資格名称1			証書提出者資格1		有		
		証書提出者氏名1			届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者資格名称2			証書提出者資格2		有		
		証書提出者氏名2			届出人氏名2 代諾者氏名2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.3　身分事項(養子･記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する 代諾者資格1、2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16、2の時17、10の時19、11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)、2(母)、16(親権者父)、17(親権者母)のとき、代諾者氏名1、2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者資格名称			代諾者1 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称			代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 + 届出人資格コード2		有		裁判確定日に入力がある場合移送(養子が届け出た場合は移送しない) 届出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				項目に入力がある場合移送
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	5.3　身分事項(養子･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	除戸籍 新本籍							〃
	除戸籍 入籍戸籍							〃
	記録日							項目に入力がある場合移送
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	6.1　身分事項(配偶者･入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペースの時、処理日を移送 処理日 ＝ スペース かつ 送付日 ≠ スペースの時、送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時、受領日を移送
	入籍事由							縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 4:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 5:'妻の縁組'を移送
	従前の戸籍 本籍			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送
	従前の戸籍 筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	6.2　身分事項(配偶者･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	除籍日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペースの時、処理日を移送 処理日 ＝ スペース かつ 送付日 ≠ スペースの時、送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時、受領日を移送
	除籍事由							縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、1:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、2:'妻の縁組'を移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				

※データ編集表(4.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍.身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.1　9条2項(養父)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養父の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養父が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養父の世帯主氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.1　9条2項(養父)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.2　9条2項(養母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養母の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養母が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養母の世帯主氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.2　9条2項(養母)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	7.3　9条2項(養子)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.3　9条2項(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.4　9条2項(養女)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.4　9条2項(養女)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.5　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者の住所		有		市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 配偶者漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.5　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.1　個人特定(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時、0移送
	配偶者区分			配偶者区分				戸籍変動区分 ＝ 1、2でかつ 配偶者区分 ＝ 3の時、0を移送
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			続柄コード				
	養父			養親配偶者氏名1				縁組形態区分2、8、11、12で入力がある時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5、8、9、14で入力がある時移送(養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1、7、9、10で入力がある時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4、7、11、13で入力がある時移送(養女の時のみの移送項目)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.1　個人特定(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 2、3、8、11～15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 5、6、8～10、12、14、15の時移送
	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.1.1　個人特定(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父		中間ファイル(届書)	養親配偶者氏名1				縁組形態区分2で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が1、3の時移送 養女の時、縁組形態区分が4、6の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3の時移送 養女の時、縁組形態区分が5、6の時移送
	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.1.1　個人特定(養子)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.2 個人特定(養親 OR 養子の配偶者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			続柄コード		有		養父の場合:'男'、 養母の場合:'女' 養子(女)の配偶者の場合移送
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							養親の場合'1'を移送 養子(女)の配偶者の場合'0'を移送
	配偶者区分			配偶者区分				
	父		従前戸籍の情報	父				本籍内異動のときに従前戸籍から情報を設定
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.1　30条の13第1項(養父)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.2　30条の13第1項(養母)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.3　30条の13第1項(養子)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目
	宛名							
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新性別							養子の続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.3　30条の13第1項(養子)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	9.4　30条の13第1項(養女)　編集・出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目	
	宛名								
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養女縁組届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧氏名			養女の漢字氏名					
	新生年月日			養女の生年月日					
	旧生年月日			養女の生年月日					
	新性別							養女の続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧本籍コード			養女の本籍コード					
	旧本籍			養女の本籍					
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名					
	住所コード			養女の住所コード					
	住所			養女の住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.5　30条の13第1項(養子の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目
	宛名							
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:配偶者縁組届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 配偶者の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新性別							配偶者続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							
	住所							
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

4.養子離縁届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	離縁114	「養子離縁届」	15歳未満の養子離縁届の同時届出の仮受付の条件を変更 入力確認_3.2 中間ファイル(仮受付･親権) 入力確認_3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) 　本非区分、カナ氏名、漢字氏名、本籍コード、本籍、筆頭者、送達確認2
2		－		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正 審査_3.1 離縁の準拠法確定 「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	離縁115	「養子離縁届」	・審査_3.2 離縁種別の確認 (86-1)の判定文にある「離縁確定日」は項目に無いため、(86-1)を削除し、(86-2)の判定から実施に変更
5		離縁116		・入力確認_3.2 中間ファイル(仮受付･親権) ・入力確認_3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) R3.0版修正分の反映漏れ対応 事件本人のｶﾅ・漢字氏名の条件を変更 「届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、～」以降を追加
6		離縁118		・入力確認_3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) 送達確認2の「管内　なら1(未到着)を設定」は「なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定」の誤りであるため修正
7		離縁119		・入力確認_システム環境仕様書　4.機能体系(要件定義書の構成) 10.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)から10.1 養父、10.2 養母を削除 ・入力確認_0.0　本紙 養父及び養母は戸籍に変動がなく、9条2項が不要なため、(94)～(99)を削除 ・データ編集表の入力確認_10.1 9条2項(養父)、入力確認_10.2 9条2項(養母)を削除
8	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「養子離縁届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_6.1～7.1、9.1～9.3
9		指摘事項管理表(1)(2)No.11		身分事項のインデックスに「及び」記載があるものを分割して追加する。 ・9.1親権(記録)、9.2親権(移記)、9.3未成年者の後見(記録)

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16

作業名	養子離縁届

1.養子離縁業務処理範囲外の処理

・養子縁組取り消しの裁判が確定し、その届出があった場合
・追完届出された場合(追完の記録が必要な場合)
・養子離縁の戸籍訂正(職権記録他)
・協議離縁届で届書受理後に事件本人(養子及び養親)の死亡が明らかになった場合の記録
・無籍者の離縁
・旧法当時婿養子縁組婚姻をした養子と養親との離縁
・離縁により養子が従前の戸籍に復籍したときに三代戸籍となるため、養子の父又は母につき新戸籍を編製し養子が入籍する場合
・日本人養子夫婦の双方が死亡しているときで、同一戸籍にいない場合
・15歳未満の届出人が特別代理人のとき、特別代理人以外に届出人がいる場合
・15歳以上の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理は、離縁届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理する
・被後見人との報告的離縁で、後見人が届出た場合
・複数の未成年後見人から届出があった場合および、法人(未成年後見人)からの届出があった場合の記録
・転縁組をしている日本人養子が、外国人養親と離縁する場合

2.養子離縁入力画面の意義

・離縁形態入力画面　　養子と養親で離縁する者同士の情報を入力する
　　15歳未満の離縁届と同時に届出られた親権者指定届又は未成年後見開始届の情報を入力する
・その1入力画面　　養子の現在の状況の各項目を入力する
・その2入力画面　　養親の現在の状況の各項目を入力する
・その3入力画面　　離縁の種別及び離縁後の戸籍変動に関する各項目を入力する
・その4入力画面　　15歳未満の養子届出人に関する各項目を入力する
・その5入力画面　　養子の配偶者(事件本人以外)に関する各項目を入力する
　　離縁によって養子の養父母が変る場合(転縁組の離縁)、その養父及び養母氏名を入力する
　　離縁により従前の親権事項を移記(記録)する場合、離縁後の親権者区分を入力する(この記録は移記処理では行えないので、
　　当離縁入力で必ずすること)

3.その他

・15歳未満の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理を、離縁届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理して構わない
・離縁によって養子の養父母が変わる場合(転縁組の離縁)の養父及び養母氏名の入力は、移記事項処理で処理しても構わない
・養子、養女、養父、養母の年齢算出は算出の要件が明記されていない場合は、離縁成立時の年齢を算出すること

システム処理の概要説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	養子離縁届						

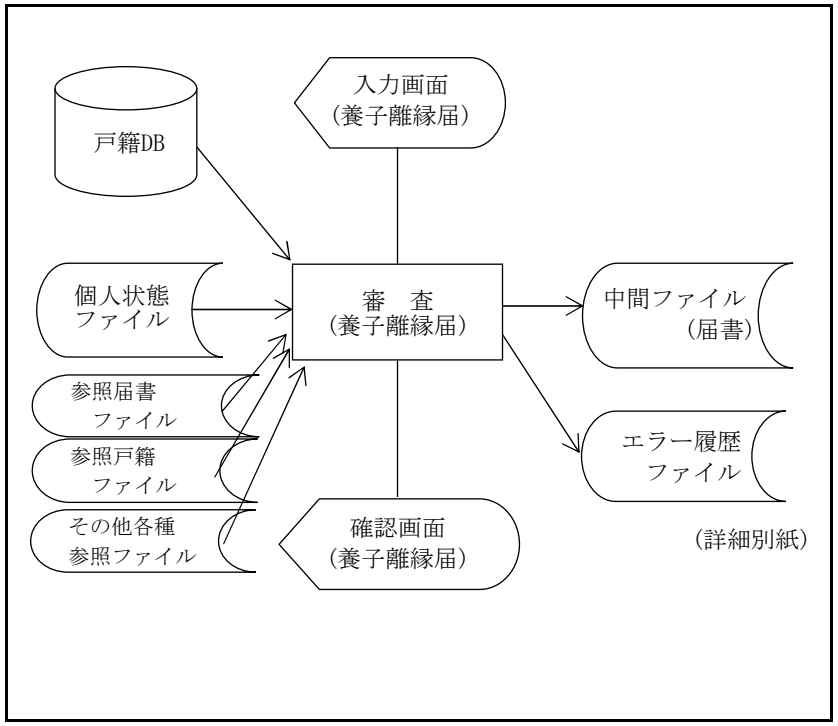
(裁判確定日に入力があれば裁判確定日での年齢、同様離縁成立日における年齢、双方入力がない場合は受領日の年齢)

・外国人養子の離縁協議者(外国人父母)の記載では国により「親権者父母」と「父母」の場合があるため双方に対応すること

・受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う

システム環境仕様	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)養子離縁届の内容を入力する
(2)養子離縁届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)養子離縁届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)養子離縁届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(養子離縁届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

```
0.0 本紙 ┬ 1.0  単体チェック
         │  └ 1.1  単体チェック(条件設定表)
         ├ 2.0  関連チェック
         │  └ 2.1  関連チェック(表示設定後)
         ├ 3.0  審査(関連審査補完)
         │  ├ 3.1  離縁の準拠法確定
         │  │  ├ 3.1.1  日本法での離縁
         │  │  │  ├ 3.1.1.1  15歳未満の離縁
         │  │  │  └ 3.1.1.2  未成年の離縁
         │  │  └ 3.1.2  外国法での離縁
         │  ├ 3.2  離縁種別の確認
         │  └ 3.3  戸籍異動の確認
         │     ├ 3.3.1  養子-養親異動
         │     ├ 3.3.2  養女-養親異動
         │     └ 3.3.3  養子夫婦-養親異動
         └ 4.0データ編集表(中間ファイル/届書)
```

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

												備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する										/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)										/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]									/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]								/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする							/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]							/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]							(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)						/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する						(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する							メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する									
	NO											
PF1	→										(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→										(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)									/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(養子離縁届)を編集する									(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する										
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)									/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(養子離縁届)を編集する									(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する										
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)									/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する									(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する											入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する											審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する											
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する											

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
5	同時届区分	○	数字	(0:無、1:親権者指定届、2:未成年後見開始届)であること			
5-1	親権・未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
5-2	親権・未成年後見人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	親権・未成年後見人氏名		漢字				
7	親権・未成年後見人本籍		漢字				
8	親権・未成年後見人筆頭者		漢字				
9	同時親権届の種別		数字	(1:協議、2:調停、3:審判)であること			
10	同時親権者資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11	同時親権届出人資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11-1	同時親権届出人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
11-2	同時親権届出人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	同時親権届出人氏名		漢字				
12-1	同時親権届出人本籍		漢字				
14	出張所番号		数字				
15	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」		戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する	
17	発送元		漢字				
18	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
19	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
21	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	報告区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	養子の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
24	養子の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
25	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
26	養子の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
27	養子のカナ氏名		カナ				
28	養子の漢字氏名		漢字				
29	養子の本･国籍		漢字				
30	養子の住所		漢字				
31	養子の筆頭者		漢字				
32	養子の世帯主		漢字				
33	養子の父氏名		漢字				
34	養子の母氏名		数字				
35	養子の父母との続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること			
36	養子の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
37	養子の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
38	養女の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
39	養女の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
40	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
41	養女の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
42	養女のカナ氏名		カナ				
43	養女の漢字氏名		漢字				
44	養女の本･国籍		漢字				
45	養女の住所		漢字				
46	養女の筆頭者		漢字				
47	養女の世帯主		漢字				
48	養女の父氏名		漢字				
49	養女の母氏名		漢字				
50	養女の父母との続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
51	養女の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
52	養女の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
53	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
54	養父の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
55	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
56	養父の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
57	養父のカナ氏名		カナ				
58	養父の漢字氏名		漢字				
59	養父の本･国籍		漢字				
60	養父の筆頭者		漢字				
61	養父の住所		漢字				
62	養父の世帯主		漢字				
63	養父の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
64	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
65	養母の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
66	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本･国籍		漢字				
71	養母の筆頭者		漢字				
72	養母の住所		漢字				
73	養母の世帯主		漢字				
74	養母の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
75	養父母婚姻区分		数字	(0:婚姻中でない1:婚姻中である)であること			
76	離縁の種別	○	数字	(1:協議、2:調停、3;審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			
77	離縁の申立人区分		数字	(1:養子(法定代理人を含む)、2:養親)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
78	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
79	離縁許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	離縁成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
81	離縁の方式		漢字				
82	外国裁判所名		漢字				
83	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		数字	(010:養父、011:養母、012:養父母、013:養子、014:養子夫婦、077:(養子の離縁後の)法定代理人)であること			
84	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍を編製する、3:戸籍に変動がない)であること			
85	氏区分		数字	(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3;新しい氏)であること			
86	届後本籍		漢字				
87	届後戸籍の筆頭者		漢字				
88	戻る戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
89	届後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未、3:生存配偶者)であること			
90	15歳未満の届出人資格1		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、023:親権者となるべき父、024:親権者となるべき母、026:親権者となるべき養父、027:親権者となるべき養母、078:特別代理人、110:未成年後見人、111:未成年後見人となるべき者)であること			
91	15歳未満の届出人資格2		数字	同上			
92	15歳未満の届出人氏名1		漢字				
93	15歳未満の届出人国籍1		漢字				
94	15歳未満の届出人生年月日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
95	15歳未満の届出人氏名2		漢字				
96	15歳未満の届出人国籍2		漢字				
97	15歳未満の届出人生年月日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			
98	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
99	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
100	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
101	配偶者カナ氏名		カナ				
102	配偶者漢字氏名		漢字				
103	配偶者父氏名		漢字				
104	配偶者母氏名		漢字				
105	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
106	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
107	配偶者住所		漢字				
108	離縁後変更養父氏名		漢字				
109	離縁後変更養母氏名		漢字				
110	親権移記親権者区分		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.1 条件設定		入力画面(離縁形態入力画面)					

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する離縁形態区分の設定および表示内容について記述する	
1	(No.1)〔養子と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 1とする 「養子と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 1:養子と養父の離縁
2	(No.2)〔養子と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 2とする 「養子と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 2:養子と養母の離縁
3	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 3とする 「養子と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 3:養子と養父母の離縁
4	(No.3)〔養女と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 4とする 「養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 4:養女と養父の離縁
5	(No.4)〔養女と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 5とする 「養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 5:養女と養母の離縁
6	(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 6とする 「養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 6:養女と養父母の離縁
7	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 7とする 「養子夫婦と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の離縁
8	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 8とする 「養子夫婦と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の離縁
9	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 9とする 「養子と養父及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 9:養子と養父　かつ　養女と養母の離縁
10	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 10とする 「養子と養父及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 10:養子と養父　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養女と養母の離縁)
11	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 11とする 「養子と養父及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 11:養子と義母　かつ　養女と養父の離縁
12	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 12とする 「養子と養母及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 12:養子と養母　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養女と養父の離縁)

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.1 条件設定		入力画面(離縁形態入力画面)					

No	内容	備考
13	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 　離縁形態区分 ＝ 13とする 　「養子と養父母及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 13:養子と養父母　かつ　養女と養父の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養子と養母の離縁)
14	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 　離縁形態区分 ＝ 14とする 　「養子と養父母及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 14:養子と養父母　かつ　養女と養母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養子と養父の離縁)
15	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 　離縁形態区分 ＝ 15とする 　「養子夫婦と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 15:養子夫婦と養父母の離縁

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	離縁形態区分 ＝ 1(養子と養父の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		入力がある場合に、外国人区分は必須入力項目
2	離縁形態区分 ＝ 2(養子と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
3	離縁形態区分 ＝ 3(養子と養父母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
4	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
5	離縁形態区分 ＝ 5(養女と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
6	離縁形態区分 ＝ 6(養女と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
7	離縁形態区分 ＝ 7(養子夫婦と養父の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
8	離縁形態区分 ＝ 8(養子夫婦と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
9	離縁形態区分 ＝ 9 (養子と養父 かつ養女と養母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 10(養子と養父 かつ養女と養父母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 11(養子と養母 かつ養女と養父の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 12(養子と養母 かつ養女と養父母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 13(養子と養父母 かつ養女と養父の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 14(養子と養父母 かつ養女と養母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 15(養子夫婦と養父母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
10	(No5)同時届区分 ＝ 0(無)の場合、 (No.6)親権･未成年後見人氏名～(No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
11	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) 又は 2(未成年後見開始届)の場合、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ≠ スペース かつ (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.92)15歳未満の届出人氏名1であること			
12	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) 又は 2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍であれば (No.8)親権・未成年後見人筆頭者 ≠ スペースであること			
13	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) 又は 2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍であれば(No.8)親権・未成年後見人筆頭者 ＝ スペース かつ (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ (No.93)15歳未満の届出人国籍1であること			
14	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)の場合、 (No.9)同時親権届の種別 ≠ スペース かつ (No.10)同時親権者資格 ≠ スペースであること			
15	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ≠ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ≠ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ≠ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ≠ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ スペースであること			
16	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判)の場合、 (No11)同時親権届出人資格 ＝ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ スペースであること			
17	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) 又は 011(養母)であること			
18	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父) 又は 010(養父)であること			
19	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) 又は 011(養母)であること			
20	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父) 又は 010(養父)であること			
21	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.33)養子の父氏名であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.34)養子の母氏名であること			
23	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.33)養子の父氏名であること			
24	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.34)養子の母氏名であること			
25	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.48)養女の父氏名であること			
26	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.49)養女の母氏名であること			
27	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.48)養女の父氏名であること			
28	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.49)養女の母氏名であること			
29	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) 又は 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
30	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母) 又は 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
31	(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) 又は 010(養父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
32	(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母) 又は 011(養母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
33	(No.16)送付日 ＝ スペースの時、(No.17)発送元 ＝ スペースであること			
34	(No.16)送付日 ≠ スペースの時、(No.17)発送元 ≠ スペースであること			
35	(No.16)送付日 ≠ スペースの時、(No.16)送付日 ≧ (No15)受領日であること			
36	(No.16)送付日 ＝ スペースの時、(No.18)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
37	(No.17)発送元 ≠ スペースの時、(No.18)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
38	(No.17)発送元 ≠ スペース かつ (No.17)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	(No.18)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) 又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
39	(No.17)発送元 ≠ スペース かつ (No.17)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.18)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) 又は ＝ 3(在外公館の国内経由) 又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
40	(No.19)処理日 ≠ スペースの時、(No.19)処理日 ＞ (No15)受領日であること			
41	(No.21)郵送日 ≠ スペースの時、(No.16)送付日 ＝ スペースであること			
42	(No.21)郵送日 ≠ スペースの時、(No.21)郵送日 ≦ (No.15)受領日であること			
43	(No.20)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.24)養子の本非区分 ＝ 1 又は (No.39)養女の本非区分 ＝ 1 又は (No.54)養父の本非区分 ＝ 1 又は (No.65)養母の本非区分 ＝ 1 又は (No.86)届後本籍 ＝ 管内本籍地であること			(No.20)本非区分は養子離縁届の本非区分と位置付ける。 親権･未成年後見届は関係しない。
44	(No.20)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.24)養子の本非区分 ＝ 2 かつ(No.39)養女の本非区分 ＝ 2 かつ (No.54)養父の本非区分 ＝ 2 かつ(No.65)養母の本非区分 ＝ 2 かつ (No.86)届後本籍 ＝ 管外本籍地であること			
45	(No.22)報告区分 ＝ 1(創設的届出)の場合、 (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ(No80)離縁成立日 ＝ スペースであること			
45-1	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No80)離縁成立日 ＝ スペースの場合、 (No.22)報告区分 ＝ 1(創設的届出)であること			
45-2	(No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)の場合、 (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No80)離縁成立日 ≠ スペース) 又は (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判) 又は 4(判決) 又は 5(和解) 又は 6(認諾)であること			
46	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			外国の方式による離縁の入力チェック
47	(No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判) 又は 4(判決) 又は 5(和解) 又は 6(認諾)の場合、 (No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	養子に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 かつ (No.24)養子の本非区分 かつ (No.25)養子の生年月日 かつ (No.26)養子の生死区分 かつ (No.27)養子のカナ氏名 かつ (No.28)養子の漢字氏名 かつ (No.29)養子の本･国籍 かつ (No.35)養子の父母との続柄コードに入力があること			養子に入力がある場合の必須入力項目
49	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.25)養子の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.29)養子の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.31)養子の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.37)養子の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
50	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.24)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.25)養子の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.29)養子の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.31)養子の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
51	(No.24)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.29)養子の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
52	(No.24)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.29)養子の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
53	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.26)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
54	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.26)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)又は3(審判)又は4(判決)又は5(和解)又は6(認諾) かつ (No.83)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
55	(No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
56	(No.30)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.32)養子の世帯主 ＝ スペースであること			
57	(No.32)養子の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.30)養子の住所 ≠ スペースであること			
58				
59				単体ﾁｪｯｸと同じためｶｯﾄ

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
60	(No.36)養子の筆頭者区 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.28)養子の漢字氏名 ＝ (No.31)養子の筆頭者であること			
60-1	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.28)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.31)養子の筆頭者氏名の「氏」であること			
61	養女に入力がある場合、 (No.38)養女の外国人区分 かつ (No.39)養女の本非区分 かつ (No.40)養女の生年月日 かつ (No.41)養女の生死区分 かつ (No.42)養女のカナ氏名 かつ (No.43)養女の漢字氏名 かつ (No.44)養女の本・国籍 かつ (No.50)養女の父母との続柄コードに入力があること			養女に入力がある場合の必須入力項目
62	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.40)養女の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.44)養女の本・国籍 ＝ 本籍 かつ (No.46)養女の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.52)養女の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
63	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.39)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.40)養女の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.44)養女の本・国籍 ＝ 国籍 かつ (No.46)養女の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
64	(No.39)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.44)養女の本・国籍 ＝ 管内本籍地であること			
65	(No.39)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.44)養女の本・国籍 ＝ 管外本籍地であること			
66	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.41)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
67	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.41)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)又は3(審判)又は4(判決)又は5(和解)又は6(認諾) かつ (No.82)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
68	(No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
69	(No.45)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.47)養女の世帯主 ＝ スペースであること			
70	(No.47)養女の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.45)養女の住所 ≠ スペースであること			
71				
72				単体ﾁｪｯｸと同じためｶｯﾄ
73	(No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.43)養女の漢字氏名 ＝ (No.46)養女の筆頭者であること			
73-1	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.43)養女の漢字氏名の「氏」＝ (No.46)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
74	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) のとき (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
75	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) のとき (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
75-1				
76	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ(No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき (No.98)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
77	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき (No.98)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
78	養父に入力がある場合、 (No.53)養父の外国人区分 かつ (No.54)養父の本非区分 かつ (No.55)養父の生年月日 かつ (No.56)養父の生死区分 かつ (No.57)養父のカナ氏名 かつ (No.58)養父の漢字氏名 かつ (No.59)養父の本･国籍 かつ (No.63)養父の縁組成立法区分に入力があること			養父に入力がある場合の必須入力項目
79	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.55)養父の生年月日 ＝ (和暦) かつ(No.59)養父の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
80	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.54)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.55)養父の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.59)養父の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
80-1	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の氏であること			
81	(No.54)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.59)養父の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
82	(No.54)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.59)養父の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
83	(No.61)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.62)養父の世帯主 ＝ スペースであること			
84	(No.62)養父の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.61)養父の住所 ≠ スペースであること			
85	養母に入力がある場合、 (No.64)養母の外国人区分 かつ (No.65)養母の本非区分 かつ (No.66)養母の生年月日 かつ (No.67)養母の生死区分 かつ (No.68)養母のカナ氏名 かつ (No.69)養母の漢字氏名 かつ (No.70)養母の本･国籍 かつ (No.74)養母の縁組成立法区分に入力があること			養母に入力がある場合の必須入力項目
86	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.66)養母の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.70)養母の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.71)養母の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
87	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.65)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.66)養母の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.70)養母の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.71)養母の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
87-1	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.69)養母の漢字氏名の氏 ＝ (No.71)養母の筆頭者氏名の氏であること			
88	(No.65)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.70)養母の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
89	(No.65)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.70)養母の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
90	(No.72)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.73)養母の世帯主 ＝ スペースであること			
91	(No.73)養母の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.72)養母の住所 ≠ スペースであること			
91-1				
92	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.77)離縁の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.78)裁判確定日 ＝ スペースであること			
93	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.79)離縁許可日 ≠ スペースの場合、 (No.80)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.82)外国裁判所名 ＝ スペース かつ (No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ スペースであること			外国方式での離縁 外国の裁判所で協議された離縁

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
94				
95	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.81)離縁の方式 又は (No.82)外国裁判所名 のいずれか一方に入力があること			
95-1	(No.81)離縁の方式 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
95-2	(No.82)外国裁判所名 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
96				
97	(No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判) 又は 4(判決) 又は 5(和解) 又は 6(認諾)の場合、 (No.77)離縁の申立人区分 ≠ スペース かつ (No.78)裁判確定日 ≠ スペース かつ (No.79)離縁許可日 ＝ スペース かつ (No.80)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			
98				
99	(No.78)裁判確定日 ≦ (No.15)受領日であること			
100	(No.79)離縁許可日 ≦ (No.15)受領日であること			
101	(No.80)離縁成立日 ≦ (No.15)受領日であること			
102	(No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3の場合、 (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は、資格1が必須入力項目
103	(No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6の場合、 (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
104	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)の場合、 (No.85)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏) 又は 2(実方の氏(復氏を兼ねる届)) かつ (No.86)届後本籍 ≠ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ≠ スペースであること			
105	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍を編製する)の場合、 (No.85)氏区分 ≠ スペース かつ (No.86)届後本籍 ≠ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
106	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)の場合、 (No.85)氏区分 ＝ スペース かつ (No.86)届後本籍 ＝ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペースかつ (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ＝ スペースであること			
107	養子に入力がある場合、 (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者) かつ (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) 又は 2(新戸籍を編製する)の場合、 (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペースであること			
108	養女に入力がある場合、 (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者) かつ (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) 又は 2(新戸籍を編製する)の場合、 (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペースであること			
109	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2～ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2までがすべてスペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は、資格1が必須入力項目
110	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 (No.95)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース かつ (No.96)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース かつ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
111	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの場合、 (No.92)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
112	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの場合、 (No.95)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
113	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.93)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース かつ (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
114	(No.93)15歳未満の届出人国籍1 ＝ スペースの場合、 (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ スペースであること			
115	(No.93)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペースの場合、 (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			
116	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.96)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース かつ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
117	(No.96)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペースの場合、 (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
118	(No.96)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペースの場合、 (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			
119	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) 又は 111(未成年後見人となるべき者)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
120	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 011(養母) 又は 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
121	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 010(養父) 又は 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
122	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 011(養母) 又は 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
123	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 010(養父) 又は 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
124	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は スペースであること			
125	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は スペースであること			
126	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は スペースであること			
127	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
128	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
129	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
130	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
131	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
132				
133				
134				
135				
136				
137				
138				
139				
140	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) 又は 111(未成年後見人となるべき者)の場合、 (No.5)同時届区分 ＝ 0(無) 又は 2(未成年後見開始届)であること			
141	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.101)配偶者カナ氏名 ≠ スペース かつ (No.102)配偶者漢字氏名 ≠ スペースであること			
142	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.99) 配偶者筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ≠ スペース かつ (No.105)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース かつ (No.106)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
143	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
144	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
145	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
146	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
147				
148	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
149				
150	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
151	(No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースの場合、 (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) 又は 2(新戸籍を編製する)であること			
152	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.25)養子の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正前のチェック
153	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6の場合、 (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正前のチェック
154				No.213に変更
155	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 1 又は 2 又は 3の場合、 (No.23)養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.25)養子の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.37)養子の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正後のチェック

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
156	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日　かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 = 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.38)養女の外国人区分 = 0(日本人)　かつ (No.40)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.52)養女の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正後のチェック
200	(No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届) の場合、 (No.9)同時親権届の種別～ (No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			追加分はNo.200からスタートする No.14の後に挿入
201	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 管内本籍地であること			No.201～No.208はNo.16の後に挿入
202	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
203	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
204	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
205	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 管内本籍地であること			
206	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
207	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
208	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
209	(No.26)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　かつ　(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース　かつ　(No.110)親権移記親権者区分 ＝ スペースであること			No.54の後に挿入
210	(No.41)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　かつ　(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース　かつ　(No.110)親権移記載権者区分 ＝ スペースであること			No.67の後に挿入

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
211	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.27)養子のカナ氏名の氏 ＝ (No.42)養女のカナ氏名の氏 かつ (No.28)養子の漢字氏名の氏 ＝ (No.43)養女の漢字氏名の氏であること			養子･養女が日本人のときは同一戸籍であること No.75の後に挿入
212	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.56)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) 又は (No.67)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の時、 (No.75)養母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)であること			No.212～No.213はNo.91の後に挿入
213	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.75)養母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中) の時、 (No.57)養父のカナ氏名の氏 ＝ (No.68)養母のカナ氏名の氏 かつ (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の氏 かつ (No.59)養父の本国籍 ＝ (No.70)養母の本国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ＝ (No.71)養母の筆頭者であること			養父･養母が日本人で婚姻中のときは、同一戸籍であること
214	(No.10)同時親権者資格 ＝ 10(養父) 又は 11(養母)の場合、 (No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースであること			
215	(No.110)親権移記親権区分 ＝ 10(養父) 又は 11(養母)の場合、 (No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	備考
	以降、養子離縁画面(離縁形態入力画面)で表示する 同時親権届出人名称の内容について記述する	同時親権届出人名称をカットしたことにより、このページを削除する
1	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	
2	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「母」と表示する	
3	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養父」と表示する	
4	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養母」と表示する	
5	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	
6	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	
7	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 001(父)の場合、 「父母」と表示する	
8	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	
9	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「養父及び母」と表示する	
10	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
11	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
12	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父母」と表示する	

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	備考
	以降、養子離縁画面(その4画面)で表示する 15歳未満の届出人資格名称の内容について記述する	
1	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 111は「未成年後見人となるべき者」と表示する
2	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	同上
4	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「父及び親権者母」と表示する	同上
5	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「父及び親権者養母」と表示する	同上
6	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
7	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
8	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	同上
9	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び母」と表示する	同上
10	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び母」と表示する	同上
11	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び母」と表示する	同上
12	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	備考
13	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	同上
14	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
17	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「養父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
18	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び養母」と表示する	同上
19	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び養母」と表示する	同上
20	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び養母」と表示する	同上
21	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び養母」と表示する	同上
22	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「親権者父母」と表示する	同上
23	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
24	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
25	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)の場合、 「親権者養父母」と表示する	同上

データチェック(関連表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)							
処理名		画面名	画面ID					
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)						

No	内容	備考
26	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「親権者となるべき父母」と表示する	同上
27	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
28	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
29	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.0 関連審査補完						備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/				
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-2)→(0-5)へ		/				
	NO	→			(0-3)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-4)→(0-5)へ			/				
(0-5)(養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) である (YES,NO)				/			R2.1(離縁112)	
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示する						R2.1(離縁112)	
	YES	(0-8)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」 を表示する			(0-10)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	R2.1(離縁112)
	NO	(0-9)→						R2.1(離縁112)
NO	(0-11)→(1)			/				R2.1(離縁112)
(1)裁判確定日 ≠ スペースである(YES,NO)				/			離縁の成立した日が旧国籍法当時の場合は、国籍の得喪がからむので、審査結果入力で処理する 現行の国籍法の施行日は昭和25年7月1日 (ただし、平和条約の発効に伴う国の場合は 昭和27年4月28日が発効の日)	
YES	(2)裁判確定日 < 昭和25年7月1日である (YES,NO)			/				
	YES	(3)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(4)本紙へ			
	NO	(5)裁判確定日 < 昭和27年4月28日である (YES,NO)		/				
		YES	(6) → (21)へ	/				
		NO	(7) → (25)へ	/				
NO	(8)離縁成立日 ≠ スペース である(YES,NO)			/				
	YES	(9)離縁成立日 < 昭和25年7月1日 である(YES,NO)		/				
		YES	(10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(11)本紙へ			
		NO	(12)離縁成立日 < 昭和27年4月28日 である(YES,NO)	/				
			YES (13) → (21)へ	/				
			NO (14) → (25)へ	/				
	NO	(15)受領日 < 昭和25年7月1日 である(YES,NO)		/				
		YES	(16)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(17)本紙へ			
		NO	(18)受領日 < 昭和27年4月28日 である(YES,NO)	/				
			YES (19) → (21)へ	/				
			NO (20) → (25)へ	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

							備考
(21)確認メッセージ(YES,NO)「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示する					/		
YES	(23)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					(22)本紙へ	
NO	(24) → (25)へ				/		
(25)離縁形態区分 ＝ 7～15 のいずれかである(YES,NO)					/		養子・養女の双方に入力がある場合、本システムで処理可能な条件。 ・片方又は双方が15歳未満でないこと ・双方生存者の場合は夫婦であること ・双方が死亡者の場合は、養子・養女は同一戸籍 であること(生存中は夫婦であったこと) 上記の条件に合わない離縁届で正当な届は、審
YES	(26)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
	YES	(27)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(28)本紙へ	
	NO	(29)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/		
		YES	(30)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(31)本紙へ	
		NO	(32)→ (33)へ		/		
		(33)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)			/		
		YES	(34)養子の本・国籍 ＝ 養女の本・国籍 かつ 養子の筆頭者 ＝ 養女の筆頭者 である(YES,NO)		/		養子と養女が双方日本人の場合 養子と養女は同一戸籍にいるか(本籍人であれば戸籍番号で確認可能)
			YES	(35)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
				YES	(36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)	/	
					YES	(37) → (49)へ	/	双方生存で夫婦であれば次の処理へ
					NO	(38)エラーメッセージ 「養子・養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(39)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー
				NO		(40)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか」を表示する (応答後(49)へ)			養子養女の一方又は双方が死亡している場合、同一戸籍で婚姻していた事実があれば次の処理へ
			NO			(41)エラーメッセージ 「養子・養女が同一戸籍にいません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			双方日本人で別戸籍にいる場合はエラー
		NO	(42)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)				/		片方又は双方が外国人の場合

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)			
処理名	3.0 関連審査補完			備考
YES	(43)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)	/		
YES	(44) → (49)へ	/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ
NO	(45)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(46)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー
NO	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか」を表示する (応答後(49)へ)		(47-1)本紙へ	養子養女の一方又は双方が死亡している場合、同一戸籍で婚姻していた事実があれば次の処理へ
NO	(48) → (49)へ	/		
(49)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 7 又は 9 又は 10 又は 13 又は 14 又は15 である(YES,NO)		/		
YES	(50)養子の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)	/		
YES	(51)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(54)へ)		(52)本紙へ	養子が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
NO	(53) → (54)へ	/		
(54)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
YES	(55)エラーメッセージ 「養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(56)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
NO	(57) → (59)へ	/		
NO	(58) → (59)へ	/		
(59)離縁形態区分 ＝ 4 又は 6 又は 7 又は 10 又は 11 又は 12 又は 13 又は15 である(YES,NO)		/		
YES	(60)養女の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)	/		
YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(64)へ)		(62)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
NO	(63) → (64)へ	/		
(64)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
YES	(65)エラーメッセージ 「養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(66)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
NO	(67) → (69)へ	/		
NO	(68) → (69)へ	/		
(69)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 8 又は 11 又は 12 又は 13 又は 14 又は15 である(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

					備考
	である(YES,NO)				
YES	(70)養子の生年月日 < 養母の生年月日　である(YES,NO)	/			
	YES (71)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する　(応答後(74)へ)		(72)本紙へ		養子が養母より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
	NO (73) → (74)へ	/			
	(74)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/			
	YES (75)エラーメッセージ 「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(76)本紙へ		死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO (77) → (79)へ	/			
NO	(78) → (79)へ	/			
(79)離縁形態区分 ＝ 5 又は 6 又は 8 又は 9 又は 10 又は 12 又は 14 又は 15 である(YES,NO)		/			
YES	(80)養女の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)	/			
	YES (81)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する　(応答後(85)へ)		(82)本紙へ		養女が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
	NO (83)→(85)へ	/			(84)は欠番
	(85)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養母の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/			
	YES (86)エラーメッセージ 「養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(87)本紙へ		死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO (88)→(89)へ	/			
NO	(88)→(89)へ	/			
(89)離縁形態区分 ＝ 9～15のいずれかである(YES,NO)		/			
YES	(90)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養女の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/			
	YES (91)養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養母の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/			
	YES (92)エラーメッセージ 「養子及び養親の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は 審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(93)本紙へ		養子の一方及び養親の一方が死亡者の離縁届が 1通処理可能な場合は審査結果入力とする
	NO (94)→(95)へ	/			
	NO				
NO					
(95)離縁形態区分 ＝ 1～3　又は　7～15のいずれかである(YES,NO)		/			
YES	(96)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

							備考
	YES	(97)養子の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)		/			
		YES	(98)→(106)へ		/		
		NO	(99)エラーメッセージ「養子の身分事項に縁組事項がありません」を表示する			(100)本紙へ	民811①
		(101)			/		(101)～(104)は削除
			(102)		/		
				(103)		(104)	
	NO	(105)→(106)へ			/		
NO							
(106)離縁形態区分 ＝ 4～15のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(107)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)				/		
	YES	(108)養女の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)			/		
		YES	(109)→(117)へ		/		
		NO	(110)エラーメッセージ「養女の身分事項に縁組事項がありません」を表示する			(111)本紙へ	民811①
		(112)			/		(112)～(115)は削除
			(113)		/		
				(114)		(115)	
	NO	(116)→(117)へ					
NO							
(117)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～1 5のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(118)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)				/		
	YES	(119)養父の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)			/		
		YES	(120)→(123)へ		/		
		NO	(121)確認メッセージ(YES,NO) 「養父と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(128)へ)			(122)本紙へ	民811①
		(123)			/		(123)～(126)は削除
			(124)		/		
				(125)		(126)	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)		
処理名	3.0 関連審査補完		備考
NO	(127)→(128)へ	/	
NO			
(128)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15 のいずれかである(YES,NO)		/	
YES	(129)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/	
YES	(130)養母の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/	
YES	(131)→(139)へ	/	
NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母と養子は縁組していますね」を表示する　(応答後(139)へ)	(133)本紙へ	民811①
	(134)	/	(134)～(137)は削除
	(135)		
	(136)	(137)	
NO	(138)→(139)へ	/	
NO			
(139)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)		/	
YES	(140)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースである(YES,NO)	/	
YES	(141)エラーメッセージ 「特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい」を表示する	(142)本紙へ	
NO	(143)→(144)へ	/	
NO			
(144)離縁の準拠法確定 [3.1]		/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1 離縁の準拠法確定

							備考
(1)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15 のいずれかである(YES,NO)					/		離縁は縁組当時の養親の本国法が適用されるので、そのチェックを行う。(通則法31②) 養親の本国(外交)法で成立した縁組の離縁については、システム審査が出来ないので、目検で審査する。
YES	(2)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
	YES	(3)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(4)→(12)へ		/		
		NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する (応答後(12)へ)			(6)本紙へ	
	NO	(7)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する (応答後(12)へ)			(9)本紙へ	
		NO	(10)→(12)へ		/		
NO	(11)→(12)へ				/		
(12)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15 のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(13)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
	YES	(14)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(15)→(23)へ		/		
		NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する (応答後(23)へ)			(17)本紙へ	
	NO	(18)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する (応答後(23)へ)			(20)本紙へ	
		NO	(22)→(23)へ		/		
NO							
(23)離縁形態区分?					/		
1	(24)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/		
	YES	(25)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)			/		
		YES	(26)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する			(27)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO	(28)→(58)へ		/		
	NO						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定						備考	
2	(29)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/				
	YES	(30)離縁の方式 ≠ スペース　又は　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/				
		YES	(31)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(32)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(32)→(58)へ	/				
	NO							
3	(33)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/				
	YES	(34)離縁の方式 ≠ スペース　又は　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/				
		YES	(35)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(36)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(37)→(58)へ	/				
	NO							
4	(38)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/				
	YES	(39)離縁の方式 ≠ スペース　又は　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/				
		YES	(40)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(41)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(42)→(58)へ	/				
	NO							
5	(43)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/				
	YES	(44)離縁の方式 ≠ スペース　又は　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/				
		YES	(45)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(46)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(47)→(58)へ	/				
	NO							
6	(48)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/				
	YES	(49)離縁の方式 ≠ スペース　又は　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/				
		YES	(50)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(51)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(52)→(58)へ	/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定						備考	
	NO							
7 ～ 15	(53)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)			/				
	YES	(54)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)		/				
		YES	(55)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する			(56)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(57)→(58)へ	/				
	NO							
(58)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15 のいずれかである(YES,NO)				/				
YES	(59)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/				
	YES	(60)日本法での離縁	[3.1.1]	/				
	NO	(61)外国法での離縁	[3.1.2]	/				
NO	(62)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/				
	YES	(63)日本法での離縁	[3.1.1]	/				
	NO	(64)外国法での離縁	[3.1.2]	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1　日本法での離縁

							備考
(1)離縁形態区分?					/		
1～3	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
	YES	(3)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]			/		
	NO	(3-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)			/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁109)
		YES	(3-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)
			YES	(3-3)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		R2.1(離縁109)
				YES (3-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁109)
				NO (3-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年 R2.1(離縁109)
			NO	(3-6)離縁種別の確認 [3.2]	/		R2.1(離縁109)
		NO	(4)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		
			YES	(5)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		
				YES (6)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		
				NO (7)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年
			NO	(8)離縁種別の確認 [3.2]	/		
4～6	(9)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
	YES	(10)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]			/		
	NO	(10-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)			/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁109)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.1.1　日本法での離縁					備考	
		YES	(10-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/		R2.1(離縁109)	
			YES	(10-3)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)	
				YES	(10-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁109)	
				NO	(10-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年	R2.1(離縁109)
			NO	(10-6)離縁種別の確認 [3.2]		/		R2.1(離縁109)	
		NO	(11)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/			
			YES	(12)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/			
				YES	(13)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/			
				NO	(14)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が妻又は生存配偶者は成年	
			NO	(15)離縁種別の確認 [3.2]		/			
7～15	(16)離縁種別の確認 [3.2]					/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁

						備考
(0)離縁形態区分?				/		
1,2,3	(0.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.2)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/		
		YES	(0.3)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.4)→(0.8)へ	/		
			NO (0.5)→		(0.6)本紙へ	不受理
		NO	(0.7)→(0.8)へ	/		
	NO			/		
	(0.8)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.9)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/		
		YES	(0.9)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.11)→(0.15)へ	/		
			NO (0.12)→		(0.13)本紙へ	不受理
		NO	(0.14)→(0.15)へ	/		
	NO			/		
	(0.15)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.16)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/		
		YES	(0.17)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.18)→(0.22)へ	/		
			NO (0.19)→		(0.20)本紙へ	不受理
		NO	(0.21)→(0.22)へ	/		
	NO			/		
	(0.22)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.23)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.1.1.1　15歳未満の離縁					備考	
	YES	YES	(0.24)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
		YES	(0.25)→(1)へ		/				
		NO	(0.26)→			(0.27)本紙へ		不受理	
		NO	(0.28)→(1)へ		/				
	NO								
4,5,6	(0.29)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父)　又は 023(親権者となるべき父) である(YES,NO)				/				
	YES	(0.30)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/				
		YES	(0.31)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
			YES	(0.32)→(0.36)へ		/			
			NO	(0.33)→			(0.34)本紙へ	不受理	
		NO		(0.35)→(0.36)へ		/			
	NO								
	(0.36)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父)　又は 023(親権者となるべき父) である(YES,NO)				/				
	YES	(0.37)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/				
		YES	(0.38)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
			YES	(0.39)→(0.43)へ		/			
			NO	(0.40)→			(0.41)本紙へ	不受理	
		NO		(0.42)→(0.43)へ		/			
	NO								
	(0.43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母) である(YES,NO)				/				
	YES	(0.44)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/				
		YES	(0.45)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
			YES	(0.46)→(0.50)へ		/			
			NO	(0.47)→			(0.48)本紙へ	不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁

							備考
		NO	(0.49)→(0.50)へ	/			
	NO						
	(0.50)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/			
	YES		(0.51)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/		
		YES	(0.52)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.53)→(1)へ	/		
			NO	(0.54)→		(0.55)本紙へ	不受理
		NO	(0.56)→(1)へ		/		
	NO						
(1)離縁形態区分?					/		
1,4	(2)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)　又は　養父の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養父の配偶者区分は(夫)である(YES,NO)				/		養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES		(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)		/		
		YES	(5)→(8.1)へ		/		
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」 を表示する　(応答後(8.1)へ)			(7)本紙へ	
	NO		(8)→(8.1)へ		/		
	(8.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	(8.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる
	YES		(8.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)				
		YES	(8.3)→(19.5)へ		/		
		NO	(8.4)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する　(応答後(19.5)へ)			(8.4.1)本紙へ	
	NO		(8.5)→(19.5)へ		/		
2,5	(9)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)又は養母の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養母の配偶者区分は(妻)である(YES,NO)				/		養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES		(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)		/		
		YES	(12)→(15.1)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁

						備考
	NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」 を表示する　(応答後(15.1)へ)		(14)本紙へ		
	NO	(15)→(15.1)へ		/		
	(15.1)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる
	YES	(15.2)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)		/		
		YES	(15.3)→(19.5)へ	/		
		NO	(15.4)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する　(応答後(19.5)へ)		(15.4.1)本紙へ	
	NO	(15.5)→(19.5)へ		/		
3,6	(16)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)			/		
	YES	(17)→(19.5)へ		/		
	NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(19.1)へ)		(19)本紙へ		
	(19.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)　かつ　養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる。
	YES	(19.2)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)		/		
		YES	(19.3)→(19.5)へ	/		
		NO	(19.4)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する　(応答後(19.5)へ)		(19.4.1)本紙へ	
	NO	(19.4.2)→(19.5)へ		/		
(19.5)離縁の種別 ＝ 1(協議離縁)　かつ　離縁成立日 ＝ スペースである(YES,NO)				/		
YES	(19.6)養父の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養父の氏名 ＝ 届出人氏名2　又は 養母の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養母の氏名 ＝ 届出人氏名2である(YES,NO)			/		養子離縁の利益相反審査
	YES	(19.7)確認メッセージ(YES,NO) 「協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか。」を表示する (応答後(20)へ)		(19.7.1)本紙へ		
	NO	(19.8)→(20)へ		/		
NO						

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁

						備考
(20)15歳未満の届出人資格1　又は　15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は 017(親権者母)　又は　019(親権者養父)　又は　020(親権者母)である(YES,NO)				/		
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね」を表示する　(応答後(47)へ)				(22)本紙へ	現在の親権者が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
NO	(23)→(24)へ			/		
(24)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)				/		
YES	(25)離縁形態区分 ＝ 1又は2又は3である(YES,NO)			/		
	YES	(26)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/		
		YES	(27)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
			YES	(28)→(47)へ	/	
			NO	(29)エラーメッセージ　「養子には未成年後見人がいません」を表示する	(30)本紙へ	後見事項がなければエラー
		NO		(31)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)		現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
	NO	(32)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/		
		YES	(33)養女の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
			YES	(34)→(47)へ	/	
			NO	(35)エラーメッセージ　「養子には後見人がいません」を表示する	(36)本紙へ	未成年後見事項がなければエラー
		NO		(37)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)		現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
NO	(38)→(39)へ			/		
(39)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)である(YES,NO)				/		
YES	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する　(応答後(47)へ)				(41)本紙へ	未成年後見人選任を証する書面があることが審査の要件となる
NO	(42)→(43)へ			/		
(43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)				/		
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する　(応答後(47)へ)				(45)本紙へ	特別代理人選任を証する書面があることが審査の要件となる
NO	(46)→(47)へ			/		
(47)離縁形態区分 ＝ 3　又は　6　である(YES,NO)				/		
YES	(48)養母の縁組成立区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/		
	YES	(49)外国法での離縁　[3.1.2]		/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)						
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁					備考	
	NO (50)→(51)へ			/			
NO							
(51)離縁種別の確認			[3.2]	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.2　未成年の離縁

							備考
(1)離縁形態区分?					/		
1,4	(2)養父の配偶者区分 ＝ 1(夫)　である(YES,NO)				/		養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(4)本紙へ	
		YES	(5)離縁種別の確認	[3.2]	/		
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(7)本紙へ	
			YES	(8)離縁種別の確認 [3.2]	/		
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ) [3.2]		(9)本紙へ	
	NO	(10)離縁種別の確認		[3.2]	/		
2,5	(11)養母の配偶者区分 ＝ 2(妻)　である(YES,NO)				/		養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(13)本紙へ	
		YES	(14)離縁種別の確認	[3.2]	/		
		NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(16)本紙へ	
			YES	(17)離縁種別の確認 [3.2]	/		
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ) [3.2]		(18)本紙へ	
	NO	(19)離縁種別の確認		[3.2]	/		
3,6	(20)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)				/		
	YES	(21) → (24)へ			/		養父母が日本人で夫婦の場合は無条件OK
	NO	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(24)へ)				(23)本紙へ	
	(24)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)				/		
	YES	(25)外国法での離縁		[3.1.2]	/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う
	NO	(26)離縁種別の確認		[3.2]	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.2　外国法での離縁

					備考
(0)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/		
YES	(0.1)確認メッセージ(YES,NO)　「外国人からだけの証書提出ではないですね。」を表示する		/		
	YES	(0.2)→(0.6)へ	/		
	NO	(0.3)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.4)本紙へ	
NO	(0.5)→(0.6)へ		/		
(0.6)離縁の種別 ＝ 1(協議)(YES,NO)			/		
YES	(0.7)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である。		/		
	YES	(0.8)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」		(0.9)本紙へ	
	NO	(0.10)→(0.11)へ	/		
	(0.11)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)である。		/		
	YES	(0.12)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と未成年後見届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する		(0.13)本紙へ	
	NO	(0.14)→(1)へ	/		
NO	(0.15)→(1)へ		/		
(1)離縁形態区分 ＝ 1　又は　3　又は　4　又は　6　又は　7　又は　9 ～ 15　かつ 養父の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか」を表示する　(応答後(4)へ)			(3)本紙へ	
	(4)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)		/		
	YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する (応答後(8)へ)		(6)本紙へ	
	NO	(7)→(8)へ	/		報告的届出は確認メッセージ不要
	(8)離縁形態区分 ＝ 3　又は　6　又は　9 ～ 15 である(YES,NO)		/		
	YES	(9)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/		
		YES　(10)→(14)へ	/		
		NO　(11)日本法での離縁　[3.1.1]	/		
	NO	(12)離縁種別の確認　[3.2]	/		
NO	(13)→(14)へ		/		
(14)確認メッセージ(YES,NO)　「養母の要件具備証明書等がありますか」を表示する　(応答後(16)へ)				(15)本紙へ	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1.2　外国法での離縁						備考	
(16)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)					/			
YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					(18)本紙へ		
	YES	(19)離縁種別の確認		[3.2]	/			
	NO	→(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ)		[3.2]		(20)本紙へ		
NO	(21)離縁種別の確認			[3.2]	/		報告的届出は確認メッセージ不要	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
(1)離縁の種別 ＝ 1(協議)である(YES,NO)				/				
YES	(2)離縁許可日 ≠ スペース である(YES,NO)			/				
	YES	(3)離縁形態区分?		/				
		1	(4)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
			YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(6)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)	
			NO	(7)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する				
		2	(8)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
			YES	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(10)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)	
			NO	(11)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する				
		3	(12)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
			YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(14)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)	
			NO	(15)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する				
		4	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である (YES,NO)	/				
			YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(18)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)	
			NO	(19)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する				
		5	(20)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である (YES,NO)	/				
			YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(22)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.2 離縁種別の確認					備考	
		NO	(22)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	6		(24)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ			(26)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(27)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	7		(28)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ			(30)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(31)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	8		(32)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ			(34)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(35)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	9～15		(36)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ			(38)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(39)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	(40)戸籍異動の確認 [3.3]				/				
NO	(41)離縁成立日 ≠ スペース である(YES,NO)				/				
	YES	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の証書が添付されでいますか。」を表示する (応答後(48)へ)				(43)本紙へ		戸41	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.2　離縁種別の確認

					備考
					(44)～(47)削除　R2.1(離縁111)
					R2.1(離縁111)
					R2.1(離縁111)
	(48)戸籍異動の確認 [3.3]	/			
NO	(49)→(50)	/			
(50)離縁形態区分?		/			
1	(51)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/			
YES	(52)戸籍異動の確認 [3.3]	/			
NO	(53)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(54)本紙へ		
2	(55)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/			
YES	(56)戸籍異動の確認 [3.3]	/			
NO	(57)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(58)本紙へ		
3	(59)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/			
YES	(60)戸籍異動の確認 [3.3]	/			
NO	(61)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(62)本紙へ		
4	(63)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/			
YES	(64)戸籍異動の確認 [3.3]	/			
NO	(65)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(66)本紙へ		
5	(67)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/			
YES	(68)戸籍異動の確認 [3.3]	/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(養子離縁)					
処理名				3.2 離縁種別の確認				備考	
			NO	(69)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(70)本紙へ		
		6		(71)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/			
			YES	(72)戸籍異動の確認 [3.3]		/			
			NO	(73)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(74)本紙へ		
		7		(75)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/			
			YES	(76)戸籍異勤の確認 [3.3]		/			
			NO	(77)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(78)本紙へ		
		8		(79)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/			
			YES	(80)戸籍異動の確認 [3.3]		/			
			NO	(81)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(82)本紙へ		
		9～15		(83)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/			
			YES	(84)戸籍異動の確認 [3.3]		/			
			NO	(85)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(86)本紙へ		
NO						/		(86-1)削除 R4(離縁115)	
				(86-2)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/			
			YES	(86-3)エラーメッセージ 「死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。 離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(86-4)本紙へ	死亡者との離縁は、死亡者に変わり裁判所が代行して協議する。審判書が添付されるため、報告的届出として処理することを防ぐための処理	
			NO	(86-5)→(87)へ		/			
								(86-1)削除 R4(離縁115)	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.2　離縁種別の確認

						備考
(87)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本･確定証明書(調停･和解･認諾調書の謄本)が添付されていますね。」 を表示する　(応答後(90)へ)					(88)本紙へ	
				/		(89)削除　R2.1(離縁111)
(90)裁判確定日 + 10日　>　受領日(YES,NO)				/		戸73(戸63①の準用)、戸43
YES	(91)→(100)へ			/		大4.1.14民事1805回答
NO	(92)メッセージ　「届出期間を経過しています。」を表示する(応答後(100)へ)				(93)本紙へ	戸規65
						(95)～(98)削除　R2.1(離縁111)
						R2.1(離縁111)
						R2.1(離縁111)
(100)離縁の申立人区分 ＝ 1(養子) である(YES,NO)				/		
YES	(101)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)　又は 014(養子夫婦)　又は　077(養子の離縁後の法定代理人) である(YES,NO)			/		
	YES	(102)戸籍異動の確認 [3.3]		/		
	NO	(103)裁判確定日 + 10日　>　受領日(YES,NO)		/		戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
		YES	(104)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する		(105)本紙へ	
			YES (102)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO (104)エラーメッセージ　「発収簿処理して下さい。」を表示する		(108)本紙へ	不受理
		NO	(109)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
NO	(110)裁判及び外国式の離縁の届出入資格 ＝ 010(養父)　又は　011(養母)　又は 012(養父母) である(YES,NO)			/		
	YES	(111)戸籍異動の確認 [3.3]		/		
	NO	(112)裁判確定日 + 10日 > 受領日　(YES,NO)		/		戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
		YES	(113)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する		(114)本紙へ	
			YES (115)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO (116)エラーメッセージ　「発収簿処理して下さい。」を表示する		(117)本紙へ	不受理
		NO	(118)戸籍異動の確認 [3.3]	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(養子離縁)					
処理名	3.3 戸籍異動の確認				備考	

(0)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)					/		
YES	(0-1)養子の父氏名 ＝ スペース 又は 養子の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)				/		
	YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					
		YES	(0-3)→(0-13)へ		/		
		NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	不受理
	NO	(0-6)義子の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)			/		
		YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				
			YES	(0-8)→(0-13)へ	/		
			NO	(0-9)		(0-10)本紙へ	不受理
		NO	(0-11)→(0→13)へ		/		
NO	(0-12)→(0-23)へ				/		
(0-13)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)					/		
YES	(0-14)養女の父氏名 ＝ スペース 又は 養女の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)				/		
	YES	(0-15)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					
		YES	(0-16)→(0-26)へ		/		
		NO	(0-17)			(0-18)本紙へ	不受理
	NO	(0-19)養女の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)			/		
		YES	(0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				
			YES	(0-21)→(0-26)へ	/		
			NO	(0-22)		(0-23)本紙へ	不受理
		NO	(0-25)→(0-26)へ		/		
NO	(0-25)→(0-26)へ				/		
(0-26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)					/		
YES	(0-27)配偶者父氏名 ＝ スペース 又は 配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)				/		
	YES	(0-28)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					
		YES	(0-29)→(1)へ		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.3 戸籍異動の確認					備考	
		NO	(0-30)			(0-31)本紙へ		不受理	
	NO		(0-32)配偶者父母との続柄 ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/				
		YES	(0-33)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する						
			YES	(0-34)→(1)へ		/			
			NO	(0-35)			(0-36)本紙へ	不受理	
		NO		(0-37)→(1)へ		/			
NO	(0-38)→(1)へ					/			
(1)離縁形態区分?						/			
1～3	(2)養子-養親異動			[3.3.1]		/			
4～6	(3)養女-養親異動			[3.3.2]		/			
7～15	(4)養子夫婦-養親異動			[3.3.3]		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.1 養子-養親異動

						備考
(1)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/		
YES	(2)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(3)本紙へ	養子が外国人の場合は戸籍異動なし
	NO	(4)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する				(審査終了)
NO	(5)→(6)へ			/		
(6)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(8)本紙へ	養子が死亡者の場合は戸籍異動なし
	NO	(9)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する				(審査終了)
NO	(10)→(10-1)へ			/		
(10-1)養子の身分事項に性同一性障害(7003)があり、戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)				/		平成15年法律第111号3条
YES	(10-2)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害者の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する			/		
	YES	(10-3)→(11)へ		/		
	NO	→			(10-4)本紙へ	不受理
NO	(10-5)→(11)へ			/		
(11)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/		
YES	(12)配偶者区分?(0:未、1:夫、3:生存配偶者)			/		
	0	(13)→(34)へ		/		戸籍変動区分チェックへ
	1	(14)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)		/		養子夫婦の構成員は戸籍異動なし
		YES	(14-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES (14-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて 入力して下さい。」を表示する		(15)本紙へ	(審査終了)
			NO →			
		NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。」を表示する			(審査終了)
	3	(17)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)		/		
		1	(18)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)	/		
			1 (18-1)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		
			YES (18-2)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.1 養子-養親異動

							備考
				NO (18-3)エラーメッセージ「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(18-4)本紙へ	
			2	(19)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
			3	(20)エラーメッセージ「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(21)本紙へ	
		2		(22)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
			YES	(23)エラーメッセージ「構成員の生存配偶者の離縁では、縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません」		(24)本紙へ	
			NO	(25)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
		3		(25-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES	(25-2)メッセージ「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(26)本紙へ	審査終了
			NO	→			
NO				(27)配偶者区分?(0:未、1:夫、3:生存配偶者)	/		
	0			(28)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	1			(29)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)	/		
		YES		(30)エラーメッセージ「夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		(31)本紙へ	
		NO		(32)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	3			(33)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
(34)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)					/		【戸籍変動区分チェック】
1				(35)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
	YES			(36)→(48)へ	/		戸籍での筆頭者区分チェックへ
	NO			(37)確認メッセージ(YES,NO)「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(48)へ)		(38)本紙へ	
2				(39)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名　である(YES,NO)	/		
	YES			(40)→(43)へ	/		
	NO			(41)エラーメッセージ「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(42)本紙へ	
				(43)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3:新しい氏)	/		
	1			(44)→(70)へ	/		戸籍法30条3項チェックへ

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.3.1 養子-養親異動						備考	
	2	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(70)へ)			(46)本紙へ			
	3	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(70)へ)						
3	(47-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/				
	YES	(47-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」			(47-3)本紙へ		審査終了	
	NO	→						
(48)元に戻る戸籍は管内にある戸籍である(YES,NO)				/			【戻る戸籍での筆頭者区分チェック】 戻る戸籍が管内にある場合は、その戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする 筆頭者がいれば、戻る戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない	
YES	(49)戸籍除区分 ＝ 0(現戸籍)である(YES,NO)			/				
	YES	(50)戸籍DBに記録されている者について順次(51)～(56)の処理を繰り返す		/				
		(51)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/				
		YES	(52)戻る戸籍での筆頭者区分(画面項目) ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/				
			YES	(53)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(54)本紙へ		
			NO	(55)→(85)へ	/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
		NO	(56)→(50)へ		/			
		(57)→(61)へ			/			
	NO	(58)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する			(59)本紙へ			
NO	(60)→(61)へ			/				
(61)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/			養子の名と戻る戸籍の筆頭者のなで、筆頭者と成りうるか類推する	
YES	(62)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(64)本紙へ			
	NO	(65)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
NO	(66)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(67)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
	NO	(68)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(69)本紙へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.3.1 養子-養親異動						備考	
(70)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母)である(YES,NO)				/			【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で戸籍の異動がある場合、養子の申出がない限り、従前の戸籍に戻らなければならない。従前の戸籍に戻れず新戸籍を編製すべきときは、従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。	
YES	(71)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は従前の戸籍には戻れませんね。」を表示する			/				
	YES	(72)→(75)へ		/				
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)			(74)本紙へ			
	(75)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)			/				
	1,2	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する			(77)本紙へ		(参考)S50.4.30民二2221号民事二課長回答	
		YES	(78)→(85)へ	/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
		NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)		(80)本紙へ			
	3	(81)養子の本・国籍 ＝ 届後本籍である(YES,NO)		/				
		YES	→		(82)本紙へ		審査終了	
		NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する					
NO	(84)→(85)へ			/				
(85)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)である(YES,NO)				/			【届後戸籍での配偶者区分チェック】	
YES	→				(86)本紙へ		審査終了	
NO	(87)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/				
	YES	→			(88)本紙へ		審査終了	
	NO	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は異動後の戸籍で、生存配偶者に間違いありませんね。」を表示する						

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.2 養女-養親異動

						備考
(1)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/		
YES	(2)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(3)本紙へ	養子が外国人の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(4)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する				
NO	(5)→(6)へ			/		
(6)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(8)本紙へ	養子が死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(9)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する				
NO	(10)→(10-1)へ			/		
(10-1)養子の身分事項に性同一性障害(7003)があり、戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)				/		平成15年法律第111号3条
YES	(10-2)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害者の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する			/		
	YES	(10-3)→(11)へ		/		
	NO	→			(10-4)本紙へ	不受理
NO	(10-5)→(11)へ			/		
(11)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/		
YES	(12)配偶者区分?(0:未、2:妻、3:生存配偶者)			/		
	0	(13)→(34)へ		/		戸籍変動区分チェックへ
	2	(14)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)		/		養子夫婦の構成員は戸籍異動なし
		YES	(14-1)養女の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES (14-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて 入力して下さい。」を表示する		(15)本紙へ	(審査終了)
			NO →			
		NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。」を表示する			(審査終了)
	3	(17)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)		/		
		1	(18)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)	/		
			1 (18-1)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		
			YES (18-2)→(34)へ			戸籍変動区分チェックへ

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.2 養女-養親異動

								備考
				NO	(18-3)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(18-4)本紙へ	
			2		(19)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
			3		(20)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(21)本紙へ	
		2			(22)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
			YES		(23)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません」		(24)本紙へ	戸籍変動区分チェックへ
			NO		(25)→(34)へ	/		
		3			(25-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES		(25-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(26)本紙へ	審査終了
			NO		→			
NO					(27)配偶者区分?(0:未、2:妻、3:生存配偶者)	/		
	0				(28)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	2				(29)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)	/		
		YES			(30)エラーメッセージ 「夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		(31)本紙へ	
		NO			(32)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	3				(33)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
(34)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)						/		【戸籍変動区分チェック】
1					(35)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
	YES				(36)→(48)へ	/		戻る戸籍での筆頭者区分チェックへ
	NO				(37)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(48)へ)		(38)本紙へ	
2					(39)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名　である(YES,NO)	/		
	YES				(40)→(43)へ	/		
	NO				(41)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(42)本紙へ	
	(43)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3:新しい氏)					/		
	1				(44)→(70)へ	/		戸籍法30条3項チェックへ

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.3.2 養女-養親異動						備考	
	2	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(70)へ)			(46)本紙へ			
	3	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(70)へ)						
3	(47-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/				
	YES	(47-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」			(47-3)本紙へ		審査終了	
	NO	→						
(48)元に戻る戸籍は管内にある戸籍である(YES,NO)				/			【戻る戸籍での筆頭者区分チェック】 戻る戸籍が管内にある場合は、その戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする 筆頭者がいれば、戻る戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない	
YES	(49)戸籍除区分 ＝ 0(現戸籍)である(YES,NO)			/				
	YES	(50)戸籍DBに記録されている者について順次(51)～(56)の処理を繰り返す		/				
		(51)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/				
		YES	(52)戻る戸籍での筆頭者区分(画面項目) ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/				
			YES	(53)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(54)本紙へ		
			NO	(55)→(85)へ	/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
		NO	(56)→(50)へ		/			
		(57)→(61)へ			/			
	NO	(58)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する			(59)本紙へ			
NO	(60)→(61)へ			/				
(61)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/			養子の名と戻る戸籍の筆頭者のなで、筆頭者と成りうるか類推する	
YES	(62)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(64)本紙へ			
	NO	(65)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
NO	(66)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(67)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
	NO	(68)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(69)本紙へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.3.2 養女-養親異動						備考	
(70)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母)である(YES,NO)				/			【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で戸籍の異動がある場合、養子の申出がない限り、従前の戸籍に戻らなければならない。従前の戸籍に戻れず新戸籍を編製すべきときは、従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。	
YES	(71)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は従前の戸籍には戻れませんね。」を表示する			/				
	YES	(72)→(75)へ		/				
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)			(74)本紙へ			
	(75)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)			/				
	1,2	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する			(77)本紙へ		(参考)S50.4.30民二2221号民事二課長回答	
		YES	(78)→(85)へ	/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
		NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)		(80)本紙へ			
	3	(81)養子の本・国籍 ＝ 届後本籍である(YES,NO)		/				
		YES	→		(82)本紙へ		審査終了	
		NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する					
NO	(84)→(85)へ			/				
(85)養子の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)				/			【届後戸籍での配偶者区分チェック】	
YES	→				(86)本紙へ		審査終了	
NO	(87)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/				
	YES	→			(88)本紙へ		審査終了	
	NO	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は異動後の戸籍で、生存配偶者に間違いありませんね。」を表示する						

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.3 要旨夫婦-養親異動

									備考
(1)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)							/		
YES	(2)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)						/		
	YES	(3)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)					/		
		YES	→					(4)本紙へ	養子夫婦双方が外国人の場合は戸籍異動なし (審査終了)
		NO	(5)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する						
	NO	(6)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)					/		
		YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)				/		
			YES	→				(8)本紙へ	一方外国人他方死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
			NO	(9)エラーメッセージ 「養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。」を表示する					
		NO	(10)養女-養親異動 [3.3.2]				/		養子外国人の場合は養女だけの異動を考える
NO	(10)→(11)へ						/		
(11)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)							/		
YES	(12)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)						/		
	YES	(13)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)					/		
		YES	→					(14)本紙へ	一方外国人他方死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
		NO	(15)エラーメッセージ 「養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。」を表示する						
	NO	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)					/		
		YES	(17)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)				/		
			YES	→				(18)本紙へ	養子夫婦双方が死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
			NO	(19)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する					
		NO	(20)養女-養親異動 [3.3.2]				/		養子死亡者の場合は養女だけの異動を考える
NO	(21)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)						/		
	YES	(22)養子-養親異動 [3.3.1]					/		養女外国人の場合は養子だけの異動を考える
	NO	(23)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)					/		
		YES	(24)養子-養親異動 [3.3.1]				/		養女死亡者の場合は養子だけの異動を考える
		NO	(25) → (26)へ				/		
(26)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍を編製する、3:戸籍に変動がない)							/		日本人夫婦(双方生存者)の場合
1	(27)エラーメッセージ 「養子夫婦の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する							(28)本紙へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.3 要旨夫婦-養親異動

						備考
2	(29)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)			/		
	YES	(30)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名　である(YES,NO)		/		
		YES	(31) → (38)へ	/		
		NO	(32)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(33)本紙へ	
	NO	(34)養女の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)		/		
		YES	(35) → (38)へ	/		
		NO	(36)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(37)本紙へ	
	(38)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3:戸籍に変動がない)			/		
	1	(39) → (43)へ		/		
	2	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(43)へ)			(41)本紙へ	
	3	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(43)へ)				
	(43)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)　又は　011(養母)　又は 012(養父母)である(YES,NO)			/		【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で新戸籍を編製すべきときは、従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
	YES	(44)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の民(復氏を兼ねる届)、3:新しい氏)		/		
		1,2	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する		(46)本紙へ	
			YES　→			審査終了
			NO (47)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
		3	(48)養子の本･国籍 ＝ 届後本籍　である(YES,NO)	/		
			YES　→		(49)本紙へ	審査終了
			NO (50)戻確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
	NO	→				審査終了
3	(51)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/		
	YES	(52)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」			(53)本紙へ	審査終了

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	審査(養子離縁)								
処理名	3.3.3 要旨夫婦-養親異動							備考	
	NO	(54)養女の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/				
		YES	(55)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する			(56)本紙へ		審査終了	
		NO	→						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		養子離縁届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							04(養子離縁届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人のとき0 事件本人全員が外国人のとき2 上記以外のとき1 (親権者･後見人は含まない)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							養子、養親、届後戸籍が本籍分の場合、選択戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする。 (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							
中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分		養子離縁届入力画面	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の個人番号		本籍人検索	親権･未成年後見人の個人番号				本籍人の場合のみ設定
	親権･未成年後見人の本非区分		養子離縁届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日			親権･未成年後見人生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍コード			親権･未成年後見人本籍		有		
	親権･未成年後見人本籍							
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の個人番号		本籍人検索	同時親権届出人個人番号				本籍人の場合のみ設定
	同時親権届出人の本非区分		養子離縁届入力画面	同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人の氏名			同時親権届出人氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時親権届出人本籍コード			同時親権届出人本籍		有		
	同時親権届出人本籍							
	養子の個人番号		本籍人検索	養子の個人番号				養子が本籍人の場合のみ設定
	養子の外国人区分		養子離縁届入力画面	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本･国籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号		本籍人検索	養女の個人番号				養女が本籍人の場合のみ設定
	養女の外国人区分		養子離縁届入力画面	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本籍コード			養女の本･国籍		有		

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	養女の本･国籍								
	養女の住所コード			養女の住所		有			
	養女の住所								
	養女の筆頭者			養女の筆頭者					
	養女の世帯圭			養女の世帯主					
	養女の父氏名			養女の父氏名					
	養女の母氏名			養女の母氏名					
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード					
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分					
	養女の配偶者区分			養女の配隅者区分					
	養父の個人番号		本籍人検索	養父の個人番号				養父が本籍人の場合のみ設定	
	養父の外国人区分		養子離縁届入力画面	養父の外国人区分					
	養父の本非区分			養父の本非区分					
	養父の生年月日			養父の生年月日					
	養父の生死区分			養父の生死区分					
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名					
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名					
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有			
	養父の本･国籍								
	養父の筆頭者			養父の筆頭者					
	養父の住所コード			養父の住所		有			
	養父の住所								
	養父の世帯主			養父の世帯主					
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分					
	養母の個人番号		本籍人検索	養母の個人番号				養母が本籍人の場合のみ設定	
	養母の外国人区分		養子離縁届入力画面	養母の外国人区分					
	養母の本非区分			養母の本非区分					
	養母の生年月日			養母の生年月日					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本･国籍							
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	氏区分			氏区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				

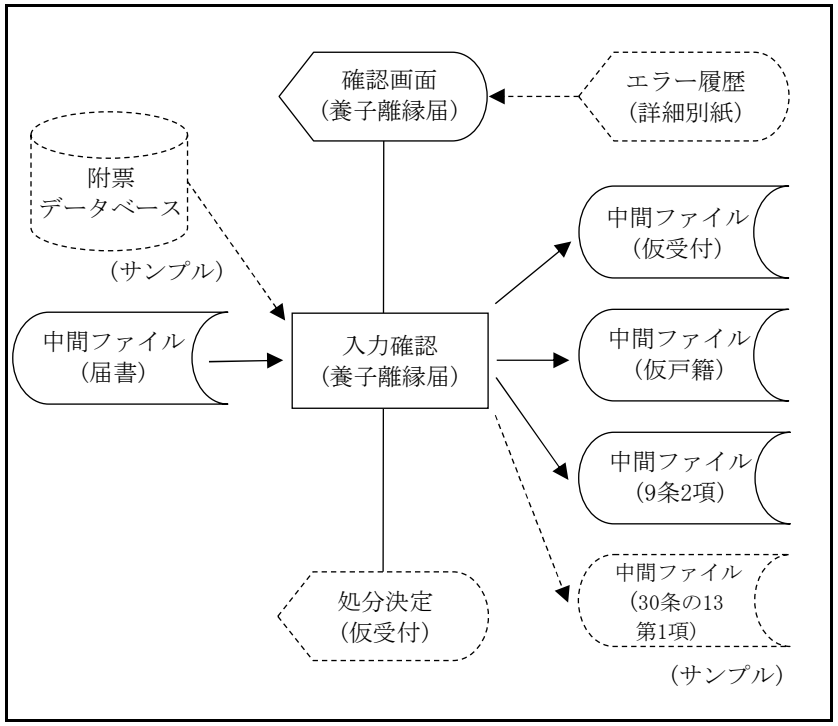
データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍2				
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				
	配偶者個人番号		本籍人検索	配偶者個人番号				配偶者が本籍人の場合のみ設定
	配偶者外国人区分		養子離縁届入力画面	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	離縁後住所コード			配偶者住所		有		
	配偶者住所							
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 2.1 離縁マトリックス表
  - 2.2 親権マトリックス表
  - 2.3 未成年後見マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 離縁
  - 3.2 親権
  - 3.3 未成年後見
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 養子の戻る戸籍(記録) ※ひな形A.2と異なる場合
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 養子の新戸籍(入籍) ※ひな形C.1と異なる場合
  - 5.2 養子の戻る戸籍(入籍) ※ひな形C.1と異なる場合
  - 5.3 養子の戻る戸籍に変動無し(記録) ※ひな形C.2と異なる場合
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 養子(女)(入籍)
  - 6.2 養子(女)(除籍)
  - 6.3 養子(女)(記録)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 養親(記録)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 養子(女)の配偶者(入籍)
  - 8.2 養子(女)の配偶者(徐籍)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 9.1 養子(女)の親権事項(記録) ※同時親権届の場合
  - 9.2 養子(女)の親権事項(移記) ※従前の親権事項の移記
  - 9.3 養子(女)の未成年後見事項(記録) ※同時後見届の場合
- 10.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項) ※10.1 養父、10.2 養母を削除(R4版)
  - 10.3 養子
  - 10.4 養女
  - 10.5 養子(女)の配偶者
- 11.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル表示)
  - 11.1 養子
  - 11.2 養女
  - 11.3 養子(女)の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0　本紙

									備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よろしければ実行キーを押下して下さい。」を表示する。								[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)									/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する							[2.0]	/	
	(4)離縁形態区分?								/	
	3	(4-1)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)							/	養父母のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-2)養父母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
		NO	(4-3)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
			(4-4)養母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
	6	(4-5)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)							/	
		YES	(4-6)養父母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
		NO	(4-7)養父と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
			(4-8)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
	7	(4-9)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)							/	養子夫婦のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
		NO	(4-11)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
			(4-12)養父と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
	8	(4-13)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)							/	
		YES	(4-14)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
		NO	(4-15)養母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
			(4-16)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する					[3.1]	/	
	9	(4-17)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)							/	養父母のいずれか一方又は養子夫婦のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
	～	YES	(4-18)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)						/	
	15		YES	(4-19)養父母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する				[3.1]	/	
			NO	(4-19-1)離縁形態区分?					/	
				9	(4-19-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する			[3.1]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

			備考
	(4-19-3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
10	(4-19-4)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-19-5)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
11	(4-19-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-19-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
12	(4-19-8)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-19-9)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
13	(4-19-10)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-19-11)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
14	(4-19-12)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-19-13)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
15	(4-19-14)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-19-15)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
NO	(4-22-1)離縁形態区分?	/	
9	(4-22-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

					備考
			(4-22-3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		10	(4-22-4)農父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-5)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		11	(4-22-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		12	(4-22-8)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-9)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		13	(4-22-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-11)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		14	(4-22-12)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-13)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		15	(4-22-14)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-15)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	その他		(4-24)事件本人(養父、養母、養子、養女)で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	(4-25)同時届区分?			/	
	0		(4-26)→(5)へ	/	
	1		(4-27)中間ファイル(仮受付･親権)を編集･出力する [3.2]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0　本紙

									備考
2	(4-28)中間ファイル(仮受付･未成年後見)を編集･出力する [3.3]							/	
(5)養子に入力がある(YES,NO)								/	
YES	(6)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動無し)							/	
	1	(7)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)						/	
		YES	(8)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]					/	
			(8-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)					/	※サンプル提示
			YES	(8-2)養子について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [11.1]				/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(8-1)(8-2)
			NO	(9)→(10)へ				/	
		NO							
		(10)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)						/	
		YES	(10-1)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)かつ届後戸籍の筆頭者 ＝ 戻る戸籍の筆頭者氏名である(YES,NO)					/	戻る戸籍で筆頭者となる養子の名と戻る戸籍の筆頭者の名が異なる場合だけ[4.1]の編集を行う
			YES	(10-2)戸籍特定:養子の戻る戸籍(記録)を編集する [4.1]				/	
			NO	(10-3)→(10-4)へ				/	
				(10-4)個人特定:養子の戻る戸籍(入籍)を編集する [5.2]				/	
				(11)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]				/	
		NO	(12)→(24)へ					/	
	2	(7)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)						/	
		YES	(14)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]					/	
			(14-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)					/	※サンプル提示
			YES	(14-2)養子について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [11.1]				/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(14-1)(14-2)
			NO	(15)→(16)へ				/	
		NO							
		(16)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)						/	
		YES	(16-1)離縁形態区分 ＝ 1、2、3　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で、養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)					/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

						備考
			YES	(16-2)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	
				(17)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]	/	
			NO	(17-1)個人特定:養女の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	養女が筆頭者であるため、養女を入籍させた後で養子を入籍させる
				(17-2)身分事項:養女(入籍)を編集する [6.1]	/	
				(17-3)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	
				(17-4)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]	/	
		NO	(18)→(24)へ		/	
		3	(19)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
			YES	(20)個人特定:養子の戸籍に変動無し(記録)を編集する [5.3]	/	
				(21)身分事項:養子(記録)を編集する [6.3]	/	
			NO	(22)→(24)へ	/	
	NO	(22)→(24)へ			/	
	(24)養女に入力がある(YES,NO)				/	
	YES	(25)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動無し)			/	
		1	(26)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
			YES	(27)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]	/	
				(27-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)	/	※サンプル提示
				YES (27-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [11.2]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
				NO (28)→(29)へ	/	処理(27-1)(27-2)
			NO			
			(29)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)		/	
			YES	(29-1)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ 届後戸籍の筆頭者 ＝ 戻る戸籍の筆頭者氏名である(YES,NO)	/	戻る戸籍で筆頭者となる養子の名と戻る戸籍の筆頭者の名が異なる場合だけ[4.1]の編集を行う
				YES (29-2)戸籍特定:養女の戻る戸籍(記録)を編集する [4.1]	/	
				NO (29-3)→(10-4)へ	/	
				(29-4)個人特定:養女の戻る戸籍(入籍)を編集する [5.2]	/	
				(30)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]	/	
			NO	(31)→(43)へ	/	
		2	(32)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
			YES	(33)身分事項:養女(除籍)を編集する [6.2]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

								備考
				(33-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示
			YES	(33-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[11.2]		/	附票情報との連動により往外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
			NO	(34)→(35)へ			/	処理(33-1)(33-2)
		NO					/	
				(35)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/	
		YES		(35-1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で、養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)			/	
			YES	(35-2)個人特定:養女の新戸籍(入籍)を編集する	[5.1]		/	
				(36)身分事項:養女(入籍)を編集する	[6.1]		/	
			NO	(36-1)個人特定:養女の新戸雑(入籍)を編集する	[5.1]		/	養子が筆頭者の場合は(16-2)～(17)で養子が入籍済みなので養女のみ入籍させる
				(36-2)身分事項;養女(入籍)を編集する	[6.1]		/	
		NO		(37)→(43)へ			/	
	3			(38)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
		YES		(39)個人特定:養子の戸籍に変動無し(記録)を編集する	[5.3]		/	
				(40)身分事項:養子(記録)を編集する	[6.3]		/	
		NO		(41)→(43)へ			/	
	NO			(42)→(43)へ			/	
				(43)養父に入力がある(YES,NO)			/	
	YES			(44)養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
		YES		(45)身分事項:養親(記録)を編集する	[7.1]		/	
		NO		(46)→(48)へ			/	
	NO			(47)→(48)へ			/	
				(48)養母に入力がある(YES,NO)			/	
	YES			(49)養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
		YES		(50)身分事項:養親(記録)を編集する	[7.1]		/	
		NO		(51)→(53)へ			/	
	NO			(52)→(53)へ			/	
				(53)養子の配偶者に入力があり配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/	戸籍変動区分は2(新戸籍編製)だけである
	YES			(61)養子の配偶者の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	養子又は養女の本非区分で判断する
		YES		(62)身分事項:養子の配偶者(除籍)を編集する	[8.2]		/	(54)から(60)は欠番

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)

| 処理名 | 0.0 本紙 | | |

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

								備考
			NO	(87)→(93)へ		/		
		2		(88)新戸籍の編製地は管内にある(YES,NO)		/		
			YES	(89)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)	[9.2]	/		
			NO	(90)→(93)へ		/		
		3		(91)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/		
			YES	(91-1)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)	[9.2]	/		
			NO	(91-2)→(93)へ		/		
	NO			(92)→(93)へ		/		
				(93)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)		/		
	YES					/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		(94)～(99)削除 R4(離縁119)
				(100)養子に入力があり、養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
			YES	(101)養子について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[10.3]	/		
			NO	(102)→(103)へ		/		
				(103)養女に入力があり、養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
			YES	(104)養女について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	[10.4]	/		
			NO	(105)→(106)へ		/		
				(106)養子の配偶者に入力があり、 養子の配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
			YES	(107)養子の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	[10.5]		(108)処分決定に制御を渡す	
			NO	→				
	NO			→				
PF1	→						(109)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(110)届出選択に制御を渡す	
PF5	→						(111)審査(養子離縁届)に制御を渡す	
PF7	(112)前ページがある(YES,NO)					/		
	YES			(113)前ページ分の確認画面(養子離縁届)を編集する			(114)同画面を編集する	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
	NO	(115)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する				する		
PF8	(116)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(117)次ページ分の確認画面(養子離縁届)を編集する				(118)同画面を編集する		
	NO	(119)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→					(119)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(120)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する					(121)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
養子離縁届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	養子離縁形態名称			養子離縁形態区分		有		審査の条件設定を参照
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の本非区分		養子離縁届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日			親権･未成年後見人生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍			親権･未成年後見人本籍コード		有		
				親権･未成年後見人本籍				
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名				
	同時親権届出人本籍			同時親権届出人本籍コード		有		
				同時親権届出人本籍				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分		有		
	養子の生死区分名称							
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本･国籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード		有		
	養子の父母との続柄名称							
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分		有		
	養子の筆頭者区分名称							
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分		有		
	養子の配偶者区分名称							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分		有		
	養女の生死区分名称							
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本･国籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード		有		
	養女の父母との続柄名称							
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分		有		
	養女の筆頭者区分名称							
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分		有		
	養女の配偶者区分名称							
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の生死区分			養父の生死区分		有		
	養父の生死区分名称							
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本･国籍				
	養父の筆頭者			養父の筆頭者				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分		有		
	養母の生死区分名称							
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本･国籍				
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	氏区分			氏区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格名称				15歳未満の届出人資格1と2の内容から変換 (審査の表示設定その2参照)
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍コード1		有		
				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍コード2		有		
				15歳未満の届出人国籍2				
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者筆頭者			配偶者筆頭者				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
	あくまでも目安	養子･養女の入力がある場合は、同一戸籍であることが前提(外国人を除く)であるので、養子と養女で戸籍が異なることはない。						構成員の場合のみ、配偶者の随従入除籍が発生する。 筆頭者の場合は、戸籍変動区分が変動なしである。			全部除籍か、一部除籍かの判断項目。		審査でチェックしているので、信頼に足る項目である。					養父母に関しては婚姻中であれば同一戸籍で処理するが、離婚していれば別々の戸籍であるので、養父と養母の2つに判断を分けた。但し、右表の戸籍の記録は、養親1つの戸籍で表している。別々の戸籍にいる場合は、各々の戸籍に記録があるので注意すること。						5.1はC.1の代わり	5.2はC.1の代わり				
1	1	○	×					-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	○	×			養子・養父ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
1.1	1	○	×					-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
2	1	○	×					-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
2.1	1	○	×					-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
3	1	○	×					×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×					5.1 6.1		6.2		7.1
3.1	1	○	×					×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
4	1	○	×					×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×					5.1 6.1			6.2	7.1
4.1	1	○	×					×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×								6.2	7.1
5	1	○	×					×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×					5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
5.1	1	○	×					×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
6	1	○	×					×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×					5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2	7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
6.1	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
7	1	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
8	1	○	×			-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○			養子だけに記録有（養父の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
8.1	1	○	×			-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
9	1	○	×			-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
9.1	1	○	×			-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
10	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
10.1	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
11	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
11.1	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
12	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
12.1	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2 8.2			
13	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
13.1	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2 8.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
14	1	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
15	1	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×			養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
15.1	1	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
16	1	×				×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
16.1	1	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
17	1	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
18	1	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
19	1	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○			養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
19.1	1	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	×	○									
20	1	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸籍	5.1 6.1					
20.1	1	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×	○									

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
21	1	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
21.1	1	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○									
22	1	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
22.1	1	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○									
23	2	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×			○	×	養子・養母ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
23.1	2	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
24	2	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
24.1	2	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
25	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
25.1	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
26	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
26.1	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
27	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
27.1	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2 8.2			7.1
28	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍		戸籍変動区分					養父			養母				養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか		編製新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
28.1	2	○	×					×	○	×	×	○	×	×	×	○	×				○	×					6.2 8.2		7.1
29	2	○	×					-	-	-	-	-	×	×	×	×	○				○	×						6.3	7.1
30	2	○	×					-	-	-	○	×	○	×	×	×	×				×	○	養子だけに記録有（養母の記録無）			4.1 5.2 6.1	6.2			
30.1	2	○	×					-	-	-	○	×	×	○	×	×	×				×	○					6.2			
31	2	○	×					-	-	-	×	○	○	×	×	×	×				×	○				4.1 5.2 6.1		6.2		
31.1	2	○	×					-	-	-	×	○	×	○	×	×	×				×	○					6.2		
32	2	○	×					×	×	○	○	×	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1			6.2			
32.1	2	○	×					×	×	○	○	×	×	×	×	○	×				×	○					6.2			
33	2	○	×					×	×	○	×	○	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1			6.2			
33.1	2	○	×					×	×	○	×	○	×	×	×	○	×				×	○					6.2			
34	2	○	×					×	○	×	○	×	×	×	○	×	×				×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2			
34.1	2	○	×					×	○	×	○	×	×	×	×	○	×				×	○					6.2 8.2			
35	2	○	×					×	○	×	×	○	×	×	○	×	×				×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2			
35.1	2	○	×					×	○	×	×	○	×	×	×	○	×				×	○					6.2 8.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
36	2	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
37	2	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
37.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
38	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
38.1	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
39	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
40	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
41	2	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
41.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			×	○							
42	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸籍	5.1 6.1					
42.1	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
43	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
44	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
44.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
44.2	2	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			×	○							

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし 7.1
45	3	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子・養父母ともに記録有（養父母別戸籍の場合注意）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
45.1	3	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
46	3	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
46.1	3	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
47	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
47.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
48	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
48.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
49	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		編製新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
49.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2 8.2			7.1
50	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×			5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2		7.1
50.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2 8.2		7.1
51	3	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
52	3	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子・養父に記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
52.1	3	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1
53	3	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
53.1	3	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
54	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
54.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
55	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
55.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
56	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
56.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2 8.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
57	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
57.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2 8.2		7.1
58	3	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
59	3	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子・養母に記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
59.1	3	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
60	3	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
60.1	3	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
61	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
61.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
62	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
62.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
63	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
63.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
64	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
64.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
65	3	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
66	3	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子だけに記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
66.1	3	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
67	3	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2			
67.1	3	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
68	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
68.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
69	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
69.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
70	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
70.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2 8.2			
71	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の有		養子の本人配偶者の無	配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
71.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2 8.2		
72	3	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
73	3	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
73.1	3	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
74	3	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
74.1	3	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
75	3	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
76	3	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
77	3	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
77.1	3	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
78	3	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
78.1	3	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
79	3	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
80	3	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
81	3	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2				7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																						6.1				
81.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
82	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
82.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
83	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
84	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
85	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
85.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
86	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸籍	5.1 6.1					
86.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
87	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
88	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
88.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
88.2	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
88.3	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
88.4	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
89	4			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×			養女・		4.1 5.2	6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				養父ともに記録有		6.1				
89.1	4			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
90	4			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1			6.2		7.1
90.1	4			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×								6.2		7.1
91	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×					5.1 6.1		6.2			7.1
91.1	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×							6.2			7.1
92	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×					5.1 6.1			6.2		7.1
92.1	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×								6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
93	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
93.1	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2 8.2			7.1
94	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
94.1	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
95	4			○	×	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
96	4			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○			養女だけに記録有（養父の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
96.1	4			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
97	4			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
97.1	4			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
98	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
98.1	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
99	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
99.1	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
100	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
100.1	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2 8.2			
101	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
101.1	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2 8.2		
102	4			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
103	4			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×			養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
103.1	4			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
104	4			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
104.1	4			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
105	4			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
106	4			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
107	4			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○			養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
107.1	4			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○									
108	4			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸籍	5.1 6.1					

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分				養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか		編製 新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
108.1	4			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○								
109	4			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
110	4			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○									
110.1	4			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
110.2	4			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○									
111	5			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×			○	×	養女・養母ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
111.1	5			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
112	5			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
112.1	5			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
113	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
113.1	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
114	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
114.1	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
115	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
115.1	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2 8.2			7.1
116	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養女)			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				C.1/8.1(配)			8.2		
116.1	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			○	×				6.2 8.2		7.1
117	5			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
118	5			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×			×	○	養女だけに記録有（養母の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
118.1	5			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
119	5			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
119.1	5			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
120	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
120.1	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
121	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
121.1	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
122	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
122.1	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2 8.2			
123	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
123.1	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
123.1	5			○		×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			×						8.2		
124	5			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
125	5			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×			○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
125.1	5			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
126	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
126.1	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
127	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
128	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分				養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
129	5			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×			×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
129.1	5			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×			×	○							
130	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸籍	5.1 6.1					
130.1	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×			×	○							
131	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
132	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×			×	○							
132.1	5			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
132.2	5			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			×	○							
133	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女・養父母ともに記録有（養父母別戸籍の場合注意）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
133.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
134	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
134.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
135	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
135.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
136	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					6.1					
136.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
137	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
137.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2 8.2			7.1
138	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
138.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2 8.2		7.1
139	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
140	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養父に記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
140.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1
141	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
141.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
142	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
142.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
143	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
143.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
144	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
144.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2 8.2			7.1
145	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
145.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2 8.2		7.1
146	6			○	×	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
147	6			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女・養母の記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
147.1	6			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
148	6			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
148.1	6			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
149	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
149.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
150	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
150.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人 非本籍人 死亡者 いずれか		編製 新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
151	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
151.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2 8.2			7.1
152	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
152.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
153	6			○	×	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
154	6			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女だけに記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
154.1	6			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
155	6			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
155.1	6			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
156	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
156.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
157	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
157.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
158	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
158.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2 8.2			
159	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
159.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2 8.2		
160	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
161	6			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
161.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
162	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
162.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分				養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
163	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸籍 養父母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
164	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
165	6			×	○	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
165.1	6			×	○	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
166	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
166.1	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
167	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
168	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
169	6			×	○	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
169.1	6			×	○	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
170	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
170.1	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
171	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
172	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
					○														○	養女の復籍戸籍		4.1				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
173	6			×		－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	×				5.2 6.1				
173.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
174	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸籍	5.1 6.1					
174.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
175	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
176	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
176.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
176.2	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
176.3	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
176.4	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
177	7	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×			有 養子夫婦・養父とも記録	5.1 6.1		6.2			7.1
177.1	7	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
178	7	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
178.1	7	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
179	7	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
180	7	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養子夫婦だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
180.1	7	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
181	7	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
181.7	7	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
182	7	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
183	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養子・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
183.1	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
184	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
184.1	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
185	7	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
186	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養子だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
186.1	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
187	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
187.1	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
188	7	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		本籍人の養子の日配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
189	7	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×			養子・養父とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
189.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
190	7	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
190.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
191	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
191.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
192	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
192.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
193	7	○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
194	7	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○			養子だけ記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
194.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
195	7	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
195.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
196	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
196.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
197	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
197.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
198	7	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
199	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養女・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
199.1	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
200	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
200.1	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
201	7	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
202	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
202.1	7	×	外国入	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
203	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
203.1	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
204	7	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
205	7	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×			養女・養父とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
205.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
206	7	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
206.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
207	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
207.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
208	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
208.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
209	7	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
210	7	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
210.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
211	7	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○			○有		4.1 5.2 6.1		6.2		
211.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
212	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
212.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
213	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
213.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
214	7	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
215	7	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×			養子夫婦の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
215.1	7	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
215.2	7	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
216	7	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
216.1	7	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
216.2	7	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
217	7	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
217.1	7	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
217.2	7	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
218	7	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	○	×			養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2				7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人 いずれか		編製 新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																						6.1				
218.1	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
218.2	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
218.3	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
218.4	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
219	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	○	×			養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
219.1	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
219.2	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
219.3	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
219.4	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220	7	×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.1	7	×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.2	7	×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.3	7	×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
221	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
221.1	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
221.2	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
222	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸	5.1 6.1					
222.1	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	○	×	×	○									

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
222.2	7	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
223	7	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸	5.1 6.1					
223.1	7	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○									
223.2	7	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
224	7	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	×	○			養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
224.1	7	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	×	○									
224.2	7	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸	5.1 6.1					
224.3	7	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	×	○									
224.4	7	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
225	7	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	×	○			養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
225.1	7	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	×	○									
225.2	7	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸	5.1 6.1					
225.3	7	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○									
225.4	7	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
226	7	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
226.1	7	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
226.2	7	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○									
226.3	7	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○									

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
227	8	○	×		○	×					○	×	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
227.1	8	○	×		○	×					○	×	×	×	×	○	×				○	×				6.2			7.1
228	8	○	×		○	×					×	○	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
228.1	8	○	×		○	×					×	○	×	×	×	○	×				○	×					6.2		7.1
229	8	○	×		○	×					－	－	×	×	×	×	○				○	×						6.3	7.1
230	8	○	×		○	×					○	×	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1		6.2			
230.1	8	○	×		○	×					○	×	×	×	×	○	×				×	○				6.2			
231	8	○	×		○	×					×	○	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1			6.2		
231.1	8	○	×		○	×					×	○	×	×	×	○	×				×	○				6.2			
232	8	○	×		○	×					－	－	×	×	×	×	○				×	○						6.3	
233	8	○	×		×	外国人					○	×	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
233.1	8	○	×		×	外国人					○	×	×	×	×	○	×				○	×				6.2			7.1
234	8	○	×		×	外国人					×	○	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
234.1	8	○	×		×	外国人					×	○	×	×	×	○	×				○	×					6.2		7.1
235	8	○	×		×	外国人					－	－	×	×	×	×	○				○	×						6.3	7.1
236	8	○	×		×	外国人					○	×	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1		6.2			
236.1	8	○	×		×	外国人					○	×	×	×	×	○	×				×	○				6.2			
237	8	○	×		×	外国人					×	○	×	×	○	×	×				×	○		5.1			6.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				○有	6.1					
237.1	8	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
238	8	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
239	8	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×			○	×	有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
239.1	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
240	8	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×			○	×	養子・養母とも記録		4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
240.1	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
241	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
241.1	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
242	8	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
242.1	8	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	×	○	×				○	×					6.2		7.1
243	8	○	×	×	死亡者						－	－	×	×	×	×	○				○	×						6.3	7.1
244	8	○	×	×	死亡者						○	×	○	×	×	×	×				×	○	養子だけ記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
244.1	8	○	×	×	死亡者						○	×	×	○	×	×	×				×	○				6.2			
245	8	○	×	×	死亡者						×	○	○	×	×	×	×				×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
245.1	8	○	×	×	死亡者						×	○	×	○	×	×	×				×	○					6.2		
246	8	○	×	×	死亡者						○	×	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1		6.2			
246.1	8	○	×	×	死亡者						○	×	×	×	×	○	×				×	○				6.2			
247	8	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	○	×	×				×	○		5.1 6.1			6.2		
247.1	8	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	×	○	×				×	○					6.2		
248	8	○	×	×	死亡者						－	－	×	×	×	×	○				×	○						6.3	
249	8	×	外国人	○	×						○	×	×	×	○	×	×				○	×	養女・養母とも記	5.1 6.1		6.2			7.1
249.1	8	×	外国人	○	×						○	×	×	×	×	○	×				○	×				6.2			7.1
250	8	×	外国人	○	×						×	○	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
250.1	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×	録有				6.2		7.1
251	8	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
252	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○	養女だけ記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			
252.1	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
253	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
253.1	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
254	8	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
255	8	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×			○	×	養女・養母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
255.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
256	8	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
256.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
257	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
257.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
258	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
258.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
259	8	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
260	8	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×			×	○	養女だけ記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
260.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
261	8	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
261.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
262	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
262.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
263	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
263.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
264	8	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
265	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子夫婦の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
265.1	8	×	非本籍	×	非本箱				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
265.2	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
266	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
266.1	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
266.2	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
267	8	×	外国入	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
267.1	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
267.2	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
268	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×			○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
268.1	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
268.2	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
268.3	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
268.4	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
269	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×			○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
269.1	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
269.2	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
269.3	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
269.4	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						
270	8	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.1	8	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.2	8	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
270.3	8	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
271	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
271.1	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
271.2	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
272	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
272.1	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
272.2	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
273	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
273.1	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
273.2	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
274	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×			×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
274.1	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×			×	○							
274.2	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
274.3	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
274.4	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
275	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×			×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
275.1	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×			×	○							

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
275.2	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
275.3	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
275.4	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276	8	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.1	8	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.2	8	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.3	8	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
277	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子夫婦・養父母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
277.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
278	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
278.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
279	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
280	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子夫婦・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
280.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
281	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
281.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
282	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
283	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子夫婦・（養父記録	5.1 6.1		6.2			7.1
283.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
284	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養母とも記録無）	5.1 6.1			6.2		7.1
284.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
285	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
286	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子夫婦だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
286.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
287	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
287.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
288	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
289	9～15 9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子・養父	5.1 6.1		6.2			7.1
289.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分				養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
290	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	母とも記録有	5.1 6.1			6.2		7.1
290.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
291	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
292	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
292.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
293	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
293.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
294	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
295	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
295.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
296	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
296.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
297	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
298	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
298.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
299	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
299.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
300	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
301	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子・養父母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
301.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
302	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
302.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
303	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
303.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
304	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
304.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
305	9～15	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
306	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子・養父とも有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
306.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
307	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子・養母とも記録		4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
307.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
308	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
308.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
309	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
309.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
310	9～15	○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
311	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子・養母とも記録（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
311.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
312	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
312.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
313	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
313.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
314	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母				養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
314.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×								6.2		7.1
315	9～15	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×									6.3	7.1
316	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子だけ記録有（養父母記録無）					4.1 5.2 6.1	6.2				
316.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○							6.2				
317	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○						4.1 5.2 6.1		6.2			
317.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○								6.2			
318	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○						5.1 6.1		6.2			
318.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○								6.2			
319	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○						5.1 6.1			6.2		
319.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○									6.2		
320	9～15	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○									6.3		
321	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女・養父母とも記録有					5.1 6.1		6.2			7.1
321.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×								6.2			7.1
322	9～15 9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×						5.1 6.1			6.2		7.1
322.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×								6.2			7.1
323	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×									6.3		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
324	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
324.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
325	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
325.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
326	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
327	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
327.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
328	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
328.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
329	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
330	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
330.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
331	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
331.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
332	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
333	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女・養父母と		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
333.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
334	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	ども記録有		4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
334.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
335	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
335.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
336	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
336.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
337	9～15	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
338	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養父とも記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
338.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分				養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
339	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養母とも記録		4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
339.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
340	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
340.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
341	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
341.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
342	9～15	×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
343	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女・養母とも記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
343.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
344	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
344.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
345	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
345.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
346	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
346.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
347	9～15	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
348	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女だけ記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
348.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
349	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
349.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
350	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
350.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
351	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
351.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
352	9～15	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
353	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子夫婦の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
353.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
353.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
354	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
354.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者外国人いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
354.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
355	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
355.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
355.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
356.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
356.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
357.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
357.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358	9～15	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358.2	9～15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
359	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子夫婦の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
359.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
359.2	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
360	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
360.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
360.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
361	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
361.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
361.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
362	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.1 6.1				7.1
362.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
362.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
362.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
362.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.1 6.1				7.1
363.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸	5.1					7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		編製新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																			○	養父の記録	6.1					
363.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364	9～15	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.2	9～15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
365	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子夫婦の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
365.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
365.2	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
366	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
366.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
366.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
367	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
367.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
367.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
368.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）			編製新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
368.3	9～15	×	非本籍		×	死亡者					－	－	×	×	×	○	×	×	○		○	×		養母の記録						7.1
368.4	9～15	×	非本籍		×	死亡者					－	－	×	×	×	×	○	×	○		○	×		養母の記録						7.1
369	9～15	×	死亡者		×	非本籍					－	－	○	×	×	×	×	×	○		○	×		養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
369.1	9～15	×	死亡者		×	非本籍					－	－	×	○	×	×	×	×	○		○	×		養母の記録						7.1
369.2	9～15	×	死亡者		×	非本籍					－	－	×	×	○	×	×	×	○		○	×		養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
369.3	9～15	×	死亡者		×	非本籍					－	－	×	×	×	○	×	×	○		○	×		養母の記録						7.1
369.4	9～15	×	死亡者		×	非本籍					－	－	×	×	×	×	○	×	○		○	×		養母の記録						7.1
370	9～15	×	外国人		×	死亡者					－	－	×	×	×	×	○	×	○		○	×		養母の記録						7.1
370.1	9～15	×	死亡者		×	外国人					－	－	×	×	×	×	○	×	○		○	×		養母の記録						7.1
370.2	9～15	×	外国人		×	外国人					－	－	×	×	×	×	○	×	○		○	×		養母の記録						7.1
370.3	9～15	×	死亡者		×	死亡者					－	－	×	×	×	×	○	×	○		○	×		養母の記録						7.1
371	9～15	×	非本籍		×	非本籍					－	－	×	×	○	×	×	×	○		×	○		養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
371.1	9～15	×	非本籍		×	非本籍					－	－	×	×	×	○	×	×	○		○	○								
371.2	9～15	×	非本籍		×	非本籍					－	－	×	×	×	×	○	×	○		×	○								
372	9～15	×	非本籍		×	外国人					－	－	×	×	○	×	×	×	○		×	○		養子の新戸	5.1 6.1					
372.1	9～15	×	非本籍		×	外国人					－	－	×	×	×	○	×	×	○		×	○								
372.2	9～15	×	非本籍		×	外国人					－	－	×	×	×	×	○	×	○		×	○								
373	9～15	×	外国人		×	非本籍					－	－	×	×	○	×	×	×	○		×	○		養女の新戸	5.1 6.1					
373.1	9～15	×	外国人		×	非本籍					－	－	×	×	×	○	×	×	○		×	○								

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
373.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
374	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子の復籍戸籍		4.1				
374.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
374.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
374.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
374.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
385	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
385.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
385.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
385.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
385.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386	9～15	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.2	9～15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成17年 3月 1日	版	9
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.2 戸籍編製マトリクス表･親権/未成年後見					備考	

項番	同時属区分			親権移記区分入力		戸籍変動区分							養子(女)の戸籍				
	無	親権者指定届	未成年後見開始届	無	有	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本	新戸籍を編製する 本籍	新戸籍を編製する 非本	戸籍変動なし 本籍	戸籍変動なし 非本		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し
													あくまでも、養子(女)の離縁の身分事項の後に記録される身分事項である。 そのため、共通の身分事項については離縁参照のこと。				
1	×	○	×	-	-	○	×	×	×	×	×			9.1			
2	×	○	×	-	-	×	○	×	×	×	×						
3	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×		9.1				
4	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×						
5	×	×	○	-	-	○	×	×	×	×	×			9.3			
6	×	×	○	-	-	×	○	×	×	×	×						
7	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×		9.3				
8	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×						
9	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×			9.2			
10	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×						
11	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×		9.2				
12	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×						
12-1	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×						9.2
13	○	×	×	○	×	-	-	-	-	-	-						
14	×	○	×	-	-	×	×	×	×	○	×						9.1
15	×	○	×	-	-	×	×	×	×	×	○						
16	×	×	○	-	-	×	×	×	×	○	×						9.3
17	×	×	○	-	-	×	×	×	×	×	○						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離縁の種別 1(協議)のとき 0401を設定 2(調停)のとき 0402を設定 3(審判) 又は 4(判定) 又は 5(和解) 又は 6(認諾)のとき 0403を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							裁判確定日があれば裁判確定日 離縁成立日があれば離縁成立日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			･渉外区分 ＝ 0 又は 2 のとき、渉外区分を設定する ･渉外区分 ＝ 1 のとき 事件本人が全員日本人のときは 0 を設定する 事件本人が全員外国人のときは 2 を設定する 上記以外のときは 1 を設定する				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容	(補足説明書「養子離縁の受付ファイルの届出人編集」を参照)				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		(補足説明書「「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点」を参照)					戸籍変動区分 1 (元の戸籍に戻る)のとき1 2 (新戸籍を編製する)のとき2
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							新本籍が非本籍 かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	証書提出区分							離縁の方式 ≠ 空白 のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			養父、養母、養子、養女の順に、入力がある者につき1から付番する。 (養子夫婦の一方又は養父母の一方が死亡している場合の受付件数に注意(本紙参照))				
	事件本人区分			養父:08、養母:09、養子:10、養女:11				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人区分			(補足説明書「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」を参照) 養父の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (010(養父)　又は　012(養父母))の場合、1を設定 養母の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (011(養母)　又は　012(養父母))の場合、1を設定 養子の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定 養女の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定				
	カナ氏名			養父のカナ氏名　又は　養母のカナ氏名　又は　養子のカナ氏名　又は　養女のカナ氏名				
	漢字氏名			養父の漢字氏名　又は　養母の漢字氏名　又は　養子の漢字氏名　又は　養女の漢字氏名				
	生年月日			養父の生年月日　又は　養母の生年月日　又は　養子の生年月日　又は　養女の生年月日				
	本籍コード			養父の本籍コード　又は　養母の本籍コード　又は　養子の本籍コード　又は　養女の本籍コード				
	本籍			養父の本･国籍　又は　養母の本･国籍　又は　養子の本･国籍　又は　養女の本･国籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			養父の筆頭者　又は　養母の筆頭者　又は　養子の筆頭者　又は　養女の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、　※外国人は0を設定する 養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)					

「養子離縁の受付ファイルの届出人編集」

1.離縁種別 ＝ 1(協議)のときは、15歳未満の届出人を編集する(養子が15歳未満のときだけ編集有り)
15歳未満の届出人資格1、2 → 届出人資格区分1、2
→ 届出人資格名称1、2(資格を名称変換する)
15歳未満の届出人氏名1、2 → 届出人氏名1、2

2.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が同一とは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
100(申立人) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人1
(養子、養女、養父、義母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「申立人親権者となるべき父」等が編集される
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

3.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が異なるとは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
101(相手方) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

4.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)					

注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

102(訴提起者)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「訴提起者親権者となるべき父」等が編集される
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

5.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点

1.離縁処理において離縁の受付帳が2件作成されるパターン(養子夫婦の一方が死亡している場合又は養親夫婦の一方が死亡している場合の離縁)のときは、届後本籍の編集を下記のようにする。

(1)養子夫婦の一方が死亡している場合
　生存している養子の受付帳にしか届後本籍情報を設定しない(死亡養子には戸籍の異動が考えられないため)。

(2)養親夫婦の一方が死亡している場合
　1件目の受付帳には届後本籍情報を設定せず、2件目の受付帳にのみ設定する。(1件目の受付帳だけ見ると他方との離縁が残っているように見えるため。)

※届後本籍情報に該当する項目は、「届後本籍区分」「届後本籍コード」「届後本籍」「届後戸籍の筆頭者」「送達確認1」の5項目である。

「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」

1.届出人区分の設定条件マトリックス

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	入力確認(養子離縁)

(1)養父の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	1
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

(2)養母の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	1
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	入力確認(養子離縁)

(3)養子の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

(4)養女の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							同時親権届の種別 1(協議)のとき 1301を設定 2(調停)のとき 1302を設定 3(審判)のとき 1303を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は 届後本籍＝スペースのとき、養子（女）の本･国籍　＝　管内　又は 親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定					
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍　かつ 同時親権届出人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日		中間ファイル(届書) 事件別内容					
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			01:未成年者(養子(女)) 02:親権者 03:親権協議者←同時親権届出人氏名に入力があるとき				
	事件本人区分			未成年者(養子(女)):15(子) 親権者:16(親権者) 親権協議者:49(親権協議者)				
	届出人区分			未成年者(養子(女)):0を設定 親権者:1を設定 親権協議者:1を設定				
	カナ氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み ＋ 養子(女)のカナ氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み				←未成年者(養子(女))

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	漢字氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 親権･未成年後見人氏名				←未成年者(養子(女)) ←親権者
				同時親権届出人氏名				←親権協議者
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権･未成年後見人生年月日 同時親権届出人生年月日				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍コード			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍コード 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本籍コード				←未成年者(養子(女))
				親権･未成年後見人本籍コード				←親権者
				同時親権届出人本籍コード				←親権協議者
	本籍			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本･国籍				←未成年者(養子(女))
				親権･未成年後見人本籍				←親権者
				同時親権届出人本籍				←親権協議者
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、届後戸籍の筆頭者 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、養子（女）の戸籍の筆頭者				←未成年者(養子(女))
				親権･未成年後見人の筆頭者				←親権者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき 未成年者(養子(女)) 　届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は　届後本籍＝スペースのとき、 　養子（女）の本･国籍　＝　管内　なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 親権者 　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定 親権協議者 　同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定				※外国人は0を設定する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.3 中間ファイル(仮受付)未成年後見　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4101(未成年者の後見開始)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は 届後本籍＝スペースのとき、養子（女）の本･国籍　＝　管内　又は 親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容					110を設定
	届出人資格名称1							未成年後見人を設定
	届出人氏名1			親権･未成人後見人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	3.3 中間ファイル(仮受付)未成年後見　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処理区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							01:未成年被後見人(養子(女)) 02:未成年後見人
	事件本人区分							未成年被後見人(養子(女)):55:(未成年被後見人) 未成年後見人:56(未成年後見人)
	届出人区分							未成年被後見人(養子(女)):0を設定 未成年後見人:1を設定
	カナ氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み + 養子(女)のカナ氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み + 養子(女)のカナ氏名の「名」				←未成年披後見人(養子(女))

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.3 中間ファイル(仮受付)未成年後見　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	漢字氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」				←未成年被後見人(養子(女))
				親権･未成年後見人氏名				←未成年後見人
	生年月日			養子(女)の生年月日				←未成年被後見人(養子(女))
				親権･未成年後見人生年月日				←未成年後見人
	本籍コード			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍コード 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本籍コード				←未成年被後見人(養子(女))
				親権･未成年後見人本籍コード				←未成年後見人
	本籍			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本･国籍				←未成年被後見人(養子(女))
				親権･未成年後見人本籍				←未成年後見人
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、届後戸籍の筆頭者 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、養子（女）の戸籍の筆頭者				←未成年被後見人(養子(女))
				親権･未成年後見人の筆頭者				←未成年後見人
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき　※外国人は0を設定する 未成年被後見人(養子(女)) 届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は　届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本･国籍　＝　管内　なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 未成年後見人 親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	4.1 戸籍特定(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者			「届後戸籍の筆頭者」の氏 ＋ 「養子の漢字氏名」の名 又は 「届後戸籍の筆頭者」の氏 ＋ 「養女の漢字氏名」の名				戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1 かつ 養子に入力がある場合、 「届後戸籍の筆頭者」の名 ≠ 「養子の漢字氏名」の名 のとき 左記項目を移送 戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1 かつ 養女に入力がある場合、 「届後戸籍の筆頭者」の名 ≠ 「養女の漢字氏名」の名 のとき 左記項目を移送
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.1 個人特定(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日があれば処理日、処理日がないときは送付日、送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード		有		←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	筆頭者区分			･養子の個人特定の場合 養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、「養子の筆頭者区分」を移送 養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、1(筆頭者)を設定 ･養女の個人特定の場合 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、「養女の筆頭者区分」を移送 養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、1(筆頭者)を設定				
	配偶者区分			･養子の個人特定の場合 養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、「養子の配偶者区分」を移送 養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、「届後戸籍での配偶者区分」を移送 ･養女の個人特定の場合 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、「養女の配偶者区分」を移送 養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、「届後戸籍での配偶者区分」を移送				
	父			養子の父氏名 養女の父氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				
	養母			離縁後変更養母氏名				
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　又は　「養母」≠ 空白　のとき、				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.1 個人特定(入籍) 編集･出力							
受取側			引渡側					
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目		コード 変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
	名称	記号名		名称	記号名			
				「養子」				←　養子の個人特定の場合
				「養女」				←　養女の個人特定の場合
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.2 個人特定(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							戻る戸籍の戸籍番号を設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日があれば処理日、処理日がないときは送付日、送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード		有		← 養子の個人特定の場合
				養女の父母との続柄コード				← 養女の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日				← 養子の個人特定の場合
				養女の生年月日				← 養女の個人特定の場合
	筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			戻る戸籍での配偶者区分				
	父			養子の父氏名				← 養子の個人特定の場合
				養女の父氏名				← 養女の個人特定の場合
	母			養子の母氏名				← 養子の個人特定の場合
				養女の母氏名				← 養女の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄				← 養子の個人特定の場合
				養女の父母との続柄				← 養女の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				
	養母			離縁後変更養母氏名				
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　又は 「養母」≠ 空白　のとき、				
				「養子」				← 養子の個人特定の場合
				「養女」				← 養女の個人特定の場合
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	5.3 個人特定(記録) 編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号								
	戸籍番号								
	戸籍記録順位番号								
	入籍日								
	除籍日								
	性別								
	生年月日								
	筆頭者区分								
	配偶者区分								
	父								
	母								
	父母との続柄								
	養父		中間ファイル(届書)	･養子の場合 離縁形態区分 ＝ 1、3、7、9、10、13、14、15　の場合、スペースを設定する ･養女の場合 離縁形態区分 ＝ 4、6、7、10、11、12、13、15　の場合、スペースを設定する					
	養母			･養子の場合 離縁形態区分 ＝ 2、3、8、11、12、13、14、15　の場合、スペースを設定する ･養女の場合 離縁形態区分 ＝ 5、6、8、9、10、12、14、15　の場合、スペースを設定する					
	養父母との続柄							「養父」＝ 空白　かつ 「養母」＝ 空白　の場合、 空白を設定する	
	前個人番号								
	個人除区分								
	審査不可区分								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0401(養子離縁)
	記録コード							0401(養子の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁 離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
				受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
	離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
	離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
	離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
	離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
	離縁除籍日							
	共同離縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 　養子の身分事項であれば"007"「妻」を　養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する					
	共同離縁者 資格名称							
	養父 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
	養父 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
	養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
	養母 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
	養母 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
	離縁の方式				離縁の方式				
	裁判所				外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕 ※		有	離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は資格をｺｰﾄﾞ変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下のとおりとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ 養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく、該当項目を届出人(1)(2)に設定
		資格名称			15歳未満の届出人氏名1				
		氏名			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人生年月日1				
		協議者の生年月日							
	協議者（2）	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕 ※		有		
		資格名称			15歳未満の届出人氏名2				
		氏名			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人生年月日2				
		協議者の生年月日							
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人（1） 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出者(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023.024は未設定)
	記録請求日								
	送付 通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本･国籍 又は 養女の本･国籍				← 養子の身分事項の場合 ← 養女の身分事項の場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者 又は 養女の筆頭者				← 養子の身分事項の場合 ← 養女の身分事項の場合
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
					受領日				
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合 かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 養子の身分事項であれば"007"「妻」を 養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
			資格名称						
		養父	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
			氏名		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
		養母	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力						

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
			氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				
		養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
		離縁の方式				離縁の方式				
		裁判所				外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕 ※		有	離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は資格をｺｰﾄﾞ変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下のとおりとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ 養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定	
			資格名称							
			氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者（2）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕 ※		有		
			資格名称							
			氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
		氏名							
	届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
		氏名							
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
		氏名							
	証書提出者(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023.024は未設定)
		氏名							
	記録請求日								
	送付 通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍			届後本籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合に設定
		称する氏			「届後戸籍の筆頭者の氏				氏区分 ＝ 3の場合に設定
		復する氏			「届後戸籍の筆頭者」の氏				氏区分 ＝ 2 かつ 戸籍変動区分 ＝ 2の場合に設定
		入籍戸籍 本籍			届後本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に設定
		入籍戸籍 筆頭者			届後戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に設定
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共離同縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 養子の身分事項であれば"007"「妻」を 養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
		共離同縁者 資格名称							
		養父 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
		養父 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
		養母 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力						

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
			氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				
		養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
		離縁の方式				離縁の方式				
		裁判所				外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕 ※		有	離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は資格ｺｰﾄﾞを変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下のとおりとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ 養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定	
			資格名称							
			氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者（2）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕 ※		有		
			資格名称							
			氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出者(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023.024は未設定)
	記録請求日								
送付	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称				名称	記号名			
	届	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0402(養親の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 3、6、10、12～15　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養父の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の譜合"007"「妻」を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養母氏名」を設定する(この場合資格は未設定) 養母の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"006"「妻」を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養父氏名」を設定する(この場合資格は未設定)				
			資格名称						
		養子	亡区分		養子に入力があるとき、　又は　養子養女双方に入力があるとき 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定 養女だけに入力があるとき 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
			氏名		養子(女)の漢字氏名				条件は上記のとおり
			養子の国籍		養子(女)の本･国籍				条件は上記のとおり 養子(女)の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
			亡区分			養父の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、11、12、14のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養母の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、10、11、13のとき設定不要(民名、国籍も同様) 養子養女の双方に入力がある場合、養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定					
			氏名			養女の漢字氏名				条件は上記のとおり
			養子の国籍			養女の本･国籍				条件は上記のとおり 養女の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する
			離縁の方式			離縁の方式				
			裁判所			外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1		有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ 離縁成立日 ＝ スペースかつ 養子の外人区分　又は 養女の外人区分 ＝ 1のとき設定 資格名称には資格をコードに変換した名称を設定する
			資格名称							
			氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者（2）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2		有		
			資格名称							
			氏名			15歳未満の届出人民名2				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人（1）	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合設定不要 013、014の場合左記項目を移送 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を移送
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を移送 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合「15歳未満の届出人資格2」を移送 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は、養子の身分事項の届出人と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合「15歳未満の届出人氏名2」を移送 (届出人資格:001、002、016.017、023、024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者1	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(1)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(1)と同じ
	証書提出者2	資格							条件は届出人(2)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(2)と同じ
	記録請求日								
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	8.1 養子の日本人配偶者(入籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0402(配偶者の離縁)
	記録コード								0403(養子の配縄者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の離縁"を設定 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の離縁"を設定
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	詩可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		評可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本･国籍 又は 養女の本･国籍				← 養子に入力がある場合 ← 養女に入力がある場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者 又は 養女の筆頭者				← 養子に入力がある場合 ← 養女に入力がある場合
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	8.2 養子の日本人配偶者(除籍) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0402(配偶者の離縁)
	記録コード								0403(養子の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日							処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の離縁"を設定 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の離縁"を設定
	許可	詩可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		評可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	9.1 養子(親権・記録) 編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判発効日								
	親権代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止の裁判発効日								
	管理代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			同時親権者資格				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				同時親権者資格 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				同時親権者資格 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.1 養子(親権・記録) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	者	資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日				受領日				
	届出人(1)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは「父母」を設定 010(養父)と011(養母)の組み合わせは「養父母」を設定 上記以外は「同時親権者資格」を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)又は3(審判)の場合、 「同時親権者資格」を移送		
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは設定不要 010(養父)と011(養母)の組み合わせは設定不要 上記以外は「同時親権届出人資格」を移送 同時親権届の種別) ＝ 2(調停)又は3(審判)の場合、 設定不要		
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権･移記) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権･移記) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判発効日								
	親権代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止の裁判発効日								
	管理代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権移記親権者区分				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				親権移記親権者区分 = 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				親権移記親権者区分 = 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日								
	届出人(1)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	通知を受けた日								
	送付を受けた日								
	受理者								
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日				処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がなければ送付日を移送 送付日もなければ受領日を移送
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							4101(未成年後見)
	記録コード							4101(未成年後見を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	未成年後見人就職日		中間ファイル(届書)					裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	未成年後見人選任の裁判確定日							
	未成年後見監督人就職日							
	未成年後見監督人選任の裁判確定日							「親権を行う者がないため」を移送
	未成年後見開始事由							
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見終了日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日							
	未成年者の後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見人職務執行停止の裁判発効日							
	未成年後見代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者選任の裁判発効日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見・記録) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名			親権者・未成年後見人氏名				
	未成年後見人の戸籍 本籍			親権者・未成年後見人本籍				
	筆頭者			親権者・未成年後見人筆頭者				
	未成年後見人の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
	未成年後見人の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	未成年後見人の住所							
	辞任した未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	解任された未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	職務執行停止を受けた者 資格							
	資格名称							
	氏名							
	未成年後見監督人 資格							
	資格名称							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		氏名							
	未成年後見監督人の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督人の国籍								
	未成年後見監督人の生年月日								
	未成年後見監督人の住所								
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を								
	受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.3 9条2項(養子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養子の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養子の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養子の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭者に入力がある ←　届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養子の筆頭者				
	住所コード			養子の住所コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.3 9条2項(養子) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.4 9条2項(養女) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養女の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養女の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養女の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養女の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭者に入力がある ←　届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養女の筆頭者				
	住所コード			養女の住所コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.4 9条2項(養女) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.5 9条2項(養子(女)の配偶者) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「配偶者漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「配偶者漢字氏名」を移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 届後本籍に入力がない場合 ←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	新本籍			届後本籍 養子の本・国籍 養女の本・国籍				←　届後本籍に入力がある場合 届後本籍に入力がない場合 ←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本・国籍 養女の本・国籍				←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭考に入力がある

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.5 9条2項(養子(女)の配偶者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
				養子の筆頭者 養女の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合 ← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				← 養子に入力がある場合 ← 養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.1 30条の13第1項(養子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養子の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養子の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新性別							養子の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養子の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭者に入力がある ←　届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養子の筆頭者				
	住所コード			養子の住所コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.1 30条の13第1項(養子) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			養子の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.2 30条の13第1項(養女) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養女の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養女の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新性別							養女の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養女の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養女の筆頭者				←　届後筆頭者に入力がある場合 ←　届後筆頭者に入力がない場合
	旧筆頭者			養女の筆頭者				
	住所コード			養女の住所コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.2 30条の13第1項(養女) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			養女の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.3 30条の13第1項(養子(女)の配偶者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「配偶者漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「配偶者漢字氏名」を移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新性別							配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がなく、養子に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がなく、養女に入力がある場合

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.3 30条の13第1項(養子(女)の配偶者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	新本籍			届後本籍				← 届後本籍に入力がある場合
				養子の本･国籍				← 届後本籍に入力がなく、養子に入力がある場合
				養女の本･国籍				← 届後本籍に入力がなく、養女に入力がある場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				← 養子に入力がある場合
				養女の本籍コード				← 養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本･国籍				← 養子に入力がある場合
				養女の本･国籍				← 養女に入力がある場合
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がある
				養子の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者				← 養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				← 養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

5.特別養子縁組届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	45	「特別養子縁組届」	・準用条文ではなく特別養子縁組の条文を記載 審査_3.0 ・条文内容を審査3.0に合わせる 審査_3.1
2		46		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0	48	「特別養子縁組届」	夫婦が同籍の者を特別養子縁組とした縁組届において、従前(養)子の個人除区分を「除籍」から「消除」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書_4.機能体系(要件定義書の構成)に7.3養子(除籍)を追加 ・戸籍編製マトリックス表の養親の戸籍_一部除籍の雛形部分を修正 ・7.3個人特定(養子・除籍)　編集・出力を追加
4		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1～4.3、5.1

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	特別養子縁組届

1.特別養子縁組業務処理範囲外の処理

・養親が改正前国籍法(昭和59.12.31以前)で渉外婚姻をしている場合は、養親の新戸籍を編製した後特別養子縁組を行うようになる。

・養父母の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では関連チェック(NO.41)でエラーとなる。

2.特別養子縁組入力画面の意義

・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する

・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する

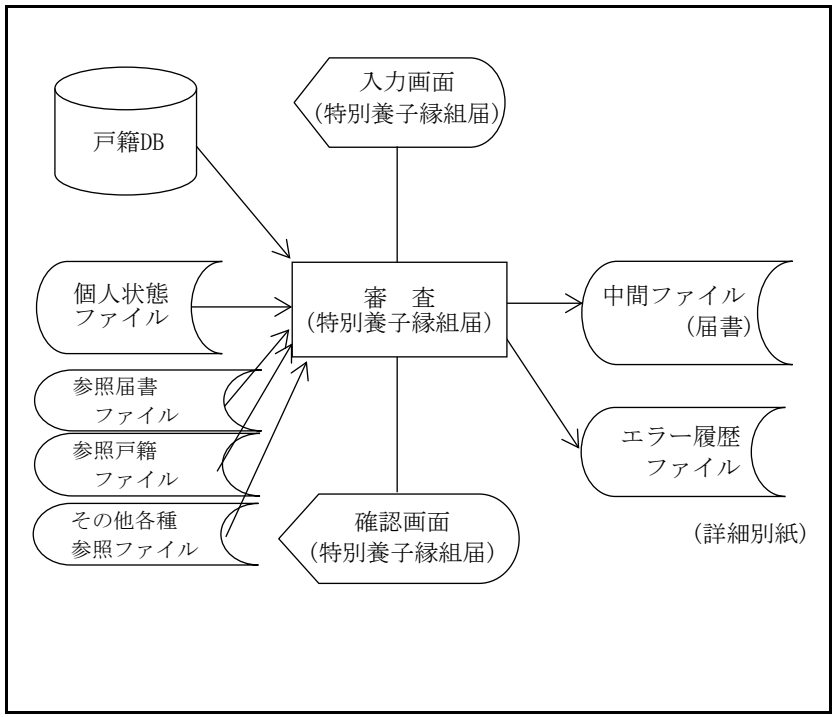
・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する

・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

3.その他

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)特別養子縁組届の内容を入力する
(2)特別養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)特別養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)特別養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(特別養子縁組届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 養子審査ルーチン
  - 3.1　日付審査ルーチン
  - 3.2　養親審査ルーチン
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(特別養子縁組届)を編集する					(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(特別養子縁組届)を編集する					(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(22-2)画像情報を表示する					(22-3)同画面を編集する		
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(特別養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分	○	数字	(1:養子と養父、2:養子と養母、3:養子と養父母)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	出張所番号		数字				
3	受領番号		数字				
4	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
6	発送元		漢字				
7	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
8	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
10	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	報告区分	○	数字	(2:報告的届出)であること			
12	-----						
13	養子の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
14	養子の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
15	養子の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
16	養子の性別	○	数字	(1:男、2:女)であること			
17	養子のカナ氏名		カナ				
18	養子の漢字氏名	○	漢字				
19	養子の本･国籍	○	漢字				
20	養子の住所		漢字				
21	養子の筆頭者氏名		漢字				
22	養子の世帯主氏名		漢字				
23	養子の父氏名		漢字				
24	養子の母氏名		漢字				
25	父母との続柄		数字	10(男)～49(十九女)であること			
26	養父母との続柄	○	数字	11(長男)～29(十九男)、31(長女)～49(十九女)であること			

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(特別養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	養子の筆頭者区分		数字				
28	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
29	養父の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
30	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
31	養父のカナ氏名		カナ				
32	養父の漢字氏名		漢字				
33	養父の本・国籍		漢字				
34	養父の住所		漢字				
35	養父の筆頭者氏名		漢字				
36	養父の世帯主氏名		漢字				
37	養父の筆頭者区分		数字				
38	養父の配偶者区分		数字				
39	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
40	養母の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
41	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
42	養母のカナ氏名		カナ				
43	養母の漢字氏名		漢字				
44	養母の本・国籍		漢字				
45	養母の住所		漢字				
46	養母の筆頭者氏名		漢字				
47	養母の世帯主氏名		漢字				
48	養母の筆頭者区分		数字				
49	養母の配偶者区分		数字				

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(特別養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	戸籍変動区分	○	数字	(1:本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後養親の戸籍に入る 2:養子の戸籍に変動がない 3:本籍と同一の場所に新戸籍をつくる 4:その他(外国人の場合等))であること			
51	裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
52	縁組方式		漢字				
53	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組、0:その他)であること			
54	届出人資格コード	○	数字	(10:養父、11:養母、12:養父母)であること			
55	配偶者同一戸籍		数字	(1:配偶者と同一戸籍、0:その他)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1の場合、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分のいずれかに入力があり (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分は入力がないこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.01)縁組形態区分 ＝ 2の場合、 (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分のいずれかに入力があり (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分は入力がないこと			
3	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分のいずれかに入力があり　かつ (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分のいずれかに入力があること			
4	(No.05)送付日 ＝ スペースの時、(No.06)発送元 ＝ スペースであること			
5	(No.05)送付日 ≠ スペースの時、(No.06)発送元 ≠ スペースであること			
6	(No.05)送付日 ≠ スペースの時、(No.05)送付日 ≧ (No.04)受領日であること			
7	(No.05)送付日 ＝ スペースの時、(No.07)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
8	(No.06)発送元 ≠ スペースの時、(No.07)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
9	(No.06)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.06)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.07)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
10	(No.06)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.06)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.07)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
11	(No.08)処理日 ≠ スペースの時、(No.08)処理日>(No.04)受領日であること			
12				
13	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.05)送付日 ＝ スペースであること			
14	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.10)郵送日 ≦ (No.04)受領日であること			
15	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.51)裁判確定日 ≦ (No.10)郵送日であり、 (No.10)郵送日 ＝ スペースの時、(No.51)裁判確定日 ≦ (No.04)受領日であること			
16	(No.09)本非区分 ＝ 1の場合、 (No.14)養子の本非区分･(No.29)養父の本非区分･(No.40)養母の本非区分のいずれか ＝ 1 であること			
17	(No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.15)養子の生年月日 ＝ (和暦)、(No.19)養子の本･国籍 ≠ スペース、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0又は1、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1～3であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.13)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.15)養子の生年月日 ＝ (西暦)、(No.19)養子の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ スペース、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4であること			
19	(No.20)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.22)養子の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
20	(No.22)養子の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.20)養子の住所 ≠ スペースであること			
21	(No.16)養子の性別 ＝ 1:男 かつ (No.25)父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.25)父母との続柄 ＝ 10～29であること (No.16)養子の性別 ＝ 2:女 かつ (No.25)父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.25)父母との続柄 ＝ 30～49であること			
22	(No.16)養子の性別 ＝ 1:男の時、(No.26)養父母との続柄 ＝ 11～29であること (No.16)養子の性別 ＝ 2:女の時、(No.26)養父母との続柄 ＝ 31～49であること			
23	(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.18)養子の漢字氏名 ＝ (No.21)養子の筆頭者氏名であること			
24				18版で削除
24-1	(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.18)養子の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.21)養子の筆頭者氏名の｢氏｣であること			
25	(No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.30)養父の生年月日 ＝ (和暦)、(No.33)養父の本･国籍 ≠ スペース、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0 又は 1であること			
26	(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.30)養父の生年月日 ＝ (西暦)、(No.33)養父の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
27	(No.34)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.36)養父の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
28	(No.36)養父の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.34)養父の住所 ≠ スペースであること			
29	(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.32)養父の漢字氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名であること			
30				18版で削除
30-1	(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.32)養父の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名の｢氏｣であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.41)養母の生年月日 ＝ (和暦)、(No.44)養母の本･国籍 ≠ スペース、 (No.46)養母の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0又は1であること			
32	(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.41)養母の生年月日 ＝ (西暦)、(No.44)養母の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.46)養母の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
33	(No.45)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.47)養母の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
34	(No.47)養母の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.45)養母の住所 ≠ スペースであること			
35	(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.43)養母の漢字氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
36				18版で削除
36-1	(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.43)養母の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名の｢氏｣であること			
37	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1、 3の場合、 (No.38)養父の配偶者区分 ＝ 1:夫であること			民第817条の3
38	(No.01)縁組形態区分 ＝ 2、 3の場合、 (No.49)養母の配偶者区分 ＝ 2:妻であること			民第817条の3
39	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0である場合、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0であるか 又は (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1であること			
40	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0である場合、 (No.33)養父の本･国籍 ＝ (No.44)養母の本･国籍 かつ (No.35)養父の筆頭者氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
41	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること 又は (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
42	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1でかつ (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合 又は (No.01)縁組形態区分 ＝ 2でかつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合 又は (No.01)縁組形態区分 ＝ 3でかつ (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4:その他でかつ (No.52)縁組方式 ＝ スペースであること			ALL外人の時のチェック
43	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1～3の時、 (No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である			
44	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の場合、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であること			
45	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の場合、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であること			
46	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0 又は (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0であり かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であること			
47	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 2の時、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 1 かつ (No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であり かつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1 かつ (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.33)養父の本･国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.44)養母の本･国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.33)養父の本･国籍 又は (No.44)養母の本･国籍であり (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名 又は (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
48	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3の時、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であり かつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
49	(No.55)配偶者同一戸籍 ＝ 1:同一戸籍の場合、 (No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ≠ 3であること			
50	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 10であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 11であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 10 又は 11 又は 12であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(特別養子縁組届)
処理名	3.0 養子審査ルーチン

							備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する						(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ				/			R2.1(特養42)
NO	(0-4)→					(0-5)本紙へ		
(0-6)(養子の外国人区分=0:日本人 かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分=0:日本人 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分=0:日本人 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)					/			R2.1(特養42)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-8)本紙へ		
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-11)本紙へ	不受理	
	NO	(0-10)→					画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-12)→(1)へ				/			
(1)事件本人が外国人である(YES,NO)					/			
YES	(2)→					(3)本紙へ	受理	
NO	(4)→(5)へ				/			
(5)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか。」を表示する						(6)本紙へ	戸68条の2・戸63条の1を準用	
YES	(7)→(9-1)へ				/			
NO	(8)→					(9)本紙へ	不受理	
(9-1)養子の外国人区分=0:日本人(YES, NO)					/			
YES	(9-2)養子の父氏名=スペース 又は 養子の母氏名=スペース(YES,NO)				/			
	YES	(9-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(9-4)本紙へ		
		YES	(9-5)→(9-16)へ		/			R2.1(特養44)
		NO	(9-6)→			(9-7)本紙へ	不受理	
	NO	(9-8)父母との続柄=10(男) 又は 30(女)である(YES,NO)			/			R2.1(誤修正)
		YES	(9-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する			(9-10)本紙へ		
			YES	(9-11)→(9-16)へ	/			R2.1(特養44)
			NO	(9-12)→		(9-13)本紙へ	不受理	
		NO	(9-14)→(9-16)へ		/			R2.1(特養44)
NO	(9-15)→(9-16)へ				/			
(9-16)養子の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)					/		R2.1で(9-16)～(9-19)を追加	R2.1(特養44)
YES	(9-17)エラーメッセージ「養子となる者は成立時に１８歳に達しています。」を表示する					(9-18)本紙へ	不受理、民第817条の5第1項後段	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	3.0 養子審査ルーチン					備考		
NO	(9-19)→(10)へ			/				
(10)養子の生年月日+15年(15歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)				/				
YES	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「養子となる者は１５歳以上ですが、審判申立日現在は１５歳未満ですか。」を表示する				(12)本紙へ	民第817条の5第1項前段		
YES	(13)→(24)へ			/	R2.1で(14)(15)を削除し、(17)を(15)に変更			
NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「１５歳に達する前から養親に監護されており、申立ができなかった理由がありますか」を表示する				(16)本紙へ	民第817条の5第2項		
					文字制限が無い場合のメッセージ例「養子となる者は１５歳に達する前から養親となる者に監護されており、１５歳までに審判申立ができなかった事由がありますか。」			
	YES	(18)→(24)へ		/		R2.1で(17)(19)を削除		
	NO	(20)→			(21)本紙へ	不受理		
NO	(22)→				(23)3.1日付審査へ			
(24)確認メッセージ(YES,NO) 「養子となる者の同意はありますか。」を表示する					(25)本紙へ	R2.1で(24)～(29)を追加		
						民第817条の5第3項		
YES	(26)→				(27)3.1日付審査へ			
NO	(28)→				(29)本紙へ	不受理		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(特別養子縁組届)					
処理名	3.1 日付審査ルーチン			備考		

					R2.1版で(1)～(10)、(15)～(20)を削除	R2.1(特養43)
	(11)裁判確定日+10日>受領日(YES,NO)		/		戸68条の2・戸63条の1を準用	
	YES	(12)→		(13)3.2養親審査へ		
	NO	(14)メッセージ 「届出期間を過ぎています。」を表示する		(14-1)3.2養親審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(特別養子縁組届)
処理名	3.2 養親審査ルーチン

						備考
(1)縁組形態区分=1である(YES,NO)				/		
YES	(2)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/		民第817条の4
	YES	(3)→			(4)本紙へ	受理
	NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか。」を表示する				
		YES	(6)→			受理
		NO	(7)→			不受理
NO	(8)→(9)へ			/		
(9)縁組形態区分=2である(YES,NO)				/		
YES	(10)養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/		民第817条の4
	YES	(11)→			(12)本紙へ	受理
	NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか。」を表示する				
		YES	(14)→			受理
		NO	(15)→			不受理
NO	(16)→(17)へ			/		
(17)縁組形態区分=3である(YES,NO)				/		
YES	(18)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日　かつ 養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/		民第817条の4
	YES	(19)→			(20)本紙へ	受理
	NO	(21)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日　かつ 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/		民第817条の4
		YES	(22)→		(23)本紙へ	受理
		NO	(24)養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　かつ 養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)	/		民第817条の4
			YES	(25)→	(26)本紙へ	受理
			NO	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は審判日に25歳(一方20歳以上で可)未満ですがよろしいですか。」 を表示する		
				YES	(28)→	受理
				NO	(29)→	不受理
NO	(30)→					不受理

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル(届書)共通	受領番号		特別養子縁組入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定	
	選択事件コード							05(特別養子縁組届)	
	出張所番号			出張所番号					
	受領日			受領日					
	送付日			送付日					
	発送元			発送元					
	在外送付区分			在外送付区分					
	処理日			処理日					
	指示日								
	許可日								
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3	
	本非区分			本非区分					
	郵送日			郵送日					
	動態区分							0:不要	
	届区分			報告区分					
	渉外区分							事件本人全員が日本人の場合は0を移送 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1を移送 事件本人全員が外国人の場合は2を移送	
	同時決裁受領番号								
	ロック戸籍番号		本籍人検索サブシステムインターフェース					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット	
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照	
	不受理申出処分区分								
	処分区分		特別養子縁組入力画面					審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする	
	決裁区分							0:未決裁	
	届書排他区分							再入力の場合1:排他	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

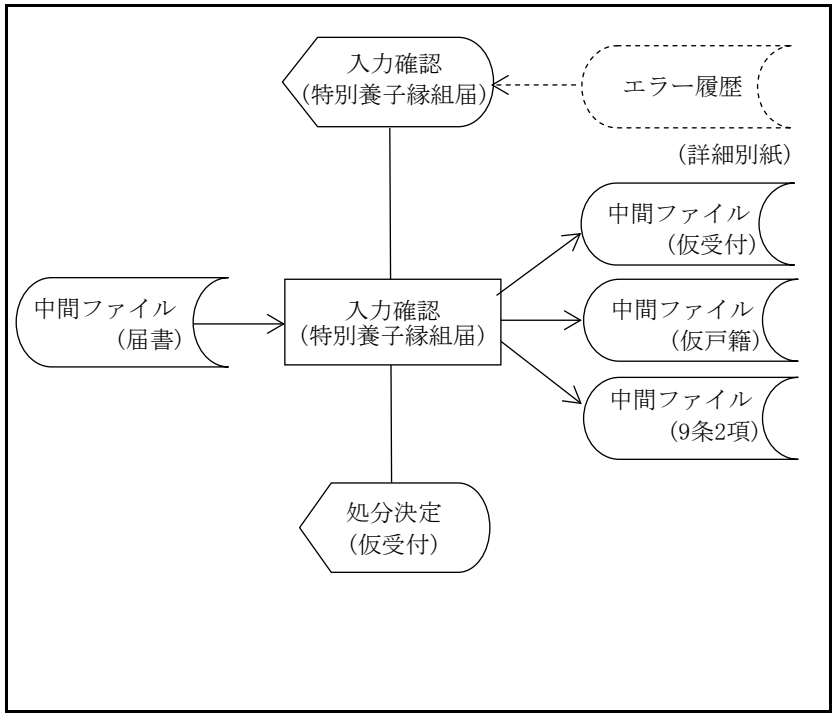
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	縁組形態区分		特別養子縁組入力画面	縁組形態区分				
	養子の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分			養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の性別区分			養子の性別				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者カナ氏名							
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	養父母との続柄コード			養父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養父の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養母の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組				
	届出人資格コード			届出人資格コード				
	配偶者同一戸籍			配偶者同一戸籍				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(特別養子縁組届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 養子(除籍)
  - 4.2 養子(新戸)
  - 4.3 養子(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1 養親(記録)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 養子(新戸)
  - 6.2 養子(入籍)
  - 6.3 養子(変動なし)
  - 6.4 養子(新戸のみ)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 7.1 養子(新戸)
  - 7.2 養子(入籍)
  - 7.3 養子(除籍)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19

作業名	入力確認(特別養子縁組届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/		
	(5)養子の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/		
	(6)養子は本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(7)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 1である(YES,NO)			/		
		YES	(8)身分事項:養子(除籍)の編集をする	[4.1]	/		
			(9)養子の身分事項で出生(0101)以外のものは新戸籍に移記しない		/		
			(10)身分事項:養子(新戸)の編集をする	[4.2]	/		
			(11)入籍する養親の戸籍は管内である(YES,NO)		/		
			YES (12)身分事項:養子(入籍)の編集をする	[4.3]	/		
			NO (13)→(33)へ		/		
		NO	(14)→(15)へ		/		
		(15)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/		
		YES	(16)身分事項:養子(除籍)の編集をする	[4.1]	/		
			(17)身分事項:養子(入籍)の編集をする	[4.3]	/		
		NO	(18)→(19)へ		/		
		(19)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 3である(YES,NO)			/		
		YES	(20)身分事項:養子(除籍)の編集をする	[4.1]	/		
			(21)養子の身分事項で出生(0101)以外のものは新戸籍に移記しない		/		
			(22)身分事項:養子(新戸)の編集をする	[4.2]	/		
		NO	(23)→(33)へ		/		
	NO	(24)養子は外国人である(YES,NO)			/		
		YES	(25)養父に入力がある(YES,NO)		/		
		NO	YES (26)養父は本籍人である(YES,NO)		/		
			YES (27)身分事項:養親(記録)の編集をする	[5.1]	/		
			NO (28)→(29)へ		/		
			NO				
			(29)養母に入力がある(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19

作業名	入力確認(特別養子縁組届)		
処理名	0.0 本紙		備考
	YES (30)養母は本籍人である(YES,NO)	/	
	YES (31)身分事項:養親(記録)の編集をする [5.1]	/	
	NO (32)→(33)へ	/	
	NO		
	NO		
	(33)在外送付区分 ＝ 0 又は 2である(YES,NO)	/	
	YES (34)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [6.0]	/	
	(35)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/	
	YES (36)届書ファイル.戸籍変動区分	/	
	1 (37)養子の編集(新戸) [6.1]	/	
	(37-1)養子の編集(入籍) [6.2]		(37-2)処分決定に制御を渡す
	2 (37-3)養子の編集(変動なし) [6.3]		
	3 (37-4)養子の編集(新戸のみ) [6.4]		
	NO (38)→		
	NO		
PF1	→		(39)業務選択に制御を渡す
PF2	→		(40)届出選択に制御を渡す
PF5	→		(41)審査(特別養子縁組)に制御を渡す
PF7	(42)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/	
	YES (43)前ページ分の確認画面(特別養子縁組届)を編集する		(44)同画面を編集する
	NO (45)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する		
PF8	(46)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/	
	YES (47)次ページ分の確認画面(特別養子縁組届)を編集する		(48)同画面を編集する
	NO (49)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する		
PF11	→		(50)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(51)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する		(52)同画面を編集する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(特別養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
特別養子縁組届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	縁組形態区分		中間ファイル(届書)事件別	縁組形態区分				
	受領番号		中間ファイル(届書)共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル(届書)事件別	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の性別			養子の性別区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(特別養子縁組届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	父母との続柄					有		
	養父母との続柄コード			養父母との続柄コード		有		
	養父母との続柄							
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分		有		
	養子の筆頭者							
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分		有		
	養父の筆頭者							
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分		有		
	養父の配偶者							
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(特別養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組			同一戸籍縁組区分				
	届出人資格コード			届出人資格コード				
	配偶者同一戸籍			配偶者同一戸籍				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人												
												※2		A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 7.3	A.2 7.2 D.1
1	○		○				○	○		－					養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
2	○		○				○	○		－	○									養子 4.1	養子 4.3
3	○		○				○		○	－					養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2				
4	○		○				○			○					養子 4.1	養子 4.2					
5	○		○			○		○							養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
6	○		○			○			○						養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2				
7	○		○			○				○					養子 4.1	養子 4.2					
8	○		○			○		○			○									養子 4.1	養子 4.3
9	○		○			○				○		○								養子 4.1	養子 4.3

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人												
												※2		A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 7.3	A.2 7.2 D.1
10	○			○			○	○		－				養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
--																					
12	○			○			○		○	－				養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2				
13	○			○			○			○				養子 4.1		養子 4.2					
14	○			○		○		○						養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
15	○			○		○			○					養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2				
16	○			○		○				○				養子 4.1		養子 4.2					
--																					
--																					

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	入力確認(特別養子縁組届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人												
												※2		A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 7.3	A.2 7.2 D.1
19					○		○	○											養親 5.1		
20					○		○	○		○									養親 5.1		
21					○	○		○											養親 5.1		
22		○	－	－			○	○										養子 4.3			
23		○	－	－			○	○		○								養子 4.3			
24		○	－	－		○		○										養子 4.3			

※1　実親の本籍地(従前の本籍地)に養親の氏 + 子の名、又は養子の氏名で、単身の新戸籍を編製する
※2　単身縁組した養親の配偶者と、養子が同じ戸籍に在籍している場合

※A.2、B.1、B.2、C.2、D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4.機能体系のデータ編集を参照。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							'0501'
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日=空白の時、受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							9.0版(事件本人が届出人であるため共通では不要) R2.1(誤修正)
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1の場合'1'を移送 戸籍変動区分 ＝ 3の場合'2'を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍コード			養父(母)の本籍コード 養子の本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1の時でかつ、 縁組形態区分 ＝ 1の時、 養父の項目を移送 縁組形態区分 ＝ 2の時、 養母の項目を移送 縁組形態区分 ＝ 3の時、 養父母どちらか筆頭者である方の項目を移送 戸籍変動区分 ＝ 2、3の時、 養子の項目を移送
	届後本籍			養父(母)の本籍 養子の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				戸籍変動区分 ＝ 1の時でかつ、 縁組形態区分 ＝ 1の時、 養父の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 2の時、 養母の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 3の時、 養父母どちらか筆頭者である方の筆頭者氏名を移送
				養子の筆頭者氏名				戸籍変動区分 ＝ 2の時移送
				養子の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、 在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組方式 ≠ スペースの時、1を移送 それ以外は0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人区分							縁組形態区分 ＝ 1の時、 養父に1を移送、それ以外は0 縁組形態区分 ＝ 2の時、 養母に1を移送、それ以外は0 縁組形態区分 ＝ 3の時、 届出人資格に応じて移送 ･届出人資格 ＝ 1であれば、 養父に1を移送、それ以外は0 ･届出人資格 ＝ 2であれば、 養母に1を移送、それ以外は0 ･届出人資格 ＝ 3であれば、 養父、養母に1を移送、 それ以外は0
	カナ氏名			カナ氏名				養父カナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日
	本籍コード			本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				養父の筆頭者 養母の筆頭者 養子の筆頭者
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.養親の後に養子
2.夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ筆頭者が先

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.1　身分事項(養子･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0501'
	記録コード							'0501'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	特別養子縁組の裁判確定日			裁判確定日				
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 1、3の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 1、3でかつ、養父が外国人の時移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養母氏名			養母の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 2、3の時移送
	養母の国籍			養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 2、3でかつ、養母が外国人の時移送
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合移送 但し、戸籍変動区分 ＝ 2の時は、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル(届書)	受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合移送 但し、戸籍変動区分 ＝ 2の時は、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		〃

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)						
処理名	4.1　身分事項(養子･除籍)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送付 通知を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	除籍日			処理日				項目に入力がある場合移送
	新本籍			養子の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1、3の時移送
	縁組後の氏			養父(母)の漢字氏名の氏				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の氏
	特記事項							同一戸籍縁組区分 ＝ 1　又は 配偶者同一戸籍 ＝ 1の場合に '末尾記録につき消除'を移送

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)								
処理名	4.2　身分事項(養子・新戸)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	養子個人番号				
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								'0501'
	記録コード								'0502'
	管掌者コード								
	事件発生日				裁判確定日				
	特別養子縁組の裁判確定日				裁判確定日				
	養親	養父氏名			養父の漢字氏名				縁組形態区分 ＝ 1、3の時移送
		養父の国籍			養父の本籍				縁組形態区分 ＝ 1、3でかつ、養父が外国人の時移送
		養父の生年月日			養父の生年月日				
		養母氏名			養母の漢字氏名				縁組形態区分 ＝ 2、3の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 2、3でかつ、養母が外国人の時移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
		証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合移送 届出人資格コード ＝ 10の時1、 11の時2、12の時5を移送
		証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日			中間ファイル(届書)	受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	届出人資格				届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合で、 届出人資格コード ＝ 10の時1、 11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称			中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		縁組方式 ＝ スペースの場合移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.2　身分事項(養子･新戸)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送付 通知を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日			処理日				項目に入力がある場合移送
	従前戸籍 本籍			養子の本籍				
	従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	除籍日			処理日				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に項目に入力がある場合移送
	入籍戸籍 本籍			養父(母)の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の本籍と筆頭者氏名を移送
	入籍戸籍 筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.3　身分事項(養子・入籍)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0502'
	記録コード							'0503'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	民法817条の2の裁判確定日			裁判確定日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合で 届出人資格コード ＝ 10の時1、 11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル(届書)	受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合で、 届出人資格コード ＝ 10の時1、 11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 通知を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日			処理日				項目に入力がある場合移送

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)								
処理名	4.3　身分事項(養子･入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	従前戸籍	本籍			養子の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送
		筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の氏
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	5.1 身分事項(養親・記録) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0502'
	記録コード							'0504'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	民法817条の2の裁判確定日			裁判確定日				
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 3で、 養父の時7:'妻'を移送 養母の時6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子の氏名			養子の漢字氏名				
	養子 養子の国籍			養子の本籍				
	養子 養子の生年月日			養子の生年月日				
	外国式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日			受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	記録日			処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.1　9条2項(養子・新戸)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号(新戸の際の個人番号)を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.2　9条2項(養子・入籍)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号(入籍した時の個人番号)を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養父母との続柄コード				
	新本籍コード			養父(母)の本籍コード				
	新本籍			養父(母)の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.2　9条2項(養子・入籍)　編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.3　9条2項(養子・変動なし)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.4　9条2項(養子・新戸のみ)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名				
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)								
処理名	7.1　個人特定(養子･入籍)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定	
	戸籍番号							決裁処理で設定	
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定	
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	除籍日								
	性別			父母との続柄		有			
	生年月日			生年月日					
	筆頭者区分			筆頭者区分				養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、1:筆頭者を移送	
	配偶者区分								
	父			養父氏名				縁組形態区分 ＝ 1、3の場合移送	
				父氏名				縁組形態区分 ＝ 2の場合移送	
	母			養母氏名				縁組形態区分 ＝ 2、3の場合移送	
				母氏名				縁組形態区分 ＝ 1の場合移送	
	父母との続柄			養父母との続柄					
	養父								
	養母								
	養父母との続柄								
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定	
	個人除区分							0:在籍者を設定	
	審査不可区分								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)								
処理名	7.2　個人特定(養子･新戸)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定	
	戸籍番号							決裁処理で設定	
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定	
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	除籍日								
	性別			父母との続柄		有			
	生年月日			生年月日					
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分 ＝ 1:の時 0:構成員を移送	
	配偶者区分								
	父			養父氏名				縁組形態区分 ＝ 1、3の場合移送	
				父氏名				縁組形態区分 ＝ 2の場合移送	
	母			養母氏名				縁組形態区分 ＝ 2、3の場合移送	
				母氏名				縁組形態区分 ＝ 1の場合移送	
	父母との続柄			養父母との続柄					
	養父								
	養母								
	養父母との続柄								
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動の時に従前戸籍の個人番号を設定	
	個人除区分							0:在籍者を設定	
	審査不可区分								

データ編集表				作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	入力確認(特別養子縁組届)								
処理名	7.3　個人特定(養子･除籍)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号								
	戸籍番号								
	戸籍記録順位番号								
	入籍日		中間ファイル(届書)						
	除籍日			処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	性別								
	生年月日								
	筆頭者区分								
	配偶者区分								
	父								
	母								
	父母との続柄								
	養父								
	養母								
	養父母との続柄								
	前個人番号								
	個人除区分		戸籍編製処理					3:消除者を設定	
	審査不可区分								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	8.0　戸籍特定(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定
	編製日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			養子の本籍コード				
	本籍			養子の本籍				
	筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1の時移送 養父母のいずれかが外国人の場合は 日本人養父母の方の氏 R2.1(誤修正)
				養子の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	記録者数		戸籍編製処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数 ＝ 在籍者数
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

第7.2.(5)「異動」処理

6. 73条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	43	「73条の2届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「婚姻届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_7.1～7.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	73条の2届

1. 戸籍法73条の2業務処理範囲外の処理

・ 養子離縁届と同時に届出られた戸籍法73条の2の処理は、養子離縁同時73の2で処理を行う。

・ 戸籍法69条の2は審査結果入力処理で行う。

2. 戸籍法73条の2届出入力画面の意義

・ 縁氏続称者と縁氏続称者の配偶者は入力を分ける。

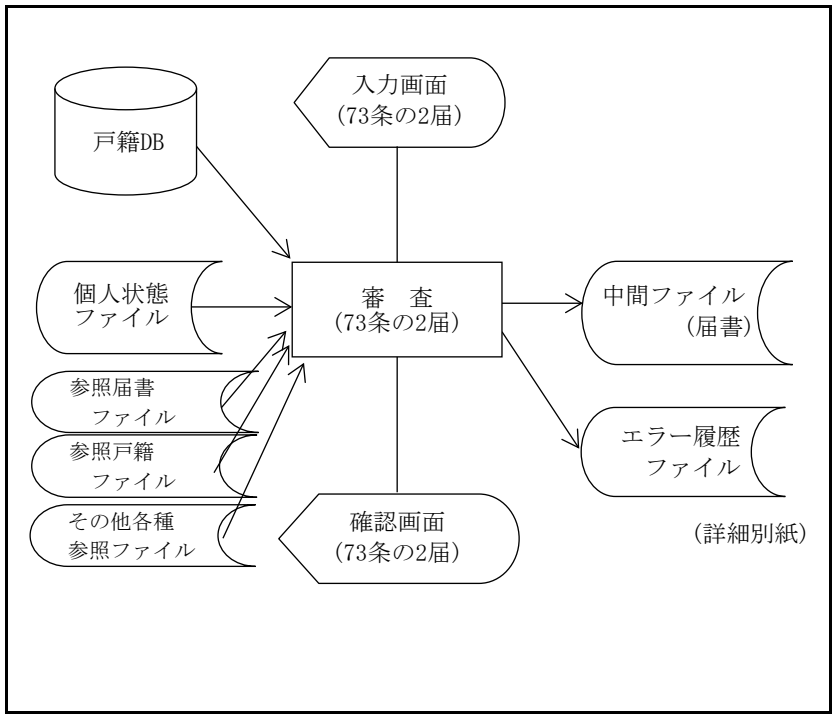
3. 戸籍法73条の2届の審査

・ 縁氏続称者に離縁復氏の記録がある場合はシステムで審査する。

・ 上記以外についてはすべて操作員の確認によるものとし、システムでは入力された項目を基に審査する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)73条の2届の内容を入力する
(2)73条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)73条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)73条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(73条の2届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(73条の2届)を編集する					(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(73条の2届)を編集する					(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(22-2)画像情報を表示する					(22-3)同画面を編集する		
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	カナ氏名	○	カナ				
10	漢字氏名	○	漢字				
11	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員　1:筆頭者)であること			
13	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	住所		漢字				
17	世帯主		漢字				
18	父氏名		漢字				
19	母氏名		漢字				
20	父母との続柄コード	○	数字	10(男)～49(十九女)であること			
21	離縁前の氏	○	漢字				
22	縁組年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	離縁年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	戸籍変動区分	○	数字	(1:変動無し、2:新戸籍編製)であること			
24	新本籍		漢字				
25	新戸籍の筆頭者		漢字				
26	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				入力画面(73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員　1:筆頭者)であること			
28	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
29	配偶者カナ氏名		カナ				
30	配偶者漢字氏名		漢字				
31	配偶者父氏名		漢字				
32	配偶者母氏名		漢字				
33	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
34	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	配偶者住所		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.22)縁組年月日 ≦ (No.23)離縁年月日 ≦ (No.2)受領日であること			
12	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ　(No.24)新本籍 ＝ スペースの時、 (No.14)本籍 ＝ 管内であること			
13	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ　(No.14)本籍 ＝ 管外の時、 (No.24)新本籍 ≠ スペースかつ管内であること			
14	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.14)本籍 ＝ 管外であること			
15	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.24)新本籍 ≠ スペースの時、 (No.24)新本籍 ＝ 管外であること			
15-1	(No.10)漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること			
16				
17	(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.20)父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
18	(No.13)配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.20)父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
19				第8.3版により削除
20				第8.3版により削除
21				第8.3版により削除
22	(No.24)新本籍 ＝ スペースの時、(No.25)新戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
23	(No.24)新本籍 ≠ スペースの時、(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
24	(No.12)筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)の時、 (No.26)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
25	(No.26)配偶者外国人区分 ＝ スペースの時、 (No.27)配偶者筆頭者区分～(No.35)配偶者住所　までスペースであること			
26	(No.26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.27)配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ　(No.28)配偶者配偶者区分 ≠ スペース　かつ (No.29)配偶者カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.30)配偶者漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.33)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース　かつ (No.34)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
27	(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
28	(No.13)配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
29	(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.33)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
30	(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.33)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
31				第8.3版により削除
32				第8.3版により削除
33	(No.36)戸籍変動区分 ＝ 1(変動無し)の時、 (No.24)新本籍 ＝ スペース　かつ　(No.25)新戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
34	(No.36)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製)の時、 (No.24)新本籍 ≠ スペース　かつ　(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
35	(No.17)世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)住所 ≠ スペースであること			
36	(No.16)住所 ＝ スペースの時の時、(No.17)世帯主 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.21)離縁前の氏 ＝ (No.25)新戸籍の筆頭者の「氏」であること			
38	(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.10)漢字氏名の「名」 ＝ (No.25)新戸籍の筆頭者の「名」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(73条の2届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日=送付日である。				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		
	NO	(0-4)			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		
(0-7)父氏名=スペース　又は　母氏名=スペース(YES,NO)				/		(0-1)→(0-6)を追加
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					上記の追加に伴い項番を変更(第11版) 修正前:(0-1)→(0-24)
	YES	(0-9)→(0-18)へ		/		修正後:(0-7)→(0-30)
	NO	(0-10)			(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-12)父母との続柄コード=10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)			/		
	YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する				
		YES	(0-14)→(0-18)へ	/		
		NO	(0-15)		(0-16)本紙へ	不受理
	NO	(0-17)→(0-18)へ		/		
(0-18)配偶者外国人区分=0(日本人)である(YES,NO)				/		
YES	(0-19)配偶者父氏名=スペース　又は　配偶者母氏名=スペース(YES,NO)			/		
	YES	(0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(0-21)→(0-31)へ	/		R2.1(73-39)
		NO	(0-22)		(0-23)本紙へ	不受理
	NO	(0-24)父母との続柄コード=10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-25)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する			
			YES	(0-26)→(0-31)へ	/	R2.1(73-39)
			NO	(0-27)		(0-28)本紙へ	不受理
		NO	(0-29)→(0-31)へ	/		R2.1(73-39)
NO	(0-30)→(0-31)へ			/		R2.1(73-39)
(0-31)事件本人の名が未入力　(YES,NO)				/		R2.1(73-39)
YES	(0-32)確認メッセージ　(YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する				(0-33)本紙へ	R2.1(73-39)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する							
	YES	(0-34)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-36)本紙へ		不受理 R2.1(73-39)	
	NO	(0-35)→					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(73-39)	
NO	(0-37)→(1)へ			/			R2.1(73-39)	
(1)本籍=管内				/				
YES							(2)～(5)削除	
	(6)事件本人の身分事項に離縁(記録コード=0401)がある(YES,NO)			/				
	YES	(7)→(11)へ		/				
	NO	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「(確認)離縁復氏したことを別戸籍で確認して下さい。」を表示する(応答後(11)へ)			(9)本紙へ			
NO	(10)→(11)へ			/				
(11)事件本人の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日				/			昭62.10.1 民二5000号通達 第三の一	
YES	(12)メッセージ「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示する				(13)本紙へ		受理照会 平成27.3.9民一308号通知	
NO	(14)→(15)へ			/				
(15)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 離縁年月日(YES,NO)				/			民816条2項	
YES	(16)→(19)へ			/				
NO	(17)エラーメッセージ「縁氏続称の資格がないので受理できません」を表示する				(18)本紙へ		不受理	
(19)(離縁年月日 + 1日) + 3箇月 > 受領日(YES,NO)				/			民816条2項	
YES	(20)→(23)へ			/				
NO	(21)エラーメッセージ「届出期間を経過しているので受理できません」を表示する				(22)本紙へ		不受理	
(23)漢字氏名の氏 ≠ 離縁前の氏(YES,NO)				/				
YES	(24)→(27)へ			/				
NO	(25)エラーメッセージ「縁氏続称の資格がないので受理できません」を表示する				(26)本紙へ		不受理	
(27)筆頭者区分=0:構成員 である(YES,NO)				/				
YES	(28)配偶者区分=1:夫 又は 2:妻 である(YES,NO)			/				
	YES	(29)エラーメッセージ「この事件本人は届出の資格がありません」を表示する			(30)本紙へ		不受理	
	NO	(31)→(41)へ		/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(73条の2届)								
処理名	3.0 審査							備考	
NO	(32)新本籍 ≠ スペース　である(YES,NO)				/				
	YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「縁氏続称者の他に在籍者はいませんね」を表示する				(33.1)本紙へ			
		YES	(34)エラーメッセージ「新本籍は作成できません」を表示する			(35)本紙へ		不受理	
		NO	(36)→(41)へ		/				
	NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「縁氏続称者の他に在籍者はいませんね」を表示する				(37.1)本紙へ			
		YES	(38)→(41)へ		/				
		NO	(39)エラーメッセージ「新戸籍を作成しなければいけません」を表示する			(40)本紙へ		不受理	
(41)確認メッセージ(YES,NO) 「縁氏続称者は、離縁復氏から現在まで氏を変更していませんね」を表示する						(41.1)本紙へ			
YES	→					(42)本紙へ			
NO	(43)エラーメッセージ　「縁氏続称の資格がないので受理できません」を表示する							不受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		73条の2届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							07(戸籍法73条の2届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							本籍が管内の場合、戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理又は2 ＝ 不受理をセットする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

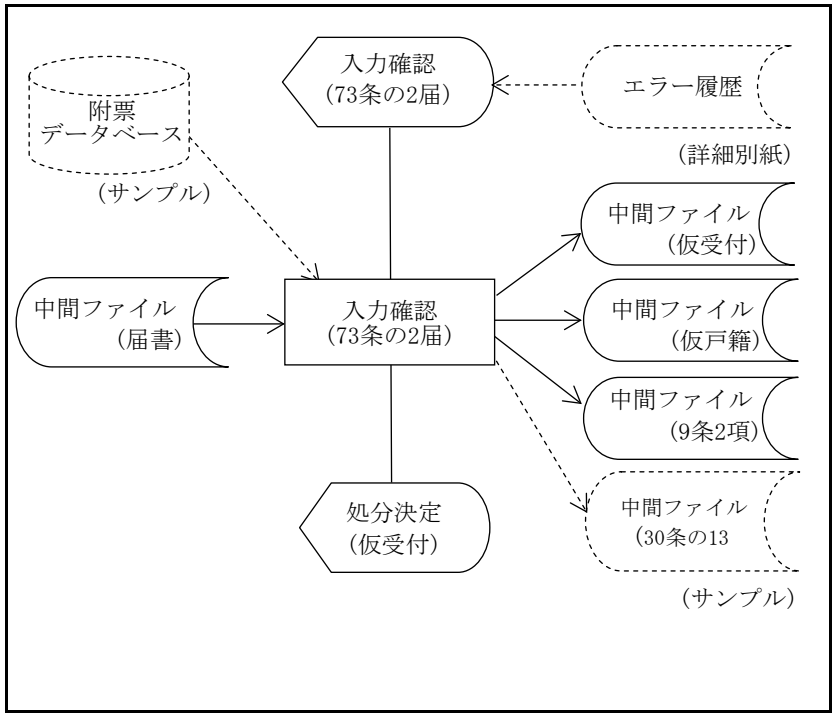
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	縁氏続称者個人番号		73条の2届入力画面					
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	本籍コード			本籍		有		
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所		有		
	住所							
	世帯主名			世帯主				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	離縁前の氏			離縁前の氏				
	縁組年月日			縁組年月日				
	離縁年月日			離縁年月日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍		有		
	新本籍							
	新戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	配偶者個人番号							
	配偶者外人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所コード			配偶者住所		有		
	配偶者住所							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(73条の2届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する
(2) 戸籍変動情報を確定する
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6) 中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 戸籍特定(記録)
- 5.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 5.1 氏の変更(記録)
  - 5.2 氏の変更(新戸籍編製)
- 6.0 データ編集(中間ファイル/[氏名])
  - 6.1 氏名(記録)
- 7.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 縁氏続称者(記録)
  - 7.2 縁氏続称者(入籍)
  - 7.3 縁氏続称者(除籍)
- 8.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 縁氏続称者の配偶者(入籍)
  - 8.2 縁氏続称者の配偶者(除籍)
- 9.0 データ編集(中間ファイル/9条2項)
  - 9.1 縁氏続称者
  - 9.2 縁氏続称者の配偶者
- 10.0 データ編集(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 10.1 縁氏続称者
  - 10.2 縁氏続称者の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(73条の2届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]	/	
	(5)縁氏続称者が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)新本籍に入力がある(YES,NO)				/	
		YES	(7)身分事項:縁氏続称者(除籍)の編集をする		[7.3]	/	
		NO	(8)戸籍事項:縁氏続称者(記録)の編集をする		[5.1]	/	
			(9)身分事項:縁氏続称者(記録)の編集をする		[7.1]	/	
		(9-1)縁氏続称者は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(9-1)(9-2)
		YES	(9-2)縁氏続称者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する		[10.1]	/	
		NO	(10)→(11)へ			/	
	NO						
	(11)新本籍に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(14)新本籍は管内である(YES,NO)				/	
		YES	(15)戸籍事項:縁氏続称者(新戸籍編製)の編集をする		[5.2]	/	
			(16)身分事項:縁氏続称者(入籍)の編集をする		[7.2]	/	
		NO	(17)→(19)へ			/	
	NO	(18)→(19)へ				/	
	(19)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)					/	
	YES	(20)縁氏続称者は本籍人である(YES,NO)				/	
		YES	(21)身分事項:縁氏続称者の配偶者(除籍)の編集をする		[8.2]	/	
			(21-1)縁氏続称者の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(21-1)(21-2)
			YES	(21-2)縁氏続称者の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[10.2]	/	
			NO	(22)→(23)へ		/	
		NO					
		(23)新本籍人は管内である(YES,NO)				/	
		YES	(24)身分事項:縁氏続称者の配偶者(入籍)の編集をする		[8.1]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(73条の2届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/		
		NO	(25)→(26)へ		/		
	NO						
	(26)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
	YES	(27)縁氏続称者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[9.1]	/		
		(28)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/		
		YES	(29)縁氏続称者の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集出力する	[9.2]		(30)処分決定に制御を渡す	
		NO	→				
	NO						
PF1	→					(31)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(32)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(33)審査(73条の2届)に制御を渡す	
PF7	(34)前ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(35)前ページ分の確認画面(73条の2届)を編集する				(36)同画面を編集する	
	NO	(37)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する					
PF8	(38)次ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(39)次ページ分の確認画面(73条の2届)を編集する				(40)同画面を編集する	
	NO	(41)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する					
PF11	→					(42)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(43)エラーメッセージ　「無効なキーが押下されました」を表示する					(44)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
73条の2届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者名称					有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者名称					有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		
	離縁前の氏			離縁前の氏				
	縁組年月日			縁組年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	離縁年月日			離縁年月日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	新戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	配偶者外国人区分			配偶者外人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件									縁氏続称者の戸籍				
	縁続氏称者 ○管内(1) ×管外(0)	縁氏続称者		日本人配偶者		他の在籍者		新編戸製籍地 ○管内(1) ×管外(0)		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 一部除籍 B.2 C.2	一部記載	変動なし 4.1 5.1 6.1	新戸籍編製 A.1 5.2 B.1 C.1 D.1
		筆頭者(1)	構成員(0)	無(1)	有(0)	無(1)	有(0)							
1	○	×	○	-	-	○	×	○			本人7.3			本人7.2
2	○	×	○	-	-	○	×	×			本人7.3			
3	×	×	○	-	-	-	-	○						本人7.2
4	○	×	○	-	-	×	○	○		本人7.3				本人7.2
5	○	×	○	-	-	×	○	×		本人7.3				
6	○	○	×	○	×	○	×	-					本人7.1	
7	○	○	×	○	×	×	○	○		本人7.3				本人7.2
8	○	○	×	○	×	×	○	×		本人7.3				
9	×	○	×	○	×	-	-	○						本人7.2
10	○	○	×	×	○	○	×	○			本人7.3 配偶者8.2			本人7.2 配偶者8.1
11	○	○	×	×	○	○	×	×			本人7.3 配偶者8.2			
12	×	○	×	×	○	-	-	○						本人7.2 配偶者8.1
13	○	○	×	×	○	×	○	○		本人7.3 配偶者8.2				本人7.2 配偶者8.1
14	○	○	×	×	○	×	○	×		本人7.3 配偶者8.2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0701
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							新本籍に入力がある場合2を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	送達確認1							新本籍が非本籍　かつ　在外送付区分＝0(受理分)のとき1を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
									分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	証書提出区分								
	届書送付目録区分								本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき0(送付不要)を設定
	処分区分								
	決裁区分								
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号								
	事件本人区分								14(縁氏続称者)
	届出人区分								1(届出人)を設定
	カナ氏名				カナ氏名				
	漢字氏名				漢字氏名				
	生年月日				生年月日				
	本籍コード				本籍コード				
	本籍				本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	送達確認2								本籍が非本籍　かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	4.1　戸籍特定(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	5.1　戸籍事項(記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								取得済みの戸籍番号を設定
	行番号								前の戸籍事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701 (73条の2の氏の変更の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従記前録の	従記前録の	氏		「漢字氏名」の氏				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	5.2　戸籍事項(新戸籍編製)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								決裁処理で取得
	行番号								01
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701 (73条の2の氏の変更の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従記前録の	従記前録の	氏						
	記録	記録日							
	特記	特記事項							
	戸籍番号								決裁処理で取得
	行番号								02
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0001(編製)
	記録コード								0001(戸籍編製事項の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	許可	許可日		中間ファイル(届書)					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	5.2　戸籍事項(新戸籍編製)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	編製	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	6.1　氏名　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号		中間ファイル(届書)					取得済みの個人番号を設定
	行番号							前の氏名DBの最終行番号 + 1
	カナ氏名							新戸籍の筆頭者のカナ
	漢字氏名			新戸籍の筆頭者				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	7.1　身分事項(縁氏続称者・記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従籍前戸 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	7.2　身分事項(縁氏続称者・入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で取得
	行番号								
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従籍前戸 本籍			本籍				
		従籍前戸 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	7.3　身分事項(縁氏続称者・除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従籍前戸 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				
		称する氏			「新戸籍の筆頭者」の氏				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	8.1 身分事項(縁氏続称者の配偶者・入籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702 (縁氏続称者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日			処理日 又は 送付日 又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	入籍	入籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 ″妻の戸籍法73条の2の届出″ 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 ″夫の戸籍法73条の2の届出″
	除籍	除籍日							
	除籍	除籍事由							
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入戸籍	従籍前戸 本籍			本籍				
	入戸籍	従籍前戸 筆頭者			筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	8.2　身分事項(縁氏続称者の配偶者・除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702 (縁氏続称者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 ″妻の戸籍法73条の2の届出″ 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 ″夫の戸籍法73条の2の届出″
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従籍前戸 本籍							
		従籍前戸 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	9.1　9条2項(縁氏続称者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領日				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							07(73条の2)
	受領日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」 + 「漢字氏名」の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	9.2　9条2項(縁氏続称者の配偶者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号			中間ファイル(届書)	受領日				
	出張所番号				出張所番号				
	市区町村コード				配偶者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名						有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード								07(73条の2)
	受領日				送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号								本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名				「離縁前の氏」 + 「配偶者漢字氏名」の名				
	旧氏名				配偶者漢字氏名				
	新生年月日				配偶者生年月日				
	旧生年月日				配偶者生年月日				
	新父母との続柄				配偶者父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄				配偶者父母との続柄コード		有		
	新本籍コード				新本籍コード				
	新本籍				新本籍				
	旧本籍コード				本籍コード				
	旧本籍				本籍				
	新筆頭者				新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者				筆頭者				
	住所コード				配偶者住所コード				
	住所				配偶者住所				
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主								
	世帯主との続柄								

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	10.1　30条の13第1項(縁氏続称者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					07(73条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」 + 「漢字氏名」の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	10.2　30条の13第1項(縁氏続称者の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					07(73条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」 + 「配偶者漢字氏名」の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新性別							
	旧性別							配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

7.養子離縁届同時
73条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	離縁同90	「養子離縁届同時73条の2届」	死亡者との離縁で報告的届出として処理することを防ぐための審査を追加 ◆審査_3.2 離縁種別の確認 (80-1)～(80-5)
2		離縁同91		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正 審査_3.1 離縁の準拠法確定 「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	離縁同92	「養子離縁届同時73条の2届」	・入力確認_システム環境仕様書　4.機能体系(要件定義書の構成) 11.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)から11.1 養父、11.2 養母を削除 12.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)から12.1 養父、12.2 養母を削除 ・入力確認_0.0　本紙 ①公選法30条の13第1項は除籍で作成されるため、(10)～(53)の中で身分事項(除籍)の後に記載を移動 ②養父及び養母は戸籍に変動がないため、9条2項及び30条の13第1項出力の記載を削除 ・データ編集表の入力確認_11.1 9条2項(養父)、入力確認_11.2 9条2項(養母)、12.1 30条の13第1項(養父)、12.1 30条の13第1項(養母)を削除 ・戸籍記録の備考欄に、誰(養子、養女、養子(女)の配偶者)の記録であるかを記載
5		離縁同93		・審査_3.2 離縁種別の確認 ①(80-1)の判定文にある「離縁確定日」は項目に無いため、(80-1)を削除し、(80-2)の判定から実施に変更 ②(85)のメッセージを養子離縁に合わせて修正
6	2.0	離縁同96	「養子離縁届同時73条の2届」	・入力確認_システム環境仕様書 R4.0版で修正した審査における飛び先の誤りについて、データ編集表の未修正分を反映
7		離縁同97		・審査_3.2 離縁種別の確認 養子離縁届と同様の審査となるよう、以下削除 ・(82)、(88)の確認メッセージ
8		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_7.1～8.1、10.1～10.3
9		指摘事項管理表(1)(2)No.11		身分事項のインデックスに「及び」記載があるものを分割して追加する。 ・10.1親権(記録)、10.2親権(移記)、10.3未成年者の後見(記録)

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	養子離縁同時73条の2届

1.養子離縁同時73の2業務処理範囲外の処理
・追完届出された場合(追完の記録が必要な場合)
・協議離縁届で届書受理後に事件本人(養子及び養親)の死亡が明らかになった場合の記録
・無籍者の離縁
・旧法当時婿養子縁組婚姻をした養子と養親との離縁
・養子夫婦の一方が生存、他方が死亡している場合
・15歳未満の届出人が特別代理人のとき、特別代理人以外に届出人がいる場合
・15歳以上の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理は、離縁同時73の2届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理する
・離縁届と同時に戸籍法73条の2の届をした者が、実方の氏の新戸籍編製を申し出た場合は、離縁届と戸籍法73条の2届を別に処理するか、審査結果入力で処理する
(離縁届と戸籍法73条の2届を別に処理しても結果は変らない)
・被後見人との報告的離縁で、後見人が届出た場合
・複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

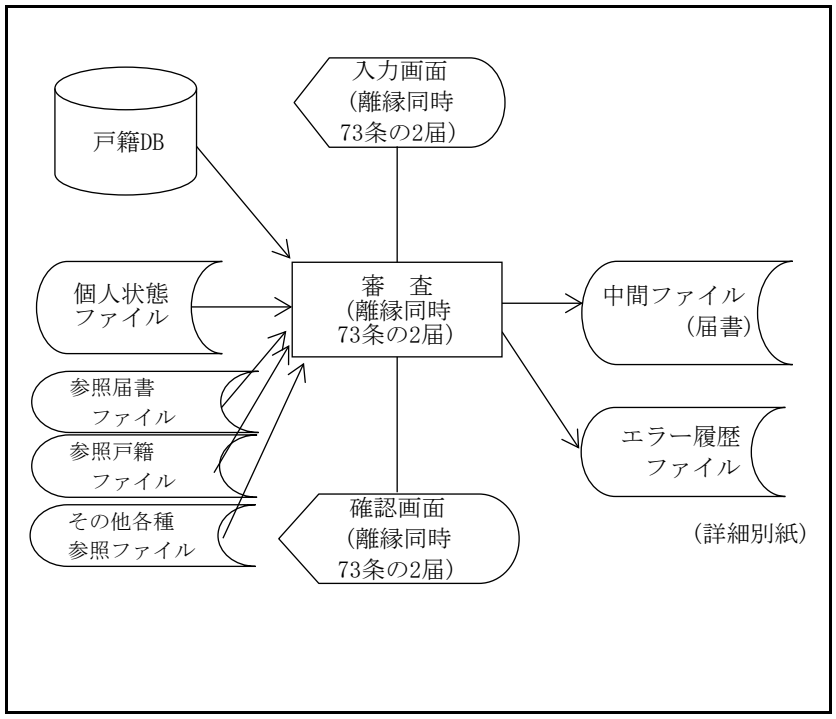
2.養子離縁同時73条の2入力画面の意義

・離縁形態入力画面	養子と養親で離縁する者同士の情報を入力する 15歳未満の離縁届と同時に届出られた親権者指定届又は未成年後見開始届の情報を入力する
・その1入力画面	養子の現在の状況の各項目を入力する
・その2入力画面	養親の現在の状況の各項目を入力する
・その3入力画面	縁組前の氏、縁組年月日、離縁の種別に関する各項目を入力する
・その4入力画面	15歳未満の養子の届出人に関する各項目を入力する
・その5入力画面	養子の配偶者(事件本人以外)に関する各項目を入力する 離縁によって養子の養父母が変る場合(転縁組の離縁)、その養父及び養母氏名を入力する 離縁により従前の親権事項を移記(記録)する場合、離縁後の親権者区分を入力する

3.その他
・15歳未満の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理を、離縁同時73の2届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理して構わない
・離縁によって養子の養父母が変わる場合(転縁組の離縁)の養父及び養母氏名の入力は、移記事項処理で処理しても構わない
・養子、養女、養父、養母の年齢算出は算出の要件が明記されていない場合は、離縁成立時の年齢を算出すること
(裁判確定日に入力があれば裁判確定日での年齢、同様離縁成立日における年齢、双方入力がない場合は受領日の年齢)
・外国人養子の離縁協議者(外国人父母)の記載では国により「親権者父母」と「父母」の場合があるため双方に対応すること
・受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)離縁同時73条の2届の内容を入力する
(2)離縁同時73条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)離縁同時73条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)離縁同時73条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(離縁同時73条の2届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
  - 1.1　単体チェック(条件設定表)
- 2.0 関連チェック
  - 2.1　関連チェック(条件設定表)
- 3.0 審査(関連審査補完)
  - 3.1　離縁の準拠法確定
    - 3.1.1 日本法での離縁
      - 3.1.1.1 15歳未満の離縁
      - 3.1.1.2 未成年の離縁
    - 3.1.2 外国法での離縁
  - 3.2　離縁種別の確認
    - 3.2.1　養子―養親異動
  - 3.3　戸籍異動の確認
    - 3.2.2　養女―養親異動
    - 3.3.3　養子夫婦―養親異動
- 4.0 データ編集票(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、 届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届 書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する					(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する					(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(22-2)画像情報を表示する					(22-3)同画面を編集する		
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
5	同時届区分	○	数字	(0:無、1:親権者指定届、2:未成年後見開始届)であること			
5-1	親権・未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
5-2	親権・未成年後見人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	親権・未成年後見人氏名		漢字				
7	親権・未成年後見人本籍		漢字				
8	親権・未成年後見人筆頭者		漢字				
9	同時親権届の種別		数字	(1:協議、2:調停、3:審判)であること			
10	同時親権者資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11	同時親権届出人資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11-1	同時親権届出人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
11-2	同時親権届出人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	同時親権届出人氏名		漢字				
12-1	同時親権届出人本籍		漢字				
13	出張所番号		数字				
14	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」		戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する	
16	発送元		漢字				
17	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
18	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
20	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	報告区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
22	養子の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	養子の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
24	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
25	養子の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
26	養子のカナ氏名		カナ				
27	養子の漢字氏名		漢字				
28	養子の本･国籍		漢字				
29	養子の住所		漢字				
30	養子の筆頭者		漢字				
31	養子の世帯主		漢字				
32	養子の父氏名		漢字				
33	養子の母氏名		数字				
34	養子の父母との続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること			
35	養子の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
36	養子の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
37	養女の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
38	養女の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
39	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
40	養女の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
41	養女のカナ氏名		カナ				
42	養女の漢字氏名		漢字				
43	養女の本･国籍		漢字				
44	養女の住所		漢字				
45	養女の筆頭者		漢字				
46	養女の世帯主		漢字				
47	養女の父氏名		漢字				
48	養女の母氏名		漢字				
49	養女の父母との続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること			
50	養女の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
51	養女の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
52	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
53	養父の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
54	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本･国籍		漢字				
59	養父の筆頭者		漢字				
60	養父の住所		漢字				
61	養父の世帯主		漢字				
62	養父の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
63	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
64	養母の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
65	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
66	養母の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
67	養母のカナ氏名		カナ				
68	養母の漢字氏名		漢字				
69	養母の本･国籍		漢字				
70	養母の筆頭者		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の世帯主		漢字				
73	養母の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
74	養父母婚姻区分		数字	(0:婚姻中でない　1:婚姻中である)であること			
75	縁組年月日	○	数字	「日付チェックサブルーチン」			
76	縁組前の氏	○	数字				
77	離縁の種別	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			
78	離縁の申立人区分		数字	(1:養子(法定代理人を含む)、2:養親)であること			
79	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
80	離縁許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
81	離縁成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
82	離縁の方式		漢字				
83	外国裁判所		漢字				
84	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		数字	(010:養父、011:養母、012:養父母、013:養子、014:養子夫婦、077:(養子の離縁後の)法定代理人)であること			
85	新本籍	○	漢字				
86	15歳未満の届出人資格1		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、023:親権者となるべき父、024:親権者となるべき母、026:親権者となるべき養父、027:親権者となるべき養母、078:特別代理人、110:未成年後見人、111:未成年後見人となるべき者)であること			
87	15歳未満の届出人資格2		数字	同上			
88	15歳未満の届出人民名1		漢字				
89	15歳未満の届出人国籍1		漢字				
90	15歳未満の届出人生年月日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
91	15歳未満の届出人氏名2		漢字				
92	15歳未満の届出人国籍2		漢字				
93	15歳未満の届出人生年月日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			
94	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
95	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
96	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
97	配偶者カナ氏名		カナ				
98	配偶者漢字氏名		漢字				
99	配偶者父氏名		漢字				
100	配偶者母氏名		漢字				
101	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
102	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
103	配偶者住所		漢字				
104	離縁後変更養父氏名		漢字				

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
105	離縁後変更養母氏名		漢字						
106	親権移記親権者区分		数字	(001:父.002:母、010:養父、011:養母)であること					

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する離縁形態区分の設定および表示内容について記述する	
1	(No.1)〔養子と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 1とする 「養子と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 1:養子と養父の離縁
2	(No.2)〔養子と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 2とする 「養子と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 2:養子と養母の離縁
3	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 3とする 「養子と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 3:養子と養父母の離縁
4	(No.3)〔養女と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 4とする 「養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 4:養女と養父の離縁
5	(No.4)〔養女と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 5とする 「養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 5:養女と養母の離縁
6	(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 6とする 「養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 6:養女と養父母の離縁
7	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 7とする 「養子夫婦と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の離縁
8	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 8とする 「養子夫婦と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の離縁
9	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 9とする 「養子と養父及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 9:養子と養父　かつ　養女と養母の離縁
10	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 10とする 「養子と養父及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 10:養子と養父　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養女と養母の離縁)
11	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 11とする 「養子と養父及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 11:養子と義母　かつ　養女と養父の離縁

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
12	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 12とする 「養子と養母及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 12:養子と養母　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養女と養父の離縁)
13	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 13とする 「養子と養父母及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 13:養子と養父母　かつ　養女と養父の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養子と養母の離縁)
14	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 14とする 「養子と養父母及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 14:養子と養父母　かつ　養女と養母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養子と養父の離縁)
15	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 15とする 「養子夫婦と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 15:養子夫婦と養父母の離縁

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	離縁形態区分 ＝ 1(養子と養父の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		入力がある場合に、外国人区分は必須入力項目
2	離縁形態区分 ＝ 2(養子と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
3	離縁形態区分 ＝ 3(養子と養父母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
4	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
5	離縁形態区分 ＝ 5(養女と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
6	離縁形態区分 ＝ 6(養女と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
7	離縁形態区分 ＝ 7(養子夫婦と養父の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
8	離縁形態区分 ＝ 8(養子夫婦と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
9	離縁形態区分 ＝ 9（養子と養父　かつ養女と養母の離縁）　又は 離縁形態区分 ＝ 10(養子と養父　かつ養女と養父母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 11(養子と養母　かつ養女と養父の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 12(養子と養母　かつ養女と養父母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 13(養子と養父母　かつ養女と養父の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 14(養子と養父母　かつ養女と養母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 15(養子夫婦と養父母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
10	(No5)同時届区分 ＝ 0(無)の場合、 (No.6)親権･未成年後見人氏名～(No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
11	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 (No.6)親権･未成年後見人氏名 ≠ スペース　かつ (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.86)15歳未満の届出人氏名1であること			
12	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3　又は　4　又は　5　又は　6であること			
13	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ 本籍であれば (No.8)親権･未成年後見人筆頭者 ≠ スペースであること			
14	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ 国籍であれば(No.8)親権･未成年後見人筆頭者 ＝ スペース　かつ (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ (No.89)15歳未満の届出人国籍1であること			
15	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)の場合、 (No.9)同時親権届の種別 ≠ スペース　かつ (No.10)同時親権者の資格 ≠ スペースであること			
16	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ≠ スペース　かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ≠ スペース　かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ≠ スペース　かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ≠ スペース　かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ スペースであること			
17	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)の場合、 (No11)同時親権届出人資格 ＝ スペース　かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ スペース　かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ スペース　かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ スペース　かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ スペースであること			
18	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)　又は　011(養母)であること			
19	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)　又は　010(養父)であること			
20	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)　又は　011(養母)であること			
21	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)　又は　010(養父)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.32)養子の父氏名であること			
23	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.33)養子の母氏名であること			
24	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.32)養子の父氏名であること			
25	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.33)養子の母氏名であること			
26	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.47)養女の父氏名であること			
27	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.48)養女の母氏名であること			
28	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.47)養女の父氏名であること			
29	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.48)養女の母氏名であること			
30	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　又は　001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
31	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)　又は　002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
32	(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)　又は　010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
33	(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)　又は　011(養母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
34	(No.15)送付日 ＝ スペースの時、(No.16)発送元 ＝ スペースであること			
35	(No.15)送付日 ≠ スペースの時、(No.16)発送元 ≠ スペースであること			
36	(No.15)送付日 ≠ スペースの時、(No.15)送付日 ≧ (No14)受領日であること			
37	(No.15)送付日 ＝ スペースの時、(No.17)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
38	(No.16)発送元 ≠ スペースの時、(No.17)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
39	(No.16)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.16)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.17)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
40	(No.16)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.16)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.17)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
41	(No.18)処理日 ≠ スペースの時、(No.18)処理日 ＞ (No14)受領日であること			
42	(No.20)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)送付日 ＝ スペースであること			
43	(No.20)郵送日 ≠ スペースの時、(No.20)郵送日 ≦ (No.14)受領日であること			
43	(No.19)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.23)養子の本非区分 ＝ 1　又は　(No.38)養女の本非区分 ＝ 1　又は (No.53)養父の本非区分 ＝ 1　又は　(No.64)養母の本非区分 ＝ 1　又は (No.85)新本籍 ＝ 管内本籍地であること			(No.19)本非区分は養子離縁同時73の2届の本非区分と位置付ける。 親権・未成年後見届は関係しない。
44	(No.20)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.23)養子の本非区分 ＝ 2　かつ(No.38)養女の本非区分 ＝ 2　かつ (No.53)養父の本非区分 ＝ 2　かつ(No.64)養母の本非区分 ＝ 2　かつ (No.85)新本籍 ＝ 管外本籍地であること			
45	(No.21)報告区分 ＝ 1(創設的届出)の場合、 (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No81)離縁成立日 ＝ スペースであること			
46-1	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No80)離縁成立日 ＝ スペースの場合、 (No.21)報告区分 ＝ 1(創設的届出)であること			
46-2	(No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)の場合、 (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No81)離縁成立日 ≠ スペース)　又は (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は 6(認諾)であること			
47	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No81)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			外国の方式による離縁の入力チェック
48	(No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾)の場合、 (No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			
49	養子に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分　かつ　(No.23)養子の本非区分　かつ　(No.24)養子の生年月日　かつ (No.25)養子の生死区分　かつ　(No.26)養子のカナ氏名　かつ　(No.27)養子の漢字氏名　かつ (No.28)養子の本・国籍　かつ　(No.34)養子の父母との続柄コードに入力があること			養子に入力がある場合の必須入力項目
	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	(No.24)養子の生年月日 ＝ (和暦)　かつ　(No.28)養子の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.30)養子の筆頭者 ≠ スペース　かつ　(No.35)養子の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ (No.36)養子の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
51	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.23)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.24)養子の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.28)養子の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.30)養子の筆頭者 ＝ スペース　かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
52	(No.23)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.28)養子の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
53	(No.23)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.28)養子の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
54	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.25)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
55	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.25)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾) かつ　(No.84)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
56	(No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
57	(No.29)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.31)養子の世帯主 ＝ スペースであること			
58				
59				
60				
61	(No.35)養子の筆頭者区 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.27)養子の漢字氏名 ＝ (No.30)養子の筆頭者であること			
61-1	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.27)養子の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.30)養子の筆頭者氏名の｢氏｣であること			
62	養女に入力がある場合、 (No.37)養女の外国人区分　かつ　(No.38)養女の本非区分　かつ　(No.39)養女の生年月日　かつ (No.40)養女の生死区分　かつ　(No.41)養女のカナ氏名　かつ　(No.42)養女の漢字氏名　かつ			養女に入力がある場合の必須入力項目

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	(No.43)養女の本･国籍　かつ　(No.49)養女の父母との続柄コードに入力があること			
63	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.39)養女の生年月日 ＝ (和暦)　かつ　(No.43)養女の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.45)養女の筆頭者 ≠ スペース　かつ　(No.50)養女の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ (No.51)養女の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
64	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.38)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.39)養女の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.43)養女の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.45)養女の筆頭者 ＝ スペース　かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
65	(No.38)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.43)養女の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
66	(No.38)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.43)養女の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
67	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.40)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
68	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.40)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾) かつ　(No.84)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
69	(No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
70	(No.44)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.46)養女の世帯主 ＝ スペースであること			
71				
72				
73				
74	(No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.42)養女の漢字氏名 ＝ (No.45)養女の筆頭者であること			
74-1	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.42)養女の漢字氏名の「氏」＝ (No.45)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
75	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) のとき (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
76	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) のとき (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
76-1				
77	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ(No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき (No.94)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
78	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ(No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき (No.94)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
79	養父に入力がある場合、 (No.52)養父の外国人区分　かつ　(No.53)養父の本非区分　かつ　(No.54)養父の生年月日　かつ (No.55)養父の生死区分　かつ　(No.56)養父のカナ氏名　かつ　(No.57)養父の漢字氏名　かつ (No.58)養父の本･国籍　かつ　(No.61)養父の縁組成立法区分に入力があること			養父に入力がある場合の必須入力項目
80	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.54)養父の生年月日 ＝ (和暦)　かつ(No.58)養父の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.59)養父の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
81	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.53)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.54)養父の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.58)養父の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.59)養父の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
81-1	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.59)養父の筆頭者氏名の氏であること			
82	(No.53)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.58)養父の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
83	(No.53)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.58)養父の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
84	(No.60)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.61)養父の世帯主 ＝ スペースであること			
85	(No.61)養父の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.60)養父の住所 ≠ スペースであること			
86	養母に入力がある場合、 (No.63)養母の外国人区分　かつ　(No.64)養母の本非区分　かつ　(No.65)養母の生年月日　かつ (No.66)養母の生死区分　かつ　(No.67)養母のカナ氏名　かつ　(No.68)養母の漢字氏名　かつ (No.69)養母の本･国籍　かつ　(No.73)養母の縁組成立法区分に入力があること			養母に入力がある場合の必須入力項目
87	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.65)養母の生年月日 ＝ (和暦)　かつ　(No.69)養母の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.70)養母の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
88	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.64)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.65)養母の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.69)養母の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.70)養母の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
88-1	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.68)養母の漢字氏名の氏 ＝ (No.70)養母の筆頭者氏名の氏であること			
89	(No.64)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.69)養母の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
90	(No.64)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.69)養母の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
91	(No.71)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.72)養母の世帯主 ＝ スペースであること			
92	(No.72)養母の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.71)養母の住所 ≠ スペースであること			
93				
94	(No.75)縁組年月日 ＜ (No.14)受領日、(No.79)裁判確定日、(No.80)離縁許可日、 (No.81)離縁成立日であること			
95	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.78)離縁の申立人区分 ＝ スペース　かつ (No.79)裁判確定日 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
96	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.79)離縁許可日 ≠ スペースの場合、 (No.81)離縁成立日 ＝ スペース　かつ　(No.82)離縁の方式 ＝ スペース　かつ (No.83)外国裁判所名 ＝ スペース　かつ (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ スペースであること			死亡者との離縁
97	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.81)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.80)離縁許可日 ＝ スペースであること			
98	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.82)離縁の方式 ≠ スペースであれば (No.84)外国裁判所名 ＝ スペースであること			外国方式での離縁
99	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.84)外国裁判所名 ≠ スペースであれば (No.82)離縁の方式 ＝ スペースであること			外国の裁判所で協議された離縁
99-1	(No.82)離縁の方式 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
99-2	(No.84)外国裁判所名 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
100	(No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾) の場合、 (No.78)離縁の申立人区分 ≠ スペース　かつ　(No.79)裁判確定日 ≠ スペース　かつ (No.80)離縁許可日 ＝ スペース　かつ　(No.81)離縁成立日 ＝ スペース　かつ (No.82)離縁の方式 ＝ スペース　かつ (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			裁判による離縁
101	(No.78)離縁の申立人区分 ≠ スペースの場合、 (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			
102	(No.79)裁判確定日 ≦ (No.14)受領日であること			
103	(No.80)離縁許可日 ≦ (No.14)受領日であること			
104	(No.81)離縁成立日 ≦ (No.14)受領日であること			
105	(No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)　かつ 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3の場合、 (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > (No.14)受領日　かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
106	(No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)　かつ 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > (No.14)受領日　かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
107	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2～ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2までがすべてスペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は、資格1が必須入力項目
108	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 (No.91)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース　かつ (No.92)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース　かつ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
109	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの場合、 (No.88)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
110	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの場合、 (No.91)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
111	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.89)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース　かつ (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
112	(No.89)15歳未満の届出人国籍1 ＝ スペースの場合、 (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ スペースであること			
113	(No.89)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペースの場合、 (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			
114	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.92)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース　かつ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
115	(No.92)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペースの場合、 (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
116	(No.92)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペースの場合、 (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			
117	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)　又は 111(未成年後見人となるべき者)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
118	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　又は　011(養母)　又は　017(親権者母)　又は 020(親権者養母)　又は　024(親権者となるべき母)　又は　027(親権者となるべき養母) 又は　スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
119	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)　又は　010(養父)　又は　016(親権者父)　又は 019(親権者養父)　又は　023(親権者となるべき父)　又は　026(親権者となるべき養父) 又は　スペースであること			
120	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　又は　011(養母)　又は　017(親権者母)　又は 020(親権者養母)　又は　024(親権者となるべき母)　又は　027(親権者となるべき養母) 又は　スペースであること			
121	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)の場合、 (No.97)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)　又は　010(養父)　又は　016(親権者父)　又は 019(親権者養父)　又は　023(親権者となるべき父)　又は　026(親権者となるべき養父) 又は　スペースであること			
122	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は スペースであること			
123	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は スペースであること			
124	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は スペースであること			
125	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は スペースであること			
126	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　又は 027(親権者となるべき養母)　又は　スペースであること			
127	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)　又は 026(親権者となるべき養父)　又は　スペースであること			
128	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　又は 027(親権者となるべき養母)　又は　スペースであること			
129	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)　又は 026(親権者となるべき養父)　又は　スペースであること			
130				
131				
132				
133				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
134				
135				
136				
137				
138	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)　又は 111(未成年後見人となるべき者) の場合、 (No.5)同時届区分 ＝ 0(無)　又は　2(未成年後見開始届)であること			
141	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.97)配偶者カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.98)配偶者漢字氏名 ≠ スペースであること			
142	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.95) 配偶者筆頭者区分 ≠ スペース　かつ　(No.96)配偶者配偶者区分 ≠ スペース　かつ (No.101)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース　かつ (No.102)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
143	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
144	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ　(No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
145	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
146	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ　(No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
147				
148	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
149				
150	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
152	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.24)養子の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正前のチェック
153	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.39)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正前のチェック
154	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ離縁形態区分 = 1　又は　2　又は　3の場合、 (No.22)養子の外国人区分 = 0(日本人)　かつ (No.24)養子の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.36)養子の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正後のチェック
155	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.37)養女の外国人区分 = 0(日本人)　かつ (No.39)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.51)養女の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正後のチェック
200	(No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届) の場合、 (No.9)同時親権届の種別～ (No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			追加分はNo.200からスタートする No.15の後に挿入
201	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 管内本籍地であること			No.201～No.208はNo.17の後に挿入
202	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
203	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
204	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
205	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 管内本籍地であること			
206	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
207	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
208	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
209	(No.25)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　かつ　(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース　かつ　(No.106)親権移記親権者区分 ＝ スペースであること			No.55の後に挿入
210	(No.40)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　かつ　(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース　かつ　(No.106)親権移記載権者区分 ＝ スペースであること			No.68の後に挿入
211	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)養子のカナ氏名の氏 ＝ (No.41)養女のカナ氏名の氏　かつ (No.27)養子の漢字氏名の氏 ＝ (No.42)養女の漢字氏名の氏であること			養子･養女が日本人のときは同一戸籍であること No.76の後に挿入
212	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.55)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)　又は　(No.66)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の時、 (No.74)養母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)であること			No.212～No.213はNo.92の後に挿入
213	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.74)養母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中)　の時、 (No.56)養父のカナ氏名の氏 ＝ (No.67)養母のカナ氏名の氏　かつ (No.57)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.68)養母の漢字氏名の氏　かつ (No.58)養父の本国籍 ＝ (No.69)養母の本国籍　かつ (No.59)養父の筆頭者 ＝ (No.70)養母の筆頭者であること			養父･養母が日本人で婚姻中のときは、同一戸籍であること
214	(No.10)同時親権者資格　＝ 10(養父)　又は　11(養母)の場合、 (No.104)離縁後変更養父氏名　≠ スペース　又は (No.105)離縁後変更養母氏名　≠ スペースであること			
215	(No.106)親権移記親権区分　＝ 10(養父)　又は　11(養母)の場合、 (No.104)離縁後変更養父氏名　≠ スペース　又は (No.105)離縁後変更養母氏名　≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.1 条件設定		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	備考
	以降、養子離縁同時73条の2届で表示する 同時親権届出人名称の内容について記述する	同時親権届出人名称をカットしたことにより、このページを削除する
1	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	
2	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「母」と表示する	
3	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養父」と表示する	
4	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養母」と表示する	
5	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	
6	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	
7	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 001(父)の場合、 「父母」と表示する	
8	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	
9	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「養父及び母」と表示する	
10	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
11	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
12	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父母」と表示する	

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
	以降、養子離縁同時73条の2届画面で表示する 15歳未満の届出人資格名称の内容について記述する	
1	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 111は「未成年後見人となるべき者」と表示する
2	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	同上
4	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「父及び親権者母」と表示する	同上
5	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「父及び親権者養母」と表示する	同上
6	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
7	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
8	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	同上
9	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び母」と表示する	同上
10	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び母」と表示する	同上
11	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び母」と表示する	同上
12	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.1 条件設定		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	備考
13	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	同上
14	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
17	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「養父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
18	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び養母」と表示する	同上
19	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び養母」と表示する	同上
20	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び養母」と表示する	同上
21	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び養母」と表示する	同上
22	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「親権者父母」と表示する	同上
23	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
24	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
25	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)の場合、 「親権者養父母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
26	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「親権者となるべき父母」と表示する	同上
27	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
28	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
29	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	3.0 関連審査補完					備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/				
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
YES	(0-2)→(0-5)へ		/				
NO	→			(0-3)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-4)→(0-5)へ		/				
(0-5)(養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) である (YES,NO)			/			R2.1(離縁同88)	
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-7)本紙へ		R2.1(離縁同88)	
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ		R2.1(離縁同88) 画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-9)→					R2.1(離縁同88)	
NO	(0-11)→(1)		/			R2.1(離縁同88)	
(1)離縁形態区分 ＝ 1～3のいずれかである(YES,NO)			/				
YES	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/			昭和62.10.1民二5000号通達第三の一	
YES	(3)エラーメッセージ 「15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(4)本紙へ			
NO	(5)→(13)へ		/				
NO	(6)→(7)へ		/				
(7)離縁形態区分 ＝ 4～6のいずれかである(YES,NO)			/				
YES	(8)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/			昭和62.10.1民二5000号通達第三の一	
YES	(9)エラーメッセージ 「15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(10)本紙へ			
NO	(11)→(13)へ		/				
NO	(12)→(13)へ		/				
(13)裁判確定日 ≠ スペースである(YES,NO)			/				
YES	(14)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 裁判確定日(YES,NO)		/			民816条2項	
YES	(15)→(18)へ		/				
NO	(16)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(17)本紙へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
	(18)(裁判確定日 + 1日) + 3ヶ月 > 受領日(YES,NO)			/			民816条2項	
	YES	(19)→(37)へ		/				
	NO	(20)エラーメッセージ 「離縁の日から3ヶ月経過しているので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(21)本紙へ			
NO	(22)→(23)へ			/				
(23)離縁成立日 ≠ スペースである(YES,NO)				/				
YES	(24)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 離縁成立日(YES,NO)			/			民816条2項	
	YES	(25)→(28)へ		/				
	NO	(26)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(27)本紙へ			
	(28)(離縁成立日 + 1日) + 3ヶ月 > 受領日(YES,NO)			/			民816条2項	
	YES	(29)→(37)へ		/				
	NO	(30)エラーメッセージ 「離縁の日から3ヶ月を経過しているので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(31)本紙へ			
NO	(32)→(33)へ			/				
(33)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 受領日(YES,NO)				/			民816条2項	
YES	(34)→(37)へ			/				
NO	(35)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する				(36)本紙へ			
(37)離縁形態区分 = 1～3のいずれかである(YES,NO)				/				
YES	(38)養子の外国人区分 = 1(外国人)である(YES,NO)			/				
	YES	(39)エラーメッセージ 「外国人は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(40)本紙へ			
	NO	(41)→(42)へ		/				
	(42)養子の生死区分 = 1(死亡者)である(YES,NO)			/				
	YES	(43)エラーメッセージ 「死亡者は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(44)本紙へ			
	NO	(45)→(46)へ		/				
	(46)養子の氏 = 縁組前の氏である(YES,NO)			/				
	YES	(47)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(48)本紙へ			
	NO	(49)→(87)へ		/				
NO	(50)→(51)へ			/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

(51)離縁形態区分 ＝ 4～6のいずれかである(YES,NO)				/		
YES	(51)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/		
	YES	(53)エラーメッセージ 「外国人は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(54)本紙へ	
	NO	(55)→(56)へ		/		
	(56)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/		
	YES	(57)エラーメッセージ 「死亡者は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(58)本紙へ	
	NO	(59)→(60)へ		/		
	(60)養女の氏 ＝ 縁組前の氏　である(YES,NO)			/		
	YES	(61)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(62)本紙へ	
	NO	(63)→(87)へ		/		
NO	(64)→(65)へ			/		
(65)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)				/		
YES	(66)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/		
	YES	(67)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(68)本紙へ	
	NO	(69)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)　である(YES,NO)		/		
		YES	(70)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(71)本紙へ	
		NO	(72)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　である(YES,NO)	/		
			YES (72.1)→(83)へ	/		
			NO (72.2)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(72.3)本紙へ	
NO	(73)→(74)へ			/		
(74)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)				/		
YES	(78)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)　である(YES,NO)			/		
	YES	(79)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(80)本紙へ	
	NO	(81)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　である(YES,NO)		/		
		YES (81.1)→(83)へ		/		
		NO (81.2)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」		/	(81.3)本紙へ	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
			「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する						
NO	(82)→(83)へ				/				
(83)養子の氏 ＝ 縁組前の氏である (YES,NO)					/				
YES	(84)エラーメッセージ「縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する					(85)本紙へ			
NO	(86)→(87)へ				/				
(87)離縁形態区分 ＝ 1 又は 4 又は 7 である (YES,NO)					/				
YES	(88)養父の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である (YES,NO)				/				
	YES	(89)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)である (YES,NO)			/				
		YES	(90)エラーメッセージ「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」を表示する			(91)本紙へ			
		NO	(92)確認メッセージ(YES,NO)「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」を表示する						
			YES	(93)→(115)へ	/				
			NO	→		(94)本紙へ	不受理		
	NO	(95)→(115)へ			/				
NO	(96)→(97)へ				/				
(97)離縁形態区分 ＝ 2 又は 5 又は 8 である (YES,NO)					/				
YES	(98)養母の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である (YES,NO)				/				
	YES	(99)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)である (YES,NO)			/				
		YES	(100)エラーメッセージ「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」を表示する			(101)本紙へ			
		NO	(102)確認メッセージ(YES,NO)「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」を表示する						
			YES	(103)→(115)へ	/				
			NO	→		(104)本紙へ	不受理		
	NO	(105)→(115)へ			/				
NO	(106)→(107)へ				/				
(107)養父の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外) かつ 養母の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である (YES,NO)					/				
YES	(108)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/				
	YES	(109)エラーメッセージ「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」を表示する				(110)本紙へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
	NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」を表示する						
		YES (112)→(115)へ		/				
		NO →			(113)本紙へ	不受理		
NO	(114)→(115)へ			/				
(115)離縁形態区分 ＝ 7～15のいずれかである(YES,NO)				/		養子･養女の双方に入力がある場合、本システムでの処理可能な条件。 ･双方生存者の場合は夫婦であること ･片方又は双方が死亡者の場合、養子･養女は同一戸籍であること (生存中は夫婦であったこと) 上記の条件に合わないもので正当な届は、審査結果入力で処理する。		
YES	(116)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日である(YES,NO)			/				
	YES	(117)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」表示する			(118)本紙へ			
	NO	(119)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日である(YES,NO)		/				
		YES (120)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(121)本紙へ			
		NO (122)→(123)へ		/	(104)本紙へ			
	(123)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/				
	YES	(124)養子の本･国籍 ＝ 養女の本･国籍 かつ 養子の筆頭者 ＝ 養女の筆頭者である(YES,NO)		/		養子と養女が双方日本人の場合 養子と養女は同一戸籍にいるか(本籍人であれば戸籍番号で確認可能)		
		YES (125)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)		/				
		YES (126)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)		/				
		YES (127)→(138)へ		/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ		
		NO (128)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(128)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー		
		NO (129)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか。」を表示する(応答後(138)へ)				片方死亡の場合、婚姻していた事実があれば次の処理へ		
		NO (130)エラーメッセージ 「養子･養女が同一戸籍にいません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				双方日本人で別戸籍にいる場合はエラー		
	NO	(131)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/		片方が外国人の場合		
		YES (132)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)		/				
		YES (133)→(138)へ		/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ		
		NO (134)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(133)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
		NO	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか。」を表示する				片方死亡の場合、婚姻していた事実があれば次の処理へ		
NO	(137)→(138)へ				/				
(138)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 7 又は 9 又は 10 又は 13 又は 14 又は 15 である(YES,NO)					/				
YES	(139)養子の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)				/				
	YES	(140)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(143)へ)				(141)本紙へ	養子が養父より年上でも離縁は可能(民805)(取消し要件であって、無効要件ではない)		
	NO	(142)→(143)へ			/				
	(143)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)				/				
	YES	(144)エラーメッセージ 「養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する				(145)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		
	NO	(146)→(148)へ			/				
NO	(147)→(148)へ				/				
(148)離縁形態区分 ＝ 4 又は 6 又は 7 又は 10 又は 11 又は 12 又は 13 又は 15 である(YES,NO)					/				
YES	(149)養女の生年月日 < 養父の生年月日である(YES,NO)				/				
	YES	(150)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(153)へ)				(151)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって、無効要件ではない)		
	NO	(152)→(153)へ			/				
	(153)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)				/				
	YES	(154)エラーメッセージ 「養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する				(155)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		
	NO	(156)→(158)へ			/				
NO	(157)→(158)へ				/				
(158)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 8 又は 11 又は 12 又は 13 又は 14 又は 15 である(YES,NO)					/				
YES	(159)養子の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)				/				
	YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(163)へ)				(161)本紙へ	養子が養母より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって、無効要件ではない)		
	NO	(162)→(163)へ			/				
	(103)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)				/				
	YES	(164)エラーメッセージ 「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する				(165)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)					

		「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する				
	NO	(166)→(168)へ		/		
NO	(167)→(168)へ			/		
(168)離縁形態区分 ＝ 5 又は 6 又は 8 又は 9 又は 10 又は 12 又は 14 又は 15 である(YES,NO)				/		
YES	(169)養女の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)			/		
	YES	(170)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(173)へ)			(171)本紙へ	養女が養母より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって、無効要件ではない)
	NO	(172)→(173)へ		/		
	(173)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)			/		
	YES	(174)エラーメッセージ 「養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する			(175)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)
	NO	(176)→(178)へ		/		
NO	(177)→(178)へ			/		
(178)離縁形態区分 ＝ 9～15 のいずれかである(YES,NO)				/		
YES	(179)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)			/		
	YES	(180)養父の生死区分 ＝ 1(死亡)又は養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
		YES	(181)エラーメッセージ 「養子及び養新の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(182)本紙へ	養子の一方及び養親一方が死亡者の離縁届が1通処理可能な場合は審査結果入力とする
		NO	(183)→(184)へ	/		
	NO					
NO						
(184)離縁形態区分 ＝ 1～3 又は 7～15のいずれかである(YES,NO)				/		
YES	(185)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/		
	YES	(186)養子の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)		/		
		YES	(187)→(195)へ	/		
		NO	(188)エラーメッセージ 「養子の身分事項に縁組事項がありません」を表示する		(189)本紙へ	民811①
	(190)			/		(190)～(193)は削除
		(191)				
			(192)		(193)	
				/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)					

	NO	(194)→(195)へ				
NO						
(195)離縁形態区分 ＝ 4～15のいずれかである(YES,NO)				/		
YES	(196)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/		
	YES	(197)養女の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)		/		
		YES	(198)→(206)へ	/		
		NO	(199)エラーメッセージ 「養女の身分事項に縁組事項がありません」を表示する		(200)本紙へ	民811①
		(201)		/		(201)、(202) は削除
			(202)	/		
			(203)		(204)	(203)、(204)は削除
				/		
	NO	(205)→(206)へ				
NO						
(206)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15のいずれかである(YES,NO)				/		
YES	(207)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/		
	YES	(208)養父の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)		/		
		YES	(209)→(217)へ	/		
		NO	(210)確認メッセージ(YES,NO) 「養父と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(217)へ)		(211)本紙へ	民811①
		(212)		/		(212)～(215)は削除
			(213)			
			(214)		(215)	
				/		
	NO	(216)→(217)へ				
NO						
(217)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15のいずれかである(YES,NO)				/		
YES	(218)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/		
	YES	(219)養母の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)		/		
		YES	(220)→(228)へ	/		
		NO	(221)確認メッセージ(YES,NO) 「養母と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(228)へ)		(222)本紙へ	民811①

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
			「養母と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(228)へ)					
		(223)		/		(223)は削除		
			(224)	/		(224)～(226)は削除		
			(225)		(226)			
				/				
	NO	(227)→(228)へ						
NO								
(228)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)				/				
YES	(229)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースである(YES,NO)			/				
	YES	(230)エラーメッセージ 「特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい」を表示する			(231)本紙へ			
	NO	(232)→(233)へ		/				
NO								
(233)離縁の準拠法確定 [3.1]				/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定						備考	
(1)離縁形態区分 ＝ 1　又は　3　又は　4　又は　6　又は　7　又は　9～15　のいずれかである (YES,NO)					/		離縁は縁組当時の養親の本国籍が適用されるので、そのチェックを行う。(通則法31②) 養親の本国(外国)法で成立した縁組の離縁については、システム審査ができないので、目検で審査する。	
YES	(2)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/			
	YES	(3)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/			
		YES	(4)→(12)へ		/			
		NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する(応答後(12)へ)		/			
	NO		(7)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/			
		YES	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する		/			
		NO	(10)→(12)へ		/			
NO	(11)→(12)へ				/			
(12)離縁形態区分 ＝ 2　又は　3　又は　5　又は　6　又は　8～15　のいずれかである(YES,NO)					/			
YES	(13)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/			
	YES	(14)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/			
		YES	(15)→(23)へ		/			
		NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する(応答後(23)へ)		/			
	NO		(18)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)					
		YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する		/			
		NO	(21)→(23)へ		/			
NO	(22)→(23)へ				/			
(23)離縁形態区分 ＝ 1　又は　3　又は　4　又は　6　又は　7　又は　9～15のいずれかである (YES,NO)					/			
YES	(24)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				/			
	YES	(25)日本法での離縁		[3.1.1]	/			
	NO	(26)外国法での離縁		[3.1.2]	/			
NO	(27)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				/			
	YES	(28)日本法での離縁		[3.1.1]	/			
	NO	(29)外国法での離縁		[3.1.2]	/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1 日本法での離縁						備考	
(1)離縁形態区分?					/			
1～3	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
YES	(3)15歳未満の離縁		[3.1.1.1]		/			
NO	(3-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 又は 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合、 受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁同87)	
YES	(3-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である 又は 裁判確定日 = スペース かつ 離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		R2.1(離縁同87)	
YES	(3-3)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)				/		R2.1(離縁同87)	
YES	(3-4)未成年の離縁		[3.1.1.2]		/		R2.1(離縁同87)	
NO	(3-5)離縁種別の確認		[3.2]		/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年、R2.1(離縁同87	
NO	(3-6)離縁種別の確認		[3.2]		/		R2.1(離縁同87)	
NO	(4)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である 又は 裁判確定日 = スペース かつ 離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
YES	(5)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)				/			
YES	(6)未成年の離縁		[3.1.1.2]		/			
NO	(7)離縁種別の確認		[3.2]		/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年	
							R2.1(5)～(7)と重複のため削除	
							R2.1(5)～(7)と重複のため削除	
							R2.1(5)～(7)と重複のため削除	
NO	(8)離縁種別の確認		[3.2]		/			
4～6	(9)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
YES	(10)15歳未満の離縁		[3.1.1.1]		/			
NO	(10-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 又は 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合、 受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁同87)	
YES	(10-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、				/		R2.1(離縁同87)	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名					審査(養子離縁同時73条の2届)					
処理名					3.1.1 日本法での離縁				備考	
					養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/			
			YES		(10-3)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/			R2.1(離縁同87)
				YES	(10-4)未成年の離縁	[3.1.1.2]	/			R2.1(離縁同87)
				NO	(10-5)離縁種別の確認	[3.2]	/			配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年、R2.1(離縁同87
			NO		(10-6)離縁種別の確認	[3.2]	/			R2.1(離縁同87)
		NO			(11)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/			
			YES		(12)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/			
				YES	(13)未成年の離縁	[3.1.1.2]	/			
				NO	(14)離縁種別の確認	[3.2]	/			配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年
			NO		(15)離縁種別の確認	[3.2]	/			
7～15	(16)離縁種別の確認					[3.2]	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁

							備考
(0)離縁形態区分?					/		
1,2,3	(0.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.2)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/		
		YES	(0.3)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.4)→(0.8)へ	/		
			NO	(0.5)→		(0.6)本紙へ	不受理
		NO	(0.7)→(0.8)へ		/		
	NO				/		
	(0.8)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.9)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/		
		YES	(0.10)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.11)→(0.15)へ	/		
			NO	(0.12)→		(0.13)本紙へ	不受理
		NO	(0.14)→(0.15)へ		/		
	NO				/		
	(0.15)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.16)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1 である(YES,NO)			/		
		YES	(0.17)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.18)→(0.22)へ	/		
			NO	(0.19)→		(0.20)本紙へ	不受理
		NO	(0.21)→(0.22)へ		/		
	NO				/		
	(0.22)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.23)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/		
		YES	(0.24)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
			「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
		YES	(0.25)→(1)へ		/			
		NO	(0.26)→			(0.27)本紙へ	不受理	
	NO		(0.28)→(1)へ		/			
NO					/			
4,5,6	(0.29)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/			
YES	(0.30)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)				/			
	YES	(0.31)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
		YES	(0.32)→(0.36)へ		/			
		NO	(0.33)→			(0.34)本紙へ	不受理	
	NO		(0.35)→(0.36)へ		/			
NO					/			
	(0.36)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/			
YES	(0.37)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)				/			
	YES	(0.38)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
		YES	(0.39)→(0.43)へ		/			
		NO	(0.40)→			(0.41)本紙へ	不受理	
	NO		(0.42)→(0.43)へ		/			
NO					/			
	(0.43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/			
YES	(0.44)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1 である(YES,NO)				/			
	YES	(0.45)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する						
		YES	(0.46)→(0.50)へ		/			
		NO	(0.47)→			(0.48)本紙へ	不受理	
	NO		(0.49)→(0.50)へ		/			
NO					/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
	(0.50)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/				
	YES	(0.51)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2 である(YES,NO)		/				
		YES	(0.52)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES (0.53)→(1)へ	/				
			NO (0.54)→		(0.55)本紙へ		不受理	
		NO	(0.56)→(1)へ	/				
	NO			/				
(1)離縁形態区分?				/				
1,4	(2)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) 又は 養父の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養父の配偶者区分は(夫)である(YES,NO)			/			養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)			(4)本紙へ			
		YES	(5)→(8.1)へ	/				
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する (応答後(8.1)へ)		(7)本紙へ			
	NO		(8)→(8.1)へ	/				
	(8.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/			死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる	
	YES	(8.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)		/				
		YES	(8.2)→(19.5)へ	/				
		NO	(8.3)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する(応答後(19.5)へ)		(8.4)本紙へ			
	NO		(8.5)→(19.5)へ	/				
2,5	(9)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) 又は 養母の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養母の配偶者区分は(妻)である(YES,NO)			/			養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)			(11)本紙へ			
		YES	(12)→(15.1)へ	/				
		NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する (応答後(15.1)へ)		(14)本紙へ			
	NO		(15)→(15.1)へ	/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
	(15.1)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/			死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる	
	YES	(15.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)		/				
		YES	(15.2)→(19.5)へ	/				
		NO	(15.3)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する(応答後(19.5)へ)		(15.4)本紙へ			
	NO	(15.5)→(19.5)へ		/				
3,6	(16)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)			/				
	YES	(17)→(19.5)へ		/				
	NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する(応答後(19.1へ)			(19)本紙へ			
	(19.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)かつ養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/			死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる。	
	YES	(19.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)		/				
		YES	(19.2)→(19.5)へ	/				
		NO	(19.3)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する(応答後(19.5)へ)		(19.4)本紙へ			
	NO	(19.4.1)→(19.5)へ		/				
(19.5)離縁の種別 ＝ 1(協議離縁)かつ離縁成立日 ＝ スペースである(YES,NO)				/				
YES	(19.6)養父の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養父の氏名 ＝ 届出人氏名2　又は 養母の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養母の氏名 ＝ 届出人氏名2である(YES,NO)			/			養子離縁の利益相反審査	
	YES	(19.7)確認メッセージ(YES,NO) 「協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか。」を表示する(応答後(20)へ)						
	NO	(19.8)→(20)へ		/				
NO								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
(20)15歳未満の届出人資格1　又は　16歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は 017(親権者母)　又は　019(親権者養父)　又は　020(親権者母)である(YES,NO)				/				
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)				(22)本紙へ		現在の親権者が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
NO	(23)→(24)へ			/				
(24)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)				/				
YES	(25)離縁形態区分 ＝ 1又は2又は3である(YES,NO)			/				
	YES	(26)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/				
		YES	(27)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				
			YES	(28)→(47)へ	/			
			NO	(29)エラーメッセージ 「養子には未成年後見人がいません」を表示する		(30)本紙へ	後見事項がなければエラー	
		NO		(31)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
	NO	(32)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/			
		YES	(33)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)		/			
			YES	(34)→(47)へ	/			
			NO	(35)エラーメッセージ 「養子には後見人がいません」を表示する		(36)本紙へ	未成年後見事項がなければエラー	
		NO		(37)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
NO	(38)→(39)へ				/			
(39)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)である(YES,NO)					/			
YES	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)				(41)本紙へ		未成年後見人選任を証する書面があることが審査の要件となる	
NO	(42)→(43)へ				/			
(43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)					/			
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)				(46)本紙へ		特別代理人選任を証する書面があることが審査の要件となる	
NO	(46)→(47)へ				/			
(47)離縁形態区分 ＝ 3　又は　6である(YES,NO)					/			
YES	(48)養母の縁組成立区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)				/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
	YES	(49)外国法での離縁	[3.1.2]	/			養母が外国人の場合は外国法での審査を行う	
	NO	(50)→(51)へ		/				
NO				/				
(51)離縁種別の確認			[3.2]	/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.2 未成年の離縁						備考	
(1)離縁形態区分?					/			
1,4	(2)養父の配偶者区分 ＝ 1(夫)である(YES,NO)				/		養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(4)本紙へ		
		YES	(5)離縁種別の確認	[3.2]	/			
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(7)本紙へ		
			YES	(8)離縁種別の確認	[3.2]	/		
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認へ)	[3.2]	/		
	NO	(10)離縁種別の確認			[3.2]	/		
2,5	(11)養母の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)				/		養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(13)本紙へ		
		YES	(14)離縁種別の確認	[3.2]	/			
		NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(16)本紙へ		
			YES	(17)離縁種別の確認	[3.2]	/		
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認へ)	[3.2]	/		
	NO	(19)離縁種別の確認			[3.2]	/		
3,6	(20)養父母離婚区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)				/			
	YES	(21)→(24)へ				/		
	NO	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(24)へ)				(23)本紙へ		
	(24)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)				/			
	YES	(25)外国法での離縁			[3.1.2]	/	養母が外国人の場合は外国法での審査を行う	
	NO	(26)離縁種別の確認			[3.2]	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.1.2 外国法での離縁

					備考
(0)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) 又は 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) 又は 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) 又は 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/		
YES	(0.1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人からだけの証書提出ではないですね。」を表示する		/		
	YES	(0.2)→(0.6)へ	/		
	NO	(0.3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.4)本紙へ	
NO	(0.5)→(0.6)へ		/		
(0.6)離縁の種別 ＝ 1(協議)(YES,NO)			/		
YES	(0.7)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である。		/		
	YES	(0.8)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する		(9)本紙へ	
	NO	(0.10)→(0.11)へ	/		
	(0.11)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)である。		/		
	YES	(0.12)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する		(0.13)本紙へ	
	NO	(0.14)→(1)へ	/		
NO	(0.15)→(1)へ		/		
(1)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15 かつ 養父の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか」を表示する(応答後(4)へ)			(3)本紙へ	
	(4)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)		/		
	YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する (応答後(8)へ)		(6)本紙へ	
	NO	(7)→(8)へ	/		報告的届出は確認メッセージ不要
	(8)離縁形態区分 ＝ 3又は6又は9～15である(YES,NO)		/		
	YES	(9)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/		
		YES (10)→(14)へ	/		
		NO (11)日本法での離縁 [3.1.1]	/		
	NO	(12)離縁種別の確認 [3.2]	/		
NO	(13)→(14)へ		/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.2 外国法での離縁						備考	
(14)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書がありますか」を表示する(応答後(16)へ)						(15)本紙へ		
(16)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)				/				
YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					(18)本紙へ		
	YES	(19)離縁種別の確認	[3.2]	/				
	NO	→ (応答後、離縁種別の確認へ)	[3.2]	/				
NO	(21)離縁種別の確認		[3.2]	/			報告的届出は確認メッセージ不要	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.2 離縁種別の確認

						備考
(1)離縁の種別 ＝ 1(協議)である(YES,NO)				/		
YES	(2)離縁許可日 ≠ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(3)離縁形態区分?		/		
		1	(4)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/		
			YES (5)確認メッセージ(YES,NO)「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)		(6)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO (7)エラーメッセージ「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		2		/		
		2	(8)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/		
			YES (9)確認メッセージ(YES,NO)「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)		(10)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO (11)エラーメッセージ「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		3	(12)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/		
			YES (13)確認メッセージ(YES,NO)「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)		(14)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO (15)エラーメッセージ「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		4	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/		
			YES (17)確認メッセージ(YES,NO)「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)		(18)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO (19)エラーメッセージ「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		5	(20)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/		
			YES (21)確認メッセージ(YES,NO)「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)		(22)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
	NO	(23)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
6		(24)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)		/				
	YES	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(26)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
	NO	(27)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
7		(28)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)		/				
	YES	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(30)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
	NO	(31)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
8		(32)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は 養母の生死区分～1(死亡)　である(YES,NO)		/				
	YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(34)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
	NO	(35)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
9 ～ 15		(36)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　又は　養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である (YES,NO)						
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(38)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
	NO	(39)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	(40)戸籍異動の確認 [3.3]			/				
NO	(41)離縁成立日 ≠ スペースである(YES,NO)			/				
YES	(42)確認メッセージ(YES,NO) [3.3] 「離縁の証書が添付されていますか。」を表示する (応答後、戸籍異動の確認)			/	(42.1)本紙へ			
NO	(43)→(44)へ							
	(44)離縁形態区分?			/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
1	(45)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(46)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(47)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(48)本紙へ			
2	(49)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(50)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(51)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(52)本紙へ			
3	(53)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)			/				
	YES	(54)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(55)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(56)本紙へ			
4	(57)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(58)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(59)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(60)本紙へ			
5	(61)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(62)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(63)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(64)本紙へ			
6	(65)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)			/				
	YES	(66)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(67)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(68)本紙へ			
7	(69)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)			/				
	YES	(70)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(71)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(72)本紙へ			
8	(73)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)			/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.2 離縁種別の確認

							備考
			養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)				
			YES	(74)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(75)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(76)本紙へ	
		9 ～ 15		(77)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である (YES,NO)	/		
			YES	(78)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(79)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(80)本紙へ	
NO					/		(80-1)削除 R4(離縁同93)
				(80-2)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
			YES	(80-3)エラーメッセージ 「死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。 離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(80-4)本紙へ	死亡者との離縁は、死亡者に変わり裁判所が代行して協議する。審判書が添付されるため、報告的届出として処理することを防ぐための処理
			NO	(80-5)→(81)へ	/		
							(80-1)削除 R4(離縁同93)
				(81)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本･確定証明書(調停･和解･認諾調書の謄本)が添付されていますね。」 を表示する (応答後、(83)へ)		(81.1)本紙へ	
							遷移先修正 2.0(離縁同97)
					/		(82)削除 2.0(離縁同97)
				(83)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)	/		戸73(戸63①の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
			YES	(84)→(89)へ	/		
			NO	(85)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する(応答後、(89)へ)		(86)本紙へ	戸規65 R4(離縁同93)
					/		(88)削除 2.0(離縁同97)
				(89)離縁の申立人区分 ＝ 1(養子)である(YES,NO)	/		
	YES			(90)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子) 又は 014(養子夫婦) 又は 077(養子の離縁後の法定代理人)である(YES,NO)	/		
			YES	(91)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(92)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)	/		戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
			YES	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する		(94)本紙へ	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名				審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名				3.2 離縁種別の確認					備考	
			YES	(95)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
			NO	(96)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する			(97)本紙へ		不受理	
			NO	(98)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO			(99)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母) である(YES,NO)		/				
		YES		(100)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
		NO		(101)裁判確定日 + 10日 > 受領日 (YES,NO)		/			戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答	
			YES	(102)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する			(103)本紙へ			
			YES	(104)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
			NO	(105)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する			(106)本紙へ		不受理	
			NO	(107)戸籍異動の確認 [3.3]		/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年11月1日	版	8.3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.3 戸籍異動の確認

									備考
(0)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)							/		
YES	(0-1)養子の父氏名 ＝ スペース　又は　養子の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)						/		
	YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					/		
		YES	(0-3)→(0-13)へ				/		
		NO	(0-4)					(0-5)本紙へ	不受理
	NO	(0-6)養子の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)					/		
		YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する				/		
			YES	(0-8)→(0-13)へ			/		
			NO	(0-9)				(0-10)本紙へ	不受理
		NO	(0-11)→(0-13)へ				/		
NO	(0-12→(0-13)へ						/		
(0-13)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)							/		
YES	(0-14)養女の父氏名 ＝ スペース　又は　養女の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)						/		
	YES	(0-15)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					/		
		YES	(0-16)→(0-26)へ				/		
		NO	(0-17)					(0-18)本紙へ	不受理
	NO	(0-19)養女の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)					/		
		YES	(0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する				/		
			YES	(0-21)→(0-26)へ			/		
			NO	(0-22)				(0-23)本紙へ	不受理
		NO	(0-24)→(0-26)へ				/		
NO	(0-25)→(0-26)へ						/		
(0-26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)							/		
YES	(0-27)配偶者父氏名 ＝ スペース　又は　配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)						/		
	YES	(0-28)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					/		
		YES	(0-29)→(1)へ				/		
		NO	(0-30)					(0-31)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年11月1日	版	8.3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3 戸籍異動の確認						備考	
	NO	(0-32)配偶者父母との続柄 ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)			/			
		YES	(0-33)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する		/			
			YES	(0-34}→(1)へ	/			
			NO	(0-35)		(0-36)本紙へ	不受理	
		NO	(0-38)→(1)へ		/			
NO	(0-38)→(1)へ				/			
(1)離縁形態区分?					/			
1～3	(2)養子-養親異動			[3.3.1]	/			
4～6	(3)養女-養親異動			[3.3.2]	/			
7～15	(4)養子夫婦-養親異動			[3.3.3]	/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3.1 養子-養親異動						備考	
(1) 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/				
YES	(2) 配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/				
	YES	(3) → (7)へ		/				
	NO	(4)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁においては戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。」 を表示する			(5)本紙へ			
NO	(6) → (7)へ			/				
(7) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母) である(YES,NO)				/				
YES	(8) 確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。」を表示する			/				
	YES	→			(9)本紙へ		受理	
	NO	→					不受理	
NO	→						受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3.2 養女-養親異動						備考	
(1) 養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/				
YES	(2) 配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/				
	YES	(3) → (7)へ		/				
	NO	(4)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁においては戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。」 を表示する			(5)本紙へ			
NO	(6) → (7)へ			/				
(7) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母) である(YES,NO)				/				
YES	(8) 確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。」を表示する			/				
	YES	→			(9)本紙へ		受理	
	NO	→					不受理	
NO	→						受理	

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成13年 3月1日	版	5
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	3.3.3 養子夫婦-養親異動					備考	
(1) 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/				
YES	(2) 養女-養親異動 [3.3.2]		/				
NO	(3)→(4)へ		/				
(4) 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/				
YES	(5)養女-養親異動 [3.3.2]		/				
NO	(6)→(7)へ		/				
(7) 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/				
YES	(8) 養子-養親異動 [3.3.1]		/				
NO	(9)→(11)へ		/				
(11) 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/				
YES	(12) 養子-養親異動 [3.3.1]		/				
NO	(13)→(14)へ		/				
(14) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母) である(YES,NO)			/				
YES	(15) 確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法73条の2は養子夫婦の筆頭者が届出人ですね。」を表示する		/				
	YES	→		(16)本紙へ		受理	
	NO	→				不受理	
NO	→					受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		養子離縁同時73の2届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人のとき0 事件本人全員が外国人のとき2 上記以外のとき1 (親権者･後見人等は含まない)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							養子、養親が本籍分の場合、選択戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理又は2 ＝ 不受理をセットする。

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集・出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決裁を設定	
	届書排他区分								
中間ファイル (届書) 事件別内容	養子と養父区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養子と養父区分					
	養子と養母区分			養子と養母区分					
	養女と養父区分			養女と養父区分					
	養女と養母区分			養女と養母区分					
	同時届区分			同時届区分					
	親権・未成年後見人の個人番号		本籍人検索	親権・未成年後見人の個人番号				本籍人の場合のみ設定	
	親権・未成年後見人の本非区分		養子離縁同時73の2届入力画面	親権・未成年後見人の本非区分					
	親権・未成年後見人の生年月日			親権・未成年後見人の生年月日					
	親権・未成年後見人氏名			親権・未成年後見人氏名					
	親権・未成年後見人本籍コード			親権・未成年後見人本籍コード		有			
	親権・未成年後見人本籍								
	親権・未成年後見人筆頭者			親権・未成年後見人筆頭者					
	同時親権届の種別			同時親権届の種別					
	同時親権者資格			同時親権者資格					
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格					
	同時親権届出人の個人番号		本籍人検索	同時親権届出人個人番号				本籍人の場合のみ設定	
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分					
	同時親権届出人の生年月日			同時親権届出人生年月日					
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	同時親権届出人本籍コード			同時親権届出人本籍		有		
	同時親権届出人本籍							
	養子の個人番号		本籍人検索	養子の個人番号				養子が本籍人の場合のみ設定
	養子の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本・国籍		有		
	養子の本・国籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号		本籍人検索	養女の個人番号				養女が本籍人の場合のみ設定
	養女の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本籍コード			養女の本・国籍		有		
	養女の本・国籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養父の個人番号		本籍人検索	養父の個人番号				養父が本籍人の場合のみ設定
	養父の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本･国籍							
	養父の筆頭者			養父の筆頭者				
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の個人番号		本籍人検索	養母の個人番号				養母が本籍人の場合のみ設定

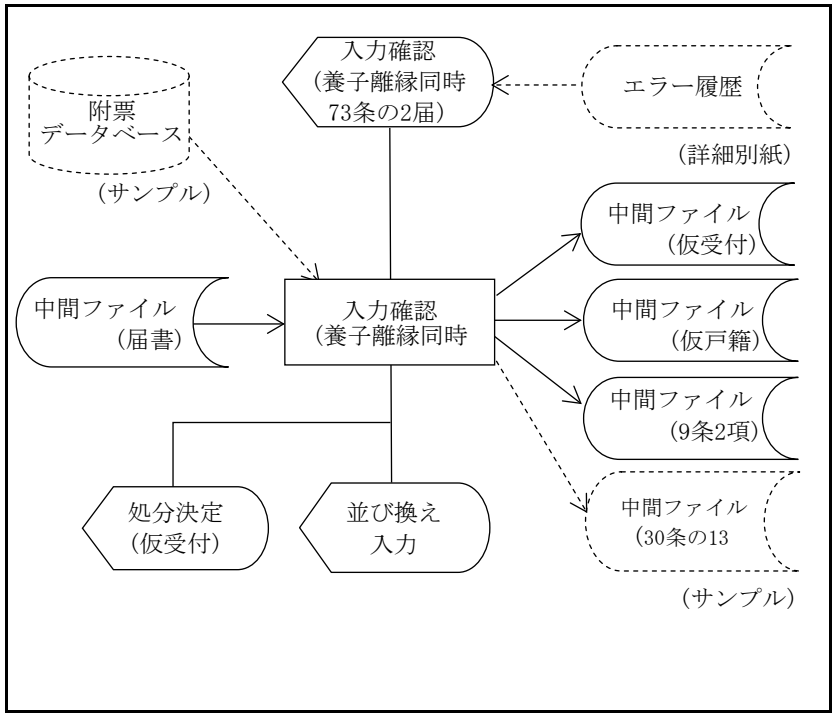
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養母の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本・国籍		有		
	養母の本・国籍							
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				
	縁組年月日			縁組年月日				
	縁組前の氏			縁組前の氏				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	新本籍コード			新本籍		有		
	新本籍							
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1					
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍1					
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1					
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2					
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍2					
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2					
	配偶者個人番号		本籍人検索	配偶者個人番号				配偶者が本籍人の場合のみ設定	
	配偶者外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	配偶者外国人区分					
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分					
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分					
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名					
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名					
	配偶者父氏名			配偶者父氏名					
	配偶者母氏名			配偶者母氏名					
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード					
	配偶者生年月日			配偶者生年月日					
	離縁後住所コード			配偶者住所		有			
	配偶者住所								
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名					
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名					
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分					

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する・・・(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 2.1 離縁マトリックス表
  - 2.2 親権・未成年後見マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 離縁
  - 3.2 戸籍法73条の2
  - 3.3 親権
  - 3.4 未成年後見
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 養子の新戸籍(編製) ※ひな形A.1と異なる場合
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 5.1 養子の新戸籍(編製) ※73条の2の戸籍事項
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 6.1 養子の新戸籍(編製) ※ひな形C.1と異なる場合
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 養子(女)(入籍・離縁)
  - 7.2 養子(女)(入籍・法73条の2)
  - 7.3 養子(女)(除籍・離縁)
  - 7.4 養子(女)(除籍・法73条の2)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 養親(記録)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 9.1 養子(女)の日本人配偶者(入籍)(離縁対象者でない者)
  - 9.2 養子(女)の日本人配偶者(除籍)(離縁対象者でない者)
  - 9.3 養子(女)の日本人配偶者(入籍)(離縁対象者)
  - 9.4 養子(女)の日本人配偶者(除籍)(離縁対象者)
- 10.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 10.1 養子(女)の親権事項(記録) ※同時親権届
  - 10.2 養子(女)の親権事項(移記) ※従前の親権事項の移記
  - 10.3 養子(女)の未成年後見事項(記録) ※同時後見届の場合
- 11.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項) ※10.1 養父、10.2 養母を削除(R4版)
  - 11.3 養子
  - 11.4 養女
  - 11.5 養子(女)の配偶者
- 12.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)・・・(サンプル提示)
  - 12.3 養子(女) ※12.1 養父、12.2 養母を削除(R4版)
  - 12.4 養子(女)の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)
処理名	0.0　本紙

										備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]									/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)									/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]								/	
	(4)離縁形態区分?								/	
	3	(4-1)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)							/	養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-2)養父母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
		NO	(4-3)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
			(4-4)養母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
	6	(4-5)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)							/	
		YES	(4-6)養父母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
		NO	(4-7)養父と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
			(4-8)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
	7	(4-9)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)							/	養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
		NO	(4-11)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
			(4-12)養父と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
	8	(4-13)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)							/	
		YES	(4-14)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
		NO	(4-15)養母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
			(4-16)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]						/	
	9〜15	(4-17)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)							/	養父母のいずれか一方又は養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-18)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)						/	
			YES	(4-19)養父母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]					/	
			NO	(4-19-1)離縁形態区分?					/	
				9	(4-19-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]				/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)
処理名	0.0 本紙

						備考
				(4-19-3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			10	(4-19-4)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4-19-5)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			11	(4-19-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4-19-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			12	(4-19-8)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4-19-9)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			13	(4-19-10)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4-19-11)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			14	(4-19-12)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4-19-13)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			15	(4-19-14)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4-19-15)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		NO		(4-22-1)離縁形態区分?	/	
			9	(4-22-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	0.0 本紙							備考
			(4-22-3)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
		10	(4-22-4)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
			(4-22-5)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
		11	(4-22-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
			(4-22-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
		12	(4-22-8)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
			(4-22-9)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
		13	(4-22-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
			(4-22-11)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
		14	(4-22-12)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
			(4-22-13)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
		15	(4-22-14)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
			(4-22-15)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
	その他		(4-24-16)事件本人(養父、養母、養子、養女)で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/				
	(5)離縁形態区分 ＝ 1、2、3 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)			/				
	YES		(5-1)養子で中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)を編集する [3.2]	/				筆頭者となる者だけが事件本人となる
	NO		(5-2)養女で中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)を編集する [3.2]	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)					
処理名	0.0　本紙				備考	

(6)同時届区分?					/	
0	(7)→(10)へ				/	
1	(8)中間ファイル(仮受付・親権)を編集・出力する			[3.3]	/	
2	(9)中間ファイル(仮受付・未成年後見)を編集・出力する			[3.4]	/	
(10)養子に入力がある(YES,NO)					/	
YES	(10-1)離縁形態区分 ＝ 1、2、3　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)				/	
YES	(11)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)				/	養子が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
YES	(12)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する			[7.3]	/	養子の身分事項
	(13)身分事項:養子(女)(除籍・戸籍法73条の2)を編集する			[7.4]	/	養子の身分事項
	(13-1)養子(女)は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(13-1)(13-2)
	YES	(13-2)養子(女)について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する		[12.3]	/	
	NO	(14)→(15)へ			/	R4(離縁同92)
NO						
	(15)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)				/	
YES	(16)戸籍特定:養子の新戸籍(編製)			[4.1]	/	戸籍特定(養子筆頭者)
	(17)戸籍事項:養子の新戸籍(編製)			[5.1]	/	
	(18)個人特定:養子の新戸籍(入籍)			[6.1]	/	養子の個人特定
	(19)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する			[7.1]	/	養子の身分事項
	(20)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する			[7.2]	/	養子の身分事項
						(20-1)～(20-2)削除　R4(離縁同92)
NO	(21)→(23)へ					
NO	(21-1)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)				/	養女が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
YES	(21-2)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する			[7.3]	/	養子の身分事項
	(21-3)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)を編集する			[9.2]	/	養子の身分事項
	(21-3-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(21-3-1)(21-3-2)
	YES	(21-3-2)養子(女)について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する		[12.3]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)					
処理名	0.0 本紙				備考	

				NO	(21-4)→(21-5)へ		/	R4(離縁同92)
			NO				/	
			(21-5)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)				/	
			YES		(21-6)戸籍特定:養子の新戸籍(編製)	[4.1]	/	養女が筆頭者であるため、新戸籍を編製し、養女を入籍させた後に養子を入籍させる。
					(21-7)戸籍事項:養子の新戸籍(編製)	[5.1]	/	
					(21-8)個人特定:養子の新戸籍(入籍)	[6.1]	/	養女の個人特定
					(21-9)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する	[7.1]	/	養女の身分事項
					(21-10)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する	[7.2]	/	養女の身分事項
								(21-10-1)～(21-10-3)削除 R4(離縁同92)
					(21-11)個人特定:養子の新戸籍(入籍)	[6.1]	/	養子の個人特定
					(21-12)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する	[7.1]	/	養子の身分事項
					(21-13)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)(離縁対象者)を編集する	[9.3]	/	養子の身分事項
								(21-13-1)～(21-13-2)削除 R4(離縁同92)
				NO	(21-14)→(23)へ		/	
		NO	(22)→(23)へ				/	
	(23)養女に入力がある(YES,NO)						/	
		YES	(23-1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)				/	
			YES		(24)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	養女が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
				YES	(25)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する	[7.3]	/	養女の身分事項
					(26)身分事項:養子(女)(除籍・戸籍法73条の2)を編集する	[7.4]	/	養女の身分事項
					(26-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(26-1)(26-2)
				YES	(26-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[12.3]	/	
				NO	(27)→(28)へ		/	R4(離縁同92)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)					

処理名	0.0 本紙				備考
	NO				
	(28)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/	
	YES	(28-1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6である(YES,NO)		/	
		YES	(29)戸籍特定:養子の新戸籍(編製) [4.1]	/	養女のみに入力ある場合 戸籍特定(養女筆頭者)
			(30)戸籍事項:養子の新戸籍(編製) [5.1]	/	
			(31)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	養女の個人特定
			(32)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/	養女の身分事項
			(33)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.4]	/	養女の身分事項
					(33-1-1)～(33-1-2)削除 R4(離縁同92)
		NO	(33-1)→(36)へ	/	養女と養子の双方に入力があり、養女筆頭者の場合は(21-6)～(21-10)で処理済み
		NO	(33-2)→(36)へ	/	
	NO	(34)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	養子が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
		YES	(34-1)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する [7.3]	/	養女の身分事項
			(34-2)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)を編集する [9.3]	/	養女の身分事項
			(34-2-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)	/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(34-2-1)(34-2-2)
			YES (34-2-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [12.3]	/	
			NO (34-3)→(34-4)へ	/	R4(離縁同92)
		NO			
		(34-4)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)		/	(16)～(20)で養子は新戸籍に入籍済み
		YES	(34-5)戸籍特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	養女の個人特定
			(34-6)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/	養女の身分事項
			(34-7)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)を編集する [9.1]	/	養女の身分事項
					(34-7-1)～(34-7-2)削除 R4(離縁同92)
		NO	(34-8)→(36)へ	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)					
処理名	0.0　本紙				備考	

NO	(35)→(36)へ		/	
(36)養父に入力がある(YES,NO)			/	
YES	(37)養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
	YES	(38)身分事項:養親(記録)を編集する [8.1]	/	
				(38-1)～(38-3)削除 R4(離縁同92)
	NO	(39)→(41)へ		
NO	(40)→(41)へ		/	
(41)養母に入力がある(YES,NO)			/	
YES	(42)養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
	YES	(43)身分事項:養親(記録)を編集する [8.1]	/	
				(43-1)～(43-3)削除 R4(離縁同92)
	NO	(44)→(46)へ		
NO	(45)→(46)へ		/	
(46)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/	
YES	(47)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	養子または養女の本非区分で判断する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)
処理名	0.0　本紙

						備考
	YES	(48)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)(離縁対象者でない者)を編集する	[9.2]	/		養子(女)の配偶者の身分事項
		(48-1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(48-1)(48-2)
		YES (48-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[12.4]	/		
		NO (49)→(50)へ		/		R4(離縁同92)
	NO					
	(50)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/		
	YES	(50-1)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する	[6.1]	/		養子(女)の配偶者の個人特定
		(51)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)(離縁対象者でない者)を編集する	[9.1]	/		養子(女)の配偶者の身分事項
	NO	(52)→(54)へ		/		
NO	(53)→(54)へ			/		
(54)同時届区分?				/		
0	(55)→(62)へ			/		
1	(56)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/		
	YES	(57)身分事項:養子(女)の親権事項(記録)を編集する	[10.1]	/		
	NO	(58)→(67)へ		/		
2	(59)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/		
	YES	(60)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録)を編集する	[10.3]	/		
	NO	(61)→(67)へ		/		
(62)親権移記親権者区分に入力がある(YES,NO)				/		
YES	(63)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/		
	YES	(64)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)を編集する	[10.2]	/		
	NO	(65)→(67)へ		/		
NO	(66)→(67)へ			/		
(67)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
YES						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(68)～(73)削除 R4(離縁同92)	
		(74)養子に入力があり、養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
		YES	(75)養子について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.3]	/				
		NO	(76)→(77)へ	/				
		(77)養女に入力があり、養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
		YES	(78)養女について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.4]	/				
		NO	(79)→(80)へ	/				
		(80)養子の配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
		YES	(81)養子の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.5]		(82)処分決定に制御を渡す			
		NO	→					
	NO	→						
PF1	→				(83)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(84)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(85)審査(養子離縁届)に制御を渡す			
PF7	(86)前ページがある(YE、NO)			/				
	YES	(87)前ページ分の確認画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する			(88)同画面を編集する			
	NO	(89)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(90)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(91)次ページ分の確認画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する			(92)同画面を編集する			
	NO	(93)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→				(94)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(95)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(96)同画面を編集する			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	養子離縁形態名称			養子離縁形態区分		有		審査の条件設定を参照
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の本非区分		養子離縁同時73の2届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人の生年月日			親権･未成年後見人の生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍			親権･未成年後見人本籍コード		有		
				親権･未成年後見人本籍				
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名				
	同時親権届出人本籍			同時親権届出人本籍コード		有		
				同時親権届出人本籍				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子の生死区分名称					有		
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本･国籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の父母との続柄名称					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者区分名称					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者区分名称					有		
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女の生死区分名称					有		
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本･国籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の父母との続柄名称					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆順者区分名称					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者区分名称					有		
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父の生死区分名称					有		
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本･国籍				
	養父の筆頭者			養父の筆頭名				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母の生死区分名称					有		
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本･国籍				
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母の婚姻区分			養父母の婚姻区分				
	縁組年月日			縁組年月日				
	縁組前の氏			縁組前の氏				
	離縁の種別			離縁の種別				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格名称				15歳未満の届出人資格1と2の内容から変換 (審査の表示設定その2参照)
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍コード1		有		
				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍コード2		有		
				15歳未満の届出人国籍2				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍者死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍者死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍者死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍者死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
	あくまでも目安	養子･養女の入力がある場合は、同一戸籍であることが前提(外国人を除く)であるので、養子と養女で戸籍が異なることはない。						構成員の場合のみ、配偶者の随従入籍（除籍)が発生する		全部除籍か、一部除籍かの判断項目		養父と養母に関しては同一戸籍であれば、養親の戸籍で処理するが離婚していれば別々の戸籍も考えられるので、養父と養母の2つに判断を分けた。 但し、右表の戸籍の記録は、養親1つの戸籍で処理している。 別々の戸籍にいる場合は、各々の戸籍に記録があるので注意すること。										
1	1	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×				7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
2	1	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×				7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
3	1	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○				7.1 7.2		7.3 7.4			
4	1	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○				7.1 7.2			7.3 7.4		
5	1	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
6	1	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
7	1	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
8	1	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
9	1	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×						7.3 7.4			8.1
10	1	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×							7.3 7.4		8.1
11	1	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○						7.3 7.4			
12	1	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○							7.3 7.4		
13	1	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×						7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
14	1	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×							7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
15	1	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○						7.3 7.4 9.2(配偶者)			
16	1	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○							7.3 7.4 9.2(配偶者)		
17	1	×	○			○	×	○	×	－	－	○	×				7.1 7.2					8.1
18	1	×	○			○	×	○	×	－	－	×	○				7.1 7.2					
19	1	×	○			○	×	×	○	－	－	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者・本籍人（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者・本籍人（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者・本籍人（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者・本籍人（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
20	1	×	○			○	×	×	○	－	－	×	○				7.1　7.2 9.1(配偶者)					
21	1	×	○			×	○	－	－	－	－	○	×									8.1
22	1	×	○			×	○	－	－	－	－	×	○									
23	2	○	×			○	×	○	×	○	×			○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
24	2	○	×			○	×	○	×	×	○			○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
25	2	○	×			○	×	○	×	○	×			×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
26	2	○	×			○	×	○	×	×	○			×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
27	2	○	×			○	×	×	○	○	×			○	×		7.1　7.2 9.1(配偶者)		7.3　7.4 9.2(配偶者)			8.1
28	2	○	×			○	×	×	○	×	○			○	×		7.1　7.2 9.1(配偶者)			7.3　7.4 9.2(配偶者)		8.1
29	2	○	×			○	×	×	○	○	×			×	○		7.1　7.2 9.1(配偶者)		7.3　7.4 9.2(配偶者)			
30	2	○	×			○	×	×	○	×	○			×	○		7.1　7.2 9.1(配偶者)			7.3　7.4 9.2(配偶者)		
31	2	○	×			×	○	○	×	○	×			○	×				7.3 7.4			8.1
32	2	○	×			×	○	○	×	×	○			○	×					7.3 7.4		8.1
33	2	○	×			×	○	○	×	○	×			×	○				7.3 7.4			
34	2	○	×			×	○	○	×	×	○			×	○					7.3 7.4		
35	2	○	×			×	○	×	○	○	×			○	×				7.3　7.4 9.2(配偶者)			8.1
36	2	○	×			×	○	×	○	×	○			○	×					7.3　7.4 9.2(配偶者)		8.1
37	2	○	×			×	○	×	○	○	×			×	○				7.3　7.4 9.2(配偶者)			
38	2	○	×			×	○	×	○	×	○			×	○					7.3　7.4 9.2(配偶者)		
39	2	×	○			○	×	○	×	－	－			○	×		7.1 7.2					8.1
40	2	×	○			○	×	○	×	－	－			×	○		7.1 7.2					
41	2	×	○			○	×	×	○	－	－			○	×		7.1　7.2 9.1(配偶者)					8.1
42	2	×	○			○	×	×	○	－	－			×	○		7.1　7.2 9.1(配偶者)					
43	2	×	○			×	○	－	－	－	－			○	×							8.1
44	2	×	○			×	○	－	－	－	－			×	○							
45	3	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
46	3	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
47	3	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
48	3	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
49	3	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
50	3	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
51	3	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
52	3	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
53	3	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
54	3	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
55	3	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
56	3	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
57	3	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
58	3	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
59	3	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
60	3	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
61	3	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4			8.1
62	3	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4			8.1
63	3	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4			8.1
64	3	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4			
65	3	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4		8.1
66	3	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4		8.1
67	3	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4		8.1
68	3	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4		
69	3	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
70	3	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
71	3	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
72	3	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
73	3	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8、1
74	3	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8、1
75	3	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
76	3	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
77	3	×	○			○	×	○	×	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2					8.1
78	3	×	○			○	×	○	×	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2					8.1
79	3	×	○			○	×	○	×	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2					8.1
80	3	×	○			○	×	○	×	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2					
81	3	×	○			○	×	×	○	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
82	3	×	○			○	×	×	○	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
83	3	×	○			○	×	×	○	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
84	3	×	○			○	×	×	○	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
85	3	×	○			×	○	－	－	－	－	○	×	○	×							8.1
86	3	×	○			×	○	－	－	－	－	○	×	×	○							8.1
87	3	×	○			×	○	－	－	－	－	×	○	○	×							8.1
88	3	×	○			×	○	－	－	－	－	×	○	×	○							
89	4			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×				7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
90	4			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×				7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
91	4			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○				7.1 7.2		7.3 7.4			
92	4			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○				7.1 7.2			7.3 7.4		
93	4			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
94	4			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
95	4			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
96	4			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
97	4			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×						7.3 7.4			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
98	4			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×							7.3 7.4		8.1
99	4			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○						7.3 7.4			
100	4			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○							7.3 7.4		
101	4			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×						7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
102	4			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×							7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
103	4			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○						7.3 7.4 9.2(配偶者)			
104	4			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○							7.3 7.4 9.2(配偶者)		
105	4			×	○	○	×	○	×	－	－	○	×				7.1 7.2					8.1
106	4			×	○	○	×	○	×	－	－	×	○				7.1 7.2					
107	4			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
108	4			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)					
109	4			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×									8.1
110	4			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○									
111	5			○	×	○	×	○	×	○	×			○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
112	5			○	×	○	×	○	×	×	○			○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
113	5			○	×	○	×	○	×	○	×			×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
114	5			○	×	○	×	○	×	×	○			×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
115	5			○	×	○	×	×	○	○	×			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
116	5			○	×	○	×	×	○	×	○			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
117	5			○	×	○	×	×	○	○	×			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
118	5			○	×	○	×	×	○	×	○			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
119	5			○	×	×	○	○	×	○	×			○	×				7.3 7.4			8.1
120	5			○	×	×	○	○	×	×	○			○	×					7.3 7.4		8.1
121	5			○	×	×	○	○	×	○	×			×	○				7.3 7.4			
122	5			○	×	×	○	○	×	×	○			×	○					7.3 7.4		
123	5			○	×	×	○	×	○	○	×			○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人外国人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人外国人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	非本籍人外国人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人外国人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
124	5			○	×	×	○	×	○	×	○			○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
125	5			○	×	×	○	×	○	○	×			×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
126	5			○	×	×	○	×	○	×	○			×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
127	5			×	○	○	×	○	×	－	－			○	×		7.1 7.2					8.1
128	5			×	○	○	×	○	×	－	－			×	○		7.1 7.2					
129	5			×	○	○	×	×	○	－	－			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
130	5			×	○	○	×	×	○	－	－			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
131	5			×	○	×	○	－	－	－	－			○	×							8.1
132	5			×	○	×	○	－	－	－	－			×	○							
133	6			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
134	6			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
135	6			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
136	6			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
137	6			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
138	6			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
139	6			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
140	6			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
141	6			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
142	6			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
143	6			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
144	6			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
145	6			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
146	6			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
147	6			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
148	6			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
149	6			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人籍人 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人籍人 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
150	6			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4			8.1
151	6			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4			8.1
152	6			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4			
153	6			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4		8.1
154	6			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4		8.1
155	6			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4		8.1
156	6			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4		
157	6			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
158	6			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
159	6			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
160	6			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
161	6			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
162	6			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
163	6			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
164	6			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
165	6			×	○	○	×	○	×	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2					8.1
166	6			×	○	○	×	○	×	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2					8.1
167	6			×	○	○	×	○	×	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2					8.1
168	6			×	○	○	×	○	×	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2					
169	6			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
170	6			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
171	6			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
172	6			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
173	6			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×	○	×							8.1
174	6			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×	×	○							8.1
175	6			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○	○	×							8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
176	6			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○	×	○							
177	7	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
178	7	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
179	7	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
180	7	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
181	7	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×						7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
182	7	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×							7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
183	7	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○						7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
184	7	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○							7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
185	7	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
186	7	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
187	7	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
188	7	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
189	7	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
190	7	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
191	7	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
192	7	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
193	7	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
194	7	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
195	7	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
196	7	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
197	7	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
198	7	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
199	7	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
200	7	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
201	7	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×			※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
201-1	7	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×			※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
202	7	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○			※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
202-1	7	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○			※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
203	7	×	○	×	○	×	○			－	－	○	×									8.1
204	7	×	○	×	○	×	○			－	－	×	○									
205	8	○	×	○	×	○	×			○	×			○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
206	8	○	×	○	×	○	×			×	○			○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
207	8	○	×	○	×	○	×			○	×			×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
208	8	○	×	○	×	○	×			×	○			×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
209	8	○	×	○	×	×	○			○	×			○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
210	8	○	×	○	×	×	○			×	○			○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
211	8	○	×	○	×	×	○			○	×			×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
212	8	○	×	○	×	×	○			×	○			×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
213	8	○	×	×	○	○	×			○	×			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
214	8	○	×	×	○	○	×			×	○			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者)		8.1
215	8	○	×	×	○	○	×			○	×			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
216	8	○	×	×	○	○	×			×	○			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
217	8	○	×	×	○	×	○			○	×			○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
218	8	○	×	×	○	×	○			×	○			○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
219	8	○	×	×	○	×	○			○	×			×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
220	8	○	×	×	○	×	○			×	○			×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
221	8	×	○	○	×	○	×			○	×			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
222	8	×	○	○	×	○	×			×	○			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
223	8	×	○	○	×	○	×			○	×			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
224	8	×	○	○	×	○	×			×	○			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
225	8	×	○	○	×	×	○			○	×			○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
226	8	×	○	○	×	×	○			×	○			○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
227	8	×	○	○	×	×	○			○	×			×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
228	8	×	○	○	×	×	○			×	○			×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
229	8	×	○	×	○	○	×			－	－			○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
229-1	8	×	○	×	○	○	×			－	－			○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
230	8	×	○	×	○	○	×			－	－			×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
230-1	8	×	○	×	○	○	×			－	－			×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
231	8	×	○	×	○	×	○			－	－			○	×							8.1
232	8	×	○	×	○	×	○			－	－			×	○							
233	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
234	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
235	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
236	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
237	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
238	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
239	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
240	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
241	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
242	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
243	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
244	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
245	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
246	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
247	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
248	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
249	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者本籍人（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者本籍人（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者本籍人（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・死亡者本籍人（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
250	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
251	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
252	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
253	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
254	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
255	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
256	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
257	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
258	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
259	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
260	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
261	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
262	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
263	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
264	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
265	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
266	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
267	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
268	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
269	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
270	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
271	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
272	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
273	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
274	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
275	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
276	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
277	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
278	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
279	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
280	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
281	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
281-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
282	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
282-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8、1
283	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
283-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
284	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
284-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
285	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	○	×	○	×							8.1
286	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	○	×	×	○							8.1
287	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	×	○	○	×							8.1
288	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	×	○	×	○							

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　－:その項目は不要

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.2　戸籍編製マトリクス表･親権/未成年後見						

項番	同時届区分			親権移記区分入力		新戸籍			養子(女)の戸籍				
	無	親権者指定届	未成年後見開始届	無	有	本籍	非本籍		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し
									あくまでも、養子(女)の離縁移動後の戸籍の離縁の身分事項の後に記録される身分事項である。				
1	×	○	×			○	×		10.1				
2	×	○	×			×	○						
3	×	×	○			○	×		10.3				
4	×	×	○			×	○						
5	○	×	×	×	○	○	×		10.2				
6	○	×	×	×	○	×	○						
7	○	×	×	○	×	-	-						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離縁の種別 1(協議)のとき　0401を設定 2(調停)のとき　0402を設定 3(審判)　又は　4(判決) 5(和解)　又は　6(認諾)のとき 0403を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							裁判確定日があれば裁判確定日 離縁成立日があれば離縁成立日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			･渉外区分 ＝ 0　又は　2　のとき、渉外区分を設定する ･渉外区分 ＝ 1　のとき 事件本人が全員日本人のときは　0　を設定する 事件本人が全員外国人のときは　2　を設定する 上記以外のときは　1　を設定する					
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容	(補足説明書｢養子離縁同時73の2における離縁の受付ファイルの届出人編集｣を参照)				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		(補足説明書｢｢養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集｣の注意点｣を参照)					2を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後戸籍の筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合、｢養子漢字氏名｣を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合、｢養女漢字氏名｣を設定 ･離縁形態区分 ＝ 7～15の場合、 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき｢養子漢字氏名｣を設定 養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき｢養女漢字氏名｣を設定				
	送達確認1							新本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき0を設定
	証書提出区分							離縁の方式 ≠ 空白　のとき1を設定 上記以外のとき0を設定
	届書送付目録区分							｢ファイル仕様書｣参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			養父、養母、養子、養女の順に、入力がある者につき1から付番する。 (養子夫婦の一方又は養父母の一方が死亡している場合の受付件数に注意(本紙参照))				
	事件本人区分			養父:08、養母:09、養子:10、養女:11				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人区分			(補足説明書｢養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集｣を参照) 養父の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (010(養父)　又は　012(養父母))の場合、1を設定 養母の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (011(養母)　又は　012(養父母))の場合、1を設定 養子の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定 養女の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定				
	カナ氏名			養父のカナ氏名　又は　養母のカナ氏名　又は　養子のカナ氏名　又は　養女のカナ氏名				
	漢字氏名			養父の漢字氏名　又は　養母の漢字氏名　又は　養子の漢字氏名　又は　養女の漢字氏名				
	生年月日			養父の生年月日　又は　養母の生年月日　又は　養子の生年月日　又は　養女の生年月日				
	本籍コード			養父の本籍コード　又は　養母の本籍コード　又は　養子の本籍コード　又は　養女の本籍コード				
	本籍			養父の本･国籍　又は　養母の本･国籍　又は　養子の本･国籍　又は　養女の本･国籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			養父の筆頭者　又は　養母の筆頭者　又は　養子の筆頭者　又は　養女の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、　※外国人は0を設定する 養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

「養子離縁同時73の2における離縁の受付ファイルの届出人編集」

1.離縁種別 ＝ 1(協議)のときは、15歳未満の届出人を編集する(養子が15歳未満のときだけ編集有り)
15歳未満の届出人資格1、2 → 届出人資格区分1、2
→ 届出人資格名称1、2(資格を名称変換する)
15歳未満の届出人氏名1、2 → 届出人氏名1、2

2.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が同一とは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
100(申立人) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人1
(養子、養女、養父、義母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「申立人親権者となるべき父」等が編集される
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

3.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が異なるとは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
101(相手方) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

4.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

102(訴提起者) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「訴提起者親権者となるべき父」等が編集される
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

5.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
101(相手方) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点

1.離縁処理において離縁の受付帳が2件作成されるパターン(養子夫婦の一方が死亡している場合又は養親夫婦の一方が死亡している場合の離縁)のときは、届後本籍の編集を下記のようにする。

(1)養子夫婦の一方が死亡している場合
生存している養子の受付帳にしか届後本籍情報を設定しない(死亡養子には戸籍の異動が考えられないため)。

(2)養親夫婦の一方が死亡している場合
1件目の受付帳には届後本籍情報を設定せず、2件目の受付帳にのみ設定する。(1件目の受付帳だけ見ると他方との離縁が残っているように見えるため。)

※届後本籍情報に該当する項目は、「届後本籍区分」「届後本籍コード」「届後本籍」「届後戸籍の筆頭者」「送達確認1」の5項目である。

「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」

1.届出人区分の設定条件マトリックス

(1)養父の場合

項番	離縁の種別	養父の外国人区分	離縁成立日	生死区分	裁判及び外国方式の離縁の届出人	届出人

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

項番	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	区分
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	1
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

(2)養母の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	1
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

(3)養子の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

(4)養女の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2) 編集・出力								
受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名			名称	記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号			中間ファイル(届書) 共通	受領番号					
	出張所番号				出張所番号					
	受付事件コード									0701(戸籍法73条の2)
	受付日				送付日 受領日					送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日									
	事件発生時分									
	事件発生日時									
	受理送付区分				受理送付区分					
	本非区分			中間ファイル(届書) 事件別内容	養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍) 又は 新本籍 ＝ 管内本籍のとき1を設定 養親の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外は2を設定					
	渉外区分									0(日本人のみ)を設定
	発送日									
	郵送日			中間ファイル(届書)共通	郵送日					
	発日									
	収日									
	指示日									
	許可日									
	関連受領番号1～5									
	届出人資格区分1									
	届出人資格名称1									
	届出人氏名1									
	届出人資格区分2									
	届出人資格名称2									
	届出人氏名2									
	届後本籍区分									2を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	届後本籍コード			中間ファイル(届書) 事件別内容					
	届後本籍								
	届後戸籍の筆頭者				･離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合、「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合、「養女漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 7～15の場合、 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養子漢字氏名」を設定 養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養女漢字氏名」を設定				
	送達確認1								新本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	証書提出区分								
	届書送付目録区分								「ファイル仕様書」参照
	処理区分								
	決裁区分								
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号								
	事件本人区分								従前の氏を称する者:14
	届出人区分								1を設定
	カナ氏名				養子(女)のカナ氏名				
	漢字氏名				養子(女)の漢字氏名				
	生年月日				養子(女)の生年月日				
	本籍コード				養子(女)の本籍コード				
	本籍				養子(女)の本･国籍				
	筆頭者				養子(女)の筆頭者				
	送達確認2				在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、 養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0(不要)を設定 養子(女)の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定 養子(女)の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ生死区分 ＝ 1(死亡)なら0(不要)を設定				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3　中間ファイル(仮受付･親権)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							同時親権届の種別 1(協議)のとき1301を設定 2(調停)のとき1302を設定 3(審判)のとき1303を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	新本籍 ＝ 管内　又は　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、1を設定 上記以外のとき、2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍　かつ 同時親権届出人の本籍 ＝ 国籍のとき、2を設定 上記以外のとき、0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容					
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.3　中間ファイル(仮受付･親権)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍コード								
	届後本籍								
	届後戸籍の筆頭者								
	送達確認1								
	証書提出区分								
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照	
	処分区分								
	決裁区分								
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号					
	行番号			01:未成年者(養子(女)) 02:親権者 03:親権協議者←同時親権届出人に入力があるとき					
	事件本人区分			未成年者(養子(女)):15(子) 親権者:16(親権者) 親権協議者:49(親権協議者)					
	届出人区分			未成年者(養子(女)):0を設定 親権者:1を設定 親権協議者:1を設定					
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				←未成年者(養子(女))	
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名 親権･未成年後見人氏名 同時親権届出人氏名				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者	
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権･未成年後見人生年月日 同時親権届出人生年月日				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者	
	本籍コード			新本籍コード 親権･未成年後見人本籍コード 同時親権届出人本籍コード				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者	
	本籍			新本籍 親権･未成年後見人本籍 同時親権届出人本籍				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3　中間ファイル(仮受付･親権)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			新本籍の筆頭者 親権･未成年後見人の筆頭者				←未成年者(養子(女)) ←親権者
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、　※外国人は0を設定する 未成年者(養子(女)) 　新本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 親権者 　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1(未到着)を設定 親権協議者 　同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1(未到着)を設定				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.4　中間ファイル(仮受付･未成年後見)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4101(未成年者の後見開始)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	新本籍 ＝ 管内　又は　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、1を設定 上記以外のとき、2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍のとき、2を設定 上記以外のとき、0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容					110を設定
	届出人資格名称1							未成年後見人を設定
	届出人氏名1			親権･未成年後見人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.4　中間ファイル(仮受付･未成年後見)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処理区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							01:未成年被後見人(養子(女)) 02:未成年後見人
	事件本人区分							未成年後見人(養子(女)):55:(未成年被後見人) 未成年後見人:56(未成年後見人)
	届出人区分							未成年被後見人(養子(女)):0を設定 未成年後見人:1を設定
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				←未成年被後見人(養子(女))
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名 親権･未成年後見人氏名				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年被後見人
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権･未成年後見人生年月日				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍コード			新本籍コード 親権･未成年後見人本籍コード				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍			新本籍 親権･未成年後見人本籍				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	筆頭者			新本籍の筆頭者 親権･未成年後見人の筆頭者				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.4　中間ファイル(仮受付･未成年後見)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受領分)のとき、 未成年被後見人(養子(女)) 　新本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 未成年後見人 　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定				※外国人は0を設定する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.1　戸籍特定(編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1、2、3　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4、5、6　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合「養女漢字氏名」を設定				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	5.1　戸籍事項(編製)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(氏の変更者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	氏変の更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
		氏変の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録	従前 氏の記録							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	6.1　個人特定(入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日があれば処理日、処理日がないときは送付日、送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード 配偶者父母との続柄コード		有		←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日 配偶者生年月日				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	筆頭者区分			･養子の個人特定の場合 離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、1(筆頭者)を設定 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき、1(筆頭者)を設定 上記以外は0(構成員)を設定 ･養女の個人特定の場合 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、1(筆頭者)を設定 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき、1(筆頭者)を設定 上記以外は0(構成員)を設定 ･配偶者の個人特定の場合　0(構成員)を設定				
	配偶者区分			養子の配偶者区分 養女の配偶者区分 配偶者配偶者区分				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	父			養子の父氏名 養女の父氏名 配偶者父氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名 配偶者母氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄 配偶者父母との続柄				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				※配偶者の個人特定は設定不要
	養母			離縁後変更養母氏名				※配偶者の個人特定は設定不要
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　又は　「義母」≠ 空白のとき、 「養子」(養子の個人特定の場合)、「養女」(養女の個人特定の場合)を設定する ※配偶者の個人特定は設定不要				
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	6.1　個人特定(入籍)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	7.1　養子(入籍･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0401(養子離縁)
	記録コード							0401(養子の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁 離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日 受領日				 離縁成立日、裁判確定日がない場合
	離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
	離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
	離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
	離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
	離縁除籍日							
	共同離縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ 養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養子の身分事項であれば"007"「妻」を 養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
	共同離縁者 資格名称							
	養父 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
	養父 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
	養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養父の本･国籍を設定				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.1　養子(入籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養母	亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
		氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
	離縁の方式				離縁の方式				
	裁判所				外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者	資格		15歳未満の届出人資格1〔注〕			離縁種別 ＝ 1(協議)　かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定資格名称は、資格をコード変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 　父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 　親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 　親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定	
			資格名称		※		有		
			氏名		15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者	資格		15歳未満の届出人資格2〔注〕				
			資格名称		※		有		
			氏名		15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日			裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.1　養子(入籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	(届出人1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要
		資格名称					有		077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	(届出人2)	資格							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	(証書提出者(1))	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要
		資格名称					有		077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	(証書提出者(2))	資格							裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	記録請求日								
	送付 通知を受けた日								
	送付を受けた日								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.1　養子(入籍・離縁)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.2　養子(入籍･法73条の2)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏を称する者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本･国籍又は 養女の本･国籍				←　養子の身分事項の場合 ←　養女の身分事項の場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者又は 養女の筆頭者				←　養子の身分事項の場合 ←　養女の身分事項の場合
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日 受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養子の身分事項であれば"007"「妻」を 養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
			資格名称						
		養父	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
			氏名		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養父の本･国籍を設定				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名			
	養母	亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定					
		氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9.10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定					
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定					
	離縁の方式				離縁の方式					
	裁判所				外国裁判所名					
	協議者(1)	協議者	資格		15歳未満の届出人資格1〔注〕			離縁種別 ＝ 1(協議)　かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定資格名称は、資格をコード変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 　父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 　親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 　親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、 025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)、かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定		
		資格名称			※		有			
		氏名			15歳未満の届出人氏名1					
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1					
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1					
	協議者(2)	協議者	資格		15歳未満の届出人資格2〔注〕					
		資格名称			※		有			
		氏名			15歳未満の届出人氏名2					
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2					
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2					
	届出	届出日			受領日			裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様		

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍・離縁)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	(届出人1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要
		資格名称					有		077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	(届出人2)	資格							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定(届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	(証書提出者(1))	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要
		資格名称					有		077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	(証書提出者(2))	資格							裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024　は未設定)
	記録請求日								
	送付 通知を受けた日								
	送付を受けた日								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍・離縁)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	7.4　養子(除籍・法73条の2)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0701(氏の変更)
	記録コード							0701(縁氏を称する者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	入籍 入籍日							
	入戸籍 従前戸籍 本籍							
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者							
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	除戸籍 称する氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	8.1　養親(記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0402(養親の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日 受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3又は4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 3、6、10、12～15　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 　養父の身分事項であれば 　養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"007"「妻」を 　養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養母氏名」を設定する(この場合資格は未設定) 養母の身分事項であれば 　養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"006"「妻」を 　養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養父氏名」を設定する				
			資格名称						
		養子	亡区分		･養子だけに入力がある　又は　養子･養女双方に入力がある場合 　養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)であれば、"亡"を設定 ･養女だけに入力がある場合 　養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)であれば、"亡"を設定				
			氏名		･養子だけに入力がある　又は　養子･養女双方に入力がある場合、「養子の漢字氏名」を移送 ･養女だけに入力がある場合、「養女の漢字氏名」を移送				
			養子の国籍		･養子だけに入力があり　又は　養子･養女双方に入力がある場合、「養子の本･国籍」を移送 　養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)であれば、「養子の本･国籍」を移送 ･養女だけに入力がある場合、養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)であれば、「養女の本･国籍」を移送				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	8.1　養親(記録)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
			亡区分			養父の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、11、12、14のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養父の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、10、11、13のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養子･養女双方に入力があるとき、養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定					
			氏名			養女の漢字氏名				養子･養女双方に入力があるとき
		養子の国籍				養女の本･国籍				養子･養女双方に入力があるとき 養女の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する
		離縁の方式				離縁の方式				
		裁判所				外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1				離縁種別 ＝ 1(協議)　かつ 離縁成立日 ＝ スペース　かつ 養子の外人区分　又は 養女の外人区分 ＝ 1のとき設定 資格名称には資格をコードに変換した名称を設定する
			資格名称					有		
			氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者（2）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2				
			資格名称					有		
			氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人（1）	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合設定不要 013、014の場合左記項目を移送 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を移送
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を移送 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	8.1　養親(記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合「15歳未満の届出人資格2」を移送 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は、養子の身分事項の届出人と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合「15歳未満の届出人氏名2」を移送 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者1	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(1)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(1)と同じ
	証書提出者2	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(2)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(2)と同じ
	記録請求日								
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.1　養子の日本人配偶者(入籍)　編集･出力(離縁対象者でない者)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、″夫の離縁及び戸籍法73条の2の届出″を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、″妻の離縁及び戸籍法73条の2の届出″を設定				
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、「養子の本･国籍」を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、「養女の本･国籍」を設定				
		従前戸籍 筆頭者			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、「養子の筆頭者」を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、「養女の筆頭者」を設定				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

※筆頭者である者だけが離縁届と戸籍法73条の2を届を同時に届出た場合に、随従で異動する配偶者(離縁対象者ではない)に記録される身分事項(入籍)である。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.2　養子の日本人配偶者(除籍)　編集･出力(離縁対象者でない者)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード							0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	入籍 入籍日		中間ファイル(届書)					
	入籍 入籍事由							
	除籍 除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	除籍 除籍事由			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、"夫の離縁及び戸籍法73条の2の届出"を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、"妻の離縁及び戸籍法73条の2の届出"を設定				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	入戸籍 従前戸籍 本籍							
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	特記 特記事項							

※筆頭者である者だけが離縁届と戸籍法73条の2を届を同時に届出た場合に、随従で異動する配偶者(離縁対象者ではない)に記録される身分事項(除籍)である。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.3　養子の日本人配偶者(入籍)　編集･出力(離縁対象者･構成員)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード							0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	入籍 入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	入籍 入籍事由			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、"夫の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、"妻の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養子の記録				
	除籍 除籍日							
	除籍 除籍事由							
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	入戸籍 従前戸籍 本籍			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、「養子の本･国籍」を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、「養女の本･国籍」を設定　※養子の記録				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、「養子の筆頭者」を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、「養女の筆頭者」を設定　※養子の記録				
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	特記 特記事項							

※養子と養女双方が養親と離縁をし、筆頭者である者が戸籍法73条の2届を出した場合、構成員である者(離縁対象者)に記録される身分事項(入籍)である。

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	9.4　養子の日本人配偶者(除籍)　編集･出力(離縁対象者･構成員)						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード							0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	入籍 入籍日		中間ファイル(届書)					
	入籍事由							
	除籍 除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	除籍事由			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、"夫の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、"妻の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養子の記録				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入戸籍 従前戸籍 本籍							
	筆頭者							
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	特記 特記事項							

※養子と養女双方が養親と離縁をし、筆頭者である者が戸籍法73条の2届を出した場合、構成員である者(離縁対象者)に記録される身分事項(除籍)である。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.1　養子(親権･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							裁判離縁の場合は裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.1　養子(親権・記録)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判発効日							
	親権代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止の裁判発効日							
	管理代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判失効日							
	管理権執行停止の裁判失効日							
	親権代行者改任の裁判発効日							
	管理権代行者改任の裁判発効日							
	親権喪失の審判確定日							
	管理権喪失の審判確定日							
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	親権停止の審判確定日							
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日							
	親権者	資格		同時親権者資格				
		資格名称				有		
		氏名		離縁後変更養父氏名				同時親権者資格 ＝ 10の時、移送
				離縁後変更養母氏名				同時親権者資格 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格						
		資格名称						

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.1　養子(親権・記録)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.1　養子(親権･記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日				受領日				
	届出人(1)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは「父母」を設定 010(養父)と011(養母)の組み合わせは「養父母」を設定 上記以外は「同時親権者資格」を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)の場合、 「同時親権者資格」を移送		
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは設定不要 010(養父)と011(養母)の組み合わせは設定不要 上記以外は「同時親権届出人資格」を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)の場合、 設定不要		
		資格名称							
		氏名							
	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.2　養子(親権・移記)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							裁判離縁の場合は裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.2　養子(親権・移記)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判発効日							
	親権代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止の裁判発効日							
	管理代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判失効日							
	管理権執行停止の裁判失効日							
	親権代行者改任の裁判発効日							
	管理権代行者改任の裁判発効日							
	親権喪失の審判確定日							
	管理権喪失の審判確定日							
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	親権停止の審判確定日							
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日							
	親権者	資格		親権移記親権者区分				
		資格名称				有		
		氏名		離縁後変更養父氏名				親権移記親権者区分 ＝ 10の時、移送
				離縁後変更養母氏名				親権移記親権者区分 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格						
		資格名称						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.2　養子(親権・移記)　編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.2　養子(親権・移記)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	資格名称							
	親権停止期間							
	親権停止取消者 資格							
	資格名称							
	届出日							
	届出人(1) 資格							
	資格名称							
	氏名							
	届出人(2) 資格							
	資格名称							
	氏名							
	記録嘱託日							
	通知を受けた日							
	送付を受けた日							
	受理者							
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がなければ送付日を移送 送付日もなければ受領日を移送
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見・記録)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							4101(未成年後見)
	記録コード							4101(未成年後見を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	未成年後見人就職日		中間ファイル(届書)					裁判離縁の場合は裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	未成年後見人選任の裁判確定日							
	未成年後見監督人就職日							
	未成年後見監督人選任の裁判確定日							
	未成年後見開始事由							「親権を行う者がないため」を移送
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見終了日							
	未成年後見監督終了日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見・記録)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日							
	未成年者の後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見人職務執行停止の裁判発効日							
	未成年後見代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者選任の裁判発効日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見・記録)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名			親権者・未成年後見人氏名				
	未成年後見人の戸籍 本籍			親権者・未成年後見人本籍				
	筆頭者			親権者・未成年後見人筆頭者				
	未成年後見人の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
	未成年後見人の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	未成年後見人の住所							
	辞任した未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	解任された未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	職務執行停止を受けた者 資格							
	資格名称							
	氏名							
	未成年後見監督人 資格							
	資格名称							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		氏名							
	未成年後見監督人の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督人の国籍								
	未成年後見監督人の生年月日								
	未成年後見監督人の住所								
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.3　9条2項(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養子の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本･国籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の 筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の 筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.3　9条2項(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	11.4　9条2項(養女)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養女の漢字氏名				
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養女の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本･国籍				
	新筆頭者			養女の漢字氏名 養女の漢字氏名				←離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の 筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の 筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合
	旧筆頭者			養女の筆頭者				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.4　9条2項(養女)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.5　9条2項(養子(女)の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			配偶者の漢字氏名				
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本･国籍 養女の本･国籍				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.5　9条2項(養子(女)の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	12.3　30条の13第1項(養子(女))　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名			養子(女)の漢字氏名					
	旧氏名			養子(女)の漢字氏名					
	新生年月日			養子(女)の生年月日					
	旧生年月日			養子(女)の生年月日					
	新性別							養子(女)の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			養子(女)の本籍コード					
	新本籍			養子(女)の本･国籍					
	旧本籍コード			養子(女)の本籍コード					
	旧本籍			養子(女)の本･国籍					
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合	
	旧筆頭者			養子(女)の筆頭者					
	住所コード			養子(女)の住所コード					
	住所			養子(女)の住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	12.4　30条の13第1項(養子(女)の配偶者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名			配偶者の漢字氏名					
	旧氏名			配偶者の漢字氏名					
	新生年月日			配偶者の生年月日					
	旧生年月日			配偶者の生年月日					
	新性別							配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			養子(女)の本籍コード					
	新本籍			養子(女)の本･国籍					
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合	
	旧本籍			養子の本･国籍 養女の本･国籍				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合	
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合	
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合	
	住所コード			配偶者住所コード					
	住所			配偶者住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

8.婚姻届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	144	「婚姻届」	2020/9/18研究会指摘事項(日立)の指摘対応 №1:届後本籍区分の設定条件を記載した方が良い →入力確認_3.0中間ファイル(仮受付)を修正
2		145		・法令を通則法に変更 3.0審査を修正 ・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
3		147		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	2.0 (2023.3.31版)	令和3年度申し送り事項一覧 №4	「婚姻届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_3.0審査、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1～5.3
5	2.0 (2023.7.31版)	ー	「婚姻届」	振り仮名の法制化に伴う修正 ・審査_1.0単体チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_システム環境仕様書、入力確認_0.0本紙、入力確認_1.0確認画面(婚姻届)、入力確認_3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力表示、入力確認_6.1 住民票通知(夫)、入力確認_6.2 住民票通知(妻)、入力確認_7.1 公選法通知(夫)、入力確認_7.2 公選法通知(妻)を修正 ・入力確認_5.5 中間ファイル(仮個人状態)を追加
6		ー		各システム標準化に伴う修正 附票DBを附票連携ファイルに、9条2項を住民票通知に、30条の13第1項を公選法通知に変更 ・入力確認_システム環境仕様書、入力確認_0.0 本紙、入力確認_6.1 住民票通知(夫)、入力確認_6.2 住民票通知(妻)、入力確認_7.1 公選法通知(夫)、入力確認_7.2 公選法通知(妻)を修正
5		ー		・民法改正(第733条「再婚禁止期間」の削除)に伴う修正 審査_3.0審査を修正

システム処理の概要説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成20年 3月1日	版	12
作業名	婚姻届						

1.婚姻業務処理範囲外の処理

(1)「受理すべき旨の裁判」による婚姻届

(2) 旧国籍法(明治32年3月16日制定)施行中(明治32年4月1日～昭和25年6月30日)の婚姻届(報告的)

(3) 婚姻届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の婚姻届。

上記(1)～(3)は、審査結果入力で処理を行う。

2.婚姻届入力画面の意義

(1) その1画面、婚姻をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

(2) その2画面、婚姻後の氏の選択及び新本籍等の各項目を入力する。

3.その他

(1) 近親間の婚姻に関する審査(民734～736)はシステムで行わない

(2) 事件本人の成年擬制チェックはシステムで行わない

(3) 事件本人のみ届出の為、届出人資格は画面上にない

(4) 証人の有無及び資格チェックは画面上にない

(5) 婚姻届に伴う親権記録(共同親権、準正子)は移記処理又は訂正処理(市区町村長限りの職権)で記録する。

その際、婚姻届の受領番号を関連受領番号として付与し相互関係を明らかにしておくこと。

(同一人との再婚において、婚姻後の戸籍に子が在籍している場合など)

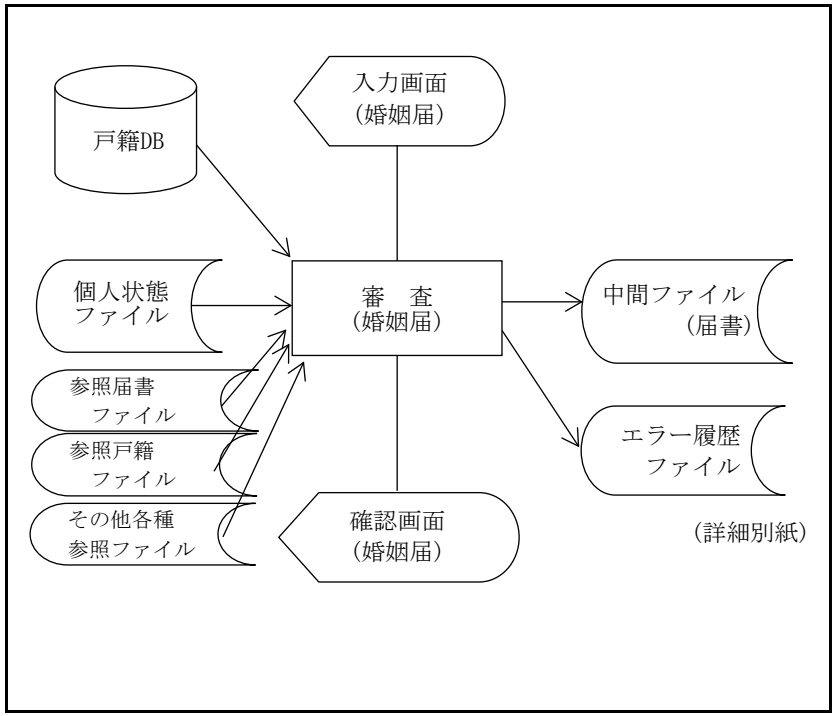
(6) 日本に在住する外国人が日本においてその外国の方式により日本に居住する日本人と婚姻した場合は、

日本での創設的婚姻届が有効な届出であることから証書提出による報告的婚姻届は受理できない。

証書提出による報告的婚姻届出の場合、所在地の審査はシステムで行わないため、受理/不受理は窓口で判断する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)婚姻届の内容を入力する
(2)婚姻届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)婚姻届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)婚姻届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(婚姻届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)									
処理名	0.0　本紙								備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す			
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/				
	YES	(17)前ページ分の入力画面(婚姻届)を編集する					(18)同画面を編集する			
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する								
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/				
	YES	(21)次ページ分の入力画面(婚姻届)を編集する					(22)同画面を編集する			
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する								
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(22-2)画像情報を表示する					(22-3)同画面を編集する			
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する								入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する									
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(婚姻届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
12	夫の外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	夫の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	夫の本･非本	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
15	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	夫の振り仮名	○	漢字				
17	夫の漢字氏名	○	漢字				
18	夫の住所		漢字				
19	夫の本籍	○	漢字				
20	夫の世帯主		漢字				
21	夫の戸籍の筆頭者		漢字				
22	夫の父の氏名		漢字				
23	夫の母の氏名		漢字				
24	夫の父母との続柄コード	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
25	妻の外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
26	妻の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
27	妻の本･非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	妻の振り仮名	○	漢字				
30	妻の漢字氏名	○	漢字				
31	妻の住所		漢字				
32	妻の本籍	○	漢字				
33	妻の世帯主		漢字				
34	妻の戸籍の筆頭者		漢字				
35	妻の父の氏名		漢字				
36	妻の母の氏名		漢字				
37	妻の父母との続柄コード	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること			
38	氏区分	○	数字	(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変動なし)であること			称する氏
39	新本籍		漢字				
40	夫の初･再婚区分	○	数字	(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))であること			
41	夫の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	妻の初･再婚区分	○	数字	(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))であること			
43	妻の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	同一人再婚区分		数字	(0:同一人以外、1:同一人)であること			
45	成立年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	証書提出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	婚姻の方式		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は　＝ 4(連携情報の通知)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	【空白】			
12	【空白】			
13	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
15	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
16	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.19)夫の本籍　又は　(No.32)妻の本籍　又は　(No.39)新本籍のいずれかが管内であること			
17	(No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.45)成立年月日 ＝ スペース　かつ　(No.46)証書提出日 ＝ スペース　かつ (No.47)婚姻の方式 ＝ スペースであること			
18	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.45)成立年月日 ≠ スペース　かつ　(No.46)証書提出日 ≠ スペース　かつ (No.47)婚姻の方式 ≠ スペースであること			
19	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.13)夫の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)夫の生年月日 ＝ 和暦　かつ (No.19)夫の本籍=本籍　かつ　(No.21)夫の戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
20	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.13)夫の筆頭者区分 ＝ スペース　かつ　(No.15)夫の生年月日 ＝ 西暦　かつ (No.19)夫の本籍=国籍　かつ　(No.21)夫の戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
21	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ　(No.28)妻の生年月日 ＝ 和暦　かつ (No.19)妻の本籍=本籍　かつ　(No.34)妻の戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
22	(No.25)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペース　かつ　(No.28)妻の生年月日 ＝ 西暦　かつ (No.19)妻の本籍 ＝ 国籍　かつ　(No.34)妻の戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
23	(No.14)夫の本･非本 ＝ 1(本籍)の時、(No.19)夫の本籍 ＝ 管内であること			
24	(No.14)夫の本･非本 ＝ 2(非本籍)の時、(No.20)夫の本籍 ＝ 管外であること			
25	(No.27)妻の本･非本 ＝ 1(本籍)の時、(No.32)妻の本籍 ＝ 管内であること			
26	(No.27)妻の本･非本 ＝ 2(非本籍)の時、(No.32)妻の本籍 ＝ 管外であること			
26-1	(No.18)夫の住所 ＝ スペースの場合、(No.20)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
26-2	(No.20)夫の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.18)夫の住所 ≠ スペースであること			
26-3	(No.31)妻の住所 ＝ スペースの場合、(No.33)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
26-4	(No.33)妻の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.31)妻の住所 ≠ スペースであること			
27	(No.40)夫の初･再婚区分 ＝ 0(初婚)の時、(No.41)夫の離死別日 ＝ スペースであること			
28	(No.40)夫の初･再婚区分 ＝ 1(再婚(死別))　又は　2(再婚(離別))の時、 (No.28)夫の離死別日 ≠ スペースであること			
29	(No.42)妻の初･再婚区分 ＝ 0(初婚)の時、(No.43)妻の離死別日 ＝ スペースであること			
30	(No.42)妻の初･再婚区分 ＝ 1(再婚(死別))　又は　2(再婚(離別))の時、 (No.28)妻の離死別日 ≠ スペースであること			
31	(No.44)同一人再婚区分 ＝ 1(同一人)の時、 (No.40)夫の初再婚区分 ＝ 2(再婚(離別))　かつ (No.42)妻の初再婚区分 ＝ 2(再婚(離別))であること			
32	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、(No.45)成立年月日 ≦ (No.46)証書提出日であること			
33	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　(No.25)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)　かつ (No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.38)氏区分 ＝ 3(変動なし)　かつ　(No.39)新本籍 ＝ スペースであること			
34	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.13)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.17)夫の漢字氏名 ＝ (No.21)夫の戸籍の筆頭者であること			
35	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.13)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、 (No.17)夫の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.21)夫の戸籍の筆頭者の｢氏｣であること			
36	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.30)妻の漢字氏名 ＝ (No.34)妻の戸籍の筆頭者であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(婚姻届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、 (No.30)妻の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.34)妻の戸籍の筆頭者の「氏」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

							備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する								
YES	(0-3)→(0-6)へ					/		R2.1(婚姻142)
NO	(0-4)→						(0-5)本紙へ	
(0-6)(夫の外人区分=0:日本人 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) 又は (妻の外人区分=0:日本人 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)						/		R2.1(婚姻142)
YES	(0-7)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する						(0-8)本紙へ	
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					(0-11)本紙へ	不受理
	NO	(0-10)→						画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ					/		
(1)届出区分(1:創設、2:報告)						/		
1	(2)→(11)へ					/		
2	(3)成立年月日<昭和25年7月1日(YES,NO)					/		
	YES	(4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					(5)本紙へ	
	NO	(6)成立年月日<昭和27年4月28日(YES,NO)				/		
		YES	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発行に該当する国ですか?」を表示する				(8)本紙へ	
			YES	(9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				
			NO	(10)→(11)へ		/		(10-1)～(10-7)を削除
		NO						
(11)届出区分(1:創設、2:報告)						/		
1	(12)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
	0	(13)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
		0	(14)→(18)へ			/		
		1	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「婚姻要件具備証明書等が添付されていますか?」を表示する				(16)本紙へ	通則法24I、昭和22.6.25民事甲595号回答 「N」の時、不受理
	1							

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

							備考
2	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「婚姻を証明する書類が添付されていますか?」を表示する					(17-1)本紙へ	
	YES	(17-2)→(17-5)へ			/		
	NO	(17-3)→				(17-4)本紙へ	不受理
	(17-5)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
	0	(17-6)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)			/		
		0	(17-7)→(18)へ		/		
		1	(17-8)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか?」を表示する			(17-9)本紙へ	
			YES	(17-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示する			不受理
			NO	(17-11)→(18)へ	/		
	1	(17-12)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)			/		
		0	(17-13)確認メッセージ(YES,NO) 「証明提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか?」を表示する			(17-14)本紙へ	
			YES	(17-15)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示する			不受理
			NO	(17-16)→(18)へ	/		
		1	(17-17)エラーメッセージ 「外国人同士の外国における婚姻届は受理できません」を表示する			(17-18)本紙へ	不受理
(18)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
0	(18-1)夫の父氏名=スペース 又は 夫の母氏名=スペース(YES,NO)				/		
	YES	(18-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(18-3)本紙へ	
		YES	(18-4)→(19)へ		/		
		NO	(18-5)→			(18-6)本紙へ	不受理
	NO	(18-7)夫の父母との続柄=10(男)である(YES,NO)			/		
		YES	(18-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する			(18-9)本紙へ	
			YES	(18-10)→(19)へ	/		
			NO	(18-11)→		(18-12)本紙へ	不受理
		NO	(18-13)→(19)へ		/		
	(19)夫の本非区分=1(本籍) 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)				/		在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

								備考	
	YES	(20)夫の配偶者区分(1:夫、その他)				/		民732	
		1	(21)エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する					(22)本紙へ	不受理
				(24-1)			/		
					(24-2)			(24-4)	
		その他	(24-3)→(30)へ				/		(25)～(29)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
	NO								
	(30)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2022年4月1日 又は 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2022年4月1日(YES,NO)						/		民法改正(2022年4月1日)以降か前かで審査を分ける
	YES	(31)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)以降の審査 民731(改正後)	
		YES	(32)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する					(33)本紙へ	不受理
		NO	(34)→(36)へ				/		
	NO	(34-1)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+20年(20歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)					/		民法改正(2022年4月1日)前の審査
		YES	(34-2)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民731(改正前)
			YES	(34-3)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する				(34-4)本紙へ	不受理
			NO	(34-5)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」を表示する					民737、昭24.11.11民事甲2641号回答 戸38Iただし書き、 大6.7.13民事853号回答
				YES	(34-6)→(36)へ		/		
				NO	(34-7)→			(34-8)本紙へ	不受理
		NO	(35)→(36)へ				/		
1									

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

							備考
(36)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
0	(36-1)妻の父氏名=スペース　又は　妻の母氏名=スペース(YES,NO)				/		
	YES	(36-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(36-3)本紙へ	
		YES	(36-4)→(37)へ		/		
		NO	(36-5)→			(36-6)本紙へ	不受理
	NO	(36-7)妻の父母との続柄=30(女)である(YES,NO)			/		
		YES	(36-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する			(36-9)本紙へ	
			YES	(36-10)→(37)へ	/		
			NO	(36-11)→		(36-12)本紙へ	不受理
		NO	(36-13)→(37)へ		/		
	(37)妻の本非区分=1(本籍)　又は　非本籍人検索をした　又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)				/		在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する
	YES	(38)妻の配偶者区分(2:妻、その他)			/		民732
		2	(39)エラーメッセージ　「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する			(40)本紙へ	不受理
				(42-1)	/		
				(42-2)		(42-4)	
		その他	(42-3)→(48)へ		/		(43)～(47)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
	NO						

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

							備考	
(48)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2022年4月1日　又は 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2022年4月1日(YES,NO)					/		民法改正(2022年4月1日)以降か前かで審査を分ける	R2.1(婚姻144)
YES	(49)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日　又は 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)以降の審査 民731(改正後)	
	YES	(49-1) 2004年4月2日≦妻の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)			/	民法改正(2022年4月1日)附則第3条第2項 →改正日に16歳以上18歳未満の女性は 経過措置として改正前の民731が適用される		
		YES	(49-2)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか？」 を表示する			(49-3)本紙へ	民737、昭24.11.11民事甲2641号回答 戸38Iただし書き、 大6.7.13民事853号回答	
			YES	(49-4)→(53-0-1)へ	/			
			NO	(49-5)→		(49-6)本紙へ	不受理	
		NO	(50)エラーメッセージ　「婚姻適齢に達していません。」を表示する			(51)本紙へ	不受理	
	NO	(51-1)→(53-0-1)へ			/			
NO	(51-2)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+20年(20歳未満)>成立年月日　又は 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)前の審査	
	YES	(51-3)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+16年(16歳未満)>成立年月日 又は　成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+16年(16歳未満)>受領日 (YES,NO)			/		民731(改正前)	
		YES	(51-4)エラーメッセージ　「婚姻適齢に達していません。」を表示する			(51-5)本紙へ	不受理	
		NO	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」 を表示する				民737、昭24.11.11民事甲2641号回答 戸38Iただし書き、 大6.7.13民事853号回答	
			YES	(52-1)→(53-0-1)へ	/			
			NO	(52-2)→		(52-3)本紙へ	不受理	
	NO	(53)→(53-0-1)へ			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

																	備考
(53-0-1)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2024年4月1日　又は 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2024年4月1日(YES,NO)															/		民法改正(2024年4月1日)以降か前かで審査を分ける
YES	(53-0-2)→(65)へ														/		民法733条の削除に伴い(53-1)～(64)ｽｷｯﾌﾟ
NO	(53-0-2)→(53-1)へ														/		
(53-1)届出区分(1:創設的届出、2:報告的届出)															/		
1	(54)妻の初・再婚区分(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))														/		
	1,2	(55)妻の離死別日+100日>婚姻日(YES,NO)													/		民733I 平成28年6月1日民法改正対応
		YES	(56)同一人再婚区分=0(同一人以外)　又は　スペースである(YES,NO)												/		大元.11.25民事708号回答
			YES	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?」を表示する												(57-1)本紙へ	
																	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
				YES	(57-2)確認メッセージ(YES,NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか?」を表示する。												(57-3)本紙へ	
																	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
					YES	(57-4)民法733条フラグに'1'を移送　→(65)へ									/		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版)
					NO	(57-5)民法733条フラグに'0'を移送　→(65)へ									/		
				NO	(57-6)→												(58)本紙へ	不受理
			NO	(59)→(65)へ											/		
		NO	(60)妻の本非区分=1(本籍)　又は　非本籍人検索をした　又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)												/		在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する
			YES	(61)妻の現戸籍の入籍日+100日>婚姻日(YES,NO)											/		
				YES	(62)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍日から100日を超えていませんが、離死別日に間違いはありませんね?」を表示する												(62-1)本紙へ	
					YES	(62-2)→(65)へ									/		
					NO	(62-3)→											(63)本紙へ	不受理
				NO	(64)→(65)へ										/		
			NO														
		0															
	2																

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)										
処理名	3.0 審査									備考	
1	(64-0-1)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2024年4月1日　又は 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2024年4月1日(YES,NO)							/		民法改正(2024年4月1日)以降か前かで審査を分ける	
	YES	(84-0-2)→(65)へ						/		民法733条の削除に伴い(64-1)～(64-13)ｽｷｯﾌﾟ	
	NO	(64-0-2)→(64-1)へ						/			
	(64-1)届出区分(1:創設的届出、2:報告的届出)							/		民733I　平成28年6月1日民法改正対応	
	1	(64-2)妻の初・再婚区分(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))						/			
		1,2	(64-3)妻の離死別日+100日>婚姻日(YES,NO)					/		外国人の場合も、創設的届出の時に待婚期間をチェックする。(第17版)	
			YES	(64-4)同一人再婚区分=0(同一人以外)　又は　スペースである(YES,NO)				/			
				YES	(64-5)確認メッセージ(YES,NO) 「待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?」を表示する				(64-6)本紙へ		
										民733Ⅱ　平成28年6月1日民法改正対応	
					YES	(64-7)確認メッセージ(YES,NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか?」を表示する。			(64-8)本紙へ		
										民733Ⅱ　平成28年6月1日民法改正対応	
						YES	(64-9)民法733条フラグに'2'を移送　→(65)へ	/		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版)	
										妻が外国人のため、夫の身分事項に記録する	
						NO	(64-10)民法733条フラグに'0'を移送　→(65)へ	/			
					NO	(64-11)→			(64-12)本紙へ	不受理	
				NO	(64-13)→(65)へ			/			
			NO								
		0									
	2										

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名					審査(婚姻届)						
処理名					3.0 審査					備考	
(65)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)						/					
0	(66妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)					/					
	0	(67)氏区分(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変更なし)				/				民750、戸16	
		1	(68)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/					
			0	(69)新本籍に記録がある(YES,NO)		/					
				YES	(69-1)→(105)へ	/					
				NO	(70)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(71)本紙へ			不受理	
			1	(72)新本籍に記録がある(YES,NO)		/					
				YES	(73)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(74)本紙へ			不受理	
				NO	(74-1)→(105)へ	/					
		2	(75)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/					
			0	(76)新本籍に記録がある(YES,NO)		/					
				YES	(77)→(105)へ	/					
				NO	(78)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(79)本紙へ			戸16I 不受理	
			1	(80)新本籍に記録がある(YES,NO)		/					
				YES	(81)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(82)本紙へ			不受理	
				NO	(82-1)→(105)へ	/					
		3	(83)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示する				(83-1)本紙へ			不受理	
	1	(84)氏区分(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変更なし)				/					
		1	(85)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示する				(86)本紙へ			民750、戸16	
		2								不受理	
		3	(87)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/					
			0	(88)新本籍に記録がある(YES,NO)		/					
				YES	(88-1)→(105)へ	/					
				NO	(89)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(90)本紙へ			戸16I 不受理	
			1	(91)新本籍に記録がある(YES,NO)		/					
				YES	(92)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(93)本紙へ			不受理	
				NO	(93-1)→(105)へ	/					

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)									
処理名	3.0 審査								備考	
1	(94)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)					/				
	0	(95)氏区分(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変更なし)				/				
		1	(96)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示する				(97)本紙へ	民750、戸16		
		2						不受理		
		3	(98)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/				
			0	(99)新本籍に記録がある(YES,NO)		/				
				YES	(99-1)→(105)へ	/				
				NO	(100)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(101)本紙へ	戸16I 不受理		
			1	(102)新本籍に記録がある(YES,NO)		/				
				YES	(103)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(104)本紙へ	不受理		
				NO	(104-1)→(105)へ	/				
	1	(104-2)→(105)へ				/				
(105)同一人再婚区分=0(同一人以外) 又は スペースである(YES,NO)						/				
YES	(106)→						(107)本紙へ			
NO	(108)メッセージ 「子(養子)に共同親権の記録が必要か確認して下さい。」を表示する									

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		婚姻届入力画面	受領No.				
	選択事件コード							「09」をセット
	出張所番号			支所No.				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届出区分				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫の外人区分 / 妻の外人区分 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、夫と妻の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	不受理申出処分区分								
	処分区分								審査の結果により、1=受理　又は 2=不受理をセットする　＊
	決裁区分								ZERO
	届書排他区分								0:未　1:排他
									＊審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号								本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	夫の外人区分			婚姻届入力画面	夫の外人区分				
	夫の筆頭者区分				夫の筆頭者区分				
	夫の本非区分				夫の本･非本				
	夫の生年月日				夫の生年月日				
	夫の振り仮名				夫の振り仮名				
	夫の漢字氏名				夫の漢字氏名				
	夫の本籍コード				夫の本籍				
	夫の本籍地番								
	夫の筆頭者				夫の戸籍の筆頭者				
	夫の父の氏名				夫の父の氏名				
	夫の母の氏名				夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード				夫の父母との続柄コード				
	夫の住所コード				夫の住所				
	夫の住所地番								
	夫の世帯主				夫の世帯主				
	妻の個人番号								本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	妻の外人区分				妻の外人区分				
	妻の筆頭者区分				妻の筆頭者区分				
	妻の本非区分				妻の本･非本				
	妻の生年月日				妻の生年月日				
	妻の振り仮名				妻の振り仮名				

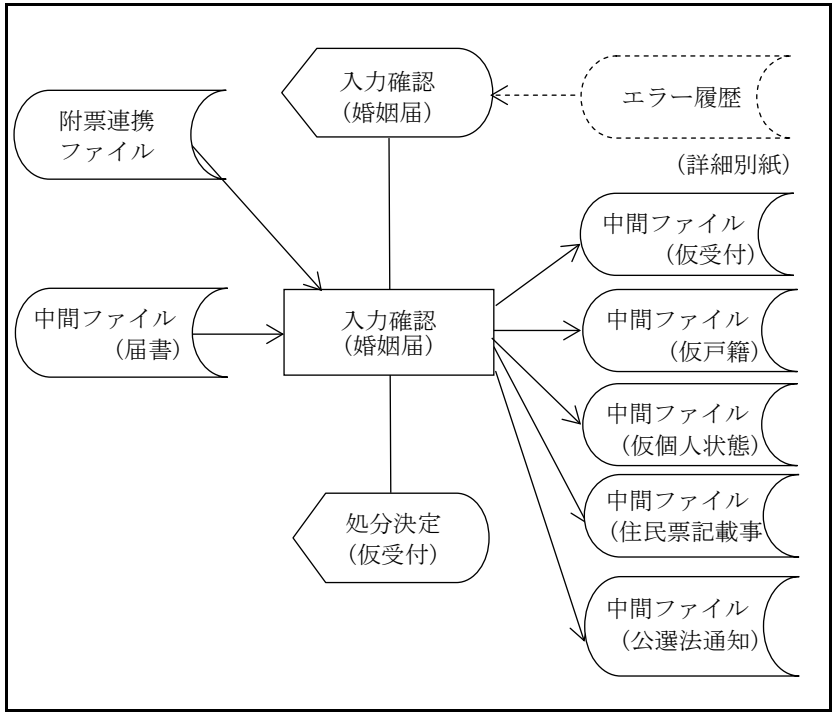
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(婚姻届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の本籍コード			妻の本籍				
	妻の本籍地番							
	妻の戸籍の筆頭者			妻の戸籍の筆頭者				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄コード				
	妻の住所コード			妻の住所				
	妻の住所地番							
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	氏区分			氏区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	夫の初再婚区分			夫の初･再婚区分				
	夫の離死別日			夫の離死別日				
	妻の初再婚区分			妻の初･再婚区分				
	妻の離死別日			妻の離死別日				
	同一人再婚区分			同一人再婚区分				
	婚姻成立年月日			成立年月日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	入力確認(婚姻届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(6)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(7)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(8)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
  - 4.3 身分事項(変動なし)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(除籍)
  - 5.2 身分事項(入籍)
  - 5.3 身分事項(変動なし)
- 5.5 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
  - 6.1 夫
  - 6.2 妻
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/公選法通知)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	入力確認(婚姻届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	/			
	(5)夫は本籍人である(YES,NO)			/			
	YES	(6)夫の戸籍変動をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/			
		身分事項(除籍)	(7)夫の除籍事項の編集	[4.1]	/		
		身分事項(入籍)	(8)夫の入籍事項の編集	[4.2]	/		
		身分事項(変動なし)	(9)夫の変動なし事項の編集	[4.3]	/		
		(9-0-1)夫について中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する		[5.5]	/		
		(9-0-2)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する			/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する
		(9-1)夫は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)			/		
		YES	(9-2)夫について中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する	[7.1]	/		
		NO	(10)→(11)		/		
	NO						
	(11)妻は本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(12)妻の戸籍変動をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		身分事項(除籍)	(13)妻の除籍事項の編集	[5.1]	/		
		身分事項(入籍)	(14)妻の入籍事項の編集	[5.2]	/		
		身分事項(変動なし)	(15)妻の変動なし事項の編集	[5.3]	/		
		(15-0-1)妻について中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する		[5.5]	/		
		(15-0-2)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する			/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する
		(15-1)妻は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)			/		
		YES	(15-2)妻について中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する	[7.2]	/		
		NO	(16)→(17)		/		
	NO						
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
	YES	(18)夫の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名			入力確認(婚姻届)					
処理名			0.0　本紙				備考	
		YES	(19)夫について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する　[6.1]	/				
		NO	(20)	/				
			(21)妻の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/				
		YES	(22)妻について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する　[6.2]		(23)処分決定に制御を渡す			
		NO	→					
	NO							
PF1	→				(24)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(25)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(26)審査に制御を渡す			
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES		(28)前ページ分の確認画面(婚姻届)を編集する		(29)同画面を編集する			
	NO		(30)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES		(32)次ページ分の確認画面(婚姻届)を編集する		(33)同画面を編集する			
	NO		(34)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する					
PF11	→				(35)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(36)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する				(37)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	1.0　確認画面(婚姻届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
婚姻届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No.		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No.			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届出区分			届区分				
	夫の外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の外人区分				
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分		有		
	夫の筆頭者区分名称							
	夫の本･非本			夫の本非区分				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	夫の振り仮名			夫の振り仮名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所			夫の住所コード				
				夫の住所地番				
	夫の本籍			夫の本籍コード				
				夫の本籍地番				
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の戸籍の筆頭者			夫の戸籍の筆頭者				
	夫の父の氏名			夫の父の氏名				
	夫の母の氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード			夫の父母との続柄コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	1.0　確認画面(婚姻届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	夫の父母との続柄名称					有		
	妻の外人区分			妻の外人区分				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻の筆頭者区分名称					有		
	妻の本･非本			妻の本非区分				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻の振り仮名			妻の振り仮名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所			妻の住所コード				
				妻の住所地番				
	妻の本籍			妻の本籍コード				
				妻の本籍地番				
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の戸籍の筆頭者			妻の戸籍の筆頭者				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄コード				
	妻の父母との続柄名称					有		
	氏区分			氏区分				
	氏区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	夫の初･再婚区分			夫の初再婚区分				
	夫の初･再婚区分名称					有		
	夫の離死別日			夫の離死別日				
	妻の初･再婚区分コード			妻の初再婚区分				
	妻の初･再婚区分名称					有		
	妻の離死別日			妻の離死別日				
	同一人再婚区分			同一人再婚区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	1.0　確認画面(婚姻届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同一人再婚区分名称					有		
	成立年月日			婚姻成立年月日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		母の戸籍～夫の父母(養父)		母の戸籍～妻の父母(養父)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	A.1 B.1 C.1 D.1
1	○			○			○	○			○			○	○			○	○		夫(4.1) 妻(5.1)																		夫(4.2) 妻(5.2)
2	○			○			○	○			○			○	○			○		○	夫(4.1) 妻(5.1)																		
3	○			○			○		○		○			○		○		○	○			夫(4.1) 妻(5.1)																	夫(4.2) 妻(5.2)
4	○			○			○		○		○			○		○		○		○		夫(4.1) 妻(5.1)																	
5	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－			○																					夫(4.2) 妻(5.2)
6	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				○																				
7		○		○			○	○			○			○	○			○	○		妻(5.1) 夫(4.1)																		妻(5.2) 夫(4.2)
8		○		○			○	○			○			○	○			○		○	妻(5.1) 夫(4.1)																		
9		○		○			○		○		○			○		○		○	○			妻(5.1) 夫(4.1)																	妻(5.2) 夫(4.2)
10		○		○			○		○		○			○		○		○		○		妻(5.1) 夫(4.1)																	
11		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－			○																					妻(5.2) 夫(4.2)
12		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				○																				
13	○			○		○		－	－		○		○		○														妻(5.2)	夫(4.3)	妻(5.1)								
14	○			○		○		－	－		○		○			○													妻(5.2)	夫(4.3)		妻(5.1)						
15	○			○		○		－	－		○			○	○								妻(5.1)					妻(5.2)	夫(4.3)								

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		母の戸籍～夫の父母(養父)		母の戸籍～妻の父母(養父)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍	一部 C.2	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	除籍	一部 C.2	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	A.1 B.1 C.1 D.1
16	○			○		○		－	－		○			○		○																	
17	○			○		○		－	－			○	－	－	－	－																	
18	○			○			○	○			○		○		○				○		夫(4.1)		妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
19	○			○			○	○			○		○		○					○	夫(4.1)		妻(5.1)									
20	○			○			○	○			○		○			○			○		夫(4.1)			妻(5.1)								夫(4.2) 妻(5.2)
21	○			○			○	○			○		○			○				○	夫(4.1)			妻(5.1)								
22	○			○			○		○		○		○		○				○			夫(4.1)	妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
23	○			○			○		○		○		○		○					○		夫(4.1)	妻(5.1)									
24	○			○			○		○		○		○			○			○			夫(4.1)		妻(5.1)								夫(4.2) 妻(5.2)
25	○			○			○		○		○		○			○				○		夫(4.1)		妻(5.1)								
26	○			○			○	○			○			○	○				○		夫(4.1)		妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
27	○			○			○	○			○			○	○					○	夫(4.1)		妻(5.1)									
28	○			○			○	○			○			○		○			○		夫(4.1)			妻(5.1)								夫(4.2) 妻(5.2)
29	○			○			○	○			○			○		○				○	夫(4.1)			妻(5.1)								
30	○			○			○		○		○			○	○				○			夫(4.1)	妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
31	○			○			○		○		○			○	○					○		夫(4.1)	妻(5.1)									
32	○			○			○		○		○			○		○			○			夫(4.1)		妻(5.1)								夫(4.2)

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母～母の戸籍		妻の父母～母の戸籍		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	A.1 B.1 C.1 D.1
32	○			○			○		○		○			○		○			○													妻(5.2)
33	○			○			○		○		○			○		○				○		夫(4.1)		妻(5.1)								
34	○			○			○	○				○	−	−	−	−			○		夫(4.1)											夫(4.2) 妻(5.2)
35	○			○			○	○				○	−	−	−	−				○	夫(4.1)											
36	○			○			○		○			○	−	−	−	−			○			夫(4.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
37	○			○			○		○			○	−	−	−	−				○		夫(4.1)										
38	○				○	−	−	−	−		○			○	○				○				妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
39	○				○	−	−	−	−		○			○	○					○			妻(5.1)									
40	○				○	−	−	−	−		○			○		○			○					妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
41	○				○	−	−	−	−		○			○		○				○				妻(5.1)								
42		○		○		○		○			○		○		−	−									夫(4.1)					夫(4.2)	妻(5.3)	
43		○		○		○			○		○		○		−	−										夫(4.1)				夫(4.2)	妻(5.3)	
44		○		○			○	○			○		○		−	−					夫(4.1)									夫(4.2)	妻(5.3)	
45		○		○			○		○		○		○		−	−						夫(4.1)								夫(4.2)	妻(5.3)	
46		○			○	−	−	−	−		○		○		−	−														夫(4.2)	妻(5.3)	
47		○		○		○		○			○			○	○				○				妻(5.1)		夫(4.1)							妻(5.2) 夫(4.2)
48		○		○		○		○			○			○	○					○			妻(5.1)		夫(4.1)							
49		○		○		○			○		○			○	○				○				妻(5.1)			夫(4.1)						妻(5.2) 夫(4.2)
50		○		○		○			○		○			○	○					○			妻(5.1)		夫(4.1)							

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		母の戸籍		夫の父母(養父)		母の戸籍		妻の父母(養父)		夫の戸籍					妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外	除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	除籍	全部	記載	一部	なし	変動	除籍	一部	除籍	全部	記載	一部	なし	変動	
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																								
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					C.2		A.2 B.2 C.2		C.2		A.2 B.2 C.2		C.2		A.2 B.2 C.2		C.1 D.1			C.2		A.2 B.2 C.2		C.1 D.1			A.1 B.1 C.1 D.1
51		○		○		○		○			○			○		○			○						妻(5.1) 夫(4.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
52		○		○		○		○			○			○		○				○					妻(5.1)	夫(4.1)												
53		○		○		○			○		○			○		○			○						妻(5.1)		夫(4.1)											妻(5.2) 夫(4.2)
54		○		○		○			○		○			○		○				○					妻(5.1)		夫(4.1)											
55		○		○			○	○			○			○	○				○		夫(4.1)				妻(5.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
56		○		○			○	○			○			○	○					○	夫(4.1)				妻(5.1)													
57		○		○			○		○		○			○	○				○			夫(4.1)		妻(5.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
58		○		○			○		○		○			○	○					○		夫(4.1)	妻(5.1)														
59		○		○			○	○			○			○		○			○		夫(4.1)				妻(5.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
60		○		○			○	○			○			○		○				○	夫(4.1)				妻(5.1)													
61		○		○			○		○		○			○		○			○			夫(4.1)			妻(5.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
62		○		○			○		○		○			○		○				○		夫(4.1)			妻(5.1)													
63		○			○	－	－	－	－		○			○	○				○					妻(5.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
64		○			○	－	－	－	－		○			○	○					○				妻(5.1)													
65		○			○	－	－	－	－		○			○		○			○						妻(5.1)													妻(5.2) 夫(4.2)
66		○			○	－	－	－	－		○			○		○				○					妻(5.1)													
67		○		○			○	○				○	－	－	－	－			○		夫(4.1)																	妻(5.2)

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母の戸籍～(養父)		妻の父母の戸籍～(養父)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	記載一部 C.1 D.1	なし変動	除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	記載一部 C.1 D.1	なし変動	A.1 B.1 C.1 D.1
67		○		○			○	○				○								○													夫(4.2)
68		○		○			○	○				○	－	－	－	－				○	夫(4.1)											
69		○		○			○		○			○	－	－	－	－			○			夫(4.1)										妻(5.2) 夫(4.2)
70		○		○			○		○			○	－	－	－	－				○		夫(4.1)										
71			○	○		○		－	－								○									夫(4.3)						
72			○	○			○	○									○		○			夫(4.1)										夫(4.2)
73			○	○			○	○									○			○		夫(4.1)										
74			○	○			○		○								○		○					夫(4.1)									夫(4.2)
75			○	○			○		○								○			○				夫(4.1)								
76			○		○	－	－	－	－								○		○													夫(4.2)
77			○		○	－	－	－	－								○			○												
78			○							○	○		○		－	－																妻(5.3)
79			○							○	○			○	○				○					妻(5.1)								妻(5.2)
80			○							○	○			○	○					○				妻(5.1)								
81			○							○	○			○		○			○						妻(5.1)							妻(5.2)
82			○							○	○			○		○				○					妻(5.1)							
83			○							○		○	－	－	－	－			○														
84			○							○		○	－	－	－	－				○													
85										○							○																
86	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－																	
87		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－																	
88	○				○	－	－	－	－		○		○		○				○											妻(5.1)			夫(4.2) 妻(5.2)
89	○				○	－	－	－	－		○		○		○					○										妻(5.1)			

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		母の戸籍		夫の父母(養父)		母の戸籍		妻の父母(養父)		夫の戸籍					妻の戸籍					新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外																			
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																								
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	なし	変動	A.1 B.1 C.1 D.1
90	○				○	－	－	－	－		○		○			○			○																	妻(5.1)				夫(4.2) 妻(5.2)
91	○				○	－	－	－	－		○		○			○				○																	妻(5.1)				
92		○		○		○		○				○	－	－	－	－			○								夫(4.1)												妻(5.2) 夫(4.2)
93		○		○		○		○				○	－	－	－	－				○							夫(4.1)													
94		○		○		○			○			○	－	－	－	－			○									夫(4.1)											妻(5.2) 夫(4.2)
95		○		○		○			○			○	－	－	－	－				○								夫(4.1)												
96			○		○	－	－	－	－								○																							
97			○							○		○	－	－	－	－																								
98	○				○	－	－	－	－		○			○	○									妻(5.1)																
99	○				○	－	－	－	－		○			○		○									妻(5.1)														
100		○		○			○	○				○	－	－	－	－						夫(4.1)																	
101		○		○			○		○			○	－	－	－	－							夫(4.1)																
102	○				○	－	－	－	－		○		○		○																					妻(5.1)				
103	○				○	－	－	－	－		○		○			○																					妻(5.1)			
104		○		○		○		○				○	－	－	－	－											夫(4.1)												
105		○		○		○			○			○	－	－	－	－												夫(4.1)											

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	支所番号			支所番号					
	受付事件コード							「0901」をセット	
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日=空白の時、受領日	
	事件発生日			婚姻成立年月日				報告区分=2の時、移送	
	事件発生時分							ZERO	
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分				0:日本人 1:渉外 2:外国人	
	証書提出区分							婚姻の方式≠スペースのとき、1 上記以外は、0(届出)	
	発送日			送付日					
	郵送日			郵送日					
	発日							ZEROをセット	
	収日							ZEROをセット	
	指示日							ZEROをセット	
	許可日							ZEROをセット	
	関連受領番号							ZEROをセット	
	届出人資格区分1							届出人資格区分には、「ZERO」 届出人資格名称には、「SPACE」 届出人氏名には、「SPACE」	
	届出人資格名称1								
	届出人氏名1								
	届出人資格区分2								
	届出人資格名称2								
	届出人氏名2								
	届後本籍区分							新本籍地番≠スペースの場合2(新戸籍編製)を設定 それ以外は設定不要	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者						新本籍地番 ＝ スペースの場合、未設定 新本籍地番 ≠ スペースの場合、	
							氏区分 1	夫の外人区分 － / 妻の外人区分 － / 設定内容 夫の漢字氏名
							氏区分 2	夫の外人区分 － / 妻の外人区分 － / 設定内容 妻の漢字氏名
							氏区分 3	夫の外人区分 0 / 妻の外人区分 1 / 設定内容 夫の漢字氏名
								夫の外人区分 1 / 妻の外人区分 0 / 設定内容 妻の漢字氏名
	送達確認1							届後本籍が非本　かつ 在外送付区分=0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分							本非区分=1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				該当データーは事件本人の人数分作成
	行番号							
	事件本人区分							夫の時、「12」を 妻の時、「13」をセット

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人区分							夫の時、届出区分=2:報告　かつ 夫の外人区分=1:外国人　かつ 妻の外人区分=0:日本人の場合、 「0:なし」を設定 妻の時、届出区分=2:報告　かつ 妻の外人区分=1:外国人　かつ 夫の外人区分=0:日本人の場合、 「0:なし」を設定 上記以外は「1:事件本人が届出人」を設定
	カナ氏名							
	振り仮名							夫の時、夫の振り仮名 妻の時、妻の振り仮名
	漢字氏名							夫の時、夫の漢字氏名 妻の時、妻の漢字氏名
	生年月日							夫の時、夫の生年月日 妻の時、妻の生年月日
	本籍コード							夫の時、夫の本籍コード 妻の時、妻の本籍コード
	本籍							夫の時、夫の本籍地番 妻の時、妻の本籍地番
	筆頭者							夫の時、夫の筆頭者 妻の時、妻の筆頭者
	送達確認2							事件本人の現本籍が、 (本非区分=2)　かつ (在外送付区分=0)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

*事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.1　身分事項(夫･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「0901」を移送
	記録コード							「0901」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻の委託確認の裁判確定日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の死亡日							
	配偶者の国籍			妻の本籍地番				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	配偶者の生年月日			妻の生年月日				妻が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻の方式			婚姻の方式				
	裁判所							
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届書提出日							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	4.1　身分事項(夫･除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		入戸籍籍 本籍			妻の本籍地番				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		入戸籍籍 筆頭者			妻の筆頭者				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.2　身分事項(夫･入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			妻の本籍地番				妻が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			妻の生年月日				妻が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.2　身分事項(夫･入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			夫の本籍地番				
		従前戸籍 筆頭者			夫の筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入戸籍 本籍							
		入戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･婚姻により国籍取得 （取得の際の国籍xxxxxx） ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、 「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.3　身分事項(夫･変動なし)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			妻の本籍地番				妻が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			妻の生年月日				妻が外国人の時、当該項目を移送。
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.3　身分事項(夫･変動なし)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍				－			
		称する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.1　身分事項(妻･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「0901」を移送
	記録コード							「0901」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻の委託確認の裁判確定日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の死亡日							
	配偶者の国籍			夫の本籍地番				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	配偶者の生年月日			夫の生年月日				夫が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻の方式			婚姻の方式				
	裁判所							
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届書提出日							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	5.1　身分事項(妻･除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		入戸籍籍 本籍			夫の本籍				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		入戸籍籍 筆頭者			夫の筆頭者				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･夫死亡後受理、死亡後受理 ･夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.2　身分事項(妻･入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「0901」を移送
	記録コード							「0901」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻の委託確認の裁判確定日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の死亡日							
	配偶者の国籍			夫の本籍地番				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	配偶者の生年月日			夫の生年月日				夫が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻の方式			婚姻の方式				
	裁判所							
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届書提出日							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	5.2　身分事項(妻･入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者			処理日				
	入籍	入籍日			妻の本籍地番				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			妻の筆頭者				
		従戸前籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･夫死亡後受理、死亡後受理 ･婚姻により国籍取得 (取得の際の国籍xxxxxx) ･夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 1のとき、 「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.3　身分事項(妻･変動なし)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「0901」を移送
	記録コード							「0901」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻 婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻の委託確認の裁判確定日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の死亡日							
	配偶者の国籍			夫の本籍地番				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	配偶者の生年月日			夫の生年月日				夫が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻の方式			婚姻の方式				
	裁判所							
	届出 証書提出日			証書提出日				
	届書提出日							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	届書提出者 資格							
	届書提出者 氏名							
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.3　身分事項(妻･変動なし)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･夫死亡後受理、死亡後受理 ･夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.5　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分			9				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない
	名の振り仮名職権記録区分			9				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.1　住民票記載事項通知(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			夫の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			夫の振り仮名　又は 妻の振り仮名の氏+夫の振り仮名の名				氏区分=1の時、夫の振り仮名 =2の時、妻の振り仮名の氏+夫の振り仮名の名 =3の時、夫の振り仮名
	旧振り仮名			夫の振り仮名				
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.1　住民票記載事項通知(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.2　住民票記載事項通知(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			妻の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			妻の振り仮名　又は 夫の振り仮名の氏+妻の振り仮名の名				氏区分=1の時、妻の振り仮名 =2の時、夫の振り仮名の氏+妻の振り仮名の名 =3の時、妻の振り仮名
	旧振り仮名			妻の振り仮名				
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏+妻の名				氏区分=1の時、夫の氏 + 妻の名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍ち				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍ち				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.2　住民票記載事項通知(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	7.1　公選法通知(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			夫の振り仮名　又は 妻の振り仮名の氏+夫の振り仮名の名				氏区分=1の時、夫の振り仮名 =2の時、妻の振り仮名の氏+夫の振り仮名の名 =3の時、夫の振り仮名
	旧振り仮名			夫の振り仮名				
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							
	旧性別							夫の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				

画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サブルーチン)	Z9.,	
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	7.2　公選法通知(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			妻の振り仮名　又は 夫の振り仮名の氏+妻の振り仮名の名				氏区分=1の時、妻の振り仮名 =2の時、夫の振り仮名の氏+妻の振り仮名の名 =3の時、妻の振り仮名
	旧振り仮名			妻の振り仮名				
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏+妻の名				氏区分=1の時、夫の氏 + 妻の名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							
	旧性別							妻の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	7.2　公選法通知(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

9.離婚届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	「離婚届」	条文等の見直し等による修正 ・法令を通則法に変更 3.0審査を修正 ・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
2		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
3	2.0	令和3年度申し送り事項一覧№4	「婚姻届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1～6.1

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13

作業名	離婚届

1.離婚業務処理範囲外の処理

(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と婚姻しかつ(養)親の戸籍に往籍する者の離婚届。

(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年者の親権指定処理。

(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。

(4)実方の戸籍が法107条1項等により氏の変更を行っていた時に、その戸籍には復籍せずに申出により新戸籍を編製する場合。

(5)渉外婚姻の場合に外国人のみから証書提出された離婚届。

(6)外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合。

(7)離婚と同時に法77条の2届出をした場合。

(8)事件本人の成年後見人から報告的離婚届出がされた場合。

(9)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では戸籍変動区分が「変動無し」以外の場合関連チェック(No.18)で、戸籍変動区分が「変動無し」の場合は戸籍編製エラーとなる。

上記(1)～(6)、(8)、(9)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(7)は、別届書番号(別メニュー)で処理を行う。

2.離婚届入力画面の意義

(1)その1画面:離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

(2)その2画面:離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。

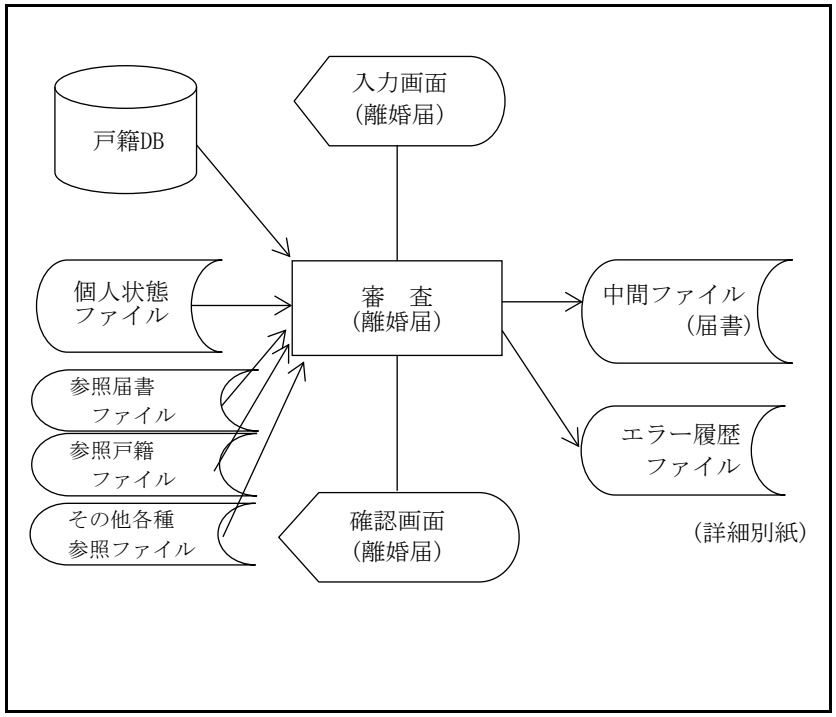
3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3. 処理概要

(1)離婚届の内容を入力する
(2)離婚届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)離婚届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)離婚届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(離婚届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1)届出期間について
　離婚の成立日･確定日+10が閉庁日の場合は、翌開庁日とする。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
　参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)
処理名	0.0　本紙

										備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(離婚届)を編集する							(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する								
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(離婚届)を編集する							(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する								
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する							(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する									
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
12	夫の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	夫の国籍		漢字				
14	夫の筆頭者区分		英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
15	夫のカナ氏名	○	カナ				
16	夫の漢字氏名	○	漢字				
17	夫の住所		漢字				
18	夫の世帯主		漢字				
19	夫の父の氏名		漢字				
20	夫の母の氏名		漢字				
21	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
22	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	夫の転婚区分		数字	(0:無、1:有)であること			
24	妻の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
25	妻の国籍		漢字				
26	妻の筆頭者区分		英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
27	妻のカナ氏名	○	カナ				

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(離婚届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
28	妻の漢字氏名	○	漢字				
29	妻の住所		漢字				
30	妻の世帯主		漢字				
31	妻の父の氏名		漢字				
32	妻の母の氏名		漢字				
33	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること			
34	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	妻の転婚区分		数字	(0:無、1:有)であること			
36	本籍		漢字				
37	筆頭者		漢字				
38	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
39	離婚の申立人区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
40	離婚の成立･確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る(夫)、2:新戸籍編製(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻)、4:新戸籍編製(妻)、5:変動なし)であること			
42	新本籍		漢字				
43	新筆頭者		漢字				
43-2	戻る戸籍の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
43-3	届後の戸籍の配偶者区分		数字	(0:未、3:生存配偶者)であること			
44	称する氏		漢字				
45	外国離婚方式		漢字				
46	裁判所所在国		漢字				
47	外国裁判所名		漢字				
48	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、1:有り)であること			
49	未成年の子の人数		数字				
50	届出人資格1		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
51	届出人資格2		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
52	未成年者nのカナ氏名		カナ				No.52～No.61の項目は複数存在する

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
53	未成年者nの漢字氏名		漢字				数得在する
54	未成年者nの父の氏名		漢字				
55	未成年者nの母の氏名		漢字				
56	未成年者nの父母との続柄		数字	(10:男、11:長男～29:十九男、30:女、31:長女～49:十九女)であること			
57	未成年者nの生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
58	未成年者nの養父の氏名		漢字				
59	未成年者nの養母の氏名		漢字				
60	未成年者nの養父母との続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			
61	未成年者nの親権者区分		数字	(1:父、2:母、3:養父、4:養母)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は　＝ 4(連携情報の通知)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
12	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
14	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.13)夫の国籍 ＝ スペース　かつ　(No.22)夫の生年月日 ＝ 和暦であること			
14-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.16)夫の漢字氏名 ＝ (No.37)筆頭者であること			
15	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.13)夫の国籍 ≠ スペース　かつ　(No.22)夫の生年月日 ＝ 西暦であること			
16	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.25)妻の国籍 ＝ スペース　かつ　(No.34)妻の生年月日 ＝ 和暦であること			
16-1	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.28)妻の漢字氏名 ＝ (No.37)筆頭者であること			
17	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.25)妻の国籍 ≠ スペース　かつ　(No.34)妻の生年月日 ＝ 西暦であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.41)戸籍変動区分 ＝ 5(変動なし)　かつ　(No.42)新本籍 ＝ スペース　かつ (No.43)新筆頭者 ＝ スペースであること			
18-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.36)本籍 ＝ スペース　かつ　(No.37)筆頭者 ＝ スペースであること			
18-2	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)　又は　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.36)本籍 ≠ スペース　かつ　(No.37)筆頭者 ≠ スペースであること			
19	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ＝ スペースの時、 (No.39)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.40)離婚の成立･確定日 ＝ スペース　かつ (No.50)届出人資格1 ≠ スペース　かつ　(No.51)届出人資格2 ≠ スペースであること			
19-2	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ≠ スペースの時、 (No.39)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.40)離婚の成立･確定日 ≠ スペース　かつ (No.50)届出人資格1、(No.51)届出人資格2いずれかに入力があること			
20	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)の時、 ((No.39)離婚の申立人区分 ≠ スペース　かつ　(No.40)離婚の成立･確定日 ≠ スペース)　かつ ((No.50)届出人資格1、(No.51)届出人資格2一方が ≠ ZERO　かつ　他方が ＝ ZERO)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
21	(No.42)新本籍 ＝ スペースの時、(No.43)新筆頭者 ＝ スペースであること			
22	(No.48)親権指定者の有無 ＝ 1(有り)の時、(No.49)未成年の子の人数 ＞ 0であること			
23	(No.49)未成年の子の人数 ＝ 0の時、 (No.48)親権指定者の有無 ＝ 0(無し)　かつ (No.52)未成年者のカナ氏名n～(No.61)未成年者の親権者区分nが全てスペースであること			22版で見直し
24	(No.49)未成年の子の人数 ＞ 0の時、 (No.52)未成年者のカナ氏名n ≠ スペース　かつ　(No.53)未成年者の漢字氏名n ≠ スペース　かつ (No.56)未成年者の父母との続柄n ≠ スペース　かつ (No.57)未成年者の生年月日n ≠ スペースであること			22版で見直し
24-1				22版で削除
24-2				22版で削除
24-3				22版で削除
25	(No.60)未成年者の養父母との続柄n ≠ スペースの時、 (No.58)未成年者の養父氏名n ≠ スペース　又は (No.59)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			22版で見直し

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(No.60)未成年者の養父母との続柄n ＝ スペースの時、 (No.58)未成年者の養父氏名n ＝ スペース　かつ (No.59)未成年者の養母氏名n ＝ スペースであること			
27	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 1の時、(No.54)未成年者の父氏名n ≠ スペースであること			
28	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 2の時、(No.55)未成年者の母氏名n ≠ スペースであること			
29	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 3の時、(No.58)未成年者の養父氏名n ≠ スペースであること			
30	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 4の時、(No.59)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			
31	(No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ＝ スペースであること			
31-1	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)　又は (No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ≠ スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
32	(N0.12)夫の外国人区分 ＝ 0の時、(No.14)夫の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
33	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0の時、(No.26)妻の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
34	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.12)夫の外国人区分 ＝ 0　又は　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)であること			
35				
35-1	(No.46)裁判所所在国 ＝ スペースの時、 (No.47)外国裁判所名 ＝ スペースであること			
35-2	(No.46)裁判所所在国 ≠ スペースの時、 (No.47)外国裁判所名 ≠ スペースであること			
35-3	(No.45)外国離婚方式 ≠ スペースの時、 (No.46)裁判所所在国 ＝ スペース　かつ　(No.47)外国裁判所名 ＝ スペースであること			
35-4	(No.46)裁判所所在国 ≠ スペース　かつ　(No.47)外国裁判所名 ≠ スペースの時、 (No.45)外国離婚方式 ＝ スペースであること			
36	(No.44)称する氏 ≠ スペースの時、 (No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製　(夫))　又は　4(新戸籍編製　(妻))であること			
37	(No.44)称する氏 ≠ スペースの時、 (No.44)称する氏 ＝ (No.43)新筆頭者(氏のみ)であること			
38	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る　(夫))　又は　3(元の戸籍に戻る　(妻))　かつ (No.42)新本籍 ＝ 管内の時、 (No.43-2)戻る戸籍の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	(No.43-3)届後の戸籍の配偶者区分 ≠ スペースであること			
39	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製（夫)) 又は 4(新戸籍編製（妻)) 又は 5(変動なし)の時、 (No.43-2)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.43-3)届後の戸籍の配偶者区分 ＝ スペースであること			
40	(No.40)離婚の成立･確定日 ≦ (No.3)受領日であること			
41	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
42	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
43	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24) 妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) 又は (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
43-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.16)夫の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.28)妻の漢字氏名の｢氏｣であること			(No.37)筆頭者の｢氏｣とのチェックは No.14-1、No.16-1
43-2	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
44	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))の時、 (No.16)夫の漢字氏名の｢名｣ ＝ (No.43)新筆頭者の｢名｣であること			
45	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))の時、 (No.28)妻の漢字氏名の｢名｣ ＝ (No.43)新筆頭者の｢名｣であること			
46	(No.17)夫の住所 ＝ スペースの時、(No.18)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
47	(No.18)夫の世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)夫の住所 ≠ スペースであること			
48	(No.29)妻の住所 ＝ スペースの時、(No.30)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
49	(No.30)妻の世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)妻の住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

						備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する					(0-2)本紙へ		
YES (0-3)→(0-6)へ				/			R2.1(離婚119)
NO (0-4)→					(0-5)本紙へ		
(0-6)(夫の外国人区分=0:日本人 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) 又は (妻の外国人区分=0:日本人 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力) (YES,NO)				/			R2.1(離婚119)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-8)本紙へ		
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-11)本紙へ	不受理	
	NO	(0-10)→		/		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-12)→(1)へ			/			
(1)離婚の種別(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)				/		人事訴訟法(H16.4)により、種別:5、6を追加	
1	(1-1)離婚の成立・確定日≠スペースである(YES,NO)			/			
	YES	(1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」 を表示する			(1-3)本紙へ		
		YES	(1-3-1)→(1-11)へ	/			R2.1(離婚117)
		NO	(1-3-2)→		(1-3-3)本紙へ	不受理	
						R2.1版で(1-4)～(1-10)を削除	R2.1(離婚117)
	(1-11)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/			
	0	(1-12)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)		/			
		0	(1-13)→(43)へ	/			
		1	(1-14)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出は外国人のみからの届出ですか?」を表示する		(1-14-1)本紙へ		
			YES	(1-15)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(1-16)本紙へ	審査結果入力へ
			NO	(1-17)→(43)へ	/		
	1	(1-18)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)		/			
		0	(1-19)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出は外国人のみからの届出ですか?」を表示する		(1-19-1)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

								備考
				「証書提出は外国人の方からの届出ですか?」を表示する				
			YES	(1-20)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(1-21)本紙へ		審査結果入力へ
			NO	(1-22)→(43)へ		/		
		1		(1-23)エラーメッセージ 「外国人同士が国外で協議離婚した旨の届出は受理できません。」を表示する		(1-24)本紙へ		不受理
	NO	(2)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		通則法27･25の規定を準用
		0	(3)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/		平元.10.2民二3900号通達第2の1･第8の1(1)
			0	(4)→(43)へ		/		
			1	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「夫の住民票の写が添付されていますか?」を表示する		(6)本紙へ		
			YES	(7)→(43)へ		/		
			NO	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「妻の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?」を表示する		(9)本紙へ		
				YES (10)→(43)へ		/		
				NO (11)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示する		(12)本紙へ		不受理
		1	(13)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/		
			0	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「妻の住民票の写が添付されていますか?」を表示する		(15)本紙へ		
			YES	(16)→(43)へ		/		
			NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「夫の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?」を表示する		(18)本紙へ		
				YES (19)→(43)へ		/		
				NO (20)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示する		(20-1)本紙へ		不受理
			1	(21)夫の国籍 ＝ 妻の国籍 である。(YES,NO)		/		
				YES (22)確認メッセージ(YES,NO) 「夫婦の本国法により協議離婚を日本法に従って行えますか?」を表示する		(23)本紙へ		
				YES (23-1)→(43)へ		/		
				NO (23-2)エラーメッセージ 「日本法の方式に従って協議離婚はできません。」を表示する		(23-3)本紙へ		不受理
				NO (23-4)確認メッセージ(YES,NO) 「夫婦の住所の登録が明らかになる書類が添付され、常居所が日本ですか?」を表示する		(23-5)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

										備考
					YES	(23-6)→(43)へ	/			
					NO	(24)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示する		(25)本紙へ		不受理
2,3,4,5,6	(26)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)						/			
	0	(27)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/			
		0	(28)→(38)へ				/			
		1	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「妻の国籍を証明するものがありますか?」を表示する					(30)本紙へ		Nのとき、不受理
	1	(31)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/			
		0	(32)確認メッセージ(YES,NO) 「夫の国籍を証明するものがありますか?」を表示する					(33)本紙へ		Nのとき、不受理
		1	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「日本国内で行われた裁判離婚ですか?」を表示する							
			YES	(35)→(38)へ			/			
			NO	(36)エラーメッセージ 「外国人同士の国外で行われた裁判離婚届は受理できません。」を表示する				(37)本紙へ		通則法27・25の規定を準用
		(38)離婚の種別(2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)					/			
		2	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					(40)本紙へ		戸77・63の規定を準用 Nのとき、不受理 C04013
		3	(41)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書及び確定証明書がありますか?」を表示する					(41-1)本紙へ		戸77・63の規定を準用 Nのとき、不受理 C03025
		4	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本及び確定証明書がありますか?」を表示する					(42-1)本紙へ		戸77・63の規定を準用 Nのとき、不受理 C06011
		5	(42-2)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					(42-3)本紙へ		人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
		6	(42-4)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					(42-5)本紙へ		人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
	(43)本非区分(1:本籍、2:非本籍)						/			
1	(44)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)						/			
	0	(45)夫の身分事項に婚姻がある(YES,NO)					/			
		YES	(46)→(54)へ				/			
		NO	(47)エラーメッセージ 「夫に婚姻事項がありません。」を表示する					(48)本紙へ		不受理
		(49)					/			(49)～(52)は削除

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考
			(50)	/			
			(51)		(52)		
	1		(53)→(54)へ	/			
	(54)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/			
	0		(55)妻の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/			
		YES	(56)→(63-1)へ	/			
		NO	(57)エラーメッセージ 「妻に婚姻事項がありません。」を表示する		(58)本紙へ		不受理
		(59)		/			(59)～(62)は削除
			(60)	/			
			(61)		(62)		
	1		(63)→(63-1)へ	/			
2							
(63-1)夫の外国人区分 ＝ 0:日本人(YES,NO)				/			
YES	(63-2)夫の父の氏名 ＝ スペース 又は 夫の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/			
	YES	(63-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(63-4)本紙へ		
		YES	(63-5)→(63-16)へ	/			
		NO	(63-6)→		(63-7)本紙へ		不受理
	NO	(63-8)夫の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考
		YES	(63-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			(63-10)本紙へ	
		YES	(63-11)→(63-16)へ		/		
		NO	(63-12)→			(63-13)本紙へ	不受理
		NO	(63-14)→(63-16)へ		/		
NO	(63-15)→(63-16)へ				/		
(63-16)妻の外国人区分 ＝ 0:日本人(YES,NO)					/		
YES	(63-17)妻の父の氏名 ＝ スペース　又は　妻の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)				/		
	YES	(63-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(63-19)本紙へ	
		YES	(63-20)→(63-31)へ		/		
		NO	(63-21)→			(63-22)本紙へ	不受理
	NO	(63-23)妻の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)			/		
	YES	(63-24)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				(63-25)本紙へ	
		YES	(63-26)→(63-31)へ		/		
		NO	(63-27)→			(63-28)本紙へ	不受理
	NO	(63-29)→(63-31)へ			/		
NO	(63-30)→(63-31)へ				/		
(63-31)離婚の届出人が夫のみ　かつ　戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))である(YES,NO)					/		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-32)確認メッセージ(YES,NO) 「妻から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」を表示する					(63-33)本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
	YES	(63-34)→(64)へ			/		
	NO	(63-35)確認メッセージ(YES,NO)　「妻は従前の戸籍に戻れませんね。」を表示する				(63-36)本紙へ	
		YES	(63-37)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍は妻の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する			(63-38)本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
			YES	(63-39)→(64)へ	/		
			NO	(63-40)→		(63-41)本紙へ	不受理
		NO					
NO	(63-42)→(63-43)へ				/		
(63-43)離婚の届出人が妻のみ　かつ　戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))である(YES,NO)					/		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-44)確認メッセージ(YES,NO) 「夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」を表示する					(63-45)本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

											備考
	「夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」を表示する										(参考)S55.1.18民二第680号通達
	YES	(63-46)→(64)へ								/	
	NO	(63-47)確認メッセージ(YES,NO) 「夫は従前の戸籍に戻れませんね。」を表示する								(63-48)本紙へ	
		YES	(63-49)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍は夫の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する							(63-50)本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
			YES	(63-51)→(64)へ						/	
			NO	(63-52)→						(63-53)本紙へ	不受理
		NO									
NO	(63-54)→(64)へ									/	
(64)戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫)、2:新戸籍編製(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻)、4:新戸籍編製(妻)、 5:変動なし)										/	
1,2	(65)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)									/	
	0	(66)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)								/	
		0	(67)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)							/	
			YES	(68)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、2:新戸籍編製(夫))						/	
				1	(68-1)審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)へ [3.1]					/	R2.1(誤修正)
					(68-2)→(86)へ					/	
				2	(68-3)→(86)へ					/	
			NO	(69)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する						(70)本紙へ	
		1									
	1										
3,4	(71)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)									/	
	0	(72)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)								/	
		0	(73)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)							/	
			YES	(74)戸籍変動区分(3:元の戸籍に戻る(妻)、4:新戸籍編製(妻))						/	
				3	(74-1)審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)へ [3.1]					/	R2.1(誤修正)
					(74-2)→(86)へ					/	
				4	(74-3)→(86)へ					/	
			NO	(75)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する						(76)本紙へ	
		1									
	1										
5	(77)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)									/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考	
0	(78)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/				
	0	(79)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する			(80)本紙へ			
	1	(81)→(86)へ		/				
1								
(86)親権指定処理(未成年の子の人数分繰り返す)				/			民819I	
(87)親権者指定の有無(0:無、1:有)				/				
0	(88)離婚の成立・確定日≠スペース かつ 離婚の成立・確定日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)> 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立・確定日≠スペース かつ 離婚の成立・確定日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)> 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立・確定日=スペース かつ 受領日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)>受領日 又は、 離婚の成立・確定日=スペース かつ 受領日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/			民法改正(2022年4月 1 日)前は 20歳未満、 民法改正(2022年4月 1 日)後は 18歳未満で 親権者指定の有無を判定する。	R2.1(離婚116)
	YES	(89)未成年者の親権者区分n=スペース(YES,NO)		/				
		YES	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する		(92)本紙へ		(90)(93)を削除	R2.1(離婚116)
			YES (93-1)→(86)	/				
			NO (93-2)→		(93-3)本紙へ		不受理	
		NO	(94)エラーメッセージ 「親権者指定の有無に誤りがあります。」を表示する					
	NO	(95)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(96)→(86)へ	/				
		NO	(97)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(97-1)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考	
1	(98)離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)> 離婚の成立・確定日　又は、 離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)> 離婚の成立・確定日　又は、 離婚の成立・確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は、 離婚の成立・確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民法改正(2022年4月１日)前は 20歳未満、 民法改正(2022年4月１日)後は 18歳未満で 親権者指定の有無を判定する。	R2.1(離婚116)
	YES	(99)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)		/			
		YES	(101)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する		(102)本紙へ	(100)(103)を削除	R2.1(離婚116)
			YES	(103-1)→(86)	/		
			NO	(103-2)→			
		NO	(103-4)(夫の漢字氏名 ＝ 未成年者の父氏名　又は　未成年者の養父氏名) かつ　(妻の漢字氏名 ＝ 未成年者の母氏名　又は　未成年者の養母氏名) (YES,NO)		/			
			YES	(104)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1→(86)へ	/			
			NO	(104-1)確認メッセージ(YES,NO) 「親権区分nの親権指定は必要ですか?」を表示する		(104-2)本紙へ		R2.1(誤修正)
				YES	(104-3)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1 →(86)へ	/		
				NO	(104-4)→		(104-5)本紙へ	不受理※入力誤りであるため。	R2.1(誤修正)
	NO	(105)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)		/			
		YES	(106)→(86)へ		/			
		NO	(107)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(108)本紙へ		
(109)親権指定者の有無(0:無、1:有)					/			
0	(110)→(115)へ				/			
1	(111)未成年者カウント(内部)>0(YES,NO)				/			
	YES	(112)→(115)へ			/			
	NO	(113)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示する				(114)本紙へ		
(115)届出区分(1:創設、2:報告)					/			
1	(116)届出人資格1(006:夫、007:妻)				/		創設的届出の場合届出人資格1は必須入力	
							標準仕様書第10版で(116-1)～(116-7)を削除	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

						備考	
006	(117)届出人資格2(006:夫、007:妻)			/		創設的届出の場合届出人資格2は必須入力	
						標準仕様書第10版で(117-1)～(117-4)を削除	
	006	(118)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する			(119)本紙へ		
	007	(120)→(152)へ		/			
007	(121)届出人資格2(006:夫、007:妻)			/		創設的届出の場合届出人資格2は必須入力	
				/		標準仕様書第10版で(121-1)～(121-4)を削除	
	006	(122)→(152)へ		/			
	007	(123)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する			(124)本紙へ		
2				/		(124-1)、(124-8)～(124-11)を削除	R2.1(離婚117)
(124-2)外国離婚方式=スペースである(YES,NO)				/		日本及び外国の裁判離婚のケース※証書提出は審査不要	
YES	(124-3)受領日<離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)			/			
	YES	(124-4)→(125)へ		/			
	NO	(124-5)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する			(124-6)本紙へ	審査続行(応答後(125)へ)	
NO	(124-7)→(125)へ			/			
(125)離婚の申立人区分(1:夫、2:妻、スペース)				/			
1	(126)届出人資格1又は届出人資格2(006:夫、007:妻)			/			
	006	(127)→(152)へ					

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(離婚届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		007	(131)受領日 ＜ 離婚の成立･確定日 ＋ 10日(YES,NO)		/				
			YES (132)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示する			(133)本紙へ			
			YES (134)→(152)へ		/				
			NO (135)エラーメッセージ 「発収簿処理をして下さい。」を表示する			(136)届出メニューへ		不受理	
			NO (137)→(152)へ		/			NO.138欠番	
	2		(139)届出人資格1又は届出人資格2(006:夫、007:妻)		/				
		006	(140)受領日 ＜ 離婚の成立･確定日 ＋ 10日(YES,NO)		/				
			YES (141)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示する			(142)本紙へ			
			YES (143)→(152)へ		/				
			NO (144)エラーメッセージ 「発収簿処理をして下さい。」を表示する			(145)届出メニューへ		不受理	
			NO (146)→(152)へ		/			NO.147欠番	
		007	(148)→(152)へ		/				
	スペース		(151)→(152)へ		/				
(152)称する氏 ＝ スペース(YES,NO)					/				
YES	(153)→					(154)届出メニューへ			
NO	(155)確認メッセージ(YES,NO) 「帰化等により、復籍すべき戸籍がないですね。」を表示する							Nのとき、不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分･配偶者区分の審査

						備考
(1)新本籍 ＝ 管内である(YES,NO)				/		
YES	(2)戸籍除区分(復籍先) ＝ 0(現戸籍)である。(YES,NO)			/		
	YES	(3)戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(4)～(9)の処理を繰り返す。		/		
			(4)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である。(YES,NO)	/		
		YES	(5)戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である。(YES,NO)	/		
			YES (6)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者がいます。」を表示する		(7)本紙へ	不受理
			NO (8)→(14)へ	/		
		NO	(9)→(3)へ	/		
		(10)→(14)へ		/		
	NO	(11)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する			(12)本紙へ	不受理
NO	(13)→(43)へ			/		
(14)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である。(YES,NO)				/		
YES	(15)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻))			/		
	1	(16)新筆頭者の名 ＝ 夫の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「夫は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?」を表示する		(18)本紙へ	Nのとき、不受理
		NO	(19)→(32)へ	/		
	3	(20)新筆頭者の名 ＝ 妻の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「妻は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?」を表示する		(22)本紙へ	Nのとき、不受理
		NO	(23)→(32)へ	/		
NO	(24)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻))			/		
	1	(25)新筆頭者の名 ＝ 夫の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(26)→(32)へ	/		
		NO	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「夫は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?」を表示する		(28)本紙へ	Nのとき、不受理
	3	(28-1)新筆頭者の名 ＝ 妻の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(29)→(32)へ	/		
		NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「妻は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?」を表示する		(31)本紙へ	Nのとき、不受理
(32)戸籍除区分(復籍先) ＝ 0(現戸籍)である。(YES,NO)				/		
YES	(33)戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(34)～(39)の処理を繰り返す。			/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(離婚届)								
処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分･配偶者区分の審査							備考	
		(34)個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)　又は　3(生存配偶者)である。(YES,NO)			/				
	YES	(35)届後の戸籍の配偶者区分(0:未、3:生存配偶者)			/				
		0	(36)→(33)へ		/				
		3	(37)エラーメッセージ 「戻る戸籍には夫･妻又は生存配偶者が既にいます。」を表示する			(38)本紙へ			
	NO	(39)→(33)へ			/				
	(40)→(43)へ				/				
NO	(41)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する					(42)本紙へ		不受理	
(43)本籍 ＝ 管内(YES,NO)					/				
YES	(44)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻))				/				
	1	(45)夫の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。			/				
		YES	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する			(47)本紙へ		平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れない Nのとき、不受理	
		NO	(47-1)→						
	3	(48)妻の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。			/				
		YES	(49)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する			(50)本紙へ		平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れない Nのとき、不受理	
		NO	(50-1)→						
NO	(50-2)→								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		離婚届入力画面	受領No				
	選択事件コード							「10」を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫の外人区分 / 妻の外人区分 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	不受理申出処分区分								
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理 又は　2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分								0:未　1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号								本籍人の場合、夫の個人番号
	レコード番号			離婚届入力面面					
	夫の外国人区分				夫の外国人区分				
	夫の国籍				夫の国籍				
	夫の筆頭者区分				夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名				夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名				夫の漢字氏名				
	夫の住所コード				夫の住所				
	夫の住所地番								
	夫の世帯主				夫の世帯主				
	夫の父の氏名				夫の父の氏名				
	夫の母の氏名				夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード				夫の父母との続柄				
	夫の生年月日				夫の生年月日				
	夫の転婚区分				夫の転婚区分				
	妻の個人番号								本籍人の場合、妻の個人番号
	妻の外国人区分				妻の外国人区分				
	妻の国籍				妻の国籍				
	妻の筆頭者区分				妻の筆頭者区分				
	妻のカナ氏名				妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名				妻の漢字氏名				
	妻の住所コード				妻の住所				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	妻の住所地番							
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻の転婚区分			妻の転婚区分				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	離婚の成立確定日			離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	新筆頭者カナ氏名							
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍の筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後の戸籍の配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	未成 未成年者nのカナ氏名			未成 未成年者nのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある

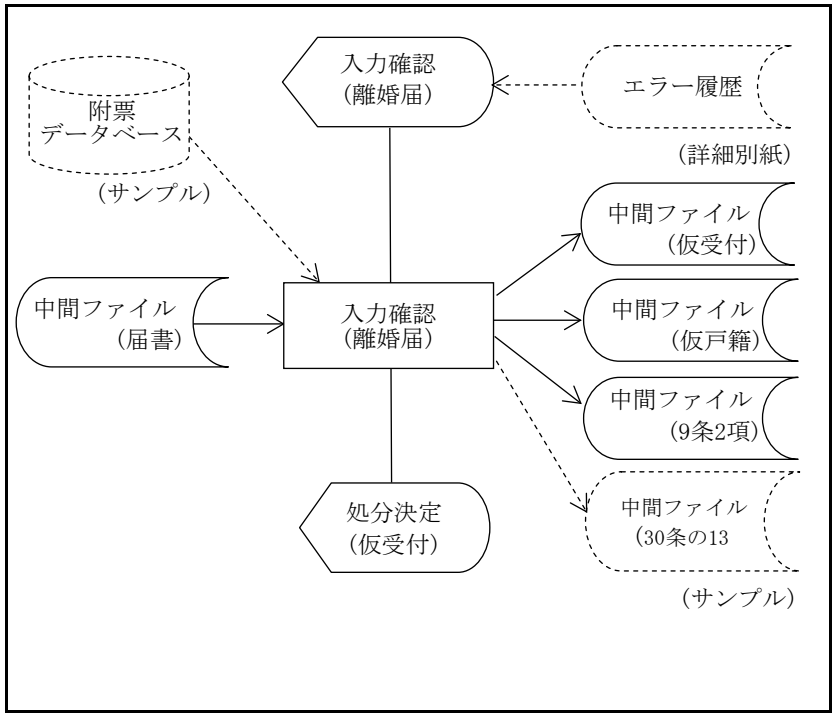
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
		名称	記号名			名称	記号名			
	成年者項目	未成年者nの漢字氏名			成年者項目	未成年者nの漢字氏名				存在する場合がある。
		未成年者nの父の氏名				未成年者nの父の氏名				
		未成年者nの母の氏名				未成年者nの母の氏名				
		未成年者nの父母との続柄コード				未成年者nの父母との続柄				
		未成年者nの生年月日				未成年者nの生年月日				
		未成年者nの養父の氏名				未成年者nの養父の氏名				
		未成年者nの養母の氏名				未成年者nの養母の氏名				
		未成年者nの養父母との続柄コード				未成年者nの養父母との続柄				
		未成年者nの親権者区分				未成年者nの親権者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(離婚届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する
(2) 戸籍変動情報を確定する
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6) 中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
  - 4.3 身分事項(変動なし)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(除籍)
  - 5.2 身分事項(入籍)
  - 5.3 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(子))
  - 6.1 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 夫
  - 妻

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(離婚届)
処理名	0.0　本紙

						備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する			[1.0]	/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合届出ファイルから画面編集をおこなう
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。		[3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/		
	YES	(6)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。		/		
		身分事項(除籍)	(7)夫の除籍事項の編集 [4.1]	/		
		身分事項(入籍)	(8)夫の入籍事項の編集 [4.2]	/		
		身分事項(変動なし)	(9)夫の変動なし事項の編集 [4.3]	/		
		(9-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)		/		
		YES	(9-2)夫について中間ﾌｧｲﾙ(30条の13第1項)を編集・出力する。 [8.1]	/		
		NO	(9-3)→(10)	/		
		(10)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。		/		
		身分事項(除籍)	(11)妻の除籍事項の編集 [5.1]	/		
		身分事項(入籍)	(12)妻の入籍事項の編集 [5.2]	/		
		身分事項(変動なし)	(13)妻の変動なし事項の編集 [5.3]	/		
		(13-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)		/		
		YES	(13-2)妻について中間ﾌｧｲﾙ(30条の13第1項)を編集・出力する。 [8.2]	/		
		NO	(13-3)→(14)	/		
		(14)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。		/		
		身分事項(変動なし)	(15)子の変動なし事項の編集 [6.1]	/		
	NO	(16)→(17)		/		
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/		
	YES	(18)夫の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)		/		
		YES	(19)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。 [7.1]	/		
		NO	(20)→(21)	/		
		(21)妻の外人区分 ＝ 0　:日本人である(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(離婚届)					
処理名			0.0　本紙				備考	
		YES	(22)妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。 [7.2]		(23)処分決定に制御を渡す			
		NO	→					
	NO							
PF1	→				(24)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(25)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(26)審査に制御を渡す			
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(28)前ページ分の確認画面(離婚届)を編集する			(29)同画面を編集する			
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(32)次ページ分の確認画面(離婚届)を編集する			(33)同画面を編集する			
	NO	(34)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(35)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(36)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(37)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本･非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の外国人区分				
	夫の国籍			夫の国籍				
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所			夫の住所コード				
	夫の世帯主			夫の住所地番				
				夫の世帯主				
	夫の父の氏名			夫の父の氏名				
	夫の母の氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	夫の転婚区分			夫の転婚区分				
	妻の外国国人区分			妻の外国人区分				
	妻の国籍			妻の国籍				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所			妻の住所コード				
				妻の住所地番				
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻の転婚区分			妻の転婚区分				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍の筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後の戸籍の配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立確定日				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚届)　表示							

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
	届出人資格2				届出人資格2					
	未成年者項目n件	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目n件	未成年者nのカナ氏名				
		未成年者nの漢字氏名				未成年者nの漢字氏名				
		未成年者nの父の氏名				未成年者nの父の氏名				
		未成年者nの母の氏名				未成年者nの母の氏名				
		未成年者nの父母との続柄				未成年者nの父母との続柄				
		未成年者nの生年月日				未成年者nの生年月日				
		未成年者nの養父の氏名				未成年者nの養父の氏名				
		未成年者nの養母の氏名				未成年者nの養母の氏名				
		未成年者nの養父母との続柄				未成年者nの養父母との続柄				
		未成年者nの親権者区分				未成年者nの親権者区分				

補足説明書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表							

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				元の戸籍へ		新戸籍					一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
	管内	管外	構成 筆頭者	構成 構成員		構成 筆頭者	構成 構成員		夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無					
1	○		○				○			○		○					○		妻(5.1)	夫(4.3)	妻(5.2)	
2	○		○				○			○			○				○		妻(5.1)	夫(4.3)		
3	○		○				○			○				○			○		妻(5.1)	夫(4.3)		妻(5.2)
4	○		○				○			○					○		○		妻(5.1)	夫(4.3)		
5	○		○					○			○	－	－	－	－		○			夫(4.3)		
6	○			○		○			○			○					○		夫(4.1)	妻(5.3)	夫(4.2)	
7	○			○		○			○				○				○		夫(4.1)	妻(5.3)		
8	○			○		○			○					○			○		夫(4.1)	妻(5.3)		夫(4.2)
9	○			○		○			○						○		○		夫(4.1)	妻(5.3)		
10	○				○	○					○	－	－	－	－		○			妻(5.3)		
11	－	－			○			○			○	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－
12		○	○				○			○		○					○				妻(5.2)	
13		○	○				○			○			○				○		－	－	－	－
14		○	○				○			○				○			○					妻(5.2)
15		○	○				○			○					○		○		－	－	－	－
16		○	○					○			○	－	－	－	－		○		－	－	－	－
17		○		○		○			○			○					○				夫(4.2)	
18		○		○		○			○				○				○		－	－	－	－
19		○		○		○			○					○			○					夫(4.2)
20		○		○		○			○						○		○		－	－	－	－
21		○			○	○					○	－	－	－	－		○		－	－	－	－
22	○		○				○			○		○				○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)	妻(5.2)	

補足説明書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表							

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				元の戸籍へ		新戸籍					一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
	管内	管外	構成 筆頭者	構成員		構成 筆頭者	構成員		夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無					
23	○		○				○			○			○			○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		
24	○		○				○			○				○		○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		妻(5.2)
25	○		○				○			○					○	○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		
26	○		○					○			○	－	－	－	－	○				夫(4.3) 子(6.1)		
27	○			○		○			○			○				○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)	夫(4.2)	
28	○			○		○			○				○			○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		
29	○			○		○			○					○		○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		夫(4.2)
30	○			○		○			○						○	○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		
31	○				○	○					○	－	－	－	－	○				妻(5.3) 子(6.1)		
32		○	○				○			○		○				○					妻(5.2)	
33		○	○				○			○			○			○			－	－	－	－
34		○	○				○			○				○		○						妻(5.2)
35		○	○				○			○					○	○			－	－	－	－
36		○	○					○			○	－	－	－	－	○			－	－	－	－
37		○		○		○			○			○				○					夫(4.2)	
38		○		○		○			○				○			○			－	－	－	－
39		○		○		○			○					○		○						夫(4.2)

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				元の戸籍へ		新戸籍					一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1		
	管内	管外	構成 筆頭者	構成 構成員		構成 筆頭者	構成 構成員		夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無						
40		○		○		○			○						○	○			－	－	－	－	
41		○			○	○					○	－	－	－	－	○			－	－	－	－	

ひな型使用時の補足説明
(1)C1:個人特定(入籍)編集
・戸籍変動区分 ＝ 1 OR 3(元の戸籍に戻る)の場合、戻る戸籍での筆頭者区分　→　筆頭者区分
　　届後戸籍での配偶者区分　→　配偶者区分　をそれぞれ設定する
・戸籍変動区分 ＝ 2 OR 4(新戸籍編製)の場合、　1(筆頭者)　→　筆頭者区分
　　0(未)　→　配偶者区分　をそれぞれ設定する
(2)C2:個人特定(記録)編集
・夫および妻の配偶者区分は 0(未)を設定する
　(元の戸籍に戻る場合や新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離婚の種別 ＝ 1の時は、「1001」 離婚の種別 ＝ 2の時は、「1002」 上記以外は、「1003」
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立確定日				届出区分 ＝ 2の場合、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							離婚の方式≠スペースの時、 1(証書提出) 以外は0(届出)
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別＝1(協議)の場合、スペース			
	届出人資格名称1			届出人資格2	(2)離婚の種別≠1(協議)の場合			
	届出人氏名1			夫の漢字氏名	届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の漢字氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1、3のとき「1」、 2、4のとき「2」、 その他はスペース
	届後本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1、2、3、4の場合に設定する 上記以外はスペース
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	妻の氏名

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	事件本人区分								夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(夫)
	届出人区分				離婚の種別 ＝ 1の場合、 夫及び妻の場合は1を設定。 但し、離婚の成立確定日 ≠ 0の場合、夫、妻が外国人であれば、0を設定		離婚の種別 ≠ 1で 夫の場合、 届出人資格1又は2 ＝ 006(夫)のとき1を設定 それ以外は0を設定 妻の場合、 届出人資格1又は2 ＝ 007(妻)のとき1を設定 それ以外は0を設定		
	カナ氏名				夫　又は　妻のカナ氏名				
	漢字氏名				夫　又は　妻の漢字氏名				
	生年月日				夫　又は　妻の生年月日				
	本籍コード				本籍コード				
	本籍				本籍地番				
	送達確認2								事件本人の現戸籍が(本非区分 ＝ 2)かつ　(在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

※事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.1　夫(除籍･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出 届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
	届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	4.1　夫(除籍・離婚)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入	資格名称							届出人資格1612 ＝ 0070の場合、「妻」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 2のときのみ
		称する氏			称する氏				
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分 ＝ 2　かつ 夫の転婚区分 ＝ 1の場合のみ
		入籍戸籍	本籍		新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 1のときのみ
			筆頭者		新筆頭者				
	記録	記録日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	4.1　夫(除籍･離婚)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.2　夫(入籍･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出 届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
	届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	4.2　夫(入籍･離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入	資格名称							届出人資格1612 ＝ 0070の場合、「妻」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍	本籍		本籍地番				
			筆頭者		筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		離婚後の氏							
		入籍戸籍	本籍						
			筆頭者						
	記録	記録日							
	特記	特記事項							妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.3　夫(変動無し･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出 届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
	届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	4.3　夫(変動無し･離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入	資格名称							届出人資格1612 ＝ 0070の場合、「妻」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		離婚後の氏							
		入籍戸籍	本籍						
			筆頭者						
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	5.1　妻(除籍･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出 届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
	届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.1　妻(除籍・離婚)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入	資格名称							届出人資格1612 ＝ 000の場合、「夫」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 4のときのみ
		称する氏			称する氏				
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分 ＝ 4　かつ 妻の転婚区分 ＝ 1の場合のみ
		入籍戸籍	本籍		新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 3のときのみ
			筆頭者		新筆頭者				
	記録	記録日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.1　妻(除籍･離婚)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	5.2　妻(入籍･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出 届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
	届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.2　妻(入籍･離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入	資格名称							届出人資格1612 ＝ 000の場合、「夫」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 離婚の方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 離婚の方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍	本籍		本籍地番				
			筆頭者		筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		離婚後の氏							
		入籍戸籍	本籍						
			筆頭者						
	記録	記録日							
	特記	特記事項							夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	5.3　妻(変動無し･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出 届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
	届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.3　妻(変動無し･離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入	資格名称							届出人資格1612 ＝ 000の場合、「夫」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 離婚の方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 離婚の方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		離婚後の氏							
		入籍戸籍	本籍						
			筆頭者						
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	6.1　子(変動無し・親権)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	未成年者nの個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1301」を移送
	記録コード							「1301」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	親権 親権者を定めた日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別＝1(協議)　かつ 外国離婚方式＝ スペースの場合、 受領日を設定 離婚の種別＝1(協議)　かつ 外国離婚方式≠スペースの場合、 離婚の成立確定日を設定 上記以外は、未設定
	親権者を定められた日			離婚の成立確定日				離婚種別≠1(協議以外)の場合、 離婚の成立確定日を設定 上記以外は、未設定
	親権者となった日～親権停止の審判取消しの裁判確定日 は省略							
	親権者 資格							未成年者nの親権者指定区分が 1の場合:「父」　2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」を設定
	資格名称							
	氏名			未成年者nの養父の氏名 未成年者nの養母の氏名				未成年者nの親権者指定区分が 3の場合:未成年者nの養父の氏名 4の場合:未成年者nの養母の氏名 その他の場合:スペースを設定
	親権喪失～親権停止取消　は省略							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	6.1　子(変動無し･親権)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1(協議以外)のときのみ
		届出人1 資格							離婚の種別＝1(協議)の場合、次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1(協議以外)の場合、スペースを設定
		届出人1 資格名称							
		届出人1 氏名							
		届出人2 資格							離婚の種別＝1(協議)の場合、次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1(協議以外)の場合、スペースを設定
		届出人2 資格名称							
		届出人2 氏名							
		記録嘱託日							
	送付	通知を受けた日							
		送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録	従前の記録							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(離婚届)						
処理名	補足説明(親権事項の届出人の資格編集条件)						

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する。

親権者指定区分	養父母欄の条件*1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者nの養母の氏名
2 (母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【母】	
3 (養父)	養母 ＝ スペース?	YES	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【母】	
		NO	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【養母】	未成年者nの養母の氏名
4 (養母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父】		【養母】	未成年者nの養母の氏名
		NO	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【養母】	未成年者nの養母の氏名

*1:未成年者の子側の養父母欄を示す

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.1　9条2項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			夫の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者の氏 + 夫の名 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時 夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者 上記以外の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.1　9条2項(夫)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			妻の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者の氏 + 妻の名 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時 妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者 上記以外の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.2　9条2項(妻)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者の氏 + 夫の名 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時 夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者　又は 夫の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者 上記以外の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者の氏 + 妻の名 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時 妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者　又は 妻の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者 上記以外の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

10. 77条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	婚氏39	「77条の2届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_7.1 30条の13第1項(婚氏続称者)
2		婚氏38		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「77条の2届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1～4.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	77条の2届					

1.77条の2届処理範囲外の処理

(1)離婚の届出と同時に77条の2の届出をした場合

(2)非本籍地から本籍地における配偶者の随従入籍を伴う場合

(3)構成員の父母(養父母)欄更正処理

上記(1)～(3)は、別に処理方法を考慮する。

2.77条の2届入力画面の意義

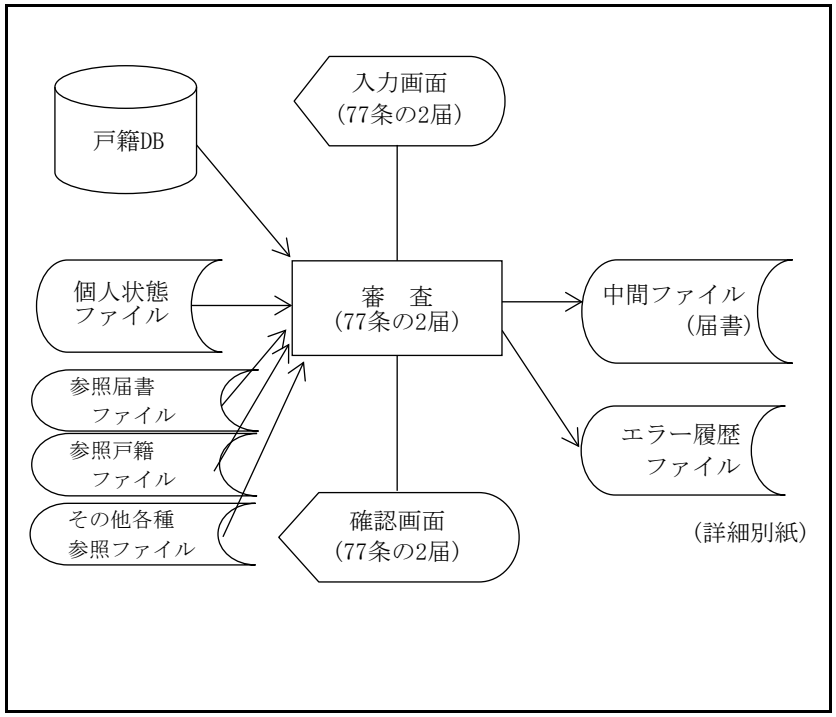
(1)婚氏続称当事者の各項目を入力する。

3.その他

(1)配偶者の随従入籍を伴う場合は配偶者の9条2項ファイルに住所及び世帯主は設定されない。
9条2項通知は運用で対処する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	77条の2届					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)77条の2届届の内容を入力する
(2)77条の2届届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)77条の2届届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)77条の2届届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(77条の2届届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出有効期間について
　離婚年月日 + 3箇月が閉庁日の場合は、翌開庁日として判定
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
　参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(77条の2届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する							/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す			
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する						(15-3)同画面を編集する			
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する		入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(77条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	現カナ氏名	○	カナ				
11	現漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
15	同籍者区分	○	数字	(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、3:他構成員のみ)であること			
16	離婚年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	住所		漢字				
18	世帯主		漢字				
19	本籍	○	漢字				
20	筆頭者	○	漢字				
21	変更後カナ氏	○	カナ				
22	変更後漢字氏	○	漢字				
23	変更後本籍		漢字				
24	変更後筆頭者		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(77条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.16)離婚年月日であること			
10-1	(No.3)受領日 ≧ (No.16)離婚年月日であること			
10-2	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.19)本籍 ＝ 管内　又は　(No.23)変更後本籍 ＝ 管内であること			
10-3	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.19)本籍 ＝ 管外　かつ　(No.23)変更後本籍 ＝ 管外であること			
11	(No.23)変更後本籍 ＝ スペースの時、(No.24)変更後筆頭者 ＝ スペースであること			
12	(No.23)変更後本籍 ≠ スペースの時、(No.24)変更後筆頭者 ≠ スペースであること			
13	(No.14)配偶者区分 ＝ 1　又は　2の時、(No.15)同籍者区分 ＝ 1　又は　2であること			
14	(No.18)世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)住所 ≠ スペースであること			
14-1	(No.17)住所 ＝ スペースの時、(No.18)世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.24)変更後筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.22)変更後氏 ＝ (No.24)変更後筆頭者の「氏」であること			
16	(No.24)変更後筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.11)現漢字氏名の「名」＝ (No.24)変更後筆頭者の「名」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(77条の2届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		R2.1(婚氏34)
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		R2.1(婚氏34)
(0-7)現漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/		R2.1(婚氏34)
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-9)本紙へ	R2.1(婚氏34)
						R2.1(婚氏34)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-12)本紙へ	R2.1(婚氏34)
	NO	(0-11)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(婚氏34)
NO	(0-13)→(1)へ			/		R2.1(婚氏34)
(1)(離婚年月日 + 1日) + 3箇月 ＞ 受領日である(YES,NO)				/		民767Ⅱ、民140～143
YES	(2)現在の氏 ≠ 変更後の氏である(YES,NO)			/		
	YES	(3)筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)		/		(3-1)～(3-7)は削除
	0	(3-1)		/		
			(3-2)	/		
			(3-3)			
				(3-4)		
				(3-5)		
			(3-6)		(3-7)	
		(4)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)		/		
		YES	(5)→		(6)本紙へ	
		NO	(7)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
	1	(8)事件本人の本籍は管内である(YES,NO)		/		(8-1)～(8-6)は削除
		YES	(8-1)	/		
			(8-2)			
				(8-3)		
				(8-4)		
			(8-5)		(8-6)	
			(9)同籍者区分(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、3:他構成員のみ)	/		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。(筆頭者区分 ＝ 0のみ)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(77条の2届)
処理名	3.0 審査

						備考
						※。(筆頭者区分 = 0のみ)
1	(10)配偶者-個人除区分(0:在籍者、その他)			/		
	0	(11)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
		YES	(12) →		(13)本紙へ	
		NO	(14)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
	その他	(15)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
		YES	(16)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(17)本紙へ	
		NO	(18) →			
2	(19)配偶者-個人除区分(0:在籍者、その他)			/		
	0	(20)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
		YES	(21) →		(22)本紙へ	
		NO	(23)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
	その他	(24)構成員-個人除区分(0:在籍者、その他)		/		
		0	(25)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
			YES (26) →		(27)本紙へ	
			NO (28)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
		その他	(29)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
			YES (30)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(31)本紙へ	
			NO (32) →			
3	(33)構成員-個人除区分(0:在籍者、その他)			/		
	0	(34)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
		YES	(35) →		(36)本紙へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(77条の2届)
処理名	3.0 審査

										備考
						NO	(37)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
					その他		(38)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(39)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(40)本紙へ	
						NO	(41)→			
				0			(42)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
					YES		(43)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(44)本紙へ	
					NO		(45) →			
			NO				(46)同籍者区分(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、3:他構成員のみ)	/		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。(筆頭者区分 ＝ 0のみ)
				0			(47)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
					YES		(48)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(49)本紙へ	
					NO		(50) →			
				1,2			(50-1)変更後本籍 ≠ スペース かつ 変更後の本籍＝管内 (YES,NO)	/		
					YES		(51)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(51-1)本紙へ	
					NO		(51-2) →			
				3			(52)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
					YES		(53) →		(54)本紙へ	
					NO		(55)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
		NO					(56)エラーメッセージ 「変更後の氏に誤りがあります。再入力して下さい。」を表示する		(57)本紙へ	
	NO						(58)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		77条の2届入力画面	受領No				
	選択事件コード							「11」をセット
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、婚氏続称者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする。*
	決裁区分							ZERO
	届書排他区分							0:未　1:排他

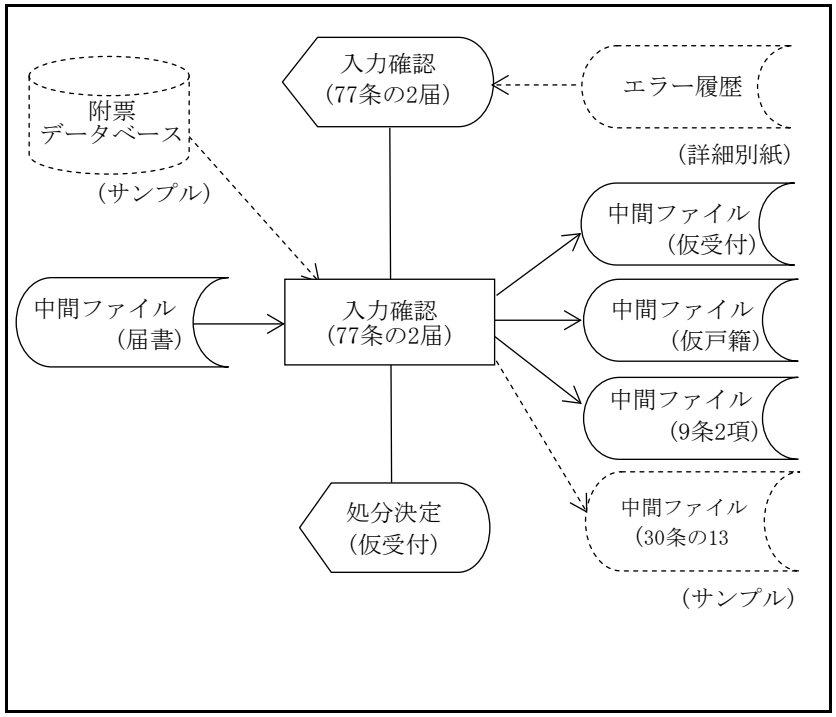
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	婚氏続称者個人番号		77条の2届入力画面					本籍人の時、個人番号を設定
	現カナ氏名			現カナ氏名				
	現漢字氏名			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	離婚年月日			離婚年月日				
	住所コード			住所				
	住所地番							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	変更後本籍コード			変更後本籍				
	変更後本籍地番							
	変更後筆頭者カナ氏名							氏名変換等の入力画面から引用する
	変更後筆頭者			変更後筆頭者				

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(77条の2届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(婚氏続称者))
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
  - 4.3 身分事項(変動なし)
  - 4.4 戸籍事項(77条の2)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(配偶者))
  - 5.1 身分事項(除籍)
  - 5.2 身分事項(入籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 9条2項(婚氏続称者)
  - 6.2 9条2項(配偶者)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 7.1 婚氏続称者

5. 備考(特記事項含む)

(1)戸籍事項(77条の2)[4.4]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(77条の2届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(6)事件本人の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		身分事項(除籍)	(7)事件本人の除籍事項の編集	[4.1]	/		
		身分事項(入籍)	(8)事件本人の入籍事項の編集	[4.2]	/		
		身分事項(変動なし)	(9)事件本人の変動なし事項の編集	[4.3]	/		
		戸籍事項(77条の2)	(10)事件本人の戸籍事項の編集	[4.4]	/		
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-1)
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[7.1]	/		
		NO	(10-3)→(11)		/		
		(11)配偶者の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		身分事項(除籍)	(12)配偶者の除籍事項の編集	[5.1]	/		
		身分事項(入籍)	(13)配偶者の入籍事項の編集	[5.2]	/		
	NO	(14)→(15)			/		
	(15)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
	YES	(16)同籍者区分(0:無、3:他構成員のみ、1:配偶者のみ、2:配偶者＋他構成員)			/		
		0 or 3	(17)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[6.1]		(18)処分決定に制御を渡す	
		1 or 2	(19)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[6.1]			
			(20)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[6.2]			
	NO	→					
PF1	→					(21)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(22)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(23)審査に制御を渡す	
PF11	→					(24)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(25)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(26)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
77条の2届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	現カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	現カナ氏名				
	現漢字氏名			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		
	筆頭者区分名称							
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	配偶者区分名称							
	同籍者区分			同籍者区分		有		
	同籍者区分							
	離婚年月日			離婚年月日		有		
	住所			住所コード		有		
				住所地番				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	変更後本籍			変更後本籍コード		有		
				変更後本籍地番				
	変更後筆頭者			変更後筆頭者				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	条件													戸籍の変動			
	婚氏続称者													婚氏続称者の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 4.4 C.1 D.1
	本籍		構成		同籍者区分							新戸籍編製		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.4 D.2	
	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	無	配偶者 有り	配偶者 個人除区分 在籍者	配偶者 個人除区分 除籍者	他構成員 有り	他構成員 個人除区分 在籍者	他構成員 個人除区分 除籍者	管内	管外				
1	○		○		○											婚氏続称者(4.3)	
2	○		○			○	○					○			婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
3	○		○			○		○								婚氏続称者(4.3)	
4	○		○			○	○						○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		
5	○		○			○	○		○	○		○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)			婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
6	○		○			○		○	○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
7	○		○			○	○		○		○	○			婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
8	○		○			○		○	○		○					婚氏続称者(4.3)	
9	○		○			○	○		○	○			○	婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)			
10	○		○			○		○	○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
11	○		○			○	○		○		○		○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		
12	○		○						○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
13	○		○						○		○					婚氏続称者(4.3)	
14	○		○						○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
15	○			○	○							○			婚氏続称者(4.1)		婚氏続称者(4.2)
16	○			○	○								○		婚氏続称者(4.1)		
17	○			○					○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
18	○			○					○		○	○			婚氏続称者(4.1)		婚氏続称者(4.2)
19	○			○					○	○			○	婚氏続称者(4.1)			

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

20	○			○					○		○		○			婚氏続称者(4.1)	
21		○	○		○							○					婚氏続称者(4.2)
22		○	○			○						○					*審査結果入力
23		○	○			○							○				
24		○	○						○			○					婚氏続称者(4.2)
25		○	○						○				○				
26		○	○			○			○			○					*審査結果入力
27		○	○			○			○				○				
28		○		○	○							○					婚氏続称者(4.2)
29		○		○	○								○				
30		○		○					○			○					婚氏続称者(4.2)
31		○		○					○				○				

(注)新戸籍編製の場合.B.1は4.4編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領審号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							「1101」を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースのとき送付日 上記以外のとき受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							本人なので移送しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							変更後本籍 ≠ スペースの時、2を設定
	届後本籍コード			変更後本籍コード				
	届後本籍			変更後本籍地番				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者			変更後筆頭者				
	送達確認1							編子後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							「14」を移送
	届出人区分							「1」を移送
	カナ氏名			現カナ氏名				
	漢字氏名			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							婚氏続称者の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ　(在外送付区分 ＝ 0) の場合、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.1　身分事項(婚氏続称者・除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	婚氏続称者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			変更後本籍地番				
		称する氏			変更後漢字氏				氏のみ移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.2　身分事項(婚氏続称者・入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	婚氏続称者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			本籍地番				
		従戸前籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(77条の2届)								
処理名	4.3　身分事項(婚氏続称者・変動無し)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	婚氏続称者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		従戸前籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.4　戸籍事項(77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								「0」を設定
	タイトルコード								「1101」を設定
	記録コード								「1101」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従記前録の	従記前録の	氏		現漢字氏名				戸籍の変動無しの場合のみ、氏を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	5.1　身分事項(配偶者･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「1102」を移送
	記録コード							「1102」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日							
	入籍事由							
	除籍 除籍日			処理日、送付日、受領日				処理日 ≠ スペースのとき、処理日 送付日 ≠ スペースのとき、送付日 上記以外は、受領日を移送
	除籍事由							配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入戸籍 従前籍 本籍							
	筆頭者							
	除戸籍 新本籍			変更後本籍地番				
	特記 特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)						
処理名	5.2　身分事項(配偶者・入籍)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1102」を移送
	記録コード								「1102」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日			処理日、送付日、受領日				処理日 ≠ スペースのとき、処理日 送付日 ≠ スペースのとき、送付日 上記以外のとき、受領日を移送
	入籍	入籍事由							配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	除籍	除籍日							
	除籍	除籍事由							
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			現漢字氏名				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	6.1　9条2項(婚氏続称者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							11(77条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名				
	旧氏名			現漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			変更後本籍コード				
	新本籍			変更後本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	6.2　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							11(77条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号		戸籍DB	配偶者個人番号				本籍人の場合のみ該当項目を戸籍DBから引用して設定する
	新氏名			変更後漢字氏 + 配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード		中間ファイル(届書)	変更後本籍コード				
	新本籍			変更後本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード							
	住所							
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(婚氏続称者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					11(77条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名				
	旧氏名			現漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			変更後本籍コード				
	新本籍			変更後本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	転入届出日							

(注意)婚氏続称者の配偶者については、「在外選挙人異動者リスト作成処理」にて別途対応する。

第7.2.(5)「異動」処理

11.離婚同時77条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	69	「離婚同時77条の2届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		68		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	70	「離婚同時77条の2届」	指摘による修正 R2.1版で修正した箇所について、離婚と異なる箇所があったため、離婚と同様の修正を行う。
4		－		「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正
5	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「離婚同時77条の2届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1～4.5、5.1～5.5、6.1

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	離婚同時77条の2届					

1.離婚同時77条の2業務処理範囲外の処理

(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と結婚しかつ親の戸籍に在籍する者の離婚届。

(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年の親権指定処理。

(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。

(4)外国の方式で離婚したときに来成年者の親権が外国法で共同親権となる場合

(5)転婚者が、離婚同時77条の2届を届出た場合。

(6)事件本人の成年後見人から届出がされた場合。

(7)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。

上記(1)～(4)、(6)～(7)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(5)は、離婚届と77条の2届をそれぞれ別処理を行う。

2.離婚同時77条の2届入力画面の意義

(1)その1画面.離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

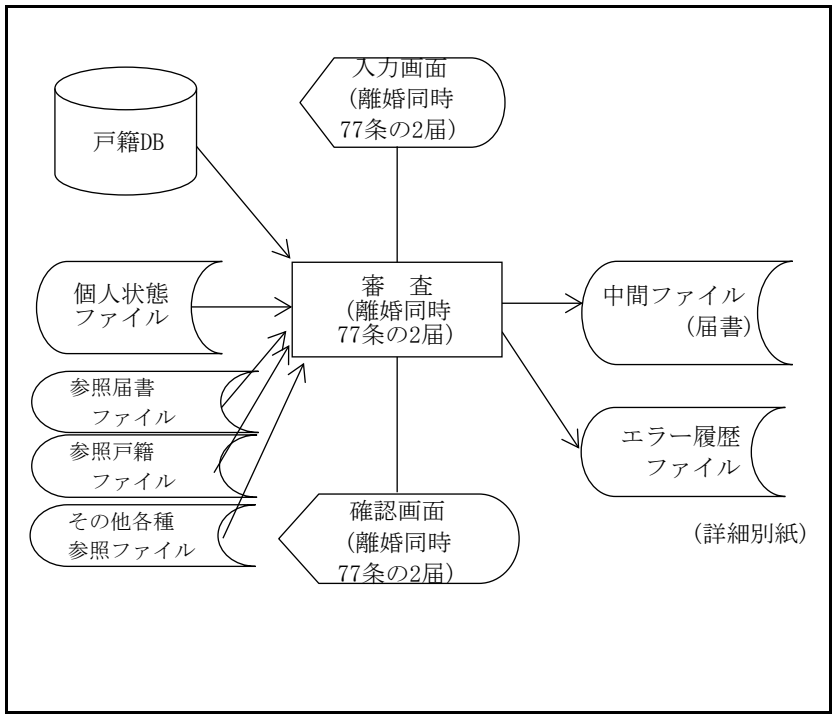
(2)その2画面.離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。

(3)その3画面.離婚後、未成年者の親権指定の各項目を入力する。

3.その他

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)離婚同時77条の2届の内容を入力する
(2)離婚同時77条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)離婚同時77条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)離婚同時77条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(離婚同時77条の2届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・協議離婚時:受領日
・裁判離婚時:離婚の成立日･確定日　を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、 届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届 書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(離婚同時77条の2届)を編集する					(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(離婚同時77条の2届)を編集する					(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(22-2)画像情報を表示する					(22-3)同画面を編集する		
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本･非本	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態	○	数字	(0:不要、1:要)であること			
10	報告	○	数字	(1:創設、2:報告)であること			
11	夫のカナ氏名	○	カナ				
12	夫の漢字氏名	○	漢字				
13	夫の住所		漢字				
14	夫の世帯主		漢字				
15	夫の父の氏名		漢字				
16	夫の母の氏名		漢字				
17	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
18	夫の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
19	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	妻のカナ氏名	○	カナ				
21	妻の漢字氏名	○	漢字				
22	妻の住所		漢字				
23	妻の世帯主		漢字				
24	妻の父の氏名		漢字				
25	妻の母の氏名		漢字				
26	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること			
27	妻の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	本籍	○	漢字				
30	筆頭者	○	漢字				
31	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
32	離婚の申立人区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
33	離婚の成立･確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	戸籍変動区分	○	数字	(2:新戸籍編製(夫)、4:新戸籍編製(妻))であること			
35	新本籍	○	漢字				
36	新筆頭者	○	漢字				
37	外国離婚方式		漢字				
38	裁判所所在国		漢字				
39	外国裁判所名		漢字				
40	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、1:有り)であること			
41	未成年の子の人数		数字				
42	届出人資格1		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
43	届出人資格2		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
44	未成年者nのカナ氏名		カナ				NO.44～NO.53の項目は複数件存在する
45	未成年者nの漢字氏名		漢字				
46	未成年者nの父の氏名		漢字				
47	未成年者nの母の氏名		漢字				
48	未成年者nの父母との続柄		数字	(10:男、11:長男～29:十九男、30:女、31～49:十九女)であること			
49	未成年者nの生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
50	未成年者nの養父の氏名		漢字				
51	未成年者nの養母の氏名		漢字				
52	未成年者nの養父母との続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			
53	未成年者nの親権者区分		数字	(1:父、2:母、3:養父、4:養母)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(離婚同時77条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚同時77条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.9)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0(受理分)であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時、 (No.9)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　((No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由))の時、 (No.9)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
13-1	(No.2)受領日 ≧ (No.33)離婚の成立･確定日であること			
14	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
14-1	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、(No.12)夫の漢字氏名 ＝ (No.30)筆頭者であること			
15	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
15-1	(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、(No.21)妻の漢字氏名 ＝ (No.30)筆頭者であること			
15-2	(No.12)夫の漢字氏名の氏 ＝ (No.21)妻の漢字氏名の氏であること			
16	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ＝ スペースの時、 (No.32)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.33)離婚の成立･確定日 ＝ スペース　かつ (No.42)届出人資格1 ≠ スペース　かつ　(No.43)届出人資格2 ≠ スペースであること			
16-2	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ≠ スペースの時、 (No.32)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.33)離婚の成立･確定日 ≠ スペース　かつ (No.42)届出人資格1、(No.43)届出人資格2　いずれかに入力があること			
17	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)の時、 ((No.32)離婚の申立人区分 ≠ スペース　かつ　(No.33)離婚の成立･確定日 ≠ スペース)　かつ ((No.42)届出人資格1、(No.43)届出人資格2　一方が ≠ ZERO)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.0　関連チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.40)親権指定者の有無 ＝ 1(有)の時、(No.46)未成年の子の人数 ＞ ZEROであること			
19	(No.41)未成年の子の人数 ＝ 0の時、未成年者の欄(No.44～No.53) × n件 ＝ スペースであること			
20	(No.45)未成年者nの漢字氏名 ≠ スペースの時、 (No.44)未成年者nのカナ氏名 ≠ スペース　かつ (No.49)未成年者nの生年月日 ≠ スペースであること			
21	(No.48)未成年者nの父母との続柄 ＝ スペースの時、 (No.46)未成年者nの父の氏名 ＝ スペース　かつ (No.47)未成年者nの母の氏名 ＝ スペースであること			
22	(No.52)未成年者nの養父母との続柄 ＝ スペースの時、 (No.50)未成年者nの養父の氏名 ＝ スペース　かつ (No.51)未成年者nの養母の氏名 ＝ スペースであること			
23	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 1の時、(No.46)未成年者nの父の氏名 ≠ スペースであること			
24	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 2の時、(No.47)未成年者nの母の氏名 ≠ スペースであること			
25	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 3の時、(No.50)未成年者nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
26	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 4の時、(No.51)未成年者nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
27	(No.10)報告区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ＝ スペースであること			
27-2	(No.10)報告区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.31)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)　又は (No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ≠ スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
28	(No.37)外国離婚方式 ≠ スペース　かつ　(No.38)裁判所所在国 ≠ スペース　かつ (No.39)外国裁判所名 ≠ スペースの場合、エラー			
29	(No.44)未成年者nのカナ氏名 ≠ スペースの時、 (No.45)未成年者nの漢字氏名 ≠ スペースかつ(No.49)未成年者nの生年月日 ≠ スペースであること			
30	(No.44)未成年者nのカナ氏名 ＝ スペースの時、 (No.45)未成年者nの漢字氏名～(No.53)未成年者nの親権者区分　全てスペースであること			
31	(No.45)未成年者nの漢字氏名 ＝ スペースの時、 (No.44)未成年者nのカナ氏名 ＝ スペース　かつ (No.46)未成年者nの父の氏名～(No.53)未成年者nの親権者区分　全てスペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.34)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))の時、 (No.12)夫の漢字氏名 ＝ (No.36)新筆頭者であること			
33	(No.34)戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))の時、 (No.21)妻の漢字氏名 ＝ (No.36)新筆頭者であること			
34	(No.13)夫の住所 ＝ スペースの時、(No.14)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
35	(No.14)夫の世帯主 ≠ スペースの時、(No.13)夫の住所 ≠ スペースであること			
36	(No.22)妻の住所 ＝ スペースの時、(No.23)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
37	(No.23)妻の世帯主 ≠ スペースの時、(No.22)妻の住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名	3.0 審査					備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/				
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
YES	(0-2)→(0-5)へ		/				
NO	→			(0-3)本紙へ			
NO	(0-4)→(0-5)へ		/				
(0-5)夫の漢字氏名の名が未入力 又は 妻の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)			/			R2.1(離婚同時77の2-67)	
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-7)本紙へ		R2.1(離婚同時77の2-67)	
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ		不受理、R2.1(離婚同時77の2-67)	
NO	(0-9)→					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(離婚同時77の2-67)	
NO	(0-11)→(1)へ		/			R2.1(離婚同時77の2-67)	
(1)離婚の種別(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)			/			人事訴訟法(H16.4)により、種別:5、6を追加	
1	(1-1)外国離婚方式 ≠ スペース(YES,NO)		/				
YES	(1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示する			(1-3)本紙へ		戸41 Nのとき、不受理	
NO	(2)→(7)へ		/				
2	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する			(4)本紙へ		戸77・63 Nのとき、不受理 C04013	
3	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書及び確定証明書がありますか?」を表示する					戸77・63 Nのとき、不受理 C03025	
4	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本及び確定証明書がありますか?」を表示する					戸77・63 Nのとき、不受理 C06011	
5	(6)-1 確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013	
6	(6)-2 確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013	
(7)本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/				
1	(8)夫の身分事項に婚姻がある(YES,NO)		/				
YES	(9)→(17)へ		/				
NO	(10)エラーメッセージ 「夫に婚姻事項がありません。」を表示する			(11)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)
処理名	3.0 審査

					備考
	(12)	/			(12)～(16)削除
	(13)	/			
	(14)		(15)		
	(16)	/			
	(17)妻の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/			
	YES (18)→(27)へ	/			
	NO (19)エラーメッセージ 「妻に婚姻事項がありません。」を表示する		(20)本紙へ		
	(21)	/			(21)～(25)削除
	(22)	/			
	(23)		(24)		
	(25)	/			
2	(26)→(26-1)	/			
(26-1)夫の父の氏名 ＝ スペース　又は　夫の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)		/			
YES	(26-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
	YES (26-3)→(26-12)	/			
	NO (26-4)		(26-5)本紙へ	不受理	
NO	(26-6)夫の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)	/			
	YES (26-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				
	YES (26-8)→(26-12)	/			
	NO (26-9)		(26-10)本紙へ	不受理	
	NO (26-11)→(26-12)	/			
(26-12)妻の父の氏名 ＝ スペース 又は 妻の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)		/			
YES	(26-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
	YES (26-14)→(27)	/			
	NO (26-15)		(26-16)本紙へ	不受理	
NO	(26-17)妻の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)	/			
	YES (26-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)

処理名	3.0 審査			備考
YES	(26-19)→(27)	/		
NO	(26-20)		(26-21)本紙へ	不受理
NO	(26-22)→(27)	/		
(27)戸籍変動区分(2:新戸編製(夫)、4:新戸編製(妻))		/		
2	(28)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		No.29欠番
0	(30)→(38)へ	/		
1	(31)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する		(32)本紙へ	
4	(33)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		No.34欠番
0	(35)→(38)へ	/		
1	(36)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する		(37)本紙へ	
(38)親権指定処理(未成年の子の人数分繰り返す)		/		民819Ⅰ
(39)親権指定者の有無(0:無、1:有)		/		
0	(40)離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立・確定日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立・確定日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 受領日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 受領日 (YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する R2.1(離婚同時77の2-64)
YES	(41)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES, NO)	/		
YES	(42)	/		(42)(43)を削除(民法改正修正で削除) R2.1(離婚同時77の2-64)
	(43)		(44)本紙へ	
	(45)確認メッセージ(YES, NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する			R2.1(離婚同時77の2-64)
YES	(45-1)→(38)	/		R2.1(離婚同時77の2-64)
NO	(45-2)→		(45-3)本紙へ	不受理、R2.1(離婚同時77の2-64)
NO	(46)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります。」を表示する			
NO	(47)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES, NO)	/		
YES	(48)→(38)	/		
NO	(49)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(50)本紙へ	R2.1(離婚同時77の2-64)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(離婚同時77条の2届)					
処理名				3.0 審査				備考	
				「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する					
	1			(51)離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 < 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) > 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立･確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) > 離婚の成立･確定日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 < 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日 (YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する R2.1(離婚同時77の2-64)
		YES		(52)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES,NO)	/			
			YES	(53)	/			(53)(54)を削除(民法改正修正で削除) R2.1(離婚同時77の2-64)
				(54)		(55)本紙へ		
				(56)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する				R2.1(離婚同時77の2-64)
				YES (56-1)→(38)	/			R2.1(離婚同時77の2-64)
				NO (56-2)→		(56-3)本紙へ		不受理、R2.1(離婚同時77の2-64)
			NO	(56-4)(夫の漢字氏名 ＝ 未成年者nの父の氏名 又は 未成年者nの養父の氏名) かつ (妻の漢字氏名 ＝ 未成年者nの母の氏名 又は 未成年者nの養母の氏名) (YES,NO)	/			
				YES (57)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1	/			
				NO (57-1)確認メッセージ(YES,NO) 「親権区分nの親権指定は必要ですか?」を表示する	/	(57-2)本紙へ		応答内容は処分区分に影響させない
				YES (57-3)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1	/			
				NO (57-4)→		(57-5)本紙へ		不受理 ※入力誤りであるため。R4(離婚同時77の2-70)
		NO		(58)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES,NO)	/			
			YES	(59)→(38)	/			
			NO	(60)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(61)本紙へ		
(62)親権指定者の有無(0:無、1:有)					/			
0				(63)→(68)	/			
1				(64)未成年者カウント(内部) > 0(YES,NO)	/			
		YES		(65)→(68)	/			
		NO		(66)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示する		(67)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)
処理名	3.0 審査

							備考
(68)届出区分(1:創設、2:報告)					/		
1	(69)届出人資格1(000:未、006:夫、007:妻)				/		
	000	(69-1)外国離婚方式 ＝ スペース(YES,NO)			/		
		YES	(69-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する			(69-3)本紙へ	
		NO	(69-5)届出人資格2(000:未、006:夫、007:妻)		/		
			000	(69-6)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(69-7)本紙へ	
			006 007	(69-8)→(107)	/		
	006	(70)届出人資格2(000:未、006:夫、007:妻)			/		
		000	(70-1)外国離婚方式 ＝ スペース(YES,NO)		/		
			YES	(70-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(70-3)本紙へ	
			NO	(70-4)→(107)	/		
		006	(71)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する			(72)本紙へ	
		007	(73)→(107)		/		
	007	(74)届出人資格2(000:未、006:夫、007:妻)			/		
		000	(74-1)外国離婚方式 ＝ スペース(YES,NO)		/		
			YES	(74-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する		(74-3)本紙へ	
			NO	(74-4)→(107)	/		
		006	(75)→(107)		/		
		007	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する			(77)本紙へ	Nのとき、不受理
2	(77-0-1)受領日 ＜ (離婚の成立･確定日 ＋ 1日) ＋ 3箇月 である(YES,NO)				/		民767-2 R2.1(離婚同時77の2-66)
	YES	(77-0-2)→(77-1)			/		
	NO	(77-0-3)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示する				(77-0-4)本紙へ	
	(77-1)外国離婚方式 ＝ スペース である(YES,NO)				/		R2.1(離婚同時77の2-66)
	YES	(77-2)受領日 ＜ 離婚の成立･確定日 ＋ 10日 である(YES,NO)			/		戸43:離婚届の届出期間審査

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)
処理名	3.0 審査

						備考
	YES	(77-3)→(82)		/		
	NO	(77-4)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する			(77-5)本紙へ	R2.1(離婚同時77の2-66) 審査続行
	(78)			/		R2.1(離婚同時77の2-66)
		(79)		/		
		(80)			(81)	R2.1(離婚同時77の2-66) R2.1版で(78)～(81)を削除
NO	(81.1)→(82)			/		R2.1(離婚同時77の2-66)
(82)離婚の申立人区分(1:夫、2:妻、スペース)				/		
1	(83)届出人資格1　又は　届出人資格2(006:夫、007:妻)			/		
	006	(84)→(107)		/		(84)～(87)第12版で削除
			(85)	/		
			(86)		(87)	
	007	(88)受領日　又は　処理日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)		/		処理日がある場合には、処理日で判定
		YES	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示する		(90)本紙へ	
			YES (91)→(107)	/		
			NO (92)エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」を表示する		(93)	
		NO	(94)→(107)	/		
2	(95)届出人資格1　又は　届出人資格2(006:夫、007:妻)			/		
	006	(96)受領日　又は　処理日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)		/		処理日がある場合には、処理日で判定
		YES	(97)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する		(98)本紙へ	
			YES (99)→(107)	/		
			NO (100)エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」を表示する		(101)	
		NO	(102)→(107)	/		
	007	(103)→(107)		/		(103)～(106)第12版で削除
			(104)	/		
			(105)		(106)	
スペー	→(107)					

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名	3.0 審査					備考	
	ス						
(107)→				(108)本紙へ			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		離婚同時77条の2届 入力画面	受領NO				
	選択事件コード							「12」を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分			送付日				在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

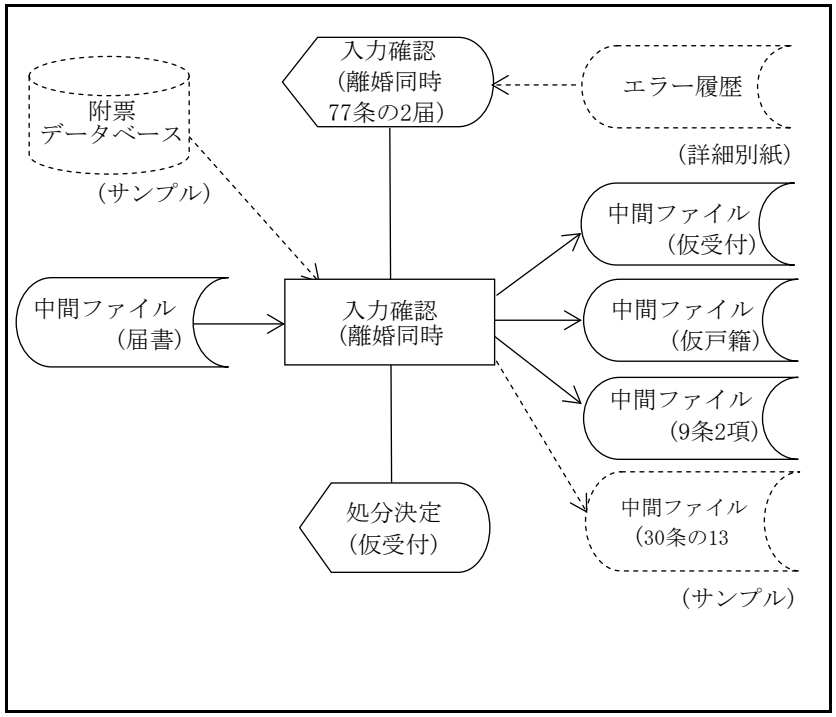
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は　2 ＝ 不受理　をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未　1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号		離婚同時77条の2届 入力画面					本籍人の場合、妻の個人番号
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所コード			夫の住所				
	夫の住所地番							
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の父氏名			夫の父の氏名				
	夫の母氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード			夫の父母との続柄				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所コード			妻の住所				
	妻の住所地番							
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父氏名			妻の父の氏名				
	妻の母氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	本籍コード			本籍				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	本籍地番								
	筆頭者				筆頭者				
	離婚の種別区分				離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分				離婚の申立人区分				
	離婚の成立･確定日				離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分				戸籍変動区分				
	新本籍コード				新本籍				
	新本籍地番								
	新筆頭者カナ氏名								本籍人の場合設定
	新筆頭者				新筆頭者				
	外国離婚方式				外国離婚方式				
	裁判所所在国				裁判所所在国				
	外国裁判所名				外国裁判所名				
	親権指定者の有無				親権指定者の有無				
	未成年の子の人数				未成年の子の人数				
	届出人資格1				届出人資絡1				
	届出人資格2				届出人資格2				
	未成年者項目	未成年者nカナ氏名			未成年者項目	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
		未成年者n漢字氏名				未成年者nの漢字氏名			
		未成年者n父の氏名				未成年者nの父の氏名			
		未成年者n母の氏名				未成年者nの母の氏名			
		未成年者n父母との続柄コード				未成年者nの父母との続柄			
		未成年者n生年月日				未成年者nの生年月日			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		未成年者n養父の氏名			未成年者nの養父の氏名				
		未成年者n養母の氏名			未成年者nの養母の氏名				
		未成年者n 養父母との続柄コード			未成年者nの養父母との続柄				
		未成年者n親権者区分			未成年者nの親権者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 仮受付(離婚)
  - 3.2 仮受付(77条の2)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(離婚))
  - 4.2 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(77条の2))
  - 4.3 身分事項(新戸籍･入籍(離婚))
  - 4.4 身分事項(新戸籍･入籍(77条の2))
  - 4.5 身分事項(夫婦の戸籍･変動なし)
  - 4.6 戸籍事項(新戸籍･入籍77条の2))
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(離婚))
  - 5.2 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(77条の2))
  - 5.3 身分事項(新戸籍･入籍(離婚))
  - 5.4 身分事項(新戸籍･入籍(77条の2))
  - 5.5 身分事項(夫婦の戸籍･変動なし)
  - 5.6 戸籍事項(新戸籍･入籍(77条の2))
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(子))
  - 6.1 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 夫
  - 8.2 妻

5.備考(特記事項含む)

※戸籍事項(77条の2)(4.6、5.6)を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B1を作成する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)
処理名	0.0　本紙

						備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する			[1.0]			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する					
	仮受付(離婚)	(5)離婚届による仮受付ファイルの編集	[3.1]			
	仮受付(77条の2)	(6)77条の2届による仮受付ファイルの編集	[3.2]			
	(7)事件本人が本籍人である(YES,NO)					
	YES	(8)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				
		身分事項(除籍)	(11)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍) [4.1]			離婚の記載
		身分事項(除籍)	(12)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍) [4.2]			77条の2の記載
		身分事項(入籍)	(13)夫の入籍事項の編集(新戸籍) [4.3]			離婚の記載
		身分事項(入籍)	(14)夫の入籍事項の編集(新戸籍) [4.4]			77条の2の記載
		身分事項(変動なし)	(15)夫の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [4.5]			
		身分事項(入籍)	(16)夫の77条の2事項の編集(新戸籍) [4.6]			
		(16-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)				※サンプル提示　処理(16-1)～(16-3) 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
		YES	(16-2)夫について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・入力する [8.1]			
		NO	(16-3)→(17)			
		(17)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・入力する				
		身分事項(除籍)	(20)妻の除籍事項の編集(夫婦の戸籍) [5.1]			離婚の記載
		身分事項(除籍)	(21)妻の除籍事項の編集(妻婦の戸籍) [5.2]			77条の2の記載
		身分事項(入籍)	(22)妻の入籍事項の編集(新戸籍) [5.3]			離婚の記載
		身分事項(入籍)	(23)妻の入籍事項の編集(新戸籍) [5.4]			77条の2の記載
		身分事項(変動なし)	(24)妻の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [5.5]			
		身分事項(入籍)	(25)妻の77条の2事項の編集(新戸籍) [5.6]			
		(25-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)				※サンプル提示　処理(25-1)～(25-3) 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
		YES	(25-2)妻について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・入力する [8.2]			
		NO	(25-3)→(26)			
		(26)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/		
		身分事項(変動なし)	(27)子の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [6.1]	/		
	NO	(28) → (29)		/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
	(29)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES,NO)			/				
	YES	(30) 夫について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]		/				
		(31) 妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]			(32)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(34)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(35)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(36)審査に制御を渡す			
PF7	(37)前ページがあるか (ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(38)前ページ分の確認画面(離婚同時77条の2届)を編集する			(39)同画面を編集する			
	NO	(40)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(41)次ページがあるか (ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(42)次ページ分の確認画面(離婚同時77条の2届)を編集する			(43)同画面を編集する			
	NO	(44)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(45)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(46)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました。」を表示する				(47)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚同時77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
離婚同時77条の2届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本･非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の筆頭者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所			夫の住所コード				
				夫の住所地番				
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の父の氏名			夫の父氏名				
	夫の母の氏名			夫の母氏名				
	夫の父母との続柄			夫の父母との続柄				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚同時77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	妻の住所			妻の住所コード				
				妻の住所地番				
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父の氏名			妻の父氏名				
	妻の母の氏名			妻の母氏名				
	妻の父母との続柄			妻の父母との続柄				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立･確定日				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	1.0　確認画面(離婚同時77条の2届)　表示						

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名			
	未成年者項目 n件	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目 n件	未成年者nカナ氏名				
		未成年者nの漢字氏名				未成年者n漢字氏名				
		未成年者nの父の氏名				未成年者n父の氏名				
		未成年者nの母の氏名				未成年者n母の氏名				
		未成年者nの父母との続柄				未成年者n父母との続柄				
		未成年者nの生年月日				未成年者n生年月日				
		未成年者nの養父の氏名				未成年者n養父の氏名				
		未成年者nの養母の氏名				未成年者n養母の氏名				
		未成年者nの養父母との続柄				未成年者n養父母との続柄				
		未成年者nの親権者区分				未成年者n親権者区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	条件												戸籍の変動			
	現在の夫婦の戸籍		夫		妻		婚前に戻る者		戻る者の本籍		親権指定		夫婦の戸籍		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	
			構成		構成				新戸籍		有無					
	管内	管外	筆頭者	構成員	筆頭者	構成員	夫	妻	管内	管外	有	無	一部除籍 C.2	変動なし C.2		(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.6又は5.6編集後作成する。
1	○		○			○		○	○		○		妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)、子(6.1)	妻(5.3)、(5.4)、(5.6)	
2	○		○			○		○	○			○	妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)	妻(5.3)、(5.4)、(5.6)	
3	○		○			○		○		○	○		妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)、子(6.1)		
4	○		○			○		○		○		○	妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)		
5		○	○			○		○	○		－	－			妻(5.3)、(5.4)、(5.6)	
6		○	○			○		○		○	－	－				
7	○			○	○		○		○		○		夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)、子(6.1)	夫(4.3)、(4.4)、(4.6)	
8	○			○	○		○		○			○	夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)	夫(4.3)、(4.4)、(4.6)	
9	○			○	○		○			○	○		夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)、子(6.1)		
10	○			○	○		○			○		○	夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)		
11		○		○	○		○		○		－	－			夫(4.3)、(4.4)、(4.6)	
12		○		○	○		○			○	－	－				

ひな型使用時の補足説明

(1)C2:個人特定(記録)編集

・夫および妻の配偶者区分は0(未)を設定する

(新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること)

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離婚)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離婚の種別が 1の場合、1001(離婚) 2の場合、1002(調停) 3の場合、1003(裁判) 4の場合、1003(裁判) 5の場合、1003(裁判) 6の場合、1003(裁判)
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立･確定日				報告区分 ＝ 2の場合、移送
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							0:日本人
	証書提出区分							外国離婚方式≠スペースの時、 1(証書提出) 以外は0(届出)
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離婚)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別＝1(協議)の場合、スペース			
	届出人資格名称1			届出人資格2	(2)離婚の種別≠1(協議)の場合			
	届出人氏名1			夫の漢字氏名	届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の漢字氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名1							
	届後本籍区分							「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(妻)
	届出人区分				離婚の種別 ＝ 1　かつ　外国離婚方式 ＝ スペースの場合 夫及び妻の場合、1を設定 離婚の種別 ＝ 1　かつ　外国離婚方式 ≠ スペースの場合			

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	妻の氏名

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
					夫の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 006:夫の時、1を設定 妻の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 007:妻の時、1を設定 離婚の種別 ≠ 1の場合 夫の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 006:夫の時、1を設定 妻の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 007:妻の時、1を設定 上記以外は0を設定			
	カナ氏名			夫　又は　妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫　又は　妻の漢字氏名				
	生年月日			夫　又は　妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者							夫の筆頭者区分が1のとき、 夫の漢字氏名 上記以外、妻の漢字氏名
	送達確認2							現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (存外送付区分 ＝ 0)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

※事件本人情報の出力順位は、筆頭者を先に出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法77条の2)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)					受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1101(77条の2届)を設定
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日							10版にて修正
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							0:日本人
	証書提出区分							0:届出
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号			受領番号				離婚届の受領番号
	届出人資格区分1							事件本人なので設定しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法77条の2)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
									上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分								本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分				処分区分				
	決裁区分				決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号								
	事件本人区分								「14」(氏続称者(従前の氏を称する者))を移送
	届出人区分								1を設定
	カナ氏名				夫　又は　妻のカナ氏名				
	漢字氏名				夫　又は　妻の漢字氏名				
	生年月日				夫　又は　妻の生年月日				
	本籍コード				本籍コード				
	本籍				本籍地番				
	筆頭者				筆頭者				R4(誤記修正)
	送達確認2								現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

*夫、妻の筆頭者区分を判定し、筆頭者区分 ＝ 0(構成員)のどちらか一方を作成する。

(例)妻の筆頭者区分が0の場合、妻のカナ氏名、生年月日等のデータを編集する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.1　身分事項(除籍・夫・離婚)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格						離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.1　身分事項(除籍・夫・離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							届出人資格1612 ＝ 0070の場合、「妻」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
		資格名称							
送付	通知を受けた日								
	送付を受けた日								
	受理者								
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								
除戸籍	新本籍								
	称する氏								
	離婚後の氏								
	入籍戸籍	本籍							
		筆頭者							
記録	記録日								
特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.2　身分事項(除籍・夫・77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍コード				
					新本籍地番				
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.3　身分事項(入籍・夫・離婚)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格						離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.3　身分事項(入籍・夫・離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							届出人資格1612 ＝ 0070の場合、「妻」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
		資格名称							
送付	通知を受けた日								
	送付を受けた日								
	受理者								
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								
除戸籍	新本籍								
	称する氏								
	離婚後の氏								
	入籍戸籍	本籍							
		筆頭者							
記録	記録日								
特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.4　身分事項(入籍・夫・77条の2)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「1101」を移送
	記録コード							「1101」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従戸前籍 本籍			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	除籍 除籍日							
	除戸籍 新本籍							
	称する氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.5　身分事項(変動無し・夫・夫婦の戸籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格						離婚の種別 ≠ 1 かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.5　身分事項(変動無し・夫・夫婦の戸籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							届出人資格1612 ＝ 0070の場合、「妻」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
		資格名称							
送付	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								
除戸籍	新本籍								
	称する氏								
	離婚後の氏								
	入籍戸籍	本籍							
		筆頭者							
記録	記録日				処理日				
特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.6　戸籍事項(編製・夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							「1101」を設定
	記録コード							「1101」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	従前の記録							
	従前の記録 氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	5.1　身分事項(除籍・妻・離婚)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			夫の漢字氏名				R4(誤記修正)
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格						離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合

		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	5.1　身分事項(除籍・妻・離婚)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							届出人資格1612 ＝ 000の場合、「夫」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定
		資格名称							
送付	通知を受けた日								
	送付を受けた日								
	受理者								
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								
除戸籍	新本籍								
	称する氏								
	離婚後の氏								
	入籍戸籍	本籍							
		筆頭者							
記録	記録日								
特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.2　身分事項(除籍・妻・77条の2)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「1101」を移送
	記録コード							「1101」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍 入籍日							
	入戸籍 従戸前籍 本籍							
	筆頭者							
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	称する氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.3　身分事項(入籍・妻・離婚)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			夫の漢字氏名				R4(誤記修正)
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格						離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	5.3　身分事項(入籍・妻・離婚)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							届出人資格1612 ＝ 000の場合、「夫」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定
		資格名称							
送付	通知を受けた日								
	送付を受けた日								
	受理者								
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								
除戸籍	新本籍								
	称する氏								
	離婚後の氏								
	入籍戸籍	本籍							
		筆頭者							
記録	記録日								
特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.4　身分事項(入籍・妻・77条の2)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「1101」を移送
	記録コード							「1101」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従戸前籍 本籍			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	除籍 除籍日							
	除戸籍 新本籍							
	称する氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.5　身分事項(変動無し・妻・夫婦の戸籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			夫の漢字氏名				R4(誤記修正)
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格						離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	5.5　身分事項(変動無し・妻・夫婦の戸籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							届出人資格1612 ＝ 000の場合、「夫」を設定
	証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
	証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定
		資格名称							
送付	通知を受けた日				送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日				送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者				発送元				
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								
除戸籍	新本籍								
	称する氏								
	離婚後の氏								
	入籍戸籍	本籍							
		筆頭者							
記録	記録日				処理日				
特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.6　戸籍事項(編製・妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							「1101」を設定
	記録コード							「1101」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	従前の記録							
	従前の記録 氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	6.1　子(変動無し・親権)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	未成年者n個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1301」を移送
	記録コード								「1301」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立・確定日を設定
	親権	親権者を定めた日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ　外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　　上記以外は未設定		
		親権者を定められた日			離婚の成立日・確定日				離婚の種別 ≠ 1の場合、 離婚の成立日・確定日 上記以外は未設定
		親権者	資格						未成年n親権者区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」
			資格名称						
			氏名		未成年者n養父の氏名 未成年者n養母の氏名				未成年n親権者区分が 3の場合:未成年者n養父の氏名 4の場合:未成年者n養母の氏名 その他の場合:スペース
	届出	届出人1	資格						離婚の種別 ＝ 1の場合 　次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1の場合 　スペースを設定
			資格名称						
			氏名						
		届出人2	資格						離婚の種別 ＝ 1の場合 　次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1の場合 　スペースを設定
			資格名称						
			氏名						
	送付	通知を受けた日							
		送付を受けた日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	6.1　子(変動無し・親権)　編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		受理者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	補足説明(親権事項の届出人資格編集条件)						

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する

親権者指定区分	養父母欄の条件*1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者n養母の氏名
2 (母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者n養父の氏名	【母】	
3 (養父)	養母 ＝ スペース?	YES	【養父】	未成年者n養父の氏名	【母】	
		NO	【養父】	未成年者n養父の氏名	【養母】	未成年者n養母の氏名
4 (養母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父】		【養母】	未成年者n養母の氏名
		NO	【養父】	未成年者n養父の氏名	【養母】	未成年者n養母の氏名

*1: 未成年者の子側の養父母欄を示す

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	7.1　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			夫の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	7.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			妻の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

12.親権(管理権)届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	親権80	「親権(管理権)届」	3.0審査 ・(2-1)成人年齢引下げの改修にける不要条件の削除 ・(20-1)成人年齢引下げの改修にける不要条件の削除
2		親権81		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0	親権85	「親権(管理権)届」	3.0審査 ・届出期間経過についての確認メッセージに対してのNoを押下後に、不受理とする処理を修正。
4		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1
5		指摘事項管理表(1)(2)No.11		身分事項のインデックスに「及び」記載があるものを分割して追加する。 ・4.1未成年者(記録)

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	親権・管理権届					

1.親権(管理権)業務処理範囲外の処理

(1)裁判所書記官から戸籍の記録嘱託

(2)同一人再婚、同籍内縁組等による共同親権の記録や父母離婚の際親権者を父又は母と定められた子が養子となった後離縁したため復籍戸籍に記録する
親権に関する記録等、親権届が出ない各届に付随して記録される親権事項は、各届での移記処理により記録する

(3)親権者を父又は母の一方に定められた子が成年に達したため、婚姻したため親権に服さなくなった旨記録の申出があった場合の記録

(4)取消に関する処理

2.親権(管理権)届入力画面の意義

(1)その1入力画面:未成年者及び親権者の入力

(2)その2入力画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3.その他

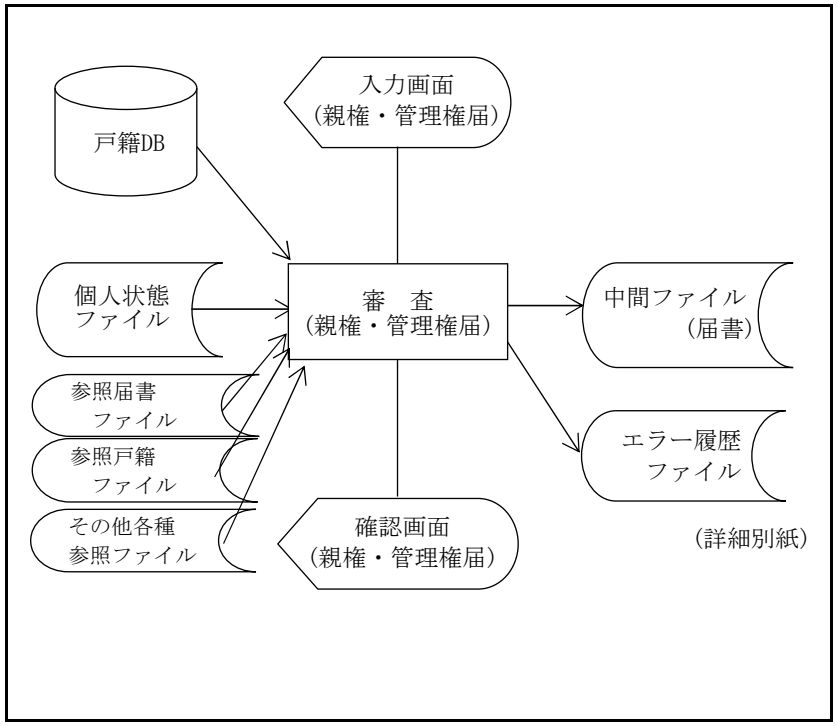
(1)協議による親権者指定届は、未成年者の共同親権者である父(養父)と母(養母)により行われること。

(2)親権者変更届は、親権者をどちらか一方に定めた後、もう一方に変えるときに行われること。

(3)受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)親権(管理権)届の内容を入力する
(2)親権(管理権)届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)親権(管理権)届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)親権(管理権)届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(親権(管理権)届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(親権・管理権届)
処理名	0.0　本紙

														備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する													/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)													/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]												/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]											/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする										/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]										/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]										(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)									/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する									(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する										メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する												
	NO														
PF1	→													(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→													(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)												/	
	YES	(17)前ページ分の入力画面(親権・管理権届)を編集する												(18)同画面を編集する
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する												
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)												/	
	YES	(21)次ページ分の入力画面(親権・管理権届)を編集する												(22)同画面を編集する
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する												
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)												/	送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する												(22-3)同画面を編集する
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する												
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する													入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する													審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する													
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する													

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				入力画面(親権・管理権届)					

1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」	
2	受領番号		数字			
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」		
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」		戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字			
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること		
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」		
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること		
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」		
10	報告区分	○	数字	(1:創設、2:報告)であること		
11	未成年者の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること		
12	未成年者の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること		
13	未成年者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」		
14	未成年者のカナ氏名	○	カナ			
15	未成年者の漢字氏名	○	漢字			
16	未成年者の本籍	○	漢字			
17	未成年者の筆頭者名		漢字			
18	親権者の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること		
19	親権者の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること		
20	親権者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」		
21	親権者のカナ氏名	○	カナ			
22	親権者の漢字氏名	○	漢字			
23	親権者の本籍	○	漢字			
24	親権者の筆頭者名		漢字			
25	親権者資格	○	数字	(1:父、2:母、10:養父、11:養母)であること		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表				入力画面(親権・管理権届)					
26	届出事件	○	数字	(1:親権者指定～8:管理権回復)であること (3:親権喪失、6:管理権喪失を除く)					
27	種別区分	○	漢字	(1:協議　～　4:審判(確定))であること					
28	審判/調停日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
29	関連事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
30	届出人資格1	○	数字	(1:父、2:母、10:養父、11:養母、82:親族)であること					
31	届出人氏名1		漢字						
32	届出人･協議者資格		数字	(1:父、2:母、10:養父、11:養母)であること					
33	届出人･協議者の外国人区分		数字	(0:日本人、2:外国人)であること					
34	届出人･協議者の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること					
35	届出人･協議者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
36	届出人･協議者のカナ氏名		カナ						
37	届出人･協議者の漢字氏名		漢字						
38	届出人･協議者の本籍		漢字						

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
12	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.13)未成年者の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.13)未成年者の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.17)未成年者の筆頭者名が入力されていること			
17	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.17)未成年者の筆頭者名は未入力であること			
18	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 管内であること			
19	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 管外であること			
19-1	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.15)未成年者の漢字氏名の氏 ＝ (No.17)未成年者の筆頭者名の氏であること			
20	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
21	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.20)親権者の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.20)親権者の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 本籍であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(親権･管理権届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 国籍であること			
25	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.24)親権者の筆頭者名が入力されていること			
26	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.24)親権者の筆頭者名は未入力であること			
27	(No.19)親権者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 管内であること			
28	(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 管外であること			
28-1	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.22)親権者の漢字氏名の氏 ＝ (No.24)親権者の筆頭者名の氏であること			
29	(No.10)届出区分 ＝ 1(創設的届出)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 4、5、7、8(親権者辞任、親権者回復、管理権辞任、管理権回復)　又は (No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)で(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)であること			
30	(No.10)届出区分 ＝ 2(報告的届出)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 2、(親権者変更)　又は (No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)で(No.27)種別区分 ＝ 2、4(調停、審判)であること			
31	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時、(No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)であること			
32	(No.27)種別区分 ＝ 2(調停)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 1、2(親権者指定、親権者変更)であること			
33	(No.27)種別区分 ＝ 3(許可の審判)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 4、5、7、8(親権者辞任、親権者回復、管理権辞任、管理権回復)であること			
34	(No.27)種別区分 ＝ 4(審判)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 1、2(親権者指定、親権者変更)であること			
35	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時、(No.28)審判/調停日は入力されていないこと			
36	(No.27)種別区分 ＝ 2、3、4(調停、許可の審判、審判)の時、 (No.28)審判/調停日は必須入力であり　かつ (No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.28)審判/調停日であり、 (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≧ (No.28)審判/調停日であること			
37	(No.25)親権者区分 ＝ (No.30)届出人資格1かつ(No.31)届出人氏名1 ≠ スペースの時、 (No.22)親権者の漢字指名 ＝ (No.31)届出人氏名1であること			
38	(No.25)親権者区分 ≠ (No.30)届出人資格1の時、(No.31)届出人氏名1は必須入力であること			

データチェック （関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
39	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時、 (No.32)届出人･協議者資格～(No.38)届出人･協議者の本籍は必須入力であること			
40	(No.27)種別区分 ≠ 1(協議)の時、 (No.32)届出人･協議者資格～(No.38)届出人･協議者の本籍は未入力であること			
42	(No.32)届出人･協議者資格に入力がある時、 (No.30)届出人資格1 ＝ 1　又は　10(父、養父)の場合は、 (No.32)届出人･協議者資格 ＝ 2　又は　11(母、養母)であること			
43	(No.32)届出人･協議者資格に入力がある時、 (No.30)届出人資格1 ＝ 2　又は　11(母、養母)の場合は、 (No.32)届出人･協議者資格 ＝ 1　又は　10(父、養父)であること			
44	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
45	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.35)届出人･協議者の生年月日 ＝ 和暦であること			
46	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.35)届出人･協議者の生年月日 ＝ 西暦であること			
47	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 本籍であること			
48	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 国籍であること			
49	(No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 管内であること			
50	(No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 管外であること			
51	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は　(No.19)親権者の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は (No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 1(本籍)ならば (No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
52	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ (No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)ならば (No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	3.0 審査			備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)	/			
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する			
YES	(0-2)→(0-5)へ	/		
NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ	/		
(0-5)(未成年者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年者の漢字氏名の名が未入力) 又は 親権者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 親権者の漢字氏名の名が未入力) 又は (届出人・協議者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 届出人・協議者の漢字氏名の名が未入	/			名未定の審査 R2.1(親権79)
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-7) 本紙へ	R2.1(親権79)
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-10) 本紙へ	R2.1(親権79) 画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-9)→			R2.1(親権79)
NO	(0-11)→(1)	/		R2.1(親権79)
(1)届出種別(1:協議、2:調停、3:許可審判、4:審判)	/			
1	(2)未成年者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(2-1)受領日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)	/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R3.0(親権80)
YES	(2-2)未成年者の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		民818の1 R2.1(親権77)
YES	(2-3)→(7)	/		R2.1(親権77)
NO	(2-4)エラーメッセージ 「未成年者の年齢は18歳以上です」を表示する		(2-5)本紙へ	不受理 R2.1(親権77)
NO	(3)未成年者の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		民818の1
YES	(4)→(7)	/		
NO	(5)エラーメッセージ 「未成年者の年齢は20歳以上です」を表示する		(6)本紙へ	不受理
(7)未成年者の本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/			
1	(8)	/		(8)～(11)削除
	(9)		(10)	
	(11)→(12)	/		
(12)未成年者の父(養父)母(養母)の氏名欄のいずれかに親権者の氏名があるか (YES,NO)	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(親権・管理権届)
処理名	3.0 審査

							備考
		(YES,NO)					
		YES	(13)→(20)		/		
		NO	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「親権者名は正しいですか」を表示する			(15)本紙へ	
		YES	(16)→(20)		/		
		NO	(17)→			(18)本紙へ	不受理
	2	(19)→(20)			/		
1							
(20)親権者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
0	(20-1)受領日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R3.0(親権80)
	YES	(20-2)親権者の生年月日 + 18年(18歳未満) ≦ 受領日である(YES,NO)			/		明治33.11.16 民刑第1451号回答 R2.1(親権77)
		YES	(20-3)→(28)		/		R2.1(親権77)
		NO	(20-4)確認メッセージ(YES,NO) 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示する			(20-5)本紙へ	昭和26.3.6 民事甲第412号回答 R2.1(親権77)
		YES	(20-6)→(28)		/		R2.1(親権77)
		NO	(20-7)→			(20-8)本紙へ	不受理 R2.1(親権77)
	NO	(21)親権者の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)			/		民818の1
		YES	(22)→(7)		/		
		NO	(23)確認メッセージ(YES,NO) 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示する			(24)本紙へ	昭和26.3.6 民事甲第412号回答
		YES	(25)→(28)		/		
		NO	(26)→			(27)本紙へ	不受理
	(28)親権者の本非区分(1:本籍、2:非本籍)				/		
	1	(29)			/		(29)～(32)削除
			(30)			(31)	
			(32)→(34)		/		
	2	(33)→(34)			/		
1							
(34)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は未成年者の父(養父)、母(養母)の双方ですか」を表示する						(35)本紙へ	戸78

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(親権・管理権届)
処理名	3.0 審査

						備考
	YES	(36)→(89)		/		
	NO	(37)→			(38)本紙へ	不受理
2	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか」を表示する					戸63、人事訴訟法によりメッセージを変更
	YES	(40)→(43)		/		
	NO	(41)→			(42)本紙へ	不受理
	(43)審判/調停日 + 10日 > 受領日(YES,NO)			/		戸63
	YES	(44)→(50)		/		
	NO	(45)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する			(46)本紙へ	審査続行(応答後50へ) 2.0(親権85)
						2.0(親権85)
	(50)届出人は新たに親権者となった者であるか(YES,NO)			/		戸79
	YES	(51)→(89)		/		
	NO	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は正しいですか」を表示する			(53)本紙へ	
		YES	(54)→(89)		/	
		NO	(55)→			(56)本紙へ 不受理
3	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「許可審判書の謄本の添付がありますか」を表示する					
	YES	(58)→(61)		/		
	NO	(59)→			(60)本紙へ	不受理
	(61)届出人は辞任(回復)しようとする親権者か(YES,NO)			/		戸80
	YES	(62)→			(63)本紙へ	受理
	NO	(64)確認メッセージ(YES,NO)「届出人は正しいですか」を表示する				
		YES	(65)→			受理
		NO	(66)→			不受理
4	(67)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか」を表示する					戸63
	YES	(68)→(71)		/		
	NO	(69)→			(70)本紙へ	不受理
	(71)審判/調停日 + 10日 > 受領日(YES,NO)			/		戸79

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	YES	(72)→(78)		/				
	NO	(73)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する			(74)本紙へ		審査続行(応答後78へ)	2.0(親権85)
								2.0(親権85)
	(78)届出事件は1(親権者指定)、2(親権者変更)であるか(YES,NO)			/				
	YES	(79)届出人は親権(管理権)をそれぞれ指定・変更する親権者本人であるか(YES,NO)		/			戸79	
		YES	(80)→(89)	/				
		NO	(81)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は正しいですか」を表示する		(82)本紙へ		誤記修正	2.0(親権85)
			YES (83)→(89)	/				
			NO (84)→		(85)本紙へ		不受理	
	NO	(86)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は喪失宣告を受けないもう一方の親権者ですか」を表示する					戸79	
		YES	(87)→				受理	
		NO	(88)→				不受理	
(89)届出事件は1(親権者指定)であるか(YES,NO)				/				
YES	(90)関連事件発生日に入力があるか(YES,NO)			/				
	YES	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「既に養子離縁は成立しており、事件発生日と養子離縁届出日は同じですか」を表示する			(92)本紙へ			
		YES	(93)→				受理	
		NO	(94)→				不受理	
	NO	(95)→					受理	
NO								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号			親権･管理権届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード								13(親権･管理権届)
	出張所番号				支所番号				
	受領日				受領日				
	送付日				送付日				
	発送元				発送元				
	在外送付区分				在外送付区分				
	処理日				処理日				
	指示日								
	許可日								
	受理送付区分								在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分				本非区分				
	郵送日				郵送日				
	動態区分								
	届区分				報告区分				
	渉外区分								
	同時決裁受領番号(1)～(5)								
	ロック戸籍番号(1)			本籍人検索 サブシステム･インターフェース	戸籍番号				未成年者が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)								
	事件別内容								中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分								本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する

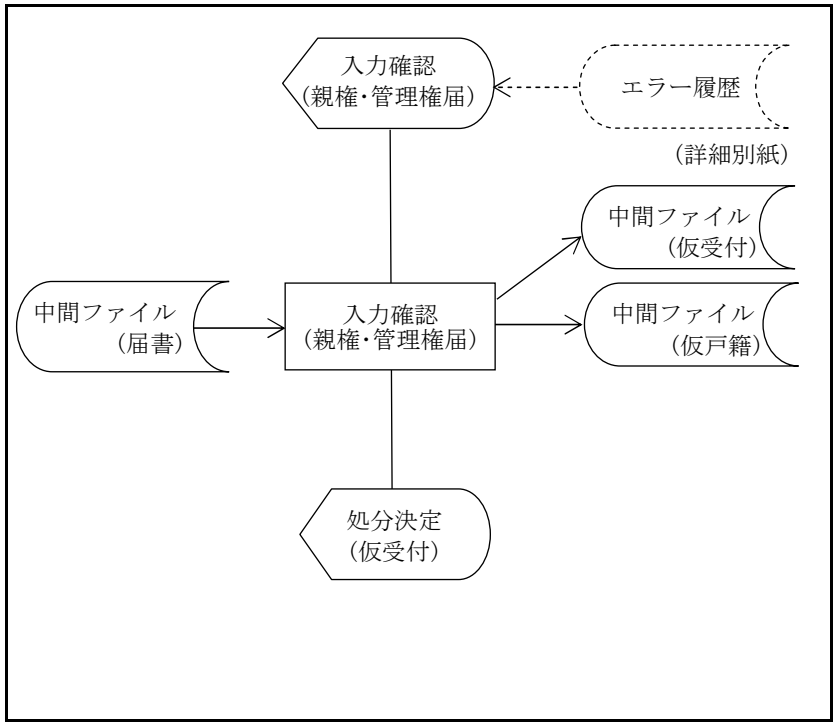
データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	処分区分								審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分								何も設定されていない場合に0(未設定)を移送
	届書排他区分								再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年者の個人番号			親権･管理権届 入力画面					
	未成年者の外国人区分				未成年者の外国人区分				
	未成年者の本非区分				未成年者の本非区分				
	未成年者の生年月日				未成年者の生年月日				
	未成年者のカナ氏名				未成年者のカナ氏名				
	未成年者の漢字氏名				未成年者の漢字氏名				
	未成年者の本籍コード				未成年者の本籍				
	未成年者の本籍								
	未成年者の筆頭者				未成年者の筆頭者名				
	親権者の個人番号								
	親権者の外国人区分				親権者の外国人区分				
	親権者の本非区分				親権者の本非区分				
	親権者の生年月日				親権者の生年月日				
	親権者のカナ氏名				親権者のカナ氏名				
	親権者の漢字氏名				親権者の漢字氏名				
	親権者の本籍コード				親権者の本籍				
	親権者の本籍								
	親権者の筆頭者名				親権者の筆頭者名				
	親権者資格				親権者資格				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(親権・管理権届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出事件コード			届出事件				
	届出事件種別区分			種別区分				
	審判/調停日			審判/調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人･協議者資格			届出人･協議者資格				
	届出人･協議者の個人番号							
	届出人･協議者の外国人区分			届出人･協議者の外国人区分				
	届出人･協議者の本非区分			届出人･協議者の本非区分				
	届出人･協議者の生年月日			届出人･協議者の生年月日				
	届出人･協議者のカナ氏名			届出人･協議者のカナ氏名				
	届出人･協議者の漢字氏名			届出人･協議者の漢字氏名				
	届出人･協議者の本籍コード			届出人･協議者の本籍				
	届出人･協議者の本籍							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(親権・管理権届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(親権･管理権届確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	0.0 本紙						根拠法令(マニュアル処理)	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する [1.0]					/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [2.0]				/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.0]				/			
	(5)							
	(6)事件本人(未成年者)が本籍人である(YES,NO)				/			
	YES	(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する			/	(9)処分決定に制御を渡す		
		身分事項(変動なし)	(8)現戸籍(未成年者)に親権･管理権事項の編集 [4.1]		/			
	NO	→						
PF1	→					(10)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(11)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(12)審査に制御を渡す		
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/	(15)同画面を編集する		
	YES	(14)前ページ分の確認画面(親権・管理権届)を編集する						
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/			
	YES	(18)次ページ分の確認画面(親権・管理権届)を編集する						
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→					(20)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(22)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	1.0　確認画面(親権･管理権届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
親権･管理権届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書)共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	未成年者の外国人区分		中間ファイル(届書)事件別内容	未成年者の外国人区分		有		
	未成年者の外国人区分名称							
	未成年者の本非区分			未成年者の本非区分		有		
	未成年者の本非区分名称							
	未成年者の生年月日			未成年者の生年月日				
	未成年者のカナ氏名			未成年者のカナ氏名				
	未成年者の漢字氏名			未成年者の漢字氏名				
	未成年者の本籍			未成年者の本籍コード				
				未成年者の本籍				
	未成年者の筆頭者名			未成年者の筆頭者				
	親権者の外国人区分			親権者の外国人区分		有		
	親権者の外国人区分名称							
	親権者の本非区分			親権者の本非区分		有		
	親権者の本非区分名称							
	親権者の生年月日			親権者の生年月日				
	親権者のカナ氏名			親権者のカナ氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	1.0　確認画面(親権･管理権届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	親権者の漢字氏名			親権者の漢字氏名				
	親権者の本籍			親権者の本籍コード				
				親権者の本籍				
	親権者の筆頭者名			親権者の筆頭者				
	親権者資格			親権者資格				
	届出事件			届出事件コード				
	種別区分			届出事件種別区分				
	審判/調停日			審判/調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人･協議者資格			届出人･協議者資格				
	届出人･協議者の外国人区分			届出人･協議者の外国人区分				
	届出人･協議者の本非区分			届出人･協議者の本非区分				
	届出人･協議者の生年月日			届出人･協議者の生年月日				
	届出人･協議者のカナ氏名			届出人･協議者のカナ氏名				
	届出人･協議者の漢字氏名			届出人･協議者の漢字氏名				
	届出人･協議者の本籍			届出人･協議者の本籍コード				
				届出人･協議者の本籍				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(親権・管理権届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件				未成年者の現在戸籍
	未成年者				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者(4.1)
2	○			○	
3		○	－	－	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出事件コード ＝ 1(親権者指定)の時、 届出事件種別区分 ＝ 協議ならば 1301(親権者指定) 届出事件種別区分 ＝ 調停ならば 1302(親権者指定(調停)) 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)ならば 1303(親権者指定(裁判)) 届出事件コード ＝ 2(親権者変更)の時、 届出事件種別区分 ＝ 調停ならば 1304(親権者変更(調停)) 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)ならば 1305(親権者変更(裁判)) 届出事件コード ＝ 4(親権辞任)の時、 1310(親権辞任) 届出事件コード ＝ 7(管理権辞任)の時、 1311(管理権辞任) 届出事件コード ＝ 5(親権回復)の時、 1312(親権回復) 届出事件コード ＝ 8(管理権回復)の時、 1313(管理権回復)を移送
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ 0の時、移送 送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			審判/調停日				届出事件種別区分 ＝ 調停、審判(確定)　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							日本人のみ届のため設定不要
	発送日							
	郵送日			郵送日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	届出人資格区分1			届出人資格1				親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送 ただし届出人資格 ＝ 1、2の場合は移送しない
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	事件本人区分							未成年者 ＝ 15 親権者 ＝ 16～25 16:届出事件コードが親権者指定、 親権者変更 19:届出事件コードが親権辞任 20:届出事件コードが親権回復 24:届出事件コードが管理権辞任 25:届出事件コードが管理権回復 親権協議者 ＝ 49
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名			未成年者 ＝ 未成年者のカナ氏名 親権者 ＝ 親権者のカナ氏名 親権協議者 ＝ 届出人･協議者のカナ氏名	
	漢字氏名			漢字氏名			未成年者 ＝ 未成年者の漢字氏名 親権者 ＝ 親権者の漢字氏名 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の漢字氏名	
	生年月日			生年月日			未成年者 ＝ 未成年者の生年月日 親権者 ＝ 親権者の生年月日 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の生年月日	
	本籍コード			本籍コード			未成年者 ＝ 未成年者の本籍コード 親権者 ＝ 親権者の本籍コード 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の本籍コード	
	本籍			本籍			未成年者 ＝ 未成年者の本籍 親権者 ＝ 親権者の本籍 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の本籍	
	筆頭者氏名			筆頭者氏名			未成年者 ＝ 未成年者の筆頭者 親権者 ＝ 親権者の筆頭者名	
	送達確認2						本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、 1を移送(未成年者のみ設定) 上記以外は、0を移送	

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1. 未成年者
2. 親権者
3. 親権協議者(但し、親権協議者は、協議による親権者指定届の時のみ出力する)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1301(親権者指定)
	記録コード							1301(親権者指定)
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				届出事件種別区分 ＝ 協議　かつ 関連事件発生日 ＝ 0　又は 届出事件種別区分 ＝ 許可の審判の時、移送
				関連事件発生日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 関連事件発生日 ≠ 0の時、移送
				審判/調停日				届出事件種別区分 ＝ 調停(成立)、審判(確定) かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定めた日			受領日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 届出事件種別区分 ＝ 協議　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定められた日							
	親権者となった日			関連事件発生日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 関連事件発生日 ≠ 0の時、移送
	親権者を定める裁判確定日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定める調停成立日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 届出事件種別区分 ＝ 調停(成立)　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者変更の裁判確定日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者変更　かつ 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)の時、移送
	親権者変更の調停成立日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者変更　かつ 届出事件種別区分 ＝ 調停(成立)の時、移送
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日			受領日			届出事件コード ＝ 親権辞任の時、移送	
	管理権辞任日			受領日			届出事件コード ＝ 管理権辞任の時、移送	
	親権回復日			受領日			届出事件コード ＝ 親権回復の時、移送	
	管理権回復日			受領日			届出事件コード ＝ 管理権回復の時、移送	
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判発効日							
	親権代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止の裁判発効日							
	管理代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判失効日							
	管理権執行停止の裁判失効日							
	親権代行者改任の裁判発効日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	管理権代行者改任の裁判発効日							
	親権喪失の審判確定日							
	管理権喪失の審判確定日							
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日							
	親権停止の審判確定日							
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日							
	親権者 資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 親権者指定、親権者変更の時、移送
	資格名称							
	氏名			親権者の漢字氏名				届出事件コード ＝ 親権者指定、親権者変更　かつ 親権者資格 ＝ 10、11の時、移送
	親権喪失者 資格							
	資格名称							
	管理権喪失者 資格							
	資格名称							
	親権喪失取消者 資格							
	資格名称							
	管理権喪失取消者 資格							
	資格名称							
	親権辞任者 資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 親権辞任の時、移送
	資格名称							
	管理権辞任者 資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 管理権辞任の時、移送
	資格名称							
	親権回復者 資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 親権回復の時、移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		資格名称							移送
	管理権回復者	資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 管理権回復の時、移送
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日				受領日			届出事件種別区分 ＝ 協議　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時　又は 届出事件種別区分 ＝ 許可の審判の時、 上記以外の時、移送	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(資格)			届出人資格1 届出人･協議者資格				届出事件種別区分 ＝ 協議の時、 届出人資格1、届出人･協議者資格が、1、2の時、5(父母)に変換して移送 上記以外は、届出人資格1を移送 (但し、届出事件種別区分 ＝ 許可の審判の時は、移送しない)
	届出人(資格名称)			届出人資格1 届出人･協議者資格		有		上記、届出人資格に移送した資格をコード変換後に移送
	届出人(氏名)			届出人氏名1				届出人(資格)の備考に基づき、 届出人資格1 ＝ 1、2以外は移送する
	届出人(資格)			届出人･協議者資格				届出事件種別区分 ＝ 協議で、 届出人資格1 ＝ 1 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 10 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 2 又は 届出人資格1 ＝ 2 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10 又は 届出人資格1 ＝ 11 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 1 又は 届出人資格1 ＝ 10 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 11 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10の時 移送する
	届出人(資格名称)			届出人･協議者資格		有		
	届出人(氏名)			届出人･協議者の漢字氏名				届出事件種別区分 ＝ 協議で、 届出人資格1 ＝ 1 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 2 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10 又は 届出人資格1 ＝ 10 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 11 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10の時 移送する
	記載嘱託日							
	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				送付日 ≠ 0の時、移送
	特記事項							

データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍･身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

13.未成年者の後見届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	後見48	「未成年者の後見届」	審査_3.0　審査 ・未成年被後見人の未成年判定式を修正 (33-2)(33-6) ・確認メッセージ後の(YES、NO)の段落を修正 (34-8)(34-9)(39)(40) 入力確認_4.1　未成年者(記録) ・誤記を修正 ・届出日の移送条件を追加
2		後見47		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	後見51	「未成年者の後見届」	・審査_3.0　審査 (33-1)～(33-6)の「開始日」は入力必須項目でないことから、届出原因が開始事由の場合入力が必須になる「就職日」に変更
4	2.0	後見56	「未成年者の後見届」	3.0審査 ・届出期間経過についての確認メッセージに対してのNoを押下後に、不受理とする処理を修正。
5		後見57		3.0審査 ・成年年齢引き下げに伴う未成年後見終了届入力時に、誤って不受理となってしまう事象を修正
6		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1
7		指摘事項管理表(1)(2)No.11		身分事項のインデックスに「及び」記載があるものを分割して追加する。 ・4.1未成年者(記録)

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	未成年者の後見届					

1.未成年者の後見業務処理範囲外の処理

(1)裁判所書記官からの戸籍の記載嘱託(未成年後見人の選任,未成年後見監督人の選任を除く)

(2)成年に達したため及び婚姻したため等,申出による未成年者の後見終了の記録

(3)養子縁組,養子離縁,婚姻等,各届出のその他欄に「未成年者の後見終了事項を記録されたい」旨記録して届出があった場合の後見終了の記録

(4)未成年者からの届出があった場合の記録

(5)複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

(6)複数の未成年後見人事項が記載されている人がいる戸籍に届出があった場合の記録

(7)未成年後見人が地位を失った旨の届出があった場合の記録

2.未成年者の後見終了届入力画面の意義

(1)その1画面:未成年被後見人及び未成年後見人の入力

(2)その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3.その他

(1)添付書類
- 未成年者の後見開始届については,指定未成年後見人の場合には遺言の謄本,選定未成年後見人の場合には,選定審判の謄本の添付を要する。
  親権・管理権の喪失宣告による未成年者の後見開始の場合には,その審判の謄本のほか,確定証明書の添付を要する。
- 未成年者の後見終了届については,親権・管理権の喪失宣告取消等による後見終了の場合には,それぞれの審判の謄本の添付を要する。
- 未成年後見監督人就職届については,未成年者の後見開始と同様である。
- 未成年後見監督人任務終了届については,終了の原因を証する書面(未成年後見監督人が未成年後見人と婚姻した時は,婚姻事項の記録のある戸籍謄(抄)本が該当する)を添付する。

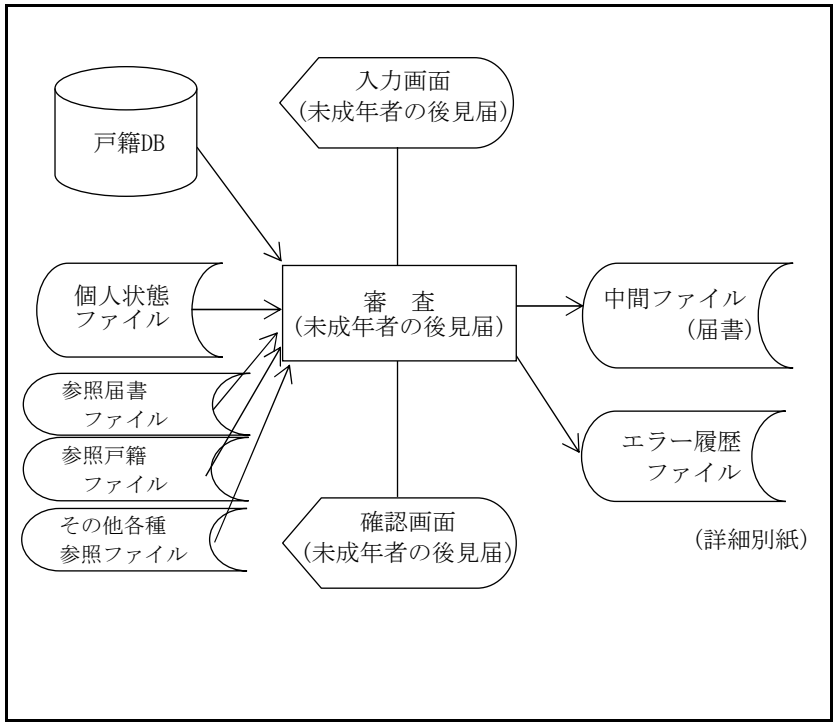
(2)未成年者,家庭裁判所で免ぜられた法定代理人,保佐人又は補助人,破産者,未成年被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族,行方の知れない者は,未成年後見人(未成年後見監督人)となることができない。

(3)未成年後見人の配偶者,直系血族及び兄弟姉妹は,未成年後見監督人となることができない。(民法850条)

(4)未成年後見監督人は,未成年後見人が就職してからでなければ就職できない。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(未成年者の後見届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)未成年者の後見届の内容を入力する
(2)未成年者の後見届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)未成年者の後見届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)未成年者の後見届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(未成年者の後見届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	0.0　本紙

															備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する														/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)														/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]													/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]												/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする											/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]											/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]											(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)										/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する										(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する											メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する													
	NO															
PF1	→														(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→														(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)													/	
	YES	(17)前ページ分の入力画面(未成年者の後見届)を編集する													(18)同画面を編集する
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する													
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)													/	
	YES	(21)次ページ分の入力画面(未成年者の後見届)を編集する													(22)同画面を編集する
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する													
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)													/	送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する													(22-3)同画面を編集する
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する													
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する														入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する														審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する														
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する														

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(未成年者の後見届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(未成年者の後見届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」		戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する	
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	未成年被後見人の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	未成年被後見人の本非区分	○	漢字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
12	未成年被後見人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	(削除)						
14	未成年被後見人のカナ氏名	○	カナ				
15	未成年被後見人の漢字氏名	○	漢字				
16	未成年被後見人の本籍	○	漢字				
17	未成年被後見人の筆頭者名		漢字				
18	未成年被後見人の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
19	未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
20	未成年後見人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	未成年後見人区分	○	数字	(3:未成年後見人、4:未成年後見監督人)であること			
22	未成年後見人のカナ氏名		カナ				
23	未成年後見人の漢字氏名	○	漢字				
24	未成年後見人の本籍		漢字				
25	未成年後見人の筆頭者名		漢字				
26	未成年後見人の資格		数字	(1:父、2:母)であること			

データチェック（単体表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表			入力画面(未成年者の後見届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26-1	未成年後見人の住所		漢字				
27	届出原因区分	○	数字	(11:親権行使者不在、12:親権行使者管理権喪失、 16:未成年後見監督人就職、 32:親権者親権回復、33:親権者管理権回復、 37:未成年後見人成年、38:未成年被後見人親権に服する、 39:未成年後見監督人任務終了、51:未成年後見人選任、 52:未成年後見人選任親権者不在、 53:未成年後見人選任管理権喪失、 54:未成年後見監督人選任)であること。			
28	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31-1	記録嘱託日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
32	届出人資格		数字	(110:未成年後見人、112:未成年後見監督人、113:後任未成年後見人、114:後任未成年後見監督人、)であること。			
33	届出人氏名		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.4)発送日 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分以外であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日>(No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍であること			
12	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.12)未成年被後見人の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.12)未成年被後見人の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.17)未成年被後見人の筆頭者名が入力 されていること			
17	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.17)未成年被後見人の筆頭者名は未入力であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-1	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.15)未成年被後見人の漢字氏名の氏 ＝ (No.17)未成年被後見人の筆頭者名の氏であること			
18	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)未成年被後見人の本籍 ＝ 管内であること			
19	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.16)未成年被後見人の本籍 ＝ 管外であること			
20	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍であること			
21	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.20)未成年後見人の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.20)未成年後見人の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 本籍であること			
24	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 国籍であること			
25	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.25)未成年後見人の筆頭者名が入力されていること			
26	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.25)未成年後見人の筆頭者名は未入力であること			
26-1	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0又は1の時、(No.22)未成年後見人のカナ氏名が入力されていること			
27	(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 管内であること			
28	(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 管外であること			
28-1	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.18)未成年後見人の外国人区分が未入力であること			
28-2	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.18)未成年後見人の外国人区分が入力されていること			
28-3	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.19)未成年後見人の本非区分が未入力であること			
28-4	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.19)未成年後見人の本非区分が入力されていること			
28-5	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.20)未成年後見人の生年月日が未入力であること			
28-6	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.20)未成年後見人の生年月日が入力されていること			
28-7	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.24)未成年後見人の本籍が未入力であること			
28-8	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.24)未成年後見人の本籍が入力されていること			
28-9	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.25)未成年後見人の筆頭者名が未入力であること			
28-10	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.26)未成年後見人の資格が未入力であること			
29	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.23)未成年後見人の漢字氏名の氏 ＝ (No.25)未成年後見人の筆頭者名の氏であること			
30	(削除)			
31	(No.27)届出原因区分 ＝ 11、12、16:開始事由の時、(No.29)就職日は必須入力であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.27)届出原因区分 ＝ 11、12、16:開始事由の時、 (No.30)終了日、(No.31)裁判確定日、(No.31-1)記録嘱託日に入力がないこと			
33	(削除)			
34	(削除)			
35	(No.27)届出原因区分 ＝ 32、33、37、38、39:終了事由の時、(No.30)終了日は必須入力であること			
36	(No.27)届出原因区分 ＝ 32、33、37、38、39:終了事由の時、 (No.28)開始日、(No.29)就職日、(No.31)裁判確定日、(No.31-1)記録嘱託日に入力がないこと			
36-1	(No.27)届出原因区分 ＝ 51、52、53、54:嘱託事由の時、 (No.31)裁判確定日、(No.31-1)記録嘱託日は必須入力であること			
36-2	(No.27)届出原因区分 ＝ 51、52、53、54:嘱託事由の時、 (No.28)開始日、(No.29)就職日、(No.30)終了日に入力がないこと			
37	(No.28)開始日 ≦ (No.29)就職日であること			
37-1	(No.29)就職日 ≠ スペースの場合、 (No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.29)就職日　であり (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≧ (No.29)就職日であること			
37-2	(No.30)終了日 ≠ スペースの場合、 (No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.30)終了日　であり (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≧ (No.30)終了日であること			
37-3	(No.31)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.4)送付日 ＝ スペース　かつ　(No.9)郵送日 ＝ スペースであること			
37-4	(No.31)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.31)裁判確定日 ≦ (No.3)受領日 ≦ (No.31-1)記録嘱託日であること			
38	(削除)			
39	(削除)			
40	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 3:未成年後見人の時、 (No.27)届出原因区分 ＝ 16:未成年後見監督人就職、39:未成年後見監督人任務終了、 54:未成年後見監督人選任以外であること			
41	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 4:未成年後見監督人の時、 (No.27)届出原因区分 ＝ 16:未成年後見監督人就職、39:未成年後見監督人任務終了、 54:未成年後見監督人選任であること			
42	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 3:未成年後見人　かつ　(No.27)届出原因区分 ＝ 11:親権行使者不在、 12:親権行使者管理権喪失、32:親権者親権回復、33:親権者管理権回復、37:未成年後見人成年、 38:未成年被後見人親権に服するの時、			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	(No.32)届出人資格 ＝ 110:未成年後見人、113:後任未成年後見人であること			
43	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 4:未成年後見監督人　かつ　(No.27)届出原因区分 ＝ 16:未成年後見監督人就職、39:未成年後見監督人任務終了の時、 (No.32)届出人資格 ＝ 112:未成年後見監督人、114:後任未成年後見監督人であること			
43-1	(No.27)届出原因区分 ＝ 51、52、53、54:嘱託事由の時、 (No.32)届出人資格、(No.33)届出人氏名 に入力がないこと			
44	(No.32)届出人資格 ＝ 110:未成年後見人 又は 112:未成年後見監督人　かつ (No.33)届出人氏名 ≠ スペースの時、 (No.23)未成年後見人の漢字氏名 ＝ (No.34)届出人氏名であること			
45	(No.32)届出人資格 ＝ 113:後任未成年後見人 又は 114:後任未成年後見監督人の時、 (No.27)届出原因区分 ＝ 11、12、16:開始事由であること			
46	(No.32)届出人資格 ＝ 113:後任未成年後見人 又は 114:後任未成年後見監督人の時、 (No.33)届出人氏名は必須入力であること			
47	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 1:本籍　又は (No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、 (No.8)本非区分 ＝ 1:本籍であること			
48	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍　かつ　(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍 又は　(No.19)未成年後見人の本非区分が未入力の時、 (No.8)本非区分 ＝ 2:非本籍であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	3.0 審査

| | | |

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)

| 処理名 | 3.0 審査 | | |

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	3.0 審査

											備考
						NO	(19)エラーメッセージ 「終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。」 を表示する		(20)本紙へ		不受理
				NO	(21)→(33-1)			/			R2.1(12/6議2)
	1	(21-1)→(34)						/			
(22) (削除)								/			
	(23) (削除)							/			
		(24) (削除)						/			
			(25) (削除)					/			
				(26) (削除)				/	(27) (削除)		
				(28) (削除)				/			
			(29) (削除)					/			
				(30) (削除)				/			
				(31) (削除)					(32) (削除)		
		(33) (削除)						/			
(33-1)就職日 ≧ 2022年4月1日 又は 終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)								/			民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)、R2.1(後見43)
YES	(33-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) > 就職日 又は 未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) > 終了日 であるか(YES,NO)							/			R2.1(後見43) R4(後見51)
	YES	(33-3)→(34)						/			R2.1(後見43)
	NO	(33-4)エラーメッセージ 「未成年被後見人は未成年者ではありません。」を表示する							(33-5)本紙へ		不受理 R2.1(後見43)
NO	(33-6)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) > 就職日 又は 未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) > 終了日 であるか(YES,NO)							/			R2.1(12/6議2) R4(後見51)
	YES	(33-7)→(34)						/			R2.1(12/6議2)
	NO	(33-8)エラーメッセージ 「未成年被後見人は未成年者ではありません。」を表示する							(33-9)本紙へ		不受理 R2.1(12/6議2)
(34)届出原因区分は11、12、16:開始事由であるか(YES,NO)								/			
YES	(34-1)就職日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)							/			民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)、R2.1(後見43)
	YES	(34-2)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日 + 18年(18歳以上) ≦ 就職日である (YES,NO)						/			民847、民852、民4 R2.1(後見43)
		YES	(34-3)→(42)へ					/			R2.1(後見43)
		NO	(34-4)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か(YES,NO)					/			法人を判定 R2.1(後見43)
			YES	(34-5)→(42)へ				/			R2.1(後見43)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	3.0 審査			備考
NO	(34-6)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人(未成年後見監督人)は18歳未満ですが、よろしいですか。」 を表示する		(34-7)本紙へ	R2.1(後見43)
YES	(34-8)→(42)へ	/		R2.1(後見43)
NO	(34-9)→		(34-10)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)
NO	(35)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 就職日である (YES,NO)	/		民847、民852、民4
YES	(36)→(42)へ	/		
NO	(36-1)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か(YES,NO)	/		法人を判定
YES	(36-2)→(42)へ	/		
NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人(未成年後見監督人)は20歳未満ですが、よろしいですか。」 を表示する		(38)本紙へ	
YES	(39)→(42)へ	/		
NO	(40)→		(41)本紙へ	不受理
(42)未成年後見人(未成年後見監督人)の外国人区分 0:日本人か(YES,NO)		/		
YES	(43)未成年後見人(未成年後見監督人)の本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/		
1	(44) (削除)	/		
	(45) (削除)		(46) (削除)	
	(47) (削除)	/		
	(48) (削除)		(49) (削除)	
	(50)未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けているか(YES,NO)	/		民847、民852
YES	(51)エラーメッセージ 「未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。」 を表示する		(52)本紙へ	不受理
NO	(53)→(66)へ	/		
2	(54)→(66)へ	/		
NO				
(55) (削除)				
	(56) (削除)	/		
	(57) (削除)	/		
	(58) (削除)	/		
	(59) (削除)		(60) (削除)	
	(61) (削除)			
	(62) (削除)	/		
	(63) (削除)		(64) (削除)	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名			審査(未成年者の後見届)						
処理名			3.0 審査					備考	
			(65)　(削除)	/					
			(66)未成年後見人(未成年後見監督人)の就職日 + 10日 > 受領日(YES,NO)	/				戸81、戸82、戸85	
	YES		(67)→(80)へ	/					
	NO		(68)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する		(69)本紙へ			審査続行(応答後72-1へ)	2.0(後見56)
									2.0(後見56)
NO			(72-1)届出原因区分は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか(YES,NO)	/					
	YES		(72-2)終了日 + 11日 > 受領日(YES,NO)	/				未成年被後見人が成年に達した場合翌日起算	
		YES	(72-3)→(80)へ	/					
		NO	(72-4)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する		(72-5)本紙へ			審査続行(応答後72-9へ)	2.0(後見56)
									2.0(後見56)
	NO		(72-9)届出原因区分は32、33、38、39であるか(YES,NO)	/					
		YES	(73)終了日 + 10日 > 受領日(YES,NO)	/				戸84、戸85	
			YES (74)→(80)へ	/					
			NO (75)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する		(76)本紙へ			審査続行(応答後79-1へ)	2.0(後見56)
									2.0(後見56)
		NO	(79-1)→(80)	/					
(80)届出人は未成年後見人(未成年後見監督人)か(YES,NO)				/				戸81、戸82、戸84、戸85	
YES			(81)→		(82)本紙へ			受理	
NO			(83)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、未成年後見人(未成年後見監督人)ではありませんがよろしいですか。」を表示する						
	YES		(84)→					受理	
	NO		(85)→					不受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		未成年者の後見届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							41(未成年者の後見届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム･インターフェース	戸籍番号				未成年被後見人が本籍人の場合選択 戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査結果により、 1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理　又は 3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未設定)を移送

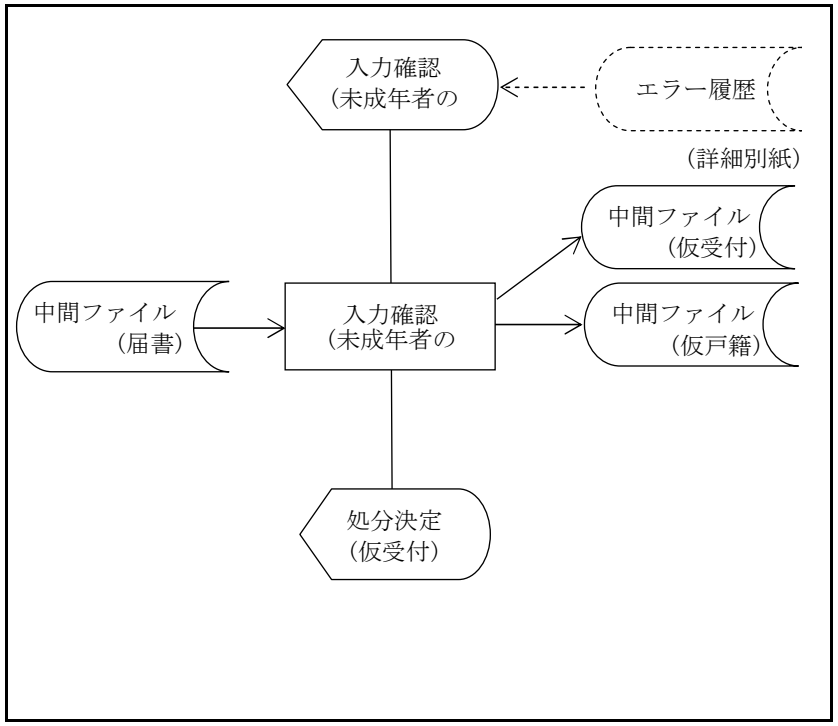
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
								定)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人の個人番号		未成年者の後見届 入力画面					
	未成年被後見人の外国人区分			未成年被後見人の外国人区分				
	未成年被後見人の本非区分			未成年被後見人の本非区分				
	未成年被後見人の生年月日			未成年被後見人の生年月日				
	未成年被後見人のカナ氏名			未成年被後見人のカナ氏名				
	未成年被後見人の漢字氏名			未成年被後見人の漢字氏名				
	未成年被後見人の本籍コード			未成年被後見人の本籍				
	未成年被後見人の本籍							
	未成年被後見人の筆頭者			未成年被後見人の筆頭者名				
	未成年後見人の個人番号							
	未成年後見人の外国人区分			未成年後見人の外国人区分				
	未成年後見人の本非区分			未成年後見人の本非区分				
	未成年後見人の生年月日			未成年後見人の生年月日				
	未成年後見人の区分			未成年後見人区分				
	未成年後見人のカナ氏名			未成年後見人のカナ氏名				
	未成年後見人の漢字氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見人の本籍コード			未成年後見人の本籍				
	未成年後見人の本籍							
	未成年後見人の筆頭者			未成年後見人の筆頭者名				
	未成年後見人資格			未成年後見人の資格				
	未成年後見人の法人住所コード			未成年後見人の住所				
	未成年後見人の法人住所							
	届出事件種別区分			届出原因区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	前任者氏名							
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(未成年者の後見届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(未成年者の後見届確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/				
	(5)							
	(6)事件本人(未成年者被後見人)が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/				
		身分事項(変動なし)	(8)現戸籍(未成年者被後見人)に未成年者の後見事項を編集･出力する [4.1]		(9)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(10)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(11)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(12)審査に制御を渡す			
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/	(15)同画面を編集する			
	YES	(14)前ページ分の確認画面(未成年者の後見届)を編集する						
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(18)次ページ分の確認画面(未成年者の後見届)を編集する						
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(20)エラー表示に制御を渡す			
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	1.0　確認画面(未成年者の後見届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
未成年者の後見届 確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	未成年被後見人の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人の外国人区分				
	未成年被後見人の外国人区分名称					有		
	未成年被後見人の本非区分			未成年被後見人の本非区分				
	未成年被後見人の本非区分名称					有		
	未成年被後見人の生年月日			未成年被後見人の生年月日				
	未成年被後見人のカナ氏名			未成年被後見人のカナ氏名				
	未成年被後見人の漢字氏名			未成年被後見人の漢字氏名				
	未成年被後見人の本籍			未成年被後見人の本籍コード				
				未成年被後見人の本籍				
	未成年被後見人の筆頭者名			未成年被後見人の筆頭者				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	1.0　確認画面(未成年者の後見届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見人の外国人区分			未成年後見人の外国人区分		有		
	未成年後見人の外国人区分名称							
	未成年後見人の本非区分			未成年後見人の本非区分		有		
	未成年後見人の本非区分名称							
	未成年後見人の生年月日			未成年後見人の生年月日				
	未成年後見人区分			未成年後見人の区分				
	未成年後見人のカナ氏名			未成年後見人のカナ氏名				
	未成年後見人の漢字氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見人の本籍			未成年後見人の本籍コード				
				未成年後見人の本籍				
	未成年後見人の筆頭者名			未成年後見人の筆頭者				
	未成年後見人の資格			未成年者の後見人資格				
	未成年後見人の住所			未成年後見人の法人住所コード				
				未成年後見人の法人住所				
	届出原因区分			届出事件種別区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件				未成年被後見人の現在戸籍
	未成年被後見人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者被後見人(4.1)
2	○			○	
3		○	——	——	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード						未成年後見人の区分 ＝ 3(未成年後見人)の時 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始) 4101(未成年者の後見開始) 届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38(終了) 4102(未成年者の後見終了) 届出事件種別区分 ＝ 51、52、53(嘱託) 4117:(未成年後見人選任(嘱託)) 未成年後見人の区分 ＝ 4(未成年後見監督人)の時 届出事件種別区分 ＝ 16(開始) 4110(未成年者の後見監督開始) 届出事件種別区分 ＝ 39(終了) 4111(未成年者の後見監督終了) 届出事件種別区分 ＝ 54(嘱託) 4119:(未成年後見監督人選任(嘱託))	
	受領日			送付日　又は 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			就職日			届出事件種別区分 ＝ 11、12、16の時、移送	
				終了日			届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38、39の時、移送	
				裁判確定日			届出事件種別区分 ＝ 51、52、53、54の時、移送	
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格		有		届出人資格 ＝ 未成年後見人　又は 未成年後見監督人以外の時に移送する
	届出人資格名称1			届出人氏名				
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							未成年被後見人 ＝ 55 未成年後見人 ＝ 56 未成年後見監督人 ＝ 57
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	カナ氏名			カナ氏名				未成年被後見人　又は 未成年後見人の受付を作成する際に、該当項目を移送する
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	(削除)							
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(未成年被後見人のみ設定) 上記以外は、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.未成年被後見人
2.未成年後見人(未成年後見監督人)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	未成年被後見人の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							4101(未成年者の後見)
	記録コード							4101(未成年被後見人の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日			届出事件種別区分 ＝ 11、12、16の時、移送	
				終了日			届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38、39 の時、移送	
				裁判確定日			届出事件種別区分 ＝ 51、52、53、54 の時、移送	
	未成年後見人就職日			就職日			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由) の時、移送	
	未成年後見人選任の裁判確定日			裁判確定日			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 51、52、53 の時、移送	
	未成年後見監督人就職日			就職日			未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 16(後見監督人就職)の時、移送	
	未成年後見監督人選任の裁判確定日			裁判確定日			未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 54 の時、移送	
	未成年者の後見開始事由						未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)の時 届出事件種別区分 ＝ 11(親権行使者不在)、 52(未成年後見人選任親権者不在(嘱託))ならば「親権を行う者がないため」 届出事件種別区分 ＝ 12(親権行使者管理権喪失)、 53(未成年後見人選任管理権喪失(嘱託))ならば「親権を行う者が管理権を有しないため」を移送	
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日			終了日			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38(終了事由)の時、移送	
	未成年者の後見監督終了日			終了日			未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 39(監督人任務終了)の時、移送	
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見人職務執行停止の裁判発効日							
	未成年後見代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限崇独行使の定め							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見人	資格			未成年後見人資格				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時、 未成年後見人資格 ＝ スペースの時、 未成年後見人の漢字氏名 未成年後見人資格 ≠ スペース時、 未成年後見人資格を移送
		資格名称							
		氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見人の戸籍	本籍			未成年後見人の本籍				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 日本人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時移送
		筆頭者			未成年後見人の筆頭者				
	未成年後見人の国籍				未成年後見人の本籍				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 外国人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時移送
	未成年後見人の生年月日				未成年後見人の生年月日				
	未成年後見人の住所	住所			未成年後見人の法人住所				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の法人住所 ≠ スペース　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時移送
	辞任した未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見監督人	資格			未成年後見人資格				未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、54(嘱託事由)の時、 未成年後見人資格 ＝ スペースの時、 未成年後見人の漢字氏名を移送 未成年後見人資格 ≠ スペースの時、 未成年後見人の資格を移送
		資格名称							
		氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見監督人の戸籍	本籍			未成年後見人の本籍				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 日本人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時移送
		筆頭者			未成年後見人の筆頭者				
	未成年後見監督人の国籍				未成年後見人の本籍				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 外国人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時移送
	未成年後見監督人の生年月日				未成年後見人の生年月日				
	未成年後見監督人の住所	住所			未成年後見人の法人住所				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の法人住所 ≠ スペース　かつ 届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時移送
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	月日							
	未成年後見監督代行者							
	未成年後見監督代行者の戸籍 本籍							
	未成年後見監督代行者の戸籍 筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍							
	未成年後見監督代行者の生年月日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	届出日			受領日				記録嘱託日=0の時、移送
	届出人 資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 113(後任未成年後見人)　又は 114(後任未成年後見監督人)の時に移送
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名			届出人氏名				
	記録嘱託日			記録嘱託日				記録嘱託日 ≠ 0の時、移送
	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送
	特記事項						届出事件種別区分 ＝ 37(未成年被後見人成年)の時、 「成年に達したため」	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
							＝ 32(親権者親権回復)の時、 「親権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 ＝ 33(親権者管理権回復)の時、 「管理権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 ＝ 38(未成年被後見人親権に服する)の時、 「親権を行う者があるに至ったため」 ＝ 39(未成年被後見監督人任務終了)の時、 「未成年後見監督人」+漢字氏名(未成年後見人)+「に欠格事由が生じたため」を編集し移送	

第7.2.(5)「異動」処理

14.保佐届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	保佐届					

1.保佐業務処理範囲外の処理

・裁判所書記官からの戸籍の記録嘱託

・保佐開始届(法改正後は不要となるため)

2.保佐届書入力画面の意義

(1)その1画面:被保佐人及び保佐人の入力

(2)その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3.その他

(1)添付書類

・保佐人更迭届については、法定保佐人が届出をするときには、準禁治産者の配偶者であることを証するため戸籍謄本の添付を要する。(本籍地に届出の場合は不要)
選定保佐人が届出をするときは、保佐人選任の審判の謄本を添付する。

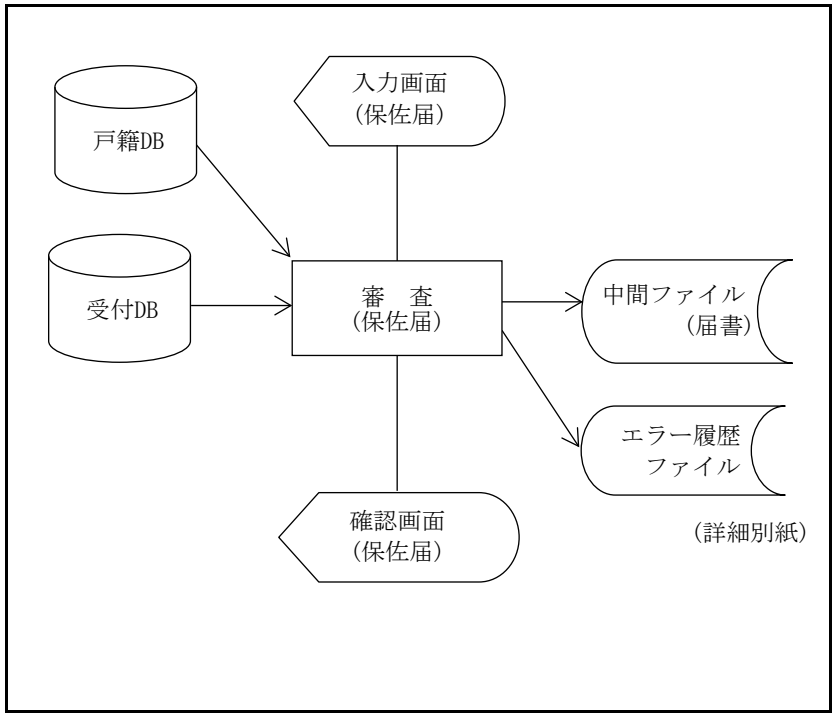
・保佐終了届については、準禁治産者宣告取消の審判の謄本の添付を要する。

(2)保佐人は1人でなければならない。

(3)未成年者、家庭裁判所で免ぜられた法定代理人又は保佐人、補助人、破産者、被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族、行方の知れないものは、保佐人となることはできない。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(保佐届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)保佐届の内容を画面入力する。
(2)保佐届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)保佐届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)保佐届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(保佐届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(保佐届)
処理名	0.0 本紙

													備考
(1)届書内容を画面入力する											/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)											/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]										/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]									/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする								/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]								/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]								(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)							/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する							(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する								メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する										
	NO												
PF1	→											(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→											(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(保佐届)を編集する										(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する											
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(保佐届)を編集する										(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する											
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する												入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する												審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する												
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する												

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(保佐届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(保佐届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	在外送付区分	○	漢字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	発送元		漢字				
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被保佐人の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	被保佐人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
12	被保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	被保佐人のカナ氏名	○	カナ				
14	被保佐人の漢字氏名	○	漢字				
15	被保佐人の本籍	○	漢字				
16	被保佐人の筆頭者名		漢字				
17	保佐人の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
18	保佐人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
19	保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	保佐人のカナ氏名	○	カナ				
21	保佐人の漢字氏名	○	漢字				
22	保佐人の本籍	○	漢字				
23	保佐人の筆頭者名		漢字				
24	保佐人資格		数字	(1:父、2:母、6:夫、7:妻)であること			
25	届出原因区分	○	数字	(21:前任者死亡、22:前任者辞任、23:前任者解任、24:前任者資格喪失、31:準禁治産取消確定)であること			
26	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(保佐届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表				入力画面(保佐届)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
28	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
29	前任者氏名		数字						
30	届出人資格	○	英数	(63:保佐人)であること					
31	届出人氏名		数字						

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき、(No.7)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
12	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者名が入力されていること			
17	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者名は未入力であること			
18	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 管内であること			
19	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 管外であること			
20	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
21	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.19)保佐人の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.19)保佐人の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(NO.22)保佐人の本籍 ＝ 本籍であること			
24	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(NO.22)保佐人の本籍 ＝ 国籍であること			
25	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(NO.23)保佐人の筆頭者名が入力されていること			
26	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(NO.23)保佐人の筆頭者名は未入力であること			
27	(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(NO.22)保佐人の本籍 ＝ 管内であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
28	(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(NO.22)保佐人の本籍 ＝ 管外であること			
29	(No.24)保佐人資格 ＝ 6、7(夫、妻)かつ、 (No.10)被保佐人の外国人区分、(No.18)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.15)被保佐人の本籍 ＝ (No.22)保佐人の本籍 かつ、 (No.16)被保佐人の筆頭者名 ＝ (No.23)保佐人の筆頭者名 であること			
30	【削除】			
31	【削除】			
32	(No.25)届出原因区分 ＝ 21～24(更迭事由)の時、 (No.26)開始日、(No.27)就職日、(No.29)前任者氏名は必須入力であること			
33	(No.25)届出原因区分 ＝ 21～24(更迭事由)の時、(No.28)終了日には入力がないこと			
34	(No.25)届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、(No.8)終了日は必須入力であること			
35	(No.25)届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、 (No.26)開始日、(No.27)就職日、(No.29)前任者氏名には、入力がないこと			
36	(No.26)開始日 ≦ (No.27)就職日であること			
36-1	(No.27)就職日 ≠ スペースの場合、(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、 (No.9)郵送日 ≦ (No.27)就職日であり、 (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≦ (No.27)就職日であること			
36-2	(No.28)終了日 ≠ スペースの場合、(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、 (No.9)郵送日 ≦ (No.28)終了日であり、 (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≦ (No.28)終了日であること			
37	(No.31)届出人氏名 ≠ スペースの時、(No.21)届出人氏名 ＝ (No.21)保佐人の漢字氏名であること			
38	【削除】			【削除】
39	【削除】			
40	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は　(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)ならば (No. 8)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
41	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)ならば (No. 8)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)
処理名	3.0 審査

								備考
(1)被保佐人の外国人区分(0:日本人、1:外国人)						/		
0	(2)被保佐人の本非区分(1:本籍、2:非本籍)					/		
	1	(3)被保佐人は準禁治産者であるか				/		審査(4)～(6)削除
		YES	(7) → (13)			/		審査(8)(9)削除
		NO	(10)エラーメッセージ 「準禁治産者ではありません」を表示する				(11)本紙へ	不受理
	2	(12) → (13)				/		
1						/		
(13)届出原因区分は21～24(更迭事由)であるか						/		
YES	(14)保佐人の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 就職日					/		民847、平11改正前 民847
	YES	(15) → (21)				/		
	NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「保佐人は20歳未満ですが、よろしいですか」を表示する					(17)本紙へ	
		YES	(18) → (21)			/		
		NO	(19) →				(20)本紙へ	不受理
	(21)保佐人の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
	0	(22)保佐人の本非区分(0:本籍、1:非本籍)				/		審査(23)～(28)削除
		1	(29)保佐人は破産宣告を受けているか			/		民847、平11改正前 民847
			YES	(30)エラーメッセージ 「保佐人は破産宣告を受けています」を表示する			(31)本紙へ	不受理
			NO	(32) → (34)		/		
		2	(33) → (34)			/		
	1					/		
	(34)届出原因区分 = 24(資格喪失) かつ 保佐人資格 = 6(夫)、7(妻) かつ 届出人資格 = 63(保佐人)である(YES,NO)					/		平11改正前 民847、平11改正前 民840
	YES	(35)保佐人の本非区分 = 1(本籍人)(YES,NO)				/		
		YES	(36)保佐人と被保佐人の婚姻日 = 就職日(YES,NO)			/		
			YES	(36) → (44)		/		
			NO	(37)エラーメッセージ 「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日でなければなりません」を表示する			(38)本紙へ	
		NO	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか。」 を表示する					
			YES	(40) → (44)		/		
			NO	(41)→			(42)本紙へ	不受理

システム環境仕様書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(保佐届)							
	NO	(43) → (44)		/				
	(44)就職日 + 10日 > 受領日			/			平11改正前 戸81、平11改正前 戸82	
	YES	(45) → (58)		/			平11改正前 戸85	
	NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示する			(47)本紙へ			
		YES	(48) → (58)	/				
		NO	(49) →		(50)本紙へ		不受理	
NO	(51)終了日 + 10日 > 受領日			/			平11改正前 戸84、平11改正前 戸85	
	YES	(52) → (58)		/				
	NO	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示する			(54)本紙へ			
		YES	(55) → (58)	/				
		NO	(56) →		(57)本紙へ		不受理	
(58)届出人は保佐人本人であるか				/			平11改正前 戸81･戸82･戸84･戸85	
YES	(59)→				(60)本紙へ		受理	
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、保佐人ではありませんがよろしいですか」を表示する							
	YES	(62) →					受理	
	NO	(63) →					不受理	

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集						

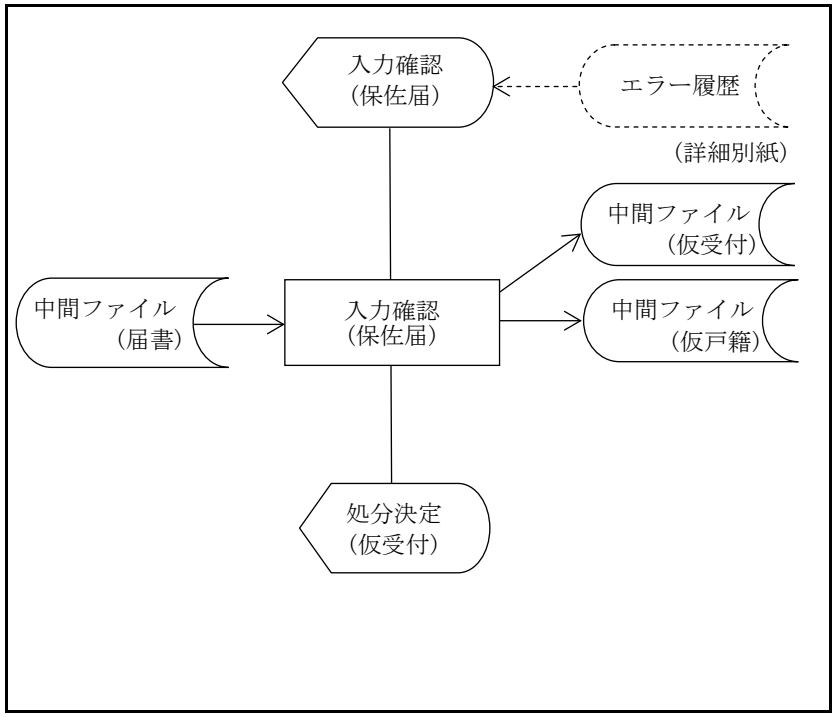
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		保佐届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							15(保佐届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき:1 在外送付区分 ＝ 1、2、3のとき:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							0(日本人)を移送
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム インターフェース	戸籍番号				被保佐人が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未決裁)を移送

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル(届書) 事件別内容	被保佐人の個人番号		保佐届入力画面					
	被保佐人の外国人区分			被保佐人の外国人区分				
	被保佐人の本非区分			被保佐人の本非区分				
	被保佐人の生年月日			被保佐人の生年月日				
	被保佐人のカナ氏名			被保佐人のカナ氏名				
	被保佐人の漢字氏名			被保佐人の漢字氏名				
	被保佐人の本籍コード			被保佐人の本籍				
	被保佐人の本籍							
	被保佐人の筆頭者			被保佐人の筆頭者名				
	保佐人の個人番号							
	保佐人の外国人区分			保佐人の外国人区分				
	保佐人の本非区分			保佐人の本非区分				
	保佐人の生年月日			保佐人の生年月日				
	保佐人のカナ氏名			保佐人のカナ氏名				
	保佐人の漢字氏名			保佐人の漢字氏名				
	保佐人の本籍コード			保佐人の本籍				
	保佐人の本籍							
	保佐人の筆頭者名			保佐人の筆頭者名				
	保佐人資格			保佐人資格				
	届出原因区分			届出原因区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(保佐届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 補足説明書(戸籍編製マトリックス表)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(保佐届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、誤りがなければ実行キーを押してください。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付[受付])を編集･出力する		[3.0]	/				
	(5)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集･出力する		[3.0]	/				
	(6)事件本人(被保佐人)が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	[4.0]	/	(9)処分決定に制御を渡す			
		身分事項(変動なし) (8)現戸籍(被保佐人)に保佐事項の編集	[4.1]					
	NO	→						
PF1	→				(10)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(11)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(12)審査に制御を渡す			
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(15)同画面を編集する			
	YES	(14)前ページ分の確認画面(保佐届)を編集する						
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(18)次ページ分の確認画面(保佐届)を編集する						
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→				(20)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	1.0 確認画面編集(保佐届)						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
保佐届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	被保佐人の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	被保佐人の外国人区分		有		
	被保佐人の外国人区分名称							
	被保佐人の本非区分			被保佐人の本非区分		有		
	被保佐人の本非区分名称							
	被保佐人の生年月日			被保佐人の生年月日				
	被保佐人のカナ氏名			被保佐人のカナ氏名				
	被保佐人の漢字氏名			被保佐人の漢字氏名				
	被保佐人の本籍			被保佐人の本籍コード				
				被保佐人の本籍				
	被保佐人の筆頭者名			被保佐人の筆頭者				
	保佐人の外国人区分			保佐人の外国人区分		有		
	保佐人の外国人区分名称							
	保佐人の本非区分			保佐人の本非区分		有		
	保佐人の本非区分名称							
	保佐人の生年月日			保佐人の生年月日				
	保佐人のカナ氏名			保佐人のカナ氏名				
	保佐人の漢字氏名			保佐人の漢字氏名				
	保佐人の本籍			保佐人の本籍コード				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	1.0 確認画面編集(保佐届)						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
				保佐人の本籍				
	保佐人の筆頭者名			保佐人の筆頭者名				
	保佐人資格			保佐人資格				
	届出原因区分			届出原因区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(保佐届)
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				被保佐人の現在戸籍
	被保佐人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		被保佐人(4.1)
2	○			○	
3		○	－	－	

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出原因区分 ＝ 21～24(更迭事由) 1503(保佐人更迭) 届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消) 1502(保佐終了)を移送
	受付日			受領日				送付日 ＝ 0の時、移送
				送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			就職日				届出原因区分 ＝ 21～24の時
				終了日				届出原因区分 ＝ 31の時
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			【削除】				【削除】
	届出人資格名称1			【削除】		【削除】		
	届出人氏名1			【削除】				【削除】
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							被保佐人 ＝ 29 保佐人 ＝ 30
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				被保佐人 ＝ 被保佐人のカナ氏名 保佐人 ＝ 保佐人のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				被保佐人 ＝ 被保佐人の漢字氏名 保佐人 ＝ 保佐人の漢字氏名
	生年月日			生年月日				被保佐人 ＝ 被保佐人の生年月日 保佐人 ＝ 保佐人の生年月日
	本籍コード			本籍コード				被保佐人 ＝ 被保佐人の本籍コード 保佐人 ＝ 保佐人の本籍コード
	本籍			本籍				被保佐人 ＝ 被保佐人の本籍 保佐人 ＝ 保佐人の本籍

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)							
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			筆頭者				被保佐人 ＝ 被保佐人の筆頭者 保佐人 ＝ 保佐人の筆頭者名
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(被保佐人のみ設定) 上記以外の時、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.被保佐人
2.保佐人

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(保佐届)							
処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	被保佐人の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1501を移送
	記録コード							1501を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日				届出原因区分 ＝ 21～24の時、移送
				終了日				届出原因区分 ＝ 31の時、移送
	準禁治産宣告の裁判確定日			【削除】				【削除】
	保佐人更迭事由の発生日			開始日				届出原因区分 ＝ 21、24(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	更迭事由							届出原因区分 ＝ 21(前任者死亡)の時、「保佐人の死亡」 届出原因区分 ＝ 24(前任者資格喪失)の時、 保佐人資格 ＝ 6、7(夫、妻)ならば「任務完了」 保佐人資格 ≠ 6、7(夫、妻以外)ならば 「欠格事由が生じたため」を移送
	前任の保佐人			前任者氏名				届出原因区分 ＝ 21、24(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	保佐人就職日			【削除】				【削除】
	後任の保佐人就職日			就職日				届出原因区分 ＝ 21～24の時、移送
	保佐終了日			終了日				届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、移送

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(保佐届)						
処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	保佐人			保佐人の漢字氏名 保佐人資格		有		届出原因区分 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、保佐人資格 ＝ スペースならば保佐人の漢字氏名 保佐人資格 ≠ スペースならば保佐人資格 を移送
	保佐人の戸籍(本籍)			保佐人の本籍				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ 届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の戸籍(筆頭者)			保佐人の筆頭者名				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ 届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の国籍			保佐人の本籍				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の生年月日			保佐人の生年月日				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	届出日			受領日				
	届出人(資格)			【削除】				【削除】
	届出人(資格名称)			【削除】		【削除】		【削除】
	届出人(氏名)			【削除】				【削除】
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送
	特記事項							届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、「準禁治産宣告取消しの裁判確定のため」を移送

※データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍、身分事項は、ノーマルケース時の項目のみ記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

15.死亡届(含本籍分明)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107	「死亡届」	2020/8/28研究会指摘事項(FXSS)の誤記対応 №5:システム処理の概要説明書で「107:任意後見受任者」が記載されていない №6:入力確認3.0中間ファイル(仮受付)の受付事件コードの備考欄の誤り
2		108		・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
3		109		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	111	「死亡届」	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力 R2.1版で修正した受付事件コードの編集内容に誤りがあった。 →本籍不分明区分=2のとき、受理送付区分=1　かつ　関連受領番号が未入力(ゼロ又はヌル)であれば1601(死亡)、それ以外であれば4402(その他(本籍分明))を設定
5		－		(2021.12.24 日立システムズ指摘対応) 4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力 法第92条第1項報告と同第2項報告が同時にされた場合に、双方の報告を1件で処理する場合は、本籍不分明区分を92条第2項で入力するが、この場合人口動態区分が0(不要)に設定される。 1件処理の場合は人口動態区分が1(要)となるよう修正する。
6	2.0	115	「死亡届」	3.0　審査 届出期間の審査を変更
7		117		4.2　死亡者(除籍) 92条第1項通知と同第2項通知が同時に報告された場合【報告日】が除籍日であるため、【除籍日】は不要となる。
8		令和3年度申し送り事項一覧№4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.2
9	2.0 (2023.7.31版)	－	「死亡届」	全国意見照会による誤植修正 審査のメッセージを修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	死亡届

1.死亡業務処理範囲外の処理

(1) 100歳以上の高齢者について市区町村長が監督局の長の許可を得て消除する場合の記録〔高齢者消除〕

(2) 非本籍地の死亡届が本籍地へ未着のため近親者から提出のあった資料及び受附帳の写しに基づき監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録
〔24条2項による職権記録〕

(3) 失踪宣告により除籍された者の属していた戸籍が他の市区町村に転籍により除籍された後に失踪宣告者の死亡届があった場合の死亡事項の記録

(4) 出生届出前に死亡したものにつき死亡届が先に提出された場合の死亡事項の記録

(5) 外国人の死亡における日本人配偶者の婚姻解消事項の記録(生存配偶者が本籍人の場合)〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

(6) 正当な届出義務者以外からの届出により監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録〔24条2項による職権記録〕

(7) 同時死亡と推定される場合(複数人の審査、記録)〔民882条〕

①(1) :バッチ(高齢者消除)で一括処理する

②(2)、(3)、(4)、(6)、(7):別途、審査結果入力で処理を行う

③(5) :「死亡届」の異動処理終了(志望者の死亡の記録)後、日本人配偶者の婚姻解消事項の記録を行う
⇒ 日本人配偶者の婚姻解消事項の記録については、別途、審査結果入力で処理を行う

2.死亡届入力画面の意義

(1) 本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)について各項目(漢字氏名、本籍、住所等)を「不詳」として入力を行う

(入力面面で「不詳」と入力されることにより受付帳の氏名、本籍は「不詳」と記録される)

(2) 本籍不分明者・認識不能者の身元が判明した際(92条Ⅱの報告、92条Ⅲの届出、本籍分明)についても各項目(本籍、筆頭者、住所等)の入力を行う

①先の死亡報告・死亡届との関連付けの入力(関連受領番号入力)を行う

②本籍分明(先の身元不明の死亡届に対する追完)の際の届出人資格、届出人氏名の入力は先の身元不明の死亡届と同様の資格氏名を入力する
(本籍人と判明した場合、戸籍の記録で表記を要するため)

(3) 死亡日、死亡時分について推定あるいは不詳がある場合、「死亡日時」を直接日本語で入力を行い、それを戸籍の記録とする

ただし、「死亡日」(年・月)については死亡者の戸籍の事件発生日の設定及び生存配偶者の婚姻解消事項の配偶者死亡日の記録を要するため、必須入力である

(4)死亡地の入力は「市区町村名」と「町丁目以降」に分けて入力を行う

①「市区町村名」 → 「戸籍」への記録(例外:北緯○○度東経○○○度等もあり得る)

②「市区町村名」+「町丁目以降」 → 「死体埋火葬許可書」「相続税法58条通知書」への記録

(5) 「死亡区分」は届出人資格が92(取調官庁及び公署の報告)で戦争による死亡(戦死、戦傷死)の際に入力も行う(戦病死は通常の死亡)

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	死亡届						

3.その他

(1)　受付帳には「死亡地」を登載しない(出生における出生地も同様)

(2)　本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)の受付帳の氏名・本籍は基本的に「不詳」となっているが、この者の身元が判明した場合でも、先の受付帳の氏名・本籍は訂正しない

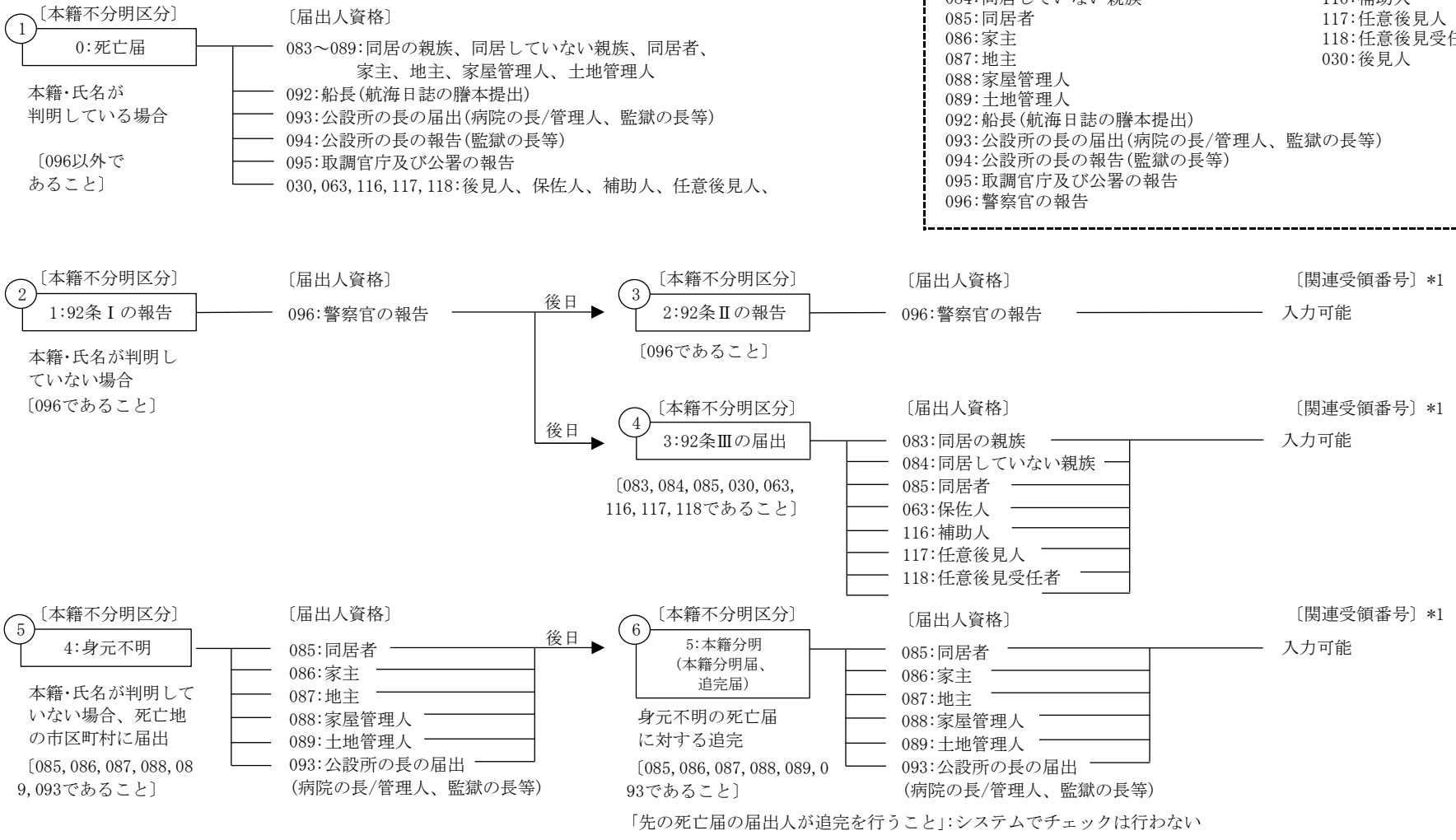
システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	死亡届					

(3)死亡の入力の流れとチェックについて[本籍不分明区分、届出資格、関連受領番号]

死亡で使用する「資格区分」の一覧

R2.1(死亡104)で118:任意後見受任者を追加　※この頁全体

083:同居の親族
084:同居していない親族
085:同居者
086:家主
087:地主
088:家屋管理人
089:土地管理人
092:船長(航海日誌の謄本提出)
093:公設所の長の届出(病院の長/管理人、監獄の長等)
094:公設所の長の報告(監獄の長等)
095:取調官庁及び公署の報告
096:警察官の報告
063:保佐人
116:補助人
117:任意後見人
118:任意後見受任者
030:後見人

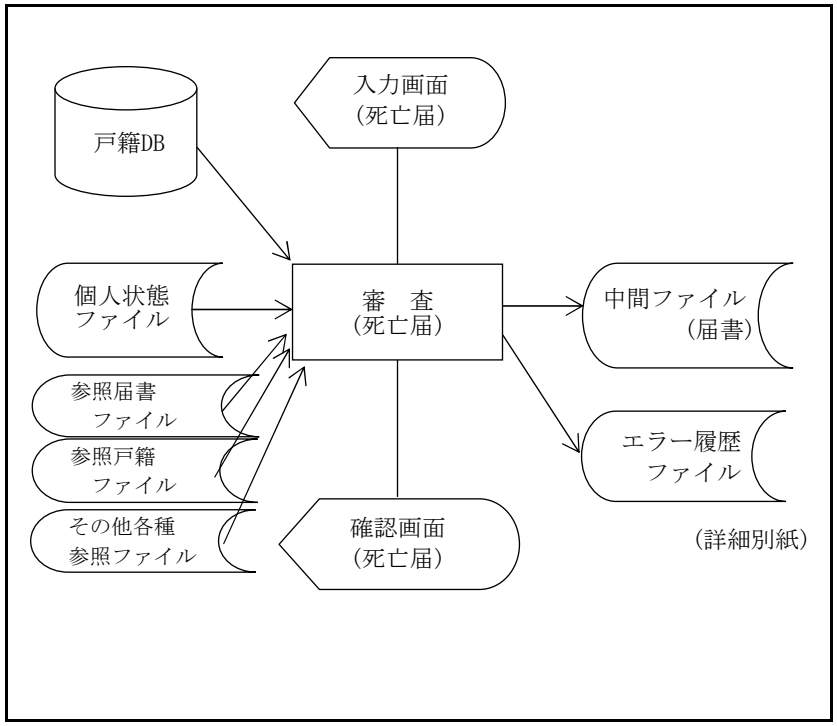


*1:「関連受領番号」が入力された場合、
-存在する場合、「処分決定処理」で当該受付の「関連受領番号」に当届書の「受領番号」を設定する(当届書の受付に対しても同様)
-存在しない場合、「審査」で確認メッセージを表示する

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)死亡届の内容を入力する
(2)死亡届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)死亡届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)死亡届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(死亡届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する							/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す			
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する						(15-3)同画面を編集する			
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する		入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(死亡届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)			
10	外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	性別	○	数字	(1:男、2:女、3:不詳)であること			
13	本籍不分明区分	○	数字	(0:死亡届、1:92条Ⅰ報告、2:92条Ⅱ報告、3:92条Ⅲ届出、4:身元不明の死亡届、5:本籍分明)であること			
14	関連受領番号		数字				
15	カナ氏名		カナ				
16	漢字氏名	○	漢字				
17	死亡の年	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	死亡の月	○	英数				
19	死亡の日		英数				
20	死亡時間推定区分		英数	(スペース又は、1:推定)であること			
21	死亡の午前午後区分		英数	(スペース又は、1:午前、2:午後)であること			
22	死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			
23	終期の死亡の午前午後区分		英数	(スペース又は、1:午前、2:午後)であること			
24	終期の死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			
25	死亡区分		英数	(スペース又は、1:戦死、2:戦傷死)であること			

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(死亡届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	死亡日時		漢字				
27	死亡場所市町村	○	漢字				
28	死亡場所町丁目		漢字				
29	住所		漢字				
30	世帯主		漢字				
31	本籍	○	漢字				
32	筆頭者		漢字				
33	届出人資格	○	数字	(083:同居の親族　084:同居していない親族 085:同居者　086:家主 087:地主　088:家屋管理者 089:土地管理者　092:船長(航海日誌の謄本提出) 093:公設所の長の届出(病院の長/管理人、監獄の長等) 094:公設所の長の報告(監獄の長等) 095:取調官庁又は公署の報告　096:警察官の報告 030:後見人　063:保佐人　116:補助人 117:任意後見人　118:任意後見受任者)であること			R2.1(死亡104)
34	届出人資格名称		漢字				
35	届出人の氏名	○	漢字				
36	届出人の住所		漢字				
37	配偶者有無区分		数字	(0:無、1:有)であること			
38	配偶者外人区分		英数	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付の時、 (No.8)動態区分 ＝ 1:要であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は　＝ 4(連携情報の通知)の時、 (No.8)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
14	(No.10)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.30)本籍 ＝ 本籍であること			
14-1	(No.10)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.31)筆頭者 ≠ 空白であること			
15	(No.10)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.30)本籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.31)筆頭者が未入力であること			
17	(No.36)配偶者有無区分 ＝ 1:有の場合、(No.37)配偶者外人区分 ≠ 空白であること			
18	(No.13)本籍不分明区分が0:死亡届、2:92Ⅱ報告、3:92Ⅲ届出、5:本籍分明の場合、 (No.36)配偶者有無区分 ≠ 空白であること			
18-1	(No.31)本籍 ＝ 管内の時、(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
18-2	(No.31)本籍 ≠ 管内の時、(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18-3	(No.13)本籍不分明区分が1:92I報告、4:身元不明の死亡届の場合、 (No.5)在外送付区分 ＝ 0(受理分)　かつ　(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
18-4	(No.29)住所 ＝ スペースの時、(No.30)世帯主 ＝ スペースであること			
18-5	(No.30)世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)住所 ≠ スペースであること			
18-6	(No.16)漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.32)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.16)漢字氏名の氏 ＝ (No.32)筆頭者の氏であること。			日本人 かつ 本籍不分明区分が死亡届、92Ⅱ、92Ⅲ、本籍分明の場合実施する
19	(No.17)死亡の年～(No.24)終期の死亡の時分、(No.26)死亡日時は以下のパターンであること			

審査(死亡届)入力画面

種別	No.	現行記録例	No.17 死亡の年	No.18 死亡の月	No.19 死亡の日	No.20 死亡時間 推定区分	No.21 午前午後区分	No. 22 死亡の時	No. 22 死亡の分	終期 No.23 区分	終期 No. 24 時	終期 No. 24 分	No.26 死亡日時
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	● 平成7年2月1日			×	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×
	2	平成7年2月1日午後1時30分	● 平成7年2月1日			×	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	● 平成7年2月1日			● 1	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	● 平成7年2月1日			● 1	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	×	×
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	● 30分	×

データチェック（関連表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)							
処理名		画面名	画面ID					
2.0　関連チェック表		入力画面(死亡届)						

No			内容													エラーコード	備考
		7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×		
				H7	2	1	1	午	1	30	午	2					
				平成7年2月1日			推定	後	時	分	後	時					
		8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×		
				H7	2	1	1	午	1	30	午	2	30				
				平成7年2月1日			推定	後	時	分	後	時	分				
	レア入力処理	9	死亡時期が昭和30年3月上旬の場合 ↓ 「昭和30年3月1日から10日までの間」を死亡日時に入力する	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	●		
				S30	3	10											
				昭和30年3月10日													
		10	死亡時期が昭和30年春頃の場合 ↓ 「昭和30年推定4月」を死亡日時に入力する(月の前に「推定」を補記)	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●		
				S30	4												
				昭和30年4月													
20	((No.23)終期の死亡の午前午後区分 + (No.24)終期の死亡の時分)≠ 空白の場合、 ((No.21)死亡の午前午後区分 + (No.22)死亡の時分)≦ ((No.23)終期の死亡の午前午後区分 + (No.24)終期の死亡の時分) であること																

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)
処理名	3.0 審査

					備考	
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する				(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ			/		
NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	
(0-6)死亡日+7日≦受領日の場合、 メッセージ「届出期間を経過しています。」を表示する						
(0-10)(外人区分=0:日本人 かつ 漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)				/		R2.1(死亡102)
YES	(0-11)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-12)本紙へ	
	YES	(0-13)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-15)本紙へ	不受理
	NO	(0-14)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-16)→(1)へ			/		
(1)外人区分は何か? (0:日本人、1:外国人)				/		
0	(2)本非区分は何か? (1:本籍、2:非本籍)			/		
1	(3)届書の死亡者が除籍となっているか?(YES,NO)			/		[除籍者でないこと]
	YES	(4)エラーメッセージ 「届書の死亡者は既に除籍となっています。」を表示する			(5)本紙へ	
	NO	(6)→(7)へ		/		
	(7)死亡者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する			/		[死亡後に発生した事件が記録されていないこと]
	(8)身分事項DBが終了するまで(9)～(15)を繰り返す			/		
		(9)死亡日:身分事項DB・事件発生日は? (<、＝ 、>、事件発生日未設定)		/		
		<	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡の記録前に死亡日後発生した身分事項が記録されています。」を表示する		(11)本紙へ	応答する
		＝	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡の記録前に死亡日当日に発生した身分事項が記録されています。」を表示する		(13)本紙へ	応答する
		>	(14)→(16)へ	/		
		事件発生日未設定	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「事件発生日が不明の身分事項があります」を表示する		(15-1)本紙へ	応答する
		(16)次の身分事項を検索する		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)
処理名	3.0 審査

						備考
		(17)死亡者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が　1:有　となっていない (YES,NO)		/		戸規36Ⅰ 昭和23.1.13民事甲第17号通達:配偶欄消除 [死亡者に配偶者がいる場合画面の配偶者の有無区分が有となっていること]
		YES (18)エラーメッセージ 「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」を表示する			(19)本紙へ	
		NO (20)→(21)へ		/		
	2					
1						
(21)本籍不分明区分は何か? (0:死亡届、1:92Ⅰ報告、2:92Ⅱ報告、3:92Ⅲ報告、4:身元不明の死亡届、5:本籍分明)				/		
0	(22)届出人資格は[(096:警察官報告)以外]であるか?(YES,NO)			/		[死亡届]　戸87:届出義務者・資格者 戸93(戸55):船長 戸93(戸56):公設所の長等 戸89:取調官庁又は公署報告 戸90:公設所の長報告
	YES (23)→(46)へ			/		
	NO (24)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する				(25)本紙へ	
1	(26)届出人資格は(096:警察官報告)であるか?(YES,NO)			/		[92条Ⅰの報告]戸92Ⅰ
	YES (27)→(46)へ			/		
	NO (28)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する				(29)本紙へ	
2	(30)届出人資格は(096:警察官報告)であるか?(YES,NO)			/		[92条Ⅱの報告]戸92Ⅱ
	YES (31)→(46)へ			/		
	NO (32)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する				(33)本紙へ	
3	(34)届出人資格は[(083:同居の親族)　又は　(084:同居していない親族)　又は (085:同居者)又は(030:後見人)　又は　(063:保佐人)又は(116:補助人)　又は (117:任意後見人)又は(118:任意後見受任者)　]であるか?(YES,NO)			/		[92条Ⅲの報告]戸92Ⅲ 第21版で(107:成年後見人)を削除　R2.1 (死亡104) R2.1版で(118:任意後見受任者)を追加
	YES (35)→(46)へ			/		
	NO (36)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する				(37)本紙へ	
4	(38)届出人資格は[(085:同居者)　又は　(086:家主)　又は　(087:地主)　又は (088:家屋管理人)　又は　(089:土地管理人)　又は　(093:公設所の長の届出)] であるか?(YES,NO)			/		[身元不明の死亡届]
	YES (39)→(46)へ			/		
	NO (40)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する				(41)本紙へ	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)							
処理名	3.0 審査						備考	
		「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する						
5	(42)届出人資格は[(085:同居者)又は(086:家主) 又は (087:地主) 又は (088:家屋管理人) 又は (089:土地管理人) 又は (093:公設所の長の届出)]であるか?(YES,NO)		/				[本籍分明]戸26	
	YES	(43)→(46)へ	/					
	NO	(44)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する		(45)本紙へ				
(46)本籍不分明区分が(0:死亡届) 又は (1:92Ⅰ報告) 又は (4:身元不明の死亡届)の場合、関連受領番号は入力されたか?(YES,NO)			/				[本籍不分明者・認識不能者等の身元不明者の身元が判明した場合のみ関連受領番号の入力を可能とする]	
YES	(47)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分の場合、関連受領番号は入力できません。」を表示する			(48)本紙へ				
NO	(49)→(50)へ		/					
(50)画面に関連受領番号の入力があるか? (入力、未入力)			/				[本籍不分明者・認識不能者等の身元不明の受付帳の関連受領番号に身元不明の受領番号を設定するための受付帳の存在チェックを行う] 本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱの報告)のとき、【報告日】の編集を行うために受付日を届書ファイルに移送する。 本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)のとき、【届出日】の編集を行うために受付日を、【特記事項】の編集を行うために届出人資格(コード、名称)と届出人氏名を届書ファイルに移送する。	
入力	(51)関連受領番号をキーに受付ファイルを読み(有り、無し)		/					
	有り	(53)受付ファイルの受付事件コードが(1601:死亡)か?(YES,NO)	/					
		YES (54)受付ファイルの受付日を、身元不明届出時受付日に移送する。	/					
		(54-1)受付ファイルの届出人資格コード1を、身元不明届出時届出人資格コードに移送する。	/					
		(54-2)受付ファイルの届出人資格名称1を、身元不明届出時届出人資格名称に移送する。	/					
		(54-3)受付ファイルの届出人氏名を身元不明届出時届出人氏名に移送する。	/					
		NO (55)エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は「死亡」の受付帳ではありませんので処理できません。」を表示する		(56)本紙へ				
	無し	(57)エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は削除済ですので、手処理で記録して下さい。」を表示する		(58)本紙へ				
未入力	(58-1)本籍不分明区分は(2:92Ⅱ報告)か?(YES,NO)		/					
	YES	(58-1-1)確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法第92条2項の報告は、戸籍法第92条1項と同時に報告されていますか?」を表示する		(58-1-2)本紙へ				
		YES (58-1-3)→(60)へ	/					
		NO (58-2)エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。 審査結果業務より処理してください。」を表示する		(58-3)本紙へ				
	NO	(59)本籍不分明区分は(5:本籍分明)か?(YES,NO)	/					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(死亡届)
処理名	3.0 審査

					備考
	YES	(59-1)エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。 審査結果業務より処理して下さい。」を表示する		(59-2)本紙へ	
	NO	(59-3)→(60)へ	/		
(60)届出人資格が(095:取調官庁及び公署の長の報告)以外　の場合、死亡区分はスペースか?(YES,NO)			/		[知事からの戦時死亡(戦死、戦病死)の入力のチェック]
YES	(61)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分では、死亡区分の入力はできません。」を表示する			(62)本紙へ	
NO	(63)→(63-1)へ		/		
(63-1)届出人資格が　030:後見人、063:保佐人、116:補助人、117:任意後見人、 118:任意後見受任者　であるか?(YES,NO)			/		第21版で107:成年後見人を削除 R2.1版で(118:任意後見受任者)を追加　R2.1(死亡104)
YES	(63-2)確認メッセージ(YES,NO) 「後見人等の資格を証明する登記事項証明書又は裁判書の謄本が添付されていますか?」 を表示する			(63-3)本紙へ	
	YES	(63-4)→(64)へ	/		
	NO	(63-5)→		(63-6)本紙へ	
NO	(63-7)→(64)へ		/		
(64)外人区分が(1:外国人)で　配偶者有無区分が(1:有) かつ　配偶者の外国人区分が(0:日本人) であるか?(YES,NO)			/		[外国人死亡者の日本人生存配偶者の処理]
YES	(65)メッセージ(YES,NO) 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」を表示する			(66)本紙へ	
NO	(67)→				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		死亡届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							16(死亡届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				本籍不分明区分 ＝ 0、1、4のときは 入力画面で設定された値を設定する 本籍不分明区分 ＝ 2のときは 関連受領番号が未入力の場合は入力 画面で設定された値を、入力がある 場合は0を設定する 本籍不分明区分 ＝3、5のときは 0を設定する
	届区分							
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、 0(日本人)を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、 2(外国人)を設定する 本籍不分明区分 ＝ 1、4の場合も、 0(日本人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							
中間ファイル(届書) 事件別内容	死亡者個人番号		死亡届入力画面					
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	性別			性別				
	死亡日			死亡日				(画面)死亡の年 (画面)死亡の月 (画面)死亡の日
	推定区分			死亡時間推定区分				
	死亡の午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の午前午後区分			終期の死亡の午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所市町村			死亡場所市町村				
	死亡場所町丁目			死亡場所町丁目				
	住所コード			住所				
	住所							

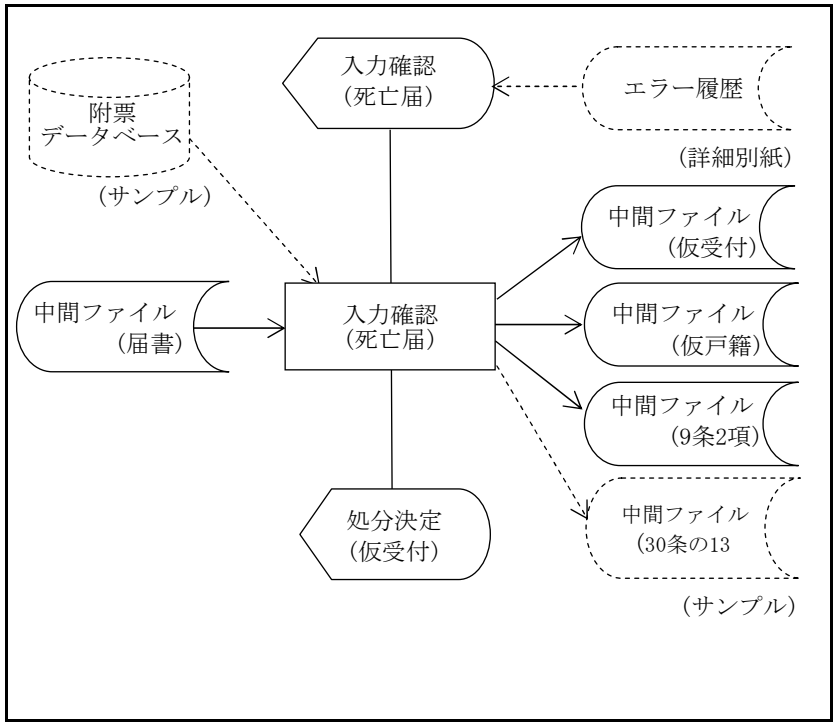
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(死亡届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	届出人住所コード			届出人の住所				
	届出人住所							
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	身元不明届出時受付日		審査処理					
	身元不明届出時届出人資格コード							
	身元不明届出時届出人資格名称							
	身元不明届出時届出人資格氏名							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(死亡届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する
(2) 戸籍変動情報を確定する
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6) 中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する・・・(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 個人特定　死亡者(配偶者区分)
  - 4.2 身分事項　死亡者(除籍)
  - 4.3 個人特定　生存配偶者(配偶者区分)
  - 4.4 身分事項　生存配偶者(記録)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 死亡者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条13第1項)・・・(サンプル提示)
  - 6.1 死亡者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(死亡届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/	
(2) キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、 死亡者の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する				[3.0]	/	
	(5)死亡者が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/	非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定 (死亡者の配偶者区分)	(7)死亡者の配偶者区分の編集		[4.1]	/	
		身分事項 (死亡者の除籍)	(8)死亡者の除籍事項の編集		[4.2]	/	
		個人特定 (生存配偶者の配偶者区分)	(9)生存配偶者の配偶区分の編集		[4.3]	/	死亡者に配偶者がいる場合記録
		身分事項 (生存配偶者の記録)	(10)生存配偶者の記録事項の編集		[4.4]	/	死亡者に配偶者がいる場合記録
		(10-2)死亡者は在外選挙人である(YES,NO)					※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-2) (10-
		YES	(10-3)死亡者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する		[6.1]	/	
		NO	(10-4) → (11)			/	
	NO						
	(11)(在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である) かつ (外人区分 ＝ 0:日本人 である)(YES,NO)					/	
	YES	(12)死亡者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			[5.0]		(13)処分決定に制御を渡す
	NO	→					
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す
PF5	→						(16)審査(死亡届)に制御を渡す
PF11	→						(17)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(19)同画面を編集する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	1.0　確認画面(死亡届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
死亡届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態区分			動態区分				
	外人区分		中間ファイル(届書)事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	本籍不分明区分名称					有		
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	性別			性別				
	性別名称					有		
	死亡の年			死亡日				
	死亡の月							
	死亡の日							
	死亡時間推定区分			推定区分				
	死亡の午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の午前午後区分			終期の死亡の午前午後区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	1.0　確認画面(死亡届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所市町村			死亡場所市町村				
	死亡場所町丁目			死亡場所町丁目				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人の氏名			届出人氏名				
	届出人の住所			届出人住所コード		有		
				届出人住所				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13

作業名	入力確認(死亡届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						死亡者の戸籍		
	死亡者		日本人生存配偶者が在籍する		死亡者以外に在籍者が存在する		C.2 一部除外	A.2 B.2 C.2 全部除外	変動なし
	本籍人	本籍以外人	有	無	有	無			
1	○			○	○		死亡者 (4.1、4.2)		
2	○			○		○		死亡者 (4.1、4.2)	
3 *3	○		○		○		死亡者 (4.1、4.2)		生存配偶者 (4.3、4.4)
4 *1		○		○	−	−	−	−	−
5 *2		○	○		−	−	−	−	−

A.2:戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2:戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2:個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1:戸籍の処理は不要
*2:戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「死亡届」の異動処理終了後(死亡者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕
*3:「死亡者以外に在籍者が存在する」場合、その在籍者が生存配偶者とならない場合、死亡者の戸籍の記載で婚姻解消事項の記録は行わない。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード					・本籍不分明区分=0、1、4のとき、 1601(死亡)を設定 ・本籍不分明区分=2のとき、関連受領番号が 未入力(ゼロ又はヌル)であれば1601(死亡)、 それ以外であれば4402(その他(本籍分明)) を設定 ・本籍不分明区分=3のとき、受理送付区分=1 であれば4404(その他(死亡))、 それ以外であれば1601(死亡)を設定 ・上記以外のとき、受理送付区分=1であれば 4402(その他(本籍分明))、それ以外であれば 1601(死亡)を設定		R2.1(死亡106) R4(死亡111)
	受領日			送付日　又は 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			死亡日				中段の補足説明参照
	事件発生時分			死亡の午前午後区分 死亡の時分				
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号			関連受領番号				
	届出人資格区分1			届出人資格		資格区分083、084のとき、 082を設定、名称は「親族」 093～096、030、063、116、117、118の時は設定不要		R2.1 (死亡104)
	届出人資格名称1			届出人資格名称				
	届出人氏名1			届出人氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							中段の補足説明参照
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

審査(死亡届)　入力画面

種別	No.	現行記録例	①死亡の年	②死亡の月	③死亡の日	④死亡時間推定区分	始期 ⑤午前午後区分	始期 ⑥死亡の時	始期 ⑦死亡の分	終期 ⑧⑤と同じ	終期 ⑨死亡の時	終期 ⑩死亡の分	⑪死亡日時
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	●	●	●	×	●	●	×	×	×	×	×
			平成7年2月1日				午後	1時					
	2	平成7年2月1日午後1時30分	●	●	●	×	●	●	●	×	×	×	×
			平成7年2月1日				午後	1時30分					
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×
			平成7年2月1日			1	午後	1時					
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
			平成7年2月1日			1	午後	1時30分					

受付帳

種別	事件発生日	事件発生時分 *1	届出後本籍 *2	備考
通常	1995.2.1	13:00	―	①②③を転送 ④⑤⑥から 編集転送
	1995.2.1	13:30	―	
レア	―	―	平成7年2月1日 推定午後1時	
	―	―	平成7年2月1日 推定午後1時30分	①～⑩から

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側							引渡側								コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称		項目 名称				記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称						記号名			
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	× 	● 午 後	● 2 時	× 	× 		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	編集転送
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	× 	● 午 後	● 2 時	● 30 分	× 		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	
	7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	● 30 分	● 午 後	● 2 時	× 	× 		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	
	8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	● 30 分	● 午 後	● 2 時	● 30 分	× 		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	
レア入力処理	1	死亡時期が昭和30年3月上旬の場合 ↓ 「昭和30年3月1日から10日までの間」を⑪死亡日時に入力する	● S30 昭和30年3月10日	● 3	● 10	×	×	×	×	×	×	×	● 		－	－	昭和30年3月1日から10日までの間	⑪を転送
	2	死亡時期が昭和30年春頃の場合 ↓ 「昭和30年推定4月」を⑪死亡日時に入力する(月の前に「推定」を補記)	● S30 昭和30年4月	● 4	×	×	×	×	×	×	×	×	● 		－	－	昭和30年推定4月	

*1:24時間で格納

*2:日本語編集で格納

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							31(死亡者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.1　死亡者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0:未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1:除籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(死亡届)								
処理名	4.2　死亡者(除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名	名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号				中間ファイル(届書)				決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1601(死亡)
	記録コード								1601(死亡者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				死亡日				*1
	死亡	死亡日			死亡日				死亡日時 ＝ スペースのとき設定
		死亡時分	推定区分		推定区分				
			午前午後区分		死亡の午前午後区分				
			死亡時分		死亡の時分				
			午前午後区分(終期)		終期の死亡の午前午後区分				
			死亡時分(終期)		終期の死亡の時分				
		死亡日時			死亡日時				
		死亡地			死亡場所市町村				
		死亡区分			死亡区分				
	届出	届出日			受領日　又は 身元不明届出時受付日	本籍不分明区分=5(本籍分明)で、身元不明届出時受付日≠スペースの場合、それぞれ身元不明届出時受付日、身元不明届出時届出人資格コード、身元不明届出時届出人資格名称、身元不明届出時届出人氏名を設定する。それ以外は右記指示に従う。			届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117、118のとき、受領日を設定する	R2.1(死亡104)
		届出人	資格		届出人資格　又は 身元不明届出時届出人資格コード				届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)のとき、届出人(資格、名称)を設定する 083(同居の親族)～084(同居していない親族)のときは082(親族)を設定する
			資格名称		届出人資格名称　又は 身元不明届出時届出人資格名称				
			氏名		届出人氏名　又は 身元不明届出時届出人資格氏名			届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117、118のとき、届出人氏名を設定する	R2.1(死亡104)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.2　死亡者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		航海日誌謄本提出日			受領日				届出人資格が、092(船長)のとき設定する
		報告日			受領日　又は 身元不明届出時受付日				本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱ)で、 身元不明届出時受付日 ≠ スペースの場合、身元不明届出時受付日を設定する。 上記以外で、届出人資格が、094(公設所の長の報告)～096(警察官の報告)のとき、受領日を設定する。
		報告者			届出人氏名				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の 送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	除籍	除籍日			処理日　又は　受領日				処理日 ≠ スペースの場合、 処理日を設定する。 本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱ)で、 在外送付区分 ＝ 0:受理分　かつ 関連受領番号≠スペースの場合、 受領日を設定する。 本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)で、 送付日 ＝ スペースの場合、 受領日を設定する。
	特記	特記事項			受領日 届出人資格名称 届出人氏名				本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)の場合、以下の編集後移送。 受領日 + 届出人資格名称 + 届出人氏名 + ″本籍追完(本籍分明)届出″
									*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.3　生存配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3:生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.4　生存配偶者(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								1を設定(RDBのみ)
	出力区分								
	タイトルコード								1602(配偶者の死亡)
	記録コード								1602(死亡者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	死亡日				*1
	配偶者の死亡	配偶者の死亡日			死亡日				
	婚姻	配偶者氏名							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							
									*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	5.1　9条2項(死亡者)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 死亡者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							16(死亡届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(死亡者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項) 死亡者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					16:(死亡届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	届出人コード一覧(死亡)		[職権記載は審査結果入力で行う]				

届出事件細別	届出義務者・届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	氏名	身分事項DB 届出資格	届出人	報告資格	報告者	航海日誌の謄本提出	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日 法施行による届出人資格の追加分は次頁に記載	同居の親族、その他の同居者、家主、地主、家屋若しくは土地管理人、同居の親族以外の親族	83	同居の親族	○	×	○	○	○	○	×	×		【届出日】平成4年... 【届出人】親族[氏名]	
		84	同居していない親族	○	×	82 親族		82 親族		ファイル項目にない。		×		
		85	同居者	○	×	○同居者	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】同居者[氏名]	
		86	家主	○	×	○家主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家主[氏名]	
		87	地主	○	×	○地主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】地主[氏名]	
		88	家屋管理人	○	×	○家屋管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家屋管理人[氏名]	
		89	土地管理人	○	×	○土地管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】土地管理人[氏名]	
航海中の死亡につき航海日誌の謄本の送付	船長	92	船長	○	×	○船長	○	×	×	×	×	○	【航海日誌の謄本提出日】 平成4年...	戸93条(戸56条) 「～丸船長」の形にはしない。
病院、その他の公設所において死亡した場合の死亡届	公設所の長	93	公設所の長の届出	○ *1	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】[氏名]	戸93条(戸56条) *1:公設所長名(個人名)を入力する
・公設所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届 ・刑務所又は拘置所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届														

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	届出人コード一覧(死亡)		[職権記載は審査結果入力で行う]				

在監者の死亡及び死刑執行による死亡報告	監獄の長 [在監者の死亡の場合は引取人がいないとき]	94	公設所の長の報告	○ *2	×	×	○	×	×	×	○	×	【報告日】平成4年... 【報告者】[氏名]	戸90条 *2:監獄長名(個人名)を入力する
・死刑の執行があった者につき、戸90条1項の規定により監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書 ・在監中の死亡者につき、戸90条2項の規定に監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書														
水難、火災その他の事変による死亡報告	取調官庁及び公署	95	取調官庁及び公署の報告	○*3 [警察署長]	×	×	○ [警察署長]	×	×	×	○ [警察署長]	×	【報告日】平成4年... 【報告者】[○○署長]	戸89条 *3:「○○署長」と入力する　※直接入力
本籍不分明者及び認識不能者の死亡報告又は分明報告	警察官	96	警察官の報告	○*4 [警察署長]	×	×	○ [警察署長]	×	×	×	○ [警察署長]	×	【報告日】平成4年... 【報告者】[○○署長]	戸92条1項、2項 *4:「○○署長」と入力する　※直接入力
職権記載 (届出資格/届出人がいない)		—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	届出人コード一覧(死亡)	［職権記載は審査結果入力で行う］					

届出事件細別	届出義務者・届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	受付帳 氏名	身分事項DB 届出資格	身分事項DB 届出人	身分事項DB 報告資格	身分事項DB 報告者	身分事項DB 船舶海難日本提出誌	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日 法施行による届出人資格の追加分	保佐人、 補助人、 任意後見人、 任意後見受任者、 後見人													
		63	保佐人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		116	補助人	○	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】［氏名］	
		117	任意後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		118	任意後見受任者	○	×	×	○	×	○	×	×	×		令和2年5月1日法施行による届出人資格の追加 R2.1(死亡104)
		30	後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		

ファイル項目にない。

第7.2.(5)「異動」処理

16.失踪宣告届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	36	「失踪宣告届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		35		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0	38	「失踪宣告届」	・審査_3.0審査 身分事項チェックの基準日を「確定日」から「死亡とみなされる日」に修正
4		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1～5.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	失踪宣告届

1.失踪業務処理範囲外の処理

(1)海難による行方不明者につき戸籍法第89条に規定する死亡があり戸籍に記録した後、同人につき失踪宣告の届出があり死亡とみなされた日が死亡報告と異なる日の記録

→ 別途、審査結果入力(失踪宣告者)及び訂正(先の死亡事項)で処理を行う

(2)戦時死亡宣告(未帰還者に対する特別措置法)による記録

→ 別途、審査結果入力で処理を行う

2.失踪宣告届出入力画面の意義

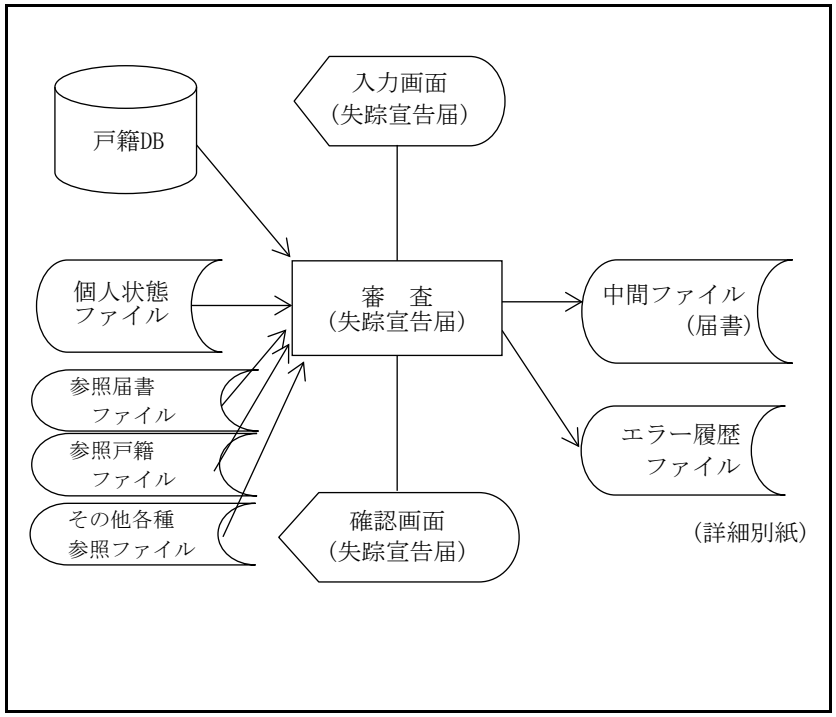
(1)生死不明となった年月日のうち月日が明示されていない失踪宣告の審判書を添付して失踪宣告の届出があった場合、「死亡とみなされる日」には失踪期間の始期を基に失踪期間満了日をもとめた後、入力を行う

3.その他

特になし

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(失踪宣告届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)失踪宣告届の内容を入力する
(2)失踪宣告届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)失踪宣告届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)失踪宣告届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(失踪宣告届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(失踪宣告届)
処理名	0.0　本紙

															備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する														/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)														/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]													/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]												/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする											/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]											/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]											(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)										/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する										(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する											メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する													
	NO															
PF1	→														(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→														(15)届出選択に制御を渡す
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)													/	送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(15-2)画像情報を表示する													(15-3)同画面を編集する
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する													
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する														(17)同画面を編集する 入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する														審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する														
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する														

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(失踪宣告届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(失踪宣告届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
10	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	カナ氏名	○	カナ				
12	漢字氏名	○	漢字				
13	死亡とみなされる日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	住所		漢字				
16	世帯主		漢字				
17	本籍	○	漢字				
18	筆頭者		漢字				
19	届出人資格	○	数字	(006:夫、007:妻、001:父、002:母、099:その他)であること			
20	その他の届出人資格名称		漢字				
21	届出人の氏名	○	漢字				
22	配偶者有無区分	○	数字	(0:無、1:有)であること			
23	配偶者外人区分		英数	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(失踪宣告届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(失踪宣告届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.9)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.16)筆頭者が入力されていること			
12	(No.9)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.17)本籍 ＝ 本籍であること			
13	(No.9)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.17)本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.9)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.16)筆頭者が未入力であること			
15	(No.22)配偶者有無区分 ＝ 1:有の場合、(No.23)配偶者外人区分 ≠ 空白であること			
16	(No.22)配偶者有無区分 ＝ 0:無の場合、(No.23)配偶者外人区分 ＝ 空白であること			
17	(No.10)生年月日 ≦ (No.13)死亡とみなされる日 ≦ (No.14)確定日 ≦ (No.2)受領日であること			
18	(No.15)住所 ＝ スペースの時、(No.16)世帯主 ＝ スペースであること			
18-1	(No.16)世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)住所 ≠ スペースであること			
19	(No.12)漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.18)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.12)漢字氏名の氏 ＝ (No.18)筆頭者の氏であること。			日本人の場合、実施する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(失踪宣告届)
処理名	3.0　審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する					(0-1-1)本紙へ	
YES	(0-2)→(0-4)へ			/		
NO	(0-3)→				(0-3-1)本紙へ	
(0-4)失踪者の外人区分＝0：日本人　かつ　失踪者の漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)				/		R2.1(失踪宣告-34)
YES	(0-4-1)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-4-2)本紙へ	R2.1(失踪宣告-34)
	YES	(0-4-3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-4-5)本紙へ	不受理、R2.1(失踪宣告-34)
	NO	(0-4-4)→				画面項目修正(審査完了しない) 、R2.1(失踪宣告-34)
NO	(0-4-6)→(0-5)へ			/		R2.1(失踪宣告-34)
(0-5)届出人資格は(001:父　002:母　006:夫　007:妻)であるか?(YES,NO)				/		
YES	(0-6) → (1)へ			/		
NO	(0-14)その他の届出人資格名称は「親族」か?(YES,NO)			/		
	YES	(0-8) → (1)へ		/		
	NO	(0-9)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人資格名称が親族以外です。よろしいですか?」を表示する			(0-9-1)本紙へ	
		YES	(0-10) → (1)へ	/		
		NO	(0-11) →		(0-12)本紙へ	
(1)外人区分は何か?(0:日本人、1:外国人)				/		
0	(2)本非区分は何か?(1:本籍、2:非本籍)			/		
	1	(3)届書の死亡者が除籍となっているか?(YES,NO)		/		［除籍者でないこと］
		YES	(4)エラーメッセージ 「届書の死亡者は既に除籍となっています。」を表示する		(5)本紙へ	
		NO	(6) → (7)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(失踪宣告届)
処理名	3.0　審査

							備考
		(7)失踪者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する		/			[失踪宣告の審判確定により死亡とみなされる日の後に発生した事件が記録されていないこと]　2.0(失踪宣告-38)
		(8)身分事項DBが終了するまで(9)～(16)を繰り返す		/			
			(9)死亡とみなされる日:身分事項DB･事件発生日は? (<、=、>、事件発生日未設定)	/			2.0(失踪宣告-38)
			< (10)確認メッセージ(YES,NO) 「失踪の記録前に失踪~~後~~宣告の審判確定により死亡とみなされる日の後に発生した身分事項が記録されています。」を表示する		(11)本紙へ		応答する　2.0(失踪宣告-38)
			= (12)確認メッセージ(YES,NO) 「失踪の記録前に失踪宣告の審判確定により死亡とみなされる日当日に発生した身分事項が記録されています。」を表示する		(13)本紙へ		応答する　2.0(失踪宣告-38)
			> (14) → (16)へ	/			
			事件発生日未設定 (15)確認メッセージ(YES,NO) 「事件発生日が不明の身分事項があります」を表示する		(15-1)本紙へ		応答する
			(16)次の身分事項を検索する	/			
		(17)失踪者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が1:有となっていない (YES,NO)		/			[失踪者に配偶者がいる場合画面の配偶者の有無区分が有となっていること]
		YES	(18)エラーメッセージ 「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」を表示する		(19)本紙へ		
		NO	→				
	2						
1							
(20)外人区分が(1:外国人)で 配偶者有無区分が(1:有) かつ 配偶者外人区分が(0:日本人) であるか?(YES,NO)				/			[外国人失踪者の日本人生存配偶者の処理]
YES	(21)メッセージ(YES,NO) 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」を表示する				(22)本紙へ		応答する
NO	→						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(失踪宣告届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

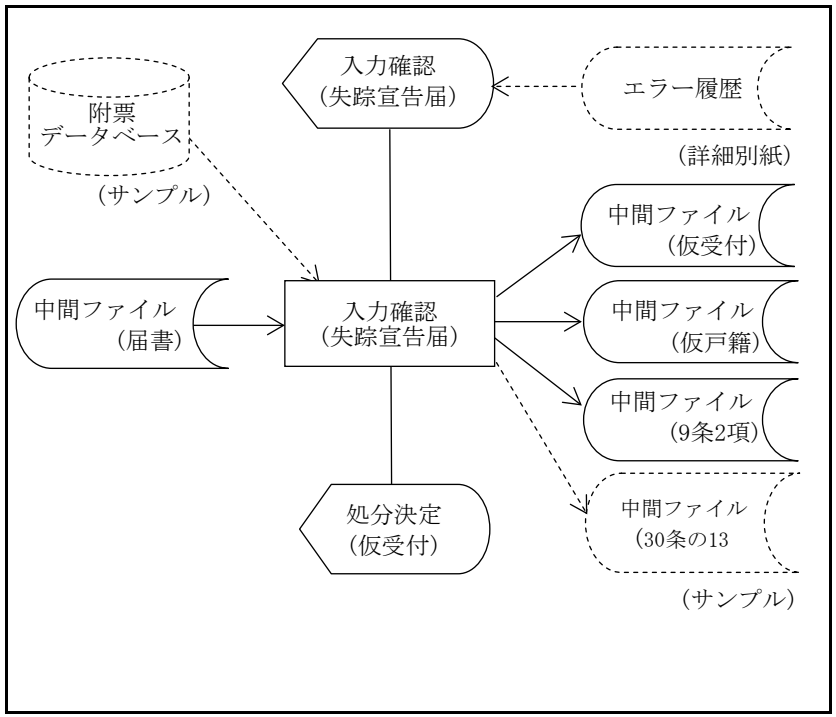
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		失踪宣告届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							17(失踪宣告届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、 0を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、 2(外国人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(失踪宣告届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							
中間ファイル(届書) 事件別内容	失踪者個人番号							
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡日			死亡とみなされる日				
	審判確定日			確定日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(失踪宣告届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 個人特定　失踪宣告者(配偶者区分)
  - 4.2 身分事項　失踪宣告者(除籍)
  - 4.3 個人特定　生存配偶者(配偶者区分)
  - 4.4 身分事項　生存配偶者(記録)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 失踪宣告者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 6.1 失踪宣告者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(失踪宣告届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、失踪者の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]		
	(5)失踪者が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定(失踪者の配偶者区分)	(7)失踪者の配偶者区分の編集		[4.1]	/	
		身分事項(失踪者の除籍)	(8)失踪者の除籍事項の編集		[4.2]	/	
		個人特定(生存配偶者の配偶者区分)	(9)生存配偶者の配偶区分の編集		[4.3]	/	失踪者に配偶者がいる場合
		身分事項(生存配偶者の記録)	(10)生存配偶者の記録事項の編集		[4.4]	/	失踪者に配偶者がいる場合
		(10.1)失踪者は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (10.1)(10.2)
		YES	(10.2)失踪者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する		[6.1]	/	
		NO	(10.3) → (11)			/	
	NO						
	(11)(在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付 である)　かつ(外人区分 ＝0:日本人 である)(YES,NO)					/	
	YES	(12)失踪者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する			[5.1]		(13)処分決定に制御を渡す
	NO	→					
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す
PF5	→						(16)審査(失踪宣告届)に制御を渡す
PF11	→						(17)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(17)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(18)同画面を編集する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	1.0　確認画面(失踪宣告届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
失踪宣告届 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡とみなされる日			死亡日		有		
	確定日			審判確定日		有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称					有		
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				
	届出人の氏名			届出人氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(失踪宣告届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						失踪者の戸籍　*1		
	失踪者		日本人	生存配偶者	失踪者以外に在籍者が存在する		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本以外籍人							
			有	無	有	無			
1	○			○	○		失踪者 (4.1、4.2)		
2	○			○		○		失踪者 (4.1、4.2)	
3	○		○		○		失踪者 (4.1、4.2)		生存配偶者 (4.3、4.4)
4 *2		○		○	－	－	－	－	－
5 *3		○	○		－	－	－	－	－

A.2:戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2:戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2:個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1:本籍の場合のみ処理し、非本籍の場合は処理しない。
*2:戸籍の処理は不要
*3:戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「失踪宣告届」の異動処理終了後(失踪者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
[申し出による市区町村長限りの職権記録]

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード							1701(失踪)
	受領日			送付日　又は　受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			審判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			届出人資格				
	届出人資格名称1			届出人資格名称				
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							32(失踪者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.1　失踪宣告者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0:未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1:除籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.2　失踪宣告者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1701(失踪宣告)
	記録コード								1701(失踪宣告者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				審判確定日				
	失宣踪告	死亡とみなされる日			死亡日				
		失踪宣告の裁判確定日			審判確定日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人 資格			届出人資格				
		届出人 資格名称			届出人資格名称				
		届出人 氏名			届出人氏名				届出人資格 ＝ 99(その他)の時、移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	除籍	除籍日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.3　生存配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3;生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.4　生存配偶者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1702(配偶者の失踪宣告)
	記録コード							1702(失踪宣告者の生存配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	配偶者の失踪宣告 配偶者の死亡とみなされる日			死亡日				
	婚姻 配偶者氏名							
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	除籍 除籍日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	5.1　9条2項(失踪宣告者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 失踪者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							17(失踪宣告届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(失踪宣告届)								
処理名	6.1　30条の13第1項(失踪宣告者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条13第1項) 失踪者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					17(失踪宣告届)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名								
	旧氏名			漢字氏名					
	新生年月日								
	旧生年月日			生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード								
	新本籍								
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者								
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード			住所コード					
	住所			住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

17.復氏届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	復氏31	「復氏届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_7.1 30条の13第1項(復氏者) ・入力確認_7.2 30条の13第1項(復氏者の配偶者)
2	2.0	令和3年度申し送り事項一覧№4	「復氏届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1～4.2

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	復氏届

1.復氏届の審査結果入力

・失踪宣告届の配偶者が再婚後に、失踪宣告の取消しを受けた者がする復氏届は審査結果入力処理で行う。

2.復氏届の審査

・夫婦の一方が死亡(失踪宣告を含む)し、生存配偶者が婚姻の際に氏を改めた者であることのシステム審査は、事件本人の配偶者区分、及び筆頭者区分で行う.

・事件本人が生存配偶者である場合以外は、すべて操作員の確認に依るものとする.

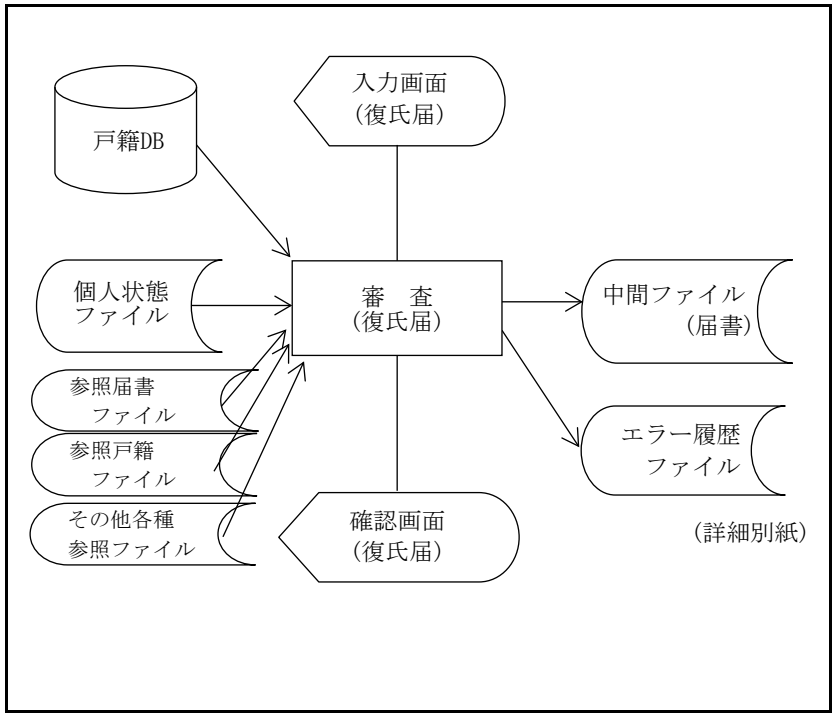
・復氏しようとする者の氏の妥当性は一部システムで審査するが、一般に操作員の確認に依るものとする.

3.その他

・帰化者等で復する氏がない場合は、入力画面の氏区分で[3:新しい氏]を選択する.

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(復氏届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)復氏届の内容を入力する
(2)復氏届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)復氏届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)復氏届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(復氏届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(復氏届)
処理名	0.0　本紙

										備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(復氏届)を編集する							(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する								
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(復氏届)を編集する							(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する								
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する							(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する									
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(復氏届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(復氏届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	カナ氏名	○	カナ				
11	漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
15	住所		漢字				
16	世帯主		漢字				
17	本籍	○	漢字				
18	筆頭者	○	漢字				
19	父氏名		漢字				
20	母氏名		漢字				
21	父母との続柄コード	○	数字	10～29、30～49であること			
22	復籍区分	○	英数	(1:もとの戸籍へ戻る、2:新戸籍編製)であること			
23	届後本籍	○	漢字				
24	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
25	氏区分	○	数字	(1:婚姻前の氏、2:転婚前の氏、3:新しい氏)であること			
26	復籍戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
26-2	異動後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未、1:生存配偶者)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(復氏届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(復氏届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	死亡配偶者カナ氏名	○	カナ				
28	死亡配偶者漢字氏名	○	漢字				
29	死亡配偶者死亡日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」　年月までが必須入力			
30	現在配偶者カナ氏名		カナ				
31	現在配偶者漢字氏名		漢字				
32	現在配偶者外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
33	現在配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
34	現在配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
35	現在配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	現在配偶者父氏名		漢字				
37	現在配偶者母氏名		漢字				
38	現在配偶者父母との続柄コード		数字	10～29、30～49であること			
39	現在配偶者住所		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(復氏届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(復氏届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.18)本籍 ＝ 管内　又は　(No.24)　届後本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.18)本籍 ＝ 管外　かつ　(No.24)　届後本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.12)漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.19)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.12)漢字氏名の氏 ＝ (No.19)筆頭者の氏であること。			
14				第8.3版により削除
15	(No.14)筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　＝ 2(妻)の時、 (No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ　(No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)であること			
16	(No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)の時、 (No.12)漢字氏名の名 ＝ (No.25)届後戸籍の筆頭者の名であること			
17	(No.26)氏区分 ＝ 3(新しい氏)の時、 (No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)であること			
18	(No.14)筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(復氏届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(復氏届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ スペース　の時、 (No.30)現在配偶者カナ氏名 ＝ スペース　かつ　(No.31)現在配偶者漢字氏名 ＝ スペース　かつ (No.33)現在配偶者筆頭者区分 ＝ スペース　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ スペース　かつ　(No.35)現在配偶者生年月日 ＝ スペース　かつ (No.36)現在配偶者父氏名 ＝ スペース　かつ　(No.37)現在配偶者母氏名 ＝ スペース　かつ (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ スペース　かつ (No.39)現在配偶者住所 ＝ スペースであること			配偶者外人区分がスペースであれば、現在の配偶者欄は全部スペースであること
20	(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.30)現在配偶者カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.31)現在配偶者漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.33)現在配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ≠ スペース　かつ　(No.35)現在配偶者生年月日 ≠ スペース　かつ (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ≠ スペースであること			
21	(No.36)現在配偶者父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.37)現在配偶者母氏名 ≠ スペース　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			第21版で一部条件を削除
22	(No.36)現在配偶者父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.37)現在配偶者母氏名 ≠ スペース　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			第21版で一部条件を削除
23				第8.3版により削除
24				第8.3版により削除
25	(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.12)漢字氏名の「氏」 ＝ (No.31)現在配偶者漢字氏名の「氏」であること			
26	(No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
27	(No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
28	(No.33)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)の時、 (No.26-1)復籍戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
29	(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)の時、 (No.26-2)異動後戸籍での配偶者区分 ＝ スペースであること			
30	(No.16)住所 ＝ スペースの時、(No.17)世帯主 ＝ スペースであること			
30-1	(No.17)世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)住所 ≠ スペースであること			第21版で追加
31	(No.24)届後本籍 ＝ 管内の時、(No.26-1)復籍戸籍での筆頭者区分 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(復氏届)							
処理名	3.0　審査						備考	
(0-0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する。							第11版により、(0-0-1)～(0-0-4)追加	
YES	(0-0-2)→(0-0-5)へ			/			R2.1(復氏29)	
NO	(0-0-3)→				(0-0-4)本紙へ			
(0-0-5)漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/			R2.1(復氏29)	
YES	(0-0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-0-7)本紙へ		R2.1(復氏29)	R2.1(復氏29)
	YES	(0-0-8)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-0-10)本紙へ		R2.1(復氏29)	
	NO	(0-0-9)→					画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(復氏29)	
NO	(0-0-11)→(0-1)へ			/			R2.1(復氏29)	
(0-1)(復氏者の)父氏名 ＝ スペース　又は　母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)				/			第8.3版(続柄記載更正(申出))により、(0)～(0-20)を追加	
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する							
	YES	(0-3)→(0-10)へ		/	(0-4)本紙へ			
	NO	→					不受理	
NO	(0-5)(復氏者の)父母との続柄コード ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)			/				
	YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			(0-8)本紙へ			
		YES	(0-7)→(0-10)へ	/				
		NO	→				不受理	
	NO	(0-9)→(0-10)へ		/				
(0-10)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である。(YES,NO)				/				
YES	(0-11)現在配偶者父氏名 ＝ スペース　又は　現在配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/				
	YES	(0-12)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する						
		YES	(0-13)→(1)へ	/	(0-14)本紙へ			
		NO	→				不受理	
	NO	(0-15)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/	(0-18)本紙へ			
		YES	(0-16)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(復氏届)
処理名	3.0　審査

								備考
			YES	(0-17)→(1)へ	/			
			NO	→				不受理
		NO		(0-19)→(1)へ	/			
NO	(0-20)→(1)				/			
(1)筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)					/			
YES	(2)配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)				/			
	0	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は復氏できますか?」を表示する				(4)本紙へ		
		YES	(5) → (20)へ		/			
		NO	→					不受理
	1,2	(6)エラーメッセージ 「復氏することができません」を表示する						
	3	(7)本籍が管内である(YES,NO)			/			
		YES	(8)身分事項DBに婚姻事項がある(YES,NO)		/			
			YES	(9)氏区分 ＝ 1(婚姻前の氏に復する)である(YES,NO)	/			
				YES	(10)届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＝ 婚姻事項の「従前戸籍の筆頭者」項目の「氏」である(YES,NO)	/		
				YES	(11)→(17)へ	/		
				NO	(11-1)復籍区分(1:元の戸籍へ戻る、2:新戸籍編製)	/		
					1 (12)確認メッセージ(YES,NO) 「復籍する戸籍に間違いはありませんか?」を表示する		(13)本紙へ	
					YES (14)→(20)へ	/		
					NO →			不受理
					2 (14.1)確認メッセージ(YES,NO) 「復する氏に間違いはありませんか?」を表示する		(14.2)本紙へ	
					YES (14.3)→(20)へ	/		
					NO →	/		不受理
				NO	(14.4)→(20)へ	/		
			NO		(15)→(20)へ	/		
		NO			(16)→(20)へ	/		
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は復氏できますか?」を表示する						(18)本紙へ	
	YES	(19)→(20)へ				/		
	NO	→						不受理
(20)復籍区分 ＝ 1(もとの戸籍に戻る)である(YES,NO)						/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(復氏届)

処理名	3.0　審査			備考
YES	(20.1)本籍が管内である(YES,NO)	/		平成15年法律第111号3条
YES	(20.2)身分事項DBに性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		
YES	(20.3)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する。			
YES	(20.4)→(21)へ	/		
NO	→		(20.5)本紙へ	不受理
NO	(20.6)→(21)へ	/		
NO	(20.7)→(21)へ	/		
(21)届後本籍 ＝ 管内である(YES,NO)		/		
YES	(22)戻る戸籍は全部除籍になっている(YES,NO)	/		
YES	(23)エラーメッセージ 「もとの戸籍が除籍になっています」を表示する		(24)本紙へ	戸19I
NO	(25)戸籍DBに記録されている者について順次(25.1)～(25.6)の処理を繰り返す	/		【復籍戸籍での筆頭者区分のチェック】
	(25.1)個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		戻る戸籍が管内にある場合は、戻る戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする
YES	(25.2)復籍戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		筆頭者がいれば、復籍戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない
YES	(25.3)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(25.4)本紙へ	
NO	(25.5)→(26)へ	/		
NO	(25.6)→(25)へ	/		
(25.7)→(26)へ		/		
NO	(25.8)→(26)へ	/		
NO				
(26)→本紙へ				第8.3版(続柄記載更正(申出))により、(27)～(29)はロジックが削除されているため削除

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		復氏届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							18(復氏届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0(日本人のみ)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされている場合に設定
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

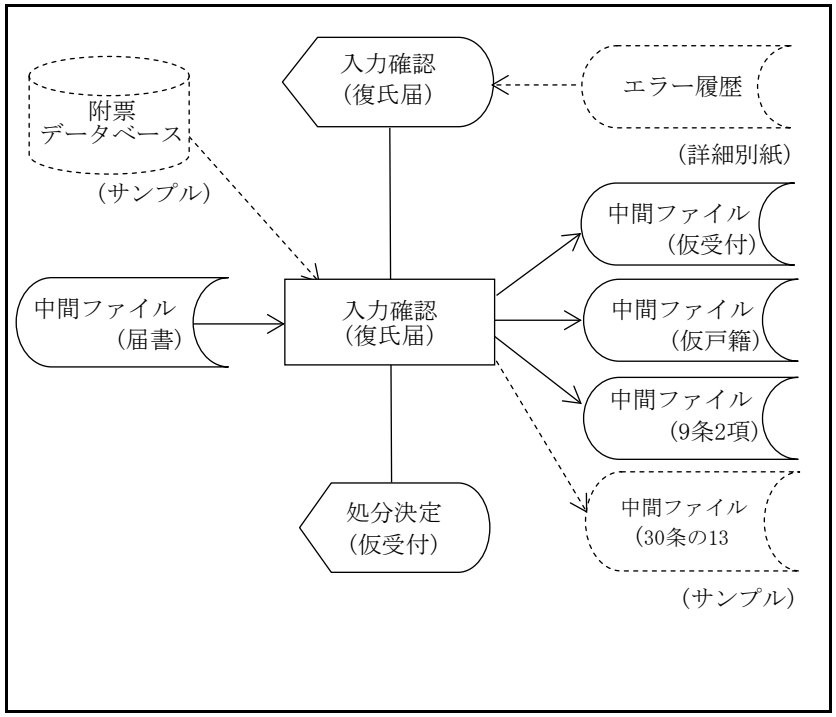
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件本人	復氏者個人番号							本籍人のとき個人番号を設定
	カナ氏名		復氏届入力画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	復籍区分			復籍区分				
	届後本籍コード			届後本箱				
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者カナ氏名							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	氏区分			氏区分				
	復籍戸籍での筆頭者区分			復籍戸籍での筆頭者区分				
	異動後戸籍での配偶者区分			異動後戸籍での配偶者区分				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者死亡日			死亡配偶者死亡日				
	現在配偶者個人番号							本籍人のとき個人番号を設定
	現在配偶者カナ氏名			現在配偶者カナ氏名				
	現在配偶者漢字氏名			現在配偶者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	現在配偶者外人区分			現在配偶者外人区分				
	現在配偶者筆頭者区分			現在配偶者筆頭者区分				
	現在配偶者配偶者区分			現在配偶者配偶者区分				
	現在配偶者生年月日			現在配偶者生年月日				
	現在配偶者父氏名			現在配偶者父氏名				
	現在配偶者母氏名			現在配偶者母氏名				
	現在配偶者父母との続柄コード			現在配偶者父母との続柄コード				
	現在配偶者住所コード			現在配偶者住所				
	現在配偶者住所							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 復氏者(入籍)
  - 4.2 復氏者(除籍)
- 5.0データ 編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1 復氏者の配偶者(入籍)
  - 5.2 復氏者の配偶者(除籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 復氏者
  - 6.2 復氏者の配偶者
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 7.1 復氏者
  - 7.2 復氏者の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(復氏届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認面面に出力し、メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する				[3.0]	/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/	
		身分事項(入籍)	(7)事件本人の入籍事項の編集		[4.1]	/	
		身分事項(除籍)	(8)事件本人の除籍事項の編集		[4.2]	/	
		身分事項(配偶者の入籍)	(9)事件本人の配偶者の入籍事項の編集		[5.1]	/	
		身分事項(配偶者の除籍)	(10)事件本人の配偶者の除籍事項の編集		[5.2]	/	
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (10-1)～(10-6)
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する		[7.1]	/	
		NO	(10-3)　→　(10-4)へ			/	
		(10-4)現在配偶者外人区分 ＝ 0 （日本人） である (YES,NO)				/	
		YES	(10-5)復氏者の配偶者は在外選挙人である (YES,NO)			/	
			YES	(10-6)復氏者の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[7.2]	/	
			NO	(11)→(12)へ		/	
		NO					
	NO						
	(12)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である (YES,NO)					/	
	YES	(13)復氏者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			[6.1]	/	
		(14)現在配偶者外人区分 ＝ 0 （日本人)である (YES,NO)				/	
		YES	(15)復氏者の配偶者ついて中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[6.2]		(16)処分決定に制御を渡す
		NO	→				
	NO	→					
PF1	→						(17)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(18)届出選択に制御を渡す
PF5	→						(19)審査(復氏届)に制御を渡す

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF7	(20)前ページがある (YES,NO)			/				
	YES	(21)前ページ分の確認画面(復氏届)を編集する			(22)同画面を編集する			
	NO	(23)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(24)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(25)次ページ分の確認画面(復氏届)を編集する			(26)同画面を編集する			
	NO	(27)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→				(28)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(29)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(30)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	1.0　確認画面(復氏届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
復氏届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		
	筆頭者名称							
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	配偶者名称							
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	1.0　確認画面(復氏届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	父母との続柄コード			父母との続柄コード		有		
	父母との続柄名称							
	復籍区分			復籍区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	氏区分			氏区分				
	復籍戸籍での筆頭者区分			復籍戸籍での筆頭者区分				
	異動後戸籍での配偶者区分			異動後戸籍での配偶者区分				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者死亡日			死亡配偶者死亡日		有		
	現在配偶者カナ氏名			現在配偶者カナ氏名				
	現在配偶者漢字氏名			現在配偶者漢字氏名				
	現在配偶者外人区分			現在配偶者外人区分				
	現在配偶者筆頭者区分			現在配偶者筆頭者区分				
	現在配偶者筆頭者名称					有		
	現在配偶者配偶者区分			現在配偶者配偶者区分				
	現在配偶者配偶者名称					有		
	現在配偶者生年月日			現在配偶者生年月日		有		
	現在配偶者父氏名			現在配偶者父氏名				
	現在配偶者母氏名			現在配偶者母氏名				
	現在配偶者父母との続柄コード			現在配偶者父母との続柄コード				
	現在配偶者続柄名称					有		
	現在配偶者注所			現在配偶者住所コード		有		
				現在配偶者住所				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(復氏届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件														復氏者の現在の戸籍		復籍する戸籍	
	復氏者の本籍		筆頭者区分		配偶者区分		復籍区分				*1							
	本籍	非本籍	構成員	筆頭者	夫 OR 妻	未 OR 生存配偶者	もとの戸籍に戻る		新戸籍を編製する		日本人配偶者		配偶者の在籍者以外		一部除籍 C.2	*2 全部除籍 A.2 B.2 C.2	*2 一部記録 C.1 D.1	*3 新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
							本	非	本	非	有	無	有	無				
1	○	×	○	×	×	○	○				－	－	○	×	本人(4.2)		本人(4.1)	
1-1	○	×	○	×	×	○		○			－	－	○	×	本人(4.2)			
1-2	×	○	○	×	×	○	○				－	－	－	－			本人(4.1)	
1-3	×	○	○	×	×	○		○			－	－	－	－				
2	○	×	○	×	×	○	○				－	－	×	○		本人(4.2)	本人(4.1)	
2-1	○	×	○	×	×	○		○			－	－	×	○		本人(4.2)		
3	○	×	○	×	×	○			○		－	－	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
3-1	○	×	○	×	×	○				○	－	－	○	×	本人(4.2)			
3-2	×	○	○	×	×	○			○		－	－	－	－				本人(4.1)
3-3	×	○	○	×	×	○				○	－	－	－	－				
4	○	×	○	×	×	○			○		－	－	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
4-1	○	×	○	×	×	○				○	－	－	×	○		本人(4.2)		
5	○	×	×	○	×	○	○				－	－	○	×	本人(4.2)		本人(4.1)	
5-1	○	×	×	○	×	○		○			－	－	○	×	本人(4.2)			
5-2	×	○	×	○	×	○	○				－	－	－	－			本人(4.1)	
5-3	×	○	×	○	×	○		○			－	－	－	－				
6	○	×	×	○	×	○	○				－	－	×	○		本人(4.2)	本人(4.1)	
6-1	○	×	×	○	×	○		○			－	－	×	○		本人(4.2)		
7	○	×	×	○	×	○			○		－	－	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
7-1	○	×	×	○	×	○				○	－	－	○	×	本人(4.2)			
7-2	×	○	×	○	×	○			○		－	－	－	－				本人(4.1)
7-3	×	○	×	○	×	○				○	－	－	－	－				
8	○	×	×	○	×	○			○		－	－	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
8-1	○	×	×	○	×	○				○	－	－	×	○		本人(4.2)		
9	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	本人(4..2) 配偶者(5.2)			本人(4.1) 配偶者(5.1)

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(復氏届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件														復氏者の現在の戸籍		復籍する戸籍	
	復氏者の本籍		筆頭者区分		配偶者区分		復籍区分				*1 日本人配偶者		配偶者の在籍者以外			*2	*2	*3
	本籍	非本籍	構成員	筆頭者	夫 OR 妻	未 OR 生存配偶者	もとの戸籍に戻る		新戸籍を編製する						一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記録 C.1 D.1	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
							本	非	本	非	有	無	有	無				
9-1	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	本人(4.2) 配偶者(5.2)			
9-2	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	-	-				本人(4.1) 配偶者(5.1)
9-3	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	-	-				
10	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○		本人(4.2) 配偶者(5.2)		本人(4.1) 配偶者(5.1)
10-1	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○		本人(4.2) 配偶者(5.2)		
11	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
12	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	本人(4.2)			
13	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	-	-				本人(4.1)
14	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	-	-				
15	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
16	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○		本人(4.2)		

*1　日本人配偶者がある場合、配偶者は事件本人とともに随従除籍、随従入籍となる。
*2　配偶者についてはA.2、B.2は行わずC.2、5.2のみを行う。
*3　配偶者についてはA.1、B.1は行わずC.1、D.1、5.1のみを行う。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1801(復氏)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							復籍区分 ＝ 1のとき1を設定 復籍区分 ＝ 2のとき2を設定
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1							届後戸籍が非本籍なら　1　を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							34(生存配偶者)
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	送達確認2							本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	4.1　復氏者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1801(復氏)
	記録コード								1801(復氏者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	復氏	婚姻前の氏に復した日			受領日				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍コード		有		
					本籍				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	4.2　復氏者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1801(復氏)
	記録コード								1801(復氏者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	復氏	婚姻前の氏に復した日			受領日				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(復氏届)								
処理名	4.2　復氏者(除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍 新本籍				届後本籍コード		有		復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)のとき
					届後本籍				
	除戸籍 復する氏					･婚姻前の氏(氏区分 ＝ 1)のとき、設定不要 ･転婚前の氏(氏区分 ＝ 2)で新戸籍編製(復籍区分 ＝ 2)のとき、届後戸籍の筆頭者の「氏」を設定 ･新しい氏(氏区分 ＝ 3)のとき (1)漢字氏名の「氏」 ≠ 届後戸籍の筆頭者の「氏」なら、届後戸籍の筆頭者の「氏」を設定 (2)漢字氏名の「氏」 ＝ 届後戸籍の筆頭者の「氏」なら、設定不要				
	入籍戸籍 本籍				届後本籍コード		有		復籍区分 ＝ 1(もとの戸籍に戻る)のとき
					届後本籍				
	入籍戸籍 筆頭者				届後戸籍の筆頭者				
	記録 記録日								
	特記 特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	5.1　復氏者の配偶者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1802(配偶者の復氏)
	記録コード								1802(復氏者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がない場合は送付日を設定 送付日がない場合は受領日を設定
		入籍事由							″夫(妻)の復氏届出″
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍コード		有		
					本籍				
		筆頭者			筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	5.2　復氏者の配偶者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1802(配偶者の復氏)
	記録コード								1802(復氏者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がない場合は送付日を設定 送付日がない場合は受領日を設定
		除籍事由							″夫(妻)の復氏届出″
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			届後本籍コード		有		
					届後本籍				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	6.1　9条2項(復氏者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 復氏者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							18(復氏届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	6.2　9条2項(復氏者の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 復氏者の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			現在配偶者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							18(復氏届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 現在配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			現在配偶者漢字氏名				
	新生年月日			現在配偶者生年月日				
	旧生年月日			現在配偶者生年月日				
	新父母との続柄			現在配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			現在配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			現在配偶者住所コード				
	住所			現在配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)								
処理名	7.1　30条の13第1項(復氏者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					18(復氏届)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 漢字氏名の名					
	旧氏名			漢字氏名					
	新生年月日								
	旧生年月日			生年月日					
	新性別								
	旧性別							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	新本籍コード			届後本籍コード					
	新本籍			届後本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者					
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード			住所コード					
	住所			住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	7.2　30条の13第1項(復氏者の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					18(復氏届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 現在配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			現在配偶者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			現在配偶者生年月日				
	新性別							
	旧性別							現在配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			現在配偶者住所コード				
	住所			現在配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

18.姻族関係終了届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	24	「姻族関係終了届」	「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
2	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「姻族関係終了届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_3.1

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	姻族関係終了届

1.姻族関係終了届の審査結果入力

2.姻族関係終了届の審査

・事件本人が生存配偶者でない場合、死亡配偶者と婚姻していたことは、操作員に確認してもらう.

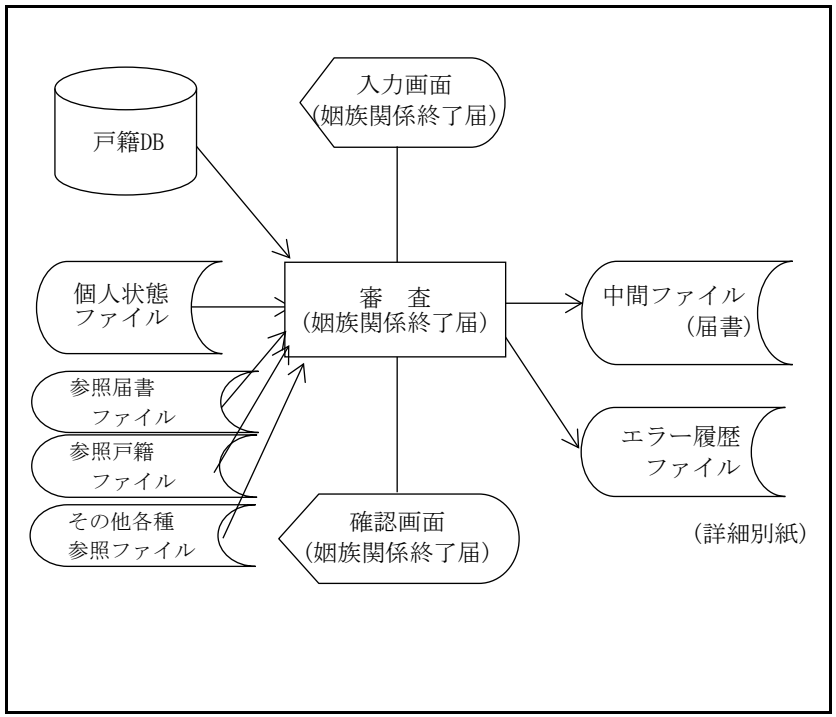
・姻族関係終了届が受理できるか、最後に確認メッセージを表示し、操作員に必ず確認してもらう.

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)姻族関係終了届の内容を入力する
(2)姻族関係終了届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)姻族関係終了届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)姻族関係終了届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(姻族関係終了届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、 届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届 書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する					(15-3)同画面を編集する		
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する								
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(姻族関係終了届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	カナ氏名	○	カナ				
11	漢字氏名	○	漢字				
12	外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者		漢字				
16	死亡配偶者カナ氏名	○	カナ				
17	死亡配偶者漢字氏名	○	漢字				
18	死亡配偶者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
19	死亡年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」年月まで必須入力			
20	同籍区分		数字	(0:同一戸籍、1:他戸籍)であること			
21	死亡配偶者本籍		漢字				
22	死亡配偶者筆頭者		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(姻族関係終了届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.14)本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.14)本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)筆頭者 ≠ スペースであること			
15	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)筆頭者 ＝ スペースであること			
16	(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.20)同籍区分 ≠ スペースであること			
16-1	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)　又は　(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.20)同籍区分 ＝ スペースであること			
17	(No.20)同籍区分 ＝ 0(同一戸籍) の時、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ スペース　かつ　(No.22)死亡配偶者筆頭者 ＝ スペース　又は (No.14)本籍 ＝ (No.21)死亡配偶者本籍　かつ　(No.15)筆頭者 ＝ (No.22)死亡配偶者であること			
18	(No.20)同籍区分 ＝ 1(他戸籍) の時、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ 本籍　かつ　(No.22)死亡配偶者筆頭者 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(姻族関係終了届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人) の時、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ 国籍　かつ　(No.22)死亡配偶者筆頭者 ＝ スペースであること			
20	(No.11)漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.15) 筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.11)漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること。			日本人の場合、実施する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(姻族関係終了届)
処理名	3.0　審査

					備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する			(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ		/		R2.1(姻族21)
NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	
(0-6)外人区分=0:日本人 かつ 漢字氏名の名が未入力(YES,NO)			/		R2.1(姻族21)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-8)本紙へ	
YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-10)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ		/		
(1)外人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「姻族関係終了を認めたその国の証明書が添付されていますか」を表示する			(3)本紙へ	
YES	(4) → (6)へ		/		
NO	(4-1) →			(4-2)本紙へ	不受理
NO	(5) → (6)へ		/		
(6)死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/		
YES	(7)死亡配偶者本籍 ＝ 管内である(YES,NO)		/		
YES	(7-1)死亡配偶者はシステム化後の戸籍にいる(YES,NO)		/		システム化前に死亡している者(構成員)はセットアップ対象外であるため、審査できない
YES	(8)個人除区分 ≠ 0(在籍者以外)である(YES,NO)		/		
YES	(9) → (21)へ		/		
NO	(10)エラーメッセージ 「姻族関係を終了する配偶者は死亡(失踪)していません」を表示する			(11)本紙へ	
NO	(12) → (21)へ		/		
NO	(12-1) → (21)へ		/		
NO	(13) → (21)へ		/		
(14)			/		(14)～(20)は削除
	(15)		/		
	(16)		/	(17)	
	(18)		/		
	(19)		/		
	(20)		/		

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(姻族関係終了届)						
処理名	3.0　審査					備考	
(21)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡(失踪)した者と婚姻していたことを確認しましたか?」を表示する				(22)本紙へ			
YES	(22-1) →						
NO	(22-2) →					不受理	

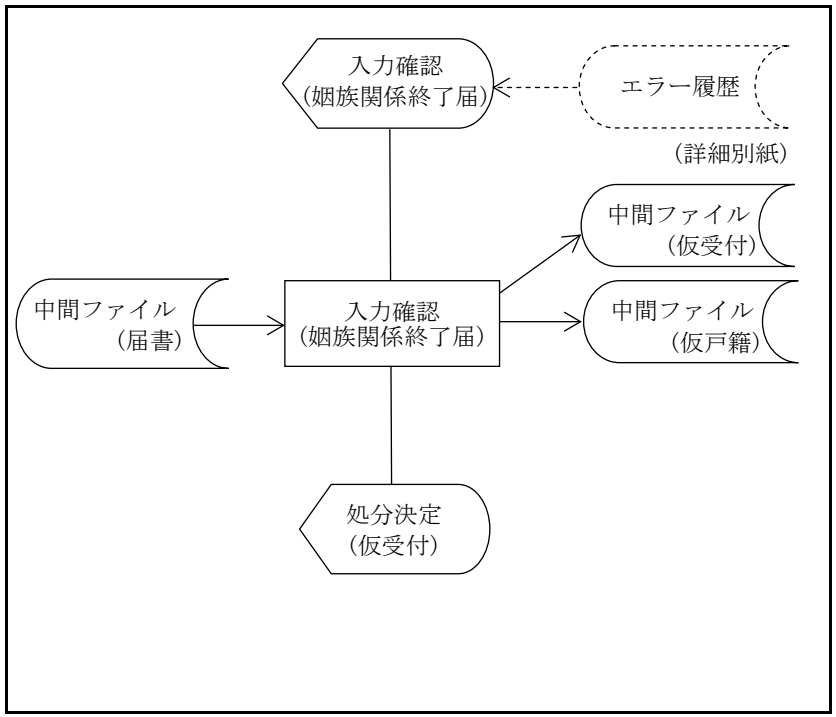
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		姻族関係終了届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							19(姻族関係終了届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							外国人区分 ＝ 0なら0(日本人のみ) 外国人区分 ＝ 1なら2(外国人のみ)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされている場合に設定
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(姻族関係終了届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件本人	個人番号			個人番号				本籍人の場合個人番号を設定
	カナ氏名		姻族関係終了届 入力画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者外人区分			死亡配偶者外人区分				
	死亡年月日			死亡年月日				
	同籍区分			同籍区分				
	死亡配偶者本籍コード			死亡配偶者本籍				
	死亡配偶者本籍							
	死亡配偶者筆頭者			死亡配偶者筆頭者				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(姻族関係終了届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 身分事項(一部記録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[2.0]	/				
	(4)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/			非本籍人及び外国人は記録不要	
		(6)身分事項を編集する(一部記録)	[3.1]		(7)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)審査(姻族関係終了届)に制御を渡す			
PF11	→				(11)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(13)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	1.0　確認画面(姻族関係終了届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
姻族関係終了届 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者外人区分			死亡配偶者外人区分				
	死亡年月日			死亡年月日		有		
	同籍区分			同籍区分				
	死亡配偶者本籍			死亡配偶者本籍コード		有		
				死亡配偶者本籍				
	死亡配偶者筆頭者			死亡配偶者筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1901(姻族関係終了)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							34(生存配偶者)
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき) 外国人の場合は0を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	3.1　姻族関係終了者(一部記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1901(姻族関係終了)
	記録コード							1901(姻族関係の終了した生存配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日		中間ファイル(届書)	受領日				
	死亡配偶者の親族との姻族関係終了日			受領日				
	姻族関係終了 死亡配偶者氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	姻族関係終了 死亡配偶者 死亡の戸籍 本籍			死亡配偶者本籍コード		有		死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の場合に設定 (同籍区分 ＝ 0の場合は設定不要)
				死亡配偶者本籍				
	姻族関係終了 死亡配偶者 筆頭者			死亡配偶者筆頭者				同上
	姻族関係終了 死亡配偶者の国籍			死亡配偶者本籍				死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の場合に設定
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	記録 記録日			処理日				
	特記 特記事項							

第7.2.(5)「異動」処理

19.推定相続人廃除届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	「推定相続人廃除届」	「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
2	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「婚姻届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_3.1

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	推定相続人廃除届					

1.推定相続人廃除届の審査結果入力

・届出がない場合(管轄局の許可を得て記録する場合等)は、審査結果入力で処理を行う。

2.推定相続人廃除届の審査

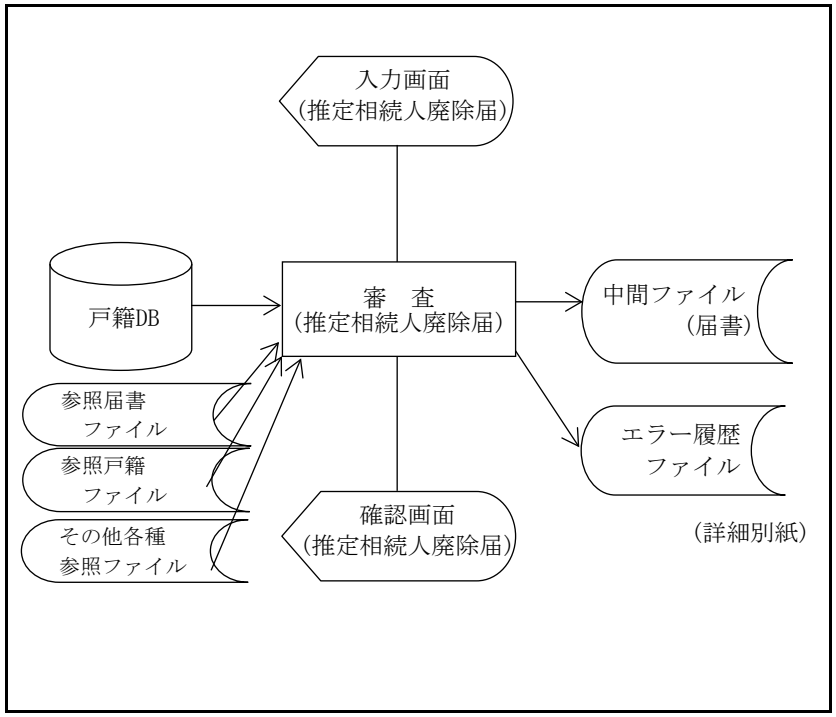
・審判確定(調停成立)の日から10日以内の届出であることの審査を行う。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(推定相続人廃除届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)推定相続人廃除届の内容を入力する
(2)推定相続人廃除届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)推定相続人廃除届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)推定相続人廃除届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(推定相続人廃除届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(推定相続人廃除届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する							/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す			
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する						(15-3)同画面を編集する			
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する		入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(推定相続人廃除届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(推定相続人廃除届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被廃除者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	被廃除者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	被廃除者カナ氏名	○	カナ				
13	被廃除者漢字氏名	○	漢字				
14	被廃除者本籍	○	漢字				
15	被廃除者筆頭者		漢字				
16	廃除者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
17	廃除者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	廃除者資格区分	○	数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、099:その他)であること			
19	廃除者資格名称		漢字				
20	廃除者カナ氏名	○	カナ				
21	廃除者漢字氏名	○	漢字				
22	廃除者本籍	○	漢字				
23	廃除者筆頭者		漢字				16版修正 No24:裁判区分 1:調停を削除 →家事事件手続法第244条により
24	裁判種別	○	数字	(2:審判)であること			
25	裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	届出人資格	○	数字	(090:廃除した人、091:遺言執行者、098:廃除された人、			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(推定相続人廃除届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				入力画面(推定相続人廃除届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
				099:その他)であること			
27	届出人資格名称		数字				
28	届出人氏名	○	漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(推定相続人廃除届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(推定相続人廃除届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本籍区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.14)被廃除者本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本籍区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)被廃除者本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.8)本籍区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.14)被廃除者本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)被廃除者筆頭者 ≠ スペースであること			
15	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)被廃除者筆頭者 ＝ スペースであること			
15-1	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.13)被廃除者漢字氏名の氏 ＝ (No.15)被廃除者筆頭者の氏であること			
16	(No.18)廃除者資格区分 ＝ 099の時、(No.19)廃除者資格名称 ≠ スペース であること			
17	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.22)廃除者本籍 ＝ 本籍　かつ　(No.23)廃除者筆頭者 ≠ スペース であること			
18	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.22)廃除者本籍 ＝ 国籍　かつ　(No.23)廃除者筆頭者 ＝ スペース であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(推定相続人廃除届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(推定相続人廃除届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18-1	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)廃除者漢字氏名の氏 ＝ (No.23)廃除者筆頭者の氏であること			
19	(No.26)届出人資格 ＝ 090(廃除した人)の時、 (No.28)届出人氏名 ＝ (No.21)廃除者漢字氏名であること			
19-1	(No.26)届出人資格 ＝ 098(廃除された人)の時、 (No.28)届出人氏名 ＝ (No.13)被廃除者漢字氏名であること			
20	(No.26)届出人資格 ＝ 099(その他)の時、(No.27)届出人資格名称 ≠ スペースであること			
20-1	(No.26)届出人資格 ＝ 091(遺言執行者) 又は (No.26)届出人資格 ＝ 099(その他)の時、 (No、28)届出人氏名 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(推定相続人廃除届)
処理名	3.0　審査

							備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-3)→(0-7)へ			/		R2.1(推相廃14)
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ				/		R2.1(推相廃14)
(0-7)被廃除者外人区分=0:日本人 かつ 被廃除者漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)					/		R2.1(推相廃14)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示する					(0-9)本紙へ	R2.1(推相廃14)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-12)本紙へ	不受理 R2.1(推相廃14)
	NO	(0-11)→					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(推相廃14)
NO	(0-13)→(1)へ				/		R2.1(推相廃14)
(1)被廃除者は本籍人である。(YES,NO)					/		
YES	(2)廃除者資格区分(001:父、002:母、010:養父、011:養母)				/		
	001:父	(3)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の父氏名(YES,NO)			/		
		YES	(4)→(24)へ		/		
		NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する			(6)本紙へ	
			YES	(7)→(24)へ	/		
			NO	→			不受理
	002:母	(8)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の母氏名(YES,NO)			/		
		YES	(9)→(24)へ		/		
		NO	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する			(11)本紙へ	
			YES	(12)→(24)へ	/		
			NO	→			不受理
	010:養父	(13)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の養父氏名(YES,NO)			/		
		YES	(14)→(24)へ		/		
		NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する			(16)本紙へ	
			YES	(17)→(24)へ	/		
			NO	→			不受理

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(推定相続人廃除届)					
処理名				3.0 審査				備考	
	011:養母			(18)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の養母氏名(YES,NO)	/				
		YES		(19)→(24)へ	/				
		NO		(20)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」 を表示する		(21)本紙へ			
			YES	(22)→(24)へ	/				
			NO	→				不受理	
NO	(23)→(24)へ				/				
(24)届出人資格(090:廃除した人、091:遺言執行者、098:廃除された人、099:その他)					/				
090	(25)→(38)へ				/				
091	(26)廃除者は本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(26.1)廃除者はシステム化後の戸籍にいる(YES,NO)			/			システム化前に死亡している者(構成員)はセットアップ対象外であるため、審査できない	
		YES	(27)個人除区分 ≠ 0(在籍者以外)である(YES,NO)		/				
			YES	(28) → (38)へ	/				
			NO	(29)エラーメッセージ 「廃除者は死亡(失踪)していないので、遺言執行者は届出人になれません。」 を表示する		(30)本紙へ		民893	
		NO		(29.1) → (38)へ	/				
	NO	(31) → (38)へ			/				
098	(32)確認メッセージ(YES,NO) 「本来、廃除される者が届出人になることはできません。よろしいですか?」を表示する							法97(法63①の準用)、法63②の準用はない 裁判請求者:民892、893 本例(S35.1.7民事甲第17号民事局長回答)	
	YES	(33) → (38)へ			/				
	NO	→				(34)本紙へ		不受理	
099	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「通常、廃除者か、遺言執行者しか届出人になることはできません。よろしいですか?」 を表示する							民892、893 本例は民895①の適用である (S36.7.3民事甲第1578号民事局長回答)	
	YES	(36) → (38)へ			/				
	NO	→				(37)本紙へ		不受理	
(38)裁判確定日から10日以内の届出である(YES,NO)					/			法97(法63①の準用)	
YES	→					(39)本紙へ			
NO	(40)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する							審査続行	

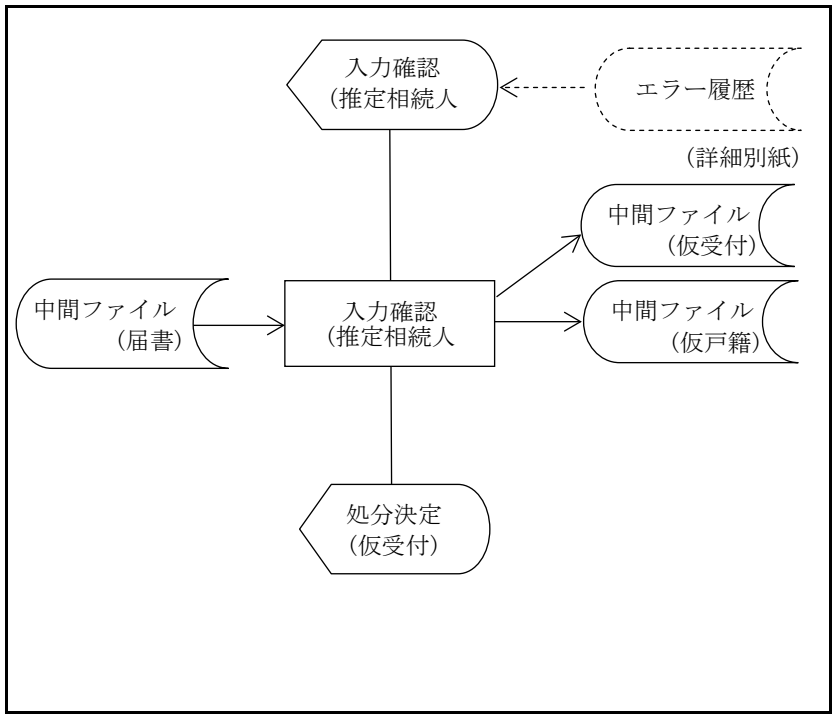
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(推定相続人廃除届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		推定相続人廃除届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							20(推定相続人廃除届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の場合、0を設定 被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の場合、2(外国人のみ)を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(推定相続人廃除届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	決裁区分								何も設定されていない場合に0:未決済を設定
	届書排他区分								
中間ファイル(届書) 事件本人	被廃除者個人番号								本籍人の場合個人番号を設定
	被廃除者外人区分			推定相続人廃除届 入力画面	被廃除者外人区分				
	被廃除者生年月日				被廃除者生年月日				
	被廃除者カナ氏名				被廃除者カナ氏名				
	被廃除者漢字氏名				被廃除者漢字氏名				
	被廃除者本籍コード				被廃除者本籍				
	被廃除者本籍								
	被廃除者筆頭者				被廃除者筆頭者				
	廃除者個人番号				廃除者個人番号				本籍人の場合個人番号を設定
	廃除者外人区分				廃除者外人区分				
	廃除者生年月日				廃除者生年月日				
	廃除者資格区分				廃除者資格区分				
	廃除者資格名称				廃除者資格名称				
	廃除者カナ氏名				廃除者カナ氏名				
	廃除者漢字氏名				廃除者漢字氏名				
	廃徐者本籍コード				廃除者本籍				
	廃除者本籍								
	廃除者筆頭者				廃除者筆頭者				
	裁判種別				裁判種別				
	裁判確定日				裁判確定日				
	届出人資格				届出人資格				
	届出人資格名称				届出人資格名称				
	届出人氏名				届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 身分事項(一部記録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[2.0]	/				
	(4)被廃除者が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/			非本籍人及び外国人は記録不要	
		(6)身分事項を編集する(一部記録)	[3.1]		(7)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)審査(推定相続人廃除届)に制御を渡す			
PF11	→				(11)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(13)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	1.0　確認画面(推定相続人廃除届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
推定相続人廃除届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	被廃除者外人区分		中間ファイル(届書)事件別内容	被廃除者外人区分				
	被廃除者生年月日			被廃除者生年月日		有		
	被廃除者カナ氏名			被廃除者カナ氏名				
	被廃除者漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	被廃除者本籍			被廃除者本籍コード		有		
				被廃除者本籍				
	被廃除者筆頭者			被廃除者筆頭者				
	廃除者外人区分			廃除者外人区分				
	廃除者生年月日			廃除者生年月日		有		
	廃除者資格区分			廃除者資格区分				
	廃除者資格名称			廃除者資格名称				
	廃除者カナ氏名			廃除者カナ氏名				
	廃除者漢字氏名			廃除者漢字氏名				
	廃除者本籍			廃除者本籍コード		有		
				廃除者本籍				
	廃除者筆頭者			廃除者筆頭者				
	裁判種別			裁判種別				
	裁判確定日			裁判確定日		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	1.0　確認画面(推定相続人廃除届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				098のとき｢廃除された者｣を表示
	届出人氏名			届出人氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							裁判種別 ＝ 1(調停)であれば 2001(推定相続人廃除(調停)) 裁判種別 ＝ 2(審判)又は3(判決)で あれば2002(推定相続人廃除(裁判))
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							届出人資格 ＝ 090であれば 入力された廃除者資格区分を設定 届出人資格 ＝ 091であれば 091(遺言執行者)を設定 届出人資格 ＝ 098であれば 届出人資格区分1は未設定 届出人資格 ＝ 099であれば 099(その他)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格名称1							届出人資格 ＝ 090であれば 入力された廃除者資格名称を設定 届出人資格 ＝ 091であれば 「遺言執行者」を設定 届出人資格 ＝ 098であれば 届出人資格名称1は未設定 届出人資格 ＝ 099であれば 入力された届出人資格名称を設定
	届出人氏名1			届出人氏名				届出人資格 ＝ 098であれば未設定
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)の場合 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)の場合 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							35(推定相続人)
	届出人区分							届出人資格 ＝ 098であれば1(届出人)を設定
	カナ氏名			被廃除者カナ氏名				
	漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	生年月日			被廃除者生年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	本籍コード			被廃除者本籍コード				
	本籍			被廃除者本籍				
	筆頭者			被廃除者筆頭者				
	送達確認2							本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合 1を設定 上記以外は0を設定 外国人は0を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	3.1　被推定相続人廃除者(一部記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								被廃除者が本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2001(推定相続人廃除)
	記録コード								2001(推定相続人廃除をされた者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	裁判確定日				
	推定相続人廃除	推定相続人廃除の裁判確定日			裁判確定日				裁判種別 ＝ 2(審判) 又は 3(判決)のとき
		推定相続人廃除の調停成立日			裁判確定日				裁判種別 ＝ 1(調停)のとき
		被続相人 続柄			廃除者資格名称				
		被続相人 氏名			廃除者漢字氏名				
	届出	届出日			受領日				
		届出人 資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 098であれば移送しない
		届出人 資格名称							届出人資格 ＝ 090(廃除した者)であれば、「廃除者資格名称」を設定 届出人資格 ＝ 098(廃除された者)であれば、未設定 届出人資格が上記以外のであば、「届出人資格名称」を設定
		届出人 氏名							届出人資格 ＝ 090、098であれば未設定 届出人資格が上記以外であれば、「届出人氏名」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可証謄本の送付を受けた日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	3.1　被推定相続人廃除者(一部記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7.2.(5)「異動」処理

20.入籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	74	「入籍届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		73		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	75	「入籍届」	審査3.3(従前の氏を称する入籍) 成年年齢引下げの審査について修正
4	2.0	76		本紙0.0 戸籍変動区分について修正
5		令和3年度申し送り事項一覧№4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.1単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_5.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.2、4.3、5.2、5.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	入籍届

1. 入籍届による入籍業務処理範囲外の処理

(1) 過去に氏の変更届(107条4項)を入籍人が届出。

(2) (養)父母欄の更正処理は、入籍人及びその配偶者:本籍、入籍先:本籍(本籍→本籍の異動)の場合のみ行う。
上記以外の異動パターンについては、更正処理で行う。

(3) 事件本人の成年後見人から届出された場合。

(4) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2. 入籍届入力画面の意義

(1) 入籍人当事者の各項目を入力する。

3. その他

(1) 添付書類

・父又は母と氏を異にする子が、父又は母の氏を称しようとする場合(戸98I、民791I･III)、
裁判所において「子の氏を父又は母の氏に変更する」旨の許可の審判書の謄本

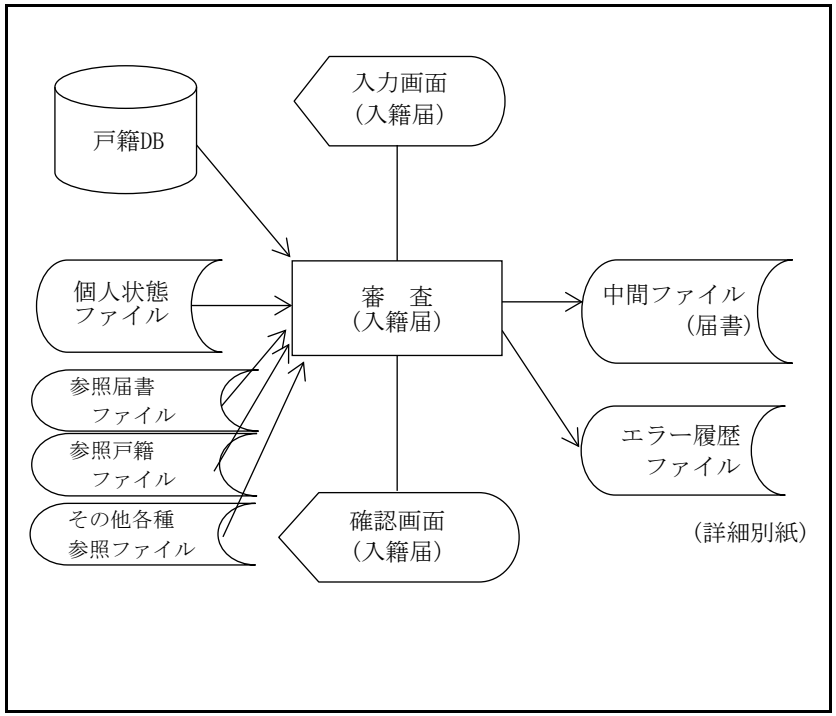
(2) 入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)を選択した場合の処理範囲

・届出人資格は、同一人であること(入籍人単位に指定できない。異なる場合は処理を別けて行う)

・入籍人の対象は、構成員とする。(筆頭者と構成員を同時に入籍できない)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)入籍届の内容を入力する
(2)入籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)入籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)入籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(入籍届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(氏を称する入籍)
  - 3.2 審査(同籍する入籍)
  - 3.3 審査(従前の氏を称する入籍)
  - 4.1 審査(届出人資格)
  - 4.2 審査(入籍人更正区分)
  - 4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)
  - 4.4 審査(父母関連)
  - 4.5 審査(父又は母の新戸籍)
  - 4.6 審査(入籍先･入籍相手)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)入籍者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する							/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)					[1.0]	/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)				[2.0]	/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)			[3.0]	/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力		[5.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す			
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)						/				
	YES	(17)前ページ分の入力画面(入籍届)を編集する						(18)同画面を編集する			
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)						/				
	YES	(21)次ページ分の入力画面(入籍届)を編集する						(22)同画面を編集する			
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する									
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(22-2)画像情報を表示する						(22-3)同画面を編集する			
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する										
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付		版	1
作業名	審査(入籍届)							
処理名			画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表			入力画面(入籍届種別入力画面)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	入籍者種別	○	数字	(1:入籍人単独、2:配偶者同時、3:入籍人複数)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	同時入籍者数		数字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(入籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
3	支所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
4	受領NO		数字				
5	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
7	発送元		漢字				
8	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
9	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
11	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	入籍事由	○	数字	(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)であること			
13	入籍相手	○	数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母)であること			
14	従前の氏を改めた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	許可の審判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	戸籍変動区分	○	数字	(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)であること			
17	入籍先の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
18	入籍先の個人除区分		数字	(0:在籍者、1:除籍者、2:戸籍消除者、3:消除者、4:消除及び除籍者)であること			
19	入籍先の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
20	入籍先の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
21	入籍先の本籍		漢字				
22	入籍先の筆頭者		漢字				
23	入籍先のカナ氏名		カナ				
24	入籍先の漢字氏名		漢字				
25	入籍先の住所		漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(入籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	入籍先の世帯主		漢字				
27	入籍先の父の氏名		漢字				
28	入籍先の母の氏名		漢字				
29	入籍先の父母続柄		数字	(10:男～49:十九女)であること			
30	入籍先の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	新本籍		漢字				
32	新筆頭者		漢字				
33	入籍人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
34	入籍人nの筆頭者区分	○	英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			(注1)複数人存在する場合あり
35	入籍人nの配偶者区分	○	英数	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			(注1)
36	入籍人nの更正区分	○	数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:養父及び母)であること			(注1)
37	入籍人nの生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			(注1)
38	入籍人nのカナ氏名		カナ				(注1)
39	入籍人nの漢字氏名	○	漢字				(注1)
40	入籍人nの住所		漢字				(注1)
41	入籍人nの世帯主		漢字				(注1)
42	入籍人nの父の氏名		漢字				(注1)
43	入籍人nの母の氏名		漢字				(注1)
44	入籍人nの父母続柄	○	数字	(10:男～49:十九女)であること			(注1)
45	入籍人nの養父の氏名		漢字				(注1)
46	入籍人nの養母の氏名		漢字				(注1)
47	入籍人nの養父母続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			(注1)
48	入籍人の本籍	○	漢字				
49	入籍人の筆頭者	○	漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(入籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	届出人資格1		数字	(009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			
51	届出人氏名1		漢字				
52	届出人資格2		数字	(009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			
53	届出人氏名2		漢字				
54	入籍人配偶者のカナ氏名		カナ				
55	入籍人配偶者の漢字氏名		漢字				
56	入籍人配偶者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
57	入籍人配偶者の父の氏名		漢字				
58	入籍人配偶者の母の氏名		漢字				
59	入籍人配偶者の父母続柄		数字	(10:男～49:十九女)であること			
60	入籍人配偶者の養父の氏名		漢字				
61	入籍人配偶者の養母の氏名		漢字				
62	入籍人配偶者の養父母続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			
63	入籍人配偶者の住所		漢字				
64	入籍人配偶者の世帯主		漢字				
65	入籍人配偶者の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
66	入籍人配偶者の配偶者区分		英数	(1:夫、2:妻)であること			
67	入籍人配偶者の更正区分		数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:養父及び母)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(入籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(入籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.6)送付日 ＝ スペースの時、(No.7)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.6)送付日 ≠ スペースの時、(No.7)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.6)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)送付日 ≧ (No.5)受領日であること			
4	(No.6)送付日 ＝ スペースの時、(No.8)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.7)発送元 ≠ スペースの時、(No.8)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.7)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.7)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.8)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.7)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.7)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.8)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.9)処理日 ≠ スペースの時、(No.9)処理日 ＞ (No.5)受領日であること			
9	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.6)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.11)郵送日 ≦ (No.5)受領日であること			
11	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、(No.2)同時入籍者数 ＝ 未入力であること			
12	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、 (No.35)入籍人の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)であること			
13	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.67)入籍人配偶者の更正区分が未入力であること			
13-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)　かつ ((No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)　又は　2(同籍する入籍))の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)　又は　2(父又は母の新戸籍に入る)であること			
14	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、(No.2)同時入籍者数 ＝ 未入力であること			
15	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)であること			
16	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.34)入籍人の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ (No.35)入籍人の配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)であること			
17-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(入籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(入籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-2	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.56)入籍人配偶者の生年月日 と (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 および (No.65)入籍人配偶者の外国人区分～(No.67)入籍人配偶者の更正区分がスペースでないこと			
17-3	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)又は2(妻)であること			
17-4	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.64)入籍人配偶者の世帯主 および (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分～(No.67)入籍人配偶者の更正区分がスペースであること			
18	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、(No.2)同時入籍者数 ≧ 2であること			
19-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)であること			
19-2	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.38)入籍人nのカナ氏名～(No.39)入籍人nの漢字氏名 および (No.44)入籍人nの父母続柄がスペースでないこと			
20	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.34)入籍人nの筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.35)入籍人nの配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者)であること			
21	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.67)入籍人配偶者の更正区分が未入力であること			
22	(No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ＝ スペースであること			
23	(No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父) 又は 3(母) 又は 4(父母) 又は 5(養父) 又は 6(養母) 又は 7(養父母)であること			
24	(No.12)入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ＝ スペースであること			
25	(No.12)入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父) 又は 3(母) 又は 4(父母) 又は 5(養父) 又は 6(養母) 又は 7(養父母)であること			
26	(No.12)入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ≠ スペースであること			
27	(No.12)入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 1(無)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
28-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、 ((No.17)入籍先の本非区分～(No.24)入籍先の漢字氏名 ≠ スペース) かつ ((No.31)新本籍、(No.32)新筆頭者 ＝ スペースであること			
28-2	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、 ((No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)) 又は ((No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)) かつ (No.20)入籍先の配偶者区分 ≠ 0(未))であること			
29-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 (No.17)入籍先の本非区分～(No.24)入籍先の漢字氏名が ≠ スペースであること			
29-1-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る) かつ (No.17)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍) 又は (No.31)新本籍 ＝ 管内の時、 (No.29)入籍先の父母続柄～(No.30)入籍先の生年月日が ≠ スペースであること			
29-2	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ (No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者)であること			
29-3	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父) 又は 3(母) 又は 5(養父) 又は 6(養母)であること			
29-4	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る) かつ (No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.39)入籍先の漢字氏名 ＝ (No.32)新筆頭者であること			
29-5	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る) かつ ((No.8)在外送付区分 ＝ 0(受理分) 又は 2(在外公館の直接送付))の時、 (No.25)入籍先の住所 ≠ スペースであること			
29-6				
30	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 管内本籍の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
31	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 管外本籍の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
32	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 未入力の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 未入力であること			
33	(No.48)入籍人の本籍 ＝ 管内本籍の時、(No.33)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
34	(No.48)入籍人の本籍 ＝ 管外本籍の時、(No.33)入籍人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
35	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 2(父) 又は 4(父母) 又は 8(父及び養母)の時、 (No.42)入籍人nの父の氏名 ≠ スペースであること			
36	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 3(母) 又は 4(父母) 又は 9(養父及び母)の時、 (No.43)入籍人nの母の氏名 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 5(養父) 又は 7(養父母) 又は 9(養父及び母)の時、 (No.45)入籍人nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
38	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 6(養母) 又は 7(養父母) 又は 8(父及び養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
39	(No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
40	(No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
41	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.44)入籍人1の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
42	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.44)入籍人1の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
43	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
44	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
45	(No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
46	(No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(入籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(入籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
47	(削除)			
48	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、 (No.42)入籍人nの父の氏名 ≠ スペースであること			
49	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 (No.43)入籍人nの母の氏名 ≠ スペースであること			
50	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、 (No.45)入籍人nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
51	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
52	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.51)届出人氏名1　又は　(No.53)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
53	(No.31)新本籍 ≠ スペースの時、 (No.32)新筆頭者 ≠ スペースであること			
54	(No.31)新本籍 ＝ スペースの時、 (No.32)新筆頭者 ＝ スペースであること			
55	(No.15)許可の審判確定日 ≠ スペースの時、 (No.15)許可の審判確定日 ≦ (No.5)受領日であること			
56	(No.1) 入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)　かつ　(No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.39)入籍人1の漢字氏名の氏 ＝ (No.55)入籍人配偶者の漢字氏名の氏であること			
57	(No.1) 入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)　かつ　(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.39)入籍人1の漢字氏名の名 ＝ (No.32)新筆頭者の名であること			
58	(No.49)入籍人の筆頭者の氏 ＝ (No.39)入籍人nの漢字氏名の氏であること			
58-1	(No.22)入籍先の筆頭者の氏 ≠ スペース　かつ　(No.24)入籍先の漢字氏名 ≠ スペースの時、 (No.22)入籍先の筆頭者の氏 ＝ (No.24)入籍先の漢字氏名の氏であること			
59	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 2(父)　又は　4(父母)　又は　8(父及び養母)の時、 (No.57)入籍人配偶者の父の氏名 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
60	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 3(母)　又は　4(父母)　又は　9(養父及び母)の時、 (No.58)入籍人配偶者の母の氏名 ≠ スペースであること			
61	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 5(養父)　又は　7(養父母)　又は　9(養父及び母)の時、 (No.60)入籍人配偶者の養父の氏名 ≠ スペースであること			
62	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 6(養母)　又は　7(養父母)　又は　8(父及び養母)の時、 (No.61)入籍人配偶者の養母の氏名 ≠ スペースであること			
63	(No.24)入籍先漢字氏名 ≠ スペースかつ(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.24)入籍先漢字氏名の氏 ＝ (No.32)新筆頭者の氏であること			
64	(No.13)入籍相手 ＝ 2(父)の時、 (No.42)入籍人nの父氏名 ≠ スペースであること			
65	(No.13)入籍相手 ＝ 3(母)の時、 (No.43)入籍人nの母氏名 ≠ スペースであること			
66	(No.13)入籍相手 ＝ 4(父母)の時、 (No.42)入籍人nの父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.43)入籍人nの母氏名 ≠ スペースであること			
67	(No.13)入籍相手 ＝ 5(養父)の時、 (No.45)入籍人nの養父氏名 ≠ スペースであること			
68	(No.13)入籍相手 ＝ 6(養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母氏名 ≠ スペースであること			
69	(No.13)入籍相手 ＝ 7(養父母)の時、 (No.45)入籍人nの養父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.46)入籍人nの養母氏名 ≠ スペースであること			
70	(No.26)入籍先の世帯主 ≠ スペースの時、 (No.25)入籍先の住所 ≠ スペースであること			
71	(No.41)入籍人nの世帯主 ≠ スペースの時、 (No.40)入籍人nの住所 ≠ スペースであること			
72	(No.64)入籍人配偶者の世帯主 ≠ スペースの時、 (No.63)入籍人配偶者の住所 ≠ スペースであること			
73	(No.25)入籍先の住所 ＝ スペースの時、 (No.26)入籍先の世帯主 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
74	(No.40)入籍人nの住所 ＝ スペースの時、 (No.41)入籍人nの世帯主 ＝ スペースであること			
75	(No.63)入籍人配偶者の住所 ＝ スペースの時、 (No.64)入籍人配偶者の世帯主 ＝ スペースであること			
76	(No.27)入籍先の父の氏名　又は　(No.28)入籍先の母の氏名 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.0 審査

									備考
(0-1)同時入籍者数分繰り返す							/		
	(0-2)入籍人の本籍 ＝ 管内(YES,NO)						/		
	YES	(0-3)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、その他)					/		
		1,2	(0-4)入籍人nの身分事項に性同一性障害(7003)がある。(YES,NO)				/		
			YES	(0-5)確認メッセージ (YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。入力した戸籍に入籍できますか?」 を表示する					平成15年法律第111号3条
				YES	(0-6) → (0-1)		/		
				NO	(0-7)			(0-8)本紙へ	「N」の時、不受理
			NO	(0-9) → (0-1)			/		
		その他	(0-10) → (0-1)				/		
	NO	(0-11) → (0-1)					/		
(0-12)入籍先の父の氏名 ＝ スペース 又は 入籍先の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)							/		
YES	(0-12-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)						/		
	YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する							
		YES	(0-14) → (0-23)				/		
		NO	(0-15) →					(0-16)本紙へ	不受理
	NO	(0-16-1) → (0-23)					/		
NO	(0-17)入籍先の父母続柄 ＝ 10(男) 又は 30(女)である(YES,NO)						/		
	YES	(0-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」 を表示する							
		YES	(0-19) → (0-23)				/		
		NO	(0-20) →					(0-21)本紙へ	不受理
	NO	(0-22) → (0-23)					/		
(0-23)同時入籍者数分繰り返す							/		
	(0-24)入籍人nの父の氏名 ＝ スペース 又は 入籍人nの母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)						/		
	YES	(0-25)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する							
		YES	(0-26) → (0-23)				/		
		NO	(0-27) →					(0-28)本紙へ	不受理
	NO	(0-29)入籍人nの父母続柄 ＝ 10(男) 又は 30(女) である(YES,NO)					/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.0 審査

							備考
		YES	(0-30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する				
		YES	(0-31) → (0-23)		/		
		NO	(0-32) →			(0-33)本紙へ	不受理
		NO	(0-34) → (0-23)		/		
(0-35)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)					/		
YES	(0-36)入籍人配偶者の配偶者父の氏名 ＝ スペース 又は 入籍人配偶者の母の氏名 ＝ スペース (YES,NO)				/		
	YES	(0-37)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					
		YES	(0-38) → (0-48)		/		
		NO	(0-39) →			(0-40)本紙へ	不受理
	NO	(0-41)入籍人配偶者の父母続柄コード ＝ 10(男) 又は 30(女) である(YES,NO)			/		
		YES	(0-42)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する				
		YES	(0-43) → (0-48)		/		
		NO	(0-44) →			(0-45)本紙へ	不受理
		NO	(0-46) → (0-48)		/		
NO	(0-47) → (0-48)				/		
(0-48)受領日 ＝ 送付日である					/		
YES	(0-49)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-50) → (0-54)へ			/		R2.1(入籍70)
	NO	(0-51) →				(0-52)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-53) → (0-54)へ				/		R2.1(入籍70)
(0-54)同時入籍者数分繰り返す					/		R2.1(入籍70)
	(0-55)入籍人nの漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)				/		R2.1(入籍70)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.0 審査

							備考
	YES		(0-56)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する			(0-57)本紙へ	R2.1(入籍70)
		YES	(0-58)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-60)本紙へ	不受理 R2.1(入籍70)
		NO	(0-59) →				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(入籍70)
	NO		(0-61) → (1)へ		/		R2.1(入籍70)
(1)許可の審査確定日 ≠ スペース(YES,NO)					/		
YES	(2)入籍事由(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)				/		
	1		(2-1)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)		/		
		4,7	(2-2)確認メッセージ(YES,NO) 「許可の審判確定日に入力がありますがよろしいですか?」を表示する			(2-3)本紙へ	民791Ⅱ
			YES	(2-4)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]	/		
				(2-5) → (23)	/		
			NO	(2-6) →		(2-7)本紙へ	不受理
		その他	(3)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]		/		
			(4) → (23)		/		
	その他		(5)エラーメッセージ 「入籍事由に誤りがあります。」を表示する			(6)本紙へ	不受理 昭和62.10.1 民二5000号通達第5の1(1)
NO	(7)入籍事由(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)				/		
	1		(8)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)		/		民791Ⅱ
		1,2	(8-1)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)		/		
			4,7	(9)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]	/		
				(10) → (23)	/		
			その他	(10-1)確認メッセージ(YES,NO) 「許可の審判確定日に入力がありませんがよろしいですか?」を表示する		(10-2)本紙へ	
				YES (10-3)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]	/		
				(10-4) → (23)	/		
				NO (10-5) →		(10-6)本紙へ	不受理
		その他	(11)エラーメッセージ 「家庭裁判所の許可が必要な入籍です。」を表示する			(12)本紙へ	不受理
	2		(13)確認メッセージ(YES,NO) 「民法上の氏は同じですか?」を表示する				
		YES	(14)審査(同籍する入籍)処理 [3.2]		/		
			(15) → (23)		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名			審査(入籍届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		NO	(16)エラーメッセージ 「民法上の氏が異なるため、同籍する入籍はできません。」を表示する			(17)本紙へ		不受理	
	3		(18)確認メッセージ(YES,NO) 「従前に称していた氏ですか?」を表示する					民791Ⅳ	
		YES	(19)審査(従前の氏を称する入籍)処理	[3.3]	/				
			(20) → (23)		/				
		NO	(21)エラーメッセージ 「従前の氏を称する入籍はできません。」を表示する			(22)本紙へ		不受理	
(23) →						(24)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.1　審査(氏を称する入籍)

					備考
(0)戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)(YES,NO)					
YES	(0-1) → (5)				
NO	(1)入籍先の個人除区分(0:在籍者、その他)		/		
	0	(2) → (5)	/		
	その他	(3)エラーメッセージ 「入籍届けは受理出来ません。」を表示する		(4)3.0審査へ	昭23.7.1民甲1676回答 不受理
(5)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)			/		
1	(6) → (15)		/		
2	(7)入籍先の本籍に入力がある(YES,NO)		/		
	YES	(8) → (15)	/		
	NO	(9)エラーメッセージ 「入籍先の本籍に入力がありません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理
3	(11)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)		/		
	YES	(12) → (15)	/		
	NO	(13)エラーメッセージ 「新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。」を表示する		(14)3.0審査へ	不受理
(15)同時入籍者数分繰り返す					
	(15-1)入籍人nの養父母続柄 ＝ スペース(YES,NO)		/		
	YES	(15-2) → (15-5)	/		
	NO	(15-3)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組継続中ですが、よろしいですか」を表示する		(15-4)3.0審査へ	S26.9.4 民事甲第1787号通達 「N」の時、不受理
	(15-5)審査(入籍先･入籍人相手)処理 [4.6]		/		
	(16)審査(届出人資格)処理 [4.1]		/		
	(17)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]		/		
	(17-1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、 3:新しい戸籍をつくる)		/		
	2	(17-2)審査(父又は母の新戸籍)処理 [4.5]	/		
	その他	(17-3) → (15)	/		
(18)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)			/		
YES	(19)審査(入籍人配偶者更正区分)処理 [4.3]		/		
NO	(20) → (21)		/		
(21) →				(22)3.0審査へ	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)							
処理名	3.2　審査(同籍する入籍)						備考	
(1)入籍先の個人除区分(0:在籍者、その他)					/			
0	(2) → (5)				/			
その他	(3)エラーメッセージ 「入籍届は受理出来ません。」を表示する					(4)3.0審査へ	昭23.7.1民甲1676回答 不受理	
(5)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)					/			
1	(6) → (12)				/			
2	(7)入籍先の本籍に入力がある(YES,NO)				/			
	YES	(8) → (12)			/			
	NO	(9)エラーメッセージ　「入籍先の本籍に入力がありません。」を表示する				(9-1)3.0審査へ	不受理	
3	(10)エラーメッセージ　「戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。」を表示する					(11)3.0審査へ	不受理	
(12)同時入籍者数分繰り返す					/			
	(12-1)審査(入籍先・入籍人相手)処理			[4.6]	/			
	(13)審査(届出人資格)処理			[4.1]	/			
	(14)審査(入籍人更正区分)処理			[4.2]	/			
	(15)審査(父母関連)処理			[4.4]	/			
	(15-1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、 3:新しい戸籍をつくる)				/			
	2	(15-2)審査(父又は母の新戸籍)処理		[4.5]	/			
	その他	(15-3) → (12)			/			
(16) →						(17)3.0審査へ		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(入籍届)							
処理名	3.3　審査(従前の氏を称する入籍)						備考	
(1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)					/			
1	(2) → (9)へ				/			
2	(3)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。」を表示する					(4)3.0審査へ	不受理	
3	(5)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)				/			
	YES	(6) → (9)へ			/		戸19、戸20	
	NO	(7)エラーメッセージ 「新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。」を表示する				(8)3.0審査へ	不受理	
(9)同時入籍者数分繰り返す					/			
	(10)受領日≧2022年4月1日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける	R2.1(入籍69)
	YES	(10-1)入籍人nの生年月日+18年(18歳以上)≦受領日である(YES,NO)			/		民法改正(2022年4月1日)後の審査	R2.1(入籍69)
		YES	(11)入籍人nの生年月日+19年(19歳未満)＞受領日である(YES,NO)		/		民791条4項	R2.1(入籍69)
			YES	(12)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/			R2.1(入籍69)
				YES	(13)入籍人nの生年月日+17年(17歳以上)≦従前の氏を改めた日　かつ 2022年3月31日≧従前の氏を改めた日である　(YES,NO)	/		民791条4項	R4(入籍75)
					YES	(14) → (20)へ			R2.1(入籍69)
					NO	(14-1)入籍人nの生年月日+18年(18歳未満)＞従前の氏を改めた日である(YES,NO)	/		R4(入籍75)
						YES	(14-2) → (20)へ		R4(入籍75)
						NO	(15)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示する		(16)3.0審査へ	不受理	R2.1(入籍69)
				NO	(17)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示する			不受理	R2.1(入籍69)
			NO	(17-1)受領日≦2023年3月31日　かつ 入籍人nの生年月日+21年(21歳未満)＞受領日である(YES,NO)	/			R4(入籍75)
				YES	(17-2)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/			R4(入籍75)
					YES	(17-3)入籍人nの生年月日+20年(20歳未満)＞従前の氏を改めた日 かつ　2022年3月31日≧従前の氏を改めた日である　(YES,NO)	/		R4(入籍75)
						YES	(17-4) → (20)へ		R4(入籍75)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.3　審査(従前の氏を称する入籍)

											備考
					NO	(17-5)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示する			(17-6)3.0審査へ		不受理 R4(入籍75)
				NO		(17-7)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示する					不受理 R4(入籍75)
			NO			(18)エラーメッセージ 「成年に達してから1年を経過しています。」を表示する					不受理 R2.1(入籍69)
		NO				(19)エラーメッセージ 「入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力処理です)。」を表示する					R2.1(入籍69)
	NO					(19-1)入籍人nの生年月日+20年(20歳以上)≦受領日である(YES,NO)		/			民法改正(2022年4月1日)前の審査 R2.1(入籍69)
	YES					(19-2)入籍人nの生年月日+21年(21歳未満)＞受領日である(YES,NO)		/			民791条4項 R2.1(入籍69)
		YES				(19-3)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)		/			R2.1(入籍69)
			YES			(19-4)入籍人nの生年月日+20年(20歳未満)＞従前の氏を改めた日である(YES,NO)		/			民791条4項 R2.1(入籍69)
				YES		(19-5) → (20)へ		/			R2.1(入籍69)
				NO		(19-6)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示する			(19-7)3.0審査へ		不受理 R2.1(入籍69)
			NO			(19-8)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示する					不受理 R2.1(入籍69)
		NO				(19-9)エラーメッセージ 「成年に達してから1年を経過しています。」を表示する					不受理 R2.1(入籍69)
	NO					(19-10)エラーメッセージ 「入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力処理です)。」を表示する					R2.1(入籍69)
	(20)審査(届出人資格)処理 [4.1]							/			
	(21)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]							/			
(22)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)								/			
YES	(23)審査(入籍人配偶者更正区分)処理 [4.3]							/			
NO	(24) → (25)へ							/			
(25) →									(26)3.0審査へ		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.1 審査(届出人資格)処理							備考	
(1)入籍人nの生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)					/				
YES	(2)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/			民791Ⅲ	
	000	(3)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/			民791Ⅲ	
		016,017,019,020	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(5)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
		110	(6)入籍人の本非区分(1:本籍分届、2:非本籍分届)		/				
			1	(7)入籍人nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/			
				YES	(8) → (76)		/		
				NO	(9)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。 未成年後見人は届出人になれません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理	
			2	(10) → (76)		/			
		その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(13)3.0審査へ		不受理	
	016,019	(14)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
		000	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(18)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
		017,020	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
		その他	(17)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
		000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(23)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
		016,019	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	110	(24)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
		000	(25)入籍人の本非区分(1:本籍、2:非本籍)		/				
			1	(26)入籍人nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/			
				YES	(27) → (76)		/		
				NO	(28)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。 未成年後見人は届出人になれません。」を表示する		(29)3.0審査へ	不受理	
			2	(30) → (76)		/			
		その他	(31)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(33)3.0審査へ		不受理	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.1 審査(届出人資格)処理							備考	
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する				/		不受理	
NO	(34)入籍人nの配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)					/		戸98Ⅱ、戸99Ⅱ	
	0	(35)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、その他)				/			
		000	(36)届出人資格2(098:事件本人、その他)			/			
			098	(37) → (76)		/			
			その他	(38)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(39)3.0審査へ	不受理	
		098	(40)届出人資格2(000:未入力、その他)			/			
			000	(41) → (76)		/			
			その他	(42)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(44)3.0審査へ	不受理	
		その他	(43)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	1,2	(45)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、009:配偶者、その他)				/			
		000	(46)届出人資格2(098:事件本人、その他)			/			
			098	(47)許可の審判確定日 ＝ スペース かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)					
				YES	(48)エラーメッセージ 「配偶者とともに届出が必要です。」を表示する		(49)3.0審査へ	不受理	
				NO	(50)許可の審判確定日 ＝ スペース かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)	/			
					YES (50-1)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?」 を表示する	/			
					YES (50-2)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する	/	(50-3)3.0審査へ	不受理	
					NO (50-4) → (76)	/			
				NO	(50-5) → (76)	/			
			その他	(51)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			(52)3.0審査へ	不受理	
		098	(53)届出人資格2(000:未入力、009:配偶者、その他)			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)

処理名	4.1 審査(届出人資格)処理				備考
	000	(54)許可の審判確定日 ＝ スペース かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)	/		
	YES	(55)エラーメッセージ 「配偶者とともに届出が必要です。」を表示する		(56)3.0審査へ	不受理
	NO	(57)許可の審判確定日 ＝ スペース かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)	/		
	YES	(57-1)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?」 を表示する	/		
	YES	(57-2)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(57-3)3.0審査へ	不受理
	NO	(57-4) → (76)	/		
	NO	(57-4) → (76)	/		
	009	(58) → (76)	/		
	その他	(59)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(60)3.0審査へ	不受理
	009	(61)届出人資格2(098:事件本人、その他)	/		
	098	(62) → (76)	/		
	その他	(63)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(65)3.0審査へ	不受理
	その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			不受理
3	(66)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、その他)		/		
	000	(67)届出人資格2(098:事件本人、その他)	/		
	098	(68)→(76)	/		
	その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(70)3.0審査へ	不受理
	098	(71)届出人資格2(000:未入力、その他)	/		
	000	(72) → (76)	/		
	その他	(73)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(75)3.0審査へ	不受理
	その他	(74)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			不受理
(76) →				(77)3.1 又は 3.2 又は 3.3審査へ	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理							備考	
(1)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍) である(YES,NO)						/			
YES	(2)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍) である(YES,NO)					/			
	YES	(3)入籍人nの更正区分				/			
		2,4,8	(3-1)入籍先の配偶者区分			/			
			1,2	(4)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名 (YES,NO)		/			
				YES	(5) → (7-2)	/	(6)(削除)	(6)を削除(14版修正により)	
				NO	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/	(7-1)削除	(7-1)を削除(16版修正により)	
					YES (8-1)エラーメッセージ 「父の名が違います。入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する		(8-2)本紙へ	(8)(7-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
					NO (9)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理	
				(7-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏 (YES,NO)		/			
				YES	(7-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。		(7-4)3.0審査へ	不受理	
				NO	(7-5) → (12)	/			
			0	(10-1)入籍相手 ＝ 2(父)(YES,NO)		/			
				YES	(10-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)	/			
					YES (10-3-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する		(10-3-2)本紙へ	(10-3)(10-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
					NO (10-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/	(10-5)削除	(10-5)を削除(16版修正により)	
					YES (10-4-1) → (10-5-1)	/			
					NO (10-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10-4-3)3.0審査へ	不受理	
					(10-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏(YES,NO)	/			
					YES (10-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(10-5-3)3.0審査へ	不受理	
					NO (10-5-4) → (12)	/			

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名				審査(入籍届)						
処理名				4.2 審査(入籍人更正区分)処理					備考	
			NO	(10-6)確認メッセージ(YES,NO) 「父の情報が特定できないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。」を表示する			/	(10-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない	
		3		(10-7)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)			/			
			YES	(10-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)			/			
				YES	(10-9) → (10-11-1)		/			
				NO	(10-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		/	(10-11)削除	(10-11)を削除(16版修正により)	
					YES	(10-10-1-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する		(10-10-1-2)本紙へ	(10-10-1)(10-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
					NO	(10-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10-10-3)3.0審査へ	不受理	
				(10-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏(YES,NO)			/			
				YES	(10-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する			(10-11-3)3.0審査へ	不受理	
				NO	(10-11-4) → (12)		/			
			NO	(10-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)			/			
				YES	(10-13) → (10-15-1)		/			
				NO	(10-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		/	(10-15)削除	(10-15)を削除(16版修正により)	
					YES	(10-14-1-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する		(10-14-1-2)本紙へ	(10-14-1)(10-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
					NO	(10-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10-14-3)3.0審査へ	不受理	
				(10-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏(YES,NO)			/			
				YES	(10-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。			(10-15-3)3.0審査へ	不受理	
				NO	(10-15-4) → (12)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)

処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理			備考
その他	(11) → (12)	/		
	(12)入籍人nの更正区分	/		
3,4,9	(12-1)入籍先の配偶者区分	/		
1,2	(13)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名 (YES,NO)	/		
	YES (14) → (16-2)	/	(15)(削除)	(15)を削除(14版修正により)
	NO (16)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する	/	(16-1)削除	(16-1)を削除(16版修正により)
	YES (17-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を 行ってください。」を表示する		(17-2)本紙へ	(17)(16-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
	NO (18)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
	(16-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏 (YES,NO)	/		
	YES (16-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(16-4)3.0審査へ	不受理
	NO (16-5) → (21)	/		
0	(19-1)入籍相手 ＝ 3(母)(YES,NO)	/		
	YES (19-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/		
	YES (19-3) → (19-5-1)	/		
	NO (19-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する	/	(19-5)削除	(19-5)を削除(16版修正により)
	YES (19-4-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を 行ってください。」を表示する		(19-4-1-2)本紙へ	(19-4-1)→(19-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
	NO (19-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(19-4-3)3.0審査へ	不受理
	(19-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)	/		
	YES (19-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(19-5-3)3.0審査へ	不受理
	NO (19-5-4)→(21)	/		
	NO (19-6)確認メッセージ(YES,NO) 「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を 行って下さい。」を表示する	/		応答内容は、処分区分には影響させない

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)							
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理						備考	
3	(19-7)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)				/			
YES	(19-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)				/			
	YES	(19-9) → (19-11-1)			/			
	NO	(19-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する			/	(19-11)削除	(19-11)を削除(16版修正により)	
		YES	(19-10-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する			(19-10-1-2)本紙へ	(19-10-1)(19-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
		NO	(19-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(19-10-3)3.0審査へ	不受理	
	(19-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)				/			
	YES	(19-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(19-11-3)3.0審査へ	不受理	
	NO	(19-11-4) → (21)			/			
NO	(19-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)				/			
	YES	(19-13) → (19-15-1)			/			
	NO	(19-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する			/	(19-15)削除	(19-15)を削除(16版修正により)	
		YES	(19-14-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する			(19-14-1-2)本紙へ	(19-14-1)(19-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
		NO	(19-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(19-14-3)3.0審査へ	不受理	
	(19-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)				/			
	YES	(19-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(19-15-3)3.0審査へ	不受理	
	NO	(19-15-4) → (21)			/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理							備考	
その他	(20) → (21)				/				
(21)入籍人nの更正区分					/				
5,7,9	(21-1)入籍先の配偶者区分				/				
1,2	(22)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)				/				
YES	(23)→(25-2)				/	(24)削除		(24)を削除(14版修正により)	
NO	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する				/	(25-1)削除		(25-1)を削除(16版修正により)	
	YES	(27-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する				(27-2)本紙へ		(27)(25-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
	NO	(28)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する				(29)3.0審査へ			
(25-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YES,NO)					/				
YES	(25-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する					(25-4)3.0審査へ		不受理	
NO	(25-5) → (31)				/				
0	(29-1)入籍相手 ＝ 5(養父)(YES,NO)				/				
YES	(29-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)				/				
	YES	(29-3) → (29-5-1)			/				
	NO	(29-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する				(29-5)3.0審査へ		Nの時、不受理	
		YES	(29-4-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する			(29-4-1-2)本紙へ		(29-4-1)(29-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
		NO	(29-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(29-4-3)3.0審査へ		不受理	
	(29-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YES,NO)				/				
	YES	(29-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(29-5-3)3.0審査へ		不受理	
	NO	(29-5-4) → (31)			/				
NO	(29-6)確認メッセージ 「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。」を表示する					(29-6-1)3.0審査へ		応答内容は、処分区分には影響させない	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理							備考	
3	(29-7)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)					/			
	YES	(29-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)				/			
		YES	(29-9) → (29-11-1)			/			
		NO	(29-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する			/	(29-11)削除	(29-11)を削除(16版修正により)	
			YES	(29-10-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する			(29-10-1-2)本紙へ	(29-10-1)(29-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
			NO	(29-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(29-10-3)3.0審査へ	不受理	
		(29-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YES,NO)				/			
		YES	(29-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(29-11-3)3.0審査へ	不受理	
		NO	(29-11-4) → (31)			/			
	NO	(29-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)				/			
		YES	(29-13) → (29-15-1)			/			
		NO	(29-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する			/	(29-15)削除	(29-15)を削除(16版修正により)	
			YES	(29-14-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する			(29-14-1-2)本紙へ	(29-14-1)(29-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
			NO	(29-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(29-14-3)3.0審査へ	不受理	
		(29-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YSE,NO)				/			
		YES	(29-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(29-15-3)3.0審査へ	不受理	
		NO	(29-15-4) → (31)			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)

処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理			備考
その他	(30) → (31)	/		
	(31)入籍人nの更正区分	/		
6,7,8	(31-1)入籍先の配偶者区分	/		
1,2	(32)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)	/		
	YES (33) → (35-2)	/	(34)削除	(34)を削除(14版修正により)
	NO (35)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する	/	(35-1)削除	
	YES (36-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する		(36-2)本紙へ	(36)(35-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
	NO (37)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(38)3.0審査へ	不受理
	(35-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)	/		
	YES (35-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(35-4)3.0審査へ	不受理
	NO (35-5) → (42)	/		
0	(38-1)入籍相手 ＝ 6(養母)(YES,NO)	/		
	YES (38-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)	/		
	YES (38-3) → (38-5-1)	/		
	NO (38-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する	/	(38-5)削除	(38-5)を削除(16版修正により)
	YES (38-4-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する		(38-4-1-2)本紙へ	(38-4-1)(38-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
	NO (38-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(38-4-3)3.0審査へ	不受理
	(38-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)	/		
	YES (38-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(38-5-3)3.0審査へ	不受理
	NO (38-5-4) → (42)	/		
	NO (38-6)確認メッセージ 「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を行って下さい。」を表示する		(38-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理							備考	
3	(38-7)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)					/			
	YES	(38-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)				/			
		YES	(38-9) → (38-11-1)			/			
		NO	(38-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する			/	(38-11)削除	(38-11)を削除(16版修正により)	
			YES	(38-10-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する			(38-10-1-1)本紙へ	(38-10-1)(38-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
			NO	(38-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(38-10-3)3.0審査へ	不受理	
		(38-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)				/			
		YES	(38-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(38-11-3)3.0審査へ	不受理	
		NO	(38-11-4) → (42)			/			
	NO	(38-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)				/			
		YES	(38-13) → (38-15-1)			/			
		NO	(38-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する			/	(38-15)削除	(38-15)を削除(16版修正により)	
			YES	(38-14-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います　入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する			(38-14-1-2)本紙へ	(38-14-1)(38-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
			NO	(38-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(38-14-3)→3.0審査へ	不受理	
		(38-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)				/			
		YES	(38-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(38-15-3)3.0審査へ	不受理	
		NO	(38-15-4) → (42)			/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2　審査(入籍人更正区分)処理							備考	
		その他	(39) → (42)		/				
	NO		(40) → (42)		/				
NO	(41) → (42)				/				
(42) →						(43)3.1　又は 3.2　又は 3.3審査へ			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理							備考	
(1)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)(YES,NO)						/			
YES	(2)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)					/			
	YES	(3)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)かつ入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)				/			
		YES	(4)入籍人配偶者の更正区分			/			
			2,4,8	(5)入籍先の配偶者区分		/			
				1,2	(6)入籍先戸籍の内、 配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名(YES,NO)	/			
					YES	(7)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(8)3.0審査へ	不受理
					NO	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/		
						YES	(10) → (15)	/		
						NO	(11)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(12)3.0審査へ	不受理
				0	(13)入籍相手 ＝ 2(父)(YES,NO)	/			
					YES	(13-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名 (YES,NO)	/		
						YES	(13-2) → (15)	/		
						NO	(13-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		(13-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(13-5)確認メッセージ 「父の情報が特定できないため、移記処理で父欄の更正を 行って下さい。」を表示する			応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(13-6)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)	/			
					YES	(13-7)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名 (YES,NO)	/		
						YES	(13-8) → (15)	/		
						NO	(13-19)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		(13-10)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(13-11)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名 (YES,NO)	/		
						YES	(13-12) → (15)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理

								備考
				NO	(13-13)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」 を表示する		(13-14)3.0審査へ	Nの時、不受理
	その他				(14) → (15)	/		
	(15)入籍人配偶者の更正区分					/		
	3,4,9				(16)入籍先の配偶者区分	/		
		1,2			(17)入籍先戸籍の内、 配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名(YES,NO)	/		
			YES		(18)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			NO		(20)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する			
				YES	(21) → (26)	/		
				NO	(22)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(23)3.0審査へ	不受理
		0			(24)入籍相手 ＝ 3(母)(YES,NO)	/		
			YES		(24-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)	/		
				YES	(24-2) → (26)	/		
				NO	(24-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」 を表示する		(24-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
			NO		(24-5)確認メッセージ 「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を 行って下さい。」を表示する			応答内容は、処分区分には影響させない
		3			(24-5-1)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)	/		
			YES		(24-6)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)	/		
				YES	(24-7) → (26)	/		
				NO	(24-8)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」 を表示する		(24-9)3.0審査へ	Nの時、不受理
			NO		(24-10)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)	/		
				YES	(24-11) → (26)	/		
				NO	(24-12)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		(24-13)3.0審査へ	Nの時、不受理

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理							備考	
				「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		/			
	その他	(25) → (26)				/			
	(26)入籍人配偶者の更正区分					/			
	5,7,9	(27)入籍先の配偶者区分				/			
		1,2	(28)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の養父の氏名(YES,NO)			/			
			YES	(29)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する			(30)3.0審査へ	不受理	
			NO	(31)確認メッセージ(YES,NO)「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する			(31-1)3.0審査へ		
				YES	(32) → (37)	/			
				NO	(33)エラーメッセージ「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(34)3.0審査へ	不受理	
		0	(35)入籍相手 ＝ 5(養父)(YES,NO)			/			
			YES	(35-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養父の氏名の名(YES,NO)		/			
				YES	(35-2) → (37)	/			
				NO	(35-3)確認メッセージ「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する		(35-4)3.0審査へ	Nの時、不受理	
			NO	(35-5)確認メッセージ「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。」を表示する				応答内容は、処分区分には影響させない	
		3	(35-6)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)			/			
			YES	(35-7)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養父の氏名の名(YES,NO)		/			
				YES	(35-8) → (37)	/			
				NO	(35-9)確認メッセージ「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する		(35-10)3.0審査へ	Nの時、不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)						
処理名	4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理						備考
		NO	(35-10)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)	/			
		YES	(35-11) → (37)	/			
		NO	(35-12)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		(35-13)3.0審査へ		Nの時、不受理
	その他	(36) → (37)		/			
	(37)入籍人配偶者の更正区分			/			
	6,7,8	(38)入籍先の配偶者区分		/			
	1,2	(39)入籍先戸籍の内、 配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の養母の氏名(YES,NO)		/			
		YES	(40)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(41)3.0審査へ		不受理
		NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する		(43)3.0審査へ		
		YES	(44) → (48)	/			
		NO	(45)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(46)3.0審査へ		不受理
	0	(47)入籍相手 ＝ 6(養母)(YES,NO)		/			
		YES	(47-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養母の氏名の名 (YES,NO)	/			
		YES	(47-2) → (48)	/			
		NO	(47-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」 を表示する		(47-4)3.0審査へ		Nの時、不受理
		NO	(47-5)確認メッセージ 「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を 行って下さい。」を表示する				応答内容は、処分区分には影響させない
	3	(47-5-1)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)					
		YES	(47-5-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養母の氏名の名 (YES,NO)	/			
		YES	(47-5-3) → (48)	/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(入籍届)					
処理名				4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理				備考	
					NO	(47-5-4)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」 を表示する		(47-5-5)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(47-5-6)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名 (YES,NO)	/		
					YES	(47-5-7) → (48)	/		
					NO	(47-5-8)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		(47-5-9)3.0審査へ	Nの時、不受理
			その他	(48) →				(49)3.1 又は 3.2 又は 3.3審査へ	
		NO							
	NO								
NO									

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)							
処理名	4.4　審査(父母関連)						備考	
(1)入籍相手(2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母)				/				
2	(2)入籍人nの父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(3) → (26)		/				
	NO	(4)確認メッセージ 「入籍人の父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(5)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
3	(6)入籍入nの母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(7) → (26)		/				
	NO	(8)確認メッセージ 「入籍人の母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示			(9)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
4	(10)入籍人nの父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名　又は 入籍人nの母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(11) → (26)		/				
	NO	(12)確認メッセージ 「入籍人の父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(18)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
5	(14)入籍人nの養父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(15) → (26)		/				
	NO	(16)確認メッセージ 「入籍人の養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(17)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
6	(18)入籍人nの養母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(19) →(26)		/				
	NO	(20)確認メッセージ 「入籍人の養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(21)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
7	(22)入籍人nの養父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名　又は 入籍人nの養母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(23) → (26)		/				
	NO	(24)確認メッセージ 「入籍人の養父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(25)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
(26) →								

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.5 審査(父又は母の新戸籍)

									備考
(1)新本籍 ≠ スペース(YES,NO)							/		
YES	(2)入籍先の本籍 ≠ 新本籍(YES,NO)						/		
	YES	(3)入籍人nの生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)					/		
		YES	(4)入籍相手(2:父、3:母、5:養父、6:養母)				/		
			2	(5)届出人1又は2(016:親権者父、110:未成年後見人、その他)			/		戸30条3項
				016	(6) → (38)		/		
				110	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する			(8)3.0審査へ	
					YES	(9) → (38)	/		
					NO	(10)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(11)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				その他		(12)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する			「N」の時、不受理
			3	(13)届出人1又は2(017:親権者母、110:未成年後見人、その他)			/		戸30条3項
				017	(14) → (38)		/		
				110	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する			(16)3.0審査へ	
					YES	(17) → (38)	/		
					NO	(18)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(19)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				その他		(20)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する			「N」の時、不受理
			5	(21)届出人1又は2(019:親権者養父、110:未成年後見人、その他)			/		戸30条3項
				019	(22) → (38)		/		
				110	(23)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する			(24)3.0審査へ	
					YES	(25) → (38)	/		
					NO	(26)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(27)3.0審査へ	「N」の時、不受理

要件定義ワークシート								作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(入籍届)									
処理名				4.5 審査(父又は母の新戸籍)								備考	
				その他	(28)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する							「N」の時、不受理	
			6	(29)届出人1又は2(020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				戸30条3項	
				020	(30) → (38)			/					
				110	(31)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する				(32)3.0審査へ				
				YES	(33) → (38)			/					
				NO	(34)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する				(35)3.0審査へ			「N」の時、不受理	
				その他	(36)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する							「N」の時、不受理	
		NO		(37)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示する								「N」の時、不受理	
	NO	(38) →							(39)3.1審査 又は 3.2審査へ				
NO													

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)

														備考
(1)入籍先の本非区分(1:本籍、2:非本籍)													/	
1	(2)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)												/	
	4	(3)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)											/	
		1	(4)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)										/	
			YES	(5)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)									/	
				YES	(6)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名								/	
					YES	(7) → (95)							/	
					NO	(8)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する									(9)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				NO	(10)確認メッセージ 「入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する										「N」の時、不受理
			NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する											
			YES	(12)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)									/	
				YES	(13)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)								/	
					YES	(14) → (95)							/	
					NO	(15)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する									(16)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				NO	(17)確認メッセージ 「入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する										「N」の時、不受理
			NO	(18) →											不受理
		2	(19)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)										/	
			YES	(20)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)									/	
				YES	(21)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)								/	
					YES	(22) → (95)							/	
					NO	(23)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する									(24)3.0審査へ	「N」の時、不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.6 審査(入籍先･入籍相手区分)

								備考
			NO	(25)確認メッセージ 「入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する				「N」の時、不受理
		NO		(26)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する				
			YES	(27)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)		/		
				YES	(28)入籍先戸籍中のに配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(29) → (95)		/		
					NO	(30)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(31)3.0審査へ		「N」の時、不受理
				NO		(32)確認メッセージ 「入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する				「N」の時、不受理
			NO			(33) →				不受理
		その他		(34)エラーメッセージ 「入籍相手に誤リがあります」を表示する						
	7			(35)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
		1		(36)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)			/			
			YES	(37)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)			/			
				YES	(38)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)			/			
					YES	(39) → (95)			/		
					NO	(40)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(41)3.0審査へ		「N」の時、不受理
				NO		(42)確認メッセージ 「入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
			NO			(43)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する					
				YES		(44)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)			/		
					YES	(45)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)			/		
						YES	(46) → (95)		/		
						NO	(47)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますが		(48)3.0審査へ		「N」の時、不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.6 審査(入籍先・入籍相手区分)

											備考
						「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますが よろしいですか?」を表示する					
					NO	(49)確認メッセージ 「入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
				NO		(50) →					不受理
		2		(51)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)			/				
			YES	(52)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)			/				
				YES	(53)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)		/				
					YES	(54) → (95)	/				
					NO	(55)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(56)3.0審査へ			「N」の時、不受理
				NO		(57)確認メッセージ 「入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
			NO	(58)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する				(59)3.0審査へ			
			YES	(60)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)			/				
				YES	(61)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)		/				
					YES	(62) → (95)	/				
					NO	(63)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますが よろしいですか?」を表示する		(64)3.0審査へ			「N」の時、不受理
				NO		(65)確認メッセージ 「入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
			NO	(66) →							
		その他		(67)エラーメッセージ 「入籍相手に誤りがあります」を表示する							
	その他			(68) → (70)			/				
2				(69) → (70)			/				
(70)入籍相手(2:父、3:母、5:養父、6:養母、その他)							/				
2				(71)入籍先の父母続柄 ＝ 10～29(男～十九男)(YES,NO)							
	YES			(72)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)			/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名			審査(入籍届)						
処理名			4.6 審査(入籍先･入籍相手区分)					備考	
		YES	(73) → (95)	/					
		NO	(74)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(75)3.0審査へ			「N」の時、不受理	
	NO		(75-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)	/					
		YES	(76)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する		(76-1)3.0審査へ			不受理	
		NO	(76-2) → (95)	/					
3	(77)入籍先の父母続柄 ＝ 30～49(女～十九女)(YES,NO)			/					
	YES		(78)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/					
		YES	(79) → (95)	/					
		NO	(80)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(81)3.0審査へ			「N」の時、不受理	
	NO		(81-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)	/					
		YES	(82)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する		(82-1)3.0審査へ			不受理	
		NO	(82-2)→(95)	/					
5	(83)入籍先の父母続柄 ＝ 10～29(男～十九男)(YES,NO)			/					
	YES		(84)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)	/					
		YES	(85) → (95)	/					
		NO	(86)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(87)3.0審査へ			「N」の時、不受理	
	NO		(87-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)	/					
		YES	(88)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する		(88-1)3.0審査へ			不受理	
		NO	(88-2) → (95)	/					
6	(89)入籍先の父母続柄 ＝ 30～49(女～十九女)(YES,NO)			/					
	YES		(90)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)	/					
		YES	(91) → (95)	/					

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)							備考	
		NO	(92)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(93)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	NO		(93-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース		/				
		YES	(94)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する			(94-1)3.0審査へ		不受理	
		NO	(94-2) → (95)		/				
その他	(95) →					(96)3.1　又は 3.2審査へ			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		入籍届入力画面	受領NO				
	選択事件コード							「21」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	存外送付区分			存外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							「0:無」をセット
	届出区分							「1:創設」をセット
	渉外区分							「0:日本人」をセット
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1							入籍先が本籍人の時、入籍先の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号2							入籍人が本籍人の時、入籍人の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする。*
	決裁区分							ZERO
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル (届書) 事件本人	入籍者種別		入籍届入力画面	入籍者種別				
	同時入籍者数			同時入籍者数				
	入籍事由			入籍事由				
	入籍相手			入籍相手				
	従前の氏を改めた日			従前の氏を改めた日				
	許可の審判確定日			許可の審判確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	入籍先の本非区分			入籍先の本非区分				
	入籍先の個人除区分			入籍先の個人除区分				
	入籍先の筆頭者区分			入籍先の筆頭者区分				
	入籍先の配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	入籍先の本籍コード			入籍先の本籍				
	入籍先の本籍							
	入籍先の筆頭者			入籍先の筆頭者				
	入籍先の個人番号							本籍人の場合設定
	入籍先のカナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	入籍先の漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	入籍先の住所コード			入籍先の住所				
	入籍先の住所							
	入籍先の世帯主			入籍先の世帯主				
	入籍先の父の氏名			入籍先の父の氏名				
	入籍先の母の氏名			入籍先の母の氏名				
	入籍先の父母との続柄			入籍先の父母続柄				
	入籍先の生年月日			入籍先の生年月日				
	新本籍コード			新本籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

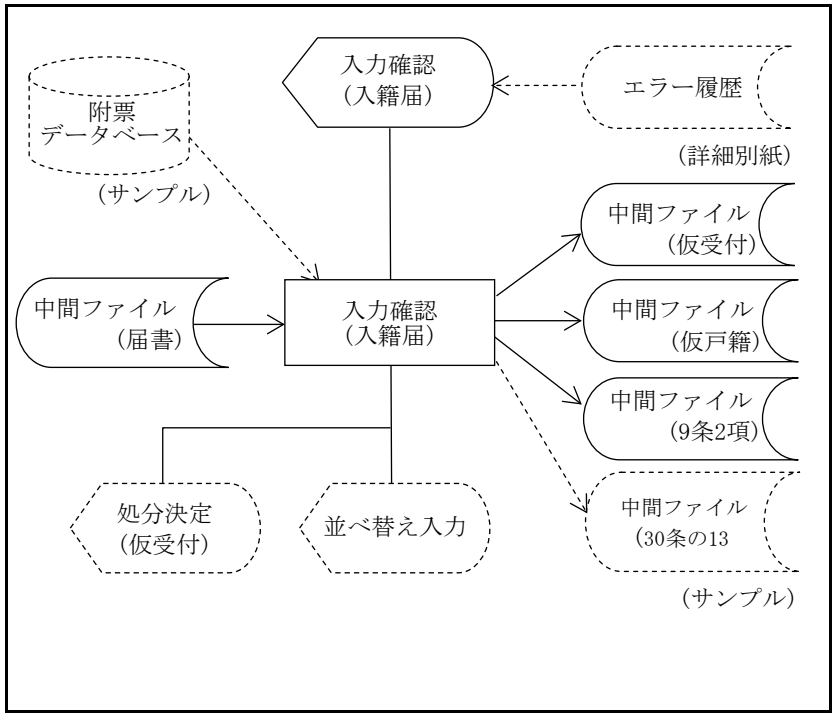
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	新本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	入籍人の本非区分			入籍人の本非区分				
	入籍人の本籍コード			入籍人の本籍				
	入籍人の本籍							
	入籍人の筆頭者			入籍人の筆頭者				
	入籍人nの筆頭者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	入籍人nの更正区分			入籍人nの更正区分				
	入籍人nの個人番号							本籍人の場合、設定
	入籍人nのカナ氏名			入籍人nのカナ氏名				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの漢字氏名			入籍人nの漢字氏名				
	入籍人nの生年月日			入籍人nの生年月日				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの住所コード			入籍人nの住所				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの住所							
	入籍人nの世帯主			入籍人nの世帯主				
	入籍人nの父の氏名			入籍人nの父の氏名				
	入籍人nの母の氏名			入籍人nの母の氏名				
	入籍人nの父母続柄			入籍人nの父母続柄				
	入籍人nの養父の氏名			入籍人nの養父の氏名				
	入籍人nの養母の氏名			入籍人nの養母の氏名				
	入籍人nの養父母続柄			入籍人nの養父母続柄				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	入籍人配偶者のカナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	入籍人配偶者の漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	入籍人配偶者の生年月日			入籍人配偶者の生年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍人配偶者の父氏名			入籍人配偶者の父の氏名				
	入籍人配偶者の母氏名			入籍人配偶者の母の氏名				
	入籍人配偶者の父母との続柄			入籍人配偶者の父母続柄				
	入籍人配偶者の養父氏名			入籍人配偶者の養父の氏名				
	入籍人配偶者の養母氏名			入籍人配偶者の養母の氏名				
	入籍人配偶者の養父母との続柄			入籍人配偶者の養父母続柄				
	入籍人配偶者の住所コード			入籍人配偶者の住所				
	入籍人配偶者の住所							
	入籍人配偶者の世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	入籍人配偶者の外国人区分			入籍人配偶者の外国人区分				
	入籍人配偶者の配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	入籍人配偶者の更正区分			入籍人配偶者の更正区分				
	入籍人配偶者の個人番号							本籍人の場合、設定

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)						

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認面面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 入籍人のデータ編集
  - 3.2 その他(除籍父又は母(送付･除籍のみ))のデータ編集
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 父又は母の個人特定(入籍)
  - 4.2 父又は母の身分事項(除籍)
  - 4.3 父又は母の身分事項(入籍)
- 5.1 入籍人の個人特定(入籍)
- 5.2 入籍人の身分事項(除籍)
- 5.3 入籍人の身分事項(入籍)
- 6.1 入籍人配偶者の個人特定(入籍)
- 6.2 入籍人配偶者の身分事項(除籍)
- 6.3 入籍人配偶者の身分事項(入籍)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 父又は母
  - 7.2 入籍人
  - 7.3 入籍人配偶者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 父又は母
  - 8.2 入籍人
  - 8.3 入籍人配偶者

5. 備考(特記事項含む)

(1)配偶者同時の場合は、仮受付レコードを入籍人と同時に作成する(同一受領番号)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	入力確認(入籍届)
処理名	0.0 本紙

																		備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]																/		※受付けファイルは入籍者だけに作成する ただし、入籍先の(養)父・母のみ除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 2)において、入籍人の本籍が管外で、(養)父・母の本籍が管内であるが、新戸籍編製地が管外の場合かつ、(養)父・母の本籍地への除籍の届書送付があった時に限り(養)父・母を本籍人として受付ファイルを作成する。[3.2] 配偶者同時の場合は、入籍人配偶が日本人の場合に限り作成する。[3.1]
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)																/		
実行キー	(3)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)															/		
	1	(3-1)入籍人の人数分繰り返す														/		
			(3-2)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.1]													/		
	2	(4)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES,NO)														/		
		YES	(5)入籍人の本籍 ＝ 管外である(YES,NO)													/		
			YES	(6)入籍先の本籍 ＝ 管内である(YES,NO)												/		
				YES	(7)新本籍 ＝ 管外である(YES,NO)											/		
					YES	(8-2)中間ファイル(仮受付)を編集出力する [3.2]										/		
					NO	(9)中間ファイル(仮受付)を編集出力する [3.1]										/		
				NO														
			NO															
		NO																
	3	(10)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.1]														/		
		(11-1)入籍人配偶者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)														/		
		0 (11-2)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.1]																
		1 (11-3)→(12)																
	(12)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]															/		
	(13)入籍人は父又は母の新戸籍に入る(YES,NO)															/		
	YES	(14)父又は母は本籍人である(YES,NO)														/		
		YES	(15)父又は母の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する													/		
			個人特定(入籍)	(16)父又は母の入籍の編集 [4.1]												/		
			身分事項(除籍)	(17)父又は母の除籍事項の編集 [4.2]												/		
			身分事項(入籍)	(18)父又は母の入籍事項の編集 [4.3]												/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	入力確認(入籍届)
処理名	0.0 本紙

									備考
			(18-1)父又は母は在外選挙人である(YES,NO)				/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(18-1)、(18-2)
		YES	(18-2)父又は母について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[8.1]			/		
		NO	(19)→(21)				/		
	NO								
NO	(20)→(21)						/		
(21)入籍人は本籍人である(YES,NO)							/		
YES	(22)入籍人の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する						/		
	(23)入籍人の人数分繰り返す						/		
		個人特定(入籍)	(24)入籍人の入籍の編集	[5.1]			/		
		身分事項(除籍)	(25)入籍人の除籍事項の編集	[5.2]			/		
		身分事項(入籍)	(26)入籍人の入籍事項の編集	[5.3]			/		
		(27)入籍人は在外選挙人である(YES,NO)					/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(27)、(28)、(29)
		YES	(28)入籍人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[8.2]			/		
		NO	(29)→(30)				/		
		(30)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)					/		
		YES	(31)入籍人配偶者の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/		
			個人特定(入籍)	(32)入籍人の入籍の編集	[6.1]		/		
			身分事項(除籍)	(33)入籍人の除籍事項の編集	[6.2]		/		
			身分事項(入籍)	(34)入籍人の入籍事項の編集	[6.3]		/		
			(35)入籍人配偶者は在外選挙人である(YES,NO)				/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(35)、(36)、(37)
			YES	(36)入籍人配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[8.3]		/		
			NO	(37)→(40)			/		
		NO	(38)→(40)				/		
NO	(39)→(40)						/		
(40)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)							/		
YES	(41)入籍人は父又は母の新戸籍に入る(YES,NO)						/		
	YES	(42)父又は母について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[7.1]			/		
	NO	(43)→(44)					/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
			(44)入籍人の人数分繰り返す		/				
			(45)入籍者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [7.2]						
			(46)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
		YES	(47)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [7.3]			(48)処分決定に制御を渡す			
		NO	→						
	NO	→							
PF1	→					(49)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(50)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(51)審査に制御を渡す			
PF7	(52)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)				/	(55)同画面を編集する			
	ある	(53)前ページ分の確認画面(入籍届)を編集する							
	なし	(54)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(56)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)				/	(59)同画面を編集する			
	ある	(57)次ページ分の確認画面(入籍届)を編集する							
	なし	(58)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する							
PF11	→					(60)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(61)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(62)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
入籍届 種別入力確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	入籍者種別		中間ファイル(届書) 事件別内容	入籍者種別				
	同時入籍者数			同時入籍者数				
入籍届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	入籍事由		中間ファイル(届書) 事件別内容	入籍事由				
	入籍相手			入籍相手				
	入籍相手名称					有		
	従前の氏を改めた日			従前の氏を改めた日				
	許可の審判確定日			許可の審判確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	戸籍変動区分名称					有		
	入籍先の本非区分			入籍先の本非区分				
	入籍先の本非区分名称					有		
	入籍先の個人除区分			入籍先の個人除区分				
	入籍先の個人除区分名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍先の筆頭者区分			入籍先の筆頭者区分				
	入籍先の筆頭者区分名称					有		
	入籍先の配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	入籍先の配偶者区分名称					有		
	入籍先の本籍			入籍先の本籍コード		有		
				入籍先の本籍				
	入籍先の筆頭者			入籍先の筆頭者				
	入籍先のカナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	入籍先の漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	入籍先の住所			入籍先の住所コード		有		
				入籍先の住所				
	入籍先の世帯主			入籍先の世帯主				
	入籍先の父の氏名			入籍先の父の氏名				
	入籍先の母の氏名			入籍先の母の氏名				
	入籍先の父母続柄			入籍先の父母との続柄				
	入籍先の父母続柄名称					有		
	入籍先の生年月日			入籍先の生年月日				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	入籍人の本非区分			入籍人の本非区分				
	入籍人の本非区分名称					有		
	入籍人nの筆頭者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの筆頭者区分名称					有		
	入籍人nの配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	入籍人nの配偶者区分名称					有		
	入籍人nの更正区分			入籍人nの更正区分				
	入籍人nのカナ氏名			入籍人nのカナ氏名				
	入籍人nの漢字氏名			入籍人nの漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍人nの生年月日			入籍人nの生年月日				
	入籍人nの住所			入籍人nの住所コード		有		
				入籍人nの住所				
	入籍人nの世帯主			入籍人nの世帯主				
	入籍人nの父の氏名			入籍人nの父の氏名				
	入籍人nの母の氏名			入籍人nの母の氏名				
	入籍人nの父母続柄			入籍人nの父母続柄				
	入籍人nの父母続柄名称					有		
	入籍人nの養父の氏名			入籍人nの養父の氏名				
	入籍人nの養母の氏名			入籍人nの養母の氏名				
	入籍人nの養父母続柄			入籍人nの養父母続柄				
	入籍人nの養父母続柄名称					有		
	入籍人の本籍			入籍人の本籍コード		有		
				入籍人の本籍				
	入籍人の筆頭者			入籍人の筆頭者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	入籍人配偶者のカナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	入籍人配偶者の漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	入籍人配偶者の生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	入籍人配偶者の父の氏名			入籍人配偶者の父氏名				
	入籍人配偶者の母の氏名			入籍人配偶者の母氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍人配偶者の父母続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	入籍人配偶者の父母続柄名称					有		
	入籍人配偶者の養父の氏名			入籍人配偶者の養父氏名				
	入籍人配偶者の養母の氏名			入籍人配偶者の養母氏名				
	入籍人配偶者の養父母続柄			入籍人配偶者の養父母との続柄				
	入籍人配偶者の養父母続柄名称					有		
	入籍人配偶者の住所			入籍人配偶者の住所コード		有		
				入籍人配偶者の住所				
	入籍人配偶者の世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	入籍人配偶者の外国人区分			入籍人配偶者の外国人区分				
	入籍人配偶者の外国人区分名称					有		
	入籍人配偶者の配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	入籍人配偶者の配偶者区分名称					有		
	入籍人配偶者の更正区分			入籍人配偶者の更正区分				

補足説明書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表							

項番	戸籍編製区分			入籍人					入籍人配偶者		入籍先				新戸籍		入籍人の従前戸籍		入籍先の現在戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	すでにある戸籍に入る	父又は母の新戸籍に入る	新しい戸籍を作る	本・非区分		他の在籍者			外国人区分		本・非区分		他の在籍者の有無				一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 D.1	
				本籍人	非本籍人	有 配偶者	有 その他	無	日本人	外国人	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外						
1	○			○			○				○		—	—			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
2	○			○			○					○	—	—			入籍人(5.2)					
3	○			○				○			○		—	—				入籍人(5.2)			入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
4	○			○				○				○	—	—				入籍人(5.2)				
5	○				○		—	—			○		—	—							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
6	○				○		—	—				○	—	—								
7		○		○			○				○		○		○		入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
8		○		○			○				○			○	○		入籍人(5.2)			父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
9		○		○			○				○		○			○	入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			
10		○		○			○				○			○		○	入籍人(5.2)			父又は母(4.2)		
11		○		○			○					○	—	—	○		入籍人(5.2)					父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
12		○		○			○					○	—	—		○	入籍人(5.2)					

13		○		○				○			○		○		○			入籍人(5.2)	父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
14		○		○				○			○			○	○			入籍人(5.2)		父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
15		○		○				○			○		○			○		入籍人(5.2)	父又は母(4.2)				
16		○		○				○			○			○		○		入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			
17		○		○				○				○	—	—	○			入籍人(5.2)				父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
18		○		○				○				○	—	—		○		入籍人(5.2)					
19		○			○		—	—			○		○		○				父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
20		○			○		—	—			○		○			○			父又は母(4.2)				
21		○			○		—	—			○			○	○					父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
22		○			○		—	—			○			○		○				父又は母(4.2)			
23		○			○		—	—				○	—	—	○							父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
24		○			○		—	—				○	—	—		○							
25			○	○		○		○	○		—	—	—	—	○			入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1
26			○	○		○		○	○		—	—	—	—		○		入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)					※1

27			○	○		○	○		○		—	—	—	—	○		入籍人(5.2) 入籍人配偶者 (6.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者 (6.1) 入籍人配偶者 (6.3)	※1
28			○	○		○	○		○		—	—	—	—		○	入籍人(5.2) 入籍人配偶者 (6.2)						※1
29			○	○			○			○	—	—	—	—	○		入籍人(5.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
29-1			○	○			○			○	—	—	—	—		○	入籍人(5.2)						
29-2			○	○				○		○	—	—	—	—	○			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
30			○	○				○		○	—	—	—	—		○		入籍人(5.2)					
31			○	○			○				—	—	—	—	○		入籍人(5.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
32			○	○			○				—	—	—	—		○	入籍人(5.2)						
33			○	○				○			—	—	—	—	○			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
34			○	○				○			—	—	—	—		○		入籍人(5.2)					
35			○		○	○	—	—	○		—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者 (6.1) 入籍人配偶者 (6.3)	※1
36			○		○	○	—	—	○		—	—	ー	—		○							
37			○		○		—	—		○	—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
38			○		○		—	—		○	—	—	—	—		○							
39			○		○		—	—			—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
40			○		○		—	—			—	—	—	—		○							

※1 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、入籍人と入籍人配偶者の編集を行う。
上記以外(配偶者が外国人)の場合は、入籍人の編集のみを行う。

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・入籍)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2101:入籍を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分							入籍人の本籍　又は　新本籍(新本籍＝ スペースの時は入籍先の本籍)が管内本籍であれば1(本籍)を設定 それ以外は2(非本籍)を設定
	渉外区分							0:日本人のみを設定
	証書提出区分							0:届出
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							移送データなし
	許可日							移送データなし
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格1 又は 2が、098、009の時は、設定しない。 ただし、009で入籍人配偶者の外国人区分が1:外国人の時は、配偶者を設定する。 上記以外の場合は、引渡し項目をそれぞれ設定する。
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1のとき、 1:入籍を設定 戸籍変動区分 ＝ 2、3のとき、 2:新戸籍編製を設定
	届後本籍コード							新本籍コード ≠ スペース: 新本籍コードを移送 新本籍コード ＝ スペース: 入籍先本籍コードを移送
	届後本籍							新本籍 ≠ スペース:新本籍を移送 新本籍 ＝ スペース: 入籍先本籍を移送
	届後本籍の筆頭者					新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者を移送 新筆頭者 ＝ スペース:戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、入籍先の筆頭者を移送 戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、入籍先の漢字氏名を移送		
	送達確認区分1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分					本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 入籍人の本籍又は入籍先の本籍又は新本籍が管内本籍であれば1(送付要)を設定。 それ以外は0(不要)を設定。 戸籍変動区分 ≠ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時は、 0(不要)を設定。 ※本非区分は、共通部の項目を用いる		
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							36:入籍者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人区分							資格区分1 又は 2 ＝ 098のとき、1:届出人を設定 それ以外のとき、0:を設定
	カナ氏名			入籍人のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍人の漢字氏名				
	生年月日			入籍人の生年月日				
	本籍コード			入籍人の本籍コード				
	本籍			入籍人の本籍				
	筆頭者			入籍人の筆頭者				
	送達確認2					入籍人の本籍が、非本籍　かつ (在外送付区分 ＝ 0:受理)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		
中間ファイル (仮受付) 事件本人(配偶者)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							45:配偶者
	届出人区分							許可の審判確定日 ＝ スペースのとき、1:届出人を設定 それ以外のとき、0を設定
	カナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	本籍コード			入籍人の本籍コード				
	本籍			入籍人の本籍				
	筆頭者			入籍人の筆頭者				
	送達確認2					入籍人の本籍が、非本籍　かつ (在外送付区分 ＝ 0:受理　又は 2:在外公館から直接送付)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		

(注)　入籍人配偶者の情報を編集する。入籍人の事件本人レコードに続けて入籍人配偶者の事件本人レコードを出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4401(その他)を設定
	受付日			送付日				
	事件発生日							
	事件発生時分							
	受理送付区分							「送付」を設定
	本非区分							「本籍」を設定
	渉外区分							0:日本人のみ
	証書提出区分							0:届出
	発送日							移送データなし
	郵送日							移送データなし
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							移送データなし
	許可日							移送データなし
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1							
	届出人資格区分1名称							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格区分2名称							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2:新戸籍編製を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後本籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認区分1							0:不要を設定
	届書送付目録区分							1(送付要)を設定。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							99:事件本人
	届出人区分							0:を設定
	カナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	生年月日			入籍先の生年月日				
	本籍コード			入籍先の本籍コード				
	本籍			入籍先の本籍				
	筆頭者			入籍先の筆頭者				
	送達確認2							0:不要を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	4.1　入籍人の父又は母(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							2.0 戸籍編製マトリックス表で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別					有		入籍先の父母との続柄より設定
	生年月日			入籍先の生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者を設定
	配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	父			入籍先の父の氏名				
	母			入籍先の母の氏名				
	父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							入籍先の父又は母が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

※養父、養母、養父母との続柄は、移記処理で入力する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	4.2　入籍人の父又は母(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2102:「子の入籍」を設定
	記録コード								2102:「子の入籍による父又は母の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由							「子の入籍届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		従戸前籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍							新本籍 ≠ スペース:新本籍を移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	4.3　入籍人の父又は母(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2102:「子の入籍」を設定
	記録コード								2102:「子の入籍による父又は母の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日 ≠ スペース:処理日、 送付日 ≠ スペース:送付日 他は受領日
		入籍事由							「子の入籍届出」を移送
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前籍	本籍		入籍先の本籍				
			筆頭者		入籍先の筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.1　入籍人(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号					2.0 戸籍編製ﾏﾄﾘｯｸｽ表で示した順で順次番号を付番する		
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別					有		入籍人nの父母続柄より設定
	生年月日			入籍人nの生年月日				
	筆頭者区分					戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、0を移送 戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸に入る)の時、0を移送 戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)の時、 1を移送(1:筆頭者、0:構成員)		
	配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	父			入籍人nの父の氏名		入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人の更正区分 ≠ 1(無)の場合に父母欄更正を行う		
	母			入籍人nの母の氏名				
	父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	養父			入籍人nの養父の氏名				
	養母			入籍人nの養母の氏名				
	養父母との続柄			入籍人nの養父母続柄				

1.入籍先の配偶者区分が「0:未」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先の漢字氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先の漢字氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先の漢字氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先の漢字氏名

2.入籍先の配偶者区分が「1:夫」または「2:妻」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名

3.入籍先の配偶者区分が「3:生存配偶者」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.1　入籍人(個人特定)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	前個人番号							入籍人が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.2　入籍人(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2101:「入籍」を設定
	記録コード								2101:「入籍する者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出日			受領日				
		入籍事由							
		除籍事由							入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍):入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍):入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍):「従前の氏に復する入籍」を設定
	届出	届出人(1)	資格(1)		届出人資格1				届出人資格1 又は 2が、098、009の時は、設定しない。 上記以外は、引渡し項目をそれぞれ設定する。 但し、(019、020、110)以外は資格項目のみ設定すること。(019、020、110の時のみ、資格と氏名が設定される) また、以下に示す組合せの場合は、個別編集する。
			資格名称(1)				有		
			氏名(1)		届出人氏名1				
		届出人(2)	資格(2)		届出人資格2				
			資格名称(2)				有		
			氏名(2)		届出人氏名2				
		共同届出人	資格						届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 1:夫 の場合「妻」を設定 届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 2:妻 の場合「夫」を設定
			資格名称						
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		

届出人資格	資格(1)	資格名称(1)
016　親権者父		
017　親権者母	018	親権者父母

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	5.2　入籍人(除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合のみ
		称する氏							入籍事由 ＝ 1 かつ 戸籍変動区分 ＝ 3の場合に 新筆頭者の氏を移送
		復する氏							入籍事由 ＝ 3 かつ 戸籍変動区分 ＝ 3 かつ 入籍者種別 ＝ 2 かつ 入籍人nの漢字氏名の氏 ≠ 新筆頭者の氏の場合に新筆頭者の氏を移送
		入籍戸籍 本籍			新本籍　又は 入籍先の本籍				戸籍変動区分 ≠ 3の場合のみ 新本籍 ≠ スペース:新本籍、 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
		筆頭者			新筆頭者　又は 入籍先の筆頭者　又は 入籍先の漢字氏名				戸籍変動区分 ≠ 3の場合のみ 新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者 戸籍変動区分 ＝ 1の時:入籍先の筆頭者 戸籍変動区分 ＝ 2の時:入籍先の漢字氏名
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.3　入籍人(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2101:「入籍」を設定
	記録コード								2101:「入籍する者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出日			受領日				
		入籍事由							入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍):入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍):入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍):「従前の氏に復する入籍」を設定
		除籍事由							
	届出	届出人(1) 資格(1)			届出人資格1				届出人資格1 又は 2が、098、009の時は、設定しない。 上記以外は、引渡し項目をそれぞれ設定する。 但し、(019、020、110)以外は資格項目のみ設定すること。(019、020、110の時のみ、資格と氏名が設定される) また、以下に示す組合せの場合は、個別編集する。
		資格名称(1)					有		
		氏名(1)			届出人氏名1				
		届出人(2) 資格(2)			届出人資格2				
		資格名称(2)					有		
		氏名(2)			届出人氏名2				
		共同届出人 資格							届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 1:夫 の場合「妻」を設定 届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 2:妻 の場合「夫」を設定
		資格名称							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		

届出人資格	資格(1)	資格名称(1)
016　親権者父		
017　親権者母	018	親権者父母

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	5.3　入籍人(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			入籍人の本籍				
		従前戸籍 筆頭者			入籍人の筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.1　入籍人配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号					2.0 戸籍編製ﾏﾄﾘｯｸｽ表で示した順で順次番号を付番する		
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別					有		入籍人配偶者の父母との続柄より設定
	生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	筆頭者区分							0:構成員を設定
	配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	父			入籍人配偶者の父氏名		入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人配偶者の更正区分 ≠ 1(無)の場合に父母欄更正を行う		
	母			入籍人配偶者の母氏名				
	父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	養父			入籍人配偶者の養父氏名				
	養母			入籍人配偶者の養母氏名				
	養父母との続柄			入籍人配偶者の養父母との続柄				

1.入籍先の配偶者区分が「0:未」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先の漢字氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先の漢字氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先の漢字氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先の漢字氏名

2.入籍先の配偶者区分が「1:夫」または「2:妻」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名

3.入籍先の配偶者区分が「3:生存配偶者」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.1　入籍人配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	前個人番号							入籍人配偶者が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.2　入籍人配偶者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2103:「配偶者の入籍」を設定
	記録コード								2103:「入籍する者の配偶者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出による入籍日							
		入籍事由							
	除籍	届出による除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
		除籍事由					入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時 入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時 入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時 「従前の氏に復する入籍」を設定 上記編集した後、入籍人の配偶者区分を名称に変えて先頭に付加する。EX)夫が父の氏を称する入籍		
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除戸籍	新本籍							新本籍 ≠ スペース:新本籍、 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
		称する氏							入籍事由 ＝ 1の時、新筆頭者の氏
		復する氏							入籍事由 ＝ 3の時、新筆頭者の氏
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.3 入籍人配偶者(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							2103:「配偶者の入籍」を設定
	記録コード							2103:「入籍する者の配偶者の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	入籍 届出による入籍日			処理日 又は 送付日 又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	入籍 入籍事由					入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時 入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時 入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時 「従前の氏に復する入籍」を設定 上記編集した後、入籍人の配偶者区分を名称に変えて先頭に付加する。EX)夫が父の氏を称する入籍		
	除籍 届出による除籍日							
	除籍 除籍理由							
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	入戸籍 従前籍 本籍			入籍人の本籍				
	入戸籍 従前籍 筆頭者			入籍人の筆頭者				
	除戸籍 新本籍							
	除戸籍 称する氏							
	除戸籍 復する氏							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.1　9条2項(入籍人の父又は母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			入籍先の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍先の漢字氏名				
	旧氏名			入籍先の漢字氏名				
	新生年月日			入籍先の生年月日				
	旧生年月日			入籍先の生年月日				
	新父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 又は 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 又は 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペス:新本籍
	旧本籍コード			入籍先の本籍コード				
	旧本籍			入籍先の本籍				
	新筆頭者			入籍先の漢字氏名				
	旧筆頭者			入籍先の筆頭者				
	住所コード			入籍先の住所コード				
	住所			入籍先の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍先の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.2　9条2項(入籍人)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			入籍人nの住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人nの漢字氏名(名) 新筆頭者(氏) 入籍先の筆頭者(氏)				戸籍変動区分 ＝ 1 又は 2の場合、 入籍先の筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名 戸籍変動区分 ＝ 3の場合、 新筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人nの漢字氏名				
	新生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧生年月日			入籍人nの生年月日				
	新父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	旧父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	新本籍コード			新本籍コード 入籍先の本籍コード				新本籍コード ≠ スペース:新本籍コード移送 新本籍コード ＝ スペース:入籍先の本籍コード移送
	新本籍			新本籍 入籍先の本籍				新本籍 ≠ スペース:新本籍移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍移送
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者 入籍先の漢字氏名				新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者移送 新筆頭者 ＝ スペース:入籍先の漢字氏名移送
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人nの住所コード				
	住所			入籍人nの住所				
	方書							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.2　9条2項(入籍人)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人nの世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	7.3　9条2項(入籍人配偶者)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			入籍人配偶者の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人配偶者の漢字氏名(名) 新頭者(氏)				新筆頭者の氏 + 入籍人配偶者の漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人配偶者の住所コード				
	住所			入籍人配偶者の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(入籍人の父又は母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍先の漢字氏名				
	旧氏名			入籍先の漢字氏名				
	新生年月日			入籍先の生年月日				
	旧生年月日			入籍先の生年月日				
	新性別							入籍先の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 又は 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 又は 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペース:新本籍
	旧本籍コード			入籍先の本籍コード				
	旧本籍			入籍先の本籍				
	新筆頭者			入籍先の漢字氏名				
	旧筆頭者			入籍先の筆頭者				
	住所コード			入籍先の住所コード				
	住所			入籍先の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(入籍人)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項) 入籍人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人nの漢字氏名(名) 新筆頭者(氏) 入籍先の筆頭者(氏)				戸籍変動区分 ＝ 1 又は 2の場合、 入籍先の筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名 戸籍変動区分3の場合、 新筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人nの漢字氏名				
	新生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧生年月日			入籍人nの生年月日				
	新性別							入籍人nの父母続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 又は 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 又は 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペース:新本籍
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者 入籍先の漢字氏名				新筆頭者 ＝ スペース:入籍先の漢字氏名 新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人nの住所コード				
	住所			入籍人nの住所				
	方書							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(入籍人)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	8.3　30条の13第1項(入籍人配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人配偶者の漢字氏名 (名) 新筆頭者(氏)				新筆頭者の氏 + 入籍人配偶者の漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	新性別							入籍人配偶者の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人配偶者の住所コード				
	住所			入籍人配偶者の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

21.分籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	25	「分籍届」	審査3.0（15-3） 「(0-9)→(0-18)へ」に修正
2		27		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
3		26		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	2.0	令和3年度申し送り事項一覧№4	「分籍届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1、4.2

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	分籍届

1. 分籍届による分籍業務処理範囲外の処理

(1) 昭和60年1月1日より前に渉外婚姻をした者で、現在父母又は養父母の戸籍にいる者からの届。

(2) 成年擬制者からの届出。

上記(1)、(2)は、審査結果入力で処理を行う。

2. 分籍届入力画面の意義

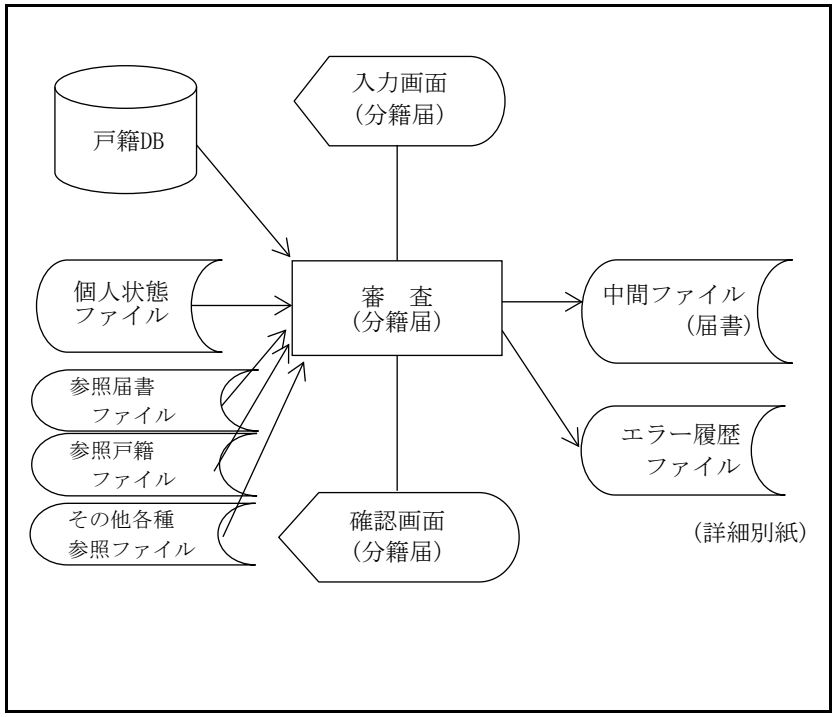
(1) 分籍人当事者の各項目を入力する。

3. その他

特になし

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(分籍届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)分籍届の内容を入力する
(2)分籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)分籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)分籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(分籍届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(分籍届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する							/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す			
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する						(15-3)同画面を編集する			
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する		入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(分籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(分籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		英数				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	分籍人の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
11	分籍人の配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
12	分籍人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	分籍人の婚姻事項の有無	○	数字	(0:無、1:有)であること			
14	分籍人の渉外区分		数字	(0:日本人のみ、1:渉外)であること			
15	分籍人の婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	分籍人のカナ氏名	○	カナ				
17	分籍人の漢字氏名	○	漢字				
18	分籍人の住所		漢字				
19	分籍人の世帯主		漢字				
20	分籍人の本籍	○	漢字				
21	分籍人の筆頭者	○	漢字				
22	分籍人の父の氏名		漢字				
23	分籍人の母の氏名		漢字				
24	分籍人の父母との続柄	○	数字	(10:男～49:十九女)であること			
25	分籍人の新本籍	○	漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(分籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(分籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本籍区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.20)分籍人の本籍　又は　(No.25)分籍人の新本籍の何れかが管内であること			
12	(No.13)分籍人の婚姻事項の有無 ＝ 0(無)の時、 (No.14)分籍人の渉外区分 ＝ スペース　かつ　(No.15)分籍人の婚姻日 ＝ スペースであること			
13	(No.13)分籍人の婚姻事項有無 ＝ 1(有)の時、 (No.14)分籍人の渉外区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)分籍人の婚姻日 ≠ スペースであること			
14	(No.24)分籍人の父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.22)分籍人の父の氏名 ≠ スペース　又は　(No.23)分籍人の母の氏名 ≠ スペースであること			
15	(No.17)分籍人の漢字氏名の氏 ＝ (No.21)分籍人の筆頭者の氏であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(分籍届)
処理名	3.0 審査

							備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-3)→(0-7)へ			/		
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ				/		
(0-7)分籍人の父の氏名 ＝ スペース 又は 分籍人の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)					/		
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する						
	YES	(0-9)→(0-18)へ			/		
	NO	(0-10)				(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-12)分籍人の父母との続柄 ＝ 10(男) 又は 30(女)である(YES,NO)				/		
	YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する					
		YES	(0-14)→(0-18)へ		/		
		NO	(0-15)			(0-16)本紙へ	不受理
	NO	(0-17)→(0-18)へ			/		
(0-18)分籍人の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)					/		
YES	(0-19)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する					(0-20)本紙へ	
	YES	(0-21)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-23)本紙へ	不受理
	NO	(0-22)→					画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-24)→(1)へ				/		
(1)2022年4月1日≦受領日(YES,NO)					/		民法改正(2022年4月1日)後か前で審査を分ける
YES	(1-1)分籍人の生年月日＋18年(18歳以上)≦受領日である(YES,NO)				/		戸21Ⅰ 民法改正(2022年4月1日)後の審査
	YES	(2)分籍人の婚姻事項の有無(0:無、1:有)			/		
	1	(3)婚姻の渉外区分(1:渉外、その他)			/		
		1	(4)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)		/		
			0	(5)分籍人の婚姻日＜昭和60年1月1日である(YES,NO)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(分籍届)
処理名	3.0 審査

										備考
					YES	(6)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(7)本紙へ		
					NO	(8)エラーメッセージ 「分籍届は受理できません。」を表示する				
				1		(9)エラーメッセージ 「分籍人は筆頭者です。分籍届は受理出来ません。」を表示する				
			その他			(10)エラーメッセージ 「分籍人は婚姻中です。分籍届は受理出来ません。」を表示する				
		0				(11)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/			戸21Ⅰ
			0			(12)分籍人の配偶者区分(0:未、その他)	/			
				0		(13)→		(16)本紙へ		
				その他		(17)エラーメッセージ 「分籍人は配偶者(生存配偶者)です。」を表示する				
			1			(18)エラーメッセージ　「分籍人は筆頭者です。」を表示する				
	NO					(19)エラーメッセージ　「分籍人は未成年者です。」を表示する		(20)本紙へ		
NO						(21)分籍人の生年月日＋20年(20歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/			戸21Ⅰ 民法改正(2022年4月1日)前の審査
	YES					(22)分籍人の婚姻事項の有無(0:無、1:有)	/			
		1				(23)分籍人の渉外区分(1:渉外、その他)	/			
			1			(24)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/			
				0		(25)分籍人の婚姻日＜昭和60年1月1日である(YES,NO)	/			
					YES	(26)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(27)本紙へ		
					NO	(28)エラーメッセージ 「分籍届は受理できません。」を表示する				
				1		(29)エラーメッセージ 「分籍人は筆頭者です。分籍届は受理出来ません。」を表示する				
			その他			(30)エラーメッセージ 「分籍人は婚姻中です。分籍届は受理出来ません。」を表示する				
		0				(31)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/			戸21Ⅰ
			0			(32)分籍人の配偶者区分(0:未、その他)	/			
				0		(33)→		(34)本紙へ		

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(分籍届)							
処理名				3.0 審査						備考	
				その他	(35)エラーメッセージ 「分籍人は配偶者(生存配偶者)です。」を表示する						
			1		(36)エラーメッセージ　「分籍人は筆頭者です。」を表示する						
	NO				(37)エラーメッセージ　「分籍人は未成年者です。」を表示する			(38)本紙へ			

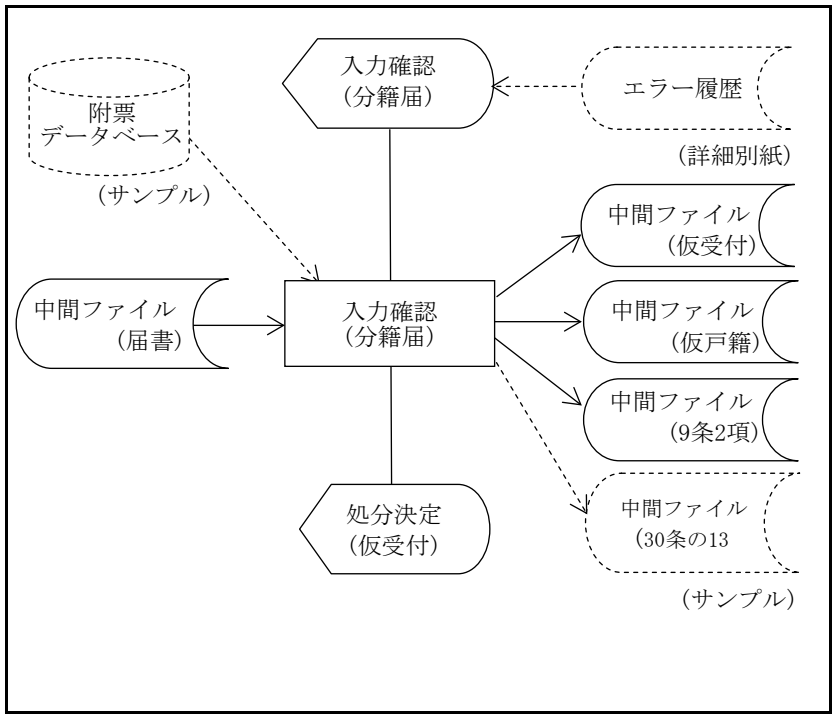
データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(分籍届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号			分籍届入力画面	受領番号				
	選択事件コード								「22」を引き渡す
	出張所番号				支所番号				
	受領日				受領日				
	送付日				送付日				
	発送元				発送元				
	在外送付区分				在外送付区分				
	処理日				処理日				
	指示日								
	許可日								
	受理送付区分								在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分				本非区分				
	郵送日				郵送日				
	動態区分								ZERO(不要)をセット
	届区分								1(創設)をセット
	渉外区分								ZEROをセット
	同時決裁受領番号								
	ロック戸籍番号(1)								本籍人の時、分籍者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)								
	ロック戸籍番号(3)								
	ロック戸籍番号(4)								
	ロック戸籍番号(5)								
	事件別内容								中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分								
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 項目がない場合は、0
	決裁区分								
	届書排他区分								0:未　1:排他

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(分籍届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者区分			分籍届入力画面	分籍人の筆頭者区分				
	配偶者区分				分籍人の配偶者区分				
	生年月日				分籍人の生年月日				
	婚姻事項の有無				分籍人の婚姻事項の有無				
	渉外区分				分籍人の渉外区分				
	婚姻日				分籍人の婚姻日				
	個人番号								本籍人の場合、分籍人の個人番号
	カナ氏名				分籍人のカナ氏名				
	漢字氏名				分籍人の漢字氏名				
	住所コード				分籍人の住所				
	住所地番								
	世帯主				分籍人の世帯主				
	本籍コード				分籍人の本籍				
	本籍地番								
	筆頭者				分籍人の筆頭者				
	父の氏名				分籍人の父の氏名				
	母の氏名				分籍人の母の氏名				
	父母との続柄コード				分籍人の父母との続柄				
	新本籍コード				分籍人の新本籍				
	新本籍地番								

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]						/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)						/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]					/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]					/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/			
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/			
		身分事項(除籍)	(7)事件本人の除籍事項の編集 [4.1]			/			
		身分事項(入籍)	(8)事件本人の入籍事項の編集 [4.2]			/			
		(8-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)				/			
		YES	(8-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [6.0]			/			
		NO	(8-3)→(9)			/			
	NO	→				/			
	(9)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/			
	YES	(10)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [5.0]					(11)処分決定に制御を渡す		
	NO	→							
PF1	→						(12)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(13)届出選択に制御を渡す		
PF5	→						(14)審査に制御を渡す		
PF11	→						(15)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(16)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(17)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	1.0　確認画面(分籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
分籍届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	分籍人の筆頭者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者区分				
	分籍人の筆頭者区分名称					有		
	分籍人の配偶者区分			配偶者区分				
	分籍人の配偶者区分名称					有		
	分籍人の生年月日			生年月日		有		
	分籍人の婚姻事項の有無			婚姻事項の有無				
	分籍人の渉外区分			渉外区分				
	分籍人の渉外区分名称					有		
	分籍人の婚姻日			婚姻日		有		
	分籍人のカナ氏名			カナ氏名				
	分籍人の漢字氏名			漢字氏名				
	分籍人の住所			住所コード		有		
				住所地番				
	分籍人の世帯主			世帯主				
	分籍人の本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	分籍人の筆頭者			筆頭者				
	分籍人の父の氏名			父の氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)						
処理名	1.0　確認画面(分籍届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	分籍人の母の氏名			母の氏名				
	分籍人の父母との続柄			父母との続柄コード				
	分籍人の父母との続柄名称					有		
	分籍人の新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍地番				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(分籍届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動				
	現本籍		他の在籍者		新本籍		父母(養父母)の戸籍				
	本籍	非本籍	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
1	○		○		○		本人 4.1				本人 4.2
2	○		○			○	本人 4.1	本人 4.1			
3	○			○	○			本人 4.1			本人 4.2
4	○			○		○					
5		○	－	－	○						本人 4.2
6		○	－	－		○					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							「2201」をセット
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROをセット
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「1:日本人のみ」をセット
	証書提出区分							
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日							ZEROをセット
	収日							ZEROをセット
	指示日							ZEROをセット
	許可日							ZEROをセット
	関連受領番号							ZEROをセット
	届出人資格区分1							届出人資格区分には、ZERO 届出人資格名称、届出人氏名には、SPACE
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							「2:新戸籍編製」をセット
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			漢字氏名				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(分籍届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。	
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は共通部の項目を用いる。	
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							「37」を設定	
	届出人区分							「1」(事件本人)を設定	
	カナ氏名			カナ氏名					
	漢字氏名			漢字氏名					
	生年月日			生年月日					
	本籍コード			本籍コード					
	本籍			本籍地番					
	筆頭者			筆頭者					
	送達確認2							事件本人の現本籍が、(非本籍) かつ　(在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	4.1　分籍人(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可　を設定
	タイトルコード								2201:「分籍」を設定
	記録コード								2201:「分籍者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	分籍	分籍日			受領日				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸	新本籍			新本籍地番				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	4.2　分籍人(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可　を設定
	タイトルコード								2201:「分籍」を設定
	記録コード								2201:「分籍者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	分籍	分籍日			受領日				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番				
		筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	5.0　9条2項　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							22(分籍届)を設定
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	6.0　30条の13第1項　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					22(分籍届)を設定
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

22.国籍取得届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	53	「国籍取得届」	「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
2	2.0	57	「国籍取得届」	・審査_3.0審査 届出期間が過ぎた場合に審査続行とするよう修正
3		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_6.1～6.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	国籍取得届					

1.国籍取得業務処理範囲外の処理

・国籍取得者が一の戸籍に入った後除籍となり、他の戸籍入籍する場合(国籍取得者が複数の戸籍に入除籍を繰り返す場合)は、審査結果入力で処理する
したがって、本処理では国籍取得者が一の戸籍に入籍した後、異動がないものしか取り扱わない
なお、非嫡出子が国籍法3条により国籍取得した場合の、以下の記録も審査結果入力で処理する

①配偶者の記録

②新戸籍編製以外の子の異動(養親、配偶者の戸籍へ入籍する場合など)

・国籍取得者が一の戸籍に入ったとき、その戸籍に在籍する者の身分事項に記録が必要な場合(下記条件)は一部(戸籍編製マトリックス参照)を除き訂正・更正処理で記録する。

①認知している子が国籍取得した場合:子の国籍取得事項の記録

②養子が国籍取得した場合:養子の国籍取得事項の記録

③親が国籍取得した場合:親の国籍取得事項の記録

④養親が国籍取得した場合:養親の国籍取得事項の記録

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・非嫡出子が国籍法3条により国籍取得した場合の、認知した父の記録

・附則(昭和59年5月25日法律第四五号)及び(平成20年12月12日法律第八八号)により国籍取得する場合

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

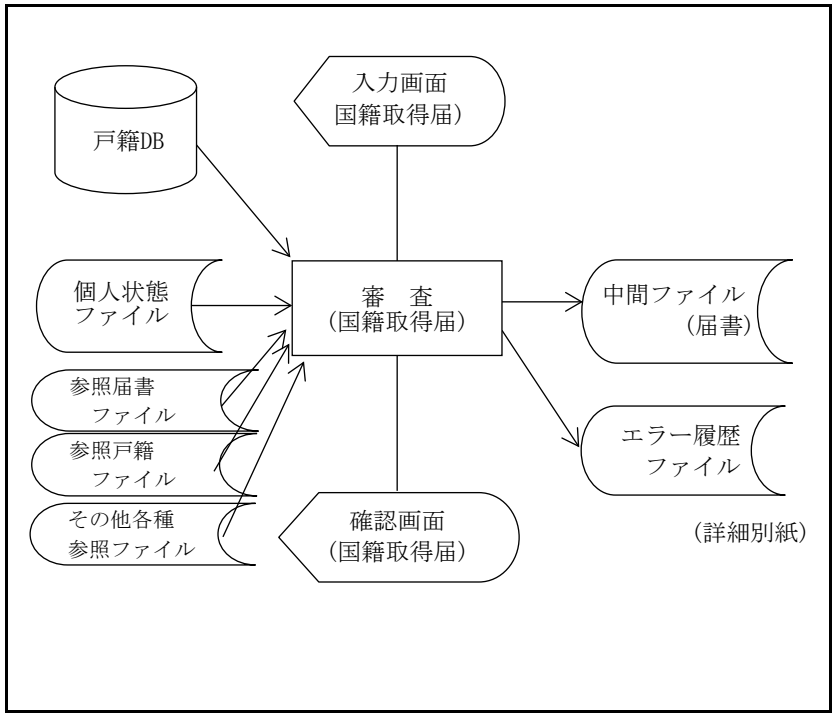
2.国籍取得の処理

・国籍取得は報告的届出であるので、届書ならびに国籍取得証明書の内容をそのまま入力すればよい

・審査は入力ミスを防ぐ目的のものであり、法令審査は行わない(確認メッセージのみの出力)
したがって、法令で不受理となることはない(入力ミスと思われるものをそのまま放置した場合にシステムでは不受理とする)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)国籍取得届の内容を入力する
(2)国籍取得届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)国籍取得届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)国籍取得届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(国籍取得届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
  - 2.1 表示設定
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍取得届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する　メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO						
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/	
	YES	(17)前ページ分の入力画面(国籍取得届)を編集する					(18)同画面を編集する
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する					
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/	
	YES	(21)次ページ分の入力画面(国籍取得届)を編集する					(22)同画面を編集する
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する					
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/	送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する					(22-3)同画面を編集する
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する						
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する						

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(国籍取得届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	カナ氏名	○	カナ				
10	漢字氏名	○	漢字				
11	従前氏名	○	漢字				
12	従前国籍	○	漢字				
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	父氏名		漢字				
15	母氏名		漢字				
16	父母との続柄コード	○	数字	(11:長男 ～ 29:十九男) 又は (31:長女 ～ 49:十九女) であること			
17	国籍取得年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	国籍取得区分	○	数字	(1:国籍法3条、2:国籍法17条1項、3:国籍法17条2項)であること			
19	戸籍変動区分	○	数字	(1:父母の戸籍に入籍する、2:父の戸籍に入籍する、3:母の戸籍に入籍する、4:国籍喪失時の戸籍に入籍する、5:新戸籍を編製する)であること			
20	届後本籍	○	漢字				
21	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
22	届後戸籍での筆頭者区分		数字				
23	届後戸籍での配偶者区分		数字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(国籍取得届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	住所		漢字				
25	住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
28	世帯主名		漢字				
29	世帯主との続柄コード		数字				
30	15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
31	15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
32	15歳未満の届出人氏名1		漢字				
33	15歳未満の届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(国籍取得届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:(受理分以外)であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日			
11	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.20)届後本籍 ＝ 管内本籍であること			
12	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.20)届後本籍 ＝ 管外本籍であること			
13	(No.10)漢字氏名の氏 ＝ (No.21)届後戸籍の筆頭者の氏であること			
14	(No.13)生年月日から15歳未満の時、(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			受領日から年齢を算出する
15	(No.13)生年月日から15歳以上の時、(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
16				
17				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
18	(No.17)国籍取得年月日 ≦ (No.2)受領日であること			
19	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍)　又は　2(父の戸籍に入籍)　又は 3(母の戸籍に入籍)の時、 (No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.23)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)であること			
19-1	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍)の時、 (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.14)父氏名　又は　(No.15)母氏名であること			
19-2	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 2(父の戸籍に入籍)の時、 (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.14)父氏名であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍取得届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍取得届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19-3	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 3(母の戸籍に入籍)の時、 (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.15)母氏名であること			
20	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 5(新戸籍を編製)の時、 (No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
21	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍する)の時、 (No.14)父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.15)母氏名 ≠ スペース　かつ (No.14)父氏名の氏 ＝ (No.15)母氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏であること			
22	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 2(父の戸籍に入籍する)の時、 (No.14)父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.14)父氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏であること			
23	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 3(母の戸籍に入籍する)の時、 (No.15)母氏名 ≠ スペース　かつ　(No.15)母氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏であること			
24	(No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.10)漢字氏名 ＝ (No.21)届後戸籍の筆頭者であること			
25	(No.27)世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、(No.28)世帯主名 ＝ (No.10)漢字氏名であること			
26	(No.27)世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.29)世帯主との続柄コード ＝ スペース　又は　世帯主(に当たるコード)であること			
27	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.23)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)であること			
28	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
29	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.32)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
30	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.32)15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍取得届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍取得届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.33)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
32	(No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.33)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
33	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は 001(父)　又は　010(養父)の時、 (No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース であれば (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は 002(母)　又は　011(養母)であること			
34	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は 002(母)　又は　011(養母)の時、 (No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース であれば (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は 001(父)　又は　010(養父)であること			
35	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.33)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
36	(No.24)住所 ＝ スペースの時、(No.28)世帯主名 ＝ スペースであること			
37	(No.28)世帯主名 ≠ スペースの時、(No.24)住所 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.1 表示設定(届出人資格名称の編集)		入力画面(国籍取得届)					

No	内容	備考
1	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　の場合、 15歳未満の届出人資格名称は「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 017(親権者母)以降省略
2	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
4	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び母」と表示する	同上
5	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び養母」と表示する	同上
6	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
7	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父母」と表示する	同上
8	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び母」と表示する	同上
9	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び養母」と表示する	同上
10	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者母」と表示する	同上
11	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者養母」と表示する	同上
12	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父母」と表示する	同上
13	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父及び養母」と表示する	同上

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.1 表示設定(届出人資格名称の編集)		入力画面(国籍取得届)					

No	内容	備考
14	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び母」と表示する	同上
17	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(0.01)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/					
YES	(0.02)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0.03)→(0.06-1)へ	/					
	NO	→		(0.04)本紙へ				
NO	(0.05)→(0.06-1)へ		/					
(0.06-1)漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)			/				R2.1(国籍取得-52)	
YES	(0.06-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0.06-3)本紙へ			R2.1(国籍取得-52)	
	YES	(0.06-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.06-6)本紙へ			不受理、R2.1(国籍取得-52)	
	NO	(0.06-5)→					画面項目修正(審査完了しない)、R2.1(国籍取得-52)	
NO	(0.06-7)→(0.1)へ		/				R2.1(国籍取得-52)	
(0.1)受領日 < 国籍取得年月日 + 3箇月(YES,NO)			/				戸102	
YES	(0.2) → (1)へ		/					
NO	(0.3)メッセージ 「届出期間を経過しています」を表示する			(0.4)本紙へ			審査続行(応答後(1)へ) 2.0(国籍取得-57)	
(1)国籍取得区分?(1:国籍法3条、2:国籍法17条1項、3:国籍法17条2項)			/				4:改正法附則5条1項、5:改正法附則6条1項を第13版で削除	
1	(2)戸籍変動区分?		/					
	1	(3)確認メッセージ 「父の配偶者は国籍取得者の母と同じですね。」を表示する(YESなら(8)へ)		(4)本紙へ			国籍法3条は、実質日本人父認知による国籍取得であるので、出生当時は母外国人である	
	2	(5)確認メッセージ 「子は準正嫡出子(父母が婚姻している)ですね。」を表示する(YESなら(8)へ)		(5-1)本紙へ				
	3～4	(6)エラーメッセージ 「戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理してください。」を表示する		(7)本紙へ				
	5	(6-1)確認メッセージ(YES,NO) 「子は非嫡出子(父母が婚姻していない)ですね。」を表示する					国籍法3条の改正対応(H21.1.1)	
		YES (6-2)メッセージ 「父に子の国籍取得事項の記録が必要です。父が本籍人であれば、審査結果入力処理で記録して下さい。」を表示する (8)へ						
		NO (6-3)→		(7-1)本紙へ				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	(8)2022年4月1日 ≦ 国籍取得年月日(YES,NO)			/			民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける	R2.1(国籍取得-50)
	YES	(8-1)生年月日 + 18年(18歳未満) > 国籍取得年月日(YES,NO)		/			民法改正(2022年4月1日)後の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(9)→(55)へ	/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(10)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が18歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(55)へ)		(11)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)
	NO	(11-1)生年月日 + 20年(20歳未満) > 国籍取得年月日(YES,NO)		/			民法改正(2022年4月1日)前の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(11-2)→(55)へ	/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(11-3)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が20歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(55)へ)		(11-4)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)
2	(12)戸籍変動区分?			/				
	1～3	(13)→(16)へ		/				
	4～5	(14)エラーメッセージ 「戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(15)本紙へ			
	(16)2022年4月1日 ≦ 国籍取得年月日(YES, NO)			/			民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける	R2.1(国籍取得-50)
	YES	(16-1)生年月日 + 18年(18歳未満) > 国籍取得年月日(YES, NO)		/			民法改正(2022年4月1日)後の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(17)→(20)へ	/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(18)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が18歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(20)へ)		(19)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)
	NO	(19-1)生年月日 + 20年(20歳未満) > 国籍取得年月日(YES, NO)		/			民法改正(2022年4月1日)前の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(19-2)→(20)へ	/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(19-3)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が20歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(20)へ)		(19-4)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)
	(20)住所は日本国内である(住所に入力がある場合)(YES,NO)			/			国籍法17条1項は、日本に住所を有していないといけない	
	YES	(21) → (55)へ		/				
	NO	(22)確認メッセージ 「住所を日本に有していませんが、問題ありませんね。」を表示する(YESなら(55)へ)			(23)本紙へ			
3	(24)戸籍変動区分?			/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	1～3	(25)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が間違っています。」を表示する				(26)本紙へ		
	4	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「国籍取得者は国籍を喪失した者ですね。」を表示する(YES,NO)						
		YES	(28)→(55)へ		/			
		NO	(29)エラーメッセージ 「国籍法17条2項は国籍喪失者の国籍取得です。再度内容を確認して下さい。」 を表示する			(30)本紙へ		
	5	(31)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　(妻)である(YES,NO)			/			
		YES	(32)エラーメッセージ 「届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。」 を表示する			(33)本紙へ		国籍喪失後の婚姻であれば審査結果入力処理。 国籍喪失前の婚姻であれば区分入力間違い
		NO	(34) → (35)へ		/			
		(35)確認メッセージ 「国籍取得者は国籍喪失時の戸籍に戻れない理由がありますね。」を表示する (YESなら(55)へ)				(36)本紙へ		
		(37)				(38)		(37)～(54)第13版で削除
		(39)			/			
			(40) → (43)		/			
			(41)			(42)		
		(43)			/			
			(44)			(45)		
			(46) → (55)		/			
			(47)			(48)		
		(49)				(50)		
		(51)			/			
			(52) → (55)			(53)		
			(54)					
(55)届後本籍は管内本籍である(YES,NO)					/			
YES	(56)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)				/			
	YES	(57)届後の戸籍の在籍者で筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の者はいない(YES,NO)			/			
		YES	→			(58)本紙へ		審査終了
		NO	(59)エラーメッセージ 「入籍戸籍には筆頭者が在籍しています」を表示する					
	NO	→						
NO								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

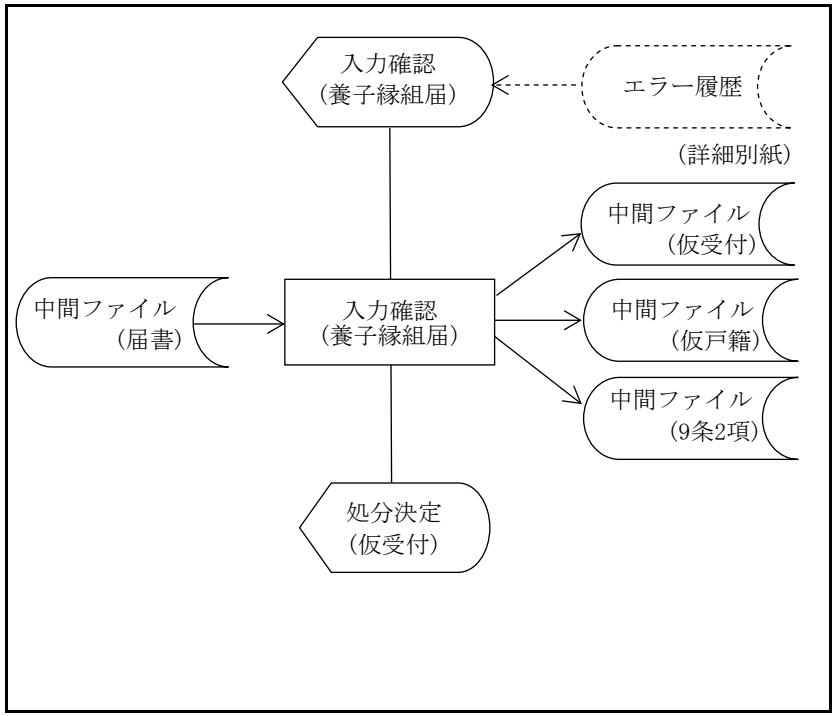
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		国籍取得届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							23(国籍取得)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							2(報告的届出)
	渉外区分							1(渉外)を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1:受理 又は 2:不受理をセットする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名		国籍取得届入力画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	従前氏名			従前氏名				
	従前国籍			従前国籍				
	生年月日			生年月日				
	父個人番号		本籍人検索					父が本籍人の場合設定
	父氏名		国籍取得届入力画面	父氏名				
	母個人番号		本籍人検索					母が本籍人の場合設定
	母氏名		国籍取得届入力画面	母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	国籍取得年月日			国籍取得年月日				
	国籍取得区分			国籍取得区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	届後戸籍での筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	住所コード			住所		有		
	住所							
	住民日			住民日				
	住定日			住定日				
	世帯主区分			世帯主区分				
	世帯主名			世帯主名				
	世帯主との続柄コード			世帯主との続柄コード				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 戸籍特定(新戸籍編製)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍)
  - 5.2 個人特定(新戸籍編製)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 国籍取得者(入籍)
  - 6.2 国籍取得者の配偶者(記録)
  - 6.3 国籍取得者の父(記録)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 国籍取得者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍取得届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/		
	(5)本非区分 ＝ 1(本籍分届)である(YES,NO)				/		
	YES	(6)戸籍変動区分?			/		
		1	(7)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/		
			(8)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/		
			(9)国籍取得者の父母の身分事項に子の国籍取得事項を編集・出力する	[6.3]	/		国籍法3条による国籍取得の場合のみ
		2	(10)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/		
			(11)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/		
			(12)国籍取得者の父の身分事項に子の国籍取得事項を編集・出力する	[6.3]	/		国籍法3条による国籍取得の場合のみ
		3	(13)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/		
			(14)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/		
		4	(15)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/		
			(16)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/		
			(17)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 1(夫)又は2(妻)である(YES,NO)		/		
			YES (18)国籍取得者の配偶者の身分事項に配偶者の国籍取得事項を編集・出力する	[6.2]	/		
			NO (19)→(24)へ		/		
		5	(20)国籍取得者の戸籍特定を編集・出力する	[4.1]	/		
			(21)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.2]	/		
			(22)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/		
	NO	(23)→(24)へ			/		
	(24)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付　である(YES,NO)				/		
	YES	(25)国籍取得者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[7.1]	/		
	NO	→				(26)処分決定に制御を渡す	
PF1	→					(27)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(28)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(29)審査(国籍取得届)に制御を渡す	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF7	(30)前ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(31)前ページ分の確認画面(国籍取得届)を編集する			(32)同画面を編集する			
	NO	(33)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する						
PF8	(34)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(35)次ページ分の確認画面(国籍取得届)を編集する			(36)同画面を編集する			
	NO	(37)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する						
PF11	→				(38)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(39)エラーメッセージ　「無効なキーが押下されました」を表示する				(40)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍取得届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
国籍取得届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	従前氏名			従前氏名				
	従前国籍			従前国籍				
	生年月日			生年月日				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		
	国籍取得年月日			国籍取得年月日				
	国籍取得区分			国籍取得区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	届後戸籍での筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	住所			住所コード		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍取得届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
				住所				
	住民日			住民日				
	住定日			住定日				
	世帯主区分			世帯主区分				
	世帯主名			世帯主名				
	世帯主との続柄コード			世帯主との続柄コード				
	世帯主との続柄名称					有		
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格1 ＋ 15歳未満の届出人資格2		有		審査2.1「表示設定」を参照
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍取得届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	戸籍変動区分					本非区分		国籍取得区分		国籍取得者の配偶者区分					国籍取得者の戸籍				
	入籍する父母の戸籍に	入籍する父の戸籍に	入籍する母の戸籍に	戸籍に入籍する国籍喪失時の	編製する新戸籍を	本籍分届	非本籍分届	国籍法3条	以外国籍法3条	未	夫	妻	生存配偶者		新戸籍編製 4.1 B.1 5.2 D.1	一部記載 5.1 D.1	一部除籍	全部除籍	変動なし
1	○	×	×	×	×	○	×	○	×	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			6.3 父
2	○	×	×	×	×	○	×	×	○	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			
3	×	○	×	×	×	○	×	○	×	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			6.3 父
4	×	○	×	×	×	○	×	×	○	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			
5	×	×	○	×	×	○	×	－	－	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			
6	×	×	×	○	×	○	×	－	－	○	×	×	×			6.1 国籍取得者			
7	×	×	×	○	×	○	×	－	－	×	○	×	×			6.1 国籍取得者			6.2 妻
8	×	×	×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×			6.1 国籍取得者			6.2 妻
9	×	×	×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○			6.1 国籍取得者			
10	×	×	×	×	○	○	×	－	－	－	－	－	－		6.1 国籍取得者				
11	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－						

国籍取得者がある戸籍に入籍するときに、その戸籍に在籍していた者に身分事項が記録される場合はあるが(下記条件)、上記マトリックスの記録以外は訂正･更正で処理する。
①認知している子が国籍取得により入籍してきた場合:子の国籍取得事項を記録
②養子が国籍取得により入籍してきた場合:養子の国籍取得事項を記録
③親が国籍取得により入籍してきた場合:親の国籍取得事項を記録(漢字氏名 ＝ 従前氏名)、又は父母欄の更正及び更正事項の記録(漢字氏名 ≠ 従前氏名)
④養親が国籍取得により入籍してきた場合:養親の国籍取得事項を記録(漢字氏名 ＝ 従前氏名)、又は養父母欄の更正及び更正事項の記録(漢字氏名 ≠ 従前氏名)

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成13年 3月1日	版	5
作業名	入力確認(国籍取得届)						
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2301(国籍取得)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			国籍取得年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			15歳未満の届出人資格1				
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	届出人資格区分2			15歳未満の届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1～4のとき1 ＝ 5のとき2を設定
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成13年 3月1日	版	5
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	送達確認1							本非区分 ＝ 2:非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)
	証書提出区分							0を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき ①父母の本籍 ＝ 管内本籍であれば 1(送付要)を設定 ②国籍喪失時の戸籍 ＝ 管内本籍で あれば1(送付要)を設定 上記以外は0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							38(国籍取得者)
	届出人区分							15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース のとき1を設定 上記以外は0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認2							0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	4.1　国籍取得者(戸籍特定・新戸籍編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数							1を設定
	在籍者数							1を設定
	除籍者数							0を設定
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	5.1　国籍取得者(個人特定・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							入籍する戸籍の戸籍番号を設定
	個人記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	5.2　国籍取得者(個人特定・新戸籍編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	個人記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日　又は 受領日　又は				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍取得届)								
処理名	6.1　国籍取得者(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2301(国籍取得)
	記録コード								2301(国籍取得者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	国籍取得年月日				
	国籍取得	国籍取得日			国籍取得年月日				
	届出	届出日			受領日				
	届出	届出人(1) 資格			15歳未満の届出人資格1		有		届出人資格1、2が(親権者)父と(親権者)母の場合は「(親権者)父母」を届出人(1)に編集し、届出人(2)はスペース 届出人資格1、2が(親権者)養父　又は(親権者)養母の場合、対応する氏名1、2をそれぞれ設定 届出人資格1が未成年後見人の場合、氏名1を設定
	届出	届出人(1) 資格名称							
	届出	届出人(1) 氏名			15歳未満の届出人氏名1				
	届出	届出人(2) 資格			15歳未満の届出人資格2		有		
	届出	届出人(2) 資格名称							
	届出	届出人(2) 氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	従前記録	取得の際の国籍			従前国籍				
	従前記録	従前の氏名			従前氏名				従前氏名 ＝ 漢字氏名　でも設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付	送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	6.1　国籍取得者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入戸籍 本籍							
		入戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍取得届)								
処理名	6.2　国籍取得者の配偶者(記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2304(配偶者の国籍取得)
	記録コード								2304(国籍取得者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	配偶者の国籍取得日	配偶者の国籍取得日			国籍取得年月日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍取得届)								
処理名	6.3　国籍取得者の父(記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2302(子の国籍取得)
	記録コード								2302(国籍取得者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	子の国籍取得	子の国籍取得日			国籍取得年月日				
		子の氏名	続柄		父母との続柄コード		有		
			氏名		漢字氏名				
		子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入戸籍	従戸前籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	6.3　国籍取得者の父(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除戸籍 新本籍							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	7.1　9条2項(国籍取得者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							23(国籍取得届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄							
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者							
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主名				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第7.2.(5)「異動」処理

23.帰化届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	55	「帰化届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		56		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4		「帰化届」	「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正 入力確認_2.0 戸籍編製マトリックス表 №29　新戸籍編製欄の記載を修正 「6.1帰化者(夫婦)(配偶者)」→「6.1帰化者(夫婦)(複数)」
4	2.0	57	「帰化届」	・審査_3.0審査 届出期間が過ぎた場合に不受理ではなく審査続行とするよう修正
5		令和3年度申し送り事項一覧№4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_3.2 中間ファイル(仮受付・その他)、入力確認_6.1～6.10

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	帰化届

1. 帰化業務処理範囲外の処理

・(養)親に子帰化の記録を行う時、以下に挙げる場合は、審査結果入力で処理を行う

(1)実子と養子が同時に帰化する場合

(2)筆頭者父が死亡している時、養母へ記録を行う場合

(3)配偶者養母が死亡している時、養母へ記録を行う場合

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・15歳以上の未成年者について、本人以外から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2. 帰化の処理

(1)帰化は報告的届出であるので、届書ならびに帰化者の身分証明の内容をそのまま入力すればよい

(2)審査は入力ミスを防ぐ目的のものであり、法令審査は行わない(確認メッセージのみ出力)

したがって、法令で不受理となることはない(入力ミスと思われるものをそのまま放置した場合にシステムでは不受理とする)

(3)一家で帰化する場合が相当数あるので、同一戸籍に入る場合は一処理で行えるようにした

3.その他

・(養)父母の戸籍に入るとき、(養)父母の身分事項欄に記録する子の帰化事項はシステムで自動記録する

但し、以下の(1)、(2)の処理(戸籍変動が異なる処理を同時に行う処理)は除く

(1) (養)父・母につき新戸籍編製で同時帰化者がある場合は別々に処理を行う

戸籍変動が異なる帰化者は同時に処理は行えません

以下の①と②の処理を別々に入力してください。

①一人目の帰化者で(養)父・母で新戸籍編製

②2人目以降の帰化者が①の新戸籍に入籍

(2) 夫婦の片方(日本人配偶者有り)で夫(妻)の氏で新戸籍編製となる届で、同時帰化者がある場合(配偶者と子の同時帰化)、別々に処理を行う

戸籍変動が異なる帰化者は同時に処理は行えません

以下の①と②を別々に入力して下さい

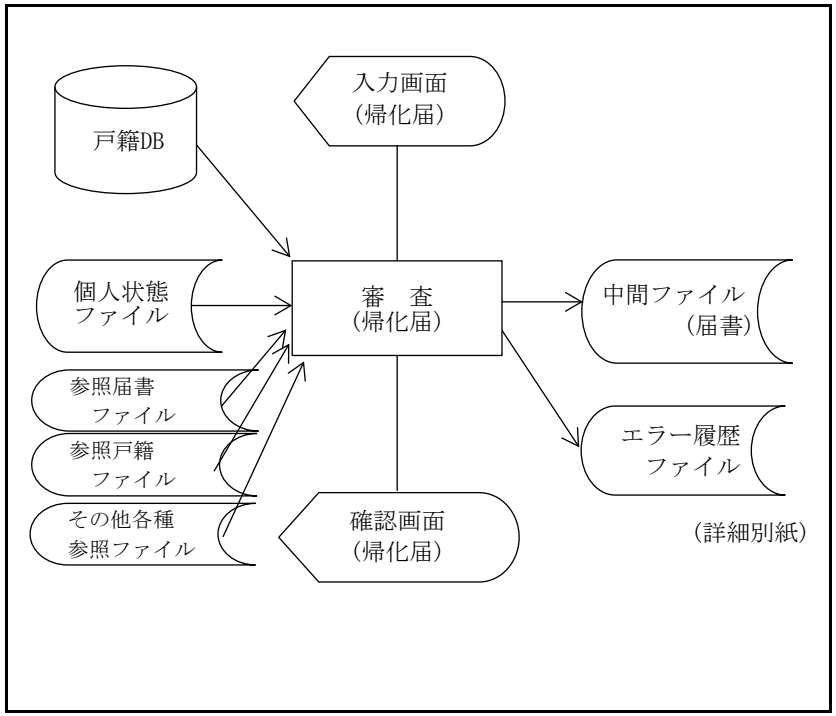
①夫(妻)の氏で新戸籍編製

②同時帰化者が①の戸籍に入籍

・他戸籍にいる(養)父母の身分事項欄に記録する子の帰化事項は、審査結果入力で処理する

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)帰化届の内容を入力する
(2)帰化届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)帰化届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)帰化届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(帰化届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
  - 2.1 表示設定
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)
処理名	0.0　本紙

									備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する							/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)　[1.0]						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)　[2.0]					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)　[3.0]				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力　[4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)						/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(帰化届)を編集する						(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)						/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(帰化届)を編集する						(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する						(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する								入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
3	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
4	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」		戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する	
6	発送元		漢字				
7	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
9	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
11	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	帰化者カナ氏名	○	カナ				
13	帰化者漢字氏名	○	漢字				
14	帰化者従前氏名	○	漢字				
15	帰化者従前国籍	○	漢字				
16	帰化者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	帰化者配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻)であること			生存配偶者は無い
18	公示年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	帰化者父氏名		漢字				
20	帰化者父の本･国籍		漢字				
21	帰化者母氏名		漢字				
22	帰化者母の本･国籍		漢字				
23	帰化者父母との続柄コード	○	数字	11(長男)～29(十九男)又は 31(長女)～49(十九女)であること			
24	帰化者住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
25	帰化者住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	帰化者住所		漢字				
27	帰化者世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
28	帰化者世帯主との続柄コード		数字				

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表	入力画面(帰化届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
29	帰化者世帯主名		漢字				
30	帰化者15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
31	帰化者15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
32	帰化者15歳未満の届出人氏名1		漢字				
33	帰化者15歳未満の届出人氏名2		漢字				
34	帰化者妻カナ氏名		カナ				
35	帰化者妻漢字氏名		漢字				
36	帰化者妻従前氏名		漢字				
37	帰化者妻住前国籍		漢字				
38	帰化者妻生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
39	帰化者妻父氏名		漢字				
40	帰化者妻父の本･国籍		漢字				
41	帰化者妻母氏名		漢字				
42	帰化者妻母の本･国籍		漢字				
43	帰化者妻父母との続柄コード		数字	31(長女)～49(十九女)であること			
44	帰化者妻住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
45	帰化者妻住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	帰化者妻住所		漢字				
47	帰化者妻世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
48	帰化者妻世帯主との続柄コード		数字				
49	帰化者妻世帯主名		漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	戸籍変動区分	○	数字	(1:帰化者だけで新戸籍編製、 2:(養)父・母の戸籍に入籍、 3:(養)父・母で新戸籍編製、 4:日本人配偶者の戸籍に入籍、 5:日本人配偶者で新戸籍編製、 6:夫の氏の新戸籍編製、 7:妻の氏の新戸籍編製)であること			
51	届後本籍	○	漢字				
52	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
53	帰化記載者資格1		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			
54	帰化記載者資格2		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			
55	養/父母カナ氏名		カナ				
56	養/父母漢字氏名		漢字				
57	養/父母本籍		漢字				
58	養/父母筆頭者		漢字				
59	養/父母父氏名		漢字				
60	養/父母母氏名		漢字				
61	養/父母父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
62	養/父母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
63	養/父母住所		漢字				
64	連署人筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
65	連署人配偶者区分		漢字	(1:夫、2:妻)であること			
66	連署人カナ氏名		カナ				
67	連署人漢字氏名		漢字				
68	連署人本籍		漢字				
69	連署人筆頭者		漢字				
70	連署人父氏名		漢字				
71	連署人母氏名		漢字				
72	連署人父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
73	連署人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
74	連署人住所		漢字				
75	同時帰化者nカナ氏名		カナ				
76	同時帰化者n漢字氏名		漢字				
77	同時帰化者n従前氏名		漢字				
78	同時帰化者n従前国籍		漢字				
79	同時帰化者n生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	同時帰化者n父氏名		漢字				
81	同時帰化者n父の本・国籍		漢字				
82	同時帰化者n母氏名		漢字				
83	同時帰化者n母の本・国籍		漢字				
84	同時帰化者n父母との続柄コード		数字	11(長男)～29(十九男)又は 31(長女)～49(十九女)であること			
85	同時帰化者n住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
86	同時帰化者n住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
87	同時帰化者n住所		漢字				
88	同時帰化者n世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
89	同時帰化者n世帯主との続柄コード		数字				
90	同時帰化者n世帯主名		漢字				
91	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
92	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
93	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1		漢字				
94	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2		漢字				
95	同時帰化者n帰化記載者資格1		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			
96	同時帰化者n帰化記載者資格1		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.5)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.5)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)送付日 ≧ (No.4)受領日であること			
4	(No.5)送付日 ＝ スペースの時、(No.7)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.6)発送元 ≠ スペースの時、(No.7)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.6)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.7)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.6)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.7)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.9)処理日 ≠ スペースの時、(No.9)処理日 ＞ (No.4)受領日であること			
9	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.5)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.11)郵送日≦(No.4)受領日であること			
11	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、 (No.34)帰化者妻のカナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
12	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
13	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 0(未)であること			
14	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)　又は　2((養)父･母の戸籍に入籍)　又は 3((養)父･母で新戸籍編製)であること			
15	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
16	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　のいずれかに入力があること			
17	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)　かつ　(No.7)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.65)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
19	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)　かつ　(No.7)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.65)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
20	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)　又は　6(夫の氏の新戸籍編製)　又は 7(妻の氏の新戸籍編製)であること			
21	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
22	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
23	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)であること			
24	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)であること			
25	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　のいずれかに入力があること			
26	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
27	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
28	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　又は　7(妻の氏の新戸籍編製)であること			
29	(No.2)同時帰化者 ＝ 0の時、 (No.75)同時帰化者nカナ氏名～(No.96)同時帰化者n帰化記載者資格2　がスペースであること			
30	(No.2)同時帰化者 ＞ 0の時、 (No.75)同時帰化者nカナ氏名～(No.96)同時帰化者n帰化記載者資格2　のいずれかに入力があること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.2)同時帰化者>0の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍) 又は 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)であること			10版にて追加
32	(No.16)帰化者生年月日から年齢が15歳未満の時、 (No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化) かつ (No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
33	(No.16)帰化者生年月日から年齢が15歳以上の時、 (No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
34	(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.23)帰化者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
35	(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.23)帰化者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
36	(No.19)帰化者父氏名 ＝ スペースの時、(No.20)帰化者父の本･国籍 ＝ スペースであること			
37	(No.19)帰化者父氏名 ≠ スペースの時、(No.20)帰化者父の本･国籍 ≠ スペースであること			
38	(No.21)帰化者母氏名 ＝ スペースの時、(No.22)帰化者母の本･国籍 ＝ スペースであること			
39	(No.21)帰化者母氏名 ≠ スペースの時、(No.22)帰化者母の本･国籍 ≠ スペースであること			
40				8.3版 続柄の記載更正 (申出)により削除
41				
42	(No.27)帰化者世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.29)帰化者世帯主名 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
43	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース かつ (No.32)帰化者15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース かつ (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
44	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.32)帰化者15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
45	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
45-1	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.32)届出人資格氏名1 ≠ スペース かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース かつ (No.33)届出人資格氏名2 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
46	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
47	(No.34)帰化者妻カナ氏名 ≠ スペースの時、 (No.35)帰化者妻漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.36)帰化者妻従前氏名 ≠ スペース かつ (No.37)帰化者妻従前国籍 ≠ スペース かつ (No.38)帰化者妻生年月日 ≠ スペース かつ (No.43)帰化者妻父母との続柄コード ≠ スペースであること			
48	(No.39)帰化者妻父氏名 ＝ スペースの時、(No.40)帰化者妻父の本･国籍 ＝ スペースであること			
49	(No.39)帰化者妻父氏名 ≠ スペースの時、(No.40)帰化者妻父の本･国籍 ≠ スペースであること			
50	(No.41)帰化者妻母氏名 ＝ スペースの時、(No.42)帰化者妻母の本･国籍 ＝ スペースであること			
51	(No.41)帰化者妻母氏名 ≠ スペースの時、(No.42)帰化者妻母の本･国籍 ≠ スペースであること			
52				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
53				
54	(No.47)帰化者妻世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.52)帰化者妻世帯主名 ＝ (No.35)帰化者妻漢字氏名であること			
55	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)の時、 (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
56				
56-1	(No.53)帰化記載者資格1 ≠ スペースの時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍) 又は 3((養)父･母で新戸籍編製)であること			
56-2	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)～6(夫の氏の新戸籍編製)の時、 (No.13)帰化者漢字氏名の氏 ＝ (No.52)届後戸籍の筆頭者の氏であること			
56-3	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)～6(夫の氏の新戸籍編製)の時、 (No.35)帰化者妻漢字氏名の氏 ＝ (No.52)届後戸籍の筆頭者の氏であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
56-4	(No.76)同時帰化者n漢字氏名 ≠ スペース　の時、 (No.76)同時帰化者n漢字氏名 ＝ (No.52)届後戸籍の筆頭者の氏であること			
57	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父・母で新戸籍編製)の時、 (No.55)養/父母カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.56)養/父母漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.57)養/父母本籍 ≠ スペース　かつ　(No.58)養/父母筆頭者 ≠ スペース　かつ (No.61)養/父母父母との続柄コード ≠ スペース　かつ (No.62)養/父母生年月日 ≠ スペースであること			
57-1	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父・母で新戸籍編製)の時、 (No.53)帰化記載者資格1 ＝ スペース　又は　011(養母)であれば (No.61)養/父母父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
57-2	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父・母で新戸籍編製)の時、 (No.53)帰化記載者資格1 ＝ 001(父)　又は　010(養父)であれば (No.61)養/父母父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
58	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)の時、 (No.61)連署人筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.51)届後本籍 ＝ (No.68)連署人本籍　かつ (No.52)届後戸籍の筆頭 ＝ (No.67)連署人漢字氏名であること			
59				
60	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方(日本人配偶者有))の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
61	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
62	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方(日本人配偶者有))の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
63	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.35)帰化者妻漢字氏名であること			
64	(No.50)戸籍変動区分 ≠ 3((養)父・母で新戸籍編製)の時、 (No.55)養/父母カナ氏名～(No.63)養/父母住所　がスペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)					
処理名	画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
65	(No.50)戸籍変動区分 ≠ 2((養)父･母の戸籍に入籍)　かつ　3((養)父･母で新戸籍編製)の時、 (No.53)帰化記載者資格1～(No.54)帰化記載者資格2　がスペースであること			
66				審査(37)に移行
67				審査(37)に移行
68	(No.64)連署人筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.67)連署人漢字氏名 ＝ (No.69)連署人筆頭者であること			
69				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
70	(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.70)連署人父氏名 ≠ スペース　かつ (No.71)連署人母氏名 ≠ スペースの時、 (No.72)連署人父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
71				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
72	(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.70)連署人父氏名 ≠ スペース　又は (No.71)連署人母氏名 ≠ スペースの時、 (No.72)連署人父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
73	(No.2)同時帰化者数>0の時、 (No.75)同時帰化者nカナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.76)同時帰化者n漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.77)同時帰化者n従前氏名 ≠ スペース　かつ　(No.78)同時帰化者n従前国籍 ≠ スペース　かつ (No.79)同時帰化者n生年月日 ≠ スペース　かつ (No.84)同時帰化者n父母との続柄コード ≠ スペースであること			
74	(No.16)帰化者生年月日 ≦ (No.79)同時帰化者n生年月日であること			同時帰化者は年少者
75	(No.2)同時帰化者数 > 1の時、 (No.79)同時帰化者n生年月日 ≧ 同時帰化者(n-1)生年月日であること			同時帰化者は戸籍に記録される順番に入力する(年長順)
76	(No.79)同時帰化者n生年月日　から　同時帰化者nの年齢が15歳未満の時、 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
77	(No.79)同時帰化者n生年月日　から　同時帰化者nの年齢が15歳未満の時、 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
78	(No.80)同時帰化者n父氏名 ＝ スペースの時、 (No.81)同時帰化者nの父の本･国籍 ＝ スペースであること			
79	(No.80)同時帰化者n父氏名 ≠ スペースの時、 (No.81)同時帰化者nの父の本･国籍 ≠ スペースであること			
80	(No.82)同時帰化者n母氏名 ＝ スペースの時、 (No.83)同時帰化者nの母の本･国籍 ＝ スペースであること			
81	(No.82)同時帰化者n母氏名 ≠ スペースの時、 (No.83)同時帰化者nの母の本･国籍 ≠ スペースであること			
82				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
83				
84	(No.88)同時帰化者n世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.90)同時帰化者n世帯主名 ＝ (No.76)同時帰化者n漢字氏名であること			
85	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　かつ (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース　かつ (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
86	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
86-1	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース　かつ (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　かつ (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
87	(No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
88	(No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
89				
90	(No.95)同時帰化者n帰化記載者資格1 ＝ スペースの時、 (No.96)同時帰化者n帰化記載者資格2 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
91	(No.26)帰化者住所 ＝ スペースの時、(No.29)帰化者世帯主名 ＝ スペースであること			
92	(No.29)帰化者の世帯主名 ≠ スペースの時、(No.26)帰化者住所 ≠ スペースであること			
93	(No.46)帰化者妻住所 ＝ スペースの時、(No.49)帰化者妻世帯主名 ＝ スペースであること			
94	(No.49)帰化者妻世帯主名 ≠ スペースの時、(No.26)帰化者妻住所 ≠ スペースであること			
95	(No.87)同時帰化者n住所 ＝ スペースの時、(No.90)同時帰化者n世帯主名 ＝ スペースであること			
96	(No.90)同時帰化者n世帯主名 ≠ スペースの時、(No.87)同時帰化者n住所 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.1 条件設定(届出人資格名称の編集)	入力画面(帰化届)		

No	内容	備考
1	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 017(親権者母)以降省略 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1　と (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2　による 同時帰化者m15歳未満の届出人資格名称　も 左記と同じ変換・表示を行う
2	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
4	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び母」と表示する	同上
5	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び養母」と表示する	同上
6	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
7	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父母」と表示する	同上
8	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び母」と表示する	同上
9	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び養母」と表示する	同上
10	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者母」と表示する	同上
11	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者養母」と表示する	同上
12	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父母」と表示する	同上
13	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父及び養母」と表示する	同上

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.1 条件設定(届出人資格名称の編集)		入力画面(帰化届)					

No	内容	備考
14	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父及び母」と表示する	同上
17	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

					備考
(0.001)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/		
YES	(0.002)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する				
	YES	(0.003)→(0.006-1)へ	/		
	NO	→		(0.004)本紙へ	
NO	(0.005)→(0.006-1)へ		/		
(0.006-1)(帰化者の漢字氏名≠未入力 かつ 帰化者の漢字氏名の名が未入力) 又は (夫の漢字氏名≠未入力 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) 又は (妻の漢字氏名≠未入力 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の漢字氏名≠未入力 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の漢字氏名≠未入力 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) 又は (連署人の漢字氏名≠未入力 かつ 連署人の漢字氏名の名が未入力) 又は (同時帰化者nの漢字氏名≠未入力 かつ 同時帰化者nの漢字氏名の名が未入力) (YES,NO)			/		R2.1(帰化-53)
YES	(0.006-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		/	(0.006-3)本紙へ	R2.1(帰化-53)
	YES	(0.006-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.006-6)本紙へ	不受理 R2.1(帰化-53)
	NO	(0.006-5)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(帰化-53)
NO	(0.006-7)→(0.01)へ		/		R2.1(帰化-53)
(0.01)受領日 < 公示年月日 + 1 箇月(YES,NO)			/		戸102の2
YES	(0.02)→(0.1)へ		/		
NO	(0.03)メッセージ 「届出期間を経過しています」を表示する			(0.03-1)本紙へ	審査続行(応答後(0.1)へ) 2.0(帰化-57)
		(0.04)	/		(0.04)(0.05)を削除,2.0(帰化-57)
				(0.05)	2.0(帰化-57)
(0.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)である(YES,NO)			/		
YES	(0.2)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)である(YES,NO)		/		
	YES	(0.3)同時帰化者数 > 0(同時に帰化する者がいる)である(YES,NO)	/		
		YES (0.4)確認メッセージ(YES,NO) 「同時に帰化する者は帰化者と(養)親子関係にありますね?」を表示する		(0.5)本紙へ	
		YES (0.6)→(25.1)へ	/		
		NO →		(0.7)本紙へ	不受理
		NO (0.8)→(25.1)へ	/		
	NO	(0.9)→(25.1)へ	/		
NO	(0.10)→(1)へ		/		
(1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

						備考
YES	(2)連署人筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)			/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「連署人が構成員なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(4)本紙へ	連署人は外国人と婚姻中であるので筆頭者のはずであるが、改正国籍法前の婚姻であれば父母の戸籍にいる可能性もある
	NO	(5)→(25.1)へ		/		
	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「連署人は帰化者と婚姻していますね。」を表示する				(7)本紙へ	
	YES	(8)→(25.1)へ		/		
	NO	(9)エラーメッセージ 「帰化種別か連署人指定に間違いがあります。」を表示する			(10)本紙へ	
	(10.1-1)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ 連署人父氏名 ＝ スペース　又は　連署人母氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(10.1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(10.1-3)→(25.1)		/	
		NO	(10.1-4)		(10.1-5)本紙へ	不受理
	NO	(10.1-6)連署人父母との続柄コード ＝ 10(男)である(YES,NO)		/		
		YES	(10.1-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			
			YES	(10.1-8)→(25.1)	/	
			NO	(10.1-9)	(10.1-10)本紙へ	不受理
		NO	(10.1-11)→(25.1)		/	
	(10.2-1)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ 連署人父氏名 ＝ スペース　又は　連署人母氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(10.2-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(10.2-3)→(25.1)		/	
		NO	(10.2-4)		(10.2-5)本紙へ	不受理
	NO	(10.2-6)連署人父母との続柄コード ＝ 30(女)である(YES,NO)		/		
		YES	(10.2-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			
			YES	(10.2-8)→(25.1)	/	
			NO	(10.2-9)	(10.2-10)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

							備考
		NO	(10.2-11)→(25.1)	/			
NO	(11)→(12)へ			/			
(12)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)である(YES,NO)				/			
YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「帰化者の配偶者は同時に帰化していませんね。」を表示する				(14)本紙へ		
	YES		(15)→(25.1)	/			
	NO		(16)エラーメッセージ 「夫婦の帰化を選択して下さい。」を表示する		(17)本紙へ		
NO	(18)→(25.1)へ			/			
(19)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)である(YES,NO)				/			
YES	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「帰化者同士婚姻してますね。」を表示する				(21)本紙へ		
	YES		(22)→(25.1)	/			
	NO		(23)エラーメッセージ 「帰化種別が間違っています。」を表示する		(24)本紙へ		
NO	(25)→(25.1)へ			/			
(25.1)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父母の戸籍に入る)である(YES,NO)				/			
YES	(26)帰化記載者資格1 ＝ 001(父) 又は 帰化記載者資格2 ＝ 001(父)である(YES,NO)			/			
	YES		(27)確認メッセージ(YES,NO) 「父は帰化者を認知していますね。」を表示する		(28)本紙へ		
		YES	(29)→(32)へ	/			
		NO	(29.1)エラーメッセージ 「帰化記載者資格に父を入力する必要はありません。」を表示する		(30)本紙へ		
	NO		(31)→(32)へ	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

						備考
	(32)同時帰化者n帰化記載者資格1 ＝ 001(父)　又は 同時帰化者n帰化記載者資格2 ＝ 001(父)である(YES,NO)			/		
	YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「父は帰化者を認知していますね。」を表示する			(34)本紙へ	
		YES	(34.0)→(37)へ		/	
		NO	(34.1)エラーメッセージ 「帰化記載者資格に父を入力する必要はありません。」を表示する			
	NO	(35)→(37)へ			/	
NO	(36)→(37)へ				/	
(37)届後本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)					/	
YES	(38)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)				/	
	YES	→				審査終了
	NO	(39)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する			(40)本紙へ	
NO	(41)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES,NO)				/	
	YES	(42)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)　かつ (養)父/母本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)			/	
		YES	(43)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)		/	
			YES	→		(45)本紙へ	審査終了
			NO	(44)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する			
		NO	(46)→(47)へ		/	
		(47)(戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　又は　7(妻の氏の新戸籍編製)) かつ　帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有) かつ　連署人本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)			/	
		YES	(48)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)		/	
			YES	→		(50)本紙へ	審査終了
			NO	(49)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する			
		NO	(51)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)である(YES,NO)		/	
			YES	→			審査終了

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名				審査(帰化届)						
処理名				3.0審査					備考	
			NO	(52)エラーメッセージ 「本非区分は2(非本籍)でなければなりません」を表示する			(53)本紙へ			
	NO			(54)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)である(YES,NO)		/				
		YES	→						審査終了	
		NO		(55)エラーメッセージ 「本非区分は2(非本籍)でなければなりません」を表示する			(56)本紙へ			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		帰化届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							24(帰化届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							連署人本籍が管内本籍のとき、その戸籍番号を設定 養/父母本籍が管内本籍のとき、その戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)								
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分								
中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化種別			帰化届入力画面	帰化種別				
	同時帰化者数				同時帰化者数				
	帰化者カナ氏名				帰化者カナ氏名				
	帰化者漢字氏名				帰化者漢字氏名				
	帰化者従前氏名				帰化者従前氏名				
	帰化者従前国籍				帰化者従前国籍				
	帰化者生年月日				帰化者生年月日				
	帰化者配偶者区分				帰化者配偶者区分				
	公示年月日				公示年月日				
	帰化者父氏名				帰化者父氏名				
	帰化者父の本籍コード				帰化者父の本･国籍		有		
	帰化者父の本･国籍								
	帰化者母氏名				帰化者母氏名				
	帰化者母の本籍コード				帰化者母の本･国籍		有		
	帰化者母の本･国籍								
	帰化者父母との続柄コード				帰化者父母との続柄コード				
	帰化者住民日				帰化者住民日				
	帰化者住定日				帰化者住定日				
	帰化者住所コード				帰化者住所		有		
	帰化者住所								
	帰化者世帯主区分				帰化者世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード				帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者世帯主名				帰化者世帯主名				
	帰化者15歳未満の届出人資格1				帰化者15歳未満の届出人資格1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	帰化者15歳未満の届出人資格2			帰化者15歳未満の届出人資格2				
	帰化者15歳未満の届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1				
	帰化者15歳未満の届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2				
	帰化者妻カナ氏名			帰化者妻カナ氏名				
	帰化者妻漢字氏名			帰化者妻漢字氏名				
	帰化者妻従前氏名			帰化者妻従前氏名				
	帰化者妻従前国籍			帰化者妻従前国籍				
	帰化者妻生年月日			帰化者妻生年月日				
	帰化者妻父氏名			帰化者妻父氏名				
	帰化者妻父の本籍コード			帰化者妻父の本・国籍		有		
	帰化者妻父の本・国籍							
	帰化者妻母氏名			帰化者妻母氏名				
	帰化者妻母の本籍コード			帰化者妻母の本・国籍		有		
	帰化者妻母の本・国籍							
	帰化者妻父母との続柄コード			帰化者妻父母との続柄コード				
	帰化者妻住民日			帰化者妻住民日				
	帰化者妻住定日			帰化者妻住定日				
	帰化者妻住所コード			帰化者妻住所		有		
	帰化者妻住所							
	帰化者妻世帯主区分			帰化者妻世帯主区分				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)								
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	帰化者妻世帯主との続柄コード			帰化者妻世帯主との続柄コード					
	帰化者妻世帯主名			帰化者妻世帯主名					
	戸籍変動区分			戸籍変動区分					
	届後本籍コード			届後本籍		有			
	届後本籍								
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者					
	帰化記載者資格1			帰化記載者資格1					
	帰化記載者資格2			帰化記載者資格2					
	養/父母カナ氏名			養/父母カナ氏名					
	養/父母漢字氏名			養/父母漢字氏名					
	養/父母本籍コード			養/父母本籍		有			
	養/父母本籍								
	養/父母筆頭者			養/父母筆頭者					
	養/父母父氏名			養/父母父氏名					
	養/父母母氏名			養/父母母氏名					
	養/父母父母との続柄コード			養/父母父母との続柄コード					
	養/父母生年月日			養/父母生年月日					
	養/父母住所コード			養/父母住所		有			
	養/父母住所								
	連署人筆頭者区分			連署人筆頭者区分					
	連署人配偶者区分			連署人配偶者区分					
	連署人カナ氏名			連署人カナ氏名					
	連署人漢字氏名			連署人漢字氏名					
	連署人本籍コード			連署人本籍		有			
	連署人本籍								
	連署人筆頭者			連署人筆頭者					
	連署人父氏名			連署人父氏名					

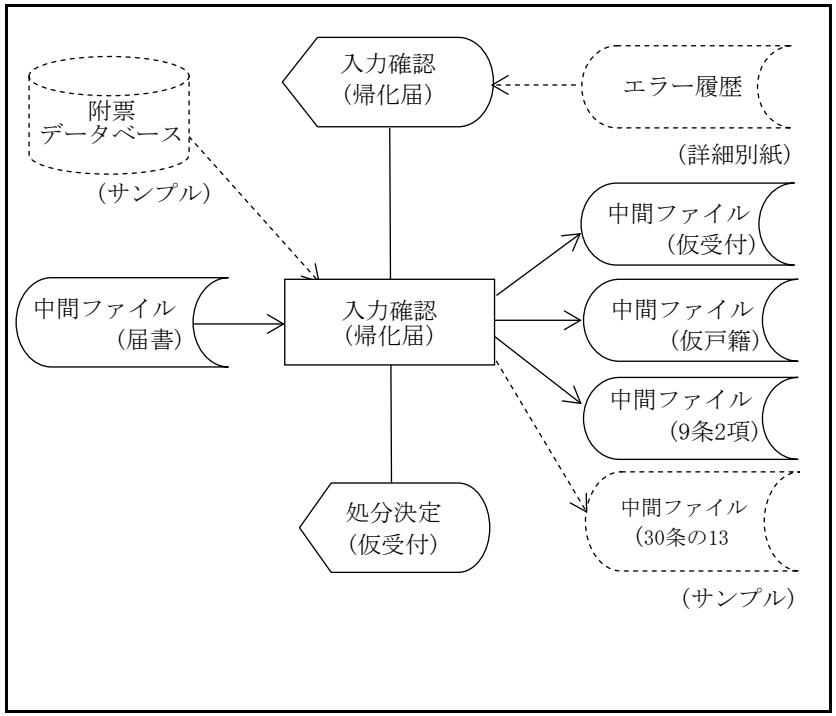
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	連署人母氏名			連署人母氏名		有		
	連署人父母との続柄コード			連署人父母との続柄コード				
	連署人生年月日			連署人生年月日				
	連署人住所コード			連署人住所		有		
	連署人住所							
	同時帰化者nカナ氏名			同時帰化者nカナ氏名				
	同時帰化者n漢字氏名			同時帰化者n漢字氏名				
	同時帰化者n従前氏名			同時帰化者n従前氏名				
	同時帰化者n従前国籍			同時帰化者n従前国籍				
	同時帰化者n生年月日			同時帰化者n生年月日				
	同時帰化者n父氏名			同時帰化者n父氏名				
	同時帰化者n 父の本籍コード			同時帰化者n父の本・国籍		有		
	同時帰化者n父の本・国籍							
	同時帰化者n母氏名			同時帰化者n母氏名				
	同時帰化者n 母の本籍コード			同時帰化者n母の本・国籍		有		
	同時帰化者n母の本・国籍							
	同時帰化者n 父母との続柄コード			同時帰化者n 父母との続柄コード				
	同時帰化者n住民日			同時帰化者n住民日				
	同時帰化者n住定日			同時帰化者n住定日				
	同時帰化者n住所コード			同時帰化者n住所		有		
	同時帰化者n住所							
	同時帰化者n世帯主区分			同時帰化者n世帯主区分				
	同時帰化者n 世帯主との続柄コード			同時帰化者n 世帯主との続柄コード				
	同時帰化者n世帯主名			同時帰化者n世帯主名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2				
	同時帰化者n 帰化記載者資格1			同時帰化者n 帰化記載者資格1				
	同時帰化者n 帰化記載者資格2			同時帰化者n 帰化記載者資格2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 帰化(3.2の条件以外)
  - 3.2 その他(除籍配偶者(送付･除籍のみ)) 又は (除籍(養)父母(送付･除籍のみ))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 戸籍特定(新戸籍編製) ※ひな型A.1に対応
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定 ※ひな型C.1に対応
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 帰化者
  - 6.2 帰化者の日本人配偶者(入籍)
  - 6.3 帰化者の日本人配偶者(除籍)
  - 6.4 帰化者の日本人配偶者(記録)
  - 6.5 帰化者の父又は母(入籍)
  - 6.6 帰化者の養父又は養母(入籍)
  - 6.7 帰化者の父又は母(除籍)
  - 6.8 帰化者の養父又は養母(除籍)
  - 6.9 帰化者の父(記録)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 帰化者
  - 7.2 帰化者の日本人配偶者
  - 7.3 帰化者の(養)父母
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 帰化者の日本人配偶者
  - 8.2 帰化者の(養)父母

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)
処理名	0.0　本紙

					備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」 [1.0]			/		
(2)キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF11、 その他)			/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]		/		
	(4)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)である(YES, NO)		/		※1 受付ファイルは帰化者だけに作成する 作成順序は ･夫婦の帰化の場合 ①帰化後筆頭者になる者 ②帰化後の筆頭者の配偶者 ③同時に処理した帰化者 (年上順:チェックにより入力順で構わない) ･夫婦の帰化以外の場合 ①主たる帰化者 ②同時に処理した帰化者 ※2 連署人に入力があり、連署人が除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 6、 7の一部)において、連署人の本籍地と新戸籍編製地が異なる場合、連署人の本籍地へ除籍の届出書送付があったときに限り、連署人を本籍人として受付ファイルを作成する([3.2]のデータ編集表) 上記の事例で連署人の本籍地へ帰化届出があった場合はこの限りでない(帰化者についてのみ受付ファイルを作成する) 同様、(養)父母が除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 3)において(養)父･母の本籍地と新戸籍編製地が異なる場合、(養)父･母の本籍地へ除籍の届書送付があったときに限り、(養)父･母を本籍人として受付ファイルを作成する([3.2]のデータ編集表) 上記の事例で(養)父･母の本籍地へ帰化届出があった場合はこの限りでない(帰化者についてのみ受付ファイルを作成する)
	YES (5)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES, NO)		/		
	YES (6)届後本籍 ＝ 管外本籍である(YES, NO)		/		
	YES (7)養/父母本籍 ＝ 管内本籍である(YES, NO)		/		
	YES (8)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.2] ※2		/		
	NO → (18) へ		/		
	NO				
	NO				
	NO (10)→(18)へ		/		
	(18)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) 又は 7(妻の氏の新戸籍編製) である(YES, NO)		/		
	YES (19)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)		/		
	YES (20)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES, NO)		/		
	YES (21)届後本籍 ＝ 管外本籍である(YES, NO)		/		
	YES (22)連署人本籍 ＝ 管内本籍である(YES, NO)		/		
	YES (23)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.2] ※2		/		
	NO (24)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.1]		/		
	NO				
	NO				
	NO				
	NO				
	(25)本非区分 ＝ 1(本籍分届)である(YES, NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)				
処理名	0.0　本紙				備考
YES	(26)戸籍変動区分?(1:帰化者で新戸籍編製、2:(養)父・母の戸籍に入籍、3:(養)父・母で新戸籍編製、4:日本人配偶者の戸籍に入籍、6:夫の氏の新戸籍編製、7:妻の氏の新戸籍編製)		/		
1	(27)戸籍特定を編集・出力する [4.1]		/		
	(28)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
	(29)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
2	(30)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
	(31)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
	(32)帰化者記録者資格1　又は　2?(001:父、010:養父、011:養母)		/		
	001	(33)帰化者の父の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.9]	/		配偶者区分 ＝ 夫に記録、いなければ筆頭者に記録する 配偶者区分 ＝ 妻に記録、いなければ筆頭者に記録する
	010	(34)帰化者の養父の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.10]	/		
	011	(35)帰化者の養母の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.10]	/		
3	(36)戸籍特定を編集・出力する [4.1]		/		
	(37)帰化者の(養)父母の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
	(37.1)帰化記録者資格1 ＝ 001(父)　又は　スペース(母)である(YES, NO)		/		
	YES	(38)帰化者の父又は母(入籍)の身分事項を編集・出力する [6.5]	/		
	NO	(38.1)帰化者の養父又は養母(入籍)の身分事項を編集・出力する [6.6]	/		
	(39)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
	(40)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
	(41)養父母本籍 ＝ 管内である(YES, NO)		/		
	YES	(41.1)帰化記録者資格1 ＝ 001(父)　又は　スペース(母)である(YES, NO)	/		
		YES (42)帰化者の父又は母(除籍)の身分事項を編集・出力する [6.7]	/		
		NO (42.1)帰化者の養父又は養母(除籍)の身分事項を編集・出力する [6.8]	/		
	NO	(42.2)→(75)へ	/		
4	(43)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
	(44)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
	(45)連署人の身分事項(記録)を編集・出力する [6.4]		/		
6	(53)戸籍特定を編集・出力する [4.1]		/		
	(54)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
	(55)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
	(56)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)		/		
	YES	(57)連署人の個人特定を編集・出力する [5.1]	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)
処理名	0.0 本紙

								備考
				(58)連署人の身分事項(入籍)を編集･出力する [6.2]	/			
				(59)連署人本籍 ＝ 管内である(YES, NO)	/			
			YES	(60)連署人の身分事項(除籍)を編集･出力する [6.3]	/			
			NO	(60.1)→(75)へ	/			
			NO	(61)帰化者妻の個人特定を編集･出力する [5.1]	/			
				(62)帰化者妻の身分事項を編集･出力する [6.1]	/			
		7		(63)戸籍特定を編集･出力する [4.1]	/			
				(64)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)	/			
			YES	(65)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]	/			
				(66)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]	/			
				(67)連署人の個人特定を編集･出力する [5.1]	/			
				(68)連署人の身分事項(入籍)を編集･出力する [6.2]	/			
				(69)連署人本籍 ＝ 管内である(YES, NO)	/			
			YES	(70)連署人の身分事項(除籍)を編集･出力する [6.3]	/			
			NO	(70.1)→(75)へ	/			
			NO	(71)帰化者妻の個人特定を編集･出力する [5.1]	/			
				(72)帰化者妻の身分事項を編集･出力する [6.1]	/			
				(73)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]	/			
				(74)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]	/			
		(75)同時帰化者数 > 0である(YES, NO)			/			
		YES		(76)同時帰化者の数だけ(77)～(82)の処理を繰り返す	/			
				(77)同時帰化者nの個人特定を編集･出力する [5.1]	/			
				(78)同時帰化者nの身分事項を編集･出力する [6.1]	/			
				(78.1)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍)?(YES, NO)	/			
			YES	同時帰化者n帰化記録者資格1 又は 2(001:父、010:養父、011:養母)	/			
				001 (80)帰化者の父の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.9]	/			配偶者区分 ＝ 夫に記録、 いなければ筆頭者に記録する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)
処理名	0.0 本紙

										備考
					010	(81)帰化者の養父の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.10]	/			配偶者区分 ＝ 夫に記録、いなければ筆頭者に記録する
					011	(82)帰化者の養母の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.10]	/			配偶者区分 ＝ 妻に記録、いなければ筆頭者に記録する
				NO		(82.1)→(83)へ	/			
			(83)→(85)へ				/			
		NO	(84.1)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父母で新戸籍編製)である(YES, NO)				/			
			YES	(84.2)在外送付区分 ≠ 0(受理以外)である(YES, NO)			/			
				YES	(84.3)養/父母本籍 ＝ 管内である(YES, NO)		/			
					YES	(84.4)帰化記録者資格1 ＝ 001(父) 又は スペース(母)である(YES, NO)	/			受53、帰化11の対応
					YES	(84.5)帰化者の父又は母(除籍)の身分事項を編集･出力する [6.7]	/			
					NO	(84.6)帰化者の養父又は養母(除籍)の身分事項を編集･出力する [6.8]	/			
				NO		(84.7)→(85)へ	/			
			NO							
		NO								
	NO									
(85)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES, NO)							/			
YES	(86)帰化者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]						/			
	(87)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)である(YES, NO)						/			
	YES	(88)(養)父母について中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)編集･出力する [7.3]					/			
	NO	(89)→(93)					/			
	(93)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) 又は 7(妻の氏の新戸籍編製)である(YES, NO)						/			
	YES	(94)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)					/			
		YES	(95)連署人について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]				/			
		NO	(96)→(97)				/			
		(97)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)である(YES, NO)					/			
		YES	(98)帰化者妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]				/			
		NO	(99)→(101)へ				/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(帰化届)						
処理名			0.0　本紙					備考	
		NO	(100)→(101)へ		/				
			(101)同時帰化者数 ＞ 0である(YES, NO)		/				
		YES	(102)同時帰化者の数だけ、同時帰化者のnについて中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]			(103)処分決定に制御を渡す			
		NO	→						
	NO	→							
PF1	→					(104)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(105)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(106)審査(帰化届)に制御を渡す			
PF7	(107)前ページがある(YES, NO)				/				
	YES	(108)前ページ分の確認画面(帰化届)を編集する				(109)同画面を編集する			
	NO	(110)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する							
PF8	(111)次ページがある(YES, NO)				/				
	YES	(112)次ページ分の確認画面(帰化届)を編集する				(113)同画面を編集する			
	NO	(114)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する							
PF11	→					(115)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(116)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する					(117)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	帰化種別		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化種別				
	同時帰化者数			同時帰化者数				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	帰化者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者カナ氏名				
	帰化者漢字氏名			帰化者漢字氏名				
	帰化者従前氏名			帰化者従前氏名				
	帰化者従前国籍			帰化者従前国籍				
	帰化者生年月日			帰化者生年月日				
	帰化者配偶者区分			帰化者配偶者区分				
	帰化者配偶者区分名称					有		
	公示年月日			公示年月日				
	帰化者父氏名			帰化者父氏名				
	帰化者父の本･国籍			帰化者父の国籍コード		有		
				帰化者父の本･国籍				
	帰化者母氏名			帰化者母氏名				
	帰化者母の本･国籍			帰化者母の国籍コード		有		
				帰化者母の本･国籍				
	帰化者父母との続柄コード			帰化者父母との続柄コード				
	帰化者父母との続柄名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	帰化者住民日			帰化者住民日				
	帰化者住定日			帰化者住定日				
	帰化者住所			帰化者住所コード		有		
				帰化者住所				
	帰化者世帯主区分			帰化者世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者世帯主との続柄名称					有		
	帰化者世帯主名			帰化者世帯主名				
	帰化者15歳未満の届出人資格1			帰化者15歳未満の届出人資格1				
	帰化者15歳未満の届出人資格2			帰化者15歳未満の届出人資格2				
	帰化者15歳未満の届出人資格名称			帰化者15歳未満の届出人資格1 + 帰化者15歳未満の届出人資格2				名称変換は、審査(帰化) 2.1表示設定を参照
	帰化者15歳未満の届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1				
	帰化者15歳未満の届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2				
	帰化者妻カナ氏名			帰化者妻カナ氏名				
	帰化者妻漢字氏名			帰化者妻漢字氏名				
	帰化者妻従前氏名			帰化者妻従前氏名				
	帰化者妻従前国籍			帰化者妻従前国籍				
	帰化者妻生年月日			帰化者妻生年月日				
	帰化者妻父氏名			帰化者妻父氏名				
	帰化者妻父の本･国籍			帰化者妻父の本籍コード		有		
				帰化者妻父の本･国籍				
	帰化者妻母氏名			帰化者妻母氏名				
	帰化者妻母の本･国籍			帰化者妻母の本籍コード		有		

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
				帰化者妻母の本･国籍				
	帰化者妻父母との続柄コード			帰化者妻父母との続柄コード				
	帰化者父母との続柄名称					有		
	帰化者妻住民日			帰化者妻住民日				
	帰化者妻住定日			帰化者妻住定日				
	帰化者妻住所			帰化者妻住所コード		有		
				帰化者妻住所				
	帰化者妻世帯主区分			帰化者妻世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者妻世帯主との続柄名称					有		
	帰化者妻世帯主名			帰化者妻世帯主名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	帰化記載者資格1			帰化記載者資格1				
	帰化記載者資格2			帰化記載者資格2				
	養/父母カナ氏名			養/父母カナ氏名				
	養/父母漢字氏名			養/父母漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養/父母本籍			養/父母本籍コード		有		
				養/父母本籍				
	養/父母筆頭者			養/父母筆頭者				
	養/父母父氏名			養/父母父氏名				
	養/父母母氏名			養/父母母氏名				
	養/父母との続柄コード			養/父母との続柄コード				
	養/父母との続柄名称					有		
	養/父母生年月日			養/父母生年月日				
	養/父母住所			養/父母住所コード		有		
				養/父母住所				
	連署人筆頭者区分			連署人筆頭者区分				
	達署人筆頭者名称					有		
	連署人配偶者区分			連署人配偶者区分				
	連署人配偶者名称					有		
	連署人カナ氏名			連署人カナ氏名				
	連署人漢字氏名			連署人漢字氏名				
	連署人本籍			連署人本籍コード		有		
				連署人本籍				
	連署人筆頭者			連署人筆頭者				
	連署人父氏名			連署人父氏名				
	連署人母氏名			連署人母氏名				
	連署人父母との続柄コード			連署人父母との続柄コード				
	連署人父母との続柄名称					有		
	連署人生年月日			連署人生年月日				
	連署人住所			連署人住所コード		有		
				連署人住所				
	同時帰化者nカナ氏名			同時帰化者nカナ氏名				
	同時帰化者n漢字氏名			同時帰化者n漢字氏名				
	同時帰化者n従前氏名			同時帰化者n従前氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n従前国籍			同時帰化者n従前国籍				
	同時帰化者n生年月日			同時帰化者n生年月日				
	同時帰化者n父氏名			同時帰化者n父氏名				
	同時帰化者n父の本･国籍			同時帰化者n父の本籍コード		有		
				同時帰化者n父の本･国籍				
	同時帰化者n母氏名			同時帰化者n母氏名				
	同時帰化者n母の本･国籍			同時帰化者n母の本籍コード		有		
				同時帰化者n母の本･国籍				
	同時帰化者n父母との続柄コード			同時帰化者n父母との続柄コード				
	同時帰化者n父母との続柄名称					有		
	同時帰化者n住民日			同時帰化者n住民日				
	同時帰化者n住定日			同時帰化者n住定日				
	同時帰化者n住所			同時帰化者n住所コード		有		
				同時帰化者n住所				
	同時帰化者n世帯主区分			同時帰化者n世帯主区分				
	同時帰化者n世帯主との続柄コード			同時帰化者n世帯主との続柄コード				
	同時帰化者n世帯主との続柄名称					有		
	同時帰化者n世帯主名			同時帰化者n世帯主名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格名称			同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 + 同時帰化者n15歳未満の届出人資格2				名称変換は、審査(帰化) 2.1表示設定を参照
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2				
	同時帰化者n 帰化記載者資格1			同時帰化者n 帰化記載者資格1				
	同時帰化者n 帰化記載者資格2			同時帰化者n 帰化記載者資格2				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
1	○	×	×	×	×	×	×	○	×							○	×		6.1帰化者				
2	○	×	×	×	×	×	×	○	×							×	○		6.1帰化者(複数)				
3	○	×	×	×	×	×	×	×	○							-	-						
4	×	○	×	×	×	×	×	○	×							○	×			6.1帰化者			※1
5	×	○	×	×	×	×	×	○	×							×	○			6.1帰化者(複数)			※1
6	×	○	×	×	×	×	×	×	○							-	-						
7	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×				○	×		6.1帰化者 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母		6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母		
8	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×				○	×		6.1帰化者 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母			6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母	
9	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○				○	×		6.1帰化者 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母				
10	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母		6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母		
11	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母			6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有		4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	
12	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母				
13	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×				-	-				6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母		
14	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×				-	-					6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母	
15	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○				-	-						
16	×	×	×	○	×	×	×	○	×				-	-	-	○	×			6.1帰化者			6.4日本人配偶者
17	×	×	×	○	×	×	×	○	×				-	-	-	×	○			6.1帰化者(複数)			6.4日本人配偶者 ※1
18	×	×	×	○	×	×	×	×	○				-	-	-	-	-						
19																							
20																							
21																							
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28	×	×	×	×	×	○	×	○	×							○	×		6.1帰化者(夫婦)				
29	×	×	×	×	×	○	×	○	×							×	○		6.1帰化者(夫婦)(複数)				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍		非本籍	本籍		非本籍	無	有		4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	
										他在籍者有	他在籍者無		他在籍者有	他在籍者無									
30	×	×	×	×	×	○	×	×	○							－	－						
31	×	×	×	×	×	○	×	○	×				○	×	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		
32	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	○	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	
33	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	×	○	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者				
34	×	×	×	×	×	○	×	○	×				○	×	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		※1
35	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	○	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	※1
36	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	×	○	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者				※1
37	×	×	×	×	×	○	×	×	○				○	×	×	－	－				6.3日本人配偶者		
38	×	×	×	×	×	○	×	×	○				×	○	×	－	－					6.3日本人配偶者	
39	×	×	×	×	×	○	×	×	○				×	×	○	－	－						
40	×	×	×	×	×	×	○	○	×							○	×		6.1帰化者(夫婦)				
41	×	×	×	×	×	×	○	○	×							×	○		6.1帰化者(夫婦)(複数)				
42	×	×	×	×	×	×	○	×	○							－	－						
43	×	×	×	×	×	×	○	○	×				○	×	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有		4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	
44	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	○	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	
45	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	○	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者				
46	×	×	×	×	×	×	○	○	×				○	×	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		※1
47	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	○	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	※1
48	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	○	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者				※1
49	×	×	×	×	×	×	○	×	○				○	×	×	−	−				6.3日本人配偶者		
50	×	×	×	×	×	×	○	×	○				×	○	×	−	−					6.3日本人配偶者	
51	×	×	×	×	×	×	○	×	○				×	×	○	−	−						

※1　(養)父母に子の帰化事項の記録する編集表は、本紙を参照のこと([6.9]、養父 又は 養母[6.10])

(参考)
(1)　※1で帰化者の帰化事項を記録すべき条件は次のとおり
①帰化者の父:帰化者を認知していること
②帰化者の養父母
・システムでの記録
帰化者が上記①②の戸籍に入籍する場合(①②で新戸籍を編製する場合は(養)子の帰化で除籍となるため、新戸籍には(養)子の帰化事項は記録しない)
帰化者が上記①②の戸籍に入籍しない場合は審査結果入力処理で処理すること
・同時帰化者がいる場合
(養)子の帰化事項を必ず記録する

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍		非本籍	本籍		非本籍	無	有						
										他在籍者有	他在籍者無		他在籍者有	他在籍者無									
																			4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	

※　(複数)は同時帰化者数の数だけ記録すること
夫(又は妻)の氏の新戸籍編製の場合、帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)は連署人の戸籍に入力がある

帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)は連署人の戸籍に入力がない

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・帰化)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2401(帰化)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			公示年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			･単身者の場合 「帰化者15歳未満の届出人資格1」を設定　名称は変換して設定 ･同時に帰化する者の場合 「同時帰化者n15歳未満の届出人資格1」を設定　名称は変換して設定				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1 同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1				←単身者 ←同時に帰化する者
	届出人資格区分2			･単身者の場合 「帰化者15歳未満の届出人資格2」を設定　名称は変換して設定 ･同時に帰化する者の場合 「同時帰化者n15歳未満の届出人資格2」を設定　名称は変換して設定				
	届出人資格名称2							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・帰化)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2 同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2				←　単身者 ←　同時に帰化する者
	届後本籍区分							･帰化者及び帰化者妻 戸籍変動区分 ＝ 1、3、6、7 のとき2を設定 上記以外のとき1を設定 ･同時に帰化する者 1を設定
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき ①連署人の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 ②養/父母の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 上記以外は0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							39(帰化者)
	届出人区分			･単身者の場合 「帰化者15歳未満の届出人資格1」に入力があれば0を設定 ･同時に帰化する者の場合 「同時帰化者nの15歳未満の届出人資格1」に入力があれば0を設定 ･上記以外は1を設定				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・帰化)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	カナ氏名			帰化者カナ氏名 帰化者妻カナ氏名 同時帰化者nカナ氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	漢字氏名			帰化者漢字氏名 帰化者妻漢字氏名 同時帰化者n漢字氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認2							届後本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4401(その他)
	受付日			送付日				
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分							1(本籍)を設定
	渉外区分							0を設定
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2を設定
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							
	証書提出区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届書送付目録区分							1(送付要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							99(事件本人以外)
	届出人区分							0を設定
	カナ氏名			養/父母カナ氏名 連署人カナ氏名				←養/父母 ←日本人配偶者
	漢字氏名			養/父母漢字氏名 連署人漢字氏名				←養/父母 ←日本人配偶者
	生年月日			養/父母生年月日 連署人生年月日				←養/父母 ←日本人配偶者
	本籍コード			養/父母本籍コード 連署人本籍コード				←養/父母 ←日本人配偶者
	本籍			養/父母本籍 連署人本籍				←養/父母 ←日本人配偶者
	筆頭者			養/父母筆頭者 連署人筆頭者				←養/父母 ←日本人配偶者
	送達確認2							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	4.1　帰化者(戸籍特定・新戸籍編製)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	5.1　帰化者(個人特定・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							新戸籍編製の場合は決裁処理で設定 他は入籍する戸籍の戸籍番号を設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	除籍日							
	性別			帰化者父母との続柄コード 帰化者養父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード 養/父母父母との続柄コード 連署人父母との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日 養/父母生年月日 連署人生年月日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	筆頭者区分			同時に帰化する者は全員「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 1の場合、帰化者が「筆頭者」 戸籍変動区分 ＝ 2の場合、帰化者は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 3の場合、養/父･母が「筆頭者」、帰化者は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 4の場合、帰化者は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 6の場合、帰化者が「筆頭者」、それ以外は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 7の場合、帰化種別 ＝ 2のとき、帰化者が「筆頭者」、それ以外は「構成員」 帰化種別 ＝ 4のとき、帰化者妻(その2画面入力者)が「筆頭者」、それ以外は「構成員」					
	配偶者区分			帰化者配偶者区分 「妻」 「未」 「未」 連署人配偶者区分				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	5.1　帰化者(個人特定・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	父			帰化者父氏名 帰化者妻父氏名 同時帰化者n父氏名 養/父母父氏名 連署人父氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	母			帰化者母氏名 帰化者妻母氏名 同時帰化者n母氏名 養/父母母氏名 連署人母氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	父母との続柄			帰化者父母との続柄コード 帰化者妻父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード 養/父母父母との続柄コード 連署人父母との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							連署人又は(養)父･母が本籍人で、新戸籍を編製する場合に、従前戸籍の個人番号を設定する
	個人番号							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.1　帰化者(入籍・帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2401(帰化)
	記録コード								2401(帰化者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	公示年月日				
	帰化	帰化日			公示年月日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人(1)	資格		単身者の場合 通常は　届出人(1)←帰化者15歳未満の届出人資格1、資格名称1(資格1を名称変換) 届出人(2)←帰化者15歳未満の届出人資格2、資格名称2(資格2を名称変換) ただし、資格1 ＝ 016(親権者父)、資格2 ＝ 017(親権者母)の場合 資格1 ＝ 018(親権者父母)、資格2は未設定と置き換える(資格1、2が逆も同様) 同様、資格1 ＝ 001(父)、資格2 ＝ 002(母)の場合 資格1 ＝ 005(父母)、資格2は未設定と置き換える(資格1、2が逆も同様) 同時帰化者の場合 上記(単身者)を「同時帰化者n15歳未満の届出人～」に読みかえる ※氏名の設定は不要 ただし、資格1 ＝ 110(未成年後見人)の場合は、氏名1を設定 資格1、2が010(養父) 又は 011(養母) 又は 019(親権者養父) 又は 020(親権者養母)の場合は、対応する氏名1、2をそれぞれ設定				
			資格名称						
			氏名						
		届出人(2)	資格						
			資格名称						
			氏名						
	従前記録	帰化の際の国籍			帰化者従前国籍 帰化者妻従前国籍 同時帰化者n従前国籍				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
		従前の氏名			帰化者従前氏名 帰化者妻従前氏名 同時帰化者n従前氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.1　帰化者(入籍・帰化)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.2　帰化者の配偶者(入籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					ファイル仕様書の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日							
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由			･帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、「夫の帰化届出」を設定 ･帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、「妻の帰化届出」を設定				
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍		連署人本籍				
			筆頭者		連署人筆頭者				
	除籍	除籍日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.2　帰化者の配偶者(入籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.3　帰化者の配偶者(除籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様書の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由			･帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、「夫の帰化届出」を設定 ･帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、「妻の帰化届出」を設定				
	婚姻	配偶者氏名			帰化者漢字氏名				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.3　帰化者の配偶者(除籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
		称する氏			･戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)のとき、「夫の氏」を設定 ･戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)のとき、「妻の氏」を設定				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.4　帰化者の配偶者(記録・配偶者の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名			帰化者漢字氏名				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.5　帰化者の父又は母(入籍・子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日							
		子の氏名	続柄						
			氏名						
		子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由							「子の帰化届出」を設定
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

データ編集表					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)									
処理名	6.5　帰化者の父又は母(入籍・子の帰化)　編集･出力									
受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
	入戸籍	従前戸籍	本籍			養/父母本籍				
			筆頭者			養/父母筆頭者				
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.6　帰化者養父又は養母(入籍・養子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2403(養子の帰化)
	記録コード								2403(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		養子の氏名							
		養新子本の籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由							「子の帰化届出」を設定
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍		養/父母本籍				
			筆頭者		養/父母筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除	新本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.6　帰化者養父又は養母(入籍・養子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	入籍								
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.7　帰化者の父又は母(除籍・子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		子の名	続柄						
			氏名						
		子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由							「子の帰化届出」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除	新本籍			届後本籍				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.7　帰化者の父又は母(除籍・子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除籍								
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.8　帰化者養父又は養母(除籍・養子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2403(養子の帰化)
	記録コード								2403(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		養子の氏名							
		養子本籍の新本籍							
		養子本籍の新筆頭者							
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由							「子の帰化届出」を設定
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍の本籍							
		従前戸籍の筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.8　帰化者養父又は養母(除籍・養子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.9　帰化者の父(記録・子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
		子の氏名	続柄		･単身者の場合、「帰化者父母との続柄コード」を変換し設定 ･同時に帰化処理する者の場合、「同時帰化者n父母との続柄コード」を変換し設定				
			氏名		･単身者の場合、「帰化者漢字氏名」を移送 ･同時に帰化する者の場合、「同時帰化者n漢字氏名」を移送				
		子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.9　帰化者の父(記録・子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.10　帰化者養父又は養母(記録・養子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(養子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
		養子の氏名			･単身者の場合、「帰化者漢字氏名」を移送 ･同時に帰化する者の場合、「同時帰化者n漢字氏名」を移送				
		養子の新本籍 本籍							
		養子の新本籍 筆頭者							
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.10　帰化者養父又は養母(記録・養子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	7.1　9条2項(帰化者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			帰化者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			帰化者漢字氏名 帰化者妻漢字氏名 同時帰化者n漢字氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧氏名							
	新生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧生年月日							
	新父母との続柄			帰化者父母との続柄コード 帰化者妻父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	7.1　9条2項(帰化者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	住所コード				帰化者住所コード 帰化者妻住所コード 同時帰化者n住所コード				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	住所				帰化者住所 帰化者妻住所				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻
	方書				同時帰化者n住所				←同時に帰化する者
	住定日				帰化者住定日 帰化者妻住定日 同時帰化者n住定日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	住民日				帰化者住民日 帰化者妻住民日 同時帰化者n住民日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	世帯主				帰化者世帯主名 帰化者妻世帯主名 同時帰化者n世帯主名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	世帯主との続柄				帰化者世帯主との続柄コード 帰化者妻世帯主との続柄コード 同時帰化者n世帯主との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	7.2　9条2項(帰化者の日本人配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			連署人住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合、個人番号を設定
	新氏名			「届後戸籍の筆頭者」の氏 +「連署人漢字氏名」の名				
	旧氏名			連署人漢字氏名				
	新生年月日			連署人生年月日				
	旧生年月日			連署人生年月日				
	新父母との続柄			連署人父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			連署人父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			連署人本籍コード				
	旧本籍			連署人本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			連署人筆頭者				
	住所コード			連署人住所コード				
	住所			連署人住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	7.3　9条2項(帰化者の(養)父母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養/父母住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養/父母漢字氏名				
	旧氏名			養/父母漢字氏名				
	新生年月日			養/父母生年月日				
	旧生年月日			養/父母生年月日				
	新父母との続柄			養/父母父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養/父母父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			養/父母本籍コード				
	旧本籍			養/父母本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			養/父母筆頭者				
	住所コード			養/父母住所コード				
	住所			養/父母住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	8.1　30条の13第1項(帰化者の日本人配偶者)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「届後戸籍の筆頭者」の氏 +「連署人漢字氏名」の名				
	旧氏名			連署人漢字氏名				
	新生年月日			連署人生年月日				
	旧生年月日			連署人生年月日				
	新性別							連署人父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			連署人本籍コード				
	旧本籍			連署人本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			連署人筆頭者				
	住所コード			連署人住所コード				
	住所			連署人住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(帰化者の(養)父母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養/父母漢字氏名				
	旧氏名			養/父母漢字氏名				
	新生年月日			養/父母生年月日				
	旧生年月日			養/父母生年月日				
	新性別							養/父母父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			養/父母本籍コード				
	旧本籍			養/父母本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			養/父母筆頭者				
	住所コード			養/父母住所コード				
	住所			養/父母住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

24.国籍喪失届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	30	「国籍喪失届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2	R4	32	「国籍喪失届」	指摘による修正 15歳以上の未成年で届出人が親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母だった場合の審査を修正
3	2.0	33	「国籍喪失届」	・審査_3.0審査 届出期間が過ぎた場合に不受理ではなく審査続行とするよう修正
4		34		・審査_3.0審査 成年年齢を引き下げる民法改正に伴い、届出人が未成年後見人の場合の審査を修正
5		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	国籍喪失届						

1. 国籍喪失業務処理範囲外の処理
・通常有り得ない特異な組み合わせの届出義務者によって届出された国籍喪失届
・事件本人の成年後見人から届出がされた場合
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
・複数の未成年後見人から届出がされた場合
・法務大臣の催告、宣告による国籍喪失届
上記の場合は、審査結果入力で処理を行う。

2. 国籍喪失届入力画面の意義
・国籍喪失を行う者の各項目を入力する。

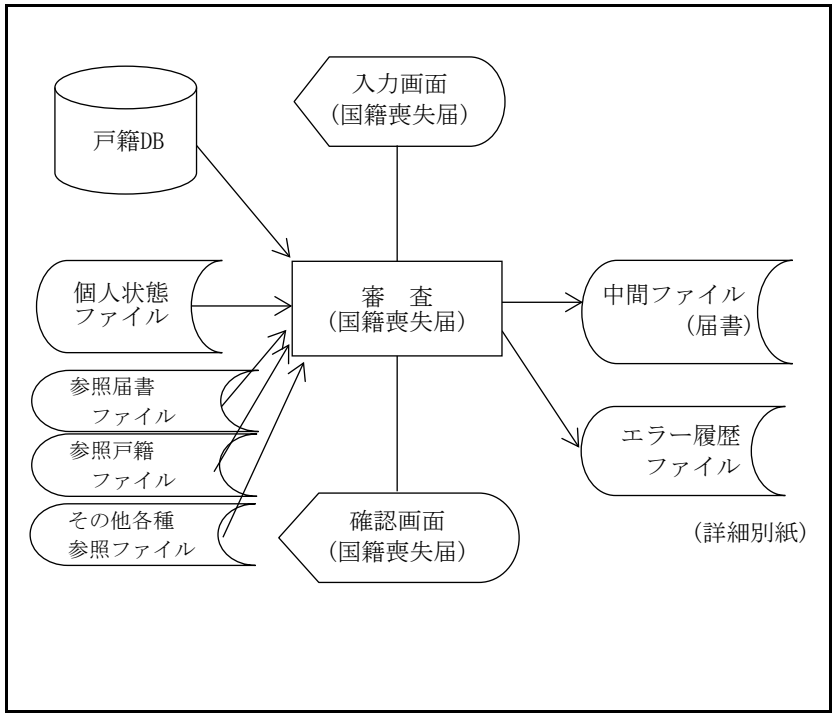
3. その他
添付書類
・外国への帰化を証する書面(又はその写し)、在外公館長の発給する帰化事実証明書など国籍喪失を証すべき書面(戸103-II)
・上記の書面が外国語によって作成されている場合はその訳文(規63の2)

届出期間の審査処理(戸103-I、大3.12.28民1125号回答)
・国籍喪失の事実を知った日及びその際に国内、国外に在ることが届書からはわからない為システム化後は喪失年月日を起算日とし、その日から3箇月以内であるか否かを確認メッセージでの対応とする。

法務省・在外公館からの国籍喪失の報告
・国籍喪失の報告の場合には届出人資格「099:その他」として、届出人資格欄に届出人資格名称を入力する。

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)国籍喪失届の内容を入力する
(2)国籍喪失届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)国籍喪失届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)国籍喪失届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(国籍喪失届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出期間について
・喪失年月日を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
　参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)									
処理名	0.0　本紙								備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す			
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する					(15-3)同画面を編集する			
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する		入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する									
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍喪失届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表	入力画面(国籍喪失届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	国籍喪失者カナ氏名	○	カナ				
11	国籍喪失者氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	喪失年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	住所		漢字				
15	世帯主		漢字				
16	本籍	○	漢字				
17	筆頭者	○	漢字				
18	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
19	配偶者の外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
20	喪失原因(区分)	○	数字	(1:志望により外国国籍を取得したため、2:日本国籍の離脱、3:外国国籍の選択)であること			国11 国13･憲法22 国11-Ⅱ
21	喪失原因(国名)	○	漢字	国籍であること			
22	届出人資格1		数字	(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			戸103-I
23	届出人氏名1		漢字				

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表				入力画面(国籍喪失届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	届出人資格2		数字	(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			戸103-I
25	届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍喪失届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍喪失届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)本籍　が管内であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
12	(No.3)受領日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
14	(No.11)国籍喪失者氏名の氏 ＝ (No.17)筆頭者の氏であること			
15	(No.18)配偶者区分 ＝ 0:未、3:生存配偶者の時、 (No.19)配偶者の外人区分 ＝ スペースであること			
15-1	(No.18)配偶者区分 ＝ 1:夫、2:妻の時、 (No.19)配偶者の外人区分 ≠ スペースであること			
16	(No.22)届出人資格1 ≠ (No.24)届出人資格2であること (但し、届出人資格が　082:親族　の時を除く)			
17	(No.22)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.23)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
18	(No.22)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.23)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
19	(No.24)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.25)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.24)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.25)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
21	(No.23)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.23)届出人氏名1 ≠ (No.25)届出人氏名2であること			
22	(No.14)住所 ＝ スペースの時、(No.15)世帯主 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(国籍喪失届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	(No.15)世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/			
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-2)→(0-6)へ			/			
	NO	→				(0-3)本紙へ		
NO	(0-4)→(0-6)へ				/			
(0-6)国籍喪失者氏名の名が未入力(YES,NO)					/		R2.1(国籍喪失-27)	
YES	(0-7)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-8)本紙へ	R2.1(国籍喪失-27)	
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-11)本紙へ	不受理	R2.1(国籍喪失-27)
	NO	(0-10)→					画面項目修正(審査完了しない	R2.1(国籍喪失-27)
NO	(0-12)→(1)へ				/			R2.1(国籍喪失-27)
(1)受領日 < 喪失年月日 + 3箇月(YES,NO)					/		戸103I	
YES	(2)→(8)へ				/			
NO	(3)メッセージ 「届出期間を経過しています」を表示する					(4)本紙へ	大3.12.28民1125号回答 審査続行(応答後(8)へ)	2.0(国籍喪失-33)
		(5)			/			(5)(6)(7)を削除,2.0(国籍喪失-33)
		(6)				(7)		2.0(国籍喪失-33)
(8)生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)					/		戸31I、国18	
YES	(9)届出人資格1(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、 098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母)				/			R4(国籍喪失-32)
	000	(10)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、 098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、 017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)			/			R4(国籍喪失-32)
		000	(11)審査メッセージ 「届出人資格２の入力に誤りがあります。」を表示する			(11-1)本紙へ	不受理	R4(国籍喪失-32)
		006,007,001,002,010,011,098,099	(12)→			(12-1)本紙へ	受理	R4(国籍喪失-32)
		082	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」 を表示する				民725～729	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)								
処理名	3.0 審査							備考	
		YES	(14)→					受理	
		NO	(15)→					不受理	
	110	(16-1)喪失年月日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)					(16-2)本紙へ	民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける 2.0(国籍喪失-34)	
		YES	(16-3)生年月日＋18年(18歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)					民法改正(2022年4月1日)後の審査 2.0(国籍喪失-34)	
			YES	(16-4)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する				2.0(国籍喪失-34)	
				YES	(16-5)→(110)			2.0(国籍喪失-34)	
				NO	(16-6)→			不受理 2.0(国籍喪失-34)	
			NO	(16-7)審査メッセージ 「事件本人は１８歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。」を表示する				不受理 2.0(国籍喪失-34)	
		NO	(16-8)生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)					民法改正(2022年4月1日)前の審査 2.0(国籍喪失-34)	
			YES	(16-9)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する				2.0(国籍喪失-34)	
				YES	(16-10)→(110)			2.0(国籍喪失-34)	
				NO	(16-11)→			不受理 2.0(国籍喪失-34)	
			NO	(16-12)審査メッセージ 「事件本人は２０歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。」を表示する				不受理 2.0(国籍喪失-34)	
		(17)					(18)	(17)(18)を削除、R4(国籍喪失-32)	
	016,017,019,020	(18-1)→					(18-2)本紙へ	R4(国籍喪失-32)	
6007	(19)届出人資格2(000:未入力、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)					/		R4(国籍喪失-32)	
	000	(20)→					(21)本紙へ		
	001,002,010,011,082,016,017,019,020	(22)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						受理 R4(国籍喪失-32)	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	その他	(23)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
1010	(24)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/			R4(国籍喪失-32)	
	000,002,011	(25)→			(26)本紙へ		受理	
	006,007,082,017,020	(27)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)	
	その他	(28)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
2011	(29)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/			R4(国籍喪失-32)	
	000,001,010	(30)→			(31)本紙へ		受理	
	006,007,082,016,019	(32)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)	
	その他	(33)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
082	(34)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)			/			R4(国籍喪失-32)	
	000	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」 を表示する			(36)本紙へ		民725～729	
		YES	→				受理	
		NO	→				不受理	
	006,007,001,002,010,011,082,016,017,019,020	(37)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)	
	その他	(38)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
098,099	(39)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍喪失届)

処理名	3.0 審査				備考
099	000	(40)→		(41)本紙へ	受理
	その他	(42)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
110	(43)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
	000	(44-1)喪失年月日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)		(44-2)本紙へ	民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける 2.0(国籍喪失-34)
		YES (44-3)生年月日＋18年(18歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)			民法改正(2022年4月1日)後の審査 2.0(国籍喪失-34)
		YES (44-4)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			2.0(国籍喪失-34)
		YES (44-5)→(110)			2.0(国籍喪失-34)
		NO (44-6)→			不受理 2.0(国籍喪失-34)
		NO (44-7)審査メッセージ 「事件本人は１８歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。」を表示する			不受理 2.0(国籍喪失-34)
		NO (44-8)生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)			民法改正(2022年4月1日)前の審査 2.0(国籍喪失-34)
		YES (44-9)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			2.0(国籍喪失-34)
		YES (44-10)→(110)			2.0(国籍喪失-34)
		NO (44-11)→			不受理 2.0(国籍喪失-34)
		NO (44-12)審査メッセージ 「事件本人は２０歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。」を表示する			不受理 2.0(国籍喪失-34)
	その他	(45)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(45-1)本紙へ	不受理 R4(国籍喪失-32)
	(47)				(47)を削除、R4(国籍喪失-32)
016, 019	(47-1)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、 017:親権者母、020:親権者養母、その他)		/		R4(国籍喪失-32)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名			審査(国籍喪失届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		000,017,020	(47-2)→			(47-3)本紙へ			R4(国籍喪失-32)
		006,007,002,011,082	(47-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						R4(国籍喪失-32)
		その他	(47-5)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	R4(国籍喪失-32)
	017,020		(47-6)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)		/				R4(国籍喪失-32)
		000,016,019	(47-7)→			(47-8)本紙へ			R4(国籍喪失-32)
		006,007,001,010,082	(47-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						R4(国籍喪失-32)
		その他	(47-10)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	R4(国籍喪失-32)
NO			(48)届出人資格1(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)		/				
	000		(49)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)		/				R4(国籍喪失-32)
		000	(50)審査メッセージ　「届出人資格２の入力に誤りがあります。」を表示する			(50-1)本紙へ		不受理	R4(国籍喪失-32)
		006,007,001,002,010,011,098,099	(51)→			(51-1)本紙へ		受理	R4(国籍喪失-32)
		082	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」を表示する					民725～729	
			YES (53)→					受理	
			NO (54)→					不受理	
		110	(55)→(110)		/				
		016,017,019,020	(56)→			(57)本紙へ			R4(国籍喪失-32)
			(58)					(58)(59)を削除、	R4(国籍喪失-32)
			(59)						R4(国籍喪失-32)
	006,007		(60)届出人資格2(000:未入力、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
007	016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)							
	000	(61)→			(62)本紙へ			
	001,002,010,011,082,016,017,019,020	(63)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(64)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
001,010	(65)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000,002,011	(66)→			(67)本紙へ		受理	
	006,007,082,017,020	(68)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(69)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
002,011	(70)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000,001,010	(71)→			(72)本紙へ		受理	
	006,007,082,016,019	(73)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(74)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
082	(75)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母　019:親権者養父、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」 を表示する			(77)本紙へ		民725～729	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)								
処理名	3.0 審査							備考	
		YES	(78)→					受理	
		NO	(79)→					不受理	
	006,007,001,002,010,011,082,016,017,019,020	(80)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する							
	その他	(81)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
098,099	(82)届出人資格2(000:未入力、その他)				/				
	000	(83)→					(84)本紙へ	受理	
	その他	(85)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
110	(86)届出人資格2(000:未入力、その他)				/				
	000	(87)→(110)			/				
	その他	(88)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					(89)本紙へ	不受理	
016,019	(90)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)				/				
	000,017,020	(91)→					(92)本紙へ	R4(国籍喪失-32)	
			(93)					(93)(94)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(94)					R4(国籍喪失-32)	
		(95)						(95)(96)(97)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(96)					R4(国籍喪失-32)	
			(97)					R4(国籍喪失-32)	
	006,007,002,011,082	(98)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する							
	その他	(99)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
017,020	(100)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)				/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名			審査(国籍喪失届)					
処理名			3.0 審査				備考	
		000,016,019	(101)→			(102)本紙へ	R4(国籍喪失-32)	
			(103)				(103)(104)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(104)				R4(国籍喪失-32)	
			(105)				(105)(106)(107)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(106)				R4(国籍喪失-32)	
			(107)				R4(国籍喪失-32)	
		006,007,001,010,082	(108)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					
		その他	(109)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理	
(110)本非区分(1:本籍、2:非本籍)				/				
1	(111)国籍喪失者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(112)→				(113)本紙へ	受理	
	NO	(114)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
2	(115)→						受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

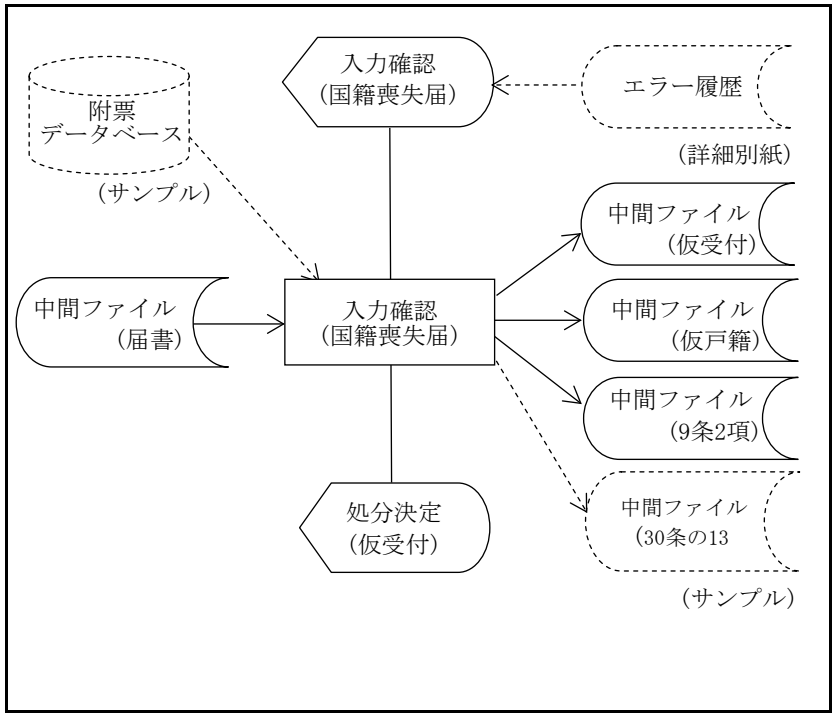
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		国籍喪失届入力画面	受領No				
	選択事件コード							25を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、国籍喪失者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							再入力の場合に1:排他を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	国籍喪失者個人番号							
	カナ氏名		国籍喪失届入力画面	国籍喪失者カナ氏名				
	漢字氏名			国籍喪失者氏名				
	生年月日			生年月日				
	喪失年月日			喪失年月日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者の外人区分			配偶者の外人区分				
	喪失原因区分			喪失原因(区分)				
	国名コード			喪失原因(国名)				
	喪失原因国名							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(国籍喪失届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍喪失者])
  - 4.1 身分事項(除籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍喪失者の配偶者])
  - 5.1 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 国籍喪失者
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル表示)
  - 7.1 国籍喪失者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(6)国籍喪失者の戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[4.0]	/				
		身分事項(除籍) (7)国籍喪失者の除籍事項の編集	[4.1]	/				
		(7-1)国籍喪失者は在外選挙人である(YES,NO)		/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(7-1)	
		YES (7-2)国籍喪失者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[7.1]	/				
		NO (7-3)→(8)		/				
		(8)国籍喪失者の配偶者の戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。	[5.0]	/				
		身分事項(変動なし) (9)国籍喪失者の配偶者の変動なし事項の編集	[5.1]	/				
	NO	(10)→(11)		/				
	(11)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/				
	YES	(12)国籍喪失者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[6.1]		(13)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(15)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(16)審査に制御を渡す			
PF11	→				(17)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(19)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍喪失届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍喪失届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	国籍喪失者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	国籍喪失者氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	喪失年月日			喪失年月日		有		
	住所			住所コード				
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	配偶者の外人区分			配偶者の外人区分				
	配偶者の外人区分名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍喪失届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	喪失原因(区分)			喪失原因区分				
	喪失原因(区分)名称					有		
	喪失原因(国名)			国名コード				
				喪失原因国名				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍喪失届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件							戸籍の変動		
	国籍喪失者							国籍喪失者の戸籍		
	本籍		配偶者の有無			有の配偶者在籍者の無以外		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	非本籍人	有		無	有	無			
			日本人	外国人						
1	○		○			-	-	本人 4.1		配偶者 5.1
2	○			○		○		本人 4.1		
3	○			○			○		本人 4.1	
4	○				○	○		本人 4.1		
5	○				○		○		本人 4.1	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							喪失原因(区分) ＝ 2 →　2502を設定 上記以外　→　2501を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送 送付日 ＝ スペース:受領日を移送
	事件発生日			喪失年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格1区分			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、 届出人資格及び氏名は、未設定 届出人資格 ＝ 099のときは、 届出人資格、届出人資格名称を移送 その他は、届出人資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1 ＝ 000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2区分			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							40(国籍喪失届)を設定
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	4.1　国籍喪失者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人の時、国籍喪失者の個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2501(国籍喪失)
	記録コード								2501(国籍喪失者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				喪失年月日				
	国籍喪失	国籍喪失日			喪失年月日				必須項目
		喪失時の外国籍			喪失原因国名				喪失原因区分:2のとき移送
		喪失事由			喪失原因国名				喪失原因区分により、移送項目を決定する 移送項目については、*1参照
					喪失原因区分				
	婚姻	配偶者氏名							旧国籍法当時の記録
	届出	届出日			受領日				届出人資格 ＝ 099 のとき、未設定
		届出人	資格		届出人資格1	届出人資格1 又は 2 ＝ 098(事件本人)、099(その他)のとき、未設定 届出人資格1 又は 2 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 019(親権者養父) 又は 020(親権者養母) 又は 110(未成年後見人) 又は 082(親族) のとき、対応する届出人氏名を移送する 上記以外は、*2参照。 (届出人資格1･2の組み合わせにより資格及び資格名称を統合する必要がある場合は、統合した内容を届出人資格1、届出人資格1名称に設定する)				
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
		報告日			受領日				届出人資格 ＝ 099 のとき、移送
		報告者			届出人資格名称1 又は 2				届出人資格 ＝ 099 のとき、移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	4.1　国籍喪失者(除籍)　編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	除籍	除籍日			処理日				
	特記	特記事項							

*1:喪失事由及び喪失時の外国籍の編集内容

喪失原因		身分事項	
区分	国名	喪失事由	喪失時の外国籍
1	○	国名 +「の国籍取得」	ー
2	○	喪失原因区分の内容	喪失原因国名
3	○	国名 +「の国籍選択」	ー

*2:届出人資格の編集内容

入力された届出人資格1・2の組み合わせにより、以下に示す資格内容を移送する。届出人資格1 ＝ 000:未入力の場合は、届出人資格2の内容を1へ詰めて移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	006 (夫)	007 (妻)	001 (父)	002 (母)	010 (養父)	011 (養母)	082 (親族)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫	妻	父	母	養父	養母	親族	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
006(夫)	夫			★	★	★	★	★	★	★	★	★	
007(妻)	妻			★	★	★	★	★	★	★	★	★	
001(父)	父	★	★		父母		父・養母*1	★		★		★	
002(母)	母	★	★	父母		養父・母*1		★	★		★		
010(養父)	養父	★	★		養父・母*1		養父・養母*1	★		★		★	
011(養母)	養母	★	★	父・養母*1		養父・養母*1		★	★		★		
082(親族)	親族	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
016(親権者父)	親権者父	★	★		★		★	★		親権者父母		親権者父・親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	★	★	★		★		★	親権者父母		親権者養父・親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父	★	★		★		★	★		親権者養父・親権者母*1		親権者養父・親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	★	★	★		★		★	親権者父・親権者養母*1		親権者養父・親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人												

但し、「★」については審査結果入力で対応する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	4.1　国籍喪失者(除籍)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
*1 届出人資格にそれぞれの資格を移送する。(資格名称の統合は行わない)								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	5.1　国籍喪失者の配偶者(変動無し)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					本籍人の時、国籍喪失者の配偶者の個人番号を設定
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							2502(配偶者の国籍喪失)
	記録コード							2502(国籍喪失者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			喪失年月日				
	配偶者の国籍喪失 配偶者の国籍			喪失原因国名				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	6.1　9条2項(国籍喪失者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							25:国籍喪失届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成11年 3月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(国籍喪失者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					25(国籍喪失届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

25.国籍選択届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「国籍選択届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	国籍選択届						

1. 国籍選択業務処理範囲外の処理

・現に有する外国の国籍の全てが届書に記載されているか否かの審査

・届出期限の審査

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2. 国籍選択届入力画面の意義

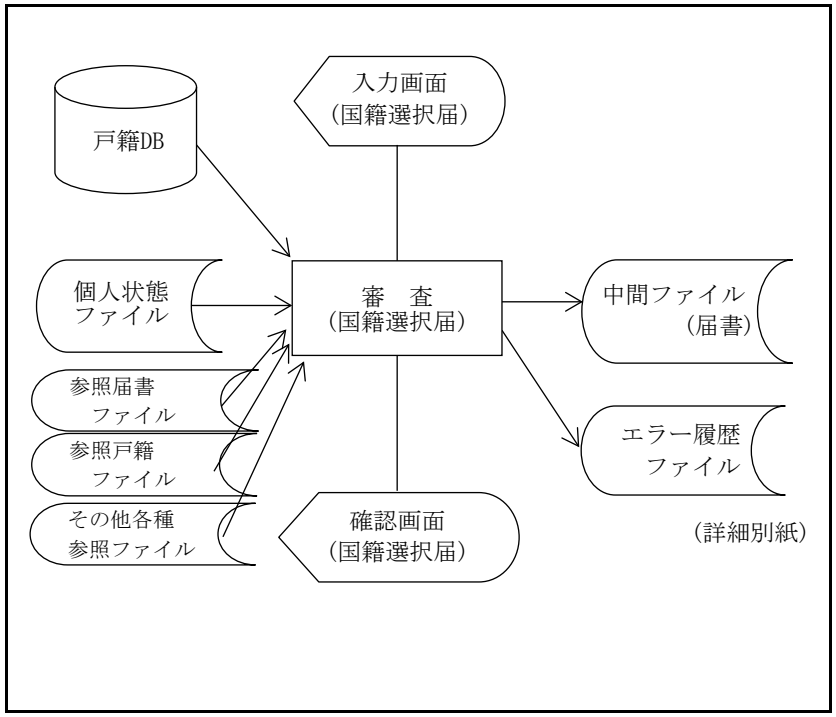
・国籍選択を行う者の各項目を入力する。

3. その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍選択届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)国籍選択届の内容を入力する
(2)国籍選択届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)国籍選択届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)国籍選択届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(国籍選択届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

(1)国籍選択者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍選択届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する							(15-3)同画面を編集する		
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍選択届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(国籍選択届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	国籍選択者カナ氏名	○	カナ				
11	国籍選択者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	本籍	○	漢字				
14	筆頭者	○	漢字				
15	現有外国国籍1	○	漢字				戸104の2-Ⅱ
16	現有外国国籍2		漢字				
17	現有外国国籍3		漢字				
18	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:未成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			国18
19	届出人氏名1		漢字				
20	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:未成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			国18
22	届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(国籍選択届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍選択届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.13)本籍 が管内であること			
11-1	(No.11)国籍選択者漢字氏名の氏 ＝ (No.14)筆頭者の氏であること			
12	(No.18)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.19)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
13	(No.18)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.19)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
14	(No.18)届出人資格1 ≠ (No.20)届出人資格2であること			
15	(No.20)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.21)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
16	(No.20)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.21)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
17	(No.19)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.19)届出人氏名1 ≠ (No.21)届出人氏名2であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(国籍選択届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-2)→(0-5)へ		/		
	NO	→			(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ			/		
(0-5)国籍選択者漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)				/		R2.1(国籍選択-20)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-7)本紙へ	R2.1(国籍選択-20)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ	不受理、R2.1(国籍選択-20)
	NO	(0-9)→				画面項目修正(審査完了しない R2.1(国籍選択-20)
NO	(0-11)→(1)へ			/		R2.1(国籍選択-20)
(1)生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/		国18
YES	(2)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/		
	000	(3)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/		
		098	(4)	/		(4)～(11)削除
			(5)	/		
			(6)		(7)	
			(8)			
			(9)			
			(10)			
			(11)			
			(11-1) →		(11-2)本紙へ	受理
		110	(11-3)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			
			YES (11-4) →			受理
			NO (11-5) →			不受理
		その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
	098	(13)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
		000	(14)	/		(14)～(21)削除
			(15)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(国籍選択届)

処理名	3.0 審査					備考
			(16)		(17)	
			(18)			
			(19)			
			(20)			
			(21)			
		(21-1) →			(21-2)本紙へ	受理
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
	110	(22-1)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
		000	(22-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する		(22-3)本紙へ	
		YES	(22-4) →			受理
		NO	(22-5) →			不受理
		その他	(22-6)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
NO	(24)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]			/		
	(25) →				(26)本紙へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(国籍選択届)
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理

					備考
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/		
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)		/		
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する		(4)3.0審査へ	
		YES (5)→			受理
		NO (6)→			不受理
	110	(7)→(33)	/		
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(9)3.0審査へ	不受理
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)		/		
	000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する		(12)3.0審査へ	
		YES (13)→			受理
		NO (14)→			不受理
	017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する			
		YES (16)→			受理
		NO (17)→			不受理
	その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)		/		
	000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する		(21)3.0審査へ	
		YES (22)→			受理
		NO (23)→			不受理
	016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する			
		YES (25)→			受理
		NO (26)→			不受理
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
110	(28)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
	000	(29)→(33)	/		
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(31)3.0審査へ	不受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(国籍選択届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
(33)国籍選択者は本籍人である(YES,NO)				/				
YES	(34)国籍選択者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(35)→			(36)3.0審査へ		受理	
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
NO	(38)→						受理	

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍選択届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力						

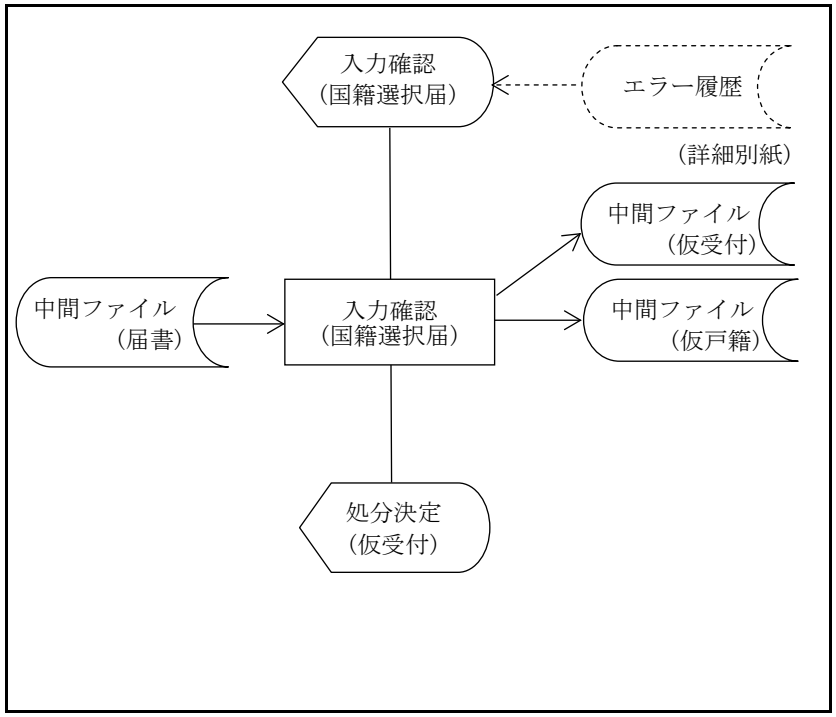
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		国籍選択届入力画面	受領NO				
	選択事件コード							26を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、国籍選択者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(国籍選択届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	国籍選択者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名		国籍選択届入力画面	国籍選択者カナ氏名				
	漢字氏名			国籍選択者漢字氏名				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	国名コード1			現有外国国籍1				
	現有外国国籍1							
	国名コード2			現有外国国籍2				
	現有外国国籍2							
	国名コード3			現有外国国籍3				
	現有外国国籍3							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍選択者])
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を入力確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である。(YES,NO)			/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	[4.0]		(7)処分決定に制御を渡す。			
		身分事項(変動なし)	(8)国籍選択者の変動なし事項の編集 [4.1]					
	NO	→						
PF1	→				(9)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(10)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(11)審査に制御を渡す			
PF11	→				(12)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(14)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍選択届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
国籍選択届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	国籍選択者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	国籍選択者漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	現有外国国籍1			国名コード1				
				現有外国国籍1				
	現有外国国籍2			国名コード2				
				現有外国国籍2				
	現有外国国籍3			国名コード3				
				現有外国国籍3				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍選択届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍選択届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件		戸籍の変動
	本籍		国籍選択者の戸籍
	本籍人	非本籍人	変動なし
1	○		本人 4.1
2		○	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2601(国籍選択)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペース:受領日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1 届出人資格区分1名称			届出人資格1		 有		届出人資格 ＝ 098のときは、未設定 その他は資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2 届出人資格区分2名称			届出人資格2		 有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							41:国籍選択者
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2) かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍選択届)								
処理名	4.1　国籍選択者(記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人の時、国籍選択者の個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2601(国籍選択)
	記録コード								2601(国籍選択者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	国籍選択	国籍選択の宣言日			受領日				
	届出	届出日							
		届出人	資格		届出人資格1				届出人資格1･2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、*1参照 但し、届出人資格1が000:未入力の場合は、 届出人資格2、届出人氏名2を1の方に詰めて移送する
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	4.1　国籍選択者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		親権者養父、親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父		親権者養父、親権者母*1		親権者養父、親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、親権者養母*1		親権者養父、親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

(2)届出人氏名
届出人資格1、2が019(親権者養父)　又は　020(親権者養母)　又は　110(未成年後見人)の場合、
対応する届出人氏名1、2をそれぞれ移送する。

第7.2.(5)「異動」処理

26.外国国籍喪失届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0	23	「外国国籍喪失届」	・審査_3.0審査 届出期間が過ぎた場合に不受理ではなく審査続行とするよう修正
2	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「外国国籍喪失届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	外国国籍喪失届

1.外国国籍喪失業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.外国国籍喪失届入力画面の意義

・外国国籍喪失者の各項目を入力する。

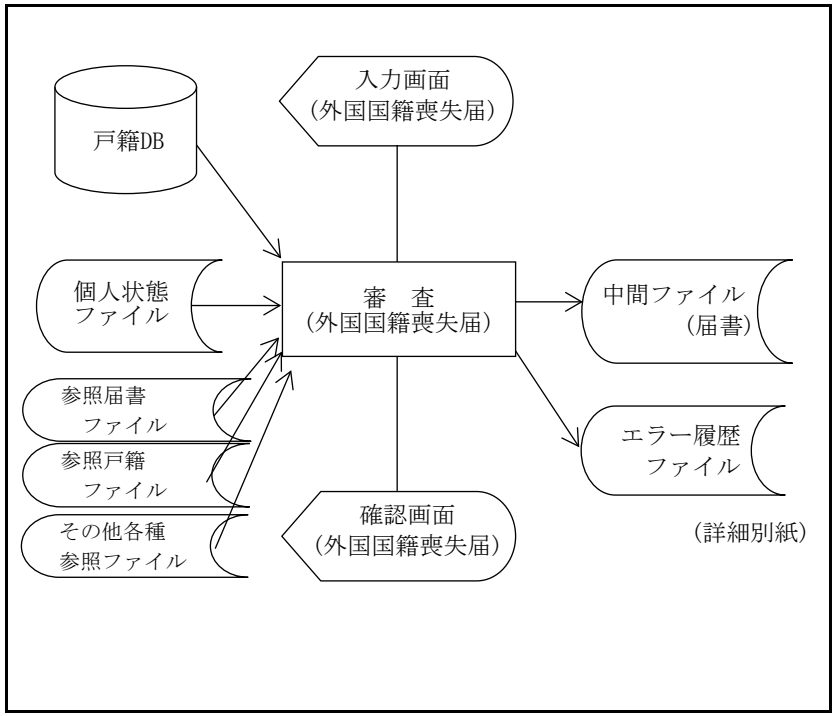
3.その他

添付書類
・外国官公署の発行する国籍離脱証明書、国籍を喪失した旨の記載のある外国の戸籍謄本、その他、外国の国籍を喪失したことを証する書面
(戸106-II・昭59.11.1民二5500号通達第3の6の(1))

届出期間の審査処理(戸106-I、大3.12.28民1125号回答)
・外国国籍喪失の事実を知った日及びその際に国内、国外に在ることが届書からはわからない為システム化後は喪失年月日を起算日とし、その日から3箇月以内であるか否かを確認メッセージでの対応とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(外国国籍喪失届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)外国国籍喪失届の内容を入力する
(2)外国国籍喪失届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)外国国籍喪失届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)外国国籍喪失届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(外国国籍喪失届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

(1)外国国籍喪失者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。
(2)届出期間について
・喪失年月日を基準日として計算する。
(3)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(外国国籍喪失届)									
処理名	0.0　本紙								備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す			
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/			送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する					(15-3)同画面を編集する			
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する		入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する									
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(外国国籍喪失届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表		入力画面(外国国籍喪失届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	外国国籍喪失者カナ氏名	○	カナ				
11	外国国籍喪失者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	喪失年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	国籍喪失国名	○	漢字	国名であること			戸106-Ⅱ
17	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:来成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			戸31
18	届出人氏名1		漢字				
19	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:未成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			戸31
20	届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(外国国籍喪失届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(外国国籍喪失届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が｢市｣｢区｣｢町｣｢村｣｢長｣の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が｢市｣｢区｣｢町｣｢村｣｢長｣以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
12	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
13	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)本籍が管内であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
14-1	(No.11)外国国籍喪失者漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること			
15	(No.17)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.18)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
16	(No.17)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.18)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
17	(No.17)届出人資格1 ≠ (No.19)届出人資格2であること			
18	(No.19)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.20)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
19	(No.19)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.20)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.18)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.18)届出人氏名1 ≠ (No.20)届出人氏名2であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(外国国籍喪失届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-2)→(0-5)へ		/		
	NO	→			(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ			/		
(0-5)外国国籍喪失者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/		R2.1(外国国籍喪失-20)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-7)本紙へ	R2.1(外国国籍喪失-20)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ	不受理 R2.1(外国国籍喪失-20)
	NO	(0-9)→				画面項目修正(審査完了しない)、R2.1(外国国籍喪失-20)
NO	(0-11)→(1)へ			/		R2.1(外国国籍喪失-20)
(1)受領日 < 喪失年月日 + 3箇月(YES,NO)				/		戸106I、戸43
YES	(2)→(8)へ			/		
NO	(3)メッセージ 「届出期間を経過しています」を表示する				(4)本紙へ	大3.12.28民1125号回答 2.0(外国国籍喪失-23) 審査続行(応答後(8)へ)
		(5)		/		(5)(6)(7)を削除, 2.0(外国国籍喪失-23)
		(6)			(7)	2.0(外国国籍喪失-23)
(8)生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/		戸31
YES	(9)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/		
	000	(10)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/		
		098	(11)→		(12)本紙へ	受理
		110	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する		(13-1)本紙へ	
			YES (13-2)→			受理
			NO (13-3)→			不受理
		その他	(14)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(15)本紙へ	不受理
	098	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
		000	(17)→		(18)本紙へ	受理
		その他	(19)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(外国国籍喪失届)								
処理名	3.0 審査							備考	
	110	(20)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
		000	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する				(21-1)本紙へ		
			YES	(21-2)→				受理	
			NO	(21-3)→				不受理	
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(23)本紙へ	不受理	
	その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
NO	(25)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]					/			
	(26)→						(27)本紙へ		
(28)								(28)削除	
	(29)							(29)～(33)削除	
		(30)					(31)		
		(32)							
	(33)								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)3.0審査へ			
		YES	(5)→				受理	
		NO	(6)→				不受理	
	110	(7)→(33)		/				
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(9)3.0審査へ		不受理	
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(12)3.0審査へ			
		YES	(13)→				受理	
		NO	(14)→				不受理	
	017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
		YES	(16)→				受理	
		NO	(17)→				不受理	
	その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(21)3.0審査へ			
		YES	(22)→				受理	
		NO	(23)→				不受理	
	016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
		YES	(25)→				受理	
		NO	(26)→				不受理	
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(28)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(29)→(33)		/				
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(31)3.0審査へ		不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
(33)外国国籍喪失者は本籍人である(YES,NO)				/				
YES	(34)外国国籍喪失者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(35)→			(36)3.0審査へ		受理	
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
NO	(38)→						受理	

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(外国国籍喪失届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力						

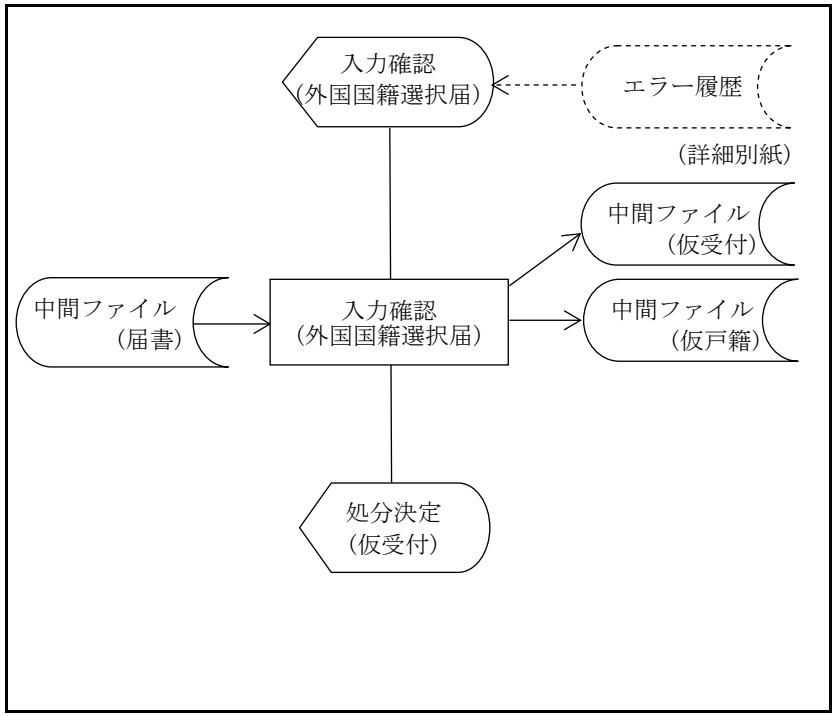
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		外国国籍喪失届入力画面	受領No				
	選択事件コード							27を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、外国国籍喪失者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(外国国籍喪失届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決済を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	外国国籍喪失者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名		外国国籍喪失届入力画面	外国国籍喪失者カナ氏名				
	漢字氏名			外国国籍喪失者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	喪失年月日			喪失年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	国名コード			国籍喪失国名				
	国籍喪失国名							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[外国国籍喪失者])
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	[4.0]		(7)処分決定に制御を渡す			
		身分事項(変動なし)	(8)外国国籍喪失者の変動なし事項の編集 [4.1]					
	NO	→						
PF1	→				(9)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(10)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(11)審査に制御を渡す			
PF11	→				(12)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(14)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	1.0　確認画面(外国国籍喪失届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
外国国籍喪失届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	本非区分名称							
	郵送日			郵送日		有		
	外国国籍喪失者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	外国国籍喪失者漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	喪失年月日			喪失年月日		有		
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	国籍喪失国名			国名コード				
				国籍喪失国名				
	届出人資格1			届出人資格1		有		
	届出人資格1名称							
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2		有		
	届出人資格2名称							
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(外国国籍喪失届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件		戸籍の変動
	本籍		外国国籍喪失者の戸籍
	本籍人	非本籍人	変動なし
1	○		本人 4.1
2		○	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2701(外国国籍喪失)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペース:受領日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	事件発生日			喪失年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、未設定 その他は資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							42:外国国籍喪失者
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)								
処理名	4.1　外国国籍喪失者(記録)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人の時、外国国籍喪失者の個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2701(外国国籍喪失)
	記載コード								2701(外国国籍喪失者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				喪失年月日				
	外国国籍喪失	外国国籍喪失日			喪失年月日				必須移送項目
		喪失国籍			国籍喪失国名				必須移送項目
	届出	届出日			受領日				
		届出人	資格		届出人資格1				届出人資格1・2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、*1参照 但し、届出人資格1が000:未入力の場合は、 届出人資格2、届出人氏名2を1の方に詰めて移送する
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	4.1　外国国籍喪失者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		親権者養父、親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父		親権者養父、親権者母*1		親権者養父、親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、親権者養母*1		親権者養父、親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

(2)届出人氏名
届出人資格1、2が019(親権者養父)又は020(親権者養母)又は110(未成年後見人)の場合、
対応する届出人氏名1、2をそれぞれ移送する。

第7.2.(5)「異動」処理

27.氏の変更届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	氏変43	「氏の変更届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_7.1 30条の13第1項(筆頭者) ・入力確認_7.2 30条の13第1項(配偶者) ・入力確認_7.3 30条の13第1項(他の構成員)
				「3.3 審査(届出人資格 筆頭者、配偶者双方)」(3)(7)の備考欄「戸1081」は「戸108Ⅰ」の誤りのため修正
2		氏変42		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0 (2023.3.31版)	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「氏の変更届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_3.0審査、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1
4	2.0 (2023.7.31版)	－	「氏の変更届」	読み仮名の法制化に対する修正 ・システム処理の概要説明書、審査_1.0 単体チェック、審査_2.0 関連チェック、審査_4.0 中間ファイル(届書)編集、入力確認_システム環境仕様書、入力確認_0.0 本紙、入力確認_1.0 画面確認(氏の変更)、入力確認_2.0 戸籍編製マトリックス表、入力確認_3.0 中間ファイル(仮受付)、入力確認_4.1 (戸籍事項・変動なし)、入力確認_6.1 住民票通知(筆頭者)、入力確認_6.2 住民票通知(配偶者)、入力確認_6.3 住民票通知(他の構成員)、入力確認_7.1 公選法通知(筆頭者)、入力確認_7.2 公選法通知(配偶者)、入力確認_7.3 公選法通知(他の構成員)を修正 ・入力確認_5.5 中間ファイル(仮個人状態)を追加
5		－		各システム標準化に伴う修正 附票DBを附票連携ファイルに、9条2項を住民票通知に、30条の13第1項を公選法通知に変更 ・入力確認_システム環境仕様書、入力確認_0.0 本紙、入力確認_6.1 住民票通知(筆頭者)、入力確認_6.2 住民票通知(配偶者)、入力確認_6.3 住民票通知(他の構成員)、入力確認_7.1 公選法通知(筆頭者)、入力確認_7.2 公選法通知(配偶者)、入力確認_7.3 公選法通知(他の構成員)を修正
6		－		指摘による修正 ・入力確認_3.0 中間ファイル(仮受付)の受付事件コードを「28」から「2801」に修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	氏の変更届

1.氏の変更業務処理範囲外の処理

(1)異籍の子の(養)父母欄の更正処理

(2)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(3)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.氏の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:氏の変更を行う当事者(筆頭者及び配偶者)の各項目を入力する。

(2)その2画面:上記以外の構成員の各項目を入力する。

3.その他

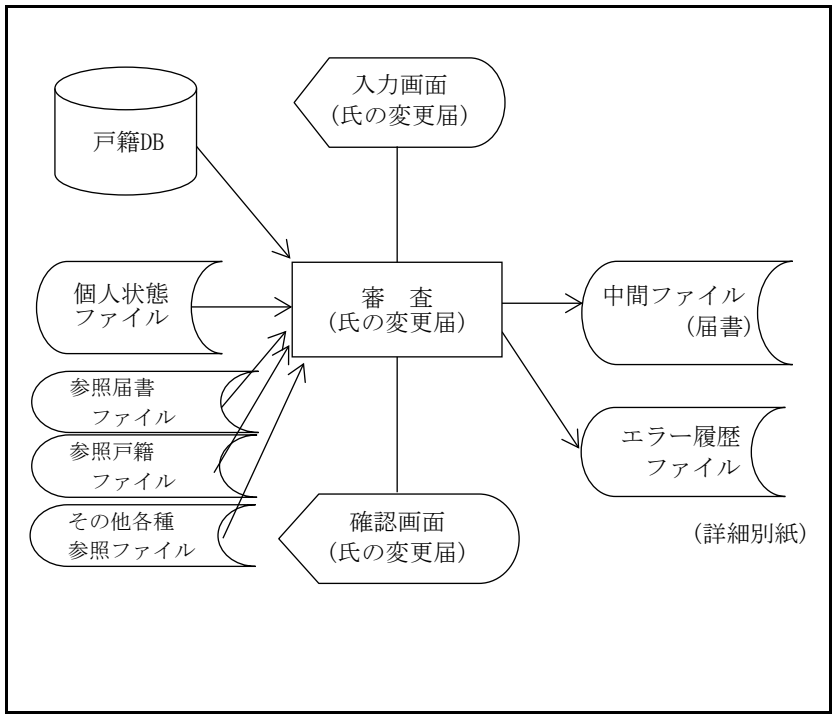
(1)除籍になっている者の氏名DB中の漢字氏名の氏(カナ氏名、振り仮名も含む)は変更しない。

(2)氏の変更と同時に氏の振り仮名の変更があった場合は、氏の変更届において同時に処理を行う。

(3)配偶者及び構成員の9条2項ファイルに生年月日は設定されない。9条2項通知は運用にて対処する。

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)氏の変更届の内容を入力する
(2)氏の変更届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)氏の変更届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)氏の変更届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(氏の変更届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:筆頭者単独)
  - 3.2審査(届出人資格:配偶者単独)
  - 3.3審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
  - 3.4審査(届出人資格:法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	0.0　本紙

													備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する												/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)												/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)　[1.0]											/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)　[2.0]										/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする									/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)　[3.0]									/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力　[4.0]									(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)								/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する								(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する									メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する											
	NO													
PF1	→												(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→												(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)											/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(氏の変更届)を編集する											(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する												
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)											/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(氏の変更届)を編集する											(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する												
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)											/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する											(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する												
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する													入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する													審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する													
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する													

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者振り仮名	○	漢字				
11	筆頭者氏名	○	漢字				
12	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者-個人除区分	○	数字	(0:在籍者、1:除籍者)であること			
14	筆頭者-配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、2:妻、3;生存配偶者)であること			
15	筆頭者本籍	○	漢字				
16	筆頭者住所		漢字				住基8･9Ⅱ
17	筆頭者世帯主		漢字				
17-1	配偶者振り仮名		漢字				
18	配偶者氏名		漢字				住基8･9Ⅱ
19	配偶者-外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
20	配偶者-配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
21	配偶者住所		漢字				
22	配偶者世帯主		漢字				
23	変更前氏の振り仮名		漢字				
24	変更後氏の振り仮名		漢字				
25	変更前氏	○	漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	変更後氏	○	漢字				
27	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			戸38Ⅱ
28	届出人資格1		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、000:未入力)であること			戸107Ⅰ
29	届出人氏名1		漢字				
30	届出人資格2		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、000:未入力)であること			戸107Ⅰ
31	届出人氏名2		漢字				
32	名義使用区分		数字	(0:未使用、1:夫、2;妻)であること			
33	構成員人数		数字				
33-1	構成員n振り仮名		漢字				
34	構成員n氏名		漢字				住基8･9II
35	構成員nの父の氏名		漢字				
36	構成員nの母の氏名		漢字				
37	構成員nの養父の氏名		漢字				
38	構成員nの養母の氏名		漢字				住基8･9II
39	構成員n住所		漢字				
40	構成員nの世帯主		漢字				
41	構成員n更正区分		数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)					

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)受領日 ≧ (No.27)審判確定日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
3	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.27)審判確定日であること			
6	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
10	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
11	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.27)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.15)筆頭者本籍 ＝ 本籍地であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.27)審判確定日であること			
15	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者の時、 (No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0:未婚、1:夫、2:妻、3:生存配偶者であること			
16				住所と世帯主はNo.19-1、19-2でチェックを実施するため削除
17	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者の時、 (No.20)配偶者-配偶者区分 ≠ 3:生存配偶者であること			
18	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.14)筆頭者-配偶者区分、(No.16)筆頭者住所、(No.17)筆頭者世帯主、 (No.32)名義使用区分 ＝ スペースであること			
19	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.20)配偶者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者であること			
19-1	(No.17)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
19-2	(No.16)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.17)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(氏の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.18)配偶者氏名 ≠ スペースであること			
20	(No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0:未婚の時、 (No.19)配偶者-外人区分、(No.20)配偶者-配偶者区分、(No.18)配偶者氏名、(No.21)配偶者住所、 (No.22)配偶者世帯主、(No.32)名義使用区分 ＝ スペースであること			
21	(No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者の時、 (No.19)配偶者-外人区分、(No.20)配偶者-配偶者区分、(No.18)配偶者氏名、(No.21)配偶者住所、 (No.22)配偶者世帯主、(No.32)名義使用区分 ＝ スペースであること			
22	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.17-1)配偶者振り仮名、(No.18)配偶者氏名、 (No.20)配偶者-配偶者区分 ≠ スペースであること			
23-1	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.22)配偶者世帯主 ≠ スペースの時、 (No.21)配偶者住所 ≠ スペースであること			
23-2	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.21)配偶者住所 ＝ スペースの時、 (No.22)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
23-3	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.10)筆頭者振り仮名の氏 ＝ (No.17-1)配偶者振り仮名の氏　かつ (No.11)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.18)配偶者氏名の氏であること			
24	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.17-1)配偶者振り仮名、(No.18)配偶者氏名、(No.21)配偶者住所、 (No.22)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
24-1	(No.19)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者　かつ (No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 1:夫　又は　2:妻の時、 (No.19)配偶者-外人区分 ≠ スペースであること			
25	(No.28)届出人資格1 ≠ (No.30)届出人資格2であること			
26	(No.33)構成員人数 ＝ 0の時、[氏の変更届その2]は未表示であること			
27	(No.28)届出人資格1 ＝ 000(未入力)の時、(No.29)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
28	(No.30)届出人資格2 ＝ 000(未入力)の時、(No.31)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
29	(No.28)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
30	(No.30)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
31	(No.28)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
32	(No.30)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
33	(No.28)届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
34	(No.30)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	審査(氏の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	(No.28)届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
36	(No.30)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
37	(No.28)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.29)届出人氏名1 ≠ スペース かつ (No.30)届出人資格2 ＝ 000(未入力) かつ (No.31)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
38	(No.30)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.31)届出人氏名2 ≠ スペース かつ (No.28)届出人資格1 ＝ 000(未入力) かつ (No.29)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
39	(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.29)届出人氏名1 ≠ (No.31)届出人氏名2であること			
40	(No.25)変更前氏 ≠ (No.26)変更後氏であること			
40-1	(No.24)変更後氏の振り仮名 ≠ スペースの時、(No.23)変更前氏振り仮名 ≠ スペースであること			
40-2	(No.24)変更後氏の振り仮名 ≠ スペースの時、 (No.23)変更前氏の振り仮名 ≠ (No.24)変更後氏の振り仮名であること			
40-3	(No.24)変更後氏の振り仮名 ≠ スペースの時、 (No.10)筆頭者振り仮名の氏 ＝ (No.23)変更前氏の振り仮名であること			
40-4	(No.24)変更後氏の振り仮名 ≠ スペース かつ (No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.17-1)配偶者振り仮名の氏 ＝ (No.23)変更前氏の振り仮名であること			
40-5	(No.24)変更後氏の振り仮名 ≠ スペース かつ (No.33)構成員人数 ＞ 0の時、 (No.33-1)構成員n振り仮名の氏 ＝ (No.23)変更前氏の振り仮名であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(氏の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
41	※構成員n共通関連チェック ①:構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、構成員nの父の氏名 ≠ スペースであること ②:構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、構成員nの母の氏名 ≠ スペースであること ③:構成員n更正区分 ＝ 4:父母の時、（構成員nの父の氏名、構成員nの母の氏名） ≠ スペースであること ④:構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、構成員nの養父の氏名 ≠ スペースであること ⑤:構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、構成員nの養母の氏名 ≠ スペースであること ⑥:構成員n更正区分 ＝ 7:養父母の時、（構成員nの養父の氏名、構成員nの養母の氏名） ≠ スペースであること ⑦:構成員n更正区分 ＝ 8:父＋養母の時、（構成員nの父の氏名、構成員nの養母の氏名） ≠ スペースであること ⑧:構成員n更正区分 ＝ 9:母＋養父の時、（構成員nの母の氏名、構成員nの養父の氏名） ≠ スペースであること ⑨:構成員nの世帯主 ≠ スペースの時、構成員n住所 ≠ スペースであること ⑩:構成員n住所 ＝ スペースの時、構成員nの世帯主 ＝ スペースであること ⑪:構成員n振り仮名の氏 ＝ 筆頭者振り仮名の氏であること ⑫:構成員n氏名の氏 ＝ 筆頭者氏名の氏であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.0 審査

| | | |

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(氏の変更届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		その他	(6-11)エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する						
1	(7)配偶者-外人区分(0:日本人、その他)					/			
	0	(8)配偶者-配偶者区分 ＝ 2:妻(YES,NO)				/			
		YES	(9)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
			1	(10)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理	[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(11)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			2	(13)審査(届出人資格:配偶者単独)処理	[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(14)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			その他	(16)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理	[3.3]	/			
				(17)→(49)		/			
		NO	(18)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。				(15)本紙へ		
	その他	(20)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理				/			
		(21)→(49)				/			
2	(23)配偶者-外人区分(0:日本人、その他)					/			
	0	(24)配偶者-配偶者区分 ＝ 1:夫(YES,NO)				/			
		YES	(25)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
			1	(26)審査(届出人資格:配偶者単独)処理	[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(27)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			2	(29)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理	[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(30)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			その他	(32)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理	[3.3]	/			
				(33)→(49)		/			
		NO	(34)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。				(35)本紙へ		
	その他	(36)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理				/			
		(37)→(49)				/			
3	(38)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]					/			
	(39)→(49)					/		NO.40～48欠番	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.0 審査

															備考
(49)構成員の更正区分審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)													/		
(50)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)													/		
1	(51)→(49)												/		
上記以外	(52)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)												/		
	2、4、8	(53)構成員nの父の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)											/		
		YES	(54)→(60)										/		
		NO	(55)構成員nの父の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)										/		
			YES	(56)→(60)									/		
			NO	(57)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する										(58)本紙へ	
	上記以外	(59) → (60)											/		
	(60)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)												/		
	3、4、9	(61)構成員nの母の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)											/		
		YES	(62) → (68)										/		
		NO	(63)構成員nの母の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)										/		
			YES	(64) → (68)											
			NO	(65)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する										(66)本紙へ	
	上記以外	(67) → (68)											/		
	(68)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)												/		
	5、7、9	(69)構成員nの養父の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)													
		YES	(70) → (76)												
		NO	(71)構成員nの養父の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)												
			YES	(72) → (76)											
			NO	(73)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する										(74)本紙へ	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名					審査(氏の変更届)					
処理名					3.0 審査				備考	
		上記以外			(75) → (76)		/			
		(76)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)					/			
		6、7、8	(77)構成員nの養母の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)							
			YES	(78) → (49)						
			NO	(79)構成員nの養母の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)						
				YES	(80) → (49)					
				NO	(81)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する			(82)本紙へ		
		上記以外			(83) → (49)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)

					備考
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)		/			
000	(2)届出人資格2(008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)	/			
008	(3)→	/			(3)、(4)、(5)、(7)、(8)は削除
	(4)	/			
	(5)		(6)本紙へ		
	(7)	/			
	(8)	/			
110	(9)	/			(9)、(10)、(11)、(12)、(14)は削除
	(10)	/			
	(11)	/			
	(12)		(13)本紙へ		
	(14)				
	(12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				「N」の時、不受理
その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
008	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)	/			
000	(17)→	/			(17)、(18)、(19)、(21)、(22)は削除
	(18)	/			
	(19)		(20)本紙へ		
	(21)	/			
	(22)	/			
その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(24)本紙へ		不受理
110	(25)届出人資格2(000:未入力、その他)	/			
000	(26)	/			(26)、(27)は削除
	(27)	/			
	(28)	/			(28)、(29)、(31)は削除
	(29)		(30)本紙へ		
	(31)				
	(29-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				「N」の時、不受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)						備考	
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他		(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)

							備考
(1)届出人資格1(000:未入力、009:配偶者、その他)					/		
000	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他))				/		
	009	(3)→			/		(4)、(5)、(7)、(8)は削除
			(4)		/		
				(5)		(6)本紙へ	
				(7)	/		
			(8)		/		
		(9) →			/		(10)、(11)、(12)、(14)は削除
			(10)		/		
				(11)	/		
				(12)		(13)本紙へ	
			(14)				
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理
009	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)				/		
	000	(17) →			/		(18)、(19)、(21)、(22)は削除
			(18)		/		
				(19)		(20)本紙へ	
				(21)	/		
			(22)		/		
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(24)本紙へ	不受理
	(25)				/		(25)、(26)、(27)は削除
		(26) →			/		
			(27)		/		
				(28)	/		(28)、(29)、(31)(32)は削除
				(29)		(30)本紙へ	
			(31)				
		(32)					不受理

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)					備考	
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、その他				/				
008	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他)			/				
	009	(3) → (11)		/			戸108 I	
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(5)本紙へ			
009	(6)届出人資格2(008:筆頭者、その他)			/				
	008	(7) → (11)		/			戸108 I	
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(10)本紙へ			
その他	(9)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する							
(11)→				/	(11-1)3.0審査へ		(12)～(19)は削除	
	(12)			/				
		(13)			(14)			
		(15)		/				
	(16)			/				
		(17)			(18)			
					(19)			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)本紙へ		「N」の時、不受理	
	110	(5)本非区分(1:本籍、2:非本籍)		/				
		1	(6)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/				
			YES (7) →		(8)3.0審査へ			
			NO (9)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(10)本紙へ			
		2	(11) →		(12)3.0審査へ			
	その他	(13)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(14)本紙へ			
016,019	(15)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(17)本紙へ		「N」の時、不受理	
	017,020	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(19)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
017,020	(20)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(22)本紙へ		「N」の時、不受理	
	016,019	(23)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
110	(25)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(26) → (29)		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人)						備考	
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(28)本紙へ		
	(29)本非区分(1:本籍、2:非本籍)				/			
	1	(30)事件本人の身分事項に後見人事項がある(YES,NO)			/			
		YES	(31) →			(32)3.0審査へ		
		NO	(33)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する			(34)本紙へ		
	2	(35) →				(36)3.0審査へ		
その他	(37)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					(38)本紙へ		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		氏の変更届入力画面	受領No				
	選択事件コード							28を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者及び配偶者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

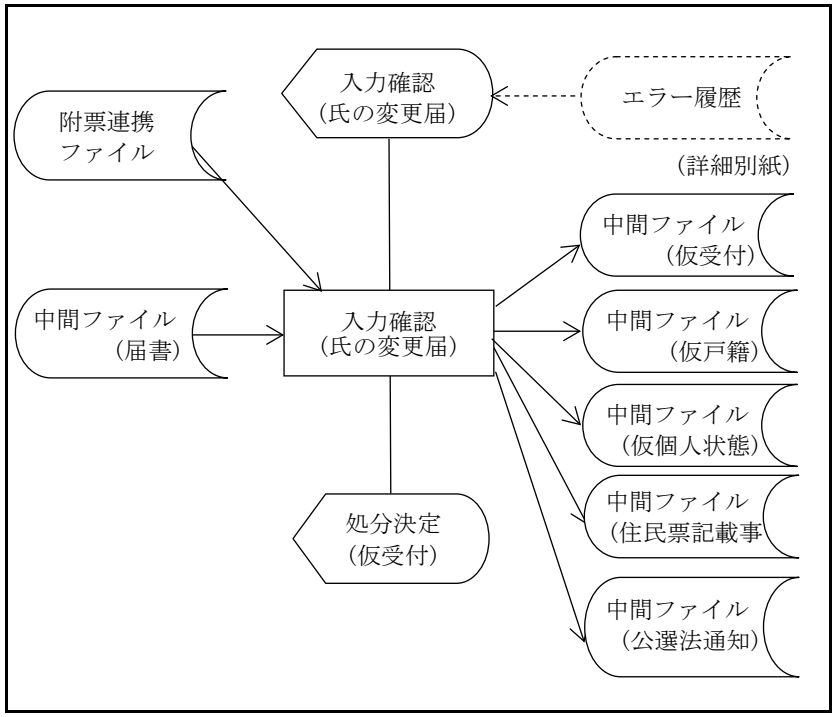
データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決済を設定
	届書排他区分								0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者個人番号								本籍人の場合、筆頭者の個人番号
	筆頭者振り仮名			氏の変更届入力画面	筆頭者振り仮名				
	筆頭者漢字氏名				筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日				筆頭者生年月日				
	筆頭者個人除区分				筆頭者-個人除区分				
	筆頭者配偶者区分				筆頭者-配偶者区分				
	筆頭者本籍コード				筆頭者本籍				
	筆頭者本籍								
	筆頭者住所コード				筆頭者住所				
	筆頭者住所コード								
	筆頭者世帯主				筆頭者世帯主				
	配偶者個人番号								本籍人の場合、配偶者の個人番号
	配偶者振り仮名				配偶者振り仮名				
	配偶者氏名				配偶者氏名				
	配偶者外人区分				配偶者-外人区分				
	配偶者配偶者区分				配偶者-配偶者区分				
	配偶者住所コード				配偶者住所				
	配偶者住所								
	配偶者世帯主				配偶者世帯主				
	変更前氏の振り仮名				変更前氏の振り仮名				
	変更後氏の振り仮名				変更後氏の振り仮名				
	変更前漢字氏				変更前氏				
	変更後漢字氏				変更後氏				
	審判確定日				審判確定日				
	届出人資格1				届出人資格1				
	届出人氏名1				届出人氏名1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員nの個人番号							本籍人の場合、構成員の個人番号
	構成員nの振り仮名			構成員n振り仮名				
	構成員nの漢字氏名			構成員n氏名				構成員の明細については、複数件(n件)出力する。 (入力されたデータ分)
	構成員nの父の氏名			構成員nの父の氏名				
	構成員nの母の氏名			構成員nの母の氏名				
	構成員nの養父の氏名			構成員nの養父の氏名				
	構成員nの養母の氏名			構成員nの養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(6)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(7)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(8)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(変動なし)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(更正者))
  - 5.1 個人特定(変動なし)
- 5.5 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
  - 6.1 筆頭者
  - 6.2 配偶者
  - 6.3 他の構成員
- 7.0 データ編集表(中間ファィル/公選法通知)
  - 7.1 筆頭者
  - 7.2 配偶者
  - 7.3 他の構成員

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)									
処理名	0.0 本紙								備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]							/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2.PF5、PF7、PF8、PF11、その他)							/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]						/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]						/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)						/			
	YES	(6)戸籍変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する					/			
		戸籍変動(変動なし)	(7)氏の変更事項の編集 [4.1]				/			
		身分事項(変動なし)	(8)更正者の身分(更正)事項の編集 [5.1]				/			
		(8-1)在籍している筆頭者、配偶者、他の構成員全員について下記の処理を行う					/			
		(8-1-1)中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する [5.5]					/			
		(8-1-2)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する					/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する	
		(8-2)当該在籍者は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)					/			
		YES	(8-3)当該在籍者について中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する	筆頭者の編集 [7.1]			/			
				配偶者の編集 [7.2]						
				他の構成員の編集 [7.3]						
		NO	(8-4)→(10)				/			
	NO	(9)→(10)					/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の変更届)
処理名	0.0 本紙

							備考
	(10)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
	YES	(11)筆頭者個人除区分 ＝ 0:在籍者である(YES,NO)			/		
		YES	(12)筆頭者について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する [6.1]		/		
		NO	(13)→(14)		/		
		(14)配偶者配偶者区分 ＝ 1:夫、2:妻又は3:生存配偶者である(YES,NO)			/		
		YES	(15)配偶者外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)		/		
			YES	(16)配偶者について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する [6.2]	/		
			NO	(17)→(18)	/		
			(18)構成員人数 ≠ スペース(ZERO)である(YES,NO)		/		
			YES	(19)構成員について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する [6.3]		(20)処分決定に制御を渡す	※除籍者に対する住民票記載事項通知の作成は不要である
			NO	→			
		NO					
	NO						
PF1	→					(21)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(22)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(23)審査(氏の変更届)に制御を渡す	
PF7	(24)前ページがあるか(ある、なし)				/		
	ある	(25)前ページ分の確認画面(氏の変更届)を編集する				(27)同画面を編集する	
	なし	(26)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(28)次ページがあるか(ある、なし)				/		
	ある	(29)次ページ分の確認画面(氏の変更届)を編集する				(31)同画面を編集する	
	なし	(30)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF11	→					(32)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(34)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
氏の変更届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者振り仮名		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者振り仮名				
	筆頭者氏名			筆頭者漢字氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者-個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者-個人除区分名称					有		
	筆頭者-配偶者区分			筆頭者配偶者区分				
	筆頭者-配偶者区分名称					有		
	筆頭者本籍			筆頭者本籍コード				
				筆頭者本籍				
	筆頭者住所			筆頭者住所コード				
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者振り仮名			配偶者振り仮名				
	配偶者氏名			配偶者氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者-外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者-外人区分名称					有		
	配偶者-配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者-配偶者区分名称					有		
	配偶者住所			配偶者住所コード				
				配偶者住所				
	配偶者世帯主			配偶者世帯主				
	変更前氏の振り仮名			変更前氏の振り仮名				
	変更後氏の振り仮名			変更後氏の振り仮名				
	変更前氏			変更前漢字氏				
	変更後氏			変更後漢字氏				
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	名義使用区分名称					有		
	構成員人数			構成員人数				
	構成員n振り仮名			構成員nの振り仮名				
	構成員n氏名			構成員nの漢字氏名				構成員の明細については、複数件(n件)含まれている。
	構成員nの父の氏名			構成員nの父の氏名				
	構成員nの母の氏名			構成員nの母の氏名				
	構成員nの養父の氏名			構成員nの養父の氏名				
	構成員nの養母の氏名			構成員nの養母の氏名				
	構成員n住所			構成員n住所コード				
				構成員n住所				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の変更届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動	
	氏変更者				氏変更者の戸籍	
	本籍		構成員の更正区分 *2		変動なし	A.2 C.2 D.2 *1
	本籍人	非本籍人	有 (2,3,4,5,6,7,8,9)	無 (1)		
1	○		○		戸籍事項編集	4.1
					更正者	5.1
2	○			○	戸籍事項編集	4.1
3		○	○			
4		○		○		

*1:在籍者の人数分作成。

*2:構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。(父母欄更正)

(注)　・A.2(戸籍特定事項)は、筆頭者及び筆頭者振り仮名(変更後氏の振り仮名≠スペースの場合)について更新を行う。

・D.2(氏名情報)は、変更後氏の振り仮名≠スペースの場合カナ氏名と振り仮名について更新を行う。

・D.2(氏名情報)は、漢字氏名について変更後(氏の変更)氏名で作成する。

(除籍者については作成しない。)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							2801を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「0:日本人のみ」を移送
	証書提出日							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							ZEROを移送
	許可日							
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 008、009、000の場合は、未設定(資格1、2及び氏名1、2) 上記以外の場合は、資格および氏名を移送する。 (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍区分							移送データなし
	届後本籍コード							移送データなし
	届後本籍							移送データなし
	届後戸籍の筆頭者							移送データなし
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 008:44(筆頭者)で1件作成 届出人資格1 又は 2 ＝ 009:45(配偶者)で1件作成 届出人資格1 又は 2 ＝ 008又は009以外の時、44(筆頭者)で1件作成
	届出人区分							届出人資格1、2が008 又は 009の場合1(届出人)を設定。 上記以外は、0(届出人以外)を設定
	カナ氏名							
	振り仮名							事件本人区分 44の場合、筆頭者振り仮名移送 45の場合、配偶者振り仮名移送
	漢字氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送
	生年月日							事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			筆頭者本籍コード				
	本籍			筆頭者本籍				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2					事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
						(社外送付区分＝0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							2801:「氏の変更」を設定
	記録コード							2801:「107条1項の氏の変更者の氏の変更の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏の変更 氏変更日			受領日				
	氏の変更 氏変更の事由							「戸籍法107条1項の届出」を設定
	届出人(1) 資格			届出人資格1、2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次頁参照(2/2)
	届出人(1) 資格名称							
	届出人(1) 氏名							
	届出人(2) 資格							
	届出人(2) 資格名称							
	届出人(2) 氏名							
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	従前記録 従前の記録							
	従前記録 氏			変更前漢字氏				
	従前記録 氏の振り仮名			変更前氏の振り仮名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時に記録し、＝スペースの時は記録しない
	記録 記録日							処理日 ≠ スペース:処理日を移送
	特記 特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合「夫婦名義で届出」を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
									名義で届出」を設定

届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫 又は 妻*1	夫 又は 妻*1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫又は妻 *1				親権者父母			
009(配偶者)	夫又は妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父、養母*2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		養父、親権者母*2		
019(親権者養父)	親権者養父				養父、親権者母*2		養父、養母*2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父、養母*2		養父、養母*2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1、2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

EX. 親権者養父 と 親権者養母 の場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	5.1　更正者(身分事項・変動なし、個人特定)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								7001:「更正」を設定
	記録コード								7001:「更正事項の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	更正	更正日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日 ≠ スペース:処理日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送 上記以外　:受領日を移送
		更正事項							更正区分に該当する [(養)父、(養)母]を移送
		更正事由							更正区分に該当する [(養)父、(養)母]+「氏変更」
	記録前	従前の記録			構成員nの父の氏名、母の氏名、養父の氏名、養母の氏名				該当項目を移送

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(氏の変更届)						
処理名	5.1　更正者(身分事項・変動なし、個人特定)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			

(1)更正事項･更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
4	「父母」
5	「養父」
6	「養母」
7	「養父母」
8	「父及び養母」
9	「養父及び母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字 + の氏名　　(例)養父母の氏名
更正事由:変換文字 + 氏変更　　(例)養父母氏変更

(2)従前の記録について
更正区分に従い、該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録	(移送する従前氏名)
2	【父】　KKK～KKK	←構成員nの父の氏名
3	【母】　KKK～KKK	←構成員nの母の氏名
4	【父】　KKK～KKK	←構成員nの父の氏名
	【母】　KKK～KKK	←構成員nの母の氏名
5	【養父】　KKK～KKK	←構成員nの養父の氏名
6	【養母】　KKK～KKK	←構成員nの養母の氏名
7	【養父】　KKK～KKK	←構成員nの養父の氏名
	【養母】　KKK～KKK	←構成員nの養母の氏名
8	【父】　KKK～KKK	←構成員nの父の氏名
	【養母】　KKK～KKK	←構成員nの養母の氏名
9	【母】　KKK～KKK	←構成員nの母の氏名
	【養父】　KKK～KKK	←構成員nの養父の氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎
【養母】甲野梅子

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	5.5　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分			0				家庭裁判所の審判において振り仮名も審査するため、経過措置の適用がされない
	名の振り仮名職権記録区分			9				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.1　住民票記載事項通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			筆頭者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 筆頭者振り仮名の名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、筆頭者振り仮名を設定
	旧振り仮名			筆頭者振り仮名				
	新氏名			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			筆頭者本籍コード				
	新本籍			筆頭者本籍				
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.1　住民票記載事項通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			筆頭者世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.2　住民票記載事項通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 配偶者振り仮名の名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、配偶者振り仮名を設定
	旧振り仮名			配偶者振り仮名				
	新氏名			変更後漢字氏 + 配偶者氏名の名				
	旧氏名			配偶者氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			筆頭者本籍コード				
	新本籍			筆頭者本籍				
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.2　住民票記載事項通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			配偶者世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.3　住民票記載事項通知(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			構成員n住所コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目
	宛名							
	事件コード							28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			構成員nの個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 構成員n振り仮名の名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、構成員n振り仮名を設定
	旧振り仮名			構成員n振り仮名				
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員nの漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員nの漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			筆頭者本籍コード				
	新本籍			筆頭者本籍				
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.3　住民票記載事項通知(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			構成員n住所コード				
	住所			構成員n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			構成員nの世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.1　公選法通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 筆頭者振り仮名の名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、未設定
	旧振り仮名			筆頭者振り仮名				
	新氏名			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.1　公選法通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.2　公選法通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 配偶者振り仮名の名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、未設定
	旧振り仮名			配偶者振り仮名				
	新氏名			変更後漢字氏 + 配偶者氏名の名				
	旧氏名			配偶者氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.2　公選法通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.3　公選法通知(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			構成員n個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 構成員nの振り仮名の名				変更後氏の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、未設定
	旧振り仮名			構成員nの振り仮名				
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員nの漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員nの漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.3　公選法通知(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

28.107条2項届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107-2の27	「107条2項届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_8.1 30条の13第1項(氏の変更者)
2		107-2の28		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	－	「107条2項届」	「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正 ・入力確認_6.1 氏の変更者(除籍) ・入力確認_6.2 氏の変更者(入籍) ・入力確認_6.3 氏の変更者(変動なし) 記録コード「2901」名称修正 「107条2項の変更者の記録」→「107条2項の氏変更の変更者の記録」
4		－		「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正 ・8.1　30条の13第1項(氏の変更者) ①項目名修正 「新父母との続柄」→「新性別」 「旧父母との続柄」→「旧性別」 ②「転入届出日」を追加
5	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「107条2項届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認 6.1～6.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	107条2項届

1.107条2項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合は、更正処理

・非本籍地に届出し、その管内に新戸籍編製する場合の個人特定(入籍)の編集は、移記処理

・変更後の氏に子に承継する部分が含まれているか否かの審査
但し、上記についての外国法制の調査は実際に困難であるため、特段の事情がない限り届出の通り受理されることになる

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

2.107条2項届入力画面の意義

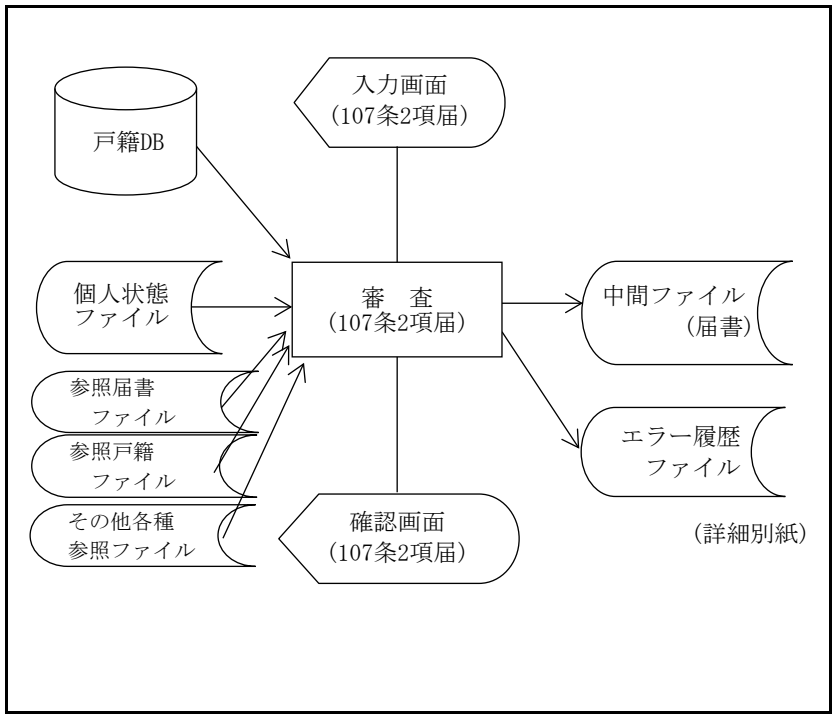
・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条2項届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要
(1)107条2項届の内容を入力する
(2)107条2項届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)107条2項届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)107条2項届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(107条2項届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)
(1)届出期間は、婚姻日～受領日で計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条2項届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、 届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届 書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する							(15-3)同画面を編集する		
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条2項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条2項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	筆頭者本籍	○	漢字				
15	筆頭者住所		漢字				
16	筆頭者世帯主		漢字				
17	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	筆頭者婚姻年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	筆頭者－配偶者区分	○	数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	配偶者氏	○	漢字				
21	配偶者名	○	漢字				
22	配偶者－外人区分	○	数字	(1:外国人)であること			
23	同籍者区分	○	数字	(0:無、3:他構成員のみ)であること			戸20の2Ⅰ
24	新本籍		漢字				戸20の2Ⅰ

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条2項届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(107条2項届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) 又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) 又は ＝ 3(在外公館の国内経由) 又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍 又は (No.24)新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
14	(No.23)同籍者区分 ＝ 0:無の時、(No.24)新本籍 ＝ スペースであること			
15	(No.23)同籍者区分 ≠ 0:無の時、(No.24)新本籍 ≠ スペースであること			
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏 ≠ (No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
18	(削除)			R2.1(107の2の25)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(107条2項届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		
(0-7)筆頭者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/		R2.1(107の2の23)
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-9)本紙へ	R2.1(107の2の23)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(0-12)本紙へ	R2.1(107の2の23)
	NO	(0-11)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107の2の23)
NO	(0-13)→(1)へ			/		R2.1(107の2の23)
(1)筆頭者婚姻年月日 + 6箇月 ＞ 受領日である(YES,NO)				/		戸107Ⅱ、戸43、民143
YES	(2)筆頭者 - 配偶者区分(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)			/		
	1、2	(3)→			(3-1)本紙へ	
	3	(4)エラーメッセージ 「外国人配偶者が死亡しています。」を表示する			(5)本紙へ	不受理 昭和59.11.1 民二5500号通達
NO	(6)エラーメッセージ 「届出有効期間(6箇月以内)を経過しています。」を表示する					不受理
(7)				/		(7)～(13)欠番
	(8)			/		
		(9)			(10)	
			(11)			
			(12)			
	(13)					
(14) 変更後漢字氏 ＝ 配偶者氏(YES,NO)						R2.1(107の2の25)
YES	(15)→				(16)本紙へ	R2.1(107の2の25)
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏と配偶者の氏が異なりますが、よろしいですか?」を表示する					R2.1(107の2の25)
	YES	(18)→			(19)本紙へ	R2.1(107の2の25)
	NO	(20)→			(21)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107の2の25)

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条2項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

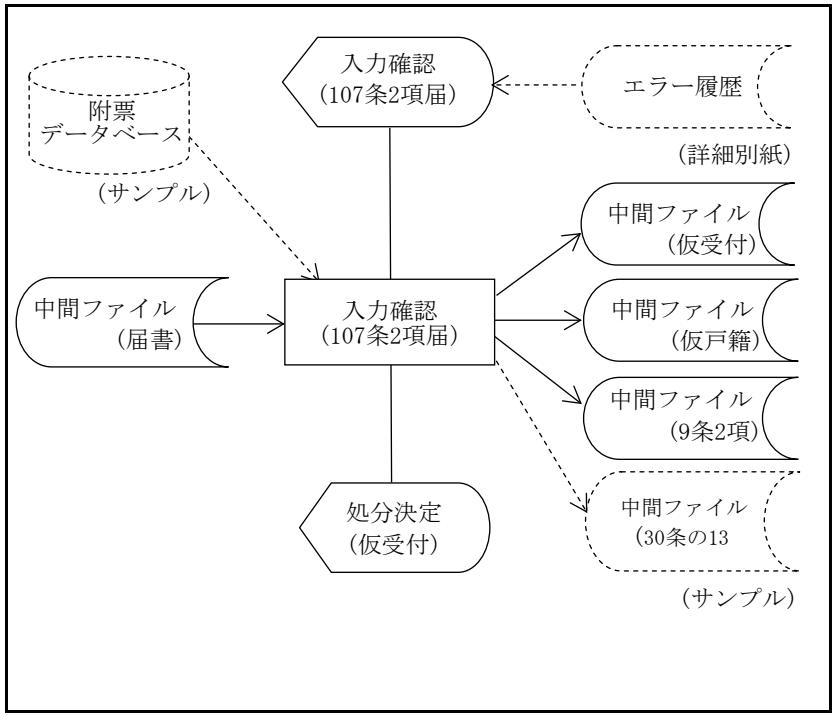
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条2項届入力画面	受領No				
	選択事件コード							29を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							1:渉外
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条2項届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分								再入力の場合に 1:排他 を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号								本籍人のとき、個人番号を設定
	筆頭者カナ氏名			107条2項届入力画面	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名				筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏				変更後カナ氏				
	変更後漢字氏				変更後漢字氏				
	筆頭者本籍コード				筆頭者本籍				
	筆頭者本籍								
	筆頭者住所コード				筆頭者住所				
	筆頭者住所								
	筆頭者世帯主				筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日				筆頭者生年月日				
	筆頭者婚姻年月日				筆頭者婚姻年月日				
	配偶者区分				筆頭者-配偶者区分				
	配偶者氏				配偶者氏				
	配偶者名				配偶者名				
	配偶者外人区分				配偶者-外人区分				
	同籍者区分				同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏 + 筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード				新本籍				
	新本籍								

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(107条2項届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する
(2) 戸籍変動情報を確定する
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6) 中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(107条2項)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 身分事項(除籍)
  - 6.2 身分事項(入籍)
  - 6.3 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 氏の変更者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条2項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]						/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)						/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]					/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]					/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/			
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/			
		戸籍事項	(7)戸籍法107条2項届の編集 [4.1]			/			
		個人特定(入籍)	(8)事件本人の個人特定情報の編集 [5.1]			/			
		身分事項(除籍)	(9)事件本人の除籍事項の編集 [6.1]			/			
		身分事項(入籍)	(10)事件本人の入籍事項の編集 [6.2]			/			
		身分事項(変動なし)	(11)事件本人の変動なし事項の編集 [6.3]			/			
		(11-1)氏変更者は在外選挙人である(YES,NO)				/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(11-1)(11-2)	
		YES	(11-2)氏変更者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [8.1]			/			
		NO	(12) → (13)			/			
	NO								
	(13)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/			
	YES	(14)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [7.1]					(15)処分決定に制御を渡す		
	NO	→							
PF1	→						(16)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(17)届出選択に制御を渡す		
PF5	→						(18)審査に制御を渡す		
PF11	→						(19)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(21)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条2項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
107条2項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書)共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル(届書)事件別内容	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	筆頭者本籍			筆頭者本籍コード				
				筆頭者本籍				
	筆頭者住所			筆頭者住所コード				
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者婚姻年月日			筆頭者婚姻年月日		有		
	筆頭者-配偶者区分			配偶者区分				
	筆頭者-配偶者区分名称					有		
	配偶者氏			配偶者氏				
	配偶者名			配偶者名				
	配偶者-外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者-外人区分名称					有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条2項届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同籍者区分			同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(107条2項届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 5.1 D.1
	本籍		同籍者区分		新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	他構成員のみ	管内	管外			
1	○		○					氏変更者(6.3)	
2	○			○	○		氏変更者(6.1)		氏変更者(6.2)
3	○			○		○	氏変更者(6.1)		
4		○		○	○				民変更者(6.2)

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2901(戸籍法107条2項)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ 空白の時、受領日 送付日 ≠ 空白の時、送付日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							本人であるので移送しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							新本籍 ≠ スペースの時、2を移送

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	届後本籍コード				新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	届後本籍				新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	届後戸籍の筆頭者								新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	送達確認1								(届後本籍が非本籍)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分								本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分				処分区分				
	決裁区分				決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号								
	事件本人区分								53:氏変更者 を設定
	届出人区分								1:事件本人 を設定
	カナ氏名				筆頭者カナ氏名				
	漢字氏名				筆頭者漢字氏名				
	生年月日				筆頭者生年月日				
	本籍コード				筆頭者本籍コード				
	本籍				筆頭者本籍				
	筆頭者				筆頭者漢字氏名				
	送達確認2								事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ　(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	4.1 (戸籍事項・変動なし) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード							2901:を設定
	記録コード							2901:を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を設定
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた日							
	従前記録の 従前の記録							新本籍 ＝ スペースのとき、 「筆頭者漢字氏名の氏」を移送 上記以外は移送しない。
	氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	5.1　氏の変更者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別							配偶者区分より判定し、設定
	生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者を設定
	配偶者区分			配偶者区分				
	父							移記処理で設定
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者 を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	6.1 氏の変更者(除籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2901:「氏の変更」を設定
	記録コード								2901:「107条2項の氏変更の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							除籍では不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							除籍では不使用
		従戸前籍 筆頭者							除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	6.2 氏の変更者(入籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2901:「氏の変更」を設定
	記録コード								2901:「107条2項の氏変更の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			筆頭者本籍				該当項目を移送
		従戸前籍 筆頭者			筆頭者漢字氏名				該当項目を移送
	除籍	除籍日							入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							入籍では不使用
		変更後の氏							入籍では不使用
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	6.3　氏の変更者(変動なし)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2901:「氏の変更」を設定
	記録コード								2901:「107条2項の氏変更の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							変動なしでは不使用
	入戸籍	従前戸籍	本籍						変動なしでは不使用
			筆頭者						変動なしでは不使用
	除籍	除籍日							変動なしでは不使用
	除戸籍	新本籍							変動なしでは不使用
		変更後の氏							変動なしでは不使用
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	7.1　9条2項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			筆頭者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							29:107条2項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍			筆頭者本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新筆頭者							「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			筆頭者世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年 3月31日	版	R4
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					29:107条2項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍			筆頭者本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新筆頭者							「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

29.107条3項届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	「107条3項届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_8.1 30条の13第1項(氏の変更者)
2		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「107条3項届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認 6.1～6.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	107条3項届					

1.107条3項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合(更正処理)

・事件本人が当該届出前に婚姻していた場合は審査結果入力処理で対応する。

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

2.107条3項届入力画面の意義

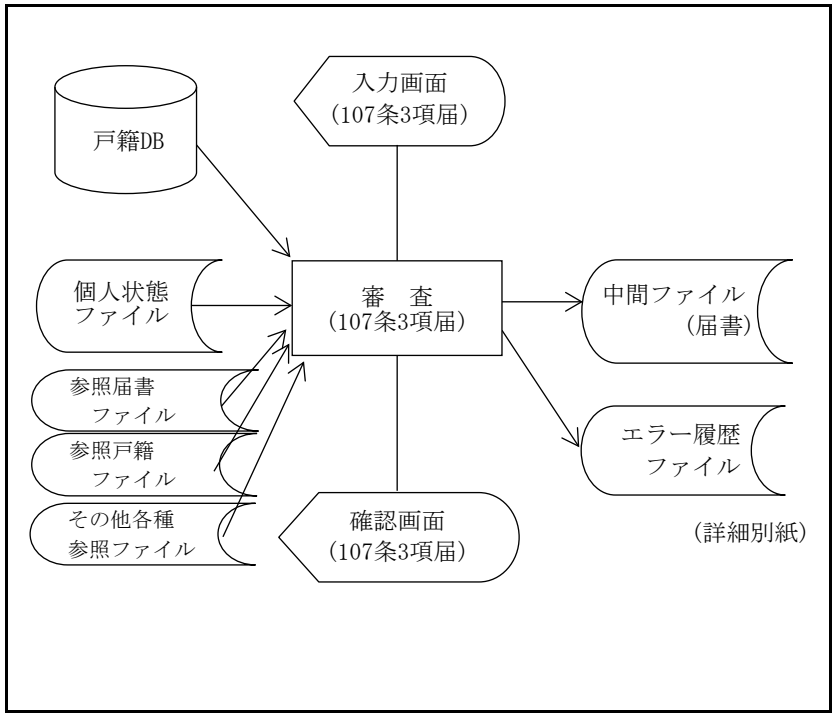
・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条3項届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)107条3項届の内容を入力する
(2)107条3項届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)107条3項届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)107条3項届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(107条3項届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条3項届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する					(15-3)同画面を編集する		
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する								
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条3項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条3項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	筆頭者本籍	○	漢字				
15	筆頭者住所		漢字				
16	筆頭者世帯主		漢字				
17	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	筆頭者婚姻解消日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	107条3項原因	○	数字	(1:離婚、2:婚姻取消、3:配偶者死亡)であること			
20	外人配偶者氏名	○	漢字				
21	同籍者区分	○	数字	(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者+他構成員、3:他構成員のみ)であること			戸20の2I
22	新本籍		漢字				戸20の2I

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条3項届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(107条3項届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻解消日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍　又は　(No.22)新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻解消日であること			
14	(No.21)同籍者区分 ≠ 0:の時、(No.22)新本籍 ≠ スペースであること			戸20の2I
15	(No.21)同籍者区分 ＝ 0:の時、(No.22)新本籍 ＝ スペースであること			戸20の2I
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏 ≠ (No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
18	(削除)			R2.1(107条3項18)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(107条3項届)
処理名	3.0　審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-6-1)へ		/		R2.1(107条3項19)
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-6-1)へ			/		R2.1(107条3項19)
(0-6-1)筆頭者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/		R2.1(107条3項19)
YES	(0-6-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-6-3)本紙へ	R2.1(107条3項19)
	YES	(0-6-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(0-6-6)本紙へ	R2.1(107条3項19)
	NO	(0-6-5)→				画面項目修正(審査完了しない)R2.1(107条3項19)
NO	(0-6-7)→(0-7)へ			/		R2.1(107条3項19)
(0-7)同籍者区分(1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、その他)				/		
1,2	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-10)本紙へ	
その他	(0-9)→(1)			/		
(1)本非区分(1:本籍、2:非本籍)				/		戸107Ⅲ
1	(2)戸籍事項に107条2項届の記録がある(YES,NO)			/		戸107Ⅲ
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか?」を表示する			(4)本紙へ	戸107Ⅲ
		YES	(5)→(8)		/	
		NO	(6)エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示する		(7)本紙へ	不受理
		(8)筆頭者婚姻解消日 + 3箇月 > 受領日である(YES,NO)		/		戸43、戸107Ⅲ、民143
		YES	(9)→	/		(10)、(13)、(14)欠番
			(10)		(11)本紙へ	
			(12)			受理
			(13)			
			(14)			
		NO	(15)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示する			不受理　16、17欠番
	NO	(18)エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示する				不受理
2	(19)筆頭者婚姻解消日 + 3箇月 > 受領日である(YES,NO)			/		戸43、戸107Ⅲ、民143

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(107条3項届)							
処理名	3.0　審査						備考	
YES	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法107条2項届で氏の変更をしていますか?」を表示する				(21)本紙へ		戸107Ⅲ	
YES	(22)→(25)		/					
NO	(23)エラーメッセージ　「当該届書は受理できません。」を表示する				(24)本紙へ		不受理	
	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか?」を表示する				(30)本紙へ		戸107	
YES	(26)→						受理	27欠番
NO	(28)エラーメッセージ　「当該届は受理できません。」を表示する						不受理	
NO	(29)エラーメッセージ　「届出有効期間(3箇月)を経過しています。」を表示する						不受理	

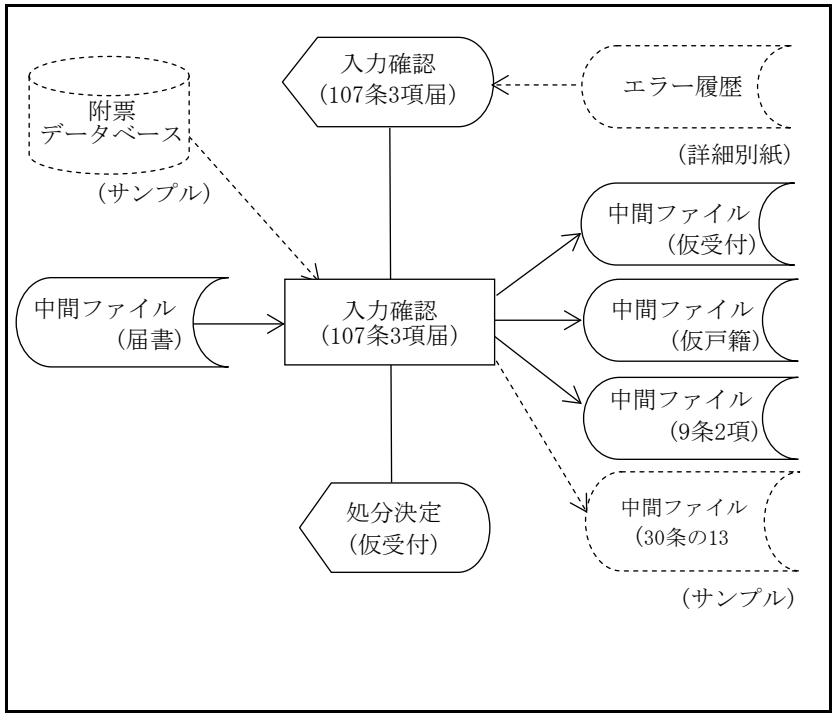
データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条3項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		107条3項届入力画面	受領No				
	選択事件コード							30を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1:(創設)
	渉外区分							1:渉外
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条3項届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分								再入力の場合に　1:排他　を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号								本籍人のとき、個人番号を設定
	筆頭者カナ氏名			107条3項届入力画面	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名				筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏				変更後カナ氏				
	変更後漢字氏				変更後漢字氏				
	筆頭者本籍コード				筆頭者本籍				
	筆頭者本籍								
	筆頭者住所コード				筆頭者住所				
	筆頭者住所								
	筆頭者世帯主				筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日				筆頭者生年月日				
	筆頭者婚姻解消日				筆頭者婚姻解消日				
	107条3項原因				107条3項原因				
	配偶者氏名				外人配偶者氏名				
	同籍者区分				同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏+筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード				新本籍				
	新本籍								

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(107条3項)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍:氏の変更者)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 身分事項(除籍:氏の変更者)
  - 6.2 身分事項(入籍:氏の変更者)
  - 6.3 身分事項(変動なし:氏の変更者)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 氏の変更者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条3項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(107条3項届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を碗認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する			[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/			
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/			
		戸籍事項	(7)戸籍法107条3項届の編集 [4.1]	/			
		個人特定(入籍)	(8)事件本人の個人特定情報の編集 [5.1]	/			
		身分事項(除籍)	(9)事件本人の除籍事項の編集 [6･1]	/			
		身分事項(入籍)	(10)事件本人の入籍事項の編集 [6･2]	/			
		身分事項(変動なし)	(11)事件本人の変動なし事項の編集 [6.3]	/			
		(11-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)		/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(11-1)(11-2)
		YES	(11-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [8.1]	/			
		NO		/			
	NO	(16)→(17)					No.12～25欠番
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/			
	YES	(18)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	[7.1]		(21)処分決定に制御を渡す		No.19、20欠番
	NO	→					
PF1	→				(22)業務選択に制御を渡す		
PF2	→				(23)届出選択に制御を渡す		
PF5	→				(24)審査に制御を渡す		
PF11	→				(25)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(26)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(27)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条3項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
107条3項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外迭付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	筆頭者本籍			筆頭者本籍コード				
				筆頭者本籍				
	筆頭者住所			筆頭者住所コード				
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者婚姻解消日			筆頭者婚姻解消日		有		
	107条3項原因			107条3項原因				
	107条3項原因名称					有		
	外人配偶者氏名			配偶者氏名				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条3項届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同籍者区分			同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

補足説明書		作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件									戸籍の変動			
	氏変更者									氏変更者の戸籍			新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 D.1
	本籍		同籍者区分					新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	配偶者 有	配偶者 無	他構成員 有	他構成員 無	管内	管外				
1	○		○									氏変更者(6.3)	
2	○			○		○		○		*審査結果入力			*審査結果入力
3	○			○		○			○	*審査結果入力			
4	○			○			○	○			*審査結果入力		*審査結果入力
5	○			○			○		○		*審査結果入力		
6	○				○	○		○		氏変更者(6.1)			氏変更者(6.2) (5.1)
7	○				○	○			○	氏変更者(6.1)			
8		○		○		○		○					*審査結果入力
9		○		○			○	○					*審査結果入力
10		○			○	○		○					氏変更者(6.2) (5.1)

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	支所番号			支所番号					
	受付事件コード							3001を設定	
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日	
	事件発生日								
	事件発生時分							ZEROを移送	
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	証書提出区分							「0:届出」を移送	
	発送日								
	郵送日			郵送日					
	発日								
	収日								
	指示日								
	許可日								
	関連受領番号							移送データなし	
	届出人資格区分1							本人であるので移送しない	
	届出人資格名称1								
	届出人氏名1								
	届出人資格区分2								
	届出人資格名称2								
	届出人氏名2								
	届後本籍区分							新本籍 ≠ スペースの時 (2:新戸籍編製)を移送 上記以外、移送しない	
	届後本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	届後本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送	

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後戸籍の筆頭者							新本籍 ≠ スペースの時、「変更後氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送 上記以外、移送しない	
	送達確認1							(届後本籍が非本籍)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍) の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用	
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							53:氏変更者を設定	
	届出人区分							1:事件本人を設定	
	カナ氏名			筆頭者カナ氏名					
	漢字氏名			筆頭者漢字氏名					
	生年月日			筆頭者生年月日					
	本籍コード			筆頭者本籍コード					
	本籍			筆頭者本籍					
	筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	送達確認2							事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2) かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成14年 3月 1日	版	6
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3001:を設定
	記録コード								3001:を設定
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	従前記の録	従前の記録							新本籍 ＝ スペースのとき、「筆頭者漢字氏名の氏」を移送 上記以外は移送しない。
		氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	5.1　氏の変更者(個人特定)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定	
	戸籍番号								
	戸籍記録順位番号								
	入籍日		中間ファイル(届審)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	除籍日								
	性別							移記処理で設定	
	生年月日			筆頭者生年月日					
	筆頭者区分							1:筆頭者 を設定	
	配偶者区分							0:未 を設定	
	父							移記処理で設定	
	母								
	父母との続柄								
	養父								
	養母								
	養父母との続柄								
	前個人番号								
	個人除区分							0:在籍者 を設定	

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	6.1　氏の変更者(除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:を設定
	タイトルコード								3001:「氏の変更」を設定
	記録コード								3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							除籍では不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							除籍では不使用
		従戸前籍 筆頭者							除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	6.2　氏の変更者(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3001:「氏の変更」を設定
	記録コード								3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			筆頭者本籍				該当項目を移送
		従戸前籍 筆頭者			筆頭者漢字氏名				該当項目を移送
	除籍	除籍日							入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							入籍では不使用
		変更後の氏							入籍では不使用
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	6.3　氏の変更者(変動なし)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3001:「氏の変更」を設定
	記録コード								3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							変動なしでは不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							変動なしでは不使用
		従戸前籍 筆頭者							変動なしでは不使用
	除籍	除籍日							変動なしでは不使用
	除戸籍	新本籍							変動なしでは不使用
		変更後の氏							変動なしでは不使用
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	7.1　9条2項(氏の変更者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号				出張所番号				
	市区町村コード				筆頭者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名						有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード								30:107条3項届
	受理日				受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号								本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名								「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧氏名				筆頭者漢字氏名				
	新生年月日				筆頭者生年月日				
	旧生年月日				筆頭者生年月日				
	新父母との続柄								
	旧父母との続柄								
	新本籍コード				新本籍コード				
	新本籍				新本籍				
	旧本籍コード				筆頭者本籍コード				
	旧本籍				筆頭者本籍				
	新筆頭者								「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧筆頭者				筆頭者漢字氏名				
	住所コード				筆頭者住所コード				
	住所				筆頭者住所				
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主				筆頭者世帯主				
	世帯主との続柄								

データ編集表(サンプル提示)				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	8.1　30条の13第1項(氏の変更者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					30:107条3項届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受預日を設定	
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名							「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	旧氏名			筆頭者漢字氏名					
	新生年月日								
	旧生年月日			筆頭者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			新本籍コード					
	新本籍			新本籍					
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード					
	旧本籍			筆頭者本籍					
	新筆頭者							「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	住所コード			筆頭者住所コード					
	住所			筆頭者住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

30.107条4項届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107-4の30	「107条4項届」	中間ファイル30条の13第1項(氏の変更者)の編集･出力処理を追加 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_8.1 30条の13第1項(氏の変更者)
2	R4	107-4の32	「107条4項届」	・審査_3.0　審査 ①15歳未満の審査の飛び先と備考欄の記載に誤りがあったため修正 ②(20)の備考欄の記載に誤りがあったため修正
3	2.0	107-4の33	「107条4項届」	・審査_2.0　関連チェック ①変更前の氏と変更後の氏が同一の場合エラーとする関連チェックを削除 ・審査_3.0　審査 ②変更前の氏と変更後の氏が同一の場合の審査を追加
4		令和3年度申し送り事項一覧No.4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_6.1、6.2

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	107条4項届

1.107条4項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.107条4項届入力画面の意義

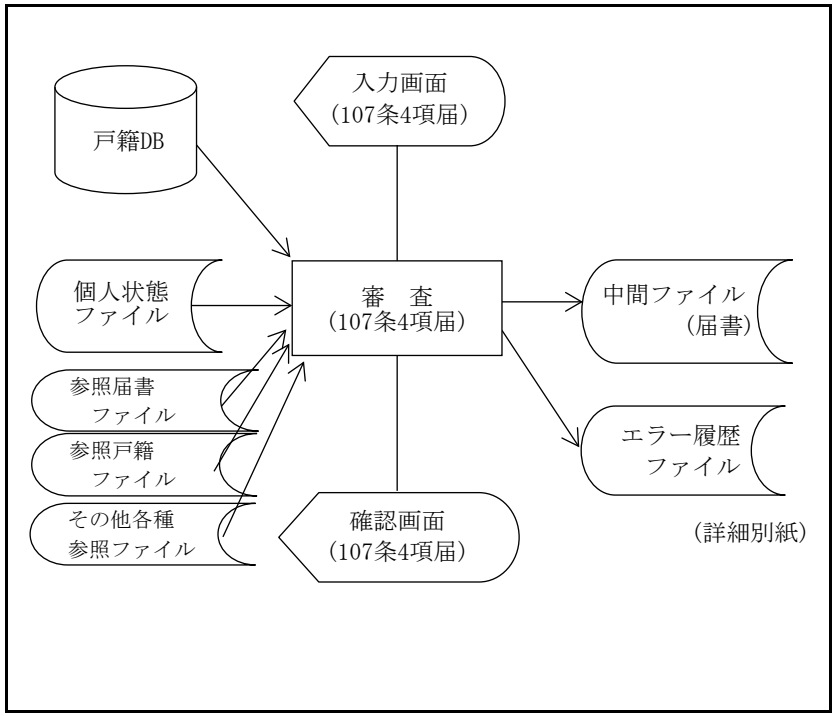
・氏の変更を行う当事者(氏変更人)の各項目を入力する。

3.その他

・添付資料
　氏変更許可の審判書の謄本および審判確定証明書

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)107条4項届の内容を入力する
(2)107条4項届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)107条4項届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)107条4項届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(107条4項届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上)
  - 3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)(法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する					(15-3)同画面を編集する		
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する								
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条4項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	氏変更人カナ氏名	○	カナ				
11	氏変更人漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	氏変更人住所		漢字				
15	氏変更人世帯主		漢字				
16	氏変更人本籍	○	漢字				
17	氏変更人筆頭者	○	漢字				
18	氏変更人筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
19	氏変更人配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	氏変更人生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	外国人父母区分	○	数字	(0:父、1:母、2:養父、3:養母)であること			
23	外国人父母氏名	○	漢字				
24	新本籍	○	漢字				戸20の2II

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条4項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、 110:未成年後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人)であるこ			
26	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、 110:未成年後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人)であるこ			
27	届出人氏名1		漢字				
28	届出人氏名2		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(107条4項届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.21)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)氏変更人本籍 又は (No.24) 新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.21)審判確定日であること			
13-1	(No.15)氏変更人世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)氏変更人住所 ≠ スペースであること			
13-2	(No.14)氏変更人住所 ＝ スペースの時、(No.15)氏変更人世帯主 ＝ スペースであること			
14	(No.25)届出人資格1 ≠ (No.26)届出人資格2であること			
15	(No.25)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
16	(No.25)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
17	(No.27)届出人資格1 ≠ スペースの時、(No.27)届出人氏名1 ≠ (No.28)届出人氏名2であること			
18	(No.25)届出人資格1 ＝ 098:事件本人の時、 (No.27)届出人氏名1 ＝ (No.11)氏変更人漢字氏名であること			
19	(No.26)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.26)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)						
21	(No.26)届出人資格2 ＝ 098:事件本人の時、 (No.28)届出人氏名2 ＝ (No.11)氏変更人漢字氏名であること						
22	(削除)						2.0(107条4項33)
23	(No.25) 届出人資格1 ＝ 110:未成年後見人の時、 (No.27) 届出人氏名1 ≠ スペース かつ (No.26) 届出人資格2 ＝ 000:未入力 かつ (No.28) 届出人氏名2 ＝ スペース であること						
24	(No.26) 届出人資格2 ＝ 110:未成年後見人の時、 (No.28) 届出人氏名2 ≠ スペース かつ (No.25) 届出人資格1 ＝ 000:未入力 かつ (No.27) 届出人氏名1 ＝ スペース であること						
25	(削除)						R2.1(107条4項28)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0

作業名	審査(107条の4届)
処理名	3.0　審査

							備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-3)→(0-7)へ			/		R2.1(107条4項25)
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ				/		R2.1(107条4項25)
(0-7)氏変更人漢字氏名の名が未入力(YES,NO)					/		R2.1(107条4項25)
YES	(0-8)確認メッセージ　(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-9)本紙へ	R2.1(107条4項25)
	YES	(0-10)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-12)本紙へ	R2.1(107条4項25)
	NO	(0-11)→			/		画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(107条4項25)
NO	(0-13)→(1)へ				/		R2.1(107条4項25)
(1)氏変更人生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)					/		昭和59.11.1民事5500号通達第2の4の(3)のウ
YES	(2)氏変更人筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)				/		
	0	(3)氏変更人配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)			/		
		0	(4)審査(届出人資格:事件本人15歳以上)処理	[3.1]	/		
			(5)→(13-1)へ		/		2.0(107条4項33)
		1,2	(6)エラーメッセージ　「配偶者は届出できません。」を表示する				不受理　R2.1(107条4項28)
		3	(7)エラーメッセージ　「生存配偶者は届出できません。」を表示する				不受理　R2.1(107条4項28)
	1	(8)エラーメッセージ　「筆頭者は届出できません。」を表示する					不受理　R2.1(107条4項28)
NO	(9)氏変更人筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)				/		R2.1(107条4項28)
	0	(10)審査(届出人資格:事件本人15歳未満)処理		[3.2]	/		
		(11)→(13-1)へ			/		(12)削除　2.0(107条4項33)
	1	(13)エラーメッセージ　「筆頭者は届出できません。」を表示する					不受理　R4(107条4項32)
(13-1)氏変更人漢字氏名の氏 ＝ 変更後漢字氏(YES,NO)					/		2.0(107条4項33)
YES	(13-3)確認メッセージ(YES,NO) 「変更前と変更後の氏が同じですが、よろしいですか?」を表示する						2.0(107条4項33)
	YES	(13-4)→(14)へ			/		2.0(107条4項33)
	NO	(13-5)→				(13-6)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない) 2.0(107条4項33)
NO	(13-7)→(14)へ				/		2.0(107条4項33)
(14)変更後漢字氏 ＝ 外国人父母氏名の氏(YES,NO)					/		R2.1(107条4項28)
YES	(15)→					(16)本紙へ	R2.1(107条4項28)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条の4届)							
処理名	3.0　審査						備考	
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏と外国人父母の氏が異なりますが、よろしいですか?」を表示する						R2.1(107条4項28)	
	YES	(18)→			(19)本紙へ		R2.1(107条4項28)	
	NO	(20)→			(21)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)　R4(107条4項32)	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条の4項届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/				
	098	(3)→(11)		/				
	110	(3-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			(5)3.0審査へ		「N」のとき不受理	
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
098	(6)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(7)→(11)		/				
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(9)3.0審査へ		不受理	
110	(9-1)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(9-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			(9-4)3.0審査へ		「N」のとき不受理	
	その他	(9-3)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他	(10)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
(11)→					(11-1)3.0審査へ			
	(12)			/			(12)～(18)は削除	
		(13)			(14)			
		(15)						
		(16)						
		(17)						
	(18)							

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条の4項届)							
処理名	3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(4)3.0審査へ			
	YES	(5)→					受理	
	NO	(6)→					不受理	
110	(7)→(33)			/				
その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(9)3.0審査へ		不受理	
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(12)3.0審査へ			
	YES	(13)→					受理	
	NO	(14)→					不受理	
017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する							
	YES	(16)→					受理	
	NO	(17)→					不受理	
その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(21)3.0審査へ			
	YES	(22)→					受理	
	NO	(23)→					不受理	
016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する							
	YES	(25)→					受理	
	NO	(26)→					不受理	
その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
110	(28)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
000	(29)→(33)			/				
その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(31)3.0審査へ		不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条の4項届)							
処理名	3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)						備考	
その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
(33)氏の変更者は本籍人である(YES,NO)				/				
YES	(34)氏の変更者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(35)→			(36)3.0審査へ		受理	
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
NO	(38)→						受理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

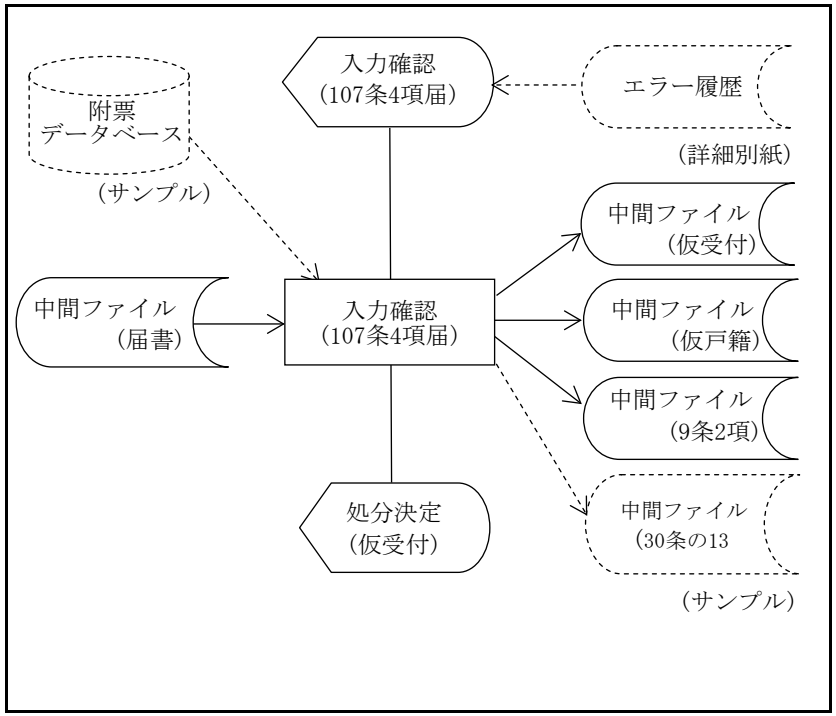
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条4項届入力画面	受領No				
	選択事件コード							31を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1:(創設)
	渉外区分							1:渉外
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、氏の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分								再入力の場合に1:排他を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号								本籍人のときは、個人番号を設定
	氏変更者カナ氏名			107条4項届入力画面	氏変更人カナ氏名				
	氏変更者漢字氏名				氏変更人漢字氏名				
	変更後カナ氏				変更後カナ氏				
	変更後漢字氏				変更後漢字氏				
	氏変更者住所コード				氏変更人住所				
	氏変更者住所								
	世帯主				氏変更人世帯主				
	氏変更者本籍コード				氏変更人本籍				
	氏変更者本籍								
	筆頭者				氏変更人筆頭者				
	筆頭者区分				氏変更人筆頭者区分				
	配偶者区分				氏変更人配偶者区分				
	生年月日				氏変更人生年月日				
	審判確定日				審判確定日				
	外国人父母区分				外国人父母区分				
	外国人父母氏名				外国人父母氏名				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏+ 氏変更人カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+ 氏変更人漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード				新本籍				
	氏変更者新本籍								

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0
作業名	審査(107条4項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条4項届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(107条4項)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 身分事項(除籍)
  - 6.2 身分事項(入籍)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 氏の変更者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条4項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条4項届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する			[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する			/				
		戸籍事項	(7)戸籍法107条4項届の編集	[4.1]	/				
		個人特定(入籍)	(8)氏変更人の個人特定情報の編集	[5.1]	/				
		身分事項(除籍)	(9)氏変更人の除籍事項の編集	[6･1]	/				
		身分事項(入籍)	(10)氏変更人の入籍事項の編集	[6･2]	/				
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-1)(10-2)	
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[8.1]	/				
		NO	(11)→(12)		/				
	NO								
	(12)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である(YES,NO)				/				
	YES	(13)氏の変更者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[7.1]		(14)処分決定に制御を渡す			
	NO	→							
PF1	→					(15)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(16)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(17)審査に制御を渡す			
PF11	→					(18)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(19)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(20)同画面を編集する			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)								
処理名	1.0　確認画面(107条4項届)　表示								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
107条4項届確認画面	画面ID				画面ID				
	システム日付				システム日付				
	支所No			中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受頭No				受領番号				
	受領日				受領日		有		
	送付日				送付日		有		
	発送元				発送元				
	在外送付区分				在外送付区分				
	処理日				処理日		有		
	本非区分				本非区分				
	本非区分名称						有		
	郵送日				郵送日		有		
	氏変更人カナ氏名			中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者カナ氏名				
	氏変更人漢字氏名				氏変更者漢字氏名				
	変更後カナ氏				変更後カナ氏				
	変更後漢字氏				変更後漢字氏				
	氏変更人住所				氏変更者住所コード				
					氏変更者住所				
	氏変更人世帯主				世帯主				
	氏変更人本籍				氏変更者本籍コード				
					氏変更者本籍				
	氏変更人筆頭者				筆頭者				
	氏変更人筆頭者区分				筆頭者区分				
	氏変更人筆頭者区分名称						有		
	氏変更人配偶者区分				配偶者区分				
	氏変更人配偶者区分名称						有		
	氏変更人生年月日				生年月日		有		
	審判確定日				審判確定日		有		
	外国人父母区分				外国人父母区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条4項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	外国人父母区分名称					有		
	外国人父母氏名			外国人父母氏名		有		
	新本籍			新本籍コード				
				氏変更者新本籍				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成6年 2月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(107条4項届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 5.1 D.1
	本籍		他の在籍者		新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外			
1	○		○		○		氏変更者 6.1		氏変更者 6.2
2	○		○			○	氏変更者 6.1		
3	○			○	○			氏変更者 6.1	氏変更者 6.2
4	○			○		○		氏変更者 6.1	
5		○	○		○				氏変更者 6.2
6		○		○	○				氏変更者 6.2

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							3201を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペースのとき　受領日 送付日 ≠ スペースのとき　送付日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、 未設定 その他は資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							2:新戸籍編製

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条4項届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	届後本籍コード				新本籍コード				
	届後本籍				氏変更者新本籍				
	届後戸籍の筆頭者								変更後漢字氏 + 氏変更者漢字氏名の名を移送
	送達確認1								(届後本籍が非本籍)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分								本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分				処分区分				
	決裁区分				決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号								
	事件本人区分								53:氏変更者を設定
	届出人区分								届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名				氏変更者カナ氏名				
	漢字氏名				氏変更者漢字氏名				
	生年月日				生年月日				
	本籍コード				氏変更者本籍コード				
	本籍				氏変更者本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	送達確認2								事件本人の現本籍が (本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(107条4項届)								
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3101:を設定
	記録コード								3101:を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条4項の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	従前記録	従前の記録							
		氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	5.1　氏の変更者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別							移記処理で設定
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者 を設定
	配偶者区分							0:未 を設定
	父							移記処理で設定
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者 を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	6.1　氏の変更者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3101:「氏の変更」を設定
	記録コード								3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人	届出人資格		届出人資格1･2				届出人資格1･2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、*1を参照
			届出人氏名		届出人氏名1･2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							除籍では不使用
	入戸籍	従前戸籍	本籍						除籍では不使用
			筆頭者						除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和 5年 3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	6.2　氏の変更者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3101:「氏の変更」を設定
	記録コード								3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人	届出人資格		届出人資格1･2				届出人資格1･2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、*1を参照
			届出人氏名		届出人氏名1･2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍	本籍		氏変更者本籍				該当項目を移送
			筆頭者		筆頭者				該当項目を移送
	除籍	除籍日							入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							入籍では不使用
		変更後の氏							入籍では不使用
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14

作業名	入力確認(107条4項届)
処理名	*1 届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、養母 *1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父、親権者母 *1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父、親権者母 *1		養父、養母 *1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、養母 *1		養父、養母 *1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 親権者養父 と 親権者養母 の 場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	7.1　9条2項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			氏変更者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							31:107条4項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧氏名			氏変更者漢字氏名				
	新生年月日			氏変更者生年月日				
	旧生年月日			氏変更者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			氏変更者本籍コード				
	旧本籍			氏変更者本籍				
	新筆頭者			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			氏変更者住所コード				
	住所			氏変更者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					31:107条4項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧氏名			氏変更者漢字氏名				
	新生年月日			氏変更者生年月日				
	旧生年月日			氏変更者生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			氏変更者本籍コード				
	旧本籍			氏変更者本籍				
	新筆頭者			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			氏変更者住所コード				
	住所			氏変更者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

31.名の変更届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	名変24	「名の変更届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_6.1 30条の13第1項(名の変更者)
2		名変23		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	2.0 (2023. 3.31版)	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「名の変更届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認_4.1
4	2.0 (2023. 7.31版)	－	「名の変更届」	読み仮名の法制化に対する修正 ・システム処理の概要説明書、審査_1.0 単体チェック、審査_2.0 関連チェック、審査_4.0 中間ファイル(届書)編集、入力確認_システム環境仕様書、入力確認_0.0 本紙、入力確認_1.0 画面確認(名の変更届)、入力確認_2.0 戸籍編製マトリックス表、入力確認_3.0 中間ファイル(仮受付)、入力確認_4.1 名の変更者(記録)、入力確認_5.1 住民票通知(名の変更者)、入力確認_5.2 住民票通知(他の構成員)、入力確認_6.1 公選法通知(名の変更者)を修正 ・入力確認_4.5 中間ファイル(仮個人状態)を追加
5		－		各システム標準化に伴う修正 附票DBを附票連携ファイルに、9条2項を住民票通知に、30条の13第1項を公選法通知に変更 ・入力確認_システム環境仕様書、入力確認_0.0 本紙、入力確認_6.1 住民票通知(名の変更者)、入力確認_6.2 住民票通知(他の構成員)、入力確認_7.1 公選法通知(名の変更者)を修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	名の変更届

1.名の変更業務処理範囲外の処理

(1)名の変更に伴う異籍者の父母、又は養父母欄の更正

(2)同一戸籍内において、事件本人と構成員の(養)父母欄が一致していない場合の(養)父母欄更正処理

(3)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

上記(1)(2)は更正処理で行い、(3)(4)は審査結果入力処理で行う。

2.名の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:名の変更届を行う事件本人の各項目を入力する画面である。

(2)その2画面:同籍する筆頭者、配偶者および除籍者以外の構成員を画面表示し、筆頭者又は配偶者の名の変更に伴う父母又は養父母欄の更正を行う。

起動条件　下記の条件が全て成立した場合のみ画面表示し、それ以外は表示しない。

・名の変更者が本籍人
(1)名の変更者は筆頭者区分が1(筆頭者)であるか、又は配偶者区分が0(未)以外であること。
(2)(1)以外の者でかつ除籍者以外の同籍者が存在すること

・名の変更者が非本籍人で非本籍人検索をする
(1)名の変更者は筆頭者であること(9条2項ファイルを出力するために画面を表示する)
(2)(1)以外の者でかつ除籍者以外の同籍者が存在すること

・名の変更者が非本籍人で項目を手入力する
(1)名の変更者は筆頭者であること(9条2項ファイルを出力するために画面を表示する)

表示内容　名の変更者が本籍人又は非本籍人検索をする場合、下記の条件が成立する同籍者構成員の内容を画面表示する。
(1)筆頭者区分が0(構成員)であり、かつ配偶者区分が0(未)の者
(2)除籍されていない者

住所欄、世帯主欄について
名の変更者が筆頭者の場合、入力必須。それ以外は入力されても無視する。

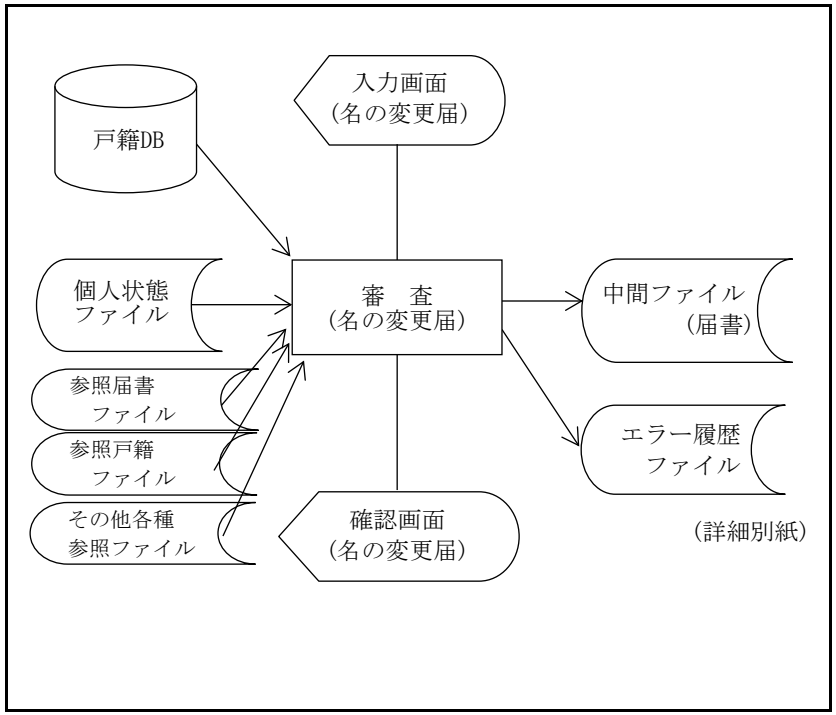
3.その他

(1)　筆頭者が名の変更者で配偶者が在籍する場合、入力画面に配偶者の入力項目が存在しないため、配偶者の9条2項ファイルは作成されない。
配偶者の9条2項ファイルは9条2項メンテナンスで作成する。

(2)　名の変更と同時に名の振り仮名の変更があった場合は、名の変更届において同時に処理する。

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)名の変更届の内容を入力する
(2)名の変更届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)名の変更届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)名の変更届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(名の変更届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(名の変更届)
処理名	0.0　本紙

									備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する								/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/	
	YES	(17)前ページ分の入力画面(名の変更届)を編集する							(18)同画面を編集する
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/	
	YES	(21)次ページ分の入力画面(名の変更届)を編集する							(22)同画面を編集する
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/	送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する							(22-3)同画面を編集する
	NO	(22-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する								入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	名の変更者振り仮名		漢字				
11	名の変更者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後の名の振り仮名		漢字				戸50、戸規60
13	変更後の漢字名	○	漢字				戸50、戸規60
14	名の変更者の住所		漢字				住基8･9II
15	名の変更者の世帯主		漢字				
16	名の変更者の本籍	○	漢字				
17	名の変更者の筆頭者	○	漢字				
18	名の変更者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	審判日	○	英数				戸38II
20	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			戸107の2
21	届出人氏名1		漢字				
22	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			戸107の2
23	届出人氏名2		漢字				
24	構成員n氏名		漢字				

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	構成員nの父の氏名		漢字				
26	構成員nの母の氏名		漢字				
27	構成員nの養父の氏名		漢字				
28	構成員nの養母の氏名		漢字				
29	構成員n住所		漢字				住基8･9II
30	構成員nの世帯主		漢字				住基8･9II
31	構成員n更正区分		数字	(1:無、2:父、3:母、5:養父、6:養母)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(名の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10-1	(No.12)変更後の名の振り仮名 ≠ スペースの時、 (No.10)名の変更者振り仮名 ≠ スペースであること			
10-2	(No.12)変更後の名の振り仮名 ≠ スペースの時、 (No.10)名の変更者振り仮名の名 ≠ (No.12)変更後の名の振り仮名であること			
11	(No.11)名の変更者の漢字氏名の名 ≠ (No.13)変更後の漢字名であること			
12	(No.3)受領日 ≧ (No.19)審判日であること			
13	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.19)審判日であること			
14	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.19)審判日であること			
15	(No.20)届出人資格1 ＝ 000:(未入力)の時、(No.21)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
16	(No.22)届出人資格2 ＝ 000:(未入力)の時、(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
17	(No.20)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
18	(No.22)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
19	(No.20)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
20	(No.22)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
21	(No.20)届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
22	(No.22)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(名の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	(No.20)届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
24	(No.22)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
25	(No.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
26	(No.22)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
27	(No.20)届出人資格1 ＝ 098(事件本人)の時、(No.21)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
28	(No.22)届出人資格2 ＝ 098(事件本人)の時、(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
29	(No.20)届出人資格1 ＝ 098(事件本人)の時、(No.22)届出人資格2 ＝ スペースであること			
30	(No.22)届出人資格2 ＝ 098(事件本人)の時、(No.20)届出人資格1 ＝ スペースであること			
31	(No.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.22)届出人資格2 ＝ スペースであること			
32	(No.22)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.20)届出人資格1 ＝ スペースであること			
33	(No.20)届出人資格1 ≠ (No.22)届出人資格2であること			
34	(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.21)届出人氏名1 ≠ (No.23)届出人氏名2であること			
35	(No.11)名の変更者の漢字氏名(氏のみ) ＝ (No.17)名の変更者の筆頭者(氏のみ)であること			
35-1	(No.15)名の変更者の世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)名の変更者の住所 ≠ スペースであること			
35-2	(No.14)名の変更者の住所 ＝ スペースの時、(No.15)名の変更者の世帯主 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(名の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
36	※構成員n共通関連チェック ①:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、(No.25)構成員nの父の氏名 ≠ スペースであること ②:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、 (No.25)構成員nの父の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ③:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、(No.26)構成員nの母の氏名 ≠ スペースであること ④:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、 (No.26)構成員nの母の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑤:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、(No.27)構成員nの養父の氏名 ≠ スペースであること ⑥:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、 (No.27)構成員nの養父の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑦:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、(No.28)構成員nの養母の氏名 ≠ スペースであること ⑧:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、 (No.28)構成員nの養母の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑨:(削除) (A):(削除) (B):(No.24)構成員n氏名 ＝ スペースの時、 (No.25)構成員nの父の氏名～(No.31)構成員n更正区分 ＝ スペースであること (C):(No.24)構成員n氏名 ≠ スペースの時、(No.31)構成員n更正区分 ≠ スペースであること (D):(No.30)構成員nの世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)構成員n住所 ≠ スペースであること (E):(No.29)構成員n住所 ＝ スペースの時、(No.30)構成員nの世帯主 ＝ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(名の変更届)
処理名	3.0 審査

							備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-3)→(1)へ			/		
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(1)へ				/		
(1)名の変更者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)					/		戸32
YES	(2)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)				/		
	000	(3)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/		
		098	(4)→		/		(5)、(6)、(8)、(9)欠番
				(5)	/		
				(6)		(7)本紙へ	
				(8)			
				(9)			
		110	(10)		/		(10)、(11)、(12)、(14)、(15)欠番
				(11)	/		
				(12)		(13)本紙へ	
				(14)			
				(15)			
			(12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				「N」の場合、不受理
		その他	(16)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
	110	(17)届出人資格2(000:未入力、その他)			/		不受理
		000	(18)		/		(18)、(19)、(20)、(22)、(23)欠番
				(19)	/		
				(20)		(21)本紙へ	
				(22)			
				(23)			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(名の変更届)
処理名	3.0 審査

						備考
			(20-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			「N」の場合、不受理
		その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
	098		(25)届出人資格2(000:未入力、その他)	/		
		000	(26)	/		(27)、(28)、(30)、(31)は削除
			(27)	/		
			(28)		(29)本紙へ	
			(30)			
			(31)			
		その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			
	その他		(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する			
NO			(34)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、 0020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)	/		
	000		(35)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、 110:未成年後見人、その他)	/		
		016,017,019,020	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する		(37)本紙へ	「N」の場合、不受理
		110	(38)本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/		
		1	(39)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/		
			YES (40)→		(41)本紙へ	
			NO (42)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する			
		2	(43)→			
		その他	(44)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			
	016,019		(45)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)	/		
		000	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する		(47)本紙へ	「N」の場合、不受理

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(名の変更届)								
処理名	3.0 審査							備考	
	017,020		(48)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				(49)本紙へ	「N」の場合、不受理	
	その他		(50)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	017,020		(51)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/			
	000		(52)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(53)本紙へ	「N」の場合、不受理	
	016,019		(54)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の場合、不受理	
	その他		(55)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	110		(56)届出人資格2(000:未入力、その他)			/			
	000		(57)本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/			
		1	(58)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)			/			
			YES	(59)→			(60)本紙へ		
			NO	(61)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する				不受理	
		2	(62)→						
	その他		(63)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	その他		(64)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		名の変更届入力画面	受領No				
	選択事件コード							32:名の変更届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、名の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

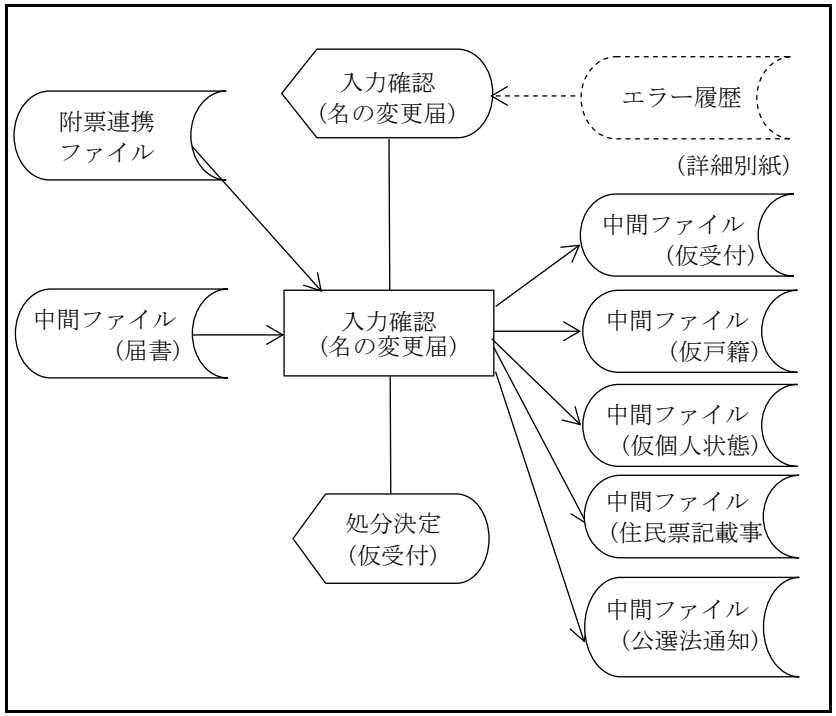
データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする	
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定	
	届書排他区分							0:未、1:排他	
中間ファイル(届書) 事件別内容	名の変更者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定	
	名の変更者の振り仮名		名の変更届入力画面	名の変更者の振り仮名					
	名の変更者の漢字氏名			名の変更者の漢字氏名					
	変更後名の振り仮名			変更後名の振り仮名					
	変更後漢字名			変更後の漢字名					
	住所コード			名の変更者の住所					
	住所								
	世帯主			名の変更者の世帯主					
	本籍コード			名の変更者の本籍					
	本籍								
	筆頭者			名の変更者の筆頭者					
	生年月日			名の変更者の生年月日					
	審判日			審判日					
	届出人資格1			届出人資格1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					
	届出人資格2			届出人資格2					
	届出人氏名2			届出人氏名2					
	筆頭者区分							本籍人の場合のみ 変更前氏名 ＝ 筆頭者のとき、 1:筆頭者をセットする 変更前氏名 ≠ 筆頭者のとき、 0:構成員をセットする	
	構成員n漢字氏名			構成員n氏名				構成員の明細については、複数件(n件)出力する。	
	構成員n父氏名			構成員nの父の氏名					

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	審査(名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	構成員n母氏名			構成員nの母の氏名				
	構成員n養父氏名			構成員nの養父の氏名				
	構成員n養母氏名			構成員nの養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員n世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	入力確認(名の変更届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(6)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(7)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(8)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(事件本人)
  - 4.2 身分事項(父母欄更正者)
- 4.5 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
  - 5.1 事件本人
  - 5.2 更正者･構成員
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/公選法通知)
  - 6.1 事件本人

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	入力確認(名の変更届)
処理名	0.0 本紙

								備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/		
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/		
		身分事項(変動なし)	(7)事件本人の身分事項の編集		[4.1]	/		
		身分事項(変動なし)	(8)更正者の身分事項の編集		[4.2]			
		(8-0-1)中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する			[4.5]			
		(8-0-2)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する				/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する
		(8-1)事件本人は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)				/		
		YES	(8-2)事件本について中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する		[6.1]	/		
		NO	(9)→(10)			/		
	NO							
	(10)在外送付区分 ＝ 0:受領分 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/		
	YES	(11)事件本人について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集出力する			[5.1]	/		
		(12)事件本人は筆頭者である(YES,NO)				/		
		YES	(12-1)事件本人は本籍人　又は　非本籍人検索実施済である(YES,NO)			/		
			YES	(12-2)構成員全員の中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集・出力する	[5.2]		(13)処分決定に制御を渡す	配偶者に関しても処理する
			NO	(12-3)更正者についての中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集・出力する	[5.2]			更正の有無に係わらず入力者全員分処理する
		NO	→					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF5	→						(16)審査に制御を渡す	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF7	(17)前ページがあるか(ある、なし)			/				
	ある	(18)前ページ分の確認画面(名の変更届)を編集する			(20)同画面を編集する			
	なし	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(21)次ページがあるか(ある、なし)			/				
	ある	(22)次ページ分の確認画面(名の変更届)を編集する			(24)同画面を編集する			
	なし	(23)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(25)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(26)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(27)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
名の変更届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	在外送付区分			在外送付区分				
	本非区分コード			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	名の変更者振り仮名		中間ファイル(届書) 事件別内容	名の変更者振り仮名				
	名の変更者漢字氏名			名の変更者漢字氏名				
	変更後名の振り仮名			変更後名の振り仮名				
	変更後の漢字氏名			変更後漢字氏名				
	名の変更者の住所			住所コード		有		
				住所				
	名の変更者の世帯主			世帯主				
	名の変更者の本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	名の変更者の筆頭者			筆頭者				
	名の変更者の生年月日			生年月日		有		
	審判日			審判日		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格1 届出人資格1名称			届出人資格1		有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2 届出人資格2名称			届出人資格2		有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	構成員n番号							1～n
	構成員n氏名			構成員n漢字氏名				構成員の明細については、複数件(n件)含まれている。
	構成員nの父の氏名			構成員n父氏名				
	構成員nの母の氏名			構成員n母氏名				
	構成員nの養父の氏名			構成員n養父氏名				
	構成員nの養母の氏名			構成員n養母氏名				
	構成員n住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				
	構成員nの世帯主			構成員n世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(名の変更届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						名の変更者の戸籍	
	本籍人	非本籍人	筆頭者区分		構成員の更正区分 *1		変動 A.2 なし C.2 D.2	変動 C.2 なし D.2
			筆頭者	構成員	有 (2,3,5,6)	無 (1)		
1	○		○		○		本人　(4.1) 更正者(4.2)	
2	○		○			○	本人　(4.1)	
3	○			○	○			本人　(4.1) 更正者(4.2)
4	○			○		○		本人　(4.1)
5		○	○		○			
6		○	○			○		
7		○		○	○			
8		○		○		○		

*1:構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。(父母欄更正)

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							3201(名の変更)を設定
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ送付日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、未設定 その他は、資格および氏名を移送する(但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる	
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							43:名の変更者を設定	
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 上記以外:0を設定	
	カナ氏名								
	振り仮名			名の変更者振り仮名					
	漢字氏名			名の変更者漢字氏名					
	生年月日			生年月日					
	本籍コード			本籍コード					
	本籍			本籍					
	筆頭者			筆頭者					
	送達確認2							事件本人の現本籍が (本非区分 ＝ 2)かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)								
処理名	4.1 名の変更者(記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:(可)を設定
	タイトルコード								3201:「名の変更」を設定
	記録コード								3201:「名の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	名変の更	名の変更日			受領日				受領日を移送
	届出人(1)	資格			届出人資格1、2				届出人資格1、2のいずれかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、次頁(*1)参照
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	従記前録	従前の記録							
		名			名の変更者の漢字氏名の名				
		名の振り仮名			名の変更者の振り仮名の名				変更後の名の振り仮名≠スペースの時に記録し、＝スペースの時は記録しない
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ スペースのとき移送
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	4.1　名の変更者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、養母　*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父、親権者母　*1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父、親権者母　*1		養父、養母　*1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、養母　*1		養父、養母　*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

EX.　親権者養父　と　親権者養母　の　場合
【届出人1】親権者養父　　甲野　義太郎
【届出人2】親権者養母　　甲野　梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	4.2 更正者(身分事項・変動なし、個人特定) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード							7001:「更正」を設定
	記録コード							7001:「更正」を設定
	管挙者コード							
	事件発生日			受領日				
	更正 更正日			送付日 又は 受領日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送 送付日 ＝ スペース:受領日を移送
	更正 更正事項							名更正区分に該当する[(養)父、(養)母]を移送
	更正 更正事由							名更正区分に該当する[(養)父、(養)母] +「名変更」
	従前記の録 従前の記録			構成員n父氏名、母氏名、養父氏名、養母氏名				該当項目を移送

(1)更正事項･更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
5	「養父」
6	「養母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字 + の氏名　　(例)養父の氏名
更正事由:変換文字 + 名変更　　(例)養父名変更

(2)従前の記録について
更正区分に従い該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録	移送する従前氏名
2	【父】 KKK～KKK	←構成員n父氏名
3	【母】 KKK～KKK	←構成員n母氏名
5	【養父】 KKK～KXK	←構成員n養父氏名
6	【養母】 KKK～KKK	←構成員n養母氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	4.5　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分			9				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない
	名の振り仮名職権記録区分			0				家庭裁判所の審判において振り仮名も審査するため、経過措置の適用がされない

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	5.1　住民票記載事項通知(名の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							32(名の変更届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			名の変更者の振り仮名の氏 + 変更後名の振り仮名				変更後名の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、名の変更者の振り仮名を設定
	旧振り仮名			名の変更者の振り仮名				
	新氏名			筆頭者の氏 + 変更後漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者						名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき 筆頭者の氏 + 変更後漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する	
	旧筆頭者			筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	5.1　住民票記載事項通知(名の変更者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	5.2　住民票記載事項通知(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			構成員n住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							32(名の変更届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名							本籍人又は非本籍人検索をした　場合は、氏名ファイルの振り仮名を設定
	旧振り仮名							
	新氏名			構成員n漢字氏名				
	旧氏名			構成員n漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者						名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき 筆頭者の氏 + 変更後漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する	
	旧筆頭者			筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	5.2　住民票記載事項通知(他の構成員)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			構成員n住所コード				
	住所			構成員n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			構成員n世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	6.1　公選法通知(名の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					32(名の変更届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			名の変更者の振り仮名の氏 + 変更後名の振り仮名				変更後名の振り仮名≠スペースの時、左記設定 ＝スペースの時、名の変更者の振り仮名を設定
	旧振り仮名			名の変更者の振り仮名				
	新氏名			~~筆頭者~~名の変更者漢字氏名の氏 + 変更後漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき、筆頭者の氏 + 変更後漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				

	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

32.転籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	62	「転籍届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		60		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	65	「転籍届」	審査3.0 事件本人が名未定の場合に審査結果入力に遷移する審査について修正
4	2.0	令和3年度申し送り事項一覧No.4	「転籍届」	・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集･出力、入力確認 4.2.1～4.2.3

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	転籍届

1. 転籍業務処理範囲外の処理
   (1) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2. 転籍届入力画面の意義

   (1) その1画面.転籍を行う当事者(筆頭者又は配偶者)の各項目を入力する。

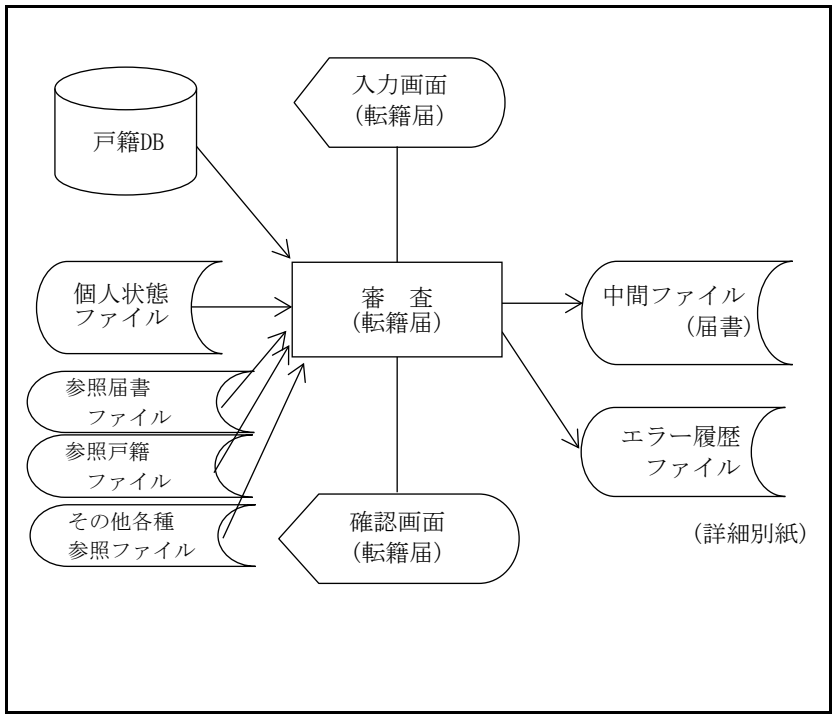
   (2) その2画面.転籍を行う上記以外の構成員の各項目を入力する。

3. その他

   特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成3年11月30日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)転籍届の内容を入力する
(2)転籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)転籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)転籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(転籍届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:筆頭者単独)
  - 3.2審査(届出人資格:配偶者単独)
  - 3.3審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
  - 3.4審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1)筆頭者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(転籍届)

処理名	0.0 本紙								備考
(1)届書内容を画面入力する または 戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する							/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)						/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(転籍届)を編集する						(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)						/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(転籍届)を編集する						(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する							
PF9	(22-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)						/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(22-2)画像情報を表示する						(22-3)同画面を編集する	
	NO	(22-4)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する								入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(転籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	新本籍	○	漢字				
12	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
13	筆頭者氏名	○	漢字				
14	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	筆頭者個人除区分	○	数字	(0:在籍者、1:除籍者)であること			
16	筆頭者-配偶者区分		漢字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
17	筆頭者住所		漢字				
18	筆頭者世帯主		漢字				
19	配偶者-配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	配偶者外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
21	配偶者カナ氏名		カナ				
22	配偶者氏名		漢字				
23	配偶者住所		漢字				
24	配偶者世帯主		漢字				
25	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	届出人資格1コード		数字	(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未			

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(転籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
				017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
27	届出人資格2コード		数字	(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
28	届出人氏名1		漢字				
29	届出人氏名2		漢字				
30	名義使用区分		数字	(0:未使用、1:夫、2:妻)であること			
31	構成員人数		数字				
32	構成員カナ氏名(その1)		カナ				
33	構成員氏名(その1)		漢字				
34	構成員住所(その1)		漢字				
35	構成員の世帯主(その1)		漢字				
36	構成員生年月日(その1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
37	構成員カナ氏名(その2)		カナ				
38	構成員氏名(その2)		漢字				
39	構成員住所(その2)		漢字				
40	構成員の世帯主(その2)		漢字				
41	構成員生年月日(その2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	構成員カナ氏名(その3)		カナ				
43	構成員氏名(その3)		漢字				
44	構成員住所(その3)		漢字				
45	構成員の世帯主(その3)		漢字				
46	構成員生年月日(その3)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	構成員カナ氏名(その4)		カナ				
48	構成員氏名(その4)		漢字				
49	構成員住所(その4)		漢字				
50	構成員の世帯主(その4)		漢字				
51	構成員生年月日(その4)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)送付元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)送付元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は ＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.10)本籍 ＝ 本籍地　または　(No.11)新本籍 ＝ 本籍地であること			
12	(No.10)本籍 ≠ (No.11)新本籍であること			
13	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の時、 (No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)、1(夫)、2(妻)、3(生存配偶者)であること			
14	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の時、 (No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)　かつ (No.17)筆頭者住所、(No.18)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)の時、 (No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)　または　スペース(未入力)であること			
16				(No.16)欠番
17	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、 (No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)　または　0(未)であること			
17-1	(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)の時、 (No.20)配偶者外人区分、(No.21)配偶者カナ氏名、(No.22)配偶者氏名、(No.23)配偶者住所、 (No.24)配偶者世帯主、(No.25)配偶者生年月日全て ＝ スペース(未入力)であること			
19	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)配偶者カナ氏名、(No.22)配偶者漢氏名、 (No.25)配偶者生年月日全て ≠ スペース(未入力)であること			
19-1	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.21)配偶者カナ氏名～(No.25)配偶者生年月日全て ＝ スペース(未入力)であること			
20	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.12)筆頭者カナ氏名の氏 ＝ (No.21)配偶者カナ氏名の氏 かつ (No.13)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.22)配偶者漢字氏名の氏であること			
21	(No.20)配偶者外人区分 ＝ スペース(未入力)の時、(No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
22	(No.20)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
23	(No.26)届出人資格1コード ≠ 000(未入力) または (No.27)届出人資格2コード ≠ 000(未入力)であること			
24	(No.26)届出人資格1コード ＝ 016、017、019、020、110の時、 (No.28)届出人氏名1 ≠ スペース(未入力)であること			
25	(No.27)届出人資格2コード ＝ 016、017、019、020、110の時、 (No.29)届出人氏名2 ≠ スペース(未入力)であること			
26	構成員番号(その1) ＝ スペースの時、 (No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員氏名(その1)、(No.34)構成員住所(その1)、 (No.35)構成員の世帯主(その1)、(No.36)構成員生年月日(その1)が全て ＝ スペースであること			
27	構成員番号(その1) ≠ スペースの時、 (No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員氏名(その1)、 (No.36)構成員生年月日(その1)が全て ≠ スペースであること			
28	構成員番号(その2) ＝ スペースの時、 (No.37)構成員カナ氏名(その2)、(No.38)構成員氏名(その2)、(No.39)構成員住所(その2)、 (No.40)構成員の世帯主(その2)、(No.41)構成員生年月日(その2)が全て ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
29	構成員番号(その2) ≠ スペースの時、 (No.37)構成員カナ氏名(その2)、(No.38)構成員氏名(その2)、 (No.41)構成員生年月日(その2)が全て ≠ スペースであること			
30	構成員番号(その3) ＝ スペースの時、 (No.42)構成員カナ氏名(その3)、(No.43)構成員氏名(その3)、(No.44)構成員住所(その3)、 (No.45)構成員の世帯主(その3)、(No.46)構成員生年月日(その3)が全て ＝ スペースであること			
31	構成員番号(その3) ≠ スペースの時、 (No.42)構成員カナ氏名(その3)、(No.43)構成員氏名(その3)、 (No.46)構成員生年月日(その3)が全て ≠ スペースであること			
32	構成員番号(その4) ＝ スペースの時、 (No.47)構成員カナ氏名(その4)、(No.48)構成員氏名(その4)、(No.49)構成員住所(その4)、 (No.50)構成員の世帯主(その4)、(No.51)構成員生年月日(その4)が全て ＝ スペースであること			
33	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、 (No.47)構成員カナ氏名(その4)、(No.48)構成員氏名(その4)、 (No.51)構成員生年月日(その4)が全て ≠ スペースであること			
34	構成員番号(その1) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.33)構成員氏名(その1)の氏であること			
35	構成員番号(その2) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.38)構成員氏名(その2)の氏であること			
36	構成員番号(その3) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.43)構成員氏名(その3)の氏であること			
37	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.48)構成員氏名(その4)の氏、であること			
38	(No.30)名義使用区分 ≠ 0(未使用)の時、 (No.26)届出人資格1コード ≠ 110(未成年後見人) かつ (No.27)届出人資格2コード ≠ 110(未成年後見人)であること			
39	(No.17)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.18)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
40	(No.18)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
41	(No.23)配偶者住所 ＝ スペースの時、(No.24)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
42	(No.24)配偶者世帯主 ≠ スペースの時、(No.23)配偶者住所 ≠ スペースであること			
43	(No.34)構成員住所(その1) ＝ スペースの時、(No.35)構成員の世帯主(その1) ＝ スペースであること			
44	(No.35)構成員の世帯主(その1) ≠ スペースの時、(No.34)構成員住所(その1) ≠ スペースであること			
45	(No.39)構成員住所(その2) ＝ スペースの時、(No.40)構成員の世帯主(その2) ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
46	(No.40)構成員の世帯主(その2) ≠ スペースの時、(No.39)構成員住所(その2) ≠ スペースであること			
47	(No.44)構成員住所(その3) ＝ スペースの時、(No.45)構成員の世帯主(その3) ＝ スペースであること			
48	(No.45)構成員の世帯主(その3) ≠ スペースの時、(No.44)構成員住所(その3) ≠ スペースであること			
49	(No.49)構成員住所(その4) ＝ スペースの時、(No.50)構成員の世帯主(その4) ＝ スペースであること			
50	(No.50)構成員の世帯主(その4) ≠ スペースの時、(No.49)構成員住所(その4) ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成16年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(転籍届)
処理名	3.0　審査

							備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-3)→(0-7)へ			/		
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ				/		
(0-7)構成員カナ氏審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)					/		
	(0-8)筆頭者カナ氏名の氏 ≠ 構成員カナ氏名の氏(YES,NO)				/		
	YES	(0-9)メッセージ 「構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか?」を表示する					
	NO	(0-11)→(0-7)へ			/		
(0-12)筆頭者氏名の名が未入力　又は　(配偶者-配偶者区分≠スペース　かつ 配偶者氏名の名が未入力　かつ　配偶者外人区分が日本人)(YES,NO)					/		R4(転籍64)
YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示する					(0-14)本紙へ	R2.1(転籍59)
	YES	(0-15)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-17)本紙へ	不受理　R2.1(転籍59)
	NO	(0-16)→					画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(転籍59)
NO	(0-18)→(1)へ				/		R2.1(転籍59)
(1)筆頭者-配偶者区分(0:未婚、1:夫、2:妻、3:生存配偶者、その他)					/		
0、その他	(1-1)筆頭者個人除区分(0:在籍、その他)				/		
	0	(2)筆頭者生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)			/		
		YES	(3)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]		/		
			(4)→			(5)本紙へ	
		NO	(6)審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)処理 [3.4]		/		
			(7)→			(8)本紙へ	
	その他	(8-1)配偶者外人区分(0:日本人、その他)			/		
		0	(8-2)配偶者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者(YES,NO)		/		
			YES	(8-3)名義使用区分(0:未使用、その他)	/		
				0	(8-4)審査(届出人資格:配偶者単独)処理 [3.2]	/		
					(8-5)→		(8-6)本紙へ	
				その他	(8-7)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する			

要件定義ワークシート				作成日付	平成16年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(転籍届)					
処理名				3.0　審査				備考	
			NO	(8-8)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する					
		その他		(8-9)エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する					
1	(9)配偶者外人区分(0:日本人、その他)					/			
	0	(10)配偶者-配偶者区分　＝　2:妻(YES,NO)				/			
		YES	(11)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
			1	(12)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理	[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(13)→			(14)本紙へ	昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			2	(15)審査(届出人資格:配偶者単独)処理	[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(16)→			(17)本紙へ	昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			その他	(18)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理	[3.3]	/			
				(19)→			(21)本紙へ		
		NO		(20)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する		/			
	その他	(22)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理			[3.1]	/			
		(23)→					(24)本紙へ		
2	(25)配偶者外人区分(0:日本人、その他)								
	0	(26)配偶者-配偶者区分 ＝ 1:夫(YES,NO)				/			
		YES	(27)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
			1	(28)審査(届出人資格:配偶者単独)処理	[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲 926号回答	
				(29)→			(30)本紙へ	昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			2	(31)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理	[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲 926号回答	
				(32)→			(33)本紙へ	昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			その他	(34)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理	[3.3]	/			
				(35)→			(36)本紙へ		
		NO		(37)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する				NO.38欠番	
	その他	(39)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理			[3.1]	/			
		(40)→					(41)本紙へ		
3	(42-1)名義使用区分(0:未使用、その他)					/			
	0	(42-2)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理			[3.1]	/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成16年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.0　審査						備考	
		(43)→			(44)本紙へ			
	その他	(45)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)					/			
000	(2)届出人資格2(008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)				/			
	008	(3)→(34)			/			
							(4)～(8)削除	
	110	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する						
		YES	(10)→			(11)3.0審査へ		
		NO	(12)→				不受理	
							(13)、(14)削除	
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
008	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
	000	(17)→(34)			/			
							(18)～(22)削除	
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(24)3.0審査へ	不受理	
110	(25)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
	000	(26)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			/			
		YES	(27)→			(28)3.0審査へ		
		NO	(29)→				不受理	
							(30)、(31)削除	
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
(34)→								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、009:配偶者、その他)					/			
000	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他)				/			
	009	(3)→(34)			/			
							(4)～(14)削除	
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(15-1)3.0審査へ	不受理	
009	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
	000	(17)→(34)			/			
							(18)～(22)削除	
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(24)3.0審査へ	不受理	
							(25)～(32)削除	
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					(33-1)3.0審査へ	不受理	
(34)→								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、その他)				/				
008	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他)			/				
	009	(3)→					戸108Ⅰ	
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(5)3.0審査へ		不受理	
009	(6)届出人資格2(008:筆頭者、その他)			/				
	008	(7)→			(10)3.0審査へ		戸108Ⅰ	
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他	(9)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
							(11)～(18)削除	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/			昭和23.10.15民事甲660号通達	
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	110	(5)筆頭者は本籍人である(YES,NO)		/				
		YES	(6)筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				
			YES →		(8)3.0審査へ			
			NO (7)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					
		NO →						
	その他	(8-1)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
016,019	(9)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(13)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	017,020	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
017,020	(14)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(18)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	016,019	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(17)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(19)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(20)筆頭者は本籍人である(YES,NO)		/				
		YES	(21)筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(転籍届)						
処理名				3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)					備考	
			YES	→		(25)3.0審査へ				
			NO	(22)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する						
		NO		→						
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する							不受理	
その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する								不受理	

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号			転籍届入力画面	受領NO				
	選択事件コード								「33」をセット
	出張所番号				支所NO				
	受領日				受領日				
	送付日				送付日				
	発送元				発送元				
	在外送付区分				在外送付区分				
	処理日				処理日				
	指示日								
	許可日								
	受理送付区分								在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分				本非区分				
	郵送日				郵送日				
	動態区分								「0:不要」をセット
	届区分								「1:創設」をセット
	渉外区分								「0」をセット
	同時決裁受領番号								
	ロック戸籍番号1								本籍人の時、転籍者の戸籍番号をｾｯﾄ
	ロック戸籍番号2								
	ロック戸籍番号3								
	ロック戸籍番号4								
	ロック戸籍番号5								
	事件別内容								中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分								
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする ＊
	決裁区分								ZERO
	届書排他区分								0:未、1:排他

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイ(届書) 事件別内容	本籍コード		転籍届入力画面	本籍				
	本籍							
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	筆頭者個人番号							本籍人の時、筆頭者の個人番号をｾｯﾄ
	筆頭者カナ氏名			筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者配偶者入力区分			筆頭者-配偶者区分				
	筆頭者住所コード			筆頭者住所				
	筆頭者住所							
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者配偶者入力区分			配偶者-配偶者区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者個人番号							本籍人の時、配偶者の個人番号をｾｯﾄ
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者氏名				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所コード			配偶者住所				
	配偶者住所							
	配偶者世帯主			配偶者世帯主				
	届出人資格1			届出人資格1コード				
	届出人資格2			届出人資格2コード				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員n個人番号							本籍人の時、構成員の個人番号をｾｯﾄ

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(転籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

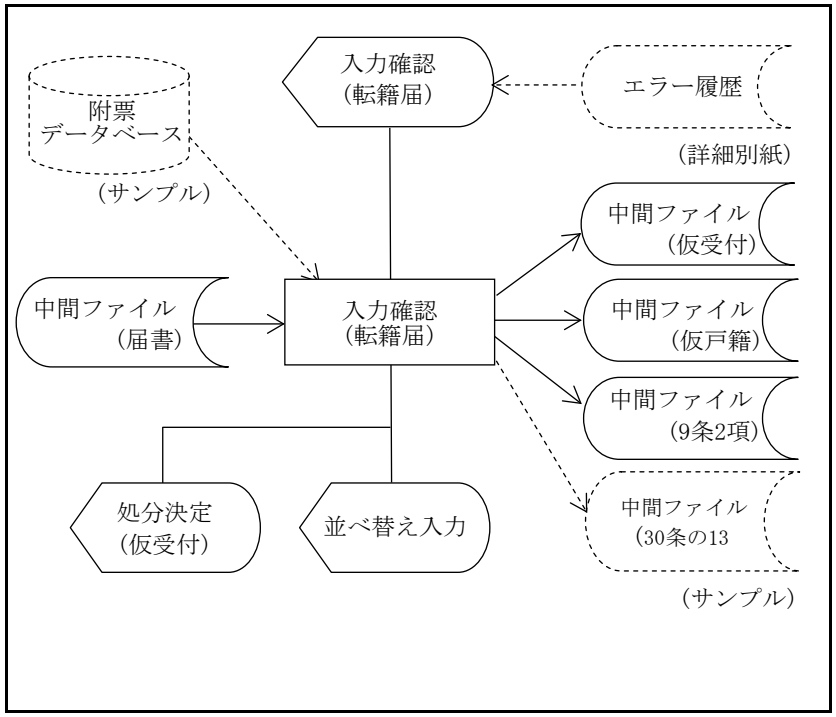
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	構成員nカナ氏名			構成員カナ氏名				構成員の明細について 画面では、4人/画面 ファイルでは、3人/レコード です
	構成員n漢字氏名			構成員氏名				
	構成員n住所コード			構成員住所				
	構成員n住所							
	構成員n世帯主			構成員の世帯主				
	構成員n生年月日			構成員生年月日				

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(転籍届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)下記に制御を渡す
　処分決定処理
　並び換え処理

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍特定情報
    - 4.1.1 戸籍特定(新戸)
    - 4.2.1 戸籍特定(記録)
  - 4.2 戸籍事項情報
    - 4.2.1 戸籍事項(編製)
    - 4.2.2 戸籍事項(記録)
    - 4.2.3 戸籍事項(消除)
  - 4.3 個人特定情報
    - 4.3.1 個人特定(入籍)
    - 4.3.2 個人特定(記録)
  - 4.4 氏名情報
    - 4.4.1 氏名(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 転籍者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 6.1 転籍者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(転籍届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		(7)戸籍特定情報			/		
		戸籍特定(新戸)	(8)戸籍特定(新戸)の編集	[4.1.1]	/		
		戸籍特定(記録)	(9)戸籍特定(記録)の編集	[4.1.2]	/		
		(10)戸籍事項情報			/		
		戸籍事項(編製)	(11)戸籍事項(編製)の編集	[4.2.1]	/		
		戸籍事項(記録)	(12)戸籍事項(記録)の編集	[4.2.2]	/		
		戸籍事項(消除)	(13)戸籍事項(消除)の編集	[4.2.3]	/		
		(14)個人特定情報			/		転籍人数分行う
		個人特定(入籍)	(15)個人特定(入籍)の編集	[4.3.1]	/		
		個人特定(記録)	(16)個人特定(記録)の編集	[4.3.2]	/		
		(17)氏名情報			/		転籍人数分行う
		氏名(入籍)	(18)氏名(入籍)の編集	[4.4.1]	/		
		(17-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/		転籍人数分行う、※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(17-1)、(17-2)
		YES	(17-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[6.1]	/		
		NO	(19)→(20)		/		
	NO						
	(20)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
	YES	(21)転籍者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[7.1]	/		
	NO	(22)→(23)			/		
	(23)新戸編製である(YES,NO)				/		
	YES	(24)筆頭者、配偶者を除く構成員数は2名以上である(YES,NO)			/		
		YES	(25)構成員(筆頭者、配偶者を除く)同生年月日者がいる(YES,NO)		/		
			YES	(26)戸籍法14条により並べ換えし並び換え処理へ		(27)並べ換えに制御を渡す	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(転籍届)						
処理名			0.0 本紙					備考	
			NO →			(28)処分決定に制御を渡す			
		NO							
	NO								
PF1	→					(29)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(30)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(31)審査に制御を渡す			
PF7	(32)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/					
	ある	(33)前ページ分の確認画面(転籍届)を編集する				(34)同画面を編集する			
	なし	(35)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(36)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/					
	ある	(37)次ページ分の確認画面(転籍届)を編集する				(38)同画面を編集する			
	なし	(39)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する							
PF11	→					(40)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(41)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(42)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	1.0　確認画面(転籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
転籍届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		有		
				本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	筆頭者カナ氏名			筆頭者カナ氏名				
	筆頭者氏名			筆頭者漢字氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分		有		
	筆頭者個人除区分名称							
	筆頭者-配偶者区分			筆頭者配偶者区分		有		
	筆頭者-配偶者区分名称							
	筆頭者住所			筆頭者住所コード		有		
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者-配偶者区分			配偶者配偶者区分		有		
	配偶者-配偶者区分名称							
	配偶者外人区分			配偶者外人区分		有		
	配偶者外人区分名称							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	1.0　確認画面(転籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日		有		
	届出人資格1コード			届出人資格1				
	届出人資格1コード名称					有		
	届出人資格2コード			届出人資格2				
	届出人資格2コード名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	名義使用区分表示					有		
	構成員人数			構成員人数				
	構成員番号							構成員を一連番号で設定
	構成員カナ氏名			構成員nカナ氏名				構成員人数について 画面では、4人/画面 ファイルでは、3人/レコードです
	構成員氏名			構成員n漢字氏名				
	構成員住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				
	構成員の世帯主			構成員n世帯主				
	構成員生年月日			構成員n生年月日		有		
	現在頁							現在表示している画面の出現番号を表示する
	最大頁							構成員人数より必要な画面数の最大頁数を表示する

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(転籍届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動		
	現本籍		新本籍				
	本籍	非本籍	管内	管外	全部除籍　4.1.2　4.2.3　4.3.2　*1	新戸籍編製　4.1.1　4.2.1　4.3.1　4.4.1　*2	変動なし　4.1.2　4.2.2
1	○		○				○
2	○			○	○		
3		○	○			○	
4		○		○			

*1　4.3.2は画面入力した筆頭者、配偶者、構成員の全ての戸籍が除籍の対象とする。
　　ただし、筆頭者が除籍(個人除区分 ＝ 1)の場合、筆頭者の戸籍の変動は行わない。
*2　4.3.1、4.4.1は画面入力した転籍者(筆頭者、配偶者、構成員)は、以下の順で記録する。
　　第1順位　筆頭者区分　(1:筆頭者、0:構成員の順)
　　第2順位　配偶者区分　(1:夫、2:妻、3:生存配偶者、0:未婚の順)
　　第3順位　生年月日　　(和暦年号は西暦換算で上昇順、年、月、日の順)
　　第4順位　入力順　　(構成員番号の順)

※管外から管内へ転籍する場合、外国人配偶者の戸籍(個人特定)は作成しないこと

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							「33」を設定
	受付日			送付日　又は　受領日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日 送付日 ＝ スペースの場合、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							0:日本人
	証書提出区分							0:届出
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							移送データなし
	許可日							移送データなし
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1 又は 2				資格区分 ＝ 008:筆頭者　又は 009:配偶者　以外の時設定
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1 又は 2				
	届出人資格区分2							
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍編製マトリックスから設定 (1:入籍、2:新戸籍編製)
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍の筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認区分1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到達)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮戸籍) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							名義使用区分 ≠ 1(夫) 又は 2(妻)の場合 　届出人資格1 又は 2 ＝ 008の時、 　44(筆頭者)で1件作成 　届出人資格1 又は 2 ＝ 009の時、 　45(配偶者)で1件作成 　届出人資格1 又は 2 ＝ 008 又は 　009以外の時、 　44(筆頭者)で1件作成 名義使用区分 ＝ 1(夫)　又は 2(妻)の場合 　届出人資格1 又は 2 ＝ 008 又は 　009の時、 　44(筆頭者)、45(配偶者)で 　1件ずつ作成
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 008 又は 009:1を設定 それ以外:0設定
	カナ氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送
	漢字氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	生年月日							事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2							現本籍が(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.1.1 （戸籍特定・新戸籍編製） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	記録者数							在籍者数+除籍者数
	在籍者数							筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の場合 1+構成員人数 上記以外は、構成員人数
	除籍者数							筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の場合 1を設定 上記以外は、0を設定
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.1.2 （戸籍特定・記録） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				全部除籍のとき設定 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				管内転籍のとき設定
	本籍			新本籍				同上
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							全部除籍のとき、0を設定
	除籍者数							全部除籍のとき、記録者数を設定
	戸籍除区分							全部除籍のとき1:除籍を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.1 （戸籍事項・新戸籍編製） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で決定
	行番号							
	出力区分							0を設定
	タイトルコード							3301を設定
	記録コード							3301を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	転籍日			受領日				
	入戸籍 従前本籍			本籍				
	除戸籍 新本籍							
	届出 資格			届出人資格1 又は 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する 詳細編集内容は、「届出人資格･氏名の編集内容1」参照
	届出 資格名称							
	届出 氏名			届出人氏名1 又は 届出人氏名2				
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	従前の記録							
	本籍							
	記録 記録日			処理日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.1 (戸籍事項・新戸籍編製) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

届出人資格･氏名の編集内容1

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫 又は 妻 *1	夫 又は 妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫 又は 妻 *1							
009(配偶者)	夫 又は 妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父、養母*2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母、養父*2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母、養父*2		養父、養母*2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父、養母*2		養父、養母*2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1、2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(転籍届)						
処理名	4.2.2 （戸籍事項・記録） 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0を設定
	タイトルコード								3301を設定
	記録コード								3301を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	転籍日				受領日				
	入戸籍	従前本籍							
	除戸籍	新本籍							
	届出	資格			届出人資格1 又は 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する 詳細編集内容は、「届出人資格･氏名の編集内容2」参照
		資格名称							
		氏名			届出人氏名1 又は 届出人氏名2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		本籍			本籍				
	記録	記録日			処理日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.2 (戸籍事項・記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

届出人資格･氏名の編集内容2

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫 又は 妻 *1	夫 又は 妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫 又は 妻 *1							
009(配偶者)	夫 又は 妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父、養母*2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母、養父*2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母、養父*2		養父、養母*2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父、養母*2		養父、養母*2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1、2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(転籍届)						
処理名	4.2.3 (戸籍事項・消除) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0を設定
	タイトルコード								3301を設定
	記録コード								3301を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	転籍日				受領日				
	入戸籍	従前本籍							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	届出	資格			届出人資格1 又は 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する 詳細編集内容は、「届出人資格･氏名の編集内容2」参照
		資格名称							
		氏名			届出人氏名1 又は 届出人氏名2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		本籍							
	記録	記録日			処理日				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(転籍届)								
処理名	4.2.3 （戸籍事項・消除） 編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.3.1 （個人特定・新戸籍編製） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							2.0戸籍編製マトリックス表*2で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				筆頭者個人除区分 ＝ 0の時、設定しない 筆頭者個人除区分 ≠ 0の時、上記入籍日と同一日を設定する
	性別							
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							筆頭者の場合:1を設定 その他:0を設定
	配偶者区分			配偶者入力区分				筆頭者、配偶者の場合:配偶者入力区分を移送 その他:0を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定 但し、筆頭者　かつ　筆頭者個人除区分 ≠ 0の場合には入力された区分を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.3.2 （個人特定・記録） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				筆頭者個人除区分 ≠ 0の場合は、既存区分を移送(変更なし) 筆頭者個人除区分 ＝ 0の場合は、 処理日 ≠ スペース:処理日 送付日 ≠ スペース:送付日 他は受領日
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							既存の区分が0の場合、2(戸籍消除)を設定 上記以外は、既存区分内容を移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.4.1 （氏名・入籍） 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	カナ氏名			カナ氏名 (事件者のカナ氏名)				
	漢字氏名			漢字氏名 (事件者の漢字氏名)				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	5.1　9条2項(転籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							33(転籍届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合に受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	旧氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母と続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード、 配偶者住所コード、 構成員n住所コード				項目がある場合移送
	住所			筆頭者住所、 配偶者住所、 構成員n住所				項目がある場合移送
	方書							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	5.1　9条2項(転籍者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表（サンプル提示）			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(転籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					33(転籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	旧氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード、 配偶者住所コード、 構成員n住所コード				項目がある場合移送

データ編集表（サンプル提示）			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(転籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			筆頭者住所、 配偶者住所、 構成員n住所				項目がある場合移送
	方書							
	転入届出日							

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	並び換え(転籍届)

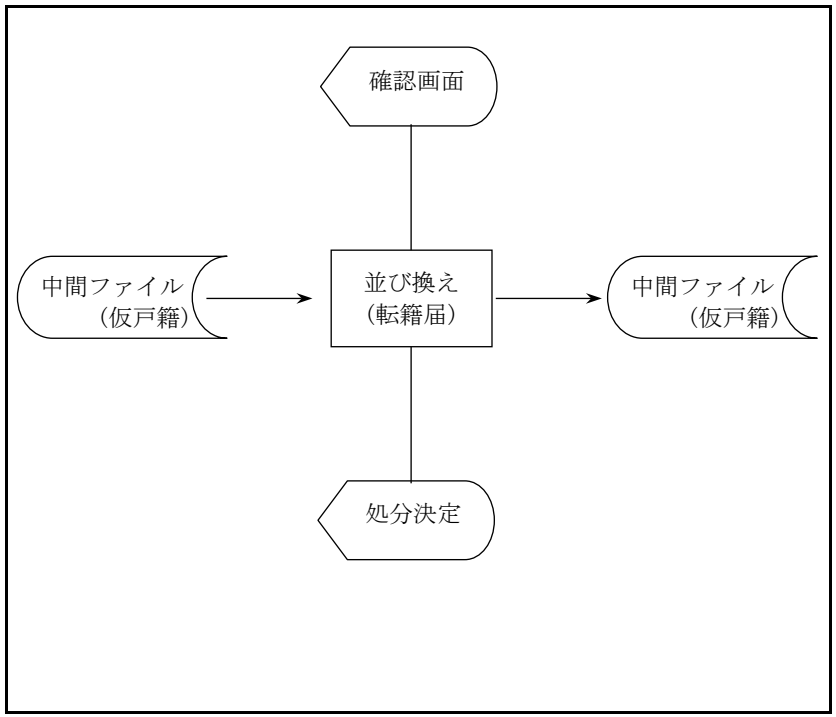
1. 並び換え(転籍届)処理範囲外の処理

2. 並び換え(転籍届)入力画面の意義
(1)転籍を行う当事者(筆頭者及び配偶者を除く)の新記録順位を入力する

3. その他
(1)中間ファイル(仮戸籍:個人特定、氏名)を以下の順に分類し新順位で中間ファイル(仮戸籍:個人特定、氏名)を作成してあること
第1順位　筆頭者区分　(1:筆頭者、0:構成員の順)
第2順位　配偶者区分　(1:夫、2:妻、3:生存配偶者、0:未の順)
第3順位　生年月日　　(上昇順:年号は西暦換算で上昇順になること)
第4順位　入力順　　(画面入力順)

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	並び換え(転籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)新記録順位のチェック
(2)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 新記録順位チェック
　　└ 2.0 データ編集表(並び換え(転籍届)画面)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	並び換え(転籍届)
処理名	0.0　本紙

						備考
(1)中間ファイル(仮戸籍:個人特定)を画面表示する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする				/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF11、PF12、その他)				/		
実行キー	(3)新記録順位チェック(OK:YES,NG:NO)　[1.0]			/		
	YES	(4)中間ファイル(仮戸籍:個人特定)を構成員新記録順位で分類し編集出力		/		
		(5)面面の入力項目を全て入力禁止とする		/		
		(6)構成員新記録順位で「並び換え(転籍届)」画面を編集			(8)同画面を編集する	
	NO	(7)エラーメッセージを表示する				
PF1	→(9)業務選択に制御を渡す					
PF2	→(10)届出選択に制御を渡す					
PF5	「中間ファイル(仮戸籍:個人特定)の順序を記録順位とする。」				(11)入力確認に制御を渡す	
PF7	(12)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/		
	ある	(13)前ページ分の入力画面「並び換え(転籍届)」を編集する			(15)同画面を編集する	
	なし	(14)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(16)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/		
	ある	(17)次ページ分の入力画面「並び換え(転籍届)」を編集する			(20)同面面を編集する	
	なし	(18)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する				
PF10	(19)画面の入力項目の入力禁止を解除する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする					入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	「中間ファイル(仮戸籍:個人特定)の順序を記録順位とする。」				(21)処分決定処理に制御を渡す	
PF12	(22)入力画面を初期化する				(24)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する					

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	並び換え(転籍届)
処理名	1.0　新記録順位チェック

						備考
(1)構成員分繰り返す					(2)本紙へ	
	(3)構成員新記録順位が入力されている(YES,NO)			/		
	YES	(4)構成員新記録順位は00 ＜ 構成員新記録順位 ≦ 在籍数である(YES,NO)		/		
		YES	(5)構成員新記録順位は同生年月日者の番号である(YES,NO)	/		戸14
			YES (6) → (12)	/		
			NO (7)エラーメッセージ 「同生年月日者どうしの記録順位の変更しか出来ません。」を表示する		(9)本紙へ	
		NO	(8)エラーメッセージ 「新記録順位は設定可能範囲を超えています。」を表示する			
	NO	(10)構成員番号を構成員新記録順位に移送		/		
		(11) → (12)		/		
	(12)構成員新記録順位は重複している(YES,NO)			/		構成員新記録順位を新たな構成員番号として移送する前に、既に新構成員番号が他の構成員にて設定されているか判定する まだ未設定ならば、新たな構成員番号として移送する
	YES	(13)エラーメッセージ 「新記録順位が重複しています。」を表示する			(14)本紙へ	
	NO	(15)構成員新記録順位を構成員番号(新)へ移送する		/		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	2.0　並び換え(転籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
並び換え(転籍届)画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書)	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	NO							仮戸籍(個人特定、氏名)の格納順を一連番号として設定
	漢字氏名		仮戸籍(氏名)	漢字氏名				仮戸籍(個人特定、氏名)を順次表示する 1画面/6件
	筆頭者区分		仮戸籍(個人特定)	筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	生年月日			生年月日		有		

第7.2.(5)「異動」処理

33.就籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0	23	「就籍届」	審査_3.0 届出期間経過についての確認メッセージをメッセージに変更
2		令和3年度申し送り事項一覧№4		・戸籍情報連携システムから送信された処理の追加 (各種参照ファイルの追加、在外送付区分=4(連携情報の通知)の追加、インデックス【通知を受けた日】追加の対応等の対応) 審査_システム環境仕様書、審査_0.0本紙、審査_1.0単体チェック表、審査_2.0関連チェック表、審査_4.0中間ファイル(届書)編集・出力、入力確認_4.1

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4

作業名	就籍届

1.就籍業務処理範囲外の処理

・親子関係存在確認の確定判決に基づく親子同時の就籍を行う場合の処理
個々の届書に分けた上でそれぞれ審査を行う。

・樺太又は千島に本籍を有していた者が内地に就籍を行う場合の処理
就籍原因については特記事項として記録する為

・死亡した者について就籍許可の審判がなされ、これに基づいて就籍届があっても受理しない(昭31.3.6民2発91第二課長回答)

・本籍不明又は無籍のまま婚姻した者が離婚して除籍された後、就籍を行う場合の処理(昭和31.5.2民甲838通達)
別途届出にて審査する

・就籍届により、父又は母について新戸籍を作成する場合

・事件本人の成年後見人から届出された場合

2.就籍届入力画面の意義

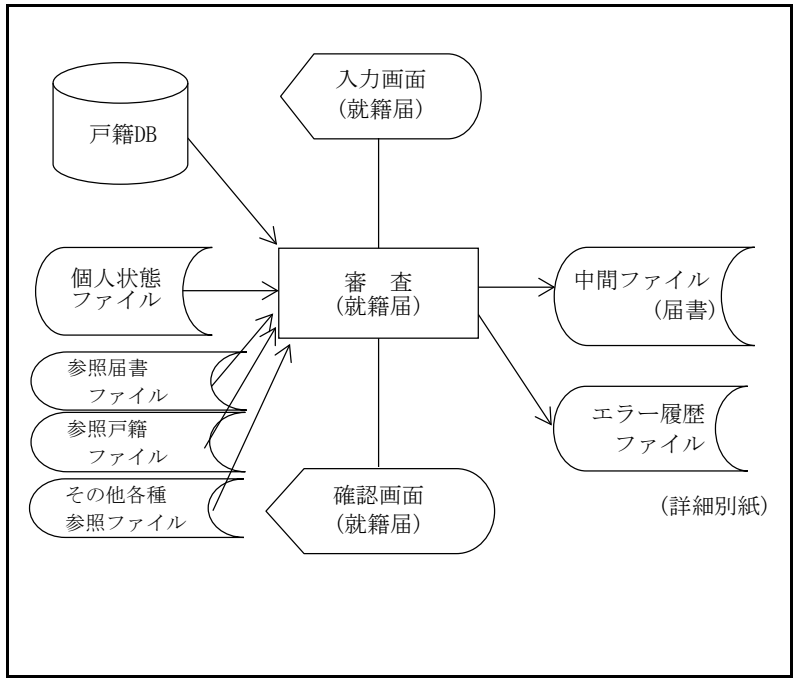
・就籍届を行う事件本人の各項目を入力する。

3.その他

添付書類
・家庭裁判所からの就籍許可審判書の謄本(戸38Ⅱ)又は確定判決(審判)による判決(審判)書の謄本及び判決(審判)確定証明書(戸111)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)就籍届の内容を入力する
(2)就籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)就籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)就籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(就籍届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)就籍人の年齢計算について
　受領日を基準日として計算する。
(2)参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
　参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(15-1)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(15-2)画像情報を表示する							(15-3)同画面を編集する		
	NO	(15-4)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(就籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	就籍人カナ氏名	○	カナ				
11	就籍人漢字氏名	○	漢字				
12	就籍人住所		漢字				住基8、9Ⅱ
13	就籍人世帯主		漢字				住基8、9Ⅱ
14	就籍人本籍	○	漢字				
15	就籍人筆頭者	○	漢字				
16	就籍人父の氏名		漢字				
17	就籍人母の氏名		漢字				
18	就籍人生年月日	○	数字				
19	就籍人戸籍変動区分	○	英数	(1:新戸籍編製、2:父母の現在戸籍に入る、3:配偶者の戸籍に入る)であること			
20	就籍人住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	就籍人裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	就籍人父母続柄	○	英数	(11:長男～29:十九男、31:長女～49:十九女)であること			
23	就籍人就籍原因		英数	(スペース:家庭裁判断の許可、1:国籍存在確認の審判確定、2:親子関係存在確認の審判確定)であること			
24	届出人資格	○	英数	(098:事件本人、110:未成年後見人、029:親権代行者、			戸110 I

データチェック(単体表)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表				入力画面(就籍届)					
No	項目名	必須	属性	内容 016:親権者父、017:親権者母)であること		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
25	届出人氏名		漢字						

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(就籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≠ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
12	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
13	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ≧ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
15	(No.24)届出人資格 ＝ 098の時、(No.25)届出人氏名 ＝ スペースであること			
16	(No.24)届出人資格 ≠ 098の時、(No.25)届出人氏名 ≠ スペースであること			
17	(No.11)就籍人漢字氏名の氏 ＝ (No.15)就籍人筆頭者の氏であること			
18	(No.12)就籍人住所 ＝ スペースの時、(No.13)就籍人世帯主 ＝ スペースであること			
19	(No.13)就籍人世帯主 ≠ スペースの時、(No.12)就籍人住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	審査(就籍届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/			
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ	/			
	NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ		/			
(0-7)就籍人漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)			/			R2.1(就籍20)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する			(0-9)本紙へ		R2.1(就籍20)
	YES	(0-10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-12)本紙へ		不受理 R2.1(就籍20)
	NO	(0-11)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(就籍20)
NO	(0-13)→(1)へ		/			R2.1(就籍20)
(1)就籍人戸籍変動区分(1:新戸籍編製、その他)			/			
1	(2)就籍人漢字氏名と就籍人筆頭者は同じである(YES,NO)		/			
	YES	(3)→(10)	/			
	NO	(4)エラーメッセージ 「氏名と筆頭者が一致していません。」を表示する		(5)本紙へ		
その他	(6)就籍人漢字氏名の氏と就籍人筆頭者の氏は同じである(YES,NO)		/			
	YES	(7)→(10)	/			
	NO	(8)エラーメッセージ 「氏名と筆頭者が一致していません。」を表示する		(9)本紙へ		
(10)就籍人生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)			/			戸32
YES	(11)届出人資格(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/			
	110	(12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				
		YES (12-2)→(19)	/			
		NO (12-3)→	/			不受理
	098	(12)→(19)	/	(13)本紙へ		
	その他	(14)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する				
NO	(15)届出人資格(098:事件本人、その他)		/			
	098	(16)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する		(17)本紙へ		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)							
処理名	3.0 審査						備考	
		「届出人資格に誤りがあります。」を表示する						
	その他	(18)→(19)		/				
(19)就籍人裁判確定日 + 10日 > 受領日　である				/			戸110、戸111	
YES	(20)→				(21)本紙へ			
NO	(22)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

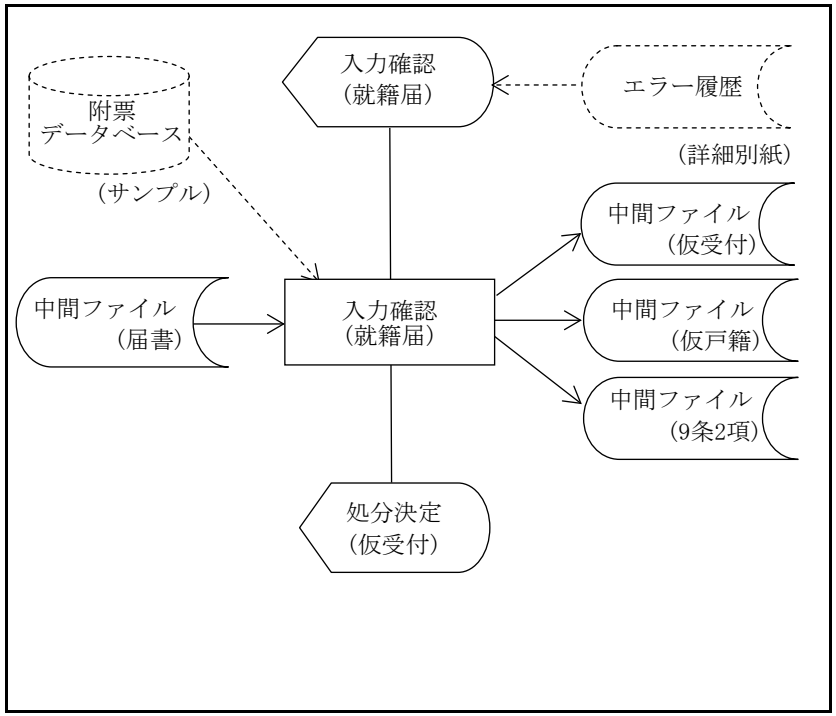
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		就籍届入力画面	受領No				
	選択事件コード							34:就籍届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ＝ 1、2、3の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人 かつ 新戸籍編製以外の場合 筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							本籍人の時、転籍者の戸籍番号をｾｯﾄ
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	審査(就籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名		就籍届入力画面	就籍人カナ氏名				
	漢字氏名			就籍人漢字氏名				
	住所コード			就籍人住所				
	住所							
	生年月日			就籍人生年月日				
	世帯主			就籍人世帯主				
	本籍コード			就籍人本籍				
	本籍							
	筆頭者カナ氏名							
	筆頭者			就籍人筆頭者				
	父の氏名			就籍人父の氏名				
	母の氏名			就籍人母の氏名				
	父母続柄コード			就籍人父母続柄				
	父母続柄					有		
	審判日			就籍人裁判確定日				
	住定日			就籍人住定日				
	戸籍変動区分コード			就籍人戸籍変動区分				
	就籍原因コード			就籍人就籍原因				
	届出人資格コード			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(就籍届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 身分事項(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年2月25日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	[4.0]	/				
		(7)身分事項の編集	[4.1]	/				
	NO	→		/				
	(8)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/				
	YES	(9)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	[5.0]		(10)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(11)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(12)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(13)審査(就籍届)に制御を渡す			
PF11	→				(14)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(15)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(16)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	1.0　確認画面(就籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
就籍届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	就籍人カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	就籍人漢字氏名			漢字氏名				
	就籍人住所			住所コード		有		
				住所				
	就籍人生年月日			生年月日		有		
	就籍人世帯主			世帯主				
	就籍人本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	就籍人筆頭者			筆頭者				
	就籍人父の氏名			父の氏名				
	就籍人母の氏名			母の氏名				
	就籍人父母続柄			父母続柄コード				
	就籍人父母続柄名称			父母続柄				
	就籍人裁判確定日			審判日		有		
	就籍人住定日			住定日		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	1.0　確認画面(就籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	就籍人戸籍変動区分			戸籍変動区分コード		有		
	就籍人戸籍変動区分名称							
	就籍人就籍原因			就籍原因コード		有		
	就籍人就籍原因名称							
	届出人資格			届出人資格コード		有		
	届出人資格名称							
	届出人氏名			届出人氏名				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分		新本籍		戸籍の変動	
	配偶者に入籍 父母もしくは現在の戸籍に入る	新戸籍編製	管内	管外	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1
1	○		○			○4.1
2	○			○		
3		○	○		○4.1	
4		○		○		

*1:就籍人の筆頭者区分の設定条件
・戸籍変動区分 ＝ 1(新戸籍編製)のとき、1(筆頭者)を設定
・戸籍変動区分 ≠ 1(新戸籍編製)のとき、0(筆頭者)を設定
*2:就籍人の配偶者区分の設定条件
・戸籍変動区分 ＝ 1(新戸籍編製)のとき、0(未)を設定
・戸籍変動区分 ＝ 2(父母の現在の戸籍に入る)のとき、0(未)を設定
・戸籍変動区分 ＝ 3(配偶者の戸籍に入る)のとき、
就籍人父母続柄 ＝ 男～十九男(男属性)の場合、1(夫)を設定
就籍人父母続柄 ＝ 女～十九女(女属性)の場合、2(妻)を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領No				
	出張所番号			支所No				
	受付事件コード							3401(就籍)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースのとき、送付日 送付日 ＝ スペースのとき、受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届書」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格コード				届出人資格 ＝ 098のとき移送しない
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							46:就籍者を設定
	届出人区分							届出人資格コード ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							本箱が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0:受理分　の場合 1:未到着　を設定 上記以外は0:不要　を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	4.1　就籍者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								3401:「就籍」を設定
	記録コード								3401:「就籍者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				審判日				
	就籍	就籍許可の裁判発効日							
		就籍許可の裁判確定日			審判日				就籍原因コードの内容で審判日を何れかの項目に設定する 就籍原因コード ＝ スペース:就籍許可の裁判確定日 ＝ 1:国籍存在確認の裁判確定日 ＝ 2:親子関係存在確認の裁判確定日
		国籍存在確認の裁判確定日							
		親子関係存在確認の裁判確定日							
	届出	届出日			受領日				就籍原因 ＝ スペースの場合、届出日に受領日を移送 上記以外は、就籍届出日に移送
		就籍届出日							
		届出人 資格			届出人資格コード				届出人資格コード＝098のときは移送しない　上記以外は、*1を参照 届出人資格コード ＝ 029、110のとき、届出人氏名を移送する
		資格名称							
		氏名			届出人氏名				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

*1:届出人資格の編集内容

データ編集表		作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	入力確認(就籍届)						
処理名	4.1　就籍者(入籍)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

4.1:届出人資格の編集内容

届出人資格(届書)	資格名称(身分事項)
016(親権者父)	親権者父
017(親権者母)	親権者母
029(親権代行者)	親権を行う者
110(未成年後見人)	未成年後見人

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	5.0　9条2項(就籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							34(就籍届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母続柄				
	旧父母との続柄			父母続柄				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者							
	旧筆頭者							
	住所コード			住所コード				
	往所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

第7.2.(5)「異動」処理

34.氏の振り仮名の届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)			新規作成

システム処理の概要説明		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)						

1.氏の振り仮名の届業務処理範囲外の処理

(1)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(2)複数の未成年後見人から届出がされた場合

(3)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

(4)筆頭者が名未定である場合

2.氏の振り仮名の届入力画面の意義

(1)その1画面:記録する氏の振り仮名、記録対象となる戸籍の筆頭者、配偶者及び届出人の各項目を入力する。

(2)その2画面:記録対象となる戸籍の在籍者の各項目を入力する。

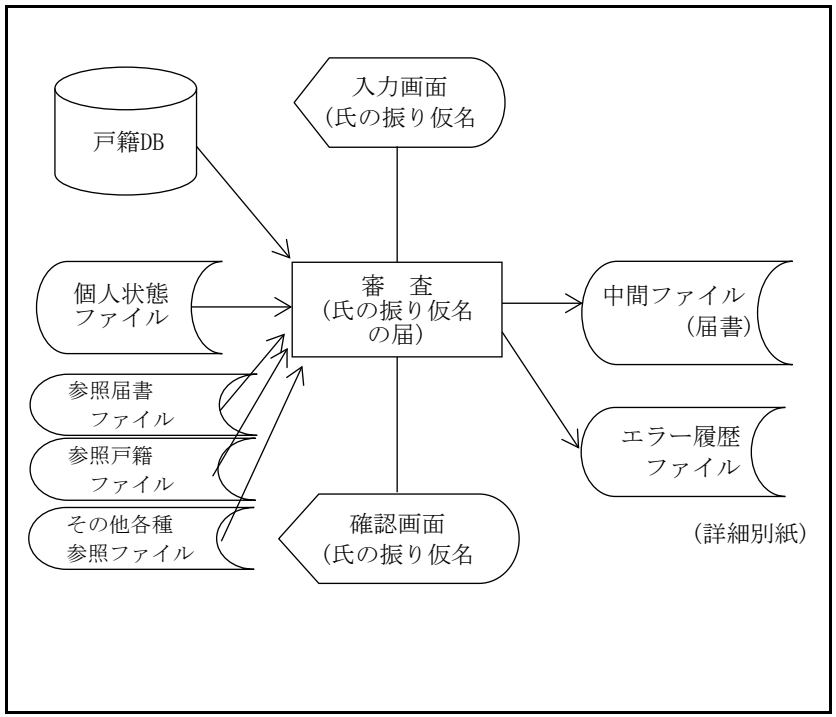
3.その他

(1)除籍になっている者の氏名DB中の振り仮名の氏(カナ氏名を含む)は変更しない。

(2)構成員が名未定の者については、氏の振り仮名を記録する。※氏名DB中の氏名及びカナ氏名の氏の記録がされているため。

システム環境仕様書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)氏の振り仮名の届の内容を入力する
(2)氏の振り仮名の届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)氏の振り仮名の届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)氏の振り仮名の届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(氏の振り仮名の届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・未成年者の年齢計算について
年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)
処理名	0.0　本紙

											備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する									/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、 届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届 書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)									/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)　[1.0]								/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)　[2.0]							/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする						/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)　[3.0]						/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力　[4.0]						(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)					/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する					(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する						メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→									(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→									(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)								/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(氏の振り仮名の届)を編集する								(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)								/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(氏の振り仮名の届)を編集する								(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する									
PF9	(24)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)								/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(25)画像情報を表示する								(26)同画面を編集する	
	NO	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									
PF10	(28)画面の入力項目の入力禁止を解除する										入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(29)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する										審査エラー発生時のみ有効
PF12	(30)入力画面を初期化する										
その他	(31)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の振り仮名の届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	筆頭者	○	漢字				
12	氏の振り仮名	○	漢字				
13	筆頭者氏名	○	漢字				
14	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	筆頭者個人除区分	○	数字	(0:在籍者、1:除籍者、2:戸籍消除者、3:消除者、4:除籍者及び消除者)であること ※画面表示は、0:在籍者　0以外:除籍者となる			
16	筆頭者配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3;生存配偶者)であること			
17	筆頭者住所		漢字				
18	配偶者外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
19	配偶者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
21	配偶者氏名		漢字				
22	配偶者住所		漢字				
23	届出人資格1		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
24	届出人氏名1		漢字				

データチェック（単体表）				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表				入力画面(氏の振り仮名の届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	届出人資格2		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、 017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母) であること			
26	届出人氏名2		漢字				
27	在籍者人数		数字				
28	在籍者n氏名		漢字				
29	在籍者n生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	在籍者n本人届出区分		数字	(0:届出人以外、1:本人届出、2:法定代理人)であること			
31	在籍者n住所		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の振り仮名の届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.10)本籍 ＝ 本籍地であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.10)本籍 ≠ 本籍地であること			
13	(No.11)筆頭者　＝　(No.13)筆頭者氏名であること			
14	(No.12)氏の振り仮名　の入力文字の間に空白が含まれていないこと			
15	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (No.16)筆頭者配偶者区分 ＝ 0(未婚)　又は　3(生存配偶者)の時、 (No.18)配偶者外人区分～(No.22)配偶者住所 ＝ スペースであること			
16	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (No.16)筆頭者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.18)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.20)配偶者配偶者区分 ＝2(妻)であること			
17	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (No.16)筆頭者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.18)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.20)配偶者配偶者区分 ＝1(夫)であること			
18	(No.15)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)の時、 (No.16)筆頭者配偶者区分 ＝ 0(未婚)であること			
19	(No.15)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)　かつ　(No.18)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.20)配偶者配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)であること			
20	(No.15)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者以外)の時、(No.17)筆頭者住所 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の振り仮名の届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
21	(No.18)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.19)配偶者配偶者生年月日～(No.21)配偶者氏名 ≠ スペースであること			
22	(No.18)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.19)配偶者配偶者生年月日～(No.22)配偶者住所 ＝ スペースであること			
23	(No.27)在籍者人数 ＝ 0　又は　スペースの時、 (No.28)在籍者n氏名～(No.31)在籍者n住所 ＝ スペースであること			
24	(No.27)在籍者人数 ＞ 1の時、 (No.28)在籍者n氏名～(No.30)在籍者n本人届出区分 ≠ スペースであること			
25	(No.27)在籍者人数 ＞ 1の時、 (No.30)在籍者n本人届出区分　＝　1:本人届出　又は　2:法定代理人の者は 0人　又は　1人であること			本人届出は1人である
26	(No.30)在籍者n本人届出区分(全員) ＝ 0(届出人以外)　又は　スペースの時、 (No.23)届出人資格1 ≠ スペースであること			
27	(No.30)在籍者n本人届出区分 ＝ 1(本人届出)がいる時、 (No.23)届出人資格1 ＝ スペースであること			
28	(No.30)在籍者n本人届出区分 ＝ 2(法定代理人)がいる時、 (No.23)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　017(親権者母)　又は　019(親権者養父) 又は　020(親権者養母)　又は　110(未成年後見人)であること			
29	(No.23)届出人資格1　＝ スペースの時、 (No.24)届出人氏名1～(No.25)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
30	(No.15)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)の時、 (No.23)届出人資格1 ≠ 008(筆頭者)　かつ　(No.25)届出人資格2 ≠ 008(筆頭者)であること			
31	(No.18)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)　又は　スペースの時、 (No.23)届出人資格1 ≠ 009(配偶者)　かつ　(No.25)届出人資格2 ≠ 009(配偶者)であること			
32	(No.23)届出人資格1 ＝ 008(筆頭者)　又は　009(配偶者)の時、 (No.24)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
33	(No.23)届出人資格1　＝ 016(親権者父)　又は　017(親権者母)　又は　019(親権者養父) 又は　020(親権者養母)　又は　110(未成年後見人)の時、 (No.24)届出人氏名1 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(氏の振り仮名の届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
34	(No.23)届出人資格1 ＝ 008(筆頭者)の時、 (No.25)届出人資格2 ＝ 009(配偶者)　又は　スペースであること			
35	(No.23)届出人資格1 ＝ 009(配偶者)の時、 (No.25)届出人資格2 ＝ 008(筆頭者)　又は　スペースであること			
36	(No.23)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)の時、 (No.25)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は　スペースであること			
37	(No.23)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)の時、 (No.25)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は　スペースであること			
38	(No.23)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.25)届出人資格2 ＝ スペースであること			
39	(No.25)届出人資格2 ＝ 008:筆頭者　又は　009:配偶者　又は　スペースの時、 (No.26)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
40	(No.25)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　017(親権者母)　又は　019(親権者養父) 又は　020(親権者養母)の時、 (No.26)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)						
処理名	3.0 審査					備考	
(1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/				
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する			(3)本紙へ			
	YES (4)→(7)へ		/				
	NO →			(5)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(6)→(7)へ		/				
(7)筆頭者氏名の名が未入力(YES,NO)			/				
YES	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(9)本紙へ			
	YES (10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					不受理	
	NO →					画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(11)→(12)へ		/				
(12)在籍者n氏名の名が未入力(YES,NO)			/				
YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(14)本紙へ			
	YES (15)→(18)へ		/			名未定のまま処理を進める	
	NO →			(16)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(17)→(18)へ		/				
(18)本非区分 ＝ 1:本籍 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)			/			在外送付区分=4(連携情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する	
YES	(19)戸籍特定ファイルの「氏の振り仮名」に氏の振り仮名の記録がある(YES,NO)		/				
	YES (20)エラーメッセージ 「既に氏の振り仮名が記録されています。」を表示する			(21)本紙へ		不受理	
	NO (22)→(23)へ		/				
NO							

要件定義ワークシート			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(23)筆頭者個人除区分　＝　0:在籍者　かつ　届出人資格1　＝　009:配偶者である(YES,NO)				/				
YES	(24)エラーメッセージ 「上位届書順位者が在籍者です。下位届書順位者の届出はできません。」を表示する				(25)本紙へ		不受理 附則第6条第3号	
NO	(26)→(27)へ			/				
(27)筆頭者個人除区分　＝　0:在籍者　かつ 在籍者n本人届出区分　＝　1:本人届出　又は　2:法定代理人である(YES,NO)				/				
YES	(28)エラーメッセージ 「上位届書順位者が在籍者です。下位届書順位者の届出はできません。」を表示する				(29)本紙へ		不受理 附則第6条第3号	
NO	(29)→(30)へ			/				
(30)配偶者外人区分　＝　0:日本人　かつ 在籍者n本人届出区分　＝　1:本人届出　又は　2:法定代理人である(YES,NO)				/				
YES	(31)エラーメッセージ 「上位届書順位者が在籍者です。下位届書順位者の届出はできません。」を表示する				(32)本紙へ		不受理 附則第6条第3号	
NO	(33)→(34)へ			/				
(34)届出人資格区分1(スペース、008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母 019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)				/				
スペース	(36)在籍者n生年月日+18年(18歳未満)　＞　受領日(YES,NO)			/				
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の届出ですがよろしいですか。」を表示する			(38)本紙へ		報告的届出であるため、未成年者(18歳未満含む)でも本人の意思が確認できれば届出は可能	
		YES	→				在籍者nの届出	
		NO	→				不受理	
	NO	→					在籍者nの届出	

要件定義ワークシート				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)								
処理名	3.0 審査							備考	
008	(39)届出資格区分2(スペース、009:配偶者)				/				
	スペース	(40)筆頭者の生年月日+18年(18歳未満)　＞　受領日(YES,NO)			/				
		YES	(41)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の届出ですがよろしいですか。」を表示する			(42)本紙へ		報告的届出であるため、未成年者(18歳未満含む)でも本人の意思が確認できれば届出は可能	
			YES	→				筆頭者の届出	
			NO	→				不受理	
		NO	→					筆頭者の届出	
	009	(43)メッセージ　「届出人は１人（筆頭者）です。」を表示する						審査続行(対応後(1)へ)	
009	(44)届出資格区分2(スペース、008:筆頭者)				/				
	スペース	→				(45)本紙へ		配偶者又は生存配偶者の届出	
	008	(46)メッセージ　「届出人は１人（筆頭者）です。」を表示する						審査続行(対応後(1)へ)	
上記以外	(47)在籍者n本人届出区分　＝　2:法定代理人(YES,NO)				/				
	YES	(48)在籍者n生年月日+18年(18歳以上)　≦　受領日(YES,NO)			/				
		YES	(49)エラーメッセージ 「成年者であるため、法定代理人の届出はできません。 間違いなければ、審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(50)本紙へ		不受理	
		NO	(51)審査(届出人資格:法定代理人)処理	[3.1]				在籍者nの法定代理人の届出	
	NO	(52)筆頭者生年月日+18年(18歳以上)　≦　受領日(YES,NO)			/				
		YES	(53)エラーメッセージ 「成年者であるため、法定代理人の届出はできません。 間違いなければ、審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(54)本紙へ		不受理	
		NO	(55)審査(届出人資格:法定代理人)処理	[3.1]				筆頭者の法定代理人の届出	

要件定義ワークシート				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)								
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)							備考	
(1)届出人資格1(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)					/				
016,019	(2)届出人資格2(スペース、017:親権者母、020:親権者養母)				/				
	スペース	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(4)本紙へ			
		YES	→			(5)3.0審査へ			
		NO	→					不受理	
	017,020	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				(7)本紙へ			
		YES	→			(8)3.0審査へ			
		NO	→					不受理	
017,020	(9)届出人資格2(スペース、016:親権者父、019:親権者養父)				/				
	スペース	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(11)本紙へ			
		YES	→			(12)3.0審査へ			
		NO	→					不受理	
	016,019	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				(14)本紙へ			
		YES	→			(15)3.0審査へ			
		NO	→					不受理	
110	(16)本非区分=1(本籍) 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)				/			在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する	
	YES	(17)在籍者n本人届出区分 ＝ 2:法定代理人である(YES,NO)			/				
		YES	(18)在籍者nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/				
			YES	→		(19)3.0審査へ			
			NO	(20)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(21)本紙へ		不受理	
		NO	(22)筆頭者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/				
			YES	→		(23)3.0審査へ			
			NO	(24)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(25)本紙へ		不受理	
	NO	→				(26)3.0審査へ			

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		氏の振り仮名の届入力画面	受領No				
	選択事件コード							45を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0,4の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

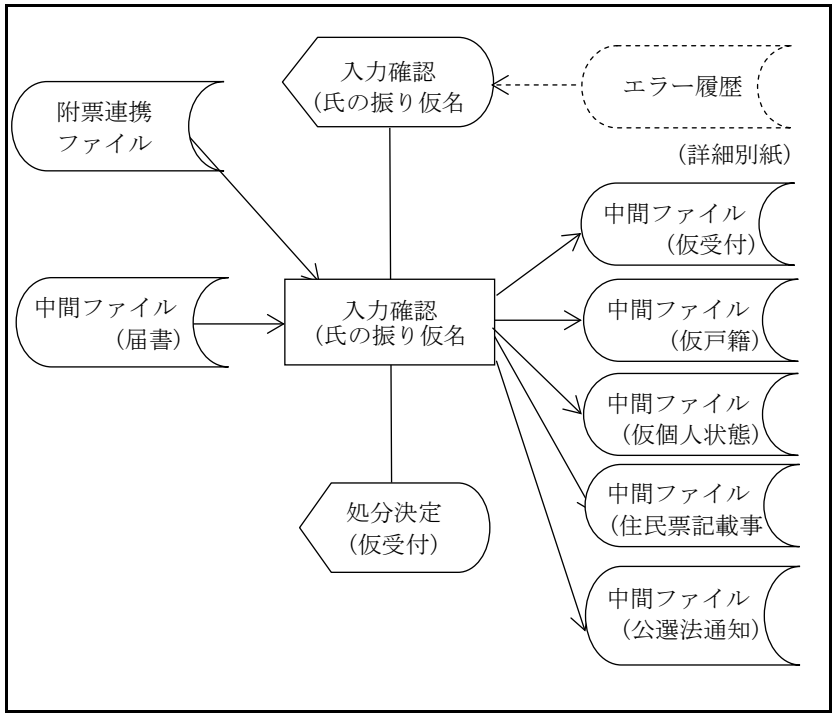
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		氏の振り仮名の届入力画面	本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	氏の振り仮名			氏の振り仮名				
	筆頭者個人番号							本籍人の時、筆頭者の個人番号
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者配偶者区分			筆頭者配偶者区分				
	筆頭者住所コード			筆頭者住所				
	筆頭者住所							
	配偶者個人番号							本籍人の時、配偶者の個人番号
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	配偶者住所コード			配偶者住所				
	配偶者住所							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	在籍者人数			在籍者人数				
	在籍者n個人番号							本籍人の場合、在籍者の個人番号
	在籍者n氏名			在籍者n氏名				構成員の明細については、構成員人数分出力する。
	在籍者n生年月日			在籍者n生年月日				
	在籍者n本人届出区分			在籍者n本人届出区分				
	在籍者n住所コード			在籍者n住所				
	在籍者n住所							

システム環境仕様書		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(5)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(6)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 戸籍特定
  - 3.2 戸籍事項(一部記録)
  - 3.3 氏名
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
  - 5.1 筆頭者
  - 5.2 配偶者
  - 5.3 他の在籍者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/公選法通知)
  - 6.1 筆頭者
  - 6.2 配偶者
  - 6.3 他の在籍者

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)
処理名	0.0 本紙

								備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]						/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/		
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付・氏の振り仮名の届)を編集・出力する [2.0]					/		
	(4)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/		
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(戸籍特定) [3.1]				/		
		(6)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(戸籍事項・一部記録) [3.2]				/		
		(7)在籍者である筆頭者、配偶者、他の在籍者全員について下記の処理を行う				/		
			(8)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(氏名) [3.3]			/		
			(9)中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する [4.0]			/		
			(10)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する			/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する
			(11)当該在籍者は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)			/		
			YES	(12)当該在籍者について中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する	筆頭者 [6.1]	/		
					配偶者 [6.2]	/		
					他の在籍者 [6.3]	/		
			NO	(13)→(14)へ		/		
	NO							
	(14)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/		
	YES	(15)在籍している筆頭者、配偶者、他の在籍者全員について下記の処理を行う				/		
		(16)当該在籍者について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集・出力する		筆頭者 [5.1]			(17)処分決定に制御を渡す	住所＝スペースのとき作成は任意設計
				配偶者 [5.2]				
				他の在籍者 [5.3]				
	NO	→						
PF1	→						(18)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(19)届出選択に制御を渡す	
PF5	→						(20)審査(氏の振り仮名の届)に制御を渡す	
PF7	(21)前ページがあるか(ある、なし)					/		
	ある	(22)前ページ分の「氏の振り仮名の届」画面を編集					(23)同画面を編集する	
	なし	(24)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						

要件定義ワークシート				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
PF8	(25)次ページがあるか(ある、なし)				/				
	ある	(26)次ページ分の「氏の振り仮名の届」画面を編集				(27)同画面を編集する			
	なし	(28)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する							
PF11	→　(29)エラー履歴表示に制御を渡す								
その他	(30)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する					(31)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の振り仮名の届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
氏の振り仮名の届入力画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書)共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル(届書)事件別内容	筆頭者本籍コード		有		
				筆頭者本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏の振り仮名			氏の振り仮名				
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者個人除区分名称					有		
	筆頭者配偶者区分			筆頭者配偶者区分				
	筆頭者配偶者区分名称					有		
	筆頭者住所			筆頭者住所コード		有		
				筆頭者住所				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の振り仮名の届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者外人区分名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	在籍者人数			在籍者人数				
	在籍者n番号							1から順に付番する。
	在籍者n氏名			在籍者n氏名				在籍者の明細については、在籍者人数分含まれている。
	在籍者n生年月日			在籍者n生年月日				
	在籍者n本人届出区分			在籍者n本人届出区分				
	在籍者n本人届出区分名称					有		
	在籍者n住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･氏の振り仮名の届)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							4501(氏の振り仮名の記録)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日			受領日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「0:日本人のみ」を移送
	証書提出日							
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格1			届出人資格1				届出人資格 ＝ スペース、008、009の場合は未設定(資格1、2及び氏名1、2) 上記以外の場合は、資格および氏名を移送する。
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･氏の振り仮名の届)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							筆頭者の場合、44(筆頭者) 配偶者の場合、45(配偶者) 在籍者nの場合、62(子)
	届出人区分							届出人資格1、2が008 又は 009 又はスペースの場合1(届出人)を設定 上記以外は、0(届出人以外)を設定
	カナ氏名							
	振り仮名							
	漢字氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者氏名移送 45の場合、配偶者氏名移送 62の場合、在籍者n氏名移送
	生年月日							事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送 62の場合、在籍者n生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2					事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		

※事件本人ファイルは届出人だけで1件作成する。

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	3.1　戸籍特定　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							空欄は検索した戸籍特定情報を設定
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	筆頭者振り仮名		中間ファイル(届書)	氏の振り仮名				筆頭者振り仮名に名の振り仮名が記録済の場合、「氏の振り仮名△(空白1文字)+筆頭者振り仮名の名」を設定 上記以外(筆頭者除籍者含む)の場合、左記編集で設定
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	3.2　戸籍事項(一部記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								「0」を設定
	タイトルコード								4501:「氏の変更」を設定
	記録コード								4501:「氏の振り仮名の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏の変更	届出日			受領日				
	届出人(1)	資格			届出人資格1				届出人資格1、2の組合せにより設定 詳細編集内容は、次頁「届出人資格･氏名の編集内容」参照
		資格名称			届出人資格1名称				
		氏名			届出人氏名1				
	届出人(2)	資格			届出人資格2				
		資格名称			届出人資格2名称				
		氏名			届出人氏名2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				発送元 ≠ スペースのとき移送
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ スペースのとき移送
	特記	特記事項							「氏の振り仮名届出」を設定

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	3.2　戸籍事項(一部記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	(未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)
未入力							
008(筆頭者)							
009(配偶者)							
016(親権者父)	*1,2				届出人資格(1)を「親権者父母」で設定*2		*1,2
017(親権者母)	*1,2			届出人資格(1)を「親権者父母」で設定*2		*1,2	
019(親権者養父)	*1,2				*1,2		*1,2
020(親権者養母)	*1,2			*1,2		*1,2	
110(未成年後見人)	*1,2						

*1:届出人資格(1)、(2)にそれぞれ届出人資格1、2の資格名称を設定する
*2:中間ファイル(届書)事件別ファイルの「在籍者n本人届出区分」に2(法定代理人)が設定されている場合
届出人資格名称の前に中間ファイル(届書)事件別ファイルの「在籍者n氏名」を付加する

(2)届出人氏名
届出人資格1、2＝未入力(子)の場合は、在籍者n氏名を届出人氏名1に移送する。
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

＜編集事例＞
①筆頭者の法定代理人(親権者父及び親権者母)が届出人の場合
【届出人】親権者父母
②在籍者n(子：甲野義太郎)の法定代理人(親権者養父及び親権者養母)が届出人の場合
【届出人】甲野義太郎親権者養父甲野一郎
【届出人】甲野義太郎親権者養母甲野春子
③在籍者n(子：甲野義太郎)が届出人の場合
【届出人】甲野義太郎

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	3.3　氏名　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							空欄は検索した氏名情報を設定
	行番号							
	カナ氏名		中間ファイル(届書)					カナ氏名の氏の変更は任意設計
	振り仮名			氏の振り仮名				振り仮名に名の振り仮名が記録済の場合、「氏の振り仮名△(空白1文字)+振り仮名の名」を設定 上記以外の場合、左記編集で設定
	漢字氏名							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分			0				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない
	名の振り仮名職権記録区分			9				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	5.1　住民票記載事項通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							45:氏の振り仮名の届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			氏の振り仮名				
	旧振り仮名							
	新氏名			筆頭者氏名				
	旧氏名			筆頭者氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	5.1　住民票記載事項通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	5.2　住民票記載事項通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							45:氏の振り仮名の届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			氏の振り仮名				
	旧振り仮名							
	新氏名			配偶者氏名				
	旧氏名			配偶者氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			配偶者住所コード				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	5.2　住民票記載事項通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	5.3　住民票記載事項通知(他の在籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							45:氏の振り仮名の届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			在籍者n個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			氏の振り仮名				
	旧振り仮名							
	新氏名			在籍者n氏名				
	旧氏名			在籍者n氏名				
	新生年月日			在籍者n生年月日				
	旧生年月日			在籍者n生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			在籍者n住所コード				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	5.3　住民票記載事項通知(他の在籍者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			在籍者n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)								
処理名	6.1　公選法通知(筆頭者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					45:氏の振り仮名の届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新振り仮名			氏の振り仮名					
	旧振り仮名								
	新氏名			筆頭者氏名					
	旧氏名			筆頭者氏名					
	新生年月日			筆頭者生年月日					
	旧生年月日			筆頭者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			本籍コード					
	新本籍			本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			筆頭者					
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード			筆頭者住所コード					
	住所			筆頭者住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)								
処理名	6.2　公選法通知(配偶者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					45:氏の振り仮名の届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新振り仮名			氏の振り仮名					
	旧振り仮名								
	新氏名			配偶者氏名					
	旧氏名			配偶者氏名					
	新生年月日			配偶者生年月日					
	旧生年月日			配偶者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			本籍コード					
	新本籍			本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			筆頭者					
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード			配偶者住所コード					
	住所			配偶者住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の届)							
処理名	6.3　公選法通知(他の在籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					45:氏の振り仮名の届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			在籍者n個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			氏の振り仮名				
	旧振り仮名							
	新氏名			在籍者n氏名				
	旧氏名			在籍者n氏名				
	新生年月日			在籍者n生年月日				
	旧生年月日			在籍者n生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			在籍者n住所コード				
	住所			在籍者n住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

35.名の振り仮名の届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)			新規作成

システム処理の概要説明		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)						

1.名の振り仮名の届業務処理範囲外の処理

(1)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(2)複数の未成年後見人から届出がされた場合

(3)複数人の処理において、法定代理人が異なる場合

(4)事件本人が名未定である場合

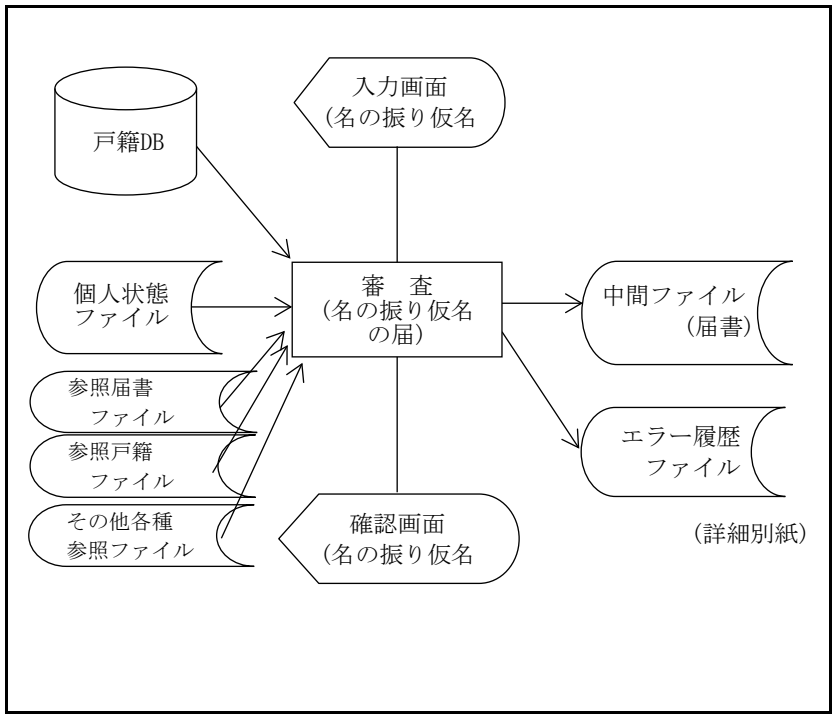
2.名の振り仮名の届入力画面の意義

(1)その1画面:戸籍の情報(本籍、筆頭者及び氏の振り仮名)及び記録対象となる戸籍の在籍者の各項目を入力する。

(2)その2画面:記録対象となる戸籍の在籍者及び届出人(法定代理人)の各項目を入力する。

システム環境仕様書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)名の振り仮名の届の内容を入力する
(2)名の振り仮名の届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)名の振り仮名の届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)名の振り仮名の届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(氏の振り仮名の届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・未成年者の年齢計算について
年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(名の振り仮名の届)
処理名	0.0　本紙

													備考
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する											/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)											/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]										/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]									/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする								/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]								/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]								(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)							/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する							(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する								メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する										
	NO												
PF1	→											(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→											(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(名の振り仮名の届)を編集する										(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する											
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(名の振り仮名の届)を編集する										(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する											
PF9	(24)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)										/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(25)画像情報を表示する										(26)同画面を編集する	
	NO	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する											
PF10	(28)画面の入力項目の入力禁止を解除する												入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(29)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する												審査エラー発生時のみ有効
PF12	(30)入力画面を初期化する												
その他	(31)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する												

データチェック（単体表）		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表	入力画面(名の振り仮名の届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	筆頭者	○	漢字				
12	氏の振り仮名		漢字				
13	記録者数	○	数字				
14	記録者n漢字名	○	漢字				
15	記録者n名の振り仮名	○	漢字				
16	記録者n生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	記録者n筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
18	記録者n本人届出区分	○	数字	(1:本人届出、2:法定代理人)であること			
19	記録者n住所		漢字				
20	届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
21	届出人氏名1		漢字				
22	届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)であること			
23	届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(名の振り仮名の届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(名の振り仮名の届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.10)本籍 ＝ 本籍地であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.10)本籍 ≠ 本籍地であること			
13	(No.13)記録者数の分、記録者nの入力があること			
14	(No.15)記録者n名の振り仮名　の入力文字の間に空白が含まれていないこと			
15	(No.17)記録者n筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)は1人又は0人であること			
16	(No.17)記録者n筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.11)筆頭者の名 ＝ (No.14)記録者n漢字名であること			
17	(No.18)記録者n本人届出区分 ＝ 2(法定代理人)の時、 (No.20)届出人資格1 ≠ スペースであること			
18	(No.18)記録者n本人届出区分(全員) ＝ 1(本人届出)の時、 (No.20)届出人資格1 ＝ スペースであること			
19	(No.20)届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.21)届出人氏名1～(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
20	(No.20)届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
21	(No.22)届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(名の振り仮名の届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
22	(No.22)届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
23	(No.20)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　または　019(親権者養父)の時、 (No.22)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　または　020(親権者養母)　または スペースであること			
24	(No.20)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　または　020(親権者養母)の時、 (No.22)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　または　019(親権者養父)　または スペースであること			
25	(No.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.22)届出人資格2 ＝ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(名の振り仮名の届)
処理名	3.0 審査

							備考
(1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する					(3)本紙へ	
	YES	(4)→(7)へ			/		
	NO	→				(5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(6)→(7)へ				/		
(7)本非区分 ＝ 1:本籍 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)					/		在外送付区分=4(連携情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する
YES	(8)記録者n個人除区分 ≠ 0:在籍者以外(YES,NO)				/		在籍者以外の者が1人でもいた場合
	YES	(9)エラーメッセージ 「在籍者でない者がいます。名の振り仮名の届出はできません。」を表示する				(10)本紙へ	不受理
	NO	(11)記録者nの氏名ファイルの「振り仮名」に名の振り仮名の記録がある(YES,NO)			/		
		YES	(12)エラーメッセージ 「既に名の振り仮名が記録されています。」を表示する			(13)本紙へ	不受理
		NO	(14)→(15)へ		/		
NO							
(15)記録者数分以下の処理を繰り返す					/		
	(16)記録者n本人届出区分 ＝ 1:本人届出(YES,NO)				/		
	YES	(17)記録者n生年月日+18年(18歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)			/		
		YES	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の届出ですがよろしいですか。」を表示する			(19)本紙へ	報告的届出であるため、未成年者(15歳未満含む)でも本人の意思が確認できれば届出は可能
			YES	→(15)へ	/		本人の届出
			NO	→		(20)本紙へ	不受理
		NO	→(15)へ		/		本人の届出
	NO	(21)記録者n生年月日+18年(18歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)			/		
		YES	(22)エラーメッセージ 「成年者であるため、法定代理人の届出はできません。 間違いなければ、審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(23)本紙へ	不受理
		NO	(24)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]		/		法定代理人の届出
→(15)へ					/		

要件定義ワークシート			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)						備考	
(1)届出人資格1(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)				/				
016,019	(2)届出人資格2(スペース、017:親権者母、020:親権者養母)			/				
	スペース	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)本紙へ			
		YES	→		(5)3.0審査へ			
		NO	→				不受理	
	017,020	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する			(7)本紙へ			
		YES	→		(8)3.0審査へ			
		NO	→				不受理	
017,020	(9)届出人資格2(スペース、016:親権者父、019:親権者養父)			/				
	スペース	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(11)本紙へ			
		YES	→		(12)3.0審査へ			
		NO	→				不受理	
	016,019	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する			(14)本紙へ			
		YES	→		(15)3.0審査へ			
		NO	→				不受理	
110	(16)本非区分=1(本籍) 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)			/			在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する	
	YES	(17)記録者nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/				
		YES	→		(18)3.0審査へ			
		NO	(19)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(20)本紙へ		不受理	
	NO	→			(21)3.0審査へ			

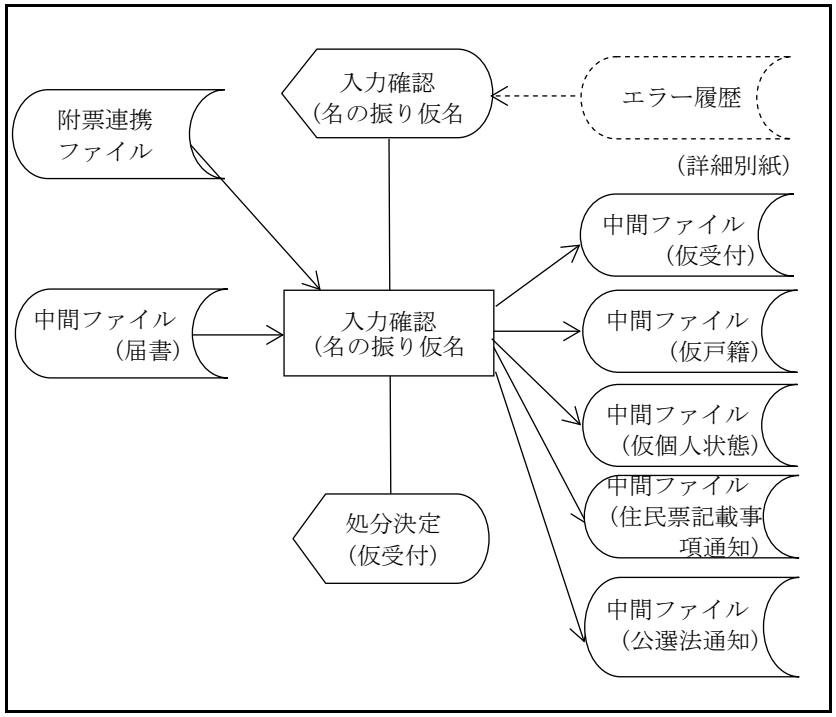
データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		名の振り仮名の届入力画面	受領No				
	選択事件コード							46を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0,4の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、記録者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。	
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定	
	届書排他区分							0:未、1:排他	
中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		名の振り仮名の届入力画面	本籍					
	本籍								
	筆頭者			筆頭者					
	氏の振り仮名			氏の振り仮名					
	記録者数			記録者数					
	記録者n個人番号							本籍人の時、記録者の個人番号	
	記録者n名			記録者n漢字名					
	記録者n名の振り仮名			記録者n名の振り仮名					
	記録者n生年月日			記録者n生年月日					
	記録者n筆頭者区分			記録者n筆頭者区分					
	記録者n本人届出区分			記録者n本人届出区分					
	記録者n住所コード			記録者n住所					
	記録者n住所								
	届出人資格1			届出人資格1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					
	届出人資格2			届出人資格2					
	届出人氏名2			届出人氏名2					

システム環境仕様書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(5)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(6)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 戸籍特定
  - 3.2 氏名
  - 3.3 身分事項(一部記録)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/公選法通知)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(名の振り仮名の届)
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]					/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/	
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付・名の振り仮名の届)を編集・出力する [2.0]				/	
	(4)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/	
	YES	(5)記録者n筆頭者区分＝1:筆頭者の者がいる(YES,NO)			/	
		YES	(6)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(戸籍特定) [3.1]		/	
		NO	(7)→(8)へ		/	
		(8)記録者nについて下記の処理を行う			/	
			(9)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(氏名) [3.2]		/	
			(10)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(身分事項・一部記録) [3.3]		/	
			(11)中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する [4.0]		/	
			(12)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する		/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する
			(13)記録者nは在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)		/	
			YES	(14)中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する [6.0]	/	
			NO	(15)→(16)へ	/	
	NO				/	
	(16)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/	
	YES	(17)記録者nについて中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集・出力する [5.0]				(18)処分決定に制御を渡す　住所＝スペースのとき作成は任意設計
	NO	→				
PF1	→					(19)業務選択に制御を渡す
PF2	→					(20)届出選択に制御を渡す
PF5	→					(21)審査(名の振り仮名の届)に制御を渡す
PF7	(22)前ページがあるか(ある、なし)				/	
	ある	(23)前ページ分の「名の振り仮名の届」画面を編集				(24)同画面を編集する
	なし	(25)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(26)次ページがあるか(ある、なし)				/	
	ある	(27)次ページ分の「名の振り仮名の届」画面を編集				(28)同画面を編集する
	なし	(29)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する				
PF11	→					(30)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(32)同画面を編集する

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	1.0　確認画面(名の振り仮名の届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
名の振り仮名の届入力画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏の振り仮名			氏の振り仮名				
	記録者数			記録者数				
	記録者n番号							1から順に付番する。
	記録者n漢字名			記録者n名				
	記録者n名の振り仮名			記録者n名の振り仮名				
	記録者n生年月日			記録者n生年月日				
	記録者n筆頭者区分			記録者n筆頭者区分				
	記録者n筆頭者区分名称					有		
	記録者n本人届出区分			記録者n本人届出区分				
	記録者n本人届出区分名称					有		

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	1.0　確認画面(名の振り仮名の届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	記録者n住所			記録者n住所コード		有		
				記録者n住所				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･名の振り仮名の届)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							4601(名の振り仮名の記録)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日			受領日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「0:日本人のみ」を移送
	証書提出日							
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)								
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･名の振り仮名の届)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍区分								
	届後本籍コード								
	届後本籍								
	届後戸籍の筆頭者								
	送達確認1							「0:不要」を移送	
	届書送付目録区分								
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							63(名の振り仮名の記録者)	
	届出人区分							本人届出区分=1:本人届出とき1を設定	
	カナ氏名								
	振り仮名								
	漢字氏名			筆頭者の氏+記録者n漢字名				氏と名の間に全角空白を設定	
	生年月日			記録者n生年月日					
	本籍コード			本籍コード					
	本籍			本籍					
	筆頭者			筆頭者					
	送達確認2					事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。			

※記録者n分受付ファイルを作成する。

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	3.1　戸籍特定　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							空欄は検索した戸籍特定情報を設定
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	筆頭者振り仮名		中間ファイル(届書)	氏の振り仮名+△(空白1文字)+記録者n名の振り仮名				氏の振り仮名が記録済の場合、左記編集で設定 上記以外の場合、「△(空白1文字)+記録者n名の振り仮名」を設定
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	3.2　氏名　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							空欄は検索した氏名情報を設定
	行番号							
	カナ氏名		中間ファイル(届書)					カナ氏名の名の変更は任意設計
	振り仮名			氏の振り仮名+△(空白1文字)+記録者n名の振り仮名				氏の振り仮名が記録済の場合、左記編集で設定 上記以外の場合、「△(空白1文字)+記録者n名の振り仮名」を設定
	漢字氏名							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	3.3　身分事項(一部記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								「0」を設定
	タイトルコード								4601:「名の変更」を設定
	記録コード								4601:「名の振り仮名の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	名の変更	届出日			受領日				
	届出人(1)	資格			届出人資格1				届出人資格1、2の組合せにより設定 詳細編集内容は、次頁「届出人資格･氏名の編集内容」参照
		資格名称			届出人資格1名称				
		氏名			届出人氏名1				
	届出人(2)	資格			届出人資格2				
		資格名称			届出人資格2名称				
		氏名			届出人氏名2				
	送付	通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
		送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
		受理者			発送元				発送元 ≠ スペースのとき移送
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ スペースのとき移送
	特記	特記事項							「名の振り仮名届出」を設定

データ編集表		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)						
処理名	3.3　身分事項(一部記録)　編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	未入力	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)
未入力					
016(親権者父)	*1		届出人資格(1)を「親権者父母」で設定		*1
017(親権者母)	*1	届出人資格(1)を「親権者父母」で設定		*1	
019(親権者養父)	*1		*1		*1
020(親権者養母)	*1	*1		*1	
110(未成年後見人)	*1				

*1:届出人資格(1)、(2)にそれぞれ届出人資格1、2の資格名称を設定する

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)								
処理名	4.0　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号					
	氏の振り仮名職権記録区分			9				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない	
	名の振り仮名職権記録区分			0					

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	5.0　住民票記載事項通知　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							46:名の振り仮名の届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			記録者n個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			記録者n名の振り仮名				
	旧振り仮名							
	新氏名			筆頭者の氏+記録者n漢字名				氏と名の間に全角空白を設定
	旧氏名			筆頭者の氏+記録者n漢字名				氏と名の間に全角空白を設定
	新生年月日			記録者n生年月日				
	旧生年月日			記録者n生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)							
処理名	5.0　住民票記載事項通知　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			記録者n住所コード				
	住所			記録者n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の届)								
処理名	6.0　公選法通知　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					46:名の振り仮名の届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			記録者n個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新振り仮名			記録者n名の振り仮名					
	旧振り仮名								
	新氏名			筆頭者の氏+記録者n漢字名					
	旧氏名			筆頭者の氏+記録者n漢字名				氏と名の間に全角空白を設定	
	新生年月日			記録者n生年月日					
	旧生年月日			記録者n生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			本籍コード					
	新本籍			本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			筆頭者					
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード			記録者n住所コード					
	住所			記録者n住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

36.氏の振り仮名の変更届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)			新規作成

システム処理の概要説明		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)						

1.氏の振り仮名の変更業務処理範囲外の処理

(1)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(2)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

(3)複数の未成年後見人から届出がされた場合

(4)名未定の者がいる場合

(5)筆頭者が在籍者以外で配偶者が夫または妻である場合

2.氏の振り仮名の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:氏の振り仮名の変更を行う当事者(筆頭者及び配偶者)及び届出人の各項目を入力する。

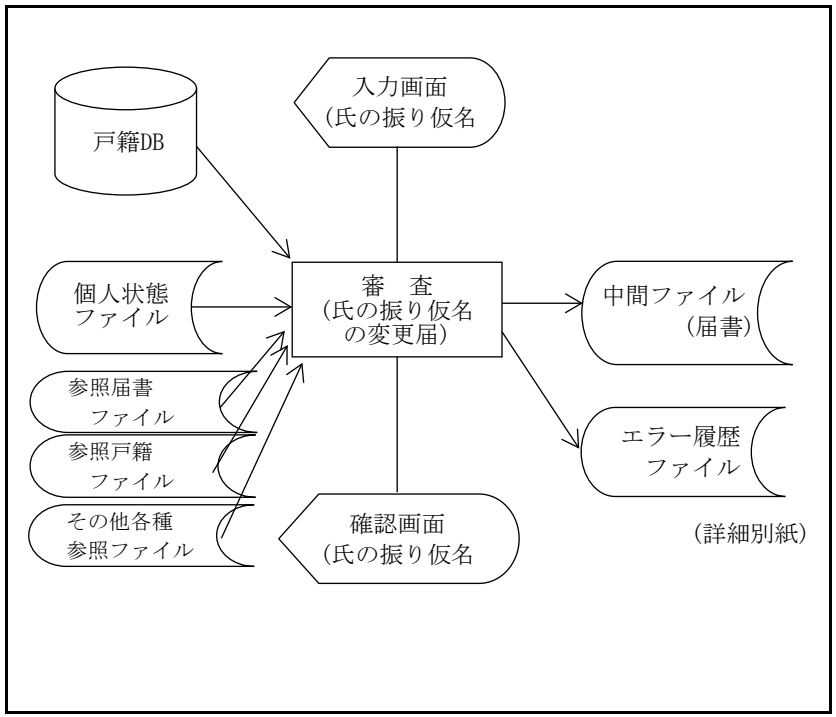
(2)その2画面:上記以外の構成員(在籍者)の各項目を入力する。

3.その他

(1)除籍になっている者の氏名DB中の振り仮名の氏(カナ氏名も含む)は変更しない。

システム環境仕様書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)氏の振り仮名の変更届の内容を入力する
(2)氏の振り仮名の変更届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)氏の振り仮名の変更届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)氏の振り仮名の変更届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(氏の振り仮名の変更届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・未成年者の年齢計算について
　年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。
・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)
処理名	0.0　本紙

										備考
(1)届書内容を画面入力する 　または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に 　取り込んで修正する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、 届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届 書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)								/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(氏の振り仮名の届)を編集する							(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する								
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(氏の振り仮名の届)を編集する							(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する								
PF9	(24)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)							/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする
	YES	(25)画像情報を表示する							(26)同画面を編集する	
	NO	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								
PF10	(28)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(29)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効
PF12	(30)入力画面を初期化する									
その他	(31)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の振り仮名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	筆頭者振り仮名	○	漢字				
12	筆頭者氏名	○	漢字				
13	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	筆頭者個人除区分	○	数字	(0:在籍者、1:除籍者、2:戸籍消除者、3:消除者、4:除籍者及び消除者)であること			
15	筆頭者配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3;生存配偶者)であること			
16	筆頭者住所		漢字				
17	配偶者外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
18	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	配偶者振り仮名		漢字				
21	配偶者氏名		漢字				
22	配偶者住所		漢字				
23	変更後氏の振り仮名	○	漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の振り仮名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	届出人資格1		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
25	届出人氏名1		漢字				
26	届出人資格2		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)であること			
27	届出人氏名2		漢字				
28	審判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	名義使用区分	○	数字	(0:未使用、1:夫、2;妻)であること			
30	氏職権記録区分	○	数字	(0:無、1:職権記録)であること			
31	在籍者人数	○	数字				
32	在籍者n振り仮名		漢字				
33	在籍者n氏名		漢字				
34	在籍者n生年月日		漢字				
35	在籍者n本人届出区分		漢字	(0:届出人以外、1:本人届出、2:法定代理人)であること			
36	在籍者n住所		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の振り仮名の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.28)審判確定日 ≠ スペースの時、(No.3)受領日 ≧ (No.28)審判確定日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
3	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は　＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は　＝ 3(在外公館の国内経由)　又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
10	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.10)本籍 ＝ 本籍地であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.10)本籍 ≠ 本籍地であること			
12	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペース　かつ　(No.28)審判確定日 ≠ スペースの時、 (No.9)郵送日 ≧ (No.28)審判確定日であること			
15	(No.14)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (No.15)筆頭者配偶者区分 ＝ 0(未婚)　又は　3(生存配偶者)の時、 (No.17)配偶者振り仮名～(No.22)配偶者住所 ＝ スペースであること			
16	(No.14)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (No.15)筆頭者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)配偶者配偶者区分 ＝2(妻)であること			
17	(No.14)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍者)　かつ (No.15)筆頭者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)配偶者配偶者区分 ＝1(夫)であること			
18	(No.14)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)の時、 (No.15)筆頭者配偶者区分 ＝ 0(未婚)　かつ　(No.19)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
19	(No.14)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)　かつ　(No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)配偶者配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)であること			
20	(No.14)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)の時、(No.16)筆頭者住所＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)					

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の振り仮名の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
21	(No.17)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.18)配偶者生年月日～(No.21)配偶者氏名 ≠ スペースであること			
22	(No.17)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)　又は　スペースの時、 (No.18)配偶者生年月日～(No.22)配偶者住所 ＝ スペース　かつ (No.19)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
23	(No.17)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.11)筆頭者振り仮名の氏　＝　(No.20)配偶者振り仮名の氏　かつ (No.12)筆頭者氏名の氏　＝　(No.21)配偶者氏名の氏であること			
24	(No.23)変更後氏の振り仮名　の入力文字の間に空白が含まれていないこと			
25	(No.11)筆頭者振り仮名の氏 ≠ (No.23)変更後氏の振り仮名であること			
26	(No.31)在籍者人数 ＝ 0の時、 (No.32)在籍者n振り仮名～(No.36)在籍者n住所 ＝ スペースであること			
27	(No.31)在籍者人数 ＞ 1の時、 (No.32)在籍者n振り仮名～(No.35)在籍者n本人届出区分 ≠ スペースであること			
28	(No.31)在籍者人数 ＞ 1の時、 (No.35)在籍者n本人届出区分　＝　1:本人届出　又は　2:法定代理人の者は 0人　又は　1人であること			本人届出は1人である
29	(No.35)在籍者n本人届出区分(全員) ＝ 0(届出人以外)　又は　スペースの時、 (No.24)届出人資格1 ≠ スペースであること			
30	(No.35)在籍者n本人届出区分 ＝ 1(本人届出)がいる時、 (No.24)届出人資格1 ＝ スペースであること			
31	(No.35)在籍者n本人届出区分 ＝ 2(法定代理人)がいる時、 (No.24)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　017(親権者母)　又は　019(親権者養父) 又は　020(親権者養母)　又は　110(未成年後見人)であること			
32	(No.24)届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.25)届出人氏名1～(No.27)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
33	(No.14)筆頭者個人除区分 ≠ 0(在籍者)の時、 (No.24)届出人資格1 ≠ 008(筆頭者)　かつ　(No.26)届出人資格2 ≠ 008(筆頭者)であること			
34	(No.20)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)　又は　スペースの時、 (No.24)届出人資格1 ≠ 009(配偶者)　かつ　(No.26)届出人資格2 ≠ 009(配偶者)であること			
35	(No.24)届出人資格1 ＝ 008(筆頭者)　又は　009(配偶者)の時、 (No.25)届出人氏名1 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)					

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の振り仮名の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
36	(No.24)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　017(親権者母)　又は　019(親権者養父) 又は　020(親権者養母)　又は　110(未成年後見人)の時、 (No.25)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
37	(No.24)届出人資格1 ＝ 008(筆頭者)の時、 (No.26)届出人資格2 ＝ 009(配偶者)　又は　スペースであること			
38	(No.24)届出人資格1 ＝ 009(配偶者)の時、 (No.26)届出人資格2 ＝ 008(筆頭者)　又は　スペースであること			
39	(No.24)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)の時、 (No.26)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は　スペースであること			
40	(No.24)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)の時、 (No.26)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は　スペースであること			
41	(No.24)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.26)届出人資格2 ＝ スペースであること			
42	(No.26)届出人資格2 ＝ 008(筆頭者)　又は　009(配偶者)　又は　スペースの時、 (No.27)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
43	(No.26)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　017(親権者母)　又は　019(親権者養父) 又は　020(親権者養母)の時、 (No.27)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
44	(No.15)筆頭者配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の時、 (No.29)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
45	(No.24)届出人資格1 ＝ 008(筆頭者)　かつ　(No.26)届出人資格2 ＝　009(配偶者)　又は (No.24)届出人資格1 ＝ 009(配偶者)　かつ　(No.26)届出人資格2 ＝　008(筆頭者)の時、 (No.29)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
46	(No.30)氏職権記録区分 ＝ 0(無)の時、(No.28)審判確定日 ≠ スペースであること			
47	※在籍者n共通関連チェック ①:(No.32)在籍者n振り仮名の氏 ＝ (No.11)筆頭者振り仮名の氏であること ②:(No.33)在籍者n氏名の氏 ＝ (No.12)筆頭者氏名の氏であること			

要件定義ワークシート			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/				
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する				(3)本紙へ			
	YES	(4)→(7)へ		/				
	NO	→			(5)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(6)→(7)へ			/				
(7)筆頭者氏名の名が未入力　又は (在籍者n氏名 ≠ スペース　かつ　在籍者n氏名の名が未入力)(YES,NO)				/				
YES	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(9)本紙へ			
	YES	(10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(11)本紙へ		不受理	
	NO	→					画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(12)→(13)へ			/				
(13)在籍者n本人届出区分 ＝ 1:本人届出　又は　2:法定代理人である				/				
YES	(14)氏職権記録区分 ＝ 0:無である(YES,NO)			/				
	YES	(15)エラーメッセージ 「職権記載された振り仮名でないため、子は届出できません。」を表示する			(16)本紙へ		不受理	
	NO	(17)→(18)へ		/				
	(18)筆頭者個人除区分 ＝ 0:在籍者　又は　配偶者外人区分 ＝ 0:日本人(YES,NO)			/				
	YES	(19)エラーメッセージ 「上位届書順位者が在籍者です。下位届書順位者の届出はできません。」を表示する			(20)本紙へ		不受理	
	NO	(21)→(22)へ		/				
(22)届出人資格区分1(スペース、008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母 019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)				/				
スペース	(23)在籍者n生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)			/				
	YES	(24)エラーメッセージ 「15歳未満の人は届出ることができません。」を表示する			(25)本紙へ		不受理	
	NO	→					在籍者nの届出	

要件定義ワークシート					作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)									
処理名	3.0 審査								備考	
008	(26)届出資格区分2(スペース、009:配偶者)					/				
	スペース	(27)筆頭者配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)				/				
		1	(28)名義使用区分　(0:未使用　1:夫　2:妻)			/				
			1	→			(29)本紙へ		筆頭者単独の届出	
			0,2	(30)エラーメッセージ　「名義使用区分が誤っています。」を表示する					不受理	
		2	(31)名義使用区分(0:未使用、1:夫、2:妻)			/				
			2	→			(32)本紙へ		筆頭者単独の届出	
			0,1	(33)エラーメッセージ　「名義使用区分が誤っています。」を表示する					不受理	
		その他	(34)筆頭者の生年月日+15年(15歳未満)　＞　受領日(YES,NO)			/				
			YES	(35)エラーメッセージ 「15歳未満の人は届出ることができません。」を表示する			(36)本紙へ		不受理	
			NO	→					筆頭者単独の届出	
	009	→							筆頭者、配偶者双方の届出	
009	(37)届出資格区分2(スペース、008:筆頭者)					/				
	スペース	(38)筆頭者個人除区分　＝　0:在籍者である(YES,NO)				/				
		YES	(39)配偶者配偶者区分(1:夫、2:妻)			/				
			1	(40)名義使用区分(0:未使用、1:夫、2:妻)		/				
				1	→		(41)本紙へ		配偶者単独の届出	
				0,2	(42)エラーメッセージ　「名義使用区分が誤っています。」を表示する				不受理	
			2	(43)名義使用区分(0:未使用、1:夫、2:妻)		/				
				2	→		(44)本紙へ		配偶者単独の届出	
				0,1	(45)エラーメッセージ　「名義使用区分が誤っています。」を表示する				不受理	
		NO	→						配偶者単独の届出	
	008	→							筆頭者、配偶者双方の届出	

要件定義ワークシート					作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)									
処理名	3.0 審査								備考	
上記以外	(46)在籍者n本人届出区分　＝　0:本人届出以外　又は　スペースである(YES,NO)					/				
	YES	(47)筆頭者生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/				
		YES	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				(49)本紙へ			
			YES	(50)メッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					不受理	
			NO	→					不受理	
		NO	(51)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]						筆頭者の法定代理人の届出	
	NO	(52)在籍者n生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/				
		YES	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				(54)本紙へ			
			YES	(55)メッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					不受理	
			NO	→					不受理	
		NO	(56)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]						在籍者nの法定代理人の届出	

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)

							備考
(1)届出人資格1(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)					/		
016,019	(2)届出人資格2(スペース、017:親権者母、020:親権者養母)				/		
	スペース	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(4)本紙へ	
		YES	→			(5)3.0審査へ	
		NO	→				不受理
	017,020	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				(7)本紙へ	
		YES	→			(8)3.0審査へ	
		NO	→				不受理
017,020	(9)届出人資格2(スペース、016:親権者父、019:親権者養父)				/		
	スペース	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(11)本紙へ	
		YES	→			(12)3.0審査へ	
		NO	→				不受理
	016,019	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				(14)本紙へ	
		YES	→			(15)3.0審査へ	
		NO	→				不受理
110	(16)本非区分=1(本籍) 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)				/		在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する
	YES	(17)在籍者n本人届出区分 ＝ 2:法定代理人である(YES,NO)			/		
		YES	(18)在籍者nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/		
			YES	→		(19)3.0審査へ	
			NO	(20)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(21)本紙へ	不受理
		NO	(22)筆頭者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/		
			YES	→		(23)3.0審査へ	
			NO	(24)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(25)本紙へ	不受理
	NO	→				(26)3.0審査へ	

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		氏の振り仮名の変更届入力画面	受領No				
	選択事件コード							47を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0,4の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

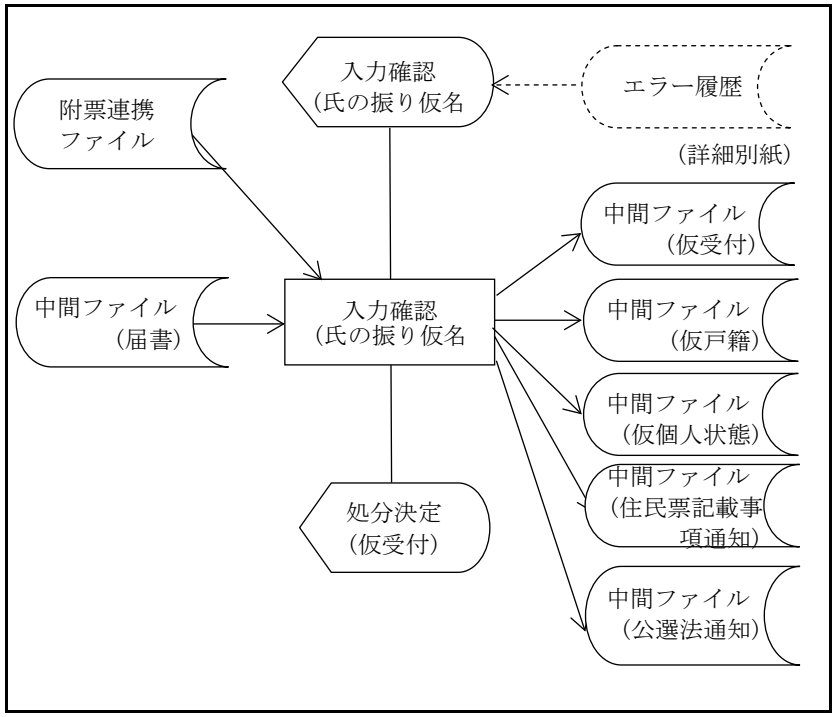
データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。	
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定	
	届書排他区分							0:未、1:排他	
中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		氏の振り仮名の変更 届入力画面	本籍					
	本籍								
	筆頭者個人番号							本籍人の時、筆頭者の個人番号	
	筆頭者振り仮名			筆頭者振り仮名					
	筆頭者氏名			筆頭者氏名					
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日					
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分					
	筆頭者配偶者区分			筆頭者-配偶者区分					
	筆頭者住所コード			筆頭者住所					
	筆頭者住所								
	配偶者個人番号							本籍人の時、配偶者の個人番号	
	配偶者外人区分			配偶者外人区分					
	配偶者生年月日			配偶者生年月日					
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分					
	配偶者振り仮名			配偶者振り仮名					
	配偶者氏名			配偶者氏名					
	配偶者住所コード			配偶者住所					
	配偶者住所								
	変更後氏の振り仮名			変更後氏の振り仮名					

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	審判確定日			審判確定日				
	名義使用区分			名義使用区分				
	氏職権記録区分			氏職権記録区分				
	在籍者人数			在籍者人数				
	在籍者n個人番号							本籍人の時、在籍者の個人番号
	在籍者n振り仮名			在籍者n振り仮名				在籍者の明細については、在籍者人数分出力する。
	在籍者n氏名			在籍者n氏名				
	在籍者n生年月日			在籍者n生年月日				
	在籍者n本人届出区分			在籍者n本人届出区分				
	在籍者n住所コード			在籍者n住所				
	在籍者n住所							

システム環境仕様書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(5)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(6)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 戸籍特定
  - 3.2 戸籍事項(一部記録)
  - 3.3 氏名
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
  - 5.1 筆頭者
  - 5.2 配偶者
  - 5.3 他の在籍者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/公選法通知)
  - 6.1 筆頭者
  - 6.2 配偶者
  - 6.3 他の在籍者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)
処理名	0.0 本紙

								備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]						/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/		
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付・氏の振り仮名の変更)を編集・出力する [2.0]					/		
	(4)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/		
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(戸籍特定) [3.1]				/		
		(6)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(戸籍事項・一部記録) [3.2]				/		
		(7)在籍者である筆頭者、配偶者、他の在籍者全員について下記の処理を行う				/		
			(8)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(氏名) [3.3]			/		
			(9)中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する [4.0]			/		
			(10)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する			/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する
			(11)当該在籍者は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)			/		
			YES	(12)当該在籍者について中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する	筆頭者 [6.1]	/		
					配偶者 [6.2]	/		
					他の在籍者 [6.3]	/		
			NO	(13)→(14)へ		/		
	NO							
	(14)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/		
	YES	(15)在籍している筆頭者、配偶者、他の在籍者全員について下記の処理を行う				/		
		(16)当該在籍者について中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集・出力する		筆頭者 [5.1]			(17)処分決定に制御を渡す	住所＝スペースのとき作成は任意設計
				配偶者 [5.2]				
				他の在籍者 [5.3]				
	NO	→						
PF1	→						(18)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(19)届出選択に制御を渡す	
PF5	→						(20)審査(氏の振り仮名の届)に制御を渡す	
PF7	(21)前ページがあるか(ある、なし)					/		
	ある	(22)前ページ分の「氏の振り仮名の届」画面を編集					(23)同画面を編集する	
	なし	(24)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						

要件定義ワークシート				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
PF8	(25)次ページがあるか(ある、なし)				/				
	ある	(26)次ページ分の「氏の振り仮名の届」画面を編集				(27)同画面を編集する			
	なし	(28)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する							
PF11	→					(29)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(30)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する					(31)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の振り仮名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
氏の振り仮名の変更届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書)共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル(届書)事件別内容	本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者振り仮名			筆頭者振り仮名				
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者個人除区分名称					有		
	筆頭者配偶者区分			筆頭者配偶者区分				
	筆頭者配偶者区分名称					有		
	筆頭者住所			筆頭者住所コード		有		
				筆頭者住所				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の振り仮名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者外人区分名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日		有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者振り仮名			配偶者振り仮名				
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	変更後氏の振り仮名			変更後氏の振り仮名				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	審判確定日			審判確定日		有		
	名義使用区分			名義使用区分				
	名義使用区分名称					有		
	氏職権記録区分			氏職権記録区分				
	氏職権記録区分名称					有		

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の振り仮名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	在籍者人数			在籍者人数				
	在籍者n番号							1から順に付番する。
	在籍者n振り仮名			在籍者n振り仮名				在籍者の明細については、在籍者人数分含まれている。
	在籍者n氏名			在籍者n氏名				
	在籍者n生年月日			在籍者n生年月日		有		
	在籍者n本人届出区分			在籍者n本人届出区分				
	在籍者n本人届出区分名称					有		
	在籍者n住所			在籍者n住所コード		有		
				在籍者n住所				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･氏の振り仮名の変更)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							審判確定日≠スペースの時、4701(氏の振り仮名の変更)を設定 ＝スペースの時、4702(氏の振り仮名の変更)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「0:日本人のみ」を移送
	証書提出日							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							ZEROを移送
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 008、009の場合は、未設定(資格1、2及び氏名1、2) 上記以外の場合は、資格および氏名を移送する。
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･氏の振り仮名の変更)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 008:44(筆頭者)で1件作成 届出人資格1 又は 2 ＝ 009:45(配偶者)で1件作成 届出人資格1 ＝ スペース:62(子)で1件作成 上記以外(法定代理人届出) ・在籍者n本人届出区分 ＝ 0(本人届出以外) 又は スペースの時、44(筆頭者)で1件作成 ・在籍者n本人届出区分 ＝ 2(法定代理人)の時、62(子)で1件作成
	届出人区分							届出人資格1、2が008 又は 009 又はスペースの場合1(届出人)を設定 上記以外は、0(届出人以外)を設定
	カナ氏名							
	振り仮名							事件本人区分 44の場合、筆頭者振り仮名移送 45の場合、配偶者振り仮名移送 62の場合、在籍者n振り仮名移送

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付･氏の振り仮名の変更)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	漢字氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者氏名移送 45の場合、配偶者氏名移送 62の場合、在籍者n氏名移送
	生年月日							事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送 62の場合、在籍者n生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者氏名				
	送達確認2					事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		

※事件本人ファイルは筆頭者及び配偶者双方の届出の場合は各々で2件、それ以外は届出人だけで1件作成する。

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	3.1　戸籍特定　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							空欄は検索した戸籍特定情報を設定
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者振り仮名		中間ファイル(届書)	変更後氏の振り仮名+△ (空白1文字)+筆頭者振り 仮名の名				
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	3.2　戸籍事項(一部記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							4701:「氏の変更」を設定
	記録コード							4701:「氏の振り仮名の変更の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏の変更 氏の振り仮名変更日			受領日				
	氏の変更 氏の振り仮名変更の事由							・氏職権記録区分=0のとき →「戸籍法１０７条の３の届出」 ・氏職権記録区分=1のとき ①戸籍事項欄に氏の職権記録事項がある →「令和５年法律第〇号附則第１０条の届出」 ②戸籍事項欄に氏の職権記録事項がない →「令和５年法律第〇号附則第１１条の届出」を設定
	届出人(1) 資格			届出人資格1、2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次頁「届出人資格･氏名の編集内容」参照
	届出人(1) 資格名称							
	届出人(1) 氏名							
	届出人(2) 資格							
	届出人(2) 資格名称							
	届出人(2) 氏名							
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				発送元 ≠ スペースのとき移送

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)								
処理名	3.2　戸籍事項(一部記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従記前録	従前の記録							
		氏の振り仮名			筆頭者振り仮名の氏				
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ スペースのとき移送
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)						
処理名	3.2　戸籍事項(一部記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	(未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)
未入力							
008(筆頭者)							
009(配偶者)							
016(親権者父)	*1,2				届出人資格(1)を「親権者父母」で設定*2		*1,2
017(親権者母)	*1,2			届出人資格(1)を「親権者父母」で設定*2		*1,2	
019(親権者養父)	*1,2				*1,2		*1,2
020(親権者養母)	*1,2			*1,2		*1,2	
110(未成年後見人)	*1,2						

*1:届出人資格(1)、(2)にそれぞれ届出人資格1、2の資格名称を設定する
*2:中間ファイル(届書)事件別ファイルの「在籍者n本人届出区分」に2(法定代理人)が設定されている場合
届出人資格名称の前に中間ファイル(届書)事件別ファイルの「在籍者n氏名」を付加する

(2)届出人氏名
届出人資格1、2＝未入力(子)の場合は、在籍者n氏名を届出人氏名1に移送する。
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

＜編集事例＞
①筆頭者の法定代理人(親権者父及び親権者母)が届出人の場合
【届出人】親権者父母
②在籍者n(子：甲野義太郎)の法定代理人(親権者養父及び親権者養母)が届出人の場合
【届出人】甲野義太郎親権者養父甲野一郎
【届出人】甲野義太郎親権者養母甲野春子
③在籍者n(子：甲野義太郎)が届出人の場合
【届出人】甲野義太郎

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	3.3　氏名　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							空欄は検索した氏名情報を設定
	行番号							
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	変更後氏の振り仮名+△(空白1文字)+カナ氏名の名				
	振り仮名			変更後氏の振り仮名+△(空白1文字)+振り仮名の名				
	漢字氏名							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分			0				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない
	名の振り仮名職権記録区分			9				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	5.1　住民票記載事項通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							47:氏の振り仮名の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 筆頭者振り仮名の名				
	旧振り仮名			筆頭者振り仮名				
	新氏名			筆頭者氏名				
	旧氏名			筆頭者氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	5.1　住民票記載事項通知(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	5.2　住民票記載事項通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							47:氏の振り仮名の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 配偶者振り仮名の名				
	旧振り仮名			配偶者振り仮名				
	新氏名			配偶者氏名				
	旧氏名			配偶者氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	5.2　住民票記載事項通知(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	5.3　住民票記載事項通知(他の在籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							47:氏の振り仮名の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			在籍者n個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 在籍者n振り仮名の名				
	旧振り仮名			在籍者n振り仮名				
	新氏名			在籍者n氏名				
	旧氏名			在籍者n氏名				
	新生年月日			在籍者n生年月日				
	旧生年月日			在籍者n生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)							
処理名	5.3　住民票記載事項通知(他の在籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			在籍者n住所コード				
	住所			在籍者n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)								
処理名	6.1　公選法通知(筆頭者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目	
	宛名								
	事件コード		中間ファイル(届書)					47:氏の振り仮名の変更届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 筆頭者振り仮名の名					
	旧振り仮名			筆頭者振り仮名					
	新氏名			筆頭者氏名					
	旧氏名			筆頭者氏名					
	新生年月日			筆頭者生年月日					
	旧生年月日			筆頭者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			本籍コード					
	新本籍			本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			筆頭者氏名					
	旧筆頭者			筆頭者氏名					
	住所コード			筆頭者住所コード					
	住所			筆頭者住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)								
処理名	6.2　公選法通知(配偶者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目	
	宛名								
	事件コード		中間ファイル(届書)					47:氏の振り仮名の変更届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 筆頭者振り仮名の名					
	旧振り仮名			筆頭者振り仮名					
	新氏名			配偶者氏名					
	旧氏名			配偶者氏名					
	新生年月日			配偶者生年月日					
	旧生年月日			配偶者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			本籍コード					
	新本籍			本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			筆頭者氏名					
	旧筆頭者			筆頭者氏名					
	住所コード			配偶者住所コード					
	住所			配偶者住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(氏の振り仮名の変更届)								
処理名	6.3　公選法通知(他の在籍者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					47:氏の振り仮名の変更届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号			在籍者n個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定	
	新振り仮名			変更後氏の振り仮名 + 筆頭者振り仮名の名					
	旧振り仮名			筆頭者振り仮名					
	新氏名			在籍者n氏名					
	旧氏名			在籍者n氏名					
	新生年月日			在籍者n生年月日					
	旧生年月日			在籍者n生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			本籍コード					
	新本籍			本籍					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍					
	新筆頭者			筆頭者氏名					
	旧筆頭者			筆頭者氏名					
	住所コード			在籍者n住所コード					
	住所			在籍者n住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

37.名の振り仮名の変更届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)			新規作成

システム処理の概要説明書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	名の振り仮名の変更届

1.名の振り仮名の変更業務処理範囲外の処理

(1)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

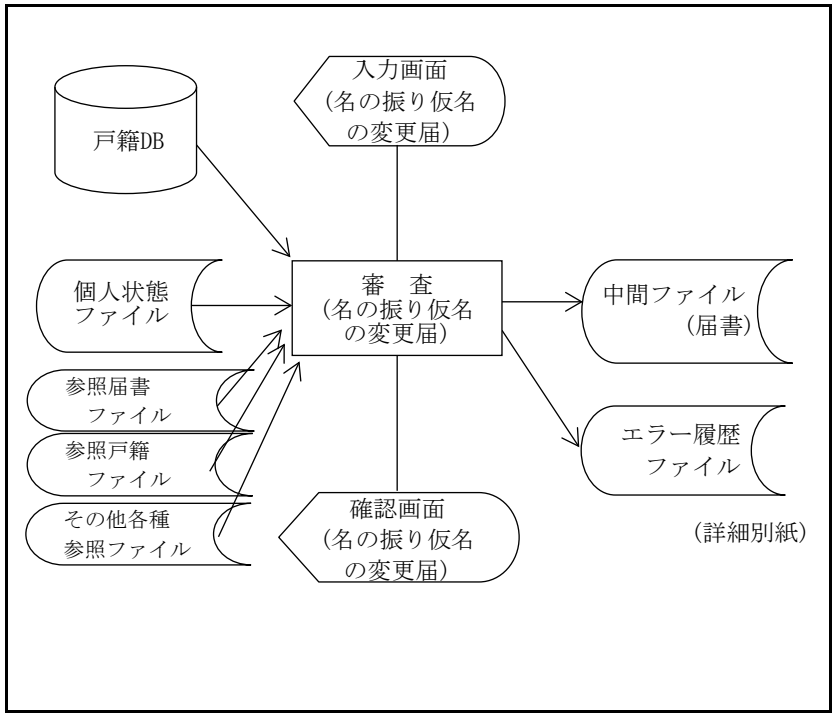
(2)複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.名の振り仮名の変更届入力画面の意義

(1)名の振り仮名の変更届を行う事件本人の各項目及び届出人(法定代理人)を入力する画面である。

システム環境仕様書	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	その他各種参照ファイル	入力
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
参照届書ファイル	入力		
参照戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)名の振り仮名の変更届の内容を入力する
(2)名の振り仮名の変更届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)名の振り仮名の変更届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)名の振り仮名の変更届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(名の振り仮名の変更届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

・未成年者の年齢計算について
年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。

・参照届書ファイル、参照戸籍ファイル、その他各種参照ファイルは送付分届書等一覧から渡される。
・参照戸籍ファイル及びその他各種参照ファイルの表示等は任意設計とする。

要件定義ワークシート				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する または　戸籍情報連携システムから送信された届書記載事項(参照届書ファイル)を画面に取り込んで修正する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う 送付分届書等一覧から遷移した場合は、参照届書ファイルから画面編集を行う	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF9	(16)参照届書等画像情報ファイルがある(YES,NO)					/		送付分届書等一覧から渡される各種参照ファイルの表示については任意設計とする	
	YES	(17)画像情報を表示する					(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							
PF10	(20)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(21)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(22)入力画面を初期化する								
その他	(23)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック(単体表)		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(名の振り仮名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			戸籍情報連携システムから送信された場合は、情報を戸籍情報システムに取り込んだ日を設定する
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由、4:連携情報の通知)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	変更者振り仮名	○	漢字				
11	変更者氏名	○	漢字				
12	変更者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	変更者筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	住所		漢字				
17	変更後名の振り仮名	○	漢字				
18	審判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	名職権記録区分	○	数字	(0:無、1:職権記録)であること			
20	届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
21	届出人氏名1		漢字				
22	届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)であること			
23	届出人氏名2		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届						
処理名		画面名		画面ID			
2.0 関連チェック表		入力画面(名の振り仮名の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.18)審判確定日 ≠ スペースの時、(No.3)受領日 ≧ (No.18)審判確定日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
3	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) 又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) 又は ＝ 3(在外公館の国内経由) 又は ＝ 4(連携情報の通知)であること			
9	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
10	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)本籍 ＝ 本籍地であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.14)本籍 ≠ 本籍地であること			
12	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペース かつ (No.18)審判確定日 ≠ の時、 (No.9)郵送日 ≧ (No.18)審判確定日であること			
15	(No.17)変更後名の振り仮名 の入力文字の間に空白が含まれていないこと			
16	(No.10)変更者振り仮名の名 ≠ (No.17)変更後名の振り仮名であること			
17	(No.11)変更者氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること			
18	(No.13)変更者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.11)変更者氏名 ＝ (No.15)筆頭者であることであること			
19	(No.19)名職権記録区分 ＝ 0(無)の時、(No.18)審判確定日 ≠ スペースであること			
20	(No.20)届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.21)届出人氏名1～(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
21	(No.20)届出人資格1 ≠ スペースの時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
22	(No.22)届出人資格2 ＝ スペースの時、(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
23	(No.22)届出人資格2 ≠ スペースの時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届						

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(名の振り仮名の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	(No.20)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)の時、 (No.22)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は　スペースであること			
25	(No.20)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)の時、 (No.22)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は　スペースであること			
26	(No.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.22)届出人資格2 ＝ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0

作業名	名の振り仮名の変更届
処理名	3.0 審査

							備考
(1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					(3)本紙へ	
	YES	(4)→(7)へ			/		
	NO	→				(5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(6)→(7)へ				/		
(7)変更者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)					/		
YES	(8)届出人資格1 ≠ スペースである(YES,NO)				/		
	YES	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				(10)本紙へ	
		YES	(11)メッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				不受理
		NO	→				不受理
	NO	→					本人の届出
NO	(12)届出人資格1(スペース、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、0020:親権者養母、110:未成年後見人)				/		
	スペース	(13)審査メッセージ 「15歳未満の人は届出ることができません。」を表示する				(14)本紙へ	不受理
	016,019	(15)届出人資格2(スペース、017:親権者母、020:親権者養母)			/		
		スペース	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(17)本紙へ	
			YES	→			法定代理人の届出
			NO	→			不受理
		017,020	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				
			YES	→			法定代理人の届出
			NO	→			不受理

要件定義ワークシート				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名			名の振り仮名の変更届						
処理名			3.0 審査					備考	
	017,020	(19)届出人資格2(スペース、016:親権者父、019:親権者養父)			/				
		スペース	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(21)本紙へ			
			YES	→				法定代理人の届出	
			NO	→				不受理	
		016,019	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
			YES	→				法定代理人の届出	
			NO	→				不受理	
	110	(23)本非区分=1(本籍) 又は 非本籍人検索をした 又は 在外送付区分=4(連携情報の通知)である(YES,NO)			/			在外送付区分=4(情報の通知)の場合は、参照戸籍ファイルから判断する	
		YES	(24)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/				
			YES	→		(25)本紙へ		法定代理人の届出	
			NO	(26)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する				不受理	
		NO	→					法定代理人の届出	

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

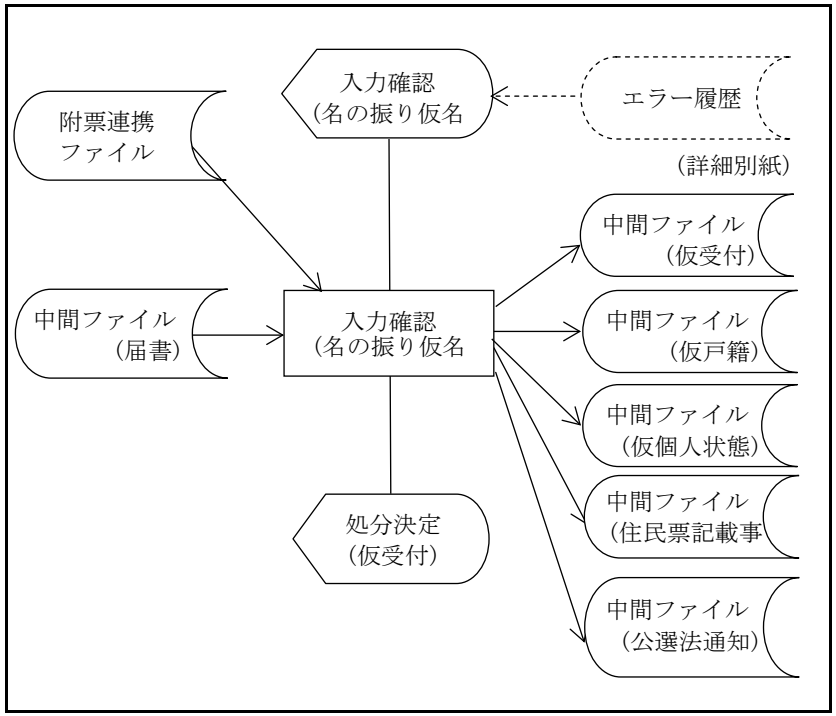
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		名の振り仮名の変更届入力画面	受領No				
	選択事件コード							48を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0,4の時、2 在外送付区分 ＝ 4の時、3
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	変更者個人番号							本籍人の時、個人番号
	変更者振り仮名		名の振り仮名の変更届入力画面	変更者振り仮名				
	変更者氏名			変更者氏名				
	変更者生年月日			変更者生年月日				
	変更者筆頭者区分			変更者筆頭者区分				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	変更後名の振り仮名			変更後名の振り仮名				
	審判確定日			審判確定日				
	名職権記録区分			名職権記録区分				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書		作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票連携ファイル	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
〃(仮戸籍)	出力		
〃(仮個人状態)	出力		
〃(住民票記載事項通知)	出力		
〃(公選法通知)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮個人状態)を編集･出力する
(5)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集･出力する
(6)中間ファイル(公選法通知)を編集･出力する
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 戸籍特定
  - 3.2 氏名
  - 3.3 身分事項(一部記録)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮個人状態)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/住民票記載事項通知)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/公選法通知)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付・名の振り仮名の変更)を編集・出力する		[2.0]	/				
	(4)事件本人は本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(5)変更者筆頭者区分＝1:筆頭者である(YES,NO)		/				
		YES	(6)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(戸籍特定)	[3.1]	/			
		NO	(7)→(8)		/			
		(8)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(氏名)		[3.2]	/			
		(9)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する(身分事項・一部記録)		[3.3]	/			
		(10)中間ファイル(仮個人状態)を編集・出力する		[4.0]	/			
		(11)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する			/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理する 在外選挙人、在外投票人の双方である場合は各々編集する	
		(12)事件本人は在外選挙人、在外投票人である(YES,NO)			/			
		YES	(13)中間ファイル(公選法通知)を編集・出力する	[6.0]	/			
		NO	(14)→(15)		/			
	(15)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/			
	YES	(16)中間ファイル(住民票記載事項通知)を編集・出力する		[5.0]		(17)処分決定に制御を渡す	住所＝スペースのとき作成は任意設計	
	NO	→						
PF1	→					(18)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(19)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(20)審査(名の振り仮名の変更届)に制御を渡す		
PF11	→					(21)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(23)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	1.0　確認画面(名の振り仮名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
名の振り仮名の変更届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	在外送付区分			在外送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	変更者振り仮名		中間ファイル(届書)事件別内容	変更者振り仮名				
	変更者氏名			変更者氏名				
	変更者生年月日			変更者生年月日		有		
	変更者筆頭者区分			変更者筆頭者区分				
	変更者筆頭者区分名称					有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	変更後名の振り仮名			変更後名の振り仮名				
	審判確定日			審判確定日		有		
	名職権記録区分			名職権記録区分				
	名職権記録区分名称					有		

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	1.0　確認画面(名の振り仮名の変更届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付･名の振り仮名の変更)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							審判確定日≠スペースの時、4801(名の振り仮名の変更)を設定 ＝スペースの時、4802(名の振り仮名の変更)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付･名の振り仮名の変更)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							64(名の振り仮名の変更者)を設定
	届出人区分							届出人資格1 ＝ スペース:1を設定 上記以外:0を設定
	カナ氏名							
	振り仮名			変更者振り仮名				
	漢字氏名			変更者氏名				
	生年月日			変更者生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2					事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		

データ編集表				作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の変更届)								
処理名	3.1　戸籍特定　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							空欄は検索した戸籍特定情報を設定	
	編製日								
	改製日								
	回復日								
	消除日								
	本籍コード								
	本籍								
	筆頭者								
	筆頭者振り仮名		中間ファイル(届書)	筆頭者振り仮名の氏+△ (空白1文字)+変更後名の 振り仮名					
	記録者数								
	在籍者数								
	除籍者数								
	戸籍除区分								
	戸籍異動区分								

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	入力確認(名の振り仮名の変更届)							
処理名	3.2　氏名　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							空欄は検索した氏名情報を設定
	行番号							
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	カナ氏名の氏+△(空白1文字)+変更後名の振り仮名				
	振り仮名			振り仮名の氏+△(空白1文字)+変更後名の振り仮名				
	漢字氏名							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	3.3　名の振り仮名の変更者(記録･名の振り仮名の変更)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	名の振り仮名の変更者個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							4801:「名の変更」を設定
	記録コード							4801:「名の振り仮名の変更者の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	名の変更 名の振り仮名変更日			受領日				
	名の変更 名の振り仮名変更の事由							・審判確定日≠スペースのとき →「戸籍法107条の４の届出」 ・審判確定日＝スペースのとき →「令和５年法律第〇号附則第１２条の届出」
	届出人（１） 資格			届出人資格1				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次頁「届出人資格･氏名の編集内容」参照
	届出人（１） 資格名称			届出人資格1名称				
	届出人（１） 氏名			届出人氏名1				
	届出人（２） 資格			届出人資格2				
	届出人（２） 資格名称			届出人資格2名称				
	届出人（２） 氏名			届出人氏名2				
	送付 通知を受けた日			送付日		在外送付区分=4の時、当該項目を移送		
	送付 送付を受けた日			送付日		在外送付区分=1又は2又は3の時、当該項目を移送		
	送付 受理者			発送元				発送元 ≠ スペースのとき移送
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	3.3　名の振り仮名の変更者(記録･名の振り仮名の変更)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	従記前録	従前の記録							
		名の振り仮名			変更者振り仮名の名				
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ スペースのとき移送
	特記	特記事項							

届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	未入力	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)
未入力					
016(親権者父)	*1		届出人資格(1)を「親権者父母」で設定		*1
017(親権者母)	*1	届出人資格(1)を「親権者父母」で設定		*1	
019(親権者養父)	*1		*1		*1
020(親権者養母)	*1	*1		*1	
110(未成年後見人)	*1				

*1:届出人資格(1)、(2)にそれぞれ届出人資格1、2の資格名称を設定する

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	4.0　中間ファイル(仮個人状態)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮個人状態)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分			9				0:無 1:職権記録 9:決裁において区分を変更しない
	名の振り仮名職権記録区分			0				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	5.0　住民票記載事項通知　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							48:名の振り仮名の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			変更者個人番号				本籍人の場合
	新振り仮名			変更者振り仮名の氏 + 変更後名の振り仮名				
	旧振り仮名			変更者振り仮名				
	新氏名			変更者氏名				
	旧氏名			変更者氏名				
	新生年月日			変更者生年月日				
	旧生年月日			変更者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	5.0　住民票記載事項通知　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	名の振り仮名の変更届							
処理名	6.0　公選法通知　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (公選法通知)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票連携ファイル	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					48:名の振り仮名の変更届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			変更者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新振り仮名			変更者振り仮名の氏 + 変更後名の振り仮名				
	旧振り仮名			変更者振り仮名				
	新氏名			変更者氏名				
	旧氏名			変更者氏名				氏と名の間に全角空白を設定
	新生年月日			変更者生年月日				
	旧生年月日			変更者生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(6)

「処分決定」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「処分決定」処理	システム処理の概要説明 ・留意点を追加 処分決定(仮受付) ・参照戸籍ファイル作成に係る処理を追加
2	R3	B04	「処分決定」処理	処分決定(仮受付) ・届書処理通番ファイル作成に係る処理を追加 ・送付先市区町村情報ファイル作成に係る処理を追加
3		-		法律条項の見直しにより下記仕様書を修正 ・処分決定(仮受付)
4	R4	B01	「処分決定」処理	個人状態ファイルに注意喚起区分を追加する場合の対処を追加 ①処分決定(仮受付) 11.0 個人状態ファイル更新処理
5		B04		処分区分が「取下げ」であった場合の処理を追加 ①処分決定(仮受付) 5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表)
6				送達確認書の郵送事務が残るため修正 ①処分決定(仮受付) 8.0 受付DB作成･更新処理、19.0 送付先市区町村情報ファイル作成処理
7				F0050に[TR02]～[TR05]に規則第四一条処理区分が追加されたことによる修正 ①処分決定(仮受付) 18.0 届書処理通番ファイル作成処理
8		申し送り事項一覧 №9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ①処分決定(仮受付) システム環境仕様書、18.0 届書処理通番ファイル作成処理 ②処分決定(受付･確認) システム環境仕様書
9	2.0 (2023. 3.31版)	指摘事項管理表_連携システム_別冊(運用編) №27	「処分決定」処理	参考送付として、胎児認知届に対する出生届を父の本籍地及び胎児認知届の受理地に送る場合を追加 ①処分決定(仮受付)_19.0送付先市区町村情報ファイル作成
10		異常処理編_障害時の届書処理通番の採番		障害等により戸籍情報連携システムと通信ができなくなった場合、届書処理通番を戸籍情報システムが採番することの対応 ①処分決定(仮受付)_システム環境仕様書に送付分届書等一覧ファイル(出力)を追加 ②処分決定(仮受付)_0.0本紙に届書処理通番の取得を(63-3-1)～(63-3-8)に追加 ③処分決定(仮受付)_18.0届書処理通番ファイル作成に届書処理通番を取得した場合の設定を追加
11		指摘事項管理表 (1)(2) №1～3		処分区分に「誤入力」を追加 ①処分決定･確認処理_システム処理の概要説明の3.処分決定処理で入力可能な処分区分の意味に「誤入力」を追加 ②処分決定(仮受付)_3.0単体チェックの処分区分に追加 ③処分決定(仮受付)_4.0審査 別紙2に「誤入力」の対応を追加 ④処分決定(仮受付)_5.0処理テーブル表に「誤入力」の対応を追加
12		指摘事項管理表 (3)_連携システム_外部IF仕様書 No.275,316		追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分の設定に関する修正 ①処分決定(仮受付)_0.0本紙に両項目の入力審査を(19-1)～(19-20)に追加 ②処分決定(仮受付)_2.0処分決定(仮受付)表示に両項目を追加 処分決定(仮受付)_3.0単体チェックに両項目を追加 ③処分決定(仮受付)_18.0届書処理通番ファイル作成に両項目の設定を追加 ④処分決定(受付･確認)_1.0処分決定(受付)表示に両項目を追加

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
13		－		7-2-(28)_ 「送付分届書等振分け」処理の見直しによる修正 ①処分決定(仮受付)_5.0処理テーブル表に届書等情報の送信を受けた場合の状況を追記
14		－		修正履歴項番8のR4版の修正内容が誤っていたため修正 ①処分決定(仮受付) システム環境仕様書、2.0処分決定(仮受付)表示 ②処分決定(受付･確認) システム環境仕様書、1.0処分決定(受付)表示
15	2.0 (2023. 7.31版)	―	「処分決定」処理	振り仮名の法制化による修正 ・処分決定(仮受付)_システム環境仕様書、処分決定(仮受付)_0.0本紙、処分決定(仮受付)_2.0処分決定(仮受付)表示、処分決定(仮受付)_5.0処理テーブル表、処分決定(仮受付)_8.0受付DB作成・更新処理、処分決定(仮受付)_10.0戸籍DB更新処理、処分決定(仮受付)_11.0個人状態ファイル更新処理、処分決定(仮受付)_12.0仮住民票通知ファイル作成処理、処分決定(仮受付)_20.0 仮個人状態ファイル作成処理、処分決定(受付･確認)_1.0処分決定(受付)表示
16		－		戸籍情報連携システム運用開始による修正 ・処分決定(仮受付)_システム環境仕様書、処分決定(仮受付)_0.0本紙、処分決定(仮受付)_5.0処理テーブル表、処分決定(仮受付)_11.0個人状態ファイル更新処理、処分決定(仮受付)_12.0仮住民票通知ファイル作成処理、処分決定(仮受付)_15.0仮公選法通知ファイル
17		－		火葬許可事務システム標準化に伴う修正 ・処分決定(仮受付)_0.0本紙、処分決定(仮受付)_2.0処分決定(仮受付)表示、処分決定(仮受付)_3.0単体チェック、処分決定(仮受付)_5.0処理テーブル表、処分決定(仮受付)_14.0埋火葬許可証ファイル作成処理、処分決定(受付･確認)_1.0処分決定(受付)表示を修正
18		―		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正による画面修正は不要であったため、元の仕様に戻す修正 ・処分決定(仮受付)_2.0　処分決定(仮受付)表示、処分決定(受付･確認)_1.0　処分決定(受付)表示を修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	処分決定･確認処理

(1)処分決定処理

･処分決定処理では、各届で審査･確認された内容をもとにシステムで処分内容を出力する。
表示された処分内容に誤りがある場合、職員が処分内容を修正する。

･死亡届の受理分については埋火葬許可証区分を表示し、埋火葬許可証の要、不要を決定する。

(2)処分決定確認処理

･処分決定により取得された受領番号を表示･確認する。

2.処分決定･確認画面でのPFキー

画面 / PFキー	処分決定画面	処分決定確認画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2	届出選択メニュー	届出選択メニュー
PF3	処分決定処理開始	移記事項入力処理
PF4		
PF5	届書入力処理	本人届出確認台帳処理
PF6		
PF7	前頁表示	前頁表示
PF8	次頁表示	次頁表示
PF9		
PF10	仮戸籍表示	
PF11	エラー履歴表示	
PF12	画面の初期化	
実行キー	処分区分の確定	

3.処分決定処理で入力可能な処分区分の意味

処分区分	意味
受理	届出が適法であるとする行政処分。
不受理	届出が不適法(法律上の要件を欠いている、届書の重要部分に記載遺漏･錯誤がある　他)であり、受理を拒否する行政処分。
受理照会	届出を審査するにあたって法律の解釈運用上に疑義が生じた場合、その届出を受理すべきかどうかについて管轄法務局に指示を求めること。
処理照会	受理または送付された届出の処理について疑義が生じた場合、その処理の方法について管轄法務局に指示を求めること。
返戻	送付された届出で戸籍の記載ができないものを送付された市区町村へ返送すること。
取下げ	提出した届書をお客が取り下げること。
保留	受理するか、不受理にするかの決定を延ばすこと。
受理処分の撤回	受理処分した後届書の審査内容に誤りがあり、正しい審査において無効要件のエラーがあった場合、従前の受理処分を取り消すこと。 取消要件のエラーでは受理処分を撤回することはできない。 (受理後、送付地でその届出に当たる不受理申出が出されていて、送付地から受理が不当と返戻された場合がこの一例である。)
誤入力	処理した届書が処理済み等であった場合、処分区分で入力した処分を取り消し、届書処理を無かったことにすること。

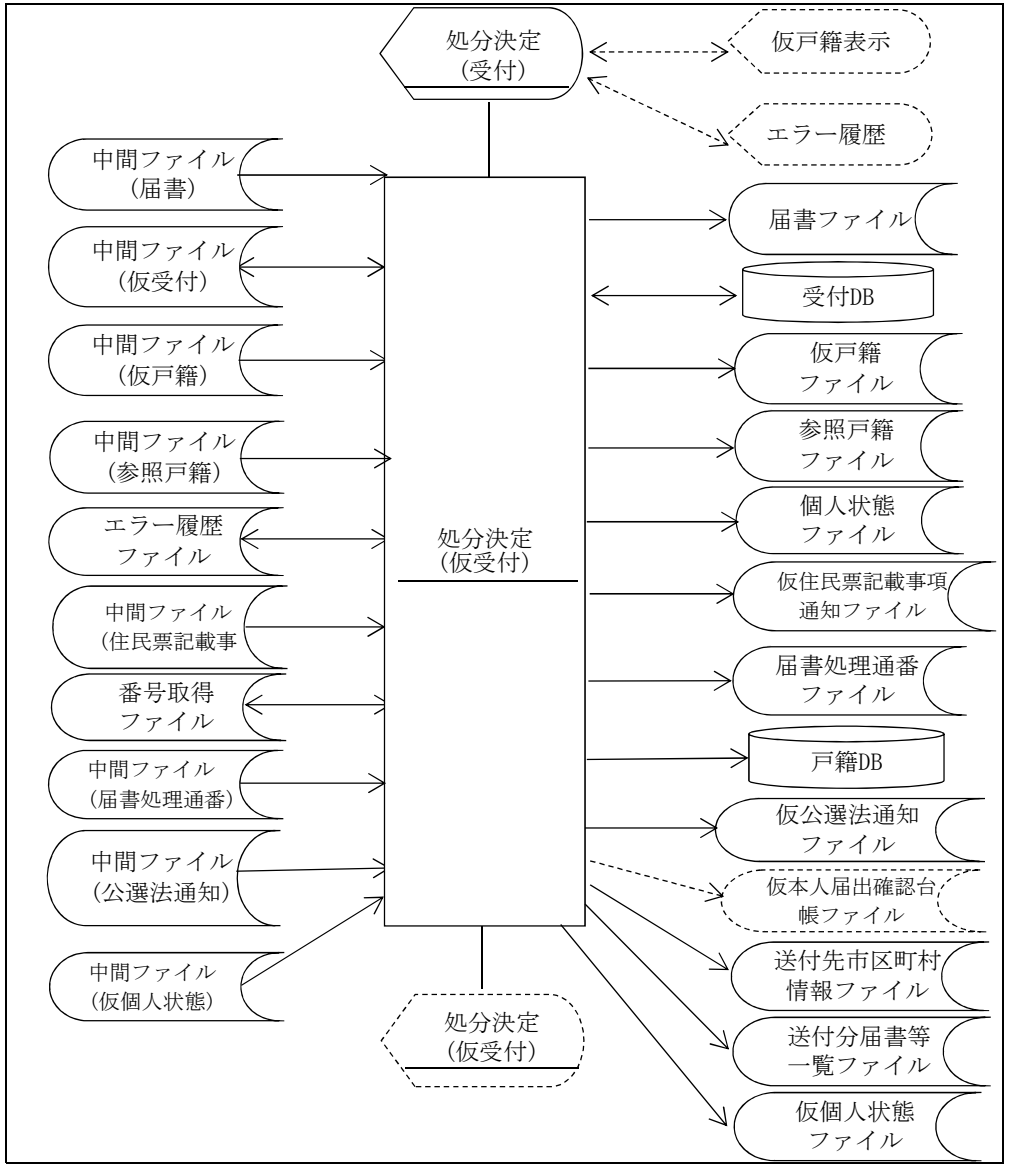
4.留意点

･届書入力処理～処分決定処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	仮戸籍ファイル	出力
〃(仮受付)	入出力	参照戸籍ファイル	出力
〃(仮戸籍)	入力	個人状態ファイル	出力
〃(参照戸籍)	入力	仮住民票記載事項通知ファイル	出力
〃(住民票記載事項通知)	入力	届書処理通番ファイル	出力
〃(届書処理通番)	入力	戸籍DB	出力
〃(公選法通知)	入力	仮公選法通知ファイル	出力
〃(仮個人状態)	入力	仮本人届出確認台帳ファイル	出力
エラー履歴ファイル	入出力	送付先市区町村情報ファイル	出力
番号取得ファイル	入出力	送付分届書等一覧ファイル	出力
受付DB	入出力	仮個人状態ファイル	出力
届書ファイル	出力		

3.処理概要

(1)処理区分および埋火葬許可証発行区分(死亡届のみ)を決定する(実行キー)
(2)必要に応じ仮戸籍画面を表示する(PF10)
(3)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(4)処理区分の内容に従って各々ファイルを処理する(PF3)
(5)処分決定(受付･確認)画面に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 初期審査表
  - 1.1 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 1.2 データ編集表(中間ファイル(届書))
- 2.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)
- 3.0 単体チェック表
- 4.0 審査表
- 5.0 処理テーブル表(処分区分での処理内容表)
- 6.0 データ編集表(番号取得ファイル)
- 7.0 データ編集表(届書ファイル)
- 8.0 データ編集表(受付DB:受付DB作成更新処理)
- 9.0 データ編集表(仮戸籍ファイル)
- 10.0 データ編集表(戸籍DB)
- 11.0 データ編集表(個人状態ファイル)
- 12.0 データ編集表(仮9条2項ファイル)
- 13.0 データ編集表(エラー履歴ファイル)
- 15.0 データ編集表(仮30条の13第1項ファイル)
- 16.0 データ編集表(仮本人届出確認台帳ファイル)･･･(サンプル提示)
- 17.0 データ編集表(参照戸籍ファイル)
- 18.0 データ編集表(届書処理通番ファイル)
- 19.0 データ編集表(送付先市区町村情報ファイル)
- 20.0 データ編集表(仮個人状態ファイル)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)初期審査(別紙1へ)(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/		既に受付DBが作成されている場合のチェック
YES	(2)→(16)へ				/		
NO	(3)キー選択(PF1、PF2、PF5、その他)				/		初期審査でｴﾗｰがあるときは以降の処理へは行けない
	PF1	(4)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
		YES	(5)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する [7.0]		/		届書レコードの排他の解除を行う
		NO	→		/		
		(6)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する				(7)業務選択に制御を渡す	
	PF2	(8)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
		YES	(9)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する [7.0]		/		届書レコードの排他の解除を行う
		NO	→		/		
		(10)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する				(11)届出選択に制御を渡す	
	PF5	(12)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する			/		
		(13)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する				(14)届書入力処理に制御を渡す	
	その他	(15)キー選択を無効とする(画面内容は変わらず) → (3)へ			/		
(16)中間ファイル(仮受付)の1レコード目の内容で処分決定(仮受付)画面を編集する [2.0] 処分決定(受付)画面の処分区分には中間ファイル(届書)の処分区分、在外送付区分、不受理申出処分区分の内容から該当する処分内容([4.0]審査での「表示する処分区分」を参照)を表示し、変更処分区分にはその該当コードを設定する。変更処分名称は空白のまま(初期設定のみ)					/		
(17)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF3、PF5、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)					/		
実行キー	(18)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/		
	YES	(19)追完届有無フラグ=1(有)である(YES,NO)			/		
		YES	(19-1)中間ファイル(届書)の在外送付区分=0(受理) 又は 2(在外公館の直接送付)である。(YES,NO)		/		在外送付区分=0(受理)又は2(在外公館の直接送付)の時、追完届有無フラグを入力禁止にして、審査を回避する対応も可
			YES	(19-2)確認メッセージ(YES,NO) 「決裁までに追完届が届出されますね。」を表示する		(19-3)同画面を編集する	
			YES	(19-4) → (19-9)へ	/		
			NO	(19-5)エラーメッセージ 「追完届有無フラグは設定できません。 0 (無) に修正して下さい。」を表示する		(19-6)同画面を編集する→(16)へ	
		NO	(19-7)エラーメッセージ 「送付地では追完届有無フラグは設定できません。 0 (無) に修正して下さい。」を表示する				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)

処理名								0.0 本紙			備考
		NO						(19-8) → (19-9)へ	/		
		(19-9)規則第四十一条処理区分が入力された(YES,NO)							/		受理地においては決裁後に規則41条の対象が判明するため、処分決定では設定できない。 送付地においては、「返戻」で41条区分「処理中」を設定できるが、処分決定をせずに誤送付処理でも対処が可能。
		YES						(19-10)入力された規則第四十一条処理区分	/		
			0					(19-11) → (22)へ	/		
			1					(19-12)処分区分=5(返戻)である(YES,NO)	/		
				YES				(19-13)確認メッセージ(YES,NO) 「規則第四十一条処理区分が「処理中」に更新されましたがよろしいですね。」を表示する		(19-14)同画面を編集する	
					YES			(19-15) → (22)へ	/		
					NO			(19-16) →		(19-17)同画面を編集する	
				NO				(19-18)エラーメッセージ 「処分区分が「返戻」以外では、規則第四十一条処理区分を設定できません。」を表示する			
			2					(19-19)エラーメッセージ 「処分決定・決裁では、規則第四十一条処理区分に「完了」は設定できません。」を表示する			2(完了)を入力不可にする対応も可
		NO						(19-20) → (22)へ	/		
	NO	(20)エラーメッセージを表示する								(21)同画面を編集する→(16)へ	
	(22)処分区分が変更された(YES,NO)								/		
	YES	(23)処分区分変更の審査(別紙2)(OK:YES,NG:NO) [4.0]							/		
		YES						(24)変更後の処分区分と処分名称を処分決定(受付)画面の変更処分区分と変更処分名称に設定する → (28)へ	/		
		NO						(25)エラーメッセージを表示する		(26)同画面を編集する→(16)へ	
	NO	(27)処分決定(受付)画面の変更処分区分をコード変換し、変更処分名称に設定する →(28)へ							/		
	(28)発日が入力された(YES,NO)								/		
	YES	(29)変更処分区分=3又は4である(YES,NO)							/		受理照会、処理照会のときだけ発日入力可能
		YES						→		(30)同画面を編集する→(16)へ	
		NO						(31)エラーメッセージ 「発日は入力できません。」を表示する。			
	NO	(32) → (33)へ							/		発日入力がないときはｼｽﾃﾑ日付をｼｽﾃﾑで設定

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名				処分決定(仮受付)					
処理名				0.0 本紙				備考	
	(33)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)				/				
	YES	(34)指示日がある(入力された)(YES,NO)			/			法務局からの回答による処理で提示日は必要入力項目	
		YES	→			(35)同画面を編集する→(16)へ		収日は入力されたデータを、入力がない場合はシステム日付をシステムで設定	
		NO	(36)エラーメッセージ 「指示日を入力して下さい。」を表示する						
	NO	(37)指示日が入力された(YES,NO)			/				
		YES	(38)エラーメッセージ 「指示日は入力できません。」を表示する			(39)同画面を編集する→(16)へ			
		NO	(40) → (41)へ		/				
		(41)収日が入力された(YES,NO)			/				
		YES	(42)エラーメッセージ 「収日は入力できません。」を表示する			(43)同画面を編集する→(16)へ			
		NO	→						
PF1	(44)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある：YES,ない：NO)				/				
	YES	(45)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する [7.0]			/			届書レコードの排他の解除を行う	
	NO	→							
	(46)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する					(47)業務選択に制御を渡す			
PF2	(48)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある：YES,ない：NO)				/				
	YES	(49)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する [7.0]			/			届書レコードの排他の解除を行う	
	NO	→			/				
	(50)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する					(51)抽出選択に制御を渡す			
PF3	(52)処分決定(受付)画面の変更処分名称がコード変換(表示)されている(YES,NO)				/	実行ｷｰを押してからでないとPF3キー(処分決定)処理は行えない 画面項目を入力したら実行キーを押さなければならない			
	YES	(53)入力項目がチェック済みである(YES,NO)			/				
		YES	(54)処分区分、入力処理方式、受付件数の各条件により以下の処理を行う(処理テーブル表を参照) [5.0]		/				
			処理内容	(55)受領番号確保処理 [6.0]	/				
				(56)届書ファイル処理 [7.0]	/				
				(57)受付DB処理 [8.0]	/				
				(58)仮戸籍ファイル処理 [9.0]	/				
				(59)戸籍DB処理 [10.0]	/				
				(60)個人状態ファイル処理 [11.0]	/				
				(61)仮住民票記載事項通知ファイル処理 [12.0]	/				
				(62)エラー履歴ファイル処理 [13.0]	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)

処理名	0.0 本紙				備考
	(63)	/			2.0版で削除
	(63-1)仮公選法通知ファイル処理 [15.0]	/			
	(63-2)仮本人届出確認台帳ファイル [16.0]	/			
	(63-3)参照戸籍ファイル処理 [17.0]	/			
	(63-3-1)中間ファイル(届書処理通番)がない(YES,NO)	/			中間ファイル(届書処理通番)は、在外送付区分が0:受理分又は2:在外公館からの直接送付の場合は、非本籍人検索(I0140)で作成される。 在外送付区分が4:情報の通知の場合は、送付分届書等一覧で作成される。 在外送付区分が1:国内からの送付又は3:在外公館の間接送付の場合は、作成されない。
	YES (63-3-2)番号取得ファイルを番号種別=4(届書処理通番の連番)で検索する	/			
	(63-3-3)番号取得ファイルの西暦年月日=本日である(YES,NO)	/			
	YES (63-3-4)番号取得ファイルの連番に1を足し、一時項目として保存する	/			
	(63-3-5)番号取得ファイルの連番に1を足し、番号取得ファイルを更新する	/			
	NO (63-3-6)1を一時項目として保存する	/			
	(63-3-7)番号取得ファイルの西暦年月日を本日、連番を0で番号取得ファイルを更新する	/			
	NO (63-3-8)→(63-4)	/			
	(63-4)届書処理通番ファイル処理 [18.0]	/			中間ファイル(仮受付)の件数分作成する
	(63-5)送付先市区町村情報ファイル処理 [19.0]	/			
	(63-6)仮個人状態ファイル処理 [20.0]	/			
	(64)中間ファイルをすべて削除する		(65)処分決定(受付･確認)処理に制御を渡す		
	NO (66)エラーメッセージ「実行キーを押さないと処分決定(PF3)処理はできません。」表示する		(67)同画面を編集する→(16)へ		
	NO				
PF5	(68)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する	/			
	(69)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する		(70)届書入力処理に制御を渡す		
PF7	(71)受付件数>1である(YES,NO)	/			PF7、PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときのみ使用可 (事件本人が3名以上いる場面の画面スクロールとは異なる
	YES (72)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES,NO)	/			
	YES (73)前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集･表示する		(74)同画面を編集する→(16)へ		
	NO (75)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です。」を表示する				
	NO (76)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	0.0 本紙							備考	
PF8	(77)受付件数>1である(YES,NO)					/			
	YES	(78)現在画面表示している中間ﾌｧｲﾙ(仮受付)のﾚｺｰﾄﾞより後のﾚｺｰﾄﾞがある(YES,NO)				/			
		YES	(79)次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集･表示する				(80)同画面を編集する→(16)へ		
		NO	(81)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です。」を表示する						
	NO	(82)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する							
PF10	→						(83)仮戸籍表示に制御を渡す		
PF11	→						(84)エラー履歴表示に制御を渡す		
PF12	(85)入力画面を初期化する						(86)同画面を編集する→(16)へ		
その他	(87)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました。」を表示する						(88)同画面を編集する→(16)へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	1.0 初期審査:別紙1

					備考
(1)中間ファイル(仮受付)を読み、受付件数(レコード数)をカウントする			/		
(2)中間ファイル(届書)の受領番号が空白である(YES,NO)			/		
YES	→			(3)本紙へ	
NO	(4) → (5)		/		
(5)中間ファイル(届書)の受領番号をキーとして受付DBを検索する			/	受付DBで履歴がある場合は最新の受付DBが検索対象となる	
(6)受付DBの処分区分=スペースである(YES,NO)			/		
YES	(7)受付件数=1である(YES,NO)		/		受領番号確保処理での審査：(7)～(18)まで
	YES	(8)中間ファイル(仮受付)の受領番号に、中間ファイル(届書)の受領番号を設定する [1.1]		(9)本紙へ	
	NO	(10)(受付件数-1)の回数(10)～(15)の処理を繰り返す	/		受付件数分連続した受付ファイルが取得できるかのチェック
		(11)次の受付DBを検索する	/		
		(12)受付DBがある(YES,NO)	/		
		YES (13)受付DBの処分区分=スペースである(YES,NO)	/		
		YES (14) → (10) へ	/		
		NO (15)エラーメッセージ「連続して受付帳を確保することができません」を表示する		(16)本紙へ	受領番号取得処理で確保した数を超えて受付帳が作成される場合はエラーとし、審査結果入力で処理する
		NO			
		→			
		(17)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの受領番号に中間ファイル(届書)の受領番号を設定する。以下順次1を加えた数を次レコードの受領番号に設定し、最後のレコードまで処理する [1.1] 各々のレコードの関連受領番号(1～5)には今回の処理で作成された他のレコードの受領番号を設定する	/		中間ファイル(仮受付)の受領番号と関連受領番号(1～5)へのデータ設定
		(18)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの関連受領番号(1～5)を中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)に設定する [1.2]		(19)本紙へ	中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)へのデータ設定
NO	(20)受付DBの決裁区分は「未決裁」又は「修正」又は処分区分が「誤処理」である(YES,NO)		/		受領番号確保処理以外での再入力処理の審査決裁区分が「決裁」以外 又は 処分区分が「誤処理」のものが対象となる
	YES	(21)受付DBの関連受領番号のデータ数をカウントする	/		
		(22)受付件数 = 関連受領番号の数 + 1 である(YES,NO)	/		
		YES (23)受付DBの関連受領番号(1～5)を中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)に設定する [1.2]	/		中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)へのデータ設定
		(24)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの受領番号と関連受領番号(1～5)に、受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)を設定する [1.1]	/		作成済みの受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)のデータを、中間ファイル(仮受付)の最初のレコードに移記する

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	1.0 初期審査:別紙1

					備考
(25)受付DBの決裁区分は「修正」である(YES,NO)			/		
YES	(26)受付DBの決裁区分を中間ファイル(届書)の決裁区分に設定する [1.2]		/		
	(27)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの決裁区分に、受付DBの決裁区分を設定する [1.1]		/		
NO	(28) → (29)へ		/		
(29)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)			/		
YES	(30)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの発日に、受付DBの発日を設定する [1.1]		/		法務局からの回答入力のとき、受付ＤＢの発日を中間ファイル(仮受付)の最初のレコードに移記する
NO	(31) → (32)へ		/		
(32)関連受領番号の数だけ(33)～(43)の処理を繰り返す			/		
	(33)関連受領番号をキーとして受付DBを検索する		/		
	(34)受付DBの決裁区分は「未決裁」又は「修正」又は処分区分は「誤処理」である (YES,NO)		/		
	YES	(35)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの受領番号と関連受領番号(1～5)に、検索した受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)を設定する [1.1]	/		次の受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)のデータを、中間ファイル(仮受付)の次のレコードに移記する
		(36)受付DBの決裁区分は「修正」である(YES,NO)	/		
		YES (37)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの決裁区分に、検索した受付DBの決裁区分を設定する → (32)へ [1.1]	/		
		NO (38) → (39)へ	/		
		(39)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)	/		
		YES (40)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの発日に、検索した受付DBの発日を設定する→(32)へ [1.1]	/		法務局からの回答入力のとき、受付DBの発日を中間ファイル(仮受付)の次のレコードに移記する
		NO (41) → (32)へ	/		
	NO	(42)エラーメッセージ「前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています」を表示する		(43)本紙へ	関連受領番号に該当する受付DBが既に決裁済みになっている場合はエラーとし、審査結果入力で処理する
→					

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	1.0 初期審査:別紙1

					備考
	NO	(44)エラーメッセージ 「前回の届書審査で作成された受付帳の数と今回の受付帳の数が異なります」を表示する			今回作成される受付帳の数が前回と異なる場合はエラーとし、審査結果入力で処理する
	NO	(45)エラーメッセージ 「前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています」を表示する			

初期審査での審査事項
・既に受付レコードが作成されている届に対して、再入力処理を行ったとき
(決裁区分は「決裁」以外である)
(1)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが、受領番号確保処理で取得されたものの場合、入力審査で作成された中間ファイル(仮受付)のレコード件数分、受領番号確保処理で作成された受付レコードが存在すること。

この場合、作成された中間(仮受付)の各々のレコードに、記録される情報は次のものである。
①受領番号
②関連受領番号(複数レコード作成される場合) この場合は併せて、中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号に、関連受領番号を設定する。

(2)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが、処分決定処理で作成されたものの場合、以前の処分決定時に作成した受付レコードの件数と、今回作成した中間ファイル(仮受付)のレコード件数が同じであること。
この場合、既に作成済みの受付レコードから、新たに作成されるレコードへ受け渡す情報は次のものである。
①関連受領番号(1～5)
②発日(ただし、届出選択事件が「受理指示」または「不受理指示」のときのみ)
③決裁区外(ただし、従前の受付レコードの決裁区分が「修正」のときのみ)

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	1.1 中間ファイル(仮受付)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領番号		受付DB(受付)	受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日			発日				「受理指示」「不受理指示」のとき
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	1.1 中間ファイル(仮受付)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分			決裁区分				「修正」のとき

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	1.2 中間ファイル(届書)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1～5)		受付DB(受付)	関連受領番号(1～5)				
	ロック戸籍番号(1～5)							
	事件本人個人番号(1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分		受付DB(受付)	決裁区分				
	届書排他区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	2.0 処分決定(仮受付)表示								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
処分決定 (仮受付)画面	画面ID								
	システム日付					有		システム日付	
	現ページ、総ページ								
	受領番号		中間ファイル (仮受付) 受付	受領番号					
	受理送付の別			受理送付区分		有			
	受付日			受付日		有			
	処分名称		処分決定 (仮受付)処理	表示の処分名称				最初の処分内容を表示(変化なし)	
	事件名			事件コード		有			
	事件発生日		中間ファイル (仮受付) 受付	事件発生日		有			
	事件発生時分			事件発生時分		有			
	決裁内容			決裁区分		有			
	出張所番号			出張所番号					
	発送日			発送日		有			
	郵送日			郵送日		有			
	本籍非本籍の別			本非区分		有			
	発日			発日		有			
	収日			収日		有			
	指示日			指示日		有			
	許可日			許可日		有			
	渉外内容			渉外区分		有			
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)					
	事件本人区分内容(1～4)		中間ファイル (仮受付) 事件本人	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1) ← 事件本人の1レコード目 (2) ← 事件本人の2レコード目 (3) ← 事件本人の3レコード目 (4) ← 事件本人の4レコード目	
	届出人表示(1～4)			届出人区分		有			
	振り仮名(1～4)			振り仮名					
	漢字氏名(1～4)			漢字氏名					
	生年月日(1～4)			生年月日		有			
	送達確認2(1～4)			送達確認2					
	送達確認1		中間F(仮受付)受付	送達確認1					

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	2.0 処分決定(仮受付)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	本籍(1～4)		中間ファイル (仮受付) 事件本人	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	戸籍の筆頭者(1～4)			戸籍の筆頭者				
	届出人資格1		中間ファイル (仮受付) 受付	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍 (*1)			届後本籍コード				(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡　又は 「4402」:その他(本籍分明)又は 「4404」:その他(死亡)のとき、 「届後本籍」に設定があれば、その内容を表示する。なお、このときに画面のタイトルを「死亡日時」に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理					当初は処分決定(仮受付)処理での「表示する処分区分」を設定
	変更処分名称					有		当初はスペース
	追完届有無フラグ							再入力時は、受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、追完届有無フラグの内容を設定する
	追完届有無フラグ名称					有		
	規則第四十一条処理区分							再入力時は、受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、規則第四十一条処理区分の内容を設定する
	規則第四十一条処理区分名称					有		

データチェック(単体表)			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名			画面名	画面ID				
3.0 単体チェック			処分決定(受付)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処分区分	○	数字	(1:受理、2:不受理、3:受理照会、4:処理照会、 5:返戻、6:取下げ、7:保留、 8:受理処分の撤回、A:誤入力)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2							2.0版で削除
3	発日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≦発日であること)			処分区分が「受理照会」「処理照会」のときのみ入力可
4	収日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≧収日であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみ入力可
5	指示日		数字	日付チェックサブルーチン (発日≦指示日≦収日(システム日付)であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみこの場合必須入力
6	追完届有無フラグ		数字	(0:無、1:有)であること			
7	規則第四十一条処理区分		数字	(0:該当無し、1:処理中、2:完了)であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	4.0 審査:別紙2

1 通常入力での処分の変更(複数回修正された場合:最初に表示された処分区分(画面の処分名称)と変更処分区分を比較する)

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分								
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤回	誤入力
受理	受理	受理	受理	-	○*1	○	×	×	○	○	×	×
		不受理	受理照会	×	○*1	-	×	×	○	○	×	×
	送付	受理	受理	-	×	×	○	○*2	×	○	×	×
		不受理	処理照会	×	×	×	-	○*2	×	○	×	×
不受理	受理	-	不受理	×	-	○	×	×	○	○	×	×
	送付	-	処理照会	×	×	×	-	○*2	×	○	×	×
受理照会	受理	-	受理照会	×	○*1	-	×	×	○	○	×	×
	送付	-	処理照会	○*3	×	×	-	○*2	×	○	×	×

*1:システムで審査できない要件で法令エラーがある場合に変更可能。(例:近親婚 等)
*2:送付された届書で重大な法令エラーがあった場合は、ただちに受理地へ返送する「返戻」として処分区分を変更できる。
*3:送付された届書で「受理照会」要件の審査があった場合は、受理した自治体で法務局への照会が完了しているケースが殆どと考える。
そこで、「処理照会」の処分区分を「受理」に変更できるように変更する。ただし、下記メッセージを表示し、YESの場合のみ変更を許可する。
確認メッセージ「処理照会要件は、法務局に照会済ですね。」(YES、NO)
YES→「受理」の変更を許可する。NO→メッセージ「法務局に照会して下さい。」を表示し、「受理」への変更を許可しない。
変更結果が「○」または「-」のときはそのまま「本紙へ」
変更結果が「×」のときは、エラーメッセージ「XXXXには変更できません」を編集して「本紙へ」
↑変更した処分区分名

2 受領番号確保処理後の入力処理での処分の変更(受付帳の処分区分はスペース)
1の通常入力と同じ

3 処分区分が「受理照会」*1「保留」となっていたものの再入力処理での処分の変更
*1:法務局へ問い合わせる前に「受理」「不受理」が分かった場合
1の通常入力と同じであるが、「誤入力」への変更は可
※「誤入力」への変更の場合はメッセージ「入力が取り消されます。よろしいですね。」を表示する(以降も同様)

備考
下記仕様参照(平成6年10月6日提示) ・受付ファイルでの処分区分と決裁区分について ・受付ファイルの作成経過
18.0版の出生届、19.0版の73条の2届に伴う修正。
「誤入力」のメッセージ内容は任意設計

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)					
処理名	4.0 審査:別紙2				備考	

4 処分区分が「処理照会」*1となっていたものの再入力処理での処分の変更
*1:法務局へ問い合わせる前に処理の方法が分かった場合

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分								
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤回	誤入力
受理	受理	受理	受理	-	×	×	○	×	×	×	○*	○
		不受理	受理照会	×	×	×	○	×	×	×	○*	○
	送付	受理	受理	-	×	×	○	○	×	×	×	○
		不受理	処理照会	×	×	×	-	○	×	×	×	○
不受理・受理照会	受理	-	処理照会	×	×	×	-	×	×	×	○*	○
	送付	-	処理照会	×	×	×	-	○	×	×	×	○

*:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され、正しい情報を入力した結果、無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし、メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

5 処分区分が「受理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	
受理	-	-	-	受理*	⇒処分区分の変更はできない
不受理	入力・審査は行わない			不受理	

*:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので、メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

※法務局に受理照会した届等で「誤入力」の対象になる処理があった場合は、一旦「受理」又は「不受理」に処分区分を変更し、その後「誤入力」に変更する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	4.0 審査:別紙2

備考

6 処分区分が「処理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	
受理	−	−	−	受理*	
不受理	入力・審査は行わない	受理	−	受理処分の撤回	⇒処分区分の変更はできない
		送付		返戻	

*:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので、メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

※法務局に処理照会した届等で「誤入力」の対象になる処理があった場合は、一旦「受理」、「受理処分の撤回」又は「返戻」に処分区分を変更し、その後「誤入力」に変更する。

7 決裁区分が「修正」または「未決裁」となっていたものの再入力処理での処分の変更

前処分区分	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分								
					受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤回	誤入力
受理	−*1	受理	−*1	受理*1	−	×	×	×	×	×	×	○*2	○
		送付			−	×	×	×	×	×	×	×	○
受理以外	−*1	−	−*1	前処分区分*1	前処分区分と同じ処分区分でなければいけない(修正不可)								○

*1:前回の処分区分が受理のとき、再入力処理において審査の結果が「不受理」となった場合でも処分区分を変更することはできない(一部を除く)。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので、メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

*2:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され、正しい情報を入力した結果、無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし、メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

8 処分区分が「誤処理」*1(決裁で誤処理とされたもの)となっていたものの再入力処理での処分の変更
1の通常入力と同じであるが、「誤入力」への変更は可
*1:前回の処分区分が「誤処理」であれば、処分決定で作成する受付ファイルは、同一受領番号で新しいレコードを作成する。
前データ(処分区分が「誤処理」となっているデータ)は履歴となる。
「誤入力」とした場合は、新しいレコードの処分区分に「誤入力」を設定する。

「誤処理」後の「誤入力」は無いと考えるが、「誤入力」の入力も可とする

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	5.0　処理テーブル表（処分区分での処理内容表）

※上段:受領番号未確保　　下段:受領番号確保済(受理処分の撤回、誤入力はこの処理のみ)

処分区分 / 処理内容	受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ *2	保留	受理処分の撤回	誤入力
受領番号取得	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	－	－
	－	－	－	－	－	－	－		
届書ファイル	作成処理	作成処理	－	－	作成･更新処理	－	作成処理	更新処理	作成・更新処理 *3
	作成･更新処理	作成･更新処理	削除処理	削除処理		削除処理	作成･更新処理		
受付ＤＢ	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	追加処理	更新処理
	作成･追加処理*1	作成･追加処理*1	作成･追加処理*1	作成･追加処理*1	作成･追加処理*1	作成･追加処理*1	作成･追加処理*1		
仮戸籍ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－	削除処理
	作成処理	－	－	－	－	－	－		
戸籍ＤＢ	－	－	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	－	－
	－	－	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理		
個人状態ファイル	－	－	作成･更新処理	作成･更新処理	－	－	作成･更新処理	－	－
	－	－	作成･更新処理	作成･更新処理	－	－	作成･更新処理		
仮住民票記載事項通知ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－	削除処理
	作成処理	－	－	－	－	－	－		
エラー履歴ファイル	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	－	－	更新処理	－
	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	－	－		
仮公選法通知ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－	削除処理
	作成処理	－	－	－	－	－	－		
仮本人届出確認台帳ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	更新処理	削除処理
	更新処理	－	－	－	－	－	－		
参照戸籍ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－	削除処理
	作成処理	－	－	－	－	－	－		
届書処理通番ファイル	作成･更新処理	作成･更新処理	作成･更新処理	作成･更新処理	作成･更新処理	作成･更新処理	作成･更新処理	－	－
	更新処理	更新処理	－	－	更新処理	－	－		
送付先市区町村情報ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－	削除処理
	作成処理	－	－	－	－	－	－		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表)

仮個人状態ファイル	作成処理	−	−	−	−	−	−	−	削除処理
	作成処理	−	−	−	−	−	−		

*1:前回の処分区分が「誤処理」(決裁で誤処理されたもの)の場合は、同一受領番号で新しいレコードを追加する。
*2:取下げの場合、送信情報(管理情報)[TR01:届書等情報送信(法務省宛)]、送信情報(受付)、送信情報(事件本人)を作成する(7-2-(11)「決裁」処理 送信用届書等情報ファイル 参照)。
*2:取下げの場合、該当の送付分届書等一覧ファイルがあれば、送付分処理状況区分=3(処理完了)を設定する。
*3:決裁を行うため「誤入力」の場合は、届書ファイルが作成されていればそれを利用し、作成されていなければ作成する。

【受領番号取得処理】:再入力処理でない場合
番号ファイルを読み、受領番号を取得する
受領番号に受付件数を足した数を番号ファイルの受領番号にセットしファイルを更新する

【届書ファイル処理】
(1)作成処理:再入力処理でない場合
① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、届書ファイルを作成する。
② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した最初の受領番号をセットする。
次の受領番号から取得した最後の受領番号までを、順次同時決裁受領番号(1〜5)にセットする。
届書ファイルを作成する。
(2)更新処理:再入力処理の場合
中間ファイル(届書)の受領番号に該当する届書ファイルを更新する。
(3)削除処理:処分区分が「受理照会」又は「処理照会」又は「取下げ」の場合でかつ再入力処理の場合
中間ファイル(届書)に受領番号があれば、それに該当する届書ファイルを検索し、あった場合にその届書ファイルを削除する。

【受付DB処理】
(1)作成処理:再入力処理でない場合
処分区分が「取下げ」の場合、決裁区分に「決裁」を設定する(それ以外は「未決裁」)。
① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、受付DBを作成する。
② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した最初の受領番号を順番にセットする。
(1レコード目:取得の受領番号、2レコード目:取得の受領番号+1、3レコード目:取得の受領番号+2…。)
中間フィイル(仮受付)の各レコードの関連受領番号(1〜5)に他のレコードの受領番号を順次セットする。
各々のレコード毎に受付DBを作成する。
(2)更新処理:再入力処理の場合(決裁区分が「未決裁」「修正」である)
中間ファイル (仮受付)の受領番号に該当する受付DBを更新する(複数件数ある場合は各々のレコード毎に受付DBを更新する)。
(3)追加処理:処分区分が「受理処分の撤回」又は前回の処分区分が「誤処理」(決裁で誤処理されたもの)の場合(再入力処理しかない)
中間ファイル(仮受付)の受領番号と枝番をカウントアップし、該当する受付DBにレコードを追加する。
(複数件数ある場合は各々の受領番号毎の受付DBにレコードを追加する)。

【仮戸籍ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(仮戸籍)の各レコード(仮戸籍が複数ある場合)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし(受付件数が複数ある場合は最初の受領番号)、仮戸籍ファイルを作成する。

【戸籍DB処理】:処分区分が「受理照会」「処理照会」「取下げ」「保留」の場合
中間ファイル(届書)のロック戸籍番号(1〜5)に記載のある戸籍DBを検索する。
戸籍特定DBの戸籍異動処分に"0"をセットし、戸籍DBを更新する(届書審査でロックをかけた戸籍のロック解除処理)。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表)

【個人状態ファイル処理】
(1)処分区分が「受理照会」「処理照会」の場合:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。
個人状態ファイルがあれば、受理処理照会区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、受理処理照会区分に"1"をセットする(作成処理)。
(2)処分区分が「保留」:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。
個人状態ファイルがあれば、保留区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、保留区分に"1"をセットする(作成処理)。

【仮住民票記載事項通知ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(住民票記載事項通知)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮住民票記載事項通知ファイルを作成する。

【エラー履歴処理】:処分区分が「受理」「不受理」「返戻」「受理処分の撤回」
エラー履歴ファイルの受領番号に受領番号所得処理で取得した受領番号をセットし、エラー履歴ファイルを更新する。

【仮公選法通知ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(公選法通知)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮公選法通知ファイルを作成する。

【仮本人届出確認台帳ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
・ファイル作成件数は、受付DBの作成件数と同じ(上記【受付DB処理】参照)。
・創設的届出のものだけ作成する(創設的届出一覧は【第7.2.(22)本人届出確認台帳管理】を参照。)
「受理処分の撤回」の場合、本人届出確認台帳の「処分区分」を変更する。この処分区分の場合、本人届出確認台帳の検索対象としないこと。
※「受理」で作成したファイルを削除しても構わない。

【参照戸籍ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(参照戸籍)の各レコード(参照戸籍が複数ある場合)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし(受付件数が複数ある場合は最初の受領番号)、参照戸籍ファイルを作成する。※届書等情報の送信を受けた場合、参照戸籍ファイルは「送付分届書等振分け」処理で作成される。

【届書処理通番ファイル処理】
中間ファイル(仮受付)の件数分作成する。
本籍人検索又は非本籍人検索で作成した中間ファイル(届書処理通番)と、受付DBに記録された受領番号をセットして届書処理通番ファイルを作成する。
届書処理通番は1処理で1つの番号であるため、決裁が完了するまで同じ番号を使用する(処分区分「取下げ」は処分決定で完了)。
※障害等で戸籍情報連携システムとの連携ができない場合、連携前と同様非本籍人の情報は手入力で行うことになる。処理通番が取得されない場合は、処理通番ファイルを作成しない。 ※0102版で処理通番を戸籍情報システムで採番する改訂が行われることから、届書処理通番ファイルは常に作成される
※届書等情報の送信を受けた場合、届書処理通番ファイルは「送付分届書等振分け」処理で作成される。そのため、作成済のファイルを更新する。

【送付先市区町村情報ファイル処理】
在外送付区分=0(受理分)又は2(在外公館の直接送付)の場合に作成する。
中間ファイル(仮受付)の件数分処理する。
処分決定で作成された受付DBから送付先市区町村情報を作成し、届書処理通番単位で送付先市区町村情報を作成する。
仕様は、戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書_別紙２－３_電文設計書（ファイル連携）_F0050-C02:管理情報及びF0050-R04:送付先情報とする。

【仮個人状態ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合、中間ファイル(仮個人状態)を仮個人状態ファイルとして作成する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	6.0 受領番号更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
番号取得ファイル	番号種別		処分決定 (仮受付)処理	番号種別				3:受領番号
	西暦年			西暦年				
	受領番号			受領番号				最新の受領番号をセットする

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	7.0 届書ファイル更新処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
届書ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする	
	選択事件コード		中間ファイル(届書)	選択事件コード					
	出張所番号			出張所番号					
	受領日			受領日					
	送付日			送付日					
	発送元			発送元					
	在外送付区分			在外送付区分					
	処理日			処理日					
	指示日			指示日					
	許可日			許可日					
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	郵送日			郵送日					
	動態区分			動態区分					
	届区分			届区分					
	渉外区分			渉外区分					
	同時決裁受領番号(1～5)		処分決定(仮受付)処理	同時決裁受領番号(1～5)					
	ロック戸籍番号(1～5)		中間ファイル(届書)	ロック戸籍番号(1～5)					
	事件別内容			事件別内容				届出事件により異なる	
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分					
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分					
	決裁区分		中間ファイル(届書)	決裁区分					
	届書排他区分		処分決定 (仮受付)処理					0:未 を設定(排他の解除のみの場合はこの項目だけを修正する)	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	8.0 受付DB作成・更新処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
受付DB(受付)	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする	
	出張所番号		中間ファイル (仮受付)	出張所番号					
	受付事件コード			受付事件コード					
	受付日			受付日					
	事件発生日			事件発生日					
	事件発生時分			事件発生時分					
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	発送日			発送日					
	郵送日			郵送日					
	発日		処分決定 (仮受付)処理	発日					
	収日			収日					
	指示日			指示日					
	許可日		中間ファイル (仮受付)	許可日					
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)					
	届出人資格区分1			届出人資格区分1					
	届出人資格名称1			届出人資格名称1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					
	届出人資格区分2			届出人資格区分2					
	届出人資格名称2			届出人資格名称2					
	届出人氏名2			届出人氏名2					
	届後本籍区分			届後本籍区分					
	届後本籍コード			届後本籍コード					
	届後本籍			届後本籍					
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	8.0 受付DB作成･更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認1			送達確認1				1(未到着)の場合は4(送信済)を設定
	証書提出区分			証書提出区分				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分				
	決裁区分		中間ファイル(仮受付)	決裁区分				
受付DB(事件本人)	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	行番号							複数レコードを管理する(RDB)
事件本人が複数人いる場合は複数件のレコードが作成される	事件本人区分		中間ファイル (仮受付)	事件本人区分				
	届出人区分			届出人区分				
	カナ氏名			カナ氏名				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				1(未到着)の場合は4(送信済)を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	9.0 仮戸籍ファイル作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
仮戸籍ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする	
	その他の項目は省略		中間ファイル(仮戸籍)	その他の項目は省略					

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	10.0 戸籍DB更新処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
戸籍DB(戸籍特定)	戸籍番号								
	編製日								
	改製日								
	回復日								
	消除日								
	本籍コード								
	本籍								
	筆頭者								
	筆頭者振り仮名								
	記載者数								
	在籍者数								
	除籍者数								
	戸籍除区分								
	戸籍異動区分		処分決定(仮受付)処理					0:解除を設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	11.0 個人状態ファイル更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号							
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							
	裁判所通知区分							
	胎児認知区分							
	受理処理照会区分		処分決定 (仮受付)処理					処分が「受理照会」「処理照会」のとき1を設定
	保留区分							処分が「保留」のとき1を設定
	注意喚起区分							
	氏の振り仮名職権記録区分							
	名の振り仮名職権記録区分							
	メモ							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	12.0 仮住民票記載事項通知ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮住民票記載事項通知ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル (住民票記載事項通知)	出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	12.0 仮住民票記載事項通知ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	13.0 エラー履歴ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
エラー履歴ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	エラーコード							
	メッセージコード(1～20)							
	確認(1～20)							
	審査完了区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	15.0 仮公選法通知ファイル							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮公選法通知ファイル	受領番号		処分決定 (仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル (公選法通知)	出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード		中間ファイル(仮受付)	受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分				
	台帳対象区分							受付事件コードに応じて「1:対象」「2:対象外」を初期設定
	漢字氏名(1)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(1)				中間ファイル(仮受付)の1レコード目
	住所(1)							
	本人区分(1)			事件本人区分(1)				
	来庁者区分(1)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(1)							
	確認方法1(1)							
	確認手段1(1)							
	確認方法2(1)							
	確認手段2(1)							
	確認担当者(1)							
	通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(1)							
	通知担当者(1)							
	漢字氏名(2)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(2)				中間ファイル(仮受付)の2レコード目
	住所(2)							
	本人区分(2)			事件本人区分(2)				
	来庁者区分(2)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認区分(2)							
	確認方法1(2)							
	確認手段1(2)							
	確認方法2(2)							
	確認手段2(2)							
	確認担当者(2)							
	通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(2)							
	通知担当者(2)							
	漢字氏名(3)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(3)				中間ファイル(仮受付)の3レコード目
	住所(3)							
	本人区分(3)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(3)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(3)							
	確認方法1(3)							
	確認手段1(3)							
	確認方法2(3)							
	確認手段2(3)							
	確認担当者(3)							
	通知要否(3)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(3)							
	通知担当者(3)							
	漢字氏名(4)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(4)				中間ファイル(仮受付)の4レコード目
	住所(4)							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	本人区分(4)			事件本人区分(3)					
	来庁者区分(4)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定	
	確認区分(4)								
	確認方法1(4)								
	確認手段1(4)								
	確認方法2(4)								
	確認手段2(4)								
	確認担当者(4)								
	通知要否(4)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定	
	通知担当者(4)								
	届出人氏名(1)		中間ファイル(仮受付)	届出人氏名1					
	届出人住所(1)								
	届出人本人区分(1)			届出人資格名称1					
	届出人来庁者区分(1)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定	
	届出人確認区分(1)								
	届出人確認方法1(1)								
	届出人確認手段1(1)								
	届出人確認方法2(1)								
	届出人確認手段2(1)								
	届出人確認担当者(1)								
	届出人通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定	
	届出人通知日(1)								
	届出人通知担当者(1)								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人氏名(2)		中間ファイル (仮受付)	届出人氏名2				
	届出人住所(2)							
	届出人本人区分(2)			届出人資格名称2				
	届出人来庁者区分(2)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(2)							
	届出人確認方法1(2)							
	届出人確認手段1(2)							
	届出人確認方法2(2)							
	届出人確認手段2(2)							
	届出人確認担当者(2)							
	届出人通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(2)							
	届出人通知担当者(2)							
	使者氏名(1)							
	使者住所(1)							
	使者確認区分(1)							
	使者確認方法1(1)							
	使者確認手段1(1)							
	使者確認方法2(1)							
	使者確認手段2(1)							
	使者確認担当者(1)							
	使者氏名(2)							
	使者住所(2)							
	使者確認区分(2)							
	使者確認方法1(2)							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	使者確認手段1(2)							
	使者確認方法2(2)							
	使者確認手段2(2)							
	使者確認担当者(2)							
	備考							

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付		版	R2.2
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	17.0　参照戸籍ファイル作成処理								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
参照戸籍ファイル	受領番号			処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	その他の項目は省略			中間ファイル (参照戸籍)	その他の項目は省略				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	18.0 届書処理通番ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
届書処理通番ファイル	届書処理通番		中間ファイル(届書処理通番)	届書処理通番				中間ファイル(届書処理通番)が無い場合は、「90+市区町村コード(5桁)+西暦年下2桁+月日(4桁)+連番(5桁)」を設定する ※連番は一時項目として保存した番号(「0.0 本紙」参照)
	行番号							受付ファイルの件数ごとに設定
	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				以降の項目は受付ファイルごとに設定
	在外送付区分		中間ファイル(届書)	在外送付区分				
	追完届有無フラグ		処分決定(仮受付)画面	追完届有無フラグ				
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	届書等情報送信区分							中間ファイル(届書)の在外送付区分が0:受理分又は2:在外公館の直接送付の場合「1:届書送信」を設定

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	19.0 送付先市区町村情報ファイル作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	送付先市区町村コード		中間ファイル(仮受付)	届後本籍コード又は(事件本人の)本籍コード				
	市区町村内送付先情報管理番号							1を設定 ※処分決定では送付先市区町村情報は最大1件だけである
	事件対象区分							欄外の【項目設定仕様】参照
	送付先区分							
	遺漏追加区分							
	送信区分							「1:未送信」を設定
	発信日(発送日)							

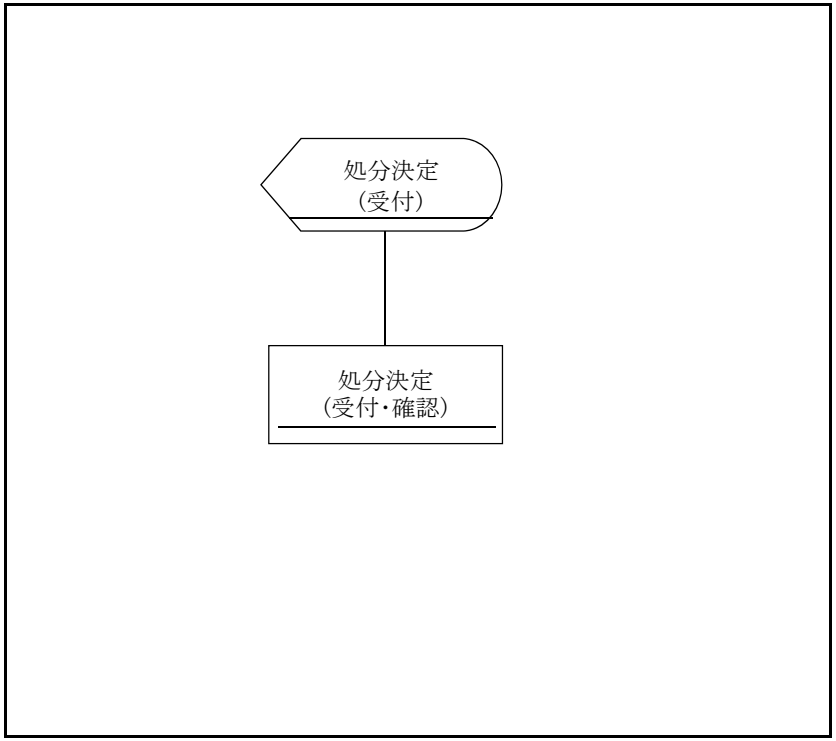
【項目設定仕様】

・届書ファイルの在外送付区分=1(国内からの送付)又は3(在外公館の国内経由)の場合は作成しない。
・受付DBの受付ファイルの届後本籍コードが非本籍(外国を除く)である場合、作成する。
・受付DBの事件本人ファイルの事件本人の本籍コードが非本籍(外国を除く)である場合、作成する。
・事件対象区分は「1:事件対象」を設定する。
　※「2:事件対象以外」(認知準正又は婚姻準正による子の父母との続柄訂正等)は、非本籍人で受付DBが作成されないため、その設定はない。
・送付先区分は、父の本籍地に送付する胎児認知届又は胎児認知届に対する出生届及び死産届、胎児認知届の受理地に送付する出生届の場合は「2:参考送付先」を設定し、それ以外は「1:送付先」を設定する。
・送付先市区町村が同一である場合は、一つの情報だけ作成する。

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	20.0 仮個人状態ファイル作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮個人状態ファイル	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	氏の振り仮名職権記録区分		中間ファイル (仮個人状態)	氏の振り仮名職権記録区分				
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	処分決定(受付･確認)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)受付DB内容、取得受領番号を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)、
　また移記事項入力画面に制御を渡す(PF3)。
　または本人届出確認台帳画面に制御を渡す(PF5)。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(受付･確認)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)処分決定(受付)画面を編集する、「内容を確認して下さい」のメッセージ出力 [1.0]				/				
(2)キー選択(PF1、PF2、PF3、PF5、PF7、PF8、その他)				/				
PF1	→				(3)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(4)届出選択に制御を渡す			
PF3	(5)仮戸籍ファイルが存在する(YES,NO)			/				
	YES	→			(6)移記事項処理に制御を渡す			
	NO	(7)エラーメッセージ 「仮戸籍がありませんので移動事項処理は行えません」を表示する			(8)同画面を編集する			
PF5	(8.1)仮本人届出確認台帳ファイルが存在する(YES,NO)			/				
	YES	→			(8.2)本人届出確認台帳処理に制御を渡す			
	NO	(8.3)エラーメッセージ 「本人届出確認台帳がありませんので本人届出確認台帳処理は行えません」 を表示する			(8.4)同画面を編集する			
PF7	(9)受付件数>1である(YES,NO)						PF7、PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときにのみ使用可 (事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)	
	YES	(10)現在表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES,NO)		/				
		YES	(11)前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(12)同画面を編集する			
		NO	(13)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する					
	NO	(14)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです」を表示する						
PF8	(15)受付件数>1である(YES,NO)			/				
	YES	(16)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより後のレコードがある(YES,NO)		/				
		YES	(17)次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(18)同画面を編集する			
		NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する					
	NO	(20)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです」を表示する						
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(受付・確認)							
処理名	1.0 処分決定(受付)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
処分決定(受付)画面	画面ID		前画面から項目を引き継ぐ					
	システム日付							
	現ページ、総ページ							
	受領番号		処分決定 (仮受付)処理	受領番号				再入力の場合は前画面から項目を引き継ぐ
	受理送付の別		前画面から項目を引き継ぐ					
	受付日							
	処分名称					有		処分決定した名称を表示
	事件名							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	決裁内容							
	出張所番号							
	発送日							
	郵送日							
	本籍非本籍の別							
	発日		処分決定 (仮受付)処理	発日				仮受付処理で入力がある場合はその日付を表示 システムで設定した日付も表示
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日		前画面から項目を引き継ぐ					
	渉外内容							
	関連受領番号(1～5)							
	事件本人区分内容(1～4)							
	届出人表示(1～4)							
	カナ氏名(1～4)							
	漢字氏名(1～4)							
	生年月日(1～4)							

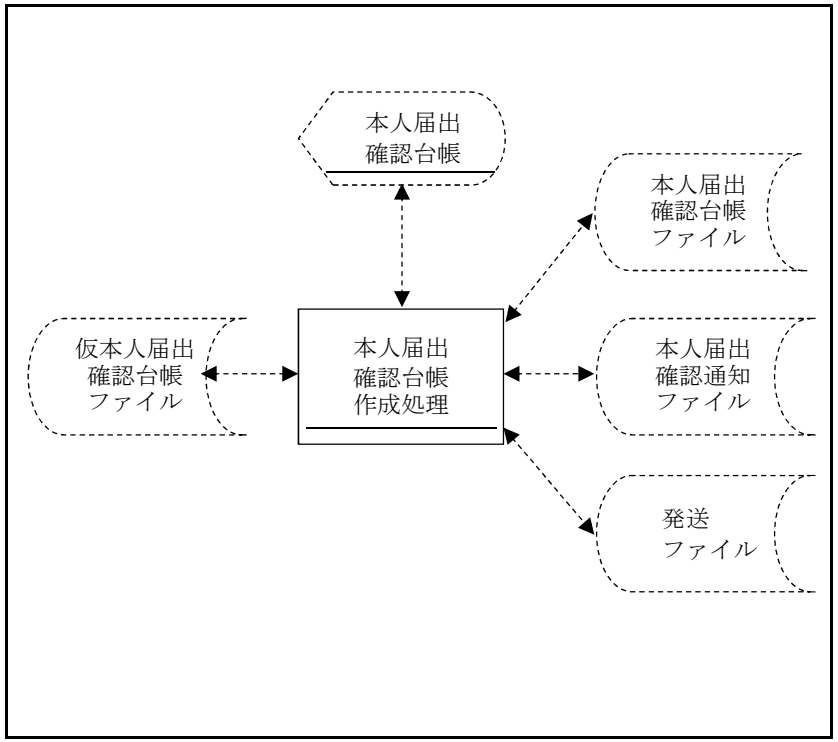
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	処分決定(受付･確認)							
処理名	1.0 処分決定(受付)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認2(1～4)							
	送達確認1							
	本籍(1～4)							
	戸籍の筆頭者(1～4)							
	届出人資格1							
	届出人氏名1							
	届出人資格2							
	届出人氏名2							
	届後本籍 (*1)							(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡 又は 「4402」:その他(本籍分明) のときに注意する
	届後戸籍の筆頭者							
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理	変更処分区分				変更処分区分、その名称を表示する
	変更処分名称					有		
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				
	追完届有無フラグ名称					有		
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	規則第四十一条処理区分名称					有		

システム環境仕様書	作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1

作業名	処分決定(本人届出確認台帳作成)

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮本人届出確認台帳ファイル	入力		
本人届出確認台帳ファイル	出力		
本人届出確認通知ファイル	出力		
発送ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)本人届出確認台帳を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(本人届出確認台帳画面)
- 2.0 単体チェック表
- 3.0 関連チェック表
- 4.0 データ編集表(本人届出確認台帳ファイル)
- 5.0 データ編集表(本人届出確認通知ファイル)
- 6.0 データ編集表(発送ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

サンプル提示

要件定義ワークシート						作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	処分決定(本人届出確認台帳作成)										
処理名	0.0 本紙									備考	
(1)本人届出確認台帳画面を編集する [1.0]							/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/				
		YES	(5)本人届出確認台帳ファイルを編集・出力する [4.0]				/				
			(6) 通知要否(全項目)に「1:通知要」がある(ある:YES,ない:NO)				/			事件本人及び届出人の全てが対象	
			YES	(7)本人届出確認通知ファイルを編集・出力する [5.0]			/				
				(8)発送ファイルを編集・出力する [6.0]				(9)同画面を編集する			
		NO	(10)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(11)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(12)届出選択に制御を渡す			
PF7	(13)仮本人届出確認台帳件数>1である(YES,NO)						/			PF7、PF8は1つの届で複数の仮本人届出確認台帳が作成されるときにのみ使用可(画面スクロールとは異なる)	
	YES	(14)現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより前のファイルがある(YES,NO)					/				
		YES	(15)前の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する					(16)同画面を編集する			
		NO	(17)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する								
	NO	(18)エラーメッセージ 「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する									
PF8	(19)仮本人届出確認台帳件数>1である(YES,NO)						/				
	YES	(20)現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより後のファイルがある(YES,NO)					/				
		YES	(21)次の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する					(22)同画面を編集する			
		NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する								
	NO	(24)エラーメッセージ 「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する									
PF12	(25)入力画面を初期化する							(26)同画面を編集する			
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する										

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出 確認台帳画面	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	受付事件			受付事件		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)				
	確認方法1(1)			確認方法1(1)				
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)				
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)				
	確認方法1(2)			確認方法1(2)				
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				
	確認方法2(2)			確認方法2(2)				
	確認手段2(2)			確認手段2(2)				

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0　本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)				
	確認方法1(3)			確認方法1(3)				
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)				
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)				
	確認方法1(4)			確認方法1(4)				
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				
	確認方法2(4)			確認方法2(4)				
	確認手段2(4)			確認手段2(4)				
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0　本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)				
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)				
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)				
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)				
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)				
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				
	届出人確認方法2(2)			届出人確認方法2(2)				
	届出人確認手段2(2)			届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)				
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)				
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)				
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)				
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

データチェック(単体表)		作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表		本人届出確認台帳画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	台帳対象区分	○	数字	(1:対象、2:対象外)であること。	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	漢字氏名(1)	○	漢字				
3	住所(1)		漢字				
4	本人区分(1)	○	数字	※コード一覧参照			修正可能
5	来庁者区分(1)	○	数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。			
6	確認区分(1)	○	数字	(0:未確認、1:確認)であること。			
7	確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
8	確認手段1(1)		漢字				
9	確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
10	確認手段2(1)		漢字				
11	確認担当者(1)		漢字				
12	通知要否(1)	○	数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。			
13	通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	通知担当者(1)		漢字				
15	漢字氏名(2)		漢字				
16	住所(2)		漢字				
17	本人区分(2)		数字	※コード一覧参照			修正可能
18	来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。			
19	確認区分(2)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。			
20	確認方法1(2)		数字				
21	確認手段1(2)		漢字				
22	確認方法2(2)		数字				
23	確認手段2(2)		漢字				
24	確認担当者(2)		漢字				
25	通知要否(2)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。			
26	通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	通知担当者(2)		漢字				

データチェック(単体表)			作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
28	漢字氏名(3)		漢字					
29	住所(3)		漢字					
30	本人区分(3)		数字	※コード一覧参照				修正可能
31	来庁者区分(3)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。				
32	確認区分(3)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
33	確認方法1(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
34	確認手段1(3)		漢字					
35	確認方法2(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
36	確認手段2(3)		漢字					
37	確認担当者(3)		漢字					
38	通知要否(3)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。				
39	通知日(3)		英数	「日付チェックサブルーチン」				
40	通知担当者(3)		漢字					
41	漢字氏名(4)		漢字					
42	住所(4)		漢字					
43	本人区分(4)		数字	※コード一覧参照				修正可能
44	来庁者区分(4)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。				
45	確認区分(4)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
46	確認方法1(4)		数字					
47	確認手段1(4)		漢字					
48	確認方法2(4)		数字					
49	確認手段2(4)		漢字					
50	確認担当者(4)		漢字					
51	通知要否(4)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。				
52	通知日(4)		英数	「日付チェックサブルーチン」				
53	通知担当者(4)		漢字					
54	届出人氏名(1)		漢字					
55	届出人住所(1)		漢字					
56	届出人本人区分(1)		数字	※コード一覧参照				修正可能
57	届出人来庁者区分(1)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。				
58	届出人確認区分(1)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				

データチェック(単体表)			作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
59	届出人確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
60	届出人確認手段1(1)		漢字					
61	届出人確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
62	届出人確認手段2(1)		漢字					
63	届出人確認担当者(1)		漢字					
64	届出人通知要否(1)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。				
65	届出人通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」				
66	届出人通知担当者(1)		漢字					
67	届出人氏名(2)		漢字					
68	届出人住所(2)		漢字					
69	届出人本人区分(2)		数字	※コード一覧参照				修正可能
70	届出人来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。				
71	届出人確認区分(2)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
72	届出人確認方法1(2)		数字					
73	届出人確認手段1(2)		漢字					
74	届出人確認方法2(2)		数字					
75	届出人確認手段2(2)		漢字					
76	届出人確認担当者(2)		漢字					
77	届出人通知要否(2)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。				
78	届出人通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」				
79	届出人通知担当者(2)		漢字					
80	使者氏名(1)		漢字					
81	使者住所(1)		漢字					
82	使者確認区分(1)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
83	使者確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
84	使者確認手段1(1)		漢字					
85	使者確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
86	使者確認手段2(1)		漢字					
87	使者確認担当者(1)		漢字					
88	使者氏名(2)		漢字					
89	使者住所(2)		漢字					

データチェック(単体表)					作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成									
90	使者確認区分(2)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。						
91	使者確認方法1(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照						
92	使者確認手段2(2)		漢字							
93	使者確認方法2(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照						
94	使者確認手段2(2)		漢字							
95	使者確認担当者(2)		漢字							
96	備考		漢字							

データチェック(関連表)	作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳作成

処理名	画面名	画面ID	
3.0 関連チェック表	本人届出確認台帳画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.5)来庁者区分(1)=2(郵送)の場合、(No.6)確認区分(1)=0(未確認)であること。	「関連エラーがあります。確認して下さい。」 ※ワーニングレベルのエラーでも構わない。		他の事件本人、届出人も同様
2	(No.6)確認区分(1)＝0(未確認)の場合、 (No.7)確認方法1(1)=スペースかつ(No.11)確認担当者(1)=スペースであること。			他の事件本人、届出人、使者も同様
3	(No.6)確認区分(1)=1(確認)の場合、 (No.7)確認方法1(1)≠スペースかつ(No.11)確認担当者(1)≠スペースであること。			
4	(No.7)確認方法1(1)＝1～4の場合、(No.8)確認手段1(1)=スペースであること。			
5	(No.7)確認方法1(1)=5(その他)の場合、(No.8)確認手段1(1)≠スペースであること。			
6	(No.9)確認方法2(1)≠スペースの場合、(No.7)確認方法1(1)≠スペースであること。			
7	(No.9)確認方法2(1)=1～4の場合、(No.10)確認手段2(1)=スペースであること。			
8	(No.9)確認方法2(1)=5(その他)の場合、(No.10)確認手段2(1)≠スペースであること。			
9	(No.12)通知要否(1)=0(通知不要)の場合、 (No.13)通知日(1)=スペースかつ(No.14)通知担当者(1)=スペースであること。			他の事件本人、届出人も同様
10	(No.12)通知要否(1)=1(通知要)の場合、(No.3)住所(1)≠スペースであること。			
11	(No.15)漢字氏名(2)、(No.17)本人区分(2)、(No.18)来庁者区分(2)、(No.19)確認区分(2)、 (No.25)通知要否(2)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
12	(No.15)漢字氏名(2)、(No.17)本人区分(2)、(No.18)来庁者区分(2)、(No.19)確認区分(2)、 (NO.25)通知要否(2)の全てが未入力である場合、 (No.15)漢字氏名(2)～(No.27)通知担当者(2)の全てが未入力であること。			
13	(No.28)漢字氏名(3)≠スペースの場合、(No.15)漢字氏名(2)≠スペースであること。			
14	(No.41)漢字氏名(4)≠スペースの場合、(No.28)漢字氏名(3)≠スペースであること。			
15	(No.67)届出人氏名(2)≠スペースの場合、(No.54)届出人氏名(1)≠スペースであること。			
16	(No.80)使者氏名(1)、(No.82)使者確認区分(1)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
17	(No.80)使者氏名(1)、(No.82)使者確認区分(1)の全てが未入力である場合、 (No.80)使者氏名(1)～(No.87)使者確認担当者(1)の全てが未入力であること。			
18	(No.88)使者氏名(2)≠スペースの場合、(No.80)使者氏名(1)≠スペースであること。			
19	(No.88)使者氏名(2)、(No.90)使者確認区分(2)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
20	(No.88)使者氏名(2)、(No.90)使者確認区分(2)の全てが未入力である場合、 (No.88)使者氏名(2)～(No.95)使者確認担当者(2)の全てが未入力であること。			

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出確認台帳ファイル	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分				
	台帳対象区分		本人届出確認台帳画面	台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)		有		
	確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				
	確認方法2(2)			確認方法2(2)		有		

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認手段2(2)			確認手段2(2)				
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)		有		
	確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)		有		
	確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				
	確認方法2(4)			確認方法2(4)		有		
	確認手段2(4)			確認手段2(4)				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)		有		
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)		有		
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				
	届出人確認方法2(2)			届出人確認方法2(2)		有		
	届出人確認手段2(2)			届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	5.0 本人届出確認通知ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出確認通知ファイル	作成年月日		本人届出確認台帳画面					システム編集
	事件本人氏名			漢字氏名(1)～(4)、届出人氏名(1)～(2)				通知要の者が対象
	発行市区町村名							システム編集
	受理年月日		仮本人届出確認台帳ファイル	受付日				
	事件名			受付事件コード		有		
	届出人氏名1		本人届出確認台帳画面	漢字氏名(1)～(4)、届出人氏名(1)～(2)				事件本人で届出人である者及び届出人が対象
	届出人氏名2							
	届出人氏名3							
	届出人氏名4							
	届出事件本人氏名1			漢字氏名(1)				
	届出事件本人氏名2			漢字氏名(2)				
	届出事件本人氏名3			漢字氏名(3)				
	届出事件本人氏名4			漢字氏名(4)				
	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	6.0 発送ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							システム編集
	郵便番号		本人届出確認台帳画面	住所(1)～(4), 届出人住所(1)～(2)				住所からシステム編集
	住所							通知要の者
	宛名							
	送付書類区分			本人届出確認通知				

第7.2.(7)

「仮戸籍表示」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	仮戸籍表示

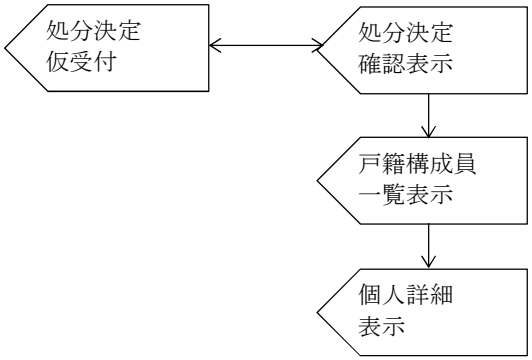
1.仮戸籍表示

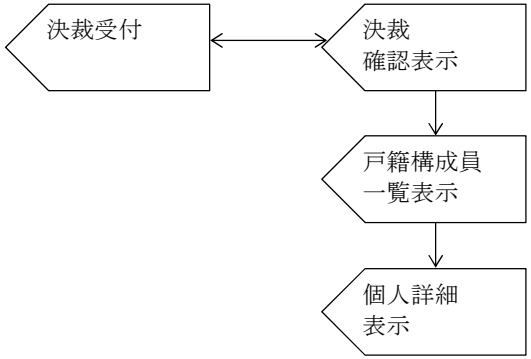
システムが入力審査確認後に、身分事項等の記載を、戸籍DBに仮に記載したり、新戸籍を仮に編製したりし、決裁処理で戸籍DBとして反映するまでのものを「仮戸籍」と呼ぶ。これらは、システムが自動的に作成するので、これらを確認する手段として「仮戸籍表示」を設ける。
「仮戸籍」は、あくまで仮の戸籍であり、システムが「受理」と判断した本籍分しか作成されないので、「仮戸籍表示」としては、移記処理の表示方法と同様とする。
よって、ここでは概略を述べるに留めるので、詳細は移記処理の要件定義書を参照されたい。(画面は、単独提示)

「仮戸籍表示」としては、次の3画面を使用する。
(1)確認表示画面(該当戸籍表示)
(2)戸籍構成員一覧画面
(3)個人詳細表示画面

2.仮戸籍表示箇所

確認として表示されるのは、処分決定処理前と決裁処理前の2ヶ所である。
それぞれ、処分決定･決裁を行おうとする処理に該当する戸籍すべてを確認表示で表示させる。ここで、移記処理での表示との違いとしては、処分決定前においては、まだ受領番号が確保されていないのでシステムにては注意を要する。





第7.2.(8)

「エラー履歴表示」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

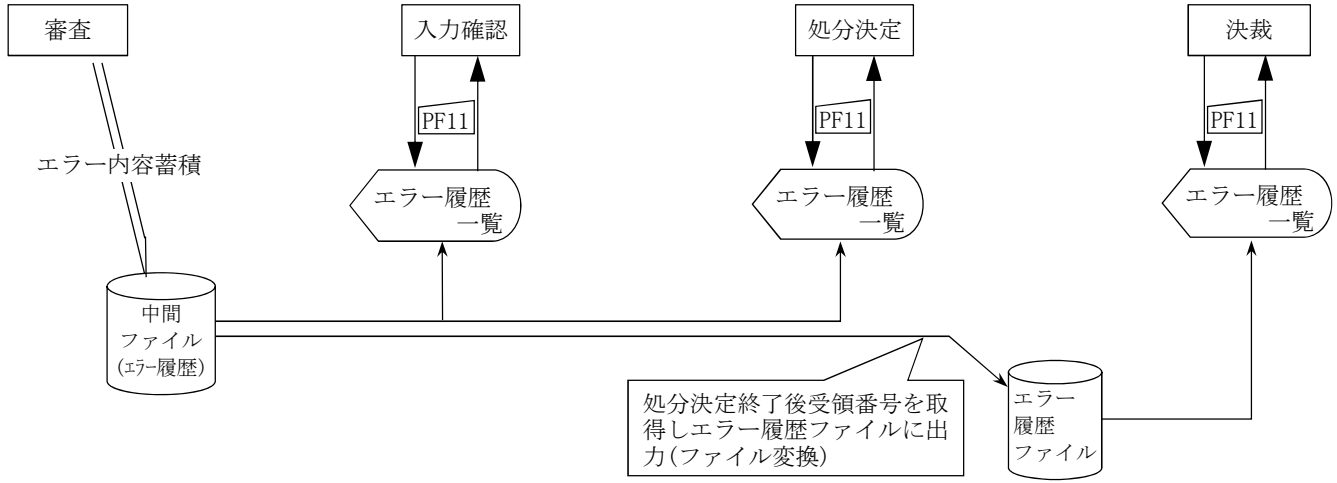
項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	エラー履歴表示					

1. 処理概要

異動業務処理において届書入力時の審査処理で発生したエラー内容(項目・関連チェック以外)を、エラー履歴として以降の処理で参照できるよう、共通仕様として以下に示す。

エラー履歴ファイルでは、受領番号がキーとなるため、受領番号を取得するまでは、一時的ファイル:中間ファイル(エラー履歴)に対して入出力を行う。処分決定処理で受領番号を取得し、完了した時点で、中間ファイル(エラー履歴)から、エラー履歴ファイルに出力する。



2. 届書入力処理におけるエラー処理について

審査処理で発生したエラー内容を、中間ファイル(エラー履歴)へ出力する。
但し、項目チェック、関連チェックによるエラーは除外し、法令審査による、重大エラー及び確認エラーを対象とする。

(1) 重大エラー
　法令等で定めた条件に明らかに反している場合、画面上にエラーメッセージを表示する。
エラーコードを、中間ファイル(エラー履歴)に出力する。

(2) 確認エラー
　システム上で判断不能なエラーを、画面上に確認メッセージとして表示し、判断結果を応答する。
確認エラーコード及び、応答結果を中間ファイル(エラー履歴)に出力する。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	エラー履歴表示

3.エラー履歴一覧表示について

(1)入力確認
・届書入力項目の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・中間ファイル(エラー履歴)からエラー情報を入力し、画面編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

(2) 処分決定
・処分決定の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・中間ファイル(エラー履歴)からエラー情報を入力し、画面編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。
・処分決定し受領番号を取得した後、中間ファイル(エラー履歴)からエラー履歴ファイルへ出力する。(ファイル変換)

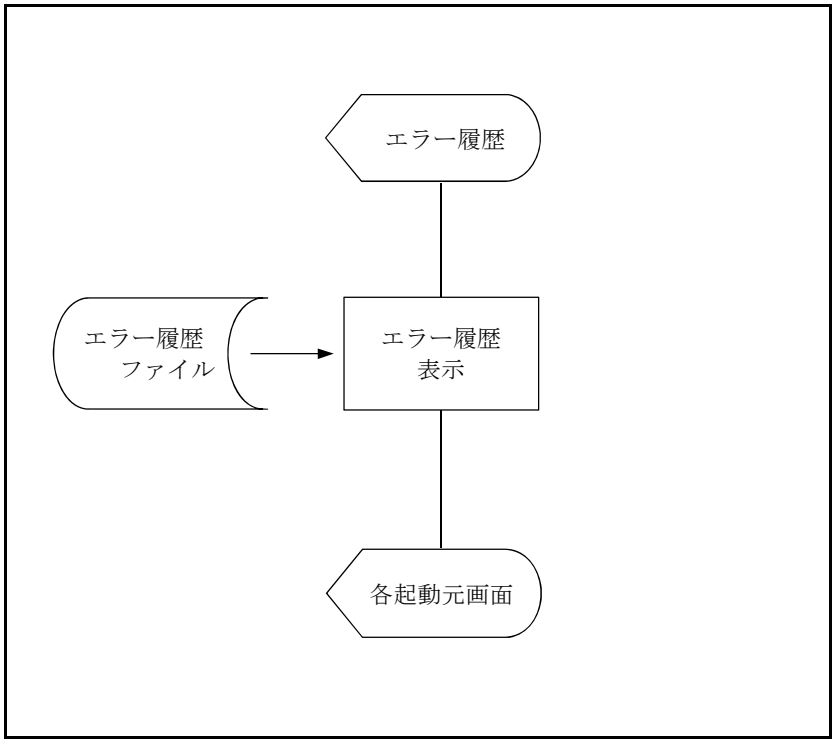
(3) 決裁
・決裁の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・エラー履歴ファイルからエラー情報を入力し、画画編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

4.その他

(1) エラー履歴一覧のエラー情報は、エラー発生順に表示する。
(2) エラー履歴として収容可能なエラー数は、MAX99個とし同一エラーは重複しないものとする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1) 検索キー(受領番号)でエラー履歴ファイルを検索検索
(2) エラー履歴情報の編集･表示
(3) 起動元画面に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(中間ファイル作成(エラー履歴一覧))
　　└ 2.0 データ編集表(エラー履歴一覧画面作成)

5.備考(特記事項含む)

エラー履歴ファイルに対して入出力する場合、処理(入力確認･処分決定･決裁)によって状態が異なるため、データ出力と画面表示する場合に分けて以下の表に示す。

項番	処理区分	データ出力	画面表示
1	審　査　処　理	△	-
2	入力確認処理	-	△
3	処分決定処理	○	△
4	決　裁　処　理	-	○

△:中間ファイル(エラー履歴)
○:エラー履歴ファイル
- :該当せず

※取り扱うファイルとして、中間ファイル(エラー履歴)とエラー履歴ファイルが存在するが、本仕様書では「エラー履歴ファイル」で表現する。処理区分により識別し、それぞれのケースに合わせて置き換えること。

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)検索キー(受領番号)でエラー履歴ファイルを検索する				/				
(2)該当データはあるか(YES,NO)				/				
YES	(3)エラー数 ＝ 0			/				
	YES	(4)エラーメッセージ 「エラー履歴情報が存在しません。」を表示する			(5)同画面を編集する			
	NO	(6)中間ファイル(エラー履歴一覧)に編集･出力する [1.0]		/				
		(7)エラー履歴一覧画面を編集する [2.0]		/				
	(8)キー選択(PF7、PF8、P11、その他)			/				
	PF7	(9) 前ページがあるか?(YES,NO)		/				
		YES	(10)前ページ分のエラー履歴一覧画面編集		(11)同画面を編集する			
		NO	(12)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する					
	PF8	(13)次ページがあるか?(YES,NO)		/				
		YES	(14)次ページ分のエラー履歴一覧画面編集					
		NO	(15)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する					
	PF11	(16) →			(17)起動元画面に制御を渡す			
	その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(19)同画面を編集する			
NO	(20)エラーメッセージ 「エラー履歴情報が存在しません」を表示する							
	(21)キー選択(PF11、その他)			/				
	PF11	(22) →			(23)起動元画面に制御を渡す			
	その他	(24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(25)同画面を編集する			

第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示								
処理名	1.0 中間ファイル(エラー履歴一覧)								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (エラー履歴一覧)	受領番号			エラー履歴ファイル	受領番号					
	届出選択番号				届出選択番号					
	エラー数				エラー数					
	メッセージ	メッセージコード			メッセージ	メッセージコード				99のテーブル
		応答内容				応答内容				

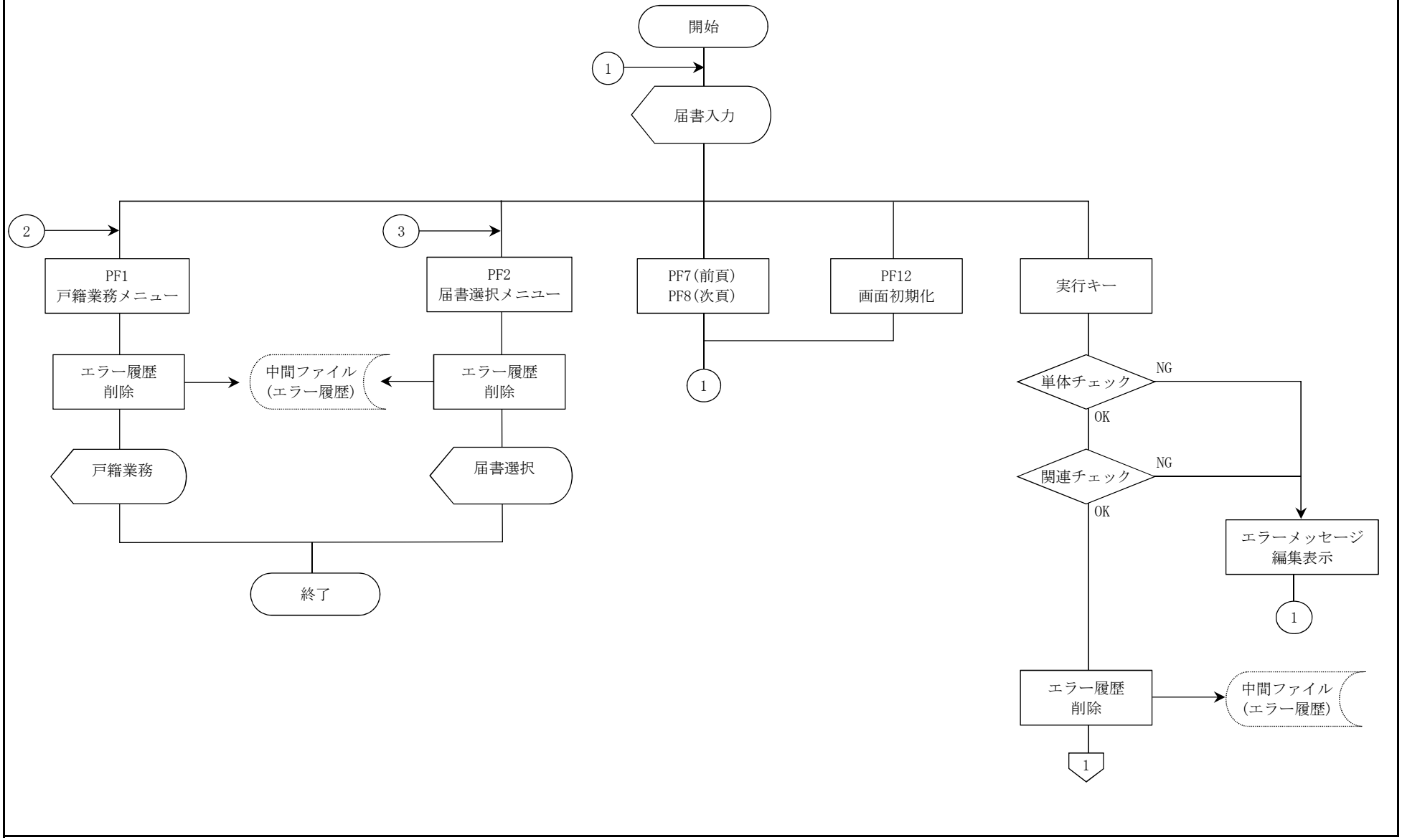
第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示								
処理名	2.0 エラー履歴一覧画面								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
エラー履歴一覧画面	画面ID				画面ID					
	システム日付				システム日付					
	ページ								Z9/Z9	
	受領番号			中間ファイル (エラー履歴一覧)	受領番号					
	届出名				届出選択番号			有		届出選択番号に対応する届出名称
	エラー履歴詳細情報									
		一連番号								シーケンス番号を付番
		メッセージコード			メッセージ	メッセージコード				
		応答内容				応答内容				
		メッセージ内容			(メッセージコード)					ﾒｯｾｰｼﾞｺｰﾄﾞに対応するﾒｯｾｰｼﾞ内容

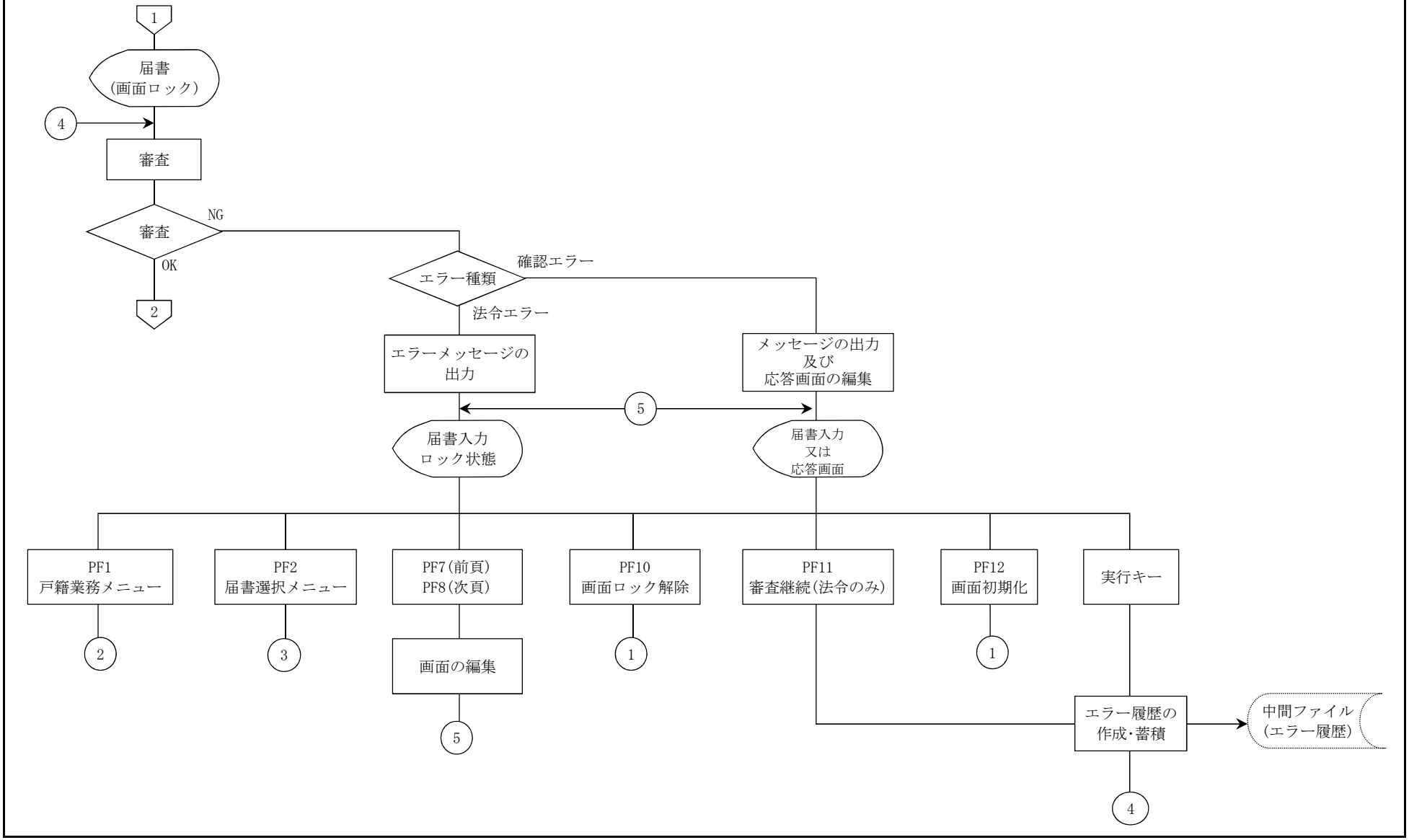
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



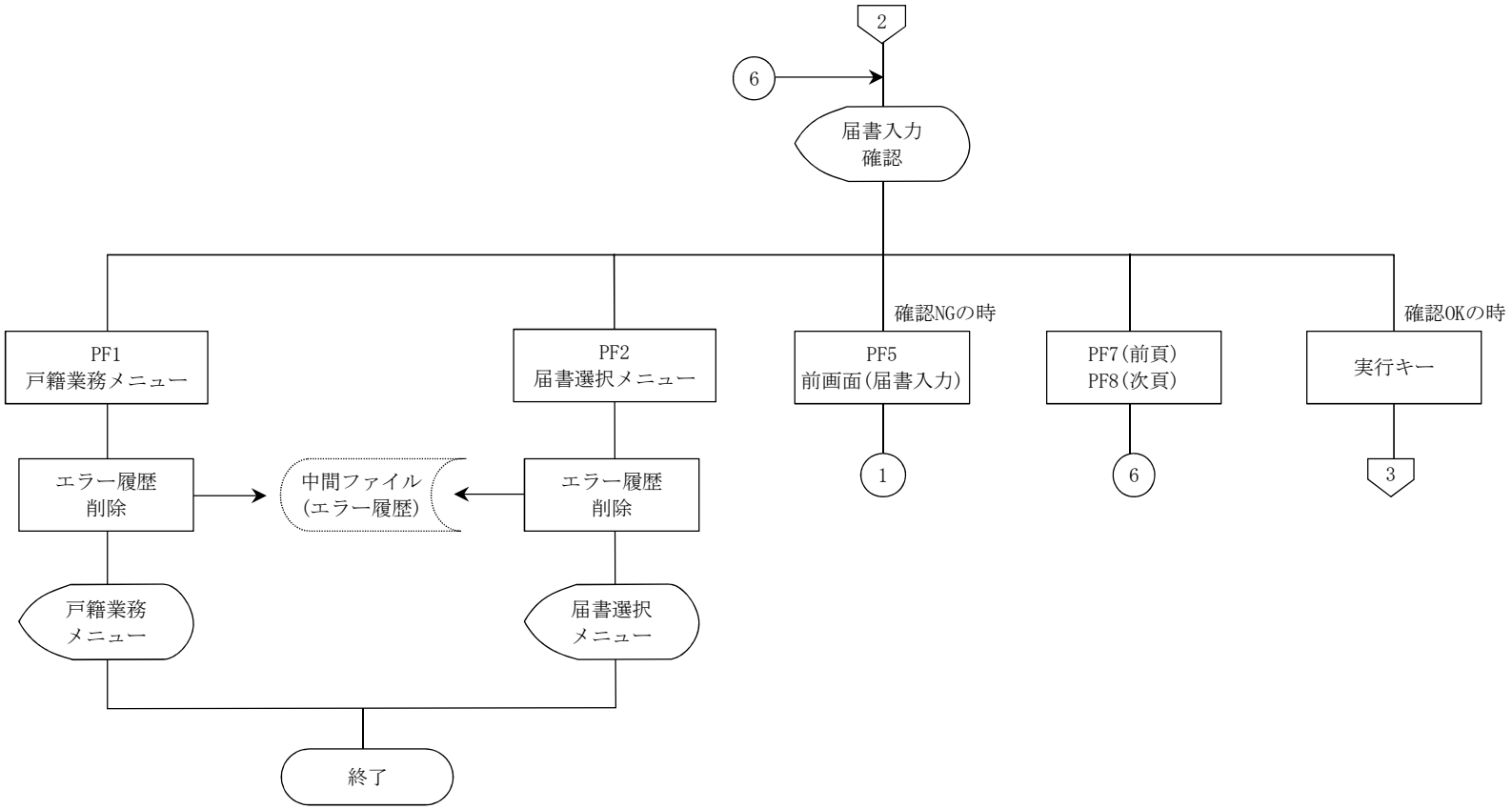
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



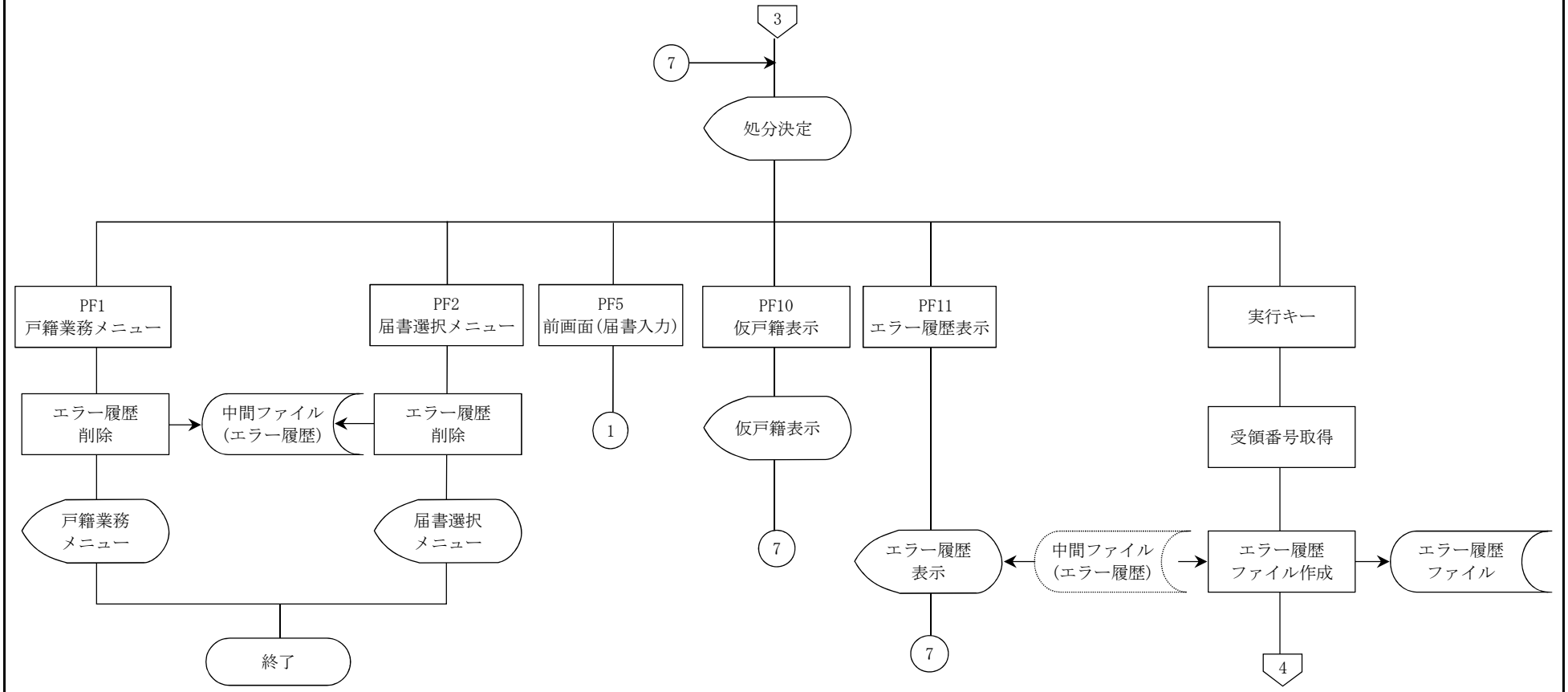
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



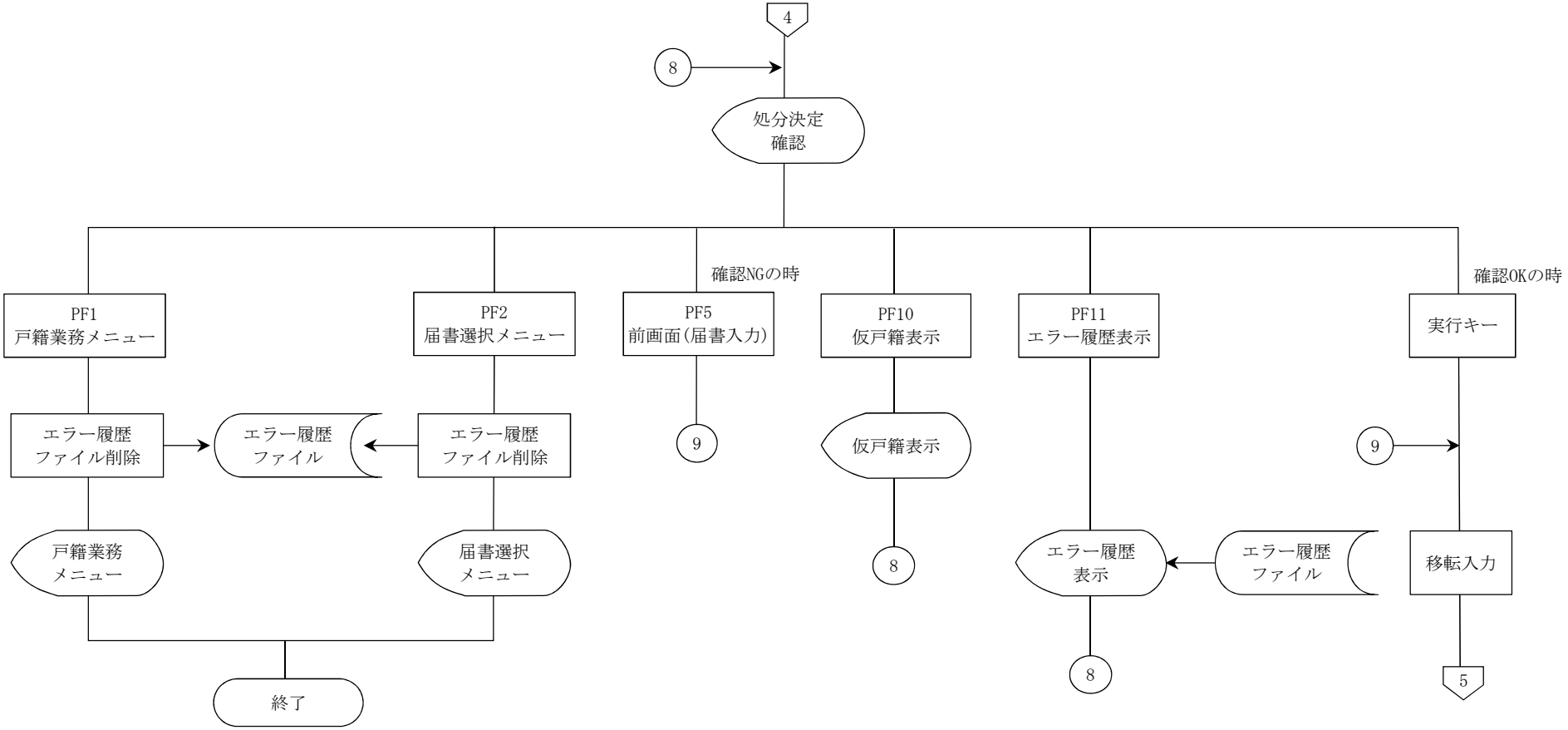
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



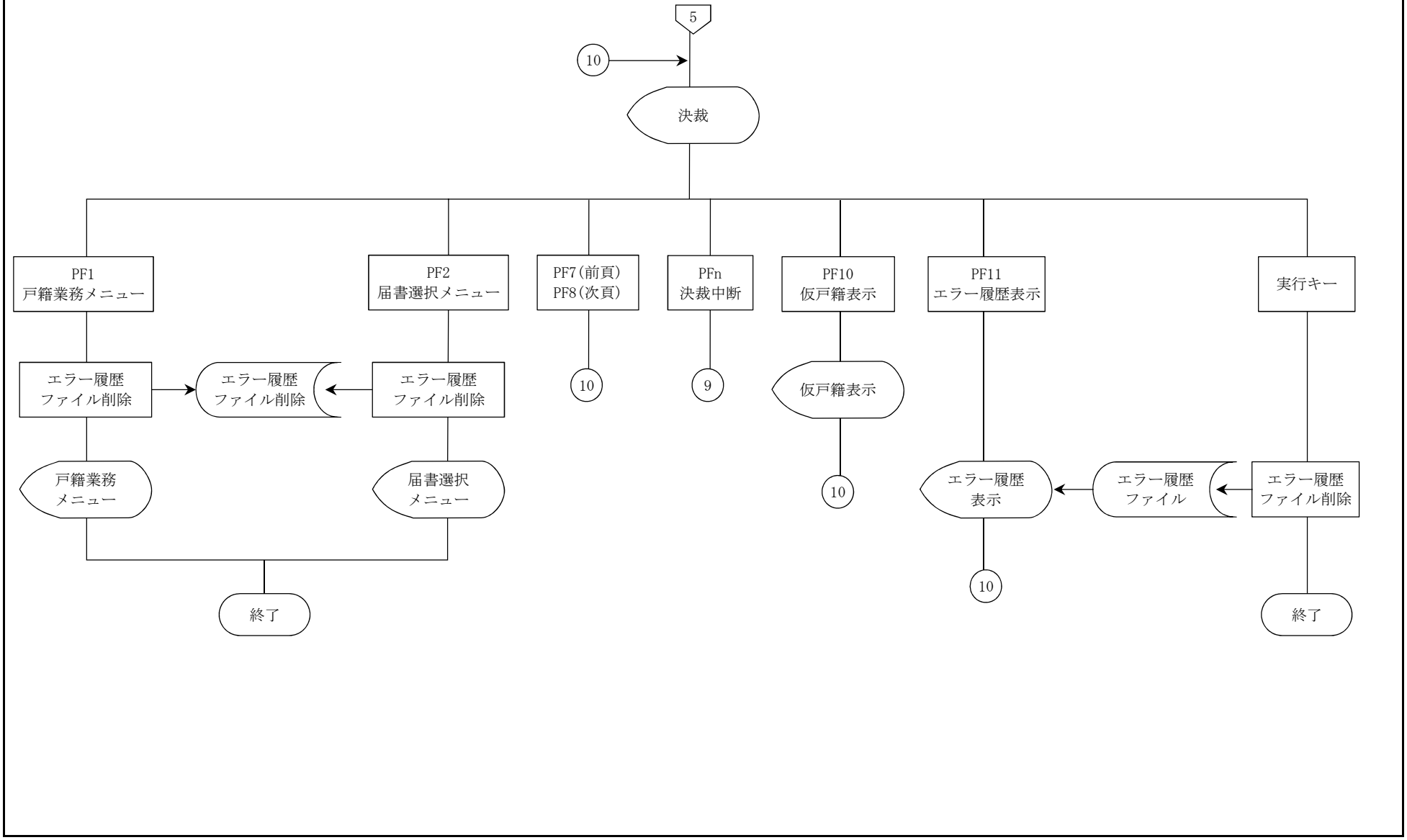
第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	エラー履歴処理					
処理名	エラー履歴処理フロー					



補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



第7.2.(9)

「移記事項入力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「移記事項入力」処理	システム処理の概要説明書 ・非本籍人の移記事項の複写について説明を追加
2	R2.1		「移記事項入力」処理	「管理情報」を正しい名称に修正 ・移記戸籍選択_2.0 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力 ・移記戸籍選択_6.1 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(戸籍事項情報) ・移記戸籍選択_6.2　仮戸籍ﾌｧｲﾙ(個人情報情報)編集･出力 ・移記戸籍選択_6.3　仮戸籍ﾌｧｲﾙ(身分事項情報)編集･出力 ・個人情報表示_5.1　中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定編集･出力
3	R3		「移記事項入力」処理	R2.1版で修正を行った以下の「管理情報」について正しい名称に修正 ・「戸籍編製区分」→「戸籍事項記録区分」 ・「個人情報情報」→「個人特定情報」
4	2.0 (2023.7.31版)	―	「移記事項入力」処理	振り仮名の法制化に伴う修正 ・移記 戸籍事項事件メニュー_2.0単体チェック、移記 戸籍事項事件メニュー_3.0中間ファイル(選択番号)、移記 戸籍事項事件別入力_1.0別紙1(記録)、移記 戸籍事項事件別入力_2.0別紙2(修正)、個人情報表示_1.0個人情報表示画面編集･出力、移記 身分事項表示_1.1別紙(身分事項の分類)、移記 身分事項事件メニュー_2.0単体チェック、移記 身分事項事件メニュー_3.0中間ファイル(選択番号)編集･出力、移記 身分事項事件別入力_1.0別紙1(記録)、移記 身分事項事件別入力_2.0別紙2(修正)を修正
5		―		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・個人情報表示_1.0個人情報表示画面_編集･出力、個人情報表示_1.0別紙1(画面プロテクト)、個人情報表示_3.0単体チェック、個人情報表示_4.0別紙1〔入力審査〕、個人情報表示_5.0別紙3　中間ファイル(仮戸籍)更新･作成、個人情報表示_5.1中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定編集･出力を修正
6		―		「国籍」を「国籍・地域」に変更する修正 ・移記 身分事項表示_1.1別紙(身分事項の分類)、移記 身分事項事件メニュー_2.0単体チェック、移記 身分事項事件メニュー_3.0中間ファイル(選択番号)、移記 身分事項事件別入力_1.0別紙1(記録)、移記 身分事項事件別入力_2.0別紙2(修正)を修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	移記事項入力処理					

1. 仮戸籍ファイル及び中間ファイル(仮戸籍)の管理情報

①戸籍特定情報

・戸籍編製区分(届出による戸籍の動き) ⇒ ・「移記戸籍選択」:編製状態の表示
・「移記:戸籍事項表示」:新戸籍編製かどうかの判定

1:新戸籍編製
2:全部除籍
3:変動なし
4:新戸籍編製・全部除籍

②戸籍事項情報

・戸籍事項記録区分 ⇒ 「移記:戸籍事項表示」:処理できるかどうかの判定

0:既存の記録
1:審査処理で記録
2:移記処理で記録

③個人特定情報

・個人異動区分(届出による個人の動き) ⇒ ・「移記戸籍構成員一覧」:変動状態の表示
・「移記:戸籍事項表示」:処理できるのかどうかの判断

0:(記録なし)
1:記録
2:入籍
3:除籍
4:入籍除籍

・個人異動形態区分 ⇒ 未使用

0:異動なし
1:本→本の異動
2:非→本の異動
3:本→非の異動

個人異動区分 と 個人異動形態区分 の関係

2:入籍 ┬ 1:本→本の異動
└ 2:非→本の異動
3:除籍 ┬ 2:非→本の異動
└ 3:本→非の異動

④身分事項情報

・身分事項記録区分 ⇒ 「移記:身分事項表示」:処理できるかどうかの判定

0:既存の記録
1:審査処理で記録
2:移記処理で記録

2. 副本記録情報の利用

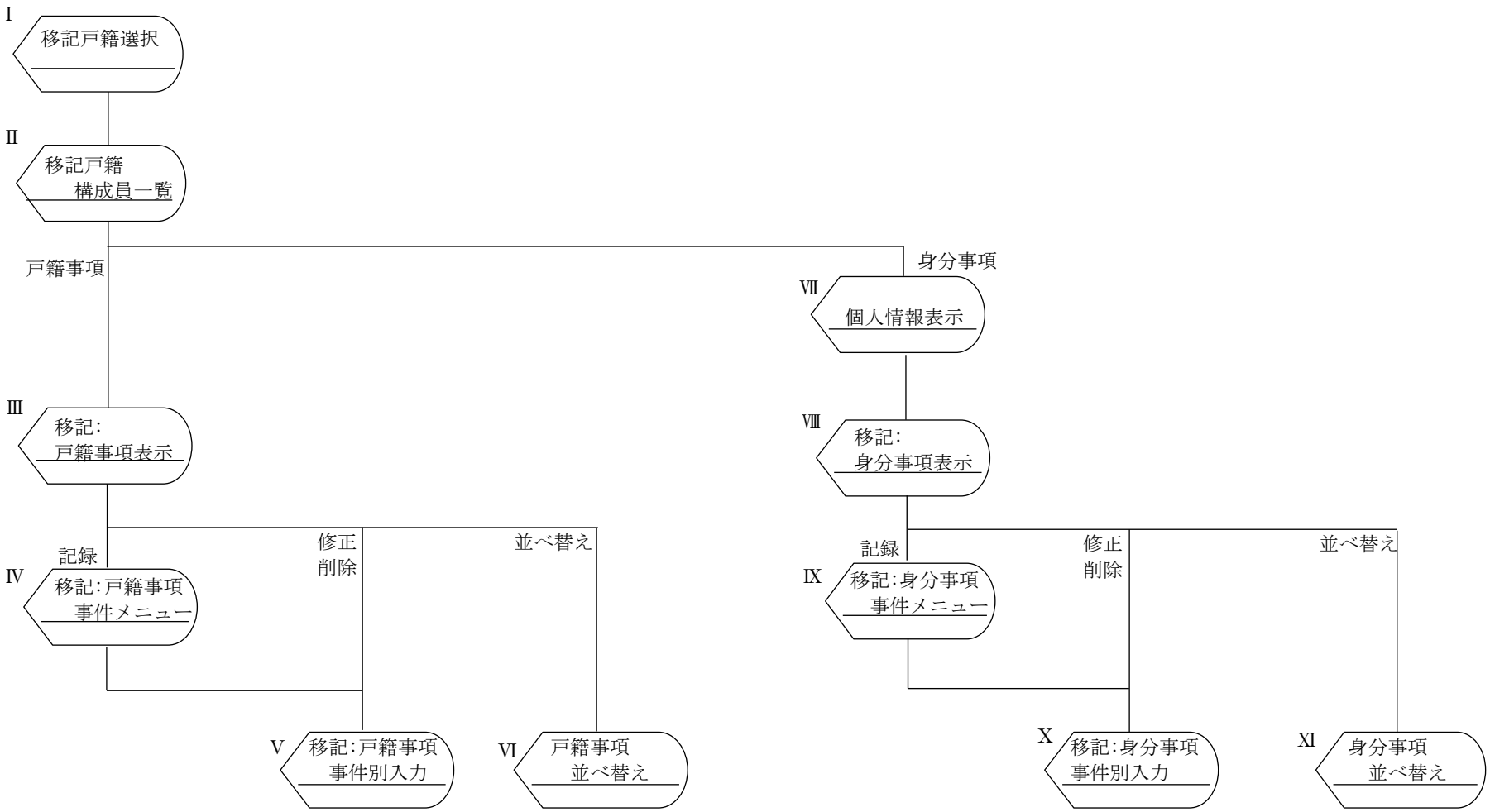
入籍戸籍又は新戸籍の仮戸籍が存在(届後本籍が管内)し従前戸籍が管外であるとき、副本記録情報から事件本人を選択して参照戸籍ファイルを作成した場合は、該当者の参照戸籍より移記する可能性のある戸籍事項及び身分事項を自動的に複写する。自動複写機能は移記事項入力の補助機能として定義するものであり、その実現方法及び複写の時点は任意設計とするが、複写した事項の記録区分は「2:移記処理で記録」とすること。

3. 留意点

・移記事項入力処理で作成又は利用した中間ファイルについては、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	移記事項入力処理					

2. 画面展開図



システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	移記事項入力処理

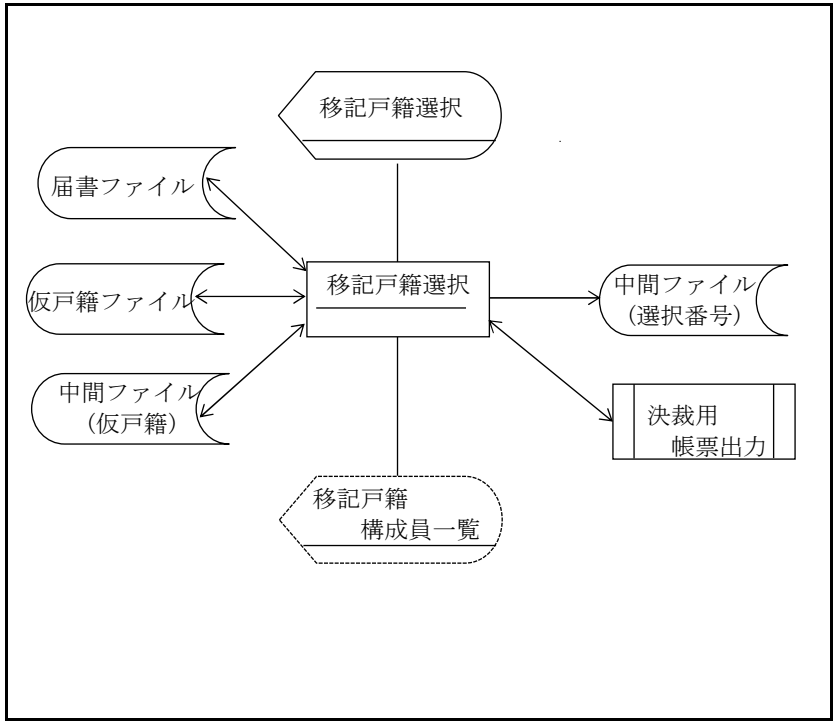
1.PFキー一覧

画面名 / PFキー	Ⅰ 移記戸籍選択	Ⅱ 移記構成員戸籍一覧	Ⅲ 移記:戸籍事項 表示	Ⅳ 移記:戸籍事項 事件メニュー	Ⅴ 移記:戸籍事項 事件別入力	Ⅵ 移記:戸籍事項 並べ替え	Ⅶ 個人情報表示	Ⅷ 移記:身分事項 表示	Ⅸ 移記:身分事項 事件メニュー	Ⅹ 移記:身分事項 事件別入力	Ⅺ 移記:身分事項 並べ替え	備考
PF1	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	処理中止
PF2		Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	処理中止
PF3												
PF4				Ⅱ移記戸籍構成員一覧		Ⅱ移記戸籍構成員一覧		Ⅱ移記戸籍構成員一覧				各処理終了
PF5		Ⅰ移記戸籍選択	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	Ⅲ移記:戸籍事項表示	・記録:Ⅳ事件ﾒﾆｭｰ ・訂正:Ⅲ表示	Ⅲ移記:戸籍事項表示	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	Ⅷ個人情報表示	Ⅷ移記:身分事項表示	・記録:Ⅸ事件ﾒﾆｭｰ ・訂正:Ⅷ表示	Ⅷ移記:身分事項表示	前画面へ
PF6												
PF7	前頁	前頁	前頁		前頁	前頁		前頁		前頁	前頁	
PF8	次頁	次頁	次頁		次頁	次頁		次頁		次頁	次頁	
PF9	処理後業務選択又はⅠ				処理後Ⅳ又はⅢ	処理後Ⅲ表示	処理後Ⅷ表示			処理後Ⅸ又はⅧ	処理後Ⅷ表示	処理後次処理
PF10		戸籍事項前頁										
PF11												
PF12	入力画面初期化				記録:入力画面初期化					記録:入力画面初期化		画面初期化
実行キー	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	・戸籍:Ⅲ戸籍事項 ・身分:Ⅶ個人事項表示	・Ⅳﾒﾆｭｰ ・Ⅴ入力 ・Ⅵ並べ替え	Ⅴ移記:戸籍事項事件別入力	記録、訂正: 入力項目チェック	並べ替えチェック	更正(訂正)項目チェック	・Ⅸﾒﾆｭｰ ・Ⅹ入力 ・Ⅺ並べ替え	Ⅹ移記:身分事項事件別入力	記録、訂正: 入力項目チェック	並べ替えチェック	入力チェック等

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	移記戸籍選択

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
届書ファイル	入出力		
仮戸籍ファイル	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	出力		

3.処理概要

(1)戸籍業務メニューから制御が渡ってきた場合(2線式)
(1)-1 入力された受領番号から移記戸籍の一覧を画面に表示する
(1)-2 処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(1)- 3 移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル(仮戸籍)を作成する〕

(2)処分決定処理から制御が渡ってきた場合(1線式)
(2)-1 渡ってきた受領番号を画面に表示する
(2)-2 実行キーにより移記戸籍の一覧を画面に表示する
(2)-3 処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(2)-4 移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル(仮戸籍)を作成する〕

(3)(1)または(2)以外で移記事項入力処理の各処理から制御が渡ってきた場合
(3)-1 決裁用帳票出力区分が『要(1)』の場合,決裁用帳票を出力する
(3)-2 移記事項入力処理の各処理で更新を行った中間ファイル(仮戸籍)から
仮戸籍ファイルを更新する
(3)-3 戸籍業務メニューに制御を渡す又は移記戸籍選択処理の当初画面を表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(届書ファイル)
- 2.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍)
- 3.0 データ編集(移記戸籍一覧画面)
- 4.0 単体チェック
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)〔作成〕
- 6.0 データ編集(仮戸籍ファイル)
  - 6.1 戸籍事項情報
  - 6.2 個人特定情報
  - 6.3 身分事項情報

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍選択
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)処分決定処理から制御が渡って来たか?(YES,NO)			/		処分決定処理からの場合(1線式)も、一度受領番号のみを表示する。その後、実行キーにより検索を開始する
YES	(2) 処分決定処理からの受領番号を画面に表示する			(3)同画面を編集する	
NO	→				
(4) キー選択(実行キー、PF1、PF12、その他)			/		
実行キー	(5) 戸籍業務選択処理または処分決定処理から制御が渡って来た、または移記事項入力処理内の各プロセスからPF2(処理中止)により制御が渡って来たか?(YES,NO)		/		各プロセスからのPF2による処理中止の場合は、画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除後、当プロセスの最初から処理を開始する
YES	(6)受領番号に該当する仮戸籍ファイルを読む		/		
	(7)仮戸籍ファイルはあるか?(YES,NO)		/		(中間ファイル(仮戸籍)がない場合)
	YES	(8)受領番号に該当する届書ファイルを読む	/		
		(9)届書ファイルはあるか?(YES,NO)	/		
		YES (10)「届書排他区分」は'0'となっているか? また、「審査結果入力」処理及び「訂正・更正・追完」処理で作成された届書ファイルでないこと(YES,NO)	/		:「審査結果入力」処理及び「訂正・校正・追完」処理で作成された仮戸籍ファイルは、移記処理では、更新できない
		YES (11)届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'1'を設定する [1.0]	/		:届書ファイルに排他制御をかける
		NO (12)エラーメッセージ 「入力された受領番号の届書は他の業務で処理中となっています。」を表示する		(13)同画面を編集する	
		NO (14)エラーメッセージ 「届書が存在しません。受領番号を確認して下さい。」を表示する		(15)同画面を編集する	
		(16)受領番号に該当する仮戸籍ﾌｧｲﾙを中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)に複写する [2.0]	/		
		(17)受領番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/		
		(18)移記戸籍選択画面を編集する [3.0]		(19)同画面を編集する	:複数画面を考慮する
	NO	(20)エラーメッセージ 「表示する移記戸籍は有りません。」を表示する		(21)同画面を編集する	
NO	(22)メッセージ 「決裁用帳票が必要ならば出力区分を入力し仮戸籍を更新して下さい。」を表示する画面「決裁用帳票出力区分」に'1'(要)を表示する			(23)同画面を編集する(メッセージ表示)	移記事項処理内の各画面から制御が渡って来た場合、終了処理を行う (中間ファイル(仮戸籍)がある場合)
(24)キー選択(実行キー、PF1、PF7、PF8、PF9、PF12、その他)			/		
実行キー	(25)選択番号のチェックをする(OK:YES,NG:NO) [4.0]		/		
	YES	(26)選択した番号を中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(27)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す	
	NO	(28)単体チェックで編集したメッセージを表示する		(29)同画面を編集する	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
	PF1	(30)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(31)業務選択に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF7	(32)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(33)同画面を編集する			
		YES	(34)前ページ分の移記戸籍選択を表示する					
		NO	(35)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
	PF8	(36)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(37)同画面を編集する			
		YES	(38)次ページ分の移記戸籍選択を表示する					
		NO	(39)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
	PF9	(40)中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルを更新する [6.1][6.2][6.3]		/				
		(41)中間ファイル(仮戸籍)を削除する		/				
		(42)届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		/				
		(43)決裁用帳票出力区分が'1'か? (YES,NO)		/				
		YES	(44)「決裁用帳票出力処理」に帳票出力指示する		(45)決裁用帳票出力処理に制御を依頼する			
			→		(46) ①戸籍業務選択処理から制御が渡って来た場合、当プロセスの初期画面を表示する ②処分決定処理から制御が渡って来た場合戸籍業務選択処理に制御を渡す		:①画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除する 当初どこから制御が渡ってきたかにより処理後の表示画面が異なる	
		NO	→					
	PF12	(47)入力画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除する			(48)同画面を編集する			
	その他	(49)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						
PF1	(50)当業務処理前に既に届書ﾌｧｲﾙの「届書排地区分」に'1'が設定されていた				(51)業務選択に制御を渡す		(14)のエラー時、区分は解除しない	
	YES	(52)中間ファイルをすべて削除する					「処理中止」	
	NO	(53)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する					「処理中止」「届書ロック解除」	
PF12	(54)入力画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除する				(55)同画面を編集する			
その他	(56)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	1.0 届書ファイル 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書ファイル(共通)	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	更正区分							
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							項目省略
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分			「1」				0:未、1;排他 届書ファイルにロックをかける

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	2.0 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	戸籍編製区分		仮戸籍ファイル 戸籍特定情報	戸籍編製区分				R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
	戸籍特定DB内容			戸籍特定DB内容				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分		仮戸籍ファイル 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
	戸籍事項DB内容			戸籍事項DB内容				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	個人異動区分		仮戸籍ファイル 個人特定情報	個人異動区分				R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
	個人持定DB内容			個人特定DB内容				
中間ファイル (仮戸籍) 氏名情報	氏名DB内容		仮戸籍ファイル 氏名情報	氏名DB内容				R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	身分事項記録区分		仮戸籍ファイル 身分事項情報	身分事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
	身分事項DB内容			身分事項DB内容				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	3.0 移記戸籍選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記戸籍選択画面	受領番号		中間ファイル (仮戸籍)	受領番号				
	事件名			事件コード		有		
	明細件数1～5 明細番号							1移記戸籍毎に+1して表示する
	筆頭者			筆頭者				
	編製日			編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	戸籍編製区分名称			戸籍編製区分		有		1:新戸籍編製 2:全部除籍 3:変動なし 4:新戸全除 （新戸籍編製･全部除籍）
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	選択番号							移記戸籍の選択入力
	決裁用帳票出力区分							0:不要、1:要の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記戸籍選択								
処理名				画面名	画面ID				
4.0　単体チェック表				移記戸籍選択画面					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	表示している移記戸籍のNo.であること(MAX05)		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択								
処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号			移記戸籍選択画面	受領番号				
	選択事件コード			届書ファイル	選択事件コード				
	在外送付区分				在外送付区分				
	戸籍	戸籍管理番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報管理	戸籍管理番号				移記戸籍選択画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の戸籍管理番号を設定する
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	移記戸籍選択							
処理名	6.1 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(戸籍事項情報)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	戸籍事項DB情報			戸籍事項DB情報				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	移記戸籍選択							
処理名	6.2 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(個人特定情報)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル 個人特定情報	個人異動区分		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	個人異動区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	個人情報DB情報			個人情報DB情報				

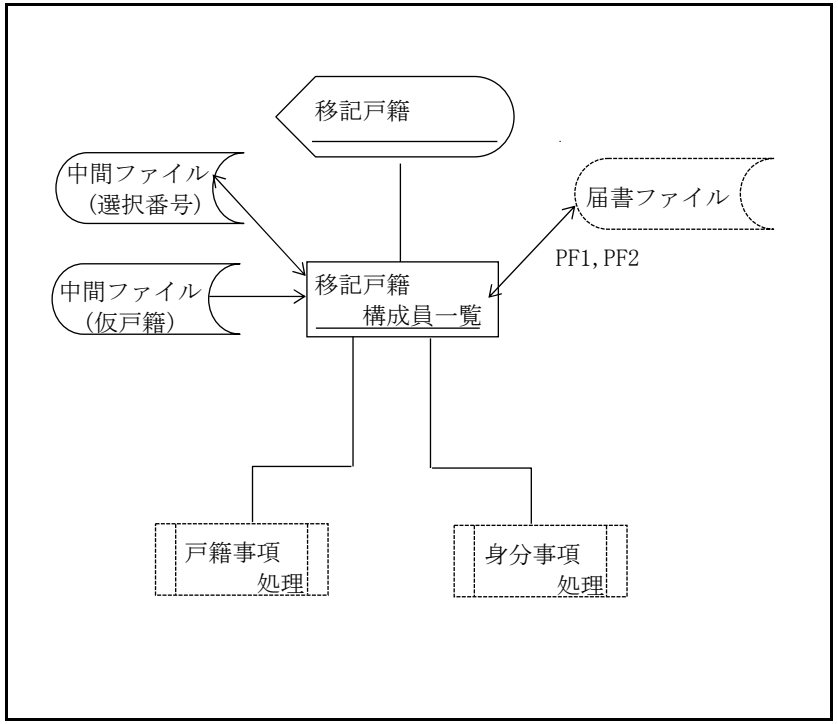
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	6.3 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(身分事項情報)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル 身分事項情報	身分事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	身分事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	身分事項DB情報			身分事項DB情報				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍構成員一覧

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号をキーに、中間ファイル(仮戸籍)を読み、
戸籍事項/身分事項等を編集する
(2)移記戸籍構成員一覧の表示及び選択番号の入力
(3)「戸籍事項移記」が選択された場合
(3)-1 戸籍事項処理に制御を渡す
(4)「身分事項移記」が選択された場合
(4)-1 身分事項処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記戸籍構成員一覧画面)
- 2.0 別紙(記載事項チェック)
- 3.0 単体チェック
- 4.0 関連チェック
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍構成員一覧
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む			/		(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 ●戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 -戸籍事項記録コード ～
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む 該当戸籍の「戸籍事項」「個人特定」「氏名」情報を全件読む			/		
(3)移記戸籍構成員一覧画面を編集する [1.0]					
(4)「戸籍事項情報」「身分事項情報」の記録チェックを行う(OK:YES,NG:NO) 別紙[2.0]			/	別紙[2.0]で画面を出力する 複数画面を考慮する	
YES	(5) → (7)		/		
NO	(6)FP2を無効とする		/		正しい選択を行った後でないと、「移記戸籍選択画面」への戻りは不可とする
(7)キー選択(実行キー、PF1、PF5、PF7、PF8、PF10、PF11、その他)			/		
実行キー	(8)入力項目のチェックをする(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]		/		
	YES	(9)移記処理区分は何か?(1:戸籍事項移記、 2:身分事項移記)	/		
		1 →		(10)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す	
		2 (11)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(12)個人情報表示処理に制御を渡す	
	NO	(13)各チェックで編集したメッセージを表示する			
PF1	(14)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(15)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(16)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(17)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(18)前画面へ				「当プロセスのみ処理中止」
PF7	(19)戸籍構成員の前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(20)同画面を編集する	
	YES	(21)前ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO	(22)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(23)戸籍構成員の次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/		
	YES	(24)次ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO	(25)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(26)戸籍事項の前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/		
	YES	(27)前ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO	(28)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF11	(29)戸籍事項の次のページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(30)同画面を編集する	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧							
処理名	0.0 本紙						備考	
	YES	(31)次ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する						
	NO	(32)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する。						
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する。							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧							
処理名	1.0 移記戸籍構成員一覧画面 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記戸籍構成員一覧画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細1～6件数 戸籍事項ﾀｲﾄﾙ		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は、複数明細で表示する)
	明細1～6件数 戸籍事項			記録コード		有		
				戸籍事項項目				
	明細件数1～7 明細番号							個人毎に+1して表示する
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 氏名情報	漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	異動区分		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報管理	漢字氏名		有		「入籍」「除籍」「記録」、「入除」(入籍除籍)、空白の別で表示
	移記処理区分							1:戸籍事項移記 2:身分事項移記 の選択入力
	選択番号							明細番号の入力

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍構成員一覧
処理名	2.0 別紙

					備考	
(1)「身分事項処理」の各移記事項入力処理から制御が渡って来たか? (YES,NO) (個人情報表示、移記:身分事項表示、事件メニュー、事件別入力、並べ替えの各移記事項入力処理)			/			(参) 中間ファイル (選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 ～ ●個人管理番号 -身分事項処理区分 -身分事項明細番号 -身分事項記録コード
YES	(2)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む		/			
	(3)出生事項(子の記録)〔記録コード0101〕が2件以上ないこと または認知事項(被認知者の記録)[記録コード0201]が2件以上ないこと(YES,NO)		/		同一事項が記録されていないこと	
	YES	(4)→(9)	/			
	NO	(5)確認メッセージ 「出生または認知の記録が2件以上あります。不要な記録を削除して下さい。」を表示する		(6)同画面を編集する(確認メッセージ表示)		
		YES (7)→(9)	/			
		NO →		(8)同画面を編集する(確認メッセージ表示) 本紙へ	エラー処理 (NG)	
	(9)個人管理番号に該当する者は異動者か? (YES,NO)		/			
	YES	(10)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/	(11)同画面を編集する 本紙へ		
		(12)移記不要事項がないこと (YES,NO)	/		[移記不要事項]については 「移記:身分事項表示」1.1を参照	
		YES (13)→(15)	/			
		NO (14)エラーメッセージ 「移記不要の身分事項があります。不要な記録を削除して下さい。」を表示する				
		(15)「配偶者区分」が1:夫、2:妻の場合、「婚姻事項」[0901]があること(YES,NO)	/			
		YES (16)→(18)	/			
		NO (17)エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻なっているにも係わらず、婚姻事項がありません。」を表示する。				
		(18)「配偶者区分」が1:夫、2:妻以外の場合、「婚姻事項」[0901]がないこと(YES,NO)	/			
		YES (19)→(21)	/			
		NO (20)エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻以外にも係わらず、婚姻事項があります。」を表示する				
		(21)「義父氏名」または「義母氏名」が記録されている場合、「縁組事項」があること [0301:養子の記録](YES,NO)	/	(22)同画面を編集する 本紙へ		
		YES (23)→(25)	/			

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名				移記戸籍構成員一覧						
処理名				2.0 別紙					備考	
			NO	(24)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が記録されているにも係わらず、縁組事項がありません。」						
				(25)「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていない場合、「縁組事項」がないこと [0301:養子の記録](YES,NO)	/					
			YES	→						
			NO	(26)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が記録されていないにも係わらず、縁組事項があります。」						
	NO	→								
NO	→									

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧								
処理名				画面名		画面ID			
3.0　単体チェック				移記戸籍構成員一覧画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	移記処理区分	○	数字	1(戸籍事項移記)または2(身分事項移記)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している移記戸籍の構成員のNo.であること　(MAX07)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧						
処理名		画面名	画面ID				
4.0　関連チェック		移記戸籍構成員一覧画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)移記処理区分=1(戸籍事項移記)のとき、(No.2)選択番号=スペースであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1)移記処理区分=2(身分事項移記)のとき、(No.2)選択番号≠スペースであること			

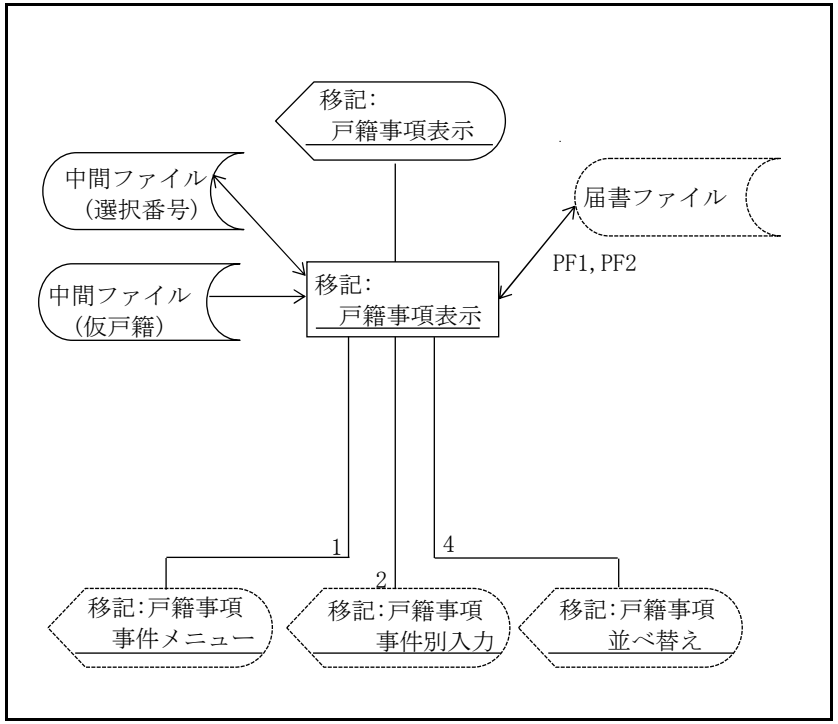
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧							
処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	届出事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報管理	個人管理番号				移記戸籍構成員一覧で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の個人管理番号を設定する
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」(戸籍管理番号) を中間ファイル(仮戸籍) を検索し、該当戸籍の戸籍事項をすべて画面に表示する
(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「記録」が選択された場合
移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され、「明細番号」が入力された場合
移記:戸籍事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され、「明細番号」が入力された場合
消除された戸籍事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記:戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:戸籍事項表示画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項表示
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む					/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件ｺｰﾄﾞ －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報をファイル（仮戸籍）から読む					/	画面ヘッド部表示	
(3)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報をファイル（仮戸籍）から全件読む							
(4)移記:戸籍事項表示画面を編集する [1.0]						(5)同画面を編集する	複数画面を考慮する
(6)キー選択（実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他）					/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0] [3.0]				/		
	YES	(8) 審査 (OK:YES,NG:NO) [4.0]			/		
		YES	(9) 処理区分は何か?（1、2、3、4）		/		
			1:記録	(10)中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [5.0]		(11)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	
			2:修正	(12)中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [5.0]		(13)移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す	
			3:削除	(14)該当の「戸籍事項」のインデックスを高輝度表示する		(15)同画面を表示する	:中間ファイル（仮戸籍）から削除せず処理終了時(PF5) 等で削除する :当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除後、制御を渡す
			4: 並べ替え	→		(16)移記:戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す	
		NO	(17)メッセージを表示する			(18)同画面を編集する	
	NO	(19)各チェックで編集したメッセージを表示する					
PF1	(20)中間ファイルをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する					(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(22)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(23)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(24)前画面へ					(25)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 :当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除する
PF7	(26)前ページがあるか?（ある:YES,ない:NO）				/	(27)同画面を編集する	
	YES	(28)前ページ分の移記:戸籍事項表示画面を表示する					
	NO	(29)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(30)次ページがあるか?（ある:YES,ない:NO）				/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
	YES	(31)次ページ分の移記:戸籍事項表示画面を表示する						
	NO	(32)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示							
処理名	1.0 移記:戸籍事項表示画面 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記: 戸籍事項表示画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数1～13 明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報					戸籍事項毎に+1して表示する
	戸籍事項タイトル			タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は複数明細で表示する)
	戸籍事項			記録コード		有		
				戸籍事項項目				
				氏変更の種別		有		
	処理区分							1:記録～4:並べ替え の選択入力
	選択番号							明細番号の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック				移記:戸籍事項表示画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1（記録）　または　2（修正）　または 3（削除）　または　4（並べ替え)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している戸籍事項のNo.であること (MAX13)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック		移記:戸籍事項表示画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)処理区分=1 (記録)のとき または (No.1)処理区分=4(並べ替え)のとき (No.2)選択番号=スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1)処理区分=2 (修正) のとき または (No.1)処理区分=3 (削除)のとき (No.2)選択番号≠スペース であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11

作業名	移記:戸籍事項表示
処理名	4.0 審査

1.処理区分の審査1

	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	中間ファイル (選択番号)	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	1:記録	4:並べ替え
Ⅰ	1:新戸籍編製	3301:転籍	○	○
		上記以外	× ①	× ①
Ⅱ	2:全部除籍	−	× ①	× ①
Ⅲ	3:変動なし	−	× ①	× ①
Ⅳ	4:新戸籍編製 ・全部除籍	−	× ①	× ①

2.処理区分の審査2

	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	中間ファイル (選択番号)	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	戸籍事項記録区分	2:修正	3:削除
Ⅰ	1:新戸籍編製	3301:転籍	0:既存の記録 *1	−	−
			1:審査処理で記録	× ①	× ①
			2:移記処理 (事件別)で記録	○	○
		上記以外	−	× ②	× ②
Ⅱ	2:全部除籍	−	−	× ②	× ②
Ⅲ	3:変動なし	−	−	× ②	× ②
Ⅳ	4:新戸籍編製 ・全部除籍	−	−	× ②	× ②

備考

[処理手順]
(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍編製区分の取得
(2) (1)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(2)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す
(2)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」を表示する

[処理手順]
(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍編製区分の取得
(2)移記:戸籍事項表示画面で入力された明細番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍事項記録区分の取得
(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(3)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す
(3)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「審査処理で記録した転籍事項ですので修正・消除の処理はできません。」を表示する
②「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」を表示する
*1:従前が非本籍の戸籍のため、従前の記録は実際はないパターン

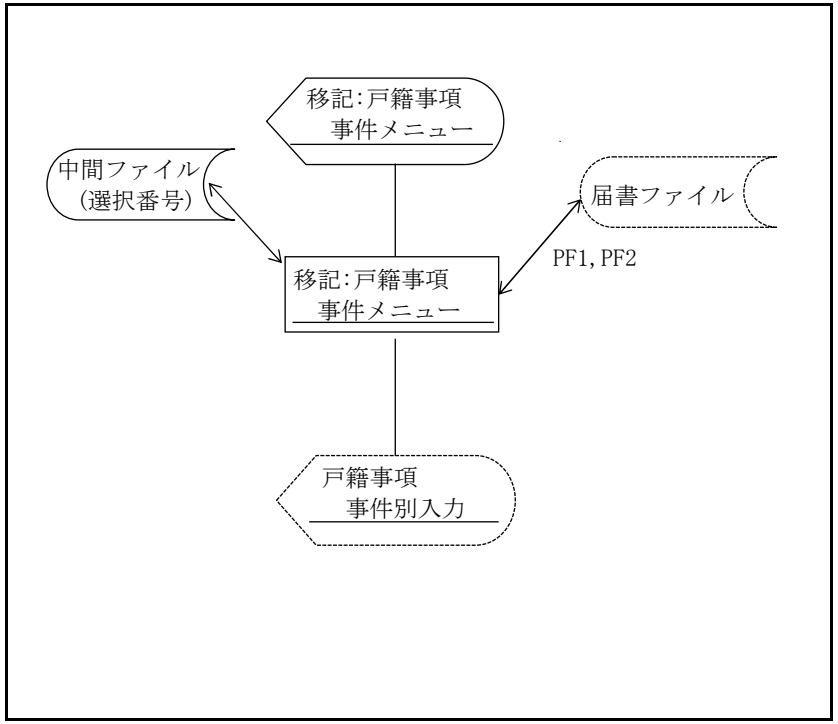
第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示								
処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分		移記: 戸籍事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	明細番号				処理区分が2:修正、3:削除の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が2:修正、3:削除の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の記録コードを設定する
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件メニュー					

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記:戸籍事項事件メニュー画面を表示する
(2)入力された「選択番号」から移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:戸籍事項事件メニュー画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件メニュー							
処理名	0.0 本紙					備考		
(1)中間ファイル(選択番号)を読む				/			(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 -戸籍事項記録コード ～	
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む				/		画面ヘッド部表示		
(3)移記:戸籍事項事件メニュー画面を出力する [1.0]					(4)同画面を編集する			
(5)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、その他)				/				
実行キー	(6)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/				
	YES	(7)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [3.0]			(8)移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す			
	NO	(9)チェックで編集したメッセージを表示する			(10)同画面を編集する			
PF1	(11)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する				(12)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF2	(13)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する				(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF4	→				(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」		
PF5	(16)前画面へ				(17)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」		
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件メニュー							
処理名	1.0 移記:戸籍事項事件メニュー編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件メニュー画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	選択番号							明細番号の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:戸籍事項事件メニュー								
処理名				画面名		画面ID			
2.0 単体チェック				移記:戸籍事項事件メニュー画面					
No	内容					出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1(氏の変更) または 2(107条2項) または 3(107条3項) または 4(107条4項) または 5(73条の2) または 6(69条の2) または 7(77条の2) または 8(75条の2) または 9(氏の振り仮名の記録) または 10(氏の振り仮名の変更)であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

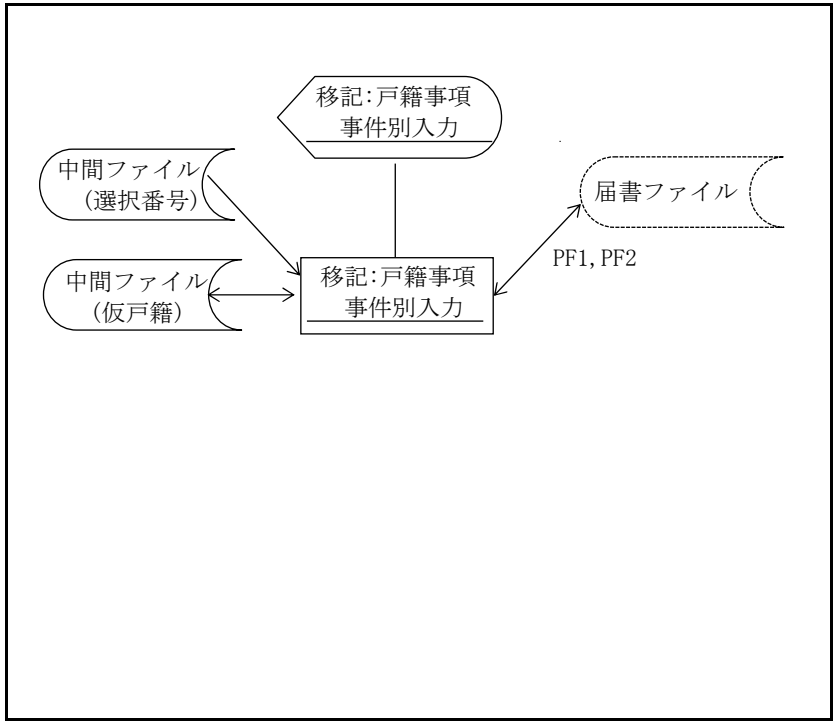
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:戸籍事項届出メニュー								
処理名	3.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							移記:戸籍事項表示画面で設定済 (1:記録)
		明細番号							
		記録コード		移記:戸籍事項 届出メニュー画面	(選択番号)				・選択番号=1(氏の変更)の場合、'2801'を設定 ・選択番号=2(107条2項)の場合、'2901'を設定 ・選択番号=3(107条3項)の場合、'3001'を設定 ・選択番号=4(107条4項)の場合、'3101'を設定 ・選択番号=5(73条の2)の場合、'0701'を設定 ・選択番号=6(69条の2)の場合、'0801'を設定 ・選択番号=7(77条の2)の場合、'1101'を設定 ・選択番号=8(75条の2)の場合、'1201'を設定 ・選択番号=9(氏の振り仮名の記録(届出))の場合、'4501'を設定 ・選択番号=10(氏の振り仮名の変更)の場合、'4701'を設定
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項事件別入力

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む
(2)「戸籍事項処理区分」から記録、修正、削除の処理を行う
(3)「戸籍事項処理区分」が「記録」の場合
  (3)-1「戸籍事項記録コード」から該当事件の入力画面を出力する
  (3)-2入力項目のチェックを行う
  (3)-3中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項情報に入力した戸籍事項を追加する
(4)「戸籍事項処理区分」が「修正」の場合
  (4)-1「戸籍事項明細番号」「戸籍事項記録コード」から該当事件の修正画面を出力する
  (4)-2入力項目のチェックを行う
  (4)-3中間ファイル（仮戸籍）の該当戸籍事項情報の更新を行う

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1（記録）
  - 1.1.2801 事件別 入力画面の表示
  - 1.2.2801 事件別 入力項目のチェック
  - 1.3.2801 事件別 中間ファイル(仮戸籍)への追加
- 2.0 別紙2（修正）
  - 2.1.2801 事件別 修正画面の表示
  - (1.2.2801) 事件別 修正項目のチェック
  - (1.3.2801) 事件別 中間ファイル(仮戸籍)の修正

5.備考(特記事項含む)

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						
処理名	0.0 本紙			備考			
(1)中間ファイル(選択番号)読む		/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～		
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/		画面ヘッド部表示			
(3)戸籍事項処理区分は何か？ (1:記録、2:修正)		/					
1	(4)戸籍事項の「記録」の処理を行う 別紙 [1.0]	/					
2	(5)戸籍事項の「修正」の処理を行う 別紙 [2.0]	/					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.0 別紙1(記録)						備考	
(1)戸籍事項記録番号は何か?(2801、2901、3001、3101、0701、0801、1101、1201、4501、4701)			/					
2801 氏の変更 (107条1項)	(2)戸籍事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.2801]		/		*1		(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード ～	
	(3)キー選択 (実行キー、PF1、PF2、PF5、PF9、PF12、その他)		/					
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.2801]	/		*2			
		YES →		(5)同画面を編集する				
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、 届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す			「当プロセスのみ処理中止」	
	PF9	(13)入力項目が、すべてチェックされているか?(YES,NO)	/		*3		※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと :転籍事項の1つ前に格納する	
		YES (14)入力画面から戸籍事項を編集し、 [1.3.2801] 中間ファイル(仮戸籍)に[戸籍事項情報]を追加する		(15)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す				
		NO (16)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する				
	PF12	(18)画面を初期化する		(19)同画面を編集する				
	その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
2901	※と同様の処理を行う		/				107条2項の処理	
3001	※と同様の処理を行う		/				107条3項の処理	
3101	※と同様の処理を行う		/				107条4項の処理	
0701	※と同様の処理を行う		/				73条の2の処理	
0801	※と同様の処理を行う		/				69条の2の処理	
1101	※と同様の処理を行う		/				77条の2の処理	
1201	※と同様の処理を行う		/				75条の2の処理	
4501	※と同様の処理を行う *1[1.1.4501]*2[1.2.4501]*3[1.3.4501]		/				氏の振り仮名の記録	
4701	※と同様の処理を行う *1[1.1.4701]*2[1.2.4701]*3[1.3.4701]		/				氏の振り仮名の変更	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	2.0 別紙2(修正)						備考	
(1)戸籍事項記録番号は何か?(2801、2901、3001、3101、0701、0801、1101、1201、4501、4701)			/					
2801 氏の変更 (107条1項)	(2)戸籍事項明細番号に該当する戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項情報から取得し、戸籍事項事件別入力画面を編集する (修正画面) [2.1.2801]		/		*1		(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 ●戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード ～	
	(3)キー選択 (実行キー、PF1、PF2、PF5、PF9、その他)		/					
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) ([1.2.2801])	/		*2			
		YES →		(5)同画面を編集する				
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す			「当プロセスのみ処理中止」	
	PF9	(13)入力項目はすべてチェックされているか?(YES,NO)	/					
		YES (14)中間ファイル(仮戸籍)の[戸籍事項情報]を修正する ([1.3.2801])		(15)移記:戸籍事項表示処理に	*3		※ 入力項目が未チェックのまま PF9が押下されないこと :身分事項情報の管理部、共通部は更新しない	
		NO (16)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する				
	その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
2901	※と同様の処理を行う		/				107条2項の処理	
3001	※と同様の処理を行う		/				107条3項の処理	
3101	※と同様の処理を行う		/				107条4項の処理	
0701	※と同様の処理を行う		/				73条の2の処理	
0801	※と同様の処理を行う		/				69条の2の処理	
1101	※と同様の処理を行う		/				77条の2の処理	
1201	※と同様の処理を行う		/				75条の2の処理	
4501	※と同様の処理を行う *1[2.1.4501]*2[1.2.4501]*3[1.3.4501]		/				氏の振り仮名の記録	
4701	※と同様の処理を行う *1[2.1.4701]*2[1.2.4701]*3[1.3.4701]		/				氏の振り仮名の変更	

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						
処理名	1.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件別入力画面 (氏の変更)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日							
	氏変更の事由		中間ファイル (選択番号)	(戸籍事項記録コード)				出力項目 - 2801(氏の変更)の場合、'1'を設定 - 2901(107条2項)の場合、'2'を設定 - 3001(107条3項)の場合、'3'を設定 - 3101(107条4項)の場合、'4'を設定 - 0701(73条の2)の場合、'5'を設定 - 0801(69条の2)の場合、'6'を設定 - 1101(77条の2)の場合、'7'を設定 - 1201(75条の2)の場合、'8'を設定
	届出人1資格区分							
	届出人1資格名称							
	届出人1氏名							
	届出人2資格区分							
	届出人2資格名称							
	届出人2氏名							
	送付を受けた日							氏変更の種別が1(107条1項)以外の場合、入力不可(プロテクト)
	受理者							
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	従前の記録(氏)							入力不可(プロテクト)
	記録日							
	特記事項							

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						

処理名	画面名	画面ID	
1.2.2801　単体チェック	移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更)		

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	氏変更日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	氏変更の事由	○	数字	1～9であること 2801の場合、1、または9であること 2801以外の場合、入力不可			
3	届出人1資格区分		数字				
4	届出人1氏名		漢字				
5	届出人2資格区分		数字				
6	届出人2氏名		漢字				
7	送付を受けた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	受理者		漢字	「住所変換サブルーチン」			
9	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	許可書謄本の送付を受けた日		漢字	「日付チェックサブルーチン」			
11	許可を受けた者		漢字				
12	従前の記録(氏)		漢字				
13	記録日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	特記事項		漢字				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.3.2801 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報管理	戸籍管理番号		中間ファイル (選択番号)	戸籍管理情報				:その他の「管理」情報は省略
	戸籍事項記録区分			「2」 移記処理(事件別)で記録				戸籍事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理で記録 2:移記処理で記録
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報共通	戸籍番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	行番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	出力区分							
	タイトルコード		中間ファイル (選択番号)	(戸籍事項記録コード)				- 2801(氏の変更)の場合、'2801'【氏の変更】を設定 - 2901(107条2項)の場合、'2901'【氏の変更】を設定 - 3001(107条3項)の場合、'3001'【氏の変更】を設定 - 3101(107条4項)の場合、'3101'【氏の変更】を設定 - 0701(73条の2)の場合、'0701'【氏の変更】を設定 - 0801(69条の2)の場合、'0801'【氏の変更】を設定 - 1101(77条の2)の場合、'1101'【氏の変更】を設定 - 1201(75条の2)の場合、'1201'【氏の変更】を設定
	記録コード			戸籍事項記録コード				同上
	管掌者コード							
	戸籍事項項目							次ページ以降に記録

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力								
処理名	1.3.2801 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	氏変更	氏変更日		移記:戸籍事項 事件別入力画面 (氏の変更)	氏変更日		有		
		氏変更の事由			(氏変更の事由)				- 1(氏の変更)の場合、 【戸籍法107条1項の届出】設定 - 2(107条2項)の場合、 【戸籍法107条2項の届出】設定 - 3(107条3項)の場合、 【戸籍法107条3項の届出】設定 - 4(107条4項)の場合、 【戸籍法107条4項の届出】設定 - 5(73条の2)の場合、 【戸籍法73条の2の届出】設定 -6(69条の2)の場合、 【戸籍法69条の2の届出】設定 -7(77条の2)の場合、 【戸籍法77条の2の届出】設定 - 8(75条の2)の場合、 【戸籍法75条の2の届出】設定 - 9(氏の変更〔事由なし〕)の場合、 空白を設定
	届出	届出人 資格			届出人1資格区分				
		資格名称			届出人1資格名称				
		氏名			届出人1氏名				
		届出人 資格			届出人2資格区分				
		資格名称			届出人2資格名称				
		氏名			届出人2氏名				
	送付	送付を受けた日*1			送付を受けた日		有		107条1項以外の画面では入力不可
		受理者 *1			受理者				107条1項以外の画面では入力不可
	許可	許可日			許可日				
		許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
		許可を受けた者			許可を受けた者				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.3.2801 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	従記前録	従前の記録(氏)*2							画面では入力不可
	記録	記録日			記録日				
	特記	特記事項			特記事項				
	*1:107条1項以外のファイルにはないので注意 *2:107条4項のファイルにはないので注意								
	※ ①一番左の項目:グループ名 ②次の項目:インデックス名								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	2.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件別入力画面 (氏の変更)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	氏変更日		有		
	氏変更の事由			氏変更の種別				- 2801(氏の変更)の場合、'1'を設定 - 2901(107条2項)の場合、'2'を設定 - 3001(107条3項)の場合、'3'を設定 - 3101(107条4項)の場合、'4'を設定 - 0701(73条の2)の場合、'5'を設定 - 0801(69条の2)の場合、'6'を設定 - 1101(77条の2)の場合、'7'を設定 - 1201(75条の2)の場合、'8'を設定 - 2801(氏の変更)で、氏変更の事由が空白の場合、'9'を設定

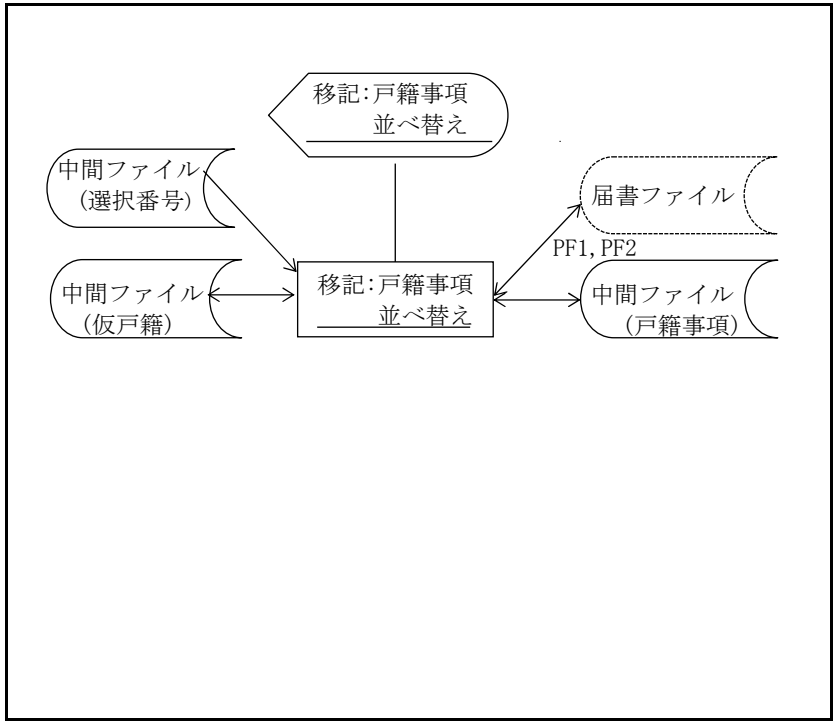
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	2.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集・出力							

受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称		記号名			
	届出人1資格区分			届出人	資格				
	届出人1資格名称				資格名称				
	届出人1氏名				氏名				
	届出人2資格区分			届出人	資格				
	届出人2資格名称				資格名称				
	届出人2氏名				氏名				
	送付を受けた日			送付を受けた日*1					氏変更の種別が1(107条1項)以外の場合、入力不可(プロテクト)
	受理者			受理者*1					
	許可日			許可日					
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日					
	許可を受けた者			許可を受けた者					
	従前の記録(氏)			従前の記録(氏)*2					入力不可(プロテクト)
	特記事項			特記事項					
				*1:107条1項以外のファイルにはないので注意 *2:107条4項のファイルにはないので注意					

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項並べ替え

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(戸籍事項)	入出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)1戸籍事項のタイトルを1明細として一覧で表示する
(3)戸籍事項の並べ替えを指示する
(4)戸籍事項表示に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(中間ファイル/戸籍事項)
- 2.0 データ編集(移記:戸籍事項並べ替え画面)
- 3.0 審査

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項並べ替え
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項1録コード ～
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/			
(3)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む		/		当プロセスのWORKファイル	
(4)中間ファイル(戸籍事項)を編集･出力する [1.0]		/			
(5)中間ファイル(戸籍事項)から移記:戸籍事項並べ替え画面を編集･出力する [2.0]			(6)同画面を編集する	複数画面を考慮する	
(7)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/			
実行キー (8)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]		/			
YES (9)中間ファイル(戸籍事項)を新明細番号に従って並べ替えを行う		/			
(10)中間ファイル(戸籍事項)から移記:戸籍事項並べ替え画面を編集･出力する [2.0]			(11)同画面を編集する		
NO (12)審査で編集したメッセージを表示する					
PF1 (13)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」	
PF2 (15)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」	
PF4 (17)中間ファイル(戸籍事項)を削除する			(18)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」	
PF5 (19)前画面へ、中間ファイル(戸籍事項)を削除する			(20)移記:戸籍事項事項表示に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」	
PF7 (21)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(22)同画面を編集する		
YES (23)前ページ分の移記:戸籍事項並べ替え画面を表示する					
NO (24)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8 (25)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/			
YES (26)次ページ分の移記:戸籍事項並べ替え画面を表示する					
NO (27)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF9 (28)中間ﾌｧｲﾙ(戸籍事項)を基に中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)の戸籍事項情報の並べ替えを行う		/			当PFキーにより中間ファイル(仮戸籍)に並べ替えの処理結果が反映される
(29)中間ファイル(戸籍事項)を削除する			(30)移記:戸籍事項事項表示処理に制御を渡す		
その他 (31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(32)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項並べ替え							
処理名	1.0中間ファイル(戸籍事項)編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (戸籍事項)	明細件数							戸籍事項の記録件数を格納する
	明細番号							:1戸籍事項毎に+1を付加する
	戸籍事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報管理	戸籍事項記録区分				:戸籍事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理での記録 2:移記処理(事件別)で記録
	戸籍事項コード		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報共通	タイトルコード				複数明細あり (107条1項等、同一記録コードの明細が複数あり得るので注意すること)
	戸籍事項名称			タイトルコード		有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項並べ替え							
処理名	2.0 移記:戸籍事項並べ替え画面編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項 並べ替え画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数 1〜13 明細番号		中間ファイル (戸籍事項)					1戸籍事項毎に+1して表示する 入力項目、表示する戸籍事項の戸籍事項記録区分が1［審査処理で記録］の場合(転籍の記録事項)、新明細番号を入力不可(プロテクト)する → 転籍事項は必ず戸籍事項の最後に記録されている(移記:戸籍事項事件別入力を参照)
	新明細番号							
	戸籍事項 ※			戸籍事項名称				
				氏変更種別				
	(exp.) 氏変更種別が107条2項の場合「氏の変更(107条2項)」と表示する							

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項並べ替え

処理名	3.0 審査			備考
(1)中間ファイル(戸籍事項)の明細件数の数だけ(3)～(17)の処理を繰り返す			(2)本紙へ	
(3)新明細番号が入力されているか?(YES,NO)		/		
YES	(4)新明細番号:中間ファイル(戸籍事項)の明細件数?(>,=,<)	/		
	> (7)エラーメッセージ 「入力された明細番号は戸籍事項件数を超えています。」を表示する		(8)本紙へ	
	= (9)エラーメッセージ 「入力された明細番号の事項は転籍事項ですので、並べ替えできません。」 を表示する		(10)本紙へ	
	< (11)→(12) へ	/		
NO	(12)明細番号を新明細番号に転送する	/		新明細番号が入力されていない場合も、中間ファイル(戸籍事項)の並べ替えは、新明細番号を基に行うため、同一番号を設定する
	(13)→(14)へ	/		
(14)新明細番号は重複しているか?(YES,NO)		/		チェック済[(3)～(13)]の新明細番号のすべてと比較し、判断する
YES	(15)エラーメッセージ 「入力されてた明細番号は重複して入力されています。」を表示する		(16)本紙へ	
NO	(17)→	/		

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人情報表示					

Ⅰ.処理概要

(1)父母氏名、続柄の入力チェック

				父氏名	母氏名	父母との続柄
◇「父母との続柄」が設定されている ※ ・異動者でない ・除籍者である ・届書入力処理で審査済である ・移記事項入力処理で設定済である	入籍者である {・入籍者または入籍除籍者である	父/母氏名に記載がある	②	□	□	×
		父/母氏名に記載がない	③	×	×	×
	上記以外 {・記録のない者、記録のある者または除籍者である		②	×	×	×
◇「父母との続柄」が設定されていない ・届書入力処理で審査していない入籍者である (管外からの転籍における構成員等)			④	○	○	◎

(2)養父母氏名、続柄の入力チェック

				養父氏名	養母氏名	養父母との続柄
◇「養父母との続柄」が設定されている※ ・届書入力処理で審査済である (養子縁組の養子) ・移記事項入力処理で設定済である	記録者または入籍者である {・記録のある者、入籍者または入籍除籍者である		①	△	△	×
	上記以外である {・記録のない者または除籍者である		②	×	×	×
◇「養父母との続柄」が設定されていない	入籍者である {・入籍者または入籍除籍者である		②	○	○	○
				*1	*1	*1
	上記以外である {・記録のない者、記録のある者または除籍者である		③	×	×	×

◎:入力可能(必須入力)
○:入力可能(任意入力)
×:入力不可(プロテクト)
□:更正可能
△:更正または記録可能

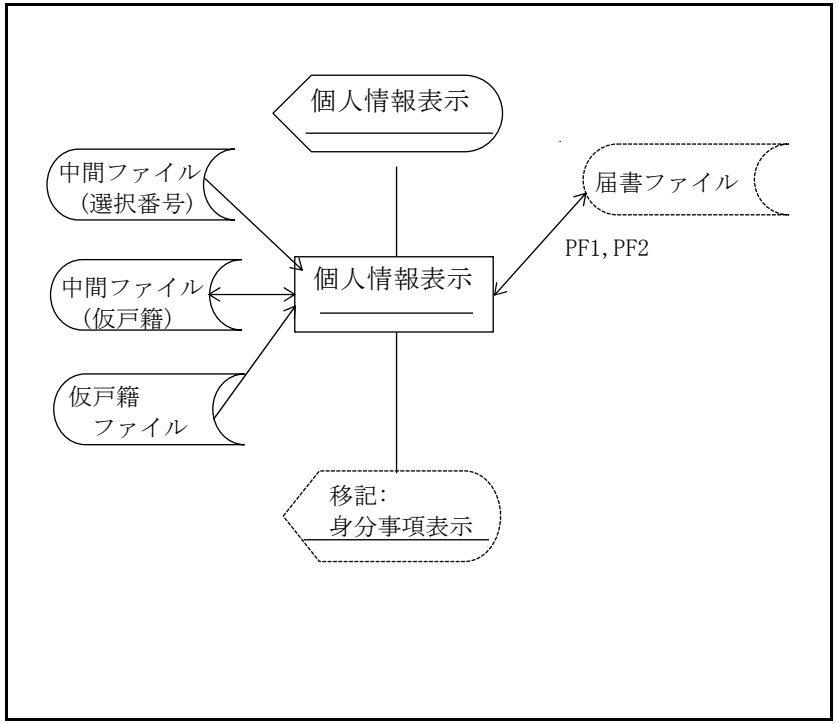
*1:関連チェック⇒「養父母との続柄」が記録されている場合、「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていること
(参考)「父母との続柄」が記録されている場合、「父氏名」または「母氏名」が記録されていることの関連チェックは行わない⇒棄児の場合がある

※ 続柄が設定されているか、設定されていないかにより、処理を振り分けている
→ 基準書を記録する上で
「一度、移記入力処理で続柄が設定してしまうと、再び修正、削除はできない」仕様としているので注意を要する。
(「審査入力」で設定済の場合、修正・削除は不可であるが、「移記事項入力」で設定した場合であれば、修正・削除の処理は特に制限しない。:メーカー任。)

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	個人情報表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
仮戸籍ファイル	入力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2) 更正(訂正)できない項目にプロテクトをかける
(3) 入力された項目のチェックを行う
(4) 個人特定事項が更正(訂正)された場合,中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報を更新する
(5) 個人特定事項が入力された場合,中間ファイル(仮戸籍)に身分事項情報を作成する
(6) 移記:身分事項表示処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(個人情報表示画面)
- 2.0 別紙1 [画面プロテクト]
- 3.0 単体チェック
- 4.0 別紙2 [入力審査]
- 5.0 別紙3 [中間ファイル(仮戸籍)の更新・作成]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	個人情報表示
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む					/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2)個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読み 個人情報表示画面を編集する [1.0]						(3)同画面を編集する	
(4)入力項目のプロテクトを行う 別紙[2.0]							
(5)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF9、その他)					/		
実行キー	(6)入力項目の単体チェック(OK;YES,NG:NO) [3.0]				/		
	YES	(7)入力項目の審査を行う(OK:YES,NG;NO) 別紙[4.0]			/		
		YES	→			(8)同画面を編集する	:メッセージが表示される場合がある[4.0]
		NO	(9)審査で編集したエラーメッセージを表示する				
	NO	(10)単体チェックで編集したメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	
PF1	(12)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(13)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(14)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(15)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(16)前画面へ					(17)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
PF9	(18)入力項目がすべてチェックされているか?(YES,NO)				/		入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと
	YES	(19)中間ファイル(仮戸籍)の更新・追加 別紙[5.0]			/	(20)身分事項表示処理に制御を渡す	
	NO	(21)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する				(22)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人情報表示							
処理名	1.0 個人情報表示画面 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人情報表示画面	振り仮名		中間ファイル(仮戸籍)氏名情報	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報	生年月日				
	性別					有		中間ファイル(仮戸籍)/個人特定情報の「父母との続柄」に項目があれば、それを基に翻訳する
	性別名称							
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		
	父氏名			父氏名				入力可能項目
	母氏名			母氏名				入力可能項目
	父母との続柄			父母との続柄				入力可能項目
	父母との続柄名称			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父氏名				入力可能項目
	養母氏名			養母氏名				入力可能項目
	養父母との続柄			養父母との続柄				入力可能項目
	養父母との続柄名称			養父母との続柄		有		
	個人除区分			個人除区分				
	個人除区分名称			個人除区分		有		
	同一戸籍内前個人番号			同一戸籍内前個人番号				入力可能項目

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人情報表示							
処理名	1.0 別紙1 ［画面プロテクト］						備考	
(1)「父母との続柄」が設定されているか?(YES,NO)				/				
YES	(2)「父母との続柄」を入力不可(プロテクト)とする			/	(3)本紙へ			
	(4)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)			/			中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/管理で判断	
	2,4 入籍,入籍除籍	(5)「父氏名」が設定されているか?(YES,NO)		/			入籍者等に関して父母欄の更正を可能とする。(更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため、父母氏名の消除が可能となるが、業務的にあり得ない)	
		YES	(6)→(8)	/				
		NO	(7)「父氏名」を入力不可(プロテクト)とする	/				
		(8)「母氏名」が設定されているか?(YES,NO)		/				
		YES	(9)→(13)	/				
		NO	(10)「母氏名」を入力不可(プロテクト)とする	/				
	0,1,3	(11)→「父氏名」「母氏名」を入力不可(プロテクト)とする		/				
NO	(12)→(13)			/				
(13)「養父母との続柄」が設定されているか?(YES,NO)				/				
YES	(14)「養父母との続柄」を入力不可(プロテクト)とする			/				
	(15)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)			/			身分事項(離縁)を記録した者に関して養父母欄の記録を可能とする。 入籍者等に関して養父母欄の更正を可能とする.(更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため、養父母氏名の消除が可能となるが、業務的にあり得ない)	
	1,2,4	(16)→(22)		/				
	0,3	(17)「養父氏名」「養母氏名」を入力不可(プロテクト)とする						
NO	(18)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)			/				
	2,4	(19)→(22)		/			入籍者等に関して養父母事項の記録(氏名、続柄)の記録を可能とする。	
	0,1,3	(20)「養父氏名」「養母氏名」「養父母との続柄」を入力不可(プロテクト) とする		/				
(22)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)				/				
	2,4	(23)→					入籍者に関して同一戸籍内前個人番号の記録を可能とする。	
	0,1,3	(24)「同一戸籍内前個人番号」を入力不可(プロテクト) とする						

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人情報表示								
処理名				画面名	画面ID				
3.0 単体チェック				個人情報表示画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	父氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	母氏名		漢字				
3	父母との続柄	○	漢字	(10:男,11:長男～29:十九男,30:女,31:長女～49:十九女,99:空欄)であること			
4	養父氏名		漢字				
5	養母氏名		漢字				
6	養父母との続柄		漢字	(51:養子,52:養女)であること			
7	同一戸籍内前個人番号		数字				

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人情報表示							
処理名	4.0 別紙1 ［入力審査］						備考	
(1)「養父母との続柄」が入力されたか?(YES,NO)					/			
YES	(2)「養父氏名」≠空白 または 「養母氏名」≠空白か? (YES,NO)				/			
	YES	→(8)へ			/			
	NO	(4)エラーメッセージ 「続柄が入力してあるにも係わらず、養父又は養母氏名が入力されていません。」 を表示する				(4-1)本紙へ		
NO	(5)「養父氏名」=空白 かつ 「養母氏名」=空白か? (YES,NO)				/			
	YES	→(8)へ			/			
	NO	(7)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が入力されているにも係わらず、続柄が記録されていません。」 を表示する				(7-1)本紙へ		
(8)「同一戸籍内前個人番号」が入力されたか?(YES,NO)					/		(8)～(14)の審査は任意設計機能とする	
YES	(9)同一戸籍内前個人番号の該当者の個人除区分=0(在籍者)である。(YES,NO)				/			
	YES	(10)エラーメッセージ 「同一戸籍内前個人番号の該当者は在籍者です。選択が誤っています。」 を表示する				(11)本紙へ		
	NO	(12)同一戸籍内前個人番号の該当者の名≠入籍者の名 または 同一戸籍内前個人番号の該当者の生年月日≠入籍者の生年月日 である(YES,NO)			/			
		YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内前個人番号の該当者と入籍者は同一人で間違いありませんね。」 を表示する			(14)本紙へ		
			YES	→				
			NO	→			エラーとする	
		NO	→					
NO	→							

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人情報表示						
処理名	5.0 別紙3 ［中間ファイル(仮戸籍)の更新･作成］					備考	
(1)従前「父氏名」≠「父氏名」 または 従前「母氏名」≠「母氏名」 または 従前「父母との続柄」≠「父母との続柄」 または 従前「養父氏名」≠「養父氏名」 または 従前「養母氏名」≠「養母氏名」 または 従前「養父母との続柄」≠「養父母との続柄」 または 「同一戸籍内前個人番号」 ≠ZEROであるか?			/			従前:当画面表示当初の記録内容	
YES	(2)中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報を更新する [5.1]			(3)本紙へ			
NO	→						

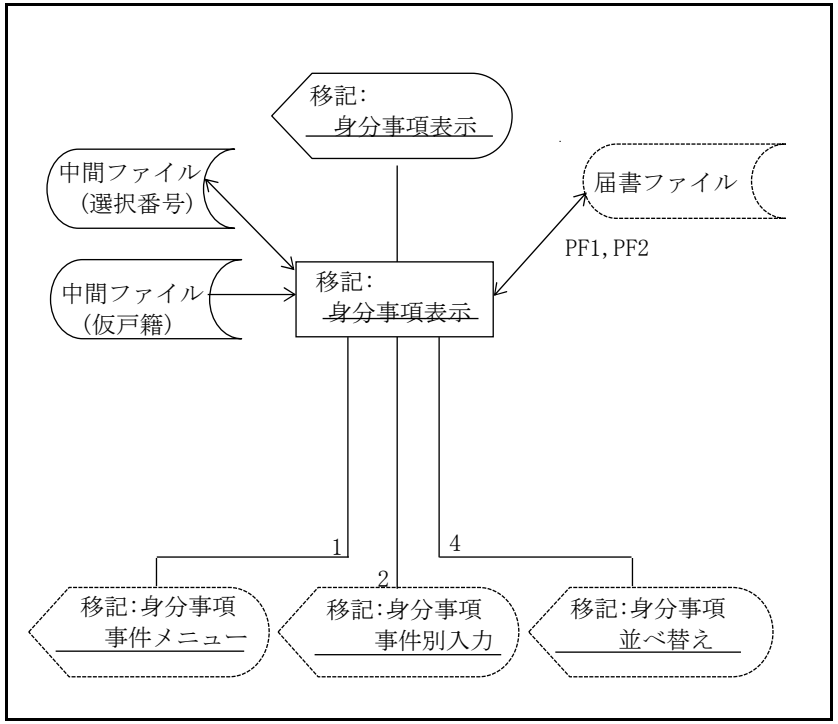
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人情報表示							
処理名	5.1 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報管理	個人異動区分							R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	個人番号		個人情報表示画面					
	戸籍番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父氏名				
	養母			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号							
	同一戸籍内前個人番号			同一戸籍内前個人番号				
	同一戸籍内後個人番号							
	個人除区分							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」(個人管理番号)で中間ファイル(仮戸籍)を検索し,該当者の身分事項をすべて画面に表示する
(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「移記」が選択された場合
移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され,「明細番号」が入力された場合
移記:身分事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され,「明細番号」が入力された場合
消除された身分事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記:身分事項並べ替え処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:身分事項表示画面)
  - 1.1 画面表示
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む					/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード
(2)個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」「氏名情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む					/		画面ヘッド部表示
(3)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む					/		
(4)移記:身分事項表示画面を編集する [1.0]、別紙[1.1]						(5)同画面を編集する	複数画面を考慮する
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、その他)					/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]				/		
	YES	(8)審査(OK:YES,NG:NO) [4.0]			/		
		YES	(9)処理区分は何か?(1,2,3,4)		/		
			1:記載	(10)中間ファイル(選択番号)を編集･出力する [5.0]		(11)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	
			2:修正	(12)中間ファイル(選択番号)を編集･出力する ([5.0])		(13)移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す	
			3:削除	(14)該当の「身分事項」のインデックスをすべて高輝度表示する		(15)同画面を編集する	:中間ファイル(仮戸籍)から削除からは削除せず画面上で対応し、処理終了時(PF4、PF5)の際に削除する
			4: 並べ替え	→		(16)移記:身分事項並べ替え処理に制御を渡す	:当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除し、制御を渡す
		NO	(17)エラーメッセージを表示する			(18)同画面を編集する	
	NO	(19)各チェックで編集したメッセージを表示する					
PF1	(20中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(22)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(23)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→					(24)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」 :当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除する
PF5	(25)前画面へ					(26)個人情報表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 :当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除する
PF7	(27)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)				/	(28)同画面を編集する	
	YES	(29)前ページ分の移記:身分事項表示画面を表示する					
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(31)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)				/	(32)同画面を編集する	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
	YES	(33)次ページ分の移記:身分事項表示画面を表示する						
	NO	(34)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(35)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示							
処理名	1.0 移記:身分事項表示画面 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記: 身分事項表示画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード 本籍		有		
	明細 1 件数 3 明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報					身分事項毎に+1して表示する
	身分事項ﾀｲﾄﾙ			タイトルコード		有		身分事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は複数明細で表示する)
	身分事項			記録コード		有		
				身分事項項目				
	処理区分							1:記録～4:並べ替え の選択入力
	選択番号							明細番号の入力

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項表示					
処理名	1.1 別紙(身分事項の分類)				備考	

1.身分事項の分類(従前本籍人が入籍する場合,システム上,従前の戸籍からその者の身分事項をすべて移記し,下記の表に従い画面表示を行う)〔入籍者のみ〕
〔移記不要事項〕:無条件に削除可能な身分事項 〔審査要事項〕:移記が必要かどうかの判断を必要とする身分事項

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を 高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
1	養子離縁事項がある ・養子の記録(0401)	1-1 養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	―	養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	―	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子離縁事項 ・養親の記録(0402)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0403)は移記不要
		1-2 養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	―	―	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	
2	養子縁組取消事項がある ・養子の記録(3501)	2-1 養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	―	養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	―	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子縁組取消事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(3503)は移記不要
		2-2 養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	―	―	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	
3	特別養子離縁事項がある ・養子の記録(0601)	3-1 特別養子縁組事項がない ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	―	特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	―	特別養子縁組事項 ・養子の従前戸籍の記録(0501)は移記不要 ・養子の新戸籍の記録(0502)は移記不要 ・養親の記録(0504)は移記不要 特別養子離縁事項 ・養親の記録(0602)は移記不要 3-2:養親が外国人の場合,養子には変動がないので,特別養子縁組事項は記録されている
		3-2 特別養子縁組事項がある ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	―	特別養子縁組事項 ・養子の入籍戸籍の記録(0503) 特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	―	
4	離婚事項がある(1001)	4-1 婚姻事項がない(0901)	―	離婚事項(1001)	―	
		4-2 婚姻事項がある(0901)	―	―	婚姻事項(0901) 離婚事項(1001)	
5	配偶者死亡による婚姻解消事項がある ・死亡/死亡者の生存配偶者の記録(1602)		―	婚姻事項(0901) 死亡事項 ・死亡者の生存配偶者の記録(1602)	―	*婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・死亡者の記録(1601)は移記不要 ・高齢者消除の記録(1603)は移記不要

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項表示					
処理名	1.1 別紙(身分事項の分類)				備考	

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を 高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
6	配偶者失踪による婚姻解消事項がある ・失踪/失踪者の生存配偶者の記録(1702)		―	婚姻事項(0901) 失踪事項 ・失踪者の生存配偶者の記録(1702)	―	*婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・失踪者の記録(1701)は移記不要
7	婚姻取消事項がある (3701)	7-1 婚姻事項がない (0901)	―	婚姻取消事項(3701)	―	―
		7-2 婚姻事項がある (0901)	―	―	婚姻事項(0901) 婚姻取消事項(3701)	
8	親権(管理権)事項がある(1301)		―	―	親権(管理権)事項 (1301)	※
9	後見事項がある(1401)		―	―	後見事項(1401)	※
9-1	未成年後見事項がある(4101)		―	―	未成年後見事項 (4101)	※
10	保佐事項がある(1501)		―	―	保佐事項(1501)	※
11	認知事項がある ・被認知者の記録(0201)		―	―	認知事項 ・被認知者の記録 (0201)	婚姻準正となっている者の場合、移記不要であるが、システムで判断できないため、[審査要事項]とする
12	特別養子縁組事項がある ・養子の新戸籍編製の記録(0502)		―	―	特別養子縁組事項 ・養子の新戸籍編製の記録(0502)	養親が共に外国人の場合、養子の入籍戸籍の記録がないので新戸籍編製の記録を移記する必要があるが、システムで判断できない為、[審査要事項]とする

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項表示					
処理名	1.1 別紙(身分事項の分類)				備考	

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を 高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
13	1～12の要件以外の場合で ・出生/子の記録(0101) ・認知/親に対する認知の記録(0203) ・養子縁組/養子の記録(0301) ・特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503) ・婚姻(0901) ・推定相続人廃除(1901) ・国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502) ・国籍選択(2601) ・外国国籍喪失(2701) ・名の変更(3201) ・名の振り仮名の記録(4601) ・名の振り仮名の変更(4801) ・外国人配偶者の国籍変更(9001) ・外国人配偶者の国籍・地域変更(9002) ・外国人配偶者の氏名変更(9101) ・平成15年法律第111号3条(7003)		出生/子の記録(0101) 認知/親に対する認知の記録(0203) 養子縁組/養子の記録(0301) 特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503) 婚姻(0901) 推定相続人廃除(1901) 国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502) 国籍選択(2601) 外国国籍喪失(2701) 名の変更(3201) 名の振り仮名の記録(4601) 名の振り仮名の変更(4801) 外国人配偶者の国籍変更(9001) 外国人配偶者の国籍・地域変更(9002) 外国人配偶者の氏名変更(9101) 平成15年法律第111号3条(7003)			
14	1～12の要件以外の場合及び13の要件以外の場合		－	＜該当事項＞	－	

※移記が必要かどうかは、インデックスの記録有無及び他の者のすべての身分行為(戸籍が複数の場合もある)で判断が必要な為、無条件に[審査要事項]とする。

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 単体チェック				移記:身分事項表示画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1 (記録) または 2 (修正)または 3 (削除) または 4 (並べ替え) であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している身分事項のNo.であること(MAX13)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック		移記:身分事項表示画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1) 処理区分=1 (記録) のとき または (No.1) 処理区分=4 (並べ替え) のとき (No.2) 選択番号=スペース であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1) 処理区分=2 (修正) のとき または (No.1) 処理区分=3 (消除) のとき (No.2) 選択番号≠スペース であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	移記:身分事項表示	
処理名	4.0　審査　(1:記録、4:並べ替え)	備考

1. 処理区分の審査1

	中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報/管理 個人異動区分	処理区分 1:記録	 4:並べ替え
Ⅰ	0:(記録なし)	○	○
Ⅱ	1:記録 (異動なし記録のみ)	×①	×①
Ⅲ	2:入籍	○	○
Ⅳ	3:除籍	×②	×②
Ⅴ	4:入籍除籍	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル(選択番号)の個人管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報を読む
→　個人異動区分
個人異動形態区分(未使用)の取得

(2) (1)で取得した区分と移記:身分事項表示画面で入力された処理区分で
左記の表を検索する
(2)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す

(2)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「指定した該当者に対して移記の処理はできません。」
②「除籍者に対して移記の処理はできません。」

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	移記:身分事項表示	
処理名	4.0　審査　(2:修正、3:削除)	備考

2. 処理区分の審査2

中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報/管理		中間ファイル（仮戸籍） 身分事項情報/管理	処理区分	
	個人異動区分	身分事項記録区分	2:修正	3:削除
Ⅰ	0:(記録なし)	0:既存の記録	×　①	×　②
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別)で記録	○	○
Ⅱ	1:記録 (異動なし記録のみ)	0:既存の記録	×　①	×　②
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別)で記録	－	－
Ⅲ	2:入籍	0:既存の記録	○	○
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別)で記録	○	○
Ⅳ	3:除籍	0:既存の記録	×　⑤	×　⑤
		1:審査処理で記録	×　⑤	×　⑤
		2:移記処理(事件別)で記録	－	－
Ⅴ	4:入籍除籍	0:既存の記録	○	○
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別)で記録	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル(選択番号)の個人管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報を読む
→　個人異動区分
個人異動形態区分(未使用)の取得

(2)移記:身分事項表示画面で入力された明細番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報を読む
→　身分事項記録区分の取得

(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記:身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(3)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す

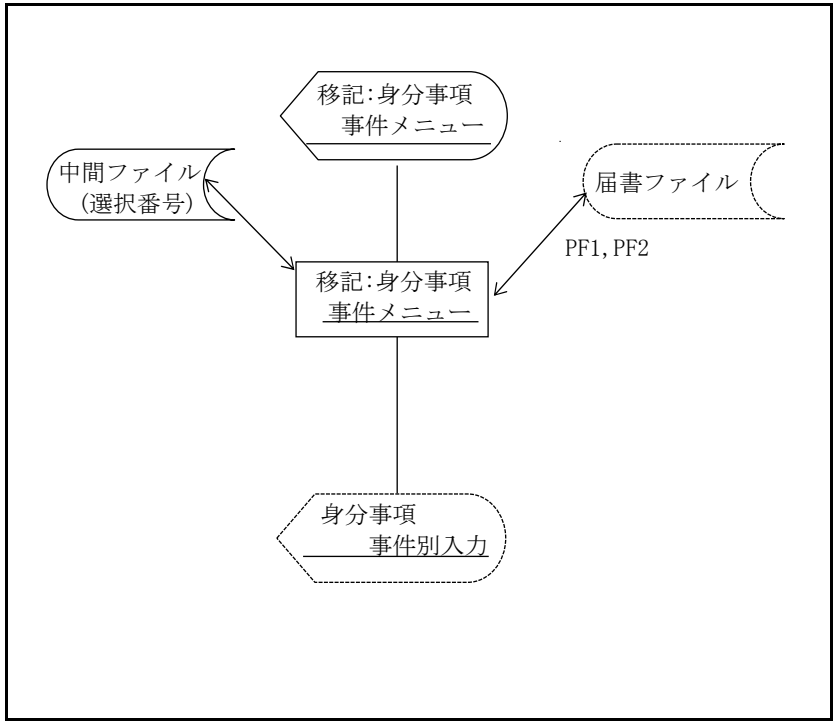
(3)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「従前からある記録事項ですので修正できません。」
②「従前からある記録事項ですので削除できません。」
③「審査で記録した事項ですので修正できません。」
④「審査で記録した事項ですので削除できません。」
⑤「除籍者に対して移記の処理はできません。」

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示							
処理名	5.0 中間ファイル（選択番号）編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分		移記: 身分事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	明細番号				処理区分が 2:修正の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が 2:修正の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の明細番号を設定する

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件メニュー					

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記:身分事項事件メニュー画面を表示する
(2)入力された「選択番号」から移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:身分事項事件メニュー画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件メニュー							
処理名	0.0 本紙					備考		
(1)中間ファイル(選択番号)を読む				/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード	
(2)個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）から読む				/		画面ヘッド部表示		
(3)移記:身分事項事件メニュー画面を出力する [1.0]				/	(4)同画面を編集する			
(5)キー選択（実行キー、PF1、PF2、PF4、FF5、その他）				/				
実行キー	(6)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/				
	YES	(7) 中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [3.0]			(8) 移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す			
	NO	(9) チェックで編集したメッセージを表示する			(10)同画面を編集する			
PF1	(11)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの｢届書排他区分｣に'0'を設定する				(12)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF2	(13)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの｢届書排他区分｣に'0'を設定する				(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF4	→				(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」		
PF5	(16)前画面へ				(17)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」		
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件メニュー							
処理名	1.0 移記:身分事項事件ﾒﾆｭｰ画面編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:身分事項 事件メニュー画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	選択番号							明細番号の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項事件メニュー								
処理名				画面名		画面ID			
2.0 単体チェック				移記:身分事項事件メニュー画面					

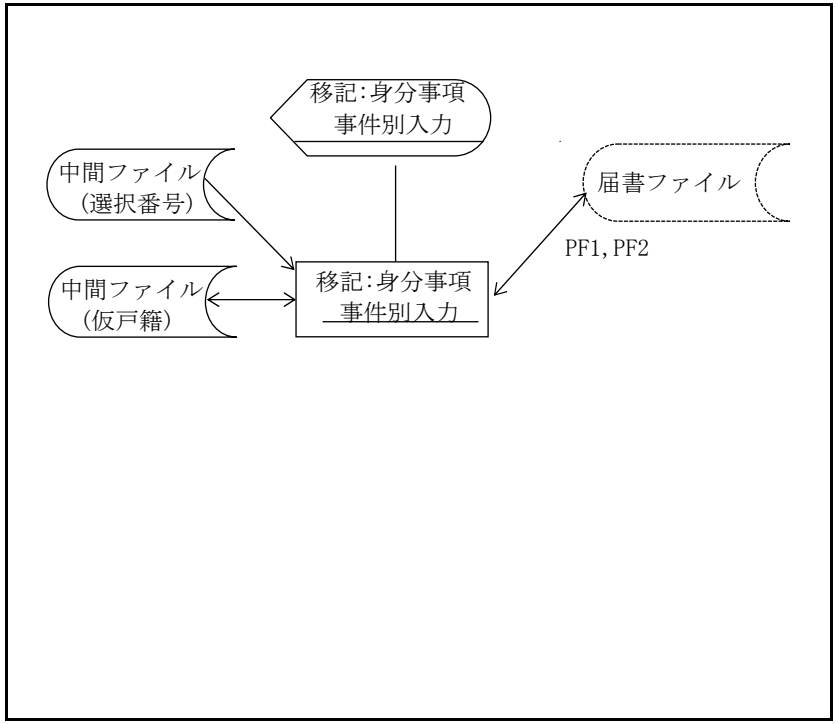
No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1(出生) または 20(認知:被認知者の記録) または 21(認知:親に対する認知の記録) または 3(養子縁組) または 40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製の記録) または 41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍の記録) または 5(婚姻) または 6(親権(管理権)) または 70(後見) または 71(未成年後見) または 8(保佐) または 9(推定相続人廃除) または 10(国籍選択) または 11(配偶者の国籍喪失) または 12(外国国籍喪失) または 13(名の変更) または 14(名の振り仮名の記録) または 15(名の振り仮名の変更) または 90(外国人配偶者の国籍変更) または 91(外国人配偶者の氏名変更) または 92(平成15年法律第111号3条) または 93(外国人配偶者の国籍・地域変更)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		41の番号が使われているため、後見の番号修正と共に、未成年後見を追加

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項事件メニュー								
処理名	3.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号									移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード									移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分									移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分								
		明細番号								
		記録コード								
	個人	個人管理番号								移記戸籍構成員一覧画面で設定済
	身分事項	処理区分								移記:身分事項表示画面で設定済
		明細番号								
		記録コード		移記:身分事項 事件メニュー画面	(選択番号)	・選択番号=1(出生)の場合 '0101'を設定 ・選択番号=20(認知:被認知者の記録)の場合 '0201'を設定 ・選択番号=21(認知:親に対する認知)の場合 '0203'を設定 ・選択番号=3(養子縁組)の場合 '0301'を設定 ・選択番号=40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製)の場合 '0502'を設定 ・選択番号=41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍)の場合 '0503'を設定 ・選択番号=5(婚姻)の場合 '0901'を設定 ・選択番号=6(親権(管理権))の場合 '1301'を設定 ・選択番号=70(後見)の場合 '1401'を設定 ・選択番号=71(未成年後見)の場合 '4101'を設定 ・選択番号=8(保佐)の場合 '1501'を設定	・選択番号=9(推定相続人廃除)の場合 '1901'を設定 ・選択番号=10(国籍選択)の場合 '2601'を設定 ・選択番号=11(配偶者の国籍喪失)の場合 '2502'を設定 ・選択番号=12(外国国籍喪失)の場合 '2701'を設定 ・選択番号=13(名の変更)の場合 '3201'を設定 ・選択番号=14(名の振り仮名の記録)の場合 '4601'を設定 ・選択番号=15(名の振り仮名の変更)の場合 '4801'を設定 ・選択番号=90(配偶者の国籍変更)の場合 '9001'を設定 ・選択番号=91(配偶者の氏名変更)の場合 '9101'を設定 ・選択番号=92(平成15年法律第111号3条)の場合 '7003'を設定 ・選択番号=93(配偶者の国籍・地域変更)の場合 '9002'を設定			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)「身分事項処理区分」から記録、修正、削除の処理を行う
(3)「身分事項処理区分」が「記録」の場合
　(3)-1「身分事項記録番号」から該当事件の入力画面を出力する
　(3)-2入力項目のチェックを行う
　(3)-3中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報に入力した身分事項を追加する
(4)「身分事項処理区分」が「修正」の場合
　(4)-1「身分事項明細番号」「身分事項記録番号」から該当事件の修正画面を出力する
　(4)-2入力項目のチェックを行う
　(4)-3中間ファイル(仮戸籍)の該当身分事項情報の更新を行う

4.機能体系(要件定義書の構成)

```
0.0 本紙 ┬ 1.0 別紙1 (記録) ┬ 1.1.0101 ～ 1.1.9101   事件別 入力画面の表示
         │                  ├ 1.2.0101 ～ 1.2.9101   事件別 入力項目のチェック
         │                  └ 1.3.0101 ～ 1.3.9101   事件別 中間ファイル(仮戸籍)への追加
         └ 2.0 別紙2 (修正) ┬ 2.1.0101 ～ 1.2.9101   事件別 修正画面の表示
                            ├ (1.2.0101) ～ (1.2.9101)   事件別 修正項目のチェック
                            └ (1.3.0101) ～ (1.3.9101)   事件別 中間ファイル(仮戸籍)の修正
```

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	0.0 本紙				備考		
(1)中間ファイル(選択番号)を読む			/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 ●身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード	
(2)個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む			/		画面ヘッド部表示		
(3)身分事項処理区分は何か？(1:記録、2:修正)			/				
1	(4)身分事項の「記録」の処理を行う	別紙[1.0]	/				
2	(5)身分事項の「修正」の処理を行う	別紙[2.0]	/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.0 別紙1(記録)						備考	
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101, 0201, 0203, 0301, 0502, 0503, 0901, 1301, 1401, 1501, 2001, 2502, 2601, 2701, 3201, 4601, 4801, 4101, 9001, 9002, 9101, 7003)				/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 ●身分事項記録コード	
0101 出生/子	(2)身分事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.0101]			/			*1	
	(3)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF9、PF12、その他)			/				
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]		/			*2,*3	
		YES	→		(5)同画面を編集する			
		NO	(6)チェックで編集したメッセージを表示する					
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する			(8)業務選択に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」
	PF5	(11)前画面へ			(12)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す			「当プロセスのみ処理中止」
	PF7	(13)前ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)		/	(14)同画面を編集する			
		YES	(15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する					
		NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
	PF8	(17)次ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)		/				
		YES	(18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する					
		NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
	PF9	(20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES,NO)		/			*4	※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと 入籍者⇒審査で記録された事項の1つ前に格納する 変動なし者⇒一番最後に格納する
		YES	(21)入力画面から身分事項を編集し、中間ファイル(仮戸籍)に[身分事項情報]を追加する [1.4.001]		(22)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す			
		NO	(23)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する。		(24)同画面を編集する			
	PF12	(25)画面を初期化する			(26)同画面を編集する			
	その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201]*2[1.2.0201]*3[1.3.0201]*4[1.4.0201]			/			認知の処理/被認知者	
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203]*2[1.2.0203]*3[1.3.0203]*4[1.4.0203]			/			認知の処理/認知を受けた親の直系卑属	
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301]*2[1.2.0301]*3[1.3.0301]*4[1.4.0301]			/			養子縁組の処理/養子	
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502]*2[1.2.0502]*3[1.3.0502]*4[1.4.0502]			/			特別養子縁組の処理/養子の新戸籍編製	
0503	※と同様の処理を行う *1[1.1.0503]*2[1.2.0503]*3[1.3.0503]*4[1.4.0503]			/			特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍	

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	1.0 別紙1(記録)					備考	
0901	※と同様の処理を行う *1[1.1.0901]*2[1.2.0901]*3[1.3.0901]*4[1.4.0901]	/				婚姻の処理	
1301	※と同様の処理を行う *1[1.1.1301]*2[1.2.1301]*3[1.3.1301]*4[1.4.1301]	/				親権(管理権)の処理	
1401	※と同様の処理を行う *1[1.1.1401]*2[1.2.1401]*3[1.3.1401]*4[1.4.1401]	/				後見の処理	
1501	※と同様の処理を行う *1[1.1.1501]*2[1.2.1501]*3[1.3.1501]*4[1.4.1501]	/				保佐の処理	
2001	※と同様の処理を行う *1[1.1.2001]*2[1.2.2001]*3[1.3.2001]*4[1.4.2001]	/				推定相続人廃除の処理	
2502	※と同様の処理を行う *1[1.1.2502]*2[1.2.2502]*3[1.3.2502]*4[1.4.2502]	/				国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者	
2601	※と同様の処理を行う *1[1.1.2601]*2[1.2.2601]*3[1.3.2601]*4[1.4.2601]	/				国籍選択の処理	
2701	※と同様の処理を行う *1[1.1.2701]*2[1.2.2701]*3[1.3.2701]*4[1.4.2701]	/				外国国籍喪失の処理	
3201	※と同様の処理を行う *1[1.1.3201]*2[1.2.3201]*3[1.3.3201]*4[1.4.3201]	/				名の変更の処理	
4101	※と同様の処理を行う *1[1.1.4101]*2[1.2.4101]*3[1.3.4101]*4[1.4.4101]	/				未成年後見の処理	
4601	※と同様の処理を行う *1[1.1.4601]*2[1.2.4601]*3[1.3.4601]*4[1.4.4601]	/				名の振り仮名の記録	
4801	※と同様の処理を行う *1[1.1.4801]*2[1.2.4801]*3[1.3.4801]*4[1.4.4801]	/				名の振り仮名の変更	
9001	※と同様の処理を行う *1[1.1.9001]*2[1.2.9001]*3[1.3.9001]*4[1.4.9001]	/				外国人配偶者の国籍変更の処理	
9002	※と同様の処理を行う *1[1.1.9002]*2[1.2.9002]*3[1.3.9002]*4[1.4.9002]	/				外国人配偶者の国籍・地域変更の処理	
9101	※と同様の処理を行う *1[1.1.9101]*2[1.2.9101]*3[1.3.9101]*4[1.4.9101]	/				外国人配偶者の氏名変更の処理	
7003	※と同様の処理を行う *1[1.1.7003]*2[1.2.7003]*3[1.3.7003]*4[1.4.7003]	/				平成15年法律第111号3条の処理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	2.0 別紙2(修正)						備考	
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501,2001,2502,2601,2701,3201,4601,4801,4101,9001,9001,9102,7003)			/				(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 ●身分事項明細番号 ●身分事項記録コード	
0101 出生/子	(2)身分事項明細番号に該当する身分事項を中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報から取得し、身分事項事件別入力画面を編集する(修正画面) [2.1.0101]		/		*1			
	(3)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/		*2,*3			
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]	/					
		YES →		(5)同画面を編集する				
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:身分事項表示処理に制御を渡す			「当プロセスのみ処理中止」	
	PF7	(13)前ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/	(14)同画面を編集する				
		YES (15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する						
		NO (16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
	PF8	(17)次ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/					
		YES (18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する						
		NO (19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
	PF9	(20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES,NO)	/					
		YES (21)中間ファイル(仮戸籍)の[身分事項情報]を修正する [1.4.001]		(22)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	*4	※	入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと:身分事項情報の管理部、共通部は更新しない	
		NO (23)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」 を表示する。		(24)同画面を編集する				
	その他	(25)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
0201	※と同様の処理を行う *1[2.1.0201]*2[1.2.0201]*3[1.3.0201]*4[1.4.0201]		/		認知の処理/被認知者			
0203	※と同様の処理を行う *1[2.1.0203]*2[1.2.0203]*3[1.3.0203]*4[1.4.0203]		/		認知の処理/認知を受けた親の直系卑属			
0301	※と同様の処理を行う *1[2.1.0301]*2[1.2.0301]*3[1.3.0301]*4[1.4.0301]		/		養子縁組の処理/養子			
0502	※と同様の処理を行う *1[2.1.0502]*2[1.2.0502]*3[1.3.0502]*4[1.4.0502]		/		特別養子縁組の処理/養子の新戸籍編製			
0503	※と同様の処理を行う *1[2.1.0503]*2[1.2.0503]*3[1.3.0503]*4[1.4.0503]		/		特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍			

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	2.0 別紙2(修正)					備考	
0901	※と同様の処理を行う *1[2.1.0901]*2[1.2.0901]*3[1.3.0901]*4[1.4.0901]	/		婚姻の処理			
1301	※と同様の処理を行う *1[2.1.1301]*2[1.2.1301]*3[1.3.1301]*4[1.4.1301]	/		親権(管理権)の処理			
1401	※と同様の処理を行う *1[2.1.1401]*2[1.2.1401]*3[1.3.1401]*4[1.4.1401]	/		後見の処理			
1501	※と同様の処理を行う *1[2.1.1501]*2[1.2.1501]*3[1.3.1501]*4[1.4.1501]	/		保佐の処理			
2001	※と同様の処理を行う *1[2.1.2001]*2[1.2.2001]*3[1.3.2001]*4[1.4.2001]	/		推定相続人廃除の処理			
2502	※と同様の処理を行う *1[2.1.2502]*2[1.2.2502]*3[1.3.2502]*4[1.4.2502]	/		国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者			
2601	※と同様の処理を行う *1[2.1.2601]*2[1.2.2601]*3[1.3.2601]*4[1.4.2601]	/		国籍選択の処理			
2701	※と同様の処理を行う *1[2.1.2701]*2[1.2.2701]*3[1.3.2701]*4[1.4.2701]	/		外国国籍喪失の処理			
3201	※と同様の処理を行う *1[2.1.3201]*2[1.2.3201]*3[1.3.3201]*4[1.4.3201]	/		名の変更の処理			
4101	※と同様の処理を行う *1[2.1.4101]*2[1.2.4101]*3[1.3.4101]*4[1.4.4101]	/		未成年後見の処理			
4601	※と同様の処理を行う *1[2.1.4601]*2[1.2.4601]*3[1.3.4601]*4[1.4.4601]	/		名の振り仮名の記録			
4801	※と同様の処理を行う *1[2.1.4801]*2[1.2.4801]*3[1.3.4801]*4[1.4.4801]	/		名の振り仮名の変更			
9001	※と同様の処理を行う *1[2.1.9001]*2[1.2.9001]*3[1.3.9001]*4[1.4.9001]	/		外国人配偶者の国籍変更の処理			
9002	※と同様の処理を行う *1[2.1.9002]*2[1.2.9002]*3[1.3.9002]*4[1.4.9002]	/		外国人配偶者の国籍・地域変更の処理			
9101	※と同様の処理を行う *1[2.1.9101]*2[1.2.9101]*3[1.3.9101]*4[1.4.9101]	/		外国人配偶者の氏名変更の処理			
7003	※と同様の処理を行う *1[2.1.7003]*2[1.2.7003]*3[1.3.7003]*4[1.4.7003]	/		平成15年法律第111号3条の処理			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面 (出生)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日			生年月日				
	出生地							
	父の国籍							
	父の生年月日							
	母の国籍							
	母の生年月日							
	届出日							
	航海日誌謄本提出日							
	届出人資格区分							
	届出人資格名称							
	届出人氏名							
	届出人の戸籍の本籍							
	届出人の戸籍の筆頭者							
	届出人の国籍							
	届出人の生年月日							
	父の氏名							
	父の戸籍の本籍							
	父の戸籍の筆頭者							
	母の氏名							
	母の戸籍の本籍							
	母の戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	国籍留保の届出日							
	国籍留保の届出人							
	国籍留保の届出人資格区分							
	国籍留保の届出人資格名称							
	国籍留保の届出人氏名							
	国籍留保の届出人国籍							
	国籍留保の届出人生年月日							
	送付を受けた日							
	受理者							
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日							
	従前戸籍の本籍							
	従前戸籍の筆頭者							
	除籍日							
	新本籍							
	入籍戸籍の戸籍							
	入籍戸籍の筆頭者							
	記録日							
	特記事項							

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名		画面名	画面ID				
1.2.0101　単体チェック		移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出生日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」 中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報の生年月日と異なる場合高輝度表示する。	「項目エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	出生地		漢字	「住所変換サブルーチン」			
3	父の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
4	父の生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
5	母の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
6	母の生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
7	届出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	航海日誌謄本提出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	届出人資格区分		英数				
10	届出人氏名		漢字				
11	届出人の戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
12	届出人の戸籍の筆頭者		漢字				
13	届出人の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
14	届出人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	父の氏名		漢字				
16	父の戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
17	父の戸籍の筆頭者		漢字				
18	母の氏名		漢字				
19	母の戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
20	母の戸籍の筆頭者		漢字				
21	国籍留保の届出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	国籍留保の届出人資格区分		英数				
23	国籍留保の届出人氏名		漢字				

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力								
処理名				画面名		画面ID			
1.2.0101　単体チェック				移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	国籍留保の届出人の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
25	国籍留保の届出人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	送付を受けた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	受理者		漢字	「住所変換サブルーチン」			
28	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	許可書謄本の送付を受けた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	許可を受けた者		漢字	「住所変換サブルーチン」			
31	入籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
32	従前戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
33	従前戸籍の筆頭者		漢字				
34	除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	新本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
36	入籍戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
37	入籍戸籍の筆頭者		漢字				
38	記録日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
39	特記事項		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名		画面名	画面ID				
1.3.0101　関連チェック		移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)父の国籍≠空白のとき　(No.4)父の生年月日≠空白であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)母の国籍≠空白のとき　(No.6)母の生年月日≠空白であること			
3	(No.12)届出人の戸籍の筆頭者≠空白のとき　(No.11)届出人の戸籍の本籍≠空白であること			
4	(No.24)国籍留保の届出人の国籍≠空白のとき　(No.25)国籍留保の届出人の生年月日≠空白であること			
5	(No.32)従前戸籍の筆頭者≠空白のとき　(No.33)従前戸籍の本籍≠空白であること			
6	(No.36)入籍戸籍の筆頭者≠空白のとき　(No.37)入籍戸籍の本籍≠空白であること			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報管理	個人管理番号			中間ファイル (選択番号)	個人管理番号				:その他の「管理」情報は省略
	身分事項記録区分				「2」 移記処理(事件別)で記録				身分事項記録区分 1:既存の記録 2:審査処理で記録 3:移記処理(事件別)で記録 4:移記処理(個人情報)で記録
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報共通	個人番号								
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード			移記:身分事項事件別入力画面(出生/子)	「0101」				【出生】
	記録コード				「0101」				出生(子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				出生日				
	身分事項項目								次ページ以降に記録
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	出生	出生日			出生日		有		
		出生地			出生地				
	外国人父母	父の国籍			父の国籍				
		父の生年月日			父の生年月日		有		
		母の国籍			母の国籍				
		母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出	届出日			届出日		有		
		航海日誌の謄本提出日			航海日誌謄本提出日		有		
		届出人 資格			届出人資格区分				
		届出人 資格名称			届出人資格名称				
		届出人 氏名			届出人氏名				
		戸籍の届出人 本籍			届出人の戸籍の本籍				
		戸籍の届出人 筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報 (出生/子の記録)編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人の国籍				届出人の国籍				
	届出人の生年月日				届出人の生年月日				
日本人父母	父の氏名				父の氏名				
	父の戸籍	本籍			父の戸籍の本籍				
		筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
	母の氏名				母の氏名				
	母の戸籍	本籍			母の戸籍の本籍				
		筆頭者			母の戸籍の筆頭者				
国籍留保	国籍留保の届出日				国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人	資格			国籍留保の届出資格区分				
		資格名称			国籍留保の届出資格名称				
		氏名			国籍留保の届出人氏名				
	国籍留保の届出人の国籍				国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日				国籍留保の届出人の生年月日		有		
送付	送付を受けた日				送付を受けた日		有		
	受理者				受理者				
許可	許可日				許可日		有		
	許可書謄本の送付を受けた日				許可書謄本の送付を受けた日		有		
	許可を受けた者				許可を受けた日		有		
入籍	入籍日				入籍日		有		
入戸籍	従前戸籍	本籍			従前戸籍の本籍				
		筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
除籍	除籍日				除籍日		有		

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力								
処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報 (出生/子の記録)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍 新本籍				新本籍				
	除戸籍 入籍戸籍 本籍				入籍戸籍の本籍				
	除戸籍 入籍戸籍 筆頭者				入籍戸籍の筆頭者				
	記録 記録日				記録日				
	特記 特記事項				特記事項				
	※ ①一番左の項目:グループ名 ②次の項目:インデックス名								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面 (出生/子の記録)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報 (出生/子の記録)	出生日		有		
	出生地			出生地				
	父の国籍			父の国籍				
	父の生年月日			父の生年月日		有		
	母の国籍			母の国籍				
	母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出日			届出日		有		
	航海日誌謄本提出日			航海日誌謄本提本提出日		有		
	届出人資格区分			届出人資格区分				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人氏名				
	届出人の戸籍の本籍			届出人の戸籍の本籍				
	届出人の戸籍の筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				
	届出人の国籍			届出人の国籍				
	届出人の生年月日			届出人の生年月日		有		
	父の氏名			父の氏名				
	父の戸籍の本籍			父の戸籍の本籍				
	父の戸籍の筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
	母の氏名			母の氏名				
	母の戸籍の本籍			母の戸籍の本籍				
	母の戸籍の筆頭者			母の戸籍の筆頭者				

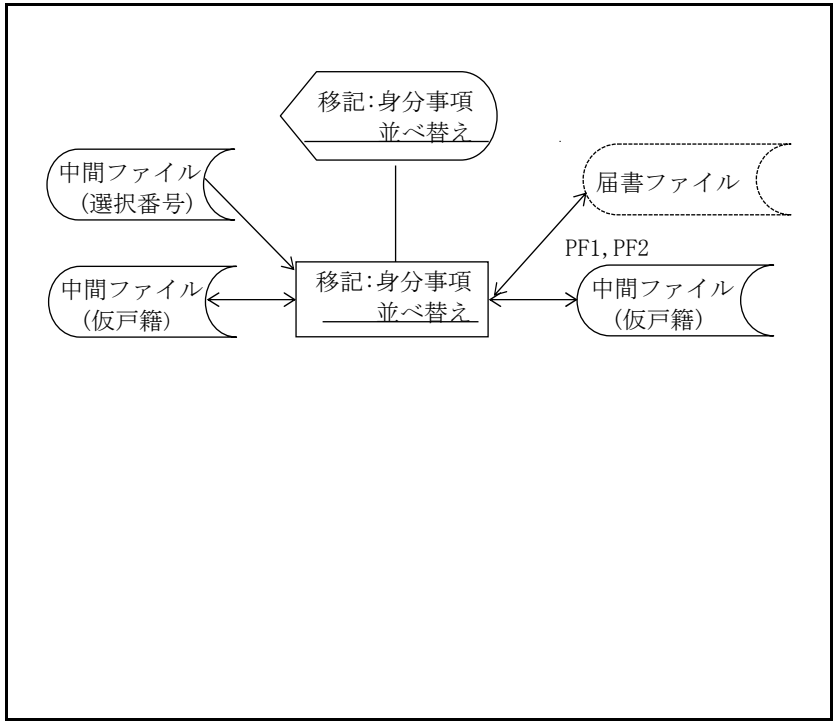
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	国籍留保の届出日			国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人資格区分			国籍留保の届出人資格区分				
	国籍留保の届出人資格名称			国籍留保の届出人資格名称				
	国籍留保の届出人の国籍			国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日			国籍留保の届出人の生年月日		有		
	送付を受けた日			送付を受けた日		有		
	受理者			受理者				
	許可日			許可日		有		
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日		有		
	許可を受けた者			許可を受けた者				
	入籍日			入籍日		有		
	従前戸籍			従前戸籍の本籍				
	従前筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
	除籍日			除籍日		有		
	新本籍			新本籍				
	入籍戸籍の本籍			入籍戸籍の本籍				
	入籍戸籍の筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録日			記録日		有		
	特記事項			特記事項				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項並べ替え

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(身分事項)	入出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2) 1身分事項のタイトルを1明細として一覧で表示する
(3) 身分事項の並べ替えを指示する
・異動のない者で、従前からある身分事項は並べ替えの対象外
(4) 身分事項表示に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(中間ファイル/身分事項)
- 2.0 データ編集(移記:身分事項並べ替え画面)
- 3.0 審査

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項並べ替え
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む		/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●戸籍管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2)個人管理番号に該当する戸籍の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)を読む		/			
(3)個人管理番号に該当する戸籍の「身分事項」情報を中間ファイル(仮戸籍)を読む		/		当ﾌﾟﾛｾｽのWORKﾌｧｲﾙ	
(4)中間ファイル(身分事項)を編集・出力する [1.0]		/			
(5)中間ファイル(身分事項)から移記:身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(6)同画面を編集する	複数画面を考慮する	
(7)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/			
実行キー (8)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]		/			
YES (9)中間ファイル(身分事項)を新明細番号に従って並べ替えを行う		/			
(10)中間ファイル(身分事項)から移記:身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(11)同画面を編集する		
NO (12)チェックで編集したメッセージを表示する					
PF1 (13)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」	
PF2 (15)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」	
PF4 →			(17)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す	「処理終了」	
PF5 (18)前画面へ、中間ファイル(身分事項)を削除する			(19)移記:身分事項表示一覧に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」	
PF7 (20)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(21)同画面を編集する		
YES (22)前ページ分の移記:身分事項並べ替え画面を出力する					
NO (23)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8 (24)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/			
YES (25)次ページ分の移記:身分事項並べ替え画面を出力する					
NO (26)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF9 (27)中間ファイル(身分事項)を基に中間ファイル(仮戸籍)の身分事項の並べ替えを行う		/			当PFキーにより中間ファイル(仮戸籍)に並べ替えの処理結果が反映される
(28)中間ファイル(身分事項)を削除する			(29)身分事項表示処理に制御を渡す		
その他 (30)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(31)同画面を編集する		

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項並べ替え							
処理名	1.0中間ファイル(身分事項)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (身分事項)	明細件数							身分事項の記録件数を格納する
	明細番号							:1身分事項毎に+1を付加する
	身分事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報管理	身分事項記録区分				:身分事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理で記録 2:移記処理(事件別)で記録 3:移記処理(個人情報)で記録
	身分事項コード		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報共通	タイトルコード				
	身分事項名称			タイトルコード		有		複数明細あり (認知等、同一記録コードの明細が複数あり得る野で注意すること)

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項並べ替え							
処理名	2.0 移記:身分事項並べ替え画面編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
移記:身分事項 並べ替え画面	現ページ/総ページ							Z9/Z9	
	漢字氏名			中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日				生年月日		有		
	筆頭者区分				筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分				配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍				本籍コード		有		
					本籍				
	明細件数1～13	明細番号		中間ファイル (身分事項)					1身分事項毎に+1して表示する
		新明細番号							入力項目、表示する身分事項の身分事項処理区分が0[既存の記録]の場合、その者が戸籍に変動がなければ、新明細番号を入力不可(プロテクト)する →戸籍に変動がない者の従前の記録は並べ替えできない
		身分事項			身分事項名称				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項並べ替え
処理名	3.0 審査

						備考
(1)中間ファイル(身分事項)の明細件数の数だけ(3)～(19)の処理を繰り返す					(2)本紙へ	
(3)新明細番号が入力されているか?(YES,NO)				/		
YES	(4)新明細番号≦中間ファイル(身分事項)の明細件数であるか?(YES,NO)			/		
	YES	(5) → (8)へ		/		
	NO	(6)エラーメッセージ 「入力された明細番号が身分事項件数を超えています。」を表示する			(7)本紙へ	
	(8)該当者は『戸籍に入籍する者』か『戸籍に変動のない者』か?			/		:中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報/管理で判断する
	入籍	(9) → (16)へ		/		
	変動なし	(10)既存の記録(従前からある記録)の明細の明細番号を新明細番号としているか?		/		戸籍に変動ない者の既存の記録(従前からある記録)の並べ替えは不可
		YES	(11)エラーメッセージ 「入力された明細番号は既存の記録ですので、並べ替えできません。」 を表示する		(12)本紙へ	
		NO	(13) → (16)へ	/		
NO	(14)明細番号を新明細番号に転送する			/		新明細番号が入力されていない場合も、中間ファイル(身分事項)の並べ替えは、新明細番号を基に行うため、同一番号を設定する
	(15) → (11)へ			/		
(16)新明細番号は重複しているか?(YES,NO)				/		チェック済[(3)～(15)]の新明細番号のすべてと比較し、判断する
YES	(17)エラーメッセージ 「入力されている明細番号が重複しています。」を表示する				(18)本紙へ	
NO	(19)→					

第7.2.(10)

「決裁用帳票出力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

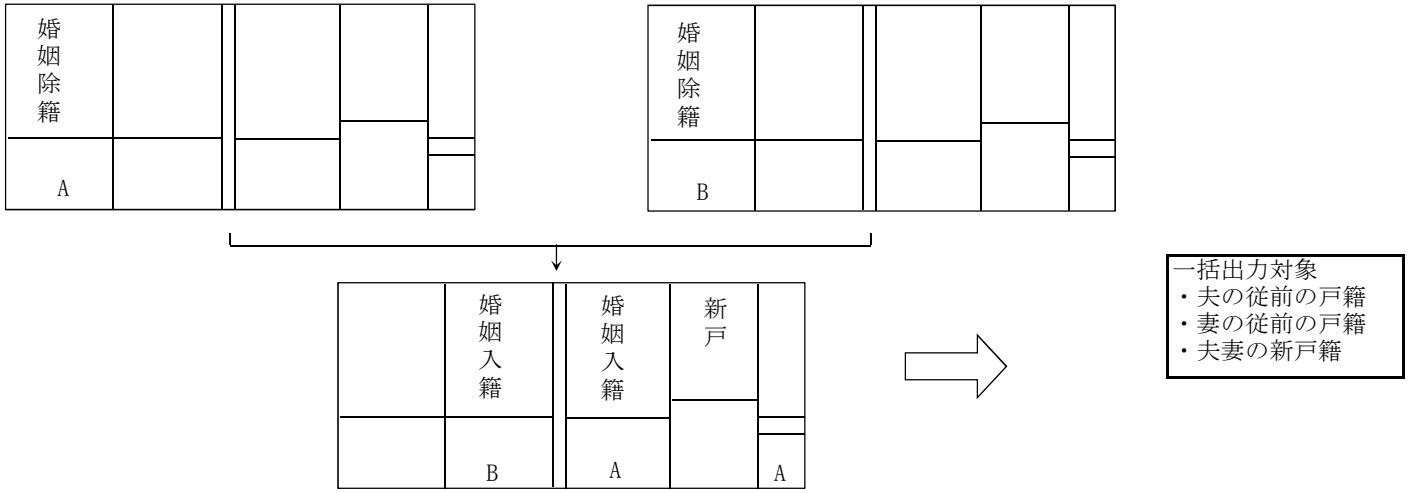
項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	決裁用帳票出力処理					

決裁処理において、戸籍の記載確認を行うための補助資料出力処理であり、仮戸籍表示と同様に『受理』の届のもののみが、出力対象である。
この処理は、単独での処理の形態をとらず、他の処理の中で出力処理を行う。

1. 出力様式
　様式は、「全部事項証明」に準じる。
　但し、表題を「決裁用帳票」とし、認証文・認印の出力は行わない。又、記録事項は、訂正事項も含め、すべて出力させる。

2. 出力対象
　異動を伴う戸籍(記載のみも含む)すべてを一括出力する。又、各戸籍別にも選択できるようにする。
　例示)夫(A)及び妻(B)となる者が、本籍人である婚姻で、夫の氏を称して新戸籍を管内に編製する場合



3. 出力処理業務
　運用に依存される処理のため、次の3つの処理で出力可能とする。(出力及び出力後の取扱いには、細心の注意を要する。)
(1)処分決定処理‥処分決定(「受理」)後で、出力可。移記処理を要しない事件等。
(2)移記処理……移記前後で、出力可。
(3)決裁処理……決裁前で、出力可。

第7.2.(11)

「決裁」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「決裁」処理	システム処理の概要説明書 ・「(2)決裁処理」に管掌者親族に係る事件であるかを確認することを追加 決裁･受付 ・参照戸籍ファイル削除に係る処理を追加
2	R3	B04	「決裁」処理	届書イメージ表示機能について、以下の処理を修正 ・未決裁一覧･決裁処理_システム処理の概要説明書 ・決裁･受付 ・決裁･届書等イメージ表示
				決裁後に戸籍情報連携システムに送信する情報作成機能について、以下の処理を修正 ・未決裁一覧･決裁処理 ・決裁･受付 ・送信用届書等情報ファイル
				胎児認知届画像登録機能について、以下の処理を修正 ・個人状態ファイル 不受理申出画像登録機能について、以下の処理を修正 ・不受理申出ファイル
3		-		条文の見直しで以下の処理を修正(修正後の名称) ・公選法30条の13第1項通知
4		-		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
5	R4	B01	「決裁」処理	個人状態ファイルに注意喚起区分が追加されたことによる修正 ①個人状態ファイル 5.0 個人状態ファイル更新(区分変更)
6		B04		完全渉外事件は届書等情報を送信しないことによる修正 ①未決裁一覧･決裁処理 システム処理の概要説明 ②送信用届書等情報ファイル 0.0 本紙
7				届書等情報の送信漏れ防止や送信状況を管理するファイルの作成は任意実装であることを追加 ①未決裁一覧･決裁処理 システム処理の概要説明
8				在外公館から送付を受けた届書等情報は[TR01]で送信することによる修正 ①送信用届書等情報ファイル 0.0 本紙
9		申し送り事項一覧 №9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ①未決裁一覧･決裁処理 システム処理の概要説明 ②決裁･受付 システム環境仕様書 ③送信用届書等情報ファイル システム環境仕様書
10	2.0 (2023.3.31版)	指摘事項管理表 (1)(2) №1～3	「決裁」処理	処分区分に「誤入力」を追加 ①未決裁一覧_0.0 本紙を修正 　併せて、「誤処理」が決裁対象とならない修正
11		指摘事項管理表 (3)_連携システム_外部IF仕様書 №275 №316		届書等情報の送信において、追完届有無フラグの設定(№275)、規則第四十一条処理区分(№316)の対応を追加 ①決裁･受付_システム環境仕様書の4.機能体系(要件定義書の構成)に6.0 データ編集表(届書処理通番ファイル)を追加 同、5.備考(特記事項含む)に留意点を追加 ②決裁･受付_0.0本紙に(5-1)～(21-1)、(59-1)を追加 ③決裁･受付_1.0決裁・受付画面編集：画面項目追加による修正 ④決裁･受付_2.0単体チェックの追加 ⑤決裁･受付_6.0届書処理通番ファイル更新を新規作成

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
12		―		スキャンした届書は決裁後に紐づけすることの修正 ①未決裁一覧･決裁処理_システム処理の概要説明書 ・決裁(受付)画面の届書等イメージ表示(PF6)を削除 ・5.留意点を修正 ②決裁･受付_システム環境仕様書、本紙 ・届書等イメージ表示(PF6)を削除 ③決裁･届書等イメージ表示機能を削除
13		―		7-2-(28)_ 「送付分届書等振分け」処理の見直しによる修正 ①決裁･受付_システム環境仕様書の1.詳細フロー、2.使用DB･ファイル一覧に送付分届書一覧ファイルを追加 ②決裁･受付_0.0本紙に(62-2)を追加、(65-1)を修正 ③決裁･受付_7.0送付分届書等一覧ファイル更新を新規作成
14		―		誤り等の修正 ①決裁･受付_0.0本紙の(59-1)送信用届書等情報ファイル処理を(62-1)に変更 ②個人状態ファイル_システム環境仕様書から後見届を削除 個人状態ファイル_0.0 本紙から後見届を削除 個人状態ファイル_1.0 別紙(後見届)を削除
15		―		修正履歴項番9のR4版の修正内容が誤っていたため修正 ①決裁･受付 システム環境仕様書、1.0　決裁･受付画面編集
16	2.0 (2023.7.31版)	―	「決裁」処理	振り仮名の法制化による修正 ・決裁･受付_0.0本紙、決裁･受付_1.0決裁・受付画面編集、決裁･受付_4.0中間ファイル(仮戸籍)作成、戸籍･個人番号取得_1.0中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定更新、戸籍･個人番号取得_4.0中間ファイル(仮戸籍) 氏名更新、戸籍データベース_1.0戸籍DB(戸籍特定)更新/受理、戸籍データベース_4.0戸籍DB(氏名)更新、戸籍データベース_6.0戸籍DB(戸籍特定)更新/不受理、個人状態ファイル_システム環境仕様書、個人状態ファイル_0.0本紙、個人状態ファイル_5.0個人状態ファイル更新(区分変更)、個人状態ファイル_6.0個人状態ファイル作成、住民票通知_0.0本紙、住民票通知_2.0住民票通知ファイル作成、決裁処理_事件の統計の取り方、公選法通知異動者リストファイル、公選法通知を修正 ・公選法通知異動者リストファイル_2.0在外投票人異動者、公選法通知_1.1 在外投票人名簿異動ファイル作成、公選法通知_2.1 在外投票人名簿通知ファイル作成を作成 ・個人状態ファイル_7.0中間ファイル(発送)作成を削除
17		―		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ・決裁･受付_0.0本紙、受付データベース_2.0中間ファイル(統計)作成、個人状態ファイル_システム環境仕様書、個人状態ファイル_0.0本紙、個人状態ファイル_5.0個人状態ファイル更新(区分変更)、個人状態ファイル_6.0個人状態ファイル作成、不受理申出ファイル_システム環境仕様書、個人状態ファイル_システム環境仕様書、個人状態ファイル_0.0本紙、ファイル_0.0本紙、住民票通知_システム環境仕様書、住民票通知_0.0本紙、住民票通知_3.0中間ファイル(統計)更新、発送ファイル_1.0中間ファイル(発送)、発送ファイル_2.0発送ファイル作成作成、統計ファイル_0.0本紙、統計ファイル_1.0統計ファイル作成、決裁処理_事件の統計の取り方、、送信用届書等情報_6.0送信情報(管理情報)作成処理公選法通知異動者リストファイル、公選法通知を修正 ・公選法通知異動者リストファイル_2.0在外投票人異動者を作成 ・個人状態ファイル_7.0中間ファイル(発送)作成、不受理申出ファイル_2.0中間ファイル(発送)作成、附票データベース、民刑異動ファイル、住民票通知_1.0住民票異動ファイル作成、住民票通知_4.0中間ファイル(発送)作成、相続税法58条通知を削除
18		―		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・決裁･受付_4.0中間ファイル(仮戸籍)作成、戸籍･個人番号取得_3.0中間ファイル(仮戸籍) 個人特定更新、戸籍データベース_システム環境仕様書、戸籍データベース_0.0本紙、戸籍データベース_3.0戸籍DB(個人特定)更新を修正 ・戸籍データベース_3.1戸籍DB(個人特定 同一人)更新を追 ・決裁･受付_0.0本紙に(41-1)を追加したが、当初からの記入漏れ

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
19		―		各システム標準化に伴う修正 ・決裁･受付_0.0本紙、受付データベース_2.0中間ファイル(統計)作成、戸籍データベース_0.0本紙、戸籍データベース_7.0中間ファイル(統計)更新、人口動態ファイル_システム環境仕様書を修正
20		―		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正による画面修正は不要であったため、元の仕様に戻す修正 ・決裁･受付_1.0　決裁・受付画面編集を修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	未決裁一覧・決裁処理					

1. 処理概要

(1) 未決裁一覧処理
・受領番号が入力されたときは、その受領番号の届書の決裁画面を表示する。
・支所番号が入力されたときは、その支所番号で受け付けた届書の一覧を表示し、その一覧から決裁する届書を選択する。

(2) 決裁処理
・届書の処理内容が「各種ファイル更新」処理の「管掌者親族情報更新」処理で登録した管掌者本人及びその親族の情報に関するものでないかを確認し、管掌者が誤って本人又はその親族に関する事件を取り扱わないよう警告表示等の処理を行うこと。なお、この要件の実現方法については任意設計とする。
・決裁区分にしたがって処理を行う。

2. 未決裁一覧・決裁(受付)画面でのPFキー

PFキー＼画面	未決裁一覧画面	決裁(受付)画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		
PF3		決裁処理開始
PF4		
PF5		
PF6		
PF7	前頁表示(一覧表示内)	前頁表示
PF8	次頁表示(一覧表示内)	次頁表示
PF9		仮9条2項表示
PF10		決裁戸籍表示
PF11		エラー履歴表示
PF12	画面の初期化	
実行キー	決裁番号選択	決裁内容確定

3. 決裁処理で入力可能な区分の意味

決裁区分	意味
決裁	届書の処理内容に誤りがない場合、処分区分に応じた処理を行わせ、届書の処理を完結させること。
修正	処分区分に変更が生じない、届書の処理内容の誤りを修正するときは、本決裁区分を指定する。 例外として処分区分「受理」が「受理処分の撤回」に変更になる場合は、本決裁区分を指定する。

処分区分	意味
誤処理	人違いによる届書の入力誤りがあった場合に限り、本処分区分を指定して、正しい事件本人に対する入力を再度行う。

4. その他の決裁区分(決裁処理では入力不可)

決裁区分	意味
欠番	休日・夜間受領番号取得処理で取得した受付帳で、未使用の受付帳を無効にする区分。 受付帳の決裁区分を欠番に変更する処理は、受付ファイルメンテ処理で行う(決裁処理では行わない)

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

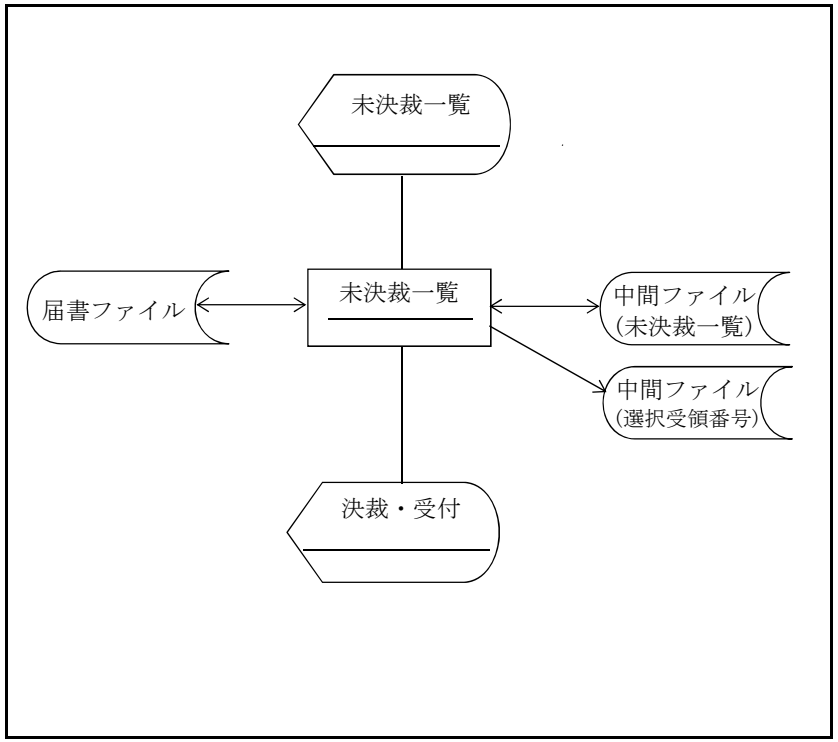
作業名	未決裁一覧・決裁処理

5.留意点

・受理地(在外公館からの直接送付を含む)での届書等の処理(受理、不受理、受理処分の撤回)において、当該決裁処理によって確定した送信情報(F0050-C02:管理情報)、送信情報(F0050-R01:届書記載事項)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)、送信情報(F0050-R04:送付先情報)、送信情報(F0050-R05:届書補正情報)、届書画像情報、添付書面画像情報及び届書補正画像情報をバッチ処理での送信対象とすること。
　なお、届書等の画像情報は決裁後でないと登録できないため、画像の送信が必要な場合は画像情報の登録後に送信するよう制御すること。
　但し、完全渉外事件(受付ファイルの渉外区分=2(外国人))の場合は、送信情報(F0050-C02:管理情報)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)だけを送信すること。
　この要件の実装方法については任意設計とする。
　また、届書等の画像情報は決裁後でないと登録できないことから、決裁処理後に画像登録へ遷移する処理は任意実装機能とする。
・受理地(在外公館からの直接送付を含む)での届書等の処理(受理)において送信情報(F0050-R04:送付先情報)を送信した場合、受付ファイルの発送日に送信した日を設定し、届書処理通番ファイルの届書等情報送信区分に1(届書送信)を設定すること。この要件の実装方法については任意設計とする。
・届書補正が届書等情報送信(TR01)前に登録された場合、届書補正画像情報[TR04]は他の画像[TR01]と一緒に送信できないため、届書補正情報、届書補正画像情報は届書等情報送信(TR01)後に送信すること。
・送付地(在外公館からの直接送付を含まない)での届書等の処理において、当該決裁処理によって確定した送信情報(F0050-C02:管理情報)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)をバッチ処理での送信対象とすること。
・受理地から届書等が郵送で送付された場合は、決裁後に届書等の画像情報を登録するため、この場合は同様の制御を行うこと。
・決裁後に届書画像情報が未登録のため届書等情報を戸籍情報連携システムへ送信していないものを抽出し、未送信状況を把握できるようにすること。
　なお、この要件の実装方法については任意設計とする。
　この対応のため、届書等情報データを管理するファイルの作成は任意実装機能とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	未決裁一覧					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入出力		
中間ファイル (未決裁一覧)	入出力		
中間ファイル (選択受領番号)	出力		

3.処理概要

(1)未決裁届書の受領番号を入力する
　ア.受領番号の入力チェックを行う
　イ.決裁･受付に制御を渡す
(2)支所番号を入力する
　ア.支所番号入力のチェックを行う
　イ.支所番号から未決裁届書の抽出･表示をする
(3)選択番号を入力する
　ア.選択番号の入力チェックを行う
　イ.決裁･受付に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0　データ編集表(中間ファイル(未決裁一覧))
　　├ 2.0　データ編集表(未決裁一覧画面)
　　├ 3.0　データ編集表(中間ファイル(選択受領番号))
　　└ 4.0　データ編集表(届書ファイル)

5.備考(特記事項含む)

(1)中間ファイル(未決裁一覧)の機能
　　決裁を要する届書を指定された支所で抽出した後、未決裁一覧画面を表示する
(2)中間ファイル(受領番号)の機能
　　選択した受領番号又は入力した受領番号を次機能に受け渡す

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	未決裁一覧
処理名	0.0 本紙

| | | |

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	未決裁一覧

処理名	0.0 本紙					備考
		NO	(28) → (22)へ	/		
		NO	(29) → (22)へ	/		
	(30) → (38)へ			/		
NO	(31)届書ファイルを読み、最後になるまで(32)～(36)の処理を繰り返す			/		
	(32)届書ファイルの処分区分は保留、誤処理以外である(YES,NO)			/		
	YES	(33)届書ファイルの届書排他区分は0である(YES,NO)		/		
		YES	(34)中間ファイル(未決裁一覧)を作成し、 [1.0] 件数をカウントする → (31)へ	/		
		NO	(35) → (31)へ	/		
	NO	(36) → (31)へ		/		
	(37) → (38)へ			/		
	(38)件数は1件以上ある(YES,NO)			/		
	YES	(39)中間ファイル(未決裁一覧)から未決裁一覧画面を編集する [2.0] メッセージ 「決裁する届の番号を選択して下さい」を表示する (選択番号の入力を可とし、受領番号の入力を不可とする)		/		
		(40)キー選択(実行キー、PF1、PF7、PF8、PF12、その他)		/		
		実行キー	(41)選択番号の入力がある(YES,NO)	/		
			YES	(42)選択番号に該当する届書ファイルを検索する (ある:YES,ない:NO)	/	
				YES	(43)届書ファイルの排他区分は0である(YES,NO)	/		未決裁一覧で選択中に、他で処理された場合の確認
					YES	(44)中間ファイル(選択受領番号)を作成する [3.0]	/		
						(45)該当の届書ファイルの届書排他区分に [4.0] 1をセットする		(46)決裁・受付へ制御を渡す	届書レコードの排他処理
					NO	(47)エラーメッセージ 「選択番号が誤っています。正しく入力して下さい」 を表示する		(48)同画面を編集する→(40)へ	
				NO	(49)エラーメッセージ 「選択した届書ファイルは他で処理中です.決裁処理する ことはできません」を表示する				
			NO	(50)メッセージ 「決裁する届の番号を選択して下さい」を表示する					
		PF1	(51)中間ファイル(未決裁一覧)を削除する			(52)業務選択へ制御を渡す			

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	未決裁一覧									
処理名	0.0 本紙								備考	
		PF7	(53)前ページがあるか(YES,NO)			/				
			YES	(54)前ページ分の未決裁一覧画面を編集する		/				
			NO	(55)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する			(56)同画面を編集する→(40)へ			
		PF8	(57)次ページがあるか(YES,NO)			/				
			YES	(58)次ページ分の未決裁一覧画面を編集する		/				
			NO	(59)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する			(60)同画面を編集する→(10)へ			
		PF12	(61)中間ファイル(未決裁一覧)を削除し、入力画面を初期化する				(62)同画面を編集する→(4)へ			
		その他	(63)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する				(64)同画面を編集する→(40)へ			
	NO	(65)メッセージ 「未決裁の届は存在しません(全て決裁済みです)」を表示する					(66)同画面を編集する→(4)へ			
PF1	→						(67)業務選択に制御を渡す			
PF12	(68)入力画面を初期化する						(69)同画面を編集する→(4)へ			
その他	(70)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する									

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	1.0　中間ファイル(未決裁一覧)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (未決裁一覧)	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	処分区分			処分区分				
	選択事件コード			選択事件コード				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	受付日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日を設定 送付日がなければ受領日を設定
	支所番号			出張所番号				
	事件本人			事件本人1				届書での代表事件本人
	他受領番号			同時決裁受領番号(1)				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	2.0 未決裁一覧画面表示処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
未決裁一覧画面	システム日付							システム日付
	現ページ、総ページ							未決裁一覧画面表示処理で設定
	入力支所番号							
	入力受領番号							
	一連番号							システムで設定
最大1画面6明細	受領番号1～6		中間ファイル (未決裁一覧)	受領番号				
	処分区分名称1～6			処分区分		有		
	事件名1～6			選択事件コード		有		
	受理送付区分名称1～6			受理送付区分		有		
	本非区分名称1～6			本非区分		有		
	渉外区分名称1～6			渉外区分		有		
	受付日1～6			受付日		有		
	支所番号1～6			支所番号				
	事件本人1～6			事件本人				
	他受領番号1～6							他受領番号にデータがあれば、「*」を表示する
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	3.0 中間ファイル(選択受領番号)作成処理							

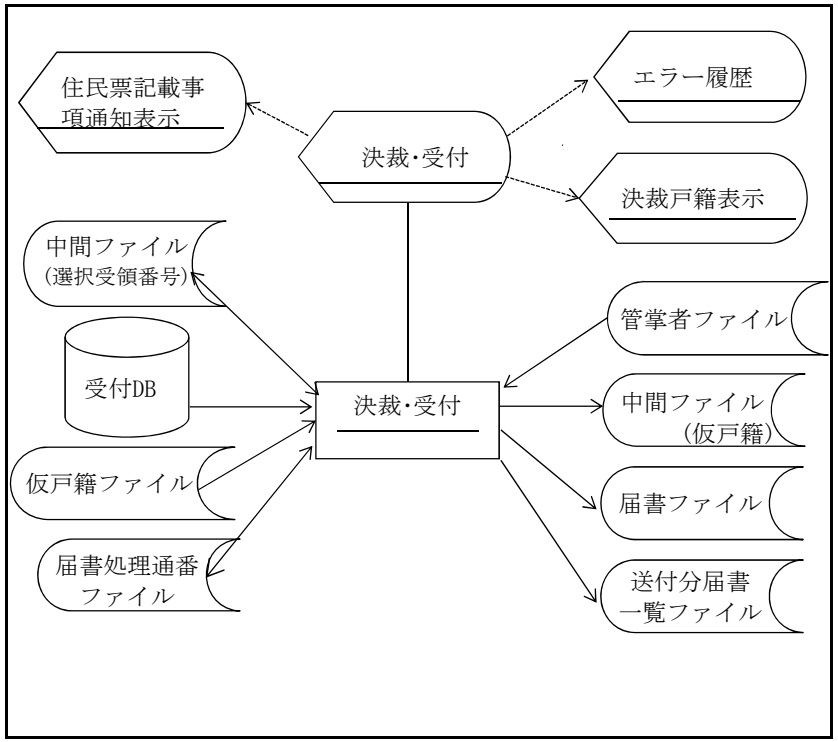
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択受領番号)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	処分区分			処分区分				
	選択事件コード			選択事件コード				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	出張所番号			出張所番号				
	動態区分			動態区分				
	他受領番号			同時決裁受領番号(1)				
	ロック戸籍番号(1～5)			ロック戸籍番号(1～5)				
	決裁区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	4.0 届書ファイル更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分		未決裁一覧処理					1:排他を設定する

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁・受付					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力
仮戸籍ファイル	入力	届書ファイル	出力
中間ファイル (選択受領番号)	入出力	送付分届書等一覧 ファイル	出力
管掌者ファイル	入力		
届書処理通番 ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)決裁・受付画面を編集する
(2)必要に応じ住民票記載事項通知画面を表示する(PF9)
(3)必要に応じ決裁戸籍画面を表示する(PF10)
(4)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(5)管掌者が修正された場合はそのチェックを行う
(6)決裁区分の入力チェックを行う
(7)決裁区分により決裁または修正または誤処理の処理をした後、業務選択に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(決裁・受付画面)
- 2.0 単体チェック表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(選択受領番号))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
- 5.0 データ編集表(届書ファイル)
- 6.0 データ編集表(届書処理通番ファイル)
- 7.0 データ編集表(送付分届書等一覧ファイル)

5.備考(特記事項含む)

・追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分は、入力内容について最低限の審査を行うと同時に、変更されたことのメッセージを表示して再確認を行う。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	決裁・受付
処理名	0.0 本紙

													備考
(1) 中間ファイル(選択受領番号)を読む											/		
(2) 中間ファイル(選択受領番号)の受領番号と他受領番号をキーとして受付データベースを検索する											/		
(3) 決裁・受付画面を編集する [1.0]											/		
(4) キー選択(実行キー、PF1、PF3、PF5、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、その他)											/		
実行キー	(5) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]										/		
	YES	(5-1)追完届有無フラグが更新された(YES,NO)									/		
		YES	(5-2)届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理) 又は 2(在外公館の直接送付)である。(YES,NO)								/		
			YES	(5-3)確認メッセージ(YES,NO) 「追完届有無フラグが更新されましたがよろしいですね。」を表示する								(5-4)同画面を編集する	
				YES	(5-5) → (5-10)へ						/		
				NO	(5-6) →							(5-7)同画面を編集する	
			NO	(5-8)エラーメッセージ 「送付地では追完届有無フラグは設定できません。 0 (無) に修正して下さい。」を表示する									
		NO	(5-9) → (5-10)へ								/		
		(5-10)規則第四十一条処理区分が入力された(YES,NO)									/		受理地においては決裁後に規則41条の対象が判明するため、決裁では設定できない。 送付地においては、「返戻」で41条区分「処理中」のみ設定可能。
		YES	(5-11)入力された規則第四十一条処理区分								/		
			0	(5-12) → (6)へ							/		
			1	(5-13)処分区分=5(返戻)である(YES,NO)							/		
				YES	(5-14)確認メッセージ(YES,NO) 「規則第四十一条処理区分が「処理中」に更新されましたがよろしいですね。」を表示する							(5-15)同画面を編集する	
					YES	(5-16) → (6)へ					/		
					NO	(5-17) →						(5-18)同画面を編集する	
				NO	(5-19)エラーメッセージ 「処分区分が「返戻」以外では、規則第四十一条処理区分を設定できません。」を表示する								
			2	(5-20)エラーメッセージ 「処分決定・決裁では、規則第四十一条処理区分に「完了」は設定できません。」を表示する									2(完了)を入力不可にする対応も可
		NO	(5-21) → (6)へ								/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	決裁・受付
処理名	0.0 本紙

						備考
		(6) 管掌者コードが入力された(YES,NO)		/		
		YES	(7) 入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)	/		
			YES (8) 管掌者名称を決裁・受付画面号に設定する → (12)へ	/		
			NO (9) エラーメッセージ「管掌者コードが間違っています。」を表示する		(10)同画面を編集する	
		NO	(11) → (12)へ	/		
		(12)入力された決裁区分と決裁名称を決裁・受付画面号に設定する			(13)同画面を編集する	
	NO	(14)エラーメッセージを表示する				
PF1	(15)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する			/		
	(16)届書ファイルの届書排他区分に0:(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]			/		
	(17)中間ファイル(選択受領番号)を削除する				(18)業務選択に制御を渡す	
PF3	(19)入力項目がチェック済みである(YES,NO)			/		
	YES	(20) → (23)へ		/		
	NO	(21)エラーメッセージ「実行キーを押下しないと決裁(PF3)処理はできません。」を表示する			(22)同画面を編集する	
	(23)決裁区分を中間ファイル(選択受領番号)に設定し更新する [3.0]			/		
	(24)受付データベース処理 →			/	「受付データベース」の要件定義書を参照	
	(25)決裁区分(1:「決裁」、2:「誤処理」、3:「修正」)			/		「誤処理」は決裁区分ではないが、名称を変更すると修正が広範囲に及ぶため、決裁処理中においては「決裁処理で入力する区分」という意味で、決裁区分の名称をそのまま使用する。
	1	(26)中間ファイル(選択受領番号)の処分区分は受理である(YES,NO)		/		
		YES	(27)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮戸籍ファイルを検索する	/		
			(28)該当の仮戸籍ファイルが存在する(YES,NO)	/		
			YES (29)該当の仮戸籍ファイルについて(30)～(40)の処理を繰り返す	/		仮戸籍ﾌｧｲﾙから決裁する仮戸籍を抽出する
			(30)仮戸籍の戸籍事項の数だけ(31)～(33)の処理を繰り返す	/		
			(31)戸籍事項は届出または移記で作成されたものである(YES,NO)	/		仮戸籍管理情報で判断する
			YES (32)管掌者コードを設定する → (30)へ	/		
			NO (33) → (30)へ	/		
			(34)→(35)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	決裁・受付

処理名	0.0 本紙			備考
	(35)仮戸籍の身分事項の数だけ(36)～(38)の処理を繰り返す	/		
	(36)身分事項は届出または移記で作成されたものである(YES,NO)	/		仮戸籍管理情報で判断する
	YES (37)管掌者コードを設定する → (35)へ	/		
	NO (38) → (35)へ	/		
	(39)→(40)へ	/		
	(40)中間ファイル(仮戸籍)を作成する → (29)へ [4.0]	/		
	(41) → (41-1)へ	/		
	(41-1)戸籍・個人番号取得処理 →	/	「戸籍・個人番号取得」の要件定義書を参照	
	(42)戸籍データベース処理 →	/	「戸籍データベース」の要件定義書を参照	
	(43)個人状態ファイル処理 →	/	「個人状態ファイル」要件定義書を参照	
	(44)不受理申出ファイル処理 →	/	「不受理申出ファイル」の要件定義書を参照	
	(45)戸籍附票連携ファイルを作成する	/		戸籍附票連携ファイルの項目は、戸籍_機能別連携仕様「003o01～003o03」を参照
	(46)	/		2.0版で削除
NO	(47) → (48)へ	/		
	(48)中間ファイル(選択受領番号)の選択事件コードは認知届である(YES,NO)	/		
YES	(49)個人状態ファイル処理 →	/	「個人状態ファイル」要件定義書を参照	
NO	(50)→(51)へ	/		
	(51)住民票記載事項通知処理 →	/	「住民票記載事項通知」の要件定義書を参照	
	(51-1)公選法通知異動者リストファイル処理 →	/	「公選法通知異動者リストファイル」の要件定義書を参照	
	(51-2)公選法通知作成処理 →	/	「公選法通知作成処理」の要件定義書を参照	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	決裁・受付

処理名	0.0 本紙			備考
	(52)	/		相続税法58条通知は戸籍情報連携システムからデータが渡されるため、戸籍情報システムからの出力仕様を削除する（2.0版）
	YES (53)	/		2.0版で削除
	NO (54)	/		2.0版で削除
	(55)中間ファイル(選択受領番号)の動態区分=1:要である(YES,NO)	/		
	YES (56)届書連携処理 →	/		「人口動態調査事務システム標準仕様書」を参照
	NO (57)→(58)へ	/		
	(58)発送ファイル処理 →	/	「発送ファイル」の要件定義書を参照	
	(59)統計処理 →	/	「統計」の要件定義書を参照	
	(59-1)届書処理通番ファイルの追完届有無フラグを更新する [6.0]	/		
	NO (60)中間ファイル(選択受領番号)のロック戸籍番号がある(YES,NO)	/		
	YES (61)戸籍データベース処理 →	/	「戸籍データベース」の要件定義書を参照	
	NO (62) → (63)へ	/		
	(62-1)送信用届書等情報ファイル処理 →	/	「送信用届書等情報ファイル」の要件定義書を参照	
	(62-2)届書処理通番で送付分届書等一覧ファイルを検索し、該当情報の送付分処理状況区分を更新する [7.0]	/		
	(63)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮戸籍ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する	/		
	(63-1)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮個人状態ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する	/		
	(64)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、エラー履歴ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する	/		
	(65)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮住民票記載事項通知ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する	/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁・受付							
処理名	0.0 本紙						備考	
		(65-1)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、送付分届書一覧で作成した各種参照ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する	/				送付分届書一覧で作成した各種参照ファイルは、決裁完了後に速やかに削除するものとするが、削除の方法は任意設計とする	
		(66)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号に該当の届書ファイルを削除する	/					
		(67)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(68)業務選択へ制御を渡す				
	2	(69)届書ファイルの処分区分に9(誤処理)を、届書排他区分に0(未)を設定して、届書ファイルを更新する [5.0]	/				届書ファイルの排他を解除する ※処分区分における誤処理は9である	
		(70)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮戸籍ファイル、仮個人状態ファイル、エラー履歴ファイル、仮住民票記載事項通知ファイル及び参照戸籍ファイルを各々検索し、該当のレコードがあれば削除する	/					
		(71)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(72)業務選択へ制御を渡す				
	3	(73)届書ファイルの決裁区分に3(修正)を、届書排他区分に0(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]	/				届書ファイルの排他を解除する	
		(74)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(75)業務選択へ制御を渡す				
PF5	(76)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する		/					
	(77)届書ファイルの届書排他区分に0:(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]		/					
	(78)中間ファイル(選択受領番号)を削除する			(79)未決裁一覧処理に制御を渡す				
PF7	(80)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)		/				PF7、PF8は1つの届の処理で複数の受付帳が作成されるときに別の受付帳を表示するためのファンクションキー (事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)	
	YES	(81)現在表示の受領番号-1の受領番号で受付DBを検索する	/					
		(82)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/					
		YES (83)検索した受付DBの内容を表示する [1.0]		(84)同画面を編集する				
		NO (85)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です。」を表示する						
	NO	(86)エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する						

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	決裁・受付
処理名	0.0 本紙

							備考
PF8	(87)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)				/		
	YES	(88)現在表示の受領番号+1の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
		YES	(89)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号 である(YES,NO)		/		
			YES	(90)検索した受付DBの内容を表示する [1.0]		(91)同画面を編集する	
			NO	(92)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です。」を表示する			
		NO					
	NO	(93)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する					
PF9	→					(94)住民票記載事項通知表示処理に制御を渡す	
PF10	→					(95)決裁戸籍表示処理に制御を渡す	
PF11	→					(96)エラー履歴表示画面に制御を渡す	
その他	(97)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する					(98)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁・受付							
処理名	1.0 決裁・受付画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
決裁・受付画面	画面ID							
	システム日付					有		システム日付
	現ページ、総ページ							
	受領番号		受付DB(受付)	受領番号				
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分内容			処分区分		有		
	事件名			受付事件コード		有		
	事件発生日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	決裁内容			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号		有		
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	指示日			指示日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	事件本人区分内容(1～4)		受付DB(事件本人)	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1) ← 事件本人の1レコード目 (2) ← 事件本人の2レコード目 (3) ← 事件本人の3レコード目 (4) ← 事件本人の4レコード目
	届出人表示(1～4)			届出人区分		有		
	振り仮名(1～4)			振り仮名				
	漢字氏名(1～4)			漢字氏名				
	生年月日(1～4)			生年月日		有		
	送達確認2(1～4)			送達確認2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁・受付							
処理名	1.0 決裁・受付画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1		受付DB(受付)	送達確認1				
	本籍(1～4)		受付DB(事件本人)	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	届出人資格1		受付DB(受付)	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資絡2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍(*1)			届後本籍コード		有		(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡　又は 「4402」:その他(本籍分明)　又は 「4404」:その他(死亡)のとき、 「届後本籍」≠空白　であれば その内容を表示する。 なお、このとき画面のタイトルを 「死亡日時」に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	管掌者コード		システム処理					管掌者コードを出力
	管掌者					有		管掌者コードの内容を表示
	決裁区分		受付DB(受付)	決裁区分				
	決裁内容					有		決裁区分の内容を表示
	追完届有無フラグ		届書処理通番ファイル	追完届有無フラグ				
	追完届有無フラグ名称					有		
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	規則第四十一条処理区分名称					有		

データチェック(単体表)			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	決裁･受付							
処理名			画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表			決裁･受付					
No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
1	決裁区分	○	数字	(1:決裁、2:誤処理、3:修正)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
2	管掌者コード		数字					
3	追完届有無フラグ		数字	(0:無、1:有)であること				
4	規則第四十一条処理区分		数字	(0:該当無、1:処理中、2:完了)であること				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付							
処理名	3.0 中間ファイル(選択受領番号)更新							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択受領番号)	受領番号							
	処分区分							
	選択事件コード							
	受理送付区分							
	本非区分							
	出張所番号							
	動態区分							
	他受領番号							
	ロック戸籍番号(1～5)							
	決裁区分		決裁･受付処理	決裁区分				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁･受付							
処理名	4.0　中間ファイル(仮戸籍)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (戸籍特定)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	戸籍番号			戸籍番号				
	編製日			編製日				
	改製日			改製日				
	回復日			回復日				
	消除日			消除日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	筆頭者振り仮名			筆頭者振り仮名				
	記録者数			記録者数				
	在籍者数			在籍者数				
	除籍者数			除籍者数				
	戸籍除区分			戸籍除区分				
	戸籍異動区分			戸籍異動区分				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (戸籍事項)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	戸籍番号			戸籍番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁･受付							
処理名	4.0 中間ファイル(仮戸籍)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (個人特定)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	戸籍番号			戸籍番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	性別			性別				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	同一戸籍内前個人番号			同一戸籍内前個人番号				
	同一戸籍内後個人番号			同一戸籍内後個人番号				
	個人除区分			個人除区分				
	審査不可区分			審査不可区分				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁･受付							
処理名	4.0　中間ファイル(仮戸籍)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (氏名)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	行番号			行番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (身分事項)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	身分事項項目			身分事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁・受付							
処理名	5.0 届書ファイル更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分		決裁・受付処理	9(誤処理)				決裁区分が「誤処理」のとき設定
	決裁区分			決裁区分:3(修正)				決裁区分が「修正」のとき設定
	届書排他区分							0:未を設定

データ編集表				作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	決裁･受付								
処理名	6.0 届書処理通番ファイル更新								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
届書処理通番ファイル	届書処理通番								
	行番号								
	受領番号								
	在外送付区分								
	追完届有無フラグ			決裁･受付画面	追完届有無フラグ				
	規則第四十一条処理区分				規則第四十一条処理区分				
	届書等情報送信区分								

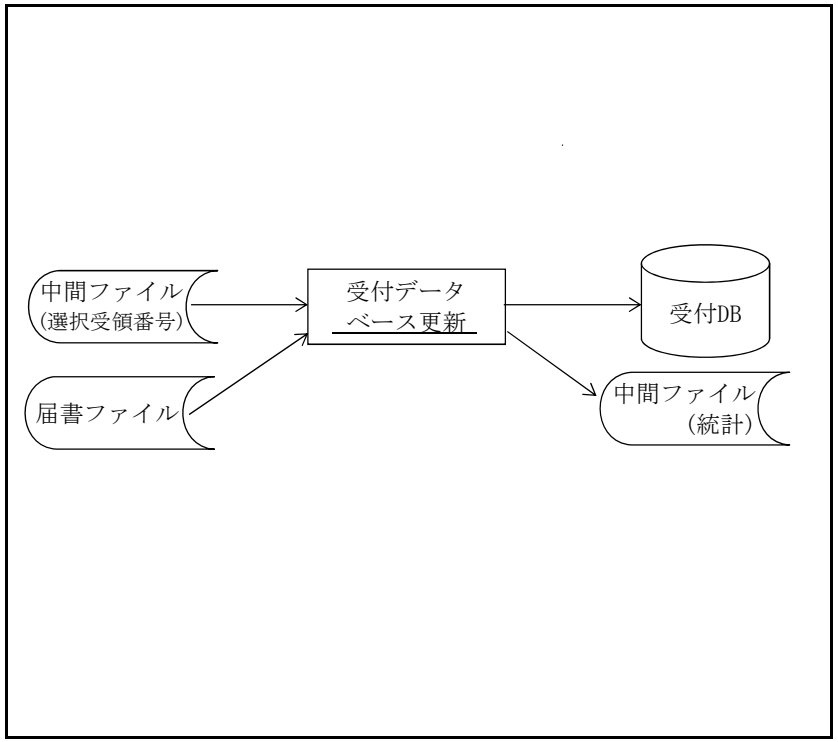
データ編集表			作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	決裁･受付							
処理名	7.0　送付分届書等一覧ファイル更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送付分届書等一覧ファイル	届書処理通番							
	受理地市区町村コード							
	届書番号							
	届出選択事件コード							
	受信日							
	受信時間							
	受付番号							
	受付事件コード							
	事件本人区分							
	事件本人氏名							
	同時決裁受領番号1～5							
	届書種別コード							
	事件対象区分							
	参考送付区分							
	追完届有無フラグ							
	不受理申出区分							
	胎児認知届書区分							
	データ状態区分							
	送付分処理状況区分		決裁・受付処理					3:処理完了を設定

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	受付データベース

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
受付DB	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(選択受領番号)の内容を基に受付データベースを更新する
(2) 受理の場合は事件の統計を取る

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(受付データベース)
　　　 └ 2.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	受付データベース

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/		
(2)受領番号で受付DBを検索する		/		
(3)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)		/		
YES	(4)決裁区分が1:「決裁」又は3:「修正」のとき、受付DBの決裁区分に設定し更新する　[1.0] 決裁区分が2:「誤処理」のとき、受付DBの処分区分に設定し履歴をとる	/		決裁区分を受付DBに設定する 誤処理は処分区分に設定し、受領番号の枝番をカウントアップし履歴処理とする
	(5)(6)～(9)の処理を繰り返す	/		
	(6)次の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (7)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/		
	YES (8)決裁区分が1:「決裁」又は3:「修正」のとき、検索した受付DBの決裁区分に設定し更新する 決裁区分が2:「誤処理」のとき、検索した受付DBの処分区分に設定し履歴をとる→(6)へ　[1.0]	/		同一処理で作成された受付DBにも決裁区分を設定する(誤処理も同様)
	NO (9)→(19)へ	/		
	NO			
	(10)→(19)へ	/		
NO	(11)中間ファイル(選択受領番号)の決裁区分は1:「決裁」である	/		
	YES (12)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/		
	(13)届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)にデータがある(YES,NO)	/		・胎児認知の届出がなされている出生届 ・身元不明の死亡(法91条1項)に対する本籍分明届(法91条2項、3項) ・既に受付帳に記載のある追完届　他 上記に関して、各々の受付データベースに関連受領番号を記載しなければいけない ※1つの届書入力処理で複数の受付データベースが作成されるときの、関連受領番号の記録は処分決定でされるので、決裁では決裁区分又は処分区分の設定だけでよい (6)～(8)がその処理である ・決裁区分を受付DBに設定する
	YES (14)受付DBの関連受領番号(1～5)の空いている項目に届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)を、決裁区分に1を設定し、受付DBを更新する　[1.0]	/		
	(15)関連受領番号をキーとして受付データベースを検索する(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (16)受付DBの関連受領番号(1～5)の空いている項目に、届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)を設定し、受付DBを更新する　[1.0]	/		
	NO (17)→(19)へ	/		
	NO (18)決裁区分が1:「決裁」又は3:「修正」のとき、検索した受付DBの決裁区分に設定し更新する 決裁区分が2:「誤処理」のとき、検索した受付DBの処分区分に設定し履歴をとる　[1.0]	/		
	NO			
(19)中間ファイル(選択受領番号)決裁区分は1:「決裁」である(YES,NO)		/		
YES	(20)中間ファイル(選択受領番号)の処分区分は1:「受理」である(YES,NO)	/		以降、統計処理を行う

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	受付データベース

処理名	0.0 本紙			備考
YES	(21)中間ファイル(選択受領番号)の出張所番号で中間ファイル(統計)を作成し、 受理送付区分と本非区分を設定する [2.0]	/		
	(22)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号で受付DBを検索する	/		
	(23)受付DBの発日と収日にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (24)中間ファイル(統計)の照会数に1を加える [2.0]	/		照会の統計をとる
	NO (25)→(26)へ	/		
	(26)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (27)以下の処理((28)～(32))を繰り返す	/		
	(28)次の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (29)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/		
	YES (30)受付データベースの発日と収日にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (31)中間ファイル(統計)の照会数に1を加える [2.0]	/		照会の統計をとる
	NO (32)→(28)へ	/		
	NO →		(33)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
	NO →			
	→			
	NO →			
NO	→			
NO	→			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付データベース							
処理名	1.0 受付データベース更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号							誤処理のとき枝番をカウントアップし履歴処理とする
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)		届書ファイル	関連受領番号				事件別内容にあるデータ
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

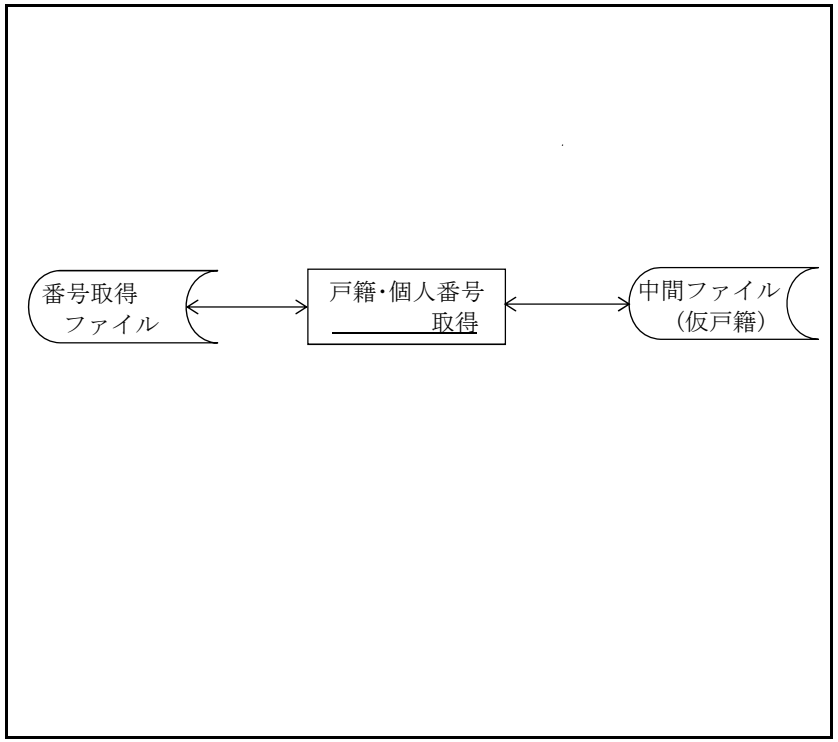
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付データベース							
処理名	1.0 受付データベース更新							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1							
	届書送付目録区分							
	処分区分		受付データベース処理	決裁区分				決裁区分が2:「誤処理」のとき設定
	決裁区分			決裁区分				決裁区分が1:「決裁」または 3:「修正」 のとき設定する

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付データベース								
処理名	2.0 中間ファイル(統計)作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル(統計)	受領番号		中間ファイル (選択受領番号)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	増減戸籍数								
	増減本籍人数								
	新戸籍編製数								
	全部除籍数								
	照会数		受付データベース 処理	照会数					
	住民票記載事項通知作成数								

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	戸籍･個人番号取得

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
番号取得ファイル	入出力		

3.処理概要
(1)仮戸籍ファイルを基に以下の処理を行う
(2)戸籍編製が新戸籍編製の場合、戸籍番号を取得し、仮戸籍ファイルに付加する
(3)戸籍に入籍者がいる場合、個人番号を取得し、仮戸籍ファイルに付加する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定更新)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項更新)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):個人特定更新)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):氏名更新)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):身分事項更新)
- 6.0 データ編集表(戸籍番号更新)
- 7.0 データ編集表(個人番号更新)

5.備考(特記事項含む)
(1)仮戸籍ファイルについて
ア.本籍人の戸籍に関してファイルが作成される(処分区分が受理のみ)
本籍人:従前の戸籍が本籍地にあるまたは異動後の戸籍が本籍地に編製される
※非本籍人、外国人に関してはファイルを作成しない
イ.仮戸籍ファイルは異動後の戸籍の形態で作成される
(異動前の情報を持つ必要はない)
ウ.異動者だけでなく、戸籍の全構成員について作成される

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	戸籍・個人番号取得

処理名	0.0 本紙			備考
(1)番号取得ファイルを読み戸籍番号を取得する	/			
(2)番号取得ファイルを読み個人番号を取得する	/			
(3)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(4)～(23)の処理を繰り返す	/			
(4)戸籍編製区分は新戸籍編製である(YES,NO)	/			
YES (5)「戸籍番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の戸籍番号に設定する	/			新戸籍編製であれば戸籍番号を付加する
(6)戸籍番号に1をたす	/			
(7)構成員の数だけ(8)～(9)の処理を繰り返す	/			新戸籍編製のときの構成員は全員新しい戸籍に入籍するので、個人番号を各々に取得する
(8)「個人番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の個人番号に設定する	/			
(9)個人番号に1をたす→(7)へ	/			
(10)中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定を更新する [1.0]	/			
(11)中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項を更新する [2.0]	/			
(12)中間ファイル(仮戸籍):個人特定を更新する [3.0]	/			
(13)中間ファイル(仮戸籍):氏名を更新する [4.0]	/			
(14)中間ファイル(仮戸籍):身分事項を更新する→(3)へ [5.0]	/			
NO (15)構成員の数だけ(16)～(22)の処理を繰り返す	/			
(16)個人異動区分は入籍である(YES,NO)	/			
YES (17)「個人番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の個人番号に設定する	/			既存の戸籍に入籍するときは、個人番号を取得する
(18)個人番号に1をたす	/			
(19)中間ファイル(仮戸籍):個人特定を更新する [3.0]	/			
(20)中間ファイル(仮戸籍):氏名を更新する [4.0]	/			
(21)中間ファイル(仮戸籍):身分事項を更新する→(15)へ [5.0]	/			
NO (22)→(15)へ	/			
(23)→(3)へ	/			
(24)戸籍番号を番号取得ファイルの戸籍番号にセットして番号取得ファイルを更新する [6.0]	/			
(25)個人番号を番号取得ファイルの個人番号にセットして番号取得ファイルを更新する [7.0]		(26)次の処理を行う		「決裁・受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	1.0　中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	筆頭者振り仮名							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	2.0 中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							
	記録コード							
	管掌者コード							
	事件発生日							
	戸籍事項項目							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	3.0　中間ファイル(仮戸籍):個人特定更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル (個人番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ファイル･戸籍番号+1を設定する
	個人記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	同一戸籍内前個人番号							
	同一戸籍内後個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	4.0　中間ファイル(仮戸籍):氏名更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル (個人番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	行番号							
	カナ氏名							
	振り仮名							
	漢字氏名							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	5.0 中間ファイル(仮戸籍):身分事項更新							

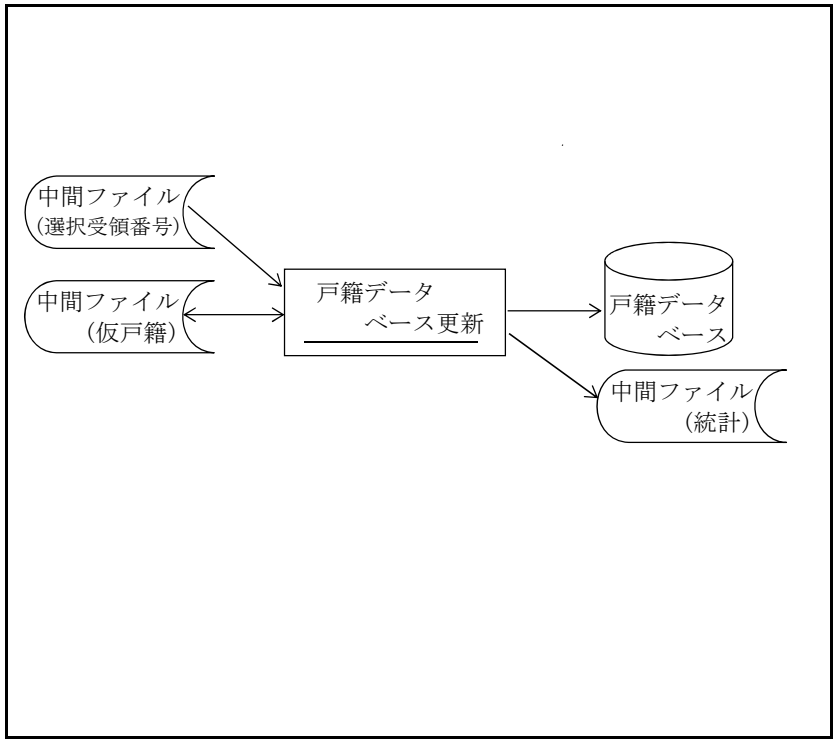
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル (個人番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を 設定する
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							
	記録コード							
	管掌者コード							
	事件発生日							
	身分事項項目							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	6.0 戸籍番号更新							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル (戸籍番号)	番号種別							1:戸籍番号
	戸籍番号		戸籍･個人番号 取得処理	戸籍番号				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	7.0 個人番号更新							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル (個人番号)	番号種別							2:個人番号
	個人番号		戸籍･個人番号 取得処理	個人番号				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
戸籍データベース	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)仮戸籍ファイルを基に以下の処理を行う
(2)処分区分が受理であれば、中間ファイル(仮戸籍)の更新情報(DB更新･追加)に従って、戸籍データベース(戸籍特定、戸籍事項、氏名、個人特定、身分事項)の更新･追加を行う
入籍者の中間ファイル(仮戸籍)の個人特定ファイル「同一戸籍内前個人番号」≠ZEROの場合、同一戸籍内前個人番号の該当者の個人特定ファイル「同一戸籍内後個人番号」に入籍者の個人番号を設定する
(3)処分区分が受理以外であれば、戸籍DBのロックを解除する(戸籍特定DBの更新)

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(戸籍特定:処分区分が受理の場合)
- 2.0 データ編集表(戸籍事項)
- 3.0 データ編集表(個人特定)
- 3.1 データ編集表(個人特定：従前の同一人)
- 4.0 データ編集表(氏名)
- 5.0 データ編集表(身分事項)
- 6.0 データ編集表(戸籍特定:処分区分が受理以外の場合)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5.備考(特記事項含む)

(1)仮戸籍ファイルについて
ア.本籍人の戸籍に関してファイルが作成される(処分区分が受理のみ)
本籍人:従前の戸籍が本籍地にあるまたは異動後の戸籍が本籍地に編製される
※非本籍人、外国人に関してはファイルを作成しない
イ.仮戸籍ファイルは異動後の戸籍の形態で作成される
(異動前の情報を持つ必要はない)
ウ.異動者だけでなく、戸籍の全構成員について作成される

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	戸籍データベース

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(仮戸籍)があるか(YES,NO)		/		
YES (2)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(3)～(39)の処理を繰り返す		/		
(3)戸籍編製区分は新戸籍編製または新戸・全除である(YES,NO)		/		
YES (4)中間ファイル(統計)の増減戸籍数、新戸籍編製数に1を加える	[7.0]	/		統計処理
(5)戸籍特定情報を戸籍特定DBに追加する	[1.0]	/		新戸籍が編製された場合は仮戸籍の全部の情報を戸籍データベースに追加する
(6)戸籍事項の数だけ(7)の処理を繰り返す		/		
(7)戸籍事項情報を戸籍事項DBに追加する→(6)へ	[2.0]	/		
(8)構成員の数だけ(9)～(14)の処理を繰り返す		/		
(9)中間ファイル(統計)の増減本籍人数に1を加える	[7.0]	/		
(10)個人特定情報を個人特定DBに追加する	[3.0]	/		
(11)氏名情報を氏名DBに追加する	[4.0]	/		
(12)身分事項の数だけ(13)の処理を繰り返す		/		
(13)身分事項情報を身分事項DBに追加する→(12)へ	[5.0]	/		
(14) → (8)へ		/		
(15) → (2)へ		/		
NO (16)戸籍編製区分は全部除籍または新戸・全除である(YES,NO)		/		
YES (17)中間ファイル(統計)の増減戸籍数から1を引き、全部除籍数に1を加える。	[7.0]	/		統計処理
NO (18) → (18.1)へ		/		
(18.1)戸籍編製区分は新戸・全除である(YES,NO)		/		
YES (18.2)戸籍事項の数だけ(18.3)の処理を繰り返す		/		統計処理
(18.3)中間ファイル(統計)の増減本籍人数から1を引く	[7.0]	/		
NO (18.4) → (19)へ		/		
(19)戸籍特定情報で該当の戸籍特定DBを更新する	[1.0]	/		
(20)戸籍事項の数だけ(21)～(23)の処理を繰り返す		/		
(21)戸籍事項は今回の処理で作成されたものか(YES,NO)		/		
YES (22)戸籍事項情報を戸籍事項DBに追加する→(20)へ	[2.0]	/		
NO (23) → (20)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	戸籍データベース

処理名	0.0 本紙			備考
	(24)構成員の数だけ(25)～(39)の処理を繰り返す	/		
	(25)個人異動区分(入籍、除籍、その他)	/		
	入籍 (26)中間ファイル(統計)の増減本籍人数に1を加える [7.0]	/		統計処理
	除籍 (27)中間ファイル(統計)の増減本籍人数から1を引く [7.0]	/		統計処理
	(28)	/		戸籍編製区分が全部除籍の場合、統計ファイルの附票一部消除数へのカウントを削除 (2.0版)
	YES (29)	/		
	NO (30)	/		
	その他 (31) → (32)へ	/		
	(32)個人特定情報で該当の個人特定DBを更新する [3.0]	/		
	(32-1)個人異動区分=2(入籍) または 4(入籍・除籍)である(YES,NO)	/		
	YES (32-2)個人特定情報の同一戸籍内前個人番号≠ZEROである(YES,NO)	/		入籍者の同一戸籍内前個人番号に入力がある場合、入籍者の同一人が戸籍内に存在するため、同一戸籍内前個人番号の該当者の同一戸籍内後個人番号に入籍者の個人番号を設定する
	YES (32-2)同一戸籍内前個人番号の個人特定DBの同一戸籍内後個人番号に入籍者の個人番号を設定する [3.1]	/		
	NO (32-3) → (33)へ	/		
	NO			
	(33)今回の処理で氏名が変更になったか(YES,NO)	/		氏の変更･名の変更があった場合、氏名DBに追加する
	YES (34)氏名情報を氏名DBに追加する [4.0]	/		
	NO (35) ～ (36)へ	/		
	(36)身分事項の数だけ(37～(39)の処理を繰り返す	/		
	(37)身分事項は今回の処理で作成されたものか(YES,NO)	/		
	YES (38)身分事項の数だけ身分事項DBに追加する [5.0]	/		
	NO (39) → (36)へ	/		
	(40) → (24)へ	/		
	(41) → (2)へ	/		
→			(42)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	0.0 本紙						備考	
NO	(43)中間ファイル(選択受領番号)を読む			/			「受理」以外のときは、届書入力審査でロックした戸籍を解除する	
	(44)ロック戸籍番号に戸籍番号が格納してあるか(YES,NO)			/				
	YES	(45)ロック戸籍番号(1～5)に戸籍番号があるだけ(46)～(47)の処理を繰り返す		/				
			(46)戸籍番号をキーとして戸籍特定DBを検索する	/				
			(47)戸籍特定DBの戸籍異動区分に0をセットして戸籍特定DBを更新する [6.0] (戸籍ロックの解除) → (45)へ	/				
		→			(48)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る	
	NO	→						

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	1.0　戸籍DB(戸籍特定)更新/受理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍特定)	戸籍番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号				
	編製日			編製日				
	改製日			改製日				
	回復日			回復日				
	消除日			消除日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	筆頭者振り仮名			筆頭者振り仮名				
	記録者数			記録者数				
	在籍者数			在籍者数				
	除籍者数			除籍者数				
	戸籍除区分			戸籍除区分				
	戸籍異動区分			戸籍異動区分				0:ロック解除が設定されている

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	2.0 戸籍DB(戸籍事項)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍事項)	戸籍番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	3.0 戸籍DB(個人特定)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (個人特定)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号				
	戸籍番号			戸籍番号				
	個人記録順位番号			個人記録順位番号				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	性別			性別				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	同一戸籍内前個人番号			同一戸籍内前個人番号				
	同一戸籍内後個人番号			同一戸籍内後個人番号				
	個人除区分			個人除区分				
	審査不可区分			審査不可区分				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	3.1　戸籍DB(個人特定:従前の同一人)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (個人特定)	個人番号		戸籍データベース処理					
	戸籍番号							
	個人記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	同一戸籍内前個人番号							
	同一戸籍内後個人番号			入籍者の個人番号				
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	4.0 戸籍DB(氏名)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (氏名)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	行番号			行番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	5.0 戸籍DB(身分事項)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (身分事項)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	身分事項項目			身分事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	6.0 戸籍DB(戸籍特定)更新/不受理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍特定)	戸籍番号							
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	筆頭者振り仮名							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分		戸籍データベース 処理					0:戸籍ロック解除を設定

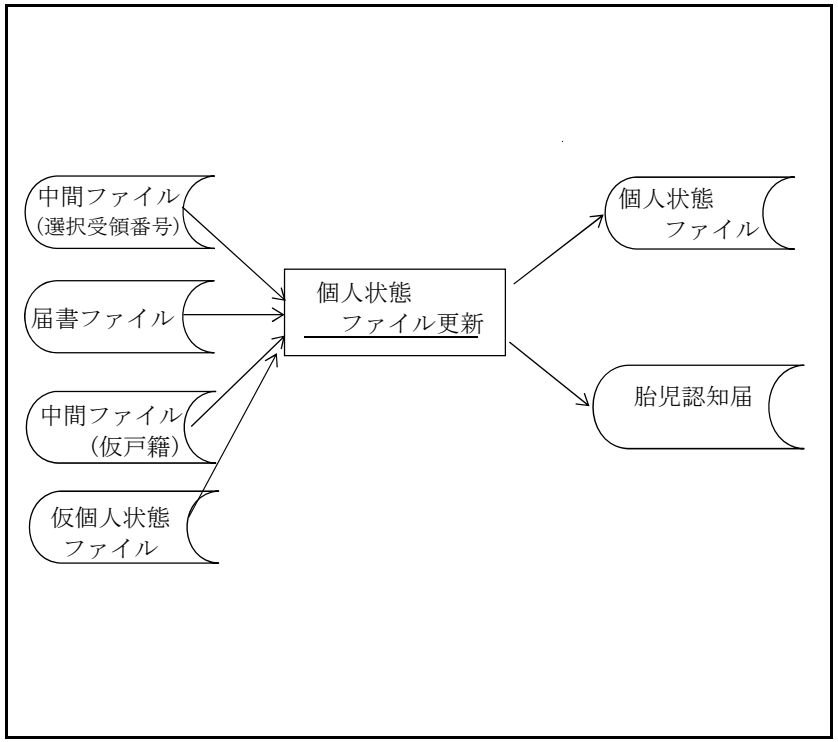
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍データベース							
処理名	7.0　中間ファイル(統計)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数		戸籍データベース処理	増減戸籍数				
	増減本籍人数			増減本籍人数				
	新戸籍編製数			新戸籍編製数				
	全部除籍数			全部除籍数				
	照会数							
	住民票記載事項通知作成数							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	個人状態ファイル

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	胎児認知届情報 ファイル	出力
届書ファイル	入力		
仮個人状態ファイル	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力		
個人状態ファイル	出力		

3.処理概要

(1)保佐届、胎児認知届、胎児認知区分のある出生届の各届出の場合、個人状態ファイルを更新する
胎児認知区分のある出生届の場合、胎児認知届情報ファイルから当該画像を削除する
(2)個人状態ファイルを持っている者が本籍地の他の戸籍に異動したとき、従前の内容を異動先の個人状態ファイルに移す
胎児認知区分のある者は胎児認知届画像情報も移す
(3)胎児認知区分のある者が他市区町村の戸籍に異動したとき、中間ファイル(発送)の送付書類区分の胎児認知フラグを設定する
(4)氏又は名の振り仮名職権記録区分を仮個人状態ファイルから設定する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 2.0 別紙(保佐届)
- 3.0 別紙(認知届〔胎児認知〕)
- 4.0 別紙(出生届)
- 5.0 データ編集表(個人状態ファイル:区分の更新)
- 6.0 データ編集表(個人状態ファイル:作成)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む					/			
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する					/			
(3)届書の事件名(保佐届、認知届、出生届、その他)					/			
	(4)					(7)次の処理を行う	「受付･決裁」の要件定義書に戻る (4)削除	
保佐届	(5)保佐届の処理を行う(別紙「保佐届」を参照)			[2.0]				
認知届	(6)認知届の処理を行う(別紙「認知届」を参照)			[3.0]				
出生届	(8)出生届の処理を行う(別紙「出生届」を参照)			[4.0]				
その他	(9) → (10)へ				/			
(10)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(11)～(34)の処理を繰り返す					/			
(11)構成員の数だけ(12)～(33)の処理を繰り返す					/			
(12)中間ファイル(仮戸籍)の個人異動区分(入籍、除籍、その他)					/			
入籍	(13)個人特定DBの前個人番号に個人番号がある(YES,NO)				/		個人状態ファイルを有している者が他の戸籍(同一本籍地)に異動したときは、異動後も同じ個人状態ファイルを作成する	
YES	(14)前個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する				/			
	(15)個人状態ファイルがある(YES,NO)				/			
	YES	(16)この個人状態ファイルと同じ内容で異動後の個人に個人状態ファイルを作成する → (~~11~~ 16-0-1)へ		[6.0]	/			
		(16-0-1)仮個人状態ファイルがある(YES,NO)			/			
		YES	(16-0-2)仮個人状態ファイルの項目を設定する	[5.0]	/			
			(16-0-3)仮個人状態ファイルを削除する → (16-1)へ		/			
		NO	(16-0-4) → (16-1)へ		/			
		(16-1)胎児認知区分=1:有である(YES,NO)			/			
		YES	(16-2)胎児認知届画像情報を異動後の個人にコピーする		/		画像のコピーは任意(他での実施も可)	
		NO	(16-3) → (11)へ		/			
	NO	(17) → (11)へ			/			
NO	(18) → (11)へ				/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	個人状態ファイル
処理名	0.0 本紙

						備考
	除籍	(19) → (11)へ		/		胎児認知区分を保有している者が他市区町村に異動する場合は、胎児認知届書の転送が戸籍情報連携システム運用後は不要となることから、(20)～(32)を削除する
		(20)				
		(21)				
		(22)				
		(23)				
		(24)				
		(25)				
		(26)				
		(27)				
		(28)				
		(29)				
		(30)				
		(31)				
		(32)				
	その他	(33)仮個人状態ファイルがある(YES,NO)		/		
		YES	(33-1)仮個人状態ファイルの項目を設定する [5.0]	/		
			(33-2)仮個人状態ファイルを削除する → (11)へ	/		
		NO	(33-3) → (11)へ	/		
	(34) → (10)へ			/		
→					(35)次の処理を行う	「受付･決裁」の要件定義書に戻る

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	個人状態ファイル							
処理名	2.0 別紙(保佐届)						備考	
(1)届書ファイルの届出原因区分(11、31、その他)					/			
11: 準禁治産宣告の裁判確定	(2)				/		(2)～(9)まで削除	
	(3)				/			
	YES	(4)			/			
		(5)			/			
		YES	(6)			(8)		
		NO	(7)					
	NO	(9) → (2)へ			/			
31: 準禁治産宣告取消の裁判確定	(10)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の構成員の数だけ(11)～(16)の処理を繰り返す				/			
	(11)個人異動区分は記載である(YES,NO)				/			
	YES	(12)個人番号で個人状態ファイルを検索する			/			
		(13)個人状態ファイルがある(YES,NO)			/			
		YES	(14)準禁治産者区分:0を設定し、個人状態ﾌｧｲﾙを更新する	[5.0]		(15)本紙へ戻る	個人状態ファイルがある場合だけ更新する	
		NO	→					
	NO	(16) → (10)へ			/			
その他	→					(17)本紙へ戻る		

第7-2-(11) 「決裁」処理

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	個人状態ファイル								
処理名	3.0　別紙(認知届)							備考	
(1)届書ファイルの認知区分=1:胎児認知届である(YES,NO)						/			
YES	(2)母の個人番号がある(YES,NO)					/		母が本籍人の場合に限り胎児認知区分を設定する	
	YES	(3)個人番号で個人状態ファイルを検索する				/			
		(4)個人状態ファイルは存在するか(YES,NO)				/			
		YES	(5)胎児認知区分:1を設定し、個人状態ファイルを更新する		[5.0]		(7)本紙へ戻る	個人状態ファイルがあれば更新、なければ作成する	
		NO	(6)個人状態ファイルを作成し、胎児認知区分:1を設定する		[5.0]				
	NO	→							
NO	→								

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル								
処理名	4.0 別紙(出生届)							備考	
(1)届書ファイルの事件別内容に母の個人番号がある(YES,NO)						/		母に胎児認知区分がある場合は、出生により無条件で区分を削除する	
YES	(2)個人番号で個人状態ファイルを検索する					/			
	(3)個人状態ファイルは存在するか(YES,NO)					/			
	YES	(4)胎児認知区分は1である(YES,NO)				/			
		YES	(5)胎児認知区分:0を設定し、個人状態ファイルを更新する	[5.0]		/		個人状態ファイルがある場合だけ更新する	
			(5-1)該当の胎児認知届書画像を胎児認知届書情報ファイルから削除する				(6)本紙へ戻る		
		NO	→						
	NO	→							
NO	→								

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル							
処理名	5.0 個人状態ファイル更新(区分変更)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号		個人状態ファイル処理					作成の場合は個人番号を設定
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							準禁治産取消:「0」を設定する
	裁判所通知区分							
	胎児認知区分		個人状態ファイル処理					胎児認知届:「1」を設定する 出生届:「0」を設定する
	受理処理照会区分							
	保留区分							
	注意喚起区分							
	氏の振り仮名職権記録区分		仮個人状態ファイル	氏の振り仮名職権記録区分				区分が9の場合は設定しない
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				
	メモ							

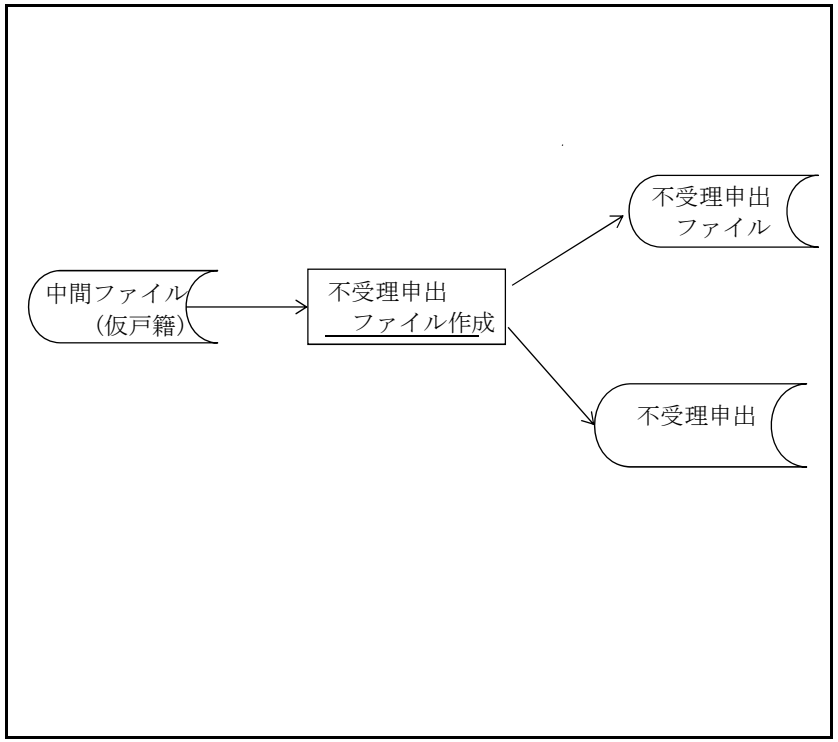
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル							
処理名	6.0　個人状態ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号							システムで新しい個人番号を設定
	禁治産者区分		(前個人番号の) 個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理処理照会区分			受理処理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	氏の振り仮名職権記録区分			氏の振り仮名職権記録区分				従前の状態を引き継いだ後で、仮個人状態ファイルがあればその状態を設定する
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				
	メモ			メモ				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	不受理申出ファイル

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
不受理申出ファイル	出力		
不受理申出情報ファイル	出力		

3.処理概要

(1)不受理申出ファイルを持っている者が本籍地の他の戸籍に異動したとき、従前の内容(有効な情報のみ)を異動先の不受理申出ファイルに移す
このとき画像情報も同様に不受理申出情報ファイルに移す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 － 1.0データ編集表(不受理申出ファイル)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	不受理申出ファイル

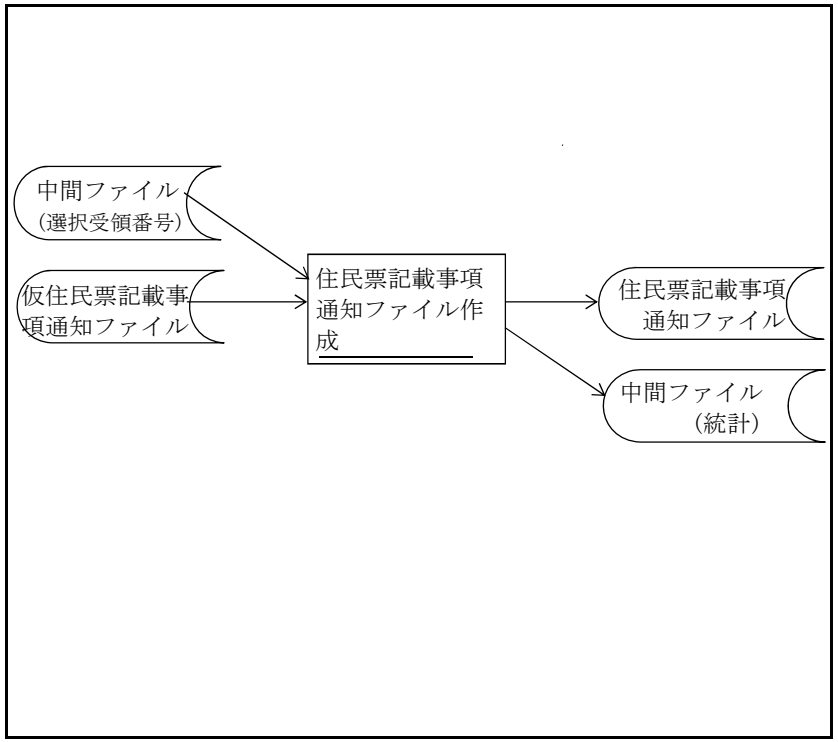
処理名	0.0 本紙						備考
(1)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(2)～(23)の処理を繰り返す					/		
(2)構成員の数だけ(3)～(22)の処理を繰り返す					/		
(3)中間ファイル(仮戸籍)の個人異動区分(入籍、その他)?					/		
入籍	(4)個人特定DBの前個人番号にデータがある(YES,NO)				/		不受理申出ファイルを有している者が他の戸籍(同一本籍地)に異動したときは、異動後も同じ不受理申出ファイルを作成する
	YES	(5)前個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する			/		
		(6)不受理申出ファイルがある(YES,NO)			/		
		YES	(7)この不受理申出ファイルと同じ内容で異動後の個人に不受理申出ファイルを作成する(有効な情報のみ) [1.0]		/		
			(7-1)不受理申出画像情報を異動後の個人にコピーする(有効な情報のみ) → (2)へ		/		画像のコピーは任意(他での実施も可)
		NO	(8) → (2)へ		/		
	NO	(9) → (2)へ			/		
	(10)						
		(11)					不受理申出ファイルを有している者が他市区町村に異動する場合は、不受理申出書の転送が戸籍情報連携システム運用後は不要となることから、(10)～(21)を削除する(2.0版)
		(12)					
			(13)				
				(14)			
					(15)		
						(16)	
						(17)	
				(18)			
				(19)			
			(20)				
		(21)					
その他	(22) → (2)へ				/		
(23) → (1)へ					/		
→						(24)次の処理を行う	「受付･決裁」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	不受理申出ファイル							
処理名	1.0　不受理申出ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出ファイル	個人番号							システムで新しい個人番号を設定
	行番号		(前個人番号の）不受理申出ファイル	行番号				
	出張所番号			出張所番号				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	作成日			作成日				
	相手方氏名1			相手方氏名1				
	相手方氏名2			相手方氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
仮住民票記載事項通知ファイル	入力		
住民票記載事項通知通知ファイル	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)仮住民票記載事項通知ファイルを基に以下の処理を行う
(2)新旧のデータを比較し、変更のあるデータだけで住民票記載事項通知ファイルを作成する
(3)住民票記載事項通知作成数の統計を取得する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 2.0 データ編集表(住民票記載事項通知ファイル作成)
　　　 └ 3.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	住民票記載事項通知
処理名	0.0 本紙

				備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮住民票記載事項通知ファイルを検索する		/		
(3)該当する受領番号の仮住民票記載事項通知ファイルが無くなるまで(4)～(36)の処理を繰り返す		/		
	(4)変更フラグに0をセットする	/		
	(4-1)旧振り仮名=新振り仮名である(YES,NO)	/		
YES	(4-2)新振り仮名を空白にする	/		
NO	(4-3)変更フラグに1をセットする	/		
	(5)旧氏名=新氏名である(YES,NO)	/		
YES	(6)新氏名を空白にする	/		
NO	(7)変更フラグに1をセットする	/		
	(8)旧生年月日=新生年月日である(YES,NO)	/		
YES	(9)新生年月日を空白にする	/		
NO	(10)変更フラグに1をセットする	/		
	(11)旧父母との続柄=新父母との続柄である(YES,NO)	/		
YES	(12)新父母との続柄を空白にする	/		
NO	(13)変更フラグに1をセットする	/		
	(14)旧本籍(本籍コード)=新本籍(本籍コード)である(YES,NO)	/		
YES	(15)新本籍(本籍コード)を空白にする	/		
NO	(16)変更フラグに1をセットする	/		
	(17)旧筆頭者=新筆頭者である(YES,NO)	/		
YES	(18)新筆頭者を空白にする	/		
NO	(19)変更フラグに1をセットする	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	住民票記載事項通知

処理名	0.0 本紙			備考
(20)変更フラグ=1(YES,NO)		/		
YES	(21)	/		住所人の場合住民票異動ファイルを作成していたが、CS連携において住所人、非住所人の区別なく連携することになるため(21)～(23)を削除(2.0版)
	(22)			
	(23)			
	(24)住所は日本国内である(YES,NO)	/		外国に住所がある者は9条2項通知は不要
	YES (25) → (27)へ	/		
	NO (26) → (3)へ	/		
	(27)住民票記載事項通知情報を住民票記載事項通知ファイルに出力する [2.0]	/		住所人以外は住民票記載事項通知ファイルを作成する
	(28)中間ファイル(統計)の住民票記載事項通知作成数に1を加える [3.0]	/		
	(29)			住民票記載事項通知はファイル送信するため発送ファイル作成処理(30)～(35)を削除する
	(30)			
	(31)			
	(32)			
	(33)			
	(34)			
	(35)			
NO	(36) → (3)へ	/		
→			(37)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知							
処理名	2.0　住民票記載事項通知ファイル作成							

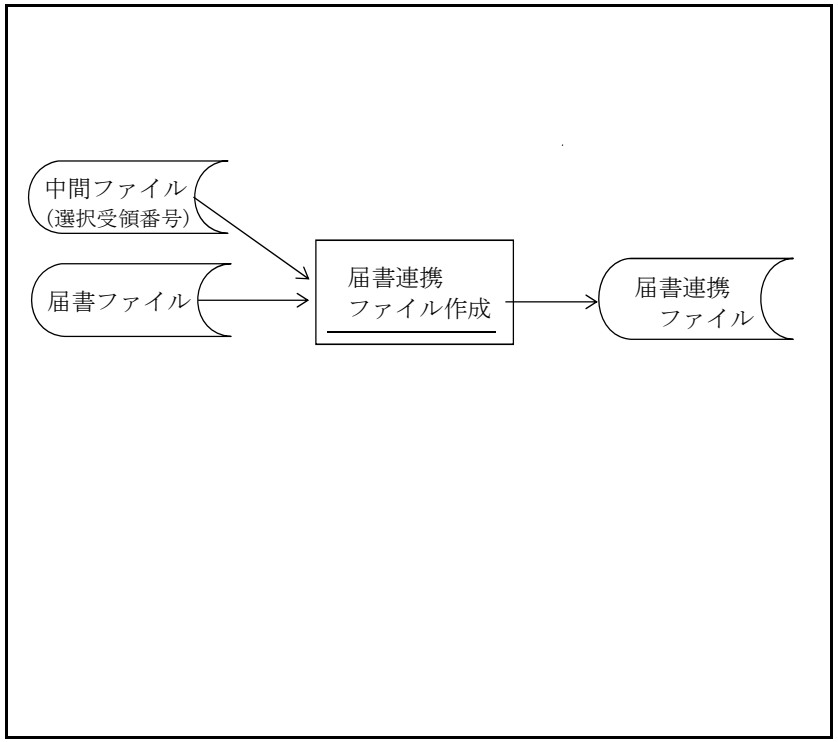
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票記載事項通知ファイル	受領番号		仮住民票記載事項通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				国籍取得、帰化のみ設定
	住民日			住民日				国籍取得、帰化のみ設定
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				出生、国籍取得、帰化のみ設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知							
処理名	3.0 中間ファイル(統計)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	照会数							
	住民票記載事項通知作成数		住民票記載事項通知処理	住民票記載事項通知作成数				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	届書連携ファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
届書連携ファイル	出力		

3.処理概要

(1)出生届、死亡届、婚姻届、離婚届の届書ファイルを人口動態調査事務システムへ連携する

4.機能体系(要件定義書の構成)

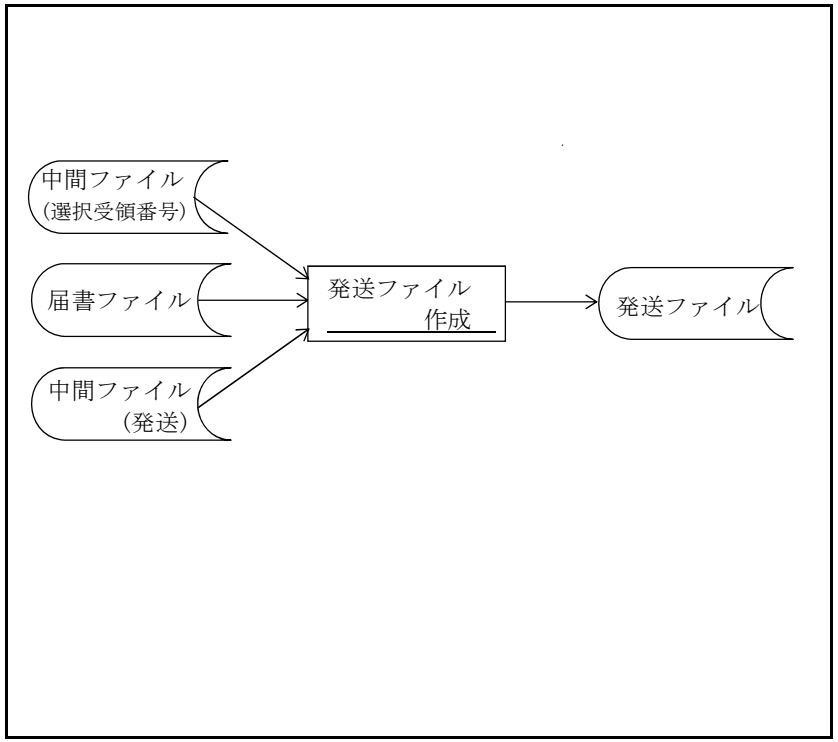
5.備考(特記事項含む)

データ編集内容は厚生労働省の「人口動態調査事務システム標準仕様書」を参照のこと

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	発送ファイル

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
中間ファイル(発送)	入出力		
発送ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイルを読み届書の送付が必要な場合、中間ファイル(発送)があれば追加し、なければ中間ファイル(発送)を作成する
(2)中間ファイル(発送)があればその内容を発送ファイルに登録する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(中間ファイル(発送))
　　└ 2.0 データ編集表(発送ファイル)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	発送ファイル
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読み込む			/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する			/		
(3)在外送付区分は0:「受理分の届」 又は 2:「在外公館の直接送付」である(YES,NO)			/		
YES	(4)届書ファイルの本籍(現本籍、異動後本籍)の数だけ(5)～(13)の処理を繰り返す		/		届書の送付が必要な場合は発送ファイルを作成する(他市区町村へ:国外は除く)
	(5)その本籍は管外本籍(国籍を除く)である(YES,NO)		/		
	YES	(6)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		
		YES (7)中間ファイル(発送)の数だけ(8)～(10)の処理を繰り返す	/		
		(8)中間ファイル(発送)の市区町村コードと本籍コードが同じ(YES,NO)	/		
		YES (9)中間ファイル(発送)の送付書類区分の届書フラグに1を設定する [1.0] → (4)へ	/		中間ファイルがあれば届書フラグを設定する
		NO (10) → (7)へ	/		
		(11) → (12)へ	/		
		NO (12)受領番号と本籍コードで中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の届書フラグに1を設定する [1.0] → (4)へ	/		中間ファイルがなければ作成し、届書フラグを設定する
	NO	(13)→(4)へ	/		
	(14)→(16)へ		/		
NO	(15)→(16)へ		/		
(16)中間ファイル(発送)が存在する(YES,NO)			/		
YES	(17)中間ファイル(発送)の数だけ以下の処理を繰り返す		/		
	(18)中間ファイル(発送)の内容で発送ファイルを作成する [2.0] → (17)へ		/		
	→			(19)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
NO	→				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	発送ファイル							
処理名	1.0　中間ファイル(発送)作成							

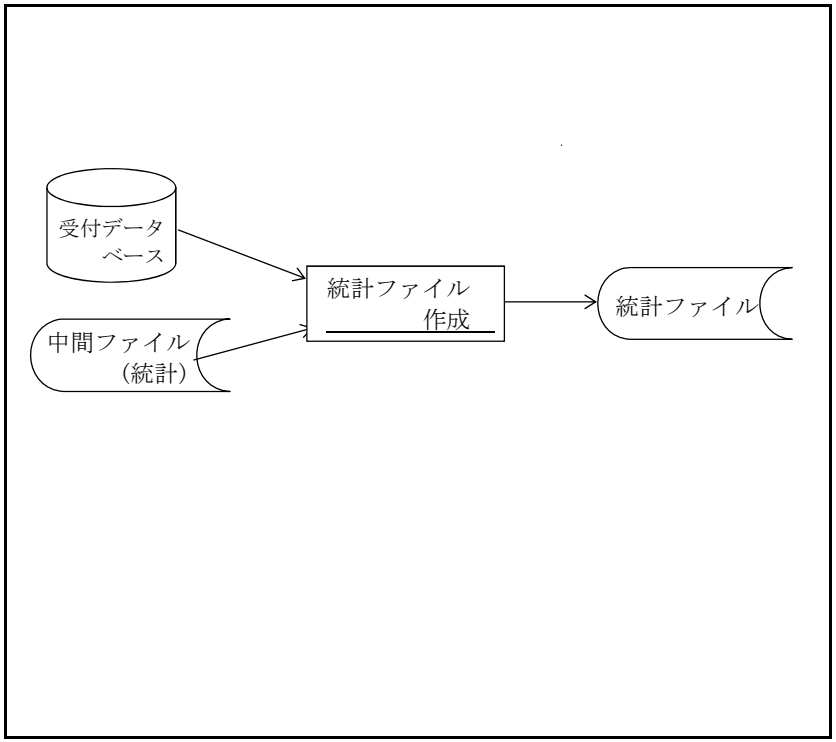
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		届書ファイル	受領番号				更新の場合は届書フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			本籍コード				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい) 本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	郵便番号							
	住所							
	宛名							
	送付書類区分							
	届書		発送ファイル処理					有:「1」を設定する
	住民票記載事項通知							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	発送ファイル							
処理名	2.0　発送ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		中間ファイル(発送)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	郵便番号			郵便番号				
	住所			住所				
	宛名			宛名				
	送付書類区分			送付書類区分				
	届書			届書				
	住民票記載事項通知			住民票記載事項通知				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	統計ファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付データベース	入力		
中間ファイル(統計)	入力		
統計ファイル	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(統計)の内容と受付DBから統計ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0　データ編集表(統計ファイル)

5.備考(特記事項含む)

再製の統計は除く

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	統計ファイル
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(統計)を読み込む			/		
(2)処理日と中間ファイル(統計)の出張所番号で統計ファイルを読み込む			/		
(3)統計ファイルが存在する(YES,NO)			/		
YES	(4)中間ファイル(統計)の増減戸籍数～住民票記載事項通知作成数を統計ファイルの同じ項目に加える	[1.0]	/		統計ファイルがあれば中間ファイル(統計)の内容を追加する
NO	(5)処理日と中間ファイル(統計)の出張所番号で統計ファイルを作成し、中間ファイル(統計)の増減戸籍数～住民票記載事項通知作成数を統計ファイルの同項目に設定する	[1.0]	/		統計ファイルがなければ中間ファイル(統計)の内容で作成する
(6)中間ファイル(統計)の受領番号で受付DBを検索する			/		
(7)中間ファイル(統計)の受理送付区分=1:受理である(YES,NO)			/		
YES	(8)中間ファイル(統計)の本非区分=1:本籍である(YES,NO)		/		
YES	(9)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の本籍届出数に1を加える	[1.0]	/		
NO	(10)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の非本籍届出数に1を加える	[1.0]	/		
NO	(11)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の送付数に1を加える	[1.0]	/		
(12)以下の処理((13)～(19))を繰り返す			/		
(13)次のファイル(統計)の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
YES	(14)受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)		/		
YES	(15)中間ファイル(統計)の受理送付区分=1:受理である(YES,NO)		/		事件の本、非、送付の別で統計を振り分ける
YES	(16)中間ファイル(統計)の本非区分=1:本籍である(YES,NO)		/		
YES	(17)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の本籍届出数に1を加える → (13)へ	[1.0]	/		
NO	(18)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の非籍届出数に1を加える → (13)へ	[1.0]	/		
NO	(19)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の送付数に1を加える → (13)へ	[1.0]	/		
NO	→			(20)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
NO	→				
→					

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	統計ファイル							
処理名	1.0 統計ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
統計ファイル	日付							システムで自動的に設定
	出張所番号		中間ファイル(統計)	出張所番号				
	本籍数			＋増減戸籍数				
	本籍数の増減			増減戸籍数				
	本籍人口数			＋増減本籍人数				
	本籍人口数の増減			増減本籍人数				
	出生		受付DB					受付事件コードによるカウント処理
	本籍人届出数							
	非本籍人届出数							
	送付数							
	国籍留保 〜 不受理申出							出生と同じ項目を持つ (事件表の事件の数分ある:省略)
	新戸籍編製数		中間ファイル(統計)	＋新戸籍編製数				
	戸籍全部消除数			＋戸籍全部除籍数				
	違反通知数							
	戸籍の再製･補完数							
	その他		中間ファイル(統計)	＋照会数				
	謄抄本の発行件数 (有料、無料)							省略(統計ファイルを参照)
	住民票記載事項通知作成数		中間ファイル(統計)	＋住民票記載事項通知作成数				

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理							
処理名	事件の統計の取り方							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
									･本籍届出の件数を＋1する: 受理送付区分=1(受理)で 本非区分=1(本籍)の場合 ･非本届出の件数を＋1する: 受理送付区分=1(受理)で 本非区分=2(非本)の場合 ･送付の件数を＋1する: 受理送付区分=2(送付)の場合
統計ファイル	出生	本籍届出		受付データベース					受付事件コード= 0101[出生] 0102[出生(国籍留保)] 0103[出生(認知)] 0104[出生(棄児発見)] 0105[出生(認知･国籍留保)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍留保	本籍届出							受付事件コード= 0102[出生(国籍留保)] 0105[出生(認知･国籍留保)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	認知	本籍届出							受付事件コード= 0201[認知] 0202[認知(胎児)] 0203[認知(遺言)] 0204[認知(審判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	養子縁組	本籍届出						受付事件コード= 0301[養子縁組] 0302[養子縁組(実方と親族関係終了)] 0501[特別養子縁組] 3501[縁組取消]の場合、カウントアップする	
		非本届出							
		送付							
	縁組取消	本籍届出							受付事件コード= 3501[縁組取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理							
処理名	事件の統計の取り方							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養子離縁	本籍届出							受付事件コード= 0401[養子離縁] 0402[養子離縁(調停)] 0403[養子離縁(裁判)] 0601[特別養子離縁] 3601[離縁取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	離縁取消	本籍届出							受付事件コード= 3601[離縁取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	法73条の2 69条の2	本籍届出							受付事件コード= 0701[戸籍法73条の2] 0801[戸籍法69条の2] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻	本籍届出							受付事件コード= 0901[婚姻] 3701[婚姻取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻取消	本籍届出							受付事件コード= 3701[婚姻取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	離婚	本籍届出							受付事件コード= 1001[離婚] 1002[離婚(調停)] 1003[離婚(裁判)] 3801[離婚取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	離婚取消	本籍届出							受付事件コード= 3801[離婚取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	法75条の2 77条の2	本籍届出							受付事件コード= 1101[戸籍法77条の2] 1201[戸籍法75条の2] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	親権･未成年者の後見･後見監督	①届出	本籍届出						受付事件コード= 1301[親権者指定] 1302[親権者指定(調停)] 1303[親権者指定(裁判)] 1304[親権者変更(調停)] 1305[親権者変更(裁判)] 1306[親権者喪失(裁判)] 1307[管理権喪失(裁判)] 1308[親権喪失取消] 1310[親権辞任] 1311[管理権辞任] 1312[親権回復] 1313[管理権回復] 1321[親権停止取消し] 1401[後見開始] 1402[後見終了] 1403[後見人更迭] 1410[後見監督開始] 1411[後見監督終了] 1412[後見監督更迭] 1501[保佐開始] 1502[保佐終了] 1503[保佐人更迭] 4101[未成年者の後見開始] 4102[未成年者の後見終了] 4103[未成年後見人更迭] 4110[未成年者の後見監督開始] 4111[未成年者の後見監督終了] 4112[未成年者後見監督人更迭] 4118[未成年後見人地位喪失] 4120[未成年後見監督人地位喪失] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	②嘱託 別表第一 審判の確定	本籍届出			受付事件コード= 1314[親権喪失(嘱託)] 1315[管理権喪失(嘱託)] 1320[親権停止(嘱託)] 1404[後見辞任(嘱託)] 1405[後見解任(嘱託)] 1413[後見監督辞任(嘱託)] 1414[後見監督解任(嘱託)] 1504[保佐辞任(嘱託)] 1505[保佐解任(嘱託] 4104[未成年後見人辞任(嘱託)] 4105[未成年後見人解任(嘱託)] 4113[未成年後見監督人辞任(嘱託)] 4114[未成年後見監督人解任(嘱託)] 4117[未成年後見人選任(嘱託)] 4119[未成年後見監督人選任(嘱託)] 4121[未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)] 4122[未成年後見人財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)] 4123[未成年後見人財産に関する権限事務分掌行使の定め(嘱託)] 4124[未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)] 4125[未成年後見人財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)] 4126[未成年後見人財産に関する権限事務分掌行使の定めの取消し(嘱託)] 4127[未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)] 4128[未成年後見監督人財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)] 4129[未成年後見監督人財産に関する権限事務分掌行使の定め(嘱託)] 4130[未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)] 4131[未成年後見監督人財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)] 4132[未成年後見監督人財産に関する権限事務分掌行使の定めの取消し(嘱託)] の場合、カウントアップする				
		非本届出							
		送付							
	②嘱託 保全処分	本籍届出					受付事件コード= 1316[親権停止代行選任(嘱託)] 1317[親権停止代行改任(嘱託)] 1318[管理権停止代行選任(嘱託)] 1319[管理権停止代行改任(嘱託)] 1406[後見命令(嘱託)] 1407[後見停止代行選任(嘱託)] 1408[後見停止代行改任(嘱託)] 1409[財産管理者改任(嘱託)] 1415[後見監督停止代行選任(嘱託)] 1416[後見監督停止代行改任(嘱託)] 1506[保佐命令(嘱託)] 1507[保佐停止代行選任(嘱託)] 1508[保佐停止代行改任(嘱託)] 1509[財産管理者改任(嘱託)] 4107[未成年者の後見停止代行者選任(嘱託)] 4108[未成年者の後見停止代行者改任(嘱託)] 4115[未成年者の後見監督停止代行者選任(嘱託)] 4116[未成年者の後見監督停止代行者改任(嘱託)] の場合、カウントアップする		
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理							
処理名	事件の統計の取り方							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	死亡	本籍届出							受付事件コード= 1601[死亡] 1602[高齢者消除] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	失踪宣告	本籍届出							受付事件コード= 1701[失踪宣告] 3901[失踪宣告取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	失踪宣告取消	本籍届出							受付事件コード= 3901[失踪宣告取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	復氏	本籍届出							受付事件コード= 1801[復氏] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻関係終了	本籍届出							受付事件コード= 1901[婚姻関係終了] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	推定相続人廃除	本籍届出							受付事件コード= 2001[推定相続人廃除(調停)] 2002[推定相続人廃除(裁判)] 4001[推定相続人廃除取消(調停)] 4002[推定相続人廃除取消(裁判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	推定相続人廃除取消	本籍届出							受付事件コード= 4001[推定相続人廃除取消(調停)] 4002[推定相続人廃除取消(裁判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	入籍	本籍届出							受付事件コード= 2101[入籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	分籍	本籍届出							受付事件コード= 2201[分籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍取得	本籍届出							受付事件コード= 2301[国籍取得] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	帰化	本籍届出							受付事件コード= 2401[帰化] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍喪失	本籍届出							受付事件コード= 2501[国籍喪失] 2502[国籍喪失(国籍離脱)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍選択	本籍届出							受付事件コード= 2601[国籍選択] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	外国国籍喪失	本籍届出							受付事件コード= 2701[外国国籍喪失] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	氏の変更	法107条1項	本籍届出						受付事件コード= 2801[戸籍法107条1項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						
		法107条2項	本籍届出						受付事件コード= 2901[戸籍法107条2項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						
		法107条3項	本籍届出						受付事件コード= 3001[戸籍法107条3項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		法107条4項	本籍届出							受付事件コード= 3101[戸籍法107条4項] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		附則6条等	本籍届出							受付事件コード= 4501[氏の振り仮名の記録] の場合、カウントアップする ※事件表の対象外
			非本届出							
			送付							
		法107条の3	本籍届出							受付事件コード= 4701[氏の振り仮名の変更] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		附則10条1項等	本籍届出							受付事件コード= 4702[氏の振り仮名の変更] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
	名の変更	法107条の2	本籍届出							受付事件コード= 3201[名の変更] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		附則8条等	本籍届出							受付事件コード= 4601[名の振り仮名の記録] の場合、カウントアップする ※事件表の対象外
			非本届出							
			送付							
		法107条の4	本籍届出							受付事件コード= 4801[名の振り仮名の変更] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		附則12条1項等	本籍届出							受付事件コード= 4802[名の振り仮名の変更] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
	転籍	本籍届出								受付事件コード= 3301[転籍] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

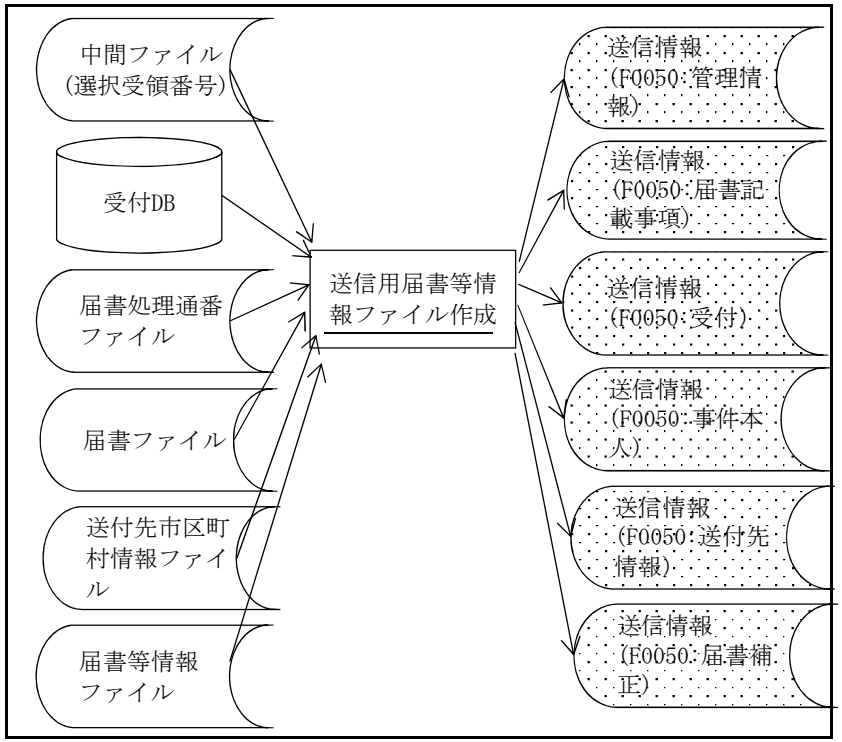
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	就籍	本籍届出							受付事件コード= 3401[就籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	訂正・更正	市町村長職権 本籍届出							受付事件コード= 5001[訂正(市区町村長職権)] 7001[更正] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
		法24条2項等 本籍届出							受付事件コード= 5002[訂正(24条2項)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
		法113条等 本籍届出							受付事件コード= 5003[訂正(113条)] 5004[訂正(114条)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
		法116条 本籍届出							受付事件コード= 5005[訂正(116条)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
		続柄の記載更正(嘱託) 本籍届出							受付事件コード= 7003[続柄の記載更正(嘱託)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
		続柄の記載更正(申出) 本籍届出							受付事件コード= 7004[続柄の記載更正(申出)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	追完	本籍届出							受付事件コード= 8001[追完] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	その他	本籍届出							受付事件コード= 4401[その他] 4402[その他(本籍分明)] 4403[その他(胎児死産)] 4404[その他(死亡)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	不受理申出	本籍届出							
		非本届出							
		送付							

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送信用届書等情報ファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	送信情報 (F0050:管理情報)	出力
受付DB	入力	同(届書処理通番)	出力
届書処理通番ファイル	入力	同(受付)	出力
届書ファイル	入力	同(事件本人)	出力
送付先市区町村情報ファイル	入力	同(送付先情報)	出力
		同(届書補正)	出力
届書等情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択受領番号)、受付DB、届書処理通番ファイル、届書ファイルの内容から戸籍情報連携システムに送信する届書等情報の各種送信情報を作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(送信情報(受付))
- 2.0 データ編集表(送信情報(事件本人))
- 3.0 データ編集表(送信情報(届書記載事項))
- 4.0 データ編集表(送信情報(送付先情報))
- 5.0 データ編集表(送信情報(届書補正))
- 6.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

5.備考(特記事項含む)

届書等情報を戸籍情報連携システムに送信した場合、受付ファイルの送付日に送信した日を設定し、該当の届書処理通番ファイルの届書等情報送信区分を1(届書送信)に更新すること。

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	送信用届書等情報ファイル
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書処理通番ファイルを検索する					/	届書処理通番は決裁単位で1件であるため、1処理で複数の受付ファイルが作成される場合(離婚同時77条の2、生存養親と死亡養親との離縁等)、複数の受付情報を作成し送信する。
(2)届書処理通番に該当の受領番号をキーとして受付DBを検索する					/	
(3)送信情報(受付)、送信情報(事件本人)を作成する(複数件の場合がある) [1.0][2.0]					/	
(4)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する					/	
(5)届書ファイルがある場合は届書ファイル、ない場合は届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理分) または 2(在外公館の直接送付)である(YES,NO)					/	届書ファイルが無い場合(審査結果入力処理等)届書処理通番ファイルで在外送付区分を渡してもらう
YES	(5-1)受付DBの渉外区分=2(外国)である(YES,NO)				/	完全渉外事件は以降の情報を送信しない
	YES	(5-2)→(15-1)へ			/	
	NO	(6)届書ファイルがある(ある:YES,ない:NO)				届書入力処理以外は送信情報(届書記載事項)を作成しない
		YES	(7)送信情報(届書記載事項)を作成する [3.0]		/	
		NO	(8)→(9)へ		/	
		(9)届書処理通番をキーとして送付先市区町村ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/	
		YES	(10)送信情報(送付先情報)を作成する [4.0]		/	
		NO	(11)→(12)へ		/	
		(12)届書処理通番をキーとして届書等情報ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/	
		YES	(13)届書補正情報がある(ある:YES,ない:NO)		/	
			YES	(14)送信情報(届書補正)を作成する [5.0]	/	
			NO	(15)→(15-1)へ	/	
		NO				
NO						
(15-1)届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理分) または 2(在外公館の直接送付)である(YES,NO)					/	審査結果入力処理、訂正・更正・追完処理の場合は、受付帳記録において在外送付区分を入力してもらうか、F0080-S01の処理の場合に[TS03]を設定するか等の措置が必要となる。 ※戸籍情報連携システムが障害等で使用不可の場合に、従来どおり紙の届出等が送付される場合を想定してベンダー任意設計機能とする。
YES	(16)送信情報(管理情報)[TR01:届書等情報送信(法務省宛)]を作成する [6.0]				/	
NO	(16-1)送信情報(管理情報)[TR03:届書等情報送付地決裁]を作成する [6.0]				/	
(17) →						(18)次の処理を行う 「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	1.0　送信情報(受付)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-R02:受付)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番				複数の受付ファイルがある場合は、 同じ処理通番で情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚で1件作成 77条の2で1件作成
	受領番号		受付DB	受領番号				
	出張所名称			出張所番号		有		
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時			事件発生日時				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号1			関連受領番号(1)				
	関連受領番号2			関連受領番号(2)				
	関連受領番号3			関連受領番号(3)				
	関連受領番号4			関連受領番号(4)				
	関連受領番号5			関連受領番号(5)				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	1.0　送信情報(受付)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	証書提出区分			証書提出区分				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
	届後戸籍番号							他情報から設定
	更新日							システム日付を設定
	更新時間							システム時刻を設定

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	2.0　送信情報(事件本人)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-R03:事件本人)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番				複数の受付ファイルがある場合は、同じ処理通番で情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚で事件本人ごとに作成 77条の2で事件本人ごとに作成
	受領番号		受付DB	受領番号				
	行番号			行番号				
	事件本人区分			事件本人区分				
	届出人区分			届出人区分				
	個人番号							他情報から設定
	カナ氏名		受付DB	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認２			送達確認2				
	更新日							システム日付を設定
	更新時間							システム時刻を設定

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	3.0　送信情報(届書記載事項)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-R01:届書記載事項)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	バージョン情報							バージョン情報を設定
	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	選択事件コード			選択事件コード				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届区分				
	渉外区分			渉外区分				
	同時決裁受領番号(1～5)			同時決裁受領番号(1～5)				情報無しを含め5個固定で設定
	ロック戸籍番号			ロック戸籍番号				情報無しを含め5個固定で設定
	事件別内容			事件別内容				
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
	届書排他区分			届書排他区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	4.0　送信情報(送付先情報)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-R04:送付先情報)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番				
	送付地市区町村コード		送付先市区町村情報 ファイル	送付地市区町村コード				
	市区町村内送付先情報連番			市区町村内送付先情報連番				
	事件対象区分			事件対象区分				
	送付先区分			送付先区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	5.0　送信情報(届書補正)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-R05:届書補正)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番				
	届書補正情報		届書等情報ファイル	届書補正情報				複数の届書に補正がある場合は、 各々で補正情報を作成し、作成した情報を1つに連結する。 例)離婚同時77条の2の場合 　離婚の補正情報に77条の2の補正情報を追加して作成

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	送信用届書等情報ファイル								
処理名	6.0　送信情報(管理情報)作成処理　※各レコードを分けて表示								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR01:届書等情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							[TR01]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	届書画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書PDFファイル名				複数の届書がある場合は、受領番号順に届書画像情報をページ追加して画像情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚の画像情報に77条の2の画像情報を追加して作成 ※添付書面も同様
	届書PDF更新年月日			届書PDF更新年月日				
	届書PDF更新時分秒			届書PDF更新時分秒				
	添付書面画像情報ファイル名			届書添付書面PDFファイル名				
	添付書面PDF更新年月日			届書添付書面PDF更新年月日				
	添付書面PDF更新時分秒			届書添付書面PDF更新時分秒				
	申入書画像情報ファイル名		申入書情報ファイル	申入書PDFファイル名				申入書情報は届書に該当する情報があれば登録する。 ※決裁においては届書と同時に申入書が出されたケースが該当
	申入書PDF更新年月日			申入書PDF更新年月日				
	申入書PDF更新時分秒			申入書PDF更新時分秒				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR03:届書等情報送付地決裁]	届書種別コード							[TR03]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR04:補正情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							[TR04]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	届書補正画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書補正PDFファイル名				届書画像情報と同様、離婚の補正画像情報に77条の2の補正画像情報を追加して作成
	届書補正PDF更新年月日			届書補正PDF更新年月日				
	届書補正PDF更新時分秒			届書補正PDF更新時分秒				

システム処理の概要説明書	作成日付	平成11年3月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	公選法通知異動者リストファイル

(1) 公選法通知異動者リストファイル
決裁する仮戸籍ファイル中の異動(記載･入籍･除籍)者で、当該戸籍附票連携ファイルに在外選挙人又は在外投票人名簿登録市区町村欄に記載がある者について、各異動処理にて作成された中間ファイル(公選法通知)の作成有無チェック及び、異動処理で作成されない者(事件本人以外)の通知漏れを防止する為に、在外選挙人異動者リストファイル又は在外投票人異動者リストファイルを作成する。

当処理は、附票情報との連携により在外選挙人関連の対応が、戸籍システムで可能な場合である。

(2) 公選法通知該当者リスト
当処理で作成された在外選挙人異動者リストファイルに基づき、在外選挙人通知該当者リストを出力する。
当処理で作成された在外投票人異動者リストファイルに基づき、在外投票人通知該当者リストを出力する。

当処理は、附票情報との連携により在外選挙人関連の対応が、戸籍システムで可能な場合であり、出力項目/運用等は全てベンダ一任とする。‥基準書提示はしない。

在外選挙人異動者リスト

出力範囲(H11.06.01～H11.06.02)　　平成XX年XX月XX日XX頁

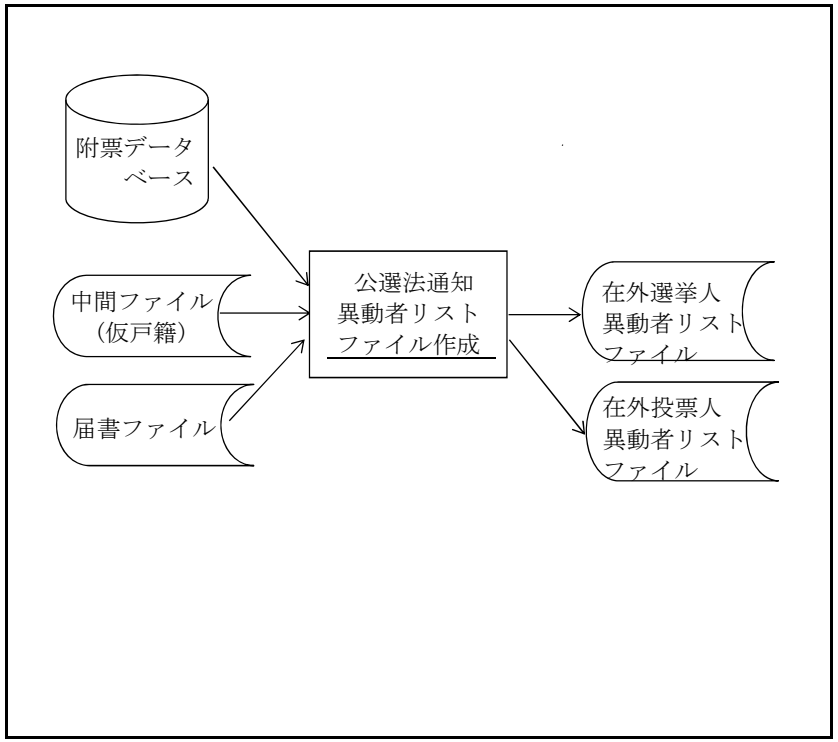
受領番号	受領･送付日	事件名	氏名	生年月日	本籍　選管登録地	筆頭者	異動区分
99000123	H11.06.01	婚姻	甲野義太郎	S50.05.05	平河町二丁目…… 東京都新宿区	甲野幸雄	除籍
99000130	H11.06.02	死亡	乙野忠治	S30.01.01	永田町一丁目…… 京都市左京区	乙野忠治	除籍

参考として在外選挙人異動者リストを提示する

※在外投票人異動者リストは在外選挙人異動者リストを参考にして作成する。

システム環境仕様書	作成日付	平成11年 3月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	公選法通知異動者リストファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
附票データベース	入力		
届書ファイル	入力		
在外選挙人異動者リストファイル	出力		
在外投票人異動者リストファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイル、中間ファイル(仮戸籍)を読む
(2)該当する附票データベースを読む
(3)在外選挙人異動者リストファイルを編集･出力する
(4)在外投票人異動者リストファイルを編集･出力する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(公在外選挙人異動者リストファイル)
└ 2.0 データ編集表(公在外投票人異動者リストファイル)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成11年 3月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	公選法通知異動者リストファイル
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)中間ファイル(届書)を読み込む				/		
(2)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(3)～(12)を繰り返す				/		
	(3)構成員の数だけ(4)～(11)を繰り返す			/		
		(4)個人異動区分は入籍、除籍又は記載である(YES,NO)		/		
		YES	(5)個人番号で戸籍附票連携データを取得する	/		
			(6)当該戸籍附票連携データは存在する(YES,NO)	/		
			YES (7)当該者は在外選挙人である(YES,NO)	/		
				YES (8)在外選挙人異動者リストファイルを編集･出力する→(9-1)へ [1.0]	/	
				NO (9) → (9-1)へ	/	
			(9-1)当該者は在外投票人である(YES,NO)	/		
				YES (9-2)在外投票人異動者リストファイルを編集･出力する→(3)へ [2.0]	/	
				NO (9-3) → (3)へ	/	
			NO (10) → (3)へ	/		
		NO	(11) → (3)へ	/		
(12) → (2)へ				/		
→					(13)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表				作成日付	平成11年3月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	公選法通知異動者リストファイル								
処理名	1.0　在外選挙人異動者リストファイル作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
在外選挙人異動者リストファイル	受領番号		届書ファイル	受領番号					
	市区町村コード		戸籍附票連携データ	在外選挙人名簿登録 市区町村コード　又は 在外投票人名簿登録 市区町村コード					
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目	
	事件コード		届書ファイル	事件コード					
	受理日			受領日　または　送付日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号		中間ファイル (仮戸籍)	個人番号					
	振り仮名			振り仮名					
	氏名			漢字氏名					
	生年月日			生年月日					
	本籍			本籍					
	筆頭者			筆頭者					
	個人異動区分			個人異動区分					

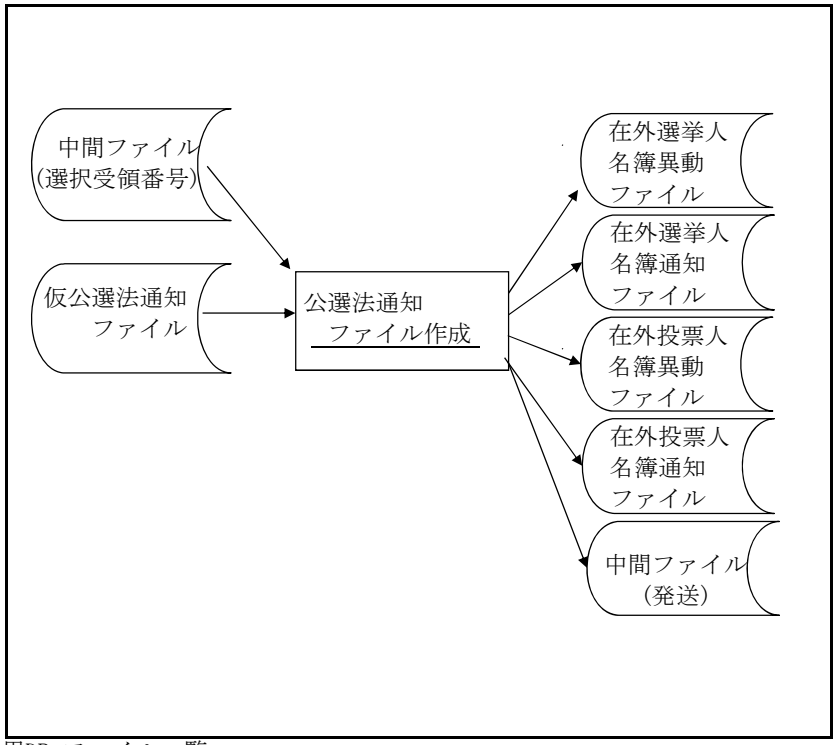
データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	公選法通知異動者リストファイル							
処理名	2.0　在外投票人異動者リストファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
在外投票人異動者リストファイル	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	市区町村コード		戸籍附票連携データ	在外投票人名簿 登録市区町村コード 在外投票人名簿登録 市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		届書ファイル	事件コード				
	受理日			受領日　または　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号		中間ファイル (仮戸籍)	個人番号				
	振り仮名			振り仮名				
	氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	個人異動区分			個人異動区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	公選法通知作成処理

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	在外投票人名簿異動 ファイル	出力
仮公選法通知ファイル	入力	在外投票人名簿通知 ファイル	出力
在外選挙人名簿異動 ファイル	出力	中間ファイル(発送)	出力
在外選挙人名簿通知 ファイル	出力		

3.処理概要

(1)仮公選法通知ファイルを基に以下の処理を行う
(2)新旧のデータを比較し、変更のあるデータだけを次の条件でファイルに振り分ける
(3)在外選挙人名簿の登録市町村の場合、在外選挙人名簿異動ファイルを作成する
(3-1)在外投票人名簿の登録市町村の場合、在外投票人名簿異動ファイルを作成する
(4)在外選挙人名簿の登録市町村以外の場合、在外選挙人名簿通知ファイルと
発送ファイルを作成する
(4-1)在外投票人名簿の登録市町村以外の場合、在外投票人名簿通知ファイルと
発送ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(在外選挙人名簿異動ファイル作成)
- 1.1 データ編集表(在外投票人名簿異動ファイル作成)
- 2.0 データ編集表(在外選挙人名簿通知ファイル作成)
- 2.1 データ編集表(在外投票人名簿通知ファイル作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	公選法通知作成処理
処理名	0.0 本紙

			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む	/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮公選法通知ファイルを検索する	/		
(3)該当する受領番号の仮公選法通知ファイルが無くなるまで(4)～(32)の処理を繰り返す	/		
(4)変更フラグに0をセットする	/		
(4-1)新振り仮名=空白である(YES,NO)	/		
YES (4-2) → (5)	/		
NO (4-3)変更フラグに1をセットする	/		
(5)新氏名=空白である(YES,NO)	/		
YES (6) → (8)	/		
NO (7)変更フラグに1をセットする	/		
(8)新生年月日=空白である(YES,NO)	/		
YES (9) → (11)	/		
NO (10)変更フラグに1をセットする	/		
(11)新性別=空白である(YES,NO)	/		
YES (12) → (14)	/		
NO (13)変更フラグに1をセットする	/		
(14)新本籍=空白である(YES,NO)	/		
YES (15) → (17)	/		
NO (16)変更フラグに1をセットする	/		
(17)新筆頭者=空白である(YES,NO)	/		
YES (18) → (20)	/		
NO (19)変更フラグに1をセットする	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	公選法通知作成処理

処理名	0.0 本紙			備考
	(20)変更フラグ=1(YES,NO)	/		
YES	(21)在外選挙人名簿の登録市町村である(YES,NO)	/		
YES	(22)公選法通知情報を在外選挙人名簿異動ファイルに出力する [1.0]	/		在外選挙人名簿の登録市町村は在外選挙人名簿異動ファイルを作成する 在外選挙人名簿の登録市町村以外は在外選挙人名簿通知ファイルを作成する
NO	(23)公選法通知情報を在外選挙人名簿通知ファイルに出力する [2.0]	/		
	(24)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		発送ファイルを作成する
YES	(25)中間ファイル(発送)の数だけ(26)～(28)の処理を繰り返す	/		
	(26)在外選挙人名簿の登録市町村と発送ファイルの市町村が同じ(YES,NO)	/		
	YES (27)中間ファイル(発送)の送付書類区分の在外選挙人名簿通知フラグに1を設定する→(31-1)へ [3.0]	/		
	NO (28) → (25)へ	/		
	(29) → (31-1)へ	/		
NO	(31)受領番号と在外選挙人名簿の登録市町村(市町村コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の在外選挙人名簿通知フラグに1を設定する → (~~3~~ 31-1)へ [3.0]	/		
	(31-1)在外投票人名簿の登録市町村である(YES,NO)	/		
YES	(31-2)公選法通知情報を在外投票人名簿異動ファイルに出力する [1.1]	/		在外投票人名簿の登録市町村は在外選挙人名簿異動ファイルを作成する 在外投票人名簿の登録市町村以外は在外選挙人名簿通知ファイルを作成する
NO	(31-3)公選法通知情報を在外投票人名簿通知ファイルに出力する [2.1]	/		
	(31-4)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		発送ファイルを作成する
YES	(31-5)中間ファイル(発送)の数だけ(31-6)～(31-8)の処理を繰り返す	/		
	(31-6)在外投票人名簿の登録市町村と発送ファイルの市町村が同じ(YES,NO)	/		
	YES (31-7)中間ファイル(発送)の送付書類区分の在外投票人名簿 通知フラグに1を設定する→(3)へ [3.0]	/		
	NO (31-8) → (31-5)へ	/		
	(31-9) → (3)へ	/		
NO	(31-10)受領番号と在外選挙人名簿の登録市町村(市町村コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の在外投票人名簿通知フラグに1を設定する → (3)へ [3.0]	/		
NO	(32) → (3)へ	/		
→			(33)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	公選法通知作成処理							
処理名	1.0　在外選挙人名簿異動ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
在外選挙人名簿異動ファイル	受領番号		公選法通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	公選法通知作成処理							
処理名	1.1　在外投票人名簿異動ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
在外投票人名簿異動ファイル	受領番号		公選法通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	公選法通知作成処理							
処理名	2.0　在外選挙人名簿通知ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
在外選挙人名簿通知ファイル	受領番号		公選法通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	令和5年7月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	公選法通知作成処理							
処理名	2.1　在外投票人名簿通知ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
在外投票人名簿通知ファイル	受領番号		公選法通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	公選法通知作成処理							
処理名	3.0　中間ファイル(発送)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		仮公選法通知ファイル	受領番号				更新の場合は在外選挙人名簿通知
	出張所番号			出張所番号				フラグのみを設定
	市区町村コード			市区町村コード				
	郵便番号					有		市区町村コードを基に送付する
	住所					有		市区町村の郵便番号、住所、宛名
	宛名					有		を設定する
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	住民票記載事項通知							
	在外選挙人名簿通知		公選法通知作成処理					有:「1」を設定する
	在外投票人名簿通知							有:「1」を設定する

第7.2.(12)

「証明書発行」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	4、5、6	「証明書発行」処理	(新規)「システム概要説明」を追加 証明処理/証明書選択メニュー ・新規証明書の選択肢及び次処理への展開を追加 ・既存の補足説明を証明処理/証明書選択メニューの補足説明として構成変更し、新規証明書の説明を追加 (新規)「証明処理/証明書発行確認(副本)」を追加 (新規)「証明処理/証明書発行確認(届書等情報内容証明)」を追加
2	R3	B01、 B02、 B06	「証明書発行」処理	証明処理_システム処理の概要説明 1.処理概要 ・ｶ.を削除：1通も証明書を出力しなかった場合に情報を送信する ・ｶ.を追加：申入書がある場合は注意喚起のメッセージを表示する 2.留意点 ・「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)で渡される届書等情報についての留意点を追加 証明処理_補足説明書 3. 受付ファイル検索 ・削除：1通も証明書を出力しなかった場合に情報を送信する ・追加：申入書がある場合は注意喚起のメッセージを表示する 4. 副本記録情報検索(4)全般を削除
3		B01、 B02、 B06		証明書の発行が1度もされなかった場合、その情報の通知は不要となったことにより以下の仕様書を修正した。 ・証明発行確認(副本) ・証明発行確認（届書等情報内容証明）
4		B06		届書等情報内容証明等で申入書イメージ及び届書イメージの表示を追加したことにより以下の仕様書を修正した。 ・証明発行確認（届書等情報内容証明）
5		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
6	R4	B01	「証明書発行」処理	該当戸籍一覧(副本・証明)画面を新設したことによる修正 ①証明書発行処理 システム処理の概要説明 1.処理概要 (1)ｳ.に追記
7				本籍人を副本検索した場合、対象が再製原戸籍であった場合の対処による修正 ①証明書発行処理 システム処理の概要説明 1.処理概要 (2)ｸ.を追加
8		B01、 B02、 B06		広域交付戸籍証明書と戸籍電子証明書の処理を分けたことによる修正 ①証明書選択メニュー 補足説明書 ②証明書発行確認(副本)を全て証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)に変更 ③証明書発行確認(電子戸籍証明書等)を全て追加
9				上記証明書交付に合わせたことによる修正 ①証明書発行確認(届書等情報内容証明書等) システム環境仕様書、0.0 本紙、1.0 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面表示、2.0 データチェック、3.0 届書等情報内容証明書等発行履歴の登録
10		B06		注意喚起区分があった場合の対処による修正 ①証明書発行処理 システム処理の概要説明 1.処理概要 (2)ｶ.に追記、ｷ.を追加 ②証明書発行確認(届書等情報内容証明書等) システム環境仕様書、0.0 本紙

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
11	2.0 (2023.3.31版)	指摘事項管理表(3)_連携システム_外部IF仕様書 №318	「証明書発行」処理	「電子証明書提供用識別符号等通知書」に添付書面画像が含まれることの対応 ①証明発行確認（届書等情報内容証明）システム環境仕様書5.備考(特記事項含む)に処理を追加(1行目)
12		同 №324		「電子証明書提供用識別符号等通知書」に発行部数を追加 ①証明発行確認(電子証明書)_0.0本紙のPF6を修正 ②証明発行確認(電子証明書)_1.0発行確認画面表示 に発行部数を追加 ③証明発行確認(電子証明書)_3.0関連表に発行部数を追加
13	2.0 (2023.7.31版)	ー	「証明書発行」処理	振り仮名の法制化による修正 ・戸籍事項選択_1.0戸籍事項選択面面表示、戸籍事項選択_3.0中間ファイル編集・出力、戸籍事項選択_4.0中間ファイル編集・出力、個人特定事項選択_1.0個人特定事項選択画面表示、個人特定事項選択_3.0中間ファイル編集・出力、個人特定事項選択_4.0中間ファイル編集・出力、身分事項選択_1.0身分事項選択画面表示、身分事項選択_3.0中間ファイル編集・出力、証明発行確認_1.0証明書発行確認画面表示を修正
14		ー		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・証明書選択メニュー_補足説明書を修正
15		ー		令和4年度調査研究報告書(イメージ除籍の整理)の対応(発行抑止区分、発行確認区分に対する処理) ・証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)_0.0本紙、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)_0.0本紙を修正 ・上記修正に合わせ、証明書選択メニュー_補足説明書を修正

システム処理の概要説明		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行処理						

1. 処理概要

(1)「7-2-(2)「検索」処理」と同様の処理で発行対象を選択し、証明書発行確認画面へ遷移する。なお、発行対象を選択する方法は以下のとおり。

ｱ. 個人検索
「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」「一部証明書」については、戸籍DBを検索し、対象を選択する。

ｲ. 受付ファイル検索
「届書受理証明書」「戸籍法41条証書提出の証明書」「届書預り証明書」「届書等情報内容証明書等」については受付ファイルを検索し、対象を選択する。

ｳ. 副本記録情報検索
「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書等」については、副本記録情報を検索し、対象を選択する。
※再製原戸籍等は証明の対象とならないため、該当戸籍一覧(副本・証明)画面を使用して検索する。それ以降は副本検索画面(戸籍構成員一覧(副本)等)を使用する。該当戸籍一覧(副本)画面を使用して検索した場合は、(2)ｸ.に準じた処理を行うこと。

(2) 証明書発行確認画面で指定された管掌者と発行部数をもとに、証明書を編集し出力する。なお、証明書発行の際には、以下の処理を行うこと。

ｱ.「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」「一部証明書」を発行する際に、該当戸籍に排他制御(ロック)が設定されている場合は、警告を表示すること。

ｲ.「広域交付戸籍証明書等」を発行する際には、WebAPI(IO030:副本記録情報確認(副本参照処理通番)から取得した全部事項イメージ(PDFデータ)のみを用いて編集すること。テキスト情報等を編集に用いないこと。

ｳ.「届書等情報内容証明書等」を発行する際には、WebAPI(IO170:届書等情報取得)から取得した最新の履歴のみからの発行を可能とすること。また、届書等情報に登録されているPDFデータから、証明書として発行すべき頁を選択して発行できること。

ｴ. 証明書に記載されている者が、管掌者又は管掌者親族として登録されている場合は、警告を表示すること。また、管掌者を変更しないと発行できない措置をとること。なお、この要件の実現方法については任意設計とする。

ｵ.「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書等」「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)を発行した場合は、WebAPIを利用して戸籍情報連携システムへ発行履歴を通知すること。

ｶ.「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の検索において、申入書がある場合は注意喚起を促すメッセージを出力すること。
※申入書画像情報PDFファイルの登録前に注意喚起情報が登録されている場合も同様である。

ｷ.「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書等」の検索において、個人状態ファイルに注意喚起区分が設定されている場合、証明書の出力前に本籍地に確認したこと等を確認するメッセージを出力すること。

ｸ. 本籍人の「戸籍電子証明書等」申請においては、該当戸籍一覧(副本・本籍人)画面で検索を行う。この検索では再製原戸籍等も検索対象となるため、証明書の対象に再製原戸籍、再製原除籍、再製原平成改製原戸籍が選択された場合は、エラーとすること。

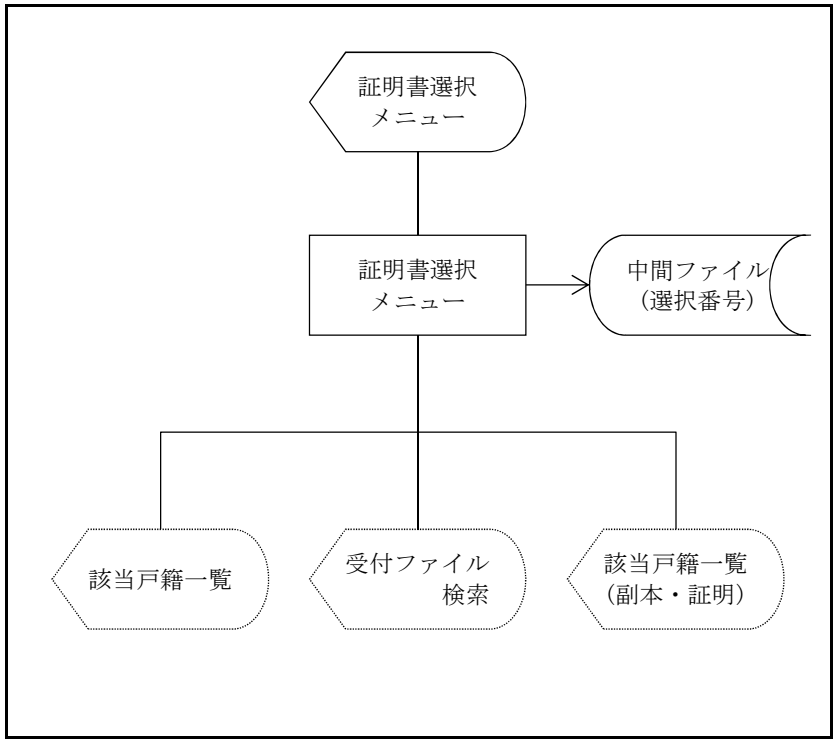
システム処理の概要説明	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行処理					

2. 留意点

・広域交付戸籍証明書等において、複数の戸籍を連続で発行する場合の発行履歴は、処理開始時に取得した副本参照処理通番を用いて発行の都度戸籍情報連携システムへ通知すること。
・戸籍電子証明書等において、複数の戸籍を連続で発行する場合の発行履歴は、初回発行時に取得した戸籍電子証明書処理通番を用いて処理終了時にまとめて戸籍情報連携システムへ通知すること。
・証明処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。
・「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の届書等情報は、戸籍情報連携システムから届書処理通番単位で渡される。届書処理通番は1決裁単位の番号であるため、2通以上の届書処理においては全ての届書等の画像が1ファイルとして送信される。したがって、「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の作成においては、画像の範囲を職員が判断する機能を有すること。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	証明書選択メニュー					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	出力		

3.処理概要

(1) 選択番号を中間ファイルに出力する
(2) 該当戸籍一覧（証明）、受付ファイル検索又は該当戸籍一覧（副本・証明）に制御を渡す
(選択番号により制御先を決定する)

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データチェック
　　└ 2.0 データ編集表(中間ファイル/選択番号)

5.備考(特記事項含む)

システム環境仕様書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	証明書選択メニュー							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(2)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO)			[1.0]	/			
	YES	(3)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する		[2.0]	/			
		(4)選択番号(1～9)			/			
		1,2,6	→			(5)該当戸籍一覧(証明)に制御を渡す		
		3,4,5,9	→			(6)受付ファイル検索(証明)に制御を渡す		
		7,8	→			(7)該当戸籍一覧(副本・証明)に制御を渡す		
	NO	(8)エラーメッセージを表示する				(9)同画面を編集する		
PF1	→					(10)戸籍業務メニューに制御を渡す		
その他	(11)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(12)同画面を編集する		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	証明書選択メニュー								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　データチェック				証明書選択メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1～9であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明書選択メニュー							
処理名	2.0 中間ファイル編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	選択番号		証明書選択メニュー画面	選択番号				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	証明書選択メニュー
処理名	

証明書選択メニューで入力した選択番号に応じて、検索業務と同様の処理で発行対象を選択する。発行対象を選択する各処理については「7-2-(2) 「検索」処理」を参照することとするが、証明業務として別途必要な処理について、以下に概要を示す。

1. 個人検索

(1) 該当戸籍一覧

無し

(2) 戸籍構成員一覧

・証明書選択メニューで中間ファイルに出力された選択番号(全部・個人事項証明書、一部事項証明書、一部証明書)を証明書種別(*1)として中間ファイルに出力する。
証明書種別=1:全部・個人事項証明書　=3:一部事項証明書　=7:一部証明書

・証明書種別=1のとき、個人詳細表示に制御を渡す。

・証明書種別=3のとき、画面表示用中間ファイル(戸籍事項選択)を出力し、戸籍事項選択に制御を渡す。

・証明書種別=7のとき、画面表示用中間ファイル(個人特定事項選択)を出力し、個人特定事項選択に制御を渡す。

※同一人が存在する個人(同一戸籍内前・後個人番号がある)について、色付けや記号等により同一人が存在することが分かる対応をしても構わない。これは任意設計機能とする。

(3) 個人詳細表示

・PF3にて全部証明書、PF4にて個人証明書を決定し、証明書発行確認に制御を渡す。このとき、個人証明書ならば中間ファイル(戸籍構成員一覧)の証明書種別に2を設定する。
・PF4にて、戸籍内に同一人が存在する者が証明の対象であり同一人全員が選択されていない場合は、
メッセージ「戸籍内に同一人が存在しますが、同一人全員が選択されていないため、一部事項証明書となります。」を表示する。
メッセージで了解が選択された場合、証明書種別に3を設定し、証明書発行確認に制御を渡す。これは任意実装機能とする。
・PF10、PF11はPFキーエラーとする。
(*1) :証明書種別は、証明書発行確認にて出力証明書を識別するのに使用する。

※同一人が存在する個人(同一戸籍内前・後個人番号がある)について、色付けや記号等により同一人が存在することが分かる対応をしても構わない。これは任意設計機能とする。

(4) 発行抑止等

・発行対象者の個人状態ファイルの注意喚起区分に設定がある場合は、エラーメッセージ「ＤＶ等の区分設定により証明発行ができません。発行する場合は区分変更して下さい。」を表示し、証明発行を不可とする。

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明書選択メニュー						
処理名							

2. 受付ファイル検索

・画面レイアウトについては同様とし、証明を発行しようとする選択番号を別途設ける。

・選択された受付ファイルの情報を中間ファイルに出力する。

・その後、証明書発行確認の画面へ制御を渡す。対象とする証明書種別と証明書は、以下とする。

証明書種別=4:届書受理証明書　=5:戸籍法41条証書提出の証明書　=6:届書預り証明書

・届書等情報内容証明書等については、届書等情報表示画面を表示しファンクションキーにて指示した発行区分を中間ファイル(受付ファイル表示)に出力して、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)に制御を渡す (PF3にて届書等情報内容証明書(発行区分=1)、PF4にて届書等情報内容閲覧用帳票(発行区分=2)を指示)。選択番号にて証明書が特定できるため、証明書種別は使用しない。
※発行区分は届書等情報表示画面でのファンクションキー指示ではなく、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面において入力する方式も可とすz
・「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の検索において、申入書又は注意喚起情報がある場合は注意喚起を促すメッセージを出力すること。

3. 副本記録情報検索

(1) 該当戸籍一覧(副本・証明)

・選択番号=8(戸籍電子証明書等)の場合、本籍人の副本記録情報の検索を可とする。

・該当戸籍一覧(副本)で検索する場合は、検索キー(戸籍種別)について「4:再製原戸籍」、「9:再製原除籍」及び「10:再製原新改」の指定は不可とするか、検索結果として表示された「4:再製原戸籍」、「9:再製原除籍」及び「10:再製原新改」を選択した場合にエラーとする。

(2) 戸籍構成員一覧(副本・証明)　※戸籍構成員一覧(副本)を流用

・PF3にて選択番号=7:広域交付戸籍証明書等であれば、証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)に制御を渡す。

・PF3にて選択番号=8:戸籍電子証明書等であれば、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)に制御を渡す。

(3) 個人詳細表示(副本・証明)　※個人詳細表示(副本)を流用

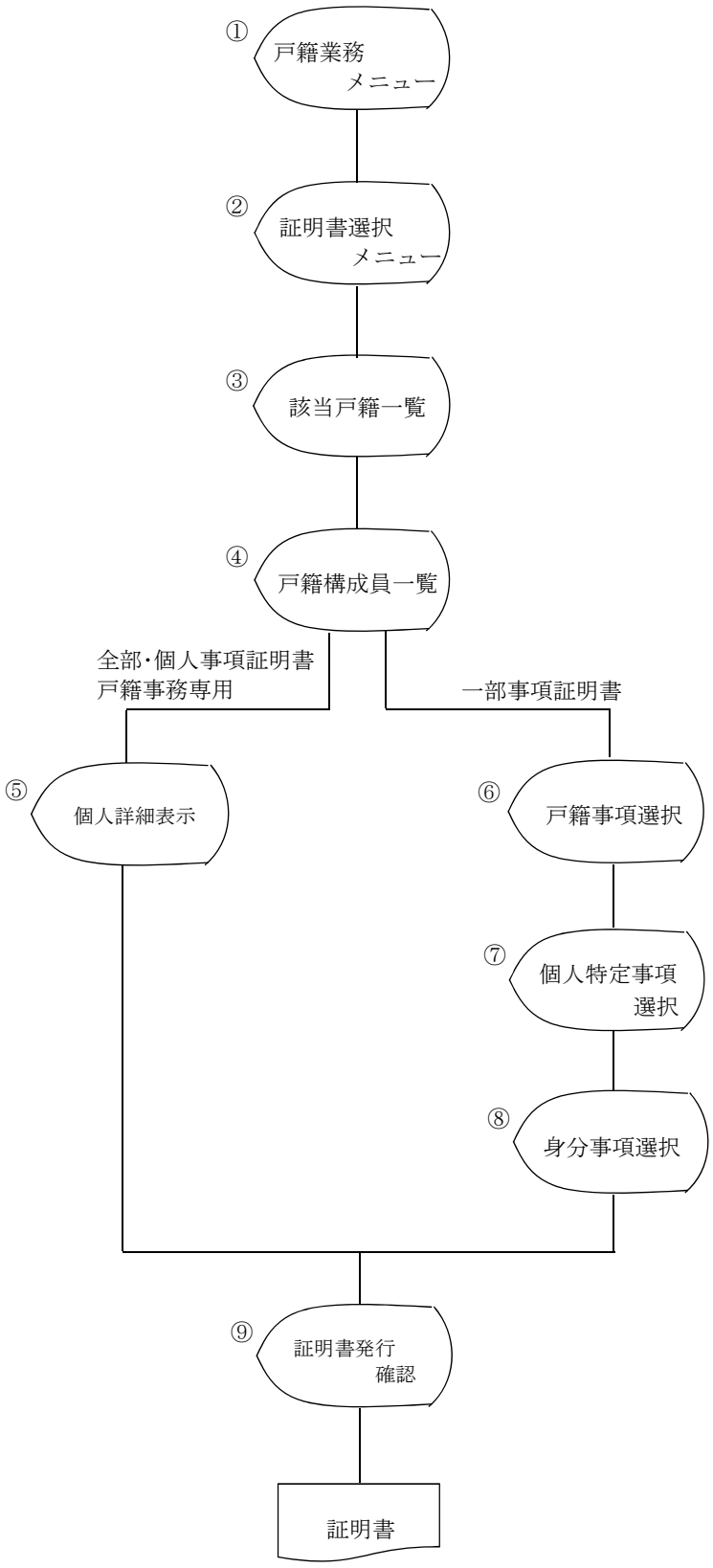
・PF3にて選択番号=7:広域交付戸籍証明書等であれば、証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)に制御を渡す。

・PF3にて選択番号=8:戸籍電子証明書等であれば、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)に制御を渡す。

(4) 発行抑止等

・発行対象者の個人状態ファイルの注意喚起区分に設定がある場合、又は除籍特定ファイルの発行抑止区分に設定がある場合は、エラーメッセージ「ＤＶ等の区分設定により証明発行ができません。発行する場合は区分変更して下さい。」を表示し、証明発行を不可とする。
・発行対象者の除籍特定ファイルの発行確認区分=1又は2又は3の場合は、メッセージ「証明発行が制限されています。確認して対応して下さい。」を表示する。
・発行対象者の除籍特定ファイルの発行確認区分=A又はBの場合は、メッセージ「選択した除籍は福岡戸籍です。印刷した証明書の認証文を確認して下さい。」を表示する。

第7 2 (12)	オンライン処理の流れ図(概略)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
証明書発行業務		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



概要説明

①戸籍業務メニュー
「5.証明処理」を選択。

②証明書選択メニュー
発行する証明書の選択番号を指定する。

③該当戸籍一覧
検索キーを入力し該当する戸籍を画面上に表示する。証明書を発行する該当戸籍を選択。

④戸籍構成員一覧
選択された戸籍の戸籍事項内容及び構成員(個人)の主な内容を表示。
個人事項証明書、一部事項証明書を発行する場合、詳細選択番号により個人を指定する。
(複数人選択可)

⑤個人詳細表示
選択された個人の身分事項詳細内容を表示する。

※⑥～⑧は、一部事項証明書を選択した場合のみ遷移

⑥戸籍事項選択
戸籍事項詳細内容を表示。
戸籍事項毎(タイトル)に記録事項を選択することが可能。

⑦個人特定事項選択
個人特定事項詳細内容を表示。
項目毎に記録事項を選択することが可能。

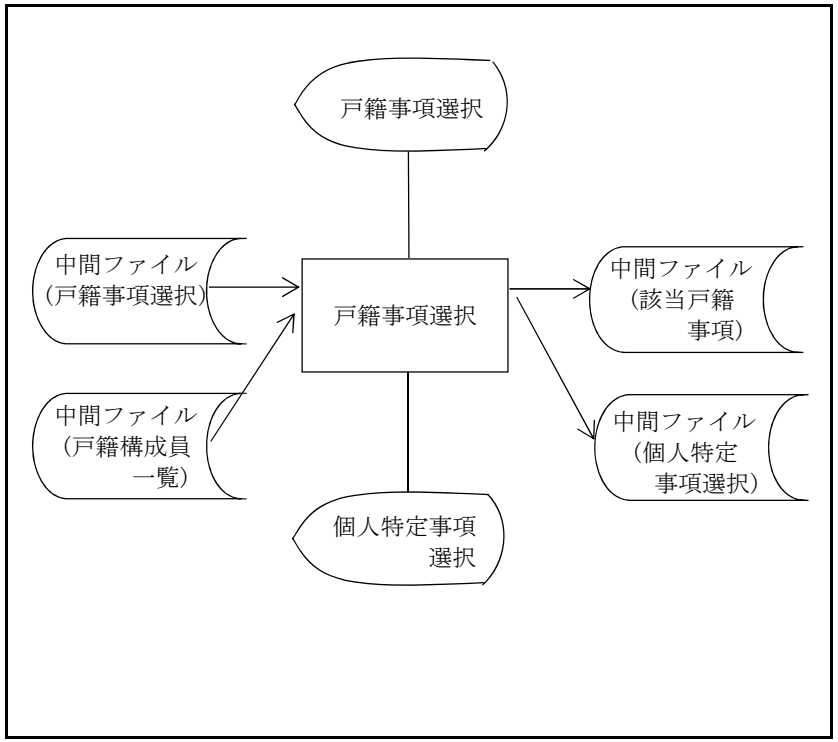
⑧身分事項選択
身分事項詳細内容を表示。
身分事項毎(タイトル)に記録事項を選択することが可能。

⑨証明書発行確認
選択された戸籍内容(本籍･筆頭者･記載者)を表示。
内容を確認し証明書出力を行う。

発行部数を指定する。
(2部以上発行する場合に入力する)
管掌者を指定する。
(変更がある場合のみ)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (戸籍事項選択)	入力	中間ファイル (個人特定事項選択)	出力
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力		
中間ファイル (該当戸籍事項)	出力		

3.処理概要

(1) 中間ファイル(戸籍事項選択)より当該戸籍の全戸籍事項を表示する
(2) 選択された戸籍事項(複数指定可)を中間ファイル(該当戸籍事項)に出力する
(3) 個人特定事項選択に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(戸籍事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当戸籍事項)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/個人特定事項選択)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイルより戸籍事項選択画面を編集･表示する [1.0]					/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PP5、PF7、PF8、その他)					/				
実行キー	(3)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/				
	YES	(4)選択番号の指定があるか(ある:YES,ない:NO)			/				
		YES	(5)中間ファイル(該当戸籍事項)を編集･出力する [3.0]		/				
		NO	→		/				
		(6)中間ファイル(個人特定事項選択)を編集･出力する [4.0]				(7)個人特定事項選択に制御を渡す			
	NO	(8)エラーメッセージを表示する				(9)同画面を編集する			
PF1	→					(10)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→					(11)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF4	→					(12)証明書発行確認に制御を渡す			
PF5	→					(13)戸籍構成員一覧に制御を渡す			
PF7	(14)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)				/				
	YES	(15)前ページ分の戸籍事項選択画面を編集する				(17)同画面を編集する			
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(18)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)				/				
	YES	(19)次ページ分の戸籍事項選択画面を編集する				(21)同画面を編集する			
	NO	(20)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する							
その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(23)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	1.0　戸籍事項選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	項番							先頭ページの1行めから連番
	戸籍事項名			戸籍事項コード		有		複数有り
	戸籍事項記録項目			戸籍事項記録項目				

データチェック（単体表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名			画面名	画面ID				
2.0　データチェック			戸籍事項選択					
No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
1	選択番号		数字	当該戸籍事項の数を越えていないこと 番号が重複していないこと	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	3.0　中間ファイル編集･出力							

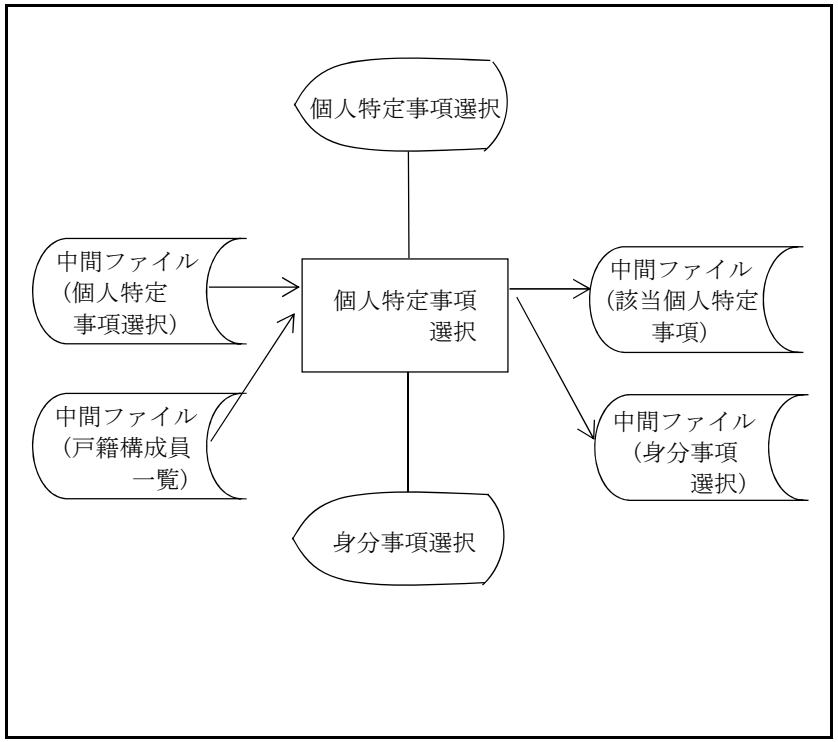
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍事項)	編製日		中間ファイル (戸籍事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	振り仮名			振り仮名				
	戸籍事項コード			戸籍事項コード				画面で指定されたもののみ移送
	戸籍事項記録項目			戸籍事項記録項目				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	4.0　中間ファイル編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者区分			配偶者区分				
	生年月日			生年月日				
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人特定事項選択)	入力	中間ファイル (身分事項選択)	出力
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力		
中間ファイル (該当個人特定事項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人特定事項)より当該個人特定事項を表示する。
(2)選択された個人特定事項(複数指定可)を中間ファイル(該当個人特定事項)に出力する。
(3)身分事項選択に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(個人特定事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当個人特定事項)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/身分事項選択)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイルより個人特定事項選択画面を編集･表示する [1.0]					/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、その他)					/				
実行キー	(3)選択コードのチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/				
	YES	(4)選択コードの指定があるか(ある:YES,ない:NO)			/				
		YES	(5)中間ファイル(該当個人特定事項)を編集･出力する [3.0]			(7)身分事項選択に制御を渡す			
		NO	→						
		(6)中間ファイル(身分事項選択)を編集･出力する [4.0]							
	NO	(8)エラーメッセージを表示する				(9)同画面を編集する			
PF1	→					(10)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→					(11)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF4	→					(12)証明書発行確認に制御を渡す			
PF5	→					(13)戸籍事項選択に制御を渡す			
その他	(14)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(15)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/個人特定事項選択							
処理名	1.0　個人特定事項選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人特定事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	編製日		中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者			配偶者区分				配偶者区分=1:夫 2:妻 上記以外:スペースを設定
	生年月日			生年月日		有		
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄		有		
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄		有		

データチェック（単体表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択							
処理名			画面名	画面ID				
2.0　データチェック			個人特定事項選択					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択コード		英数	'S'又はスペースであること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/個人特定事項選択							
処理名	3.0　中間ファイル編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当個人特定事項)	編製日		中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者区分			配偶者区分				画面で指定されたもののみ移送
	生年月日			生年月日				
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄				

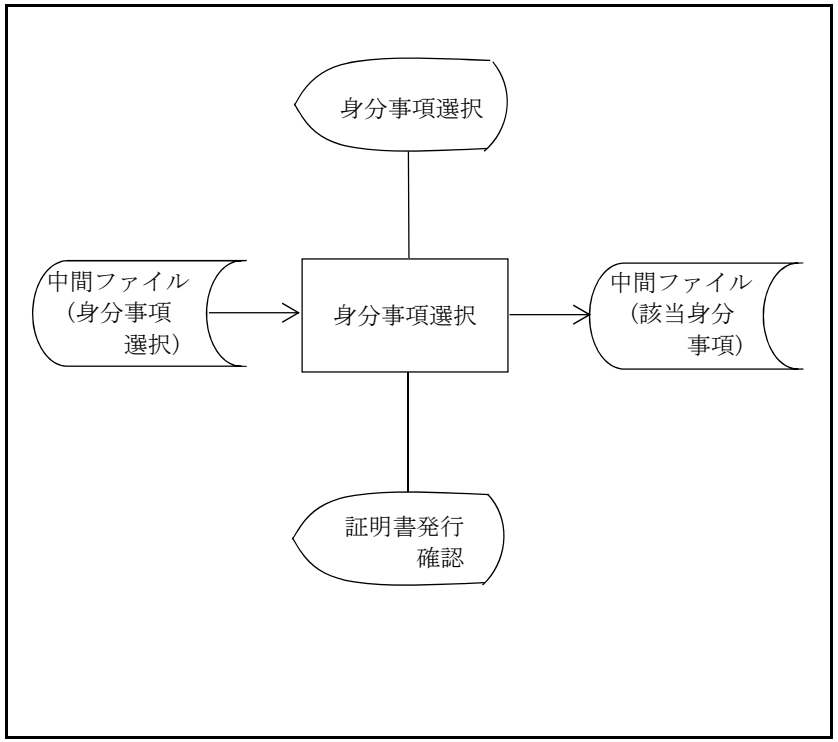
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/個人特定事項選択							
処理名	4.0　中間ファイル編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (身分事項選択)	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	タイトルコード			タイトルコード				複数有り
	身分事項記載項目			身分事項記載項目				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	証明処理/身分事項選択

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (身分事項選択)	入力		
中間ファイル (該当身分事項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(身分事項選択)より当該個人の全身分事項を表示する。
(2)選択された身分事項(複数指定可)を中間ファイル(該当身分事項)に出力する。
(3)証明書発行確認に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(身分事項選択画面)
　　├ 2.0 データチェック
　　└ 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当身分事項)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/身分事項選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイルより身分事項選択画面を編集･表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PP1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、その他)				/				
実行キー	(3)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/				
	YES	(4)選択番号の指定があるか(ある:YES,ない:NO)		/				
		YES	(5)中間ファイル(該当身分事項)を編集･出力する [3.0]		(6)証明書発行確認に制御を渡す			
		NO	→					
	NO	(7)エラーメッセージを表示する			(8)同画面を編集する			
PF1	→				(9)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→				(10)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF4	→				(11)証明書発行確認に制御を渡す			
PF5	→				(12)個人特定事項選択に制御を渡す			
PF7	(13)身分事項の前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(14)前ページ分の身分事項選択画面を編集する			(16)同画面を編集する			
	NO	(15)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17)身分事項の次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(18)次ページ分の身分事項選択画面を編集する			(20)同画面を編集する			
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/身分事項選択							
処理名	1.0　身分事項選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
身分事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (身分事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	項番							先頭ページの1行めから連番
	身分事項名			タイトルコード		有		複数有り
	身分事項記録項目			身分事項記録項目				

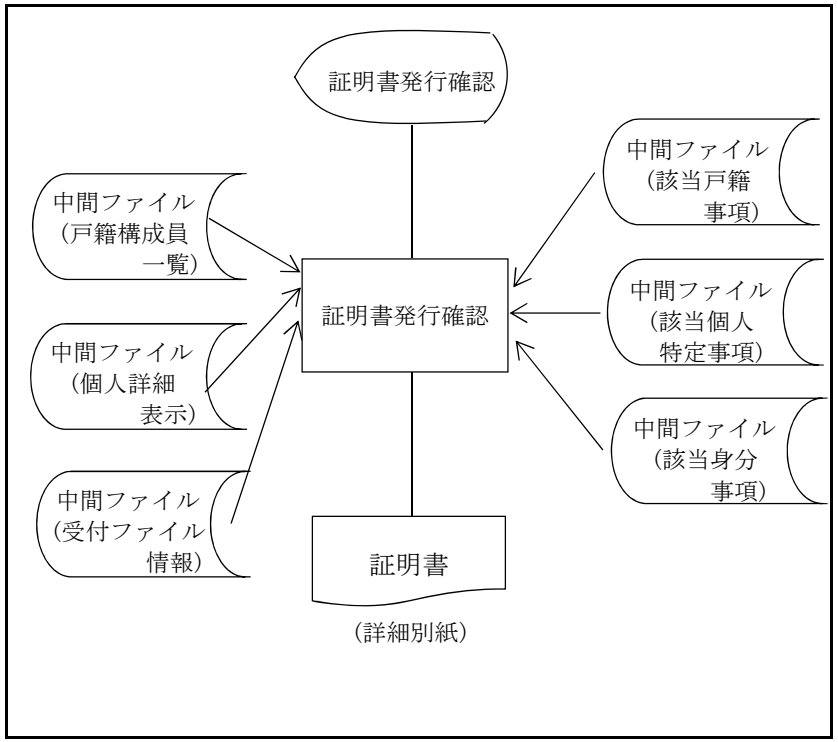
データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/身分事項選択								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　データチェック				身分事項選択					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号		数字	当該身分事項の数を越えていないこと 番号が重複していないこと		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/身分事項選択							
処理名	3.0 中間ファイル編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当身分事項)	編製日		中間ファイル (身分事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	タイトルコード			タイトルコード				画面で指定されたもののみ移送
	身分事項記録項目			身分事項記録項目				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	証明処理/証明書発行確認

1. 詳細フロー



(詳細別紙)

2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力	中間ファイル (該当個人特定事項)	入力
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	中間ファイル (該当身分事項)	入力
中間ファイル (該当戸籍事項)	入力	中間ファイル (受付ファイル情報)	入力

3. 処理概要

(1)中間ファイル(戸籍構成員一覧)等より証明書発行確認画面を表示する。
(2)各中間ファイルより、指定された証明書を出力する。
(3)各中間ファイルを削除する。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0 データ編集表(証明書発行確認画面)

5. 備考(特記事項含む)

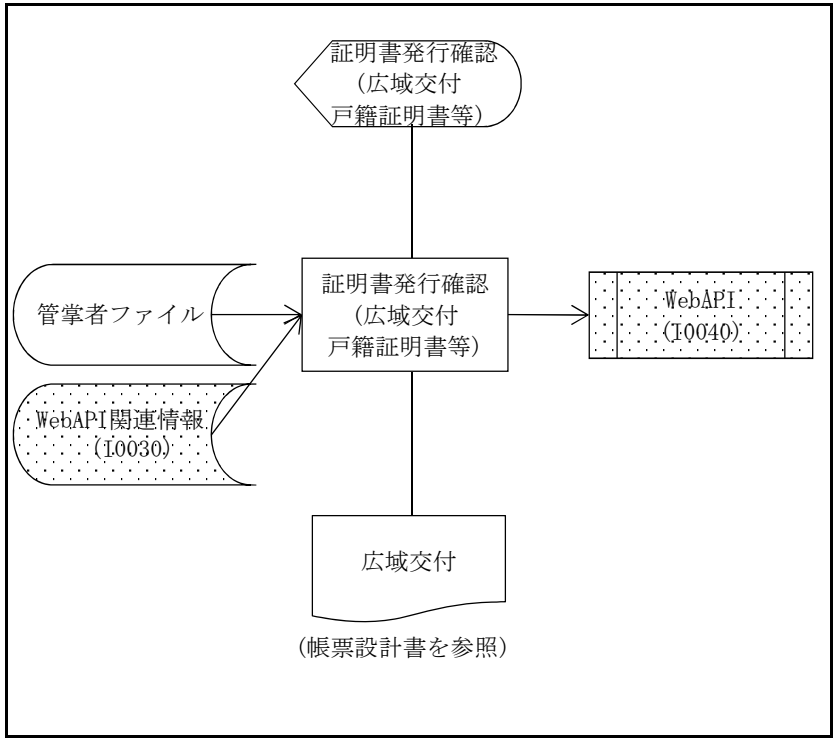
要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	証明処理/証明書発行確認							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(戸籍構成員一覧)より証明書発行確認画面を編集･表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PP2、その他)				/				
実行キー	(3)各証明書を発行する(1:全部事項証明、2:個人事項証明、3:一部事項証明)			/				
	1	(4)全部事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	2	(5)個人事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	3	(6)一部事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	4	(7)届書受理証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	5	(8)戸籍法41条証書提出の証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	6	(9)届書預り証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	7	(9-1)一部証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	(10)各中間ファイルを削除する			/				
PF1	→				(11)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→				(12)証明書選択メニューに制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(14)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明処理/証明書発行確認							
処理名	1.0　証明書発行確認画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
証明書発行確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	証明書種別		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	――――――				証明書種別=1:全部事項証明書 =2:個人事項証明書 =3:一部事項証明書 =4:届書受理証明書 =5:戸籍法41証書提出の証明書 =6:届書預り証明書 =7:一部証明書
	編製日			編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	振り仮名			振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	選択事項名(項番)							一部事項証明及び一部証明書を選択された場合の証明項目を出力する
	選択事項名(事項名)							
	発行部数							初期値として1を出力
	管掌者コード			管掌者コード				
	管掌者名					有		

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
管掌者ファイル	入力		
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		
WebAPI(I0040)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面を編集･表示する
(2)広域交付戸籍証明書等を出力する
(3)WebAPI(I0040:広域交付発行履歴登録)を呼び出し、発行履歴を通知する
(4)中間ファイルを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面)
　　　 └ 3.0 データ編集表(広域交付発行履歴登録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み、証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面を編集・表示する [1.0]	/			
(2)(I0030-S01個人状態ファイルの注意喚起区分 ＝ 1 または 2) または (I0030-S01除籍特定ファイルの発行抑止区分 ＝ 1 または 2)である(YES,NO)	/			発行する証明書が分かるため(2)は削除(R4版) (2)～(2-6)を追加(2.0版)
YES	(2-1)エラーメッセージ 「ＤＶ等の区分設定により証明発行ができません。詳細は本籍地市区町村に確認して下さい。」を表示する		(2-2)同画面を編集する	
NO	(2-3)I0030-S01除籍特定ファイルの発行確認区分 ＝ 1 または 2 または 3である(YES,NO)	/		
YES	(2-4)メッセージ 「証明発行が制限されています。本籍地市区町村に照会して下さい。」を表示する 応答後(3)へ		(2-5)同画面を編集する	
NO	(2-6)→(3)へ	/		
(3)キー選択(実行キー、PF1、PP2、PP6、その他)		/		
実行キー		/		数字項目であるため単体チェック(4)は削除(R4)
(5)管掌者コードが入力された(YES,NO)		/		実行キーは管掌者コード変更に対応する(R4版)
YES	(6)入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)	/		
YES	(7)管掌者資格名称、管掌者氏名を証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面に設定する		(9)証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面を表示する	
NO	(8)エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する			
NO	(10)→			(11)～(13)はPF6に移す(R4版)
PF1		/		広域交付の発行が1度もされなかった場合、その情報の通知は不要となったため、 (16)(18)(19)(21)を削除する。(R3版)
	→		(17)戸籍業務メニューに制御を渡す	
PF2		/		
	→		(20)証明書選択メニューに制御を渡す	

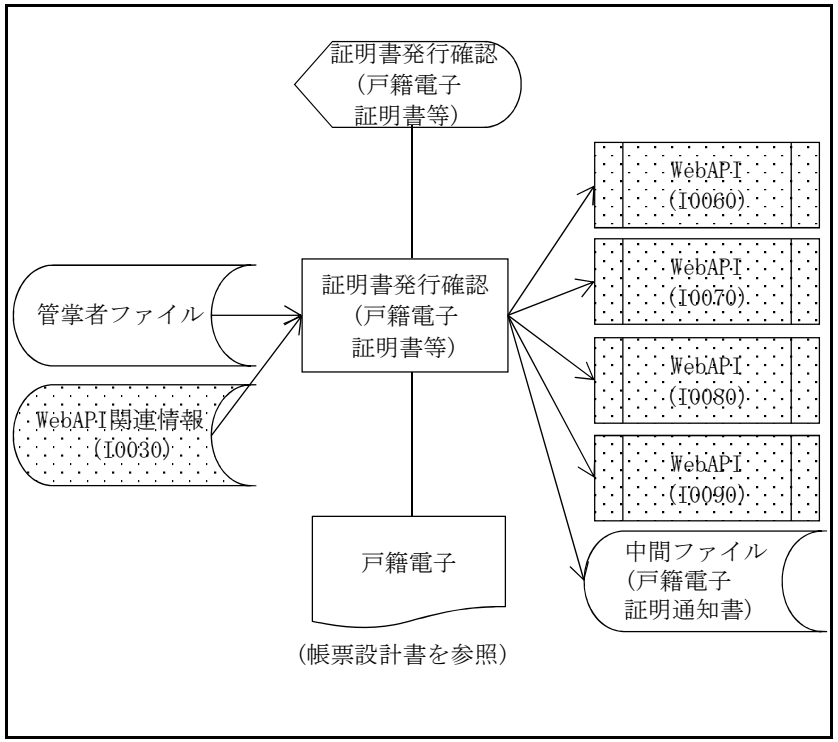
要件定義ワークシート				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名		証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)							
処理名		0.0 本紙						備考	
	PF6	(20-0-1)I0030-S01除籍特定ファイルの発行確認区分 ＝ A 又は Bである(YES,NO)			/			PF6は証明書発行に対応する(R4版) 編集方法は帳票設計書を参照 (20-0-1)～(20-0-4)を追加(2.0版)	
		YES	(20-0-2)メッセージ 「選択した除籍は福岡戸籍です。印刷した証明書の認証文を 確認して下さい。」を表示する 応答後(20-1)へ			(20-0-3)同画面を編集する			
		NO	(20-0-4)→(20-1)へ		/				
		(20-1)広域交付戸籍証明書等を発行部数分出力する			/				
		(20-2)WebAPI(I0040:広域交付発行履歴登録)を呼び出す [3.0]			/				
		(20-3)WebAPI(I0040:広域交付発行履歴登録)結果 (OK:YES,NG:NO)			/				
		YES	(20-4)各中間ファイルを削除する			(20-5)同画面を編集する			
		NO	(20-6)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
	その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							
								(24)～(47)は証明書発行確認(戸籍電子証明書等)を新たに作成して移す(R4版)	

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)							
処理名	1.0　証明書発行確認(副本)画面表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
証明書発行確認 (広域交付戸籍証明書等)画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	管掌者コード		管掌者ファイル	管掌者コード				
	管掌者資格			管掌者資格				
	管掌者氏名			管掌者氏名				
	認証日			システム日付				
	編製日		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	戸籍種別			戸籍種別		有		
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	筆頭者の生年月日			生年月日(筆頭者)				
	発行部数							初期値として1を出力

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)								
処理名	3.0　広域交付発行履歴登録								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI (I0040-R01:広域交付発行履歴の登録)	発行日時			システム日時					
	発行市区町村コード							管内の都道府県コード+市区町村コードを設定	
	副本参照処理通番		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	副本参照処理通番					
	選択番号（行番号）			選択番号（行番号）					
	発行部数		証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面	発行部数					

システム環境仕様書	作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)					

1.詳細フロー



(帳票設計書を参照)

2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
管掌者ファイル	入力	中間ファイル (戸籍電子証明通知書)	出力
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		
WebAPI(I0060)	出力		
WebAPI(I0070)	出力		
WebAPI(I0080)	出力		
WebAPI(I0090)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を編集･表示する
(2)戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書を出力する
(3)WebAPI(I0090:戸籍電子証明書等発行履歴登録)を呼び出し、発行履歴を通知する
(4)中間ファイルを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(戸籍電子証明通知書))
- 5.0 データ編集表(戸籍電子証明書提供用識別符号等生成)
- 6.0 データ編集表(戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求)
- 7.0 データ編集表(戸籍電子証明書等発行履歴登録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み、証明書発行確認(副本)画面を編集する [1.0]				/			戸籍構成員一覧(副本・証明)又は戸籍個人詳細(副本・証明)から遷移した場合は(1)で画面に情報を設定し、表示はI0070の情報取得後に行う。 (1-1)～(1-7)を追加(2.0版)	
(1-1)(I0030-S01個人状態ファイルの注意喚起区分 ＝ 1 または 2) または (I0030-S01除籍特定ファイルの発行抑止区分 ＝ 1 または 2)である(YES,NO)				/				
YES	(1-2)エラーメッセージ 「ＤＶ等の区分設定により証明発行ができません。詳細は本籍地市区町村に確認して下さい。」を表示する				(1-3)同画面を編集する			
NO	(1-4)I0030-S01除籍特定ファイルの発行確認区分 ＝ 1 または 2 または 3である(YES,NO)			/				
YES	(1-5)メッセージ 「証明発行が制限されています。本籍地市区町村に照会して下さい。」を表示する 応答後(2)へ				(1-6)同画面を編集する			
NO	(1-7)→(2)へ			/				
(2)新たに選択された戸籍がある(ある:YES,ない:NO)				/				
YES	(3)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)の戸籍電子証明書処理通番=0(未取得)である(YES,NO)			/				
YES	(4)WebAPI(I0060:業務利用目的送信(戸籍電子証明書処理通番))を呼び出し、戸籍電子証明書処理通番を取得する			/				
	(5)WebAPI(I0060:業務利用目的の送信)結果(OK:YES,NG:NO)			/				
	YES	(6)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録する [4.0]		/			戸籍電子証明書処理通番を登録	
	NO	(7)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する			(8)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する		戸籍電子証明書処理通番の再取得の方法は任意設計とする	
NO	(9)→(10)へ			/				
	(10)WebAPI(I0070:戸籍電子証明書提供用識別符号等生成)を呼び出し、戸籍電子証明書提供用識別符号等を取得する [5.0]			/				

要件定義ワークシート			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	0.0 本紙						備考	
	(11)WebAPI(I0070:戸籍電子証明書提供用識別符号等生成)結果(OK:YES,NG:NO)			/				
	YES	(12)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録し、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する [4.0][1.0]			(13)同画面を表示する		複数戸籍を一度に発行する場合もあるため、戸籍電子証明書提供用識別符号を中間ファイルに保存する 本籍、筆頭者、戸籍種別も同時に登録する (12-1)～(12-7)を追加(2.0版)	
		(12-1)I0030-S01個人状態ファイルの注意喚起区分 ≠ スペース または 除籍特定ファイルの発行抑止区分 ≠ スペースである(YES,NO)		/				
		YES	(12-2)エラーメッセージ 「ＤＶ等の区分設定により証明発行ができません。詳細は本籍地市区町村に確認して下さい。」を表示する		(12-3)同画面を編集する			
			(12-4)I0030-S01除籍特定ファイルの発行確認区分 ＝ 1 または 2 または 3である(YES,NO)	/				
			YES	(12-5)メッセージ 「証明発行が制限されています。本籍地市区町村に照会して下さい。」を表示する 応答後(2)へ		(12-6)同画面を編集する		
			NO	(12-7)→(2)へ	/			
	NO	(14)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
NO	(15)→(16)へ			/				
(16)キー選択(実行キー、PF1、PP2、PF5、PF6、PF7、PP8、その他)				/				
実行キー	(17)入力項目の単体･関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(18)管掌者コード(n)が入力された(YES,NO)		/				
		YES	(19)入力された管掌者コード(n)に対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)	/				
			YES	(20)管掌者資格名称、管掌者氏名を中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録し、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する [4.0][1.0]		(21)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する		
			NO	(22)エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する				
		NO	(23)→					
	NO	(24)単体･関連チェックにて編集したメッセージを表示する						
PF1	→				(25)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→				(26)証明書選択メニューに制御を渡す			

要件定義ワークシート			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF5	(27)確認メッセージ 「検索項目を変えて戸籍を検索し直しますか？」を表示する(YES,NO)			/			(28)の場合は該当戸籍一覧(副本･証明)は初期画面を表示し、(30)の場合は中間ファイルから検索済の該当戸籍一覧(副本･証明)を表示する 1件以上の選択された戸籍があり、該当戸籍一覧(副本･証明)において新たに戸籍が選択されずに戻る場合は、本処理に戻る仕組みとすること	
	YES	(28)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)以外の中間ファイルを削除する			(29)該当戸籍一覧(副本･証明)に制御を渡す			
	NO	(30)→						
PF6	(31)入力項目の単体･関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(32)管掌者コードに新たな入力がない(YES,NO)		/			証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面で新たに管掌者コードの入力がなく発行対象の戸籍がある場合は、戸籍電子証明書等の発行を行う	
		YES (33)発行選択(n)を中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録する [4.0]		/				
		(34)発行選択(n)=1(発行)が1件以上ある(YES,NO)		/				
		YES (35)発行選択(n)=1(発行)について発行番号を取得し 中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録する [4.0]		/				
		(36)発行選択(n)=1(発行)の情報を設定し WebAPI(IO080:戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求)を呼び出す [6.0]		/				
		(37)WebAPI(IO080:戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求)の結果 (OK:YES,NG:NO)		/				
		YES (38)→(41)		/				
		NO (39)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する			(40)同画面を編集する			
		(41)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)の発行選択(n)=1(発行)について 中間ファイル(戸籍電子証明通知書)の情報で戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書を発行部数分出力する		/			編集方法は帳票設計書を参照	
		(42)WebAPI(IO090:戸籍電子証明書等発行履歴登録)を呼び出す [7.0]		/				
		(43)WebAPI(IO090:戸籍電子証明書等発行履歴登録)結果 (OK:YES,NG:NO)		/				
		YES (44)各中間ファイルを削除する			(45)同画面を編集する			
		NO (46)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
		NO (47)メッセージ 「発行可能な証明書がありません。」を表示する						
	NO	(48)メッセージ 「管掌者コードが入力されています。実行キーを押下して下さい。」を表示する						
	NO	(49)単体･関連チェックにて編集したメッセージを表示する						
PF7	(50)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(51)前ページ分の証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を編集する			(52)同画面を編集する			
	NO	(53)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF8	(54)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(55)次ページ分の証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を編集する			(56)同画面を編集する			
	NO	(57)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(58)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	1.0　証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
証明書発行確認 (戸籍電子証明書等) 画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	認証日			システム日付				
	編製日(n)		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	編製日		有		
	消除日(n)			消除日		有		
	戸籍種別(n)			戸籍種別		有		
	本籍(n)			本籍				
	筆頭者(n)			筆頭者				
	筆頭者の生年月日(n)			生年月日(筆頭者)				
	管掌者コード(n)		管掌者ファイル	管掌者コード				複数選択の場合、前の管掌者と同じ場合はコピー機能等による入力簡略化を考慮すること
	管掌者資格(n)			管掌者資格				
	管掌者氏名(n)			管掌者氏名				
	発行部数(n)							
	発行可否(n)							I0070-S01の結果コード 正常:1(可)、エラー:0(否)を設定
	発行選択(n)							発行可否:1(可)の場合、1:(発行)を設定 発行可否:0(否)の場合、0:(不発行)を設定
	結果コード(n)		WebAPI関連情報 (I0080-S01:戸籍電子証明書提供用識別符号等の確定要求結果)	結果コード				呼び出し前は空欄 結果コードがエラーの場合、結果コードの内容が表示できる機能を考慮すること
	結果状況(n)							結果コード 正常:OK エラー:NG を設定

データチェック（単体表）				作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　データチェック(単体表)				証明書発行確認 (戸籍電子証明書等)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	発行選択	○	数字	1(発行)、0(不発行)であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データチェック（関連表）		作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　データチェック(関連表)	証明書発行確認 (戸籍電子証明書等)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	発行可否(n)＝0(否)の時、発行選択(n)＝0(不発行)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		発行可否(n)=0(否)の時は発行部数(n)、発行選択(n)及び管掌者コード(n)を入力不可にする対応も可 又は、発行可否(n)=0(否)の時は証明書発行はできない仕様とし、関連チェックを行わない対応も可
2	発行可否(n)＝0(否)の時、管掌者コード(n)に入力がないこと			
3	発行可否(n)＝0(否)の時、発行部数(n)＝0　又は　未入力であること			

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	4.0　中間ファイル(戸籍電子証明通知書)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (戸籍電子証明通知書)	戸籍電子証明書処理通番		WebAPI関連情報 (I0060-S01:業務利用目的の確認結果)	戸籍電子証明書処理通番				
	本籍(n)		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	本籍				以降、認証者の表記まで繰り返し項目
	筆頭者(n)			筆頭者				
	戸籍種別(n)			戸籍種別				
	発行選択(n)		証明書発行確認 (戸籍電子証明書等)画面	発行選択(n)				
	戸籍電子証明書提供用識別符号(n)		WebAPI関連情報 (I0070-S01:戸籍電子証明書提供用識別符号生成の結果)	戸籍電子証明書提供用識別符号				
	発行番号(n)		戸籍情報システム					戸籍情報システムで生成した発行番号を設定 平成18年2月20日民一440号通知による措置をする場合を含む
	認証者の表記(n)		証明書発行確認 (電子証明書等)画面	管掌者資格(n)				編集仕様はWebAPI(I0080-R01)の備考参照
				管掌者氏名(n)				

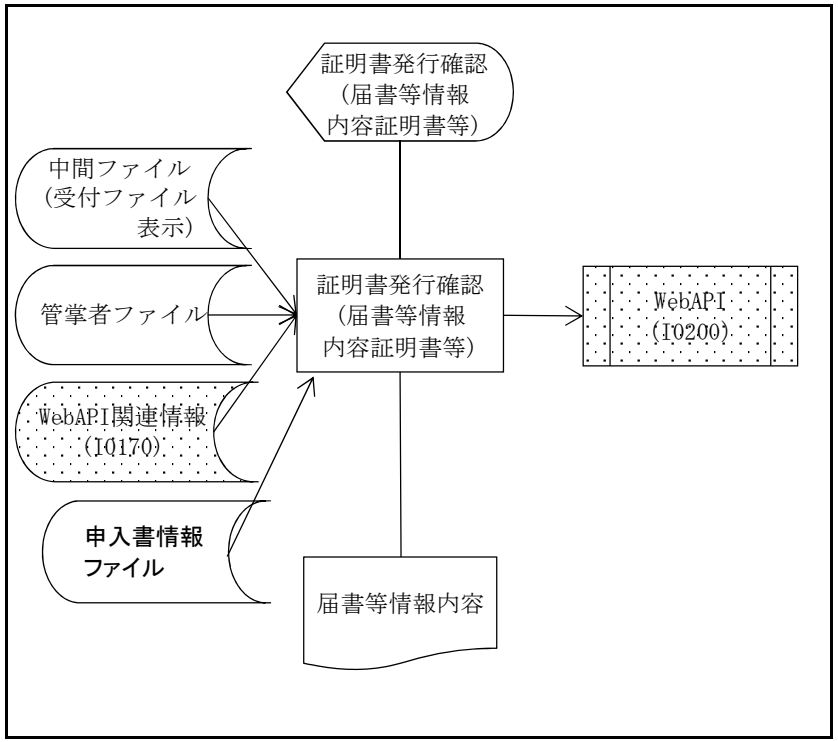
データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	5.0　戸籍電子証明書提供用識別符号等生成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI (I0070-R01:戸籍電子証明書提供用識別符号等生成の要求)	戸籍電子証明書処理通番		中間ファイル(戸籍電子証明通知書)	戸籍電子証明書処理通番				
	副本参照処理通番		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	副本参照処理通番				
	選択番号（行番号）			選択番号（行番号）				

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	6.0　戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI (IO080-R01:戸籍電子証明書提供用識別符号等の確定要求)	戸籍電子証明書処理通番		中間ファイル (戸籍電子証明書提供用識別符号)	戸籍電子証明書処理通番				
	戸籍電子証明書提供用識別符号(n)			戸籍電子証明書提供用識別符号(n)				以降、認証者の表記まで繰り返し項目
	発行番号(n)			発行番号(n)				
	認証者の表記(n)			認証者の表記(n)				

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	7.0　戸籍電子証明書等発行履歴登録							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI (IO090-R01:戸籍電子証明書等発行履歴の登録)	発行日時			システム日時				
	発行市区町村コード							管内の都道府県コード+市区町村コードを設定
	戸籍電子証明書処理通番		中間ファイル (戸籍電子証明通知書)	戸籍電子証明書処理通番				

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (受付ファイル表示)	入力	WebAPI(IO200)	出力
管掌者ファイル	入力		
WebAPI関連情報 (IO170)	入力		
申入書情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)、管掌者ファイル、WebAPI関連情報(IO170:届書等情報取得)を読み込み、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面を編集･表示する
(2)発行区分に応じて、届書等情報内容証明書又は届書等情報内容閲覧用帳票を出力する
(3)WebAPI(IO200:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)を呼び出し発行履歴を通知する
(4)本届書に申入書又は注意喚起情報がある場合は注意喚起メッセージを表示する
(5)指定により申入書イメージを表示する(PF6)
(6)届書画像を表示し、証明･閲覧する範囲を職員が判断(選択)する。
※WebAPI関連情報(IO170)は届書処理通番単位で送受信する。
そのため、1決裁で複数の届書等の処理が行われた場合は、全ての届書等の画像が1ファイルとして送信される。
(7)中間ファイルを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面)
└ 3.0 データ編集表(届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)

5.備考(特記事項含む)

･届書イメージ、届書補正イメージ(届書補正情報含む)及び添付書面イメージが渡されるため、届書イメージ表示画面における各イメージの表示、選択等の仕様は任意設計とする。

･届書等情報内容証明書等は届書処理通番単位で情報が戸籍情報連携システムから送信される。離婚同時戸籍法第77条の2届のように複数の届を1回で決裁した場合、双方の届書情報が送信されるため、証明書の作成においては画像情報を選択する機能を考慮すること。
上記届において離婚2件、戸籍法第77条の2届1件が申請された場合は、発行部数3として戸籍情報連携システムに送信する。

･証明書と閲覧の双方の申請があった場合は、証明書と閲覧を分けて処理する。

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)、管掌者ファイル、WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)を読み込み、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面を編集する [1.0]	/			画面に情報を設定し、表示は(1-2)～(1-3)の処理で行う(R4版)
(1-1)WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)の申入書区分=1(申入書あり)である(YES,NO)	/			
YES (1-1-1)WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)に申入書画像情報PDFファイルがある(YES,NO)	/			
YES (1-2)メッセージ 「申入書があります。出力してはいけない情報を確認して対処して下さい。」を表示する		(1-2-1)証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面を表示する		
NO (1-2-2)メッセージ 「申入書がまだ登録されていません。状況を確認して対処して下さい。」を表示する				
NO (1-3)→				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PP2、PF6、PF10、その他)	/			
実行キー	/			数字項目であるため単体チェック(3)は削除(R4)
(4)管掌者コードが入力された(YES,NO)	/			実行キーは管掌者コード変更に対応する(R4版)
YES (5)入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)	/			
	/			
YES (6)管掌者名を証明書発行確認(副本)画面に設定する		(8)同画面を編集する		
NO (7)エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する				
NO (9)→				
				(9-1)～(14)はPF6に移す(R4版)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF1				/			届書等情報内容証明書等の発行が1度もされなかった場合、その情報の通知は不要となったため、(17)(19)(20)(22)を削除する。(R3版)	
	→				(18)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2				/				
	→				(21)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF6	(21-1)届書イメージを表示し メッセージ 「証明・閲覧する範囲を届書イメージを表示して選択して下さい。」を表示する				(21-2)同画面を編集する		PF6は証明書発行に対応する(R4版)	
	(21-3)発行区分(1,2)			/				
	1	(21-4)届書等情報内容証明書を発行部数分出力する		/			編集方法は帳票設計書を参照	
	2	(21-5)届書等情報内容閲覧用帳票を発行部数分出力する		/			編集方法は帳票設計書を参照	
	(21-6)発行部数を発行総部数に加える			/			発行部数のカウントは任意設計とする(R4版)	
	(21-7)確認メッセージ 「別の届書を発行しますか？」を表示する(YES,NO)			/	(21-8)同画面を編集する		離婚同時77の2届は関連受領番号があるが複数人の入籍届は関連受領番号がないため、複数の届書があることを分かる情報が無い(R4版)	
	YES	(21-9)→(21-1)へ		/			発行部数を変えることも考慮する(R4版)	
	NO	(21-10)WebAPI(IO200:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)を呼び出す	[3.0]	/				
		(21-11)WebAPI(IO200:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)結果 (OK:YES,NG:NO)		/				
		YES	(21-12)各中間ファイルを削除する		(21-13)同画面を編集する			
		NO	(21-14)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する					
PF10	(22-1)WebAPI関連情報(IO170:届書等情報取得)に申入書画像情報PDFファイルがある (YES,NO)			/				
	YES	(22-2)申入書イメージを表示する			(22-3)同画面を編集する		印刷機能を考慮すること(R4版)	
	NO	(22-4)メッセージ 「情報がありません。」を表示する						
その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)							
処理名	1.0 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	管掌者コード		管掌者ファイル	管掌者コード				
	管掌者資格			管掌者資格				
	管掌者氏名			管掌者氏名				
	認証日			システム日付				
	発行区分		中間ファイル (受付ファイル表示)	発行区分				発行区分=1のとき「届書等情報内容証明書」を出力 発行区分=2のとき「届書等情報内容閲覧用帳票」を出力
	受領番号			受領番号				西暦年下2桁受領番号5桁-枝番で編集
	受理送付区分			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	決裁区分			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		
	指示日			指示日		有		
	関連事件番号1			関連事件番号1				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)							
処理名	1.0　証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面表示							
受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	関連事件番号2			関連事件番号2					
	関連事件番号3			関連事件番号3					
	関連事件番号4			関連事件番号4					
	関連事件番号5			関連事件番号5					
	発行部数								初期値として1を出力
	発行総部数								初期値として0を出力

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)							
処理名	3.0　届書等情報内容証明書等発行履歴の登録							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO200-R01:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)	届書処理通番		中間ファイル(受付ファイル表示)	届書処理通番				
	発行日時			システム日時				
	発行市区町村コード							管内の都道府県コード+市区町村コードを設定
	証閲覧区分		中間ファイル(受付ファイル表示)	発行区分				
	発行部数		証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面	発行総部数				システム環境仕様書5.備考に記載の発行部数対応はベンダーの任意設計とする。

第7.2.(13)

「各種ファイル更新」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	「各種ファイル更新」処理	・ファイル更新処理選択概要説明に下記修正をした。 -資料名称「【ファイル更新処理の概要説明】」の追加 -各更新処理の処理概要を修正、新規処理の追加 -各更新画面でのPFｷｰの修正 -留意点、画像処理についてを追加
				・更新処理追加について、ファイル更新処理選択を修正した。 ・不受理申出書画像の登録・更新及び入籍に伴い従前戸籍から不受理申出画像を取得する機能について、不受理申出ファイル更新を修正し、不受理申出情報更新を追加した。 ・入籍に伴い従前戸籍から胎児認知届画像を取得する機能について、個人状態ファイル更新を修正した。
				・受付ファイルの更新情報を戸籍情報連携システムに送信する情報登録の機能について、受付ファイル更新処理を修正した。 ・届書等情報登録機能について、届書等情報更新を追加した。 ・送付先市区町村情報作成について、送付先市区町村情報更新を追加した。 ・申入書情報作成について、申入書情報選択、申入書情報更新を追加した。
2		B05		届書補正情報登録機能について、届書等情報更新を追加した。
3		―		条文等の見直しで以下の処理を修正 ・受付ファイル更新処理
4		―		誤り等で以下の処理を修正 ・受付ファイル更新処理
5		15		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
6	R4	B04	「各種ファイル更新」処理	不受理申出情報を送信するのは本籍市区町村であることによる修正 ①ファイル更新処理選択 システム処理の概要説明 1. A.に追記
7				送達確認書の郵送事務が残ることによる修正 ①ファイル更新処理選択 システム処理の概要説明 1. G.に追記 ②送付先市区町村情報更新 0.0 本紙、1.0 送付先市区町村情報更新画面編集、2.0 単体チェック表、3.0 関連チェック表、4.0 送付先市区町村情報ファイル、5.0 送信情報(送付先情報)作成処理
8				不受理申出情報(F0150)のデータ編集表追加による修正 ①不受理申出ファイル更新 システム環境仕様書、0.0 本紙、6.0 送信情報(不受理申出情報)作成処理 ②不受理申出情報更新 4.0 不受理申出補正情報(イメージ)の作成
9				F0050に[TR02]～[TR05]に規則第四一条処理区分が追加されたことによる修正 ①受付ファイル更新処理 8.0 送信情報(管理情報)作成処理 ②届書等情報更新 5.0 送信情報(管理情報)作成処理 ③送付先市区町村情報更新 6.0 送信情報(管理情報)作成処理
10		B06		申入書が届出された場合は必ず注意喚起情報を送信することへの変更による修正 ①ファイル更新処理選択 システム処理の概要説明 1. F.に追記 ②申入書情報選択 システム環境仕様書、4.0 届書等情報の注意喚起情報設定
11		申し送り事項一覧№9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分けることによる修正 ①送付先市区町村情報更新 1.0 送付先市区町村情報更新画面編集、2.0 単体チェック表、3.0 関連チェック表、4.0 送付先市区町村情報ファイル
12		―		ファイル更新メニュー画面の選択番号に合わせた修正 ①ファイル更新処理選択 0.0 本紙

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
13	2.0 (2023.3.31版)	指摘事項管理表(3)_連携システム_外部IF仕様書 No. 196,198,199,290	「各種ファイル更新」処理	戸籍情報連携システムの仕様に合わせ、仕様書を全面見直し ①申入書情報選択_3.0入力チェック(関連)～申入書情報更新_5.0送信情報(申入書情報)を更新
14		同 No.207		補正画像の補足説明を修正 ①不受理申出情報更新_4.0補足説明書の本文を修正 ②①届書等情報更新_システム環境仕様書5.備考(特記事項含む)の2点目に届書補正画像の仕様を追加 ②届書等情報更新_6.0補足説明書の届書補正情報(イメージ)の受理番号を受領番号に修正
15		同 No.242		届書と同時に申請された申入書は注意喚起情報を設定しないことの修正 ①申入書情報選択_システム環境仕様書 ②申入書情報選択_0.0本紙(25)の誤りを合わせて修正
16		同 No.275 No.316		届書等情報の送信において、追完届有無フラグの設定(No.275)、規則第四十一条処理区分(No.316)の対応を追加 ①届書等情報更新_システム環境仕様書5.備考(特記事項含む)の3点目を追加 ②届書等情報更新_0.0本紙に(8-1)～(8-26)を追加 ③届書等情報更新_1.0届書等情報更新画面に両項目を追加 ④届書等情報更新_2.0単体チェックに両項目を追加 ⑤届書等情報更新_3.0関連チェックNo.2を修正 ⑥届書処理通番ファイル3.1_届書処理通番ファイル更新を追加
17		同 No.352 No.393		届書等情報を同一市区町村に送信する場合は、事件対象区分及び送付先区分が同じデータは1件しか送れない ①送付先市区町村情報更新_0.0本紙の(12-1)～(13)を修正
18		指摘事項管理表_連携システム_別冊(運用編) No.27		参考送付として出生届が追加 ①送付先市区町村情報更新_0.0本紙の(19)を修正
19		―		届書のスキャンは決裁後に実施することの修正 ①ファイル更新処理選択_システム処理の概要説明のE.届書等情報更新及び3.留意点に追加 ②届書等情報更新_0.0本紙のPF12に届書等の画像が登録された場合を追加
20		―		修正履歴項番11のR4版の修正が不足していたため修正 ①届書等情報更新_1.0　届書等情報更新画面 ②申入書情報選択_1.0　申入書情報選択画面編集 ③申入書情報更新_1.0　申入書情報更新画面編集
21	2.0 (2023.7.31版)	―	「各種ファイル更新」処理	振り仮名の法制化による修正 ・不受理申出ファイル更新_1.0不受理申出F更新画面編集、不受理申出情報更新_1.0不受理申出情報更新画面編集、個人状態ファイル更新_1.0個人状態ファイル更新画面編集、個人状態ファイル更新_2.0単体チェック、個人状態ファイル更新_4.0個人状態ファイル編集、受付ファイル更新処理_システム処理の概要説明、受付ファイル更新処理_1.0入力画面編集、受付ファイル更新処理_1.0入力画面編集_補足説明書、受付ファイル更新処理_2.0単体チェック表、受付ファイル更新処理_4.0受付F編集、受付ファイル更新処理_5.0確認画面編集、受付ファイル更新処理_7.0送信情報(事件本人) を修正
22		―		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ・個人状態ファイル更新_1.0個人状態ファイル更新画面編集、個人状態ファイル更新_2.0単体チェック、個人状態ファイル更新_4.0個人状態ファイル編集を修正
23		―		個人事項証明書の仕様変更による修正 ・戸籍DB更新処理_システム処理の概要説明を修正

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
24		ー		届書のスキャンは決裁前でも実施でき、決裁後に紐づけする仕様に変更されたことによる修正 ①ファイル更新処理選択_システム処理の概要説明のE.届書等情報更新を修正 ②届書等情報更新_0.0本紙のPF12に届書等の画像が登録された場合を修正

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	ファイル更新処理選択						

【ファイル更新処理の概要説明】

1.ファイル更新処理業務の概要

A.不受理申出･個人状態ファイル更新処理
･不受理申出･個人状態ファイル更新には、該当戸籍一覧表示、戸籍構成員一覧表示、不受理申出ファイル更新、個人状態ファイル更新がある。
･該当戸籍一覧表示では、該当戸籍を表示選択し、戸籍構成員一覧表示では、該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する。
不受理申出ファイル更新では、選択された個人の不受理申出ファイルを全件検索して表示･更新する。
個人状態ファイル更新では、選択された個人の個人状態ファイルを検索して表示･更新する。
･該当戸籍一覧表示での検索項目及び当説明での検索キーは、検索処理と同様である。
･戸籍の処理により、新たに入籍した者に不受理申出書又は胎児認知届がある場合、WebAPI(IO230:画像等情報取得)により戸籍情報連携システムから画像情報を取得し、システムに保存する。
･不受理申出書の申請において、不受理申出画像(添付書面があれば不受理申出添付書面画像)を作成する。
不受理申出書の補正は、補正情報を作成し不受理申出補正画像を作成する。
不受理申出取下げ書の申請があった場合は、不受理申出取下画像を作成する。
･不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、市区町村長は不受理申出変更履歴を作成するが（平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達　第6-1-(9)-ｳ　別紙７の３の様式）、これを画像データに変換し不受理申出画像情報に頁追加し、変更した不受理申出情報と画像情報を戸籍情報連携システムに送信する。
･戸籍情報連携システムへ送信する前の情報であれば更新及び削除を可能とする。戸籍情報連携システムへ送信した後に更新した情報は、履歴として管理する。
※添付書面画像及び補正画像の更新は上書き更新とし履歴とはしない。
･登録した情報は(F0150:不受理申出情報送信)を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
失効等により一定期間経過後、不受理申出情報を削除した場合も同様である。
なお、送信は本籍地市区町村が実施し、不受理申出書等を受領した非本籍市区町村は当該不受理申出書を本籍市区町村に送付する。

B.受付ファイル更新処理
･戸籍情報連携システムに送信した後に受付DBを更新した場合、更新後の情報を(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに送信する。

C.戸籍DB更新処理

D.管掌者親族情報更新
決裁処理、証明処理及び再製処理等の法令により管掌者の除斥を行う必要のある処理において、管掌者又はその親族に関する処理を行う際には、管掌者を変更する必要がある。管掌者変更の職員判断を補助する手段として、戸籍DBの検索及び副本記録情報の検索を経て管掌者及びその親族を特定し、管掌者コードに紐付けて情報を登録・管理する「管掌者親族情報更新」処理を設ける。
本機能における以下の要件について、実現方法は任意設計とする。
･戸籍DBを検索し、管掌者及びその親族を特定して登録できること。
･副本記録情報を検索し、管掌者及びその親族を特定して登録できること。
※本処理は、ファイル更新処理選択メニューだけ仕様を作成し、それ以外の詳細仕様は示さない。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	ファイル更新処理選択						

E.届書等情報更新

・届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村は、該当の受付ファイルに紐づけて届書画像(添付書面があれば添付書面画像)を作成する。
なお、スキャンした届書等の画像情報は決裁後でないと届書等情報に紐づけできないため、画像情報の登録が決裁後であることのチェックは任意設計機能とする。
・届書の補正は、補正情報を作成し届書補正画像を作成する。
・届書処理通番は決裁単位で1件であるため、1処理で複数の受付ファイルが作成される場合(離婚同時77条の2、生存養親と死亡養親との離縁等)、送信する情報は1件の情報にまとめる。
生存養親と死亡養親との離縁の場合、受領番号の小さい受付ファイルに届書等情報を登録し、それ以外の受付ファイルには登録しない。
・戸籍情報連携システムへ送信する前の情報であれば更新及び削除を可能とする。戸籍情報連携システムへ送信した後に更新した情報は、履歴として管理する。
※添付書面画像及び補正画像の更新は上書き更新とし履歴とはしない。
・登録した情報は(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
・保存期間を経過した届書等情報は、本処理ではなくバッチにより一括削除する。

F.申入書情報更新

申請された申入書は、申入書に該当する届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村で、該当の受付ファイルに紐づけて申入書画像を作成する。
・申入書取下げの申請があった場合、申入書取下画像は作成しない。
・申入書の申請があった場合、申入書を直ちに登録できる場合でも、画像登録等処理に時間を要することが想定され、また、副本記録情報として参照できるようになるまでも一定の時間を要するため、DV関係は社会的重要性が高いことを踏まえ、常にWebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定)を戸籍情報連携システムに送信する。申請された市区町村の届書の受付市区町村が異なる場合は、申請地からの連絡により受付地が戸籍情報連携システムに送信する。
・申入書画像の更新は履歴として管理する。
・登録した情報は(F0160:申入書情報送信)を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
・F0160の申入書情報処理区分(1:申入書情報の期限切れに伴う更新)の設定により、期限切れ前のデータの申入書取下日は戸籍情報連携システムで処理日が設定される。そのため、期限切れ前のデータは申入書取下日を送信しない。
・情報の無効等により一定期間経過後申入書情報を物理的削除した場合は、戸籍情報連携システムに送信しない。

G.送付先市区町村情報更新処理

届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村は、届書入力処理における処分決定処理(又は審査結果入力処理、訂正・更正・追完処理における受付ファイル作成処理)で作成された送付先市区町村情報ファイルに登録された者以外で、他市区町村で戸籍の記載が必要な者がある場合その情報を作成する。
・同一市区町村で同一決裁のデータ(届書処理通番)単位で作成する。
・登録した情報は(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
・戸籍情報連携システムに送信した送付先市区町村情報を更新した場合は、送信済の情報を含む全ての情報を再送信する。
・送信済のデータは更新、削除ができないこと。
・何らかの理由で届書等情報が戸籍情報連携システムに送信できない場合は、戸籍情報連携システム運用前と同様に紙の届書と送達確認書を送付先市区町村に送付する。この場合、送信区分を3(送達中(紙送付))とし発信(発送)日を設定すること。
送達確認書が送付先市区町村から返送された場合は、送信区分を4(到着済(紙送付))に更新する。
※送達確認書は送付先市区町村情報から印刷する(5.6-.(2) 帳票設計書を参照)。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	ファイル更新処理選択					

2.各検索画面でのPFキー(Aの場合のみ)

画面 / PFキー	ファイル更新処理メニュー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出ファイル更新	個人状態ファイル更新
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー
PF3				前頁構成員		
PF4				次頁構成員		
PF5			該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧
PF6					不受理申出画像取得	胎児認知届画像取得
PP7		前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8		次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次員表示	
PF9					個人詳細表示	個人詳細表示
PF10			戸籍項目前頁	不受理申出ﾌｧｲﾙ更新		不受理申出ﾌｧｲﾙ更新
PF11			戸籍項目次頁	個人状態ﾌｧｲﾙ更新	個人状態ﾌｧｲﾙ更新	胎児認知届画像表示
PF12		入力画面初期化			不受理申出ファイルの更新	個人状態ファイルの更新
実行キー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示		画面入力項目ﾁｪｯｸ	画面入力項目ﾁｪｯｸ

※PFキーは拡張して任意に設定が変更できる

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	ファイル更新処理選択						

3.留意点

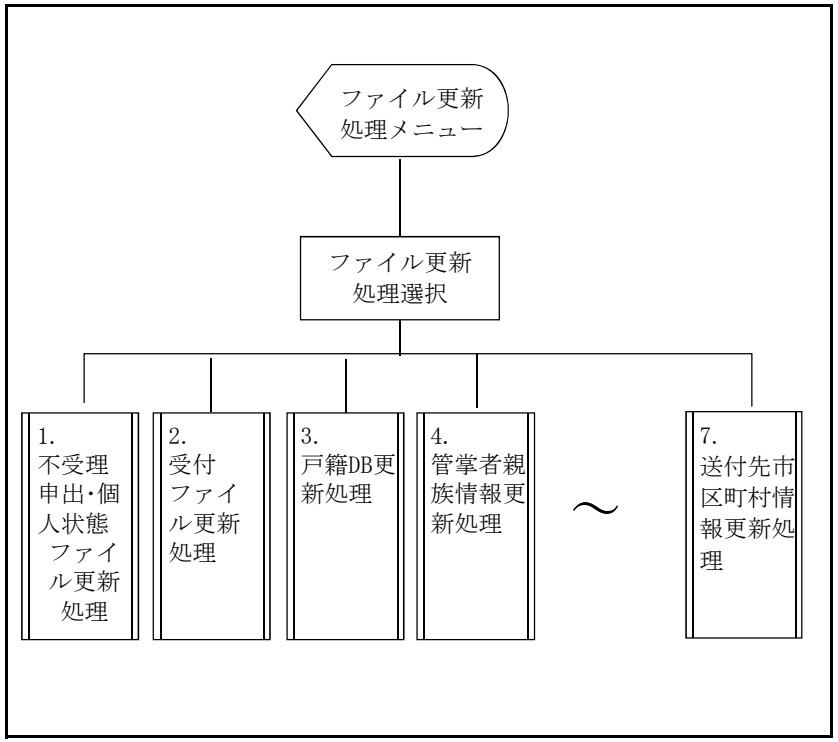
・戸籍の記録をする処理や証明書を認証する処理等の戸籍法第2条及びそれに準ずる法令等で管掌者の除斥が必要な処理において、管掌者及びその親族の情報を参照し、該当する者が関連する場合に誤って取り扱わないようにする措置を講じること。
・管掌者及びその親族に関する副本記録情報に異動があった場合には登録情報の更新が必要となる。
・受理地が届書等の決裁に伴い戸籍情報連携システムに送信する届書等情報は、原則として決裁処理後に送信することとしているため、各種ファイル更新処理においては送信後に変更があった際の処理概要を記載している。ただし、決裁処理後に届書画像情報が登録されていない場合は、戸籍情報連携システムへの送信対象としないため、各種ファイル更新処理で届書画像情報を登録した後に送信対象とする制御を行うこと。
また、送付地においても受理地から届書等が郵送で送付された場合は決裁後に届書等の画像情報を登録するため、この場合は同様の制御を行うこと。
届書等情報の送信漏れ防止や作成状況等の確認を行う等の目的で、作成、更新した届書等情報データを管理するファイルの作成は任意実装機能とする。
・新規登録された届書及び添付書面の画像はF0050-C02の届書等種別コード[TR01]で、更新された届書及び添付書面の画像は[TR02]で、届書補正情報(新規登録、更新とも)はF0050-R05で、届書補正画像は[TR04]で送信する。
但し、F0050の送信においてF0050-C02の届書処理通番は重複しての設定が不可であるため、届書画像[TR01]と届書補正画像[TR04]は同時に送信できない。この場合は、[TR01]を先に送信してその後別のF0050ファイルで[TR04]を送信することになる。届書画像(更新)[TR02]と届書補正画像[TR04]も同様である。
・戸籍情報連携システムへの送信情報は、再送信等で再度設定する場合があることから、それらの情報を基本のファイルに紐づけて保持することを検討すること。
戸籍副本データ管理システムに送信する情報に、戸籍情報システム内で保持しないデータを補記して送信するファイルと同等である。
・各種ファイル更新処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。
また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

4.画像処理について

・画像として保存する処理としては、紙の資料をスキャン等によりイメージファイルとして登録するもの及び既に画像化されたものを取得(戸籍情報連携システムから取得、戸籍情報システムからコピー) するものがある。
この画像の処理に関してはベンダーの任意設計であるが、戸籍情報システム標準仕様書としては以下の前提とする。
→イメージファイルは登録された時点で、元情報に紐づくファイル名が付けられることとする。
例1)処理通番2021053872410233357の履歴1番目の届書のファイル名：idou_202105387241023357_001.pdf(戸籍情報連携システムに送信する際は履歴番号は不要)
例2)個人番号5763100002の2つ目の不受理申出書のファイル名：5763100002_fujyuri_002.pdf(戸籍情報連携システムに送信する際は個人番号は不要)
※例1の履歴番号や例2の個人番号は管理情報に保持し、ファイル名は戸籍情報連携システムに送信するファイル名と同じにすることも考えられる。
従って、スキャン等による画像化又は戸籍情報連携システムから取得において、上記ファイル名で登録がされることとしている。
・各種更新処理において画像を登録する場合は、イメージの表示が行えることで画像情報の有無を判断している。
・受領した書面は実寸大でスキャンを行い、各々イメージファイルを作成する。
・補正画像は補正情報からイメージファイルを作成する。
・戸籍情報システムで保持するイメージはPDFファイルでなくても構わないが、戸籍情報連携システムへはPDFファイルで送信する。
※PDFファイルの仕様は、戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書を確認すること。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	ファイル更新処理選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)検索処理選択番号の入力チェック
(2)不受理申出･個人状態ファイル更新処理に制御を渡す
(3)受付ファイル更新処理に制御を渡す
(4)戸籍DB更新処理に制御を渡す
(5)管掌者親族情報更新処理に制御を渡す
(6)届書等情報更新処理に制御を渡す
(7)申入書情報更新処理に制御を渡す
(8)送付先市区町村情報更新処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データチェック(単体表)
　　　 └ 2.0 別紙1(パスワード･チェック)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	ファイル更新処理選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)検索処理メニュー画面を出力する						/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)パスワードのチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)選択番号			/			
			1	(6)不受理申出･個人状態ファイル更新処理			(7)該当戸籍一覧表示に制御を渡す		
			2	(8)受付ファイル更新処理			(9)受付ファイル更新処理に制御を渡す		
			3	(10)戸籍DB更新処理			(11)戸籍DB更新処理に制御を渡す		
			4	(11-1)管掌者親族情報更新処理			(11-2)管掌者親族情報更新処理に制御を渡す	※管掌者親族情報更新処理は詳細仕様を作成しない(任意設計)。	
			5	(11-3)届書等情報更新処理			(11-4)届書等情報更新処理に制御を渡す		
			6	(11-5)申入書情報更新処理			(11-6)申入書情報更新処理に制御を渡す		
			7	(11-7)送付先市区町村情報更新処理			(11-8)送付先市区町村情報更新処理に制御を渡す		
		NO	(12)エラーメッセージ 「パスワード･エラー」を表示する				(13)同画面を編集する		
	NO	(14)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する							
PF1	→						(15)業務選択に制御を渡す		
その他	(16)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(17)同画面を編集する		

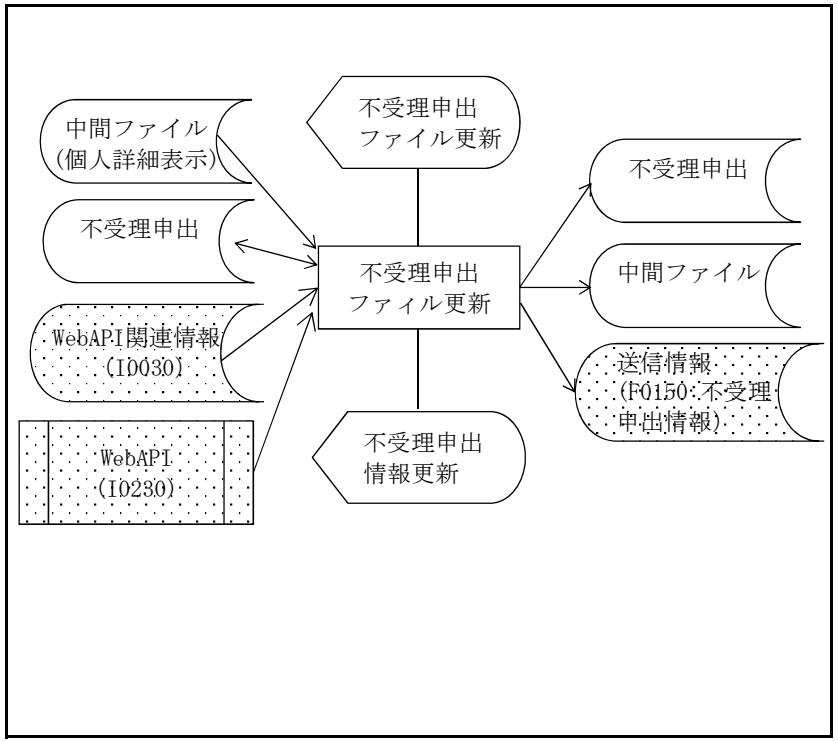
データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	ファイル更新処理選択								
処理名				画面名	画面ID				
1.0 データチェック(単体表)				ファイル更新処理メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～7であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	パスワード	○	数字	数字であること					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	ファイル更新処理選択							
処理名	2.0 別紙1(パスワード･チェック)						備考	
(1)入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む(ある:YES,なし:NO)					/			
YES	(2)内容をチェックする(OK:YES,NG:NO) 《自治体、メーカー独自》				/		パスワードチェック･サブルーチン	
	YES	(3)操作員資格区分を参照する			/			
	NO	(4)エラー			/			
NO	(5)エラー				/			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	不受理申出ファイル更新

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	不受理申出情報 ファイル	出力
不受理申出ファイル	入出力	中間ファイル (処理項番)	出力
WebAPI関連情報 (I0030)	入力	送信情報 (F0150:不受理申出 情報)	出力
WebAPI(I0230)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し、ファイルの内容等を編集する
(2)不受理申出ファイル更新画面の表示
(3)非本籍地から異動により入籍した場合は、個人情報をキーにWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出し、取得した不受理申出画像情報を登録する
(4)不受理申出ファイルの登録・更新・削除を行い、送信情報(不受理申出情報)を作成する
(5)登録したイメージの確認及び不受理申出の補正を行うために不受理申出情報更新に遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(不受理申出ファイル編集)
- 5.0 データ編集表(不受理申出書画像情報等取得)
- 6.0 データ編集表(送信情報(不受理申出情報))

※4.0、5.0を削除し後続の番号を変更(R3版)、6.0はR4版で追加

5.備考(特記事項含む)

・不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、市区町村長は不受理申出変更履歴を作成するが（平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達第6-1-(9)-ｳ　別紙７の３の様式）、これを画像データに変換し不受理申出画像情報に頁追加し、変更した不受理申出情報と画像情報を戸籍情報連携システムに送信する。
・登録済みの不受理申出を削除した情報も戸籍情報連携システムに送信する。
・戸籍情報連携システム稼働前の不受理申出情報の更新、削除に関しては、WebAPI(I0230)で不受理申出情報を取得し、そのデータを不受理申出ファイルに登録してから処理する。この場合、送信された不受理申出登録番号で登録し、更新、削除後の戸籍情報連携システムへの送信は、この不受理申出登録番号を設定すること。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	不受理申出ファイル更新

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を個人番号をキーとして不受理申出ファイルを全件検索する(ある、なしに係わらず)	/			
(2)不受理申出ファイル更新画面を編集・表示する [1.0]	/	(3)同画面を編集する		
(4)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF11、PF12、その他)	/			
実行キー	(5)処理選択番号がある(YES,NO)	/		
YES	(6)処理選択番号(1～4、その他)	/		
1	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(8)不受理申出ファイル更新画面を再編集する [1.0]	/		
YES	(9)メッセージ「チェックOKです。不受理申出ファイルを追加して下さい。」を表示する		(11)同画面を編集する	
NO	(10)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する			
2		/		(12)削除(R3版)
	(13)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(14)不受理申出ファイル更新画面を再編集する [1.0]	/		
YES	(15)メッセージ「チェックOKです。不受理申出ファイルを更新して下さい。」を表示する		(18)同画面を編集する	
NO	(16)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する			
				(17)削除(R3版)
3	(19)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(20)メッセージ「チェックOKです。不受理申出ファイルを削除して下さい。」を表示する		(20-1)同画面を編集する	(23)を(20-1)に変更、(23)は削除(R3版)
NO	(21)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する			
4	(21-1)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(21-2)中間ファイル(処理項番)を作成する		(21-3)不受理申出情報更新へ制御を渡す	
NO	(21-4)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する		(21-5)同画面を編集する	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			不受理申出ファイル更新						
処理名			0.0 本紙					備考	
		その他	(22)エラーメッセージ 「処理選択番号入力が違います。再度、入力して下さい。」 を表示する						
	NO		(24)エラーメッセージ 「処理選択番号を入力して下さい。」を表示する			(25)同画面を編集する			
PF1	→					(26)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(27)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→					(28)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す			
PF6	(28-1)非本籍人検索に遷移し、従前戸籍を特定してWebAPI関連情報(I0030)を作成する			/				7.2.(2)「検索」処理の「該当戸籍一覧表示(副本)」～「不受理申出イメージ表示(副本)」の仕様を参照 ※本処理を画像専用処理で実施しても可	
	(28-2)該当個人情報でWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出す [5.0]			/					
	(28-3)WebAPI(I0230:画像等情報取得)結果 (OK:YES,NG:NO)			/					
	YES	(28-4)取得した不受理申出書画像情報を不受理申出情報ファイルに登録する		/					
		(28-5)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する				(28-6)同画面を編集する			
	NO	(28-7)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する							
PF7	(29)前ページがある(YES,NO)			/					
	YES	(30)前ページ不受理申出ファイル更新画面出力				(32)同画面を編集する			
	NO	(31)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(33)次ページがある(YES,NO)			/					
	YES	(34)次ページ不受理申出ファイル更新画面出力				(36)同画面を編集する			
	NO	(35)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する							
PF9	→					(37)個人詳細表示に制御を渡す			
PF11	→					(38)個人状態ファイル更新に制御を渡す			
PF12	(39)入力項目のチェック済みである(YES,NO)			/					
	YES	(40)処理選択番号(1～3)		/					
		1	(41)不受理申出ファイルを編集･追加する [4.0]	/					
			(42)メッセージ 「不受理申出ファイルが追加されました。」を表示する			(43)同画面を編集する			

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			不受理申出ファイル更新						
処理名			0.0 本紙					備考	
		2	(44)不受理申出ファイルを編集･更新する [4.0]		/				
			(45)メッセージ 「不受理申出ファイルが更新されました。」を表示する			(46)同画面を編集する			
		3	(47)不受理申出ファイルを削除する		/				
			(47-1)不受理申出画像情報ファイルから削除する		/			画像削除は別処理で実施も可	
			(48)メッセージ 「不受理申出ファイルが削除されました。」を表示する			(49)同画面を編集する			
			(49-1)送信情報(不受理申出情報)を作成する [6.0]		/				
	NO		(50)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(50-1)同画面を編集する			
その他	(51)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	1.0 不受理申出ファイル更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出ファイル更新画面	ページ							
	振り仮名		中間ファイル (個人詳細表示)	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
	項番		不受理申出ファイル	行番号				不受理申出ファイルがある場合のみ処理を行う(MAX2件)
	出張所番号			出張所番号				
	受理･送付別			受理送付区分				
	開始日			開始日(届出日)		有		
	送付日			送付日		有		
	失効日			失効日		有		
	失効区分(コード)			失効区分		有		
	失効区分(漢字)							
	不受理申出事件(コード)			不受理申出事件コード		有		
	不受理申出事件(名称)							
	不受理申出相手氏名1			相手方氏名1				
	不受理申出相手氏名2			相手方氏名2				
	処理選択番号							
	処理項番							

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表				不受理申出ファイル更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	出張所番号		数字	自治体固有の出張所番号であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		2件目迄入力があれば、2件目もチェックを繰り返す
02	受理･送付別		数字	1又は2であること			
03	開始日		数字	元号、日付チェックでOKであること			
04	送付日		数字	元号、日付チェックでOKであること			
05	失効日		数字	元号、日付チェックでOKであること			
06	失効区分		数字	1:終了　2:取下　3:失効			
07	不受理申出事件		数字	01～04,07～13,18,19,21,22,26,28～33であること			
08	不受理申出相手氏名1		漢字				
09	不受理申出相手氏名2		漢字				
10	処理選択番号		数字	1～4であること			
11	処理項番		数字	画面上に表示されている項番であること			旧5.0入力項目チェックを統合(R3版)

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック表		不受理申出ファイル更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
0-1	(NO.10)処理選択番号が1(追加)の時、(NO.11)処理項番が入力無しであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
0-2	(NO.10)処理選択番号が1(追加)以外の時、(NO.11)処理項番が入力有りであること			
0-3	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新)の時、 (NO.1)出張所番号、(NO.2)受理･送付別、(NO.3)開始日、(NO.7)不受理申出事件が 入力有りであること			
01	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.2)受理･送付別が1(受理)の時、 (NO.4)送付日が入力無しであること			
02	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.2)受理･送付別が2(送付)の時、 (NO.4)送付日が入力有りであること			
03	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.4)送付日に入力有りの時、 送付日は(NO.3)開始日以降であること			
04	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.5)失効日に入力有りの時、 失効日は(NO.3)開始日以降であること			
05	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.4)送付日に入力有り かつ (NO.5)失効日に入力有りの時、 (NO.4)送付日は失効日以前であること			
06	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.5)失効日に入力有りの時、 (NO.6)失効区分が入力有りであること			
07	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.5)失効日に入力無しの時、 (NO.6)失効区分が入力無しであること			
08	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.8)不受理申出相手氏名1に入力無しの時、 (NO.9)不受理申出相手氏名2が入力無しであること			
09	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.9)不受理申出相手氏名2に入力有りの時、 (NO.8)不受理申出相手氏名1が入力有りであること			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	4.0 不受理申出ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出ファイル	個人番号		中間ファイル (個人詳細表示)	個人番号				
	行番号		不受理申出ファイル	項番				追加の時、該当個人番号の全不受理ファイル中最終行番号+1をセット
	出張所番号		不受理申出ファイル更新画面	出張所番号				
	受理･送付区分			受理･送付別				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件(コード)				
	開始日(届出日)			開始日		有		
	送付日			送付日		有		入力無しの時は、0(ゼロ)をセット
	失効日			失効日		有		
	失効区分			失効区分(コード)				
	作成日(処理日)			現年月日				
	相手方氏名1			不受理申出相手氏名1				入力無しの時は、ブランクをセット
	相手方氏名2			不受理申出相手氏名2				入力無しの時は、ブランクをセット

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新								
処理名	5.0　不受理申出画像情報等取得								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI(IO230-R01:画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番					
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)					
	戸籍記録順位番号		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	詳細選択番号					
	取得対象区分							「20:不受理申出情報(有効分)」を設定	

第7-2-(13) 「各種ファイル更新」処理

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	6.0　送信情報(不受理申出情報)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
送信情報(F0150-R01:不受理申出情報)	本籍地市区町村コード							自市区町村コードを設定
	不受理申出情報処理区分		不受理申出ファイル更新画面	処理選択番号				1(追加)→0(登録) 2(変更)→1(更新) 3(削除)→2(削除)　を設定
	不受理申出情報登録番号							F0150-R01(不受理申出情報)の備考欄を参照して設定
	個人番号		不受理申出ファイル	個人番号				
	行番号			行番号				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	開始日(届出日)			開始日(届出日)				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	作成日(処理日)			作成日(処理日)				
	相手方氏名1			相手方氏名1				
	相手方氏名2			相手方氏名2				
	相手方氏名3							保持している場合に設定
	相手方氏名4							
	更新日							F0150-R01(不受理申出情報)の備考欄を参照して設定
	更新時間							
	不受理申出画像情報ﾌｧｲﾙ名							各画像の情報は不受理申出情報ファイルから編集する
	不受理申出画像更新年月日							
	不受理申出画像更新時分秒							
	不受理申出添付書面画像情報ファイル名							
	不受理申出添付書面画像更新年月日							
	不受理申出添付書面画像更新時分秒							

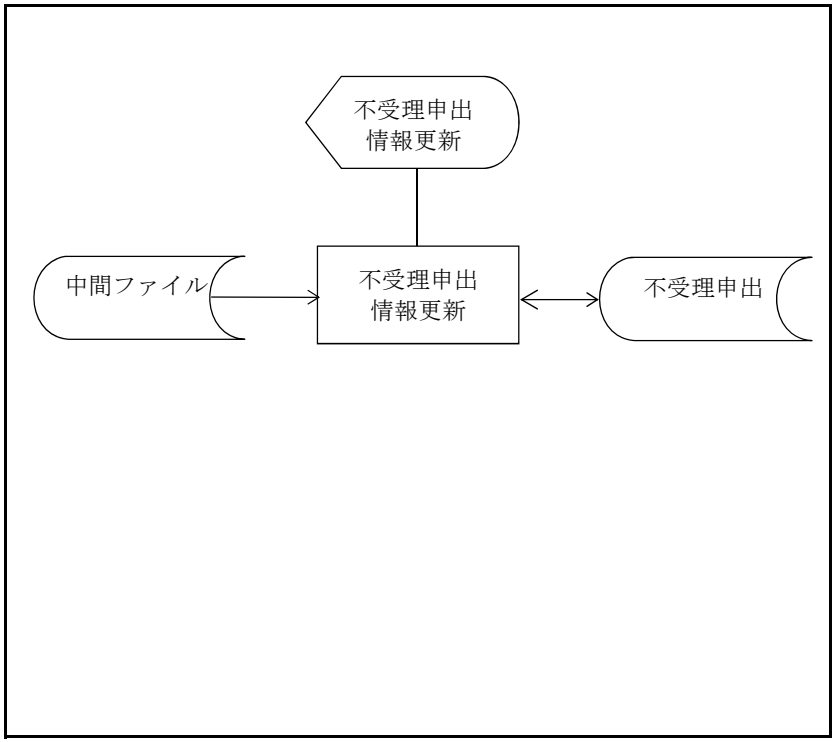
第7-2-(13) 「各種ファイル更新」処理

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	6.0　送信情報(不受理申出情報)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	不受理申出補正情報							
	不受理申出補正画像情報 ファイル名							
	不受理申出補正画像 更新年月日							
	不受理申出補正画像 更新時分秒							
	不受理申出取下画像情報 ファイル名							
	不受理申出取下画像 更新年月日							
	不受理申出取下画像 更新時分秒							

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	不受理申出情報更新

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (処理項番)	入力		
不受理申出情報 ファイル	入出力		
送信情報 (F0150:不受理申出 情報)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(処理項番)に該当する情報を不受理申出情報ファイルから検索し、
不受理申出情報更新画面を表示する
(2)指定により該当の画像情報を表示する
※表示により登録の有無を判定する
(3)補正情報の入力及び更新により、不受理申出補正画像情報を作成する
※補正情報更新後に補正画像の確認が可

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(不受理申出情報更新画面編集)
├ 2.0 データチェック(単体表)
├ 3.0 データチェック(関連表)
└ 4.0 補足説明書 不受理申出補正情報(イメージ)の作成

5.備考(特記事項含む)

システム環境仕様書			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和 年 月 日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(処理項番)に該当する不受理申出情報を不受理申出情報ファイルから検索する					/			
(2)不受理申出情報更新画面を編集･表示する [1.0]					/			
(4)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF12、その他)					/			
PF1	→					(5)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(6)ファイル更新処理選択に制御を渡す		
PF5	→					(7)不受理申出ファイル更新に制御を渡す		
PF6	(8)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]				/			
	YES	(9)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する				(10)同画面を編集する		
	NO	(11)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF12	(12)不受理申出補正内容が更新された(YES,NO)				/			
	YES	(13)不受理申出補正内容で不受理申出補正画像を作成し、不受理申出情報ファイルに登録する			/			
		(14)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する				(15)同画面を編集する		
	NO	(16)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
その他	(17)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

システム環境仕様書			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出情報更新							
処理名	1.0　不受理申出情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出情報更新画面	振り仮名		中間ファイル (処理項番)	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	項番			項番				
	出張所番号			出張所番号				
	受理･送付別			受理･送付別				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	失効区分表示			失効区分表示				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	不受理申出事件名称			不受理申出事件名称				
	不受理申出相手氏名1			不受理申出相手氏名1				
	不受理申出相手氏名2			不受理申出相手氏名2				
	不受理申出イメージ更新日		不受理申出情報ファイル	不受理申出イメージ更新日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可
	不受理申出イメージ更新時間			不受理申出イメージ更新時間				
	不受理申出イメージ最終履歴番号			不受理申出イメージ登録番号				
	不受理申出添付書面イメージ更新日			不受理申出添付書面イメージ更新日		有		
	不受理申出添付書面イメージ更新時間			不受理申出添付書面イメージ更新時間				

システム環境仕様書				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理申出情報更新								
処理名	1.0　不受理申出情報更新画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	不受理申出補正イメージ更新日			不受理申出補正イメージ更新日		有			
	不受理申出補正イメージ更新時間			不受理申出補正イメージ更新時間					
	不受理申出取下イメージ更新日			不受理申出取下イメージ更新日		有			
	不受理申出取下イメージ更新時間			不受理申出取下イメージ更新時間					
	イメージ種別番号								
	表示履歴番号								
	不受理申出補正内容		不受理申出情報ファイル	不受理申出補正情報					

データチェック(単体表)				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				不受理申出情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				
03	不受理申出補正内容		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック表	不受理申出情報更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(不受理申出)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦不受理申出イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面)　又は　3(不受理申出補正)　又は　4(不受理申出取下)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

補足説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	不受理申出情報更新
処理名	4.0　不受理申出補正情報(イメージ)の作成

不受理申出情報更新画面で入力されたテキスト情報を以下の様式でイメージ化する。
テキスト情報とイメージのファイル名等で連携情報ファイル(不受理申出情報:F150-R01)を作成する。
イメージ化した情報は不受理申出情報ファイルに登録する(画像登録ファイルは任意設計)。

1.不受理申出補正情報(イメージ)

不受理申出補正情報　　Z9/Z9 頁

本　籍　　K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
筆頭者　　K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
氏　名　　K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
生年月日　　K－－K(11)－－K
事件名　　K－－－－－K(15)－－－－－K
開始日　　K－－K(11)－－K
失効日　　K－－K(11)－－K
補正内容　　K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－K

2.項目一覧

項目名	出力元	出力元項目名
本籍	不受理申出情報更新画面	本籍
筆頭者		筆頭者
氏名		漢字氏名
生年月日		生年月日
不受理申出事件名		不受理申出事件名称
不受理申出事件開始日		開始日
不受理申出事件失効日		失効日
補正内容		不受理申出補正内容

3.その他

・様式はA4版縦とする。

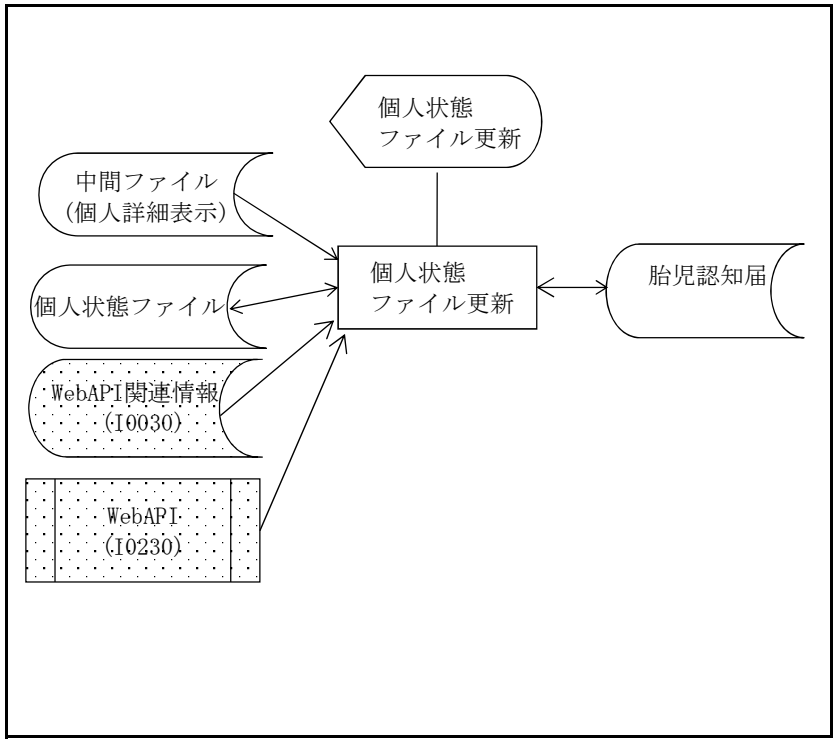
・補正事項が多い場合は複数頁になることも考えられるため頁印字を行う。

・出力形式は任意とするが、戸籍情報連携システムにはPDF形式で送信する。
PDF仕様は、戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書第５電文仕様の５PDF仕様参照。

【注】本帳票仕様は戸籍情報連携システム稼働までの間に変更される場合がある

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	胎児認知届情報ファイル	入出力
個人状態ファイル	入出力		
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		
WebAPI(I0230)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し、ファイルの内容等を編集する
(2)個人状態ファイル更新画面の表示
(3)非本籍地から異動により入籍した場合は、個人情報をキーにWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出し、取得した胎児認知届画像情報を登録する
(4)個人状態ファイルの登録・更新を行う
※胎児認知区分=0で更新された場合は、胎児認知届情報ファイルから該当の情報を削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(個人状態ファイル更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(個人状態ファイル編集)
- 5.0 データ編集表(胎児認知届情報等取得)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む				/				
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する（ある、なしに係わらず）				/				
(3) 個人状態ファイル更新画面を編集･表示する [1.0]				/	(4) 同画面を編集する			
(5) キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF6、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)				/				
実行キー	(6) 入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(7) メッセージ「チェックOKです。個人状態ファイルを更新(PF12)して下さい。」を表示する			(9) 同画面を編集する			
	NO	(8) 入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF1	→				(10)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(11)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→				(12)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す			
PF6	(12-1)非本籍人検索に遷移し、従前戸籍を特定してWebAPI関連情報(I0030)を作成する			/			7.2.(2)「検索」処理の「該当戸籍一覧表示(副本)」～「不受理申出イメージ表示(副本)」の仕様を参照	
	(12-2)該当個人情報でWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出す [5.0]			/				
	(12-3)WebAPI(I0230:画像等情報取得)結果 (OK:YES,NG:NO)			/				
	YES	(12-4)取得した胎児認知届画像情報を胎児認知届情報ファイルに登録する		/				
		(12-5)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する			(12-6)同画面を編集する			
	NO	(12-7)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
PF9	→				(13)個人詳細表示に制御を渡す			
PF10	→				(14)不受理申出ファイル更新に制御を渡す			
PF11	(14-1)胎児認知届区分=1(有)である(YES,NO)			/				
	YES	(14-2)胎児認知届イメージを表示する			(14-3)同画面を編集する			
	NO	(14-4)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新									
処理名	0.0 本紙								備考	
PF12	(15)入力項目のチェック済みである(YES,NO)					/				
	YES	(16)中間ファイル(個人詳細表示)が存在している(YES,NO)				/				
		YES	(17)個人状態ファイルを編集･更新する	[4.0]		/				
		NO	(18)個人状態ファイルを編集･追加する	[4.0]		/				
		(18-1)胎児認知区分が0(無)に変更された(YES,NO)				/			死産届出等により胎児認知区分が0(無)に変更された場合は情報を削除する	
		YES	(18-2)該当の胎児認知届書画像を胎児認知届情報ファイルから削除する			/				
		NO	(18-3)→(19)へ			/				
		(19)メッセージ 「個人状態ファイルが更新されました。」を表示する					(20)同画面を編集する			
	NO	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								
その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する									

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル更新							
処理名	1.0 個人状態ファイル更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人状態ファイル更新画面	振り仮名		中間ファイル (個人詳細表示)	振り仮名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合全ての項目へ0(ゼロ)をセット
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理･処理照会			受理照会区分				
	保留			保留区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	氏の振り仮名職権記録区分			氏の振り仮名職権記録区分				
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				
	メモ			メモ				入力無しの時、ブランクをセット

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル更新						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表		個人状態ファイル更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	禁治産者区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	準禁治産者区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
03							2.0版で削除
04	裁判所通知区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
05							2.0版で削除
06	胎児認知区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
07	受理･処理照会	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
08	保留	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
09	注意喚起区分	○	数字	0(ゼロ)又は1又は2であること			
10	氏の振り仮名職権記録区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
11	名の振り仮名職権記録区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	個人状態ファイル更新						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		個人状態ファイル更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)禁治産者区分、(NO.2)準禁治産者区分の一方が必ず0(ゼロ)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	個人状態ファイル更新							
処理名	4.0　個人状態ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号		中間ファイル (個人詳細表示)	個人番号				
	禁治産者区分		個人状態ファイル 更新画面	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理照会区分			受理･処理照会				
	保留区分			保留				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	氏の振り仮名職権記録区分			氏の振り仮名職権記録区分				
	名の振り仮名職権記録区分			名の振り仮名職権記録区分				
	メモ			メモ1～5				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新								
処理名	5.0　胎児認知届書画像等情報取得								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
WebAPI(IO230-R01:画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番			WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番				
	選択番号(行番号)				選択番号(行番号)				
	戸籍記録順位番号			中間ファイル(個人詳細表示(副本))	詳細選択番号				
	取得対象区分								「10:胎児認知情報」を設定

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	受付ファイル更新処理

受付ファイル更新処理は、通常の異動処理では出来ない受付ファイルに対する処理を直接行う業務であり、次の10業務の処理を行える。
検索業務の受付ファイル検索と同様の流れにより、受付ファイルを特定して処理を行う。

No.	受付ファイル更新業務	処理概要	処理対象		履歴
			処分区分	決裁区分	
1	便宜訂正	処分及び戸籍の記録内容の変わらない軽微些細な受付ファイルの記録誤りを訂正する処理。	---	決裁	○
2	返戻(受理処分の撤回)	送付先から不受理が相当と判断され、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの処分を「受理」から「受理処分の撤回」に変更する処理。	受理	決裁	○
3	返戻(本籍不分明)	送付先において該当者が確定できずに本籍不明とされ、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの本籍欄を「不詳」に変更する処理。	受理	決裁	○
4	発日、発送日入力･修正	照会をする場合における発日、届書 送付をする場合における発送日の入力･修正を行う処理。	---	---	×
5	関連受領番号入力･修正	特定の受付ファイルに対して、関連する受付ファイルの受領番号(関連受領番号)を入力･修正する処理。	---	決裁	×
6	受理後の処理照会	受理処分を行ったが、戸籍の記録方法等が不明確で処理照会を行う場合、処分区分を「受理」から「処理照会」に変更し、発日を入力する処理。	受理	未決裁	○
7	送達確認消し込み	届書等の送達が確認できた場合で、受付ファイルの送達区分を「未到着」から「到着済」に変更する処理。	受理	決裁	×
8	受付ファイル更新	受付帳の記載項目ではなく、システムで使用される項目の更新を行う処理。	---	---	×
9	本籍地変更後の届出 (標準準則第34条)	届書等の受理後に本籍地の変更が明らかになった場合、受付ファイルで修正を必要とする項目を変更する処理。	受理	決裁	○
10	本非区分変更(胎児認知)	胎児認知届後の出生届により、胎児認知届の受付ファイルの本非区分が変更となる場合に、本非区分を変更する処理。	受理	決裁	○

※処理対象は、各受付ファイル更新業務別に、処理を行おうとする受付ファイルの処分区分･決裁区分の状態で異なるが、決裁区分が「欠番」のものはすべてにおいて対象外である。
※履歴管理は、受付ファイル受領番号の枝番を使用して行われる。上記の表では、履歴欄の『○』業務が履歴管理の対象となり、他は上書き処理となる。
※本籍受領分で戸籍の記載がされている場合は、戸籍訂正処理が必要となる場合もある。
※決裁前に関連受領番号を修正すると、同時に決裁がされずに決裁区分が未更新のまま決裁が完了する場合があるため、関連受領番号入力･修正については、決裁後に実施する。
※受付ファイルを更新した場合は、その情報を送信情報(F0050:届書等情報送信(法務省宛))で戸籍情報連携システムに送信する。

次頁以降に、それぞれの業務処理サンプルを受付ファイル(抜粋)で示す。[(2)が主に該当業務の処理結果であり ⁝⁝ 部分が変更個所である。]

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理					

1.便宜訂正

便宜訂正の対象となる項目としては、届出人氏名1～2、届後本籍、届後戸籍の筆頭者、振り仮名、漢字氏名、本籍等がある。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目25番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 甲野英助の本籍が「三丁目52番地」と判明

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

2.返戻(受理処分の撤回)

特定の受付ファイルを選択し、処理を行うことにより履歴が取られ処分区分か変更される。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子の本籍地に婚姻の不受理申出が出されていたのが判明

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受撤回	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

3.返戻(本籍不分明)

特定の受付ファイルを選択し、処理を行うことにより履歴が取られ指定された本籍欄が「不詳」に変更される。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子が該当する本籍に存在せず本籍不分明とされて返戻されてきた場合

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	不詳

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理					

4.発日、発送日入力･修正
　発日、発送日の入力及び修正を行う。
(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 翌日が閉庁日のため発送日を、H7.01.23と入力する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

5.関連受領番号入力･修正
　特定の受付ファイルを選択し、その受付ファイルと関連する受付ファイルの受領番号を関連受領番号として入力及び修正する。
　ここでの入力等の判断は、操作者に委ねられる
(1) H17.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編成)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号		
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	000000000	000000000	…

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 他の受付ファイル(受領番号:199500130)と関連付ける。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号		
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	199500130	000000000	…

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

6.受理後の処理照会
　特定の受付ファイル(受理･未決裁)を選択し、発日を入力する。システムでは、収日のクリア、届書Fの削除を行う。
(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管内に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	発日	収日	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	受理	未決裁			

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 受理は確定しているが、戸籍編製の記録が不明確。(発日を入力する)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	発日	収日	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	処理照会	未決裁	H7.01.21		

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(3) 戸籍DB更新でロックを解除、個人状態F更新で受理処理照会区分を設定する。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理					

7.送達確認消し込み

送達の確認が取れた特定の受付ファイルを選択し、送達確認区分を設定する。この処理の利用は、市町村に委ねられる。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管内に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	送達確認1	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管内本籍X	筆頭者名	受理	決裁	不要	

漢字氏名	本籍	送達確認
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地	未到着
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地	未到着

(2) 乙野梅子の本籍地への送達が確認された場合。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	送達確認1	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管内本籍X	筆頭者名	受理	決裁	不要	

漢字氏名	本籍	送達確認
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地	未到着
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地	到達済

8.受付ファイル更新

受付帳の記載項目ではなく、システムで使用される項目の更新を行う。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	カナ氏名	本籍
甲野　英助	コウノ　エイスケ	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	オトヤ　バイコ	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子のカナ氏名「オトヤ　バイコ」が「オツノ　ウメコ」と判明。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	カナ氏名	本籍
甲野　英助	コウノ　エイスケ	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	オツノ　ウメコ	管外本籍A一丁目16番地

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理					

9.本籍地変更後の届出(標準準則34条)

入力変更項目としては、本非区分、発送日(転送日を設定)、届後本籍(転籍先市町村名を入力)、関連受領番号、本籍がある。届後筆頭者はクリアする。

(1)H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号			漢字氏名	本籍
1995000100	0	婚姻	H7.1.20	受理	本籍	H7.1.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	000000000	000000000	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

※戸籍記録は行われており、乙野梅子は除籍となっている。

(2)H7.01.22 転籍届送付(H7.1.19に乙野梅子在籍戸籍の転籍届を転籍先市町村で受領、転籍先本籍:管外本籍X)

―戸籍訂正処理(受領番号:199500130)‥‥婚姻届により除籍となっている乙野梅子を回復させる。

―転籍処理　　(受領番号:199500132)‥‥乙野梅子を回復した戸籍の転籍処理を通常の異動処理で行う。

―準則34条によるファイル更新処理‥‥‥婚姻届の受付ファイルを更新する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号			漢字氏名	本籍
1995000100	1	婚姻	H7.1.20	受理	非本	H7.1.22			受理	決裁	199500130	199500132	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍X

〃『戸規第41条により』+転籍先市町村名+『長へ転送』〃の形で自動設定する。

例)

a.届後本籍入力欄に、「東京都千代田区」が入力される。

b.受付ファイルの届後本籍に、「戸規第41条により東京都千代田区長へ転送」を設定し更新する。

10.本非区分変更(胎児認知)

特定の受付ファイルを選択し、本非区分を変更する。この処理の利用は、市区町村に委ねられる。

(1)H31.01.20 胎児認知届出(母となる乙野梅子が本籍地に届出)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁			漢字氏名	本籍	
2019000100	0	認知(胎児)	H31.1.20	受理	本籍		管外本籍A	筆頭者名	受理	決裁		…	乙野　梅子の胎児	管内本籍A	

(2)H31.03.02 出生届送付(H31.3.1に母につき管外へ新戸籍編製する出生届を新戸籍編製先市区町村で受領)

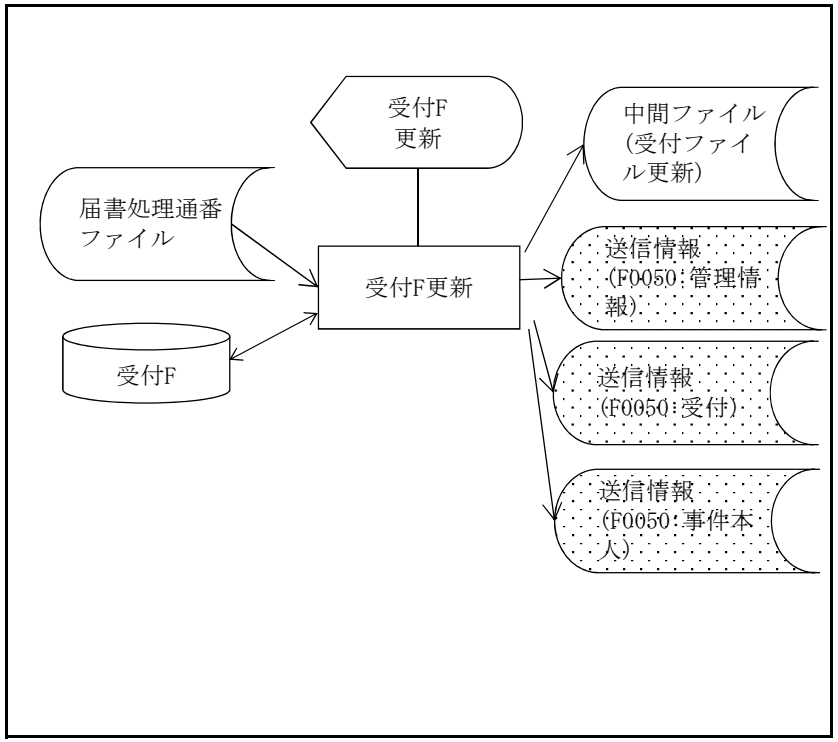
―ファイル更新処理…胎児認知届の受付ファイルを更新する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁			漢字氏名	本籍	
2019000100	1	認知(胎児)	H31.1.20	受理	非本		管外本籍A	筆頭者名	受理	決裁		…	乙野　梅子の胎児	管内本籍A	

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	受付ファイル更新処理

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付F	入出力	中間ファイル (受付ファイル更新)	出力
届書処理通番 ファイル	入力		
送信情報 (F0050:管理情報)	出力		
同(受付)	出力		
同(事件本人)	出力		

3.処理概要

(1)入力された受領番号をもとに受付Fを検索し画面へ表示する
(2)入力された項目の単体チェックを行う
(3)入力された項目の関連チェックを行う
(4)入力されたデータから受付Fを編集･出力する
(5)中間ファイル(受付ファイル更新)、送信情報(F0050:受付)、送信情報(F0050:事件本人)、送信情報(F0050:管理情報)を作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(受付F更新入力画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 データ編集表(受付F)
- 5.0 データ編集表(受付F更新確認画面)
- 6.0 データ編集表(送信情報(受付))
- 7.0 データ編集表(送信情報(事件本人))
- 8.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	受付ファイル更新処理
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)入力時の受領番号7桁=検索データの受領番号3～9桁目と同じ場合繰返し処理を行う					/		
(2)入力された受領番号をキーとして受付Fを検索する					/		
(3)受付F更新入力画面を編集･表示する [1.0]					/		
(4)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他)					/		
実行キー	(5)入力項目の単体チェック(OK,NG) [2.0]				/		
	OK	(6)入力項目の関連チェック(OK,NG) [3.0]			/		
		OK	(7)受付Fを編集する [4.0]		/		
			(8)受付F更新確認画面を編集･表示する [5.0]		/		
			(9)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/		
			PF1	→		(10)業務選択に制御を渡す	
			PF2	→		(11)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す	
			PF5	(12〉 受付F更新入力画面を表示する	/		
				(13)→(4)へ	/		
			PF7	(14)前ページがある(YES,NO)	/		
				YES (15)前ページ受付F更新確認画面表示		(16)同画面を編集する	
				NO (17)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する			
			PF8	(18)次ページかある(YES,NO)	/		
				YES (19)次ページ受付F更新確認画面表示		(20)同画面を編集する	
				NO (21)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する			
			PF9	(22)処理No.=4 又は 5 又は 7 又は 8(YES,NO)	/		
				YES (23)受付Fを更新する(REPLACE処理)	/		(24)削除(R3版)
				NO (25)受付F･受領番号の枝番に1を加える	/		
				(26)受付Fを追加する(ADD処理)	/		(27)削除(R3版)
				(27-1)送信情報(受付)を作成する [6.0]	/		
				(27-2)送信情報(事件本人)を作成する [7.0]	/		
				(27-3)送信情報(管理情報)を作成する [8.0]	/		
				(27-4)中間ファイル(受付ファイル更新)を作成する		(27-5)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す	
			その他	(28)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する		(29)同画面を編集する	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			受付ファイル更新処理					
処理名			0.0 本紙				備考	
		NG	(30)エラーメッセージを表示する		(31)同画面を編集する			
	NG							
PF1	→				(32)業務選択に制御を渡す			
PF2 PF5	→				(33)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す			
PP7	(34)前ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(35)前ページ受付F更新入力画面表示			(36)同画面を編集する			
	NO	(37)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(38)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(39)次ページ受付F更新入力画面表示			(40)同画面を編集する			
	NO	(41)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(42)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	1.0 入力画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F更新入力画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新入力画面 受付F(受付)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	受領番号		受付F(受付)	受領番号				3～9桁目を移送
	受付事件名			受付事件コード		有		
	出張所No.			出張所番号				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	発送日			発送日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	受送区分			受理送付区分				
	受送名					有		
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	本非区分			本非区分				
	本非名					有		
	指示日			指示日				
	収日			収日				
	渉外区分			渉外区分				
	渉外名					有		
	許可日			許可日				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	届書送付目録名					有		
	送達1			送達確認1				
	送達1名					有		
	処分区分			処分区分				
	処分名			処分区分		有		

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	1.0 入力画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
	決裁区分			決裁区分					
	決裁名					有		処理名称を編集	
	関連受領No.1～5			関連受領番号1～5				3～9桁目を移送	
	届出人資格1			届出人資格区分1					
	届出人資格名称1			届出人資格名称1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					
	届出人資格2			届出人資格区分2					
	届出人資格名称2			届出人資格名称2					
	届出人氏名2			届出人氏名2					
	届後本籍区分			届後本籍区分					
	届後本籍名					有			
	届抜本籍コード			届後本籍コード					
	届後本籍			届後本籍					
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者					
	事件発生日時			事件発生日時					
受付F更新入力画面共通域	画面ID								
	システム日付								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	1.0 入力画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F更新入力画面 受付F(事件本人)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	事件本人No.1～n							1～n件のシーケンス番号設定
	事件本人区分1～n		受付F(事件本人)	事件本人区分				
	事件本人名1～n					有		
	届出人区分1～n			届出人区分				
	届出人名1～n					有		
	振り仮名1～n			振り仮名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍(上段)1～n			本籍				1～25文字を設定
	本籍(下段)1～n							26～50文字を設定
	筆順者1～n			筆頭者				
	送達2 1～n			送達確認2				
	送達2名1～n					有		

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	受付ファイル更新処理
処理名	1.0　入力画面編集

選択処理番号により、以下の項目が入力可能となる。(入力可能項目名は高輝度表示とする。)

選択処理番号　1　(便宜訂正)
　　届出人氏名1～2、届後本籍コード、届後本籍、届後戸籍の筆頭者、振り仮名、漢字氏名、本籍コード、本籍　等

選択処理番号　2　(返戻(受理処分の撤回))

選択処理番号　3　(返戻(本籍不分明))
　　本籍

選択処理番号　4　(発日、発送日修正)
　　発日、発送日

選択処理番号　5　(関連受領番号入力･修正)
　　関連受領番号1～5

選択処理番号　6　(受理後の処理照会)
　　発日

選択処理番号　7　(送達確認消し込み)
　　送達1、送達2

選択処理番号　8　(受付ファイル更新)
　　出張所番号、届書送付目録区分、カナ氏名

選択処理番号　9　(本籍地変更後の届出)
　　本非区分、発送日(転送日)、届出後本籍、関連受領番号1～5

選択処理番号　10　(本非区分変更(胎児認知届))
　　本非区分

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理						
処理名		画面名		画面ID			
2.0 単体チェック表		受付ファイル更新画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受付日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	事件発生時分		数字				
6	受理送付区分	○	数字	(1:受理、2:送付)であること			
7	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	発日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
10	指示日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	収日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	渉外区分	○	数字	(0:日本人、1:渉外、2:外国人)であること			
13	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	送達確認1		数字	(△:不要、0:到着済、2:未到着)であること			
15	処分区分		英数	(1:受理、2:不受理、3:受理照会、4:処理照会、5:返戻、6:取下げ、7:保留、8:受理処分後の撤回、9:誤処理、A:誤入力)であること			
16	決裁区分		数字	(0:未決裁、1:決裁、3:修正、4:欠番)であること			
17	関連受領番号		数字				
18	届出人資格区分1		数字	コード表参照			
19	届出人資格名称1		漢字				
20	届出人氏名1		漢字				
21	届出人資格区分2		数字	コード表参照			
22	届出人資格名称2		漢字				
23	届出人氏名2		漢字				
24	届後本籍区分		数字	(1:入籍、2:新戸籍編製)であること			
25	届後本籍コード		数字				
26	届後本籍		漢字				

データチェック(単体表)					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理									
27	届後戸籍の筆頭者		漢字							
28	事件発生日時		漢字							
29	事件本人区分		数字	コード表参照						
30	届出人区分		数字	(0:△、1:届出人)であること						
31	振り仮名		漢字							
32	漢字氏名		漢字							
33	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」						
34	本籍コード		数字							
35	本籍		漢字							
36	筆頭者		漢字							
37	送達確認2		数字							

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル更新処理						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		受付ファイル更新 (受付、事件本人)画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(NO. 3)事件発生日≠スペースの時、(NO. 2)受付日≧(NO. 3)事件発生日であること	「関連エラーかあります。正しく入力して下さい。」		
2	(NO. 4)発送日≠スペースの時、(NO. 2)受付日≦(NO. 4)発送日であること			
3	(NO. 8)発日≠スペースの時、(NO. 2)受付日≦(NO. 8)発日であること			
4	(NO.11)収日≠スペースの時、(NO. 8)発日≠スペースかつ(NO. 8)発日≦(NO.11)収日であること			
5	(NO.28)事件発生日時≠スペースの時、受付F.受付事件コード=16(死亡)であること			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	4.0 受付F編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F(受付)	出張所番号		受付F更新確認画面	出張所No.				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時			事件発生日時				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号1～5			関連受領番号1～5				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	届書送付目録区分			届書送付目録				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	4.0 受付F編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
受付F(事件本人)	事件本人区分1～n			事件本人区分				
	届出人区分1～n			届出人区分				
	カナ氏名1～n							
	振り仮名1～n			振り仮名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍1～n			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2 1～n			送達確認2				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	5.0 確認画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F更新確認画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新確認画面 受付F(受付)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	受領番号		受付F(受付)	受領番号				3～9桁目を移送
	受付事件名			受付事件コード		有		
	出張所No.			出張所番号				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	発送日			発送日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	受送区分			受理送付区分				
	受送名					有		
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	本非区分			本非区分				
	本非名					有		
	指示日			指示日				
	収日			収日				
	渉外区分			渉外区分				
	渉外名					有		
	許可日			許可日				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	届書送付目録名					有		
	送達1			送達確認1				
	送達1名					有		
	処分区分			処分区分				
	処分名					有		

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	5.0 確認画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	決裁区分			決裁区分					
	決裁名					有			
	関連受領No.1～5			関連受領番号1～5					
	届出人資格1			届出人資格区分1					
	届出人資格名称1			届出人資格名称1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					
	届出人資格2			届出人資格区分2					
	届出人資格名称2			届出人資格名称2					
	届出人氏名2			届出人氏名2					
	届後本籍区分			届後本籍区分					
	届後本籍名					有			
	届後本籍コード			届後本籍コード					
	届後本籍			届後本籍					
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者					
	事件発生日時			事件発生日時					
受付F更新確認画面共通域	画面ID								
	システム日付								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	5.0 確認画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F更新確認画面 受付F(事件本人)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	事件本人No.1～n							1～n件のシーケンス番号設定
	事件本人区分1～n		受付F(事件本人)	事件本人区分				
	事件本人名1～n					有		
	届出人区分1～n			届出人区分				
	届出人名1～n					有		
	振り仮名1～n			振り仮名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍(上段)1～n			本籍				1～25文字を設定
	本籍(下段)1～n							26～50文字を設定
	筆頭者1～n			筆頭者				
	送達2 1～n			送達確認2				
	送達2名1～n					有		

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	6.0　送信情報(受付)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
送信情報(F0050-R02:受付)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				履歴も含め全て送信する
	受領番号		受付DB (受付ファイル)	(同項目)				
	出張所名称			出張所番号		有		
	受付事件コード			(同項目)				
	受付日			(同項目)				
	事件発生日			(同項目)				
	事件発生時分			(同項目)				
	事件発生日時			(同項目)				
	受理送付区分			(同項目)				
	本非区分			(同項目)				
	渉外区分			(同項目)				
	発送日			(同項目)				
	郵送日			(同項目)				
	発日			(同項目)				
	収日			(同項目)				
	指示日			(同項目)				
	許可日			(同項目)				
	関連受領番号1			(同項目)				
	関連受領番号2			(同項目)				
	関連受領番号3			(同項目)				
	関連受領番号4			(同項目)				
	関連受領番号5			(同項目)				
	届出人資格区分1			(同項目)				
	届出人資格名称1			(同項目)				
	届出人氏名1			(同項目)				
	届出人資格区分2			(同項目)				

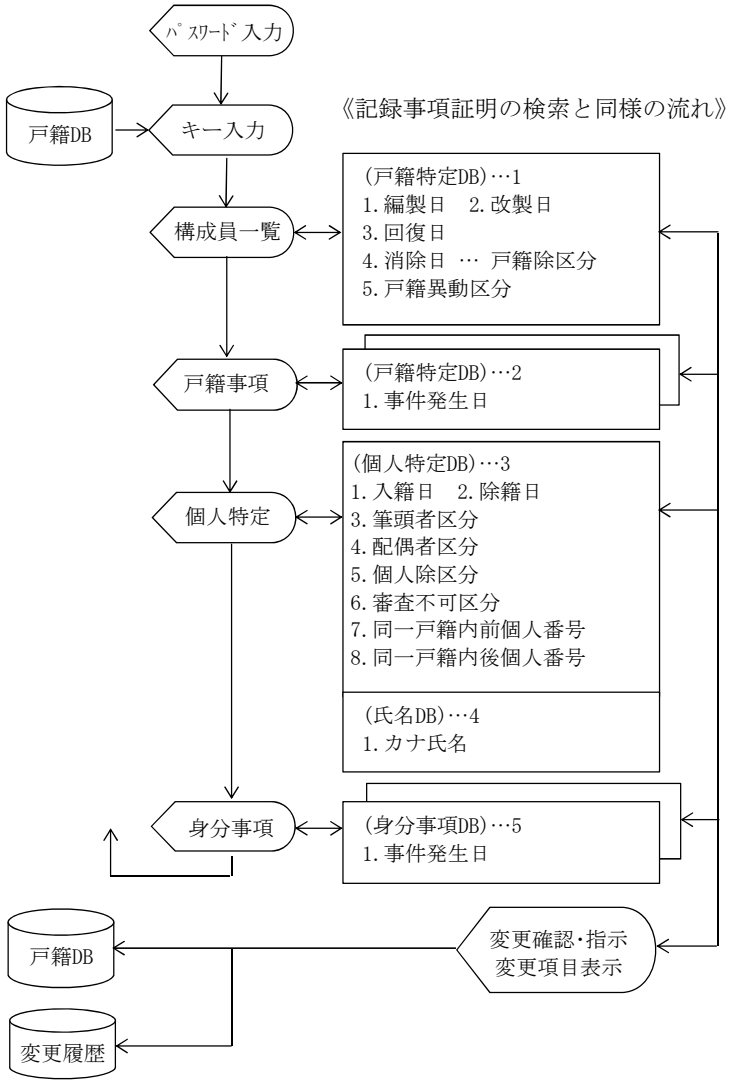
データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	6.0　送信情報(受付)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届出人資格名称2			(同項目)					
	届出人氏名2			(同項目)					
	届後本籍区分			(同項目)					
	届後本籍コード			(同項目)					
	届後本籍			(同項目)					
	届後戸籍の筆頭者			(同項目)					
	送達確認1			(同項目)					
	証書提出区分			(同項目)					
	届書送付目録区分			(同項目)					
	処分区分			(同項目)					
	決裁区分			(同項目)					
	届後戸籍番号							他情報から設定	
	更新日							システム日付を設定	
	更新時間							システム時刻を設定	

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	7.0　送信情報(受付情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報(F0050-R03:事件本人)	市区町村コード							自市区町村コードを設定	
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				履歴も含め全て送信する	
	受領番号		事件本人ファイル	(同項目)				※「受領番号」～「更新時間」まで事件本人分設定する	
	行番号			(同項目)					
	事件本人区分			(同項目)					
	届出人区分			(同項目)					
	個人番号			個人番号				他情報から設定	
	カナ氏名		事件本人ファイル	(同項目)					
	振り仮名			(同項目)					
	漢字氏名			(同項目)					
	生年月日			(同項目)					
	本籍コード			(同項目)					
	本籍			(同項目)					
	筆頭者			(同項目)					
	送達確認2			(同項目)					
	更新日							システム日付を設定	
	更新時間							システム時刻を設定	

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	8.0　送信情報(管理情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR02:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード							受理地での更新は[TR02]を設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ					
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分					
	届書画像情報ファイル名								
	届書PDF更新年月日								
	届書PDF更新時分秒								
	添付書面画像情報ファイル名								
	添付書面PDF更新年月日								
	添付書面PDF更新時分秒								
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR03:届書等情報送付地決裁]	届書種別コード							送付地での更新は[TR03]を設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				届書処理通番ファイルに設定される	

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	戸籍DB更新処理					

戸籍DBの特定項目のみを、資格(パスワード制御)をもった者が変更できる処理を「戸籍DB更新処理」と呼ぶ。
　　戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象。



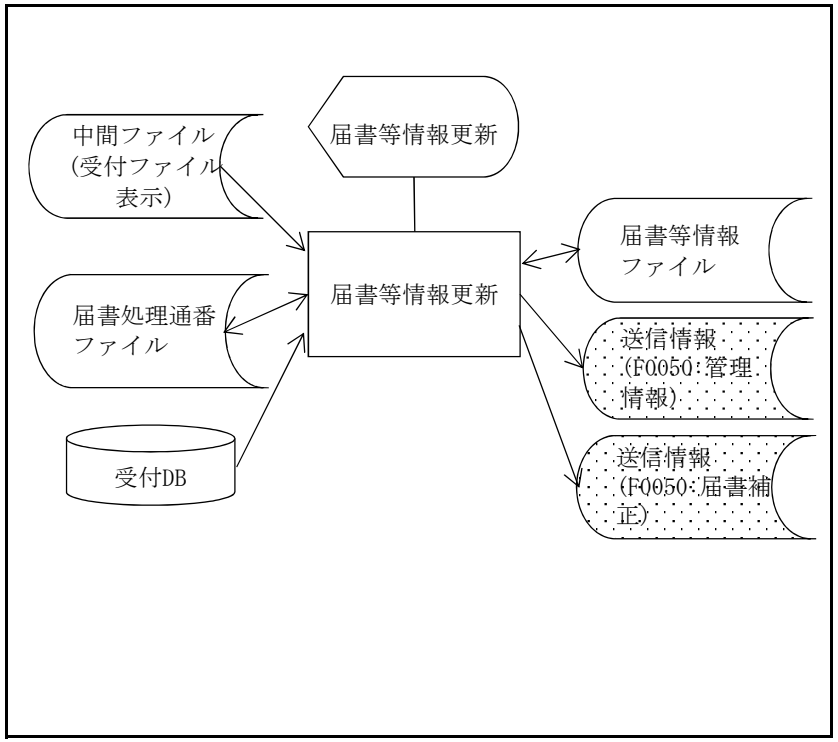
【処理条件概要】
1. 処理操作者の限定を、パスワード等により行う。
2. 変更可能な項目を、左記の枠組みの中の項目のみとする。
3. 戸籍事項･身分事項等との係わりは、操作者の責任で確認する。
4. 配偶者区分の更新は、「生存配偶者」から「未」へのみ可とする。
5. カナ氏名については、変更前のカナ氏名を「旧氏名」とする。(氏名DB履歴)
   他の項目については、上書き方式とする。
6. 戸籍DBの検索から更新までの間の排他制御は、行うようにする。
7. すべての変更に対して、変更履歴ファイルを作成する。
   作成後のファイル利用は、各自治体に委ねる。
8. 戸籍異動区分については、特に配慮を要する。

【戸籍DB変更履歴F】 レコード長:200バイト　順次編成

NO	項目名	項目のバイト数	備考
1	変更日	9(8)	yyyymmdd(西暦)
2	変更時間	9(9)	ttmmssnnn
3	変更者	N(15)	パスワード
4	変更場所	N(7)	出張所(3)+端末(4)
5	戸籍番号	9(10)	
6	個人番号	9(10)	戸籍特定、戸籍事項DBの変更時は不使用。
7	行番号	9(2)	戸籍事項、身分事項、氏名DBの変更時のみ使用。
8	記載コード	9(4)	戸籍事項、身分事項DBの変更時のみ使用。
9	変更対象区分	9(2)	11:戸籍特定DB･編製日～51:身分事項DB･事件発生日
10	区分別内容	X(120)	変更前と後を持つ。変更対象区分が「11」であれば変更前編製日:9(7)と変更後編製日:9(7)を持つ。
11	予備	X(13)	

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(受付ファイル表示)	入力	送信情報(F0050:管理情報)	出力
届書処理通番ファイル	入出力	同(届書補正)	出力
受付DB	入力		
届書等情報ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番に該当する情報を
届書等情報ファイルから検索し、届書等情報更新画面を表示する
(2)指定により該当の画像イメージを表示する
※表示により登録の有無を判定する
(3)補正情報の入力及び更新により、届書補正画像情報を作成する
※補正情報更新後に補正イメージの表示が可

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(届書等情報更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 3.1 データ編集表(届書処理通番ファイル)
- 4.0 データ編集表(送信情報(届書補正))
- 5.0 データ編集表(送信情報(管理情報))
- 6.0 補足説明書 届書補正情報(イメージ)の作成

5.備考(特記事項含む)

・届書処理通番単位で作成するため、届書処理通番に該当する受付帳全てが対象となる。

・届書等情報内容証明書は届書単位で証明するため、届書補正画像は届書単位で作成する必要がある。画像情報は届書等情報内容証明書の様式として使用されることになるため、5.6.(2)帳票設計書の届書等情報内容証明書等(2)届書補正部分の認証域を除く内容で作成する。

・追完届有無フラグ及び規則第四十一条処理区分は、入力内容について最低限の審査を行うと同時に、変更されたことのメッセージを表示して再確認を行う。

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	届書等情報更新
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で受付DBを検索する					/		
(2)中間ファイル(受付ファイル表示)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で届書等情報ファイルを検索する					/		
(3)届書等情報更新画面を編集・表示する [1.0]					/		
(4)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF12、その他)					/		
PF1	→					(5)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(6)ファイル更新処理選択に制御を渡す	
PF5	→					(7)ファイル更新処理選択に制御を渡す	
PF6	(8)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]				/		
	YES	(8-1)追完届有無フラグが更新された(YES,NO)			/		
		YES	(8-2)届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理) 又は 2(在外公館の直接送付)である。(YES,NO)		/		
			YES	(8-3)確認メッセージ(YES,NO) 「追完届有無フラグが更新されましたがよろしいですね。」を表示する		(8-4)同画面を編集する	
				YES (8-5) → (8-10)へ	/		
				NO (8-6) →		(8-7)同画面を編集する	
			NO	(8-8)エラーメッセージ 「送付地では追完届有無フラグは設定できません。 0 (無) に修正して下さい。」を表示する			
		NO	(8-9) → (8-10)へ		/		

システム環境仕様書				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新								
処理名	0.0 本紙							備考	
		(8-10)規則第四十一条処理区分が更新された(YES,NO)			/			入力内容について設定できない審査だけを行う。届書種別コード等の情報による追加の審査は任意設計とする。	
	YES	(8-11)変更された規則第四十一条処理区分			/				
		0	(8-12)確認メッセージ(YES,NO) 「規則第四十一条処理区分が「該当無し」に更新されましたがよろしいですね。」を表示する			(8-13)同画面を編集する			
			YES	(8-14) → (9)へ	/				
			NO	(8-15) →		(8-16)同画面を編集する			
		1	(8-17)確認メッセージ(YES,NO) 「規則第四十一条処理区分が「処理中」に更新されましたがよろしいですね。」を表示する						
			YES	(8-18) → (9)へ	/				
			NO	(8-19) →		(8-20)同画面を編集する			
		2	(8-21)届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理) 又は2(在外公館の直接送付)である。(YES,NO)						
			YES	(8-22)確認メッセージ(YES,NO) 「規則第四十一条処理区分が「完了」に更新されましたがよろしいですね。」を表示する					
				YES	(8-23) → (9)へ	/			
				NO	(8-24) →		(8-25)同画面を編集する		
			NO	(8-26)エラーメッセージ 「送付地では規則第四十一条処理区分に「完了」は設定できません。」を表示する					
		NO	(8-27) → (9)へ			/			
		(9)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する					(10)同画面を編集する		
	NO	(11)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する							
PF7	(12)届書処理通番ファイルを検索し、一件前の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(13)→(1)へ			/				
	NO	(14)エラーメッセージ 「情報はありません。」を表示する				(15)同画面を編集する			
PF8	(16)届書処理通番ファイルを検索し、一件後の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(17)→(1)へ			/				
	NO	(18)エラーメッセージ 「情報はありません。」を表示する				(18-1)同画面を編集する			

システム環境仕様書			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF12	(19)届書等の画像情報 又は 届書補正内容が更新された(YES,NO)			/				
	YES	(19-1)届書等の画像情報が更新された(YES,NO)		/			スキャンした届書等の画像情報は決裁後でないと届書等情報に紐づけできないため、画像情報の登録が決裁後であることのチェックは任意設計機能とする。	
		YES	(19-2)届書等の画像情報を届書等情報ファイルに登録する	/				
		NO	(19-3)→(20)へ	/				
		(20)届書補正内容が更新された(YES,NO)		/			届書補正内容は受付帳単位で登録する 補正画像は5.6.(2)帳票設計書の届書等情報内容証明書等(2)届書補正部分の認証域を除く内容で作成する 補正画像は複数の画像を1ファイルにまとめて登録するか、受付帳単位で登録する ※戸籍情報連携システムへは、届書補正内容も画像情報も1つにまとめて送信する 更新した届書処理通番ファイル情報で送信情報(管理)を作成するため、届書処理通番ファイルの更新を先に処理を行う	
		YES	(21)届書補正内容を届書等情報ファイルに登録する	/				
			(22)届書補正内容で届書補正画像を作成し、届書等情報ファイルに登録する	/				
		NO	(23)→(~~24~~ 23-1)へ	/				
		(23-1)届書処理通番ファイルを更新する [3.1]		/				
		(24)送信情報(届書補正)、送信情報(管理情報)を作成する [4.0][5.0]		/				
		(25)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する			(26)同画面を編集する			
	NO	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
その他	(28)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新								
処理名	1.0　届書等情報更新画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
届書等情報更新画面	受領番号		中間ファイル (受付ファイル更新) 又は受付DB	受領番号				3～9桁目を表示	
	受理送付の別			受理送付区分		有			
	受付日			受付日		有			
	処分内容			処分区分		有			
	決裁内容			決裁区分		有			
	事件名			受付事件コード		有			
	事件日			事件発生日		有			
	事件発生時分			事件発生時分					
	出張所番号			出張所番号					
	発送日名称						受理送付区分=2(送付)のとき「発送日」 受理送付区分=3(通知)のとき「送信日」を表示		
	発送日			発送日		有			
	郵送日			郵送日		有			
	本籍非本籍の別			本非区分		有			
	発日			発日		有			
	収日			収日		有			
	許可日			許可日		有			
	渉外内容			渉外区分		有		0:日本人のときブランク	
	指示日			指示日		有			
	関連受領番号1			関連受領番号1					
	関連受領番号2			関連受領番号2					
	関連受領番号3			関連受領番号3					
	関連受領番号4			関連受領番号4					
	関連受領番号5			関連受領番号5					
	追完届有無フラグ		届書処理通番ファイル	追完届有無フラグ					
	追完届有無フラグ名称					有			
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分					

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新								
処理名	1.0　届書等情報更新画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	規則第四十一条処理区分名称					有			
	届書イメージ更新日		届書等情報ファイル	届書PDF更新年月日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可	
	届書イメージ更新時間			届書PDF更新時分秒					
	届書イメージ最終履歴番号			届書画像情報履歴番号					
	届書添付書面イメージ更新日			届書添付書面PDF更新年月日		有			
	届書添付書面イメージ時間			届書添付書面PDF更新時分秒					
	届書補正イメージ更新日			届書補正PDF更新年月日		有			
	届書補正イメージ更新時間			届書補正PDF更新時分秒					
	イメージ種別番号								
	表示履歴番号								
	届書補正内容		届書等情報ファイル	届書補正情報					

システム環境仕様書				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				届書等情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～3であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				
03	届書補正内容		漢字				
04	追完届有無フラグ		数字	(0:無、1:有)であること			
05	規則第四十一条処理区分		数字	(0:該当無し、1:処理中、2:完了)であること			

システム環境仕様書		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	届書等情報更新						

処理名	画面名	画面ID	
3.0 関連チェック表	届書等情報更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(届書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦届書イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面) 又は 3(届書補正) 又は 未入力の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

データ編集表			作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	届書等情報更新							
処理名	3.1 届書処理通番ファイル更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書処理通番ファイル	届書処理通番							
	行番号							
	受領番号							
	在外送付区分							
	追完届有無フラグ		届書等情報更新画面	追完届有無フラグ				
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	届書等情報送信区分							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新							
処理名	4.0　送信情報(届書補正)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報(F0050-R05:届書補正)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	届書補正情報		届書等情報ファイル	届書補正内容				複数の届書に補正がある場合は、 各々で補正情報を作成し、作成した情報を1つに連結する。 例)離婚同時77条の2の場合 　離婚の補正情報に77条の2の補正情報を追加して作成

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報更新								
処理名	5.0　送信情報(管理情報)作成処理　※各レコードを分けて表示								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR01:届書等情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							初回[TR01]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	届書画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書PDFファイル名				複数の届書がある場合は、受領番号順に届書画像情報をページ追加して画像情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚の画像情報に77条の2の画像情報を追加して作成 ※添付書面も同様 ※届書画像の更新により情報連携システムで履歴管理される
	届書PDF更新年月日			届書PDF更新年月日				
	届書PDF更新時分秒			届書PDF更新時分秒				
	添付書面画像情報ファイル名			届書添付書面PDFファイル名				
	添付書面PDF更新年月日			届書添付書面PDF更新年月日				
	添付書面PDF更新時分秒			届書添付書面PDF更新時分秒				
	申入書画像情報ファイル名		申入書情報ファイル	申入書PDFファイル名				申入書情報は届書に該当する情報があれば登録する。
	申入書PDF更新年月日			申入書PDF更新年月日				
	申入書PDF更新時分秒			申入書PDF更新時分秒				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR02:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード							更新[TR02]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	届書画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書PDFファイル名				複数の届書がある場合は、受領番号順に届書画像情報をページ追加して画像情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚の画像情報に77条の2の画像情報を追加して作成 ※添付書面も同様 ※届書画像の更新により情報連携システムで履歴管理される
	届書PDF更新年月日			届書PDF更新年月日				
	届書PDF更新時分秒			届書PDF更新時分秒				
	添付書面画像情報ファイル名			届書添付書面PDFファイル名				
	添付書面PDF更新年月日			届書添付書面PDF更新年月日				
	添付書面PDF更新時分秒			届書添付書面PDF更新時分秒				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報更新								
処理名	5.0　送信情報(管理情報)作成処理　※各レコードを分けて表示								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR04:補正情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							初回、更新とも[TR04]を設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				届書処理通番ファイルに設定される	
	届書補正画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書補正PDFファイル名				届書画像情報と同様、離婚の補正画像情報に77条の2の補正画像情報を追加して作成	
	届書補正PDF更新年月日			届書補正PDF更新年月日					
	届書補正PDF更新時分秒			届書補正PDF更新時分秒					

補足説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	届書等情報更新
処理名	6.0　届書補正情報(イメージ)の作成

届書等情報更新画面で入力されたテキスト情報を以下の様式でイメージ化する。　テキスト情報とイメージのファイル名等で送信情報(F0050:(管理情報))を作成する。
イメージ化した情報は届書等情報ファイルに登録する(画像登録ファイルは任意設計)。

1.届書補正情報(イメージ)

届書補正情報　　Z9/Z9 頁

受理市区町村　K－－－－－－K (20) －－－－－－K
受領番号　999999999
事件名　K－－－－－K (15) －－－－－K
補正内容　K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－－K

2.項目一覧

項目名	出力元	出力元項目名
受理市区町村		管内の都道府県コード+市区町村コードをコード変換して設定
受領番号	届書等情報更新画面	受領番号
事件名		事件名
補正内容		届書補正内容

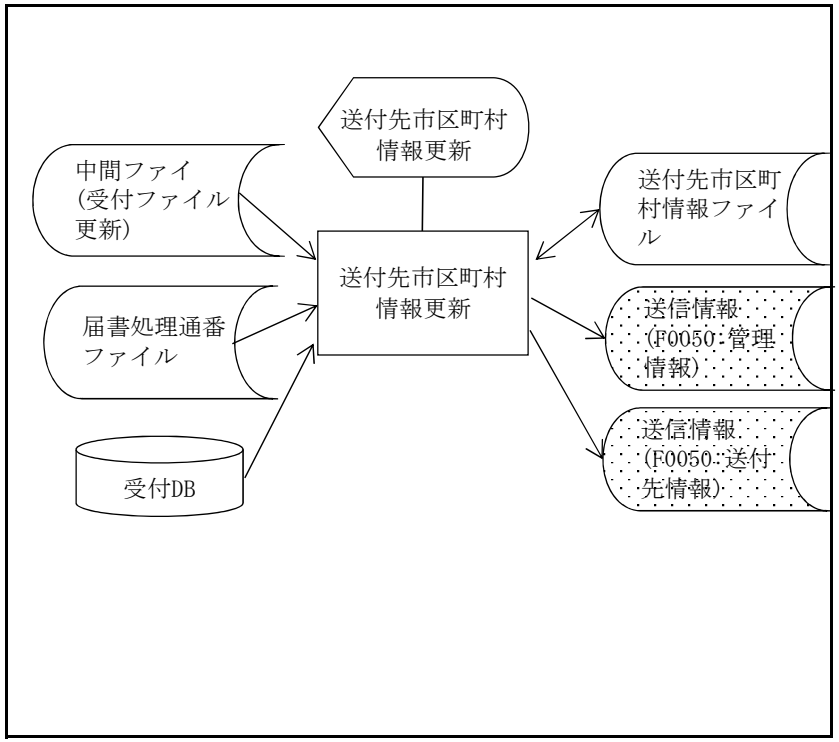
3.その他

・様式はA4版縦とする。
・補正事項が多い場合は複数頁になることも考えられるため頁印字を行う。
・複数の届書で補正がある場合は、1つの補正で画像を作成し、次の補正の画僧をページ追加する。
・出力形式は任意とするが、戸籍情報連携システムにはPDF形式で送信する。
PDF仕様は、戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書第５電文仕様の５PDF仕様参照。

【注】本帳票仕様は戸籍情報連携システム稼働までの間に変更される場合がある

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付先市区町村情報更新					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(受付ファイル表示)	入力	送信情報(F0050:管理情報)	出力
届書処理通番ファイル	入力	同(送付先情報)	出力
受付DB	入力		
送付先市区町村情報ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル更新)の届書処理通番に該当する情報を
送付先市区町村情報ファイルから検索し、送付先市区町村情報更新画面を表示する
(2)送付先市区町村情報ファイルを登録･更新する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(届書補正情報更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(送付先市区町村情報ファイル)
- 5.0 データ編集表(送信情報(送付先情報))
- 6.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	送付先市区町村情報更新

処理名	0.0 本紙			備考
	(1)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で送付先市区町村情報ファイルを検索する	/		登録済みの送付先市区町村情報を表示する
	(2)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で受付DBを検索する	/		前後受付帳の情報は受付帳部分の画面だけの表示に切り替える ※送付先市区町村情報は届書処理通番単位で保持
	(3)PF7(前受付帳) 又は PF8(後受付帳)による表示である(YES,NO)	/		
YES	(4)送付先市区町村情報更新画面の受領番号～関連受領番号5に取得したデータを編集し表示する [1.0]	/		
NO	(5)送付先市区町村情報更新画面の全ての項目に取得したデータを編集し表示する [1.0]	/		
	(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF12、その他)	/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(8)→(11)へ	/		
NO	(9)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを表示する		(10)同画面を編集する	
	(11)処理区分≠0(無)のデータ分処理を繰り返す	/		
	(11-1)処理区分=3(削除)である(YES,NO)	/		削除の場合は無条件で削除する ※(12)～(25)の審査でエラーとなる情報は作成されないが、処分決定等他の処理でエラーとなる情報が作成された場合の対処
YES	(11-2)→(11)へ	/		
NO	(11-3)→(12)へ	/		
	(12)送付先市区町村コードnが同じデータが以前のデータ(備考欄参照)にある (ある:YES,ない:NO)	/		以前のデータには処理区分＝0(無)を含み、3(削除)は含まない
YES	(12-1)同じ送付先市区町村コードnの事件対象区分n及び送付先区分nが同一のデータが無い (無い:YES,ある:NO)	/		同一市区町村は、事件対象区分と送付先区分が異なるデータしか作成できない
YES	(12-1)→(19)へ	/		
NO	(13)メッセージ 「事件対象区分及び送付先区分が異なる場合だけ、同一の市区町村が入力できます。」を表示する		(14)同画面を編集する	
				(16)(17)を削除R4版
NO	(18)→(19)へ	/		
	(19)送付先区分n＝2(参考送付先) かつ (受付事件コード＝0101(出生)～0105(出生(認知・国籍留保)) 又は 0202(胎児認知) 又は 4403(その他(胎児死産)))以外 である(YES,NO)	/		
YES	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「送付先区分が「参考送付先」のデータがあります。間違いありませんね。」		(21)同画面を編集する	
YES	(22)→(11)へ	/		

要件定義ワークシート				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	0.0 本紙							備考	
			NO	(23)→		(24)同画面を編集する			
		NO	(25)→(11)へ		/				
	→(26)へ				/				
	(26)処理区分n＝4(遺漏追加)のデータ かつ 送信区分n＝1(未送信)のデータだけである(YES,NO)				/				
	YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「遺漏追加以外の情報がありません。間違いありませんね。」を表示する				(28)同画面を編集する			
		YES	(29)→						
		NO	(30)→						
	NO								
PF1	→					(31)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(32)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→					(33)受付ファイル更新処理に制御を渡す			
PF7	(34)同じ届書処理通番で一件前の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(35)→(2)へ				(36)同画面を編集する			
	NO	(37)エラーメッセージ 「情報はありません。」を表示する							
PF8	(38)同じ届書処理通番で一件後の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(39)→(2)へ				(40)同画面を編集する			
	NO	(41)エラーメッセージ 「情報はありません。」を表示する							
PF12	(41-1)画面入力がない(YES,NO)				/				
	YES	(41-2)→(49)へ			/			データ入力が全くない場合は(49)に遷移する	
	NO	(41-3)→(42)へ			/				
	(42)入力項目のチェック済みである(YES,NO)				/				
	YES	(43)データの最初から最後まで以下の処理を繰り返す			/				
		(44)処理区分nは何か(0、1、2、3、4)			/				
		0	(45)→		/				
		1、4	(46)送付先市区町村情報ファイルにデータを追加する [4.0]		/				
		2	(47)送付先市区町村情報ファイルのデータを更新する [4.0]		/				
		3	(48)送付先市区町村情報ファイルのデータを削除する		/				
	→(49)へ				/				

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名		送付先市区町村情報更新						
処理名		0.0 本紙					備考	
		(49)送信情報(送付先情報)、送信情報(管理情報)を作成する [5.0][6.0]		/				
		(50)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する			(51)同画面を編集する			
	NO	(52)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
その他		(53)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新							
処理名	1.0　送付先市区町村情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送付先市区町村情報更新画面	ページ							
	受領番号		中間ファイル (受付ファイル更新) 又は受付DB	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分内容			処分区分		有		
	決裁内容			決裁区分		有		
	事件名			受付事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		0:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				
	発送日			発送日　又は 発信(発送)日		有		送付先市区町村情報ファイルに発信(発送)日がある場合は、その情報で上書きする
	送付先市区町村情報管理番号n		送付先市区町村情報ファイル	市区町村内送付先情報連番				同一の届書処理通番で保持しているデータを1件ずつ表示する

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新							
処理名	1.0　送付先市区町村情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送付先市区町村コードn			送付先市区町村コード		有		
	送付先市区町村名称n							
	事件対象区分n			事件対象区分		有		1:対象 2:対象外を表示
	事件対象区分名称n							
	送付先区分n			送付先区分		有		1:送付先 2:参考送付を表示
	送付先区分名称n							
	送信区分n			送信区分		有		1:未送信　2:送信済 3:送付紙　4:到着紙を表示
	送信区分名称n							
	処理区分n			処理区分		有		0:無、1:追加、2:更新、3:削除、4:遺漏を表示
	処理区分名称n							

データチェック（単体表）				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				送付先市区町村情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	送付先市区町村コードn		数字	存在するコードであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		ALL9は入力不可 合併等で未設定の場合は設定後に本処理を実施
02	事件対象区分n		数字	1:事件対象、2:事件対象以外であること			
03	送付先区分n		数字	1:送付先、2:参考送付先であること			
04	処理区分n		数字	0:無、1:追加、2:更新、3:削除、4:遺漏追加であること			
05	送信区分(n)		数字	1:未送信、2:送信済、3:送達中(紙送付)、4:到着済(紙送付)であること			
06	発送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（関連表）		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック表		送付先市区町村情報更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(№1)送付先市区町村コードn≠スペースの場合、 (№2)事件対象区分n≠スペース　かつ　(№3)送付先区分n≠スペース　かつ (№4)処理区分n≠スペース　かつ　(№5)送信区分n≠スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(№1)送付先市区町村コードn＝スペースの場合、 (№2)事件対象区分n＝スペース　かつ　(№3)送付先区分n＝スペース　かつ (№4)処理区分n＝スペース　かつ　(№5)送信区分n＝スペース　かつ (№6)発送日＝スペース　であること			
03	(№4)処理区分n=1(追加)　又は　4(遺漏追加)の場合、 送付先市区町村情報管理番号n＝スペース　かつ　(№1)送付先市区町村コードn≠スペース　かつ (№5)送信区分n＝1(未送信)　又は　3(送達中)　であること			追加の場合、紙送付は3(送達中)とする
04	(№4)処理区分n=2(更新)　又は　3(削除)の場合、 送付先市区町村情報管理番号n≠スペース　かつ　(№1)送付先市区町村コードn≠スペース　かつ (№5)送信区分n＝1(未送信)　又は　3(送達中)　であること			
05	(№5)送信区分n=3(送達中(紙送付))の場合、(№6)発送日≠スペース　であること			発送日を届書送付後入力する運用を採用する場合は、本チェックは不要

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	4.0　送付先市区町村情報ファイル								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				更新の場合は全ての情報を送信する	
	送付地市区町村コード		送付先市区町村情報更新画面	送付先市区町村コード					
	市区町村内送付先情報連番							処理区分=1:追加、4:遺漏追加の場合、システムで付番する	
	事件対象区分			事件対象区分					
	送付先区分			送付先区分					
	遺漏追加区分							処理区分=4:遺漏追加の場合、1:遺漏追加分を設定 F0050-C02[TR06]にて送信する	
	送信区分			送信区分					
	発信(発送)日			発送日					

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新							
処理名	5.0　送信情報(送付先情報)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報(F0050-R04:送付先情報)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番				同一の届書処理通番で複数の送付先情報がある場合は、F0050-R04を送付先情報分作成する。
	送付地市区町村コード			送付地市区町村コード				
	市区町村内送付先情報連番			市区町村内送付先情報連番				
	事件対象区分			事件対象区分				
	送付先区分			送付先区分				

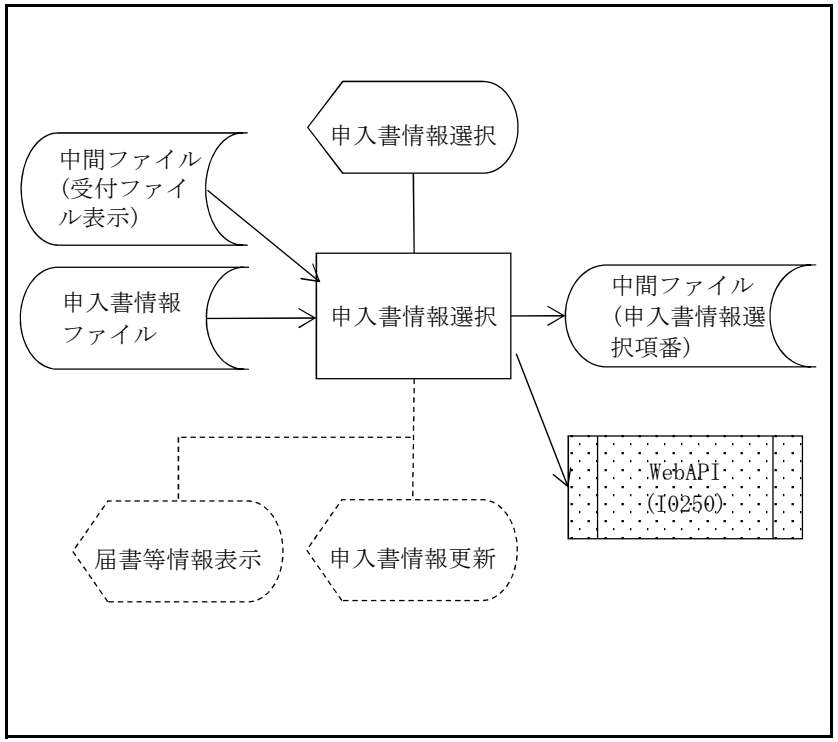
データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	6.0　送信情報(管理情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR01:届書等情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							初回[TR01]を設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される	
	届書画像情報ファイル名								
	届書PDF更新年月日								
	届書PDF更新時分秒								
	添付書面画像情報ファイル名								
	添付書面PDF更新年月日								
	添付書面PDF更新時分秒								
	申入書画像情報ファイル名								
	申入書PDF更新年月日								
	申入書PDF更新時分秒								
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR02:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード							更新[TR02]を設定 →送付先市区町村情報ファイルの遺漏追加区分=0(通常分)で作成	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される	
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分					
	届書画像情報ファイル名								
	届書PDF更新年月日								
	届書PDF更新時分秒								
	添付書面画像情報ファイル名								
	添付書面PDF更新年月日								
	添付書面PDF更新時分秒								

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	6.0　送信情報(管理情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR06:届書等情報送付先遺漏分送信(法務省宛)]	届書種別コード							[TR06]を設定 ※受理地及び送付地の戸籍の記録が完了した届書において、新たな送付先を追加する必要がある場合(指定すべき送付先の設定を遺漏した、規則第四十一条に示す新本籍への送付を要する等)にのみ利用する。 →送付先市区町村情報ファイルの遺漏追加区分=1(遺漏追加)で作成	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	申入書情報選択(サンプル)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (受付ファイル表示)	入力		
申入書情報ファイル	出力		
中間ファイル (申入書情報選択項番)	出力		
WebAPI関連情報 (I0250)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)から申入書情報選択画面を編集し、表示する
(2)届書等情報イメージ及び申入書イメージを表示する場合は届書等情報表示へ遷移する
(3)届出済届書等に対する申入書の申請があった場合は、直ちにWebAPI(I0250:
届書等情報の注意喚起情報設定)を送信する
※届書と同時にその届書に係る申入書の申請がされた場合は、届書の処理完了後に
届書等情報として申入書画像を送信するため、WebAPI(I0250:届書等情報の
注意喚起情報設定)の送信は不要である
(4)中間ファイル(申入書情報選択項番)を作成して申入書情報更新へ遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(申入書情報選択画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(届書等情報の注意喚起情報設定)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	申入書情報選択(サンプル)			
処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の受領番号(又は届書処理通番)をキーとして申入書情報ファイルを全件検索する(ある、なしに係わらず)		/		
(2)申入書情報選択画面を編集・表示する [1.0]		/		
(3)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF11、PF12、その他)		/		
PF1	→		(4)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(5)ファイル更新処理選択に制御を渡す	
PF5	→		(6)受付ファイル更新処理に制御を渡す	
PF6	→		(7)届書等情報表示に制御を渡す	
PF7	(8)申入書情報選択画面に前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	YES (9)前ページ分の申入書情報選択画面を編集する		(10)同画面を編集する	
	NO (11)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(12)申入書情報選択画面に次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	YES (13)次ページ分の申入書情報選択画面を編集する		(14)同画面を編集する	
	NO (15)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する			
PF11	(16)処理区分＝スペース かつ 申入書情報選択項番＝スペースである(YES,NO)	/		注意喚起情報の送信
	YES (17)確認メッセージ(YES,NO) 「注意喚起情報を送信してもいいですか。」を表示する		(18)同画面を編集する	
	YES (19)WebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定)を送信する [4.0]	/		
	(20)WebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定結果) (OK:YES,NG:NO)	/		
	YES (21)メッセージ「情報を送信しました。」を表示する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する			
	NO →			
	NO (24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			
PF12	(25)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
	YES (26)中間ファイル(申入書情報選択項番)を作成する		(27)申入書情報更新に制御を渡す	
	NO (28)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを表示する		(29)同画面を編集する	
その他	(30)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報選択(サンプル)							
処理名	1.0　申入書情報選択画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
申入書情報選択画面	ページ							
	受領番号		中間ファイル (受付ファイル表示)	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分内容			処分区分		有		
	決裁内容			決裁区分		有		
	事件名			受付事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	発送日名称						受理送付区分=2(送付)のとき「発送日」 受理送付区分=3(通知)のとき「送信日」を表示	
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		0:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				
	申入書情報総数		申入書情報ファイル	申入書情報管理番号(最後)				最後のデータの申入書情報管理番号
	申入書情報管理番号 1～2			申入書情報管理番号				保持しているデータを表示する

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報選択(サンプル)								
処理名	1.0　申入書情報選択画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	申入書届出日 1～2			申入書届出日		有			
	申入書期間満了日 1～2			申入書期間満了日		有			
	申入書取下日 1～2			申入書取下日		有			
	申入書状態 1～2			申入書状態区分		有		1:有効　2:失効	
	申入人氏名 1～2			申入人氏名					
	申入人生年月日 1～2			申入人生年月日		有			
	申入人本籍 1～2			申入人本籍					
	申入人筆頭者 1～2			申入人筆頭者					
	申入書イメージ更新日 1～2			申入書イメージ更新日		有			
	申入書イメージ更新時間 1～2			申入書イメージ更新時間					
	処理区分								
	申入書情報選択項番								

データチェック（単体表）				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付		版	R3
作業名	申入書情報選択(サンプル)								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				申入書情報選択					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
01	処理区分	○	数字	1～6であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	申入書情報選択項番		数字						

データチェック（関連表）		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報選択(サンプル)						

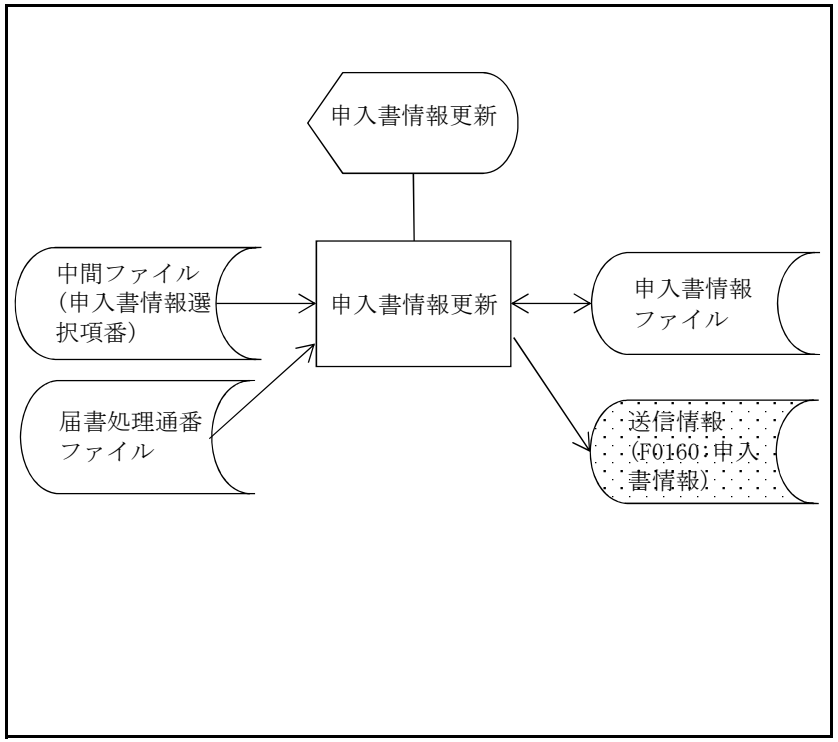
処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック表	申入書情報選択		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)処理区分＝1(追加)の時、(NO.2)申入書情報選択項番＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)処理区分≠1(追加)以外の時、(NO.2)申入書情報選択項番≠スペースであること			
03	(NO.1)処理区分＝2(期間満了による追加)　又は　4(画像更新)　又は　5(取下げ)の時、 申入書情報選択項番の申入書状態＝有効であること			
04	(NO.1)処理区分＝5(取下げ)の時、申入書情報選択項番の取下日＝スペースであること			

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報選択(サンプル)								
処理名	4.0　届書等情報の注意喚起情報設定								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI(IO250-R01: 届書等情報の注意喚起情報設定要求)	届書処理通番		中間ファイル (受付ファイル表示)	届書処理通番					
	申入書区分							1:申入書ありを設定する	

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (申入書情報選択項番)	入力		
届書処理通番 ファイル	入力		
申入書情報ファイル	入出力		
送信情報 (F160:申入書情報)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(申入書情報選択項番)から申入書情報更新画面を編集し、表示する
(2)申入書情報を登録・更新・削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(申入書情報更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(申入書情報)
  - 4.1 データ編集表(申入書情報(期間満了前))
- 5.0 データ編集表(送信情報(申入書情報))

5.備考(特記事項含む)

処理区分による申入書更新処理は以下のとおり
1(追加):新規登録情報で送信情報を作成　※誤って取下げした場合は追加で再登録する
2(期間満了による追加):満了後の情報で送信情報を作成
3(データ更新):取下げ日の更新は送信情報を作成、それ以外の更新はデータだけを更新
4(画像更新):画像情報再送信のための送信情報を作成
5(取下げ):取下げ情報で送信情報を作成
6(削除):戸籍情報システムで管理する情報を物理的削除

※2(期間満了による追加)の場合、期間満了した情報の申入書取下日は戸籍情報連携システムで設定されるため、戸籍情報システムで設定した申入書取下日と異なる場合があるが、戸籍情報連携システムの申入書取下日と同じに更新する必要はない

要件定義ワークシート				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(申入書情報選択項番)の情報で、申入書情報更新画面を編集･表示する [1.0]					/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)					/				
実行キー	(3)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]				/				
	YES	(4)メッセージ 「チェックOKです。情報を更新して下さい。」を表示する				(5)同画面を編集する			
	NO	(6)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを表示する							
PF1	→					(7)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(8)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→					(9)受付ファイル更新処理に制御を渡す			
PF12	(10)入力項目はチェック済みである(YES,NO)				/				
	YES	(11)申入書情報選択での処理区分は何か(1,2,3,4,5,6)			/				
		1	(12)申入書情報を追加する [4.0]		/				
			(13)送信情報(申入書情報)を作成する [5.0]		/				
			(14)メッセージ「情報が登録されました。」を表示する			(15)同画面を編集する			
		2	(16)申入書情報を追加する [4.0]		/				
			(17)申入書情報(期間満了前)を更新する。 [4.1]		/			期間満了前の申入書の情報を更新する	
			(18)送信情報(申入書情報)を作成する [5.0]		/				
			(19)メッセージ「情報が登録されました。」を表示する			(20)同画面を編集する			
		3、4、5	(21)申入書情報を更新する [4.0]		/			データ更新で申入書取下日以外の項目が更新された場合は、申入書情報だけ更新する データ更新で申入書取下日が更新された、画像更新、取下げは送信情報を作成する	
			(21-1)処理区分=3(データ更新) かつ 申入書取下日が更新されていない(YES,NO)		/				
			YES	(21-2) → (23)		/			
			NO	(22)送信情報(申入書情報)を作成する [5.0]		/			
			(23)メッセージ「情報が登録されました。」を表示する			(24)同画面を編集する			
		6	(26)申入書情報を削除する		/			画像情報の削除は任意設計	
			(27)メッセージ「情報が削除されました。」を表示する			(28)同画面を編集する			
	NO	(29)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							
その他	(30)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)							
処理名	1.0　申入書情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
申入書情報更新画面	受領番号		中間ファイル (申入書情報選択項番)	受領番号				
	受理送付の別			受理送付の別				
	受付日			受付日				
	処分内容			処分内容				
	決裁内容			決裁内容				
	事件名			事件名				
	事件日			事件日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	発送日名称						受理送付区分=2(送付)のとき「発送日」 受理送付区分=3(通知)のとき「送信日」を表示	
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	本籍非本籍の別			本籍非本籍の別				
	発日			発日				
	収日			収日				
	許可日			許可日				
	渉外内容			渉外内容				
	指示日			指示日				
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名	1.0　申入書情報更新画面編集								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	申入書情報管理番号			申入書情報管理番号				申入書情報選択の処理区分＝1(追加)又は＝2(期間満了による追加)の場合、全て空欄 申入書情報選択の処理区分＝3(データ更新)又は4(画像更新)又は5(取下げ)の場合、申入書情報管理番号～申入書イメージ更新時間を表示する
	申入書届出日			申入書届出日				
	申入書期間満了日			申入書期間満了日				
	申入書取下日			申入書取下日				
	申入書状態			申入書状態				
	申入人氏名			申入人氏名				
	申入人生年月日			申入人生年月日				
	申入人本籍			申入人本籍				
	申入人筆頭者			申入人筆頭者				
	申入書イメージ更新日			申入書イメージ更新日				
	申入書イメージ更新時間			申入書イメージ更新時間				
	申入書情報管理番号(期間満了前)			申入書情報管理番号(期間満了前)				申入書情報選択の処理区分＝2(期間満了による追加)の場合、申入書情報管理番号(期間満了前)～申入書イメージ更新時間(期間満了前)を表示する 申入書情報選択の処理区分≠2(期間満了による追加)以外の場合、全て空欄
	申入書届出日(期間満了前)			申入書届出日(期間満了前)				
	申入書期間満了日(期間満了前)			申入書期間満了日(期間満了前)				
	申入書取下日(期間満了前)			申入書取下日(期間満了前)				
	申入書状態(期間満了前)			申入書状態(期間満了前)				
	申入人氏名(期間満了前)			申入人氏名(期間満了前)				
	申入人生年月日(期間満了前)			申入人生年月日(期間満了前)				
	申入人本籍(期間満了前)			申入人本籍(期間満了前)				
	申入人筆頭者(期間満了前)			申入人筆頭者(期間満了前)				
	申入書イメージ更新日(期間満了前)			申入書イメージ更新日(期間満了前)				
	申入書イメージ更新時間(期間満了前)			申入書イメージ更新時間(期間満了前)				

データチェック（単体表）				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名				画面名		画面ID			
2.0　単体チェック表				申入書情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	申入書届出日		英数	元号、日付チェックでOKであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	申入書期間満了日		英数	元号、日付チェックでOKであること			
03	申入書取下日		英数	元号、日付チェックでOKであること			
04	申入人氏名		漢字				
05	申入人生年月日		英数	元号、日付チェックでOKであること			
06	申入人本籍		漢字				
07	申入人筆頭者		漢字				
08	申入書取下日(期間満了前)		英数	元号、日付チェックでOKであること			

データチェック（関連表）		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		申入書情報更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
00-1	申入書情報選択での処理区分＝2(期間満了による追加)の時、 (NO.8)申入書取下日(期間満了前)≠スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		・入力禁止項目は、画面表示時に入力禁止状態にして入力させない対応も可 ・更新で登録済の取下日の更新は可(この場合は連携システムに情報を送信する) ・データ更新、取下げで取下日以外の項目の更新を許さない仕様も可
01-2	申入書情報選択での処理区分≠2(期間満了による追加)の時、 (NO.8)申入書取下日(期間満了前)＝スペースであること			
01	申入書情報選択での処理区分＝1(追加)　又は　2(期間満了による追加)の時、 (NO.3)申入書取下日＝スペース　かつ　他の項目全てに入力があること			
02	申入書情報選択での処理区分＝3(データ更新)の時、入力項目が1項目以上更新されていること			
03	申入書情報選択での処理区分＝3(データ更新)の時、 (NO.3)申入書取下日がスペースから≠スペースに更新されていないこと			
04	申入書情報選択での処理区分＝3(データ更新)の時、 (NO.3)申入書取下日が≠スペースからスペースに更新されていないこと			
05	申入書情報選択での処理区分＝5(取下げ)の時、(NO.3)申入書取下日≠スペースであること			
07	申入書情報選択での処理区分＝6(削除)の時、全ての項目が変更されていないこと			

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名	4.0　申入書情報								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
申入書情報ファイル	受領番号		申入書情報更新画面	受領番号					
	申入書情報管理番号							処理区分=1、2の場合、番号を01から順次設定	
	申入書届出日		申入書情報更新画面	申入書届出日		有			
	申入書期間満了日			申入書期間満了日		有			
	申入書取下日			申入書取下日		有			
	申入人氏名			申入人氏名					
	申入人生年月日			申入人生年月日		有			
	申入人本籍			申入人本籍					
	申入人筆頭者			申入人筆頭者					
	申入書イメージ更新日							処理区分=1、2の場合、申入書情報管理番号のイメージが存在すればその情報を取得しての設定も可	
	申入書イメージ更新時間								
	申入書状態区分							処理区分=1、2の場合、1:有効を設定 処理区分=5の場合、2:失効を設定	
	データ送信区分							処理区分=1の場合、0:登録を設定 処理区分=2の場合、1:申入書期間切れに伴う更新を設定 処理区分=3 かつ 申入書取下日が更新された 又は 5の場合、2:申入書情報の取下を設定 処理区分=4の場合、3:画像再スキャンによる再登を設定	

画像再スキャンによる画像情報の登録は、本処理以外での処理としても可

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)							
処理名	4.1　申入書情報(期間満了前)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
申入書情報ファイル	受領番号							
	申入書情報管理番号							
	申入書届出日							
	申入書期間満了日							
	申入書取下日		申入書情報更新画面	申入書取下日(期間満了前)		有		
	申入人氏名							
	申入人生年月日							
	申入人本籍							
	申入人筆頭者							
	申入書イメージ更新日							
	申入書イメージ更新時間							
	申入書状態区分							2:失効を設定
	データ送信区分							

連携システムに送信しないため、データ送信区分を設定しない。

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名	5.0　送信情報(申入書情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報(F0160-R01:申入書情報)	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				データ送信区分:0(無)は作成しない	
	申入書情報処理区分		申入書情報ファイル	データ送信区分					
	申入書情報連番		申入書情報ファイル 又は 申入書情報更新画面	申入書情報管理番号 又は 申入書情報管理番号(期間満了前)				データ送信区分 1(申入書情報の期限切れに伴う更新)の場合、画面情報の申入書情報管理番号(期間満了前)を設定 2(申入書情報の取下)　又は　3(画像再スキャンによる再登録)の場合、申入書情報管理番号を設定	
	申入書画像情報ファイル名		申入書情報ファイル	申入書PDFファイル名				データ送信区分 0(登録) 又は 1(申入書情報の期限切れに伴う更新) 又は3(画像再スキャンによる再登録)の場合、情報があれば設定する	
	申入書PDF更新年月日			申入書PDF更新年月日					
	申入書PDF更新時分秒			申入書PDF更新時分秒					
	申入書取下日			申入書取下日				2(申入書情報の取下)の場合、設定する	

第7.2.(14)

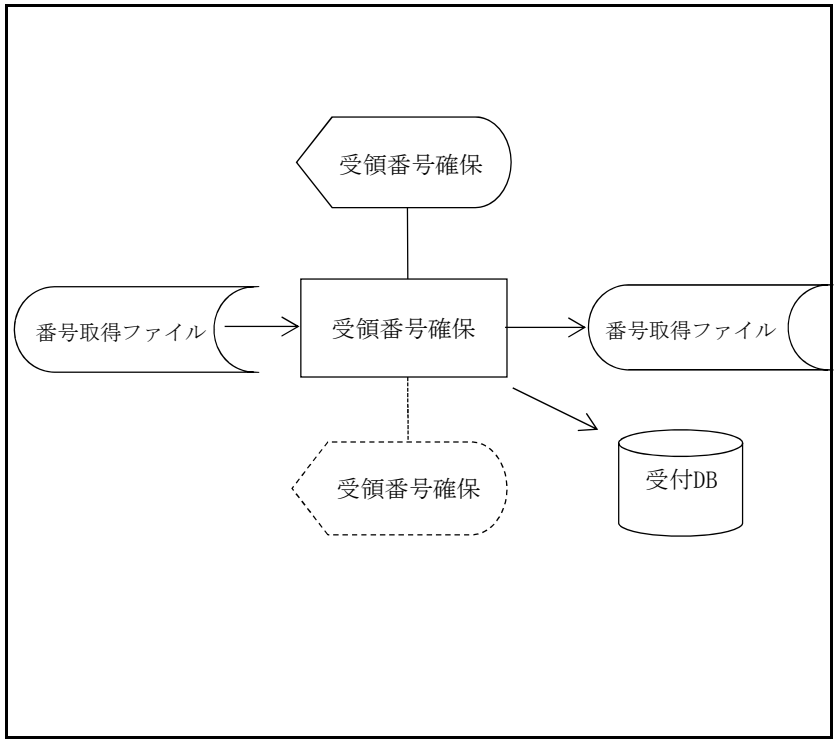
「受領番号確保」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
番号取得ファイル	入出力		
受付DB	出力		

3.処理概要

(1)届出日と届出日毎の届書枚数の入力及び受領番号の確保
(2)受領番号に対応する受付DBの作成

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(休日･夜間分(受領番号確保)画面作成)
- 2.0 データ編集表(番号取得ファイル更新)
- 3.0 データチェック(単体表)
- 4.0 データ編集表(受付DB)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分 受領番号確保							
処理名	0.0 本紙						根拠法令(マニュアル処理)	
(1)休日･夜間分(受領番号確保)画面を出力する					/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)		[3.0]		/			
	YES	(4)日付の年度をキーとして番号取得ファイルを読む			/			
		(5)休日･夜間分(受領番号確保)画面を編集する	[1.0]		/			
		(6)届出枚数分行う(受領番号･開始番号から受領番号･終了番号まで)			/			
		(7)受領番号で受付DBを作成する	[4.0]		/			
		(8)番号取得ファイルを更新する	[2.0]			(9)同画面を編集する		
	NO	(10)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する						
PF1	→					(11)業務選択に制御を渡す		
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(13)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保							
処理名	1.0　休日･夜間分(受領番号確保)画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
休日･夜間分 (受領番号確保)画面	日付		同画面	(同項目)				
	届書枚数			(同項目)				
	受領番号･開始番号		番号取得ファイル	受領番号				受領番号
	受領番号･終了番号			受領番号				受領番号 + 届書枚数 - 1

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日		改訂日付	令和 年 月 日		版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保										
処理名	2.0　番号取得ファイル更新										
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考		
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目						
	名称		記号名		名称		記号名				
番号取得ファイル	受領番号			番号取得ファイル	受領番号				受領番号 + 届書枚数		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				不受理申出ファイル更新					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	日付	○	英数	「日付チェックサブルーチン」		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	届書枚数	○	数字						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保							
処理名	4.0　受付DB(受付)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号			受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保							
処理名	4.0　受付DB(受付)作成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認1							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書送付目録区分							

第7.2.(15)

「帳票出力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R4	B04	「帳票出力」処理	届書目録の追加による修正 ①システム処理の概要説明書（2)に追記
22	2.0 (2023.7.31版)	ー	「帳票出力」処理	戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ①(2)帳票の種類を修正

システム処理の概要説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	帳票出力処理						

1.処理範囲

(1)帳票出力処理では、戸籍法令等で示されている帳票または、戸籍事務内で使用する帳票を対象にしている。

(2)帳票レイアウトは、帳票設計書で示した様式で規定する。(一部除く)

2.処理概要

(1)帳票出力する際、抽出条件が必要となるものがあるため、各帳票毎に抽出条件入力画面を設け範囲指定を行う。
入力された抽出条件の妥当性をチェックし、正しければ帳票出力処理を行う。
(出力処理については、対象ファイル全件検索しなければならないものもあるため、バッチ起動を行う等システム環境に合わせた運用が必要となる。
そのため、出力手順(方式)についてはメーカに任せる)

(2)帳票の種類
・受付帳
・種類番号帳
・届書目録及び届書目録(完全渉外分)
※種類番号帳を届書目録及び届書目録(完全渉外分)として使用する場合は作成不要
※届書目録及び届書目録(完全渉外分)は受理分と受理以外分に分けて作成
・届書送達確認書
・戸籍事務専用
・宛名シール
・高齢者消除該当一覧(許可申請書)
・本籍町名変更通知

その他、運用に合わせて帳票追加しても構わない

第7.2.(16)

「統計」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	7	「統計」処理	3.留意点 ・電子証明書の件数は、戸籍情報連携システムより提供履歴を取得して集計することを追記 ・集計結果の事件表情報を戸籍情報連携システムに送信することを追記
2	R3	B07	「統計」処理	2.処理概要 ・戸籍情報連携システムより通知される全国、管区及び法務局・地方法務局単位の事件表データの取扱いについて追記

システム処理の概要説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	統計処理						

1.処理範囲

(1)統計処理では、戸籍事件表を作成するための処理を行う。事件表を作成するため、自治体毎に日計表、週計表、月計表など作成し管理を行っているが、基準書内では、最終目的とする事件表(年計)を対象としている。
(日計表～月計表においては、オプションでシステム化を図っても可)

(2)また、証明書発行枚数等、一部システム化に馴染まない項目があるため統計ファイル更新処理機能を取り込み、実態の数値を直接入力できることとした。

2.処理概要

(1)事件表出力処理は、統計ファイルの情報を編集し、事件表を作成する。(月計表など出力条件が必要な場合は、出力条件入力画面を設け階層的に展開するものとし、対象ファイルは統計ファイルのみから編集可能な内容とする)

(2)統計ファイル更新処理は、日単位に作成される統計情報に対して更新する。累積データ(週計、月計等)を作成した場合は、それぞれの整合性(表間突合)が合うように更新する必要がある。

(3)受信情報(F0140:事件表提供)により、全国、管区及び法務局・地方法務局単位の事件表データを帳票等により確認することができる。

3.留意点

(1)戸籍電子証明書等の件数については、戸籍情報連携システムより通知される提供履歴情報を基に集計すること。なお、提供履歴情報の取得方法については「第7-2(25) 戸籍情報連携システム」を参照のこと。

(2)市区町村全体の年度計として確定した事件表の情報は、「第7-2(25) 戸籍情報連携システム」に示すバッチ処理にて戸籍情報連携システムへ通知する。
なお、別途事務連絡は必要となるが、法令等で定められた報告期間外でも戸籍情報連携システムへのデータ送信は可能とする。

第7.2.(17)

「関連業務」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	－	「関連業務」処理	振り仮名の法制化による修正 ・住民票通知ファイル一覧表示_3.0中間ファイル(住民票通知)作成、住民票通知通知者一覧表示_3.1中間ファイル(住民票通知)作成、住民票通知通知者一覧表示_4.0中間ファイル(通知者)作成、住民票通知通知者一覧表示_4.1中間ファイル(通知者)作成、住民票通知内容処理_1.0単体チェック、住民票通知内容処理_2.0関連チェック、住民票通知内容処理_3.0住民票通知内容編集処理、住民票通知内容処理_4.0中間ファイル(住民票通知)作成･更新、住民票通知内容処理_4.1仮住民票通知作成･更新、住民票通知内容処理_4.3住民票通知ファイル作成･更新、画面設計書_住民票通知内容、画面項目一覧表_住民票通知内容を修正
2		－		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ・関連業務処理_システム処理の概要説明を修正 ・9条2項処理から住民票通知処理に名称を全て変更 ・9条2項ファイル一覧表示_2.1_9条2項ファイル一覧編集処理、9条2項内容処理_4.2住民票異動ファイル作成･更新、9条2項内容処理_5.0発送ファイル作成を削除

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	関連業務処理

1.処理範囲

(1)関連業務処理では、戸籍事務の一連処理として行う業務を特定し展開するものである。性質的に、他省庁との協議事項が関与するため、詳細仕様について変更する場合がある。

(2)以下に示す関連業務は、参考的に掲載するものでシステムはベンダの任意機能とする。

2.処理概要

関連業務処理として位置づけているものを以下に示す。

(1)住民票記載事項通知
住民基本台帳法第住民票記載事項通知に基づき作成する通知。要件定義を本仕様書に示す。

(2)公選法通知
公職選挙法第30条の13第1項及び日本国憲法の改正手続に関する法律第43条第1項に基づき作成する通知。要件定義は住民票通知を参照。

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	関連業務処理

1. 住民票記載事項通知処理の内容

(1) 住民票記載事項通知ファイルメンテ処理

住民票記載事項通知ファイルの内容の確認、追加、修正、削除が生じた場合、住民票記載事項通知ファイルメンテから処理を開始する。
本処理が使用できるのは、仮住民票記載事項通知ファイルが存在する間(処分決定(受理)後～決裁(決裁)前)、または住民票記載事項通知ファイルが存在する間である。
画面展開は
①住民票記載事項通知ファイル内容表示:処理する住民票記載事項通知ファイルを選択する。
②住民票記載事項通知通知者一覧:処理対象となる者を選択する(処理内容も)。
③住民票記載事項通知内容:住民票記載事項通知内容を表示、入力する。

(2) 仮住民票記載事項通知ファイル表示処理
仮住民票記載事項通知ファイルの内容を表示するだけの処理で、決裁処理から制御が渡される。
画面展開は
①住民票記載事項通知通知者一覧:処理対象となる者を選択する(処理内容は入力不可:表示のみ)。
②住民票記載事項通知内容:住民票記載事項通知内容を表示する。

2. 住民票記載事項通知ファイルメンテでのPFキー

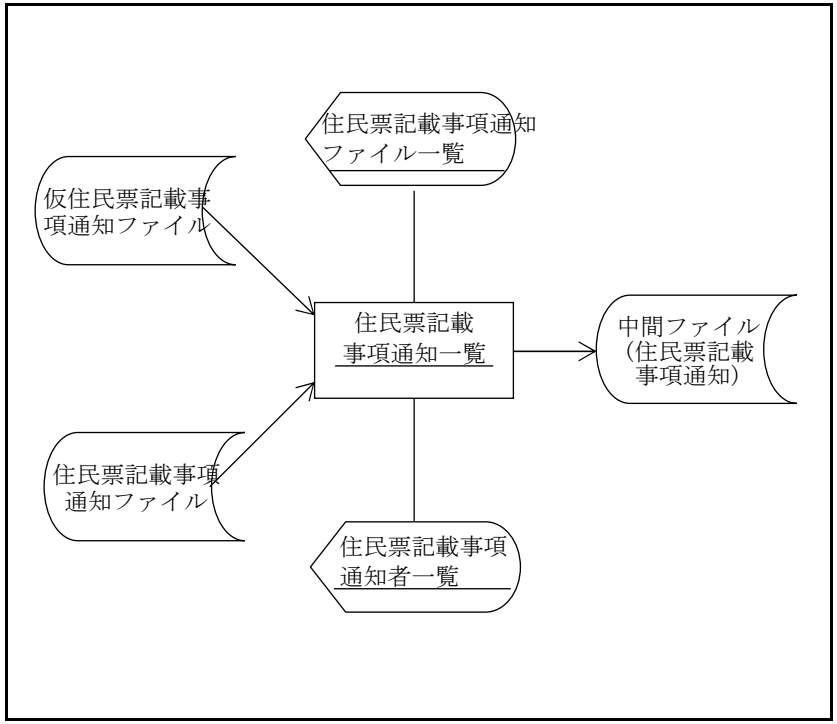
PFキー＼画面	住民票記載事項通知ファイル一覧	住民票記載事項通知通知者一覧	住民票記載事項通知内容処理
PF1	戸籍業務メニューへ	戸籍業務メニューへ	戸籍業務メニューへ
PF2	ファイルメンテ画面へ	ファイルメンテ画面へ	ファイルメンテ画面へ
PF3			住民票記載事項通知内容処理
PF4			
PF5	戸籍業務メニューへ	住民票記載事項通知ファイル一覧へ	住民票記載事項通知通知者一覧へ
PF6			
PF7	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	次頁表示	
PF9			
PF10			
PF11			
PF12			画面の初期化
実行キー	住民票記載事項通知通知者一覧へ	住民票記載事項通知内容処理へ	画面内容確認

仮住民票記載事項通知ファイル表示でのPFキー

PFキー＼画面	住民票記載事項通知通知者一覧	住民票記載事項通知内容処理
PF1	決裁処理画面へ	決裁処理画面へ
PF2		
PF3		
PF4		
PF5	決裁処理画面へ	住民票記載事項通知通知者一覧へ
PF6		
PF7	前頁表示	
PF8	次頁表示	
PF9		
PF10		
PF11		
PF12		
実行キー	住民票記載事項通知通知者一覧へ	

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮住民票記載事項通知ファイル	入力		
住民票記載事項通知ファイル	入力		
中間ファイル(住民票記載事項通知)	出力		

3.処理概要

(1)仮住民票記載事項通知ファイル、住民票記載事項通知ファイルのデータ一覧を表示する。

(2)処理する受領番号を選択して、住民票記載事項通知通知者一覧へ制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 データ編集表(住民票記載事項通知ファイル一覧画面:仮住民票記載事項通知ファイル)
  - 2.2 データ編集表(住民票記載事項通知ファイル一覧画面:住民票記載事項通知ファイル)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(住民票記載事項通知))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)仮住民票記載事項通知ファイルがある(YES,NO)					/			
YES	(2)仮住民票記載事項通知ファイルの内容を住民票記載事項通知ファイル一覧画面に表示する [2.0]				/			
NO	(3) → (4)へ				/			
(4)							住民票異動通知と住民票記載事項通知を分けずに住民票記載事項通知に統一のため(4)(5)(6)を削除(2.0版)	
	(5)							
	(6)							
(7)住民票記載事項通知ファイルがある(YES,NO)					/			
YES	(8)住民票記載事項通知ファイルの内容を住民票記載事項通知ファイル一覧画面に表示する [2.2]				/			
NO	(9) → (10)へ				/			
(10)表示が1件もない(YES,NO)					/			
YES	(11)エラーメッセージ 「住民票記載事項通知データが1件も有りません」を表示する					(12)ファイルメンテに制御を渡す	エラーメッセージはファイルメンテ画面で表示	
NO	(13) → (14)へ				/			
(14)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他)					/			
実行キー	(15)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
	YES	(16)選択番号に該当する住民票記載事項通知データがある(YES,NO)			/			
		YES	(17)該当するデータの受領番号とファイル種別を基に、ファイル(仮住民票記載事項通知、住民票記載事項通知)を読み、その内容で中間ファイル(住民票記載事項通知)を作成する。 [3.0]			(18)住民票記載事項通知通知者一覧に制御を渡す	同一受領番号でレコードがあるだけ作成する	
		NO	(19)エラーメッセージ 「選択番号に該当するデータがありません」を表示			(20) → (14)へ		
	NO	(21)エラーメッセージを表示する						
PF1	→					(22)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(23)ファイルメンテに制御を渡す		
PF5	→					(24)業務選択に制御を渡す		
PF7	(25)前ページがある(YES,NO)				/			
	YES	(26)前ページ分の住民票記載事項通知ファイル一覧画面を編集する				(27)同画面を編集する→(14)へ		
	NO	(28)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF8	(29)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(30)次ページ分の住民票記載事項通知ファイル一覧画面を編集する			(31)同画面を編集する→(14)へ			
	NO	(32)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する						
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(34)同画面を編集する→(14)へ			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				住民票記載事項通知通知ファイル一覧					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字			「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示							
処理名	2.0　住民票記載事項通知ファイル一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票記載事項通知ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		仮住民票記載事項通知ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					「仮住民票記載事項通知」と表示する
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示							
処理名	2.2　住民票記載事項通知ファイル一覧編集処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
住民票記載事項通知ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		住民票記載事項通知ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					「住民票記載事項通知」と表示する
	選択番号							

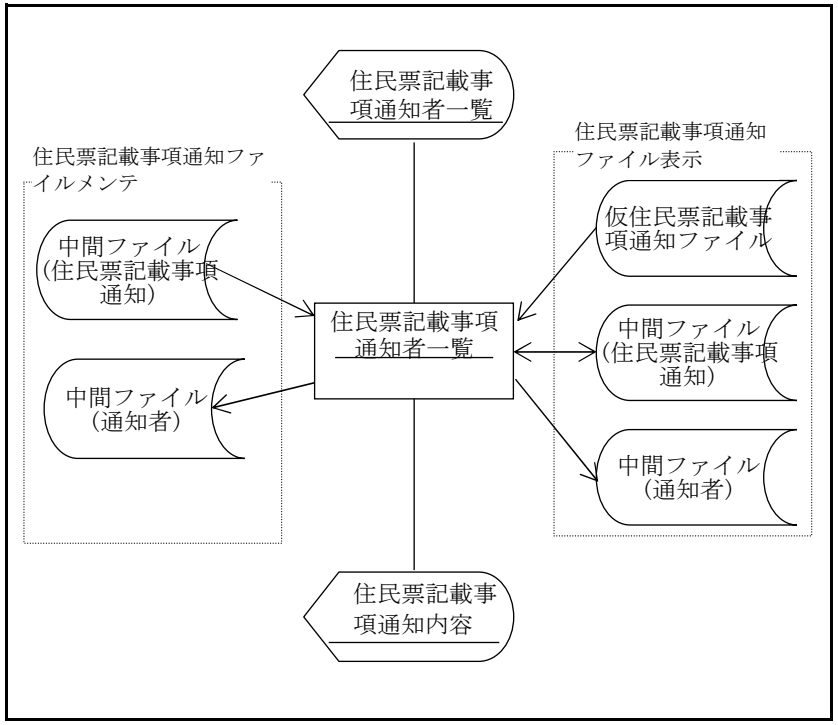
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知ファイル一覧表示							
処理名	3.0　中間ファイル(住民票記載事項通知)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		仮住民票記載事項通知ファイル 住民票記載事項通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別		システム処理					1:仮住民票記載事項通知ファイル 2: 3:住民票記載事項通知ファイル

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	住民票記載事項通知者一覧表示

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
【住民票記載事項通知ファイルメンテ】		【住民票記載事項通知ファイル表示】	
中間ファイル(住民票記載事項通知)	入力	仮住民票記載事項通知ファイル	入力
〃(通知者)	出力	中間ファイル(住民票記載事項通知)	入出力
		〃(通知者)	出力

3.処理概要

(1)住民票記載事項通知ファイル一覧から制御を渡されたとき
①中間ファイル(住民票記載事項通知)から通知者一覧を表示する。
②通知者の内容の表示、変更、削除か、追加を指定して住民票記載事項通知処理へ制御を渡す。
(2)決裁処理から制御を渡されたとき
①該当の受領番号から仮住民票記載事項通知ファイルを検索し、通知者一覧を表示する。
②表示する通知者の選択番号を指定して、住民票記載事項通知処理へ制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.0 データ編集表(住民票記載事項通知一覧画面)
  - 3.1 データ編集表(中間ファイル(住民票記載事項通知):住民票記載事項通知表示)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(通知者):住民票記載事項通知メンテ)
  - 4.1 データ編集表(中間ファイル(通知者):住民票記載事項通知表示)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)住民票記載事項通知ファイルメンテから制御が渡された(YES,NO)					/			
YES	(2)中間ファイル(住民票記載事項通知)から住民票記載事項通知通知者一覧画面を表示する [3.0]				/ /			
	(3)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他)				/			
	実行キー	(4)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]			/			
		YES	(5)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]		/			
			YES	(5) → (9)へ	/			
			NO	(6)エラーメッセージを表示する		(7) → (3)へ		
		NO	(8)エラーメッセージを表示する					
		(9)該当番号に当たるデータがある(YES,NO)			/			
		YES	(10)画面に入力の処理区分は2:「追加」である		/			
			YES	(11)中間ファイル(通知者)を作成し、処分区分を設定する [4.0]		(12)住民票記載事項通知内容処理へ制御を渡す	「受領番号」～「受理日」は必ず設定	
			NO	(13)該当のレコードで中間ファイル(通知者)を作成し、処分区分を設定する [4.0]				
		NO	(14)エラーメッセージ 「該当のデータは有りません」を表示する			(15) → (3)へ		
	PF1	→				(16)業務選択へ制御を渡す		
	PF2	→				(17)ファイルメンテへ制御を渡す		
	PF5	→				(18)住民票記載事項通知ファイル一覧へ制御を渡す		
	PF7	(19)前ページがある(YES,NO)			/			
		YES	(20)前ページ分の住民票記載事項通知通知者一覧画面を編集する [3.0]			(21)同画面を編集する→(3)へ		
		NO	(22)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する					
	PF8	(23)次ページがある(YES,NO)			/			
		YES	(24)次ページ分の住民票記載事項通知通知者一覧画面を編集する [3.0]			(25)同画面を編集する→(3)へ		
		NO	(26)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する					
	その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(28)同画面を編集する→(3)へ		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
NO	(29)決裁処理している受領番号を基に仮住民票記載事項通知ファイルを検索する (ある:YES,なし:NO)				/			
	YES	(30) → (33)へ			/			
	NO	(31)エラーメッセージ 「住民票記載事項通知データは存在しません」を表示する				(32)決裁処理へ制御を渡す	エラーメッセージは決裁処理で表示する	
	(33)該当のデータで中間ファイル(住民票記載事項通知)を作成する			[3.1]	/		同一受領番号でデータがあるだけ作成する	
	(34)中間ファイル(住民票記載事項通知)から住民票記載事項通知通知者一覧画面を表示する			[3.0]	/			
	(35)キー選択(実行キー、PF1、PF5、PF7、PF8、その他)				/			
	実行キー	(36)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)		[1.0]	/			
		YES	(37) → (40)へ		/			
		NO	(38)エラーメッセージを表示する			(39) → (35)へ		
		(40)該当番号に当たるデータがある(YES,NO)			/			
		YES	(41)該当のレコードで中間ファイル(通知者)を作成し、処分区分を設定する	[4.0]		(42)住民票記載事項通知内容処理へ制御を渡す		
		NO	(43)エラーメッセージ 「該当のデータは有りません」を表示する			(44) → (35)へ		
	PF1	→				(45)決裁処理へ制御を渡す		
	PF5	→				(46)決裁処理へ制御を渡す		
	PF7	(47)前ページがある(YES,NO)			/			
		YES	(48)前ページ分の住民票記載事項通知通知者一覧画面を編集する	[3.0]		(49)同画面を編集する→(35)へ		
		NO	(50)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する					
	PF8	(51)次ページがある(YES,NO)			/			
		YES	(52)次ページ分の住民票記載事項通知通知者一覧画面を編集する	[3.0]		(53)同画面を編集する→(35)へ		
		NO	(54)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する					
	その他	(55)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(56)同画面を編集する→(35)へ		

データチェック（単体表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示							
処理名			画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表			住民票記載事項通知通知者一覧					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	(1:表示、2:追加、3:修正、4:削除)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		住民票記載事項通知表示は1のみ
2	該当番号		数字				住民票記載事項通知表示は1必須

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	住民票記載事項通知通知者一覧		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)処理区分 ＝ 2(追加)のとき、(No.2)該当番号 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		住民票記載事項通知ファイルメンテのみ関連チェックが必要
2	(No.1)処理区分 ≠ 2(追加)のとき、(No.2)該当番号 ≠ スペースであること			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示							
処理名	3.0　住民票記載事項通知者一覧編集処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
住民票記載事項通知者一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ、総ページ							
	項番							
	受領番号		中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	氏名			旧氏名				
	処理区分							
	該当番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示							
処理名	3.1 中間ファイル(住民票記載事項通知)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		仮住民票記載事項通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別		システム処理					1:仮住民票記載事項通知ファイルを設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示								
処理名	4.0　中間ファイル(通知者)作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (通知者)	受領番号		中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	事件コード			事件コード					
	受理日			受理日					
	新振り仮名			新振り仮名				処理区分が2「追加」の場合 「新振り仮名」～「世帯主との続柄」は 空白とする(データの移送はない)	
	旧振り仮名			旧振り仮名					
	新氏名			新氏名					
	旧氏名			旧氏名					
	新生年月日			新生年月日					
	旧生年月日			旧生年月日					
	新父母との続柄			新父母との続柄					
	旧父母との続柄			旧父母との続柄					
	新本籍コード			新本籍コード					
	新本籍			新本籍					
	旧本籍コード			旧本籍コード					
	旧本籍			旧本籍					
	新筆頭者			新筆頭者					
	旧筆頭者			旧筆頭者					
	住所コード			住所コード					
	住所			住所					
	方書			方書					
	住定日			住定日					
	住民日			住民日					
	世帯主			世帯主					
	世帯主との続柄			世帯主との続柄					
	ファイル種別			ファイル種別					
	処理区分		システム処理	処理区分				1:表示、2:追加、3:修正、4:削除	

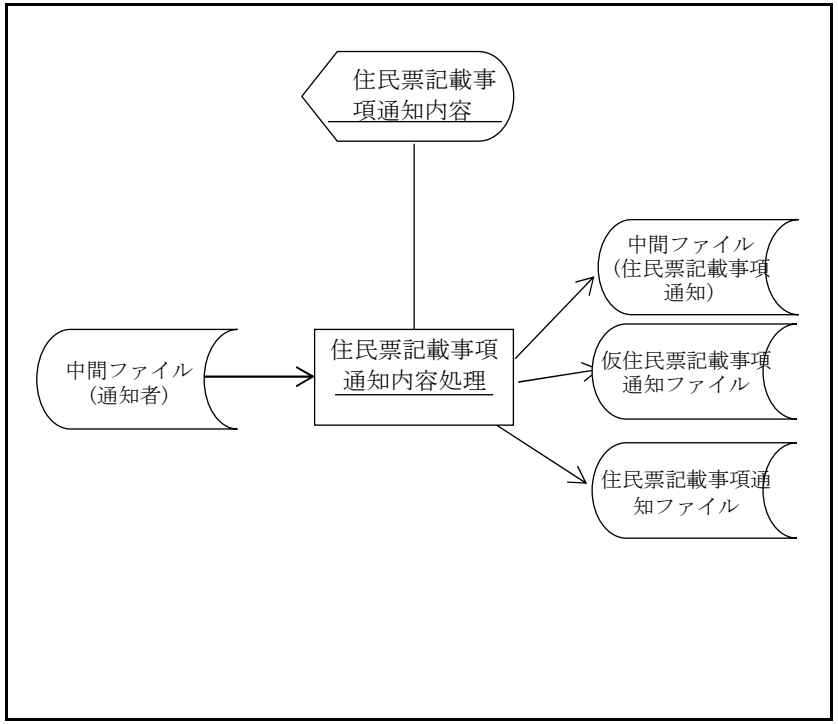
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知者一覧表示							
処理名	4.1　中間ファイル(通知者)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (通知者)	受領番号		中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			旧振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別			ファイル種別				1:仮住民票記載事項通知ファイル　のみ
	処理区分		システム処理	処理区分				1:表示　のみ

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	住民票記載事項通知内容処理

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(通知者)	入力		
〃(住民票記載事項通知	出力		
仮住民票記載事項通知ファイル	出力		
住民票記載事項通知ファイル	出力		

3.処理概要

(1)処理区分により以下の処理を行う

- 「表示」:住民票記載事項通知内容画面に表示し、内容を確認してもらう
  (住民票記載事項通知表示はこの処理のみ)
- 「追加」:住民票記載事項通知内容画面に追加するデータを入力してもらう
  確認後(実行キーの押下)、PF3キーの押下によりデータを追加する
- 「修正」:住民票記載事項通知内容画面に表示し、データを修正してもらう
  確認後(実行キーの押下)、PF3キーの押下によりデータを更新する
- 「削除」:住民票記載事項通知内容画面に表示し、内容を確認してもらう
  確認後(実行キーの押下)、PF3キーの押下によりデータを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.0 データ編集表(住民票記載事項通知内容画面)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(住民票記載事項通知))
  - 4.1 データ編集表(仮住民票記載事項通知ファイル)
  - 4.3 データ編集表(住民票記載事項通知ファイル)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(通知者)を読んで住民票記載事項通知内容画面を編集する [3.0]					/			
(2)処理区分別に以下の処理を行う(1:表示、2:追加、3:修正、4:削除)					/			
表示	(3)住民票記載事項通知ファイルメンテの処理である(YES,NO)				/			
	YES	(4)キー選択(PF1、PF2、PF5、その他)			/			
		PF1	→			(5)業務選択に制御を渡す		
		PF2	→			(6)ファイルメンテに制御を渡す		
		PF5	→			(7)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す		
		その他	(8)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(9) → (4)へ		
	NO	(10)キー選択(PF1、PF5、その他)			/			
		PF1	→			(11)決裁処理に制御を渡す		
		PF5	→			(12)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す		
		その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(14) → (10)へ		
追加	(15)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)				/			
	実行キー	(16)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]			/			
		YES	(17)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]		/			
			YES	(18) → (22)へ	/			
			NO	(19)エラーメッセージを表示する		(20) → (15)へ		
		NO	(21)エラーメッセージを表示する					
		(22)キー選択(実行キー、PF1.PF2、PF3、PF5、PF12、その他)			/			
		実行キー	(23) → (22)へ		/			
		PF1	→			(24)業務選択に制御を渡す		
		PF2	→			(25)ファイルメンテに制御を渡す		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	0.0 本紙						備考	
	PF3	(26)画面入力されたデータを中間ファイル(住民票記載事項通知)に追加する [4.0]		/				
		(27)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮住民票記載事項通知、3:住民票記載事項通知)		/				
		1	(28)画面入力されたデータを仮住民票記載事項通知ファイルに追加する [4.1]		(28-1)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す			
		2	(29)				住民票異動を削除(2.0版)	
		3	(30)画面入力されたデータを住民票記載事項通知ファイルに追加する [4.3]					
		(31)					住民票記載事項通知はCS連携により送信されるため、発送ファイル作成(31)～(37)を削除(2.0版)	
			(32)					
			(33)					
			(34)		(35)			
			(36)					
			(37)					
	PF5	→			(38)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す			
	PF12	(39)住民票記載事項通知内容画面を初期化する → (15)へ		/				
	その他	(40)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(41)同画面を編集する→(22)へ			
	PF1	→			(42)業務選択に制御を渡す			
	PF2	→			(43)ファイルメンテに制御を渡す			
	PF5	→			(44)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す			
	PF12	(45)住民票記載事項通知内容画面を初期化する → (15)へ		/				
	その他	(46)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(47)同画面を編集する→(15)へ			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理								
処理名	0.0 本紙							備考	
修正	(48)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)					/			
	実行キー	(49)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
		YES	(50)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/			
			YES	(51) → (55)へ		/			
			NO	(52)エラーメッセージを表示する			(53) → (48)へ		
		NO	(54)エラーメッセージを表示する						
		(55)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF3、PF5、PF12、その他)				/			
		実行キー	(56) → (55)へ			/			
		PF1	→				(57)業務選択に制御を渡す		
		PF2	→				(58)ファイルメンテに制御を渡す		
		PF3	(59)画面入力されたデータで中間ファイル(住民票記載事項通知)を更新する [4.0]			/			
			(60)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮住民票記載事項通知、2:往民票異動.3:住民票記載事項通知)			/			
			1	(61)画面入力されたデータで仮住民票記載事項通知ファイルを更新する [4.1]			(62)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す		
				(63)				住民票異動を削除(2.0版)	
			3	(64)画面入力されたデータで住民票記載事項通知ファイルを更新する [4.3]					
		PF5	→				(65)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す		
		PF12	(66)住民票記載事項通知内容画面を初期化する → (48)へ			/			
		その他	(67)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(68)同画面を編集する→(55)へ		
	PF1	→					(69)業務選択に制御を渡す		
	PF2	→					(70)ファイルメンテに制御を渡す		
	PF5	→					(71)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す		
	PF12	(72)住民票記載事項通知内容画面を初期化する → (48)へ				/			
	その他	(73)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する					(74)同画面を編集する→(48)へ		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理								
処理名	0.0 本紙							備考	
削除	(75)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、その他) メッセージ 「削除してよろしいですね、確認して下さい(実行キー)」を表示する				/				
	実行キー	(76)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF3、PF5、その他) メッセージ 「PF3キーでデータが削除されます」を表示する			/				
		実行キー	(77) → (76)へ		/				
		PF1	→			(78)業務選択に制御を渡す			
		PF2	→			(79)ファイルメンテに制御を渡す			
		PF3	(80)確認されたデータを中間ファイル(住民票記載事項通知)から削除する		/				
			(81)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮住民票記載事項通知、3:住民票記載事項通知)		/				
			1	(82)確認されたデータを仮住民票記載事項通知ファイルから削除する		(83)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す			
				(84)				住民票異動を削除(2.0版)	
			3	(85)確認されたデータを住民票記載事項通知ファイルから削除する					
		PF5	→			(86)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す			
		その他	(87)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(88)同画面を編集する→(76)へ			
	PF1	→				(89)業務選択に制御を渡す			
	PF2	→				(90)ファイルメンテに制御を渡す			
	PF5	→				(91)住民票記載事項通知者一覧に制御を渡す			
	その他	(92)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(93)同画面を編集する→(75)へ			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		住民票記載事項通知内容					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	現氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		「追加」の場合必須
2	新氏名		漢字				
3	現本籍		漢字				「追加」の場合必須
4	新本籍		漢字				
5	現筆頭者		漢字				「追加」の場合必須
6	新筆頭者		漢字				
7	現生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
8	新生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
9	現父母との続柄		数字	(10:男　～　49:十九女)であること			
10	新父母との続柄		数字	(10:男　～　49:十九女)であること			
11	住所		漢字				「追加」の場合必須
12	方書		漢字				
13	世帯主		漢字				「追加」の場合必須
14	世帯主との続柄		数字				「修正」の場合は「住所」～「住民日」だけ修正可能
15	住定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
16	住民日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
17	現振り仮名		漢字				「追加」の場合必須
18	新振り仮名		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		住民票記載事項通知内容					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1		「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2				
3				
4	「追加」のとき、 (No.2)新氏名 または (No.4)新本籍 または (No.6)新筆頭者 または (No.8)新生年月日 または (No.10)新父母との続柄 または (No.18)新振り仮名のいずれかに入力があること			
5	「追加」のとき、(No.2)新氏名 ≠ スペースであれば (No.1)現氏名 ≠ (No.2)新氏名 であること			
6	「追加」のとき、(No.4)新本籍 ≠ スペースであれば (No.3)現本籍 ≠ (No.4)新本籍 であること			
7	「追加」のとき、(No.6)新筆頭者 ≠ スペースであれば (No.5)現筆頭者 ≠ (No.6)新筆頭者 であること			
8	「追加」のとき、(No.8)新生年月日 ≠ スペースであれば (No.7)現生年月日 ≠ (No.8)新生年月日 であること			
9	「追加」のとき、(No.10)現父母との続柄 ≠ スペースであれば (No.9)現父母との続柄 ≠ (No.10)新父母との続柄であること			
10	「追加」のとき、(No.17)現振り仮名 ≠ スペースであれば (No.17)現振り仮名 ≠ (No.18)新振り仮名であること			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	3.0 住民票記載事項通知内容編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票記載事項通知内容画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	受領番号		中間ファイル (通知者)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	現振り仮名			旧振り仮名				
	新振り仮名			新振り仮名				
	現氏名			旧氏名				
	新氏名			新氏名				
	現本籍			旧本籍コード		有		
				旧本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	現筆頭者			旧筆頭者				
	新筆頭者			新筆頭者				
	現生年月日			旧生年月日		有		
	新生年月日			新生年月日		有		
	現父母との続柄			旧父母との続柄				
	現父母との続柄名称					有		
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	新父母との続柄名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	3.0　住民票記載事項通知内容編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			住所コード		有		
				住所				
	方書			方書				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄		有		
	世帯主との続柄名称					有		
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	4.0　中間ファイル(住民票記載事項通知)作成・更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (住民票記載事項通知)	受領番号		住民票記載事項通知内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			現振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	4.1　仮住民票通知ファイル　作成･更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
仮住民票通知ファイル	受領番号		住民票通知内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード		住民票通知内容処理	住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			宛名				上記部分を宛名に変換した項目
	事件コード		住民票通知内容画面	事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			現振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	~~1~~ 2.0
作業名	住民票記載事項通知内容処理							
処理名	4.3 住民票記載事項通知ファイル 作成･更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票記載事項通知ファイル	受領番号		住民票記載事項通知内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード		住民票記載事項通知内容処理	住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			宛名				上記部分を宛名に変換した項目
	事件コード		記載事項住民票通知内容画面	事件コード				
	受理日			受理日				
	新振り仮名			新振り仮名				
	旧振り仮名			現振り仮名				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

10.関連業務処理

画面番号		画面名	住民票記載事項通知ファイル一覧

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面ＩＤ　　住民票記載事項通知ファイル一覧　　X99.99.99　　99/99

No	受領番号	支所No	事件名称	ファイル名
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ
99	9999999	999	K----------K(18)----------K	ＫＫＫＫＫ

選択番号　99

ＰＦガイダンス

K----------K(39)----------K

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

10.関連業務処理

画面番号		画面名	住民票記載事項通知者一覧

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
1  画面ＩＤ          住民票記載事項通知者一覧                X99.99.99      99/99  1
2                                                                                 2
3  受領No 9999999  支所No 999  事件名称 K----------K(18)----------K             3
4                                                                                 4
5  No  氏          名                                                             5
6  99  K----------K(30)----------K                                                6
7  99  K----------K(30)----------K                                                7
8  99  K----------K(30)----------K                                                8
9  99  K----------K(30)----------K                                                9
10 99  K----------K(30)----------K                                                10
11 99  K----------K(30)----------K                                                11
12 99  K----------K(30)----------K                                                12
13 99  K----------K(30)----------K                                                13
14 99  K----------K(30)----------K                                                14
15 99  K----------K(30)----------K                                                15
16 99  K----------K(30)----------K                                                16
17 99  K----------K(30)----------K                                                17
18          処理区分 9 1:表示 2:追加 3:修正 4:削除 該当番号 99                    18
19                                                                                19
20                                                                                20
21                                                                                21
22              Ｐ Ｆ ガ イ ダ ン ス                                               22
23                                                                                23
24 K----------K(39)----------K                                                    24
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

画面設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

10. 関連業務処理

画面番号		画面名	住民票記載事項通知内容

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画 面 I D　　住 民 票 記 載 事 項 通 知 内 容　　X99.99.99　　99/99

受領No	9999999	支所No	999	事件名称	K----------K(18)----------K

振り仮名	現	K----------K(30)----------K			
	新	K----------K(30)----------K			
氏　名	現	K----------K(30)----------K			
	新	K----------K(30)----------K			
本　籍	現	K----------K(30)----------K			
	新	K----------K(30)----------K			
筆頭者	現	K----------K(30)----------K			
	新	K----------K(30)----------K			
生年月日	現	X99.99.99	父母との続柄	現	99 K K K
	新	X99.99.99		新	99 K K K
住　所	K----------K(30)----------K				
方　書	K----------K(30)----------K				
世帯主	K----------K(30)----------K				
世帯主との続柄	999999 K----------K(25)----------K				
住定日	X99.99.99	住民日	X99.99.99		

P F ガ イ ダ ン ス

K----------K(39)----------K

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

住民票記載事項通知ファイル一覧

画面番号		画面名	住民票記載事項通知ファイル一覧		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	面面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	項番	2	数字	出	
5	受領番号	7	数字	出	
6	支所番号	3	数字	出	
7	事件名称	18	漢字	出	
8	ファイル名称	5	漢字	出	
＊　上記4～8を一画面MAX15件分表示する　（複数ページ有り）					
9	選択番号	2	数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

住民票記載事項通知者一覧

画面番号		画面名	住民票記載事項通知者一覧		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	支所番号	3	数字	出	
6	事件名称	18	漢字	出	
7	項番	2	数字	出	
8	氏名	30	漢字	出	
＊　上記7～8を一画面MAX12件分表示する　（複数ページ有り）					
9	処理区分	1	数字	入	1:表示 2:追加 3:修正 4:削除
10	該当番号	2	数字	入	
11	PFガイダンス1	39	漢字	出	
12	PFガイダンス2	39	漢字	出	
13	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

住民票記載事項通知内容処理

画面番号		画面名	住民票記載事項通知内容		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	支所番号	3	数字	出	
6	事件名称	18	漢字	出	
6-1	現振り仮名	30	漢字	入	
6-2	新振り仮名	30	漢字	入	
7	現氏名	30	漢字	入	
8	新氏名	30	漢字	入	
9	現本籍	30	漢字	入	
10	新本籍	30	漢字	入	
11	現筆頭者	30	漢字	入	
12	新筆頭者	30	漢字	入	
13	現生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	新生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	現父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力有
16	現父母との続柄名称	3	漢字	出	
17	新父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力有
18	新父母との続柄名称	3	漢字	出	
19	住所	30	漢字	入	
20	方書	30	漢字	入	
21	世帯主	30	漢字	入	
22	世帯主との続柄コード	6	数字	入	コード入力有
23	世帯主との続柄名称	25	漢字	出	
24	住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第7.2.(18)
「一括」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0	デジタル庁からの指摘	一括処理	5-6-(2)_帳票設計書の改訂(平成30年3月31日)により、2. 処理概要_(ア)高齢者消除抽出処理_①イ)の抽出条件を修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	一括処理

1. 処理範囲

(1)該当ファイル全件を検索する処理、またはオンライン処理中に実行すると、著しく性能低下を招くような処理を一括処理として切り分ける。
例えば、高齢者消除の該当者抽出処理のように、戸籍DB全件(現在戸籍)を順次検索し、条件に適合した者を抽出する処理などがあげられる。

2. 処理概要

(1)純粋なるバッチ処理、または、オンライン起動によるバッチ処理など運用形態がシステム処理により異なるが、前者の純粋なるバッチ処理を想定し概要を示す。

(ア)高齢者消除抽出処理
①基準日を指定し、戸籍DBを以下の条件で検索する。
ア)現在戸籍のもの
イ)満120才以上の場合、住所不明(戸籍の附票に記載がない、附票ファイルの住所がスペース、消除されたデータのみ) 又は
戸籍の附票に外国住所が記載されたものであること
ウ)満100才以上120才未満の場合、住所不明(戸籍の附票に記載がない、附票ファイルの住所がスペース、消除されたデータのみ) かつ
該当戸籍内に100歳未満の在籍者がいないこと

②条件に全て該当する者を抽出し、一覧表に出力する。

以降の処理については、運用にあわせてシステム化を図ること。(参考的に次頁参照)

(イ)本籍町名変更通知
①現本籍と、新本籍の対応表を作成する(事前準備)。
②変更する現本籍コードを指定し、戸籍DBを以下の条件で検索する。
ア)現在戸籍のもの
イ)現本籍コードと同じ戸籍
③条件に全て該当する戸籍事項(本籍、筆頭者)を抽出し、地番順に並び替える。
④地番順に並び替えられたデータを新本籍の対応表と突き合わせ、新本籍を付加する。
⑤現本籍と新本籍の比較が把握できる一覧表を作成。
⑥変更する内容を確認(目検)。
⑦正しければ、新本籍に置き替える(更正事項も付加)。
⑧変更履歴確認リストを出力。
⑨⑤の内容で本籍町名変更通知を作成する。

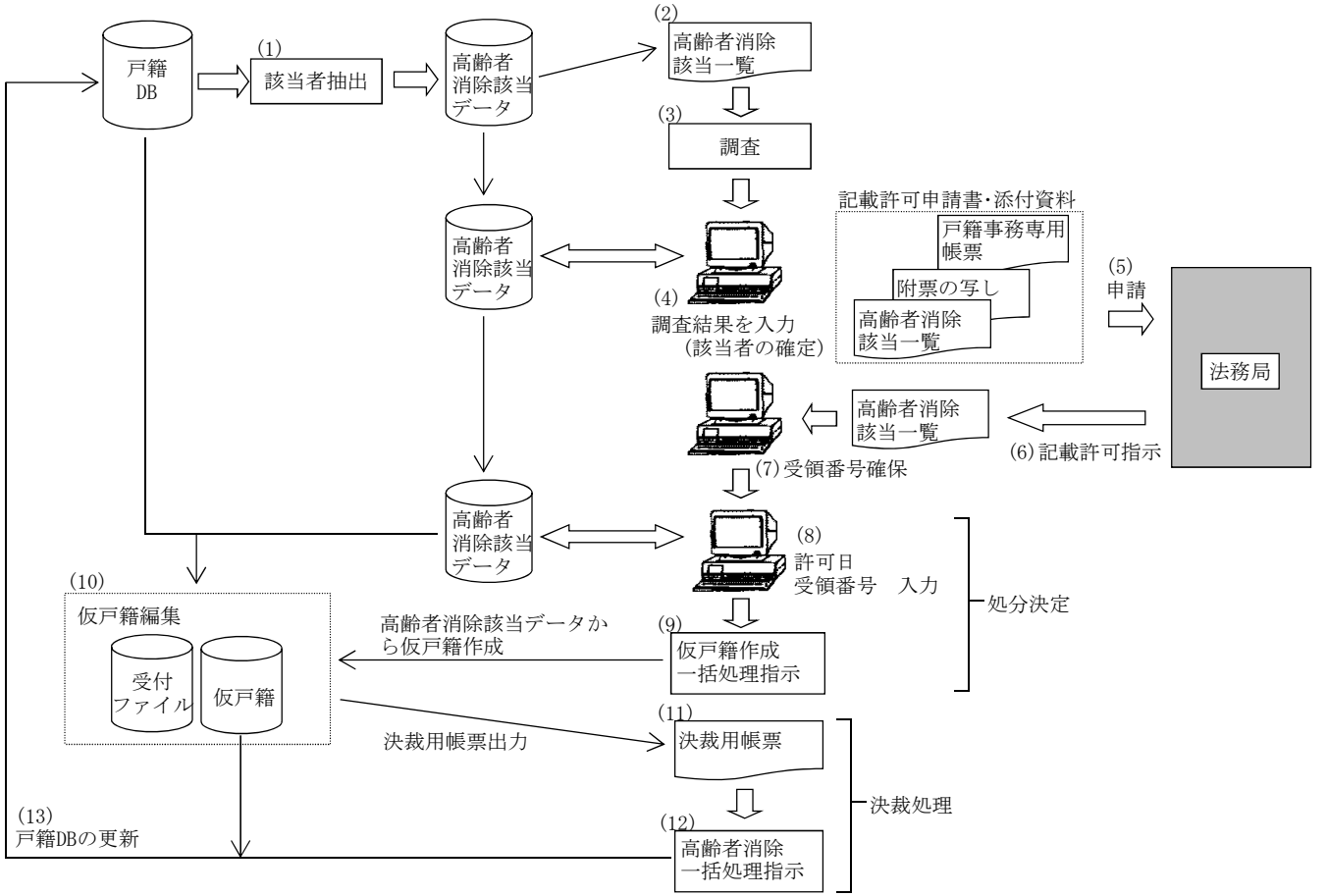
システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	一括処理					

高齢者消除処理

1.処理概要

戸籍DBから該当データを抽出して一覧表を作成する。(抽出条件は、帳票設計書を参照)
高齢者消除該当一覧表をもとに、調査を行い高齢者消除の許可申請書を作成し法務局に提出する。
法務局から許可を得られた者に対して、高齢者消除処理を行う。高齢者消除処理は、審査結果入力処理で対応するか、バッチ処理で行うかは任せる。
以下に、高齢者消除処理をバッチ処理で行った場合の流れ(参考)を示す。バッチ処理においても、仮戸籍データを作成しオンラインの流れに準じて各事務工程を設定すること。

2.処理の流れ



第7.2.(19)

「行政区画土地の名称変更」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	－	「行政区画土地の名称変更」処理	振り仮名の法制化による修正 ・行政区画土地の名称変更_3.0戸籍特定編集、行政区画土地の名称変更_補足説明書を修正
2		－		戸籍情報連携システムの運用開始に合わせて修正 ・行政区画土地の名称変更_システム処理の概要説明、行政区画土地の名称変更_システム環境仕様書、行政区画土地の名称変更_0.0本紙を修正

システム処理の概要説明		作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	行政区画土地の名称変更						

0.前提

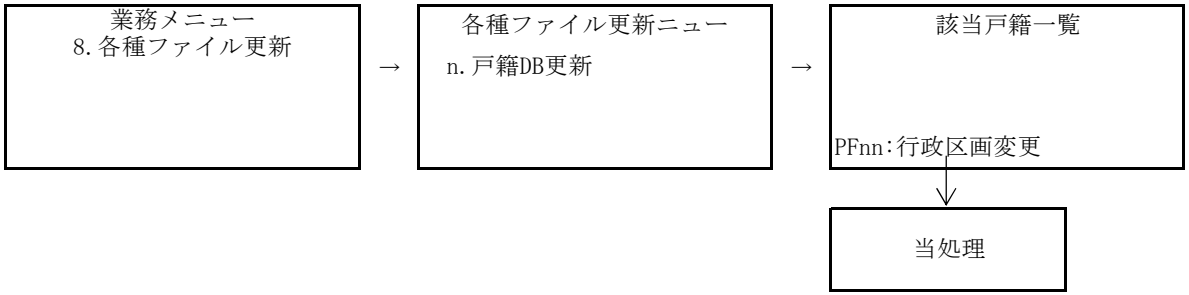
本基準書はオンラインによる「行政区画土地の名称変更」処理の一例を示すものであり、画面・PFキー・位置付け等はサンプルとします。

但し、「行政区画土地の名称変更」処理機能を業務メニュー等の前面に提示することは、なるべく避けていただきたい。

当仕様では、同時に住民票記載事項通知ファイルを更新・作成しているが、参考仕様と考えていただきたい。

住民票記載事項通知は7.2.(18)「関連業務」を参照のこと。

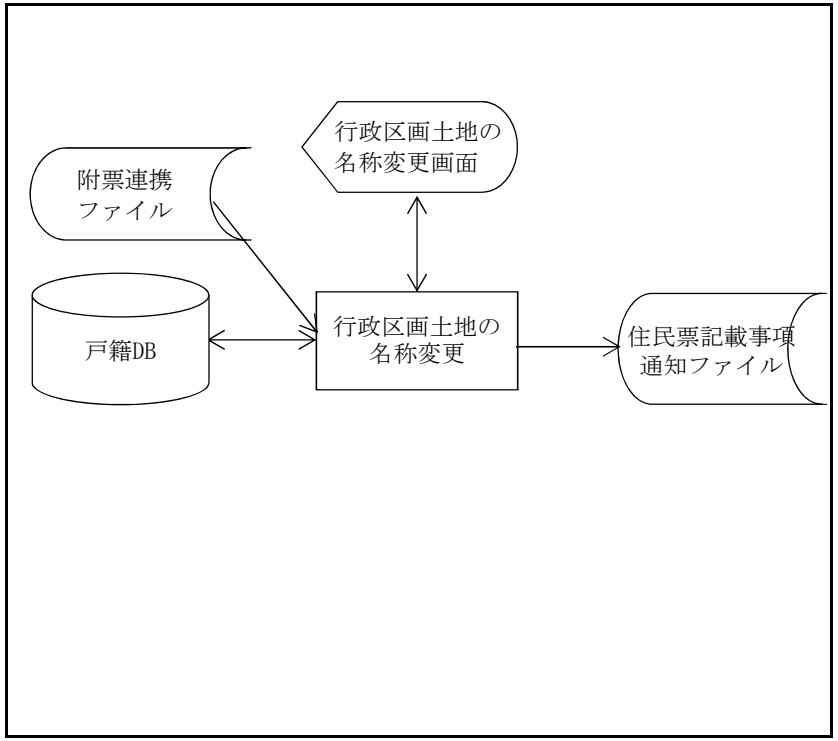
当処理の位置付け(参考)



システム環境仕様書	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	行政区画土地の名称変更

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入出力		
附票連携ファイル	入力		
住民票記載事項通知ファイル	出力		

3.処理概要

(1)選択された戸籍に対し、新本籍、記録日、更正事由(事件発生日、事由)を入力し、戸籍DBを更新する。

(2)当該戸籍に在籍している者について住民票記載事項通知ファイルを作成する。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.0 データ編集(戸籍特定DB)
- 3.1 データ編集(戸籍事項DB)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	行政区画土地の名称変更										
処理名	0.0 本紙									備考	
(1)行政区画土地の名称変更画面に必要データを入力する。								/			
(2)キー選択(実行キー、PF3、PF5、PF10、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)戸籍特定DBの編集･出力 [3.0]					/			
			(6)戸籍事項DBの編集･出力 [3.1]					/			
			(7)戸籍附票連携ファイルから情報を取得する					/			
			(8)当該戸籍に在籍している人数分、住民票記載事項通知ファイルを編集･出力する					/			
				(9)							
					(10)						
					(11)						
			(12)								
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						(14)同画面を編集する		
	NO										
PF3	→								(15)該当戸籍一覧へ制御を渡す		
PF5	→								(16)構成員一覧へ制御を渡す		
PF10	→								(17)管内住所SUBへ制御を渡す		
PF12	(18)入力画面を初期化する								(19)同画面を編集する		
その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		行政区画土地の名称変更					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	新本籍	○	漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		管内住所SUBより
2	記録日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」、未来日チェック			
3	事件発生日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」、未来日チェック			
4	事件発生事由		数字	1:土地の名称変更　～　6:町となったため			
5	事由入力		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	行政区画土地の名称変更		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.2)記録日 ≧ (No.3)事件発生日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)事件発生事由、(No.5)事由入力　のいずれか一方に入力があること			
3	(No.1)新本籍は現在の本籍と異なること			

データ編集表			作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	行政区画土地の名称変更							
処理名	3.0 戸籍特定編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍特定	戸籍番号		行政区画土地の名称変更画面					
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			新本籍のコード				*当然、管内のみ
	本籍			新本籍				
	筆頭者							
	筆頭者振り仮名							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍･除籍区分							
	戸籍異動区分							

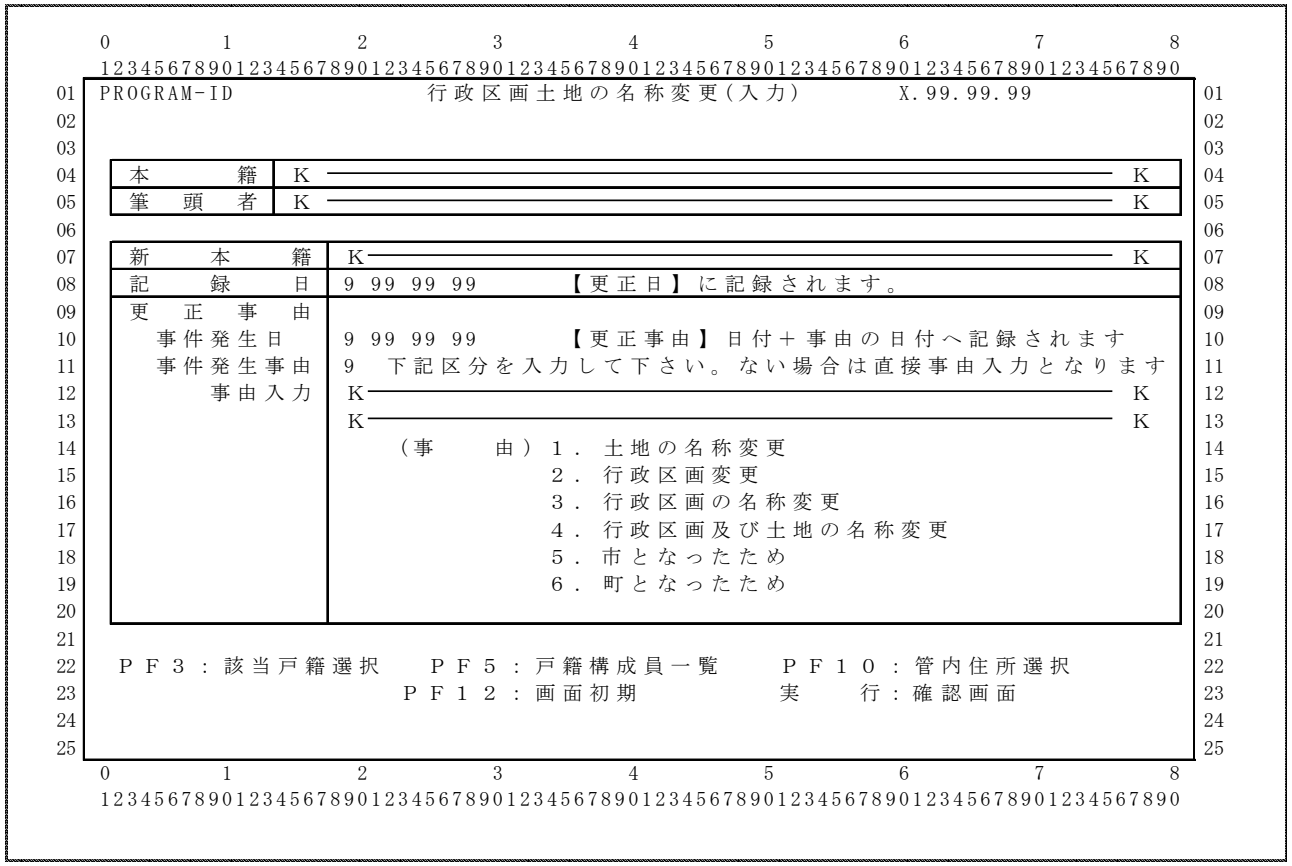
データ編集表			作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更							
処理名	3.1 戸籍事項編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍事項	戸籍番号		行政区画土地の名称変更画面					
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							7001:「更正」を設定
	記録コード							7001:「基本事項の更正の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			記録日				
	更正 更正日			記録日				
	更正 更正事項							’本籍’を設定
	更正 更正事由			事件発生日				(事件発生日) + 選択された(事件発生事由) 又は (事件発生日) + (事由入力)を編集し、設定
				事件発生事由				
				事由入力				
	従前の記録			本籍				
	特記事項							

補足説明書	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	行政区画土地の名称変更

行政区画土地の名称変更画面(サンプル)



本籍 :選択された戸籍の本籍 (表示)
筆頭者:選択された戸籍の筆頭者氏名 (表示)

新本籍:管内住所SUB等で設定した本籍 (入力)
記録日:更正する日 (入力)

事件発生日 :更正事案施行日 (入力)
事件発生事由:事由区分(1～6) (入力)
事由入力 :事由入力領域 (入力)

補足説明書	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	行政区画土地の名称変更					

行政区画土地の名称変更 前

（１の１） 全 部 事 項 証 明

本　　籍	東京都千代田区平河町一丁目１０番地
氏　　名	河野　義太郎
氏の振り仮名	コウノ
戸籍事項 戸籍編製	【編製日】平成１０年１月１日
戸籍に記録されている者	【名】義太郎

行政区画土地の名称変更 後

（１の１） 全 部 事 項 証 明

本　　籍	東京都千代田区平河町八丁目１０番地
氏　　名	河野　義太郎
氏の振り仮名	コウノ
戸籍事項 戸籍編製 更　　正	【編製日】平成１０年１月１日 【更正日】平成１２年１月５日 【更正事項】本籍 【更正事由】平成１２年１月１日行政区画変更 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目１０番地
戸籍に記録されている者	【名】義太郎

第7.2.(20)

「受付ファイル欠番」処理

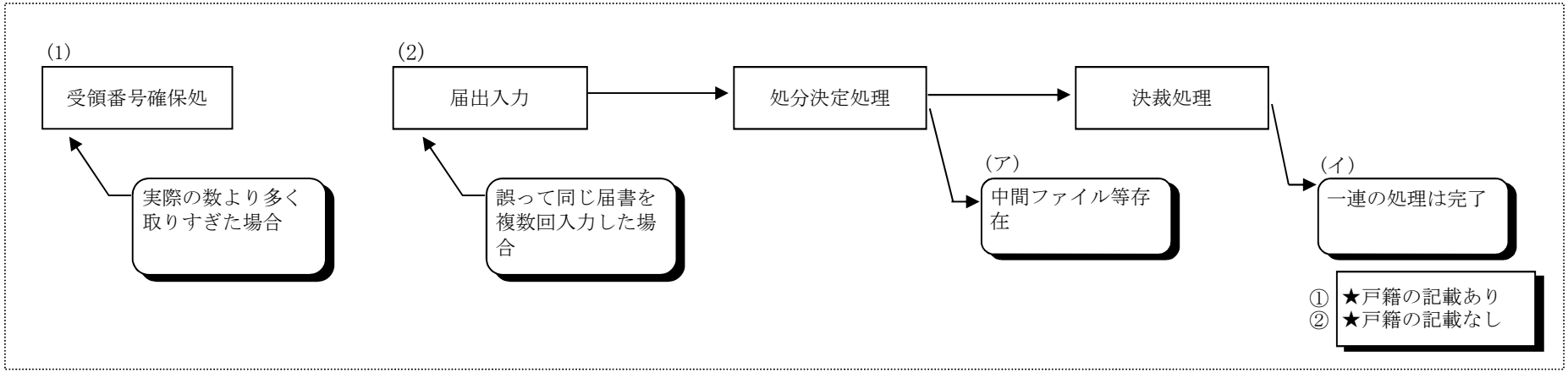
戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0	指摘事項管理表(3)_連携システム_外部I/F仕様書 №143,247	「受付ファイル欠番」処理	戸籍情報連携システムの対処を追加 ①3.2.1決裁前に措置を追記 ②3.2.2決裁後(2)戸籍に記載がないものに措置を追記 ③4.欠番データの扱い(2)受理証明書に届書等情報内容証明書の措置を追記

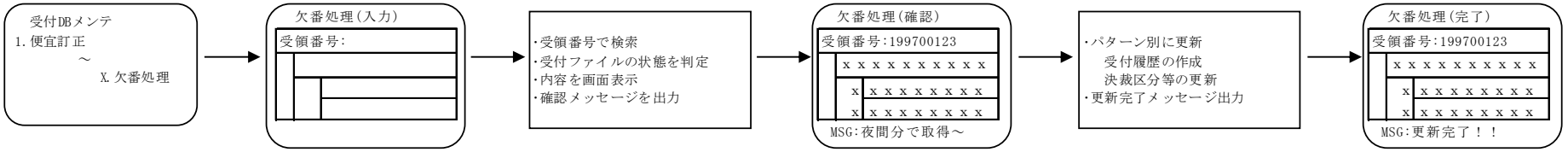
システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル欠番処理					

1. 欠番処理の目的
夜間･休日分の受領番号を余分に取得した場合や、非本籍分等の届書入力を誤って複数処理した場合など、1度採番された受領番号に対して取消を行うことを目的とする。

2. 処理概要
業務メニューの「ファイル更新」→「受付DBメンテ」処理内に「欠番処理」を設け、異動処理から独立した処理とする。
欠番処理を行うに当たって、受付ファイルの状態により以下のパターンに分類することができると共に、そのパターン毎に処理内容が異なるので確認すること。
《パターン》
(1)夜間･休日分受領番号取得処理において余分に取りすぎた場合
受付ファイルの内容は未入力状態(受領番号のみで、他の項目は初期化状態)
(2)同一届書を複数入力してしまった場合
(ア)決裁処理未完了(処分決定まで完了)
受付ファイルは「未決裁」の状態。届書ファイル、仮戸籍ファイル等の中間ファイルが存在する。
(イ)決裁処理まで完了
一連の処理が完了し受付ファイルは「決裁済」の状態。届書の内容により、戸籍記載の有無がある。
受理分については、住基法9条2項通知など通知関係のファイルが作成されている。また事件表に関する統計情報もカウントされた状態
①戸籍の記載があるもの
本籍分の同一届書入力を複数行ってしまった場合
②戸籍の記載がないもの
非本籍分の同一届書入力を複数行ってしまった場合、または、本籍人分ではあるが戸籍の記載がないもの



システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル欠番処理					



欠番処理を行おうとする受付ファイルの内容を画面表示させ、操作者が確認できるよう考慮すること。(履歴があれば参照できるのが好ましい)
処理権限(パスワードチェック)を、必要に応じて行うことは特に差し支えない。

3.処理詳細
処理概要であげたパターン別に処理詳細を以下に示す。画面レイアウト等については特に示さないので、必要に応じて設計すること。
受領番号を指定した際に、その受領番号種別をシステムが判定し確認させるためのメッセージを出力するものとする。

3.1 夜間･休日分受領番号取得処理において余分に取りすぎた場合
・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「夜間分で取得された受付帳です」
・受付ファイルの決裁区分を書き換えて更新する。(履歴レコードは作成しない)

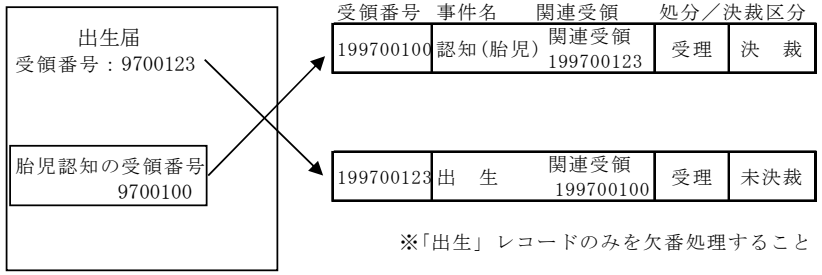
	「受領番号」	「処分区分」	「決裁区分」
更新前	199700100-0	スペース	スペース
更新後	199700100-0	スペース	欠番

3.2 同一届書を誤って複数入力した場合
3.2.1 決裁前
・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「決裁前の受付帳です(中間ファイルの削除、同時に作成した受付帳の欠番処理を行います」
・当該届で作成された受付ファイルに履歴を追加して決裁区分が欠番のものを作成する。
・届書処理通番が取得済であるため、戸籍情報連携システムに対して届書取り込み解除(I0240)を実施する。
・届書処理通番ファイルから該当のレコードを削除する。
・戸籍情報連携システム送信用の届書等情報を削除する。

	「受領番号」	事件本人 ～	「処分区分」	「決裁区分」	
更新前	199700100-0	甲野 太郎	受理	未決裁	
更新後	199700100-0	甲野 太郎	受理	欠番	
	199700100-1		スペース	欠番	←追加

システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル欠番処理					

・当該届で複数作成された受付ファイルについても上記と同様な処理を行うものとする。
　届書の同時決裁受領番号を参照し欠番処理を行う。→胎児認知の出生届で認知の受付帳を欠番処理しないための方策)
　基本となる届出の受領番号からでないと選択できないため。(届書ファイルは基本部のみ)



受領番号	事件名	関連受領	処分／決裁区分	
199700100	認知(胎児)	関連受領 199700123	受理	決　裁
199700123	出　生	関連受領 199700100	受理	未決裁

※「出生」レコードのみを欠番処理すること

⇒既に一連処理完了済

出生届を欠番する場合、既に作成されている「認知(胎児)」の受付レコードまで欠番しないよう注意が必要である。
あくまで、該当届出で作成された受付レコードを対象とすること。

・本籍人の場合、戸籍にロックがかかっているので解除する。
・中間ファイルの削除処理を行う。
　仮戸籍ファイル、届書ファイル、エラー履歴ファイル、(要旨ファイル)

3.2.2　決裁後
(1)戸籍に記載があるもの
・欠番処理は不可
　戸籍訂正処理により対応することとなる。
　但し、システム側で戸籍記載の有無について判定できないため、操作員が判断するものとする。

(2)戸籍に記載がないもの
・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「決裁済の本籍人分の受付帳です。戸籍に記載されているか内容を確認して下さい。」　←本非区分を判定して
　「決裁済の非本籍人分の受付帳です。内容を確認して下さい。」　←メッセージ内容を変える。
・指定された受領番号のみの受付ファイルに履歴を追加して決裁区分が欠番のものを作成する。
・届書等情報送信前であれば、戸籍情報連携システムに対して届書取り込み解除(I0240)を実施する。※送付地において異動処理中の設定をしている場合は必要。
・届書等情報送信後であれば、コールセンターに連絡する。
・届書処理通番ファイルから該当のレコードを削除する。
・戸籍情報連携システム送信用の届書等情報を削除する。

	「受領番号」	事件本人　～	「処分区分」	「決裁区分」	
更新前	199700100-0	甲野　太郎	受理	決裁	
更新後	199700100-0	甲野　太郎	受理	決裁	
	199700100-1		スペース	欠番	←追加

複数受付ファイルが作成されている届出であったとしても、個別に指定し複数回処理するものとする。

システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	受付ファイル欠番処理					

※作成済のファイル等については、システムから更新等連動しない
・統計(事件表):データを修正する
・送付目録　　:印刷物を修正
・通知関係　　:印刷物を廃棄
・人口動態　　:人口動態システムにおいて欠番処理を行う

4.欠番データの扱い

(1)検索画面表示
・一覧画面には表示させないものとする。
→事件本人氏名等による検索を行っても、一覧表示および詳細表示できないものとする
・詳細表示については、受領番号ダイレクト検索により表示できるものとする。
・詳細表示の際、極力最新データを先に表示する。
→欠番のデータは、内容が初期化状態のため履歴データを先に表示した方が良いとの考えもあるため

(2)受理証明書、届書等情報内容証明書
受理証明書の発行を抑止するものとする
(送付分と同様に発行できないような仕掛けを設ける)
届書等情報内容証明書は、届書処理通番ファイルの該当レコード及び画像ファイルを削除するため発行できない仕様であるが、発行抑止の措置をしても構わない。

(3)受付帳(印刷)
印刷する際に、「欠番」のレコードをスキップし出力しない方が望ましい。
(欠番のデータは、受付帳(ファイル)ではない扱いとなるため)

5.補足
「帰化」「入籍」届出において、当初入力した人数に変更があった場合も欠番処理にて対応することとなる。
【理由】:届出入力側で再入力時に人数のチェックを行っているため変更ができない。

(1)増分するケース(3人→4人)
・増分の1名を新規届書入力で対応
・受付ファイルメンテで関連受領番号を入力し対応付けする
(連続した受領番号を付番する場合には、右記(2)の処理を行う)

(2)減少するケース(4人→3人)
・当初入力した該当届について欠番処理を行う(必ず決裁前の状態)
・正しい人数で再度新規届書入力する
(当初入力した届出は欠番(取消))

第7.2.(21)「再製」処理

21.再製

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	－	「再製」処理	各システム標準化に伴う修正 イ)から附票データの処理を削除
2		－		振り仮名の法制化に伴う修正 証明書様式を変更

システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	再製

1.処理範囲
(1)申出再製制度により相当と認められる関係人から再製の申出があった場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。
システム戸籍において再製が発生する場合として以下のような事案等が考えられる。
・市区町村長の過誤により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
・錯誤による届出等により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
・虚偽の届出等により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
(2)成年後見制度により成年後見登記センタに移行した場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。
(3)嫡出でない子の戸籍における父母との続柄の更正後、再製の申出があった場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。

2.処理概要
(1)再製処理
ア)再製後のシステム戸籍の作成に関して、戸籍情報システムでその機能を規定することを必須とはしないが以下の点に留意する。
(但し、戸籍情報システムで対応するとした場合の戸籍処理選択メニューへの組み込みは、メーカーの任意とする。)
・再製原戸籍の戸籍特定の戸籍・除籍区分は、再製の事由により設定内容を区別する。
申出再製制度により再製した場合:「4:申出再製原戸籍」とする。
成年後見制度により再製した場合:「3:再製原戸籍」とする。
申出再製制度発足前に成年後見制度による再製以外で再製した場合:「3:再製原戸籍」とする。
・保存年限について
戸籍・除籍区分が「3:再製原戸籍」の場合は1年保存の対象とする。
戸籍・除籍区分が「4:申出再製原戸籍」の場合は以下2通りとする。
Ⅰ.戸籍法第11条の2第1項の規定による再製の場合…80年
Ⅱ.戸籍法第11条の2第2項の規定による再製の場合…1年
※除籍を再製する場合、再製完了時点で除籍の保存年限が再製原戸籍の年限より下の場合は、除籍の保存年限を継続で活用する。
・再製をした際の戸籍特定の各種日付の設定内容については以下の内容に従う。

〈戸籍の再製〉

日　付	再製原戸籍	再製後の戸籍
編製日	変更なし	変更なし
改製日	変更なし	変更なし
回復日	変更なし	変更なし
消除日	再製した日	変更なし

〈除籍の再製〉

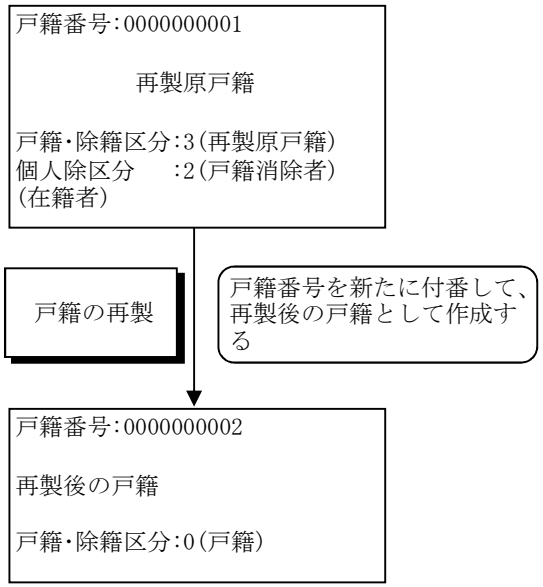
日　付	再製原戸籍	再製後の戸籍
編製日	変更なし	変更なし
改製日	変更なし	変更なし
回復日	変更なし	変更なし
消除日	変更なし	変更なし

・再製原戸籍中の在籍している個人の個人特定の個人除区分は「2:戸籍消除者」とする。
(在籍者以外は設定中の内容の通りとする。)
・統計において、「戸籍の再製・補完」(事件表　第2表)を計上する。
・統計において、「新戸籍編製」「戸籍全部消除」(事件表　第2表)は計上しない。
・統計において、「本籍数」「本籍人口数」(事件表　第3表)は計上しない。
再製により人の増減は発生しない。戸籍訂正により、人を増減させてから再製する。
・受付ファイルは作成しない。

システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	再製

イ)再製処理後の再製原戸籍及び戸籍データの持ち方
・再製処理を行うことにより、再製原戸籍戸籍データの関連は以下のようにする。
※申出再製制度発足以前に成年後見制度による再製以外で再製した場合または成年後見制度による再製をした場合のデータの持ち方の事例
申出再製制度による再製の場合は、上記事例における再製原戸籍の戸籍・除籍区分が「4:申出再製原戸籍」となる。



システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	再製

(2)再製原戸籍の扱いに関して

ア)画面表示

・システム上で再製原戸籍であることの認識が行えること。
画面上に再製原戸籍と分かる表記がある、該当戸籍を選択すると再製原戸籍である旨のメッセージが表示される等

イ)証明書･帳票の発行

・再製原戸籍の戸籍証明書としての発行は抑止する。
・再製原戸籍の戸籍事務専用帳票としての発行は可能とする。出力帳票を図1及び図2に示す。
・認証文については以下に示す。
申出再製制度による再製原戸籍の場合　　:「これは,戸籍法第11条の2第1項(又は第2項)の規定による再製原戸籍の写しである。」(図1参照)
申出再製制度以外による再製原戸籍の場合:「これは,再製原戸籍に記録されている全ての事項を出力したものである。」(図2参照)
・証明枠の左上の枠に「再製原戸籍」と印字する。
・一般行政証明として出力する場合、証明書右上の「事務専用帳票」及び管掌者コードが表示されるのは好ましくない。一般行政証明としてのレイアウトを次頁図3及び図4に示す。認証文は戸籍事務専用帳票と同様である。

ウ)再製原戸籍の訂正

・訂正を行う･行わないかは自治体の判断による。
・訂正を行う場合は、履歴を残した訂正をする(訂正事項を付記する)。
・再製原戸籍訂正単独の受付ファイルは作成しない。

再製現戸籍	(1の1) 戸籍事務専用
本籍	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名	甲野　太郎
氏の振り仮名	コウノ
戸籍事項 0101 戸籍改製 0103 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】戸籍法第１１条の２第１項の規定による再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【振り仮名】 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 0101 出　生	【略】
0102 婚　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは,戸籍法第11条の2第1項(又は第2項)の規定による再製原戸籍の写しである。
平成yy年yy月yy日

図1　申出再製制度による再製原戸籍(戸籍事務専用帳票)

再製現戸籍	(1の1) 戸籍事務専用
本籍	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名	甲野　太郎
氏の振り仮名	コウノ
戸籍事項 0101 戸籍改製 0103 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【振り仮名】 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 0101 出　生	【略】
0102 婚　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは,再製原戸籍に記載されている全ての事項を出力したものである。
平成yy年yy月yy日

図2　申出再製制度による再製原戸籍(戸籍事務専用帳票)

システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	再製

再　製　原　戸　籍	（１の１）
本　　籍	ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
氏　　名	甲野　太郎
氏の振り仮名	コウノ
戸籍事項 戸籍改製 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】戸籍法第１１条の２第１項の規定による再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【振り仮名】 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 出　　生 婚　　姻	【略】 【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは，戸籍法第11条の2第1項（又は第2項）の規定による再製原戸籍の写しである。

平成yy年yy月yy日

東京都△△△△市長　東京　太郎　職印

図3　申出再製制度による再製原戸籍（一般行政証明書）

再　製　原　戸　籍	（１の１）
本　　籍	ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
氏　　名	甲野　太郎
氏の振り仮名	コウノ
戸籍事項 戸籍改製 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【振り仮名】 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 出　　生 婚　　姻	【略】 【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは，再製原戸籍に記載されている全ての事項を出力したものである。

平成yy年yy月yy日

東京都△△△△市長　東京　太郎　職印

図4　申出再製制度以外による再製原戸籍（一般行政証明書）

第7.2.(22)

本人届出確認台帳管理
(サンプル)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

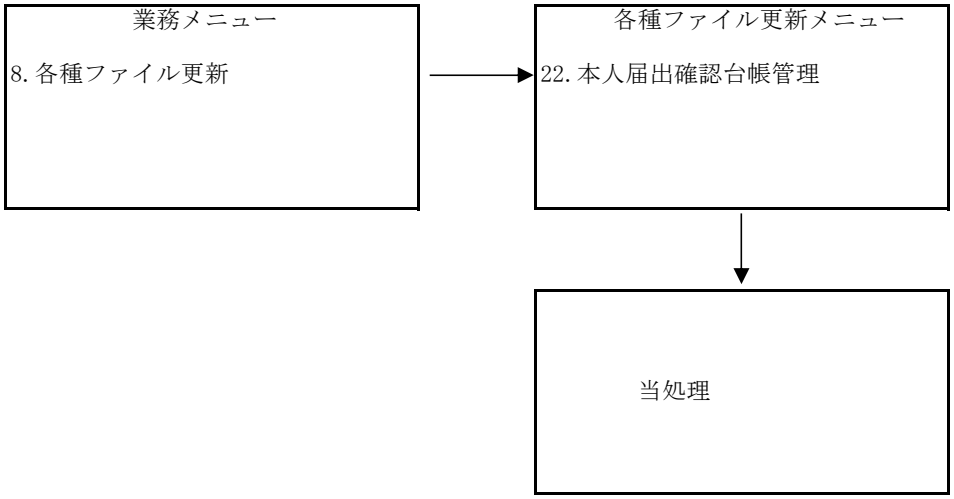
項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	ー	本人届出確認台帳管理	振り仮名の法制化による修正 ・本人届出確認台帳管理_システム環境仕様書、本人届出確認台帳管理_1.0単体チェック表、本人届出確認台帳管理_2.0関連チェック表、本人届出確認台帳管理_3.1検索画面編集、本人届出確認台帳管理_補足説明書を修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理					

0. 前提

・本仕様創設的届における届出本人確認用の確認台帳の管理処理の一例を示すものです。

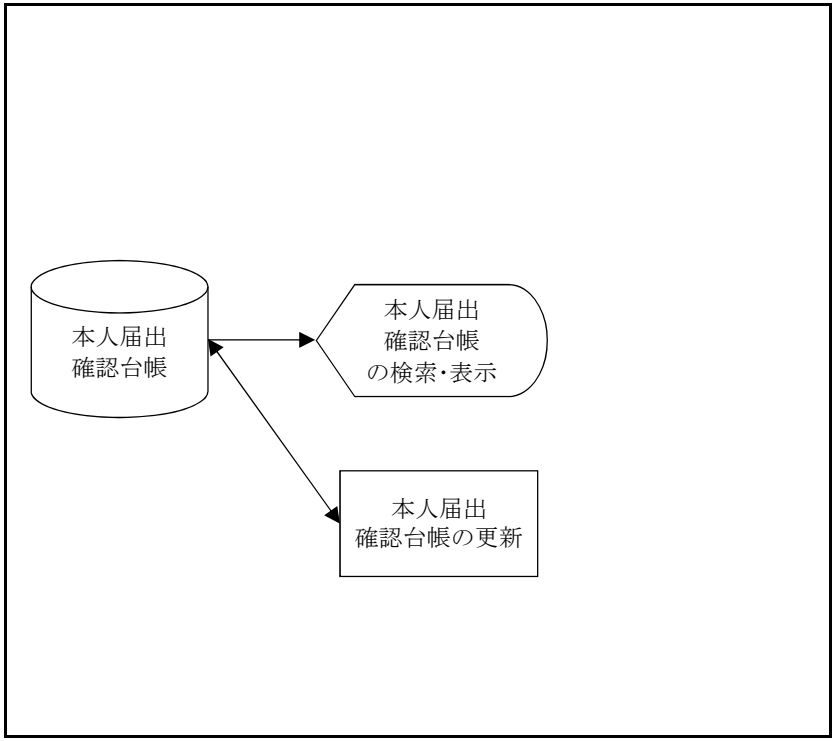
・当処理の位置付け



システム環境仕様書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	本人届出確認台帳管理

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
本人届出確認台帳ファイル	入出力		
本人届出確認通知ファイル	入出力		
発送ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる本人届出確認台帳の検索
- a.受領番号(9桁)
- b.受付日　　※範囲指定も検索可能
- c.事件名
- d.漢字氏名(氏、氏名)
- e.振り仮名(氏、氏名)
- f.処分区分
- g.台帳対象区分

(2)キーを基に本人届出確認台帳を検索し、データの内容等を編集する
(3)本人届出確認台帳一覧画面の表示
(4)本人届出確認台帳の更新

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.1 データ編集表(検索画面編集)
- 5.2 データ編集表(確認台帳表示・更新画面編集)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳管理
処理名	0.0 本紙

									備考
(1)本人届出確認台帳検索画面を表示する。								/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、その他)								/	
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0][2.0]							/	
	YES	(4)受領番号～台帳対象区分で本人届出確認台帳ファイルを検索する。						/	
		(5)0 < 検索件数 < 100 か?(YES,NO)						/	
		YES	(6)本人届出確認台帳検索画面を編集・表示する。 [3.1]					/	
			(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー)、PF1、PF7、PF8、PF12、その他)					/	
			実行キー	(8)該当番号のチェック(OK:YES,NG:NO)				/	
				YES	(9)本人届出確認台帳表示・更新画面(該当受領番号)を編集・出力する。 [3.2]				(10)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
					(11)キー選択(PF1、PF7、PF8、PF9、その他)				(12)同画面を編集する
					PF1	→			(13)業務選択画面に制御を渡す
					PF2	→			(14)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
					PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/	
						YES	(16)前ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集		
						NO	(17)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		(18)同画面を編集する
					PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/	
						YES	(20)次ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集		(20-1)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
						NO	(21)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		(22)同画面を編集する
					PF9	(23)本人届出確認台帳ファイルを更新する。			(24)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
					その他	(25)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(26)同画面を編集する

要件定義ワークシート						作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名			本人届出確認台帳管理								
処理名			0.0 本紙							備考	
				NO	(27)エラーメッセージ 「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」 を表示する						
			PF1	→				(28)業務選択画面に制御を渡す			
			PF7	(29)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/					
				YES	(30)前ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集			(31)同画面を編集する			
				NO	(32)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
			PF8	(33)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/					
				YES	(34)次ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集						
				NO	(35)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
			PF12	(36)入力画面を初期化する							
			その他	(37)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							
		NO	(38)検索件数 ＝ 0	エラーメッセージ 「該当がありません。再度、検索キーを入力して ください。」を表示する							
			(39)検索件数>99	エラーメッセージ 「該当が多すぎます。再度、検索キーを入力して ください。」を表示する							
	NO	(40)エラーメッセージ 「検索キーが正しくありません。再度、検索キーを入力してください。」 を表示する									
PF1	→							(41)業務選択画面に制御を渡す			
PF12	(42)入力画面を初期化する							(43)同画面を編集する			
その他	(44)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する										

データチェック（単体表）			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	本人届出確認台帳管理							
処理名			画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表			本人届出確認台帳検索画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	受領番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受付事件		数字	※コード一覧参照			
3	受付日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	受付日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	漢字氏名		漢字				
6	処分区分		数字	※コード一覧参照			
7	台帳対象区分		数字	(1:対象、2:対象外)であること			
8	振り仮名		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	本人届出確認台帳管理						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	本人届出確認台帳検索画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)受領番号 ＝ スペース(未入力) かつ (No.2)受付事件 ＝ スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(1) ＝ スペース(未入力) かつ (No.4)受付日(2) ＝ スペース(未入力) かつ (No.5)漢字氏名 ＝ スペース(未入力) かつ (No.6)処分区分 ＝ スペース(未入力) かつ (No.7)台帳対象区分 ＝ スペース(未入力) かつ (No.8)振り仮名 ＝ スペース(未入力)の時	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.2)受付事件 ＝ スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(1) ＝ スペース(未入力) の時			

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.1 検索画面編集		(受取側) 本人届出確認台帳検索画面			← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳検索画面	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号							
	受付事件							
	受付日1							
	受付日2							
	処分区分							
	台帳対象区分							
	振り仮名							
	漢字氏名							
	No1～n		本人届出確認台帳ファイル					1～n件のシーケンス番号設定
	受領番号1～n			受領番号				
	受付日1～n			受付日				
	受付事件1～n			受付事件コード		有		
	氏名1～n			漢字氏名				

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示・更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示・更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳表示・更新画面	画面ID								
	システム日付								
	画面ページ								
	受領番号			本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号				出張所番号				
	受付事件				受付事件コード		有		
	受付日				受付日				
	処分区分				処分区分		有		
	台帳対象区分				台帳対象区分		有		
	事件本人(1)	氏名(1)			漢字氏名(1)				
		住所(1)			住所(1)				
		本人区分(1)			本人区分(1)		有		
		来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
		確認区分(1)			確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			確認担当者(1)				
		通知要否(1)			通知要否(1)		有		
		通知日(1)			通知日(1)				
		通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	事件本人(2)	氏名(2)			漢字氏名(2)				
		住所(2)			住所(2)				
		本人区分(2)			本人区分(2)		有		
		来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
		確認区分(2)			確認区分(2)		有		

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示･更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示･更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			確認担当者(2)				
		通知要否(2)			通知要否(2)		有		
		通知日(2)			通知日(2)				
		通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	事件本人(3)	氏名(3)			漢字氏名(3)				
		住所(3)			住所(3)				
		本人区分(3)			本人区分(3)		有		
		来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
		確認区分(3)			確認区分(3)		有		
		確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
		確認手段1(3)			確認手段1(3)				
		確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
		確認手段2(3)			確認手段2(3)				
		確認担当者(3)			確認担当者(3)				
		通知要否(3)			通知要否(3)		有		
		通知日(3)			通知日(3)				
		通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	事件本人(4)	氏名(4)			漢字氏名(4)				
		住所(4)			住所(4)				
		本人区分(4)			本人区分(4)		有		
		来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
		確認区分(4)			確認区分(4)		有		
		確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示･更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示･更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		確認手段1(4)			確認手段1(4)				
		確認方法2(4)			確認方法2(4)		有		
		確認手段2(4)			確認手段2(4)				
		確認担当者(4)			確認担当者(4)				
		通知要否(4)			通知要否(4)		有		
		通知日(4)			通知日(4)				
		通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人(1)	氏名(1)			届出人氏名(1)				
		住所(1)			届出人住所(1)				
		本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
		来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
		確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
		通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
		通知日(1)			届出人通知日(1)				
		通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人(2)	氏名(2)			届出人氏名(2)				
		住所(2)			届出人住所(2)				
		本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
		来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
		確認区分(4)			届出人確認区分(2)		有		
		確認方法1(4)			届出人確認方法1(2)		有		
		確認手段1(4)			届出人確認手段1(2)				

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示･更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示･更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			
受取側				引渡側					
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目		コード 変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
	名称		記号名		名称	記号名			
		確認方法2(4)			届出人確認方法2(2)		有		
		確認手段2(4)			届出人確認手段2(2)				
		確認担当者(4)			届出人確認担当者(2)				
		通知要否(4)			届出人通知要否(2)		有		
		通知日(4)			届出人通知日(2)				
		通知担当者(4)			届出人通知担当者(2)				
	使者(1)	氏名(1)			使者氏名(1)				
		住所(1)			使者住所(1)				
		確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者(2)	氏名(2)			使者氏名(2)				
		住所(2)			使者住所(2)				
		確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
		確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			使者確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考				備考				

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	本人届出確認台帳管理

本人届出確認台帳検索の画面

```
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
 1  画面ＩＤ                    本人届出確認台帳検索                X99.99.99      99/99
 2  |      | 受領番号 | 999999999 | 受付事件 | 999  K---------K(15)----------K                |
 3  | 検索 | 受付日   | X.99.99.99 ～ X.99.99.99 | 処分区分 | 9 ＫＫＫ | 台帳対象区分 | 9 ＫＫＫ |
 4  |      | 振り仮名 | K----------K(30)----------K                                                    |
 5  |      | 漢字氏名 | K----------K(30)----------K                                                    |
 6
 7  |  No  | 受領番号 | 受付事件                                                                       |
 8  |      | 受付日   | 氏名                                                                           |
 9  |      | 999999999 | K---------K(15)----------K                                                    |
10  |  99  | X.99.99.99 | K----------K(30)----------K                                                  |
11  |      | 999999999 | K---------K(15)----------K                                                    |
12  |  99  | X.99.99.99 | K----------K(30)----------K                                                  |
13  |      | 999999999 | K---------K(15)----------K                                                    |
14  |  99  | X.99.99.99 | K----------K(30)----------K                                                  |
15  |      | 999999999 | K---------K(15)----------K                                                    |
16  |  99  | X.99.99.99 | K----------K(30)----------K                                                  |
17  |      | 999999999 | K---------K(15)----------K                                                    |
18  |  99  | X.99.99.99 | K----------K(30)----------K                                                  |
19  |      | 999999999 | K---------K(15)----------K                                                    |
20  |  99  | X.99.99.99 | K----------K(30)----------K                                                  |
21                                                          選択番号 | 99 |
22                          ＰＦ ガイダンス
23
24  K----------K(39)----------K
1234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234567890
```

検索キー:受領番号、受付事件、受付日、振り仮名、漢字氏名、処分区分、台帳対象区分

※検索事件数:MAX99件
※受付日は範囲指定も可とする。

氏名:事件本人の複数表示も可とする。

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	本人届出確認台帳管理					

本人届出確認台帳の画面

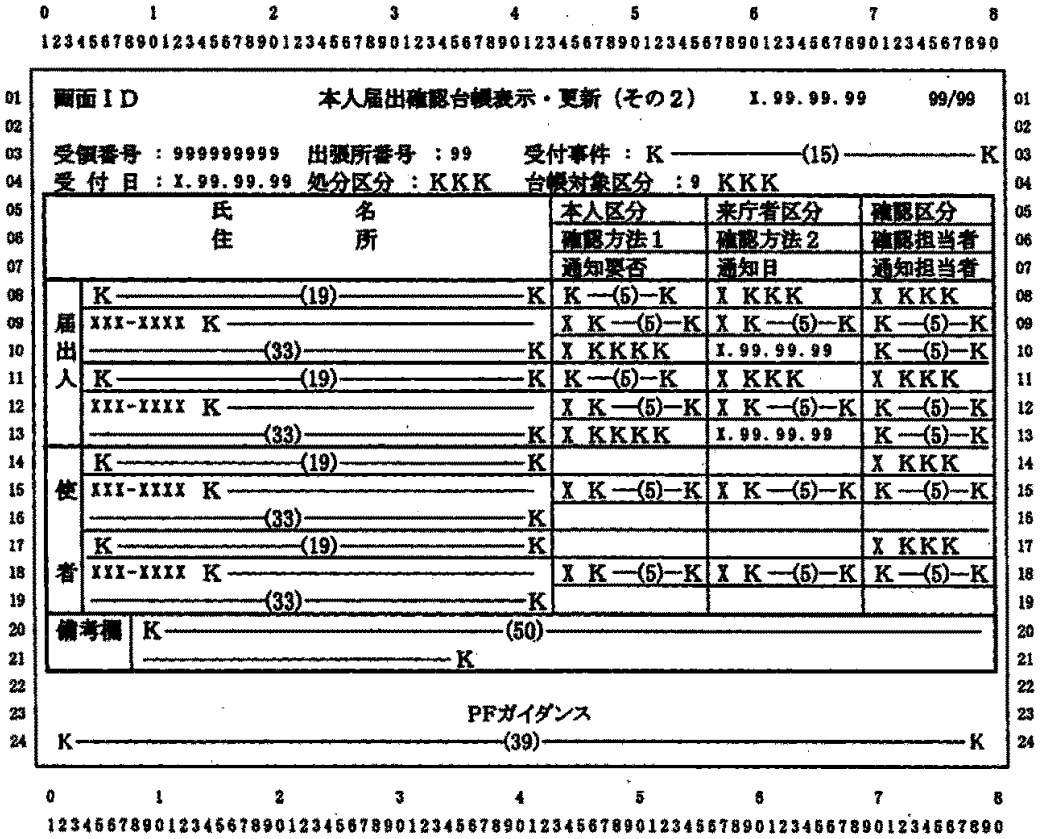
受付事件　:受付事件名
処分区分　:コード一覧参照
台帳対象区分:1.対象
　2.対象外
来庁者区分　:1.来庁者
　2.郵送
確認区分　:1.確認
　:0.未確認
確認方法1･2　:1.運転免許証　2.パスポート
　3.個人番号カード　4.健康保険証
　5.その他
　※「その他」のときはワープロ的に入力できるものとする。
　※その他確認方法の参考例
　クレジットカード、免許証、許可証、学生証などがある
確認担当者　:本人確認をした職員氏名
　※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする
通知要否　:1.通知要
　2.通知不要
通知日　:届出人に対して通知をした日
通知担当者　:通知をした職員氏名
　※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする。

本人届出確認通知書:処分決定で発送ファイルが作成された後は、当該処理または帳票出力において発行することは、メーカー任意とする。

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	本人届出確認台帳管理

本人届出確認台帳の画面



使者の欄　：入力可能となっているが、運用に合わせて不要としてもよい

備考欄　　：届出人からの連絡の記録等をワープロ的に記録できるものとする

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	本人届出確認台帳管理					

本人確認が必要と思われる届

No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補	事件本人候補	備考
1	出生(認知)	創設・報告	認知	出生	父、母	出生子、父	認知が創設の為、父に対して確認要。
2	出生(国籍留保)	創設・報告	国籍留保	出生	父、母	出生子	国籍留保が創設の為、国籍留保の届出人に対し本人確認要。
3	認知	創設・報告	右以外	裁判認知、外国の方式	父、子、親権者母、親権者養父、親権者養母、その他	父(認知者)、子(被認知者)	
4	養子縁組	創設・報告	右以外	証書提出	養子、養女、養父、養母、法定代理人(父、母、母の親権者、特別代理人、母の未成年後見人、未成年後見人、未成年後見監督人、児童福祉施設の長)	養子、養女、養父、養母	
5	養子離縁	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養親、養子	養親、養子	養子が15歳未満のときは法定代理人(親権者、後見人)が届出人になる。
6	73の2	創設	創設のみ	無	離縁によって縁組前の氏に復した者	離縁によって縁組前の氏に復した者	届出人は本人のみ。法定代理人も不可。
7	離縁同時73の2	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養子、養女、養父、養母	養子、養女、養父、養母	
8	婚姻	創設・報告	右以外	証書提出	夫、妻	夫、妻	
9	離婚	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	
10	77の2	創設	創設のみ	無	複氏者	復氏者	
11	離婚同時77の2	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	創設的な離婚時、77の2は離婚の本人確認状態を引き継ぐ。 報告的な離婚時、77の2は77の2の処分決定で本人確認情報を入力する。
		創設	創設のみ	無	夫、妻	夫、妻	
12	親権(管理権)	創設・報告	親権辞任、親権回復、管理権辞任、管理権回復、親権者指定(協議)	親権変更、親権喪失、管理権喪失、親権者指定(調停・裁判)	父、母、養父、養母、親族	親権者、未成年の子、親権協議者	
13	復氏	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
14	姻族関係終了	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	本人届出確認台帳管理

No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補	事件本人候補	備考
15	入籍	創設	創設のみ	無	入籍者、入籍者の配偶者(配偶者があるとき)、法定代理人(15歳未満のとき)	入籍者	民791条2項の場合は氏変更許可の審判所の謄本が必要
16	分籍	創設	創設のみ	無	分籍者	分籍者	
17	国籍選択	創設	創設のみ	無	親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母、未成年後見人、法定代理人	国籍選択者	
18	107の2	創設	創設のみ	無	外国人との婚姻による氏の変更者	外国人との婚姻による氏の変更者	
19	107の3	創設	創設のみ	無	事件本人	事件本人	
20	転籍	創設	創設のみ	無	筆頭者、配偶者、親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母、未成年後見人	筆頭者、配偶者	

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

適用業務名

本人確認通知

1.様式

(1)A4版縦

2.編集条件

(1)出力サイクル
日時

(2)抽出条件
本人届出確認台帳ファイルから該当項目を抽出

(3)出力条件
特になし

3.運用関係

本通知書は、
法務省民一第748号、戸籍の届出における本人確認の取扱いについて(通達)
法務省民一第749号、戸籍の届出における本人確認の取扱いについて(依命通知)
により運用すること。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

適用業務名

本人確認通知

KK99年99月99日

K――――(15)――――K　様

①　K――――――――――(25)――――――――――K

お　知　ら　せ

あなたからの戸籍届出については，下記のとおり受理されました。

記

1　受　理　年　月　日　　KK99年99月99日

2　事　　件　　名　　K――――(15)――――K

3　届　出　人　氏　名　　K――――(15)――――K

K――――(15)――――K

K――――(15)――――K

K――――(15)――――K

4　届出事件本人氏名　　K――――(15)――――K

K――――(15)――――K

K――――(15)――――K

K――――(15)――――K

②　999999999

①発行市区町村名+"長"
②受領番号

帳票項目一覧	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

適用業務名

本人確認通知

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	事件本人氏名	15	漢字	
3	発行市区町村名	25	漢字	市区町村名 + "長"
4	受理年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	事件名	15	漢字	
6	届出人氏名1	15	漢字	
7	届出人氏名2	15	漢字	
8	届出人氏名3	15	漢字	
9	届出人氏名4	15	漢字	
10	届出事件本人氏名1	15	漢字	
11	届出事件本人氏名2	15	漢字	
12	届出事件本人氏名3	15	漢字	
13	届出事件本人氏名4	15	漢字	
14	受領番号	9	数字	

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1
適用業務名			

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
た					
	台帳対象区分	区分	1	本人届出確認台帳の作成有無	「対象」「対象外」
	通知要否区分	区分	1	本人確認通知の要否	「通知不要」「通知要」
は					
	本人確認区分	区分	1	本人確認の有無	「未確認」「確認」
	本人確認方法	区分	1	届書持参者の本人識別	「運転免許証」「パスポート」
ら					
	来庁者区分	区分	1	届出の方法	「来庁者」「郵送」

コード一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	平成31年3月31日	22
適用業務名			

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	台帳対象区分	対象	1	1		
		対象外	2			
	通知要否区分	通知不要	0	1		
		通知要	1			
	本人確認区分	未確認	0	1		
		確認	1			
	本人確認方法	運転免許証	1	1		
		パスポート	2			
		個人番号カード	3			
		健康保険証	4			
		その他	5			
	来庁者区分	来庁者	1	1		
		郵送	2			

［ ］内は、民二7002号通達での名称

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1
適用業務名			

コード	メッセージ
Mnnnnn	作成された本人届出確認台帳は1件だけです。

第7.2.(23)

不受理処分整理簿管理
(サンプル)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0 (2023.7.31版)	ー	不受理処分整理簿管理	振り仮名の法制化による修正 ・不受理処分整理簿_帳票設計書_様式、帳票項目一覧表_不受理処分整理簿、帳票設計書_不受理証明書_様式、帳票項目一覧表_不受理証明書を修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成19年 3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	11

作業名	不受理処分整理簿

0.前提
本仕様は不受理処分整理簿および不受理証明書の管理処理の一例を示すものである。

1.【遵守】不受理処分整理簿のレイアウト･出力項目
後述の不受理処分整理簿の帳票設計書･帳票項目一覧表を参照

2.【遵守】不受理処分整理簿用のファイル仕様書
後述のファイル仕様書の不受理処分ファイルを参照
〈補足説明〉
不受理処分整理簿中、受付ファイル中に存在しない項目は以下の4つ存在する。
①不受理処分決定年月日　②届出年月日(受付ファイルの項目「受付日」と同一日)　③返戻年月日　④不受理の理由
上記②を除く3項目に受領番号を加えた(受付ファイルとのリンク付用)4項目を格納するものが不受理処分ファイルである。

3.【任意】不受理処分レコード作成･修正方法
メーカーに一任とする。

4.【遵守】不受理証明書のレイアウト･出力項目
後述の不受理証明書の帳票設計書･帳票項目一覧表を参照

5.【遵守】不受理処分整理簿、不受理証明書の作成条件
受付ファイルの処分区分は「不受理」または「受理処分の撤回」であること。

6.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分
受付ファイル	入出力
不受理処分整理簿ファイル	入出力

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

適用業務名
戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理処分	受領番号		ディスク	DB	400

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(　9)	無	無	
2	返戻年月日	9(　8)	無	無	
3	不受理処分決定日	9(　8)	無	無	
4	不受理の理由	K(123)	無	無	
5	予備	X(129)	-	-	

新帳票一覧	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

適用業務名

証明に係わる業務

項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンラインバッチ区分	出力サイクル
1	不受理処分整理簿	有	準則		オンライン	随時
2	不受理証明書	有	戸規66条		オンライン	随時

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11
適用業務名			
不受理処分整理簿			

1.様式

(1) A4版横
(2) 出力項目及び様式は規定

2.編集条件

(1) 出力サイクル
随時

(2) 編集内容
帳票項目一覧を参照

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成19年 3月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理処分整理簿					

KK９９年９９月９９日　９９９９ページ

不　受　理　処　分　整　理　簿

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日
ＸＸ９９．９９．９９	９９９９９９９９９	ＫＫ	K――(12)――K	ＸＸ９９．９９．９９	ＸＸ９９．９９．９９

不受理の理由 K――(100)――K

届出人(資格) K――(30)――K（K――(11)――K）　K――(30)――K（K――(11)――K）

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日
ＸＸ９９．９９．９９	９９９９９９９９９	ＫＫ	K――(12)――K	ＸＸ９９．９９．９９	ＸＸ９９．９９．９９

不受理の理由

届出人(資格) K――(30)――K（K――(11)――K）　K――(30)――K（K――(11)――K）

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日
ＸＸ９９．９９．９９	９９９９９９９９９	ＫＫ	K――(12)――K	ＸＸ９９．９９．９９	ＸＸ９９．９９．９９

不受理の理由

届出人(資格) K――(30)――K（K――(11)――K）　K――(30)――K（K――(11)――K）

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日
ＸＸ９９．９９．９９	９９９９９９９９９	ＫＫ	K――(12)――K	ＸＸ９９．９９．９９	ＸＸ９９．９９．９９

不受理の理由

届出人(資格) K――(30)――K（K――(11)――K）　K――(30)――K（K――(11)――K）

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

K――(20)――KK――(30)――K（K――(11)――K）ＸＸ９９．９９．９９K　K――(30)――K

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
不受理処分整理簿	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	不受理処分決定年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
4	受領番号	9	漢字	
5	受理・送付の区分	2	漢字	’受理’、’送付’、’通知’
6	件名	12	漢字	
7	届出年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
8	返戻年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
9	不受理の理由	123	漢字	
10	届出人氏名	30	漢字	最大2
11	届出人資格	11	漢字	最大2
12	事件本人氏名	20	漢字	最大4
12-1	事件本人振り仮名	30	漢字	最大4
13	事件本人資格	11	漢字	最大4
14	事件本人生年月日	(10)	漢字	最大4 外国人の場合、西暦 日本人の場合、和暦
15	生年月日表示	1	漢字	最大4’生’
16	事件本人本籍	(30)	漢字	最大4

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11
適用業務名			
不受理証明書			

1.様式

(1) A4版横又は縦
(2) 出力項目は規定

2.編集条件

(1) 出力サイクル
随時

(2) 編集内容
帳票項目一覧を参照

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成19年 3月1日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	不受理証明書					

不　受　理　証　明　書

届出	K ―――― (15) ―――― K　　届出日　KK99年99月99日
届出人	K ―― (30) ―― K　(　K ―― (11) ―― K　) K ―― (30) ―― K　(　K ―― (11) ―― K　)
事件本人	K ―― (30) ―― K K ―― (30) ―― K　(　K ―― (11) ―― K　) KK　K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K　生年月日　KK99年99月99日
事件本人	K ―― (30) ―― K K ―― (30) ―― K　(　K ―― (11) ―― K　) KK　K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K　生年月日　KK99年99月99日
事件本人	K ―― (30) ―― K K ―― (30) ―― K　(　K ―― (11) ―― K　) KK　K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K　生年月日　KK99年99月99日
事件本人	K ―― (30) ―― K K ―― (30) ―― K　(　K ―― (11) ―― K　) KK　K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K　生年月日　KK99年99月99日
の不受理由	

上記の届出はKK99年99月99日受理しなかったことを証明する。

KK99年99月99日　　K ―― (25) ―― K
K ―― (15) ―― K

職　印

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和5年7月31日	2.0

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
不受理証明書	汎用	単票	A4縦または横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
4-1	事件本人振り仮名	30	漢字	
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO~~5~~ 4-1～9は最大4件			
10	不受理の理由	123	漢字	
11	不受理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	

第7.2.(24)

戸籍副本データ管理システム

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成25年 3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	16

作業名	戸籍副本データ管理システム

1.戸籍副本データ管理システムの構築に伴う、電算化戸籍の副本の送信方法等については、別紙の「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」を参照すること。

第7.2.(25)

戸籍情報連携システム

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1,2	戸籍情報連携システム	・作成 WebAPIに係る以下のインターフェイスを追加 ・「届書等情報表示」
2	R3		戸籍情報連携システム	・別紙の名称を変更

システム処理の概要説明書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍情報連携システム					

1.戸籍情報連携システムの構築に伴う、WebAPI及びファイル転送での連携方法等については、別紙の「戸籍情報連携システム 外部インターフェイス仕様書」を参照すること。

第7.2.(26)

「連携情報」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「連携情報」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加 (新規)「連携情報処理選択」を追加
2	R3		「連携情報」処理	連携情報処理の追加により下記仕様書を修正した。 ①連携情報処理選択 各ベンダーシステム構築に対して下記仕様書を修正した。 ①連携情報処理 システム処理の概要説明書

システム処理の概要説明書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理						

1. 処理概要

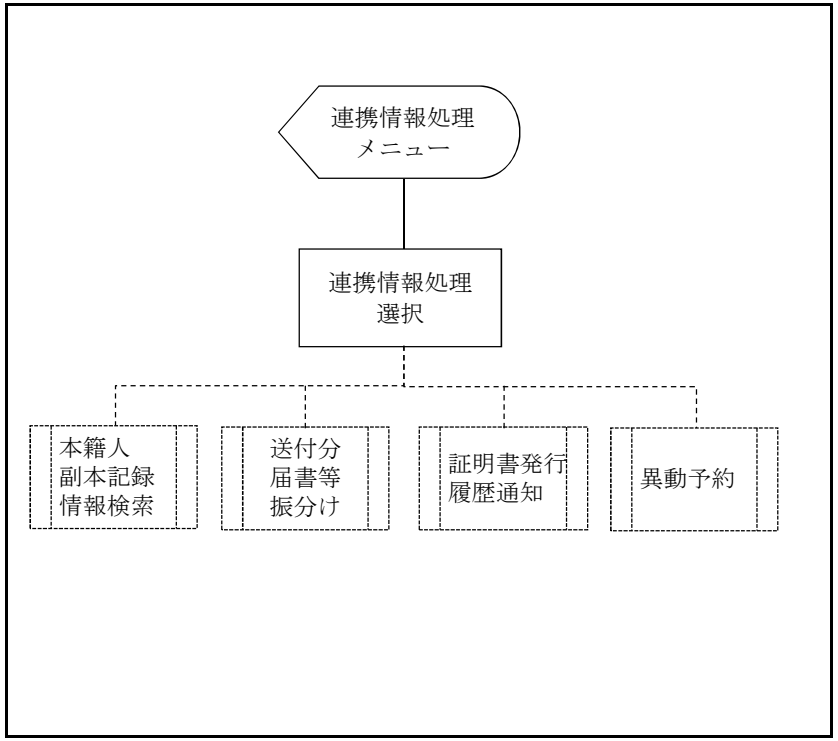
連携情報処理は、戸籍情報連携システムに関連する処理を中心に、既存の機能体系に合致しない処理をまとめている。連携情報処理選択から制御を渡す各処理については、各処理の要件定義書を参照のこと。

2. 戸籍情報システム標準仕様書での戸籍情報連携システムと送受信するファイル等の扱い

実処理においては、Webサービス連携で受信したデータは中間ファイルとして一時保存し、処理終了後に削除又は保存ファイルに登録する。
ファイル連携への送信データは、各処理で登録したデータをバッチ処理で抽出し、送信用情報ファイルを作成して送信する。
ファイル連携からの受信データは、保存ファイルに登録し、データに関する処理後に削除又はそのまま登録する。
戸籍情報システム標準仕様書では、戸籍情報連携システムにファイル連携で送信するデータの作成は、7.2.(11)決裁処理_決裁・受付の「送信用届書等情報ファイル」で記載したが、これはサンプルとしての扱いである。それ以外のデータ作成は、保存ファイルに登録する記載としている。
※各処理で作成するファイルは第5.3オンライン処理の流れ図(詳細)(2)作成方法「ケ. ファイル」を参照のこと。
Webサービス連携に関しては、必要に応じてデータ編集表(送信情報)及びデータ編集表(受信情報)を記載している。
※各処理で実施するWebサービス連携は第5.3オンライン処理の流れ図(詳細)(2)作成方法「サ. WebAPIインターフェイス及びファイル」を参照のこと。
各ベンダーにおいては、任意設計によりシステム対応すること。

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)選択番号の入力チェック
(2)本籍人副本記録情報検索処理へ制御を渡す
(3)送付分届書等振分け処理へ制御を渡す
(4)証明書発行履歴通知処理へ制御を渡す
(5)異動予約処理へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　　―　　1.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)連携情報処理メニュー画面を出力する					/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(3)選択番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
	YES	(4)選択番号			/			
		1	→			(5)本籍人副本記録情報検索処理に制御を渡す		
		2	→			(5-1)送付分届書等振分け処理に制御を渡す		
		3	→			(5-2)証明書発行履歴通知処理に制御を渡す		
		4	→			(5-3)異動予約処理に制御を渡す		
	NO	(6) エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する				(7)同画面を編集する		
PF1	→					(8)業務選択に制御を渡す		
その他	(9) エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(10)同画面を編集する		

データチェック（単体表）				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　選択番号のチェック				連携情報処理メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～4であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

第7.2.(27)

「本籍人副本記録情報検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「本籍人副本記録情報検索」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加

システム処理の概要説明書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	本籍人副本記録情報検索					

1.処理概要

本籍人副本記録情報検索処理には、該当戸籍一覧(副本・本籍人)表示、目的内利用確認(本籍人)、戸籍構成員一覧(副本・本籍人)表示、個人詳細表示(副本・本籍人)、個人状態表示(副本・本籍人)、不受理申出表示(副本・本籍人)がある。
各処理については以降に記述する点を除いて「検索」処理の「副本記録情報検索」処理における仕様と同様である。
「検索」処理の「副本記録情報検索」処理との違いとして、本処理は本籍人の副本記録情報を検索する機能であるため、WebAPI(I0020:副本記録情報検索)に渡す検索キーのうち「検索対象市区町村」については画面で選択する内容ではなく当該市区町村の市区町村コードを設定する。

なお、以下の点に注意すること。
・「検索」処理の「副本記録情報検索」処理の順守事項については本機能でも順守すること。
・「検索」処理の「個人検索」処理及び「副本記録情報検索」処理と区別できること。通常事務とは異なるため、本籍人の副本記録情報を参照する操作であることが分かるような画面設計とすること。

2.留意点

本籍人副本記録情報検索処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

第7.2.(28)

「送付分届書等振分け」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	「送付分届書等振分け」処理	新規作成
2	R4	B04	「送付分届書等振分け」処理	送付分届書等一覧画面で選択されたデータの届書処理通番で検索する機能の追加による修正 ①送付分届書等振分け システム処理の概要説明書 1.(1)ｵ.を追加、2.送付分届書等一覧画面でのPFキーを修正 ②送付分届書等振分け システム環境仕様書、0.0 本紙
3				送付地が誤送付として処理する機能の追加による修正 ①送付分届書等振分け システム処理の概要説明書 2.送付分届書等一覧画面でのPFキーを修正 ②送付分届書等振分け システム処理の概要説明書、0.0 本紙、5.0 送信情報(管理情報)作成処理
4	2.0	指摘事項管理表_外部IF仕様書№274	「送付分届書等振分け」処理	F0080の受信日、受信時間の設定内容を変更 ①送付分届書等振分け_1.0　送付分届書一覧ファイル
3		指摘事項管理表_別冊(運用編)№27		参考送付として、胎児認知届に対する出生届を父の本籍地及び胎児認知届の受理地に送る場合を追加 ①送付分届書等振分け_システム処理の概要説明 ②送付分届書等振分け_0.0 本紙 ③送付分届書等振分け_2.0　送付分届書等一覧画面編集

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け					

1.処理概要

(1)送付分届書等一覧画面編集

ｱ.受信情報(F0080:受付情報)及び受信情報(F0080:届書記載事項)の未処理分を、送付分届書等一覧画面に編集し、表示する。
ｲ.添付される各種画像情報のイメージ表示は、PFキーによる各種イメージ表示へ遷移するまでを仕様として表す。
ｳ.データ状態は、通常の届書等情報、再送信の届書等情報、届書補正情報、送付された胎児認知届、出生届及び死産届を区分して表示する。
ｴ.基本届書に届書補正情報等の再送信があった場合、基本の届書と再送信データを個別に確認する煩雑さをなくすため、選択した送付分届書等一覧の届書処理通番と同じ届書処理通番のデータを一覧表示する。

(2)送付分届書等振分け

ｱ.送付分届書等一覧から選択された届書等を確認し、受理地で入力した処理方法に応じた処理に制御を渡す。
ｲ.入力方法を選択(届書入力又は審査結果入力･訂正･更正･追完入力)した場合は、選択された処理に制御を渡す。
ｳ.届書等情報の更新(TS02)、届書補正情報(補正内容及び補正イメージ)(TS03)は、取得した情報で該当ファイルを作成した後に入力した処理方法に応じた処理に制御を渡す。
ｴ.父の本籍地に参考送付された胎児認知届は画像情報を取得~~し~~する(登録は市区町村の任意)。
　父の本籍地に参考送付された胎児認知届、出生届及び死産届は画像情報を印刷(確認)するだけで振分けはしない。
　胎児認知届の受理地に参考送付された出生届も画像情報を印刷(確認)するだけで振分けはしない。
ｵ.受領番号に入力があった場合は、確保した受領番号を届書ファイルに編集する。
ｶ.受信した情報で各種ファイルを作成する。届書入力処理等、各異動処理でのファイル活用方法は任意設計機能とする。

2.送付分届書等一覧画面でのPFキー

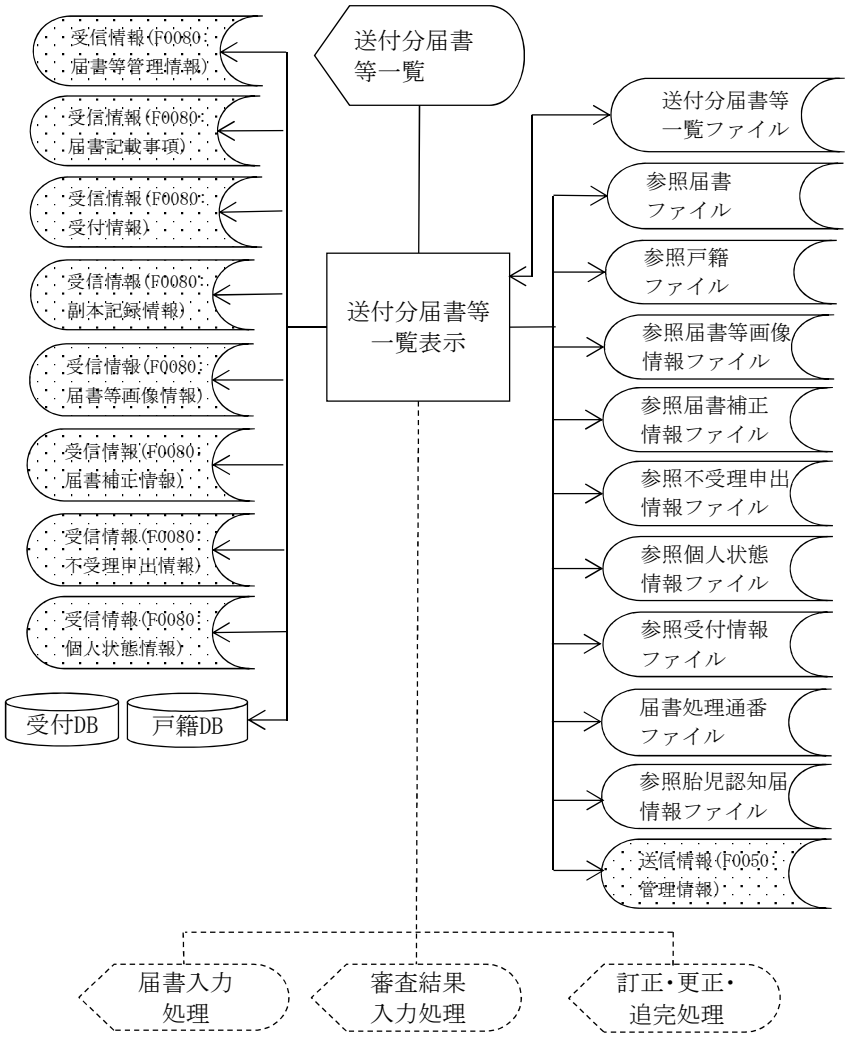
画面 / PFキー	送付分届書等一覧画面	画面 / PFキー	送付分届書等一覧画面	画面 / PFキー	送付分届書等一覧画面
PF1	戸籍業務メニュー	PF6	訂正･更正･追完入力処理	PF11	誤送付処理
PF2		PF7	前頁表示	PF12	同一届書処理通番検索処理
PF3		PF8	次頁表示	PF13	追完届等処理無し返信処理
PF4	届書入力処理	PF9	各種イメージ表示処理	実行キー	処理振分け/ファイル作成
PF5	審査結果処理	PF10	届書処理通番届書等情報表示		

3.留意点

(1)戸籍情報連携システムから送信される届書画像イメージ、添付書面イメージ及び届書補正イメージは、通知後に修正されることもあるため、修正されたデータを受信した場合は元のデータと組み合わせ処理を継続すること。不要な通信を発生させないため、非本籍人検索等、常に最新情報を取得するような実装はしないこと。
(2)各種受信情報は、戸籍情報システムに取り込む際に受信日時や処理状況を管理するための処理区分等を補完して管理すること。
(3)送付分届書等振分け処理で作成又は利用した各種ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。
(4)PF12(同一届書処理通番検索処理)において、送付分処理完了区分「2:処理中」の情報を一覧画面表示しても可。この場合、処理中が分かるようにすること。
(5)送付分届書一覧ファイルの送付分処理完了区分が「処理完了」の届書等情報の確認及び「処理完了」を「未処理」に変更する機能は、任意設計機能とする。なお、この要件があるため送付分処理完了区分が「処理完了」のレコード削除は、一定の期間を置いて実施した方が望ましいが(3)を考慮すること。

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受信情報(F0080:届書等管理情報)	入力	参照届書ファイル	出力
		参照戸籍ファイル	出力
同(届書記載事項)	入力	参照届書等画像情報F	入出力
同(受付情報)	入力	参照届書補正情報F	入出力
同(副本記録情報)	入力	参照不受理申出情報F	出力
同(届書等画像情報)	入力	参照個人状態情報F	出力
同(届書補正情報)	入力	参照受付情報ファイル	入出力
同(不受理申出情報)	入力	届書処理通番F	入出力
同(個人状態情報)	入力	参照胎児認知届情報F	出力
受付DB	入力	送信情報(F0050:管理情報)	出力
戸籍DB	入力		
送付分届書等一覧F	入出力		

3.処理概要

(1)受信情報(F0080:届書等情報)を読み、送付分届書一覧ファイル及び基本の届の各種ファイルを作成する
(2)送付分届書等一覧を編集し、表示する
(3)各種イメージの表示はPFキーでイメージ表示処理に遷移する
(4)誤送付データ及び追完届等の処理不要データは、PFキーで送信情報(F0050:管理情報)を作成する
(5)同一の届書処理通番のデータは、PFキーで送付分届書等一覧を編集し、表示する
(6)届書等情報の更新情報、届書補正情報でファイルを作成・更新する
(7)指示された処理に遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(送付分届書等一覧ファイル)
- 2.0 データ編集表(送付分届書等一覧画面編集)
- 3.0 単体チェック
- 3.1 届書処理通番ファイル
- 4.0 データ編集表(参照届書ファイル)
- 5.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

※割愛したデータ編集表は受信情報からコピーして各種ファイルを作成するものである

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	送付分届書等振分け

処理名	0.0 本紙			備考
(1)受信情報(F0080:届書等管理情報)の未処理分について以下の処理を繰り返す		/		
(1-1)送付分届書一覧ファイルを作成する [1.0]		/		(F0080:受付情報)が複数件ある場合は、受付情報ごとに送付分届書一覧ファイルを作成する ※送付分届書一覧ファイル1件での管理も可
(1-2)送付分届書一覧ファイルのデータ状態区分=1,2,3,4,9,10,11,12である(YES,NO)		/		届書等情報の更新、届書補正情報、参考送付以外は、送信情報で届書ファイルを除き各種ファイルを作成する
YES	(1-3)受信情報(F0080)から、届書ファイルを除き各種ファイルを作成する	/		
	(1-4)届書処理通番ファイルを作成する [3.1]	/		各種異動処理での対応を考慮すること
NO	(1-5) →	/		
→ (1)へ				
(2)送付分届書一覧ファイルの送付分処理状況区分=1(未処理)のデータが1件以上ある (ある:YES, ない:NO)		/		
YES	(3)送付分届書等一覧画面を編集し、表示する [2.0]	/		
NO	(4)メッセージ 「未処理の送付分届書はありません。」を表示する		(5)同画面を編集する	
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF4、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、PF13、その他)		/		
PF1	(7) →		(8)業務選択に制御を渡す	
実行キー PF4 PF5 PF6	(9)入力項目の単体チェックを行う(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(10)取得済受領番号≠スペースである(YES,NO)	/		
YES	(11)取得済受領番号で受付DBを検索する	/		
	(12)受付情報がある(YES,NO)	/		
YES	(13)受付情報の処分区分＝スペースである(YES,NO)	/		
YES	(14)→(21)へ	/		
NO	(15)エラーメッセージ 「入力された受領番号の受付DBは処理済みです。」を表示する		(16)同画面を編集する	
NO	(17)エラーメッセージ 「入力された受領番号で受付DBはありません。」を表示する			
NO	(18)→(21)へ	/		
NO	(19)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する		(20)同画面を編集する	
(21)選択番号のデータ状態区分=5,6,7,8,13,14 かつ PF4,5,6が選択された		/		データ状態区分は2.0送付分届書等一覧画面編集の欄外参照
YES	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する		(23)同画面を編集する	
NO	(24)→(25)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	送付分届書等振分け
処理名	0.0 本紙

						備考
	(25)選択番号のデータ状態区分			/		
5, 13	(25-1)確認メッセージ(YES,NO) 「届書画像を登録しますか。」を表示する			/		父への胎児認知届を個人状態ファイルの画像情報に紐づける(登録又は更新)のは市区町村の任意とする
	YES	(26)届書画像を児認知届情報ファイルに登録する		/		
	NO	(26-1)→(26-2)へ		/		
	(26-2)メッセージ 「画像情報を印刷して、個人状態ファイルに胎児認知区分を設定して下さい。」を表示する			/		
	(27)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する →(2)へ			/		
6, 14	(28)選択した届書の受付事件コード＝4403(その他(胎児死産))である (YES,NO)			/		受付事件コード=4403での判断でも可
	YES	(29)メッセージ 「画像情報を印刷して、個人状態ファイルの胎児認知区分を解除して下さい。」を表示する		/		胎児認知届画像情報は、個人状態ファイル更新後に市区町村の任意のタイミングで削除する
	NO	(30)メッセージ 「画像情報を印刷して、胎児認知届と合わせて処理して下さい。」を表示する		/		胎児認知届画像情報は、認知処理後に市区町村の任意のタイミングで削除する 出生届書画像を保存して処理しても可
	(30-1)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する →(2)へ			/		
7	(31)修正されて送信された情報(届書画像、添付書面画像、受付情報、届書補正情報、届書補正画像)で該当の各種ファイルを更新する			/		ファイル更新後に届書入力処理等、各種更新処理へ遷移する
	(32)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する			/		
	(32-1)選択番号の届書番号≠スペースである(YES,NO)			/		
	YES	→			(32-2)届書入力処理に制御を渡す	
	NO	(32-3)01≦選択番号の受付事件コードの上2桁≦49である。(YES,NO)		/		
		YES	→		(32-4)審査結果入力処理に制御を渡す	
		NO	→		(32-5)訂正・更正・追完処理に制御を渡す	
8	(33)届書補正情報を届書補正情報ファイルに登録する			/		ファイル登録後に届書入力処理等、各種異動処理へ遷移する
	(34)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する			/		
	(34-1)選択番号の届書番号≠スペースである(YES,NO)			/		
	YES	→			(34-2)届書入力処理に制御を渡す	
	NO	(34-3)01≦選択番号の受付事件コードの上2桁≦49である。(YES,NO)		/		
		YES	→		(34-4)審査結果入力処理に制御を渡す	

要件定義ワークシート				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け								
処理名	0.0 本紙							備考	
			NO	→		(34-5)訂正・更正・追完処理に制御を渡す			
	(37)選択キー(実行キー、PF4、PF5、PF6)				/				
	実行キー	(38)選択番号のデータ状態区分=1,2,9,10である(YES,NO)			/				
		YES	(39)参照届書ファイルを作成する [4.0]		/				
		NO	→		/				
	PF4	(40)参照届書ファイルを作成する [4.0]			/				
	PF5	→			/				
	PF6	→			/				
	(41)選択キー(実行キー、PF4、PF5、PF6)				/				
	実行キー	(42)選択番号の届書番号≠スペースである(YES,NO)			/				
		YES	→			(43)届書入力処理に制御を渡す			
		NO	(44)01≦選択番号の受付事件コードの上2桁≦49である。(YES,NO)		/				
			YES	→		(45)審査結果入力処理に制御を渡す			
			NO	→		(46)訂正・更正・追完処理に制御を渡す			
	PF4	→				(47)届書入力処理に制御を渡す			
	PF5	→				(48)審査結果入力処理に制御を渡す			
	PF6	→				(49)訂正・更正・追完処理に制御を渡す			
PF7	(50)前ページがあるか(YES,NO)				/				
	YES	(51)前ページ分の送付分届書等一覧画面を編集する				(52)同画面を編集する			
	NO	(53)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(54)次ページがあるか(YES,NO)				/				
	YES	(55)次ページ分の送付分届書等一覧画面を編集する				(56)同画面を編集する			
	NO	(57)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する							
PF9	(58)選択番号≠スペース(YES,NO)				/				
	YES	→				(59)各種イメージ表示に制御を渡す			
	NO	(60)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する				(61)同画面を編集する			
PF10	(62)選択番号≠スペース かつ 選択番号のデータ状態区分=7,8である(YES,NO)				/				
	YES	→				(63)届書処理通番届書等情報表示に制御を渡す			
	NO	(64)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する				(65)同画面を編集する			

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF11	(66)選択番号≠スペース(YES,NO)			/				
	YES	(66-1)確認メッセージ(YES,NO) 「施行規則第41条による誤送付ですか。」を表示する			(66-2)同画面を編集する			
		YES	(67)送信情報(管理情報)を作成する [5.0]	/			YESの場合は規則第四十一条処理区分に1(処理中)を設定する。	
			(67-1)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する	/				
		NO	(67-2)送信情報(管理情報)を作成する [5.0]	/				
			(67-3)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する	/				
	NO	(68)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する			(69)同画面を編集する			
PF12	(70)選択番号≠スペース(YES,NO)			/				
	YES	(71)選択番号の届書処理通番で送付分届書一覧ファイルを検索し、送付分届書一覧ファイルを作成する [1.0]			(73)同画面を編集する			
	NO	(72)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する						
PF13	(73-1)選択番号≠スペース(YES,NO)			/				
	YES	(73-2)確認メッセージ(YES,NO) 「追完届等処理しないで返信する送信情報ですね」を表示する			(73-3)同画面を編集する			
		YES	(73-4)送信情報(管理情報)を作成する [5.0]	/				
			(73-5)送付分届書等一覧ファイルの送付分処理状況区分を「3:処理完了」に更新する	/				
		NO	(73-6) →		(73-7)同画面を編集する			
	NO	(73-8)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する						
その他	(74)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け								
処理名	1.0　送付分届書等一覧ファイル作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送付分届書等一覧ファイル	届書処理通番		受信情報 (F0080:届書等管理情報)	届書処理通番					
	受理地市区町村コード			受理地市区町村コード					
	届書番号		受信情報 (F0080:届書記載事項)	受領番号				届書記載事項の添付が無い場合は設定しない	
	届出選択事件コード			選択事件コード					
	受信日							受信日、受信時間はF0080を戸籍情報システム内に取り込んだ日時を設定する。※設定は任意設計とする。	
	受信時間								
	受付番号		受信情報 (F0080:受付情報)	受領番号				(F0080:受付情報)が複数件ある場合は、受付情報ごとに送付分届書一覧ファイルを作成する ※1件の送付分届書一覧ファイルでの管理は任意設計機能とする	
	受付事件コード			受付事件コード					
	事件本人区分		受信情報 (F0080:事件本人)	事件本人区分					
	事件本人氏名			漢字氏名					
	同時決裁受領番号1～5		受信情報 (F0080:受付情報)	関連受領番号1～5				関連受領番号14桁の上位9桁を移送する	
	届書種別コード		受信情報 (F0080:届書等管理情報)	届書等種別コード					
	事件対象区分			事件対象区分					
	参考送付区分			参考送付区分					
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ					
	不受理申出区分			不受理申出区分					
	胎児認知届書区分			胎児認知届書区分					
	データ状態区分		送付分届書振分け処理	データ状態区分				設定内容は、2.0送付分届書等一覧画面編集の欄外参照	
	送付分処理状況区分							1:未処理を設定	

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	2.0　送付分届書等一覧画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
送付分届書等一覧画面	ページ							
	一連番号 1～n							順に番号を振る
	受理地 1～n		送付分届書等一覧ファイル	受理地市区町村コード		有		
	届書番号 1～n			届書番号				
	届出選択事件名 1～n			届出選択事件コード		有		
	受付日 1～n			受付日		有		
	受信日 1～n			受信日		有		
	受信時間 1～n			受信時間				
	受付番号 1～n			受付番号				
	受付事件名 1～n			受付事件コード		有		
	事件本人区分名称 1～n			事件本人区分		有		
	事件本人氏名 1～n			事件本人氏名				
	同時決裁受領番号1 1～n			同時決裁受領番号1				
	同時決裁受領番号2 1～n			同時決裁受領番号2				
	同時決裁受領番号3 1～n			同時決裁受領番号3				
	同時決裁受領番号4 1～n			同時決裁受領番号4				
	同時決裁受領番号5 1～n			同時決裁受領番号5				
	データ状態 1～n			データ状態区分		有		欄外参照
	選択番号							
	取得済受領番号							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	2.0　送付分届書等一覧画面編集							
受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				

データ状態の編集内容(例)

届書種別コード	届書記載事項	事件対象区分	参考送付区分	受付事件コード	データ状態編集事例	データ状態区分
TS01	ある	1:事件対象	0:参考送付以外		届書入力／事件対象	1を設定する
TS01	ある	2:事件対象以外	0:参考送付以外		届書入力／事件対象以外	2を設定する
TS01	ない	1:事件対象	0:参考送付以外		審査結果・訂正／事件対象	3を設定する
TS01	ない	2:事件対象以外	0:参考送付以外		審査結果・訂正／事件対象以外	4を設定する
TS01			1:参考送付	＝0202:認知(胎児)	胎児認知届／父への参考送付	5を設定する
TS01			1:参考送付	≠0202:認知(胎児)	出生届及び死産届／参考送付	6を設定する
TS02					届書画像／受付／補正の再送信	7を設定する
TS03					届書補正情報	8を設定する
TS04	ある	1:事件対象	0:参考送付以外		届書入力／事件対象／遺漏	9を設定する
TS04	ある	2:事件対象以外	0:参考送付以外		届書入力／事件対象以外／遺漏	10を設定する
TS04	ない	1:事件対象	0:参考送付以外		審査結果・訂正／事件対象／遺漏	11を設定する
TS04	ない	2:事件対象以外	0:参考送付以外		審査結果・訂正／対象以外／遺漏	12を設定する
TS04			1:参考送付	＝0202:認知(胎児)	胎児認知届／父への送付／遺漏	13を設定する
TS04			1:参考送付	≠0202:認知(胎児)	出生届及び死産届／参考送付／遺漏	14を設定する

データチェック（単体表）			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付分届書等振分け							
処理名			画面名		画面ID			
3.0　単体チェック			送付分届書等一覧					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	一連番号(最小)≦選択番号≦一連番号(最大)であること	「正しい番号を入力して下さい。」		
2	取得済受領番号		数字				

データ編集表				作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	送付分届書等振分け								
処理名	3.1 届書処理通番ファイル作成								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
届書処理通番ファイル	届書処理通番			F0080-S01	届書処理通番				
	行番号								01(1件)だけ作成
	受領番号								
	在外送付区分								4(情報の通知)を設定
	追完届有無フラグ			F0080-S01	追完届有無フラグ				
	規則第四十一条処理区分								
	届書等情報送信区分								2(送付分届書)を設定

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	4.0　参照届書ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
参照届書ファイル	受領番号		送付分届書等一覧画面	取得済受領番号				取得済受領番号が未入力の場合は設定されないため、届書入力処理で受け取る対応を行う
	選択事件コード		受信情報 (F0080:届書記載事項)	選択事件コード				届書等情報が添付されていない場合は、受付及び事件本人から設定できる情報だけ設定する
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届区分				
	渉外区分			渉外区分				
	同時決裁受領番号(1～5)			同時決裁受領番号(1～5)				
	ロック戸籍番号(1～5)			ロック戸籍番号(1～5)				
	事件別内容			事件別内容				
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
	届書排他区分			届書排他区分				

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	5.0　送信情報(管理情報)作成処理							

・PF11による処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR05:届書等情報誤送付取消(法務省宛)]	届書種別コード							[TR05]を設定
	届書処理通番		送付分届書等一覧ファイル	届書処理通番				
	規則第四十一条処理区分							確認メッセージの応答 YES:1(処理中)を設定 NO :0(該当しない)を設定

・PF13による処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR03:届書等情報送付地決裁]	届書種別コード							[TR03]を設定
	届書処理通番		送付分届書等一覧ファイル	届書処理通番				
	規則第四十一条処理区分							0(該当しない)を設定

第7.2.(29)

「証明書発行履歴通知」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B01, B02, B06	「証明書発行履歴通知」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	証明書発行履歴通知(サンプル提示)					

1.処理概要

戸籍証明書等の広域交付、戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、戸籍電子証明書等の提供及び届書等情報内容証明書等の交付により、交付した情報が証明書発行市区町村等からWebサービス連携で戸籍情報連携システムに通知される。
通知された証明書発行情報は、戸籍情報連携システムから証明書該当本籍市区町村等関係する市区町村に、ファイル連携により通知される。
この通知された証明書発行履歴データを管理する処理である。
機能としては以下のものが考えられる。

ｱ.該当証明書検索機能
利害関係者等から証明書発行の問い合わせ等があった場合、即時に該当証明書の有無を検索する機能
ｲ.帳票出力機能
日別・月別・年別帳票等により証明書発行状況を確認する機能
ｳ.データ削除機能
データの保存期間が準則等により定められた場合、該当するデータを一括で削除する機能

2.留意点

証明書発行履歴通知ファイル項目は、F0010-S01(広域交付発行履歴の通知)、F0020-S01(戸籍電子証明書等発行履歴の通知)、F0030-S01(証明書提供履歴の通知)及びF0120-S01(届書等情報内容証明書等の発行履歴通知)から渡される項目で構成すること。
他の項目を追加する場合は、情報を補助する程度の項目とし秘匿性の高い項目の追加はしないこと。

第7.2.(30)

「異動予約」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B03	「異動予約」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加
2	R4	B03	「異動予約」処理	イメージで管理している除籍等は異動予約の対象外であること及び、対象が除籍(者)であった場合の対処による修正 ①異動予約 システム処理の概要説明書 2.留意点に追記
3	2.0	指摘事項管理表_連携システム_外部IF仕様書 №222	詳細仕様説明書	異動予約の対象は改製不適合戸籍以外であることによる修正 ①異動予約 システム処理の概要説明書 2.留意点を修正

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和5年3月31日	版	2.0

作業名	異動予約

1.処理概要

(1) 届書等入力処理、訂正・更正・追完・審査結果入力及び不受理申出処理等において、システム処理前に事件本人及び事件に関係する戸籍(戸籍の筆頭者)等に異動予約をするための情報を異動予約情報ファイルに格納するとともに、戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。

①本籍人の異動予約

本籍人検索で該当者を選択し異動予約を登録した後で、WebAPI(IO120-R01:異動予約の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。

戸籍情報連携システムから送信されたWebAPI(IO120-S01:異動予約完了通知)の異動予約番号及び処理年月日を、異動予約情報ファイルに登録する。

②非本籍人の異動予約

副本記録情報検索(7.2.(2)「検索」処理参照)で該当者を選択し異動予約を登録した後で、WebAPI(IO120-R01:異動予約の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。

戸籍情報連携システムから送信されたWebAPI(IO120-S01:異動予約完了通知)の異動予約番号及び処理年月日を、異動予約情報ファイルに登録する。

(2) 登録した異動予約を解除する場合は、その情報を異動予約情報ファイルから削除した後で、WebAPI(IO130-R01:異動予約解除の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約解除情報を送信する。

〔順守事項〕

・異動予約及び解除における副本記録情報検索の目的IDは、外部インターフェイス仕様書別紙２－１ 電文設計書の■電文設計書(項目説明)5目的IDの入力仕様を参照のこと。

2.留意点

・異動予約を行う対象が増える可能性があるため、拡張性を考慮したファイル設計とすること。

・異動予約情報が登録されている事件本人等に対する処理を開始した場合、戸籍情報連携システムからWebAPI(IO160:届書取り込み通知)で異動予約番号が渡される。この情報を元に異動予約情報ファイルで管理している情報と突合し、異動予約情報ファイル情報の更新する等の機能を備えることができる。

・非本籍の受理市区町村が受領した不受理申出の異動予約をした場合、本籍地で不受理申出書の登録を行ってもその情報が渡されないため、情報による異動予約情報の解除ができない。

そのため、異動予約情報を定期的に確認し不要な情報を削除すること。削除した場合は必ずWebAPI(IO130-R01:異動予約解除の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約解除情報を送信すること。

・異動予約情報ファイルは任意設計であるが、WebAPI(IO120-R01:異動予約の要求)に設定する情報が異動検索等で必要になる場合があるため、ファイル項目に設定情報を保持することを検討すること。

・届書入力等で届書処理一覧から事件本人等を選択する場合、WebAPIに設定する情報がある。この情報を異動予約登録において設定できるか検討すること。

WebAPI(IO140-R01:業務利用目的の送信)：届出事件コード、届書処理方法区分

WebAPI(IO150-R01:副本記録情報照会要求)、WebAPI(IO160-R01:異動処理状況更新要求)：入力識別番号、事件本人区分、事件対象戸籍区分

・改製不適合戸籍は異動予約の対象にならない。

異動予約で除籍及び除籍者が選択された場合は、選択者が正しいか確認メッセージ等で注意を促す対応を考慮すること。

第7.2.(31)

「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R4	B08	「戸籍電子証明書利用申請履歴表示」処理	新規作成
2	2.0（2023.7.31版）	－	「オンライン利用者に係る利用状況管理」処理	戸籍情報連携システム_外部インターフェイス仕様書0102版のB08処理内容の変更に伴い、処理名称を含めた全面修正

システム処理の概要説明書	作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0

作業名	オンライン利用者に係る利用状況管理

1.処理概要

マイナポータル利用者による戸籍情報連携システムのオンライン利用の開始及びマイナポータル利用者の削除に伴うオンライン利用停止についての情報が、戸籍情報連携システムからファイル連携で請求者の本籍地市区町村に通知される。
この通知されたオンライン利用者に係る利用状況履歴通知データを管理する処理である。
機能としては以下のものが考えられる。

ｱ.オンライン利用者表示機能
オンライン利用者情報を表示する機能
ｲ.帳票出力機能
月別・年別帳票等によりオンライン利用者の申請状況(登録申請、利用停止申請)を確認する機能
ｳ.データ削除機能
オンライン利用者情報データを削除する機能

2.留意点

(1) 本処理は任意実装とする。

第7.2.(32)

「届書処理状況取り込み」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	2.0（2023.3.31版）	B0404	「届書処理状況取り込み」処理	新規作成
2	2.0（2023.7.31版）	－	「届書処理状況取り込み」処理	2.0送付先市区町村情報ファイル更新の送信区分の設定が誤っていたため修正

システム処理の概要説明書	作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0

作業名	届書処理状況取り込み処理

1. 処理概要

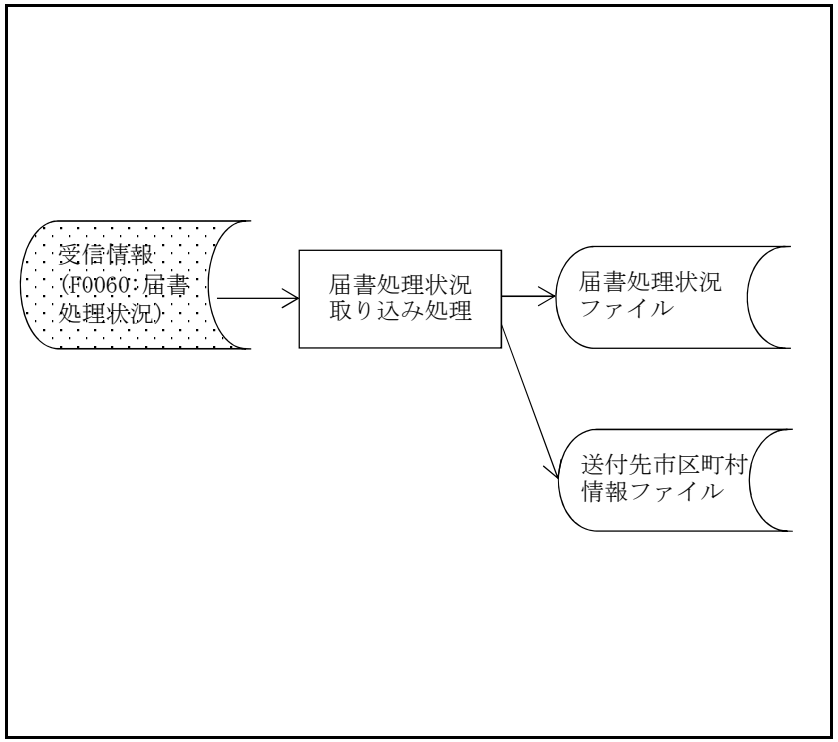
・戸籍情報連携システムから送信された届書処理状況ファイル(F0060-S01)を取り込み、届書処理状況ファイルの作成・更新及び送付先市区町村情報ファイルの送信区分を更新する。

2. 留意点

(1) 受付ファイル検索における届書処理状況の確認(PFキーによる指示)は、選択した受付ファイルの受領番号から届書処理通番を取得して届書処理状況ファイルを検索し、その内容を表示する(B0404)。なお、本機能は任意設計機能とする。
(2) 受理市区町村及び送信先市区町村を含めた処理対象市区町村の決裁完了を確認する目的が主であることから、届出事件処理状況が1(決裁済)のデータは届出事件処理日時を考慮して適切な時期に削除すること。

システム環境仕様書	作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	届書処理状況取り込み処理					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受信情報(F0080:届書等管理情報)	入力		
届書処理状況ファイル	出力		
送付先市区町村情報ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書処理状況ファイルを読み込み以下の処理を行う

a.届書処理状況ファイルを作成又は更新(削除・作成)する

b.送付先市区町村情報ファイルの送信区分を更新する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(届書処理状況ファイル作成)
　　└ 2.0 データ編集表(送付先市区町村情報ファイル更新)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0

作業名	届書処理状況取り込み処理

処理名	0.0 本紙			備考
(1)受信情報(F0060:届書処理状況)を読み込み全件以下の処理を行う		/		
(2)受信情報(F0060:届書処理状況)の届書処理通番で届書処理状況ファイルを検索する (ある:YES　ない:NO)		/		
YES	(3)該当の届書処理状況ファイルを削除する	/		該当の届書処理状況ファイルを更新しても可 ※同じ情報が決裁完了まで複数回送信される
	(4)届書処理状況ファイルを作成する [1.0]	/		
NO	(5)届書処理状況ファイルを作成する [1.0]	/		
(6)受信情報(F0060:届書処理状況)の届書処理通番で届書処理通番ファイルを検索する		/		
(7)届書処理通番ファイルの在外送付区分は=0(受理分)又は2(在外公館の直接送付)である (YES,NO)		/		送付地では送付先市区町村情報ファイルは作成しない
YES	(8)受信情報(F0060:届書処理状況)の市町村別処理状況の繰り返し数以下の処理を行う	/		
	(9)受信情報(F0060:届書処理状況)の届書処理通番と市区町村コードで 送付先市区町村情報ファイルを検索する(ある:YES　ない:NO)	/		送付先市区町村情報ファイルは、届書処理通番と送付先市区町村コードがキーとなる
	YES (10)送付先市区町村情報ファイルの送信区分を更新する [2.0]	/		
	NO (11)受信情報(F0060:届書処理状況)の市区町村コードは自市区町村コードである(YES,NO)	/		受理地で処理が完結し、送付先市区町村がない場合でも、受理地の情報だけで届書処理状況ファイルが渡される
	YES (12)　→	/		
	NO (13)エラーファイルを作成する	/		送付先市区町村情報ファイルがない原因を調査する
→ (8)へ				
NO	(13)　→	/		
→ (1)へ				

データ編集表			作成日付	令和5年3月31日	改訂日付		版	2.0
作業名	届書処理状況取り込み処理							
処理名	1.0　届書処理状況ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書処理状況ファイル	届書処理通番		受信情報 (F0060-S01:届書処理状況ファイル)	届書処理通番				自市区町村コードを設定
	届出事件コード			届出事件コード				
	届出事件処理状況			届出事件処理状況				
	届出事件処理日時			届出事件処理日時				
	行番号							繰り返し数分、1から付番する
	市区町村コード		受信情報 (F0060-S01:届書処理状況ファイル)	市区町村コード				
	事件対象区分			事件対象区分				
	受理送付区分			受理送付区分				
	届書処理状況			届書処理状況				
	市区町村内送付先情報連番			市区町村内送付先情報連番				
	送信状況			送信状況				
	市区町村処理日時			市区町村処理日時				
	届書誤送付フラグ			届書誤送付フラグ				
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				

データ編集表			作成日付	令和5年3月31日	改訂日付	令和5年7月31日	版	2.0
作業名	届書処理状況取り込み処理							
処理名	2.0　送付先市区町村情報ファイル更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番							
	送付先市区町村コード							
	市区町村内送付先情報連番							
	事件対象区分							
	送付先区分							
	遺漏追加区分							
	送信区分		受信情報 (F0060-S01:届書処理状況ファイル)	送信状況				市区町村内送付先情報連番が同じ情報で更新する 送信状況=0(未送信)の場合1を設定 送信状況=1(送信済)の場合2を設定 送信状況=9(送付不能)は更新しない
	発信日(発送日)							

3　その他関連資料

（目次）

(1)「民事行政審議会の答申について」

(2)「セットアップ部会検討結果報告書」

(3)「附票部会検討結果報告書」

民事行政審議会の答申について

法務省民事局

1　法務大臣の諮問事項

電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することについて意見を承りたい。

2　審議会の日程

平成５年１０月１４日に第１回の会議を開催し，平成６年１月３１日答申，この間４回にわたり会議を開催した。

3　答申の内容

(1)　電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度の導入について

電子情報処理組織（以下「コンピュータシステム」という。）を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，相当である。

(2)　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式についての基本構想について

ア　戸籍事務を全国的に統一した内容及び方式により処理するため，市区町村長は，法務省が定める統一性確保のための基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

イ　戸籍事務のコンピュータシステムは，市区町村における他の事務に必要な戸籍情報を提供することができるものとするとともに，他の事務を処理するコンピュータシステムからはアクセスできないシステムとするものとする。

ウ　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，自動審査機能及び自動記録機能を有するものとする。

(3)　戸籍情報の保全及び保護対策について

ア　戸籍情報の改ざんを防止するため，コンピュータシステム自体が不当

な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備え，戸籍事務担当者がパスワードを入力しない限り戸籍情報ファイルに変更を加えることができず，また，戸籍情報ファイルに痕跡を残さないでこれを変更することができない仕組みとする等，この点についての十分な対策を講ずべきである。

イ　戸籍情報の保全のため，市区町村長は，戸籍情報ファイルの万全なバックアップ体制を備えるべきものとし，これに加えて，監督法務局若しくは地方法務局又はその支局にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを送付し，監督法務局等がこれを保管し，障害に備えるものとすべきである。

ウ　戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

(4)　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書について

ア　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する市区町村における戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明は，全部事項証明書，個人事項証明書及び一部事項証明書を交付してするのが相当である。

イ　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書は，左横書きとし，アラビア数字を用いるものとし，その記録事項の表示方法についても，インデックスを設ける等の改善を図るべきである。

(5)　コンピュータシステムの導入に関しての基本方針について

ア　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該指定は，官報に告示してするものとする。

イ　段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

(6) 移行について

ア　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，戸籍に記載されている事項のうち，新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

イ　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，誤字・俗字を解消すべきである。

誤字・俗字を解消する場合には，誤字・俗字の正字への対応関係が明らかなものである場合を除き，事前又は事後に本人にその旨を告知するものとする。

ウ　移行作業を外部委託する市区町村長は，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとする。

(7) その他

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，戸籍の附票事務についても，同時にコンピュータ化を図るのが相当である。

民事行政審議会答申

第１　電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度の導入について

電子情報処理組織（以下「コンピュータシステム」という。）を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，相当である。

（説明）

コンピュータシステムを用いて大量の情報を迅速かつ正確に処理することは，我が国の社会，経済の多くの分野におけるすう勢であり，市区町村においても，行政需要の増大と多様化に対応するため，住民基本台帳事務を始めとする各種業務の分野にコンピュータシステムを導入し，その一層の拡大が図られているところである。

このような状況の中で，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，以下の観点からして相当であると考えられる。

(1)　行政サービスの向上

戸籍事務のコンピュータ化により，戸籍事務処理の迅速化及び正確化が図られることとなるため，国民の身分関係が速やかに，かつ，正確に公示されることが可能となるとともに，戸籍に記録されている事項等についての証明書の速やかな交付が可能となる。また，市区町村の支所又は出張所においても，端末装置を設置することにより本庁と同様のサービスの提供が可能となる。

このように，戸籍事務のコンピュータ化により行政サービスの向上が図られる。

(2)　戸籍事務処理の迅速性及び正確性の向上

戸籍事務のコンピュータ化により，コンピュータシステムが通有する情報処理の迅速性，正確性，自動処理性等の特性を活用することが可能となり，戸籍事務処理の迅速化及び正確化が図られることとなる。すなわち，コンピュータシステムにおける戸籍の「検索機能」により検索時間の短縮が図られ，「記録機能」により記録時間の大幅な短縮とより正確な戸籍の

記録が確保されることとなる。また，コンピュータシステムに「審査機能」を付加することにより審査事務の的確性を確保することができることとなり，さらに，統計事務，報告事務等をコンピュータシステム化することにより戸籍事務処理全体としての効率化及び正確化が図られることとなる。

なお，帳簿のブックレス化により，戸籍及び除かれた戸籍の編綴作業や見出帳の記載作業がなくなり，戸籍事務処理の負担が軽減される。

(3) 関連事務処理の迅速性及び正確性の向上

戸籍事務のコンピュータ化により，戸籍事務と住民基本台帳事務，人口動態調査事務等のいわゆる戸籍関連事務との一元的な処理が可能となり，これにより，これら関連事務の大半を占める転記や点検の作業の迅速化及び正確化が図られるとともに，事務量の軽減が図られることとなる。

なお，この場合には，第２の２に記述するとおり，プライバシー保護及びデータ保護を図る必要がある。

(4) 戸籍情報の保全及び保護

戸籍事務のコンピュータ化については，プライバシー保護及びデータ保護の観点から，磁気データ化された戸籍情報の保全及び保護をいかに確保するかが重要な問題となるが，これについては，第３で記述するとおりの対応方策を講じることにより，その保全及び保護を図ることができ，コンピュータシステムの導入の障害とはならないものと考えられる。

第２　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式についての基本構想について

１　戸籍事務を全国的に統一した内容及び方式により処理するため，市区町村長は，法務省が定める統一性確保のための基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

２　戸籍事務のコンピュータシステムは，市区町村における他の事務に必要な戸籍情報を提供することができるものとするとともに，他の事務を処理するコンピュータシステムからはアクセスできないシステムとするものとする。

3　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，自動審査機能及び自動記録機能を有するものとする。

（説明）

1　戸籍事務処理の統一性の確保

戸籍は日本国民の身分関係を登録及び公証するものであり，その様式及び事務処理の内容は，民法，戸籍法，戸籍法施行規則等により厳格に規定され，戸籍事務は，国の事務として，全国的に統一した内容及び方式により処理されるべきものである。そのため，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する市区町村長は，統一性確保のために法務省が定める基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

2　戸籍情報と関連事務との関係

戸籍事務をコンピュータ化する場合は，市区町村における他の事務にも必要な戸籍情報を提供し，情報の一元化を図ることにより，他の事務の処理の正確化及び迅速化並びに事務量の軽減化に資することが望ましい。しかし，同時に，戸籍事務は国民の親族的身分関係を登録及び公証するものであり，国民のプライバシーにかかわる事務であるので，戸籍事務のコンピュータシステムを構築するに当たっては，他の事務を処理するコンピュータシステムから戸籍情報ファイルに自由にアクセスし，戸籍情報を自由に用いることなどを厳に防止する必要がある。

そこで，戸籍事務を処理するコンピュータシステムは，他の事務を処理するコンピュータシステムに，法令の規定に基づき必要とされる範囲のデータを提供するが，他の事務を処理するコンピュータシステムからは戸籍情報ファイルに直接アクセスできないシステムとするものとする。

3　審査機能及び戸籍記録機能

(1)　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，コンピュータシステムに自動審査機能を付加し，これにより戸籍事務処理の正確性を高めるべきである。すなわち，戸籍の届出事件の処理に当たっては，届出の内容をコンピュータに入力することにより，コンピュータシステムが当該届

出データの内容が民法，戸籍法等の法令に適合しているかどうかを審査し，これが法令に違反している場合はその旨を画面に表示するなど，可能な範囲において自動的に審査を行う機能を有するシステムとすべきである。(2) 現行の戸籍事務処理においては，戸籍の記載事務がその事務の相当の部分を占めていることから，戸籍のコンピュータシステムにおいては，届出を受理するに際し入力された情報や既に戸籍情報ファイルに記録されている情報に基づき，可能な範囲において自動的に記録を行う機能を持つことにより，戸籍の記録の正確性を確保するとともに迅速化を図るシステムとすべきである。

第3　戸籍情報の保全及び保護対策について

1　戸籍情報の改ざんを防止するため，コンピュータシステム自体が不当な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備え，戸籍事務担当者がパスワードを入力しない限り戸籍情報ファイルに変更を加えることができず，また，戸籍情報ファイルに痕跡を残さないでこれを変更することができない仕組みとする等，この点についての十分な対策を講ずべきである。

2　戸籍情報の保全のため，市区町村長は，戸籍情報ファイルの万全なバックアップ体制を備えるべきものとし，これに加えて，監督法務局若しくは地方法務局又はその支局にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを送付し，監督法務局等がこれを保管し，障害に備えるものとすべきである。

3　戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

（説明）

1　戸籍情報の改ざんの防止

戸籍情報の改ざんの防止は，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度に対する国民の信頼を確保する上で最も重要な課題である。

(1) 戸籍情報ファイルの改ざんは，コンピュータシステム内の戸籍情報ファイルの内容の不当な更新によって行うことが可能であるから，その最も有効な防止策は，システム自体が不当な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備えることである。そのため，市区町村の戸籍情報ファイルについては，端末装置を順次操作しなければ，これを変更することができない仕組みとすべきである。

具体的には，戸籍事務処理の手続に従い，届書の記載内容の入力，受理・不受理の処分決定，移記事項入力，校合指示という一連の手順を踏むことによって，初めて戸籍情報ファイルの内容が変更できる仕組みとすることが考えられる。

(2) 新たな戸籍情報を戸籍情報ファイルに付加する校合事務については，その端末装置の操作者が正当な権限を有する者であることをコンピュータが確認した上でなければ，その処理ができない仕組みとすべきである。例えば，事前に登録されたパスワードによって，校合事務を処理する権限を有する者であることが確認されて，初めてその処理ができるものとするなどの措置を講ずることが相当である。

(3) 戸籍情報ファイルの改ざんは，戸籍情報ファイルを構成するデータの一部を別のデータに差し替える方法によって行われることもあり得る。したがって，戸籍情報ファイルを構成するデータについては，当該データの変更，訂正等によりその差し替えをした場合には，その差し替えをしたことが明らかとなり，かつ，差し替え前のデータが変更，訂正等の経緯と共に必ず保存されることとすべきである。

2 市区町村及び監督法務局におけるバックアップ体制

(1) 戸籍情報の重要性から，その保全のためのバックアップ体制は万全なものでなければならない。そのため，市区町村においては，万全なバックアップ体制を備えるべきであることは当然である。その方策として，市区町村長は，戸籍情報ファイルのほかに，必ず，別にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを保有するものとすべきである。

(2) 現行のブックシステムにおいては，市区町村長は，戸籍の副本を監督法務局若しくは地方法務局又はその支局に送付し，監督法務局等がこれを保存することとされているが，コンピュータシステムを用いる市区町村長は，この副本に相当するものとしてバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを監督法務局等に送付し，監督法務局等がこれを保管することにより，市区町村の戸籍情報ファイルの障害に備えるものとすべきである。

3 戸籍情報の適切な取扱いを確保するための措置

戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，戸籍事務を管掌する市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

第4 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書について

1 コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する市区町村における戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明は，全部事項証明書，個人事項証明書及び一部事項証明書を交付してするのが相当である。

2 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書は，左横書きとし，アラビア数字を用いるものとし，その記録事項の表示方法についても，インデックスを設ける等の改善を図るべきである。

（説明）

1 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書の交付

戸籍事務は，国民の身分関係を登録し，公証するものであるから，コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する場合には，戸籍及び除かれた戸籍の謄本，抄本並びに記載事項証明書の交付の制度に相当するものとして，戸籍に記録されている事項を証明した書面を交付する制度を設けるべきである。

証明書の種類は，戸籍及び除かれた戸籍に記録されている事項の全部を証明した全部事項証明書，戸籍及び除かれた戸籍に記録されている個人に関する事項の全部を証明した個人事項証明書並びに戸籍及び除かれた戸籍に記録

されている事項中の証明を求められた事項を証明した一部事項証明書とするのが相当である。

なお，戸籍の記録についての証明書を請求する場合の方法等は現行の戸籍の謄本等を請求する場合のそれ（戸籍法第１０条及び戸籍法施行規則第１１条参照。）と，また，除かれた戸籍についての証明書を請求することができる者及びその請求をすることができる場合等は現行の除かれた戸籍の謄本等を請求する場合（同法第１２条の２，同規則第１１条の２及び第１１条の３参照。）と同様とするのが相当である。

2　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書の様式

コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式の下では，戸籍は，コンピュータの電磁的記録として保存されることになるから，その記録事項の証明書の様式も，現行の謄抄本のそれにとらわれず，より分かりやすく見やすいものとすべきである。

現在の戸籍の謄本及び抄本は，いずれも，縦書きであり，これに使用される文字のうち年月日は壱，弐，参，拾の漢数字を用いるべきものとされている。しかし，近時の社会のすう勢にかんがみ，コンピュータシステムによる戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書については，その様式を左横書きにし，併せてそれらに表示する数字もアラビア数字を用いるものとすべきであり，その記録事項の表示方法についても，当該記録事項のインデックスを設ける等の改善を図るべきである。

第５　コンピュータシステムの導入に関しての基本方針について

1　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該指定は，官報に告示してするものとする。

2　段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

（説明）

1　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する市区町村長の指定

コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理することについては，国民の社会生活に深くかかわっている戸籍事務の処理の方法の大きな変更であることから，市区町村長が導入しようとするコンピュータシステムが法務省の定める基準に適合するかどうか，戸籍情報の保全及び保護対策が採られているかどうか等を審査した上で，これを導入する市区町村長を国民に対して明確に公示する必要がある。

そこで，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該法務大臣の指定は，広く一般国民に対して公示する意味で官報に告示してするものとする。

2　市区町村の一部の戸籍のコンピュータ化

コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理するについては，市区町村のすべての戸籍事務を一律に処理することが理想であり，これを原則とするが，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度への移行には，相当な費用と期間を要することが見込まれるため，段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

第6　移行について

1　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，戸籍に記載されている事項のうち，新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

2　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，誤字・俗字を解消すべきである。

誤字・俗字を解消する場合には，誤字・俗字の正字への対応関係が明らかなものである場合を除き，事前又は事後に本人にその旨を告知するものとする。

3　移行作業を外部委託する市区町村長は，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとする。

（説明）

1　移行する事項の範囲

移行のための戸籍情報ファイルの作成作業は，膨大な労力と経費を要する。移行を能率的に実施し，現行法の下での新戸籍を編製する場合との整合性を図るため，戸籍に記載されている事項の全部の入力を要せず，その事項のうち新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

2　誤字・俗字の解消

移行のための戸籍情報ファイルの作成作業に際しては，氏名についての誤字・俗字を解消して正字に引き直すものとするのが相当である。

誤字・俗字を解消する場合には，何らかの方法で事前又は事後に本人にその旨を告知するのが相当ではあるが，一方，コンピュータ化に際しては，この処理が多量に，かつ，同時期に実施されることになる。そこで，市区町村長が誤字・俗字を解消する旨の周知のための広報活動を十分に行う場合において，誤字・俗字である文字がその対応する正字に訂正されることが，一般人の常識をもって判断した場合に明らかであるときには，本人がその旨を知ることができるから，本人に対する個別の告知を要しないこととして差し支えないものとするのが相当である。

3　外部委託の場合のプライバシーの保護

移行のため戸籍情報ファイルを作成する作業は，相当規模の作業人員を必要とするものであることから，移行作業のうち外部委託になじむものについては，これを外部委託によって処理する必要があるが，この場合には，プライバシー保護についての必要かつ十分な措置が採られなければならない。

そのため，市区町村長は，移行作業を外部委託しようとするときは，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用すること

を防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。その方法としては，市区町村長は，プライバシー保護のため，受託業者に，戸籍データの保管の施設及び体制，移行作業の場所及び体制等を適正なものとさせるとともに，秘密保持義務を課した上，これに違反した場合の責任を明確にするなどの十分な措置を講ずべきである。

第７　その他

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，戸籍の附票事務についても，同時にコンピュータ化を図るのが相当である。

（説明）

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，市区町村における事務処理全体の合理化の観点から，戸籍事務に密接に関連する戸籍の附票事務も，同時にコンピュータ化を図るのが相当と考えられる。

戸籍コンピュータ化調査研究会

セットアップ部会

検討結果報告書

平成４年度

財団法人　民事法務協会

※※※※　目　　次　※※※※

はじめに …… 1

第1　戸籍事務をコンピュータにより処理するに当たっての移行の方法について
1　はじめに …… 2
2　移行の方法 …… 2
3　改製方式，再製方式及び第三方式の各移行方式の比較
(1)　各方式の比較 …… 3
4　改製方式，再製方式及び第三方式による作業工数について
(1)　作業工程について …… 8
(2)　作業工数について …… 9
5　改製方式，再製方式及び第三方式の検討結果 …… 11
(1)　現行の戸籍との整合性について …… 12
(2)　移行経費について …… 12
(3)　市区町村の職員が行う作業の軽減の問題について …… 13
7　結論 …… 13
8　移行作業に係る提言 …… 14

第2　戸籍事務のコンピュータ化に伴うシステム認容申請手続について
1　はじめに …… 15
2　システム認容申請手続について
(1)　システム認容申請手続の方法 …… 15
(2)　システム認容申請手順 …… 16
(3)　システム認容申請手続における問題点 …… 17

第3　移行作業期間中のデータ保護及びプライバシー保護
1　はじめに …… 19
2　データ保護・プライバシー保護のための遵守事項 …… 20
(1)　委託業者の全般に係る事項 …… 20
(2)　受託業者以外の第三者に係る事項 …… 20
(3)　データの管理・保管に係る事項 …… 21
(4)　データ等の授受・運搬に係る事項 …… 21
(5)　戸籍データ作成に係る事項 …… 21
(6)　受託業者の契約違反に伴う措置に関する事項 …… 22
(7)　その他 …… 22

第4　外字の取扱いについて
1　はじめに …… 23
2　誤字・俗字の解消 …… 23
3　外字の対応方法 …… 24
(1)　外字の対応ができない場合の取扱 …… 24
(2)　外字の管理及び統一化 …… 25

○　「各方式の比較表」 …… 別　紙　(1)
○　「作業方式別作業工程図」 …… 別　紙　(2)
○　「移行作業工数比較表」 …… 別　紙　(3)
○　「システム認容申請手順」 …… 別　紙　(4)

はじめに

戸籍事務のコンピュータ化については，昭和６０年から戸籍事務コンピュータ化調査研究会（以下「研究会」という。）が組織され，戸籍事務をコンピュータによって処理することとした場合の種々の問題点についての調査研究が進められてきているところである。

この研究会による調査研究は，各年度ごとに文書によって報告されており，平成元年度に，それまでの成果を集大成した「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合における設計・製造及び運用についての調査研究報告書」が提出され，この報告書において，戸籍事務にコンピュータを利用すれば，現在よりも能率的・合理的な処理が可能であるとの一応の結論が示された。この結果に基づいて，平成２年度から市区町村が将来戸籍事務にコンピュータ・システムを導入する場合に遵守すべき最小限の仕様・条件を定めた「基準書」の作成に取り組んでいる。「基準書」は，すでにその一部が完成し，残りの部分も近く完成する見込みである。また，豊島区の協力を得て，「基準書」の既に完成した部分についてその実用性を検証する作業（戸籍パイロット・システム）を開始している。

上記のとおり，戸籍事務のコンピュータ化の調査研究については，ほぼ最終段階にさしかかっており，研究会としては「基準書」の作成と並行して，現行の戸籍（簿）の移行作業の実施方法，戸籍情報システム（パッケージソフト）等の認容手順，移行作業におけるデータ保護・プライバシー保護の問題等について，検討する必要があるとされた。

そのため，研究会の下に「セットアップ部会」を設け，移行作業及びシステム認容手続における問題点の分析を行い，具体的な事務処理の方法，問題点の解決方法及び今後の課題等について検討するとともに，研究会における「基準書」及び法務省の「移行要領」等のための資料を提供することとされたものである。

今回，これらの検討結果を取りまとめたので，「セットアップ部会検討結果報告書」として提出する。

第１　戸籍事務をコンピュータにより処理するに当たっての移行の方法について

１　はじめに

戸籍事務をコンピュータによって処理する場合には，戸籍（簿）をはじめとした既存の戸籍関係諸帳簿に記載されている事項を，コンピュータの磁気記録媒体に移し替える作業が必要かつ不可欠となる。このための一連の作業を移行という。

本部会では，昭和６３年度の「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合における現行戸籍簿等の移行及びプライバシー・データ保護についての調査研究報告書」を前提に，より具体的な移行の方法及び問題点の再検討を行った。

昭和６３年度の報告書においては，戸籍に記載された身分事項等について，従前どおりの文書形式により移記して処理することを前提としていたが，その後の戸籍コンピュータ化調査研究会において，コンピュータ化に際しては，審査機能との関連などから身分事項等を各要素に分解し，項目化することが適切であるとの結論に達したため，これを前提に再検討を行ったものである。

２　移行の方法

戸籍は，日本人の身分関係を登録・公証するものであり，そこには，出生をはじめ婚姻，縁組等「人の身分」に関する様々な情報が登録されている。これらの戸籍データをどの範囲でコンピュータの磁気媒体へ移し替えるかについては，移行の効率化及び移行後の戸籍のあり方等を考慮した上で，慎重に決定されなければならない。

市区町村においては，戸籍事務のコンピュータ化に伴って，現存の戸籍等に記載された膨大なデータを短期間に移行する必要があり，また，それに要する経費も非常に高額となることが予想される。この点は，今後，戸籍事務のコンピュータ化を望む市区町村にとっては，避けられない問題であり，その方式のいかんは，戸籍事務のコンピュータ化の拡大を左右しかねない重要な問題であると考える。

現在の戸籍事務においては，戸籍（簿）に記載されている内容を新しい戸籍用紙に移し替える場合の取扱いとして，改製の手続による場合（戸籍法第１２８条）と再製の手続による場合（戸籍法第１１条）の二つの方式が規定されている。

戸籍法上，改製とは，戸籍（簿）の様式が法律又は命令に基づき改められた場合に，従前の規定による様式で編製されていた戸籍を新しい様式に改めるための編製替をいい，また，再製とは，戸籍（簿）が滅失の虞れがある場合，あるいは滅失した場合に，戸籍を元の状態に再現するための編製替をいう。

ところで，昭和６３年度の報告書においては，前述の改製方式と再製方式のほか，第三の方式として，除籍された者の事項を除き全部の事項をそのまま移記する，いわゆる在籍者再製方式（以下「第三方式」という。）が提案されている。そのため本部会においては，以上の三つの方式について，そのメリット・デメリットを比較検討することとした。

3　改製方式，再製方式及び第三方式の各移行方式の比較

(1)　各方式の比較

今回検討した各方式の異同について項目別に比較したのが，別紙(1)「各方式の比較表」である。

①　基本的内容について

各方式の法律上の根拠については，前述のとおり，改製方式及び再製方式については現行の戸籍法によって規定されており，これらは過去の法改正等に伴う改製作業あるいは滅失等に伴う再製作業等により，現実の戸籍実務において運用されてきている方法である。しかし，第三方式については，過去に実施された経緯がなく，まさに今回の戸籍事務のコンピュータ化のための便宜的な方法として検討されているものである。

すなわち，改製方式及び再製方式は，現行の法制度において対応することが可能であるが，第三方式を採用した場合は，別途このための法律的裏付け（法改正）が必要となる。

②　移記前の原本（戸籍）の取扱いについて

移記前の原本（戸籍）の保存期間については，改製方式とした場合は，

過去に改製が実施された際の取扱いから推測して，５０年ないし８０年の期間となると考えられる。再製方式による場合は，原則として現行の戸籍（簿）をそのまま移記することから，１０年間の保存とされている。また，第三方式の場合は，除籍者を除いた全ての事項が移記されるが，基本的には現在の戸籍（簿）の一部が移記される点において再製方式と異なり，改製方式と同様な取扱いとなるものと考えられる。

今後，コンピュータ化を実施する市区町村においては，前述の保存期間は依然として移記前の原本（戸籍）を保管しなければならないことから，この保存期間の長短は，市区町村の保管スペースの確保などこの保管のための負荷の面において大きな問題となると思われる。

しかしながら，現在の除籍簿の保管においては，マイクロフィルム等により管理することが認められていることから，保管スペースの問題はある程度解決されている問題と考える。

③　移記後の原本（戸籍）の取扱いについて

各方式による移記により，どのような形で戸籍がデータベース化されるかについては，できあがった戸籍の整合性の問題があり，相当に重要な要素となる。

改製方式によれば，移記される事項は戸籍法施行規則第３７条，３９条に規定された事項に限定され，従前の戸籍（簿）に記載されている事項が，現行の記載例に対応していない場合は，現行の記載例に引き直して移記される。また，追完・訂正事項については，原則として身分事項欄等に反映させた上で移記されることから，最も整理された形での戸籍となる。

再製方式によれば，原則として従前の戸籍（簿）に記載された全ての事項をそのまま移記することとなるため，戸籍（簿）によっては現行記載例に対応しない記載例が存在するが，改製方式と同様に，現行の記載例に引き直して移記することが認められている（昭48.11.17民二第8522号通知）。しかし，移記される事項は，従前の戸籍（簿）に記載された全ての事項を移記することが原則であるため，改製方式以上に項目化が対応できない部分が発生する可能性がある。

第三方式については，従前の戸籍に記載された事項のうち，除籍者以外の事項について，原則として全ての事項を移記することから，再製方式と同様の問題点が存在する。また，除籍者が離婚によるものである場合は，当該配偶者は除籍されているため移記の必要がないが，他方の配偶者の身分事項欄には，依然として婚姻・離婚事項が残ること等，戸籍の整合性が問題となる。はたして第三方式によりできあがった戸籍について該当住民等の理解が得られるか疑問であり，これが大きな問題となる可能性があろう。

④　システム上の問題点について

移記されたデータベースを基に，コンピュータ稼働後は処理を進めていくこととなるため，コンピュータに記録されるデータ量は増加の一途をたどることが予想される。そのためには，当初のデータ量は最小限のもので運用をスタートすることが望ましく，このことは導入するコンピュータの容量・機種を決定する上でも重要な要素となるものと考えられる。

改製方式では，戸籍法施行規則第３７条，３９条に基づく事項のみを移行すれば足りることから，移記事項が限定されデータ量が減少する。一方，再製方式では，原則として現行の戸籍（簿）に記載された事項の全てを移記することとなることから，データ量は相当大きなものとなると考えられる。また，第三方式では，除籍者のデータが移記されないことから，ある程度のデータを減少させることができ，データ量的には，改製方式と再製方式の内側の再製方式に近いところに位置するものと思われる。

さて，戸籍事務コンピュータ化のシステム開発において，特記されるものとしては，そのシステムで審査機能を付加した点が挙げられる。これは，市区町村が総合窓口制を採用する場合が増加し，戸籍事務に関する専門的な知識を有する職員の確保が非常に難しくなってきていることから，基本的なチェックをコンピュータに行わせようとするものである。例えば，離婚による女性の待婚期間の確認，婚姻における婚姻適齢の確認等である。これらの審査機能を活用するためには，従前の記載事項を

データベースとして保有していることが前提となるが，改製方式による場合は，移記事項が現に効力を有する事項のみとなることから，稼働後の一定期間においては，この機能が効果を発することができないことが生ずる。

ところで，移行作業は，戸籍のデータ量が膨大であることから，その作業は相当長期間に及ぶものと考えられ，移行期間中に発生する事件に係る戸籍データ（以下「異動データ」という。）については，再度入力することが必要となる。本来の改製方式によれば，従前のデータをいったんデータベース化した場合であっても，これらの異動データの入力も，稼働日の時点において整序され，改製した形とすることが望ましいが，現実問題として市区町村においてはこの追いかけ処理が不可能であると思われる。そこで，移行期間中の異動データについては，当該戸籍内に除籍者が生じている場合であっても，例外的に追加入力の処理ができるとする取扱いが認められれば，それらの異動事項がデータベースとして戸籍内に存在することとなり，審査機能の活用に資することも可能となると考える。

なお，第三方式において移行期間が6カ月以上かかる場合は，審査機能における待婚期間の審査について，移行期間中に待婚期間が満了してしまうことから，移行開始時までの離婚等の事項がデータベースに移記されていても審査機能に活用できないこととなる。

⑤　住民関係について

戸籍事務のコンピュータ化及び移記された戸籍データベースについては，地域住民としても大きな関心を寄せることが想定される。

これは「私の戸籍」という概念で示されるように，国民の感情論として戸籍が国の文書であるという意識よりも，当該国民個人のための文書と意識されるものとして存在してきていることを否定できないことによる。そのため，今回の戸籍事務のコンピュータ化に伴っても，どの程度の身分事項を移記し，どのような戸籍とするかは慎重に検討しなければならないものと思われる。

改製方式によれば，必要最低限の移記事項に特定され，戸籍の整合性

が確保される点において，住民感情的なトラブルは少ないと考えられるが，再製方式又は第三方式による場合には，現在戸籍の全て又は現存者の身分事項がそのまま移記されるため，依然として離婚歴が残る等により，地域住民の理解を得られるか，また，戸籍の整合性を説明し得るかが懸念される。

また，移記前の戸籍（簿）について，その謄抄本等の証明書（以下「証明書等」という。）の請求がどの程度発生するかの問題がある。

再製方式の場合は，原則として全ての記載事項が移記され，また，移記前の原本（戸籍）は戸籍原本としての効力を失っているため，原則として証明書等の発行には応じられないこと等から，その請求は数少ないものと思われる。改製方式の場合は，移記事項が整理された形となる反面，相続における従前戸籍の確認などのために改製原戸籍とされる移記前の戸籍の証明書等の請求が相当程度なされることが考えられる。また，第三方式の場合は，改製方式による場合よりは減少すると思われるが，同様な趣旨から，相当程度の請求がされるものと予測される。

しかし，そもそも今回の移行作業は，記載内容の項目化を前提としていることから，再製といっても従前の文書形式による記載内容と著しく異なる形式となるため，再製の場合であっても移記前の原本の証明が求められることが考えられ，はたして各方式によりどの程度の差が発生するかは予測し難いものがある。

⑥　移行用戸籍データの作成について

現行の戸籍（簿）に記載されたデータを移行するためには，パンチ入力を容易にし，入力によるミスを極力減少させる必要があるため，現在の戸籍に記載された事項を入力し安いように加工し，移行のための戸籍データを作成する必要がある。また，今回の戸籍事務のコンピュータ化に際しては，従前の文書形式による記載事項を各項目に分解し入力することを前提としているため，この項目化のためのコーディング作業が必要不可欠である。

移行用の戸籍データ作成に関しては，移行作業のコスト面及びその正確性の確保が大きな要素となる。

戸籍データのパンチ入力については，そのデータ量が減少すればパンチ入力の量が減少するため，結果的には入力によるミスも減少することが考えられる。この点に関しては，改製方式が最も効果的であるが，次の問題点が考えられる。

改製方式によれば，除籍された者及び在籍者の身分事項のうち，移記不要事項及び追完・訂正事項の身分事項への反映等についての判断及びこれに伴うマーキングが必要となり，再製方式によれば，改製方式による場合のような移記不要事項の見極め，マーキングは不要であるが，市区町村長限りの職権訂正事項についてはマーキング等が必要となり，また，第三方式によれば，在籍者についての訂正・追完事項については，内容によって身分事項に反映すべきものが存在するため，その判断及びマーキングが必要となる。

前述の移記不要事項の見極め及びマーキング作業は，戸籍の専門的知識を必要とすることから，市区町村職員が行うこと，あるいは移行作業を行う業者が独自に戸籍についての知識を有する要員を確保する必要が生ずる。

市区町村職員が行うこととした場合は，通常事務を処理しつつ当該事務の処理を進める必要があり，また，これができない場合は別途人員を確保する必要があるなど，市区町村が負担を負うことが問題となる。

一方，業者が要員を確保して行うこととした場合は，現実に適切な要員の確保が可能であるのかといった問題のほか，この専門知識を有する要員を確保するための移行経費の増加が考えられる。

以上のように，この入力不要部分のマーキング及び項目化のコーディング作業は，移行作業における経費面及び市区町村にかかる負担の点から，どの方式によるかを決定する上で重要なポイントであると思われる。

4　改製方式，再製方式及び第三方式による作業工数について

(1)　作業工程について

各方式による作業工程については，おおむね別紙(2)「作業方式別作業工程図」のとおりであると考えられる。

一般的な移行作業の実施に当たっては，移行すべき戸籍（簿）の特定の

ための事前準備として戸籍（簿）の点検及び入力データ作成のためのコード番号付け，入力用原票（移行用戸籍データ）の作成，従前の記載事項の見極めと項目化するためのマーキング及びコーディング，項目化後のデータに基づくパンチ入力，パンチ入力されたデータの照合及び修正，移行期間中の異動データの反映及び最終確認を行った上での納品という工程を踏むものと考えられる。

なお，ここで示したそれぞれの作業工程は，一般的に想定される一例として示したものであって，今後，市区町村が実際に移行作業を実施する際には，これとは異なる工程により行われることも当然にあり得るものと思われる。

別紙(2)のとおり，各方式により工程そのものには大きな差はないと思われるが，前述のとおり，従前の記載事項の見極めと項目化するためのマーキング及びコーディングの作業において，各方式により若干の相違が生ずるものと考えられる。

(2) 作業工数について

各方式によるメリット・デメリットを検討する上で，移行作業に係る経費の差がどの程度発生するかについては，実際にコンピュータを導入しようとする市区町村にとっては，最も関心があることであろう。

そこで，本部会においては，参加したセットアップメーカーに，実際の移行作業を前提に各方式による工数の積算依頼を行い，その結果を踏まえて検討することとした。各メーカーからの報告を集計した結果は別紙(3)「移行作業工数比較表」のとおりである。なお，この調査を依頼する際に示した前提条件は次のとおりである。

ｱ) 自治体作業レベルは，複写作業の立会い事務と検査作業の最終確認事務のみとし，メーカーにおいて，精度の高いデータを作成するものとする。

ｲ) 戸籍人数割合は，１戸籍２．８人とする。

ｳ) 改製による入力不要部分の発生割合は，１割とする。

ｴ) その他算出基礎は，昭和６３年財団法人民事法務協会の報告書による。

なお，この集計表は各メーカー単位で各方式を比較することを目的とす

るものであって，メーカー間における作業工数は各メーカーの作業方法及び各作業に対するウエイトの置き方等がそれぞれ異なるため，各メーカー間での比較は適当でない。また，メーカーに対する積算依頼は，10,000戸籍と100,000戸籍とについて行い，この双方についての報告を受けたが，結果的に10,000戸籍と100,000戸籍との間においてはその数の差によるもののほかは，各方式においても格別の相違点も存しなかったことから，この報告書では10,000戸籍による比較を紹介するに留めることとした。

① 各メーカーの作業工数の比較

各メーカーによる工数の積算については，メーカー各社の移行作業におけるノウハウが加味され，また，各メーカーが具体的に想定する処理工程が異なり，これを事前に同一のものとして特定することが困難であったため，工数積算の前提が不明確となる点があったが，各メーカーにおける各方式による相違点を知るという点においては，ほぼ目的を達成できるものであると考えられる。

各方式による作業工数の比較は，A社を除き，改製方式が最も少なく，次いで第三方式，再製方式の順となっている。また，A社は第三方式が最も少なく，次いで改製方式，再製方式の順となっている。

これは，A社とその他社との間の移記不要部分のマーキング作業，マーキング作業により移記すべき事項が特定された後の項目化作業，入力作業及び確認作業のウエイトの置き方の差による工数の増減によるものと考えられるが，A社を含めても工数的には各社とも各方式による相違には大きな差は存在しない結果となっている。

② 各方式による移行経費の比較

今回の調査においては，工数のみの比較とし，実際の移行経費による比較は行わなかった。これは，移行経費額が提示されることにより，当該経費額がひとり歩きをすることを避けるため，あえて行わなかったものである。しかしながら，各作業区分毎における工数が実数で明示されていることから，移行経費額は各作業に従事する者の単価を設定すれば，容易に積算できるものであろう。

実際に経費を積算し，各方式を比較した場合には，入力データの不要

部分のマーキング作業には戸籍の専門的知識を要することから，経費積算の上で大きな影響力があるものと思われる。その結果，改製方式による場合はマーキング作業のウエイトが大きいことから，実際の経費額による比較では，改製方式による場合の経費が増加し，再製方式による場合はマーキング作業はほとんどないことから相対的に経費額は減少するものの，データ量が多いことから入力作業及び確認作業による経費並びにシステム稼働後のファイル容量の増に係る経費が増加するものと考えられる。

改製方式と第三方式との比較においては，作業工数に大きな差がなく，マーキング作業のウエイトからして，現実の経費額では第三方式によることが最も安価となるものと思われるが，改製方式との間ではそれほどのかい離がないものと見込まれる。

5　改製方式，再製方式及び第三方式の検討結果

移行作業の方式の決定については，各方式のメリット・デメリットを比較し，総合的に最も適当と思われる方式を検討する必要がある。今回検討した各方式については，前述のとおり，その比較項目ごとにそれぞれメリット・デメリットが存在し，一概にその結論を導き出すことは容易ではなかった。しかし，移行作業に当たっては，各市区町村が望むそれぞれ異なった方式により処理することは適当でなく，統一化される必要がある。そこで，この報告書では，検討の経緯を踏まえ一応の結論を提示することとする。

どの方式を採用するかの判断基準としては，次の事項が挙げられる。

その第一は，現行の戸籍（簿）との整合性の問題である。コンピュータ化後の戸籍は，戸籍事項及び身分事項の項目化を前提としている。これを踏まえた上で現行戸籍との整合性を検討する必要がある。

第二は，移行の経費の問題である。いわゆるバブル経済の崩壊後，市区町村においては税収が大幅ダウンするなど，移行経費の節減は重要な課題である。

第三は，市区町村の職員が行う作業の軽減の問題である。市区町村にとっては，この移行作業のための職員を特別に確保することは困難であり，現行の職員での対応を前提としなければならないことによる。

(1) 現行の戸籍との整合性について

改製方式は，法律的な裏付けがあり，過去の法改正等において実施されている方式であり，戸籍の整合性を論ずる上では，最も問題のない方式論であると考えられる。また，３－(1)－④で提案した移行期間中の異動データについて追加入力の方法が認められた場合は，結果的にコンピュータ処理がスタートした時点では，稼働日現在による改製戸籍となってはいないが，これは移行処理上やむを得ないことであって，このことが改製方式の適否を左右するものではないと考える。

再製方式についても，法律的な裏付けがあり整合性を論ずる上では問題はないと考えられるが，旧記載例について，項目化が困難なものが発生することも考えられ，この点をいかに解決するかの問題点が存する。

第三方式については，戸籍事務のコンピュータ化のために提案された経費節減及び市区町村職員の負担軽減のための新しい方式であり，当然のことながら法律的な裏付けは存在しない。この方式を実現するためには，戸籍法上新たな戸籍の移行方式として立法する必要がある。しかし，コンピュータ化のための移行方式として，経費節減あるいは市区町村職員の負担を軽減する目的のみということではたして国民に容認されるかという点については，戸籍の整合性の上で問題点を多く含んでいることから疑問が感じられる。既述のとおり，離婚歴がある場合に離婚した配偶者が除籍されているため移記されないにもかかわらず，身分事項欄には，婚姻事項及び離婚事項が移記されることなど，少なからず問題を抱えている。

(2) 移行の経費について

今回調査した別紙(3)「移行作業工数比較表」においては，各作業項目の内容及びメーカーごとの方法及び技術が異なり，また，メーカーと市区町村との作業分担のウエイトの置き方が統一されていないため，一概に結論を導き出すことは困難である。

しかし，工数的には，再製方式はデータ量が減少しないことから最も工数が増加し，改製方式及び第三方式は，ほとんど差が生じていない結果となっている。また，この結果は実際の経費により積算されたとしても方法論の決定を左右するほどの大きなかい離が生ずるものとは考えられないで

あろう。

(3) 市区町村の職員が行う作業の軽減の問題について

戸籍事務のコンピュータ化に関しては，その移行すべきデータが膨大であり，通常事務と並行して移行作業を行う必要があることから，市区町村職員の負担を極力軽減する方策を検討する必要がある。

移行作業における市区町村職員の負担は，移行にたずさわるメーカーの技術及び方法により異なる結果となっている。改製方式によれば，マーキング作業に戸籍の知識を有する要員が必要となるが，移行業者においてこの手当てがされることが予定されており，このことを前提として，それぞれの方式により大きな差は生じていない。

7 結論

戸籍事務のコンピュータ化は，市区町村にとって一大事業であり，地域住民に及ぼす影響も非常に大きなものである。この点を認識するならば，ただ単に移行のための経費節減及び市区町村職員の負担軽減ということのみで結論に到達することは，必ずしも相当ではないであろう。

市区町村としては，戸籍事務のコンピュータ化がスムーズになされるよう最善の方法を検討するとともに，その処理体制を確保することが重要であり，責務であると考える。また，コンピュータ化をひとつの契機として，従前の戸籍を整理し，整然とした戸籍を作り上げることも，将来，戸籍制度を運用していく上で重要な意味を有するものと考える。

部会における検討では，最終的に改製方式あるいは第三方式によるべきかが論議されたが，経費の問題，戸籍の整合性の問題，コンピュータ化による戸籍の将来の運用の問題からして，移行作業の方式は，改製方式によるのが適当であるとの結論に達した。

また，改製日をどの時点とするかについては，従前の戸籍（簿）を凍結した日，あるいは，個々の戸籍（簿）の移行が完了した日とする等の意見も出されたが，コンピュータ稼働日（官報に告示された日）とするのが最も適当であると考える。

なお，各方式の検討途中において提言された第三方式を指示する理由を次に付言する。

第一に，改製方式による場合は，移記不要事項の見極めが非常に大きな事務量となり，その結果，市区町村の負担が増加すること。

第二に，移記不要事項の見極めが専門的知識を必要とされることから，移記事項にミスが発生する可能性が高いこと。

第三に，移行期間中の異動データの追いかけ処理について，本来の改製戸籍とするためには，一端データベース化した事項も移記不要部分の見極めを行った上で再入力する必要があり，現実的にはその処理が不可能であること。

第四に，改製方式によれば，データベース化されたデータ量が少ないため，コンピュータによるシステム審査機能を活用できないこと。

等である。

8　移行作業に係る提言

本部会においては，移行作業方法として改製方式によるのが相当であるとの結論に達したが，前述のとおり第三方式を指示する意見があったことも事実である。そこで，本部会としては，改製方式によるデメリットを解決する方策等について検討する必要があると考え，次の事項を提言する。

ｱ)　市区町村職員の負担軽減のため，移記不要事項の見極め作業を移行メーカーが責任をもって処理できる体制を確保すること。

ｲ)　移行期間中の異動データの入力に関しては，改製方式による場合も，いったん移記されたデータに追加入力を行うという便宜的な処理を認めること。

ｳ)　改製原戸籍については，戸籍事項欄に改製による除籍事項の記載が必要となるが，稼働日現在で大量の処理を必要とするため，欄外にこの旨記載する等の便宜的な方法を検討すること。

ｴ)　改製原戸籍の保存方法については，従前どおりの紙による場合，マイクロフィルムによる場合等が考えられるが，今後，光ディスク等による場合も想定できることから，その可否について検討すること。

第２　戸籍事務のコンピュータ化に伴うシステム認容申請手続について

１　はじめに

市区町村が戸籍事務をコンピュータによって処理しようとする場合は，その事務が国の機関委任事務であることから，監督法務局との連絡・調整を密にし，統一的に手続が行われるよう配意する必要がある。

戸籍事務は性質上国の事務であり，全国統一の方式により処理されなければならないものであるから，理想をいえば，戸籍情報システム（以下「システム」という。）も，全国の市区町村が同一のハードで，同一のプログラムを用いることが望ましい。しかしながら，今日多くの市区町村においてＯＡ化が進められ，大規模な市や区にあっては，ホスト・コンピュータとして種々のメーカーの機種が導入されているほか，比較的規模の小さい市区町村においてもオフィス・コンピュータが導入されているなど，市区町村が使用するコンピュータの機種は同一ではない。このため，システムの設計に当たっては，こうした市区町村のコンピュータ化の状況を前提に置かなければならない。

そこで，考えられたのが「基準書」による統一化で，これは，現在各市区町村で用いられている各種のコンピュータのハードとソフトの共通要素を拾い出し，各機種の処理能力で実現可能な範囲内において，各機種に適応する統一の仕様を作成しようとするもの，すなわち，この範囲内においてプログラムの統一性を図ろうとするものである。

この結果，戸籍事務のコンピュータ化に参画するメーカーは，自社のコンピュータハードを使用し独自のシステムを開発したとしても，あたかもその処理は全国統一のシステムを用いて処理するのと同様の効果を得ることができるのである。

戸籍コンピュータシステムを開発するメーカーは，この趣旨を十分理解し，「基準書」を遵守することが，前提条件となることは言うまでもない。

２　システム認容申請手続について

(1)　システム認容申請手続の方法

市区町村が戸籍事務をコンピュータにより処理するためには，当然そのためのコンピュータ機器及びシステムを導入する必要がある。しかし，導入するシステムが「基準書」に示された基準をクリアしているか否かの判断をしなければならず，また，どのような方法によりその検証を行うかが問題となる。

従前は，メーカーが「基準書」に基づき開発したシステムを，メーカー単位のパッケージソフトとして認容する方法が検討されていたが，そもそも法務局あるいは法務省は，民間のメーカーが開発したパッケージソフトに対して直接許認可することができるか，その手続はどのようにするか等について疑問が存した。そこで，従来の戸籍事務の一部処理システムについての認容手続が，各法務局・地方法務局の定める戸籍事務取扱準則に示された「事務改善等により戸籍事務に関する処理方法及び組織機構を改めたとき」に該当するものとして取り扱われていることから，この方法に類した手続により一連の認容手続を進めることが現行の法制度の中では，最も適当であると考えられる。

(2) システム認容申請手順

システム認容申請手順として考えられる方法として，本部会としては，別紙(4)による手続方法を提案する。

① 移行作業に着手する前の手続

コンピュータを導入しようとする市区町村は，移行作業に着手する前提として，市区町村としての全体のコンピュータ化計画案及び移行作業のための計画案等を作成するとともに，導入するメーカー，機種，プログラム及びコンピュータ化後の戸籍事務の処理方法等について，管轄法務局・地方法務局長に対し認容申請を行う。

なお，この場合には，当該市区町村が，行政機関の保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する法律第２６条による個人情報の適切な取扱いを保護するための必要な施策を策定し，実施するものであることを明らかにしなければならない。

認容申請を受けた法務局・地方法務局は，全体計画の整合性を確認するとともに，導入されるシステムが「基準書」に適合するか否かを検証

する。確認・検証の結果，問題がないと判断された場合は認容し，問題がある場合は法務省に対し照会する。

照会を受けた法務省は，市区町村が導入するメーカーのソフトについても必要に応じ検証を行った上で，適宜，法務局・地方法務局に対し回答する。

なお，移行作業着手前の手続に関して，認容権者は法務局長又は地方法務局長となるのか，認容許可がないと移行作業に着手できないかといった問題が残されているが，今後，これらの問題点について検討する必要があるとともに，認可されたメーカーのソフトについては，法務省で適宜の方法により公表すること等も検討すべきであると考える。

② 移行期間中の手続

市区町村が戸籍データの移行に着手した場合，その処理の方法について，様々な疑義，不明事項が発生することが予想される。

当然，これらの事項についても，統一的に問題が解決され処理することが必要であるため，法務局・地方法務局に確認・照会を行うことが不可欠である。また，法務局・地方法務局において判断できない事項については，適宜，法務省に回答を求めることも必要である。

③ コンピュータ稼働前の手続

市区町村は，移行作業がある程度収束し，その終了日を特定できる状態になった時点で，監督法務局・地方法務局長に対し，コンピュータにより戸籍事務を取り扱うこと（コンピュータ稼働日の特定）についての申報を行う。

申報を受けた法務局・地方法務局の長は，移行作業の進捗状況等について調査を行い，稼働日等について問題がないと判断された場合は，法務大臣に対して，その具申を行う。

具申を受けた法務省は，どの市区町村（地域等が特定される場合も考えられる。）がいつから戸籍事務をコンピュータによって処理するか等について，官報に告示の手続を行う。

(3) システム認容申請手続における問題点

システム認容申請手続は，一例として，前述のとおりの方法が考えられ

る。この方法を部会において検討する上で，種々の問題点の提起がなされた。その主なものは次のとおりである。

ア) 戸籍事務の一部処理の認容申請において，申請から認容までの期間が相当長期間となり，問題となったケースがあるが，戸籍事務のコンピュータ化の認容申請に関しては短期間に処理がなされること。

イ) ひとつの市区町村で認可されたパッケージソフトを使用して認容申請をする場合は，原則どおりの手続を必要とせず，簡便な方法を検討すべきこと。

ウ) 法務局においてパッケージソフトの検証する場合，処理システムのプログラムを直接確認できる要員もしくは専門的知識を有する職員を確保することは不可能であることから，その検証方法を確立する必要があること。

エ) 移行作業は短期間のうちに完了する必要があることから，その期間中に生じた疑義に対して，法務局等から早急に回答が得られるようにすること。

オ) 市区町村の一部の地域等を限定して，コンピュータ化を実施することについて，認容することができるのか。また，地域等の限定の方法に，一定の基準，制限が必要とされるか等について検討すること。

第３　移行作業期間中のデータ保護及びプライバシー保護

１　はじめに

戸籍簿又は除籍簿は，事変を避けるためでなければ，市区役所又は町村役場の外にこれを持ち出すことができないとされ（戸規第７条），また，これらの簿冊は，施錠のある耐火性の書庫又は倉庫に蔵めてその保存を厳重にしなければならないと規定されている（戸規第８条）。

戸籍データの移行作業に関連しても，当然にこれら規定は適用されるべきものであり，市区町村がセットアップ業者（以下「業者」という。）に委託して移行作業を処理する場合にも，戸籍簿又は除籍簿を直接市区役所又は町村役場の外に持ち出すことは許されないであろうと思われる。また，たとえ戸籍簿又は除籍簿の写しであっても，この戸籍の持つ特殊性を十分理解した上，データ保護及びプライバシー保護が図られなければならないことはいうまでもない。

したがって，移行作業は，そのすべてを公務員として守秘義務を負った市区町村職員が市区役所又は町村役場内で行うことが最も望ましいが，既存の戸籍に記載された膨大なデータを，平常事務を進めながら移行することは，現実に不可能であるといわざるを得ない。

そこで，当部会においては，各市区町村及び業者の移行作業工程を前提に，移行作業において当然に発生するであろうと思われる事項について検討を行った。

しかしながら，戸籍が人の身分関係の登録簿であるという性格を認識するならば，移行作業において，そのデータ及びプライバシイーに関する守秘義務が当然に発生するものであり，また，これが遵守されなければならないことはいうまでもないことである。現実に，各市区町村においては，各種の場面においてそのデータ保護・プライバシー保護に関しての独自の条例等が制定されており，その実現のため，細心の注意が払われていることは周知の事実である。そこで，ここで提案する事項は，最低限守らなければならない事項とし，その表現も一般的な規定程度のものに留めた。実際の移行作業に当

たっては，実施する市区町村がデータ保護・プライバシー保護の確保のために，具体的な措置を実際の移行作業に即して独自に講ずることが望ましいと考える。

2　データ保護・プライバシー保護のための遵守事項

移行作業について，市区町村が業者に委託して作業を進める場合は，データ保護及びプライバシー保護を十分図っていくことが重要である。そのためには，次の諸点について十分認識し，必要な措置等を講ずることが肝要であると考える。

(1)　委託業務の全般に係る事項

市区町村から委託された業者は，市区町村から提供された入力資料及び記録媒体等（以下「データ等」という。）について，善良な管理者の注意をもって保管・管理することを義務付ける必要がある。

具体的方策としては，次の諸点が考えられる。

ｱ)　受託業者は，データ等を委託した市区町村が指示した目的以外の目的に使用してはならないこと。

ｲ)　受託業務遂行過程において生じた記録又は入力情報が記載されているデータ等は，原則として，市区町村にその全てを返還すること。

ｳ)　受託業者は，契約業務終了後，又は契約解除後においても，受託業務によって知り得た情報を外部に洩らすことのないよう守秘義務を負うこと。

ｴ)　市区町村の職員は，入力資料等の管理状況その他これらに関する設備及び処理方法等を調査するため，受託業者の作業施設に立入り，必要に応じ改善させる等の措置を講ずること。

ｵ)　受託業者は，その責任を明確にするため，市区町村に対し受託業務の管理責任者，作業内容別の担当者及び従事者を文書をもって報告する等，必要な措置を講ずること。

(2)　受託業者以外の第三者に係る事項

戸籍を移行する場合は，そのデータ等が個人の身分関係に関するものであることから，移行作業の過程で，関係機関以外の第三者に流出することのないよう最善の注意を払わなければならないことは言うまでもない。し

かし，実際の移行作業には，移行用の戸籍データの作成，移記事項の項目化，パンチ入力，入力事項の確認等，様々な業者を介在して進めなければ実現できないことは事実であろう。

すなわち，戸籍に関するデータ等の一部もしくは全部が，作業を委託した市区町村が関知する範囲を超えて他の業者等に流れることは，そのデータ等の特殊性及び散逸を防止する観点から，細心の注意を払わなければならないと考える。

そこで，受託業者が，受託した業務の一部もしくは全部を他の業者に再委託する場合は，その再委託の範囲及び処理方法について，事前に市区町村の承認を得るなど，各作業の責任の所在を明確にすることが肝要である。ただし，市区町村の条例等によって再委託が禁止されている場合は，その条例に従うことは当然のことである。

(3) データの管理・保管に係る事項

受託業者は，業務を遂行するために必要なデータ等の保管体制，施設及び管理等について，内部規定を設定し，事前に市区町村の承認を得る等，データ保護・プライバシー保護に関して，十分な措置を講ずることが必要である。

具体的方策としては，次の諸点が考えられる。

ア) 受託業務の処理に当たっては，専用の処理室を設けるなどして，データ等の散逸を未然に防止する方策を検討すること。

イ) データ等の授受及び保管に当たっては，データリストを作成し，記録に残すこと。

ウ) 受託業務の処理に当たって作成されるチェックリスト，データ等についても，その保管には万全を期すること。

(4) データ等の授受・運搬に係る事項

市区町村と受託業者との間におけるデータ等の授受に当たっては，授受・運搬途中におけるデータ等の飛散及び紛失を防ぐため，それぞれ指定した職員が，内容及び数量等の確認を行う等，その管理，方法に十分な注意を払うことが必要である。

(5) 戸籍データ作成に係る事項

コンピュータ化のためには，現行の戸籍（簿）に記載されたデータをコンピュータの記録媒体に入力することが前提となるが，その入力用の戸籍データの作成については，遺漏，散逸がないよう留意する必要がある。戸籍データの作成方法には，マイクロフィルムによる場合，戸籍（簿）を複写機を用いてコピーする場合，光ディスクに記録する場合等，様々なものが考えられる。

そこで，入力用の戸籍データの作成に当たっては，その場所，方法等に関して事前に市区町村と協議して定め，データ等の散逸がないよう厳格に管理することが必要である。

(6) 受託業者の契約違反に伴う措置に関する事項

一連の移行作業においては，委託した市区町村と受託した業者との信頼関係が重要であり，信義則に反するような行為があってはならないことが前提となる。

そこで，受託業者が契約内容に違反した場合は，直ちに契約を解除することができること，委託した市区町村の損害又は業務の支障に対して，速やかに賠償又は修復の措置を講ずる等，移行作業の重要性を認識させるとともに，その責任の所在を明確にする必要がある。

(7) その他

戸籍事務のコンピュータ化に伴う移行作業に関しては，何ら問題なく完了することが原則であり，移行作業について少なからず問題が提起された場合は，社会的にも大きな問題に発展しかねないこと，及び今後のコンピュータ化の拡大を左右する問題となる点を十分認識する必要がある。そのため，次の点にも留意することが必要であると考える。

ア) 受託業者は，戸籍及びプライバシー保護の重要性を認識し，受託業務に係わる従事者に対して，必要な研修・教育を行う等，作業が厳格に行われるよう留意することが重要である。

イ) 受託業務に係る不明事項に関しては，市区町村と協議するとともに，市区町村が判断できない事項については，市区町村から必要に応じ監督法務局の指示を仰ぐ等，取扱いの統一を図る必要があり，今後，その具体的方法論を検討する必要があるものと考える。

第４　外字の取扱いについて

１　はじめに

現行の戸籍（簿）の記載事項は，手書きであるもの，タイプライターを使用したもの，戸籍の一部処理によりパソコン等のプリンターを使用したもの等，様々な記入方法により編製されている。

戸籍事務のコンピュータ化に伴って，戸籍の記載事項はコンピュータのデータベースとして管理されることとなり，当然に，戸籍に記載される文字（漢字）もコンピュータでの対応となる。しかし，戸籍に用いられる漢字は，通常の行政文書等と異なり，「氏」及び「名」が存在する関係から，正字とされている漢字についてはその全てを対応できるシステムが必要である。現在の戸籍（簿）には「氏」に用いる漢字についての制限がないことから，様々な漢字が存在する結果となり，移行作業及びコンピュータ稼働後の運用に大きな影響を及ぼす可能性がある。

現在のコンピューターシステムにおいては，ＪＩＳ規格に基づく第一水準及び第二水準程度の漢字については対応できるものの，全ての正字に対応できるものは開発されていない。

２　誤字・俗字の解消

平成２年１０月２０日付け法務省民二第5,２００号通達に基づき，婚姻，養子縁組，転籍等による新戸籍編製，他の戸籍への入籍又は戸籍の再製により，従前の戸籍に記載されている氏若しくは名を移記する場合，又は認知，後見開始等により戸籍の身分事項欄，父母欄等に新たに氏若しくは名を記載する場合は，当該氏又は名が従前戸籍，現在戸籍等において誤字又は俗字で記載されているとしても，これに対応する字種及び字体による正字で記載するものとされている。

戸籍事務のコンピュータ化に伴い，従前の戸籍（簿）の記載事項をコンピュータのデータベースに移記することとなるが，この場合も観念的には新戸籍編製と同様であることから，積極的に誤字・俗字を解消すべきものと考える。

ところで，前述の通達発出後は，市区町村においても通達の趣旨に則り事

務処理が行われているが，一部には，勝手に「氏」が変えられたとして当該人から苦情が寄せられるケースも発生している。戸籍事務のコンピュータ化に伴い，これらの処理が一律，広範囲にわたって実施されることから，大きな問題に発展する可能性も否定できない。

これらの問題を解決するためには，今以上に広く国民へ周知することが必要であると考えられ，具体的方法としては，通達の発出のみに留まらず，マスコミ等を利用した広報等を検討すべきであり，市区町村としても地域住民の理解を得られるよう周知の方法等を検討することが重要であると考える。

また，前述の通達は，コンピュータのデータベースへの移行の方法として，改製方式とすることを明言はしていないため，この趣旨をより明らかにするため，新たに通達を発出することも必要であると考える。

3　外字の対応方法

戸籍における「氏」及び「名」に用いられる漢字は，国民の感情論的な問題も付加され，それが正字である以上，現行の戸籍（簿）に記載されている漢字どおりに移記されることが原則であり，コンピュータにより対応できないことだけの理由をもって，他の文字あるいはひらがな等に変更することは許されないであろう。また，正字である漢字については，できるかぎりこれを忠実に表現することが戸籍制度の基本であるとして運用されてきており，これに対応できるシステムとすることが必要であると考える。

そこで，システムを開発するメーカーにおいては，この趣旨を十分理解し，何らかの方法で漢字の対応が可能となるよう期待するものである。

なお，本部会に参加したメーカーについて，その対応方法を確認したが，その方法論は異なるものの，ほぼ現行の戸籍（簿）に使用されている漢字については，対応できるとの確認がなされた。しかし，具体的な各メーカーの方法は，機密事項となるため，この報告書に提示することは省略する。

(1)　外字の対応ができない場合の取扱

移行作業に係る部分については，その期間がある程度長期となることから，期間内に外字として登録し，管理することによって，戸籍データベースへの入力は可能であると考える。

問題となるのは，稼働後に非コンピュータ化庁から転籍あるいは婚姻等

によりコンピュータ入力が必要となった場合，対応する漢字が登録されていないと処理ができないこととなる点にある。一端データベース化された戸籍については，漢字での対応ができないことをもってデータベース化されない戸籍（事故簿）とすることは，極力避けられるべきである。

そこで，このような事案の場合は，届出を受理した後，外字の作成のため，戸籍を編製するためには若干の期間を要することを届出人に説明し理解を得るとともに，受理証明の請求があった場合は，手書きにより対応するより方法がないものと思われる。

(2) 外字の管理及び統一化

戸籍事務処理のためのコンピュータは，市区町村単位で導入され，その機種も異なることから，前述のような市区町村間での異動があった場合は，ひとつの市区町村で作成・登録した外字を他の市区町村で活用することができない状況にある。

外字を作成しシステムに登録するためには，その期間と経費を必要とし，これを各市区町村ごとに同じ文字を作成することは，非常に非効率的であると思われる。本来であるならば，ひとつの登録パターンが作成され，それを画一的に使用できるシステムが望まれるが，現実的には不可能であろう。

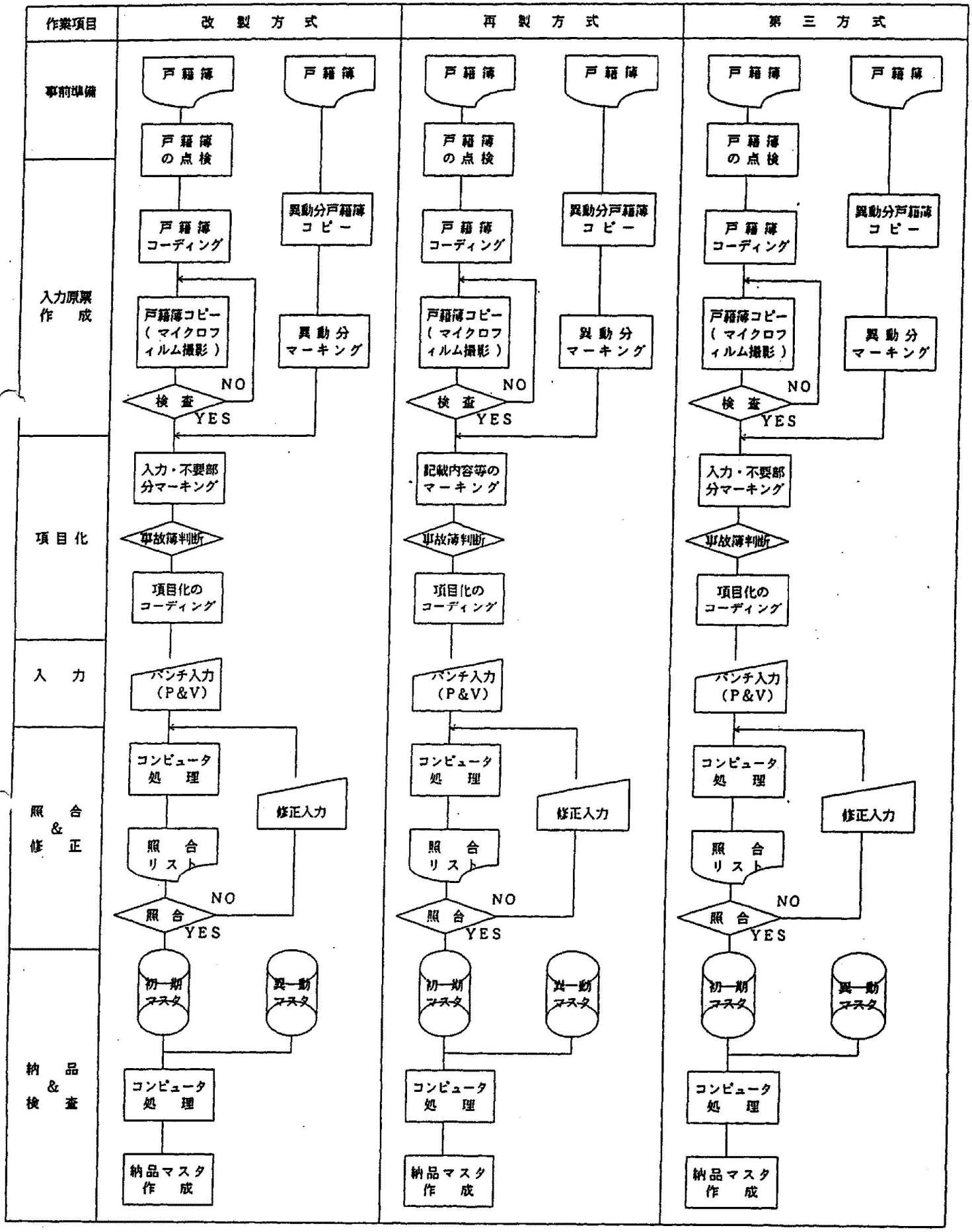
今後，外字の作成・登録が容易であり，その検索及び管理が可能なシステムの開発が望まれる。

各方式の比較表

項目	比較項目	改製方式	再製方式	第三方式
基本的内容	法律上の定義	戸籍の様式が法律または命令に基づき改められた場合に，従前の様式を新しい様式に改めるための手続。	戸籍の全部又は一部が，滅失したとき，又は滅失の虞れがある場合に戸籍を元の状態に戻すための手続。	戸籍のコンピュータ化に伴い，新たな方式として提案された手続。 ※ 現行法上の根拠はない。
	移記事項の取扱	現に効力を有する事項のみ項目化した上で移記する（戸籍法施行規則第37条ただし書き及び同第39条1項準用）。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。	従前戸籍の記載事項をそのまま項目化した上で移記する。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。	除籍者を除き在籍者の全ての身分事項を項目化した上で移記する。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。 改製方式と再製方式の中間的方式である。
	効力の発生時期	各戸籍につき，各市区町村が実際に改製した時（一戸籍ごとの処理）。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を改製日とすることが妥当である。	監督法務局が調査完了した時（大13.5.6民7383号回答）。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を再製日とすることが妥当である。	過去に実施した経緯がない。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を効力発生日とすることが妥当である。
移記前の原本の取扱	基本的な考え方	除籍	戸・除籍として効力はない。	除籍
	保存期間	当該年度の翌年から80年又は50年。	再製の翌年から10年（昭39.2.27民381号通達）	当該年度の翌年から80年又は50年。
	謄抄本の交付	改製原戸籍として交付する。 ※ 移記事項が限定されることから，証明発行件数は増加すると思われるが，改製原戸籍の検索はコンピュータ化される。	戸籍原本としての効力を失っているため，謄抄本の交付には応じられない。特に必要のある場合には，一般行政証明として交付（昭37.11.2 民3175号回答）。 ※ 項目化した後に移記することから，交付請求が全くないとは考えられない。	改製原戸籍として交付する。 ※ 移記事項が一部限定されることから，証明発行件数は若干増加すると思われるが，改製原戸籍の検索はコンピュータ化される。
	戸籍事項欄への記載等	戸籍事項欄に改製除籍の旨を記載する。なお，朱線交差又は除籍印をする必要はない（昭32.6.1民1002号通達）。 「改製原戸籍」と押印する。	上部欄外（右側）に再製除籍の旨を記載する。なお，朱線交差又は除籍印をする必要はない。 「再製原戸籍」と押印する。	取扱未定 ※ 改製原戸籍と同様の取扱になると思われる。
移記後の原本の取扱	基本的な考え方	戸籍	戸籍	戸籍
	戸籍事項欄への記載等	戸籍事項欄に改製による編製の旨を記載する。なお，各人の身分事項欄には，改製による入籍事由は記載しない。	戸籍事項欄に再製による編製の旨を記載する。なお，各人の身分事項欄には，再製による入籍事由は記載しない。	取扱未定 ※ 改製原戸籍と同様の取扱になると思われる。
	入力の方法	従前戸籍に記載されている事項が，現行の記載例に対応していない場合は現行記載例に引き直し，また，追完・訂正事項については，身分事項欄等に反映させ，項目化した後入力する。 ※ 最も理路整然とした戸籍となる。	原則として従前戸籍の記載事項全てを項目化した後入力するが，現行の記載例に対応していない場合は現行記載に引き直す。 ※ 対応しない記載例が増加する可能性がある。	従前の戸籍に記載された事項のうち，除籍者以外の事項について，原則として全ての事項を項目化した後入力するが，現行記載例に対応しない場合は現行記載例に引き直す。 ※ 追完・訂正事項については改製方式と，また，項目化については再製方式と同様の問題点が存在する。 ※ 一例として，離婚の事実がある場合，身分事項欄にはその事項が残るが，相手方は同一戸籍に記載されていない等，戸籍の合理性を欠くこととなる。
システム上の問題	コンピュータの負荷	入力データ量が減少することから，負荷が少ない。	ほとんど入力データ量が減少しないことから，負荷が大きい。	入力データ量は，改製方式と再製方式の中間に位置する。
	審査機能の活用	待婚期間等の審査ロジックが活用できない。 ※ 戸籍凍結後の異動データを上書きする方法によれば，審査ロジックが活用できるため，その方法論を検討する必要がある。	待婚期間等の審査ロジックが活用できる。	待婚期間等の審査ロジックが活用できる。 ※ 移行期間が6月以上となる場合は，移行期間中に待婚期間が満了するため，移記の必要性に欠ける。
住民関係	住民感情	最新の身分事項のみであるため，トラブルは少ない。	全身分事項が記載されているため，離婚歴が残る等の問題が解消されない。	在籍者の全身分事項が記載されているため，離婚歴が残る等の問題が解消されない。
	証明書の手数料負担	改製原戸籍の証明書が必要となる場合が増加すると考えられることから，手数料負担が増加する。	再製原戸籍の証明書は，原則発行されないことから，手数料負担は少ない。 ※ 入力事項が項目化されることから，どの程度住民の需要が減少するか疑問がある。	改製原戸籍の証明書が必要となる場合が増加すると考えられることから，手数料負担が増加する。

項目	比較項目	改製方式	再製方式	第三方式
データ作成	データ作成のコスト	データ量は減少するが，入力不要部分等の作業コストが増加する。	データ量が大きく，パンチ入力等のコストが増加する。	データ量は改製方式より大きく，再製方式より減少し，総合的なコストは安価となる。
	データ作成の正確性	身分事項欄に記載された事項について，入力不要部分をマーキングする必要があり，専門的な知識を求められる。	原則として古い戸籍記載事項を現行の記載事項に項目化した上で移記する必要があり，対応できない記載事項の発生及びデータ量が減少しないこと等から，正確性は落ちる。	身分事項欄に記載された事項について，入力不要部分をマーキングする必要はないが，再製方式と同様に現行の記載例に対応できない記載事項の発生が考えられる。
	照合の負荷	入力不要部分の確認が必要となるが，データ量が減少することから，総合的な負荷は減少する。	複雑な記載例の確認及びデータ量が大きいことから，負荷は大きい。	入力不要部分の確認が必要ないため，改製方式より照合の負荷は軽減される。
	異動処理	異動データについても，入力不要部分の判断が必要となるため，専門的な知識が必要となる。 ※　追加入力が認められた場合は，この問題は解決する。	入力不要部分の判断は必要としない。	入力不要部分の判断は必要としない。

作業方式別作業工程図


作業項目
改製方式
再製方式
第三方式
事前準備
入力原票作成
項目化
入力
照合&修正
納品&検査
戸籍簿
戸籍簿の点検
戸籍簿コーディング
戸籍簿コピー（マイクロフィルム撮影）
検査
NO
YES
異動分戸籍簿コピー
異動分マーキング
入力・不要部分マーキング
記載内容等のマーキング
事故簿判断
項目化のコーディング
パンチ入力（P&V）
コンピュータ処理
修正入力
照合リスト
照合
初一期マスタ
異動マスタ
納品マスタ作成

別紙(3)

移行作業工数比較表

対象戸籍　10,000戸籍

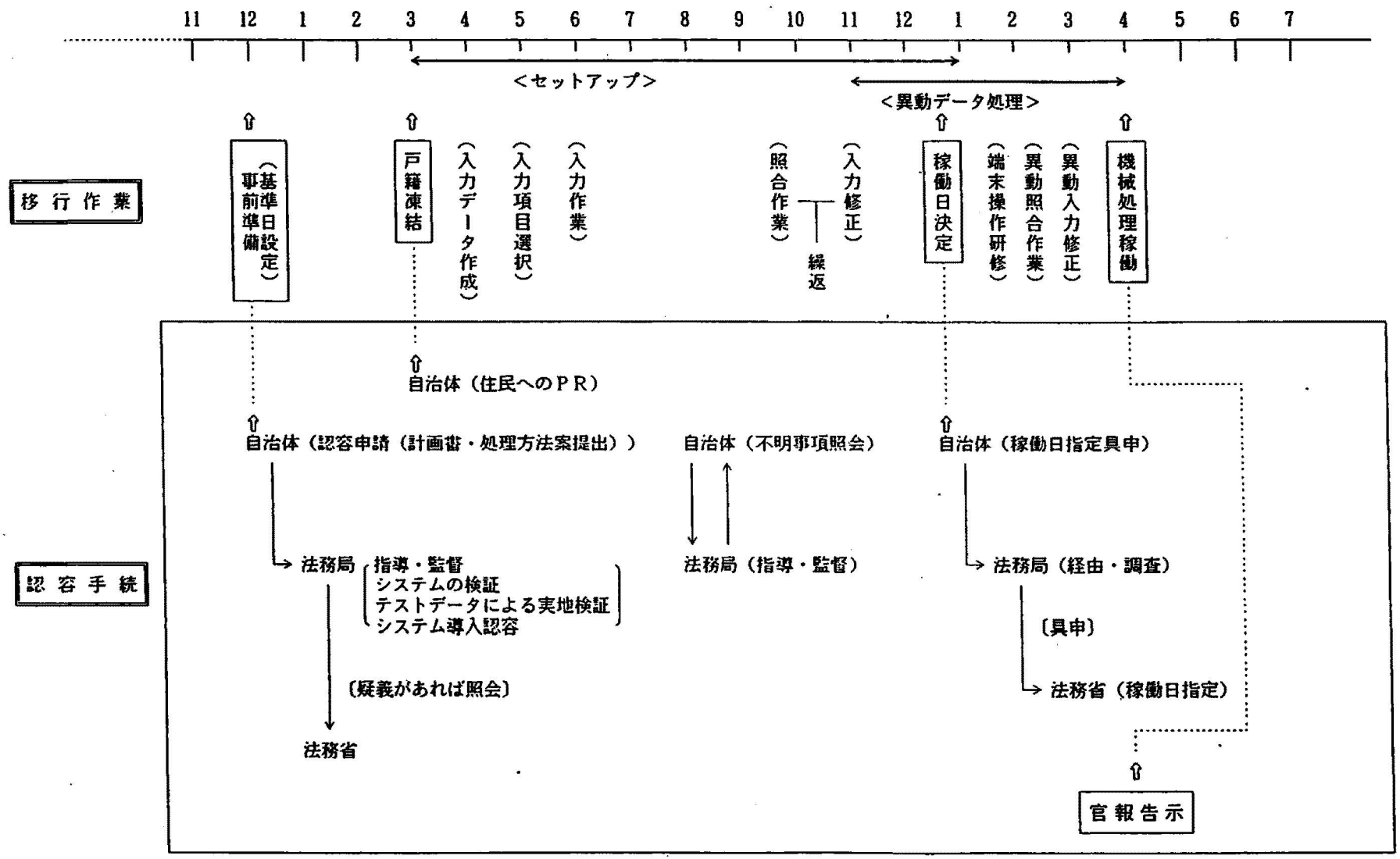
（単位：人月）

分類	作業項目	A社			B社			C社			D社			E社		
		再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三
事前準備	事前作業 入力用データ複写 台帳コード付け	※ 統一処理とし，比較検討項目から除外した。														
マーキング	資料事前審査等	3.7	3.0	3.1	1.6	1.4	1.5	2.0	0.0	5.0	2.4	2.4	2.4			
	入力不要部分ﾏｰｷﾝｸﾞ	0.0	4.3	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	6.6	6.0	1.4	5.0	4.0
	点検・確認	1.0	3.0	2.0				1.0	3.0	2.0				1.0	4.0	3.3
	（小計）	4.7	10.3	5.1	1.6	2.4	1.5	3.0	10.0	7.0	2.4	9.0	8.4	2.4	9.9	8.2
項目化	身分事項等コード化	25.0	19.0	21.0	4.8	4.3	4.3									
	項目化のマーキング				5.1	4.6	5.0	10.5	7.0	8.0	10.0	7.0	7.7	14.0	10.0	12.0
	事故簿判断・確認	3.7	2.8	3.1				3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.0			
	（小計）	28.7	21.8	24.1	9.9	8.0	9.3	13.5	10.0	11.0	13.5	10.0	10.7	14.0	10.0	12.0
入力	入力管理	1.0	1.0	1.0												
	入力作業	12.7	10.8	11.8	94.8	85.2	92.8	35.0	20.0	22.0	34.7	20.5	22.5	34.6	20.8	22.6
	電算処理・外字索引等	1.0	1.0	1.0				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0
	（小計）	14.7	12.8	13.8	94.8	85.2	92.8	37.0	22.0	24.0	36.7	22.5	24.5	37.6	23.8	25.6
照合	照合リスト作成										0.5	0.5	0.5			
	第1回照合	10.5	8.0	8.9	18.5	16.6	18.1	10.0	9.0	9.5	16.0	12.0	13.5	8.0	7.0	7.5
	第2回照合	1.0	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	3.0	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	8.0	7.0	7.5
	第3回照合	0.1	0.1	0.1	21.4	10.2	20.9	1.0	1.0	1.0	23.3	17.5	17.5			
	第4回照合				0.3	0.3	0.3	4.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0			
	（小計）	11.6	8.9	9.9	40.5	36.4	39.6	18.0	15.0	16.0	41.8	32.0	33.5	16.0	14.0	15.0
修正	修正箇所の入力	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	1.8	1.0	1.1	1.8	1.0	1.2	2.0	1.4	1.6
	（小計）	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	1.8	1.0	1.1	1.8	1.0	1.2	2.0	1.4	1.6
検査	原票との照合確認	0.7	0.7	0.7				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	入力不要部分検査等				6.4	6.3	6.2				0.3	0.3	0.3			
	（小計）	0.7	0.7	0.7	6.4	6.3	6.2	2.0	2.0	2.0	2.3	2.3	2.3	2.0	2.0	2.0
その他	運用管理	5.0	5.0	5.0												
	戸籍の点検										3.5	3.5	3.5			
	（小計）	5.0	5.0	5.0							3.5	3.5	3.5			
合計	自治体作業分工数	0.0	0.0	0.0	28.1	25.8	27.4	0.0	0.0	0.0	29.8	24.0	24.0	8.0	7.0	7.5
	メーカー作業分工数	65.6	59.7	58.8	125.9	114.2	122.8	75.3	60.0	61.1	72.2	56.3	60.1	66.0	54.1	56.9
	全作業工数合計	65.6	59.7	58.8	154.0	140.0	150.2	75.3	60.0	61.1	102.0	80.3	84.1	74.0	61.1	64.4

▒▒▒▒ の部分は，自治体において処理を行う。

別 紙 (4)

システム認容申請手順



(財)民事法務協会　殿

附票部会

検討結果報告書

平成５年３月３１日

戸籍コンピュータ化調査研究会
―― 附票部会 ――

―― 目　次 ――

はじめに ―――― 1

1．戸籍附票を電算化する必要性等
(1) 必要性 ―――― 2
(2) 開発方針 ―――― 3

2．現行制度について
(1) 戸籍制度と住民基本台帳制度 ―――― 4
(2) 戸籍附票の運用形態 ―――― 4
(3) 改製の方法 ―――― 6
戸籍附票事務の流れ図（資料） ―――― 7

3．〔附票システム〕の概要
(1) 〔附票システム〕の範囲 ―――― 24
(2) 他システムとの関係 ―――― 25

4．〔附票システム〕のシステム化案
(1) 異動処理の方法 ―――― 28
(2) データ保護と安全対策 ―――― 30
〔附票システム〕のドキュメント（資料） ―――― 36
システム化後の改製方式（資料） ―――― 62

5．まとめ
(1) 検討項目内容 ―――― 64

6．参考資料 ―――― 67
画面展開図（資料） ―――― 68
帳票仕様（資料） ―――― 76

はじめに

戸籍事務のコンピュータ化については，戸籍事務に直接携わってる市区町村からもかなりの要望があり，また，大量情報の処理にコンピュータを利用することは，時代のすう勢でもあることから，昭和６０年度から戸籍事務コンピュータ化調査研究会（以下「研究会」という）を組織し，戸籍事務をコンピュータによって処理することとした場合の種々の問題点等についての調査研究が進められてきているところである。

本研究の初年度である昭和６０年度の調査研究においては，「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合の問題点等」について調査研究がされ，コンピュータ化にあたっての基本的な問題の指示がされた。そして，昭和６１年度以降は，これらの指示事項について順次調査研究が行われ，昭和６１年度は，「電子情報処理組織に入出力する漢字の取扱い等について」，同６２年度は，「戸籍関係諸帳簿の様式及び記入方法等について」，同６３年度は，「現行戸籍簿の移行及びプライバシー・データ保護について」の各テーマについて調査研究が行われた。さらに，平成元年度には，コンピュータシステムを採用する場合のすべての事項を対象とした，「戸籍事務をコンピュータにより処理することとした場合のシステムの設計，製造及び運用について」の調査研究が行われた。そして，この５年間の調査研究によって，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理することは技術的に可能であり，しかも，現行の可視台帳を前提とする事務処理方法におけるよりは，事務の迅速化・正確化を図ることができるとの結論が得られた。この成果を踏まえて，平成２年度からは，戸籍事務のコンピュータ化の実現をめざし，本格的な調査研究を進めることとし，具体的なプログラム設計のための仕様・条件を明らかにした「基準書」を作成するため，市区町村における戸籍事務処理の実態調査を行い，現行の事務処理の分析，コンピュータ処理する事務の範囲，コンピュータ化した場合の事務処理手続の流れの概略，画面のレイアウト等について調査研究を行ってきている。上記の一連の研究過程において，戸籍事務をコンピュータで処理することとした場合の処理の流れのなかで，戸籍事務に関連する戸籍の附票，住民票，人口動態調査票等の事務処理の効率化をも考慮して，これらの事務処理についても検討する必要があるとされた。

これらのうち，附票の事務処理に関しては，「戸籍附票部会」を設け，戸籍と附票事務の現行業務の分析と相互の関連について及び現在研究中の戸籍事務のコンピュータシステムとの連携を図るとした場合にはどの様な方法が考えられるのか，また，そのための問題点はどこにあるのか，さらに今後の課題としてどのようなものが残されているのか，について検討をすることとされたものである。

今回，これらの検討の結果を取りまとめたので，「附票部会検討結果報告書」として提出する。

1．戸籍附票を電算化する必要性等

(1) 必要性

近年，コンピュータによる高度情報処理技術の発達は目覚ましいものがあり，現代社会のあらゆる分野に導入されている状況にある。こうした動きは全国の各地方公共団体の事務処理にも大きな影響を及ぼし，事務改革の一つの手段とするとともに，行政サービスの向上を図ることを目的として高度情報処理技術の導入が進められており，平成４年４月１日現在においては，全市区町村（3,259団体）の９９．０％にあたる3,227団体において，何らかの業務にコンピュータが利用されている（自治省調べ）。

こうした状況にあって，住民基本台帳事務については，昭和５９年度に自治省において「住民記録に係るプライバシーの保護等に関する研究委員会」が設定され，住民記録のコンピュータ化について，「現行の住民基本台帳事務の処理方法の中には，近年の新しい情報処理技術の活用を阻害している面も見受けられるため，個人情報の適正な保護・管理の方策と併せて，新しい情報処理技術を活用して住民の福祉の増進や行政事務の合理化を図る方向で，事務処理方法の再検討を行う必要がある。例えば，個人情報を記録した磁気ファイル等を住民基本台帳として認める等が挙げられる。」との研究委員会報告を得た。

この研究委員会報告を受けて，昭和６０年の住民基本台帳法の一部を改正する法律により，市町村長は住民票を磁気テープ（これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができるものを含む。）で調製することができるものとされた。

これは，第一に，改正前の法ではコンピュータ処理を行う場合の明文の規定がなかったため，たとえ磁気テープをもって住民票を調製するとしても，一方で必ず可視台帳を備え付けることとされていたものを，磁気テープを住民票の原本とみなし，可視台帳に代えることを可能とし，市町村の事務処理の簡素化，効率化等を図ったものである。

また，第二に，磁気テープによる住民票の調製方法，磁気テープの保護・管理の方法等，住民記録をコンピュータ処理する場合の基準を定めることにより，事務処理の統一化を図るとともに，コンピュータ処理の場合の住民記録の適正な管理を図ろうとしたものである。これにより，住民票を磁気テープをもって調製し，コンピュータ，端末機，電気通信関係装置，電気通信回線，プログラム等の全部又は一部により構成され，住民基本台帳に関する記録を管理し，住民基本台帳に関する事務を処理する住民記録システムが急速に普及することとなった。

住民記録システムの導入状況は，平成４年４月１日現在で，全市区町村の８５．２％，人口割合にすれば９６．６％にのぼっている（自治省調べ）。

しかし，上記法改正においては，戸籍事務がコンピュータ化されていないことから，戸籍の附票の事務については，コンピュータ化が見送られた。

一方，戸籍事務については，事務に直接携わっている市区町村から，戸籍事務のコンピュータ化の早期実現を要望されているところである。

このため，法務省において昭和６０年度から戸籍事務コンピュータ化調査研究会を組織し，昭和６０年度においては，戸籍事務を電子情報処理組織により処理すること

とした場合の問題点等について調査研究がなされ，同６１年度から同６３年度まで，これらの指摘事項について順次研究が進められた。

これらの調査研究においては，いずれも戸籍事務をコンピュータ化することは，一応可能であるとしている。

しかし，これらの調査研究は，戸籍事務の流れのうち，主要な事項を指摘して研究が行われたものである。このため，戸籍事務のコンピュータ化の実現に向けては，さらに問題点を洗い出し，これを詳細に検討する必要があるため，平成元年度以降引き続き調査研究が進められているところである。

今後，この調査研究結果を踏まえ，市町村長は戸籍を磁気媒体を利用し調製することができる旨の戸籍法等の所要の改正を待ち，平成７年中の実施を目指している。

以上のように，法的に住民基本台帳事務のコンピュータ化が認められ，また，戸籍事務のコンピュータ化を検討している現状を鑑みれば，本籍地で作成される戸籍と住所地で調製される住民票との間を連絡・媒介するための帳票である戸籍の附票の事務についても，磁気テープを戸籍の附票の原本とみなし可視台帳に代えることを可能とし，市町村の事務処理の簡素化，効率化等を図るとともに，住民記録の適正な管理を図るため，コンピュータ化を進める必要がある。

(2) 開発方針

戸籍の附票事務のコンピュータ化を進めるに当たっては，事務処理の簡素化，効率化及び住民サービスの面から，市町村の事務処理の統一化を図るための一定の基準を設ける必要がある。

この基準の設定に当たっては，現在，事務がどのようになされ，他の市町村と，あるいは他の行政事務とどのようにかかわっているかを整理しておく必要がある。

その上で，下記の事項について一定の基準を設定することとする。

ｱ) コンピュータ化するシステムの範囲，

ｲ) コンピュータ化した場合の戸籍システム，住民記録システムとのリンクの方法，範囲，

ｳ) 戸籍の附票の異動処理の方法

ｴ) 磁気テープの管理方法　等

2．現行制度について

(1) 戸籍制度と住民基本台帳制度

戸籍制度は，本籍地において人の親族的身分関係を登録・公証する制度であり，住民基本台帳制度は，住所地において人の居住関係を公証することを任務とする制度である。両制度とも同一人を公簿に記録し，これを基に公証するという点では同じであり，また，人を統一的に把握するためには身分関係と居住関係の両面から総合的にみることが必要である。したがって，人の出生や死亡の事実，又はその人が同一人であることを確定するための基本的事項，すなわち氏名，出生の年月日，性別等について戸籍の記載と住民票の記載とに矛盾があるとすれば，同一人物の把握に支障が生じ，市町村の行う公証制度や社会生活に混乱をもたらすことは言うまでもない。

他方，市町村長は住民基本台帳法に基づき，その市町村の区域内に本籍を有するものについて，その戸籍を単位として，戸籍の附票を作成しなければならない。附票には，戸籍の表示（本籍・筆頭者），その戸籍に在籍している者の氏名，住所，住所を定めた年月日が記載されている（住民基本台帳法１６条，１７条）。戸籍の届出があるつど，あるいは住所の変更に関する届出（転入届，転居届等）があるつど，戸籍の届出地から住所地へ，住所地から本籍地へ通知がなされ，住民票や戸籍の附票に記載がなされる（同法１８条，１９条，同法施行令１２条）。

すなわち，戸籍と住民票を相互に関連させ，それぞれの記載の公正性を保つための媒介物の役割を果たすものが戸籍の附票である。

(2) 戸籍附票事務の運用形態

7) 戸籍附票事務の運用形態

戸籍及び住民票の異動が起こったときに戸籍附票の処理が発生する。附票事務の運用形態としては次の３つが考えられる。

① 戸籍係（戸籍担当職員）が附票事務を処理する

② 住基係（住基担当職員）が附票事務を処理する

③ 附票係（附票担当職員）が附票事務だけを処理する

上記３形態の中では①の形態を採用している市区町村が殆どであると思われる。これは，附票の様式が戸籍と類似していること，戸籍の異動において附票の作成，消除が行われること等の理由が挙げられる。またこの場合に，附票は戸籍と一緒に綴られて管理されるのが一般的である。

②，③の形態で附票事務を運用している市区町村は稀であろうが，近年住民記録システムを導入している自治体において附票事務の電算化がなされた場合に，①から②，③の運用形態に移行するところが増えている。これは附票を磁気媒体で管理している（原票として可視台帳が必要），住民記録システムとデータ連携を図るため住基担当者が処理した方が効率的であること等の理由による。ただし附票を電算化している市区町村でも戸籍の一部処理システムを導入しているところは①で運用している。

ｲ) 附票事務

附票の事務は異動事務，証明事務，統計事務の３つに大別される。各事務で行われる主な処理を以下に示す。

① 異動事務

・戸籍の異動による附票の作成
・戸籍の異動による附票の消除及び住基法19-3通知の作成
・住民票の異動による附票の修正

② 証明事務

・附票の証明書発行（全部，一部）
・附票除票の証明書発行（全部．一部）
・改製原附票の証明書発行（全部，一部）

③ 統計事務

・附票事務に関する統計の取得

ｳ) 各処理形態における事務の流れ図

各処理形態における事務の流れ図を別紙に示すが，あくまでも一般的な流れを示しただけでこの流れで全市区町村が処理しているわけではない（戸籍，住基，附票とも電算化の有無は考えていない）。戸籍，住基独自の処理については附票に係わるもの以外は省略した。附票の処理は今回示したもの以外にもあるが，代表的な処理をとりあえず示した。また，まとめられるところはなるべくまとめて流れ図に記入した。ｱ)で示したように，附票を取り扱う係が異なることにより処理の流れも異なるが，大きくは書類の流れと担当する職員が異なる程度なので，各係別での流れ図の作成は省略した（相違点は流れ図から読み取っていただきたい）。

以上の点を踏まえ今回示す流れ図は以下のものである。

Ⅰ 異動処理

Ⅰ－１ 新しい戸籍を編製することによる附票の作成
Ⅰ－１－１ 同一本籍内で異動する場合
Ⅰ－１－２ 他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅰ－１－３ 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅰ－１－４ 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅰ－２ 既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載
Ⅰ－２－１ 同一本籍内で異動する場合
Ⅰ－２－２ 他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅰ－２－３ 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅰ－２－４ 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅰ－３ 戸籍の記載を変更したことによる附票の修正（氏名変更，管内転籍等）
Ⅰ－４ 戸籍から除かれたことによる附票の一部消除（離縁，離婚等）
Ⅰ－５ 戸籍から除かれたことによる附票の全部消除①（管外転籍）

Ⅰ－6　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除②（管外転籍以外：死亡，復氏等）

Ⅰ－7　住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正

Ⅰ－8　Ⅰ－7で附票が改製される場合

Ⅰ－9　住民基本台帳法の通知による附票の修正（法19条1項，法19条3項）

Ⅰ－10　Ⅰ－9で附票が改製される場合

Ⅱ　証明処理

Ⅱ－1　戸籍附票の証明（除票，改製原附票の証明も含む）

(3)　改製の方法

附票の改製については，住民基本台帳法施行令第21条で住民票の改製（同施行令第16条）に準ずることとなっており，市町村長が認める場合に改製できると規定されている。市町村長が認める場合とは，一般的には

①附票の記載欄（住所欄及び住所を定めた日欄）に余白がない場合

②附票の汚損，き損が著しい場合

が考えられる。①，②ともこのような状態になっているものは，書き換えない限り附票としての役割を果たしているとはいえないので改製をするのは当然のことである。

上記①に関連してシステム化後の記載欄は1欄で十分ではないかとの意見が出された。この理由として，

・住所の履歴を持つことを法律では定めていない

・附票の記載事項は現行の情報だけでよいと判断できる（住民基本台帳法第17条）

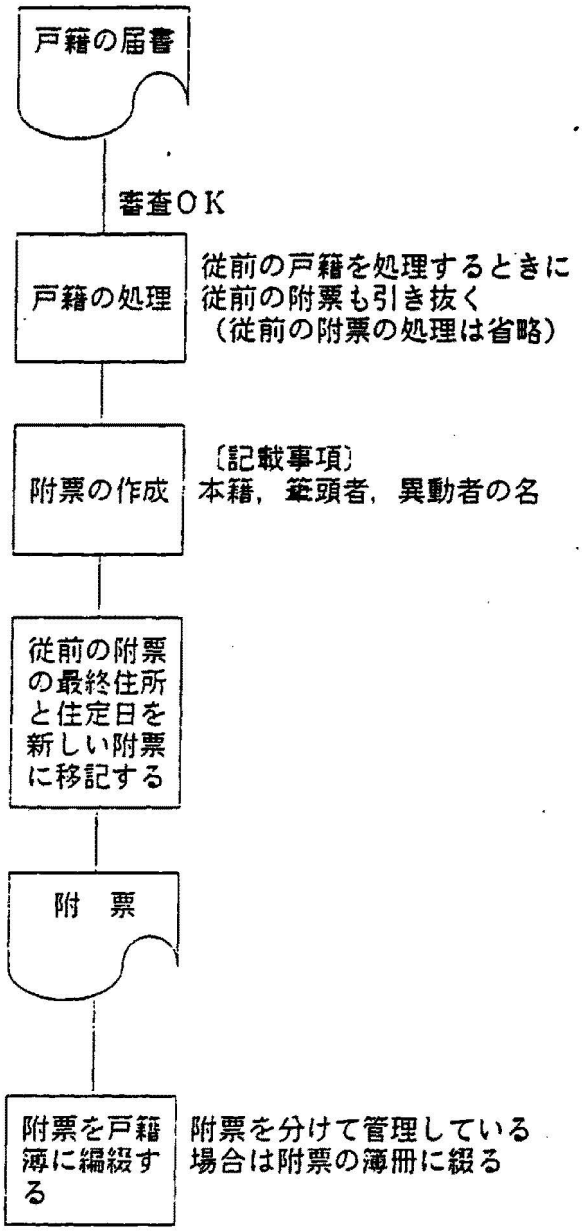
・従前の情報の証明も法律で定められているのではなく，行政サービスの一環である

が挙げられた（現行の運用形態は，住民基本台帳事務処理要領に掲げられている戸籍附票の参考様式（記載欄が5欄）がもとになっているためと考えられる）。

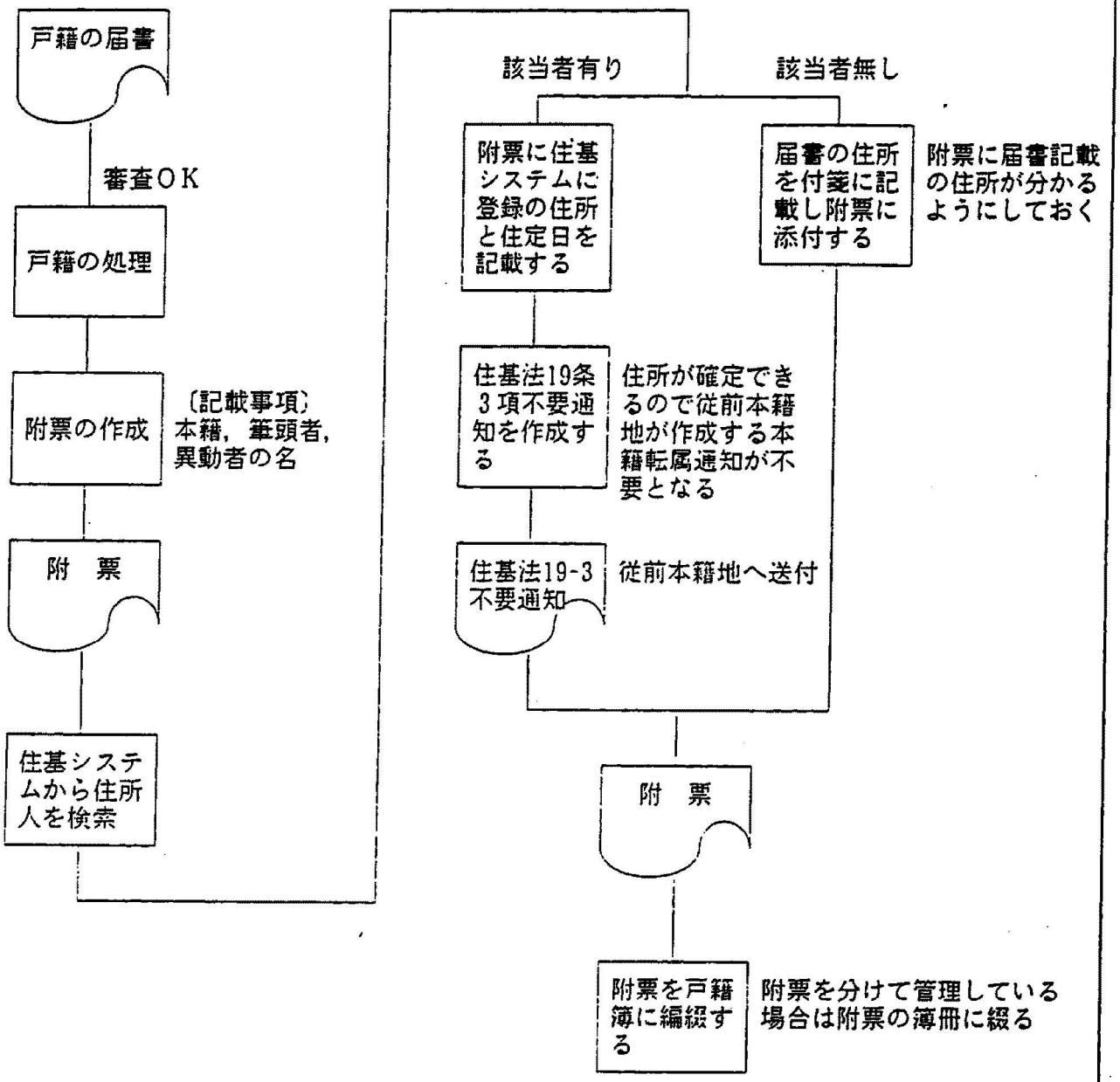
これに対し，実際に住所履歴を必要としている事務が存在すること（登記，車検，国外転入等），住民の要求が依然としてあること等を考えれば，システム化になったからといって現在の情報のみの証明でよいとするのは住民サービスの低下につながるのではないかとの意見が出された。

本報告書では，とりあえず現行と同じ取り扱いができるようなシステム提案を行うこととしている。

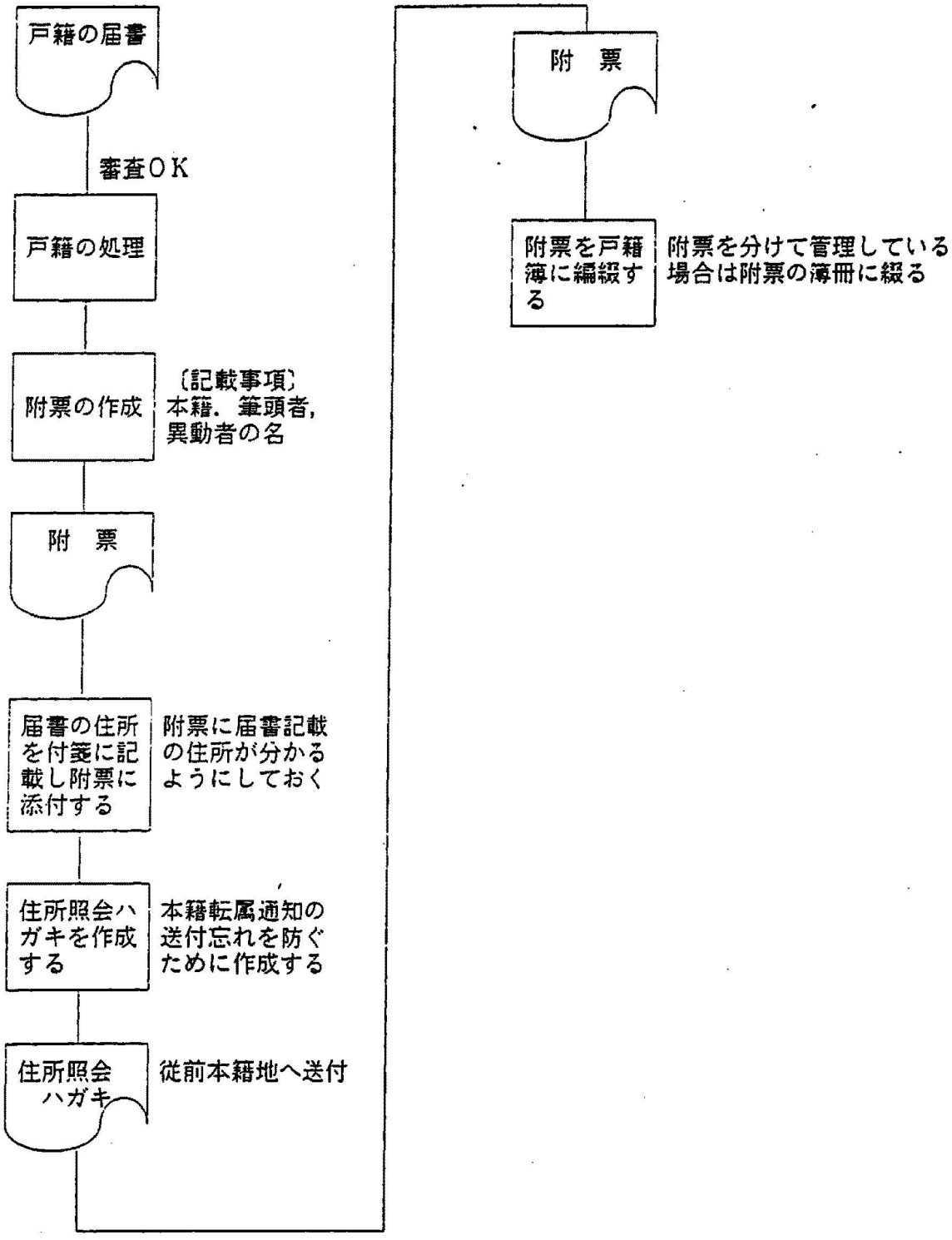
2．(2) I－1－1	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合 ――	頁　数 1／1



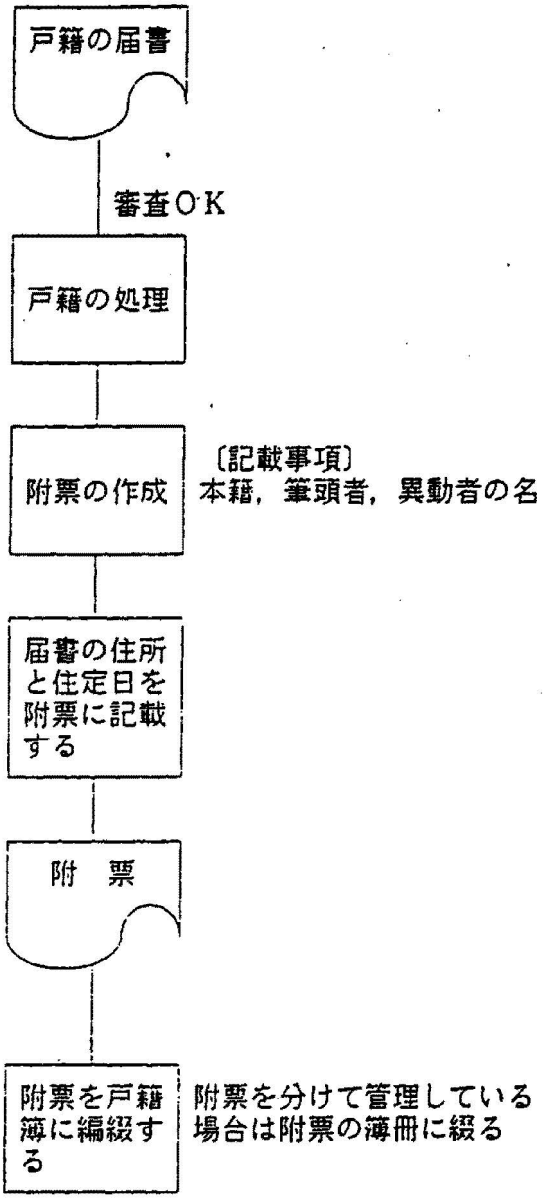
2．(2) I－1－2	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



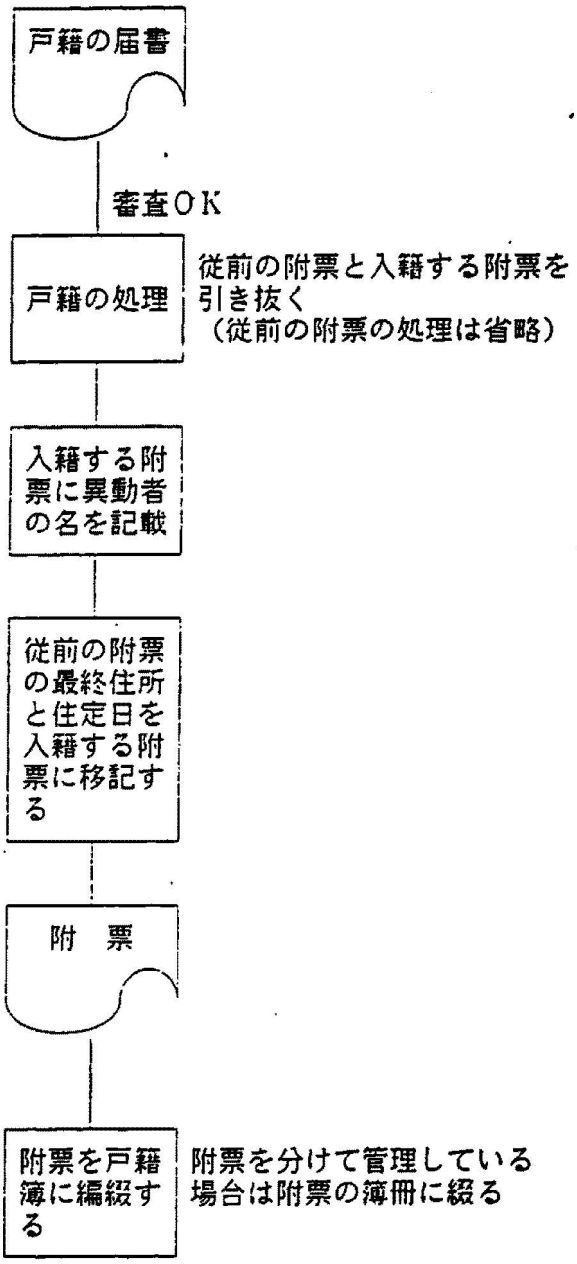
2．(2) I－1－3	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



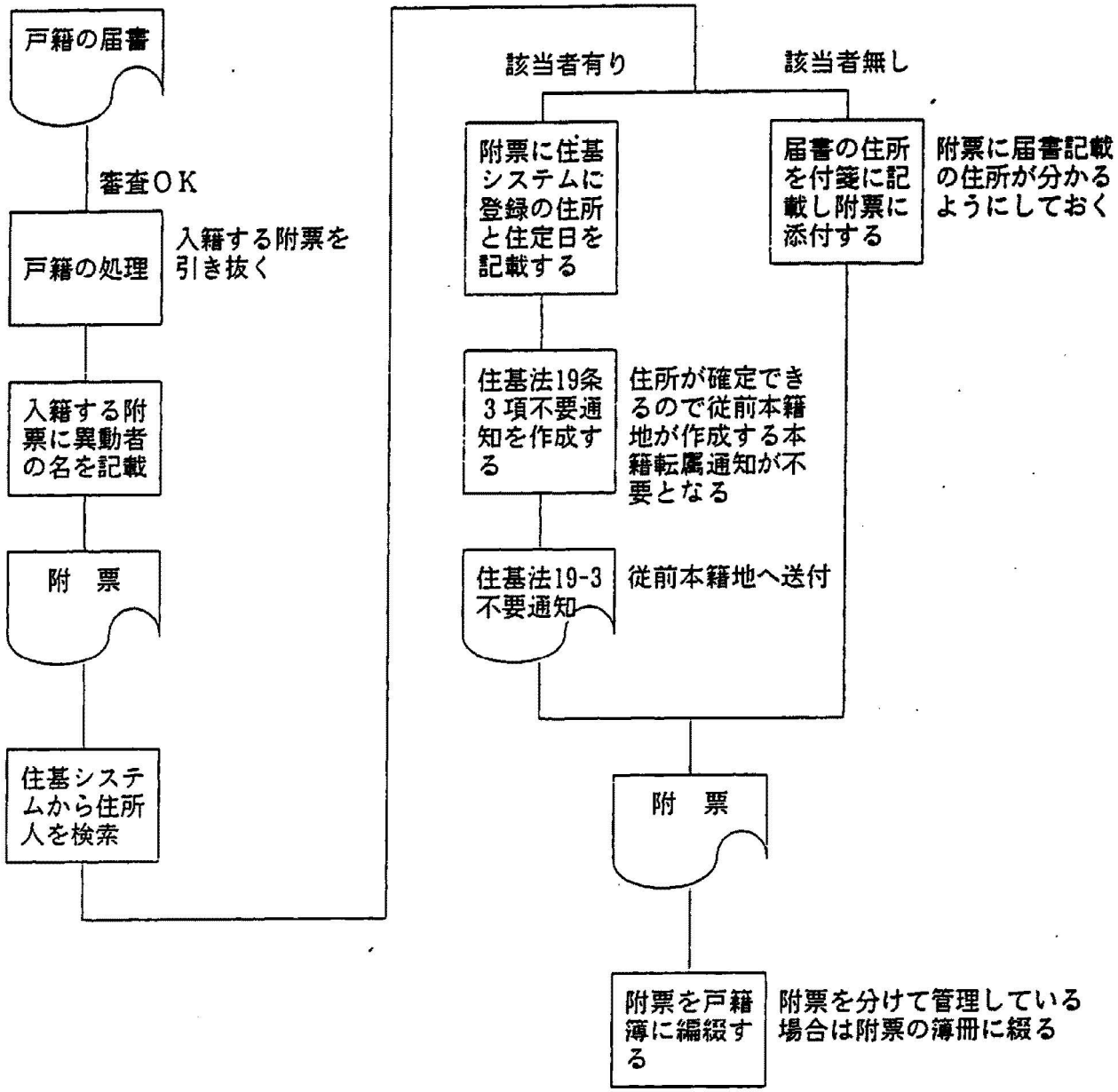
2．(2) I－1－4	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



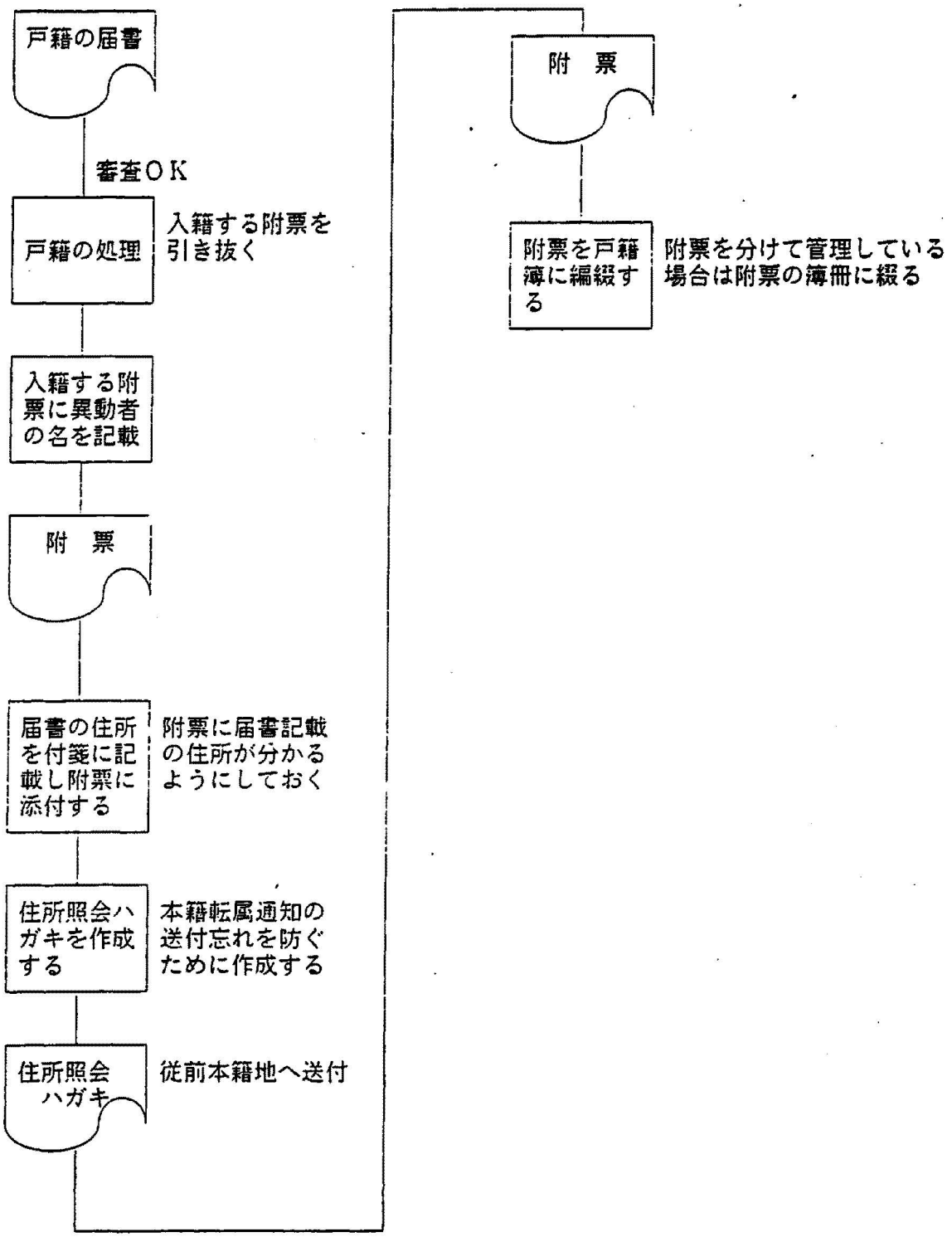
2．(2) I－2－1	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合 ――	頁　数 1／1



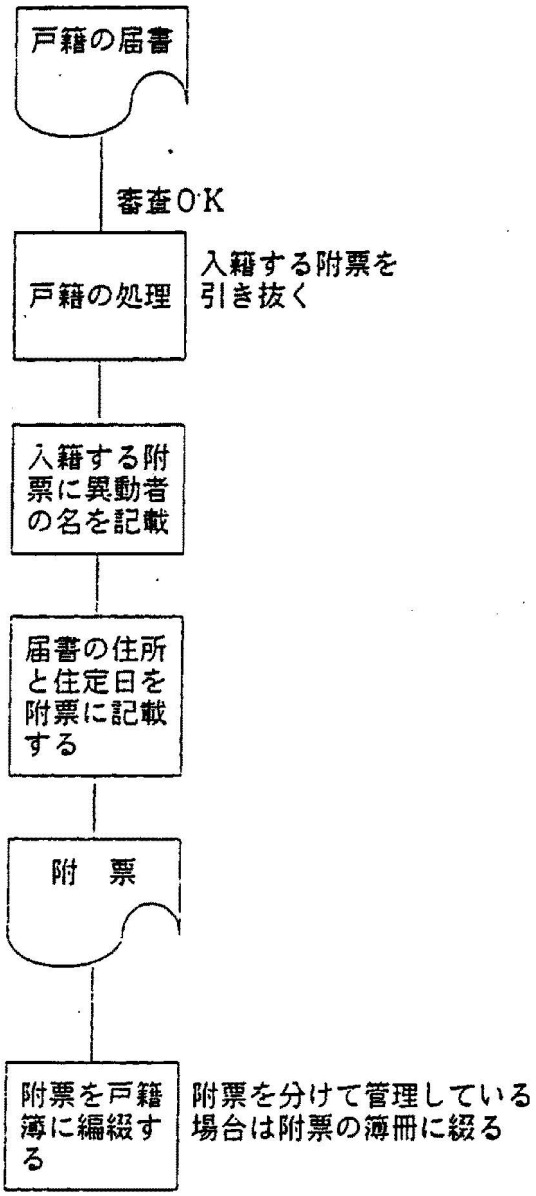
2．(2) I－2－2	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



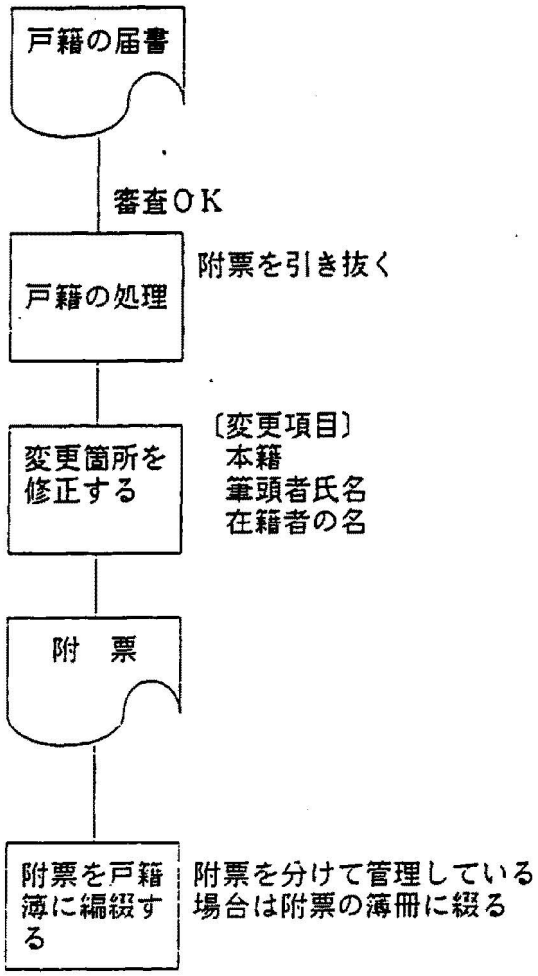
2．(2) I－2－3	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



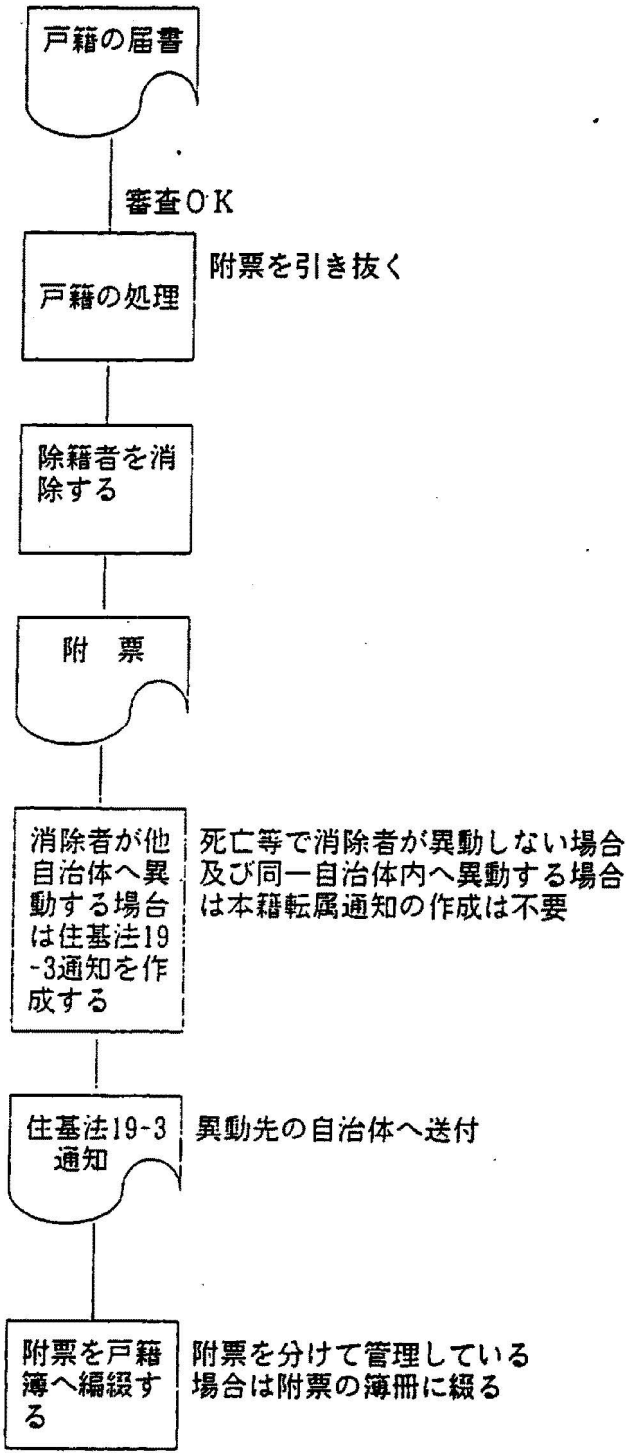
2．(2) I－2－4	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



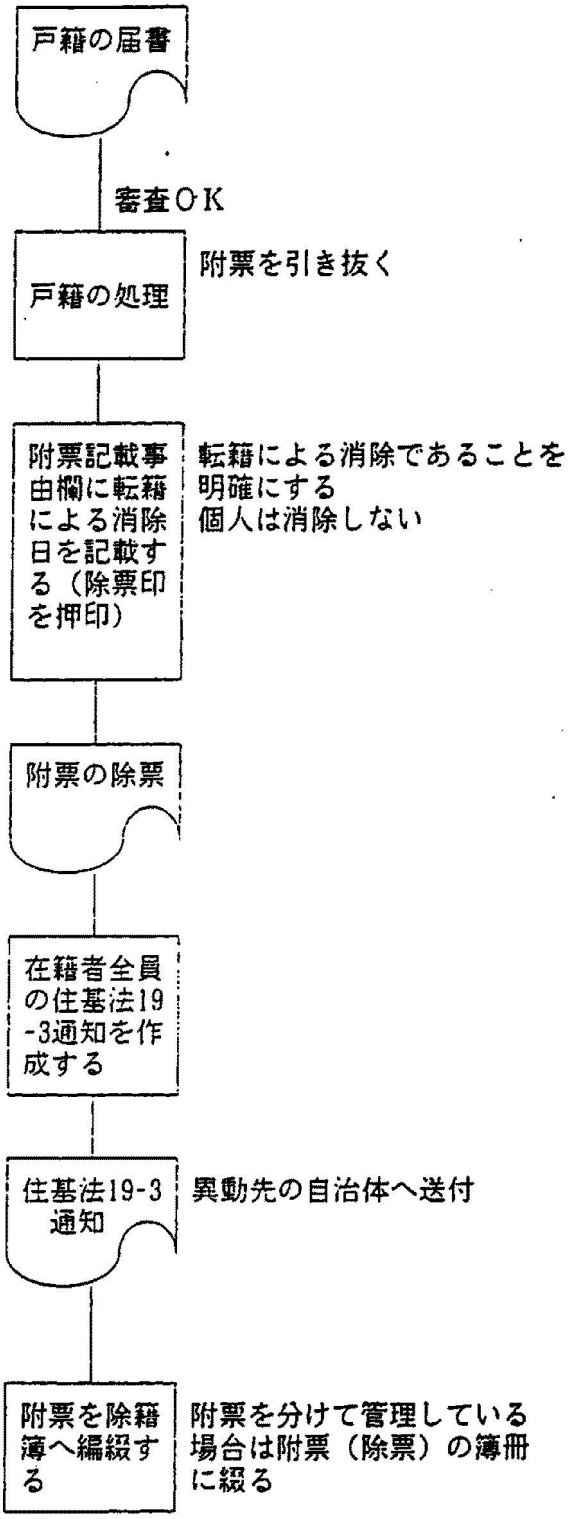
2．(2) I－3	戸籍の記載を変更したことによる附票の修正 ―― 氏名変更，管内転籍等 ――	頁　数 1／1



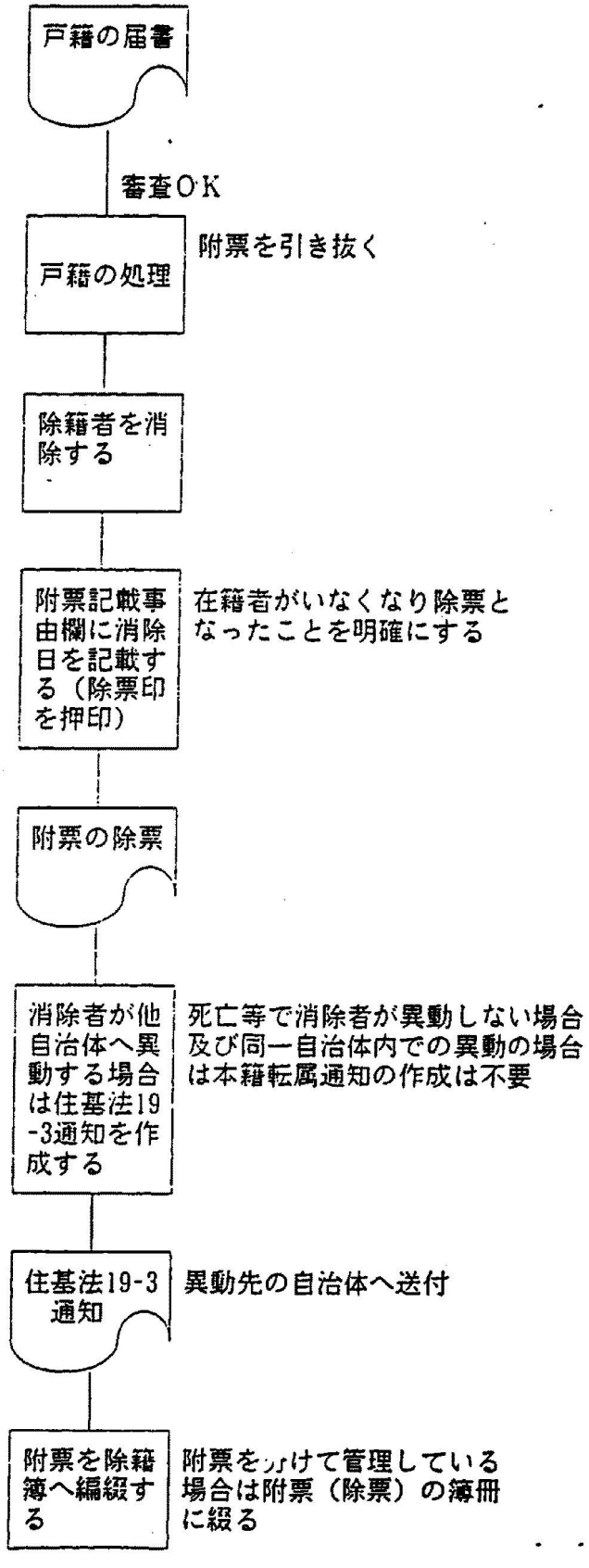
2．(2) I－4	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 離縁，離婚等 ――	頁　数 1／1



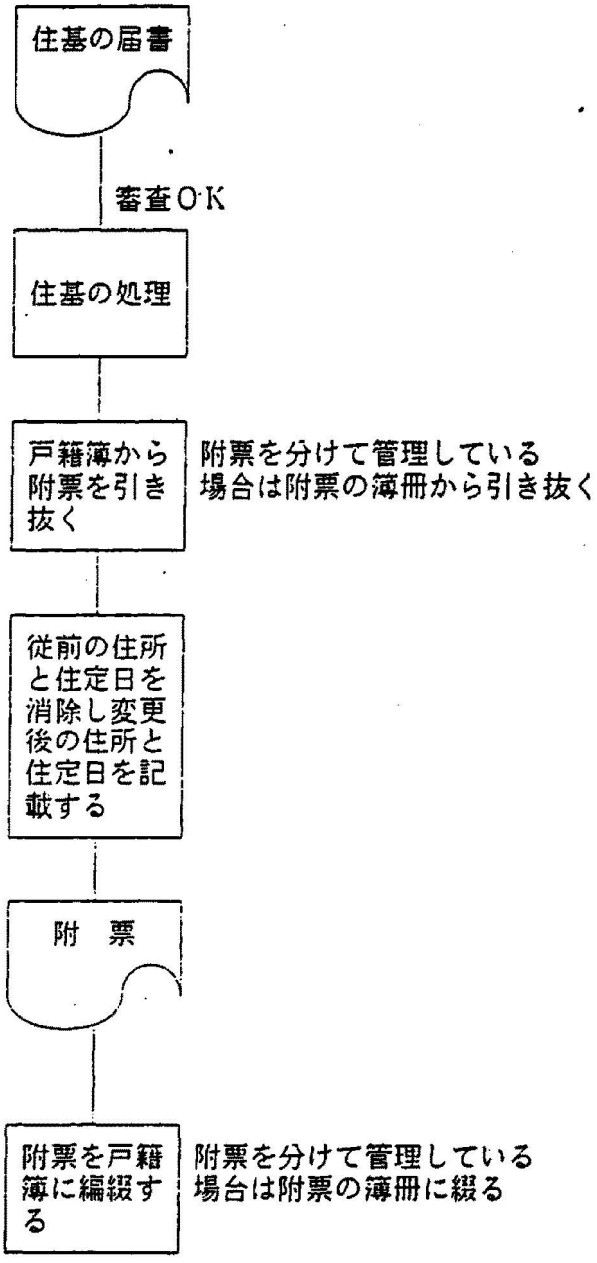
2．(2) I－5	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除① ── 管外転籍 ──	頁　数 1／1



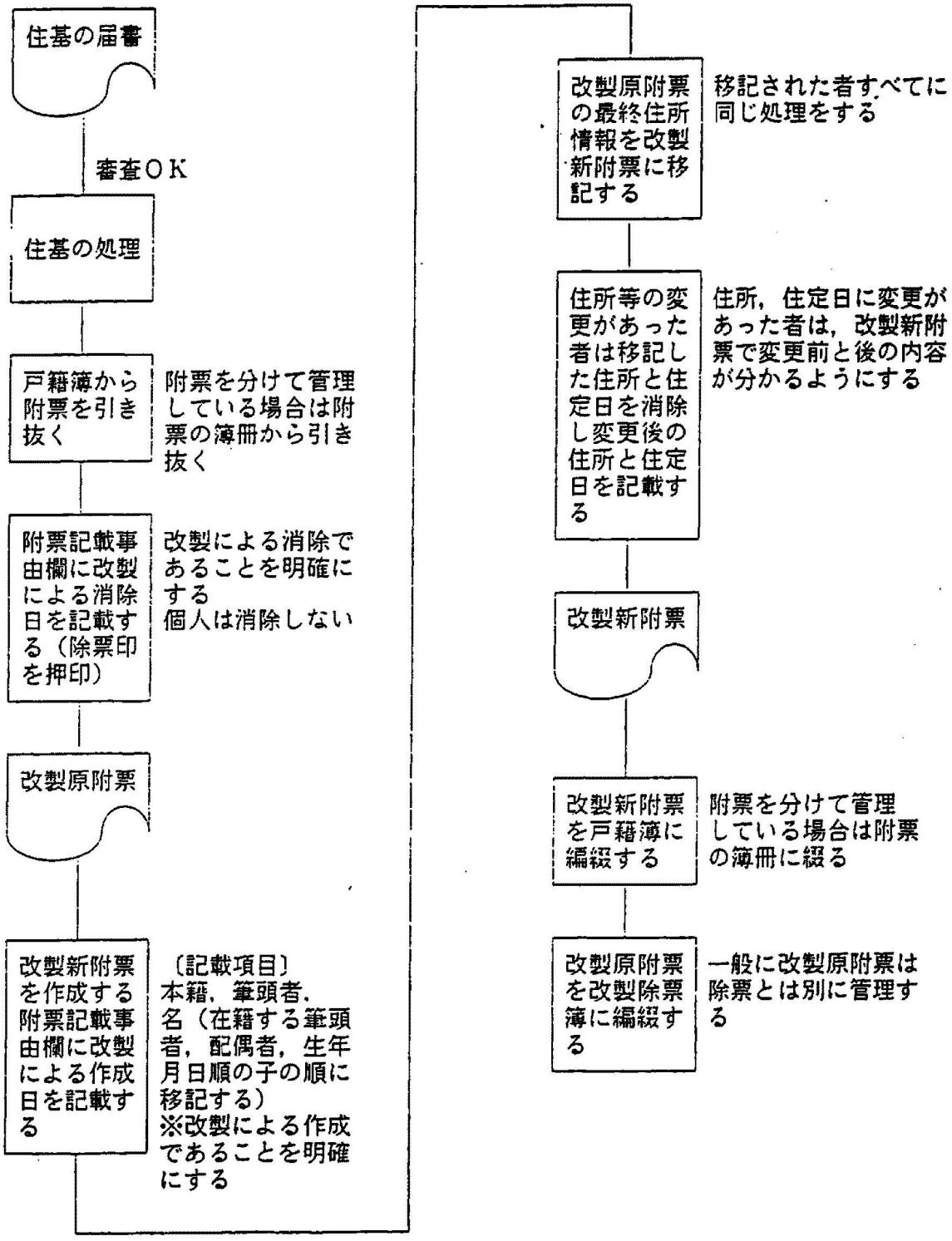
2．(2) I－6	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除② ―― 管外転籍以外：死亡，復氏等 ――	頁　数 1／1



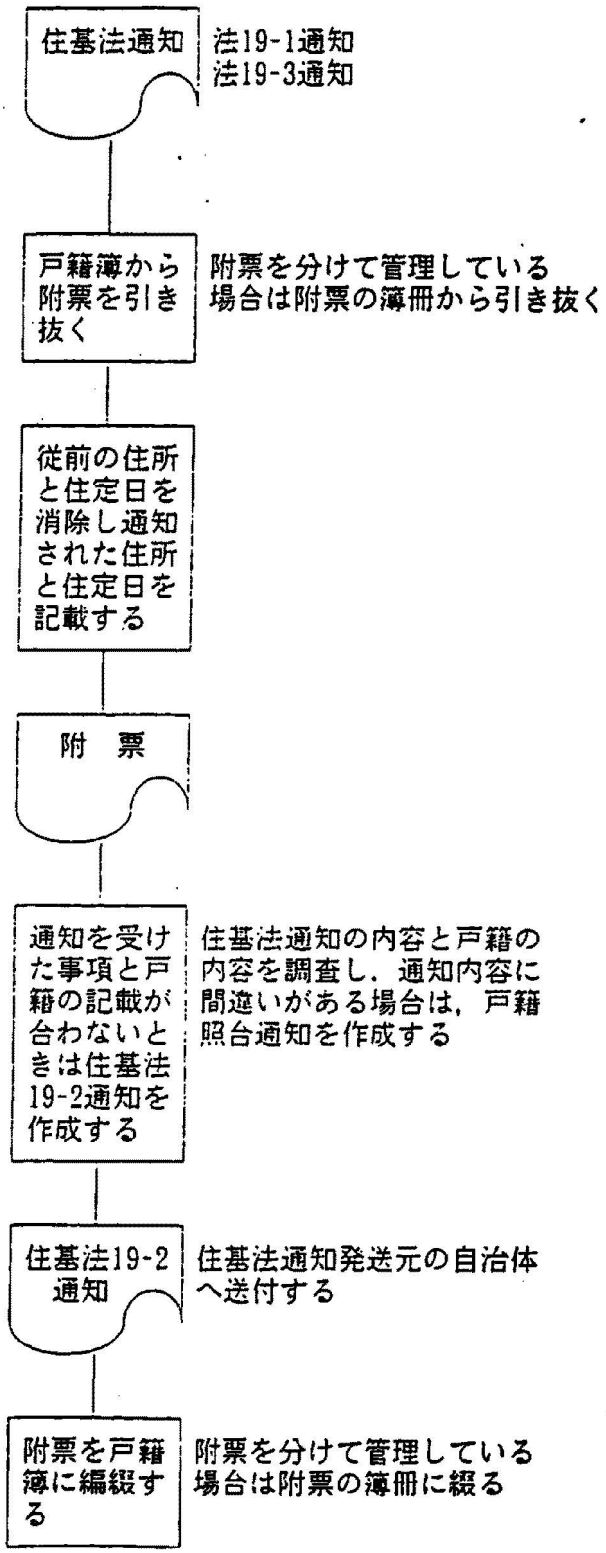
2．(2) I－7	住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正 ―― 転入，転居，住居表示変更等 ――	頁　数 1／1



2．(2) I－8	住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1

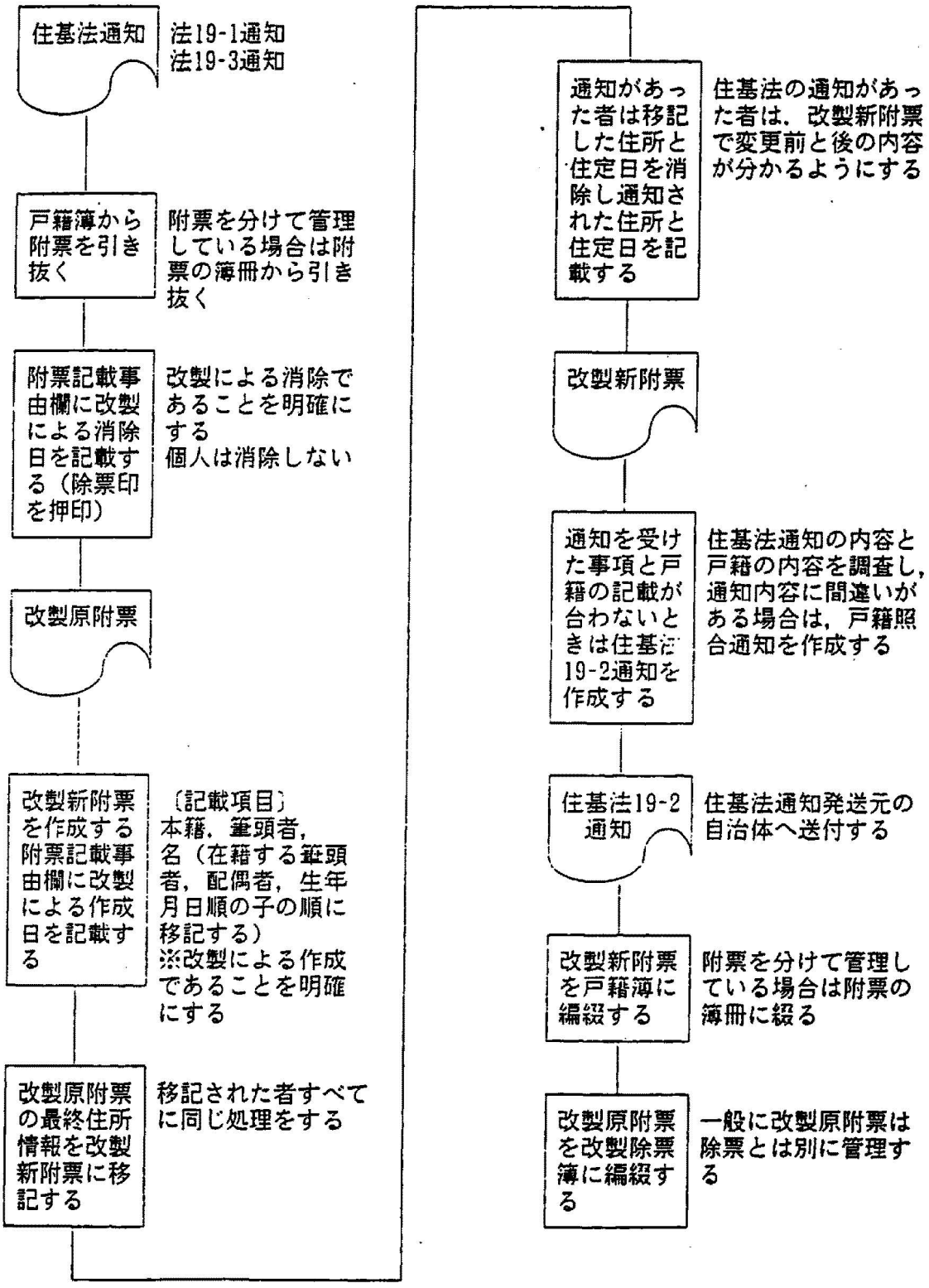


2．(2) I－9	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 住基法19-1通知，住基法19-3通知 ――	頁　数 1／1

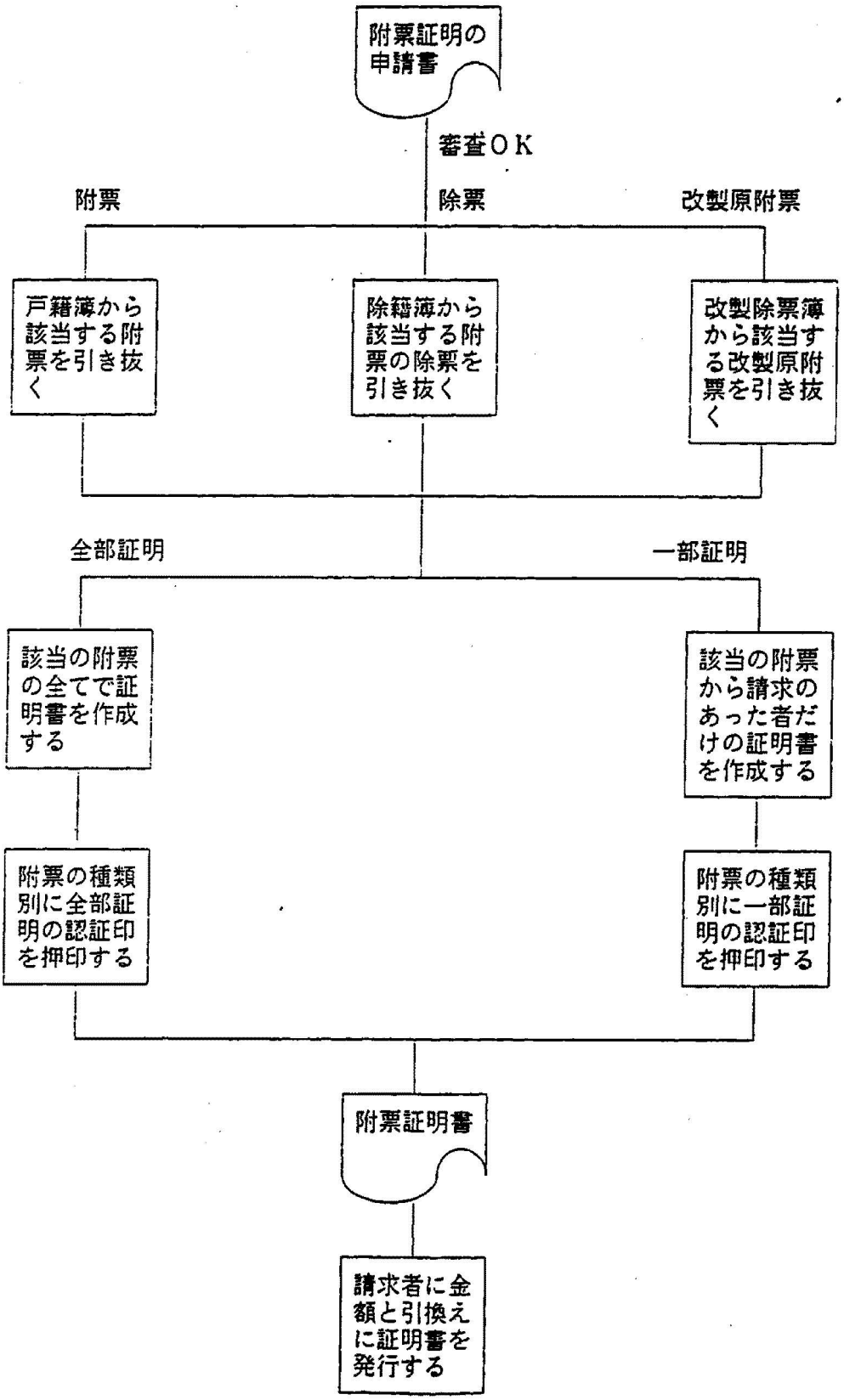


住民基本台帳法の通知による附票の修正

―― 附票が改製される場合 ――



2．(2) Ⅱ－1	戸籍附票の証明 ―― 附票・除票・改製原附票（全部，一部証明） ――	頁　数 1／1



3．〔附票システム〕の概要

現在，戸籍の附票は紙で管理されるもので，住民票と異なり磁気テープで調製することは許されていない。しかし，いくつかの市町村では，附票の管理は紙で行うものの，事務処理の部分をコンピュータ処理させる附票システムを使用しているところがある。

本報告書で提示する附票のコンピュータ処理概要は，戸籍の附票をブックレス管理（磁気媒体で記録）するシステムであるので，すでに使用されている附票システムとは，根本的に異なるものである。そこで，本報告書ではカギ括弧付きの附票システム（〔附票システム〕）と呼ぶことで，現在使用されている附票システムとの混同を防ぐ。

(1) 〔附票システム〕の範囲

戸籍の附票事務内容については，2．(2)イ)の中で簡単に述べたが，ここでは，システム化する事務の範囲を，オンラインシステムによる事務の範囲，バッチシステムによる事務の範囲に区分して検討する。

ア) オンラインシステムによる事務の範囲

入力したデータがすぐに有効になる事務，データを即時に取得できる事務をオンライン処理とする。

① 戸籍の附票の異動事務

ア 戸籍の異動にともない発生する事務

- 附票の作成
- 附票への個人追加
- 附票の個人消除
- 附票の全部消除
- 附票の本籍，筆頭者，名の修正

イ 住民票の異動にともない発生する事務

- 附票の住所の変更
- 附票の住所の消除
- 附票の住所の回復

ウ 通知による事務

- 住民基本台帳法第１９条１項通知による，附票の住所の変更，消除，回復
- 住民基本台帳法第１９条３項通知による，附票の住所の記載

② 戸籍の附票の証明事務

- 全部証明書の発行
- 一部証明書の発行
- 記載事項証明書の発行

③ 戸籍の附票の統計事務

- 附票の異動に関する統計の取得
- 附票の証明書発行に関する統計の取得

ｲ) バッチシステムによる事務の範囲

即時対応が求められない事務で，サイクルを決めて一括処理を行うのに適している事務をバッチ処理とする。

① 戸籍の附票の通知書作成事務

・住民基本台帳法第１９条２項通知の作成
・住民基本台帳法第１９条３項通知の作成
・住民基本台帳法第１９条３項不要通知の作成
・住所照会通知の作成

② 戸籍の附票の統計表の出力

ｳ) 戸籍附票事務のシステム化の範囲

上記で示した事務を関連する事務ごとにまとめ，システム化する事務とその処理形態をオンライン，バッチ（含むオンライン・バッチ）及び手作業の区分でまとめた表を次ページに示す（附票事務システム範囲表）。なお，△はシステムで処理ができなかった場合に，手作業によって補完することができる処理である。

(2) 他システムとの関係

ｱ) 戸籍システムとの関係

住民基本台帳法施行令第１８条の規定により，新しく戸籍が編製されたとき及び戸籍の編製後その戸籍に入った者があるときは附票にその者に関する記載をすることになっている。また，同施行令第１９条では戸籍にある者が消除されたときは附票からも消除する規定である。さらに，この場合に消除された者が他の市町村に転属したときは附票に記載してある事項を新本籍地の市町村長に通知しなければならない（住民基本台帳法第１９条３項）。

したがって，戸籍の附票事務をコンピュータ化した場合，戸籍システムの異動処理にともない，あるいは原籍地市町村長からの通知により戸籍の附票システムを稼動することとなる。

コンピュータ処理する際の処理の流れは下記のとおりとなる。

① 戸籍システムの異動処理にともなう処理

ア 出生届，婚姻届又は職権等により戸籍の記載を行うため，戸籍システムを使用し，処理を開始する。

イ 入力画面から，出生届等に記載されている項目，職権により記載すべき項目を入力する。

ウ 入力項目を法令等の面からチェックし，異動内容を仮の戸籍データベースに記録する。

エ 戸籍の異動形態によって他に記載がある場合はその内容を仮の戸籍データベースに追記する。

オ 仮の戸籍データベースの内容を再確認し，間違いがなければ戸籍データベースに記録する。

（附票事務システム範囲表）

関連届等	個別事務	オンライン処理	バッチ処理	手作業
戸籍の届による処理	附票の作成	○		
	附票の修正	○		
	附票の消除	○		
	住基法19-3通知の作成・出力		○	△
	住基法19-3不要通知の作成・出力		○	△
	住所照会通知の作成・出力		○	△
住届る基に処のよ理	附票の修正	○		
	附票の改製	○		
住よ基る通処知理に	附票の修正	○		
	附票の改製	○		
	住基法19-2通知の作成・出力		○	△
その他の処理	附票証明書発行	○		
	統計事務	○		
	統計表の出力		○	

カ　戸籍の異動内容に則して，附票データベースを作成又は更新する。他の市町村に転属する場合は，法１９条３項通知ファイルを作成する。

キ　戸籍の附票システムを使用し，法１９条３項通知ファイルから住民基本台帳法第１９条３項通知を出力する。

②　原籍地市町村長からの通知による処理

ア　戸籍の附票システムを使用し，処理を開始する。

イ　附票データベースから本籍，氏名，生年月日等をキーに該当する附票を検索する。

ウ　入力画面から，原籍地市町村長からの通知に記載されている項目を入力し，附票データに記録する。

ｲ) 住民記録システムとの関係

現在，戸籍の附票の記載事項のうち，住所及び住所を定めた年月日は，本籍地と住所地が同一である場合には住民票の記載により，また，異なる場合には住所地市町村長からの通知により職権で記載されることになっている。

したがって，戸籍の附票事務をコンピュータ化した場合，住民記録システムの異動処理にともない，あるいは住所地市町村長からの通知により戸籍の附票システムを稼動することとなる。

コンピュータ処理する際の処理の流れは下記のとおりとなる。

① 住民記録システムの異動処理にともなう処理

ア　転入届，転居届又は職権により住民票の記載を行うため，住民記録システムを使用し，処理を開始する。

イ　入力画面から，転入届に記載されている項目，職権により記載すべき項目を入力する。

ウ　入力項目を法令等の面からチェックし，異動内容を住民記録データベースに記録する。

エ　住民記録データベースに記録するデータを基に，住民記録異動ファイルを作成する。

オ　住民記録異動ファイルを基に，戸籍の附票システムを使用し，異動内容を附票データベースに記録する。

② 住所地市町村長からの通知による処理

ア　戸籍の附票システムを使用し，処理を開始する。

イ　附票データベースから本籍，氏名，生年月日等をキーに該当する附票を検索する。

ウ　入力画面から，住所地市町村長からの通知に記載されている項目を入力し，附票データに追記又は更新する。

エ　住所及び住所を定めた年月日以外で通知の内容と戸籍の記載の内容が異なる場合には，住民基本台帳法第１９条２項通知を作成する。

4．〔附票システム〕のシステム化案

(1) 異動処理の方法

ここでは前段までの内容を踏まえ，附票を磁気テープをもって調製する方法，即ち附票事務をシステム化した場合の方法を考える。

今回作成したものは附票事務のシステム化の一実現方法であり，これが唯一の方法ではない。ここでシステム化案を作成した目的は，附票をコンピュータで処理できることを証明するのではなく，システム化において守られるべき事項の洗い出しにある。

ア) 〔附票システム〕の処理形態

戸籍附票事務のシステム形態は，戸籍及び住民基本台帳のシステムとの関連をどう考えるかで異なってくる。

① 戸籍システムとの連動を考えた附票システム

② 住民記録システムとの連動を考えた附票システム

③ 附票を独自で考える附票システム

④ 戸籍システム，住民記録システムの双方との連動を考えた附票システム

上記①～③は2．(2)ア)戸籍附票事務の運用形態で述べた①～③の形態に各々当てはまる。本来であれば全部の処理形態でシステム化案を示すべきであろうが，今回は①～③の形態をすべて程度取り込んでいる④の形態のシステム化案を示すこととする。④だけを示す理由としては他にも次のものが挙げられる。

- 戸籍附票のシステム化は現在法務省が進めている戸籍のシステム化に伴い発生したもので，その戸籍システムとの連動を考えなければならない。
- 戸籍附票は戸籍と住民票の双方の異動により処理が起こるもので，単一の業務との連動では附票システムの性能が半減してしまう。

しかし，④の処理から戸籍システムとの連動を外したものが②の処理であり，住民記録システムとの連動を外したものが①の処理であり，双方との連動を外したものが③の処理であるといえるので，①～③の処理の流れは報告書から読み取ることは可能である。

イ) 他システムとの連動における〔附票システム〕の範囲

附票事務のシステム範囲については3．(1)で述べたが，現行附票事務の中で他のシステムに係わる部分をどのように捕らえるかで〔附票システム〕の構成が変わってくる。構成が変わると言っても，3．(1)のシステムの範囲が変更になるのではなく，3．(1)で示した事務の一部を戸籍システムや住民記録システムに取り込むことにより，〔附票システム〕そのものの事務の数が変わるということである。

しかし，戸籍及び住民基本台帳に関する部分を各々のシステムで取り込めるかどうかは，法務省及び自治省の考えもあるので，本報告書で可能であるとは断言できない。しかしデータの有効利用及び使用者（運用）の使い勝手等，総合的にシステムを考えると，各システムで附票部分を取りみ，また，データを連動させた方がよいので，この考えに基づいたシステム化案を提案する。なお，住民記録システムとの連動は，本籍地と住所地が同一の者しか行えない。

ｳ) 〔附票システム〕の仕様

実際にシステム化する際には種々の仕様書が必要になるが，ここでは最小限必要と思われるものだけを示す。また，今回はシステム化の方途を探るのが目的で，システムそのものの構築を考えるのではないから，内容も抽象化して記載する。

今回示すドキュメントは以下のものである。

Ⅰ　戸籍・附票・住民記録システム関連図
Ⅱ　附票項目一覧
Ⅲ　附票処理パターン
Ⅲ－1　戸籍システムでの附票処理
Ⅲ－1－1　新しい戸籍を編製することによる附票の作成
Ⅲ－1－1－1　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除）
Ⅲ－1－1－2　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除）
Ⅲ－1－1－3　他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅲ－1－1－4　他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅲ－1－1－5　帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅲ－1－2　既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載
Ⅲ－1－2－1　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除）
Ⅲ－1－2－2　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除）
Ⅲ－1－2－3　他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅲ－1－2－4　他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅲ－1－2－5　出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅲ－1－3　戸籍の記載を変更したことによる附票の修正（氏名変更，管内転籍等）
Ⅲ－1－4　戸籍から除かれたことによる附票の一部消除
Ⅲ－1－4－1　他の本籍地へ異動する場合
Ⅲ－1－4－2　死亡等で他への異動がない場合
※　同一本籍地への異動はⅢ－1－1－1，Ⅲ－1－2－1で示したとおり
Ⅲ－1－5　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除（管外転籍）
Ⅲ－1－6　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除（管外転籍以外）
Ⅲ－1－6－1　他の本籍地へ異動する場合
Ⅲ－1－6－2　死亡等で他への異動がない場合
※　同一本籍地への異動はⅢ－1－1－2，Ⅲ－1－2－2で示したとおり
Ⅲ－2　住民記録システムでの附票処理
Ⅲ－2－1　住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正
Ⅲ－2－1－1　本籍地に転入してきた場合
Ⅲ－2－1－2　本籍人である住所人が転居等をした場合
Ⅲ－2－2　職権での住民票修正による附票の修正（住所人が本籍人の場合）
Ⅲ－2－3　住民基本台帳法に基づく届出又は職権での住民票修正による附票の修正（附票が改製される場合）
Ⅲ－3　附票システムでの附票処理
Ⅲ－3－1　附票修正処理

Ⅲ－３－１－１　住民基本台帳法の通知による附票の修正
Ⅲ－３－１－２　住民基本台帳法の通知による附票の修正（附票が改製される場合）
Ⅲ－３－２　証明書発行処理（附票・除票・改製原附票（一部証明，全部証明））
Ⅲ－３－３　各種帳票出力処理

ｴ）システム化後の改製について

改製については２．(3)で述べたとおりであるが，システム化においては附票を磁気媒体で管理するため記載欄の満欄が考えにくいこと，附票の汚損及びき損があり得ないことから，厳密にいえば現行の可視台帳上の改製はシステム化において発生しないことになる。

しかし改製がないとすると，附票の証明書ではすべての住所履歴が出力されるため，２．(3)の意見でもあったとおりその是非が問題となってくる。今回はとりあえず現行と同じ方途を残すこととし，住所の履歴回数がある規定回数を越えたら改製と同じ扱いをするということとしている。

一例として，履歴回数が５回を越えたデータが改製の条件に合致すると仮定し，【別紙】にシステム化での改製方法を２つ示す。

①　附票にいる者の１人を改製することで全員が改製となる方法
②　改製の条件にあった者だけを改製する方法

以上のように，システム化でも改製はある得ると考えるべきとは思うが，改製のきっかけをどうするのかは，自治省及び法務省の意見を待たなければならないと考える。

(2)　データ保護と安全対策

7）データ保護と安全対策の概要

当初，コンピュータによる情報処理システムは，コンピュータの四則演算機能，比較機能，記憶機能を利用したバッチ処理システムとして導入されてきた。さらに現在では，通信回線を利用したオンライン処理システムへの移行が進んでいる。

オンライン処理システムでは，データを記憶しておくファイルが集中化・大量化し，災害や故意・過失等の発生により，コンピュータによる情報処理システムが停止すると，行政サービスの停滞等，その影響は非常に大きなものとなる。

そのため，システム開発においては，信頼性の高いデータ保護と安全対策を講ずることが求められている。

①　データ保護と安全対策の必要性

コンピュータによる情報処理システムの停止による影響のほか，データ保護と安全対策を必要とする主な要因は次のとおりである。

ア　集中化，大容量化したデータファイルが壊されると，その再生に多大な時間と経費が必要となる。
イ　通信回線の利用やネットワーク化は，盗聴などの外部から介入されやすくなるため，犯罪や事故の可能性が増大する。

ウ　オンライン処理システムでは，文書決裁等のチェックが行われないまま処理が完結するため，故意による情報操作が容易となる。

エ　オンライン処理システムでは，端末装置が分散配置されるため，その管理が十分に行えなくなる。

オ　オンライン処理システムは，多数のプログラムが組み合わさって稼動しており，システムが巨大かつ複雑になってきている。そのため，設計者等，特定の者しかシステムの維持ができなくなりやすく，障害時の復旧も時間がかかるようになる。

イ）　データ保護対策

データ保護の目的は，データの正確性の確保，データの漏洩・損失・き損・改ざんを防止するとともに，火災や地震等の災害からデータを守ことにある。ここでは，運用管理面とソフトウェアから見たデータ保護対策について整理することとした。

①　運用管理面からのデータ保護対策

ア　入出力情報及び媒体の管理

i）　入力原票の受け渡しでは，受け渡し票により，原票の枚数，相手の氏名等の記入を確認する。

ii）　出力帳票は，配付先，部数等を一覧表にしておくとともに，受け渡しは，受け渡し票による確認のほか，特異な帳票については受領者を指名する。

iii）　定期，あるいは日時が指定された出力帳票が，その指定どおりに出力されないときは，その原因を調査する。

iv）　入出力帳票は，その保存期間を定めるとともに，廃棄するときは，シュレッダーの使用や焼却等の方法により復元できないようにする。

v）　未使用の入出力帳票の保管は，定期的に在庫管理を行い，不正使用や不足による処理の遅延を防止する。

vi）　帳票や磁気テープ等の出力媒体を外部に持ち出すときは，業務担当部門の承認の上，貸出期間等を記入した貸出票を作成し，変換等の管理をする。

vii）　入力原票から出力帳票の利用，廃棄までの一連の手続きは，帳票の流れ図等により，必ず明確にしておく。

イ　データベース（一般常駐ファイルを含む）の管理

i）　特定のパスワードまたはＩＤカードを登録し，権限のない者が端末装置によるデータベースのデータの操作ができないようにする。

ii）　データベースにどのような情報がどのような状態で保管されているかを，特定の者以外には秘密にしておく。

iii）　暗号等を使用し，データの内容を特定の者以外に理解できないようにする。

iv）　リカバリ対策として，データベースの世代管理や二重管理をしておく必要がある。

ウ　ドキュメント（システム設計者）の管理

i）　記入方法の標準化を図るとともに，管理体制を一元化する。

ii) 外部への持ち出しは，貸出方法等の手続きを明確にする。

iii) システムの変更等によるプログラムの修正が発生したときは，プログラム仕様書の訂正等，ドキュメントの内容を最新の状態にあわせておく。

エ オペレーション（機器操作）の管理

i) オペレータが的確に操作できるように，操作手引書（操作手順・異常時の対処の方法及び報告事項，完了時の報告事項等）を作成する。

ii) オペレータが適切に処理できるように，作業指示書（ジョブ名，処理日，使用ファイル，入出力帳票，手順等）を作成する。

iii) オペレータの教育訓練を行うとともに，職員の健康管理に留意する。

iv) オペレーション作業の標準化，簡略化を図る。

オ 電子計算機室等の入退室管理

i) 入室の許可を受けない者が入室できなようにする。

ii) 電算担当課職員以外の入室許可者の入退室の管理を行う。

iii) 部外者の入室には，電算担当課職員が必ず立ち会う。

iv) オペレーションは，複数の職員で行う。

v) 夜間等の無人時には，不用な者が入室できないようにする。

② ソフトウェアによるデータ保護対策

運用管理面以外のシステム設計時に，データ保護のチェックをソフトウェア（プログラム）で行う方法を紹介する。

ア オペレーティングシステム

i) 管理プログラムのデータ保全機能により，あるプログラムが他のプログラムに干渉したり，変更したりできないようにする。

ii) パスワードの設定時に更新不能のパスワードを付加して，情報の改ざんを防止する。

iii) データベース等のファイルにアクセスしたときに記録するロギング機能を使用し，問題が生じたときの解決の手がかりを確保する。

iv) 管理プログラム（オンライン制御，システム制御，保全管理，運用管理，データ管理等）の機能を有効に活用する。

イ プログラミング

プログラム上の障害としては，プログラミングの誤修正，本番データの破壊，不注意によるミス等がある。この対策として，構造化プログラミング（モジュール化）の採用，トップダウンプログラミングの採用等が挙げられる。

ウ システムの稼動テスト

プログラミングのミスや誤データの混入等によるデータの破壊を防止するには，十分なテスト計画やテスティング（システムの運用テスト）が必要である。

エ システムの保守

稼動後にシステムの修正や変更があったときは，ドキュメントの内容を最新の状態に合わせておくとともに，十分にシステムの運用テストを行う必要がある。

ｳ) 安全対策実施上の留意点

① 安全目標の明確化

コンピュータによる情報処理システムを取り巻く危険を防止する，絶対かつ確実な方策はあり得ないといえる。そのため，障害の発生に伴う損失や許容できるダウン対策などを，量的に表示した目標安全，あるいは，最低維持すべき機能やデータ，プログラムなどを，定期的に記述した目標安全度を設定し，安全対策を講ずることが求められている。

② 重点的な安全対策の実施

安全対策は，多くの費用や手数などを必要とする。しかし，いかなる危険によって，どの程度の損失を被るかを分析し，必要最小限の対策は講じなければならない。それには，滅多に生じない大きな災害はもちろん，日常生じやすい小さな事故やミス，エラー等についても十分に考慮する必要がある。

③ 安全対策に対する継続的な関心と努力

安全対策の前提となる危険や対策による効果の予測は，十分に把握されていないうえ，コンピュータ情報処理システムの内外環境も常時変化している。また，従事職員が運用管理を十分に認識していないと，安全対策に対する意識を低下させてしまう。したがって，安全対策の実効を維持していくためには，安全対策を定期的に見直すとともに，必要に応じて改善していく必要がある。

④ 組織的な安全対策の確立

安全対策は，様々な手段を組み合わせて初めて実効あるものとなる。それには，対策に投じる予算措置，関係法規の整備など，組織をあげての対策が必要となる。従事職員のデータ保護や重要性に対する自覚や認識をはじめ，管理者の積極的な指示と理解がなければ，安全対策を確立することは難しくなる。

⑤ 従事職員に対する管理の適正化

いかに精巧にできている装置や設備も，最終的には人間の操作や管理手続きに依存することになる。また，危険が生ずるのも人間の行動に起因するものがほとんどであり，安全対策の実効を確保する上で，従事職員の意識と行動は，大きなウェイトを占めている。したがって，職員の適材適所という人事管理面での配慮とともに，従事職員に対しては設備や装置の操作，運用管理手続きの習熟，倫理観の高揚を図るために，計画的，体系的な教育や研修が必要となる。

⑥ 応急対策及び復旧対策の重要性

地方公共団体の事務処理において，長期にわたるシステムの停止やデータ等の損失は許されない。このため，災害や事故が発生した場合は，その被害を最小限に抑え，業務を速やかに正常に戻す必要があり，応急対策や復旧対策が極めて重

要となる。

エ) 機器の安全対策

機器の安全対策については，通産省の「電子計算システム安全対策」がひとつのチェックの指標として作成されている。この基準は，保護される対象ごとに項目化し，それぞれ対策内容と三段階の基準が列挙されているので，これを参考としてシステムの特性に応じた最も有効な組み合わせ，選択を行う必要がある。

① 機器構成

処理が停止することによって，非常に大きな影響をもたらすときは，早期リカバリーあるいは瞬時に他のシステムが代替できるような構成にする必要がある。

② 設備

ア 共通事項

i) 防災設備の完備及び防災体制を確立する。
ii) 設備の現状を把握する。
iii) 保守点検を実施する。
iv) 保守作業スペースを確保する。

イ 建築物

i) 防水，耐震設備を完備する。
ii) 延焼遮断設備を完備する。
iii) ガラスの飛散を防止する。

ウ 電子計算組織室

i) 避難通路，非常口を設置する。
ii) カーテン等の不燃化物，防火設備を完備する。
iii) 静電気を帯びる物を設置しない。
iv) 侵入の防止設備を完備する。

エ 電子計算組織

i) 転倒防止を図る。

オ データ等の保管室

i) キャビネット等の施錠のできる保管庫に保管する。
ii) 磁界の影響を受けないような措置を講じる。

カ 電源室，空気調整室

i) 消火器を設置する。

キ 電気設備

i) 電子計算機の起動電流を考慮して，電源の容量を考慮する。
ii) 負荷変動の激しい機器との共用を避ける。
iii) 電流の遮断防止設備を完備する。
iv) 無停電装置を完備する。

ク 空気調整設備

i） フィルターや電気集塵機等により，電子計算機室内の空気中に埃や有毒ガスが混入することを防止する。

ii） 本体及び周辺機器の発熱容量を考慮し，余裕を持った機器を設置する。

オ） コンピュータシステム停止時の対策（ダウン対策）

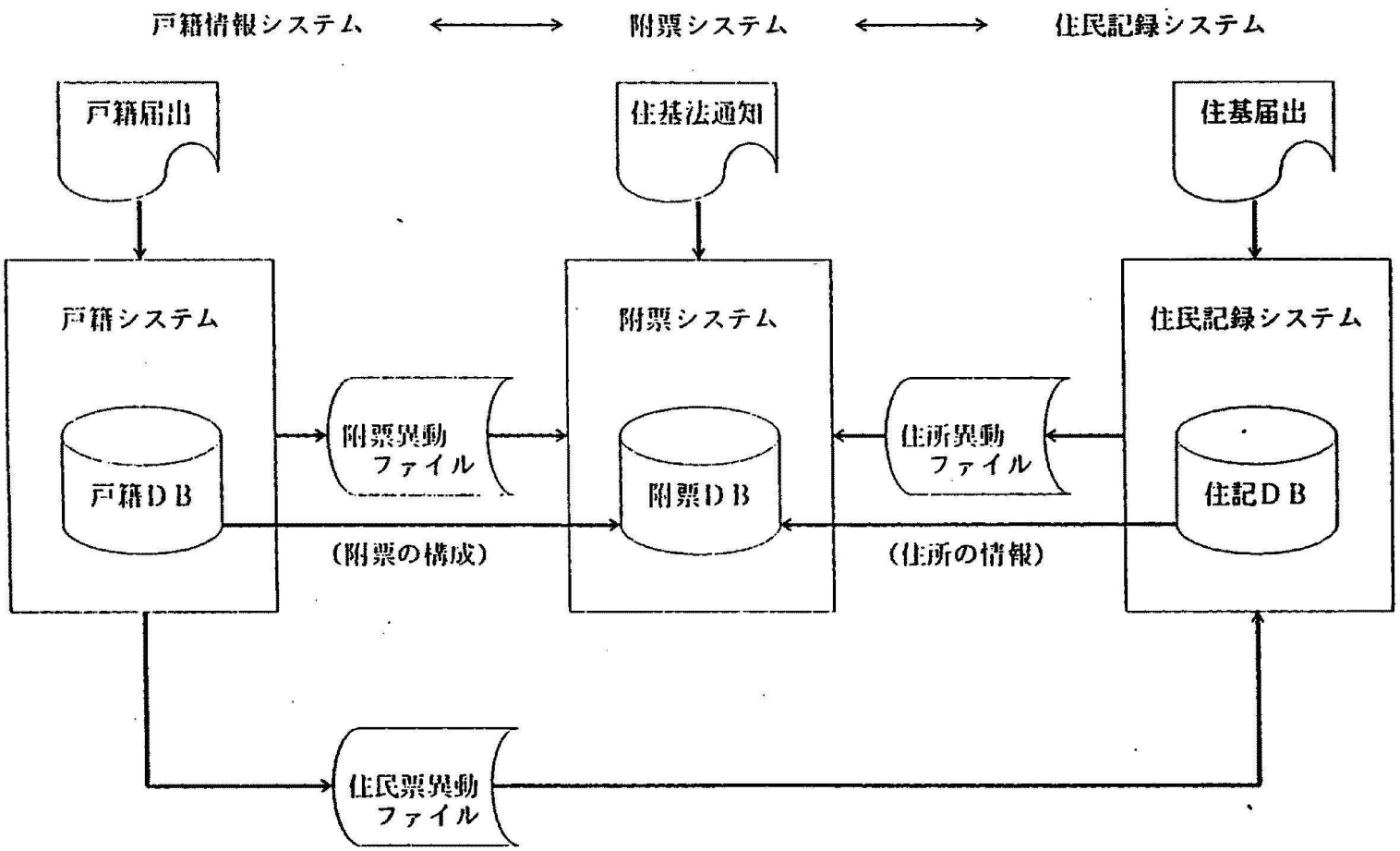
十分に考慮した安全対策を施してもなお，システムのトラブルを完全に避けることはできない。たとえ，可能性は少ないとしても，コンピュータシステムが全く停止してしまうという事態も想定しておかなければならない。このような場合，オンラインサービスを前提とした窓口をはじめとして，組織全体に大きな混乱が生じかねない。そこで，トラブルに応じた段階的な対処策をマニュアル化しておくなど，混乱を最小限に抑えるための工夫が必要となる。

多くのオンライン実施団体では，「ダウン対策マニュアル」，「バックアップ手順書」，等の呼称で，システム停止時の運用方法の取り決めを行っている。それらの中から，特に重要と思われる事項を以下に提示することとする。

- サービス窓口，コンピュータ所管部署の双方に連絡責任者を置き，緊急時の連絡体制を一本化する。なお，専用の連絡手段を確保し，必要なときに即座に連絡がとれるようにしておかなければならないこと。
- トラブル時の説明の方法など，来客に対する対応を決めおくこと。
- トラブル時の分担を決めておくこと。たとえば，業務運用担当（手処理，窓口説明等），復旧担当（連絡，機器操作等），状況記録，報告担当など。
- トラブルに応じた復旧の方法を洗い出しておくこと。

この他に，特にコンピュータ所管部署では，コンピュータメーカー，保守担当業者，電力会社，通信業者（ＮＴＴ）等との連絡網を整備して，早期の原因発見と復旧が行える体制を整えておくことが肝要である。

4．(1) 1	戸籍・附票・住民記録システム関連図	頁　数 1／1



戸籍情報システム：戸籍の処理，附票異動ファイルの作成，住民票異動ファイルの作成
住民記録システム：住民票の処理，住所異動ファイルの作成
附票システム　　：附票の処理，各異動ファイルの取り込み

4．(1) Ⅱ	附票項目一覧	頁　数 1／1

1．附票データベース項目

〔附票管理データ項目〕

No.	項　目　名	項目長	コード化の有無	備　　考
1	附票番号	9（　9）	無	戸籍番号と同一番号を使用する
2	附票作成日	9（　8）	無	附票が作成された日
3	附票作成区分	9（　1）	有	1：戸籍編製での作成　2：改製による作成
4	附票除票日	9（　8）	無	附票が消除された日
5	附票除票区分	9（　1）	有	1：消除　2：転籍消除　3：改製消除
6	本籍	K（50）	無	
7	筆頭者	K（30）	無	

〔附票データ項目〕

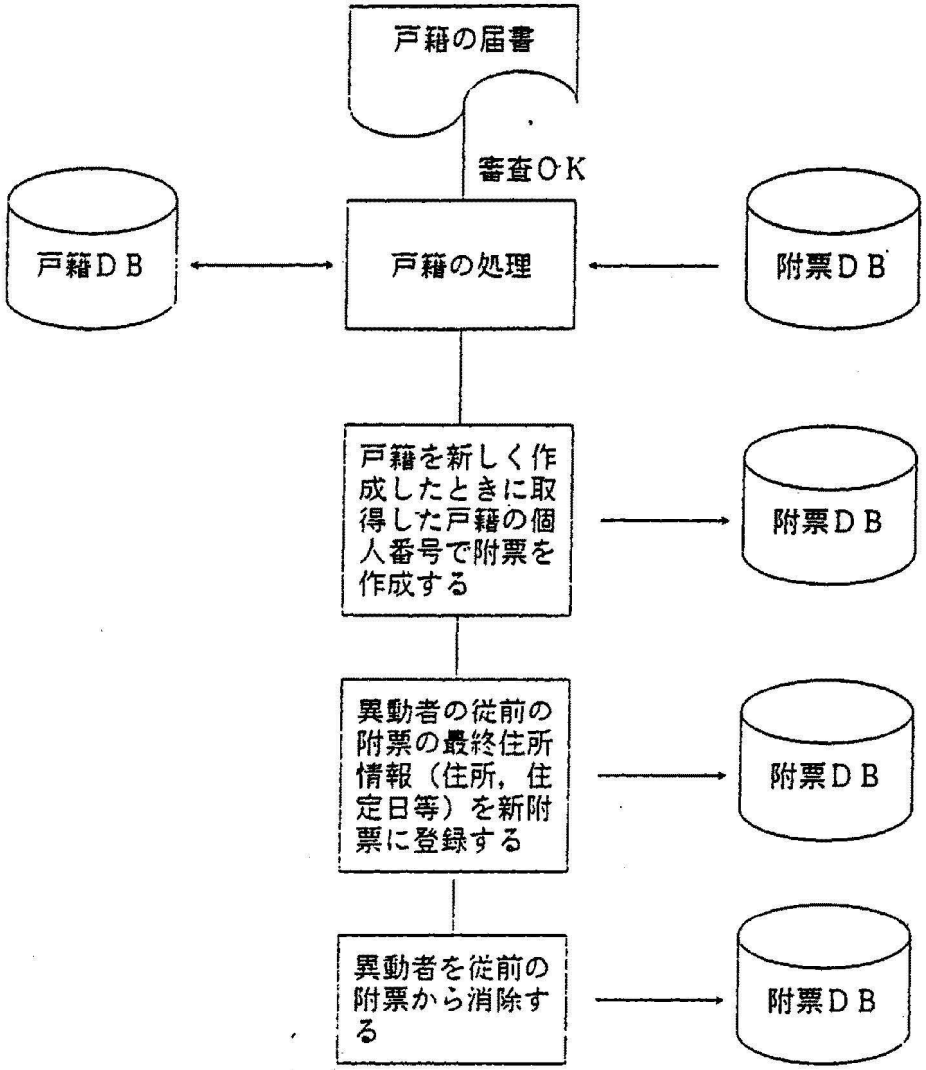
No.	項　目　名	項目長	コード化の有無	備　　考
1	附票番号	9（　9）	無	附票管理データと結び付ける番号
2	戸籍個人番号	9（10）	無	戸籍データベースと結び付ける番号
3	住記個人番号	9（10）	無	住記データベースと結び付ける番号
4	住所履歴番号	9（　2）	無	ＤＢの種別によっては不要項目
5	現除区分	9（　1）	有	1：現住所　2：消除住所
6	作成日	9（　8）	無	住所が記載された日
7	住所	K（50）	無	
8	方書	K（50）	無	
9	住定日	9（　8）	無	
10	消除日	9（　8）	無	住所が消除された日

住民基本台帳法第17条で規定されている項目（本籍，筆頭者，氏名，住所，住所を定めた年月日）以外はシステム化に伴い必要となる項目である。上記項目は附票データとして必要なものを示したのであり，附票ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽに必ず持つということではない（戸籍ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ，住記ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽで持っても構わない）。

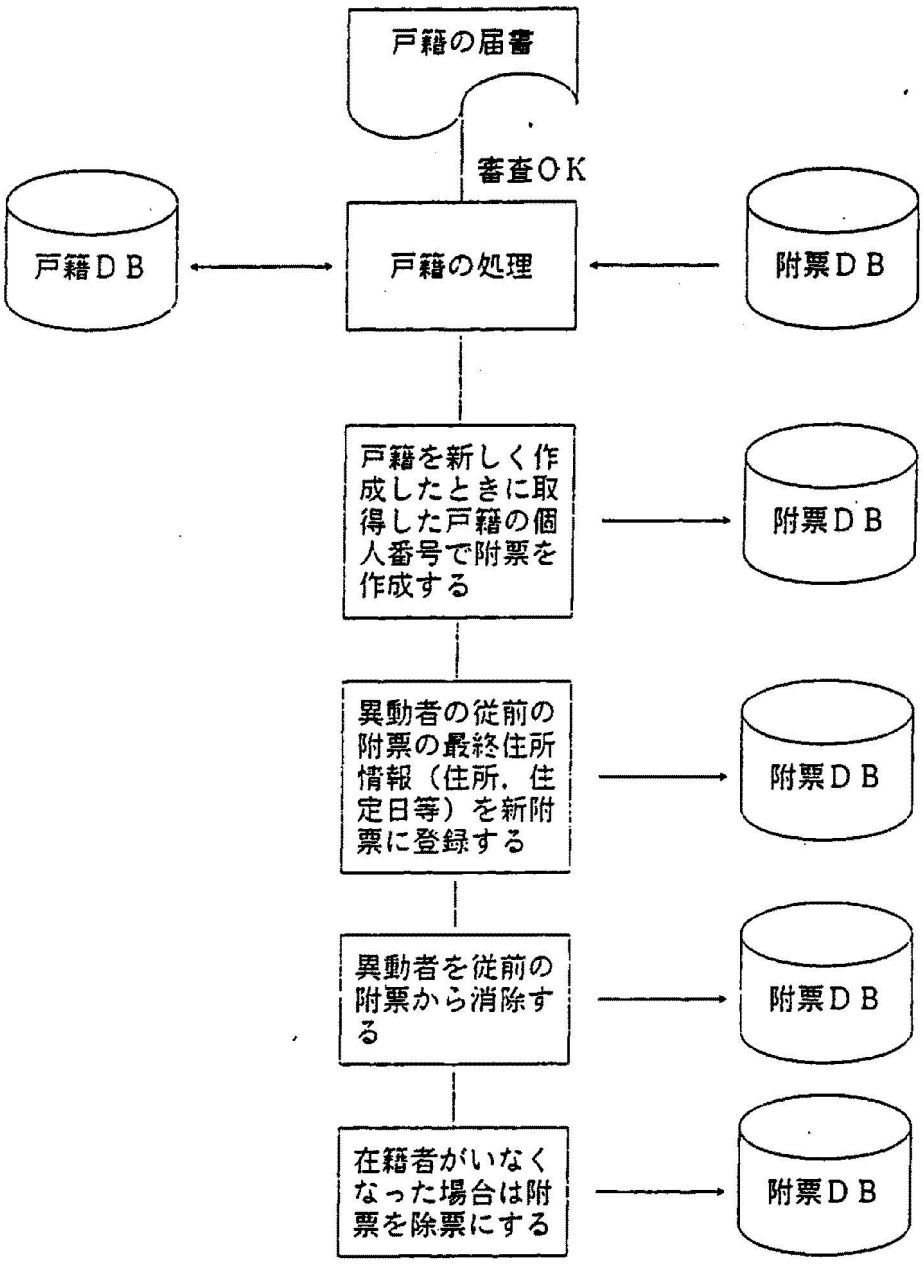
データベースの種別は問わない。

項目長，コード化の有無はシステムの内容により変更可能である。

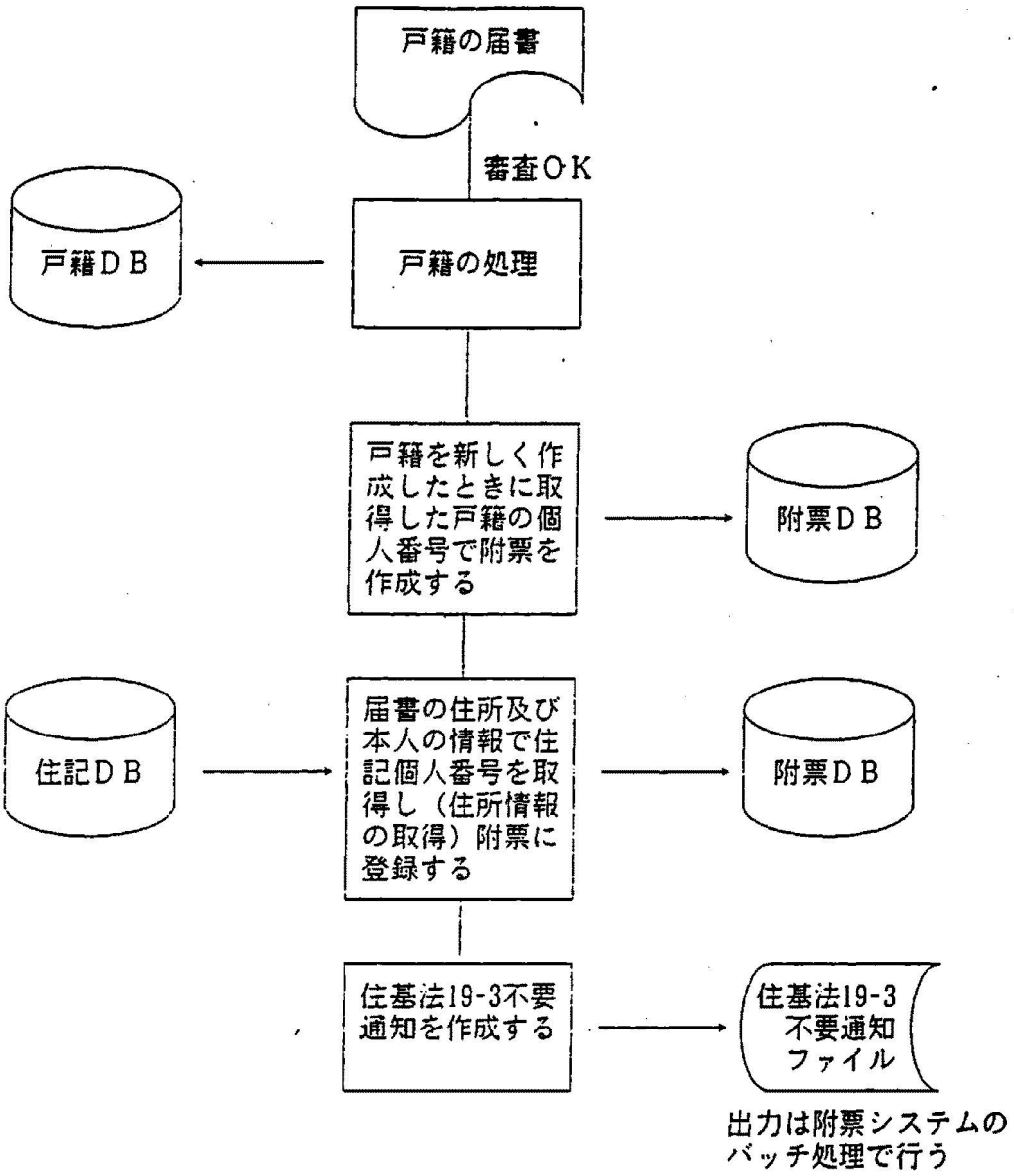
4．(1) Ⅲ－1－1－1	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除） ――	頁　数 1／1



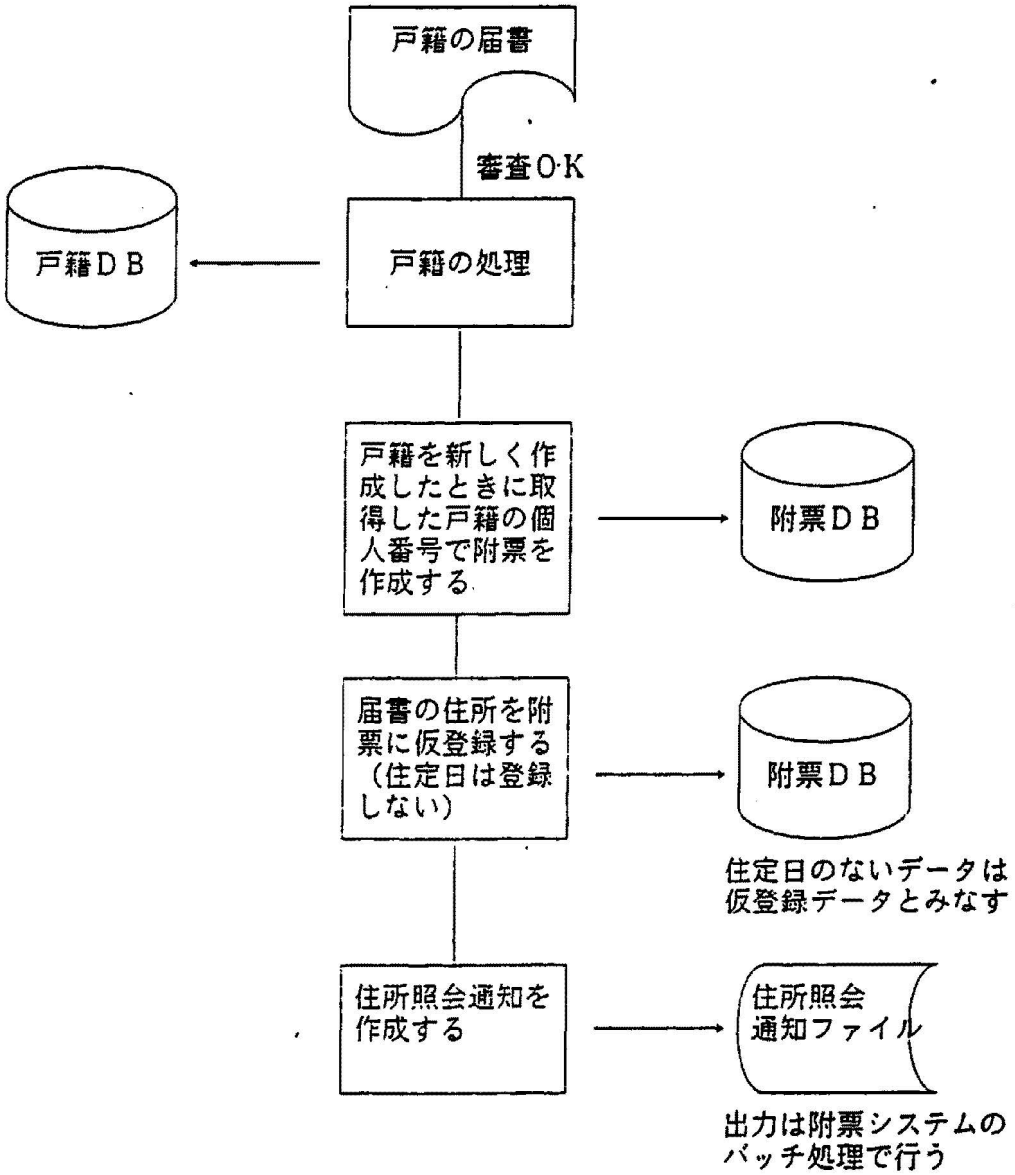
4．(1) Ⅲ－1－1－2	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除） ――	頁　数 1／1



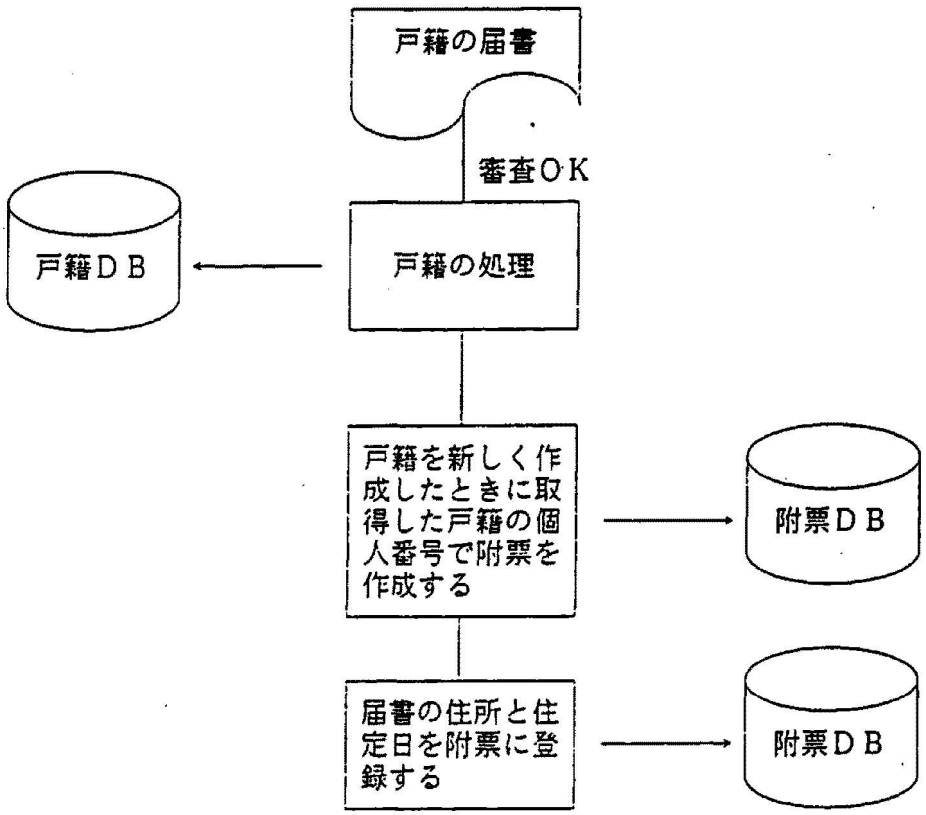
4．(1) Ⅲ－1－1－3	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



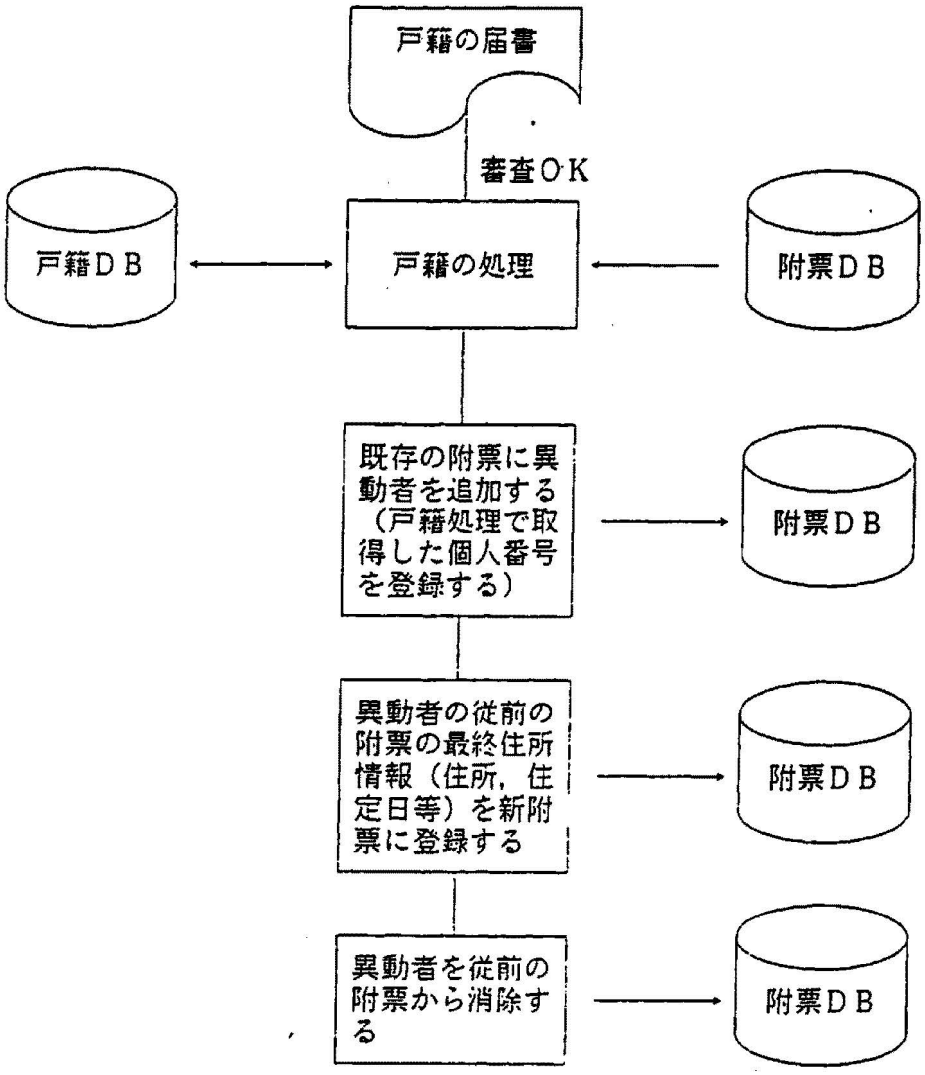
4．(1) Ⅲ－1－1－4	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



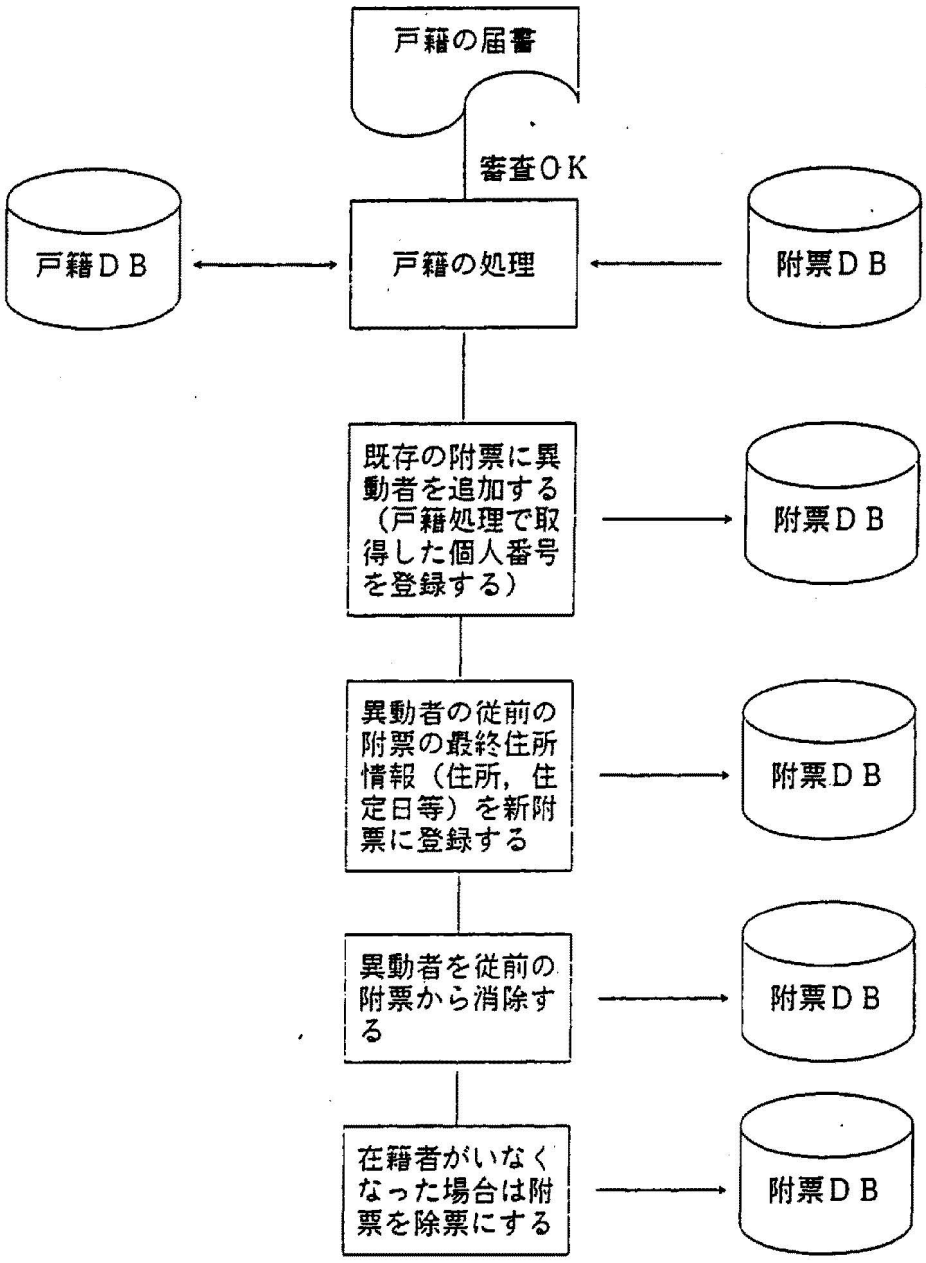
4．(1) Ⅲ－1－1－5	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



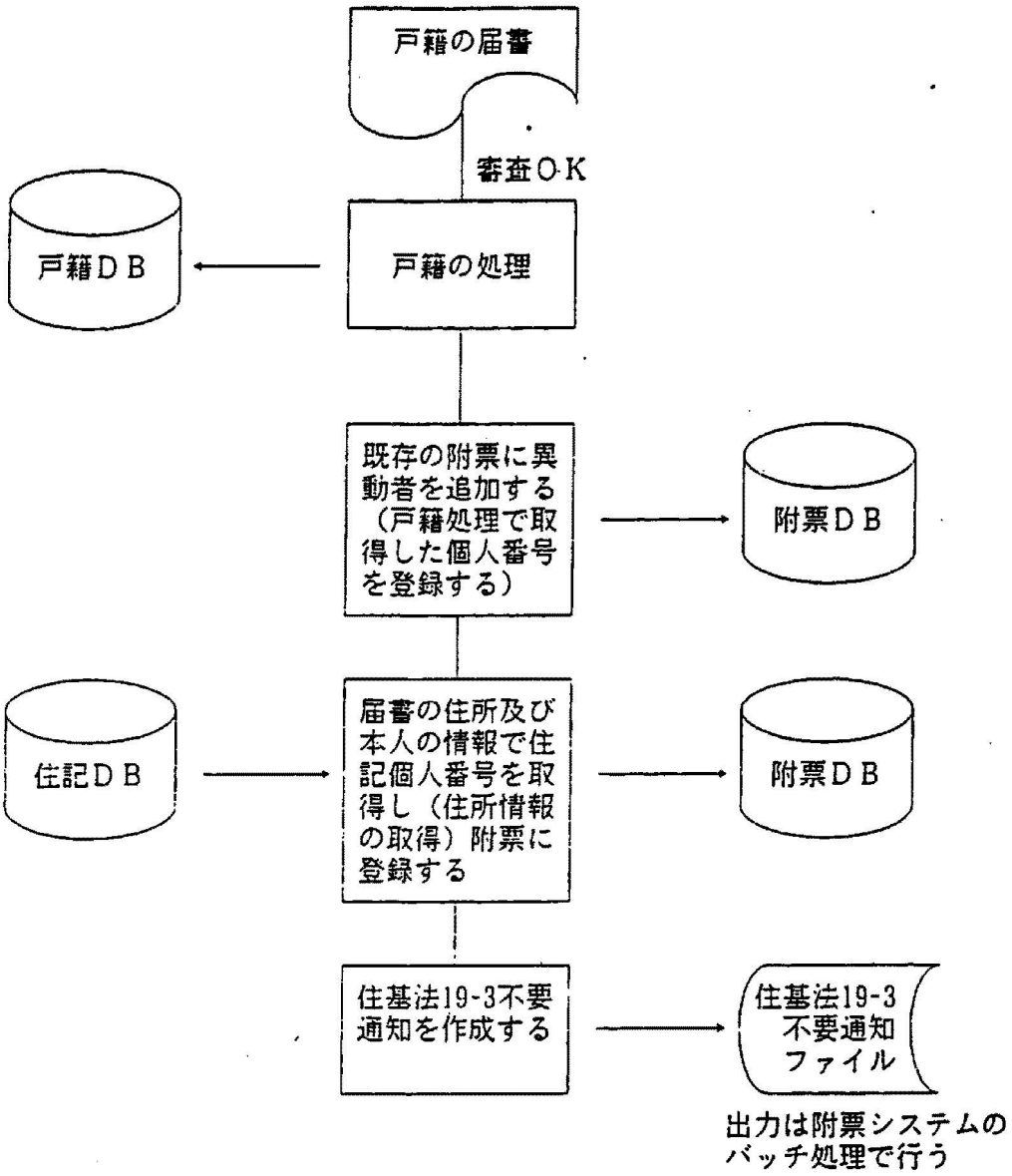
4．(1) Ⅲ－1－2－1	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除） ――	頁　数 1／1



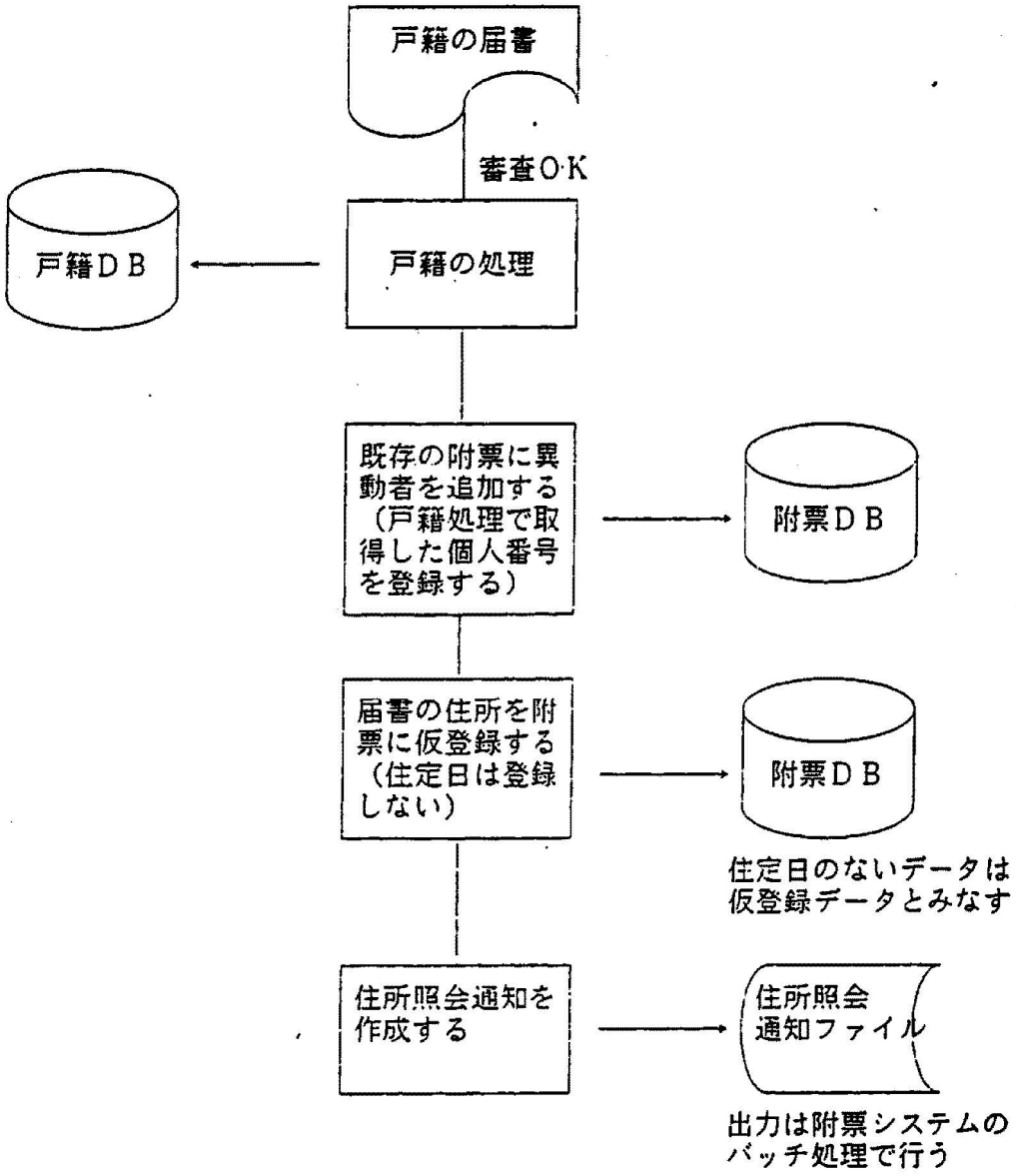
4．(1) Ⅲ－1－2－2	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除） ――	頁　数 1／1



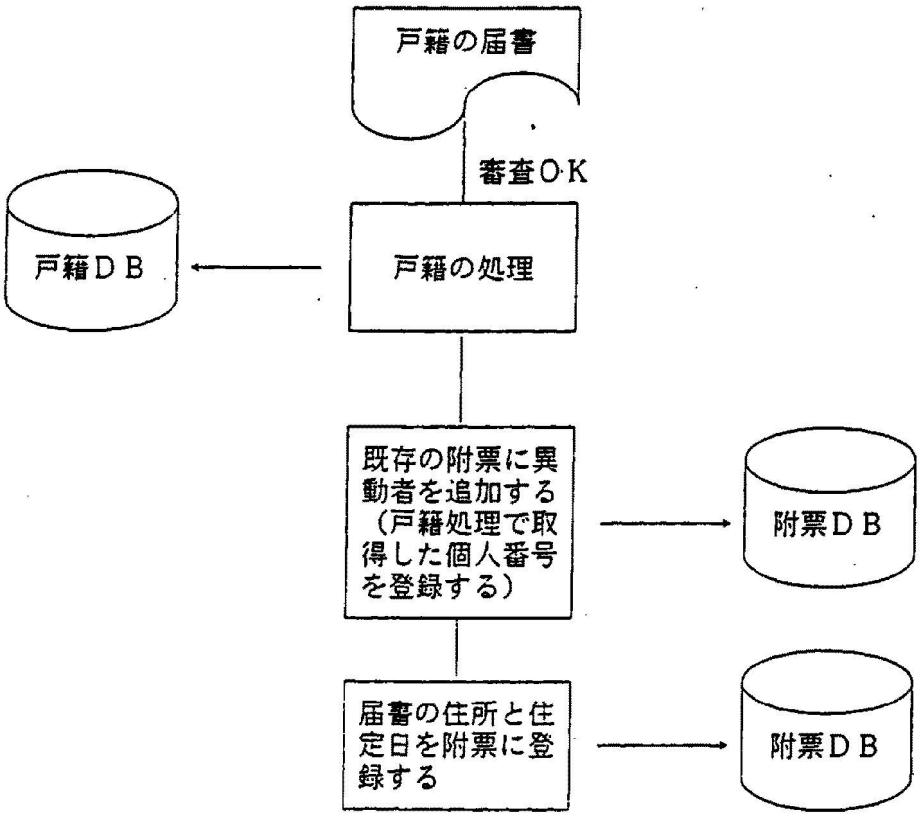
4．(1) Ⅲ－1－2－3	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



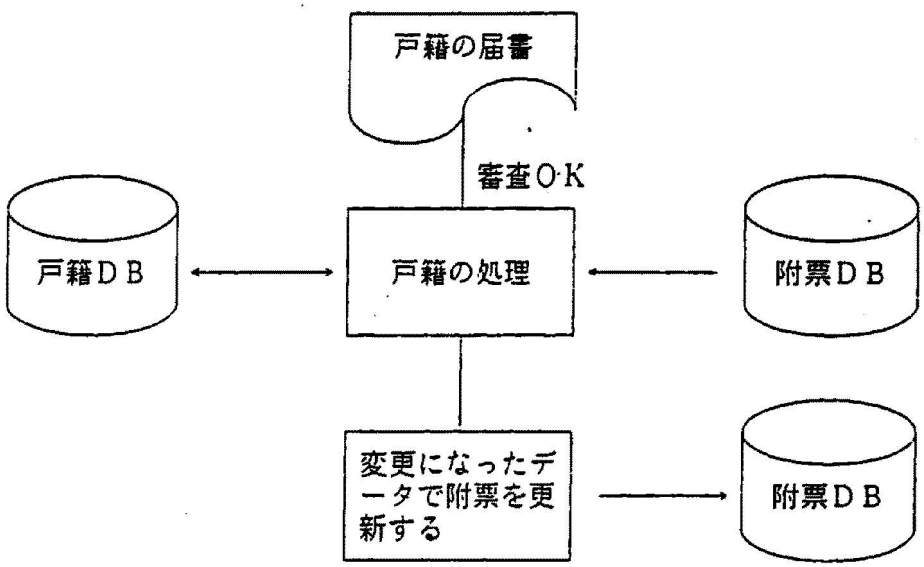
4．(1) Ⅲ－1－2－4	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



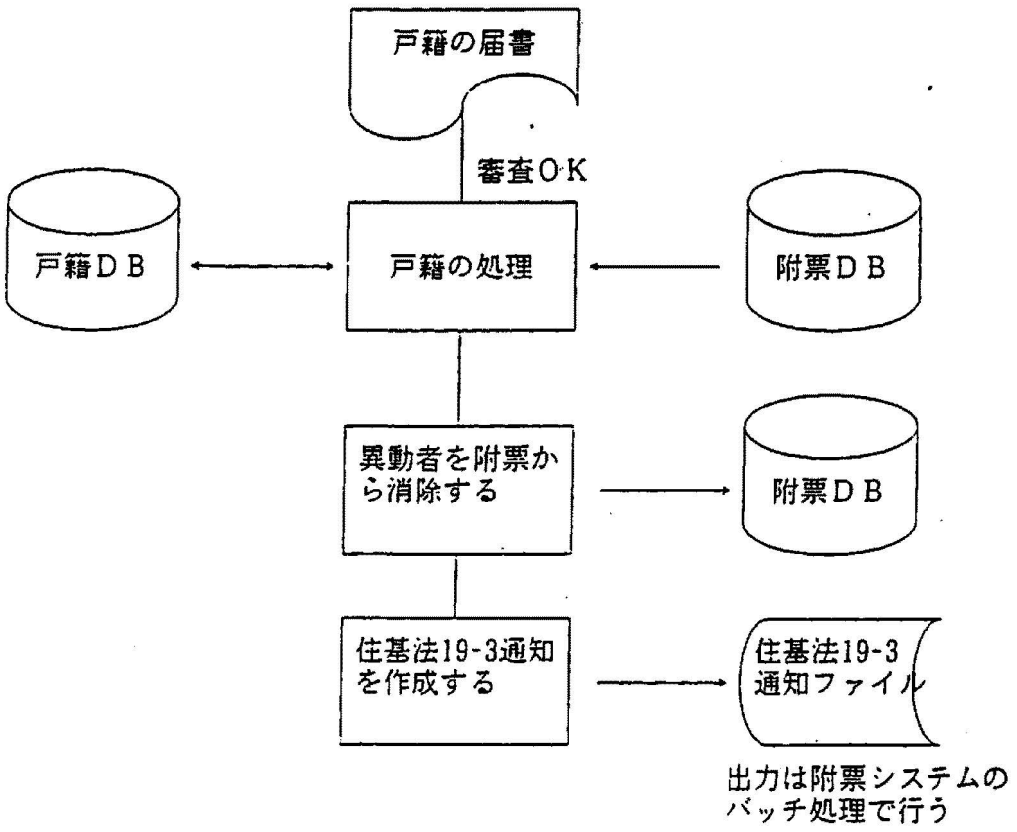
4．(1) Ⅲ－1－2－5	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



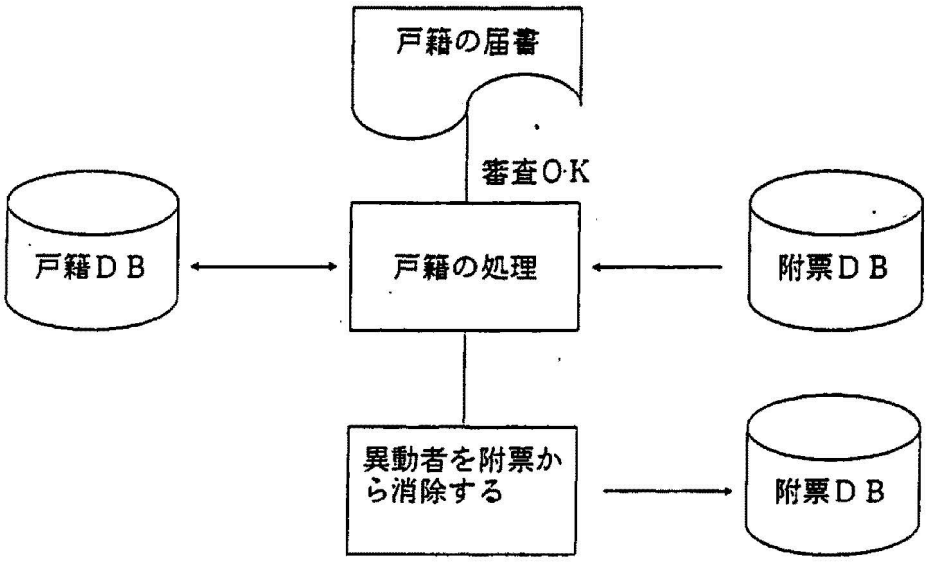
4．(1) Ⅲ－1－3	戸籍の記載を変更したことによる附票の修正 ―― 氏名変更，管内転籍等 ――	頁　数 1／1



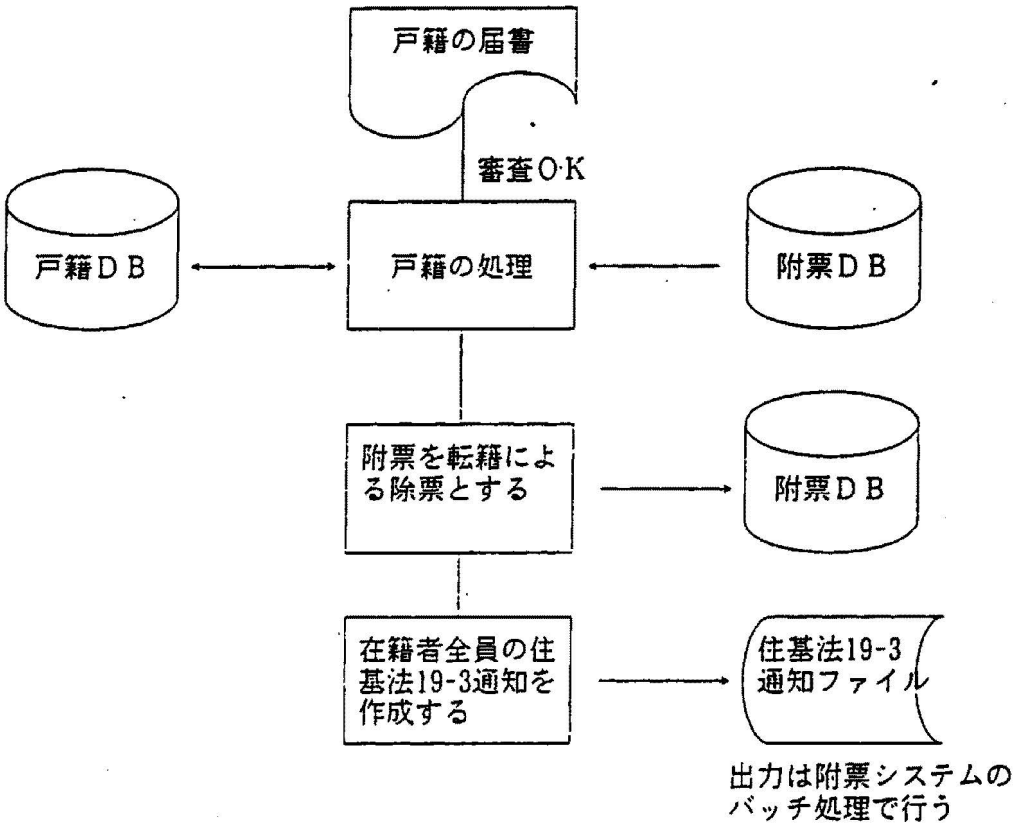
4．(1) Ⅲ－1－4－1	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 他の本籍地へ異動する場合 ――	頁　数 1／1



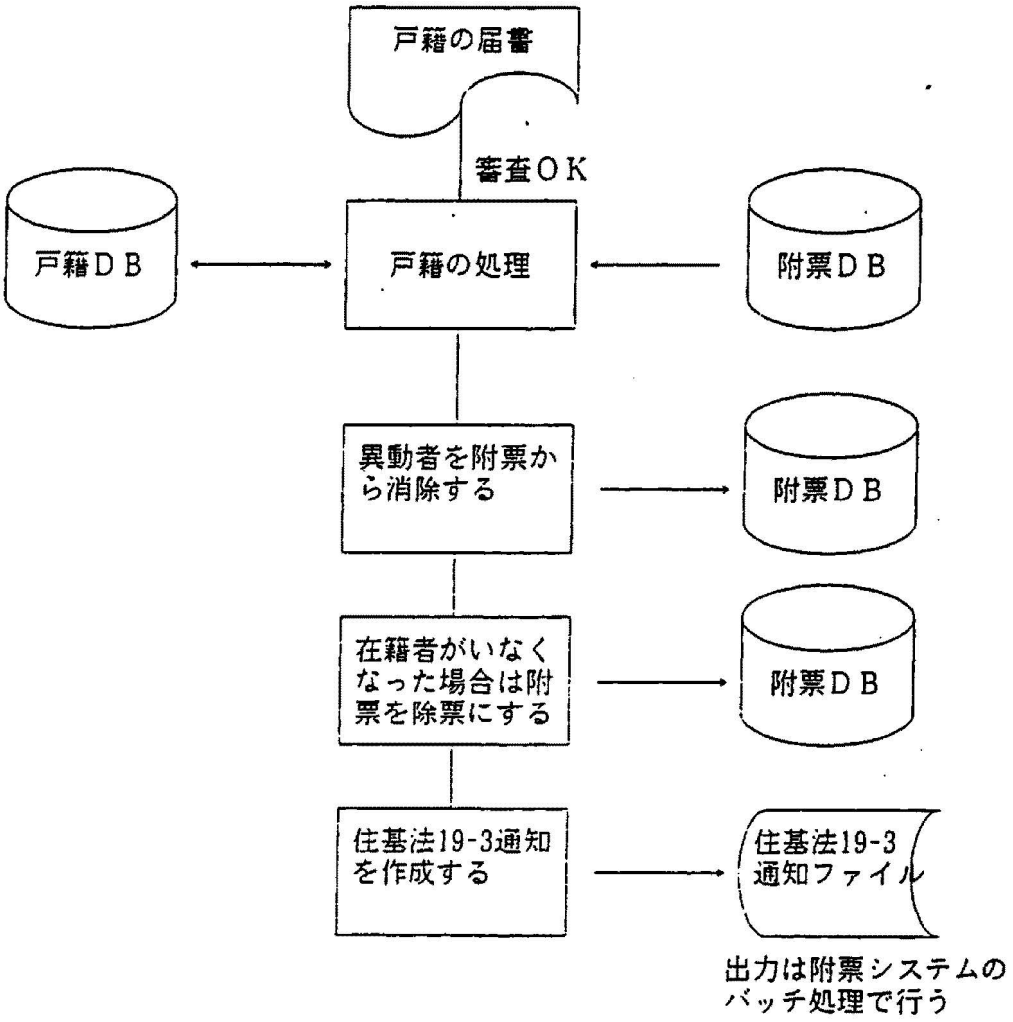
4．(1) Ⅲ－1－4－2	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 死亡等で他への異動がない場合 ――	頁　数 1／1



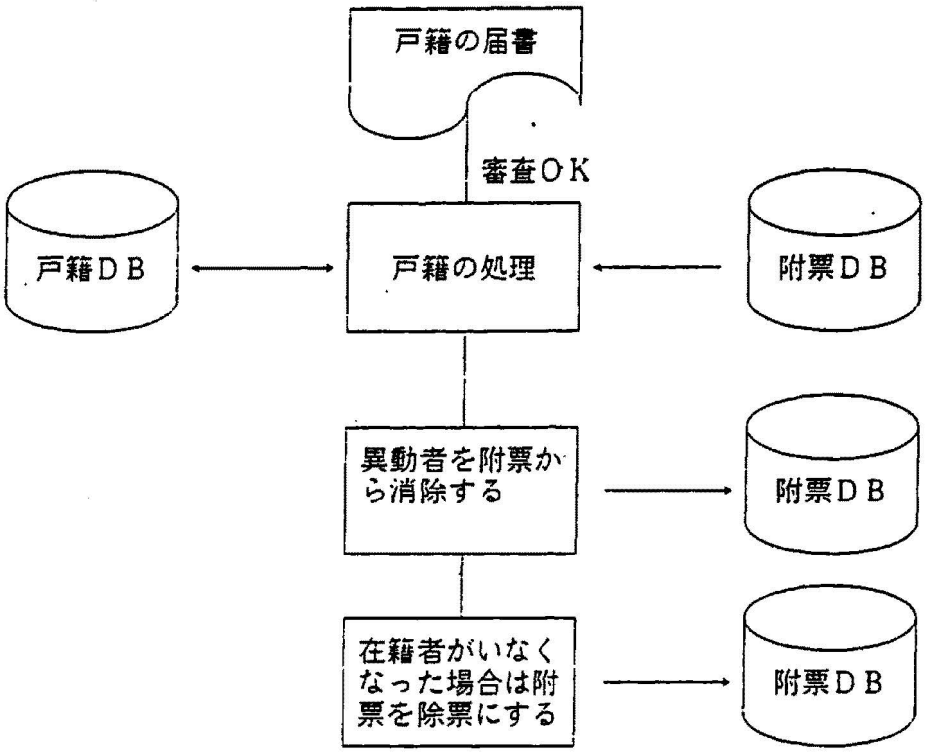
4．(1) Ⅲ－1－5	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 管外転籍 ――	頁　数 1／1



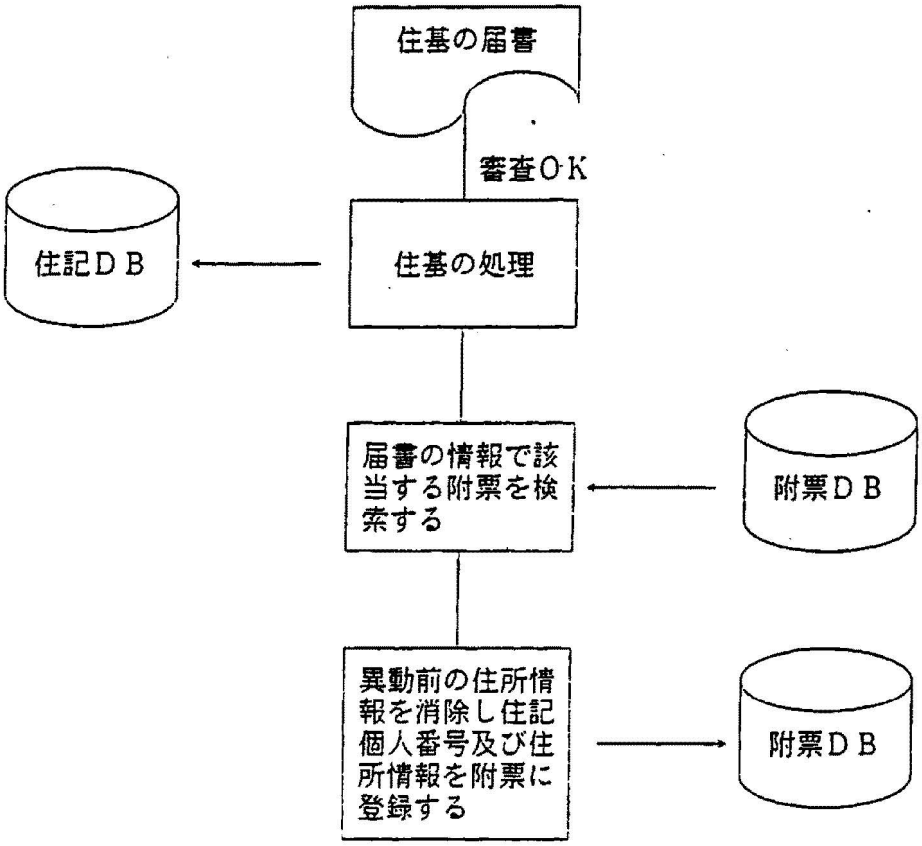
4．(1) Ⅲ－1－6－1	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 他の本籍地へ異動する場合 ――	頁　数 1／1



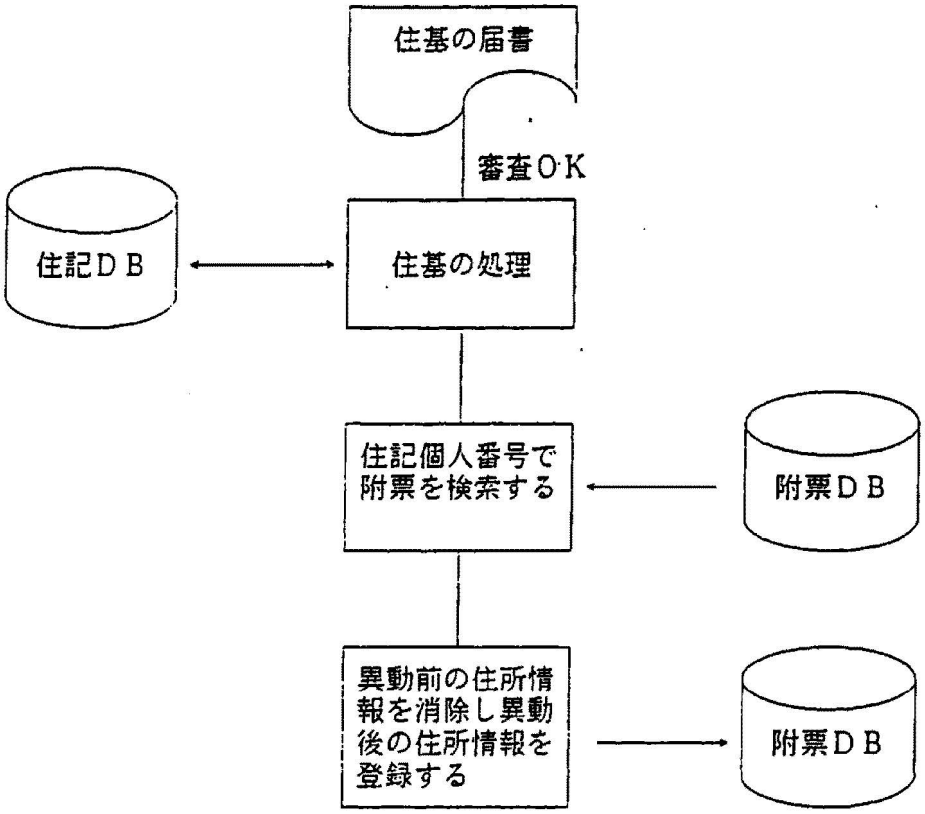
4．(1) Ⅲ－1－6－2	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 死亡等で他への異動がない場合 ――	頁　数 1／1



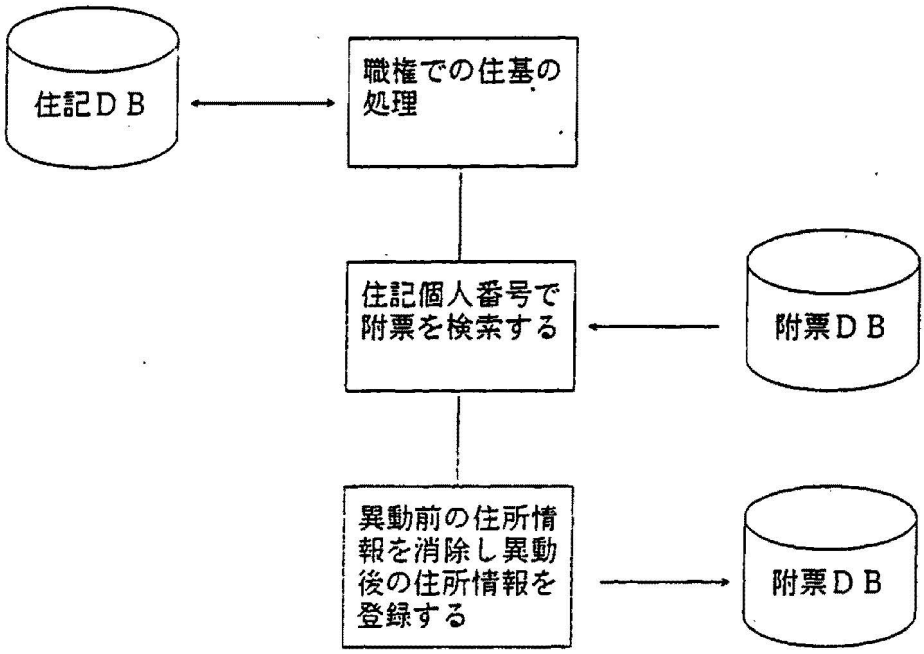
4．(1) Ⅲ－2－1－1	住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正 ―― 本籍地に転入してきた場合 ――	頁　数 1／1



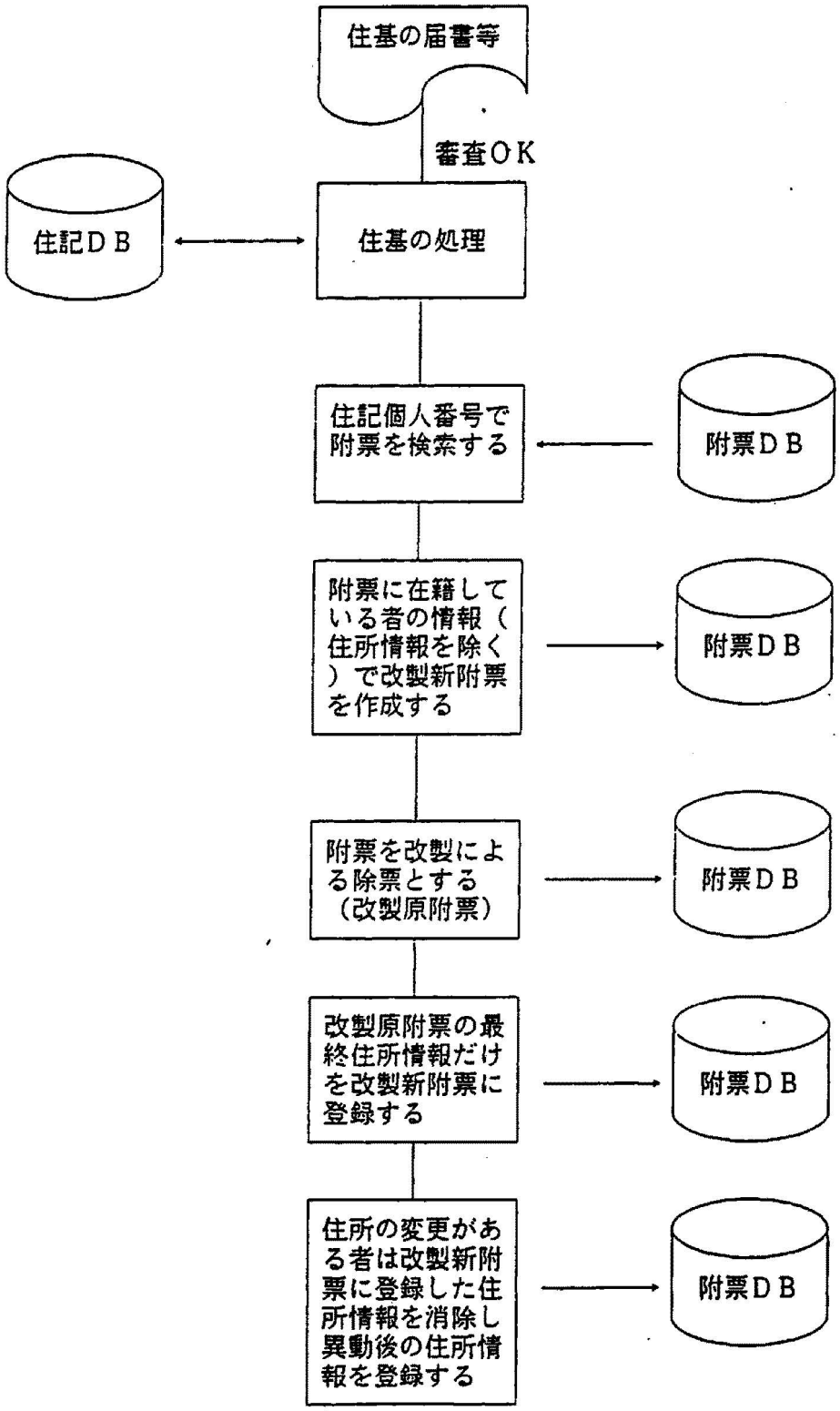
4．(1) Ⅲ－2－1－2	住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正 ―― 本籍人である住所人が転居等をした場合 ――	頁　数 1／1



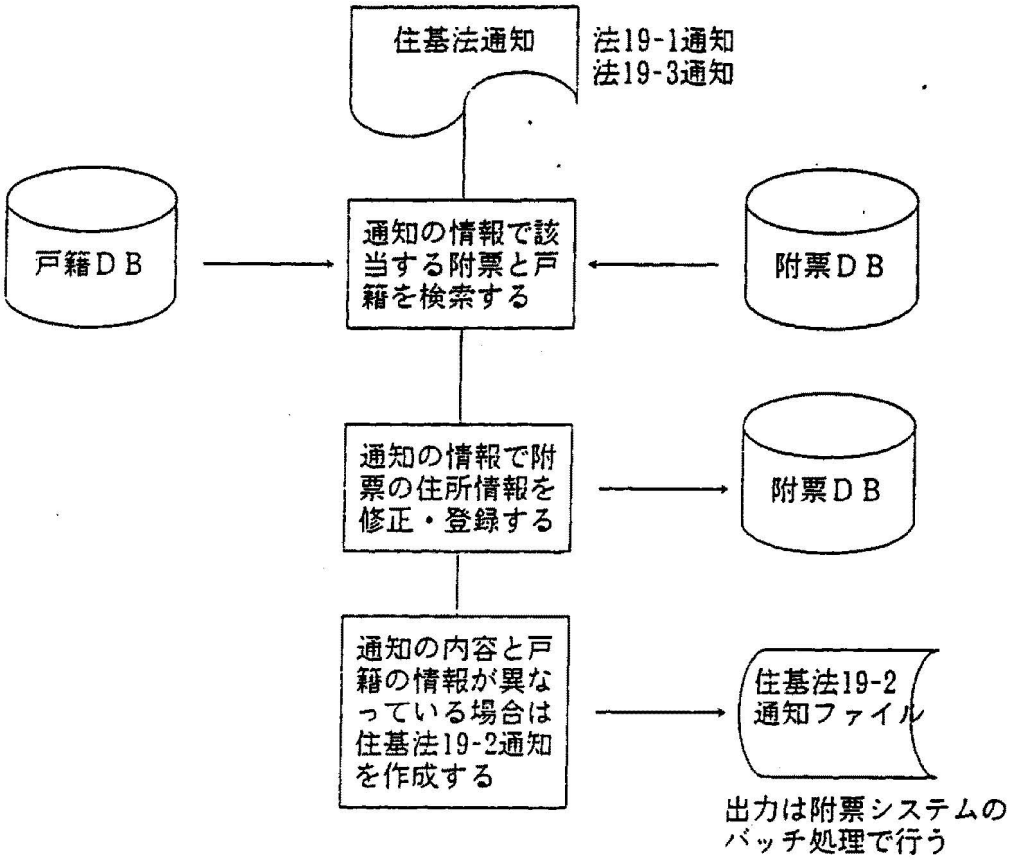
4．(1) Ⅲ－2－2	職権での住民票修正による附票の修正 ―― 住所人が本籍人の場合 ――	頁　数 1／1



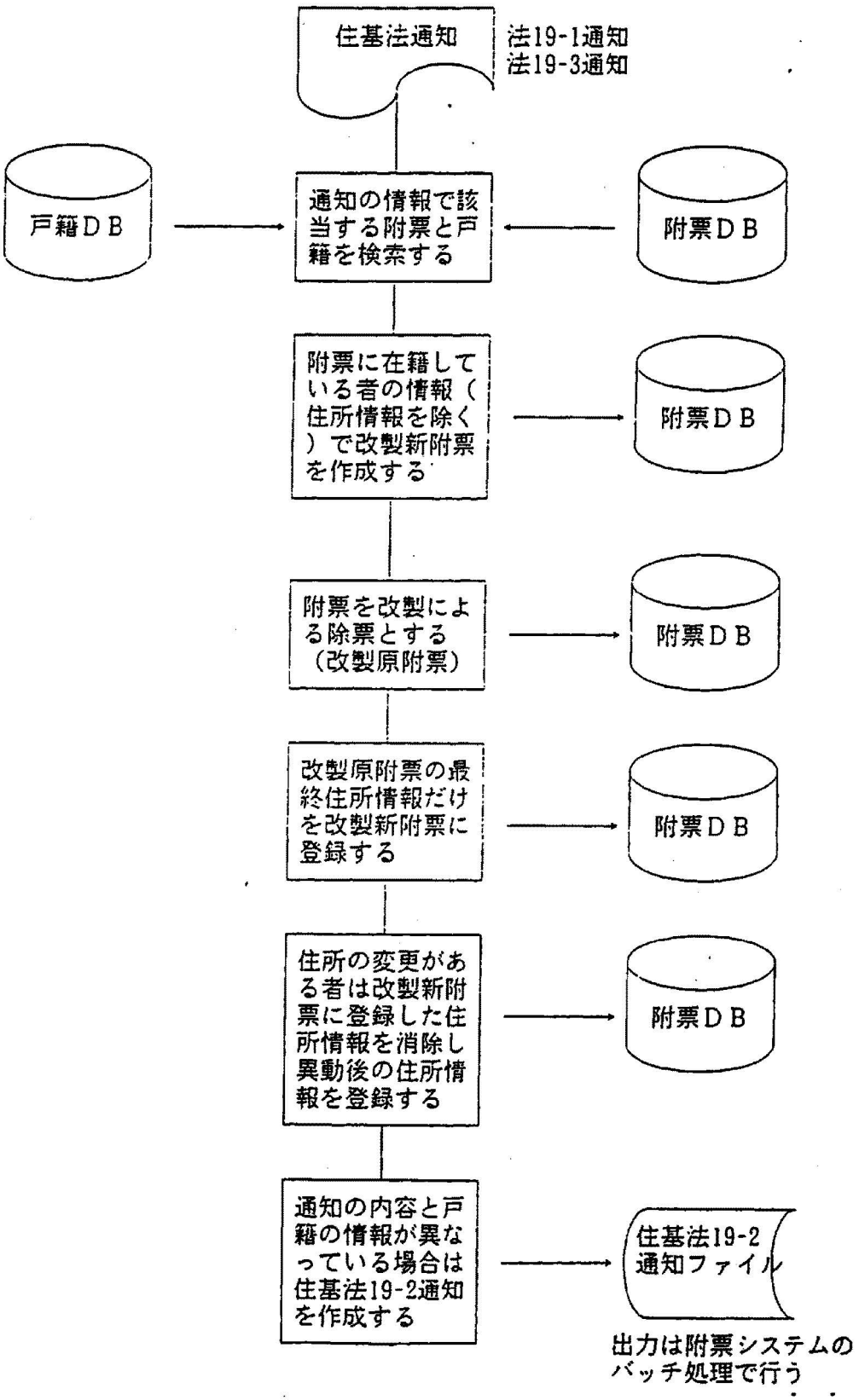
4．(1) Ⅲ－2－3	住民基本台帳法に基づく届出又は職権での住民票修正による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



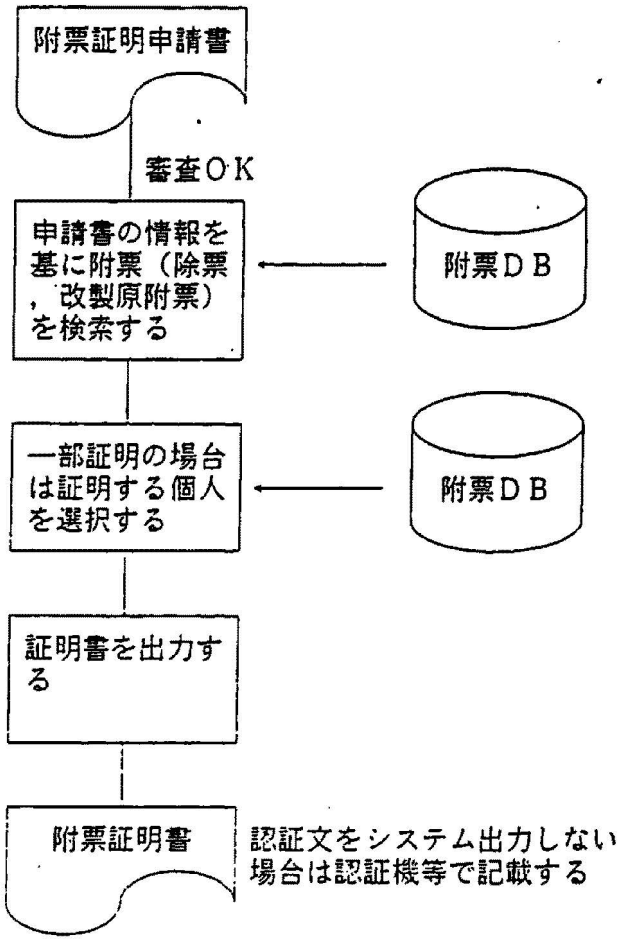
4．(1) Ⅲ－3－1－1	住民基本台帳法の通知による附票の修正	頁　数 1／1



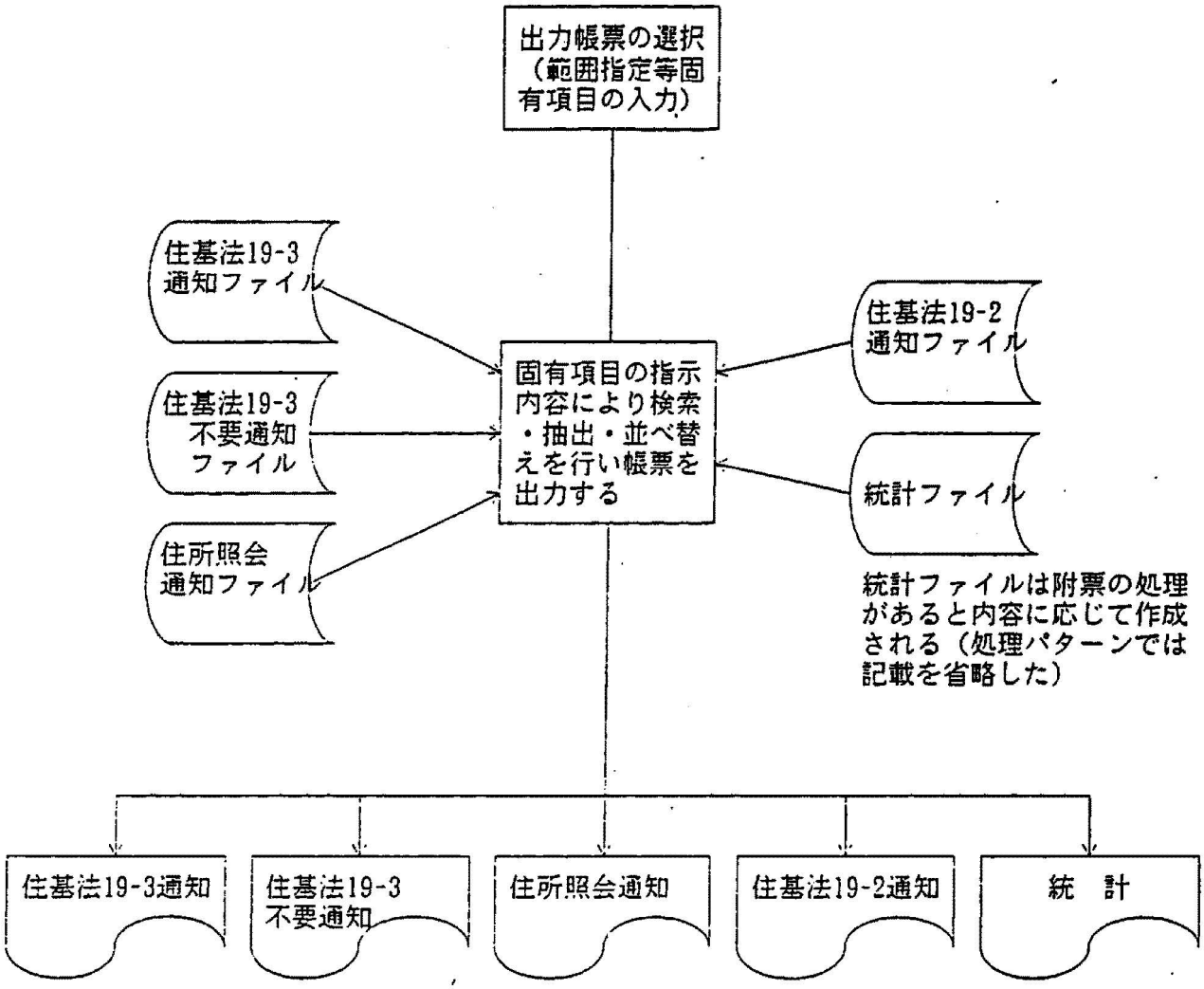
4．(1) Ⅲ－3－1－2	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



4．(1) Ⅲ－3－2	証明書発行処理 ―― 附票・除票・改製原附票（一部証明，全部証明） ――	頁　数 1／1



4．(1) Ⅲ－3－3	各種帳票出力処理	頁　数 1／1



4．(1) 別　紙	附票の改製方法	頁　数 1／2

① 附票にいる者の１人を改製することで全員が改製となる方法

〔附票ＤＢ：異動前〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	

住所を「住所ＥＥＥ」から「住所ＦＦＦ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	
花子	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	

附票の改製方法

② 改製の条件にあった者だけを改製する方法

〔附票ＤＢ：異動前〕は①と同じ

住所を「住所ＥＥＥ」から「住所ＦＦＦ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	住所ＦＦＦ

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ

さらに住所を「住所ＦＦＦ」から「住所ＧＧＧ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	住所ＧＧＧ
	4	
	5	
花子	1	住所ＦＦＦ
	2	住所ＧＧＧ
	3	
	4	
	5	

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	住所ＦＦＦ

5．まとめ

(1) 検討項目内容

まとめとして，当戸籍附票システム部会で検討された議題とその経緯及び結論を示す。また，議題の中には法令に係わる部分等，自治省・法務省の検討を待たなければ結論が出せない問題もいくつかあったが，それについては当部会での検討経緯だけを示す。

ア) 戸籍の附票をシステム化するメリット

〔結論〕・現在の可視台帳処理では，附票への記載処理が遅い（住民基本台帳法第19条1項通知及び同法第19条3項通知の作成が遅いため）が，システム化により迅速に処理できると考えられる（通知及び記載の双方とも）。当然住民サービスの向上につながる。

・システムで処理するので，現在よりは転記ミスが少なくなると予想される（職員の負担軽減）。

イ) 附票システムの独立性について

〔問題〕附票がシステム化された場合，戸籍，住記のどちらのシステムに属するのか。

〔経緯〕・附票の所有する項目からみれば，戸籍との共通点が多いため，戸籍に属するといえる。

・運用の面からみれば，附票は単独で稼動されるシステムであるので，どのシステムにも属さず，独立であるといえる。

〔結論〕データの持ち方については作成する市町村に一任する（ただし，不適なデータの規制は行う）。

附票システムは独立である。

ウ) 附票の履歴の考え方

〔経緯〕・住民基本台帳法では，住所が変更されたときに前のデータを履歴として残しておくことも，残しておいた場合にその証明書を出すことも規定はしていない。したがって，最新住所のみを現在附票とし，前住所は改製原附票としても構わないと考える。

・附票の履歴の証明を必要とする事務はいくつかある（登記，車検，国外転入等）。

・以前の住所が改製原附票でしか証明できないとすると，住民の負担増につながる（金銭面から）。

・現在は附票の記載欄に余白が無くなったとき，附票の汚損・き損が著しいときに附票の改製が認められるが，システム化ではこの考えでの改製は無くなると予想される。システム化では附票の履歴を無限に持つのだろうか。

〔結論〕種々の事務との関連上，附票の履歴を無くすのは問題がある。
システム化でも，現在の改製の考えを踏襲する方法を考えるべきではあるが，その内容については自治省，法務省両省で考えていただきたい。
〔報告書での記載〕2．(3) 改製の方法
4．(1)．エ） システム化後の改製について

エ） 附票のセットアップ
〔経緯〕・附票のセットアップは改製と同じとみなし，最新住所だけ移記するとした方がよい（費用が安くあがる，職員の作業軽減にもなる）。
・改製することで可視台帳は改製原附票となり，5年後は廃棄されることにより住所の履歴がなくなる（住民サービスの低下となる）。
・現在も強制改製を行っていることを考えれば，住民サービスの低下になるとは思えない。
〔結論〕この方法についても自治省，法務省両省で考えていただきたい（メリット，デメリットを再度検討する必要がある）。

オ） 附票を作成するときの住記番号の取得について
〔問題〕附票を作成するとき，住所人に関しては住民記録データベースから住記番号を直接取得したい。
〔経緯〕・「行政機関の保有する電子計算機に係る個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）の第9条1項の条項に引っ掛かるのではないか。
・住記番号は住民基本台帳法で定めた住民票の項目には無いため（システム化により必要となる特別なデータ），取得してよいとの明文化はできない。
・税システム等では住記番号の取得を容認している事例がある。
〔結論〕住民記録システムを主として考え，住民記録システムから附票システムへ住記番号を渡してやるという前提であれば，取得しても構わないと考える。

カ） 誤字・俗字の住基窓口対応
〔問題〕平成2年10月20日法務省民二第5200号通達で，戸籍の異動があったときに誤字・俗字を正字に引き直して構わないとのことである（常に引き直しができるということではない）が，住基の窓口でも引き直して構わないとしてほしい。
〔経緯〕・住基の届出が多い現在では，住基の窓口でこの処理を行わせることにより，誤字・俗字の解消が早まる。ひいては，戸籍コンピュータ化でのセットアップ時の職員の負荷が軽減される。
・住基の窓口では戸籍原本がないため，誤字・俗字が戸籍に記載されている文字同じとの確認がとれない。また，戸籍の一部の処理形態でしか引き直せないので，住基の窓口ではその判断がつかない。

・住所と本籍が同一の市町村にいる者だけを対象にするとか，手続きの方法を考えるなどして，何とか住基窓口でも対応できないものか。

〔結論〕現状では難しいとのことであるが，法務省で再度前向きに考えていただくよう要望する。

キ) 戸籍の附票事務のシステム化の範囲

〔経緯〕・住民基本台帳法第19条２項通知は手書きとすべきである。件数が少なく電算化のメリットも考えにくい。

・附票で必ず必要となる処理と，オプション処理とに切り分けるべきである。

〔結論〕戸籍の附票事務はそれほど多くなく，また，特別煩雑でシステム化に適していない事務は無いと思われるので，一応すべての事務をシステム化範囲とする。

オプションについては市町村に一任されるものでり，本報告書で切り分ける必要はない。

〔報告書での記載〕３．(1) 〔附票システム〕の範囲

6．参考資料

(1) 画面展開図

高野太郎が東京都台東区に転入したことにより，台東区（住所地）から千代田区（本籍地）へ住民基本台帳法第19条１項通知が送付され，それに基づいて附票処理する事例の画面展開図を表す。各画面の展開内容は以下のとおりである。

① 附票メニューから住基法19条１項通知処理を選択する（画面１）。
② 検索画面から該当者検索情報を入力する（画面２）。今回はカナ氏名を検索条件とする。
③ 該当附票一覧が表示されるので，合致する附票を選択する（画面３）。
④ 附票に記載されている者の一覧画面から該当者を選択する（画面４）。
⑤ 該当者の附票情報が表示される。該当者に間違いがないか確認する（画面５）。
⑥ 附票修正画面では現在の住所が旧住所欄に表示される（画面６）。
⑦ 旧住所の消除日と新しい住所の情報を新住所欄に記載する（画面７）。
⑧ 確認すると修正後の附票情報画面が表示される（画面８）。

(2) 帳票仕様

附票システムで作成される帳票仕様を示す。

① 附票の全部証明書
② 附票の一部証明書
③ 附票の除票の全部証明書
④ 改製原附票の全部証明書
⑤ 住民基本台帳法19条２項通知
⑥ 住民基本台帳法19条３項通知

附　票　業　務　メ　ニ　ュ　ー

H 5. 3. 31

1．検　索　処　理

2．住基法１９条１項通知処理

3．住基法１９条３項通知処理

4．修　正　処　理

5．附票の写し発行処理

6．住基法通知発行処理

7．統　計　処　理

業務選択番号　2

『業務を選択して下さい』

該　当　附　票　一　覧　　H 5. 3. 31　／

検索						
	カナ氏名	コウノ　タロウ				
	漢字氏名					
	本　　籍					
	筆頭者					
	生年月日		戸籍個人番号		住記個人番号	

No.	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	除票日	改製日
01					
02					
03					
04					
05					
06					

該当番号

『該当者検索を行って下さい』

該　当　附　票　一　覧　　H 5. 3. 31　　1／2

検索						
	カナ氏名	コウノ　タロウ				
	漢字氏名					
	本　　籍					
	筆頭者					
	生年月日		戸籍個人番号		住記個人番号	

No.	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	除票日	改製日
01	河野　太郎	M40. 2. 4	S23. 4. 7	S58. 12. 20	
	河野　弘	東京都千代田区平河町一丁目１５番地			
02	高野　太郎	S35. 9. 17	S25. 5. 15		
	高野　幸雄	東京都千代田区霞が関一丁目１番地			
03	甲野　太郎	S10. 12. 10	S33. 12. 10		S61. 4. 20
	甲野　太郎	東京都千代田区霞が関二丁目１０番地			
04	小宇野　太郎	S40. 8. 15	S37. 6. 10		
	小宇野　稔	東京都千代田区永田町五丁目３２０番地			
05	高野　太郎	S10. 12. 10	S61. 4. 20		
	高野　太郎	東京都千代田区千代田一丁目１番地			
06	河野　太郎	H 1. 1. 11	H 1. 1. 11		
	河野　太郎	東京都千代田区千代田一丁目１番地			

該当番号　2

『該当する附票を選択して下さい』

附票構成員一覧　　H 5. 3.31　　1/ 1

編製日	H25. 5.15	除票日		改製日	
本籍	東京都千代田区霞が関一丁目1番地				
筆頭者	高野　幸雄				
記載者数	7	在籍者数	4	除籍者数	3

No.	本人氏名	生年月日	作成日	除籍日
01	高野　幸雄	S 2. 8.27	S25. 5.15	
02	高野　梅子	S 5. 8. 7	S25. 5.15	
03	高野　太郎	S20. 8.15	S28. 7.18	
04	高野　花子	S30. 2. 7	S30. 2. 7	S60. 4.12
05	高野　良子	S31. 8.16	S31. 8.16	S63.11. 3
06	高野　弘子	S33.11. 6	S33.11. 6	H 1. 5.19
07	高野　次郎	S35. 9.17	S35. 9.17	
08				
09				
10				

該当番号　3

『該当する個人を選択して下さい』

個人附票詳細表示　　H 5. 3. 31　　1/ 1

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

No.	住所			
	住定日	作成日	消除日	現除
01	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　千代田マンション２０１２号室			
	昭和 20年 8月 15日	昭和 20年 8月 15日	昭和 54年 4月 8日	除
02	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号　明和荘３号室			
	昭和 54年 4月 2日	昭和 54年 4月 8日	昭和 55年 4月 12日	除
03	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号　コーポ東池袋３０３号室			
	昭和 55年 4月 4日	昭和 55年 4月 12日		現
04				
05				

『確認して下さい』

附　票　修　正　画　面　　H 5. 3. 31

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

旧情報	
住　所	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号
方　書	コーポ東池袋３０３号室
住定日	S55. 4. 4
作成日	S55. 4. 12
消除日	

新情報	
住　所	
方　書	
住定日	
作成日	

『１９条１項通知の情報を入力して下さい』

附　票　修　正　画　面

H 5. 3. 31

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

旧情報	
住　所	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号
方　書	コーポ東池袋３０３号室
住定日	S55. 4. 4
作成日	S55. 4. 12
消除日	H 5. 3. 31

新情報	
住　所	東京都台東区東上野四丁目１０番
方　書	池の端マンションＡ－５０５号室
住定日	H 5. 3. 27
作成日	H 5. 3. 31

『確認して下さい』

個人附票詳細表示　　H 5. 3. 31　　1/ 1

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

No.	住　　所			
	住　定　日	作　成　日	消　除　日	現　除
01	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　千代田マンション２０１２号室			
	昭和 20年 8月 15日	昭和 20年 8月 15日	昭和 54年 4月 8日	除
02	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号　明和荘３号室			
	昭和 54年 4月 2日	昭和 54年 4月 8日	昭和 55年 4月 12日	除
03	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号　コーポ東池袋３０３号室			
	昭和 55年 4月 4日	昭和 55年 4月 12日	平成 5年 3月 31日	除
04	東京都台東区東上野四丁目１０番　池の端マンションＡ－５０５号室			
	平成 5年 3月 21日	平成 5年 3月 31日		現
05				

『確認して下さい』

附　票　の　全　部　証　明　書

（1の1）　全　部　証　明

編　製　日	昭和５０年８月２０日
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
附票に記載されている者	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
附票に記載されている者 除　籍	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５３年７月５日
	以下余白

発行番号００１２３４

この写しは戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

附　票　の　一　部　証　明　書

（1の1）　一　部　証　明

編　製　日	昭和５０年８月２０日
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
	以下余白

発行番号００２５７４

この写しは戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

附　票　の　除　票　の　全　部　証　明　書

除　票	（1の1）	全　部　証　明
編　製　日 消　除　日	昭和５０年８月２０日 平成５年３月３１日	
本　籍 氏　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎	
附票に記載されている者 除　票番	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日	
附票に記載されている者 除　票番	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日	
附票に記載されている者 除　票番	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５３年７月５日	
	以下余白	

発行番号００３５７９

この写しは戸籍の附票の除票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

改製原附票の全部証明書

改製原附票	（2の1）	全部証明
編製日 改製除票日	昭和４０年８月２０日 平成４年３月２７日	
本籍 氏名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎	
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日 【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年９月２２日 【住　所】新潟県北蒲原郡紫雲時町大字藤塚浜１２８４番地　紫雲アパート４号室 【住定日】昭和５０年１１月１３日 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号 【住定日】昭和４０年８月２０日	
附票に記載されている者	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日 【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年９月２２日 【住　所】新潟県北蒲原郡紫雲時町大字藤塚浜１２８４番地　紫雲アパート４号室 【住定日】昭和５０年１１月１３日 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号 【住定日】昭和４０年８月２０日	
附票に記載されている者	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日	

発行番号００４３４０

改製原附票の全部証明書

（2の2）　全部証明

	【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日
	【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年１２月１日
附票に記載されている者 除　籍番	花子 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日
	【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５７年３月３日
	以下余白

発行番号００４３４０

この写しは改製原の戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　名　　職印

住民基本台帳法第１９条２項通知

訂正通知書（法第１９条２項通知）

住　　所 世 帯 主	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 河野　義太郎
本　　籍 筆 頭 者	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番地 河野　義太郎
氏　名　１ 生年月日 性　別 続　柄	河野　太郎 昭和５５年１２月１日 男 長男
相違事項	本籍 生年月日（河野　太郎）

上記のとおり相違ありますから通知します。

平成　5年　3月31日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

住民基本台帳法第１９条３項通知

附票転属通知書（法第１９条３項通知）

新本籍	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番地
旧本籍	東京都千代田区平河町一丁目１０番地
筆頭者	河野　義太郎
異動者　1	義太郎
住所	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室
住定日	平成４年１２月３日
異動者　2	梅子
住所	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室
住定日	平成４年１２月３日
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	

上記のとおり通知します。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　名　　職印